

**2025年度
ILAC科目/市ヶ谷基礎科目・総合科目
100番台
講義概要（シラバス）**



法政大学

科目一覧

〔発行日：2025/5/1〕 最新版のシラバスは、法政大学Webシラバス (<https://syllabus.hosei.ac.jp/>) で確認してください。

凡例 その他属性

〈他〉：他学部公開科目	〈グ〉：グローバル・オープン科目
〈優〉：成績優秀者の他学部科目履修制度対象科目	〈実〉：実務経験のある教員による授業科目
〈S〉：サティフィケートプログラム_SDGs	〈ア〉：サティフィケートプログラム_アーバンデザイン
〈ダ〉：サティフィケートプログラム_ダイバーシティ	〈未〉：サティフィケートプログラム_未来教室
〈カ〉：サティフィケートプログラム_カーボンニュートラル	

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕英語【E1455】補講英語1・2-I [水野 太朗] 春学期授業/Spring.....	1
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕英語【E1456】補講英語1・2-II [水野 太朗] 秋学期授業/Fall.....	3
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕英語【E1457】補講英語1・2-I [須藤 祐二] 春学期授業/Spring.....	4
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕英語【E1458】補講英語1・2-II [須藤 祐二] 秋学期授業/Fall.....	5
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕英語【E1802】Academic Literacy A [THOMAS G POWER] 秋学期授業/Fall.....	6
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕英語【E1803】Academic Literacy B [THOMAS G POWER] 春学期授業/Spring.....	8
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕英語【E1804】College Writing A [ROBIN F WEICHERT] 秋学期授業/Fall.....	10
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕英語【E1805】College Writing B [ROBIN F WEICHERT] 春学期授業/Spring.....	11
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕英語【E1810】Academic Literacy A [THOMAS G POWER] 秋学期授業/Fall.....	12
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕英語【E1811】Academic Literacy B [THOMAS G POWER] 春学期授業/Spring.....	14
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕英語【E1812】College Writing A [DANIEL G DUSZA] 秋学期授業/Fall.....	16
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕英語【E1813】College Writing B [DANIEL G DUSZA] 春学期授業/Spring.....	18
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕諸外国語【E2227】ドイツ語補講1 I [三ツ石 祐子] 春学期授業/Spring.....	20
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕諸外国語【E2228】ドイツ語補講1 II [三ツ石 祐子] 秋学期授業/Fall.....	21
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕諸外国語【E2229】ドイツ語補講2 I [岡本 雅克] 春学期授業/Spring.....	22
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕諸外国語【E2230】ドイツ語補講2 II [岡本 雅克] 秋学期授業/Fall.....	23
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕諸外国語【E3249】フランス語補講1 I [西川 純子] 春学期授業/Spring.....	24
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕諸外国語【E3250】フランス語補講1 II [西川 純子] 秋学期授業/Fall.....	25
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕諸外国語【E3251】フランス語補講2 I [中村 美緒] 春学期授業/Spring.....	26
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕諸外国語【E3252】フランス語補講2 II [中村 美緒] 秋学期授業/Fall.....	27
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕諸外国語【F4001】ロシア語(1) I [油本 真理] 春学期授業/Spring.....	28
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群〔必修〕諸外国語【F4002】ロシア語(1) II [油本 真理] 秋学期授業/Fall.....	29

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【F4003】 ロシア語(2)Ⅰ [上野 理恵] 春学期授業/Spring	30
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【F4004】 ロシア語(2)Ⅱ [上野 理恵] 秋学期授業/Fall	31
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【F9104】 Elementary Health and Physical Education [武井 敦彦] 秋学期授業/Fall	32
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【G9005】 ロシア語1 [油本 真理] 春学期授業/Spring	34
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【G9006】 ロシア語3 [油本 真理] 秋学期授業/Fall	35
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【G9007】 ロシア語2 [上野 理恵] 春学期授業/Spring	36
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【G9008】 ロシア語4 [上野 理恵] 秋学期授業/Fall	37
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【P0162】 Elementary Information Technology [斎藤 明] 秋学期授業/Fall	38
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【P0632】 Elementary Career Development [AMINE A ABBADIE] 秋学期授業/Fall	39
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【P1302】 Elementary Humanities A [URBANOVA JANA] 秋学期授業/Fall	41
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【P1304】 Elementary Humanities B [Richard J Burrows] 秋学期授業/Fall	43
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【P2301】 Elementary Social Science A [GAEL BESSON] 春学期授業/Spring	44
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【P2302】 Elementary Social Science B [GAEL BESSON] 秋学期授業/Fall	46
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【P3602】 Elementary Mathematics A [小木 曾 岳義] 秋学期授業/Fall	47
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【P3603】 Elementary Mathematics B [小木 曾 岳義] 春学期授業/Spring	48
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0033】 基礎ゼミⅠ (法文営) [近江屋 志穂] 春学期授業/Spring	49
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0034】 基礎ゼミⅡ (法文営) [近江屋 志穂] 秋学期授業/Fall	50
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0101】 情報処理演習Ⅰ [吉岡 卓] 春学期授業/Spring	51
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0103】 情報処理演習Ⅰ [吉岡 卓] 春学期授業/Spring	52
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0105】 情報処理演習Ⅰ [吉岡 卓] 春学期授業/Spring	53
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0107】 情報処理演習Ⅰ [吉岡 卓] 春学期授業/Spring	54
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0109】 情報処理演習Ⅰ [中村 文隆] 春学期授業/Spring	55
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0111】 情報処理演習Ⅰ [中村 文隆] 春学期授業/Spring	56
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0113】 情報処理演習Ⅰ [河内谷 幸子] 春学期授業/Spring	57
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0115】 情報処理演習Ⅰ [岡嶋 裕史] 春学期授業/Spring	59
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0117】 情報処理演習Ⅰ [岡嶋 裕史] 春学期授業/Spring	60
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0119】 情報処理演習Ⅰ [重定 如彦] 春学期授業/Spring	61
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0121】 情報処理演習Ⅰ [重定 如彦] 春学期授業/Spring	63

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0127】情報処理演習Ⅰ [河内谷 幸子] 春学期授業/Spring	65
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0129】情報処理演習Ⅰ [河内谷 幸子] 春学期授業/Spring	67
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0135】情報処理演習Ⅰ [名兄耶 厚] 春学期授業/Spring	69
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0137】情報処理演習Ⅰ [名兄耶 厚] 春学期授業/Spring	70
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0139】情報処理演習Ⅰ [名兄耶 厚] 春学期授業/Spring	71
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0141】情報処理演習Ⅰ [名兄耶 厚] 春学期授業/Spring	72
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0143】情報処理演習Ⅰ [星 善光] 春学期授業/Spring	73
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0145】情報処理演習Ⅰ [星 善光] 春学期授業/Spring	74
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0201】情報リテラシーⅠ [色川 進] 春学期授業/Spring	75
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0203】情報リテラシーⅠ [中村 文隆] 春学期授業/Spring	77
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0205】情報リテラシーⅠ [色川 進] 春学期授業/Spring	79
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0207】情報リテラシーⅠ [金 勇] 春学期授業/Spring	81
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0209】情報リテラシーⅠ [中村 文隆] 春学期授業/Spring	83
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0211】情報リテラシーⅠ [金 勇] 春学期授業/Spring	85
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0213】情報リテラシーⅠ [重定 如彦] 春学期授業/Spring	87
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0215】情報リテラシーⅡ [色川 進] 春学期授業/Spring	89
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0217】情報リテラシーⅡ [中村 文隆] 春学期授業/Spring	91
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0219】情報リテラシーⅡ [色川 進] 春学期授業/Spring	93
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0221】情報リテラシーⅡ [金 勇] 春学期授業/Spring	95
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0223】情報リテラシーⅡ [中村 文隆] 春学期授業/Spring	97
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0225】情報リテラシーⅡ [金 勇] 春学期授業/Spring	99
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0227】情報リテラシーⅡ [重定 如彦] 春学期授業/Spring	101
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0301】情報処理演習 [大間 哲] 春学期授業/Spring	103
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0303】情報処理演習 [大間 哲] 春学期授業/Spring	106
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0305】情報処理演習 [大間 哲] 春学期授業/Spring	109
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0307】情報処理演習 [御園生 純] 春学期授業/Spring	112
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 選択基盤科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等)	
【Q0501】大学を知ろう <法政学>への招待 [小林 ふみ子、金子 匡良] 春学期授業/Spring	114
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1001】日本古典文学A [表 きよし] 春学期授業/Spring	116

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1002】 日本古典文学B [表 きよし] 秋学期授業/Fall	118
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1003】 日本古典文学A [園 明美] 春学期授業/Spring	120
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1004】 日本古典文学B [園 明美] 秋学期授業/Fall	121
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1005】 日本古典文学A [成島 知子] 春学期授業/Spring	122
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1006】 日本古典文学B [成島 知子] 秋学期授業/Fall	124
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1007】 日本古典文学A [成島 知子] 春学期授業/Spring	126
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1008】 日本古典文学B [成島 知子] 秋学期授業/Fall	128
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1009】 日本近・現代文学A [細沼 祐介] 春学期授業/Spring	130
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1010】 日本近・現代文学B [細沼 祐介] 秋学期授業/Fall	131
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1013】 日本文学A [島田 雅彦] 春学期授業/Spring	132
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1014】 日本文学B [島田 雅彦] 秋学期授業/Fall	133
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1015】 日本文学A [関口 雄士] 春学期授業/Spring	134
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1016】 日本文学B [関口 雄士] 秋学期授業/Fall	135
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1017】 外国文学A [D. ハイデンライヒ] 春学期授業/Spring	136
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1018】 外国文学B [D. ハイデンライヒ] 秋学期授業/Fall	137
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1019】 外国文学A [近江屋 志穂] 春学期授業/Spring	138
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1020】 外国文学B [近江屋 志穂] 秋学期授業/Fall	139
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1021】 外国文学A [吉井 涼子] 春学期授業/Spring	140
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1022】 外国文学B [吉井 涼子] 秋学期授業/Fall	142
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1023】 外国文学A [吉井 涼子] 春学期授業/Spring	144
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1024】 外国文学B [吉井 涼子] 秋学期授業/Fall	146
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1027】 日本近・現代文学A [細沼 祐介] 春学期授業/Spring	148
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1028】 日本近・現代文学B [細沼 祐介] 秋学期授業/Fall	149
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1061】 文章論 [安藤 優一] 春学期授業/Spring	150
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1062】 文章論 [関口 雄士] 春学期授業/Spring	151
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1063】 文章論 [関口 雄士] 春学期授業/Spring	153
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1064】 文章論 [関口 雄士] 秋学期授業/Fall	154
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1065】 文章論 [細沼 祐介] 春学期授業/Spring	156
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1069】 文章論 [細沼 祐介] 秋学期授業/Fall	157

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1081】 言語学A [板井 美佐] 春学期授業/ Spring	158
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1082】 言語学B [板井 美佐] 秋学期授業/ Fall.....	159
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1083】 言語学A [副島 健作] 春学期授業/ Spring	160
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1084】 言語学B [副島 健作] 秋学期授業/ Fall.....	162
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1085】 言語学A [齊藤 雄介] 春学期授業/ Spring	164
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1086】 言語学B [齊藤 雄介] 秋学期授業/ Fall.....	165
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1093】 哲学I [計良 隆世] 春学期授業/ Spring	166
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1094】 哲学II [計良 隆世] 秋学期授業/Fall	167
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1095】 哲学I [伊藤 功] 春学期授業/Spring	168
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1096】 哲学II [伊藤 功] 秋学期授業/Fall	169
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1097】 哲学I [内山 真莉子] 春学期授業/ Spring	170
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1098】 哲学II [内山 真莉子] 秋学期授業/ Fall.....	171
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1099】 哲学I [内山 真莉子] 春学期授業/ Spring	172
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1100】 哲学II [計良 隆世] 秋学期授業/Fall	173
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1101】 哲学I [谷口 力] 春学期授業/Spring	174
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1102】 哲学II [谷口 力] 秋学期授業/Fall	175
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1103】 哲学I [大西 正人] 春学期授業/ Spring	176
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1104】 哲学II [大西 正人] 秋学期授業/Fall	177
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1105】 哲学I [近堂 秀] 春学期授業/Spring	178
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1106】 哲学II [近堂 秀] 秋学期授業/Fall	179
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1107】 哲学I [越部 良一] 春学期授業/ Spring	180
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1108】 哲学II [越部 良一] 秋学期授業/Fall	181
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1109】 哲学I [伊藤 功] 春学期授業/Spring	182
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1110】 哲学II [伊藤 功] 秋学期授業/Fall	183
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1121】 倫理学I [越部 良一] 春学期授業/ Spring	184
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1122】 倫理学II [越部 良一] 秋学期授業/ Fall.....	185
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1123】 倫理学I [杉本 隆久] 春学期授業/ Spring	186
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1124】 倫理学II [杉本 隆久] 秋学期授業/ Fall.....	187
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1125】 倫理学I [森村 修] 春学期授業/ Spring	188
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1126】 倫理学II [森村 修] 秋学期授業/Fall	189
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1127】 倫理学I [田島 樹里奈] 春学期授 業/Spring	190
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1128】 倫理学II [田島 樹里奈] 秋学期授 業/Fall	192
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1129】 倫理学I [上田 瑞季] 春学期授業/ Spring	194
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1130】 倫理学II [上田 瑞季] 秋学期授業/ Fall.....	195
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1131】 倫理学I [佐藤 英明] 春学期授業/ Spring	196

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1132】 倫理学Ⅱ [佐藤 英明] 秋学期授業/ Fall.....	197
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1133】 倫理学Ⅰ [越部 良一] 春学期授業/ Spring.....	198
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1134】 倫理学Ⅱ [越部 良一] 秋学期授業/ Fall.....	199
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1141】 論理学Ⅰ [大西 正人] 春学期授業/ Spring.....	200
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1142】 論理学Ⅱ [大西 正人] 秋学期授業/ Fall.....	201
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1143】 論理学Ⅰ [鶴澤 和彦] 春学期授業/ Spring.....	202
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1144】 論理学Ⅱ [鶴澤 和彦] 秋学期授業/ Fall.....	204
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1145】 論理学Ⅰ [計良 隆世] 春学期授業/ Spring.....	205
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1146】 論理学Ⅱ [計良 隆世] 秋学期授業/ Fall.....	207
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1147】 論理学Ⅰ [鶴澤 和彦] 春学期授業/ Spring.....	209
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1148】 論理学Ⅱ [鶴澤 和彦] 秋学期授業/ Fall.....	211
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1149】 論理学Ⅰ [大貫 義久] 春学期授業/ Spring.....	212
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1150】 論理学Ⅱ [大貫 義久] 秋学期授業/ Fall.....	213
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1151】 論理学Ⅰ [計良 隆世] 春学期授業/ Spring.....	214
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1152】 論理学Ⅱ [計良 隆世] 秋学期授業/ Fall.....	216
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1153】 論理学Ⅰ [菅沢 龍文] 春学期授業/ Spring.....	218
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1154】 論理学Ⅱ [菅沢 龍文] 秋学期授業/ Fall.....	220
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1155】 論理学Ⅰ [相原 博] 春学期授業/ Spring.....	222
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1156】 論理学Ⅱ [相原 博] 秋学期授業/Fall.....	223
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1161】 東洋史Ⅰ [齋藤 勝] 春学期授業/ Spring.....	224
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1162】 東洋史Ⅱ [齋藤 勝] 秋学期授業/Fall.....	225
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1163】 東洋史Ⅰ [齋藤 勝] 春学期授業/ Spring.....	226
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1164】 東洋史Ⅱ [齋藤 勝] 秋学期授業/Fall.....	227
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1165】 東洋史Ⅰ [板橋 暁子] 春学期授業/ Spring.....	228
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1166】 東洋史Ⅱ [板橋 暁子] 秋学期授業/ Fall.....	229
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1167】 東洋史Ⅰ [齋藤 勝] 春学期授業/ Spring.....	230
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1168】 東洋史Ⅱ [齋藤 勝] 秋学期授業/Fall.....	231
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1169】 東洋史Ⅰ [板橋 暁子] 春学期授業/ Spring.....	232
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1170】 東洋史Ⅱ [板橋 暁子] 秋学期授業/ Fall.....	233
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1181】 西洋史Ⅰ [大澤 広晃] 春学期授業/ Spring.....	234

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1182】西洋史Ⅱ [大澤 広晃] 秋学期授業/ Fall.....	235
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1183】西洋史Ⅰ [大澤 広晃] 春学期授業/ Spring.....	236
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1184】西洋史Ⅱ [大澤 広晃] 秋学期授業/ Fall.....	237
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1185】西洋史Ⅰ [内川 勇海] 春学期授業/ Spring.....	238
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1186】西洋史Ⅱ [渡辺 知] 秋学期授業/Fall	239
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1187】西洋史Ⅰ [内川 勇海] 春学期授業/ Spring.....	241
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1188】西洋史Ⅱ [渡辺 知] 秋学期授業/Fall	242
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1201】日本史Ⅰ [芳賀 和樹] 春学期授業/ Spring.....	244
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1202】日本史Ⅱ [芳賀 和樹] 秋学期授業/ Fall.....	246
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1203】日本史Ⅰ [小口 雅史] 春学期授業/ Spring.....	248
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1204】日本史Ⅱ [小口 雅史] 秋学期授業/ Fall.....	250
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1205】日本史Ⅰ [小口 雅史] 春学期授業/ Spring.....	252
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1206】日本史Ⅱ [小口 雅史] 秋学期授業/ Fall.....	254
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1207】日本史Ⅰ [真辺 美佐] 春学期授業/ Spring.....	256
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1208】日本史Ⅱ [真辺 美佐] 秋学期授業/ Fall.....	257
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1209】日本史Ⅰ [小口 雅史] 春学期授業/ Spring.....	258
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1210】日本史Ⅱ [小口 雅史] 秋学期授業/ Fall.....	260
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1211】日本史Ⅰ [芳賀 和樹] 春学期授業/ Spring.....	262
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1212】日本史Ⅱ [芳賀 和樹] 秋学期授業/ Fall.....	264
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1221】宗教論Ⅰ [榎本 香織] 春学期授業/ Spring.....	266
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1222】宗教論Ⅱ [榎本 香織] 秋学期授業/ Fall.....	267
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1223】宗教論Ⅰ [古澤 有峰] 春学期授業/ Spring.....	268
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1224】宗教論Ⅱ [古澤 有峰] 秋学期授業/ Fall.....	269
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1231】芸術A [嘉藤 笑子] 春学期授業/ Spring.....	270
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1232】芸術B [嘉藤 笑子] 秋学期授業/Fall	272
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1233】芸術A [小澤 慶介] 春学期授業/ Spring.....	274
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1234】芸術B [小澤 慶介] 秋学期授業/Fall	275
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1235】芸術A [中川 三千代] 春学期授業/ Spring.....	276
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_1群 (人文分野) 【Q1236】芸術B [中川 三千代] 秋学期授業/ Fall.....	278
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2001】法学Ⅰ [山本 圭子] 春学期授業/ Spring.....	280
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2002】法学Ⅱ [山本 圭子] 秋学期授業/Fall	281

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2003】 法学Ⅰ [山口 哲史] 春学期授業/ Spring	282
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2004】 法学Ⅱ [山口 哲史] 秋学期授業/Fall	283
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2005】 法学Ⅰ [村元 宏行] 春学期授業/ Spring	284
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2006】 法学Ⅱ [村元 宏行] 秋学期授業/Fall	285
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2007】 法学Ⅰ [吉村 千冬] 春学期授業/ Spring	286
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2008】 法学Ⅱ [吉村 千冬] 秋学期授業/ Fall	287
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2009】 法学Ⅰ [陳 志明] 春学期授業/Spring	288
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2010】 法学Ⅱ [陳 志明] 秋学期授業/Fall	289
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2011】 法学Ⅰ [水野 圭子] 春学期授業/ Spring	290
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2012】 法学Ⅱ [水野 圭子] 秋学期授業/Fall	292
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2013】 法学Ⅰ [山口 哲史] 春学期授業/ Spring	294
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2014】 法学Ⅱ [山口 哲史] 秋学期授業/Fall	295
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2017】 法学Ⅰ [吉岡 郁美] 春学期授業/ Spring	296
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2018】 法学Ⅱ [吉岡 郁美] 秋学期授業/Fall	297
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2031】 法学 (日本国憲法) [金子 匡良] 春 学期授業/Spring	298
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2032】 法学 (日本国憲法) [金子 匡良] 秋 学期授業/Fall	299
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2033】 法学 (日本国憲法) [茂木 洋平] 春 学期授業/Spring	300
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2034】 法学 (日本国憲法) [茂木 洋平] 秋 学期授業/Fall	301
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2041】 経済学Ⅰ [玉之内 直] 春学期授業/ Spring	302
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2042】 経済学Ⅱ [玉之内 直] 秋学期授業/ Fall	303
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2043】 経済学Ⅰ [千葉 千尋] 春学期授業/ Spring	304
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2044】 経済学Ⅱ [千葉 千尋] 秋学期授業/ Fall	305
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2045】 経済学Ⅰ [梅溪 健児] 春学期授業/ Spring	306
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2046】 経済学Ⅱ [梅溪 健児] 秋学期授業/ Fall	307
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2049】 経済学Ⅰ [玉之内 直] 春学期授業/ Spring	308
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2050】 経済学Ⅱ [玉之内 直] 秋学期授業/ Fall	309
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2061】 マクロ経済学Ⅰ [平田 英明] 春学 期授業/Spring	310
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2062】 マクロ経済学Ⅱ [平田 英明] 秋学 期授業/Fall	312
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2063】 マクロ経済学Ⅰ [平田 英明] 春学 期授業/Spring	314
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2064】 マクロ経済学Ⅱ [平田 英明] 秋学 期授業/Fall	316
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2071】 心理学Ⅰ [望月 由紀子] 春学期授 業/Spring	318
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2072】 心理学Ⅱ [望月 由紀子] 秋学期授 業/Fall	319

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2073】 心理学Ⅰ [久木田 敦志] 春学期授業/Spring	320
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2074】 心理学Ⅱ [久木田 敦志] 秋学期授業/Fall	321
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2075】 心理学Ⅰ [望月 由紀子] 春学期授業/Spring	322
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2076】 心理学Ⅱ [望月 由紀子] 秋学期授業/Fall	323
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2077】 心理学Ⅰ [浅川 希洋志] 春学期授業/Spring	324
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2078】 心理学Ⅱ [浅川 希洋志] 秋学期授業/Fall	325
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2079】 心理学Ⅰ [浅川 希洋志] 春学期授業/Spring	327
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2080】 心理学Ⅱ [浅川 希洋志] 秋学期授業/Fall	328
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2081】 心理学Ⅰ [櫻井 登世子] 春学期授業/Spring	330
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2082】 心理学Ⅱ [櫻井 登世子] 秋学期授業/Fall	331
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2083】 心理学Ⅰ [櫻井 登世子] 春学期授業/Spring	332
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2084】 心理学Ⅱ [櫻井 登世子] 秋学期授業/Fall	333
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2085】 心理学Ⅰ [久木田 敦志] 春学期授業/Spring	334
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2086】 心理学Ⅱ [久木田 敦志] 秋学期授業/Fall	335
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2111】 地理学Ⅰ [前畑 明美] 春学期授業/Spring	336
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2112】 地理学Ⅱ [前畑 明美] 秋学期授業/Fall	337
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2113】 地理学Ⅰ [前川 明彦] 春学期授業/Spring	338
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2114】 地理学Ⅱ [前川 明彦] 秋学期授業/Fall	340
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2115】 地理学Ⅰ [米家 志乃布] 春学期授業/Spring	342
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2116】 地理学Ⅱ [米家 志乃布] 秋学期授業/Fall	343
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2117】 地理学Ⅰ [前畑 明美] 春学期授業/Spring	344
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2118】 地理学Ⅱ [前畑 明美] 秋学期授業/Fall	345
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2119】 地理学Ⅰ [前畑 明美] 春学期授業/Spring	346
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2120】 地理学Ⅱ [前畑 明美] 秋学期授業/Fall	347
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2131】 社会学Ⅰ [徐 玄九] 春学期授業/Spring	348
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2132】 社会学Ⅱ [徐 玄九] 秋学期授業/Fall	349
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2133】 社会学Ⅰ [徐 玄九] 春学期授業/Spring	350
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2134】 社会学Ⅱ [徐 玄九] 秋学期授業/Fall	351
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2135】 社会学Ⅰ [高橋 徹] 春学期授業/Spring	352
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2136】 社会学Ⅱ [高橋 徹] 秋学期授業/Fall	353

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2137】社会学Ⅰ [徐 玄九] 春学期授業/ Spring	354
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2138】社会学Ⅱ [徐 玄九] 秋学期授業/Fall	355
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2139】社会学Ⅰ [服部 あさこ] 春学期授 業/Spring	356
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2140】社会学Ⅱ [服部 あさこ] 秋学期授 業/Fall	357
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2141】社会学Ⅰ [橋本 みゆき] 春学期授 業/Spring	358
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2142】社会学Ⅱ [橋本 みゆき] 秋学期授 業/Fall	359
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2143】社会学Ⅰ [徐 玄九] 春学期授業/ Spring	360
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2144】社会学Ⅱ [徐 玄九] 秋学期授業/Fall	361
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2145】社会学Ⅰ [松下 優一] 春学期授業/ Spring	362
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2146】社会学Ⅱ [松下 優一] 秋学期授業/ Fall.....	363
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2161】政治学Ⅰ [及川 智洋] 春学期授業/ Spring	364
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2162】政治学Ⅱ [及川 智洋] 秋学期授業/ Fall.....	365
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2163】政治学Ⅰ [崔 先鎬] 春学期授業/ Spring	366
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2164】政治学Ⅱ [崔 先鎬] 秋学期授業/Fall	367
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2165】政治学Ⅰ [崔 先鎬] 春学期授業/ Spring	368
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2166】政治学Ⅱ [崔 先鎬] 秋学期授業/Fall	369
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2167】政治学Ⅰ [高橋 和則] 春学期授業/ Spring	370
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2168】政治学Ⅱ [高橋 和則] 秋学期授業/ Fall.....	371
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2169】政治学Ⅰ [及川 智洋] 春学期授業/ Spring	372
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2170】政治学Ⅱ [及川 智洋] 秋学期授業/ Fall.....	373
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2171】政治学Ⅰ [面 一也] 春学期授業/ Spring	374
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2172】政治学Ⅱ [面 一也] 秋学期授業/Fall	375
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2173】政治学Ⅰ [岡崎 加奈子] 春学期授 業/Spring	376
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2174】政治学Ⅱ [岡崎 加奈子] 秋学期授 業/Fall	377
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2175】政治学Ⅰ [高橋 和則] 春学期授業/ Spring	378
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2176】政治学Ⅱ [高橋 和則] 秋学期授業/ Fall.....	379
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2191】文化人類学 [ベル 裕紀] 春学期授 業/Spring	380
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2193】文化人類学 [渡辺 浩平] 春学期授 業/Spring	381
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2195】文化人類学 [北原 卓也] 春学期授 業/Spring	382
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2199】文化人類学 [ベル 裕紀] 春学期授 業/Spring	383
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2201】文化人類学 [菊池 真理] 春学期授 業/Spring	384

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2203】文化人類学 [菊池 真理] 春学期授業/Spring	385
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2205】文化人類学 [相田 豊] 春学期授業/Spring	386
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2207】文化人類学 [渡辺 浩平] 春学期授業/Spring	388
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2209】文化人類学 [石森 大知] 春学期授業/Spring	389
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2211】社会思想Ⅰ [村田 玲] 春学期授業/Spring	390
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2212】社会思想Ⅱ [村田 玲] 秋学期授業/Fall	391
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2213】社会思想Ⅰ [村田 玲] 春学期授業/Spring	392
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2214】社会思想Ⅱ [村田 玲] 秋学期授業/Fall	393
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2215】社会思想Ⅰ [林 嵩文] 春学期授業/Spring	394
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2216】社会思想Ⅱ [林 嵩文] 秋学期授業/Fall	395
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2217】社会思想Ⅰ [阿部 崇史] 春学期授業/Spring	396
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2218】社会思想Ⅱ [阿部 崇史] 秋学期授業/Fall	397
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2219】社会思想Ⅰ [洪 貴義] 春学期授業/Spring	398
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_2群 (社会分野) 【Q2220】社会思想Ⅱ [洪 貴義] 秋学期授業/Fall	399
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3001】教養数学A [平田 康史] 春学期授業/Spring	400
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3002】教養数学B [平田 康史] 秋学期授業/Fall	401
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3003】教養数学A [平田 康史] 春学期授業/Spring	402
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3004】教養数学B [平田 康史] 秋学期授業/Fall	403
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3005】教養数学A [小木曾 岳義] 春学期授業/Spring	404
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3006】教養数学B [小木曾 岳義] 秋学期授業/Fall	405
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3007】教養数学A [小木曾 岳義] 春学期授業/Spring	406
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3008】教養数学B [小木曾 岳義] 秋学期授業/Fall	407
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3011】教養数学A [池田 宏一郎] 春学期授業/Spring	408
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3012】教養数学B [池田 宏一郎] 秋学期授業/Fall	409
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3015】教養数学A [佐藤 洋祐] 春学期授業/Spring	410
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3016】教養数学B [佐藤 洋祐] 秋学期授業/Fall	411
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3017】教養数学A [佐藤 洋祐] 春学期授業/Spring	412
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3018】教養数学B [佐藤 洋祐] 秋学期授業/Fall	413

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3021】教養数学A [佐藤 洋祐] 春学期授業/Spring	414
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3022】教養数学B [佐藤 洋祐] 秋学期授業/Fall	415
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3031】基礎数学Ⅰ [若井 健太郎] 春学期授業/Spring	416
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3032】基礎数学Ⅱ [若井 健太郎] 秋学期授業/Fall	417
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3033】基礎数学Ⅰ [江口 直日] 春学期授業/Spring	418
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3034】基礎数学Ⅱ [江口 直日] 秋学期授業/Fall	419
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3035】基礎数学Ⅰ [池田 宏一郎] 春学期授業/Spring	420
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3036】基礎数学Ⅱ [池田 宏一郎] 秋学期授業/Fall	421
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3037】基礎数学Ⅰ [若井 健太郎] 春学期授業/Spring	422
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3038】基礎数学Ⅱ [若井 健太郎] 秋学期授業/Fall	423
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3039】基礎数学Ⅰ [江口 直日] 春学期授業/Spring	424
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3040】基礎数学Ⅱ [江口 直日] 秋学期授業/Fall	425
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3041】基礎数学Ⅰ [井沼 学] 春学期授業/Spring	426
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3042】基礎数学Ⅱ [井沼 学] 秋学期授業/Fall	427
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3047】基礎数学Ⅰ [江口 直日] 春学期授業/Spring	428
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3048】基礎数学Ⅱ [江口 直日] 秋学期授業/Fall	429
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3051】入門物理学A [吉田 智] 春学期授業/Spring	430
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3052】入門物理学B [吉田 智] 秋学期授業/Fall	431
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3053】入門物理学A [井坂 政裕] 春学期授業/Spring	432
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3054】入門物理学B [井坂 政裕] 秋学期授業/Fall	433
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3055】入門物理学A [石川 壮一] 春学期授業/Spring	434
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3056】入門物理学B [石川 壮一] 秋学期授業/Fall	435
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3057】入門物理学A [鈴木 裕武] 春学期授業/Spring	436
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3058】入門物理学B [鈴木 裕武] 秋学期授業/Fall	438
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3059】入門物理学A [井坂 政裕] 春学期授業/Spring	440
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3060】入門物理学B [井坂 政裕] 秋学期授業/Fall	441
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3061】入門物理学A [吉田 智] 春学期授業/Spring	442
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3062】入門物理学B [吉田 智] 秋学期授業/Fall	443

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3065】 入門物理学A [鈴木 裕武] 春学期授業/Spring	444
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3066】 入門物理学B [鈴木 裕武] 秋学期授業/Fall	446
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3081】 入門生物学A [木原 章] 春学期授業/Spring	448
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3082】 入門生物学B [木原 章] 秋学期授業/Fall	449
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3083】 入門生物学A [木原 章] 春学期授業/Spring	451
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3084】 入門生物学B [木原 章] 秋学期授業/Fall	452
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3085】 入門生物学A [植木 紀子] 春学期授業/Spring	454
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3086】 入門生物学B [植木 紀子] 秋学期授業/Fall	455
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3087】 入門生物学A [宇野 真介] 春学期授業/Spring	456
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3088】 入門生物学B [宇野 真介] 秋学期授業/Fall	458
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3089】 入門生物学A [宇野 真介] 春学期授業/Spring	460
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3090】 入門生物学B [宇野 真介] 秋学期授業/Fall	462
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3091】 入門生物学A [植木 紀子] 春学期授業/Spring	464
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3092】 入門生物学B [植木 紀子] 秋学期授業/Fall	465
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3093】 入門生物学A [植木 紀子] 春学期授業/Spring	466
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3094】 入門生物学B [植木 紀子] 秋学期授業/Fall	467
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3111】 入門化学A [田中 雅人] 春学期授業/Spring	468
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3112】 入門化学B [田中 雅人] 秋学期授業/Fall	469
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3113】 入門化学A [小林 令子] 春学期授業/Spring	470
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3114】 入門化学B [小林 令子] 秋学期授業/Fall	471
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3117】 入門化学A [田中 雅人] 春学期授業/Spring	472
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3118】 入門化学B [田中 雅人] 秋学期授業/Fall	473
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3119】 入門化学A [石塚 芽具美] 春学期授業/Spring	474
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3120】 入門化学B [石塚 芽具美] 秋学期授業/Fall	475
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3121】 入門化学A [小林 令子] 春学期授業/Spring	476
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3122】 入門化学B [小林 令子] 秋学期授業/Fall	477
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3125】 入門化学A [中田 和秀] 春学期授業/Spring	478
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3126】 入門化学B [中田 和秀] 秋学期授業/Fall	479

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3171】天文学A [小野 宜昭] 春学期授業/ Spring	480
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3172】天文学B [小野 宜昭] 秋学期授業/ Fall.....	481
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3173】天文学A [水田 晃] 春学期授業/ Spring	482
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3174】天文学B [水田 晃] 秋学期授業/Fall	483
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3175】天文学A [小野 宜昭] 春学期授業/ Spring	484
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3176】天文学B [小野 宜昭] 秋学期授業/ Fall.....	485
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3189】科学論A [木島 泰三] 春学期授業/ Spring	486
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3190】科学論B [木島 泰三] 秋学期授業/ Fall.....	488
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3191】科学論A [金光 秀和] 春学期授業/ Spring	490
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3192】科学論B [金光 秀和] 秋学期授業/ Fall.....	492
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3193】科学論A [木島 泰三] 春学期授業/ Spring	494
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3194】科学論B [木島 泰三] 秋学期授業/ Fall.....	496
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3301】サイエンス・ラボA [西村 直美、長 谷川 真紀子、井坂 政裕] 春学期授業/Spring	498
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3302】サイエンス・ラボB [西村 直美、長 谷川 真紀子、井坂 政裕] 秋学期授業/Fall	499
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3303】サイエンス・ラボA [西村 直美、長 谷川 真紀子、井坂 政裕] 春学期授業/Spring	500
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3304】サイエンス・ラボB [西村 直美、長 谷川 真紀子、井坂 政裕] 秋学期授業/Fall	501
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3305】サイエンス・ラボA [石塚 芽具美、 田中 浩輔、吉田 智] 春学期授業/Spring	502
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3306】サイエンス・ラボB [石塚 芽具美、 田中 浩輔、鈴木 裕武] 秋学期授業/Fall	503
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3307】サイエンス・ラボA [石塚 芽具美、 田中 浩輔、石川 壮一] 春学期授業/Spring.....	504
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3308】サイエンス・ラボB [石塚 芽具美、 田中 浩輔、鈴木 裕武] 秋学期授業/Fall	505
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3309】サイエンス・ラボA [工藤 聡、川 上 裕司、鈴木 裕武] 春学期授業/Spring	506
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3310】サイエンス・ラボB [向井 知大、川 上 裕司、鈴木 裕武] 秋学期授業/Fall	507
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3311】サイエンス・ラボA [工藤 聡、川 上 裕司、鈴木 裕武] 春学期授業/Spring	508
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3312】サイエンス・ラボB [向井 知大、川 上 裕司、鈴木 裕武] 秋学期授業/Fall	509
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3313】サイエンス・ラボA [向井 知大、島 野 智之、石川 壮一] 春学期授業/Spring	510
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3314】サイエンス・ラボB [土居 英男、島 野 智之、石川 壮一] 秋学期授業/Fall	511
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3315】サイエンス・ラボA [向井 知大、島 野 智之、石川 壮一] 春学期授業/Spring	512
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3316】サイエンス・ラボB [土居 英男、島 野 智之、石川 壮一] 秋学期授業/Fall	513
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3317】サイエンス・ラボA [田中 雅人、鈴 木 忠、土手 昭伸] 春学期授業/Spring	514

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3318】サイエンス・ラボB [田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸] 秋学期授業/Fall	515
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3319】サイエンス・ラボA [田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸] 春学期授業/Spring	516
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3320】サイエンス・ラボB [田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸] 秋学期授業/Fall	517
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3321】サイエンス・ラボA [西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕] 春学期授業/Spring	518
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3322】サイエンス・ラボB [西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕] 秋学期授業/Fall	519
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3323】サイエンス・ラボA [西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕] 春学期授業/Spring	520
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3324】サイエンス・ラボB [西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕] 秋学期授業/Fall	521
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3325】サイエンス・ラボA [石塚 芽具美、田中 浩輔、吉田 智] 春学期授業/Spring	522
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3326】サイエンス・ラボB [石塚 芽具美、田中 浩輔、鈴木 裕武] 秋学期授業/Fall	523
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3327】サイエンス・ラボA [石塚 芽具美、田中 浩輔、石川 壮一] 春学期授業/Spring	524
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3328】サイエンス・ラボB [石塚 芽具美、田中 浩輔、鈴木 裕武] 秋学期授業/Fall	525
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3329】サイエンス・ラボA [工藤 聡、川上 裕司、鈴木 裕武] 春学期授業/Spring	526
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3330】サイエンス・ラボB [向井 知大、川上 裕司、鈴木 裕武] 秋学期授業/Fall	527
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3331】サイエンス・ラボA [工藤 聡、川上 裕司、鈴木 裕武] 春学期授業/Spring	528
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3332】サイエンス・ラボB [向井 知大、川上 裕司、鈴木 裕武] 秋学期授業/Fall	529
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3333】サイエンス・ラボA [向井 知大、島野 智之、石川 壮一] 春学期授業/Spring	530
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3334】サイエンス・ラボB [土居 英男、島野 智之、石川 壮一] 秋学期授業/Fall	531
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3335】サイエンス・ラボA [向井 知大、島野 智之、石川 壮一] 春学期授業/Spring	532
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3336】サイエンス・ラボB [土居 英男、島野 智之、石川 壮一] 秋学期授業/Fall	533
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3337】サイエンス・ラボA [田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸] 春学期授業/Spring	534
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3338】サイエンス・ラボB [田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸] 秋学期授業/Fall	535
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3339】サイエンス・ラボA [田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸] 春学期授業/Spring	536
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3340】サイエンス・ラボB [田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸] 秋学期授業/Fall	537
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3341】サイエンス・ラボA [西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕] 春学期授業/Spring	538
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3342】サイエンス・ラボB [西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕] 秋学期授業/Fall	539
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3343】サイエンス・ラボA [西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕] 春学期授業/Spring	540
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3344】サイエンス・ラボB [西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕] 秋学期授業/Fall	541
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3345】サイエンス・ラボA [石塚 芽具美、田中 浩輔、吉田 智] 春学期授業/Spring	542

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3346】サイエンス・ラボB [石塚 芽具美、田中 浩輔、鈴木 裕武] 秋学期授業/Fall	543
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3347】サイエンス・ラボA [石塚 芽具美、田中 浩輔、石川 壮一] 春学期授業/Spring	544
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3348】サイエンス・ラボB [石塚 芽具美、田中 浩輔、鈴木 裕武] 秋学期授業/Fall	545
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3349】サイエンス・ラボA [工藤 聡、川上 裕司、鈴木 裕武] 春学期授業/Spring	546
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3350】サイエンス・ラボB [向井 知大、川上 裕司、鈴木 裕武] 秋学期授業/Fall	547
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3351】サイエンス・ラボA [工藤 聡、川上 裕司、鈴木 裕武] 春学期授業/Spring	548
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3352】サイエンス・ラボB [向井 知大、川上 裕司、鈴木 裕武] 秋学期授業/Fall	549
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3353】サイエンス・ラボA [向井 知大、島野 智之、石川 壮一] 春学期授業/Spring	550
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3354】サイエンス・ラボB [土居 英男、島野 智之、石川 壮一] 秋学期授業/Fall	551
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3355】サイエンス・ラボA [向井 知大、島野 智之、石川 壮一] 春学期授業/Spring	552
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3356】サイエンス・ラボB [土居 英男、島野 智之、石川 壮一] 秋学期授業/Fall	553
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3357】サイエンス・ラボA [田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸] 春学期授業/Spring	554
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3358】サイエンス・ラボB [田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸] 秋学期授業/Fall	555
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3359】サイエンス・ラボA [田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸] 春学期授業/Spring	556
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_3群 (自然分野) 【Q3360】サイエンス・ラボB [田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸] 秋学期授業/Fall	557
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5001】スポーツ総合演習 [古橋 侑季] 春学期授業/Spring	558
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5002】スポーツ総合演習 [古橋 侑季] 秋学期授業/Fall	559
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5003】スポーツ総合演習 [薛 載勲] 春学期授業/Spring	560
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5004】スポーツ総合演習 [山本 幸紀] 秋学期授業/Fall	561
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5005】スポーツ総合演習 [山本 幸紀] 春学期授業/Spring	562
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5006】スポーツ総合演習 [阿部 成雄] 秋学期授業/Fall	563
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5007】スポーツ総合演習 [辻 大士] 春学期授業/Spring	565
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5008】スポーツ総合演習 [辻 大士] 秋学期授業/Fall	566
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5009】スポーツ総合演習 [薛 載勲] 春学期授業/Spring	567
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5010】スポーツ総合演習 [山本 幸紀] 秋学期授業/Fall	568
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5011】スポーツ総合演習 [古橋 侑季] 春学期授業/Spring	569
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5012】スポーツ総合演習 [古橋 侑季] 秋学期授業/Fall	570
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5013】スポーツ総合演習 [山本 幸紀] 春学期授業/Spring	571

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5014】 スポーツ総合演習 [阿部 成雄] 秋学期授業/Fall	572
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5015】 スポーツ総合演習 [辻 大士] 春 学期授業/Spring	574
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5016】 スポーツ総合演習 [辻 大士] 秋 学期授業/Fall	575
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5017】 スポーツ総合演習 [薛 載勲] 春 学期授業/Spring	576
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5018】 スポーツ総合演習 [林 容市] 秋 学期授業/Fall	577
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5019】 スポーツ総合演習 [山本 幸紀] 春学期授業/Spring	579
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5021】 スポーツ総合演習 [荒井 弘和] 春学期授業/Spring	580
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5022】 スポーツ総合演習 [荒井 弘和] 秋学期授業/Fall	582
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5101】 スポーツ総合演習 [位高 駿夫] 春学期授業/Spring	584
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5102】 スポーツ総合演習 [位高 駿夫] 秋学期授業/Fall	585
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5103】 スポーツ総合演習 [小林 玄樹] 春学期授業/Spring	586
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5104】 スポーツ総合演習 [小林 玄樹] 秋学期授業/Fall	587
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5105】 スポーツ総合演習 [魚住 智広] 春学期授業/Spring	588
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5106】 スポーツ総合演習 [魚住 智広] 秋学期授業/Fall	589
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5107】 スポーツ総合演習 [吉田 康伸] 春学期授業/Spring	590
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5108】 スポーツ総合演習 [吉田 康伸] 秋学期授業/Fall	591
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5109】 スポーツ総合演習 [魚住 智広] 春学期授業/Spring	592
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5110】 スポーツ総合演習 [魚住 智広] 秋学期授業/Fall	593
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5111】 スポーツ総合演習 [小林 玄樹] 春学期授業/Spring	594
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5112】 スポーツ総合演習 [小林 玄樹] 秋学期授業/Fall	595
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5113】 スポーツ総合演習 [位高 駿夫] 春学期授業/Spring	596
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5114】 スポーツ総合演習 [位高 駿夫] 秋学期授業/Fall	597
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5115】 スポーツ総合演習 [吉田 康伸] 春学期授業/Spring	598
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5116】 スポーツ総合演習 [吉田 康伸] 秋学期授業/Fall	599
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5117】 スポーツ総合演習 [魚住 智広] 春学期授業/Spring	600
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5118】 スポーツ総合演習 [魚住 智広] 秋学期授業/Fall	601
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5119】 スポーツ総合演習 [位高 駿夫] 春学期授業/Spring	602
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5120】 スポーツ総合演習 [位高 駿夫] 秋学期授業/Fall	603

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5121】 スポーツ総合演習 [小林 玄樹]	
春学期授業/Spring	604
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5122】 スポーツ総合演習 [小林 玄樹]	
秋学期授業/Fall	605
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5201】 スポーツ総合演習 [藤岡 成美]	
春学期授業/Spring	606
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5202】 スポーツ総合演習 [藤岡 成美]	
秋学期授業/Fall	609
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5203】 スポーツ総合演習 [上岡 尚代]	
春学期授業/Spring	612
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5204】 スポーツ総合演習 [上岡 尚代]	
秋学期授業/Fall	615
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5205】 スポーツ総合演習 [柳川 洗輔]	
春学期授業/Spring	618
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5206】 スポーツ総合演習 [柳川 洗輔]	
秋学期授業/Fall	621
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5207】 スポーツ総合演習 [三好 英次]	
春学期授業/Spring	624
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5208】 スポーツ総合演習 [三好 英次]	
秋学期授業/Fall	627
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5209】 スポーツ総合演習 [藤岡 成美]	
春学期授業/Spring	630
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5210】 スポーツ総合演習 [藤岡 成美]	
秋学期授業/Fall	633
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5211】 スポーツ総合演習 [上岡 尚代]	
春学期授業/Spring	636
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5212】 スポーツ総合演習 [上岡 尚代]	
秋学期授業/Fall	639
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5213】 スポーツ総合演習 [柳川 洗輔]	
春学期授業/Spring	642
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5214】 スポーツ総合演習 [柳川 洗輔]	
秋学期授業/Fall	645
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5215】 スポーツ総合演習 [三好 英次]	
春学期授業/Spring	648
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5216】 スポーツ総合演習 [三好 英次]	
秋学期授業/Fall	651
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5217】 スポーツ総合演習 [三好 英次]	
春学期授業/Spring	654
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5218】 スポーツ総合演習 [藤岡 成美]	
秋学期授業/Fall	657
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5221】 スポーツ総合演習 [上岡 尚代]	
春学期授業/Spring	660
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5222】 スポーツ総合演習 [上岡 尚代]	
秋学期授業/Fall	663
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5223】 スポーツ総合演習 [藤岡 成美]	
春学期授業/Spring	666
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5224】 スポーツ総合演習 [三好 英次]	
秋学期授業/Fall	669
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5301】 スポーツ総合演習 [佐藤 優希]	
春学期授業/Spring	672
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5302】 スポーツ総合演習 [佐藤 優希]	
秋学期授業/Fall	674
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5303】 スポーツ総合演習 [蔭山 雅洋]	
春学期授業/Spring	676
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5304】 スポーツ総合演習 [蔭山 雅洋]	
秋学期授業/Fall	678

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5305】 スポーツ総合演習 [加藤 玲] 春 学期授業/Spring	680
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5306】 スポーツ総合演習 [前原 千佳] 秋学期授業/Fall	682
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5307】 スポーツ総合演習 [武井 敦彦] 春学期授業/Spring	684
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5308】 スポーツ総合演習 [武井 敦彦] 秋学期授業/Fall	686
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5309】 スポーツ総合演習 [佐藤 優希] 春学期授業/Spring	688
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5310】 スポーツ総合演習 [佐藤 優希] 秋学期授業/Fall	690
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5311】 スポーツ総合演習 [蔭山 雅洋] 春学期授業/Spring	692
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5312】 スポーツ総合演習 [蔭山 雅洋] 秋学期授業/Fall	694
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5313】 スポーツ総合演習 [武井 敦彦] 春学期授業/Spring	696
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5314】 スポーツ総合演習 [前原 千佳] 秋学期授業/Fall	698
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5315】 スポーツ総合演習 [中澤 史] 春 学期授業/Spring	700
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5316】 スポーツ総合演習 [中澤 史] 秋 学期授業/Fall	702
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5317】 スポーツ総合演習 [佐藤 優希] 春学期授業/Spring	704
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5318】 スポーツ総合演習 [佐藤 優希] 秋学期授業/Fall	706
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5319】 スポーツ総合演習 [武井 敦彦] 春学期授業/Spring	708
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5320】 スポーツ総合演習 [前原 千佳] 秋学期授業/Fall	710
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5321】 スポーツ総合演習 [蔭山 雅洋] 春学期授業/Spring	712
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5322】 スポーツ総合演習 [蔭山 雅洋] 秋学期授業/Fall	714
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5327】 スポーツ総合演習 [朝比奈 茂] 春学期授業/Spring	716
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5328】 スポーツ総合演習 [竹内 洋輔] 秋学期授業/Fall	718
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5329】 スポーツ総合演習 [佐藤 優希] 春学期授業/Spring	720
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5330】 スポーツ総合演習 [佐藤 優希] 秋学期授業/Fall	722
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5331】 スポーツ総合演習 [竹内 洋輔] 春学期授業/Spring	724
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5332】 スポーツ総合演習 [竹内 洋輔] 秋学期授業/Fall	726
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5419】 スポーツ総合演習 [荒井 弘和] 春学期集中/Intensive(Spring)	728
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5501】 スポーツ総合演習 S [佐藤 優 希] 春学期授業/Spring	730
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5502】 スポーツ総合演習 S [佐藤 優 希] 秋学期授業/Fall	732
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5603】 スポーツ総合演習 (補講) [竹内 洋輔] 春学期授業/Spring	734

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 基盤科目_5群 (保健体育分野) 【Q5604】 スポーツ総合演習 (補講) [竹内 洋輔] 秋学期授業/Fall	736
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0001】 English 1 I [吉田 季実子] 春学期授業/Spring	738
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0002】 English 1 II [吉田 季実子] 秋学期授業/Fall	739
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0003】 English 1 I [豊口 真衣子] 春学期授業/Spring	740
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0004】 English 1 II [豊口 真衣子] 秋学期授業/Fall	741
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0005】 English 1 I [吉田 季実子] 春学期授業/Spring	742
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0006】 English 1 II [竹内 晶子] 秋学期授業/Fall	743
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0007】 English 1 I [當麻 幸子] 春学期授業/Spring	745
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0008】 English 1 II [當麻 幸子] 秋学期授業/Fall	746
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0009】 English 1 I [神 康介] 春学期授業/Spring	747
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0010】 English 1 II [神 康介] 秋学期授業/Fall	748
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0011】 English 1 I [小川 真也] 春学期授業/Spring	749
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0012】 English 1 II [小川 真也] 秋学期授業/Fall	751
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0013】 English 1 I [今井 澄子] 春学期授業/Spring	753
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0014】 English 1 II [今井 澄子] 秋学期授業/Fall	755
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0015】 English 1 I [永井 大輔] 春学期授業/Spring	757
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0016】 English 1 II [永井 大輔] 秋学期授業/Fall	759
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0017】 English 1 I [高 友希子] 春学期授業/Spring	761
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0018】 English 1 II [高 友希子] 秋学期授業/Fall	762
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0019】 English 1 I [中和 彩子] 春学期授業/Spring	763
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0020】 English 1 II [中和 彩子] 秋学期授業/Fall	765
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0021】 English 1 I [豊口 真衣子] 春学期授業/Spring	767
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0022】 English 1 II [豊口 真衣子] 秋学期授業/Fall	768
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0023】 English 1 I [根本 怜奈] 春学期授業/Spring	769
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0024】 English 1 II [根本 怜奈] 秋学期授業/Fall	770
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0025】 English 1 I [余田 亜希] 春学期授業/Spring	771
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0026】 English 1 II [余田 亜希] 秋学期授業/Fall	772
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0027】 English 1 I [深澤 清] 春学期授業/Spring	773

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0028】 English 1 II [深澤 清] 秋学期授業/Fall	775
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0029】 English 1 I [永井 大輔] 春学期授業/Spring	777
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0030】 English 1 II [永井 大輔] 秋学期授業/Fall	779
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0035】 English 1 I [吉田 季実子] 春学期授業/Spring	781
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0036】 English 1 II [吉田 季実子] 秋学期授業/Fall	782
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0037】 English 1 I [吉田 季実子] 春学期授業/Spring	783
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0038】 English 1 II [吉田 季実子] 秋学期授業/Fall	784
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0039】 English 1 I [豊口 真衣子] 春学期授業/Spring	785
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0040】 English 1 II [豊口 真衣子] 秋学期授業/Fall	786
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0041】 English 1 I [神 康介] 春学期授業/Spring	787
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0042】 English 1 II [神 康介] 秋学期授業/Fall	788
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0043】 English 1 I [妻鹿 裕子] 春学期授業/Spring	789
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0044】 English 1 II [妻鹿 裕子] 秋学期授業/Fall	790
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0045】 English 1 I [小川 真也] 春学期授業/Spring	791
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0046】 English 1 II [小川 真也] 秋学期授業/Fall	793
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0047】 English 1 I [今井 澄子] 春学期授業/Spring	795
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0048】 English 1 II [今井 澄子] 秋学期授業/Fall	797
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0049】 English 1 I [永井 大輔] 春学期授業/Spring	799
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0050】 English 1 II [永井 大輔] 秋学期授業/Fall	801
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0051】 English 1 I [高 友希子] 春学期授業/Spring	803
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0052】 English 1 II [高 友希子] 秋学期授業/Fall	804
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0053】 English 1 I [余田 亜希] 春学期授業/Spring	805
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0054】 English 1 II [余田 亜希] 秋学期授業/Fall	806
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0055】 English 1 I [豊口 真衣子] 春学期授業/Spring	807
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0056】 English 1 II [豊口 真衣子] 秋学期授業/Fall	808
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0057】 English 1 I [根本 怜奈] 春学期授業/Spring	809
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0058】 English 1 II [根本 怜奈] 秋学期授業/Fall	810
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0059】 English 1 I [深澤 清] 春学期授業/Spring	811

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0060】 English 1 II [深澤 清] 秋学期授業/Fall	813
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0061】 English 1 I [妻鹿 裕子] 春学期授業/Spring	815
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0062】 English 1 II [妻鹿 裕子] 秋学期授業/Fall	816
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0063】 English 1 I [當麻 幸子] 春学期授業/Spring	817
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0064】 English 1 II [當麻 幸子] 秋学期授業/Fall	818
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0071】 English 1 I [岩坪 友子] 春学期授業/Spring	819
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0072】 English 1 II [岩坪 友子] 秋学期授業/Fall	821
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0073】 English 1 I [大澤 岳彦] 春学期授業/Spring	823
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0074】 English 1 II [大澤 岳彦] 秋学期授業/Fall	825
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0075】 English 1 I [本間 章郎] 春学期授業/Spring	827
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0076】 English 1 II [本間 章郎] 秋学期授業/Fall	828
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0077】 English 1 I [中和 彩子] 春学期授業/Spring	829
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0078】 English 1 II [中和 彩子] 秋学期授業/Fall	830
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0079】 English 1 I [余田 剛] 春学期授業/Spring	831
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0080】 English 1 II [余田 剛] 秋学期授業/Fall	833
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0081】 English 1 I [大和久 悌一郎] 春学期授業/Spring	835
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0082】 English 1 II [大和久 悌一郎] 秋学期授業/Fall	836
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0083】 English 1 I [木瀬 康太] 春学期授業/Spring	837
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0084】 English 1 II [木瀬 康太] 秋学期授業/Fall	839
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0085】 English 1 I [齊藤 昇] 春学期授業/Spring	841
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0086】 English 1 II [齊藤 昇] 秋学期授業/Fall	842
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0087】 English 1 I [小田井 勝彦] 春学期授業/Spring	843
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0088】 English 1 II [小田井 勝彦] 秋学期授業/Fall	845
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0089】 English 1 I [妻鹿 裕子] 春学期授業/Spring	847
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0090】 English 1 II [妻鹿 裕子] 秋学期授業/Fall	848
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0091】 English 1 I [高井 美紀子] 春学期授業/Spring	849
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0092】 English 1 II [高井 美紀子] 秋学期授業/Fall	851
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0093】 English 1 I [利根川 真紀] 春学期授業/Spring	853

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0094】 English 1 II [利根川 真紀] 秋学期授業/Fall	854
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0095】 English 1 I [塩谷 幸子] 春学期授業/Spring	855
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0096】 English 1 II [塩谷 幸子] 秋学期授業/Fall	856
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0097】 English 1 I [村松 美映子] 春学期授業/Spring	857
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0098】 English 1 II [村松 美映子] 秋学期授業/Fall	859
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0099】 English 1 I [吉田 季実子] 春学期授業/Spring	861
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0100】 English 1 II [吉田 季実子] 秋学期授業/Fall	863
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0105】 English 1 I [村松 美映子] 春学期授業/Spring	865
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0106】 English 1 II [村松 美映子] 秋学期授業/Fall	867
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0107】 English 1 I [大澤 岳彦] 春学期授業/Spring	869
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0108】 English 1 II [大澤 岳彦] 秋学期授業/Fall	871
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0109】 English 1 I [中和 彩子] 春学期授業/Spring	873
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0110】 English 1 II [中和 彩子] 秋学期授業/Fall	874
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0111】 English 1 I [余田 剛] 春学期授業/Spring	875
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0112】 English 1 II [余田 剛] 秋学期授業/Fall	877
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0113】 English 1 I [宇野 毅] 春学期授業/Spring	879
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0114】 English 1 II [宇野 毅] 秋学期授業/Fall	880
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0115】 English 1 I [鈴木 理枝] 春学期授業/Spring	881
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0116】 English 1 II [鈴木 理枝] 秋学期授業/Fall	882
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0117】 English 1 I [木瀬 康太] 春学期授業/Spring	884
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0118】 English 1 II [木瀬 康太] 秋学期授業/Fall	886
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0119】 English 1 I [小田井 勝彦] 春学期授業/Spring	888
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0120】 English 1 II [小田井 勝彦] 秋学期授業/Fall	889
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0121】 English 1 I [小堀 洋] 春学期授業/Spring	891
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0122】 English 1 II [小堀 洋] 秋学期授業/Fall	892
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0123】 English 1 I [高井 美紀子] 春学期授業/Spring	893
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0124】 English 1 II [高井 美紀子] 秋学期授業/Fall	895
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0125】 English 1 I [塩谷 幸子] 春学期授業/Spring	897

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0126】 English 1 II [塩谷 幸子] 秋学期授業/Fall.....	898
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0127】 English 1 I [利根川 真紀] 春学期授業/Spring.....	899
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0128】 English 1 II [利根川 真紀] 秋学期授業/Fall.....	900
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0129】 English 1 I [吉田 季実子] 春学期授業/Spring.....	901
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0130】 English 1 II [吉田 季実子] 秋学期授業/Fall.....	903
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0131】 English 1 I [岩坪 友子] 春学期授業/Spring.....	905
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0132】 English 1 II [岩坪 友子] 秋学期授業/Fall.....	907
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0133】 English 1 I [三原 里美] 春学期授業/Spring.....	909
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0134】 English 1 II [三原 里美] 秋学期授業/Fall.....	910
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0135】 English 1 I [妻鹿 裕子] 春学期授業/Spring.....	911
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0136】 English 1 II [妻鹿 裕子] 秋学期授業/Fall.....	912
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0141】 English 1 I [池田 しおり] 春学期授業/Spring.....	913
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0142】 English 1 II [池田 しおり] 秋学期授業/Fall.....	914
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0143】 English 1 I [根本 怜奈] 春学期授業/Spring.....	915
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0144】 English 1 II [根本 怜奈] 秋学期授業/Fall.....	916
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0145】 English 1 I [小泉 和弘] 春学期授業/Spring.....	917
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0146】 English 1 II [小泉 和弘] 秋学期授業/Fall.....	918
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0147】 English 1 I [坂梨 健史郎] 春学期授業/Spring.....	919
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0148】 English 1 II [坂梨 健史郎] 秋学期授業/Fall.....	921
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0149】 English 1 I [田口 清一] 春学期授業/Spring.....	923
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0150】 English 1 II [田口 清一] 秋学期授業/Fall.....	925
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0151】 English 1 I [田中 邦佳] 春学期授業/Spring.....	926
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0152】 English 1 II [田中 邦佳] 秋学期授業/Fall.....	927
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0153】 English 1 I [永井 大輔] 春学期授業/Spring.....	928
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0154】 English 1 II [永井 大輔] 秋学期授業/Fall.....	930
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0155】 English 1 I [大厩 諒] 春学期授業/Spring.....	932
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0156】 English 1 II [大厩 諒] 秋学期授業/Fall.....	933
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0157】 English 1 I [木瀬 康太] 春学期授業/Spring.....	934

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0158】 English 1 II [木瀬 康太] 秋学期授業/Fall.....	936
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0159】 English 1 I [吉田 和久] 春学期授業/Spring	938
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0160】 English 1 II [吉田 和久] 秋学期授業/Fall.....	939
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0161】 English 1 I [渡辺 英依美] 春学期授業/Spring	940
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0162】 English 1 II [渡辺 英依美] 秋学期授業/Fall	941
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0163】 English 1 I [吉田 季実子] 春学期授業/Spring	942
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0164】 English 1 II [吉田 季実子] 秋学期授業/Fall	943
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0165】 English 1 I [岩坪 友子] 春学期授業/Spring	944
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0166】 English 1 II [岩坪 友子] 秋学期授業/Fall.....	946
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0167】 English 1 I [岩坪 友子] 春学期授業/Spring	948
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0168】 English 1 II [岩坪 友子] 秋学期授業/Fall.....	950
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0169】 English 1 I [吉江 秀和] 春学期授業/Spring	952
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0170】 English 1 II [吉江 秀和] 秋学期授業/Fall.....	953
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0171】 English 1 I [近藤 隆子] 春学期授業/Spring	954
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0172】 English 1 II [近藤 隆子] 秋学期授業/Fall.....	956
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0173】 English 1 I [滝沢 玄] 春学期授業/Spring	958
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0174】 English 1 II [滝沢 玄] 秋学期授業/Fall	959
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0181】 English 1 I [小川 真也] 春学期授業/Spring	960
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0182】 English 1 II [小川 真也] 秋学期授業/Fall.....	962
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0183】 English 1 I [池田 しおり] 春学期授業/Spring	964
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0184】 English 1 II [池田 しおり] 秋学期授業/Fall	966
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0185】 English 1 I [杉 亜希子] 春学期授業/Spring	968
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0186】 English 1 II [杉 亜希子] 秋学期授業/Fall.....	970
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0187】 English 1 I [坂梨 健史郎] 春学期授業/Spring	972
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0188】 English 1 II [坂梨 健史郎] 秋学期授業/Fall	974
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0189】 English 1 I [小泉 和弘] 春学期授業/Spring	976
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0190】 English 1 II [小泉 和弘] 秋学期授業/Fall.....	977
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0191】 English 1 I [田中 邦佳] 春学期授業/Spring	978

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0192】 English 1 II [田中 邦佳] 秋学期授業/Fall.....	979
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0193】 English 1 I [田口 清一] 春学期授業/Spring	980
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0194】 English 1 II [田口 清一] 秋学期授業/Fall.....	982
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0195】 English 1 I [永井 大輔] 春学期授業/Spring	983
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0196】 English 1 II [永井 大輔] 秋学期授業/Fall.....	985
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0197】 English 1 I [大厩 諒] 春学期授業/Spring	987
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0198】 English 1 II [大厩 諒] 秋学期授業/Fall	988
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0199】 English 1 I [吉田 和久] 春学期授業/Spring	989
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0200】 English 1 II [吉田 和久] 秋学期授業/Fall.....	990
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0201】 English 1 I [吉田 季実子] 春学期授業/Spring	991
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0202】 English 1 II [吉田 季実子] 秋学期授業/Fall	992
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0203】 English 1 I [渡辺 英依美] 春学期授業/Spring	993
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0204】 English 1 II [渡辺 英依美] 秋学期授業/Fall	994
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0205】 English 1 I [水野 太朗] 春学期授業/Spring	995
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0206】 English 1 II [水野 太朗] 秋学期授業/Fall.....	997
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0207】 English 1 I [飛田 英伸] 春学期授業/Spring	998
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0208】 English 1 II [飛田 英伸] 秋学期授業/Fall.....	999
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0209】 English 1 I [吉江 秀和] 春学期授業/Spring	1001
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0210】 English 1 II [吉江 秀和] 秋学期授業/Fall.....	1002
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0211】 English 1 I [近藤 隆子] 春学期授業/Spring	1003
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0212】 English 1 II [近藤 隆子] 秋学期授業/Fall.....	1005
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0213】 English 1 I [滝沢 玄] 春学期授業/Spring	1007
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0214】 English 1 II [滝沢 玄] 秋学期授業/Fall	1008
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0215】 English 1 I [深澤 清] 春学期授業/Spring	1009
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0216】 English 1 II [深澤 清] 秋学期授業/Fall	1011
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0217】 English 1 I [中垣 恒太郎] 春学期授業/Spring	1013
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0218】 English 1 II [中垣 恒太郎] 秋学期授業/Fall	1015
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0219】 English 1 I [根本 怜奈] 春学期授業/Spring	1017

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0220】English 1 II [根本 怜奈] 秋学期授業/Fall.....	1018
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0221】English 2 I [ジェフリー B タロフスキー] 春学期授業/Spring.....	1019
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0222】English 2 II [ジェフリー B タロフスキー] 秋学期授業/Fall.....	1022
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0223】English 2 I [北原 ルック 明子] 春学期授業/Spring.....	1024
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0224】English 2 II [北原 ルック 明子] 秋学期授業/Fall.....	1026
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0225】English 2 I [JUSTIN FALKUS] 春学期授業/Spring.....	1028
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0226】English 2 II [JUSTIN FALKUS] 秋学期授業/Fall.....	1029
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0227】English 2 I [中垣 恒太郎] 春学期授業/Spring.....	1030
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0228】English 2 II [中垣 恒太郎] 秋学期授業/Fall.....	1031
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0229】English 2 I [GENC BURCU] 春学期授業/Spring.....	1032
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0230】English 2 II [GENC BURCU] 秋学期授業/Fall.....	1034
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0231】English 2 I [NADER Jamelea] 春学期授業/Spring.....	1036
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0232】English 2 II [NADER Jamelea] 秋学期授業/Fall.....	1037
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0233】English 2 I [PAUL K KALLENDER] 春学期授業/Spring.....	1038
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0234】English 2 II [PAUL K KALLENDER] 秋学期授業/Fall.....	1040
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0235】English 2 I [高橋 佳江] 春学期授業/Spring.....	1042
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0236】English 2 II [高橋 佳江] 秋学期授業/Fall.....	1043
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0237】English 2 I [HUGH A GRAHAM-MARR] 春学期授業/Spring.....	1044
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0238】English 2 II [HUGH A GRAHAM-MARR] 秋学期授業/Fall.....	1045
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0239】English 2 I [URBANOVA JANA] 春学期授業/Spring.....	1046
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0240】English 2 II [URBANOVA JANA] 秋学期授業/Fall.....	1048
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0241】English 2 I [JAMES O ESSEX] 春学期授業/Spring.....	1050
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0242】English 2 II [JAMES O ESSEX] 秋学期授業/Fall.....	1052
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0243】English 2 I [Richard J Burrows] 春学期授業/Spring.....	1054
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0244】English 2 II [Richard J Burrows] 秋学期授業/Fall.....	1055
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0245】English 2 I [PATRICK M MCEVILLY] 春学期授業/Spring.....	1057
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0246】English 2 II [PATRICK M MCEVILLY] 秋学期授業/Fall.....	1058
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0247】English 2 I [CALVIN R RADAKOVICH] 春学期授業/Spring.....	1059

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0248】English 2Ⅱ [CALVIN R RADAKOVICH] 秋学期授業/Fall	1061
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0249】English 2Ⅰ [RICHARD SHEEHAN] 春学期授業/Spring	1063
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0250】English 2Ⅱ [RICHARD SHEEHAN] 秋学期授業/Fall	1064
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0255】English 2Ⅰ [中垣 恒太郎] 春学期授業/Spring	1065
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0256】English 2Ⅱ [中垣 恒太郎] 秋学期授業/Fall	1066
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0257】English 2Ⅰ [GENC BURCU] 春学期授業/Spring	1067
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0258】English 2Ⅱ [GENC BURCU] 秋学期授業/Fall	1069
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0259】English 2Ⅰ [ジェフリー B タロフスキー] 春学期授業/Spring	1071
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0260】English 2Ⅱ [ジェフリー B タロフスキー] 秋学期授業/Fall	1074
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0261】English 2Ⅰ [北原 ルック 明子] 春学期授業/Spring	1076
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0262】English 2Ⅱ [北原 ルック 明子] 秋学期授業/Fall	1078
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0263】English 2Ⅰ [JUSTIN FALKUS] 春学期授業/Spring	1080
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0264】English 2Ⅱ [JUSTIN FALKUS] 秋学期授業/Fall	1081
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0265】English 2Ⅰ [NADER Jamelea] 春学期授業/Spring	1082
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0266】English 2Ⅱ [NADER Jamelea] 秋学期授業/Fall	1083
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0267】English 2Ⅰ [PAUL K KALLENDER] 春学期授業/Spring	1084
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0268】English 2Ⅱ [PAUL K KALLENDER] 秋学期授業/Fall	1086
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0269】English 2Ⅰ [高橋 佳江] 春学期授業/Spring	1088
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0270】English 2Ⅱ [高橋 佳江] 秋学期授業/Fall	1089
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0271】English 2Ⅰ [HUGH A GRAHAM-MARR] 春学期授業/Spring	1090
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0272】English 2Ⅱ [HUGH A GRAHAM-MARR] 秋学期授業/Fall	1091
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0273】English 2Ⅰ [永井 大輔] 春学期授業/Spring	1092
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0274】English 2Ⅱ [永井 大輔] 秋学期授業/Fall	1094
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0275】English 2Ⅰ [JAMES O ESSEX] 春学期授業/Spring	1096
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0276】English 2Ⅱ [JAMES O ESSEX] 秋学期授業/Fall	1098
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0277】English 2Ⅰ [ALAN M NICHOLLS] 春学期授業/Spring	1100
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0278】English 2Ⅱ [ALAN M NICHOLLS] 秋学期授業/Fall	1102
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0279】English 2Ⅰ [Richard J Burrows] 春学期授業/Spring	1104

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0280】English 2 II [Richard J Burrows]	
秋学期授業/Fall	1105
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0281】English 2 I [RICHARD SHEEHAN]	
春学期授業/Spring	1107
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0282】English 2 II [RICHARD SHEEHAN]	
秋学期授業/Fall	1108
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0283】English 2 I [PATRICK M MCEVILLY]	
春学期授業/Spring	1109
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0284】English 2 II [PATRICK M MCEVILLY]	
秋学期授業/Fall	1110
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0291】English 2 I [CHIA-WEI KANG]	
春学期授業/Spring	1111
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0292】English 2 II [石原 紀子]	
秋学期授業/Fall	1112
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0293】English 2 I [岩崎 博]	
春学期授業/Spring	1114
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0294】English 2 II [岩崎 博]	
秋学期授業/Fall	1116
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0295】English 2 I [ジェフリー B タロフスキー]	
春学期授業/Spring	1118
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0296】English 2 II [ジェフリー B タロフスキー]	
秋学期授業/Fall	1121
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0297】English 2 I [THOMAS G POWER]	
春学期授業/Spring	1123
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0298】English 2 II [Kregg Johnston]	
秋学期授業/Fall	1125
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0299】English 2 I [鈴木 真奈美]	
春学期授業/Spring	1127
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0300】English 2 II [鈴木 真奈美]	
秋学期授業/Fall	1128
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0301】English 2 I [RICHARD SHEEHAN]	
春学期授業/Spring	1130
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0302】English 2 II [RICHARD SHEEHAN]	
秋学期授業/Fall	1131
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0303】English 2 I [ジェフリー B タロフスキー]	
春学期授業/Spring	1132
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0304】English 2 II [ジェフリー B タロフスキー]	
秋学期授業/Fall	1135
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0305】English 2 I [ジョナサン エイブル]	
春学期授業/Spring	1137
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0306】English 2 II [ジョナサン エイブル]	
秋学期授業/Fall	1138
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0307】English 2 I [近藤 隆子]	
春学期授業/Spring	1139
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0308】English 2 II [近藤 隆子]	
秋学期授業/Fall	1141
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0309】English 2 I [小坂 恵理子]	
春学期授業/Spring	1143
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0310】English 2 II [小坂 恵理子]	
秋学期授業/Fall	1144
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0311】English 2 I [Robert D. Hinton]	
春学期授業/Spring	1145
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0312】English 2 II [Robert D. Hinton]	
秋学期授業/Fall	1146
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0313】English 2 I [衣笠 正晃]	
春学期授業/Spring	1147

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0314】 English 2 II [衣笠 正晃] 秋学期授業/Fall.....	1148
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0315】 English 2 I [山崎 暁子] 春学期授業/Spring.....	1149
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0316】 English 2 II [山崎 暁子] 秋学期授業/Fall.....	1150
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0317】 English 2 I [CHRISTOPHER MASCHIO] 春学期授業/Spring.....	1151
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0318】 English 2 II [CHRISTOPHER MASCHIO] 秋学期授業/Fall.....	1152
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0319】 English 2 I [CHRISTOPHER MASCHIO] 春学期授業/Spring.....	1153
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0320】 English 2 II [CHRISTOPHER MASCHIO] 秋学期授業/Fall.....	1154
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0325】 English 2 I [ジェフリー B タロフスキー] 春学期授業/Spring.....	1155
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0326】 English 2 II [ジェフリー B タロフスキー] 秋学期授業/Fall.....	1158
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0327】 English 2 I [Kregg Johnston] 春学期授業/Spring.....	1160
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0328】 English 2 II [Kregg Johnston] 秋学期授業/Fall.....	1162
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0329】 English 2 I [THOMAS G POWER] 春学期授業/Spring.....	1164
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0330】 English 2 II [THOMAS G POWER] 秋学期授業/Fall.....	1166
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0331】 English 2 I [鈴木 真奈美] 春学期授業/Spring.....	1168
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0332】 English 2 II [鈴木 真奈美] 秋学期授業/Fall.....	1169
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0333】 English 2 I [岩崎 博] 春学期授業/Spring.....	1170
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0334】 English 2 II [岩崎 博] 秋学期授業/Fall.....	1172
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0335】 English 2 I [衣笠 正晃] 春学期授業/Spring.....	1174
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0336】 English 2 II [衣笠 正晃] 秋学期授業/Fall.....	1175
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0337】 English 2 I [RICHARD SHEEHAN] 春学期授業/Spring.....	1176
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0338】 English 2 II [RICHARD SHEEHAN] 秋学期授業/Fall.....	1177
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0339】 English 2 I [ジョナサン エイブル] 春学期授業/Spring.....	1178
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0340】 English 2 II [ジョナサン エイブル] 秋学期授業/Fall.....	1179
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0341】 English 2 I [近藤 隆子] 春学期授業/Spring.....	1180
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0342】 English 2 II [近藤 隆子] 秋学期授業/Fall.....	1182
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0343】 English 2 I [小坂 恵理子] 春学期授業/Spring.....	1184
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0344】 English 2 II [小坂 恵理子] 秋学期授業/Fall.....	1185
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0345】 English 2 I [Robert D. Hinton] 春学期授業/Spring.....	1186

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0346】 English 2 II [Robert D. Hinton]	
秋学期授業/Fall	1187
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0347】 English 2 I [CHRISTOPHER MASCHIO]	
春学期授業/Spring	1188
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0348】 English 2 II [CHRISTOPHER MASCHIO]	
秋学期授業/Fall	1189
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0349】 English 2 I [山崎 暁子]	
春学期授業/Spring	1190
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0350】 English 2 II [山崎 暁子]	
秋学期授業/Fall	1191
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0351】 English 2 I [CHRISTOPHER MASCHIO]	
春学期授業/Spring	1192
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0352】 English 2 II [CHRISTOPHER MASCHIO]	
秋学期授業/Fall	1193
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0353】 English 2 I [CHIA-WEI KANG]	
春学期授業/Spring	1194
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0354】 English 2 II [石原 紀子]	
秋学期授業/Fall	1195
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0355】 English 2 I [ジェフリー B タロフスキー]	
春学期授業/Spring	1197
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0356】 English 2 II [ジェフリー B タロフスキー]	
秋学期授業/Fall	1200
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0361】 English 2 I [Annette Gruber]	
春学期授業/Spring	1202
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0362】 English 2 II [Annette Gruber]	
秋学期授業/Fall	1203
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0363】 English 2 I [HUGH A GRAHAM-MARR]	
春学期授業/Spring	1204
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0364】 English 2 II [HUGH A GRAHAM-MARR]	
秋学期授業/Fall	1205
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0365】 English 2 I [鈴木 眞奈美]	
春学期授業/Spring	1206
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0366】 English 2 II [鈴木 眞奈美]	
秋学期授業/Fall	1207
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0367】 English 2 I [MAXIM WOOLLERTON]	
春学期授業/Spring	1209
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0368】 English 2 II [MAXIM WOOLLERTON]	
秋学期授業/Fall	1211
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0369】 English 2 I [鹿子嶋 由佳]	
春学期授業/Spring	1213
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0370】 English 2 II [鹿子嶋 由佳]	
秋学期授業/Fall	1215
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0371】 English 2 I [北原 ルック 明子]	
春学期授業/Spring	1217
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0372】 English 2 II [北原 ルック 明子]	
秋学期授業/Fall	1219
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0373】 English 2 I [森永 豊]	
春学期授業/Spring	1221
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0374】 English 2 II [森永 豊]	
秋学期授業/Fall	1223
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0375】 English 2 I [ウォルター カズマー]	
春学期授業/Spring	1225
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0376】 English 2 II [ウォルター カズマー]	
秋学期授業/Fall	1226
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0377】 English 2 I [小堀 洋]	
春学期授業/Spring	1227

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0378】English 2Ⅱ [小堀 洋] 秋学期授業/Fall	1229
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0379】English 2Ⅰ [ALAN M NICHOLLS] 春学期授業/Spring	1231
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0380】English 2Ⅱ [ALAN M NICHOLLS] 秋学期授業/Fall	1233
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0381】English 2Ⅰ [MICHAEL DONOVAN] 春学期授業/Spring	1235
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0382】English 2Ⅱ [MICHAEL DONOVAN] 秋学期授業/Fall	1236
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0383】English 2Ⅰ [Richard J Burrows] 春学期授業/Spring	1237
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0384】English 2Ⅱ [Richard J Burrows] 秋学期授業/Fall	1238
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0385】English 2Ⅰ [井上 紗央里] 春学期授業/Spring	1240
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0386】English 2Ⅱ [井上 紗央里] 秋学期授業/Fall	1241
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0387】English 2Ⅰ [LASSEGARD JAMES] 春学期授業/Spring	1242
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0388】English 2Ⅱ [LASSEGARD JAMES] 秋学期授業/Fall	1243
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0389】English 2Ⅰ [ROBIN F WEICHERT] 春学期授業/Spring	1244
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0390】English 2Ⅱ [ROBIN F WEICHERT] 秋学期授業/Fall	1246
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0391】English 2Ⅰ [ERIC J RITTER] 春学期授業/Spring	1247
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0392】English 2Ⅱ [ERIC J RITTER] 秋学期授業/Fall	1248
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0393】English 2Ⅰ [飛田 英伸] 春学期授業/Spring	1249
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0394】English 2Ⅱ [飛田 英伸] 秋学期授業/Fall	1250
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0401】English 2Ⅰ [PAUL K KALLENDER] 春学期授業/Spring	1251
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0402】English 2Ⅱ [PAUL K KALLENDER] 秋学期授業/Fall	1253
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0403】English 2Ⅰ [Annette Gruber] 春学期授業/Spring	1255
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0404】English 2Ⅱ [Annette Gruber] 秋学期授業/Fall	1256
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0405】English 2Ⅰ [HUGH A GRAHAM-MARR] 春学期授業/Spring	1257
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0406】English 2Ⅱ [HUGH A GRAHAM-MARR] 秋学期授業/Fall	1258
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0407】English 2Ⅰ [鹿子嶋 由佳] 春学期授業/Spring	1259
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0408】English 2Ⅱ [鹿子嶋 由佳] 秋学期授業/Fall	1261
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0409】English 2Ⅰ [北原 ルック 明子] 春学期授業/Spring	1263
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0410】English 2Ⅱ [北原 ルック 明子] 秋学期授業/Fall	1265
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0411】English 2Ⅰ [JAMES D SHORT] 春学期授業/Spring	1266

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0412】English 2 II [JAMES D SHORT]	
秋学期授業/Fall	1268
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0413】English 2 I [森永 豊] 春学期	
授業/Spring	1270
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0414】English 2 II [森永 豊] 秋学期	
授業/Fall	1272
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0415】English 2 I [MAXIM	
WOOLLERTON] 春学期授業/Spring	1274
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0416】English 2 II [MAXIM	
WOOLLERTON] 秋学期授業/Fall	1276
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0417】English 2 I [ウォルター カズ	
マー] 春学期授業/Spring	1278
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0418】English 2 II [ウォルター カズ	
マー] 秋学期授業/Fall	1279
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0419】English 2 I [ALAN M NICHOLLS]	
春学期授業/Spring	1280
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0420】English 2 II [ALAN M NICHOLLS]	
秋学期授業/Fall	1282
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0421】English 2 I [Richard J Burrows]	
春学期授業/Spring	1284
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0422】English 2 II [Richard J Burrows]	
秋学期授業/Fall	1285
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0423】English 2 I [MICHAEL DONOVAN]	
春学期授業/Spring	1287
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0424】English 2 II [MICHAEL DONOVAN]	
秋学期授業/Fall	1288
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0425】English 2 I [LASSEGARD	
JAMES] 春学期授業/Spring	1289
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0426】English 2 II [LASSEGARD	
JAMES] 秋学期授業/Fall	1290
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0427】English 2 I [井上 紗央里] 春	
学期授業/Spring	1291
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0428】English 2 II [井上 紗央里] 秋	
学期授業/Fall	1292
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0429】English 2 I [ROBIN F WEICHERT]	
春学期授業/Spring	1293
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0430】English 2 II [ROBIN F WEICHERT]	
秋学期授業/Fall	1294
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0431】English 2 I [ERIC J RITTER]	
春学期授業/Spring	1296
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0432】English 2 II [ERIC J RITTER]	
秋学期授業/Fall	1297
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0433】English 2 I [鈴木 眞奈美] 春	
学期授業/Spring	1298
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0434】English 2 II [鈴木 眞奈美] 秋	
学期授業/Fall	1299
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0435】English 2 I [妻鹿 裕子] 春学	
期授業/Spring	1301
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0436】English 2 II [妻鹿 裕子] 秋学	
期授業/Fall	1302
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0437】English 2 I [中和 彩子] 春学	
期授業/Spring	1303
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0438】English 2 II [中和 彩子] 秋学	
期授業/Fall	1304
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0439】English 2 I [中垣 恒太郎] 春	
学期授業/Spring	1305

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0440】 English 2 II [中垣 恒太郎] 秋学期授業/Fall	1306
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0441】 English 1 I [折笠 真美] 春学期授業/Spring	1307
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0442】 English 1 II [折笠 真美] 秋学期授業/Fall	1308
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0443】 English 1 I [木瀬 康太] 春学期授業/Spring	1309
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0444】 English 1 II [木瀬 康太] 秋学期授業/Fall	1311
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0445】 English 1 I [木瀬 康太] 春学期授業/Spring	1313
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0446】 English 1 II [木瀬 康太] 秋学期授業/Fall	1315
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0447】 English 2 I [ウォルター カズマー] 春学期授業/Spring	1317
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0448】 English 2 II [ウォルター カズマー] 秋学期授業/Fall	1318
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0449】 English 2 I [Kregg Johnston] 春学期授業/Spring	1319
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0450】 English 2 II [Kregg Johnston] 秋学期授業/Fall	1321
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0451】 English 2 I [ウォルター カズマー] 春学期授業/Spring	1323
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0452】 English 2 II [ウォルター カズマー] 秋学期授業/Fall	1324
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0501】 英語 1 [小川 真也] 春学期授業/Spring	1325
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0502】 英語 3 [小川 真也] 秋学期授業/Fall	1327
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0503】 英語 1 [遠藤 郁子] 春学期授業/Spring	1329
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0504】 英語 3 [遠藤 郁子] 秋学期授業/Fall	1331
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0505】 英語 1 [宇治谷 義英] 春学期授業/Spring	1333
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0506】 英語 3 [宇治谷 義英] 秋学期授業/Fall	1334
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0507】 英語 1 [高井 美紀子] 春学期授業/Spring	1335
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0508】 英語 3 [高井 美紀子] 秋学期授業/Fall	1337
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0509】 英語 1 [栗飯原 文子] 春学期授業/Spring	1339
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0510】 英語 3 [栗飯原 文子] 秋学期授業/Fall	1340
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0511】 英語 1 [衣笠 正晃] 春学期授業/Spring	1342
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0512】 英語 3 [衣笠 正晃] 秋学期授業/Fall	1343
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0513】 英語 1 [深谷 公宣] 春学期授業/Spring	1344
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0514】 英語 3 [深谷 公宣] 秋学期授業/Fall	1345
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0515】 英語 1 [遠藤 郁子] 春学期授業/Spring	1346

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0516】英語3 [遠藤 郁子] 秋学期授業/ Fall.....	1348
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0517】英語1 [宇治谷 義英] 春学期授 業/Spring.....	1350
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0518】英語3 [宇治谷 義英] 秋学期授 業/Fall.....	1351
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0519】英語1 [高井 美紀子] 春学期授 業/Spring.....	1352
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0520】英語3 [高井 美紀子] 秋学期授 業/Fall.....	1354
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0521】英語1 [栗飯原 文子] 春学期授 業/Spring.....	1356
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0522】英語3 [栗飯原 文子] 秋学期授 業/Fall.....	1357
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0523】英語1 [岩下 弘史] 春学期授業/ Spring.....	1359
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0524】英語3 [岩下 弘史] 秋学期授業/ Fall.....	1361
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0531】英語2 [Kregg Johnston] 春学 期授業/Spring.....	1363
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0532】英語4 [Kregg Johnston] 秋学 期授業/Fall.....	1365
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0533】英語2 [折笠 真美] 春学期授業/ Spring.....	1367
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0534】英語4 [折笠 真美] 秋学期授業/ Fall.....	1368
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0535】英語2 [ALAN M NICHOLLS] 春 学期授業/Spring.....	1369
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0536】英語4 [ALAN M NICHOLLS] 秋 学期授業/Fall.....	1371
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0537】英語2 [小坂 恵理子] 春学期授 業/Spring.....	1373
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0538】英語4 [小坂 恵理子] 秋学期授 業/Fall.....	1374
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0539】英語2 [STEPHEN P MCINTYRE] 春 学期授業/Spring.....	1375
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0540】英語4 [STEPHEN P MCINTYRE] 秋 学期授業/Fall.....	1377
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0541】英語2 [ROBIN F WEICHERT] 春 学期授業/Spring.....	1380
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0542】英語4 [ROBIN F WEICHERT] 秋 学期授業/Fall.....	1381
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0543】英語2 [Kregg Johnston] 春学 期授業/Spring.....	1382
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0544】英語4 [Kregg Johnston] 秋学 期授業/Fall.....	1384
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0545】英語2 [折笠 真美] 春学期授業/ Spring.....	1386
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0546】英語4 [折笠 真美] 秋学期授業/ Fall.....	1387
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0547】英語2 [STEPHEN P MCINTYRE] 春 学期授業/Spring.....	1388
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0548】英語4 [STEPHEN P MCINTYRE] 秋 学期授業/Fall.....	1390
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0549】英語2 [ROBIN F WEICHERT] 春 学期授業/Spring.....	1393

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0550】英語4 [ROBIN F WEICHERT] 秋学期授業/Fall	1395
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0551】英語2 [佐藤 陽子] 春学期授業/Spring	1397
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0552】英語4 [佐藤 陽子] 秋学期授業/Fall	1399
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0553】英語2 [小坂 恵理子] 春学期授業/Spring	1401
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0554】英語4 [小坂 恵理子] 秋学期授業/Fall	1402
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0561】英語5 [TOBY TRAUB] 春学期授業/Spring	1403
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0562】英語6 [TOBY TRAUB] 秋学期授業/Fall	1405
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0563】英語5 [ラスカイル L.ハウザー] 春学期授業/Spring	1407
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0564】英語6 [ラスカイル L.ハウザー] 秋学期授業/Fall	1408
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0565】英語5 [CHIA-WEI KANG] 春学期授業/Spring	1409
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0566】英語6 [CHIA-WEI KANG] 秋学期授業/Fall	1411
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0567】英語5 [ウォルター カズマー] 春学期授業/Spring	1413
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0568】英語6 [ウォルター カズマー] 秋学期授業/Fall	1414
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0569】英語5 [STEPHEN P MCINTYRE] 春学期授業/Spring	1415
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0570】英語6 [STEPHEN P MCINTYRE] 秋学期授業/Fall	1417
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0571】英語5 [ラスカイル L.ハウザー] 春学期授業/Spring	1419
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0572】英語6 [ラスカイル L.ハウザー] 秋学期授業/Fall	1420
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0573】英語5 [ウォルター カズマー] 春学期授業/Spring	1421
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0574】英語6 [ウォルター カズマー] 秋学期授業/Fall	1422
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0601】English 1-I [北原 ルック 明子] 春学期授業/Spring	1423
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0602】English 1-II [北原 ルック 明子] 秋学期授業/Fall	1424
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0603】English 1-I [小泉 和弘] 春学期授業/Spring	1426
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0604】English 1-II [小泉 和弘] 秋学期授業/Fall	1427
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0605】English 1-I [吉江 秀和] 春学期授業/Spring	1428
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0606】English 1-II [吉江 秀和] 秋学期授業/Fall	1429
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0607】English 1-I [今井 澄子] 春学期授業/Spring	1431
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0608】English 1-II [今井 澄子] 秋学期授業/Fall	1433
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0609】English 1-I [根本 怜奈] 春学期授業/Spring	1435

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0610】 English 1 - II [根本 怜奈] 秋 学期授業/Fall	1436
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0611】 English 1 - I [舟橋 美香] 春 学期授業/Spring	1437
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0612】 English 1 - II [舟橋 美香] 秋 学期授業/Fall	1438
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0613】 English 1 - I [北原 ルック 明子] 春学期授業/Spring	1440
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0614】 English 1 - II [北原 ルック 明子] 秋学期授業/Fall	1442
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0615】 English 1 - I [小泉 和弘] 春 学期授業/Spring	1444
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0616】 English 1 - II [小泉 和弘] 秋 学期授業/Fall	1445
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0617】 English 1 - I [吉江 秀和] 春 学期授業/Spring	1446
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0618】 English 1 - II [吉江 秀和] 秋 学期授業/Fall	1447
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0619】 English 1 - I [今井 澄子] 春 学期授業/Spring	1449
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0620】 English 1 - II [今井 澄子] 秋 学期授業/Fall	1451
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0621】 English 1 - I [根本 怜奈] 春 学期授業/Spring	1453
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0622】 English 1 - II [根本 怜奈] 秋 学期授業/Fall	1454
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0623】 English 1 - I [舟橋 美香] 春 学期授業/Spring	1455
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0624】 English 1 - II [舟橋 美香] 秋 学期授業/Fall	1456
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0625】 English 1 - I [青山 恵子] 春 学期授業/Spring	1458
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0626】 English 1 - II [青山 恵子] 秋 学期授業/Fall	1459
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0627】 English 1 - I [青山 恵子] 春 学期授業/Spring	1460
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0628】 English 1 - II [青山 恵子] 秋 学期授業/Fall	1461
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0629】 English 1 - I [吉江 秀和] 春 学期授業/Spring	1462
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0630】 English 1 - II [吉江 秀和] 秋 学期授業/Fall	1463
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0631】 English 2 - I [小堀 洋] 春学 期授業/Spring	1465
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0632】 English 2 - II [小堀 洋] 秋学 期授業/Fall	1467
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0633】 English 2 - I [森永 豊] 春学 期授業/Spring	1469
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0634】 English 2 - II [森永 豊] 秋学 期授業/Fall	1471
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0635】 English 2 - I [大曲 陽子] 春 学期授業/Spring	1473
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0636】 English 2 - II [大曲 陽子] 秋 学期授業/Fall	1475
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0637】 English 2 - I [吉川 直澄] 春 学期授業/Spring	1477

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0638】 English 2-II [吉川 直澄] 秋学期授業/Fall	1479
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0639】 English 2-I [高橋 佳江] 春学期授業/Spring	1481
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0640】 English 2-II [高橋 佳江] 秋学期授業/Fall	1482
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0641】 English 2-I [今井 澄子] 春学期授業/Spring	1483
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0642】 English 2-II [今井 澄子] 秋学期授業/Fall	1485
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0643】 English 2-I [小堀 洋] 春学期授業/Spring	1487
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0644】 English 2-II [小堀 洋] 秋学期授業/Fall	1489
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0645】 English 2-I [森永 豊] 春学期授業/Spring	1491
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0646】 English 2-II [森永 豊] 秋学期授業/Fall	1493
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0647】 English 2-I [大曲 陽子] 春学期授業/Spring	1495
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0648】 English 2-II [大曲 陽子] 秋学期授業/Fall	1497
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0649】 English 2-I [吉川 直澄] 春学期授業/Spring	1499
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0650】 English 2-II [吉川 直澄] 秋学期授業/Fall	1501
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0651】 English 2-I [高橋 佳江] 春学期授業/Spring	1503
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0652】 English 2-II [高橋 佳江] 秋学期授業/Fall	1504
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0653】 English 2-I [今井 澄子] 春学期授業/Spring	1505
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0654】 English 2-II [今井 澄子] 秋学期授業/Fall	1507
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0655】 English 2-I [ESTHER STOCKWELL] 春学期授業/Spring	1509
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0656】 English 2-II [ESTHER STOCKWELL] 秋学期授業/Fall	1510
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0657】 English 2-I [ESTHER STOCKWELL] 春学期授業/Spring	1511
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0658】 English 2-II [ESTHER STOCKWELL] 秋学期授業/Fall	1512
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0659】 English 2-I [小堀 洋] 春学期授業/Spring	1513
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0660】 English 2-II [小堀 洋] 秋学期授業/Fall	1515
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0701】 英語1-I [大曲 陽子] 春学期授業/Spring	1517
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0702】 英語1-II [大曲 陽子] 秋学期授業/Fall	1519
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0703】 英語1-I [飛田 英伸] 春学期授業/Spring	1521
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0704】 英語1-II [飛田 英伸] 秋学期授業/Fall	1522
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語 【R0705】 英語1-I [川野 芽生] 春学期授業/Spring	1523

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0706】英語1－Ⅱ [川野 芽生] 秋学期 授業/Fall	1524
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0707】英語1－Ⅰ [溝部 敦子] 春学 期授業/Spring	1525
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0708】英語1－Ⅱ [溝部 敦子] 秋学期 授業/Fall	1527
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0709】英語1－Ⅰ [遠藤 郁子] 春学 期授業/Spring	1528
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0710】英語1－Ⅱ [遠藤 郁子] 秋学期 授業/Fall	1530
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0711】英語1－Ⅰ [鈴木 博雄] 春学 期授業/Spring	1532
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0712】英語1－Ⅱ [鈴木 博雄] 秋学期 授業/Fall	1533
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0713】英語1－Ⅰ [鈴木 理枝] 春学 期授業/Spring	1534
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0714】英語1－Ⅱ [鈴木 理枝] 秋学期 授業/Fall	1536
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0715】英語1－Ⅰ [亀岡 浩一] 春学 期授業/Spring	1538
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0716】英語1－Ⅱ [亀岡 浩一] 秋学期 授業/Fall	1539
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0717】英語1－Ⅰ [三原 里美] 春学 期授業/Spring	1540
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0718】英語1－Ⅱ [三原 里美] 秋学期 授業/Fall	1541
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0719】英語1－Ⅰ [戸嶋 まゆみ] 春 学期授業/Spring	1542
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0720】英語1－Ⅱ [戸嶋 まゆみ] 秋学 期授業/Fall	1543
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0721】英語1－Ⅰ [折笠 真美] 春学 期授業/Spring	1544
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0722】英語1－Ⅱ [折笠 真美] 秋学期 授業/Fall	1545
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0723】英語1－Ⅰ [飛田 英伸] 春学 期授業/Spring	1546
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0724】英語1－Ⅱ [飛田 英伸] 秋学期 授業/Fall	1547
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0725】英語1－Ⅰ [小堀 洋] 春学期 授業/Spring	1548
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0726】英語1－Ⅱ [小堀 洋] 秋学期授 業/Fall	1549
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0731】英語2－Ⅰ [鈴木 理枝] 春学期 授業/Spring	1550
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0732】英語2－Ⅱ [鈴木 理枝] 秋学期 授業/Fall	1552
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0733】英語2－Ⅰ [亀岡 浩一] 春学期 授業/Spring	1554
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0734】英語2－Ⅱ [亀岡 浩一] 秋学期 授業/Fall	1555
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0735】英語2－Ⅰ [三原 里美] 春学期 授業/Spring	1556
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0736】英語2－Ⅱ [三原 里美] 秋学期 授業/Fall	1557
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0737】英語2－Ⅰ [戸嶋 まゆみ] 春学 期授業/Spring	1558

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0738】英語2－Ⅱ [戸嶋 まゆみ] 秋学期授業/Fall	1559
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0739】英語2－Ⅰ [折笠 真美] 春学期授業/Spring	1560
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0740】英語2－Ⅱ [折笠 真美] 秋学期授業/Fall	1561
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0741】英語2－Ⅰ [飛田 英伸] 春学期授業/Spring	1562
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0742】英語2－Ⅱ [飛田 英伸] 秋学期授業/Fall	1563
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0743】英語2－Ⅰ [大曲 陽子] 春学期授業/Spring	1564
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0744】英語2－Ⅱ [大曲 陽子] 秋学期授業/Fall	1566
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0745】英語2－Ⅰ [飛田 英伸] 春学期授業/Spring	1568
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0746】英語2－Ⅱ [飛田 英伸] 秋学期授業/Fall	1569
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0747】英語2－Ⅰ [大和久 悌一郎] 春学期授業/Spring	1570
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0748】英語2－Ⅱ [大和久 悌一郎] 秋学期授業/Fall	1571
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0749】英語2－Ⅰ [溝部 敦子] 春学期授業/Spring	1572
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0750】英語2－Ⅱ [溝部 敦子] 秋学期授業/Fall	1574
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0751】英語2－Ⅰ [遠藤 郁子] 春学期授業/Spring	1576
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0752】英語2－Ⅱ [遠藤 郁子] 秋学期授業/Fall	1578
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0753】英語2－Ⅰ [鈴木 博雄] 春学期授業/Spring	1580
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0754】英語2－Ⅱ [鈴木 博雄] 秋学期授業/Fall	1581
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0755】英語2－Ⅰ [川野 芽生] 春学期授業/Spring	1582
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0756】英語2－Ⅱ [川野 芽生] 秋学期授業/Fall	1583
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0951】Academic English R&W Ⅰ [NADER Jamelea] 春学期授業/Spring	1584
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0952】Academic English L&S Ⅰ [NADER Jamelea] 春学期授業/Spring	1586
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0953】Academic English R&W Ⅱ [NADER Jamelea] 秋学期授業/Fall	1588
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0954】Academic English L&S Ⅱ [NADER Jamelea] 秋学期授業/Fall	1590
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0955】Academic English R&W Ⅰ [ERIC J RITTER] 春学期授業/Spring	1592
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0956】Academic English L&S Ⅰ [ERIC J RITTER] 春学期授業/Spring	1593
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0957】Academic English R&W Ⅱ [ERIC J RITTER] 秋学期授業/Fall	1594
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0958】Academic English L&S Ⅱ [ERIC J RITTER] 秋学期授業/Fall	1595
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0959】Academic English R&W Ⅰ [コートランド デイビッド スミス] 春学期授業/Spring	1596

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0960】 Academic English L&S I [コー トランド デイビッド スミス] 春学期授業/Spring	1597
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0961】 Academic English R&W II [コー トランド デイビッド スミス] 秋学期授業/Fall	1598
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0962】 Academic English L&S II [コー トランド デイビッド スミス] 秋学期授業/Fall	1599
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0963】 Academic English R&W I [NADER Jamelea] 春学期授業/Spring	1600
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0964】 Academic English L&S I [NADER Jamelea] 春学期授業/Spring	1602
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0965】 Academic English R&W II [NADER Jamelea] 秋学期授業/Fall	1604
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0966】 Academic English L&S II [NADER Jamelea] 秋学期授業/Fall	1606
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0967】 Academic English R&W I [ERIC J RITTER] 春学期授業/Spring	1608
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0968】 Academic English L&S I [ERIC J RITTER] 春学期授業/Spring	1609
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0969】 Academic English R&W II [ERIC J RITTER] 秋学期授業/Fall	1610
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0970】 Academic English L&S II [ERIC J RITTER] 秋学期授業/Fall	1611
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0971】 Academic English R&W I [コー トランド デイビッド スミス] 春学期授業/Spring	1612
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0972】 Academic English L&S I [コー トランド デイビッド スミス] 春学期授業/Spring	1613
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0973】 Academic English R&W II [コー トランド デイビッド スミス] 秋学期授業/Fall	1614
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0974】 Academic English L&S II [コー トランド デイビッド スミス] 秋学期授業/Fall	1615
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0975】 Academic English R&W I [ALAN M NICHOLLS] 春学期授業/Spring	1616
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0976】 Academic English L&S I [CALVIN R RADAKOVICH] 春学期授業/Spring	1617
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0977】 Academic English R&W II [ALAN M NICHOLLS] 秋学期授業/Fall	1618
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 英語【R0978】 Academic English L&S II [CALVIN R RADAKOVICH] 秋学期授業/Fall	1619
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4001】 ドイツ語1 I [長澤 優子] 春学期授業/Spring	1620
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4002】 ドイツ語1 II [長澤 優子] 秋学期授業/Fall	1621
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4007】 ドイツ語1 I [上田 知夫] 春学期授業/Spring	1622
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4008】 ドイツ語1 II [上田 知夫] 秋学期授業/Fall	1623
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4011】 ドイツ語1 I [吉田 敬介] 春学期授業/Spring	1624
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4012】 ドイツ語1 II [吉田 敬介] 秋学期授業/Fall	1625
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4017】 ドイツ語1 I [小野間 亮 子] 春学期授業/Spring	1626
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4018】 ドイツ語1 II [小野間 亮 子] 秋学期授業/Fall	1627
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4019】 ドイツ語1 I [ADAM D JAMBOR] 春学期授業/Spring	1628

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4020】 ドイツ語1Ⅱ [ADAM D JAMBOR] 秋学期授業/Fall	1629
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4023】 ドイツ語1Ⅰ [JENS OSTWALD] 春学期授業/Spring	1630
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4024】 ドイツ語1Ⅱ [JENS OSTWALD] 秋学期授業/Fall	1631
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4025】 ドイツ語1Ⅰ [日中 鎮朗] 春学期授業/Spring	1632
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4026】 ドイツ語1Ⅱ [日中 鎮朗] 秋学期授業/Fall	1633
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4027】 ドイツ語1Ⅰ [小野間 亮子] 春学期授業/Spring	1634
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4028】 ドイツ語1Ⅱ [小野間 亮子] 秋学期授業/Fall	1635
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4033】 ドイツ語1Ⅰ [三ツ石 祐子] 春学期授業/Spring	1636
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4034】 ドイツ語1Ⅱ [三ツ石 祐子] 秋学期授業/Fall	1637
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4051】 ドイツ語2Ⅰ [高木 葉子] 春学期授業/Spring	1638
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4052】 ドイツ語2Ⅱ [高木 葉子] 秋学期授業/Fall	1639
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4057】 ドイツ語2Ⅰ [児島 由理] 春学期授業/Spring	1640
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4058】 ドイツ語2Ⅱ [児島 由理] 秋学期授業/Fall	1641
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4061】 ドイツ語2Ⅰ [ADAM D JAMBOR] 春学期授業/Spring	1642
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4062】 ドイツ語2Ⅱ [ADAM D JAMBOR] 秋学期授業/Fall	1643
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4065】 ドイツ語2Ⅰ [岡本 雅克] 春学期授業/Spring	1644
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4066】 ドイツ語2Ⅱ [岡本 雅克] 秋学期授業/Fall	1645
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4067】 ドイツ語2Ⅰ [高木 葉子] 春学期授業/Spring	1646
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4068】 ドイツ語2Ⅱ [高木 葉子] 秋学期授業/Fall	1647
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4071】 ドイツ語2Ⅰ [児島 由理] 春学期授業/Spring	1648
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4072】 ドイツ語2Ⅱ [児島 由理] 秋学期授業/Fall	1649
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4073】 ドイツ語2Ⅰ [梶谷 雄二] 春学期授業/Spring	1650
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4074】 ドイツ語2Ⅱ [梶谷 雄二] 秋学期授業/Fall	1651
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4075】 ドイツ語2Ⅰ [岡本 雅克] 春学期授業/Spring	1652
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4076】 ドイツ語2Ⅱ [岡本 雅克] 秋学期授業/Fall	1653
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4081】 ドイツ語2Ⅰ [JENS OSTWALD] 春学期授業/Spring	1654
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4082】 ドイツ語2Ⅱ [JENS OSTWALD] 秋学期授業/Fall	1655
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4101】 ドイツ語(1)Ⅰ [日中 鎮朗] 春学期授業/Spring	1656

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4102】 ドイツ語(1)Ⅱ [日中 鎮朗] 秋学期授業/Fall	1657
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4111】 ドイツ語(2)Ⅰ [平松 英人] 春学期授業/Spring	1658
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4112】 ドイツ語(2)Ⅱ [平松 英人] 秋学期授業/Fall	1659
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4121】 ドイツ語1 [林 志津江] 春学期授業/Spring	1660
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4122】 ドイツ語3 [林 志津江] 秋学期授業/Fall	1662
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4123】 ドイツ語2 [小川 敦] 春学期授業/Spring	1664
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4124】 ドイツ語4 [小川 敦] 秋学期授業/Fall	1666
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4125】 ドイツ語5 [Annette Gruber] 春学期授業/Spring	1668
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4126】 ドイツ語6 [Annette Gruber] 秋学期授業/Fall	1669
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4127】 ドイツ語1 [小川 敦] 春学期授業/Spring	1670
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4128】 ドイツ語3 [小川 敦] 秋学期授業/Fall	1671
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4129】 ドイツ語2 [Schmidt Ute] 春学期授業/Spring	1672
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4130】 ドイツ語4 [Schmidt Ute] 秋学期授業/Fall	1673
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4141】 ドイツ語1-I [辻 英史] 春学期授業/Spring	1674
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4142】 ドイツ語1-II [辻 英史] 秋学期授業/Fall	1675
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4145】 ドイツ語1-I [長澤 優子] 春学期授業/Spring	1676
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4146】 ドイツ語1-II [長澤 優子] 秋学期授業/Fall	1677
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4151】 ドイツ語2-I [伊東 直美] 春学期授業/Spring	1678
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4152】 ドイツ語2-II [伊東 直美] 秋学期授業/Fall	1679
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4155】 ドイツ語2-I [遠藤 浩介] 春学期授業/Spring	1680
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4156】 ドイツ語2-II [遠藤 浩介] 秋学期授業/Fall	1681
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5001】 フランス語1Ⅰ [小幡 一雄] 春学期授業/Spring	1682
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5002】 フランス語1Ⅱ [小幡 一雄] 秋学期授業/Fall	1683
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5003】 フランス語1Ⅰ [竹本 研史] 春学期授業/Spring	1684
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5004】 フランス語1Ⅱ [竹本 研史] 秋学期授業/Fall	1686
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5005】 フランス語1Ⅰ [江澤 健一郎] 春学期授業/Spring	1688
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5006】 フランス語1Ⅱ [江澤 健一郎] 秋学期授業/Fall	1689
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5007】 フランス語1Ⅰ [近江屋 志穂] 春学期授業/Spring	1690

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5008】 フランス語1Ⅱ [近江屋 志穂] 秋学期授業/Fall	1691
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5009】 フランス語1Ⅰ [寺家村 博] 春学期授業/Spring	1692
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5010】 フランス語1Ⅱ [寺家村 博] 秋学期授業/Fall	1693
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5011】 フランス語1Ⅰ [柴田 恵美] 春学期授業/Spring	1694
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5012】 フランス語1Ⅱ [柴田 恵美] 秋学期授業/Fall	1696
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5013】 フランス語1Ⅰ [江澤 健一郎] 春学期授業/Spring	1698
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5014】 フランス語1Ⅱ [江澤 健一郎] 秋学期授業/Fall	1699
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5015】 フランス語1Ⅰ [小幡 一雄] 春学期授業/Spring	1700
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5016】 フランス語1Ⅱ [小幡 一雄] 秋学期授業/Fall	1701
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5019】 フランス語1Ⅰ [大中 一彌] 春学期授業/Spring	1702
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5020】 フランス語1Ⅱ [大中 一彌] 秋学期授業/Fall	1704
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5021】 フランス語1Ⅰ [稲垣 正久] 春学期授業/Spring	1706
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5022】 フランス語1Ⅱ [稲垣 正久] 秋学期授業/Fall	1707
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5041】 フランス語2Ⅰ [ニコラ ガイヤール] 春学期授業/Spring	1708
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5042】 フランス語2Ⅱ [ニコラ ガイヤール] 秋学期授業/Fall	1709
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5043】 フランス語2Ⅰ [コリンヌ ヴァリエンス] 春学期授業/Spring	1710
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5044】 フランス語2Ⅱ [コリンヌ ヴァリエンス] 秋学期授業/Fall	1711
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5045】 フランス語2Ⅰ [コリンヌ ヴァリエンス] 春学期授業/Spring	1712
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5046】 フランス語2Ⅱ [コリンヌ ヴァリエンス] 秋学期授業/Fall	1713
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5047】 フランス語2Ⅰ [南 玲子] 春学期授業/Spring	1714
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5048】 フランス語2Ⅱ [南 玲子] 秋学期授業/Fall	1715
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5049】 フランス語2Ⅰ [杉村 裕史] 春学期授業/Spring	1716
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5050】 フランス語2Ⅱ [杉村 裕史] 秋学期授業/Fall	1717
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5051】 フランス語2Ⅰ [杉村 裕史] 春学期授業/Spring	1718
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5052】 フランス語2Ⅱ [杉村 裕史] 秋学期授業/Fall	1719
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5053】 フランス語2Ⅰ [山口 雅敏] 春学期授業/Spring	1720
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5054】 フランス語2Ⅱ [山口 雅敏] 秋学期授業/Fall	1721
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5055】 フランス語2Ⅰ [山口 雅敏] 春学期授業/Spring	1722

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5056】 フランス語2Ⅱ [山口 雅敏] 秋学期授業/Fall	1723
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5059】 フランス語2Ⅰ [石川 典子] 春学期授業/Spring	1724
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5060】 フランス語2Ⅱ [石川 典子] 秋学期授業/Fall	1725
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5061】 フランス語2Ⅰ [寺家村 博] 春学期授業/Spring	1726
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5062】 フランス語2Ⅱ [寺家村 博] 秋学期授業/Fall	1727
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5081】 フランス語(1)Ⅰ [南 玲子] 春学期授業/Spring	1728
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5082】 フランス語(1)Ⅱ [南 玲子] 秋学期授業/Fall	1729
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5083】 フランス語(2)Ⅰ [江澤 健一郎] 春学期授業/Spring	1730
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5084】 フランス語(2)Ⅱ [江澤 健一郎] 秋学期授業/Fall	1731
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5091】 フランス語1 [岡村 民夫] 春学期授業/Spring	1732
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5092】 フランス語3 [岡村 民夫] 秋学期授業/Fall	1733
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5093】 フランス語2 [廣松 勲] 春学期授業/Spring	1734
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5094】 フランス語4 [廣松 勲] 秋学期授業/Fall	1736
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5095】 フランス語5 [ルルー 清野 ブレンドン] 春学期授業/Spring	1738
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5096】 フランス語6 [ルルー 清野 ブレンドン] 秋学期授業/Fall	1739
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5097】 フランス語1 [鈴木 正道] 春学期授業/Spring	1740
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5098】 フランス語3 [鈴木 正道] 秋学期授業/Fall	1742
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5099】 フランス語2 [柴田 恵美] 春学期授業/Spring	1744
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5100】 フランス語4 [柴田 恵美] 秋学期授業/Fall	1746
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5111】 フランス語1-I [竹本 研史] 春学期授業/Spring	1748
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5112】 フランス語1-II [竹本 研史] 秋学期授業/Fall	1750
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5115】 フランス語1-I [柴崎 秀穂] 春学期授業/Spring	1751
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5116】 フランス語1-II [柴崎 秀穂] 秋学期授業/Fall	1752
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5121】 フランス語2-I [石川 典子] 春学期授業/Spring	1753
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5122】 フランス語2-II [石川 典子] 秋学期授業/Fall	1754
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5125】 フランス語2-I [杉村 裕史] 春学期授業/Spring	1755
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5126】 フランス語2-II [杉村 裕史] 秋学期授業/Fall	1756
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6001】 ロシア語1Ⅰ [油本 真理] 春学期授業/Spring	1757

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6002】 ロシア語1Ⅱ [油本 真理]	
秋学期授業/Fall	1758
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6003】 ロシア語1Ⅰ [木部 敬] 春	
学期授業/Spring	1759
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6004】 ロシア語1Ⅱ [木部 敬] 秋	
学期授業/Fall	1760
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6005】 ロシア語1Ⅰ [小西 昌隆]	
春学期授業/Spring	1761
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6006】 ロシア語1Ⅱ [小西 昌隆]	
秋学期授業/Fall	1762
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6011】 ロシア語2Ⅰ [上野 理恵]	
春学期授業/Spring	1763
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6012】 ロシア語2Ⅱ [上野 理恵]	
秋学期授業/Fall	1764
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6013】 ロシア語2Ⅰ [小西 昌隆]	
春学期授業/Spring	1765
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6014】 ロシア語2Ⅱ [小西 昌隆]	
秋学期授業/Fall	1766
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6015】 ロシア語2Ⅰ [上野 理恵]	
春学期授業/Spring	1767
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6016】 ロシア語2Ⅱ [上野 理恵]	
秋学期授業/Fall	1768
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6031】 ロシア語1 [エレナ 三神]	
春学期授業/Spring	1769
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6032】 ロシア語3 [佐藤 千登勢]	
秋学期授業/Fall	1770
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6033】 ロシア語2 [佐藤 千登勢]	
春学期授業/Spring	1771
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6034】 ロシア語4 [小西 昌隆] 秋	
学期授業/Fall	1772
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6035】 ロシア語5 [上野 理恵] 春	
学期授業/Spring	1773
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6036】 ロシア語6 [上野 理恵] 秋	
学期授業/Fall	1774
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6041】 ロシア語1-I [佐藤 裕子]	
春学期授業/Spring	1775
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6042】 ロシア語1-II [佐藤 裕子]	
秋学期授業/Fall	1776
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6043】 ロシア語1-I [佐藤 裕子]	
春学期授業/Spring	1777
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6044】 ロシア語1-II [佐藤 裕子]	
秋学期授業/Fall	1778
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6051】 ロシア語2-I [佐藤 裕子]	
春学期授業/Spring	1779
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6052】 ロシア語2-II [佐藤 裕子]	
秋学期授業/Fall	1780
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6053】 ロシア語2-I [小西 昌隆]	
春学期授業/Spring	1781
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6054】 ロシア語2-II [小西 昌隆]	
秋学期授業/Fall	1782
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7001】 中国語1Ⅰ [赤平 恵里] 春	
学期授業/Spring	1783
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7002】 中国語1Ⅱ [赤平 恵里] 秋	
学期授業/Fall	1784
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7003】 中国語1Ⅰ [福木 滋久] 春	
学期授業/Spring	1785

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7004】 中国語1Ⅱ [福木 滋久] 秋学期授業/Fall	1786
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7005】 中国語1Ⅰ [池田 麻希子] 春学期授業/Spring	1787
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7006】 中国語1Ⅱ [池田 麻希子] 秋学期授業/Fall	1788
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7007】 中国語1Ⅰ [野村 英登] 春学期授業/Spring	1789
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7008】 中国語1Ⅱ [野村 英登] 秋学期授業/Fall	1790
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7009】 中国語1Ⅰ [鷺巣 益美] 春学期授業/Spring	1791
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7010】 中国語1Ⅱ [鷺巣 益美] 秋学期授業/Fall	1792
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7011】 中国語1Ⅰ [渡部 れい子] 春学期授業/Spring	1793
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7012】 中国語1Ⅱ [渡部 れい子] 秋学期授業/Fall	1794
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7015】 中国語1Ⅰ [柴崎 公美子] 春学期授業/Spring	1795
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7016】 中国語1Ⅱ [柴崎 公美子] 秋学期授業/Fall	1797
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7017】 中国語1Ⅰ [柴崎 公美子] 春学期授業/Spring	1798
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7018】 中国語1Ⅱ [柴崎 公美子] 秋学期授業/Fall	1800
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7019】 中国語1Ⅰ [大野 広之] 春学期授業/Spring	1801
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7020】 中国語1Ⅱ [大野 広之] 秋学期授業/Fall	1802
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7021】 中国語1Ⅰ [岩田 和子] 春学期授業/Spring	1803
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7022】 中国語1Ⅱ [岩田 和子] 秋学期授業/Fall	1804
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7023】 中国語1Ⅰ [青木 正子] 春学期授業/Spring	1805
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7024】 中国語1Ⅱ [青木 正子] 秋学期授業/Fall	1806
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7025】 中国語1Ⅰ [青木 正子] 春学期授業/Spring	1807
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7026】 中国語1Ⅱ [青木 正子] 秋学期授業/Fall	1808
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7027】 中国語1Ⅰ [青木 正子] 春学期授業/Spring	1809
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7028】 中国語1Ⅱ [青木 正子] 秋学期授業/Fall	1810
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7031】 中国語1Ⅰ [篠田 幸夫] 春学期授業/Spring	1811
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7032】 中国語1Ⅱ [篠田 幸夫] 秋学期授業/Fall	1812
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7033】 中国語1Ⅰ [大野 広之] 春学期授業/Spring	1813
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7034】 中国語1Ⅱ [大野 広之] 秋学期授業/Fall	1814
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7035】 中国語1Ⅰ [篠田 幸夫] 春学期授業/Spring	1815

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7036】 中国語1Ⅱ [篠田 幸夫] 秋学期授業/Fall	1816
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7037】 中国語1Ⅰ [篠田 幸夫] 春学期授業/Spring	1817
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7038】 中国語1Ⅱ [篠田 幸夫] 秋学期授業/Fall	1818
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7039】 中国語1Ⅰ [野村 英登] 春学期授業/Spring	1819
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7040】 中国語1Ⅱ [野村 英登] 秋学期授業/Fall	1820
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7043】 中国語1Ⅰ [福木 滋久] 春学期授業/Spring	1821
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7044】 中国語1Ⅱ [福木 滋久] 秋学期授業/Fall	1822
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7045】 中国語1Ⅰ [大江 千晶] 春学期授業/Spring	1823
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7046】 中国語1Ⅱ [大江 千晶] 秋学期授業/Fall	1824
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7047】 中国語1Ⅰ [池田 麻希子] 春学期授業/Spring	1825
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7048】 中国語1Ⅱ [池田 麻希子] 秋学期授業/Fall	1826
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7049】 中国語1Ⅰ [鷺巣 益美] 春学期授業/Spring	1827
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7050】 中国語1Ⅱ [鷺巣 益美] 秋学期授業/Fall	1828
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7053】 中国語1Ⅰ [渡部 れい子] 春学期授業/Spring	1829
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7054】 中国語1Ⅱ [渡部 れい子] 秋学期授業/Fall	1830
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7055】 中国語1Ⅰ [赤平 恵里] 春学期授業/Spring	1831
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7056】 中国語1Ⅱ [赤平 恵里] 秋学期授業/Fall	1832
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7071】 中国語2Ⅰ [畢 文涛] 春学期授業/Spring	1833
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7072】 中国語2Ⅱ [畢 文涛] 秋学期授業/Fall	1834
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7073】 中国語2Ⅰ [黄 麗華] 春学期授業/Spring	1835
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7074】 中国語2Ⅱ [黄 麗華] 秋学期授業/Fall	1836
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7075】 中国語2Ⅰ [祝 振媛] 春学期授業/Spring	1837
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7076】 中国語2Ⅱ [祝 振媛] 秋学期授業/Fall	1838
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7077】 中国語2Ⅰ [薬 進] 春学期授業/Spring	1839
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7078】 中国語2Ⅱ [薬 進] 秋学期授業/Fall	1840
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7079】 中国語2Ⅰ [薬 進] 春学期授業/Spring	1841
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7080】 中国語2Ⅱ [薬 進] 秋学期授業/Fall	1842
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7081】 中国語2Ⅰ [畢 文涛] 春学期授業/Spring	1843

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7082】 中国語2Ⅱ [畢 文涛] 秋学期授業/Fall.....	1844
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7085】 中国語2Ⅰ [任 麗潔] 春学期授業/Spring.....	1845
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7086】 中国語2Ⅱ [任 麗潔] 秋学期授業/Fall.....	1846
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7087】 中国語2Ⅰ [王 安] 春学期授業/Spring.....	1847
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7088】 中国語2Ⅱ [王 安] 秋学期授業/Fall.....	1848
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7089】 中国語2Ⅰ [任 麗潔] 春学期授業/Spring.....	1849
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7090】 中国語2Ⅱ [任 麗潔] 秋学期授業/Fall.....	1850
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7091】 中国語2Ⅰ [任 麗潔] 春学期授業/Spring.....	1851
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7092】 中国語2Ⅱ [任 麗潔] 秋学期授業/Fall.....	1852
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7093】 中国語2Ⅰ [康 宏理] 春学期授業/Spring.....	1853
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7094】 中国語2Ⅱ [康 宏理] 秋学期授業/Fall.....	1854
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7095】 中国語2Ⅰ [劉 光赤] 春学期授業/Spring.....	1855
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7096】 中国語2Ⅱ [劉 光赤] 秋学期授業/Fall.....	1856
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7097】 中国語2Ⅰ [孫 琦] 春学期授業/Spring.....	1857
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7098】 中国語2Ⅱ [孫 琦] 秋学期授業/Fall.....	1858
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7101】 中国語2Ⅰ [葉 会] 春学期授業/Spring.....	1859
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7102】 中国語2Ⅱ [葉 会] 秋学期授業/Fall.....	1860
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7103】 中国語2Ⅰ [孫 琦] 春学期授業/Spring.....	1861
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7104】 中国語2Ⅱ [孫 琦] 秋学期授業/Fall.....	1862
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7105】 中国語2Ⅰ [劉 光赤] 春学期授業/Spring.....	1863
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7106】 中国語2Ⅱ [劉 光赤] 秋学期授業/Fall.....	1864
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7107】 中国語2Ⅰ [葉 進] 春学期授業/Spring.....	1865
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7108】 中国語2Ⅱ [葉 進] 秋学期授業/Fall.....	1866
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7109】 中国語2Ⅰ [康 宏理] 春学期授業/Spring.....	1867
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7110】 中国語2Ⅱ [康 宏理] 秋学期授業/Fall.....	1868
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7113】 中国語2Ⅰ [周 重雷] 春学期授業/Spring.....	1869
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7114】 中国語2Ⅱ [周 重雷] 秋学期授業/Fall.....	1870
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7115】 中国語2Ⅰ [楊 心苗] 春学期授業/Spring.....	1871

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7116】 中国語2Ⅱ [楊 心苗] 秋学期授業/Fall	1872
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7117】 中国語2Ⅰ [ショウ イクテイ] 春学期授業/Spring	1873
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7118】 中国語2Ⅱ [ショウ イクテイ] 秋学期授業/Fall	1874
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7119】 中国語2Ⅰ [葉 会] 春学期授業/Spring	1875
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7120】 中国語2Ⅱ [葉 会] 秋学期授業/Fall	1876
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7123】 中国語2Ⅰ [任 麗潔] 春学期授業/Spring	1877
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7124】 中国語2Ⅱ [任 麗潔] 秋学期授業/Fall	1878
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7125】 中国語2Ⅰ [ショウ イクテイ] 春学期授業/Spring	1879
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7126】 中国語2Ⅱ [ショウ イクテイ] 秋学期授業/Fall	1880
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7141】 中国語(1)Ⅰ [鷺巣 益美] 春学期授業/Spring	1881
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7142】 中国語(1)Ⅱ [鷺巣 益美] 秋学期授業/Fall	1882
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7143】 中国語(1)Ⅰ [岩田 和子] 春学期授業/Spring	1883
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7144】 中国語(1)Ⅱ [岩田 和子] 秋学期授業/Fall	1884
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7151】 中国語(2)Ⅰ [祝 振媛] 春学期授業/Spring	1885
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7152】 中国語(2)Ⅱ [祝 振媛] 秋学期授業/Fall	1886
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7153】 中国語(2)Ⅰ [周 重雷] 春学期授業/Spring	1887
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7154】 中国語(2)Ⅱ [周 重雷] 秋学期授業/Fall	1888
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7161】 中国語1 [鈴木 靖] 春学期授業/Spring	1889
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7162】 中国語3 [鈴木 靖] 秋学期授業/Fall	1891
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7163】 中国語2 [ショウ イクテイ] 春学期授業/Spring	1893
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7164】 中国語4 [ショウ イクテイ] 秋学期授業/Fall	1894
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7165】 中国語5 [鈴木 靖] 春学期授業/Spring	1895
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7166】 中国語6 [鈴木 靖] 秋学期授業/Fall	1897
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7167】 中国語1 [木村 佳代子] 春学期授業/Spring	1899
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7168】 中国語3 [木村 佳代子] 秋学期授業/Fall	1900
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7169】 中国語2 [張 勝蘭] 春学期授業/Spring	1901
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7170】 中国語4 [張 勝蘭] 秋学期授業/Fall	1903
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7171】 中国語1 [葉 会] 春学期授業/Spring	1905

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7172】 中国語2 [祝 振媛] 春学期授業/Spring	1906
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7173】 中国語3 [葉 会] 秋学期授業/Fall	1907
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7174】 中国語4 [祝 振媛] 秋学期授業/Fall	1908
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7181】 中国語1-I [永江 貴子] 春学期授業/Spring	1909
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7182】 中国語1-II [永江 貴子] 秋学期授業/Fall	1910
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7183】 中国語1-I [黄 海萍] 春学期授業/Spring	1911
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7184】 中国語1-II [黄 海萍] 秋学期授業/Fall	1912
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7185】 中国語1-I [永江 貴子] 春学期授業/Spring	1913
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7186】 中国語1-II [永江 貴子] 秋学期授業/Fall	1914
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7187】 中国語1-I [黄 海萍] 春学期授業/Spring	1915
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7188】 中国語1-II [黄 海萍] 秋学期授業/Fall	1916
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7189】 中国語1-I [余 瀾] 春学期授業/Spring	1917
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7190】 中国語1-II [余 瀾] 秋学期授業/Fall	1918
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7191】 中国語1-I [劉 湯水] 春学期授業/Spring	1919
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7192】 中国語1-II [劉 湯水] 秋学期授業/Fall	1920
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7193】 中国語1-I [余 瀾] 春学期授業/Spring	1921
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7194】 中国語1-II [余 瀾] 秋学期授業/Fall	1922
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7195】 中国語1-I [劉 湯水] 春学期授業/Spring	1923
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7196】 中国語1-II [劉 湯水] 秋学期授業/Fall	1924
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7211】 中国語2-I [黄 麗華] 春学期授業/Spring	1925
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7212】 中国語2-II [黄 麗華] 秋学期授業/Fall	1926
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7213】 中国語2-I [日原 傳] 春学期授業/Spring	1927
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7214】 中国語2-II [日原 傳] 秋学期授業/Fall	1928
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7215】 中国語2-I [黄 麗華] 春学期授業/Spring	1929
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7216】 中国語2-II [黄 麗華] 秋学期授業/Fall	1930
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7217】 中国語2-I [日原 傳] 春学期授業/Spring	1931
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7218】 中国語2-II [日原 傳] 秋学期授業/Fall	1932
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7219】 中国語2-I [後藤 淳一] 春学期授業/Spring	1933

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7220】 中国語2-II [後藤 淳一]	
秋学期授業/Fall	1934
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7221】 中国語2-I [渋井 君也]	
春学期授業/Spring	1935
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7222】 中国語2-II [渋井 君也]	
秋学期授業/Fall	1936
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7223】 中国語2-I [後藤 淳一]	
春学期授業/Spring	1937
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7224】 中国語2-II [後藤 淳一]	
秋学期授業/Fall	1938
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7225】 中国語2-I [渋井 君也]	
春学期授業/Spring	1939
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7226】 中国語2-II [渋井 君也]	
秋学期授業/Fall	1940
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7251】 中国語補講1 I [池田 麻希子]	
春学期授業/Spring	1941
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7252】 中国語補講1 II [池田 麻希子]	
秋学期授業/Fall	1942
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7255】 中国語補講1 I [篠田 幸夫]	
春学期授業/Spring	1943
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7256】 中国語補講1 II [篠田 幸夫]	
秋学期授業/Fall	1944
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7261】 中国語補講2 I [余 瀾]	
春学期授業/Spring	1945
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7262】 中国語補講2 II [余 瀾]	
秋学期授業/Fall	1946
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7263】 中国語補講2 I [劉 光赤]	
春学期授業/Spring	1947
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7264】 中国語補講2 II [劉 光赤]	
秋学期授業/Fall	1948
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8001】 スペイン語1 I [佐々木 直美]	
春学期授業/Spring	1949
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8002】 スペイン語1 II [佐々木 直美]	
秋学期授業/Fall	1950
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8003】 スペイン語1 I [敦賀 公子]	
春学期授業/Spring	1951
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8004】 スペイン語1 II [敦賀 公子]	
秋学期授業/Fall	1952
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8007】 スペイン語1 I [長谷川 悦夫]	
春学期授業/Spring	1953
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8008】 スペイン語1 II [長谷川 悦夫]	
秋学期授業/Fall	1954
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8009】 スペイン語1 I [VILA V RAQUEL]	
春学期授業/Spring	1955
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8010】 スペイン語1 II [VILA V RAQUEL]	
秋学期授業/Fall	1956
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8011】 スペイン語1 I [VILA V RAQUEL]	
春学期授業/Spring	1957
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8012】 スペイン語1 II [VILA V RAQUEL]	
秋学期授業/Fall	1958
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8013】 スペイン語1 I [長谷川 悦夫]	
春学期授業/Spring	1959
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8014】 スペイン語1 II [長谷川 悦夫]	
秋学期授業/Fall	1960
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8015】 スペイン語1 I [長谷川 悦夫]	
春学期授業/Spring	1961

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8016】 スペイン語1Ⅱ [長谷川 悦夫] 秋学期授業/Fall	1962
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8017】 スペイン語1Ⅰ [長谷川 悦夫] 春学期授業/Spring	1963
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8018】 スペイン語1Ⅱ [長谷川 悦夫] 秋学期授業/Fall	1965
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8019】 スペイン語1Ⅰ [宮田 絵津子] 春学期授業/Spring	1966
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8020】 スペイン語1Ⅱ [宮田 絵津子] 秋学期授業/Fall	1967
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8021】 スペイン語1Ⅰ [宮田 絵津子] 春学期授業/Spring	1968
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8022】 スペイン語1Ⅱ [宮田 絵津子] 秋学期授業/Fall	1969
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8023】 スペイン語1Ⅰ [若林 大我] 春学期授業/Spring	1970
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8024】 スペイン語1Ⅱ [若林 大我] 秋学期授業/Fall	1971
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8025】 スペイン語1Ⅰ [長谷川 悦夫] 春学期授業/Spring	1972
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8026】 スペイン語1Ⅱ [長谷川 悦夫] 秋学期授業/Fall	1973
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8027】 スペイン語1Ⅰ [宮田 絵津子] 春学期授業/Spring	1974
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8028】 スペイン語1Ⅱ [宮田 絵津子] 秋学期授業/Fall	1975
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8029】 スペイン語1Ⅰ [VILA V RAQUEL] 春学期授業/Spring	1976
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8030】 スペイン語1Ⅱ [VILA V RAQUEL] 秋学期授業/Fall	1977
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8061】 スペイン語2Ⅰ [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring	1978
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8062】 スペイン語2Ⅱ [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall	1979
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8063】 スペイン語2Ⅰ [大貫 良史] 春学期授業/Spring	1980
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8064】 スペイン語2Ⅱ [大貫 良史] 秋学期授業/Fall	1981
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8067】 スペイン語2Ⅰ [大貫 良史] 春学期授業/Spring	1982
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8068】 スペイン語2Ⅱ [大貫 良史] 秋学期授業/Fall	1983
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8069】 スペイン語2Ⅰ [BARRIENTOS R J DAVID] 春学期授業/Spring	1984
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8070】 スペイン語2Ⅱ [BARRIENTOS R J DAVID] 秋学期授業/Fall	1985
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8071】 スペイン語2Ⅰ [BARRIENTOS R J DAVID] 春学期授業/Spring	1986
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8072】 スペイン語2Ⅱ [BARRIENTOS R J DAVID] 秋学期授業/Fall	1987
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8073】 スペイン語2Ⅰ [鈴木 正士] 春学期授業/Spring	1988
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8074】 スペイン語2Ⅱ [鈴木 正士] 秋学期授業/Fall	1989
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8075】 スペイン語2Ⅰ [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring	1990

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8076】 スペイン語2Ⅱ [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall.....	1991
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8077】 スペイン語2Ⅰ [鈴木 正士] 春学期授業/Spring.....	1992
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8078】 スペイン語2Ⅱ [鈴木 正士] 秋学期授業/Fall.....	1993
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8079】 スペイン語2Ⅰ [鈴木 正士] 春学期授業/Spring.....	1994
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8080】 スペイン語2Ⅱ [鈴木 正士] 秋学期授業/Fall.....	1995
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8081】 スペイン語2Ⅰ [大貫 良史] 春学期授業/Spring.....	1996
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8082】 スペイン語2Ⅱ [大貫 良史] 秋学期授業/Fall.....	1997
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8083】 スペイン語2Ⅰ [長谷川 悦夫] 春学期授業/Spring.....	1998
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8084】 スペイン語2Ⅱ [長谷川 悦夫] 秋学期授業/Fall.....	2000
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8085】 スペイン語2Ⅰ [宮田 絵津子] 春学期授業/Spring.....	2001
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8086】 スペイン語2Ⅱ [宮田 絵津子] 秋学期授業/Fall.....	2002
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8087】 スペイン語2Ⅰ [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring.....	2003
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8088】 スペイン語2Ⅱ [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall.....	2004
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8089】 スペイン語2Ⅰ [鈴木 正士] 春学期授業/Spring.....	2005
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8090】 スペイン語2Ⅱ [鈴木 正士] 秋学期授業/Fall.....	2006
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8121】 スペイン語(1)Ⅰ [宮田 絵津子] 春学期授業/Spring.....	2007
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8122】 スペイン語(1)Ⅱ [宮田 絵津子] 秋学期授業/Fall.....	2008
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8123】 スペイン語(1)Ⅰ [大貫 良史] 春学期授業/Spring.....	2009
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8124】 スペイン語(1)Ⅱ [大貫 良史] 秋学期授業/Fall.....	2010
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8131】 スペイン語(2)Ⅰ [BARRIENTOS R J DAVID] 春学期授業/Spring.....	2011
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8132】 スペイン語(2)Ⅱ [BARRIENTOS R J DAVID] 秋学期授業/Fall.....	2012
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8133】 スペイン語(2)Ⅰ [鈴木 正士] 春学期授業/Spring.....	2013
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8134】 スペイン語(2)Ⅱ [鈴木 正士] 秋学期授業/Fall.....	2014
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8141】 スペイン語1 [若林 大我] 春学期授業/Spring.....	2015
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8142】 スペイン語3 [若林 大我] 秋学期授業/Fall.....	2016
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8143】 スペイン語2 [佐々木 直美] 春学期授業/Spring.....	2017
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8144】 スペイン語4 [佐々木 直美] 秋学期授業/Fall.....	2018
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8145】 スペイン語5 [久木 正雄] 春学期授業/Spring.....	2019

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8146】 スペイン語6 [久木 正雄] 秋学期授業/Fall	2020
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8147】 スペイン語1 [鈴木 正士] 春学期授業/Spring	2021
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8148】 スペイン語3 [鈴木 正士] 秋学期授業/Fall	2022
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8149】 スペイン語2 [DANIEL FORTEA MUNOZ] 春学期授業/Spring	2023
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8150】 スペイン語4 [DANIEL FORTEA MUNOZ] 秋学期授業/Fall	2025
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8151】 スペイン語1 [大貫 良史] 春学期授業/Spring	2027
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8152】 スペイン語3 [大貫 良史] 秋学期授業/Fall	2028
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8153】 スペイン語2 [DANIEL FORTEA MUNOZ] 春学期授業/Spring	2029
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8154】 スペイン語4 [DANIEL FORTEA MUNOZ] 秋学期授業/Fall	2031
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8161】 スペイン語1-I [コルメナ ロメロ ロベルト] 春学期授業/Spring	2033
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8162】 スペイン語1-II [コルメナ ロメロ ロベルト] 秋学期授業/Fall	2034
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8163】 スペイン語1-I [コルメナ ロメロ ロベルト] 春学期授業/Spring	2035
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8164】 スペイン語1-II [コルメナ ロメロ ロベルト] 秋学期授業/Fall	2036
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8165】 スペイン語1-I [宮田 絵 津子] 春学期授業/Spring	2037
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8166】 スペイン語1-II [宮田 絵 津子] 秋学期授業/Fall	2038
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8167】 スペイン語1-I [塩崎 公 靖] 春学期授業/Spring	2039
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8168】 スペイン語1-II [塩崎 公 靖] 秋学期授業/Fall	2040
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8169】 スペイン語1-I [久木 正 雄] 春学期授業/Spring	2041
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8170】 スペイン語1-II [久木 正 雄] 秋学期授業/Fall	2042
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8171】 スペイン語1-I [塩崎 公 靖] 春学期授業/Spring	2043
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8172】 スペイン語1-II [塩崎 公 靖] 秋学期授業/Fall	2044
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8181】 スペイン語2-I [宮田 絵 津子] 春学期授業/Spring	2045
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8182】 スペイン語2-II [宮田 絵 津子] 秋学期授業/Fall	2046
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8183】 スペイン語2-I [杉下 由 紀子] 春学期授業/Spring	2047
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8184】 スペイン語2-II [杉下 由 紀子] 秋学期授業/Fall	2048
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8185】 スペイン語2-I [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring	2049
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8186】 スペイン語2-II [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall	2050
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8187】 スペイン語2-I [大貫 良 史] 春学期授業/Spring	2051

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8188】 スペイン語2-II [大貫 良史] 秋学期授業/Fall	2052
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8189】 スペイン語2-I [岸下 卓史] 春学期授業/Spring	2053
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8190】 スペイン語2-II [岸下 卓史] 秋学期授業/Fall	2054
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8191】 スペイン語2-I [久木 正雄] 春学期授業/Spring	2055
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8192】 スペイン語2-II [久木 正雄] 秋学期授業/Fall	2056
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8307】 スペイン語補講1 I [大貫 良史] 春学期授業/Spring	2057
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8308】 スペイン語補講1 II [大貫 良史] 秋学期授業/Fall	2058
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8309】 スペイン語補講1 I [久木 正雄] 春学期授業/Spring	2059
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8310】 スペイン語補講1 II [久木 正雄] 秋学期授業/Fall	2060
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8311】 スペイン語補講2 I [久木 正雄] 春学期授業/Spring	2061
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8312】 スペイン語補講2 II [久木 正雄] 秋学期授業/Fall	2062
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8313】 スペイン語補講2 I [長谷川 悦夫] 春学期授業/Spring	2063
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8314】 スペイン語補講2 II [長谷川 悦夫] 秋学期授業/Fall	2064
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9001】 朝鮮語1 I [李 蕙臣] 春学期授業/Spring	2065
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9002】 朝鮮語1 II [李 蕙臣] 秋学期授業/Fall	2066
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9003】 朝鮮語1 I [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	2067
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9004】 朝鮮語1 II [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall	2068
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9005】 朝鮮語1 I [河合 紀子] 春学期授業/Spring	2069
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9006】 朝鮮語1 II [河合 紀子] 秋学期授業/Fall	2070
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9007】 朝鮮語1 I [荻野 優子] 春学期授業/Spring	2071
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9008】 朝鮮語1 II [荻野 優子] 秋学期授業/Fall	2072
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9009】 朝鮮語1 I [安 垣姫] 春学期授業/Spring	2073
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9010】 朝鮮語1 II [安 垣姫] 秋学期授業/Fall	2074
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9011】 朝鮮語1 I [石田 美智代] 春学期授業/Spring	2075
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9012】 朝鮮語1 II [石田 美智代] 秋学期授業/Fall	2076
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9013】 朝鮮語1 I [河合 紀子] 春学期授業/Spring	2077
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9014】 朝鮮語1 II [河合 紀子] 秋学期授業/Fall	2078
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9015】 朝鮮語1 I [荻野 優子] 春学期授業/Spring	2079

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9016】 朝鮮語1Ⅱ [荻野 優子] 秋学期授業/Fall	2080
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9017】 朝鮮語1Ⅰ [石田 美智代] 春学期授業/Spring	2081
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9018】 朝鮮語1Ⅱ [石田 美智代] 秋学期授業/Fall	2082
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9019】 朝鮮語1Ⅰ [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	2083
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9020】 朝鮮語1Ⅱ [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall	2084
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9021】 朝鮮語2Ⅰ [荻野 優子] 春学期授業/Spring	2085
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9022】 朝鮮語2Ⅱ [荻野 優子] 秋学期授業/Fall	2086
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9023】 朝鮮語2Ⅰ [安 垠姫] 春学期授業/Spring	2087
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9024】 朝鮮語2Ⅱ [安 垠姫] 秋学期授業/Fall	2088
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9025】 朝鮮語2Ⅰ [金 恩愛] 春学期授業/Spring	2089
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9026】 朝鮮語2Ⅱ [金 恩愛] 秋学期授業/Fall	2090
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9027】 朝鮮語2Ⅰ [黒澤 朋子] 春学期授業/Spring	2091
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9028】 朝鮮語2Ⅱ [黒澤 朋子] 秋学期授業/Fall	2092
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9029】 朝鮮語2Ⅰ [石田 美智代] 春学期授業/Spring	2093
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9030】 朝鮮語2Ⅱ [石田 美智代] 秋学期授業/Fall	2094
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9031】 朝鮮語2Ⅰ [河合 紀子] 春学期授業/Spring	2095
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9032】 朝鮮語2Ⅱ [河合 紀子] 秋学期授業/Fall	2096
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9033】 朝鮮語2Ⅰ [金 恩愛] 春学期授業/Spring	2097
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9034】 朝鮮語2Ⅱ [金 恩愛] 秋学期授業/Fall	2098
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9035】 朝鮮語2Ⅰ [黒澤 朋子] 春学期授業/Spring	2099
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9036】 朝鮮語2Ⅱ [黒澤 朋子] 秋学期授業/Fall	2100
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9037】 朝鮮語2Ⅰ [安 垠姫] 春学期授業/Spring	2101
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9038】 朝鮮語2Ⅱ [安 垠姫] 秋学期授業/Fall	2102
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9039】 朝鮮語2Ⅰ [安 垠姫] 春学期授業/Spring	2103
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9040】 朝鮮語2Ⅱ [安 垠姫] 秋学期授業/Fall	2104
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9041】 朝鮮語(1)Ⅰ [高柳 俊男] 春学期授業/Spring	2105
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9042】 朝鮮語(1)Ⅱ [高柳 俊男] 秋学期授業/Fall	2106
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9043】 朝鮮語(2)Ⅰ [富所 明秀] 春学期授業/Spring	2107

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9044】 朝鮮語(2)Ⅱ [富所 明秀] 秋学期授業/Fall	2108
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9051】 朝鮮語1 [梁 禮先] 春学期 授業/Spring	2109
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9052】 朝鮮語3 [梁 禮先] 秋学期 授業/Fall	2110
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9053】 朝鮮語2 [内山 政春] 春学 期授業/Spring	2111
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9054】 朝鮮語4 [内山 政春] 秋学 期授業/Fall	2112
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9055】 朝鮮語5 [高柳 俊男] 春学 期授業/Spring	2114
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9056】 朝鮮語6 [高柳 俊男] 秋学 期授業/Fall	2115
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9057】 朝鮮語1 [神谷 丹路] 春学 期授業/Spring	2117
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9058】 朝鮮語3 [神谷 丹路] 秋学 期授業/Fall	2118
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9059】 朝鮮語2 [内山 政春] 春学 期授業/Spring	2119
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9060】 朝鮮語4 [内山 政春] 秋学 期授業/Fall	2120
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9061】 朝鮮語1-I [富所 明秀] 春学期授業/Spring	2121
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9062】 朝鮮語1-II [富所 明秀] 秋学期授業/Fall	2122
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9063】 朝鮮語1-I [荻野 優子] 春学期授業/Spring	2123
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9064】 朝鮮語1-II [荻野 優子] 秋学期授業/Fall	2124
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9065】 朝鮮語1-I [荻野 優子] 春学期授業/Spring	2125
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9066】 朝鮮語1-II [荻野 優子] 秋学期授業/Fall	2126
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9067】 朝鮮語1-I [荻野 優子] 春学期授業/Spring	2127
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9068】 朝鮮語1-II [荻野 優子] 秋学期授業/Fall	2128
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9071】 朝鮮語2-I [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	2129
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9072】 朝鮮語2-II [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall	2130
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9073】 朝鮮語2-I [黒澤 朋子] 春学期授業/Spring	2131
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9074】 朝鮮語2-II [黒澤 朋子] 秋学期授業/Fall	2132
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9075】 朝鮮語2-I [黒澤 朋子] 春学期授業/Spring	2133
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9076】 朝鮮語2-II [黒澤 朋子] 秋学期授業/Fall	2134
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9077】 朝鮮語2-I [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	2135
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9078】 朝鮮語2-II [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall	2136
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9091】 朝鮮語1 [富所 明秀] 春学 期授業/Spring	2137

2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9092】 朝鮮語 3 [富所 明秀] 秋学期授業/Fall.....	2138
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9093】 朝鮮語 2 [黒澤 朋子] 春学期授業/Spring	2139
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9094】 朝鮮語 4 [黒澤 朋子] 秋学期授業/Fall.....	2140
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9101】 朝鮮語 1 I [安 垠姫] 春学期授業/Spring	2141
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9102】 朝鮮語 1 II [安 垠姫] 秋学期授業/Fall.....	2142
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9103】 朝鮮語 1 I [李 蕙臣] 春学期授業/Spring	2143
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9104】 朝鮮語 1 II [李 蕙臣] 秋学期授業/Fall.....	2144
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9105】 朝鮮語 1 I [河合 紀子] 春学期授業/Spring	2145
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9106】 朝鮮語 1 II [河合 紀子] 秋学期授業/Fall	2146
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9121】 朝鮮語 2 I [石田 美智代] 春学期授業/Spring	2147
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9122】 朝鮮語 2 II [石田 美智代] 秋学期授業/Fall.....	2148
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9123】 朝鮮語 2 I [荻野 優子] 春学期授業/Spring	2149
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9124】 朝鮮語 2 II [荻野 優子] 秋学期授業/Fall	2150
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9125】 朝鮮語 2 I [黒澤 朋子] 春学期授業/Spring	2151
2017年度以降入学者_ILAC科目_100番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9126】 朝鮮語 2 II [黒澤 朋子] 秋学期授業/Fall	2152

LANe100LA (英語 / English language education 100)

補講英語 1・2－I

2017年度以降入学者

水野 太郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、受講生の英文読解能力の向上を主たる目的とします。その際、論理構造に対する意識と実用的な英語についての理解に重点を置きます。

【到達目標】

英文の論理構成を体得することによって、読解を円滑に進められる技術を身につけてゆきます。また、メディアで流通しているような実践的な英語に取り組むことを通じて、一般の社会においても通用しうる読解力を涵養してゆきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

『Pros and Cons: Arguing Different Points of View 議論伯仲：ふたつの意見』と『English for Mass Communication 時事英語の総合演習 2025年度版』の二冊を教材として使用します。前者は英語による議論のパターンを修得するため、後者は実社会で用いられている英語の文章についてより理解を深めるために、それぞれ精読してゆく予定です。授業に際しては一文ずつ受講生を指名し、口頭で訳出してもらったうえで、順次ポイントをおさえながら解説してゆきます。また、音読による即読即解の訓練も行いたいと思います。進度については授業中の演習を通じ、習熟度を確認しつつ適宜調整するつもりです。必要であれば追加の講読用教材もプリントの形で配布します。なお、質問等に対するフィードバックは授業中に随時行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	Food Additives [Pro] / 国内政治 (1)	Nothing to worry about / Koike leans on her achievements to win Tokyo Gov.'s race; Renho weighed down by JCP Ties (1)
第02回	Food Additives [Con] / 国内政治 (2)	Don't gamble with your health / Koike leans on her achievements to win Tokyo Gov.'s race; Renho weighed down by JCP Ties (2)
第03回	Body Image and Photoshopping [Pro] / 経済 (1)	Show me at my best / Global economy picking up, though medium-term outlook weaker, IMF says (1)
第04回	Body Image and Photoshopping [Con] / 経済 (2)	Time to get real / Global economy picking up, though medium-term outlook weaker, IMF says (2)
第05回	Undergrounding [Pro] / ビジネス (1)	Less is more / Japan's Stock Market Is Booming. It Isn't All About the Weak Yen (1)
第06回	Undergrounding [Con] / ビジネス (2)	Hidden obstacles to success / Japan's Stock Market Is Booming. It Isn't All About the Weak Yen (2)

第07回	Do We Need the Olympics? [Pro] / 外交 (1)	More than just a sports festival / G7 leaders end summit with warning to China, commitment to manage AI (1)
第08回	Do We Need the Olympics? [Con] / 外交 (2)	We have better things to do with our money / G7 leaders end summit with warning to China, commitment to manage AI (2)
第09回	Mobile Ads [Pro] / 軍事 (1)	Something for nothing / China says military drills encircling Taiwan designed to test its ability to "seize power" (1)
第10回	Mobile Ads [Con] / 軍事 (2)	A great way to lose customers / China says military drills encircling Taiwan designed to test its ability to "seize power" (2)
第11回	SIM-Free Smartphones [Pro] / 国外政治 (1)	The sooner the better / US President Joe Biden ends reelection bid (1)
第12回	SIM-Free Smartphones [Con] / 国外政治 (2)	The grass is always greener... / US President Joe Biden ends reelection bid (2)
第13回	100-Yen Shops [Pro] / 社会 (1)	Luxury on the cheap / Godzilla, Hayao Miyazaki both take home Oscars; first double win for Japanese films since 2009 (1)
第14回	100-Yen Shops [Con] / 社会 (2)	Save now, pay later / Godzilla, Hayao Miyazaki both take home Oscars; first double win for Japanese films since 2009 (2)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回の授業においては、教科書を事前に読んでおくことが前提となります。授業の予習・復習には少なくとも一時間を要します。

【テキスト（教科書）】

Mark Jewel『Pros and Cons: Arguing Different Points of View 議論伯仲：ふたつの意見』（朝日出版社）ISBN:9784255156477
堀江洋文、小西和久、宮崎修二、内野泰子（編著）『English for Mass Communication 2025 Edition 時事英語の総合演習 2025年度版』（朝日出版社）ISBN:9784255157306

【参考書】

必要に応じて、授業時にプリントを配布します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（100％）

なお、ILAC英語科目に共通するルールとして「各学期の欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない」という項目があり、本科目もこれに該当しますので、十分に留意してください。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度・習熟度に応じて、進度を適宜調整したいと思います。

【Outline (in English)】

Course outline: In this course, students are mainly expected to improve their reading skill in English, paying attention to paragraph structure and comprehending practical English.

Learning objectives: The goals of this course are to acquire better reading skill by learning the logical structure of English and to develop an understanding of contemporary world through the language for the media.

Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. The required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading criteria / Policies: Final grade will be decided based on term-end examination (100％)

Absence guideline for ILAC English courses: In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit for the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

補講英語 1・2－Ⅱ

2017年度以降入学者

水野 太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、受講生の英文読解能力の向上を主たる目的とします。その際、論理構造に対する意識と実用的な英語についての理解に重点を置きます。

【到達目標】

英文の論理構成を体得することによって、読解を円滑に進められる技術を身につけてゆきます。また、メディアで流通しているような実践的な英語に取り組むことを通じて、今般の社会においても通用しうる読解力を涵養してゆきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

『Pros and Cons: Arguing Different Points of View 議論伯仲：ふたつの意見』と『English for Mass Communication 時事英語の総合演習 2025年度版』の二冊を教材として使用します。前者は英語による議論のパターンを修得するため、後者は実社会で用いられている英語の文章についてより理解を深めるために、それぞれ精読してゆく予定です。授業に際しては一文ずつ受講生を指名し、口頭で訳出してもらったうえで、順次ポイントをおさながら解説してゆきます。また、音読による即読即解の訓練も行いたいと思います。進捗については授業中の演習を通じ、習熟度を確認しつつ適宜調整するつもりです。必要であれば追加の講読用教材もプリントの形で配布します。なお、質問等に対するフィードバックは授業中に随時行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	Barrier-Free Everywhere? [Pro] /事件 (1)	Access for all /Chinese "overseas police station" in Tokyo raided over benefit fraud (1)
第02回	Barrier-Free Everywhere? [Con] /事件 (2)	Possibilities and limitations / Chinese "overseas police station" in Tokyo raided over benefit fraud (2)
第03回	Elderly Drivers [Pro] /裁判 (1)	Keep our seniors licensed / The Supreme Court overturned Roe v. Wade 2 years ago. Here's what's happened since (1)
第04回	Elderly Drivers [Con] /裁判 (2)	Keep our seniors licensed / The Supreme Court overturned Roe v. Wade 2 years ago. Here's what's happened since (2)
第05回	School Clubs [Pro] /環境 (1)	Friends and fulfillment /Paris is aiming for the most sustainable Olympics yet (1)
第06回	School Clubs [Con] /環境 (2)	Stress and frustration /Paris is aiming for the most sustainable Olympics yet (2)

第07回	The NIMBY Syndrome [Pro] /資源 (1)	Welcome, neighbor /IEA expects global clean energy investment to hit \$2 trillion in 2024 (1)
第08回	The NIMBY Syndrome [Con] /資源 (2)	Too far outside my comfort zone /IEA expects global clean energy investment to hit \$2 trillion in 2024 (2)
第09回	Electronic Voting [Pro] /人口 (1)	A win for democracy /Japan's birth rate falls to a record low as the number of marriages also drops (1)
第10回	Electronic Voting [Con] /人口 (2)	I vote no /Japan's birth rate falls to a record low as the number of marriages also drops (2)
第11回	Aid in Dying [Pro] /科学 (1)	My life, my decision /AI will shrink workforces within five years, say company execs (1)
第12回	Aid in Dying [Con] /科学 (2)	Where do we draw the line? / AI will shrink workforces within five years, say company execs (2)
第13回	Biometric Authentication [Pro] /スポーツ (1)	The real deal /History made as Colorado Rockies win with first walk-off pitch clock violation (1)
第14回	Biometric Authentication [Con] /スポーツ (2)	A false sense of security / History made as Colorado Rockies win with first walk-off pitch clock violation (2)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回の授業においては、教科書を事前に読んでおくことが前提となります。授業の予習・復習には少なくとも一時間を要します。

【テキスト（教科書）】

Mark Jewel『Pros and Cons: Arguing Different Points of View 議論伯仲：ふたつの意見』（朝日出版社）ISBN:9784255156477
堀江洋文、小西和久、宮崎修二、内野泰子（編著）『English for Mass Communication 2025 Edition 時事英語の総合演習 2025年度版』（朝日出版社）ISBN:9784255157306

【参考書】

必要に応じて、授業時にプリントを配布します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（100％）

なお、ILAC英語科目に共通するルールとして「各学期の欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない」という項目があり、本科目もこれに該当しますので、十分に留意してください。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度・習熟度に応じて、進度を適宜調整したいと思います。

【Outline (in English)】

Course outline: In this course, students are mainly expected to improve their reading skill in English, paying attention to paragraph structure and comprehending practical English.

Learning objectives: The goals of this course are to acquire better reading skill by learning the logical structure of English and to develop an understanding of contemporary world through the language for the media.

Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. The required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading criteria /Policies: Final grade will be decided based on term-end examination (100％)

Absence guideline for ILAC English courses: In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit for the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

補講英語 1・2－I

2017年度以降入学者

須藤 祐二

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

キャリアデザイン学部生を対象にした基礎レベルの英語科目である。英文リーディング、リスニング、ライティング能力の向上を目指す演習を行う。加えて、英語の会話能力を養成するための演習を用意する。

【到達目標】

学生は実践的な英語の使用を目指して、英語の4技能において基礎レベルの運用能力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを用いて英文リーディング、リスニング、ライティングの演習を行う。スピーキング能力向上を目指す演習はプリントを配布する。いずれの演習においても学生は積極的に取り組む必要がある。提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」(Hoppii)で行う。

授業方法の変更等の重要な連絡はHoppiiで行う。授業日の朝にHoppiiを確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	春学期の授業の進め方を説明する。
第2回	Unit 1	Unit 1を読解した後、リスニングとライティングの練習を行う
第3回	Unit 2	Unit 2を読解した後、リスニングとスピーキングの練習を行う
第4回	Unit 3	Unit 3を読解した後、リスニングとライティングの練習を行う
第5回	Unit 4	Unit 4を読解した後、リスニングとスピーキングの練習を行う
第6回	Unit 5	Unit 5を読解した後、リスニングとライティングの練習を行う
第7回	Unit 6	Unit 6を読解した後、リスニングとスピーキングの練習を行う
第8回	Unit 7	Unit 7を読解した後、リスニングとライティングの練習を行う
第9回	Unit 8	Unit 8を読解した後、リスニングとスピーキングの練習を行う
第10回	Unit 9	Unit 9を読解した後、リスニングとライティングの練習を行う
第11回	Unit 10	Unit 10を読解した後、リスニングとスピーキングの練習を行う
第12回	Unit 11	Unit 11を読解した後、リスニングとライティングの練習を行う
第13回	Unit 12	Unit 12を読解した後、リスニングとスピーキングの練習を行う
第14回	春学期のまとめ	春学期に学んだ英語表現や文法の再確認をする

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で学習した内容の復習を重視する。課題が出された場合には、遅れることなく提出すること。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

America's Evolution (今のアメリカ、これからのアメリカ)

(著者) Alexander Farrell、

(出版社) 松柏社

授業には必ず英和・和英辞書を用意すること

授業において、パソコン、タブレット、スマートフォンの使用は固く禁じる。違反した場合には大きく減点する。

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験50%、授業時の応答や参加度50%。

4回以上欠席した者は成績評価の対象から外れる。遅刻2回を欠席1回に換算する。

授業に出ていても、授業に積極的に参加しない受講生は出席として認めない。

授業において、パソコン、タブレット、スマートフォンの使用は固く禁じる。違反した場合には大きく減点する。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は担当していない。

この授業は基礎レベルの学生を対象にしています。1年次の英語で上級クラスであった学生には合いません。その場合には他の科目を受講して下さい。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

This course includes exercises aimed at improving English reading, listening, and writing skills. Additionally, exercises are provided to develop conversational ability in English.

【Learning Objectives】

Students will acquire basic proficiency in the four English language skills with a focus on practical use.

【Learning Activities outside Classroom】

Emphasis is placed on reviewing the material covered in class.

Any assigned work must be submitted on time. The standard amount of time for preparation and review is one hour in total.

【Grading Criteria】

Final exam: 50%, Class participation and engagement: 50%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

補講英語 1・2－Ⅱ

2017年度以降入学者

須藤 祐二

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

キャリアデザイン学部生を対象にした基礎レベルの英語科目である。英文リーディング、リスニング、ライティング能力の向上を目指す演習を行う。加えて、英語の会話能力を養成するための演習を用意する。

春学期とテキストが異なるので、学生は注意すること。

【到達目標】

学生は実践的な英語の使用を目指して、英語の4技能において基礎レベルの運用能力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを用いて英文リーディング、リスニング、ライティングの演習を行う。スピーキング能力向上を目指す演習はプリントを配布する。いずれの演習においても学生は積極的に取り組む必要がある。提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」(Hoppii)で行う。

授業方法の変更等の重要な連絡はHoppiiで行う。授業日の朝にHoppiiを確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	秋学期の授業の進め方を説明する。
第2回	Unit 1	Unit 1を読解した後、リスニングとライティングの練習を行う
第3回	Unit 2	Unit 2を読解した後、リスニングとスピーキングの練習を行う
第4回	Unit 3	Unit 3を読解した後、リスニングとライティングの練習を行う
第5回	Unit 4	Unit 4を読解した後、リスニングとスピーキングの練習を行う
第6回	Unit 5	Unit 5を読解した後、リスニングとライティングの練習を行う
第7回	Unit 6	Unit 6を読解した後、リスニングとスピーキングの練習を行う
第8回	Unit 7	Unit 7を読解した後、リスニングとライティングの練習を行う
第9回	Unit 8	Unit 8を読解した後、リスニングとスピーキングの練習を行う
第10回	Unit 9	Unit 9を読解した後、リスニングとライティングの練習を行う
第11回	Unit 10	Unit 10を読解した後、リスニングとスピーキングの練習を行う
第12回	Unit 11	Unit 11を読解した後、リスニングとライティングの練習を行う
第13回	Unit 12	Unit 12を読解した後、リスニングとスピーキングの練習を行う
第14回	秋学期のまとめ	秋学期に学んだ英語表現や文法の再確認をする

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で学習した内容の復習を重視する。課題が出された場合には、遅れることなく提出すること。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Enjoying American & British Culture Using Grammar Tips (文法ヒントで楽しむ英米文化リーディング)

(著者) Richard Carpenter 森永弘司

(出版社) 松柏社

授業には必ず英和・和英辞書を用意すること

授業において、パソコン、タブレット、スマートフォンの使用は固く禁じる。違反した場合には大きく減点する。

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験50%、授業時の応答や参加度50%。

4回以上欠席した者は成績評価の対象から外れる。遅刻2回を欠席1回に換算する。

授業に出ていても、授業に積極的に参加しない受講生は出席として認めない。

授業において、パソコン、タブレット、スマートフォンの使用は固く禁じる。違反した場合には大きく減点する。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は担当していない。

この授業は基礎レベルの学生を対象にしています。1年次の英語で上級クラスであった学生には合いません。その場合には他の科目を受講して下さい。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

This course includes exercises aimed at improving English reading, listening, and writing skills. Additionally, exercises are provided to develop conversational ability in English.

【Learning Objectives】

Students will acquire basic proficiency in the four English language skills with a focus on practical use.

【Learning Activities outside Classroom】

Emphasis is placed on reviewing the material covered in class.

Any assigned work must be submitted on time. The standard amount of time for preparation and review is one hour in total.

【Grading Criteria】

Final exam: 50%, Class participation and engagement: 50%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic Literacy A

2017年度以降入学者

サブタイトル：Class 1

THOMAS G POWER

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Academic Literacy A provides opportunities for students to practice reading and oral communication skills, to develop critical thinking skills, and to express opinions effectively in discussions, written texts, and presentations. This course will help students to improve academic skills and vocabulary skills necessary for success in a university setting. Students will submit assignments and receive feedback in Google Classroom.

【到達目標】

This course provides students with guidelines to develop further academic reading and vocabulary skills and to acquire a “scholarly voice” in discussions, literary critiques, and presentations. The course textbook, University Success Reading, Transition Level, “helps students successfully work with challenging and engaging authentic content provided by top professors in their academic fields.”

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。経営学部：DP3、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

The first class and most other classes in Fall 2025 will be held face-to-face in the classroom on the Ichigaya campus. When necessary, some classes will be held on Zoom or in on-demand lectures. Active participation is essential. There will be a brief lecture about academic reading and oral communication skills introduced in the textbook and an analysis and discussion of reading passages each class. Homework will be given each week to prepare students for the next class. The interactive textbook and online learner lab (MyEnglishLab) provide additional ways to introduce authentic texts and review fundamental skills and critical thinking skills. Assignments must be completed and submitted in Google Classroom in a timely manner.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction: What is Academic Literacy?	Syllabus, expectations and grading criteria
Week 2	Reading Skills I	Read actively Skim & scan How to avoid plagiarism Vocabulary acquisition
Week 3	Reading Skills II	Note-taking skills Topics, main ideas and details Citing sources
Week 4	Presentation Skills	Brainstorming & outlining Paraphrasing text Vocabulary acquisition

Week 5	Critical Thinking Skills I	Fact and opinion Reliable sources Summarizing skills APA Citation
Week 6	Presentation Preparation and Research	Develop an argument Visual aids Useful expressions Prompt cards
Week 7	Mid-term Vocabulary Acquisition Project	Presentations with Q & A Peer Feedback
Week 8	Reading Skills III	Extended reading text Synthesizing sources Vocabulary acquisition
Week 9	Reading Skills IV	Patterns of cohesion Word parts & collocations Outlines and graphic organizers
Week 10	Discussion Skills	Useful expressions for discussions Vocabulary acquisition
Week 11	Critical Thinking Skills II	Implication and inference Deliberate implications and direct statements
Week 12	Presentation Preparation & Research	Develop an argument Visual aids Useful expressions Prompt cards
Week 13	Final Presentations & Peer Review	Presentations with Q & A Peer Feedback
Week 14	Review and final assessment	Review of academic literacy skills Vocabulary acquisition Final comments

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

The first class will held face-to-face in the classroom. It is important that you are well prepared for each class and meet on time. If you are absent, you must complete all missed assignments, inform me in person or by email, and be ready for the next class. Be sure to bring your textbook to each class. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course.

【テキスト（教科書）】

Zwier, Lawrence and Vosters, Maggie. (2020) University Success Reading, Transition Level. New Jersey: Pearson Education, Inc.

ISBN : 9780134400785

<https://www.pearson.co.jp/en/catalog/product.php?item=193008>

Additional handouts and reading materials will be provided by instructor.

【参考書】

Students are required to use the APA citation style when conducting research, writing summaries, and presenting research projects. Most research will be done on the internet and in the library.

【成績評価の方法と基準】

Final Evaluation will be based on:
Participation and regular attendance 20%
Homework, quizzes, and written assignments 40%
Vocabulary acquisition project 20%
Research presentation project 20%
More than three unexcused absences will result in a failing grade.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

Students need to have access to the internet, Google Classroom, and Zoom with audio and video capabilities if needed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic Literacy B

2017年度以降入学者

サブタイトル：Class 1

THOMAS G POWER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Academic Literacy B provides more opportunities for students to practice reading, note-taking, and oral communication skills with an emphasis on vocabulary acquisition, critical thinking skills, and effective communication in academic discussions and presentations. This course will help students to improve their academic skills necessary for success in a university setting.

【到達目標】

The goal of this course is to provide students with guidelines and strategies to improve their academic skills and to develop a more “scholarly voice” in discussions, literary critiques, and presentations. The course textbook, University Success Reading, Transition Level, “helps students successfully work with challenging and engaging authentic content provided by top professors in their academic fields.”

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。経営学部：DP3、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

Most classes will be held face-to-face in the classroom on the Ichigaya campus. If necessary, some classes may be held on Zoom. Active participation is essential. There will be a weekly lecture about a reading passage or video lecture, academic terminology, and critical thinking skills followed by discussion and a vocabulary exercise. There will be a unit quiz every three to four weeks. The interactive textbook and online learner lab (MyEnglishLab) provide additional ways to introduce authentic texts and review fundamental skills and critical thinking skills. Students will submit assignments, take quizzes, prepare presentations, and receive feedback in Google Classroom. Assignments must be completed and submitted in Google Classroom in a timely manner.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction: Review of Academic Literacy Skills	Explanation of the course, class expectations, and grading criteria
Week 2	Reading Skills V	Understand & recognize patterns of cohesion Recognize collocations Vocabulary flashcards Note-taking skills
Week 3	Reading Skills VI	Develop and increase reading fluency Recognize and use rhetorical techniques Understand nominalization Paraphrase practice

Week 4	Critical Thinking Skills III	Evaluate evidence and argumentation Recognize and deal with faulty rhetoric Understand extended metaphor Summary practice
Week 5	Critical Thinking Skills IV	Synthesize information from several sources Evaluate the credibility and motives of sources Use direct and indirect quotations Appreciate hedging
Week 6	Presentations on Academic Readings 1	Preparation of summaries and presentations about academic readings
Week 7	Presentations on Academic Readings 2	Preparation of summaries and presentations about academic readings
Week 8	Reading Skills VII	Passage: The Cultivation of Higher Learning Thinking Critically & Visually Vocabulary acquisition
Week 9	Reading Skills VIII	Interpret visuals & information in visuals Recognize and learn multi-word vocabulary items Synthesizing practice
Week 10	Critical Thinking Skills V	Definitions and Classifications Understand definitions and classifications Recognize and understand definitions within a text Vocabulary flashcards Classifications
Week 11	Critical Thinking Skills VI	Produce references to other sources Understand & use clarifiers Vocabulary flashcards
Week 12	Preparation of Research Presentation Project	Research, APA citation, slide and script preparation
Week 13	Research Presentation Projects	Research presentations with peer review
Week 14	Research Presentations Projects /Final assessment	Research presentations with peer review Final comments

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Most other classes will be held in the classroom on Ichigaya campus. If it is necessary, some classes will be held by Zoom or on-demand lectures. It is important that you are well prepared for each class and meet on time. If you are absent, you must complete all missed assignments, inform me in person or by email, and be ready for the next class. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course.

【テキスト（教科書）】

Zwier, Lawrence and Vosters, Maggie. (2020) University Success Reading, Transition Level. New Jersey: Pearson Education, Inc.
ISBN : 9780134400785
<https://www.pearson.co.jp/en/catalog/product.php?item=193008>

It is mandatory that all students have a print copy of the textbook for class assignments. Students should have purchased the textbook at the University Co-op on the Ichigaya campus in the fall semester. Additional handouts and reading materials will be provided by the instructor.

【参考書】

Students are required to use the APA citation style when conducting research, writing summaries, and presenting research projects. Most research will be done on the internet and in the library.

【成績評価の方法と基準】

Final Evaluation will be based on:

Participation and regular attendance 20%

Homework and unit assignments 20%

Note-taking assignments and quizzes on unit content 25%

Academic reading summary and presentation 10%

Research presentation project 25%

More than three unexcused absences will result in a failing grade.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

Students need to have access to a computer or tablet and the internet with use of Google Classroom and Zoom.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

College Writing A

2017年度以降入学者

サブタイトル：Class 1

ROBIN F WEICHERT

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

College writing A reviews basic formal structures of academic writing and introduces a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to a longer essay. It builds competence in the use of original sources and prepares students for College Writing B, in which they are to produce a formal research paper.

【到達目標】

The course provides students with essential tools and procedures for writing essays and research papers. Students learn to analyze and write the types of essays that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the essay coherently, how to cite and reference sources correctly and how to use academic vocabulary, transitional devices, and styles of prose effectively. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, write effective introductions and conclusions, and edit and revise multiple drafts, students will eventually become competent in conceiving and writing longer essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。経営学部：DP3、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

In the course, students complete a series of tasks that guide them to effective essay writing in a step-by-step manner. Students will first work on recognizing and identifying key writing structures from model essays. They then manipulate the structures in short tasks, and finally apply them to their own writing. Students will frequently work together, with a partner and with a group. They will share and edit each other's writing and are expected to both give and receive constructive feedback on assignments. Feedback by the teacher will be given individually and to the whole class. Students need to submit one full-length essay by the end of the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course introduction	Overview of the course
2	Review Academic Writing Skills	Paragraph organization/kinds of essays
3	Essay Structure 1	Introduction/hooks
4	Essay Structure 2	Body paragraphs
5	Essay Structure 3	Conclusion
6	Writing Process 1	Choosing a topic/ brainstorming
7	Writing Process 2	Outlining
8	Writing Process 3	Peer-editing/proofreading
9	Writing Process 4	Proofreading
10	Essay Practice 1: Argument Essay	Arguing Pro and Con: Organizing/Topics

11	Essay Practice 2: Argument Essay	Thesis statement/ Counterarguments and refutations, Writing an outline
12	Writing an Argument Essay	Peer-editing outlines, writing a first draft
13	Peer-reading the first draft	Peer-review and self-editing
14	Final Essay Assessment	Student reports on final essay

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No required textbook is used in the class. Course materials, including readings and handouts, will be provided by the instructor throughout the semester.

【参考書】

Students can access APA Style formatting guidelines at the official APA Style website (apastyle.apa.org)

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on class participation and assignments (50%), and on a final essay (50%including 1st&2nd drafts). More than three unexcused absences will result in a failing grade.

【学生の意見等からの気づき】

None in particular.

【学生が準備すべき機器他】

- A laptop or computer
- Access to a printer (printed copies of work must be brought to class)
- A folder for organizing and storing course materials (must be brought to each class session)

LANe100LA (英語 / English language education 100)

College Writing B

2017年度以降入学者

サブタイトル：Class 1

ROBIN F WEICHERT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

College writing B builds on the skills learned in College Writing A and develops them with a set of supplementary writing strategies. It guides students to apply the acquired skills to the organization and writing of an original research paper.

【到達目標】

The course provides students with essential tools and procedures for writing essays and research papers. Students learn to analyze and write the types of essays that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to plan and organize a major research paper, how to choose, evaluate, and use academic sources, and how to thereby develop their own original contribution to their fields. Students will also become competent in proofreading, editing, and revising drafts of their research paper.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。経営学部：DP3、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

In the course, students complete a series of tasks that guide them to effective essay writing in a step-by-step manner. Students will first work on recognizing and identifying key writing structures from model essays. They then manipulate the structures in short tasks, and finally apply them to their own writing. Students will frequently work together, with a partner and with a group. They will share and edit each other's writing and are expected to both give and receive constructive feedback on assignments. Feedback by the teacher will be given individually and to the whole class. Students need to submit one full-length research paper by the end of the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course introduction	Overview of the course/ Steps in Writing a Research Paper
2	What is a Research Paper?	Choosing research paper topics, Brainstorming questions/Finding & Evaluating sources
3	Writing a Research Paper	Creating an Outline/Writing a tentative thesis statement
4	Writing a Research paper	Peer-reading/Revision of Outline/Developing research summaries/Writing a first draft
5	Patterns of Organization	Comparison/Cause-effect/Argument
6	Using Original Sources 1	Paraphrasing

7	Using Original Sources 2	Direct quotation/ in-text citation vs. reference list/ reporting verbs
8	Using Original Sources 3	Summarizing
9	Using Original Sources 4	Synthesizing
10	First Draft of a Research Paper	Peer-reading first draft/ writing a strong thesis statement
11	Presentation: first draft	In class presentations/ Peer-reading the first draft
12	Presentation: first draft	In class presentations/ Peer-reading the first draft
13	Presentation: first draft	In class presentations/ Peer-reading the first draft
14	Course Review	Submission of final draft

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Folse, Keith S. and Pugh, Tison. (2020). Great Writing 5: From Great Essays to Research. Boston: National Geographic Learning. ISBN 978-0-357-02086-9

【参考書】

Lester, J. D., & Lester, J. D. (2015). Writing Research Papers: A Complete Guide (15th ed.). New York: Pearson. ISBN:1-292-07689-5

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on class participation and assignments (50%), and on a final essay (50% including 1st&2nd drafts). More than three unexcused absences will result in a failing grade.

【学生の意見等からの気づき】

Might allocate slightly more time for in-class writing practice.

【学生が準備すべき機器他】

Students require a laptop or computer and access to the internet and to a printer (students are required to bring print-outs of their work to class) to take part in this class.

【その他の重要事項】

Students should check Hoppii for the class code and join the class on Google Classroom.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic Literacy A

2017年度以降入学者

サブタイトル：Class 2

THOMAS G POWER

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Academic Literacy A provides opportunities for students to practice reading and oral communication skills, to develop critical thinking skills, and to express opinions effectively in discussions, written texts, and presentations. This course will help students to improve academic skills and vocabulary skills necessary for success in a university setting. Students will submit assignments and receive feedback in Google Classroom.

【到達目標】

This course provides students with guidelines to develop further academic reading and vocabulary skills and to acquire a “scholarly voice” in discussions, literary critiques, and presentations. The course textbook, University Success Reading, Transition Level, “helps students successfully work with challenging and engaging authentic content provided by top professors in their academic fields.”

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。経営学部：DP3、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

The first class and most other classes in Fall 2025 will be held face-to-face in the classroom on the Ichigaya campus. When necessary, some classes will be held on Zoom or in on-demand lectures. Active participation is essential. There will be a brief lecture about academic reading and oral communication skills introduced in the textbook and an analysis and discussion of reading passages each class. Homework will be given each week to prepare students for the next class. The interactive textbook and online learner lab (MyEnglishLab) provide additional ways to introduce authentic texts and review fundamental skills and critical thinking skills. Assignments must be completed and submitted in Google Classroom in a timely manner.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction: What is Academic Literacy?	Syllabus, expectations and grading criteria
Week 2	Reading Skills I	Read actively Skim & scan How to avoid plagiarism Vocabulary acquisition
Week 3	Reading Skills II	Note-taking skills Topics, main ideas and details Citing sources
Week 4	Presentation Skills	Brainstorming & outlining Paraphrasing text Vocabulary acquisition

Week 5	Critical Thinking Skills I	Fact and opinion Reliable sources Summarizing skills APA Citation
Week 6	Presentation Preparation and Research	Develop an argument Visual aids Useful expressions Prompt cards
Week 7	Mid-term Vocabulary Acquisition Project	Presentations with Q & A Peer Feedback
Week 8	Reading Skills III	Extended reading text Synthesizing sources Vocabulary acquisition
Week 9	Reading Skills IV	Patterns of cohesion Word parts & collocations Outlines and graphic organizers
Week 10	Discussion Skills	Useful expressions for discussions Vocabulary acquisition
Week 11	Critical Thinking Skills II	Implication and inference Deliberate implications and direct statements
Week 12	Presentation Preparation & Research	Develop an argument Visual aids Useful expressions Prompt cards
Week 13	Final Presentations & Peer Review	Presentations with Q & A Peer Feedback
Week 14	Review and final assessment	Review of academic literacy skills Vocabulary acquisition Final comments

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

The first class will be held face-to-face in the classroom. It is important that you are well prepared for each class and meet on time. If you are absent, you must complete all missed assignments, inform me in person or by email, and be ready for the next class. Be sure to bring your textbook to each class. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course.

【テキスト（教科書）】

Zwier, Lawrence and Vosters, Maggie. (2020) University Success Reading, Transition Level. New Jersey: Pearson Education, Inc.

ISBN : 9780134400785

<https://www.pearson.co.jp/en/catalog/product.php?item=193008>

Additional handouts and reading materials will be provided by instructor.

【参考書】

Students are required to use the APA citation style when conducting research, writing summaries, and presenting research projects. Most research will be done on the internet and in the library.

【成績評価の方法と基準】

Final Evaluation will be based on:
Participation and regular attendance 20%
Homework, quizzes, and written assignments 40%
Vocabulary acquisition project 20%
Research presentation project 20%
More than three unexcused absences will result in a failing grade.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

Students need to have access to the internet, Google Classroom, and Zoom with audio and video capabilities if needed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic Literacy B

2017年度以降入学者

サブタイトル：Class 2

THOMAS G POWER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Academic Literacy B provides more opportunities for students to practice reading, note-taking, and oral communication skills with a primary focus on vocabulary acquisition, critical thinking skills, and effective communication in academic discussions and presentations. This course will help students to improve their academic skills necessary for success in a university setting.

【到達目標】

The goal of this course is to provide students with guidelines and strategies to improve their academic skills and to develop a more “scholarly voice” in discussions, literary critiques, and presentations. The course textbook, University Success Reading, Transition Level, “helps students successfully work with challenging and engaging authentic content provided by top professors in their academic fields.”

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。経営学部：DP3、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

Most classes will be held face-to-face in the classroom on the Ichigaya campus. If necessary, some classes may be held on Zoom. Active participation is essential. There will be a weekly lecture about a reading passage or video lecture, academic terminology, and critical thinking skills followed by discussion and a vocabulary exercise. There will be a unit quiz every three to four weeks. The interactive textbook and online learner lab (MyEnglishLab) provide additional ways to introduce authentic texts and review fundamental skills and critical thinking skills. Students will submit assignments, take quizzes, prepare presentations, and receive feedback in Google Classroom. Assignments must be completed and submitted in Google Classroom in a timely manner.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction: Review of Academic Literacy Skills	Explanation of the course, class expectations, and grading criteria
Week 2	Reading Skills V	Understand & recognize patterns of cohesion Recognize collocations Vocabulary flashcards Note-taking skills
Week 3	Reading Skills VI	Develop and increase reading fluency Recognize and use rhetorical techniques Understand nominalization Paraphrase practice

Week 4	Critical Thinking Skills III	Evaluate evidence and argumentation Recognize and deal with faulty rhetoric Understand extended metaphor Summary practice
Week 5	Critical Thinking Skills IV	Synthesize information from several sources Evaluate the credibility and motives of sources Use direct and indirect quotations Appreciate hedging
Week 6	Presentations on Academic Readings 1	Preparation of summaries and presentations about academic readings
Week 7	Presentations on Academic Readings 2	Preparation of summaries and presentations about academic readings
Week 8	Reading Skills VII	Passage: The Cultivation of Higher Learning Thinking Critically & Visually Vocabulary acquisition
Week 9	Reading Skills VIII	Interpret visuals & information in visuals Recognize and learn multi-word vocabulary items Synthesizing practice
Week 10	Critical Thinking Skills V	Definitions and Classifications Understand definitions and classifications Recognize and understand definitions within a text Vocabulary flashcards Classifications
Week 11	Critical Thinking Skills VI	Produce references to other sources Understand & use clarifiers Vocabulary flashcards
Week 12	Preparation of Research Presentation Project	Research, APA citation, slide and script preparation
Week 13	Research Presentation Projects	Research presentations with peer review
Week 14	Research Presentations Projects /Final assessment	Research presentations with peer review Final comments

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Most other classes will be held in the classroom on Ichigaya campus. If it is necessary, some classes will be held by Zoom or on-demand lectures. It is important that you are well prepared for each class and meet on time. If you are absent, you must complete all missed assignments, inform me in person or by email, and be ready for the next class. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course.

【テキスト（教科書）】

Zwier, Lawrence and Vosters, Maggie. (2020) University Success Reading, Transition Level. New Jersey: Pearson Education, Inc.
ISBN : 9780134400785
<https://www.pearson.co.jp/en/catalog/product.php?item=193008>

It is mandatory that all students have a print copy of the textbook for class assignments. Students should have purchased the textbook at the University Co-op on the Ichigaya campus in the fall semester. Additional handouts and reading materials will be provided by the instructor.

【参考書】

Students are required to use the APA citation style when conducting research, writing summaries, and presenting research projects. Most research will be done on the internet and in the library.

【成績評価の方法と基準】

Final Evaluation will be based on:

Participation and regular attendance 20%

Homework and unit assignments 20%

Note-taking assignments and quizzes on unit content 25%

Academic reading summary and presentation 10%

Research presentation project 25%

More than three unexcused absences will result in a failing grade.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

Students need to have access to a computer or tablet and the internet with use of Google Classroom and Zoom.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

College Writing A

2017年度以降入学者

サブタイトル：Class 2

DANIEL G DUSZA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

College Writing A covers foundational formal structures of academic writing. The course introduces a process approach to writing academic texts, starting with writing single paragraphs and building up to longer essays. The course includes using published works, AI, and other third-party material and provides students with the tools and experience to use and cite with academic integrity. College Writing A prepares students for College Writing B, where these skills will be used to produce a formal academic research paper.

【到達目標】

The course provides students with essential tools and procedures for writing various essays in preparation for writing research papers in the future. Students will practice analyzing articles, reports, and other academic essays, such as summaries and annotated bibliographies, rephrasing, synthesizing, and providing opinions and conclusions, skills necessary for writing academic contexts. Students will understand how to organize essays coherently, cite and reference sources appropriately, and effectively use academic vocabulary, transitional devices, and prose styles. Students will be taught the process and strategies of developing a thesis, organizing an outline, writing effective introductions and conclusions, and editing and revising multiple drafts. Students should complete this semester competent in conceiving and writing essays for various academic purposes.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。経営
学部：DP3、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

Classes will be conducted in English, in the classroom, utilizing material from pre-selected textbooks. Additional learning materials will include published articles, used for analysis, case studies, summaries, and academic essays.

Each class employs communicative approaches, with students reading assigned materials to prepare for discussions. They will then collaborate to write structured summaries and academic essays, which will be explained in class and shared via Google Classroom. Initial writing support will be provided verbally in class to enable students to complete their writing assignments as homework.

Feedback will come from peers, classroom instruction, online resources, and AI assistance. General oral feedback will be given in class (face-to-face) and written corrective feedback will be provided through Google Classroom (online). Individual written corrective feedback will be provided as comments and suggestions in each student's Google document (asynchronously online).

Since each writing assignment requires information from multiple sources, academic integrity is an underlying foundation of this writing course.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week-1	Course Overview Unit-1 What is an essay? Part-A	Reading-1.1 Plagiarism Reading-1.2 Exploring Ides with Others
Week-2	Unit-1: What is an essay? Part-B	Learn how to write an introduction, a thesis statement, transition statements conclusions.
Week-3	Essay-1 (10%): Plagiarism in the AI World	Write a 250-word summary using a framework about the tech-mediated writing process.
Week-4	Unit-2 The Writing Process	Practice the 7 Steps academic writing process Summary Essay Practice
Week-5	Unit-3 Academic Writing Skills	Practice paraphrasing, summarizing, synthesizing, and citing sources
Week-6	Essay-2 (10%) Summary Essay	Summarize a selected reading or reading of choice (pre-approved) citing at least two sources
Week-7	Unit-4 Process Essays	Recognize and organize the two kinds of process essays, make a strong thesis statement, and use transition and connections appropriately
Week-8	Unit-5 Comparison Essays	Recognize and organize a comparison essay, make a strong thesis statement, and use transitions and connections appropriately
Week-9	Essay-3 (10%) Integrated Writing	Compare two process essays and write about their strong and weak points while recognizing the use of transitions and cohesive devices
Week-10	Unit-6 Cause and Effect Essays	Recognize and organize a cause-effect essay, make a strong thesis statement, and use transitions and connections appropriately
Week-11	Unit-7 Argument Essays	Recognize and organize an argumentative essay, make a strong thesis statement, and use transitions and connections appropriately
Week-12	Essay-4 (10%) Integrated Argumentative Essay	Integrated writing of argumentative essays about global debate issues
Week-13	Unit-8: What is a "Good" Research Paper	Recognize types of research papers, parts of research papers, where the information is distributed, and the steps in writing a research paper for publication
Week-14	Final Essay (40%)	Final Print Ready Argument Essay

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

College Writing A is a two-credit course. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course. Most students should be able to finish the preparation in two hours.

【テキスト（教科書）】

No textbook is required to be purchased. Readings will be provided in the syllabus.

【参考書】

Folse, Keith S. & Pugh, Tison. (2020). Great Writing 5: From Great Essays to Research. Boston: National Geographic Learning. ISBN 978-0-357-02086-9

Lester, J. D., & Lester, J. D. (2015). Writing Research Papers: A Complete Guide (15th ed.). New York: Pearson.
ISBN:1-292-07689-5

【成績評価の方法と基準】

Grades are determined as follows.

Class participation and class work assignments (5%each), 20%

.

Four integrated essays (10%each), 40%.

One final academic essay based on a rubric of achievements, 40%.

In principle, up to three(3) absences per semester are permitted. Absences should not impact collaboration or participation.

Late submissions of assignments will be penalized 10%for each day late.

You can expect a satisfactory grade if you complete all the classwork, homework, and essays on time.

Passing Grade Thresholds (Credit is awarded)

S(100%- 90%)

A(89 - 80%)

B(79 - 70%)

C(69 - 60%)

Non-passing Grades (no credit awarded)

D(59%and below)

E(Incomplete)

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring a portable device for connecting to the Internet and the lesson material on Google Classroom. The device must be able to connect to the Internet, edit Google Docs, and upload data to Google Classroom. These apps should be installed before the start of class. A laptop, surface, or tablet is suitable; smartphones are unsuitable. Students with extenuating circumstances should first consult with the instructor.

【その他の重要事項】

In general, all classes are held face-to-face so students can discuss problems and solutions together with the instructor. Students may contact the lecturer anytime via Email for assistance. Any signs of breaches in academic integrity will be detected and will need to be corrected. Delays will incur a late submission penalty of 10%for each day late.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

LANe100LA (英語 / English language education 100)

College Writing B

2017年度以降入学者

サブタイトル：Class 2

DANIEL G DUSZA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

College writing B builds on the skills learned in College Writing A and develops them with a set of supplementary writing strategies. It guides students to apply the acquired skills to the organization and writing of an original research paper.

【到達目標】

The course provides students with essential tools and procedures for writing essays and research papers. Students learn to analyze and write the types of essays that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to plan and organize a major research paper, how to choose, evaluate, and use academic sources, and how to thereby develop their own original contribution to their fields. Students will also become competent in proofreading, editing, and revising drafts of their research paper.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。経営学部：DP3、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

This course will be conducted primarily in the classroom. Some research classes will be held asynchronously, that is, on-demand, through Google Classroom.

Students will collaborate with peers to complete a series of writing tasks that guide them to effective academic style essay writing. Students will first work on recognizing and identifying key writing structures from model essays. They then manipulate the structures in short tasks and apply them to their own writing. Students will frequently work together, with a partner and with a group. Students will work collaboratively in writing tasks and be trained in the peer review process. They will share and edit each other's writing and are expected to both give and receive constructive feedback on assignments based on a structured summary format. Additionally, the teacher will provide prescriptive feedback to guide students into mastery of academic essay writing.

Students should be able to complete one full-length research paper by the end of the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week-1	Introduction to Academic Written English II	Overview of the course
Week-2	What is a Research Paper?	Choosing research paper topics, Brainstorming questions/Finding & Evaluating sources
Week-3	Writing a Research Paper	Creating an Outline/Writing a tentative thesis statement

Week-4	Patterns of Organization	Identifying paper frameworks from examples. Understanding comparison, cause and effect, and arguments
Week-5	Writing Summaries 101	Peer-reading/Revision of Outline, Writing a first draft
Week-6	Paraphrasing, quoting and referencing.	Paraphrasing, quoting, and referencing.
Week-7	Writing Summaries Advanced - Bibliography	Writing an annotated bibliography for developing research summaries/writing a strong thesis statement
Week-8	Identifying original and scientific resources	Collaborating, Summarizing, Synthesizing
Week-9	Writing an initial draft	In class collaborative writing of first draft
Week-10	Using technology as a writing assistant	Checking mechanics and language using technology
Week-11	Presentation: second draft	In class presentations/ Peer-assessment of the second draft
Week-12	Presentation: second draft reviewed	Introduction to the publication process. Addressing reviewer comments.
Week-13	Final Editing for publication.	Using online writing assistance.
Week-14	Course Review	Presentation and submission of final draft. Reflection of the writing process.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be at least four hours per week for two-credit course. This class will mainly have preparation outside the class, so HOMEWORK MUST BE COMPLETED to participate in the following class.

【テキスト（教科書）】

No textbook will be required. Handouts will be provided through Google Classroom.

【参考書】

Folse, Keith S. and Pugh, Tison. (2020). Great Writing 5: From Great Essays to Research. Boston: National Geographic Learning. ISBN 978-0-357-02086-9

Lester, J. D., & Lester, J. D. (2015). Writing Research Papers: A Complete Guide (15th ed.). New York: Pearson. ISBN:1-292-07689-5

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on, class participation (20%), submitting homework assignments on-time (40%), and on the final essay writing process: 1st draft (10%), 2nd draft (10%) and final essay (20%). More than three unexcused absences will result in a failing grade.

【学生の意見等からの気づき】

None in particular.

【学生が準備すべき機器他】

Students require a laptop or computer with access to the internet. Students will need to have a Google account, Google Chrome, and Google Classroom to facilitate writing transparency, feedback, and grading.

【その他の重要事項】

Please check Hoppii for the class code and join the class on Google Classroom.

【College Writing A】

College Writing A

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語補講 1 I

2017年度以降入学者

三ツ石 祐子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に学習した文法事項を復習し、しっかり身に付け、最終的には平易なテキストであれば、辞書などを用いて自力で解読できるようになることを目指します。発音の原則を再確認し、初見の単語でも発音できるように練習します。

【到達目標】

- ・発音の原則を学び、初見の単語でも発音できるようになる。
- ・基礎的な文法事項を習得する。
- ・辞書を用いて初歩的な文章が読めるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・毎回アルファベート、発音練習などを行います。
- ・パートナー練習やグループワークを行い、文法知識の定着を図ります。
- ・授業内で行われたアウトプットに対しては授業の場でコメントします。
- ・提出物などのフィードバックは適宜全体と、必要に応じて各自に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
01	文字と発音	音と綴りの関係の確認
02	動詞(1)	人称代名詞と現在人称変化
03	動詞(2)	命令形
04	名詞の格変化(1)	定冠詞と名詞の格変化
05	名詞の格変化(2)	不定冠詞と名詞の格変化
06	名詞の格変化(3)	冠詞類
07	名詞の格変化(4)	形容詞の格変化
08	形容詞の比較変化	原級・比較級・最上級
09	人称代名詞	人称代名詞の格変化
10	前置詞(1)	特定の格を支配する前置詞
11	前置詞(2)	3+4格を支配する前置詞
12	話法の助動詞	現在人称変化
13	未来形	人称変化
14	春学期の振り返り	筆記試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
 ・毎授業ごと、予習・復習の課題を出します。必ず音読の練習もしてください。
 ・授業外でも積極的にドイツ語に触れるようにして下さい。

【テキスト（教科書）】

橋本政義著 『ひとりで学べるドイツ語』 2020年、第1刷、三修社、ISBN978-4-384-05958-8 C1084、¥1,800+税

【参考書】

必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席・パートナー練習やグループワークなどを含めた授業への積極的参加・課題等）30%と期末試験70%を合わせ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典。紙媒体の辞書（特に自宅での学習で）を強く薦めます。

【その他の重要事項】

- ・授業の順序や内容の一部は、クラスの状況により変更されることがあります。
 - ・質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先でも随時受け付けます。
- メールアドレス：yuko.mitsuishi.2x@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

[Course outline]

In this class, students review and consolidate the grammatical points learnt in the first year and eventually become able to decipher plain texts on their own, using a dictionary. Pronunciation principles are reviewed and practice is given so that students can pronounce words they have never heard before.

[Learning Objectives]

Learn the principles of pronunciation and be able to pronounce words that are new to you.

Learn basic grammar.

Be able to read rudimentary texts using a dictionary.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The preparation and review assignments will be given for each class.

Please make sure to practice reading aloud and try to be actively exposed to German outside of class.

[Grading Criteria/Policy]

The overall evaluation is based on a combination of normal marks (attendance, active participation in class including partner practice and group work, assignments, etc.) of 30% and a final examination of 70%.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語補講 1 II

2017年度以降入学者

三ツ石 祐子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に学習した文法事項を復習し、しっかり身に付け、最終的には平易なテキストであれば、辞書などを用いて自力で解読できるようになることを目指します。発音の原則を再確認し、初見のテキストでも音読できるように練習します。

【到達目標】

- ・発音の原則を学び、初見のテキストでも音読できるようになる。
- ・基礎的な文法事項を習得する。
- ・辞書を用いて初歩的な文章が読めるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・毎回アルファベート、発音練習などを行います。
- ・パートナー練習やグループワークを行い、文法知識の定着を図ります。
- ・法政大学の2023年度授業方針に従い、「対面授業」で行います。
- ・授業内で行われたアウトプットに対しては授業の場でコメントします。
- ・提出物などのフィードバックは適宜全体と、必要に応じて各自に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
01	導入	学習状況の確認
02	分離動詞	現在人称変化
03	副文(1)	従属接続詞
04	不定詞	3つの用法
05	過去形	人称変化
06	現在完了形	人称変化
07	再帰動詞	再帰代名詞と人称変化
08	受動態	人称変化
09	副文(2)	定関係代名詞
10	副文(3)	不定関係代名詞
11	副文(4)	関係副詞
12	接続法第一式	要求、容認、間接引用
13	接続法第二式	非事実、外交的接続法
14	秋学期の振り返り	筆記試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
 ・毎授業ごと、予習・復習の課題を出します。必ず音読の練習もしてください。
 ・授業外でも積極的にドイツ語に触れるようにして下さい。

【テキスト（教科書）】

橋本政義著 『ひとりで学べるドイツ語』 2020年、第1刷、三修社、ISBN978-4-384-05958-8 C1084、¥1,800+税

【参考書】

必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席・パートナー練習やグループワークなどを含めた授業への積極的参加・課題等）30%と期末試験70%を合わせ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典。紙媒体の辞書（特に自宅での学習で）を強く薦めます。

【その他の重要事項】

- ・授業の順序や内容の一部は、クラスの状況により変更されることがあります。
 - ・質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先でも随時受け付けます。
- メールアドレス：yuko.mitsuishi.2x@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

[Course outline]

In this class, students review and consolidate the grammatical points learnt in the first year and eventually become able to decode plain texts on their own, using a dictionary. Pronunciation principles are reconfirmed and students practice reading aloud texts they have never seen before.

[Learning Objectives]

The course is designed to provide students with the skills and knowledge to read aloud texts they have never seen before.

Learn basic grammar.

Be able to read rudimentary texts using a dictionary.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The preparation and review assignments will be given for each class.

Please make sure to practice reading aloud and try to be actively exposed to German outside of class.

[Grading Criteria/Policy]

The overall evaluation is based on a combination of normal marks (attendance, active participation in class including partner practice and group work, assignments, etc.) of 30% and a final examination of 70%.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語補講 2 I

2017年度以降入学者

岡本 雅克

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、初級文法読本を使って、ドイツ語を読み、書き、聞き、話す力をつけると同時に、会話文や読章を読み進めながら、とくに語彙力や読解力の向上をはかる。また英語と多くの共通点をもつドイツ語の習得と、両者の比較を通じて、さらなる異文化理解の視点を身につけることを目的とする。

【到達目標】

接続法までの初級文法を学びながら、平易なドイツ語を読める能力を養い、中級の授業に支障なく参加できる語学力を身につけると同時に、ドイツ語技能検定試験（独検）5、4級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は10課からなり、各課とも文法、練習問題、会話文、読章（巻末）から構成されている。文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、文法事項を習得した上で、会話文や読章を読む。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	アルファベット／発音の原則／母音の発音①
2	発音 I	母音の発音②／子音の発音①
3	発音 II	子音の発音②／数詞（1～12）
4	Lektion 1	人称代名詞・動詞の現在人称変化(1)（規則動詞）／sein, habenの現在人称変化（不規則動詞）
5	Lektion 1	語順（定動詞の位置）／ja(肯定の返事=yes)・nein(否定の返事=no)／話してみましょう（はじめまして）
6	Lektion 1/Lektion 2	読んでみましょう（はじめまして）／名詞（単数）の性・冠詞（定・不定冠詞）／名詞の格変化
7	Lektion 2	疑問代名詞 was, wer の格変化／並列の接続詞／読んでみましょう（職業は何ですか？）
8	Lektion 2/Lektion 3	読んでみましょう（カメラマン ヴェルナー・アードム）／動詞の現在人称変化(2)（不規則動詞）／命令形の作り方
9	Lektion 3	名詞の複数形と格変化／人称代名詞の3格・4格とその語順／読んでみましょう（趣味は何？）
10	Lektion 3/Lektion 4	読んでみましょう（ケルンのビール）／定冠詞類／不定冠詞類

11	Lektion 4	否定冠詞 kein と nicht の使い分け・nicht の位置／否定疑問文とその答え方(nein, doch)／非人称の es（形だけの主語）(1)／話してみましょう（買い物）
12	Lektion 4/Lektion 5	読んでみましょう（ミュラー家）／前置詞の格支配／前置詞と定冠詞の融合形
13	Lektion 5	前置詞の熟語表現／話してみましょう（どう行けばいいですか？）／読んでみましょう（ザルツブルク）
14	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

小野寿美子、中川明博『アー・ツェット 楽しく学ぶドイツ語 改訂版』（朝日出版社）ISBN9784255254883 ￥2,600

【参考書】

その都度指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の得点を70%、平常点を30%の合計点で評価する。平常点は、会話文や読章の和訳、練習問題に的確に解答すること、あるいは、しっかり予習してきた形跡が認められることを標準とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進度については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook on grammar for beginners and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English. At the end of the course, students are expected to acquire the ability to participate in the intermediate course without hindrance.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70%, Usual performance score: 30%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語補講 Ⅱ

2017年度以降入学者

岡本 雅克

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、初級文法読本を使って、ドイツ語を読み、書き、聞き、話す力をつけると同時に、会話文や読章を読み進めながら、とくに語彙力や読解力の向上をはかる。また英語と多くの共通点をもつドイツ語の習得と両者の比較を通じて、さらなる異文化理解の視点を身につけることを目的とする。

【到達目標】

接続法までの初級文法を学びながら、平易なドイツ語を読める能力を養い、中級の授業に支障なく参加できる語学力を身につけると同時に、ドイツ語技能検定試験（独検）5、4級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は10課からなり、各課とも文法、練習問題、会話文、読章（巻末）から構成されている。文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、文法事項を習得した上で、会話文や読章を読む。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lektion 6	話法の助動詞の現在人称変化／未来形の作り方と使われ方
2	Lektion 6	従属接続詞と副文／非人称のes (2) 時刻の表現／不定代名詞man／話してみましょう（誕生日おめでとう）
3	Lektion 6/Lektion 7	読んでみましょう（ドイツの誕生日の風習）／形容詞の2つの使い方／形容詞の格変化
4	Lektion 7	形容詞・副詞の比較変化・比較の表現／話してみましょう（レストランで）
5	Lektion 7/Lektion 8	読んでみましょう（ドイツ人が好む外国料理）／分離動詞・非分離動詞
6	Lektion 8	zu不定詞・zu不定詞句とその使い方／話してみましょう（週末の予定は？）
7	Lektion 8/Lektion 9	読んでみましょう（Münchenの伝統的な祭り）／動詞の3基本形（不定詞－過去形－過去分詞）／分離動詞・非分離動詞の3基本形
8	Lektion 9	過去表現(1)：現在完了形とその使い方／話してみましょう（週末に何をしたの？）

9	Lektion 9/Lektion 10	読んでみましょう（ヘッセを読む）／過去表現(2)：過去形・過去人称変化とその使い方
10	Lektion 10	再帰代名詞・再帰動詞・相互代名詞／話してみましょう（休暇中はどこにいたの？）
11	Lektion 10／文法の補足 I	読んでみましょう（きつねとぶどう）／関係代名詞
12	文法の補足 II	受動態
13	文法の補足 III	接続法第2式
14	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

小野寿美子、中川明博『アー・ツェット 楽しく学ぶドイツ語 改訂版』（朝日出版社）ISBN9784255254883 ￥2,600

【参考書】

その都度指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の得点を70%、平常点を30%の合計点で評価する。平常点は、会話文や読章の和訳、練習問題に的確に解答すること、あるいは、しっかり予習をしてきた形跡が認められることを標準とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進度については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook on grammar for beginners and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English. At the end of the course, students are expected to acquire the ability to participate in the intermediate course without hindrance.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70 %, Usual performance score: 30 %

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語補講 1 I

2017年度以降入学者

西川 純子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木6/Thu.6

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級文法の復習を行うクラスです。文法の苦手な部分をなくし、フランス語の学習の基礎の定着を目指します。

【到達目標】

1. フランス語の初級文法の基礎の定着
2. 基本的なフランス語の表現を言えるようになる。
3. フランス語への苦手意識の克服

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に教科書にそって進めます。また、学習内容の定着をはかるため、単語テストと小テストを頻繁に行います。テスト返却時に解説を必ず行い、学生各位の理解を促進します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション 自己紹介	・フランス語とはどういう言語なのか？ ・フランス語の読み方の基本 ・自己紹介の表現
第2回	第1課	・名詞 ・冠詞（不定冠と定冠詞）
第3回	第1課続き	・提示の表現 ・問題演習
第4回	第2課	・動詞 être ・問題演習
第5回	第2課続き	・動詞 avoir ・問題演習
第6回	第3課	・第一群規則動詞 ・否定形
第7回	第3課続き	・全体疑問文 ・問題演習
第8回	中間テスト	・第1課から第3課までの学習内容の定着を確認するための中間テスト
第9回	第4課	・形容詞
第10回	第5課	・指示形容詞 ・所有形容詞 ・人称代名詞の強勢形
第11回	第5課続き	・第二群規則動詞
第12回	第6課	・動詞 aller ・定冠詞の縮約
第13回	第6課続き	・動詞 venir ・命令法
第14回	試験	まとめの試験と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。予習では各課の冒頭の対話文を事前に辞書を使って読んでおくこと、復習では授業で指示された課題は必ず行い、単語テストと小テストに備えて勉強すること。

【テキスト（教科書）】

服部悦子・伊藤淑子・近藤由佳『《プティ》シェリーとフランス語』三修社、2022年、2400円（税抜き）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

小テストと単語テストと態度を総合的に評価した平常点で50点、期末テストで50点。

【学生の意見等からの気づき】

質問等を受け付けることで学生の皆さんの不明点を明確にしたうえで授業をすすめていく。

【学生が準備すべき機器他】

仏和と和仏の辞書を持っていることが望ましいです。また、動詞の活用に関する参考書を一冊持っていると便利です。参考書については授業中に随時説明していきます。また、学習支援システムや教科書のwebページなどを利用するために、パソコン、タブレット、スマートフォンなどの電子機器を所有していると便利です。

【その他の重要事項】

授業に関する不明点は西川 (junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp)まで

【Outline (in English)】

Introduction to basic skills of communication in French language and French grammar.

The goals of this course are to be able to understand French basic grammar and use simple expressions. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, Examinations in class : 30%, in class contribution in class: 20%.

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語補講 Ⅱ

2017年度以降入学者

西川 純子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木6/Thu.6

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級文法の復習を行うクラスです。文法の苦手な部分をなくし、フランス語の学習の基礎の定着を目指します。

【到達目標】

1. フランス語の初級文法の基礎の定着
2. 辞書で不明な単語を自在に調べられるようになる。
3. 基本的なフランス語の表現を言える。
4. フランス語への苦手意識の克服

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に教科書にそって進めます。また、学習内容の定着をはかるため、単語テストと小テストを頻繁に行います。テスト返却時に解説を必ず行い、学生各位の理解を促進します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第7課	・動詞 prendre と faire ・非人称構文
第2回	第7課続き	・疑問文の復習 ・疑問形容詞
第3回	第8課	・疑問代名詞 ・疑問副詞
第4回	第9課	動詞 vouloir, pouvoir, devoir
第5回	第9課続き	補語人称代名詞
第6回	第10課	・形容詞の復習 ・比較と最上級
第7回	第10課続き	・現在分詞 ・ジェロンディフ
第8回	中間テスト	ここまで学習範囲の定着を確認するために中間テストを行う。
第9回	第11課	・補語人称代名詞の復習 ・中性代名詞
第10回	第11課続き	・動詞 savoir, connaître
第11回	第12課	・複合過去 ・半過去
第12回	第13課	・単純未来 ・関係代名詞 ・指示代名詞 ・受動態 ・強調構文
第13回	第14課	・代名動詞
第14回	試験	まとめの試験と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。予習では各課の冒頭の対話文を事前に辞書を使って読んでおくこと、復習では授業で指示された課題は必ず行い、単語テストと小テストに備えて勉強すること

【テキスト（教科書）】

Yuriko NISHIBE『A pied !』Editions ASAHI（朝日出版社）
2022年、2200円（税抜き）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

小テストで30%、授業貢献度で評価する平常点で20%、期末テストで50%。

【学生の意見等からの気づき】

学生の皆さんの不明点を明確にしたうえで授業をすすめていく。可能な限り教室内で問題演習と対話練習を行うことで、基礎学力の確実な定着をめざす。

【学生が準備すべき機器他】

仏和と和仏の辞書を持っていることが望ましいです。また、動詞の活用に関する参考書を一冊持っていると便利です。参考書については授業中に随時説明していきます。また、学習支援システムや教科書のwebページなどを利用するために、パソコン、タブレット、スマートフォンなどの電子機器を所有していると便利です。

【その他の重要事項】

授業に関する不明点は西川 (junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp) までメールをください。

【Outline (in English)】

Introduction to basic skills of communication in French language and French grammar.

The goals of this course are to be able to understand French grammar and to use basic skills of communication in French. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, Examinations in class and contribution in class: 50%.

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語補講 2 I

2017年度以降入学者

中村 美緒

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水6/Wed.6

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語初級で学ぶ文法事項をプリント等で確認しながら1年間でマスターする授業です。他クラスの授業の予復習や会話・講読クラスの解説も行う寺子屋的な雰囲気の中で個々に合わせた進捗を目指します。

【到達目標】

フランス語初級文法をひととおり学習し、1年間でフランス語検定4級程度のレベルを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1回の授業でひとつ文法事項を学習します。1レッスンを2回から3回の授業で進む予定です。文法事項のまとめと練習問題の入ったプリントを教科書と併用します。授業最初には前回の確認のための5題程度の練習問題を解きながら復習する予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Leçon0	つづりと発音のガイド
2回目	Leçon1	あいさつ、元気ですか？、お礼とお詫び
3回目	Leçon2	名詞の性と数、冠詞
4回目	Leçon2	指示の表現と冠詞
5回目	Leçon3	主語になる代名詞、-er動詞
6回目	Leçon3	否定文の作り方と-er動詞、数字0 20
7回目	Leçon4	動詞être、国籍・身分・職業の言い方
8回目	Leçon4	疑問文とその答え方
9回目	Leçon5	動詞avoir、否定の冠詞de
10回目	Leçon5	Il y a、avoirの用例、数字20 60
11回目	Leçon6	形容詞の性・数一致
12回目	Leçon6	指示形容詞、曜日・月・季節
13回目	Révision1,2,3	復習と練習問題
14回目	復習と期末試験	筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：授業時にプリントを使って練習した内容を復習して次回の5題程度の確認プリントにそなえる。(30分程度)

復習：授業終了後にクラスウェブにあがる説明・練習問題プリントを参照して自身の文法理解を確認する。(30分程度)

【テキスト（教科書）】

『リエゾン 1』松村博史著(白水社)ISBN:978-4-560-06149-7

【参考書】

特にありません。

【成績評価の方法と基準】

積極な授業への参加60%、期末試験と授業内の練習問題40%で評価します。最終授業回に筆記試験を行います。

【学生の意見等からの気づき】

授業終了後、使用したプリント等はクラスウェブに上げるのでやむなく欠席した時や授業内容の復習に使いましょう。

【学生が準備すべき機器他】

PC・スマホ等を例文の検索に使用することがあります。

【Outline (in English)】

This is a class where you can master the grammar points learned in beginner's French in one year by reviewing handouts, etc. We aim to progress at a pace that suits each individual in a temple school-like atmosphere where we also provide pre- and post-review of other classes and explanations of conversation and reading classes. This course covers basic French grammar and aims to reach a level equivalent to Level 4 of the French Language Proficiency Test in one year.

One grammar point will be covered in each class. One lesson will take place over two to three classes. A handout containing a summary of grammar points and practice problems will be used in conjunction with the textbook. At the beginning of each class, we plan to review what was learned in the previous class by doing around five practice problems. Preparation: Review what you practiced using the handouts during class and prepare for the next confirmation handout of about 5 questions (about 30 minutes). Review: After class, check your own understanding of grammar by referring to the explanation and practice handouts posted on the class web (about 30 minutes). Grades will be assessed based on 60% active class participation, and 40% on a final exam and in-class exercises. There will be a written exam in the final class. After class, handouts and other materials used will be uploaded to the class webpage, so you can use them when you are absent or to review the class content. You may use your PC or smartphone to search for example sentences.

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語補講 Ⅱ

2017年度以降入学者

中村 美緒

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水6/Wed.6

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語初級で学ぶ文法事項をプリント等で確認しながら1年間でマスターする授業です。他クラスの授業の予復習や会話・講読クラスの解説も行う寺子屋的な雰囲気の中で個々に合わせた進捗を目指します。

【到達目標】

フランス語初級文法をひととおり学習し、1年間でフランス語検定4級程度のレベルを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1回の授業でひとつ文法事項を学習します。1レッスンを2回から3回の授業で進む予定です。文法事項のまとめと練習問題の入ったプリントを教科書と併用します。授業最初には前回の確認のための5題程度の練習問題を解きながら復習する予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Leçon7	不規則動詞、-ir動詞、時刻の表現
2回目	Leçon7	-ir型の不規則動詞、所有形容詞
3回目	Leçon8	動詞aller,venir、前置詞の縮約
4回目	Leçon8	近接未来と近接過去、主語On
5回目	Leçon9	動詞faire,prendre、命令法
6回目	Leçon9	疑問代名詞と疑問副詞
7回目	Leçon10	目的語になる代名詞
8回目	Leçon10	強勢形、代名動詞
9回目	Leçon11	比較・最上級
10回目	Leçon11	不規則動詞attendre,répondre、序数
11回目	Leçon12	複合過去
12回目	Leçon12	代名動詞の複合過去
13回目	Révision4,5,6と補足	復習と練習問題
	(半過去、単純未来)	
14回目	復習と期末試験	筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：授業時にプリントを使って練習した内容を復習して次回の5題程度の確認プリントにそなえる。(30分程度)

復習：授業終了後にクラスウェブにあがる説明・練習問題プリントを参照して自身の文法理解を確認する。(30分程度)

【テキスト（教科書）】

『リエゾン Ⅰ』松村博史著(白水社)ISBN:978-4-560-06149-7

【参考書】

特にありません。

【成績評価の方法と基準】

積極な授業への参加60%、期末試験と授業内の練習問題40%で評価します。最終授業回に筆記試験を行います。

【学生の意見等からの気づき】

授業終了後、使用したプリント等はクラスウェブに上げるのでやむなく欠席した時や授業内容の復習に使いましょう。

【学生が準備すべき機器他】

PC・スマホ等を例文の検索に使用することがあります。

【Outline (in English)】

This is a class where you can master the grammar points learned in beginner's French in one year by reviewing handouts, etc. We aim to progress at a pace that suits each individual in a temple school-like atmosphere where we also provide pre- and post-review of other classes and explanations of conversation and reading classes. This course covers basic French grammar and aims to reach a level equivalent to Level 4 of the French Language Proficiency Test in one year.

One grammar point will be covered in each class. One lesson will take place over two to three classes. A handout containing a summary of grammar points and practice problems will be used in conjunction with the textbook. At the beginning of each class, we plan to review what was learned in the previous class by doing around five practice problems. Preparation: Review what you practiced using the handouts during class and prepare for the next confirmation handout of about 5 questions (about 30 minutes). Review: After class, check your own understanding of grammar by referring to the explanation and practice handouts posted on the class web (about 30 minutes). Grades will be assessed based on 60% active class participation, and 40% on a final exam and in-class exercises. There will be a written exam in the final class. After class, handouts and other materials used will be uploaded to the class webpage, so you can use them when you are absent or to review the class content.

You may use your PC or smartphone to search for example sentences.

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語(1) I

2017年度以降入学者

油本 真理

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語を初めて学ぶ学生を対象とし、ロシア語のアルファベット、発音、初級文法を習得する。なお、本授業は「ロシア語2 I」と連携している。

【到達目標】

(1)ロシア語の文字を読み書きすることができる。(2)ロシア語の文法の基本を説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

最初の一ヶ月間でロシア文字とその発音をしっかりと習得する。その後、初級文法を教科書で学びながら、様々な練習問題を解くことにより、理解・定着を図る。視聴覚教材もふんだんに用い、まずはロシア語に親しむことを目指す。各課を終えるごとに小テストを実施し、理解度をこまめに確認しながら授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ロシア語の予備知識、文字と発音	ロシアとロシア語について、アルファベットと発音
2	第1課 文字の発音と書き方	ロシア語の文字の発音と書き方、発音練習（母音）
3	第1課 文字と単語の発音、発音のテスト	ロシア語の文字と単語の発音（子音）、アクセント、発音のテスト
4	第2課 基本文型（～は...である）	基本文型（～は...である）、イントネーション（平叙文と疑問文）、挨拶の練習
5	第2課 名詞の性、人称代名詞	名詞の性、人称代名詞、検定試験問題
6	第3課 名詞の複数形、正書法	名詞の複数形、正書法
7	第3課 所有代名詞	所有代名詞、会話と練習問題
8	第4課 形容詞と指示代名詞	形容詞の用法と指示代名詞
9	第4課 形容詞	形容詞（硬変化、軟変化）とその練習問題
10	第5課 動詞の不定形と過去形	動詞（不定形と過去形）
11	第5課 副詞と格	副詞の作り方、格の説明
12	第6課 動詞の現在形と未来形	動詞の現在形（現在人称変化）と未来形（合成未来）
13	第6課 前置格 春学期の復習	前置格の説明、春学期の復習
14	授業内試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前には該当箇所を予習し、新出単語の意味を調べる。授業後には新たに学んだ事項を復習し、わからないところを次回の授業で質問する。また、小テストの前には必ず文法事項や語彙を復習する。本授業の準備学習・復習時間は合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

「初級ロシア語」（法政大学ロシア語担当教員 編）
[2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可]

【参考書】

露和・和露辞典（博友社「ロシア語辞典」（1995年）など）
和久利誓一著『入門ロシア語文法（改訂版）』白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テストを含む）（60％）、期末試験（40％）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

語学学習にとどまらず、ロシアの社会状況や文化についても可能な限り触れる。

【その他の重要事項】

授業計画は学生の習熟度により若干変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course introduces you to the foundations of Russian language. In this semester, we will focus on mastery of alphabets, pronunciation, and basic grammar and vocabulary. The course will be followed by the “Russian I -2” course in the autumn semester. No prior knowledge of Russian is required.

【Learning Objectives】

By the end of this course, students will be able to 1) read and pronounce Russian alphabets and 2) explain basic Russian grammar.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to prepare for the class and look up the meanings of new vocabulary. In this class, there will be a mini-test for each unit. Be sure to review the grammar and vocabulary before the mini-test. The standard preparation and review time for this class is one hour.

【Grading Criteria /Policy】

Grading will be based on the following:

Class participation (including mini-tests): 60%, Term-end examination: 40%.

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語(1)Ⅱ

2017年度以降入学者

油本 真理

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は「ロシア語1Ⅰ」に引き続き、ロシア語の諸学者を対象とする。本授業ではロシア語の初級文法の習得に加え、簡単な会話、文章の読み書きを学ぶ。なお、本授業は「ロシア語2Ⅱ」と連携している。

【到達目標】

(1)簡単なロシア語会話ができる。(2)ロシア語の文章から情報を得たり、ロシア語で必要な情報を伝えたりすることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

文法のエッセンスを取り上げ、繰り返しながら習得を目指す。また、文法の勉強と並行して会話練習や文章講読などにも取り組み、学んだ文法知識を実践する。各課を終えるごとに小テストを実施し、理解度をこまめに確認しながら授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期に学んだ文法事項の確認
2	第7課 動詞の命令形、対格、曜日の表現	動詞の命令形、対格変化（名詞、人称代名詞）
3	第7課 動詞の命令形、対格、曜日の表現	対格変化、曜日の表現
4	第7課 動詞の命令形、対格、曜日の表現	動詞の変化（-с я、歯音、唇音）
5	第8課 運動の動詞	運動の動詞（定向動詞と不定向動詞）
6	第8課 運動の動詞	行き先や動作の対象・目標の表現、手段としての乗り物の表現、目的を表す不定形の用法
7	第9課 形容詞・所有代名詞の対格、前置格	形容詞の対格、前置格
8	第9課 形容詞・所有代名詞の対格、前置格	所有代名詞の変化
9	第9課 形容詞・所有代名詞の対格、前置格	人称代名詞の変化
10	第10課 生格	生格変化（名詞、形容詞、所有代名詞、人称代名詞）
11	第10課 生格	所有の表現、否定生格
12	第11課 与格と造格	与格変化（名詞、形容詞、所有代名詞、人称代名詞）
13	第11課 与格と造格	造格変化（名詞、形容詞、所有代名詞、人称代名詞）
14	まとめと確認	秋学期に学んだ文法事項のまとめと確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前には該当箇所を予習し、新出単語の意味を調べる。授業後には新たに学んだ事項を復習し、わからないところを次回の授業で質問する。また、小テストの前には必ず文法事項や語彙を復習する。本授業の準備学習・復習時間は合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

「初級ロシア語」（法政大学ロシア語担当教員 編）

〔2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可〕

【参考書】

露和・和露辞典（博友社『ロシア語辞典』（1995年）など）

和久利誓一著『入門ロシア語文法（改訂版）』白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テストを含む）（60%）、期末試験（40%）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

重要な文法事項については繰り返し復習を行って確実な定着を図る。

【その他の重要事項】

授業計画は学生の習熟度により若干変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course introduces you to the foundations of Russian language. It will be offered to students who take the “Russian 1Ⅰ” course in the spring semester. In this semester, we will focus on providing knowledge on Russian grammar and vocabulary, as well as basic reading, listening comprehension, speaking, and writing skills. By the end of this course, students will be able to 1) communicate in Russian through basic phrases and 2) read and write basic Russian texts.

【Learning Objectives】

By the end of this course, students will be able to 1) read and pronounce Russian alphabets and 2) explain basic Russian grammar.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to prepare for the class and look up the meanings of new vocabulary. In this class, there will be a mini-test for each unit. Be sure to review the grammar and vocabulary before the mini-test.

【Grading Criteria /Policy】

Grading will be based on the following:

Class participation (including mini-tests): 60%, Term-end examination: 40%.

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語(2) I

2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語を初めて学ぶ学生を対象とした授業です。ロシア語の文字の発音、読み方、書き方から始めます。それらを習得した後は、ロシア語1で学んだ文法事項を確認し、練習問題やテキストの読解などで応用力をつけることを目指します。

【到達目標】

ロシア語の文字を読み、書けること。アクセントを意識して単語を発音できること。イントネーションを意識してまとまった文章を音読できること。簡単な挨拶を理解し、的確に返答できること。学んだ文法を理解し、運用できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語1との連携授業です。ロシア語1で学んだ単語、文法事項、文章表現を復習しながら、練習問題の答え合せと解説、テキストや会話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また、知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	文字と発音 (1)	文字の発音、書き方の説明と練習
2	文字と発音 (2)	発音の規則の説明と練習
3	文字と発音 (3)	簡単な挨拶の発音と練習
4	基本文型、人称代名詞、名詞の性	基本文型、人称代名詞、名詞の性の説明と練習
5	名詞の複数形	名詞の複数形の確認と練習
6	所有代名詞	所有代名詞の語尾変化の確認と練習
7	形容詞 (1)	形容詞、指示代名詞の語尾変化の確認と練習
8	形容詞 (2)	形容詞、指示代名詞の語尾変化の確認と練習
9	動詞の過去形	動詞の過去形の確認と練習
10	副詞、格	副詞の用法と形の説明と練習、格の役割の説明
11	動詞の現在人称変化	動詞の現在人称変化（第1変化、第2変化）の説明と練習
12	動詞の未来形	動詞の未来形の確認と練習
13	前置格	前置格の用法と形の説明と練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

新出単語は辞書で意味を確認し、授業で学んだことは復習して覚えるようにしましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）

＊「2018/2019年度版」、「2020/2021年度版」は同内容であるため、いずれを購入しても問題はない。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50％、期末試験50％の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

This is a course for beginners. For the beginning, Russian alphabet, pronunciation of each letter, phonics and simple conversation for the first contact will be introduced. After that it deals with elementary grammar to read and understand Russian texts and conversation.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to acquire elementary grammar to read and understand Russian texts and conversation.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50％、in class contribution: 50％

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語(2)Ⅱ

2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語1で学んだこと復習しながら、練習問題やテキストの読解によって応用力を養います。ロシア語の特徴である6つの格変化と動詞の活用形を習得し、平易なロシア語の文章を日本語に訳したり、簡単なロシア語の会話ができるようになることを目指します。

【到達目標】

動詞の活用形（現在、過去、未来、命令形）を覚え、運用できること。格の用法を理解し、形を覚えること。平易なロシア語の文章を理解し、正確に日本語に訳せること。簡単なロシア語の会話を理解し、コミュニケーションできること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語1と連携して授業を行います。ロシア語1で学んだ単語、文法事項、文章表現を復習しながら、練習問題の答え合せと解説、テキストや会話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また、知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	動詞の命令形	動詞の命令形の確認と練習
2	対格、曜日の表現	対格の用法と形、曜日の表現の説明と練習
3	運動の動詞(1)	定向動詞・不定向動詞の用法の説明と練習
4	運動の動詞(2)	行き先と乗り物の表現の説明と練習
5	所有代名詞・形容詞・人称代名詞の対格	所有代名詞・形容詞・人称代名詞の対格の形の確認と練習
6	所有代名詞・形容詞・人称代名詞の前置格	所有代名詞・形容詞・人称代名詞の前置格の形の確認と練習
7	生格(1)	生格の用法と形の説明と練習
8	生格(2)	生格を要求する前置詞などの説明と練習
9	与格(1)	与格の用法と形の説明と練習
10	与格(2)	与格を要求する前置詞などの説明と練習
11	造格(1)	造格の用法と形の説明と練習
12	造格(2)	造格を要求する前置詞などの説明と練習
13	人称代名詞の格変化	人称代名詞の格変化の確認と練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

新出単語は事前に辞書で意味を調べ、覚えるようにしましょう。授業で学んだことはしっかり復習しましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）

*「2018/2019年度版」、「2020/2021年度版」は同内容であるため、いずれを購入しても問題はない。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50%、期末試験50%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問・発言しやすい双方向的な授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students acquire basic grammar to read and understand Russian texts and conversation. It mainly deals with verb-related grammar (past, present, future and imperative form) and declension (case inflection).

【Learning Objectives】

The goal of this course is to acquire basic grammar to read and understand Russian texts and conversation.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

HSS100LA (健康・スポーツ科学/Health/Sports science 100)

Elementary Health and Physical Education 2017年度以降入学者

サブタイトル：

武井 敦彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：2単位

定員制

グローバル・オープン科目として、IGESS生は履修しない。No enrollment for students of IGESS as the Global Open Course.

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

【到達目標】

By the end of the course, students should be able to do the following:

1. Deepen understanding of the significance and role of physical activity from various perspectives.
2. Acquire the ability to use sports activities to establish a prosperous and healthy student and social life.
3. Acquire essential knowledge and develop attitudes that contribute to self-management.
4. To acquire the ability to demonstrate leadership and solve problems through communication with others, which is considered extremely important for playing an active role in the real world after graduation.
5. Aim to acquire various skills that lead to developing employment ability (ability to build relationships of trust, ability to act jointly, etc.).

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

If the Method(s) is changed, I will announce the details of any changes.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class.

This class comprises lectures and practical lessons, and students are expected to learn and understand elementary health and physical education.

In the final class, the course will not only summarize and review the contents of the first 13 lectures. Still, it will also provide critiques and explanations of assignments completed in class, such as reaction papers and reports.

If too many students are registered for this class, I may have to select students to avoid a large group gathering randomly. Further details of this will be announced when the first lesson starts.

Also, students are expected to participate in the class proactively so they may write an essay in the first class. This is due to the selection of students with high motivation in the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Introduction of the course, 1st Presentation (Lecture)
2	Physical Fitness Test	Implementing the physical fitness test (Lecture & Practical Lesson)
3	Strength & Conditioning 1	Learning the theory of strength and conditioning (Lecture)
4	Learning the Individual Sports 1	Building the relationship with classmates through table tennis (Practical Lesson)
5	Learning the Individual Sports 2	Facilitating mutual understanding with classmates through table tennis (Practical Lessons)
6	Strength & Conditioning 2	Implementing and collecting the data of the strength and conditioning (Lecture & Practical Lesson)
7	Health & Fitness	Learning and implementing the proper physical functional training to improve the QOL (quality of life) (Lecture & Practical Lesson)
8	Learning the Warm-Ups	Learning the basic principle and implementing the proper warm-ups (Lecture & Practical Lesson)
9	Learning the Individual Sports 3	Building the relationship with classmates through badminton (Practical Lesson)
10	Learning the Individual Sports 4	Facilitating mutual understanding with classmates through badminton (Practical Lesson)
11	Learning the Team Sports 1	Facilitating the mutual understanding with classmates through the futsal (Practical Lesson)
12	Learning the Team Sports 2	Facilitating the mutual understanding with classmates through the volleyball (Practical Lesson)
13	Strength & Conditioning 3	Implementing and collecting the data of the strength and conditioning, 2nd Presentation (Practical Lesson)
14	Summarizing the Course	Overview of the course and compile a report (Lecture)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

This class's standard preparatory study and review time is 2 hours each. This class aims to understand that sports activities contribute to promoting physical and mental health and interpersonal relationships through lectures and practical training. Therefore, record the time spent on daily physical activity, meals, sleep time, etc., look back on the contents, and record the effects and future tasks. Also, get in the habit of looking at various sports-related information sent from TV, newspapers, the Web, etc. This work will deepen your understanding of the contents of this class.

【テキスト（教科書）】

No textbook will be used.

【参考書】

Reference books may be introduced as and if necessary.

【成績評価の方法と基準】

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

1. Participation status for activities during class /Presentation /Reaction paper 60%.
2. Assignments /Reports 40%.

In principle, this grade evaluation method is used, and students who have difficulty in normal activities will be treated and evaluated individually.

【学生の意見等からの気づき】

1. Students are expected to communicate and interact with other students from all over the world, so this class tried to create the opportunity to enhance communication skills through sports and physical activities, including individual and team sports.
2. Students are expected to learn and implement the proper physical training (strength and conditioning). This class provided the appropriate information regarding physical training and aimed to improve the knowledge and skills of physical training based on the evidence.

【学生が準備すべき機器他】

1. Students must bring their proper sportswear and shoes for practical lessons.
2. Students must bring their own personal computer or mobile device to create and submit assignments.

【その他の重要事項】

1. The order and content of each class can be changed/modified due to the number of participants and available facilities, as well as the situation of infectious disease and university guidelines.
2. This class will be held offline (face to face); therefore, please follow the university guidelines carefully when participating (e.g., sanitizing your hands before participating).
3. If students have any issues, including health, before, during, and after the class, students must inform the teacher of their condition.

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語 1

2017年度以降入学者

油本 真理

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語を初めて学ぶ学生を対象とし、ロシア語のアルファベット、発音、初級文法を習得する。なお、本授業は「ロシア語2 I」と連携している。

【到達目標】

(1)ロシア語の文字を読み書きすることができる。(2)ロシア語の文法の基本を説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

最初の一ヶ月間でロシア文字とその発音をしっかりと習得する。その後、初級文法を教科書で学びながら、様々な練習問題を解くことにより、理解・定着を図る。視聴覚教材もふんだんに用い、まずはロシア語に親しむことを目指す。各課を終えるごとに小テストを実施し、理解度をこまめに確認しながら授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ロシア語の予備知識、文字と発音	ロシアとロシア語について、アルファベットと発音
2	第1課 文字の発音と書き方	ロシア語の文字の発音と書き方、発音練習（母音）
3	第1課 文字と単語の発音、発音のテスト	ロシア語の文字と単語の発音（子音）、アクセント、発音のテスト
4	第2課 基本文型（～は...である）	基本文型（～は...である）、イントネーション（平叙文と疑問文）、挨拶の練習
5	第2課 名詞の性、人称代名詞	名詞の性、人称代名詞、検定試験問題
6	第3課 名詞の複数形、正書法	名詞の複数形、正書法
7	第3課 所有代名詞	所有代名詞、会話と練習問題
8	第4課 形容詞と指示代名詞	形容詞の用法と指示代名詞
9	第4課 形容詞	形容詞（硬変化、軟変化）とその練習問題
10	第5課 動詞の不定形と過去形	動詞（不定形と過去形）
11	第5課 副詞と格	副詞の作り方、格の説明
12	第6課 動詞の現在形と未来形	動詞の現在形（現在人称変化）と未来形（合成未来）
13	第6課 前置格 春学期の復習	前置格の説明、春学期の復習
14	授業内試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前には該当箇所を予習し、新出単語の意味を調べる。授業後には新たに学んだ事項を復習し、わからないところを次回の授業で質問する。また、小テストの前には必ず文法事項や語彙を復習する。本授業の準備学習・復習時間は合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

「初級ロシア語」（法政大学ロシア語担当教員 編）
[2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可]

【参考書】

露和・和露辞典（博友社「ロシア語辞典」（1995年）など）
和久利誓一著『入門ロシア語文法（改訂版）』白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テストを含む）（60％）、期末試験（40％）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

語学学習にとどまらず、ロシアの社会状況や文化についても可能な限り触れる。

【その他の重要事項】

授業計画は学生の習熟度により若干変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course introduces you to the foundations of Russian language. In this semester, we will focus on mastery of alphabets, pronunciation, and basic grammar and vocabulary. The course will be followed by the “Russian I -2” course in the autumn semester. No prior knowledge of Russian is required.

【Learning Objectives】

By the end of this course, students will be able to 1) read and pronounce Russian alphabets and 2) explain basic Russian grammar.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to prepare for the class and look up the meanings of new vocabulary. In this class, there will be a mini-test for each unit. Be sure to review the grammar and vocabulary before the mini-test. The standard preparation and review time for this class is one hour.

【Grading Criteria /Policy】

Grading will be based on the following:

Class participation (including mini-tests): 60%, Term-end examination: 40%.

LANr100LA（ロシア語 / Russian language education 100）

ロシア語3

2017年度以降入学者

油本 真理

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は「ロシア語1Ⅰ」に引き続き、ロシア語の諸学者を対象とする。本授業ではロシア語の初級文法の習得に加え、簡単な会話、文章の読み書きを学ぶ。なお、本授業は「ロシア語2Ⅱ」と連携している。

【到達目標】

(1)簡単なロシア語会話ができる。(2)ロシア語の文章から情報を得たり、ロシア語で必要な情報を伝えたりすることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法のエッセンスを取り上げ、繰り返しながら習得を目指す。また、文法の勉強と並行して会話練習や文章講読などにも取り組み、学んだ文法知識を実践する。各課を終えるごとに小テストを実施し、理解度をこまめに確認しながら授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期に学んだ文法事項の確認
2	第7課 動詞の命令形、対格、曜日の表現	動詞の命令形、対格変化（名詞、人称代名詞）
3	第7課 動詞の命令形、対格、曜日の表現	対格変化、曜日の表現
4	第7課 動詞の命令形、対格、曜日の表現	動詞の変化（-с я、歯音、唇音）
5	第8課 運動の動詞	運動の動詞（定向動詞と不定向動詞）
6	第8課 運動の動詞	行き先や動作の対象・目標の表現、手段としての乗り物の表現、目的を表す不定形の用法
7	第9課 形容詞・所有代名詞の対格、前置格	形容詞の対格、前置格
8	第9課 形容詞・所有代名詞の対格、前置格	所有代名詞の変化
9	第9課 形容詞・所有代名詞の対格、前置格	人称代名詞の変化
10	第10課 生格	生格変化（名詞、形容詞、所有代名詞、人称代名詞）
11	第10課 生格	所有の表現、否定生格
12	第11課 与格と造格	与格変化（名詞、形容詞、所有代名詞、人称代名詞）
13	第11課 与格と造格	造格変化（名詞、形容詞、所有代名詞、人称代名詞）
14	まとめと確認	秋学期に学んだ文法事項のまとめと確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前には該当箇所を予習し、新出単語の意味を調べる。授業後には新たに学んだ事項を復習し、わからないところを次回の授業で質問する。また、小テストの前には必ず文法事項や語彙を復習する。本授業の準備学習・復習時間は合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

「初級ロシア語」（法政大学ロシア語担当教員 編）

[2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可]

【参考書】

露和・和露辞典（博友社『ロシア語辞典』（1995年）など）

和久利誓一著『入門ロシア語文法（改訂版）』白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テストを含む）（60%）、期末試験（40%）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

重要な文法事項については繰り返し復習を行って確実な定着を図る。

【その他の重要事項】

授業計画は学生の習熟度により若干変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course introduces you to the foundations of Russian language. It will be offered to students who take the “Russian 1Ⅰ” course in the spring semester. In this semester, we will focus on providing knowledge on Russian grammar and vocabulary, as well as basic reading, listening comprehension, speaking, and writing skills. By the end of this course, students will be able to 1) communicate in Russian through basic phrases and 2) read and write basic Russian texts.

【Learning Objectives】

By the end of this course, students will be able to 1) read and pronounce Russian alphabets and 2) explain basic Russian grammar.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to prepare for the class and look up the meanings of new vocabulary. In this class, there will be a mini-test for each unit. Be sure to review the grammar and vocabulary before the mini-test.

【Grading Criteria /Policy】

Grading will be based on the following:

Class participation (including mini-tests): 60%, Term-end examination: 40%.

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語 2

2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語を初めて学ぶ学生を対象とした授業です。ロシア語の文字の発音、読み方、書き方から始めます。それらを習得した後は、ロシア語1で学んだ文法事項を確認し、練習問題やテキストの読解などで応用力をつけることを目指します。

【到達目標】

ロシア語の文字を読み、書けること。アクセントを意識して単語を発音できること。イントネーションを意識してまとまった文章を音読できること。簡単な挨拶を理解し、的確に返答できること。学んだ文法を理解し、運用できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語1との連携授業です。ロシア語1で学んだ単語、文法事項、文章表現を復習しながら、練習問題の答え合せと解説、テキストや会話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また、知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	文字と発音 (1)	文字の発音、書き方の説明と練習
2	文字と発音 (2)	発音の規則の説明と練習
3	文字と発音 (3)	簡単な挨拶の発音と練習
4	基本文型、人称代名詞、名詞の性	基本文型、人称代名詞、名詞の性の説明と練習
5	名詞の複数形	名詞の複数形の確認と練習
6	所有代名詞	所有代名詞の語尾変化の確認と練習
7	形容詞 (1)	形容詞、指示代名詞の語尾変化の確認と練習
8	形容詞 (2)	形容詞、指示代名詞の語尾変化の確認と練習
9	動詞の過去形	動詞の過去形の確認と練習
10	副詞、格	副詞の用法と形の説明と練習、格の役割の説明
11	動詞の現在人称変化	動詞の現在人称変化（第1変化、第2変化）の説明と練習
12	動詞の未来形	動詞の未来形の確認と練習
13	前置格	前置格の用法と形の説明と練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

新出単語は辞書で意味を確認し、授業で学んだことは復習して覚えるようにしましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）

＊「2018/2019年度版」、「2020/2021年度版」は同内容であるため、いずれを購入しても問題はない。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50％、期末試験50％の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

This is a course for beginners. For the beginning, Russian alphabet, pronunciation of each letter, phonics and simple conversation for the first contact will be introduced. After that it deals with elementary grammar to read and understand Russian texts and conversation.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to acquire elementary grammar to read and understand Russian texts and conversation.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50％、in class contribution: 50％

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語4

2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語1で学んだこと復習しながら、練習問題やテキストの読解によって応用力を養います。ロシア語の特徴である6つの格変化と動詞の活用形を習得し、平易なロシア語の文章を日本語に訳したり、簡単なロシア語の会話ができるようになることを目指します。

【到達目標】

動詞の活用形（現在、過去、未来、命令形）を覚え、運用できること。格の用法を理解し、形を覚えること。平易なロシア語の文章を理解し、正確に日本語に訳せること。簡単なロシア語の会話を理解し、コミュニケーションでできること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語1と連携して授業を行います。ロシア語1で学んだ単語、文法事項、文章表現を復習しながら、練習問題の答え合せと解説、テキストや会話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また、知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	動詞の命令形	動詞の命令形の確認と練習
2	対格、曜日の表現	対格の用法と形、曜日の表現の説明と練習
3	運動の動詞 (1)	定向動詞・不定向動詞の用法の説明と練習
4	運動の動詞 (2)	行き先と乗り物の表現の説明と練習
5	所有代名詞・形容詞・人称代名詞の対格	所有代名詞・形容詞・人称代名詞の対格の形の確認と練習
6	所有代名詞・形容詞・人称代名詞の前置格	所有代名詞・形容詞・人称代名詞の前置格の形の確認と練習
7	生格 (1)	生格の用法と形の説明と練習
8	生格 (2)	生格を要求する前置詞などの説明と練習
9	与格 (1)	与格の用法と形の説明と練習
10	与格 (2)	与格を要求する前置詞などの説明と練習
11	造格 (1)	造格の用法と形の説明と練習
12	造格 (2)	造格を要求する前置詞などの説明と練習
13	人称代名詞の格変化	人称代名詞の格変化の確認と練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

新出単語は事前に辞書で意味を調べ、覚えるようにしましょう。授業で学んだことはしっかり復習しましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）

*「2018/2019年度版」、「2020/2021年度版」は同内容であるため、いずれを購入しても問題はない。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50%、期末試験50%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問・発言しやすい双方向的な授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students acquire basic grammar to read and understand Russian texts and conversation. It mainly deals with verb-related grammar (past, present, future and imperative form) and declension (case inflection).

【Learning Objectives】

The goal of this course is to acquire basic grammar to read and understand Russian texts and conversation.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

Elementary Information Technology 2017年度以降入学者

サブタイトル：

斎藤 明

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

定員制

グローバル・オープン科目として、IGESS 生は履修しない。No enrollment for students of IGESS as the Global Open Course.

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Processing is a computer language designed for those who study programming for the first time. Despite its simple grammatical structure, it provides us with a strong beginner-friendly graphical environment. In this lecture, you learn the basic grammar of Processing and how to write programs in this language.

【到達目標】

You will learn basic elements of a programming language and how to write simple programs. The grammar of Processing has a lot in common with java and other computer languages widely used in the society. Thus, the knowledge and techniques which you learn in this lecture will be easily transferred to other programming environments.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP4、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class consists of a lecture and exercises. The lecture is delivered through slides. You are frequently required to write simple programs as exercises during the class. Homework is assigned at the end of the class, which you are required to finish by the next class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	What is Processing?	You will see a sample program written in Processing and get a rough idea on how it works. It serves as an introduction to this lecture.
2	Calculation	You learn how to calculate in a computer language.
3	Variables	You learn how to declare variables. You also learn several types of variables.
4	Drawing [1]	You learn how to draw pictures in Processing.
5	Drawing [2]	You learn the importance of using variables when you draw a picture.
6	Conditional Statement [1]	You learn the "if" statement and how to use it.
7	Conditional Statement [2]	You learn how to combine logical conditions.

8	Conditional Statement [3]	You learn how to construct a nested structure of conditional statements.
9	Repetition [1]	You learn the "while" statement, which enables you to repeat the execution of statements.
10	Repetition [2]	You learn the nested structure of repetitions, which we call a double loop.
11	Repetition [3]	You learn the combination of repetitions and conditional statements.
12	Animation [1]	You learn the active mode of Processing, in which you can manipulate animation.
13	Animation [2]	You learn how to utilize conditional statements and repetitions appropriately in the active mode.
14	Exercises	You tackle several exercises concerning the subject you have learned in this lecture.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Homework is assigned in each class. You are required to finish it by the next class. Also the slides for the next class are available a couple of days in advance. You are required to browse them and grasp the image of the upcoming class. An estimated time for this work is 2 hours.

【テキスト（教科書）】

None.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

The grade of this class consists of:
the quality of exercises submitted during the class : 50%
the quality of the submitted homework : 50%

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

None.

【その他の重要事項】

None.

CAR100LA (キャリア教育 / Career education 100)

Elementary Career Development 2017年度以降入学者

サブタイトル：

AMINE A ABBADIE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈ゲ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Elementary Career Development course provides students in English degree programs with the opportunity to understand the significance of work and careers to acquire the mindset and knowledge needed to design their own career. Recognizing that the careers of students in English degree programs are diverse, this course will deal with fundamental topics including the significance of working, the theory and method for self-understanding, the theory and method for occupational aptitude, the method of career design, and human resource management of various organizations. Through this course, students can raise their awareness of the profession and can take concrete actions toward career design that suits their vocational aptitude.

【到達目標】

Students will be able to deepen their understandings of:

- The significance of work and career and knowledge to design their own career.
- Their personal profiles, values, aspirations, skills and lifestyles.
- Skills and competencies required for careers that students want to explore.
- Necessity to explore internships and job opportunities spontaneously.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course consists of lectures by the instructor, students' presentations and discussions. Students will occasionally work to create a worksheet during the class.

All of the class activities will be conducted in English.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	OrientationOutline of the course	Introduction of instructor. Free discussion on "career" and Elementary career development.
Week 2	Introduction to Elementary Career Development	Elementary Career development is the proactive, lifelong process of finding your footing and advancing your career path.
Week 3	Self-Assessment	Helping students identify their strengths, weaknesses, interests, and values to align with potential career paths.

Week 4	Career Exploration	Introducing students to various career options, industries, and roles, and teaching them how to conduct effective research.
Week 5	Skill Development	Communication skills: - Critical thinking and problem-solving - Adaptability and resilience
Week 6	Job Search Strategies	Equipping students with tools and methods to search for job opportunities, including online job boards, networking events, and informational interviews.
Week 7	Interview Preparation	Training students on interview etiquette, common interview questions, and techniques to showcase their qualifications and suitability for roles.
Week 8	Professional Development	Encouraging students to pursue continuous learning, skill development, and professional growth throughout their careers.
Week 9	Career Action Plan	- Defines your career goals - Audits your skillset - Identifies strengths and weaknesses - Creates achievable milestones - Details the actionable steps to take. - Tracks and monitors your progress.
Week 10	Career Transitions and Adaptability	Helping students navigate career transitions, whether it's changing industries, roles, or returning to work after a hiatus.
Week 11	Personal Branding and Online Presence	Educating students on the importance of personal branding and managing their online presence through platforms like LinkedIn.
Week 12	Guest Speaker(1) sessions	HR Recruiter Recruitment CompanyListen to the guest speaker session on Career in Japan, recruitment company.
Week 13	Guest Speaker(2) sessions	HRPB Tech companyListen to the guest speaker session on the career from company aspect.
Week 14	Wrap-up	Review major points students learned in the course and further deepen their understanding through wrap-up Q&A and discussions."

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around four hours per week for two-credits course.

【テキスト（教科書）】

Handouts will be disseminated by the lecturer for each class.

【参考書】

References will be introduced in class.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be decided based on the following criteria:

- (1) Active class participation:60%
- (2) Final writing assignments:40%

Details will be explained during the first class.

Please note that students who miss 4 classes or more without justification cannot receive credit.

【学生の意見等からの気づき】

Following student comments, more pair and group discussion will be conducted.

ART100LA (芸術学 / Art studies 100)

Elementary Humanities A

2017年度以降入学者

サブタイトル：Japanese Literature I

URBANOVA JANA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈ゲ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is a survey of ancient to medieval Japanese literature. Major literary works are introduced with an emphasis on their literary artistry as well as their historical and cultural importance. Focus is also placed on the unique philosophy that shaped the aesthetic values in Japan throughout the centuries. This topic will be further highlighted by discussing differences in Eastern and Western world views and by introducing Okinawan poetry which displays unique features when compared with classical Japanese poetry.

【到達目標】

1. To learn about major literary works in their historical and cultural context
2. To gain deeper understanding of the different philosophical backgrounds that have influenced the way of thinking in Japan and the West
3. To improve your English vocabulary regarding the topic

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course is based on lectures by the instructor featuring the use of written and audio-visual materials. In addition, every student will be required to deliver a class presentation on a given topic, to submit a short written summary of the presentation topic and an essay, and to pass the final exam. The topics for the presentation will be distributed at the beginning of the course.

Comments and explanation about assignments and answers to questions from students are given at the end of each class.

This course is in principle a face-to-face course. If necessary, some classes might be taught online on Zoom. In that case please see the Learning Management System for further instructions about how to join our Zoom session.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introduction to course; scheduling of presentations
2.	Historical overview of Japanese literature	Brief overview of major literary works in their historical context with a focus on the <i>Nara</i> and <i>Heian</i> periods

3.	Japanese perception of nature, Part 1	Definition of nature and corresponding terms in Japanese; Japanese love for nature and its various aspects; Japanese vs. Western concepts of nature
4.	Japanese perception of nature, Part 2	The four seasons as one of the central concepts in Japanese culture and literature; the concept of transformation and change, harmony of <i>yin</i> and <i>yang</i> ; perception of time
5.	Natural images in classical Japanese poetry	Literal and figural meaning of images in Japanese and Western poetic tradition
6.	Key concepts of Japanese aesthetics	Four aesthetic concepts in Japanese culture and literature; demonstration of these concepts in <i>Essays in Idleness</i> by the Buddhist priest <i>Kenkō</i>
7.	Japanese mythology	<i>Records of Ancient Matters (Kojiki)</i> ; Japanese mythology vs. Western ideological concepts (Greek mythology and Christianity)
8.	Japanese poetry, Part 1	The role of poetry from ancient times through the era of <i>Man'yōshū (Collection of Ten Thousand Leaves)</i> to the flourishing era of imperial poetry anthologies
9.	Japanese poetry, Part 2	Long and short poetic forms (<i>chōka</i> and <i>tanka</i>); believed to be the first Japanese poem in the fixed form; major themes in classical poetry
10.	Japanese prose, Part 1	Japanese tales and its various genres; the oldest preserved tale (<i>The Tale of the Bamboo Cutter; Taketori Monogatari</i>) and the collection of poem tales (<i>Tales of Ise; Ise Monogatari</i>)
11.	Japanese prose, Part 2	Flourishing of women writers in the <i>Heian</i> period with a focus on two prominent figures <i>Murasaki Shikibu</i> and <i>Sei Shōnagon</i> and their works <i>The Tale of Genji (Genji Monogatari)</i> and <i>The Pillow Book (Makura no Sōshi)</i>
12.	Okinawan language and poetry – Introduction	Languages of the Ryūkyū Islands as part of the Japanese language group; language rules in Okinawan poetry <i>ryūka</i>
13.	The world of Okinawan poetry	The oldest preserved collection of old epic songs <i>Omoro Sōshi</i> ; Okinawan lyrical poetry <i>ryūka</i>
14.	Course wrap up	Submit short summary of presentation topic and essay; final written exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1. Prepare a short self-introduction
2. Reading: handout on anthology of Japanese literature
3. Reading: Asquith, p.1-35
4. Readings: Asquith, p.36-53; handout related to the topic
5. Readings: Asquith, p.54-67; handout on Western poetry

6.Reading: Keene, p.3-22

7.Reading: handout on the *Kojiki*

8.Reading: Keene, p.47-69

9.Reading: Keene, p.25-44

10.Readings: Keene, p.73-95; handout on Japanese tales

11.Reading: handout on women's classical prose

12.&13.Reading: text by lecturer on Okinawan language and poetry

14.Submit short summary of presentation topic and essay; final written exam

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(University guidelines suggest preparation and review should be around four hours a week for a two-credit course.)

【テキスト（教科書）】

Keene, Donald. *The Pleasures of Japanese Literature*. New York: Columbia University Press, 1988.

All other study materials and handouts will be provided by the lecturer.

【参考書】

Asquith, Pamela J. and Arne Kalland, ed. *Japanese Images of Nature*. Richmond: Curzon Press, 1997.

Keene, Donald. *Anthology of Japanese Literature*. Rutland, Vermont & Tokyo: Charles E. Tuttle Company, 1956. Twenty-second edition, 1991.

McCullough, Helen Craig. *Classical Japanese Prose: an Anthology*. Stanford: Stanford University Press, 1990.

Miner, Earl. *An Introduction to Japanese Court Poetry*. Stanford: Stanford University Press, 1968.

Further references related to the topic of each class will be provided by the lecturer.

【成績評価の方法と基準】

Class attendance and oral participation are expected; failure to participate in class will result in the subtraction of marks from the total. Grading criteria: oral presentation and written summary (40%); final examination and essay (60%).

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course.

【学生が準備すべき機器他】

● Please use the designated textbook. The instructions on where to find the textbook will be provided in the first class.

● In case this course needs to switch to online format, it will be taught on Zoom, so students who attend the Zoom session on campus will need to prepare a headset.

● Please check the Learning Management System regularly for further instructions and details about the course.

ARSA100LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 100)

Elementary Humanities B 2017年度以降入学者

サブタイトル：The Making of the Modern World

Richard J Burrows

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

'To understand the present, we need to understand the past'. As we live through the opening decades of the 21st century, how much of the modern world in which we live was formed by events that occurred in the last century? In the course, we explore the major events of the 20th century around the world, to examine how key personalities & events have contributed to the world as it is today.

【到達目標】

To develop students' historical perspective by identifying the causes & effects of significant events, trends & personalities from the previous century. Both audio-visual materials & written texts will be studied on a weekly basis to enhance students knowledge of recent history through the medium of English.

In addition, all students must make a presentation & submit a report on a historical event/figure of their own choice, under the guidance of the instructor, further developing their ability to present facts & opinions in both spoken & written form.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will first debate events around a historical issue before previewing key vocabulary & ideas crucial to understanding the lesson topic. Audio-visual material will be studied, then comprehension checked through pairwork questions & further discussion. From the third week onwards, a student presentation will also be made at every lesson with the opportunity to ask & answer questions.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Course Preview & Introductory Lesson	An explanation of the course contents including work submitted by previous students
Week 2	Presentation Class	Students will be given guidance related to topic, format & content of semester presentations
Week 3	The Outbreak of World War I	1914 - The Assassination of Archduke Ferdinand
Week 4	The Russian Revolution	1917 - The Murder of the Romanovs & the Rise of the Bolsheviks
Week 5	The Hindenberg	1938 - The Airship Disaster

Week 6	The Death of Hitler	1945 - The End of World War II & Nazism
Week 7	Gandhi & Indian Independence	1947 - Mahatma Gandhi & the birth of the world's biggest democracy
Week 8	The Birth of Israel	1948 - The formation of the Jewish State
Week 9	The 6 Day War	1967 - Israel's resounding victory against its Arab enemies
Week 10	Concorde	1977 - The beginning of supersonic air travel
Week 11	The Iranian Revolution	1979 - The overthrow of the Shah & establishment of an Islamic Republic under Ayatolha Khomeini
Week 12	The Fall of the Berlin Wall	1989 - The end of Communism & the division of Europe
Week 13	The Release of Nelson Mandela	1990 - The freedom of the world most famous political prisoner & the end of Apartheid in South Africa
Week 14	The Death of Princess Diana	1997 - The death of the princess in Paris & the worldwide outpouring of grief.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Lesson preview & vocabulary preparation (30+ minutes)

Weekly reading assignment (vocabulary check & comprehension questions - 60-90 minutes)

Presentation preparation (30-60 minutes)

Semester report (30-60 minutes)

【テキスト (教科書)】

There is no course textbook. All materials will be available to download from online

【参考書】

Students are required to use either an electronic dictionary or smartphone dictionary app.

【成績評価の方法と基準】

Active Participation in class - 20%

Homework Assignments - 20%

Presentation - 30%

Semester Report - 30%

【学生の意見等からの気づき】

This is a new course running for the first time in AY 2025

【学生が準備すべき機器他】

Students will have to prepare their own study materials either by downloading from online and bringing their own tablet or laptop, or downloading & printing the material to be brought to class.

A computer is required for preparation of the presentation, while access to a printer will be needed for writing & printing the semester report.

A smartphone can ONLY be used as a dictionary, not to study course materials or submit homework.

【その他の重要事項】

Regular attendance is required & an active interest in the course theme. Students should be interested in the history of the 20th century, eager to discover more of that period and curious as to how it has affected the world of today.

POL100LA (政治学 / Politics 100)

Elementary Social Science A 2017年度以降入学者

サブタイトル：INTRODUCTION TO LEGAL THEORY : LAW, POLITICS AND VALUES

GAEL BESSON

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Legal theory is a discipline that uses tools, concepts and methods from philosophy, sociology, political science, economics and critical studies, in order to study the concepts that are central or deemed the most important to talk about Law in a general way : authority, rule, norm, obligation, and the concept of law itself.

But as a specific discipline, Legal theory's vocabulary is distinct from the Legal vocabulary. It is therefore important to be able to understand the texts of the authors that build the framework and laid the background that is used today : PROTAGORAS, SOCRATES, ARISTOTLE, HOBBS, LOCKE, HUME, ROUSSEAU, BURKE, PAINE, BENTHAM, AUSTIN... Their debates shaped new ideas and arguments, and in order to keep the discussion ongoing, this class will accompany the student into one of its most fundamental branches :

How to distinguish what is law and what it should be ?
How do judges, legal practitioners and law professors deal with their functions and their personal preferences ? And overall, how does analytical philosophy of law, one of the most influential positivist approaches of legal phenomenon, historically deal with national and international tensions while ensuring respect of the individual ?

【到達目標】

By the end of the course, students are expected to have acquired:

1. An understanding of the purpose of legal theory and an overview of some of the main figures of the discipline.
2. A firm grasp on important notions in the fields of Law, Politics and Philosophy.
3. Analytical tools to understand legal theory texts, old english texts and classic and contemporary debates.
4. How to write a synthesis and argumentative essay.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes consist in discussion, documents study, and lecture. Students will be required to apply analytical frameworks they learned during class by doing weekly homework that may sometimes include a little essay.

Mail can be written to the professor anytime.

Course contents may vary depending on the number of students.

A final test will check if the notions are understood.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	MODULE 1 - PROTAGORAS (-490 to -420) : "Man is the measure of all things"	1. What is the purpose of punishing a bad man ? What are the different steps of education ? Can virtue (aretas) be taught ? 2. Plato, Protagoras 3. Variety of political systems
2.	MODULE 2 - SOCRATES (-470 to -399) / PLATO (429?- 347 B.C.E.) : "Concord among citizens"	Why do we obey ? What is lawful for Socrates ? 2. The Memorabilia, Recollections of Socrates, By Xenophon, Book IV 3. Decay of political system
3.	MODULE 3 - ARISTOTLE (-384 to -322) : "Man is a political animal"	1. What is the specificity of the political association among all forms of partnership ? Is virtue sufficient for eudaimonia ? 2. Politics, Book 1 (1252a-1253a) and Book 2 (1260b-1261b) 3. Deviant and correct political system
4.	MODULE 4 - HOBBS Thomas (1588-1679) : "Man is a wolf for man"	1. What are the causes of War ? the passion that inclines men to Peace ? What is Law for Hobbes ? 2. HOBBS Thomas, Leviathan, 1651 3. Separation between Temporal and "Spiritual"
5.	MODULE 5 - LOCKE John (1632-1704) : "Where-ever law ends, tyranny begins"	1. Locke's State of Nature, State of War and the Civil state. What is Locke conception of individualism ? Legitimate or illegitimate ? 2. An Essay concerning the true original, extent and end of civil Government (1690) 3. Separation between the State and the Church.
6.	MODULE 6 - HUME David (1711-1776) : "It is seldom that liberty of any kind is lost all at once."	1. What is the opposite of reason ? What is Science ? Was morality an object of science ? What is the Law of Hume ? 2. Treaty, Book 3, Part 1 Section 1 §25-27, 1740 3. Separation of Law and Morals
7.	MID TERM REVISION	Questions, revisions, debates in class
8.	MODULE 7 - ROUSSEAU Jean-Jacques (1712-1768) "however unequal in strength and intelligence, men become equal by covenant and by right."	1. What is the difference between aggregation and association ? How can citizen participate in society ? What is the problem with majority rule? What is a body politic ? 2. Le Contrat Social, 1762. 3. Alienation and freedom, Representative and participative democracy

9.	MODULE 8 - BURKE Edmund (1729-1797), “They who truly mean well must be fearful of acting ill” /	1. Where do people’s rights come from ? Can we write down fundamental rights ? What is a Constitution ? 2. An appeal from the new to the old Whigs, J. Dodsley, 1791 3. Constitution as a complex moral mechanism	【その他の重要事項】 Students can contact the instructor at: gael.besson.77@hosei.ac.jp In accordance with Hosei University policies, this course will be held face-to-face.
10.	MODULE 9 - PAINE Thomas (1737-1809), “Scarcely a family was without it.”	1. Why rights should be easy to understand ? What is a Constitution ? 2. The Rights of Man, J. S. Jordan, 1795 3. Constitution as a simple booklet that fits in your pocket	
11.	MODULE 10 - BENTHAM Jeremy (1749-1832), “Natural rights is simple nonsense: natural and imprescriptible rights, rhetorical nonsense— nonsense upon stilts.”	1. What makes an individual action or a public policy a morally good one ? If not could you, should you obey ? What is the link between right and ought for Bentham ? 2. An Introduction to the Principles of Morals and Legislation, 1789 3. The principle of utility	
12.	MODULE 11 - AUSTIN John (1790 - 1859), “The matter of jurisprudence is positive law: law, simply and strictly so called : or law set by political superiors to political inferiors.”	1. Can we make a scientific study (description) of law rather than a political or moral one ? What is a command ? What is the difference between desire and command ? 2. The Province of Jurisprudence Determined, Excerpts, 1832 3. Imperativist theories of law, legal positivism, elements of HART theory	
13.	FINAL REVISION	Questions, revisions, debates in class	
14.	Final exam	Final test	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be required to prepare the class by familiarizing themselves with the documents handed out for this purpose. Around 4 hours a week.

Except in exceptional circumstances and notification to the Professor, attendance to each lesson is mandatory.

【テキスト（教科書）】

None

【参考書】

- Herbert L.A. HART, Leslie Green, The Concept of Law 3rd ed, 2012, Oxford University Press ISBN-13 : 9780199644704

- Hans KELSEN, Pure Theory of Law. Translation from the Second German Edition by Max Knight, reprint by The Lawbook Exchange, 2009 ISBN-13: 9781584775782.

- Martti KOSKENNIEMI, From Apology to Utopia: The Structure of International Legal Argument. 2nd ed, 2006, Cambridge: Cambridge University Press ISBN-13: 9780511493713.

【成績評価の方法と基準】

Participation in class (including homework-essay, attendance and discussions): 50%; final test: 50%.

【学生の意見等からの気づき】

Course content has been reviewed and updated.

【学生が準備すべき機器他】

A notebook, a pencil, a rubber, and color pencils.

POL100LA (政治学 / Politics 100)

Elementary Social Science B 2017年度以降入学者

サブタイトル：Introduction to Constitutional Law

GAEL BESSON

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈ゲ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The purpose of this class is to allow students to read the Japanese Constitution, and any Constitution, and understand how legal scholars (judges, lawyers, professors) interpret it. There is a tension between the traditional understanding of these sometimes old texts, and contemporary claims from new generations. This class will allow student to make "the source of fundamental rights" their own, especially after analysing the balance between the concepts of liberty and equality. Module 1 is devoted to the elements that made it possible to politicise the Constitution: the organisation of the State around the use of the principle of sovereignty, the separation of powers, and the Rule of law.

Module 2 shows how the introduction of these principles in Japan enabled a rapid transition from the monarchy established by the Meiji Charter to representative democracy in 1946, and will point out the limits of the pre-eminence accorded to Parliament, and see that from an European point of view, it's not enough. This is the reason for the birth of Constitutionalism in its modern sense.

Module 3 sketches out the relationship between this state and individuals, through the import of the individualism characteristic of Western thought, and more precisely one of its versions, the liberalism of Locke and Constant, and the consequences of this choice for the concept of freedom: Japan defends the idea of negative freedom.

Module 4 will introduce the place of the Bill of Rights inside the Japanese constitution and its internal dynamic.

Module 5 succinctly presents the fundamental clauses of the Japanese constitution, article 12 and 13.

Module 6 will summarise the role of article 14 of the Japanese constitution in protecting against discrimination

【到達目標】

By attending this course, students will be able to:

1. Find, read and summarise legal texts (Constitution, law, court decision...)
2. Understand the actual challenges that the judge holding the power of judicial review have to face, and those that normal people have to access the tribunal, and be able to see the strong and weak point in their legal argumentations.
3. Being presented and familiarized with some of the most important theoretical notions (liberty, equality, right...) and the differences and links between law and politics, and on this base,
4. To be able to form a personal opinion, and share it with others in a safe environment

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes consist in discussion, documents study, and lecture.

Students will be required to apply analytical frameworks they learned during class by doing weekly homework that may sometimes include a little essay.

Mail can be written to the professor anytime if students have questions. Feedback about homework will be given at the beginning of the class. At the end of each class 5 to 10 minutes will be used to see if the notions of the day are understood.

Course contents may vary depending on the number of students.

A final test will check if the notions are understood.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	MODULE 1 - CONSTITUTION AS ORGANISATION	A) Substitution and attribution

2	MODULE 1 - CONSTITUTION AS ORGANISATION	B) Separation of powers and the Rule of Law
3	MODULE 2 - DEMOCRACY AND CONSTITUTIONALISM	A) From monarchy to parliamentary democracy
4	MODULE 2 - DEMOCRACY AND CONSTITUTIONALISM	B) The limits of law, and the birth of constitutionalism
5	MODULE 3 - INDIVIDUALISM AND NEGATIVE LIBERTY	A) Individualism in Japan : from Hobbes to Locke ?
6	MODULE 3 - INDIVIDUALISM AND NEGATIVE LIBERTY	B) Berlin's Negatives liberties and positives liberties
7	MODULE 4 - THE BILL OF RIGHTS	A) Categories of rights : liberal and social rights
8	MODULE 4 - THE BILL OF RIGHTS	B) General doctrines about Constitution application to people
9	MODULE 5 - FUNDAMENTAL CLAUSES	A) The relation between the bill of rights and organisational principles
10	MODULE 5 - FUNDAMENTAL CLAUSES	B) Welfare restrictionism
11	MODULE 6 - THE EQUALITY CLAUSE	A) Article 14 of Japanese constitution
12	MODULE 6 - THE EQUALITY CLAUSE	B) The judge test
13	Preparation for the final exam	A review of the homework and training for the final test
14	Final test	In class

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be required to prepare the class by familiarizing themselves with the documents handed out for this purpose. Around 4 hours a week.

Except in exceptional circumstances and notification to the Professor, attendance to each lesson is mandatory.

【テキスト（教科書）】

None. But a copy of the class will be given to students.

【参考書】

Shigenori MATSUI, The Constitution of Japan : A Contextual Analysis (Constitutional Systems of the World). 2011, Hart. ISBN 13 978-1841137926.

Hiroshi ITOH, The Supreme Court and Benign Elite Democracy in Japan, 2020, Routledge, ISBN 13 : 978-0367602680.

Kyoko INOUE, Macarthur's Japanese Constitution - A Linguistic and Cultural Study of Its Making, 1991, University of Chicago, ISBN-13 : 978-0226383910

Michael J. GERHARDT ET AL., Constitutional theory : arguments and perspectives (3d ed. 2007)

【成績評価の方法と基準】

Participation in class (including attendance, homework and discussion): 50%

Final test or essay: 50%

【学生の意見等からの気づき】

Course content has been reviewed and updated.

【学生が準備すべき機器他】

Pen, notebook, color pencils and an eraser.

【その他の重要事項】

Students can contact the instructor at: gael.besson.77@hosei.ac.jp

In accordance with Hosei University policies, this course will be held face-to-face.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

Elementary Mathematics A 2017年度以降入学者

サブタイトル：

小木曾 岳義

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed for students who need calculus to study business, economics, or other related business majors. In particular, the course will review the basic ideas you need to start calculus. The topics include exponential and logarithmic functions, arithmetic and geometric sequences, graphing basic functions, graphing exponential and logarithmic functions, limit of a sequence, limit of a function.

【到達目標】

At the end of this course, students will demonstrate the ability to perform different operations involving algebraic expressions, to graph linear and quadratic functions, and to graph polynomial, rational, algebraic, exponential and logarithmic functions.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

The expected learning outcomes for the course will be assessed through graded activities and ungraded activities. The graded activities include exams, homework and quizzes. It is strongly recommended that students work all those problems since homework and test score are used to determine your grade. The ungraded activities will be used to monitor your progress.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
01.	Introduction	Preliminaries 1
02.	Basics and Key Terms	Preliminaries 2
03.	Exponential Functions	Functions and Graphs 1
04.	Logarithmic Functions	Functions and Graphs 2
05.	Graphing Basic Functions	Functions and Graphs 3
06.	Shifting and Stretching Graphs	Functions and Graphs 4
07.	Inverse Functions	Functions and Graphs 5
08.	Graphing Exponential Functions	Functions and Graphs 6
09.	Graphing Logarithmic Functions	Functions and Graphs 7
10.	Composite Functions	Functions and Graphs 8)
11.	Arithmetic and Geometric Sequences	Limits 1

12. Sigma Notation and Sequences of Differences Limits 2
13. Limit of a Sequence Limits 3
14. Limit of a Function Limits 4

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Solve the problems of the exercises well. Think by writing on a paper. The standard time for preparation and review for this class is two hours each. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

You don't need to buy a text book. When you learn more, respectively serve as a reference if it is rudimentary or a book on the theme of preparation for its calculus.

【参考書】

You don't need to prepare references.

【成績評価の方法と基準】

Final exam (approximately 2/3) and the homework submission (approximately 1/3)

【学生の意見等からの気づき】

The basics of mathematics and symbols vary from country to country, so I check with the students as I proceed with the lesson.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

Elementary Mathematics B 2017年度以降入学者

サブタイトル：

小木曾 岳義

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is a calculus course intended for those studying business, economics, or other related business majors, and a continuation of topics from “Elementary Mathematics A”. The following topics are presented with applications: derivatives, differentiation rules, derivative of an exponential function and logarithmic function, higher-order derivative, Taylor and Maclaurin series, integrals.

【到達目標】

Students will become proficient in techniques of differentiation, understand the concept of rate of change and how to use it to solve real world problems.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。経営学部：DP3、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

The expected learning outcomes for the course will be assessed through graded activities and ungraded activities. The graded activities include exams, homework and quizzes. It is strongly recommended that students work all those problems since homework and test score are used to determine your grade. The ungraded activities will be used to monitor your progress.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
01.	Introduction	Preliminaries
02.	The Derivative and the Slope of a Graph	Differentiation: Basic Concepts 1
03.	Some Rules for Differentiation	Differentiation: Basic Concepts 2
04.	The Product and Quotient Rules	Differentiation: Basic Concepts 3
05.	The Chain Rule	Differentiation: Basic Concepts 4
06.	Derivatives of Exponential Functions	Differentiation: Basic Concepts 5
07.	Derivatives of Logarithmic Functions	Differentiation: Basic Concepts 6
08.	Higher-order Derivatives	Differentiation: Basic Concepts 7
09.	Extrema and the First-Derivative Test	Additional Applications of the Derivative 1
10.	Concavity and the Second-Derivative Test	Additional Applications of the Derivative 2

11.	The Mean Value Theorem, Taylor's Theorem	Additional Applications of the Derivative 3
12.	Taylor and Maclaurin Series	Additional Applications of the Derivative 4
13.	Approximate Values	Additional Applications of the Derivative 5)
14.	Antiderivatives, Differential Equation	Additional Topics 1

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Solve the problems of the exercises well. Think by writing on a paper. The standard time for preparation and review for this class is two hours each. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

You don't need to buy a textbook. When you learn more, respectively serve as a reference if it is rudimentary or a book on the theme of preparation for its calculus.

【参考書】

You don't need to prepare references.

【成績評価の方法と基準】

Final exam (approximately 2/3) and the homework submission (approximately 1/3)

【学生の意見等からの気づき】

The basics of mathematics and symbols vary from country to country, so I check with the students as I proceed with the lesson.

BSP100LA（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

基礎ゼミ I（法文営）

2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

定員制（30）

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

レポートや論文の書き方を学びます。

【到達目標】

- ・レポートや論文を書く上で知っておくべき基礎的な事柄を身につけること。
- ・論述文とは何かを理解し、論理的な文章が書けるようになること。
- ・正しく読みやすい文章が書けるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

講義とワークが中心です。春学期を通して段階的に一つのレポートを完成させていきます。その過程で、学習支援システムを通じて適宜フィードバックを行います。提出してもらったレポートは返却し、一人一人に改善すべき点を伝えます。

なお、「授業計画」に記した授業進度・内容を多少変更することはあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション ／事実と意見	授業内容・課題説明
2回目	主張・根拠・具体例	講義と演習
3回目	根拠について	講義と演習
4回目	レポート課題のタイ プ／アイデアの出 しかた	講義と演習
5回目	構成のしかた	講義と演習
6回目	図書館ガイダンス	図書館でガイダンス受講
7回目	テーマのしぼりかた	講義と演習
8回目	資料を探しながらア ウトラインをつくる	講義と演習
9回目	資料に基づいてアウ トラインを完成させ る	講義と演習
10回目	引用のルール	講義と演習
11回目	他人の言葉を根拠に して自分の意見を述 べる	講義と演習
12回目	要約のしかた	講義と演習
13回目	文章を正しく書く／ 提出前の確認	説明とワーク、およびレポート の提出
14回目	レポート返却	レポート課題へのコメント

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学期中に一つのレポートを完成させるために、授業内に終わらなかった作業は授業時間外に済ませてください。本授業の準備学習・復習時間は、平均で各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『学生による学生のためのダメレポート脱出法』慶応義塾大学出版会、2015年（1200円＋税）

【参考書】

・野矢茂樹『増補版 大人のための国語ゼミ』筑摩書房、2018年
・『法政大学 学習支援ハンドブック』（学習支援システム「HONDANA」からダウンロード可能）

【成績評価の方法と基準】

平常点50％、レポート50％

【学生の意見等からの気づき】

使用教科書は初級から中級向けのため、難しい部分についてはプリントを配布して分かりやすい説明を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

ゴールデンウィーク明け以降、ノートパソコンが必要となります。（パソコンが設置されている教室を使用できる場合は不要ですが、現時点でどの教室が割り当てられるか分かりません。）

【Outline (in English)】

A guide to how to write an essay in Japanese.

By the end of the course, students should be able to write in a clear and logical manner.

After each class, students will be expected to spend at least two hours to understand the course content and to do their homework.

The overall grade in the class will be decided based on the following

Essay : 50 %, in-class contribution : 50%.

BSP100LA (初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100)

基礎ゼミⅡ (法文営)

2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

・プレゼンテーションのしかたを学びます。
 ・春学期の補足として、資料の「総括」のしかたを学びます。(秋学期のみの受講も可能です。)

【到達目標】

・授業でプレゼンテーションをする際の準備のしかた、注意すべき点を学ぶこと。
 ・論理的に話すとは何かを理解すること。
 ・質問のしかたを学ぶこと。
 ・資料の総括のしかたを理解し、資料に基づいて意見を述べられるようにすること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

講義および演習が中心となります。秋学期の終わりには、課題のプレゼンテーションを行います。

課題へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

なお、「授業計画」に記した授業進度・内容を多少変更することはあり得ます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり /Yes**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業内容・課題説明
2回目	要約のしかた (応用)	講義と演習
3回目	総括のしかた	講義と演習
4回目	総括した上で意見を述べる	講義と演習
5回目	問いを立てる	講義と演習
6回目	資料を探す	講義と演習
7回目	構成のしかた	講義と演習
8回目	パワーポイントのスライドを作る	講義と演習
9回目	人に聞いてもらえる話しかた	説明と演習
10回目	質問のしかた	説明と演習
11回目	中間発表／コメントのしかた	説明と演習
12回目	プレゼンテーション (第1グループ)	プレゼンテーションと講評
13回目	プレゼンテーション (第2グループ)	プレゼンテーションと講評
14回目	プレゼンテーションのふり返り	演習

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

プレゼンテーションの準備・練習は授業時間外に行います。

本授業の準備学習・復習時間は、平均で各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『学生による学生のためのダメレポート脱出法』慶応義塾大学出版会、2015年 (1200円+税)

【参考書】

・野矢茂樹『増補版 大人のための国語ゼミ』筑摩書房、2018年
 ・『プレゼンテーション入門 学生のためのプレゼン上達術』慶応義塾大学出版会、2020年
 ・『法政大学 学習支援ハンドブック』(学習支援システム「HONDANA」からダウンロード可能)

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、プレゼンテーション50%

【学生の意見等からの気づき】

中間発表をプレゼンテーション本番に活かせるよう、段取りを工夫します。

【学生が準備すべき機器他】

第5回以降、ノートパソコンが必要になります。(パソコンが設置されている教室を使用できる場合は不要ですが、現時点でどの教室が割り当てられるか分かりません。)

【Outline (in English)】

A guide to how to give a presentation in Japanese.

By the end of the course, students should be able to organize and present ideas and opinions in a logical, persuasive manner. After each class, students will be expected to spend at least two hours to understand the course content and to do their homework.

The overall grade in the class will be decided based on the following

Presentation : 50 %, in-class contribution : 50%.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報処理演習 I

2017年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報 I」では実習に関する時間が多くないため、理論と演習を往還しながら情報処理について学んでいきます。

【到達目標】

本科目では、主に Word（ワープロソフト）の操作方法を学びます。一般的な文章だけでなく、図表を入れた文章や長文を自由に書けるようになります。具体的には、文字装飾・図表の挿入・ページスタイル一段組み・脚注・図表番号・文献登録―テンプレート・差し込み印刷などが身に付きます。

授業では Word を使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「自らが主張したい事（Word の様々な機能を用いて）表現する」という事です。例えば課題が出されたときに、単に基準を満たすものを提出するだけでなく、自分なりに Word の機能を試行錯誤して楽しんでもらう事でコンピュータの操作に慣れしてもらいます。

また、簡単なプログラムを通して、論理的に思考する事を身につけてもらいます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回 1人1台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際の ID とパスワード（統合認証 ID 等）を必ず確認しておいてください。初心者を前提として、タイプ練習、日本語入力、ワープロソフトなどを実習していきます。また、コンピュータの基礎知識や情報倫理、情報科学の理論についても学びます。

課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は授業支援システム上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	計算機利用における基礎知識の確認	パソコンの起動と終了、ウインドウ操作、ネチケットなど、パソコン操作のための導入とメールの送受信
第02回	文字入力・ページレイアウト	Microsoft Word を用いた文字入力とページスタイルの設定を行う
第03回	文字の装飾	Microsoft Word を用いて文字飾りなどの装飾を行う
第04回	箇条書きとインデント	Microsoft Word を用いて箇条書きやインデント設定を行う

第05回	表の作成・挿入	Microsoft Word を用いて表を作成する
第06回	図・図形の挿入	Microsoft Word を用いて図の挿入を行う
第07回	段組み・数式入力	Microsoft Word を用いて段組み・数式の挿入を行う
第08回	テンプレートの利用	Microsoft Word のテンプレートを作成・利用する。
第09回	長文作成	Microsoft Word で長文作成する時の様々な補助機能を利用する
第10回	差し込み印刷	Microsoft Word の差し込み印刷機能を利用する。
第11回	グラフの挿入	Microsoft Word を用いてグラフの挿入を行う。Microsoft Excel との連動を行う事で、情報処理演習 2 の内容につなげる。
第12回	Processing を用いた簡単なプログラム（基礎）	コンピュータアニメーションの仕組みを、Processing を使ってプログラミングし、学習する
第13回	Processing を用いた簡単なプログラム（応用）	プログラミングにおける動作フローの組み方を学習し、自分なりのアニメーションプログラムを作成する
第14回	FreeMat を用いて音の作成（プログラム）	簡単なプログラムを通して、様々な音をコンピュータで作成し、その特徴を科学的に検証する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第1回の授業の前に、教室内の端末にログインするための ID（統合認証アカウント）とパスワードを確認しておく。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980 円

【参考書】

適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システムにアップします。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (20%)、レポート演習課題 (80%) を総合して評価します。課題は3～4回ほどを予定。

【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

【その他の重要事項】

上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。

【Outline (in English)】

The goal of this class is to find the information you need, change it in your own way, and share it. Also, in the high school subject "Information I," there is not much time for practice, so we will learn about information processing by studying both theory and practice.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)		
情報処理演習 I		2017年度以降入学者
吉岡 卓		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月2/Mon.2		
単位数：2単位		
定員制 (50)		
この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。		
その他属性：〈優〉		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		
この授業のねらいは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報 I」では実習に関する時間が多くないため、理論と演習を往還しながら情報処理について学んでいきます。		
【到達目標】		
本科目では、主に Word（ワープロソフト）の操作方法を学びます。一般的な文章だけでなく、図表を入れた文章や長文を自由に書けるようになります。具体的には、文字装飾・図表の挿入・ページスタイル―段落組み・脚注・図表番号・文献登録―・テンプレート・差し込み印刷などが身に付きます。		
授業では Word を使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「自らが主張したい事（Word の様々な機能を用いて）表現する」という事です。例えば課題が出されたときに、単に基準を満たすものを提出するだけでなく、自分なりに Word の機能を試行錯誤して楽しんでもらう事でコンピュータの操作に慣れてもらいます。		
また、簡単なプログラムを通して、論理的に思考する事を身につけてもらいます。		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3		
【授業の進め方と方法】		
本科目は対面授業を基本とします。毎回 1人1台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際の ID とパスワード（統合認証 ID 等）を必ず確認しておいてください。		
初心者を前提として、タイプ練習、日本語入力、ワープロソフトなどを実習していきます。また、コンピュータの基礎知識や情報倫理、情報科学の理論についても学びます。		
課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は授業支援システム上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】		
なし /No		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】		
なし /No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
第01回	計算機利用における基礎知識の確認	パソコンの起動と終了、ウインドウ操作、ネチケットなど、パソコン操作のための導入とメールの送受信
第02回	文字入力・ページレイアウト	Microsoft Word を用いた文字入力とページスタイルの設定を行う
第03回	文字の装飾	Microsoft Word を用いて文字飾りなどの装飾を行う
第04回	箇条書きとインデント	Microsoft Word を用いて箇条書きやインデント設定を行う

第05回	表の作成・挿入	Microsoft Word を用いて表を作成する
第06回	図・図形の挿入	Microsoft Word を用いて図の挿入を行う
第07回	段落組み・数式入力	Microsoft Word を用いて段落組み・数式の挿入を行う
第08回	テンプレートの利用	Microsoft Word のテンプレートを作成・利用する。
第09回	長文作成	Microsoft Word で長文作成する時の様々な補助機能を利用する
第10回	差し込み印刷	Microsoft Word の差し込み印刷機能を利用する。
第11回	グラフの挿入	Microsoft Word を用いてグラフの挿入を行う。Microsoft Excel との連動を行う事で、情報処理演習 2 の内容につなげる。
第12回	Processing を用いた簡単なプログラム（基礎）	コンピュータアニメーションの仕組みを、Processing を使ってプログラミングし、学習する
第13回	Processing を用いた簡単なプログラム（応用）	プログラミングにおける動作フローの組み方を学習し、自分なりのアニメーションプログラムを作成する
第14回	FreeMat を用いて音の作成（プログラム）	簡単なプログラムを通して、様々な音をコンピュータで作成し、その特徴を科学的に検証する
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
第1回の授業の前に、教室内の端末にログインするための ID（統合認証アカウント）とパスワードを確認しておく。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。		
【テキスト（教科書）】		
実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980 円		
【参考書】		
適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システムにアップします。		
【成績評価の方法と基準】		
平常点（20%）、レポート演習課題（80%）を総合して評価します。課題は3～4回ほどを予定。		
【学生の意見等からの気づき】		
パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。		
【学生が準備すべき機器他】		
授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。		
【その他の重要事項】		
上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。		
【Outline (in English)】		
The goal of this class is to find the information you need, change it in your own way, and share it. Also, in the high school subject "Information I," there is not much time for practice, so we will learn about information processing by studying both theory and practice.		

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報処理演習 I

2017年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報 I」では実習に関する時間が多くないため、理論と演習を往還しながら情報処理について学んでいきます。

【到達目標】

本科目では、主に Word（ワープロソフト）の操作方法を学びます。一般的な文章だけでなく、図表を入れた文章や長文を自由に書けるようになります。具体的には、文字装飾・図表の挿入・ページスタイル一段組み・脚注・図表番号・文献登録―・テンプレート・差し込み印刷などが身に付きます。

授業では Word を使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「自らが主張したい事（Word の様々な機能を用いて）表現する」という事です。例えば課題が出されたときに、単に基準を満たすものを提出するだけでなく、自分なりに Word の機能を試行錯誤して楽しんでもらう事でコンピュータの操作に慣れしてもらいます。

また、簡単なプログラムを通して、論理的に思考する事を身につけてもらいます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回 1人1台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際の ID とパスワード（統合認証 ID 等）を必ず確認しておいてください。初心者を前提として、タイプ練習、日本語入力、ワープロソフトなどを実習していきます。また、コンピュータの基礎知識や情報倫理、情報科学の理論についても学びます。

課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は授業支援システム上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	計算機利用における基礎知識の確認	パソコンの起動と終了、ウインドウ操作、ネチケットなど、パソコン操作のための導入とメールの送受信
第02回	文字入力・ページレイアウト	Microsoft Word を用いた文字入力とページスタイルの設定を行う
第03回	文字の装飾	Microsoft Word を用いて文字飾りなどの装飾を行う
第04回	箇条書きとインデント	Microsoft Word を用いて箇条書きやインデント設定を行う

第05回	表の作成・挿入	Microsoft Word を用いて表を作成する
第06回	図・図形の挿入	Microsoft Word を用いて図の挿入を行う
第07回	段組み・数式入力	Microsoft Word を用いて段組み・数式の挿入を行う
第08回	テンプレートの利用	Microsoft Word のテンプレートを作成・利用する。
第09回	長文作成	Microsoft Word で長文作成する時の様々な補助機能を利用する
第10回	差し込み印刷	Microsoft Word の差し込み印刷機能を利用する。
第11回	グラフの挿入	Microsoft Word を用いてグラフの挿入を行う。Microsoft Excel との連動を行う事で、情報処理演習 2 の内容につなげる。
第12回	Processing を用いた簡単なプログラム（基礎）	コンピュータアニメーションの仕組みを、Processing を使ってプログラミングし、学習する
第13回	Processing を用いた簡単なプログラム（応用）	プログラミングにおける動作フローの組み方を学習し、自分なりのアニメーションプログラムを作成する
第14回	FreeMat を用いて音の作成（プログラム）	簡単なプログラムを通して、様々な音をコンピュータで作成し、その特徴を科学的に検証する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第1回の授業の前に、教室内の端末にログインするための ID（統合認証アカウント）とパスワードを確認しておく。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980 円

【参考書】

適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システムにアップします。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (20%)、レポート演習課題 (80%) を総合して評価します。課題は3～4回ほどを予定。

【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

【その他の重要事項】

上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。

【Outline (in English)】

The goal of this class is to find the information you need, change it in your own way, and share it. Also, in the high school subject "Information I," there is not much time for practice, so we will learn about information processing by studying both theory and practice.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報処理演習 I 2017年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4
単位数：2単位
定員制 (50)
この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。
その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報 I」では実習に関する時間が多くないため、理論と演習を往還しながら情報処理について学んでいきます。

【到達目標】

本科目では、主に Word（ワープロソフト）の操作方法を学びます。一般的な文章だけでなく、図表を入れた文章や長文を自由に書けるようになります。具体的には、文字装飾・図表の挿入・ページスタイル一段組み・脚注・図表番号・文献登録―テンプレート・差し込み印刷などが身に付きます。
授業では Word を使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「自らが主張したい事（Word の様々な機能を用いて）表現する」という事です。例えば課題が出されたときに、単に基準を満たすものを提出するだけでなく、自分なりに Word の機能を試行錯誤して楽しんでもらう事でコンピュータの操作に慣れてもらいます。
また、簡単なプログラムを通して、論理的に思考する事を身につけてもらいます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際の ID とパスワード（統合認証 ID 等）を必ず確認しておいてください。初心者を前提として、タイプ練習、日本語入力、ワープロソフトなどを実習していきます。また、コンピュータの基礎知識や情報倫理、情報科学の理論についても学びます。
課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は授業支援システム上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	計算機利用における基礎知識の確認	パソコンの起動と終了、ウインドウ操作、ネチケットなど、パソコン操作のための導入とメールの送受信
第02回	文字入力・ページレイアウト	Microsoft Word を用いた文字入力とページスタイルの設定を行う
第03回	文字の装飾	Microsoft Word を用いて文字飾りなどの装飾を行う
第04回	箇条書きとインデント	Microsoft Word を用いて箇条書きやインデント設定を行う

第05回	表の作成・挿入	Microsoft Word を用いて表を作成する
第06回	図・図形の挿入	Microsoft Word を用いて図の挿入を行う
第07回	段組み・数式入力	Microsoft Word を用いて段組み・数式の挿入を行う
第08回	テンプレートの利用	Microsoft Word のテンプレートを作成・利用する。
第09回	長文作成	Microsoft Word で長文作成する時の様々な補助機能を利用する
第10回	差し込み印刷	Microsoft Word の差し込み印刷機能を利用する。
第11回	グラフの挿入	Microsoft Word を用いてグラフの挿入を行う。Microsoft Excel との連動を行う事で、情報処理演習 2 の内容につなげる。
第12回	Processing を用いた簡単なプログラム（基礎）	コンピュータアニメーションの仕組みを、Processing を使ってプログラミングし、学習する
第13回	Processing を用いた簡単なプログラム（応用）	プログラミングにおける動作フローの組み方を学習し、自分なりのアニメーションプログラムを作成する
第14回	FreeMat を用いて音の作成（プログラム）	簡単なプログラムを通して、様々な音をコンピュータで作成し、その特徴を科学的に検証する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第1回の授業の前に、教室内の端末にログインするための ID（統合認証アカウント）とパスワードを確認しておく。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980 円

【参考書】

適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システムにアップします。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、レポート演習課題（80%）を総合して評価します。課題は3～4回ほどを予定。

【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

【その他の重要事項】

上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。

【Outline (in English)】

The goal of this class is to find the information you need, change it in your own way, and share it. Also, in the high school subject "Information I," there is not much time for practice, so we will learn about information processing by studying both theory and practice.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報処理演習 I

2017年度以降入学者

中村 文隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。春学期の情報処理演習 I では、コンピュータの基本的な概念と使い方、ワードプロセッサと表計算の基礎的な使い方を中心に学びます

【到達目標】

情報化社会の中で必要とされる ICT スキルを習得するとともに、情報処理システムの背景となっている情報理論を理解し、急速な技術革新の中で将来に渡って情報処理システムの変革に対応していくための基礎を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

授業の前半は説明を行い、後半は課題実施と質疑応答、の進め方を基本とする。実習のある回は前半で課題の具体的な進め方を説明し、後半で各自課題を作成しながら質問などを受け付ける。座学の回は後半で各自フォームへの回答を作成する。

授業資料や課題の提出、質問などは Google Classroom を使います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	コンピュータの基本概念・新しいパスワードの設定	法政大学のコンピュータ環境について学ぶ。また、安全なパスワードの作り方を学び、新しいパスワードを設定する
第2回	キーボード・ウィンドウ	スマホやタブレットと異なり、キーボードとマウスを基本としたPCの操作について実習を交えて学ぶ
第3回	ファイル・クラウド	コンピュータでのデータ管理の基本であるファイルについて学び、クラウドを活用したデータの運用について実習する
第4回	第9章(1) ワード1(練1-3)	Wordの基本的な入力方法とレイアウトの扱いについて学ぶ
第5回	第9章(2) ワード2(練4-7)	Wordで表や図形の扱い方について学ぶ
第6回	第9章(3) ワード3(練8-10・章1)	Wordで章立てや参考文献の使い方について学ぶ
第7回	第1章 コンピュータの基本概念	ハードウェアの構成要素、ソフトウェア、OSの役割など、コンピュータの基本構成について学ぶ

第8回	第2章 コンピュータの基本操作	ウィンドウの操作やシャットダウンなど、コンピュータを使う際に覚えておくべき基本的な操作について学ぶ
第9回	第3章 キーボードと文字入力	日本語入力とかな漢字変換、全角文字と半角文字、日本語FEP、キーボードの種類、タッチタイピングの練習方法について学ぶ
第10回	第10章(1) エクセル1(練1-8)	Excelの基本概念とセルの操作、オートフィルについて学ぶ
第11回	第10章(2) エクセル2(練9-12)	数式を使った計算と、相対参照と絶対参照について学ぶ
第12回	第10章(3) エクセル3(練13-15)	合計や平均など様々な計算や、文字列の加工などに使われる関数について学ぶ
第13回	第4章 ファイル操作(1)	ファイルシステム（ファイル、拡張子、フォルダの概念、ファイルのパス）、エクスプローラーの基本操作について学ぶ
第14回	第4章 ファイル操作(2)	エクスプローラーでのファイル操作、ファイルのプロパティ、ファイルの削除、ファイルのショートカットなどについて学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシ 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版までの「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされている Windows 11 や Microsoft Office に対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」 久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入戸野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

授業中の提出物(80%)と平常点(20%)で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の進度に応じたフォローを心がけています

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。各自のノートパソコン等の持ち込みも認めます。

【その他の重要事項】

情報処理演習 I は秋学期の情報処理演習 II とセットになる科目です。情報処理演習 I を受講された方は引き続き秋学期の情報処理演習 II を受講するようにして下さい。

【Outline (in English)】

The theme of this class is to acquire the ability to gather and transmit information from the Internet, and, based on the knowledge acquired in high school, we will lead to the theory of information science.

In the spring semester, you will learn the basic concepts and usage of computers, and how to use email and web.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)	
情報処理演習 I	2017年度以降入学者
中村 文隆	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火2/Tue.2	
単位数：2単位	
定員制 (50)	
この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。春学期の情報処理演習 I では、コンピュータの基本的な概念と使い方、ワードプロセッサと表計算の基礎的な使い方を中心に学びます

【到達目標】

情報化社会の中で必要とされる ICT スキルを習得するとともに、情報処理システムの背景となっている情報理論を理解し、急速な技術革新の中で将来に渡って情報処理システムの変革に対応していくための基礎を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

授業の前半は説明を行い、後半は課題実施と質疑応答、の進め方を基本とする。実習のある回は前半で課題の具体的な進め方を説明し、後半で各自課題を作成しながら質問などを受け付ける。座学の回は後半で各自フォームへの回答を作成する。授業資料や課題の提出、質問などは Google Classroom を使います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	コンピュータの基本概念・新しいパスワードの設定	法政大学のコンピュータ環境について学ぶ。また、安全なパスワードの作り方を学び、新しいパスワードを設定する
第2回	キーボード・ウィンドウ	スマホやタブレットと異なり、キーボードとマウスを基本としたPCの操作について実習を交えて学ぶ
第3回	ファイル・クラウド	コンピュータでのデータ管理の基本であるファイルについて学び、クラウドを活用したデータの運用について実習する
第4回	第9章(1) ワード1(練1-3)	Wordの基本的な入力方法とレイアウトの扱いについて学ぶ
第5回	第9章(2) ワード2(練4-7)	Wordで表や図形の扱い方について学ぶ
第6回	第9章(3) ワード3(練8-10・章1)	Wordで章立てや参考文献の使い方について学ぶ
第7回	第1章 コンピュータの基本概念	ハードウェアの構成要素、ソフトウェア、OSの役割など、コンピュータの基本構成について学ぶ

第8回	第2章 コンピュータの基本操作	ウィンドウの操作やシャットダウンなど、コンピュータを使う際に覚えておくべき基本的な操作について学ぶ
第9回	第3章 キーボードと文字入力	日本語入力とかな漢字変換、全角文字と半角文字、日本語FEP、キーボードの種類、タッチタイピングの練習方法について学ぶ
第10回	第10章(1) エクセル1(練1-8)	Excelの基本概念とセルの操作、オートフィルについて学ぶ
第11回	第10章(2) エクセル2(練9-12)	数式を使った計算と、相対参照と絶対参照について学ぶ
第12回	第10章(3) エクセル3(練13-15)	合計や平均など様々な計算や、文字列の加工などに使われる関数について学ぶ
第13回	第4章 ファイル操作(1)	ファイルシステム（ファイル、拡張子、フォルダの概念、ファイルのパス）、エクスプローラーの基本操作について学ぶ
第14回	第4章 ファイル操作(2)	エクスプローラーでのファイル操作、ファイルのプロパティ、ファイルの削除、ファイルのショートカットなどについて学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシ 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版までの「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされている Windows 11 や Microsoft Office に対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」 久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入戸野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

授業中の提出物(80%)と平常点(20%)で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の進度に応じたフォローを心がけています

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。各自のノートパソコン等の持ち込みも認めます。

【その他の重要事項】

情報処理演習 I は秋学期の情報処理演習 II とセットになる科目です。情報処理演習 I を受講された方は引き続き秋学期の情報処理演習 II を受講するようにして下さい。

【Outline (in English)】

The theme of this class is to acquire the ability to gather and transmit information from the Internet, and, based on the knowledge acquired in high school, we will lead to the theory of information science.

In the spring semester, you will learn the basic concepts and usage of computers, and how to use email and web.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報処理演習 I

2017年度以降入学者

河内谷 幸子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。Word、Excel、パソコンの仕組みを学びます。

当科目は、専門科目の情報科目（情報学入門等）と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】

他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。パソコンやネットワークのしくみを理解します。文書作成ソフト Word、表計算ソフト Excel の機能を理解し利用できるようになります。初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

この授業を履修するためには 4 月上旬（春学期の授業開始前）の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

基本的には対面授業で、対面授業科目にカウントされるのですが、数回オンライン授業の日があります。授業の前日には必ず学習支援システムの Hoppii

(lms2025、WebClass) の記載を読んで、対面かどうかを確認して下さい。特に 1 回目の対面授業は「持ち物」の指定があるので必ず学習支援システムの記載を確認して下さい。

対面授業では、ポアソナードタワー内にあるパソコン実習室で、毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。初心者前提として、タイプ練習から始めて、Word・Excel の基本を実習します。課題のフィードバックは学習支援システムに掲載します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 情報倫理	パソコンの起動と終了、ウインドウ操作、情報倫理について学び実習する。
2	ブラウザとメール タイプ練習	web ブラウザ、サーチエンジン、電子メールなどのしくみを学び実習する。 タイピング練習を行う。
3	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、様々な入力方法、書式変更方法について実習する。

4	文書作成 2	見やすい文書を作成することを目的として、文書作成ソフト Word を使って、段落処理および表の作成について実習する。
5	文書作成 3	効果的に文書をまとめることを目的として、効果文書作成ソフト Word を使って、画像の挿入およびスマートアート（構造図）について実習する。
6	文書作成 4	文章をよりわかりやすくする説明図の作成を目的として、文書作成ソフト Word を使って、描画機能について実習する。
7	文書作成 5	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
8	コンピュータの基礎知識	コンピュータの基礎知識を学ぶ。
9	表計算 1	表計算ソフト Excel を使って、表の作成・グラフの作成の基本を実習する。
10	表計算 2	表計算ソフト Excel を使って、いろいろなグラフの書き方を実習する。また、適切なグラフの選び方や、グラフの強調方法を学ぶ。
11	表計算 3	表計算ソフト Excel を使って、シートをまたいだ集計、データベース機能などについて実習する。
12	表計算 4	表計算ソフト Excel を使って、いろいろな関数の使い方を実習する。近似曲線機能、シナリオ機能、ゴールシーク機能などの応用機能について学ぶ。
13	表計算 5	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
14	ネットワークの基礎 ホームページの仕組み	ネットワークの基礎知識を学ぶ。 ホームページを閲覧するためのネットワークの仕組みや、html によるホームページ作成について実習する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中の指示に従って前回の実習内容を復習します。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

学習支援システム Hoppii で指示します。

【参考書】

実習 情報リテラシ[第 3 版]

著者：重定如彦・河内谷幸子 共著

出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

学習支援システム Hoppii での提出物（100%）で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

対面授業の場合は、一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思ひます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の備えて、Word と Excel と PowerPoint が使用できるパソコンを自宅に準備して下さい。

【その他の重要事項】

コンピュータが苦手でも履修できます。

この授業を履修するためには 4 月上旬（春学期の授業開始前）の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

授業の前日には必ず学習支援システムを読んで対面かオンラインかを確認して下さい。

1 回目の対面授業は「持ち物」の指定があるので必ず学習支援システムで確認して下さい。

【Outline (in English)】

This course aims at acquiring skills to choose necessary information from varieties of information and process it as your own expressions for publishing. In addition, because the teaching level of "Information" course at high school varies, this course starts from its review then leads to the study of Information Science. Lectures of PC internals are included in this course.

The goal of this course is to master the technique of Word, Excel and PowerPoint.

It takes 2 hours to prepare/review.

You will get grades with your submissions from learning-support system "Hoppii".

情報処理演習 I

2017年度以降入学者

岡嶋 裕史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけること、主要なアプリケーションの操作技能を習得することです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充することも目的としています。

【到達目標】

大学の講義を受講するに際して、あるいは社会人として職務に就くときに困らない程度 of アプリケーション操作技能習得を目標としています。Word をマスターし、Excel の基礎レベルを修了します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

毎回、1人1台コンピュータを使って実習を行います。初心者者を前提として、タイプライター練習、日本語入力、ワープロソフト、表計算ソフトの使用法などを実習していきます。また、コンピュータの基礎知識や情報倫理、情報科学の基礎についても学びます。

課題のフィードバックは授業中に行います。

なお、大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	講義の位置づけ、内容についての説明
2	PCの操作	パソコンの起動と終了、ウィンドウ操作、ネチケット
3	日本語入力およびICTスキル診断テスト	IMEの概要と操作方法、今後の講義を円滑に進めるための診断テスト
4	ワープロソフト1	文字の書式設定
5	ワープロソフト2	段落の書式設定
6	ワープロソフト3	グラフィックスの利用
7	ワープロソフト4	表の作成と編集
8	ワープロソフト5	印刷の方法
9	表計算ソフト基礎1	ブックの基本操作
10	表計算ソフト基礎2	表作成の基礎
11	表計算ソフト基礎3	表の編集
12	表計算ソフト基礎4	数式と関数
13	表計算ソフト基礎5	グラフの作成
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを読んで、当日実施する実技内容の手順を確認してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

複数の教科書を使いますので、初回授業で詳しく指示します。

【参考書】

実習情報リテラシ（サイエンス社）

Microsoft Excel 基礎 セミナーテキスト（日経BP社）など

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、期末試験70%を合わせた成績により評価します。

平常点は授業内課題への取り組み、提出物によって判定を行います。すべての講義への出席が前提です。

期末試験は主要アプリケーションの操作技能を中心にした実技試験を行い、到達度を判定します。

【学生の意見等からの気づき】

I・IIがセットになっている講義ですが、特にI期においては進度が遅いと感じる方が多いと思われます。高校で十分に「情報」の授業が受けられなかった方の技能醸成が授業テーマの一つですので、技術を持っている方には大変申し訳ありませんが、お付き合いいただければと思います。

【その他の重要事項】

教員に連絡が必要な場合は、以下のメールアドレスをご利用ください。

okajima@tamacc.chuo-u.ac.jp

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003440_ja.html

教員は総合研究所での勤務経験を活かし、実務に即した技術を中心にお話しします。

【Outline (in English)】

The aim of this lesson is to acquire necessary information from among various information. And to acquire the ability to process and transmit to an easy-to-understand expression. To master the operation skills of major applications.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報処理演習 I

2017年度以降入学者

岡嶋 裕史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけること、主要なアプリケーションの操作技能を習得することです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充することも目的としています。

【到達目標】

大学の講義を受講するに際して、あるいは社会人として職務に就くときに困らない程度 of アプリケーション操作技能習得を目標としています。Word をマスターし、Excel の基礎レベルを修了します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

毎回、1人1台コンピュータを使って実習を行います。初心者前提として、タイプライター練習、日本語入力、ワープロソフト、表計算ソフトの使用法などを実習していきます。また、コンピュータの基礎知識や情報倫理、情報科学の基礎についても学びます。

課題のフィードバックは授業中に行います。

なお、大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	講義の位置づけ、内容についての説明
2	PCの操作	パソコンの起動と終了、ウインドウ操作、ネチケット
3	日本語入力およびICTスキル診断テスト	IMEの概要と操作方法、今後の講義を円滑に進めるための診断テスト
4	ワープロソフト1	文字の書式設定
5	ワープロソフト2	段落の書式設定
6	ワープロソフト3	グラフィックスの利用
7	ワープロソフト4	表の作成と編集
8	ワープロソフト5	印刷の方法
9	表計算ソフト基礎1	ブックの基本操作
10	表計算ソフト基礎2	表作成の基礎
11	表計算ソフト基礎3	表の編集
12	表計算ソフト基礎4	数式と関数
13	表計算ソフト基礎5	グラフの作成
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを読んで、当日実施する実技内容の手順を確認してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

複数の教科書を使いますので、初回授業で詳しく指示します。

【参考書】

実習情報リテラシ（サイエンス社）

Microsoft Excel 基礎 セミナーテキスト（日経BP社）など

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、期末試験70%を合わせた成績により評価します。平常点は授業内課題への取り組み、提出物によって判定を行います。すべての講義への出席が前提です。期末試験は主要アプリケーションの操作技能を中心とした実技試験を行い、到達度を判定します。

【学生の意見等からの気づき】

I・IIがセットになっている講義ですが、特にI期においては進度が遅いと感じる方が多いと思われます。高校で十分に「情報」の授業が受けられなかった方の技能醸成が授業テーマの一つですので、技術を持っている方には大変申し訳ありませんが、お付き合いいただければと思います。

【その他の重要事項】

教員に連絡が必要な場合は、以下のメールアドレスをご利用ください。

okajima@tamacc.chuo-u.ac.jp

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003440_ja.html

教員は総合研究所での勤務経験を活かし、実務に即した技術を中心にお話しします。

【Outline (in English)】

The aim of this lesson is to acquire necessary information from among various information. And to acquire the ability to process and transmit to an easy-to-understand expression. To master the operation skills of major applications.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報処理演習 I

2017年度以降入学者

重定 如彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

春学期の情報処理演習 I では、初心者をもとに、タイプ練習、日本語入力、インターネット概論などを実習していきます。また、コンピュータの基礎知識や情報倫理、情報科学の理論についても学びます。

【到達目標】

コンピュータを特定のハードウェア・ソフトウェアに依存しない抽象化されたモデルとして理解し、情報処理の概念と応用技術の仕組みを習得し、ネットワーク社会における倫理観を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。

授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。

資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。学習支援システムの使い方に関しては授業内で説明します。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の導入	法政大学のコンピュータ環境について学ぶ
第2回	コンピュータの基本概念	コンピュータの基本概念について学ぶ 安全なパスワードの作り方を学び、新しいパスワードを設定する
第3回	コンピュータの基本構成	ハードウェアの構成要素、ソフトウェア、OSの役割など、コンピュータの基本構成について学ぶ
第4回	Windowsの基本操作	デスクトップ画面の操作方法、カットアンドペースト、GUIとCUI、ショートカットキー操作、トラブルへの対処などWindowsの基本操作について学ぶ

第5回	キーボードと文字入力	日本語入力とかな漢字変換、全角文字と半角文字、日本語FEP、キーボードの種類、タッチタイピングの練習方法について学ぶ
第6回	ファイル操作その1	ファイルシステム（ファイル、拡張子、フォルダの概念、ファイルのパス）、エクスプローラーの基本操作について学ぶ
第7回	ファイル操作その2	エクスプローラーでのファイル操作、ファイルのプロパティ、ファイルの削除、ファイルのショートカットなどについて学ぶ
第8回	コンピュータとデータ	デジタルとアナログ、著作権、2進数、様々なデータの表現、データの圧縮について学ぶ
第9回	インターネットと電子メールその1	インターネットの歴史と仕組み、プロトコル、電子メールの仕組みについて学ぶ
第10回	インターネットと電子メールその2	電子メールの使い方、使う際の注意点（スパムメール、添付ファイルの危険性など）について学ぶ
第11回	WWWその1	WWWの仕組みと利用方法について学ぶ
第12回	WWWその2	WWWで得られる情報、サーチエンジンについてその仕組みと使い方について学ぶ 生成AIの簡単な仕組みや使い方について学ぶ
第13回	インターネットとメディアリテラシその1	インターネットの匿名性、詐欺、情報の真偽について学ぶ
第14回	インターネットとメディアリテラシその2	フリーソフトと著作権、クラウドコンピューティング、コンピュータウイルス、コンピュータ犯罪について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。
また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。
なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシ 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」 久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」
平常点10%、レポート70%、タッチタイピングのテスト20%
「評価基準」
平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。
レポートは内容および表現の適切さを評価します。
タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報処理演習Ⅰは秋学期の情報処理演習Ⅱとセットになる科目です。情報処理演習Ⅰを受講された方は引き続き秋学期の情報処理演習Ⅱを受講するようにして下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Spring Semester, themes of this class are, typing, Japanese input, overview of the Internet, basic knowledge of computer, computer ethics, theory of information science.

Each student is expected to prepare and review the textbook before and after the class.

If assignments are given, do them in time for the deadline, and submit them according to the instructions on the learning support system.

It is also recommended to do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Distribution.

10% of normal score, 70% of report, 20% of touch typing test

Evaluation Criteria

Ordinary points will be evaluated based on class participation.

If you are absent more than four times, your grade will be capped at B. If you are absent more than six times, your grade will be capped at E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The touch-typing test will be graded on the amount and accuracy of the typed text.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報処理演習 I

2017年度以降入学者

重定 如彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

春学期の情報処理演習 I では、初心者を前提として、タイプ練習、日本語入力、インターネット概論などを実習していきます。また、コンピューターの基礎知識や情報倫理、情報科学の理論についても学びます。

【到達目標】

コンピューターを特定のハードウェア・ソフトウェアに依存しない抽象化されたモデルとして理解し、情報処理の概念と応用技術の仕組みを習得し、ネットワーク社会における倫理観を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピューターを使った演習を行います。コンピューターを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。

授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。

資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。学習支援システムの使い方に関しては授業内で説明します。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の導入	法政大学のコンピューター環境について学ぶ
第2回	コンピューターの基本概念	コンピューターの基本概念について学ぶ 安全なパスワードの作り方を学び、新しいパスワードを設定する
第3回	コンピューターの基本構成	ハードウェアの構成要素、ソフトウェア、OSの役割など、コンピューターの基本構成について学ぶ
第4回	Windowsの基本操作	デスクトップ画面の操作方法、カットアンドペースト、GUIとCUI、ショートカットキー操作、トラブルへの対処などWindowsの基本操作について学ぶ

第5回	キーボードと文字入力	日本語入力とかな漢字変換、全角文字と半角文字、日本語FEP、キーボードの種類、タッチタイピングの練習方法について学ぶ
第6回	ファイル操作その1	ファイルシステム（ファイル、拡張子、フォルダの概念、ファイルのパス）、エクスプローラーの基本操作について学ぶ
第7回	ファイル操作その2	エクスプローラーでのファイル操作、ファイルのプロパティ、ファイルの削除、ファイルのショートカットなどについて学ぶ
第8回	コンピューターとデータ	デジタルとアナログ、著作権、2進数、様々なデータの表現、データの圧縮について学ぶ
第9回	インターネットと電子メールその1	インターネットの歴史と仕組み、プロトコル、電子メールの仕組みについて学ぶ
第10回	インターネットと電子メールその2	電子メールの使い方、使う際の注意点（スパムメール、添付ファイルの危険性など）について学ぶ
第11回	WWWその1	WWWの仕組みと利用方法について学ぶ
第12回	WWWその2	WWWで得られる情報、サーチエンジンについてその仕組みと使い方について学ぶ 生成AIの簡単な仕組みや使い方について学ぶ
第13回	インターネットとメディアリテラシその1	インターネットの匿名性、詐欺、情報の真偽について学ぶ
第14回	インターネットとメディアリテラシその2	フリーソフトと著作権、クラウドコンピューティング、コンピューターウイルス、コンピューター犯罪について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。
また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。
なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシ 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」 久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」
平常点10%、レポート70%、タッチタイピングのテスト20%
「評価基準」
平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。
レポートは内容および表現の適切さを評価します。
タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピューターを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報処理演習Ⅰは秋学期の情報処理演習Ⅱとセットになる科目です。情報処理演習Ⅰを受講された方は引き続き秋学期の情報処理演習Ⅱを受講するようにして下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Spring Semester, themes of this class are, typing, Japanese input, overview of the Internet, basic knowledge of computer, computer ethics, theory of information science.

Each student is expected to prepare and review the textbook before and after the class.

If assignments are given, do them in time for the deadline, and submit them according to the instructions on the learning support system.

It is also recommended to do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Distribution.

10% of normal score, 70% of report, 20% of touch typing test

Evaluation Criteria

Ordinary points will be evaluated based on class participation.

If you are absent more than four times, your grade will be capped at B. If you are absent more than six times, your grade will be capped at E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The touch-typing test will be graded on the amount and accuracy of the typed text.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報処理演習 I

2017年度以降入学者

河内谷 幸子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。Word、Excel、パソコンの仕組みを学びます。

当科目は、専門科目の情報科目（情報学入門等）と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】

他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。パソコンやネットワークのしくみを理解します。文書作成ソフト Word、表計算ソフト Excel の機能を理解し利用できるようになります。初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

この授業を履修するためには 4 月上旬（春学期の授業開始前）の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

基本的には対面授業で、対面授業科目にカウントされるのですが、数回オンライン授業の日があります。授業の前日には必ず学習支援システムの Hoppii

(lms2025、WebClass) の記載を読んで、対面かどうかを確認して下さい。特に 1 回目の対面授業は「持ち物」の指定があるので必ず学習支援システムの記載を確認して下さい。

対面授業では、ポアソナードタワー内にあるパソコン実習室で、毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。初心者を前提として、タイプ練習から始めて、Word・Excel の基本を実習します。課題のフィードバックは学習支援システムに掲示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 情報倫理	パソコンの起動と終了、ウインドウ操作、情報倫理について学び実習する。
2	ブラウザとメール タイプ練習	web ブラウザ、サーチエンジン、電子メールなどのしくみを学び実習する。 タイピング練習を行う。
3	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、様々な入力方法、書式変更方法について実習する。

4	文書作成 2	見やすい文書を作成することを目的として、文書作成ソフト Word を使って、段落処理および表の作成について実習する。
5	文書作成 3	効果的に文書をまとめることを目的として、効果文書作成ソフト Word を使って、画像の挿入およびスマートアート（構造図）について実習する。
6	文書作成 4	文章をよりわかりやすくする説明図の作成を目的として、文書作成ソフト Word を使って、描画機能について実習する。
7	文書作成 5	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
8	コンピュータの基礎知識	コンピュータの基礎知識を学ぶ。
9	表計算 1	表計算ソフト Excel を使って、表の作成・グラフの作成の基本を実習する。
10	表計算 2	表計算ソフト Excel を使って、いろいろなグラフの書き方を実習する。また、適切なグラフの選び方や、グラフの強調方法を学ぶ。
11	表計算 3	表計算ソフト Excel を使って、シートをまたいだ集計、データベース機能などについて実習する。
12	表計算 4	表計算ソフト Excel を使って、いろいろな関数の使い方を実習する。近似曲線機能、シナリオ機能、ゴールシーク機能などの応用機能について学ぶ。
13	表計算 5	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
14	ネットワークの基礎 ホームページの仕組み	ネットワークの基礎知識を学ぶ。 ホームページを閲覧するためのネットワークの仕組みや、html によるホームページ作成について実習する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中の指示に従って前回の実習内容を復習します。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

学習支援システム Hoppii で指示します。

【参考書】

実習 情報リテラシ[第 3 版]

著者：重定如彦・河内谷幸子 共著

出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

学習支援システム Hoppii での提出物（100%）で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

対面授業の場合は、一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の備えて、Word と Excel と PowerPoint が使用できるパソコンを自宅に準備して下さい。

【その他の重要事項】

コンピュータが苦手でも履修できます。

この授業を履修するためには 4 月上旬（春学期の授業開始前）の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

授業の前日には必ず学習支援システムを読んで対面かオンラインかを確認して下さい。

1 回目の対面授業は「持ち物」の指定があるので必ず学習支援システムで確認して下さい。

【Outline (in English)】

This course aims at acquiring skills to choose necessary information from varieties of information and process it as your own expressions for publishing. In addition, because the teaching level of "Information" course at high school varies, this course starts from its review then leads to the study of Information Science. Lectures of PC internals are included in this course.

The goal of this course is to master the technique of Word, Excel and PowerPoint.

It takes 2 hours to prepare/review.

You will get grades with your submissions from learning-support system "Hoppii".

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報処理演習 I

2017年度以降入学者

河内谷 幸子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。Word、Excel、パソコンの仕組みを学びます。

当科目は、専門科目の情報科目（情報学入門等）と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】

他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。パソコンやネットワークのしくみを理解します。文書作成ソフト Word、表計算ソフト Excel の機能を理解し利用できるようになります。初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

この授業を履修するためには 4 月上旬（春学期の授業開始前）の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

基本的には対面授業で、対面授業科目にカウントされるのですが、数回オンライン授業の日があります。授業の前日には必ず学習支援システムの Hoppii

(lms2025、WebClass) の記載を読んで、対面かどうかを確認して下さい。特に 1 回目の対面授業は「持ち物」の指定があるので必ず学習支援システムの記載を確認して下さい。

対面授業では、ポアソナードタワー内にあるパソコン実習室で、毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。初心者前提として、タイプ練習から始めて、Word・Excel の基本を実習します。課題のフィードバックは学習支援システムに掲載します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 情報倫理	パソコンの起動と終了、ウインドウ操作、情報倫理について学び実習する。
2	ブラウザとメール タイプ練習	web ブラウザ、サーチエンジン、電子メールなどのしくみを学び実習する。 タイピング練習を行う。
3	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、様々な入力方法、書式変更方法について実習する。

4	文書作成 2	見やすい文書を作成することを目的として、文書作成ソフト Word を使って、段落処理および表の作成について実習する。
5	文書作成 3	効果的に文書をまとめることを目的として、効果文書作成ソフト Word を使って、画像の挿入およびスマートアート（構造図）について実習する。
6	文書作成 4	文章をよりわかりやすくする説明図の作成を目的として、文書作成ソフト Word を使って、描画機能について実習する。
7	文書作成 5	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
8	コンピュータの基礎知識	コンピュータの基礎知識を学ぶ。
9	表計算 1	表計算ソフト Excel を使って、表の作成・グラフの作成の基本を実習する。
10	表計算 2	表計算ソフト Excel を使って、いろいろなグラフの書き方を実習する。また、適切なグラフの選び方や、グラフの強調方法を学ぶ。
11	表計算 3	表計算ソフト Excel を使って、シートをまたいだ集計、データベース機能などについて実習する。
12	表計算 4	表計算ソフト Excel を使って、いろいろな関数の使い方を実習する。近似曲線機能、シナリオ機能、ゴールシーク機能などの応用機能について学ぶ。
13	表計算 5	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
14	ネットワークの基礎 ホームページの仕組み	ネットワークの基礎知識を学ぶ。 ホームページを閲覧するためのネットワークの仕組みや、html によるホームページ作成について実習する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中の指示に従って前回の実習内容を復習します。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

学習支援システム Hoppii で指示します。

【参考書】

実習 情報リテラシ[第 3 版]

著者：重定如彦・河内谷幸子 共著

出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

学習支援システム Hoppii での提出物（100%）で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

対面授業の場合は、一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の備えて、Word と Excel と PowerPoint が使用できるパソコンを自宅に準備して下さい。

【その他の重要事項】

コンピュータが苦手でも履修できます。

この授業を履修するためには 4 月上旬（春学期の授業開始前）の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

授業の前日には必ず学習支援システムを読んで対面かオンラインかを確認して下さい。

1 回目の対面授業は「持ち物」の指定があるので必ず学習支援システムで確認して下さい。

【Outline (in English)】

This course aims at acquiring skills to choose necessary information from varieties of information and process it as your own expressions for publishing. In addition, because the teaching level of "Information" course at high school varies, this course starts from its review then leads to the study of Information Science. Lectures of PC internals are included in this course.

The goal of this course is to master the technique of Word, Excel and PowerPoint.

It takes 2 hours to prepare/review.

You will get grades with your submissions from learning-support system "Hoppii".

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報処理演習 I

2017年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.4

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習から社会まで様々な分野で必要とされる情報利活用のため、基本的な ICT スキルの習得を目指します。PC 操作の演習を中心に、情報機器の基礎知識や情報リテラシー、各種文書作成・管理について習得します。

【到達目標】

情報機器の基本的な知識・操作法を理解し、文書作成・管理、集計、情報収集等のスキルを習得する。在学中からその後も含めた様々な局面で必要となる基礎的な ICT 関連の知識や技術を理解し、使用できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

PC 操作の演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出物として求める形式となります。授業時の演習も提出物の範囲に含め、授業への参加がそのまま提出にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは授業時の教卓機器による実演と合わせ、学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第2回	基本操作と知識	基本操作、資料の配布と受け取り
第3回	データの作成と保存	作成した文書の保存、ファイル
第4回	ファイルと文章の入力	ファイルの扱いと文章の入力操作
第5回	文書作成の基本	文書処理基礎、資料の管理と保存
第6回	共通の操作・知識	ファイル操作、ネットワークなど
第7回	文書作成（文章中心）	ワープロ（文章、修飾、操作法）
第8回	プレゼンテーション	発表の知識と資料の作成
第9回	画像等を含む文書作成	図形や画像を含む書類の作成
第10回	表計算の基礎	データの取り扱い、表計算の基礎
第11回	プレゼン応用・発表	応用操作と資料の編集、発表
第12回	計算処理	関数の取り扱いと数式の実行
第13回	データ管理、グラフ	データベースとグラフ
第14回	まとめ・総合的な演習	これまでのまとめとその後

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが接続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での演習に続けて課題も行い、授業時に不足と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子、サイエンス社、¥2,000 + 税。

実習室環境との比較、確認が必要なため、詳細は初回授業時に説明します。

【参考書】

ICT・情報系の入門書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内演習と平常点（60%）。提出物は授業内演習の確認と課題の両方を兼ね、それらに基づき到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

初心者や苦手感をもつ人でも習得して理解できるよう、丁寧な説明や資料の充実、授業の進め方についての良い点は継続していきたいです。合わせて意見を聞ける機会も広げて進捗ペースの調整・改善へとつなげたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室設置の情報機器（PC）を使用します。配布・提出等に学習支援システムを使います。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to get basic skills of ICT and information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報処理演習 I

2017年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習から社会まで様々な分野で必要とされる情報利活用のため、基本的な ICT スキルの習得を目指します。PC 操作の演習を中心に、情報機器の基礎知識や情報リテラシー、各種文書作成・管理について習得します。

【到達目標】

情報機器の基本的な知識・操作法を理解し、文書作成・管理、集計、情報収集等のスキルを習得する。在学中からその後も含めた様々な局面で必要となる基礎的な ICT 関連の知識や技術を理解し、使用できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

PC 操作の演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出物として求める形式となります。授業時の演習も提出物の範囲に含め、授業への参加がそのまま提出にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは授業時の教卓機器による実演と合わせ、学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第2回	基本操作と知識	基本操作、資料の配布と受け取り
第3回	データの作成と保存	作成した文書の保存、ファイル
第4回	ファイルと文章の入力	ファイルの扱いと文章の入力操作
第5回	文書作成の基本	文書処理基礎、資料の管理と保存
第6回	共通の操作・知識	ファイル操作、ネットワークなど
第7回	文書作成（文章中心）	ワープロ（文章、修飾、操作法）
第8回	プレゼンテーション	発表の知識と資料の作成
第9回	画像等を含む文書作成	図形や画像を含む書類の作成
第10回	表計算の基礎	データの取り扱い、表計算の基礎
第11回	プレゼン応用・発表	応用操作と資料の編集、発表
第12回	計算処理	関数の取り扱いと数式の実行
第13回	データ管理、グラフ	データベースとグラフ
第14回	まとめ・総合的な演習	これまでのまとめとその後

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが接続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での演習に続けて課題も行い、授業時に不足と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子、サイエンス社、¥2,000 + 税。

実習室環境との比較、確認が必要なため、詳細は初回授業時に説明します。

【参考書】

ICT・情報系の入門書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内演習と平常点（60%）。提出物は授業内演習の確認と課題の両方を兼ね、それらに基づき到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

初心者や苦手感をもつ人でも習得して理解できるよう、丁寧な説明や資料の充実、授業の進め方についての良い点は継続していきたいです。合わせて意見を聞ける機会も広げて進捗ペースの調整・改善へとつなげたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室設置の情報機器（PC）を使用します。配布・提出等に学習支援システムを使います。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to get basic skills of ICT and information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報処理演習 I

2017年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習から社会まで様々な分野で必要とされる情報利活用のため、基本的な ICT スキルの習得を目指します。PC 操作の演習を中心に、情報機器の基礎知識や情報リテラシー、各種文書作成・管理について習得します。

【到達目標】

情報機器の基本的な知識・操作法を理解し、文書作成・管理、集計、情報収集等のスキルを習得する。在学中からその後も含めた様々な局面で必要となる基礎的な ICT 関連の知識や技術を理解し、使用できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

PC 操作の演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出物として求める形式となります。授業時の演習も提出物の範囲に含め、授業への参加がそのまま提出にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは授業時の教卓機器による実演と合わせ、学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第2回	基本操作と知識	基本操作、資料の配布と受け取り
第3回	データの作成と保存	作成した文書の保存、ファイル
第4回	ファイルと文章の入力	ファイルの扱いと文章の入力操作
第5回	文書作成の基本	文書処理基礎、資料の管理と保存
第6回	共通の操作・知識	ファイル操作、ネットワークなど
第7回	文書作成（文章中心）	ワープロ（文章、修飾、操作法）
第8回	プレゼンテーション	発表の知識と資料の作成
第9回	画像等を含む文書作成	図形や画像を含む書類の作成
第10回	表計算の基礎	データの取り扱い、表計算の基礎
第11回	プレゼン応用・発表	応用操作と資料の編集、発表
第12回	計算処理	関数の取り扱いと数式の実行
第13回	データ管理、グラフ	データベースとグラフ
第14回	まとめ・総合的な演習	これまでのまとめとその後

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが接続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での演習に続けて課題も行い、授業時に不足と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子、サイエンス社、¥2,000 + 税。

実習室環境との比較、確認が必要なため、詳細は初回授業時に説明します。

【参考書】

ICT・情報系の入門書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内演習と平常点（60%）。提出物は授業内演習の確認と課題の両方を兼ね、それらに基づき到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

初心者や苦手感をもつ人でも習得して理解できるよう、丁寧な説明や資料の充実、授業の進め方についての良い点は継続していきたいです。合わせて意見を聞ける機会も広げて進捗ペースの調整・改善へとつなげたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室設置の情報機器（PC）を使用します。配布・提出等に学習支援システムを使います。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to get basic skills of ICT and information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報処理演習 I

2017年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2単位

定員制 (50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習から社会まで様々な分野で必要とされる情報利活用のため、基本的な ICT スキルの習得を目指します。PC 操作の演習を中心に、情報機器の基礎知識や情報リテラシー、各種文書作成・管理について習得します。

【到達目標】

情報機器の基本的な知識・操作法を理解し、文書作成・管理、集計、情報収集等のスキルを習得する。在学中からその後も含めた様々な局面で必要となる基礎的な ICT 関連の知識や技術を理解し、使用できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

PC 操作の演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出物として求める形式となります。授業時の演習も提出物の範囲に含め、授業への参加がそのまま提出にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは授業時の教卓機器による実演と合わせ、学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第2回	基本操作と知識	基本操作、資料の配布と受け取り
第3回	データの作成と保存	作成した文書の保存、ファイル
第4回	ファイルと文章の入力	ファイルの扱いと文章の入力操作
第5回	文書作成の基本	文書処理基礎、資料の管理と保存
第6回	共通の操作・知識	ファイル操作、ネットワークなど
第7回	文書作成（文章中心）	ワープロ（文章、修飾、操作法）
第8回	プレゼンテーション	発表の知識と資料の作成
第9回	画像等を含む文書作成	図形や画像を含む書類の作成
第10回	表計算の基礎	データの取り扱い、表計算の基礎
第11回	プレゼン応用・発表	応用操作と資料の編集、発表
第12回	計算処理	関数の取り扱いと数式の実行
第13回	データ管理、グラフ	データベースとグラフ
第14回	まとめ・総合的な演習	これまでのまとめとその後

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが接続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での演習に続けて課題も行い、授業時に不足と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子、サイエンス社、¥2,000 + 税。

実習室環境との比較、確認が必要なため、詳細は初回授業時に説明します。

【参考書】

ICT・情報系の入門書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内演習と平常点（60%）。提出物は授業内演習の確認と課題の両方を兼ね、それらに基づき到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

初心者や苦手感をもつ人でも習得して理解できるよう、丁寧な説明や資料の充実、授業の進め方についての良い点は継続していきたいです。合わせて意見を聞ける機会も広げて進捗ペースの調整・改善へとつなげたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室設置の情報機器（PC）を使用します。配布・提出等に学習支援システムを使います。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to get basic skills of ICT and information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報処理演習 I

2017年度以降入学者

星 善光

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

定員制 (26)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、パソコンを利用した文章作成方法の習得と、様々なアプリケーションソフトの操作体験を行う。身の回りに溢れる「情報」を取り扱うために必要な基礎知識を学び、仕事や研究など様々な場面において、効果的に情報機器を利用できるスキルを身につけることを目的とする。

【到達目標】

一般的なワープロソフトとして Microsoft Word を使うことができる。スライド作成ソフトとして Microsoft PowerPoint を使うことができる。仕事や研究に効果的なアプリケーションソフトを探すことができる。PowerPoint を用いて、わかりやすいプレゼンテーション資料を作成することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

講義と実習の組み合わせで授業を進めていきます。パソコンを使用した実習を行います。情報処理の基礎知識、日本語入力、ワープロ操作、スライド作成等を行います。原則として毎回パソコンを用いた実習を行います。テーマに沿ったプレゼンテーション資料の作成と発表を行います。課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	パソコンの基本	パソコンの起動と終了、GUI の操作、文字入力など、パソコンの基本操作を学ぶ。
第2回	パソコン・ウェブブラウザ操作の基礎／グループディスカッション	Windows のファイル構造や様々な機能の操作方法を学ぶ。ウェブブラウザの機能と操作方法を学ぶ。身近な情報機器についてグループ別に議論を行う。
第3回	Microsoft Word の基礎	Microsoft Word の基礎について学ぶ。
第4回	文章作成の基礎	Microsoft Word を用いた文章作成の基礎を学ぶ。
第5回	表・図の作成	Microsoft Word を用いた表・図の作成方法を学ぶ。
第6回	ページレイアウト	Microsoft Word におけるページレイアウト設定方法について学ぶ。
第7回	応用機能の利用	Microsoft Word の高度な編集機能やテンプレート機能を学ぶ。

第8回	アプリケーションソフトウェア①	パソコンで利用する様々なアプリケーションソフトウェアについて学び、データ処理機能を体験する。
第9回	文章作成演習	実用的な文章作成課題を通して、Microsoft Word の機能を復習する。
第10回	アプリケーションソフトウェア②	パソコンで利用する様々なアプリケーションソフトウェアについて学び、画像処理機能を体験する。
第11回	Microsoft PowerPoint の基礎	Microsoft PowerPoint の基礎について学ぶ。
第12回	スライドの編集	Microsoft PowerPoint のスライド編集機能、画面切り替え設定やアニメーション機能について学ぶ。
第13回	スライドデザイン・発表課題の説明	Microsoft PowerPoint のスライドデザインについて学ぶ。発表課題の説明を行う。
第14回	プレゼンテーション制作のポイント・発表課題作業	プレゼンテーションを作成する時のポイントについて学ぶ。発表課題の資料作成に取り組む。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第1回の授業の前に、ログインIDとパスワードを確認しておくこと。宿題を出すことがあります。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

説明用プリントや課題プリントを適時配布します。

【参考書】

「実習情報リテラシ[第4版]」重定如彦・河内谷幸子共著、サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

課題（80%）、小テスト（20%）として評価します。課題に積極的に取り組み、提出して下さい。

【学生の意見等からの気づき】

可能な限り多くの基礎的な課題を用意し、楽しみながら授業を進められるようにしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

演習室のパソコンを利用します。

【Outline (in English)】

In this class, you learn how to use the Microsoft Word and how to operate various application software. You learn the basic computer background to deal with PC and "information devices surrounding you".

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報処理演習 I

2017年度以降入学者

星 善光

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

定員制 (26)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、パソコンを利用した文章作成方法の習得と、様々なアプリケーションソフトの操作体験を行う。身の回りに溢れる「情報」を取り扱うために必要な基礎知識を学び、仕事や研究など様々な場面において、効果的に情報機器を利用できるスキルを身につけることを目的とする。

【到達目標】

一般的なワープロソフトとして Microsoft Word を使うことができる。スライド作成ソフトとして Microsoft PowerPoint を使うことができる。仕事や研究に効果的なアプリケーションソフトを探すことができる。PowerPoint を用いて、わかりやすいプレゼンテーション資料を作成することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

講義と実習の組み合わせで授業を進めていきます。パソコンを使用した実習を行います。情報処理の基礎知識、日本語入力、ワープロ操作、スライド作成等を行います。原則として毎回パソコンを用いた実習を行います。テーマに沿ったプレゼンテーション資料の作成と発表を行います。課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	パソコンの基本	パソコンの起動と終了、GUI の操作、文字入力など、パソコンの基本操作を学ぶ。
第2回	パソコン・ウェブブラウザ操作の基礎／グループディスカッション	Windows のファイル構造や様々な機能の操作方法を学ぶ。ウェブブラウザの機能と操作方法を学ぶ。身近な情報機器についてグループ別に議論を行う。
第3回	Microsoft Word の基礎	Microsoft Word の基礎について学ぶ。
第4回	文章作成の基礎	Microsoft Word を用いた文章作成の基礎を学ぶ。
第5回	表・図の作成	Microsoft Word を用いた表・図の作成方法を学ぶ。
第6回	ページレイアウト	Microsoft Word におけるページレイアウト設定方法について学ぶ。
第7回	応用機能の利用	Microsoft Word の高度な編集機能やテンプレート機能を学ぶ。

第8回	アプリケーションソフトウェア①	パソコンで利用する様々なアプリケーションソフトウェアについて学び、データ処理機能を体験する。
第9回	文章作成演習	実用的な文章作成課題を通して、Microsoft Word の機能を復習する。
第10回	アプリケーションソフトウェア②	パソコンで利用する様々なアプリケーションソフトウェアについて学び、画像処理機能を体験する。
第11回	Microsoft PowerPoint の基礎	Microsoft PowerPoint の基礎について学ぶ。
第12回	スライドの編集	Microsoft PowerPoint のスライド編集機能、画面切り替え設定やアニメーション機能について学ぶ。
第13回	スライドデザイン・発表課題の説明	Microsoft PowerPoint のスライドデザインについて学ぶ。発表課題の説明を行う。
第14回	プレゼンテーション制作のポイント・発表課題作業	プレゼンテーションを作成する時のポイントについて学ぶ。発表課題の資料作成に取り組む。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第1回の授業の前に、ログインIDとパスワードを確認しておくこと。宿題を出すことがあります。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

説明用プリントや課題プリントを適時配布します。

【参考書】

「実習情報リテラシ[第4版]」重定如彦・河内谷幸子共著、サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

課題（80%）、小テスト（20%）として評価します。課題に積極的に取り組み、提出して下さい。

【学生の意見等からの気づき】

可能な限り多くの基礎的な課題を用意し、楽しみながら授業を進められるようにしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

演習室のパソコンを利用します。

【Outline (in English)】

In this class, you learn how to use the Microsoft Word and how to operate various application software. You learn the basic computer background to deal with PC and "information devices surrounding you".

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報リテラシー I

2017年度以降入学者

色川 進

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報の表現、受信、発信を前提とした情報処理および情報システムについて学ぶ。単なるリテラシー科目ではなく、専門科目としての情報科目体系、すなわちシステム、ネットワーク、マルチメディア、プログラミングなどの基礎・応用科目および情報系専攻科目への導入とガイダンスの役割を担う。

【到達目標】

コンピュータを特定のハードウェア・ソフトウェアに依存しない抽象化されたモデルとして理解し、情報処理の概念と応用技術の仕組みを習得し、ネットワーク社会における倫理観を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP4

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に情報分析等の様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。

情報リテラシー I では、初心者者を前提として、タイプ練習、日本語入力、インターネット概論などを実習していきます。また、コンピュータの基礎知識や情報倫理、情報科学の理論についても学びます。授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。

資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	コンピュータの基本概念 新しいパスワードの設定	法政大学のコンピュータ環境について学ぶ コンピュータの基本概念について学ぶ 安全なパスワードの作り方を学び、新しいパスワードを設定する
第2回	コンピュータの基本構成	ハードウェアの構成要素、ソフトウェア、OSの役割など、コンピュータの基本構成について学ぶ
第3回	Windowsの基本操作	デスクトップ画面の操作方法、カットアンドペースト、GUIとCUI、ショートカットキー操作、トラブルへの対処などWindowsの基本操作について学ぶ
第4回	キーボードと文字入力	日本語入力とかな漢字変換、全角文字と半角文字、日本語FEP、キーボードの種類、タッチタイピングの練習方法について学ぶ

第5回	ファイル操作その1	ファイルシステム（ファイル、拡張子、フォルダの概念、ファイルのパス）、エクスプローラーの基本操作について学ぶ
第6回	ファイル操作その2	エクスプローラーでのファイル操作、ファイルのプロパティ、ファイルの削除、ファイルのショートカットなどについて学ぶ
第7回	コンピュータとデータその1	デジタルとアナログ、著作権、2進数について学ぶ
第8回	コンピュータとデータその2	様々なデータの表現、データの圧縮について学ぶ
第9回	インターネットと電子メールその1	インターネットの歴史と仕組み、プロトコル、電子メールの仕組みについて学ぶ
第10回	インターネットと電子メールその2	電子メールの使い方、使う際の注意点（スパムメール、添付ファイルの危険性など）について学ぶ
第11回	WWWその1	WWWの仕組みと利用方法について学ぶ
第12回	WWWその2	WWWで得られる情報、サーチエンジンについてその仕組みと使い方について学ぶ 生成AIの簡単な仕組みや使い方について学ぶ
第13回	インターネットとメディアリテラシーその1	インターネットの匿名性、詐欺、情報の真偽について学ぶ
第14回	インターネットとメディアリテラシーその2	フリーソフトと著作権、クラウドコンピューティング、コンピュータウイルス、コンピュータ犯罪について学ぶ、タッチタイピングの小テストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシー 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシー」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」 久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」
平常点10%、レポート30%、タッチタイピングのテスト10%、期末試験50%
「評価基準」
平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。
レポートは内容および表現の適切さを評価します。
タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。
期末試験は授業で学んだ内容をどれだけ理解しているかについて問う問題を出題します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡは科目名は異なりますが、実際には同じ日に続けて授業を行います。従って、実際の授業においては授業の流れを考慮して情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの内容を若干入れ替えることがあります。受講の際にあたっては情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの両方のシラバスに目を通しておいて下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to learn information processing and information systems based on the information representation, reception, transmission. This class also has the role of guidance to major information science subjects such as information system, network, multimedia, programming.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Each student is expected to prepare and review using the textbook before and after the class.

When assignments are given, please complete them in time for the deadline and submit them according to the instructions in the learning support system.

It is also recommended that you do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time.

Distribution.

Normal score 10%, report 30%, touch typing test 10%, final exam 50%.

Evaluation Criteria

Students will be evaluated based on their participation in class.

If you are absent more than four times, your grade will be capped at B. If you are absent more than six times, your grade will be capped at E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The touch-typing test will evaluate the amount and accuracy of the typing.

The final exam will be a test of your understanding of the material covered in class.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報リテラシー I

2017年度以降入学者

中村 文隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報の表現、受信、発信を前提とした情報処理および情報システムについて学ぶ。単なるリテラシー科目ではなく、専門科目としての情報科目体系、すなわちシステム、ネットワーク、マルチメディア、プログラミングなどの基礎・応用科目および情報系専攻科目への導入とガイダンスの役割を担う。

【到達目標】

コンピュータを特定のハードウェア・ソフトウェアに依存しない抽象化されたモデルとして理解し、情報処理の概念と応用技術の仕組みを習得し、ネットワーク社会における倫理観を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP4

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に情報分析等の様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。

情報リテラシー I では、初心者前提として、タイプライター、日本語入力、インターネット概論などを実習していきます。また、コンピュータの基礎知識や情報倫理、情報科学の理論についても学びます。授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。

資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	コンピュータの基本概念 新しいパスワードの設定	法政大学のコンピュータ環境について学ぶ コンピュータの基本概念について学ぶ 安全なパスワードの作り方を学び、新しいパスワードを設定する
第2回	コンピュータの基本構成	ハードウェアの構成要素、ソフトウェア、OSの役割など、コンピュータの基本構成について学ぶ
第3回	Windowsの基本操作	デスクトップ画面の操作方法、カットアンドペースト、GUIとCUI、ショートカットキー操作、トラブルへの対処などWindowsの基本操作について学ぶ
第4回	キーボードと文字入力	日本語入力とかな漢字変換、全角文字と半角文字、日本語FEP、キーボードの種類、タッチタイピングの練習方法について学ぶ

第5回	ファイル操作その1	ファイルシステム（ファイル、拡張子、フォルダの概念、ファイルのパス）、エクスプローラーの基本操作について学ぶ
第6回	ファイル操作その2	エクスプローラーでのファイル操作、ファイルのプロパティ、ファイルの削除、ファイルのショートカットなどについて学ぶ
第7回	コンピュータとデータその1	デジタルとアナログ、著作権、2進数について学ぶ
第8回	コンピュータとデータその2	様々なデータの表現、データの圧縮について学ぶ
第9回	インターネットと電子メールその1	インターネットの歴史と仕組み、プロトコル、電子メールの仕組みについて学ぶ
第10回	インターネットと電子メールその2	電子メールの使い方、使う際の注意点（スパムメール、添付ファイルの危険性など）について学ぶ
第11回	WWWその1	WWWの仕組みと利用方法について学ぶ
第12回	WWWその2	WWWで得られる情報、サーチエンジンについてその仕組みと使い方について学ぶ 生成AIの簡単な仕組みや使い方について学ぶ
第13回	インターネットとメディアリテラシーその1	インターネットの匿名性、詐欺、情報の真偽について学ぶ
第14回	インターネットとメディアリテラシーその2	フリーソフトと著作権、クラウドコンピューティング、コンピュータウイルス、コンピュータ犯罪について学ぶ、タッチタイピングの小テストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシー 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシー」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」 久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」
平常点10%、レポート30%、タッチタイピングのテスト10%、期末試験50%

「評価基準」
平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。
レポートは内容および表現の適切さを評価します。
タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。
期末試験は授業で学んだ内容をどれだけ理解しているかについて問う問題を出题します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡは科目名は異なりますが、実際には同じ日に続けて授業を行います。従って、実際の授業においては授業の流れを考慮して情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの内容を若干入れ替えることがあります。受講の際にあたっては情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの両方のシラバスに目を通して置いて下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to learn information processing and information systems based on the information representation, reception, transmission. This class also has the role of guidance to major information science subjects such as information system, network, multimedia, programming.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Each student is expected to prepare and review using the textbook before and after the class.

When assignments are given, please complete them in time for the deadline and submit them according to the instructions in the learning support system.

It is also recommended that you do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time.

Distribution.

Normal score 10%, report 30%, touch typing test 10%, final exam 50%.

Evaluation Criteria

Students will be evaluated based on their participation in class.

If you are absent more than four times, your grade will be capped at B. If you are absent more than six times, your grade will be capped at E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The touch-typing test will evaluate the amount and accuracy of the typing.

The final exam will be a test of your understanding of the material covered in class.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報リテラシー I

2017年度以降入学者

色川 進

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報の表現、受信、発信を前提とした情報処理および情報システムについて学ぶ。単なるリテラシー科目ではなく、専門科目としての情報科目体系、すなわちシステム、ネットワーク、マルチメディア、プログラミングなどの基礎・応用科目および情報系専攻科目への導入とガイダンスの役割を担う。

【到達目標】

コンピュータを特定のハードウェア・ソフトウェアに依存しない抽象化されたモデルとして理解し、情報処理の概念と応用技術の仕組みを習得し、ネットワーク社会における倫理観を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP4

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に情報分析等の様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。

情報リテラシー I では、初心者前提として、タイプライター、日本語入力、インターネット概論などを実習していきます。また、コンピュータの基礎知識や情報倫理、情報科学の理論についても学びます。授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。

資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	コンピュータの基本概念 新しいパスワードの設定	法政大学のコンピュータ環境について学ぶ コンピュータの基本概念について学ぶ 安全なパスワードの作り方を学び、新しいパスワードを設定する
第2回	コンピュータの基本構成	ハードウェアの構成要素、ソフトウェア、OSの役割など、コンピュータの基本構成について学ぶ
第3回	Windowsの基本操作	デスクトップ画面の操作方法、カットアンドペースト、GUIとCUI、ショートカットキー操作、トラブルへの対処などWindowsの基本操作について学ぶ
第4回	キーボードと文字入力	日本語入力とかな漢字変換、全角文字と半角文字、日本語FEP、キーボードの種類、タッチタイピングの練習方法について学ぶ

第5回	ファイル操作その1	ファイルシステム（ファイル、拡張子、フォルダの概念、ファイルのパス）、エクスプローラーの基本操作について学ぶ
第6回	ファイル操作その2	エクスプローラーでのファイル操作、ファイルのプロパティ、ファイルの削除、ファイルのショートカットなどについて学ぶ
第7回	コンピュータとデータその1	デジタルとアナログ、著作権、2進数について学ぶ
第8回	コンピュータとデータその2	様々なデータの表現、データの圧縮について学ぶ
第9回	インターネットと電子メールその1	インターネットの歴史と仕組み、プロトコル、電子メールの仕組みについて学ぶ
第10回	インターネットと電子メールその2	電子メールの使い方、使う際の注意点（スパムメール、添付ファイルの危険性など）について学ぶ
第11回	WWWその1	WWWの仕組みと利用方法について学ぶ
第12回	WWWその2	WWWで得られる情報、サーチエンジンについてその仕組みと使い方について学ぶ 生成AIの簡単な仕組みや使い方について学ぶ
第13回	インターネットとメディアリテラシーその1	インターネットの匿名性、詐欺、情報の真偽について学ぶ
第14回	インターネットとメディアリテラシーその2	フリーソフトと著作権、クラウドコンピューティング、コンピュータウイルス、コンピュータ犯罪について学ぶ、タッチタイピングの小テストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシー 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシー」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」 久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」
平常点10%、レポート30%、タッチタイピングのテスト10%、期末試験50%
「評価基準」
平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。
レポートは内容および表現の適切さを評価します。
タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。
期末試験は授業で学んだ内容をどれだけ理解しているかについて問う問題を出题します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡは科目名は異なりますが、実際には同じ日に続けて授業を行います。従って、実際の授業においては授業の流れを考慮して情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの内容を若干入れ替えることがあります。受講の際にあたっては情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの両方のシラバスに目を通しておいて下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to learn information processing and information systems based on the information representation, reception, transmission. This class also has the role of guidance to major information science subjects such as information system, network, multimedia, programming.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Each student is expected to prepare and review using the textbook before and after the class.

When assignments are given, please complete them in time for the deadline and submit them according to the instructions in the learning support system.

It is also recommended that you do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time.

Distribution.

Normal score 10%, report 30%, touch typing test 10%, final exam 50%.

Evaluation Criteria

Students will be evaluated based on their participation in class.

If you are absent more than four times, your grade will be capped at B. If you are absent more than six times, your grade will be capped at E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The touch-typing test will evaluate the amount and accuracy of the typing.

The final exam will be a test of your understanding of the material covered in class.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報リテラシー I

2017年度以降入学者

金 勇

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報の表現、受信、発信を前提とした情報処理および情報システムについて学ぶ。単なるリテラシー科目ではなく、専門科目としての情報科目体系、すなわちシステム、ネットワーク、マルチメディア、プログラミングなどの基礎・応用科目および情報系専攻科目への導入とガイダンスの役割を担う。

【到達目標】

コンピュータを特定のハードウェア・ソフトウェアに依存しない抽象化されたモデルとして理解し、情報処理の概念と応用技術の仕組みを習得し、ネットワーク社会における倫理観を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP4

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に情報分析等の様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。

情報リテラシー I では、初心者者を前提として、タイピング練習、日本語入力、インターネット概論などを実習していきます。また、コンピュータの基礎知識や情報倫理、情報科学の理論についても学びます。授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。

資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	コンピュータの基本概念 新しいパスワードの設定	法政大学のコンピュータ環境について学ぶ コンピュータの基本概念について学ぶ 安全なパスワードの作り方を学び、新しいパスワードを設定する
第2回	コンピュータの基本構成	ハードウェアの構成要素、ソフトウェア、OSの役割など、コンピュータの基本構成について学ぶ
第3回	Windowsの基本操作	デスクトップ画面の操作方法、カットアンドペースト、GUIとCUI、ショートカットキー操作、トラブルへの対処などWindowsの基本操作について学ぶ
第4回	キーボードと文字入力	日本語入力とかな漢字変換、全角文字と半角文字、日本語FEP、キーボードの種類、タッチタイピングの練習方法について学ぶ

第5回	ファイル操作その1	ファイルシステム（ファイル、拡張子、フォルダの概念、ファイルのパス）、エクスプローラーの基本操作について学ぶ
第6回	ファイル操作その2	エクスプローラーでのファイル操作、ファイルのプロパティ、ファイルの削除、ファイルのショートカットなどについて学ぶ
第7回	コンピュータとデータその1	デジタルとアナログ、著作権、2進数について学ぶ
第8回	コンピュータとデータその2	様々なデータの表現、データの圧縮について学ぶ
第9回	インターネットと電子メールその1	インターネットの歴史と仕組み、プロトコル、電子メールの仕組みについて学ぶ
第10回	インターネットと電子メールその2	電子メールの使い方、使う際の注意点（スパムメール、添付ファイルの危険性など）について学ぶ
第11回	WWWその1	WWWの仕組みと利用方法について学ぶ
第12回	WWWその2	WWWで得られる情報、サーチエンジンについてその仕組みと使い方について学ぶ 生成AIの簡単な仕組みや使い方について学ぶ
第13回	インターネットとメディアリテラシーその1	インターネットの匿名性、詐欺、情報の真偽について学ぶ
第14回	インターネットとメディアリテラシーその2	フリーソフトと著作権、クラウドコンピューティング、コンピュータウイルス、コンピュータ犯罪について学ぶ、タッチタイピングの小テストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシー 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシー」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」 久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」
平常点10%、レポート30%、タッチタイピングのテスト10%、期末試験50%
「評価基準」
平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。
レポートは内容および表現の適切さを評価します。
タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。
期末試験は授業で学んだ内容をどれだけ理解しているかについて問う問題を出题します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡは科目名は異なりますが、実際には同じ日に続けて授業を行います。従って、実際の授業においては授業の流れを考慮して情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの内容を若干入れ替えることがあります。受講の際にあたっては情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの両方のシラバスに目を通して置いて下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to learn information processing and information systems based on the information representation, reception, transmission. This class also has the role of guidance to major information science subjects such as information system, network, multimedia, programming.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Each student is expected to prepare and review using the textbook before and after the class.

When assignments are given, please complete them in time for the deadline and submit them according to the instructions in the learning support system.

It is also recommended that you do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time.

Distribution.

Normal score 10%, report 30%, touch typing test 10%, final exam 50%.

Evaluation Criteria

Students will be evaluated based on their participation in class.

If you are absent more than four times, your grade will be capped at B. If you are absent more than six times, your grade will be capped at E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The touch-typing test will evaluate the amount and accuracy of the typing.

The final exam will be a test of your understanding of the material covered in class.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報リテラシー I

2017年度以降入学者

中村 文隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報の表現、受信、発信を前提とした情報処理および情報システムについて学ぶ。単なるリテラシー科目ではなく、専門科目としての情報科目体系、すなわちシステム、ネットワーク、マルチメディア、プログラミングなどの基礎・応用科目および情報系専攻科目への導入とガイダンスの役割を担う。

【到達目標】

コンピュータを特定のハードウェア・ソフトウェアに依存しない抽象化されたモデルとして理解し、情報処理の概念と応用技術の仕組みを習得し、ネットワーク社会における倫理観を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP4

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に情報分析等の様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。

情報リテラシー I では、初心者前提として、タイプライター、日本語入力、インターネット概論などを実習していきます。また、コンピュータの基礎知識や情報倫理、情報科学の理論についても学びます。授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。

資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	コンピュータの基本概念 新しいパスワードの設定	法政大学のコンピュータ環境について学ぶ コンピュータの基本概念について学ぶ 安全なパスワードの作り方を学び、新しいパスワードを設定する
第2回	コンピュータの基本構成	ハードウェアの構成要素、ソフトウェア、OSの役割など、コンピュータの基本構成について学ぶ
第3回	Windowsの基本操作	デスクトップ画面の操作方法、カットアンドペースト、GUIとCUI、ショートカットキー操作、トラブルへの対処などWindowsの基本操作について学ぶ
第4回	キーボードと文字入力	日本語入力とかな漢字変換、全角文字と半角文字、日本語FEP、キーボードの種類、タッチタイピングの練習方法について学ぶ

第5回	ファイル操作その1	ファイルシステム（ファイル、拡張子、フォルダの概念、ファイルのパス）、エクスプローラーの基本操作について学ぶ
第6回	ファイル操作その2	エクスプローラーでのファイル操作、ファイルのプロパティ、ファイルの削除、ファイルのショートカットなどについて学ぶ
第7回	コンピュータとデータその1	デジタルとアナログ、著作権、2進数について学ぶ
第8回	コンピュータとデータその2	様々なデータの表現、データの圧縮について学ぶ
第9回	インターネットと電子メールその1	インターネットの歴史と仕組み、プロトコル、電子メールの仕組みについて学ぶ
第10回	インターネットと電子メールその2	電子メールの使い方、使う際の注意点（スパムメール、添付ファイルの危険性など）について学ぶ
第11回	WWWその1	WWWの仕組みと利用方法について学ぶ
第12回	WWWその2	WWWで得られる情報、サーチエンジンについてその仕組みと使い方について学ぶ 生成AIの簡単な仕組みや使い方について学ぶ
第13回	インターネットとメディアリテラシーその1	インターネットの匿名性、詐欺、情報の真偽について学ぶ
第14回	インターネットとメディアリテラシーその2	フリーソフトと著作権、クラウドコンピューティング、コンピュータウイルス、コンピュータ犯罪について学ぶ、タッチタイピングの小テストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシー 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシー」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」 久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」
平常点10%、レポート30%、タッチタイピングのテスト10%、期末試験50%
「評価基準」
平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。
レポートは内容および表現の適切さを評価します。
タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。
期末試験は授業で学んだ内容をどれだけ理解しているかについて問う問題を出题します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡは科目名は異なりますが、実際には同じ日に続けて授業を行います。従って、実際の授業においては授業の流れを考慮して情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの内容を若干入れ替えることがあります。受講の際にあたっては情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの両方のシラバスに目を通しておいて下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to learn information processing and information systems based on the information representation, reception, transmission. This class also has the role of guidance to major information science subjects such as information system, network, multimedia, programming.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Each student is expected to prepare and review using the textbook before and after the class.

When assignments are given, please complete them in time for the deadline and submit them according to the instructions in the learning support system.

It is also recommended that you do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time.

Distribution.

Normal score 10%, report 30%, touch typing test 10%, final exam 50%.

Evaluation Criteria

Students will be evaluated based on their participation in class.

If you are absent more than four times, your grade will be capped at B. If you are absent more than six times, your grade will be capped at E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The touch-typing test will evaluate the amount and accuracy of the typing.

The final exam will be a test of your understanding of the material covered in class.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報リテラシー I

2017年度以降入学者

金 勇

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報の表現、受信、発信を前提とした情報処理および情報システムについて学ぶ。単なるリテラシー科目ではなく、専門科目としての情報科目体系、すなわちシステム、ネットワーク、マルチメディア、プログラミングなどの基礎・応用科目および情報系専攻科目への導入とガイダンスの役割を担う。

【到達目標】

コンピュータを特定のハードウェア・ソフトウェアに依存しない抽象化されたモデルとして理解し、情報処理の概念と応用技術の仕組みを習得し、ネットワーク社会における倫理観を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP4

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に情報分析等の様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。

情報リテラシー I では、初心者前提として、タイピング練習、日本語入力、インターネット概論などを実習していきます。また、コンピュータの基礎知識や情報倫理、情報科学の理論についても学びます。授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。

資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	コンピュータの基本概念 新しいパスワードの設定	法政大学のコンピュータ環境について学ぶ コンピュータの基本概念について学ぶ 安全なパスワードの作り方を学び、新しいパスワードを設定する
第2回	コンピュータの基本構成	ハードウェアの構成要素、ソフトウェア、OSの役割など、コンピュータの基本構成について学ぶ
第3回	Windowsの基本操作	デスクトップ画面の操作方法、カットアンドペースト、GUIとCUI、ショートカットキー操作、トラブルへの対処などWindowsの基本操作について学ぶ
第4回	キーボードと文字入力	日本語入力とかな漢字変換、全角文字と半角文字、日本語FEP、キーボードの種類、タッチタイピングの練習方法について学ぶ

第5回	ファイル操作その1	ファイルシステム（ファイル、拡張子、フォルダの概念、ファイルのパス）、エクスプローラーの基本操作について学ぶ
第6回	ファイル操作その2	エクスプローラーでのファイル操作、ファイルのプロパティ、ファイルの削除、ファイルのショートカットなどについて学ぶ
第7回	コンピュータとデータその1	デジタルとアナログ、著作権、2進数について学ぶ
第8回	コンピュータとデータその2	様々なデータの表現、データの圧縮について学ぶ
第9回	インターネットと電子メールその1	インターネットの歴史と仕組み、プロトコル、電子メールの仕組みについて学ぶ
第10回	インターネットと電子メールその2	電子メールの使い方、使う際の注意点（スパムメール、添付ファイルの危険性など）について学ぶ
第11回	WWWその1	WWWの仕組みと利用方法について学ぶ
第12回	WWWその2	WWWで得られる情報、サーチエンジンについてその仕組みと使い方について学ぶ 生成AIの簡単な仕組みや使い方について学ぶ
第13回	インターネットとメディアリテラシーその1	インターネットの匿名性、詐欺、情報の真偽について学ぶ
第14回	インターネットとメディアリテラシーその2	フリーソフトと著作権、クラウドコンピューティング、コンピュータウイルス、コンピュータ犯罪について学ぶ、タッチタイピングの小テストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシー 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシー」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」 久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」
平常点10%、レポート30%、タッチタイピングのテスト10%、期末試験50%
「評価基準」
平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。
レポートは内容および表現の適切さを評価します。
タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。
期末試験は授業で学んだ内容をどれだけ理解しているかについて問う問題を出题します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡは科目名は異なりますが、実際には同じ日に続けて授業を行います。従って、実際の授業においては授業の流れを考慮して情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの内容を若干入れ替えることがあります。受講の際にあたっては情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの両方のシラバスに目を通しておいて下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to learn information processing and information systems based on the information representation, reception, transmission. This class also has the role of guidance to major information science subjects such as information system, network, multimedia, programming.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Each student is expected to prepare and review using the textbook before and after the class.

When assignments are given, please complete them in time for the deadline and submit them according to the instructions in the learning support system.

It is also recommended that you do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time.

Distribution.

Normal score 10%, report 30%, touch typing test 10%, final exam 50%.

Evaluation Criteria

Students will be evaluated based on their participation in class.

If you are absent more than four times, your grade will be capped at B. If you are absent more than six times, your grade will be capped at E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The touch-typing test will evaluate the amount and accuracy of the typing.

The final exam will be a test of your understanding of the material covered in class.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報リテラシー I

2017年度以降入学者

重定 如彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報の表現、受信、発信を前提とした情報処理および情報システムについて学ぶ。単なるリテラシー科目ではなく、専門科目としての情報科目体系、すなわちシステム、ネットワーク、マルチメディア、プログラミングなどの基礎・応用科目および情報系専攻科目への導入とガイダンスの役割を担う。

【到達目標】

コンピュータを特定のハードウェア・ソフトウェアに依存しない抽象化されたモデルとして理解し、情報処理の概念と応用技術の仕組みを習得し、ネットワーク社会における倫理観を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP4

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に情報分析等の様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。

情報リテラシー I では、初心者前提として、タイピング練習、日本語入力、インターネット概論などを実習していきます。また、コンピュータの基礎知識や情報倫理、情報科学の理論についても学びます。授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。

資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	コンピュータの基本概念 新しいパスワードの設定	法政大学のコンピュータ環境について学ぶ コンピュータの基本概念について学ぶ 安全なパスワードの作り方を学び、新しいパスワードを設定する
第2回	コンピュータの基本構成	ハードウェアの構成要素、ソフトウェア、OSの役割など、コンピュータの基本構成について学ぶ
第3回	Windowsの基本操作	デスクトップ画面の操作方法、カットアンドペースト、GUIとCUI、ショートカットキー操作、トラブルへの対処などWindowsの基本操作について学ぶ
第4回	キーボードと文字入力	日本語入力とかな漢字変換、全角文字と半角文字、日本語FEP、キーボードの種類、タッチタイピングの練習方法について学ぶ

第5回	ファイル操作その1	ファイルシステム（ファイル、拡張子、フォルダの概念、ファイルのパス）、エクスプローラーの基本操作について学ぶ
第6回	ファイル操作その2	エクスプローラーでのファイル操作、ファイルのプロパティ、ファイルの削除、ファイルのショートカットなどについて学ぶ
第7回	コンピュータとデータその1	デジタルとアナログ、著作権、2進数について学ぶ
第8回	コンピュータとデータその2	様々なデータの表現、データの圧縮について学ぶ
第9回	インターネットと電子メールその1	インターネットの歴史と仕組み、プロトコル、電子メールの仕組みについて学ぶ
第10回	インターネットと電子メールその2	電子メールの使い方、使う際の注意点（スパムメール、添付ファイルの危険性など）について学ぶ
第11回	WWWその1	WWWの仕組みと利用方法について学ぶ
第12回	WWWその2	WWWで得られる情報、サーチエンジンについてその仕組みと使い方について学ぶ 生成AIの簡単な仕組みや使い方について学ぶ
第13回	インターネットとメディアリテラシーその1	インターネットの匿名性、詐欺、情報の真偽について学ぶ
第14回	インターネットとメディアリテラシーその2	フリーソフトと著作権、クラウドコンピューティング、コンピュータウイルス、コンピュータ犯罪について学ぶ、タッチタイピングの小テストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシー 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシー」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」 久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」
平常点10%、レポート30%、タッチタイピングのテスト10%、期末試験50%
「評価基準」
平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。
レポートは内容および表現の適切さを評価します。
タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。
期末試験は授業で学んだ内容をどれだけ理解しているかについて問う問題を出题します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡは科目名は異なりますが、実際には同じ日に続けて授業を行います。従って、実際の授業においては授業の流れを考慮して情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの内容を若干入れ替えることがあります。受講の際にあたっては情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの両方のシラバスに目を通しておいて下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to learn information processing and information systems based on the information representation, reception, transmission. This class also has the role of guidance to major information science subjects such as information system, network, multimedia, programming.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Each student is expected to prepare and review using the textbook before and after the class.

When assignments are given, please complete them in time for the deadline and submit them according to the instructions in the learning support system.

It is also recommended that you do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time.

Distribution.

Normal score 10%, report 30%, touch typing test 10%, final exam 50%.

Evaluation Criteria

Students will be evaluated based on their participation in class.

If you are absent more than four times, your grade will be capped at B. If you are absent more than six times, your grade will be capped at E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The touch-typing test will evaluate the amount and accuracy of the typing.

The final exam will be a test of your understanding of the material covered in class.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報リテラシーⅡ

2017年度以降入学者

色川 進

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報リテラシーⅠで学んだ内容を元に文章作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといったコンピューターを用いた情報表現の基礎を学ぶ。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文章作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP4

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ワードプロセッサその1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTMLによる文章の構造化について学ぶ
第2回	ワードプロセッサその2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第3回	ワードプロセッサその3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第4回	ワードプロセッサその4	図形、描画キャンパスの挿入と編集について学ぶ
第5回	ワードプロセッサその5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ
第6回	表計算ソフトその1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第7回	表計算ソフトその2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第8回	表計算ソフトその3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ

第9回	表計算ソフトその4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第10回	表計算ソフトその5	グラフについて学ぶ
第11回	表計算ソフトその6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Wordへの表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第12回	プレゼンテーション1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第13回	プレゼンテーション2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第14回	プレゼンテーション3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシー 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシー」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入戸野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」
平常点10%、レポート40%、期末試験50%

「評価基準」

平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。
レポートは内容および表現の適切さを評価します。
期末試験は授業で学んだ内容をどれだけ理解しているかについて問う問題を出題します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡは科目名は異なりますが、実際には同じ日に続けて授業を行います。従って、実際の授業においては授業の流れを考慮して情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの内容を若干入れ替えることがあります。受講の際にあたっては情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの両方のシラバスに目を通して下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to learn information processing and information systems based on the information representation, reception, transmission. This class also has the role of guidance to major information science subjects such as information system, network, multimedia, programming. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Each student is expected to prepare and review using the textbook before and after the class.

When assignments are given, please complete them in time for the deadline and submit them according to the instructions in the learning support system.

It is also recommended that you do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time.

Distribution.

Normal score: 10%, Report: 40%, Final exam: 50%.

Evaluation Criteria

Ordinary points will be evaluated based on class participation.

If you are absent more than four times, you will receive a maximum grade of B. If you are absent more than six times, you will receive a grade of E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The final exam will consist of questions on how well you understand the content of the class.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報リテラシーⅡ

2017年度以降入学者

中村 文隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報リテラシーⅠで学んだ内容を元に文章作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといったコンピューターを用いた情報表現の基礎を学ぶ。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文章作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP4

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ワードプロセッサその1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTMLによる文章の構造化について学ぶ
第2回	ワードプロセッサその2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第3回	ワードプロセッサその3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第4回	ワードプロセッサその4	図形、描画キャンパスの挿入と編集について学ぶ
第5回	ワードプロセッサその5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ
第6回	表計算ソフトその1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第7回	表計算ソフトその2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第8回	表計算ソフトその3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ

第9回	表計算ソフトその4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第10回	表計算ソフトその5	グラフについて学ぶ
第11回	表計算ソフトその6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Wordへの表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第12回	プレゼンテーション1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第13回	プレゼンテーション2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第14回	プレゼンテーション3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシー 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシー」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入戸野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」

平常点10%、レポート40%、期末試験50%

「評価基準」

平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。

レポートは内容および表現の適切さを評価します。

期末試験は授業で学んだ内容をどれだけ理解しているかについて問う問題を出題します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡは科目名は異なりますが、実際には同じ日に続けて授業を行います。従って、実際の授業においては授業の流れを考慮して情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの内容を若干入れ替えることがあります。受講の際にあたっては情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの両方のシラバスに目を通して下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to learn information processing and information systems based on the information representation, reception, transmission. This class also has the role of guidance to major information science subjects such as information system, network, multimedia, programming. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Each student is expected to prepare and review using the textbook before and after the class.

When assignments are given, please complete them in time for the deadline and submit them according to the instructions in the learning support system.

It is also recommended that you do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time.

Distribution.

Normal score: 10%, Report: 40%, Final exam: 50%.

Evaluation Criteria

Ordinary points will be evaluated based on class participation.

If you are absent more than four times, you will receive a maximum grade of B. If you are absent more than six times, you will receive a grade of E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The final exam will consist of questions on how well you understand the content of the class.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報リテラシーⅡ

2017年度以降入学者

色川 進

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報リテラシーⅠで学んだ内容を元に文章作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといったコンピューターを用いた情報表現の基礎を学ぶ。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文章作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP4

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ワードプロセッサその1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTMLによる文章の構造化について学ぶ
第2回	ワードプロセッサその2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第3回	ワードプロセッサその3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第4回	ワードプロセッサその4	図形、描画キャンパスの挿入と編集について学ぶ
第5回	ワードプロセッサその5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ
第6回	表計算ソフトその1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第7回	表計算ソフトその2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第8回	表計算ソフトその3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ

第9回	表計算ソフトその4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第10回	表計算ソフトその5	グラフについて学ぶ
第11回	表計算ソフトその6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Wordへの表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第12回	プレゼンテーション1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第13回	プレゼンテーション2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第14回	プレゼンテーション3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシー 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシー」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入戸野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」

平常点10%、レポート40%、期末試験50%

「評価基準」

平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。

レポートは内容および表現の適切さを評価します。

期末試験は授業で学んだ内容をどれだけ理解しているかについて問う問題を出題します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡは科目名は異なりますが、実際には同じ日に続けて授業を行います。従って、実際の授業においては授業の流れを考慮して情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの内容を若干入れ替えることがあります。受講の際にあたっては情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの両方のシラバスに目を通して下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to learn information processing and information systems based on the information representation, reception, transmission. This class also has the role of guidance to major information science subjects such as information system, network, multimedia, programming. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Each student is expected to prepare and review using the textbook before and after the class.

When assignments are given, please complete them in time for the deadline and submit them according to the instructions in the learning support system.

It is also recommended that you do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time.

Distribution.

Normal score: 10%, Report: 40%, Final exam: 50%.

Evaluation Criteria

Ordinary points will be evaluated based on class participation.

If you are absent more than four times, you will receive a maximum grade of B. If you are absent more than six times, you will receive a grade of E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The final exam will consist of questions on how well you understand the content of the class.

情報リテラシーⅡ

2017年度以降入学者

金 勇

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報リテラシーⅠで学んだ内容を元に文章作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといったコンピューターを用いた情報表現の基礎を学ぶ。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文章作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP4

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ワードプロセッサその1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTMLによる文章の構造化について学ぶ
第2回	ワードプロセッサその2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第3回	ワードプロセッサその3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第4回	ワードプロセッサその4	図形、描画キャンパスの挿入と編集について学ぶ
第5回	ワードプロセッサその5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ
第6回	表計算ソフトその1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第7回	表計算ソフトその2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第8回	表計算ソフトその3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ

第9回	表計算ソフトその4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第10回	表計算ソフトその5	グラフについて学ぶ
第11回	表計算ソフトその6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Wordへの表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第12回	プレゼンテーション1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第13回	プレゼンテーション2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第14回	プレゼンテーション3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシー 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシー」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入戸野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」

平常点10%、レポート40%、期末試験50%

「評価基準」

平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。

レポートは内容および表現の適切さを評価します。

期末試験は授業で学んだ内容をどれだけ理解しているかについて問う問題を出題します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡは科目名は異なりますが、実際には同じ日に続けて授業を行います。従って、実際の授業においては授業の流れを考慮して情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの内容を若干入れ替えることがあります。受講の際にあたっては情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの両方のシラバスに目を通して下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to learn information processing and information systems based on the information representation, reception, transmission. This class also has the role of guidance to major information science subjects such as information system, network, multimedia, programming. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Each student is expected to prepare and review using the textbook before and after the class.

When assignments are given, please complete them in time for the deadline and submit them according to the instructions in the learning support system.

It is also recommended that you do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time.

Distribution.

Normal score: 10%, Report: 40%, Final exam: 50%.

Evaluation Criteria

Ordinary points will be evaluated based on class participation.

If you are absent more than four times, you will receive a maximum grade of B. If you are absent more than six times, you will receive a grade of E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The final exam will consist of questions on how well you understand the content of the class.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報リテラシーⅡ

2017年度以降入学者

中村 文隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報リテラシーⅠで学んだ内容を元に文章作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといったコンピューターを用いた情報表現の基礎を学ぶ。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文章作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP4

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ワードプロセッサその1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTMLによる文章の構造化について学ぶ
第2回	ワードプロセッサその2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第3回	ワードプロセッサその3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第4回	ワードプロセッサその4	図形、描画キャンパスの挿入と編集について学ぶ
第5回	ワードプロセッサその5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ
第6回	表計算ソフトその1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第7回	表計算ソフトその2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第8回	表計算ソフトその3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ

第9回	表計算ソフトその4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第10回	表計算ソフトその5	グラフについて学ぶ
第11回	表計算ソフトその6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Wordへの表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第12回	プレゼンテーション1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第13回	プレゼンテーション2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第14回	プレゼンテーション3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシー 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシー」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入戸野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」
平常点10%、レポート40%、期末試験50%

「評価基準」

平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。

レポートは内容および表現の適切さを評価します。

期末試験は授業で学んだ内容をどれだけ理解しているかについて問う問題を出題します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡは科目名は異なりますが、実際には同じ日に続けて授業を行います。従って、実際の授業においては授業の流れを考慮して情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの内容を若干入れ替えることがあります。受講の際にあたっては情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの両方のシラバスに目を通して下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to learn information processing and information systems based on the information representation, reception, transmission. This class also has the role of guidance to major information science subjects such as information system, network, multimedia, programming. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Each student is expected to prepare and review using the textbook before and after the class.

When assignments are given, please complete them in time for the deadline and submit them according to the instructions in the learning support system.

It is also recommended that you do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time.

Distribution.

Normal score: 10%, Report: 40%, Final exam: 50%.

Evaluation Criteria

Ordinary points will be evaluated based on class participation.

If you are absent more than four times, you will receive a maximum grade of B. If you are absent more than six times, you will receive a grade of E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The final exam will consist of questions on how well you understand the content of the class.

情報リテラシーⅡ

2017年度以降入学者

金 勇

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報リテラシーⅠで学んだ内容を元に文章作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといったコンピューターを用いた情報表現の基礎を学ぶ。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文章作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP4

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ワードプロセッサその1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTMLによる文章の構造化について学ぶ
第2回	ワードプロセッサその2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第3回	ワードプロセッサその3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第4回	ワードプロセッサその4	図形、描画キャンパスの挿入と編集について学ぶ
第5回	ワードプロセッサその5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ
第6回	表計算ソフトその1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第7回	表計算ソフトその2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第8回	表計算ソフトその3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ

第9回	表計算ソフトその4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第10回	表計算ソフトその5	グラフについて学ぶ
第11回	表計算ソフトその6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Wordへの表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第12回	プレゼンテーション1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第13回	プレゼンテーション2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第14回	プレゼンテーション3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシー 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシー」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入戸野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」

平常点10%、レポート40%、期末試験50%

「評価基準」

平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。

レポートは内容および表現の適切さを評価します。

期末試験は授業で学んだ内容をどれだけ理解しているかについて問う問題を出題します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡは科目名は異なりますが、実際には同じ日に続けて授業を行います。従って、実際の授業においては授業の流れを考慮して情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの内容を若干入れ替えることがあります。受講の際にあたっては情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの両方のシラバスに目を通して下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to learn information processing and information systems based on the information representation, reception, transmission. This class also has the role of guidance to major information science subjects such as information system, network, multimedia, programming. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Each student is expected to prepare and review using the textbook before and after the class.

When assignments are given, please complete them in time for the deadline and submit them according to the instructions in the learning support system.

It is also recommended that you do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time.

Distribution.

Normal score: 10%, Report: 40%, Final exam: 50%.

Evaluation Criteria

Ordinary points will be evaluated based on class participation.

If you are absent more than four times, you will receive a maximum grade of B. If you are absent more than six times, you will receive a grade of E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The final exam will consist of questions on how well you understand the content of the class.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報リテラシーⅡ

2017年度以降入学者

重定 如彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報リテラシーⅠで学んだ内容を元に文章作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといったコンピューターを用いた情報表現の基礎を学ぶ。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文章作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP4

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ワードプロセッサその1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTMLによる文章の構造化について学ぶ
第2回	ワードプロセッサその2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第3回	ワードプロセッサその3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第4回	ワードプロセッサその4	図形、描画キャンパスの挿入と編集について学ぶ
第5回	ワードプロセッサその5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ
第6回	表計算ソフトその1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第7回	表計算ソフトその2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第8回	表計算ソフトその3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ

第9回	表計算ソフトその4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第10回	表計算ソフトその5	グラフについて学ぶ
第11回	表計算ソフトその6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Wordへの表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第12回	プレゼンテーション1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第13回	プレゼンテーション2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第14回	プレゼンテーション3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシー 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシー」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入戸野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」
平常点10%、レポート40%、期末試験50%

「評価基準」

平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。
レポートは内容および表現の適切さを評価します。
期末試験は授業で学んだ内容をどれだけ理解しているかについて問う問題を出題します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡは科目名は異なりますが、実際には同じ日に続けて授業を行います。従って、実際の授業においては授業の流れを考慮して情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの内容を若干入れ替えることがあります。受講の際にあたっては情報リテラシーⅠと情報リテラシーⅡの両方のシラバスに目を通して下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to learn information processing and information systems based on the information representation, reception, transmission. This class also has the role of guidance to major information science subjects such as information system, network, multimedia, programming. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Each student is expected to prepare and review using the textbook before and after the class.

When assignments are given, please complete them in time for the deadline and submit them according to the instructions in the learning support system.

It is also recommended that you do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time.

Distribution.

Normal score: 10%, Report: 40%, Final exam: 50%.

Evaluation Criteria

Ordinary points will be evaluated based on class participation.

If you are absent more than four times, you will receive a maximum grade of B. If you are absent more than six times, you will receive a grade of E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The final exam will consist of questions on how well you understand the content of the class.

情報処理演習

2017年度以降入学者

大間 哲

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉〈実〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学生にとって、情報技術の習得は必須です。それも、むしろ理系や経済学部等の計算をメインに行う学生よりも、キャリアデザイン学部等「文系」と言われる学生にとってこそ大切と言えます。それは、皆さんが、プログラミングなどのITの専門技術者よりも、キャリアデザイン学等の幅広い専門知識を扱うための「道具として」、パソコンやネットの情報を文具のように使いこなすことが求められるからです。

そのため、この授業では一番の目的を、「コンピュータが使えるようになること」とはしません。実践的な実務能力を身につけられるようにします。言い換えるなら、皆さんが将来にわたって、コンピュータやネットの技術を使って、皆さんの「やりたいこと」ができるようになることを目的とします。

情報処理の技術は日進月歩ですから、今あるコンピュータやネットの情報技術が使えるようになって、将来皆さんが進学したり社会人になるころに、そのまま使えるとは限りません。ですから、この授業では、各コンピュータ／ソフトウェア／サービスの「操作のやり方（操作方法）」を全て丸暗記のように覚えることよりも、ソフトウェアやサービスが「どのようなものなのか、何ができるのか」を知ることを大切にします。そして、日々進化する情報処理技術に対応できるよう、応用的な操作方法是随時「検索して自力で調べられる」ようになることを目的とします。その目的実現のための手段として、この授業では、大学で学ぶために必要となる、コンピュータ／ソフトウェアおよびネット上のサービスの基本的使用方法を習得します。

同時に、大学の学びの基本となる、自ら興味があることの中から「問い」を立てて、調査をし、ディスカッションをし、結果を纏めるという一連の作業を、情報処理技術を使いながら行う演習をして、レポートや卒論に使えるスキルを身に付けます。

<オンラインでの開講について>

前年度、前々年度は、初回に定員の倍以上の申込みがあったため、初回授業はオンラインとし、受講希望者多数の場合は適宜抽選等で人数を確定します（オンライン授業の方法や抽選については、学習支援システムのお知らせを事前に確認してください）。

また、受講希望者数が定員以下の場合でも、情報処理演習という授業の性格上、オンラインミーティングの技術について学習することは有意義であるため、学期中一部の授業はオンライン開講を行う可能性があります（その場合、前の週までには告知します）。

なお、2月現在、大学の方針で対面授業ですので、原則は対面授業とします。ただし、万が一インフルエンザやコロナ等の感染流行の再悪化やその他やむを得ない事情が起きた場合は、別途オンラインの開講もあり得ます。

ただし、対面授業であろうとオンラインであろうと、前述の目的が変わることはありません。

※大学の授業実施方針については、最新の情報を大学ホームページで確認してください。

【到達目標】

Windows環境で基礎的なPCリテラシーやインターネットのリテラシーの習得をめざします。大学の授業のレポートや卒論作成時に使えるOfficeソフト（Word・Excel・PowerPoint）やGoogleのWebサービス、クラウド等の基本操作および活用方法を学びます。またChatGPT等の生成AIの適切な利用方法についても、学習します。

同時に、最も大切なこととして、自分がやりたいことのための操作方法を検索して、調べる技術を身につけることを目標とします。

<皆さんのパソコン等の環境について>

学期の早い時期に皆さんの学習環境（自宅等のネット環境を含む）のアンケートを行い、皆さんが将来の授業や卒業研究に役立てられるスキルを身につけられるよう内容を構築します。また、もし自宅等での環境が整わない場合は、必要な操作方法を自ら検索する能力をより高めることにより、将来必要な時に十分な情報リテラシーの習得が可能なようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

(1) テキストと毎回のレジュメをベースに、基礎的な操作方法を習得していきます。

(2) 毎回の授業は、講義と演習、ディスカッション等のグループワークを組み合わせて行います。

(3) 単に操作方法を学習するのではなく、コンピュータの機能を理解し、必要情報をネットで検索する能力を身につけることによって、日常生活においても効率よく使いこなせるようになることを目指します。

時間に余裕があれば、応用的内容も扱います。

※ 出席さえすれば単位がもらえる楽な科目ではありませんが、課題を着々と提出して行けば、期初に初心者であっても、最終的にはWebを利用した調査や、その結果を纏めて発表するなど、レポートや卒論に使えるだけの能力が自然に身につくように、段階的に演習を進めます。また、暗記科目ではないので、期末テストは行いません。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション Windowsの基本操作 ネットリテラシーとセキュリティ Zoomの基本操作	授業ガイダンス。授業の目的の確認。 自身のPCを使用する場合、使い方の確認。 WindowsPCの基本的な使い方の説明。 ネットリテラシーの基本と、セキュリティの重要性。 オンライン会議システム（Zoom）の参加者としての基本機能を知る。 電子メールの仕組みと使用上の注意点。電子メールと他のコミュニケーション・ツールやSNSとの比較。 USBメモリの使い方と利用上の注意点。 アンケートによる、学生の自身の学習環境の報告。 学習支援ハンドブック等による、メールの書き方（マナー）の学習。 ウェブの仕組みについて理解する。 情報検索演習として、ウェブから必要な情報を探すための方法を知る。 Dropboxの利用と、注意点。 ChatGPTの利用と、注意点。 教科書によるネットリテラシーの復習。 Windowsの基礎の復習。 ワープロソフト（Word）の基本的な文章の作成方法、フォント・段落書式（インデント）・表について学ぶ。 応用的な文章作成方法。 Wordで絵・写真や図を挿入する方法。 見出し・アウトライン・スタイル・脚注。校閲機能。見出しの利用と目次の作成（課題）。 「表計算ソフト」とは。Excelでできることを知る（頭出し）。 脚注。校閲機能（補足）。 表計算ソフト（Excel）の基本操作を習得する。 （Google スプレッドシートとの関連の確認）
第2回	電子メールとネットの基本 学習環境を整える	
第3回	ウェブの仕組みと情報検索 クラウドの利用 生成AIについて	
第4回	Word(1)	
第5回	Word(2)	
第6回	Word(3) Excel(1)	

第7回	Excel(2)	計算式や関数の基本的な使い方。 見やすい表の作り方。書式設定、 見出しなど。
第8回	Excel(3)	Excelでグラフを作成する。 Excelの表やグラフをWordに貼り 付ける。 計算式や関数の応用的な使い方。
第9回	Excel(4)	Excelでのリスト管理（データ ベース）。 Excelとワードの合わせ技（差し 込み印刷）。
第10回	PowerPoint(1)	プレゼンテーションソフト (PowerPoint) の基本操作を習得 する。 発表資料としてのPowerPoint ファイルの作成。
第11回	PowerPoint(2)	簡易DTPとしてのPowerPointの 利用。 Canvaの利用。 Word Excelとの連携。
第12回	Officeソフト総合演習	Excel、Word、Powerpointを総 合的に使用し、最終課題の準備を 行う。
第13回	Googleのサービスと Officeソフトの合わせ 技	Google Forms（アンケート調査）、 Google Spreadsheet Excel、Word、Powerpointを総 合的に使用し、最終課題を行う。
第14回	総合演習	授業で扱った内容を振り返る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・当授業の準備学習・復習時間は、それぞれ2時間を標準とします。
- ・小課題を期日を守って、決められた方法で提出してください。
- ・次の授業に向けてのリーディング・アサシメント（準備学習としての読む課題）を出すことがあります。その場合は、そこを読んでから授業に臨むようにしてください。

【テキスト（教科書）】

- ・『学生・新社会人のための情報リテラシー入門 大間 哲 著 カットシステム（2025年4月発売予定。発売日決定後に、購入を指示します）
- ・法政大学『学習支援ハンドブック』 <http://www.hoseikyoku.jp/lf/>（法政大学教育開発・学習支援センター）のメニューより「学習支援ハンドブック」を選択。（ダウンロードをしておく必要はないが、授業時にパソコンから参照できるように、一度見つけて確認をしておくこと）

【参考書】

- ・『思考を鍛えるレポート・論文作成法[第3版]』 井下千以子 廣慶義塾大学出版会（他の授業でテキストとして指定されている場合もあります）
- ・『情報リテラシー教科書 -Windows11/Office2021 対応版-』 矢野文彦 著 オーム社（定価：本体2090円）
（『情報リテラシー教科書 -Windows10 Office2019 対応版-』でも可。自分が持っているパソコンのソフトのバージョンに合わせてください）
- ・『キャリアデザイン・就活のプロによる ChatGPT徹底活用法: 就活生・就職担当者必携AIアシスト・キャリアデザイン』 大間哲 著 カットシステム（定価：1540円）
- ・『情報処理エンジニア職業ガイド - プログラマ・ITエンジニア・SEのためのキャリアデザイン-』 豊沢聡/大間哲 著 カットシステム（定価：本体1800円）

【成績評価の方法と基準】

授業への参加状況（出席という意味ではありません。積極的な参加という意味です。）や課題提出状況をふまえて総合的に評価します。情報処理は、高校時代を含むそれまでの経験によって知識レベルに大きく差が出る可能性がある授業です。しかし、初心者であっても、恐れる必要はありません。真面目な講義・演習への参加と小課題の提出によって必要なゴールは達成できるようにします。また、熟達者や真剣にスキルの向上を望んで取り組む者には、さらに加点方式で評価がなされるよう工夫します。

- ・授業内の講義と演習への参加（配点比重 30%）
- ・毎回の小課題の提出（未提出の場合、その課題について0点。提出遅れは減点）（配点比重50%）
- ・総合課題（配点比重20%）
- ※期末テストは行いません。

【学生の意見等からの気づき】

- ・自らの興味がある事について能動的に調べ、ディスカッションし、発表するという課題は好評でもあり、また、大学での学び方の基本でもあるので、今期も続けたいと考えています。

- ・好評だった、最終的な総合課題に向けてのグループワーク、ディスカッション方式での演習は続けたいと考えています。
- ・『「月曜5限可哀想～」と友人から言われても、『情報処理楽しいから良いんだ～』と言い返すくらい楽しい授業でした』『学生の視点に立って接して下さり、とても嬉しかった』（授業アンケートより）。今年度から水曜5限・木曜3限・4限になったが、今回も学生の皆さんがそう思ってくれるような、学生主体の視点で、楽しい授業を目指します。

【学生が準備すべき機器他】

- ・初回参加時までに、このシラバスと、学習支援システムの「お知らせ」を良く読んでおくこと。
- ・指定されたテキストを大学から指定された方法で入手すること。
- ・この授業の目的である大学での授業のレポートや卒業研究・卒論作成に実践的に使用できるスキルを身に着けるため、できれば大学の授業で使う予定の自身のパソコンや自宅から、ネットへの接続環境を整える事が望ましい（必須ではありません）。
- ・今後の他の授業やレポートで使えるようになるために、自身のパソコンに慣れる意味からも、授業時に自身のパソコンを持参することを推奨する。
- ・自身のパソコンを持参できない場合は、大学でパソコンの貸し出し手続きをして持参すること。その場合、USBメモリー（8GB以上の容量のもの）を入手し、持参すること。

【その他の重要事項】

- ・基本的な内容からはじめ、段階的にレベルアップできるように授業を行います。
- ・学期末の必須課題を軽くし、受講生の皆さんの期末の負担を少なくするように工夫します。
- ・授業進度、理解度に合わせて、予定している授業日程の内容が前後することがあります。
- ・情報処理演習という授業の内容上、ChatGPT等生成AIの適切な利用法についても学習します。が、他の授業での生成AIの使用については、それぞれの授業の教員の指示に従ってください。
- ・定員超過の場合は抽選をします。抽選に漏れた場合は、他の曜日時間に開講されている同一科目を履修してください。
- ・Q0301（水曜5限）、Q0303（木曜3限）、Q0305（木曜4限）は、授業内容は基本的に同一です。ただし、皆さんの学習の進度、理解度等に合わせ、内容に若干の修正・差異が生じる可能性はあります。
- ・当授業は「実務経験がある教員による授業」です。教員は、20年間日本IBMに在籍し、システムエンジニア（特にネットワーク系）の経験があります。また、社内での専門職育成部門での経験もあるため、一般から先端までの技術をわかりやすく説明することに長けています。

【Outline (in English)】

[Course outline and Objectives]

The objective of this class is NOT only acquiring computer skills BUT to learn how to find the necessary information when you need it, from now and in the future. Since information technology is advancing every day, it is more important to understand what the computers and/or network services actually are and what can be done with them than memorizing the way of using computer software.

Mastering information technology is essential for university students, particularly for those in liberal arts fields like Career Design. Unlike students in fields focused on computational tasks, liberal arts students must use computers and internet tools as essential instruments to complement their broad knowledge base. Students will learn basic computer, software, and web service operations needed for academic tasks, such as reports and theses. You will also develop skills in research, discussion, and presentation using information technology, providing a foundation for academic and professional success.

[Goals]

Students will acquire fundamental PC and internet literacy in a Windows environment. You will learn to use Office software (Word, Excel, PowerPoint), Google Web Services, and cloud tools for report and thesis preparation. You will also understand the appropriate use of generative AI tools like ChatGPT.

The most critical objective is to develop the ability to search for and learn necessary operations independently to achieve their goals.

[Learning activities outside of classroom (Preparation, etc.)]

Students are expected to understand the course content and complete the required assignments after each class meeting.

- Allocate approximately 4 hours for preparation (2 hours) and review (2 hours) for each class.

- Submit assignments by the deadline and via the specified method.

- Reading assignments may be given; complete these before attending the next class.

[Grading Criteria /Policy]

Students are evaluated comprehensively based on participation, assignment submission, and effort. Beginners can achieve the course goals through active engagement and completing assignments, while advanced students can earn additional points for demonstrating excellence.

- Participation In class contribution:30%
- Submission of regular assignments (zero points for non-submission, penalties for late submissions): 50%
- Term-end assignment: 20%

** No final exam will be conducted.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報処理演習

2017年度以降入学者

大間 哲

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉〈実〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学生にとって、情報技術の習得は必須です。それも、むしろ理系や経済学部等の計算をメインに行う学生よりも、キャリアデザイン学部等「文系」と言われる学生にとってこそ大切と言えます。それは、皆さんが、プログラミングなどのITの専門技術者よりも、キャリアデザイン学等の幅広い専門知識を扱うための「道具として」、パソコンやネットの情報を文具のように使いこなすことが求められるからです。

そのため、この授業では一番の目的を、「コンピュータが使えるようになること」とはしません。実践的な実務能力を身につけられるようにします。言い換えるなら、皆さんが将来にわたって、コンピュータやネットの技術を使って、皆さんの「やりたいこと」ができるようになることを目的とします。

情報処理の技術は日進月歩ですから、今あるコンピュータやネットの情報技術が使えるようになって、将来皆さんが進学したり社会人になるころに、そのまま使えるとは限りません。ですから、この授業では、各コンピュータ／ソフトウェア／サービスの「操作のやり方（操作方法）」を全て丸暗記のように覚えることよりも、ソフトウェアやサービスが「どのようなものなのか、何ができるのか」を知ることを大切にします。そして、日々進化する情報処理技術に対応できるよう、応用的な操作方法是随時「検索して自力で調べられる」ようになることを目的とします。その目的実現のための手段として、この授業では、大学で学ぶために必要となる、コンピュータ／ソフトウェアおよびネット上のサービスの基本的使用方法を習得します。

同時に、大学の学びの基本となる、自ら興味があることの中から「問い」を立てて、調査をし、ディスカッションをし、結果を纏めるという一連の作業を、情報処理技術を使いながら行う演習をして、レポートや卒論に使えるスキルを身に付けます。

<オンラインでの開講について>

前年度、前々年度は、初回に定員の倍以上の申込みがあったため、初回授業はオンラインとし、受講希望者多数の場合は適宜抽選等で人数を確定します（オンライン授業の方法や抽選については、学習支援システムのお知らせを事前に確認してください）。

また、受講希望者数が定員以下の場合でも、情報処理演習という授業の性格上、オンラインミーティングの技術について学習することは有意義であるため、学期中一部の授業はオンライン開講を行う可能性があります（その場合、前の週までには告知します）。

なお、2月現在、大学の方針で対面授業ですので、原則は対面授業とします。ただし、万が一インフルエンザやコロナ等の感染流行の再悪化やその他やむを得ない事情が起きた場合は、別途オンラインの開講もあり得ます。

ただし、対面授業であろうとオンラインであろうと、前述の目的が変わることはありません。

※大学の授業実施方針については、最新の情報を大学ホームページで確認してください。

【到達目標】

Windows環境で基礎的なPCリテラシーやインターネットのリテラシーの習得をめざします。大学の授業のレポートや卒論作成時に使えるOfficeソフト（Word・Excel・PowerPoint）やGoogleのWebサービス、クラウド等の基本操作および活用方法を学びます。またChatGPT等の生成AIの適切な利用方法についても、学習します。

同時に、最も大切なこととして、自分がやりたいことのための操作方法を検索して、調べる技術を身につけることを目標とします。

<皆さんのパソコン等の環境について>

学期の早い時期に皆さんの学習環境（自宅等のネット環境を含む）のアンケートを行い、皆さんが将来の授業や卒業研究に役立てられるスキルを身につけられるよう内容を構築します。また、もし自宅等での環境が整わない場合は、必要な操作方法を自ら検索する能力をより高めることにより、将来必要な時に十分な情報リテラシーの習得が可能なようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

(1) テキストと毎回のレジュメをベースに、基礎的な操作方法を習得していきます。

(2) 毎回の授業は、講義と演習、ディスカッション等のグループワークを組み合わせて行います。

(3) 単に操作方法を学習するのではなく、コンピュータの機能を理解し、必要情報をネットで検索する能力を身につけることによって、日常生活においても効率よく使いこなせるようになることを目指します。

時間に余裕があれば、応用的内容も扱います。

※ 出席さえすれば単位がもらえる楽な科目ではありませんが、課題を着々と提出して行けば、期初に初心者であっても、最終的にはWebを利用した調査や、その結果を纏めて発表するなど、レポートや卒論に使えるだけの能力が自然に身につくように、段階的に演習を進めます。また、暗記科目ではないので、期末テストは行いません。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション Windowsの基本操作 ネットリテラシーとセキュリティ Zoomの基本操作	授業ガイダンス。授業の目的の確認。 自身のPCを使用する場合、使い方の確認。 WindowsPCの基本的な使い方の説明。 ネットリテラシーの基本と、セキュリティの重要性。 オンライン会議システム（Zoom）の参加者としての基本機能を知る。
第2回	電子メールとネットの基本 学習環境を整える	電子メールの仕組みと使用上の注意点。電子メールと他のコミュニケーション・ツールやSNSとの比較。 USBメモリの使い方と利用上の注意点。 アンケートによる、学生の自身の学習環境の報告。 学習支援ハンドブック等による、メールの書き方（マナー）の学習。
第3回	ウェブの仕組みと情報検索 クラウドの利用 生成AIについて	ウェブの仕組みについて理解する。 情報検索演習として、ウェブから必要な情報を探すための方法を知る。 Dropboxの利用と、注意点。 ChatGPTの利用と、注意点。 教科書によるネットリテラシーの復習。 Windowsの基礎の復習。 ワープロソフト（Word）の基本的な文章の作成方法、フォント・段落書式（インデント）・表について学ぶ。
第4回	Word(1)	応用的な文章作成方法。 Wordで絵・写真や図を挿入する方法。 見出し・アウトライン・スタイル・脚注。校閲機能。見出しの利用と目次の作成（課題）。 「表計算ソフト」とは。Excelでできることを知る（頭出し）
第5回	Word(2)	脚注。校閲機能（補足）。 表計算ソフト（Excel）の基本操作を習得する。 (Google スプレッドシートとの関連の確認)
第6回	Word(3) Excel(1)	

第7回	Excel(2)	計算式や関数の基本的な使い方。 見やすい表の作り方。書式設定、 見出しなど。
第8回	Excel(3)	Excelでグラフを作成する。 Excelの表やグラフをWordに貼り 付ける。
第9回	Excel(4)	計算式や関数の応用的な使い方。 Excelでのリスト管理（データ ベース）。
第10回	PowerPoint(1)	Excelとワードの合わせ技（差し 込み印刷）。
第11回	PowerPoint(2)	プレゼンテーションソフト (PowerPoint) の基本操作を習得 する。 発表資料としてのPowerPoint ファイルの作成。
第12回	Officei ソフト総合演習	簡易DTPとしてのPowerPointの 利用。 Canvaの利用。 Word Excelとの連携。
第13回	Google のサービスと Office ソフトの合わせ 技	Excel、Word、Powerpointを総 合的に使用し、最終課題の準備を 行う。
第14回	総合演習	Google Forms (アンケート調査)、 Google Spreadsheet Excel、Word、Powerpointを総 合的に使用し、最終課題を行う。 授業で扱った内容を振り返る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・当授業の準備学習・復習時間は、それぞれ2時間を標準とします。
- ・小課題を期日を守って、決められた方法で提出してください。
- ・次の授業に向けてのリーディング・アサシメント（準備学習としての読む課題）を出すことがあります。その場合は、そこを読んでから授業に臨むようにしてください。

【テキスト（教科書）】

- ・『学生・新社会人のための情報リテラシー入門 大間 哲 著 カットシステム（2025年4月発売予定。発売日決定後に、購入を指示します）
- ・法政大学『学習支援ハンドブック』 <http://www.hoseikyoku.jp/lf/>（法政大学教育開発・学習支援センター）のメニューより「学習支援ハンドブック」を選択。（ダウンロードをしておく必要はないが、授業時にパソコンから参照できるように、一度見つけて確認をしておくこと）

【参考書】

- ・『思考を鍛えるレポート・論文作成法[第3版]』 井下千以子 廣慶義塾大学出版会（他の授業でテキストとして指定されている場合もあります）
- ・『情報リテラシー教科書 -Windows11/Office2021 対応版-』 矢野文彦 著 オーム社（定価：本体2090円）
- （『情報リテラシー教科書 -Windows10 Office2019 対応版-』でも可。自分が持っているパソコンのソフトのバージョンに合わせてください）
- ・『キャリアデザイン・就活のプロによる ChatGPT徹底活用法: 就活生・就職担当者必携AIアシスト・キャリアデザイン』 大間哲 著 カットシステム（定価：1540円）
- ・『情報処理エンジニア職業ガイド - プログラマ・ITエンジニア・SEのためのキャリアデザイン-』 豊沢聡/大間哲 著 カットシステム（定価：本体1800円）

【成績評価の方法と基準】

授業への参加状況（出席という意味ではありません。積極的な参加という意味です。）や課題提出状況をふまえて総合的に評価します。情報処理は、高校時代を含むそれまでの経験によって知識レベルに大きく差が出る可能性がある授業です。しかし、初心者であっても、恐れる必要はありません。真面目な講義・演習への参加と小課題の提出によって必要なゴールは達成できるようにします。また、熟達者や真剣にスキルの向上を望んで取り組む者には、さらに加点方式で評価がなされるよう工夫します。

- ・授業内の講義と演習への参加（配点比重 30%）
- ・毎回の小課題の提出（未提出の場合、その課題について0点。提出遅れは減点）（配点比重50%）
- ・総合課題（配点比重20%）
- ※期末テストは行いません。

【学生の意見等からの気づき】

- ・自らの興味がある事について能動的に調べ、ディスカッションし、発表するという課題は好評でもあり、また、大学での学び方の基本でもあるので、今期も続けたいと考えています。

- ・好評だった、最終的な総合課題に向けてのグループワーク、ディスカッション方式での演習は続けたいと考えています。
- ・『1月曜5限可哀想〜』と友人から言われても、『情報処理楽しいから良いんだ〜』と言いつつ楽しい授業でした」「学生の視点に立って接して下さり、とても嬉しかった」（授業アンケートより）。今年度から水曜5限・木曜3限・4限の開講になったが、今回も学生の皆さんがそう思ってくれるような、学生主体の視点で、楽しい授業を目指します。

【学生が準備すべき機器他】

- ・初回参加時までに、このシラバスと、学習支援システムの「お知らせ」を良く読んでおくこと。
- ・指定されたテキストを大学から指定された方法で入手すること。
- ・この授業の目的である大学での授業のレポートや卒業研究・卒論作成に実践的に使用できるスキルを身に着けるため、できれば大学の授業で使う予定の自身のパソコンや自宅から、ネットへの接続環境を整える事が望ましい（必須ではありません）。
- ・今後の他の授業やレポートで使えるようになるために、自身のパソコンに慣れる意味からも、授業時に自身のパソコンを持参することを推奨する。
- ・自身のパソコンを持参できない場合は、大学でパソコンの貸し出し手続きをして持参すること。その場合、USBメモリー（8GB以上の容量のもの）を入手し、持参すること。

【その他の重要事項】

- ・基本的な内容からはじめ、段階的にレベルアップできるように授業を行います。
- ・学期末の必須課題を軽くし、受講生の皆さんの期末の負担を少なくするように工夫します。
- ・授業進度、理解度に合わせて、予定している授業日程の内容が前後することがあります。
- ・情報処理演習という授業の内容上、ChatGPT等生成AIの適切な利用法についても学習します。が、他の授業での生成AIの使用については、それぞれの授業の教員の指示に従ってください。
- ・定員超過の場合は抽選をします。抽選に漏れた場合は、他の曜日時間に開講されている同一科目を履修してください。
- ・Q0301（水曜5限）、Q0303（木曜3限）、Q0305（木曜4限）は、授業内容は基本的に同一です。ただし、皆さんの学習の進度、理解度等に合わせ、内容に若干の修正・差異が生じる可能性はあります。
- ・当授業は「実務経験がある教員による授業」です。教員は、20年間日本IBMに在籍し、システムエンジニア（特にネットワーク系）の経験があります。また、社内での専門職育成部門での経験もあるため、一般から先端までの技術をわかりやすく説明することに長けています。

【Outline (in English)】

[Course outline and Objectives]

The objective of this class is NOT only acquiring computer skills BUT to learn how to find the necessary information when you need it, from now and in the future. Since information technology is advancing every day, it is more important to understand what the computers and/or network services actually are and what can be done with them than memorizing the way of using computer software.

Mastering information technology is essential for university students, particularly for those in liberal arts fields like Career Design. Unlike students in fields focused on computational tasks, liberal arts students must use computers and internet tools as essential instruments to complement their broad knowledge base. Students will learn basic computer, software, and web service operations needed for academic tasks, such as reports and theses. You will also develop skills in research, discussion, and presentation using information technology, providing a foundation for academic and professional success.

[Goals]

Students will acquire fundamental PC and internet literacy in a Windows environment. You will learn to use Office software (Word, Excel, PowerPoint), Google Web Services, and cloud tools for report and thesis preparation. You will also understand the appropriate use of generative AI tools like ChatGPT.

The most critical objective is to develop the ability to search for and learn necessary operations independently to achieve their goals.

[Learning activities outside of classroom (Preparation, etc.)]

Students are expected to understand the course content and complete the required assignments after each class meeting.

- Allocate approximately 4 hours for preparation (2 hours) and review (2 hours) for each class.
- Submit assignments by the deadline and via the specified method.

- Reading assignments may be given; complete these before attending the next class.

[Grading Criteria /Policy]

Students are evaluated comprehensively based on participation, assignment submission, and effort. Beginners can achieve the course goals through active engagement and completing assignments, while advanced students can earn additional points for demonstrating excellence.

- Participation In class contribution:30%

- Submission of regular assignments (zero points for non-submission, penalties for late submissions): 50%

- Term-end assignment: 20%

** No final exam will be conducted.

情報処理演習

2017年度以降入学者

大間 哲

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉〈実〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学生にとって、情報技術の習得は必須です。それも、むしろ理系や経済学部等の計算をメインに行う学生よりも、キャリアデザイン学部等「文系」と言われる学生にとってこそ大切と言えます。それは、皆さんが、プログラミングなどのITの専門技術者よりも、キャリアデザイン学等の幅広い専門知識を扱うための「道具として」、パソコンやネットの情報を文具のように使いこなすことが求められるからです。

そのため、この授業では一番の目的を、「コンピュータが使えるようになること」とはしません。実践的な実務能力を身につけられるようにします。言い換えるなら、皆さんが将来にわたって、コンピュータやネットの技術を使って、皆さんの「やりたいこと」ができるようになることを目的とします。

情報処理の技術は日進月歩ですから、今あるコンピュータやネットの情報技術が使えるようになって、将来皆さんが進学したり社会人になるころに、そのまま使えるとは限りません。ですから、この授業では、各コンピュータ／ソフトウェア／サービスの「操作のやり方（操作方法）」を全て丸暗記のように覚えることよりも、ソフトウェアやサービスが「どのようなものなのか、何ができるのか」を知ることを大切にします。そして、日々進化する情報処理技術に対応できるよう、応用的な操作方法是随時「検索して自力で調べられる」ようになることを目的とします。その目的実現のための手段として、この授業では、大学で学ぶために必要となる、コンピュータ／ソフトウェアおよびネット上のサービスの基本的使用方法を習得します。

同時に、大学の学びの基本となる、自ら興味があることの中から「問い」を立てて、調査をし、ディスカッションをし、結果を纏めるという一連の作業を、情報処理技術を使いながら行う演習をして、レポートや卒論に使えるスキルを身に付けます。

＜オンラインでの開講について＞

前年度、前々年度は、初回に定員の倍以上の申込みがあったため、初回授業はオンラインとし、受講希望者多数の場合は適宜抽選等で人数を確定します（オンライン授業の方法や抽選については、学習支援システムのお知らせを事前に確認してください）。

また、受講希望者数が定員以下の場合でも、情報処理演習という授業の性格上、オンラインミーティングの技術について学習することは有意義であるため、学期中一部の授業はオンライン開講を行う可能性があります（その場合、前の週までには告知します）。

なお、2月現在、大学の方針で対面授業ですので、原則は対面授業とします。ただし、万が一インフルエンザやコロナ等の感染流行の再悪化やその他やむを得ない事情が起きた場合は、別途オンラインの開講もあり得ます。

ただし、対面授業であろうとオンラインであろうと、前述の目的が変わることはありません。

※大学の授業実施方針については、最新の情報を大学ホームページで確認してください。

【到達目標】

Windows環境で基礎的なPCリテラシーやインターネットのリテラシーの習得をめざします。大学の授業のレポートや卒論作成時に使えるOfficeソフト（Word・Excel・PowerPoint）やGoogleのWebサービス、クラウド等の基本操作および活用方法を学びます。またChatGPT等の生成AIの適切な利用方法についても、学習します。

同時に、最も大切なこととして、自分がやりたいことのための操作方法を検索して、調べる技術を身につけることを目標とします。

＜皆さんのパソコン等の環境について＞

学期の早い時期に皆さんの学習環境（自宅等のネット環境を含む）のアンケートを行い、皆さんが将来の授業や卒業研究に役立てられるスキルを身につけられるよう内容を構築します。また、もし自宅等での環境が整わない場合は、必要な操作方法を自ら検索する能力をより高めることにより、将来必要な時に十分な情報リテラシーの習得が可能なようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

(1) テキストと毎回のレジュメをベースに、基礎的な操作方法を習得していきます。

(2) 毎回の授業は、講義と演習、ディスカッション等のグループワークを組み合わせて行います。

(3) 単に操作方法を学習するのではなく、コンピュータの機能を理解し、必要情報をネットで検索する能力を身につけることによって、日常生活においても効率よく使いこなせるようになることを目指します。

時間に余裕があれば、応用的内容も扱います。

※ 出席さえすれば単位がもらえる楽な科目ではありませんが、課題を着々と提出して行けば、期初に初心者であっても、最終的にはWebを利用した調査や、その結果を纏めて発表するなど、レポートや卒論に使えるだけの能力が自然に身につくように、段階的に演習を進めます。また、暗記科目ではないので、期末テストは行いません。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション Windowsの基本操作 ネットリテラシーとセキュリティ Zoomの基本操作	授業ガイダンス。授業の目的の確認。 自身のPCを使用する場合、使い方の確認。 WindowsPCの基本的な使い方の説明。 ネットリテラシーの基本と、セキュリティの重要性。 オンライン会議システム（Zoom）の参加者としての基本機能を知る。
第2回	電子メールとネットの基本 学習環境を整える	電子メールの仕組みと使用上の注意。電子メールと他のコミュニケーション・ツールやSNSとの比較。 USBメモリの使い方と利用上の注意。アンケートによる、学生の自身の学習環境の報告。 学習支援ハンドブック等による、メールの書き方（マナー）の学習。
第3回	ウェブの仕組みと情報検索 クラウドの利用 生成AIについて	ウェブの仕組みについて理解する。 情報検索演習として、ウェブから必要な情報を探すための方法を知る。 Dropboxの利用と、注意。ChatGPTの利用と、注意。 教科書によるネットリテラシーの復習。
第4回	Word(1)	Windowsの基礎の復習。 ワープロソフト（Word）の基本的な文章の作成方法、フォント・段落書式（インデント）・表について学ぶ。 応用的な文章作成方法。
第5回	Word(2)	Wordで絵・写真や図を挿入する方法。 見出し・アウトライン・スタイル・脚注。校閲機能。見出しの利用と目次の作成（課題）。 「表計算ソフト」とは。Excelでできることを知る（頭出し）。 脚注。校閲機能（補足）。 表計算ソフト（Excel）の基本操作を習得する。 (Google スプレッドシートとの関連の確認)
第6回	Word(3) Excel(1)	

第7回	Excel(2)	計算式や関数の基本的な使い方。 見やすい表の作り方。書式設定、 見出しなど。
第8回	Excel(3)	Excelでグラフを作成する。 Excelの表やグラフをWordに貼り 付ける。
第9回	Excel(4)	計算式や関数の応用的な使い方。 Excelでのリスト管理（データ ベース）。
第10回	PowerPoint(1)	Excelとワードの合わせ技（差し 込み印刷）。
第11回	PowerPoint(2)	プレゼンテーションソフト (PowerPoint) の基本操作を習得 する。
第12回	Officeソフト総合演習	発表資料としてのPowerPoint ファイルの作成。
第13回	Googleのサービスと Officeソフトの合わせ 技	簡易DTPとしてのPowerPointの 利用。
第14回	総合演習	Canvaの利用。 Word Excelとの連携。
		Excel、Word、Powerpointを総 合的に使用し、最終課題の準備を 行う。
		Google Forms（アンケート調査）、 Google Spreadsheet
		Excel、Word、Powerpointを総 合的に使用し、最終課題を行う。
		授業で扱った内容を振り返る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・当授業の準備学習・復習時間は、それぞれ2時間を標準とします。
- ・小課題を期日を守って、決められた方法で提出してください。
- ・次の授業に向けてのリーディング・アサシメント（準備学習としての読む課題）を出すことがあります。その場合は、そこを読んでから授業に臨むようにしてください。

【テキスト（教科書）】

- ・『学生・新社会人のための情報リテラシー入門 大間 哲 著 カットシステム（2025年4月発売予定。発売日決定後に、購入を指示します）
- ・法政大学『学習支援ハンドブック』 <http://www.hoseikyoku.jp/lf/>（法政大学教育開発・学習支援センター）のメニューより「学習支援ハンドブック」を選択。（ダウンロードをしておく必要はないが、授業時にパソコンから参照できるように、一度見つけて確認をしておくこと）

【参考書】

- ・『思考を鍛えるレポート・論文作成法[第3版]』 井下千以子 廣慶義塾大学出版会（他の授業でテキストとして指定されている場合もあります）
- ・『情報リテラシー教科書 -Windows11/Office2021 対応版-』 矢野文彦 著 オーム社（定価：本体2090円）
- （『情報リテラシー教科書 -Windows10 Office2019 対応版-』でも可。自分が持っているパソコンのソフトのバージョンに合わせてください）
- ・『キャリアデザイン・就活のプロによる ChatGPT徹底活用法: 就活生・就職担当者必携AIアシスト・キャリアデザイン』 大間哲 著 カットシステム（定価：1540円）
- ・『情報処理エンジニア職業ガイド - プログラマ・ITエンジニア・SEのためのキャリアデザイン-』 豊沢聡/大間哲 著 カットシステム（定価：本体1800円）

【成績評価の方法と基準】

授業への参加状況（出席という意味ではありません。積極的な参加という意味です。）や課題提出状況をふまえて総合的に評価します。情報処理は、高校時代を含むそれまでの経験によって知識レベルに大きく差が出る可能性がある授業です。しかし、初心者であっても、恐れる必要はありません。真面目な講義・演習への参加と小課題の提出によって必要なゴールは達成できるようにします。また、熟達者や真剣にスキルの向上を望んで取り組む者には、さらに加点方式で評価がなされるよう工夫します。

- ・授業内の講義と演習への参加（配点比重 30%）
- ・毎回の小課題の提出（未提出の場合、その課題について0点。提出遅れは減点）（配点比重50%）
- ・総合課題（配点比重20%）
- ※期末テストは行いません。

【学生の意見等からの気づき】

- ・自らの興味がある事について能動的に調べ、ディスカッションし、発表するという課題は好評でもあり、また、大学での学び方の基本でもあるので、今期も続けたいと考えています。

- ・好評だった、最終的な総合課題に向けてのグループワーク、ディスカッション方式での演習は続けたいと考えています。
- ・『1月曜5限可哀想〜』と友人から言われても、『情報処理楽しいから良いんだ〜』と言いつつ楽しい授業でした」「学生の視点に立って接し下され、とても嬉しかった」（授業アンケートより）。今年度から水曜5限・木曜3限・4限の開講になったが、今回も学生の皆さんがそう思ってくれるような、学生主体の視点で、楽しい授業を目指します。

【学生が準備すべき機器他】

- ・初回参加時までに、このシラバスと、学習支援システムの「お知らせ」を良く読んでおくこと。
- ・指定されたテキストを大学から指定された方法で入手すること。
- ・この授業の目的である大学での授業のレポートや卒業研究・卒論作成に実践的に使用できるスキルを身に着けるため、できれば大学の授業で使う予定の自身のパソコンや自宅から、ネットへの接続環境を整える事が望ましい（必須ではありません）。
- ・今後の他の授業やレポートで使えるようになるために、自身のパソコンに慣れる意味からも、授業時に自身のパソコンを持参することを推奨する。
- ・自身のパソコンを持参できない場合は、大学でパソコンの貸し出し手続きをして持参すること。その場合、USBメモリー（8GB以上の容量のもの）を入手し、持参すること。

【その他の重要事項】

- ・基本的な内容からはじめ、段階的にレベルアップできるように授業を行います。
- ・学期末の必須課題を軽くし、受講生の皆さんの期末の負担を少なくするように工夫します。
- ・授業進度、理解度に合わせて、予定している授業日程の内容が前後することがあります。
- ・情報処理演習という授業の内容上、ChatGPT等生成AIの適切な利用法についても学習します。が、他の授業での生成AIの使用については、それぞれの授業の教員の指示に従ってください。
- ・定員超過の場合は抽選をします。抽選に漏れた場合は、他の曜日時間に開講されている同一科目を履修してください。
- ・Q0301（水曜5限）、Q0303（木曜3限）、Q0305（木曜4限）は、授業内容は基本的に同一です。ただし、皆さんの学習の進度、理解度等に合わせ、内容に若干の修正・差異が生じる可能性はあります。
- ・当授業は「実務経験がある教員による授業」です。教員は、20年間日本IBMに在籍し、システムエンジニア（特にネットワーク系）の経験があります。また、社内での専門職育成部門での経験もあるため、一般から先端までの技術をわかりやすく説明することに長けています。

【Outline (in English)】

[Course outline and Objectives]

The objective of this class is NOT only acquiring computer skills BUT to learn how to find the necessary information when you need it, from now and in the future. Since information technology is advancing every day, it is more important to understand what the computers and/or network services actually are and what can be done with them than memorizing the way of using computer software.

Mastering information technology is essential for university students, particularly for those in liberal arts fields like Career Design. Unlike students in fields focused on computational tasks, liberal arts students must use computers and internet tools as essential instruments to complement their broad knowledge base. Students will learn basic computer, software, and web service operations needed for academic tasks, such as reports and theses. You will also develop skills in research, discussion, and presentation using information technology, providing a foundation for academic and professional success.

[Goals]

Students will acquire fundamental PC and internet literacy in a Windows environment. You will learn to use Office software (Word, Excel, PowerPoint), Google Web Services, and cloud tools for report and thesis preparation. You will also understand the appropriate use of generative AI tools like ChatGPT.

The most critical objective is to develop the ability to search for and learn necessary operations independently to achieve their goals.

[Learning activities outside of classroom (Preparation, etc.)]

Students are expected to understand the course content and complete the required assignments after each class meeting.

- Allocate approximately 4 hours for preparation (2 hours) and review (2 hours) for each class.

- Submit assignments by the deadline and via the specified method.

- Reading assignments may be given; complete these before attending the next class.

[Grading Criteria /Policy]

Students are evaluated comprehensively based on participation, assignment submission, and effort. Beginners can achieve the course goals through active engagement and completing assignments, while advanced students can earn additional points for demonstrating excellence.

- Participation In class contribution:30%
- Submission of regular assignments (zero points for non-submission, penalties for late submissions): 50%
- Term-end assignment: 20%

** No final exam will be conducted.

PRI100LA (情報学基礎 / Principles of informatics 100)

情報処理演習

2017年度以降入学者

御園生 純

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

【日常で活かすIT】

コンピュータを日常の中でどのように活用し、大学での活動を豊かにしていくための実践的な技術・知識の習得を目指します。

以下の3点を授業の柱とします。

■動画作成をマスターしよう！

動画を通じて他者に自分の考えを伝えることとは？

ひとは何に注目するのか？

みるひと・聞く人の関心を引く動画をフリーソフトを利用してつくる

■オリジナルスタンプをつくってみよう！

コンピュータでデザインって難しくないの？

自分の考え（アイデア）をカタチにする

自分だけのスタンプをつくってみよう

■エクセルのマスターになる

計算だけじゃない、エクセルの使い方～予測・分析

エクセルでプログラミング

パソコンの基本的操作やアプリケーションソフトの利用方法はもとより、インターネットを利用した情報の主体的な受発信や各種のメディア活用能力・情報モラルの涵養など、情報化社会に必要な不可欠である、基礎的な情報リテラシー能力の習得を講義の中心に据え、できる限り受講者個々のスキルレベルに合わせた授業展開を心がける予定です。

【到達目標】

ビジネス系のみならず、表現方法としての情報リテラシーの習得を目指します。とくにプレゼンテーションについてはその理論と方法論の習得を通じて、実際に動画編集やプレゼンツール（DaVinci Resolve / パワーポイント）とドローソフト（Inkscape）の活用の実際を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

具体的な課題の完成（目的）に合わせた基本ソフトウェアの使用方法を通じて、複数のソフトウェアを駆使することを目指し、実践的なコンピュータの活用方法を実習を通じて学びます。

課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。各課題について受講生毎に講評します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション (授業方針と計画・評価方法について)	授業の進め方の注意事項～ログオン方法の確認
②	情報保護について	データ管理とセキュリティについて理解する

③	パーソナルコンピュータ及び Windows-OS の基本的な取扱い方法について 電子メールの基礎と日本語入力方法～ FEP 活用の基礎理解 操作方法	OS の利用方法 メールアカウントの設定とメールソフトについて
④	アプリケーションソフト習得～MS Word (1)	基礎的な日本語入力 表組みと描画など
⑤	アプリケーションソフト習得～MS Word (2)	アウトラインプロセッサについて
⑥	パワーポイント活用	パワーポイントによるアニメーションを活用したプレゼン作成
⑦	動画ファイルの基礎と編集と DaVinci Resolve	動画ファイルのコンバート方法 やアプリの活用について
⑧	アプリケーションソフト習得～MS Excel (1)	エクセルの基礎的な画面構成の理解
⑨	アプリケーションソフト習得～MS Excel (2)	計算式と関数① 再計算機能と相対・絶対番地について
⑩	アプリケーションソフト習得～MS Excel (3)	計算式と関数② 条件判断関数の基本とその応用
⑪	アプリケーションソフト習得～MS Excel (4)	マクロ・VBA 基礎
⑫	ドローイングソフト習得～inkscape①	ドローソフトの基本的構造とレイヤーの意味
⑬	ドローイングソフト習得～inkscape②	オリジナルスタンプを作ってみよう
⑭	プレゼンテーション～prezi	prezi を使ったプレゼンテーションの作成～アカウント取得など

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

- ・情報における権利意識と保護意識の醸成 15%
- ・著作権・複製権などの権利関係に対する具体的な理解 15%
- ・授業毎に課す提出課題の提出度と完成度 70%

【学生の意見等からの気づき】

ありません。

【その他の重要事項】

履修に当たってはできればPCを所有していることが望ましいです。定員超過の場合は抽選をします。抽選に漏れた場合は、他の曜日時限に開講されている同一科目を履修してください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

[IT to utilize in daily life] We aim to acquire practical skills and knowledge for how to utilize computers in daily life and enrich activities at the university. The following three points are the pillars of the class.

■ Let's master video creation! What does it mean to convey your thoughts to others through videos? What do people pay attention to? It was Using free software to create videos that attract the attention of viewers and listeners.

■ Let's make an original stamp! Isn't it difficult to design with a computer? It was Shape your thoughts (ideas) Let's make your own stamp.

■ Become an Excel master How to use Excel, not just calculations-prediction /analysis Programming in excel Basic operations that are indispensable to the information-oriented society, such as the basic operation of personal computers and how to use application software, as well as the proactive transmission and reception of information using the Internet, the ability to utilize various media, and the development of information morals. We plan to put the acquisition of information literacy ability at the center of the lesson and try to develop the lesson according to the skill level of each student as much as possible.

【Learning Objectives】

We aim to acquire information literacy as an expression method as well as business-related. Especially for presentations, you will actually learn the actual specifications of video editing and presentation tools (DaVinci resolve /PowerPoint) and drawing software (Inkscape) by learning the theory and methodologies.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least four hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

- ・ Fostering awareness of rights and protection in information 15%
- ・ Specific understanding of rights such as copyright and reproduction rights 15%
- ・ 70%of the degree of submission and completion of the submitted assignments imposed for each class

IDN100LA (アイデンティティー教育 / Identity studies 100)

大学を知らう <法政学>への招待 2017年度以降入学者待

小林 ふみ子、金子 匡良

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

2018年度までに「法政学への招待」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ようこそ法政大学へ！みなさんのこの大学や学部がいつどのようになり、どうして作られたのか知ってみたくはありませんか？

この授業では、創立から144年めとなる本学の歴史、校歌の成り立ち、明治期からの海外との関わり、特徴ある研究の蓄積、学生文化の今昔、卒業生の活躍など、多方面から法政大学に迫ります。最後には未来を考え、総長に提言する機会も設けます。長い歴史をもつ本学で学ぶ自らをみつめ、将来の目標やキャリアを考えてみましょう。【なお多くの学生さんに愛されてきたこの科目ですが、残念ながら2025年度をもって閉講の余儀なきに至りそうです。法政大学について学んでおきたい方は本年度中に履修してください】

【到達目標】

- ・法政大学の歴史を日本近現代史、世界史の流れのなかで理解する。
- ・「法政大学らしさ」を考え、ここで学ぶ自らの将来へのヒントを得る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、科目責任者2名のコーディネートのもと、総長以下、本学教員、卒業生等が、学部やキャンパスの垣根を超えて担当します。講義の途中や最後に内容を確認するクイズ、グループワークなどで参加型・双方向型授業にしています。毎回の学習支援システムのコメントに書かれた質問のなかから講義担当者が重要なものを選んで翌週にペーパーにして応答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「山の手」の市ヶ谷キャンパス～法政大学と地域社会	ガイダンスとして授業の概要を説明したのち、市ヶ谷キャンパス周辺地域の歴史・地理環境、本学の地域連携活動を紹介する。（小倉淳一）
2	市民社会の開明とノンエリートへの夢～法政大学と日本近現代史①	創立者の一人、青年薩埵正邦の「志」と「奮闘」を中心に、本学創立期について講義する。（科目責任者＝金子匡良）
3	ボアソナードと梅謙次郎～法政大学と日本近現代史②	開学後約30年の発展期に多大な貢献をした人物たち、その民法制定への関わりを学ぶ。（岡孝）
4	リベラリズムの潮流～法政大学と日本近現代史③	本学で教えた夏目漱石門の内田百閒らの文学者、三木清らの哲学者たちを紹介し、そこに底流するリベラリズムを考える。図書館にある旧蔵書も紹介。（衣笠正晃）
5	学生生活の今昔	写真や映像を交えて学生文化史を振り返る。戦時下の学徒出陣にも触れる。（古保達郎）

6	アジアからみつめる～法政大学と国際社会	20世紀初頭の清国留学生受け入れに始まる本学の国際関係を、近隣のアジア諸国を中心に概観する。（高柳俊男）
7	校歌「よき師よき友つどひ結び」	成立背景や作詞・作曲者、歌詞の意味などについて知り、応援団のパフォーマンスを見ながらアカデミー合唱団のみなさんより歌唱指導を受ける予定。（兄美川孝一郎）
8	大内総長とその時代～法政大学と日本近現代史④	戦後の本学の復興・発展期を担った大内兵衛総長の功績とその教育的理想を考える。（横内正雄）
9	先輩からのエール	社会で活躍する卒業生の体験を聞き、本学で学ぶ意義や可能性を考える。今年度は留学経験を経て日本酒の魅力に目覚め、あえて酒蔵の経営に乗りだした先輩をお呼びしています。
10	ユニークな研究所	多数の研究所のうち他大に類例がなく、研究実績で世に知られる能楽研究所、沖縄文化研究所、大原社会問題研究所について知る。
11	近年の発展～法政大学と日本近現代史⑤	本学が大きく変貌した90年代以降の改革と、市ヶ谷に設置された国際文化・人間環境学部について学ぶ。（職員・各学部教員）
12	近年の発展～法政大学と日本近現代史⑥、そして未来へ	前回に引き続き2000年代に市ヶ谷に設置されたキャリアデザイン学部・GIS（グローバル教養学部）について学ぶ。
13	「自由と進歩」と法政大学憲章～「法政らしさ」を考える	法政大学の学風として掲げられてきた「自由と進歩」から「法政大学憲章」へ、この講義の内容をふり振り返りつつ「法政大学らしさ」を考える。（科目責任者＝小林ふみ子）
14	まとめのワーク	「法政大学と自分たちの未来」を話しあい、将来の法政大学への提言をする。本学の教学担当理事の講評を受け、もっとも優れた発表に総長賞を授与する。（ダイアナ・コー総長、科目責任者＝小林）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、講師は代わりますが、一つの流れになっています。配付資料を読み直し、紹介した参考文献にも目を通すようにしましょう。オープン5周年を迎えるHOSEIミュージアムは必見。予習復習をかねてぜひ見学を！ デジタル展示でつぎつぎと新しい情報が出てきます。その他関連する特別展示なども紹介、見学を推奨します。なお、本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

写真でみせる『法政大学1880-2000 そのあゆみと展望』から抜粋本をつくり、授業支援システムに掲載します。さらに充実したバージョンはテキストとして生協で販売します。

【参考書】

毎回、適宜お知らせします。本学の大学史については、上述書のほか『法政大学八十年史』『法政大学百年史』『法政大学と戦後五〇年』などがあります。

【成績評価の方法と基準】

毎回の学習支援システムのコメントにみえる取り組み70%、期末レポート30%で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

開設15年を迎える科目で、受講生が法政大学で学ぶ自分を見つめ直す役割を果たしているようです。毎回の授業内容を、テキストとより関連づけながら進めていこう努めます。みなさんにとって興味深く、よい刺激となるようにする工夫を重ねていきます。

【学生が準備すべき機器他】

配付資料類は、学習支援システムを通じても配付します。

【その他の重要事項】

- ・入学した段階で、本学で学ぶことの意味を考えられるよう1年次での履修を推奨します。2年生以上の受講もちろん歓迎します。
- ・この授業で法政大学の経てきた歴史に興味をもったら、上位科目として開講されている「法政学の探究LA・LB」にもチャレンジしてみてください。

【Outline (in English)】

(Course outline) Welcome to Hosei University! Would you like to know when, how and why your university and faculty were founded?

We will trace the more than 140-year history of Hosei University, looking at its various aspects: the university song, acceptance of overseas students, relations with other countries, distinctive research institutes, changes in student culture, outstanding graduates, etc. In the last class session, we are going to hold a discussion as to the future of our university and you can present your proposals to the university president. Hopefully this class would be a good opportunity for you to reflect on yourself who study at this university and think about your future career.

(Learning activities outside of classroom) Students will be expected to study for four hours before and after each class.

(Grading Policies) The final grade will be calculated based on the small report submitted in each class (70%) and the final report (30%).

LIT100LA（文学 / Literature 100）			⑤	忠度の最期の事	一の谷合戦で最期を遂げた平氏の武士から平忠度を取り上げ、忠度の和歌に対する情熱と勅撰集入集への思い、覚悟を決めて最期を迎える様子などを読み取っていく。
日本古典文学 A			2017年度以降入学者		
サブタイトル：中世文学を読み解く					
表 きよし			⑥	敦盛最期の事	一の谷合戦で最期を遂げた平氏の武士から平敦盛を取り上げ、十七歳の若武者ながら高貴な武士としてのプライドを保つ敦盛の健気さと、敦盛を討った熊谷次郎直実の心の変化を読み取っていく。
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火4/Tue.4 単位数：2単位 その他属性：〈優〉			⑦	逆槽の事	四国の屋島へ逃れた平氏を討つために義経が都を出発する様子や、大坂の港での逆槽設置をめぐる梶原景時との激しい論争、悪天候の中船出を強行する義経の思いを読み取っていく。
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 日本古典文学の代表的な作品である『平家物語』を読み、一の谷合戦・屋島合戦・壇の浦合戦という三つの合戦を通して平氏が滅亡に追い込まれていく様子を考察する。登場する人物たちの活躍がどのように描かれているかを細かく分析するとともに、その合戦の持つ意味を作者がどのようにとらえているかを明らかにする。『平家物語』が語られた作品であることにも留意しながら、言葉による表現の可能性を探る。			⑧	大坂越の事・嗣信最期の事	四国の阿波に上陸した義経が陸路を通して屋島を急襲する様子や、慌てた平氏が海上へと逃れる様子、海岸での戦いで義経の部下である佐藤嗣信が戦死する様子を読み取っていく。
【到達目標】 『平家物語』の多彩な登場人物の個性、さまざまな合戦などの出来事の内容、『平家物語』という作品の特色を理解し説明することができる。古典文学作品の面白さを味わうことができる。			⑨	那須与一の事	夕刻となって戦いが中断となりそうな時に平氏が扇の形的を船に立てた理由や、射手に選ばれた那須与一が厳しい状況の中で見事に任務をやり遂げる様子を読み取っていく。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1			⑩	壇の浦合戦の事・遠矢の事	最後の合戦である壇の浦合戦がどのような状況で始まっていくか、合戦を目前にしての義経と梶原景時との対立、平氏のリーダー平宗盛の決断力のない姿などを読み取っていく。
【授業の進め方と方法】 『平家物語』後半の、三つの合戦に関する部分を毎回1〜2段ずつ取り上げて講義していく。各段で事件・人物がどのように描かれているかを分析しながら内容を理解していく。 授業の最後のリアクションペーパーを提出してもらう。多くの人から質問があった事柄については次の授業の中で回答する。			⑪	先帝御入水の事	阿波民部重能の寝返りなどにより平氏の敗戦が決定的になる様子や、平氏の副リーダー平知盛の人々に覚悟を促す行動、先頭を切って安徳天皇とともに海中に沈む二位殿の覚悟などを読み取っていく。
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 なし /No			⑫	能登殿最期の事	入水したが救出されてしまう建礼門院、覚悟が決まらず生け捕りとなる平宗盛、あくまでも戦おうとする平教経、みんなの最期を見届けて入水する平知盛など、平氏の人々の最期の有様を読み取っていく。
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし /No			⑬	腰越の事	平氏が滅亡に追い込んだ源義経が、兄の源頼朝との関係が悪化したために鎌倉入りを拒否され、自らの思いを腰越状に認めるがついに許されず、苦境に陥っていく様子を読み取っていく。
【授業計画】 授業形態：対面/face to face			⑭	全体のまとめと試験	今までの授業を振り返りながら、登場人物の特徴が把握できたか、それぞれの合戦の様子が把握できたか、『平家物語』の特色を理解できたかを確認する。
回	テーマ	内容			
①	『平家物語』の特色	授業の進め方、教科書などについて説明し、授業に対する心構えをしっかりとさせる。『平家物語』の特色を説明し、どのような点に留意しながら読んだらよいかを把握してもらう。			
②	『平家物語』の内容展開	『平家物語』の最初から最後まで話の展開を説明する。どのような出来事が起きるかを把握しておくことにより、以後の授業に順調に対応できるようにしてもらう。			
③	木曾の最期の事	義経が都に攻め入ったために追い詰められた義仲が、あえて範頼軍が待ち構える琵琶湖へと向かう様子や、乳母子の今井兼平や愛妾の巴との心のつながりを読み取っていく。			
④	老馬の事・坂落しの事	平氏が態勢を整えて待つ一の谷へと範頼・義経が向かっていく様子や、義経が坂落しと呼ばれる奇襲戦法を実行していく様子、それにより平氏が大混乱に陥る様子を読み取っていく。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習として、授業で取り上げる段に必ず事前に目を通し、どのような内容が書かれているか、わかりにくい部分はないかを確認しておく。授業で取り上げることができない段についてもおおよその内容を把握するように心がける。復習として、授業内容をしっかり再確認し、わからなかった部分はまず自分で調べてみる。『平家物語』に関する解説書はたくさん出版されているので、それらを読むことで『平家物語』に関する知識を自分でも補強していく。本授業の準備学習・復習時間は、1回の授業につき4時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『角川ソフィア文庫 平家物語 下巻』。佐藤謙三校註。角川学芸出版。1959年。776円。

【参考書】

千明守著『平家物語が面白いほどわかる本』中経出版。2004年。
梶原正昭著『古典講読・平家物語』岩波書店。2014年。
日下力『平家物語転読』笠間書院。2006年。
山下宏明『平家物語入門・琵琶法師の「平家」を読む』笠間書院。2012年。

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業後に提出するリアクションペーパーの点数（50％）と期末試験の点数（50％）を総合して成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】

『平家物語』は登場人物が多彩なため、人物関係の把握が難しい。その点に留意しながら授業を進めていくようにしたい。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

Read the "The Tale of the Heike" which is a typical work of Japanese classical literature and consider how Heike clan is being driven to ruin through three battles of Ichinotani battle, Yasima battle and Dannoura battle. We analyze in detail how the activities of the appearing people are depicted and clarify how the author sees the meaning of the battle. While paying attention to the fact that "Heike Monogatari" was spoken, We explore the possibilities of expression by means of words.

【Learning Objectives】

You can understand and explain the individuality of various characters in "The Tale of the Heike", the contents of events such as various battles, and the characteristics of the work "The Tale of the Heike". You can enjoy the fun of classical literary works.

【Learning activities outside of classroom】

As a preparatory study, be sure to read the stages covered in the class in advance to see what kind of content is written and whether there are any parts that are difficult to understand. Try to grasp the approximate contents of the steps that cannot be taken up in the class. As a review, reconfirm the content of the lesson, and first try to find out what you did not understand. Many commentary books on "The Tale of the Heike" have been published, so reading them will reinforce your knowledge of "The Tale of the Heike". The standard preparatory study /review time for this class is 2 hours each.

【Gradeing Policy】

Comeprehensive score of the assignment report (50%) submitted after each class and the score of the term-end report (50%) that reports the results of investigating and considering the theme of "The Tale of the Heike". And evaluate the grade.

LIT100LA (文学 / Literature 100)			④	伊勢三郎との出会い	関東で自分に冷たい態度をとった人物の家を焼き払う義経の過激な行動や、上野国で伊勢三郎の家に泊めてもらい、義経が優れた人物であることを見抜いた伊勢三郎が義経の家来となる様子を読み取っていく。
日本古典文学 B			⑤	義経と兵法書	奥州平泉に身を落着けた義経だが、平氏の情報を入手するため都に舞い戻り、周囲の人々にも助けられながら、鬼一法眼が所持していた兵法書を盗み読む様子を読み取っていく。
サブタイトル：中世文学を読み解く			⑥	弁慶の誕生と成長	弁慶が生まれた時から人並みはずれた様子だったことや、延暦寺の稚児となってからも暴れ回って寺を追放される様子など、弁慶の波乱に富んだ人生の始まりの様子を読み取っていく。
表 きよし			⑦	義経・弁慶の出会い	京都に戻った弁慶と義経の出会いには、千本太刀奪いと千人斬りという二つのパターンがある。それぞれがどのような内容で、どのような特色を持っているのかを読み取っていく。
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：火4/Tue.4 単位数：2単位			⑧	義経・弁慶の主従契約	清水寺や五条大橋での戦いにより、義経と弁慶は主従の関係を結んでいく。戦いながらも惹かれあっていく二人の息の合った様子や心の結び付きを読み取っていく。
その他属性：〈優〉			⑨	頼朝からの刺客	平氏を倒すために大活躍した義経だったが、兄の頼朝との関係が悪化して鎌倉に入らず京都で生活を送る。そんな義経のもとに刺客が送りこまれ、義経がそれを退ける様子を読み取っていく。
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 中世において悲劇的な英雄として人気を集めた源義経と弁慶を取り上げ、『平治物語』『義経記』『お伽草子』などの古典文学作品や、能・歌舞伎などの古典芸能における二人の描かれ方やその変化を比較検討し、人々が二人の英雄に求めた理想像を、作者が作品を通してどのように表現しようとしているかを明らかにする。これらの考察を通して、文学作品成立の背景にある様々な伝説や、文学作品が伝説の流布に果たした役割を考える。			⑩	義経・弁慶の都落	鎌倉から大軍が京都に向かったため、義経は京都を離れて西国へ向かうことにする。大坂から船出した義経一行が暴風に遭遇して危機に陥る様子を読み取っていく。
【到達目標】 義経・弁慶伝説の内容を把握・理解し、説明することができる。人々がどのような思いを込めてこれらの伝説を生み出し流布させていったかを考えるとともに、古典文学や古典芸能の面白さを味わうことができる。			⑪	静との別れ	義経は潜伏生活にも愛妾の静を伴っていたが、吉野山で泣く泣く別れることになる。吉野山で捕えられて鎌倉へ送られた静の行動を通して、静の性格を読み取っていく。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1			⑫	義経・弁慶の北国落	吉野山などで潜伏生活を送っていた義経は、山伏姿となって奥州平泉へ向かう。途中あちらこちらで疑われるが、弁慶の機転により危機を乗り越えていく様子を読み取っていく。
【授業の進め方と方法】 授業計画に示したように、毎回テーマを決めて授業を行う。源義経や弁慶をめぐる出来事が文学作品にどのように描かれているか確認しながら、それぞれの話の特色を理解していく。 授業の最後にリアクションペーパーを提出してもらう。多くの人から質問があった事柄については次回の授業の中で回答する。			⑬	義経・弁慶の最期	奥州平泉にたどり着いて平穏な日々を送っていた義経だが、良き理解者だった藤原秀衡の死によって追い詰められる。義経を守り抜こうとする弁慶の様子や、義経の最期の有様を読み取っていく。
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 なし / No			⑭	全体のまとめと試験	今までの授業を振り返りながら、登場人物の特徴が把握できたか、出来事の様子が把握できたか、義経伝説の特徴を理解できたかを確認する。
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
①	義経・弁慶の生涯	この授業の内容や進め方などについて説明し、授業に対する心構えをしっかりとさせる。義経・弁慶の生涯を把握することにより、今後の授業に順調に取り組めるようにする。			
②	鞍馬寺での義経	生まれた年に平治の乱によって父を失い、母とも引き離されて鞍馬寺の稚児となる義経の様子や、鞍馬山の僧正が谷で平氏を倒すため武術の修業に励む義経の健気な姿を読み取っていく。			
③	義経の東国下り	僧になることを嫌って鞍馬寺を脱出した義経が金商人吉次とともに東国へ旅立つ様子や、鏡の宿で盗賊に襲撃されるが戦って見事に退治する義経の活躍ぶりを読み取っていく。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習として、授業で取り上げる話について、事前にプリントをよく読んでおおよその内容を把握しておく。復習として、授業の中で疑問に思った事について自分なりに調べてみる。源義経に関する書物はたくさん出版されているので、そのうちのいくつかを読み、様々な角度から義経・弁慶の様子を理解できるようにする。本授業の準備学習・復習時間は、1回の授業につき4時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

安価で入手できる教科書がないため使用しない。各回の授業に必要な古典文学作品の本文を記載したプリントを学習支援システムに掲載する。

【参考書】

岡見正雄校注『日本古典文学大系・義経記』岩波書店。1959年。
梶原正昭校注『新編日本古典文学全集・義経記』小学館。1999年。

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業後に提出するリアクションペーパーの点数（50％）と期末試験の点数（50％）を総合して成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】

義経伝説は能や歌舞伎などの古典芸能の題材ともなっており、これらの芸能の作品に関心を持つ学生が多い。適宜、古典芸能の作品にも言及するようにしたい。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

Taking a look at Minamoto Yoshitune and Benkei who gained popularity as a tragic hero in the Middle Ages, they are drawn by classical literary works such as "Heiji Monogatari", "Gikeiki" and "Otogisoushi" and classical performing arts such as Noh and Kabuki Comparing people and their changes, we will clarify how the author tries to express ideal images that people asked through their works. Through these considerations, consider various legends behind the formation of literary works and the role that literary works played in the legendary dissemination.

【Learning Objectives】

Be able to understand, and explain the contents of Yoshitsune and Benkei legends. You can think about how people thought about creating and spreading these legends, and enjoy the fun of classical literature and entertainment.

【Learning activities outside of classroom】

As a preparatory study, read the prints carefully in advance to understand the approximate contents of the stories to be taken up in class. As a review, I will try to find out what I wondered in class. Many books on Minamoto no Yoshitsune have been published, so read some of them so that you can understand the situation of Yoshitsune and Benkei from various angles. The standard preparation /review time for this lesson is 4 hours per lesson.

【Grading Policy】

The score of the assignment report submitted after each class (50%) and the score of the term-end report (50%) that reports the results of investigating and considering the Yoshitsune legend by setting its own theme are combined. Perform grade evaluation.

LIT100LA (文学 / Literature 100)

日本古典文学 A

2017年度以降入学者

サブタイトル：『竹取物語』を読む 一知っていそうで知らない
かぐや姫

園 明美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

『竹取物語』は、現存する我が国最古の物語である。

この物語については、おとぎ話の「かぐや姫のお話」として、幼い頃に絵本や紙芝居で親しんだ人も多いであろう。また、2013年にはアニメ映画化もされて話題になった。

しかし、原典である『竹取物語』を読む機会は、意外に少ないのではないか。

実をいうと、原典の『竹取物語』には、おとぎ話やアニメーションのかぐや姫からは想像できないようなかぐや姫の姿が随所に見られるのである。

本授業では、『竹取物語』の原典を読むことを通して、学生諸君それぞれの「かぐや姫像」・「竹取物語」像を見出ししてほしい。

【到達目標】

『竹取物語』のストーリー展開を、原典の本文を中心に追いながら、おとぎ話やアニメーションに描かれた姿との比較や、背景となる史実や当時の習慣等を知ることを通して、理解を深めてゆく。

なお、受験勉強の古文ではないので、文法等にこだわるのではなく、「何が語られているのか」の理解を目指し、可能な限りかみ砕いて解説を行うので、高校時代に古文が苦手だったという人も心配しないでよい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。

なお、毎回コメントが記入できる形式の出席カード（リアクションペーパー）を配布し、寄せられたコメントの内容をフィードバックすることで、理解を含め、視野を広げることに役立てる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	ガイダンス	導入と概説
②	物語冒頭	かぐや姫の登場
③	求婚譚のはじまり	求婚者に対する無理難題
④	求婚者の受難Ⅰ	石作皇子のエピソード
⑤	求婚者の受難Ⅱ	庫持皇子のエピソード
⑥	求婚者の受難Ⅲ	右大臣阿倍御主人のエピソード
⑦	求婚者の受難Ⅳ	大納言大伴御行のエピソード
⑧	求婚者の受難Ⅴ	中納言石上麻呂足のエピソード
⑨	帝の求愛Ⅰ	興味から執着へ
⑩	帝の求愛Ⅱ	愛情の深化
⑪	かぐや姫の昇天Ⅰ	天人の迎えな予告
⑫	かぐや姫の昇天Ⅱ	地上の人々の抵抗
⑬	かぐや姫の昇天Ⅲ	月への帰還
⑭	かぐや姫の昇天Ⅳ	遣された人々の嘆き

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

一つの作品を取り扱うので、授業を受けた後、各自紹介された内容をふり返し、次のストーリー展開といかに関わりを持つのか、個々に考察を深めるよう努めてほしい。

また、受験勉強ではないので、文法等にこだわった逐語訳ではなく、エピソードの内容をかみ砕いて解説し、学生諸君に登場人物が何を感じ、いかに行動したのか？を考えてほしい。

【テキスト（教科書）】

特にテキストは定めず、毎回プリントを配付する。

【参考書】

『竹取物語（全） ビギナーズ・クラシックス 日本の古典』（角川ソフィア文庫 2011）

その他、それぞれのエピソードに関連して参考文献がある場合は、授業中に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期末にレポート課題を課し、その内容（設定したテーマに対して、自己の考えが明確に示されているか否か）によって評価する（90%）。平常点（リアクションペーパーへのコメント内容）は最終評価の参考とする（10%）。ただし、出席率が60%に満たない場合は評価の対象外とするので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

アンケートに記されたコメントから、想像以上に、現代のことと引き比べることや、逐語訳を行うのではなく、「具体的にはどういうことなのか？」を噛み砕いて解説することで、学生諸君が古典文学や歴史に興味を持つことがわかった。

したがって、今後とも「わかりやすく、文学を身近に感じられる解説」に留意したい。

また、毎回コメント欄に記された内容を紹介することにより、「自分と違う考え方を知れてよかった。理解が深まった」という意見も多数見られたので、これからも、この点を充実させてゆくつもりである。

【Outline (in English)】

This course introduces to the Tale of Taketori students taking this course.

By the end of the course, students should be able to do the following:

- ・ Understand a consciousness about The Tale of Taketori.
- ・ Recognize the customs of the Heian Period.

This class needs two hours for preparations for lessons and a review each.

It is not a literal translation of the text and aims at the action of the character and the deep understanding to feelings.

Your final grade will be calculated according to the following process: Usual performance score 10%, Reports 90%. To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

The answer to questionnaire is required every time.

LIT100LA (文学 / Literature 100)

日本古典文学 B

2017年度以降入学者

サブタイトル：『落窪物語』ー日本のシンデレラストーリーー

園 明美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

『落窪物語（おちくぼものがたり）』と聞いても、その内容が思い浮かぶ人は少ないかもしれないが、この作品は、継母に虐待されていた美しい姫君が、ある貴公子に救われてその妻となり幸せになるという構成の類似から、「日本のシンデレラストーリー」ともいわれ、後世の作品にも影響を及ぼしたものである。

本授業では、『落窪物語』の読解を通して、『源氏物語』以前に成立した整った構成を持つ「王朝家庭小説」といわれるこの作品の特性を考えてみる。

【到達目標】

『落窪物語』の本文を物語の展開に沿って紹介し、この物語の持つ特性や、当時の貴族社会の価値観を考察するとともに、現代とは異なる平安時代の習俗等も理解してゆく。

なお、受験のための古文の学習ではないので、文法等にこだわるのではなく、「何が語られているのか」の理解を目指し、可能な限りかみ砕いて解説を行うので、高校時代に古文が苦手だったという人も心配しないでよい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。

なお、毎回コメントが記入できる形式の出席カード（リアクションペーパー）を配布し、寄せられたコメントの内容をフィードバックすることで、理解を含め、視野を広げることに役立てる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	ガイダンス	導入と概説
②	物語の発端	薄幸な美しい姫君
③	恋の予感	貴公子、姫君に興味を持つ
④	恋のはじまり	姫君への求婚
⑤	秘密の結婚Ⅰ	恋の成就
⑥	秘密の結婚Ⅱ	深まる思い
⑦	姫君の不運	貴公子、継母の虐待を知る
⑧	継母の怒り	継母、姫君と貴公子の関係を知り逆上
⑨	継母の陰謀	姫君の窮地
⑩	急展開する物語	姫君、貴公子に救出される
⑪	幸せはじまり	姫君、貴公子の邸に迎えられる
⑫	報復	貴公子による仕返し
⑬	和解	それぞれの思い
⑭	物語の結末	大団円へ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。
一つの作品を取り扱うので、授業を受けた後、各自紹介された内容をふり返し、次のストーリー展開といかに関わりを持つのか、個々に考察を深めるよう努めてほしい。

また、受験勉強ではないので、文法等にこだわった逐語訳ではなく、エピソードの内容をかみ砕いて解説し、学生諸君に登場人物が何を感じ、いかに行動したのか？を考えてほしい。

【テキスト（教科書）】

特にテキストは定めず、毎回プリントを配付する。

【参考書】

新編日本古典文学全集『落窪物語・堤中納言物語』（小学館）

新日本古典文学大系『落窪物語・住吉物語』（岩波書店）

新潮日本古典集成『落窪物語』（新潮社）

その他、それぞれのエピソードに関連して参考文献がある場合は、授業中に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期末にレポート課題を課し、その内容（設定したテーマに対して、自己の考えが明確に示されているか否か）によって評価する（90%）。平常点（リアクションペーパーへのコメント内容）は最終評価の参考とする（10%）。ただし、出席率が60%に満たない場合は評価の対象外とするので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

アンケートに記されたコメントから、想像以上に、現代のことと引き比べることや、逐語訳を行うのではなく、「具体的にはどういうことなのか？」を噛み砕いて解説することで、学生諸君が古典文学や歴史に興味を持つことがわかった。

したがって、今後とも「わかりやすく、文学を身近に感じられる解説」に留意したい。

また、毎回コメント欄に記された内容を紹介することにより、「自分と違う考え方を知れてよかった。理解が深まった」という意見も多数見られたので、これからも、この点を充実させてゆくつもりである。

【Outline (in English)】

This course introduces to the Tale of Ochikubo students taking this course.

By the end of the course, students should be able to do the following:

- ・ Understand a consciousness about The Tale of Ochikubo.
- ・ Recognize the customs of the Heian Period.

This class needs two hours for preparations for lessons and a review each.

It is not a literal translation of the text and aims at the action of the character and the deep understanding to feelings.

Your final grade will be calculated according to the following process: Usual performance score 10%, Reports 90%. To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

The answer to questionnaire is required every time.

LIT100LA (文学 / Literature 100)	
日本古典文学 A	2017年度以降入学者
サブタイトル：古事記の神話を読む	
成島 知子	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：水 1/Wed.1
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「古事記」から日本の神話を読む。
古事記の上巻の神代の部分を読むことから、日本人と神とのかかわり、自然観、始源に対するイメージーション、当時の社会制度といったものを読み取るとともに、それらを表現した文学としての営みを理解し、享受する。

【到達目標】

神話の文学作品としての価値を理解する。
現代の日本社会、日本人にも通じる神・自然との関わりが古代からつながるものであることを理解する。
また他の地域の神話と比較することで始源や自然、人間以上の存在のイメージが、共通するものであることなどを理解する。
神話が現代のファンタジーを生み出す温床となっていることから、文学作品の、理解・享受・再生といった、つながりを理解する。
古文というと縁遠いものと思われがちな古典文学の中にも現代の私たちに相通じる面白みがあることを感じ取れるようになるとともに、文学史的知識を獲得し、日本の文化への興味、教養を高めることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

可能な限り教室での対面式の授業での現代語訳付のテキストを使つての講義形式。
現代語訳付なので、高校時代の古文のように現代語訳が到達点ではなく、それを踏まえた読解のための講義となる。
また、人数にもよるが、読解に関してのディスカッション、意見交換などもできたらいいと考えている。
受け身でない、授業参加姿勢を期待する。
学習支援システムを使つてのまとめ資料などの配布や、質問受付なども、必要に応じて行っていけたらと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入 日本神話とは。	古事記の成立経緯から、時代背景など。
2	創世神話1 大地の誕生のイメージ	物事の始まりを昔の人々はどう考えたのか。
3	創世神話2 古事記と日本書紀の違い	多様な始源のイメージの存在と、古事記の特性を考える。
4	イザナギ・イザナミ1 国生み神話	出産という形の、人間的な神の誕生。
5	イザナギ・イザナミ2 黄泉の国訪問と永遠の別れ	死の認識とイメージ。葬儀の風習とのかかわり

6	アマテラスとスサノヲ1 禊により生まれた神とは。	太陽神の姉と風の神の弟の対立。
7	アマテラスとスサノヲ2 天の岩戸神話を中心に	天変地異の理解と地上への追放(天の神地の神の関係性)
8	出雲神話1 八咫の大蛇	災害のイメージとマレビト神
9	出雲神話2 オオクニヌシ1 因幡の白兔を中心に考える	因幡の白兔 末子相続のイメージと、共同体同士の関係
10	出雲神話3 オオクニヌシ2 根の国とは何か	異界・黄泉の国との関係。妻の力。
11	アマテラスから地上へ くりかえされる失敗の意味するもの	天の神と地の神の関係からヤマト朝廷の支配の姿。
12	オオクニヌシの国譲りの意味するもの	支配者の変遷のイメージ 出雲神話から大和の神話へつながり
13	天孫降臨とは何か	古事記の今との関係性。政治と神事との関係性とは。
14	試験・日本神話のまとめと解説	神とはどのようなものだったか？

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業時間外の学習としては、
①身近なまたは有名な神社の祭神について興味をもつ。
②自然と人間とのかかわり方を考える。
③伝統的な年中行事の由来興味を持つ。
④6世紀から8世紀の日本史を、高校の日本史レベルで振り返っておく。
⑤ギリシャ神話など多神教の神話や神話的ファンタジー小説(「ゲド戦記」「指輪物語など」)を読む。
などを、予習・復習としてしておくことで、古事記の神話理解につながる。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

角川文庫「新版 古事記 現代語訳付き」

【参考書】

講談社学術文庫「全訳注古事記 上巻」次田真幸
講談社学術文庫「全訳注古事記 中巻」次田真幸
講談社学術文庫「全訳注古事記 下巻」次田真幸
岩波文庫「古事記の世界」西郷信綱
徳間文庫「空色勾玉」荻原規子
高校時代の日本史の年表
その他、必要に応じて授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期末に事前に発表した問題(3問から1問選択)についてのテスト(持ち込み可)を行う。
このテストが評価のほぼ100パーセント。
毎回出席をとり、50パーセント以上(7回以上)の出席をテスト受験資格とする。
評価のポイントは、
①設定された問題テーマについて古事記の文章の具体的読解をふまえて自分なりに考察し、それが論理的にの論述されているかという点、および、他人に読みやすい文章で表現できているか。
②古典文学と現代とのかかわり、自然と人間とのかかわりへの思考・理解がなされているかとなる。

【学生の意見等からの気づき】

文学作品という関係上、授業計画どおりに作品のその部分の分量により1コマの時間内に1つのテーマがうまく収まらない場合が多い。テーマが時間をまたぐ場合には、できるだけ前回の内容の振り返りをしつつ進めていく。
また、ディスカッションとはいかなくても、学生の感想・意見を聞くことを講義の中に取り入れていきたい。

数回、小テストというほどでないが、設問を出し、その回答に対して振り返りを行うことで、理解度が上がるということが、昨年のオンライン授業で経験したので、そうしたこともとり入れていきたい

【Outline (in English)】

●Outline and objectives

By reading the part of the Kojiki that deals with the age of the gods, one can grasp the relationship between the Japanese people and the gods, their view of nature, their imagination regarding origins, and the social systems of the time, while also understanding and enjoying the literary endeavor that expresses these themes.

●Work to be done outside of class

As for learning outside of class hours, ① take an interest in the deities of nearby or famous shrines. ② Consider the relationship between nature and humans. ③ Take an interest in the origins of traditional annual events. ④ Review Japanese history from the 6th to 8th century at a high school level. ⑤ Read polytheistic myths and mythological fantasy novels such as Greek mythology, 'A Wizard of Earthsea,' and 'The Lord of the Rings.' By doing these as preparation and review, it will lead to a better understanding of the myths in the 'Nihon Shoki.' The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

●Grading criteria

At the end of the semester, a test will be conducted on the problems announced in advance (choose one from three) which allows for reference materials. This test accounts for almost 100 percent of the evaluation. Attendance will be taken each time, and a minimum attendance of 50 percent (at least 7 times) is required to qualify for the test. The evaluation points are: 1) Whether the student has considered the specific reading of the text from the Kojiki based on the set problem theme, and whether it is logically articulated and expressed in a way that is easy for others to read. 2) Whether there is thought and understanding regarding the relationship between classical literature and modern times, as well as the relationship between nature and humanity.

LIT100LA (文学 / Literature 100)	
日本古典文学 B	2017年度以降入学者
サブタイトル：人間の時代の古事記から物語の始まりを考える	
成島 知子	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水1/Wed.1	
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「古事記」の人間の時代に入ってから部分を読む。
神話を背景に描かれた、人間の物語を、ヤマトタケルやサホビメを中心に読み解き、現代のファンタジーにも影響を与える古事記の魅力を考える。

【到達目標】

古文という縁遠いものと思われがちな古典文学の中にも現代の私たちに相通じる面白みがあることを感じ取れるようになるとともに、文学史的知識を獲得し、日本の文化への興味、教養を高めることを目標とする。
文学作品が享受されることから新たに文学作品が生み出される関係性も見出していく。
文学作品が成立した時代の影響を受けつつ、時代をこえて理解される価値と、その時代を理解することにより深まる作品理解・享受という2面性を踏まえ、現代の文学のありようをも視野に入れて考えたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本は教室での対面授業を想定している。
現代語訳付のテキストを使っての講義形式。
現代語訳付なので、高校時代の古文のように現代語訳が到達点ではなく、それを踏まえた読解のための講義となる。
また、人数にもよるが、読解に関するディスカッション、意見交換などもできたらいいと考えている。
学習支援支援システムを使っての、質問受付や、理解確認のための設問、まとめ資料の配布なども考えている。
受け身でない、授業参加姿勢を期待する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入・背景の説明	作品理解のための時代・制度等の背景説明
第2回	海幸山幸	神の時代から人の時代へ 他界からの助力による権力者の誕生。
第3回	神武天皇1 東征の意味	東に進むメリットはあるのかを考える
第4回	神武天皇2 神婚説話	神と権力の関係性。女性のもつ力を考える。
第5回	サホビメ・サホビコ1 兄・妹の絆	家族制度のせめぎあい。 一夫多妻制における夫と妻と兄と妹の関係性
第6回	サホビメ・サホビコ2 妹と妻と母、女性の姿	サホビメの変化・成長を読み取る
第7回	常世の国伝説	永遠へのあこがれと死

第8回	ヤマトタケル1 西征	さまざまな形で勝ち続ける英雄の姿
第9回	ヤマトタケル2 東征	戦う意味や心の支えを求めて苦悩する英雄の姿。
第10回	ヤマトタケル3 英雄の終焉	英雄とはなにか。王権との関係性。 日本書紀のヤマトタケルとの比較。
第11回	風土記のヤマトタケルと「白鳥異伝」	現代のファンタジーとの関わり。 古典の享受から生み出される現代の作品。現代にも生きる古典の意味。
第12回	神功皇后という存在はなにか	古事記の今との関わり。 持統天皇との比較
第13回	古事記下巻や万葉集にみられるヤマトヒメと天皇の恋と妻間	天皇の恋と王権の関わり、天皇や皇后へのワイドショーの興味が生み出すもの
第14回	まとめと解説・レポート提出	古事記における人間の時代とは。 下巻の終末と「古事記の今」との関わり。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業時間外の学習としては、
①6世紀から8世紀の日本史を、高校の日本史レベルで振り返っておく。
②古事記の人物理解のために、ギリシャ神話やファンタジー小説（「ゲド戦記」「指輪物語」、萩原規子、上橋菜穂子のファンタジー作品など）を読む
などが、準備・予習・復習となる。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

角川文庫「新版 古事記 現代語訳付き」

【参考書】

講談社学術文庫「全訳注 古事記 上巻」次田真幸
講談社学術文庫「全訳注 古事記 中巻」次田真幸
講談社学術文庫「全訳注 古事記 下巻」次田真幸
岩波文庫「古事記の世界」西郷信綱
徳間文庫「白鳥異伝」萩原規子
高校時代の日本史の年表などの資料
その他必要に応じて授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

古事記中巻についての学期末のレポート、4000字相当が評価の100%となる。
毎時間とる出席の半分以上(7回以上)の出席がレポート提出資格となる。
評価のポイントとしては、
①古事記中巻について、適切に問題を設定できているか
②作品の具体的な読解が、知識をふまえて適切になされたうえで、それにより自らの考えを論理的に他者にわかりやすい文章で述べられているか。
③古典文学と現代とのかかわりについてや、文学作品を通して人間理解が深まっているか
が重要な評価基準となる

【学生の意見等からの気づき】

古典文学を読むにあたって、歴史などと文学を切り結ぶ楽しみを見出す学生が増えるべく、歴史の流れなどの資料を配布するなどしていきたい。
数回、小テストというほどでないが、設問を出し、その回答に対して振り返りを行うことで、理解度が上がるということが、昨年のオンライン授業で経験したので、そうしたこともとり入れていきたい。
文学作品という関係上、作品のその部分の分量により1コマの時間内に1つのテーマがうまく収まらない場合が多い。時間をまたぐ場合には、できるだけ前回の内容の振り返りをしつつ、進めていく。
また、ディスカッションとはいかなくても、学生の感想・意見を聞くことを講義の中に取り入れていきたい。

【Outline (in English)】

Read the part of "Kojiki" from the beginning of the human era. We will read the human story drawn against the background of myths, focusing on Yamato Takeru and Sahobime, and think about the charm of Kojiki, which also affects modern fantasy.

As for learning outside of class hours, 1) review Japanese history from the 6th to 8th centuries at a high school level. 2) Read Greek mythology and fantasy novels (such as 'A Wizard of Earthsea', 'The Lord of the Rings', and fantasy works by Noriko Ogiwara and Nahoko Uehashi) to understand the characters in the 'Nihon Shoki'. These will serve as preparation, preview, and review. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading criteria

The final report on the middle volume of the Kojiki, equivalent to 4000 words, will account for 100% of the evaluation. Attendance of more than half of the classes (7 times or more) is required to qualify for report submission. The evaluation points are as follows: 1) Whether appropriate questions can be set regarding the middle volume of the Kojiki; 2) Whether the specific reading of the work is conducted appropriately based on knowledge, and whether one's own thoughts are expressed in a logical and understandable manner to others; 3) Whether there is an understanding of the relationship between classical literature and modern times, and whether understanding of humanity has deepened through literary works.

LIT100LA (文学 / Literature 100)

日本古典文学 A

2017年度以降入学者

サブタイトル：古事記の神話を読む

成島 知子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「古事記」から日本の神話を読む。

古事記の上巻の神代の部分を読むことから、日本人と神とのかかわり、自然観、始源に対するイメージーション、当時の社会制度といったものを読み取るとともに、それらを表現した文学としての営みを理解し、享受する。

【到達目標】

神話の文学作品としての価値を理解する。

現代の日本社会、日本人にも通じる神・自然との関わりが古代からつながるものであることを理解する。

また他の地域の神話と比較することで始源や自然、人間以上の存在のイメージが、共通するものであることなどを理解する。

神話が現代のファンタジーを生み出す温床となっていることから、文学作品の、理解・享受・再生といった、つながりを理解する。

古文というと縁遠いものと思われがちな古典文学の中にも現代の私たちに相通じる面白みがあることを感じ取れるようになるとともに、文学史的知識を獲得し、日本の文化への興味、教養を高めることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

可能な限り教室での対面式の授業での現代語訳付のテキストを使つての講義形式。

現代語訳付なので、高校時代の古文のように現代語訳が到達点ではなく、それを踏まえた読解のための講義となる。

また、人数にもよるが、読解に関してのディスカッション、意見交換などもできたらいいと考えている。

受け身でない、授業参加姿勢を期待する。

学習支援システムを使つてのまとめ資料などの配布や、質問受付なども、必要に応じて行っていけたらと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入 日本神話とは。	古事記の成立経緯から、時代背景など。
2	創世神話1 大地の誕生のイメージ	物事の始まりを昔の人々はどう考えたのか。
3	創世神話2 古事記と日本書紀の違い	多様な始源のイメージの存在と、古事記の特性を考える。
4	イザナギ・イザナミ1 国生み神話	出産という形の、人間的な神の誕生。
5	イザナギ・イザナミ2 黄泉の国訪問と永遠の別れ	死の認識とイメージ。葬儀の風習とのかかわり

6	アマテラスとスサノヲ1 禊により生まれた神とは。	太陽神の姉と風の神の弟の対立。
7	アマテラスとスサノヲ2 天の岩戸神話を中心に	天変地異の理解と地上への追放(天の神地の神の関係性)
8	出雲神話1 八咫の大蛇	災害のイメージとマレビト神
9	出雲神話2 オオクニヌシ1 因幡の白兔を中心に考える	因幡の白兔 末子相続のイメージと、共同体同士の関係
10	出雲神話3 オオクニヌシ2 根の国とは何か	異界・黄泉の国との関係。妻の力。
11	アマテラスから地上へ くりかえされる失敗の意味するもの	天の神と地の神の関係からヤマト朝廷の支配の姿。
12	オオクニヌシの国譲りの意味するもの	支配者の変遷のイメージ 出雲神話から大和の神話へのつながり
13	天孫降臨とは何か	古事記の今との関係性。 政治と神事との関係性とは。
14	試験・日本神話のまとめと解説	神とはどのようなものだったか？

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業時間外の学習としては、

- ①身近なまたは有名な神社の祭神について興味をもつ。
 - ②自然と人間とのかかわり方を考える。
 - ③伝統的な年中行事の由来興味を持つ。
 - ④6世紀から8世紀の日本史を、高校の日本史レベルで振り返っておく。
 - ⑤ギリシャ神話など多神教の神話や神話的ファンタジー小説(「ゲド戦記」「指輪物語など」)を読む。
- などを、予習・復習としてしておくことで、古事記の神話理解につながる。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

角川文庫「新版 古事記 現代語訳付き」

【参考書】

講談社学術文庫「全訳注古事記 上巻」次田真幸
講談社学術文庫「全訳注古事記 中巻」次田真幸
講談社学術文庫「全訳注古事記 下巻」次田真幸
岩波文庫「古事記の世界」 西郷信綱
徳間文庫「空色勾玉」 荻原規子
高校時代の日本史の年表
その他、必要に応じて授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期末に発表した問題(3問から1問選択)についてのテスト(持ち込み可)を行う。

このテストが評価のほぼ100パーセント。

毎回出席をとり、50パーセント以上(7回以上)の出席をテスト受験資格とする。

評価のポイントは、

- ①設定された問題テーマについて古事記の文章の具体的読解をふまえて自分なりに考察し、それが論理的にの論述されているかという点、および、他人に読みやすい文章で表現できているか。
- ②古典文学と現代とのかかわり、自然と人間とのかかわりへの思考・理解がなされているかとなる。

【学生の意見等からの気づき】

文学作品という関係上、授業計画どおりに作品のその部分の分量により1コマの時間内に1つのテーマがうまく収まらない場合が多い。テーマが時間をまたぐ場合には、できるだけ前回の内容の振り返りをしつつ進めていく。

また、ディスカッションとはいかなくても、学生の感想・意見を聞くことを講義の中に取り入れていきたい。

数回、小テストというほどでないが、設問を出し、その回答に対して振り返りを行うことで、理解度が上がるということが、昨年のオンライン授業で経験したので、そうしたこともとり入れていきたい

【Outline (in English)】

●Outline and objectives

By reading the part of the Kojiki that deals with the age of the gods, one can grasp the relationship between the Japanese people and the gods, their view of nature, their imagination regarding origins, and the social systems of the time, while also understanding and enjoying the literary endeavor that expresses these themes.

●Work to be done outside of class

As for learning outside of class hours, ① take an interest in the deities of nearby or famous shrines. ② Consider the relationship between nature and humans. ③ Take an interest in the origins of traditional annual events. ④ Review Japanese history from the 6th to 8th century at a high school level. ⑤ Read polytheistic myths and mythological fantasy novels such as Greek mythology, 'A Wizard of Earthsea,' and 'The Lord of the Rings.' By doing these as preparation and review, it will lead to a better understanding of the myths in the 'Nihon Shoki.' The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

●Grading criteria

At the end of the semester, a test will be conducted on the problems announced in advance (choose one from three) which allows for reference materials. This test accounts for almost 100 percent of the evaluation. Attendance will be taken each time, and a minimum attendance of 50 percent (at least 7 times) is required to qualify for the test. The evaluation points are: 1) Whether the student has considered the specific reading of the text from the Kojiki based on the set problem theme, and whether it is logically articulated and expressed in a way that is easy for others to read. 2) Whether there is thought and understanding regarding the relationship between classical literature and modern times, as well as the relationship between nature and humanity.

LIT100LA (文学 / Literature 100)	
日本古典文学 B	2017年度以降入学者
サブタイトル：人間の時代の古事記から物語の始まりを考える	
成島 知子	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水2/Wed.2	
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「古事記」の人間の時代に入ってから部分を読む。
神話を背景に描かれた、人間の物語を、ヤマトタケルやサホビメを中心に読み解き、現代のファンタジーにも影響を与える古事記の魅力を考える。

【到達目標】

古文という縁遠いものと思われがちな古典文学の中にも現代の私たちに相通じる面白みがあることを感じ取れるようになるとともに、文学史的知識を獲得し、日本の文化への興味、教養を高めることを目標とする。
文学作品が享受されることから新たに文学作品が生み出される関係性も見出していく。
文学作品が成立した時代の影響を受けつつ、時代をこえて理解される価値と、その時代を理解することにより深まる作品理解・享受という2面性を踏まえ、現代の文学のありようをも視野に入れて考えたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本は教室での対面授業を想定している。
現代語訳付のテキストを使っての講義形式。
現代語訳付なので、高校時代の古文のように現代語訳が到達点ではなく、それを踏まえた読解のための講義となる。
また、人数にもよるが、読解に関するディスカッション、意見交換などもできたらいいと考えている。
学習支援システムを使っての、質問受付や、理解確認のための設問、まとめ資料の配布なども考えている。
受け身でない、授業参加姿勢を期待する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入・背景の説明	作品理解のための時代・制度等の背景説明
第2回	海幸山幸	神の時代から人の時代へ 他界からの助力による権力者の誕生。
第3回	神武天皇1 東征の意味	東に進むメリットはあるのかを考える
第4回	神武天皇2 神婚説話	神と権力の関係性。女性のもつ力を考える。
第5回	サホビメ・サホビコ1 兄・妹の絆	家族制度のせめぎあい。 一夫多妻制における夫と妻と兄と妹の関係性
第6回	サホビメ・サホビコ2 妹と妻と母、女性の姿	サホビメの変化・成長を読み取る
第7回	常世の国伝説	永遠へのあこがれと死

第8回	ヤマトタケル1 西征	さまざまな形で勝ち続ける英雄の姿
第9回	ヤマトタケル2 東征	戦う意味や心の支えを求めて苦悩する英雄の姿。
第10回	ヤマトタケル3 英雄の終焉	英雄とはなにか。王権との関係性。 日本書紀のヤマトタケルとの比較。
第11回	風土記のヤマトタケルと「白鳥異伝」	現代のファンタジーとの関わり。 古典の享受から生み出される現代の作品。現代にも生きる古典の意味。
第12回	神功皇后という存在はなにか	古事記の今との関わり。 持統天皇との比較
第13回	古事記下巻や万葉集にみられるヤマトヒメと天皇の恋と妻間	天皇の恋と王権の関わり、天皇や皇后へのワイドショーの興味が生み出すもの
第14回	まとめと解説・レポート提出	古事記における人間の時代とは。 下巻の終末と「古事記の今」との関わり。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業時間外の学習としては、
①6世紀から8世紀の日本史を、高校の日本史レベルで振り返っておく。
②古事記の人物理解のために、ギリシャ神話やファンタジー小説（「ゲド戦記」「指輪物語」、萩原規子、上橋菜穂子のファンタジー作品など）を読む
などが、準備・予習・復習となる。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

角川文庫「新版 古事記 現代語訳付き」

【参考書】

講談社学術文庫「全訳注 古事記 上巻」次田真幸
講談社学術文庫「全訳注 古事記 中巻」次田真幸
講談社学術文庫「全訳注 古事記 下巻」次田真幸
岩波文庫「古事記の世界」西郷信綱
徳間文庫「白鳥異伝」萩原規子
高校時代の日本史の年表などの資料
その他必要に応じて授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

古事記中巻についての学期末のレポート、4000字相当が評価の100%となる。
毎時間とする出席の半分以上(7回以上)の出席がレポート提出資格となる。
評価のポイントとしては、
①古事記中巻について、適切に問題を設定できているか
②作品の具体的な読解が、知識をふまえて適切になされたうえで、それにより自らの考えを論理的に他者にわかりやすい文章で述べられているか。
③古典文学と現代とのかわりについてや、文学作品を通して人間理解が深まっているか
が重要な評価基準となる

【学生の意見等からの気づき】

古典文学を読むにあたって、歴史などと文学を切り結ぶ楽しみを見出す学生が増えるべく、歴史の流れなどの資料を配布するなどしていきたい。
数回、小テストというほどでないが、設問を出し、その回答に対して振り返りを行うことで、理解度が上がるということが、昨年のオンライン授業で経験したので、そうしたこともとり入れていきたい。
文学作品という関係上、作品のその部分の分量により1コマの時間内に1つのテーマがうまく収まらない場合が多い。時間をまたぐ場合には、できるだけ前回の内容の振り返りをしつつ、進めていく。
また、ディスカッションとはいかなくても、学生の感想・意見を聞くことを講義の中に取り入れていきたい。

【Outline (in English)】

Read the part of "Kojiki" from the beginning of the human era. We will read the human story drawn against the background of myths, focusing on Yamato Takeru and Sahobime, and think about the charm of Kojiki, which also affects modern fantasy.

As for learning outside of class hours, 1) review Japanese history from the 6th to 8th centuries at a high school level. 2) Read Greek mythology and fantasy novels (such as 'A Wizard of Earthsea', 'The Lord of the Rings', and fantasy works by Noriko Ogiwara and Nahoko Uehashi) to understand the characters in the 'Nihon Shoki'. These will serve as preparation, preview, and review. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading criteria

The final report on the middle volume of the Kojiki, equivalent to 4000 words, will account for 100% of the evaluation. Attendance of more than half of the classes (7 times or more) is required to qualify for report submission. The evaluation points are as follows: 1) Whether appropriate questions can be set regarding the middle volume of the Kojiki; 2) Whether the specific reading of the work is conducted appropriately based on knowledge, and whether one's own thoughts are expressed in a logical and understandable manner to others; 3) Whether there is an understanding of the relationship between classical literature and modern times, and whether understanding of humanity has deepened through literary works.

LIT100LA (文学 / Literature 100)

日本近・現代文学A

2017年度以降入学者

サブタイトル：恐怖と不安から読む近代文学史

細沼 祐介

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

近現代の文学を「恐怖」や「不安」という感情をテーマに読み解いていきます。

これらの感情はネガティブなものです、それだけに人間の根源に根差したものであり、直感的な違和感の表明に他なりません。

近現代の作家たちがどのような「恐怖」や「不安」を感じ、それを作品で表現したかを通じて、近現代という激動の時代の特異性について考察していきます。

なお、この講義はあくまでも著名な作品に表現された「恐怖」や「不安」をテーマにするものであり、いわゆるホラー作品を主眼としたものではないことに注意してください。

【到達目標】

- ①「恐怖」や「不安」などの感情の概略や機能を知る
- ②それらが近現代の文学作品にどのように表現されているかを読み解く
- ③作品読解を通じて近現代という時代区分の特徴を学ぶ

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各テーマごとに三時間を割り、様々な文学作品を紹介しながら全体に迫っていきます。

講義内では各作品の概要やあらすじについても解説しますが、可能な限り自身で読み、作家たちの味わった「恐怖」や「不安」を自身の身体で体感してみてください。

授業ごとにはリアクションペーパーの提出を行い、学んだこと的应用や実践にも挑戦していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	「恐怖」と「不安」の哲学概論
第2回	「近代化する社会」へ	消滅していく前近代の恐怖と不安①
第3回	「近代化する社会」へ	功利主義の功罪の恐怖と不安②
第4回	「近代化する社会」へ	かくあらねばならない社会の恐怖と不安③
第5回	「分断された個」であ	「私」
第6回	「分断された個」であ	「近代的自我」について
		ることへの恐怖と不安①
		「分断された個」であ
		捏造されていく内面
		ることへの恐怖と不安②

第7回 「分断された個」であ 「自由」であることの代償することへの恐怖と不安③

第8回 「私の知らない私」へ 「自意識」の誕生の恐怖と不安①

第9回 「私の知らない私」へ 「私」に連なる無数の「私」の恐怖と不安②

第10回 「私の知らない私」へ 才能という呪縛の恐怖と不安③

第11回 「主義」への恐怖と不安 ① 道具としての「主義」

第12回 「主義」への恐怖と不安 ② 社会運動の暴走

第13回 「主義」への恐怖と不安 ③ 全体主義の浸食

第14回 総括 まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

上述のように、紹介した作品を可能な限り読んでおきましょう。作品は実際に鑑賞してこそです。よって本授業の準備学習・復習時間は、合計4時間を標準とし、復習時間としての読書に多くを割くことが望ましいです。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

講義内で適宜紹介する作品を読んでください。

前提として文学史の一般的な概略を学べるものとしては、

安藤宏『日本近代小説史』（中公選書、2015年）

がおすすめです。

【成績評価の方法と基準】

平常点5割、期末レポート5割。なお平常点はリアクションペーパーで評価を行います。

成績に反映する以上、リアクションペーパーは毎授業ごとにかなりの文字数のものを要求するので、覚悟しておいてください。

【学生の意見等からの気づき】

大人数講義のため、私語をする学生が時折発生し、大変邪魔です。都度注意を行います、今後厳重なペナルティも考えていきます。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出や資料配布に学習支援システムを使用します。

【その他の重要事項】

関連した内容を春学期と秋学期で学んでいくため、可能であれば併せての履修が望ましいです。

また、初回はオンデマンド形式での実施とします。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course introduces modern literature through the emotions of "fear" and "anxiety."

【Learning Objectives】

The goal of this course is to give you a deeper understanding how 'fear' and 'anxiety' are expressed in modern literature.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report: 50%, in class contribution: 50%.

LIT100LA (文学 / Literature 100)

日本近・現代文学B

2017年度以降入学者

サブタイトル：恐怖と不安から読む近代文学史

細沼 祐介

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は2025年4月2日(水)17時～4日(金)正午12時、結果発表は4月5日(土)22時予定です。履修ガイド(<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>)を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

近現代の文学を「恐怖」や「不安」という感情をテーマに読み解いていきます。

これらの感情はネガティブなものです、それだけに人間の根源に根差したものであり、直感的な違和感の表明に他なりません。

近現代の作家たちがどのような「恐怖」や「不安」を感じ、それを作品で表現したかを通じて、近現代という激動の時代の特異性について考察していきます。

なお、この講義はあくまでも著名な作品に表現された「恐怖」や「不安」をテーマにするものであり、いわゆるホラー作品を主眼としたものではないことに注意してください。

「日本近・現代文学A」に引き続き戦後を主として扱います。

【到達目標】

- ①「恐怖」や「不安」などの感情の概略や機能を知る
- ②それらが近現代の文学作品にどのように表現されているかを読み解く
- ③作品読解を通じて近現代という時代区分の特徴を学ぶ

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各テーマごとに三時間を割り、様々な文学作品を紹介しながら全体に迫っていきます。

講義内では各作品の概要やあらすじについても解説しますが、可能な限り自身で読み、作家たちの味わった「恐怖」や「不安」を自身の身体で体感してみてください。

授業ごとにはリアクションペーパーの提出を行い、学んだことの応用や実践にも挑戦していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	「恐怖」と「不安」についての復習
第2回	「戦争」の恐怖と不安①	戦場の絶望
第3回	「戦争」の恐怖と不安②	圧倒的な暴力と開放
第4回	「戦争」の恐怖と不安③	埋没する個人の死
第5回	「間に合わなかったこと」への恐怖と不安①	「戦後」への失望

第6回	「間に合わなかったこと」への恐怖と不安②	贖罪意識の行方
第7回	「間に合わなかったこと」への恐怖と不安③	「死にぞびれる」こと
第8回	「物語の喪失」への恐怖と不安①	「大きなもの」の欠如感
第9回	「物語の喪失」への恐怖と不安②	仮構される「物語」たち
第10回	「物語の喪失」への恐怖と不安③	「物語」の拡散と縮小
第11回	「拡大していく他者」への恐怖と不安①	隠されていく「私」と「あなた」
第12回	「拡大していく他者」への恐怖と不安②	外面と内面のズレ、および認識の難しさ
第13回	「拡大していく他者」への恐怖と不安③	SNS時代の「他者」像
第14回	総括	まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

上述のように、紹介した作品を可能な限り読んでおきましょう。作品は実際に鑑賞してこそです。よって本授業の準備学習・復習時間は、合計4時間を標準とし、復習時間としての読書に多くを割くことが望ましいです。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

講義内で適宜紹介する作品を読んでください。

前提として文学史の一般的な概略を学べるものとしては、

安藤宏『日本近代小説史』（中公選書、2015年）

がおすすめです。

【成績評価の方法と基準】

平常点5割、期末レポート5割。なお平常点はリアクションペーパーで評価を行います。

成績に反映する以上、リアクションペーパーは毎授業ごとにかなりの文字数のものを要求するので、覚悟しておいてください。

【学生の意見等からの気づき】

大人数講義のため、私語をする学生が時折発生し、大変邪魔です。都度注意を行います、今後厳重なペナルティも考えていきます。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出や資料配布に学習支援システムを使用します。

【その他の重要事項】

関連した内容を春学期と秋学期で学んでいくため、可能であれば併せての履修が望ましいです。

また、初回はオンデマンド形式での実施としますのでご注意ください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course introduces modern literature through the emotions of "fear" and "anxiety."

【Learning Objectives】

The goal of this course is to give you a deeper understanding how 'fear' and 'anxiety' are expressed in modern literature.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report: 50%, in class contribution: 50%.

LIT100LA (文学 / Literature 100)	
日本文学 A	2017年度以降入学者
サブタイトル：	
島田 雅彦	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火2/Tue.2 単位数：2単位 この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12 時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド (https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。 その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「現代国語」を越え、文学作品を能動的かつ創造的に読む。主に日本の近現代小説に秘められた欲望を掘り起こす。多様な作品解釈に向けて、誤読の自由も行使する。神話、日本語、カネ、恋愛、戦争、テクノロジーなどのテーマに基づき、漱石、一葉、谷崎、戦後文学などを読み解く。

【到達目標】

日本近代文学必読のテキストを消化し、文学史の教養を身に着けた上で、それを現代のコンテキストに置き換え、再利用できるような応用的知性の獲得を目指す。また現在の状況に至った歴史的因果を理解すれば、政治や社会情勢を読み解くリテラシーが上がる。講義内容のまとめや復習は各自が行うが、授業内で行った小レポート等、課題に対する講評や解説は授業の最後にまとめて行う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原則として講義形式で話す。が、随時、資料を提示するので、それについての小レポートを提出してもらう。それについての講評は授業内で行う。履修者からの質問も受け付けるが、個別に答えるのではなく、次の授業の初めに補足コメントの形で答えを提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	文学とはどんな営みか？	神話と文学をつなぐもの。魅惑の日本古典。
2	近代文学概論	江戸と明治の断絶。近代文学事始。
3	お金の話 漱石を読む1	コトバかカネか？『こころ』の自由な読み方。誤読のススメ。
4	写生文について 漱石を読む2	明治の散文理論 描写について
5	樋口一葉を読む	少女文学の元祖 言文一致とは別の散文のあり方
6	快楽の活用 谷崎論	官能の哲学 もてない男の栄光
7	性的人間	さまざまな愛の形 同性愛 ロリコン フェティッシュ
8	日本論と日本人論	「武士道」、「日本風景論」、「茶の本」を読む。
9	戦争に負けるということ	大岡昇平『野火』、『武蔵野夫人』を読む。

10	戦後の文学	戦争文学 占領文学 坂口安吾の認識。敗戦と焼跡の想像力。
11	小説と“場所”	上京小説 よそ者の視点 芥川『歯車』を読む。可能性、パレルワールド。
12	空っぽな心	三島由紀夫という逆説。川端という曖昧。
13	現代文学と世相	近頃巷で流行るもの 経済と文学。安部公房、大江健三郎を読む。
14	まとめと質疑応答	これまでの質問、コメントに対する回答と論評

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予告した本や資料を読んで授業に臨めば、3 倍楽しめる。本授業の準備、復習時間は提示した資料を読むのに必要な時間である。授業で指示する必読書をできるだけ多くよく読み、あらゆることに好奇心を抱くこと。毎回、質問を考えてくるような態度で臨めば、自ずと能動的な授業参加ができる。講義内容のまとめや復習は各自が行うが、授業内で行った小レポート等、課題に対する講評や解説は授業の最後にまとめて行う。本授業の準備学習・復習時間は、各2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『深読み日本文学』 島田雅彦 集英社インターナショナル新書2018
『小説作法ABC』 島田雅彦 新潮選書 2008
『小説作法XYZ』 島田雅彦 新潮選書 2022

【参考書】

『必読150』太田出版
それ以外は随時指示する。

【成績評価の方法と基準】

筆記試験を行う。質疑や討論への参加も平常点として評価されよう。評価基準は選択式試験80%、平常点20%とする。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

Beyond the "Gendai kokugo(contemporary Japanese)" we read literary works actively and creatively. We primarily focus to discover the hidden desires in Japanese contemporary novels. We also exercise freedom of misreading for interpretation of various works. Based on themes such as myths, languages money, romance, war, technology, we will read about Soseki, Ichiyo, Tanizaki, postwar literature etc.Out-of-class learning requires regular preparation and review.Submit a report. Participation in questions and discussions will also be evaluated as a normal point. The evaluation criteria are 80%for multiple-choice test and 20%for the normal score.The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each.

LIT100LA (文学 / Literature 100)

日本文学B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

島田 雅彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は2025年4月2日(水)17時～4日(金)正午12時、結果発表は4月5日(土)22時予定です。履修ガイド(<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>)を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「世界文学」のエポックメイキングな作品を能動的かつ創造的に読む。神話、言語、恋愛、交易、テクノロジーなどのテーマに基づき、履修者諸君には主に日本で広く、長く読まれて来た西洋古典の必読書と向き合い、世界史の中の文学の役割を認識してもらう。

【到達目標】

世界文学必読のテキストを消化し、文学史の教養を身に着けた上で、それを現代のコンテクストに置き換え、再利用できるような応用的知性の獲得を目指す。また現在の状況に至った歴史的因果を理解すれば、政治や社会情勢を読み解くリテラシーが上がる。講義内容のまとめや復習は各自が行うが、授業内で行った小レポート等、課題に対する講評や解説は授業の最後にまとめる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原則として講義形式で話すが、随時、資料を提示するので、それについての小レポートを提出してもらう。それについての講評は授業内で行う。履修者からの質問も受け付けるが、個別に答えるのではなく、次の授業の初めに補足コメントの形で答えを提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	夢見る力	神話の時代 口承文学
2	古代の英雄	「オイディプス王」を読む
3	聖書の虚実	政治、宗教というフィクション モーゼと一神教 イエスという男
4	恋愛の誕生	『神曲』を読む
5	ゲーテンベルク以後	出版文化の萌芽 大量複製時代 ルネッサンスとは？
6	大航海時代	転換期の知性 交易と文学
7	宣教と棄教	East Meets West 日本におけるキリスト教布教の歴史
8	小説というジャンル	資本主義と小説 ドン・キホーテ ガリヴァー旅行記
9	対話について	ドストエフスキー論
10	パロディ文学論	ジョイスとナボコフ 現代亡命文学事情
11	映画と文学	小説から劇映画へ 映像化された古典

12	政治と文学	物語と歴史のはざま ナショナルリズムというフィクション 想像の共同体
13	テクノロジーと文学	世界の終わり パラレルワールド 時間の彼方 SFの想像力
14	授業内試験か質疑応答	授業内試験ができない場合はレポート。この時間はまとめと質疑応答にあてる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予告した本や資料を読んで授業に臨めば、3倍楽しめる。本授業の準備、復習時間は提示した資料を読むのに必要な時間である。授業で指示する必読書をできるだけ多くよく読み、あらゆることに好奇心を抱くこと。毎回、質問を考えてくるような態度で臨めば、自ずと能動的な授業参加ができる。講義内容のまとめや復習は各自が行うが、授業内で行った小レポート等、課題に対する講評や解説は授業の最後にまとめる。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『小説作法ABC』島田雅彦著 新潮選書2009

【参考書】

『深読み日本文学』島田雅彦 集英社インターナショナル新書2018

『小説作法ABC』島田雅彦 新潮選書 2008

『小説作法XYZ』島田雅彦 新潮選書 2022

【成績評価の方法と基準】

筆記試験を行う。質疑や討論への積極的な参加もまた評価されよう。評価基準は選択式試験80%、平常点20%とする。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

Active and creative reading of epoch-making works of "World Literature". Based on themes such as myths, languages, romance, trade, technology, etc., Students face the must-read books of the Western classics, which have been read widely in Japan recognizing the role of literature in world history. Out-of-class learning requires regular preparation and review. Submit a report. Participation in questions and discussions will also be evaluated as a normal point. The evaluation criteria are 80% for multiple-choice test and 20% for the normal score. The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each.

LIT100LA (文学 / Literature 100)

日本文学 A

2017年度以降入学者

サブタイトル：新戯作派（無頼派）の文学を読む

関口 雄士

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、敗戦後間もない時期に広く読まれた、文学史的に「新戯作派（無頼派）」と呼ばれる区分の文学作品を読むことによって、世界が大きく転変する状況において文学が表現したものを探っていくことを目的とします。

具体的には「新戯作派（無頼派）」と呼ばれる区分の代表的作家である太宰治・坂口安吾・織田作之助・石川淳の文学を扱います。各作家の生涯を概観したうえで、戦中と戦後の小説・評論を取りあげ、それらを精読することを通じて各作家と作品の特質について受講者に考えてもらうことで、授業目的の達成を目指していきます。

【到達目標】

それぞれの作家の文学的特質を把握したうえで、扱った作品の主題や表現方法について受講者自身の評価を下すことを到達目標とします。

- ①テキストに書かれている内容を正確に読みとること。
- ②読みとった内容をもとに自分なりの観点をもつこと。
- ③自分なりの観点を明確・具体的なものとし、学術的文章の形式を意識しつつ、他者に伝わるように表現できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各作家3コマで「人物」「戦中の作品」「戦後の作品」を講義します。「人物」についてはスライドを使って解説します。受講者がそれぞれメモを取り、後の作品理解につなげてください。「作品」については作品を精読していきながら〈読み〉のポイントとなる点を確かめていきます。そのうえで、当該作品に関連する参考資料の紹介・解説を通して理解を深めてもらいます。各授業の後半には、質問や感想を書いてもらいます。そこで書いてもらった内容について、次回の授業の導入でフィードバックをおこなうことによって、前回の授業内容の理解をさらに深められるような、双方向性のある授業をおこないたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業内容と新戯作派（無頼派）についての基礎知識を確認する。
第2回	太宰治の文学①	太宰治の紹介。
第3回	太宰治の文学②	太宰治の戦中の作品を読む。
第4回	太宰治の文学③	太宰治の戦後の作品を読む。
第5回	坂口安吾の文学①	坂口安吾の紹介。
第6回	坂口安吾の文学②	坂口安吾の戦中の作品を読む。
第7回	坂口安吾の文学③	坂口安吾の戦後の作品を読む。
第8回	織田作之助の文学①	織田作之助の紹介。
第9回	織田作之助の文学②	織田作之助の戦中の作品を読む。
第10回	織田作之助の文学③	織田作之助の戦後の作品を読む。
第11回	石川淳の文学①	石川淳の紹介。
第12回	石川淳の文学②	石川淳の戦中の作品を読む。
第13回	石川淳の文学③	石川淳の戦後の作品を読む。
第14回	まとめ	質疑応答と授業内容の総括。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。授業であつかう4人の作品を、できるだけ事前に読んでおくことが望ましいです。1人につき少なくとも1作品は読んで、自分なりの印象を持ったうえで受講してください。あわせて授業後に、あらかじめ読んでおいた作品を授業で学んだことを踏まえて再読したり、授業であつかわなかった作品にも眼をとおして、さらに自分なりのイメージを深めてください。

【テキスト（教科書）】

扱う作品は以下の予定です。

太宰治「散華」「未帰還の友に」「如是我聞」

坂口安吾「真珠」「墮落論」「罌堂小論」

織田作之助「夫婦善哉」「世相」「可能性の文学」

石川淳「マルスの歌」「焼跡のイエス」

授業で講読するためのテキストは初回授業までに学習支援システムで配布する予定です。

【参考書】

あらかじめ作品を読むにあたって、本選びに迷った場合は、筑摩書房から刊行されている「ちくま日本文学」シリーズの太宰治（008）・坂口安吾（009）・織田作之助（035）それぞれの巻を読むのが最も便利です。ただし、石川淳だけは旧版の「ちくま日本文学全集11」しかなく、現在は新刊で入手できません。

【成績評価の方法と基準】

平常点：50%

期末レポート：50%

平常点はリアクションペーパーの内容で判断します。

【学生の意見等からの気づき】

本年度からの担当のため、ありません。

【学生が準備すべき機器他】

資料配付や課題提出に学習支援システムを使用します。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The purpose of this course is to explore what literature expressed in a situation of great change in the world by reading the literary works of the “Shingisakuha(Buraiha)” in the history of literature, which were widely read in the period immediately after the end of World War II.

Specifically, the course will focus on the literature of Osamu Dazai, Ango Sakaguchi, Sakunosuke Oda, and Jun Ishikawa, who are representative writers of the “Shingisakuha(Buraiha)”. After an overview of each writer's life, the course will select novel and essay each from the wartime and postwar periods, and have students consider the characteristics of each writer and their works through close reading, with the aim of achieving the course objectives.

【Learning Objectives】

The goal of this course is for students to grasp the literary characteristics of each author and then make their own evaluation of the themes and methods of expression of the works they have studied.

【Learning activities outside of classroom】

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

It is advisable to read as many of the works by the four authors that will be covered in class in advance as possible. Please read at least one work by each author and form your own impression before attending the class. After class, please re-read the works you have read in advance based on what you have learned in class, or read at works not covered in class to further develop your own image of the works.

【Grading Criteria /Policy】

Regular grades: 50%

Final report: 50%

Regular grades will be determined by the content of the reaction paper.

LIT100LA (文学 / Literature 100)

日本文学B

2017年度以降入学者

サブタイトル：国語教科書の小説を精読する

関口 雄士

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では教科書に採録されている日本近現代小説を精読することを通して、文学作品を〈読む〉楽しみを学んでいきます。とはいえ、ただ単に自由な〈読み〉を展開するだけではまとまりがつかなくなってしまうし、そもそものように〈読み〉をおこなえばいいのかわからないということもあると思います。そこで、土台となる部分を一緒にたしかめ、その作品が今までにどのように受容・解釈をされてきたかを学ぶことによって、文学作品を〈読む〉力の基礎をつけることを、この授業の目的とします。

【到達目標】

扱った作品について基礎的な事項（成立過程・文学史的位置づけ・主題・表現的特色）を正確に把握したうえで、受講者自身の〈読み〉を提示することを到達目標とします。

- ①テキストの背景を理解し、書かれている内容を正確に読みとること。
- ②読みとった内容をもとに自分なりの観点をもつこと。
- ③自分なりの観点を明確・具体的なものとし、学術的文章の形式を意識しつつ、他者に伝わるように表現できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各作品2コマを使って講義します。

前半では作品に関する基礎的な事項を解説し、概略を共有します。後半では細部に着目した〈読み〉（精読）をおこないます。あわせて研究史の解説もおこないます。

各授業ごとに質問・感想を書いてもらいます。

そこで書いてもらった内容について、次の授業の導入でフィードバックをおこなうことによって、前回の授業内容の理解をさらに深められるような、双方向性のある授業をおこないたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業内容の詳細な説明。
第2回	芥川龍之介「羅生門」①	作品の基礎的事項の共有・解説。
第3回	芥川龍之介「羅生門」②	作品の精読と研究史の解説。
第4回	志賀直哉「城の崎にて」①	作品の基礎的事項の共有・解説。
第5回	志賀直哉「城の崎にて」②	作品の精読と研究史の解説。
第6回	井伏鱒二「山椒魚」①	作品の基礎的事項の共有・解説。
第7回	井伏鱒二「山椒魚」②	作品の精読と研究史の解説。
第8回	太宰治「水仙」①	作品の基礎的事項の共有・解説。
第9回	太宰治「水仙」②	作品の精読と研究史の解説。
第10回	安部公房「赤い蔭」①	作品の基礎的事項の共有・解説。
第11回	安部公房「赤い蔭」②	作品の精読と研究史の解説。
第12回	石川淳「アルプスの少女」①	作品の基礎的事項の共有・解説。

第13回 石川淳「アルプスの少女」② 作品の精読と研究史の解説。

第14回 まとめ 質疑応答と授業内容の総括。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。授業であつかう作品については、あらかじめ眼をとおしておき、語句でわからないものなどはあらかじめ調べておきましょう。また、作品は繰り返し読むことが重要です。授業で読んでおしまいではなく、再読を必ずおこなうようにしてください。

【テキスト（教科書）】

特に指定しません。

授業で講読するためのテキストは初回授業までに学習支援システムで配布する予定です。

【参考書】

各作家についてイメージを浮かびやすくするためには「新潮日本文学アルバム」シリーズで該当作家の巻を読んでおくとういでしょう。背景を理解するための日本近現代小説史についての書籍としては、一例として安藤宏『日本近代小説史（新装版）』（中央公論新社、2020年）を挙げておきます。その他、関連文献は授業内で適宜紹介する予定です。

【成績評価の方法と基準】

平常点：50%

期末レポート：50%

平常点はリアクションペーパーの内容で判断します。

【学生の意見等からの気づき】

本年度からの担当のため、ありません。

【学生が準備すべき機器他】

資料配付や課題提出に学習支援システムを使用します。

【Outline (in English)】

【Course outline】

In this course, students will learn the pleasure of “reading” literary works through close reading of modern and contemporary Japanese novels included in the textbook.

However, simply developing a free “reading” will not lead to a cohesiveness, and that there will be times when students will not know how to “read” in the first place.

Therefore, the purpose of this class is to build a foundation for the ability to “read” literary works by checking the foundation of the work together and learning how the work has been accepted and interpreted in the past.

【Learning Objectives】

The goal of the course is for students to present their own “readings” based on an accurate understanding of the fundamentals of the works covered (process of formation, position in literary history, subject matter, and expressive features).

【Learning activities outside of classroom】

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Please read through the works to be covered in class in advance, and look up any vocabulary you do not understand.

It is also important to read the works repeatedly. Please be sure to re-read the works.

【Grading Criteria /Policy】

Regular grades: 50%

Final report: 50%

Regular grades will be determined by the content of the reaction paper.

LIT100LA (文学 / Literature 100)

外国文学 A

2017年度以降入学者

サブタイトル：ヨーロッパ文学と「変身」

D. ハイデンライヒ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ローマ詩人オウィディウス『変身物語』から、カフカの『変身』とステューヴンソン『ジキル博士とハイド氏』など、変身をテーマにした作品は今も多く読者を惹き付けてやまない。授業ではヨーロッパ変身物語の異なる時代と異なる語圏の数例を取り上げながら、この題材を比較文学的な視点から論じる。

【到達目標】

- ・今日的な視点から「変身」の意義を捉え直すこと。
- ・「変身」というモチーフを手がかりに、各時代の思想的・文化的背景を理解すること。
- ・異文化理解能力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

さまざまな形で教材化したテキストやメディアを用いて、毎回の課題の提出とフィードバックによって授業を構成する。提出用課題を出す場合は、次の授業にて解説を実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	授業の紹介	授業の内容と進め方の説明 諸芸術モチーフとしての変身について
②	カフカ（1）	『変身』第一章を読む
③	カフカ（2）	カフカ『変身』第二章を読む
④	カフカ（3）	カフカ『変身』第三章を読む、 諸映画化の作品、コミック等との比較
⑤	オウィディウス（1）	変身物語「アラクネ」読解
⑥	オウィディウス（2）	変身物語「ダブネー」読解
⑦	オウィディウス（3）	変身物語「オルベウス」読解
⑧	グリム兄弟（1）	『兄と妹』読解
⑨	グリム兄弟（2）	『七羽のカラス』読解
⑩	ステューヴンソン（1）	『ジキル博士とハイド氏』（pp.1-16）読解、 諸映画との比較
⑪	ステューヴンソン（2）	『ジキル博士とハイド氏』（pp.17-34）読解、 諸映画との比較
⑫	ヘッセ	『ピクトルの変身』読解
⑬	プロイスラー	『クラバート』読解、 その映画、アニメとの比較
⑭	試験・まとめ	春学期に学んだ内容を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの当該箇所を読んでおくこと。
「本授業の準備学習・復習時間は、合わせて4時間を標準とします。」

【テキスト（教科書）】

テキストは使わず、学習支援システムに事前に授業資料をアップします。各自プリントアウトして授業に持参してください。

【参考書】

教室で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業内の課題達成度：60%

学期末試験：40%

欠席が全体の3分の1を超えた場合は成績評価対象外となります。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

HOPPII学習支援システムを利用するので、情報機器（パソコン、プリンター）などを準備して下さい。これらの環境を整えることが難しい場合は、大学のPCやプリンター、WIFIを利用して下さい。

【Outline (in English)】

Literary works exploring the theme of transformation, from Ovid's *Metamorphoses* to Kafka's *Metamorphosis* until Stevenson's *Dr.Jekyll and Mr.Hyde*, are still attracting a lot of readers.

This class discusses this theme from a comparative point of view, taking several examples from different eras and different languages.

- ・ To recapture the meaning of "transformation" from a modern perspective.
- ・ To understand the ideological and cultural background of each era, using the motif of "transformation" as a clue.
- ・ Improve the ability to understand different cultures.

Reading the relevant part of the text in advance.

The standard for preparatory study and review time for this class is 4 hours in total.

Grading will be decided based on worksheets (60%) and term-end examination (40%).

If more than one-third of the class is absent, it will not be considered for grade evaluation.

LIT100LA (文学 / Literature 100)

外国文学B

2017年度以降入学者

サブタイトル：映画化とともに読むヨーロッパ文学の名作

D. ハイデンライヒ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ヨーロッパ文学作品の映画化を取り上げ、原作の描写と映画の比較、そして映画の翻案について分析をします。

【到達目標】

- ・ヨーロッパ文学・映画・文化に対する関心や理解を深める。
- ・メディア固有の表現やメディア間の相互接続性についての理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

さまざまな形で教材化したテキストやメディアを用いて、毎回の課題の提出とフィードバックによって授業を構成する。提出用課題を出す場合は、次の授業にて解説を実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	ガイダンス	扱う文学作品と映画の紹介
②	T. マン『ヴェネツィアに死す』総論	原作の通読、映画の視聴
③	原作『ヴェネツィアに死す』分析（1）	原作の指定箇所の熟読
④	原作『ヴェネツィアに死す』分析（2）	原作『ヴェネツィアに死す』(Chapters 1-3)分析
⑤	原作『ヴェネツィアに死す』分析（3）	原作『ヴェネツィアに死す』(Chapters 4-5)分析
⑥	映画化『ベニスに死す』分析（1）	原作と映画（前半）の比較
⑦	映画化『ベニスに死す』分析（2）	原作と映画（後半）の比較
⑧	P. ジュースキント『香水_ある人殺しの物語』総論（3）	原作の通読、映画の視聴
⑨	原作『香水_ある人殺しの物語』分析（1）	原作(Chapters 1-16)の指定箇所の熟読
⑩	原作『香水_ある人殺しの物語』分析（2）	原作(Chapters 17-34)の指定箇所の熟読
⑪	原作『香水_ある人殺しの物語』分析（3）	原作(Chapters 35-52)の指定箇所の熟読
⑫	映画化『パフューム_ある人殺しの物語』分析（1）	原作と映画（前半）の比較
⑬	映画化『パフューム_ある人殺しの物語』分析（2）	原作と映画（後半）の比較
⑭	試験・まとめ	秋学期に学んだ内容を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの当該箇所を読んでおくこと。

「本授業の準備学習・復習時間は、合わせて4時間を標準とします。」

【テキスト（教科書）】

パトリック・ジュースキント：『香水_ある人殺しの物語』（文春文庫 シ 16-1）。

その他の教材は学習支援システムに事前に授業資料をアップします。

【参考書】

教室で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業内の課題達成度：60%

学期末試験：40%

欠席が全体の3分の1を超えた場合は成績評価対象外となります。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

HOPPII学習支援システムを利用するので、情報機器（パソコン、プリンター）などを準備して下さい。これらの環境を整えることが難しい場合は、大学のPCやプリンター、WIFIを利用して下さい。

【Outline (in English)】

We will examine the film adaptations of European literary works, compare the depictions of the originals and the films, and analyze the adaptations of the films.

- ・ Deepen interest and understanding of European literature, movies and culture.
- ・ Deepen understanding of media-specific expressions and interconnectivity between media.

Reading the relevant part of the text in advance.

The standard for preparatory study and review time for this class is 4 hours in total.

In-class assignment achievement rate: 60%

Final exam: 40%

If more than one-third of the class is absent, it will not be considered for grade evaluation.

LIT100LA (文学 / Literature 100)

外国文学 A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

近江屋 志穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代の意味でのフランスのバカロレアは、19世紀にナポレオンⅠ世により創設されました。合格者には中等教育修了（高等学校卒業程度の能力）の認定と、高等教育進学（大学やグランゼコールなど）の許可を兼ねる学位が付与されてきました。

本授業では、バカロレアのフランス語（いわゆる国語）の筆記試験について、課題の内容と解き方を理解します。筆記試験とは、「テキスト解釈」と「ディセルタシオン」です。2020年のバカロレア改革以降、そのいずれかを選択するようになりました。

同時に関連する文学作品の抜粋を（日本語で）読みます。春学期は、17世紀と18世紀の作家の作品が中心になります。

【到達目標】

- ・フランス文学史の流れを理解し、主要作家数名の文学作品に親しむ。
- ・フランスの学校教育における伝統的な論述文とは何かを理解する。
- ・大学入試における記述式問題について、フランスの事例を理解する。
- ・「読後感想文」以外にどのような文章が読後コメントとしてあり得るのかを学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義が中心です。映像を視聴したり、指示に従って文章を書いてもらったりすることもあります。課題へのフィードバックは授業内や学習支援システムを通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・授業概要
2	16世紀	ユマニスムとモンテーニュ『エッセー』
3	17世紀（1）	ラファイエット夫人『クレヴの奥方』（1）時代と作者
4	17世紀（2）	ラファイエット夫人『クレヴの奥方』（2）作品分析
5	17世紀（3）	ラ・フォンテーヌ『寓話』
6	17世紀（4）	ラ・ロシュフーコー『箴言』
7	17世紀（5）	古典主義の悲劇
8	17世紀（6）	モリエール『病は気から』（1）時代と作者
9	17世紀（7）	モリエール『病は気から』（2）作品分析
10	18世紀（1）	アベ・プレヴォ『マノン・レスコー』
11	18世紀（2）	ヴォルテール『カンディード』
12	18世紀（3）	モンテスキュー『ペルシャ人の手紙』
13	18世紀（4）	ラクロ『危険な関係』
14	期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で言及された文学作品を読むこと。課題に取り組むこと。本授業の授業外において必要な学習時間は、各回平均で4時間程度とします。

【テキスト（教科書）】

プリントを使用します。

【参考書】

- ・横山安由美／朝比奈美知子編著『はじめて学ぶフランス文学史』ミネルヴァ書房、2016年
- ・植田祐次【編】『十八世紀フランス文学を学ぶ人のために』世界思想社、2003年
- ・野崎敏『フランス文学と愛』講談社現代新書、2013年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

ときどき（匿名で）授業コメントを紹介するようにしたいと思います。

【Outline (in English)】

An introduction to French literature and a literary analysis.
The goal of this course is to learn to write a short literary criticism.

After each class, students will be expected to spend four hours to understand the course content and to do their homework.

The overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination : 50 %, in-class contribution : 50%.

LIT100LA (文学 / Literature 100)

外国文学B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

近江屋 志穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代の意味でのフランスのバカロレアは、19世紀にナポレオンⅠ世により創設されました。合格者には中等教育修了（高等学校卒業程度の能力）の認定と、高等教育進学（大学やグランゼコールなど）の許可を兼ねる学位が付与されてきました。

本授業では、バカロレアのフランス語（いわゆる国語）の筆記試験について、課題の内容と解き方を理解します。筆記試験とは、「テキスト解釈」と「ディセルタシオン」です。2020年のバカロレア改革以降、そのいずれかを選択するようになりました。

同時に関連する文学作品の抜粋を（日本語で）読みます。秋学期は19世紀と20世紀の作家が中心になります。

【到達目標】

- ・フランス文学史の流れを理解し、主要作家数名の文学作品に親しむ。
- ・フランスの学校教育における伝統的な論述文とは何かを理解する。
- ・大学入試における記述式問題について、フランスの事例を理解する。
- ・「読後感想文」以外にどのような文章が読後コメントとしてあり得るのかを学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義が中心です。映像を視聴したり、指示に従って文章を書いてもらったりすることもあります。課題へのフィードバックは授業内や学習支援システムを通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業概要説明
2	19世紀（1）	ヴィクトル・ユゴー『静観詩集』
3	19世紀（2）	フローベール『ボヴァリー夫人』 （1）時代と作者
4	19世紀（3）	フローベール『ボヴァリー夫人』 （2）作品分析
5	19世紀（4）	エミール・ゾラ『我弾劾す』
6	19世紀（5）	エミール・ゾラと自然主義
7	19世紀（6）	ボードレール『悪の華』
8	20世紀（1）	シュールレアリスム
9	20世紀（2）	アルベール・カミュ『異邦人』
10	20世紀（3）	レーモン・クノー『文体練習』
11	20世紀（4）	ヌーボ・ロマン
12	20世紀（5）	アニー・エルノー『凍りついた女』
13	20世紀（6）	アゴタ・クリストフ『悪童日記』
14	期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で言及された文学作品を読むこと。課題に取り組むこと。
本授業の授業外において必要な学習時間は、各回平均で4時間程度とします。

【テキスト（教科書）】

プリントを使用します。

【参考書】

- ・横山安由美/朝比奈美知子編著『はじめて学ぶフランス文学史』ミネルヴァ書房、2016年
- ・小倉孝誠【編】『十九世紀フランス文学を学ぶ人のために』世界思想社、2014年
- ・野崎敏『フランス文学と愛』講談社現代新書、2013年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

受け身で授業を聞くだけの講義形式に、アクティブラーニングの要素も取り入れていければと思います。

【Outline (in English)】

An introduction to French literature and a literary analysis.

The goal of this course is to learn to write a short literary criticism.

After each class, students will be expected to spend four hours to understand the course content and to do their homework.

The overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination : 50 %, in-class contribution : 50%.

LIT100LA (文学 / Literature 100)	
外国文学 A	2017年度以降入学者
サブタイトル：	
吉井 涼子	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：月 5/Mon.5
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

古代のものから唐詩までを主な対象とし、作品のエピソードや時代背景・文化などと関連させつつ読み解くことで、中国古典文学に対する視野をひらく。また、中国詩を鑑賞する上で必要な基本的知識（五言・七言、絶句・律詩や押韻・平仄）を学ぶ。

【到達目標】

中国古典や漢詩を鑑賞するために必要な基本知識を習得する。漢詩をはじめ中国古典は難しいイメージを持ってしまいがちだが、要領さえ掴めば親しみやすいものであることがわかるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行う。成立した時代背景・習俗や作者などを解説しつつ、原文を訓読で読解していく形を基本とする。授業は春秋時代から唐代まで、時代順に進めていく。

毎回授業時にリアクションペーパーもしくは小課題を提出してもらって学生の理解度を確認し、補足が必要な部分や疑問点などは次の授業時に解説する。また、このリアクションペーパー（又は小課題）の提出と内容で平常点を決定する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	中国とは
第2回	甲骨・金文	中国と
第3回	『詩経』を読む	授業内容の説明と、導入部として中国の地理・歴史・言語的性格などを、漢字の発展を軸に概説する。
第4回	楽府と古詩	実際の甲骨文字と金文の出土資料を使い、現在の漢字に至るまでの文字の変遷を知る。
第5回	三曹の詩	現存最古の中国の詩集『詩経』について解説し、実際に数首を読む。
第6回	陶淵明	前漢時代に詠まれた楽府や古詩十九首などを読み、当時の習俗についても学ぶ。
第7回	孟浩然と崔顥	『三国志』の英雄である曹操とその息子たちの詩を鑑賞する。
第8回	李白	六朝期を代表する作品を比較しつつ鑑賞する。
		この回から唐詩を学ぶ。まず唐詩（近体詩）全体についてスタイルなどを解説し、実際に崔顥の「黄鶴楼」と孟浩然の「春暁」を読む。
		李白は中国詩を知る上で欠かせない人物である。月を愛した詩人李白の、月を詠んだ有名な詩を鑑賞する。

第9回	王維	王維の「九月九日憶山東兄弟」を読み、当時の重陽の節句などの習俗を知る。
第10回	杜甫	「春望」など、杜甫の詠んだ詩から、当時の戦乱を読む。
第11回	白居易	「長恨歌」を読み解く。
第12回	杜牧	杜牧の詩から、「題烏江亭」など、英雄を詠んだ懐古的な詩を鑑賞する。
第13回	復習と総括	第1回からの授業を振り返り、改めて中国文学の流れを学習する。
第14回	試験・まとめと解説	授業で学んだ知識などが身についているか確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回以降の授業の資料を配布された場合は予習すること。授業内で学んだことはよく復習しておくこと。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。毎回原文および、書き下し・訳などとともに、資料などを適宜配布する。

【参考書】

大島正二『漢字と中国人—文化史をよみとく—』（岩波書店2003年）
岡村繁『文選の研究』（岩波書店1999年）
興膳宏『六朝詩人伝』（大修館書店2000年）
小川環『唐代の詩人—その傳記』（大修館書店1975年）
松浦友久『校注 唐詩解釈辞典』（大修館書店1987年）
この他、授業時に提示する。

【成績評価の方法と基準】

毎回のリアクションペーパーもしくは小課題を主とする平常点を30%、期末考査の点数を70%として評価する。出席は大前提とする。

【学生の意見等からの気づき】

リアクションペーパーへの記載内容や要望を鑑みて、配布資料や進行速度に配慮を加える。リアクションペーパーに質問があった場合は、可能な範囲で授業内で答える。できるだけわかりやすく解説するために、画像・映像がある場合は活用する場合がある。
シラバスに挙げている作品は一例、もしくは主とする作品であって、適宜他の作品も用いる。

授業で原文を読む場合は返り点などを用いた訓読方式で行うので、留学生の方はこの点にご留意いただきたい。

【その他の重要事項】

電子でも構わないので、漢和辞典があれば持って来ることが大変望ましい。
授業で原文を読む場合は返り点などを用いた訓読方式で行うので、留学生の方はこの点にご留意いただきたい。

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

It focuses mainly from ancient things to Tang poetry, and it opens a vision to Chinese classical literature by understanding while relating it to episode of poet, background background・culture etc. Also learn the basic knowledge necessary for appreciating Chinese poetry.

Acquire the basic knowledge necessary to appreciate Chinese classics and Chinese poetry. Chinese classics, including Chinese poetry, tend to have a difficult image, but once you know the point, you can see that it's easy to understand.

Do it in a lecture format. While explaining the historical background, customs, and authors, he reads the original text in “kundoku”. Classes proceed in chronological order from the spring and autumn period to the Tang dynasty.

Students submit reaction papers or sub-assignments at class every time, and explain the parts and questions that need to be supplemented while checking their understanding at the next class. Also, this reaction paper (or sub-assignments) determines the normal points.

Be sure to prepare for the materials distributed in advance. Please review what you learned in class well.

The preparation and review time for this class is 2 hours each. I don't use textbooks in this class. Each time, along with the original text and translation, the materials are distributed as appropriate.

We will evaluate the normal points mainly on each reaction paper or small assignment as 30% and the score of the final examination as 70%. Attendance is a major premise.

Adjust the handout and speed of progress considering the contents and requests described in the reaction paper. If you have a question in the reaction paper, answer it in class as much as possible. In order to explain as clearly as possible, if there are images and videos, it may be used.

The works listed in Syllabus are examples or main works, and other works will be added as appropriate.

When reading the original text in class, it is done in a “kundoku” method using “kaeriten”, so international students should keep this in mind.

It doesn't matter if it's electronic, so it's desirable to bring it if you have a Chinese-Japanese dictionary.

LIT100LA (文学 / Literature 100)

外国文学B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

吉井 涼子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

主に漢代のものから、より物語性の高い唐代の伝奇小説に至るまで、その当時の時代背景や文化などと一緒に多くの話を読み解くことで、中国古典文学に対する視野をひろく。

【到達目標】

物語性の高い作品を実際に多く読むことで、中国古典全般に対する理解を深めることができる。そこで読み解いた知識により、他の中国古典を楽しむ素地と教養を培う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で進める。人物を取り上げる場合は、その生涯や時代背景も解説する。作品および小説は原文を訓読で読解していくのを基本とするが、特に長文のものは日本語訳などを利用する。毎回授業時にリアクションペーパーもしくは小課題を提出してもらい、学生の理解度や興味の方向性を確認し、補足が必要な部分や疑問点などは次の授業時に解説する。また、このリアクションペーパー（又は小課題）の提出と内容で平常点を決定する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 中国とは	授業内容の説明と、導入部として中国の地理・歴史・言語的性格などを、漢字の発展を軸に概説する。
第2回	漢代の文章	『史記』伯夷・叔斉伝を読む。
第3回	『穆天子伝』を読む	中国最古の小説とも言われる『穆天子伝』を読み、西周の王であった穆王の説話について知る。
第4回	『漢武故事』を読む	前漢の武帝の生涯を描いた小説『漢武故事』を読む。
第5回	英雄からの手紙	諸葛亮の書いた「出師表」を読む。
第6回	志怪小説を読む（1）	『搜神記』をはじめとする志怪小説について解説し、出来るだけ多くの話を読む。 （1）では魂の行方をテーマとする
第7回	志怪小説を読む（2）	志怪小説のうち、異界に関する話を読む。
第8回	志怪小説を読む（3）	志怪小説のうち、予言に関する話を読む。
第9回	「人虎伝」を読む（1）	中島敦の『山月記』により、中国の伝奇小説の中でもこの人虎伝は日本でも有名である。ここでは、その物語に可能な限り詳しく迫る。

第10回	「人虎伝」を読む（2）	人虎伝の続きを読み進めつつ、伏線について資料を用いて解説する。
第11回	「人虎伝」を読む（3）	人虎伝の続きを読むと共に、『広異記』の虎に化ける人間のエピソードを解説する。
第12回	「人虎伝」を読む（4）	結末を読み、人虎伝とは結局どのような物語であったのかを整理する。
第13回	復習と総括	第1回からの授業を振り返り、改めて文学の流れを学習する。
第14回	試験・まとめと解説	授業で学んだ知識などが身についているか確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回以降の資料を配布した場合は予習が必須である。授業内容、特に基本的知識として学んだことはよく復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。毎回原文および、書き下し・訳などとともに、資料などを適宜配布する。

【参考書】

明治書院 中国古典小説選『穆天子伝 漢武故事 神異経 山海経他』
 明治書院 中国古典小説選『搜神記・幽明録・異苑他』
 明治書院 新釈漢文大系『史記八（列伝一）』
 明治書院 新釈漢文大系『唐代伝奇』
 平凡社 東洋文庫『搜神記』
 この他、授業時に提示する。

【成績評価の方法と基準】

毎回のリアクションペーパーもしくは小課題を主とする平常点を30%、期末考査の点数を70%として評価する。出席は大前提とする。

【学生の意見等からの気づき】

リアクションペーパーへの記載内容や要望を鑑みて、配布資料や進行速度に配慮を加える。リアクションペーパーに質問があった場合は、可能な範囲で授業内で答える。できるだけわかりやすく解説するために、画像・映像がある場合は活用する場合がある。シラバスに挙げている作品は一例、もしくは主とする作品であって、適宜他の作品も用いる。授業で原文を読む場合は振り返り点などを用いた訓読方式で行うので、留学生の方はこの点にご留意いただきたい。

【その他の重要事項】

電子辞書で構わないので、漢和辞典があれば持って来ることが大変望ましい。授業で原文を読む場合は振り返り点などを用いた訓読方式で行うので、留学生の方はこの点にご留意いただきたい。

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

From the things of the Han Dynasty to the Literary novels of the Tang Dynasty with high narratives, touched many stories, and by reading along with the times background and culture, we will open our vision to Chinese classical literature. By actually reading a very narrative work, you can deepen your understanding of Chinese classics in general. Through the knowledge read there, will cultivate the basics and culture of enjoying other Chinese studies.

Do it in a lecture format. In the case of a person, the life and historical background are also explained. Works and novels are based on reading the original text by reading comprehension, but especially long texts use Japanese translations.

Students submit reaction papers or sub-assignments at class every time, and explain the parts and questions that need to be supplemented while checking their understanding at the next class. Also, this reaction paper (or sub-assignments) determines the normal points.

Be sure to prepare for the materials distributed in advance. Please review what you learned in class well.

The preparation and review time for this class is 2 hours each. I don't use textbooks in this class. Each time, along with the original text and translation, the materials are distributed as appropriate.

We will evaluate the normal points mainly on each reaction paper or small assignment as 30% and the score of the final examination as 70%. Attendance is a major premise.

Adjust the handout and speed of progress considering the contents and requests described in the reaction paper. If you have a question in the reaction paper, answer it in class as much as possible. In order to explain as clearly as possible, if there are images and videos, it may be used.

The works listed in Syllabus are examples or main works, and other works will be added as appropriate.

When reading the original text in class, it is done in a "kundoku" method using "kaeriten", so international students should keep this in mind.

It doesn't matter if it's electronic, so it's desirable to bring it if you have a Chinese-Japanese dictionary.

LIT100LA (文学 / Literature 100)	
外国文学 A	2017年度以降入学者
サブタイトル：	
吉井 涼子	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：水3/Wed.3
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日中のそれぞれの文献や文学作品を比較・鑑賞することで、他国の文学作品のみならず、自国のものに対しても多角的な視点で読めるようになることを目的とする。

【到達目標】

日中両国の文学作品を、より広い視野から鑑賞するために必要な知識と教養を得ることにより、自国の文化への理解もより深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行う。まずその時代・成立背景・作者などを解説後、読解していく形を基本とする。また、適宜習俗や生活なども学ぶ。毎回授業時にリアクションペーパーもしくは小課題を提出してもらい、学生の理解度や興味の方向性を確認し、補足が必要な部分や疑問点などは次の授業時に解説する。また、このリアクションペーパー（又は小課題）の提出と内容で平常点を決定する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 日本と中国	授業内容の説明と、導入部として中国と日本の地理・歴史・言語的性格などを概説する。
第2回	「神話」を読む（1）	中国前漢時代の書物である『淮南子』の、中国の創世神話的な部分を読む。
第3回	「神話」を読む（2）	中国の歴史書である『史記』の本紀を中心に、史書の中の神話的性格が強い部分を読む。
第4回	「神話」を読む（3）	前回に引き続き、『史記』の神話・伝説にあたる部分から、実在の王朝へとつながる部分を読む。
第5回	「神話」を読む（4）	日本の記紀神話の創世の部分を中心に読む。
第6回	「神話」を読む（5）	日本の神話から、スサノオやオクニヌシの部分を読む。
第7回	月と太陽の神話比較	日本と中国それぞれの文化における月と太陽の話を扱う。
第8回	「魏志倭人伝」を読む（1）	日本の記述が中国の正史に現れるのは『漢書』からである。この回では『漢書』『後漢書』と、主に『三国志』魏書東夷伝倭人の条（所謂「魏志倭人伝」）を実際に読む。
第9回	「魏志倭人伝」を読む（2）	「魏志倭人伝」を読み、当時の日本の状況と当時の中国との関係について学ぶ。

第10回	説話を読む（1）	『今昔物語集』や『宇治拾遺物語』から、当時の習俗や思想・他界観が読み取れる話を読む。
第11回	説話を読む（2）	信貴山の縁起に関わる物語を読む。
第12回	『枕中記』を読む	中国唐代の伝記小説である『枕中記』を読み、当時の人々の暮らしなども学ぶ。
第13回	復習と総括	第1回からの授業を振り返り、改めて日中の古典のそれぞれの特徴を整理する。
第14回	試験・まとめと解説	授業で学んだ知識などが身についているか確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回以降の授業の資料を配布された場合は予習すること。授業内で学んだことはよく復習しておくこと。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。毎回原文および、書き下し・訳などとともに、資料などを適宜配布する。

【参考書】

岩波文庫『古事記』
明治書院 新釈漢文大系『史記』一（本紀上）
渡邊義浩 中央公論新社『魏志倭人伝の謎を解く 三国志から見る邪馬台国』
小学館 日本古典文学全集『今昔物語』
小学館 日本古典文学全集『宇治拾遺物語』
明治書院 新釈漢文大系『唐代伝奇』
小学館 日本古典文学全集『枕草子』
など

【成績評価の方法と基準】

毎回のリアクションペーパーもしくは小課題を主とする平常点を30%、期末考査の点数を70%として評価する。出席は大前提とする。

【学生の意見等からの気づき】

リアクションペーパーへの記載内容や要望を鑑みて、配布資料や進行速度に配慮を加える。リアクションペーパーに質問があった場合は、可能な範囲で授業内で答える。できるだけわかりやすく解説するために、画像・映像がある場合は活用する場合がある。
シラバスに挙げている作品は一例、もしくは主とするものであって、適宜他の作品等も用いる。
授業で中国古典の原文を読む場合は返り点などを用いた訓読方式で行うので、留学生の方はこの点にご留意いただきたい。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書やアプリ等で構わないので、古語辞典・漢和辞典があれば持って来ることが望ましい。

【その他の重要事項】

授業で中国古典の原文を読む場合は返り点などを用いた訓読方式で行うので、留学生の方はこの点にご留意いただきたい。
高校の日本史B程度の基礎知識及び文学史の知識等が必須であるので、よく留意しておくこと。

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

By comparing the documents of the Japan-China relations, it becomes possible to read not only sentences and literary works of other countries but also literary works of their own country from a multilateral point of view.

Can gain the knowledge and education necessary to appreciate literary works from both Japan and China from a broader perspective, and deepen your understanding of your own culture.

Do it in a lecture format. First, explain the times, the background of the establishment, the author, etc., and then read the text. You will also learn habits and lifestyles as needed.

Students submit reaction papers or sub-assignments at class every time, and explain the parts and questions that need to be supplemented while checking their understanding at the next class. Also, this reaction paper (or sub-assignments) determines the normal points.

Be sure to prepare for the materials distributed in advance. Please review what you learned in class well.

The preparation and review time for this class is 2 hours each. I don't use textbooks in this class. Each time, along with the original text and translation, the materials are distributed as appropriate.

We will evaluate the normal points mainly on each reaction paper or small assignment as 30% and the score of the final examination as 70%. Attendance is a major premise.

Adjust the handout and speed of progress considering the contents and requests described in the reaction paper. If you have a question in the reaction paper, answer it in class as much as possible. In order to explain as clearly as possible, if there are images and videos, it may be used.

The works listed in Syllabus are examples or main works, and other works will be added as appropriate.

When reading the original text in class, it is done in a "kundoku" method using "kaeriten", so international students should keep this in mind.

It doesn't matter if it's electronic, so it's desirable to bring it if you have a Chinese-Japanese dictionary.

Classes are conducted on the premise that you have basic knowledge of Japanese history B in high school and knowledge of literary history.

LIT100LA (文学 / Literature 100)	
外国文学B	2017年度以降入学者
サブタイトル：	
吉井 涼子	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水3/Wed.3	
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本と中国それぞれの古典を比較しつつ鑑賞することで、他国の文学のみならず自国のものに対しても、多角的な視点でより深く楽しむことができる知識と教養を得る。

【到達目標】

精読を通して、日中両国の文学をより広い視野から鑑賞するために必要な知識と教養を得る。日本と中国の古典に興味を持った際に、自身の力で読み解くための基礎を学ぶことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テーマを決め、講義形式で行う。まずその時代・成立背景・作者などを解説後、読解していく形を基本とする。また、適宜習俗や生活なども学ぶ。

毎回授業時にリアクションペーパーもしくは小課題を提出してもらい、学生の理解度や興味の方向性を確認し、補足が必要な部分や疑問点などは次の授業時に解説する。また、このリアクションペーパー（又は小課題）の提出と内容で平常点を決定する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業内容の説明と、導入部として中国の地理・歴史・言語的性格などを、漢字の発展を軸に概説する。
第2回	流浪する英雄—中国—（1）	『史記』晋世家・『国語』晋語から、重耳の話を精読する。
第3回	流浪する英雄—中国—（2）	重耳の遭った驪姫の乱と逃亡後の運命を読む。
第4回	流浪する英雄—中国—（3）	登場人物を整理しつつ、重耳の流転を追う。
第5回	流浪する英雄—中国—（4）	これまでの流れを、『史記』晋世家以外の歴史資料などを用いて補完し、時系列を整理する。
第6回	流浪する英雄—中国—（5）	重耳の結末と、家臣らのその後を知る。
第7回	流浪する英雄—日本—（1）	記紀からヤマトタケルの物語を読み解く。
第8回	流浪する英雄—日本—（2）	ヤマトタケルの辿った運命とその結末について学ぶ。
第9回	戦の天才とその終わり—中国—（1）	『史記』列伝から、中国史における軍事の天才の1人である楽毅の話を読む。
第10回	戦の天才とその終わり—中国—（2）	当時の時代背景などに注意しつつ、楽毅列伝から、楽毅の書いた手紙を読む。

第11回	戦の天才とその終わり—日本—（1）	日本の戦の天才とされる人物のうち、源義経について『平家物語』から数段抜粋して読み解く。
第12回	戦の天才とその終わり—日本—（2）	『平家物語』の続きと義経の書いた手紙を読み、平家の結末に関して解説する。
第13回	復習と総括	第1回からの授業を振り返り、改めて日中の古典のそれぞれの特徴を整理する。
第14回	試験・まとめと解説	授業で学んだ知識などが身についているか確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回以降の資料を配布した場合は予習が必須である。授業内容はよく復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。毎回原文および、書き下し・訳などとともに、資料などを適宜配布する。

【参考書】

明治書院 新釈漢文大系『史記』五（世海上）
 明治書院 新釈漢文大系『春秋左氏伝』（一）
 明治書院 新釈漢文大系『国語』（上）
 明治書院 新釈漢文大系『国語』（下）
 明治書院 新釈漢文大系『史記』九（列伝二）
 小学館 日本古典文学全集『古事記 上代歌謡』
 岩波書店 日本古典文学大系32『平家物語』上
 岩波書店 日本古典文学大系33『平家物語』下
 など

【成績評価の方法と基準】

毎回のリアクションペーパーもしくは小課題を主とする平常点を30%、期末考査の点数を70%として評価する。出席は大前提とする。

【学生の意見等からの気づき】

リアクションペーパーへの記載内容や要望を鑑みて、配布資料や進行速度に配慮を加える。リアクションペーパーに質問があった場合は、可能な範囲で授業内で答える。できるだけわかりやすく解説するために、画像・映像がある場合は活用する場合がある。シラバスに挙げている作品は一例、もしくは主とする作品であって、適宜他の作品を加える。

授業で中国古典の原文を読む場合は返り点などを用いた訓読方式で行うので、留学生の方はこの点にご留意いただきたい。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書やアプリ等で構わないので、古語辞典・漢和辞典があれば持ってくるのが望ましい。

【その他の重要事項】

授業で中国古典の原文を読む場合は返り点などを用いた訓読方式で行うので、留学生の方はこの点にご留意いただきたい。高校の日本史B程度の基礎知識及び文学史の知識等が必須であるので、よく留意しておくこと。

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

By comparing the documents of the Japan-China relations, it becomes possible to read not only sentences and literary works of other countries but also literary works of their own country from a multilateral point of view. By learning each classic during the day, you can acquire more knowledge and culture when you read other literary works.

Through reading carefully, you will gain the knowledge and culture necessary to appreciate the literature of both Japan and China from a broader perspective. When you are interested in Japanese and Chinese classics, you can learn the basics for reading on your own.

Decide on a theme, do it in a lecture format. First, explain the times, the background of the establishment, the author, etc., and then read the text. You will also learn habits and lifestyles as needed.

Students submit reaction papers or sub-assignments at class every time, and explain the parts and questions that need to be supplemented while checking their understanding at the next class. Also, this reaction paper (or sub-assignments) determines the normal points.

Be sure to prepare for the materials distributed in advance. Please review what you learned in class well.

The preparation and review time for this class is 2 hours each. I don't use textbooks in this class. Each time, along with the original text and translation, the materials are distributed as appropriate.

We will evaluate the normal points mainly on each reaction paper or small assignment as 30% and the score of the final examination as 70%. Attendance is a major premise.

Adjust the handout and speed of progress considering the contents and requests described in the reaction paper. If you have a question in the reaction paper, answer it in class as much as possible. In order to explain as clearly as possible, if there are images and videos, it may be used.

The works listed in Syllabus are examples or main works, and other works will be added as appropriate.

When reading the original text in class, it is done in a "kundoku" method using "kaeriten", so international students should keep this in mind.

It doesn't matter if it's electronic, so it's desirable to bring it if you have a Chinese-Japanese dictionary.

Classes are conducted on the premise that you have basic knowledge of Japanese history B in high school and knowledge of literary history.

LIT100LA (文学 / Literature 100)

日本近・現代文学 A

2017年度以降入学者

サブタイトル：教科書文学で学ぶ文学理論

細沼 祐介

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中学や高校の現代文で扱われる日本の近現代文学を読み解きながら、批評理論や文学理論について学んでいきます。自由な読解や解釈は大変大事なのですが、手放しで行くと結果的にどう読んだらいいかわからないという状態になりがちです。そこで先人たちが積み上げてきた文学や批評に関する理論、つまり解釈の切り口を学ぶことで、より深い読書のための「定石」を身につけましょう。

【到達目標】

- ①文学理論についての概略を理解する
- ②実際にその理論を用いることで、既知の作品の解釈がどう変化するかを楽しむ
- ③複数の理論を応用して自分自身の解釈を試みる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

作品ごとに四時間を割り、一つの講義ごとに様々な文学理論を適用した読解を行います。

講義の性質上、すでに知っている作品であっても必ずもう一度読み直すようにして臨んでください。

授業ごとにはリアクションペーパーの提出を行い、学んだことの応用や実践にも挑戦していきます。

なお、授業冒頭ではリアクションペーパーへの返答に多めに時間を割り、テーマにかかわらず文学に関する種々の疑問に答えていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	「教科書として読まないこと」と理論を学ぶ意味について
第2回	芥川龍之介「羅生門」	「語り」について
第3回	芥川龍之介「羅生門」	物語類型について
第4回	芥川龍之介「羅生門」	テキスト論について
第5回	芥川龍之介「羅生門」	間テキスト性について
第6回	葉山嘉樹「セメント樽の中の手紙」①	プロレタリア文学について
第7回	葉山嘉樹「セメント樽の中の手紙」②	マルクス主義批評について
第8回	葉山嘉樹「セメント樽の中の手紙」③	書簡体の力について
第9回	葉山嘉樹「セメント樽の中の手紙」④	ストーリーとプロットについて
第10回	夏目漱石『こころ』①	読者反応批評について
第11回	夏目漱石『こころ』②	フェミニズム批評ジェンダー批評について

- 第12回 夏目漱石『こころ』③ ジェンダー批評について
 第13回 夏目漱石『こころ』④ 教育と『こころ』について
 第14回 総括 まとめとレポート回収

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

上述のように、テキストを事前に入手し、しっかり読んでおくことを求めます。これは単位認定のための最低条件です。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

芥川龍之介『羅生門・鼻』新潮文庫

葉山嘉樹『セメント樽の中の手紙』角川文庫

夏目漱石『こころ』新潮文庫ほか

必ずしもこのテキストを用いる必要はありませんが、必ず読むようにしましょう。

【参考書】

文学理論について概観したいときは、入門書として

廣野由美子『批評理論入門 『フランケンシュタイン』解剖講義』（中公新書、2005年）

がおすすめです。

【成績評価の方法と基準】

平常点5割、期末レポート5割。なお平常点はリアクションペーパーで評価を行います。

リアクションペーパーについては毎時間かなりの文字数を要求しますので、覚悟しておいてください。

【学生の意見等からの気づき】

大人数講義のため、時折私語をする学生が発生し、大いに邪魔です。例年通り適宜注意を行うほか、厳重なペナルティも検討します。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出や資料配布に学習支援システムを使用します。

【その他の重要事項】

幅広い内容を春学期と秋学期で学んでいくため、可能であれば併せての履修が望ましいです。

また、初回は人数の把握のためにオンデマンド形式での実施とします。こちらからの連絡をお待ちください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course introduces literary theory through reading comprehension of modern literature learned in high school.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to give you a deeper understanding literary theory.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria / Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report: 50%, in class contribution: 50%.

LIT100LA (文学 / Literature 100)

日本近・現代文学B

2017年度以降入学者

サブタイトル：教科書文学で学ぶ文学理論

細沼 祐介

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中学や高校の現代文で扱われる日本の近現代文学を読み解きながら、批評理論や文学理論について学んでいきます。自由な読解や解釈は大変大事なのですが、手放しで行くと結果的にどう読んだらいいかわからないという状態になりがちです。そこで先人たちが積み上げてきた文学や批評に関する理論、つまり解釈の切り口を学ぶことで、より深い読書のための「定石」を身につけましょう。

【到達目標】

- ①文学理論についての概略を理解する
- ②実際にその理論を用いることで、既知の作品の解釈がどう変化するかを楽しむ
- ③複数の理論を応用して自分自身の解釈を試みる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

作品ごとに四時間を割り、一つの講義ごとに様々な文学理論を適用した読解を行います。講義の性質上、すでに知っている作品であっても必ずもう一度読み直すようにして臨んでください。授業ごとにはリアクションペーパーの提出を行い、学んだことの応用や実践にも挑戦していきます。なお、授業冒頭ではリアクションペーパーへの返答に多めに時間を割り、テーマにかかわらず文学に関する種々の疑問に答えていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	角度を変えた読み方の面白さについて
第2回	中島敦「山月記」①	「信用できない語り手」について
第3回	中島敦「山月記」②	イメージと象徴について
第4回	中島敦「山月記」③	イメージに基づく「虎」解釈について
第5回	中島敦「山月記」④	プロットとストーリーについて
第6回	原民喜「夏の花」①	戦争と文学について
第7回	原民喜「夏の花」②	「私小説」について
第8回	原民喜「夏の花」③	伝記批評について
第9回	原民喜「夏の花」④	文体について
第10回	森鷗外「舞姫」①	文化批評について
第11回	森鷗外「舞姫」②	都市論について
第12回	森鷗外「舞姫」③	「近代文学」の制度について
第13回	森鷗外「舞姫」④	「自己」の問題について
第14回	総括	まとめとレポート回収

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。指定された作品はそれを扱う授業までに確実に読んでおいてください。

【テキスト（教科書）】

中島敦『山月記・李陵』岩波文庫

原民喜『夏の花・心願の国』新潮文庫

森鷗外『阿部一族・舞姫』新潮文庫

必ずしもこのテキストを用いる必要はありませんが、必ず読むようにしましょう。

【参考書】

文学理論について概観したいときは、入門書として

廣野由美子『批評理論入門』『フランケンシュタイン』解剖講義（中公新書、2005年）

がおすすめです。

【成績評価の方法と基準】

平常点5割、期末レポート5割。なお平常点はリアクションペーパーで評価を行います。

リアクションペーパーは毎時間かなりの文字数を要求するので、覚悟しておいてください。

【学生の意見等からの気づき】

大人数講義のため、時折私語をする学生が発生し、大いに邪魔です。例年通り適宜注意を行うほか、厳重なペナルティも検討します。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出や資料配布に学習支援システムを使用します。

【その他の重要事項】

幅広い内容を春学期と秋学期で学んでいくため、可能であれば併せての履修が望ましいです。

また、初回は人数の把握のためにオンデマンド形式での実施とします。こちらからの連絡をお待ちください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course introduces literary theory through reading comprehension of modern literature learned in high school.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to give you a deeper understanding literary theory.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria / Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report: 50%, in class contribution: 50%.

BSP100LA（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

文章論

2017年度以降入学者

安藤 優一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

小論文やレポートなど文章を書くにあたって、形式やルールといった基礎的な段階を出発点として、より豊かな文章表現を習得することを目指す。

【到達目標】

- ・言葉（日本語表現）についての知識と理解を深める。
- ・言葉や文章の背景にある社会的事象を理解し、実践を通して深める。
- ・自分の考えや意見を言語化する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・テーマに沿った課題を提示し実際に文章を書く。
- ・提出された課題（400～2000字程度）について添削・指導をおこなう（字数については目安、状況により変動あり）。
- ・提出された課題の中から適宜、事例を紹介し、全体に共有する（番号・氏名は伏せる）。可能であれば受講者による相互批評もおこなう。
- ・新聞記事やコラム、エッセイ、文学作品、学術論文など多様な形式に触れる中で文章表現を学ぶ。
- ・文章表現に関わる基礎知識や社会的事象について解説をおこなう。
- ・教室内での課題の実践にあたっては、専用用紙への手書きの他、パソコン・タブレット端末による入力を想定。
- ・配布資料については印刷したもののほか、分量によりPDFファイルなどでも共有する。
- ・下記の授業計画の内容は、実際の進行状況により修正・変更の場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要説明
第2回	自己紹介文	自分自身についての言語化
第3回	自己紹介文	文章表現の系譜の紹介・課題に沿った実践
第4回	自己紹介文	添削と講評
第5回	原稿執筆の基礎	書式とルール（段落構成・語句表現等）
第6回	原稿執筆の基礎	課題に沿った実践
第7回	原稿執筆の基礎	添削と講評
第8回	論述的な文章	資料調査の方法・引用について等
第9回	論述的な文章	時事的な文章の紹介
第10回	論述的な文章	課題に沿った実践
第11回	論述的な文章	添削と講評
第12回	文章表現とリテラシー	注意点の概説
第13回	意見・思考の言語化	これまでの内容を踏まえての実践
第14回	総括	これまでの内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

特になし。授業内で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、授業内での提出物30%、期末レポート40%

【学生の意見等からの気づき】

実践やフィードバックの方法などについて、より改善できるよう留意したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

課題の実践や資料調査、配布資料の共有にあたり使用するため、パソコンやタブレット端末等の準備があると望ましい。（※スマートフォンの場合は、文章入力や内容確認、資料閲覧などにあたり、使いづらいため。）

【その他の重要事項】

※以下、受講にあたって大変重要な内容です。必ず読んでください。

○受講人数の制限について（選抜について）

・文章論は受講者の制限がある授業です（上限25名）。

・初回授業前日に受講希望者の人数を確認し、上限を上回っていた場合は抽選を実施します。そのため、受講希望者は初回授業前々日までに必ず仮登録をおこなってください。

・選抜終了後に受講決定者の学生証番号をHoppiiの「お知らせ」を使って告知します。掲載されていない学生は受講できません。登録を抹消してください。

・選抜を受けていない学生が2週目以降から授業に参加することはできません。

○複数の「文章論」クラスへの登録について

・「文章論」の授業は複数あります。授業内容と対象学部・学年、曜日・時限をよく確認してください。

・重複しての仮登録は可能です。選抜は授業開始日の順におこないます。

・重複しての本登録はできません。万が一、本登録の時点で重複があった場合には、必ずどれか一つだけを選んでください。

【Outline (in English)】

【授業概要（Course outline）】

The aim of this course is to help students acquire written expression.

到達目標（Learning Objectives）

The goals of this course are to verbalize your mind.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policies）】

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 40%, Short reports : 30%, in class contribution: 30%.

BSP100LA（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

文章論

2017年度以降入学者

関口 雄士

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習に必要な「書く力」を、技法を学びながら様々な文章を読み書きすることで習得することを目指す授業です。

なお、このクラスは留学生を主な対象としたクラスではありません。留学生・海外生活が長かった学生は、春学期月曜4限の「文章論」が留学生を主な対象とした授業になりますので、そちらの受講をおすすめします。もちろん、自信があれば本授業への参加も可能です。

【到達目標】

大学での学習に必要な「書く力」の基礎を定着する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

目標達成のために、以下のように3回1セットを基本として4セットの授業を行います（課題③は下記Ⅰを2回かけておこない、4回を1セットとします）。

Ⅰ 課題に関する文章を使った講義：課題にそった文章を読んでいくことで、知識・技法を身につけます。

Ⅱ 文章作成に関する知識の講義：授業前半で大学でのレポート・論文作成に必要な知識についての講義をおこないます。授業後半で課題作文を作成・提出してもらいます。

Ⅲ 課題作文への講評と相互批評：前週に提出された課題作文を添削してコメントをつけたものを返却します。一部の作文については個人が特定できないかたちにしたうえで授業内で紹介・講評し、その作文について相互批評をおこなってもらいます。

なお、授業の性質上、受講者全員の作文への添削・コメントが必要になりますので、受講人数に制限があります。くわしくは末尾の【その他の重要事項】にありますので、必ず確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	本授業についての詳細な説明。
第2回	課題①エッセイを書く	エッセイとは何かを学ぶ。
第3回	課題①エッセイを書く	文章作成の基本的な規則を学ぶ。
第4回	課題①エッセイを書く	課題①の講評・相互批評。
第5回	課題②文献を扱って書く	文献の扱い方を学ぶ。
第6回	課題②文献を扱って書く	資料の探し方を学ぶ。
第7回	課題②文献を扱って書く	課題②の講評・相互批評。
第8回	課題③意見文を書く	文の構成要素として段落を学ぶ。
第9回	課題③意見文を書く	事実と意見の分け方を学ぶ。
第10回	課題③意見文を書く	テーマの決め方を学ぶ。
第11回	課題③意見文を書く	課題③の講評・相互批評。
第12回	課題④期末作文を書く	読みやすい文章について学ぶ。

第13回 課題④期末作文を書く 学習内容のまとめをおこなう。

第14回 課題④期末作文を書く 課題④の講評・相互批評。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題作文を半期で4回書いてもらいます。課題作文は下書きを1週間で準備してもらいます。

授業中にしめた参考文献はできる限り読むようにしてください。日常生活のなかで文章を目にしたとき、講義で学んだことを意識するようにしてください。

（本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。）

【テキスト（教科書）】

指定の教科書はありません。適宜プリントを配布します。

【参考書】

授業内で単元ごとに紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（相互批評、リアクションペーパーの内容）：50%

提出物の内容：50%

未提出の課題が1つでもあった場合、原則として単位を認めません。特別な理由なく3回以上の欠席があった場合も原則として単位を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

作文への添削・コメントが文章力を磨く役に立ったという意見を多くもらえたので、引き続き丁寧におこなうようにします。

作文や相互批評を書く時間を余裕を持って取れるように留意します。

【その他の重要事項】

※以下、受講にあたって大変重要な内容です。必ず読んでください。

○受講人数の制限について（選抜について）

・文章論は受講者の制限がある授業です（上限25名）。

・初回授業前日に受講希望者の人数を確認し、上限を上回っていた場合は抽選を実施します。そのため、受講希望者は初回授業前々日までに必ず仮登録をおこなってください。

・選抜終了後に受講決定者の学生証番号をHoppiiの「お知らせ」を使って告知します。掲載されていない学生は受講できません。登録を抹消してください。

・選抜を受けていない学生が2週目以降から授業に参加することはできません。

○複数の「文章論」クラスへの登録について

・「文章論」の授業は複数あります。授業内容と対象学部・学年、曜日・時限をよく確認してください。

・重複しての仮登録は可能です。選抜は授業開始日の順におこないます。

・重複しての本登録はできません。万が一、本登録の時点で重複があった場合には、必ずどれか一つだけを選んでください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This class aims to help students acquire the "writing skills" necessary for university study by learning techniques and reading and writing a variety of texts.

Please note that this class is not intended primarily for international students. International students and students who have lived abroad for a long time are recommended to take "Writing Theory," which is offered on Mondays during 4th period of the spring semester and is intended mainly for international students. Of course, if you are confident, you can also join this class.

【Learning Objectives】

Establish a foundation of writing skills necessary for university study.

【Learning activities outside of classroom】

You will be required to write an assigned essay four times during the semester.

You will have one week to prepare a draft of your essay.

Please read the references given in class as much as possible. When you see texts in your daily life, please be aware of what you have learned in the lecture.

(The standard preparation and review time for this class is two hours each.)

【Grading Criteria /Policy】

Regular marks (peer critiques, reaction paper content): 50%

Submission content: 50%

In principle, if even one assignment is not submitted, credits will not be given.

In principle, if you are absent three or more times without a special reason, credits will not be given.

BSP100LA（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

文章論

2017年度以降入学者

関口 雄士

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本の大学での学習に必要な「書く力」を、技法を学びながら様々な文章を読み書きすることで習得することを目指す授業です。このクラスは留学生を主な対象としています。ただし、留学生に限定せず、レポートを書くことに不安を感じている日本人学生の受講も歓迎します。

【到達目標】

日本の大学での学習に必要な「書く力」の基礎を定着する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1：各回テーマにあわせた内容を講義形式で学びます。
 - 2：講義で学んだことを実践的に身につける実習をおこないます。
 - 3：実習へのフィードバックをもとに理解を深めます。
 - 4：最終的にレポートを実際に書いてもらうことで、学んだことの定着をはかります。
- なお、受講人数によっては受講者のニーズにそったかたちで柔軟に対応をおこないたいと思います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	本授業についての詳細な説明。
第2回	レポート作成の基礎①	レポート執筆の基本的な規則を学ぶ。
第3回	レポート作成の基礎②	レポートに関する基本的な考え方を学ぶ。
第4回	資料の使い方①	引用について学ぶ。
第5回	資料の使い方②	インターネットを利用した文献検索を学ぶ。
第6回	資料の使い方③	文献の要約を学ぶ
第7回	前半のまとめ	第2～6回で学んだ内容を復習する。
第8回	学術的文章の実践①	テーマの決め方を学ぶ。
第9回	学術的文章の実践②	事実と意見の分け方を学ぶ。
第10回	学術的文章の実践③	段落構成を学ぶ。
第11回	学術的文章の実践④	読みやすい文章について学ぶ。
第12回	レポート作成実習①	ここまで学んだ内容をもとにレポートを作成する。
第13回	レポート作成実習②	前回内容の返却・講評をとおして理解を深める。
第14回	まとめ	授業内容の振り返りと参考文献紹介。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で学んだ内容についてはきちんと復習をおこない、可能であれば他の授業で実践をおこなってください。
授業中にしめした参考文献はできる限り読むようにしてください。
日常生活のなかで文章を目にしたとき、講義で学んだことを意識するようにしてください。

（本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。）

【テキスト（教科書）】

指定の教科書はありません。適宜プリントを配布します。

【参考書】

授業内で單元ごとに紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（実習への取り組み・リアクションペーパーの内容）：60％
レポート作成実習：40％
特別な理由なく3回以上の欠席があった場合は原則として単位を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

受講人数によっては、受講者のニーズにそった内容を取りあげたり、双方向性をより高めたりなど、臨機応変に対応したいと思います。資料がやや多いという意見があったので、厳選するとともに、丁寧な説明を心がけます。

【その他の重要事項】

※以下、受講にあたって大変重要な内容です。必ず読んでください。

○受講人数の制限について（選抜について）

・文章論は受講者の制限がある授業です（上限25名）。

・初回授業前日に受講希望者の人数を確認し、上限を上回っていた場合は抽選を実施します。そのため、受講希望者は初回授業前々日までに必ず仮登録をおこなってください。

・選抜終了後に受講決定者の学生証番号をHoppiiの「お知らせ」を使って告知します。掲載されていない学生は受講できません。登録を抹消してください。

・選抜を受けていない学生が2週目以降から授業に参加することはできません。

○複数の「文章論」クラスへの登録について

・「文章論」の授業は複数あります。授業内容と対象学部・学年、曜日・時限をよく確認してください。

・重複しての仮登録は可能です。選抜は授業開始日の順におこないます。

・重複しての本登録はできません。万が一、本登録の時点で重複があった場合には、必ずどれか一つだけを選んでください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This class is designed to help students acquire the "writing skills" necessary for studying at Japanese universities by learning techniques and reading and writing a variety of texts. This class is primarily intended for international students. However, the course is not limited to international students; Japanese students who are anxious about writing reports are also welcome to take the course.

【Learning Objectives】

Establish a foundation of writing skills necessary for university study.

【Learning activities outside of classroom】

Please review the content you learned in class carefully and, if possible, put it into practice in other classes.

Please read the references given in class as much as possible. When you see texts in your daily life, try to keep in mind what you learned in lecture.

(The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.)

【Grading Criteria/Policy】

Regular marks (approach to practical training and reaction paper contents): 60%

Report writing practical training: 40%

In principle, if you are absent three or more times without a special reason, credits will not be given.

BSP100LA（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

文章論

2017年度以降入学者

関口 雄士

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習に必要な「書く力」を、技法を学びながら様々な文章を読み書きすることで習得することを目指す授業です。

なお、このクラスは留学生を主な対象としたクラスではありません。留学生・海外生活が長かった学生は、春学期月曜4限の「文章論」が留学生を主な対象とした授業になりますので、そちらの受講をおすすめします。もちろん、自信があれば本授業への参加も可能です。

【到達目標】

大学での学習に必要な「書く力」の基礎を定着する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

目標達成のために、以下のように3回1セットを基本として4セットの授業を行います（課題③は下記Ⅰを2回かけておこない、4回を1セットとします）。

Ⅰ 課題に関する文章を使った講義：課題にそった文章を読んでいくことで、知識・技法を身につけます。

Ⅱ 文章作成に関する知識の講義：授業前半で大学でのレポート・論文作成に必要な知識についての講義をおこないます。授業後半で課題作文を作成・提出してもらいます。

Ⅲ 課題作文への講評と相互批評：前週に提出された課題作文を添削してコメントをつけたものを返却します。一部の作文については個人が特定できないかたちにしたうえで授業内で紹介・講評し、その作文について相互批評をおこなってもらいます。

なお、授業の性質上、受講者全員の作文への添削・コメントが必要になりますので、受講人数に制限があります。くわしくは末尾の【その他の重要事項】にありますので、必ず確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	本授業についての詳細な説明。
第2回	課題①エッセイを書く	エッセイとは何かを学ぶ。
第3回	課題①エッセイを書く	文章作成の基本的な規則を学ぶ。
第4回	課題①エッセイを書く	課題①の講評・相互批評。
第5回	課題②文献を扱って書く	文献の扱い方を学ぶ。
第6回	課題②文献を扱って書く	資料の探し方を学ぶ。
第7回	課題②文献を扱って書く	課題②の講評・相互批評。
第8回	課題③意見文を書く	文の構成要素として段落を学ぶ。
第9回	課題③意見文を書く	事実と意見の分け方を学ぶ。
第10回	課題③意見文を書く	テーマの決め方を学ぶ。
第11回	課題③意見文を書く	課題③の講評・相互批評。
第12回	課題④期末作文を書く	読みやすい文章について学ぶ。

第13回 課題④期末作文を書く 学習内容のまとめをおこなう。

第14回 課題④期末作文を書く 課題④の講評・相互批評。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題作文を半期で4回書いてもらいます。課題作文は下書きを1週間で準備してもらいます。

授業中にしめた参考文献はできる限り読むようにしてください。日常生活のなかで文章を目にしたとき、講義で学んだことを意識するようにしてください。

（本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。）

【テキスト（教科書）】

指定の教科書はありません。適宜プリントを配布します。

【参考書】

授業内で単元ごとに紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（相互批評、リアクションペーパーの内容）：50%

提出物の内容：50%

未提出の課題が1つでもあった場合、原則として単位を認めません。特別な理由なく3回以上の欠席があった場合も原則として単位を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

作文への添削・コメントが文章力を磨く役に立ったという意見を多くもらえたので、引き続き丁寧におこなうようにします。

作文や相互批評を書く時間を余裕を持って取れるように留意します。

【その他の重要事項】

※以下、受講にあたって大変重要な内容です。必ず読んでください。

○受講人数の制限について（選抜について）

・文章論は受講者の制限がある授業です（上限25名）。

・初回授業前日に受講希望者の人数を確認し、上限を上回っていた場合は抽選を実施します。そのため、受講希望者は初回授業前々日までに必ず仮登録をおこなってください。

・選抜終了後に受講決定者の学生証番号をHoppiiの「お知らせ」を使って告知します。掲載されていない学生は受講できません。登録を抹消してください。

・選抜を受けていない学生が2週目以降から授業に参加することはできません。

○複数の「文章論」クラスへの登録について

・「文章論」の授業は複数あります。授業内容と対象学部・学年、曜日・時限をよく確認してください。

・重複しての仮登録は可能です。選抜は授業開始日の順におこないます。

・重複しての本登録はできません。万が一、本登録の時点で重複があった場合には、必ずどれか一つだけを選んでください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This class aims to help students acquire the "writing skills" necessary for university study by learning techniques and reading and writing a variety of texts.

Please note that this class is not intended primarily for international students. International students and students who have lived abroad for a long time are recommended to take "Writing Theory," which is offered on Mondays during 4th period of the spring semester and is intended mainly for international students. Of course, if you are confident, you can also join this class.

【Learning Objectives】

Establish a foundation of writing skills necessary for university study.

【Learning activities outside of classroom】

You will be required to write an assigned essay four times during the semester.

You will have one week to prepare a draft of your essay.

Please read the references given in class as much as possible.

When you see texts in your daily life, please be aware of what you have learned in the lecture.

(The standard preparation and review time for this class is two hours each.)

【Grading Criteria /Policy】

Regular marks (peer critiques, reaction paper content): 50%

Submission content: 50%

In principle, if even one assignment is not submitted, credits will not be given.

In principle, if you are absent three or more times without a special reason, credits will not be given.

BSP100LA（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

文章論

2017年度以降入学者

細沼 祐介

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では論文・レポート執筆法に加え、批評文、小説の創作にまで至る幅広い日本語を学びます。履修者には日本語のもつ豊かさや、目的に応じた多彩な表現方法を味わって欲しいと思います。

【到達目標】

- ①日本語についての知識と理解を深める。
- ②文章の構造を分解し、内容面だけにとどまらない表現に関する魅力を明確に理解し、自身でも使いこなせるようになる。
- ③他者の書いたものを批評的に読み、論理的に感想をまとめる行為をとし、読みと書きの両面から文章の奥深さを学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

到達目標を達成するためにそれぞれのジャンルごとに三から四時間を割り、二〜三コマ目で概略の説明、最後の時間で簡単な相互批評を行っていきます。学生による文章の提出は講義の時間と相互批評の時間の間で行い、そのなかからこちらで選抜した秀作をまとめ、Hoppiiで学生に配布します。相互批評の時間までに目を通したうえで授業に臨んでください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンスと文章の二大形式について	「分かりやすく論理的」か「美しく感覚的」か、目的に合わせたスタイルを意識する
第2回	「マジメ」な文章の綴り方	ビジネスマナーを含む文章作法の一般基礎を学ぶ
第3回	論文の書き方①	論文の構成と三つの柱の繰り返しについて学ぶ
第4回	論文の書き方②	引用作法と文献調査の方法を学ぶ
第5回	論文の書き方③	パラグラフライティングと二つのセンテンスについて学ぶ
第6回	論文の書き方④	相互批評に挑戦する
第7回	批評文の書き方①	「分かりにくさ」の美点について学ぶ
第8回	批評文の書き方②	批評理論について概観する
第9回	批評文の書き方③	相互批評に挑戦する
第10回	小説の書き方①	虚と実、視点について学ぶ
第11回	小説の書き方②	文体と筋の関係について学ぶ
第12回	小説の書き方③	主題の取り扱いとオリジナルティについて学ぶ
第13回	小説の書き方④	相互批評に挑戦する
第14回	総括	期末課題を回収し、授業全体の振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。期末レポートも含めて四度の大きな課題提出があります。

【テキスト（教科書）】

なし。

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、提出物30%、期末課題40%

非常に課題の多い講義となりますが、文章力は実践を通してしか学びえません。必ず得るものをがあるので、じっくりがんばってください。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進度に応じてプラスアルファが欲しいとの要望があったため、毎時簡単に文章上のレトリックについての講義も取り入れていくつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

課題作成のためのパソコン（Wordをインストール）
また出欠確認および課題の提出には学習支援システムを使用します。特に出欠確認は授業内で行うため、スマートフォンやタブレット等の用意をお願いします。

【その他の重要事項】

※以下、受講にあたって大変重要な内容です。必ず読んでください。

○受講人数の制限について（選抜について）

・文章論は受講者の制限がある授業です（上限25名）。

・初回授業前日に受講希望者の人数を確認し、上限を上回っていた場合は抽選を実施します。そのため、受講希望者は初回授業前々日までに必ず仮登録をおこなってください。

・選抜終了後に受講決定者の学生証番号を学習支援システムを通じて告知します。掲載されていない学生は受講できません。登録を抹消してください。

・選抜を受けていない学生が2週目以降から授業に参加することはできません。

○複数の「文章論」クラスへの登録について

・「文章論」の授業は複数あります。授業内容と対象学部・学年、曜日・時限をよく確認してください。

・重複しての仮登録は可能です。選抜は授業開始日の順におこないます。

・重複しての本登録はできません。万が一、本登録の時点で重複があった場合には、必ずどれか一つだけを選んでください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

In this lesson, in addition to writing such as paragraph writing, you will learn a wide range of Japanese ranging from treatises, criticisms to the creation of novels.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to give you a deeper understanding of how to write sentences in Japanese.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report: 40%、Short reports : 30%、in class contribution: 30%.

BSP100LA (初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100)

文章論

2017年度以降入学者

細沼 祐介

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では論文・レポート執筆法に加え、批評文、小説の創作にまで至る幅広い日本語を学びます。履修者には日本語のもつ豊かさや、目的に応じた多彩な表現方法を味わって欲しいと思います。

【到達目標】

- ①日本語についての知識と理解を深める。
- ②文章の構造を分解し、内容面だけにとどまらない表現に関する魅力を明確に理解し、自身でも使いこなせるようになる。
- ③他者の書いたものを批評的に読み、論理的に感想をまとめる行為をとし、読みと書きの両面から文章の奥深さを学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

到達目標を達成するためにそれぞれのジャンルごとに三から四時間を割り、二〜三コマ目で概略の説明、最後の時間で簡単な相互批評を行っていきます。学生による文章の提出は講義の時間と相互批評の時間の間で行い、そのなかからこちらで選抜した秀作をまとめ、Hoppiiで学生に配布します。相互批評の時間までに目を通したうえで授業に臨んでください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンスと文章の二大形式について	「分かりやすく説理的」か「美しく感覚的」か、目的に合わせたスタイルを意識する
第2回	「マジメ」な文章の綴り方	マナーを含む文章作法の一般基礎を学ぶ
第3回	論文の書き方①	論文の構成と三つの柱の繰り返しについて学ぶ
第4回	論文の書き方②	引用作法と文献調査の方法を学ぶ
第5回	論文の書き方③	パラグラフライティングと二つのセンテンスについて学ぶ
第6回	論文の書き方④	相互批評に挑戦する
第7回	批評文の書き方①	「分かりにくさ」の美点について学ぶ
第8回	批評文の書き方②	批評理論を概観する
第9回	批評文の書き方③	相互批評に挑戦する
第10回	小説の書き方①	虚と実、視点について学ぶ
第11回	小説の書き方②	文体と筋の関係について学ぶ
第12回	小説の書き方③	主題の取り扱いとオリジナルティについて学ぶ
第13回	小説の書き方④	相互批評に挑戦する
第14回	総括	期末課題を回収し、授業全体の振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。授業内で課された作文を期限厳守で仕上げる

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、提出物30%、期末課題40%

非常に課題の多い講義となりますが、文章力は実践を通してしか学びえません。必ず得るものをがあるので、じっくりがんばってください。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進度に応じてプラスアルファが欲しいとの要望があったため、毎時簡単に文章上のレトリックについての講義も取り入れていくつもりです。す。

【学生が準備すべき機器他】

課題作成のためのパソコン（Wordをインストール）

また出欠確認および課題の提出には学習支援システムを使用します。特に出欠確認は授業内で行うため、スマートフォンやタブレット等の用意をお願いします。

【その他の重要事項】

※以下、受講にあたって大変重要な内容です。必ず読んでください。

○受講人数の制限について（選抜について）

・文章論は受講者の制限がある授業です（上限25名）。

・4月14日に受講希望者の人数を確認し、上限を上回っていた場合は選抜（抽選）を実施します。そのため、受講希望者は4月14日までに必ず仮登録をおこなってください。

・選抜終了後に受講決定者の学生証番号を学習支援システムを通じて告知します。掲載されていない学生は受講できません。登録を抹消してください。

・選抜を受けていない学生が2週目以降から授業に参加することはできません。

○複数の「文章論」クラスへの登録について

・「文章論」の授業は複数あります。授業内容と対象学部・学年、曜日・時限をよく確認してください。

・重複しての仮登録は可能です。選抜は授業開始日の順におこないます。

・重複しての本登録はできません。万が一、本登録の時点で重複があった場合には、必ずどれか一つだけを選んでください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

In this lesson, in addition to writing such as paragraph writing, you will learn a wide range of Japanese ranging from treatises, criticisms to the creation of novels.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to give you a deeper understanding of how to write sentences in Japanese.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report: 40%、Short reports : 30%、in class contribution: 30%.

LIN100LA (言語学 / Linguistics 100)

言語学 A

2017年度以降入学者

板井 美佐

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

学生は言語学に関する基礎的な概念を学ぶ。言語とは何か、言語学の基盤となる音声学、音韻論とはどのようなものか、言語習得はどのようになされるのか等について学ぶとともに、言語のさまざまな事柄を客観的に捉え、分析する視点を身につける。

【到達目標】

学生は、言語学概念について科学的な分析を行うための基礎的な方法が理解できるだけでなく、第二言語習得のメカニズム、第二言語習得研究の現状を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 講義と演習（グループディスカッション・グループワーク）を中心に行う。
2. 授業の最後に、リアクションペーパーを提出する。
3. 次回の授業の頭でリアクションペーパーに対するフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	言語学とは何か
	言語学入門1	言語の特質（1）
第2回	言語学入門2	言語の特質（2）
第3回	言語学入門3	言語の特質（3）
第4回	音声学1	音声器官
第5回	音声学2	調音
第6回	音声学3	母音、子音
第7回	音韻論1	異音、相補分布
第8回	音韻論2	環境同化、音声的類似
第9回	音韻論3	日本語の音韻体系
第10回	第二言語習得研究1	第二言語習得研究の流れ
第11回	第二言語習得研究2	中間言語
第12回	第二言語習得研究3	学習者の母語と第二言語習得
第13回	第二言語習得研究4	習得順序と発達順序
第14回	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

基本的に予習は必要ないが、復習時間は4時間を標準とする。
講義の骨子はPPTの形式で授業支援システムにアップロードするので、それをダウンロードした上で、授業ではPPTの一部空白部分に講義ノート書いていくことが求められる。
授業は基本的に講義形式で行うが、授業内容の問いに対しグループ単位で考え、発表することがある。スマホの情報を発言内容に置き換えるのではなく、各自オリジナルの意見を発表することが期待される。
PPTを含め、授業で配布した資料は試験範囲に含まれる。

【テキスト（教科書）】

資料（テキストに相当）及びPPTは授業支援システムにアップロードしてある。

資料の配付は行わないので、毎回持参すること。

テキスト名1：『日本語教師トレーニングマニュアル3 よくわかる言語学入門 解説と演習』 著者：町田健ほか 出版社：バベルプレス 定価：2233円＋税

テキスト名2：『ことばの獲得 母語獲得と第二言語習得』 著者：鈴木孝明ほか 出版社：くろしお出版 定価：1800円＋税

【参考書】

参考文献は適宜PPTなどで紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験を100点満点換算で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

さらなる履修者の積極的な授業参加を図りたい。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

※履修者数によっては、授業開始前に選抜を行なうかもしれない。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This course introduces language, phonetics, phonology and another language acquisition, encouraging to analyze and seize the many aspects of the language and language learning.

【Learning Objectives】 The goals of this course are to understand the basic methods for scientific analysis of linguistic concepts, to understand the mechanism of second language acquisition and the current state of second language acquisition research.

【Learning activities outside of classroom】 Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course contents.

【Grading Criteria /Policy】 Final grade will be calculated by Final exam(100%).

LIN100LA (言語学 / Linguistics 100)

言語学B

2017年度以降入学者

板井 美佐

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

前半は第一言語習得はどのようになされるか等について学ぶとともに、言語のさまざまな事柄を客観的に捉え、分析する視点を身につける。後半は、異文化コミュニケーションを概観することで異文化についての理解を深める。本講義では、学生は言語のさまざまな事柄を客観的に捉え、分析する視点を身につける。

【到達目標】

学生は、第一言語習得を含め、言語を取り巻くさまざまな事象を理解し、言語の多様性を意識した上で世界の多様性に気づくことになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 講義を中心に行うが、適宜演習（グループワーク）も行う。
2. 授業の最後に、リアクションペーパーを提出する。
3. 次回の授業の頭でリアクションペーパーに対するフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第1言語習得1	第一言語とは？
第2回	第1言語習得2	第一言語習得とは？
第3回	第1言語習得3	第一言語習得研究の方法
第4回	第1言語習得メカニズム1	第一言語習得のメカニズム
第5回	第1言語習得メカニズム2	主な言語発達理論（基礎編）
第6回	第1言語習得メカニズム3	主な言語発達理論（応用編）
第7回	母語獲得とインプットの役割1	子どもの構造依存性 語順獲得母語獲得とインプットの役割
第8回	母語獲得とインプットの役割2	肯定証拠と否定証拠
第9回	母語獲得とインプットの役割3	インプットの効果
第10回	異文化理解1	カルチャーショック
第11回	異文化理解2	ジョハリの窓
第12回	異文化トレーニング1	異文化トレーニング方法1
第13回	異文化トレーニング2	異文化トレーニング方法2
第14回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

基本的に予習は必要ないが、復習時間は4時間を標準とする。講義の骨子は PPT の形式で授業支援システムにアップロードするので、それをダウンロードした上で、授業では PPT の一部空白部分に講義ノート書いていくことが求められる。

授業は基本的に講義形式で行うが、授業内容の問いに対しグループ単位で考え、発表することがある。スマホの情報を発言内容に置き換えるのではなく、各自オリジナルの意見を発表することが期待される。

PPTを含め、授業で配布した資料は試験範囲に含まれる。

【テキスト（教科書）】

テキスト（テキスト相当）及びPPTは授業試験システムにアップロードしてある。

資料の配付は行なわないので、毎回持参すること。

テキスト名：『ことばの獲得 母語獲得と第二言語習得 著者：鈴木孝明ほか 出版社：くろしお出版 定価：1800円＋税』

【参考書】

PPTの参考文献に示した。

参考書名：『はじめて学ぶ異文化コミュニケーションー多文化共生と平和構築へ向けて』 著者：石井敏ほか 出版社：有斐閣選書

【成績評価の方法と基準】

全ての課題提出を期末試験に換算し、100点満点換算で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

・第一言語習得理論、日本語を外国人に教えるための日本語教育文法に興味を持ってもらえてよかったと思う。

・前期に言語学Aを履修しなかった学生にも理解できるよう、言語学Bでは前期言語学のエッセンス部分を丁寧にひろってから後期の講義内容へとつなげた。後期登録の学生はスムーズに授業に入っていたようでよかった。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

【Course outline】 In the first half of the course, this course introduces about how first language acquisition is accomplished. In the second half, students will deepen their understanding of different cultures through an overview of cross-cultural communication.

【Learning Objectives】 The goals of this course are to understand various phenomena surrounding languages, including first language acquisition, and to become aware of the diversity of the world after being conscious of the diversity of languages. **【Learning activities outside of classroom】** Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course contents.

【Grading Criteria /Policy】 Final grade will be calculated by Final exam(100%).

LIN100LA (言語学 / Linguistics 100)

言語学 A

2017年度以降入学者

副島 健作

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

多言語化した国際地域社会や多文化社会に関する高度な理解力を養うため、言語学の基本的な知識と考え方に触れ、コミュニケーションの観点から「言語」はどうとらえられるか、客観的に分析できるようにすることを目的とします。

言語学は、ことばを分析し、「ことばの仕組み」を記述・説明する学問です。この授業では人間の言語を客観的に記述するのに必要な基本概念を紹介します。また、その過程で一つの現象に対する様々なアプローチを提示し、現代言語学で行なわれている主要な研究方法も概観します。それらを通じて、世界の言語に見られる構造と言語現象、およびそれらを説明するのに必要な基本概念を紹介します。

【到達目標】

1. 言語についてのヒトの営みについての一般的な知見を得る。
2. 言語学の方法についての基礎的な分野、音声学、音韻論、形態論、統語論、意味論の基本形式を理解する。
3. 他の学問領域と重なる語用論、社会言語学および心理言語学のような分野に触れ、ことばがさまざまな角度から分析・研究できることを理解する。
4. 現代言語学の主要な研究方法について認識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

言語学とはどんな学問かについて概観します。

「言語学」の基礎的な術語・概念について講義し、どう言語を扱ってきたかを紹介したり、「コミュニケーション」と言語との関係について解説したりします。

一方的な講義にならないように、適宜対話方式で進めていくので、自分なりに参加するようにしてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	言語と言語学	世界の言語と言語学を考える
第2回	音の作り方：音声学	「音声学」について解説する
第3回	音の使い方：音韻論	「音韻論」について解説する
第4回	単語のしくみ：形態論・語彙論	「形態論・語彙論」について解説する
第5回	意味の世界：意味論1	「意味論」について解説する論
第6回	単語間の意味関係：意味論2	単語間の意味関係について考察する
第7回	文のしくみ：統語論1	「統語論」について解説する
第8回	文の意味：統語論2	文の意味のかかわる要素について日本語と英語を例に概観する
第9回	談話のしくみ：誤用論1	「語用論」の観点について紹介する
第10回	会話のしくみ：誤用論2	コミュニケーションを考えるときの要素について解説する

第11回	言語のバリエーション：社会言語学1	「社会言語学」について概観する
第12回	言語の変化：社会言語学2	言語変化が社会の中でどのように進行しているのかを概観する
第13回	文理解：心理言語学1	文を理解するときのしくみについて解説する
第14回	文産出：心理言語学2 (授業内試験をする可能性あり)	文を話すことができるしくみについて解説する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義内容は基礎的な内容に限られるので、少しでも不明な箇所や疑問点があれば、その時点で質問するなり、紹介する参考資料等を参考にして、理解をしておくこと。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

高橋留美 他 (2021) 『やさしい言語学』

【参考書】

佐久間淳一 他 (2007) 『言語学入門』 研究社

千野栄一 (1994) 『言語学の開かれた扉』 三省堂、

必要に応じて授業中に紹介したりや支援システムにリストをアップする予定です。

【成績評価の方法と基準】

課題：30%

平常点：20%

期末試験：50%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【その他の重要事項】

積極的に授業に参加するという意志が大切です。つまり、自分なりに疑問を持とうという姿勢です。そうすると、何が理解できていて、何が理解できていないのかがわかってきます。ただ座って聞いているだけでは意味がありません。問題意識を持って、チャレンジしてくれることを期待します。

【Outline (in English)】

【Course outline】

In order to develop an advanced understanding of multilingual international communities and multicultural societies, students will be exposed to the basic knowledge and concepts of linguistics and will be able to objectively analyze how "language" can be viewed from the perspective of communication.

Linguistics is a discipline that analyzes language and describes and explains the "mechanism of language." In this class, we will introduce the basic concepts necessary to objectively describe human language. In the process, we will also present various approaches to a single phenomenon and overview the major research methods used in modern linguistics. Through these approaches, we will introduce the structures and linguistic phenomena found in the world's languages and the basic concepts needed to explain them.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

1. To gain a general knowledge of human activity in language.
2. To understand the basic forms of the methods of linguistics: phonetics, phonology, morphology, syntax, and semantics.
3. To understand that language can be analyzed and studied from various perspectives, touching on areas such as pragmatics, sociolinguistics, and psycholinguistics, which overlap with other disciplines.
4. To develop an awareness of the main research methods in modern linguistics.

【Learning activities outside of classroom】

Since the lecture content is limited to the basics, if there are any unclear points or questions, please ask questions or refer to the reference materials introduced at that time to ensure understanding.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%, Assignments : 30%, in class contribution: 20%

LIN100LA (言語学 / Linguistics 100)

言語学 B

2017年度以降入学者

副島 健作

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

多言語化した国際地域社会や多文化社会に関する高度な理解力を養うため、言語学の基本的な知識と考え方に触れ、コミュニケーションの観点から「言語」はどうとらえられるか、客観的に分析できるようにすることを目的とします。

言語学は、ことばを分析し、「ことばの仕組み」を記述・説明する学問です。この授業では人間の言語を客観的に記述するのに必要な基本概念を紹介します。また、その過程で一つの現象に対する様々なアプローチを提示し、現代言語学で行なわれている主要な研究方法も概観します。それらを通じて、世界の言語に見られる構造と言語現象、およびそれらを説明するのに必要な基本概念を紹介します。

【到達目標】

1. 言語についてのヒトの営みについての一般的な知見を得る。
2. 世界の言語には思いもよらない現象があることを、日本語や英語のしくみと違う点・似ている点に注目することで、理解する。
3. 他の学問領域と重なる言語学の分野、歴史・比較・地理言語学、社会言語学、認知言語学、対照言語学および第二習得論のような分野に触れ、ことばがさまざまな角度から分析・研究できることを理解する。
4. 現代言語学の主要な研究方法について認識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

言語学とはどんな学問かについて概観します。

世界の言語について概観し、言語学と呼ばれるさまざまな分野においてそれらをどう扱ってきたかを紹介したり、「コミュニケーション」と言語との関係について解説したりします。

一方的な講義にならないように、適宜対話方式で進めていくので、自分なりに参加するようにしてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	内容・授業のすすめ方の説明 「ことば」の記録
第2回	歴史言語学の成果 1	「歴史言語学」の概説と、音変化に関する研究成果を紹介する
第3回	歴史言語学の成果 2	「歴史言語学」の概説と、形態、統語、語彙、意味の変化に関する研究成果を紹介する
第4回	比較言語学の成果	「比較言語学」の概説と、それでわかったことを紹介する
第5回	地理言語学の成果	「地理言語学」の概説と、それでわかったことを紹介する
第6回	社会言語学の成果 1	「社会言語学」の概説と、言語の変異、方言、使用域の研究でわかったことを紹介する
第7回	社会言語学の成果 2	「社会言語学」の概説と、言語接触、言語変化、言語政策の研究でわかったことを紹介する

第8回	認知言語学の成果	「認知言語学」を概観し、それがもたらす成果について解説する
第9回	第二言語習得について	「第二言語取得論」を概観し、そこでわかったことを紹介する
第10回	文字論	「文字論」について解説する
第11回	世界の諸言語について（発表）1	世界の言語の現状と、言語の起源などについて、受講生が学んでいる外国語を自ら調べて発表する（中国語、韓国・朝鮮語）
第12回	世界の諸言語について（発表）2	世界の言語の現状と、言語の起源などについて、受講生が学んでいる外国語を自ら調べて発表する（スペイン語、フランス語）
第13回	言世界の諸言語について（発表）3	世界の言語の現状と、言語の起源などについて、受講生が学んでいる外国語を自ら調べて発表する（ロシア語、ドイツ語、英語）
第14回	「ことば」を考えると きの問題等 (授業内試験をする可能性あり)	「ことば」の力、言語の発見等について考える

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義内容は基礎的な内容に限られるので、少しでも不明な個所や疑問点があれば、その時点で質問するなり、紹介する参考資料等を参考にして、理解をしておくこと。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にテキストは指定しません。

【参考書】

風間喜代三(1978)『言語学の誕生』岩波新書
佐久間淳一他(2007)『言語学入門』研究社
スティーブンソン／江村他訳(2010)『図説 ことばの世界－欧米の言語史－』青山社
千野栄一(1994)『言語学の開かれた扉』三省堂
町田健・初山洋介(1995)『よくわかる言語学入門－解説と演習』バベルプレス
小泉政利(2016)『ここから始める言語学プラス統計分析』共立出版
初山洋介(2009)『日本語表現で学ぶ入門からの認知言語学』研究社
迫田久美子(2002)『日本語教育に生かす第二言語習得研究』アルク
野田尚史・迫田久美子・渋谷勝己・小林典子(2001)『日本語学習者の文法習得』大修館書店

【成績評価の方法と基準】

課題：20%

平常点：20%

発表：20%

期末試験：40%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【その他の重要事項】

積極的に授業に参加するという意志が大切です。つまり、自分なりに疑問を持とうという姿勢です。そうすると、何が理解できていて、何が理解できていないのかがわかってきます。ただ座って聞いているだけでは意味がありません。問題意識を持って、チャレンジしてくれることを期待します。

【Outline (in English)】

【Course outline】

In order to develop an advanced understanding of multilingual international communities and multicultural societies, students will be exposed to the basic knowledge and concepts of linguistics and will be able to objectively analyze how "language" can be viewed from the perspective of communication.

Linguistics is a discipline that analyzes language and describes and explains the "mechanism of language. In this class, we will introduce the basic concepts necessary to objectively describe human language. In the process, we will also present various approaches to a single phenomenon and overview the major research methods used in modern linguistics. Through these approaches, we will introduce the structures and linguistic phenomena found in the world's languages and the basic concepts needed to explain them.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

1. To gain a general knowledge of human activity in language.
2. To understand that there are unexpected phenomena in the world's languages by focusing on the differences and similarities between the systems of Japanese and English.
3. To understand that language can be analyzed and studied from various angles through exposure to fields of linguistics that overlap with other disciplines, such as historical, comparative, and geographical linguistics, sociolinguistics, cognitive linguistics, contrastive linguistics, and second acquisition theory.
4. To develop an awareness of the main research methods in modern linguistics.

【Learning activities outside of classroom】

Since the lecture content is limited to the basics, if there are any unclear points or questions, please ask questions or refer to the reference materials introduced at that time to ensure understanding.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 40%, Presentation performance: 20%, Assignments : 20%, in class contribution: 20%

LIN100LA（言語学 / Linguistics 100）

言語学 A

2017年度以降入学者

齊藤 雄介

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

学生は言語学の概要を学ぶ。言語学にはどのような分野があり、それらが実際に使用される言語とどのように関連しているかを考察し、言語を様々な視点から分析する方法を身に付ける。

【到達目標】

学生は言語を分析するための基礎的な方法を理解し、言語研究の現状を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式で授業を進めるが、何らかのテーマについてグループディスカッションを求めることもある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	言語学入門	言語学とは何か、どのような分野があるのかについて説明する。
第2回	音声学・音韻論1	音声学と音韻論の違い、音声構造
第3回	音声学・音韻論2	音声器官、調音点
第4回	音声学・音韻論3	母音と子音
第5回	音声学・音韻論4	音素と異音
第6回	音声学・音韻論5	日本語と英語の強制的違い
第7回	形態論1	語の構造と語の構成
第8回	形態論2	派生接辞と屈折接辞
第9回	形態論3	語彙範疇と機能範疇
第10回	形態論4	派生、屈折、複合と接頭辞、接尾辞の関係
第11回	形態論5	語の右側主要部規則
第12回	統語論1	文法とは何か
第13回	統語論2	文法構造
第14回	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ほぼ全履修者にとって初めての内容であることが考えられるため、予習は必要ないが、毎回の授業の復習をしておくこと。毎回プリントを配布するので、その内容も確認しておくこと。復習時間は4時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

使用しない

【参考書】

毎回プリントを配布する。

『言語学入門』 西原哲雄（編） 朝倉書店

【成績評価の方法と基準】

平常点20%, 期末試験80% *5回以上の欠席で評価の対象外とする。

【学生の意見等からの気づき】

本科目は講義形式で行いますが、リアクションペーパーなどを用いて双方向の授業を目指します。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

特になし

【Outline (in English)】

Course outline: Students learn the outline of Linguistics. Students learn what kinds of field are in Linguistics, how they are related to languages used in our lives, and how to analyze languages in some perspectives.

Learning Objectives: Students understand a fundamental method to analyze languages and linguistic studies.

Learning activities outside of classroom: Students reconsider the content of previous classes.

Grading Criteria /Policy: Participation: 20%, Final Exam: 80%

LIN100LA（言語学 / Linguistics 100）

言語学B

2017年度以降入学者

齊藤 雄介

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

学生は言語学の概要を学ぶ。言語学にはどのような分野があり、それらが実際に使用される言語とどのように関連しているかを考察し、言語を様々な視点から分析する方法を身に付ける。

【到達目標】

学生は言語を分析するための基礎的な方法を理解し、言語研究の現状を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式で授業を進めるが、何らかのテーマについてグループディスカッションを求めることもある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	言語学入門	言語学とは何かを説明し、言語学Aの内容を若干復習する
第2回	統語論1	文法とは何か 文の構造
第3回	統語論2	下位範疇と句構造規則
第4回	統語論3	変形文法
第5回	統語論4	Xバー統語論
第6回	意味論1	語と語の意味関係
第7回	意味論2	語の内部の意味関係
第8回	意味論3	語の意味と背景知識
第9回	意味論4	意味と話者の関係
第10回	語用論1	語用論とは何か
第11回	語用論2	言語能力と言語運用と語用論
第12回	語用論3	会話仮説理論
第13回	語用論4	関連性理論
第14回	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ほぼ全履修者にとって初めての内容であることが考えられるため、予習は必要ないが、毎回の授業の復習をしておくこと。使用するテキスト以外に授業中に配布したプリントも試験範囲に含まれるため、その内容も確認しておくこと。復習時間は4時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『言語学入門』 西原哲雄（編） 朝倉書店

【参考書】

毎回プリントを配布する。

【成績評価の方法と基準】

平常点20%, 期末試験80% *5回以上の欠席で評価の対象外とする。

【学生の意見等からの気づき】

本科目は講義形式で行いますが、リアクションペーパーなどを用いて双方向の授業を目指します。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

特になし

【Outline (in English)】

Course outline: Students learn the outline of Linguistics. Students learn what kinds of field are in Linguistics, how they are related to languages used in our lives, and how to analyze languages in some perspectives.

Learning Objectives: Students understand a fundamental method to analyze languages and linguistic studies.

Learning activities outside of classroom: Students reconsider the content of previous classes.

Grading Criteria /Policy: Participation: 20%, Final Exam: 80%

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

哲学 I

2017年度以降入学者

計良 隆世

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学の基本的性格と歴史と基本問題を概観します。この概観によって、教養知の原理を理解し、現代人が直面する諸問題を、広くて新しい視野から考え、解決することを目的とします。

この授業では、特に、西洋古代ギリシャ哲学・哲学史を学びながら、現代人にも関わる哲学の基本問題を考察していきます。

【到達目標】

基本的性格と歴史と基本問題の探究を通して教養知の原理としての哲学を理解できるようにします。

この授業では、特に、以下の事柄・問題の深い理解を目指します：

- ・ソクラテスと彼の対論者たちとの思想の違い
- ・イデア説の哲学史上の意味
- ・知の普遍性、価値に関する共通理解の可能性の根拠
- ・相対主義・懐疑主義・モラルの危機をどのように乗り越えるか

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式です。毎回、レジュメと資料を読み、解説する形で授業を進めていきます。

学期中、単元終了ごとに、授業内容確認小テストを行います(4～5回実施予定)。

課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	哲学 I のオリエンテーション	この授業について 哲学（愛知） 哲学の方法
第2回	哲学の基本的性格 1	世界像と哲学
第3回	哲学の基本的性格 2	原理の探求 ヘラクレイトス・ロゴス パルメニデス
第4回	哲学の歴史 1	ヌース説 ソクラテス（1） ソクラテス以前・以後： 哲学の転回
第5回	哲学の歴史 2	ソクラテス（2） ソフィストと哲学者
第6回	哲学の歴史 3	ソクラテス（3） ソクラテス VS 快楽主義
第7回	哲学の歴史 4	プラトン（1） 愛（エロース）と超越
第8回	哲学の歴史 5	プラトン（2） 想起説とイデア
第9回	哲学の歴史 6	プラトン（3） 善のイデア アリストテレスのイデア解釈
第10回	哲学の基本問題 1	知の普遍性 その可能性の根拠

第11回	哲学の基本問題 2	知性と神：プラトン
第12回	哲学の基本問題 3	モラルの危機と哲学
第13回	哲学の基本問題 4	一元論思想とその問題点 東西の一元論思想
第14回	哲学 I のまとめ	授業内試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

授業前学習：レジュメ・資料・参考書該当箇所の精読

授業後学習：授業内容の確認、参考書の熟読、小テストへの回答

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。レジュメ・資料はプリントで配布します。

【参考書】

竹田青嗣・西研著『はじめての哲学史』、有斐閣アルマ、1998年
その他の参考書は、授業毎に指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末の授業内筆記試験の成績(60%)、授業内容確認小テストの成績(30%)そして平常点(10%)とにより評価する。

授業内筆記試験では、「到達目標」に掲げた事柄の理解度を試すための問題を出す予定。

【学生の意見等からの気づき】

多くの大学生にとって哲学を授業で学ぶのは初めてのことと思います。わかりやすく丁寧な、また可能な限り深い解説に努めたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン（学習支援システムを利用するため）

【Outline (in English)】

This course introduces ancient Greek philosophy, especially the philosophy of Socrates and Plato, to students taking this course.

By the end of the course, students should be able to understand the followings:

1. Differences in thought between Socrates and his opponents.
2. The meaning of Plato's theory of ideas in the history of philosophy.
3. The grounds for the possibility of common understanding on values.
4. How to overcome relativism, skepticism and the moral crises caused by them.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (60%), Short reports (30%) and Contribution in class (10%).

PHL100LA (哲学/Philosophy 100)

哲学Ⅱ

2017年度以降入学者

計良 隆世

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学は、古い常識を批判し、新しい常識をクリエートします。このような観点から、古代から現代に到る哲学の根本問題を、古代から現代の主要学説を手がかりにしながらできるだけ平明に解説します。この授業では、特に、「生の意味と価値」「認識の確実性・客観性」という近代哲学の問題、そして「ニヒリズム」という現代社会とも関わる問題を考察します。

【到達目標】

主要な哲学説の根本問題を学習することを通して、常識批判としての哲学を理解することを到達目標とします。
この授業では、特に、以下の事柄についての深い理解を目指します：
・近代哲学の難問とその解決策。
・ニヒリズムとそれへの対応法（どう生きるべきかについて）。
・世界像の生成（世界の秩序付け）の原理。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式です。毎回、レジュメと資料を読み、解説する形で、授業を進めていきます。
学期中、単元終了ごとに、授業内容確認小テストを行います（3～4回実施予定）。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	哲学Ⅱのオリエンテーション	この授業について キリスト教 アウグスティヌス
第2回	哲学の基本的性格1	普遍とは？ 唯名論・實在論 オッカムの剃刀
第3回	哲学の基本的性格2	近代の学問と世界像 自然観・社会観の変遷
第4回	哲学の根本問題について1	近代哲学は何を問題としたか？ 生の意味と価値 認識の確実性・客観性
第5回	哲学の根本問題について2	デカルトの二元論
第6回	哲学の根本問題について3	デカルトが残した近代哲学の難問 物心問題 主客一致の難問
第7回	哲学の根本問題について4	認識批判1 共有可能な知識とは？
第8回	哲学の根本問題について5	認識批判2 客観性は成立するのか 合理論・経験論からカントへ
第9回	哲学の根本問題について6	カントの超越論的哲学 認識の客観性

第10回	哲学の根本問題について7	カントと近代哲学の難問 (カント哲学の意義と問題点)
第11回	哲学の根本問題について8	超越論的哲学の展開1 超越論的現象学
第12回	哲学の根本問題について9	超越論的哲学の展開2 世界信念
第13回	現代世界と哲学について	ニヒリズム ニーチェの対応法
第14回	哲学Ⅱのまとめ	世界像生成の根本原理

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
授業前学習：レジュメ・資料・参考書該当箇所の精読
授業後学習：授業内容の確認、参考書の熟読、小テストへの回答

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。レジュメ・資料はプリントで配布します。

【参考書】

竹田青嗣・西研著『はじめての哲学史』、有斐閣アルマ、1998年
その他の参考書は、授業毎に指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末リポート試験の成績（60%）、授業内容確認小テストの成績（30%）そして平常点（10%）とにより評価する。
学期末リポート試験では、「到達目標」に掲げた事柄の理解度を試すための問題を課す予定。

【学生の意見等からの気づき】

教材がわかりやすく、またある程度詳しくて良かったようです。授業では、丁寧でわかりやすい、かつ、可能な限り深い説明・解説につとめたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン（学習支援システムを利用するため）

【Outline (in English)】

The main aim of this course is to give students an understanding of the fundamental problems dealt with the Western philosophy after Descartes.

By the end of the course, students should be able to understand the followings:

1. The problems which have arisen from Descartes' dualism.
2. Kant's and Husserl's solutions to the problems.
3. The problem of nihilism pointed out by Nietzsche, and his solutions to the problem.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (60%), Short reports (30%) and Contribution in class (10%).

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

哲学 I

2017年度以降入学者

伊藤 功

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学の基本的性格と歴史と基本問題を概観します。「心」「観念」「自由意志」など哲学の代表的な問題を取りあげ、それに関連する哲学者の言葉を読み合わせ解釈を試みるとともに、問題そのものの理解を深めます。その際、専門用語を他の専門用語に置き換えて「説明」するのではなく、私たちが日頃感じているどのような問題とつながるのかを探り、哲学史の知識と日常に潜む哲学的問題とを接続することにより、地に足の着いた理解の獲得をめざします。

【到達目標】

毎日を生きる私たちが漠然と疑問に思いながらもそのまま放置してしまっている問題に向き合い、それについての自分の考えを言語化できるようになること。同じ問題について他人の考えを理解できるようになること。また、関連する主要な哲学者の言葉を解釈し説明できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は基本的に講義形式によって実施されます。ただし、参加人数によっては適宜グループワークや参加者による発表が取り入れられることもあります。また、講義内容に関する簡単な課題を提出していただき、そのフィードバックを次回授業時に行ないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	講義の概要
2	哲学の基本的性格1	〈わたし〉というもの
3	哲学の基本的性格2	他人の心
4	哲学の基本概念1	真理
5	哲学の基本概念2	客観性
6	哲学の基本概念3	歴史と自然
7	哲学の基本概念4	科学
8	哲学の基本概念5	道徳
9	哲学の基本問題1	心と身体
10	哲学の基本問題2	心の内と外
11	哲学の基本問題3	自由意志と決定論
12	哲学の基本問題4	道徳的運
13	哲学の基本問題5	生きる意味
14	授業内試験	試験の実施と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教員からの指示に従い次回授業に関連する内容を下調べしておいてください。また、毎回出される課題を授業後に提出してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

講義中に随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（筆記）50%：受講者がどれだけ授業内容を理解・深化・拡張できたかを評価します。

平常点50%：平常点は主に授業内課題に基づいて評価します。課題は授業で扱った問題について自分の考えを述べるというものです。

【学生の意見等からの気づき】

知識をためこむだけでも自分の考えを述べるだけでなく、知識に基づいて自分の考えを形成できるような授業にできればと考えています。

【Outline (in English)】

1) In this course we will review the basic nature, history and fundamental issues of philosophy.

2) We will attempt to find clues to solve the various problems that people face today by rethinking them from a variety of perspectives.

3) Students are required to submit an assignment after each class.

4) Grading will be based on a final exam (50%) and regular marks (50%).

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

哲学Ⅱ

2017年度以降入学者

伊藤 功

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学は常識を批判的に再検討します。この観点から哲学史上の主要問題を理解するよう試みます。「愛」「悪」「道徳」など哲学の代表的な問題を取りあげ、それに関連する哲学者の言葉を読み合わせ解釈を試みるとともに、問題そのものの理解を深めます。その際、専門用語を他の専門用語に置き換えて「説明」するのではなく、私たちが日頃感じているどのような問題とつながるのかを探り、哲学史の知識と日常に潜む哲学的問題とを接続することにより、地に足の着いた理解の獲得をめざします。

【到達目標】

日頃あらためて意識することのない「あたりまえ」を批判的に再検討できるようになること。自分の考えを言語化するとともに他人の考えを理解できるようになること。関連する主要な哲学者の言葉を解釈し説明できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は基本的に講義形式によって実施されます。ただし、参加人数によっては適宜グループワークや参加者による発表が取り入れられることもあります。また、講義内容に関する簡単な課題を提出していただき、そのフィードバックを次回授業時に行ないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	講義の概要
2	哲学の基本的性格1	愛
3	哲学の基本的性格2	友人
4	哲学の基本概念1	「ある」
5	哲学の基本概念2	時間
6	哲学の基本概念3	言葉
7	哲学の基本概念4	自由と平等
8	哲学の基本問題1	退屈
9	哲学の基本問題2	悪
10	哲学の基本問題3	道徳の根拠
11	哲学の基本問題4	死
12	哲学の基本問題5	寛容
13	哲学の基本問題6	個
14	授業内試験	試験の実施と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教員からの指示に従い次回授業に関連する内容を下調べしておいてください。また、毎回出される課題を授業後に提出してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

講義中に随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（筆記）50％：受講者がどれだけ授業内容を理解・深化・拡張できたかを評価します。

平常点50％：平常点は授業への参加度と授業内課題に基づいて評価します。課題は授業で扱った問題について自分の考えを述べるというものです。

【学生の意見等からの気づき】

知識をためこむだけでも自分の考えを述べるだけでなく、知識に基づいて自分の考えを形成できるような授業にできればと考えています。

【Outline (in English)】

1) Philosophy critically re-examines common sense. We will attempt to understand the major issues in the history of philosophy from this perspective.

2) The goal is to be able to critically re-examine common sense while studying major philosophies.

3) Students are required to submit an assignment after each class.

4) Grading will be based on a final exam (50%) and regular marks (50%).

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

哲学 I

2017年度以降入学者

内山 真莉子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学の基本的性格と歴史と基本問題を概観します。特に、「この世界には何が存在しているのか」という〈存在〉にかかわる問いと、「我々はこの世界をどのように認識しているのか」という〈認識〉にかかわる問いを軸に据え、哲学的探求の営みを追体験することを目的とします。

代表的な哲学者の実際の言葉・思想に触れることで、哲学史の基本的な知識を得て、論理的に考察し探求する力を養うことを目指します。

【到達目標】

哲学は、教養知の原理です。教養知によって、現代人が直面する諸問題を、広くて新しい視野から考え、解決する。そのための原理を、哲学の基本的性格と歴史と基本問題の探究を通して理解できるようにします。具体的には以下の通り。

- ・世界における存在と認識の問題について、西洋哲学の基本的な考えを理解する。
- ・哲学的に考察するとはどのようなことなのかを理解し、実践することができる。
- ・様々な哲学者の思想に触れることで、自分自身の問題意識を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・本授業は講義形式で、毎回レジュメを配布しそれを元に解説を行う。
- ・授業毎に、当該授業の内容に関わるリアクションペーパーを提出してもらう。
- ・次回授業の冒頭に、リアクションペーパーのいくつかを匿名で共有し、フィードバックを行う。
- ・授業最終回に、論述形式の試験を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	哲学 I のオリエンテーション	哲学とはどのような営みか
第2回	哲学の基本的性格 1・存在論	世界はどのように成立しているのか
第3回	哲学の基本的性格 2・認識論	我々は何をどのように認識しているのか
第4回	哲学の歴史 1・プラトンとアリストテレス	イデアはどこにあるのか
第5回	哲学の歴史 2・エピクロスとストア派	世界理性と人間理性
第6回	哲学の歴史 3・新プラトン主義	一者と神と流出
第7回	哲学の歴史 4・イスラーム哲学	一神教とアリストテレス
第8回	哲学の歴史 5・中世スコラ哲学	人間と神と世界
第9回	哲学の基本問題 1・科学革命と哲学	人間中心主義

第10回	哲学の基本問題 2・合理論と経験論①	哲学的懐疑と理性
第11回	哲学の基本問題 3・合理論と経験論②	経験の直接性
第12回	哲学の基本問題 4・カントの認識論	コペルニクスの転回
第13回	哲学の基本問題 5・言語と分析	言語論的転回
第14回	哲学的考察の実践	授業内試験と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

レジュメを精読することで見直し、リアクションペーパーの作成を通じて自分なりの考察を深める。
本授業の準備学習・復習は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しない。レジュメ・資料は授業毎に配布します。

【参考書】

『西洋哲学史〔古代・中世編〕』内山勝利・中川純男編著、ミネルヴァ書房、1996年。
『西洋哲学史〔近代編〕』宗像恵・中岡成文編著、ミネルヴァ書房、1995年。
『西洋思想のあゆみ ログスの諸相』岩田靖夫・坂口ふみ・柏原啓一・野家啓一著、有斐閣、1993年。
その他、授業内で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

上記の到達目標に即して、以下の2項目にて評価します。

- ①授業最終回の論述試験：60%
- ②リアクションペーパーの内容：40%

【学生の意見等からの気づき】

板書での補足が多々あるので、見やすくなるよう心がけます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course will offer a historical perspective on the questions that philosophy has explored and the ideas it has developed. Specifically, we will delve into philosophical inquiries that revolve around existential matters, such as "What exists in this world?" as well as those related to cognition, such as "How do we perceive the world around us?"

【Learning Objectives】

This course aims to comprehend fundamental concepts of Western philosophy, practice the art of philosophical reasoning, and enhance self-awareness by exploring the ideas of various philosophers.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to review their resumes and create reaction papers to deepen their reflections.

You are required to dedicate at least four hours to studying for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%, Reaction papers: 40%

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

哲学Ⅱ

2017年度以降入学者

内山 真莉子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学は古い常識を批判し、新しい常識をクリエートします。この観点から哲学史上の主要問題をできる限り平明に解釈し、理解するよう試みます。この授業では特に、西洋における最重要トピックである「神」の問題について検討します。その際、中世から近代にかけて熱心に行われた神の存在証明や、理性と信仰の問題についての議論に着目します。

【到達目標】

- ・神の問題と人間との関係性について、西洋哲学の基本的な考えを理解する。
- ・哲学的に考察するとはどのようなことなのかを理解し、実践することができる。
- ・様々な哲学者の思想に触れることで、自分自身の問題意識を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・本授業は講義形式で、毎回レジュメを配布しそれを元に解説を行う。
- ・授業毎に、当該授業の内容に関わるリアクションペーパーを提出してもらう。
- ・次回授業の冒頭に、リアクションペーパーのいくつかを匿名で共有し、フィードバックを行う。
- ・授業最終回に、論述形式の試験を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	哲学Ⅱのオリエンテーション	講義の導入
第2回	哲学の基本的性格1	神は哲学の対象か
第3回	哲学の基本的性格2	理性と信仰
第4回	哲学の根本問題について1・神の存在証明①	宇宙論的論証(1)第一原因の論証
第5回	哲学の根本問題について2・神の存在証明②	宇宙論的論証(2)必然・比較による論証
第6回	哲学の根本問題について3・神の存在証明③	目的論的論証
第7回	哲学の根本問題について4・神の存在証明④	存在論的論証(1)アンセルムス
第8回	哲学の根本問題について5・神の存在証明⑤	存在論的論証(2)アンセルムスとデカルト
第9回	哲学の根本問題について6・神の存在証明⑥	近代
第10回	哲学の根本問題について7・神の本質	神の諸属性について

第11回	哲学の根本問題について8・神認識①	神は認識可能か
第12回	哲学の根本問題について9・神認識②	神認識と幸福
第13回	現代世界と哲学について	信仰と合理性
第14回	哲学的考察の実践	授業内試験と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

レジュメを精読することで見直し、リアクションペーパーの作成を通じて自分なりの考察を深める。
本授業の準備学習・復習は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しない。レジュメ・資料は授業毎に配布する。

【参考書】

『「神」という謎〔第二版〕宗教哲学入門』上枝美典、世界思想社、2007年。
『西洋思想のあゆみ ロゴスの諸相』岩田靖夫・坂口ふみ・柏原啓一・野家啓一著、有斐閣、1993年。
その他、授業内で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

上記の到達目標に即して、以下の2項目にて評価する。

- ①授業最終回の論述試験：60%
- ②リアクションペーパーの内容：40%

【学生の意見等からの気づき】

板書での補足が多々あるので、見やすくなるよう心がけます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Philosophy critically reevaluates common sense. From this perspective, we aim to interpret and understand significant issues in the history of philosophy in the simplest way possible. In particular, this class will focus on "God," one of the most important subjects in Western philosophy. We will concentrate on the passionate debates surrounding the proof of God's existence and the relationship between reason and faith, from the Middle Ages to modern times.

【Learning Objectives】

This course aims to comprehend fundamental concepts of Western philosophy, practice the art of philosophical reasoning, and enhance self-awareness by exploring the ideas of various philosophers.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to review their resumes and create reaction papers to deepen their reflections.

You are required to dedicate at least four hours to studying for a class.

【Grading Criteria / Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%, Reaction papers: 40%

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

哲学 I

2017年度以降入学者

内山 真莉子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学の基本的性格と歴史と基本問題を概観します。特に、「この世界には何が存在しているのか」という〈存在〉にかかわる問いと、「我々はこの世界をどのように認識しているのか」という〈認識〉にかかわる問いを軸に据え、哲学的探求の営みを追体験することを目的とします。

代表的な哲学者の実際の言葉・思想に触れることで、哲学史の基本的な知識を得て、論理的に考察し探求する力を養うことを目指します。

【到達目標】

哲学は、教養知の原理です。教養知によって、現代人が直面する諸問題を、広くて新しい視野から考え、解決する。そのための原理を、哲学の基本的性格と歴史と基本問題の探究を通して理解できるようにします。具体的には以下の通り。

- ・世界における存在と認識の問題について、西洋哲学の基本的な考えを理解する。
- ・哲学的に考察するとはどのようなことなのかを理解し、実践することができる。
- ・様々な哲学者の思想に触れることで、自分自身の問題意識を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・本授業は講義形式で、毎回レジュメを配布しそれを元に解説を行う。
- ・授業毎に、当該授業の内容に関わるリアクションペーパーを提出してもらう。
- ・次回授業の冒頭に、リアクションペーパーのいくつかを匿名で共有し、フィードバックを行う。
- ・授業最終回に、論述形式の試験を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	哲学 I のオリエンテーション	哲学とはどのような営みか
第2回	哲学の基本的性格 1・存在論	世界はどのように成立しているのか
第3回	哲学の基本的性格 2・認識論	我々は何をどのように認識しているのか
第4回	哲学の歴史 1・プラトンとアリストテレス	イデアはどこにあるのか
第5回	哲学の歴史 2・エピクロスとストア派	世界理性と人間理性
第6回	哲学の歴史 3・新プラトン主義	一者と神と流出
第7回	哲学の歴史 4・イスラーム哲学	一神教とアリストテレス
第8回	哲学の歴史 5・中世スコラ哲学	人間と神と世界
第9回	哲学の基本問題 1・科学革命と哲学	人間中心主義

第10回	哲学の基本問題 2・合理論と経験論①	哲学的懐疑と理性
第11回	哲学の基本問題 3・合理論と経験論②	経験の直接性
第12回	哲学の基本問題 4・カントの認識論	コペルニクスの転回
第13回	哲学の基本問題 5・言語と分析	言語論的転回
第14回	哲学的考察の実践	授業内試験と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

レジュメを精読することで見直し、リアクションペーパーの作成を通じて自分なりの考察を深める。
本授業の準備学習・復習は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しない。レジュメ・資料は授業毎に配布します。

【参考書】

『西洋哲学史〔古代・中世編〕』内山勝利・中川純男編著、ミネルヴァ書房、1996年。
『西洋哲学史〔近代編〕』宗像恵・中岡成文編著、ミネルヴァ書房、1995年。
『西洋思想のあゆみ ログスの諸相』岩田靖夫・坂口ふみ・柏原啓一・野家啓一著、有斐閣、1993年。
その他、授業内で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

上記の到達目標に即して、以下の2項目にて評価します。

- ①授業最終回の論述試験：60%
- ②リアクションペーパーの内容：40%

【学生の意見等からの気づき】

板書での補足が多々あるので、見やすくなるよう心がけます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course will offer a historical perspective on the questions that philosophy has explored and the ideas it has developed. Specifically, we will delve into philosophical inquiries that revolve around existential matters, such as "What exists in this world?" as well as those related to cognition, such as "How do we perceive the world around us?"

【Learning Objectives】

This course aims to comprehend fundamental concepts of Western philosophy, practice the art of philosophical reasoning, and enhance self-awareness by exploring the ideas of various philosophers.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to review their resumes and create reaction papers to deepen their reflections.

You are required to dedicate at least four hours to studying for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%, Reaction papers: 40%

PHL100LA (哲学/Philosophy 100)

哲学Ⅱ

2017年度以降入学者

計良 隆世

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学は、古い常識を批判し、新しい常識をクリエートします。このような観点から、古代から現代に到る哲学の根本問題を、古代から現代の主要学説を手がかりにしながらできるだけ平明に解説します。この授業では、特に、「生の意味と価値」「認識の確実性・客観性」という近代哲学の問題、そして「ニヒリズム」という現代社会とも関わる問題を考察します。

【到達目標】

主要な哲学説の根本問題を学習することを通して、常識批判としての哲学を理解することを到達目標とします。
この授業では、特に、以下の事柄についての深い理解を目指します：
・近代哲学の難問とその解決策。
・ニヒリズムとそれへの対応法（どう生きるべきかについて）。
・世界像の生成（世界の秩序付け）の原理。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式です。毎回、レジュメと資料を読み、解説する形で、授業を進めていきます。
学期中、単元終了ごとに、授業内容確認小テストを行います（3～4回実施予定）。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	哲学Ⅱのオリエンテーション	この授業について キリスト教 アウグスティヌス
第2回	哲学の基本的性格1	普遍とは？ 唯名論・實在論 オッカムの剃刀
第3回	哲学の基本的性格2	近代の学問と世界像 自然観・社会観の変遷
第4回	哲学の根本問題について1	近代哲学は何を問題としたか？ 生の意味と価値 認識の確実性・客観性
第5回	哲学の根本問題について2	デカルトの二元論
第6回	哲学の根本問題について3	デカルトが残した近代哲学の難問 物心問題 主客一致の難問
第7回	哲学の根本問題について4	認識批判1 共有可能な知識とは？
第8回	哲学の根本問題について5	認識批判2 客観性は成立するのか 合理論・経験論からカントへ
第9回	哲学の根本問題について6	カントの超越論的哲学 認識の客観性

第10回	哲学の根本問題について7	カントと近代哲学の難問 (カント哲学の意義と問題点)
第11回	哲学の根本問題について8	超越論的哲学の展開1 超越論的現象学
第12回	哲学の根本問題について9	超越論的哲学の展開2 世界信念
第13回	現代世界と哲学について	ニヒリズム ニーチェの対応法
第14回	哲学Ⅱのまとめ	世界像生成の根本原理

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
授業前学習：レジュメ・資料・参考書該当箇所の精読
授業後学習：授業内容の確認、参考書の熟読、小テストへの回答

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。レジュメ・資料はプリントで配布します。

【参考書】

竹田青嗣・西研著『はじめての哲学史』、有斐閣アルマ、1998年
その他の参考書は、授業毎に指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末リポート試験の成績（60%）、授業内容確認小テストの成績（30%）そして平常点（10%）とにより評価する。
学期末リポート試験では、「到達目標」に掲げた事柄の理解度を試すための問題を課す予定。

【学生の意見等からの気づき】

配布した教材やレジュメ及び説明がわかりやすく、またある程度詳しく良かったようです。授業では、これからも丁寧でわかりやすい、またできるだけ深い解説につとめたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン（学習支援システムを利用するため）

【Outline (in English)】

The main aim of this course is to give students an understanding of the fundamental problems dealt with the Western philosophy after Descartes.

By the end of the course, students should be able to understand the followings:

1. The problems which have arisen from Descartes' dualism.
2. Kant's and Husserl's solutions to the problems.
3. The problem of nihilism pointed out by Nietzsche, and his solutions to the problem.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (60%), Short reports (30%) and Contribution in class (10%).

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

哲学 I

2017年度以降入学者

谷口 カ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学の基本的性格と歴史と基本問題を概観します。
この授業では、伝統的な古典哲学から現代の分析哲学までを概観しながら、主として、「世界」および「世界」に関するさまざまな論理的な問題（存在論、認識論、言語論、など）について、各時代の哲学者たちが、どのように考え、論じてきたのかを学びます。

【到達目標】

哲学は、教養知の原理です。教養知によって、現代人が直面する諸問題を、広くて新しい視野から考え、解決します。そのための原理を、哲学の基本的性格と歴史と基本問題の探究を通して理解できるようにします。

この授業では、主として、以下の内容の理解を目標とします。

- ・古代ギリシャ哲学における世界
- ・大陸合理論における世界
- ・イギリス経験論における世界
- ・近代ドイツ哲学における世界
- ・19～20世紀哲学における世界
- ・現代分析哲学における世界

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は講義形式です。序論として、まず西洋哲学史全体の説明をしたうえで、各哲学の項目に入っていきます。授業の進め方としては、レジュメを配布し、内容・ポイントを解説し、レジュメに書ききれない部分については、そのつど各哲学者の著作から補足説明していきます。質問があれば、随時お答えします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	哲学 I のオリエンテーション～哲学の基本的性格	・授業の案内と導入 ・哲学とは何か
第2回	哲学の歴史～哲学の基本問題1 ：古代ギリシャ哲学(1)	・西洋哲学史全体の流れ ・ソクラテス以前の哲学者たち ①（さまざまなアルケー、有）
第3回	哲学の基本問題2 ：古代ギリシャ哲学(2)	・ソクラテス以前の哲学者たち ②（ゼノンのパラドックス、流動説、ヌース、など） ・ソクラテス（無知の知、など）
第4回	哲学の基本問題3 ：古代ギリシャ哲学(3)	・プラトン①（イデア論）
第5回	哲学の基本問題4 ：古代ギリシャ哲学(4)	・プラトン②（知識とは何か）
第6回	哲学の基本問題5 ：古代ギリシャ哲学(5)	・アリストテレス（デユナミスとエネルゲイア、など） ・プロティノス（一者、流出説） ・近代への過渡期

第7回	哲学の基本問題6 ：大陸合理論	・デカルト（実体、神、精神と物体） ・スピノザ（実体、属性、様態） ・ライプニッツ（モノイド） ・ロック（タブラ・ラサ、経験と観念、など） ・ヒューム（知覚の束、因果律の否定、など） ・バークリ（物質的実体の否定、など）
第8回	哲学の基本問題7 ：イギリス経験論(1)	・カント（感性と悟性、ア・プリオリな総合判断、など）
第9回	哲学の基本問題8 ：イギリス経験論(2)	・フィヒテ（自我と非我） ・シュリング（主客の無差別） ・ヘーゲル（弁証法、絶対者、など）
第10回	哲学の基本問題9 ：近代ドイツ哲学(1)	・ショーペンハウアー（意志と表象） ・ニーチェ（真理らしさ、パースペクティブ、など） ・ハイデガー（世界-内-存在、など）
第11回	哲学の基本問題10 ：近代ドイツ哲学(2)	・フレーゲ（意味と意義） ・ウィトゲンシュタイン（対象と事実、世界の限界、など）
第12回	哲学の基本問題11 ：19～20世紀哲学	・一と多、時間論、その他の現代形而上学 ・試験について
第13回	哲学の基本問題12 ：現代分析哲学(1)	
第14回	哲学の基本問題13 ：現代分析哲学(2) ～哲学 I のまとめ	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
授業前：興味ある哲学者の著作は読んでおくことが望ましい。
授業後：興味をもった哲学者の著作を読んでみるのが望ましい。

【テキスト（教科書）】

定まった教科書は用いず、授業時にプリントを配布します。

【参考書】

シュヴェーグラー『西洋哲学史』（上・下巻）、谷川徹三・松村一人訳、岩波文庫、1958年改版。その他、授業時に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

セメスター末の試験を基準として、平常点も参考とします。
この授業では、原則として、期末試験50%、平常点50%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

哲学に詳しくない人でも十分に理解できるように、日常的な事例を挙げながら、よりわかりやすい説明を心がけていきます。

【その他の重要事項】

哲学に興味・関心のある方の履修を推奨します。

【Outline (in English)】

[Course outline]

The main objective of this course is to study overview of the following major philosophical questions and problems : “world” and various related logical problems of “world” (ontology, epistemology, linguistic theory, etc.).

[Learning Objectives]

The goals of this course are to understand and examine many ideas, ways of thinking of “world” in the philosophical history.

[Learning activities outside of classroom]

Before/after each class meeting, students will be expected to have read the relevant books.

[Grading Criteria/Policies]

Final grade will be decided based on a term-end exam (50%) , and the quality of students' class participation (50%) .

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

哲学Ⅱ

2017年度以降入学者

谷口 カ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学は、古い常識を批判し、新しい常識をクリエートします。このような観点から、古代から現代に到る哲学の根本問題を、古代から現代の主要学説を手がかりにしながらできるだけ平明に解説します。この授業では、伝統的な古典哲学から現代の分析哲学までを概観しながら、主として、「心」および「心」に関するいくつかの倫理的問題（価値、道徳、生、など）について、各時代の哲学者たちが、どのように考え、論じてきたのかを学びます。

【到達目標】

授業のテーマは、常識批判であり、それを、主要な哲学の根本問題を学習することを通して深めることを到達目標とします。

この授業では、主として、以下の内容の理解を目標とします。

- ・古代ギリシャ哲学における心
- ・大陸合理論における心
- ・イギリス経験論における心
- ・近代ドイツ哲学における心
- ・19～20世紀哲学における心
- ・現代分析哲学における心

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は講義形式です。序論として、まず西洋哲学史全体の説明をしたうえで、各哲学の項目に入っていきます。授業の進め方としては、レジュメを配布し、内容・ポイントを解説し、レジュメに書ききれない部分については、そのつど各哲学者の著作から補足説明していきます。質問があれば、随時お応えします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	哲学Ⅱのオリエンテーション～哲学の基本的性格	・授業の案内と導入 ・心の哲学とは何か ・西洋哲学史全体の流れ
第2回	哲学の根本問題について1 ：古代ギリシャ哲学(1)	・ソクラテス（徳の知、死について） ・プラトン①（ブシュケー、想起説、など）
第3回	哲学の根本問題について2 ：古代ギリシャ哲学(2)	・プラトン②（魂の正しさにについて）
第4回	哲学の根本問題について3 ：古代ギリシャ哲学(3)	・プラトン③（正しさとは何か） ・アリストテレス（アニマ） ・近代への過渡期
第5回	哲学の根本問題について4 ：大陸合理論	・デカルト（コギト、二元論） ・スピノザ（汎神論、善悪の相対性） ・ライプニッツ（モノドロジー）

第6回	哲学の根本問題について5 ：イギリス経験論	・ロック（感覚と反省、など） ・ヒューム（同一性の否定、など） ・バークリ（存在するとは知覚されること）
第7回	哲学の根本問題について6 ：近代ドイツ哲学(1)	・カント（実践的要請、定言命法、など）
第8回	哲学の根本問題について7 ：近代ドイツ哲学(2)	・フィヒテ（自我） ・ヘーゲル（精神現象学、など）
第9回	哲学の根本問題について8 ：19～20世紀哲学	・シュティルナー（唯一者） ・ニーチェ（自己、ニヒリズム） ・志向性、その他の独英米の諸議論
第10回	哲学の根本問題について9 ：現代分析哲学(1)	・ウィトゲンシュタイン①（形而上学的主体、語りえぬもの、など）
第11回	哲学の根本問題について10 ：現代分析哲学(2)	・現代の心の哲学①（行動主義、同一説、機能主義、消去主義、随伴現象説、性質二元論、など）
第12回	哲学の根本問題について11 ：現代分析哲学(3)	・現代の心の哲学②（非法則的一元論、クオリア、認知的閉鎖、さまざまな思考実験）
第13回	哲学の根本問題について12 ：現代分析哲学(4)	・ウィトゲンシュタイン②（言語ゲーム、生きている人間、まなざし）
第14回	哲学の根本問題について13 ：大乘仏教の哲学～現代世界および現代日本と哲学について～哲学Ⅱのまとめ	・炎のたとえ ・心の哲学が教えること ・試験について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
授業前：興味ある哲学者の著作は読んでおくことが望ましい。
授業後：興味をもった哲学者の著作を読んでもみるのが望ましい。

【テキスト（教科書）】

定まった教科書は用いず、授業時にプリントを配布します。

【参考書】

シュヴェーグラー『西洋哲学史』（上・下巻）、谷川徹三・松村一人訳、岩波文庫、1958年改版。その他、授業時に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

セメスター末の試験を基準として、平常点も参考とします。
この授業では、原則として、期末試験50%、平常点50%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

哲学に詳しくない人でも十分に理解できるように、日常的な事例を挙げながら、よりわかりやすい説明を心がけていきます。

【その他の重要事項】

哲学に興味・関心のある方の履修を推奨します。
春学期の「哲学Ⅰ」を受講していない方も履修可能です。

【Outline (in English)】

[Course outline]

The main objective of this course is to study overview of the following major philosophical questions and problems: “mind” and some related ethical problems of “mind” (value, moral, life, etc.).

[Learning Objectives]

The goals of this course are to understand and examine many ideas, ways of thinking of “mind” in the philosophical history.

[Learning activities outside of classroom]

Before/after each class meeting, students will be expected to have read the relevant books.

[Grading Criteria/Policies]

Final grade will be decided based on a term-end exam (50%) , and the quality of students' class participation (50%) .

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

哲学 I

2017年度以降入学者

大西 正人

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学の基本的性格と歴史と基本問題を概観します。この概観によって、教養知の原理を理解し、現代人が直面する諸問題を、広くて新しい視野から考え、解決することとします。

特にこの I の講義は、人間とは何か、その本質に迫ろうとする哲学の人間論です。新技術の開発などによってこれまで考えられもしなかった人間の新しいあり方について選択と決断を迫られる現代においてこそ、人間らしさとは何かが切実に問われます。なお、日本の哲学や 20 世紀以降の思想にも焦点を当てます。

【到達目標】

基本的性格と歴史と基本問題の探究を通して教養知の原理としての哲学を理解できるようにします。到達目標は、受講生が実際に名著の思想世界に触れてみる体験をし、またその体験を表現できるようにすることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式により進めます。一人の思想家ごとに、その作品を二三週間に分けて集中的に読みます。毎週授業内で、その回の内容について問うグーグルフォーム上の小テストを行う。小テストはその採点結果が模範解答付きで次の授業までに返され、さらに次の授業で解説される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	哲学とは？
2	プラトン(1)	「アイデアの萌芽」としての人間存在
3	プラトン(2)	『饗宴』アリストファネスの話
4	プラトン(3)	『饗宴』ソクラテスの話
5	西田幾多郎(1)	『善の研究』-「知即愛」の命題
6	西田幾多郎(2)	「主客合一」としての人間存在
7	和辻哲郎(1)	『倫理学』-「問柄」としての人間存在
8	和辻哲郎(2)	「矛盾の統一」としての人間存在
9	和辻哲郎(3)	『風土』-「風土」のうちに己を見出す人間存在
10	和辻哲郎(4)	主体としての風土
11	ブーバー(1)	『我と汝』
12	ブーバー(2)	「汝」としての世界
13	ブーバー(3)	ブーバー:我と汝の芸術論
14	哲学 I のまとめ	哲学のふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義で取り上げられ、その一部が教材プリントとして授業内でも配布される下記の文献は、すべて岩波文庫で入手できるので、学生は、授業計画に合わせてこれらの文献を読むことが推奨される。

プラトン『饗宴』、西田幾多郎『善の研究』、和辻哲郎『倫理学』（一）、和辻哲郎『風土』、マルティン・ブーバー『我と汝・対話』

復習として、返却された前回の小テストの模範解答をチェックし、間違えた箇所があればその点を中心にノートやプリントを振り返り、特に疑問などは次の時間に質問できるようにしておくこと。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

こちらでプリントを用意します。

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

原則、授業後に行われる上記小テストの合計点 100 % で評価。

【学生の意見等からの気づき】

毎回行っている前回小テストの解説を工夫し、これまでの復習や定着がより効率的にできるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

グーグルフォーム上の小テストを受けるためのデバイス。PC が望ましい。

【その他の重要事項】

ノートをとることが大切です。

【Outline (in English)】

This lecture is a philosophical human theory trying to think about human nature. In modern times where we are forced to make choices and decisions about the new way of human beings that we have never considered before, such as through the development of new technologies, something is being deeply questioned about humanness. We will also focus on Japanese philosophy and ideas after the 20th century.

The purpose of this course is for students to have the experience of actually coming into the contact with the world of thoughts in famous works and to be able to express that experience.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading will be decided based on the total score of confirmation tests given every class (100%).

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

哲学Ⅱ

2017年度以降入学者

大西 正人

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

西洋哲学は、万物の根源を人間の理性の力で探り、そうして捉えられた全体としての世界の中に自分を位置づけたいという人間的欲求とともに始まりました。講義では、こうした「形而上学的」な欲求が、世界を全体として非常に生き生きとした自己形成的なものとする自己形成的世界観として、現代にいたるまでの様々な知的探求の背景になっている様子をみます。

【到達目標】

受講生が実際に名著の思想世界に触れてみる体験をし、またその体験を表現できるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式により進めます。一人の思想家ごとに、その作品を二三週間に分けて集中的に読みます。毎週授業内で、その回の内容について問うグループフォーム上の小テストを行う。小テストはその採点結果が模範解答付きで次の授業までに返され、さらに次の授業で解説される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	哲学への導入
2	今西錦司(1)	生命的自然観－自己形成的世界観の前哨として
3	今西錦司(2)	生命的自然観－自己形成的世界観の前哨として その2
4	アリストテレス(1)	自己形成的世界観としての形而上学
5	アリストテレス(2)	自己形成的世界観としての形而上学 その2
6	デカルト(1)	自己形成的世界観の展開としての近代哲学 近代化の原理としての主観客観二元論
7	デカルト(2)	デカルトの近代的世界観
8	デカルト(3)	近代的主客二元論
9	デカルト(4)	「近代的分裂」の予告としての近代的主客二元論
10	合理論と経験論	「近代化」と「近代的分裂」の原理としての主客二元論 近代哲学の分裂－合理論と経験論
11	カントとヘーゲル(1)	カントによる近代哲学の分裂克服の試み
12	カントとヘーゲル(2)	カントのアンチノミー論
13	カントとヘーゲル(3)	ヘーゲルの弁証法的世界観
14	カントとヘーゲル(4)	ヘーゲルの弁証法的世界観その2

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義で扱われる下記の文献などは事前に読むことが推奨される。
今西錦司『生物の世界』、アリストテレス『形而上学』、デカルト『省察』

復習として、返却された前回の小テストの模範解答をチェックし、間違えた箇所があればその点を中心にノートやプリントを振り返り、特に疑問などは次の時間に質問できるようにしておくこと。
本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

こちらでプリントを用意します。

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

原則、授業後に行われる上記小テストの合計点100%で評価。

【学生の意見等からの気づき】

毎回行っている前回小テストの解説を工夫し、これまでの復習や定着がより効率的にできるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

グループフォーム上の小テストを受けるためのデバイス。PCが望ましい。

【その他の重要事項】

ノートをとることが大切です。

【Outline (in English)】

Western philosophy began with human desire to explore the root of all things with the power of human reason and to position himself in the whole world captured as such. In the lecture, we see how these metaphysical needs are behind various intellectual explorations up to the present age, becoming a self-organizing-world-view that the world as a whole is very vivid and self-organizing.

The purpose of this course is for students to have the experience of actually coming into the contact with the world of thoughts in famous works and to be able to express that experience.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading will be decided based on the total score of confirmation tests given every class(100%).

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

哲学 I

2017年度以降入学者

近堂 秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学の基本的性格と歴史と基本問題を概観します。この概観によって、人間の知のあり方を、広くて新しい視野から考えることを目的とします。

【到達目標】

哲学の基本的性格と歴史と基本問題を概観を通して、学として知ることの意味に対する理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

実際に哲学の著作をいくつか取り上げて読み解いていきます。授業は講義形式で進め、課題の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	哲学 I のオリエンテーション	学問としての哲学
第2回	哲学の基本的性格 1	自然を知ること—自然哲学—
第3回	哲学の基本的性格 2	人間を知ること—ソクラテス—
第4回	哲学の歴史 1	知の可能性について 1—プラト—
第5回	哲学の歴史 2	知の可能性について 2—アリス—
第6回	哲学の基本問題 1	『国家』を読む
第7回	哲学の歴史 3	信仰と知—中世哲学—
第8回	哲学の歴史 4	人間的理性について—近代哲学—
第9回	哲学の歴史 5	考えることと感ずること 1—大陸合理論—
第10回	哲学の歴史 6	考えることと感ずること 2—イギリス経験論—
第11回	哲学の基本問題 2	『方法序説』を読む
第12回	哲学の歴史 7	自然と自由—カント—
第13回	哲学の歴史 8	社会と歴史を知ること—ドイツ観念論—
第14回	哲学の基本問題 3	人間の知のあり方について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で参照を指示した資料文献を分析し、関連文献を調査します。授業の準備・復習時間は各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業内で指示します。

【参考書】

授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

哲学の基本的性格と歴史と基本問題の理解は授業の内容理解度によって、学として知ることの意味に対する理解は学期末レポートによって、それぞれ30%と70%の割合で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

各回授業の内容理解度にその都度注意するようにします。

【Outline (in English)】

This course deals with the basic concepts and history of philosophy.

(Learning Objectives)

At the end of the course, students are expected to understand the basic concepts and history of philosophy.

(Learning activities outside of classroom)

After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end report: 70%, in class contribution: 30%.

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

哲学Ⅱ

2017年度以降入学者

近堂 秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学の根本問題を、イマヌエル・カントの哲学思想を手がかりにしながらかできるだけ平明に解説します。カント哲学の観点からグローバル化時代について考えることをテーマとします。

【到達目標】

カント哲学を学習することを通して、哲学の観点から学として社会的、歴史的、文化的に時代状況を考える力を身につけることを到達目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

実際に哲学の著作をいくつか取り上げて読み解いていきます。授業は講義形式で進め、課題の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	哲学Ⅱのオリエンテーション	時代状況と哲学
第2回	哲学の基本的性格1	近代の哲学思想1—デカルト—
第3回	哲学の基本的性格2	近代の哲学思想2—ロック—
第4回	哲学の基本的性格3	カント哲学の概要
第5回	哲学の根本問題について1	カントの理論哲学
第6回	哲学の根本問題について2	『純粋理性批判』を読む1—超越論的感性論と超越論的論理学—
第7回	哲学の根本問題について3	『純粋理性批判』を読む2—超越論的分析論と超越論的弁証論—
第8回	哲学の根本問題について4	『純粋理性批判』を読む3—概念的分析論—
第9回	哲学の根本問題について5	カントの実践哲学
第10回	哲学の根本問題について6	『実践理性批判』を読む
第11回	現代世界と哲学について1	現代の哲学思想
第12回	現代世界と哲学について2	カント哲学の解釈
第13回	現代世界と哲学について3	カントの世界市民主義
第14回	現代日本と哲学について まとめ	グローバル化時代の哲学

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で参照を指示した資料文献を分析し、関連文献を調査します。授業の準備・復習時間は各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業内で指示します。

【参考書】

授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

カント哲学の理解は授業の内容理解度によって、哲学の観点から学として社会的、歴史的、文化的に時代状況を考える力は学期末レポートによって、それぞれ30%と70%の割合で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

各回授業の内容理解度にその都度注意するようにします。

【Outline (in English)】

This course introduces the foundations of Kant's philosophy to students taking this course.

(Learning Objectives)

At the end of the course, students are expected to understand the foundations of Kant's philosophy.

(Learning activities outside of classroom)

After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end report: 70%, in class contribution: 30%.

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

哲学 I

2017年度以降入学者

越部 良一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学の基本的性格と歴史と基本問題を概観します。哲学は子供から大人、老年に至るまで、才能の有無、向き不向きを問うことなく、人間として誰もが考えるべき問いを探究する。本講義は、古今東西の思想家に、この問いを訪ねてゆく。

【到達目標】

哲学は、教養知の原理です。教養知によって、現代人が直面する諸問題を、広くて新しい視野から考えます。そのための原理を、哲学の基本的性格と歴史と基本問題の探究を通して理解できるようにします。特にこの講義では、人間存在（自己）の哲学的在り方と人間を超える存在との関わりを理解し、説明できることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面授業である。講義形式で行い、思想家の言葉を見ながら、その意味を把握していくことを中心とする。質問等のフィードバックは授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	哲学 I のオリエンテーション	講義全体の概観とシラバスの解説
第2回	哲学の基本的性格 1 — 哲学の暫定的定義と方法	「愛知」としての哲学と自己
第3回	哲学の基本的性格 2 — 哲学の問い	哲学と科学の関連と相違
第4回	哲学の歴史 1—近代①	ニーチェ：解釈論と試みとしての哲学
第5回	哲学の歴史 2—近代②	ニーチェ：超人、自己、運命愛
第6回	哲学の歴史 3—現代①	ヤスパース：実存と永遠
第7回	哲学の歴史 4—現代②	ヤスパース：超越者の「言葉」
第8回	哲学の基本問題 1—死について①	ハイデガー：死に関わる人間存在
第9回	哲学の基本問題 2—死について②	ドストエフスキー：死と魂の滅
第10回	哲学の基本問題 3—現実と非現実について	ドストエフスキー：悪魔の存在
第11回	哲学の基本問題 4—人間生命に目的はあるか？	清沢満之：絶対無限と自己
第12回	哲学の歴史 5—古代	エピクテトス：我執、運命、自由意志
第13回	哲学の歴史 6—中世	証空：浄土教における無限者との一体化
第14回	哲学 I のまとめ	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で配布するプリントをよく読み込むこと。また、授業中に紹介する哲学者の著作（西洋のものは翻訳でよい）に少しでも目を通すことが望ましい。

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しない。適宜プリントを配布する。

【参考書】

ヤスパース『新版 哲学入門』林田新二訳、リベルタス出版、2020年。その他は適宜授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（40% くらい）と期末の筆記試験（60% くらい）の 2 つにより評価する予定である。

期末の筆記試験は、最終授業内で教室で行う予定である。ただし、状況によっては変更することもありえるので、6 月下旬頃の授業でのアナウンスに注意しておいてほしい。

【学生の意見等からの気づき】

自己の見解はひとまずおいて、哲学者の思考をまず追っていく姿勢をもつとよい。そのために思想家からの引用はできるかぎり多めにするつもりである。

【Outline (in English)】

This course deals with the defining characteristics, the history and the questions of philosophy. We will ask thinkers of all ages, east and west, about the problem of self and being beyond myself. The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. Grades will be evaluated based on two points: a normal score (about 40%) and a written test at the end of the semester (about 60%).

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

哲学Ⅱ

2017年度以降入学者

越部 良一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学は、通俗的常識を批判し、新しい常識をクリエートします。このような観点から、古代から現代に到る哲学の根本問題を、主要学説を手がかりにしながらできるだけ平明に解説します。

【到達目標】

授業のテーマは、通俗的な意識への批判（存在意識の変革）であり、それを、主要な哲学の根本問題を学習することを通して深めることを到達目標とします。特にこの講義では、人間存在と人間を超える存在との関わりを、近現代社会の哲学的な状況をも意識しつつ、理解し説明できることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面授業である。講義形式で行い、思想家の言葉を見ながら、その意味を把握していくことを中心とする。質問等のフィードバックは授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	哲学Ⅱのオリエンテーション	講義全体の概観とシラバスの解説
第2回	哲学の基本的性格—哲学の暫定的定義と方法、哲学の懐疑	哲学することの動機
第3回	哲学の根本問題について1—科学的認識、概念、行為の因果性について	カントの認識論
第4回	哲学の根本問題について2—我執、自由、幸福について	カント：道徳と宗教
第5回	哲学の根本問題について3—現実世界と人間存在について	ヤスパーズ：包摂者論
第6回	哲学の根本問題について4—思考、真理について	ヤスパーズ：理性と交わり
第7回	哲学の根本問題について5—哲学的世界像について	古代ギリシャの存在論
第8回	哲学の根本問題について6—現実世界の運動について	ヘーゲルの弁証法
第9回	哲学の根本問題について7—近世日本の道徳観	伊藤仁斎の「仁」の思想
第10回	現代日本と哲学について1	夏目漱石：現代日本批判と自己本位
第11回	現代日本と哲学について2	夏目漱石：道と天

第12回	現代世界と哲学について1	小林秀雄：信じられる自己、言葉、物、美
第13回	現代世界と哲学について2	小林秀雄：西洋と日本、自己を超える存在
第14回	哲学Ⅱのまとめ	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で配布するプリントをよく読み込むこと。また、授業中に紹介する哲学者の著作（西洋のものは翻訳でよい）に少しでも目を通すことが望ましい。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。適宜、プリントを配布する。

【参考書】

ヤスパーズ『理性と実存』越部良一訳、リベルタス出版、2023年。その他は適宜授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（40％くらい）と期末の筆記試験（60％くらい）の2つにより評価する予定である。

期末の筆記試験は、最終授業内で教室で行う予定である。ただし、状況によっては変更することもありえるので、12月はじめ頃の授業でのアナウンスに注意しておいてほしい。

【学生の意見等からの気づき】

自己の見解はひとまずおいて、哲学者の思考をまず追っていく姿勢をもつとよい。そのために思想家からの引用はできるかぎり多めにするつもりである。

【Outline (in English)】

This course deals with the basic subjects of philosophy from ancient to modern times in the critique of a commonly held view. The goals of this course are to understand and explain philosophical issues and thinking. The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. Grades will be evaluated based on two points: a normal score (about 40%) and a written test at the end of the semester (about 60%).

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

哲学 I

2017年度以降入学者

伊藤 功

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学の基本的性格と歴史と基本問題を概観します。「心」「観念」「自由意志」など哲学の代表的な問題を取りあげ、それに関連する哲学者の言葉を読み合わせ解釈を試みるとともに、問題そのものの理解を深めます。その際、専門用語を他の専門用語に置き換えて「説明」するのではなく、私たちが日頃感じているどのような問題とつながるのかを探り、哲学史の知識と日常に潜む哲学的問題とを接続することにより、地に足の着いた理解の獲得をめざします。

【到達目標】

毎日を生きる私たちが漠然と疑問に思いながらもそのまま放置してしまっている問題に向き合い、それについての自分の考えを言語化できるようになること。同じ問題について他人の考えを理解できるようになること。また、関連する主要な哲学者の言葉を解釈し説明できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は基本的に講義形式によって実施されます。ただし、参加人数によっては適宜グループワークや参加者による発表が取り入れられることもあります。また、講義内容に関する簡単な課題を提出していただき、そのフィードバックを次回授業時に行ないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	講義の概要
2	哲学の基本的性格1	〈わたし〉というもの
3	哲学の基本的性格2	他人の心
4	哲学の基本概念1	真理
5	哲学の基本概念2	客観性
6	哲学の基本概念3	歴史と自然
7	哲学の基本概念4	科学
8	哲学の基本概念5	道徳
9	哲学の基本問題1	心と身体
10	哲学の基本問題2	心の内と外
11	哲学の基本問題3	自由意志と決定論
12	哲学の基本問題4	道徳的運
13	哲学の基本問題5	生きる意味
14	授業内試験	試験の実施と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教員からの指示に従い次回授業に関連する内容を下調べしておいてください。また、毎回出される課題を授業後に提出してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

講義中に随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（筆記）50%：受講者がどれだけ授業内容を理解・深化・拡張できたかを評価します。

平常点50%：平常点は主に授業内課題に基づいて評価します。課題は授業で扱った問題について自分の考えを述べるというものです。

【学生の意見等からの気づき】

知識をためこむだけでも自分の考えを述べるだけでなく、知識に基づいて自分の考えを形成できるような授業にできればと考えています。

【Outline (in English)】

1) In this course we will review the basic nature, history and fundamental issues of philosophy.

2) We will attempt to find clues to solve the various problems that people face today by rethinking them from a variety of perspectives.

3) Students are required to submit an assignment after each class.

4) Grading will be based on a final exam (50%) and regular marks (50%).

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

哲学Ⅱ

2017年度以降入学者

伊藤 功

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学は常識を批判的に再検討します。この観点から哲学史上の主要問題を理解するよう試みます。「愛」「悪」「道徳」など哲学の代表的な問題を取りあげ、それに関連する哲学者の言葉を読み合わせ解釈を試みるとともに、問題そのものの理解を深めます。その際、専門用語を他の専門用語に置き換えて「説明」するのではなく、私たちが日頃感じているどのような問題とつながるのかを探り、哲学史の知識と日常に潜む哲学的問題とを接続することにより、地に足の着いた理解の獲得をめざします。

【到達目標】

日頃あらためて意識することのない「あたりまえ」を批判的に再検討できるようになること。自分の考えを言語化するとともに他人の考えを理解できるようになること。関連する主要な哲学者の言葉を解釈し説明できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は基本的に講義形式によって実施されます。ただし、参加人数によっては適宜グループワークや参加者による発表が取り入れられることもあります。また、講義内容に関する簡単な課題を提出していただき、そのフィードバックを次回授業時に行ないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	講義の概要
2	哲学の基本的性格1	愛
3	哲学の基本的性格2	友人
4	哲学の基本概念1	「ある」
5	哲学の基本概念2	時間
6	哲学の基本概念3	言葉
7	哲学の基本概念4	自由と平等
8	哲学の基本問題1	退屈
9	哲学の基本問題2	悪
10	哲学の基本問題3	道徳の根拠
11	哲学の基本問題4	死
12	哲学の基本問題5	寛容
13	哲学の基本問題6	個
14	授業内試験	試験の実施と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教員からの指示に従い次回授業に関連する内容を下調べしておいてください。また、毎回出される課題を授業後に提出してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

講義中に随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（筆記）50％：受講者がどれだけ授業内容を理解・深化・拡張できたかを評価します。

平常点50％：平常点は授業への参加度と授業内課題に基づいて評価します。課題は授業で扱った問題について自分の考えを述べるというものです。

【学生の意見等からの気づき】

知識をためこむだけでも自分の考えを述べるだけでなく、知識に基づいて自分の考えを形成できるような授業にできればと考えています。

【Outline (in English)】

1) Philosophy critically re-examines common sense. We will attempt to understand the major issues in the history of philosophy from this perspective.

2) The goal is to be able to critically re-examine common sense while studying major philosophies.

3) Students are required to submit an assignment after each class.

4) Grading will be based on a final exam (50%) and regular marks (50%).

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

倫理学 I

2017年度以降入学者

越部 良一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

倫理学を学ぶことは、単に教室の中で知識を得て、試験で高得点をとることで終わりではない。倫理学の知は、私たちが生きる場で試されるのであり、日常的な生活の中で生きていくことで磨かれていく。この授業は倫理的な問題を取り上げながら、社会のルールや規範と個人の価値観について、各学生がそれぞれの立場で考察できるように促す。

【到達目標】

この授業は、現代に生きる私たちが、日常的な社会の中で、一個の人間としてどのように存在し、どのように生きるかを社会的規範との関係に基づいて考察することを目的とする。その際に、様々な倫理的問題を探究する実践的な知を獲得することを目指す。前半は東西の古典的な倫理思想を取り上げ、後半は近現代の西洋倫理思想を取り上げて、倫理的な問題と思考を理解し説明できることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面授業である。講義形式で行い、思想家の言葉を見ながら、その意味を把握していくことを中心とする。質問等のフィードバックは授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	この授業の概要	シラバスおよびこの授業全体の概観と説明
第2回	倫理学とは何か	倫理学と他の学問。倫理学の根本問題、善、快楽、自己、共同体、超越者
第3回	人間とは何か？（1）	現に問うているのは誰か？ ソクラテスの「汝自身を知れ」、魂の善さ（徳）
第4回	人間とは何か？（2）	世界内存在としての私。ソクラテスの法と国家、死についての思索
第5回	人間とは何か？（3）	私は世界とどのように関わるのか？ 釈尊の四諦と自己
第6回	私は何をなすべきか？（1）	孔子の仁と学
第7回	私は何をなすべきか？（2）	孔子の「天命を知る」
第8回	私は何をなすべきか？（3）	絶対的な善とは何か？ 福音書におけるイエスの思想
第9回	私は何をなすべきか？（4）	アリストテレス倫理学、「中庸」の思想
第10回	私は自分の義務をなすべきか？（1）	カント倫理学①「道徳法則」
第11回	私は自分の義務をなすべきか？（2）	カント倫理学② 自由とは何か？

第12回 私は自分の義務をなすべきか？（3） 功利主義（ベンサム、ミル）

第13回 私は法になかったことをなすべきか？ 社会契約論、共同体主義

第14回 授業のまとめ まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で配布するプリントをよく読み込むこと。また授業で取り上げる著作（西洋のものは翻訳でよい）に少しでも目を通すことが望ましい。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキスト（教科書）は使用しない。適宜、プリントを配布する。

【参考書】

授業中に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（40％くらい）と期末の筆記試験（60％くらい）の2つにより評価する予定である。

期末の筆記試験は、最終授業内で教室で行う予定である。ただし、状況によっては変更することもありえるので、6月下旬頃の授業でのアナウンスに注意しておいてほしい。

【学生の意見等からの気づき】

古典的な倫理思想はただ古いだけでなく、現代に生きているものであることに注意しながら見ていく。

【Outline (in English)】

This course deals with the basic questions and thoughts of ethics. It also enhances the development of students' skill in considering social rules and morals. The goals of this course are to understand and explain ethical issues and thinking. The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. Grades will be evaluated based on two points: a normal score (about 40%) and a written test at the end of the semester (about 60%).

PHL100LA (哲学/Philosophy 100)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

越部 良一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

応用倫理学は、現実の中で起こる具体的な倫理的問題に対して、理論的な知をさらに深め、応用していくための倫理学である。この授業は、その中でも主に生命倫理学と環境倫理学を取り上げて、科学技術の進展と多様な価値観に基づく諸文化が交雑する現代世界の中で生れてきた倫理学的な問題を見やりながら、文化や価値観を異にする他者との相違のうちにあって、各学生がそれぞれの立場で倫理的問題を考察できるように促す。

【到達目標】

この授業は、現代に生きる私たちが、グローバルな社会の中で、一個の人間としてどのように存在し、どのように生きるかを社会的規範との関係に基づいて考察することを目的とする。その際に、様々な倫理的問題を解決する実践的な知を獲得することを目指す。特に、この授業はいわゆる「応用倫理学（applied ethics）」と呼ばれる分野の「生命倫理」「環境倫理」を主に学ぶことで、倫理学Ⅰで学んだ倫理学の基礎を、現実的なテーマのもとで応用していくという点で、より実践的な倫理学であるといえよう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面授業である。講義形式で行う。質問等のフィードバックは授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	この授業の概要	シラバス及びこの授業全体の概観と説明
第2回	応用倫理学とは何か	倫理学と応用倫理学、生命倫理学、環境倫理学
第3回	私は生命を操作する権利があるのか？	「生きるに値する命」とは何か？ 生命倫理学の基本概念
第4回	私は生命を操作する権利があるのか？	科学技術と倫理 脳死と臓器移植の問題① 「脳死」とは何か
第5回	私は生命を操作する権利があるのか？	脳死と臓器移植の問題② 脳死と臓器移植への思想的批判
第6回	私は生命を操作する権利があるのか？	person（人格、人間）とは何か？ エンゲルハートの生命倫理学
第7回	環境は保護しなければならないのか？	環境倫理学とは何か？ 環境倫理学の根本問題
第8回	環境は保護しなければならないのか？	動物倫理学 動物の権利と土地倫理。「権利」とは何か？
第9回	環境は保護しなければならないのか？	21世紀の倫理学に向けて 桑子敏雄の「空間の履歴」

第10回	環境は保護しなければならないのか？	持続可能な社会とは何か？ 大量消費社会批判（アレント、佐伯啓思）
第11回	人間の責任はどこまで及ぶのか？（1）	世代間倫理（フレチェット）
第12回	人間の責任はどこまで及ぶのか？（2）	責任という原理（ヨナス）
第13回	何が暴力を抑止するのか？	暴力、戦争と倫理学
第14回	授業のまとめ	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で取り上げる著作（西洋のものは翻訳でよい）に少しでも目を通すこと。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。

【参考書】

授業中に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（40％くらい）と期末の筆記試験（60％くらい）の2つにより評価する予定である。

期末の筆記試験は、最終授業内で教室で行う予定である。ただし、状況によっては変更することもありえるので、12月はじめ頃の授業でのアナウンスに注意しておいてほしい。

【学生の意見等からの気づき】

生命倫理学、環境倫理学は新しい学問であり、かつ欧米の現代倫理学の影響が強くみられる倫理となっていることに注意しながら講義していくつもりである。

【Outline (in English)】

This course deals with the applied ethics, especially with bioethics and environmental ethics. It enhances the development of students' skill in considering various ethical issues. The goals of this course are to understand and explain ethical issues and thinking. The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. Grades will be evaluated based on two points: a normal score (about 40%) and a written test at the end of the semester (about 60%).

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

倫理学 I

2017年度以降入学者

杉本 隆久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

倫理学を学ぶことは、単に教室の中で知識を得て、試験で高得点をとることで終わりではない。倫理学の知は、私たちが生きる場で試されるのであり、日常的な生活の中で生きていくことで磨かれていく。そのため、この授業は身近な問題を取り上げながら、社会のルールや規範と個人の価値観との齟齬について、各学生がそれぞれの立場で考察できるように促す。

【到達目標】

この授業は、現代に生きる私たちが、日常的な社会の中で、一個の人間としてどのように存在し、どのように生きるかを社会的規範との関係に基づいて考察することを目的とする。その際に、様々な倫理的問題を解決する実践的な知を獲得することを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、講義形式の授業です。原則対面授業を行います。ただし、「オンライン授業による教育効果が高い場合」の条件に該当する授業回に限り、全授業回の半数を超えない範囲（7回以下）で、オンライン授業を実施する場合もあります。

授業は講義形式で進めますが、授業内でディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうなど、積極的に授業に参加してもらうように配慮するつもりです。また、リアクションペーパーを提出してもらうなどして、受講生の考えを授業に反映させていきたいと考えています。

なお授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、学習支援システムより通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	人間とは何か？（1）	現に問われているのは誰か？
第2回	人間とは何か？（2）	世界内存在としての私
第3回	人間とは何か？（3）	私は世界とどのように関わるのか？
第4回	私は何をなすべきか？（1）	倫理学とは何か？
第5回	私は何をなすべきか？（2）	絶対的な善とは何か？
第6回	私は何をなすべきか？（3）	アリストテレス倫理学
第7回	私は何をなすべきか？（4）	快楽主義とストア派の倫理学
第8回	私は自分の義務をなすべきか？（1）	功利主義
第9回	私は自分の義務をなすべきか？（2）	自由とは何か？
第10回	私は自分の義務をなすべきか？（3）	カント倫理学

第11回 私は法になかったことをなすべきか？ 法実証主義

第12回 私は法になかったことをなすべきか？（2） 社会契約論

第13回 私は法になかったことをなすべきか？（3） 自由主義・共同体主義

第14回 まとめ 授業のまとめをします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。資料を適宜共有します。

【参考文献】

ペルンハルト・ヘルツル、フリードリッヒ・ミューレッカー、ハンス・ウーラッハ『哲学の問い 討議用』島崎隆監訳、晃洋書房、2002年

加藤尚武『現代倫理学入門』、講談社学術文庫、1997年

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業後に、学習支援システム上から毎回の授業課題を提出してもらう。また期末にレポートを提出してもらう。以上の2点を総合して評価する。

評価の比率は、課題60%、期末レポート40%とする。

【学生の意見等からの気づき】

一方的な講義ではなく、ディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうようにしていきます。またリアクションペーパーを活用することで、受講生からの意見を授業に反映させるようにします。

【学生の意見等からの気づき】

【学生が準備すべき機器他】

授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、Hoppii（学習支援システム）より通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【その他の重要事項】

倫理学Ⅱも併せて受講していただくことが望ましいです。

【Outline (in English)】

Learning ethics is not gaining knowledge in the classroom and taking a high score in the exam. The knowledge of ethics is tested in the place we live, and it is polished by living in everyday life. For this reason, this class will encourage each student to think about the discrepancy between social rules and norms and individual values while taking up familiar issues.

The purpose of this lesson is to consider how we, who live in the present age, exist and live as one human being in everyday society based on the relationship with social norms. Study time outside classroom is 1 hour for preparatory study and 1 hour for review.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Report : 40%、Short reports : 60%

Report : 40%、Short reports : 60%

PHL100LA (哲学/Philosophy 100)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

杉本 隆久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

応用倫理学は、現実の中で起こる具体的な倫理的問題に対して、理論的な知をさらに深め、応用していくための倫理学である。そのため、この授業は、グローバルな社会において、多様な価値観に基づく諸文化が交雑することで生ずる倫理的な問題をとり上げながら、文化を異にする他者との価値観の相違について、各学生がそれぞれの立場で考察できるように促す。

【到達目標】

この授業は、現代に生きる私たちが、グローバルな社会の中で、一個人間としてどのように存在し、どのように生きるかを社会的規範との関係に基づいて考察することを目的とする。その際に、様々な倫理的問題を解決する実践的な知を獲得することを目指す。特に、この授業はいわゆる「応用倫理学（allied ethics）」と呼ばれる分野の倫理学を学ぶことで、倫理学Ⅰで学んだ倫理学の基礎を、現実的なテーマのもとで応用していくという点で、より実践的な倫理学であるといえよう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、講義形式の授業です。原則対面授業を行います。ただし、「オンライン授業による教育効果が高い場合」の条件に該当する授業回に限り、全授業回の半数を超えない範囲（7回以下）で、オンライン授業を実施する場合もあります。

授業は講義形式で進めますが、授業内でディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうなど、積極的に授業に参加してもらうように配慮するつもりです。また、リアクションペーパーを提出してもらうなどして、受講生の考えを授業に反映させていきたいと考えています。

なお授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、学習支援システムより通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	何が暴力を抑止するのか？（1）	「正義の戦争」はありうるか？
第2回	何が暴力を抑止するのか？（2）	暴力の倫理学
第3回	何が暴力を抑止するのか？（3）	テロリズムと戦争
第4回	私は生命を操作する権利があるのか？（1）	生存権／人権とは何か？
第5回	私は生命を操作する権利があるのか？（2）	「生きるに値する命」とは何か？
第6回	私は生命を操作する権利があるのか？（3）	動物倫理学

第7回	私は生命を操作する権利があるのか？（4）	生命倫理
第8回	人間の責任はどこまで及ぶのか？（1）	責任という原理（ヨナス）
第9回	人間の責任はどこまで及ぶのか？（2）	科学技術の倫理
第10回	人間の責任はどこまで及ぶのか？（3）	世代間倫理
第11回	環境は保護しなければならないのか？（1）	環境倫理学とは何か？
第12回	環境は保護しなければならないのか？（2）	持続可能な社会とは何か？
第13回	環境は保護しなければならないのか？（3）	21世紀の倫理学に向けて
第14回	まとめ	まとめの授業を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。資料を適宜共有します。

【参考書】

ベルンハルト・ヘルツル、フリードリッヒ・ミュラー・レッカー、ハンス・ウーラッハ『哲学の問い 討議用』島崎隆監訳、晃洋書房、2002年
加藤尚武『戦争倫理学』、ちくま新書、2003年
加藤尚武『新・環境倫理学のすすめ』、丸善、2005年
ハンス・ヨナス『責任という原理—科学技術文明のための倫理学の試み』、東信堂、2010年
など

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業後に、学習支援システムから毎回の課題を提出してもらう。また期末にレポートを提出してもらう。以上の2点を総合して評価する。
評価の比率は、課題60%、期末レポート40%とする。

【学生の意見等からの気づき】

一方的な講義ではなく、ディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうようにしていきます。またリアクションペーパーを活用することで、受講生からの意見を授業に反映させるようにします。

【学生が準備すべき機器他】

授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、学習支援システムより通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【その他の重要事項】

倫理学Ⅰも併せて受講していただくことが望ましいです。

【Outline (in English)】

Applied ethics is ethics to deepen and apply theoretical knowledge to specific ethical problems occurring in reality. For this reason, in this class, we take up ethical issues arising from the crossing of various cultures based on diverse values in the global society, and consider differences of values with others with different cultures.

The purpose of this lesson is to consider how we, who live in the present age, exist and live as one human being in a global society based on the relationship with social norms.

Study times outside classroom is 1 hour for preparatory study and 1 hour for review.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Report : 40%, Short reports : 60%

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

倫理学 I

2017年度以降入学者

森村 修

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

倫理学を学ぶことは、単に教室の中で知識を得て、試験で高得点をとることで終わりではない。倫理学の知は、私たちが生きる場で試されるのであり、日常的な生活の中で生きていくことで磨かれていく。そのため、この授業は身近な問題を取り上げながら、社会のルールや規範と個人の価値観との齟齬について、各学生がそれぞれの立場で考察できるように促す。

【到達目標】

この授業は、現代に生きる私たちが、日常的な社会の中で、一個の人間としてどのように存在し、どのように生きるかを社会的規範との関係に基づいて考察することを目的とする。その際に、様々な倫理的問題を解決する実践的な知を獲得することを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業では、基本的には、講義形式で行う。ただ、受講者各自の理解度を確認するために、授業内でディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうなど、積極的に授業に参加してもらうように配慮するつもりである。また、リアクションペーパーを提出してもらうなどして、受講生の考えを授業に反映させていきたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	人間とは何か？（1）	・受講上の注意 ・授業内容についてのイントロダクション ・「現に問うているのは誰か？」
第2回	人間とは何か？（2）	・ハイデガー哲学からみた「私」の位置 ・「世界内存在としての私」
第3回	人間とは何か？（3）	・「私は世界とどのように関わるのか？」
第4回	私は何をなすべきか？（1）	・「倫理学とは何か？」
第5回	私は何をなすべきか？（2）	・「絶対的な善とは何か？」
第6回	私は何をなすべきか？（3）	・倫理学と宗教 ・アリストテレス倫理学
第7回	私は何をなすべきか？（4）	・快楽主義とストア派の倫理学
第8回	私は自分の義務をなすべきか？（1）	・功利主義 ・義務と有用性
第9回	私は自分の義務をなすべきか？（2）	・自由とは何か？ ・権利と自由
第10回	私は自分の義務をなすべきか？（3）	・カント倫理学 ・権利と義務
第11回	私は法になかったことをなすべきか？（1）	・法実証主義 ・法と倫理

第12回 私は法になかったことをなすべきか？（2）

・社会契約論
・国家と個人

第13回 私は法になかったことをなすべきか？（3）

・自由主義・共同体主義
・政治と倫理
・社会と個人

第14回 まとめ

・倫理学の現代的意味

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・倫理的問題は、私たちが日常生活を営むなかで様々な形で出会う問題が多い。それゆえ、受講生各自は、授業内で指示された様々な倫理的な基本的文献を参考にしながら、自らの倫理的問題を意識することが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

・ベルンハルト・ヘルツル、フリードリッヒ・ミューレッカー、ハンス・ウーラッハ

『哲学の問い 討議用』島崎隆監訳、晃洋書房、2002年
・加藤尚武『現代倫理学入門』、講談社学術文庫、1997年など

【成績評価の方法と基準】

・定期試験（60％）に加え、リアクションペーパー（40％）などを行うことで、授業の理解度を確認し、総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

・リアクションペーパーを活用することで、受講生からの意見を授業に反映させるようにする。

【その他の重要事項】

・倫理学という学問の性質上、私たちが生きている現場で、実践知として生かされなければ、倫理学で学んだ知識は単なる「机上の空論」にすぎない。倫理学説の特徴を理解しながらも、各自がいきている場面で生かしていけない限り、倫理的知は身につかない。したがって、授業に参加するだけでなく、自ら日常生活の中で、日頃から倫理観を問い直す姿勢をもつようにしてもらいたい。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Learning ethics is not gaining knowledge in the classroom and taking a high score in the exam. The knowledge of ethics is tested in the place we live, and it is polished by living in everyday life. For this reason, the aim of this course is to help students think about the discrepancy between social rules and norms and individual values while taking up familiar issues.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to acquire practical knowledge to solve various ethical problems.

【Learning outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 60%, in class contribution: 40%

PHL100LA (哲学/Philosophy 100)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

森村 修

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

応用倫理学は、現実の中で起こる具体的な倫理的問題に対して、理論的な知をさらに深め、応用していくための倫理学である。そのため、この授業は、グローバルな社会において、多様な価値観に基づく諸文化が交雑することで生ずる倫理的な問題をとり上げながら、文化を異にする他者との価値観の相違について、各学生がそれぞれの立場で考察できるように促す。

【到達目標】

この授業は、現代に生きる私たちが、グローバルな社会の中で、一個の人間としてどのように存在し、どのように生きるかを社会的規範との関係に基づいて考察することを目的とする。その際に、様々な倫理的問題を解決する実践的な知を獲得することを目指す。特に、この授業はいわゆる「応用倫理学（applied ethics）」と呼ばれる分野の倫理学を学ぶことで、倫理学Ⅰで学んだ倫理学の基礎を、現実的なテーマのもとで応用していくという点で、より実践的な倫理学であるといえよう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、基本的に、講義形式で行われる。ただ、授業で取り上げる応用倫理的な諸問題について、受講生から意見を聞いたり、ディスカッションを行ったりすることも考えている。また、リアクションペーパーを提出してもらうことで、受講生の意見を積極的に授業に反映させることも考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	何が暴力を抑止するのか？（1）	・「正義の戦争」はありうるか？ ・戦争倫理学入門
第2回	何が暴力を抑止するのか？（2）	・暴力の倫理学
第3回	何が暴力を抑止するのか？（3）	・テロリズムと戦争 ・国家に抵抗することは、可能か？
第4回	私は生命を操作する権利があるのか？（1）	・生存権／人権とは何か？ ・生命の尊厳と生命の質
第5回	私は生命を操作する権利があるのか？（2）	・「生きるに値する命」とは何か？
第6回	私は生命を操作する権利があるのか？（3）	・動物倫理学 ・動物保護の倫理
第7回	私は生命を操作する権利があるのか？（4）	・バイオテクノロジーの倫理
第8回	人間の責任はどこまで及ぶのか？（1）	・責任という原理（ヨナス）
第9回	人間の責任はどこまで及ぶのか？（2）	・科学技術の倫理

第10回	人間の責任はどこまで及ぶのか？（3）	・世代間倫理
第11回	環境は保護しなければならないのか？（1）	・環境倫理学とは何か？
第12回	環境は保護しなければならないのか？（2）	・持続可能な社会とは何か？
第13回	環境は保護しなければならないのか？（3）	・21世紀の倫理学に向けて
第14回	まとめ	・応用倫理学の現代的な意味について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

応用倫理学の領域は多岐に渡るため、受講生各自はそれぞれの興味関心のままに倫理的問題にアプローチすることができる。それゆえ、自分が興味のあるテーマについての様々な文献をよみ、自らの倫理観を見直すように努めてもらいたい。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

・ベルンハルト・ヘルツル、フリードリッヒ・ミューレッカー、ハンス・ウーラッハ『哲学の問い 討議用』島崎隆監訳、晃洋書房、2002年
・加藤尚武『戦争倫理学』、ちくま新書、2003年
・加藤尚武『新・環境倫理学のすすめ』、丸善、2005年
・ハンス・ヨナス『責任という原理—科学技術文明のための倫理学の試み』、東信堂、2010年
など

【成績評価の方法と基準】

定期試験（60％）に加え、リアクション・ペーパー（40％）などで、授業の理解度を確認し、総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

応用倫理学の扱う領域は多種多様であり、そこで生ずる倫理的問題もまた多岐にわたっている。その意味では、私たちは、倫理的問題にどこからでも取り組むことができる。それゆえ、受講生各自は、自らの興味関心や素朴な疑問から倫理的問題にアプローチすることができる。そして、応用倫理学の分野（生命倫理学、環境倫理学、情報倫理学、戦争倫理学など）の領域を堪能してもらいたい。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Applied ethics is ethics to deepen and apply theoretical knowledge to specific ethical problems occurring in reality. For this reason, in this class, we take up ethical issues arising from the crossing of various cultures based on diverse values in the global society. Therefore, the aim of this course is to help students consider differences of values with others with different cultures.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to acquire practical knowledge to solve various ethical problems.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 60%, in class contribution: 40%.

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

倫理学 I

2017年度以降入学者

田島 樹里奈

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

倫理学を学ぶことは、単に教室の中で知識を得て、試験で高得点をとることで終わりではない。倫理学の知は、私たちが生きる場で試されるのであり、日常的な生活の中で生きていくことで磨かれていく。そのため、この授業は身近な問題を取り上げながら、社会のルールや規範と個人の価値観との齟齬について、各学生がそれぞれの立場で考察できるように促す。

【到達目標】

この授業では、現代に生きる私たちが日常的な社会の中で、一個の人間としてどのように存在し、どのように生きるかを社会的規範との関係に基づいて考察することを目的とする。その際に、様々な倫理的問題を解決する実践的な知を獲得することを目指す。

The purpose of this class is to examine how we exist and live as an individual human being in the everyday society we live in today, based on the relationship with social norms. In doing so, we aim to acquire practical knowledge to solve various ethical problems.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式で行ないます。毎回の講義後には、リアクションペーパーを提出してもらいます。リアクションペーパーは、レポートのような大変なものではなく、授業を視聴して各自で考えたことを書いてもらうことにより、考える力を養い、自分の考えを文字化する訓練のために実施しています。

学生の皆さんに質問を投げかけたり、皆さんのリアクションペーパーを紹介したりすることで、同世代の受講者がどのような考えを持っているのか、同じ講義を聞いてもさまざまな考えがあるのだということを知ることができます。講義形式であっても、教員からの一方的な教えではなく、双方向性を生み出し、お互いに刺激し合い、学び合えるような授業にしていきたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	人間とは何か？（1）	「私」とは誰か？
第2回	人間とは何か？（2）	世界の中にいるとはどういうことか？
第3回	人間とは何か？（3）	世界の様々な捉え方、世界と「私」
第4回	私は何をなすべきか？（1）	近代とは何か？
第5回	私は何をなすべきか？（2）	絶対的な善とは何か？
第6回	私は何をなすべきか？（3）	アリストテレス倫理学：幸福な生とは何か？
第7回	私は何をなすべきか？（4）	快楽主義とストア派の倫理学：快楽と禁欲
第8回	私は自分の義務をなすべきか？（1）	功利主義：「万人の利益」が善なのか？

第9回	私は自分の義務をなすべきか？（2）	自由とは何か？：自由意志と責任
第10回	私は自分の義務をなすべきか？（3）	カント倫理学：行為の道徳的価値と義務
第11回	私は法になかったことをなすべきか？（1）	法実証主義：法律は絶対的に正しいのか？
第12回	私は法になかったことをなすべきか？（2）	社会契約論：人民の主権と法の支配
第13回	私は法になかったことをなすべきか？（3）	自由主義・共同体主義：個人の権利と共同体的多元性
第14回	まとめ	全体の総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業の復習をよくすること。とくに授業内で気付いたことや疑問に思ったことは各自で調べたり掘り下げて考えてみる。本授業の準備学習・復習時間は、各90分を標準とします。

Review each class carefully. In particular, you are expected to research and think in-depth about any questions you notice or have in the class. The standard preparation and review time for this class is 1.5 hours each.

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

ベルンハルト・ヘルツル、フリードリッヒ・ミュラー・ハンス・ウーラッハ『哲学の問い 討議用』島崎隆監訳、晃洋書房、2002年適宜、授業の中で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

毎授業ごとのリアクションペーパー（60%）、期末試験またはレポート（40%）

毎回リアクションペーパーを提出することを必須としますので、受講を検討する際は注意してください（ただ提出しているだけの人は、評価対象とならない場合があります。主体的に考えながら受講することを重視しています）。

Reaction papers for each class (60%), final exam or report (40%)

This year, due to the university's request, the class will be conducted on demand. For this reason, we will increase the evaluation ratio of the reaction papers for each class. Please note that it is mandatory to listen to the on-demand class properly and then submit a reaction paper by the deadline every week, so please be careful when considering taking this course.

【学生の意見等からの気づき】

倫理学を受けたことのない人、倫理学がどのような学問か分からない人でも、関心を持って受講することで、少しずつ倫理学が身近な学問であることが理解できるようになってくると思います。また、受講者のコメントシートを紹介することで、同世代の人たちの色々な考え方を知ることができ、良い刺激になると思います。

【その他の重要事項】

※ 倫理学という科目が初めてであっても、毎回の授業の中で少しずつ理解を深め、徐々に慣れることはできるので心配しないでOKです。（基本的に初学者向けの授業です）

※ ただし単位取得のみを目的としている人にはお勧めしません。大学生としてきちんと学ぼうという意思のある人に受講して頂きたいです。

※ この科目は教職科目のため、共通シラバスです。

* Even if you are new to the subject of ethics, don't worry because you can gradually deepen your understanding and get used to it in each class. (Basically, this class is for first-time students)

* We do not recommend this course to those who just want to get credits. This class should be taken by anyone who is willing to learn properly as a university student.

* This course is based on a common syllabus.

【Outline (in English)】

This course will introduce and survey the various basic concepts and theoretical framework of ethics. Students will gain practice the critical and philosophical thinking through this course.

During the first part of this course we will introduce the basic concepts and foundational theories of ethics. We will attempt to consider what is definition and what is value. In the second part of the course we will examine some specific topics through philosophical theme. Through this course, students will be able to recognize the importance of ethical values and consideration. In addition, students will be given not only the knowledge and comprehension of ethics, but also the opportunity to consider critically.

PHL100LA (哲学/Philosophy 100)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

田島 樹里奈

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

応用倫理学は、現実の中で起こる具体的な倫理的問題に対して、理論的な知をさらに深め、応用していくための倫理学である。そのため、この授業は、グローバルな社会において、多様な価値観に基づく諸文化が交雑することで生ずる倫理的な問題をとり上げながら、文化を異にする他者との価値観の相違について、各学生がそれぞれの立場で考察できるように促す。

【到達目標】

この授業は、現代に生きる私たちがグローバルな社会の中で、一個人としてどのように存在し、どのように生きるかを社会的規範との関係に基づいて考察することを目的とする。その際に、様々な倫理的問題を解決する実践的な知を獲得することを目指す。特に、この授業はいわゆる「応用倫理学（applied ethics）」と呼ばれる分野の倫理学を学ぶことで、倫理学Ⅰで学んだ倫理学の基礎を、現実的なテーマのもとで応用していくという点で、より実践的な倫理学である。

The goals of this course are to provide students with practical knowledge to solve various ethical problems. In particular, this course is a more practical ethics in terms of applying the fundamentals of ethics learned in Ethics I under realistic themes by studying the so-called field of "applied ethics."

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式で行なう。場合によっては、学生の皆さんに質問を投げかけたり、リアクションペーパーなどを用いながら、受講者が主体的に考えられるような授業にしたい。

◆ 本授業では、多角的な視野でじっくりと物事を考える力を身につけて貰いたいと考えているため、以下のように授業を進める。

- * 講義
- * 毎回、授業後に簡単なコメントシートを提出。
- * 適宜、授業内で学生からのコメントを紹介。

→ これらの繰り返しをすることで、同じ講義内容を聞いていても、自分とは異なる様々な意見があることを知り、少しずつ多角的な視野を得られるようになって考えている。また講義形式であっても、教員からの一方的な教えではなく、双方向性を生み出し、お互いに刺激し合い、学び合えるような授業にしていきたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	何が暴力を抑止するのか？（1）	「正義の戦争」はありうるか？
第2回	何が暴力を抑止するのか？（2）	暴力の倫理学
第3回	何が暴力を抑止するのか？（3）	テロリズムと戦争
第4回	私は生命を操作する権利があるのか？（1）	生存権／人権とは何か？

第5回	私は生命を操作する権利があるのか？（2）	「生きるに値する命」とは何か？
第6回	私は生命を操作する権利があるのか？（3）	動物倫理学
第7回	私は生命を操作する権利があるのか？（4）	バイオテクノロジーの倫理
第8回	人間の責任はどこまで及ぶのか？（1）	責任という原理（ヨナス）
第9回	人間の責任はどこまで及ぶのか？（2）	科学技術の倫理
第10回	人間の責任はどこまで及ぶのか？（3）	世代間倫理
第11回	環境は保護しなければならないのか？（1）	環境倫理学とは何か？
第12回	環境は保護しなければならないのか？（2）	持続可能な社会とは何か？
第13回	環境は保護しなければならないのか？（3）	21世紀の倫理学に向けて
第14回	まとめ	総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業の復習をよくすること。とくに授業内で気付いたことや疑問に思ったことは各自で調べたり掘り下げて考えてみる。本授業の準備学習・復習時間は、各90分を標準とします。

Review each class carefully. In particular, you are expected to research and think in-depth about any questions you notice or have in the class. The standard preparation and review time for this class is 1.5 hours each.

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

ベルンハルト・ヘルツル、フリードリッヒ・ミュラー、ハンス・ウーラッハ『哲学の問い 討議用』島崎隆監訳、晃洋書房、2002年
加藤尚武『新・環境倫理学のすすめ』、丸善、2005年
ハンス・ヨナス『責任という原理—科学技術文明のための倫理学の試み』、東信堂、2010年
田島樹里奈『デリダのポリティカルエコノミー：パレルゴン・自己免疫・暴力』北樹出版、2019年
その他、適宜授業中に紹介します

【成績評価の方法と基準】

毎授業ごとのリアクションペーパー（60%）、期末試験またはレポート（40%）

リアクションペーパーの提出をもって出席扱いとしますが、ただ提出しているだけの人は評価対象とならない場合があります。主体的に考えながら受講することを重視しています。（リアクションペーパーは、レポートのような大変なものではありません。受講して各自で考えたことを毎回書いてもらうことにより、考える力を養い、自分の考えを文字化する訓練のために行っています）

Reaction papers for each class (60%), final exam or report (40%)

Submission of reaction papers will count as attendance, but those who just submit them may not be evaluated. In this course, the emphasis is on taking the class while thinking proactively. (The reaction paper is not as hard as a report, but is designed to develop your ability to think and to train you to put your thoughts into words by asking you to write what you have thought about each time you take the course.)

【学生の意見等からの気づき】

倫理学を受けたことのない人、倫理学がどのような学問か分からない人でも、関心を持って受講することで、少しずつ身近な学問であることが理解できるようになってくると思います。

Even if you have never taken an ethics class or do not know what ethics is, if you take the course with interest, you will gradually come to understand that it is a familiar subject.(Basically, this class is for first-time students)

【その他の重要事項】

倫理学Ⅰを受けてから受講すると、より理解しやすくなります。

※ 単位取得のみを目的とする人にはお勧めしません。大学生としてきちんと学ぼうという意思のある人に受講して頂きたいです。

※ この科目は教職科目のため、共通シラバスです。

It is recommended that students take Ethics I before taking this course for better understanding.

We do not recommend this course to those who just want to get credits. This class should be taken by anyone who is willing to learn properly as a university student.

This course is based on the common syllabus.

【Outline (in English)】

This course will learn applied ethics with emphases on violence, technology, environment and sustainability. This course will recognize a variety of ethical issues and problems when confronted with examples of social and historical situations. By this course students will be able to understand what is applied ethics and why this field is important. In addition, through this course students will be given not only the knowledge and comprehension of ethics, but also the opportunity to consider critically.

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

倫理学 I

2017年度以降入学者

上田 瑞季

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

倫理学を学ぶことは、単に教室の中で知識を得て、試験で高得点をとることで終わりではない。倫理学の知は、私たちが生きる場で試されるのであり、日常生活の中で生きていくことで磨かれていく。そのため、この授業は身近な問題を取り上げながら、社会のルールや規範と個人の価値観との齟齬について、各学生がそれぞれの立場で考察できるように促す。

【到達目標】

この授業は、現代に生きる私たちが、日常的な社会の中で、一個の人間としてどのように存在し、どのように生きるかを社会的規範との関係に基づいて考察することを目的とする。その際に、様々な倫理的問題を解決する実践的な知を獲得することを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 授業形態：対面・講義形式（ただし、発言を求めることがある）
- 授業の進め方：講義＋小課題＋ディスカッション
- フィードバック：授業冒頭で、前回提出された小課題からいくつか取り上げる予定。
- 授業の課題：原則として、毎回課す予定。授業で取り上げた問題に対して、小課題を提出してもらう。思考を促し、自らの考えを言語化するスキルの向上を目的とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	人間とは何か？（1）	現に問うているのは誰か？
第2回	人間とは何か？（2）	世界内存在としての私
第3回	人間とは何か？（3）	私は世界とどのように関わるのか？
第4回	私は何をなすべきか？（1）	倫理学とは何か？
第5回	私は何をなすべきか？（2）	絶対的な善とは何か？
第6回	私は何をなすべきか？（3）	アリストテレス倫理学
第7回	私は何をなすべきか？（4）	快楽主義とストア派の倫理学
第8回	私は自分の義務をなすべきか？（1）	功利主義
第9回	私は自分の義務をなすべきか？（2）	自由とは何か？
第10回	私は自分の義務をなすべきか？（3）	カント倫理学
第11回	私は法になかったことをなすべきか？（1）	法実証主義
第12回	私は法になかったことをなすべきか？（2）	社会契約論

第13回 私は法になかったことをなすべきか？（3） 自由主義・共同体主義

第14回 まとめ これまでの授業の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、授業の復習をすること。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

ベルンハルト・ヘルツル、フリードリッヒ・ミュラー・レッカー、ハンス・ウーラッハ『哲学の問い 討議用』鳥崎隆監訳、晃洋書房、2002年。
加藤尚武『現代倫理学入門』、講談社学術文庫、1997年 など

【成績評価の方法と基準】

小課題などの平常点（50％）＋期末試験またはレポート（50％）。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標60％以上に達した場合を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

・最初は文章が書けなくて小課題に取り組むのが大変だったが、続けていくうちに論理的に文章を書けるようになったという声が多かった。毎回小課題が課される授業だと思って履修していただきたい。
・グループワークやディスカッションのおかげで、同じ問題に対して他の学生がどのように考えているかを学べたというフィードバックが多かったため、引き続きその時間を設けていきたい。
・私語する学生が少なく、集中しやすい授業だったという声が多かった。今年度もそのような授業運営・雰囲気作りを心掛けたい。

【学生が準備すべき機器他】

授業コードを使って、事前に学習支援システムに登録すること。

【その他の重要事項】

※倫理学Ⅱもあわせて受講するのが望ましいです。
※教職科目のため、共通シラバスとなっています。

【Outline (in English)】

Learning ethics is not gaining knowledge in the classroom and taking a high score in the exam. The knowledge of ethics is tested in the place we live, and it is polished by living in everyday life. For this reason, this class will encourage each student to think about the discrepancy between social rules and norms and individual values while taking up familiar issues.

The goals of this course are to consider how we, who live in the present age, exist and live as one human being based on the relationship with social norms and to acquire practical knowledge to solve various ethical problems.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Short reports:50,Term-end exam:50.

PHL100LA (哲学/Philosophy 100)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

上田 瑞季

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

応用倫理学は、現実の中で起こる具体的な倫理的問題に対して、理論的な知をさらに深め、応用していくための倫理学である。そのため、この授業は、グローバルな社会において、多様な価値観に基づく諸文化が交雑することで生ずる倫理的な問題をとり上げながら、文化を異にする他者との価値観の相違について、各学生がそれぞれの立場で考察できるように促す。

【到達目標】

この授業は、現代に生きる私たちが、グローバルな社会の中で、一個人間としてどのように存在し、どのように生きるかを社会的規範との関係に基づいて考察することを目的とする。その際に、様々な倫理的問題を解決する実践的な知を獲得することを目指す。特に、この授業はいわゆる「応用倫理学（applied ethics）」と呼ばれる分野の倫理学を学ぶことで、倫理学Ⅰで学んだ倫理学の基礎を、現実的なテーマのもとで応用していくという点で、より実践的な倫理学であるといえよう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 授業形態：対面・講義形式（ただし、発言を求めることがある）
- 授業の進め方：講義＋小課題＋ディスカッション
- フィードバック：授業冒頭で、前回提出された小課題からいくつか取り上げる予定。
- 授業の課題：原則として、毎回課す予定。授業で取り上げた問題に対して、小課題を提出してもらう。思考を促し、自らの考えを言語化するスキルの向上を目的とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	何が暴力を抑止するのか？（1）	「正義の戦争」はありうるか？
第2回	何が暴力を抑止するのか？（2）	暴力の倫理学
第3回	何が暴力を抑止するのか？（3）	テロリズムと戦争
第4回	私は生命を操作する権利があるのか？（1）	生存権／人権とは何か？
第5回	私は生命を操作する権利があるのか？（2）	「生きるに値する命」とは何か？
第6回	私は生命を操作する権利があるのか？（3）	動物倫理学
第7回	私は生命を操作する権利があるのか？（4）	バイオテクノロジーの倫理
第8回	人間の責任はどこまで及ぶのか？（1）	責任という原理（ヨナス）

第9回	人間の責任はどこまで及ぶのか？（2）	科学技術の倫理
第10回	人間の責任はどこまで及ぶのか？（3）	世代間倫理
第11回	環境は保護しなければならないのか？（1）	環境倫理学とは何か？
第12回	環境は保護しなければならないのか？（2）	持続可能な社会とは何か？
第13回	環境は保護しなければならないのか？（3）	21世紀の倫理学に向けて
第14回	まとめ	これまでの授業を振り返る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、授業の復習をすること。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

ベルンハルト・ヘルツル、フリードリッヒ・ミューレッカー、ハンス・ウーラッハ『哲学の問い 討議用』島崎隆監訳、晃洋書房、2002年。
加藤尚武『戦争倫理学』、ちくま新書、2003年。
加藤尚武『新・環境倫理学のすすめ』、丸善出版、2005年。
ハンス・ヨナス『責任という原理—科学技術文明のための倫理学の試み』、東信堂、2010年 など

【成績評価の方法と基準】

小課題などの平常点（50％）＋期末試験またはレポート（50％）。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標60％以上に達した場合を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

・最初は文章が書けなくて小課題に取り組むのが大変だったが、続けていくうちに論理的に文章を書けるようになったという声が多かった。毎回小課題が課される授業だと思って履修していただきたい。
・グループワークやディスカッションのおかげで、同じ問題に対して他の学生がどのように考えているかを学べたのは有意義だったというフィードバックが多かったため、引き続きその時間を設けていきたい。
・私語する学生が少なく、集中しやすい授業だったという声が多数あった。今年度もそのような授業運営・雰囲気作りを心掛けたい。

【学生が準備すべき機器他】

授業コードを使って、事前に学習支援システムに登録すること。

【その他の重要事項】

※倫理学Ⅰもあわせて受講するのが望ましいです。
※教職科目のため、共通シラバスとなっています。

【Outline (in English)】

Applied ethics is ethics to deepen and apply theoretical knowledge to specific ethical problems occurring in reality. For this reason, in this class, we take up ethical issues arising from the crossing of various cultures based on diverse values in the global society, and consider differences of values with others with different cultures.

The goals of this course are to consider how we, who live in the present age, exist and live as one human being in a global society based on the relationship with social norms and to acquire practical knowledge to solve various ethical problems. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Short reports:50,Term-end examination:50.

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

倫理学 I

2017年度以降入学者

佐藤 英明

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

倫理学を学ぶことは、単に教室の中で知識を得て、試験で高得点をとることで終わりではない。倫理学の知は、私たちが生きる場で試されるのであり、日常的な生活の中で生きていくことで磨かれていく。そのため、この授業は身近な問題を取り上げながら、社会のルールや規範と個人の価値観との齟齬について、各学生がそれぞれの立場で考察できるように促す。

【到達目標】

この授業は、現代に生きる私たちが、日常的な社会の中で、一個の人間としてどのように存在し、どのように生きるかを社会的規範との関係に基づいて考察することを目的とする。その際に、様々な倫理的問題を解決する実践的な知を獲得することを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を中心に進めるが、授業中にとりあげた問題に対して受講者自身の意見を求めることもある。原則として毎回アクションペーパー（課題）の提出を求める。授業の初めに、前回の授業で提出されたアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

大学の行動方針レベルが1の場合は、オンライン授業と対面授業を併用する。レベルが2となった場合は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	人間とは何か？（1） ——現に問うているのは誰か？	人間が人間の本質を問うという営みがどのようなものなのか考える。
第2回	人間とは何か？（2） ——世界内存在としての私	人間を「世界内存在」と捉えたハイデガーの思想を解説する。
第3回	人間とは何か？（3） ——私は世界とどのように関わるのか？	人間が世界を認識することができるのは精神的な働きによってである。その位置づけについて考察する。
第4回	私は何をなすべきか？（1）——倫理学とは何か？	倫理学という学問の概要を倫理学の3つのレベルの違いという観点から解説する。
第5回	私は何をなすべきか？（2）——絶対的な善とは何か？	「よい」という言葉の相対的な使用と絶対的な使用の区別について考える。
第6回	私は何をなすべきか？（3）——アリストテレス倫理学	エウダイモニア（幸福）を中心とするアリストテレス倫理学の特徴を解説する。
第7回	私は何をなすべきか？（4）——快楽主義とストア派の倫理学	生涯にわたる苦痛からの解放を求めるエピクロス派と自然に適合した行為を求めるストア派の思想を解説する。

第8回	私は自分の義務をなすべきか？（1）——功利主義	公益の最大化をめざす利他主義的幸福主義の立場について考える。
第9回	私は自分の義務をなすべきか？（2）——自由とは何か？	倫理学の人間学的前提である「自由意志」について考察する。
第10回	私は自分の義務をなすべきか？（3）——カント倫理学	カント倫理学の概要を解説する。
第11回	私は法になかったことをなすべきか？（1）——法実証主義	現に通用している法律の妥当性が倫理的にどんな根拠に基づくのか考える。
第12回	私は法になかったことをなすべきか？（2）——社会契約論	ホブズの社会契約論、現代的な契約論ともいえるロールズの思想について解説する。
第13回	私は法になかったことをなすべきか？（3）——自由主義・共同体主義	社会的な目標より個人の権利を優先する「自由主義」と共同体にとっての善を重視する「共同体主義」について考える。
第14回	まとめ ※別途期末レポートを提出	これまでの授業全体を振り返り、理解を深める。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱った内容について、書籍やインターネット等を通じて、さらに理解を深め、自身の思索を深化させることが求められる。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

ベルンハルト・ヘルツル、フリードリッヒ・ミュラー・レッカー、ハンス・ウーラッハ『哲学の問い 討議用』島崎隆監訳、晃洋書房、2002年
加藤尚武『現代倫理学入門』、講談社学術文庫、1997年
など

【成績評価の方法と基準】

授業内小テスト（70％） 期末レポート（30％）

【学生の意見等からの気づき】

受講生からの意見を授業に反映させるために、さらにリアクションペーパーの活用を工夫すること。

【Outline (in English)】

Learning ethics is not gaining knowledge in the classroom and taking a high score in the exam. The knowledge of ethics is tested in the place we live, and it is polished by living in everyday life. For this reason, this class will encourage each student to think about the discrepancy between social rules and norms and individual values while taking up familiar issues.

The goals of this course are to consider how we, who live in the present age, exist and live as one human being based on the relationship with social norms and to acquire practical knowledge to solve various ethical problems.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Short reports:70,Term-end examination:30.

PHL100LA (哲学/Philosophy 100)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

佐藤 英明

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

応用倫理学は、現実の中で起こる具体的な倫理的問題に対して、理論的な知をさらに深め、応用していくための倫理学である。そのため、この授業は、グローバルな社会において、多様な価値観に基づく諸文化が交雑することで生ずる倫理的な問題をとり上げながら、文化を異にする他者との価値観の相違について、各学生がそれぞれの立場で考察できるように促す。

【到達目標】

この授業は、現代に生きる私たちが、グローバルな社会の中で、一個人間としてどのように存在し、どのように生きるかを社会的規範との関係に基づいて考察することを目的とする。その際に、様々な倫理的問題を解決する実践的な知を獲得することを目指す。特に、この授業はいわゆる「応用倫理学（applied ethics）」と呼ばれる分野の倫理学を学ぶことで、倫理学Ⅰで学んだ倫理学の基礎を、現実的なテーマのもとで応用していくという点で、より実践的な倫理学であるといえよう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を中心に進めるが、授業中にとりあげた問題に対して受講者自身の意見を求めることもある。原則として毎回アクションペーパー（課題）の提出を求める。授業の初めに、前回の授業で提出されたアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	何が暴力を抑止するのか？（1）——「正義の戦争」はあるのか？	正戦論とはなにか、正戦論はどのような戦争を正当化するのか考える。
第2回	何が暴力を抑止するのか？（2）——暴力の倫理学	暴力という観点から戦争を考える。
第3回	何が暴力を抑止するのか？（3）——テロリズムと戦争	テロリズムについて戦争倫理学という観点から考察する。
第4回	私は生命を操作する権利があるのか？（1）——生存権／人権とは何か？	生存権をもつとはいかなることか、その前提条件は何かを考える。
第5回	私は生命を操作する権利があるのか？（2）——「生きるに値する命」とは何か？	「生きるに値する命」といった評価をおこなう可能性について考える。
第6回	私は生命を操作する権利があるのか？（3）——動物倫理学	シンガーの「動物解放論」について解説する。

第7回	私は生命を操作する権利があるのか？（4）——動物倫理学	動物倫理学と環境倫理学との関係について解説する。
第8回	人間の責任はどこまで及ぶのか？（1）——責任という原理（ヨナス）	ヨナスの責任概念を中心に相互性の問題について考える。
第9回	人間の責任はどこまで及ぶのか？（2）——科学技術の倫理	科学技術の発展がもたらす倫理問題を考える。
第10回	人間の責任はどこまで及ぶのか？（3）——世代間倫理	世代内倫理に対する世代間倫理について解説する。
第11回	環境は保護しなければならないのか？（1）——環境倫理学とは何か？	世代間倫理としての環境倫理学について解説する。
第12回	環境は保護しなければならないのか？（2）——持続可能な社会とは何か？	「持続可能性」という概念について倫理的な観点から考える。
第13回	環境は保護しなければならないのか？（3）——21世紀の倫理学に向けて	なぜ地球環境を保護しなければならないのか、その理由を考える。
第14回	まとめ ※別途期末レポートを提出	これまでの授業全体を振り返り、理解を深める。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱った内容について、書籍やインターネット等を通じて、さらに理解を深め、自身の思索を深化させることが求められる。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

ベルンハルト・ヘルツル、フリードリッヒ・ミューレッカー、ハンス・ウーラッハ『哲学の問い 討議用』島崎隆監訳、晃洋書房、2002年
 加藤尚武『戦争倫理学』、ちくま新書、2003年
 加藤尚武『新・環境倫理学のすすめ』、丸善、2005年
 ハンス・ヨナス『責任という原理—科学技術文明のための倫理学の試み』、東信堂、2010年
 浅見昇吾、森永審一郎（編）『教養としての応用倫理学』、丸善出版、2013年
 など

【成績評価の方法と基準】

授業内小テスト（70％）期末レポート（30％）

【学生の意見等からの気づき】

受講生からの意見を授業に反映させるために、さらにリアクションペーパーの活用を工夫すること。

【Outline (in English)】

Applied ethics is ethics to deepen and apply theoretical knowledge to specific ethical problems occurring in reality. For this reason, in this class, we take up ethical issues arising from the crossing of various cultures based on diverse values in the global society, and consider differences of values with others with different cultures.

The goals of this course are to consider how we, who live in the present age, exist and live as one human being in a global society based on the relationship with social norms and to acquire practical knowledge to solve various ethical problems. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Short reports:70,Term-end examination:30.

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

倫理学 I

2017年度以降入学者

越部 良一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

倫理学を学ぶことは、単に教室の中で知識を得て、試験で高得点をとることで終わりではない。倫理学の知は、私たちが生きる場で試されるのであり、日常的な生活の中で生きていくことで磨かれていく。この授業は倫理的な問題を取り上げながら、社会のルールや規範と個人の価値観について、各学生がそれぞれの立場で考察できるように促す。

【到達目標】

この授業は、現代に生きる私たちが、日常的な社会の中で、一個の人間としてどのように存在し、どのように生きるかを社会的規範との関係に基づいて考察することを目的とする。その際に、様々な倫理的問題を探究する実践的な知を獲得することを目指す。前半は東西の古典的な倫理思想を取り上げ、後半は近現代の西洋倫理思想を取り上げて、倫理的な問題と思考を理解し説明できることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面授業である。講義形式で行い、思想家の言葉を見ながら、その意味を把握していくことを中心とする。質問等のフィードバックは授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	この授業の概要	シラバスおよびこの授業全体の概観と説明
第2回	倫理学とは何か	倫理学と他の学問。倫理学の根本問題、善、快楽、自己、共同体、超越者
第3回	人間とは何か？（1）	現に問うているのは誰か？ ソクラテスの「汝自身を知れ」、魂の善さ（徳）
第4回	人間とは何か？（2）	世界内存在としての私。ソクラテスの法と国家、死についての思索
第5回	人間とは何か？（3）	私は世界とどのように関わるのか？ 釈尊の四諦と自己
第6回	私は何をなすべきか？（1）	孔子の仁と学
第7回	私は何をなすべきか？（2）	孔子の「天命を知る」
第8回	私は何をなすべきか？（3）	絶対的な善とは何か？ 福音書におけるイエスの思想
第9回	私は何をなすべきか？（4）	アリストテレス倫理学、「中庸」の思想
第10回	私は自分の義務をなすべきか？（1）	カント倫理学①「道徳法則」
第11回	私は自分の義務をなすべきか？（2）	カント倫理学② 自由とは何か？

第12回 私は自分の義務をなすべきか？（3） 功利主義（ベンサム、ミル）

第13回 私は法になかったことをなすべきか？ 社会契約論、共同体主義

第14回 授業のまとめ まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で配布するプリントをよく読み込むこと。また授業で取り上げる著作（西洋のものは翻訳でよい）に少しでも目を通すことが望ましい。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキスト（教科書）は使用しない。適宜、プリントを配布する。

【参考書】

授業中に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（40％くらい）と期末の筆記試験（60％くらい）の2つにより評価する予定である。

期末の筆記試験は、最終授業内で教室で行う予定である。ただし、状況によっては変更することもありえるので、6月下旬頃の授業でのアナウンスに注意しておいてほしい。

【学生の意見等からの気づき】

古典的な倫理思想はただ古いだけでなく、現代に生きているものであることに注意しながら見ていく。

【Outline (in English)】

This course deals with the basic questions and thoughts of ethics. It also enhances the development of students' skill in considering social rules and morals. The goals of this course are to understand and explain ethical issues and thinking. The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. Grades will be evaluated based on two points: a normal score (about 40%) and a written test at the end of the semester (about 60%).

PHL100LA (哲学/Philosophy 100)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

越部 良一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

応用倫理学は、現実の中で起こる具体的な倫理的問題に対して、理論的な知をさらに深め、応用していくための倫理学である。この授業は、その中でも主に生命倫理学と環境倫理学を取り上げて、科学技術の進展と多様な価値観に基づく諸文化が交雑する現代世界の中で生れてきた倫理的な問題を見やりながら、文化や価値観を異にする他者との相違のうちにあって、各学生がそれぞれの立場で倫理的問題を考察できるように促す。

【到達目標】

この授業は、現代に生きる私たちが、グローバルな社会の中で、一個の人間としてどのように存在し、どのように生きるかを社会的規範との関係に基づいて考察することを目的とする。その際に、様々な倫理的問題を解決する実践的な知を獲得することを目指す。特に、この授業はいわゆる「応用倫理学（applied ethics）」と呼ばれる分野の「生命倫理」「環境倫理」を主に学ぶことで、倫理学Ⅰで学んだ倫理学の基礎を、現実的なテーマのもとで応用していくという点で、より実践的な倫理学であるといえよう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面授業である。講義形式で行う。質問等のフィードバックは授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	この授業の概要	シラバス及びこの授業全体の概観と説明
第2回	応用倫理学とは何か	倫理学と応用倫理学、生命倫理学、環境倫理学
第3回	私は生命を操作する権利があるのか？	「生きるに値する命」とは何か？ 生命倫理学の基本概念
第4回	私は生命を操作する権利があるのか？	科学技術と倫理 脳死と臓器移植の問題① 「脳死」とは何か
第5回	私は生命を操作する権利があるのか？	脳死と臓器移植の問題② 脳死と臓器移植への思想的批判
第6回	私は生命を操作する権利があるのか？	person（人格、人間）とは何か？ エンゲルハートの生命倫理学
第7回	環境は保護しなければならないのか？	環境倫理学とは何か？ 環境倫理学の根本問題
第8回	環境は保護しなければならないのか？	動物倫理学 動物の権利と土地倫理。「権利」とは何か？
第9回	環境は保護しなければならないのか？	21世紀の倫理学に向けて 桑子敏雄の「空間の履歴」

第10回	環境は保護しなければならないのか？	持続可能な社会とは何か？ 大量消費社会批判（アレント、佐伯啓思）
第11回	人間の責任はどこまで及ぶのか？（1）	世代間倫理（フレチェット）
第12回	人間の責任はどこまで及ぶのか？（2）	責任という原理（ヨナス）
第13回	何が暴力を抑止するのか？	暴力、戦争と倫理学
第14回	授業のまとめ	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で取り上げる著作（西洋のものは翻訳でよい）に少しでも目を通すこと。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。

【参考書】

授業中に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（40％くらい）と期末の筆記試験（60％くらい）の2つにより評価する予定である。

期末の筆記試験は、最終授業内で教室で行う予定である。ただし、状況によっては変更することもありえるので、12月はじめ頃の授業でのアナウンスに注意しておいてほしい。

【学生の意見等からの気づき】

生命倫理学、環境倫理学は新しい学問であり、かつ欧米の現代倫理学の影響が強くみられる倫理となっていることに注意しながら講義していくつもりである。

【Outline (in English)】

This course deals with the applied ethics, especially with bioethics and environmental ethics. It enhances the development of students' skill in considering various ethical issues. The goals of this course are to understand and explain ethical issues and thinking. The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. Grades will be evaluated based on two points: a normal score (about 40%) and a written test at the end of the semester (about 60%).

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

論理学 I

2017年度以降入学者

大西 正人

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

論理学は正しい思考の形式の研究と定義されている。わざわざ「正しい」とついているのは、そもそもなぜ思考というもの成り立っているのか知りたいという哲学的な関心もあるからである。思考を研究してみてもわかることは、思考が、初めばらばらに現れていた世界の根底に本質的な統一を見出しそれらを結合しまとめる作業だということである。だからうまく考えることができると世界はまとまりがついてすっきりする。「わかった！」というときのあの感覚である。逆にうまく考えられないことを考えが「まとまらない」と言うのもそのためである。考えられるとは、まとまること・すっきりすることである。私たちはすっきりしたいから正しく考えられるようになりたいと願う。論理学はその手助けをする。それにより学生は思考や他者との議論が成り立つためのかなめの点、つまり論理というものがあるのを理解できるようになる。論理学は学生が他者との間に議論を理性的に組み立てていく作業に積極的に加わることができるようになることを目指す。

特にこの論理学 I では、アリストテレス以来の伝統的な形式論理学に焦点を当てる。

【到達目標】

本講義の到達目標は、受講生が、①論理的思考の練習ができるようにし、②さらになぜ私たちはものを考えることのできる「ひと」でありえているのか、思考そのものの成り立ちに対する洞察を通して人間理解を深められるようにすることである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で進めながら、適宜、教科書の問題を解いてみる。授業後にグーグルフォーム上の小テストを行う。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムやグーグルフォームテストを通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	論理学とは？
2	論理学の原理	アイデンティティとは何か
3	概念(1)	概念とは何かー内包と外延、類と種
4	概念(2)	概念の定義
5	概念(3)	ロジックツリー ロジックツリーを使って実戦的問題を解決する方法
6	判断(1)	判断とは何か
7	判断(2)	判断の分類
8	判断(3)	オイラーの図形、周延と不周延
9	判断(4)	オイラーの図形を使った問題
10	推理(1)	推理とは何か 演繹と帰納、アナロジー
11	推理(2)	対当推理
12	推理(3)	変形推理
13	推理(4)	三段論法の形式

14 推理(5)

定言三段論法の格式と規則

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

予習は、事前に教科書の次の章を読む。

復習は、前回のグーグルフォーム上の小テストの模範解答をチェックしてから授業で解答が示された教科書の問題を解きなおすこと。そのうえで今回のグーグルフォーム上の小テストを受けること。

【テキスト（教科書）】

論理学入門／千葉茂美 東千尋 若山玄芳／学陽書房 ISBN-313-35005-5

【参考書】

授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

原則、授業後に行われる上記小テストの合計点100%で評価。

【学生の意見等からの気づき】

毎回行っている前回小テストの解説を工夫し、これまでの復習や定着がより効率的にできるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

上記グーグルフォーム上の小テストを受けるためのデバイス。PCが望ましい。

【Outline (in English)】

Logic is defined as researching the form of correct thinking. It is because there is a philosophical interest in knowing why thought is established in the first place. What you can understand by studying thinking is that thinking is a task of finding unity in the world that appeared separately at first and combining the world. So if you can think well, the world will be clean and refreshing. That feeling at the time "I understood!" On the contrary, when you can not think well, you will say "I can not put together my idea." To think is to make it clear and to be clear. Since we want to be clear, we hope to be able to think right. Logic will help that.

In particular, this logic I focuses on traditional formal logic since Aristotle.

The purpose of this course is to be able to think logically and correctly.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading will be decided based on the total score of confirmation tests (100%).

PHL100LA (哲学/Philosophy 100)

論理学Ⅱ

2017年度以降入学者

大西 正人

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

論理学は正しい思考の形式の研究と定義されている。わざわざ「正しい」とついているのは、そもそもなぜ思考というもの成り立っているのか知りたいという哲学的な関心もあるからである。思考を研究してみてもわかることは、思考が、初めばらばらに現れていた世界の根底に本質的な統一を見出しそれらを結合しまとめる作業だということである。だからうまく考えることができる世界はまとまりがついてすっきりする。「わかった！」というときのあの感覚である。逆にうまく考えられないことを考えが「まとまらない」と言うのもそのためである。考えられるとは、まとまること・すっきりすることである。私たちはすっきりしたいから正しく考えられるようになりたいと願う。論理学はその手助けをする。それにより学生は思考や他者との議論が成り立つためのかなめの点、つまり論理というものがあつたの理解できるようになる。論理学は学生が他者との間に議論を理性的に組み立てていく作業に積極的に加わることができるようになることを目指す。

春学期の論理学Ⅰでは伝統的な形式論理学と呼ばれるものが主に扱われた。それに対してこの秋学期の論理学Ⅱでは、そうした伝統的な形式論理学の問題点や限界を乗り越えようとする近代以降の論理学の試みにも焦点を当てる。ただし、論理学Ⅰの受講を前提とせず独立にとれるように配慮する。

【到達目標】

本講義の到達目標は、受講生が、①論理的思考の練習ができるようにし、②さらになぜ私たちはものを考えることができる「ひと」でありえているのか、思考そのものの成り立ちに対する洞察を通して人間理解を深められるようにすることである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で進めながら、適宜、教科書の問題を解いてみる。授業後にグーグルフォーム上の小テストを行う。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムやグーグルフォームテストを通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	論理学への導入
2	三段論法(1)	三段論法の格式
3	三段論法(2)	正しい三段論法の規則
4	三段論法(3)	ペンの図形による三段論法の妥当性の判定
5	誤謬論	なぜ誤謬に陥るのか
6	帰納推理(1)	帰納推理とは何か
7	帰納推理(2)	ミルの帰納法
8	記号論理学(1)	記号論理学とは何か
9	記号論理学(2)	命題論理学
10	記号論理学(3)	命題の記号化と真理表、簡単な思考装置の設計
11	記号論理学(4)	結合記号の相互関係
12	記号論理学(5)	恒真命題

13 記号論理学(6) 公理主義体系

14 記号論理学(7) 限量論理学

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

予習は、事前に教科書の次の章を読む。

復習は、前回のグーグルフォーム上の小テストの模範解答をチェックしてから授業で解答が示された教科書の問題を解きなおすこと。そのうえで今回のグーグルフォーム上の小テストを受けること。

【テキスト（教科書）】

論理学入門／千葉茂美 東千尋 若山玄芳／学陽書房 ISBN-313-35005-5

【参考書】

授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

原則、授業後に行われる上記小テストの合計点100%で評価。

【学生の意見等からの気づき】

毎回行っている前回小テストの解説を工夫し、これまでの復習や定着がより効率的にできるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

上記グーグルフォーム上の小テストを受けるためのデバイス。PCが望ましい。

【Outline (in English)】

Logic is defined as researching the form of correct thinking. It is because there is a philosophical interest in knowing why thought is established in the first place. What you can understand by studying thinking is that thinking is a task of finding unity in the world that appeared separately at first and combining the world. So if you can think well, the world will be clean and refreshing. That feeling at the time "I understood!" On the contrary, when you can not think well, you will say "I can not put together my idea." To think is to make it clear and to be clear. Since we want to be clear, we hope to be able to think right. Logic will help that.

In Logic I, things called traditional formal logic were mainly dealt with. On the other hand, this Logic II also focuses on modern logic attempts to overcome the problems and limitations of such traditional formal logic. However, we will be able to take it independently without assuming that you take Logic I.

The purpose of this course is to be able to think logically and correctly.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading will be decided based on the total score of confirmation tests (100%).

PHL100LA (哲学/Philosophy 100)

論理学 I

2017年度以降入学者

鵜澤 和彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

論理学を学ぶことは、わたしたちが物事を理性的に考えて、行動するための基礎を身につけることにほかなりません。その知識は、わたしたちが日常生活で出会うさまざまな問題の解決に役立ち、また、社会人として備えるべき就業力にもつながります。論理学Ⅰの授業は、アリストテレスに由来する伝統的論理学を学び、正しい推論を見極める能力を身につけることを目的とします。

【到達目標】

- ①正しい推理のための基礎的な知識を得ることができる。たとえば、オイラーの図をイメージして、概念間の関係を適切に捉えることができるようになる。
- ②論理的に筋道を立てて冷静に考える態度を身につけることができる。たとえば、直接推理や間接推理（三段論法）の規則を使って、正しい推論を行うことができるようになる。
- ③論理的なコミュニケーション能力を習得できる。具体的には、相手が詭弁を弄してきた際に、その論理的な誤謬を指摘し、反論することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は対面の形式で行われます。学習支援システムHoppiiを通じて、パワーポイント原稿、授業資料、課題を提供します。課題は理解を確認する目的で行われます。受講生は課題に答え、それを送信してください。課題等の提出・フィードバックはHoppiiを通じて行われます。出席、質問、感想は、Google Formを通じて提出してもらいます。質問は次回の授業時にお答えします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業全体のガイダンスと思考の基礎	春学期講義全体（教員紹介、授業のテーマ、到達目標、方法、成績評価基準）、思考の3原則（同一律、矛盾律、排中律）
2	知識の成り立ち	概念、内包と外延、上位と下位、類と種、普遍と特殊、種差と定義、区別と分類、定義とその種類
3	1.判断・命題、2.オイラーの図、3.命題の標準形式化	判断・命題の定義、定言命題の4種類（全称肯定、全称否定、特称肯定、特称否定）、概念の周延と不周延、オイラーの図、命題の標準形式化
4	1.推理の定義と分類、2.対当推理	推理の概念、演繹推理と蓋然推理、直接推理と間接推理、真偽と妥当・非妥当、対当推理（矛盾、反対、大小、小反対）
5	変形推理（1.換質法、2.换位法、3.換質换位法、4.戻換法）	換質法、换位法、换位不可能な命題、換質换位法、戻換法、直接推理の有用性

6	課題プリント（第1回から第5回）の解答と解説、三段論法定言三段論法の規則	課題プリント（第1回から第5回）の解答と解説、三段論法の概念、種類、定言三段論法三段論法の導入、三つの一般原則、六つの規則と三つの派生規則
7	定言三段論法の判定、誤謬判定の練習問題、妥当性の判定の練習問題	誤謬判定の練習問題（設問1から設問6）、妥当性の判定の練習問題（設問8から11）
8	定言三段論法の格と式	定言三段論法の格（第1格、第2格、第3格、第4格）、定言三段論法の式、全体及び皆無の原理（第1格）、差異の原理（第2格）、用例の原理（第3格）、逆の原理（第4格）
9	練習問題、仮言三段論法	練習問題の解答と解説、仮言三段論法の概念、種類、肯定式、否定式、妥当な混合仮言三段論法、純粋仮言三段論法（第1格から第4格）
10	仮言三段論法の復習と練習問題、選言三段論法	前件否定の誤謬、後件肯定の誤謬、選言三段論法の概念と種類（肯定否定式、否定肯定式）、選言三段論法の規則とその違反
11	両刀論法（ディレンマ）、規則、詭弁的両刀論法に対する反論	両刀論法の概念と分類（単純構成的、単純破壊的、複合構成的、複合破壊的両刀論法）、両刀論法の規則、詭弁的両刀論法に対する反論
12	両刀論法、仮言・選言三段論法の練習問題	両刀論法の練習問題、教科書の練習問題、仮言三段論法の練習問題、選言三段論法の練習問題
13	課題プリントの復習と授業全体のまとめ	課題プリントの復習と授業全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：テキストの関連箇所を一読し、全体の概要を把握する（2時間）。復習：前回の授業内容をテキストやプリントを用いて復習し、論理学の知識を確実に習得する。また、課題を解き、Hoppiiを使って課題を提出する（2時間）。

【テキスト（教科書）】

大貫義久・白根裕里枝・菅沢龍文・中釜浩一著『改訂版 論理学の初歩』梓出版社、2013年、2,100円。本教科書はオンデマンド出版となりますので、三省堂書店法政大学売店で購入できます。大学生協書籍部教科書コーナーではありませんから、間違えないでください。学生は現金会計10%引きでご購入いただけます。

【参考書】

①『論理哲学入門』E.トゥーゲントハット、U.ヴォルフ著、鈴木、石川訳、ちくま学芸文庫

【成績評価の方法と基準】

①平常点（参加姿勢、課題の評価など）、②春学期試験の点数。①と②とをそれぞれ50%の割合で総合評価する。課題と筆記試験は、授業で示した方法に従って評価します。具体的には、到達目標で示された①オイラーの図によって概念間の関係が正しく把握されているかどうか（30%）、②推論の規則が正確に理解されているかどうか（40%）、③相手の詭弁を適切に指摘し、反論することができるかどうか、という基準に従って評価されます（30%）。

【学生の意見等からの気づき】

教科書以外の学習教材は、すべて学習支援システムHoppiiにアップロードされていますので、病気などで欠席された方は、このシステムを活用して、自習してください。

【学生が準備すべき機器他】

授業時そして予習や復習の際にも、学習支援システムHoppiiを利用するため、インターネット、パソコンあるいはノートブックを使用します。

【Outline (in English)】

The study of logic is fundamental to our ability to think and act rationally. Defining objects and concepts in question helps us understand and solve various problems we encounter in daily life. Furthermore, the ability to discern valid inferences forms the foundation of critical thinking. The purpose of this course is to develop mastery of traditional logic—its concepts, judgments, and reasoning—using ordinary language. **Goals:**

① Students will acquire fundamental knowledge necessary for logical reasoning. ② Students will cultivate a habit of thinking logically and calmly. For example, they will be able to apply the rules of direct and indirect reasoning to draw correct inferences. ③ Students will develop the ability to communicate logically.

Homework: Read the relevant sections of the textbook to gain an overview (2 hours). Review the previous class content using handouts to reinforce understanding of logic (2 hours).

Grading Criteria: Class performance (participation, assignments, etc.). Spring semester exam scores. Each component (1) and (2) will account for 50% of the final grade.

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

論理学Ⅱ

2017年度以降入学者

鵜澤 和彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

論理学を学ぶことは、わたしたちが物事を理性的に考えて、行動するための基礎を身につけることにほかなりません。その知識は、わたしたちが日常生活で出会うさまざまな問題を解決することに役立ち、また、社会人として備えるべき就業力にもつながります。論理学Ⅱの授業は、科学的思考、認識、歴史に関する論理のほか、現代の記号論理学（命題論理学）の習得を目的とします。

【到達目標】

- ①科学、認識、歴史のテーマに関して論理的に考えることができる。
- ②真理表や帰謬法を用いて推論の真偽を判定することができる。
- ③仮説構築力・文書構成力・説得力に関する就業力を身につけることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は対面の形式で行われます。学習支援システム Hoppii を通じて、パワーポイント原稿、授業資料、課題が提供されます。課題は理解を確認する目的で行われます。受講生は、課題に答え、それを送信してください。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行われます。出席、質問、感想は、Google Form を通じて提出してもらいます。質問は、次の週の授業でお答えします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション およびF・ベーコンの帰納法	秋学期セメスターの授業内容、授業の進め方など、F・ベーコンの帰納法論理（イドラ論と四つの表）
第2回	J・S・ミルの帰納法	ミルの論理学的体系、一致法、差異法、一致差異併用法、剰余法、自然の斉一性の原理、ベーコンとミルの帰納法の共通点と相違点
第3回	デカルトとライプニッツの演繹法	デカルト（明晰判明な認識、直観および演繹の確実性）、ライプニッツ（定義論、結合法、根拠律）、両者の共通点と相違点
第4回	アンチノミーと弁証法	カントの超越論的論理（超越論的論理、分析論と弁証論、アンチノミー）、ヘーゲルの弁証法論理
第5回	文（命題）の真偽および論理的結合	文の真偽、論理的結合詞、真理関数、複合命題の真理値、否定
第6回	文の論理的結合	連言、両立的選言、排他的選言、条件（含意）、等値、ブール代数の考え方
第7回	文と文の論理的関係の具体相	同一命題の連言、同一命題の両立的選言、同一命題の排反的選言、論理代数のまとめ

第8回	つねに真である文と真理表	恒真命題。命題の恒真性を真理表で知る。テキストの問題を解く。
第9回	つねに真である文	テキストおよびプリントの問題を解く。
第10回	三段論法（推理）の妥当性	三段論法（推論）の妥当性。テキストの問題を解く。帰謬法の導入
第11回	帰謬法の概念	教科書およびその他の練習問題を解く。
第12回	帰謬法の練習	プリントなどの練習問題、帰謬法を用いた推論の妥当性の検証
第13回	帰謬法のまとめ	プリント及び教科書の問題を解く。対偶律、両刀論法
第14回	授業全体のまとめ	模擬試験を行い、その解答解説を通じて、本授業の内容をまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：テキストの関連箇所を一読し、全体の概要を把握する（2時間）。
復習：前回の授業内容をテキストやプリントを用いて復習し、論理学の知識を確実に習得する。また、課題を解き、Hoppii を使って課題を提出する（2時間）。

【テキスト（教科書）】

大貫義久・白根裕里枝・菅沢龍文・中金浩一著『改訂版 論理学の初歩』梓出版社、2013年、2,100円。本教科書はオンデマンド出版となりますので、三省堂書店法政大学売店で購入できます。大学生協書籍部教科書コーナーではありませんので、間違えないでください。学生は現金会計10%引きでご購入いただけます。

【参考書】

①『論理哲学入門』E. トゥーゲントハット、U. ヴォルフ著、鈴木、石川訳、ちくま学芸文庫

【成績評価の方法と基準】

①平常点（参加姿勢、課題の評価など）、②秋学期試験の点数。①と②とをそれぞれ50%の割合で総合評価する。課題と筆記試験は、授業で示した方法に従って評価します。具体的には①授業内容が正しく把握されているかどうか（30%）、②学習した規則を使って問題を解くことができるかどうか（40%）、③期限内に課題を提出できているかどうか、という基準に従って評価されます（30%）。

【学生の意見等からの気づき】

教科書以外のすべての授業資料は、すべて授業支援システム Hoppii にアップロードされていますので、病気などで欠席した方は、これを活用し、自習してください。

【学生が準備すべき機器他】

授業時そして予習や復習の際にも、学習支援システム Hoppii を利用するため、インターネット、パソコンあるいはノートブックを使用します。

【Outline (in English)】

Learning logic is fundamental to developing rational thinking and problem-solving skills. It equips us with the methods to approach and resolve various challenges we face in our daily lives. Moreover, logical thinking helps us function better in society by improving our decision-making abilities and overall cognitive performance. "Logic II" aims to acquire modern propositional logic and logic on science, cognition, and history. Goals: (1) Students can learn fundamental knowledge for thinking about science, cognition, and history. (2) Students can judge the truth or falsity of inferences using truth tables and reductio ad absurdum. Students can acquire working skills related to hypothesis building, document construction, and persuasion. Homework: Please read the relevant parts of the textbook to get an overview (2 hours). Review the contents of the previous class using the handouts to ensure that you have acquired the knowledge of logic (2 hours).

Grading criteria: (1) Ordinary points (attitude toward lecture, evaluation of assignments, etc.) and (2) Autumn semester exam scores. (1) and (2) will each be at a ratio of 50%.

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

論理学 I

2017年度以降入学者

計良 隆世

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

論理学は、正しく考えるとはどのように考えることか、即ち、思考の形式および法則を研究する学問です。

論理学 I では、古代ギリシャのアリストテレスに始まる伝統的論理学を学び、正しい思考を行うのに必要となる、論理学の基礎的かつ実践的な知識と技法とを習得します。

(論理学の知識と実践トレーニングは、本授業だけでは不十分です。秋学期の「論理学II」も必ず履修して下さい。)

【到達目標】

正しい思考・推理を行うための論理学上の基礎的知識（たとえば、論理学の基本的な規則・法則等）と実践的な推理の技法とを練習問題を通して習得し、論理的思考力を高めること、これがこの授業の目標です。具体的には、主に以下の事柄の習得を目指します：

1. 伝統的論理学における直接推理を学ぶことで、一つの文（命題）が何を意味し、何を意味していないかを明確に理解するための論理的な知識と技法とを習得する。

2. 伝統的論理学の間接推理の学習によって、妥当な（定言三段論法等の）推理と妥当でない推理とを見極めるための基本的・実践的な知識と技法とを習得する。

上記の目標を達成するために、授業中に多くの練習問題を出します。積極的に問題に取り組めば取り組むほど、目標達成の度合いも高まります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は基本的に講義形式です。学期中、単元終了ごとに、授業内容確認小テストを行います（3～4回程度実施予定。）

また、学期の後半、授業の理解度と論理的思考力を高めるため、授業中に多くの練習問題を出します。

課題（小テスト）等の提出・フィードバックは、「学習支援システム」を通じて行う予定。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序論	1. 論理学とはどのような学問か 2. 論理学の歴史的な展開（論理学史） 3. 演繹法と帰納法：両者の違い
第2回	思考の根本原則	1. 同一律 2. 矛盾律 3. 排中律 4. 非古典論理学（直観主義論理）
第3回	概念論	1. 概念の形成過程 2. 概念の外延と内包 3. アリストテレスの概念論 4. 概念の種類

第4回	判断論（命題論）1	1. 判断（命題）とは 2. 命題の種類 3. 定言命題 4. 命題の標準形式化 5. 練習問題
第5回	判断論（命題論）2	1. 周延の概念 2. 定言命題における主語概念と述語概念の外延的包摂関係 3. 定言命題において周延をもつ名辞
第6回	推理論：直接推理1	1. 対当関係による推理：矛盾対当・反対対当 2. 練習問題
第7回	推理論：直接推理2	1. 対当関係による推理：小反対対当・大小対当 2. 練習問題
第8回	推理論：直接推理3	1. 命題の変形による推理：換質法・换位法 2. 練習問題
第9回	推理論：直接推理4	1. 命題の変形による推理：換質换位法 2. 練習問題 3. 排他的命題の標準形式化
第10回	推理論：間接推理1（定言三段論法）	1. 間接推理（三段論法）の種類 2. 定言三段論法を構成する三命題と三名辞 3. 定言三段論法の格と式
第11回	推理論：間接推理2（定言三段論法）	1. 妥当な定言三段論法の見分け方 2. 練習問題（初級）
第12回	推理論：間接推理3（定言三段論法・仮言三段論法）	1. 練習問題（中級） 2. 仮言命題（条件文）について 3. 純粋仮言三段論法 4. 練習問題
第13回	推理論：間接推理4（仮言三段論法）	1. 混合仮言三段論法：前件肯定式・後件否定式 2. 練習問題
第14回	授業内試験・まとめ	筆記試験 まとめ・解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

準備学習：参考書の該当箇所を良く読む。

復習：前回授業内容の確認。参考書の練習問題を解く。授業内容確認小テストに回答する。（特に復習は必ずしっかり行ってください。）

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。資料等はプリントで配布します。

【参考書】

大貫義久・白根裕里枝・菅沢龍文・中釜浩一著『改訂版 論理学の初歩』、梓出版社、2013年

その他は、必要に応じて授業内に指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末の授業内筆記試験の成績(65%)、授業内容確認小テストの成績(25%)、平常点(10%)により評価します。

学期末の授業内筆記試験においては、「到達目標」に記した事柄の理解度をためす問題を出す予定。

成績評価方法として主なる筆記試験の採点基準は、授業中に指示した仕方で作成しているか、そして論理的に正しい答えを導いているかによります。

【学生の意見等からの気づき】

「論理学を学ぶのは初めてだったけど、思っていたより楽しかった」という感想をもらいました。論理学は自分で問題が解けるようになると楽しくなる科目です。問題の解き方・解説は丁寧に行いますので、練習問題に積極的に取り組みましょう。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン（学習支援システムを利用するため）

【その他の重要事項】

春学期の「論理学I」だけでは、論理学の知識もトレーニングも不十分となりますので、秋学期の「論理学II」も必ず履修して下さい。

【Outline (in English)】

This is a course to learn Western traditional logic, especially categorical and hypothetical syllogisms.

The main aim of this course is to help students acquire the basic knowledge and skills needed to make valid syllogistic inferences.

By the end of the course, students should be able to understand the followings:

1. The inferences by using the relationship summed up in the square of opposition.
2. The operations on categorical propositions, e.g., obversion, conversion and contraposition.
3. The rules for testing the validity of categorical syllogisms.
4. The valid and invalid forms of hypothetical syllogisms.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (65%). Short reports (25%) and Contribution in class (10%).

PHL100LA (哲学/Philosophy 100)

論理学Ⅱ

2017年度以降入学者

計良 隆世

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

論理学Ⅱでは、まず学期前半において、伝統的論理学における仮言三段論法・選言三段論法・両刀論法（ディレンマ）という3つの間接推理と現代論理学（命題論理学）の基礎を学びます。つぎに学期後半において、演繹的推理に関するクリティカル・シンキング系の論理トレーニングを行います。

前半・後半の両学習を通して、正しい思考・推理を行うのに必要となる、論理学の基礎的かつ実践的な知識と技法の習得を目指します。（本授業、特に学期後半の論理トレーニングは、春学期の「論理学Ⅰ」の学習内容を前提としていますので、「論理学Ⅰ」からの履修を強く勧めます。）

【到達目標】

春学期の論理学Ⅰと同様、正しい思考・推理を行うための論理学上の基礎的知識（たとえば、論理学の基本的な規則・法則等）と実践的な推理の技法とを練習問題を通して習得し、論理的思考力を高めることが、この授業の目標です。具体的には、主に以下の事柄の理解・習得を目指します：

1. 伝統的論理学の間接推理の学習によって、妥当な仮言三段論法等の推理と妥当でない推理とを見極めるための論理的な知識と技法とを習得する。
2. 現代論理学については、否定・連言・選言・条件・同値といった論理的結合子の定義の理解、命題の真・偽を考えることによる真理値表の作成、命題文の記号化など、命題論理学の基礎を習得する。
3. 伝統的論理学と命題論理学における演繹的推理の知識を身に付けた上で、日常言語による論理的思考を鍛えるために、クリティカル・シンキング系の論理トレーニングを行い、演繹的論証の基本技術を習得する。

上記の目標を達成するために、授業中内に多くの練習問題を出します。積極的に問題に取り組みは取り組むほど、目標達成の度合いも高まります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は基本的に講義形式で行います。授業の理解度と論理的思考力を高めるために、授業中に多くの練習問題を出します。また、課題（宿題）を出すこともあります。

授業の進め方：学期前半は、伝統的論理学における仮言三段論法・選言三段論法・両刀論法（ディレンマ）の学習を行った後、現代論理学（命題論理学）に入ります。

命題論理学の学習では、論理語の学習から始めて、真理値表の作成・日常文の記号化そしてトートロジーと推論までを学びます。そして学習後、第1回目の小テストを行います。

学期後半は、クリティカル・シンキング系の論理トレーニングを通して、演繹的論証の基本技術を順々に学び、学期末に二回目の小テストを行います。

課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序論(1)：復習	1. 仮言命題（条件文）：逆・裏・対偶 2. 仮言三段論法：前件肯定式・後件否定式
第2回	序論(2)	1. 選言三段論法 2. 両刀論法
第3回	命題論理学(1)	1. 論理語についての説明 2. 十分条件と必要条件 3. 真理値表を作ってみる
第4回	命題論理学(2)	1. カッコの省略 2. 練習問題
第5回	命題論理学(3)	1. 日常文を記号化してみる 2. 練習問題
第6回	命題論理学(4)	1. 真理関数と真理値分析 2. 練習問題
第7回	命題論理学(5)	1. 整合的な式・矛盾的な式・トートロジーとは何か 2. トートロジーと推論 3. 練習問題
第8回	論理トレーニング(1)	1. 小テスト（筆記試験） 2. 意味論と構文論
第9回	論理トレーニング(2)	1. 否定・反対 2. ド・モルガンの法則 3. 練習問題
第10回	論理トレーニング(3)	1. 「すべて」と「存在する」 2. 練習問題
第11回	論理トレーニング(4)	1. 逆・裏・対偶 2. 練習問題
第12回	論理トレーニング(5)	1. 条件連鎖 2. 練習問題
第13回	論理トレーニング(6)	1. 存在文の扱い方 2. 消去法 3. 練習問題
第14回	授業内試験・まとめ	1. 背理法 2. 練習問題 小テスト（筆記試験） まとめ・解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習と復習時間は、各2時間を標準とします。

準備学習：参考書の該当箇所を良く読む。

復習：前回授業内容の確認。課題（宿題）または参考書の練習問題を解く。

特に復習は必ずしっかり行ってください。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。資料等はプリントで配付します。

【参考書】

大貫義久・白根裕里枝・菅沢龍文・中釜浩一著『改訂版 論理学の初歩』、梓出版社、2013年

坂本百大・坂井秀寿共著『新版現代論理学』、東海大学出版会、1971年

野矢茂樹著『まったくゼロからの論理学』、岩波書店、2020年
その他は、必要に応じて授業内に指示します。

【成績評価の方法と基準】

中間小テスト成績（40％）と期末小テスト成績（40％）と平常点（20％）に基づき評価。2回の小テストでは、「到達目標」で記した事柄の理解度をためす問題を出す予定。

小テストの採点基準は、2回ともいづれも、授業中に指示した仕方で答案を作成しているか、そして論理的に正しい答えを導いているかによります。

【学生の意見等からの気づき】

「勉強した内容が就活にも役立ちました」「説明・解説がとても丁寧だった」という感想をもらいました。引き続き、説明は丁寧に行いますので、授業・練習問題に積極的に取り組んで下さい。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン（学習支援システムを利用するため）

【その他の重要事項】

春学期の「論理学I」からの履修を推奨します。

【Outline (in English)】

This is a course to learn propositional logic and critical thinking. The main aim of this course is to help students acquire the basic knowledge and skills needed to make valid deductive reasonings.

By the end of the course, students should be able to understand the followings:

1. The meaning of logical connectives, truth-value analysis and the forms of tautologies and so forth.
2. The application of the valid rules of inference such as De Morgan's laws and disjunction elimination.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term examination (40%), Term-end examination (40%) and Contribution in class (20%).

PHL100LA (哲学/Philosophy 100)

論理学 I

2017年度以降入学者

鵜澤 和彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

論理学を学ぶことは、わたしたちが物事を理性的に考えて、行動するための基礎を身につけることにほかなりません。その知識は、わたしたちが日常生活で出会うさまざまな問題の解決に役立ち、また、社会人として備えるべき就業力にもつながります。論理学Ⅰの授業は、アリストテレスに由来する伝統的論理学を学び、正しい推論を見極める能力を身につけることを目的とします。

【到達目標】

- ①正しい推理のための基礎的な知識を得ることができる。たとえば、オイラーの図をイメージして、概念間の関係を適切に捉えることができるようになる。
- ②論理的に筋道を立てて冷静に考える態度を身につけることができる。たとえば、直接推理や間接推理（三段論法）の規則を使って、正しい推論を行うことができるようになる。
- ③論理的なコミュニケーション能力を習得できる。具体的には、相手が詭弁を弄してきた際に、その論理的な誤謬を指摘し、反論することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は対面の形式で行われます。学習支援システムHoppiiを通じて、パワーポイント原稿、授業資料、課題を提供します。課題は理解を確認する目的で行われます。受講生は課題に答え、それを送信してください。課題等の提出・フィードバックはHoppiiを通じて行われます。出席、質問、感想は、Google Formを通じて提出してもらいます。質問は次回の授業時にお答えします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業全体のガイダンスと思考の基礎	春学期講義全体（教員紹介、授業のテーマ、到達目標、方法、成績評価基準）、思考の3原則（同一律、矛盾律、排中律）
2	知識の成り立ち	概念、内包と外延、上位と下位、類と種、普遍と特殊、種差と定義、区別と分類、定義とその種類
3	1.判断・命題、2.オイラーの図、3.命題の標準形式化	判断・命題の定義、定言命題の4種類（全称肯定、全称否定、特称肯定、特称否定）、概念の周延と不周延、オイラーの図、命題の標準形式化
4	1.推理の定義と分類、2.対当推理	推理の概念、演繹推理と蓋然推理、直接推理と間接推理、真偽と妥当・非妥当、対当推理（矛盾、反対、大小、小反対）
5	変形推理（1.換質法、2.换位法、3.換質换位法、4.戻換法）	換質法、换位法、换位不可能な命題、換質换位法、戻換法、直接推理の有用性

6	課題プリント（第1回から第5回）の解答と解説、三段論法	課題プリント（第1回から第5回）の解答と解説、三段論法の概念、種類、定言三段論法
7	定言三段論法の規則	三段論法の導入、三つの一般原則、六つの規則と三つの派生規則
8	定言三段論法の判定、誤謬判定の練習問題、妥当性の判定の練習問題	誤謬判定の練習問題（設問1から設問6）、妥当性の判定の練習問題（設問8から11）
9	定言三段論法の格と式	定言三段論法の格（第1格、第2格、第3格、第4格）、定言三段論法の式、全体及び皆無の原理（第1格）、差異の原理（第2格）、用例の原理（第3格）、逆の原理（第4格）
10	練習問題、仮言三段論法	練習問題の解答と解説、仮言三段論法の概念、種類、肯定式、否定式、妥当な混合仮言三段論法、純粋仮言三段論法（第1格から第4格）
11	仮言三段論法の復習と練習問題、選言三段論法	前件否定の誤謬、後件肯定の誤謬、選言三段論法の概念と種類（肯定否定式、否定肯定式）、選言三段論法の規則とその違反
12	両刀論法（ディレンマ）、規則、詭弁的両刀論法に対する反論	両刀論法の概念と分類（単純構成的、単純破壊的、複合構成的、複合破壊的両刀論法）、両刀論法の規則、詭弁的両刀論法に対する反論
13	両刀論法、仮言・選言三段論法の練習問題	両刀論法の練習問題、教科書の練習問題、仮言三段論法の練習問題、選言三段論法の練習問題
14	課題プリントの復習と授業全体のまとめ	課題プリントの復習と授業全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：テキストの関連箇所を一読し、全体の概要を把握する（2時間）。復習：前回の授業内容をテキストやプリントを用いて復習し、論理学の知識を確実に習得する。また、課題を解き、Hoppiiを使って課題を提出する（2時間）。

【テキスト（教科書）】

大貫義久・白根裕里枝・菅沢龍文・中釜浩一著『改訂版 論理学の初歩』梓出版社、2013年、2,100円）。本教科書はオンデマンド出版となりますので、三省堂書店法政大学売店で購入できます。大学生協書籍部教科書コーナーではありませんので、間違えないでください。学生は現金会計10%引きでご購入いただけます。

【参考書】

①『論理哲学入門』E.トゥーゲントハット、U.ヴォルフ著、鈴木、石川訳、ちくま学芸文庫

【成績評価の方法と基準】

①平常点（参加姿勢、課題の評価など）、②春学期試験の点数。①と②とをそれぞれ50%の割合で総合評価する。課題と筆記試験は、授業で示した方法に従って評価します。具体的には、到達目標で示された①オイラーの図によって概念間の関係が正しく把握されているかどうか（30%）、②推論の規則が正確に理解されているかどうか（40%）、③相手の詭弁を適切に指摘し、反論することができるかどうか、という基準に従って評価されます（30%）。

【学生の意見等からの気づき】

教科書以外の学習教材は、すべて学習支援システムHoppiiにアップロードされていますので、病気などで欠席された方は、このシステムを活用して、自習してください。

【学生が準備すべき機器他】

授業時そして予習や復習の際にも、学習支援システムHoppiiを利用するため、インターネット、パソコンあるいはノートブックを使用します。

【Outline (in English)】

The study of logic is fundamental to our ability to think and act rationally. Defining objects and concepts in question helps us understand and solve various problems we encounter in daily life. Furthermore, the ability to discern valid inferences forms the foundation of critical thinking. The purpose of this course is to develop mastery of traditional logic—its concepts, judgments, and reasoning—using ordinary language. **Goals:**

① Students will acquire fundamental knowledge necessary for logical reasoning. ② Students will cultivate a habit of thinking logically and calmly. For example, they will be able to apply the rules of direct and indirect reasoning to draw correct inferences. ③ Students will develop the ability to communicate logically.

Homework: Read the relevant sections of the textbook to gain an overview (2 hours). Review the previous class content using handouts to reinforce understanding of logic (2 hours).

Grading Criteria: Class performance (participation, assignments, etc.). Spring semester exam scores. Each component (1) and (2) will account for 50% of the final grade.

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

論理学Ⅱ

2017年度以降入学者

鵜澤 和彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

論理学を学ぶことは、わたしたちが物事を理性的に考えて、行動するための基礎を身につけることにほかなりません。その知識は、わたしたちが日常生活で出会うさまざまな問題を解決することに役立ち、また、社会人として備えるべき就業力にもつながります。論理学Ⅱの授業は、科学的思考、認識、歴史に関する論理のほか、現代の記号論理学（命題論理学）の習得を目的とします。

【到達目標】

- ①科学、認識、歴史のテーマに関して論理的に考えることができる。
- ②真理表や帰謬法を用いて推論の真偽を判定することができる。
- ③仮説構築力・文書構成力・説得力に関する就業力を身につけることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は対面の形式で行われます。学習支援システム Hoppii を通じて、パワーポイント原稿、授業資料、課題が提供されます。課題は理解を確認する目的で行われます。受講生は、課題に答え、それを送信してください。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行われます。出席、質問、感想は、Google Form を通じて提出してもらいます。質問は、次の週の授業でお答えします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション およびF・ペーコン の帰納法	秋学期セメスターの授業内容、 授業の進め方など、F・ペーコン の帰納法論理（イドラ論と四 つの表）
第2回	J・S・ミルの帰納 法	ミルの論理学的体系、一致法、差 異法、一致差異併用法、剰余法、 自然の斉一性の原理、ペーコン とミルの帰納法の共通点と相違 点
第3回	デカルトとライプ ニッツの演繹法	デカルト（明晰判明な認識、直 観および演繹の確実性）、ライプ ニッツ（定義論、結合法、根拠 律）、両者の共通点と相違点
第4回	アンチノミーと弁証 法	カントの超越論的論理（超越論 的論理、分析論と弁証論、アンチ ノミー）、ヘーゲルの弁証法論理
第5回	文（命題）の真偽お よび論理的結合	文の真偽、論理的結合詞、真理 関数、複合命題の真理値、否定
第6回	文の論理的結合	連言、両立的選言、排他的選言、 条件（含意）、等値、ブール代数 の考え方
第7回	文と文の論理的関係 の具体相	同一命題の連言、同一命題の両 立的選言、同一命題の排反的選 言、論理代数のまとめ

第8回	つねに真である文と 真理表	恒真命題。命題の恒真性を真理 表で知る。テキストの問題を解 く。
第9回	つねに真である文	テキストおよびプリントの問題 を解く。
第10回	三段論法（推理）の 妥当性	三段論法（推論）の妥当性。テ キストの問題を解く。帰謬法の 導入
第11回	帰謬法の概念	教科書およびその他の練習問題 を解く。
第12回	帰謬法の練習	プリントなどの練習問題、帰謬 法を用いた推論の妥当性の検証
第13回	帰謬法のまとめ	プリント及び教科書の問題を解 く。対偶律、両刀論法
第14回	授業全体のまとめ	模擬試験を行い、その解答解説 を通じて、本授業の内容をまと める。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：テキストの関連箇所を一読し、全体の概要を把握する（2時間）。
復習：前回の授業内容をテキストやプリントを用いて復習し、論理学の知識を確実に習得する。また、課題を解き、Hoppii を使って課題を提出する（2時間）。

【テキスト（教科書）】

大貫義久・白根裕里枝・菅沢龍文・中釜浩一著『改訂版 論理学の初歩』梓出版社、2013年、2,100円。本教科書はオンデマンド出版となりますので、三省堂書店法政大学売店で購入できます。大学生協書籍部教科書コーナーではありませんので、間違えないでください。学生は現金会計10%引きでご購入いただけます。

【参考書】

①『論理哲学入門』E.トゥーゲントハット、U.ヴォルフ著、鈴木、石川訳、ちくま学芸文庫

【成績評価の方法と基準】

①平常点（参加姿勢、課題の評価など）、②秋学期試験の点数。①と②とをそれぞれ50%の割合で総合評価する。課題と筆記試験は、授業で示した方法に従って評価します。具体的には①授業内容が正しく把握されているかどうか（30%）、②学習した規則を使って問題を解くことができるかどうか（40%）、③期限内に課題を提出できているかどうか、という基準に従って評価されます（30%）。

【学生の意見等からの気づき】

教科書以外のすべての授業資料は、すべて授業支援システム Hoppii にアップロードされていますので、病気などで欠席した方は、これを活用し、自習してください。

【学生が準備すべき機器他】

授業時そして予習や復習の際にも、学習支援システム Hoppii を利用するため、インターネット、パソコンあるいはノートブックを使用します。

【Outline (in English)】

Learning logic is fundamental to developing rational thinking and problem-solving skills. It equips us with the methods to approach and resolve various challenges we face in our daily lives. Moreover, logical thinking helps us function better in society by improving our decision-making abilities and overall cognitive performance. "Logic II" aims to acquire modern propositional logic and logic on science, cognition, and history. Goals: (1) Students can learn fundamental knowledge for thinking about science, cognition, and history. (2) Students can judge the truth or falsity of inferences using truth tables and reductio ad absurdum. Students can acquire working skills related to hypothesis building, document construction, and persuasion. Homework: Please read the relevant parts of the textbook to get an overview (2 hours). Review the contents of the previous class using the handouts to ensure that you have acquired the knowledge of logic (2 hours).

Grading criteria: (1) Ordinary points (attitude toward lecture, evaluation of assignments, etc.) and (2) Autumn semester exam scores. (1) and (2) will each be at a ratio of 50%.

PHL100LA (哲学/Philosophy 100)

論理学 I

2017年度以降入学者

大貫 義久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

私たち人間は自分の意思を言葉によって表現し、他の人に伝えることができます。しかしその際、誤解のないように自分の意思を正しく表現して伝えることが大切です。その正しく考え、表現する仕方を教えてくれるのが論理学です。私たちは普段から思考（推理）をしています。多くの場合、その推理は誤っています。この授業は、論理学を初めて学ぶ学生のために、「論理的」とはいかなることなのか、また、論理的に正しく思考し表現するためには、どのようにしたらよいのかということを、基礎から順に学んでいきます。そして最後に、日常の生活で正しくし思考し行動するためには、正しい知識（判断）と正しい論理（推理）の両方が必要であることを確認します。

【到達目標】

説明と練習問題によって、論理的に思考し表現する方法が実際に身につくようになることが、この授業の到達目標です。学期末試験は、正しく論理的に思考し表現する力が、身についたかどうかを見ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を基本とします。配布プリントと教科書を使い、基礎から、多くの例を挙げて、できる限り理解しやすく説明していきます。また、論理的な思考が身につくようにするために、演習として授業内で練習問題に取り組み、フィードバックとして問題の答え合わせと解説をし各自の理解度を確認してもらいます。下の授業計画には、見慣れない多くの論理学用語が出てきますが、恐れることはありません。それら論理学用語の丁寧な説明から始めていき、その理解の上に立って、正しく思考し、表現することを、順に学んでいきますから。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業ガイダンス	授業の内容、論理学への導入
第2回	論理学の根本原理について。	同一の原理、矛盾の原理、排中律の原理についての説明
第3回	概念について	概念の成り立ち、概念と判断についての説明
第4回	概念について	概念の内包と外延、概念の種類についての説明
第5回	区分と分類について	区分及び分類とは何か、区分の仕方、分類の仕方について
第6回	命題について	判断と命題、定言命題の種類、命題の記号化についての説明。
第7回	定言命題の4種類とオイラーの図について	定言命題のオイラーの図と、概念の周延・不周延の説明。
第8回	判断の命題化（標準形式化）	判断を命題の形にする方法について説明し、練習問題を解く。
第9回	推理及び演繹推理について	推理とは何か、命題の真偽と推理の妥当・非妥当等について。
第10回	演繹推理の直接推理について	矛盾・反対・大小・小反対のそれぞれの対当推理の説明。

第11回	命題の変形による直接推理について	換質法・換位法についての説明
第12回	命題の変形による直接推理について	換質換位法及び本格的な推理についての説明
第13回	練習問題で推理を身につけよう。	命題の変形による推理の練習問題を授業内で解き、その解説を行う。
第14回	授業内の学期末試験：まとめと解説	論理的な正しい思考ができるかどうかを見る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業時間外の学習は、授業の準備として教科書の該当箇所を予め読んでおいて下さい。学んだ内容については、その都度教科書で復習して理解度を確認し、次の授業の内容が理解できるようにしておいて下さい。学習時間は4時間、本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

以下のテキストを教科書として使用します。 大貫義久・他『改訂版 論理学の初歩』（梓出版社、2013年） アマゾンPOD及び大学内の三省堂書店で購入可能

【参考書】

参考文献については、授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20％）と学期末試験（80％：教科書・ノート・配布プリント持ち込み可）で決定します。平常点（20点）は各単元ごとの練習問題の取り組みを、学期末試験（80点）は、問題によって内容の理解度を見ます。できる限り出席し演習（練習問題）に取り組んで下さい。理解しやすいように工夫して説明していきます。

【学生の意見等からの気づき】

多くの学生が「わかりやすい授業だった」、「レジュメのプリントや問題演習もあってよかった。理解できると楽しかった」と書いてくれました。説明のスピードに配慮し、理解が進むよう授業を工夫します。論理学は、理解できるし、理解すれば、楽しくなります。

【Outline (in English)】

This course introduces the basics of the traditional formal logic to students taking this course. The aim of this course is to help students acquire an ability to think logically. Learning time outside of classroom is 4 hours: 2 hours each for preparation and review. Your final grade will be calculated according to the following process: usual performance score (20%), term-end examination (80%).

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

論理学Ⅱ

2017年度以降入学者

大貫 義久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、春学期の復習をした上で、「推理」の説明から始めます。特に「判断の変形による直接推理」を扱い、この推理が日常の曖昧な表現（言い方）を正確なものにするのに大いに役立つことを、丁寧に説明して行きます。

さらに、本格的な推理の三段論法に入り、正しい思考法を学びます。論理学は、正しく考えるということにおいて、これからの人生の様々な場面において役立ちます。正しい思考は正しい知識（判断）と正しい論理（推理）から可能になりますが、この授業では、その正しい論理について学びます。

本格的な論理である三段論法についても学び、最後に、現代論理学へと導きます。論理学は、分かってくると、学ぶことがとても楽しくなります。

【到達目標】

説明と練習問題によって、論理的に正しく思考し、表現する方法を実際に身につけることが、この授業の目標です。春学期よりも少し複雑な論理的思考（推理）を正しく行う方法を身につけます。試験では、複雑な論理的思考を正しく行うことができるかどうかを見ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を基本とします。配布プリントと教科書を使い、多くの例を挙げて、できる限り分かりやすく説明していきます。また、論理学的思考を実際に身につけてもらうために、演習として練習問題を授業内で解き、フィードバックとして問題の答え合わせと解説を各自で理解度を確認してもらいます。秋学期から初めて授業を受ける学生にも、春学期の復習をすることによって考慮します。安心して履修して下さい。出席すれば、理解が十分できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業ガイダンス	授業の目標や内容、授業の仕方、評価方法についての説明。秋学期の内容に進むにあたって必要な春学期内容の復習
第2回	演繹推理の直接推理について	判断の変形による直接推理:換質法・换位法についての説明
第3回	演繹推理の直接推理について（続き）	判断の変形による直接推理:練習問題の解法と説明
第4回	演繹推理の間接推理について	定言三段論法について、その構造と規則について学ぶ。
第5回	定言三段論法についてのさらなる説明	定言三段論法の格と正しい式についての説明
第6回	練習問題で推理を身につけよう。	定言三段論法の練習問題を授業内で解く。
第7回	仮言三段論法について	混合仮言三段論法、純粋仮言三段論法についての説明
第8回	選言三段論法について	選言三段論法（肯定式・否定式）についての説明

第9回	練習問題で推理を身につけよう。	仮言三段論法と選言三段論法の練習問題を授業内で解く。
第10回	両刀論法（ディレンマ）について	単純肯定的両刀論法、単純否定的両刀論法、複合肯定的両刀論法、複合否定的両刀論法についての説明
第11回	両刀論法と詭弁両刀論法について	詭弁両刀論法の反論について練習問題に取り組む。
第12回	現代論理学への導入	命題論理学と述語論理学について。特に命題論理学の説明
第13回	命題論理学の演習	問題の解答と説明
第14回	授業内の期末試験：まとめと解説	複雑な論理的思考が正しくできるかを見る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の準備として教科書の該当箇所を予め読んでおいて下さい。学んだ内容は、その都度教科書で復習して理解度を確認し、次の内容が理解できるようにしておいて下さい。学習時間は4時間、本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

以下のテキストを教科書として使用します。 大貫義久・他『改訂版 論理学の初歩』（梓出版社・2013年） アマゾンPOD及び大学内の三省堂書店で購入可能

【参考書】

参考文献については、授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20％）と学期末の授業内試験（80％：教科書・ノート・配布プリント持ち込み可）で決定します。できる限り授業に出席して下さい。理解しやすいように工夫して説明していきます。

【学生の意見等からの気づき】

授業については、多くの学生が「わかりやすかった」、「推理に興味を持てた」、「理解できると面白くなる」と書いてくれていました。内容をもっと理解しやすいものにするために、プリントと黒板を効率よく使って説明していきます。論理学は、理解でき、そして理解すれば、とても楽しくなる学びです。

【Outline (in English)】

This course introduces the basics of immediate inference to students taking this course. Then this course introduces syllogism to students. Lastly this course introduces symbolic logic to students taking this course. The aim of this course is to help students acquire an ability to think logically. Learning time outside of classroom is 4 hours : 2 hours each for preparation and review. Your final grade will be calculated according to the following process: usual performance score (20%) , term-end examination (80%) .

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

論理学 I

2017年度以降入学者

計良 隆世

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

論理学は、正しく考えるとはどのように考えることか、即ち、思考の形式および法則を研究する学問です。

論理学 I では、古代ギリシャのアリストテレスに始まる伝統的論理学を学び、正しい思考を行うのに必要となる、論理学の基礎的かつ実践的な知識と技法とを習得します。

(論理学の知識と実践トレーニングは、本授業だけでは不十分です。秋学期の「論理学II」も必ず履修して下さい。)

【到達目標】

正しい思考・推理を行うための論理学上の基礎的知識（たとえば、論理学の基本的な規則・法則等）と実践的な推理の技法とを練習問題を通して習得し、論理的思考力を高めること、これがこの授業の目標です。具体的には、主に以下の事柄の習得を目指します：

1. 伝統的論理学における直接推理を学ぶことで、一つの文（命題）が何を意味し、何を意味していないかを明確に理解するための論理的な知識と技法とを習得する。

2. 伝統的論理学の間接推理の学習によって、妥当な（定言三段論法等の）推理と妥当でない推理とを見極めるための基本的・実践的な知識と技法とを習得する。

上記の目標を達成するために、授業中に多くの練習問題を出します。積極的に問題に取り組めば取り組むほど、目標達成の度合いも高まります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は基本的に講義形式です。学期中、単元終了ごとに、授業内容確認小テストを行います（3～4回程度実施予定。）

また、学期の後半、授業の理解度と論理的思考力を高めるため、授業中に多くの練習問題を出します。

課題（小テスト）等の提出・フィードバックは、「学習支援システム」を通じて行う予定。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序論	1. 論理学とはどのような学問か 2. 論理学の歴史的な展開（論理学史） 3. 演繹法と帰納法：両者の違い
第2回	思考の根本原則	1. 同一律 2. 矛盾律 3. 排中律 4. 非古典論理学（直観主義論理）
第3回	概念論	1. 概念の形成過程 2. 概念の外延と内包 3. アリストテレスの概念論 4. 概念の種類

第4回	判断論（命題論）1	1. 判断（命題）とは 2. 命題の種類 3. 定言命題 4. 命題の標準形式化 5. 練習問題
第5回	判断論（命題論）2	1. 周延の概念 2. 定言命題における主語概念と述語概念の外延的包摂関係 3. 定言命題において周延をもつ名辞
第6回	推理論：直接推理1	1. 対当関係による推理：矛盾対当・反対対当 2. 練習問題
第7回	推理論：直接推理2	1. 対当関係による推理：小反対対当・大小対当 2. 練習問題
第8回	推理論：直接推理3	1. 命題の変形による推理：換質法・换位法 2. 練習問題
第9回	推理論：直接推理4	1. 命題の変形による推理：換質换位法 2. 練習問題 3. 排他的命題の標準形式化
第10回	推理論：間接推理1（定言三段論法）	1. 間接推理（三段論法）の種類 2. 定言三段論法を構成する三命題と三名辞 3. 定言三段論法の格と式
第11回	推理論：間接推理2（定言三段論法）	1. 妥当な定言三段論法の見分け方 2. 練習問題（初級）
第12回	推理論：間接推理3（定言三段論法・仮言三段論法）	1. 練習問題（中級） 2. 仮言命題（条件文）について 3. 純粹仮言三段論法 4. 練習問題
第13回	推理論：間接推理4（仮言三段論法）	1. 混合仮言三段論法：前件肯定式・後件否定式 2. 練習問題
第14回	授業内試験・まとめ	筆記試験 まとめ・解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

準備学習：参考書の該当箇所を良く読む。

復習：前回授業内容の確認。参考書の練習問題を解く。授業内容確認小テストに回答する。（特に復習は必ずしっかり行ってください。）

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。資料等はプリントで配布します。

【参考書】

大貫義久・白根裕里枝・菅沢龍文・中釜浩一著『改訂版 論理学の初歩』、梓出版社、2013年

その他は、必要に応じて授業内に指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末の授業内筆記試験の成績(65%)、授業内容確認小テストの成績(25%)、平常点(10%)により評価します。

学期末の授業内筆記試験においては、「到達目標」に記した事柄の理解度をためす問題を出す予定。

成績評価方法として主なる筆記試験の採点基準は、授業中に指示した仕方で作成しているか、そして論理的に正しい答えを導いているかによります。

【学生の意見等からの気づき】

「論理学を学ぶのは初めてだったけど、面白かった」「わかりやすい授業だった」という感想をもらいました。論理学は自分で問題が解けるようになると楽しくなる科目です。問題の解き方・解説は丁寧に行いますので、練習問題に積極的に取り組んでみてください。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン（学習支援システムを利用するため）

【その他の重要事項】

春学期の「論理学I」だけでは、論理学の知識もトレーニングも不十分となりますので、秋学期の「論理学II」も必ず履修して下さい。

【Outline (in English)】

This is a course to learn Western traditional logic, especially categorical and hypothetical syllogisms.

The main aim of this course is to help students acquire the basic knowledge and skills needed to make valid syllogistic inferences.

By the end of the course, students should be able to understand the followings:

1. The inferences by using the relationship summed up in the square of opposition.
2. The operations on categorical propositions, e.g., obversion, conversion and contraposition.
3. The rules for testing the validity of categorical syllogisms.
4. The valid and invalid forms of hypothetical syllogisms.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (65%). Short reports (25%) and Contribution in class (10%).

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

論理学Ⅱ

2017年度以降入学者

計良 隆世

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

論理学Ⅱでは、まず学期前半において、伝統的論理学における仮言三段論法・選言三段論法・両刀論法（ディレンマ）という3つの間接推理と現代論理学（命題論理学）の基礎を学びます。つぎに学期後半において、演繹的推理に関するクリティカル・シンキング系の論理トレーニングを行います。

前半・後半の両学習を通して、正しい思考・推理を行うのに必要となる、論理学の基礎的かつ実践的な知識と技法の習得を目指します。（本授業、特に学期後半の論理トレーニングは、春学期の「論理学Ⅰ」の学習内容を前提としていますので、「論理学Ⅰ」からの履修を強く勧めます。）

【到達目標】

春学期の論理学Ⅰと同様、正しい思考・推理を行うための論理学上の基礎的知識（たとえば、論理学の基本的な規則・法則等）と実践的な推理の技法とを練習問題を通して習得し、論理的思考力を高めることが、この授業の目標です。具体的には、主に以下の事柄の理解・習得を目指します：

1. 伝統的論理学の間接推理の学習によって、妥当な仮言三段論法等の推理と妥当でない推理とを見極めるための論理的な知識と技法とを習得する。
2. 現代論理学については、否定・連言・選言・条件・同値といった論理的結合子の定義の理解、命題の真・偽を考えることによる真理値表の作成、命題文の記号化など、命題論理学の基礎を習得する。
3. 伝統的論理学と命題論理学における演繹的推理の知識を身に付けた上で、日常言語による論理的思考を鍛えるために、クリティカル・シンキング系の論理トレーニングを行い、演繹的論証の基本技術を習得する。

上記の目標を達成するために、授業中内に多くの練習問題を出します。積極的に問題に取り組みは取り組むほど、目標達成の度合いも高まります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は基本的に講義形式で行います。授業の理解度と論理的思考力を高めるために、授業中に多くの練習問題を出します。また、課題（宿題）を出すこともあります。

授業の進め方：学期前半は、伝統的論理学における仮言三段論法・選言三段論法・両刀論法（ディレンマ）の学習を行った後、現代論理学（命題論理学）に入ります。

命題論理学の学習では、論理語の学習から始めて、真理値表の作成・日常文の記号化そしてトートロジーと推論までを学びます。そして学習後、第1回目の小テストを行います。

学期後半は、クリティカル・シンキング系の論理トレーニングを通して、演繹的論証の基本技術を順々に学び、学期末に二回目の小テストを行います。

課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序論(1)：復習	1. 仮言命題（条件文）：逆・裏・対偶 2. 仮言三段論法：前件肯定式・後件否定式
第2回	序論(2)	1. 選言三段論法 2. 両刀論法
第3回	命題論理学(1)	1. 論理語についての説明 2. 十分条件と必要条件 3. 真理値表を作ってみる
第4回	命題論理学(2)	1. カッコの省略 2. 練習問題 1. 日常文を記号化してみる 2. 練習問題
第5回	命題論理学(3)	1. 真理関数と真理値分析 2. 練習問題
第6回	命題論理学(4)	1. 整合的な式・矛盾的な式・トートロジーとは何か 2. トートロジーと推論 3. 練習問題
第7回	命題論理学(5)	1. 小テスト（筆記試験） 2. 意味論と構文論
第8回	論理トレーニング(1)	1. 否定・反対 2. ド・モルガンの法則 3. 練習問題
第9回	論理トレーニング(2)	1. 「すべて」と「存在する」 2. 練習問題
第10回	論理トレーニング(3)	1. 逆・裏・対偶 2. 練習問題
第11回	論理トレーニング(4)	1. 条件連鎖 2. 練習問題
第12回	論理トレーニング(5)	1. 存在文の扱い方 2. 消去法 3. 練習問題
第13回	論理トレーニング(6)	1. 背理法 2. 練習問題
第14回	授業内試験・まとめ	小テスト（筆記試験） まとめ・解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習と復習時間は、各2時間を標準とします。

準備学習：参考書の該当箇所を良く読む。

復習：前回授業内容の確認。課題（宿題）または参考書の練習問題を解く。

特に復習は必ずしっかり行ってください。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。資料等はプリントで配付します。

【参考書】

大貫義久・白根裕里枝・菅沢龍文・中釜浩一著『改訂版 論理学の初歩』、梓出版社、2013年

坂本百大・坂井秀寿共著『新版現代論理学』、東海大学出版会、1971年

野矢茂樹著『まったくゼロからの論理学』、岩波書店、2020年

その他は、必要に応じて授業内に指示します。

【成績評価の方法と基準】

中間小テスト成績（40％）と期末小テスト成績（40％）と平常点（20％）に基づき評価。2回的小テストでは、「到達目標」で記した事柄の理解度をためす問題を出す予定。

小テストの採点基準は、2回ともいづれも、授業中に指示した仕方で答案を作成しているか、そして論理的に正しい答えを導いているかによります。

【学生の意見等からの気づき】

「勉強した内容が就活にも役立ちました」「説明・解説がとても丁寧だった」という感想をもらいました。引き続き、説明は丁寧に行いますので、授業・練習問題に積極的に取り組んで下さい。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン（学習支援システムを利用するため）

【その他の重要事項】

春学期の「論理学I」からの履修を推奨します。

【Outline (in English)】

This is a course to learn propositional logic and critical thinking. The main aim of this course is to help students acquire the basic knowledge and skills needed to make valid deductive reasonings.

By the end of the course, students should be able to understand the followings:

1. The meaning of logical connectives, truth-value analysis and the forms of tautologies and so forth.
2. The application of the valid rules of inference such as De Morgan's laws and disjunction elimination.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term examination (40%), Term-end examination (40%) and Contribution in class (20%).

PHL100LA (哲学/Philosophy 100)

論理学 I

2017年度以降入学者

菅沢 龍文

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

西洋の伝統的論理学の基礎 — オイラー図とベン図で知る —
すべての学問の基礎にある、古代ギリシア以来のアリストテレスの伝統的論理学を学びます。(1)概念、(2)判断、(3)推理が三本柱となります。オイラー図やベン図を用いて考えることにより、数少ないシンプルな図形の組合せだけで伝統的論理学を知ることができます。覚えねばならないことは少なく、図形を使って論理的に考える力が身につきます。

【到達目標】

- (A) ヨーロッパの伝統的論理学の基礎的な知識を得る。
(B) 論理的に冷静に考える態度を身につける。
(C) 論理的に正しく推理することができる。
(1) オイラー図を使って伝統的論理学に則った正しい推理ができる。
(2) ベン図を使って伝統的論理学に則る正しい推理ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- (1) テキストを用い、必要に応じて板書を行いプロジェクターを使います。
(2) 各回の授業が終わった後に、「学習支援システム」を使った確認小テストの提出を求めます。
(3) 授業の初めに、前回を振り返り、確認小テストの気づきを、フィードバックします。
(4) 最終授業で全体を振り返る総合確認テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業のオリエンテーションと思考の基礎	①授業の受け方 ②何をどのように学ぶのか ③思考の3原則
2	概念と判断	①概念 ②定義 ③判断（オイラー図）
3	直接推理（対当推理）	①存在判断から述定判断への変換 ②対当推理（オイラー図）
4	直接推理（変形推理）	①換質法 ②换位法 ③戻換法（オイラー図）
5	間接推理（三段論法）	①三段論法の妥当性をオイラー図で考える。
6	三段論法の誤謬論	①量の公理 ②質の公理
7	三段論法の実践	①三段論法の問題を解く。
8	直接推理をベン図で考える	①存在仮定とベン図 ②対当推理をベン図で考える ③変形推理の戻換法をベン図で考える

9	ベン図で三段論法	①三段論法の妥当性をベン図で調べる手順 ②三段論法の誤謬論をベン図で考える ③三段論法の問題をベン図で解く
10	ベン図で三段論法（実践）	①実例で三段論法の妥当性を判定する
11	仮言三段論法	①混合仮言三段論法 ②純粹仮言三段論法
12	選言三段論法	①純粹選言三段論法 ②混合選言三段論法
13	両刀論法（ジレンマ）	①両刀論法（ジレンマ） ②ジレンマから抜け出す方法
14	全体への振り返り	①全体（第1～13回）の総合確認テストによる総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
《予習》各回の授業内容についてテキストで確認しておく。
《復習》①「学習支援システム」で各回の確認小テストを提出する。
②授業内容を復習して理解を確実にする。

【テキスト（教科書）】

菅沢龍文『論理学 はじめの一步 ——オイラー図とベン図で知る
伝統的論理学——』（春風社）

【参考書】

大貫・白根・菅沢・中釜『論理学の初歩』梓出版社
その他は適宜、授業内で提示します。

【成績評価の方法と基準】

伝統的論理学の基礎的知識、論理的に考える態度、論理的推理力に
関して次の2方面から評価する。

- (1) 平常点（参加姿勢、確認小テストの評価など）
(2) 全体についての総合確認テストの点数
そして(1)を70%、(2)を30%の割合で総合評価する。

【学生の意見等からの気づき】

- (1) 口頭で説明するときの発音を大きな声でゆっくり明確に行い、聞き取りやすくする。
(2) 授業内容は必須事項と発展的な事項との区別をつけて、必須事項の習得に重点を置く。

【学生が準備すべき機器他】

法政大学の学習支援システム（Hoppii）にインターネット接続して、
確認テストをするためのパソコン（推奨）やタブレット、スマホが
必要です。

【Outline (in English)】

Elements of the traditional European Logic, Using Euler Diagrams and Venn Diagrams: We learn the ancient Greek traditional logic of Aristotle. This logic is the basis of every science and constituted by three parts: (1) concepts, (2) judgements, (3) reasoning. Using Euler diagrams and Venn diagrams, by simple combinations of the figures we can realize the traditional logic. We don't have to learn so many things by heart and we will get the skill to think logically with the diagrams.

[Learning Objectives]

- (A) To acquire a basic knowledge of the traditional European logic.
(B) To acquire an attitude to think logically and calmly.
(C) To be able to reason logically and correctly.

(1) To be able to use Euler diagrams to make correct deductions in accordance with traditional logic.

(2) To be able to reason correctly using Venn diagrams in accordance with traditional logic.

[Learning activities outside of classroom]

The preparation (2 hours): To understand what we learn in our class next time.

The brush-up (2 hours): (1) To try mini-examination on "Hoppii". (2) To review the lesson.

[Grading Criteria /Policy]

The grades are given in the light of the basic understanding of the traditional logic, the perspective of logical thinking and the reasoning skill. In this regard the following two aspects are respected. (1) 70%: The score of the mini-examinations, the attendance and the attitudes. (2) 30%: The score of the final examination.

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

論理学Ⅱ

2017年度以降入学者

菅沢 龍文

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「論理学Ⅱ」では現代における文（ぶん）の論理学を取り上げます（「論理学Ⅰ」では概念の論理学を主に取り上げました）。それに先立ち、近・現代科学の哲学的論理について、ペーコンやデカルトから始まる西洋の哲学者たちの思想を初歩的に学びます。そして文の論理学として、現代の命題論理学、さらに述語論理学の基礎を習得して、論理的な言葉遣いを学びます。また、論理代数、真理表、ベン図といった3つの表現方法を身につけて、論理的言葉遣いの理解を深めます。これにより、近・現代科学の論理的基礎や、論理的に正しい言葉遣いの基礎について学ぶことができます。

【到達目標】

近・現代科学の哲学的論理、現代の命題論理、述語論理の初歩を学ぶ。
 ①哲学的論理学によって、近代科学の論理的基礎を明らかにできる。
 ②命題論理学によって論理的に正しい文章を作ることができる。
 ③述語論理学によって文の論理的な意味を明らかにできる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

参加者は

- (1) テキスト、プリント、プロジェクターを用います。
- (2) 授業内では、必要に応じて板書で問題を解きます。
- (3) 毎回「学習支援システム」で確認小テストを解いて提出します。
- (4) 授業の初めに前回の確認小テストを用いて復習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	(1) 授業について
	F・ペーコンの考えたこと	(2) イドラ説 (3) 表を用いた帰納法
2	帰納法と演繹法	(1) ミルの帰納法 (2) 自然の斉一性 (3) デカルトと演繹法
3	哲学的論理	(1) ライプニッツ 充足理由律 (2) カント 超越論的論理学 (3) ヘーゲル 弁証法
4	命題論理学 — 命題の真偽・論理的結合・複合命題の真理値	(1) 命題 (2) 論理的結合子 (3) 真理表とベン図 —複合命題の真理値— (1) 否定 (2) 連言
5	複合命題の真理値	—複合命題の真理値— (3) 選言 (4) 条件（対偶など） (5) 等値 (*) 論理代数も用いて考える
6	問題を解く	(1) 複合命題の反例となる命題 (2) 複合命題に対応する事象の確率 (3) 複合命題の論理代数化

7	恒真命題（1）	(1) 恒真命題・総合命題 (2) 論理結合子の縮減 (3) 恒真命題の判定（真理表）
8	恒真命題（2）	(1) 恒真命題の判定（真理表） (2) 代表的な恒真命題 (3) 恒真命題の判定（帰謬法）
9	恒真命題と推理の妥当性	(1) 恒真命題の判定（帰謬法の続き） (2) 推理の妥当性を判定する
10	G. フレーゲ、B. ラッセル	(1) クラス理論／タイプ理論 (2) 嘘つきのパラドックス (3) 悪循環の原理
11	述語論理学のはじめ（Ⅰ）	(1) 命題関数 (2) 限量記号（ $\forall, \exists$ ） (3) 概念の述語化
12	述語論理学のはじめ（Ⅱ）	(1) 多項述語で考える (2) ある人がすべての人を愛する？ (3) すべての人がある人を愛する？
13	総復習	秋学期全体について
14	問題を解く	試験問題を解いて到達度を確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。
 《予習》 次回の内容についてテキストやプリント（「学習支援システム」上で前日にPDFで配布が原則）で概観しておく。
 《復習》 「学習支援システム」で毎回の確認小テストを提出し、前回の授業内容を復習して理解を確実にしておく。

【テキスト（教科書）】

大貫・白根・菅沢・中釜著『論理学の初歩』（梓出版社）
 ※第2回(3)～第3回および第10～14回は、プリントをテキストとします。

【参考書】

適宜、授業内で提示します。

【成績評価の方法と基準】

近・現代科学の哲学的論理学、現代の命題論理学、述語論理学の初歩に関して、次の2方面から総合評価する。
 (1) 平常点（参加姿勢、確認小テストの評価など）
 (2) 最終回に行う全体を振り返る試験の点数
 これらのうち(1)を70% (2)を30%の割合で総合して評価する。

【学生の意見等からの気づき】

- (1) 口頭で説明するときの発音を大きな声でゆっくり明確に行い、聞き取りやすくする。
- (2) 授業内容は基礎的なものとはいえ多いので、整理して見通しよく説明する。
- (3) 問題解答は、板書等により、解き方が具体的につかめるようにする。

【学生が準備すべき機器他】

法政大学の学習支援システム（Hoppii）にインターネット接続して、確認テストをするためのパソコン（推奨）やタブレット、スマホが必要です。

【Outline (in English)】

Elements of Modern Philosophical Logic of Knowledge, Propositional Logic and Predicate Logic:

Students will first learn the basic ideas of Western philosophers, beginning with Bacon and Descartes, about logic, which is the mainstay of modern scientific knowledge. Then, students will learn modern propositional logic beginning with Boolean logic, as well as the fundamentals of predicate logic, and learn how to use logical language. In addition, students will deepen their understanding of logical wording by acquiring various methods of expression, such as logical algebra, truth tables, and Venn diagrams. This will enable students to learn about the logical foundations of modern science and the fundamentals of logically correct wording.

Students will learn the rudiments of philosophical logic, modern propositional logic, and predicate logic.

- (1) Students will be able to clarify the logical basis of modern science by means of philosophical logic.
- (2) Students will be able to produce logically correct sentences by means of propositional logic.
- (3) Students will be able to clarify the logical meaning of sentences by predicate logic.

[Learning activities outside of classroom]

The preparation (2 hours): To understand what we learn in our class next time.

The brush-up (2 hours): (1) To try mini-examination on "Hoppii". (2) To review the lesson.

[Grading Criteria /Policy]

The grades are given in terms of the philosophical logic of the modern science, the propositional logic of our time and the predicate logic elementary understood. In this regard the following two aspects are respected. (1) 70%: The score of the mini-examinations, the attendance and the attitudes. (2) 30%: The score of the final examination.

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

論理学 I

2017年度以降入学者

相原 博

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

論理学は、正しく考えるとはどのように考えることかを研究します。すなわち、論理学とは思考の形式および法則を研究する学問です。論理学 I では、はじめて論理学を学ぶ人のために、日常生活における言葉の使い方から学術レポートにおける論理性、さらに論証や反論のやり方を学びます。そして授業の後半で、論証構造のパターンを取り出すことで、正しく考えるために必要となる、論理学の基礎的な知識と技法を習得します。論理学を学ぶことで、筋道を立てて物事を考えることができるようになります。それは、言ってみれば、思考がクリアになることです。そのため論理学は、みなさんの今後の社会生活にも大いに役立つことでしょう。なお、論理学の基礎的な知識と技法の習得には、本授業だけでは不十分です。そのため、秋学期の「論理学Ⅱ」も履修することを勧めます。

【到達目標】

授業の目標は、正しく考えるために必要となる、論理学の基礎的な知識と技法を習得し、論理的な思考力を高めることです。具体的には、以下の事柄の習得を目指します。

1. 三段論法などの論法を適切に使うことで、筋道を立てて思考できるようにする。
2. 検証と代案という二種類の反論を使い分けて、批判的に思考できるようにする。
3. 自分の気持ちを表現することと、理性的に論じることが区別でき、たんなる感想文と論理的な文章を識別できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に講義形式で行います。なお毎回、理解度を確認する小テストを行い、解答・解説のフィードバックは次の回の授業で行います。また論理的な思考力を高めるために、授業内で練習問題を出します。問題の答えを発表してもらうことがあるので、受講者には主体的な参加を求めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・論理学とは何か	授業の進め方、評価方法などについて説明する
第2回	言葉の使い方	「学んで知ること」ということについて説明する
第3回	日本語と論理	「言葉の建築物をつくること」について説明する
第4回	文と文のつながり①	前提と結論の関係を示す接続表現について説明する
第5回	文と文のつながり②	内容を明瞭にする接続表現と論証構造を複雑にする接続表現について説明する
第6回	論理的な思考に基づく学術レポートの仕組み	パラグラフの役割について説明する
第7回	学術レポートの設計図	アウトラインの活用について説明する

第8回	論証の一般的なやり方	思いを論理的に伝える方法について説明する
第9回	反論の一般的なやり方	適切に反論する方法について説明する
第10回	反論の実践	誤りのパターンと論法の応用について説明する
第11回	記号論理の基礎①	論証のパターンと論理語について説明する
第12回	記号論理の基礎②	論証の記号化について説明する
第13回	記号論理の応用	三段論法による議論について説明する
第14回	授業内試験・まとめ	筆記試験 まとめ・解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

準備学習：参考書の該当箇所を良く読んでください。

復習：前回の授業内容を確認してください。また参考書の練習問題を解いてください。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。適宜資料を配付します。

【参考書】

篠澤和久・松浦明宏・信太光郎・文景楠著『はじめての論理学』、有斐閣ストゥディア、2020年。

沢田允茂著『現代論理学入門』、岩波新書、1962年。

野矢茂樹著『入門！ 論理学』、中公新書、2006年。

【成績評価の方法と基準】

授業参加度および毎回の確認小テストの成績(40%)、学期末の授業内筆記試験の成績(60%)により評価します。

学期末の授業内筆記試験では、「到達目標」に記した事柄をどれくらい理解できているか、確認する問題を出す予定です。

筆記試験の採点基準は、授業で学んだとおりに答案を作成できているか、また論理的に正しい答えを導くことができているかです。

【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい授業を行うよう努力したい。

【Outline (in English)】

In this course, for those who are learning logic for the first time, students will learn how to use language in everyday life, logic in academic reports, as well as how to make arguments and counterarguments. Then, in the second half of the class, students will learn the basic knowledge and techniques of logic that are necessary for thinking correctly by extracting patterns of argumentation structures.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

A. By using appropriate logic such as syllogisms, students can organize their thoughts and think in a coherent manner.

B. Students will be able to think critically by using two types of arguments, verification and alternative argumentation.

C. Students can distinguish between expressing their emotions and discussing rationally, and identify the difference between mere personal opinions and logical arguments.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination: 60%, in class contribution and quiz: 40%.

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

論理学Ⅱ

2017年度以降入学者

相原 博

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

論理学は、正しく考えるとはどのように考えることかを研究します。すなわち、論理学とは思考の形式および法則を研究する学問です。論理学Ⅱでは、多少なりとも一度は論理学を学んだ人のために、論理的に推論する仕方と説得的に議論する仕方を学びます。言い換えれば、論理学とレトリックという二つのアプローチを組み合わせることで、日常言語における推論の仕組みを学びます。「理屈は分かるけれども、納得できない」という不満を感じさせることなく、日常生活において正しく考えるための、基礎的な知識と技法を習得します。論理学を学ぶことで、論理的に主張するだけでなく、相手を説得することもできるようになります。そのため論理学は、主張の対立を避ける「根回し文化」が日本に残るとしても、みなさんの今後の社会生活に多に役立つことでしょう。なお本授業は、春学期の「論理学Ⅰ」の学習内容を前提しています。そのため、「論理学Ⅰ」から履修することを勧めます。

【到達目標】

授業の目標は、春学期の「論理学Ⅰ」と同様、正しく考えるために必要となる、論理学の基礎的な知識と技法を習得し、論理的な思考力を高めることです。具体的には、以下の事柄の習得を目指します。

1. 論理的に推論できるとともに、説得的に議論できるようになる。
2. 論理学およびレトリックの知識と技能を使い分けて、説得力ある議論が展開できるようになる。
3. 記号による論理的な推論と日常言語による推論が識別できるとともに、それぞれの仕組みが理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に講義形式で行います。なお毎回、理解度を確認する小テストを行い、解答・解説のフィードバックは次の回の授業で行います。また論理的な思考力を高めるために、授業内で練習問題を出します。問題の答えを発表してもらうことがあるので、受講者には主体的な参加を求めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・論理学とは何か	授業の進め方、評価方法などについて説明する
第2回	論理的に考えるための基本①	推論とは何か説明する
第3回	論理的に考えるための基本②	論理記号の働きについて説明する
第4回	論理学と日常言語の落差①	論理記号と接続表現について説明する
第5回	論理学と日常言語の落差②	条件記号のパラドックスについて説明する
第6回	推論の実例①	健全な推論と反例などを説明する
第7回	推論の実例②	正しい三段論法の見分け方について説明する

第8回	立論と反論	日常生活で説得力ある主張を展開する方法について説明する
第9回	レトリック的推論①	類似性に基づく推論の問題点について説明する
第10回	レトリック的推論②	関連性に基づく推論の問題点について説明する
第11回	論証の型	有効な論証のパターンについて説明する
第12回	準論理的論証	論理学的な方法を使った論証のパターンについて説明する
第13回	事実的論証	誤った例示や無理な因果づけなどによる論証について説明する
第14回	授業内試験・まとめ	筆記試験 まとめ・解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
準備学習：参考書の該当箇所を良く読んでください。
復習：前回の授業内容を確認してください。また参考書の練習問題を解いてください。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。適宜資料を配付します。

【参考書】

野内良三著『実践ロジカル・シンキング入門』、大修館書店、2003年。
沢田允茂著『現代論理学入門』、岩波新書、1962年。
野矢茂樹著『入門！ 論理学』、中公新書、2006年。

【成績評価の方法と基準】

授業参加度および毎回の確認小テストの成績(40%)、学期末の授業内筆記試験の成績(60%)により評価します。
学期末の授業内筆記試験では、「到達目標」に記した事柄をどれくらい理解できているか、確認する問題を出す予定です。
筆記試験の採点基準は、授業で学んだとおりに答案を作成できているか、また論理的に正しい答えを導くことができているかです。

【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい授業を行うよう努力したい。

【Outline (in English)】

In this course, for those who have studied logic more or less once, students will learn how to reason logically and argue persuasively. In other words, by combining two approaches, logic and rhetoric, they will learn the mechanism of reasoning in everyday language. Students will acquire the basic knowledge and techniques to think correctly in everyday life without frustration.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

A. Students will be able to reason logically and argue persuasively.

B. Students will be able to use knowledge and skills in logic and rhetoric to develop persuasive arguments.

C. Students will be able to distinguish between logical reasoning by symbols and reasoning by everyday language, and understand how each works.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination: 60%, in class contribution and quiz: 40%.

HIS100LA（史学/History 100）

東洋史 I

2017年度以降入学者

齋藤 勝

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

前近代における中国世界の形成と拡大

中国の前近代史を概括的にとらえながら、世界史の中における中国、現代世界における中国の位置づけについて考える。

【到達目標】

漢民族及びその伝統的領域・文化の形成過程を理解すること、それを根幹として今日の多民族世界としての中国の形成過程と問題点、中国の文化が東アジア世界に与えた影響、ユーラシア世界の変動の中での位置づけについて理解を深めることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行っていきます。資料は学習支援システムを通じて配布します。授業の基本になる資料は初回の授業前に学習支援システムに一括して掲載しますので、準備しておいてください。質問等は原則として授業後に行ってください。なお、授業の進度により授業計画が変更される場合があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	中華文明の始まり	黄河文明と初期王朝
第2回	中華思想の始まり	春秋戦国時代
第3回	中華帝国の始まり	秦と漢の天下統一
第4回	中華帝国と中国世界	漢の武帝と帝国の完成
第5回	中華の分裂	後漢から魏晉南北朝時代へ
第6回	中華帝国の再生	隋唐帝国
第7回	中国の社会と文化の変容	唐宋時期の変革
第8回	中国の統一と地方	五代十国から北宋へ
第9回	漢民族と異民族	遼・金と南宋
第10回	ユーラシア世界の変動と中国	モンゴル・元とユーラシア世界
第11回	漢民族王朝の復活と崩壊	明から清へ
第12回	中国の経済と文化の成熟	明清時代の社会の変化
第13回	世界的変動の中での中国	列強の進出と中国の抵抗
第14回	中国と私たち	中国の文化と日本・世界

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

資料によって事前に知識を深めてきてもらいます。

また、過去に作成したオンデマンド授業用の動画を毎回、期間限定で公開しますので、予習・復習に活用してください。

【テキスト（教科書）】

特になし。

授業の基本になる資料は初回の授業前に学習支援システムに一括して掲載します。

【参考書】

随時、紹介していきます。

【成績評価の方法と基準】

レポート100%

講義で扱ったテーマについて論述してもらいます。講義の内容の理解とまとめ方を評価の対象にするつもりです。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

Course outline: Students will survey the history of pre-modern China.

Learning objectives: At the end of the course, students are expected to consider how the traditional "China" had been formed.

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading criteria/policy: Term-end report(100%)

HIS100LA（史学/History 100）

東洋史Ⅱ

2017年度以降入学者

齋藤 勝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代中国の政治と民衆

歴史の学習を通じて現代中国への理解を深め、政治が人の生活・人生に及ぼす影響について考える。

【到達目標】

現代中国の変動を知識として学ぶとともに、その中で翻弄された人々の苦しみや政治のもたらした社会矛盾を感得する。それにより、現在の中国の成り立ちを理解するだけでなく、政治と一人一人の生活・人生とがいかに関わっているかについても考察を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行っていきます。資料は学習支援システムを通じて配布します。授業の基本になる資料は初回の授業前に学習支援システムに一括して掲載しますので、準備しておいてください。質問等は原則として授業後に行ってください。なお、授業の進度により授業計画が変更される場合があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	現代中国の前提(1)	列強の中国進出から辛亥革命へ
第2回	現代中国の前提(2)	中華民国と日本
第3回	1940年代	抗日戦争から国共内戦へ／中華人民共和国の成立
第4回	1950年代(1)	朝鮮戦争と社会主義化の推進
第5回	1950年代(2)	中国とソ連、大躍進とその失敗
第6回	1960年代	文化大革命の始まり
第7回	1970年代	文化大革命の展開と終焉
第8回	中国をめぐる国際環境	日本・アメリカ・ソ連・東南アジアとの関係
第9回	中国における身分と抑圧	『芙蓉鎮』の描く社会
第10回	中国における革命と破壊	『さらば、わが愛 霸王別姫』の描く時代
第11回	1980年代	改革開放から天安門事件へ
第12回	1990年代以降	高度経済成長の到来
第13回	中国における社会問題	『あの子を探して』の描く現代
第14回	中国と私たち	現代中国と日本・世界

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

資料によって事前に知識を深めてきてもらいます。

また、過去に作成したオンデマンド授業用の動画を毎回、期間限定で公開しますので、予習・復習に活用してください。

【テキスト（教科書）】

特になし。

授業の基本になる資料は初回の授業前に学習支援システムに一括して掲載します。

【参考書】

随時、紹介していきます。

【成績評価の方法と基準】

レポート100%

講義で扱ったテーマについて論述してもらいます。講義の内容の理解とまとめ方を評価の対象にするつもりです。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

Course outline: Students will survey the history of modern China.

Learning objectives: At the end of the course, students are expected to consider how politics had affected the life of people in China.

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading criteria/policy: Term-end report(100%)

HIS100LA（史学/History 100）

東洋史 I

2017年度以降入学者

齋藤 勝

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

前近代における中国世界の形成と拡大

中国の前近代史を概括的にとらえながら、世界史の中における中国、現代世界における中国の位置づけについて考える。

【到達目標】

漢民族及びその伝統的領域・文化の形成過程を理解すること、それを根幹として今日の多民族世界としての中国の形成過程と問題点、中国の文化が東アジア世界に与えた影響、ユーラシア世界の変動の中での位置づけについて理解を深めることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行っていきます。資料は学習支援システムを通じて配布します。授業の基本になる資料は初回の授業前に学習支援システムに一括して掲載しますので、準備しておいてください。質問等は原則として授業後に行ってください。なお、授業の進度により授業計画が変更される場合があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	中華文明の始まり	黄河文明と初期王朝
第2回	中華思想の始まり	春秋戦国時代
第3回	中華帝国の始まり	秦と漢の天下統一
第4回	中華帝国と中国世界	漢の武帝と帝国の完成
第5回	中華の分裂	後漢から魏晉南北朝時代へ
第6回	中華帝国の再生	隋唐帝国
第7回	中国の社会と文化の変容	唐宋時期の変革
第8回	中国の統一と地方	五代十国から北宋へ
第9回	漢民族と異民族	遼・金と南宋
第10回	ユーラシア世界の変動と中国	モンゴル・元とユーラシア世界
第11回	漢民族王朝の復活と崩壊	明から清へ
第12回	中国の経済と文化の成熟	明清時代の社会の変化
第13回	世界的変動の中での中国	列強の進出と中国の抵抗
第14回	中国と私たち	中国の文化と日本・世界

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

資料によって事前に知識を深めてきてもらいます。

また、過去に作成したオンデマンド授業用の動画を毎回、期間限定で公開しますので、予習・復習に活用してください。

【テキスト（教科書）】

特になし。

授業の基本になる資料は初回の授業前に学習支援システムに一括して掲載します。

【参考書】

随時、紹介していきます。

【成績評価の方法と基準】

レポート100%

講義で扱ったテーマについて論述してもらいます。講義の内容の理解とまとめ方を評価の対象にするつもりです。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

Course outline: Students will survey the history of pre-modern China.

Learning objectives: At the end of the course, students are expected to consider how the traditional "China" had been formed.

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading criteria/policy: Term-end report(100%)

HIS100LA（史学/History 100）

東洋史Ⅱ

2017年度以降入学者

齋藤 勝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代中国の政治と民衆

歴史の学習を通じて現代中国への理解を深め、政治が人の生活・人生に及ぼす影響について考える。

【到達目標】

現代中国の変動を知識として学ぶとともに、その中で翻弄された人々の苦しみや政治のもたらした社会矛盾を感得する。それにより、現在の中国の成り立ちを理解するだけでなく、政治と一人一人の生活・人生とがいかに関わっているかについても考察を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行っていきます。資料は学習支援システムを通じて配布します。授業の基本になる資料は初回の授業前に学習支援システムに一括して掲載しますので、準備しておいてください。質問等は原則として授業後に行ってください。なお、授業の進度により授業計画が変更される場合があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	現代中国の前提(1)	列強の中国進出から辛亥革命へ
第2回	現代中国の前提(2)	中華民国と日本
第3回	1940年代	抗日戦争から国共内戦へ／中華人民共和国の成立
第4回	1950年代(1)	朝鮮戦争と社会主義化の推進
第5回	1950年代(2)	中国とソ連、大躍進とその失敗
第6回	1960年代	文化大革命の始まり
第7回	1970年代	文化大革命の展開と終焉
第8回	中国をめぐる国際環境	日本・アメリカ・ソ連・東南アジアとの関係
第9回	中国における身分と抑圧	『芙蓉鎮』の描く社会
第10回	中国における革命と破壊	『さらば、わが愛 霸王別姫』の描く時代
第11回	1980年代	改革開放から天安門事件へ
第12回	1990年代以降	高度経済成長の到来
第13回	中国における社会問題	『あの子を探して』の描く現代
第14回	中国と私たち	現代中国と日本・世界

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

資料によって事前に知識を深めてきてもらいます。

また、過去に作成したオンデマンド授業用の動画を毎回、期間限定で公開しますので、予習・復習に活用してください。

【テキスト（教科書）】

特になし。

授業の基本になる資料は初回の授業前に学習支援システムに一括して掲載します。

【参考書】

随時、紹介していきます。

【成績評価の方法と基準】

レポート100%

講義で扱ったテーマについて論述してもらいます。講義の内容の理解とまとめ方を評価の対象にするつもりです。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

Course outline: Students will survey the history of modern China.

Learning objectives: At the end of the course, students are expected to consider how politics had affected the life of people in China.

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading criteria/policy: Term-end report(100%)

HIS100LA (史学/History 100)

東洋史 I

2017年度以降入学者

板橋 暁子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

第一に中華世界が形成されてゆく過程、帝国・皇帝制度の確立について扱っていく。またその中で生まれた中国文化の基層をなす思想がいかに生まれ、東アジア世界にいかにか普及したかについて扱っていく。次に中国における地域性というものが生み出してきた産業や文化の有様、その影響下で展開された北宋の新法・旧法の競争に象徴される政治的・思想的動向、周辺諸民族との関係のなかで作り出されてきた朱子学をはじめとした中華ナショナリズムについて扱っていく。さらに、モンゴルやムスリムの活動、「大航海時代」といった世界の一体化につながる動きが中国世界に与えた影響について扱っていく。

【到達目標】

前近代における中国世界の形成と拡大を中心的なテーマとする。漢民族及びその伝統的領域・文化の形成過程を理解すること、それを根幹として今日の多民族世界としての中国の形成過程と問題点、中国の文化が東アジア世界に与えた影響、ユーラシア世界の変動の中で位置づけについて理解を深めることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式でおこないます。授業中に用いる資料は学習支援システムを通じて配布します。各回の授業に先立ち学習支援システムに資料をアップロードしますので、適宜取得してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	中華文明の始まり	黄河文明と初期王朝
第2回	中華思想の始まり	春秋戦国時代
第3回	中華帝国の始まり	秦と漢の天下統一
第4回	中華帝国と中国世界	漢の武帝と帝国の完成
第5回	中華の分裂	後漢から魏晉南北朝時代へ
第6回	中華帝国の再生	隋唐帝国
第7回	中国の社会と文化の変容	唐宋時期の変革
第8回	中国の統一と地方	五代十国から北宋へ
第9回	漢民族と異民族	遼・金と南宋
第10回	ユーラシア世界の変動と中国	モンゴル・元とユーラシア世界
第11回	漢民族王朝の復活と崩壊	明から清へ
第12回	中国の経済と文化の成熟	明清時代の社会の変化
第13回	世界的変動の中の中国	列強の進出と中国の抵抗
第14回	中国と私たち	中国の文化と日本

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

随時、紹介していきます。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 100%

授業内容をふまえ、要点を整理できているかどうかを重視します。

【学生の意見等からの気づき】

個々の事象やテーマの学びを通じて、中国と中国をとりまく世界の大きな流れをつかむことを意識してゆくようにしましょう。

【学生が準備すべき機器他】

原則として対面授業を実施しますが、授業時間外のフィードバックや資料配布・諸連絡の必要にそなえ、学生支援システムに接続できる情報機器（パソコンやスマートフォン等）を準備してください。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

Course outline: Surveying the history of premodern China
Learning objectives: Considering how the traditional "China" had been formed

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading criteria/policy: Term-end exam (100%)

HIS100LA（史学/History 100）

東洋史Ⅱ

2017年度以降入学者

板橋 暁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

第一に日本や欧米列強との関係のなかでの近代中国の政治的・社会的変容、中華人民共和国の建国に至る過程、それらと愛国心・ナショナリズムとの関係について扱っていく。また中国共産党が標榜した社会主義・共産主義の実像と国民統合との関わり、その挫折と社会に及ぼした影響について扱っていく。次に、世界の一体化が進展する中での中華人民共和国と日本・東アジア・東南アジアとの関係およびアメリカ・ソ連（ロシア）との関係について扱っていく。さらに、改革開放以後の経済成長の軌跡とそれにより生み出された社会問題、政治問題について扱っていく。

【到達目標】

近現代中国の国家と社会の関わり、世界との関係を中心的なテーマとする。世界第二の超大国である隣国中国の社会が近現代においてたどった歴史を理解することにより、東アジアおよび世界の今とこれからを主体的に考察するための素地を培うこと、加えて中国の現代史をもとに経済成長と格差、少子高齢化といった現代社会特有の社会問題について主体的に考察するための素地を培うことを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式でおこないます。授業中に用いる資料は学習支援システムを通じて配布します。各回の授業に先立ち学習支援システムに資料をアップロードしますので、適宜取得してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	現代中国の前提(1)	列強の中国進出から辛亥革命へ
第2回	現代中国の前提(2)	中華民国と日本
第3回	1940年代	抗日戦争から国共内戦へ／中華人民共和国の成立
第4回	1950年代(1)	朝鮮戦争と社会主義化の推進
第5回	1950年代(2)	中国とソ連、大躍進とその失敗
第6回	1960年代	文化大革命の始まり
第7回	1970年代	文化大革命の展開と終焉
第8回	中国をめぐる国際環境	日本・アメリカ・ソ連・東南アジアとの関係
第9回	中国における身分と抑圧	『芙蓉鎮』の描く社会
第10回	中国における革命と破壊	『さらば、わが愛 覇王別姫』の描く時代
第11回	1980年代	改革開放から天安門事件へ
第12回	1990年代以降	高度経済成長の到来
第13回	中国における社会問題	『あの子を探して』の描く現代
第14回	中国と私たち	現代中国と日本・世界

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

随時、紹介していきます。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 100%

授業内容をふまえ、要点を整理できているかどうかを重視します。

【学生の意見等からの気づき】

個々の事象やテーマの学びを通じて、中国と中国をとりまく世界の大きな流れをつかむことを意識してゆくようにしましょう。

【学生が準備すべき機器他】

原則として対面授業を実施しますが、授業時間外のフィードバックや資料配布・諸連絡の必要にそなえ、学生支援システムに接続できる情報機器（パソコンやスマートフォン等）を準備してください。

【Outline (in English)】

Course outline: Surveying the history of modern China

Learning objectives: Considering how politics had affected the life of people in China

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading criteria/policy: Term-end exam (100%)

HIS100LA（史学/History 100）

東洋史 I

2017年度以降入学者

齋藤 勝

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

前近代における中国世界の形成と拡大

中国の前近代史を概括的にとらえながら、世界史の中における中国、現代世界における中国の位置づけについて考える。

【到達目標】

漢民族及びその伝統的領域・文化の形成過程を理解すること、それを根幹として今日の多民族世界としての中国の形成過程と問題点、中国の文化が東アジア世界に与えた影響、ユーラシア世界の変動の中での位置づけについて理解を深めることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行っていきます。資料は学習支援システムを通じて配布します。授業の基本になる資料は初回の授業前に学習支援システムに一括して掲載しますので、準備しておいてください。質問等は原則として授業後に行ってください。なお、授業の進度により授業計画が変更される場合があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	中華文明の始まり	黄河文明と初期王朝
第2回	中華思想の始まり	春秋戦国時代
第3回	中華帝国の始まり	秦と漢の天下統一
第4回	中華帝国と中国世界	漢の武帝と帝国の完成
第5回	中華の分裂	後漢から魏晉南北朝時代へ
第6回	中華帝国の再生	隋唐帝国
第7回	中国の社会と文化の変容	唐宋時期の変革
第8回	中国の統一と地方	五代十国から北宋へ
第9回	漢民族と異民族	遼・金と南宋
第10回	ユーラシア世界の変動と中国	モンゴル・元とユーラシア世界
第11回	漢民族王朝の復活と崩壊	明から清へ
第12回	中国の経済と文化の成熟	明清時代の社会の変化
第13回	世界的変動の中での中国	列強の進出と中国の抵抗
第14回	中国と私たち	中国の文化と日本・世界

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

資料によって事前に知識を深めてきてもらいます。

また、過去に作成したオンデマンド授業用の動画を毎回、期間限定で公開しますので、予習・復習に活用してください。

【テキスト（教科書）】

特になし。

授業の基本になる資料は初回の授業前に学習支援システムに一括して掲載します。

【参考書】

随時、紹介していきます。

【成績評価の方法と基準】

レポート100%

講義で扱ったテーマについて論述してもらいます。講義の内容の理解とまとめ方を評価の対象にするつもりです。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

Course outline: Students will survey the history of pre-modern China.

Learning objectives: At the end of the course, students are expected to consider how the traditional "China" had been formed.

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading criteria/policy: Term-end report(100%)

HIS100LA（史学/History 100）

東洋史Ⅱ

2017年度以降入学者

齋藤 勝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代中国の政治と民衆

歴史の学習を通じて現代中国への理解を深め、政治が人の生活・人生に及ぼす影響について考える。

【到達目標】

現代中国の変動を知識として学ぶとともに、その中で翻弄された人々の苦しみや政治のもたらした社会矛盾を感得する。それにより、現在の中国の成り立ちを理解するだけでなく、政治と一人一人の生活・人生とがいかに関わっているかについても考察を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行っていきます。資料は学習支援システムを通じて配布します。授業の基本になる資料は初回の授業前に学習支援システムに一括して掲載しますので、準備しておいてください。質問等は原則として授業後に行ってください。なお、授業の進度により授業計画が変更される場合があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	現代中国の前提(1)	列強の中国進出から辛亥革命へ
第2回	現代中国の前提(2)	中華民国と日本
第3回	1940年代	抗日戦争から国共内戦へ／中華人民共和国の成立
第4回	1950年代(1)	朝鮮戦争と社会主義化の推進
第5回	1950年代(2)	中国とソ連、大躍進とその失敗
第6回	1960年代	文化大革命の始まり
第7回	1970年代	文化大革命の展開と終焉
第8回	中国をめぐる国際環境	日本・アメリカ・ソ連・東南アジアとの関係
第9回	中国における身分と抑圧	『芙蓉鎮』の描く社会
第10回	中国における革命と破壊	『さらば、わが愛 霸王別姫』の描く時代
第11回	1980年代	改革開放から天安門事件へ
第12回	1990年代以降	高度経済成長の到来
第13回	中国における社会問題	『あの子を探して』の描く現代
第14回	中国と私たち	現代中国と日本・世界

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

資料によって事前に知識を深めてきてもらいます。

また、過去に作成したオンデマンド授業用の動画を毎回、期間限定で公開しますので、予習・復習に活用してください。

【テキスト（教科書）】

特になし。

授業の基本になる資料は初回の授業前に学習支援システムに一括して掲載します。

【参考書】

随時、紹介していきます。

【成績評価の方法と基準】

レポート100%

講義で扱ったテーマについて論述してもらいます。講義の内容の理解とまとめ方を評価の対象にするつもりです。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

Course outline: Students will survey the history of modern China.

Learning objectives: At the end of the course, students are expected to consider how politics had affected the life of people in China.

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading criteria/policy: Term-end report(100%)

HIS100LA（史学 / History 100）

東洋史 I

2017年度以降入学者

板橋 暁子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

第一に中華世界が形成されてゆく過程、帝国・皇帝制度の確立について扱っていく。またその中で生まれた中国文化の基層をなす思想がいかに生まれ、東アジア世界にいかにか普及したかについて扱っていく。次に中国における地域性というものが生み出してきた産業や文化の有様、その影響下で展開された北宋の新法・旧法の競争に象徴される政治的・思想的動向、周辺諸民族との関係のなかで作り出されてきた朱子学をはじめとした中華ナショナリズムについて扱っていく。さらに、モンゴルやムスリムの活動、「大航海時代」といった世界の一体化につながる動きが中国世界に与えた影響について扱っていく。

【到達目標】

前近代における中国世界の形成と拡大を中心的なテーマとする。漢民族及びその伝統的領域・文化の形成過程を理解すること、それを根幹として今日の多民族世界としての中国の形成過程と問題点、中国の文化が東アジア世界に与えた影響、ユーラシア世界の変動の中の位置づけについて理解を深めることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式でおこないます。授業中に用いる資料は学習支援システムを通じて配布します。各回の授業に先立ち学習支援システムに資料をアップロードしますので、適宜取得してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	中華文明の始まり	黄河文明と初期王朝
第2回	中華思想の始まり	春秋戦国時代
第3回	中華帝国の始まり	秦と漢の天下統一
第4回	中華帝国と中国世界	漢の武帝と帝国の完成
第5回	中華の分裂	後漢から魏晉南北朝時代へ
第6回	中華帝国の再生	隋唐帝国
第7回	中国の社会と文化の変容	唐宋時期の変革
第8回	中国の統一と地方	五代十国から北宋へ
第9回	漢民族と異民族	遼・金と南宋
第10回	ユーラシア世界の変動と中国	モンゴル・元とユーラシア世界
第11回	漢民族王朝の復活と崩壊	明から清へ
第12回	中国の経済と文化の成熟	明清時代の社会の変化
第13回	世界的変動の中の中国	列強の進出と中国の抵抗
第14回	中国と私たち	中国の文化と日本

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

随時、紹介していきます。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 100%

授業内容をふまえ、要点を整理できているかどうかを重視します。

【学生の意見等からの気づき】

個々の事象やテーマの学びを通じて、中国と中国をとりまく世界の大きな流れをつかむことを意識してゆくようにしましょう。

【学生が準備すべき機器他】

原則として対面授業を実施しますが、授業時間外のフィードバックや資料配布・諸連絡の必要にそなえ、学生支援システムに接続できる情報機器（パソコンやスマートフォン等）を準備してください。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

Course outline: Surveying the history of premodern China
Learning objectives: Considering how the traditional "China" had been formed

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading criteria/policy: Term-end exam (100%)

HIS100LA（史学/History 100）

東洋史Ⅱ

2017年度以降入学者

板橋 暁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

第一に日本や欧米列強との関係のなかでの近代中国の政治的・社会的変容、中華人民共和国の建国に至る過程、それらと愛国心・ナショナリズムとの関係について扱っていく。また中国共産党が標榜した社会主義・共産主義の実像と国民統合との関わり、その挫折と社会に及ぼした影響について扱っていく。次に、世界の一体化が進展する中での中華人民共和国と日本・東アジア・東南アジアとの関係およびアメリカ・ソ連（ロシア）との関係について扱っていく。さらに、改革開放以後の経済成長の軌跡とそれにより生み出された社会問題、政治問題について扱っていく。

【到達目標】

近現代中国の国家と社会の関わり、世界との関係を中心的なテーマとする。世界第二の超大国である隣国中国の社会が近現代においてたどった歴史を理解することにより、東アジアおよび世界の今とこれからを主体的に考察するための素地を培うこと、加えて中国の現代史をもとに経済成長と格差、少子高齢化といった現代社会特有の社会問題について主体的に考察するための素地を培うことを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式でおこないます。授業中に用いる資料は学習支援システムを通じて配布します。各回の授業に先立ち学習支援システムに資料をアップロードしますので、適宜取得してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	現代中国の前提(1)	列強の中国進出から辛亥革命へ
第2回	現代中国の前提(2)	中華民国と日本
第3回	1940年代	抗日戦争から国共内戦へ／中華人民共和国の成立
第4回	1950年代(1)	朝鮮戦争と社会主義化の推進
第5回	1950年代(2)	中国とソ連、大躍進とその失敗
第6回	1960年代	文化大革命の始まり
第7回	1970年代	文化大革命の展開と終焉
第8回	中国をめぐる国際環境	日本・アメリカ・ソ連・東南アジアとの関係
第9回	中国における身分と抑圧	『芙蓉鎮』の描く社会
第10回	中国における革命と破壊	『さらば、わが愛 覇王別姫』の描く時代
第11回	1980年代	改革開放から天安門事件へ
第12回	1990年代以降	高度経済成長の到来
第13回	中国における社会問題	『あの子を探して』の描く現代
第14回	中国と私たち	現代中国と日本・世界

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

随時、紹介していきます。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 100%

授業内容をふまえ、要点を整理できているかどうかを重視します。

【学生の意見等からの気づき】

個々の事象やテーマの学びを通じて、中国と中国をとりまく世界の大きな流れをつかむことを意識してゆくようにしましょう。

【学生が準備すべき機器他】

原則として対面授業を実施しますが、授業時間外のフィードバックや資料配布・諸連絡の必要にそなえ、学生支援システムに接続できる情報機器（パソコンやスマートフォン等）を準備してください。

【Outline (in English)】

Course outline: Surveying the history of modern China

Learning objectives: Considering how politics had affected the life of people in China

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading criteria/policy: Term-end exam (100%)

HIS100LA（史学 / History 100）

西洋史 I

2017年度以降入学者

大澤 広晃

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アジアとの地理的な隔たりにもかかわらず、西洋世界は私たちの生活、価値観、歴史に大きな影響を及ぼしてきた。西洋とそれ以外の地域の交流や関係においてひとつの媒介となったのが、「帝国」である。本授業では、「帝国」をキーワードに西洋の歴史を概観し、あわせて、それが現代の世界に及ぼし続けている影響についても考えたい。

【到達目標】

- ・帝国の視座から西洋史の基礎知識を習得する。
- ・西洋世界内部の動向とその外部世界との関係の双方に目配りしつつ、歴史を複眼的に理解する姿勢を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行う。ただし、授業中に質問をしたり、リアクションペーパーを積極的に活用したりして、受講生の主体的な参加を求める。課題や質問に対しては、授業の内容や目的に照らして有益なものを抽出したうえで、次の授業までにフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要を説明する。
第2回	帝国支配のはじまり	近世における西洋諸国の海外進出について学ぶ。
第3回	帝国主義について	帝国主義の時代の概要を学ぶ。
第4回	帝国主義の時代①：労働	帝国主義の時代を労働の視点から学ぶ。
第5回	帝国主義の時代②：戦争と暴力	帝国主義の時代を戦争と暴力の視点から学ぶ。
第6回	帝国主義の時代③：文化	帝国主義の時代を文化の視点から学ぶ。あわせて、読書課題に基づくディスカッションをおこなう。
第7回	第一次世界大戦の時代	第一次世界大戦の概要を学ぶ。
第8回	第一次世界大戦と帝国	第一次世界大戦を帝国の視点から学ぶ。
第9回	民族運動の展開	帝国支配を批判する民族運動の展開と特徴について学ぶ。
第10回	第二次世界大戦・冷戦と脱植民地化	第二次世界大戦と冷戦が帝国支配に与えた影響について学ぶ。
第11回	脱植民地化の苦難	植民地の独立とそれに伴う諸問題を学ぶ。
第12回	帝国の過去と民族紛争	帝国支配の過去と旧植民地地域の民族紛争の関連について学ぶ。
第13回	帝国の遺産と植民地責任	帝国支配の過去が現在の世界に及ぼしている影響について学び、授業内容を総括する。
第14回	授業内試験とまとめ	期末試験とまとめ及び解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。以下に掲げる参考書などを自主的に読み、授業で扱う内容についての理解を深める。また、授業で用いる資料についての宿題を課す。

【テキスト（教科書）】

使用しない。授業でプリントを配付する。

【参考書】

服部良久・南川高志・山辺規子編著『大学で学ぶ西洋史—古代・中世』ミネルヴァ書房、2006年
 小山哲・上垣豊・山田史郎・杉本淑彦編著『大学で学ぶ西洋史—近現代』ミネルヴァ書房、2011年
 南塚信吾・秋田茂・高澤紀恵編著『新しく学ぶ西洋の歴史—アジアから考える』ミネルヴァ書房、2016年

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（授業参加度、課題への取り組み方など）：50%
- ・期末試験：50%

【学生の意見等からの気づき】

受講生の知的関心を喚起することを心がけながら、授業を進めています。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course explores major themes of western history. In particular, it covers topics related with empire.

< Learning objectives >

- 1) Students are able to acquire basic knowledge about western history in view of empires.
- 2) Students are able to understand history of the western world in view of its interaction with non-western worlds.

< Learning activities outside of classroom >

Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books, such as those listed in the reference section, and learn by themselves. They also have to work on assignments given by the instructor.

< Grading policy >

Class participation and assignments 50%, Final examination 50%

HIS100LA（史学/History 100）

西洋史Ⅱ

2017年度以降入学者

大澤 広晃

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ジェンダー関係、女性の立場、性のあり方は社会の基盤にかかわる問題であり、歴史の理解においても重要なイシューである。本授業では、女性とジェンダーの視座から西洋の歴史を考えてみたい。

【到達目標】

・女性とジェンダーの視座から西洋史の基礎知識を習得する。
・授業で学んだことを基礎にして、現代世界が直面するさまざまな問題を歴史的に考察する力を修得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行う。ただし、授業中に質問をしたり、リアクションペーパーを積極的に活用したりして、受講生の主体的な参加を求める。課題や質問に対しては、授業の内容や目的に照らして有益なものを抽出したうえで、次の授業までにフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要を説明する。
第2回	前近代西洋世界における女性とジェンダー	古代・中世西洋社会における女性の立場とジェンダー関係について学ぶ。
第3回	宗教改革と魔女裁判の時代	宗教改革と魔女裁判の時代における女性とジェンダーのあり方を学ぶ。
第4回	近世ヨーロッパの社会：戦争とジェンダー	近世社会におけるジェンダーと家族に関連する諸問題を、同時代の戦争の観点から学ぶ。
第5回	啓蒙の時代	啓蒙思想で女性やジェンダー関係がどう論じられていたかを学ぶ。
第6回	女性とジェンダーから考えるフランス革命	フランス革命を女性とジェンダーの観点から学ぶ。
第7回	産業革命の時代	産業革命の概要と当時における女性およびジェンダーのありようを学ぶ。あわせて、読書課題に基づくディスカッションを行う。
第8回	近代西洋の社会：革命・ジェンダー・フェミニズム	近代社会における家族とジェンダーに関する諸問題を、同時代の革命や戦争の観点から学ぶ。
第9回	帝国主義の時代	帝国主義の時代におけるジェンダーのありようを学ぶ。
第10回	第一次世界大戦とジェンダー	第一次世界大戦期におけるジェンダー関係のありようを学ぶ。
第11回	第一次世界大戦と女性の経験	女性が第一次世界大戦をどう経験したのかを学ぶ。

第12回	戦間期から第二次世界大戦期の西洋世界	戦間期から第二次大戦期にかけての西洋世界をジェンダーの視点から学ぶ。
第13回	現代の西洋世界とジェンダー	20世紀後半以降の西洋世界とジェンダー問題について学び、授業内容を総括する。
第14回	授業内試験とまとめ	期末試験とまとめ及び解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。以下に掲げる参考書などを自主的に読み、授業で扱う内容についての理解を深める。また、授業で用いる資料についての宿題を課す。

【テキスト（教科書）】

使用しない。授業でプリントを配付する。

【参考書】

服部良久・南川高志・山辺規子編著『大学で学ぶ西洋史—古代・中世』ミネルヴァ書房、2006年
小山哲・上垣豊・山田史郎・杉本淑彦編著『大学で学ぶ西洋史—近現代』ミネルヴァ書房、2011年
南塚信吾・秋田茂・高澤紀恵編著『新しく学ぶ西洋の歴史—アジアから考える』ミネルヴァ書房、2016年

【成績評価の方法と基準】

・平常点（授業参加度、課題への取り組み方など）：50％
・期末試験：50％

【学生の意見等からの気づき】

学生のみさんの主体的参加を促すような授業を目指していきます。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course explores major themes of western history. In particular, it covers topics related with women and gender.

< Learning objectives >

1) Students are able acquire basic knowledge about western history in view of women and gender.

2) Students are able to acquire critical views of various issues surrounding contemporary world in reference to history.

< Learning activities outside of classroom >

Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books, such as those listed in the reference section, and learn by themselves. They also have to work on assignments given by the instructor.

< Grading policy >

Class participation and assignments 50%, Final examination 50%

HIS100LA（史学/History 100）

西洋史 I

2017年度以降入学者

大澤 広晃

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アジアとの地理的な隔たりにもかかわらず、西洋世界は私たちの生活、価値観、歴史に大きな影響を及ぼしてきた。西洋とそれ以外の地域の交流や関係においてひとつの媒介となったのが、「帝国」である。本授業では、「帝国」をキーワードに西洋の歴史を概観し、あわせて、それが現代の世界に及ぼし続けている影響についても考えたい。

【到達目標】

- ・帝国の視座から西洋史の基礎知識を習得する。
- ・西洋世界内部の動向とその外部世界との関係の双方に目配りしつつ、歴史を複眼的に理解する姿勢を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行う。ただし、授業中に質問をしたり、リアクションペーパーを積極的に活用したりして、受講生の主体的な参加を求める。課題や質問に対しては、授業の内容や目的に照らして有益なものを抽出したうえで、次の授業までにフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要を説明する。
第2回	帝国支配のはじまり	近世における西洋諸国の海外進出について学ぶ。
第3回	帝国主義について	帝国主義の時代の概要を学ぶ。
第4回	帝国主義の時代①：労働	帝国主義の時代を労働の視点から学ぶ。
第5回	帝国主義の時代②：戦争と暴力	帝国主義の時代を戦争と暴力の視点から学ぶ。
第6回	帝国主義の時代③：文化	帝国主義の時代を文化の視点から学ぶ。あわせて、読書課題に基づくディスカッションをおこなう。
第7回	第一次世界大戦の時代	第一次世界大戦の概要を学ぶ。
第8回	第一次世界大戦と帝国	第一次世界大戦を帝国の視点から学ぶ。
第9回	民族運動の展開	帝国支配を批判する民族運動の展開と特徴について学ぶ。
第10回	第二次世界大戦・冷戦と脱植民地化	第二次世界大戦と冷戦が帝国支配に与えた影響について学ぶ。
第11回	脱植民地化の苦難	植民地の独立とそれに伴う諸問題を学ぶ。
第12回	帝国の過去と民族紛争	帝国支配の過去と旧植民地地域の民族紛争の関連について学ぶ。
第13回	帝国の遺産と植民地責任	帝国支配の過去が現在の世界に及ぼしている影響について学び、授業内容を総括する。
第14回	授業内試験とまとめ	期末試験とまとめ及び解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。以下に掲げる参考書などを自主的に読み、授業で扱う内容についての理解を深める。また、授業で用いる資料についての宿題を課す。

【テキスト（教科書）】

使用しない。授業でプリントを配付する。

【参考書】

服部良久・南川高志・山辺規子編著『大学で学ぶ西洋史—古代・中世』ミネルヴァ書房、2006年
 小山哲・上垣豊・山田史郎・杉本淑彦編著『大学で学ぶ西洋史—近現代』ミネルヴァ書房、2011年
 南塚信吾・秋田茂・高澤紀恵編著『新しく学ぶ西洋の歴史—アジアから考える』ミネルヴァ書房、2016年

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（授業参加度、課題への取り組み方など）：50%
- ・期末試験：50%

【学生の意見等からの気づき】

受講生の知的関心を喚起することを心がけながら、授業を進めています。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course explores major themes of western history. In particular, it covers topics related with empire.

< Learning objectives >

- 1) Students are able to acquire basic knowledge about western history in view of empires.
- 2) Students are able to understand history of the western world in view of its interaction with non-western worlds.

< Learning activities outside of classroom >

Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books, such as those listed in the reference section, and learn by themselves. They also have to work on assignments given by the instructor.

< Grading policy >

Class participation and assignments 50%, Final examination 50%

HIS100LA（史学/History 100）

西洋史Ⅱ

2017年度以降入学者

大澤 広晃

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ジェンダー関係、女性の立場、性のあり方は社会の基盤にかかわる問題であり、歴史の理解においても重要なイシューである。本授業では、女性とジェンダーの視座から西洋の歴史を考えてみたい。

【到達目標】

・女性とジェンダーの視座から西洋史の基礎知識を習得する。
・授業で学んだことを基礎にして、現代世界が直面するさまざまな問題を歴史的に考察する力を修得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行う。ただし、授業中に質問をしたり、リアクションペーパーを積極的に活用したりして、受講生の主体的な参加を求める。課題や質問に対しては、授業の内容や目的に照らして有益なものを抽出したうえで、次の授業までにフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要を説明する。
第2回	前近代西洋世界における女性とジェンダー	古代・中世西洋社会における女性の立場とジェンダー関係について学ぶ。
第3回	宗教改革と魔女裁判の時代	宗教改革と魔女裁判の時代における女性とジェンダーのあり方を学ぶ。
第4回	近世ヨーロッパの社会：戦争とジェンダー	近世社会におけるジェンダーと家族に関連する諸問題を、同時代の戦争の観点から学ぶ。
第5回	啓蒙の時代	啓蒙思想で女性やジェンダー関係がどう論じられていたかを学ぶ。
第6回	女性とジェンダーから考えるフランス革命	フランス革命を女性とジェンダーの観点から学ぶ。
第7回	産業革命の時代	産業革命の概要と当時における女性およびジェンダーのありようを学ぶ。あわせて、読書課題に基づくディスカッションを行う。
第8回	近代西洋の社会：革命・ジェンダー・フェミニズム	近代社会における家族とジェンダーに関する諸問題を、同時代の革命や戦争の観点から学ぶ。
第9回	帝国主義の時代	帝国主義の時代におけるジェンダーのありようを学ぶ。
第10回	第一次世界大戦とジェンダー	第一次世界大戦期におけるジェンダー関係のありようを学ぶ。
第11回	第一次世界大戦と女性の経験	女性が第一次世界大戦をどう経験したのかを学ぶ。

第12回	戦間期から第二次世界大戦期の西洋世界	戦間期から第二次大戦期にかけての西洋世界をジェンダーの視点から学ぶ。
第13回	現代の西洋世界とジェンダー	20世紀後半以降の西洋世界とジェンダー問題について学び、授業内容を総括する。
第14回	授業内試験とまとめ	期末試験とまとめ及び解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。以下に掲げる参考書などを自主的に読み、授業で扱う内容についての理解を深める。また、授業で用いる資料についての宿題を課す。

【テキスト（教科書）】

使用しない。授業でプリントを配付する。

【参考書】

服部良久・南川高志・山辺規子編著『大学で学ぶ西洋史—古代・中世』ミネルヴァ書房、2006年
小山哲・上垣豊・山田史郎・杉本淑彦編著『大学で学ぶ西洋史—近現代』ミネルヴァ書房、2011年
南塚信吾・秋田茂・高澤紀恵編著『新しく学ぶ西洋の歴史—アジアから考える』ミネルヴァ書房、2016年

【成績評価の方法と基準】

・平常点（授業参加度、課題への取り組み方など）：50％
・期末試験：50％

【学生の意見等からの気づき】

学生のみさんの主体的参加を促すような授業を目指していきます。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course explores major themes of western history. In particular, it covers topics related with women and gender.

< Learning objectives >

1) Students are able acquire basic knowledge about western history in view of women and gender.

2) Students are able to acquire critical views of various issues surrounding contemporary world in reference to history.

< Learning activities outside of classroom >

Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books, such as those listed in the reference section, and learn by themselves. They also have to work on assignments given by the instructor.

< Grading policy >

Class participation and assignments 50%, Final examination 50%

HIS100LA (史学/History 100)

西洋史 I

2017年度以降入学者

内川 勇海

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

西洋は、私たちの生活や思考のあり方に巨大な影響を及ぼしてきた。では、西洋とは何か。それはどのように生まれ、いかなる変化をとげてきたのか。本授業では、古代から中世にかけての西洋の歩みを考える。

【到達目標】

- ・古代から中世までの西洋史にかんする基礎知識を習得する。
- ・西洋世界内部の動向とその外部世界との関係の双方に目配りしつつ、歴史を複眼的に理解する姿勢を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行う。ただし、リアクションペーパーを積極的に活用するなど、受講生の主体的な参加を求める。課題や質問に対しては、授業の内容や目的に照らして有益なものを抽出したうえで、次の授業までにフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と、西洋史を勉強することの意義について
第2回	古代地中海世界1：ギリシア・ポリス社会の形成	ギリシア・ポリス社会の形成と特徴について
第3回	古代地中海世界2：古代ギリシアの社会と人々	古代ギリシア社会における人々の生活について
第4回	古代地中海世界3：ギリシアと周辺世界の関係	ペルシア戦争やヘレニズムなど、古代ギリシア社会と周辺世界の関係について
第5回	古代地中海世界4：ローマの台頭	共和制から帝国へと至るローマの歩みについて
第6回	古代地中海世界5：古代ローマの社会と人々	古代ローマ社会における人々の生活について
第7回	古代地中海世界6：ローマ帝国の衰退とキリスト教の誕生	ローマ帝国の分裂と西ローマ帝国の滅亡、キリスト教の誕生と発展について
第8回	中世ヨーロッパ1：中世世界の形成	諸集団の移動と中世ヨーロッパの形成について
第9回	中世ヨーロッパ2：国家と社会	中世ヨーロッパにおける諸国家の動向と社会の特徴について
第10回	中世ヨーロッパ3：中世ヨーロッパの社会と人々	中世ヨーロッパ社会における人々の生活について
第11回	中世ヨーロッパ4：キリスト教世界の発展と十字軍	キリスト教の発展、十字軍運動の展開について
第12回	中世ヨーロッパ5：危機と変容	黒死病や戦争などの影響、国家体制と社会の変容について

第13回 中世から近世へ：ルネサンスの展開について
ネサンス

第14回 まとめ：近代へ これまでの授業の内容を振り返り、近代西洋への展望を示す

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。以下に掲げる参考書などを自主的に読み、授業で扱う内容についての理解を深める。また、授業で用いる資料について宿題が課される場合もある。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。必要に応じて講義資料をHoppiiで共有する。印刷するかパソコンなど資料を表示できる機器を持参すること。

【参考書】

『古典古代史』、伊藤貞夫、放送大学教育振興会、1995年
『大学で学ぶ西洋史[古代・中世]』、服部良久/南川高志/山辺規子編著、ミネルヴァ書房、2006年
『論点・西洋史学』、金澤周作監修、藤井崇ほか編著、ミネルヴァ書房、2020年
『はじめて学ぶ西洋古代史』、長谷川岳夫[編著]、ミネルヴァ書房、2022年
その他適宜授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（授業参加度、課題への取り組み方など）：50%
- ・出席管理は厳格に行う。
- ・期末レポート：50%

【学生の意見等からの気づき】

図像資料の提供を増やす。適宜休憩をはさむ。

【学生が準備すべき機器他】

特にないが、講義中のパソコンやタブレットなどの使用は可能。

【その他の重要事項】

特になし

【Outline (in English)】

< Course outline > This course explores major themes of western history, particularly focusing on ancient and medieval periods.

< Learning objectives > 1) Students are able to acquire basic knowledge about ancient and medieval history of the western world. 2) Students are able to understand history of the western world in view of its interaction with non-western worlds.

< Learning activities outside of classroom > Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books, such as those listed in the reference section, and learn by themselves. They also have to work on assignments given by the instructor.

< Grading policy > Class participation and assignments: 50%, essay: 50%

HIS100LA（史学/History 100）

西洋史Ⅱ

2017年度以降入学者

渡辺 知

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

近世以降の西洋は、新たな知識、制度—その弊害も含めて—を生みだし、世界史の動向を大きく規定してきました。本授業では、近世から近代にかけての西洋の歩みを学び、それが現在に与える影響を考えます。

【到達目標】

- ・近世から近代までの西洋史にかんする基礎知識を習得する。
- ・西洋世界内部の動向とその外部世界との関係の双方に目配りしつつ、歴史を複眼的に理解する姿勢を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。授業中に質問をしたり、リアクションペーパーを積極的に活用したりして、受講生の主体的な参加を求めます。必要に応じて、リアクションペーパー等へのコメントを授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と、西洋近代史を学ぶことの意義について説明します。
第2回	第1章 大航海時代以前のヨーロッパ1	第1章では15世紀ヨーロッパで大航海時代が始まる前提として11～15世紀にかけてのヨーロッパの経済、社会を概観します。1回目は11～13世紀にかけての経済社会状況を概観します。
第3回	第1章 大航海時代以前のヨーロッパ2	第1章では15世紀ヨーロッパで大航海時代が始まる前提として11～15世紀にかけてのヨーロッパの経済、社会を概観します。2回目は「14世紀の危機」を扱います。
第4回	第1章 大航海時代以前のヨーロッパ3	第1章では15世紀ヨーロッパで大航海時代が始まる前提として11～15世紀にかけてのヨーロッパの経済、社会を概観します。3回目は主権国家の形成とインターステイト・システムの成立について説明します。
第5回	第2章 ポルトガルとアフリカ、アジア1	第2章ではポルトガルのアフリカ、アジア進出の過程とその影響を考察します。1回目はポルトガルのアフリカ進出の過程、その特徴と影響を説明します。

第6回	第2章 ポルトガルとアフリカ、アジア2	第2章ではポルトガルのアフリカ、アジア進出の過程とその影響を考察します。2回目はポルトガルのアジア進出の過程と特徴について説明します。
第7回	第2章 ポルトガルとアフリカ、アジア3	第2章ではポルトガルのアフリカ、アジア進出の過程とその影響を考察します。3回目はポルトガルのアジア進出がポルトガルとアジアにとってどのような意味を持ったのか考察します。
第8回	第3章 スペインとアメリカ1	第3章ではスペインのアメリカ進出の過程とその影響を考察します。1回目はスペインのアメリカ進出の過程とその特徴を説明します。
第9回	第3章 スペインとアメリカ2	第3章ではスペインのアメリカ進出の過程とその影響を考察します。2回目はスペインのアメリカ進出がアメリカ世界に与えた影響を考察します。
第10回	第3章 スペインとアメリカ3	第3章ではスペインのアメリカ進出の過程とその影響を考察します。3回目はスペインのアメリカ進出がスペインにとってどのような意味を持ったのか考察します。
第11回	第4章 イギリス 第一帝国の形成1	第4章ではイギリスの帝国形成の過程とその影響を考察します。1回目はイギリスがオランダ、フランスと競争しつつ帝国を形成する過程を説明します。
第12回	第4章 イギリス 第一帝国の形成2	第4章ではイギリスの帝国形成の過程とその影響を考察します。2回目は帝国の形成がイギリスに与えた影響を論じます。
第13回	第4章 イギリス 第1帝国の形成3	第4章ではイギリスの帝国形成の過程とその影響を考察します。3回目は帝国の形成が西インド諸島とアフリカに与えた影響を論じます。
第14回	まとめ	これまでの授業の内容を振り返り、現代世界が直面する諸問題を歴史的に考えます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。授業で紹介する参考文献などを読み授業の理解を深めて下さい。

【テキスト（教科書）】

特に設けません。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業の区切りにリアクションペーパー等を書いて頂き、この提出をもって平常点とします。これら平常点と学期末の試験の総合評価とします（平常点20％、学期末の試験80％）

【学生の意見等からの気づき】

高校で世界史を履修していなかった人にもこれまで以上に配慮するようにします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course explores major themes of western history, particularly focusing on modern periods.

< Learning objectives >

1) Students are able to acquire basic knowledge about modern and contemporary history of the western world. 2) Students are able to understand history of the western world in view of its interaction with non-western worlds.

< Learning activities outside of classroom >

Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books and learn by themselves.

< Grading policy >

Class participation and assignments: 20% Final examination: 80%

HIS100LA（史学/History 100）

西洋史 I

2017年度以降入学者

内川 勇海

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

西洋は、私たちの生活や思考のあり方に巨大な影響を及ぼしてきた。では、西洋とは何か。それはどのように生まれ、いかなる変化をとげてきたのか。本授業では、古代から中世にかけての西洋の歩みを考える。

【到達目標】

- ・古代から中世までの西洋史にかんする基礎知識を習得する。
- ・西洋世界内部の動向とその外部世界との関係の双方に目配りしつつ、歴史を複眼的に理解する姿勢を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行う。ただし、リアクションペーパーを積極的に活用するなど、受講生の主体的な参加を求める。課題や質問に対しては、授業の内容や目的に照らして有益なものを抽出したうえで、次の授業までにフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と、西洋史を勉強することの意義について
第2回	古代地中海世界1：ギリシア・ポリス社会の形成	ギリシア・ポリス社会の形成と特徴について
第3回	古代地中海世界2：古代ギリシアの社会と人々	古代ギリシア社会における人々の生活について
第4回	古代地中海世界3：ギリシアと周辺世界の関係	ペルシア戦争やヘレニズムなど、古代ギリシア社会と周辺世界の関係について
第5回	古代地中海世界4：ローマの台頭	共和制から帝国へと至るローマの歩みについて
第6回	古代地中海世界5：古代ローマの社会と人々	古代ローマ社会における人々の生活について
第7回	古代地中海世界6：ローマ帝国の衰退とキリスト教の誕生	ローマ帝国の分裂と西ローマ帝国の滅亡、キリスト教の誕生と発展について
第8回	中世ヨーロッパ1：中世世界の形成	諸集団の移動と中世ヨーロッパの形成について
第9回	中世ヨーロッパ2：国家と社会	中世ヨーロッパにおける諸国家の動向と社会の特徴について
第10回	中世ヨーロッパ3：中世ヨーロッパの社会と人々	中世ヨーロッパ社会における人々の生活について
第11回	中世ヨーロッパ4：キリスト教世界の発展と十字軍	キリスト教の発展、十字軍運動の展開について
第12回	中世ヨーロッパ5：危機と変容	黒死病や戦争などの影響、国家体制と社会の変容について

第13回 中世から近世へ：ルネサンスの展開について
ネサンス

第14回 まとめ：近代へ これまでの授業の内容を振り返り、近代西洋への展望を示す

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。以下に掲げる参考書などを自主的に読み、授業で扱う内容についての理解を深める。また、授業で用いる資料について宿題が課される場合もある。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。必要に応じて講義資料をHoppiiで共有する。印刷するかパソコンなど資料を表示できる機器を持参すること。

【参考書】

『古典古代史』、伊藤貞夫、放送大学教育振興会、1995年
『大学で学ぶ西洋史[古代・中世]』、服部良久/南川高志/山辺規子編著、ミネルヴァ書房、2006年
『論点・西洋史学』、金澤周作監修、藤井崇ほか編著、ミネルヴァ書房、2020年
『はじめて学ぶ西洋古代史』、長谷川岳夫[編著]、ミネルヴァ書房、2022年
その他適宜授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

・平常点（授業参加度、課題への取り組み方など）：50%
*出席管理は厳格に行う。
・期末レポート：50%

【学生の意見等からの気づき】

図像資料の提供を増やす。適宜休憩をはさむ。

【学生が準備すべき機器他】

特にないが、講義中のパソコンやタブレットなどの使用は可能。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

< Course outline > This course explores major themes of western history, particularly focusing on ancient and medieval periods. < Learning objectives> 1) Students are able to acquire basic knowledge about ancient and medieval history of the western world. 2) Students are able to understand history of the western world in view of its interaction with non-western worlds.

< Learning activities outside of classroom > Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books, such as those listed in the reference section, and learn by themselves. They also have to work on assignments given by the instructor.

< Grading policy> Class participation and assignments: 50%, essay: 50%

HIS100LA (史学 / History 100)	
西洋史Ⅱ	2017年度以降入学者
渡辺 知	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：木2/Thu.2
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

近世以降の西洋は、新たな知識、制度—その弊害も含めて—を生みだし、世界史の動向を大きく規定してきました。本授業では、近世から近代にかけての西洋の歩みを学び、それが現在に与える影響を考えます。

【到達目標】

- ・近世から近代までの西洋史にかんする基礎知識を習得する。
- ・西洋世界内部の動向とその外部世界との関係の双方に目配りしつつ、歴史を複眼的に理解する姿勢を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。授業中に質問をしたり、リアクションペーパーを積極的に活用したりして、受講生の主体的な参加を求めます。必要に応じて、リアクションペーパー等へのコメントを授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と、西洋近代史を学ぶことの意義について説明します。
第2回	第1章 大航海時代以前のヨーロッパ1	第1章では15世紀ヨーロッパで大航海時代が始まる前提として11～15世紀にかけてのヨーロッパの経済、社会を概観します。1回目は11～13世紀にかけての経済社会状況を概観します。
第3回	第1章 大航海時代以前のヨーロッパ2	第1章では15世紀ヨーロッパで大航海時代が始まる前提として11～15世紀にかけてのヨーロッパの経済、社会を概観します。2回目は「14世紀の危機」を扱います。
第4回	第1章 大航海時代以前のヨーロッパ3	第1章では15世紀ヨーロッパで大航海時代が始まる前提として11～15世紀にかけてのヨーロッパの経済、社会を概観します。3回目は主権国家の形成とインターステイト・システムの成立について説明します。
第5回	第2章 ポルトガルとアフリカ、アジア1	第2章ではポルトガルのアフリカ、アジア進出の過程とその影響を考察します。1回目はポルトガルのアフリカ進出の過程、その特徴と影響を説明します。

第6回	第2章 ポルトガルとアフリカ、アジア2	第2章ではポルトガルのアフリカ、アジア進出の過程とその影響を考察します。2回目はポルトガルのアジア進出の過程と特徴について説明します。
第7回	第2章 ポルトガルとアフリカ、アジア3	第2章ではポルトガルのアフリカ、アジア進出の過程とその影響を考察します。3回目はポルトガルのアジア進出がポルトガルとアジアにとってどのような意味を持ったのか考察します。
第8回	第3章 スペインとアメリカ1	第3章ではスペインのアメリカ進出の過程とその影響を考察します。1回目はスペインのアメリカ進出の過程とその特徴を説明します。
第9回	第3章 スペインとアメリカ2	第3章ではスペインのアメリカ進出の過程とその影響を考察します。2回目はスペインのアメリカ進出がアメリカ世界に与えた影響を考察します。
第10回	第3章 スペインとアメリカ3	第3章ではスペインのアメリカ進出の過程とその影響を考察します。3回目はスペインのアメリカ進出がスペインにとってどのような意味を持ったのか考察します。
第11回	第4章 イギリス 第一帝国の形成1	第4章ではイギリスの帝国形成の過程とその影響を考察します。1回目はイギリスがオランダ、フランスと競争しつつ帝国を形成する過程を説明します。
第12回	第4章 イギリス 第一帝国の形成2	第4章ではイギリスの帝国形成の過程とその影響を考察します。2回目は帝国の形成がイギリスに与えた影響を論じます。
第13回	第4章 イギリス 第1帝国の形成3	第4章ではイギリスの帝国形成の過程とその影響を考察します。3回目は帝国の形成が西インド諸島とアフリカに与えた影響を論じます。
第14回	まとめ	これまでの授業の内容を振り返り、現代世界が直面する諸問題を歴史的に考えます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。授業で紹介する参考文献などを読み授業の理解を深めて下さい。

【テキスト（教科書）】

特に設けません。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業の区切りにリアクションペーパー等を書いて頂き、この提出をもって平常点とします。これら平常点と学期末の試験の総合評価とします（平常点20％、学期末の試験80％）

【学生の意見等からの気づき】

高校で世界史を履修していなかった人にもこれまで以上に配慮するようにします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course explores major themes of western history, particularly focusing on modern periods.

< Learning objectives >

1) Students are able to acquire basic knowledge about modern and contemporary history of the western world. 2) Students are able to understand history of the western world in view of its interaction with non-western worlds.

< Learning activities outside of classroom >

Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books and learn by themselves.

< Grading policy >

Class participation and assignments: 20% Final examination: 80%

HIS100LA（史学 / History 100）

日本史 I

2017年度以降入学者

芳賀 和樹

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、日本の誕生から中世社会の終焉までを、政治・対外関係・社会経済・文化などの様々な側面から考えます。授業は講義を中心とし、近年の日本史研究の新しい成果を取り入れながら、「歴史」を「覚える」のではなく「考える」能力を身につけていきます。史料に基づいて「考える」ことができるように、授業中に適宜、重要史料を提示してその解釈を検討し、史料から具体的な歴史像を描き出せるようにします。

【到達目標】

中学校・高等学校で日本史を教える上で必要となる知識の習得と歴史的事実の調べ方、その全体像の論理的構成方法を学びます。教科書の記述がどのように成り立っているのか、その根拠になった学説にまで遡って根拠史料を踏まえて解説します。古代から中世の日本史像について、東アジア世界のなかの日本という国際環境ないし地理的視点を常に保ちながら、豊かで多様な価値観に支えられた歴史像（文化を含む）を構築する能力を養うことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、原則として対面による講義形式で行います。各回の授業は、主として配布資料により、シラバス通りに実施します。ワークシートの提出等により、学習状況を確認しながら進めます。提出されたワークシートについては、いくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンスー東アジア世界の中の日本	授業の概要と進め方について説明し、東アジア世界という視点から日本の歴史を考える意味について学ぶ
第2回	倭国の誕生と東アジア世界	倭王権の成立と東アジアの国際情勢から、古代国家形成について学ぶ
第3回	律令国家の誕生と国際環境	律令国家の成立・展開と対外関係について学ぶ
第4回	古代家族と在地首長制	古代の婚姻と家族の様相、在地首長制について学ぶ
第5回	律令国家の展開と終焉	桓武・嵯峨天皇の時代と政治改革、律令制的地方支配の行き詰まりについて学ぶ
第6回	東アジア世界の文化と国風文化	10世紀以降の東アジアの国際情勢と対外関係、貴族社会と国風文化について学ぶ
第7回	摂関政治と王朝国家	摂関政治の成立と展開、王朝国家期の政治・社会について学ぶ
第8回	院政の展開と日宋貿易	院政の開始と展開、平氏の台頭と日宋貿易について学ぶ

第9回	武士の誕生と鎌倉幕府	武士の誕生から鎌倉幕府の成立までの過程と、幕府の支配体制について学ぶ
第10回	執権政治の展開と元寇	北条氏の権力掌握と執権政治、元寇が政治・社会に与えた影響と鎌倉幕府の衰退について学ぶ
第11回	建武新政と室町幕府の展開	鎌倉幕府の滅亡と建武の新政、南北朝の内乱から室町幕府の統治体制確立までの過程について学ぶ
第12回	日明関係と室町文化の特質	15・16世紀における東アジア世界の活発な交流と、室町文化の特質について学ぶ
第13回	戦国の動乱と関東地方	戦国大名の登場とその支配体制、享徳の乱と関東地方の戦国時代の様相について学ぶ
第14回	総括と試験	授業内容を総括し、試験を実施する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

配布資料やテーマに関連する参考書などを確認し、準備学習と復習をしてください。授業で提示した史料についても復習し、史料に基づいて考える姿勢を養ってください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に指定しません。授業資料を配付します。

【参考書】

佐々木潤之介ほか編（2000）『概論 日本歴史』吉川弘文館

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、授業での学習状況（50％）、期末試験（50％）により行います。授業での学習状況を評価するため、毎回、指定したワークシートを提出してください。期末試験は授業内容の理解度に応じて評価します。

【学生の意見等からの気づき】

難解な歴史用語などについては、わかりやすく丁寧な説明を心がけます。今年度も、授業の冒頭にて、前回の授業に関する質問や考察などに対するフィードバックの時間を設けたいと思います。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】

In this course, students will consider the period from the birth of Japan to the end of middle ages society from various aspects such as politics, foreign relations, social economy, and culture. The course will consist mainly of lectures, incorporating new results of recent research on Japanese history, while developing the ability to "think" rather than "memorize" history. In order to enable students to "think" based on historical documents, important historical documents will be presented and their interpretations will be considered as appropriate, so that students will be able to draw a concrete historical image from historical documents.

【到達目標（Learning Objectives）】

The course is designed to provide students with the knowledge necessary for teaching Japanese history in junior high and high schools, how to research historical facts and how to logically structure the overall picture. The course will explain how the descriptions in the textbooks are based on the historical evidence, tracing back to the academic theories on which they are based. The goal is to develop the ability to construct an image of Japanese history (including culture) from ancient times to the Middle Ages, supported by rich and diverse values, while always maintaining the international environment and geographical perspective of Japan within the East Asian world. 【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】 Please review the handouts and reference books related to the theme for preparatory study and review. Please also review the historical materials presented in class and develop an attitude of thinking based on the historical materials. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】

Grading will be based on class work (50%) and a final exam (50%). In order to evaluate your learning in class, please submit the designated worksheet each time. The final exam will be graded according to the level of understanding of the class content.

HIS100LA（史学/History 100）

日本史Ⅱ

2017年度以降入学者

芳賀 和樹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、近世社会の成立から現代までを、政治・対外関係・社会経済・文化などの様々な側面から検討します。授業は講義を中心とし、近年の日本史研究の新しい成果を取り入れながら、「歴史」を「覚える」のではなく、「考える」能力を身につけていきます。史料に基づいて「考える」ことができるように、適宜、重要史料を提示してその解釈を検討し、史料から具体的な歴史像を描き出せるようにします。

【到達目標】

中学校・高等学校で日本史を教える上で必要となる知識の習得と歴史的事実の調べ方、その全体像の論理的構成方法を学びます。教科書の記述がどのように成り立っているのか、その根拠になった学説にまで遡って根拠史料を踏まえて解説します。近世から近代の日本史像について、世界のなかの日本という国際環境ないし地理的視点を常に保ちながら、豊かで多様な価値観に支えられた歴史像（文化を含む）を構築する能力を養うことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、原則として対面による講義形式で行います。各回の授業は、主として配付資料により、シラバス通りに実施します。ワークシートの提出等により、学習状況を確認しながら進めます。提出されたワークシートについては、いくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス—世界のなかの近世・近代日本	時代区分における近世と近代の位置づけについて、世界のなかの日本という視点を意識しながら学ぶ
第2回	江戸幕府の成立と地域社会	天皇・将軍・大名・寺社・庶民などの動向を視野に入れながら、江戸幕府の成立について学ぶ
第3回	寛永期の政治と国際関係	寛永期における幕府政治の動向と対外関係の特質について学ぶ
第4回	元禄・享保期の政治と社会	元禄・享保期における幕府政治の課題と地域社会の動向について学ぶ
第5回	近世村落の運営と租税	家族や生業の様子を視野に入れながら、近世村落の運営と租税の仕組みについて学ぶ
第6回	近世文化の展開と文化遺産	文化遺産の観点から、文学・美術・芸能・信仰などの近世文化について学ぶ
第7回	近世社会の変容と政治状況	近世後期における社会の変容と幕府政治の課題について学ぶ
第8回	明治維新と近代国家の形成	開国から江戸幕府の終焉までを把握し、明治維新と近代国家の形成について学ぶ

第9回	近代産業の発展と国際環境	国際的な動向に着目しつつ、殖産興業政策や「産業革命」期における諸産業の発展について学ぶ
第10回	政党政治の展開	自由民権運動から政党内閣までの展開について学ぶ
第11回	二つの世界大戦と国際状況	第一次世界大戦、第二次世界大戦における日本の思惑と国際状況の変容について学ぶ
第12回	近代文化の展開と東京の文化遺産	文学・美術・建築・教育などの近代文化と、東京に遺る文化遺産について学ぶ
第13回	戦後政治の動向と国際社会	戦後の民主化政策と国際社会への復帰について学ぶ
第14回	総括と試験	授業を総括し、試験を実施する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

配布資料やテーマに関連する参考書などを確認し、準備学習と復習をしてください。授業で提示した史料についても復習し、史料に基づいて考える姿勢を養ってください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に指定しません。授業資料を配付します。

【参考書】

佐々木潤之介ほか編（2000）『概論 日本歴史』吉川弘文館

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、授業での学習状況（50%）、期末試験（50%）により行います。授業での学習状況を評価するため、毎回、指定したワークシートを提出してください。期末試験は授業内容の理解度に応じて評価します。

【学生の意見等からの気づき】

難解な歴史用語などについては、わかりやすく丁寧な説明を心がけます。今年度も、授業の冒頭にて、前回の授業に関する質問や考察などに対するフィードバックの時間を設けたいと思います。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】

In this course, students will consider the period from the establishment of early modern society to the formation of modern society from various aspects such as politics, foreign relations, social economy, and culture. The course will consist mainly of lectures, incorporating new results of recent research on Japanese history, while developing the ability to "think" rather than "memorize" history. In order to enable students to "think" based on historical documents, important historical documents will be presented and their interpretations will be considered as appropriate, so that students will be able to draw a concrete historical image from historical documents.

【到達目標（Learning Objectives）】

The course is designed to provide students with the knowledge necessary for teaching Japanese history in junior high and high schools, how to research historical facts and how to logically structure the overall picture. The course will explain how the descriptions in the textbooks are based on the historical evidence, tracing back to the academic theories on which they are based. The goal is to develop the ability to construct an image of Japanese history (including culture) from the early modern period to the modern period, supported by rich and diverse values, while always maintaining the international environment and geographical perspective of Japan in the world.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Please review the handouts and reference books related to the theme for preparatory study and review. Please also review the historical materials presented in class and develop an attitude of thinking based on the historical materials. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Grading will be based on class work (50%) and a final exam (50%). In order to evaluate your learning in class, please submit the designated worksheet each time. The final exam will be graded according to the level of understanding of the class content.

HIS100LA（史学/History 100）

日本史 I

2017年度以降入学者

小口 雅史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

歴史学は「現在と過去との対話」だと言われています。現代社会を理解し、その未来を展望するためには、過去の歩みの正しい理解が必要となります。とくに日本古代の歴史は、日本国家の原点であり、中国を中心とする東アジア世界の政治・外交秩序と密接な関係を保ちながら展開されました。まさに現代世界の基盤になったものです。

この講義では、こうした特徴ある日本古代史をベースに、1回毎に時代を代表するメルクマールを設定しますので、みなさんは、歴史の見方、歴史の流れを総体的・論理的にとらえ、現代との対話ができるようにする方法を取得することを目指して頑張ってください。

【到達目標】

暗記主体の高校までの日本史とは異なって、大学の日本史は、「歴史を考える」ことを目指します。そのことは、例えば中学校・高等学校で日本史を教える立場にたったときにも重要です。「歴史を考える」時に、必要となる知識の習得と歴史的事実の調べ方、その全体像の論理的構成方法を学ぶことになります。高校で学んだ教科書の記述がどのように成り立っているのか、その根拠になった学説にまで遡って根拠史料を踏まえて解説していきます。もはや、高校生のようにひたすら暗記することは必要ありません。なぜその時点で、そこで、その事象が発生したのかを論理的に考える力をつけましょう。

最終的には、古代の日本史像について、東アジア世界のなかの日本という国際環境ないし地理的視点を常に保ちながら、豊かで多様な価値観に支えられた新しい歴史像を構築する能力を養うことを目標とします。このことは現代社会を正しく理解し、さらには将来の社会生活において必ず役に立つはずで。

高校までの「勉強としての日本史」とはまったく異なる、大学での「学問としての日本史」「科学としての日本史」の魅力を十分味わってください

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に講義形式で進めます。適宜スライドやビデオを用いて視覚的な理解をはかることも考えています。

謎多き日本古代国家の成立過程からはじめて、その展開・崩壊と、そこから生まれてくる中世国家の形成過程、展開・崩壊を、論理的に考えながら「時代」像を構築してみます。具体的に当時の生の史料を解読しながら皆さんと一っしょに考えていきます。

高校までの日本史では原則として正解は一つでしたが、大学での日本史は正解は一つではありません。答えは私の講義を聴いた上で、皆さん各自で考えてみましょう。

皆さんから出された質問その他へのフィードバックは、まとめて最終授業で、講評や解説として実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序論・日本史の時代区分	科学ないし学問としての歴史学とは何かを考えます。そのための大前提が時代区分論です。ここで古代とは何かを定義します。

第2回	ヤマト王権－日本国家の初源	律令国家の前史として、ヤマト王権の最終的な国家の姿を検討してみます。
第3回	大化改新－古代史上最大の政治改革	対外的緊張の高まりのなかで、ヤマト政権の限界を打破して新国家体制を作るべく、古代史上最大のクーデターが実行されます。その政治改革の実像を検討してみます。
第4回	律令法の成立と展開	新国家体制の柱となった律令とは何かについて考えてみます。
第5回	律令国家の財政制度	古代国家の財政の特徴を、中央財政と地方財政とにわけて考えてみます。
第6回	在地首長と地方政治	通信手段が貧弱だった時代にわずか60余名の国司で日本を統治できたのはなぜか。現地に根ざした在地首長たちの姿を追ってみます。
第7回	古代家族論	世界史の奇跡と言われた「正倉院文書」中にはたくさんの戸籍があります。古代家族の真実の姿を考えてみます。
第8回	律令国家の転換	東大寺に代表される天平文化華やかかなりし時代は、じつは律令国家の大きな転換点でもありました。その実態を検討します。
第9回	公営田制－人から土地へ	戸籍によって人を支配する古代国家は、次第にその維持が難しくなります。変わって登場したのが土地を支配する体制でした。その実態を探ります。
第10回	王朝国家論	人から土地への変化は、中央政府の在り方は変えませんでした。地方政治は大きく変化しました。それを重視する「王朝国家論」について検討してみます。
第11回	摂関政治とは	地方の変化にもかかわらず中央で権勢を奮った貴族政治の実態とその力の源泉を探ってみます。
第12回	荘園制の展開	高校の日本史の先生方が一番嫌っている「荘園とは何か」をテーマに、じっくりと考えてみます。
第13回	院政の特徴-摂関政治との比較	摂関政治はやがて院政へと変化しました。なぜそうした変化が生まれ、両者の違いは何かについて考えてみます。
第14回	武家政権前夜	平氏政権から鎌倉幕府への道筋はどうやって引かれたのか。歴史的背景を探ってみます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は事前のテキスト内容の理解を期待します。人によって異なりますが、2時間が標準とされています。また事前にプリントなど補足教材を授業支援システムを通じて配布することもあります。その場合は、それを活用しながらテキストを読んでおくと、講義内容がいつそう分かりやすくなると思います。

実際に「歴史を考える」作業は授業のなかだけで完結するように講義を工夫して行います。復習しておく次回講義の理解に役立ちます。これも人によって異なりますが2時間程度が標準とされています。

【テキスト（教科書）】

日本史概論編集委員会編『日本史概論』（上）（同成社）

【参考書】

特に指定しません。必要に応じて補助プリントを授業支援システムを通じて配布します。

【成績評価の方法と基準】

基本的に期末試験（論述問題）によって行います（95%相当）。

この講義の目標である、現代と対話しながら「歴史を考える」という思考方法が身についたかどうかを、具体的に論述してもらって判断します。

なお受講生数によっては、講義中に質疑応答を設けることがありそれを反映することも予定しています（5%相当）。

【学生の意見等からの気づき】

高校日本史を履修していない人はやや難解なようです。ただ高校日本史を繰り返すつもりは全くありませんので。高校で日本史を履修しなかった人はあらかじめ日本古代史の概説書を読んでから受講することを勧めます。

【学生が準備すべき機器他】

とくになし

【その他の重要事項】

とくになし

【担当教員の専門分野等】

〈専門領域〉

日本古代史・法制史・北方史・国際日本学

〈研究テーマ〉

日本古代社会経済史・日中比較律令法史・古代中世北方史

〈主要研究業績〉

2010年、『古代末期・日本の境界－城久遺跡群と石江遺跡群』

2008年、『エミシ・エゾ・アイヌ』（編著）、岩田書院

2008年、「近時の在欧吐魯番出土漢文文書の整理・公開等をめぐって」『古文書研究』66

2007年、『『在ベルリン吐魯番出土漢文世俗文書総合目録』のその後－FileMakerによるDatebaseのWeb公開の一例として』『漢学文献情報処理研究』8

【Outline (in English)】

Course outline : In this lesson, we will examine from the birth of Japan to the modern society from various aspects such as politics, diplomacy, social economy, culture.

Learning Objectives : we will introduce specific methods to acquire the ability to "think" rather than "remember" the "history". In some cases, I also ask students opinions on interpretation of historical materials.

Learning activities outside of classroom : Before each class meeting, students will be expected to spend 30 minutes to understand the course content. After each class meeting, students will be expected to spend 20 minutes to understand the course content.

Grading Criteria /Policies : Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (95%), and in-class contribution (5%).

HIS100LA (史学/History 100)

日本史Ⅱ

2017年度以降入学者

小口 雅史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

東アジア世界の理解にあたって一つの共通の重要な視点となるのが、その土地制度の問題である。本講義では、舞台を日本に定め、その古代における土地制度がどのようなものであり、どのように運用されていたのかを、当時実際に書かれた様々な生の古文書（正倉院文書）を素材に考えることにする。また土地経営と深く関連する農民の実生活にもふれる。これによって現代日本の土地問題を理解するベースも構築される材に考えることにする。また土地経営と深く関連する農民の実生活にもふれる。

【到達目標】

土地の具体的経営方法や在地農民の世界を、現在に残された当時の生の古文書の正確な読解によって明らかにする。その際、公的機関による経営方式と個人による経営方式を比較する。それをもとに土地経営の問題から始まって古代社会の生活実態にできるだけ迫ることを目標とする。さらにまた、現代社会の理解にも通じる正確な歴史分析まで導き出せればなお良いと考える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に講義形式で進める。適宜パソコン画面を用い、古文書のデジタル処理を実演する。またスライドやビデオを用いて視覚的な理解をはかることも考えている。古文書読解は基本的に教員が行うが、受講生の理解度を勘案しながら、古文書の基本的な部分は受講生自身に読解してもらうことも考えている。そこで同時にフィードバックも行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	日本古代の土地制度と古代荘園	この講義を理解する前提として、律令制下の土地制度とそこから派生した古代荘園について考える。
第2回	日本古代の土地制度と政治史	律令制下の土地制度と政治がどのように関係しているのかを考える。
第3回	古代荘園の成立と支配方法－桑原荘を讀む－	中央官庁が直営した越前国桑原荘の成立と経営について考える。（テキスト1～3, 5, 7～11, 13号文書）
第4回	古代荘園・桑原荘経営の展開と崩壊	桑原荘の経営は大きな困難に直面する。その状況と溝開発などによる経営再建方針について考える。（テキスト同上）
第5回	古代荘園の支配方法－鯖田国富荘の場合－	桑原荘とは対照的に、経営史料をほとんど残さなかった、在地豪族直営の鯖田国富荘について考える。（テキスト6, 12号文書）

第6回	東大寺領古代荘園を侵略した農民たち	政治的に力を失った東大寺領荘園の経営の実態について考える。（テキスト30, 31, 39号文書）
第7回	東大寺弾圧下の在地豪族のありよう	東大寺弾圧下での在地豪族の動向について考える。（テキスト38, 39号文書）
第8回	東大寺の復権と寺領回復	東大寺による経営の復権過程を、越前を舞台に広く検討する。テキスト36, 39, 40号文書）
第9回	私信に見える個人の土地経営（1）－石山紙背文書とは－	正倉院文書の中の特殊な一群である石山紙背文書とはなにかについて考える。
第10回	私信に見える個人の土地経営（2）	安都雄足配下の現地湯有力農民の活動を考える。（テキスト14, 18, 20, 26～27号文書）
第11回	安都雄足をとりまく世界1	下級官人の私田経営の周辺について、関連する私信から古代世界を垣間見る。（テキスト25号）
第12回	安都雄足をとりまく世界2	下級官人の私田経営の周辺について、越前以外の畿内私田経営文書から考える。（テキストは学習支援システムで配付する）
第13回	安都雄足をとりまく世界3	古代人の書いたラブレター（？）を解説する。（テキストは学習支援システムで配付する）
第14回	試験と解説	講義の総まとめと試験を実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

特別な事前学習は必要としないが、テキストには利用する古文書の詳しい解説が付いているので、事前に解説などに目を通しておくと、講義が理解しやすくなると思われる。準備・復習時間は、人によって異なりますが、2時間程度が標準とされています。

【テキスト（教科書）】

『デジタル古文書集日本古代土地経営関係史料集成 東大寺領・北陸編（大学テキスト版）』（同成社）、定価税込2200円。割引予定有。このテキストは一般書店では購入できません。法政大学生協市ヶ谷購買書籍部でのみ販売します。なお一般書店で購入できる市販本は論文集をとまなう詳細版で、CD-ROMも付いていて、日本古代史に興味があり、本格的に勉強したい方には大いに役立ちます。こちらでも可ですが、高価(¥8000)です。

【参考書】

『土地所有史』（山川出版社）

【成績評価の方法と基準】

講義内容に即した試験によって行う（90%予定）。講義内で行われる史料読解の内容を考慮することもある（10%予定）。答案については、細かい点よりも、全体として論理的なまとまりをもって構成されているかどうかを重視する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

ごく一部、テキストに掲載されていない史料を扱います。それについては事前に学習支援システムにPDFでアップロードします。

【その他の重要事項】

高校日本史では学べない、古代人が自ら書き残した生の同時代史料（原文書）から歴史を再構築する世界を堪能してください。大学の歴史学とはなにかが分かれば、それは現代社会を正しく理解する目を養うことに繋がります。

【担当教員の専門分野等】

〈専門領域〉

日本古代史・法制史・北方史・国際日本学

〈研究テーマ〉

日本古代社会経済史・日中比較律令法史・古代中世北方史

〈主要研究業績〉

2010年、『古代末期・日本の境界－城久遺跡群と石江遺跡群』

2008年、『エミシ・エゾ・アイヌ』（編著）、岩田書院

2008年、『近時の在欧吐魯番出土漢文文書の整理・公開等をめぐって』『古文書研究』66

2007年、「『在ベルリン吐魯番出土漢文世俗文書総合目録』のその後－FileMakerによるDatabaseのWeb公開の一例として」『漢字文献情報処理研究』8

【Outline (in English)】

Course outline : In this lesson, we will examine how to manage land in ancient societies.

Learning Objectives : we will introduce specific methods to acquire the ability to "think" rather than "remember" the "history". In some cases, I also ask students opinions on interpretation of historical materials.

Learning activities outside of classroom : Before each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content. After each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content.

Grading Criteria /Policies : Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (90%), and in-class contribution (10%).

HIS100LA（史学/History 100）

日本史 I

2017年度以降入学者

小口 雅史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

歴史学は「現在と過去との対話」だと言われています。現代社会を理解し、その未来を展望するためには、過去の歩みの正しい理解が必要となります。とくに日本古代の歴史は、日本国家の原点であり、中国を中心とする東アジア世界の政治・外交秩序と密接な関係を保ちながら展開されました。まさに現代世界の基盤になったものです。

この講義では、こうした特徴ある日本古代史をベースに、1回毎に時代を代表するメルクマールを設定しますので、みなさんは、歴史の見方、歴史の流れを総体的・論理的にとらえ、現代との対話ができるようにする方法を取得することを目指して頑張ってください。

【到達目標】

暗記主体の高校までの日本史とは異なって、大学の日本史は、「歴史を考える」ことを目指します。そのことは、例えば中学校・高等学校で日本史を教える立場にたったときにも重要です。「歴史を考える」時に、必要となる知識の習得と歴史的事実の調べ方、その全体像の論理的構成方法を学ぶことになります。高校で学んだ教科書の記述がどのように成り立っているのか、その根拠になった学説にまで遡って根拠史料を踏まえて解説していきます。もはや、高校生のようにひたすら暗記することは必要ありません。なぜその時点で、そこで、その事象が発生したのかを論理的に考える力をつけましょう。

最終的には、古代の日本史像について、東アジア世界のなかの日本という国際環境ないし地理的視点を常に保ちながら、豊かで多様な価値観に支えられた新しい歴史像を構築する能力を養うことを目標とします。このことは現代社会を正しく理解し、さらには将来の社会生活において必ず役に立つはずで。

高校までの「勉強としての日本史」とはまったく異なる、大学での「学問としての日本史」「科学としての日本史」の魅力を十分味わってください

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に講義形式で進めます。適宜スライドやビデオを用いて視覚的な理解をはかることも考えています。

謎多き日本古代国家の成立過程からはじめて、その展開・崩壊と、そこから生まれてくる中世国家の形成過程、展開・崩壊を、論理的に考えながら「時代」像を構築してみます。具体的に当時の生の史料を解読しながら皆さんと一っしょに考えていきます。

高校までの日本史では原則として正解は一つでしたが、大学での日本史は正解は一つではありません。答えは私の講義を聴いた上で、皆さん各自で考えてみましょう。

皆さんから出された質問その他へのフィードバックは、まとめて最終授業で、講評や解説として実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序論・日本史の時代区分	科学ないし学問としての歴史学とは何かを考えます。そのための大前提が時代区分論です。ここで古代とは何かを定義します。

第2回	ヤマト王権－日本国家の初源	律令国家の前史として、ヤマト王権の最終的な国家の姿を検討してみます。
第3回	大化改新－古代史上最大の政治改革	対外的緊張の高まりのなかで、ヤマト政権の限界を打破して新国家体制を作るべく、古代史上最大のクーデターが実行されます。その政治改革の実像を検討してみます。
第4回	律令法の成立と展開	新国家体制の柱となった律令とは何かについて考えてみます。
第5回	律令国家の財政制度	古代国家の財政の特徴を、中央財政と地方財政とにわけて考えてみます。
第6回	在地首長と地方政治	通信手段が貧弱だった時代にわずか60余名の国司で日本を統治できたのはなぜか。現地に根ざした在地首長たちの姿を追ってみます。
第7回	古代家族論	世界史の奇跡と言われた「正倉院文書」中にはたくさんの戸籍があります。古代家族の真実の姿を考えてみます。
第8回	律令国家の転換	東大寺に代表される天平文化華やかかなりし時代は、じつは律令国家の大きな転換点でもありました。その実態を検討します。
第9回	公営田制－人から土地へ	戸籍によって人を支配する古代国家は、次第にその維持が難しくなります。変わって登場したのが土地を支配する体制でした。その実態を探ります。
第10回	王朝国家論	人から土地への変化は、中央政府の在り方は変えませんでした。地方政治は大きく変化しました。それを重視する「王朝国家論」について検討してみます。
第11回	摂関政治とは	地方の変化にもかかわらず中央で権勢を奮った貴族政治の実態とその力の源泉を探ってみます。
第12回	荘園制の展開	高校の日本史の先生方が一番嫌っている「荘園とは何か」をテーマに、じっくりと考えてみます。
第13回	院政の特徴-摂関政治との比較	摂関政治はやがて院政へと変化しました。なぜそうした変化が生まれ、両者の違いは何かについて考えてみます。
第14回	武家政権前夜	平氏政権から鎌倉幕府への道筋はどうやって引かれたのか。歴史的背景を探ってみます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は事前のテキスト内容の理解を期待します。人によって異なりますが、2時間が標準とされています。また事前にプリントなど補足教材を授業支援システムを通じて配布することもあります。その場合は、それを活用しながらテキストを読んでおくと、講義内容がいつそう分かりやすくなると思います。

実際に「歴史を考える」作業は授業のなかだけで完結するように講義を工夫して行います。復習しておく次回講義の理解に役立ちます。これも人によって異なりますが2時間程度が標準とされています。

【テキスト（教科書）】

日本史概論編集委員会編『日本史概論』（上）（同成社）

【参考書】

特に指定しません。必要に応じて補助プリントを授業支援システムを通じて配布します。

【成績評価の方法と基準】

基本的に期末試験（論述問題）によって行います（95%相当）。

この講義の目標である、現代と対話しながら「歴史を考える」という思考方法が身についたかどうかを、具体的に論述してもらって判断します。

なお受講生数によっては、講義中に質疑応答を設けることがありそれを反映することも予定しています（5%相当）。

【学生の意見等からの気づき】

高校日本史を履修していない人はやや難解なようです。ただ高校日本史を繰り返すつもりは全くありませんので。高校で日本史を履修しなかった人はあらかじめ日本古代史の概説書を読んでから受講することを勧めます。

【学生が準備すべき機器他】

とくになし

【その他の重要事項】

とくになし

【担当教員の専門分野等】

〈専門領域〉

日本古代史・法制史・北方史・国際日本学

〈研究テーマ〉

日本古代社会経済史・日中比較律令法史・古代中世北方史

〈主要研究業績〉

2010年、『古代末期・日本の境界－城久遺跡群と石江遺跡群』

2008年、『エミシ・エゾ・アイヌ』（編著）、岩田書院

2008年、「近時の在欧吐魯番出土漢文文書の整理・公開等をめぐって」『古文書研究』66

2007年、『『在ベルリン吐魯番出土漢文世俗文書総合目録』のその後－FileMakerによるDatabaseのWeb公開の一例として』『漢学文献情報処理研究』8

【Outline (in English)】

Course outline : In this lesson, we will examine from the birth of Japan to the modern society from various aspects such as politics, diplomacy, social economy, culture.

Learning Objectives : we will introduce specific methods to acquire the ability to "think" rather than "remember" the "history". In some cases, I also ask students opinions on interpretation of historical materials.

Learning activities outside of classroom : Before each class meeting, students will be expected to spend 30 minutes to understand the course content. After each class meeting, students will be expected to spend 20 minutes to understand the course content.

Grading Criteria /Policies : Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (95%), and in-class contribution (5%).

HIS100LA（史学/History 100）

日本史Ⅱ

2017年度以降入学者

小口 雅史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

東アジア世界の理解にあたって一つの共通の重要な視点となるのが、その土地制度の問題である。本講義では、舞台を日本に定め、その古代における土地制度がどのようなものであり、どのように運用されていたのかを、当時実際に書かれた様々な生の古文書（正倉院文書）を素材に考えることにする。また土地経営と深く関連する農民の実生活にもふれる。これによって現代日本の土地問題を理解するベースも構築される

【到達目標】

土地の具体的経営方法や在地農民の世界を、現在に残された当時の生の古文書の正確な読解によって明らかにする。その際、公的機関による経営方式と個人による経営方式を比較する。それをもとに土地経営の問題から始まって古代社会の生活実態にできるだけ迫ることを目標とする。さらにまた、現代社会の理解にも通じる正確な歴史分析まで導き出せればなお良いと考える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に講義形式で進める。適宜パソコン画面を用い、古文書のデジタル処理を実演する。またスライドやビデオを用いて視覚的な理解をはかることも考えている。古文書読解は基本的に教員が行うが、受講生の理解度を勘案しながら、古文書の基本的な部分は受講生自身に読解してもらうことも考えている。そこで同時にフィードバックも行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	日本古代の土地制度と古代荘園	この講義を理解する前提として、律令制下の土地制度とそこから派生した古代荘園について考える。
第2回	日本古代の土地制度と政治史	律令制下の土地制度と政治がどのように関係しているのかを考える。
第3回	古代荘園の成立と支配方法－桑原荘券を読む－	中央官庁が直営した越前国桑原荘の成立と経営について考える。（テキスト1～3, 5, 7～11, 13号文書）
第4回	古代荘園・桑原荘経営の展開と崩壊	桑原荘の経営は大きな困難に直面する。その状況と溝開発などによる経営再建方針について考える。（テキスト同上）
第5回	古代荘園の支配方法－鯖田国富荘の場合－	桑原荘とは対照的に、経営史料をほとんど残さなかった、在地豪族直営の鯖田国富荘について考える。（テキスト6, 12号文書）
第6回	東大寺領古代荘園を侵略した農民たち	政治的に力を失った東大寺領荘園の経営の実態について考える。（テキスト30, 31, 39号文書）

第7回	東大寺弾圧下の在地豪族のありよう	東大寺弾圧下での在地豪族の動向にいて考える。（テキスト38, 39号文書）
第8回	東大寺の復権と寺領回復	東大寺による経営の復権過程を、越前を舞台に広く検討する。テキスト36, 39, 40号文書）
第9回	私信に見える個人の土地経営（1）－石山紙背文書とは－	正倉院文書の中の特殊な一群である石山紙背文書とはなにかについて考える。
第10回	私信に見える個人の土地経営（2）	安都雄足配下の現地湯有力農民の活動を考える。（テキスト14, 18, 20, 26～27号文書）
第11回	安都雄足をとりまく世界1	下級官人の私田経営の周辺について、関連する私信から古代世界を垣間見る。（テキスト25号）
第12回	安都雄足をとりまく世界2	下級官人の私田経営の周辺について、越前以外の畿内私田経営文書から考える。（テキストは学習支援システムで配付する）
第13回	安都雄足をとりまく世界3	古代人の書いたラブレター（？）を解説する。（テキストは学習支援システムで配付する）
第14回	試験と解説	講義の総まとめと試験を実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

特別な事前学習は必要としないが、テキストには利用する古文書の詳しい解説が付いているので、事前に解説などに目を通しておくと、講義が理解しやすくなると思われる。準備・復習時間は、人によって異なりますが、2時間程度が標準とされています。

【テキスト（教科書）】

『デジタル古文書集日本古代土地経営関係史料集成 東大寺領・北陸編（大学テキスト版）』（同成社）、定価税込2200円。割引予定有。このテキストは一般書店では購入できません。法政大学生協市ヶ谷購買書籍部でのみ販売します。なお一般書店で購入できる市販本は論文集をとまう詳細版で、CD-ROMも付いていて、日本古代史に興味があり、本格的に勉強したい方には大いに役立ちます。こちらでも可ですが、高価(¥8000)です。

【参考書】

『土地所有史』（山川出版社）

【成績評価の方法と基準】

講義内容に即した試験によって行う（90%予定）。講義内で行われる史料読解の内容を考慮することもある（10%予定）。答案については、細かい点よりも、全体として論理的なまとまりをもって構成されているかどうかを重視する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

ごく一部、テキストに掲載されていない史料を扱います。それについては事前に学習支援システムにPDFでアップロードします。

【その他の重要事項】

高校日本史では学べない、古代人が自ら書き残した生の同時代史料（原文書）から歴史を再構築する世界を堪能してください。大学の歴史学とはなにかが分かれば、それは現代社会を正しく理解する目を養うことに繋がります。

【担当教員の専門分野等】

〈専門領域〉

日本古代史・法制史・北方史・国際日本学

〈研究テーマ〉

日本古代社会経済史・日中比較律令法史・古代中世北方史

〈主要研究業績〉

2010年、『古代末期・日本の境界－城久遺跡群と石江遺跡群』

2008年、『エミシ・エゾ・アイヌ』（編著）、岩田書院

2008年、『近時の在欧吐魯番出土漢文文書の整理・公開等をめぐって』『古文書研究』66

2007年、『在ベルリン吐魯番出土漢文世俗文書総合目録』のその後－FileMakerによるDatabaseのWeb公開の一例として』『漢学文献情報処理研究』8

【Outline (in English)】

Course outline : In this lesson, we will examine how to manage land in ancient societies.

Learning Objectives : we will introduce specific methods to acquire the ability to "think" rather than "remember" the "history". In some cases, I also ask students opinions on interpretation of historical materials.

Learning activities outside of classroom : Before each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content. After each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content.

Grading Criteria /Policies : Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (90%), and in-class contribution (10%).

HIS100LA (史学/History 100)

日本史 I

2017年度以降入学者

真辺 美佐

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、日本の誕生から始めて中世社会の終焉までを、政治・外交・社会経済・文化などの様々な側面から検討する。授業は講義を中心とし、近年の日本史研究の新しい成果を取り入れながら、「歴史」を「覚える」のではなく「考える」能力を身につける具体的手法を紹介していく。史料に基づいて「考える」ことができるように、授業中に適宜、重要史料を中心に提示して、史料から具体的歴史像を描き出せるように工夫する。場合によっては、受講者に史料解釈について意見を求めることも考えている。

【到達目標】

中学校・高等学校で日本史を教える上で必要となる知識の習得と歴史的事実の調べ方、その全体像の論理的構成方法を学ぶ。教科書の記述がどのように成り立っているのか、その根拠になった学説にまで遡って根拠史料を踏まえて解説する。古代から中世の日本史像について、東アジア世界のなかの日本という国際環境ないし地理的視点を常に保ちながら、豊かで多様な価値観に支えられた歴史像（文化を含む）を構築する能力を養うことを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、基本的に講義形式で進めますが、講義内容の理解度を確認するために、適宜、リアクションペーパーの提出を求めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	東アジアのなかの日本史とは何かを学問的に考えた上で、時代区分論の諸説を検討する。
2	倭国の誕生と東アジア世界	律令国家前史としてのヤマト王権とその対外関係を考察する。
3	律令国家の誕生と国際環境	大化の改新を中心にヤマト王権から律令国家への転換を国際環境のなかで位置づける。
4	古代家族と在地首長制	律令国家における古代家族と在地首長制の実態について考察する。
5	律令国家の展開と終焉	皇位継承問題と藤原氏の台頭を中心に律令国家の展開とその終焉を考察する。
6	東アジア世界の文化と国風文化	中国の影響下で形成された日本文化の展開とその特徴を考察する。
7	摂関政治と王朝国家	摂関期の国家の歴史的特徴を検討する。
8	院政の展開と日宋貿易	古代から中世への変容と院政期の特徴を考察し、併せて日宋貿易の役割についても考える。
9	武士の誕生と鎌倉幕府	武士の誕生について、北方世界の動向を踏まえながら検討する。

10	執権政治の展開と元寇	執権政治を概括した上で、元寇がそれに与えた影響を考える。
11	建武新政と室町幕府の展開	鎌倉幕府と室町幕府を比較し、室町幕府が成立した背景を考える。
12	日明関係と室町文化の特質	日明関係の影響を受けた室町文化の特徴を考察する。
13	戦国の動乱と関東地方	室町幕府の崩壊過程と幕府の勢力地盤である関東地方の変化を考察する。
14	試験と解説	古代とは何か、中世とは何かを総体的に考え、その成果を各自答案に記述してもらう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

毎回、プリントを配付します。

【参考書】

随時、授業で紹介しします。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の成績による評価（70％）。授業への積極的な貢献度（課題提出含む）（30％）。

【学生の意見等からの気づき】

難解な用語や複雑な論点については、分かりやすく丁寧な説明を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

資料配付・課題提出等は、学習支援システムを利用します。

【Outline (in English)】

This course explores Japanese history from its origins to the end of the medieval period, examining various aspects such as politics, diplomacy, society, economy, and culture. The lectures incorporate significant historical sources and recent advancements in historical research. Rather than focusing on rote memorization, this course aims to develop students' ability to critically engage with history by introducing concrete methods for historical analysis. Key historical materials will be presented during lectures to help students construct detailed historical narratives, and participants may occasionally be invited to share their interpretations of these sources. By the end of the course, students are expected to enhance their critical thinking skills.

HIS100LA（史学/History 100）

日本史Ⅱ

2017年度以降入学者

真辺 美佐

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、近世社会の成立から現代までを、政治・外交・社会経済・文化などの様々な側面から検討する。授業は講義を中心とし、近年の日本史研究の新しい成果を取り入れながら、「歴史」を「覚える」のではなく、「考える」能力を身につける具体的手法を紹介していく。史料に基づいて「考える」ことができるように、授業中に適宜、重要史料を中心に提示して、史料から具体的歴史像を描き出せるように工夫する。場合によっては、受講者に史料解釈について意見を求めることも考えている。

【到達目標】

中学校・高等学校で日本史を教える上で必要となる知識の習得と歴史的事実の調べ方、その全体像の論理的構成方法を学ぶ。教科書の記述がどのように成り立っているのか、その根拠になった学説にまで遡って根拠史料を踏まえて解説する。近世から近代の日本史像について、世界のなかの日本という国際環境ないし地理的視点を常に保ちながら、豊かで多様な価値観に支えられた歴史像（文化を含む）を構築する能力を養うことを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、基本的に講義形式で進めますが、講義内容の理解度を確認するために、適宜、リアクションペーパーの提出を求めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	世界のなかの近世・近代日本について、時代区分に関する諸説を中心に検討する。
2	江戸幕府の成立と地域社会	織田・豊臣政権から徳川政権への移行の歴史的背景とそれぞれの地域社会の特徴を説明する。
3	寛永期の政治と国際関係	寛永期の政治の特徴を考察した上で、国際関係のなかの「鎖国」の意義を問う。
4	元禄・享保期の政治と社会	元禄・享保期の政治と社会・文化の特徴を検討する。
5	近世村落の運営と租税	近世村落の運営と租税の特徴を概括した上で、他の時代と比較する。
6	近世文化の展開と文化遺産	近世文化の展開を概括した上で、現代に引き継がれている文化遺産の今を考える。
7	近世社会の変容と政治状況	政治状況のなかで近世社会がどのように変容して近代社会を形成していくのかを考察する。
8	明治維新と近代国家の形成	明治維新の概念を規定した上で、国家としての近代化の歩みを追う。
9	近代産業の発展と国際環境	国際環境のなかで近代化が進められた産業の展開を追う。

10	政党政治の展開	日本の政党政治の歴史的特徴を検討し、他国と比較する。
11	二つの世界大戦と国際状況	国際状況のなかの二つの世界大戦に対する日本の対応を比較検討する。
12	近代文化の展開と東京の文化遺産	近代文化の展開を概括した上で、今に残る東京の文化遺産について考える。
13	戦後政治の動向と国際社会	国際社会における戦後日本の歴史について、今日的課題も踏まえながら考察する。
14	試験と解説	近世とは何か、近代とは何かを総体的に考え、その成果を各自答案に記述してもらう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

毎回、プリントを配付します。

【参考書】

随時、授業で紹介しします。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の成績による評価（70％）。授業への積極的な貢献度（課題提出含む）（30％）。

【学生の意見等からの気づき】

難解な用語や複雑な論点については、分かりやすく丁寧な説明を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

資料配付・課題提出等は、学習支援システムを利用します。

【Outline (in English)】

This course examines Japanese history from the early modern period to the present, exploring various aspects such as politics, diplomacy, society, economy, and culture. The lectures incorporate significant historical materials and recent findings in Japanese historical research. Rather than focusing on rote memorization, the course aims to develop students' ability to critically analyze history by introducing concrete methods for historical thinking. Key historical sources will be presented during lectures to help students construct detailed historical narratives, and participants may occasionally be invited to share their interpretations of these sources. By the end of the course, students are expected to enhance their critical thinking skills.

HIS100LA（史学/History 100）

日本史 I

2017年度以降入学者

小口 雅史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

歴史学は「現在と過去との対話」だと言われています。現代社会を理解し、その未来を展望するためには、過去の歩みの正しい理解が必要となります。とくに日本古代の歴史は、日本国家の原点であり、中国を中心とする東アジア世界の政治・外交秩序と密接な関係を保ちながら展開されました。まさに現代世界の基盤になったものです。

この講義では、こうした特徴ある日本古代史をベースに、1回毎に時代を代表するメルクマールを設定しますので、みなさんは、歴史の見方、歴史の流れを総体的・論理的にとらえ、現代との対話ができるようにする方法を取得することを目指して頑張ってください。

【到達目標】

暗記主体の高校までの日本史とは異なって、大学の日本史は、「歴史を考える」ことを目指します。そのことは、例えば中学校・高等学校で日本史を教える立場にたったときにも重要です。「歴史を考える」時に、必要となる知識の習得と歴史的事実の調べ方、その全体像の論理的構成方法を学ぶことになります。高校で学んだ教科書の記述がどのように成り立っているのか、その根拠になった学説にまで遡って根拠史料を踏まえて解説していきます。もはや、高校生のようにひたすら暗記することは必要ありません。なぜその時点で、そこで、その事象が発生したのかを論理的に考える力をつけましょう。

最終的には、古代の日本史像について、東アジア世界のなかの日本という国際環境ないし地理的視点を常に保ちながら、豊かで多様な価値観に支えられた新しい歴史像を構築する能力を養うことを目標とします。このことは現代社会を正しく理解し、さらには将来の社会生活において必ず役に立つはずで。

高校までの「勉強としての日本史」とはまったく異なる、大学での「学問としての日本史」「科学としての日本史」の魅力を十分味わってください

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に講義形式で進めます。適宜スライドやビデオを用いて視覚的な理解をはかることも考えています。

謎多き日本古代国家の成立過程からはじめて、その展開・崩壊と、そこから生まれてくる中世国家の形成過程、展開・崩壊を、論理的に考えながら「時代」像を構築してみます。具体的に当時の生の史料を解読しながら皆さんと一っしょに考えていきます。

高校までの日本史では原則として正解は一つでしたが、大学での日本史は正解は一つではありません。答えは私の講義を聴いた上で、皆さん各自で考えてみましょう。

皆さんから出された質問その他へのフィードバックは、まとめて最終授業で、講評や解説として実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序論・日本史の時代区分	科学ないし学問としての歴史学とは何かを考えます。そのための大前提が時代区分論です。ここで古代とは何かを定義します。

第2回	ヤマト王権－日本国家の初源	律令国家の前史として、ヤマト王権の最終的な国家の姿を検討してみます。
第3回	大化改新－古代史上最大の政治改革	対外的緊張の高まりのなかで、ヤマト政権の限界を打破して新国家体制を作るべく、古代史上最大のクーデターが実行されます。その政治改革の実像を検討してみます。
第4回	律令法の成立と展開	新国家体制の柱となった律令とは何かについて考えてみます。
第5回	律令国家の財政制度	古代国家の財政の特徴を、中央財政と地方財政とにわけて考えてみます。
第6回	在地首長と地方政治	通信手段が貧弱だった時代にわずか60余名の国司で日本を統治できたのはなぜか。現地に根ざした在地首長たちの姿を追ってみます。
第7回	古代家族論	世界史の奇跡と言われた「正倉院文書」中にはたくさんの戸籍があります。古代家族の真実の姿を考えてみます。
第8回	律令国家の転換	東大寺に代表される天平文化華やかかなりし時代は、じつは律令国家の大きな転換点でもありました。その実態を検討します。
第9回	公営田制－人から土地へ	戸籍によって人を支配する古代国家は、次第にその維持が難しくなります。変わって登場したのが土地を支配する体制でした。その実態を探ります。
第10回	王朝国家論	人から土地への変化は、中央政府の在り方は変えませんでした。地方政治は大きく変化しました。それを重視する「王朝国家論」について検討してみます。
第11回	摂関政治とは	地方の変化にもかかわらず中央で権勢を奮った貴族政治の実態とその力の源泉を探ってみます。
第12回	荘園制の展開	高校の日本史の先生方が一番嫌っている「荘園とは何か」をテーマに、じっくりと考えてみます。
第13回	院政の特徴-摂関政治との比較	摂関政治はやがて院政へと変化しました。なぜそうした変化が生まれ、両者の違いは何かについて考えてみます。
第14回	武家政権前夜	平氏政権から鎌倉幕府への道筋はどうやって引かれたのか。歴史的背景を探ってみます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は事前のテキスト内容の理解を期待します。人によって異なりますが、2時間が標準とされています。また事前にプリントなど補足教材を授業支援システムを通じて配布することもあります。その場合は、それを活用しながらテキストを読んでおくと、講義内容がいつそう分かりやすくなると思います。

実際に「歴史を考える」作業は授業のなかだけで完結するように講義を工夫して行います。復習しておくことと次回の講義の理解に役立ちます。これも人によって異なりますが2時間程度が標準とされています。

【テキスト（教科書）】

日本史概論編集委員会編『日本史概論』（上）（同成社）

【参考書】

特に指定しません。必要に応じて補助プリントを授業支援システムを通じて配布します。

【成績評価の方法と基準】

基本的に期末試験（論述問題）によって行います（95%相当）。

この講義の目標である、現代と対話しながら「歴史を考える」という思考方法が身についたかどうかを、具体的に論述してもらって判断します。

なお受講生数によっては、講義中に質疑応答を設けることがありそれを反映することも予定しています（5%相当）。

【学生の意見等からの気づき】

高校日本史を履修していない人はやや難解なようです。ただ高校日本史を繰り返すつもりは全くありませんので。高校で日本史を履修しなかった人はあらかじめ日本古代史の概説書を読んでから受講することを勧めます。

【学生が準備すべき機器他】

とくになし

【その他の重要事項】

とくになし

【担当教員の専門分野等】

〈専門領域〉

日本古代史・法制史・北方史・国際日本学

〈研究テーマ〉

日本古代社会経済史・日中比較律令法史・古代中世北方史

〈主要研究業績〉

2010年、『古代末期・日本の境界－城久遺跡群と石江遺跡群』

2008年、『エミシ・エゾ・アイヌ』（編著）、岩田書院

2008年、「近時の在欧吐魯番出土漢文文書の整理・公開等をめぐって」『古文書研究』66

2007年、『『在ベルリン吐魯番出土漢文世俗文書総合目録』のその後－FileMakerによるDatabaseのWeb公開の一例として』『漢学文献情報処理研究』8

【Outline (in English)】

Course outline : In this lesson, we will examine from the birth of Japan to the modern society from various aspects such as politics, diplomacy, social economy, culture.

Learning Objectives : we will introduce specific methods to acquire the ability to "think" rather than "remember" the "history". In some cases, I also ask students opinions on interpretation of historical materials.

Learning activities outside of classroom : Before each class meeting, students will be expected to spend 30 minutes to understand the course content. After each class meeting, students will be expected to spend 20 minutes to understand the course content.

Grading Criteria /Policies : Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (95%), and in-class contribution (5%).

HIS100LA（史学/History 100）	
日本史Ⅱ	2017年度以降入学者
小口 雅史	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金3/Fri.3	
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

東アジア世界の理解にあたって一つの共通の重要な視点となるのが、その土地制度の問題である。本講義では、舞台を日本に定め、その古代における土地制度がどのようなものであり、どのように運用されていたのかを、当時実際に書かれた様々な生の古文書（正倉院文書）を素材に考えることにする。また土地経営と深く関連する農民の実生活にもふれる。これによって現代日本の土地問題を理解するベースも構築される

【到達目標】

土地の具体的経営方法や在地農民の世界を、現在に残された当時の生の古文書の正確な読解によって明らかにする。その際、公的機関による経営方式と個人による経営方式を比較する。それをもとに土地経営の問題から始まって古代社会の生活実態にできるだけ迫ることを目標とする。さらにまた、現代社会の理解にも通じる正確な歴史分析まで導き出せればなお良いと考える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に講義形式で進める。適宜パソコン画面を用い、古文書のデジタル処理を実演する。またスライドやビデオを用いて視覚的な理解をはかることも考えている。古文書読解は基本的に教員が行うが、受講生の理解度を勘案しながら、古文書の基本的な部分は受講生自身に読解してもらうことも考えている。そこで同時にフィードバックも行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	日本古代の土地制度と古代荘園	この講義を理解する前提として、律令制下の土地制度とそこから派生した古代荘園について考える。
第2回	日本古代の土地制度と政治史	律令制下の土地制度と政治がどのように関係しているのかを考える。
第3回	古代荘園の成立と支配方法－桑原荘券を読む－	中央官庁が直営した越前国桑原荘の成立と経営について考える。（テキスト1～3, 5, 7～11, 13号文書）
第4回	古代荘園・桑原荘経営の展開と崩壊	桑原荘の経営は大きな困難に直面する。その状況と溝開発などによる経営再建方針について考える。（テキスト同上）
第5回	古代荘園の支配方法－鯖田国富荘の場合－	桑原荘とは対照的に、経営史料をほとんど残さなかった、在地豪族直営の鯖田国富荘について考える。（テキスト6, 12号文書）
第6回	東大寺領古代荘園を侵略した農民たち	政治的に力を失った東大寺領荘園の経営の実態について考える。（テキスト30, 31, 39号文書）

第7回	東大寺弾圧下の在地豪族のありよう	東大寺弾圧下での在地豪族の動向にいて考える。（テキスト38, 39号文書）
第8回	東大寺の復権と寺領回復	東大寺による経営の復権過程を、越前を舞台に広く検討する。テキスト36, 39, 40号文書）
第9回	私信に見える個人の土地経営（1）－石山紙背文書とは－	正倉院文書の中の特殊な一群である石山紙背文書とはなにかについて考える。
第10回	私信に見える個人の土地経営（2）	安都雄足配下の現地湯有力農民の活動を考える。（テキスト14, 18, 20, 26～27号文書）
第11回	安都雄足をとりまく世界1	下級官人の私田経営の周辺について、関連する私信から古代世界を垣間見る。（テキスト25号）
第12回	安都雄足をとりまく世界2	下級官人の私田経営の周辺について、越前以外の畿内私田経営文書から考える。（テキストは学習支援システムで配付する）
第13回	安都雄足をとりまく世界3	古代人の書いたラブレター（？）を解説する。（テキストは学習支援システムで配付する）
第14回	試験と解説	講義の総まとめと試験を実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

特別な事前学習は必要としないが、テキストには利用する古文書の詳しい解説が付いているので、事前に解説などに目を通しておくと、講義が理解しやすくなると思われる。準備・復習時間は、人によって異なりますが、2時間程度が標準とされています。

【テキスト（教科書）】

『デジタル古文書集日本古代土地経営関係史料集成 東大寺領・北陸編（大学テキスト版）』（同成社）、定価税込2200円。割引予定有。このテキストは一般書店では購入できません。法政大学生協市ヶ谷購買書籍部でのみ販売します。なお一般書店で購入できる市販本は論文集をとまう詳細版で、CD-ROMも付いていて、日本古代史に興味があり、本格的に勉強したい方には大いに役立ちます。こちらでも可ですが、高価(¥8000)です。

【参考書】

『土地所有史』（山川出版社）

【成績評価の方法と基準】

講義内容に即した試験によって行う（90%予定）。講義内で行われる史料読解の内容を考慮することもある（10%予定）。答案については、細かい点よりも、全体として論理的なまとまりをもって構成されているかどうかを重視する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

ごく一部、テキストに掲載されていない史料を扱います。それについては事前に学習支援システムにPDFでアップロードします。

【その他の重要事項】

高校日本史では学べない、古代人が自ら書き残した生の同時代史料（原文書）から歴史を再構築する世界を堪能してください。大学の歴史学とはなにかが分かれば、それは現代社会を正しく理解する目を養うことに繋がります。

【担当教員の専門分野等】

〈専門領域〉
日本古代史・法制史・北方史・国際日本学
〈研究テーマ〉
日本古代社会経済史・日中比較律令法史・古代中世北方史
〈主要研究業績〉
2010年、『古代末期・日本の境界－城久遺跡群と石江遺跡群』
2008年、『エミシ・エゾ・アイヌ』（編著）、岩田書院
2008年、『近時の在欧吐魯番出土漢文文書の整理・公開等をめぐって』『古文書研究』66
2007年、『在ベルリン吐魯番出土漢文世俗文書総合目録』のその後－FileMakerによるDatabaseのWeb公開の一例として』『漢学文献情報処理研究』8

【Outline (in English)】

Course outline : In this lesson, we will examine how to manage land in ancient societies.

Learning Objectives : we will introduce specific methods to acquire the ability to "think" rather than "remember" the "history". In some cases, I also ask students opinions on interpretation of historical materials.

Learning activities outside of classroom : Before each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content. After each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content.

Grading Criteria /Policies : Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (90%), and in-class contribution (10%).

HIS100LA（史学 / History 100）

日本史 I

2017年度以降入学者

芳賀 和樹

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、日本の誕生から中世社会の終焉までを、政治・対外関係・社会経済・文化などの様々な側面から考えます。授業は講義を中心とし、近年の日本史研究の新しい成果を取り入れながら、「歴史」を「覚える」のではなく「考える」能力を身につけていきます。史料に基づいて「考える」ことができるように、授業中に適宜、重要史料を提示してその解釈を検討し、史料から具体的な歴史像を描き出せるようにします。

【到達目標】

中学校・高等学校で日本史を教える上で必要となる知識の習得と歴史的事実の調べ方、その全体像の論理的構成方法を学びます。教科書の記述がどのように成り立っているのか、その根拠になった学説にまで遡って根拠史料を踏まえて解説します。古代から中世の日本史像について、東アジア世界のなかの日本という国際環境ないし地理的視点を常に保ちながら、豊かで多様な価値観に支えられた歴史像（文化を含む）を構築する能力を養うことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、原則として対面による講義形式で行います。各回の授業は、主として配布資料により、シラバス通りに実施します。ワークシートの提出等により、学習状況を確認しながら進めます。提出されたワークシートについては、いくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンスー東アジア世界の中の日本	授業の概要と進め方について説明し、東アジア世界という視点から日本の歴史を考える意味について学ぶ
第2回	倭国の誕生と東アジア世界	倭王権の成立と東アジアの国際情勢から、古代国家形成について学ぶ
第3回	律令国家の誕生と国際環境	律令国家の成立・展開と対外関係について学ぶ
第4回	古代家族と在地首長制	古代の婚姻と家族の様相、在地首長制について学ぶ
第5回	律令国家の展開と終焉	桓武・嵯峨天皇の時代と政治改革、律令制的地方支配の行き詰まりについて学ぶ
第6回	東アジア世界の文化と国風文化	10世紀以降の東アジアの国際情勢と対外関係、貴族社会と国風文化について学ぶ
第7回	摂関政治と王朝国家	摂関政治の成立と展開、王朝国家期の政治・社会について学ぶ
第8回	院政の展開と日宋貿易	院政の開始と展開、平氏の台頭と日宋貿易について学ぶ

第9回	武士の誕生と鎌倉幕府	武士の誕生から鎌倉幕府の成立までの過程と、幕府の支配体制について学ぶ
第10回	執権政治の展開と元寇	北条氏の権力掌握と執権政治、元寇が政治・社会に与えた影響と鎌倉幕府の衰退について学ぶ
第11回	建武新政と室町幕府の展開	鎌倉幕府の滅亡と建武の新政、南北朝の内乱から室町幕府の統治体制確立までの過程について学ぶ
第12回	日明関係と室町文化の特質	15・16世紀における東アジア世界の活発な交流と、室町文化の特質について学ぶ
第13回	戦国の動乱と関東地方	戦国大名の登場とその支配体制、享徳の乱と関東地方の戦国時代の様相について学ぶ
第14回	総括と試験	授業内容を総括し、試験を実施する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

配布資料やテーマに関連する参考書などを確認し、準備学習と復習をしてください。授業で提示した史料についても復習し、史料に基づいて考える姿勢を養ってください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に指定しません。授業資料を配付します。

【参考書】

佐々木潤之介ほか編（2000）『概論 日本歴史』吉川弘文館

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、授業での学習状況（50％）、期末試験（50％）により行います。授業での学習状況を評価するため、毎回、指定したワークシートを提出してください。期末試験は授業内容の理解度に応じて評価します。

【学生の意見等からの気づき】

難解な歴史用語などについては、わかりやすく丁寧な説明を心がけます。今年度も、授業の冒頭にて、前回の授業に関する質問や考察などに対するフィードバックの時間を設けたいと思います。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】

In this course, students will consider the period from the birth of Japan to the end of middle ages society from various aspects such as politics, foreign relations, social economy, and culture. The course will consist mainly of lectures, incorporating new results of recent research on Japanese history, while developing the ability to "think" rather than "memorize" history. In order to enable students to "think" based on historical documents, important historical documents will be presented and their interpretations will be considered as appropriate, so that students will be able to draw a concrete historical image from historical documents.

【到達目標（Learning Objectives）】

The course is designed to provide students with the knowledge necessary for teaching Japanese history in junior high and high schools, how to research historical facts and how to logically structure the overall picture. The course will explain how the descriptions in the textbooks are based on the historical evidence, tracing back to the academic theories on which they are based. The goal is to develop the ability to construct an image of Japanese history (including culture) from ancient times to the Middle Ages, supported by rich and diverse values, while always maintaining the international environment and geographical perspective of Japan within the East Asian world. 【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】 Please review the handouts and reference books related to the theme for preparatory study and review. Please also review the historical materials presented in class and develop an attitude of thinking based on the historical materials. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】

Grading will be based on class work (50%) and a final exam (50%). In order to evaluate your learning in class, please submit the designated worksheet each time. The final exam will be graded according to the level of understanding of the class content.

HIS100LA（史学/History 100）

日本史Ⅱ

2017年度以降入学者

芳賀 和樹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、近世社会の成立から現代までを、政治・対外関係・社会経済・文化などの様々な側面から検討します。授業は講義を中心とし、近年の日本史研究の新しい成果を取り入れながら、「歴史」を「覚える」のではなく、「考える」能力を身につけていきます。史料に基づいて「考える」ことができるように、適宜、重要史料を提示してその解釈を検討し、史料から具体的な歴史像を描き出せるようにします。

【到達目標】

中学校・高等学校で日本史を教える上で必要となる知識の習得と歴史的事実の調べ方、その全体像の論理的構成方法を学びます。教科書の記述がどのように成り立っているのか、その根拠になった学説にまで遡って根拠史料を踏まえて解説します。近世から近代の日本史像について、世界のなかの日本という国際環境ないし地理的視点を常に保ちながら、豊かで多様な価値観に支えられた歴史像（文化を含む）を構築する能力を養うことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、原則として対面による講義形式で行います。各回の授業は、主として配付資料により、シラバス通りに実施します。ワークシートの提出等により、学習状況を確認しながら進めます。提出されたワークシートについては、いくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス—世界のなかの近世・近代日本	時代区分における近世と近代の位置づけについて、世界のなかの日本という視点を意識しながら学ぶ
第2回	江戸幕府の成立と地域社会	天皇・将軍・大名・寺社・庶民などの動向を視野に入れながら、江戸幕府の成立について学ぶ
第3回	寛永期の政治と国際関係	寛永期における幕府政治の動向と対外関係の特質について学ぶ
第4回	元禄・享保期の政治と社会	元禄・享保期における幕府政治の課題と地域社会の動向について学ぶ
第5回	近世村落の運営と租税	家族や生業の様子を視野に入れながら、近世村落の運営と租税の仕組みについて学ぶ
第6回	近世文化の展開と文化遺産	文化遺産の観点から、文学・美術・芸能・信仰などの近世文化について学ぶ
第7回	近世社会の変容と政治状況	近世後期における社会の変容と幕府政治の課題について学ぶ
第8回	明治維新と近代国家の形成	開国から江戸幕府の終焉までを把握し、明治維新と近代国家の形成について学ぶ

第9回	近代産業の発展と国際環境	国際的な動向に着目しつつ、殖産興業政策や「産業革命」期における諸産業の発展について学ぶ
第10回	政党政治の展開	自由民権運動から政党内閣までの展開について学ぶ
第11回	二つの世界大戦と国際状況	第一次世界大戦、第二次世界大戦における日本の思惑と国際状況の変容について学ぶ
第12回	近代文化の展開と東京の文化遺産	文学・美術・建築・教育などの近代文化と、東京に遺る文化遺産について学ぶ
第13回	戦後政治の動向と国際社会	戦後の民主化政策と国際社会への復帰について学ぶ
第14回	総括と試験	授業を総括し、試験を実施する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

配布資料やテーマに関連する参考書などを確認し、準備学習と復習をしてください。授業で提示した史料についても復習し、史料に基づいて考える姿勢を養ってください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に指定しません。授業資料を配付します。

【参考書】

佐々木潤之介ほか編（2000）『概論 日本歴史』吉川弘文館

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、授業での学習状況（50％）、期末試験（50％）により行います。授業での学習状況を評価するため、毎回、指定したワークシートを提出してください。期末試験は授業内容の理解度に応じて評価します。

【学生の意見等からの気づき】

難解な歴史用語などについては、わかりやすく丁寧な説明を心がけます。今年度も、授業の冒頭にて、前回の授業に関する質問や考察などに対するフィードバックの時間を設けたいと思います。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】

In this course, students will consider the period from the establishment of early modern society to the formation of modern society from various aspects such as politics, foreign relations, social economy, and culture. The course will consist mainly of lectures, incorporating new results of recent research on Japanese history, while developing the ability to "think" rather than "memorize" history. In order to enable students to "think" based on historical documents, important historical documents will be presented and their interpretations will be considered as appropriate, so that students will be able to draw a concrete historical image from historical documents.

【到達目標（Learning Objectives）】

The course is designed to provide students with the knowledge necessary for teaching Japanese history in junior high and high schools, how to research historical facts and how to logically structure the overall picture. The course will explain how the descriptions in the textbooks are based on the historical evidence, tracing back to the academic theories on which they are based. The goal is to develop the ability to construct an image of Japanese history (including culture) from the early modern period to the modern period, supported by rich and diverse values, while always maintaining the international environment and geographical perspective of Japan in the world.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Please review the handouts and reference books related to the theme for preparatory study and review. Please also review the historical materials presented in class and develop an attitude of thinking based on the historical materials. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】

Grading will be based on class work (50%) and a final exam (50%). In order to evaluate your learning in class, please submit the designated worksheet each time. The final exam will be graded according to the level of understanding of the class content.

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

宗教論 I

2017年度以降入学者

榎本 香織

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

古代から現代における主要な宗教の概略を学び、基本的な理解を深めていく。

【到達目標】

日本および世界の宗教の基礎を知ること、日本の宗教文化および異文化への理解を深めると同時に、人間にとって「宗教とは何か？」を考えることができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。教科書は使用せず、レジュメを配布して授業を進める。講義の最後（10分程度）にリアクションペーパーを書き、提出。質問やコメントに対するフィードバックは次回講義冒頭（15-20分程度）にて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	講義全体の説明、「宗教 (Religion)」とは何か？
2	なぜ宗教は生まれたのか	宗教の発生を人類の起源や進化の観点から考察する
3	宗教形態の基本知識	一神教、多神教、アニミズムなど
4	世界の主要宗教を概観する (1)	ユダヤ教
5	世界の主要宗教を概観する (2)	キリスト教
6	世界の主要宗教を概観する (3)	イスラム教
7	世界の主要宗教を概観する (4)	仏教
8	日本の宗教 (1)	神道と仏教（神仏習合）
9	日本の宗教 (2)	新宗教、民俗信仰など
10	日本の宗教 (3)	ニューエイジ、スピリチュアリティ
11	宗教現象の分析 (1)	祈り、儀礼
12	宗教現象の分析 (2)	シャーマニズム
13	宗教現象の分析 (3)	現代社会と宗教
14	まとめ、試験	振り返りと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間程度を標準とする。準備としては、講義のテーマごとに自分に合った本を見つけて目を通し、講義後はレジュメや講義内容を元に関心を持ったことを掘り下げるなどすることが望ましい。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。

【参考書】

中村圭志『エッセンシャル版 図解世界5大宗教全史』（2016年、ディスカヴァー・トゥエンティワン）
 脇本平也『宗教学入門』（1997年、講談社学術文庫）

その他、講義内で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点：50%、期末試験：50%。両方を合わせて総合的に評価。前者はリアクションペーパーの内容および参加度、後者は試験により「到達目標」がどの程度達成されているかによって評価する。

【学生の意見等からの気づき】

単なる知識・情報としてだけでなく、宗教をより身近なものとして考えることのできる内容を目指したいと思います。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course deals with an overview and basic understanding of the major religions from ancient times to the present.

(Learning Objectives) The goal of this course is to deepen students' understanding of Japanese religious culture and other cultures, and to enable them to consider "What is religion for human beings?".

(Learning activities outside of classroom) As preparation, it is advisable to find and read books suitable for each lecture topic, and after the lecture, it is advisable to do in-depth research on what you are particularly interested in based on what you have learned.

Before/after each class, students will be expected to spend 2 hours each.

(Grading Criteria /Policy) Grading will be decided based on in-class contribution (50%) and term-end examination (50%). The former is based on the content of the reaction paper and the level of participation, and the latter is based on the degree to which the "Learning Objectives" have been achieved through the examination.

PHL100LA (哲学/Philosophy 100)

宗教論Ⅱ

2017年度以降入学者

榎本 香織

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「宗教論Ⅰ」から引き続き、主要な宗教現象を横断的に更に掘り下げる。私たちと宗教がどのように結び付いているかを、より専門的な観点から学ぶ。

【到達目標】

宗教や宗教研究のあり方への理解をさらに深める。現代における宗教の役割や意義について客観的に捉え・考察できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。教科書は使用せず、レジュメを配布して授業を進める。講義の最後（10分程度）にリアクションペーパーを書き、提出。質問やコメントに対するフィードバックは次回講義冒頭（15-20分程度）にて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	講義全体の説明、宗教論を学ぶことについて
2	宗教と宗教論	宗教と宗教論(宗教学)との違いについて
3	宗教的世界観 (1)	神話、伝説
4	宗教的世界観 (2)	聖と俗、ハレとケなど
5	宗教的世界観 (3)	死生観、他界観など
6	宗教的行為 (1)	祈りについて
7	宗教的行為 (2)	儀礼について
8	宗教的行為 (3)	修行、戒律について
9	宗教的行為 (4)	祭りについて
10	現代社会と宗教 (1)	宗教・呪術・科学
11	現代社会と宗教 (2)	宗教とメディアの歴史
12	現代社会と宗教 (3)	宗教と公共性
13	現代社会と宗教 (4)	宗教といのち
14	まとめ、試験	振り返りと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間程度を標準とする。準備としては、講義のテーマごとに自分に合った本を見つけて目を通し、講義後はレジュメや講義内容を元に関心を持ったことを掘り下げるなどすることが望ましい。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。

【参考書】

島園進、他『宗教学キーワード』（2006年、有斐閣）
 石井研士『テレビと宗教』（2008年、中公新書ラクレ）
 宗教者災害支援連絡会（編）『災害支援ハンドブック：宗教者の実践とその協働』（2016年、春秋社）
 その他、講義内で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点：50%、期末試験：50%。両方を合わせて総合的に評価。前者はリアクションペーパーの内容および参加度、後者は試験により「到達目標」がどの程度達成されているかによって評価する。

【学生の意見等からの気づき】

私たちを取り巻く宗教を単なる知識・情報としてだけでなく、より身近なものとして客観的に捉え、考えることのできる内容にしたいと思います。

【その他の重要事項】

春学期「宗教論Ⅰ」をベースとした発展的内容です。よって可能であれば「Ⅰ」を履修しておくことが望ましいですが、していなくても受講可能です。重複するテーマがいくつかありますが、より掘り下げた内容となる予定です。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course continues from "Religious Science I" and further explores a cross-section of major religious phenomena. Students will learn how religion is connected to modern society from a more specialized perspective. (This is a developmental course based on the spring semester "Religious Science I". Prior completion of the course is recommended, but students may take this course even if they have not taken it. There are some overlapping themes, but the content will be more in-depth.)

(Learning Objectives) The goal of this course is to further develop an understanding of religion and the religious studies. It will enable students to objectively view and examine the role and significance of religion in the modern world.

(Learning activities outside of classroom) As preparation, it is advisable to find and read books suitable for each lecture topic, and after the lecture, it is advisable to do in-depth research on what you are particularly interested in based on what you have learned.

Before/after each class, students will be expected to spend 2 hours each.

(Grading Criteria /Policy) Grading will be decided based on in-class contribution (50%) and term-end examination (50%). The former is based on the content of the reaction paper and the level of participation, and the latter is based on the degree to which the "Learning Objectives" have been achieved through the examination.

PHL100LA (哲学 / Philosophy 100)

宗教論 I

2017年度以降入学者

古澤 有峰

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

宗教の発生と形態について基本的な見方を学び、既存の宗教への理解を深めていく。

【到達目標】

宗教の基本を客観的に学んで、「人間とは何か」という人文系の学問の大前提の問題へ理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。教科書は使用せず、配布資料に沿って授業を進めていく。初回レポートおよび中間レポートの提出を求める。コメントに対するフィードバックは資料配信によって行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	今学期の授業の概要の説明	宗教を学ぶことの意義を中心に
2	なぜ宗教は生まれたのか	宗教の発生を人類の起源に立ち返って考察する
3	宗教形態の基本的な問題	一神教と多神教など
4	世界の主要宗教を概観する（1）	ユダヤ教
5	世界の主要宗教を概観する（2）	キリスト教
6	世界の主要宗教を概観する（3）	イスラム教
7	世界の主要宗教を概観する（4）	仏教
8	日本の宗教観（1）	神道と仏教
9	日本の宗教観（2）	無宗教と現代
10	宗教現象の分析（1）	神とカミガミ
11	宗教現象の分析（2）	祈り
12	宗教現象の分析（3）	祭礼
13	宗教現象の分析（4）	現代の問題
14	まとめ	全体を振り返る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。配布資料やノート、指示される参考書を使って授業内容をよく理解するよう努め、わからない点があれば質問すること。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。

【参考書】

授業で適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度が40%、最終レポートが60%。前者は初回レポートと中間レポートの内容、後者は上記「到達目標」がどの程度達成されているかによって評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の興味関心や理解度に配慮した授業を心がける。

【Outline (in English)】

(Outline) Students will learn some basic views on the origins and forms of religion and gain the deeper understanding of existing religions. (Goals) By objectively studying the basics of religion, we can deepen our understanding of the fundamental question of the humanities: "What is a human being?". (Methods) Lecture-style. No textbook will be used, and the class will progress according to the handouts. Students will be required to submit an initial report and a mid-term report. Feedback on comments will be provided via the distribution of materials. (Work to be done outside of class) The standard amount of time for preparation and review for this class is 2 hours each. Try to understand the content of the class well using the handouts, notes, and reference books that are provided, and ask questions if there are any points you don't understand. (Textbooks) No textbooks are used. (References) Instructions will be given as appropriate during class. (Grading criteria) Class participation is 40%, and the final report is 60%. The former is evaluated based on the content of the initial and interim reports, and the latter is evaluated based on the extent to which the "learning objectives" listed above have been achieved. (Changes following student comments) Lectures will be taken into account the interests and level of understanding of the students.

PHL100LA (哲学/Philosophy 100)

宗教論Ⅱ

2017年度以降入学者

古澤 有峰

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

神（あるいはカミガミ）と人間の関係を中心に主要な宗教現象を学び、さらに古代から近代までの歴史のなかで宗教が果たした役割について考察していく。

【到達目標】

宗教に対する基本的な見方を学び、さらに世界の歴史に眼を向け、宗教現象を広い視点で捉えていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。教科書は使用せず、配布資料に沿って授業を進めていく。初回レポートおよび中間レポートの提出を求める。コメントに対するフィードバックは資料配信によって行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	今学期の授業の概要の説明	宗教論とは何か
2	宗教の分類	世界宗教と民族宗教など
3	宗教現象の基本的な見方	聖と俗など
4	聖なることば (1)	祈りを中心に
5	聖なることば (2)	神話を中心に
6	宗教的世界観 (3)	聖なる空間および他界について
7	聖なる行為 (1)	儀礼とは何か
8	聖なる行為 (2)	通過儀礼が意味するもの
9	聖なる行為 (3)	祝祭とは何か
10	理性と宗教 (1)	宗教・呪術・科学
11	理性と宗教 (2)	呪術と宗教
12	理性と宗教 (3)	西洋占星術の起源から近代天文学の誕生へ
13	理性と宗教 (4)	近代科学革命のなかで
14	まとめ	全体を振り返る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。配布資料やノート、指示される参考書を使って授業内容をよく理解するよう努め、わからない点があれば質問すること。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。

【参考書】

授業で適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度が40%、最終レポートが60%。前者は初回レポートと中間レポートの内容、後者は上記「到達目標」がどの程度達成されているかによって評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の興味関心や理解度に配慮した授業を心がける。

【Outline (in English)】

(Outline) Students will learn major religious phenomena, focusing on the relationship between God (or gods/kamigami) and humans, and will also examine the role that religion has played in history from ancient to modern times. (Goal) The goals of this course are to learn about basic views on religion, and then look at world history to gain a broader perspective on religious phenomena. (Methods) Lecture-style. No textbook will be used, and the class will progress according to the handouts. Students will be required to submit an initial report and a mid-term report. Feedback on comments will be provided via the distribution of materials. (Work to be done outside of class) The standard amount of time for preparation and review for this class is 2 hours each. Try to understand the content of the class well using the handouts, notes, and reference books that are provided, and ask questions if there are any points you don't understand. (Textbooks) No textbooks are used. (References) Instructions will be given as appropriate during class. (Grading criteria) Class participation is 40%, and the final report is 60%. The former is evaluated based on the content of the initial and interim reports, and the latter is evaluated based on the extent to which the "learning objectives" listed above have been achieved. (Changes following student comments) Lectures will be taken into account the interests and level of understanding of the students.

ART100LA (芸術学 / Art studies 100)

芸術 A

2017年度以降入学者

嘉藤 笑子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

20世紀になって「芸術」は、モダンアートや現代アートと呼ばれるようになって、人々の生活から乖離していく存在になった。わかりづらいモノ、難しいモノとして人々の生活から遠のいたように思える。にもかかわらず、SNSやインスタ映えといった現象によって現代アート展や国際芸術祭には、多くの若者や外国人旅行者が押し寄せている。こうした現象に代表されるようにアートは面白い！と思わせる存在でもある。したがって、その真性をつかむのは容易ではない。古えから連綿と続く芸術の普遍性や真価値性を紐解きながら、新たな美意識や思想を生み出してきた芸術の真価を学ぶべきである。同時に「アートとは何か？」ということ学ぶことは現代社会の深層を掘り下げることにある。アートの定義を改めて探求し、社会的文脈で読み解くことで、芸術の真正を探求していく。

【到達目標】

芸術がモダンアートと呼ばれるようになった20世紀初めから現代までのおよそ100年間における芸術と社会の関係を考察していく。特に19世紀末から1960年代までの大きな流れを把握し、20世紀に起きた二つの大戦が世界の美術動向に大きな影響を与えて、20世紀後半のアメリカ経済大国とアートマーケットの占有。そして資本主義社会や大量消費文化のなかで大きなうねりを作り、変動していく様子を考察していく。また、芸術の存在を受容してきた社会的背景や歴史的考察を経て、芸術が影響を与えてきた社会的構造を探究していく。本時代を象徴する具体的なアーティストや代表的なアート作品の事例をもとにアートと社会との関係性を模索していく。その芸術が誕生した地域や習性などの文化的背景や社会環境を包括的に捉えていくことで、芸術の文化的価値について探究していく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義（動画・画像を多用していく）を行う。

毎回リアクションペーパーの提出。

各回のレジュメおよび参考資料を配布。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	アートとは何か？ （ガイダンス）	20世紀におけるアートの変化を考える。アートを探る手立てを哲学、歴史、動向などの分析方法で考察する。
第2回	美術館と展覧会のはじまり	アートをめぐるインスティテューションの在り方を探究する
第3回	博覧会と芸術祭	芸術の見せ方を模索するなかで博覧会や芸術祭の可能性を模索する
第4回	後期印象派とフォーヴィズム、そしてキュビズム	モダンアートの始まりとされる後期印象から抽象的表現に変貌を遂げるフランスの動向を探る。

第5回	前衛芸術の発展：ダダイズム・シュールレアリズム	コスモポリタンとなったパリが、多くのアート動向を生み出したが、戦争によって世界同時に誕生したアヴァンギャルドを探究する。
第6回	ふたつの世界大戦とアート①プロパガンダ（退廃芸術）	ナチス・ドイツによって退廃芸術と呼ばれて政治的抑圧を受けた芸術と表現を探究する
第7回	ふたつの世界大戦とアート②プロパガンダ（戦争画）	第二次大戦中に日本において軍部主導によって描かれた多くの「戦争画」の具体的な内容と戦後処理の実態を探る。
第8回	冷戦構造とアート①ロシア・アヴァンギャルド	ソビエト連合の設立と崩壊に関わった芸術を探究する。ロシア革命とロシア・アヴァンギャルドの実態、冷戦構造のなかで変化していく共産圏のアート動向。
第9回	冷戦構造とアート②ドクメンタ（ドイツ・カッセル）	東西分断されたドイツの芸術祭『ドクメンタ』や五月革命（1968）を考察していく。
第10回	アメリカ現代美術の発展：抽象表現主義	アメリカが経済大国となった20世紀後半に焦点を当てて、その戦略と方策を探究する。
第11回	ミニマリズムと宇宙開発	アメリカの工業化が進むなかで皮肉な存在でもあるミニマリズムと同時期の宇宙開発の関係性をつかむ。
第12回	ポップアートと消費社会	20世紀を代表するアンディ・ウォーホルとポップアートを検証する。
第13回	パブリックアートと都市再生	公共事業とパブリックアートの構造について学ぶ。
第14回	現代美術館の興隆	20世紀後半に乱立したモダンアートを輩出する装置である現代美術館を知る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回授業のレジュメや参考書類はファイルにしておき、自分で調べた資料などを追加していけるようにするしましょう。日頃から新聞・ニュースなどを通じて国際政治や社会動向について目を触れておくこと。文化芸術に関する専門知識や世界史や歴史的考察を身に着けていくことも必要となります。専門誌や文献、関連する書籍を通じて現在の文化動向の概観を掴むこと。また、日ごろから文化芸術に触れる機会や興味を増やしておくことがいいでしょう。学習時間は、予習・復習ともに各自で考えて進めてください。準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。

【参考書】

「ART SINCE1900:図鑑 1900年以後の芸術」ハル・フォスター著
そのほか、2019、東京書籍
「アートとは何か：芸術の存在論と目的論」アーサー・C・ダントー著、2018、人文書院
「戦争と美術1937-1945」針生一郎（編者）ほか、2007、国書刊行会
「現代美術史：欧米、日本、トランスナショナル」山本浩貴著、2019、中公新書

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。

定期試験（割合％）60％

◎定期試験を行わない場合は小論文（用語解説を含む）レポートの提出（割合％）60％

小論文のレポート課題（学期内に1点）

締切厳守（遅れた場合が、減点はするが学期内であれば受け付ける）

授業後にリアクションペーパー 20％

※授業に対する感想や意見を記入して提出すること。

※無記名や記述のないものは無効。

出席（リアクションペーパーの提出で判断）20％

【学生の意見等からの気づき】

授業改善アンケートに限らず、リアクションペーパーや授業内での発言などの様々な方法で学生からの意見や要望、実際の授業の状況などを受け付ける。

Emailでも質問は可能。kotorismile@gmail.com

【学生が準備すべき機器他】

筆記用具。

【その他の重要事項】

徳島県神山町のアーティスト・イン・レジデンス評価委員（2005－2018）

Art Autonomy Network(2005-2019)

向島学会副理事長（2005－現職）

すみだ向島EXPO実行委員会（2020－現職）

KAB Library and Residencyの運営(2019－現職) アーティスト・イン・レジデンス

市川シブエ会理事～市川市立美術館設立にむけて活動（2025-）

「ととのう温泉美術館」愛知県蒲郡市（2023）ゲスト・キュレーター。など。

地域社会と文化振興について実質的問題や方策を協議していくときに具体例として話題にしていく。授業中の私語を慎み、携帯電話や電子機器の利用を禁止します。遅刻や途中退出はしないようにしてください。

【Outline (in English)】**[Course outline]**

What is art?" is to delve into the depths of contemporary society. The course will examine the relationship between art and culture over approximately 100 years. In particular, we will discuss the major trends from the end of the 19th century to the 1970s, the two world wars of the 20th century that significantly impacted world art trends, and the economic powerhouse of the United States in the latter half of the 20th century. Contemporary art will also examine how the art market fluctuated and created a great swell in capitalist society and mass consumer culture.

[Learning Objectives]

While unravelling the universality and authenticity of art that has continued uninterruptedly since ancient times, students will learn the actual value of art, which has created new aesthetic senses and ideas. By reexamining the definition of art and reading it in a social context, we will explore the authenticity of art.

[Learning activities outside of classroom]

Keep a file of resumes and reference materials for each class so that you can add your research materials.

Explore international politics and social trends through newspapers and other media. Acquiring specialized knowledge of culture and the arts, world history, and critical considerations is also necessary.

Acquire an overview of current cultural trends through specialized journals, literature, and related books. Also, it would be best to increase your exposure to and interest in culture and the arts.

Preparation Standard study and review time is 2 hours each.

[Grading Criteria /Policy]

-Periodic Examinations 40 %

In the periodic examination (Evaluation criteria, evaluation method), the total 100 points are essay (60 points) and terminology (20 points x 2 questions) writing examination. All questions must be answered.

-Essay and Report 40 %.

Essay report assignment (1 point within the term).

The deadline must be strictly adhered to (if late, points will be deducted but accepted within the semester)

-Reaction paper after class: 20%.

*To be submitted with your comments and opinions about the class.

*Unsigned papers or papers with no description will be invalid.

ART100LA (芸術学 / Art studies 100)

芸術B

2017年度以降入学者

嘉藤 笑子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

グローバル社会の発展とともにアートは国際化しボーダレスな価値観を築いてきた。情報化社会の到来は、経済状況や政治体制に大きな変化をもたらし、迅速な移動手段を進展させ、国際間の地政学的な格差やリスクを生み出している。こうした社会状況は、ふたつの大戦という歴史的背景を経て不透明な不安を築いている。新自由主義によって発展してきた20世紀後半のアート動向に注目し、芸術の在り方を探求していく。さらにわが国の芸術文化の発展および振興をめざすために、必要不可欠な近代的制度を文化政策や政治環境、経済的支援などによって俯瞰していく。特に1960年代以降の各国の文化的背景や社会環境を包括的に捉えていくことで、現代社会の創造的価値を追究していく。また、地域創生やコミュニティ再生といった今日の問題を視野に入れて、社会動向と文化推進のなかで内在する具体的な課題を見出し、多くの文化事業やコミュニティ活動から事例を見出し、芸術が育成されるべき社会構造についても考察していく。同時に世界情勢が常に変化していくことを鑑みて、国際的な視座を含有する文化政策やアート市場の現状を把握していく。

【到達目標】

国際社会における民主主義国家を中心に発展してきた現代アートの動向を探求していく。特に20世紀後半のアメリカ、ヨーロッパ（イギリス・フランス・ドイツ）、日本を取り上げ、それぞれの国家の歴史的背景と文化的状況を比較していく。その歴史的考察には、第二次世界大戦や、冷戦構造、そして東西分断をしていたベルリン壁の崩壊を経て、新自由主義社会による格差社会の課題にも目を向けていく。IT発展による情報化が進んだ社会的環境は、現代アートに大きな影響を与えている。こうした環境を社会的構造から探求し、文化支援を行う公的機関やNPO、民間組織の存在は、各国ごとに構造や運営方法などを学ぶ。さらに各国の経済・文化振興を図るために取り入れられた文化施設の設立、万国博覧会やオリンピックといった大型イベント、その流れで登場してきた地域創生やコミュニティ再生といった今日の問題を視野に入れて、社会変化と文化推進のなかで内在する具体的な課題を見出し、地域プロジェクトや国内芸術祭にも目を向けて文化交流事業を検証する。日々刻々と変化していく世界の状況を国際的視野で見つめていき国際社会の一員として文化支援の在り方を考察していく。授業の内容や順序等に変更がある場合は予めご了解いただきたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の最後にリアクションペーパー提出をもって出席とする。質疑応答についてもリアクションペーパー内で行ってもよいが、確実な質疑応答が必要な場合は教員に直接にしてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	グローバル社会における現代アート（ガイダンス）	1960年以降の美術動向と社会状況の関係性を考える。

第2回	世界の文化予算の国際比較	ヨーロッパ、アメリカ、日本による文化予算を比較することで各国の文化支援の現状を把握する。
第3回	冷戦構造と文化戦略（大型文化財団による美術振興）	東西分断による壁の創出とアイデアオロジーの崩壊。美術振興による国際文化戦略。
第4回	20世紀写真/メディアアート/ヴィデオ・アート	テクノロジーの発展と複製時代の芸術、情報化社会のアート動向。
第5回	コンセプチュアル・アート/パフォーマンスアート	概念芸術の誕生と発展。言語と身体、体験型表現の実際
第6回	ランドアート/パブリックアート	ヨゼフ・ボイスに代表される「社会彫刻」や脱美術館を目指すランドアートの実態。
第7回	シミュレーションイズム/盗用芸術	流通している写真や広告などを「引用」の範疇を超えて作品に取り込む方法論を考える。
第8回	ソーシャル・エンゲイジド・アート（SEA）	社会課題に向き合うアート活動と保守体制に反抗するアート。
第9回	日本のコミュニティ・アート、地域社会との連携	地域フェスティバルの振興とコミュニティ・アートの発展。
第10回	政治とアート	アクティヴィズムを手段にメッセージ性を希求する現代アート。
第11回	グローバル社会の課題①アールブリュット	ソーシャル・インクルージョン/障害者支援のアート活動を考察する。
第12回	グローバル社会の課題①エコロジー	深刻化する環境問題と現代アートを考察する
第13回	グローバル社会の課題②（多様性社会のアート）	多文化共生における不確実性、ジェンダー格差と社会構造
第14回	国際社会の文化政策（ユネスコ・世界遺産など）	グローバル社会の文化支援と文化財保護の実態。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

日頃から新聞・ニュースなどを通じて国際政治や動向について目を触れておくこと。文化芸術に関する専門知識や世界史や歴史的考察を身に付けていくことも必要となります。専門誌や文献、関連する書籍を通じて世界の文化動向の概観を掴むこと。また、日ごろから文化芸術に触れる機会や興味を増やしておくことがいいでしょう。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

「現代アート入門」デイヴィッド・コッティントン・松井 裕美著、2020、名古屋大学出版会
「文化政策入門」池上惇、端信之、福原義春、堀田力（共に編者）、2001、丸善ライブラリー
「地域主権の国 ドイツの文化政策」藤野一夫・秋野有紀、2017 美学出版

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。

定期試験（割合％）60％

定期試験（評価基準、評価方法）総計100点

小論文（60点）と用語解説（20点x2問）の記述試験。全ての問題に解答すること。

◎定期試験を行わない場合は小論文（用語解説を含む）レポートの提出（割合％）60％

小論文のレポート課題（学期内に1点）

締切厳守（遅れた場合が、減点はするが学期内であれば受け付ける）

授業後にリアクションペーパー 20％

※授業に対する感想や意見を記入して提出すること。

※無記名や記述のないものは無効。

出席（リアクションペーパーの提出で判断）20％

【学生の意見等からの気づき】

授業改善アンケートに限らず、リアクションペーパーや授業内での発言などの様々な方法で学生からの意見や要望、実際の授業の状況などを受け付ける。

Emailでも質問は可能。kotorismile@gmail.com

【学生が準備すべき機器他】

筆記用具

【その他の重要事項】

徳島県神山町のアーティスト・イン・レジデンス評価委員（2005－2018）

Art Autonomy Network(2005-2019)

向島学会副理事長（2005－現職）

すみだ向島EXPO実行委員会（2020－現職）

KAB Library and Residencyの運営(2019－現職) アーティスト・イン・レジデンス

市川シブエ会理事～市川市立美術館設立にむけて活動（2025-）

「ととのう温泉美術館」愛知県蒲郡市（2023）ゲスト・キュレーター。など。

地域社会と文化振興について実質的問題や方策を協議していくときに具体例として話題にしていく。授業中の私語を慎み、携帯電話や電子機器の利用を禁止します。遅刻や途中退出はしないようにしてください。

【Outline (in English)】**[Course outline]**

With the development of a global society, art has become internationalized and built a borderless value system. The advent of the information society has brought about significant changes in economic conditions and political systems, developed rapid means of transportation, and created geopolitical disparities and risks between international countries. This project explores the state of art by focusing on the art trends of the latter half of the 20th century, which Neoliberal has created.

[Learning Objectives]

This course will explore the trends in contemporary art that have developed mainly in democratic nations in the international community. In particular, we will focus on the United States, Europe (England, France, and Germany), and Japan in the second half of the 20th century, comparing each nation's historical background and cultural conditions. The historical discussion will include World War II, the Cold War structure, the Berlin Wall collapse that divided East and West, and the challenges of social disparity caused by neo-liberal society.

By comprehensively understanding each country's cultural background and social environment, especially since the 1970s, we will pursue the creative values of contemporary society. In addition, we will also look into today's issues, such as regional development and community revitalization, and discover the challenges inherent in social trends and cultural promotion.

[Learning activities outside of classroom]

Keep a file of resumes and reference materials for each class so that you can add your research materials.

Explore abreast of international politics and social trends through newspapers and other media. Acquiring specialized knowledge of culture and the arts, world history, and historical considerations is also necessary.

Acquire an overview of current cultural trends through specialized journals, literature, and related books. Also, it would be best to increase your exposure to and interest in culture and the arts.

Preparation Standard study and review time is 2 hours each.

[Grading Criteria /Policy]

-Periodic Examinations 40 %

In the periodic examination (Evaluation criteria, evaluation method), the total 100 points are essay (60 points) and terminology (20 points x 2 questions) writing examination. All questions must be answered.

-Essay and Report 40 %.

Essay report assignment (1 point within the term).

The deadline must be strictly adhered to (if late, points will be deducted but accepted within the semester)

-Reaction paper after class: 20%.

*To be submitted with your comments and opinions about the class.

*Unsigned papers or papers with no description will be invalid.

ART100LA (芸術学 / Art studies 100)

芸術 A

2017年度以降入学者

小澤 慶介

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

近代以降の芸術の歴史や作品を時代背景とともに概観する。その際、美術史のみならずそれに関連する学問領域の学説や議論を参照する。それは、同時代を表象する芸術と社会の関係を考察する力を養うことでもある。

【到達目標】

近代における芸術の変容を、それを成立させている社会や時代思潮の変化とともに追う。その過程で、近代社会と芸術の関係を考察する力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各回、近代および現代の芸術作品や運動、展覧会などに関するスライドを見せながら解説をする。授業の途中でも質問に応じ、学生とコミュニケーションを図りながら進めてゆく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	芸術とは何か？	本講義において、どのようなものを「芸術」と呼ぶかについて。
2	絵画の歩み	19世紀フランスのクールベやマネなど、近代絵画の可能性を開いた作品や芸術の考え方について。
3	絵画とリアリティ	具象的な絵画から抽象的な絵画へと至る道を、第一次世界大戦に着目しながら概説。
4	マルセル・デュシャンとコンセプチュアルアート	デュシャンの絵画からの離脱とコンセプチュアルアートへの移行について。
5	複製技術時代の到来と芸術の変容	写真術の到来とその芸術への影響について。
6	映像の誕生とスペクタクルの社会1	映画やテレビジョンの発明と映像文化について。
7	映像の誕生とスペクタクルの社会2	写真や映像が日常を取り巻くなかで、リアリティはどこにあるのかを考える。
8	パフォーマンスが芸術になるとき1	身体を表現のメディアとするパフォーマンスを時代や社会背景の関係において考える。
9	パフォーマンスが芸術になるとき2	近代社会における身体表現の批評性について考察する。
10	彫刻からインスタレーションへ	場や台座との関係で考えられる彫刻から、社会空間の力学を扱うインスタレーションについて。
11	大正期の芸術表現	大正時代から昭和時代の初期に至る芸術について。
12	戦後日本の前衛芸術	「反芸術」いわれた芸術運動の歴史を概説する。

13 まとめ 近代社会の誕生から戦後にかけての芸術の変容を振り返る。

14 授業内試験 小論文の執筆と提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テーマに関連する作品が展示してある展覧会あるいは美術館に行き、実物を見ること。講義で出てきたキーワードについて、関連文献などでさらに調べる。各回30分程度の集中的な復習を標準とする。

【テキスト（教科書）】

必要に応じてプリントを配布する。

【参考書】

現代美術用語辞典

授業内試験を実施する。

<https://artscape.jp/dictionary/modern/>

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。また、成績評価は、授業内試験(90%)とリアクションペーパー(10%)による。

【学生の意見等からの気づき】

展覧会やシンポジウムなどに関する情報や現場での経験にも触れる。

【Outline (in English)】

This series of lectures aims to give an overview of the history of modern art with reference to other academic disciplines such as philosophy, sociology or anthropology. This means that students are encouraged to grasp art as a representation of the contemporary Society. Towards the end of the course, students attend an examination and write a short essay.

Following the transformation of art in the modern age in relation to that of society and the cultural climate, the students nurture an ability to envisage a relationship between art and modern society.

Students are encouraged to visit art museums and galleries in order to discover art today as well as look into the terminologies introduced in the course. In addition, it is recommended that each lecture be reviewed for 30 minutes. Grading will be determined by reaction paper (20%) and an exam at the end of the course (80%).

ART100LA (芸術学 / Art studies 100)

芸術B

2017年度以降入学者

小澤 慶介

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1990年代以降のグローバリゼーションと芸術の関係について考察する。新自由主義と芸術の関係について、国際展や芸術祭、アートフェア、美術館などの変容をとおして考察する。

【到達目標】

政治や経済と密接な関係をもつ現代アートのあり方を多角的に考察する。時代の先行指標となり既存の価値に問いを投げかける現代アートのあり方を踏まえ、現代のグローバル化した世界のこれからを探る思考力と洞察力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各回、近代および現代アートの作品や運動、展覧会に関するスライドを見せながら解説をする。講義の途中でも質問に応じ、学生とのコミュニケーションを図りながら進めてゆく。また、必要に応じてテーマに関連する展覧会を訪れるよう促す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり/Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	アート界の仕組み1 (オリエンテーション)	アートをアートとして成り立たせる制度について概説する。
2	アート界の仕組み2	アートをアートとして成り立たせる制度について概説する。
3	美術館とは？	近代の到来とともに誕生した美術館とその役割について概説する。
4	美術館と芸術の変容	1990年代以降、新自由主義における美術館と芸術について概説する。
5	西洋中心主義の終わりと1990年代1	モダニズムー ポスト・モダニズムの考え方を紹介しながら、西洋中心主義を問う作品について考察する。
6	西洋中心主義の終わりと1990年代2	モダニズムー ポスト・モダニズムの考え方を紹介しながら、西洋中心主義を問う作品について考察する。
7	関係性の美学と芸術の実践	モノと人との関係によって成立する芸術とその社会背景について考察する。
8	関係性の美学の現在地	芸術の領域で語られる「関係」の多様性について概説する。
9	グローバリゼーションと多文化主義1	1980年代から1990年代にかけて唱えられはじめた多文化主義とその課題について、大地の魔術師たち展からドクメンタ11へ至る道筋を追う。

10	グローバリゼーションと多文化主義2	1980年代から1990年代にかけて唱えられはじめた多文化主義とその課題について、大地の魔術師たち展からドクメンタ11へ至る道筋を追う。
11	非対称な世界とその表象1	2010年代のヴェネチアビエンナーレやドクメンタなどの国際展に触れながら、新自由主義とその表象としての芸術について考察する。
12	非対称な世界とその表象2	2010年代のヴェネチアビエンナーレやドクメンタなどの国際展に触れながら、新自由主義とその表象としての芸術について考察する。
13	ポストコロナと現代アートの結びめ	気候変動や環境危機が叫ばれる現在、芸術はそれにどう向き合えるかを検討する。
14	授業内試験	小論文の執筆と提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テーマに関連する作品が展示してある展覧会あるいは美術館に行き、実際に実物を見ること。講義で出てきたキーワードについて、関連文献やウェブサイトですらに調べる。各回30分程度の復習を標準とする。

【テキスト（教科書）】

必要に応じて講義時にプリントを配布する。

【参考書】

現代美術用語辞典

<https://artscape.jp/dictionary/modern/>

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。また、成績評価は、授業内試験(90%)とリアクションペーパー(10%)による。

【学生の意見等からの気づき】

展覧会やシンポジウムなどに関する情報や現場での経験にも触れる。

【Outline (in English)】

This series of lectures is intended to overview the relationship between art and globalization from the 1990s. By touching upon Venice Biennale, Documenta, art fairs and art museum, students are encouraged to consider contemporary art practice in relation to neo liberalism. Towards the end of the course, students attend an exam and write a short essay.

Students are encouraged to approach contemporary art in multiple ways that is profoundly related to politics and economics today. With contemporary art, which questions preconceived ideas and sheds light on a path to the future, they will also gain an insight into the globalized society of today. Students are encouraged to visit art museums and galleries in order to discover art today as well as look into the terminologies introduced in the course. In addition, it is recommended that each lecture be reviewed for 30 minutes. Grading will be determined by reaction paper (20%) and an exam at the end of the course (80%).

ART100LA (芸術学 / Art studies 100)

芸術 A

2017年度以降入学者

中川 三千代

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

芸術の中でも主に西洋絵画、加えて彫刻・装飾美術を取り上げ、ルネサンス以降の西洋美術史と欧米での近代的な美術館の成立について学びます。これを通して、美術が社会にどう関わってきたか、現在どう関わっているかについて考えます。

【到達目標】

- 1) ルネサンス以降の西洋絵画、彫刻・装飾美術に関する知識を深め、様々な視点から作品を鑑賞できる。
- 2) 西洋絵画が歴史的にどのような変遷をたどっていったかを学び、絵画の背景にある歴史を理解することができる。
- 3) 美術館の成立過程について、近代の美術館がどのように成立したか、歴史的な背景を含めて理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドでの講義、作品鑑賞を中心に行います。また、授業内でそれぞれのテーマに関する簡単なレポートを実施し、理解度の確認を行います。レポートや質問については、適宜講義内で取り上げてフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・概要説明	授業評価、進め方に関するガイダンスを実施する。各回で扱う内容について概説する。
第2回	西洋絵画入門	西洋絵画におけるジャンル分けを解説し、主なジャンルの作品を紹介する。
第3回	風景画の成立	風景画について、ジャンルとしての成立から印象派に至るまでの流れを解説する。
第4回	ルネサンス美術	ルネサンス美術の代表的な作家・作品を紹介し解説する。
第5回	北方ルネサンス・バロック	北方ルネサンス、バロックの代表的な作家・作品を紹介し解説する。
第6回	新古典主義・ロマン主義	フランス革命期の絵画について、主題の変化や背景の理念等に触れながら作品を紹介する。
第7回	印象派	印象派の作家・作品およびその時代背景・技法について解説する。
第8回	ポスト印象派・新印象派	印象派に強く影響を受けた画家を中心に、作家・作品を紹介する。
第9回	世紀末から20世紀	世紀末から第二次世界大戦前までの西洋絵画の潮流・運動について概説する。

第10回	彫刻	西洋の彫刻について、古代ギリシアからロダン以降の近代彫刻まで概説する。
第11回	万博と装飾美術	アール・ヌーヴォー、アール・デコ、及びこれらと関連の深い万国博覧会について解説する。
第12回	ルーヴル美術館の設立とフランスの美術館	西洋における美術館の成り立ちについて、ルーヴル美術館を一例として取り上げ、更に現在のフランスの美術館について解説する。
第13回	欧米の美術館	欧米の代表的な美術館をいくつか取り上げ、その成立や現在、及び所蔵作品について解説する。
第14回	まとめ	授業を通しての総括を実施する。また、各回で触れられなかった事項を補足として取り上げる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内レポートとは別に、学期中に授業に関するレポートを課します。また、授業外でも、多くの作品に接することが望ましいです。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。そのうち半分程度を授業に関するレポートおよび期末レポート、残りを授業外での作品鑑賞や教養の涵養などにあてることが想定されています。

【テキスト（教科書）】

教科書は用いません。

【参考書】

授業中に必要があれば紹介します。準備の必要はありません。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内レポート）：50%

期末レポート：50%

期末レポートの提出を、単位取得の必須条件とします。

ただし、成績は平常点と期末レポートの双方を加味して評価するため、期末レポートを提出しても必ずしも単位が取得できるわけではないことに注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

授業改善アンケートを受けて、内容の見直し、資料の内容改訂を行っています。

【その他の重要事項】

第1回の授業で、ガイダンスと概要説明を実施します。オンデマンドで視聴可能な状態としますので、履修希望者は必ず期間内に受講するようにしてください。

【Outline (in English)】

In this course, Western paintings will be mainly discussed, along with sculptures and decorative arts, in order to learn about the Western art history since the Renaissance, and the establishment of the art museums in the Western society. Students will learn about how art has contributed to the society.

The goal of the course is following:

1) Acquiring the knowledge on Western paintings, sculptures and decorative arts since the Renaissance, and the skill of viewing from various perspectives.

2) Acquiring the knowledge on the Western art history since the Renaissance, and understanding the background of the paintings of respective eras.

3) Acquiring the knowledge on the establishment of the art museums in the Western society, and learning about how art has contributed to the society.

The lecture will be conducted online using the slides including the picture of art works. A simple report will be requested every class for checking your understanding on the theme. Also, you can add a question about the lecture. You can get some feedbacks for the report and questions on the next class. In addition to weekly reports, a term paper is requested.

No textbooks are designated. References for art works would be given in the lecture.

Although no preparation is requested, viewing art works is recommended for more fruitful experience. I expect you of spending two hours per week for the lecture, and for example, spending one hour for weekly reports and a term paper, and one hour for viewing art works.

Your grade in this course is to be evaluated based on the following basis.

Weekly report: 50 %

Term paper: 50 %

Note that the term paper is mandatory, but not enough, to get the pass-mark.

The first class is guidance and introduction for the course. I expect you to view it if you seriously consider taking the course.

ART100LA (芸術学 / Art studies 100)

芸術B

2017年度以降入学者

中川 三千代

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

明治・大正・昭和初期の日本における西洋美術の受容について、作家の視点と観衆の視点から学びます。また、日本の近代美術館の成立過程や歴史、現代の美術館の機能や役割について学びます。

【到達目標】

- 1) 江戸期から大正期の作家たちが西洋美術技法をどう取り入れたかを学ぶ。
- 2) 明治期から昭和初期にかけて、西洋美術作品がどう展覧されたかを学ぶ。
- 3) 美術館の機能と役割について理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドでの講義、作品鑑賞を中心に行います。また、授業内でそれぞれのテーマに関する簡単なレポートを実施し、理解度の確認を行います。レポートや質問については、適宜講義内で取り上げてフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・概要説明	授業評価、進め方に関するガイダンスを実施する。各回で扱う内容について概説する。
第2回	伝統的な日本の絵画	伝統的な日本の絵画について江戸時代を中心に、代表的な作家と作品を取り上げる。
第3回	洋風画から洋画へ	江戸時代における洋風画の流行に関して、作品を取り上げつつ概説する。
第4回	明治・大正期の日本の洋画	明治・大正期の洋画について、その成立過程と作品について解説する。
第5回	明治・大正期の日本画	明治・大正期の日本画について、その代表的な画家と作品を取り上げ、その変遷を概説する。
第6回	日本の近代彫刻	ロダン彫刻の受容を中心に、明治・大正期の日本における彫刻を取り上げる。
第7回	西洋美術品の流入	大正から昭和にかけて西洋美術品の輸入を試みた活動をいくつか取り上げて解説する。
第8回	黎明期の日本の美術館	日本における美術館制度の成立過程を、展覧会および美術館設立運動を中心に解説する。
第9回	美術館の役割（概説・保存修復）	美術館の役割について概説し、その1つである保存修復に関して、具体例を挙げて解説する。
第10回	美術館の役割（調査研究・教育普及）	調査研究、教育普及について、活動の例をあげて解説する。

第11回	美術館の役割（展示・収集①）	美術館の役割について、展示、収集の観点から、実際の活動について扱う。
第12回	美術館の役割（展示・収集②）	美術館の役割について、展示、収集の観点から、実際の活動について扱う。
第13回	美術館の外の美術	パブリックアート、アートプロジェクトなどの、美術館の外での芸術活動を取り上げる。
第14回	まとめ	授業を通しての総括を行う。また、各回で触れられなかった事項を補足として取り上げる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内レポートとは別に、学期中に授業に関するレポートを課します。また、授業外でも、多くの作品に接することが望ましいです。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。そのうち半分程度を授業に関するレポートおよび期末レポート、残りを授業外での作品鑑賞や教養の涵養などにあてることが想定されています。

【テキスト（教科書）】

教科書は用いません。

【参考書】

授業中に必要があれば紹介します。準備の必要はありません。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業レポート）：50%

期末レポート：50%

期末レポートの提出を、単位取得の必須条件とします。

ただし、成績は平常点と期末レポートの双方を加味して評価するため、期末レポートを提出しても必ずしも単位が取得できるわけではないことに注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

授業改善アンケートを受けて、内容の見直し、資料の内容改訂を行っていきます。

【その他の重要事項】

第1回の授業で、ガイダンスと概要説明を実施します。オンデマンドで視聴可能な状態としますので、履修希望者は必ず期間内に受講するようにしてください。

本授業では、ゲストをお招きする授業が予定されています。そのため、都合により、内容が前後する可能性があります。

【Outline (in English)】

In this course, how the Western art was introduced in Japan during the Meiji/Taisho/Showa era will be discussed from the artists' and people's point of view. The origin and history of art museums in Japan, and also the function and role of art museums today will be discussed.

The goal of the course is following:

1) Acquiring the knowledge how the Western art was introduced to the artists in Japan during the Edo/Meiji/Taisho/Showa era (1600s - early 1900s).

2) Acquiring the knowledge how the Western art was exhibited to the public during the Meiji/Taisho/Showa era (1860s - 1930s).

3) Acquiring the knowledge on the functions of art museum.

The lecture will be conducted online using the slides including the picture of art works. A simple report will be requested every class for checking your understanding on the theme. Also, you can add a question about the lecture. You can get some feedbacks for the report and questions on the next class. In addition to weekly reports, a term paper is requested.

No textbooks are designated. References for art works would be given in the lecture.

Although no preparation is requested, viewing art works is recommended for more fruitful experience. I expect you of spending two hours per week for the lecture, and for example, spending one hour for weekly reports and a term paper, and one hour for viewing art works.

Your grade in this course is to be evaluated based on the following basis.

Weekly report: 50%

Term paper: 50 %

Note that the term paper is mandatory, but not enough, to get the pass-mark.

The first class is guidance and introduction for the course. I expect you to view it if you seriously consider taking the course.

LAW100LA（法学 / law 100）	
法学 I	2017年度以降入学者
山本 圭子	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：月3/Mon.3
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

主に法学の初学者・入門者を対象に、法学の基礎に関する講義を行う。内容的には、法学全体に関わる一般的・包括的な知識と日本国憲法の構造と基本原理に関する講義を柱とする。

【到達目標】

法学の一般的・基本的な知識の習得と理解がこの授業のテーマである。法律を学んだことのない学生が、法学の基礎を習得し、現代法の仕組みと基本原則を理解することをねらいとする。それにより、法治国家の市民として求められる法的な知識と資質を身に付けると共に、民主的な国家の主権者として備えるべき基礎的な法的素養の習得を目指す。具体的な到達目標は以下の通り。

- ①法学の基本概念・用語の意味内容を習得し、現代法の基本的な仕組みと体系を理解する。
- ②社会の中での法の役割を理解し、法によって社会的な紛争がいかに解決されるか、個人の権利がどのように守られるかが分かるようになる。
- ③立憲主義の意義、日本国憲法の基本原則と基本構造を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを用いて講義形式で実施する。授業毎に学習支援システムで自動採点の小テストを実施する。小テストについては、次の授業時に講評と解説によりフィードバックを行う。なお、授業計画は、授業の展開・法改正の動向によって若干の変更があり得る。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方と法学を学ぶ意義について
第2回	法とは何か	社会規範としての法の特徴と働き
第3回	法と権利	権利義務関係
第4回	紛争と裁判	裁判の仕組み、裁判員制度
第5回	法の解釈	法解釈の性質と役割
第6回	法の分類	法の分類と法源
第7回	国家と法	立憲主義と「法の支配」
第8回	明治憲法と日本国憲法	日本国憲法の成り立ちを学ぶ
第9回	日本国憲法の基本原理 1	国民主権
第10回	日本国憲法の基本原理 2	平和主義
第11回	日本国憲法の基本原理 3（1）	基本的人権とは
第12回	日本国憲法の基本原理 3（2）	人権規定の構成
第13回	統治機構 1	国会と内閣
第14回	統治機構 2	司法権の意味、司法権の独立

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後にテキストの該当箇所を復習し、関係条文を確認してから小テストを受験する。授業前にはテキストを読み込んで予習し、関係条文を確認する。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

大谷實編著『エッセンシャル法学 第8版』成文堂、2025年3月発刊、3190円（税込み）、ISBN9784792307400

【参考書】

授業の中で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業毎に実施する学習支援システムの小テスト（30％）、期末に実施するレポート課題（70％）の合計で評価する。これらにより、到達目標欄に記載した3点の達成度を評価する。

【学生の意見等からの気づき】

主な裁判例や憲法条文を掲載している情報量の多いテキストを用い、例年、文字が多くとっつきにくいという意見があった。事前にパワーポイントや追加資料を学習支援システムで配布し理解を促すよう努める。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムで小テストを受験できる、レポート課題を学習支援システム上でワードファイルで提出できる機器を準備すること。六法を購入する必要はない。

【その他の重要事項】

質問については、学習支援システムで受けるほか、講義の前後に教室で受ける。

【Outline (in English)】

Lectures on the basics of law will be given to beginners in law. The content will be centered on general and comprehensive knowledge of law as a whole and lectures on the structure and basic principles of the Constitution of Japan. Before/after each class meeting, students will be expected to spend 4 hours to understand the course content. Each class will be evaluated based on the total of quizzes (30%) conducted by the learning support system, and final report at the end of the term (70%).

LAW100LA (法学 / law 100)

法学Ⅱ

2017年度以降入学者

山本 圭子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

主に法学の初学者・入門者を対象に、法学の基礎に関する講義を行う。内容的には、刑法、民法、労働法の基礎知識・基本原則と国際法の基礎に関する講義を柱とする。

【到達目標】

法学の一般的・基本的な知識の習得と理解がこの授業のテーマである。法律を学んだことのない学生が、法学の基礎を習得し、現代法の仕組みと基本原則を理解することをねらいとする。それにより、法治国家の市民として求められる法的な知識と資質を身に付けると共に、民主的な国家の主権者として備えるべき基礎的な法的素養の習得を目指す。具体的な到達目標は以下の通り。

- ①法学の基本概念・用語の意味内容を習得し、現代法の基本的な仕組みと体系を理解する。
- ②社会の中での法の役割を理解し、法によって社会的な紛争がいかに解決されるか、個人の権利がどのように守られるかが分かるようになる。
- ③刑法、民法、労働法などの基本的な構成と基本原則を理解する。
- ④国際法に関する基礎知識を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式でパワーポイントを用いて授業を行う。授業毎に学習支援システムでの自動採点の小テストを実施する。小テストについては、次の授業時に講評と解説によりフィードバックを行う。なお、授業計画は、授業の展開・法改正の動向によって若干の変更があり得る。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・犯罪と刑罰1	授業の進め方、犯罪と刑罰
第2回	犯罪と刑罰2	犯罪の成立要件
第3回	民法1	民法の基礎・物権
第4回	民法2	債権法の基礎・契約
第5回	民法3	不法行為と損害賠償
第6回	民法4	各種事故の被害者救済
第7回	民法5	家族関係と法1夫婦と親子
第8回	民法6	家族関係と法2相続
第9回	経済取引と法	商法・会社法
第10回	労働関係と法	労働法の理念と体系
第11回	社会保障法	被用者保険・社会保障・社会福祉
第12回	情報化社会と法	情報法
第13回	国際関係と法1	主権と領土
第14回	国際関係と法2	国際法と国内法

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後にテキストの該当箇所を復習し、関係条文を確認してから小テストを受験する。授業前にはテキストを読み込んで予習し、関係条文を確認する。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

大谷實編著『エッセンシャル法学 第8版』成文堂、2025年3月発行、3190円（税込み）、ISBN9784792307400

【参考書】

学習支援システム及び授業の中で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業毎に実施する学習支援システムの自動採点の小テスト（30%）、期末に実施するレポート課題（70%）の合計で評価する。これらにより、到達目標欄に記載した4点の達成度を評価する

【学生の意見等からの気づき】

法学部以外の学生も多く、テキストが難しいという指摘があることから、難解な用語について平易に解説するように努め、ニュース解説番組などを紹介して導入のきっかけを作る工夫をした。法改正が頻繁な法令について追加資料を学習支援システムで配布し、e-govの条文へのリファレンスを行う。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムで小テストを受験できる、レポート課題を学習支援システムでワードファイルで提出できる機器を準備すること。最新の法律条文は、電子政府の総合窓口（e-Govなどで閲覧すると良い）。

【その他の重要事項】

質問については、学習支援システムで受けるほか、講義の前後に教室で受ける。なお、授業計画は、授業の展開・法改正の動向によって若干の変更があり得る。

【Outline (in English)】

Lectures on the basics of law will be given to beginners in law. The main content is lectures on basic knowledge and principles of criminal law, civil law, and labor law, and the basics of international law.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend 4 hours to understand the course content.

Each class will be evaluated based on the total of quizzes (30%) conducted by the learning support system, and final report at the end of the term (70%).

LAW100LA (法学 / law 100)

法学 I

2017年度以降入学者

山口 哲史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

主に法学の初学者・入門者を対象に、法学の基礎に関する講義を行う。内容は、主に日本国憲法の構造と基本原理、行政法に関するものである。

【到達目標】

法学の一般的・基本的な知識の習得と理解がこの授業のテーマである。法律を学んだことのない学生が、法学の基礎を習得し、現代法の仕組みと基本原則を理解することをねらいとする。それにより、法治国家の市民として求められる法的な知識と資質を身に付けると共に、民主的な国家の主権者として備えるべき基礎的な法的素養の習得を目指す。具体的な到達目標は以下の通り。

- ①法学の基本概念・用語の意味内容を習得し、現代法の基本的な仕組みと体系を理解する。
- ②社会の中での法の役割を理解し、法によって社会的な紛争がいかに解決されるか、個人の権利がどのように守られるかが分かるようになる。
- ③立憲主義の意義、日本国憲法の基本原理と基本構造を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で授業を進める。授業回によっては、質疑応答を行う。授業の進み具合によって内容を修正・変更する場合がある。リアクションペーパーを書いてもらう場合がある。提出されたリアクションペーパーについては、次回授業の質疑応答の際にフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業の進め方と法学の意義について
2	法とは何か	法の特徴と働き、法の適用と解釈
3	日本国憲法 1	憲法総論—憲法とは何か、憲法の歴史、立憲主義
4	日本国憲法 2	統治機構—国会
5	日本国憲法 3	統治機構—内閣
6	日本国憲法 4	統治機構—裁判所
7	日本国憲法 5	基本的人権—幸福追求権（包括的基本権）・法の下での平等
8	日本国憲法 6	基本的人権—精神的自由（思想・良心の自由、信教の自由）
9	日本国憲法 7	基本的人権—表現の自由
10	日本国憲法 8	基本的人権—経済的自由、人身の自由
11	行政法 1	行政法総論
12	行政法 2	行政処分
13	行政法 3	行政手続
14	行政法 4	行政訴訟（取消訴訟）、国家賠償法

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ノートや文献を事前・事後に読む。授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

上田健介、尾形健、片桐直人『憲法判例50!〔第3版〕（START UP）』（有斐閣、2023）ISBN-13：978-4641228467

【参考書】

毛利透『グラフィック 憲法入門 第2版』（新世社、2021）ISBN：978-4883843244

長谷部恭男・石川健治・宍戸常寿編『憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ』（有斐閣、2019）

必要に応じて授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末の試験、またはレポート課題によって評価する（100％）。

これにより、到達目標欄の達成度を評価する。

なお、リアクションペーパーを考慮する場合がある。

詳細は、授業内で周知する。

【学生の意見等からの気づき】

引き続き、具体例を示しながら授業を進めていきます。

【その他の重要事項】

私語や授業妨害に相当する行為を禁止する。場合によっては、退室を指示する場合がある。

オンライン（オンデマンド）授業を行う場合がある。その際の受講には、PCが必要である。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire legal studies including constitutional law and administrative law.

The goals of this course are to understand basics of legal studies, how to work law in society, and basics of constitutional law.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to term-end examination or term-end report(100%).

Details will be announced later.

LAW100LA (法学 / law 100)

法学Ⅱ

2017年度以降入学者

山口 哲史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

主に法学の初学者・入門者を対象に、法学の基礎に関する授業を行う。特に、国際法、民法、労働法を中心に扱う。

【到達目標】

法学の一般的・基本的な知識の習得と理解がこの授業のテーマである。法律を学んだことのない学生が、法学の基礎を習得し、現代法の仕組みと基本原則を理解することをねらいとする。それにより、法治国家の市民として求められる法的な知識と資質を身に付けると共に、民主的な国家の主権者として備えるべき基礎的な法的素養の習得を目指す。具体的な到達目標は以下の通り。

- ①法学の基本概念・用語の意味内容を習得し、現代法の基本的な仕組みと体系を理解する。
- ②社会の中での法の役割を理解し、法によって社会的な紛争がいかに関与されるか、個人の権利がどのように守られるかが分かるようになる。
- ③民法、労働法などの基本的な構成と基本原則を理解する。
- ④国際法に関する基礎知識を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で授業を進める。授業回によっては、質疑応答を行う。授業の進み具合によって内容を修正・変更する場合がある。リアクションペーパーを書いてもらう場合がある。提出されたリアクションペーパーについては、次回授業の質疑応答の際にフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業の進め方と履修の意義について
2	国際法 1	国際法の基礎
3	国際法 2	国際法の基本構造
4	民法 1	民法の基本原則
5	民法 2	不法行為—過失責任原則、損害賠償
6	民法 3	契約—契約自由の原則、契約の成立と効力
7	民法 4	物権
8	民法 5	親族（婚姻・離婚）
9	民法 6	権利能力、意思能力、行為能力
10	民法 7	法律行為、意思表示、代理、法人
11	労働法 1	労働法の基本事項、労働関係の当事者（労働者、労働組合、使用者）
12	労働法 2	労働関係の成立・終了
13	労働法 3	労使関係
14	全体のまとめ	全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ノートや文献を事前・事後に読む。授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

教科書は指定しない。

【参考書】

穴戸常寿、石川博康編『法学入門』（有斐閣、2021）ISBN：978-4641126183

必要に応じて授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末の試験、またはレポート課題によって評価する（100％）。

これにより、到達目標欄に記載した事項の達成度を評価する。

なお、リアクションペーパーを考慮する場合がある。

詳細は、授業内で周知する。

【学生の意見等からの気づき】

引き続き、具体例を示しながら授業を進めていく。

【その他の重要事項】

私語や授業妨害に相当する行為を禁止する。場合によっては、退室を指示する場合がある。

オンライン（オンデマンド）授業を行う場合がある。その際の受講には、PCが必要である。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire legal studies including international law, civil law(torts, contract and property etc.) and labor law.

The goals of this course are to understand basics of legal studies, how to work law in society.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to term-end examination or term-end report(100%).

Details will be announced later.

LAW100LA (法学 / law 100)

法学 I

2017年度以降入学者

村元 宏行

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、法学の基礎を学ぶものですが、主には、法律を知識として吸収していくことの重要性和、論理的思考力のトレーニングとしての法学学修という二つの側面から授業を行う予定です。

法学はⅠとⅡに分かれますが、Ⅰでは総論的事項や憲法を中心に取り上げることとします。

【到達目標】

法の種類や法の解釈について基礎的な説明ができるようになる。
日本国憲法の学修を通じて、立憲主義について基礎的な説明ができるようになる。
社会において、法が存在する意義や法学学修の重要性について理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はレジュメに沿って講義形式で行います。ただし一方通行にならないためにも、毎回小レポート（リアクションペーパー）を提出してもらい、授業の初めにいくつかを取り上げ、全体に対してフィードバックを行うなど、授業に取り入れていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	受講にあたっての諸注意など 法学を学修する意義について
第2回	法の種類について	制定法としての法律や政令等、 不文法としての慣習や条理等の 種類について
第3回	法の解釈について	法解釈について、強制力の有無 や解釈の類型について
第4回	法と裁判について	法適用の要としての裁判制度に ついて
第5回	法に関わる職業について	法曹三者（裁判官、検察官、弁 護士）と中心とする法律専門職 について
第6回	日本国憲法① 総論	日本国憲法の位置づけと立憲主 義について
第7回	日本国憲法② 日本国憲法の誕生	日本国憲法の制定過程について
第8回	日本国憲法③ 国民主権と象徴天皇 制	国民主権と象徴天皇の意義、 天皇の国事行為等について
第9回	日本国憲法④ 平和主義	憲法9条をめぐる論議について
第10回	日本国憲法⑤ 人権総論	基本的人権の意義とその限界に ついて
第11回	日本国憲法⑥ 自由権	精神的自由権、経済的自由権、 人身の自由について
第12回	日本国憲法⑦ 社会権、国務請求 権・参政権	生存権、請願権等について

第13回	日本国憲法⑧ 統治の仕組み	権力分立制の意義と内容につい て
第14回	まとめ	教養科目として法学を学ぶ意義 について確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストや関連文献による予習と復習のほか、授業で取り上げる事柄について新聞や専門誌で最新動向をつかんでおくことが求められます。本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『デイリー六法 2025年版』（三省堂）

ただし、他の六法を持っている場合はそれでも構いませんが、詳しくは初回で指示します。

【参考書】

授業で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（50％）

授業内小レポート（リアクションペーパー）（50％）

期末試験と授業内小レポートにより、【到達目標】欄に記載した法解釈や立憲主義の理解の達成度を評価します。

【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい板書を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

レジュメ配布は原則として学習支援システムを用います。

【その他の重要事項】

履修にあたっての注意事項は開講時のガイダンスで説明するので、ガイダンスには出席してください。出席できない場合は、友人などに内容を確認できるようにしておいてください。

【Outline (in English)】

Course outline

The purpose of this lecture is to understand the basic principle that law.

Learning Objectives

The goals of this course are to understand the basic principle that law.

Learning activities outside of classroom

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、Short reports : 50%

LAW100LA（法学 / law 100）

法学Ⅱ

2017年度以降入学者

村元 宏行

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、法学の基礎を学ぶものですが、主には、法律を知識として吸収していくことの重要性和、論理的思考力のトレーニングとしての法学学修という二つの側面から授業を行う予定です。

法学はⅠとⅡに分かれますが、Ⅱでは民事法、刑事法、行政法、国際法等を中心に上げることとします。

【到達目標】

民事法の基本原則について基礎的な説明ができるようになる。
刑事法の基本原則について基礎的な説明ができるようになる。
行政法の基本原則について基礎的な説明ができるようになる。
国際法の基本原則について基礎的な説明ができるようになる。
以上の基本原則の理解を踏まえて、現実の社会問題に法的視点からアプローチできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はレジュメに沿って講義形式で行います。ただし一方通行にならないためにも、毎回小レポート（リアクションペーパー）を提出してもらい、授業の初めにいくつかを取り上げ、全体に対してフィードバックを行うなど、授業に取り入れていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	受講にあたっての諸注意など 法学を学修する意義について
第2回	民事法について－法体系と基本原則－	民法を中心とした民法体系と私的自治の原則等について
第3回	民事法について－私的トラブルと法－	私的トラブルと法の適用について
第4回	刑事法について－法体系と基本原則－	刑法、刑事訴訟法を中心とした法体系と罪刑法定主義等について
第5回	刑事法について－刑事手続の実際－	捜査から裁判、刑の執行について
第6回	行政法について－法体系と基本原則－	国家行政組織法等を中心とする法体系と行政の基本原則について
第7回	行政法について－行政組織について－	行政組織法を中心とした行政組織について
第8回	国際法について－法体系と基本原則－	国際法の法類型と基本原則について
第9回	国際法について－国際人権法を中心に－	国際人権規約や子どもの権利条約を中心とした国際人権条約について
第10回	社会問題と法①－教育と法－	校則や体罰について法的視点から考察する
第11回	社会問題と法②－貧困と法－	生活保護や子どもの貧困について法的視点から考察する
第12回	社会問題と法③－消費生活と法－	18歳成年や消費者トラブルについて法的視点から考察する

第13回	社会生活と法④－労働と法－	過労死やブラック職場について法的視点から考察する
第14回	まとめ	教養科目として法学を学ぶ意義について確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストや関連文献による予習と復習のほか、授業で取り上げる事柄について新聞や専門誌で最新動向をつかんでおくことが求められます。本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『デイリー六法 2025年版』（三省堂）

ただし、他の六法を持っている場合はそれでも構いませんが、詳しくは初回で指示します。

【参考書】

授業で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（50％）

授業内小レポート（リアクションペーパー）（50％）

期末試験と授業内小レポートにより、【到達目標】欄に記載した諸法の基本原則理解の達成度を評価します。

【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい板書を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

レジュメ配布は原則として学習支援システムを用います。

【その他の重要事項】

履修にあたっての注意事項は開講時のガイダンスで説明するので、ガイダンスには出席してください。出席できない場合は、友人などに内容を確認できるようにしておいてください。

【Outline (in English)】

Course outline

The purpose of this lecture is to understand the basic principle that law.

Learning Objectives

The goals of this course are to understand the basic principle that law.

Learning activities outside of classroom

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、Short reports : 50%

LAW100LA (法学 / law 100)

法学 I

2017年度以降入学者

吉村 千冬

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

私たちの社会生活に法は欠かせないものですが、普段の生活で法を意識することはあまりないかもしれません。しかし、法は私たちの社会生活に欠かせないものであるからこそ、法学の知識が日常のトラブルや社会問題の解決に有益となります。

この授業では、法学の初学者・入門者を対象に、法学の基礎的・一般的知識を学ぶことを通じて、法学に関する知識や法的思考の獲得を目指します。法学 I では、法学の基礎と日本国憲法について扱います。なお、授業の進行ペース等により、順序や内容を変更する場合があります。

【到達目標】

法学の基礎的・一般的知識を習得し、日本法の仕組みと基本原則を理解することを基本的な目標とします。

具体的には、以下の4つが到達点です。

- ①法学の基本概念・用語を理解する。
- ②現代の日本法の基本的な仕組みと体系を把握する。
- ③社会における法の役割を理解し、法によって紛争や社会問題がどのように解決されるか、人の権利がどのように守られているのかを理解する。
- ④日本国憲法の基本原理と特徴を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

配布するレジュメに沿って講義形式で行います。

一方通行な授業にならないよう、リアクションペーパーを書いていただき、翌週の授業の冒頭でフィードバックをする予定です。

基本的に対面を予定していますが、オンラインになる場合には事前にご連絡します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方や成績評価等に関する説明 法学を学ぶ意義について
第2回	法とは何か	社会生活における法の役割について
第3回	法の歴史	法の歴史的展開について
第4回	法の体系と形式	法の分類、法源について
第5回	法解釈の方法	法解釈の意義と役割、条文や判例の読み方について
第6回	裁判制度とその役割	裁判の仕組み、裁判員制度について
第7回	法の担い手	法律家や法制度の運用に携わる専門職等について
第8回	日本国憲法の歴史	明治憲法と日本国憲法の比較について
第9回	日本国憲法の基本原理①	国民主権について
第10回	日本国憲法の基本原理②	平和主義について

第11回	日本国憲法の基本原理③	基本的人権の概要について
第12回	日本国憲法の基本原理④	人権規定の構成について
第13回	統治機構①	統治の基本原則、国会と内閣の位置付けについて
第14回	統治機構②	裁判所の地位と機能について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストや参考文献等を参照しながら、概念や制度等について予習・復習してください（各2時間）。

【テキスト（教科書）】

配布するレジュメに沿って行います。

六法を持参してください（どこの出版社のものでも良いです）。

【参考書】

配布するレジュメに参考文献を記載しますので、予習や復習の際に参照してください。

【成績評価の方法と基準】

リアクションペーパー 20%

期末試験または期末レポート 80%

双方に基づき、到達目標として記載した4点に達しているかどうかを評価します。

【学生の意見等からの気づき】

本年度から担当するため特にありませんが、丁寧な説明を心がけたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

レジュメの配布は学習支援システムを利用しますので、各自で確認をお願いします（紙資料の配布はない予定です）。

【Outline (in English)】

・ Course outline

The purpose of this course is to understand the basic structure and principle of Japanese law.

・ Learning Objectives

The goals of this course are to understand the basic structure and principle of Japanese law and role of law in society, how issues are resolved by law, and how people's rights are protected.

・ Learning activities outside of the classroom

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

・ Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 80%, Short reports in class: 20%

LAW100LA (法学 / law 100)

法学Ⅱ

2017年度以降入学者

吉村 千冬

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

私たちの社会生活に法は欠かせないものですが、普段の生活で法を意識することはあまりないかもしれません。しかし、法は私たちの社会生活に欠かせないものであるからこそ、法学の知識が日常のトラブルや社会問題の解決に有益となります。

この授業では、法学の初学者・入門者を対象に、法学の基礎的・一般的知識を学ぶことを通じて、法学や法的思考に関する知識の獲得を目指します。法学Ⅱでは、刑事法、民事法、行政法等の各種法について扱います。なお、授業の進行ペース等により、順序や内容を変更する場合があります。

【到達目標】

法学の基礎的・一般的知識を習得し、日本法の仕組みと基本原則を理解することを基本的な目標とします。

具体的には、以下の4つが到達点です。

- ①法学の基本概念・用語を理解する。
- ②現代の日本法の基本的な仕組みと体系を把握する。
- ③社会における法の役割を理解し、法によって紛争や社会問題がどのように解決されるか、人の権利がどのように守られているのかを理解する。
- ④それぞれの法の基本原則と特徴を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

配布するレジュメに沿って講義形式で行います。

一方通行な授業にならないよう、リアクションペーパーを書いていただき、翌週の授業の冒頭でフィードバックをする予定です。

基本的に対面を予定していますが、オンラインになる場合には事前にご連絡します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方や成績評価等に関する説明
第2回	刑事法①	刑事司法を取り巻く近年の状況について
第3回	刑事法②	犯罪の成立と刑事手続について
第4回	刑事法③	日本における刑罰制度について
第5回	刑事法④	少年法について
第6回	民事法①	民事法の意義、構成、基本原則の概要について
第7回	民事法②	契約自由の原則－契約について
第8回	民事法③	過失責任の原則－不法行為と損害賠償について
第9回	家族関係と法①	夫婦と親子について
第10回	家族関係と法②	戸籍をめぐる問題－無戸籍について
第11回	行政法①	行政法の基本構造や行政法的一般原則について
第12回	行政法②	行政救済法について

第13回 労働法 労働法の理念、体系、内容について

第14回 国際法 国際法と国内法の関係について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストや参考文献等を参照しながら、概念や制度等について予習・復習してください（各2時間）

【テキスト（教科書）】

配布するレジュメに沿って行います。

六法を持参してください（どこの出版社のものでも良いです）。

【参考書】

配布するレジュメに参考文献を記載しますので、予習や復習の際に参照してください。

【成績評価の方法と基準】

リアクションペーパー 20%

期末試験または期末レポート 80%

双方に基づき、到達目標として記載した4点に達しているかどうかを評価します。

【学生の意見等からの気づき】

本年度から担当するため特にありませんが、丁寧な説明を心がけたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

レジュメの配布は学習支援システムを利用しますので、各自で確認をお願いします（紙資料の配布はない予定です）。

【その他の重要事項】

私語は他の学生の迷惑にもなりますので、ご遠慮ください。

【Outline (in English)】

・ Course outline

The purpose of this course is to understand the basic structure and principle of Japanese law.

・ Learning Objectives

The goals of this course are to understand the basic structure and principle of Japanese law and role of law in society, how issues are resolved by law, and how people's rights are protected.

・ Learning activities outside of the classroom

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

・ Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 80%, Short reports in class: 20%

LAW100LA (法学 / law 100)

法学 I

2017年度以降入学者

陳 志明

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、法学Ⅱ（秋学期）と一体をなすものであり、主に初学者・入門者を対象に、法学の一般的・基本的な知識を習得して理解することをテーマとしています。下記の目標を達するため、春学期の法学Ⅰでは、法学全体に関わる一般的・包括的な知識、立憲主義の意義、日本国憲法の基本原則と基本構造に関する講義を行う予定です。

【到達目標】

受講生が法学の基礎を習得し、現代法の仕組みと基本原則を理解することで、法治国家の市民として求められる法的な知識と資質を身に付けると共に、民主的な国家の主権者として備えるべき基礎的な法的素養を習得することを目標としています。具体的には、①法学の基本概念・用語の意味内容を習得し、現代法の基本的な仕組みと体系を理解すること、②社会の中での法の役割を理解し、法によって社会的な紛争がいかに解決されるか、個人の権利がどのように守られるかが分かるようになることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は毎回配布するレジュメや資料に沿って進めます。また質問等に対するフィードバックは随時行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	講義概要（シラバス）の説明
第2回	法とは何か	法と社会との関係 道徳等との関係 法の目的 権利義務との関係
第3回	法と裁判	事件への法の適用 裁判制度 訴訟手続上の諸原則
第4回	裁判の基準	制定法 法の適用における原則 不文法
第5回	法の解釈と分類	事実認定と法の解釈 解釈の性質及び方法 法の分類
第6回	国家と憲法	近代憲法の成立 立憲主義及び基本原則 現代憲法の特徴
第7回	日本の新旧憲法	大日本帝国憲法の特徴 日本国憲法の制定 日本国憲法の基本原則
第8回	国民主権	国民主権 選挙 地方自治
第9回	平和主義	規定の背景 規定の内容及び解釈 安全保障

第10回	基本的人権①	人権総論 包括的基本権 法の下での平等
第11回	基本的人権②	自由権 社会権 参政権及び国務請求権
第12回	権力分立①	国会 議院内閣制 内閣
第13回	権力分立②	裁判所 違憲審査制 財政
第14回	授業内試験（教室レポート）	レポートの作成及び提出並びにまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前後に参考書の該当部分を併せて読むことを勧めます。この授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。

【参考書】

末川博編『法学入門〔第6版補訂版〕』（有斐閣双書、有斐閣、2014年）
 宍戸常寿・石川博康編著『法学入門』（有斐閣、2021年）
 安西文雄・巻美矢紀・宍戸常寿『憲法学読本〔第4版〕』（有斐閣、2024年）
 その他の参考書は、必要に応じてその都度紹介します。

【成績評価の方法と基準】

春学期末の授業内試験（教室レポート）（80％）及び平常点（20％）により、「到達目標」に掲げた「法学の基礎を習得し、現代法の仕組みと基本原則を理解すること」等の達成度を評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特にありませんが、法学部の専門科目ではなく、ILAC科目であることに留意します。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire an understanding of general and comprehensive knowledge of the whole law, and the basic principles and structure of the Constitution of Japan. At the end of the course, students are expected to master the basics of law and to understand the mechanism and basic principles of modern law. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following process: Term-end examination (80%) and in-class contribution (20%).

LAW100LA (法学 / law 100)

法学Ⅱ

2017年度以降入学者

陳 志明

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、法学Ⅰ（春学期）と一体をなすものであり、主に初学者・入門者を対象に、法学の一般的・基本的な知識を習得して理解することをテーマとしています。下記の目標を達するため、秋学期の法学Ⅱでは、刑法、民法、労働法の基本構成と基本原則、国際法の基礎的な知識に関する講義を行う予定です。

【到達目標】

受講生が法学の基礎を習得し、現代法の仕組みと基本原則を理解することで、法治国家の市民として求められる法的な知識と資質を身に付けると共に、民主的な国家の主権者として備えるべき基礎的な法的素養を習得することを目標としています。具体的には、①法学の基本概念・用語の意味内容を習得し、現代法の基本的な仕組みと体系を理解すること、②社会の中での法の役割を理解し、法によって社会的な紛争がいかに解決されるか、個人の権利がどのように守られるかが分かるようになることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は毎回配布するレジュメや資料に沿って進めます。また質問等に対するフィードバックは随時行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	犯罪と法①	刑法とは何か 罪刑法定主義 法益の保護
第2回	犯罪と法②	犯罪の成立 構成要件 違法性と責任
第3回	民法総論①	民法とは何か 民法の基本原則 権利と義務
第4回	民法総論②	契約と法律行為 権利能力と行為能力 法人と会社
第5回	財産関係と法①	契約の成立と効果 双務契約における債務 契約の履行と不履行
第6回	財産関係と法②	所有権 不法行為 損害賠償
第7回	家族関係と法①	家族法 親族 夫婦
第8回	家族関係と法②	親子 扶養 相続
第9回	労働と法①	労働法の概観 労働関係の当事者 労働条件の決定

第10回	労働と法②	労働契約の成立 人事 賃金
第11回	国際社会と法①	主体 国家の主権 国際法の存在形式
第12回	国際社会と法②	国際法の国内の実施 国際法の国際の実施 領域
第13回	国際社会と法③	海洋 南極と上空 人権
第14回	授業内試験（教室レポート）	レポートの作成及び提出並びに まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前後に参考書の該当部分を併せて読むことを勧めます。この授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。

【参考書】

末川博編『法学入門〔第6版補訂版〕』（有斐閣双書、有斐閣、2014年）
 宍戸常寿・石川博康編著『法学入門』（有斐閣、2021年）
 井田良『基礎から学ぶ刑事法〔第6版補訂版〕』（有斐閣アルマ、有斐閣、2022年）
 野村豊弘『民事法入門〔第9版〕』（有斐閣アルマ、有斐閣、2025年）
 小畑史子・緒方桂子・竹内（奥野）寿『労働法〔第4版〕』（有斐閣ストゥディア、有斐閣、2023年）
 玉田大・水島朋則・山田卓平『国際法〔第2版〕』（有斐閣ストゥディア、有斐閣、2022年）
 その他の参考書は、必要に応じてその都度紹介します。

【成績評価の方法と基準】

秋学期末の授業内試験（教室レポート）（80％）及び平常点（20％）により、「到達目標」に掲げた「法学の基礎を習得し、現代法の仕組みと基本原則を理解すること」等の達成度を評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特にありませんが、法学部の専門科目ではなく、ILAC科目であることに留意します。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire an understanding of the basic structure and principles of criminal law, civil law and labor law, and the basic knowledge of international law. At the end of the course, students are expected to master the basics of law and to understand the mechanism and basic principles of modern law. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following process: Term-end examination (80%) and in-class contribution (20%).

LAW100LA (法学 / law 100)

法学 I

2017年度以降入学者

水野 圭子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

主に法学の初学者・入門者を対象に、法学の基礎に関する講義を行う。契約法に関する基本的な概念を理解し、初歩的な法知識を取得することすることを第一の目的とする。これに加え、憲法の構造と基本原理、国際法に関して、条約の締結やEU法についても学ぶ。

【到達目標】

法学の一般的・基本的な知識の習得と理解がこの授業の目標である。法律を学んだことのない学生が法学の基礎を習得し、現代法の仕組みと基本原則を理解することをねらいとする。法学の基礎を学習することにより、法治国家の市民として求められる法的な知識と資質を身に付けると共に、民主的な国家の主権者として備えるべき基礎的な法的素養の習得を目指す。具体的な到達目標は以下の通り。

- ①法学の基本概念・用語の意味内容を習得し、現代法の基本的な仕組みと体系を理解する。
- ②社会の中での法の役割を理解し、法によって社会的な紛争がいかに解決されるか、個人の権利がどのように守られるかが分かるようになる。
- ③立憲主義の意義、日本国憲法の基本原理と基本構造を理解する。
- ④EU法の基礎を理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書とパワーポイント・黒板を利用し、講義形式で授業を行う。ドキュメンタリーなど視聴覚教材を使用する場合があるが、その場合は、リアクションペーパーの提出を求める。

毎回の授業の終わりに質問等を受ける時間を設け、次回の授業開始時に、前回の復習を行うとともに、リアクションペーパーに関するコメントについて、フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	法の役割と法律の学び方
第2回	契約をしたことはありますか。	私たちが日々行っている契約が生活における様々な活動と契約がどのように関係しているか考え、契約とは何かを学ぶ。
第3回	契約を結ぶとどのような権利義務関係にはいるのだろうか。	契約をすると、どのような義務が発生し、どのような権利を得るのか。
第4回	債権・債務関係	契約によって生じる権利義務関係について、具体例を通じて考える。
第5回	債務不履行	契約が守られなかったとき、契約を締結した者はどのような対応を取ることができるか。
6回	契約に拘束されない場合	契約を結んだにもかかわらず、契約に従わなくてもよい場合について
7回	不法行為（1）	他人によって自分の権利を侵害された場合について

8回	不法行為（2）	典型的な不法行為とその解決
9回	憲法とは	憲法は何のためにあり、何を守るものか。
10回	憲法と私人	憲法は何を保障するか。憲法が保障する基本的人権について
11回	憲法と統治機構	なぜ、権力を抑制する必要があるか。近年起きた事例をもとに検討する。
12回	EUとはどのようなものか	EUの成立と法制度について
13回	EUにおける司法制度	EUの裁判の特徴を理解し、国内裁判との違いを理解する。また、判決文を見る
14回	まとめ・試験	春学期の重要な点について確認を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書、資料等の指摘されたところを熟読すること。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

池田・大伏・野川・大塚『法の世界へ〔第9版〕』（有斐閣アルマ、2023年）

なお、版が改訂される場合があるが、講義では最新版のものを使用するので、版の改訂を確認の上購入すること。

【参考書】

伊藤正巳・加藤一郎 編『現代法学入門〔第4版〕』（有斐閣双書、2005年）

田中淳子・大野正博 編『法学入門』（成文堂、2015年）

末川博 編『法学入門〔第6版〕』（有斐閣双書、2009年）

松本・三枝・橋本・青木 編『日本法への招待〔第3版〕』（有斐閣、2014年） など

【成績評価の方法と基準】

記号選択問題によっておこなう期末試験の成績（80％）、これに、授業内で行った小テスト・レポート（20％）とし、到達目標欄に記載した4点の達成度を測り評価する。成績評価は100点満点とし、60点以上に単位を認定する。

【学生の意見等からの気づき】

近年の社会問題と関係のある事例についての関心が高いので、時事的な問題を今年度も取り扱う。

また、映像資料を講義内で利用する。

パワーポイントだけではなく、板書を利用する。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This lecture targets beginners in law and explains the basic knowledge of law. As a relationship between individuals, we aim to understand the basic concepts concerning the contract law and to acquire rudimentary legal knowledge. Furthermore, as a relationship between the nation and individual, we study the Constitution of Japan and fundamental human rights. Also, as a field related to international law, we also learn about the treaty and the EU law, which is the relation between nations.

(Learning Objectives)

The goal of this class is to acquire and understand the general and basic knowledge of law. The purpose of this course is to enable students who have never studied law to acquire the basics of law and to understand the structure and basic principles of modern law. This course is designed to help students who have never studied law to acquire basic legal knowledge and qualities required as citizens of a law-abiding country, and to acquire the basic legal knowledge that a sovereign citizen of a democratic country should have. Specific objectives of the course are as follows

(1) To acquire the meaning and content of the basic concepts and terms of law, and to understand the basic structure and system of modern law.

(2) To understand the role of law in society, and how social conflicts can be resolved by law and how individual rights can be protected.

(3) Understand the significance of constitutionalism and the basic principles and structure of the Japanese Constitution.

4) Understand the basics of EU law.

(Learning activities outside of classroom)

Please read the textbook and handouts carefully. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

(Grading Criteria /Policy)

Students will be graded on the basis of their performance on the final exam, which will consist of symbol selection questions (80%), and in-class tests and reports (20%). Grades are given on a 100-point scale, with 60 points or more being awarded for credit.

LAW100LA (法学 / law 100)

法学Ⅱ

2017年度以降入学者

水野 圭子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、春期法学Ⅰの契約に関わる法を履修していることを前提に、さらに発展した契約である労働契約を中心に働くことに関わる法を学ぶ。

学生であってもアルバイトをする場合など、働くことと法律は様々なかわりを持っている。しかしながら、労働と法について学ぶ機会は多くない。本講義では、働くこととかわかる法律について、春学期の法学Ⅰにて扱った法学の全般的知識を踏まえて、採用内定とその取り消し、アルバイトの場合の残業代の支給や有給休暇の取得など労働災害、採用内定とその取消など学生であってもかわかりを持つ事例について、さらには、賃金、労働時間、転勤、解雇など重要な問題についても検討を行う。引き続き、働くことと関係する憲法の問題、働くことについてもボーダレスとなっているEUの仕組みなどを通じて、国際的な法律関係、とくにEU法を素材として、人権や平等、労働法上の規制等についても知識を深めることを目的とする。

【到達目標】

春学期の法学Ⅰにて扱った法学の全般的知識を踏まえて、発展的な契約である労働契約の仕組みと法的な規制についての知識を得る。これによって、働く場合における法律関係について、正確な法的知識に基づく正しい理解ができる。

全般的知識に基づいて発展的な法的課題として、EUなどの国際法的な関係についても、EU憲章、EU指令、EU裁判所制度、EUの社会保障制度などについても法的な理解を深める。

上述の点に関与する憲法的な論点について理論的に説明できるよう理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

レジュメ、パワーポイントを用いた講義形式で授業を進める。視聴覚教材を利用した場合など、リアクションペーパーやコメントの提出を求める場合がある。講義の終わりに質問の時間を設け、次回抗議の開始時に、復習と質問に対する解説、リアクションペーパー等についてのフィードバックとしてをおこなう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	ガイダンス	授業の進め方・テストなどについてのガイダンスと模擬授業
2回	契約と労働契約はどのような点で異なるのか	労働契約を結び働く場合の法律関係について アルバイトにおける労働契約
3回	契約によって定められる働く条件 働く場合の法律 労働時間・賃金	労働時間・賃金・時間外労働・割増賃金といった基本的な労働条件とその守られ方について
4回	働く場合の法律 仕事から離れる・仕事を休む	休憩・休息時間・休日・休暇について アルバイトは有給休暇を取得できるのか

5回	仕事へのアクセス 労働契約の開始と終了	就職活動と労働英訳の開始 採用内定と内定の取り消し・解雇
6回	働く場合の法律	最近の問題 問題となっているテーマ 例えばハラスメントなどを取り上げる
7回	ワークライフバランス	ワークライフバランスと少子高齢化 高齢化はなぜ問題なのか フランスやドイツではどのような対策が取られているのか
8回	安全に働く	労働災害・過労死について知る
9回	安全に働く	過労自殺・過労死の認定の問題
10回	国と国の関係と働くこと	グローバル化の中で労働はどのように変わってきているのか
11回	EU諸国における労働と社会保障法	EU市民とEU加盟国はどの間の労働法・社会保障法規はどのようなになっているのか
12回	EUの労働法とその実行の仕組み	EU指令の制度、EU加盟国の立法権、EU裁判所の制度による労働法の問題の解決
13回	EUと社会憲章 EUにおける労働と社会保障	EUにおいて人権や働く権利、私生活はどのように保障されているのか。
14回	サステナブルな社会と労働法	ワークライフバランスや多様性を許容する社会を実現するためにしする労働法とは何か

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

該当する教科書のページを熟読すること。さらに、関連する新聞記事やニュースなどをフォローすること。なお、本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

池田真朗、犬伏由子、野川忍、大塚英明『法の世界へ〔第9版〕（有斐閣アルマ、2023年）（改訂版が出た場合は最新のものとする）このほか今年度版の六法を用意すること。六法については初回の授業で紹介いたします。

【参考書】

伊藤正己、加藤一郎『現代法学入門〔第4版〕』（有斐閣双書、2005年）浜村彰、唐津博、青野覚、奥田香子『ベーシック労働法〔第7版〕』（有斐閣アルマ、2019年）

【成績評価の方法と基準】

選択問題、マークシートを利用して行う期末試験の成績（80％）、これに、春期期間に提出されたレポート（20％）として、到達目標欄に記載した①労働関係の法的知識、②EU法に関する理解、③憲法的論点の理解を達成度を測り評価する。これらの合計を60点～69点をC、70点から79点をB、80点～89点をA、90点以上A+、あるいはSと単位認定する。

【学生の意見等からの気づき】

EUやフランス法との比較法的な検討について、関心が高かったのが今後もそのような比較法的な視点からの講義を増やすこととしたい。また、コロナ感染症対策における雇用政策や公衆衛生法についても関心が高かったのが、時事的な問題や直ちに影響を受ける政策について情報を提供するように心がけた。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course is aimed at students who have completed Spring Law I and focuses on the law relating to working, with an emphasis on the further developed contract, the labour contract.

Working and the law are involved in various ways, even for students, such as when they work part-time or engage in job activities. However, there are not many opportunities to learn about work and the law. In this lecture, students will learn about the law as it relates to working.

Based on the knowledge of law covered in Law I in the spring semester, the following topics will be discussed. Cases that are relevant even to students, such as employment offers and withdrawal of offers, work-related accidents such as overtime pay and paid leave in the case of part-time jobs, employment offers and their withdrawal, as well as important issues such as wages, working hours, transfers and dismissal will also be examined. In the area of international law, the course will also provide an overview of the EU's borderless working environment with regard to the movement of people and labour, and will deepen knowledge of human rights, equality and labour law regulations.

(Learning Objectives)

Gain knowledge of the structure and legal regulations of labor contracts, which are developmental contracts. This will provide students with a correct understanding based on accurate legal knowledge of legal relations in the case of work.

Students will also gain a legal understanding of international legal relations such as the EU, including EU directives, the EU court system, and the EU social security system from the perspective of labor.

Deepen their understanding so that they can theoretically explain the constitutional issues involved in the above points.

(Learning activities outside of classroom)

Read the relevant textbook pages and handouts carefully. In addition, students are expected to follow up on relevant newspaper articles and news. The standard preparation and review time for this class is two hours each.

(Grading Criteria /Policy)

Students will be evaluated based on their performance in the final examination using mark sheets (80%), plus reports submitted during the spring semester (20%) to measure their achievement in (1) legal knowledge of labor relations, (2) understanding of EU law, and (3) understanding of constitutional issues as stated in the achievement objectives section. A total of 60 to 69 points will be awarded as C, 70 to 79 points as B, 80 to 89 points as A, and 90 points or more as A+ or S.

LAW100LA (法学 / law 100)

法学 I

2017年度以降入学者

山口 哲史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

主に法学の初学者・入門者を対象に、法学の基礎に関する講義を行う。内容は、主に日本国憲法の構造と基本原理、行政法に関するものである。

【到達目標】

法学の一般的・基本的な知識の習得と理解がこの授業のテーマである。法律を学んだことのない学生が、法学の基礎を習得し、現代法の仕組みと基本原則を理解することをねらいとする。それにより、法治国家の市民として求められる法的な知識と資質を身に付けると共に、民主的な国家の主権者として備えるべき基礎的な法的素養の習得を目指す。具体的な到達目標は以下の通り。

- ①法学の基本概念・用語の意味内容を習得し、現代法の基本的な仕組みと体系を理解する。
- ②社会の中での法の役割を理解し、法によって社会的な紛争がいかに解決されるか、個人の権利がどのように守られるかが分かるようになる。
- ③立憲主義の意義、日本国憲法の基本原理と基本構造を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で授業を進める。授業回によっては、質疑応答を行う。授業の進み具合によって内容を修正・変更する場合がある。リアクションペーパーを書いてもらう場合がある。提出されたリアクションペーパーについては、次回授業の質疑応答の際にフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業の進め方と法学の意義について
2	法とは何か	法の特徴と働き、法の適用と解釈
3	日本国憲法 1	憲法総論—憲法とは何か、憲法の歴史、立憲主義
4	日本国憲法 2	統治機構—国会
5	日本国憲法 3	統治機構—内閣
6	日本国憲法 4	統治機構—裁判所
7	日本国憲法 5	基本的人権—幸福追求権（包括的基本権）・法の下での平等
8	日本国憲法 6	基本的人権—精神的自由（思想・良心の自由、信教の自由）
9	日本国憲法 7	基本的人権—表現の自由
10	日本国憲法 8	基本的人権—経済的自由、人身の自由
11	行政法 1	行政法総論
12	行政法 2	行政処分
13	行政法 3	行政手続
14	行政法 4	行政訴訟（取消訴訟）、国家賠償法

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ノートや文献を事前・事後に読む。授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

上田健介、尾形健、片桐直人『憲法判例50!〔第3版〕（START UP）』（有斐閣、2023）ISBN-13：978-4641228467

【参考書】

毛利透『グラフィック 憲法入門 第2版』（新世社、2021）ISBN：978-4883843244

長谷部恭男・石川健治・宍戸常寿編『憲法判例百選 I・II』（有斐閣、2019）

必要に応じて授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末の試験、またはレポート課題によって評価する（100％）。

これにより、到達目標欄の達成度を評価する。

なお、リアクションペーパーを考慮する場合がある。

詳細は、授業内で周知する。

【学生の意見等からの気づき】

引き続き、具体例を示しながら授業を進めていきます。

【その他の重要事項】

私語や授業妨害に相当する行為を禁止する。場合によっては、退室を指示する場合がある。

オンライン（オンデマンド）授業を行う場合がある。その際の受講には、PCが必要である。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire legal studies including constitutional law and administrative law.

The goals of this course are to understand basics of legal studies, how to work law in society, and basics of constitutional law.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to term-end examination or term-end report(100%).

Details will be announced later.

LAW100LA (法学 / law 100)

法学Ⅱ

2017年度以降入学者

山口 哲史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

主に法学の初学者・入門者を対象に、法学の基礎に関する授業を行う。特に、国際法、民法、労働法を中心に扱う。

【到達目標】

法学の一般的・基本的な知識の習得と理解がこの授業のテーマである。法律を学んだことのない学生が、法学の基礎を習得し、現代法の仕組みと基本原則を理解することをねらいとする。それにより、法治国家の市民として求められる法的な知識と資質を身に付けると共に、民主的な国家の主権者として備えるべき基礎的な法的素養の習得を目指す。具体的な到達目標は以下の通り。

- ①法学の基本概念・用語の意味内容を習得し、現代法の基本的な仕組みと体系を理解する。
- ②社会の中での法の役割を理解し、法によって社会的な紛争がいかに関与されるか、個人の権利がどのように守られるかが分かるようになる。
- ③民法、労働法などの基本的な構成と基本原則を理解する。
- ④国際法に関する基礎知識を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で授業を進める。授業回によっては、質疑応答を行う。授業の進み具合によって内容を修正・変更する場合がある。リアクションペーパーを書いてもらう場合がある。提出されたリアクションペーパーについては、次回授業の質疑応答の際にフィードバックを行う

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業の進め方と履修の意義について
2	国際法 1	国際法の基礎
3	国際法 2	国際法の基本構造
4	民法 1	民法の基本原則
5	民法 2	不法行為—過失責任原則、損害賠償
6	民法 3	契約—契約自由の原則、契約の成立と効力
7	民法 4	物権
8	民法 5	親族（婚姻・離婚）
9	民法 6	権利能力、意思能力、行為能力
10	民法 7	法律行為、意思表示、代理、法人
11	労働法 1	労働法の基本事項、労働関係の当事者（労働者、労働組合、使用者）
12	労働法 2	労働関係の成立・終了
13	労働法 3	労使関係
14	全体のまとめ	全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ノートや文献を事前・事後に読む。授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

教科書は指定しない。

【参考書】

穴戸常寿、石川博康編『法学入門』（有斐閣、2021）ISBN：978-4641126183

必要に応じて授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末の試験、またはレポート課題によって評価する（100％）。

これにより、到達目標欄に記載した事項の達成度を評価する。

なお、リアクションペーパーを考慮する場合がある。

詳細は、授業内で周知する。

【学生の意見等からの気づき】

引き続き、具体例を示しながら授業を進めていく。

【その他の重要事項】

私語や授業妨害に相当する行為を禁止する。場合によっては、退室を指示する場合がある。

オンライン（オンデマンド）授業を行う場合がある。その際の受講には、PCが必要である。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire legal studies including international law, civil law(torts, contract and property etc.) and labor law.

The goals of this course are to understand basics of legal studies, how to work law in society.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to term-end examination or term-end report(100%).

Details will be announced later.

LAW100LA (法学 / law 100)

法学 I

2017年度以降入学者

吉岡 郁美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

主に法学の初学者・入門者を対象に、法学の基礎に関する講義を行う。内容的には、法学全体に関わる一般的・包括的な知識と日本国憲法の構造と基本原理に関する講義を柱とする。

【到達目標】

法学の一般的・基本的な知識の習得と理解がこの授業のテーマである。法律を学んだことのない学生が、法学の基礎を習得し、現代法の仕組みと基本原則を理解することをねらいとする。それにより、法治国家の市民として求められる法的な知識と資質を身に付けると共に、民主的な国家の主権者として備えるべき基礎的な法的素養の習得を目指す。具体的な到達目標は以下の通り。

- ①法学の基本概念・用語の意味内容を習得し、現代法の基本的な仕組みと体系を理解する。
- ②社会の中での法の役割を理解し、法によって社会的な紛争がいかに解決されるか、個人の権利がどのように守られるかが分かるようになる。
- ③立憲主義の意義、日本国憲法の基本原理と基本構造を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

レジュメに沿って講義形式で行う。毎回の講義の最後に課題を出す。質問および質問等に対するフィードバックは随時行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方と法学を学ぶ意義について
2	法、法学とは何か	法、法学の概要 法源論 法律を読むときの基礎知識
3	裁判制度、判例の読み方	裁判制度 判決の構成、裁判員制度
4	憲法 1	立憲主義、国民主権、平和主義 憲法の歴史
5	憲法 2	基本的人権の享有主体
6	憲法 3	包括的基本権 平等原則
7	憲法 4	精神的自由
8	憲法 5	経済的自由 人身の自由
9	憲法 6	参政権 社会権
10	憲法 7	統治機構 地方自治
11	民法 1	民法総則 物権
12	民法 2	債権 家族

13 労働法

労働法とは
民法の特別法的側面
社会保障法

14 まとめ・授業内試験

授業のまとめを行ったあと、確認テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

参考書や対応法学分野の教科書などの該当部分を予め確認しておくといよい。復習を強く勧める。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用せず、レジュメを用いる。

【参考書】

法学入門や法学の教科書、例えば
南野森編『ブリッジブック法学入門〔第3版〕』（信山社、2022年）
高橋雅夫編『法学〔第3版〕』（弘文堂、2020年）など
授業中にも適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

講義最終回の確認テスト（70％）および毎回の講義の最後に出す課題への回答を含めた平常点（30％）で評価する。
課題で各回の理解度を確認しつつ、確認テストによって上記到達目標に掲げた3点の達成度を評価する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムを講義中に利用できる準備が必要である。

【その他の重要事項】

授業の予定の変更や、オンライン（オンデマンド）講義を行う場合がある。その際の受講にはPCが必要である。
また当然のことながら、私語や授業妨害行為等は禁止する。左記行為が目立つ者に対して退室を指示する場合がある。

【Outline (in English)】

The purpose of this lecture is to provide basic knowledge of the Constitution of Japan and other areas of law.
An assignment will be given at the end of each lecture. Grades will be based on answers to the assignments (30%) and a test at the last lecture (70%).

It is advisable to check the relevant sections of reference books and textbooks in the corresponding field of law in advance. Review is strongly recommended. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

LAW100LA (法学 / law 100)

法学Ⅱ

2017年度以降入学者

吉岡 郁美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

主に法学の初学者・入門者を対象に、法学の基礎に関する講義を行う。法学Ⅰでは法学基礎、憲法、民法、労働法を取り扱ったが、法学Ⅱでは刑法、国際法、EU法、行政法の基礎知識に関する講義を柱とする。

【到達目標】

法学の一般的・基本的な知識の習得と理解がこの授業のテーマである。法律を学んだことのない学生が、法学の基礎を習得し、現代法の仕組みと基本原則を理解することをねらいとする。それにより、法治国家の市民として求められる法的な知識と資質を身に付けると共に、民主的な国家の主権者として備えるべき基礎的な法的素養の習得を目指す。具体的な到達目標は以下の通り。

- ①法学の基本概念・用語の意味内容を習得し、現代法の基本的な仕組みと体系を理解する。
- ②社会の中での法の役割を理解し、法によって社会的な紛争がいかに解決されるか、個人の権利がどのように守られるかが分かるようになる。
- ③行政法、刑法、国際法などの基本的な構造と知識を身につけている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

レジュメに沿って講義形式で行う。毎回の講義の最後に課題を出す。質問および質問等に対するフィードバックは随時行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方と履修の意義について
2	刑法1	刑法の法体系、意義 刑法の基本原則
3	刑法2	刑法総論、特に構成要件および責任論
4	国際法	基本構造 条約法 国際機関、国際化地域
5	EU法	EUとは、EU法とは EU基本権 EU統治機構など
6	行政法1	行政法とは 行政通則法
7	行政法2	行政組織法 公私協働
8	行政法3	行政作用法①（行政行為、行政裁量）
9	行政法4	行政作用法②（行政立法、行政計画、行政契約、行政指導）
10	行政法5	行政手続 情報公開 個人情報保護
11	行政法6	行政上の実効性確保

12	行政法7	行政訴訟
13	行政法8	行政不服審査 国家補償
14	まとめ・授業内試験	まとめを行ったあと、確認テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

参考書や対応法学分野の教科書などの該当部分を予め確認しておくといよい。復習を強く勧める。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用せず、レジュメを用いる。

【参考書】

法学入門や法学の教科書、例えば
南野森編『ブリッジブック法学入門〔第3版〕』（信山社、2022年）
高橋雅夫編『法学〔第3版〕』（弘文堂、2020年）など
授業中にも適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

講義最終回の確認テスト（70％）および毎回の講義の最後に出す課題への回答を含めた平常点（30％）で評価する。
課題で各回の理解度を確認しつつ、確認テストによって上記到達目標に掲げた3点の達成度を評価する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムを講義中に利用できる準備が必要である。

【その他の重要事項】

講義の予定の変更や、オンライン（オンデマンド）講義を行う場合がある。その際の受講にはPCが必要である。
また当然のことながら、私語や授業妨害行為等は禁止する。左記行為が目立つ者に対して退室を指示する場合がある。

【Outline (in English)】

The purpose of this lecture is to provide basic knowledge of the Constitution of Japan and other areas of law.

An assignment will be given at the end of each lecture. Grades will be based on answers to the assignments (30%) and a test at the last lecture (70%).

It is advisable to check the relevant sections of reference books and textbooks in the corresponding field of law in advance. Review is strongly recommended. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

LAW100LA (法学 / law 100)

法学（日本国憲法）

2017年度以降入学者

金子 匡良開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：集中・その他/
intensive・other courses

単位数：2単位

その他属性：〈優〉〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、まず憲法の土台となっている立憲主義とそれが成立した歴史的背景について学び、法体系における憲法の意味・機能・役割を理解する。その上で、日本国憲法の歴史と全体構造を概観し、日本国憲法が社会において果たしている役割、あるいは果たすべき役割について考える。この授業の目的は、単に憲法の知識を学ぶことにあるのではなく、憲法を通じて現代社会の諸問題を分析し、自分なりの考えを提示できる力を養うことにある。

【到達目標】

- ①憲法の土台となっている立憲主義とそれが成立した歴史的背景について理解する。
- ②法体系における憲法の機能と役割、および憲法の特徴を理解する。
- ③日本国憲法が成立した歴史の経緯および日本国憲法の構造について理解する。
- ④現代社会で生じる諸問題について分析する力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は学習支援システム（WebClass）を通じて配布するプリントと動画を用いて、オンデマンド形式のオンライン授業で行う。受講者は予めプリントをダウンロードし、一読の上で動画を視聴し、自己学習を行う。質問はWebClassの掲示板、およびメールを通じて受け付ける。質問等に対するフィードバックはWebClassまたは個別のメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第1回	憲法の意義と機能	法体系における憲法の位置づけと立憲主義の意義について学ぶ
第2回	憲法の歴史①	近代国家と近代憲法の成立経緯について学ぶ
第3回	憲法の歴史②	近代国家から現代国家への変遷、それに伴う現代憲法の成立について学ぶ
第4回	日本国憲法の概要	日本国憲法の制定経緯と構造について学ぶ
第5回	国民主権・天皇制	国民主権の意義と象徴天皇制の意義、および天皇の権能について学ぶ
第6回	平和主義	平和主義の内容とその変遷について学ぶ
第7回	平等権	平等権の意義とそれに関する判例について学ぶ
第8回	表現の自由	表現の自由の意義とそれに関する判例について学ぶ
第9回	参政権	参政権の意義とそれに関する判例について学ぶ
第10回	社会権	社会権の意義とそれに関する判例について学ぶ

第11回	権力分立	権力分立の類型と議院内閣制について学ぶ
第12回	違憲審査制	違憲審査制の意義と限界について学ぶ
第13回	司法権の独立	司法権の独立の意義とそれを脅かす要因について学ぶ
第14回	全体のまとめ	授業全体のまとめと期末試験を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に学習支援システム（WebClass）からプリントをダウンロードし、それをよく読んで要点を把握するとともに、疑問点を明らかにしておく。動画を視聴して自己学習を行った後に、プリントの内容が理解できたかどうか、また事前に抱いた疑問点が解明できたかどうかを確認し、授業内容を復習する。本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは指定しない。授業はWebClassを通じて配布するプリントを用いて行う。

【参考書】

毛利透『グラフィック憲法入門〔第3版〕』（新世社、2024年）
芦部信喜（高橋和之（補訂））『憲法〔第8版〕』（岩波書店、2023年）
安西文雄・巻美矢紀・宍戸常寿『憲法学読本〔第4版〕』（有斐閣、2024年）
その他の参考文献は、授業の中で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

上記「到達目標」の達成度を学期末にオンラインで実施する期末試験の点数で判断し、成績を評価する（100％）。

【学生の意見等からの気づき】

法学の初学者が多いことを考慮して、なるべく平易な説明を心がける。

【その他の重要事項】

国会議員政策担当秘書の実務経験がある。その知識と経験を活かして、日本の政治運営の実態、および現実政治における法の役割についても授業の中で随時触れていく。

【Outline (in English)】

In this class, students will first learn about constitutionalism, which is the foundation of the Constitution, and the historical background of the Constitution. The class will then overview the history and overall structure of the Constitution of Japan, and consider the role that the Constitution of Japan plays, or should play, in society. The purpose of this class is not merely to learn about the Constitution, but to develop the ability to analyze various issues in contemporary society through the Constitution.

Before/after each class, students will be expected to read the printouts distributed by Hoppii. Your required study time is at least four hours for each class.

Grading will be decided based on term-end examination (100%).

LAW100LA（法学 / law 100）

法学（日本国憲法）

2017年度以降入学者

金子 匡良

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2単位

その他属性：〈優〉〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、まず憲法の土台となっている立憲主義とそれが成立した歴史的背景について学び、法体系における憲法の意味・機能・役割を理解する。その上で、日本国憲法の歴史と全体構造を概観し、日本国憲法が社会において果たしている役割、あるいは果たすべき役割について考える。この授業の目的は、単に憲法の知識を学ぶことにあるのではなく、憲法を通じて現代社会の諸問題を分析し、自分なりの考えを提示できる力を養うことにある。

【到達目標】

- ①憲法の土台となっている立憲主義とそれが成立した歴史的背景について理解する。
- ②法体系における憲法の意味と役割、および憲法の特徴を理解する。
- ③日本国憲法が成立した歴史の経緯および日本国憲法の構造について理解する。
- ④現代社会で生じる諸問題について分析する力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は学習支援システム（WebClass）を通じて配布するプリントと動画を用いて、オンデマンド形式のオンライン授業で行う。受講者は予めプリントをダウンロードし、一読の上で動画を視聴し、自己学習を行う。質問はWebClassの掲示板、およびメールを通じて受け付ける。質問等に対するフィードバックはWebClassまたは個別のメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第1回	憲法の意味と機能	法体系における憲法の位置づけと立憲主義の意味について学ぶ
第2回	憲法の歴史①	近代国家と近代憲法の成立経緯について学ぶ
第3回	憲法の歴史②	近代国家から現代国家への変遷、それに伴う現代憲法の成立について学ぶ
第4回	日本国憲法の概要	日本国憲法の制定経緯と構造について学ぶ
第5回	国民主権・天皇制	国民主権の意味と象徴天皇制の意味、および天皇の権能について学ぶ
第6回	平和主義	平和主義の内容及その変遷について学ぶ
第7回	平等権	平等権の意味とそれに関する判例について学ぶ
第8回	表現の自由	表現の自由の意味とそれに関する判例について学ぶ
第9回	参政権	参政権の意味とそれに関する判例について学ぶ
第10回	社会権	社会権の意味とそれに関する判例について学ぶ

第11回	権力分立	権力分立の類型と議院内閣制について学ぶ
第12回	違憲審査制	違憲審査制の意味と限界について学ぶ
第13回	司法権の独立	司法権の独立の意味とそれを脅かす要因について学ぶ
第14回	全体のまとめ	授業全体のまとめと期末試験を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に学習支援システム（WebClass）からプリントをダウンロードし、それをよく読んで要点を把握するとともに、疑問点を明らかにしておく。動画を視聴して自己学習を行った後に、プリントの内容が理解できたかどうか、また事前に抱いた疑問点が解明できたかどうかを確認し、授業内容を復習する。本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは指定しない。授業はWebClassを通じて配布するプリントを用いて行う。

【参考書】

毛利透『グラフィック憲法入門〔第3版〕』（新世社、2024年）
 芦部信喜（高橋和之（補訂））『憲法〔第8版〕』（岩波書店、2023年）
 安西文雄・巻美矢紀・穴戸常寿『憲法学読本〔第4版〕』（有斐閣、2024年）
 その他の参考文献は、授業の中で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

上記「到達目標」の達成度を学期末にオンラインで実施する期末試験の点数で判断し、成績を評価する（100％）。

【学生の意見等からの気づき】

法学の初学者が多いことを考慮して、なるべく平易な説明を心がける。

【その他の重要事項】

国会議員政策担当秘書の実務経験がある。その知識と経験を活かして、日本の政治運営の実態、および現実政治における法の役割についても授業の中で随時触れていく。

【Outline (in English)】

In this class, students will first learn about constitutionalism, which is the foundation of the Constitution, and the historical background of the Constitution. The class will then overview the history and overall structure of the Constitution of Japan, and consider the role that the Constitution of Japan plays, or should play, in society. The purpose of this class is not merely to learn about the Constitution, but to develop the ability to analyze various issues in contemporary society through the Constitution.

Before/after each class, students will be expected to read the printouts distributed by Hoppii. Your required study time is at least four hours for each class.

Grading will be decided based on term-end examination (100%).

LAW100LA (法学 / law 100)

法学（日本国憲法）

2017年度以降入学者

茂木 洋平

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

下記の目標を達するため、授業期間の初期に、法全般に関わる基礎的な概念・理解に関する内容を取り上げ解説した上で、以降の期間で日本国憲法に関する講義を行う。①立憲主義や権力分立など憲法そのものの土台に関わる原理、②日本国憲法の基本原則（「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」）、③そこでの統治の仕組みの3つがその柱となる。受講者が初学者であることを踏まえて、法一般や憲法に関わる今日的なトピックを多く取り上げることで、抽象的な議論・講述に偏ることを避け、基本的理解が容易に得られるように講義を進める。

【到達目標】

本講義では、法と国家および社会の関係に関する理解を踏まえて、日本国憲法の理念や構成を理解できるようになることを目標としている。日本国憲法の基本原理とそれに基づく内容構成、特徴などの正しい理解を通じて、憲法を中心とした法体系の基本構造を把握し、あわせて基礎的な法的知識を身に付けることで、民主的な国家の市民として、また主権者として必要な法的・制度的知識と資質を習得する。それと同時に、現実の社会における様々な法関係に対して、適切かつ妥当な対応ができるような、いわゆる「リーガルマインド（法的思考）」を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

前半はオンデマンド型講義を実施する。教科書は使用せず、配布資料を基に講義を進める。後半は対面型とする。ウェブに動画資料をアップする。質疑応答は、対面講義中は講義終了後、オンデマンド講義中はウェブ上の掲示板を通じて行う。

受けた質問に関するポイントの解説は、次回以降の授業の中で適宜行う

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	日本国憲法を学ぶ意義
2	憲法とは何か	憲法の概要を学ぶ
3	国家の成立	国家の存在意義と憲法の意義
4	国家の役割	国家が果たすべき役割
5	日本国憲法と立憲主義	日本国憲法と立憲主義の関係性について学ぶ
6	グローバル化と日本国憲法	グローバル化が日本国憲法に与えた課題を学ぶ
7	統治の基礎①	日本国憲法と権力分立の意義について学ぶ
8	統治の基礎②	国会の役割について学ぶ
9	統治の基礎③	内閣と裁判所について学ぶ
10	日本国憲法の基本原理	日本国憲法の基本的原理である国民主権の意義について学ぶ
11	日本国憲法と人権保障①	人権保障の特色 基本的人権の保障の限界
12	日本国憲法と人権保障②	私人間における人権保障

- 13 日本国憲法と人権保障③ 法の下での平等（総論）
- 14 日本国憲法と人権保障④ 法の下での平等（各論）
日本国憲法と家族

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

講義中に指示した資料を閲覧する（紙媒体の資料だけでなく、YouTube等の動画の閲覧を指示する場合もある）。

講義内容をメモにまとめ、分かり易い文章にまとめる（講義内容についてレポート作成を求めるため、この作業は成績評価とも直結する）。

【テキスト（教科書）】

特に使用しない。

【参考書】

講義中に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

講義前半（対面型）の課題レポート（50％）と講義後半（オンデマンド型）の課題レポート（50％）によって、到達目標欄に記載した『憲法の体系的理解』『基礎的法知識』『リーガルマインドの涵養』の達成度を測ることで評価する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

ウェブ上に挙げた資料を閲覧できる電子機器を持参して下さい。

【その他の重要事項】

対面講義中の質問は講義の前後に、オンライン講義期間中はホッピイで質問してください。

【Outline (in English)】

In order to achieve the following goals, the course will cover and explain basic concepts and understanding of law in general at the beginning of the course, and then lecture on the Constitution of Japan in the following period. The course will focus on three pillars: 1) principles related to the foundations of the Constitution itself, such as constitutionalism and separation of powers, 2) the basic principles of the Constitution of Japan ("sovereignty of the people," "respect for fundamental human rights," and "pacifism"), and 3) the governance system therein. With the understanding that students are beginners, the course will avoid leaning toward abstract discussions and explanations by covering many contemporary topics related to law in general and the Constitution, and will proceed in a way that makes it easy for students to gain a basic understanding.

Assessment will be based on the assignment reports completed in the first half of the lectures (face-to-face) (50%) and in the second half of the lectures (on-demand) (50%) to measure the degree of achievement of the goals listed in the "Goals to be achieved" section: "Systematic understanding of the Constitution," "Basic legal knowledge," and "Development of a legal mindset."

After the lecture, please summarize your notes taken during the lecture in easy-to-understand text.

Before and after each class, students will need to spend about four hours studying to understand the content of this class.

LAW100LA (法学 / law 100)

法学（日本国憲法）

2017年度以降入学者

茂木 洋平

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

下記の目標を達するため、授業期間の初期に、法全般に関わる基礎的な概念・理解に関する内容を取り上げ解説した上で、以降の期間で日本国憲法に関する講義を行う。①立憲主義や権力分立など憲法そのものの土台に関わる原理、②日本国憲法の基本原則（「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」）、③そこでの統治の仕組みの3つがその柱となる。受講者が初学者であることを踏まえて、法一般や憲法に関わる今日的なトピックを多く取り上げることで、抽象的な議論・講述に偏ることを避け、基本的理解が容易に得られるように講義を進める。

【到達目標】

本講義では、法と国家および社会の関係に関する理解を踏まえて、日本国憲法の理念や構成を理解することを目標とする。日本国憲法の基本原理とそれに基づく内容構成、特徴などの「正しい理解」を通じて、憲法を中心とした法体系の基本構造を把握し、あわせて基礎的な法的知識を身に付けることで、民主的な国家の市民として、また主権者として必要な法的・制度的知識と資質を習得する。それと同時に、現実の社会における様々な法関係に対して、適切かつ妥当な対応ができるような、いわゆる「リーガルマインド（法的思考）」を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

前半はオンデマンド型講義を実施する。教科書は使用せず、配布資料を基に講義を進める。後半は対面型とする。ウェブに動画資料をアップする。質疑応答は、対面講義中は講義終了後、オンデマンド講義中はウェブ上の掲示板を通じて行う。

受けた質問に関するポイントの解説は、次回以降の授業の中で適宜行う

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	日本国憲法を学ぶ意義
2	憲法とは何か	憲法の概要を学ぶ
3	国家の成立	国家の存在意義と憲法の意義
4	国家の役割	国家が果たすべき役割
5	日本国憲法と立憲主義	日本国憲法と立憲主義の関係性について学ぶ
6	グローバル化と日本国憲法	グローバル化が日本国憲法に与えた課題を学ぶ
7	統治の基礎①	日本国憲法と権力分立の意義について学ぶ
8	統治の基礎②	国会の役割について学ぶ
9	統治の基礎③	内閣と裁判所について学ぶ
10	日本国憲法の基本原理	日本国憲法の基本的原理である国民主権の意義について学ぶ
11	日本国憲法と人権保障①	人権保障の特色 基本的人権の保障の限界
12	日本国憲法と人権保障②	私人間における人権保障

13 日本国憲法と人権保障③ 法の下での平等（総論）

14 日本国憲法と人権保障④ 法の下での平等（各論）
日本国憲法と家族**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

講義中に指示した資料を閲覧する（紙媒体の資料だけでなく、YouTube等の動画の閲覧を指示する場合もある）。

講義内容をメモにまとめ、分かり易い文章にまとめる（講義内容についてレポート作成を求めるため、この作業は成績評価とも直結する）。

【テキスト（教科書）】

特に使用しない。

【参考書】

講義中に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

講義前半（対面型）の課題レポート（50％）と講義後半（オンデマンド型）の課題レポート（50％）によって、到達目標欄に記載した『憲法の体系的理解』『基礎的法知識』『リーガルマインドの涵養』の達成度を測ることで評価する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

ウェブ上に挙げた資料を閲覧できる電子機器を持参して下さい。

【その他の重要事項】

対面講義中の質問は講義の前後に、オンライン講義期間中はホッピイで質問してください。

【Outline (in English)】

In order to achieve the following goals, the course will cover and explain basic concepts and understanding of law in general at the beginning of the course, and then lecture on the Constitution of Japan in the following period. The course will focus on three pillars: 1) principles related to the foundations of the Constitution itself, such as constitutionalism and separation of powers, 2) the basic principles of the Constitution of Japan ("sovereignty of the people," "respect for fundamental human rights," and "pacifism"), and 3) the governance system therein. With the understanding that students are beginners, the course will avoid leaning toward abstract discussions and explanations by covering many contemporary topics related to law in general and the Constitution, and will proceed in a way that makes it easy for students to gain a basic understanding. Assessment will be based on the assignment reports completed in the first half of the lectures (face-to-face) (50%) and in the second half of the lectures (on-demand) (50%) to measure the degree of achievement of the goals listed in the "Goals to be achieved" section: "Systematic understanding of the Constitution," "Basic legal knowledge," and "Development of a legal mindset."

After the lecture, please summarize your notes taken during the lecture in easy-to-understand text.

Before and after each class, students will need to spend about four hours studying to understand the content of this class.

ECN100LA (経済学 / Economics 100)

経済学 I

2017年度以降入学者

玉之内 直

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、受講生自らが経済学の理論的背景を理解することにより、現実社会で語られることの多い主な経済統計を読み取り、その含意について考察するための基礎を身につけることを目的とする。

【到達目標】

本講義では、受講生自らが、様々な局面で発表される諸経済指標の変化を読み取り、その背景と意味に関する考察を自らの言葉で説明できる力を養うことを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生は、毎回の講義において出題する課題を提出する。また、課題の提出によって出席の確認に替える。毎回の課題、および、質問等は、講師宛にメールの添付にて提出すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	講義の全体像、および、進め方の解説。
第2回	市場はどのように機能するか①	市場における需要と供給の作用、弾力性、需要と供給
第3回	市場はどのように機能するか②	市場における需要と供給の作用、弾力性、需要と供給
第4回	市場と厚生	市場の効率性等、課税の費用、国際貿易
第5回	公共部門の経済学	外部性、公共財と共有資源、税制の設計等
第6回	マクロ経済のデータ①	GDPに関して
第7回	マクロ経済のデータ②	GDPに関して
第8回	マクロ経済のデータ③	消費者物価指数
第9回	長期の実物経済①	生産と成長、貯蓄、投資と金融システム
第10回	長期の実物経済②	金利について お金の時間価値について
第11回	実社会の経済学①	ローンの計算等
第12回	実社会の経済学②	資産運用関連の話題
第13回	実社会の経済学③	実社会で活躍する実務家による講演
第14回	おわりに	春学期まとめ 期末レポートについて

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に講義資料を参照のこと。また、授業では、各局面で発表される様々な経済指標を参照するため、新聞各紙の経済面を気にかけておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

購入を必須としないが、講義の礎とする

ダロン・アセモグル、デヴィット・レイブソン、ジョン・リスト著、岩本康志監訳、岩本千晴訳、『入門経済学』東洋経済新報社、2023。

【参考書】

購入を必須としない。

神取道宏、『ミクロ経済学の力』日本評論社、2017。

ジョセフ・E. スティグリッツ著、山田美明訳『スティグリッツ PROGRESSIVE CAPITALISM』東洋経済新報社、2019。

ポール・クルーグマン、ロビン・ウェルス著、大山、石橋、塩澤、白井、大東、玉田、蓬田訳『クルーグマンミクロ経済学（第2版）』東洋経済新報社、2017。

ポール・クルーグマン、ロビン・ウェルス著、大山、石橋、塩澤、白井、大東、玉田、蓬田訳『クルーグマンマクロ経済学（第2版）』東洋経済新報社、2019。

【成績評価の方法と基準】

成績は、平常点（50％）および期末レポート（50％）により評価する。ただし、平常点：①毎回の講義で出題する課題に対する点数、②授業中の発表等（授業への貢献）を踏まえた点数 等である。

【学生の意見等からの気づき】

・本講義では、様々な経済学の理論が実社会の中でどのように活用されているかについて解説することに重点を置く。

・学生が苦手だと思われるEメール、表計算ソフトを用いる。はじめのうちは戸惑う学生も多いが、終盤には比較的使えるようになる。

【その他の重要事項】

毎回の課題は、ワープロソフト、エクセルなどの表計算ソフトを利用することが多い。また、課題の提出にはEメールを利用する。

【Outline (in English)】

The objective of this course is to enable students to acquire the basics of understanding the main economic statistics that are often mentioned in the real world and considering their implications. The goal of this course is that students will develop their ability to understand changes in various economic indicators announced in different aspects, and to explain the background and implications in their own words. Students are expected to read lecture materials prior to each lecture. In addition, as classes will refer to a wide variety of economic indicators, students are strongly encouraged to pay attention to the Business section of newspapers. Final grades will be evaluated based on assignment scores that will be submitted after each lecture, classroom presentations (contributions to the course), and term end reports.

ECN100LA (経済学 / Economics 100)

経済学Ⅱ

2017年度以降入学者

玉之内 直

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、経済学Ⅰを踏まえ、現実社会で語られることの多いトピックスを取り上げ、その背景にある理論と課題について理解することを目的とする。

【到達目標】

本講義では、経済学Ⅰで学んだ理論的背景を踏まえ、近時話題となっているいくつかの関連するトピックスについて実際のデータにもとづき理解し、それらを巡る課題について自らの言葉で説明できる力を養うことを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生は、毎回の講義において出題する課題を提出する。また、課題の提出によって出席の確認に替える。毎回の課題、および、質問等は、講師宛にメールの添付にて提出すること。毎回の講義の前半は、前回講義から今回の講義までに発生した経済イベントに関し受講生が発表を行い、それを踏まえ質疑応答を行う。後半は授業計画にもとづく講義を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	経済学Ⅰの振り返り
第2回	社会保障①	我が国の公的年金制度
第3回	社会保障②	我が国の企業年金制度
第4回	企業行動と産業組織①	独占
第5回	企業行動と産業組織②	ゲーム理論／ナッシュ均衡
第6回	企業行動と産業組織③	ゲーム理論／囚人のジレンマ
第7回	企業行動と産業組織④	ゲーム理論／応用
第8回	長期の実物経済①	効率的市場仮説
第9回	長期の実物経済②	リスクとリターン
第10回	長期の実物経済③	リスクとリターン
第11回	実務の経済学①	ポートフォリオ理論と分散投資
第12回	実務の経済学②	ポートフォリオ理論と分散投資
第13回	実務の経済学③	実社会で活躍する実務家による講演
第14回	まとめ	秋学期の振り返り 期末レポートについて

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に講義資料を参照のこと。また、講義において発表可能なように、新聞各紙の経済面を気にかけておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

購入を必須としないが、講義の礎とする

ダロン・アセモグル、デヴィット・レイブソン、ジョン・リスト著、岩本康志監訳、岩本千晴訳、『入門経済学』東洋経済新報社、2023。

【参考書】

『ミクロ経済学の力』（神取道宏、日本評論社）

ジョセフ・E. スティグリッツ著、山田美明訳『スティグリッツ PROGRESSIVE CAPITALISM』東洋経済新報社、2019。

ポール・クルーグマン、ロビン・ウェルス著、大山、石橋、塩澤、白井、大東、玉田、蓬田訳『クルーグマンミクロ経済学（第2版）』東洋経済新報社、2017。

ポール・クルーグマン、ロビン・ウェルス著、大山、石橋、塩澤、白井、大東、玉田、蓬田訳『クルーグマンマクロ経済学（第2版）』東洋経済新報社、2019。

【成績評価の方法と基準】

成績は、平常点（50％）および期末レポート（50％）により評価する。ただし、平常点：①毎回の講義で出題する課題に対する点数、②授業中の発表等（授業への貢献）を踏まえた点数 等である。

【学生の意見等からの気づき】

本講義は、若干発展的ながら、実社会と密接な繋がりのあるテーマを扱う。講義内容については受講生の関心度合いも高かったものの、理解度にはバラつきがあった。先を急がずわかりやすい講義を心がける。なお、経済学Ⅰとの関連はあるものの、本講義のみの受講も可能である。

【学生が準備すべき機器他】

特に指定しない

【その他の重要事項】

毎回の課題は、ワープロソフト、エクセルなどの表計算ソフト、および、パワーポイントなどのプレゼンテーション作成ソフトを利用する。また、課題の提出にはEメールを利用する。

【Outline (in English)】

With reference to Economics I, the objective of this course is to address a selection of topics discussed in the real world and to enable students to comprehend rationales and issues behind. The goal of this course is that students will understand some current topics based on actual data as well as develop their ability to explain issues around them in their own words, based on the theoretical background learned in Economics I. Students are expected to read lecture materials prior to each lecture. In addition, as classes will refer to a wide variety of economic indicators, students are strongly encouraged to pay attention to the Business section of newspapers. Final grades will be evaluated based on assignment scores that will be submitted after each lecture, classroom presentations (contributions to the course), and term end reports.

ECN100LA (経済学 / Economics 100)

経済学 I

2017年度以降入学者

千葉 千尋

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

経済学 I では、経済学の基礎から専門基礎レベルを身につけていくことを目指します。社会の基盤を成す経済の仕組み、それを体系的に解き明かすのが経済学です。ここでは、経済学の概念、ルーツ、理論などを、身近な事例と関連付けながら学んでいきます。経済を知ることによって社会の実態と変容を理解できるようになり、国際関係などを理解出来る力を身につけることが出来ます。
(秋学期の経済学IIでは、応用基礎のレベルまで身につけていくことを目指します)

【到達目標】

・経済、金融を理解する基礎知識と応用力を身に付け、様々な経済、社会問題の把握と考察を行っていただける知識基盤を身につけること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。

講義の中で様々なグラフ、統計、数式が出てくる場面はありますが、数学的な能力を身に付けることが目的ではないため、数学的要素を極力省くことで親しみやすい経済学を通じ、経済事象への関心を高め、理解が出来るベースを作ります。
最終回は、期末テストを実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 経済と経済学	経済学とは何か、何のために学ぶのか SDG s に経済学が不可欠なわけ
2	経済学の基礎概念 1	経済財とは？ 経済取引とは？ 市場の意義
3	経済学の基礎概念 2	需要と供給 お金と価格 効用 余剰と予算制約
4	経済学のルーツと理論の発展 1	オイコノミー（執事家政学）からミクロ基盤の近代経済学（A. スミス古典派完全市場経済学）の発展
5	経済学のルーツと理論の発展 2	需給構造の変化と古典派経済学の行き詰まり ケインズ マクロ経済学の登場
6	実態変化と理論の変遷	ケインズ経済学 国全体の経済構造と活動の体系化を実現 GDP の概念と経済政策の理論基礎付け 実物市場と金融市場の体系的把握

7	専門基礎 1 市場メカニズム	市場メカニズム（需給の決定と価格） 市場の不完全性（レモン問題）
8	専門基礎 2 GDP、財市場の均衡	財市場、GDP の構成と需要の決定 財市場の均衡 貯蓄のパラドックス
9	専門基礎 3 ミクロとマクロ	実物経済 ミクロとマクロの関係
10	専門基礎 4 貨幣市場	貨幣の定義と機能 実物財に対する相対価値としての価格
11	専門基礎 5 金融	金融とは？ 金融取引の価格＝金利の意味と決定 割引現在価値 不換紙幣
12	専門基礎 6 マネー管理	マネーサプライ管理の仕組み 中央銀行の機能と金融政策手段
13	専門基礎 7 金融市場と財市場の均衡	金融市場と財市場の均衡 IS 曲線、LM 曲線の導出 IS/LM モデルの概要 AD-AS 分析の意味
14	期末テストおよび総復習	講義内容の総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は、各回の準備学習 1 時間、復習時間 3 時間程度を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。

【参考書】

参考書、文献、資料などは、各回必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】

期末試験＝100%（試験＝100 点満点）

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更により、特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

経済学IIの履修を予定する学生は、同IIが直面する問題等を含めた応用基礎の内容となるので本経済学 I の講義を履修しておくことが望まれます。

【Outline (in English)】

Economics I introduce a broad perspective of basic economic theories as well as understanding economic related activities. The goal of this course is to grasp a sense of economic theories and models and become to be able to relate them to understand ongoing world issues.

Your required study time is at least one hour before class and three hours after class.

Your overall grade will be decided 100%on Term-end examination.

ECN100LA (経済学 / Economics 100)

経済学Ⅱ

2017年度以降入学者

千葉 千尋

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

経済学Ⅰの基礎知識を要約レビュー（英語含む）した上で、実践的に国際社会や日本が直面する社会経済的課題を専門基礎のレベルから解き明かし、経済学と経済知識の応用力を身に付けていくことを目指します。

【到達目標】

様々な経済、社会問題の把握と考察を経済学の基礎知識の応用から、実践的に考察していける力を身に付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式を基本とします。

後半2～3回ディスカッションを行います。

最終回（第14回）に期末テストを実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 経済学の応用基礎 基本概念1	経済財、経済取引 需要と供給 お金と価格
2	基本概念2	市場メカニズム ミクロとマクロ 財市場 GDPの構成と需要の決定
3	基本概念3	貨幣の定義と機能 金融システムと中央銀行
4	基本概念4	国際取引とマクロ経済、金融の 関係 国際取引関係と経済の収支パ ランス
5	基本概念5	国際決済と外国為替の基礎、国 際収支の発展段階説
6	直面する課題と経 済学 日本経済の衰退1 日本経済の衰退2	日本経済衰退の実態 デフレ衰退のメカニズムと実態
7		正常化への道を探る 市場機能の不全と国際競争力の 基盤の衰退が構造化
8	グローバル化1 グローバル化と市場 と国家 国家間の対立と新た な関係	経済グローバル化の進行と国家 の後退 グローバル化による市場統合と 国民経済関係の構造的変貌 国家間の新たな競争と対立（中 国の台頭と米中関係）
9	グローバル化2 グローバル化と地域 統合化	グローバル化での地域統合は解 決策か？ EUの拡大、アセアン経済共同 体、メルコスールの展開から考 える

10	グローバル化3 グローバル化と国際 ガバナンス	G A F Aの台頭と国際ガバ ナンス 世界共通決済システム内臓の仮 想通貨の意義と限界 グローバル経済統合と民主主義、 相互矛盾相克への道、ロドリ ク・モデルから考える。
11	エネルギー1 エネルギー革命	エネルギー革命の進行 その推移と実態
12	エネルギー2 エネルギーと経済の 長期波動	経済の長期成長波動とエネル ギー革命の関連性 再生エネルギーから究極の水素 循環型エネルギーへの転換初期 に伴うグリーン成長と雇用波及 の視点から日本経済再生の道 を考える
13	資本主義の存続	資本主義の史的構造変化とピケ ティの指摘 資本主義が内蔵するメカニズム から存続への課題を探る
14	期末テストおよび総 まとめ	期末テストおよび総まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は、各回の準備学習1時間、復習時間3時間程度を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。

【参考書】

参考書、文献、資料などは、各回必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】

期末試験＝90％

ディスカッション参加＝10％

【学生の意見等からの気づき】

日本経済の現状、世界が直面する問題などを、より身近なこととして実感できたという感想を複数いただきました。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

本講義は、基礎となる経済学Ⅰの講義をあらかじめ履修しておくことをお勧めします。

【Outline (in English)】

Economics II focuses more on the practical side of Economics I. Here we study ongoing issues and crisis that are deeply related to economic activities, policies and theories.

The goal of this course is to grasp a further sense of economic theories used in practice as well as to understand its cause and effects in our real world.

Your required study time is at least one hour before class and three hours after each class.

(Students are strongly required to take Economics I in advance.)

Your overall grade will be decided 90%on Term-end examination, and 10%on discussion.

ECN100LA (経済学 / Economics 100)

経済学 I

2017年度以降入学者

梅溪 健児

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

経済学は多くの内容から構成されるが、本授業では最も基本であるミクロ経済学を学び、入門コースとして必須の考え方を習得する。家計・企業・政府が経済活動の選択を行う基準は何か、市場の取引により無駄のない資源配分が実現するのか、無駄がある場合に必要ない対処は何かというポイントを理解し、経済社会の現実の課題に対して経済学が取り組む分析手法を身に着けることが目的である。

【到達目標】

目標は、①身の回りの出来事の背景にある経済主体の判断基準を理解できること、②価格が変化する競争的な市場の意味を理解できること、③経済ニュースの内容について経済学が示す論点と政策的な判断を理解できるようになることの3点である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は教科書に基づき講義形式で進める。その際、現実問題を経済学で考える習慣を身に着けるために、新聞記事・雑誌などからも教材を提供する。なお教科書が取り上げていない最新の話題については、他の文献等に基づいて教材に盛り込む。講義資料は学習支援システムに事前に掲載する。授業中に講義内容を復習するリアクションペーパーを実施し、受講生の理解を深める。そして、小テストを2回実施し授業の理解度を確認する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	市場の機能と経済学	経済学の基本的考え方と効率の意味を学ぶ
2	需要と供給	需要と供給による市場の取引を理解する（教科書第1章）
3	消費者の行動（1）	需要曲線を学ぶ（第2章）
4	消費者の行動（2）	消費者余剰を学ぶ（第2章）
5	企業の行動（1）	供給曲線を学ぶ（第3章）
6	企業の行動（2）	生産者余剰を学ぶ（第3章）
7	市場競争と資源配分	価格メカニズムと余剰分析を学ぶ（第4章）
8	市場の失敗と政府の役割	外部効果と公共財を学ぶ（第6章）
9	不完全な情報	情報の不完全性と取引を学ぶ（第7章）
10	ゲームの理論（1）	相手の出方が関係するナッシュ均衡、囚人のジレンマを学ぶ（第8章）
11	ゲームの理論（2）	オークションやマッチングにおける経済学の活用を学ぶ（市村・松井他2020）
12	経済学と労働	労働供給の視点（つまり労働者個人の立場）から「働く」判断を学ぶ（清家他2020）
13	経済学と家族	子育て、働き方などの視点から少子化の要因と対応を学ぶ

14 期末試験

試験・まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。新聞・雑誌の経済記事やテレビの経済番組に幅広く接し、経済学がどのように活用されているか理解することを勧める。

【テキスト（教科書）】

伊藤元重（2015）『入門経済学』（第4版）日本評論社

【参考書】

伊藤元重（2021）『ビジネス・エコノミクス』（第2版）日本経済新聞出版

市村英彦・松井彰彦他（2020）『経済学を味わう』日本評論社

小塩隆士（2024）『経済学の思考軸』ちくま新書

坂井豊貴（2013）『マーケットデザイン』ちくま新書

坂井豊貴（2017）『ミクロ経済学入門の入門』岩波新書

清家篤・風神佐知子（2020）『労働経済』東洋経済新報社

田中久稔（2018）『経済数学入門の入門』岩波新書

【成績評価の方法と基準】

小テスト 40%（2回）、期末試験 50%、リアクションペーパー 10%

【学生の意見等からの気づき】

この講義の中で受講生の関心が最も高いのは、ゲームの理論である。これは多くの人が楽しんでいるビデオゲームではなく、経済学の新しい研究分野の一つである。相手の出方を読むことがポイントになるような経済問題において人や組織が行う意思決定の背景を合理的に探究し、得られる成果が参加者の満足を高めるようになる仕組みを明らかにする。授業で取り上げる事例としては、スーパーの新規出店をめぐる駆け引き、オークションの工夫、高校入試単願制の改善などがある。受講生の期待に沿えるように講義を行いたいと考えている。昨年の講義では変動価格制（チケットの価格が日によって変わる、スーパーでは総菜の値引きが夜にあるなど）を取り上げ、経済学の視点から説明した。また身の回りの事例（牛丼店の価格戦略、これからの百貨店、サブスクの活用、競争する保険会社など）も経済学の理解を深めたとの感想を得たので、今回の授業でも続けていきたい。

二番目に関心が高かったのは、家族と少子化の問題を経済学の視点で考える内容である。昨年は日本の地方創生を批判的に考察し、欧州の少子化評論を紹介した。これについても教材を見直し、講義を行いたいと考えている。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムを利用するためのパソコンまたはスマホが必要。

【その他の重要事項】

経済学の基礎用語を英語で理解することが知見を深めるので、毎回の教材に英語資料を含める。実際のビジネスにおける経済学の活用事例を伊藤（2021）から紹介する。

【Outline (in English)】

This is an introductory course of microeconomics with an emphasis on understanding basic framework of economic theory: decision making of household, firms and government, economic consequences of economic transactions in the market. The course aims to enhance the ability to understand economic and social outcomes based on the reasoning with microeconomics. Students are expected to prepare for the class by studying the course materials for two hours prior to the class and to follow up each class with two hours of review. Students are graded by two short-answer tests (40%), the final exam (50%) and reaction-papers (10%).

ECN100LA (経済学 / Economics 100)

経済学Ⅱ

2017年度以降入学者

梅溪 健児

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

授業ではマクロ経済学の基礎を取り上げ、日本のマクロ経済を理解するために必須の考え方を習得する。GDP（国内総生産）による経済全体の把握、経済成長、消費や投資などの有効需要、経済政策と政府の役割、インフレとデフレ、雇用と失業、為替レート、海外との取引などについて、体系的に学ぶことが目的である。経済理論にとどまらず、現代日本のマクロ経済問題（日本経済論として講義される内容を指す）について知見を深めることも目指す。

【到達目標】

目標は、①経済学の考え方を日本経済に適用してその動向を理解できること、②政府と中央銀行が経済成長と物価の安定に果たす役割を具体的に理解できること、③目の子計算を用いてマクロ経済に関する数値の意味を理解できるようになることの3点である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は教科書に基づき講義形式で進める。その際、基礎理論の図表、因果関係のフローチャート、日本経済の基礎データの図表を教材として配布する。また、教科書が取り上げていない話題や日本や海外で現実に行っている最新の事象についても教材に盛り込み、マクロ経済学と日本経済論の事例として理解を深める。講義資料は学習支援システムに事前に掲載する。授業中に講義内容を復習するリアクションペーパーを実施し、受講生の理解を深める。そして、小テストを2回実施し授業の理解度を確認する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	マクロ経済学とは	ミクロ経済学との違い、GDP（国内総生産）、目の子計算を学ぶ（教科書第9章）
2	経済成長	日本の経済成長、成長会計、成長理論を学ぶ（第15章）
3	有効需要	需要の波及、乗数、需要・生産・所得の循環を学ぶ（第10章）
4	マクロ経済政策	財政政策と金融政策が財市場と資産市場に及ぼす効果を学ぶ（第12章）
5	景気対策	財政出動とクラウドディングアウトを学ぶ（第12章）
6	貨幣と金融政策	貨幣の機能と日銀の金融調節を学ぶ（第11章）
7	インフレとデフレ	物価変動と消費者行動、物価の見方、インフレ目標を学ぶ（第13章）
8	雇用と失業	離職と失業の現実と要因を学ぶ（第13章）
9	日本型雇用	人的資本、賃金決定、ジョブ型雇用を学ぶ（第13章）（清家他2020）

10	高齢社会の財政運営	人口の動きと経済成長、社会保障費の増大と大きな政府を学ぶ（第14章）
11	財政健全化	財政赤字の原因と対処、基礎的財政収支の考え方を学ぶ（第14章）
12	為替レートと開放経済	円高・円安の経済効果、オープンマクロ経済学を学ぶ（第16章）
13	貿易と直接投資	比較優位の考え方、貿易と直接投資の動向を学ぶ（第16章）
14	期末試験	試験・まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。新聞・雑誌の経済記事やテレビの経済番組に幅広く接し、経済学がどのように活用されているか理解することを勧める。マクロ経済学は財政金融政策の運営とつながりが深いので、政府や国際機関の経済ニュースに関心を持つことが有益である。

【テキスト（教科書）】

伊藤元重（2015）『入門経済学』（第4版）日本評論社

【参考書】

飯田泰之（2023）『財政・金融政策の転換点』中公新書
小塩隆士（2024）『経済学の思考軸』ちくま新書
塩路悦朗（2019）『やさしいマクロ経済学』日経文庫
清家篤・風神佐知子（2020）『労働経済』東洋経済新報社
田中久稔（2018）『経済数学入門の入門』岩波新書
吉川洋（2016）『人口と日本経済』中公新書
渡辺努（2022）『世界インフレの謎』講談社現代新書

【成績評価の方法と基準】

小テスト 40%（2回）、期末試験 50%、リアクションペーパー 10%

【学生の意見等からの気づき】

講義の中で受講生の関心が最も高かったのが労働と日本型雇用であった。人手不足の労働環境で若者の離職率が高まり、受講生が直面する雇用問題について丁寧に授業を進めたい。次に関心が集まったのが、インフレ問題であった。世界各国で物価上昇は選挙に大きな影響を及ぼしている。さらに金融政策の在り方も密接に関係している。今年度の講義でも最新動向を踏まえながら教材を作成していきたい。試験には簡単な計算問題を出題するが、計算に不慣れな学生がいることから、講義の中で計算問題を練習するように努めたい。ミクロ経済学に比べると、マクロ経済学の事例は日常実感することが少ない学生が多いようだが、就職試験においてもマクロ経済学はビジネスに関連が深いのでこの履修が学習のきっかけになることを望む。毎回の授業は具体的な事例で始める（例。複利計算で倍になる年数、値上げに対する消費者行動の国際比較、日本の低い若年失業率、日本の貿易構造の変化など）。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムを利用するためのパソコンまたはスマホが必要。

【その他の重要事項】

経済学の基礎用語を英語で理解することが知見を深めるので、毎回の教材に英語資料を含める。

【Outline (in English)】

This is an introductory course of standard macroeconomics. Topics to be covered are growth theory, effective demand such as consumption and investment, role of government and economic policy, prices, employment, and exchange rates and goods and service trade. The course aims to help understand fundamental ideas of macroeconomic theory as well as the practical knowledge of modern Japanese economy. Students are expected to prepare for the class by studying the course materials for two hours prior to the class and to follow up each class with two hours of review. Students are graded by two short-answer tests (40%), the final exam (50%) and reaction-papers (10%).

ECN100LA (経済学 / Economics 100)

経済学 I

2017年度以降入学者

玉之内 直

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、受講生自らが経済学の理論的背景を理解することにより、現実社会で語られることの多い主な経済統計を読み取り、その含意について考察するための基礎を身につけることを目的とする。

【到達目標】

本講義では、受講生自らが、様々な局面で発表される諸経済指標の変化を読み取り、その背景と意味に関する考察を自らの言葉で説明できる力を養うことを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生は、毎回の講義において出題する課題を提出する。また、課題の提出によって出席の確認に替える。毎回の課題、および、質問等は、講師宛にメールの添付にて提出すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	講義の全体像、および、進め方の解説。
第2回	市場はどのように機能するか①	市場における需要と供給の作用、弾力性、需要と供給
第3回	市場はどのように機能するか②	市場における需要と供給の作用、弾力性、需要と供給
第4回	市場と厚生	市場の効率性等、課税の費用、国際貿易
第5回	公共部門の経済学	外部性、公共財と共有資源、税制の設計等
第6回	マクロ経済のデータ①	GDPに関して
第7回	マクロ経済のデータ②	GDPに関して
第8回	マクロ経済のデータ③	消費者物価指数
第9回	長期の実物経済①	生産と成長、貯蓄、投資と金融システム
第10回	長期の実物経済②	金利について／お金の時間価値について
第11回	実社会の経済学①	ローンの計算等
第12回	実社会の経済学②	資産運用関連の話題
第13回	実社会の経済学③	実社会で活躍する実務家による講演
第14回	おわりに	春学期まとめ 期末レポートについて

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に講義資料を参照のこと。また、授業では、各局面で発表される様々な経済指標を参照するため、新聞各紙の経済面を気にかけておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

購入を必須としないが、講義の礎とする

ダロン・アセモグル、デヴィット・レイブソン、ジョン・リスト著、岩本康志監訳、岩本千晴訳、『入門経済学』東洋経済新報社、2023。

【参考書】

購入を必須としない。

神取道宏、『ミクロ経済学の力』日本評論社、2017。

ジョセフ・E. スティグリッツ著、山田美明訳『スティグリッツ PROGRESSIVE CAPITALISM』東洋経済新報社、2019。

ポール・クルーグマン、ロビン・ウェルス著、大山、石橋、塩澤、白井、大東、玉田、蓬田訳『クルーグマンミクロ経済学（第2版）』東洋経済新報社、2017。

ポール・クルーグマン、ロビン・ウェルス著、大山、石橋、塩澤、白井、大東、玉田、蓬田訳『クルーグマンマクロ経済学（第2版）』東洋経済新報社、2019。

【成績評価の方法と基準】

成績は、平常点（50％）および期末レポート（50％）により評価する。ただし、平常点：①毎回の講義で出題する課題に対する点数、②授業中の発表等（授業への貢献）を踏まえた点数 等である。

【学生の意見等からの気づき】

・本講義では、様々な経済学の理論が実社会の中でどのように活用されているかについて解説することに重点を置く。

・学生が苦手だと思われるEメール、表計算ソフトを用いる。はじめのうちは戸惑う学生も多いが、終盤には比較的使えるようになる。

【その他の重要事項】

毎回の課題は、ワープロソフト、エクセルなどの表計算ソフトを利用することが多い。また、課題の提出にはEメールを利用する。

【Outline (in English)】

The objective of this course is to enable students to acquire the basics of understanding the main economic statistics that are often mentioned in the real world and considering their implications. The goal of this course is that students will develop their ability to understand changes in various economic indicators announced in different aspects, and to explain the background and implications in their own words. Students are expected to read lecture materials prior to each lecture. In addition, as classes will refer to a wide variety of economic indicators, students are strongly encouraged to pay attention to the Business section of newspapers. Final grades will be evaluated based on assignment scores that will be submitted after each lecture, classroom presentations (contributions to the course), and term end reports.

ECN100LA (経済学 / Economics 100)

経済学Ⅱ

2017年度以降入学者

玉之内 直

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、経済学Ⅰを踏まえ、現実社会で語られることの多いトピックスを取り上げ、その背景にある理論と課題について理解することを目的とする。

【到達目標】

本講義では、経済学Ⅰで学んだ理論的背景を踏まえ、近時話題となっているいくつかの関連するトピックスについて実際のデータにもとづき理解し、それらを巡る課題について自らの言葉で説明できる力を養うことを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生は、毎回の講義において出題する課題を提出する。また、課題の提出によって出席の確認に替える。毎回の課題、および、質問等は、講師宛にメールの添付にて提出すること。毎回の講義の前半は、前回講義から今回の講義までに発生した経済イベントに関し受講生が発表を行い、それを踏まえ質疑応答を行う。後半は授業計画にもとづく講義を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	経済学Ⅰの振り返り
第2回	社会保障①	我が国の公的年金制度
第3回	社会保障②	我が国の企業年金制度
第4回	企業行動と産業組織①	独占
第5回	企業行動と産業組織②	ゲーム理論／ナッシュ均衡
第6回	企業行動と産業組織③	ゲーム理論／囚人のジレンマ
第7回	企業行動と産業組織④	ゲーム理論／応用
第8回	長期の実物経済①	効率的市場仮説
第9回	長期の実物経済②	リスクとリターン
第10回	長期の実物経済③	リスクとリターン
第11回	実務の経済学①	ポートフォリオ理論と分散投資
第12回	実務の経済学②	ポートフォリオ理論と分散投資
第13回	実務の経済学③	実社会で活躍する実務家による講演
第14回	まとめ	秋学期の振り返り 期末レポートについて

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に講義資料を参照のこと。また、講義において発表可能なように、新聞各紙の経済面を気にかけておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

購入を必須としないが、講義の礎とする

ダロン・アセモグル、デヴィット・レイブソン、ジョン・リスト著、岩本康志監訳、岩本千晴訳、『入門経済学』東洋経済新報社、2023。

【参考書】

『ミクロ経済学の力』（神取道宏、日本評論社）

ジョセフ・E. スティグリッツ著、山田美明訳『スティグリッツ PROGRESSIVE CAPITALISM』東洋経済新報社、2019。

ポール・クルーグマン、ロビン・ウェルス著、大山、石橋、塩澤、白井、大東、玉田、蓬田訳『クルーグマンミクロ経済学（第2版）』東洋経済新報社、2017。

ポール・クルーグマン、ロビン・ウェルス著、大山、石橋、塩澤、白井、大東、玉田、蓬田訳『クルーグマンマクロ経済学（第2版）』東洋経済新報社、2019。

【成績評価の方法と基準】

成績は、平常点（50％）および期末レポート（50％）により評価する。ただし、平常点：①毎回の講義で出題する課題に対する点数、②授業中の発表等（授業への貢献）を踏まえた点数 等である。

【学生の意見等からの気づき】

本講義は、若干発展的ながら、実社会と密接な繋がりのあるテーマを扱う。講義内容については受講生の関心度合いも高かったものの、理解度にはバラつきがあった。先を急がずわかりやすい講義を心がける。なお、経済学Ⅰとの関連はあるものの、本講義のみの受講も可能である。

【学生が準備すべき機器他】

特に指定しない

【その他の重要事項】

毎回の課題は、ワープロソフト、エクセルなどの表計算ソフト、および、パワーポイントなどのプレゼンテーション作成ソフトを利用する。また、課題の提出にはEメールを利用する。

【Outline (in English)】

With reference to Economics I, the objective of this course is to address a selection of topics discussed in the real world and to enable students to comprehend rationales and issues behind. The goal of this course is that students will understand some current topics based on actual data as well as develop their ability to explain issues around them in their own words, based on the theoretical background learned in Economics I. Students are expected to read lecture materials prior to each lecture. In addition, as classes will refer to a wide variety of economic indicators, students are strongly encouraged to pay attention to the Business section of newspapers. Final grades will be evaluated based on assignment scores that will be submitted after each lecture, classroom presentations (contributions to the course), and term end reports.

ECN100LA (経済学 / Economics 100)

マクロ経済学 I

2017年度以降入学者

平田 英明

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

芥川賞を受賞したお笑いコンビ・ピースの又吉直樹さんは、「人は人生のあらゆる局面において自分で選択をしなければなりません。そこには落とし穴もあるでしょうし、迷子になることもあるかもしれません。（中略）『経済学』はそんな厄介な道の危険な箇所や迷いやすい箇所を教えてくれる地図」になると指摘しています。ここで「人」というのは、個人だけでなく、個々の企業を含んでも構いません。つまり、経営学部で一番学びたいことを、経済学の視点から学べるのです。

この授業では、日本の経済、世界の経済を鳥瞰する上でどのような物差しで見ればよいかという点についての基礎知識が身につきます。そして、履修を通じて、マクロ経済学的な視点から消費者行動や企業活動を論理的に考えることができるようになるはずです。

【到達目標】

大企業のトップのインタビュー等を見ると、学生の皆さんも彼らの日本や世界のマクロ経済の現況に関する理解度が極めて高いことがわかるでしょう。それは、自社の経営が日本経済ならびに世界経済の状況次第で大きく影響されるからに他なりません。この授業では、日本のマクロ経済や世界の先進国（場合によって途上国）のマクロ経済をどのように理解すればよいのかについての方法論の基礎の基礎を紹介していきます。

春学期(マクロ経済学I)は、GDPやその他の主要なマクロ経済指標について一通り学んだ上で、マネーと中央銀行、財政の仕組みと機能といった経済政策面の基礎に触れた上で、それらを総合的に分析するモデルに少し触れていきます。これにより、学生の皆さんがマクロ的に経済を鳥瞰する基本のスタイルを学べます。

秋学期(マクロ経済学II)は、そのモデルを発展して物価とGDPの決定方法を学びます。その上で、インフレとデフレ、為替レート、経済成長、景気変動といったトピックに取り組みます。これにより、学生の皆さんがマクロ的に経済を分析する方法論の基本を学べます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

本授業は対面授業とオンデマンド授業（2021年に作成）の組み合わせで実施の予定です。1セメスター14回の授業のうち半分の7回を対面授業とする予定です（詳細は4月の最初の授業で説明します）。ただし、オンデマンドでは全12回分の授業が録画されているので、期末試験直前に全てみられるようにして、復習ができるようになります。

スライドや資料を使った講義形式を軸とします。授業の告知や資料等は、原則として全て「学習支援システム」を使って発信します。また、質問やコメントに関するフィードバックも「学習支援システム」を通じて行います。

なお、授業の詳細については、Hoppii上のシラバスで告知しますので、必ずそちらを参照するようにしてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明	授業計画の紹介とマクロ経済学とミクロ経済学の違いを説明をします

2	序章 マクロ経済学とは1	経済の捉え方の切り口の基本を紹介していきます
3	序章 マクロ経済学とは2	経済の捉え方の切り口の基本を紹介した上で、GDPの基本を学びます
4	マクロ経済を観察する1（GDP）	GDPの基本を学び、実質と名目と物価の関係を学びます。
5	マクロ経済を観察する2（GDP）	物価統計の基本的な特徴を理解します
6	マクロ経済を観察する3（物価）	労働市場関連統計と景気動向関連統計の基本的な仕組みを理解します。更に、金融と実体経済の関係を考察します
7	マクロ経済を観察する4（失業率、景気）	マネー、金利と金融市場の基礎を学びます
8	マクロ経済を支える金融市場1	中央銀行の役割とマネーの関係を理解します
9	マクロ経済を支える金融市場2	貨幣の機能と中央銀行の役割1
10	マクロ経済を支える金融市場3	貨幣の機能と中央銀行の役割2
11	貨幣の機能と中央銀行の役割1	金融システムの安定化の意義を理解します
12	貨幣の機能と中央銀行の役割2	中央銀行による経済政策（金融政策）の基本を学びます。財政の意義とその決まり方を把握します
13	財政の仕組みと機能1	税制の基本を学びます
14	財政の仕組みと機能2	国債と政府債務の基本的特徴を理解します
15	財政の仕組みと機能3	春学期に学んだ内容に関連する例題の演習を行います
16	演習	期末試験を実施します

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。予習は基本的にスライドに目を通す程度で大丈夫ですが、復習としてスライドと教科書を照らし合わせ、テキスト内の例題を解くことで、慣れるようにしてください。期末試験もテキスト内の例題等の問題に準拠して出題します。

【テキスト（教科書）】

平口良司・稲葉大『マクロ経済学－入門の「一歩前」から応用まで 第三版』（有斐閣）

ISBN 978-4-641-15076-8

【参考書】

新聞やレポート等を参考資料として紹介（授業支援システムに掲載）。

【成績評価の方法と基準】

持ち込み可の期末試験によって評価を行います。なお、 $+a$ として授業内での発言等について加点をする場合があります。ただし、あくまで加点であり、原則として期末試験（100%）の成績で成績評価を決めます。

期末試験の際に、以下のいずれかが選択できます。

(ア)S～Dの評価基準で評価を求める（学生は全問に解答）。

(イ)C～Dの評価基準で評価を求める（学生は限られた数の設問に解答）。

なお、単位取得率は例年95%程度であり、落第者（D）の大半は殆ど授業に出席していない学生です。

【学生の意見等からの気づき】

学生からは特にネガティブな意見は聞かれおらず、例年通りに授業は行方予定です。モデル部分は複雑な場合があるので、極力、複数回、違う角度から説明をするように心がけます。

対面授業部分は、昨年度の授業履修者のアンケート結果に基づいて、対面の希望が多かった部分にしています。

【その他の重要事項】

担当教員は、日本銀行における金融政策業務の経験を有します。また、国際通貨基金（IMF）や世界銀行（World Bank）におけるコンサルタント業務の経験も有します。こういった実務的な経験を踏まえ、生きた経済事象の説明を心がけたいです。

【Outline (in English)】

This class is designed for the students who firstly learn the basics of macroeconomics. You will learn what firms and households do in the economy from a macroeconomic perspective. You will learn the basic tools of macroeconomics to understand what is going on in the Japanese and the world economy.

In the spring semester (Macroeconomics I), we will learn about GDP and other major macroeconomic indicators, the basics of economic policy such as money and central banks, and the structure and function of public finance. And then we touch on models for analyzing them in a comprehensive manner. In the fall semester (Macroeconomics II), we will develop the model and learn how prices and GDP are determined. We will then tackle topics such as inflation and deflation, exchange rates, economic growth, and business cycle fluctuations.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Evaluation will be based on the open-book style final exam. In addition, extra points may be given for comments made in class.

At the time of the final exam, you can choose one of the following options.

(a) Ask for a grade based on the evaluation criteria of S to D (students answer all questions).

(b) Ask for a grade based on the evaluation criteria of C to D (students answer a limited number of questions).

ECN100LA (経済学 / Economics 100)

マクロ経済学Ⅱ

2017年度以降入学者

平田 英明

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

芥川賞を受賞したお笑いコンビ・ピースの又吉直樹さんは、「人は人生のあらゆる局面において自分で選択をしなければなりません。そこには落とし穴もあるでしょうし、迷子になることもあるかもしれません。（中略）『経済学』はそんな厄介な道の危険な箇所や迷いやすい箇所を教えてくれる地図」になると指摘しています。ここで「人」というのは、個人だけでなく、個々の企業を含んでも構いません。つまり、経営学部で一歩学びたいことを、経済学の視点から学べるのです。

この授業では、日本の経済、世界の経済を鳥瞰する上でどのような物差しで見なければよいかという点についての基礎知識が身につきます。そして、履修を通じて、マクロ経済学的な視点から消費者行動や企業活動を論理的に考えることができるようになるはずです。

【到達目標】

大企業のトップのインタビュー等をみると、皆さんも彼らの日本や世界のマクロ経済の現況に関する理解度が極めて高いことがわかります。それは、自社の経営が日本経済ならびに世界経済の状況次第で大きく影響されるからに他なりません。この授業では、日本のマクロ経済や世界の先進国（場合によって途上国）のマクロ経済をどのように理解すればよいのかについての方法論の基礎の基礎を紹介していきます。

春学期（マクロ経済学Ⅰ）は、GDP やその他の主要なマクロ経済指標について一通り学んだ上で、マネーと中央銀行、財政の仕組みと機能といった経済政策面の基礎に触れた上で、それらを総合的に分析するモデルに少し触れていきます。秋学期（マクロ経済学Ⅱ）は、そのモデルを発展して物価と GDP の決定方法を学びます。その上で、インフレとデフレ、為替レート、経済成長、景気変動といったトピックに取り組みます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

本授業は対面授業とオンデマンド授業（2021年に作成）の組み合わせで実施の予定です。1 セメスター 1 4 回の授業のうち半分の 7 回を対面授業とする予定です（詳細は 4 月の最初の授業で説明します）。ただし、オンデマンドでは全 12 回分の授業が録画されているので、期末試験直前に全てみられるようにして、復習ができるようにします。

スライドや資料を使った講義形式を軸とします。授業の告知や資料等は、原則として全て「学習支援システム」を使って発信します。また、質問やコメントに関するフィードバックも「学習支援システム」を通じて行います。

なお、授業の詳細については、Hoppii 上のシラバスで告知しますので、必ずそちらを参照するようにしてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	GDP と金利の決まり方 1	総需要と物価の関係を学びます
2	GDP と金利の決まり方 2	総供給と物価の関係を学びます
3	GDP と金利の決まり方 3	金利と GDP の決まり方を考察します

4	総需要・総供給分析 1	物価が一定ではない世界の枠組みを理解します
5	総需要・総供給分析 2	マクロ的な均衡状態の背後で何がおきなのかを理解します
6	総需要・総供給分析 3	マクロ経済政策の役割を考察します
7	インフレとデフレ 1	インフレとデフレの意味とその発生原因を学びます
8	インフレとデフレ 2	実質金利、インフレとデフレのコストを学びます
9	国際マクロ経済 1	海外との取引の計測の仕方を学びます
10	国際マクロ経済 2	為替市場と特徴と短期的な決定要因を学びます、開放経済下での経済政策の効果を学びます
11	経済成長 1	経済成長モデルを使った分析を行います
12	経済成長 2	経済成長の要因を理解します
13	演習	例題に取り組みます
14	授業内期末試験	期末試験を実施します

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。予習は基本的にスライドに目を通す程度で大丈夫ですが、復習としてスライドと教科書を照らし合わせ、テキスト内の例題を解くことで、慣れるようにしてください。期末試験もテキスト内の例題等の問題に準拠して出題します。

【テキスト（教科書）】

平口良司・稲葉大『マクロ経済学－入門の「一歩前」から応用まで 新版』（有斐閣）

ISBN 978-4-641-15076-8

【参考書】

新聞やレポート等を参考資料として紹介（授業支援システムに掲載）。

【成績評価の方法と基準】

持ち込み可の期末試験によって評価を行います。なお、+ a として授業内での発言等について加点をする場合があります。ただし、あくまで加点であり、原則として期末試験（100%）の成績で成績評価を決めます。

期末試験の際に、以下のいずれかが選択できます。

(ア) S～D の評価基準で評価を求める（学生は全問に解答）。

(イ) C～D の評価基準で評価を求める（学生は限られた数の設問に解答）。

なお、単位取得率は例年 95 % 程度であり、落第者（D）の大半は殆ど授業に出席していない学生です。

【学生の意見等からの気づき】

学生からは特にネガティブな意見は聞かれおらず、例年通りに授業は行う予定です。モデル部分は複雑な場合があるので、極力、複数回、違う角度から説明をするように心がけます。

【その他の重要事項】

担当教員は、日本銀行における金融政策業務の経験を有します。また、国際通貨基金（IMF）や世界銀行（World Bank）におけるコンサルタント業務の経験も有します。こういった実務的な経験を踏まえ、生きた経済事象の説明を心がけたいです。

【Outline (in English)】

This class is designed for the students who firstly learn the basics of macroeconomics. You will learn what firms and households do in the economy from a macroeconomic perspective. You will learn the basic tools of macroeconomics to understand what is going on in the Japanese and the world economy.

In the spring semester (Macroeconomics I), we will learn about GDP and other major macroeconomic indicators, the basics of economic policy such as money and central banks, and the structure and function of public finance. And then we touch on models for analyzing them in a comprehensive manner. In the fall semester (Macroeconomics II), we will develop the model and learn how prices and GDP are determined. We will then tackle topics such as inflation and deflation, exchange rates, economic growth, and business cycle fluctuations.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Evaluation will be based on the open-book style final exam. In addition, extra points may be given for comments made in class.

At the time of the final exam, you can choose one of the following options.

(a) Ask for a grade based on the evaluation criteria of S to D (students answer all questions).

(b) Ask for a grade based on the evaluation criteria of C to D (students answer a limited number of questions).

ECN100LA (経済学 / Economics 100)

マクロ経済学 I

2017年度以降入学者

平田 英明

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

芥川賞を受賞したお笑いコンビ・ピースの又吉直樹さんは、「人は人生のあらゆる局面において自分で選択をしなければなりません。そこには落とし穴もあるでしょうし、迷子になることもあるかもしれません。（中略）『経済学』はそんな厄介な道の危険な箇所や迷いやすい箇所を教えてくれる地図」になると指摘しています。ここで「人」というのは、個人だけでなく、個々の企業を含んでも構いません。つまり、経営学部で一番学びたいことを、経済学の視点から学べるのです。

この授業では、日本の経済、世界の経済を鳥瞰する上でどのような物差しを見ていけばよいかという点についての基礎知識が身につきます。そして、履修を通じて、マクロ経済学的な視点から消費者行動や企業活動を論理的に考えることができるようになるはずです。

【到達目標】

大企業のトップのインタビュー等を見ると、学生の皆さんも彼らの日本や世界のマクロ経済の現況に関する理解度が極めて高いことがわかるでしょう。それは、自社の経営が日本経済ならびに世界経済の状況次第で大きく影響されるからに他なりません。この授業では、日本のマクロ経済や世界の先進国（場合によって途上国）のマクロ経済をどのように理解すればよいのかについての方法論の基礎の基礎を紹介していきます。

春学期(マクロ経済学I)は、GDPやその他の主要なマクロ経済指標について一通り学んだ上で、マネーと中央銀行、財政の仕組みと機能といった経済政策面の基礎に触れた上で、それらを総合的に分析するモデルに少し触れていきます。これにより、学生の皆さんがマクロ的に経済を鳥瞰する基本のスタイルを学べます。

秋学期(マクロ経済学II)は、そのモデルを発展して物価とGDPの決定方法を学びます。その上で、インフレとデフレ、為替レート、経済成長、景気変動といったトピックに取り組みます。これにより、学生の皆さんがマクロ的に経済を分析する方法論の基本を学べます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

本授業は対面授業とオンデマンド授業（2021年に作成）の組み合わせで実施の予定です。1セメスター14回の授業のうち半分の7回を対面授業とする予定です（詳細は4月の最初の授業で説明します）。ただし、オンデマンドでは全12回分の授業が録画されているので、期末試験直前に全てみられるようにして、復習ができるようになります。

スライドや資料を使った講義形式を軸とします。授業の告知や資料等は、原則として全て「学習支援システム」を使って発信します。また、質問やコメントに関するフィードバックも「学習支援システム」を通じて行います。

なお、授業の詳細については、Hoppii上のシラバスで告知しますので、必ずそちらを参照するようにしてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明	授業計画の紹介とマクロ経済学とミクロ経済学の違いを説明をします

2	序章 マクロ経済学とは1	経済の捉え方の切り口の基本を紹介していきます
3	序章 マクロ経済学とは2	経済の捉え方の切り口の基本を紹介した上で、GDPの基本を学びます
4	マクロ経済を観察する1（GDP）	GDPの基本を学び、実質と名目と物価の関係を学びます。
5	マクロ経済を観察する2（GDP）	物価統計の基本的な特徴を理解します
6	マクロ経済を観察する3（物価）	労働市場関連統計と景気動向関連統計の基本的な仕組みを理解します。更に、金融と実体経済の関係を考察します
7	マクロ経済を観察する4（失業率、景気）	マネー、金利と金融市場の基礎を学びます
8	マクロ経済を支える金融市場1	中央銀行の役割とマネーの関係を理解します
9	マクロ経済を支える金融市場2	貨幣の機能と中央銀行の役割1
10	マクロ経済を支える金融市場3	金融システムの安定化の意義を理解します
11	貨幣の機能と中央銀行の役割2	中央銀行による経済政策（金融政策）の基本を学びます。財政の意義とその決まり方を把握します
12	貨幣の機能と中央銀行の役割3	税制の基本を学びます
13	財政の仕組みと機能1	国債と政府債務の基本的特徴を理解します
14	財政の仕組みと機能2	春学期に学んだ内容に関連する例題の演習を行います
15	財政の仕組みと機能3	期末試験を実施します
16	演習	
17	授業内期末試験	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。予習は基本的にスライドに目を通す程度で大丈夫ですが、復習としてスライドと教科書を照らし合わせ、テキスト内の例題を解くことで、慣れるようにしてください。期末試験もテキスト内の例題等の問題に準拠して出題します。

【テキスト（教科書）】

平口良司・稲葉大『マクロ経済学－入門の「一歩前」から応用まで 第三版』（有斐閣）

ISBN 978-4-641-15076-8

【参考書】

新聞やレポート等を参考資料として紹介（授業支援システムに掲載）。

【成績評価の方法と基準】

持ち込み可の期末試験によって評価を行います。なお、 $+a$ として授業内での発言等について加点をする場合があります。ただし、あくまで加点であり、原則として期末試験（100%）の成績で成績評価を決めます。

期末試験の際に、以下のいずれかが選択できます。

(ア)S～Dの評価基準で評価を求める（学生は全問に解答）。

(イ)C～Dの評価基準で評価を求める（学生は限られた数の設問に解答）。

なお、単位取得率は例年95%程度であり、落第者（D）の大半は殆ど授業に出席していない学生です。

【学生の意見等からの気づき】

学生からは特にネガティブな意見は聞かれおらず、例年通りに授業は行う予定です。モデル部分は複雑な場合があるので、極力、複数回、違う角度から説明をするように心がけます。

対面授業部分は、昨年度の授業履修者のアンケート結果に基づいて、対面の希望が多かった部分にしています。

【その他の重要事項】

担当教員は、日本銀行における金融政策業務の経験を有します。また、国際通貨基金（IMF）や世界銀行（World Bank）におけるコンサルタント業務の経験も有します。こういった実務的な経験を踏まえ、生きた経済事象の説明を心がけたいです。

【Outline (in English)】

This class is designed for the students who firstly learn the basics of macroeconomics. You will learn what firms and households do in the economy from a macroeconomic perspective. You will learn the basic tools of macroeconomics to understand what is going on in the Japanese and the world economy.

In the spring semester (Macroeconomics I), we will learn about GDP and other major macroeconomic indicators, the basics of economic policy such as money and central banks, and the structure and function of public finance. And then we touch on models for analyzing them in a comprehensive manner. In the fall semester (Macroeconomics II), we will develop the model and learn how prices and GDP are determined. We will then tackle topics such as inflation and deflation, exchange rates, economic growth, and business cycle fluctuations.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Evaluation will be based on the open-book style final exam. In addition, extra points may be given for comments made in class.

At the time of the final exam, you can choose one of the following options.

(a) Ask for a grade based on the evaluation criteria of S to D (students answer all questions).

(b) Ask for a grade based on the evaluation criteria of C to D (students answer a limited number of questions).

ECN100LA (経済学 / Economics 100)

マクロ経済学Ⅱ

2017年度以降入学者

平田 英明

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

芥川賞を受賞したお笑いコンビ・ピースの又吉直樹さんは、「人は人生のあらゆる局面において自分で選択をしなければなりません。そこには落とし穴もあるでしょうし、迷子になることもあるかもしれません。（中略）『経済学』はそんな厄介な道の危険な箇所や迷いやすい箇所を教えてくれる地図」になると指摘しています。ここで「人」というのは、個人だけでなく、個々の企業を含んでも構いません。つまり、経営学部で一歩学びたいことを、経済学の視点から学べるのです。

この授業では、日本の経済、世界の経済を鳥瞰する上でどのような物差しで見なければよいかという点についての基礎知識が身につきます。そして、履修を通じて、マクロ経済学的な視点から消費者行動や企業活動を論理的に考えることができるようになるはずです。

【到達目標】

大企業のトップのインタビュー等をみると、皆さんも彼らの日本や世界のマクロ経済の現況に関する理解度が極めて高いことがわかります。それは、自社の経営が日本経済ならびに世界経済の状況次第で大きく影響されるからに他なりません。この授業では、日本のマクロ経済や世界の先進国（場合によって途上国）のマクロ経済をどのように理解すればよいのかについての方法論の基礎の基礎を紹介していきます。

春学期（マクロ経済学Ⅰ）は、GDP やその他の主要なマクロ経済指標について一通り学んだ上で、マネーと中央銀行、財政の仕組みと機能といった経済政策面の基礎に触れた上で、それらを総合的に分析するモデルに少し触れていきます。秋学期（マクロ経済学Ⅱ）は、そのモデルを発展して物価と GDP の決定方法を学びます。その上で、インフレとデフレ、為替レート、経済成長、景気変動といったトピックに取り組みます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

本授業は対面授業とオンデマンド授業（2021年に作成）の組み合わせで実施の予定です。1 セメスター 1 4 回の授業のうち半分の 7 回を対面授業とする予定です（詳細は 4 月の最初の授業で説明します）。ただし、オンデマンドでは全 12 回分の授業が録画されているので、期末試験直前に全てみられるようにして、復習ができるようにします。

スライドや資料を使った講義形式を軸とします。授業の告知や資料等は、原則として全て「学習支援システム」を使って発信します。また、質問やコメントに関するフィードバックも「学習支援システム」を通じて行います。

なお、授業の詳細については、Hoppii 上のシラバスで告知しますので、必ずそちらを参照するようにしてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	GDP と金利の決まり方 1	総需要と物価の関係を学びます
2	GDP と金利の決まり方 2	総供給と物価の関係を学びます
3	GDP と金利の決まり方 3	金利と GDP の決まり方を考察します

4	総需要・総供給分析 1	物価が一定ではない世界の枠組みを理解します
5	総需要・総供給分析 2	マクロ的な均衡状態の背後で何がおきているかを理解します
6	総需要・総供給分析 3	マクロ経済政策の役割を考察します
7	インフレとデフレ 1	インフレとデフレの意味とその発生原因を学びます
8	インフレとデフレ 2	実質金利、インフレとデフレのコストを学びます
9	国際マクロ経済 1	海外との取引の計測の仕方を学びます
10	国際マクロ経済 2	為替市場と特徴と短期的な決定要因を学びます、開放経済下での経済政策の効果を学びます
11	経済成長 1	経済成長モデルを使った分析を行います
12	経済成長 2	経済成長の要因を理解します
13	演習	例題に取り組みます
14	授業内期末試験	期末試験を実施します

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。予習は基本的にスライドに目を通す程度で大丈夫ですが、復習としてスライドと教科書を照らし合わせ、テキスト内の例題を解くことで、慣れるようにしてください。期末試験もテキスト内の例題等の問題に準拠して出題します。

【テキスト（教科書）】

平口良司・稲葉大『マクロ経済学－入門の「一歩前」から応用まで 新版』（有斐閣）

ISBN 978-4-641-15076-8

【参考書】

新聞やレポート等を参考資料として紹介（授業支援システムに掲載）。

【成績評価の方法と基準】

持ち込み可の期末試験によって評価を行います。なお、+ a として授業内での発言等について加点をする場合があります。ただし、あくまで加点であり、原則として期末試験（100%）の成績で成績評価を決めます。

期末試験の際に、以下のいずれかが選択できます。

(ア) S～D の評価基準で評価を求める（学生は全問に解答）。

(イ) C～D の評価基準で評価を求める（学生は限られた数の設問に解答）。

なお、単位取得率は例年 95 % 程度であり、落第者（D）の大半は殆ど授業に出席していない学生です。

【学生の意見等からの気づき】

学生からは特にネガティブな意見は聞かれおらず、例年通りに授業は行う予定です。モデル部分は複雑な場合があるので、極力、複数回、違う角度から説明をするように心がけます。

【その他の重要事項】

担当教員は、日本銀行における金融政策業務の経験を有します。また、国際通貨基金（IMF）や世界銀行（World Bank）におけるコンサルタント業務の経験も有します。こういった実務的な経験を踏まえ、生きた経済事象の説明を心がけたいです。

【Outline (in English)】

This class is designed for the students who firstly learn the basics of macroeconomics. You will learn what firms and households do in the economy from a macroeconomic perspective. You will learn the basic tools of macroeconomics to understand what is going on in the Japanese and the world economy.

In the spring semester (Macroeconomics I), we will learn about GDP and other major macroeconomic indicators, the basics of economic policy such as money and central banks, and the structure and function of public finance. And then we touch on models for analyzing them in a comprehensive manner. In the fall semester (Macroeconomics II), we will develop the model and learn how prices and GDP are determined. We will then tackle topics such as inflation and deflation, exchange rates, economic growth, and business cycle fluctuations.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Evaluation will be based on the open-book style final exam. In addition, extra points may be given for comments made in class.

At the time of the final exam, you can choose one of the following options.

(a) Ask for a grade based on the evaluation criteria of S to D (students answer all questions).

(b) Ask for a grade based on the evaluation criteria of C to D (students answer a limited number of questions).

PSY100LA (心理学 / Psychology 100)

心理学 I

2017年度以降入学者

望月 由紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉〈実〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「心」とは何か、「心理学」という学問とはどのようなものなのかを理解し、それぞれの専門分野での学び、周囲の人との関わりの中で活用できるようになることを本授業では目指します。受講者には心理学Ⅱを連続履修することを期待します。

【到達目標】

授業では、私たちがどのように環境を認識したり、記憶したりしているか、あるいは私たちは生涯を通じてどのように成長していくのかなどを学びます。

「心理学」の知識を持つことで皆さんの専攻する学問での学びや周りの人々との関係性がより深まり、私たち人間の心の働きをさまざまな切り口から捉えることができる能力を身につけることが目標です。また、授業の中でリラクゼーションやマインドフルネスを実施し、心理学を体験的にも学んでもらう時間を設ける予定ですので、生活の中で心理学がどう役に立つかも体験してください。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式により授業を進めていきます。また、時折、映像を用いて心の問題を捉えてみたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業ガイダンス	授業計画、授業のねらいなどの説明
第2回	心理学とは何か	心理学が生まれてくるまで。心を科学的に研究することとはどういうことか
第3回	感覚と知覚について	私たちが環境を認識する際の心の働きについて
第4回	記憶について	私たちが何かを記憶することに関する心の働きについて
第5回	学習について	私たちが物を学ぶ際の心の働きについて
第6回	言語と思考について	私たちはどのように言語に関わり、思考しているのかについて
第7回	情動について	私たちの情動とはどんな働きをしているのだろうか
第8回	動機付けについて	私たちの動機付けと欲求のメカニズムについて
第9回	性格とは何か	心理学における性格のとらえ方
第10回	発達の基礎	私たちの様々な機能の発達段階について
第11回	社会的な発達	私たちが社会的に発達するとはどんなことなのか
第12回	自己とは何か	自分とは何か。心理学ではどのように考えてきたのか
第13回	集団の中での人の心について	同調と服従、説得などの社会的影響について

第14回 ストレスについて 心理学Ⅰのまとめとストレスについて

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の学習・復習時間は、各2時間を標準とします。事前準備は、教科書でその回のテーマを読み、自分なりの疑問・問題意識を持ち授業に臨んでください。復習は、その回のテーマを振り返り、自分なりの解答をまとめ、文章化しておきましょう。

【テキスト（教科書）】

よくわかる心理学(やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ) 無藤隆・森俊昭・池上智子・福丸由佳(編) ミネルヴァ書房
ISBN-13 : 978-4623052509

【参考書】

心理学への招待—こころの科学を知る(新心理学ライブラリ) 梅本堯夫・大山正著 サイエンス社
ISBN-13 : 978-4781913476

【成績評価の方法と基準】

レポート 100%
授業の中で扱ったテーマの一つを選び、授業で学んだことが自分自身の実体験とどうかかわり、今後どう活かそうかを、500字～1000字以内でまとめて提出してもらいます。テーマについてまとめている部分は50点とし、自分の考えについてまとめた個所を50点で評価をします。

【学生の意見等からの気づき】

シラバスとそれた個所へのフィードバックがあったため、それた個所であった体験的学習について目標のところで触れておきました。

【その他の重要事項】

臨床心理学での実務経験を踏まえ、心理学の知識がどのように活用されているかの具体例を示していきます。

【Outline (in English)】

You will understand what the “mind” is and what the science of “psychology” is.

The goal of this class is for you to be able to use these skills in your studies in your specialized field and in your interactions with people around you.

I expect you to take Psychology II.

PSY100LA (心理学 / Psychology 100)

心理学Ⅱ

2017年度以降入学者

望月 由紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉〈実〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学Ⅰで学んだ心理学の基礎が、生活や社会の中でどのように役立っているかを学びます。主に臨床心理学の分野から、人格理論、発達各期における心理臨床の問題、異常心理、臨床心理学的査定、心理療法について学びます。

【到達目標】

心理学Ⅰでは学びきれなかった応用分野での心理学を学び、心理学的な視点で、自分のこと、周りの人々のことを考えることができるようになることを、本授業ではめざします。リラクゼーションやマインドフルネスを体験してもらい、心理学を日常的に活かすことを体験的に学んでいただきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式により授業を進めていきます。また、時折、DVD教材を用いて心の問題を映像で捉えてみたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業ガイダンス	授業計画、授業のねらいなどの説明
第2回	パーソナリティー理論	私たちの性格をどうとらえるか（類型論、特性論、状況論、相互作用論）
第3回	欲求と防衛機制	私たちの欲求や自分の心を守ろうとする防衛機制について知る
第4回	臨床心理学について	臨床心理学とはなにか、その誕生や専門性や活動について
第5回	臨床心理学の理論的モデル	臨床心理学の主な理論的モデルと実践について
第6回	臨床心理学のアセスメント方法について	アセスメントとは何か、どんなふうに用いられているのか、その方法について
第7回	臨床心理学の介入方法①	精神分析と分析心理学と認知行動療法
第8回	臨床心理学の介入方法②	来談者中心療法とマイクロカウンセリング
第9回	臨床心理学の介入方法③	ブリーフセラピー（解決志向アプローチなど）
第10回	臨床心理学の介入方法④	集団療法：アサーティブネストレーニングなど
第11回	臨床心理学の介入方法⑤	集団療法：カップルカウンセリングなど
第12回	異常心理学①	気分障害・統合失調症・不安障害など
第13回	異常心理学②	パーソナリティー障害・摂食障害・性同一性障害・身体症状症と解離性障害など
第14回	まとめ	これまでの授業内容を振り返る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

事前学習は毎回のテーマの教科書を読み自分なりの疑問を用意して授業に臨んでください。

復習は、授業の中で扱ったことを復習し、疑問に対する自分なりの回答を練り上げ、文章にまとめておきましょう。

【テキスト（教科書）】

よくわかる臨床心理学［改訂新版］（やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ）下山晴彦（著） ミネルヴァ書房 ISBN(13桁)978-4623054350

【参考書】

実践に役立つ臨床心理学 【第4版】 塩崎尚美（著）北樹出版 ISBN(13桁)978-4779306976

【成績評価の方法と基準】

レポート課題 100%

授業の中で扱ったテーマについて、自分自身の体験の中でどのようにそのテーマで学んだことが活かせるかについて500字～1000字以内でまとめて提出してください。

テーマについてまとめている部分は50点とし、自分の考えについてまとめた個所を50点で評価をします。

【学生の意見等からの気づき】

心理学Ⅰを受講した学生の希望に出ていた、リラクゼーションやマインドフルネスを授業の中に取り入れました。

【その他の重要事項】

心理学Ⅰを履修していること。

医療現場における臨床実務経験がある教員のため、なるべく現場での経験も踏まえ授業を行います。

【Outline (in English)】

You learn about how psychology helps us in our lives and in society. From the field of clinical psychology, you learn about personality theory, clinical psychological problems at various stages of development, abnormal psychology, clinical psychological assessment, and psychotherapy.

PSY100LA (心理学 / Psychology 100)

心理学 I

2017年度以降入学者

久木田 敦志

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

あまりにも身近でありながら、目には見えず、思い通りにならないことも多々ある私たちの心。この心の理（ことわり）を科学的に探究する学問が心理学です。本講義では、みなさんが一生つきあっていくことになる自身の心と向き合い、理解を深める手助けとなることを目指して、心のはたらきについての知見を感覚・認知・動機・発達・対人関係・臨床など様々な角度から紹介します。

【到達目標】

「心」とは何か、心理学とはどのようなものなのか、といったことを理解し、人間の健全な心の働きや発達をさまざまな切り口から捉えることのできる能力を身につけること、そして、心理学的な視点で、自分のこと、周りの人々のことを考えることができるようになることを、本授業ではめざします。また、受講者には心理学IIを連続履修することを期待します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式により授業を進めていきます。適宜、授業内容の理解深化を目的とした課題及び小テストを行うことで習熟度への定期的なフィードバックを提供します。その他の詳細は第1回ガイダンス時に説明します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業ガイダンス	授業ガイダンス：授業計画、授業のねらいなどの説明
第2回	科学的心理学の歩み	心理学における人間観、「心の理論」は人間をどう捉えるか
第3回	見えの不思議（1）	視覚、形・空間・運動の知覚
第4回	見えの不思議（2）	注意・バイアス、社会的知覚
第5回	学習の不思議	条件づけ、強化と消去、般化と分化、モデリング・社会的学習
第6回	記憶の不思議	短期記憶と長期記憶、感覚記憶、記憶と忘却
第7回	思考の不思議	思考と問題解決、創造的思考
第8回	動機づけ	動機づけのメカニズム、学習への動機づけ
第9回	内発的動機づけと外的報酬	言語的報酬と物質的報酬、人間関係の影響
第10回	無気力	学習性無力感、達成目標と無気力
第11回	発達（1）	遺伝も環境も影響、発達段階、生涯発達
第12回	発達（2）	アイデンティティ、青年・成人期・高齢期の発達
第13回	まとめ	これまでの授業内容を振り返る
第14回	学期末試験	授業内期末試験を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「心理学概論——ヒューマン・サイエンスへの招待」 松田幸弘 編著（2018年）ISBN 9784779513367

【参考書】

教科書以外の参考文献は授業中に別途指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（50％）と学期中の各課題・小テスト（50％）を総合して評価します。成績評価項目の詳細は第1回ガイダンス時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の受講生のみなさんから、参加型の実験やリアルタイムで結果が分かるアンケート集計が楽しかった、講義・説明が丁寧だった、定期的な小テストで学びが深まった、スライド資料の配布が役立った、等々、温かいフィードバックを多数いただくことができました。引き続き、安心して学べる環境を丁寧に作り、学生のみなさんと共に充実した授業を迎えられるよう尽力していきます。

【Outline (in English)】

Course Outline: Psychology is a discipline of scientific inquiry of the human mind, something that is very familiar to each of us on the one hand yet invisible and sometimes unpredictable on the other. This course is intended to help nurture a deeper understanding of the workings of the mind through various perspectives including perception, cognition, motivation, development, interpersonal relationships, and clinical practices.

Learning Objectives: To understand the sound workings and development of the human mind as well as conceptualize identity and interpersonal relationships through various psychological perspectives. Students enrolled in this course are expected to continue taking Psychology II.

Learning Activities Outside of Classroom: The expected time commitment in preparation for and reviewing after a class meeting is two hours each per week.

Grading Criteria/Policy: Students will be evaluated based on their performances on the final examination (50%) and learning activities/quizzes (50%). Details will be provided at the first class session.

PSY100LA (心理学 / Psychology 100)

心理学Ⅱ

2017年度以降入学者

久木田 敦志

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

あまりにも身近でありながら、目には見えず、思い通りにならないことも多々ある私たちの心。この心の理（ことわり）を科学的に探究する学問が心理学です。本講義では、みなさんが一生つきあっていくことになる自身の心と向き合い、理解を深める手助けとなることを目指して、心のはたらきについての知見を感覚・認知・動機・発達・対人関係・臨床など様々な角度から紹介します。

【到達目標】

「心」とは何か、心理学とはどのようなものなのか、といったことを理解し、人間の健全な心の働きや発達をさまざまな切り口から捉えることのできる能力を身につけること、そして、心理学的な視点で、自分のこと、周りの人々のことを考えることができるようになることを、本授業ではめざします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式により授業を進めていきます。適宜、授業内容の理解深化を目的とした課題及び小テストを行うことで習熟度への定期的なフィードバックを提供します。その他の詳細は第1回ガイダンス時に説明します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業ガイダンス	授業計画、授業のねらいなどの説明
第2回	自分を良く知りたい	パーソナリティの類型論と特性論
第3回	パーソナリティの理解	パーソナリティとその測定法
第4回	人間関係と社会心理学	自己概念・社会的認知、対人関係、家族関係
第5回	集団との関係	社会的影響、集団・組織
第6回	社会性と進化的視点	向社会行動、利他行動
第7回	向社会行動を支える内的要因	社会脳仮説
第8回	臨床心理（1）	臨床心理学とは、理論とアセスメント
第9回	臨床心理（2）	臨床心理学の実践、介入
第10回	カウンセリング（1）	精神分析学、認知行動療法
第11回	カウンセリング（2）	来談者中心療法、ポジティブ心理学
第12回	心理的ウェルビーイングを考える	精神的に健康で、充実した人生を生きるために
第13回	まとめ	これまでの授業内容を振り返る
第14回	学期末試験	授業内期末試験を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「心理学概論——ヒューマン・サイエンスへの招待」 松田幸弘 編著（2018年）ISBN 9784779513367

【参考書】

教科書以外の参考文献は授業中に別途指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（50％）と学期中の各課題・小テスト（50％）を総合して評価します。成績評価項目の詳細は第1回ガイダンス時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の受講生のみなさんから、参加型の実験やリアルタイムで結果が分かるアンケート集計が楽しかった、講義・説明が丁寧だった、定期的な小テストで学びが深まった、スライド資料の配布が役立った、等々、温かいフィードバックを多数いただくことができました。引き続き、安心して学べる環境を丁寧に作り、学生のみなさんと共に充実した授業を迎えられるよう尽力していきます。

【Outline (in English)】

Course Outline: Psychology is a discipline of scientific inquiry of the human mind, something that is very familiar to each of us on the one hand yet invisible and sometimes unpredictable on the other. This course is intended to help nurture a deeper understanding of the workings of the mind through various perspectives including perception, cognition, motivation, development, interpersonal relationships, and clinical practices.

Learning Objectives: To understand the sound workings and development of the human mind as well as conceptualize identity and interpersonal relationships through various psychological perspectives. Students enrolled in this course are expected to continue taking Psychology II.

Learning Activities Outside of Classroom: The expected time commitment in preparation for and reviewing after a class meeting is two hours each per week.

Grading Criteria/Policy: Students will be evaluated based on their performances on the final examination (50%) and learning activities/quizzes (50%). Details will be provided at the first class session.

PSY100LA (心理学 / Psychology 100)

心理学 I

2017年度以降入学者

望月 由紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉〈実〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「心」とは何か、「心理学」という学問とはどのようなものなのかを理解し、それぞれの専門分野での学び、周囲の人との関わりの中で活用できるようになることを本授業では目指します。受講者には心理学Ⅱを連続履修することを期待します。

【到達目標】

授業では、私たちがどのように環境を認識したり、記憶したりしているか、あるいは私たちは生涯を通じてどのように成長していくのかなどを学びます。

「心理学」の知識を持つことで皆さんの専攻する学問での学びや周りの人々との関係性がより深まり、私たち人間の心の働きをさまざまな切り口から捉えることができる能力を身につけることが目標です。また、授業の中でリラクゼーションやマインドフルネスを実施し、心理学を体験的にも学んでもらう時間を設ける予定ですので、生活の中で心理学がどう役に立つかも体験してください。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式により授業を進めていきます。また、時折、映像を用いて心の問題を捉えてみたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業ガイダンス	授業計画、授業のねらいなどの説明
第2回	心理学とは何か	心理学が生まれてくるまで。心を科学的に研究することとはどういうことか
第3回	感覚と知覚について	私たちが環境を認識する際の心の働きについて
第4回	記憶について	私たちが何かを記憶することに関する心の働きについて
第5回	学習について	私たちが物を学ぶ際の心の働きについて
第6回	言語と思考について	私たちはどのように言語に関わり、思考しているのかについて
第7回	情動について	私たちの情動とはどんな働きをしているのだろうか
第8回	動機付けについて	私たちの動機付けと欲求のメカニズムについて
第9回	性格とは何か	心理学における性格のとらえ方
第10回	発達の基礎	私たちの様々な機能の発達段階について
第11回	社会的な発達	私たちが社会的に発達するとはどんなことなのか
第12回	自己とは何か	自分とは何か。心理学ではどのように考えてきたのか
第13回	集団の中での人の心について	同調と服従、説得などの社会的影響について

第14回 ストレスについて 心理学Ⅰのまとめとストレスについて

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の学習・復習時間は、各2時間を標準とします。事前準備は、教科書でその回のテーマを読み、自分なりの疑問・問題意識を持ち授業に臨んでください。復習は、その回のテーマを振り返り、自分なりの解答をまとめ、文章化しておきましょう。

【テキスト（教科書）】

よくわかる心理学(やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ) 無藤隆・森俊昭・池上智子・福丸由佳(編) ミネルヴァ書房
ISBN-13 : 978-4623052509

【参考書】

心理学への招待—こころの科学を知る(新心理学ライブラリ) 梅本堯夫・大山正著 サイエンス社
ISBN-13 : 978-4781913476

【成績評価の方法と基準】

レポート 100%
授業の中で扱ったテーマの一つを選び、授業で学んだことが自分自身の実体験とどうかかわり、今後どう活かそうかを、500字～1000字以内でまとめて提出してもらいます。テーマについてまとめている部分は50点とし、自分の考えについてまとめた個所を50点で評価をします。

【学生の意見等からの気づき】

シラバスとそれた個所へのフィードバックがあったため、それた個所であった体験的学習について目標のところで触れておきました。

【その他の重要事項】

臨床心理学での実務経験を踏まえ、心理学の知識がどのように活用されているかの具体例を示していきます。

【Outline (in English)】

You will understand what the “mind” is and what the science of “psychology” is.

The goal of this class is for you to be able to use these skills in your studies in your specialized field and in your interactions with people around you.

I expect you to take Psychology II.

PSY100LA (心理学 / Psychology 100)

心理学Ⅱ

2017年度以降入学者

望月 由紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉〈実〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学Ⅰで学んだ心理学の基礎が、生活や社会の中でどのように役立っているかを学びます。主に臨床心理学の分野から、人格理論、発達各期における心理臨床の問題、異常心理、臨床心理学的査定、心理療法について学びます。

【到達目標】

心理学Ⅰでは学びきれなかった応用分野での心理学を学び、心理学的な視点で、自分のこと、周りの人々のことを考えることができるようになることを、本授業ではめざします。リラクゼーションやマインドフルネスを体験してもらい、心理学を日常的に活かすことを体験的に学んでいただきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式により授業を進めていきます。また、時折、DVD教材を用いて心の問題を映像で捉えてみたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業ガイダンス	授業計画、授業のねらいなどの説明
第2回	パーソナリティー理論	私たちの性格をどうとらえるか（類型論、特性論、状況論、相互作用論）
第3回	欲求と防衛機制	私たちの欲求や自分の心を守ろうとする防衛機制について知る
第4回	臨床心理学について	臨床心理学とはなにか、その誕生や専門性や活動について
第5回	臨床心理学の理論的モデル	臨床心理学の主な理論的モデルと実践について
第6回	臨床心理学のアセスメント方法について	アセスメントとは何か、どんなふうに用いられているのか、その方法について
第7回	臨床心理学の介入方法①	精神分析と分析心理学と認知行動療法
第8回	臨床心理学の介入方法②	来談者中心療法とマイクロカウンセリング
第9回	臨床心理学の介入方法③	ブリーフセラピー（解決志向アプローチなど）
第10回	臨床心理学の介入方法④	集団療法：アサーティブネストレーニングなど
第11回	臨床心理学の介入方法⑤	集団療法：カップルカウンセリングなど
第12回	異常心理学①	気分障害・統合失調症・不安障害など
第13回	異常心理学②	パーソナリティー障害・摂食障害・性同一性障害・身体症状症と解離性障害など
第14回	まとめ	これまでの授業内容を振り返る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

事前学習は毎回のテーマの教科書を読み自分なりの疑問を用意して授業に臨んでください。

復習は、授業の中で扱ったことを復習し、疑問に対する自分なりの回答を練り上げ、文章にまとめておきましょう。

【テキスト（教科書）】

よくわかる臨床心理学［改訂新版］（やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ） 下山晴彦（著） ミネルヴァ書房 ISBN(13桁)978-4623054350

【参考書】

実践に役立つ臨床心理学【第4版】 塩崎尚美（著） 北樹出版 ISBN(13桁)978-4779306976

【成績評価の方法と基準】

レポート課題 100%

授業の中で扱ったテーマについて、自分自身の体験の中でどのようにそのテーマで学んだことが活かせるかについて500字～1000字以内でまとめて提出してください。

テーマについてまとめている部分は50点とし、自分の考えについてまとめた個所を50点で評価をします。

【学生の意見等からの気づき】

心理学Ⅰを受講した学生の希望に出ていた、リラクゼーションやマインドフルネスを授業の中に取り入れました。

【その他の重要事項】

心理学Ⅰを履修していること。

医療現場における臨床実務経験がある教員のため、なるべく現場での経験も踏まえ授業を行います。

【Outline (in English)】

You learn about how psychology helps us in our lives and in society. From the field of clinical psychology, you learn about personality theory, clinical psychological problems at various stages of development, abnormal psychology, clinical psychological assessment, and psychotherapy.

PSY100LA (心理学 / Psychology 100)

心理学 I

2017年度以降入学者

浅川 希洋志

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学におけるさまざまな理論が人間の心理や行動をどのように捉えているのかを理解するとともに、私たちの日常の経験をそういった心理学の理論に照らして考えていく。

【到達目標】

本講義では、フロイト、ユング、エリクソンの理論をとりあげ、それぞれがこころの働きや発達をどのように捉えているかを解説していく。また、「心理学II」を連続履修することにより、さまざまな理論がどのような立場でお互いを批判し、展開してきたかを心理学の大きな流れとして捉えてもらえればと考えている。したがって、「心理学I」「心理学II」を連続履修することを期待する。このような授業を通して、最終的には日常の経験を心理学の理論に照らして考えてみる習慣を身につけてもらいたいと考えている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は「対面形式」で実施する予定であるが、状況に応じてZoom等によるリアルタイム・オンライン授業を実施する可能性もある。

授業は講義を中心に行う。また、時折ビデオ、DVD教材を用いて日常生活の中に見られるこころの問題を映像として捉えてみたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	講義の概要を説明する。
第2回	「心の理論」は人間をどう捉えているか	心理学におけるさまざまな理論が人間をどのように捉えているのかを解説していく。
第3回	心の働きはその人の生きる文化にどう影響されているのか	文化心理学的視点から、文化と心の働きに関連について考えていく。
第4回	描画テストにみる心の健康と健康障害 (TOPIC1)	心の健康と健康障がい描画テストにどのように現れるのかを、事例を見ながら確認していく。
第5回	統合失調症について (TOPIC2)	統合失調症に関するビデオを観る。併せて他の資料を参照し、統合失調症に対する認識を深める。
第6回	無意識の心理学（フロイト①）— 精神分析におけるパーソナリティ論について	フロイトが創始した精神分析におけるパーソナリティ理論をさまざまな側面から解説する。
第7回	無意識の心理学（フロイト②）— 心理・性的発達論について	フロイトの精神分析における心理・性的発達論について解説する。
第8回	無意識の心理学（フロイト③）— 精神分析治療のメカニズムについて	フロイトが考案した精神分析治療の根底にあるメカニズムを解説する。

第9回	無意識の心理学（ユング①）— 無意識の捉え方とその目的について	ユングの無意識の捉え方とその目的について解説する。
第10回	無意識の心理学（ユング②）— 無意識の層構造と元型について	ユングの考える無意識の層構造と元型について解説する。
第11回	アイデンティティの心理学（エリクソン①）— その人生と基本的な考え方について	エリクソンがなぜアイデンティティの心理学を作り上げるに至ったのかを解説する。
第12回	アイデンティティの心理学（エリクソン②）— 心理・社会的発達論について	エリクソンの心理・社会的発達論を解説する。
第13回	夜回り先生・水谷修のメッセージ「いいもんだよ、生きるって」 (TOPIC3)	夜回り先生・水谷修のDVD「いいもんだよ、生きるって」を観る。
第14回	授業の総括	授業のまとめ、期末試験の解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱うテーマを常に頭の片隅におきながら日常生活を送ること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは特に指定しない。適宜プリントを配付する。授業で配布するプリントはすべて学習支援システムにアップする。

【参考書】

平木典子・巖崎秀章編著『カウンセリングの基礎』（北樹出版、1997年）。

【成績評価の方法と基準】

期末試験により評価する。したがって、成績評価の「配分（%）」は期末試験100%となる。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

できるだけ身近で、具体的な例を用いて授業を展開していく。

【学生が準備すべき機器他】

授業で使うプリントは授業中に配布するが、授業支援システムにもアップする。配布するプリントに沿って授業を進めるので、欠席などによりプリントが手元にない場合は、必ず学習支援システムからダウンロードして授業に臨むこと。

【Outline (in English)】

(1) Course Outline

This is an introductory course in psychology, where students will learn how different psychological theories conceptualized human beings, comparing with other theories. This spring term course will mainly focus on Freud, Jung, and Erikson's theories, which deal with the unconscious. In order to understand a big picture of movement in psychology, students will be recommended to take Psychology II continuously in the autumn semester.

(2) Learning Objectives

By the end of the course, students are expected to understand (a) how Freud, Jung, and Erikson conceptualized human beings and their development, and (b) how students' daily experiences can be explained by the psychological theories introduced in this course.

(3) Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to spend 4 hours to understand the course content (2 hours each for before/after class meeting). Besides, students will be expected to spend their daily lives having course topics in the back of their mind.

(4) Grading Criteria/Policy

Final grade will be decided based on the term-end examination (100%).

PSY100LA (心理学 / Psychology 100)

心理学Ⅱ

2017年度以降入学者

浅川 希洋志

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学におけるさまざまな理論が人間の心理や行動をどのように捉えているのかを理解するとともに、私たちの日常の経験をそういった心理学の理論に照らして考えていく。

【到達目標】

本講義では、担当者が「心理学Ⅰ」で取りあげるこころの理論（精神分析学を代表とする無意識の心理学）とは大きく立場の異なる行動主義心理学、ゲシュタルト心理学、人間性の心理学を取りあげ、それぞれの理論がこころをどのように捉えているかを解説していく。また、人間発達モデルとしてのフロー理論を紹介し、日常生活における充実感についても考えていく。このような授業を通して、最終的には日常の経験を心理学の理論に照らして考える習慣を身につけることを本講義の目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は「対面形式」で実施する予定であるが、状況に応じてZoom等によるリアルタイム・オンライン授業を実施する可能性もある。

授業は講義を中心に行う。また、時折ビデオ、DVD教材を用いて日常生活の中に見られるこころの問題を映像として捉えてみたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	講義の概要を説明する。
第2回	心理学における人間観について	心理学の三大勢力、精神分析学、行動主義心理学、人間性の心理学が人間をどのように捉えているかを解説する。
第3回	行動主義心理学と行動療法①ーさまざまな学習理論について	行動主義心理学にもとづくさまざまな学習理論を解説する。
第4回	行動主義心理学と行動療法②ー行動療法どのような学習理論にもとづくか	行動療法がどのような学習理論にもとづき、実際、どのように行なわれているのかを解説する。
第5回	ゲシュタルト心理学とゲシュタルト療法①ー基本的な考え方について	ゲシュタルト心理学の基本的な考え方について解説する。
第6回	ゲシュタルト心理学とゲシュタルト療法②ーゲシュタルト療法の技法について	「気づき」を重視するゲシュタルト療法の技法について解説する。
第7回	夜回り先生・水谷修のメッセージ2「生きていてくれてありがとう」(TOPIC1)	夜回り先生・水谷修のDVD「生きていてくれてありがとう」を観る。

第8回	人間性心理学と心理療法①ー来談者中心療法の基本的考え方について	ロジャースの来談者中心療法の基本的考え方を解説する。
第9回	人間性心理学と心理療法②ー来談者中心療法におけるカウンセラーの態度条件について	ロジャースの来談者中心療法におけるカウンセラーの態度条件について解説する。
第10回	精神科医・神谷美枝子について (TOPIC2)	精神科医・神谷美枝子に関するビデオを観る。
第11回	フロー理論と日常生活の充実感について①ー楽しさにもとづく人間発達モデル	楽しさにもとづく人間発達モデルとしてのフロー理論を解説する。
第12回	フロー理論と日常生活の充実感について②ー現代の子どもたちは本当の「楽しさ」を知っているのか	フロー理論の観点から、現代の子どもたちの生き方や行動を考える。
第13回	フロー理論と日常生活の充実感について③ー精神的健康を促進するフロー経験	実証研究を紹介しながら、楽しさと充実感を伴うフロー経験の有用性を解説する。
第14回	授業の総括	授業のまとめ、期末試験の解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱うテーマを常に頭の片隅におきながら日常生活を送ること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは特に指定しない。適宜プリントを配付する。授業で配布するプリントはすべて学習支援システムにアップする。

【参考書】

平木典子・巖谷秀章編著『カウンセリングの基礎』（北樹出版、1997年）、会沢勲・石川悦子・浅川希洋志著『子どもたちは本当に変わってしまったのか』（学文社、1999年）、浅川希洋志・静岡大学教育学部附属浜松中学校著『フロー理論に基づく「学びひたる」授業の創造』（学文社、2011年）、今村浩明・浅川希洋志編著『フロー理論の展開』（世界思想社、2003年）、チクセントミハイ著（浅川希洋志監訳）『クリエイティヴィティ』（世界思想社、2016年）、「心理学者ミハイ・チクセントミハイが残したもの」『心と社会』（第53巻第2号）日本精神衛生会（2022）。

【成績評価の方法と基準】

期末試験により評価する。したがって、成績評価の「配分（%）」は期末試験100%となる。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

できるだけ身近で、具体的な例を用いて授業を展開していく。

【学生が準備すべき機器他】

授業で使うプリントは授業中に配布するが、授業支援システムにもアップする。配布するプリントに沿って授業を進めるので、欠席などによりプリントが手元にない場合は、必ず学習支援システムからダウンロードして授業に臨むこと。

【Outline (in English)】

(1) Course Outline

This is an introductory course in psychology, where students will learn how different psychological theories conceptualized human beings, comparing with other theories. This autumn term course will mainly focus on psychological theories of behaviorist and humanistic psychologies. Moreover, one of the most important theories of positive psychology, namely flow theory, will be introduced and discussed how we can attain psychological well-being.

(2) Learning Objectives

By the end of the course, students are expected to understand
(a) how the theories of behaviorist psychology, gestalt psychology, humanistic psychology, and positive psychology conceptualized human beings and their development, and
(b) how students' daily experiences can be explained by the psychological theories introduced in this course.

(3) Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to spend 4 hours to understand the course content (2 hours each for before/after class meeting). Besides, students will be expected to spend their daily lives having course topics in the back of their mind.

(4) Grading Criteria/Policy

Final grade will be decided based on the term-end examination (100%).

PSY100LA (心理学 / Psychology 100)

心理学 I

2017年度以降入学者

浅川 希洋志

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学におけるさまざまな理論が人間の心理や行動をどのように捉えているのかを理解するとともに、私たちの日常の経験をそういった心理学の理論に照らして考えていく。

【到達目標】

本講義では、フロイト、ユング、エリクソンの理論をとりあげ、それぞれがこころの働きや発達をどのように捉えているかを解説していく。また、「心理学II」を連続履修することにより、さまざまな理論がどのような立場でお互いを批判し、展開してきたかを心理学の大きな流れとして捉えてもらえればと考えている。したがって、「心理学I」「心理学II」を連続履修することを期待する。このような授業を通して、最終的には日常の経験を心理学の理論に照らして考えてみる習慣を身につけてもらいたいと考えている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は「対面形式」で実施する予定であるが、状況に応じてZoom等によるリアルタイム・オンライン授業を実施する可能性もある。

授業は講義を中心に行う。また、時折ビデオ、DVD教材を用いて日常生活の中に見られるこころの問題を映像として捉えてみたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	講義の概要を説明する。
第2回	「心の理論」は人間をどう捉えているか	心理学におけるさまざまな理論が人間をどのように捉えているのかを解説していく。
第3回	心の働きはその人の生きる文化にどう影響されているのか	文化心理学的視点から、文化と心の働きに関連について考えていく。
第4回	描画テストにみる心の健康と健康障害 (TOPIC1)	心の健康と健康障がい描画テストにどのように現れるのかを、事例を見ながら確認していく。
第5回	統合失調症について (TOPIC2)	統合失調症に関するビデオを観る。併せて他の資料を参照し、統合失調症に対する認識を深める。
第6回	無意識の心理学（フロイト①）— 精神分析におけるパーソナリティ論について	フロイトが創始した精神分析におけるパーソナリティ理論をさまざまな側面から解説する。
第7回	無意識の心理学（フロイト②）— 心理・性的発達論について	フロイトの精神分析における心理・性的発達論について解説する。
第8回	無意識の心理学（フロイト③）— 精神分析治療のメカニズムについて	フロイトが考案した精神分析治療の根底にあるメカニズムを解説する。

第9回	無意識の心理学（ユング①）— 無意識の捉え方とその目的について	ユングの無意識の捉え方とその目的について解説する。
第10回	無意識の心理学（ユング②）— 無意識の層構造と元型について	ユングの考える無意識の層構造と元型について解説する。
第11回	アイデンティティの心理学（エリクソン①）— その人生と基本的な考え方について	エリクソンがなぜアイデンティティの心理学を作り上げるに至ったのかを解説する。
第12回	アイデンティティの心理学（エリクソン②）— 心理・社会的発達論について	エリクソンの心理・社会的発達論を解説する。
第13回	夜回り先生・水谷修のメッセージ「いいもんだよ、生きるって」 (TOPIC3)	夜回り先生・水谷修のDVD「いいもんだよ、生きるって」を観る。
第14回	授業の総括	授業のまとめ、期末試験の解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱うテーマを常に頭の片隅におきながら日常生活を送ること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは特に指定しない。適宜プリントを配付する。授業で配布するプリントはすべて学習支援システムにアップする。

【参考書】

平木典子・巖崎秀章編著『カウンセリングの基礎』（北樹出版、1997年）。

【成績評価の方法と基準】

期末試験により評価する。したがって、成績評価の「配分（%）」は期末試験100%となる。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

できるだけ身近で、具体的な例を用いて授業を展開していく。

【学生が準備すべき機器他】

授業で使うプリントは授業中に配布するが、授業支援システムにもアップする。配布するプリントに沿って授業を進めるので、欠席などによりプリントが手元にない場合は、必ず学習支援システムからダウンロードして授業に臨むこと。

【Outline (in English)】

(1) Course Outline

This is an introductory course in psychology, where students will learn how different psychological theories conceptualized human beings, comparing with other theories. This spring term course will mainly focus on Freud, Jung, and Erikson's theories, which deal with the unconscious. In order to understand a big picture of movement in psychology, students will be recommended to take Psychology II continuously in the autumn semester.

(2) Learning Objectives

By the end of the course, students are expected to understand (a) how Freud, Jung, and Erikson conceptualized human beings and their development, and (b) how students' daily experiences can be explained by the psychological theories introduced in this course.

(3) Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to spend 4 hours to understand the course content (2 hours each for before/after class meeting). Besides, students will be expected to spend their daily lives having course topics in the back of their mind.

(4) Grading Criteria/Policy

Final grade will be decided based on the term-end examination (100%).

PSY100LA (心理学 / Psychology 100)

心理学Ⅱ

2017年度以降入学者

浅川 希洋志

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学におけるさまざまな理論が人間の心理や行動をどのように捉えているのかを理解するとともに、私たちの日常の経験をそういった心理学の理論に照らして考えていく。

【到達目標】

本講義では、担当者が「心理学Ⅰ」で取りあげるこころの理論（精神分析学を代表とする無意識の心理学）とは大きく立場の異なる行動主義心理学、ゲシュタルト心理学、人間性の心理学を取りあげ、それぞれの理論がこころをどのように捉えているかを解説していく。また、人間発達モデルとしてのフロー理論を紹介し、日常生活における充実感についても考えていく。このような授業を通して、最終的には日常の経験を心理学の理論に照らして考える習慣を身につけることを本講義の目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は「対面形式」で実施する予定であるが、状況に応じてZoom等によるリアルタイム・オンライン授業を実施する可能性もある。

授業は講義を中心に行う。また、時折ビデオ、DVD教材を用いて日常生活の中に見られるこころの問題を映像として捉えてみたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	講義の概要を説明する。
第2回	心理学における人間観について	心理学の三大勢力、精神分析学、行動主義心理学、人間性の心理学が人間をどのように捉えているかを解説する。
第3回	行動主義心理学と行動療法①ーさまざまな学習理論について	行動主義心理学にもとづくさまざまな学習理論を解説する。
第4回	行動主義心理学と行動療法②ー行動療法どのような学習理論にもとづくか	行動療法がどのような学習理論にもとづき、実際、どのように行なわれているのかを解説する。
第5回	ゲシュタルト心理学とゲシュタルト療法①ー基本的な考え方について	ゲシュタルト心理学の基本的な考え方について解説する。
第6回	ゲシュタルト心理学とゲシュタルト療法②ーゲシュタルト療法の技法について	「気づき」を重視するゲシュタルト療法の技法について解説する。
第7回	夜回り先生・水谷修のメッセージ2「生きていてくれてありがとう」(TOPIC1)	夜回り先生・水谷修のDVD「生きていてくれてありがとう」を観る。

第8回	人間性心理学と心理療法①ー来談者中心療法の基本的考え方について	ロジャースの来談者中心療法の基本的考え方を解説する。
第9回	人間性心理学と心理療法②ー来談者中心療法におけるカウンセラーの態度条件について	ロジャースの来談者中心療法におけるカウンセラーの態度条件について解説する。
第10回	精神科医・神谷美枝子について (TOPIC2)	精神科医・神谷美枝子に関するビデオを観る。
第11回	フロー理論と日常生活の充実感について①ー楽しさにもとづく人間発達モデル	楽しさにもとづく人間発達モデルとしてのフロー理論を解説する。
第12回	フロー理論と日常生活の充実感について②ー現代の子どもたちは本当の「楽しさ」を知っているのか	フロー理論の観点から、現代の子どもたちの生き方や行動を考える。
第13回	フロー理論と日常生活の充実感について③ー精神的健康を促進するフロー経験	実証研究を紹介しながら、楽しさと充実感を伴うフロー経験の有用性を解説する。
第14回	授業の総括	授業のまとめ、期末試験の解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱うテーマを常に頭の片隅におきながら日常生活を送ること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは特に指定しない。適宜プリントを配付する。授業で配布するプリントはすべて学習支援システムにアップする。

【参考書】

平木典子・巖谷秀章編著『カウンセリングの基礎』（北樹出版、1997年）、会沢勲・石川悦子・浅川希洋志著『子どもたちは本当に変わってしまったのか』（学文社、1999年）、浅川希洋志・静岡大学教育学部附属浜松中学校著『フロー理論に基づく「学びひたる」授業の創造』（学文社、2011年）、今村浩明・浅川希洋志編著『フロー理論の展開』（世界思想社、2003年）、チクセントミハイ著（浅川希洋志監訳）『クリエイティヴィティ』（世界思想社、2016年）、「心理学者ミハイ・チクセントミハイが残したもの」『心と社会』（第53巻第2号）日本精神衛生会（2022）。

【成績評価の方法と基準】

期末試験により評価する。したがって、成績評価の「配分（%）」は期末試験100%となる。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

できるだけ身近で、具体的な例を用いて授業を展開していく。

【学生が準備すべき機器他】

授業で使うプリントは授業中に配布するが、授業支援システムにもアップする。配布するプリントに沿って授業を進めるので、欠席などによりプリントが手元にない場合は、必ず学習支援システムからダウンロードして授業に臨むこと。

【Outline (in English)】

(1) Course Outline

This is an introductory course in psychology, where students will learn how different psychological theories conceptualized human beings, comparing with other theories. This autumn term course will mainly focus on psychological theories of behaviorist and humanistic psychologies. Moreover, one of the most important theories of positive psychology, namely flow theory, will be introduced and discussed how we can attain psychological well-being.

(2) Learning Objectives

By the end of the course, students are expected to understand
(a) how the theories of behaviorist psychology, gestalt psychology, humanistic psychology, and positive psychology conceptualized human beings and their development, and
(b) how students' daily experiences can be explained by the psychological theories introduced in this course.

(3) Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to spend 4 hours to understand the course content (2 hours each for before/after class meeting). Besides, students will be expected to spend their daily lives having course topics in the back of their mind.

(4) Grading Criteria/Policy

Final grade will be decided based on the term-end examination (100%).

PSY100LA (心理学 / Psychology 100)	
心理学 I	2017年度以降入学者
櫻井 登世子	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：火 4/Tue.4
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学のなかでも児童（子ども）の心理、とくにことば・知性・思考・動機づけの発達に焦点をあて、それらの発達やプロセスについて学ぶ。

【到達目標】

1. 現代に生きる子どもたちを取り巻く環境について理解を深める。
2. ことば・認知と思考の発達を理解できる。
3. 動機づけのメカニズムを説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

前半はDVDの視聴を行ったり、パワーポイントを用いたりしながら、講義形式によって授業を進め、後半は授業内容に関連する資料に基いて考察し、リアクションペーパーの提出を求める。次回授業時にリアクションペーパーの結果に言及する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の内容・進め方などについて説明する。
第2回	子どもをどうとらえるのか	小学生に対するイメージを自由に記述する。人間の子どもの特徴を概説する。
第3回	児童期とは	児童期の定義 児童期の様相
第4回	現代に生きる子どもたち	家庭のなかの子ども 現代の子どもの生活
第5回	子どもと学校生活 子どもと情報通信メディア	学校は楽しいか 子どもと仲間たち 情報通信メディアの普及
第6回	からだと運動 ストレス	からだと健康 ストレスのとりえ方
第7回	ことば	言語発達の概要
第8回	知性	知能 思考
第9回	創造性と学力	創造性とは 学力とは
第10回	認知と思考	記憶
第11回	問題解決	問題解決とは何か 算数文章題に見る問題解決
第12回	動機づけ 内発的動機づけと外的報酬 無気力	動機づけのメカニズム、学習への動機づけ、言語的報酬と物質的報酬、人間関係の影響 学習性無力感 達成目標と無気力
第14回	まとめ	児童のこころの発達について、 認知・思考、動機づけの観点から総まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1. 日頃から、子どもを取り巻く環境に関心を持つ。

2. 新聞記事など、子どもに関連する情報を取り込むようにする。
3. 授業内容を日常場面にあてはめてみる。
4. 授業時間外において必要な準備時間および復習時間は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『新版 子どもとこころー児童心理学入門』
櫻井茂男・濱口佳和・向井隆代（著）
有斐閣アルマ、2014年
2,100円＋税

【参考書】

『学習意欲の心理学』 桜井茂男（著）
誠信書房、2010年
『はじめて学ぶ乳幼児の心理』 櫻井茂男（編著）
有斐閣アルマ、2010年

【成績評価の方法と基準】

学期末試験70％、授業内リアクションペーパー30％

【学生の意見等からの気づき】

2024年度も対面授業を実施いたしました。オンライン授業ではできない体験（質問紙体験、DVD視聴等）をして、概ね学生から満足のいく感想を得られました。

【Outline (in English)】

This course focuses on children's psychology, particularly development of language, intelligence, thinking, motivation, as it relates to psychology.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to do the followings: Understand the development of language, cognition and thinking.

Explain the mechanism of motivation.

Learning activities outside of classroom: Students will be expected to interest in environment of children.

Your study time will be more than two hours for class.

Grading Criteria: Term end test(70%), short report(30%)

PSY100LA (心理学 / Psychology 100)

心理学Ⅱ

2017年度以降入学者

櫻井 登世子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学分野のなかでも子ども（児童）の心理、とくにパーソナリティ、子どもの人間関係、社会性の発達、子どもの心理治療に焦点をあてます。児童を取り巻く環境や発達状況の変化について理解できるようにします。

【到達目標】

- ①児童（子ども）のイメージを豊かにつくる。
- ②児童（子ども）の心理を理解する。
- ③児童（子ども）のこころの問題に対処できる知識を修得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で授業を進めていきます。pptを提示して説明しますが、DVD鑑賞を数回予定しています。各章ごとに復習問題に取り組み、理解度を確認していきます。
ショートレポート課題を数回提示し、次回授業時にショートレポート課題の結果に言及します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の進め方等について説明する。
第2回	自分をよく知りたい	自己概念
第3回	パーソナリティ	パーソナリティの理論 パーソナリティの測定方法
第4回	人間関係	親・家族との関係
第5回	友達・仲間との関係	仲間関係の発達 生徒と教師の関係
第6回	社会性	向社会的行動とは何か 向社会的行動の発達
第7回	向社会的行動を支える内的要因	共感と向社会的行動
第8回	攻撃行動	攻撃行動に及ぼす観察学習の影響
第9回	性	性同一性と性役割 性役割の発達
第10回	子どもの心理臨床	子どもの心理臨床とは
第11回	ソーシャル・スキル・トレーニング	ソーシャル・スキル・トレーニングの具体例
第12回	子どもの心理臨床の流れ	場面緘黙の事例
第13回	遊戯療法	遊戯療法とは カウンセリング
第14回	まとめ	子どもの人間関係・社会性・心理臨床についての総まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・自分の小学生時代といまどきの小学生を比べてみましょう。
・日頃から児童（子ども）を取り巻く環境に関心を持つようにしましょう。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『新版子どものこころ—児童心理学入門』櫻井茂男・濱口佳和・向井隆代（著）

有斐閣アルマ、2014年新版、2100円＋税

【参考書】

授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験70％、授業内ショートレポート30％

【学生の意見等からの気づき】

2024年度は履修者数が大人数でしたが、授業アシスタントのサポートもあり対面授業をスムーズに進められました。授業内に実施した質問紙や復習問題で、授業に対する理解度が深まりました。

DVD視聴が補助教材として好評でした。

【その他の重要事項】

心理学Ⅰを履修していることが望ましい。

【Outline (in English)】

This course focuses on children's psychology, particularly personality, children's relationship, development of social skill and children's therapy, as it relates to psychology.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to do the followings:

Make image of child.

Understand children's mind.

Have the intelligence to solve the problem of children's mind.

Learning activities outside of classroom: Students will be expected to interest in environment of children.

Grading Criteria: Term end test(70%) short report(30%)

PSY100LA (心理学 / Psychology 100)	
心理学 I	2017年度以降入学者
櫻井 登世子	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：火3/Tue.3
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学のなかでも児童（子ども）の心理、とくにことば・知性・思考・動機づけの発達に焦点をあて、それらの発達やプロセスについて学ぶ。

【到達目標】

1. 現代に生きる子どもたちを取り巻く環境について理解を深める。
2. ことば・認知と思考の発達を理解できる。
3. 動機づけのメカニズムを説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

前半はDVDの視聴を行ったり、パワーポイントを用いたりしながら、講義形式によって授業を進め、後半は授業内容に関連する資料に基いて考察し、リアクションペーパーの提出を求める。次回授業時にリアクションペーパーの結果に言及する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の内容・進め方などについて説明する。
第2回	子どもをどうとらえるのか	小学生に対するイメージを自由に記述する。人間の子どもの特徴を概説する。
第3回	児童期とは	児童期の定義 児童期の様相
第4回	現代に生きる子どもたち	家庭のなかの子ども 現代の子どもの生活
第5回	子どもと学校生活 子どもと情報通信メディア	学校は楽しいか 子どもと仲間たち 情報通信メディアの普及
第6回	からだと運動 ストレス	からだと健康 ストレスのとりえ方
第7回	ことば	言語発達の概要
第8回	知性	知能 思考
第9回	創造性と学力	創造性とは 学力とは
第10回	認知と思考	記憶
第11回	問題解決	問題解決とは何か 算数文章題に見る問題解決
第12回	動機づけ 内発的動機づけと外的報酬 無気力	動機づけのメカニズム、学習への動機づけ、言語的報酬と物質的報酬、人間関係の影響 学習性無力感 達成目標と無気力
第14回	まとめ	児童のこころの発達について、 認知・思考、動機づけの観点から総まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1. 日頃から、子どもを取り巻く環境に関心を持つ。

2. 新聞記事など、子どもに関連する情報を取り込むようにする。
3. 授業内容を日常場面にあてはめてみる。
4. 授業時間外において必要な準備時間および復習時間は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『新版 子どもとこころー児童心理学入門』
櫻井茂男・濱口佳和・向井隆代（著）
有斐閣アルマ、2014年
2,100円＋税

【参考書】

『学習意欲の心理学』 桜井茂男（著）
誠信書房、2010年
『はじめて学ぶ乳幼児の心理』 櫻井茂男（編著）
有斐閣アルマ、2010年

【成績評価の方法と基準】

学期末試験70%、授業内リアクションペーパー30%

【学生の意見等からの気づき】

2024年度も対面授業を実施いたしました。オンライン授業ではできない体験（質問紙体験、DVD視聴等）をして、概ね学生から満足のいく感想を得られました。

【Outline (in English)】

This course focuses on children's psychology, particularly development of language, intelligence, thinking, motivation, as it relates to psychology.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to do the followings: Understand the development of language, cognition and thinking.

Explain the mechanism of motivation.

Learning activities outside of classroom: Students will be expected to interest in environment of children.

Your study time will be more than two hours for class.

Grading Criteria: Term end test(70%), short report(30%)

PSY100LA (心理学 / Psychology 100)

心理学Ⅱ

2017年度以降入学者

櫻井 登世子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学分野のなかでも子ども（児童）の心理、とくにパーソナリティ、子どもの人間関係、社会性の発達、子どもの心理治療に焦点をあてます。児童を取り巻く環境や発達状況の変化について理解できるようにします。

【到達目標】

- ①児童（子ども）のイメージを豊かにつくる。
- ②児童（子ども）の心理を理解する。
- ③児童（子ども）のこころの問題に対処できる知識を修得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で授業を進めていきます。pptを提示して説明しますが、DVD鑑賞を数回予定しています。各章ごとに復習問題に取り組み、理解度を確認していきます。
ショートレポート課題を数回提示し、次回授業時にショートレポート課題の結果に言及します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の進め方等について説明する。
第2回	自分をよく知りたい	自己概念
第3回	パーソナリティ	パーソナリティの理論 パーソナリティの測定方法
第4回	人間関係	親・家族との関係
第5回	友達・仲間との関係	仲間関係の発達 生徒と教師の関係
第6回	社会性	向社会的行動とは何か 向社会的行動の発達
第7回	向社会的行動を支える内的要因	共感と向社会的行動
第8回	攻撃行動	攻撃行動に及ぼす観察学習の影響
第9回	性	性同一性と性役割 性役割の発達
第10回	子どもの心理臨床	子どもの心理臨床とは
第11回	ソーシャル・スキル・トレーニング	ソーシャル・スキル・トレーニングの具体例
第12回	子どもの心理臨床の流れ	場面緘黙の事例
第13回	遊戯療法	遊戯療法とは カウンセリング
第14回	まとめ	子どもの人間関係・社会性・心理臨床についての総まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・自分の小学生時代といまどきの小学生を比べてみましょう。
・日頃から児童（子ども）を取り巻く環境に関心を持つようにしましょう。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『新版子どものこころ—児童心理学入門』櫻井茂男・濱口佳和・向井隆代（著）

有斐閣アルマ、2014年新版、2100円＋税

【参考書】

授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験70％、授業内ショートレポート30％

【学生の意見等からの気づき】

2024年度は履修者数が大人数でしたが、授業アシスタントのサポートもあり対面授業をスムーズに進められました。授業内に実施した質問紙や復習問題で、授業に対する理解度が深まりました。

DVD視聴が補助教材として好評でした。

【その他の重要事項】

心理学Ⅰを履修していることが望ましい。

【Outline (in English)】

This course focuses on children's psychology, particularly personality, children's relationship, development of social skill and children's therapy, as it relates to psychology.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to do the followings:

Make image of child.

Understand children's mind.

Have the intelligence to solve the problem of children's mind.

Learning activities outside of classroom: Students will be expected to interest in environment of children.

Grading Criteria: Term end test(70%) short report(30%)

PSY100LA (心理学 / Psychology 100)

心理学 I

2017年度以降入学者

久木田 敦志

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

あまりにも身近でありながら、目には見えず、思い通りにならないことも多々ある私たちの心。この心の理（ことわり）を科学的に探究する学問が心理学です。本講義では、みなさんが一生つきあっていくことになる自身の心と向き合い、理解を深める手助けとなることを目指して、心のはたらきについての知見を感覚・認知・動機・発達・対人関係・臨床など様々な角度から紹介します。

【到達目標】

「心」とは何か、心理学とはどのようなものなのか、といったことを理解し、人間の健全な心の働きや発達をさまざまな切り口から捉えることのできる能力を身につけること、そして、心理学的な視点で、自分のこと、周りの人々のことを考えることができるようになることを、本授業ではめざします。また、受講者には心理学IIを連続履修することを期待します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式により授業を進めていきます。適宜、授業内容の理解深化を目的とした課題及び小テストを行うことで習熟度への定期的なフィードバックを提供します。その他の詳細は第1回ガイダンス時に説明します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業ガイダンス	授業ガイダンス：授業計画、授業のねらいなどの説明
第2回	科学的心理学の歩み	心理学における人間観、「心の理論」は人間をどう捉えるか
第3回	見えの不思議（1）	視覚、形・空間・運動の知覚
第4回	見えの不思議（2）	注意・バイアス、社会的知覚
第5回	学習の不思議	条件づけ、強化と消去、般化と分化、モデリング・社会的学習
第6回	記憶の不思議	短期記憶と長期記憶、感覚記憶、記憶と忘却
第7回	思考の不思議	思考と問題解決、創造的思考
第8回	動機づけ	動機づけのメカニズム、学習への動機づけ
第9回	内発的動機づけと外的報酬	言語的報酬と物質的報酬、人間関係の影響
第10回	無気力	学習性無力感、達成目標と無気力
第11回	発達（1）	遺伝も環境も影響、発達段階、生涯発達
第12回	発達（2）	アイデンティティ、青年・成人期・高齢期の発達
第13回	まとめ	これまでの授業内容を振り返る
第14回	学期末試験	授業内期末試験を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「心理学概論——ヒューマン・サイエンスへの招待」 松田幸弘 編著（2018年）ISBN 9784779513367

【参考書】

教科書以外の参考文献は授業中に別途指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（50％）と学期中の各課題・小テスト（50％）を総合して評価します。成績評価項目の詳細は第1回ガイダンス時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の受講生のみなさんから、参加型の実験やリアルタイムで結果が分かるアンケート集計が楽しかった、講義・説明が丁寧だった、定期的な小テストで学びが深まった、スライド資料の配布が役立った、等々、温かいフィードバックを多数いただくことができました。引き続き、安心して学べる環境を丁寧に作り、学生のみなさんと共に充実した授業を迎えられるよう尽力していきます。

【Outline (in English)】

Course Outline: Psychology is a discipline of scientific inquiry of the human mind, something that is very familiar to each of us on the one hand yet invisible and sometimes unpredictable on the other. This course is intended to help nurture a deeper understanding of the workings of the mind through various perspectives including perception, cognition, motivation, development, interpersonal relationships, and clinical practices.

Learning Objectives: To understand the sound workings and development of the human mind as well as conceptualize identity and interpersonal relationships through various psychological perspectives. Students enrolled in this course are expected to continue taking Psychology II.

Learning Activities Outside of Classroom: The expected time commitment in preparation for and reviewing after a class meeting is two hours each per week.

Grading Criteria/Policy: Students will be evaluated based on their performances on the final examination (50%) and learning activities/quizzes (50%). Details will be provided at the first class session.

PSY100LA (心理学 / Psychology 100)

心理学Ⅱ

2017年度以降入学者

久木田 敦志

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

あまりにも身近でありながら、目には見えず、思い通りにならないことも多々ある私たちの心。この心の理（ことわり）を科学的に探究する学問が心理学です。本講義では、みなさんが一生つきあっていくことになる自身の心と向き合い、理解を深める手助けとなることを目指して、心のはたらきについての知見を感覚・認知・動機・発達・対人関係・臨床など様々な角度から紹介します。

【到達目標】

「心」とは何か、心理学とはどのようなものなのか、といったことを理解し、人間の健全な心の働きや発達をさまざまな切り口から捉えることのできる能力を身につけること、そして、心理学的な視点で、自分のこと、周りの人々のことを考えることができるようになることを、本授業ではめざします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式により授業を進めていきます。適宜、授業内容の理解深化を目的とした課題及び小テストを行うことで習熟度への定期的なフィードバックを提供します。その他の詳細は第1回ガイダンス時に説明します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業ガイダンス	授業計画、授業のねらいなどの説明
第2回	自分を良く知りたい	パーソナリティの類型論と特性論
第3回	パーソナリティの理解	パーソナリティとその測定法
第4回	人間関係と社会心理学	自己概念・社会的認知、対人関係、家族関係
第5回	集団との関係	社会的影響、集団・組織
第6回	社会性と進化的視点	向社会行動、利他行動
第7回	向社会行動を支える内的要因	社会脳仮説
第8回	臨床心理（1）	臨床心理学とは、理論とアセスメント
第9回	臨床心理（2）	臨床心理学の実践、介入
第10回	カウンセリング（1）	精神分析学、認知行動療法
第11回	カウンセリング（2）	来談者中心療法、ポジティブ心理学
第12回	心理的ウェルビーイングを考える	精神的に健康で、充実した人生を生きるために
第13回	まとめ	これまでの授業内容を振り返る
第14回	学期末試験	授業内期末試験を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「心理学概論——ヒューマン・サイエンスへの招待」 松田幸弘 編著（2018年）ISBN 9784779513367

【参考書】

教科書以外の参考文献は授業中に別途指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（50％）と学期中の各課題・小テスト（50％）を総合して評価します。成績評価項目の詳細は第1回ガイダンス時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の受講生のみなさんから、参加型の実験やリアルタイムで結果が分かるアンケート集計が楽しかった、講義・説明が丁寧だった、定期的な小テストで学びが深まった、スライド資料の配布が役立った、等々、温かいフィードバックを多数いただくことができました。引き続き、安心して学べる環境を丁寧に作り、学生のみなさんと共に充実した授業を迎えられるよう尽力していきます。

【Outline (in English)】

Course Outline: Psychology is a discipline of scientific inquiry of the human mind, something that is very familiar to each of us on the one hand yet invisible and sometimes unpredictable on the other. This course is intended to help nurture a deeper understanding of the workings of the mind through various perspectives including perception, cognition, motivation, development, interpersonal relationships, and clinical practices.

Learning Objectives: To understand the sound workings and development of the human mind as well as conceptualize identity and interpersonal relationships through various psychological perspectives. Students enrolled in this course are expected to continue taking Psychology II.

Learning Activities Outside of Classroom: The expected time commitment in preparation for and reviewing after a class meeting is two hours each per week.

Grading Criteria/Policy: Students will be evaluated based on their performances on the final examination (50%) and learning activities/quizzes (50%). Details will be provided at the first class session.

GEO100LA（地理学 / Geography 100）

地理学 I

2017年度以降入学者

前畑 明美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

高校の地理では、世界・日本各地の様々な事象を「暗記する」ことが中心だったのではないのでしょうか。しかし、大学の地理学では、空間・地域・景観・場所などの地理学的キーワードから、現代世界の様々な事象を深く理解し、学生自らが論理的に考えることの大切さを学びます。本科目では足もとに広がる陸域、すなわち「島 island」に注目することとし、地図、海図、統計、映像、写真をはじめ諸資料をもとに、私たちが生きる島嶼（とうしょ）生活空間について理解を深めていくことを目的とします。

【到達目標】

現代世界の様々な事象、とくに「島」に関わる事象を理解することを通して、地理学の考え方を学ぶことを目標とします。近年「島」をめぐる様々なニュースに接するようになり、国際問題化している事案に目が行きがちですが、じつは人口減少や少子高齢化の問題をはじめ「島嶼国日本の縮図」としての先進的現象が国内の多くの島々で生起しています。全14回の授業を通して、「島嶼性」という普遍的でダイナミックな島の性質を捉えていくとともに、国内外の島々にみられる興味深い実態、諸現象について、その全体的状況がどうなっているのか、いかなるしくみ・構造のもとで発現しているのか、どのような意味を有しているのかなど、「島嶼性」を踏まえて論理的に説明できるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・講義形式となります。
- ・毎回、授業内容を整理してコメントをご提出いただきます。
- ・期末にまとめのレポートをご提出いただき、後日フィードバックいたします。初日に詳しく説明することといたします。
- ・ご質問や連絡事項は授業の前後、もしくはメールでよろしく願いいたします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	地理から地理学へ	高校地理から大学の地理学へ
第2回	地理学が扱う諸問題	授業で取り上げる事象の説明
第3回	身近な事象を通して地理学を考える（1）	わたしたちの周りにある地理学的考え方
第4回	身近な事象を通して地理学を考える（2）	メディアにおける地理学的考え方
第5回	現代世界における生態・環境（1）	世界における生態・環境
第6回	現代世界における生態・環境（2）	日本における生態・環境
第7回	現代社会の経済・社会・政治	「島嶼性」と日本・世界の島々
第8回	現代社会の情報・通信・観光	島々の歴史（豊島産廃問題と瀬戸内国際芸術祭）
第9回	現代の人びとの生活・文化	島々の文化（戦後の図書館運動と島）

第10回	日本社会における諸問題（1）	地理学的な考え方を学ぶには？
第11回	日本社会における諸問題（2）	日本の諸地域を事例として
第12回	グローバル社会における諸問題（1）	地理学的な考え方を学ぶには？
第13回	グローバル社会における諸問題（2）	世界の諸地域を事例として
第14回	まとめ 試験	授業の総括と試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

島・海について、日頃からキーワードとして留意し、情報収集に努めてください。その際、できるだけ複数の資料にあたってくださいと思います。また授業後には、気づいた点・疑問点をそのままにせず、積極的に図書館などを活用して探究してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし。毎回プリント教材を用います。学習支援システムの「教材」に配布プリントをアップいたしますので、授業前に印刷のうえ、予めお目通しください。

【参考書】

高等学校用などの地図帳があると、位置確認が容易となり役立ちます。その他は適宜授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

毎回のコメント（50％）・レポート（50％）
質問やコメントなど、日頃の積極的な姿勢を評価いたします。

【学生の意見等からの気づき】

どこが重要なポイントであるのか、毎回意識するようにしてください。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【Outline (in English)】

High school geography classes focus on "memorizing" various phenomena in the world and Japan. In university geography, however, we learn the importance of understanding deeply and thinking logically about various phenomena in the modern world based on geographical keywords such as space, region, landscape and location. This course focuses on "islands" in particular, and aims to deepen the understanding of island life space using maps, charts, statistics, videos and photographs. In each session, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading will be decided based on the following :
reaction papers : 50%, term-end reports : 50%

GEO100LA（地理学 / Geography 100）

地理学Ⅱ

2017年度以降入学者

前畑 明美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界の諸地域や日本の諸地域について、諸資料をもとに比較考察し、現代社会には多様な地域・人びとが存在することを学びます。そのうえで、グローバル化のすすむ社会のなかで、多様な人びとが共生していくことの重要性を、受講生自らが考える力を養います。本科目では足元に広がる「島 island」に注目することとし、地図、統計、新聞、映像、写真など様々な資料をもとに島の一般的性質、および島々の多様な姿について捉え、最終的には私たちが生きている島嶼（とうしょ）生活空間への理解を深めていくことを目的としています。

【到達目標】

現代世界の諸地域、とくに「島」を地誌的に考察することを目標とします。全14回の授業を通して、普遍的でダイナミックな「島嶼性」という島の一般的性質を捉えていくとともに、国内外の島々にみられる興味深い実態、諸現象について、その全体的状況がどうなっているのか、いかなるしくみ・構造のもとで発現しているのか、どのような意味を有しているのかなど、「島嶼性」を踏まえて論理的に説明できるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・講義形式となります。
- ・毎回授業内容を整理し、コメントをご提出いただきます。
- ・期末にまとめのレポートをご提出いただき、後日フィードバックいたします。初回時に詳しく説明することといたします。
- ・ご質問や連絡事項は授業の前後、もしくはメールでよろしく願います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	大学で学ぶ地誌	アカデミズムにおける地誌学とは？
第2回	世界や日本の諸地域について学ぶとは？	授業で取り上げる国や地域の説明
第3回	地図をもとに世界・日本について考える	島の定義、「島嶼性」と島嶼ネットワーク
第4回	新聞記事やニュースなどから世界・日本について考える	島々の産業の盛衰にみる「島嶼性」の表出
第5回	統計資料をもとに世界・日本について考える	戦後日本の島嶼政策とそこにみられる諸問題
第6回	映像資料から世界・日本について考える	島々のコミュニティとネットワーク
第7回	現代世界の諸地域	地域区分と国家
第8回	現代世界の諸地域	資源・産業
第9回	現代世界の諸地域	人口
第10回	現代世界の諸地域	都市・村落
第11回	現代世界の諸地域	生活文化
第12回	現代世界の諸地域	民族・宗教・領土問題など

第13回 現代の私たちが描く 未来の社会のために

世界像・日本像

第14回 まとめ 試験 授業の総括と試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

島・海について、日頃からキーワードとして留意し、情報収集に努めてください。その際、できるだけ複数の資料にあたってくださいと思います。また授業後には、気づいた点・疑問点をそのままにせず、積極的に図書館などを活用して探究してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし。毎回プリント教材を用います。学習支援システムの「教材」に配布プリントをアップいたしますので、授業前に印刷のうえ、予めお目通しください。

【参考書】

高等学校用などの地図帳があると、位置確認が容易となり役立ちます。その他は適宜授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

毎回のコメント（50％）・レポート（50％）

質問やコメントなど、日頃の積極的な姿勢を評価いたします。

【学生の意見等からの気づき】

どこが重要なポイントであるのか、毎回意識するようにしてください。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【Outline (in English)】

We compare and consider many regions of the world and Japan based on many kinds of materials, and learn that there are various regions and people in modern society. From there, we foster the ability to think for ourselves the importance of the coexistence of diverse people in a globalized society. The purpose of this course is to deepen our understanding of the island life space by considering the general nature of islands and the diversity of islands based on materials such as maps, statistics, newspapers, videos and photographs.

In each session, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading will be decided based on the following :

reaction papers : 50%, term-end reports : 50%

GEO100LA（地理学 / Geography 100）

地理学 I

2017年度以降入学者

前川 明彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

新課程で必須となった高校の地理でも、世界・日本各地の様々な事象を「暗記する」「覚える」ことが中心だったのではないのでしょうか。大学の地理学では、空間・地域・景観・場所などの地理学的キーワードやロジックから、現代世界の様々な事象を深く理解し、学生自らが論理的に考えることの大切さを学びます。大学の方針に従って、対面授業を基本とします。様々な映像資料や資料等から考えています。Webclassで教材配信、出席等をしますので、全員習熟してください。成績に関連するレポート等も含めて、生成AIに関しては大学の方針に準拠して使用可能な授業ですので頑張ってください。

【到達目標】

現代の様々な事象を理解することを通して、前半は大都市TOKYOやローマ、北京などを舞台に自然地理学を、後半は日本を中心に人文地理学の考え方や自分で考えるという力を学ぶことを目標とします。東京は再び、人口流入が始まり、特に都心部では顕著です。都市に関係する分野は様々ありますが、グローバルな経済的影響等を最も可視化や内包化しやすい地域だからこそ、都市に係る分野は様々あるのかもしれませんが。一方的な講義で眠くなるより、大学のオープンな居場所と考え、学問の入口やコミュニケーションを楽しみながら考えましょう

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

100番台の本講義では、自然地理学、人文地理学の両方の分野を講義しますが、基本的には大都市や日本を舞台に身近な事例などから紹介し、すすめていきます。対面授業の利点を活かし「考える」ことを重視し、基本的に「映像＋講義＋GDなど」形式となります。授業資料等はWebclassにアップしますので、授業前にはダウンロードしてください。授業時にALとしてGD/GWを考えており、評価に関連します。また、中間Rは簡易的な都市フィールドワークの基礎として都心部を予定しています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	地理から地理学へ	大学の地理学へ 地理学って何だろう
第2回	地理学が扱う諸問題 地球規模の自然環境とグローバルな社会	地球の成り立ちと日本や日本を中心に、グローバルな自然地理学のロジックから考える
第3回	身近な事象を通して地理学を考える（1） なぜ再開発で渋谷はあとに	地理学的な考え方を学ぶには？ 新宿、池袋と比較して渋谷の街から見えてくるものは何だろう
第4回	身近な事象を通して学問として地理学を考える（2）	メディアにおける地理学的考え方 プラタモリの世界ローマ
第5回	現代世界における生態・環境（1） 気候変動は・・・	餃子で考える、食文化と自然環境および理論の世界感

第6回	現代世界における生態・環境（2）	世界における生態・環境問題 アメリカが世界の環境問題を変えるか・環境問題・なぜ、人は都市に 若い女性はなぜTOKYOに
第7回	少子高齢化の課題・・・能登の災害からもみえてくるもの	
第8回	現代社会の経済・社会・政治	産業と経済発展を身近なスマホなどから考えてみよう
第9回	現代社会の情報・通信・観光	観光は新たな産業として可能だろうか
第10回	日本社会における諸問題（1）	遅れた日本 安い日本 失われた30年 DX, AI社会ほか
第11回	日本社会における諸問題（2）	人材不足、人手不足の中で 必要な人材とは何か、生成AIと日本の将来
第12回	グローバル社会における諸問題（1）	グローバル社会の分断と混乱を欧米社会から地理学的な見方から考える
第13回	グローバル社会における諸問題（2）	格差・貧困とグローバル社会 アメリカのホームレス大学生や生理の貧困を考えながら
第14回	まとめと展望	災害日本を社会科学から再検討する&最終レポートの解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

世界や日本の最新動向を知るために、ニュースや新聞・ネット情報を読むようにして、常に疑問を持ち、正誤に関しては自分の判断で選択できるように考えてください。昨年は世界的な選挙イヤーでしたが、アメリカ大統領が変わるだけで世界は大きな変化しています。政治や経済が社会に与えていることを身近に考えてください。こうした世界や日本社会の様々な出来事にも興味や疑問をもってください。これは、普段歩いている大学や自宅界隈も視点を変えてみることでちょっと違うこともレポートなどで経験してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

印刷されたテキストは特にありませんが、Webclassで教材資料等を授業前にアップします。

【参考書】

適宜指示する

【成績評価の方法と基準】

対面授業予定ですので、中間・期末のレポート80%、授業での平常点（20%）としますが、感染の拡大等から変わる可能性もあります。詳細は4月の授業時やWebclass等で確認してください

【学生の意見等からの気づき】

この数年間、社会の閉塞感からなのか、各自の孤独感や孤立感、ストレス等からコミュニケーションの重要性が問われた気がします。多様性を否定する流れが来ているかもしれません。画一化や均一化などはイノベーションを生み出しにくいことはすでに明らかになっています。このため、この講義では一方的に抗議するという形式ではなく、多様な意見や考え方をする方向性を期待しています。授業を居場所としてコミュニティの重要性をフルに発揮する方向性でのGDやレポートなどでの簡易的フィールドワークは行ってきました。大半の学生には好評でした。授業でたくさんの知り合いを、違う学年や他学部から増やし、ネットワークを広げてみてください。今期も前向きに考えてやってみましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム、Webclassで、資料配信、簡単な質問、出席などを行います。それを見て使えるように習熟を、さらにPCなどの機器類を準備してください。

【その他の重要事項】

1年生は新課程で高校地理が必須だと思いますが、苦手な人でも構いません。100番台で基礎科目としてのポジションですが原則、春学期のⅠでは地理学の基礎、秋学期のⅡは世界の地誌的な見方での応用が中心です。自分の経験ですが、海外研究で奥地や災害ボランティアで気がつくのは日本人女性は1人でも参加しますが。若い男性は集団志向です。昨今、多様性やジェンダーギャップ等が話題になりつつありますが、大学デビューも含めて1人参加でも例年大丈夫です。一方的な授業は教員は楽ですが避けたいのでみんなでALも楽しみましょう。

授業資料、出席などは、Webclass（タイムラインも含めて）等を使う予定です、互いに習熟しましょう。また、授業開始日までに、最初の項目に、今後の内容の詳細や要点をパワポや動画等でまとめておきたいと思います。必ず確認してください。（仮登録すれば見れるようにします）

【Outline (in English)】

Course outline: Regional or geographical issues in the modern world.

Learning Objective: Students will gain a deep understanding of various events in the modern world and learn the importance of thinking logically on their own. Learning activities outside of classroom: Total of 4 hours

Grading Criteria: Examination 80% Contribution to class 20%

GEO100LA（地理学 / Geography 100）	
地理学Ⅱ	2017年度以降入学者
前川 明彦	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水2/Wed.2	
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

これまで、世界・日本各地の様々な事象を「暗記する」「覚える」ことが中心だったのではないのでしょうか。大学の地理学では、空間・地域・景観・場所などの地理学的キーワードやロジックから、現代世界の様々な事象を深く理解し、学生自らが論理的に考えることの大切さを学びます。秋学期のこの授業では現在の世界や日本の諸地域について、地理学的（自然地理学・人文地理学・地誌学）に考察していきましょう。現代社会には多様な地域・人びとが存在することを学びます。グローバリゼーションが深化し、大量な多様な情報が席巻しているにもかかわらず、人々が、必ずしも十分に理解しているかどうか危惧されます。とくにグローバル化のすすむ社会のなかで、多様な人びとが共生していくことの重要性を知ることは重要で、このために、受講生自らが考える力を養います。

【到達目標】

現代世界の諸地域を地誌的、さらに自然地理学や人文地理学をとおして考察すること、目まぐるしい変化の世界各地や日本などについて、自ら考えていけるようになることを目標にします。さらに、高校までの地理の復習や延長ではなく、日本や世界の身近な課題等を地理学をとおして多様な持続可能な考え方として尊重することも考えます。いくつかの系統地理学的なテーマも、代表する世界のエリアで考えてみましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本は「世界を知ろう」です。各テーマにかかわる身近なトピックを紹介しながら、「映像＋講義＋GDなど」などですすめていきます。対面授業の利点を活かし、多様な考え方のためにGD・GWが多様性を感じる簡易的なフィールドワークを行いますので楽しんでください。授業資料等はwebclassにアップしますので、授業前にはダウンロードしてください。授業時にALとしてGD/GWを考えており、評価に関連します。シラバス内容は順番など多少変更する場合もあります。生成AIは大学の方針に準拠して使用可能。うまく使用できるようにしてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	大学で学ぶ地理学・地誌学	地理学・地誌学とは？ 身近なこと 動画・映像から大学の地理学へ 韓国
第2回	世界や日本の諸地域について学ぶとは？	東アジアから映画や動画をもとに考えよう 中国
第3回	地図をもとに世界・日本について考える	GPSの行動結果などから外国人インバウンド観光行動やアメリカの格差をMAPなどから考える
第4回	統計資料をもとに世界・日本について考える	能登半島の災害などをビックデータやGISなどから考える
第5回	新聞記事やニュースなどから世界・日本について考える	グローバル社会について考えてみよう ASEAN タイなど、

第6回	映像資料から世界・日本について考える	映画やネット動画から分析してみよう ASEAN ベトナム・カンボジアなど
第7回	現代世界の諸地域	ASEANを事例に地域区分と国家・宗教・民族多様性を考える
第8回	現代世界の諸地域	南アジアを事例に資源・産業 世界一の人口インド
第9回	現代世界の諸地域	アメリカを事例に多様性を変える？ 都市・移民 アメリカンドリームは今
第10回	現代世界の諸地域	アメリカを事例に分断と格差 トランプ・ブアホワイト・ラストベルト
第11回	現代世界の諸地域	ヨーロッパを事例に移民・分断社会 生活文化
第12回	現代世界の諸地域	ヨーロッパを事例に民族・宗教・領土問題、都市など
第13回	現代の私たちが描く世界像・日本像	災害復興からみえる未来の社会のために
第14回	試験 まとめと解説	世界の変化と最終レポートの説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

世界や日本の最新動向を知るために、ニュースや新聞・ネット情報を読むようにして、常に疑問を持ち、正誤に関しては自分の判断で選択できるように考えてください。昨年は世界的な選挙イヤーでしたが、アメリカ大統領が変わるだけで世界は大きな変化しています。大学に入学して1年生で半年が過ぎます。身近な変化はありましたか、地域社会にネットワークは張っていますか？ 世界や日本の動向を身近なことから考えられるように、何事にも興味をもつようにしてください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

地理学Ⅰ同様に 基本的になし

【参考書】

適宜、指示します

【成績評価の方法と基準】

体面授業が中心となります。中間・期末のレポート（80%）、授業時での平常点（20%）として総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

この数年間で孤独感や孤立感、ストレス等からコミュニケーションの重要性が問われた気がします。本格的なフィードバックではありませんが、レポートの街あるきは好評でした。今年もやってみましょう。対面授業ですから、授業を居場所としてコミュニティの重要性や多様性をフルに発揮していきたいと思います。むしろ、授業でたくさんの方の知り合いを、違う学年や他学部から増やし、ネットワークを広げてみてください。今期も前向きに考えてやってみましょう。

【学生が準備すべき機器他】

Webclassのシステムを教材や課題等で使用するの、慣れてほしい。先進国の中でパソコンが苦手な人が多いといわれる日本です。スマホではなく、パソコンやタブレットなどに慣れてください。なお、生成AIに関しては大学の方針に準拠して使用し、習熟してみてください。大学のパソコンレンタルなども活用してください。

【その他の重要事項】

学部により半期、通年登録などがバラバラですので、授業開始日までに、簡単なガイダンスをパワポ資料や動画作成しておく予定で、Webclassの授業欄の案内にアップしておきたいと思います。必ず確認してください。（仮登録すれば見れるようにします）昨今、多様性がイノベーションを産みやすいことは自明の理になっていますが、否定する意見もあります。この授業は人によったら楽な授業ではないと感じる人もいますが、同じような形式ではなく、大学生の時ぐらいトライすることを自分の成果にしませんか。学部学年、性差の違い等でも多様性が実感できます。大学デビューも含めて1人参加でも例年大丈夫ですし、大学の居場所にしませんか。みんなでもALも楽しみましょう。

【Outline (in English)】

Course outline: Regional or geographical issues in the modern world.

Learning Objective: Students will develop the ability to think for themselves about the importance of coexistence among diverse people in an increasingly globalized society.

Learning activities outside of classroom: Total of 4 hours

Grading Criteria:Examination 80%Contribution to class 20%

GEO100LA（地理学 / Geography 100）

地理学 I

2017年度以降入学者

米家 志乃布

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

高校の地理では、世界・日本各地の様々な事象を「暗記する」ことが中心だったのではないのでしょうか。しかし、大学の地理学では、空間・地域・景観・場所などの地理学的キーワードから、現代世界の様々な事象を深く理解し、学生自らが論理的に考えることの大切さを学びます。

【到達目標】

現代世界の様々な事象を理解することを通して、地理学の考え方を学ぶことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本講義では、人文地理学的なテーマにかかわるトピックを紹介しながら、すすめていきます。高校時代に地理を学習していない受講生にも、大学での地理学的な考え方をわかりやすく説明していきます。高校教科書や地図帳を利用したり、様々な画像・映像も見ていきたいと考えています。大学の方針に従って、本年は対面授業を基本とします。しかし、授業支援システムを主に活用し、資料配信やコメント提出もしていただきます。リアクションペーパーには授業支援システムを使って教員からコメントをし、受講生のみなさんにフィードバックします。授業資料の紙での配布はいたしません（すべて学習支援システムにアップします）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	地理から地理学へ	高校地理から大学の地理学へ
第2回	地理学が扱う諸問題	さまざまな地理学的課題
第3回	身近な事象を通して地理学を考える（1）	法政大学周辺の地理
第4回	身近な事象を通して地理学を考える（2）	メディアのなかの地理 プラタモリ鑑賞
第5回	現代世界における生態・環境（1）	自然環境と人々の生活
第6回	現代世界における生態・環境（2）	地球温暖化・シベリアの環境問題
第7回	現代の人びとの生活・文化	文化遺産と郷土のアイデンティティ
第8回	現代社会の経済・社会・政治	「大江戸」と東京一極集中
第9回	現代社会の情報・通信・観光	アートと地域振興
第10回	日本社会における諸問題（1）	自然災害と防災・復興
第11回	日本社会における諸問題（2）	都市と地方 少子化・高齢化
第12回	グローバル社会における諸問題（1）	ロシアによるウクライナ侵攻
第13回	グローバル社会における諸問題（2）	旧ソ連地域 ロシアと周辺諸国 ロシアとアメリカ、中国の関係

第14回 まとめ

試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

世界や日本の最新動向を知るために、ニュースや新聞を読むようにしてください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。必要な資料は適宜、学習支援システムにアップします。

【参考書】

『高等学校用地図帳』その他は適宜授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業内試験50％、平常点50％

【学生の意見等からの気づき】

映像資料（写真やDVD、映画など）は好評でしたので、対面授業内で積極的に鑑賞する機会をもうけます。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムでの資料配信を行います（紙での配布はしません）。それを見ることができるようPCなどの機器類を準備してください。

【その他の重要事項】

高校時代に地理を学んでいない人も大歓迎です。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This lecture examines various issues in contemporary world through academic key words of human geography.

【Learning Objectives】 The goals of this course is to understand human geographies of Japan and Russia.

【Learning activities outside of classroom】 Your study time will be more than 4 hours for a class.

【Grading Criteria】 Term-end examination:50%, and class contribution:50%

GEO100LA（地理学 / Geography 100）

地理学Ⅱ

2017年度以降入学者

米家 志乃布

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界の諸地域や日本の諸地域について、諸資料をもとに比較考察し、現代社会には多様な地域・人びとが存在することを学びます。そのうえで、グローバル化のすすむ社会のなかで、多様な人びとが共生していくことの重要性を、受講生自らが考える力を養います。

【到達目標】

現代世界の諸地域を地誌的に考察することを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本講義では、世界や日本の地誌を扱います。大学の方針に従って、本年は対面授業を基本とします。授業支援システムでの資料配信やリアクションペーパーの提出も行います。リアクションペーパーへのコメントは、授業内で発表してフィードバックします。必要な事項は全員向けに授業支援システム内の掲示板を利用します。授業資料の紙での配布はいたしません（すべて学習支援システムにアップします）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	大学で学ぶ地誌	地誌とは？
第2回	世界や日本の諸地域について学ぶとは？	世界や日本の地誌を学ぶ
第3回	地図をもとに世界・日本について考える	地図から見る世界と日本
第4回	統計資料をもとに世界・日本について考える	統計から見る世界と日本
第5回	新聞記事やニュースなどから世界・日本について考える	最近の新聞・ニュースから見る世界と日本
第6回	映像資料から世界・日本について考える	絵画・写真からみる世界と日本
第7回	現代世界の諸地域	世界遺産・文化財からみる地域
第8回	現代世界の諸地域	アートからみる地域
第9回	現代世界の諸地域	公共空間からみる地域
第10回	現代世界の諸地域	震災・復興からみる地域
第11回	現代世界の諸地域	国際紛争からみる地域
第12回	現代世界の諸地域	グローバル化と地域
第13回	現代の私たちが描く世界像・日本像	様々な地域像
第14回	まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

インターネットや様々なドキュメンタリー番組などを見て、世界や日本の動向に興味をもつようにしてください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。

【参考書】

高等学校用地図帳 その他は適宜授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業内試験50%、平常点50%

【学生の意見等からの気づき】

各地の状況を理解するために、様々な映像資料を使います。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムでの資料配信を行います（紙での配布はしません）。それを見ることができるよう、PCやスマートフォンなどの機器類は準備してください。

【その他の重要事項】

高校時代に地理を学んでいない人も大歓迎です。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This lecture examines culture and people of various regions in the world through academic key words of topography.

【Learning Objectives】 The goals of this course is to understand topography of Japan and Russia.

【Learning activities outside of classroom】 Your study time will be more than 4 hours for a class.

【Grading Criteria】 Term-end examination:50%, and in class contribution:50%

GEO100LA（地理学 / Geography 100）

地理学 I

2017年度以降入学者

前畑 明美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

高校の地理では、世界・日本各地の様々な事象を「暗記する」ことが中心だったのではないのでしょうか。しかし、大学の地理学では、空間・地域・景観・場所などの地理学的キーワードから、現代世界の様々な事象を深く理解し、学生自らが論理的に考えることの大切さを学びます。本科目では足もとに広がる陸域、すなわち「島 island」に注目することとし、地図、海図、統計、映像、写真をはじめ諸資料をもとに、私たちが生きる島嶼（とうしょ）生活空間について理解を深めていくことを目的とします。

【到達目標】

現代世界の様々な事象、とくに「島」に関わる事象を理解することを通して、地理学の考え方を学ぶことを目標とします。近年「島」をめぐる様々なニュースに接するようになり、国際問題化している事案に目が行きがちですが、じつは人口減少や少子高齢化の問題をはじめ「島嶼国日本の縮図」としての先進的現象が国内の多くの島々で生起しています。全14回の授業を通して、「島嶼性」という普遍的でダイナミックな島の性質を捉えていくとともに、国内外の島々にみられる興味深い実態、諸現象について、その全体的状況がどうなっているのか、いかなるしくみ・構造のもとで発現しているのか、どのような意味を有しているのかなど、「島嶼性」を踏まえて論理的に説明できるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・講義形式となります。
- ・毎回、授業内容を整理してコメントをご提出いただきます。
- ・期末にまとめのレポートをご提出いただき、後日フィードバックいたします。初日に詳しく説明することといたします。
- ・ご質問や連絡事項は授業の前後、もしくはメールでよろしく願いいたします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	地理から地理学へ	高校地理から大学の地理学へ
第2回	地理学が扱う諸問題	授業で取り上げる事象の説明
第3回	身近な事象を通して地理学を考える（1）	わたしたちの周りにある地理学的考え方
第4回	身近な事象を通して地理学を考える（2）	メディアにおける地理学的考え方
第5回	現代世界における生態・環境（1）	世界における生態・環境
第6回	現代世界における生態・環境（2）	日本における生態・環境
第7回	現代社会の経済・社会・政治	「島嶼性」と日本・世界の島々
第8回	現代社会の情報・通信・観光	島々の歴史（豊島産廃問題と瀬戸内国際芸術祭）
第9回	現代の人びとの生活・文化	島々の文化（戦後の図書館運動と島）

第10回	日本社会における諸問題（1）	地理学的な考え方を学ぶには？
第11回	日本社会における諸問題（2）	日本の諸地域を事例として
第12回	グローバル社会における諸問題（1）	地理学的な考え方を学ぶには？
第13回	グローバル社会における諸問題（2）	世界の諸地域を事例として
第14回	まとめ 試験	授業の総括と試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

島・海について、日頃からキーワードとして留意し、情報収集に努めてください。その際、できるだけ複数の資料にあたってくださいと思います。また授業後には、気づいた点・疑問点をそのままにせず、積極的に図書館などを活用して探究してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし。毎回プリント教材を用います。学習支援システムの「教材」に配布プリントをアップいたしますので、授業前に印刷のうえ、予めお目通しください。

【参考書】

高等学校用などの地図帳があると、位置確認が容易となり役立ちます。その他は適宜授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

毎回のコメント（50 %）・レポート（50 %）
質問やコメントなど、日頃の積極的な姿勢を評価いたします。

【学生の意見等からの気づき】

どこが重要なポイントであるのか、毎回意識するようにしてください。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【Outline (in English)】

High school geography classes focus on "memorizing" various phenomena in the world and Japan. In university geography, however, we learn the importance of understanding deeply and thinking logically about various phenomena in the modern world based on geographical keywords such as space, region, landscape and location. This course focuses on "islands" in particular, and aims to deepen the understanding of island life space using maps, charts, statistics, videos and photographs. In each session, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading will be decided based on the following :
reaction papers : 50%, term-end reports : 50%

GEO100LA（地理学 / Geography 100）

地理学Ⅱ

2017年度以降入学者

前畑 明美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界の諸地域や日本の諸地域について、諸資料をもとに比較考察し、現代社会には多様な地域・人びとが存在することを学びます。そのうえで、グローバル化のすすむ社会のなかで、多様な人びとが共生していくことの重要性を、受講生自らが考える力を養います。本科目では足元に広がる「島 island」に注目することとし、地図、統計、新聞、映像、写真など様々な資料をもとに島の一般的性質、および島々の多様な姿について捉え、最終的には私たちが生きている島嶼（とうしょ）生活空間への理解を深めていくことを目的としています。

【到達目標】

現代世界の諸地域、とくに「島」を地誌的に考察することを目標とします。全14回の授業を通して、普遍的でダイナミックな「島嶼性」という島の一般的性質を捉えていくとともに、国内外の島々にみられる興味深い実態、諸現象について、その全体的状況がどうなっているのか、いかなるしくみ・構造のもとで発現しているのか、どのような意味を有しているのかなど、「島嶼性」を踏まえて論理的に説明できるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・講義形式となります。
- ・毎回授業内容を整理し、コメントをご提出いただきます。
- ・期末にまとめのレポートをご提出いただき、後日フィードバックいたします。初回時に詳しく説明することといたします。
- ・ご質問や連絡事項は授業の前後、もしくはメールでよろしく願います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	大学で学ぶ地誌	アカデミズムにおける地誌学とは？
第2回	世界や日本の諸地域について学ぶとは？	授業で取り上げる国や地域の説明
第3回	地図をもとに世界・日本について考える	島の定義、「島嶼性」と島嶼ネットワーク
第4回	新聞記事やニュースなどから世界・日本について考える	島々の産業の盛衰にみる「島嶼性」の表出
第5回	統計資料をもとに世界・日本について考える	戦後日本の島嶼政策とそこにみられる諸問題
第6回	映像資料から世界・日本について考える	島々のコミュニティとネットワーク
第7回	現代世界の諸地域	地域区分と国家
第8回	現代世界の諸地域	資源・産業
第9回	現代世界の諸地域	人口
第10回	現代世界の諸地域	都市・村落
第11回	現代世界の諸地域	生活文化
第12回	現代世界の諸地域	民族・宗教・領土問題など

第13回 現代の私たちが描く 未来の社会のために

世界像・日本像

第14回 まとめ 試験 授業の総括と試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

島・海について、日頃からキーワードとして留意し、情報収集に努めてください。その際、できるだけ複数の資料にあたってくださいと思います。また授業後には、気づいた点・疑問点をそのままにせず、積極的に図書館などを活用して探究してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし。毎回プリント教材を用います。学習支援システムの「教材」に配布プリントをアップいたしますので、授業前に印刷のうえ、予めお目通しください。

【参考書】

高等学校用などの地図帳があると、位置確認が容易となり役立ちます。その他は適宜授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

毎回のコメント（50％）・レポート（50％）

質問やコメントなど、日頃の積極的な姿勢を評価いたします。

【学生の意見等からの気づき】

どこが重要なポイントであるのか、毎回意識するようにしてください。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【Outline (in English)】

We compare and consider many regions of the world and Japan based on many kinds of materials, and learn that there are various regions and people in modern society. From there, we foster the ability to think for ourselves the importance of the coexistence of diverse people in a globalized society. The purpose of this course is to deepen our understanding of the island life space by considering the general nature of islands and the diversity of islands based on materials such as maps, statistics, newspapers, videos and photographs.

In each session, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading will be decided based on the following :

reaction papers : 50%, term-end reports : 50%

GEO100LA（地理学 / Geography 100）

地理学 I

2017年度以降入学者

前畑 明美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

高校の地理では、世界・日本各地の様々な事象を「暗記する」ことが中心だったのではないのでしょうか。しかし、大学の地理学では、空間・地域・景観・場所などの地理学的キーワードから、現代世界の様々な事象を深く理解し、学生自らが論理的に考えることの大切さを学びます。本科目では、とくに「海」に関わる事象を取り上げます。

【到達目標】

現代世界の様々な事象、とくに「海」に関する事象を理解することを通して、地理学の考え方を学ぶことを目標とします。マイクロプラスチックによる海洋汚染の問題、領海をめぐる問題など、海をめぐる様々な問題は、陸域の人間社会のあり様が反映されて生起している現象です。全14回により、「海と人間社会の関係性」および「海に囲まれた島嶼生活空間」についての認識を深め、そうした諸現象について、その全体的状況がどうなっているのか、いかなるしくみ・構造のもとで発現しているのか、現代社会にとってどのような意味を有しているのかなど、論理的に考えて説明できるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・講義形式となります。
- ・毎回、授業内容を整理してコメントをご提出いただきます。
- ・期末にまとめのレポートをご提出いただき、後日フィードバックいたします。初日に詳しく説明することといたします。
- ・ご質問や連絡事項は授業の前後、もしくはメールでよろしく願いいたします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	地理から地理学へ	高校地理から大学の地理学へ
第2回	地理学が扱う諸問題	授業で取り上げる事象の説明
第3回	身近な事象を通して地理学を考える（1）	わたしたちの周りにある地理学的考え方
第4回	身近な事象を通して地理学を考える（2）	メディアにおける地理学的考え方
第5回	現代世界における生態・環境（1）	世界における生態・環境
第6回	現代世界における生態・環境（2）	日本における生態・環境
第7回	現代の人びとの生活・文化	海洋をめぐる諸問題
第8回	現代社会の経済・社会・政治	国連海洋法条約と世界・日本の海洋政策
第9回	現代社会の情報・通信・観光	世界・日本の海洋教育
第10回	日本社会における諸問題（1）	地理学的な考え方を学ぶには？
第11回	日本社会における諸問題（2）	日本の諸地域を事例として

第12回 グローバル社会における諸問題（1） 地理学的な考え方を学ぶには？

第13回 グローバル社会における諸問題（2） 世界の諸地域を事例として

第14回 まとめ 試験 授業の総括と試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

海・島について、日頃からキーワードとして留意し、情報収集に努めてください。その際、できるだけ複数の資料にあたっていただきたいと思います。また授業後には、気づいた点・疑問点をそのままにせず、積極的に図書館などを活用して探究してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし。毎回プリント教材を用います。学習支援システムの「教材」に配布プリントをアップいたしますので、授業前に印刷のうえ、予めお目通しください。

【参考書】

高等学校用などの地図帳があると、位置確認が容易となり役立ちます。その他は適宜授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

毎回のコメント（50％）・レポート（50％）
質問やコメントなど、日頃の積極的な姿勢を評価いたします。

【学生の意見等からの気づき】

どこが重要なポイントであるのか、毎回意識するようにしてください。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【Outline (in English)】

High school geography classes focus on "memorizing" various phenomena in the world and Japan. In university geography, however, we learn the importance of understanding deeply and thinking logically about various phenomena in the modern world based on geographical keywords such as space, region, landscape and location. In this course, we will focus on various phenomena related to the sea.

In each session, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading will be decided based on the following :
reaction papers : 50%, term-end reports : 50%

GEO100LA（地理学 / Geography 100）

地理学Ⅱ

2017年度以降入学者

前畑 明美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界の諸地域や日本の諸地域について、諸資料をもとに比較考察し、現代社会には多様な地域・人びとが存在することを学びます。そのうえで、グローバル化のすすむ社会のなかで、多様な人びとが共生していくことの重要性を、受講生自らが考える力を養います。本科目ではとくに「海」を取り上げ、地図、統計、新聞、映像、写真など様々な資料をもとに「海と人間社会の関係性」を多角的に考察し、最終的には私たちが生きる島嶼（とうしょ）生活空間について理解を深めていくことを目的とします。

【到達目標】

現代世界の諸地域を地誌的に考察することを目標とします。今日私たちが直面する海をめぐる様々な問題は、その多くが陸域の人間社会のあり様が反映されて生起している現象です。したがって陸域の社会経済活動を見据えながら諸問題を考えていくことが重要であり、秋学期では陸＝島が内包する島嶼社会システムを捉えつつ「海と人間社会の関係性」を考察し、問題解決への道を考えていきます。また海に関する諸現象について、その全体的状況がどうなっているのか、いかなるしくみ・構造のもとで発現しているのか、現代社会にとってどのような意味を有しているのかなど、論理的に考えて説明できるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・講義形式となります。
- ・毎回、授業内容を整理してコメントをご提出いただきます。
- ・期末にまとめのレポートをご提出いただき、後日フィードバックいたします。初日に詳しく説明することといたします。
- ・ご質問や連絡事項は授業の前後、もしくはメールでよろしく願いいたします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	大学で学ぶ地誌	アカデミズムにおける地誌学とは？
第2回	世界や日本の諸地域について学ぶとは？	授業で取り上げる国や地域の説明
第3回	地図をもとに世界・日本について考える	沿岸域の開発と地域社会への影響
第4回	映像資料から世界・日本について考える	里海再生の取り組みとその現状
第5回	新聞記事やニュースなどから世界・日本について考える	日本列島の海の食文化と「島嶼ネットワーク」
第6回	統計資料をもとに世界・日本について考える	「島嶼ネットワーク」から捉える日本の海洋産業の問題
第7回	現代世界の諸地域	地域区分と国家
第8回	現代世界の諸地域	資源・産業
第9回	現代世界の諸地域	人口
第10回	現代世界の諸地域	都市・村落

第11回	現代世界の諸地域	生活文化
第12回	現代世界の諸地域	民族・宗教・領土問題など
第13回	現代の私たちが描く世界像・日本像	未来の社会のために
第14回	まとめ 試験	授業の総括と試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

海・島について、日頃からキーワードとして留意し、情報収集に努めてください。その際、できるだけ複数の資料にあたっていただきたいと思います。また授業後には、気づいた点・疑問点をそのままにせず、積極的に図書館などを活用して探究してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし。毎回プリント教材を用います。学習支援システムの「教材」に配布プリントをアップいたしますので、授業前に印刷のうえ、予めお目通しください。

【参考書】

高等学校用などの地図帳があると、位置確認が容易となり役立ちます。その他は適宜授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

毎回のコメント（50％）・レポート（50％）
質問やコメントなど、日頃の積極的な姿勢を評価いたします。

【学生の意見等からの気づき】

どこが重要なポイントであるのか、毎回意識するようにしてください。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【Outline (in English)】

We compare and consider many regions of the world and Japan based on many kinds of materials, and learn that there are various regions and people in modern society. From there, we foster the ability to think for ourselves the importance of the coexistence of diverse people in a globalized society. The objective of this course is to deepen our understanding of the island life space by examining from various angles the "relationship between the sea and human society " based on materials such as maps, statistics, newspapers, videos and photographs.

In each session, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading will be decided based on the following :
reaction papers : 50%, term-end reports : 50%

SOC100LA (社会学 / Sociology 100)

社会学 I

2017年度以降入学者

徐 玄九

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

担当教員の作成した教材を含む文献や映像資料を用いて、実際の社会現象を取り上げつつ講義形式を中心に学習を進める。また、学習内容の定着と応用を目的として、授業内で演習やコメント作成に取り組むことがある。受講生の提出物は、個人情報に留意したうえで適宜授業にフィードバックする。

【到達目標】

この授業では、社会学の基本的な概念や理論を学習するとともに、社会現象を構造と運動、ミクロとマクロの両面から考察する視点を学ぶ。さらに、「社会」の複層性に対する理解を深めつつ、社会的事柄の成り立ちを多角的に考察する視点の習得をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・対面授業で実施する。可能なかぎり双方向的な授業を心がける。とくに、テーマごとの関連性を重視しながら、具体的に身近なものから抽象的なものへと話題を進める。理解を深めるために、絵画や詩、映像資料などの教材も取り入れて視覚的な理解も図る。
- ・授業資料（PDF ファイル）はHoppiiで配布する。
- ・リアクションペーパー課題の提出を求める予定であり、課題等のフィードバックはHoppiiを通じて行う予定である。
- ・プレゼンテーショングループワークの時間を設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	社会学とはどのような学問か？	授業概要、成績評価基準の説明
2	社会変動	所与としての秩序から作為としての秩序への変化をフランス革命を例に学ぶ
3	消費社会	J・ボードリヤール『消費社会の神話と構造』の一部講読
4	情報社会	D・ライアン『監視社会』を参照しながら情報社会の二面性を理解する
5	メディア論の視点	吉見俊哉『メディア文化論』の一部講読
6	都市社会学	空間の社会学
7	社会運動	1968年の学生運動を事例に社会的意義を学ぶ
8	社会問題	現象の分節化・「問題」化
9	対抗文化	1960年代のサブカルチャーを取り上げる
10	対抗文化	1980年代のサブカルチャーを取り上げる
11	「歴史社会学」の視点	M・ヴェーバー『宗教社会学論集』の一部講読
12	階層	格差社会の構造
13	ネーション（民族、国民）	ナショナリズムのパラドックス

14 政治社会学の視点 M・ウェーバー『職業としての政治』の一部講読

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、配布資料（レジュメ、参考文献の抜粋）を使用する。

【参考書】

大澤真幸（2019）『社会学史』講談社現代新書。
ジグムント・バウマン（2016）奥井智之訳『社会学の考え方〔第2版〕』ちくま学芸文庫。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50％）、平常点（50％）[リアクションペーパー 20％＋プレゼンテーショングループワーク 30％]

詳細な評価基準は以下の通りである。

〈期末テスト〉

40-50点：以下の条件を満たしたうえで到達目標を達成できたと認められる場合

30-39点：以下の条件を満たしたうえで、明確な論点の提示、論理的な論述がなされている場合

10-29点：授業内容の理解、概念の正しい使用が認められている場合

1-9点：不十分ながら最低限の理解と論点が提示されている場合

〈リアクションペーパー課題〉

8-10点：授業内容の十分な理解が認められ、自分の意見が自分の言葉で論理的に述べられている場合

5-7点：不十分ながら授業内容を理解していると認められる場合

1-4点：最低限の理解は認められる場合

【学生の意見等からの気づき】

- ・質疑応答の時間を増やす。
- ・アクティブラーニングの時間を増やす。

【Outline (in English)】

(Course outline)

What is modern society? How can we understand it? How does society affect individual lives? The aim of this course is to help students acquire the basic sociological concepts and terms, and to develop a beginning critical perspective on the structure of our modern society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to understand the basic issues, principles, and approaches of sociology.

(Learning activities outside of classroom)

Since materials such as resumes and reference materials are distributed in advance, grasp the content of the lesson as a preparatory lesson and review it after the lesson.

・Two hours of advanced study: study concepts and read textbooks and references in advance.

・2 hours of post-course learning: Organize notes, look up textbooks, and read related literature.

(Grading Criteria /Policy)

Final exams (50%), preparation and review tasks (20%) and participation in biweekly group discussions (30%).

SOC100LA (社会学 / Sociology 100)

社会学Ⅱ

2017年度以降入学者

徐 玄九

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

担当教員の作成した教材を含む文献や映像資料を用いて、実際の社会現象を取り上げつつ講義形式を中心に学習を進める。また、学習内容の定着と応用を目的として、授業内で演習やコメント作成に取り組むことがある。受講生の提出物は、個人情報に留意したうえで適宜授業にフィードバックする。

【到達目標】

この授業では、社会学の基本的な概念や理論を学習するとともに、社会現象を構造と運動、ミクロとマクロの両面から考察する視点を学ぶ。さらに、「社会」の複層性に対する理解を深めつつ、社会的事柄の成り立ちを多角的に考察する視点の習得をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・対面授業で実施する。可能なかぎり双方向的な授業を心がける。とくに、テーマごとの関連性を重視しながら、具体的に身近なものから抽象的なものへと話題を進める。理解を深めるために、絵画や詩、映像資料などの教材も取り入れて視覚的な理解も図る。
- ・授業資料（PDF ファイル）はHoppiiで配布する。
- ・リアクションペーパー課題の提出を求める予定であり、課題等のフィードバックはHoppiiを通じて行う予定である。
- ・プレゼンテーショングループワークの時間を設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	家族の変容	Z・バウマン『リキッド・モダニティ』の一部講読
2	現代女性のライフコース	岩上真珠『ライフコースとジェンダーで読む家族』一部講読
3	個人化	Z・バウマン『個人化社会』一部講読
4	郊外（化）	東京近郊のベッドタウンの歴史と現状
5	自己の社会学	現代社会学におけるアイデンティティ論
6	現象学的社会学の視点	リアリティの変容
7	逸脱	犯罪社会学の視点
8	環境社会学の視点	公害
9	開発と自然	持続可能なエネルギー
10	少子高齢化と地域	「限界集落」の概念と実態
11	「福祉社会」	福祉社会論の歴史と現状
12	格差社会論	「ワーキングプア」の観点から
13	国際社会学の視点	国境を超える「日本社会」
14	「近代社会」の変容	Z・バウマン『リキッド・モダニティ』の一部講読

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、配布資料（レジュメ、文献資料、いずれもPDF形式）に基づき授業を進める。

【参考書】

大澤真幸（2019）『社会学史』講談社現代新書。
三上剛史（2010）『社会の思考—リスクと監視と個人化』学文社。
ジークムントバウマン（2001）森田典正訳『リキッド・モダニティ—』大月書店。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50%）、平常点（50%）[リアクションペーパー20%＋プレゼンテーショングループワーク30%]
詳細な評価基準は以下の通りである。

〈期末テスト〉

40-50点：以下の条件を満たしたうえで到達目標を達成できたと認められる場合

30-39点：以下の条件を満たしたうえで、明確な論点の提示、論理的な論述がなされている場合

10-29点：授業内容の理解、概念の正しい使用が認められている場合

1-9点：不十分ながら最低限の理解と論点が提示されている場合

〈リアクションペーパー課題〉

8-10点：授業内容の十分な理解が認められ、自分の意見が自分の言葉で論理的に述べられている場合

5-7点：不十分ながら授業内容を理解していると認められる場合

1-4点：最低限の理解は認められる場合

【学生の意見等からの気づき】

- ・質疑応答の時間を増やす。
- ・アクティブラーニングの時間を増やす。

【Outline (in English)】

(Course outline)

What is modern society? How can we understand it? How does society affect individual lives? The aim of this course is to help students acquire the basic sociological concepts and terms, and to develop a beginning critical perspective on the structure of our modern society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to understand the basic issues, principles, and approaches of sociology.

(Learning activities outside of classroom)

Since materials such as resumes and reference materials are distributed in advance, grasp the content of the lesson as a preparatory lesson and review it after the lesson.

・Two hours of advanced study: study concepts and read textbooks and references in advance.

・2 hours of post-course learning: Organize notes, look up textbooks, and read related literature.

(Grading Criteria /Policy)

Final exams (50%), preparation and review tasks (20%) and participation in biweekly group discussions (30%).

SOC100LA (社会学 / Sociology 100)

社会学 I

2017年度以降入学者

徐 玄九

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

担当教員の作成した教材を含む文献や映像資料を用いて、実際の社会現象を取り上げつつ講義形式を中心に学習を進める。また、学習内容の定着と応用を目的として、授業内で演習やコメント作成に取り組むことがある。受講生の提出物は、個人情報に留意したうえで適宜授業にフィードバックする。

【到達目標】

この授業では、社会学の基本的な概念や理論を学習するとともに、社会現象を構造と運動、ミクロとマクロの両面から考察する視点を学ぶ。さらに、「社会」の複層性に対する理解を深めつつ、社会的事柄の成り立ちを多角的に考察する視点の習得をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・対面授業で実施する。可能なかぎり双方向的な授業を心がける。とくに、テーマごとの関連性を重視しながら、具体的に身近なものから抽象的なものへと話題を進める。理解を深めるために、絵画や詩、映像資料などの教材も取り入れて視覚的な理解も図る。
- ・授業資料（PDF ファイル）はHoppiiで配布する。
- ・リアクションペーパー課題の提出を求める予定であり、課題等のフィードバックはHoppiiを通じて行う予定である。
- ・プレゼンテーショングループワークの時間を設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	社会学とはどのような学問か？	授業概要、成績評価基準の説明
2	社会変動	所与としての秩序から作為としての秩序への変化をフランス革命を例に学ぶ
3	消費社会	J・ボードリヤール『消費社会の神話と構造』の一部講読
4	情報社会	D・ライアン『監視社会』を参照しながら情報社会の二面性を理解する
5	メディア論の視点	吉見俊哉『メディア文化論』の一部講読
6	都市社会学	空間の社会学
7	社会運動	1968年の学生運動を事例に社会的意義を学ぶ
8	社会問題	現象の分節化・「問題」化
9	対抗文化	1960年代のサブカルチャーを取り上げる
10	対抗文化	1980年代のサブカルチャーを取り上げる
11	「歴史社会学」の視点	M・ヴェーバー『宗教社会学論集』の一部講読
12	階層	格差社会の構造
13	ネーション（民族、国民）	ナショナリズムのパラドックス

14 政治社会学の視点 M・ウェーバー『職業としての政治』の一部講読

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、配布資料（レジュメ、参考文献の抜粋）を使用する。

【参考書】

大澤真幸（2019）『社会学史』講談社現代新書。
ジグムント・バウマン（2016）奥井智之訳『社会学の考え方〔第2版〕』ちくま学芸文庫。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50％）、平常点（50％）[リアクションペーパー 20％＋プレゼンテーショングループワーク 30％]

詳細な評価基準は以下の通りである。

〈期末テスト〉

40-50点：以下の条件を満たしたうえで到達目標を達成できたと認められる場合

30-39点：以下の条件を満たしたうえで、明確な論点の提示、論理的な論述がなされている場合

10-29点：授業内容の理解、概念の正しい使用が認められている場合

1-9点：不十分ながら最低限の理解と論点が提示されている場合

〈リアクションペーパー課題〉

8-10点：授業内容の十分な理解が認められ、自分の意見が自分の言葉で論理的に述べられている場合

5-7点：不十分ながら授業内容を理解していると認められる場合

1-4点：最低限の理解は認められる場合

【学生の意見等からの気づき】

- ・質疑応答の時間を増やす。
- ・アクティブラーニングの時間を増やす。

【Outline (in English)】

(Course outline)

What is modern society? How can we understand it? How does society affect individual lives? The aim of this course is to help students acquire the basic sociological concepts and terms, and to develop a beginning critical perspective on the structure of our modern society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to understand the basic issues, principles, and approaches of sociology.

(Learning activities outside of classroom)

Since materials such as resumes and reference materials are distributed in advance, grasp the content of the lesson as a preparatory lesson and review it after the lesson.

・Two hours of advanced study: study concepts and read textbooks and references in advance.

・2 hours of post-course learning: Organize notes, look up textbooks, and read related literature.

(Grading Criteria /Policy)

Final exams (50%), preparation and review tasks (20%) and participation in biweekly group discussions (30%).

SOC100LA (社会学 / Sociology 100)

社会学Ⅱ

2017年度以降入学者

徐 玄九

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

担当教員の作成した教材を含む文献や映像資料を用いて、実際の社会現象を取り上げつつ講義形式を中心に学習を進める。また、学習内容の定着と応用を目的として、授業内で演習やコメント作成に取り組むことがある。受講生の提出物は、個人情報に留意したうえで適宜授業にフィードバックする。

【到達目標】

この授業では、社会学の基本的な概念や理論を学習するとともに、社会現象を構造と運動、ミクロとマクロの両面から考察する視点を学ぶ。さらに、「社会」の複層性に対する理解を深めつつ、社会的事柄の成り立ちを多角的に考察する視点の習得をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・対面授業で実施する。可能なかぎり双方向的な授業を心がける。とくに、テーマごとの関連性を重視しながら、具体的に身近なものから抽象的なものへと話題を進める。理解を深めるために、絵画や詩、映像資料などの教材も取り入れて視覚的な理解も図る。
- ・授業資料（PDF ファイル）はHoppiiで配布する。
- ・リアクションペーパー課題の提出を求める予定であり、課題等のフィードバックはHoppiiを通じて行う予定である。
- ・プレゼンテーショングループワークの時間を設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	家族の変容	Z・バウマン『リキッド・モダンティ』の一部講読
2	現代女性のライフコース	岩上真珠『ライフコースとジェンダーで読む家族』一部講読
3	個人化	Z・バウマン『個人化社会』一部講読
4	郊外（化）	東京近郊のベッドタウンの歴史と現状
5	自己の社会学	現代社会学におけるアイデンティティ論
6	現象学的社会学の視点	リアリティの変容
7	逸脱	犯罪社会学の視点
8	環境社会学の視点	公害
9	開発と自然	持続可能なエネルギー
10	少子高齢化と地域	「限界集落」の概念と実態
11	「福祉社会」	福祉社会論の歴史と現状
12	格差社会論	「ワーキングプア」の観点から
13	国際社会学の視点	国境を超える「日本社会」
14	「近代社会」の変容	Z・バウマン『リキッド・モダンティ』の一部講読

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、配布資料（レジュメ、文献資料、いずれもPDF形式）に基づき授業を進める。

【参考書】

大澤真幸（2019）『社会学史』講談社現代新書。
三上剛史（2010）『社会の思考—リスクと監視と個人化』学文社。
ジークムントバウマン（2001）森田典正訳『リキッド・モダンティ』大月書店。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50%）、平常点（50%）[リアクションペーパー20%＋プレゼンテーショングループワーク30%]
詳細な評価基準は以下の通りである。

〈期末テスト〉

40-50点：以下の条件を満たしたうえで到達目標を達成できたと認められる場合

30-39点：以下の条件を満たしたうえで、明確な論点の提示、論理的な論述がなされている場合

10-29点：授業内容の理解、概念の正しい使用が認められている場合

1-9点：不十分ながら最低限の理解と論点が提示されている場合

〈リアクションペーパー課題〉

8-10点：授業内容の十分な理解が認められ、自分の意見が自分の言葉で論理的に述べられている場合

5-7点：不十分ながら授業内容を理解していると認められる場合

1-4点：最低限の理解は認められる場合

【学生の意見等からの気づき】

- ・質疑応答の時間を増やす。
- ・アクティブラーニングの時間を増やす。

【Outline (in English)】

(Course outline)

What is modern society? How can we understand it? How does society affect individual lives? The aim of this course is to help students acquire the basic sociological concepts and terms, and to develop a beginning critical perspective on the structure of our modern society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to understand the basic issues, principles, and approaches of sociology.

(Learning activities outside of classroom)

Since materials such as resumes and reference materials are distributed in advance, grasp the content of the lesson as a preparatory lesson and review it after the lesson.

・Two hours of advanced study: study concepts and read textbooks and references in advance.

・2 hours of post-course learning: Organize notes, look up textbooks, and read related literature.

(Grading Criteria /Policy)

Final exams (50%), preparation and review tasks (20%) and participation in biweekly group discussions (30%).

SOC100LA (社会学 / Sociology 100)

社会学 I

2017年度以降入学者

高橋 徹

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

履修する学生は、現代の社会について考えるための「考え方」、社会学の考え方の基礎となる概念や社会学に特有な視点を学びます。そのうえで、履修する学生が、現代の社会について、何か問題があると気づき、その問題について、自分なりに考えていくことを目的とします。

【到達目標】

履修する学生は、まず社会学の基礎的な概念を学びます。次に、社会学の重要な概念のひとつである「コミュニケーション」について考えることを通して、現代の社会を感じ、考える方法を学びます。最後に、自分自身の独自の「題材」を使って、現代の社会について、コミュニケーションという側面から考え、レポートとしてまとめるという課題に取り組みます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、全てリアルタイム配信型オンライン授業の形態で実施の予定です。Hoppii～学習支援システムを使って資料配付＋ZOOMでの講義＋ワードファイルによる課題の提出という形になる予定です。提出された課題については、可能な範囲で、後日の授業内でフィードバックする予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	社会について考えるための準備をします。
第2回	社会を感じる	社会の中の「現実」というものについて考えます。
第3回	社会を感じる その2	社会の中の「私」というものについて考えます。
第4回	コミュニケーション論1	社会学の基礎概念であるコミュニケーションという概念について考えます。
第5回	コミュニケーション論2	人間のコミュニケーションの特徴について考えます。
第6回	コミュニケーション論3	ことばというメディアの特徴について考えます。
第7回	メディアの歴史 その1	文字というメディアが、社会にどのような影響を与えたのかを考えます。
第8回	メディアの歴史 その2	文字というメディアが、社会にどのような影響を与えたのかを、さらに深く考えます。
第9回	メディアの歴史 その3	活字というメディアが、社会にどのような影響を与えたのかを考えます。
第10回	メディアの歴史 その4	活字というメディアが、社会にどのような影響を与えたのかを、さらに深く考えます。
第11回	メディアの歴史 その5	映像というメディアが、社会にどのような影響を与えたのかを考えます。
第12回	メディアの歴史 その6	電子メディアが、社会にどのような影響を与えたのかを考えます。
第13回	現代の社会について考える1	スポーツを題材として、ここまでの考察を振り返り、現代の社会について考えてみます。
第14回	現代の社会について考える2	ここまでの授業をふりかえり、今後の課題を確認します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は、準備時間は不要ですが、復習時間は各回につき4時間を標準とします。復習時間には下記のような課題に取り組みます。課題の詳細は、授業内に説明します。

1-3 学生は「社会的なもの」について考えます

4 自分が社会について考えるための題材を決めます

5-6 自分が題材とするものを、コミュニケーションとして考えます

7-12 自分が題材とするものとメディアとの関係を考えます

13. 学生は自分にとって、スポーツはどういうものなのかを考えます

14. 学生はここまで自分が考えたことをまとめます

【テキスト（教科書）】

使用しません

【参考書】

野村一夫『社会学の作法・初級編』1995年

https://www.socius.schule/p/blog-page_16.html

【成績評価の方法と基準】

授業への参加状況（50％）、および期末レポート（50％）で評価します。期末レポートは、社会学という考え方の理解度、題材と考察のオリジナリティを評価します。

【学生の意見等からの気づき】

「コミュニケーションに関する話をしているのに、コミュニケーションが取れていない」という意見をいただきました。ご指摘の通りと思います。なお、この授業では、「コミュニケーションは難しいね」ということに関する話をしていきますので、まずはこの点をしっかりコミュニケーションできるように、改善したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

(1) 資料配布、その他の連絡等のために学習支援システムとZOOMアプリを利用しますので、事前に登録を済ませて、使いがってを試しておいて下さい。(2) リモート授業に対応できる、信頼できる通信環境を整えておいてください。(3) 可能であれば、リモート授業に対応できる、余力のあるPCを用意してください。(4) マイクロソフト・オフィス（ワードとパワーポイント）を使えるように準備を済ませておいてください。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students learn 'way of thinking' to think about contemporary society. Students are aware of the problems of modern society and think about themselves on their own.

Learning Objectives: The goals of this course are to think about modern society from the aspect of communication and summarize it in a report. Learning activities outside of classroom: Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria / Policies: Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination (reports): 50%, in class contribution: 50%

SOC100LA (社会学 / Sociology 100)

社会学Ⅱ

2017年度以降入学者

高橋 徹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

履修する学生は、現在の社会について社会学の方法を使って考えます。履修する学生が、自分が生きている社会の問題について、じっくりと考えて、解決方法を考えることを目的とします。

【到達目標】

履修する学生は、まず現代の社会と密接な関係を持っている資本主義のシステムとメディアの働きについて学びます。次に、以上の学びを活用して、自分自身の独自の「題材」を使って、現在の社会について考え、レポートとしてまとめるという課題に取り組みます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、全てリアルタイム配信型オンライン授業の形態で実施の予定です。Hoppii～学習支援システムを使って資料配付＋ZOOMでの講義＋ワードファイルによる課題の提出という形になる予定です。提出された課題については、可能な範囲で、後日の授業内でフィードバックする予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	現代社会と資本主義のシステム（1）	現在の社会について考えるための準備をします。
2	現代社会と資本主義のシステム（2）	現在の社会が、いつごろ、どのように始まったのかを考えます。
3	現代社会と資本主義のシステム（3）	現在の社会が、日本では、どのように始まったのかを考えます。
4	現代社会と資本主義のシステム（4）	現代の社会を生きる人の特徴について考えます。
5	現代社会と資本主義のシステム（5）	現代の社会における限界問題について考えます。
6	現代社会とメディアの働き（1）	現代社会におけるメディアの働きについて学びます。
7	現代社会とメディアの働き（2）	現代社会におけるメディアの働きを分析する手法について学びます。
8	現代社会とメディアの働き（3）	メディアの働きを分析するために映像と音響の効果について学びます。
9	現代社会とメディアの働き（4）	メディアの働きを分析するために、物語論を学びます。
10	現代社会とメディアの働き（5）	物語論を使ったメディアの分析を学びます。
11	現代社会の課題（1）	ナショナリズムとメディアの関係について考えます。
12	現代社会の課題（2）	身体の問題とメディアの関係について考えます。
13	現代社会の課題（3）	地域の問題とメディアの関係について考えます。
14	まとめ	ここまでの授業をふりかえり、今後の課題を確認します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は、準備時間は不要ですが、復習時間は4時間を標準とします。復習時間には下記のような課題に取り組みます。課題の詳細は、授業内に説明します。

- 1 学生は、自分が「現在の社会」を感じるための題材を探し、決定します
- 2-5 自分が「現在の社会」を感じる題材について調べ、文章にまとめます
- 6 自分が題材としたものに関連する、メディア・テキストを探します
- 7-10 自分が題材としたものに関連する、メディア・テキストを分析します
- 11 自分が題材としたものと、ナショナリズムとの関係を考えます
- 12 自分にとって、身体はどういうものなのかを考えます
- 13 自分にとって、地域社会はどういうものなのかを考えます
- 14 学生は、あらためて現在の社会とは何なのか考えます

【テキスト（教科書）】

使用しません

【参考書】

見田宗介『現代社会の理論』岩波新書（1996年）

【成績評価の方法と基準】

授業への参加状況（50％）、および期末レポート（50％）で評価します。期末レポートは、社会学という考え方の理解度、題材と考察のオリジナリティを評価します。

【学生の意見等からの気づき】

「この授業を聴いていると友達が減るような気がする」という意見をいただきました。ご指摘の通りだと思います。私自身も、友達は少ないです。私たちが生きている社会について、一緒に考えることができる友達を増やす方法について考えることも、今後の課題としたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

(1) 資料配布、その他の連絡等のために学習支援システムとZOOMアプリを利用しますので、事前に登録を済ませて、使いがたを試しておいてください。(2) リモート授業に対応できる、信頼できる通信環境を整えておいてください。(3) 可能であれば、リモート授業に対応できる、余力のあるPCを用意してください。(4) マイクロソフト・オフィス（ワードとパワーポイント）をえるように準備を済ませておいてください。

【Outline (in English)】

Course outline : The aim of this course is to help students think about the current society using sociological methods.

Students discover problems and think about solutions about the society in which they live

Learning Objectives : The goals of this course are to think about modern society from the aspect of the media works and summarize it in a report.

Learning activities outside of classroom : Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria /Policies : Final grade will be calculated according to the following process Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination (reports) : 50%、in class contribution: 50%

SOC100LA (社会学 / Sociology 100)

社会学 I

2017年度以降入学者

徐 玄九

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

担当教員の作成した教材を含む文献や映像資料を用いて、実際の社会現象を取り上げつつ講義形式を中心に学習を進める。また、学習内容の定着と応用を目的として、授業内で演習やコメント作成に取り組むことがある。受講生の提出物は、個人情報に留意したうえで適宜授業にフィードバックする。

【到達目標】

この授業では、社会学の基本的な概念や理論を学習するとともに、社会現象を構造と運動、ミクロとマクロの両面から考察する視点を学ぶ。さらに、「社会」の複層性に対する理解を深めつつ、社会的事柄の成り立ちを多角的に考察する視点の習得をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・対面授業で実施する。可能なかぎり双方向的な授業を心がける。とくに、テーマごとの関連性を重視しながら、具体的に身近なものから抽象的なものへと話題を進める。理解を深めるために、絵画や詩、映像資料などの教材も取り入れて視覚的な理解も図る。
- ・授業資料（PDF ファイル）はHoppiiで配布する。
- ・リアクションペーパー課題の提出を求める予定であり、課題等のフィードバックはHoppiiを通じて行う予定である。
- ・プレゼンテーショングループワークの時間を設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	社会学とはどのような学問か？	授業概要、成績評価基準の説明
2	社会変動	所与としての秩序から作為としての秩序への変化をフランス革命を例に学ぶ
3	消費社会	J・ボードリヤール『消費社会の神話と構造』の一部講読
4	情報社会	D・ライアン『監視社会』を参照しながら情報社会の二面性を理解する
5	メディア論の視点	吉見俊哉『メディア文化論』の一部講読
6	都市社会学	空間の社会学
7	社会運動	1968年の学生運動を事例に社会的意義を学ぶ
8	社会問題	現象の分節化・「問題」化
9	対抗文化	1960年代のサブカルチャーを取り上げる
10	対抗文化	1980年代のサブカルチャーを取り上げる
11	「歴史社会学」の視点	M・ヴェーバー『宗教社会学論集』の一部講読
12	階層	格差社会の構造
13	ネーション（民族、国民）	ナショナリズムのパラドックス

14 政治社会学の視点 M・ウェーバー『職業としての政治』の一部講読

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、配布資料（レジュメ、参考文献の抜粋）を使用する。

【参考書】

大澤真幸（2019）『社会学史』講談社現代新書。
ジグムント・バウマン（2016）奥井智之訳『社会学の考え方〔第2版〕』ちくま学芸文庫。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50%）、平常点（50%）[リアクションペーパー 20% + プレゼンテーショングループワーク 30%]

詳細な評価基準は以下の通りである。

〈期末テスト〉

40-50点：以下の条件を満たしたうえで到達目標を達成できたと認められる場合

30-39点：以下の条件を満たしたうえで、明確な論点の提示、論理的な論述がなされている場合

10-29点：授業内容の理解、概念の正しい使用が認められている場合

1-9点：不十分ながら最低限の理解と論点が提示されている場合

〈リアクションペーパー課題〉

8-10点：授業内容の十分な理解が認められ、自分の意見が自分の言葉で論理的に述べられている場合

5-7点：不十分ながら授業内容を理解していると認められる場合

1-4点：最低限の理解は認められる場合

【学生の意見等からの気づき】

- ・質疑応答の時間を増やす。
- ・アクティブラーニングの時間を増やす。

【Outline (in English)】

(Course outline)

What is modern society? How can we understand it? How does society affect individual lives? The aim of this course is to help students acquire the basic sociological concepts and terms, and to develop a beginning critical perspective on the structure of our modern society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to understand the basic issues, principles, and approaches of sociology.

(Learning activities outside of classroom)

Since materials such as resumes and reference materials are distributed in advance, grasp the content of the lesson as a preparatory lesson and review it after the lesson.

・Two hours of advanced study: study concepts and read textbooks and references in advance.

・2 hours of post-course learning: Organize notes, look up textbooks, and read related literature.

(Grading Criteria /Policy)

Final exams (50%), preparation and review tasks (20%) and participation in biweekly group discussions (30%).

SOC100LA (社会学 / Sociology 100)

社会学Ⅱ

2017年度以降入学者

徐 玄九

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火5/Tue.5

単位数: 2単位

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

担当教員の作成した教材を含む文献や映像資料を用いて、実際の社会現象を取り上げつつ講義形式を中心に学習を進める。また、学習内容の定着と応用を目的として、授業内で演習やコメント作成に取り組むことがある。受講生の提出物は、個人情報に留意したうえで適宜授業にフィードバックする。

【到達目標】

この授業では、社会学の基本的な概念や理論を学習するとともに、社会現象を構造と運動、ミクロとマクロの両面から考察する視点を学ぶ。さらに、「社会」の複層性に対する理解を深めつつ、社会的事柄の成り立ちを多角的に考察する視点の習得をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

- ・対面授業で実施する。可能なかぎり双方向的な授業を心がける。とくに、テーマごとの関連性を重視しながら、具体的に身近なものから抽象的なものへと話題を進める。理解を深めるために、絵画や詩、映像資料などの教材も取り入れて視覚的な理解も図る。
- ・授業資料 (PDF ファイル) は Hoppii で配布する。
- ・リアクションペーパー課題の提出を求める予定であり、課題等のフィードバックは Hoppii を通じて行う予定である。
- ・プレゼンテーショングループワークの時間を設ける。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	家族の変容	Z・パウマン『リキッド・モダニティ』の一部講読
2	現代女性のライフコース	岩上真珠『ライフコースとジェンダーで読む家族』一部講読
3	個人化	Z・パウマン『個人化社会』一部講読
4	郊外 (化)	東京近郊のベッドタウンの歴史と現状
5	自己の社会学	現代社会学におけるアイデンティティ論
6	現象学的社会学の視点	リアリティの変容
7	逸脱	犯罪社会学の視点
8	環境社会学の視点	公害
9	開発と自然	持続可能なエネルギー
10	少子高齢化と地域	「限界集落」の概念と実態
11	「福祉社会」	福祉社会論の歴史と現状
12	格差社会論	「ワーキングプア」の観点から
13	国際社会学の視点	国境を超える「日本社会」
14	「近代社会」の変容	Z・パウマン『リキッド・モダニティ』の一部講読

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

教科書は使用せず、配布資料 (レジュメ、文献資料、いずれも PDF 形式) に基づき授業を進める。

【参考書】

大澤真幸 (2019)『社会学史』講談社現代新書。
三上剛史 (2010)『社会の思考—リスクと監視と個人化』学文社。
ジークムント・パウマン (2001) 森田典正訳『リキッド・モダニティ—』大月書店。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト (50%)、平常点 (50%) [リアクションペーパー 20% + プレゼンテーショングループワーク 30%]
詳細な評価基準は以下の通りである。

〈期末テスト〉

40-50点: 以下の条件を満たしたうえで到達目標を達成できたと認められる場合

30-39点: 以下の条件を満たしたうえで、明確な論点の提示、論理的な論述がなされている場合

10-29点: 授業内容の理解、概念の正しい使用が認められている場合

1-9点: 不十分ながら最低限の理解と論点が提示されている場合

〈リアクションペーパー課題〉

8-10点: 授業内容の十分な理解が認められ、自分の意見が自分の言葉で論理的に述べられている場合

5-7点: 不十分ながら授業内容を理解していると認められる場合

1-4点: 最低限の理解は認められる場合

【学生の意見等からの気づき】

- ・質疑応答の時間を増やす。
- ・アクティブラーニングの時間を増やす。

【Outline (in English)】

(Course outline)

What is modern society? How can we understand it? How does society affect individual lives? The aim of this course is to help students acquire the basic sociological concepts and terms, and to develop a beginning critical perspective on the structure of our modern society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to understand the basic issues, principles, and approaches of sociology.

(Learning activities outside of classroom)

Since materials such as resumes and reference materials are distributed in advance, grasp the content of the lesson as a preparatory lesson and review it after the lesson.

・Two hours of advanced study: study concepts and read textbooks and references in advance.

・2 hours of post-course learning: Organize notes, look up textbooks, and read related literature.

(Grading Criteria /Policy)

Final exams (50%), preparation and review tasks (20%) and participation in biweekly group discussions (30%).

SOC100LA (社会学 / Sociology 100)

社会学 I

2017年度以降入学者

服部 あさこ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

担当教員の作成した教材を含む文献や映像資料を用いて、実際の社会現象を取り上げつつ講義形式を中心に学習を進める。また、学習内容の定着と応用を目的として、授業内で演習やコメント作成に取り組むことがある。受講生の提出物は、個人情報に留意したうえで適宜授業にフィードバックする。

【到達目標】

この授業では、社会学の基本的な概念や理論を学習するとともに、社会現象を構造と運動、ミクロとマクロの両面から考察する視点を学ぶ。さらに、「社会」の複層性に対する理解を深めつつ、社会的事柄の成り立ちを多角的に考察する視点の習得をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には対面とし、状況によっては、リアルタイムでのオンライン授業を行う。現在の社会現象に対して、バズセッションの実施や短時間で取り組めるリアクションペーパーの提出を求めることがある。リアクションペーパーに関しては、次回以降の授業内で、全体の傾向の報告や、他の学生の学習のヒントになるものを取りあげて解説する等のフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション、社会学への導入	社会学とはどのような学問か？
2	社会変動1	近代という「謎」の発見
3	社会問題1	集団へのアプローチ
4	社会問題2	規範と価値
5	理論的整理	行為と合理性
6	社会変動2	個へのアプローチ
7	歴史社会学の視点	合理性と社会変動
8	社会集団1	地位と役割
9	社会集団2	社会化理論
10	「自己」の社会学1	近代的個人
11	「自己」の社会学2	社会性の発達
12	政治社会学の視点1	闘争、疎外
13	政治社会学の視点2	国家、国民、民族
14	総括、社会分析の精緻化	社会のとらえ方の変遷

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。復習として、配布資料を読み、それまでに学習した社会学上の概念を用いて現象をどのように説明できるかを考え、簡潔なメモを作成します。予習として、次回の資料を読み、大まかな話の流れを把握します。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません

【参考書】

長谷川公一ほか編著、2007『社会学』有斐閣

友枝 敏雄ほか編著、2017『社会学の力－最重要概念・命題集』有斐閣

【成績評価の方法と基準】

リアクションペーパー等による平常点30%、期末試験70%

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】

資料配布、課題提出等のために学習支援システムを利用します。

【Outline (in English)】**【Outline (in English)】**

(Course outline)

The aim of this course is to help students acquire an ability of comprehend from various perspective about social phenomenon.

(Learning Objectives)

By the end of the course, students should be able to do the followings:

To be able to understand the basic concepts and theories of sociology.

To be able to examine social phenomena from both micro and macro perspectives.

To be able to deep their understanding of the multilayered nature of society and be able to understand the origins of social issues from multiple perspectives.

(Grading Criteria /Policy)

Your overall grade in the class will be decided based on the following :30%score for regular assignments (e.g. reaction paper), 70%score for test

SOC100LA (社会学 / Sociology 100)

社会学Ⅱ

2017年度以降入学者

服部 あさこ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

担当教員の作成した教材を含む文献や映像資料を用いて、実際の社会現象を取り上げつつ講義形式を中心に学習を進める。また、学習内容の定着と応用を目的として、授業内で演習やコメント作成に取り組むことがある。受講生の提出物は、個人情報に留意したうえで適宜授業にフィードバックする。

【到達目標】

この授業では、社会学の基本的な概念や理論を学習するとともに、社会現象を構造と運動、ミクロとマクロの両面から考察する視点を学ぶ。さらに、「社会」の複層性に対する理解を深めつつ、社会的な事柄について、多様な背景をもつ人々の視角を想像しながら考察する視点の習得をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には対面とし、状況によっては、リアルタイムでのオンライン授業を行う。現在の社会現象に関して、バズセッションの実施や短時間で取り組めるリアクションペーパーの提出を求めることがある。リアクションペーパーに関しては、次回以降の授業内で、全体の傾向の報告や、他の学生の学習のヒントになるものを取り上げて解説する等のフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション、基礎概念の確認	社会学の頻出概念の確認
2	社会秩序と権力1	社会秩序をめぐる問題提起と国家
3	社会秩序と権力2	社会秩序を維持するもの
4	日常生活の社会学1	行為と演技
5	日常生活の社会学2	やりとり秩序
6	現象学的社会学の視点	対象の認識と文化
7	国際社会学の視点	文化相対主義
8	構築主義	予言の自己成就
9	逸脱	ラベリング理論
10	法社会学の視点	犯罪と刑罰
11	格差社会論	社会階層と文化
12	貧困と社会的排除	人々を分断する制度の存在
13	教育と社会	学力と社会階層
14	総括、「近代社会」の変容	個人の主観の評価

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。復習として、配布資料を読み、それまでに学習した社会学上の概念を用いて現象をどのように説明できるかを考え、簡潔なメモを作成します。予習として、次回の資料を読み、大まかな話の流れを把握します。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

金菱清、2014『新 体感する社会学: Oh! My Sociology』新曜社
盛山和夫ほか編著、2017『社会学入門』ミネルヴァ書房

【成績評価の方法と基準】

リアクションペーパー等による平常点30%、期末試験70%

【学生の意見等からの気づき】

アンケートを実施していないためフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムまたは google classroomを利用します。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aim of this course is to help students acquire an ability of comprehending from various perspective about social phenomenon. Sometime students should submit short opinion essays. Good opinions will feedbacked in next time.

(Learning Objectives)

At the end of the course, students are expected to think multidimensionally about social issues. Based on that way of thinking, you will be able to respect others, especially those who are weak, and have an opinion that you think is good for yourself.

(Grading Criteria /Policy)

Your overall grade in the class will be decided based on the following :30%score for regular assignments (e.g. reaction paper), 70%score for tests

SOC100LA (社会学 / Sociology 100)

社会学 I

2017年度以降入学者

橋本 みゆき

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書を含む文献や映像資料を用いて、実際の社会現象を取り上げながら、講義形式を中心に学習を進める。また、学習内容の定着と応用を目的として、授業内で発言やコメント作成を行なう。提出物は、個人情報に留意したうえで授業に適宜フィードバックする。

【到達目標】

この授業では、社会学の基本的な概念や理論を学習するとともに、社会現象を構造と運動、ミクロとマクロの両面から考察する視点を学ぶ。さらに、「社会」の複層性に対する理解を深めつつ、社会的事柄の成り立ちを多角的に考察する視点の習得をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

オンライン授業（オンデマンド型）と対面授業を交互に行う。2回ワンセットで教科書を1章ずつ進め、半期で7セット繰り返す。初めの回は概説編である。授業時刻までに講義動画とパワーポイント配布資料等を教材としてアップロードするので、各自閲覧、視聴する。確認課題あり。次の回は発展編とし、教室で追加レクチャーを行うほか、受講生が相互に情報・意見交換するなどして理解を深める。課題に対しては次の回に、発言に対してはその場でフィードバックする。質問や意見があれば、対面授業の際に教員に直接申し出るか、メール連絡すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	理論と方法(1)	授業ガイダンス、テキスト第1章概説
2	理論と方法(2)	第1章発展編
3	文化と社会(1)	テキスト第2章概説
4	文化と社会(2)	第2章発展編
5	社会化と相互行為(1)	テキスト第3章概説
6	社会化と相互行為(2)	第3章発展編
7	集団と組織(1)	テキスト第4章概説
8	集団と組織(2)	第4章発展編
9	社会階層(1)	テキスト第6章概説
10	社会階層(2)	第6章発展編
11	人種とエスニシティ(1)	テキスト第7章概説
12	人種とエスニシティ(2)	第7章発展編
13	ジェンダーとセクシュアリティ(1)	テキスト第8章概説
14	ジェンダーとセクシュアリティ(2)	第8章発展編

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。
・テキストおよび参考文献、そのほか社会学者の書いた論文や本を各自で読む。

・社会学者の書いた文章や日々のニュースに日頃から目を通し、日常生活の中で遭遇する社会現象を注意深く観察する。

【テキスト（教科書）】

『社会学の基礎』松本康監修、小池靖・貞包英之編、有斐閣、2024年刊、2400円＋税。

またテーマごとにレジュメ、資料を配付する。

【参考書】

『はじまりの社会学——問いつづけるためのレッスン』奥村隆編、ミネルヴァ書房、2018年刊、3200円＋税。

『二世に聴く在日コリアンの生活文化』橋本みゆき編著、猿橋順子・高正子・柳蓮淑著、社会評論社、2021年刊、2800円＋税。

他は授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート50%＋平常点50%。

【学生の意見等からの気づき】

さまざまなテーマを「広く浅く」取り上げることで、受講生はそれぞれ関心ある題材に出会えるだろう。とはいえ、社会学のアプローチは常識的な見方と同じではない。物事の新しい見え方との出会いもあるかもしれない。

【その他の重要事項】

秋学期科目「社会学Ⅱ」は教科書の続きの章から始める。各章の内容は独立しているので、春学期のみの受講でも差し支えない。

【Outline (in English)】

This course introduces some viewpoints, basic concepts, and literature on sociology on various societal themes. The teaching method will include the use of textbooks, news articles on actual topics, and audio-visual materials. Participants will be expected to contribute to discussions in the class.

The goals of this courses are to understand terms and ways of thinking of sociology and to grow the sociological imagination.

After each class meeting, students will be expected to read the relevant chapter from the textbook, and other books, articles.

Your required study time is at least four hours for a class.

Final grade will be decided based on term-end report(50%), and in-class contribution(50%).

SOC100LA (社会学 / Sociology 100)

社会学Ⅱ

2017年度以降入学者

橋本 みゆき

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書を含む文献や映像資料を用いて、実際の社会現象を取り上げながら、講義形式を中心に学習を進める。また、学習内容の定着と応用を目的として、授業内で発言やコメント作成を行なう。提出物は、個人情報に留意したうえで授業に適宜フィードバックする。

【到達目標】

この授業では、社会学の基本的な概念や理論を学習するとともに、社会現象を構造と運動、ミクロとマクロの両面から考察する視点を学ぶ。さらに、「社会」の複層性に対する理解を深めつつ、社会的事柄の成り立ちを多角的に考察する視点の習得をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

オンライン授業（オンデマンド型）と対面授業を交互に行う。2回ワンセットで教科書を1章ずつ進め、半期で7セット繰り返す。初めの回は概説編である。授業時刻までに講義動画とパワーポイント配布資料等を教材としてアップロードするので、各自閲覧、視聴する。確認課題あり。次の回は発展編とし、教室で追加レクチャーを行うほか、受講生が相互に情報・意見交換するなどして理解を深める。課題に対しては次の回に、発言に対してはその場でフィードバックする。

質問や意見があれば、対面授業の際に教員に直接申し出るか、メール連絡すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業ガイダンス
	家族とライフコース	テキスト第9章概説
(1)		
2	家族とライフコース	第9章発展編
(2)		
3	宗教(1)	テキスト第10章概説
4	宗教(2)	第10章発展編
5	経済と労働(1)	テキスト第11章概説
6	経済と労働(2)	第11章発展編
7	政治と社会運動(1)	テキスト第12章概説
8	政治と社会運動(2)	第12章発展編
9	共同体と都市(1)	テキスト第13章概説
10	共同体と都市(2)	第13章発展編
11	情報化とメディア(1)	テキスト第14章概説
12	情報化とメディア(2)	第14章発展編
13	環境(1)	テキスト第15章概説
14	環境(2)	第15章発展編

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

- ・テキストおよび参考文献、そのほか社会学者の書いた論文や本を各自探して読む。
- ・社会学者の書いた文章や日々のニュースに日頃から目を通し、日常生活の中で遭遇する社会現象を注意深く観察する。

【テキスト（教科書）】

『社会学の基礎』松本康監修、小池靖・貞包英之編、有斐閣、2024年刊、2400円＋税。

またテーマごとにレジュメ、資料を配付する。

【参考書】

『はじまりの社会学——問いつづけるためのレッスン』奥村隆編、ミネルヴァ書房、2018年刊、3200円＋税。

『二世に聴く在日コリアンの生活文化』橋本みゆき編著、猿橋順子・高正子・柳蓮淑著、社会評論社、2021年刊、2800円＋税。

他は授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート50%＋平常点50%。

【学生の意見等からの気づき】

さまざまなテーマを「広く浅く」取り上げることで、受講生は関心をひかれる題材に出会うかもしれない。とはいえ、社会学のアプローチは常識的な見方と同じではない。物事の新しい見え方との出会いもおもしろいだろう。

【その他の重要事項】

春学期科目「社会学Ⅰ」の続き。教科書第9章から始める。各章は独立した内容なので、秋学期のみの受講でも差し支えない。

ただし、社会学そのものについて説明するプロローグは、開講前に読んでおくこと。

【Outline (in English)】

This course introduces some viewpoints, basic concepts, and literature on sociology on various societal themes. The teaching method will include the use of textbooks, news articles on actual topics, and audio-visual materials. Participants will be expected to contribute to discussions in the class.

The goals of this courses are to understand terms and ways of thinking of sociology and to grow the sociological imagination. After each class meeting, students will be expected to read the relevant chapter from the textbook, and other books, articles. Your required study time is at least four hours for a class.

Final grade will be decided based on term-end report(50%), and in-class contribution(50%).

SOC100LA (社会学 / Sociology 100)

社会学 I

2017年度以降入学者

徐 玄九

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

担当教員の作成した教材を含む文献や映像資料を用いて、実際の社会現象を取り上げつつ講義形式を中心に学習を進める。また、学習内容の定着と応用を目的として、授業内で演習やコメント作成に取り組むことがある。受講生の提出物は、個人情報に留意したうえで適宜授業にフィードバックする。

【到達目標】

この授業では、社会学の基本的な概念や理論を学習するとともに、社会現象を構造と運動、ミクロとマクロの両面から考察する視点を学ぶ。さらに、「社会」の複層性に対する理解を深めつつ、社会的事柄の成り立ちを多角的に考察する視点の習得をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・対面授業で実施する。可能なかぎり双方向的な授業を心がける。とくに、テーマごとの関連性を重視しながら、具体的に身近なものから抽象的なものへと話題を進める。理解を深めるために、絵画や詩、映像資料などの教材も取り入れて視覚的な理解も図る。
- ・授業資料（PDF ファイル）はHoppiiで配布する。
- ・リアクションペーパー課題の提出を求める予定であり、課題等のフィードバックはHoppiiを通じて行う予定である。
- ・プレゼンテーショングループワークの時間を設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	社会学とはどのような学問か？	授業概要、成績評価基準の説明
2	社会変動	所与としての秩序から作為としての秩序への変化をフランス革命を例に学ぶ
3	消費社会	J・ボードリヤール『消費社会の神話と構造』の一部講読
4	情報社会	D・ライアン『監視社会』を参照しながら情報社会の二面性を理解する
5	メディア論の視点	吉見俊哉『メディア文化論』の一部講読
6	都市社会学	空間の社会学
7	社会運動	1968年の学生運動を事例に社会的意義を学ぶ
8	社会問題	現象の分節化・「問題」化
9	対抗文化	1960年代のサブカルチャーを取り上げる
10	対抗文化	1980年代のサブカルチャーを取り上げる
11	「歴史社会学」の視点	M・ヴェーバー『宗教社会学論集』の一部講読
12	階層	格差社会の構造
13	ネーション（民族、国民）	ナショナリズムのパラドックス

14 政治社会学の視点 M・ウェーバー『職業としての政治』の一部講読

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、配布資料（レジュメ、参考文献の抜粋）を使用する。

【参考書】

大澤真幸（2019）『社会学史』講談社現代新書。
ジグムント・バウマン（2016）奥井智之訳『社会学の考え方〔第2版〕』ちくま学芸文庫。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50%）、平常点（50%）[リアクションペーパー 20% + プレゼンテーショングループワーク 30%]

詳細な評価基準は以下の通りである。

〈期末テスト〉

40-50点：以下の条件を満たしたうえで到達目標を達成できたと認められる場合

30-39点：以下の条件を満たしたうえで、明確な論点の提示、論理的な論述がなされている場合

10-29点：授業内容の理解、概念の正しい使用が認められている場合

1-9点：不十分ながら最低限の理解と論点が提示されている場合

〈リアクションペーパー課題〉

8-10点：授業内容の十分な理解が認められ、自分の意見が自分の言葉で論理的に述べられている場合

5-7点：不十分ながら授業内容を理解していると認められる場合

1-4点：最低限の理解は認められる場合

【学生の意見等からの気づき】

- ・質疑応答の時間を増やす。
- ・アクティブラーニングの時間を増やす。

【Outline (in English)】

(Course outline)

What is modern society? How can we understand it? How does society affect individual lives? The aim of this course is to help students acquire the basic sociological concepts and terms, and to develop a beginning critical perspective on the structure of our modern society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to understand the basic issues, principles, and approaches of sociology.

(Learning activities outside of classroom)

Since materials such as resumes and reference materials are distributed in advance, grasp the content of the lesson as a preparatory lesson and review it after the lesson.

・Two hours of advanced study: study concepts and read textbooks and references in advance.

・2 hours of post-course learning: Organize notes, look up textbooks, and read related literature.

(Grading Criteria /Policy)

Final exams (50%), preparation and review tasks (20%) and participation in biweekly group discussions (30%).

SOC100LA (社会学 / Sociology 100)

社会学Ⅱ

2017年度以降入学者

徐 玄九

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月1/Mon.1

単位数: 2単位

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

担当教員の作成した教材を含む文献や映像資料を用いて、実際の社会現象を取り上げつつ講義形式を中心に学習を進める。また、学習内容の定着と応用を目的として、授業内で演習やコメント作成に取り組むことがある。受講生の提出物は、個人情報に留意したうえで適宜授業にフィードバックする。

【到達目標】

この授業では、社会学の基本的な概念や理論を学習するとともに、社会現象を構造と運動、ミクロとマクロの両面から考察する視点を学ぶ。さらに、「社会」の複層性に対する理解を深めつつ、社会的事柄の成り立ちを多角的に考察する視点の習得をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

- ・対面授業で実施する。可能なかぎり双方向的な授業を心がける。とくに、テーマごとの関連性を重視しながら、具体的に身近なものから抽象的なものへと話題を進める。理解を深めるために、絵画や詩、映像資料などの教材も取り入れて視覚的な理解も図る。
- ・授業資料 (PDF ファイル) は Hoppii で配布する。
- ・リアクションペーパー課題の提出を求める予定であり、課題等のフィードバックは Hoppii を通じて行う予定である。
- ・プレゼンテーショングループワークの時間を設ける。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	家族の変容	Z・バウマン『リキッド・モダニティ』の一部講読
2	現代女性のライフコース	岩上真珠『ライフコースとジェンダーで読む家族』一部講読
3	個人化	Z・バウマン『個人化社会』一部講読
4	郊外 (化)	東京近郊のベッドタウンの歴史と現状
5	自己の社会学	現代社会学におけるアイデンティティ論
6	現象学的社会学の視点	リアリティの変容
7	逸脱	犯罪社会学の視点
8	環境社会学の視点	公害
9	開発と自然	持続可能なエネルギー
10	少子高齢化と地域	「限界集落」の概念と実態
11	「福祉社会」	福祉社会論の歴史と現状
12	格差社会論	「ワーキングプア」の観点から
13	国際社会学の視点	国境を超える「日本社会」
14	「近代社会」の変容	Z・バウマン『リキッド・モダニティ』の一部講読

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

教科書は使用せず、配布資料 (レジュメ、文献資料、いずれも PDF 形式) に基づき授業を進める。

【参考書】

大澤真幸 (2019)『社会学史』講談社現代新書。
三上剛史 (2010)『社会の思考—リスクと監視と個人化』学文社。
ジークムントバウマン (2001) 森田典正訳『リキッド・モダニティ—』大月書店。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト (50%)、平常点 (50%) [リアクションペーパー 20% + プレゼンテーショングループワーク 30%]
詳細な評価基準は以下の通りである。

〈期末テスト〉

40-50点: 以下の条件を満たしたうえで到達目標を達成できたと認められる場合

30-39点: 以下の条件を満たしたうえで、明確な論点の提示、論理的な論述がなされている場合

10-29点: 授業内容の理解、概念の正しい使用が認められている場合

1-9点: 不十分ながら最低限の理解と論点が提示されている場合

〈リアクションペーパー課題〉

8-10点: 授業内容の十分な理解が認められ、自分の意見が自分の言葉で論理的に述べられている場合

5-7点: 不十分ながら授業内容を理解していると認められる場合

1-4点: 最低限の理解は認められる場合

【学生の意見等からの気づき】

- ・質疑応答の時間を増やす。
- ・アクティブラーニングの時間を増やす。

【Outline (in English)】

(Course outline)

What is modern society? How can we understand it? How does society affect individual lives? The aim of this course is to help students acquire the basic sociological concepts and terms, and to develop a beginning critical perspective on the structure of our modern society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to understand the basic issues, principles, and approaches of sociology.

(Learning activities outside of classroom)

Since materials such as resumes and reference materials are distributed in advance, grasp the content of the lesson as a preparatory lesson and review it after the lesson.

・Two hours of advanced study: study concepts and read textbooks and references in advance.

・2 hours of post-course learning: Organize notes, look up textbooks, and read related literature.

(Grading Criteria /Policy)

Final exams (50%), preparation and review tasks (20%) and participation in biweekly group discussions (30%).

SOC100LA (社会学 / Sociology 100)

社会学 I

2017年度以降入学者

松下 優一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、社会学の基本的な概念や視点・論点などについて学ぶ。社会学の諸領域を入門的に概観し、社会学的考察のためのポイント（着眼点や研究方法など）について知るとともに、自ら具体的な現象を分析・考察していくための社会学的思考力を養う。

【到達目標】

- ・社会学の基本的な概念や理論について理解し、その意味を説明できる。
- ・具体的な事象（社会現象）を取り上げ、その複層性を観察しつつ、社会学的に考察できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回教員作成の資料を配布し、講義形式で授業を進める。その際、適宜新聞記事や書籍や映像資料等を用いて、社会現象に対する観察や理解に努める。学習内容の定着と応用を目的として、授業内で小課題（コメント作成等）に取り組んでもらう。受講生の提出物については、基本的に次回授業の冒頭で、いくつかピックアップするかたちでフィードバックし、全体で知見の共有を図る。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	社会学とは？	授業概要および社会学という学問分野について説明する。
第2回	社会変動	近代化論を中心に、社会構造と社会変動の捉え方について学ぶ。
第3回	消費社会	映像作品を通じて、消費社会の諸相について考える。
第4回	情報社会	基本的なマスメディアの理論を概観しつつ、情報と社会の関係について考える。
第5回	メディア論の視点	マクルーハンのメディア論を概観しつつ、メディアと社会の重層の関係について考える。
第6回	都市とは、いかなる社会空間であるのか	都市社会学の基本的観点について学ぶ。
第7回	社会運動	社会運動の事例を取り上げ、そのありようについて学ぶ。
第8回	社会問題	社会問題が「社会問題」として問題化される過程について考える。
第9回	対抗文化（1）	映像作品を通じて、文化とその担い手の関係、そこに現れる対抗性について考える。
第10回	対抗文化（2）	ウィリス『ハマータウンの野郎ども』をテキストに、対抗文化について理解を深める。
第11回	歴史社会学の視点	アルヴァックスの集合的記憶論を中心に、社会は何をどのように記憶（記念）するか考える。

第12回	階層	社会階層論の基本概念について学ぶ。
第13回	ネーション	エスニシティ、ナショナリズムについて。
第14回	政治社会学の視点	支配とその正当性の問題を中心に。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。配布資料や関連文献等を読み込むとともに、関連するテーマについて調べ、自分なりに理解を深めてください。

【テキスト（教科書）】

特に指定しない。

【参考書】

長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志『社会学〔新版〕』有斐閣、2019年。その他、随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】

各回の提出物（60％）＋期末課題（40％）。
観察の鋭さ、記述の具体性、洞察の深さ等に加点します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

[Course outline]

This course introduces students to the key concepts of sociology and basic sociological approaches.

[Learning Objectives]

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- understand basic approaches and keywords of sociology.
- think about contemporary issues from the sociological perspectives.

[Learning activities outside of classroom]

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

[Grading Criteria/Policy]

Grading will be decided based on Short reports (60%) and Term-end report (40%) .

SOC100LA (社会学 / Sociology 100)

社会学Ⅱ

2017年度以降入学者

松下 優一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、社会学の基本的な概念や視点・論点などについて学ぶ。社会学の諸領域を入門的に概観し、社会学的考察のためのポイント（着眼点や研究方法など）について知るとともに、自ら具体的な現象を分析・考察していくための社会学的思考力を養う。

【到達目標】

・社会学の基本的な概念や理論について理解し、その意味を説明できる。
・具体的な事象（社会現象）を取り上げ、その複層性を観察しつつ、社会学的に考察できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回教員作成の資料を配布し、講義形式で授業を進める。その際、適宜新聞記事や書籍や映像資料等を用いて、社会現象に対する観察や理解に努める。学習内容の定着と応用を目的として、授業内で小課題（コメント作成等）に取り組んでもらう。受講生の提出物については、基本的に次回授業の冒頭で、いくつかピックアップするかたちでフィードバックし、全体で知見の共有を図る。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	家族	近代家族の特徴、その歴史・社会的条件、その変容について。
第2回	ライフコース	女性のライフコースの変化を中心に。
第3回	個人化	個人化の諸相とその歴史・社会的条件について。
第4回	郊外	「郊外」という社会空間の特徴について。
第5回	自己の社会学	ミードの自己論を中心に、自己の成立条件としての他者との相互作用について考える。
第6回	現象学的社会学の視点	シュッツの生活世界論を中心に。
第7回	逸脱	ベッカーのラベリング理論を中心に。
第8回	環境社会学（1）	公害病について取り上げ、環境と社会の重層的関係について考える。
第9回	環境社会学（2）	野生動物をめぐる問題を中心に、開発と自然、「野生」と社会の境界について考える。
第10回	少子高齢化と地域	社会の存続可能性、あるいは「社会の消滅」について考える。
第11回	福祉社会	「良き生」とその社会的条件について考える。
第12回	格差社会	格差拡大は何をもたらすのか。
第13回	国際社会学の視点	移民、あるいは多文化共生空間としての社会について。

第14回 後期近代を生きる まとめと補足

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
配布資料や関連文献等を読み込むとともに、関連するテーマについて調べ、自分なりに理解を深めてください。

【テキスト（教科書）】

特に指定しない。

【参考書】

長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志『社会学〔新版〕』有斐閣、2019年。その他、随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】

各回の提出物（60％）＋期末課題（40％）。
観察の鋭さ、記述の具体性、洞察の深さ等に加点します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

[Course outline]

This course introduces students to the key concepts of sociology and basic sociological approaches.

[Learning Objectives]

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- understand basic approaches and keywords of sociology.
- think about contemporary issues from the sociological perspectives.

[Learning activities outside of classroom]

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

[Grading Criteria/Policy]

Grading will be decided based on Short reports (60%) and Term-end report (40%) .

POL100LA (政治学 / Politics 100)

政治学 I

2017年度以降入学者

及川 智洋

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

政治学の基本的概念と政治制度を習得するための講義を行う。

【到達目標】

政治学の基本概念と政治制度に関する基本的知識を習得すること、政治について考え、判断できる能力の獲得を目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原則として教室での対面授業を予定するが、都合によりオンラインまたはオンデマンド授業に変更する場合がある。対面授業ではレクチャーとディスカッションを併用する。課題や小レポート等の提出、及びその講評・解説等のフィードバックも、教室での対面と学習支援システムの双方を通じて行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	講義の概要について説明する
2	政治学の対象としての政治	政治学の対象・概念・分析方法の多様性についての講義
3	政治的思考法	政治的リアリズムの特徴についての講義
4	権力	権力に関するさまざまな見方についての講義
5	権力と統治	統治に関する政治論についての講義
6	国家	近代国家から現代国家への変容についての講義
7	近代立憲主義	国家の権力と立憲制度の関係についての講義
8	政治体制	民主主義体制と非民主主義体制についての講義
9	選挙	政治的リーダーの選出とさまざまな選挙制度についての講義
10	議会	立法過程についての講義
11	官僚機構と中央政府	政策実施についての講義
12	裁判所	司法と政治の関係についての講義
13	政治と経済	経済と政治の相互作用についての講義
14	総括	授業内容を振り返り、到達点と今後の課題の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。課題と予習復習については授業ごとに指示する。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。

【参考書】

『政治学 第2版』（川出良枝・谷口将記）東京大学出版会、2022年、2200円＋税

『政治のしくみがわかる本』（山口二郎）岩波ジュニア新書、2009年、780円＋税

『戦後政治史 第四版』（石川真澄、山口二郎）岩波新書、2021年、1040円＋税

『民主主義とは何か』宇野重規 講談社現代新書、2020年、1034円（税込）

【成績評価の方法と基準】

期末試験および学期途中で行う2回前後の小課題によって評価を決める。試験が75%、小課題および平常点が25%とする。評価基準としては、政治学の基本概念と政治制度を中心にした授業の理解度、思考力、論述力を重視する。

【学生の意見等からの気づき】

政治学への理解を深めるために、受講生の持つ政治上の関心事項について聞いたうえで、できるだけ時事的な政治問題との関連も例示するようにする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムおよびオンライン・オンデマンド授業に対応できる情報端末。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

In this course, we will learn the basic concepts in political science and the political institutions.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to learn basic concepts of political science and basic knowledge of political systems, and to acquire the ability to think and judge politics.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 75%、Short reports : 25%

POL100LA (政治学 / Politics 100)

政治学Ⅱ

2017年度以降入学者

及川 智洋

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

政治学の概念を用いた日本政治の分析を、他の先進国と比較しながら講義形式で行う。

【到達目標】

政治学の概念を用いて日本の政治の分析を行い、日本の政治に関する基本知識を習得し、政治学の概念に関する理解を深めることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原則として教室での対面授業を予定するが、都合によりオンラインまたはオンデマンド授業に変更する場合がある。対面授業ではレクチャーとディスカッションを併用する。課題や小レポート等の提出、及びその講評・解説等のフィードバックは対面と学習支援システムの双方を使って行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	講義の概要について説明する
2	敗戦と占領	敗戦による体制移行論についての講義
3	戦後憲法の制定	新憲法の特徴、およびその制定の政治過程についての講義
4	冷戦	国際的環境としての冷戦の特徴についての講義
5	安保闘争	選挙以外の市民の政治行動が政治に及ぼした影響とその意義についての講義
6	自民党政治	日本における経済成長と利益配分を軸にした政治についての講義
7	アジアの冷戦と沖縄	沖縄を巡る政治についての講義
8	多党化	高度成長による社会の変化と多党化についての講義
9	新冷戦と日米同盟	「安保」から「日米同盟」への移行についての講義
10	冷戦の終結	冷戦終結後の国際政治の世界についての講義
11	政治改革と新自由主義	政治改革と新自由主義による「小さな政府」志向についての講義
12	福祉政治	社会保障をめぐる政治についての講義
13	東アジアの国際政治と国内政治	国際環境の変化・領土問題と国内政治の相互作用についての講義
14	総括	授業内容を振り返り、到達点と今後の課題の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。課題と予習復習については授業ごとに指示する。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。

【参考書】

『政治学 第2版』（川出良枝・谷口将記）東京大学出版会、2022年、2200円＋税

『政治のしくみがわかる本』（山口二郎）岩波ジュニア新書、2009年、定価780円＋税

『戦後政治史 第4版』（石川真澄、山口二郎）岩波新書、2021年、定価1040円＋税

『民主主義とは何か』宇野重規 講談社現代新書、2020年 1034円（税込）

【成績評価の方法と基準】

期末試験および学期途中で行う2回前後の小課題によって評価を決める。試験が75%、小課題が25%とする。期末試験は状況によってオンラインでのレポート提出で代替する場合がある。評価基準としては、政治学の基本概念と政治制度を中心にした授業の理解度、思考力、論述力を重視する。

【学生の意見等からの気づき】

政治学への理解を深めるために、受講生の持つ政治上の関心事項について聞きたいうえで、できるだけ時事的な政治問題との関連も例示するようにする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムおよびオンライン・オンデマンド授業に対応できる情報端末。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

In this course, we will analyze Japanese politics by applying the concepts in political science.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to analyze Japanese politics using political science concepts, acquire basic knowledge of Japanese politics, and deepen understanding of political science concepts.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 75%、Short reports : 25%.

POL100LA (政治学 / Politics 100)

政治学 I

2017年度以降入学者

崔 先鎬

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

政治学の基本的概念と政治制度に関する講義を行います。

【到達目標】

政治学の基本概念と政治制度に関する基本的知識を習得すること、政治について考え・判断できる能力の獲得を目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業内・教科書内で紹介した様々な政治学用語を丁寧に読むこと。(授業中はパワーポイント画面だけに頼らず、必要なところは筆記しましょう。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う予定です。なお、提出された課題等における良い内容は、次の授業の更なる議論に活かす予定です。)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	イントロダクション	講義の概要について説明する
第二回	政治学の対象としての政治	政治学の対象・概念・分析方法の多様性についての講義
第三回	政治的思考法	政治的リアリズムの特徴についての講義
第四回	権力	権力に関するさまざまな見方についての講義
第五回	権力と統治	ミシェル・フーコーの政治論についての講義
第六回	国家	近代国家から現代国家への変容についての講義
第七回	近代立憲主義	国家の権力を縛る意味についての講義
第八回	政治体制	民主主義体制と非民主主義体制についての講義
第九回	選挙	政治的リーダーの選出とさまざまな選挙制度についての講義
第十回	議会	立法過程についての講義
第十一回	官僚機構と中央政府	政策実施についての講義
第十二回	裁判所	司法と政治の関係についての講義
第十三回	政治と経済	経済と政治の相互作用についての講義
第十四回	総括	授業内容を振り返り、到達点と今後の課題の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】川崎修・杉田敦 編 『現代政治理論』、東京、有斐閣、2013年
杉田敦 著 『政治的思考』、東京、岩波書店(岩波新書1402)、2014年**【参考書】**R.A. ダール、高島通敏訳 『現代政治分析』、東京、岩波書店、1999年
佐々木毅 『政治学講義』、東京、東京大学出版会、1999年

南原繁 『政治哲学序説』、東京、岩波書店、1988年

【成績評価の方法と基準】受講態度(=手書きのレポートなどの提出物、40%)+試験(60%)
(上記の何も学習支援システムで対応する場合がある。)**【学生の意見等からの気づき】**

この分野に関わる内容を扱いながら蓄えた論理的思考をもとに、今後自分の専門分野に応用し実践していくことができると思います。

【学生が準備すべき機器他】

ノート・教科書

【その他の重要事項】授業内容の録画・録音・写真撮影は絶対に行わないこと。
(授業中の電子機器の使用禁止。スマホはカバンの中に仕舞うこと。)
試験時に黒の油性ボールペンを必ず用意すること。**【Outline (in English)】****【Course outline】**

In this course, we will learn the basic concepts in political science and the political institutions.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to learn basic concepts of political science and basic knowledge of political systems, and to acquire the ability to think and judge politics.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%、in class contribution: 40%

POL100LA (政治学 / Politics 100)

政治学Ⅱ

2017年度以降入学者

崔 先鎬

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

政治学の概念を用いた日本政治の分析を、他の先進国との比較しながら講義形式で行います。

【到達目標】

政治学の概念を用いて日本の政治の分析を行い、日本の政治に関する基本知識を習得し、政治学の概念に関する理解を深めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業内・教科書内で紹介した様々な政治学用語を丁寧に読むこと。（授業中はパワーポイント画面だけに頼らず、必要なところは筆記しましょう。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う予定です。なお、提出された課題等における良い内容は、次の授業の更なる議論に活かす予定です。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	イントロダクション	講義の概要について説明する
第二回	敗戦と占領	敗戦による体制移行論についての講義
第三回	戦後憲法の制定	ドイツ・イタリアと比較した憲法制定の政治についての講義
第四回	冷戦	国際的環境としての冷戦の特徴についての講義
第五回	安保闘争	街頭の政治の意義についての講義
第六回	自民党政治	日本における「生産性に政治」と「抑制による政治」についての講義
第七回	アジアの冷戦と沖縄	沖縄を巡る政治についての講義
第八回	多党化	高度成長による社会の変化と多党化についての講義
第九回	新冷戦と日米同盟	「安保」から「日米同盟」への移行についての講義
第十回	冷戦の終結	冷戦終結後の国際政治の世界についての講義
第十一回	政治改革と新自由主義	政治改革と新自由主義による脱民主化についての講義
第十二回	福祉政治	社会保障を巡る政治についての講義
第十三回	東アジアの国際政治と国内政治	国際環境の変化・領土問題と国内政治の相互作用についての講義
第十四回	総括	授業内容を振り返り、到達点と今後の課題の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

川崎修・杉田敦 編 『現代政治理論』、東京、有斐閣、2013年
杉田敦 著 『政治的思考』、東京、岩波書店(岩波新書1402)、2014年

【参考書】

R.A. ダール、高島通敏訳 『現代政治分析』、東京、岩波書店、1999年
佐々木毅 『政治学講義』、東京、東京大学出版会、1999年
南原繁 『政治哲学序説』、東京、岩波書店、1988年

【成績評価の方法と基準】

受講態度(=手書きのレポートなどの提出物、40%) + 試験(60%)
(上記の何も学習支援システムで対応する場合がある。)

【学生の意見等からの気づき】

この分野に関わる内容を扱いながら蓄えた論理的思考をもとに、今後自分の専門分野に応用し実践していくことができると思います。

【学生が準備すべき機器他】

教科書・ノート

【その他の重要事項】

授業内容の録画・録音・写真撮影は絶対に行わないこと。
(授業中の電子機器の使用禁止。スマホはカバンの中に仕舞うこと。)
試験時に黒の油性ボールペンを必ず用意すること。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

In this course, we will analyze Japanese politics by applying the concepts in political science.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to analyze Japanese politics using political science concepts, acquire basic knowledge of Japanese politics, and deepen understanding of political science concepts.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%、in class contribution: 40%

POL100LA (政治学 / Politics 100)

政治学 I

2017年度以降入学者

崔 先鎬

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

政治学の基本的概念と政治制度に関する講義を行います。

【到達目標】

政治学の基本概念と政治制度に関する基本的知識を習得すること、政治について考え・判断できる能力の獲得を目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業内・教科書内で紹介した様々な政治学用語を丁寧に読むこと。(授業中はパワーポイント画面だけに頼らず、必要なところは筆記しましょう。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う予定です。なお、提出された課題等における良い内容は、次の授業の更なる議論に活かす予定です。)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	イントロダクション	講義の概要について説明する
第二回	政治学の対象としての政治	政治学の対象・概念・分析方法の多様性についての講義
第三回	政治的思考法	政治的リアリズムの特徴についての講義
第四回	権力	権力に関するさまざまな見方についての講義
第五回	権力と統治	ミシェル・フーコーの政治論についての講義
第六回	国家	近代国家から現代国家への変容についての講義
第七回	近代立憲主義	国家の権力を縛る意味についての講義
第八回	政治体制	民主主義体制と非民主主義体制についての講義
第九回	選挙	政治的リーダーの選出とさまざまな選挙制度についての講義
第十回	議会	立法過程についての講義
第十一回	官僚機構と中央政府	政策実施についての講義
第十二回	裁判所	司法と政治の関係についての講義
第十三回	政治と経済	経済と政治の相互作用についての講義
第十四回	総括	授業内容を振り返り、到達点と今後の課題の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】川崎修・杉田敦 編 『現代政治理論』、東京、有斐閣、2013年
杉田敦 著 『政治的思考』、東京、岩波書店(岩波新書1402)、2014年**【参考書】**R.A. ダール、高島通敏訳 『現代政治分析』、東京、岩波書店、1999年
佐々木毅 『政治学講義』、東京、東京大学出版会、1999年

南原繁 『政治哲学序説』、東京、岩波書店、1988年

【成績評価の方法と基準】受講態度(=手書きのレポートなどの提出物、40%)+試験(60%)
(上記の何も学習支援システムで対応する場合がある。)**【学生の意見等からの気づき】**

この分野に関わる内容を扱いながら蓄えた論理的思考をもとに、今後自分の専門分野に応用し実践していくことができると思います。

【学生が準備すべき機器他】

ノート・教科書

【その他の重要事項】授業内容の録画・録音・写真撮影は絶対に行わないこと。
(授業中の電子機器の使用禁止。スマホはカバンの中に仕舞うこと。)
試験時に黒の油性ボールペンを必ず用意すること。**【Outline (in English)】****【Course outline】**

In this course, we will learn the basic concepts in political science and the political institutions.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to learn basic concepts of political science and basic knowledge of political systems, and to acquire the ability to think and judge politics.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%、in class contribution: 40%

POL100LA (政治学 / Politics 100)

政治学Ⅱ

2017年度以降入学者

崔 先鎬

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

政治学の概念を用いた日本政治の分析を、他の先進国との比較しながら講義形式で行います。

【到達目標】

政治学の概念を用いて日本の政治の分析を行い、日本の政治に関する基本知識を習得し、政治学の概念に関する理解を深めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業内・教科書内で紹介した様々な政治学用語を丁寧に読むこと。（授業中はパワーポイント画面だけに頼らず、必要なところは筆記しましょう。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う予定です。なお、提出された課題等における良い内容は、次の授業の更なる議論に活かす予定です。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	イントロダクション	講義の概要について説明する
第二回	敗戦と占領	敗戦による体制移行論についての講義
第三回	戦後憲法の制定	ドイツ・イタリアと比較した憲法制定の政治についての講義
第四回	冷戦	国際的環境としての冷戦の特徴についての講義
第五回	安保闘争	街頭の政治の意義についての講義
第六回	自民党政治	日本における「生産性に政治」と「抑制による政治」についての講義
第七回	アジアの冷戦と沖縄	沖縄を巡る政治についての講義
第八回	多党化	高度成長による社会の変化と多党化についての講義
第九回	新冷戦と日米同盟	「安保」から「日米同盟」への移行についての講義
第十回	冷戦の終結	冷戦終結後の国際政治の世界についての講義
第十一回	政治改革と新自由主義	政治改革と新自由主義による脱民主化についての講義
第十二回	福祉政治	社会保障を巡る政治についての講義
第十三回	東アジアの国際政治と国内政治	国際環境の変化・領土問題と国内政治の相互作用についての講義
第十四回	総括	授業内容を振り返り、到達点と今後の課題の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

川崎修・杉田敦 編 『現代政治理論』、東京、有斐閣、2013年
杉田敦 著 『政治的思考』、東京、岩波書店(岩波新書1402)、2014年

【参考書】

R.A. ダール、高島通敏訳 『現代政治分析』、東京、岩波書店、1999年
佐々木毅 『政治学講義』、東京、東京大学出版会、1999年
南原繁 『政治哲学序説』、東京、岩波書店、1988年

【成績評価の方法と基準】

受講態度(=手書きのレポートなどの提出物、40%) + 試験(60%)
(上記の何も学習支援システムで対応する場合がある。)

【学生の意見等からの気づき】

この分野に関わる内容を扱いながら蓄えた論理的思考をもとに、今後自分の専門分野に応用し実践していくことができると思います。

【学生が準備すべき機器他】

教科書・ノート

【その他の重要事項】

授業内容の録画・録音・写真撮影は絶対に行わないこと。
(授業中の電子機器の使用禁止。スマホはカバンの中に仕舞うこと。)
試験時に黒の油性ボールペンを必ず用意すること。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

In this course, we will analyze Japanese politics by applying the concepts in political science.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to analyze Japanese politics using political science concepts, acquire basic knowledge of Japanese politics, and deepen understanding of political science concepts.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%、in class contribution: 40%

POL100LA (政治学 / Politics 100)

政治学 I

2017年度以降入学者

高橋 和則

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

政治学の基本的概念と政治制度に関する講義を行う。

【到達目標】

政治学の基本概念と政治制度に関する基本的知識を習得すること、政治について考え・判断できる能力の獲得を目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・テキストとレジュメに基づく講義形式
- ・課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定
- ・大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	講義の概要について説明する
2	政治学の対象としての政治	政治学の対象・概念・分析方法の多様性についての講義
3	政治的思考法	政治的リアリズムの特徴についての講義
4	権力	権力に関するさまざまな見方についての講義
5	権力と統治	ミシェル・フーコーの政治論についての講義
6	国家	近代国家から現代国家への変容についての講義
7	近代立憲主義	国家の権力を縛る意味についての講義
8	政治体制	民主主義体制と非民主主義体制についての講義
9	選挙	政治的リーダーの選出とさまざまな選挙制度についての講義
10	議会	立法過程についての講義
11	官僚機構と中央政府	政策実施についての講義
12	裁判所	司法と政治の関係についての講義
13	政治と経済	経済と政治の相互作用についての講義
14	総括	授業内容を振り返り、到達点と今後の課題の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

準備学習：資料やレジュメの配布は「授業支援システム」によって行う。「テキスト」欄参照。講義前に、新しいものがアップロードされていないか確認する。

復習・講義の際に出てきた概念などを「参考書」欄に挙げた事典類で調べ、知識を確実にする。図書館を活用せよ

【テキスト（教科書）】

- ①川出良枝・谷口将紀編『政治学 第二版』東京大学出版会
- ②「授業支援システム」で適宜配布する資料やレジュメ

【参考書】

- ・『政治学事典』弘文堂
- ・『哲学思想事典』岩波書店
- ・『社会思想事典』岩波書店

【成績評価の方法と基準】

期末に行う選択肢型筆記試験による（100%）

【学生の意見等からの気づき】

資料などの配布は授業支援システムではなく教室で行ってほしいという要望があったが、前者での配布を取る理由については第一回の講義中に説明する通りであり、その点は了解してほしい。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用できるようになっておくこと。

【その他の重要事項】

- ①事前に必要な知識はない。復習に力を注ぐこと。
- ②政治学Ⅱの併習を推奨する（政治学Ⅱを履修しなくとも理解できるよう、独立した内容ではある）。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

In this course, we will learn the basic concepts in political science and the political institutions.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to learn basic concepts of political science and basic knowledge of political systems, and to acquire the ability to think and judge politics.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to term-end examination.

POL100LA (政治学 / Politics 100)

政治学Ⅱ

2017年度以降入学者

高橋 和則

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

政治学の概念を用いた日本政治の分析を、他の先進国との比較をしながら講義形式で行う。

【到達目標】

政治学の概念を用いて日本の政治の分析を行い、日本の政治に関する基本知識を習得し、政治学の概念に関する理解を深めることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・テキストとレジュメに基づいた講義形式
・課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定
・大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	講義の概要について説明する
2	敗戦と占領	敗戦による体制移行論についての講義
3	戦後憲法の制定	ドイツ・イタリアと比較した憲法制定の政治についての講義
4	冷戦	国際的環境としての冷戦の特徴についての講義
5	安保闘争	街頭の政治の意義についての講義
6	自民党政治	日本における「生産性に政治」と「抑制による政治」についての講義
7	アジアの冷戦と沖縄	沖縄を巡る政治についての講義
8	多党化	高度成長による社会の変化と多党化についての講義
9	新冷戦と日米同盟	「安保」から「日米同盟」への移行についての講義
10	冷戦の終結	冷戦終結後の国際政治の世界についての講義
11	政治改革と新自由主義	政治改革と新自由主義による脱民主化についての講義
12	福祉政治	社会保障を巡る政治についての講義
13	東アジアの国際政治と国内政治	国際環境の変化・領土問題と国内政治の相互作用についての講義
14	総括	授業内容を振り返り、到達点と今後の課題の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

準備学習・講義で使用する資料やレジュメは「授業支援システム」によって配布する。「テキスト」欄参照。講義前に新しいアップロードがないか確認すること。

復習・講義で出てきた概念などを事典で調べ、知識を確実なものにする。「参考書」欄を参照。図書館を活用せよ。

【テキスト（教科書）】

- ①川出良枝・谷口将紀編『政治学 第二版』東京大学出版会
- ②「授業支援システム」で適宜配布する資料とレジュメ

【参考書】

- ①『政治学事典』弘文堂
- ②『社会思想事典』岩波書店

【成績評価の方法と基準】

・期末に行う選択肢型筆記試験

【学生の意見等からの気づき】

資料などの配布は授業支援システムではなく教室で行ってほしいという要望があったが、前者での配布を取る理由については第一回の講義中に説明する通りであり、その点は了解してほしい。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用できるようになっておくこと

【その他の重要事項】

- ①事前に必要とする知識はない。復習に力を注ぐこと。
- ②政治学Ⅰの併習を推奨する（政治学Ⅰを履修していなくとも理解できるよう、独立した内容ではある）。

【Outline (in English)】

【Course outline】

In this course, we will analyze Japanese politics by applying the concepts in political science.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to analyze Japanese politics using political science concepts, acquire basic knowledge of Japanese politics, and deepen understanding of political science concepts.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to term-end examination.

POL100LA（政治学 / Politics 100）

政治学 I

2017年度以降入学者

及川 智洋

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

政治学の基本的概念と政治制度を習得するための講義を行う。

【到達目標】

政治学の基本概念と政治制度に関する基本的知識を習得すること、政治について考え、判断できる能力の獲得を目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原則として教室での対面授業を予定するが、都合によりオンラインまたはオンデマンド授業に変更する場合がある。対面授業ではレクチャーとディスカッションを併用する。課題や小レポート等の提出、及びその講評・解説等のフィードバックも、教室での対面と学習支援システムの双方を通じて行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	講義の概要について説明する
2	政治学の対象としての政治	政治学の対象・概念・分析方法の多様性についての講義
3	政治的思考法	政治的リアリズムの特徴についての講義
4	権力	権力に関するさまざまな見方についての講義
5	権力と統治	統治に関する政治論についての講義
6	国家	近代国家から現代国家への変容についての講義
7	近代立憲主義	国家の権力と立憲制度の関係についての講義
8	政治体制	民主主義体制と非民主主義体制についての講義
9	選挙	政治的リーダーの選出とさまざまな選挙制度についての講義
10	議会	立法過程についての講義
11	官僚機構と中央政府	政策実施についての講義
12	裁判所	司法と政治の関係についての講義
13	政治と経済	経済と政治の相互作用についての講義
14	総括	授業内容を振り返り、到達点と今後の課題の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。課題と予習復習については授業ごとに指示する。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。

【参考書】

『政治学 第2版』（川出良枝・谷口将記）東京大学出版会、2022年、2200円＋税

『政治のしくみがわかる本』（山口二郎）岩波ジュニア新書、2009年、780円＋税

『戦後政治史 第四版』（石川真澄、山口二郎）岩波新書、2021年、1040円＋税

『民主主義とは何か』宇野重規 講談社現代新書、2020年、1034円（税込）

【成績評価の方法と基準】

期末試験および学期途中で行う2回前後の小課題によって評価を決める。試験が75%、小課題および平常点が25%とする。評価基準としては、政治学の基本概念と政治制度を中心にした授業の理解度、思考力、論述力を重視する。

【学生の意見等からの気づき】

政治学への理解を深めるために、受講生の持つ政治上の関心事項について聞いたうえで、できるだけ時事的な政治問題との関連も例示するようにする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムおよびオンライン・オンデマンド授業に対応できる情報端末。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

In this course, we will learn the basic concepts in political science and the political institutions.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to learn basic concepts of political science and basic knowledge of political systems, and to acquire the ability to think and judge politics.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 75%、Short reports : 25%

POL100LA (政治学 / Politics 100)

政治学Ⅱ

2017年度以降入学者

及川 智洋

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 5/Mon.5

単位数: 2単位

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

政治学の概念を用いた日本政治の分析を、他の先進国と比較しながら講義形式で行う。

【到達目標】

政治学の概念を用いて日本の政治の分析を行い、日本の政治に関する基本知識を習得し、政治学の概念に関する理解を深めることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

原則として教室での対面授業を予定するが、都合によりオンラインまたはオンデマンド授業に変更する場合がある。対面授業ではレクチャーとディスカッションを併用する。課題や小レポート等の提出、及びその講評・解説等のフィードバックは対面と学習支援システムの双方を使って行う予定である。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	講義の概要について説明する
2	敗戦と占領	敗戦による体制移行論についての講義
3	戦後憲法の制定	新憲法の特徴、およびその制定の政治過程についての講義
4	冷戦	国際的環境としての冷戦の特徴についての講義
5	安保闘争	選挙以外の市民の政治行動が政治に及ぼした影響とその意義についての講義
6	自民党政治	日本における経済成長と利益配分を軸にした政治についての講義
7	アジアの冷戦と沖縄	沖縄を巡る政治についての講義
8	多党化	高度成長による社会の変化と多党化についての講義
9	新冷戦と日米同盟	「安保」から「日米同盟」への移行についての講義
10	冷戦の終結	冷戦終結後の国際政治の世界についての講義
11	政治改革と新自由主義	政治改革と新自由主義による「小さな政府」志向についての講義
12	福祉政治	社会保障をめぐる政治についての講義
13	東アジアの国際政治と国内政治	国際環境の変化・領土問題と国内政治の相互作用についての講義
14	総括	授業内容を振り返り、到達点と今後の課題の確認

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。課題と予習復習については授業ごとに指示する。

【テキスト (教科書)】

教科書は使用しない。

【参考書】

『政治学 第2版』(川出良枝・谷口将記) 東京大学出版会、2022年、2200円+税

『政治のしくみがわかる本』(山口二郎) 岩波ジュニア新書、2009年、定価780円+税

『戦後政治史 第4版』(石川真澄、山口二郎) 岩波新書、2021年、定価1040円+税

『民主主義とは何か』宇野重規 講談社現代新書、2020年 1034円(税込)

【成績評価の方法と基準】

期末試験および学期途中で行う2回前後の小課題によって評価を決める。試験が75%、小課題が25%とする。期末試験は状況によってオンラインでのレポート提出で代替する場合がある。評価基準としては、政治学の基本概念と政治制度を中心にした授業の理解度、思考力、論述力を重視する。

【学生の意見等からの気づき】

政治学への理解を深めるために、受講生の持つ政治上の関心事項について聞きたいうえで、できるだけ時事的な政治問題との関連も例示するようにする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムおよびオンライン・オンデマンド授業に対応できる情報端末。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

In this course, we will analyze Japanese politics by applying the concepts in political science.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to analyze Japanese politics using political science concepts, acquire basic knowledge of Japanese politics, and deepen understanding of political science concepts.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 75%、Short reports : 25%.

POL100LA (政治学 / Politics 100)

政治学 I

2017年度以降入学者

面 一也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

政治学の基本的概念と政治制度に関する講義を行う。

【到達目標】

政治学の基本概念と政治制度に関する基本的知識を習得すること、政治について考え・判断できる能力の獲得を目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行なう。リアクションペーパーの提出（2回程度）を予定している。リアクションペーパー実施後の授業時に、提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義の概要について説明する
第2回	政治学の対象としての政治	政治学の対象・概念・分析方法の多様性についての講義
第3回	政治的思考法	政治的リアリズムの特徴についての講義
第4回	権力	権力に関するさまざまな見方についての講義
第5回	権力と統治	ミシェル・フーコーの政治論についての講義
第6回	国家	近代国家から現代国家への変容についての講義
第7回	近代立憲主義	国家の権力を縛る意味についての講義
第8回	政治体制	民主主義体制と非民主主義体制についての講義
第9回	選挙	政治的リーダーの選出とさまざまな選挙制度についての講義
第10回	議会	立法過程についての講義
第11回	官僚機構と中央政府	政策実施についての講義
第12回	裁判所	司法と政治の関係についての講義
第13回	政治と経済	経済と政治の相互作用についての講義
第14回	総括	授業内容を振り返り、到達点と今後の課題の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

川出良枝、谷口将紀編著『政治学 第2版』東京大学出版会、2022年、2,420円。

【参考書】

授業内で適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末筆記試験（50%）、リアクションペーパー（50%）。

【学生の意見等からの気づき】

授業外の発展学習をいっそう促す授業内容を心がけたい。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

In this course, we will learn the basic concepts in political science and the political institutions.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to learn basic concepts of political science and basic knowledge of political systems, and to acquire the ability to think and judge politics.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、Short reports : 50%

POL100LA (政治学 / Politics 100)

政治学Ⅱ

2017年度以降入学者

面 一也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

政治学の概念を用いた日本政治の分析を、他の先進国との比較しながら講義形式で行う。

【到達目標】

政治学の概念を用いて日本の政治の分析を行い、日本の政治に関する基本知識を習得し、政治学の概念に関する理解を深めることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行なう。リアクションペーパーの提出（2回程度）を予定している。リアクションペーパー実施後の授業時に、提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義の概要について説明する
第2回	敗戦と占領	敗戦による体制移行論についての講義
第3回	戦後憲法の制定	ドイツ・イタリアと比較した憲法制定の政治についての講義
第4回	冷戦	国際的環境としての冷戦の特徴についての講義
第5回	安保闘争	街頭の政治の意義についての講義
第6回	自民党政治	日本における「生産性に政治」と「抑制による政治」についての講義
第7回	アジアの冷戦と沖縄	沖縄を巡る政治についての講義
第8回	多党化	高度成長による社会の変化と多党化についての講義
第9回	新冷戦と日米同盟	「安保」から「日米同盟」への移行についての講義
第10回	冷戦の終結	冷戦終結後の国際政治の世界についての講義
第11回	政治改革と新自由主義	政治改革と新自由主義による民主化についての講義
第12回	福祉政治	社会保障を巡る政治についての講義
第13回	東アジアの国際政治と国内政治	国際環境の変化・領土問題と国内政治の相互作用についての講義
第14回	総括	授業内容を振り返り、到達点と今後の課題の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

上神貴佳、三浦まり編『日本政治の第一歩 [新版]』有斐閣ストゥディア、2023年、2,200円。

【参考書】

授業内で適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末筆記試験（50%）、リアクションペーパー（50%）。

【学生の意見等からの気づき】

授業外の発展学習をいっそう促す授業内容を心がけたい。

【Outline (in English)】

【Course outline】

In this course, we will analyze Japanese politics by applying the concepts in political science.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to analyze Japanese politics using political science concepts, acquire basic knowledge of Japanese politics, and deepen understanding of political science concepts.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、Short reports : 50%

POL100LA (政治学 / Politics 100)

政治学 I

2017年度以降入学者

岡崎 加奈子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

政治学の基本的概念と政治制度に関する講義を行う。

【到達目標】

政治学の基本概念と政治制度に関する基本的知識を習得すること、政治について考え・判断できる能力の獲得を目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本講義は、テキストとレジメに基づき講義形式によりおこなう。毎回の授業では、学生は意見や質問をリアクションペーパーにより提出し、次回授業で回答や解説をおこない全体で共有する。また、レポート課題を予定している。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義の概要について説明する
第2回	政治学の対象としての政治	政治学の対象・概念・分析方法の多様性についての講義
第3回	政治的思考法	政治的リアリズムの特徴についての講義
第4回	権力	権力に関するさまざまな見方についての講義
第5回	権力と統治	ミシェル・フーコーの政治論についての講義
第6回	国家	近代国家から現代国家への変容についての講義
第7回	近代立憲主義	国家の権力を縛る意味についての講義
第8回	政治体制	民主主義体制と非民主主義体制についての講義
第9回	選挙	政治的リーダーの選出とさまざまな選挙制度についての講義
第10回	議会	立法過程についての講義
第11回	官僚機構と中央政府	政策実施についての講義
第12回	裁判所	司法と政治の関係についての講義
第13回	政治と経済	経済と政治の相互作用についての講義
第14回	総括	授業内容を振り返り、到達点と今後の課題の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

川出良枝、谷口将紀編著『政治学 第2版』（東京大学出版会、2022年）

【参考書】

授業の中で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験(60%)と平常点(40%)により総合的に評価する。平常点は、授業への取り組み、レポートを含む課題の提出及びその評価により構成される。

【学生の意見等からの気づき】

刻々と変化する社会において生じる事象と講義の内容とを関連付けて考え表現する機会を、より充実させていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムの使用に対応できる情報端末。

【Outline (in English)】

In this course, we will learn the basic concepts in political science and the political institutions.

POL100LA (政治学 / Politics 100)

政治学Ⅱ

2017年度以降入学者

岡崎 加奈子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

政治学の概念を用いた日本政治の分析を、他の先進国との比較しながら講義形式で行う。

【到達目標】

政治学の概念を用いて日本の政治の分析を行い、日本の政治に関する基本知識を習得し、政治学の概念に関する理解を深めることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本講義は、テキストとレジメに基づき講義形式によりおこなう。毎回の授業では、学生は意見や質問をリアクションペーパーとして提出し、次回授業で回答や解説をおこない全体で共有する。またレポート課題を予定している。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義の概要について説明する
第2回	敗戦と占領	敗戦による体制移行論についての講義
第3回	戦後憲法の制定	ドイツ・イタリアと比較した憲法制定の政治についての講義
第4回	冷戦	国際的環境としての冷戦の特徴についての講義
第5回	安保闘争	街頭の政治の意義についての講義
第6回	自民党政治	日本における「生産性に政治」と「抑制による政治」についての講義
第7回	アジアの冷戦と沖縄	沖縄を巡る政治についての講義
第8回	多党化	高度成長による社会の変化と多党化についての講義
第9回	新冷戦と日米同盟	「安保」から「日米同盟」への移行についての講義
第10回	冷戦の終結	冷戦終結後の国際政治の世界についての講義
第11回	政治改革と新自由主義	政治改革と新自由主義による脱民主化についての講義
第12回	福祉政治	社会保障を巡る政治についての講義
第13回	東アジアの国際政治と国内政治	国際環境の変化・領土問題と国内政治の相互作用についての講義
第14回	総括	授業内容を振り返り、到達点と今後の課題の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

川出良枝・谷口将紀編著『政治学 第2版』（東京大学出版会 2022年）

【参考書】

授業の中で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（60％）と平常点（40％）により総合的に評価する。平常点は、授業への取り組み、レポートを含む課題の提出およびその評価により構成される。

【学生の意見等からの気づき】

現代社会にあるさまざまな課題と講義の内容を関連付け考察する機会を設けていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムの使用に対応できる情報端末。

【Outline (in English)】

In this course, we will analyze Japanese politics by applying the concepts in political science.

POL100LA (政治学 / Politics 100)

政治学 I

2017年度以降入学者

高橋 和則

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

政治学の基本的概念と政治制度に関する講義を行う。

【到達目標】

政治学の基本概念と政治制度に関する基本的知識を習得すること、政治について考え・判断できる能力の獲得を目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・テキストとレジュメに基づいた講義形式
- ・課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定
- ・大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	講義の概要について説明する
2	政治学の対象としての政治	政治学の対象・概念・分析方法の多様性についての講義
3	政治的思考法	政治的リアリズムの特徴についての講義
4	権力	権力に関するさまざまな見方についての講義
5	権力と統治	ミシェル・フーコーの政治論についての講義
6	国家	近代国家から現代国家への変容についての講義
7	近代立憲主義	国家の権力を縛る意味についての講義
8	政治体制	民主主義体制と非民主主義体制についての講義
9	選挙	政治的リーダーの選出とさまざまな選挙制度についての講義
10	議会	立法過程についての講義
11	官僚機構と中央政府	政策実施についての講義
12	裁判所	司法と政治の関係についての講義
13	政治と経済	経済と政治の相互作用についての講義
14	総括	授業内容を振り返り、到達点と今後の課題の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

準備学習：資料やレジュメの配布は「授業支援システム」によって行う。「テキスト」欄参照。講義前に、新しいものがアップロードされていないか確認する。

復習・講義の際に出てきた概念などを「参考書」欄に挙げた事典類で調べ、知識を確実にする。図書館を活用せよ

【テキスト（教科書）】

①川出良枝・谷口将紀編『政治学 第二版』東京大学出版会

②「授業支援システム」で適宜配布する資料やレジュメ

【参考書】

- ・『政治学事典』弘文堂
- ・『哲学思想事典』岩波書店
- ・『社会思想事典』岩波書店

【成績評価の方法と基準】

期末に行う選択肢型筆記試験による（100%）

【学生の意見等からの気づき】

資料などの配布は授業支援システムではなく教室で行ってほしいという要望があったが、前者での配布を取る理由については第一回の講義中に説明する通りであり、その点は了解してほしい。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用できるようになっておくこと。

【その他の重要事項】

①事前に必要な知識はない。復習に力を注ぐこと。

②政治学Ⅱの併習を推奨する（政治学Ⅱを履修しなくとも理解できるよう、独立した内容ではある）。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

In this course, we will learn the basic concepts in political science and the political institutions.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to learn basic concepts of political science and basic knowledge of political systems, and to acquire the ability to think and judge politics.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to term-end examination.

POL100LA (政治学 / Politics 100)

政治学Ⅱ

2017年度以降入学者

高橋 和則

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

政治学の概念を用いた日本政治の分析を、他の先進国との比較をしながら講義形式で行う。

【到達目標】

政治学の概念を用いて日本の政治の分析を行い、日本の政治に関する基本知識を習得し、政治学の概念に関する理解を深めることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・テキストとレジュメに基づいた講義形式
- ・課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定
- ・大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	講義の概要について説明する
2	敗戦と占領	敗戦による体制移行論についての講義
3	戦後憲法の制定	ドイツ・イタリアと比較した憲法制定の政治についての講義
4	冷戦	国際的環境としての冷戦の特徴についての講義
5	安保闘争	街頭の政治の意義についての講義
6	自民党政治	日本における「生産性に政治」と「抑制による政治」についての講義
7	アジアの冷戦と沖縄	沖縄を巡る政治についての講義
8	多党化	高度成長による社会の変化と多党化についての講義
9	新冷戦と日米同盟	「安保」から「日米同盟」への移行についての講義
10	冷戦の終結	冷戦終結後の国際政治の世界についての講義
11	政治改革と新自由主義	政治改革と新自由主義による脱民主化についての講義
12	福祉政治	社会保障を巡る政治についての講義
13	東アジアの国際政治と国内政治	国際環境の変化・領土問題と国内政治の相互作用についての講義
14	総括	授業内容を振り返り、到達点と今後の課題の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

準備学習・講義で使用する資料やレジュメは「授業支援システム」によって配布する。「テキスト」欄参照。講義前に新しいアップロードがないか確認すること。

復習・講義で出てきた概念などを事典で調べ、知識を確実にものにする。「参考書」欄を参照。図書館を活用せよ。

【テキスト（教科書）】

- ①川出良枝・谷口将紀編『政治学 第二版』東京大学出版会
- ②「授業支援システム」で適宜配布する資料とレジュメ

【参考書】

- ①『政治学事典』弘文堂
- ②『社会思想事典』岩波書店

【成績評価の方法と基準】

期末に行う選択肢型筆記試験（100％）

【学生の意見等からの気づき】

資料などの配布は授業支援システムではなく教室で行ってほしいという要望があったが、前者での配布を取る理由については第一回の講義中に説明する通りであり、その点は了解してほしい。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用できるようになっておくこと

【その他の重要事項】

- ①事前に必要とする知識はない。復習に力を注ぐこと。
- ②政治学Ⅰの併習を推奨する（政治学Ⅰを履修していなくとも理解できるよう、独立した内容ではある）。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

In this course, we will analyze Japanese politics by applying the concepts in political science.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to analyze Japanese politics using political science concepts, acquire basic knowledge of Japanese politics, and deepen understanding of political science concepts.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to term-end examination.

CUA100LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 100)

文化人類学

2017年度以降入学者

ベル 裕紀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

学生は、マリノフスキー以降の文化人類学の諸概念および理論を毎回トピック別に学習し、文化人類学の基礎的かつ体系的な理解を目指す。それを通じて、文化人類学的な社会の見方を身に付け、「異文化」「他者」の理解とは何なのか、考える。

【到達目標】

学生は、文化人類学の基本的な考え方や概念を理解し、様々な事象について、人類学的な考え方や概念を用いて説明することができるようになることがこの授業の目標である。それを通じて、「異文化」や「他者」に対する際の姿勢を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を基本とするが、受講者の積極的な参加を期待する。授業後に毎回リアクションペーパーの提出を課し、次の回の冒頭で可能な限り紹介し、授業内容に反映させる。

また授業に臨むにあたり、比較的短い文章を読んでくるなどの予習課題を課す。受講者には積極的な発言を期待する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	文化人類学の考え方	文化人類学が成立した時代的背景および学問的な特徴を概説する。
第二回	機能構造主義と文化相対主義	機能構造主義と文化相対主義が主張された理論的・時代的背景を踏まえた上で理解し、それに対する1960年代以降の批判を理解する。
第三回	親族研究	贈与・交換に並んで、人類学にとって重要な親族論の展開を歴史的に把握する。
第四回	贈与と交換	文化人類学の理論の中核を成す、贈与と交換に関する研究の展開を学習する。
第五回	構造と主体	リーチとレヴィ＝ストロースの婚姻と社会構造に関する議論を例に、構造主義人類学について学習する。
第六回	言語と記号	ソシュールの構造主義言語学、記号論について学習する。
第七回	記号の戯れ	レヴィ＝ストロースの『野生の思考』及び、二項対立について学習する。
第八回	呪術と儀礼	儀礼論・宗教人類学の議論を、とりわけ呪術研究や通過儀礼を中心に理解する。
第九回	法と規範	法人類学における法の捉え方、諸研究を概観し、特に法多元主義をめぐる議論に焦点を当てる。

第十回 政治人類学

第十一回 人種と民族

第十二回 ジェンダー論

第十三回 ポストコロニアル人類学

第十四回 「異文化」「他者」の理解

政治体系や権力関係に着目してきた政治人類学の諸理論を特に動態的アプローチの出現以降の議論に焦点を当てて紹介する。人類学のみならず、社会科学全般にとって重要な概念である、「人種」と「民族」という概念の歴史的な変遷について学習する。ジェンダーという考え方、人類学におけるフェミニズムからの批判的な諸研究を概観し、構築主義的な考え方を理解する。

80年代以降、人類学は、コロナル状況ないし、ポストコロナル状況の中で発展してきたという歴史的な経緯により自覚的になった。この授業では、そうした視点からの過去の研究への批判や新しい文化観へとつながる研究を紹介していく。

人類学の目的である「異文化」「他者」の理解という問題を、これまでの講義の要点を踏まえて改めて確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題を通じた復習と、翌週の授業の準備に概ね2時間程度の時間をかけるものとする。また、それに加えて授業内で紹介する参考文献を、各自の関心に応じて読みこみ、理解と思考を深めることが望ましい。

【テキスト（教科書）】

なし。毎回の授業で、事前に学習支援システムを通じて講義レジュメを配布する。

【参考書】

授業時間内に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート50%、毎回のリアクションペーパー42%、授業への参加度8%で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

毎回の授業の内容に関する課題を出す。必要に応じて授業の冒頭に学生の回答を紹介し、応答を行うことで、学生の理解を深めていく。

【学生が準備すべき機器他】

提出物は学習支援システムを通じて提出してもらうつもりである。

【Outline (in English)】

【Outline and Goal】

This course introduces students to some of major social theories and anthropological discussion. Over this course, we will investigate the term of "other cultures" critically, and discuss how cultural differences or boundaries are built, recognized and reproduced. Students should understand anthropological theories and terms and learn to discuss events at hand as well as social issues from an anthropological perspective.

【Requirements】

Students are expected to study about 2 hours for a week for preparation and review of classes. Each students will submit written comments on contents of each lectures(45%) and be expected to oral comments on class(5%), as well. The final writing assignment is also required for confirm students achieve the goal of this course(50%).

CUA100LA（文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 100）

文化人類学

2017年度以降入学者

渡辺 浩平

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界には多様な生き方がある。この授業では、文化人類学の研究史を概観してから、各回のテーマに沿った講義を行う。世界各地の様々な事例に触れ、人類学の基本的な考えと概念を学び、自身が当たり前だと感じている社会や文化についての概念や思考を相対化する。

【到達目標】

文化人類学の基本的な視座を習得する。

世界各地の事例を知り、生き方の多様性を理解しようとする中で、別の生き方の可能性を想像する力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。学習支援システムを利用して資料を配布する。

毎回の授業でリアクションペーパーの提出を課す。毎回の授業のはじめに、リアクションペーパーのコメントや質問等に応答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の進め方と評価方法について説明
第2回	文化人類学とは	文化人類学の基礎と方法論
第3回	文化人類学史	人類学的な思考の歴史について
第4回	環境と生業	人と自然の関係について
第5回	経済と政治	コミュニケーションとしての贈与
第6回	国家	権威の生成について
第7回	ヒト	霊長類からみる人類の文化的なもの
第8回	マルチモーダル人類学	民族誌と映像
第9回	家族と親族	家族・親族・結婚の多様性について
第10回	日常と儀礼	日常における儀礼的行動
第11回	セクシュアリティとジェンダー	儀礼的行動から
第12回	境界論	芸術、冗談、人類学
第13回	医療	病いと癒やし
第14回	総括	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で取り上げられる事例の詳細を調べることで理解を深める。

人類学の概念を用いて身の回りの出来事を解釈する。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に定めない。資料を配布する。

【参考書】

毎回の授業で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業内課題（40%）と期末レポート（60%）をもとに評価する。60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業時間外の学習の情報源となるような参考書・文献・資料情報を充実させる。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【その他の重要事項】

各回で取り上げる具体的なテーマは、受講生の関心に応じて変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

There are many ways of life in the world. This course introduces case studies from around the world and anthropology's basic ideas and concepts. This course aims to help students relativize the concepts and thoughts about society and culture. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours reading reference materials. At the end of the course, students are expected to acquire a fundamental perspective of cultural anthropology. Grading will be decided based on the term-end report (60%) and in-class contribution (short reports) (40%).

CUA100LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 100)

文化人類学

2017年度以降入学者

北原 卓也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文化人類学の基本概念、研究方法を学び、身の回りの「あたりまえ」や「異文化」に注目し考察するための多角的な視点を身につける。授業では、まず「文化」とは何かについて確認し、続いて文化人類学の基本的な考え方や研究方法について学ぶ。それを踏まえて、文化人類学がこれまで扱ってきたトピックについてみていく。

【到達目標】

本講義の到達目標は下記の通り。

- (1) 文化人類学の基本概念や研究方法を理解する。
- (2) 他者の文化との比較から自身の「あたりまえ」を認識し言語化する。
- (3) 自身の「あたりまえ」ととらわれない新たな視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、以下の授業計画に基づき対面で行います。配布するレジュメに沿って講義を行い、扱うトピックによって発言を求めることがあります。また、映像を視聴することで理解を深める場合もあります。毎回授業後にはコメントシートの提出していただきます。提出されたコメントシートは次回授業の冒頭でいくつか紹介します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション ：講義の目的と概要	授業の進め方や目的について確認した後、担当教員の研究フィールドの紹介や文化人類学という学問分野について説明する
2	文化の定義	漠然とした概念である「文化」とは何かについて理解する
3	文化相対主義	文化人類学の基本的な考え方である文化相対主義を通じて、文化を学ぶ姿勢について理解する
4	フィールドワークと民族誌	文化人類学の研究手法について理解する
5	民族とエスニシティ	国民、民族といった人々の集団について理解する
6	コミュニケーションと言語	文化と言語の関係性について理解する
7	中間のまとめ	これまでの講義の理解度を確認するため課題に取り組む
8	家族・親族	文化人類学の古典的なテーマである家族・親族の研究について理解する
9	結婚	様々な文化における結婚の形態や規則を理解する
10	ジェンダーとセクシュアリティ（1）	社会や文化の中で形成される性差について理解する

11	ジェンダーとセクシュアリティ（2）	異性愛と同性愛という分け方だけでは捉えられない多様なセクシュアリティについて理解する
12	生業	人間が生きていくために必要な食料採取や生産活動について理解する
13	宗教	世界の宗教の事例を概観し、人類との関わりについて理解する
14	まとめと確認（試験）	今期のまとめとして教場試験を行います

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の準備として、指定する文献や配布するプリントまたは映像作品に目を通しておくこと。授業後は配布するレジュメを復習し、内容をきちんと理解しておくこと。1回の授業につき、準備・復習は各3時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。必要に応じてレジュメや資料を配布します。

【参考書】

『自分のあたりまえを切り崩す文化人類学入門』、箕曲在弘、大和書房、2024年。
『詳論 文化人類学』、桑山敬己・綾部真雄（編）、ミネルヴァ書房、2018年。
『よくわかる文化人類学』、綾部恒雄・桑山敬己（編）、ミネルヴァ書房、2010年。
『文化人類学キーワード [改訂版]』、山下晋司・船曳建夫（編）、有斐閣、2008年。

【成績評価の方法と基準】

中間のまとめ：30%、期末試験（またはレポート）：30%、平常点（コメントシート）：40%
2/3以上の出席で評価対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

他の履修生のコメントシートが気になるという声があったので、復習を兼ねて毎回授業の冒頭に前回のコメントシートの内容を振り返る時間を設ける。

【Outline (in English)】

This course introduce the concept of Cultural Anthropology and its research method as tools to understand different cultures.

The goal of this course are:

- (1) to understand the concept of Cultural Anthropology and research method
- (2) to compare cultures and explain differences between your culture and other culture.
- (3) to gain the new point of view

Before/after each class meeting, students will be expected to spend three hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process
Mid-term exam (30%), term-end examination or report (40%), and in-class contribution through comment sheets you should submit after each class(30%).

CUA100LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 100)

文化人類学

2017年度以降入学者

ベル 裕紀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

学生は、マリノフスキー以降の文化人類学の諸概念および理論を毎回トピック別に学習し、文化人類学の基礎的かつ体系的な理解を目指す。それを通じて、文化人類学的な社会の見方を身に付け、「異文化」「他者」の理解とは何なのか、考える。

【到達目標】

学生は、文化人類学の基本的な考え方や概念を理解し、様々な事象について、人類学的な考え方や概念を用いて説明することができるようになることがこの授業の目標である。それを通じて、「異文化」や「他者」に対する際の姿勢を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を基本とするが、受講者の積極的な参加を期待する。授業後に毎回リアクションペーパーの提出を課し、次の回の冒頭で可能な限り紹介し、授業内容に反映させる。
また授業に臨むにあたり、比較的短い文章を読んでくるなどの予習課題を課す。受講者には積極的な発言を期待する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	文化人類学の考え方	文化人類学が成立した時代的背景および学問的な特徴を概説する。
第二回	機能構造主義と文化相対主義	機能構造主義と文化相対主義が主張された理論的・時代的背景を踏まえた上で理解し、それに対する1960年代以降の批判を理解する。
第三回	親族研究	贈与・交換に並んで、人類学にとって重要な親族論の展開を歴史的に把握する。
第四回	贈与と交換	文化人類学の理論の中核を成す、贈与と交換に関する研究の展開を学習する。
第五回	構造と主体	リーチとレヴィ＝ストロースの婚姻と社会構造に関する議論を例に、構造主義人類学について学習する。
第六回	言語と記号	ソシュールの構造主義言語学、記号論について学習する。
第七回	記号の戯れ	レヴィ＝ストロースの『野生の思考』及び、二項対立について学習する。
第八回	呪術と儀礼	儀礼論・宗教人類学の議論を、とりわけ呪術研究や通過儀礼を中心に理解する。
第九回	法と規範	法人類学における法の捉え方、諸研究を概観し、特に法多元主義をめぐる議論に焦点を当てる。

第十回 政治人類学

政治体系や権力関係に着目してきた政治人類学の諸理論を特に動態的アプローチの出現以降の議論に焦点を当てて紹介する。
人類学のみならず、社会科学全般にとって重要な概念である、「人種」と「民族」という概念の歴史的な変遷について学習する。
ジェンダーという考え方、人類学におけるフェミニズムからの批判的な諸研究を概観し、構築主義的な考え方を理解する。

第十一回 人種と民族

第十二回 ジェンダー論

第十三回 ポストコロニアル人類学

80年代以降、人類学は、コロニアル状況ないし、ポストコロニアル状況の中で発展してきたという歴史的な経緯により自覚的になった。この授業では、そうした視点からの過去の研究への批判や新しい文化観へとつながる研究を紹介していく。

第十四回 「異文化」「他者」の理解

人類学の目的である「異文化」「他者」の理解という問題を、これまでの講義の要点を踏まえて改めて確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題を通じた復習と、翌週の授業の準備に概ね2時間程度の時間をかけるものとする。また、それに加えて授業内で紹介する参考文献を、各自の関心に応じて読みこみ、理解と思考を深めることが望ましい。

【テキスト（教科書）】

なし。毎回の授業で、事前に学習支援システムを通じて講義レジュメを配布する。

【参考書】

授業時間内に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート50%、毎回のリアクションペーパー42%、授業への参加度8%で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

毎回の授業の内容に関する課題を出す。必要に応じて授業の冒頭に学生の回答を紹介し、応答を行うことで、学生の理解を深めていく。

【学生が準備すべき機器他】

提出物は学習支援システムを通じて提出してもらうつもりである。

【Outline (in English)】

【Outline and Goal】

This course introduces students to some of major social theories and anthropological discussion. Over this course, we will investigate the term of "other cultures" critically, and discuss how cultural differences or boundaries are built, recognized and reproduced. Students should understand anthropological theories and terms and learn to discuss events at hand as well as social issues from an anthropological perspective.

【Requirements】

Students are expected to study about 2 hours for a week for preparation and review of classes. Each students will submit written comments on contents of each lectures(45%) and be expected to oral comments on class(5%), as well. The final writing assignment is also required for confirm students achieve the goal of this course(50%).

CUA100LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 100)

文化人類学

2017年度以降入学者

菊池 真理

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文化人類学とは、さまざまな文化や社会に生きる人々について多様な側面から理解する学問である。その基本的な考え方や概念、理論について、トピック毎に、且つ具体的な事例を通して学ぶ。また、現代世界で経験する出来事や直面する問題について、人類学的視点で考える力を養う。更に、他者と出逢うなかで、わたし／たちとは何者で在るか／何者になり得るのかを知り、自身や自文化を見つめ直す姿勢を育む。

【到達目標】

- ・文化人類学の基本概念や研究方法を理解できる。
- ・文化人類学的な思考が育まれてきた歴史について学ぶ。
- ・良質な民族誌に触れることを通じて、異文化理解のための方法や表現について学ぶ。
- ・私たち自身の思考や在りようを相対化し、自文化や自分自身について深く理解し、他者との共生の可能性を探る。
- ・文化人類学的な思考や実践が、現代世界で私たちが生きる上でどのような可能性をもっているか、自分なりに考えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・講義を基本とする。
- ・講義レジュメに沿って講義を行うが、発言を求める場合もある。
- ・必要に応じて映像資料なども用いながら、理解を深める。
- ・毎回の授業後には、リアクションペーパーの提出をしていただく。提出されたリアクションペーパーは、次回授業の冒頭で紹介しながら、フィードバックを行う。
- ・授業に臨む前に、事前に指示した課題文献を読むなど、予習課題を求める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業概要などの確認、担当教員の研究フィールドの紹介
第2回	文化人類学史	文化人類学的な思考の歴史
第3回	文化人類学の研究方法Ⅰ	フィールドワークとは
第4回	文化人類学の研究方法Ⅱ	民族誌（エスノグラフィ）とは
第5回	家族・親族	異文化における様々な家族・親族のあり方
第6回	エスニシティと国家	人々の集合意識と国家観
第7回	分類と境界性	異文化における様々な分類法
第8回	贈与・交換	社会関係の表現としての贈与・交換
第9回	儀礼	世界各地の儀礼
第10回	宗教	人々の信仰の理論と実践
第11回	妖術・シャーマニズム	人々の思考体系と実践
第12回	死と喪	死に関する多様な観念・死者儀礼と、生者-死者の関係

第13回	医療・文化・社会	病と癒やしについての多様な考え方・実践と、現代社会における医療のあり方
第14回	まとめ	現代に生きる私たちにとっての文化人類学の意義や可能性を考える

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習：事前に指示された課題文献を読み、理解したことや疑問点などをまとめる。
- ・復習：授業内で紹介する参考文献を各自の関心に応じて読み進めながら、授業の理解を深める。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

- ・特に指定しない。
- ・原則、事前に講義レジュメを配布する。
- ・必要に応じて関連する文献を紹介し、学習支援システムを通じて資料を配布する。

【参考書】

授業内で適宜紹介するが、参考になるものを以下に挙げる。

- ・太田好信・浜本満（編）2005『メイキング文化人類学』世界思想社。
- ・菅原和孝（編）2006『フィールドワークへの挑戦＜実践＞人類学入門』世界思想社。
- ・波平恵美子（編）2021『文化人類学 カレッジ版 第4版』医学書院。
- ・ヘンドリー、ジョイ2002『社会人類学入門：異民族の世界』桑山敬巳訳、法政大学出版。
- ・松村圭一郎2020『はみだしの人類学：ともに生きる方法』NHK出版。
- ・松村圭一郎、中川理、石井美保（編）2019『文化人類学の思考法』世界思想社。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（40％）：リアクションペーパー、出席状況等。
- ・学期末レポート（60％）：未提出の場合、原則E評価とする。

【学生の意見等からの気づき】

国内外の様々な事例を取り上げるが、対象となる地域の専門的な知識がなくても理解できるように解説を行う。

【学生が準備すべき機器他】

講義レジュメ・関連資料の配布、課題等の提出は、学習支援システムを通じて行う予定。

【その他の重要事項】

- ・学期末レポートが未提出の場合、原則E判定とする。
- ・対面をオンラインで同時配信するハイフレックス型授業は実施しない。
- ・シラバス内容や授業計画に変更が生じた場合は、授業内もしくは学習支援システムで周知する。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students understand basic concepts, ideas and theories of Cultural Anthropology. The goals of this course are to learn the history of philosophical thought in anthropology, and the methodology of understanding others. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Final report: 60%(in case of no submission would be E grade), in class contribution:40%.

CUA100LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 100)

文化人類学

2017年度以降入学者

菊池 真理

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文化人類学とは、さまざまな文化や社会に生きる人々について多様な側面から理解する学問である。その基本的な考え方や概念、理論について、トピック毎に、且つ具体的な事例を通して学ぶ。また、現代世界で経験する出来事や直面する問題について、人類学的視点で考える力を養う。更に、他者と出逢うなかで、わたし／たちとは何者で在るか／何者になり得るのかを知り、自身や自文化を見つめ直す姿勢を育む。

【到達目標】

- ・文化人類学の基本概念や研究方法を理解できる。
- ・文化人類学的な思考が育まれてきた歴史について学ぶ。
- ・良質な民族誌に触れることを通じて、異文化理解のための方法や表現について学ぶ。
- ・私たち自身の思考や在りようを相対化し、自文化や自分自身について深く理解し、他者との共生の可能性を探る。
- ・文化人類学的な思考や実践が、現代世界で私たちが生きる上でどのような可能性をもっているか、自分なりに考えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・講義を基本とする。
- ・講義レジュメに沿って講義を行うが、発言を求める場合もある。
- ・必要に応じて映像資料なども用いながら、理解を深める。
- ・毎回の授業後には、リアクションペーパーの提出をしていただく。提出されたリアクションペーパーは、次回授業の冒頭で紹介しながら、フィードバックを行う。
- ・授業に臨む前に、事前に指示した課題文献を読むなど、予習課題を求める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業概要などの確認、担当教員の研究フィールドの紹介
第2回	文化人類学史	文化人類学的な思考の歴史
第3回	文化人類学の研究方法Ⅰ	フィールドワークとは
第4回	文化人類学の研究方法Ⅱ	民族誌（エスノグラフィ）とは
第5回	家族・親族	異文化における様々な家族・親族のあり方
第6回	エスニシティと国家	人々の集合意識と国家観
第7回	分類と境界性	異文化における様々な分類法
第8回	贈与・交換	社会関係の表現としての贈与・交換
第9回	儀礼	世界各地の儀礼
第10回	宗教	人々の信仰の理論と実践
第11回	妖術・シャーマニズム	人々の思考体系と実践
第12回	死と喪	死に関する多様な観念・死者儀礼と、生者-死者の関係

第13回	医療・文化・社会	病と癒やしについての多様な考え方・実践と、現代社会における医療のあり方
第14回	まとめ	現代に生きる私たちにとっての文化人類学の意義や可能性を考える

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習：事前に指示された課題文献を読み、理解したことや疑問点などをまとめる。
- ・復習：授業内で紹介する参考文献を各自の関心に応じて読み進めながら、授業の理解を深める。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

- ・特に指定しない。
- ・原則、事前に講義レジュメを配布する。
- ・必要に応じて関連する文献を紹介し、学習支援システムを通じて資料を配布する。

【参考書】

授業内で適宜紹介するが、参考になるものを以下に挙げる。

- ・太田好信・浜本満（編）2005『メイキング文化人類学』世界思想社。
- ・菅原和孝（編）2006『フィールドワークへの挑戦＜実践＞人類学入門』世界思想社。
- ・波平恵美子（編）2021『文化人類学 カレッジ版 第4版』医学書院。
- ・ヘンドリー、ジョイ2002『社会人類学入門：異民族の世界』桑山敬巳訳、法政大学出版。
- ・松村圭一郎2020『はみだしの人類学：ともに生きる方法』NHK出版。
- ・松村圭一郎、中川理、石井美保（編）2019『文化人類学の思考法』世界思想社。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（40％）：リアクションペーパー、出席状況等。
- ・学期末レポート（60％）：未提出の場合、原則E評価とする。

【学生の意見等からの気づき】

国内外の様々な事例を取り上げるが、対象となる地域の専門的な知識がなくても理解できるように解説を行う。

【学生が準備すべき機器他】

講義レジュメ・関連資料の配布、課題等の提出は、学習支援システムを通じて行う予定。

【その他の重要事項】

- ・学期末レポートが未提出の場合、原則E判定とする。
- ・対面をオンラインで同時配信するハイフレックス型授業は実施しない。
- ・シラバス内容や授業計画に変更が生じた場合は、授業内もしくは学習支援システムで周知する。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students understand basic concepts, ideas and theories of Cultural Anthropology. The goals of this course are to learn the history of philosophical thought in anthropology, and the methodology of understanding others. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Final report: 60%(in case of no submission would be E grade), in class contribution:40%.

CUA100LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 100)

文化人類学

2017年度以降入学者

相田 豊

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

みなさんは、異なる背景を持つ他者の考え方や思いについて、もっと理解したいと思ったことはありませんか？ 実は、この講義のタイトルとなっている文化人類学とは、異文化の人、異なる生活をしている人について理解するための学問です。

文化人類学は、世界の様々な地域に実際に行き、現地の人となるべく同じことをして、その人たちから話を聞くことで、異文化についての理解を深めます。この授業では、この文化人類学という学問の中で、もっとも大事なことは何かということをグループワークを通じて理解していきます。その上で、各自、実際に文化人類学の調査を体験し、その基礎を身につけてもらうことを目指します。

【到達目標】

- 1) 文化人類学とは、他者を理解するための方法なのだということを実感を持って理解すること。
- 2) 文化人類学のフィールドワーク（インタビューや参与観察）の基礎を学び、簡単なものであれば自分ひとりで実施できるようになること。
- 3) グループワークなどを通じて、他者とともに学ぶ経験を積み、その能力を向上させること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1) 授業では、まず冒頭に前回授業の内容確認のために小テストを行います。
 - 2) その後、教員からその日のトピックとなっている文化人類学の概念や理論について解説を行います。
 - 3) 提示されたトピックについて理解を深めるため、ディスカッションや、クイズ、ワークショップなどを2～3程度のアクティビティを行います。
 - 4) 最後にまとめを行います。
- ※履修者のコメントや質問等については授業内で適宜取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス／文化人類学とは何か	この授業の概要を説明するとともに、文化人類学の基本をグループワークを通じて学びます。
2	「意味」はなぜ大事なのだろうか？	文化人類学において「意味」が重要であるということを、事例研究を通じて学びます。
3	「物語」を聞くことはどうして必要なのだろうか？	ライフヒストリー分析やバルソナ分析の方法について、「物語」をキーワードに学びます。
4	とある人類学者の経験を「解説」してみよう	具体的な文化人類学のエスノグラフィを読み、その解説を試みます。

5	「比較」という方法を知る	前回授業の内容について、文化人類学における「比較」をキーワードにまとめ、理解を深めます。
6	調査計画はどのように立てればいいだろうか？	文化人類学における調査において最も大事にしなければいけないポイントを学び、調査計画の立案を試みます。
7	そもそもレポートや論文とは何だろうか？	中間レポートの執筆に向けて、そもそもレポートや論文とはどのような特徴を持った文書なのか、文化人類学の観点から考えます。
8	レポート作例の検討を行う	文化人類学のレポートの作例を検討する中で、自身の中間レポートの意義を考えます。
9	レポート作例の批評を行う	文化人類学のレポートの作例を批評する中で、自身の中間レポートの改善点を探します。
10	なぜレポートの書式は重要なのだろうか？	文化人類学という学問の成り立ちや、学会の役割などをレポートの書式を通じて学びます。
11	他者のレポートを読む	他の人の提出した中間レポートを読み、ピアレビューの準備をします。
12	レポート発表会を実施しよう	中間レポートのピアレビューをレポート発表会という形でを行います。
13	テーマを人類学的に掘り下げるにはどうしたらよいだろうか？	これまでに受けたフィードバックをもとに各自のテーマを文化人類学的に深めるための方法を再び「比較」をテーマに学びます。
14	まとめ／他者を理解する方法	それまでの授業の内容を「他者理解」をキーワードにまとめます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 1) 本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
- 2) コメントペーパーを授業後に毎回提出する必要があります。また、毎回の授業冒頭で、前回の授業内容についての小テストを行うので、復習が求められます。
- 3) 授業外に、自ら調査協力者を探してインタビューを実施する必要があるため、相応の負担があることを理解しておくこと。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

授業内に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

コメントペーパー 25%（各回の授業後に200字以上のコメントをLMSを通じて提出）
 小テスト 25%（各回の授業冒頭で前回授業の内容について小テストを実施）
 中間レポート 20%（文化人類学的なインタビューを行い、その内容に考察を付してまとめる。1500字以上。）
 期末レポート 30%（中間レポートに他の人の研究やグループディスカッションの内容を足してまとめる。3000字以上。）

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

- 1) 授業中にWordを使うことがあるので、PC・タブレット等を用意し、Wordのアプリをダウンロードしておいてください。
- 2) 本授業の受講に際して、文化人類学についての事前知識は必要ありませんが、レポート作成に必要な基本技能はあらかじめ身につけている必要があります。

【その他の重要事項】

- 1) 本授業は、グループワークや自主研究を中心にしたアクティブラーニング型の講義となるので、この点を理解した上で履修すること。

- 2) 授業外に、自ら調査協力者を探してインタビューを実施する必要があるため、相応の負担があることを理解しておくこと。
- 3) 履修生が多い場合、課題についての個別のフィードバックは行えない場合があります。また、授業成果物については、教育に活かすため、今回／今後の授業で他の履修生と共有される場合があります。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

Have you ever wanted to better understand the thoughts and perspectives of people from different backgrounds? Anthropology is the study of different cultures and ways of life, aiming to deepen our understanding of others.

Anthropologists conduct fieldwork by immersing themselves in different cultures, engaging in local practices, and listening to people's stories. This course introduces key concepts in anthropology through group work, helping students grasp its core principles. Additionally, students will gain hands-on experience by conducting their own small-scale anthropological research.

【Learning Objectives】

By the end of this course, students will:

- Develop an understanding of anthropology as a method for understanding others.
- Learn the basics of anthropological fieldwork, such as interviews and participant observation, and be able to conduct simple research independently.
- Improve collaboration and learning skills through group work.

【Course Format】

Each class follows this structure:

- Each session begins with a short quiz reviewing the previous class.
- The instructor explains key anthropological concepts and theories related to the day's topic.
- Students engage in 2 – 3 interactive activities such as discussions, quizzes, or workshops.
- The session concludes with a summary.

【Learning Activities Outside of Classroom】

- Students should allocate approximately two hours for preparation and review per session.
- A comment paper is required after each class. Additionally, quizzes at the beginning of each session will test knowledge of previous lessons.
- Group presentations involve researching and presenting basic information about assigned countries, requiring a significant time commitment.

【Grading Criteria】

- Comment Papers: 25%(200+ words submitted via LMS after each class)
- Quizzes: 25%(weekly short tests on past lessons)
- Midterm Report: 20%(report based on interviews, minimum two A4 pages)
- Final Report: 30%(revised and expanded version of the midterm report, minimum three A4 pages)

CUA100LA（文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 100）

文化人類学

2017年度以降入学者

渡辺 浩平

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界には多様な生き方がある。この授業では、文化人類学の研究史を概観してから、各回のテーマに沿った講義を行う。世界各地の様々な事例に触れ、人類学の基本的な考えと概念を学び、自身が当たり前だと感じている社会や文化についての概念や思考を相対化する。

【到達目標】

文化人類学の基本的な視座を習得する。
世界各地の事例を知り、生き方の多様性を理解しようとする中で、別の生き方の可能性を想像する力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。学習支援システムを利用して資料を配布する。
毎回の授業でリアクションペーパーの提出を課す。毎回の授業のはじめに、リアクションペーパーのコメントや質問等に応答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の進め方と評価方法について説明
第2回	文化人類学とは	文化人類学の基礎と方法論
第3回	文化人類学史	人類学的な思考の歴史について
第4回	環境と生業	人と自然の関係について
第5回	経済と政治	コミュニケーションとしての贈与
第6回	国家	権威の生成について
第7回	ヒト	霊長類からみる人類の文化的なもの
第8回	マルチモーダル人類学	民族誌と映像
第9回	家族と親族	家族・親族・結婚の多様性について
第10回	日常と儀礼	日常における儀礼的行動
第11回	セクシュアリティとジェンダー	儀礼的行動から
第12回	境界論	芸術、冗談、人類学
第13回	医療	病いと癒やし
第14回	総括	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で取り上げられる事例の詳細を調べることで理解を深める。
人類学の概念を用いて身の回りの出来事を解釈する。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に定めない。資料を配布する。

【参考書】

毎回の授業で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業内課題（40%）と期末レポート（60%）をもとに評価する。60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業時間外の学習の情報源となるような参考書・文献・資料情報を充実させる。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【その他の重要事項】

各回で取り上げる具体的なテーマは、受講生の関心に応じて変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

There are many ways of life in the world. This course introduces case studies from around the world and anthropology's basic ideas and concepts. This course aims to help students relativize the concepts and thoughts about society and culture. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours reading reference materials. At the end of the course, students are expected to acquire a fundamental perspective of cultural anthropology. Grading will be decided based on the term-end report (60%) and in-class contribution (short reports) (40%).

CUA100LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 100)

文化人類学

2017年度以降入学者

石森 大知

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：集中・その他/
intensive・other courses

単位数：2単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー
期間は 2025 年 4 月 2 日（水）17 時～4 日（金）正午 12
時、結果発表は 4 月 5 日（土）22 時予定です。履修ガイド
(<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2025/>)を確認のうえ、情報シ
ステムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

グローバル化や国際化の加速度的な進展とともに、地球上のすべての
社会を取り巻く文化的環境は大きく変化している。それに伴い、
文化人類学では、新しい知の体系を再構築するべく現代的課題を積
極的に扱うようになった。本授業では、異文化理解のための基本的
な視座を養うとともに、国際協力、地球温暖化、科学技術、芸術と
物質文化、観光開発などの現代的諸テーマを把握し、また自らもか
かわるグローバルな問題として理解することを目指す。

【到達目標】

- ・異文化の比較考察を行うためのものの見方や基本概念を習得する。
- ・ものごとを相対的に捉えることによって得られる他者理解の洞察力を身に付ける。
- ・文化的多様性を理解するとともに、グローバル化の渦中の諸問題について広い視野から考察を行い、自分なりの意見や見解をもつ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国
際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部
：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・本授業は「フルオンデマンド型／資料・教材コンテンツ配布型授業
(全14回)」です。履修生のみなさんには主に学習支援システムを通
して配信される授業レジュメや動画等の資料を用いた学習を行って
いただきます。
- ・授業の理解度や平常の取り組みを評価するため、基本的に毎回、授
業コメントや質問・疑問を求めるリアクションペーパーを課します。
- ・リアクションペーパー等における興味深いコメントや質問等を授
業内で取り上げ、全体に対してフィードバックを行うとともに、さ
らなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要、成績評価方法の説明
第2回	フィールドワークの論理	質的調査の方法論とその考え方
第3回	親族の組織化	キンドレッド・出自・母系社会
第4回	宗教と精神世界	日本人は「無宗教」なのか
第5回	境界性とタブー	「汚さ」の正体
第6回	人生と儀礼	儀礼の構造と論理
第7回	贈物と交換	贈物を社会関係から考える
第8回	芸術とモノ	「美しさ」の正体
第9回	科学技術と人類学	ネットワークとしての科学
第10回	開発現象と人類学	社会開発への転換
第11回	地球温暖化と海面上昇	ツバルの事例から
第12回	観光と文化創造	「楽園」ハワイの事例から

第13回 オリエンタリズム批判 他者表象の政治性と人類学批判
判

第14回 総括 授業のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・授業内で紹介する文化人類学の関連文献を読み、授業の理解を深める。
- ・図書館などで関連文献を調べ、自らの興味関心を広げる。
- ・本授業の準備学修・復習時間は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

教科書はとくに指定せず、必要に応じて関連資料を配布する。

【参考書】

- 授業中に適宜紹介するが、以下のものを挙げておく。
- 松村圭一郎ほか編『文化人類学の思考法』世界思想社、2019年。
- 岸上伸啓編著『はじめて学ぶ文化人類学—人物・古典・名著からの誘い』ミネルヴァ書房、2018年。
- 梅屋潔・シンジルト編『新版 文化人類学のレッスン—フィールドからの出発』学陽書房、2017年。
- 波平恵美子編『文化人類学—カレッジ版（第3版）』医学書院、2011年。

【成績評価の方法と基準】

学期末レポート:40%、平常点（リアクションペーパー、出席状況
等）:60%として総合的に評価する。この成績評価の方法をもとに、
本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする（ただし、平
常点だけでは合格とはなりません。学期末レポートを提出しなかつ
た場合、E評価になります）。

【学生の意見等からの気づき】

文字や音声などの情報だけではなく、できるだけ多くの写真や映像
資料を用いることで授業内容の理解を促すようにする。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムや動画閲覧サービ
ス等を利用します。

【その他の重要事項】

- ・本授業は、大人数授業抽選科目（＝指定された期間にILAC事務局
にて抽選を行い、受講者が決定される科目）となります。
- ・本授業では授業コメント（リアクションペーパー）や学期末レポ
ートの提出を課しますが、生成AIツールは使用しないでください。
- ・学期末レポートにおいては、出典の明示を徹底してください（詳細
についてはレポート作成要領において説明しますが、出典が明示さ
れていない場合は評価対象外となることがあります）。
- ・本学では成績評価におけるSの割合を受講者の20%以内を目安と
することを定めており（ただし少人数授業等を除く）、本授業でもこ
れに従って評価を行います。
- ・シラバス内容や授業計画に変更が生じた場合は授業内もしくは学
習支援システム等で周知します。

【Outline (in English)】

[Course Outline]

This course introduces the fundamentals of cultural anthropol-
ogy, which seeks to understand the cultural and social diversity
of the world. The course aims to provide students with the
basic concepts and perspectives needed to make cross-cultural
comparisons.

[Learning Objectives]

At the end of the course, students should be able to
understand global issues such as international development,
environmental issues, tourism and ethnic conflict from an
anthropological perspective.

[Learning Activities Outside of Classroom]

Before/after each class meeting, students will be expected to
spend four hours to understand the course content.

[Grading Criteria/Policy]

Grading will be decided based on term-end report (40%) and in
class contribution (60%).

SOS100LA（その他の社会科学 / Social science 100）

社会思想 I

2017年度以降入学者

村田 玲

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は、政治に関する哲学的思惟の発生から、近代的思惟への転換に至る過程を概観する。古典古代、ポリス社会において発生した思惟の伝統は、これ以降の西洋社会思想を根本的に規定するものであったと同時に、ポリス社会の基本性格を濃厚に反映するものであったことは疑いない。それゆえに、ポリス社会の崩壊と世界帝国の形成とともに一定の変容を被らずにはいなかったのである。ローマ人の征服事業により出現した地中海帝国は、これに先立つ古典古代の伝統を総合するのみならず、諸々の重要な点で、帝国崩壊後の中世キリスト教共同体の到来を予示するものであった。しかしながら政治に関する哲学的・理性的思惟は、やがては聖書宗教に拠る信仰共同体と深刻な緊張関係に陥るはずである。事実、中世キリスト教共同体の成熟に伴い、次第に「復興」する古典的諸学芸は、理論のみならず実践の領域においても、教会権力との熾烈な抗争を惹起するのである。当初、古典古代の「復興」として発火した巨大な精神運動が、いかにして前例なき新しさを帯びる近代的思惟を生み出すこととなったのか、それはおそらく世界歴史における最も興味深く、そして深刻な問題のひとつを提起することになるであろう。かかる社会思想の歴史の展開を概観することは、現代政治を論ずるにあたっても留意すべき根本的諸論題、すなわち「善と正義」、「政治と宗教」、そして「政治権力」等々について、学生諸子が考察する機会となるはずである。

【到達目標】

本講義で概説される社会思想の歴史とは、本来的な意味における「政治学」の歴史である。かつて「政治学」とは人間の事柄の秩序に関する学、すなわち社会科学そのものであった。また本講義で概説される社会思想の歴史とは、ソクラテス的な意味における「政治哲学」の歴史である。かかる「政治哲学」とは、あるべき秩序形成をめぐる哲学的諸問題の集成である。したがって本講義の目標は、履修者が①およそ社会科学の一般教養に該当する知識を習得したうえで、②「善とは何か」、「正義とは何か」等々の哲学的諸問題について思考できるようにすることで達せられる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は対面授業を基本とする。詳細については、逐次「学習支援システム」をつうじて伝達する。なお、質問に対するフィードバックは、授業の中で適宜行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	講義序論	社会思想の歴史と現代について 若干の所見、および講義概説
2	政治哲学の起源①	ソクラテス問題、あるいは政治に関する哲学的思惟について
3	政治哲学の起源②	プラトンの対話篇、とくに『国家』および『法律』について
4	政治哲学の起源③	アリストテレスの『政治学』、そのプラトン批判について

5	世界帝国と思想①	ヘレニズム時代の哲学諸派、ならびに自然法思想について
6	世界帝国と思想②	キケロとセネカ、あるいは古典古代の衰亡について
7	世界帝国と思想③	アウグスティヌスの『神の国』と聖書宗教の勝利について
8	中世の政治思想①	イスラム世界とギリシア思想、信仰と哲学の関係について
9	中世の政治思想②	中世盛期、トマス・アクィナスとスコラ学について
10	中世の政治思想③	ダンテとマルシリウス、イタリア諸都市の興亡について
11	文芸復興期の精神①	マキアヴェッリの『君主論』と近代政治哲学について
12	文芸復興期の精神②	トマス・モアと16世紀のユートピア思想について
13	文芸復興期の精神③	近代科学の始動と世界像の刷新、社会思想の変容について
14	講義総括	社会思想の歴史的研究の意義について若干の所見

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

すくなくとも指定した教科書の次回授業範囲を熟読しておくこと。なお、社会思想の歴史を学習する最善にして、おそらく唯一の真なる方法は、履修者みずからが偉大な古典文献をひも解くほかにないことを付言しておく。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

宇野重規『西洋政治思想史』（有斐閣、2013年）本体1700円。なお、毎回授業時にはレジュメを配布する。

【参考書】

川出良枝・山岡龍一『西洋政治思想史』（岩波書店、2012年）本体2900円。その他、有益な参考文献については、随時、授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加：20 %
複数回の小レポート：30 %
期末レポート：50 %

【学生の意見等からの気づき】

可能な限り、学生との積極的なコミュニケーションをはかる。

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

なし

【Outline (in English)】

This course is designed to help students understand some aspects of the history of political philosophy from the ancient Greece to the Renaissance Italy. The origin of philosophical meditation on “the order of the human things” is the life of Socrates. The classical political philosophy formed by his successors seemed to be subverted through the collapse of the ancient world and the triumph of the Biblical religion. However, with the opening of Renaissance age, the heritages of the classical antiquity, which were preserved in the Islamic world, revived the great tradition of political philosophy in the Western world. It was the revival of ancient civilization that marked the beginning of the modern West. The philosophical tradition, that hugely changed its orientation as a result of mediation of Biblical religion, organized the axioms of modern politics (liberal democracy). The historical process of the reformation and mutation could raise one of the most urgent and crucial problems which must be reflected by the students of social science in our time. Students are required to prepare for the assigned part of the designated textbook for each class. Students are evaluated on their class participation(20%), submitted assignments(30%) and the final report(50%).

SOS100LA（その他の社会科学 / Social science 100）

社会思想Ⅱ

2017年度以降入学者

村田 玲

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は、宗教改革によるキリスト教共同体の分裂から、主権国家体制の成立、市民革命を経て、現代政治に至る西洋社会思想の過程を概観する。その過程を理解することは、現代世界の成立史の一側面を理解することを意味している。宗教改革によるヨーロッパ世界の動乱は、諸々の世俗権力の自立、ならびに資本主義の精神の発生を促したことがしばしば指摘される。宗派対立を収拾する要請から構想された主権の観念は、官僚制と常備軍に支えられた絶対王権によって具体化された。世襲王権のもとに集中した権力が、次第に台頭する市民階級によって奪取されるが市民革命であるが、ここにおいて銘記すべきであるのは、絶対王政から現代政治に至るまでの主権の観念の連続性である。主権国家体制にかわる世界政治の枠組みが構想される現在、まずもって主権国家体制の生成過程に関する理解が深められなくてはならない。また現代のリベラル・デモクラシーの基本性格のみならず、その諸々の問題点は、近代国家の発達史に関する理解もって把握されなければならないのである。ついで二〇世紀末年の規範理論の復権が、社会思想の歴史において帯びている意義について付言して本講義を結ぶ。かかる政治思想史の展開を概観することは、現代政治を論ずるにあたって留意すべき根本的諸論題、すなわち「寛容」、「権力批判」、そして「公共性」等々について、学生諸子が考察を深める機会となるであろう。

【到達目標】

本講義で概説される社会思想の歴史とは、本来的な意味における「政治学」の歴史である。かつて「政治学」とは人間の事柄の秩序に関する学、すなわち社会科学そのものであった。また本講義で概説される社会思想の歴史とは、ソクラテス的な意味における「政治哲学」の歴史である。かかる「政治哲学」とは、あるべき秩序形成をめぐる哲学的諸問題の集成である。したがって本講義の目標は、履修者が①およそ社会科学の一般教養に該当する知識を習得したうえで、②「権力とは何か」、「公共性とは何か」等々の哲学的諸問題について思考できるようになることで達せられる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は対面授業を基本とする。詳細については、逐次「学習支援システム」をつうじて伝達する。なお、質問に対するフィードバックは、授業の中で適宜行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	講義序論	社会思想の歴史と現代について 若干の所見、および講義概説
2	宗教改革の思想①	ルターとカルヴァン、カトリック教会分裂の思想的契機について
3	宗教改革の思想②	宗教改革の政治的帰結、ならびに王権神授説について
4	近代国家の形成①	宗教戦争の時代、ボダンの『国家論』と主権の概念

5	近代国家の形成②	ピューリタン革命とホッブズの『リヴァイアサン』について
6	市民革命の理論①	ロックの『統治二論』とイギリス名誉革命体制について
7	市民革命の理論②	ルソーの『社会契約論』、ならびに人民主権論について
8	市民革命の理論③	バークの『フランス革命の省察』、保守主義の近代について
9	自由主義と社会主義①	スミスの『国富論』から功利主義へ、自由概念の変容について
10	自由主義と社会主義②	マルクスの『共産党宣言』、ならびに社会主義の展開について
11	自由主義と社会主義③	ケインズ経済学と現代福祉国家、社会民主主義について
12	現代政治①	20世紀のアメリカ政治学、科学的政治学の思想的基礎
13	現代政治②	ロールズの『正義論』ほか瞥見、政治哲学の復権について
14	講義総括	社会思想の歴史的研究の意義について若干の所見

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

すくなくとも指定した教科書の次回授業範囲を熟読しておくこと。なお、社会思想の歴史を学習する最善にして、おそらく唯一の真なる方法は、履修者みずからが偉大な古典文献をひも解くほかにないことを付言しておく。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

宇野重規『西洋政治思想史』（有斐閣、2013年）本体1700円。なお、毎回授業時にはレジュメを配布する。

【参考書】

川出良枝・山岡龍一『西洋政治思想史』（岩波書店、2012年）本体2900円。その他、有益な参考文献については、随時、授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加：20％
複数回の小レポート：30％
期末レポート：50％

【学生の意見等からの気づき】

可能な限り、学生との積極的なコミュニケーションをはかる。

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

なし

【Outline (in English)】

This course is designed to help students understand some aspects of the history of political philosophy from the Renaissance to the 20th century. The origin of philosophical meditation on “the order of the human things” is the life of Socrates. The classical political philosophy formed by his successors seemed to be subverted through the collapse of the ancient world and the triumph of the Biblical religion. However, with the opening of Renaissance age, the heritages of the classical antiquity, which were preserved in the Islamic world, revived the great tradition of political philosophy in the Western world. It was the revival of ancient civilization that marked the beginning of the modern West. The philosophical tradition, that hugely changed its orientation as a result of mediation of Biblical religion, organized the axioms of modern politics (liberal democracy). The historical process of the reformation and mutation could raise one of the most urgent and crucial problems which must be reflected by the students of social science in our time. Students are required to prepare for the assigned part of the designated textbook for each class. Students are evaluated on their class participation(20%), submitted assignments(30%) and the final report(50%).

SOS100LA (その他の社会科学 / Social science 100)

社会思想 I

2017年度以降入学者

村田 玲

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は、政治に関する哲学的思惟の発生から、近代的思惟への転換に至る過程を概観する。古典古代、ポリス社会において発生した思惟の伝統は、これ以降の西洋社会思想を根本的に規定するものであったと同時に、ポリス社会の基本性格を濃厚に反映するものであったことは疑いない。それゆえに、ポリス社会の崩壊と世界帝国の形成とともに一定の変容を被らずにはいなかったのである。ローマ人の征服事業により出現した地中海帝国は、これに先立つ古典古代の伝統を総合するのみならず、諸々の重要な点で、帝国崩壊後の中世キリスト教共同体の到来を予示するものであった。しかしながら政治に関する哲学的・理性的思惟は、やがては聖書宗教に拠る信仰共同体と深刻な緊張関係に陥るはずである。事実、中世キリスト教共同体の成熟に伴い、次第に「復興」する古典的諸学芸は、理論のみならず実践の領域においても、教会権力との熾烈な抗争を惹起するのである。当初、古典古代の「復興」として発火した巨大な精神運動が、いかにして前例なき新しさを帯びる近代的思惟を生み出すこととなったのか、それはおそらく世界歴史における最も興味深く、そして深刻な問題のひとつを提起することになるであろう。かかる社会思想の歴史の展開を概観することは、現代政治を論ずるにあたっても留意すべき根本的諸論題、すなわち「善と正義」、「政治と宗教」、そして「政治権力」等々について、学生諸子が考察する機会となるはずである。

【到達目標】

本講義で概説される社会思想の歴史とは、本来的な意味における「政治学」の歴史である。かつて「政治学」とは人間の事柄の秩序に関する学、すなわち社会科学そのものであった。また本講義で概説される社会思想の歴史とは、ソクラテス的な意味における「政治哲学」の歴史である。かかる「政治哲学」とは、あるべき秩序形成をめぐる哲学的諸問題の集成である。したがって本講義の目標は、履修者が①およそ社会科学の一般教養に該当する知識を習得したうえで、②「善とは何か」、「正義とは何か」等々の哲学的諸問題について思考できるようにすることで達せられる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は対面授業を基本とする。詳細については、逐次「学習支援システム」をつうじて伝達する。なお、質問に対するフィードバックは、授業の中で適宜行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	講義序論	社会思想の歴史と現代について 若干の所見、および講義概説
2	政治哲学の起源①	ソクラテス問題、あるいは政治に関する哲学的思惟について
3	政治哲学の起源②	プラトンの対話篇、とくに『国家』および『法律』について
4	政治哲学の起源③	アリストテレスの『政治学』、そのプラトン批判について

5	世界帝国と思想①	ヘレニズム時代の哲学諸派、ならびに自然法思想について
6	世界帝国と思想②	キケロとセネカ、あるいは古典古代の衰亡について
7	世界帝国と思想③	アウグスティヌスの『神の国』と聖書宗教の勝利について
8	中世の政治思想①	イスラム世界とギリシア思想、信仰と哲学の関係について
9	中世の政治思想②	中世盛期、トマス・アクィナスとスコラ学について
10	中世の政治思想③	ダンテとマルシリウス、イタリア諸都市の興亡について
11	文芸復興期の精神①	マキアヴェッリの『君主論』と近代政治哲学について
12	文芸復興期の精神②	トマス・モアと16世紀のユートピア思想について
13	文芸復興期の精神③	近代科学の始動と世界像の刷新、社会思想の変容について
14	講義総括	社会思想の歴史的研究の意義について若干の所見

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

すくなくとも指定した教科書の次回授業範囲を熟読しておくこと。なお、社会思想の歴史を学習する最善にして、おそらく唯一の真なる方法は、履修者みずからが偉大な古典文献をひも解くほかにないことを付言しておく。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

宇野重規『西洋政治思想史』（有斐閣、2013年）本体1700円。なお、毎回授業時にはレジュメを配布する。

【参考書】

川出良枝・山岡龍一『西洋政治思想史』（岩波書店、2012年）本体2900円。その他、有益な参考文献については、随時、授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加：20 %
複数回の小レポート：30 %
期末レポート：50 %

【学生の意見等からの気づき】

可能な限り、学生との積極的なコミュニケーションをはかる。

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

なし

【Outline (in English)】

This course is designed to help students understand some aspects of the history of political philosophy from the ancient Greece to the Renaissance Italy. The origin of philosophical meditation on “the order of the human things” is the life of Socrates. The classical political philosophy formed by his successors seemed to be subverted through the collapse of the ancient world and the triumph of the Biblical religion. However, with the opening of Renaissance age, the heritages of the classical antiquity, which were preserved in the Islamic world, revived the great tradition of political philosophy in the Western world. It was the revival of ancient civilization that marked the beginning of the modern West. The philosophical tradition, that hugely changed its orientation as a result of mediation of Biblical religion, organized the axioms of modern politics (liberal democracy). The historical process of the reformation and mutation could raise one of the most urgent and crucial problems which must be reflected by the students of social science in our time. Students are required to prepare for the assigned part of the designated textbook for each class. Students are evaluated on their class participation(20%), submitted assignments(30%) and the final report(50%).

SOS100LA（その他の社会科学 / Social science 100）

社会思想Ⅱ

2017年度以降入学者

村田 玲

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は、宗教改革によるキリスト教共同体の分裂から、主権国家体制の成立、市民革命を経て、現代政治に至る西洋社会思想の過程を概観する。その過程を理解することは、現代世界の成立史の一側面を理解することを意味している。宗教改革によるヨーロッパ世界の動乱は、諸々の世俗権力の自立、ならびに資本主義の精神の発生を促したことがしばしば指摘される。宗派対立を収拾する要請から構想された主権の観念は、官僚制と常備軍に支えられた絶対王権によって具体化された。世襲王権のもとに集中した権力が、次第に台頭する市民階級によって奪取されるが市民革命であるが、ここにおいて銘記すべきであるのは、絶対王政から現代政治に至るまでの主権の観念の連続性である。主権国家体制にかわる世界政治の枠組みが構想される現在、まずもって主権国家体制の生成過程に関する理解が深められなくてはならない。また現代のリベラル・デモクラシーの基本性格のみならず、その諸々の問題点は、近代国家の発達史に関する理解もって把握されなければならないのである。ついで二〇世紀末年の規範理論の復権が、社会思想の歴史において帯びている意義について付言して本講義を結ぶ。かかる政治思想史の展開を概観することは、現代政治を論ずるにあたって留意すべき根本的諸論題、すなわち「寛容」、「権力批判」、そして「公共性」等々について、学生諸子が考察を深める機会となるであろう。

【到達目標】

本講義で概説される社会思想の歴史とは、本来的な意味における「政治学」の歴史である。かつて「政治学」とは人間の事柄の秩序に関する学、すなわち社会科学そのものであった。また本講義で概説される社会思想の歴史とは、ソクラテス的な意味における「政治哲学」の歴史である。かかる「政治哲学」とは、あるべき秩序形成をめぐる哲学的諸問題の集成である。したがって本講義の目標は、履修者が①およそ社会科学の一般教養に該当する知識を習得したうえで、②「権力とは何か」、「公共性とは何か」等々の哲学的諸問題について思考できるようになることで達せられる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は対面授業を基本とする。詳細については、逐次「学習支援システム」をつうじて伝達する。なお、質問に対するフィードバックは、授業の中で適宜行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	講義序論	社会思想の歴史と現代について 若干の所見、および講義概説
2	宗教改革の思想①	ルターとカルヴァン、カトリック教会分裂の思想的契機について
3	宗教改革の思想②	宗教改革の政治的帰結、ならびに王権神授説について
4	近代国家の形成①	宗教戦争の時代、ボダンの『国家論』と主権の概念

5	近代国家の形成②	ピューリタン革命とホッブズの『リヴァイアサン』について
6	市民革命の理論①	ロックの『統治二論』とイギリス名誉革命体制について
7	市民革命の理論②	ルソーの『社会契約論』、ならびに人民主権論について
8	市民革命の理論③	バークの『フランス革命の省察』、保守主義の近代について
9	自由主義と社会主義①	スミスの『国富論』から功利主義へ、自由概念の変容について
10	自由主義と社会主義②	マルクスの『共産党宣言』、ならびに社会主義の展開について
11	自由主義と社会主義③	ケインズ経済学と現代福祉国家、社会民主主義について
12	現代政治①	20世紀のアメリカ政治学、科学的政治学の思想的基礎
13	現代政治②	ロールズの『正義論』ほか瞥見、政治哲学の復権について
14	講義総括	社会思想の歴史的研究の意義について若干の所見

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

すくなくとも指定した教科書の次回授業範囲を熟読しておくこと。なお、社会思想の歴史を学習する最善にして、おそらく唯一の真なる方法は、履修者みずからが偉大な古典文献をひも解くほかにないことを付言しておく。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

宇野重規『西洋政治思想史』（有斐閣、2013年）本体1700円。なお、毎回授業時にはレジュメを配布する。

【参考書】

川出良枝・山岡龍一『西洋政治思想史』（岩波書店、2012年）本体2900円。その他、有益な参考文献については、随時、授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加：20％
複数回の小レポート：30％
期末レポート：50％

【学生の意見等からの気づき】

可能な限り、学生との積極的なコミュニケーションをはかる。

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

なし

【Outline (in English)】

This course is designed to help students understand some aspects of the history of political philosophy from the Renaissance to the 20th century. The origin of philosophical meditation on “the order of the human things” is the life of Socrates. The classical political philosophy formed by his successors seemed to be subverted through the collapse of the ancient world and the triumph of the Biblical religion. However, with the opening of Renaissance age, the heritages of the classical antiquity, which were preserved in the Islamic world, revived the great tradition of political philosophy in the Western world. It was the revival of ancient civilization that marked the beginning of the modern West. The philosophical tradition, that hugely changed its orientation as a result of mediation of Biblical religion, organized the axioms of modern politics (liberal democracy). The historical process of the reformation and mutation could raise one of the most urgent and crucial problems which must be reflected by the students of social science in our time. Students are required to prepare for the assigned part of the designated textbook for each class. Students are evaluated on their class participation(20%), submitted assignments(30%) and the final report(50%).

SOS100LA（その他の社会科学 / Social science 100）

社会思想 I

2017年度以降入学者

林 嵩文

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、政治に関わるコミュニケーションで使用される思考枠組みや概念について、政治哲学および政治思想史と呼ばれる分野が蓄積してきた知見やパースペクティブを獲得することを目指します。その中でもとりわけ、民主主義の歴史と理論に焦点を当てます。中心となるのは、(1) 古代ギリシア世界における民主主義の実践と理論 (2) 18世紀フランスにおける人民主権の思想とその制度化 (3) 戦間期ドイツ（ヴァイマル共和国）における民主主義論という3つのトピックです。

【到達目標】

この授業の到達目標は以下の通りです。

- (1) 民主主義の歴史や理論に関する議論を理解し、それぞれの立場の意義や問題点を説明できるようになる。
- (2) 授業で得た知識を用いて民主主義にまつわる様々な問題を分析し、それらに対する自分の立場を説明・表現できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。ただし、毎回コメントカードを提出していただき、その次の授業でそのコメントについてのレスポンスを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義全体の概要および成績評価についての説明
第2回	古代ギリシア世界の成立	神話の時代から都市国家（ポリス）の成立
第3回	アテナイの民主主義の歴史①	ソロンの改革からペロポネソス戦争まで
第4回	アテナイの民主主義の歴史②	民主主義の動揺からアレクサンドロス大王の時代まで
第5回	古代ギリシア思想と民主主義①	歴史家の民主主義論・「ピュシス」と「ノモス」の概念
第6回	古代ギリシア思想と民主主義②	プラトンの民主主義批判
第7回	歴史上の民主主義像	ヨーロッパ思想史における民主主義のイメージ
第8回	民主主義とルソー①	ルソーの人民主権論
第9回	民主主義とルソー②	ルソーの代表制批判
第10回	フランス革命と民主主義①	フランス人権宣言とシエス
第11回	フランス革命と民主主義②	「共和政」の誕生と代表制の諸構想
第12回	議会制民主主義の概念と評価①	シュミットの議会制論
第13回	議会制民主主義の概念と評価②	ケルゼンの民主主義論
第14回	まとめと課題説明	講義全体のまとめとレポート課題の説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。予習・復習については、(1) 毎回の授業前に配布する教材（レジュメとスライド）に目を通してどのような問題が講義で扱われるのかを予習し、(2) 毎回の講義後にその内容についてコメントカードを執筆・提出すること。

【テキスト（教科書）】

ありません。教材として毎回レジュメとスライドを配布します。

【参考書】

講義内で随時紹介しますが、ここでは以下の3冊を推奨します。橋場弦『古代ギリシアの民主政』、岩波書店（岩波新書）、2022年。ルソー『社会契約論』桑原武夫・前川貞次郎訳、岩波書店（岩波文庫）、1954年。ハンス・ケルゼン『民主主義の本質と価値』長尾龍一・植田俊太郎訳、岩波書店（岩波文庫）、2015年。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加（受講態度とコメントカード、30%）と期末課題（レポート、70%）で成績を評価します。なお、講義内での不要な私語がなされる場合、期末課題の提出を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用するための情報機器（パソコン、スマートフォン、タブレット）を準備してください。

【その他の重要事項】

授業に関連する質問は、授業後もしくは初回授業で案内するメールアドレスで受け付けます。

【Outline (in English)】

The course aims to present theoretical concepts and frameworks for politics by explaining the history and theories of political philosophy. Students will learn to understand central issues of politics, especially history and theory of democracy. Central issues are (1) democracy in ancient Greece, (2) concepts and institutions of popular sovereignty in 18th century's France, and (3) theories of democracy in Weimar republic.

SOS100LA (その他の社会科学 / Social science 100)

社会思想Ⅱ

2017年度以降入学者

林 嵩文

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、政治に関わるコミュニケーションで使用する思考枠組みや概念について、政治哲学および政治思想史と呼ばれる分野が蓄積してきた知見やパースペクティブを獲得することを目指します。その中でもとりわけ、自由の概念に焦点を当てます。授業全体を貫くテーマは、自由と国家権力の関係をどのように考えるか、個人の自由とはやりたいことをやる自由なのか、自由を実現するには国家権力は本当に障害なのか、といった問題です。

【到達目標】

この授業の到達目標は以下の通りです。

- (1) 自由に関する近代や現代の政治理論を理解し、それぞれの立場の意義や問題点を説明できるようになる。
- (2) 授業で得た知識を用いて、社会や政治の次元で自由を実現することに関わる様々な問題を分析し、それらに対する自分の立場を説明・表現できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。ただし、毎回コメントカードを提出していただき、その次の授業でそのコメントについてのレスポンスを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義全体の概要および成績評価についての説明
第2回	自由と権力①	ロックの自然権論
第3回	自由と権力②	近代の権力分立論と自由
第4回	自由と社会①	ルソーの社会的な不平等批判と自由
第5回	自由と社会②	ルソーにおける道徳的自由
第6回	自律としての自由	カントの自由概念
第7回	言論の自由と啓蒙	カントの啓蒙概念
第8回	自由と法	ヘーゲルの自由概念
第9回	功利主義と自由①	ミルの自由論
第10回	功利主義と自由②	ミルの自由論・女性論
第11回	福祉国家と自由	ニュー・リベラリズムの自由概念
第12回	自由と正義	ロールズの正義論と自由
第13回	個人の自由と国家	リバタリアニズムの自由論
第14回	まとめと課題説明	講義全体のまとめとレポート課題の説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。予習・復習については、(1) 毎回の授業前に配布する教材（レジュメとスライド）に目を通しどのような問題が講義で扱われるのかを予習し、(2) 毎回の講義後にその内容についてコメントカードを執筆・提出すること。

【テキスト（教科書）】

ありません。教材として毎回レジュメとスライドを配布します。

【参考書】

講義内で随時紹介しますが、ここでは以下の3冊を推奨します。
笹澤豊『〈権利〉の選択』筑摩書房（ちくま学芸文庫）、2021年。
イマヌエル・カント『道徳形而上学の基礎づけ』御子柴善之訳、人文書院、2022年。
マイケル・フリーデン『リベラリズムとは何か』山岡龍一監訳、筑摩書房（ちくま学芸文庫）、2021年。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加（受講態度とコメントカード、30%）と期末課題（レポート、70%）で成績を評価します。なお、講義内での不要な私語がなされる場合、期末課題の提出を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用するための情報機器（パソコン、スマートフォン、タブレット）を準備してください。

【その他の重要事項】

授業に関連する質問は、授業後もしくは初回授業で案内するメールアドレスで受け付けます。

【Outline (in English)】

The course aims to present theoretical concepts and frameworks for politics by explaining the history and theories of political philosophy. Students will learn to understand central issues of politics, especially concepts of freedom. Central issues are (1) the relations of freedom and state, (2) the nature of individual freedom, and (3) (un)necessity of state in order to realize freedom.

SOS100LA（その他の社会科学 / Social science 100）

社会思想Ⅰ

2017年度以降入学者

阿部 崇史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、現代の規範的な政治理論を学びます。言い換えれば、自由や平等のような、政治・政策に関わる価値を扱います。貧困やパンデミックといった現代の社会的課題に対応するためには、様々な政策を実施して適切な制度および実践を構築する必要があります。その際には、政策がもたらす経済的効果に加えて、自由や平等や公正さのような、様々な価値ないし理念をどのように実現するのかが問われてきます。このような価値ないし理念を考察し、現代の社会的課題の解決策を提示するのが、規範的な政治理論の目標です。春学期は、現代の規範的な政治理論において提示されてきた、代表的な理論を検討します。それを通じて、現代の社会的課題への解決策を考えたり、様々な政策や制度を批判的に評価したりできるようになることが、この授業の目的になります。

【到達目標】

本授業における具体的な到達目標は、以下の3つになります。（1）功利主義、リベタリアニズム、リベラルな平等主義、といった理論を理解した上で批判的に検討できるようになる。（2）様々な政策や制度を批判的に評価したり新たに構想したりできるようになる。（3）現代の社会的課題について自らの意見や解決策を提示できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・現代の社会的課題を簡略化した事例に対するみなさんの意見を聞き、それを起点に様々な理論を検討していきます。
- ・積極的な発言を歓迎しますが、意見の提示は任意であり、強制的に当てることはないので、安心してください。
- ・毎回の授業後に、その回に扱った理論に対するみなさん自身の意見を書くコメントペーパーを提出してもらいます。
- ・毎回の授業の最初に、コメントペーパーへの応答（20分程度）を行います。
- ・第9回の授業は、グループディスカッションを行い、規範的政治理論を用いつつ現代の社会的課題をみなさんに検討してもらいます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業全体の概要の説明
第2回	功利主義（1）	人々の幸福を最大化する社会の構想
第3回	功利主義（2）	功利主義の課題
第4回	リベタリアニズム（1）	自由権を絶対的に尊重する社会の構想
第5回	リベタリアニズム（2）	リベタリアニズムの課題
第6回	リベラルな平等主義（1）	自由を平等に尊重する社会の構想
第7回	リベラルな平等主義（2）	人々が公正に協働する社会の構想
第8回	リベラルな平等主義（3）	リベラルな平等主義の課題
第9回	グループディスカッション	理論を用いた社会的課題の検討
第10回	運の平等主義（1）	選択責任と平等を両立する社会の構想
第11回	運の平等主義（2）	運の平等主義の課題
第12回	関係論的平等主義（1）	人々が平等に関わり合う社会の構想
第13回	関係論的平等主義（2）	関係論的平等主義の課題
第14回	レポート課題の説明	レポートの書き方と採点ポイント

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・毎回の授業後に、先述の課題（コメントペーパー）を提出していただきます。
- ・加えて、参考書や授業中に挙げた文献を各自の興味関心に合わせて読むことや、授業で扱ったテーマや議論について自分で考えてみることを、推奨します。
- ※大学設置基準に鑑みた場合、本授業の準備・復習時間は、各2時間が標準となります。

【テキスト（教科書）】

特定の教科書を使用することなく、学習支援システムに毎回の講義資料（パワーポイントとPDF）をアップロードします。

【参考書】

- ※参考書として、規範的な政治理論の教科書を4冊挙げておきます。どれか1冊が手元にあると、予習・復習をしやすいと思います。
- ※授業内容との関連という点では、（1）→（4）の順番で関わりが深いです。しかし逆に、簡単に読めるという観点では、（4）→（1）という順番で読みやすいと思います。
- （1）W.キムリッカ、千葉真・岡崎晴暉（訳）『現代政治理論』日本経済評論社、2005年
- （2）宇佐美誠・児玉聡・井上彰・松元雅和『正義論：ベーシックスからフロンティアまで』法律文化社、2019年
- （3）川崎修・杉田敦（編）『現代政治理論』有斐閣、2012年
- （4）田村哲樹・松元雅和・乙部延剛・山崎望『ここから始める政治理論』有斐閣、2017年
- ※その他、各回の授業のテーマに関連する文献を、授業中に挙げます。

【成績評価の方法と基準】

満点である100点のうち、平常点が30%、期末レポートが70%になります。期末レポートは、現代の社会的課題に関する仮想的な事例に対して、規範的な問題点を分析した上で、自らの主張を根拠づけて論じるものになります。具体的なレポート課題や採点ポイントは、第14回の授業で詳しく説明します。平常点は、毎回の授業に対するコメントペーパー、普段の聴講態度、グループディスカッションへの参加を考慮して判断します。

【学生の意見等からの気づき】

- （1）昨年度は、試験的に、社会的課題（事例）に対する受講者の意見を聞き、それを起点に理論を説明する進め方を中心に授業を進めました。このスタイルが好評だったため、今年も同じように授業を進めます。
- （2）他方で、受講者の意見を聞く時間が長くなり、理論の説明が短く理解が難しくなってしまった授業回もあったので、バランスに注意しながら進めます。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムに授業のための資料をアップロードします。また、毎回の課題提示と提出は学習支援システムを介して行います。そのため、学習支援システムを利用するための情報通信環境が必要となります。

【その他の重要事項】

秋学期の社会思想Ⅱでは、春学期の社会思想Ⅰ（本授業）の内容を踏まえて、現代の様々な社会的課題についてより具体的に考察します。社会思想Ⅰのみの履修でも意義があるような講義を行います。春学期・秋学期を合わせた履修を推奨します。また、社会思想Ⅰで学ぶことのイメージがつかみにくい場合は、実践編である社会思想Ⅱのシラバスを参照してください。

【Outline (in English)】

《Course outline》

Students study modern political philosophy (normative political theory) in this course. It aims to deal with social issues nowadays by examining values or ideals related to policies, institutions, and social practices. The representatives of these values are Liberty, equality, and fairness. In the Spring semester, we examine essential theories in modern political philosophy, such as utilitarianism, libertarianism, and liberal egalitarianism. After examining them, students can explore how we should deal with social issues nowadays and critically evaluate our society's policies, institutions, and practices.

《Learning objectives》

The goals of this course are the followings:

- 1. To examine theories in modern political philosophy.
- 2. To evaluate our society's policies, institutions, and practices critically.
- 3. To explore how we should deal with social issues nowadays.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to complete the required assignments after each class meeting. You are recommended to study more than four hours per class according to the standard set by the Japanese government.

《Grading Criteria/Policies》

Your overall grade in the class will be decided based on the following standards:

- 1. Required assignments after each class: 30%
- 2. Term-end report: 70%

SOS100LA（その他の社会科学 / Social science 100）

社会思想Ⅱ

2017年度以降入学者

阿部 崇史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、現代の規範的な政治理論を学びます。言い換えれば、自由や平等のような、政治・政策に関わる価値を扱います。貧困やパンデミックといった現代の社会的課題に対応するためには、様々な政策を実施して適切な制度および実践を構築する必要があります。その際には、政策がもたらす経済的効果に加えて、自由や平等や公正さのような、様々な価値ないし理念をどのように実現するのかが問われてきます。このような価値ないし理念を考察し、現代の社会的課題の解決策を提示するのが、規範的な政治理論の目標です。秋学期は、貧困や差別といった現代の様々な社会的課題を取り上げ、価値ないし理念の観点から考察を行います。それを通じて、現代の社会的課題に関する規範的な論争点を理解するとともに、様々な社会的課題に対する解決策を自ら考えられるようになることが、この授業の目的になります。

【到達目標】

本講義では、貧困、格差、差別といった、現代社会における様々な課題・問題を取り上げ、価値や理念に着目する規範的な観点から、考察を行います。具体的には、以下の3つを到達目標とします。（1）様々な社会的課題について、どのような規範的な論争点が存在するのかを理解すること。（2）それらの論争点についてどのような立場が提示されてきて、どのような批判的検討がなされてきたかを理解すること。（3）現代の社会的課題に対して、自らの意見を提示できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・講義形式を中心としつつ、グループディスカッションを3回行います。
- ・講義形式の授業でも、双方向的な授業になるような工夫を行います。
- ・現代の社会的課題を簡略化した事例に対するみなさんの意見を聞き、それを起点に様々な議論を検討していきます。
- ・積極的な発言を歓迎しますが、意見の提示は任意であり、強制的に当てることはないので、安心してください。
- ・毎回の授業後に、その回に扱った社会的課題に対するみなさん自身の意見を書くコメントペーパーを提出してもらいます。
- ・毎回の授業の最初に、コメントペーパーへの応答（20分程度）を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業全体の概要
第2回	貧困	貧困とは何か？
第3回	格差	仕事と経済的報酬の比例性
第4回	自己責任論	貧困や格差は自己責任か？
第5回	能力主義	能力主義は格差を正当化できるか？
第6回	ディスカッション(1)	貧困と格差に対処する政策を考える
第7回	健康	健康の価値と社会的決定要因
第8回	医療	医療資源の公正な分配
第9回	ディスカッション(2)	医療に関する政策を考える
第10回	差別(1)	差別の形式的特徴
第11回	差別(2)	さまざまな形態の差別
第12回	差別(3)	差別の規範的特徴
第13回	ディスカッション(3)	差別に対処する政策を考える
第14回	レポート課題の説明	レポートの書き方と採点ポイント

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業後に、先述の課題（コメントペーパー）を提出していただきます。加えて、参考書や授業中に挙げた文献を各自の興味関心に合わせて読むことや、授業で扱ったテーマや議論について自分で考えてみることを、推奨します。※大学設置基準に鑑みした場合、本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定の教科書を使用することはなく、学習支援システムに毎回の講義資料（パワーポイントとPDF）をアップロードします。

【参考書】

※（1）の本と（2）の第2部は、現代の社会的課題を取り上げ、規範的政治理論の観点から検討を行う教科書です。（3）は、具体的なトピックの一例として、新型コロナウイルスを題材にした医療資源の分配などを扱う本です。

- （1）J. ウルフ、大澤津・原田健二朗訳『正しい政策』がないならどうすべきか：政策のための哲学』勁草書房、2016年
 - （2）宇佐美誠・児玉聡・井上彰・松元雅和『正義論：ベーシックスからフロンティアまで』法律文化社、2019年
 - （3）広瀬巖『パンデミックの倫理学：緊急時対応の倫理原則と新型コロナウイルス感染症』勁草書房、2021年
- ※その他、各授業で取り上げるテーマ・トピックに関して、授業中に参考文献を提示します。

【成績評価の方法と基準】

満点である100点のうち、平常点が30%、期末レポートが70%になります。期末レポートは、現代の社会的課題に関する仮想的な事例に対して、規範的な問題点を分析した上で、自らの主張を根拠づけて論じるものになります。具体的なレポート課題や採点ポイントは、第14回の授業で詳しく説明します。平常点は、毎回の授業に対するコメントペーパーと普段の聴講態度などを考慮して判断します。

【学生の意見等からの気づき】

- （1）昨年度は、試験的に、社会的課題（事例）に対する受講者の意見を聞き、それを起点に説明を行う進め方を中心に授業を進めました。このスタイルが好評だったため、今年も同じように授業を進めます。
- （2）他方で、受講者の意見を聞く時間が長くなり、理論の説明が短く理解が難しくなってしまった授業回もあったので、バランスに注意しながら進めます。
- （3）グループディスカッションの進め方についても、前年度までにいただいた意見を反映します。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムに授業のための資料をアップロードします。そのため、学習支援システムを利用するための情報通信環境が必要となります。

【その他の重要事項】

秋学期の社会思想Ⅱ（本授業）は、春学期の社会思想Ⅰの応用編としての性質を持ちます。社会思想Ⅰを履修していなくても理解できるように講義を行います。が、合わせて履修していただくことで理解が深まります。そのため、本授業に興味を持っていたいただいた場合、春学期・秋学期合わせての履修を推奨いたします。

【Outline (in English)】

《Course outline》

Students study modern political philosophy (normative political theory) in this course. It aims to deal with social issues nowadays by examining values or ideals related to policies, institutions, and social practices. The representatives of these values are Liberty, equality, and fairness. In the Fall semester, we discuss actual social issues such as poverty, inequality, and discrimination, focusing on normative issues. After completing the course, students can present their views on social issues.

《Learning objectives》

The goals of this course are the followings:

- 1. To understand the normative point of various social issues.
- 2. To understand and evaluate various normative views on social issues.
- 3. To construct your own view on various social issues.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to complete the required assignments after each class meeting. You are recommended to study more than four hours for a class according to the standard set by the Japanese government.

《Grading Criteria/Policies》

Your overall grade in the class will be decided based on the following standards:

- 1. In-class contribution and required assignments after each class: 30%
- 2. Term-end report: 70%

SOS100LA（その他の社会科学 / Social science 100）

社会思想 I

2017年度以降入学者

洪 貴義

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では1945年生まれの実証史研究者である市村弘正の思想を学びます。ここでは市村のエッセイを読解することを通して、論じられた主題群とともにその論じられ方について学ぶことが試みられます。その主題には例えば名づけの精神史、江戸という都市の経験、現代日本論、ベンヤミンとヨーロッパ1920年代論、映像作家や音楽家の経験、亡命や難民ということ、フランツ・カフカ、ハンナ・アーレント、カール・シュミット、パウル・ツェラン研究などを含みます。この授業ではこれらのエッセイの読解を通して、各主題の歴史的、思想的背景とともに、そこから読みとりうる20世紀という歴史的経験の意味を学びます。

【到達目標】

テキスト読解や講義を通して19世紀末から20世紀の思想的主題を理解することができる
 テキスト読解や講義を通して現代史に生きる人間の歴史的経験の意味を考えることができる
 テキスト読解や講義を通して考えたことをコメントやレポートに表現することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式で行います。各回ともリアクションメールを提出してもらい、授業のなかで紹介しながら理解を深めていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	講義の内容、授業の進め方、受講の仕方、成績評価の方法などについての説明
2	導入	読むことと経験すること I
3	物への弔辞	物と人間の交渉
4	都市の周縁	江戸から東京へ
5	都市の崩壊	東海道四谷怪談
6	断片の運動	ヨーロッパ1920年代
7	精神の現在形	統合失調という経験
8	失敗の意味	映画「水俣の甘夏」について
9	そぎ落とす精神	映画「抵抗」について
10	思想史家	貧民とガストアルバイター
11	死の影のゆくえ	ノーマ・フィールドの仕事
12	名づけの精神史	名づけという経験
13	20世紀の思考	逆向きに読まれる時代
14	結論	読むことと経験すること II

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回ともテキストの指定されたページを事前に読んでおくことで理解が進みます。

【テキスト（教科書）】

ガイダンス時に説明します。

【参考書】

授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

各授業後に提出するリアクションペーパー 10回で平常点50パーセント、
 加えて1回の期末レポートで残り50パーセント、合計100パーセントとする。
 リアクションペーパーと期末レポート、両者を提出する必要があります。

【学生の意見等からの気づき】

受講者のコメントを授業中に紹介することで刺激をうけ、授業の理解が進むようです。
 また、映像資料の視聴は授業の理解を深めるのに有用なので、映画や動画を使用する場合もあります。

【Outline (in English)】

This course introduces the ideas and style of essay of Hiromasa Ichimura who is a researcher of the history of ideas to students taking this course. His ideas include various themes. For example there are an intellectual history of a naming, the experience of the Edo city, Walter Benjamin and the 1920's mind, the experience of exiles and refugees, Franz Kafka, Hannah Arendt, Carl Schmitt and Paul Celan. The aim of this course is to help students acquire an understanding of an intellectual background of these themes and meanings of the historical experience of 20's century.

SOS100LA（その他の社会科学 / Social science 100）

社会思想Ⅱ

2017年度以降入学者

洪 貴義

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では春学期に続いて1945年生まれの実証史研究者である市村弘正の思想を学びます。ここでは市村のエッセイを読解することを通して、そこで論じられた主題群を学びます。その主題には例えば音楽家バルトックの難民経験、日本の戦後という経験、マイノリティとしての在日朝鮮人と小説家カフカとの関係、家族論、友情論、古典文学における夢の意味などを含みます。この授業ではこれらのエッセイの読解を通して、各主題の歴史的、思想的背景とともに、そこから読みとられる20世紀という時代の歴史的経験の意味を学びます。

【到達目標】

テキスト読解や講義を通して歴史的、思想的テーマを理解することができる

テキスト読解や講義を通して人間の歴史的経験の意味を考えることができる

テキスト読解や講義を通して考えたことをコメントやレポートに表現することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式で行います。各回ともリアクションメールを提出してもらい、授業のなかで紹介しながら理解を深めていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	講義の内容、授業の進め方、受講の仕方、成績評価の方法などについての説明
2	導入	読むことと経験することⅠ
3	文化崩壊の経験	晩年のバルトックについて
4	マイノリティ	小さなもののかたち
5	戦後経験	経験の古典化
6	残像文化	衰えゆく感覚
7	在日について	在日三世のカフカ
8	落下する世界	墮落と落下
9	友情について	友情の点呼に答える声
10	家族について	家族という場所
11	貧民について	貧民の都市
12	夢見ること	夢の弁証法
13	叙事詩	叙事詩的精神
14	結論	読むことと経験することⅡ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回ともテキストの指定された箇所を事前に読んでおくことで理解が進みます。

【テキスト（教科書）】

授業中に配布します。

【参考書】

授業中に説明します。

【成績評価の方法と基準】

授業ごとに毎回提出するレビューシートの平常点を50パーセントとし、学期末に提出してもらう一回の期末レポートを50パーセントとし、合計100パーセントとして成績評価する。

【学生の意見等からの気づき】

受講者のコメントを紹介することで他の受講者の理解が進むようです。

また、映像資料の視聴は授業の理解に有用なので、映画や動画を利用することもあります。

【Outline (in English)】

This course introduces the ideas and style of essay of Hiromasa Ichimura who is a researcher of the history of ideas to students taking this course. His ideas include various themes. For example there are an intellectual history of a naming, the experience of the Edo city, Walter Benjamin and the 1920's mind, the experience of exiles and refugees, Franz Kafka, Hannah Arendt, Carl Schmitt and Paul Celan. The aim of this course is to help students acquire an understanding of an intellectual background of these themes and meanings of the historical experience of 20's century.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)	
教養数学 A	2017年度以降入学者
平田 康史	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：火 4/Tue.4
単位数：2単位	
2015年度までに「数学、情報を読むためにⅠ」の単位を修得済み の場合、履修不可	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 情報を読むために ～

数学は言語であると言われており、実際、様々なところで利用される道具となっている。この授業では、代数学における題材により、数やそれらの関係について学ぶ。

【到達目標】

①整数の理論、②代数系で用いられる基本的な考え方を理解し、演習問題を実際に解くことができる。ここでは問題の一例を、情報を読み解くという観点からあげてみよう。

問題（帽子と眼鏡と付け髭） 市谷くんは帽子 $H_1, H_2, \dots, H_{15}$ と眼鏡 $G_1, G_2, \dots, G_{10}$ と付け髭 $M_1, M_2, \dots, M_{25}$ をもっていて、それぞれこの順番で毎日、日替わりで身に着けている。今年の4月1日は H_1, G_1, M_1 の組み合わせであった。市谷くんのお気に入りには H_{13}, G_8, M_{18} の組み合わせである。最初にお気に入りの組み合わせになるのは何月何日であるか。

組み合わせをひたすら並べて書いてゆけば、求める答えがいずれは得られるが、大変な労力が必要かもしれない。組み合わせは全部で3750通りもあるのだから。しかし、こんな問題もこの授業で扱う「連立合同式」の解法を用いれば、ちょっとした計算で答えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

様々な例で具体的なイメージを作りながら重要事項を理解する、という方法で授業を進めていく。そのために講義の中で演習の時間を多くとるつもりである。疑問点があったら授業中でも積極的に質問してもらいたい。課題等に関するフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	整数の除算と法演算	整数の除算について確認し、割られる数が負の数の場合の除算も考える。
第2回	整数の除算と法演算	整数の合同の定義と基本性質を確認し、ベキ乗の法演算の計算をする。
第3回	公倍数と公約数	倍数と約数の性質を調べる。
第4回	公倍数と公約数	ユークリッドの互除法を使って最大公約数を計算する。
第5回	倍数の和	複数の整数の倍数の和で表される数について学ぶ。
第6回	倍数の和	互いに素な整数の性質を調べる。

第7回	代数系	法演算における整数の積の可逆性について考える。
第8回	代数系	群構造について学ぶ。
第9回	群の理論の応用	オイラーの定理について学ぶ。
第10回	連立合同式	異なる周期をもつ2つの事柄について考える。
第11回	連立合同式	異なる周期をもつ3つ以上の事柄について考える。
第12回	整数の理論の応用	2つの素数の積について調べる。
第13回	整数の理論の応用	RSA暗号の暗号化と復号の仕組みを学ぶ。
第14回	整数の理論の応用	計算の効率について考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。学習支援システム上で教材を配布する。

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、初等整数論、代数学を主題とした専門書であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験によって評価(100%)する。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に応じて授業の進む速さを調節したい。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of algebra.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning number theory and algebraic systems, such as modular arithmetic and permutation groups, with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 100%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

教養数学 B

2017 年度以降入学者

平田 康史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

2015 年度までに「数学、情報を読むためにⅡ」の単位を修得済み
の場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 情報を読むために ～

数学は言語であると言われており、実際、様々なところで利用される道具となっている。この授業では、離散数学における題材により、いろいろな計算方法について学ぶ。

【到達目標】

①グラフ理論、②組合せ数学で用いられる基本的な考え方を理解し、演習問題を実際に解くことができる。ここでは問題の一例を、情報を読み解くという観点からあげてみよう。

問題（郵便配達） 各々の道に距離が表示してある地図がある。郵便局を出発した郵便配達人が、すべての道を最低 1 回は通って郵便物の配達を終え、郵便局に戻ってくるときの最短距離は？

この問題は、「根気と体力」があれば、しらみつぶしに調べていくことで答えは求められるかもしれない。そのような計算法はコンピュータが得意である。しかし我々は人間であるので、できるかぎり楽をして答えを求めたい。この授業で扱う「グラフ理論」を用いれば、そのような人間らしい方法で解答を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

様々な例で具体的なイメージを作りながら重要事項を理解する、という方法で授業を進めていく。そのために講義の中で演習の時間を多くとるつもりである。疑問点があったら授業中でも積極的に質問してもらいたい。課題等に関するフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	グラフ理論とは	グラフ理論におけるグラフの定義を述べる。
第 2 回	頂点の次数列	グラフの頂点の次数列について考える。
第 3 回	頂点の次数列	単純グラフにおける次数を変えない辺のつながりについて考える。
第 4 回	一筆書き	一筆書き可能性によってグラフを分類する。
第 5 回	一筆書き	一筆書きの可否と頂点の次数の関係について調べ、考察する。
第 6 回	一筆書き	一筆書きの道順を選ぶアルゴリズムについて考える。
第 7 回	一筆書き	アルゴリズムの実行可能性とグラフの連結性について学ぶ。

第 8 回	郵便配達問題	郵便配達をするのに効率のよい道順を探す。
第 9 回	郵便配達問題	最短経路の見つけ方について学ぶ。
第 10 回	郵便配達問題	それが最短である理由を考える。
第 11 回	組み合わせの計算	いくつかのものを、定数の決まった枠組みに振り分けるパターン数について考える。
第 12 回	組み合わせの計算	$n=2,3$ の場合の包除原理を使って組み合わせの計算をする。
第 13 回	組み合わせの計算	一般の n についての包除原理について学ぶ。
第 14 回	組み合わせの計算	包除原理を使って、プレゼント交換について考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。学習支援システム上で教材を配布する。

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、グラフ理論、組合せ論を主題とした専門書であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験によって評価 (100%) する。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に応じて授業の進む速さを調節したい。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1 年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of discrete mathematics.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning graph theory and combinatorics, such as Eulerian path and inclusion-exclusion principle, with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 100%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)	
教養数学 A	2017年度以降入学者
平田 康史	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火3/Tue.3	
単位数：2単位	
2015年度までに「数学、情報を読むためにⅠ」の単位を修得済み の場合、履修不可	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 情報を読むために ～

数学は言語であると言われており、実際、様々なところで利用される道具となっている。この授業では、代数学における題材により、数やそれらの関係について学ぶ。

【到達目標】

①整数の理論、②代数系で用いられる基本的な考え方を理解し、演習問題を実際に解くことができる。ここでは問題の一例を、情報を読み解くという観点からあげてみよう。

問題（帽子と眼鏡と付け髭） 市谷くんは帽子 $H_1, H_2, \dots, H_{15}$ と眼鏡 $G_1, G_2, \dots, G_{10}$ と付け髭 $M_1, M_2, \dots, M_{25}$ をもっていて、それぞれこの順番で毎日、日替わりで身に着けている。今年の4月1日は H_1, G_1, M_1 の組み合わせであった。市谷くんのお気に入りには H_{13}, G_8, M_{18} の組み合わせである。最初にお気に入りの組み合わせになるのは何月何日であるか。

組み合わせをひたすら並べて書いてゆけば、求める答えがいずれは得られるが、大変な労力が必要かもしれない。組み合わせは全部で3750通りもあるのだから。しかし、こんな問題もこの授業で扱う「連立合同式」の解法を用いれば、ちょっとした計算で答えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

様々な例で具体的なイメージを作りながら重要事項を理解する、という方法で授業を進めていく。そのために講義の中で演習の時間を多くとるつもりである。疑問点があったら授業中でも積極的に質問してもらいたい。課題等に関するフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	整数の除算と法演算	整数の除算について確認し、割られる数が負の数の場合の除算も考える。
第2回	整数の除算と法演算	整数の合同の定義と基本性質を確認し、ベキ乗の法演算の計算をする。
第3回	公倍数と公約数	倍数と約数の性質を調べる。
第4回	公倍数と公約数	ユークリッドの互除法を使って最大公約数を計算する。
第5回	倍数の和	複数の整数の倍数の和で表される数について学ぶ。
第6回	倍数の和	互いに素な整数の性質を調べる。

第7回	代数系	法演算における整数の積の可逆性について考える。
第8回	代数系	群構造について学ぶ。
第9回	群の理論の応用	オイラーの定理について学ぶ。
第10回	連立合同式	異なる周期をもつ2つの事柄について考える。
第11回	連立合同式	異なる周期をもつ3つ以上の事柄について考える。
第12回	整数の理論の応用	2つの素数の積について調べる。
第13回	整数の理論の応用	RSA暗号の暗号化と復号の仕組みを学ぶ。
第14回	整数の理論の応用	計算の効率について考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。学習支援システム上で教材を配布する。

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、初等整数論、代数学を主題とした専門書であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験によって評価(100%)する。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に応じて授業の進む速さを調節したい。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of algebra.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning number theory and algebraic systems, such as modular arithmetic and permutation groups, with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 100%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

教養数学B

2017年度以降入学者

平田 康史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

2015年度までに「数学、情報を読むためにⅡ」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 情報を読むために ～

数学は言語であると言われており、実際、様々なところで利用される道具となっている。この授業では、離散数学における題材により、いろいろな計算方法について学ぶ。

【到達目標】

①グラフ理論、②組合せ数学で用いられる基本的な考え方を理解し、演習問題を実際に解くことができる。ここでは問題の一例を、情報を読み解くという観点からあげてみよう。

問題（郵便配達） 各々の道に距離が表示してある地図がある。郵便局を出発した郵便配達人が、すべての道を最低1回は通って郵便物の配達を終え、郵便局に戻ってくるときの最短距離は？

この問題は、「根気と体力」があれば、しらみつぶしに調べていくことで答えは求められるかもしれない。そのような計算法はコンピュータが得意である。しかし我々は人間であるので、できるかぎり楽をして答えを求めたい。この授業で扱う「グラフ理論」を用いれば、そのような人間らしい方法で解答を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

様々な例で具体的なイメージを作りながら重要事項を理解する、という方法で授業を進めていく。そのために講義の中で演習の時間を多くとるつもりである。疑問点があったら授業中でも積極的に質問してもらいたい。課題等に関するフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	グラフ理論とは	グラフ理論におけるグラフの定義を述べる。
第2回	頂点の次数列	グラフの頂点の次数列について考える。
第3回	頂点の次数列	単純グラフにおける次数を変えない辺のつながりについて考える。
第4回	一筆書き	一筆書き可能性によってグラフを分類する。
第5回	一筆書き	一筆書きの可否と頂点の次数の関係について調べ、考察する。
第6回	一筆書き	一筆書きの道順を選ぶアルゴリズムについて考える。
第7回	一筆書き	アルゴリズムの実行可能性とグラフの連結性について学ぶ。

第8回	郵便配達問題	郵便配達をするのに効率のよい道順を探す。
第9回	郵便配達問題	最短経路の見つけ方について学ぶ。
第10回	郵便配達問題	それが最短である理由を考える。
第11回	組み合わせの計算	いくつかのものを、定数の決まった枠組みに振り分けるパターン数について考える。
第12回	組み合わせの計算	$n=2,3$ の場合の包除原理を使って組み合わせの計算をする。
第13回	組み合わせの計算	一般の n についての包除原理について学ぶ。
第14回	組み合わせの計算	包除原理を使って、プレゼント交換について考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。学習支援システム上で教材を配布する。

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、グラフ理論、組合せ論を主題とした専門書であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験によって評価(100%)する。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に応じて授業の進む速さを調節したい。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of discrete mathematics.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning graph theory and combinatorics, such as Eulerian path and inclusion-exclusion principle, with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 100%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

教養数学 A

2017年度以降入学者

小木曾 岳義

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

2015年度までに「数学、情報を読むために I」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

数学は言語であると言われており、実際、様々なところで利用される道具となっている。この授業では、代数学における題材により、数やそれらの関係について学ぶ。

【到達目標】

①整数の理論、②代数系で用いられる基本的な考え方を理解し、演習問題を実際に解くことができる。ここでは問題の一例を、情報を読み解くという観点からあげてみよう。

問題（帽子と眼鏡と付け髭） 市谷くんは帽子 $H_1, H_2, \dots, H_{15}$ と眼鏡 $G_1, G_2, \dots, G_{10}$ と付け髭 $M_1, M_2, \dots, M_{25}$ をもって、それぞれこの順番で毎日、日替わりで身に着けている。今年の4月1日は H_1, G_1, M_1 の組み合わせであった。市谷くんのお気に入りには H_{13}, G_8, M_{18} の組み合わせである。最初にお気に入りの組み合わせになるのは何月何日であるか。

組み合わせをひたすら並べて書いてゆけば、求める答えがいずれは得られるが、大変な労力が必要かもしれない。組み合わせは全部で3750通りもあるのだから。しかし、こんな問題もこの授業で扱う「連立合同式」の解法を用いれば、ちょっとした計算で答えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

様々な例で具体的なイメージを作りながら重要事項を理解する、という方法で授業を進めていく。そのために講義の中で演習の時間を多くとるつもりである。疑問点があったら授業中でも積極的に質問してもらいたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	授業の概要を説明する。
第2回	数学のことば	論理的な文章を練習する。
第3回	整数の性質	整数について確認する。
第4回	合同式とは	合同式の計算を練習する。
第5回	合同式の性質	合同式特有の性質を確認する。
第6回	さまざまな応用	暗号の作成と解読を行う。
第7回	連立合同式	連立合同式の解法を学ぶ。
第8回	さまざまな応用	ゲームへの応用など
第9回	写像と置換	置換の定義と記法を学ぶ。
第10回	恒等置換と逆置換	置換の演算について学ぶ。
第11回	巡回置換と互換	単純な置換について学ぶ。
第12回	置換の性質	置換を単純なものに分解する。
第13回	さまざまな応用	置換でアマダクジを作る。
第14回	さまざまな応用	結婚可能かどうかを計算する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。

【テキスト（教科書）】

指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、初等整数論、代数学を主題とした専門書であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

期末試験(100%)

【学生の意見等からの気づき】

私語がなくなるよう改善したい。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of algebra.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning number theory and algebraic systems, such as modular arithmetic and permutation groups, with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 100%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

教養数学B

2017年度以降入学者

小木曾 岳義

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

2015年度までに「数学、情報を読むためにⅡ」の単位を修得済み
の場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

数学は言語であると言われており、実際、様々なところで利用される道具となっている。この授業では、離散数学における題材により、いろいろな計算方法について学ぶ。

【到達目標】

①グラフ理論、②組合せ数学で用いられる基本的な考え方を理解し、演習問題を実際に解くことができる。ここでは問題の一例を、情報を読み解くという観点からあげてみよう。

問題（郵便配達） 各々の道に距離が表示してある地図がある。郵便局を出発した郵便配達人が、すべての道を最低1回は通って郵便物の配達を終え、郵便局に戻ってくるときの最短距離は？

この問題は、「根気と体力」があれば、しらみつぶしに調べていくことで答えは求められるかもしれない。そのような計算法はコンピュータが得意である。しかし我々は人間であるので、できるかぎり楽をして答えを求めたい。この授業で扱う「グラフ理論」を用いれば、そのような人間らしい方法で解答を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

様々な例で具体的なイメージを作りながら重要事項を理解する、という方法で授業を進めていく。そのために講義の中で演習の時間を多くとるつもりである。疑問点があったら授業中でも積極的に質問してもらいたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	授業の概要を説明する。
第2回	数学のことば	文章の記号化を練習する。
第3回	グラフとは	グラフの定義と記法を確認する。
第4回	ハミルトングラフ	ハミルトングラフについて学ぶ。
第5回	さまざまな応用	円卓に仲良く座る方法を調べる。
第6回	距離と次数	グラフに距離と次数を定義する。
第7回	クラスター係数	グラフの固まり具合を調べる。
第8回	さまざまな応用	世界の狭さを数学で表現する。
第9回	数列とは	数列の定義と記法を確認する。
第10回	フィボナッチ数列	フィボナッチ数列について学ぶ。
第11回	さまざまな応用	タイルの敷き詰め方を数える。
第12回	さまざまな応用	黄金比との関係
第13回	マルコフ3数	マルコフ3数の定義と例
第14回	グラフのマッチングとの関係	マルコフ数とある種の2部グラフのパーフェクトマッチングとの関係

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、グラフ理論、組合せ論を主題とした専門書であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

期末試験(100%)

【学生の意見等からの気づき】

私語がなくなるよう改善したい。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of discrete mathematics.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning graph theory and combinatorics, such as Eulerian path and inclusion-exclusion principle, with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 100%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

教養数学 A

2017年度以降入学者

小木曾 岳義

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

2015年度までに「数学、情報を読むためにⅠ」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

数学は言語であると言われており、実際、様々なところで利用される道具となっている。この授業では、代数学における題材により、数やそれらの関係について学ぶ。

【到達目標】

①整数の理論、②代数系で用いられる基本的な考え方を理解し、演習問題を実際に解くことができる。ここでは問題の一例を、情報を読み解くという観点からあげてみよう。

問題（帽子と眼鏡と付け髭） 市谷くんは帽子 $H_1, H_2, \dots, H_{15}$ と眼鏡 $G_1, G_2, \dots, G_{10}$ と付け髭 $M_1, M_2, \dots, M_{25}$ をもって、それぞれこの順番で毎日、日替わりで身に着けている。今年の4月1日は H_1, G_1, M_1 の組み合わせであった。市谷くんのお気に入りには H_{13}, G_8, M_{18} の組み合わせである。最初にお気に入りの組み合わせになるのは何月何日であるか。

組み合わせをひたすら並べて書いてゆけば、求める答えがいずれは得られるが、大変な労力が必要かもしれない。組み合わせは全部で3750通りもあるのだから。しかし、こんな問題もこの授業で扱う「連立合同式」の解法を用いれば、ちょっとした計算で答えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

様々な例で具体的なイメージを作りながら重要事項を理解する、という方法で授業を進めていく。そのために講義の中で演習の時間を多くとるつもりである。疑問点があったら授業中でも積極的に質問してもらいたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	授業の概要を説明する。
第2回	数学のことば	論理的な文章を練習する。
第3回	整数の性質	整数について確認する。
第4回	合同式とは	合同式の計算を練習する。
第5回	合同式の性質	合同式特有の性質を確認する。
第6回	さまざまな応用	暗号の作成と解読を行う。
第7回	連立合同式	連立合同式の解法を学ぶ。
第8回	さまざまな応用	ゲームへの応用など
第9回	写像と置換	置換の定義と記法を学ぶ。
第10回	恒等置換と逆置換	置換の演算について学ぶ。
第11回	巡回置換と互換	単純な置換について学ぶ。
第12回	置換の性質	置換を単純なものに分解する。
第13回	さまざまな応用	置換でアミダクジを作る。
第14回	さまざまな応用	社会数理への応用

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。

【テキスト（教科書）】

指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、初等整数論、代数学を主題とした専門書であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

期末試験(100%)

【学生の意見等からの気づき】

私語がなくなるよう改善したい。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of algebra.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning number theory and algebraic systems, such as modular arithmetic and permutation groups, with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 100%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

教養数学B

2017年度以降入学者

小木曾 岳義

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

2015年度までに「数学、情報を読むためにⅡ」の単位を修得済み
の場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

数学は言語であると言われており、実際、様々なところで利用される道具となっている。この授業では、離散数学における題材により、いろいろな計算方法について学ぶ。

【到達目標】

①グラフ理論、②組合せ数学で用いられる基本的な考え方を理解し、演習問題を実際に解くことができる。ここでは問題の一例を、情報を読み解くという観点からあげてみよう。

問題（郵便配達） 各々の道に距離が表示してある地図がある。郵便局を出発した郵便配達人が、すべての道を最低1回は通って郵便物の配達を終え、郵便局に戻ってくるときの最短距離は？

この問題は、「根気と体力」があれば、しらみつぶしに調べていくことで答えは求められるかもしれない。そのような計算法はコンピュータが得意である。しかし我々は人間であるので、できるかぎり楽をして答えを求めたい。この授業で扱う「グラフ理論」を用いれば、そのような人間らしい方法で解答を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

様々な例で具体的なイメージを作りながら重要事項を理解する、という方法で授業を進めていく。そのために講義の中で演習の時間を多くとるつもりである。疑問点があったら授業中でも積極的に質問してもらいたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	授業の概要を説明する。
第2回	数学のことば	文章の記号化を練習する。
第3回	グラフとは	グラフの定義と記法を確認する。
第4回	ハミルトングラフ	ハミルトングラフについて学ぶ。
第5回	さまざまな応用	円卓に仲良く座る方法を調べる。
第6回	距離と次数	グラフに距離と次数を定義する。
第7回	クラスター係数	グラフの固まり具合を調べる。
第8回	さまざまな応用	世界の狭さを数学で表現する。
第9回	数列とは	数列の定義と記法を確認する。
第10回	フィボナッチ数列	フィボナッチ数列について学ぶ。
第11回	さまざまな応用	タイルの敷き詰め方を数える。
第12回	さまざまな応用	黄金比との関係
第13回	マルコフ3数	マルコフ3数の定義と例
第14回	グラフのマッチングとの関係	マルコフ数とある種の2部グラフのパーフェクトマッチングとの関係

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。

【テキスト（教科書）】

指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、グラフ理論、組合せ論を主題とした専門書であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

期末試験(100%)

【学生の意見等からの気づき】

私語がなくなるよう改善したい。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of discrete mathematics.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning graph theory and combinatorics, such as Eulerian path and inclusion-exclusion principle, with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 100%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

教養数学 A

2017年度以降入学者

池田 宏一郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

2015年度までに「数学、情報を読むためにⅠ」の単位を修得済み
の場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 情報を読むために ～

数学は言語であると言われており、実際、様々なところで利用される道具となっている。この授業では、代数学における題材により、数やそれらの関係について学ぶ。

【到達目標】

①整数の理論、②代数系で用いられる基本的な考え方を理解し、演習問題を実際に解くことができる。ここでは問題の一例を、情報を読み解くという観点からあげてみよう。

問題（帽子と眼鏡と付け髭） 市谷くんは帽子 $H_1, H_2, \dots, H_{15}$ と眼鏡 $G_1, G_2, \dots, G_{10}$ と付け髭 $M_1, M_2, \dots, M_{25}$ をもっていて、それぞれこの順番で毎日、日替わりで身に着けている。今年の4月1日は H_1, G_1, M_1 の組み合わせであった。市谷くんのお気に入りには H_{13}, G_8, M_{18} の組み合わせである。最初にお気に入りの組み合わせになるのは何月何日であるか。

組み合わせをひたすら並べて書いてゆけば、求める答えがいずれは得られるが、大変な労力が必要かもしれない。組み合わせは全部で3750通りもあるのだから。しかし、こんな問題もこの授業で扱う「連立合同式」の解法を用いれば、ちょっとした計算で答えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

様々な例で具体的なイメージを作りながら重要事項を理解する、という方法で授業を進めていく。そのために講義の中で演習の時間を多くとるつもりである。疑問点があったら授業中でも積極的に質問してもらいたい。課題等に関するフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	授業の概要を説明する。
第2回	数学のことば	論理的な文章を練習する。
第3回	整数の性質	整数について確認する。
第4回	合同式とは	合同式の計算を練習する。
第5回	合同式の性質	合同式特有の性質を確認する。
第6回	さまざまな応用	暗号の作成と解読を行う。
第7回	連立合同式	連立合同式の解法を学ぶ。
第8回	さまざまな応用	効率的な着回し法を学ぶ。
第9回	写像と置換	置換の定義と記法を学ぶ。
第10回	恒等置換と逆置換	置換の演算について学ぶ。
第11回	巡回置換と互換	単純な置換について学ぶ。
第12回	置換の性質	置換を単純なものに分解する。
第13回	さまざまな応用	置換でアミダクジを作る。

第14回 さまざまな応用 結婚可能かどうかを計算する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、初等整数論、代数学を主題とした専門書であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（80%）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（20%）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業になるよう心がける。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of algebra.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning number theory and algebraic systems, such as modular arithmetic and permutation groups, with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 80% , Short reports 20%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

教養数学B

2017年度以降入学者

池田 宏一郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

2015年度までに「数学、情報を読むためにⅡ」の単位を修得済み
の場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 情報を読むために ～

数学は言語であると言われており、実際、様々なところで利用される道具となっている。この授業では、離散数学における題材により、いろいろな計算方法について学ぶ。

【到達目標】

①グラフ理論、②組合せ数学で用いられる基本的な考え方を理解し、演習問題を実際に解くことができる。ここでは問題の一例を、情報を読み解くという観点からあげてみよう。

問題（郵便配達） 各々の道に距離が表示してある地図がある。郵便局を出発した郵便配達人が、すべての道を最低1回は通って郵便物の配達を終え、郵便局に戻ってくるときの最短距離は？

この問題は、「根気と体力」があれば、しらみつぶしに調べていくことで答えは求められるかもしれない。そのような計算法はコンピュータが得意である。しかし我々は人間であるので、できるかぎり楽をして答えを求めたい。この授業で扱う「グラフ理論」を用いれば、そのような人間らしい方法で解答を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

様々な例で具体的なイメージを作りながら重要事項を理解する、という方法で授業を進めていく。そのために講義の中で演習の時間を多くとるつもりである。疑問点があったら授業中でも積極的に質問してもらいたい。課題等に関するフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	授業の概要を説明する。
第2回	数学のことば	文章の記号化を練習する。
第3回	グラフとは	グラフの定義と記法を確認する。
第4回	ハミルトングラフ	ハミルトングラフについて学ぶ。
第5回	さまざまな応用	円卓に仲良く座る方法を調べる。
第6回	距離と次数	グラフに距離と次数を定義する。
第7回	クラスター係数	グラフの固まり具合を調べる。
第8回	さまざまな応用	世界の狭さを数学で表現する。
第9回	数列とは	数列の定義と記法を確認する。
第10回	フィボナッチ数列	フィボナッチ数列について学ぶ。
第11回	さまざまな応用	タイルの敷き詰め方を数える。
第12回	包除原理	重なり合った集合の大きさ。
第13回	ネイピア数	有限のものを無限で近似する。
第14回	さまざまな応用	プレゼント交換で成功する回数。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

指定しない。例題などは印刷したものを学習支援システムで配布する。

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、グラフ理論、組合せ論を主題とした専門書であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（80%）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（20%）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業になるよう心がける。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of discrete mathematics.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning graph theory and combinatorics, such as Eulerian path and inclusion-exclusion principle, with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 80% , Short reports 20%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

教養数学 A

2017年度以降入学者

佐藤 洋祐

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

2015年度までに「数学、情報を読むためにⅠ」の単位を修得済み
の場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

数学は言語であると言われており、実際、様々なところで利用される道具となっている。この授業では、代数学における題材により、数やそれらの関係について学ぶ。

【到達目標】

1. 整数の理論を中心に代数系で用いられる基本的な考え方を理解する。
2. 整数の演算を中心に効率的算法とは何かを演習問題を実際に解くことで理解する。
3. 実社会における応用として、公開鍵暗号 **RSA** の仕組みについて理解する。公開鍵暗号 **RSA** の仕組みについて理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

様々な例で具体的なイメージを作りながら重要事項を理解する、という方法で授業を進めていく。そのために講義の中で演習の時間を多くとるつもりである。疑問点があったら授業中でも積極的に質問してもらいたい。課題等に関するフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	授業の概要を説明する。
第2回	整数の計算と計算量	小学校時代に学んだ様々の整数の計算についてその計算量を考察する。
第3回	ユークリッドの互除法 1	ユークリッドの互除法とその計算量について学ぶ。
第4回	ユークリッドの互除法 2	拡張ユークリッドの互除法について学ぶ。
第5回	最大公約数	ユークリッドの拡張互除法の背景にある数学理論を理解し、その応用として自然数の素因数分解の一意性を証明する。
第6回	整数の表現	2進数について学ぶ。
第7回	整数の演算	高速指数演算算法について学ぶ。
第8回	有限体	体の概念と有限体について学ぶ。
第9回	有限群	群の考え方とラグランジェの定理について学ぶ。
第10回	フェルマーの小定理	ラグランジェの定理を用いてフェルマーの小定理を証明する。
第11回	インターネットと暗号	インターネットの仕組みと暗号の必要性について学ぶ。
第12回	RSA 公開鍵暗号 1	RSA 公開鍵暗号の仕組みについて学ぶ。
第13回	RSA 公開鍵暗号 2	RSA 公開鍵暗号の安全性について学ぶ。
第14回	まとめ	授業全体を再確認してまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

学習支援システムで配布する。

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、初等整数論、代数学を主題とした専門書であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

小テスト、レポート、で総合的に評価(100%)する。
具体的な方法と基準は、授業開始日に提示する。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業になるよう心がける。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of algebra.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning number theory and algebraic systems, such as modular arithmetic and permutation groups, with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Short tests and reports 100%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

教養数学B

2017年度以降入学者

佐藤 洋祐

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

2015年度までに「数学、情報を読むためにⅡ」の単位を修得済み
の場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 情報を読むために ～

数学は言語であると言われており、実際、様々なところで利用される道具となっている。この授業では、離散数学における題材により、いろいろな計算方法について学ぶ。

【到達目標】

①グラフ理論、②組合せ数学で用いられる基本的な考え方を理解し、演習問題を実際に解くことができる。ここでは問題の一例を、情報を読み解くという観点からあげてみよう。

問題（郵便配達） 各々の道に距離が表示してある地図がある。郵便局を出発した郵便配達人が、すべての道を最低1回は通って郵便物の配達を終え、郵便局に戻ってくるときの最短距離は？

この問題は、「根気と体力」があれば、しらみつぶしに調べていくことで答えは求められるかもしれない。そのような計算法はコンピュータが得意である。しかし我々は人間であるので、できるかぎり楽をして答えを求めたい。この授業で扱う「グラフ理論」を用いれば、そのような人間らしい方法で解答を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

様々な例で具体的なイメージを作りながら重要事項を理解する、という方法で授業を進めていく。そのために講義の中で演習の時間を多くとるつもりである。疑問点があったら授業中でも積極的に質問してもらいたい。課題等に関するフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	授業の概要を説明する。
第2回	安定結婚問題	「安定結婚問題」とは何かについて説明する。
第3回	安定マッチング1	「安定マッチング」の数学的定義を与える。
第4回	安定マッチング2	簡単な安定マッチング問題の解を素朴な方法によって計算することで、安定マッチング問題を理解する。
第5回	課題提出1	最初の課題を与える。
第6回	Gale-Shapley アルゴリズムの概要	安定マッチングを効率的に計算する Gale-Shapley アルゴリズムについて、具体例で説明する。
第7回	Gale-Shapley アルゴリズムの正確な定義	Gale-Shapley アルゴリズムの正確な定義を与える。

第8回	定理の証明に必要な知識	定理の証明に必要な知識「数学的帰納法」と「背理法」について概説する。
第9回	Gale-Shapley アルゴリズムの正当性	Gale-Shapley アルゴリズムの正当性の証明。
第10回	Gale-Shapley アルゴリズムの諸性質の紹介	Gale-Shapley アルゴリズムの諸性質を紹介する。
第11回	Gale-Shapley アルゴリズムの諸性質の証明	Gale-Shapley アルゴリズムの諸性質を証明する。
第12回	練習問題	GSアルゴリズムの少し複雑な例の練習問題を与える。
第13回	2番目の課題	2番目の課題を与える。
第14回	まとめ	授業全体を再確認してまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を充分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

学習支援システムで配布する。

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、グラフ理論、組合せ論を主題とした専門書であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

小テスト、レポート、で総合的に評価(100%)する。
具体的な方法と基準は、授業開始日に提示する。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業になるよう心がける。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of discrete mathematics.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning graph theory and combinatorics, such as Eulerian path and inclusion-exclusion principle, with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Short tests and reports 100%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

教養数学 A

2017年度以降入学者

佐藤 洋祐

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

2015年度までに「数学、情報を読むためにⅠ」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

数学は言語であると言われており、実際、様々なところで利用される道具となっている。この授業では、代数学における題材により、数やそれらの関係について学ぶ。

【到達目標】

1. 整数の理論を中心に代数系で用いられる基本的な考え方を理解する。
2. 整数の演算を中心に効率的算法とは何かを演習問題を実際に解くことで理解する。
3. 実社会における応用として、公開鍵暗号 **RSA** の仕組みについて理解する。公開鍵暗号 **RSA** の仕組みについて理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

様々な例で具体的なイメージを作りながら重要事項を理解する、という方法で授業を進めていく。そのために講義の中で演習の時間を多くとるつもりである。疑問点があったら授業中でも積極的に質問してもらいたい。課題等に関するフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	授業の概要を説明する。
第2回	整数の計算と計算量	小学校時代に学んだ様々の整数の計算についてその計算量を考察する。
第3回	ユークリッドの互除法1	ユークリッドの互除法とその計算量について学ぶ。
第4回	ユークリッドの互除法2	拡張ユークリッドの互除法について学ぶ。
第5回	最大公約数	ユークリッドの拡張互除法の背景にある数学理論を理解し、その応用として自然数の素因数分解の一意性を証明する。
第6回	整数の表現	2進数について学ぶ。
第7回	整数の演算	高速指数演算算法について学ぶ。
第8回	有限体	体の概念と有限体について学ぶ。
第9回	有限群	群の考え方とラグランジェの定理について学ぶ。
第10回	フェルマーの小定理	ラグランジェの定理を用いてフェルマーの小定理を証明する。
第11回	インターネットと暗号	インターネットの仕組みと暗号の必要性について学ぶ。
第12回	RSA 公開鍵暗号1	RSA 公開鍵暗号の仕組みについて学ぶ。
第13回	RSA 公開鍵暗号2	RSA 公開鍵暗号の安全性について学ぶ。
第14回	まとめ	授業全体を再確認してまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

学習支援システムで配布する。

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、初等整数論、代数学を主題とした専門書であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

小テスト、レポート、で総合的に評価(100%)する。
具体的な方法と基準は、授業開始日に提示する。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業になるよう心がける。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時間で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of algebra.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning number theory and algebraic systems, such as modular arithmetic and permutation groups, with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Short tests and reports 100%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

教養数学B

2017年度以降入学者

佐藤 洋祐

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

2015年度までに「数学、情報を読むためにⅡ」の単位を修得済み
の場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 情報を読むために ～

数学は言語であると言われており、実際、様々なところで利用される道具となっている。この授業では、離散数学における題材により、いろいろな計算方法について学ぶ。

【到達目標】

①グラフ理論、②組合せ数学で用いられる基本的な考え方を理解し、演習問題を実際に解くことができる。ここでは問題の一例を、情報を読み解くという観点からあげてみよう。

問題（郵便配達） 各々の道に距離が表示してある地図がある。郵便局を出発した郵便配達人が、すべての道を最低1回は通って郵便物の配達を終え、郵便局に戻ってくるときの最短距離は？

この問題は、「根気と体力」があれば、しらみつぶしに調べていくことで答えは求められるかもしれない。そのような計算法はコンピュータが得意である。しかし我々は人間であるので、できるかぎり楽をして答えを求めたい。この授業で扱う「グラフ理論」を用いれば、そのような人間らしい方法で解答を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

様々な例で具体的なイメージを作りながら重要事項を理解する、という方法で授業を進めていく。そのために講義の中で演習の時間を多くとるつもりである。疑問点があったら授業中でも積極的に質問してもらいたい。課題等に関するフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	授業の概要を説明する。
第2回	安定結婚問題	「安定結婚問題」とは何かについて説明する。
第3回	安定マッチング1	「安定マッチング」の数学的定義を与える。
第4回	安定マッチング2	簡単な安定マッチング問題の解を素朴な方法によって計算することで、安定マッチング問題を理解する。
第5回	課題提出1	最初の課題を与える。
第6回	Gale-Shapley アルゴリズムの概要	安定マッチングを効率的に計算する Gale-Shapley アルゴリズムについて、具体例で説明する。
第7回	Gale-Shapley アルゴリズムの正確な定義	Gale-Shapley アルゴリズムの正確な定義を与える。

第8回	定理の証明に必要な知識	定理の証明に必要な知識「数学的帰納法」と「背理法」について概説する。
第9回	Gale-Shapley アルゴリズムの正当性	Gale-Shapley アルゴリズムの正当性の証明。
第10回	Gale-Shapley アルゴリズムの諸性質の紹介	Gale-Shapley アルゴリズムの諸性質を紹介する。
第11回	Gale-Shapley アルゴリズムの諸性質の証明	Gale-Shapley アルゴリズムの諸性質を証明する。
第12回	練習問題	GSアルゴリズムの少し複雑な例の練習問題を与える。
第13回	2番目の課題	2番目の課題を与える。
第14回	まとめ	授業全体を再確認してまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を充分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

学習支援システムで配布する。

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、グラフ理論、組合せ論を主題とした専門書であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

小テスト、レポート、で総合的に評価(100%)する。
具体的な方法と基準は、授業開始日に提示する。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業になるよう心がける。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of discrete mathematics.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning graph theory and combinatorics, such as Eulerian path and inclusion-exclusion principle, with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Short tests and reports 100%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

教養数学 A

2017年度以降入学者

佐藤 洋祐

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

2015年度までに「数学、情報を読むためにⅠ」の単位を修得済み
の場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

数学は言語であると言われており、実際、様々なところで利用される道具となっている。この授業では、代数学における題材により、数やそれらの関係について学ぶ。

【到達目標】

1. 整数の理論を中心に代数系で用いられる基本的な考え方を理解する。
2. 整数の演算を中心に効率的の算法とは何かを演習問題を実際に解くことで理解する。
3. 実社会における応用として、公開鍵暗号 **RSA** の仕組みについて理解する。公開鍵暗号 **RSA** の仕組みについて理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

様々な例で具体的なイメージを作りながら重要事項を理解する、という方法で授業を進めていく。そのために講義の中で演習の時間を多くとるつもりである。疑問点があったら授業中でも積極的に質問してもらいたい。課題等に関するフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	授業の概要を説明する。
第2回	整数の計算と計算量	小学校時代に学んだ様々の整数の計算についてその計算量を考察する。
第3回	ユークリッドの互除法 1	ユークリッドの互除法とその計算量について学ぶ。
第4回	ユークリッドの互除法 2	拡張ユークリッドの互除法について学ぶ。
第5回	最大公約数	ユークリッドの拡張互除法の背景にある数学理論を理解し、その応用として自然数の素因数分解の一意性を証明する。
第6回	整数の表現	2進数について学ぶ。
第7回	整数の演算	高速指数演算算法について学ぶ。
第8回	有限体	体の概念と有限体について学ぶ。
第9回	有限群	群の考え方とラグランジェの定理について学ぶ。
第10回	フェルマーの小定理	ラグランジェの定理を用いてフェルマーの小定理を証明する。
第11回	インターネットと暗号	インターネットの仕組みと暗号の必要性について学ぶ。
第12回	RSA 公開鍵暗号 1	RSA 公開鍵暗号の仕組みについて学ぶ。
第13回	RSA 公開鍵暗号 2	RSA 公開鍵暗号の安全性について学ぶ。
第14回	まとめ	授業全体を再確認してまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

学習支援システムで配布する。

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、初等整数論、代数学を主題とした専門書であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

小テスト、レポート、で総合的に評価(100%)する。
具体的な方法と基準は、授業開始日に提示する。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業になるよう心がける。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of algebra.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning number theory and algebraic systems, such as modular arithmetic and permutation groups, with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Short tests and reports 100%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

教養数学B

2017年度以降入学者

佐藤 洋祐

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

2015年度までに「数学、情報を読むためにⅡ」の単位を修得済み
の場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 情報を読むために ～

数学は言語であると言われており、実際、様々なところで利用される道具となっている。この授業では、離散数学における題材により、いろいろな計算方法について学ぶ。

【到達目標】

①グラフ理論、②組合せ数学で用いられる基本的な考え方を理解し、演習問題を実際に解くことができる。ここでは問題の一例を、情報を読み解くという観点からあげてみよう。

問題（郵便配達） 各々の道に距離が表示してある地図がある。郵便局を出発した郵便配達人が、すべての道を最低1回は通って郵便物の配達を終え、郵便局に戻ってくるときの最短距離は？

この問題は、「根気と体力」があれば、しらみつぶしに調べていくことで答えは求められるかもしれない。そのような計算法はコンピュータが得意である。しかし我々は人間であるので、できるかぎり楽をして答えを求めたい。この授業で扱う「グラフ理論」を用いれば、そのような人間らしい方法で解答を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

様々な例で具体的なイメージを作りながら重要事項を理解する、という方法で授業を進めていく。そのために講義の中で演習の時間を多くとるつもりである。疑問点があったら授業中でも積極的に質問してもらいたい。課題等に関するフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	授業の概要を説明する。
第2回	安定結婚問題	「安定結婚問題」とは何かについて説明する。
第3回	安定マッチング1	「安定マッチング」の数学的定義を与える。
第4回	安定マッチング2	簡単な安定マッチング問題の解を素朴な方法によって計算することで、安定マッチング問題を理解する。
第5回	課題提出1	最初の課題を与える。
第6回	Gale-Shapley アルゴリズムの概要	安定マッチングを効率的に計算する Gale-Shapley アルゴリズムについて、具体例で説明する。
第7回	Gale-Shapley アルゴリズムの正確な定義	Gale-Shapley アルゴリズムの正確な定義を与える。

第8回	定理の証明に必要な知識	定理の証明に必要な知識「数学的帰納法」と「背理法」について概説する。
第9回	Gale-Shapley アルゴリズムの正当性	Gale-Shapley アルゴリズムの正当性の証明。
第10回	Gale-Shapley アルゴリズムの諸性質の紹介	Gale-Shapley アルゴリズムの諸性質を紹介する。
第11回	Gale-Shapley アルゴリズムの諸性質の証明	Gale-Shapley アルゴリズムの諸性質を証明する。
第12回	練習問題	GS アルゴリズムの少し複雑な例の練習問題を与える。
第13回	2 番目の課題	2 番目の課題を与える。
第14回	まとめ	授業全体を再確認してまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を充分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

学習支援システムで配布する。

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、グラフ理論、組合せ論を主題とした専門書であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

小テスト、レポート、で総合的に評価(100%)する。
具体的な方法と基準は、授業開始日に提示する。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業になるよう心がける。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of discrete mathematics.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning graph theory and combinatorics, such as Eulerian path and inclusion-exclusion principle, with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Short tests and reports 100%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

基礎数学 I

2017年度以降入学者

若井 健太郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学を学ぶための数学（準備編）～

変化する量が、式やグラフでどのように表されるのかを学ぶ。この、変化する量をあらわす式やグラフは、社会現象の記述を含めてさまざまな分野で利用されるものである。

【到達目標】

数列の基本性質を理解し、それらを用いて簡単な計算ができる。指数と対数の基本的な計算ができ、これらの知識をもとに、簡単な関数のグラフがかけられる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみるものが求められる。フィードバックは、学習支援システムを通じて行う。リアクションペーパーや演習用紙を併用することもある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	数列1	数列とは
第3回	数列2	等差数列
第4回	数列3	等比数列
第5回	数列4	Σ 記号
第6回	数列5	階差数列
第7回	指数と対数1	指数とは
第8回	指数と対数2	指数の計算
第9回	指数と対数3	対数とは
第10回	指数と対数4	対数の計算
第11回	簡単なグラフ1	指数関数のグラフ
第12回	簡単なグラフ2	対数関数のグラフ
第13回	簡単なグラフ3	$y=x^n$ ($n=1,2,\dots$) のグラフ
第14回	簡単なグラフ4	$y=x^n$ ($n=-1,-2,\dots$) のグラフ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版 (2011)

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、微積分学の初歩あるいはそのための準備を主題とした書物であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

問題の難易度の調整に気を配りたい。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

【Course outline】This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially sequences and functions.

【Learning Objectives】At the end of this course, students should be able to demonstrate the ability to perform different operations involving algebraic expressions, to graph linear and quadratic functions, and to graph polynomial, rational, algebraic, exponential and logarithmic functions.

【Learning activities outside of classroom】Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, Short reports 40%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

基礎数学Ⅱ

2017年度以降入学者

若井 健太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学を学ぶための数学（微分編）～

変化する量を知るための手段である、微分とは何かを学ぶ。微分は数理的な議論をする際に必要となる、最も基本的な道具のひとつであり、応用範囲は極めて広い。

【到達目標】

基本的な関数を微分でき、与えられた関数の性質を調べることができる。具体的には、関数のグラフを微分を用いて正確にかくことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみるものが求められる。フィードバックは、学習支援システム等を通じて行う。リアクションペーパーや演習用紙を併用することもある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	微分の基礎1	微分とは
第3回	微分の基礎2	導関数の計算
第4回	微分の基礎3	$y=x^a$ の微分
第5回	微分の基礎4	微分の線形性
第6回	微分の基礎5	積の微分と商の微分
第7回	微分の基礎6	合成関数の微分
第8回	関数のグラフ1	指数関数の微分
第9回	関数のグラフ2	対数関数の微分
第10回	関数のグラフ3	関数の極限
第11回	関数のグラフ4	関数の増減と極値
第12回	関数のグラフ5	さまざまな関数
第13回	応用1	マクローリン展開
第14回	応用2	積分とは

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版(2011)

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、微積分学の初歩あるいはそのための準備を主題とした書物であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

問題の難易度の調整に気を配りたい。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

【Course outline】This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially differentiation for functions of one variable.

【Learning Objectives】 At the end of this course, students will become proficient in techniques of differentiation, understand the concept of rate of change and how to use it to solve real world problems.

【Learning activities outside of classroom】 Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】 Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, Short reports 40%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

基礎数学 I

2017年度以降入学者

江口 直日

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学を学ぶための数学（準備編）～

変化する量が、式やグラフでどのように表されるのかを学ぶ。この、変化する量をあらわす式やグラフは、社会現象の記述を含めてさまざまな分野で利用されるものである。

【到達目標】

数列の基本性質を理解し、それらを用いて簡単な計算ができる。指数と対数の基本的な計算ができ、これらの知識をもとに、簡単な関数のグラフがかけられる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみるものが求められる。提出課題は返却して評価をフィードバックする。課題の回収や返却は授業支援アシスタントが行うことがある。重要な連絡には学習支援システムを利用することがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	数列1	数列とは
第3回	数列2	等差数列
第4回	数列3	等比数列
第5回	数列4	Σ 記号
第6回	数列5	階差数列
第7回	指数と対数1	指数とは
第8回	指数と対数2	指数の計算
第9回	指数と対数3	対数とは
第10回	指数と対数4	対数の計算
第11回	簡単なグラフ1	指数関数のグラフ
第12回	簡単なグラフ2	対数関数のグラフ
第13回	簡単なグラフ3	$y=x^n$ ($n=1,2,\dots$) のグラフ
第14回	簡単なグラフ4	$y=x^n$ ($n=-1,-2,\dots$) のグラフ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微積分』実教出版 (2011)

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、微積分学の初歩あるいはそのための準備を主題とした書物であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

クラス分けが廃止されたことで時限によって受講人数の偏りが大きく、人数の多いクラスでは授業運営に苦慮した。1年生と2年生以上で参加度や習熟度に格差が感じられた。1年生は安定感があったのに対して2年生以上は個人差が大きかった。1年生が中心的な授業で少数の上級生によって全体の質が低下するのが悩ましかった。試験日が定期試験期間の最終日であったため、答案の受領から成績の提出まで非常に短く感じられた。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

【Course outline】This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially sequences and functions.

【Learning Objectives】 At the end of this course, students should be able to demonstrate the ability to perform different operations involving algebraic expressions, to graph linear and quadratic functions, and to graph polynomial, rational, algebraic, exponential and logarithmic functions.

【Learning activities outside of classroom】 Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】 Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, Short reports 40%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

基礎数学Ⅱ

2017年度以降入学者

江口 直日

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学を学ぶための数学（微分編）～

変化する量を知るための手段である、微分とは何かを学ぶ。微分は数理的な議論をする際に必要となる、最も基本的な道具のひとつであり、応用範囲は極めて広い。

【到達目標】

基本的な関数を微分でき、与えられた関数の性質を調べることができる。具体的には、関数のグラフを微分を用いて正確にかくことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみるものが求められる。提出課題は返却して評価をフィードバックする。課題の回収や返却は授業支援アシスタントが行うことがある。重要な連絡には学習支援システムを利用することがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	微分の基礎1	微分とは
第3回	微分の基礎2	導関数の計算
第4回	微分の基礎3	$y=x^a$ の微分
第5回	微分の基礎4	微分の線形性
第6回	微分の基礎5	積の微分と商の微分
第7回	微分の基礎6	合成関数の微分
第8回	関数のグラフ1	指数関数の微分
第9回	関数のグラフ2	対数関数の微分
第10回	関数のグラフ3	関数の極限
第11回	関数のグラフ4	関数の増減と極値
第12回	関数のグラフ5	さまざまな関数
第13回	応用1	マクローリン展開
第14回	応用2	積分とは

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版(2011)

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、微積分学の初歩あるいはそのための準備を主題とした書物であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

多くの履修生が春学期からの継続だったため、授業方法や評価方法に理解があった。その代償に緊張感を維持するのが難しく、最終到達度には個人差が拡大したように感じられた。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

【Course outline】This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially differentiation for functions of one variable.

【Learning Objectives】 At the end of this course, students will become proficient in techniques of differentiation, understand the concept of rate of change and how to use it to solve real world problems.

【Learning activities outside of classroom】 Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】 Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, Short reports 40%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

基礎数学 I

2017年度以降入学者

池田 宏一郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学を学ぶための数学（準備編）～

変化する量が、式やグラフでどのように表されるのかを学ぶ。この、変化する量をあらわす式やグラフは、社会現象の記述を含めてさまざまな分野で利用されるものである。

【到達目標】

数列の基本性質を理解し、それらを用いて簡単な計算ができる。指数と対数の基本的な計算ができ、これらの知識をもとに、簡単な関数のグラフがかけられる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみるものが求められる。フィードバックは、学習支援システムを通じて行う。リアクションペーパーや演習用紙を併用することもある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	数列1	数列とは
第3回	数列2	等差数列
第4回	数列3	等比数列
第5回	数列4	Σ 記号
第6回	数列5	階差数列
第7回	指数と対数1	指数とは
第8回	指数と対数2	指数の計算
第9回	指数と対数3	対数とは
第10回	指数と対数4	対数の計算
第11回	簡単なグラフ1	指数関数のグラフ
第12回	簡単なグラフ2	対数関数のグラフ
第13回	簡単なグラフ3	$y=x^n$ ($n=1,2,\dots$) のグラフ
第14回	簡単なグラフ4	$y=x^n$ ($n=-1,-2,\dots$) のグラフ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版 (2011)

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、微積分学の初歩あるいはそのための準備を主題とした書物であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

問題の難易度の調整に気を配りたい。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

【Course outline】This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially sequences and functions.

【Learning Objectives】At the end of this course, students should be able to demonstrate the ability to perform different operations involving algebraic expressions, to graph linear and quadratic functions, and to graph polynomial, rational, algebraic, exponential and logarithmic functions.

【Learning activities outside of classroom】Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, Short reports 40%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

基礎数学Ⅱ

2017年度以降入学者

池田 宏一郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学を学ぶための数学（微分編）～

変化する量を知るための手段である、微分とは何かを学ぶ。微分は数理的な議論をする際に必要となる、最も基本的な道具のひとつであり、応用範囲は極めて広い。

【到達目標】

基本的な関数を微分でき、与えられた関数の性質を調べることができる。具体的には、関数のグラフを微分を用いて正確にかくことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみるものが求められる。フィードバックは、学習支援システム等を通じて行う。リアクションペーパーや演習用紙を併用することもある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	微分の基礎1	微分とは
第3回	微分の基礎2	導関数の計算
第4回	微分の基礎3	$y=x^a$ の微分
第5回	微分の基礎4	微分の線形性
第6回	微分の基礎5	積の微分と商の微分
第7回	微分の基礎6	合成関数の微分
第8回	関数のグラフ1	指数関数の微分
第9回	関数のグラフ2	対数関数の微分
第10回	関数のグラフ3	関数の極限
第11回	関数のグラフ4	関数の増減と極値
第12回	関数のグラフ5	さまざまな関数
第13回	応用1	マクローリン展開
第14回	応用2	積分とは

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版(2011)

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、微積分学の初歩あるいはそのための準備を主題とした書物であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

問題の難易度の調整に気を配りたい。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

【Course outline】This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially differentiation for functions of one variable.

【Learning Objectives】 At the end of this course, students will become proficient in techniques of differentiation, understand the concept of rate of change and how to use it to solve real world problems.

【Learning activities outside of classroom】 Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】 Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, Short reports 40%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

基礎数学 I

2017年度以降入学者

若井 健太郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学を学ぶための数学（準備編）～

変化する量が、式やグラフでどのように表されるのかを学ぶ。この、変化する量をあらわす式やグラフは、社会現象の記述を含めてさまざまな分野で利用されるものである。

【到達目標】

数列の基本性質を理解し、それらを用いて簡単な計算ができる。指数と対数の基本的な計算ができ、これらの知識をもとに、簡単な関数のグラフがかけられる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみるものが求められる。フィードバックは、学習支援システムを通じて行う。リアクションペーパーや演習用紙を併用することもある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	数列1	数列とは
第3回	数列2	等差数列
第4回	数列3	等比数列
第5回	数列4	Σ 記号
第6回	数列5	階差数列
第7回	指数と対数1	指数とは
第8回	指数と対数2	指数の計算
第9回	指数と対数3	対数とは
第10回	指数と対数4	対数の計算
第11回	簡単なグラフ1	指数関数のグラフ
第12回	簡単なグラフ2	対数関数のグラフ
第13回	簡単なグラフ3	$y=x^n$ ($n=1,2,\dots$) のグラフ
第14回	簡単なグラフ4	$y=x^n$ ($n=-1,-2,\dots$) のグラフ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版 (2011)

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、微積分学の初歩あるいはそのための準備を主題とした書物であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

問題の難易度の調整に気を配りたい。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

【Course outline】This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially sequences and functions.

【Learning Objectives】At the end of this course, students should be able to demonstrate the ability to perform different operations involving algebraic expressions, to graph linear and quadratic functions, and to graph polynomial, rational, algebraic, exponential and logarithmic functions.

【Learning activities outside of classroom】Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, Short reports 40%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

基礎数学Ⅱ

2017年度以降入学者

若井 健太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学を学ぶための数学（微分編）～

変化する量を知るための手段である、微分とは何かを学ぶ。微分は数理的な議論をする際に必要となる、最も基本的な道具のひとつであり、応用範囲は極めて広い。

【到達目標】

基本的な関数を微分でき、与えられた関数の性質を調べることができる。具体的には、関数のグラフを微分を用いて正確にかくことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみることが求められる。フィードバックは、学習支援システム等を通じて行う。リアクションペーパーや演習用紙を併用することもある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	微分の基礎1	微分とは
第3回	微分の基礎2	導関数の計算
第4回	微分の基礎3	$y=x^a$ の微分
第5回	微分の基礎4	微分の線形性
第6回	微分の基礎5	積の微分と商の微分
第7回	微分の基礎6	合成関数の微分
第8回	関数のグラフ1	指数関数の微分
第9回	関数のグラフ2	対数関数の微分
第10回	関数のグラフ3	関数の極限
第11回	関数のグラフ4	関数の増減と極値
第12回	関数のグラフ5	さまざまな関数
第13回	応用1	マクローリン展開
第14回	応用2	積分とは

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版(2011)

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、微積分学の初歩あるいはそのための準備を主題とした書物であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

問題の難易度の調整に気を配りたい。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

【Course outline】This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially differentiation for functions of one variable.

【Learning Objectives】 At the end of this course, students will become proficient in techniques of differentiation, understand the concept of rate of change and how to use it to solve real world problems.

【Learning activities outside of classroom】 Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】 Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, Short reports 40%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

基礎数学 I

2017年度以降入学者

江口 直日

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学を学ぶための数学（準備編）～

変化する量が、式やグラフでどのように表されるのかを学ぶ。この、変化する量をあらわす式やグラフは、社会現象の記述を含めてさまざまな分野で利用されるものである。

【到達目標】

数列の基本性質を理解し、それらを用いて簡単な計算ができる。指数と対数の基本的な計算ができ、これらの知識をもとに、簡単な関数のグラフがかけられる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみるものが求められる。提出課題は返却して評価をフィードバックする。重要な連絡には学習支援システムを利用することがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	数列1	数列とは
第3回	数列2	等差数列
第4回	数列3	等比数列
第5回	数列4	Σ 記号
第6回	数列5	階差数列
第7回	指数と対数1	指数とは
第8回	指数と対数2	指数の計算
第9回	指数と対数3	対数とは
第10回	指数と対数4	対数の計算
第11回	簡単なグラフ1	指数関数のグラフ
第12回	簡単なグラフ2	対数関数のグラフ
第13回	簡単なグラフ3	$y=x^n$ ($n=1,2,\dots$) のグラフ
第14回	簡単なグラフ4	$y=x^n$ ($n=-1,-2,\dots$) のグラフ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版(2011)

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、微積分学の初歩あるいはそのための準備を主題とした書物であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

クラス分けが廃止されたことで時限によって受講人数の偏りが大きく、人数の多いクラスでは授業運営に苦慮した。1年生の履修生は学習意欲や習熟度に安定感があり、対面授業や演習課題の重要性を再認識した。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

【Course outline】This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially sequences and functions.

【Learning Objectives】At the end of this course, students should be able to demonstrate the ability to perform different operations involving algebraic expressions, to graph linear and quadratic functions, and to graph polynomial, rational, algebraic, exponential and logarithmic functions.

【Learning activities outside of classroom】Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, Short reports 40%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

基礎数学Ⅱ

2017年度以降入学者

江口 直日

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学を学ぶための数学（微分編）～

変化する量を知るための手段である、微分とは何かを学ぶ。微分は数理的な議論をする際に必要となる、最も基本的な道具のひとつであり、応用範囲は極めて広い。

【到達目標】

基本的な関数を微分でき、与えられた関数の性質を調べることができる。具体的には、関数のグラフを微分を用いて正確にかくことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみるものが求められる。提出課題は返却して評価をフィードバックする。重要な連絡には学習支援システムを利用することがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	微分の基礎1	微分とは
第3回	微分の基礎2	導関数の計算
第4回	微分の基礎3	$y=x^a$ の微分
第5回	微分の基礎4	微分の線形性
第6回	微分の基礎5	積の微分と商の微分
第7回	微分の基礎6	合成関数の微分
第8回	関数のグラフ1	指数関数の微分
第9回	関数のグラフ2	対数関数の微分
第10回	関数のグラフ3	関数の極限
第11回	関数のグラフ4	関数の増減と極値
第12回	関数のグラフ5	さまざまな関数
第13回	応用1	マクローリン展開
第14回	応用2	積分とは

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版(2011)

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、微積分学の初歩あるいはそのための準備を主題とした書物であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

クラス分けが廃止されたことで時限によって受講人数の偏りが大きく、1時限は過少傾向があった。平均的な出席人数は3～4名に過ぎず、人数が少ないクラスも授業がしづらいことに気づいた。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

【Course outline】This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially differentiation for functions of one variable.

【Learning Objectives】 At the end of this course, students will become proficient in techniques of differentiation, understand the concept of rate of change and how to use it to solve real world problems.

【Learning activities outside of classroom】 Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】 Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, Short reports 40%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

基礎数学 I

2017年度以降入学者

井沼 学

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学を学ぶための数学（準備編）～

変化する量が、式やグラフでどのように表されるのかを学ぶ。この、変化する量をあらわす式やグラフは、社会現象の記述を含めてさまざまな分野で利用されるものである。

【到達目標】

数列の基本性質を理解し、それらを用いて簡単な計算ができる。指数と対数の基本的な計算ができ、これらの知識をもとに、簡単な関数のグラフがかけられる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみるものが求められる。フィードバックは、学習支援システムを通じて行う。リアクションペーパーや演習用紙を併用することもある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	数列1	数列とは
第3回	数列2	等差数列
第4回	数列3	等比数列
第5回	数列4	Σ 記号
第6回	数列5	階差数列
第7回	指数と対数1	指数とは
第8回	指数と対数2	指数の計算
第9回	指数と対数3	対数とは
第10回	指数と対数4	対数の計算
第11回	簡単なグラフ1	指数関数のグラフ
第12回	簡単なグラフ2	対数関数のグラフ
第13回	簡単なグラフ3	$y=x^n$ ($n=1,2,\dots$) のグラフ
第14回	簡単なグラフ4	$y=x^n$ ($n=-1,-2,\dots$) のグラフ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版 (2011)

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、微積分学の初歩あるいはそのための準備を主題とした書物であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

問題の難易度の調整に気を配りたい。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

【Course outline】This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially sequences and functions.

【Learning Objectives】At the end of this course, students should be able to demonstrate the ability to perform different operations involving algebraic expressions, to graph linear and quadratic functions, and to graph polynomial, rational, algebraic, exponential and logarithmic functions.

【Learning activities outside of classroom】Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, Short reports 40%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

基礎数学Ⅱ

2017年度以降入学者

井沼 学

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学を学ぶための数学（微分編）～

変化する量を知るための手段である、微分とは何かを学ぶ。微分は数理的な議論をする際に必要となる、最も基本的な道具のひとつであり、応用範囲は極めて広い。

【到達目標】

基本的な関数を微分でき、与えられた関数の性質を調べることができる。具体的には、関数のグラフを微分を用いて正確にかくことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみるものが求められる。フィードバックは、学習支援システム等を通じて行う。リアクションペーパーや演習用紙を併用することもある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	微分の基礎1	微分とは
第3回	微分の基礎2	導関数の計算
第4回	微分の基礎3	$y=x^a$ の微分
第5回	微分の基礎4	微分の線形性
第6回	微分の基礎5	積の微分と商の微分
第7回	微分の基礎6	合成関数の微分
第8回	関数のグラフ1	指数関数の微分
第9回	関数のグラフ2	対数関数の微分
第10回	関数のグラフ3	関数の極限
第11回	関数のグラフ4	関数の増減と極値
第12回	関数のグラフ5	さまざまな関数
第13回	応用1	マクローリン展開
第14回	応用2	積分とは

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版(2011)

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、微積分学の初歩あるいはそのための準備を主題とした書物であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

問題の難易度の調整に気を配りたい。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

【Course outline】This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially differentiation for functions of one variable.

【Learning Objectives】 At the end of this course, students will become proficient in techniques of differentiation, understand the concept of rate of change and how to use it to solve real world problems.

【Learning activities outside of classroom】 Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】 Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, Short reports 40%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

基礎数学 I

2017年度以降入学者

江口 直日

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学を学ぶための数学（準備編）～

変化する量が、式やグラフでどのように表されるのかを学ぶ。この、変化する量をあらわす式やグラフは、社会現象の記述を含めてさまざまな分野で利用されるものである。

【到達目標】

数列の基本性質を理解し、それらを用いて簡単な計算ができる。指数と対数の基本的な計算ができ、これらの知識をもとに、簡単な関数のグラフがかけられる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみるものが求められる。提出課題は返却して評価をフィードバックする。課題の回収や返却は授業支援アシスタントが行うことがある。重要な連絡には学習支援システムを利用することがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	数列1	数列とは
第3回	数列2	等差数列
第4回	数列3	等比数列
第5回	数列4	Σ 記号
第6回	数列5	階差数列
第7回	指数と対数1	指数とは
第8回	指数と対数2	指数の計算
第9回	指数と対数3	対数とは
第10回	指数と対数4	対数の計算
第11回	簡単なグラフ1	指数関数のグラフ
第12回	簡単なグラフ2	対数関数のグラフ
第13回	簡単なグラフ3	$y=x^n$ ($n=1,2,\dots$) のグラフ
第14回	簡単なグラフ4	$y=x^n$ ($n=-1,-2,\dots$) のグラフ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微積分』実教出版 (2011)

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、微積分学の初歩あるいはそのための準備を主題とした書物であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度まで1年生に関しては経営学部だけが受講対象であったが、本年度から法文営国環キ6学部に拡大して開講することになった。昨年度はクラス分けが廃止されたことで時限によって受講人数の偏りが大きく、人数の多いクラスでは授業運営に苦慮した。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

【Course outline】This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially sequences and functions.

【Learning Objectives】 At the end of this course, students should be able to demonstrate the ability to perform different operations involving algebraic expressions, to graph linear and quadratic functions, and to graph polynomial, rational, algebraic, exponential and logarithmic functions.

【Learning activities outside of classroom】 Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】 Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, Short reports 40%.

MAT100LA (数学 / Mathematics 100)

基礎数学Ⅱ

2017年度以降入学者

江口 直日

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学を学ぶための数学（微分編）～

変化する量を知るための手段である、微分とは何かを学ぶ。微分は数理的な議論をする際に必要となる、最も基本的な道具のひとつであり、応用範囲は極めて広い。

【到達目標】

基本的な関数を微分でき、与えられた関数の性質を調べることができる。具体的には、関数のグラフを微分を用いて正確にかくことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみるものが求められる。提出課題は返却して評価をフィードバックする。課題の回収や返却は授業支援アシスタントが行うことがある。重要な連絡には学習支援システムを利用することがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	微分の基礎1	微分とは
第3回	微分の基礎2	導関数の計算
第4回	微分の基礎3	$y=x^a$ の微分
第5回	微分の基礎4	微分の線形性
第6回	微分の基礎5	積の微分と商の微分
第7回	微分の基礎6	合成関数の微分
第8回	関数のグラフ1	指数関数の微分
第9回	関数のグラフ2	対数関数の微分
第10回	関数のグラフ3	関数の極限
第11回	関数のグラフ4	関数の増減と極値
第12回	関数のグラフ5	さまざまな関数
第13回	応用1	マクローリン展開
第14回	応用2	積分とは

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版(2011)

【参考書】

特に指定しないが、さらに学習する際は、微積分学の初歩あるいはそのための準備を主題とした書物であればそれぞれ参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度まで1年生に関しては経営学部だけが受講対象であったが、本年度から法文営国環キ6学部に拡大して開講することになった。昨年度はクラス分けが廃止されたことで時限によって受講人数の偏りが大きく、授業運営に苦慮した。

【その他の重要事項】

同じ科目が複数の曜日時限に開設されています。いずれも法文営国環キの全学年で履修可能ですが、受講者数平均化のため、1年生に関しては推奨クラスを設定しています。必修授業と重複等の場合は、推奨クラスにかかわらず、他の曜日時限で開設された同名科目の履修を検討して下さい。

【Outline (in English)】

【Course outline】This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially differentiation for functions of one variable.

【Learning Objectives】 At the end of this course, students will become proficient in techniques of differentiation, understand the concept of rate of change and how to use it to solve real world problems.

【Learning activities outside of classroom】 Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】 Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, Short reports 40%.

PHY100LA (物理学 / Physics 100)

入門物理学 A

2017年度以降入学者

サブタイトル：素粒子から宇宙まで

吉田 智

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

19世紀末から20世紀にかけての物理学の発展には目覚ましいものがある。その発展が可能だったのは、長い年月をかけて身近な自然現象についての実験や観測が行われ、また法則や理論が示されることによって、古典物理学と呼ばれる物理学全体の基礎がなされていたからである。この講義では最初に、私たちの身の周りで起こる物体の運動や、惑星の運動を通じて万有引力について解説し、次に、物体の運動に関係し、ミクロの領域への入り口となる熱やエネルギー等について解説する。

【到達目標】

この授業では、身の周りにある現象を通じて、物理に関する知識を深めることができると共に、物理的な物の見方を習得することを目標にしている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドと共に、資料を配付する講義形式で行います。難しい数式はできるだけ避け、時にはビデオ・実験装置を使用する予定です。随時最新の話題を取り入れながら、物理の基礎知識がなくても理解してもらえるように進めていきます。適宜、授業内での課題や質問に対する解説も行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序章	講義の全体について紹介する。
第2回	惑星の運動（ケプラー）	ケプラーの法則について解説する。
第3回	地上での物体の運動（ガリレオ）	ガリレオによる、地上における物体の運動の法則について解説する。
第4回	速度と加速度	物体の運動を理解するために必要となる、速度と加速度について解説する。
第5回	空中での物体の運動	空気抵抗と、それが物体の運動に与える影響について解説する。
第6回	力のつりあい	力のつりあいによる円運動について解説する。
第7回	万有引力の法則	ニュートンの万有引力の法則について解説する。
第8回	惑星の運動	万有引力の法則の成功例として、ハレー彗星や惑星の運動について解説する。
第9回	スペースシャトルや人工衛星の運動	人工衛星などの地球の周りを周回する物体の運動について解説する。
第10回	エネルギー	エネルギーの定義とエネルギー保存則について解説する。

第11回	熱の法則と熱効率	熱に関係する法則と熱効率について解説する。
第12回	気体の法則、絶対零度	気体の法則について解説する。
第13回	気体分子の運動と温度	気体分子の運動と温度の関係、そして熱の正体について解説する。
第14回	まとめ	全体のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回以降の講義内容の理解を助けるためにも、内容を復習しておく必要があります。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、プリントを配布します。

【参考書】

授業内で適宜紹介する予定です。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムを利用した、各回の課題(70%)と期末レポート(30%)で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

改善アンケートの記載は特にありませんでしたが、授業内容の質問には授業内や「学習支援システム」を使用して対応したいと思います。

【Outline (in English)】

This course teaches general physics, such as motion of a body on the earth, the law of universal gravitation through the motion of planets in the solar system, and thermodynamics and energy involved in atom. In this course, goals are to deepen the knowledge about physics through physical phenomena around us, and to acquire the physical perspective. After each class, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on term-end examination (30%), and short examinations in every class (70%).

PHY100LA (物理学/Physics 100)

入門物理学B

2017年度以降入学者

サブタイトル：素粒子から宇宙まで

吉田 智

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

20世紀に発展した現代物理学の成果を応用することによって、現在の私たちの生活は、100年前と比べて大きく変化した。現代物理学の特徴の1つは、その対象が非常に小さい原子核・素粒子や非常に大きい銀河・宇宙へと広がっていったことである。現在も物理学は発展し続けており、例えば21世紀の今、新たな宇宙観が示されようとしている。この講義では、最初に身近な光（電磁波）について解説し、次に、原子や原子核といったミクロの領域や、宇宙の始まりから星の進化や宇宙の大規模構造といったマクロの領域の現象について解説する。

【到達目標】

この授業では、理論と実験・観測の両立によって自然科学が発展してきたことを理解し、科学的な事柄に対して自ら判断ができるように、物理的な物の見方を修得することを目標にしている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドと共に、資料を配付する講義形式で行います。難しい数式はできるだけ避け、時にはビデオ・実験装置を使用する予定です。随時最新の話題を取り入れながら、物理の基礎知識がなくても理解してもらえるように進めていきます。適宜、授業内での課題や質問に対する解説も行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序章 < 20世紀以降の物理学 >	講義の全体について紹介する。
第2回	光の性質（波動性と粒子性）	光が示す、波の性質や太陽電池にも関係する粒子の性質について解説する。
第3回	光の性質（二重性）	ミクロの世界に起こる不思議な現象について紹介する。
第4回	原子の構造（電子の発見）	ランプから発せられる光の波長に関する法則や、電子の発見に至る研究について解説する。
第5回	原子の構造（原子核の発見）	原子の構造について解説する。
第6回	原子核の構造と核エネルギー	原子核構造と原子核エネルギーについて解説する。
第7回	核分裂反応と核融合反応	核分裂反応と核融合反応について、そしてそれらの応用について解説する。
第8回	太陽における核融合反応	太陽中心部で起こっている核融合反応について解説する。
第9回	星の進化、超新星爆発	星の進化と、星の終焉の1つである超新星爆発について解説する。

第10回	宇宙での元素合成	宇宙の中で、元素がどのようにして合成されたのか解説する。
第11回	クォークとレプトン	現在の万物の基となる素粒子であるクォークとレプトン、更には現在未発見の素粒子について解説する。
第12回	宇宙の進化	138億年間における宇宙の進化の過程について解説する。
第13回	宇宙の大規模構造と宇宙論	我々の銀河系を含めた、宇宙の大規模構造、そして現在の宇宙論について解説する。
第14回	まとめ	全体のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回以降の講義内容の理解を助けるためにも、内容を復習しておく必要があります。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、プリントや資料を配布します。

【参考書】

授業内で適宜紹介する予定です。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムを利用した、各回の課題(70%)と期末レポート(30%)で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

改善アンケートの記載は特にありませんでしたが、授業内容の質問には授業内や「学習支援システム」を使用して対応したいと思います。

【Outline (in English)】

This course teaches general physics such as the universe and elementary particles that research has developed since the 20th century. In this course, goals are to deepen the knowledge about physics through the phenomena around us, and to acquire the physical perspective. After each class, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on term-end examination (30%), and short examinations in every class (70%).

PHY100LA (物理学 / Physics 100)	
入門物理学 A	2017年度以降入学者
サブタイトル：原子から宇宙まで	
井坂 政裕	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：水2/Wed.2
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

物理学は、原子から宇宙まで、広く自然現象やそのしくみを理解することが大きな目的であり、世界中で日々研究が進められている。そうした研究によって物理学は現在でも大いに進展しているが、物理学の基礎となるのが本授業で扱う「力学（ニュートン力学）」である。力学は、ガリレオ・ガリレイやアイザック・ニュートンが発見した法則や、彼らが示した科学的な見方・考え方が出発点となっている。この授業では、身近な具体例をできるだけ取り上げながら、力学の法則やその意味、法則を通してどのようなことが理解できるのかを解説し、現代科学を理解するうえでも重要な科学的な見方や考え方がどのようなものかを紹介する。本授業を通して、学生は、天体の運動を含め、身の回りの様々な力学現象が物理学に基づいてどのように理解できるかを学び、科学的な見方や考え方の基礎を身に付ける。

【到達目標】

- ・ニュートンの運動の法則とはどのようなものかを説明することができる
- ・身の回りの物体の運動や惑星の運動などを、ニュートン力学に基づき理解することができる
- ・ニュートン力学の学習を通して、法則や理論に基づき論理的に物事を思考する基盤を獲得する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドを使用した講義形式で行い、授業内容に応じて、ビデオや簡単な実験装置を使用する場合がある。各回の授業内容に関する選択式問題による小テストを、学習支援システム上で実施する。最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で実施した小テストに対する講評や解説も行う。講義では、高校で物理を履修していなくても理解できるよう平易に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序章	授業全体の内容を紹介する。
第2回	惑星の運動	ケプラーの法則を中心に惑星の運動を解説するとともに、星座をつくる星（恒星）と惑星との夜空での見え方の違いを説明する。
第3回	ガリレオが発見した法則	ガリレオ・ガリレイが発見した落体の法則と慣性の法則について解説する。
第4回	速度と加速度	運動を表すために必要な速度と加速度について解説する。
第5回	ニュートンの運動の法則	最も基本的で重要な法則であるニュートンの運動の法則について解説する。

第6回	力のつりあいと浮力	力がつりあった状態がどのようなものか説明する。また、浮力について紹介する。
第7回	万有引力の法則と重力による運動	ニュートンによる万有引力の発見について解説する。さらに、自由落下や放物運動などについて解説する。
第8回	摩擦力と空気抵抗	摩擦力や空気抵抗がある場合、物体の運動がどのようなになるか解説する。
第9回	回転運動とコリオリ力	台風の渦を具体例に、回転運動やコリオリ力について紹介する。
第10回	運動の勢いを表すには？	運動量保存則について解説する。
第11回	「エネルギー」を定義する	自然科学・物理学における仕事やエネルギーの定義とエネルギーの原理について解説する。
第12回	エネルギー保存則	エネルギー保存則について解説する。
第13回	ロケットと人工衛星	ロケットや人工衛星を例として、宇宙速度や天体の運動についても解説する。
第14回	まとめ	春学期のまとめを行う。また、第13回までに実施した小テストの講評と解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・身の回りの自然現象や科学ニュースに関心を持つこと。
- ・授業内容と関連する自然現象や科学技術などの具体例が何か考えること。
- ・配付資料などをもとに、各回の学習内容の復習を行うこと。
- ・本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しない。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート(約50%)と小テスト(約50%)により評価する。毎回の授業内容に関する小テストを学習支援システム上で実施する。期末レポートは、授業内容に関する課題を出題する。期末試験は実施しない。

【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい説明を心がけます。

【Outline (in English)】

Course outline: This course introduces the basic knowledge of the Newtonian mechanics to students taking this course. It also helps students acquire way of thinking from a scientific perspective.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to do the following:

- ・ Understand the Newton's laws of motion and universal gravitation
- ・ Explain the motion of falling objects and the similarity to the revolution of the moon
- ・ Describe the scientific definition of the work and energy
- ・ Discuss the basic mechanism of a rocket escaping the gravity area of the Earth
- ・ Explain the Coriolis force and its effects on meteorological phenomena

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading Criteria/Policy: Grading will be decided based on mini-exam in each class meeting (50%) and term-end report (50%).

PHY100LA (物理学 / Physics 100)

入門物理学B

2017年度以降入学者

サブタイトル：原子から宇宙まで

井坂 政裕

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、光の現象や性質から始まり、ミクロな世界や非常に広大な宇宙に至るまで、幅広く物理現象やその背後にある物理法則を解説する。こうした知見は、20世紀以降の現代物理学の発展により得られたものである。

本授業を通して、学生は、現代物理学の世界やその広がりを知ると共に、現代物理学の知見に基づく科学的な見方・考え方を身に付ける。

【到達目標】

- ・光について、波としての性質と粒子としての性質が何かを理解し、それらを併せ持つことを理解できる
- ・ミクロな世界の物理に関し、量子論の始まりや原子の構造などについて概要を理解できる
- ・宇宙の始まりから現在までの進化を理解することができる
- ・物理学がこれまで、理論と実験の両方を基にして発展してきたことを理解することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドを使用した講義形式で行い、授業内容に応じて、ビデオや簡単な実験装置を使用する場合がある。

秋学期中に数回程度学習支援システムを用いた小テストを実施し、第14回授業においてその講評や解説を行う。

講義では、高校で物理を履修していなくても理解できるよう平易に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序章	講義で扱うテーマについて概観する
第2回	光に関する現象	虹や蜃気楼などの自然現象やレンズなどを例に挙げ、その原理を解説する
第3回	光の波動性	光が持つ性質を波として捉えて解説する
第4回	光の粒子性	光の粒子としての振る舞いについて解説する
第5回	物質の二重性	光やミクロな物質が持つ波の性質と粒子の性質の二重性について解説する
第6回	ミクロな世界の物理学	現在の量子力学の基礎としての量子論の起こりについて解説する
第7回	原子模型	原子模型について、その研究の歴史と共に解説する
第8回	原子の構造	電子や原子核の発見と原子の構造について解説する
第9回	原子核	原子核の性質や核エネルギーについての基礎知識を解説する

第10回	放射線	放射線についての基本的な知識を解説する
第11回	さらにミクロな世界へ	素粒子であるクォークやレプトンについて解説する
第12回	宇宙の始まりと進化	ビッグバンや宇宙の膨張について解説する
第13回	元素合成	宇宙や恒星における元素合成について解説する。
第14回	まとめと試験	秋学期のまとめを行うとともに、試験を実施する。 また、これまでに実施した小テストの講評と解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・身の回りの自然現象や科学ニュースに関心を持つこと。
- ・授業内容と関連する自然現象や科学技術などの具体例が何か考えること。
- ・配付資料などをもとに、各回の学習内容の復習を行うこと。
- ・本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しない。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の成績(70%)と平常点(30%)で評価する。期末試験では、授業中に配付した資料やノート、メモなどの参照を可とする。平常点については、秋学期期間中に数回実施する小テストの提出状況により評価する。

【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい説明を心がけます。

【Outline (in English)】

Course outline: This course introduces basic knowledge of the modern physics. It also helps students acquire way of thinking from a scientific perspective.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to do the following:

- ・ Explain the photoelectric effect and its application technologies
- ・ Explain the wave-particle duality of light and matters
- ・ Describe and explain typical models of atoms and the structure of atoms in terms of the electron orbits
- ・ Explain how to confirm the existence of the atomic nucleus by experiments
- ・ Explain the beginning and evolution of the universe

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading Criteria/Policy: Grading will be decided based on term-end exam (70%) and usual performance score (30%).

PHY100LA (物理学 / Physics 100)

入門物理学 A

2017年度以降入学者

サブタイトル：身近な物理学

石川 壮一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・本講義では、高校で物理を履修していなくても理解できるようにわかりやすく、我々の身の回りの力や運動に関係する現象と、それらを支配している法則（ニュートンの法則）について、歴史的側面を概観しながら解説する。

・学生は、身の回りの運動や、宇宙でのロケットや星の運動が、ニュートンの法則から説明できる事を学ぶ。

【到達目標】

・自然現象や我々の生活を支えている科学技術を理解するための基礎知識を身につける。

・我々の身の回りで起こっている力や運動に関係した現象を支配している法則（ニュートンの法則）について理解し、その簡単な応用ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。

・適時、理解度を確認するための課題を出題する。

・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	序章(1)	自然科学全般の研究対象と、本講義で学ぶ対象との関係について学ぶ。
2	序章(2)	ミクロな世界（原子）からマクロな世界（宇宙）まで、自然界の階層性について理解する。
3	天界の法則と地上の法則(1)	天体のみかけの運動を天動説、地動説それぞれの立場で説明し、その長所・短所を理解する。
4	天界の法則と地上の法則(2)	地球から見た太陽と惑星の位置関係を利用して、惑星運動の法則が得られることを理解する。
5	天界の法則と地上の法則(3)	落体の運動にみられる法則性を理解する。
6	運動法則(1)	力学の基本法則（原理）としてのニュートンの法則の内容を理解する。
7	運動法則(2)	万有引力の法則について理解する。
8	運動法則(3)	運動量やエネルギーの意味とそれらが保存されていることを理解する。
9	色々な運動(1)	等速度運動、等加速度運動など、運動の基本的な記述の仕方を学ぶ。

10	色々な運動(2)	空気抵抗がある場合などのより現実的な落下運動について考える。
11	色々な運動(3)	バネの運動や、スポーツにおける色々な運動について考える。
12	色々な運動(4)	乗り物に乗っているときや自転している地球上での運動について考える。
13	色々な運動(5)	宇宙における天体の運動や地球外の天体に向かうための力学的条件について考える。
14	まとめ	物体運動の予言性（決定論・非決定論）について考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・配付資料、演習問題、参考文献を用いて講義内容の復習を行うこと。

・新聞等の科学ニュースに気を配り、講義で学んだこととの関連性について考えてみる。

・本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは特に設けないが、学習支援システムを用いて資料を配布する。

【参考書】

・「グラフィック講義 物理学の基礎」 和田純夫著（サイエンス社、2013）

・シッパン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J. T. Shipman 著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）

・「物理学入門」 大西直毅著（東京大学出版会、1996）

・「世界のたね－真理を追いもとめる科学の物語」 アイリック・ニュート著、猪苗代英徳訳（日本放送出版協会、1999）

（その他、必要に応じて授業中に紹介する。）

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テストを含む）と期末試験の点数を総合して評価する。配分は、平常点を30%、期末試験の結果を70%とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業時間外学習をほとんど行っていない人が多いようなので、予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布のために学習支援システムを利用する。

【Outline (in English)】

This course introduces basics of Newtonian mechanics, which are very fundamental filed of physics.

At the end of the course, students are expected to understand how motions around themselves, in the universe, etc. are explained from the fundamental laws.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (70%) and in class contribution including short reports (30%).

PHY100LA (物理学 / Physics 100)

入門物理学B

2017年度以降入学者

サブタイトル：熱と光

石川 壮一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・本講義では、高校で物理を履修していなくても理解できるようにわかりやすく、熱（熱伝導、熱機関、...）、光（蜃気楼、虹、光通信、光電池、...）といった身の回りに日常的に起こっている現象を、巨視的（マクロ）、微視的（ミクロ）それぞれの立場から解説し、その背後にある基本的法則を説明する。

・学生は、身の回りに起こっている熱や光の現象の本質と、それらの微視的な立場からの理解を学ぶ。

【到達目標】

・自然現象や我々の生活を支えている科学技術を理解するための基礎知識を身につける。

・熱、光といった身の回りに日常的に起こっている現象を、巨視的（マクロ）、微視的（ミクロ）それぞれの立場から理解し、その背後にある基本的法則を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。

・適時、理解度を確認するための課題を出題する。

・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	序章	講義の概要を理解する。
2	熱現象(1)	熱の諸現象の基礎的概念について学ぶ。
3	熱現象(2)	熱の移動や伝達、熱とエネルギーとの関係について学ぶ。
4	熱現象(3)	生命活動のエネルギー源、および熱を用いて仕事をする熱機関について学ぶ。
5	熱現象(4)	熱現象を微視的に理解することを考える。
6	波	波動一般についてその基礎的事項を学ぶ。
7	波としての光(1)	光の屈折や分散という性質について学ぶ。
8	波としての光(2)	光の回折や干渉という性質について学ぶ。
9	粒子としての光(1)	物の色と温度との関係について学ぶ。
10	粒子としての光(2)	光電効果、原子スペクトルの意味とその特徴について学ぶ。
11	原子のモデル	原子が光を放出したり吸収したりする性質を説明するための、原子モデルについて考える。

12	物の色と光(1)	光による現象・風景や物の色の例として、空の色、照明などについて学ぶ。
13	物の色と光(2)	天体の色やオーロラの発光について学ぶ。
14	太陽エネルギー	太陽から発生しているエネルギーと地球との関係を考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・配布資料、演習問題、参考文献を用いて講義内容の復習を行うこと。

・新聞等の科学ニュースに気を配り、講義で学んだこととの関連性について考えてみる。

・本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは特に設けないが、学習支援システムを用いて資料を配布する。

【参考書】

・「グラフィック講義 物理学の基礎」 和田純夫著（サイエンス社、2013）

・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J. T. Shipman 著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）

・「物理学入門」 大西直毅著（東京大学出版会、1996）

（その他、必要に応じて授業中に紹介する。）

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テストを含む）と期末試験の点数を総合して評価する。配分は、平常点を30%、期末試験の結果を70%とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業時間外学習をほとんど行っていない人が多いようなので、予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布のために学習支援システムを利用する。

【Outline (in English)】

This course introduces basics of physics related to thermal phenomena, light, atoms, etc.

At the end of the course, students are expected to understand how various phenomena around us, such as heat, mirage, rainbow, aurora, etc., are explained from the fundamental laws. Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (70%) and in class contribution including short reports (30%).

PHY100LA (物理学/Physics 100)

入門物理学A

2017年度以降入学者

サブタイトル：やさしく学べる自然の仕組み

鈴木 裕武

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

自然や物の理（ことわり）の探求は、物の運動の法則を探求することから始まった。我々もそこから始めよう。本授業では自然を理解するための基礎である力と運動の法則とアインシュタインの特殊相対性理論を学ぶ。力と運動の法則を学べば身近な物体の運動から人工衛星の運動までを理解でき、相対性理論を知れば宇宙の真理に迫ることが出来る。ビジュアルや日常感覚で自然の仕組みを理解できるように工夫をして話を進める。自然の法則や仕組みの素晴らしさを楽しんでもらいたい。楽しんでいるうちに、法則や理論に基づき論理的に物事を考えることも出来るようになるはずだ。物理が苦手な人にも、物理に興味を持って学びたいと思っている人にも満足してもらえる授業を目指す。

【到達目標】

身近な物体や人工衛星の運動が力と運動の法則（力学）によってシンプルに説明できることを理解する。また、理論に基づき物体の運動が予想出来ることを理解する。特殊相対性理論に関しては、時間の流れ方や物体の長さが状況により異なることなど、一般的な常識を越えた時空の性質を理解する。物理学を学ぶことを通して、法則や理論に基づき論理的に物事を思考する基盤を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

物理に苦手意識を持っている人も多いと思う。この授業では、そのような学生諸君が楽しんで理解できるように話を進める。理解できたときの満足感を味わってほしい。初心者が自然の仕組みを楽しんで学べるように、なるべく身近な話題を取り上げてわかりやすい解説をする。

講義形式の対面授業を行う。受講に必要な授業情報は学習支援システムで公開する。授業前後に必ず学習支援システムを確認しよう。授業では物理学の基礎知識がなくても理解できるように解説をする。難しい数式はできるだけ避け、図と説明を工夫してイメージを把握できるようにする。基本事項の解説に続いて具体例を示し、クイズのような問題を通して理解を深める。プロジェクター（パワーポイント）と黒板・ペンタブレット（板書）を併用して分かりやすく解説する。小テストなどの課題のフィードバックは授業中に行う。授業自体が面白い動画（目標はYouTubeの動画）であるような授業を心がける。よりよい授業にするために、授業内容や進め方に関する学生諸君からの質問・提案・意見を歓迎する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	宇宙を楽しむ方法	授業の概要を説明する。また、物理学の方法論や楽しみ方を解説する。
第2回	山手線が等速度で走ることとは可能か	速度と加速についての基本を学ぶ。
第3回	自然は重ね合わせを好む	自然界ではいろいろなことが足し算できることを学ぶ。

第4回	投げたボールの未来を予言する	地球上で投げたボールの運動について理解する。
第5回	勢いがつくと止まらない理由	ニュートンの運動の法則を学ぶ。
第6回	無重力になる方法	電車が発車したときや停止するときに感じる慣性力を理解する。
第7回	ジェットコースターが滑り始めた高さを越えられないのはなぜか	エネルギーとエネルギーの保存について学ぶ。
第8回	光子帆船イカロス	運動の勢いの表し方と運動の勢いの保存について学ぶ。
第9回	二人が引き合う理由	万有引力を学び地球の質量を求める。
第10回	地面に落ちないで落下を続ける方法	地球表面すれすれを周る人工衛星の速さを求める。
第11回	タイムマシンはすでにある	動いている乗り物の中の時間は、ゆっくり進むように観察されることを理解する。
第12回	相対論的ダイエツト法	動いている物体の長さが縮んでいるように観察されることを学ぶ。
第13回	ダイエツトしても重くなる	動くと物体の質量が増加することを学ぶ。
第14回	宇宙をもっと楽しもう・まとめと解説	春学期の授業のまとめと解説をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

車や電車が動き出すときや止まるときにどのような力があるか自分にはたらくか観察しよう。思いっきりジャンプするとほんの少し無重力を実感できるかもしれない。日常生活で経験するすべての運動はニュートン力学で説明できる。なぜだろうと思い、観察し考察する姿勢をもって欲しい。

本授業の準備学習は1時間、復習は3時間を標準とする。授業で扱った問などの復習を中心に取り組んで欲しい。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。教材（授業で使用するパワーポイントスライド）のpdfファイルを学習支援システムで公開する。教材中の図・表やレジュメなどを印刷したものを配布する予定である。

【参考書】

- ・高校の物理基礎・物理の教科書
- ・新しい高校物理の教科書 山本明利、左巻健男(編著) 講談社ブルーバックス
- ・もういちど読む数研の高校物理 第1巻、第2巻 数研出版
- ・ビジュアル物理 ニュートン別冊 ニュートンプレス
- ・新装版 相対論のABC 福島肇(著) 講談社ブルーバックス

【成績評価の方法と基準】

定期試験は実施せずに、授業時間内に行う小テスト（70%、毎回実施）とコメントシート（30%、小テストの用紙に記入）で評価する。小テストでは自筆ノートと配布物の参照を認める。欠席時の小テストやコメントシートを後日提出することはできない。平常評価を行うため、単位認定には授業回数の2/3以上の出席が必要である。やむを得ない理由による1、2回の欠席が成績評価に大きく影響しないように評価方法を工夫する。小テストは、授業に参加して（見て聞いて）いれば容易に解答できるような問題とする。難しい数式を計算するような問題は出題しない。

【学生の意見等からの気づき】

授業満足度を決めるポイントは、授業の難易度や速度・時間配分や教え方ではなく、学生諸君が授業内容に対して興味や関心を持てるかどうかという点にあったのではないかと考える。物理学は一見難解そうな分野ではあるが、どのような分野であっても興味を喚起する方法はあるだろう。物理学を楽しんでもらえるように努力するつもりである。

【学生が準備すべき機器他】

自宅でインターネットに接続できる機器（スマホやタブレット、PCなど）が必要である。

【Outline (in English)】

In this subject, we learn the basics of classical mechanics and relativity theory. We can understand the movement of familiar objects by learning classical mechanics. We can approach the truth of the universe by learning relativity theory. By learning physics fun, we aim to become able to enjoy science. I intend to give a lecture devised so that students can understand physics visually and intuitively. Through knowledge and experience learned in this lecture, you should be able to learn how to think things logically using rules and theory.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. There will be no regular exams, but grades will be evaluated based on quizzes (70%) and class participation (comment sheets, 30%).

PHY100LA (物理学 / Physics 100)

入門物理学B

2017年度以降入学者

サブタイトル：やさしく学べる宇宙の仕組み

鈴木 裕武

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

原子から宇宙まで、物理学の守備範囲は広い。本授業では、原子や素粒子の極微のスケールから地球、オーロラ、さらには太陽、銀河系、ブラックホールなどの宇宙スケールの話までを扱う。また、日常生活の中で目にすることが多い光にかかわる現象と現代の生活になくはない電気や磁気の話も解説する。さらに、宇宙空間で起きている現象が我々の生活と無縁ではないことも解説する。

【到達目標】

原子から宇宙までの基礎知識を習得する。光に関係する身近な現象と光のスペクトルの基礎を理解する。電気エネルギーと発電の仕組みを理解する。地球周辺の宇宙空間で起きている現象を学び、それらの現象が我々の実生活にも関連があることを理解する。恒星の一生や宇宙論を学び宇宙の姿を理解する。以上の内容を通じて物理的な自然現象と我々とのかかわりを理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原子から宇宙までの広範囲にわたる物理的自然現象をわかりやすく解説する。知識の習得だけでなく、理解できて楽しくなるような講義を行うつもりである。原子から宇宙まで、我々の住む宇宙全体を理解することを楽しんでもらいたい。

講義形式の対面授業を行う。受講に必要な授業情報は学習支援システムで公開する。授業前後に必ず学習支援システムを確認しよう。授業では物理学の基礎知識がなくても理解できるように解説をする。難しい数式はできるだけ避け、図と説明を工夫してイメージを把握できるようにする。基本事項の解説に続いて具体例を示し、クイズのような問題を通して理解を深める。プロジェクター（パワーポイント）と黒板・ペンタブレット（板書）を併用して分かりやすく解説する。小テストなどの課題のフィードバックは授業中に行う。授業自体が面白い動画（目標はYouTubeの動画）であるような授業を心がける。よりよい授業にするために、授業内容や進め方に関する学生諸君からの質問・提案・意見を歓迎する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ミクロからナノそしてフェムト	授業の概要を説明する。また、物質の基本要素である原子や素粒子について学ぶ。
第2回	α と β と γ と	放射線の正体と性質を学ぶ。
第3回	昼間の空は青いのに夕焼けが赤いのはなぜか	波動の基本を学ぶ。
第4回	粒子は波である	光のスペクトルと極微の世界の不思議な性質を学ぶ。
第5回	スカスカの物質をつかめるワケ	電気と磁気の基本を学ぶ。
第6回	スマホが熱くなる理由	電気エネルギーと発電・送電を学ぶ。

第7回	紫外線から守れ	オゾン層と電離層について学ぶ。
第8回	宇宙空間への入り口	地球磁気圏・惑星間空間・太陽圏について学ぶ。
第9回	オーロラ	オーロラの正体に迫る。
第10回	太陽がくしゃみをすると地球が風邪をひく話	宇宙が地球環境に与える影響を学ぶ。
第11回	天の川と星の世界	銀河系の宇宙空間と恒星について学ぶ。
第12回	太陽の一生	恒星の誕生と進化について学ぶ。
第13回	我々は宇宙の子だ	超新星爆発や中性子星・ブラックホールについて学ぶ。
第14回	宇宙の現在・過去・未来	宇宙の誕生と膨張宇宙について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

原子や宇宙に関する新聞記事やニュースに関心を持とう。科学の発展は日進月歩で、次々と新しいことが発見されている。授業に関連する新発見があるかもしれない。本授業の準備学習は1時間、復習は3時間を標準とする。授業で扱った問などの復習を中心に取り組んで欲しい。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。教材（授業で使用するパワーポイントスライド）のpdfファイルを学習支援システムで公開する。教材中の図・表やレジュメなどを印刷したものを配布する予定である。

【参考書】

- ・高校の物理基礎・物理の教科書
- ・新しい高校物理の教科書 山本明利、左巻健男(編著) 講談社ブルーバックス
- ・もういちど読む数研の高校物理 第1巻、第2巻 数研出版
- ・ビジュアル物理 ニュートン別冊 ニュートンプレス
- ・物理学のコンセプト 4 電気・磁気と光 小出昭一郎(監修) 共立出版
- ・物理学のコンセプト 9 星と宇宙 小出昭一郎(監修) 共立出版
- ・やっかいな放射線と向き合って暮らしていくための基礎知識 田崎晴明 朝日出版社

pdfファイル：

<https://www.gakushuin.ac.jp/881791/radbookbasic/>

【成績評価の方法と基準】

定期試験は実施せずに、授業時間内に行う小テスト（70%、毎回実施）とコメントシート（30%、小テストの用紙に記入）で評価する。小テストでは自筆ノートと配布物の参照を認める。欠席時の小テストやコメントシートを後日提出することはできない。平常評価を行うため、単位認定には授業回数の2/3以上の出席が必要である。やむを得ない理由による1、2回の欠席が成績評価に大きく影響しないように評価方法を工夫する。小テストは、授業に参加して（見て聞いて）いれば容易に解答できるような問題とする。難しい数式を計算するような問題は出題しない。

【学生の意見等からの気づき】

授業満足度を決めるポイントは、授業の難易度や速度・時間配分や教え方ではなく、学生諸君が授業内容に対して興味や関心を持てるかどうかという点にあったのではないかと考える。物理学は一見難解そうな分野ではあるが、どのような分野であっても興味を喚起する方法はあるだろう。物理学を楽しんでもらえるように努力するつもりである。

【学生が準備すべき機器他】

自宅インターネットに接続できる機器（スマホやタブレット、PCなど）が必要である。

【Outline (in English)】

In this subject we will learn about atoms, radiation, optics, electromagnetism, aurora, interplanetary space, interstellar space, life of the sun and cosmology. A small atom is a component of the great universe and knowledge about atoms is essential to learning the universe. We will learn how small atoms are connected to the big universe.

It is wonderful that an invisible atom is connected to the stars shining on our head. Optics and electromagnetism are important fields of physics. In this lecture, I will explain some phenomena occurring in outer space based on knowledge of optics and electromagnetism. Knowledge of physics can also be applied to far away space. We also learn that the phenomena occurring in the universe have an impact on us living on Earth. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. There will be no regular exams, but grades will be evaluated based on quizzes (70%) and class participation (comment sheets, 30%).

PHY100LA (物理学 / Physics 100)

入門物理学 A

2017年度以降入学者

サブタイトル：原子から宇宙まで

井坂 政裕

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

物理学は、原子から宇宙まで、広く自然現象やそのしくみを理解することが大きな目的であり、世界中で日々研究が進められている。そうした研究によって物理学は現在でも大いに進展しているが、物理学の基礎となるのが本授業で扱う「力学（ニュートン力学）」である。力学は、ガリレオ・ガリレイやアイザック・ニュートンが発見した法則や、彼らが示した科学的な見方・考え方が出発点となっている。この授業では、身近な具体例をできるだけ取り上げながら、力学の法則やその意味、法則を通してどのようなことが理解できるのかを解説し、現代科学を理解するうえでも重要な科学的な見方や考え方がどのようなものかを紹介する。本授業を通して、学生は、天体の運動を含め、身の回りの様々な力学現象が物理学に基づいてどのように理解できるかを学び、科学的な見方や考え方の基礎を身に付ける。

【到達目標】

- ・ニュートンの運動の法則とはどのようなものかを説明することができる
- ・身の回りの物体の運動や惑星の運動などを、ニュートン力学に基づき理解することができる
- ・ニュートン力学の学習を通して、法則や理論に基づき論理的に物事を思考する基盤を獲得する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドを使用した講義形式で行い、授業内容に応じて、ビデオや簡単な実験装置を使用する場合がある。各回の授業内容に関する選択式問題による小テストを、学習支援システム上で実施する。最終授業で、13回までの講義内容のまとめと復習だけでなく、授業内で実施した小テストに対する講評や解説も行う。講義では、高校で物理を履修していなくても理解できるよう平易に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序章	授業全体の内容を紹介する。
第2回	惑星の運動	ケプラーの法則を中心に惑星の運動を解説するとともに、星座をつくる星（恒星）と惑星との夜空での見え方の違いを説明する。
第3回	ガリレオが発見した法則	ガリレオ・ガリレイが発見した落体の法則と慣性の法則について解説する。
第4回	速度と加速度	運動を表すために必要な速度と加速度について解説する。
第5回	ニュートンの運動の法則	最も基本的で重要な法則であるニュートンの運動の法則について解説する。

第6回	力のつりあいと浮力	力がつりあった状態がどのようなものか説明する。また、浮力について紹介する。
第7回	万有引力の法則と重力による運動	ニュートンによる万有引力の発見について解説する。さらに、自由落下や放物運動などについて解説する。
第8回	摩擦力と空気抵抗	摩擦力や空気抵抗がある場合、物体の運動がどのようなようになるか解説する。
第9回	回転運動とコリオリ力	台風の渦を具体例に、回転運動やコリオリ力について紹介する。
第10回	運動の勢いを表すには？	運動量保存則について解説する。
第11回	「エネルギー」を定義する	自然科学・物理学における仕事やエネルギーの定義とエネルギーの原理について解説する。
第12回	エネルギー保存則	エネルギー保存則について解説する。
第13回	ロケットと人工衛星	ロケットや人工衛星を例として、宇宙速度や天体の運動についても解説する。
第14回	まとめ	春学期のまとめを行う。また、第13回までに実施した小テストの講評と解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・身の回りの自然現象や科学ニュースに関心を持つこと。
- ・授業内容と関連する自然現象や科学技術などの具体例が何か考えること。
- ・配付資料などをもとに、各回の学習内容の復習を行うこと。
- ・本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しない。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート(約50%)と小テスト(約50%)により評価する。毎回の授業内容に関する小テストを学習支援システム上で実施する。期末レポートは、授業内容に関する課題を出題する。期末試験は実施しない。

【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい説明を心がけます。

【Outline (in English)】

Course outline: This course introduces the basic knowledge of the Newtonian mechanics to students taking this course. It also helps students acquire way of thinking from a scientific perspective.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to do the following:

- ・ Understand the Newton's laws of motion and universal gravitation
- ・ Explain the motion of falling objects and the similarity to the revolution of the moon
- ・ Describe the scientific definition of the work and energy
- ・ Discuss the basic mechanism of a rocket escaping the gravity area of the Earth
- ・ Explain the Coriolis force and its effects on meteorological phenomena

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading Criteria/Policy: Grading will be decided based on mini-exam in each class meeting (50%) and term-end report (50%).

PHY100LA (物理学 / Physics 100)

入門物理学B

2017年度以降入学者

サブタイトル：原子から宇宙まで

井坂 政裕

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、光の現象や性質から始まり、ミクロな世界や非常に広大な宇宙に至るまで、幅広く物理現象やその背後にある物理法則を解説する。こうした知見は、20世紀以降の現代物理学の発展により得られたものである。

本授業を通して、学生は、現代物理学の世界やその広がりを知ると共に、現代物理学の知見に基づく科学的な見方・考え方を身に付ける。

【到達目標】

- ・光について、波としての性質と粒子としての性質が何かを理解し、それらを併せ持つことを理解できる
- ・ミクロな世界の物理に関し、量子論の始まりや原子の構造などについて概要を理解できる
- ・宇宙の始まりから現在までの進化を理解することができる
- ・物理学がこれまで、理論と実験の両方を基にして発展してきたことを理解することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドを使用した講義形式で行い、授業内容に応じて、ビデオや簡単な実験装置を使用する場合がある。

秋学期中に数回程度学習支援システムを用いた小テストを実施し、第14回授業においてその講評や解説を行う。

講義では、高校で物理を履修していなくても理解できるよう平易に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序章	講義で扱うテーマについて概観する
第2回	光に関する現象	虹や蜃気楼などの自然現象やレンズなどを例に挙げ、その原理を解説する
第3回	光の波動性	光が持つ性質を波として捉えて解説する
第4回	光の粒子性	光の粒子としての振る舞いについて解説する
第5回	物質の二重性	光やミクロな物質が持つ波の性質と粒子の性質の二重性について解説する
第6回	ミクロな世界の物理学	現在の量子力学の基礎としての量子論の起こりについて解説する
第7回	原子模型	原子模型について、その研究の歴史と共に解説する
第8回	原子の構造	電子や原子核の発見と原子の構造について解説する
第9回	原子核	原子核の性質や核エネルギーについての基礎知識を解説する

第10回	放射線	放射線についての基本的な知識を解説する
第11回	さらにミクロな世界へ	素粒子であるクォークやレプトンについて解説する
第12回	宇宙の始まりと進化	ビッグバンや宇宙の膨張について解説する
第13回	元素合成	宇宙や恒星における元素合成について解説する。
第14回	まとめと試験	秋学期のまとめを行うとともに、試験を実施する。 また、これまでに実施した小テストの講評と解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・身の回りの自然現象や科学ニュースに関心を持つこと。
- ・授業内容と関連する自然現象や科学技術などの具体例が何か考えること。
- ・配付資料などをもとに、各回の学習内容の復習を行うこと。
- ・本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しない。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の成績(70%)と平常点(30%)で評価する。期末試験では、授業中に配付した資料やノート、メモなどの参照を可とする。平常点については、秋学期期間中に数回実施する小テストの提出状況により評価する。

【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい説明を心がけます。

【Outline (in English)】

Course outline: This course introduces basic knowledge of the modern physics. It also helps students acquire way of thinking from a scientific perspective.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to do the following:

- ・ Explain the photoelectric effect and its application technologies
- ・ Explain the wave-particle duality of light and matters
- ・ Describe and explain typical models of atoms and the structure of atoms in terms of the electron orbits
- ・ Explain how to confirm the existence of the atomic nucleus by experiments
- ・ Explain the beginning and evolution of the universe

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading Criteria/Policy: Grading will be decided based on term-end exam (70%) and usual performance score (30%).

PHY100LA (物理学 / Physics 100)

入門物理学 A

2017年度以降入学者

サブタイトル：素粒子から宇宙まで

吉田 智

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

19世紀末から20世紀にかけての物理学の発展には目覚ましいものがある。その発展が可能だったのは、長い年月をかけて身近な自然現象についての実験や観測が行われ、また法則や理論が示されることによって、古典物理学と呼ばれる物理学全体の基礎がなされていたからである。この講義では最初に、私たちの身の周りで起こる物体の運動や、惑星の運動を通じて万有引力について解説し、次に、物体の運動に関係し、ミクロの領域への入り口となる熱やエネルギー等について解説する。

【到達目標】

この授業では、身の周りにある現象を通じて、物理に関する知識を深めることができると共に、物理的な物の見方を習得することを目標にしている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドと共に、資料を配付する講義形式で行います。難しい数式はできるだけ避け、時にはビデオ・実験装置を使用する予定です。随時最新の話題を取り入れながら、物理の基礎知識がなくても理解してもらえるように進めていきます。適宜、授業内での課題や質問に対する解説も行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序章	講義の全体について紹介する。
第2回	惑星の運動（ケプラー）	ケプラーの法則について解説する。
第3回	地上での物体の運動（ガリレオ）	ガリレオによる、地上における物体の運動の法則について解説する。
第4回	速度と加速度	物体の運動を理解するために必要となる、速度と加速度について解説する。
第5回	空中での物体の運動	空気抵抗と、それが物体の運動に与える影響について解説する。
第6回	力のつりあい	力のつりあいによる円運動について解説する。
第7回	万有引力の法則	ニュートンの万有引力の法則について解説する。
第8回	惑星の運動	万有引力の法則の成功例として、ハレー彗星や惑星の運動について解説する。
第9回	スペースシャトルや人工衛星の運動	人工衛星などの地球の周りを周回する物体の運動について解説する。
第10回	エネルギー	エネルギーの定義とエネルギー保存則について解説する。

第11回	熱の法則と熱効率	熱に関係する法則と熱効率について解説する。
第12回	気体の法則、絶対零度	気体の法則について解説する。
第13回	気体分子の運動と温度	気体分子の運動と温度の関係、そして熱の正体について解説する。
第14回	まとめ	全体のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回以降の講義内容の理解を助けるためにも、内容を復習しておくことが必要です。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、プリントを配布します。

【参考書】

授業内で適宜紹介する予定です。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムを利用した、各回の課題(70%)と期末レポート(30%)で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

改善アンケートの記載は特にありませんでしたが、授業内容の質問には授業内や「学習支援システム」を使用して対応したいと思います。

【Outline (in English)】

This course teaches general physics, such as motion of a body on the earth, the law of universal gravitation through the motion of planets in the solar system, and thermodynamics and energy involved in atom. In this course, goals are to deepen the knowledge about physics through physical phenomena around us, and to acquire the physical perspective. After each class, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on term-end examination (30%), and short examinations in every class (70%).

PHY100LA (物理学/Physics 100)

入門物理学B

2017年度以降入学者

サブタイトル：素粒子から宇宙まで

吉田 智

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

20世紀に発展した現代物理学の成果を応用することによって、現在の私たちの生活は、100年前と比べて大きく変化した。現代物理学の特徴の1つは、その対象が非常に小さい原子核・素粒子や非常に大きい銀河・宇宙へと広がっていったことである。現在も物理学は発展し続けており、例えば21世紀の今、新たな宇宙観が示されようとしている。この講義では、最初に身近な光（電磁波）について解説し、次に、原子や原子核といったミクロの領域や、宇宙の始まりから星の進化や宇宙の大規模構造といったマクロの領域の現象について解説する。

【到達目標】

この授業では、理論と実験・観測の両立によって自然科学が発展してきたことを理解し、科学的な事柄に対して自ら判断ができるように、物理的な物の見方を修得することを目標にしている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドと共に、資料を配付する講義形式で行います。難しい数式はできるだけ避け、時にはビデオ・実験装置を使用する予定です。随時最新の話題を取り入れながら、物理の基礎知識がなくても理解してもらえるように進めていきます。適宜、授業内での課題や質問に対する解説も行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序章 < 20世紀以降の物理学 >	講義の全体について紹介する。
第2回	光の性質（波動性と粒子性）	光が示す、波の性質や太陽電池にも関係する粒子の性質について解説する。
第3回	光の性質（二重性）	ミクロの世界に起こる不思議な現象について紹介する。
第4回	原子の構造（電子の発見）	ランプから発せられる光の波長に関する法則や、電子の発見に至る研究について解説する。
第5回	原子の構造（原子核の発見）	原子の構造について解説する。
第6回	原子核の構造と核エネルギー	原子核構造と原子核エネルギーについて解説する。
第7回	核分裂反応と核融合反応	核分裂反応と核融合反応について、そしてそれらの応用について解説する。
第8回	太陽における核融合反応	太陽中心部で起こっている核融合反応について解説する。
第9回	星の進化、超新星爆発	星の進化と、星の終焉の1つである超新星爆発について解説する。

第10回	宇宙での元素合成	宇宙の中で、元素がどのようにして合成されたのか解説する。
第11回	クォークとレプトン	現在の万物の基となる素粒子であるクォークとレプトン、更には現在未発見の素粒子について解説する。
第12回	宇宙の進化	138億年間における宇宙の進化の過程について解説する。
第13回	宇宙の大規模構造と宇宙論	我々の銀河系を含めた、宇宙の大規模構造、そして現在の宇宙論について解説する。
第14回	まとめ	全体のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回以降の講義内容の理解を助けるためにも、内容を復習しておく必要があります。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、プリントや資料を配布します。

【参考書】

授業内で適宜紹介する予定です。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムを利用した、各回の課題(70%)と期末レポート(30%)で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

改善アンケートの記載は特にありませんでしたが、授業内容の質問には授業内や「学習支援システム」を使用して対応したいと思います。

【Outline (in English)】

This course teaches general physics such as the universe and elementary particles that research has developed since the 20th century. In this course, goals are to deepen the knowledge about physics through the phenomena around us, and to acquire the physical perspective. After each class, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on term-end examination (30%), and short examinations in every class (70%).

PHY100LA (物理学/Physics 100)

入門物理学A

2017年度以降入学者

サブタイトル：やさしく学べる自然の仕組み

鈴木 裕武

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

自然や物の理（ことわり）の探求は、物の運動の法則を探求することから始まった。我々もそこから始めよう。本授業では自然を理解するための基礎である力と運動の法則とアインシュタインの特殊相対性理論を学ぶ。力と運動の法則を学べば身近な物体の運動から人工衛星の運動までを理解でき、相対性理論を知れば宇宙の真理に迫ることが出来る。ビジュアルや日常感覚で自然の仕組みを理解できるように工夫をして話を進める。自然の法則や仕組みの素晴らしさを楽しんでもらいたい。楽しんでいるうちに、法則や理論に基づき論理的に物事を考えることも出来るようになるはずだ。物理が苦手な人にも、物理に興味を持って学びたいと思っている人にも満足してもらえる授業を目指す。

【到達目標】

身近な物体や人工衛星の運動が力と運動の法則（力学）によってシンプルに説明できることを理解する。また、理論に基づき物体の運動が予想出来ることを理解する。特殊相対性理論に関しては、時間の流れ方や物体の長さが状況により異なることなど、一般的な常識を越えた時空の性質を理解する。物理学を学ぶことを通して、法則や理論に基づき論理的に物事を思考する基盤を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

物理に苦手意識を持っている人も多いと思う。この授業では、そのような学生諸君が楽しんで理解できるように話を進める。理解できたときの満足感を味わってほしい。初心者が自然の仕組みを楽しんで学べるように、なるべく身近な話題を取り上げてわかりやすい解説をする。

講義形式の対面授業を行う。受講に必要な授業情報は学習支援システムで公開する。授業前後に必ず学習支援システムを確認しよう。授業では物理学の基礎知識がなくても理解できるように解説をする。難しい数式はできるだけ避け、図と説明を工夫してイメージを把握できるようにする。基本事項の解説に続いて具体例を示し、クイズのような問題を通して理解を深める。プロジェクター（パワーポイント）と黒板・ペンタブレット（板書）を併用して分かりやすく解説する。小テストなどの課題のフィードバックは授業中に行う。授業自体が面白い動画（目標はYouTubeの動画）であるような授業を心がける。よりよい授業にするために、授業内容や進め方に関する学生諸君からの質問・提案・意見を歓迎する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	宇宙を楽しむ方法	授業の概要を説明する。また、物理学の方法論や楽しみ方を解説する。
第2回	山手線が等速度で走ることとは可能か	速度と加速についての基本を学ぶ。
第3回	自然は重ね合わせを好む	自然界ではいろいろなことが足し算できることを学ぶ。

第4回	投げたボールの未来を予言する	地球上で投げたボールの運動について理解する。
第5回	勢いがつくと止まらない理由	ニュートンの運動の法則を学ぶ。
第6回	無重力になる方法	電車が発車したときや停止するときに感じる慣性力を理解する。
第7回	ジェットコースターが滑り始めた高さを越えられないのはなぜか	エネルギーとエネルギーの保存について学ぶ。
第8回	光子帆船イカロス	運動の勢いの表し方と運動の勢いの保存について学ぶ。
第9回	二人が引き合う理由	万有引力を学び地球の質量を求める。
第10回	地面に落ちないで落下を続ける方法	地球表面すれすれを周る人工衛星の速さを求める。
第11回	タイムマシンはすでにある	動いている乗り物の中の時間は、ゆっくり進むように観察されることを理解する。
第12回	相対論的ダイエツト法	動いている物体の長さが縮んでいるように観察されることを学ぶ。
第13回	ダイエツトしても重くなる	動くと物体の質量が増加することを学ぶ。
第14回	宇宙をもっと楽しもう・まとめと解説	春学期の授業のまとめと解説をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

車や電車が動き出すときや止まるときにどのような力があるか自分にはたらくか観察しよう。思いつきジャンプするとほんの少し無重力を実感できるかもしれない。日常生活で経験するすべての運動はニュートン力学で説明できる。なぜだろうと思い、観察し考察する姿勢をもって欲しい。

本授業の準備学習は1時間、復習は3時間を標準とする。授業で扱った問などの復習を中心に取り組んで欲しい。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。教材（授業で使用するパワーポイントスライド）のpdfファイルを学習支援システムで公開する。教材中の図・表やレジュメなどを印刷したものを配布する予定である。

【参考書】

- ・高校の物理基礎・物理の教科書
- ・新しい高校物理の教科書 山本明利、左巻健男(編著) 講談社ブルーバックス
- ・もういちど読む数研の高校物理 第1巻、第2巻 数研出版
- ・ビジュアル物理 ニュートン別冊 ニュートンプレス
- ・新装版 相対論のABC 福島肇(著) 講談社ブルーバックス

【成績評価の方法と基準】

定期試験は実施せずに、授業時間内に行う小テスト（70%、毎回実施）とコメントシート（30%、小テストの用紙に記入）で評価する。小テストでは自筆ノートと配布物の参照を認める。欠席時の小テストやコメントシートを後日提出することはできない。平常評価を行うため、単位認定には授業回数の2/3以上の出席が必要である。やむを得ない理由による1、2回の欠席が成績評価に大きく影響しないように評価方法を工夫する。小テストは、授業に参加して（見て聞いて）いれば容易に解答できるような問題とする。難しい数式を計算するような問題は出題しない。

【学生の意見等からの気づき】

授業満足度を決めるポイントは、授業の難易度や速度・時間配分や教え方ではなく、学生諸君が授業内容に対して興味や関心を持てるかどうかという点にあったのではないかと考える。物理学は一見難解そうな分野ではあるが、どのような分野であっても興味を喚起する方法はあるだろう。物理学を楽しんでもらえるように努力するつもりである。

【学生が準備すべき機器他】

自宅でインターネットに接続できる機器（スマホやタブレット、PCなど）が必要である。

【Outline (in English)】

In this subject, we learn the basics of classical mechanics and relativity theory. We can understand the movement of familiar objects by learning classical mechanics. We can approach the truth of the universe by learning relativity theory. By learning physics fun, we aim to become able to enjoy science. I intend to give a lecture devised so that students can understand physics visually and intuitively. Through knowledge and experience learned in this lecture, you should be able to learn how to think things logically using rules and theory.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. There will be no regular exams, but grades will be evaluated based on quizzes (70%) and class participation (comment sheets, 30%).

PHY100LA (物理学 / Physics 100)

入門物理学B

2017年度以降入学者

サブタイトル：やさしく学べる宇宙の仕組み

鈴木 裕武

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

原子から宇宙まで、物理学の守備範囲は広い。本授業では、原子や素粒子の極微のスケールから地球、オーロラ、さらには太陽、銀河系、ブラックホールなどの宇宙スケールの話までを扱う。また、日常生活の中で目にすることが多い光にかかわる現象と現代の生活になくはない電気や磁気の話も解説する。さらに、宇宙空間で起きている現象が我々の生活と無縁ではないことも解説する。

【到達目標】

原子から宇宙までの基礎知識を習得する。光に係る身近な現象と光のスペクトルの基礎を理解する。電気エネルギーと発電の仕組みを理解する。地球周辺の宇宙空間で起きている現象を学び、それらの現象が我々の実生活にも関連があることを理解する。恒星の一生や宇宙論を学び宇宙の姿を理解する。以上の内容を通じて物理的な自然現象と我々とのかかわりを理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原子から宇宙までの広範囲にわたる物理的自然現象をわかりやすく解説する。知識の習得だけでなく、理解できて楽しくなるような講義を行うつもりである。原子から宇宙まで、我々の住む宇宙全体を理解することを楽しんでもらいたい。

講義形式の対面授業を行う。受講に必要な授業情報は学習支援システムで公開する。授業前後に必ず学習支援システムを確認しよう。授業では物理学の基礎知識がなくても理解できるように解説をする。難しい数式はできるだけ避け、図と説明を工夫してイメージを把握できるようにする。基本事項の解説に続いて具体例を示し、クイズのような問題を通して理解を深める。プロジェクター（パワーポイント）と黒板・ペンタブレット（板書）を併用して分かりやすく解説する。小テストなどの課題のフィードバックは授業中に行う。授業自体が面白い動画（目標はYouTubeの動画）であるような授業を心がける。よりよい授業にするために、授業内容や進め方に関する学生諸君からの質問・提案・意見を歓迎する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ミクロからナノそしてフェムト	授業の概要を説明する。また、物質の基本要素である原子や素粒子について学ぶ。
第2回	α と β と γ と	放射線の正体と性質を学ぶ。
第3回	昼間の空は青いのに夕焼けが赤いのはなぜか	波動の基本を学ぶ。
第4回	粒子は波である	光のスペクトルと極微の世界の不思議な性質を学ぶ。
第5回	スカスカの物質をつかめるワケ	電気と磁気の基本を学ぶ。
第6回	スマホが熱くなる理由	電気エネルギーと発電・送電を学ぶ。

第7回	紫外線から守れ	オゾン層と電離層について学ぶ。
第8回	宇宙空間への入り口	地球磁気圏・惑星間空間・太陽圏について学ぶ。
第9回	オーロラ	オーロラの正体に迫る。
第10回	太陽がくしゃみをすると地球が風邪をひく話	宇宙が地球環境に与える影響を学ぶ。
第11回	天の川と星の世界	銀河系の宇宙空間と恒星について学ぶ。
第12回	太陽の一生	恒星の誕生と進化について学ぶ。
第13回	我々は宇宙の子だ	超新星爆発や中性子星・ブラックホールについて学ぶ。
第14回	宇宙の現在・過去・未来	宇宙の誕生と膨張宇宙について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

原子や宇宙に関する新聞記事やニュースに関心を持とう。科学の発展は日進月歩で、次々と新しいことが発見されている。授業に関連する新発見があるかもしれない。本授業の準備学習は1時間、復習は3時間を標準とする。授業で扱った問などの復習を中心に取り組んで欲しい。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。教材（授業で使用するパワーポイントスライド）のpdfファイルを学習支援システムで公開する。教材中の図・表やレジュメなどを印刷したものを配布する予定である。

【参考書】

- ・高校の物理基礎・物理の教科書
- ・新しい高校物理の教科書 山本明利、左巻健男(編著) 講談社ブルーバックス
- ・もういちど読む数研の高校物理 第1巻、第2巻 数研出版
- ・ビジュアル物理 ニュートン別冊 ニュートンプレス
- ・物理学のコンセプト 4 電気・磁気と光 小出昭一郎(監修) 共立出版
- ・物理学のコンセプト 9 星と宇宙 小出昭一郎(監修) 共立出版
- ・やっかいな放射線と向き合って暮らしていくための基礎知識 田崎晴明 朝日出版社

pdfファイル：

<https://www.gakushuin.ac.jp/881791/radbookbasic/>

【成績評価の方法と基準】

定期試験は実施せずに、授業時間内に行う小テスト（70%、毎回実施）とコメントシート（30%、小テストの用紙に記入）で評価する。小テストでは自筆ノートと配布物の参照を認める。欠席時の小テストやコメントシートを後日提出することはできない。平常評価を行うため、単位認定には授業回数の2/3以上の出席が必要である。やむを得ない理由による1、2回の欠席が成績評価に大きく影響しないように評価方法を工夫する。小テストは、授業に参加して（見て聞いて）いれば容易に解答できるような問題とする。難しい数式を計算するような問題は出題しない。

【学生の意見等からの気づき】

授業満足度を決めるポイントは、授業の難易度や速度・時間配分や教え方ではなく、学生諸君が授業内容に対して興味や関心を持てるかどうかという点にあったのではないかと考える。物理学は一見難解そうな分野ではあるが、どのような分野であっても興味を喚起する方法はあるだろう。物理学を楽しんでもらえるように努力するつもりである。

【学生が準備すべき機器他】

自宅インターネットに接続できる機器（スマホやタブレット、PCなど）が必要である。

【Outline (in English)】

In this subject we will learn about atoms, radiation, optics, electromagnetism, aurora, interplanetary space, interstellar space, life of the sun and cosmology. A small atom is a component of the great universe and knowledge about atoms is essential to learning the universe. We will learn how small atoms are connected to the big universe.

It is wonderful that an invisible atom is connected to the stars shining on our head. Optics and electromagnetism are important fields of physics. In this lecture, I will explain some phenomena occurring in outer space based on knowledge of optics and electromagnetism. Knowledge of physics can also be applied to far away space. We also learn that the phenomena occurring in the universe have an impact on us living on Earth. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. There will be no regular exams, but grades will be evaluated based on quizzes (70%) and class participation (comment sheets, 30%).

BIO100LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 100）

入門生物学 A

2017年度以降入学者

木原 章

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「入門生物学」は、生物学を初めて学ぶか、もう一度基礎から学び直したい文化系学生を対象とした講座です。「入門生物学A」では、主としてミクロレベルの生命現象を対象に、DNAから細胞・個体が作り上げられるしくみを学びます。現代の生物学が私達の生活や社会に対してどのような影響をもたらしたか、私達の「生命観」にどのような影響を与えてきたのか考えていきます。

【到達目標】

本授業の到達目標は2つあります。第一に、「生物学」の基礎知識を身につけることです。第二に、論理的思考力と文章力を身につけてもらいます。授業計画に従って、課題をこなしているうちに、論理的思考と文章力が身につくように授業計画は組み立てられています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

4月の授業はオンデマンドで行う予定です。授業支援システムからアクセスしてください。

5月以降は基本的に対面方式で行う予定です。板書による解説と、ビデオを通じた事例の提示を行いながら授業を進めます。

本授業では、生物学を大きく変えた発見・技術革新を毎回一つとりあげ、①歴史的背景、②基礎知識、③それが社会にもたらした影響、の3項目をたどって解説します。

授業は講義形式で、要点は板書で示しますが、必ずノートを取るようにして下さい。

リアクションペーパー等へのフィードバックは、授業内で、または学習支援システム Hoppii を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ダーウィン進化論	「進化論」は、現在でも生物学の基本的な考え方「パラダイム」として大きな影響力を持っています。
第2回	メンデル遺伝学	遺伝子の発見が何をもたらしたのか学びます。
第3回	生体内の化学反応	体の中で起きる化学反応の役割について学びます。
第4回	微生物工場	微生物を利用した発酵食品などについて学びます。
第5回	遺伝子の正体DNA	メンデルが提唱した遺伝子がDNAであることが解明された経緯を学びます。
第6回	遺伝子組み換えとゲノム編集	人工的に遺伝子を変えて新たな生きものを生み出す技術を学びます。
第7回	遺伝子改変生物の是非	人間が新たに作り出した生物の是非を考えます。
第8回	ゲノム解読と遺伝子診断	DNAの塩基配列が人の運命にどのような影響を与えるのか、考えます。

第9回	遺伝子治療とエンハンスメント	人間の遺伝子を改変して病気を治療したり、新しい能力を付与する事の問題点を整理します。
第10回	移植医療と再生医療	臓器移植から臓器再生への流れを学びます。
第11回	細胞の運命	受精卵から始める細胞の一生を考えます。
第12回	初期化細胞の衝撃	成人の細胞を初期化して、新たな生命を作り出す技術について学びます。
第13回	生命操作の是非	人間が行う生命操作の是非について考えます。
第14回	まとめ	13回の授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講生の皆さんは、日常的に新聞記事の科学欄を読むように心がけて下さい。(週1時間以上) 予習として、授業テーマについて過去の新聞記事を検索し読むようにして下さい。(週1時間以上) 復習として、授業での指示に従って授業の要約を作成し提出してください。(週1時間以上) 以上合計して週4時間以上の自習をして下さい。

【テキスト（教科書）】

教科書は無し。

【参考書】

参考書は必要に応じてHOPPIIを通じて提示します。

【成績評価の方法と基準】

授業要約 200字 85%

最終レポート 15%

授業要約(200字要約)のまとめ方は第1回目の授業で説明します。それに従って毎回(13回まで)授業を要約してHOPPIIのテスト欄に提出して頂きます。

最終レポートでは、13回の授業の中のいずれか一つのテーマを取り上げて、自分の意見を400字程度で発表してもらいます。

【学生の意見等からの気づき】

私語の厳罰化については、多くの学生の指示を得ておりますので、今後も継続いたします。

板書が見にくいというご意見が寄せられています。大教室での板書は、大きな字で書くように心がけていますが、読みにくい場合は、その場で挙手をして指摘して下さい。また、後ろの方に座って見にくい場合は、前の方に座して下さい。

【学生が準備すべき機器他】

単位取得には、HOPPIIへのアクセスできる環境が必須です。ご自分の機器が無い場合は、大学内で利用可能なコンピュータを確認してください。

【その他の重要事項】

メールでのレポート提出は一切受け付けません。そのような行為は絶対に行わないようにして下さい。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this class, students will learn the most basic biological concepts which are relating to our life. Major topics for the semester include: evolution, genetics, molecular biology and cell biology.

(Learning Objectives)

The goal of this class is to understand the importance and the impact of the modern biology on your own life.

(Learning activities outside of classroom)

Students will complete the 200 characters summary of the previous class. Also students will be expected to read the scientific news articles at least for 2 hours. The total required study time is 4 hours for each class.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following 13 times class summary 80%the final report 20%

BIO100LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 100）

入門生物学 B

2017 年度以降入学者

木原 章

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「入門生物学」は、生物学をはじめて学ぶか、基礎から学び直したい文化系学生を対象とした講座です。秋学期の「入門生物学 B」では、主としてマクロレベルの生命現象を対象として扱います。細胞が集まることで、個体ができあがるしくみ。生物が集まることでできあがる生態系。これらの「群れ」のしくみは、「自己組織化」と呼ばれたり、「社会現象」と呼ばれたりしています。最近では「群知能」と言って、群れ自体に潜む知的な振る舞いについて研究も進みつつあります。1 + 1 が 2 にならない、生命現象の世界について考えてみましょう。

【到達目標】

本授業の到達目標は 2 つあります。第一に、「生物学」の基礎知識を身につけることです。第二に、論理的思考力と文章力を身につけてもらいます。授業計画に従って、課題をこなしているうちに、論理的思考と文章力が身につくように授業計画は組み立てられています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に対面方式で行う予定です。授業は講義形式で、要点は板書で示します。またビデオを通じて事例の提示をします。毎回、生物学のマクロレベルの現象の一つとりあげて、その背後に潜む生物特有の仕組みを見つけ出していきます。リアクションペーパー等へのフィードバックは、授業内で、または学習支援システム Hoppii を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	マクロレベルの生命現象とは	生物をパーツに分解して、その仕組みを明らかにするのが「ミクロレベル」の生物学ならば、「マクロレベル」とは、生物を集めていくと何が起きるのかと言う問題を扱う学問になります。
第 2 回	自己複製・変異・淘汰のサイクル	進化は、環境や他の生物との相互作用で起こります。進化が起きる仕組みを、生物以外のケースと比べて考えてみます。
第 3 回	共進化	進化における相互関係が 2 種に限定されると、共に進化を加速させて、その結果特殊な種間関係ができあがる場合があります。特定の花と、特定の虫と言った共進化について考えてみます。
第 4 回	神経回路の可塑性	記憶・学習とは、複数の神経回路がつながることです。このつながりを作り出しているのが、シナプスという神経の接続部です。生物が、神経回路を変化させて学習するメカニズムについて考えます。

第 5 回 本能行動

動物は生まれながらにして身につけている行動があります。これを「本能行動」と言いますが、この本能行動を可能にしている仕組みはどうなっているのでしょうか？ 神経回路と遺伝子の関係について考えてみましょう。ここでは「心」と「脳」の問題について考えます。神経回路が複雑化する中で、「意識」が生まれたと言われています。「意識」を作り出す背景について考えてみます。

第 6 回 意識と神経

第 7 回 ミームの進化

第 8 回 群れ

第 9 回 社会

第 10 回 発生・分化

第 11 回 再生

第 12 回 生態学的生命観

第 13 回 種と多様性

第 14 回 まとめ

神経回路として形成された「文明」や「文化」が次の世代の神経回路として伝わるメカニズムについて考えます。生き物の群れは、信じられないような同調行動を取ります。この群れの行動から生まれた「群知能」について考えます。人間以外の生物にも、高度な社会を構築する生き物がいます。本授業では、アリを取りあげ、その社会構造や、個々のアリの働き方について学びます。多細胞生物では、それぞれの細胞が独自の役割分担を持つことで、高度な生き物が作り上げられます。受精卵が細胞分裂して、一つの個体を作り上げるしくみについて考えます。iPS 細胞のように、細胞の運命をコントロールすることで、人工的に体の再生を可能とする技術が登場しています。医療まで含めて、現在の再生技術について考えます。生態学では、それぞれのパーツが集まって作り出す新たな属性「創発的属性」を調べることで生命現象を理解しています。逆の意味で言うと、「創発的属性」は、パーツに分解することで消えてしまう特徴でも有ります。本授業では、この「創発的属性」について学びます。現在、人間が引き起こした環境変動によって多くの種が消滅していると言われています。種の絶滅によって、生態系の多様性が失われ、環境問題が起きるとも言われています。本授業では、多様性の指標とされている「種」について、基礎から考えてみたいと思います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講生の皆さんは、日常的に新聞記事の科学欄を読むように心がけて下さい。（週 1 時間以上） 予習として、授業テーマについて過去の新聞記事を検索し読むようにして下さい。（週 1 時間以上） 復習として、授業での指示に従って授業の要約を作成し提出して下さい。（週 1 時間以上） 以上合計して週 4 時間以上の自習をして下さい。

【テキスト（教科書）】

教科書は無し。

【参考書】

参考書は必要に応じて授業支援システムを通じて提示します。

【成績評価の方法と基準】

授業要約 200 字 85 %

最終レポート 15 %

授業要約（200字要約）のまとめ方は第1回目の授業で説明します。それに従って毎回（13回まで）授業を要約してHOPPIIのテスト欄に提出して頂きます。

最終レポートでは、13回の授業の中のいずれか一つのテーマを取り上げて、自分の意見を200字程度で発表してもらいます。

単位取得に関わる授業要約は、必ずご自分で作成して下さい。

同一の要約文が複数の学生から提出された場合は、全員不正行為に荷担したと見なし、処分の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

私語の厳罰化については、多くの学生の指示を得ておりますので、今後も継続いたします。板書が見にくいというご意見が寄せられていますが、大教室での板書は、大きな字で書くように心がけていますが、読みにくい場合は、その場で挙手をして指摘して下さい。また、後ろの方に座って見にくい場合は、前の方に座して下さい。

【学生が準備すべき機器他】

単位取得には、HOPPIIへのアクセスが必須です。

【その他の重要事項】

メールでのレポート提出は一切受け付けません。そのような行為は絶対に行わないようにして下さい。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this class, we will learn the most basic biological concepts which are relating to our life. Major topics for the semester include: developmental biology, neuroscience, behavior science, ecology and biodiversity.

(Learning Objectives)

The goal of this class is to understand the macro-mechanism of living organisms.

(Learning activities outside of classroom)

Students will complete the 200 characters summary of the previous class. Also students will be expected to read the scientific news articles at least for 2 hours. The total required study time is 4 hours for each class.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

13 times class summary 80%

the final report 20%

BIO100LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 100）

入門生物学A

2017年度以降入学者

木原 章

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「入門生物学」は、生物学を初めて学ぶか、もう一度基礎から学び直したい文化系学生を対象とした講座です。「入門生物学A」では、主としてミクロレベルの生命現象を対象に、DNAから細胞・個体が作り上げられるしくみを学びます。現代の生物学が私たちの生活や社会に対してどのような影響をもたらし、私達の「生命観」にどのような影響を与えてきたのか考えていきます。

【到達目標】

本授業の到達目標は2つあります。第一に、「生物学」の基礎知識を身につけることです。第二に、論理的思考力と文章力を身につけてもらいます。授業計画に従って、課題をこなしているうちに、論理的思考と文章力が身につくように授業計画は組み立てられています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

4月の授業はオンデマンドで行う予定です。授業支援システムからアクセスしてください。

5月以降は対面方式で行う予定です。板書による解説と、ビデオを通じた事例の提示を行いながら授業を進めます。

本授業では、生物学を大きく変えた発見・技術革新を毎回一つとりあげ、①歴史的背景、②基礎知識、③それが社会にもたらした影響、の3項目をたどって解説します。

授業は講義形式で、要点は板書で示しますが、必ずノートを取るようにして下さい。リアクションペーパー等へのフィードバックは、授業内で、または学習支援システム Hoppii を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ダーウィン進化論	「進化論」は、現在でも生物学の基本的な考え方「パラダイム」として大きな影響力を持っています。
第2回	メンデル遺伝学	遺伝子の発見が何をもたらしたのか学びます。
第3回	生体内の化学反応	体の中で起きる化学反応の役割について学びます。
第4回	微生物工場	微生物を利用した発酵食品などについて学びます。
第5回	遺伝子の正体DNA	メンデルが提唱した遺伝子がDNAであることが解明された経緯を学びます。
第6回	遺伝子組み換えとゲノム編集	人工的に遺伝子を変えて新たな生きものを生み出す技術を学びます。
第7回	遺伝子改変生物の是非	人間が新たに作り出した生物の是非を考えます。
第8回	ゲノム解読と遺伝子診断	DNAの塩基配列が人の運命にどのような影響を与えるのか、考えます。

第9回	遺伝子治療とエンハンスメント	人間の遺伝子を改変して病気を治療したり、新しい能力を付与する事の問題点を整理します。
第10回	移植医療と再生医療	臓器移植から臓器再生への流れを学びます。
第11回	細胞の運命	受精卵から始める細胞の一生を考えます。
第12回	初期化細胞の衝撃	成人の細胞を初期化して、新たな生命を作り出す技術について学びます。
第13回	生命操作の是非	人間が行う生命操作の是非について考えます。
第14回	まとめ	13回の授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講生の皆さんは、日常的に新聞記事の科学欄を読むように心がけて下さい。(週1時間以上) 予習として、授業テーマについて過去の新聞記事を検索し読むようにして下さい。(週1時間以上) 復習として、授業での指示に従って授業の要約を作成し提出してください。(週1時間以上) 以上合計して週4時間以上の自習をして下さい。

【テキスト（教科書）】

教科書は無し。

【参考書】

参考書は必要に応じてHOPPIIを通じて提示します。

【成績評価の方法と基準】

授業要約 200字 85%

最終レポート 15%

授業要約(200字要約)のまとめ方は第1回目の授業で説明します。それに従って毎回(13回まで)授業を要約してHOPPIIのテスト欄に提出して頂きます。

最終レポートでは、13回の授業の中のいずれか一つのテーマを取り上げて、自分の意見を200字程度で発表してもらいます。

【学生の意見等からの気づき】

私語の厳罰化については、多くの学生の指示を得ておりますので、今後も継続いたします。

板書が見にくいというご意見が寄せられています。大教室での板書は、大きな字で書くように心がけていますが、読みにくい場合は、その場で挙手をして指摘して下さい。また、後ろの方に座って見にくい場合は、前の方に座して下さい。

【学生が準備すべき機器他】

単位取得には、HOPPIIへのアクセスできる環境が必須です。ご自分の機器が無い場合は、大学内で利用可能なコンピュータを確認してください。

【その他の重要事項】

メールでのレポート提出は一切受け付けません。そのような行為は絶対行わないようにして下さい。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this class, students will learn the most basic biological concepts which are relating to our life. Major topics for the semester include: evolution, genetics, molecular biology and cell biology.

(Learning Objectives)

The goal of this class is to understand the importance and the impact of the modern biology on your own life.

(Learning activities outside of classroom)

Students will complete the 200 characters summary of the previous class. Also students will be expected to read the scientific news articles at least for 2 hours. The total required study time is 4 hours for each class.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following 13 times class summary 80%the final report 20%

BIO100LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 100）		第5回	本能行動	動物は生まれながらにして身につけている行動があります。これを「本能行動」と言いますが、この本能行動を可能にしている仕組みはどうなっているのでしょうか？ 神経回路と遺伝子の関係について考えてみましょう。
入門生物学B		2017年度以降入学者		ここでは「心」と「脳」の問題について考えます。神経回路が複雑化する中で、「意識」が生まれたと言われています。「意識」を作り出す背景について考えてみます。
木原 章		第6回	意識と神経	神経回路として形成された「文明」や「文化」が次の世代の神経回路として伝わるメカニズムについて考えます。
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：火5/Tue.5		第7回	ミームの進化	生き物の群れは、信じられないような同調行動を取ります。この群れの行動から生まれた「群知能」について考えます。
単位数：2単位		第8回	群れ	人間以外の生物にも、高度な社会を構築する生き物がいます。本授業では、アリを取りあげ、その社会構造や、個々のアリの働き方について学びます。
その他属性：〈優〉		第9回	社会	多細胞生物では、それぞれの細胞が独自の役割分担を持つことで、高度な生き物が作り上げられます。受精卵が細胞分裂して、一つの個体を作り上げるしくみについて考えます。
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		第10回	発生・分化	iPS細胞のように、細胞の運命をコントロールすることで、人工的に体の再生を可能とする技術が登場しています。医療まで含めて、現在の再生技術について考えます。
「入門生物学」は、生物学をはじめて学ぶか、基礎から学び直したい文化系学生を対象とした講座です。秋学期の「入門生物学B」では、主としてマクロレベルの生命現象を対象として扱います。細胞が集まることで、個体ができあがるしくみ。生物が集まることでできあがる生態系。これらの「群れ」のしくみは、「自己組織化」と呼ばれたり、「社会現象」と呼ばれたりしています。最近では「群知能」と言って、群れ自体に潜む知的な振る舞いについて研究も進みつつあります。1+1が2にならない、生命現象の世界について考えてみましょう。		第11回	再生	生態学では、それぞれのパーツが集まって作り出す新たな属性「創発的属性」を調べることで生命現象を理解しています。逆の意味で言うと、「創発的属性」は、パーツに分解することで消えてしまう特徴でも有ります。本授業では、この「創発的属性」について学びます。
【到達目標】		第12回	生態学的生命観	現在、人間が引き起こした環境変動によって多くの種が消滅していると言われています。種の絶滅によって、生態系の多様性が失われ、環境問題が起きるとも言われています。本授業では、多様性の指標とされている「種」について、基礎から考えてみたいと思います。
本授業の到達目標は2つあります。第一に、「生物学」の基礎知識を身につけることです。第二に、論理的思考力と文章力を身につけてもらいます。授業計画に従って、課題をこなしているうちに、論理的思考と文章力が身につくように授業計画は組み立てられています。		第13回	種と多様性	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 受講生の皆さんは、日常的に新聞記事の科学欄を読むように心がけて下さい。（週1時間以上）予習として、授業テーマについて過去の新聞記事を検索し読むようにして下さい。（週1時間以上）復習として、授業での指示に従って授業の要約を作成し提出して下さい。（週1時間以上）以上合計して週4時間以上の自習をして下さい。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		第14回	まとめ	【テキスト（教科書）】 教科書は無し。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1		【参考書】 参考書は必要に応じて授業支援システムを通じて提示します。		
【授業の進め方と方法】		【成績評価の方法と基準】 授業要約 200 字 85 %		
基本的に対面方式で行う予定です。授業は講義形式で、要点は板書で示します。またビデオを通じて事例の提示をします。				
毎回、生物学のマクロレベルの現象の一つとりあげて、その背後に潜む生物特有の仕組みを見つけ出していきます。				
リアクションペーパー等へのフィードバックは、授業内で、または学習支援システムHoppiiを通じて行う予定です。				
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 なし /No				
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし /No				
【授業計画】 授業形態：対面/face to face				
回	テーマ	内容		
第1回	マクロレベルの生命現象とは	生物をパーツに分解して、その仕組みを明らかにするのが「ミクロレベル」の生物学ならば、「マクロレベル」とは、生物を集めていくと何が起きるのかと言う問題を扱う学問になります。		
第2回	自己複製・変異・淘汰のサイクル	進化は、環境や他の生物との相互作用で起こります。進化が起きる仕組みを、生物以外のケースと比べて考えてみます。		
第3回	共進化	進化における相互関係が2種に限定されると、共に進化を加速させて、その結果特殊な種間関係ができあがる場合があります。特定の花と、特定の虫と言った共進化について考えてみます。		
第4回	神経回路の可塑性	記憶・学習とは、複数の神経回路がつながることです。このつながりを作り出しているのが、シナプスという神経の接続部です。生物が、神経回路を変化させて学習するメカニズムについて考えます。		

最終レポート 15 %

授業要約（200字要約）のまとめ方は第1回目の授業で説明します。それに従って毎回（13回まで）授業を要約してHOPPIIのテスト欄に提出して頂きます。

最終レポートでは、13回の授業の中のいずれか一つのテーマを取り上げて、自分の意見を200字程度で発表してもらいます。

単位取得に関わる授業要約は、必ずご自分で作成して下さい。

同一の要約文が複数の学生から提出された場合は、全員不正行為に荷担したと見なし、処分の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

私語の厳罰化については、多くの学生の指示を得ておりますので、今後も継続いたします。板書が見にくいというご意見が寄せられています。大教室での板書は、大きな字で書くように心がけていますが、読みにくい場合は、その場で挙手をして指摘して下さい。また、後ろの方に座って見にくい場合は、前の方に座して下さい。

【学生が準備すべき機器他】

単位取得には、HOPPIIへのアクセスが必須です。

【その他の重要事項】

メールでのレポート提出は一切受け付けません。そのような行為は絶対に行わないようにして下さい。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this class, we will learn the most basic biological concepts which are relating to our life. Major topics for the semester include: developmental biology, neuroscience, behavior science, ecology and biodiversity.

(Learning Objectives)

The goal of this class is to understand the macro-mechanism of living organisms.

(Learning activities outside of classroom)

Students will complete the 200 characters summary of the previous class. Also students will be expected to read the scientific news articles at least for 2 hours. The total required study time is 4 hours for each class.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

13 times class summary 80%

the final report 20%

BIO100LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 100）	
入門生物学 A	2017年度以降入学者
植木 紀子	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：水5/Wed.5
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

生物学を初めて学ぶか、基礎から学び直したい学生を対象とします。春学期は、主としてミクロレベルの生命現象を扱います。前半では、生物が遺伝情報をもとに作り上げられるしくみや進化するしくみを、その発見の歴史とともに学びます。後半では、ウイルスや遺伝子組み換え作物、再生医療など、私たちの生活や社会に関わるものについて、前半で学んだ知識を基盤として理解していきます。

【到達目標】

本授業の到達目標は第一に、ミクロレベルの生物学の基礎となる重要事項を理解することで、生物学に関わるものごとを正しくとらえ、考えることができるようになることです。第二に、自然科学の問題に対峙する過程で、論理的思考と文章力を身につけてもらいます。課題をこなすうちに自然とそれらの力が身につくように授業計画は組み立てられています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・授業は、対面方式で行います。
- ・授業では、要点を必ずノートにとるようにしてください。
- ・講義の中で、毎回10～15分程度の映像教材を呈示します。
- ・授業に関する情報は学習支援システムより通知しますので、必ず確認してください。
- ・質問等へのフィードバックは、授業内または学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	生命観の変遷	生命とは何か・複雑な生命現象をどう説明するかという考え方の歴史的变化を概説します。
第2回	ダーウィン進化論	生物学のみならず社会にも大きな影響を与えたダーウィンの提唱した進化論について学びます。
第3回	メンデル遺伝学	メンデルが提唱した遺伝子の概念によって生物学がどのように進歩したのかを学びます。
第4回	化学反応と酵素	酵素発見の歴史や、体の中で起る化学反応の役割について学びます。
第5回	微生物工場	我々に身近な発酵食品や医薬品に微生物がどのように利用されているかを学びます。
第6回	DNA	メンデルが提唱した遺伝子の正体はDNAという物質でした。その発見の歴史を学びます。
第7回	生命情報	DNAが遺伝情報を担うシステムとしてはたらくしくみを理解します。

第8回	ウイルスと生命	単なる物質とも生命体ともとらえられるウイルスはどのような存在なのかを学びます。
第9回	遺伝子組み換えとゲノム編集	DNAを改変し新たな性質をもつ生物を生み出す技術について学びます。
第10回	食糧問題とバイオテクノロジー	遺伝子改変技術を中心に、食糧問題と科学技術の関わりについて学びます。
第11回	ゲノムと医療	個人のDNA配列から病気や体質まで予測できる現在、ゲノムデータとの付き合い方を考えます。
第12回	遺伝子治療	人間の遺伝子を操作して病気を治療したり、能力を強化したりすることの是非を考えます。
第13回	クローン技術とiPS細胞	細胞の運命を人工的に初期化する技術とその利用について学びます。
第14回	移植医療・再生医療	臓器不足問題を克服するために開発されつつある技術を紹介します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講生の皆さんは、予習として、生物学に関係するニュース番組や記事を見るよう心がけてください。復習としては、授業での指示に従って各授業の要約を作成し、学習支援システムを通じて提出してもらいます。以上の予習・復習を合計して週4時間の自習をしてください。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

参考書は必要に応じて学習支援システムを通じて提示します。

【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価します。
・小テスト 20%（毎回、授業内容に関する設問に解答して提出していただきます。その提出状況・理解度等を評価します。）
・200字要約レポート 80%（毎回の授業内容の要約レポートを作成し、学習支援システムを通じて期限内に提出していただきます。詳細は授業内でお知らせします。）

【成績に関わるルール】

200字要約レポートは、必ずご自分で作成して下さい。
- 同一の要約文が複数の学生から提出された場合（過去の年度の提出物も含む）、全員不正行為に荷担したと見なし、処分の対象とします。
- 本授業の課題に対しての生成AIツール（ChatGPTなど）の利用は禁止します。利用した場合、不正行為として処分の対象となります。
- インターネット等からの剽窃も厳しくチェックします。

【学生の意見等からの気づき】

映像が理解の助けになったという声が多いので、今後も効果的に取り入れていきます。

【学生が準備すべき機器他】

単位取得には、学習支援システムへアクセスできる環境が必須です。

【その他の重要事項】

第1回授業で授業の進め方・課題提出方法・成績評価の基準などを詳しく説明しますので、履修する方は必ず出席してください。

【Outline (in English)】

This course introduces students to a broad overview of biology and technologies which influences our society. Major topics for the semester: evolution, genetics, molecular biology and cell biology.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process; small tests each time (25%), 200-character summary report (75%).

BIO100LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 100）

入門生物学B

2017年度以降入学者

植木 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

生物学を初めて学ぶか、基礎から学び直したい文化系学生を対象とします。秋学期は、主としてマクロレベルの生命現象を扱います。例えば細胞が集まることで個体ができあがるしくみや、生物どうしや生物と環境との相互作用について学びます。1+1が2にならない生命現象の世界について考えてみましょう。

【到達目標】

本授業の到達目標は第一に、マクロ生物学のそれぞれのトピックを通じて、生命現象をさまざまな見方とらえられるようになることです。第二に、自然科学の問題に対峙する過程で、論理的思考と文章力を身につけてもらいます。課題をこなすうちに自然とそれらの力が身につくように授業計画は組み立てられています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・授業は、対面方式で行います。
- ・授業では、要点を必ずノートにとるようにしてください。
- ・講義の中で、毎回10～15分程度の映像教材を呈示します。
- ・授業に関する情報は学習支援システムより通知しますので、必ず確認してください。
- ・質問等へのフィードバックは、授業内または学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	マクロレベルの生命現象	生物を分解して調べるミクロ生物学と、全体の問題を扱うマクロ生物学の考え方を概説します。
第2回	生命と地球の歴史	現在の地球環境が、生物の歴史の大イベントにより形作られていることを学びます。
第3回	変異・遺伝・淘汰のサイクル	進化は、環境や他の生物との相互作用で起こります。進化のしくみとその本質を考えてみます。
第4回	共進化	進化における相互関係が2種に限定されると、共に進化を加速させ、特殊な種間関係ができあがる場合があります。
第5回	神経回路の可塑性	生物が神経回路を変化させて学習するメカニズムを学びます。
第6回	本能行動	本能行動のしくみを調べるために行われたさまざまな研究を紹介しします。
第7回	意識と神経	神経回路が複雑化する中で意識が生まれたと考えられています。意識を作り出す背景を考えます。
第8回	ミームの進化	神経回路として形成された「文明」や「文化」が次世代の神経回路として伝わるメカニズムを考えます。

第9回	群れ	生き物の群れは、信じられないような同調行動を取ります。群れの行動から生まれた知能について考えます。
第10回	生物の社会	人間以外にも、高度な社会を構築する生き物がいます。その社会構造について学びます。
第11回	発生・分化	一個の受精卵が、分裂を経てそれぞれの役割を持つ細胞になり、複雑な個体を作り上げるしくみを解説します。
第12回	再生	多細胞生物の生存戦略を、再生能力という点から考えます。iPS細胞や再生医療との関係も解説します。
第13回	薬と生物学	さまざまな病気や感染症と闘う武器として人はどのように医薬品を開発し、利用してきたのでしょうか。
第14回	サイズと進化	大きさによって変わるもの、変わらないものについて学び、各々の生物から見た世界について考えます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講生の皆さんは、予習として、生物学に関係するニュース番組や記事を見るよう心がけてください。復習としては、授業での指示に従って各授業の要約を作成し、学習支援システムを通じて提出してもらいます。以上の予習・復習を合計して週4時間の自習をしてください。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

参考書は必要に応じて学習支援システムを通じて提示します。

【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価します。
 ・小テスト 20%（毎回、授業内容に関する設問に解答して提出していただきます。その提出状況・理解度等を評価します。）
 ・200字要約レポート 80%（毎回の授業内容の要約レポートを作成し、学習支援システムを通じて期限内に提出していただきます。詳細は授業内でお知らせします。）

【成績に関わるルール】

200字要約レポートは、必ずご自分で作成して下さい。
 - 同一の要約文が複数の学生から提出された場合（過去の年度の提出物も含む）、全員不正行為に荷担したと見なし、処分の対象とします。
 - 本授業の課題に対しての生成AIツール（ChatGPTなど）の利用は禁止します。利用した場合、不正行為として処分の対象となります。
 - インターネット等からの剽窃も厳しくチェックします。

【学生の意見等からの気づき】

映像が理解の助けになったという声が多いので、今後も効果的に取り入れていきます。

【学生が準備すべき機器他】

単位取得には、学習支援システムへアクセスできる環境が必須です。

【その他の重要事項】

第1回授業で授業の進め方・課題提出方法・成績評価の基準などを詳しく説明しますので、履修する方は必ず出席してください。

【Outline (in English)】

This course introduces students to a broad overview of macroscopic biology. Students will understand that "emergence" occurs in each biological organization by the end of the course. Major topics for the semester: developmental biology, neuroscience, behavior science, ecology and biodiversity. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following process; in-class contribution (25%), 200-character summary report (75%).

BIO100LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 100）

入門生物学 A

2017年度以降入学者

宇野 真介

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講座では、進化や遺伝といった生物学的に重要な概念を取り上げると共に、主に細胞やそれを構成する生体分子のはたらきなどのミクロレベルの生物的事象に注目します。また、医療などの身近な応用分野を取り上げ、関連する科学技術をより良く理解し、生物学的根拠のある見解をもつための生物学的基礎知識を提供します。

【到達目標】

本授業の到達目標は、以下の3点です。1）ミクロレベルの生物的事象の基礎知識を取得すること。2）取得した生物学的基礎知識の歴史・社会的な背景・意義を理解・把握すること。3）医療などの身近な分野に関わる科学技術について自分の考え・意見を形成すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面方式によるパワーポイントを使った講義形式で授業を実施します。毎回、簡単な演習や理解度チェックを実施し、次の授業で補足・フィードバックを行いつつ授業を進める予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ミクロな生物学を学ぶ	生命活動を「個体」以下のミクロなレベルで捉えるとはどういうことか。生物学的な階層構造を確認しながら、生命の基本的な特徴についても考えます。
第2回	ダーウィン進化論	現在でも生物学の重要概念となっているダーウィンの進化論について解説すると共に、進化論の社会的影響についても考えます。
第3回	メンデル遺伝学	現代の遺伝学の基礎となったメンデルの研究について解説すると共に、遺伝学の社会的影響についても考えます。
第4回	細胞の増殖と遺伝	「生命の最小単位」であると認識されている細胞は、どのように増殖（自己複製）し、かつ遺伝情報を受け渡しているのかを学びます。
第5回	細胞呼吸	生物は呼吸を通して生命活動に必要なエネルギーを引き出しています。細胞レベルの事象としての呼吸の仕組みを学びます。
第6回	DNAの構造と複製	「生命の設計図」と言われるDNAはどのような物質なのか。その基本的構造・機能について学びます。

第7回	DNAからタンパク質へ	DNAの保持する情報を基にして作られるのはタンパク質です。DNAからRNAを介してタンパク質が合成される仕組みについて学びます。
第8回	タンパク質の構造と機能	タンパク質は生命活動を実現する上で必要不可欠な生体分子です。その構造について学ぶと共に、特に酵素に注目してその機能を学びます。
第9回	ゲノムからわかること	ある生物の持つ全遺伝情報（ゲノム）を分析することで、その生物の全てを知ることができるのでしょうか。ゲノムからヒトをはじめとする生物についてわかることについて考えます。
第10回	生体防御と感染症	外界からの異物の侵入に対する生体防御の仕組みと様々な感染症の原因となるウイルスについて学びます。
第11回	遺伝子組み換え・ゲノム編集	分子生物学の急速な発展は、DNAという分子レベルで生物を改変する技術を生み出しました。遺伝子組み換え技術やゲノム編集の原理を学びます。
第12回	クローン技術・iPS細胞	再生医療などで注目される「クローン技術」とは。iPS細胞などの関連技術を含めて基本原理から解説します。
第13回	生命操作の倫理的考察	生命を操作する技術はどのように活用されるのか。医療分野の例を学ぶと共に、その倫理的課題について考察します。
第14回	学習のまとめ	春学期の学習内容を確認し、総合的な理解度チェックを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

配布資料の通読、授業内容の復習と他の回の学習内容との関連性の確認など、本授業の準備・復習時間は各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書はなし。各講義で資料を配布します。

【参考書】

適宜提示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は、各回の理解度チェックや学習内容へのリアクションに基づく平常点（50%）と一学期間の学習内容全体の理解度チェックとなる期末試験（50%）の総合点で評価とします。

【学生の意見等からの気づき】

図表や動画の活用により、わかりやすい解説を心がけています。

【学生が準備すべき機器他】

授業内外での学習支援システム（WebClass）の使用を想定していますので、利用可能な準備をして参加してください。

【Outline (in English)】

[Course outline] In this course, students will learn about basic aspects of micro-scale biological phenomena, and, as such, the course will focus on molecular and cellular biology. The course materials also include the historical development of the relevant biological concepts/knowledge, as well as related technologies. As a whole, the course will provide an opportunity to learn about basic biology as well as biotechnology in light of its impact on our lives and the view on life.

[Learning objectives] The course objectives are: to acquire basic understanding of micro-scale biological phenomena; to understand historical/social background and significance of the course materials; and to develop personal opinions about biological applications relevant to one's life.

[Learning activities outside of classroom] In addition to attending classes, students are expected to review contents of individual lectures, thoroughly read distributed reading materials, and utilize the online learning support system, as needed. Standard amounts of time to be spent for this purpose are two hours each for preparation and review.

[Grading criteria/policy] Final grade will be determined based on a final exam (50%), and participation/in-class performance (50%).

BIO100LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 100）

入門生物学 B

2017年度以降入学者

宇野 真介

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講座では、生物同士や生物と環境の関係、生態系や生物多様性などのマクロレベルの生物学的事象についての基礎事項を学習します。また、環境問題や環境保全についても取り上げ、学習内容との関連性について明らかにしていきます。これにより、日常生活で接する機会のある自然環境に関する課題についてより良く理解し、生物学的根拠のある見解を持つための基礎知識を提供します。

【到達目標】

本授業の到達目標は、以下の3点です。1）マクロレベルの生物学的事象の基礎知識を取得すること。2）学習内容と種々の環境問題の関係を理解・把握すること。3）取得した基礎知識を問題解決に応用・適用できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面方式によるパワーポイントを使った講義形式で授業を実施します。毎回、簡単な演習や理解度チェックを実施し、次の授業で補足・フィードバックを行いつつ授業を進める予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	マクロな生物学を学ぶ	生命活動を「個体」を超えたマクロなレベルで捉えるとはどういうことか。マクロレベルの階層構造を確認しながら、時間や空間スケールなどの重要な視点について考えます。
第2回	変異・遺伝・淘汰のサイクル	生態系や生物多様性を構成する生物は、環境や他の生物との相互作用の中で進化していきます。「進化する」とはどういうことか、その仕組みから考えます。
第3回	生態系の成り立ち	多種多様な生態系が存在するにもかかわらず、それらが全て生態系と認識できるのはなぜでしょうか。生態系の多様性と共通性について考えます。
第4回	生態系機能：物質循環とエネルギーの流れ	生態系の基本的な機能として物質やエネルギーが供給される仕組みを学ぶと共に、気候変動や富栄養化などの関連する問題についても考えます。
第5回	生態系の時間・空間的変動	生態系の不安定化が問題視されていますが、「安定した生態系」とはどのようなもののでしょうか。生態学的な安定性について考えます。
第6回	個体群の動態	生物の個体数はどのように増減するのか、その基本的要素を学びます。

第7回	種間関係と共進化	二種の生物の相互関係について進化の観点から考えます。
第8回	生物の生存戦略と共存	生物の関係性は「弱肉強食」と表現されがちですが、生物はどのような戦略によって生き残り、かつ共存しているかを考えます。
第9回	生物の作るコミュニティ	複数の生物種によって形成されるコミュニティにおける生物の関係性について、間接的効果の重要性に注目して解説します。
第10回	動物の社会性	動物には社会性を示すものがあり、中には非常に高度な社会を構築するものも存在します。ここでは、動物の示す社会性や社会構造について考えます。
第11回	生物多様性とは	生物多様性とは何か。その成り立ちや生態系機能との関係性について考えます。
第12回	保全生物学	生物多様性保全に関連する生物学的理論を解説すると共に、実践的なアプローチや課題について考えます。
第13回	土中環境	普段目を向けられない地中の環境について生物学的視点から解説すると共に、関連する社会的課題について考えます。
第14回	学習のまとめ	秋学期の学習内容を確認し、総合的な理解度チェックを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

配布資料の通読、授業内容の復習と他の回の学習内容との関連性の確認など、本授業の準備・復習時間は各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書はなし。各講義で資料を配布します。

【参考書】

適宜提示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は、各回の理解度チェックと学習内容へのリアクションに基づく平常点（50%）と一学期間の学習内容全体の理解度チェックとなる期末試験（50%）の総合点で評価とします。

【学生の意見等からの気づき】

図表や動画の活用により、わかりやすい解説を心がけています。

【学生が準備すべき機器他】

授業内外での学習支援システム（WebClass）の使用を想定していますので、利用可能な準備をして参加してください。

【Outline (in English)】

[Course outline] In this course, students will learn about macro-scale biological phenomena, and, as such, the course materials focus on interactions among organisms, ecosystem, and biodiversity. In addition, the course will discuss how the course materials relate to various issues that the human society faces today, such as problems associated with environmental degradation and resource management. As a whole, this course provides an opportunity to learn the biological basis of news, etc. that students may be exposed in their daily life.

[Learning objectives] The course objectives are: to acquire basic understanding of macro-scale biological phenomena; to understand how the class materials relate to various environmental problems; and to be able to apply the acquired understanding to problem solving.

[Learning activities outside of classroom] In addition to attending classes, students are expected to review contents of individual lectures, thoroughly read distributed reading materials, and utilize the online learning support system, as needed. Standard amounts of time to be spent for this purpose are two hours each for preparation and review.

[Grading criteria/policy] Final grade will be determined based on a final exam (50%) and participation/in-class performance (50%).

BIO100LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 100）

入門生物学 A

2017年度以降入学者

宇野 真介

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講座では、進化や遺伝といった生物学的に重要な概念を取り上げると共に、主に細胞やそれを構成する生体分子のはたらきなどのミクロレベルの生物的事象に注目します。また、医療などの身近な応用分野を取り上げ、関連する科学技術をより良く理解し、生物学的根拠のある見解をもつための生物学的基礎知識を提供します。

【到達目標】

本授業の到達目標は、以下の3点です。1）ミクロレベルの生物的事象の基礎知識を取得すること。2）取得した生物学的基礎知識の歴史・社会的な背景・意義を理解・把握すること。3）医療などの身近な分野に関わる科学技術について自分の考え・意見を形成すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面方式によるパワーポイントを使った講義形式で授業を実施します。毎回、簡単な演習や理解度チェックを実施し、次の授業で補足・フィードバックを行いつつ授業を進める予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ミクロな生物学を学ぶ	生命活動を「個体」以下のミクロなレベルで捉えるとはどういうことか。生物学的な階層構造を確認しながら、生命の基本的な特徴についても考えます。
第2回	ダーウィン進化論	現在でも生物学の重要概念となっているダーウィンの進化論について解説すると共に、進化論の社会的影響についても考えます。
第3回	メンデル遺伝学	現代の遺伝学の基礎となったメンデルの研究について解説すると共に、遺伝学の社会的影響についても考えます。
第4回	細胞の増殖と遺伝	「生命の最小単位」であると認識されている細胞は、どのように増殖（自己複製）し、かつ遺伝情報を受け渡しているのかを学びます。
第5回	細胞呼吸	生物は呼吸を通して生命活動に必要なエネルギーを引き出しています。細胞レベルの事象としての呼吸の仕組みを学びます。
第6回	DNAの構造と複製	「生命の設計図」と言われるDNAはどのような物質なのか。その基本的構造・機能について学びます。

第7回	DNAからタンパク質へ	DNAの保持する情報を基にして作られるのはタンパク質です。DNAからRNAを介してタンパク質が合成される仕組みについて学びます。
第8回	タンパク質の構造と機能	タンパク質は生命活動を実現する上で必要不可欠な生体分子です。その構造について学ぶと共に、特に酵素に注目してその機能を学びます。
第9回	ゲノムからわかること	ある生物の持つ全遺伝情報（ゲノム）を分析することで、その生物の全てを知ることができるのでしょうか。ゲノムからヒトをはじめとする生物についてわかることについて考えます。
第10回	生体防御と感染症	外界からの異物の侵入に対する生体防御の仕組みと様々な感染症の原因となるウイルスについて学びます。
第11回	遺伝子組み換え・ゲノム編集	分子生物学の急速な発展は、DNAという分子レベルで生物を改変する技術を生み出しました。遺伝子組み換え技術やゲノム編集の原理を学びます。
第12回	クローン技術・iPS細胞	再生医療などで注目される「クローン技術」とは。iPS細胞などの関連技術を含めて基本原理から解説します。
第13回	生命操作の倫理的考察	生命を操作する技術はどのように活用されるのか。医療分野の例を学ぶと共に、その倫理的課題について考察します。
第14回	学習のまとめ	春学期の学習内容を確認し、総合的な理解度チェックを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

配布資料の通読、授業内容の復習と他の回の学習内容との関連性の確認など、本授業の準備・復習時間は各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書はなし。各講義で資料を配布します。

【参考書】

適宜提示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は、各回の理解度チェックや学習内容へのリアクションに基づく平常点（50%）と一学期間の学習内容全体の理解度チェックとなる期末試験（50%）の総合点で評価とします。

【学生の意見等からの気づき】

図表や動画の活用により、わかりやすい解説を心がけています。

【学生が準備すべき機器他】

授業内外での学習支援システム（WebClass）の使用を想定していますので、利用可能な準備をして参加してください。

【Outline (in English)】

[Course outline] In this course, students will learn about basic aspects of micro-scale biological phenomena, and, as such, the course will focus on molecular and cellular biology. The course materials also include the historical development of the relevant biological concepts/knowledge, as well as related technologies. As a whole, the course will provide an opportunity to learn about basic biology as well as biotechnology in light of its impact on our lives and the view on life.

[Learning objectives] The course objectives are: to acquire basic understanding of micro-scale biological phenomena; to understand historical/social background and significance of the course materials; and to develop personal opinions about biological applications relevant to one's life.

[Learning activities outside of classroom] In addition to attending classes, students are expected to review contents of individual lectures, thoroughly read distributed reading materials, and utilize the online learning support system, as needed. Standard amounts of time to be spent for this purpose are two hours each for preparation and review.

[Grading criteria/policy] Final grade will be determined based on a final exam (50%), and participation/in-class performance (50%).

BIO100LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 100）

入門生物学B

2017年度以降入学者

宇野 真介

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講座では、生物同士や生物と環境の関係、生態系や生物多様性などのマクロレベルの生物学的事象についての基礎事項を学習します。また、環境問題や環境保全についても取り上げ、学習内容との関連性について明らかにしていきます。これにより、日常生活で接する機会のある自然環境に関する課題についてより良く理解し、生物学的根拠のある見解を持つための基礎知識を提供します。

【到達目標】

本授業の到達目標は、以下の3点です。1）マクロレベルの生物学的事象の基礎知識を取得すること。2）学習内容と種々の環境問題の関係を理解・把握すること。3）取得した基礎知識を問題解決に応用・適用できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面方式によるパワーポイントを使った講義形式で授業を実施します。毎回、簡単な演習や理解度チェックを実施し、次の授業で補足・フィードバックを行いつつ授業を進める予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	マクロな生物学を学ぶ	生命活動を「個体」を超えたマクロなレベルで捉えるとはどういうことか。マクロレベルの階層構造を確認しながら、時間や空間スケールなどの重要な視点について考えます。
第2回	変異・遺伝・淘汰のサイクル	生態系や生物多様性を構成する生物は、環境や他の生物との相互作用の中で進化していきます。「進化する」とはどういうことか、その仕組みから考えます。
第3回	生態系の成り立ち	多種多様な生態系が存在するにもかかわらず、それらが全て生態系と認識できるのはなぜでしょうか。生態系の多様性と共通性について考えます。
第4回	生態系機能：物質循環とエネルギーの流れ	生態系の基本的な機能として物質やエネルギーが供給される仕組みを学ぶと共に、気候変動や富栄養化などの関連する問題についても考えます。
第5回	生態系の時間・空間的変動	生態系の不安定化が問題視されていますが、「安定した生態系」とはどのようなもののでしょうか。生態学的な安定性について考えます。
第6回	個体群の動態	生物の個体数はどのように増減するのか、その基本的要素を学びます。

第7回	種間関係と共進化	二種の生物の相互関係について進化の観点から考えます。
第8回	生物の生存戦略と共存	生物の関係性は「弱肉強食」と表現されがちですが、生物はどのような戦略によって生き残り、かつ共存しているかを考えます。
第9回	生物の作るコミュニティ	複数の生物種によって形成されるコミュニティにおける生物の関係性について、間接的効果の重要性に注目して解説します。
第10回	動物の社会性	動物には社会性を示すものがあり、中には非常に高度な社会を構築するものも存在します。ここでは、動物の示す社会性や社会構造について考えます。
第11回	生物多様性とは	生物多様性とは何か。その成り立ちや生態系機能との関係性について考えます。
第12回	保全生物学	生物多様性保全に関連する生物学的理論を解説すると共に、実践的なアプローチや課題について考えます。
第13回	土中環境	普段目を向けられない地中の環境について生物学的視点から解説すると共に、関連する社会的課題について考えます。
第14回	学習のまとめ	秋学期の学習内容を確認し、総合的な理解度チェックを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

配布資料の通読、授業内容の復習と他の回の学習内容との関連性の確認など、本授業の準備・復習時間は各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書はなし。各講義で資料を配布します。

【参考書】

適宜提示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は、各回の理解度チェックと学習内容へのリアクションに基づく平常点（50%）と一学期間の学習内容全体の理解度チェックとなる期末試験（50%）の総合点で評価とします。

【学生の意見等からの気づき】

図表や動画の活用により、わかりやすい解説を心がけています。

【学生が準備すべき機器他】

授業内外での学習支援システム（WebClass）の使用を想定していますので、利用可能な準備をして参加してください。

【Outline (in English)】

[Course outline] In this course, students will learn about macro-scale biological phenomena, and, as such, the course materials focus on interactions among organisms, ecosystem, and biodiversity. In addition, the course will discuss how the course materials relate to various issues that the human society faces today, such as problems associated with environmental degradation and resource management. As a whole, this course provides an opportunity to learn the biological basis of news, etc. that students may be exposed in their daily life.

[Learning objectives] The course objectives are: to acquire basic understanding of macro-scale biological phenomena; to understand how the class materials relate to various environmental problems; and to be able to apply the acquired understanding to problem solving.

[Learning activities outside of classroom] In addition to attending classes, students are expected to review contents of individual lectures, thoroughly read distributed reading materials, and utilize the online learning support system, as needed. Standard amounts of time to be spent for this purpose are two hours each for preparation and review.

[Grading criteria/policy] Final grade will be determined based on a final exam (50%) and participation/in-class performance (50%).

BIO100LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 100）

入門生物学 A

2017年度以降入学者

植木 紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

生物学を初めて学ぶか、基礎から学び直したい学生を対象とします。春学期は、主としてミクロレベルの生命現象を扱います。前半では、生物が遺伝情報をもとに作り上げられるしくみや進化するしくみを、その発見の歴史とともに学びます。後半では、ウイルスや遺伝子組み換え作物、再生医療など、私たちの生活や社会に関わるものについて、前半で学んだ知識を基盤として理解していきます。

【到達目標】

本授業の到達目標は第一に、ミクロレベルの生物学の基礎となる重要事項を理解することで、生物学に関わるものごとを正しくとらえ、考えることができるようになることです。第二に、自然科学の問題に対峙する過程で、論理的思考と文章力を身につけてもらいます。課題をこなすうちに自然とそれらの力が身につくように授業計画は組み立てられています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・授業は、対面方式で行います。
- ・授業では、要点を必ずノートにとるようにしてください。
- ・講義の中で、毎回10～15分程度の映像教材を呈示します。
- ・授業に関する情報は学習支援システムより通知しますので、必ず確認してください。
- ・質問等へのフィードバックは、授業内または学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	生命観の変遷	生命とは何か・複雑な生命現象をどう説明するかという考え方の歴史的变化を概説します。
第2回	ダーウィン進化論	生物学のみならず社会にも大きな影響を与えたダーウィンの提唱した進化論について学びます。
第3回	メンデル遺伝学	メンデルが提唱した遺伝子の概念によって生物学がどのように進歩したのかを学びます。
第4回	化学反応と酵素	酵素発見の歴史や、体の中で起る化学反応の役割について学びます。
第5回	微生物工場	我々に身近な発酵食品や医薬品に微生物がどのように利用されているかを学びます。
第6回	DNA	メンデルが提唱した遺伝子の正体はDNAという物質でした。その発見の歴史を学びます。
第7回	生命情報	DNAが遺伝情報を担うシステムとしてはたらくしくみを理解します。

第8回	ウイルスと生命	単なる物質とも生命体ともとらえられるウイルスはどのような存在なのかを学びます。
第9回	遺伝子組み換えとゲノム編集	DNAを改変し新たな性質をもつ生物を生み出す技術について学びます。
第10回	食糧問題とバイオテクノロジー	遺伝子改変技術を中心に、食糧問題と科学技術の関わりについて学びます。
第11回	ゲノムと医療	個人のDNA配列から病気や体質まで予測できる現在、ゲノムデータとの付き合い方を考えます。
第12回	遺伝子治療	人間の遺伝子を操作して病気を治療したり、能力を強化したりすることの是非を考えます。
第13回	クローン技術とiPS細胞	細胞の運命を人工的に初期化する技術とその利用について学びます。
第14回	移植医療・再生医療	臓器不足問題を克服するために開発されつつある技術を紹介し

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講生の皆さんは、予習として、生物学に関係するニュース番組や記事を見るよう心がけてください。復習としては、授業での指示に従って各授業の要約を作成し、学習支援システムを通じて提出してもらいます。以上の予習・復習を合計して週4時間の自習をしてください。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

参考書は必要に応じて学習支援システムを通じて提示します。

【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価します。

- ・小テスト 20%（毎回、授業内容に関する設問に解答して提出していただきます。その提出状況・理解度等を評価します。）
- ・200字要約レポート 80%（毎回の授業内容の要約レポートを作成し、学習支援システムを通じて期限内に提出していただきます。詳細は授業内でお知らせします。）

【成績に関わるルール】

200字要約レポートは、必ずご自分で作成して下さい。

- 同一の要約文が複数の学生から提出された場合（過去の年度の提出物も含む）、全員不正行為に荷担したと見なし、処分の対象とします。
- 本授業の課題に対しての生成AIツール（ChatGPTなど）の利用は禁止します。利用した場合、不正行為として処分の対象となります。
- インターネット等からの剽窃も厳しくチェックします。

【学生の意見等からの気づき】

映像が理解の助けになったという声が多いので、今後も効果的に取り入れていきます。

【学生が準備すべき機器他】

単位取得には、学習支援システムへアクセスできる環境が必須です。

【その他の重要事項】

第1回授業で授業の進め方・課題提出方法・成績評価の基準などを詳しく説明しますので、履修する方は必ず出席してください。

【Outline (in English)】

This course introduces students to a broad overview of biology and technologies which influences our society. Major topics for the semester: evolution, genetics, molecular biology and cell biology.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process; small tests each time (25%), 200-character summary report (75%).

BIO100LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 100）

入門生物学B

2017年度以降入学者

植木 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

生物学を初めて学ぶか、基礎から学び直したい文化系学生を対象とします。秋学期は、主としてマクロレベルの生命現象を扱います。例えば細胞が集まることで個体ができあがるしくみや、生物どうしや生物と環境との相互作用について学びます。1+1が2にならない生命現象の世界について考えてみましょう。

【到達目標】

本授業の到達目標は第一に、マクロ生物学のそれぞれのトピックを通じて、生命現象をさまざまな見方でとらえられるようになることです。第二に、自然科学の問題に対峙する過程で、論理的思考と文章力を身につけてもらいます。課題をこなすうちに自然とそれらの力が身につくように授業計画は組み立てられています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・授業は、対面方式で行います。
- ・授業では、要点を必ずノートにとるようにしてください。
- ・講義の中で、毎回10～15分程度の映像教材を呈示します。
- ・授業に関する情報は学習支援システムより通知しますので、必ず確認してください。
- ・質問等へのフィードバックは、授業内または学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	マクロレベルの生命現象	生物を分解して調べるミクロ生物学と、全体の問題を扱うマクロ生物学の考え方を概説します。
第2回	生命と地球の歴史	現在の地球環境が、生物の歴史の大イベントにより形作られていることを学びます。
第3回	変異・遺伝・淘汰のサイクル	進化は、環境や他の生物との相互作用で起こります。進化のしくみとその本質を考えてみます。
第4回	共進化	進化における相互関係が2種に限定されると、共に進化を加速させ、特殊な種間関係ができあがる場合があります。
第5回	神経回路の可塑性	生物が神経回路を変化させて学習するメカニズムを学びます。
第6回	本能行動	本能行動のしくみを調べるために行われたさまざまな研究を紹介しします。
第7回	意識と神経	神経回路が複雑化する中で意識が生まれたと考えられています。意識を作り出す背景を考えます。
第8回	ミームの進化	神経回路として形成された「文明」や「文化」が次世代の神経回路として伝わるメカニズムを考えます。

第9回	群れ	生き物の群れは、信じられないような同調行動を取ります。群れの行動から生まれた知能について考えます。
第10回	生物の社会	人間以外にも、高度な社会を構築する生き物がいます。その社会構造について学びます。
第11回	発生・分化	一個の受精卵が、分裂を経てそれぞれの役割を持つ細胞になり、複雑な個体を作り上げるしくみを解説します。
第12回	再生	多細胞生物の生存戦略を、再生能力という点から考えます。iPS細胞や再生医療との関係も解説します。
第13回	薬と生物学	さまざまな病気や感染症と闘う武器として人はどのように医薬品を開発し、利用してきたのでしょうか。
第14回	サイズと進化	大きさによって変わるもの、変わらないものについて学び、各々の生物から見た世界について考えます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講生の皆さんは、予習として、生物学に関係するニュース番組や記事を見るよう心がけてください。復習としては、授業での指示に従って各授業の要約を作成し、学習支援システムを通じて提出してもらいます。以上の予習・復習を合計して週4時間の自習をしてください。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

参考書は必要に応じて学習支援システムを通じて提示します。

【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価します。
 ・小テスト 20%（毎回、授業内容に関する設問に解答して提出していただきます。その提出状況・理解度等を評価します。）
 ・200字要約レポート 80%（毎回の授業内容の要約レポートを作成し、学習支援システムを通じて期限内に提出していただきます。詳細は授業内でお知らせします。）

【成績に関わるルール】

200字要約レポートは、必ずご自分で作成して下さい。
 - 同一の要約文が複数の学生から提出された場合（過去の年度の提出物も含む）、全員不正行為に荷担したと見なし、処分の対象とします。
 - 本授業の課題に対しての生成AIツール（ChatGPTなど）の利用は禁止します。利用した場合、不正行為として処分の対象となります。
 - インターネット等からの剽窃も厳しくチェックします。

【学生の意見等からの気づき】

映像が理解の助けになったという声が多いので、今後も効果的に取り入れていきます。

【学生が準備すべき機器他】

単位取得には、学習支援システムへアクセスできる環境が必須です。

【その他の重要事項】

第1回授業で授業の進め方・課題提出方法・成績評価の基準などを詳しく説明しますので、履修する方は必ず出席してください。

【Outline (in English)】

This course introduces students to a broad overview of macroscopic biology. Students will understand that "emergence" occurs in each biological organization by the end of the course. Major topics for the semester: developmental biology, neuroscience, behavior science, ecology and biodiversity. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following process; in-class contribution (25%), 200-character summary report (75%).

BIO100LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 100）	
入門生物学 A	2017年度以降入学者
植木 紀子	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：木3/Thu.3	
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

生物学を初めて学ぶか、基礎から学び直したい学生を対象とします。春学期は、主としてミクロレベルの生命現象を扱います。前半では、生物が遺伝情報をもとに作り上げられるしくみや進化するしくみを、その発見の歴史とともに学びます。後半では、ウイルスや遺伝子組み換え作物、再生医療など、私たちの生活や社会に関わるものについて、前半で学んだ知識を基盤として理解していきます。

【到達目標】

本授業の到達目標は第一に、ミクロレベルの生物学の基礎となる重要事項を理解することで、生物学に関わるものごとを正しくとらえ、考えることができるようになることです。第二に、自然科学の問題に対峙する過程で、論理的思考と文章力を身につけてもらいます。課題をこなすうちに自然とそれらの力が身につくように授業計画は組み立てられています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・授業は、対面方式で行います。
- ・授業では、要点を必ずノートにとるようにしてください。
- ・講義の中で、毎回10～15分程度の映像教材を呈示します。
- ・授業に関する情報は学習支援システムより通知しますので、必ず確認してください。
- ・質問等へのフィードバックは、授業内または学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	生命観の変遷	生命とは何か・複雑な生命現象をどう説明するかという考え方の歴史的变化を概説します。
第2回	ダーウィン進化論	生物学のみならず社会にも大きな影響を与えたダーウィンの提唱した進化論について学びます。
第3回	メンデル遺伝学	メンデルが提唱した遺伝子の概念によって生物学がどのように進歩したのかを学びます。
第4回	化学反応と酵素	酵素発見の歴史や、体の中で起る化学反応の役割について学びます。
第5回	微生物工場	我々に身近な発酵食品や医薬品に微生物がどのように利用されているかを学びます。
第6回	DNA	メンデルが提唱した遺伝子の正体はDNAという物質でした。その発見の歴史を学びます。
第7回	生命情報	DNAが遺伝情報を担うシステムとしてはたらくしくみを理解します。

第8回	ウイルスと生命	単なる物質とも生命体ともとらえられるウイルスはどのような存在なのかを学びます。
第9回	遺伝子組み換えとゲノム編集	DNAを改変し新たな性質をもつ生物を生み出す技術について学びます。
第10回	食糧問題とバイオテクノロジー	遺伝子改変技術を中心に、食糧問題と科学技術の関わりについて学びます。
第11回	ゲノムと医療	個人のDNA配列から病気や体質まで予測できる現在、ゲノムデータとの付き合い方を考えます。
第12回	遺伝子治療	人間の遺伝子を操作して病気を治療したり、能力を強化したりすることの是非を考えます。
第13回	クローン技術とiPS細胞	細胞の運命を人工的に初期化する技術とその利用について学びます。
第14回	移植医療・再生医療	臓器不足問題を克服するために開発されつつある技術を紹介します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講生の皆さんは、予習として、生物学に関係するニュース番組や記事を見るよう心がけてください。復習としては、授業での指示に従って各授業の要約を作成し、学習支援システムを通じて提出してもらいます。以上の予習・復習を合計して週4時間の自習をしてください。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

参考書は必要に応じて学習支援システムを通じて提示します。

【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価します。
・小テスト 20%（毎回、授業内容に関する設問に解答して提出していただきます。その提出状況・理解度等を評価します。）
・200字要約レポート 80%（毎回の授業内容の要約レポートを作成し、学習支援システムを通じて期限内に提出していただきます。詳細は授業内でお知らせします。）

【成績に関わるルール】

200字要約レポートは、必ずご自分で作成して下さい。
- 同一の要約文が複数の学生から提出された場合（過去の年度の提出物も含む）、全員不正行為に荷担したと見なし、処分の対象とします。
- 本授業の課題に対しての生成AIツール（ChatGPTなど）の利用は禁止します。利用した場合、不正行為として処分の対象となります。
- インターネット等からの剽窃も厳しくチェックします。

【学生の意見等からの気づき】

映像が理解の助けになったという声が多いので、今後も効果的に取り入れていきます。

【学生が準備すべき機器他】

単位取得には、学習支援システムへアクセスできる環境が必須です。

【その他の重要事項】

第1回授業で授業の進め方・課題提出方法・成績評価の基準などを詳しく説明しますので、履修する方は必ず出席してください。

【Outline (in English)】

This course introduces students to a broad overview of biology and technologies which influences our society. Major topics for the semester: evolution, genetics, molecular biology and cell biology.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process; small tests each time (25%), 200-character summary report (75%).

BIO100LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 100）

入門生物学B

2017年度以降入学者

植木 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

生物学を初めて学ぶか、基礎から学び直したい文化系学生を対象とします。秋学期は、主としてマクロレベルの生命現象を扱います。例えば細胞が集まることで個体ができあがるしくみや、生物どうしや生物と環境との相互作用について学びます。1+1が2にならない生命現象の世界について考えてみましょう。

【到達目標】

本授業の到達目標は第一に、マクロ生物学のそれぞれのトピックを通じて、生命現象をさまざまな見方とらえられるようになることです。第二に、自然科学の問題に対峙する過程で、論理的思考と文章力を身につけてもらいます。課題をこなすうちに自然とそれらの力が身につくように授業計画は組み立てられています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・授業は、対面方式で行います。
- ・授業では、要点を必ずノートにとるようにしてください。
- ・講義の中で、毎回10～15分程度の映像教材を呈示します。
- ・授業に関する情報は学習支援システムより通知しますので、必ず確認してください。
- ・質問等へのフィードバックは、授業内または学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	マクロレベルの生命現象	生物を分解して調べるミクロ生物学と、全体の問題を扱うマクロ生物学の考え方を概説します。
第2回	生命と地球の歴史	現在の地球環境が、生物の歴史の大イベントにより形作られていることを学びます。
第3回	変異・遺伝・淘汰のサイクル	進化は、環境や他の生物との相互作用で起こります。進化のしくみとその本質を考えてみます。
第4回	共進化	進化における相互関係が2種に限定されると、共に進化を加速させ、特殊な種間関係ができあがる場合があります。
第5回	神経回路の可塑性	生物が神経回路を変化させて学習するメカニズムを学びます。
第6回	本能行動	本能行動のしくみを調べるために行われたさまざまな研究を紹介しします。
第7回	意識と神経	神経回路が複雑化する中で意識が生まれたと考えられています。意識を作り出す背景を考えます。
第8回	ミームの進化	神経回路として形成された「文明」や「文化」が次世代の神経回路として伝わるメカニズムを考えます。

第9回	群れ	生き物の群れは、信じられないような同調行動を取ります。群れの行動から生まれた知能について考えます。
第10回	生物の社会	人間以外にも、高度な社会を構築する生き物がいます。その社会構造について学びます。
第11回	発生・分化	一個の受精卵が、分裂を経てそれぞれの役割を持つ細胞になり、複雑な個体を作り上げるしくみを解説します。
第12回	再生	多細胞生物の生存戦略を、再生能力という点から考えます。iPS細胞や再生医療との関係も解説します。
第13回	薬と生物学	さまざまな病気や感染症と闘う武器として人はどのように医薬品を開発し、利用してきたのでしょうか。
第14回	サイズと進化	大きさによって変わるもの、変わらないものについて学び、各々の生物から見た世界について考えます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講生の皆さんは、予習として、生物学に関係するニュース番組や記事を見るよう心がけてください。復習としては、授業での指示に従って各授業の要約を作成し、学習支援システムを通じて提出してもらいます。以上の予習・復習を合計して週4時間の自習をしてください。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

参考書は必要に応じて学習支援システムを通じて提示します。

【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価します。
 ・小テスト 20%（毎回、授業内容に関する設問に解答して提出していただきます。その提出状況・理解度等を評価します。）
 ・200字要約レポート 80%（毎回の授業内容の要約レポートを作成し、学習支援システムを通じて期限内に提出していただきます。詳細は授業内でお知らせします。）

【成績に関わるルール】

200字要約レポートは、必ずご自分で作成して下さい。
 - 同一の要約文が複数の学生から提出された場合（過去の年度の提出物も含む）、全員不正行為に荷担したと見なし、処分の対象とします。
 - 本授業の課題に対しての生成AIツール（ChatGPTなど）の利用は禁止します。利用した場合、不正行為として処分の対象となります。
 - インターネット等からの剽窃も厳しくチェックします。

【学生の意見等からの気づき】

映像が理解の助けになったという声が多いので、今後も効果的に取り入れていきます。

【学生が準備すべき機器他】

単位取得には、学習支援システムへアクセスできる環境が必須です。

【その他の重要事項】

第1回授業で授業の進め方・課題提出方法・成績評価の基準などを詳しく説明しますので、履修する方は必ず出席してください。

【Outline (in English)】

This course introduces students to a broad overview of macroscopic biology. Students will understand that "emergence" occurs in each biological organization by the end of the course. Major topics for the semester: developmental biology, neuroscience, behavior science, ecology and biodiversity. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following process; in-class contribution (25%), 200-character summary report (75%).

CHM100LA (その他の化学 / Chemistry 100)

入門化学A

2017年度以降入学者

田中 雅人

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界的に持続可能な社会を実現する取り組みに関心が高まっています。私たちの日常生活や社会は、化学と密接に関わっており、そのため社会問題を理解するために化学の視点で考えることは重要です。この授業では、化学の基礎を学び、身の回りの物質、身近で起きている現象や社会問題(環境問題、エネルギー問題)などを、化学的な視点で理解することを目的とします。

【到達目標】

本授業では、基本的な化学の知識を学習し、化学の視点を身につけます。その上で、主に持続可能な社会実現のための課題である環境問題、エネルギー問題についてとりあげます。これらの社会問題を化学的な視点で理解し、自分のことばで説明できることを到達目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は、資料をプロジェクターで投影し、板書を交えて講義形式で行います。また、高校等で化学を履修していなくても理解できるよう配慮します。理解度の確認のための課題を出題します。課題内容については、次の講義で解説するなどフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義の概要と受講方法について説明する
第2回	原子・分子の構造	物質の基本となる原子・分子について理解する
第3回	元素と周期表	原子の電子構造と化学的性質の関係と、それをまとめた周期表について理解する
第4回	化学結合	分子を形成する化学結合について理解する
第5回	酸・塩基	酸・塩基の定義や酸の強さの尺度であるpHについて理解する
第6回	酸化・還元	電子をやりとりする酸化・還元について理解する
第7回	化学熱力学	化学反応によって生じるエネルギーや反応の進みやすさを決める熱力学について理解する
第8回	地球温暖化	地球温暖化に関わる分子やそのメカニズムを理解する
第9回	環境汚染1	酸性雨などの大気汚染のメカニズムを理解する
第10回	環境汚染2	有害元素などによる土壌・水質汚染のメカニズムを理解する
第11回	化石燃料	石油など化石燃料の成り立ちやその利用について理解する
第12回	電池	電池の基本と燃料電池などの成り立ちやその利用について理解する

第13回 放射線と原子力

放射線・放射能の基本と原子力の成り立ちやその利用について理解する

第14回 まとめ

本授業の内容を振り返る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。身近なテーマを扱うので興味を持った事柄についてWebや書籍等で調べてみてください。各回終了後は、課題を行ってください。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

・下井 守、村田 滋 著「大学生のための基礎シリーズ3 化学入門 第2版」東京化学同人
 ・D.P. Heller, C.H. Snyder 著 渡辺 正 訳「教養の化学－暮らしのサイエンス－」東京化学同人
 ・Kimberley Waldron 著 竹内 敬人 訳「教養としての化学入門（第2版） 未来の環境・食・エネルギーを考えるために」化学同人
 その他に授業内で紹介することがあります。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムに、毎回授業の理解度を確認する簡単な課題を出題します。成績は、授業で出題する課題(30%)と期末試験(70%)により評価します。

【学生の意見等からの気づき】

・内容が詰め込まれて難易度が高かったというご意見があったので、内容を精査してより平易な説明に努めます。
 ・教材や課題は速やかに学習支援システムにアップロードします。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムに接続するためのPCやタブレットなどの端末機器が必要です。

【その他の重要事項】

秋学期に開講される「入門化学B」を合わせて受講することをお勧めします。

【Outline (in English)】

Global interest in efforts to achieve a sustainable society has grown in recent years. Our daily lives and society are closely related to chemistry and therefore it is important to think from a chemical perspective in order to understand social issues. The goal of this lecture is to provide a chemical perspective to understand the materials and phenomena in our daily lives and social issues (environmental problems, energy problems) based on learning the basics of chemistry.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class. Students are also encouraged advanced reading or Web search based on their own interest after a class. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70%, required assignments: 30%

CHM100LA (その他の化学 / Chemistry 100)

入門化学B

2017年度以降入学者

田中 雅人

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界的に持続可能な社会を実現する取り組みに関心が高まっています。私たちの日常生活や社会は、化学と密接に関わっており、そのため社会問題を理解するために化学の視点で考えることは重要です。この授業では、化学の基礎を学び、身の回りの物質、身近で起きている現象や社会問題(環境問題、エネルギー問題)などを、化学的な視点で理解することを目的とします。

【到達目標】

本授業では、基本的な化学の知識を学習し、化学の視点を身につけます。その上で、主に持続可能な社会実現のための課題である食や環境問題に関連して、食品や素材など身近な物質や関連する現象についてとりあげます。これらの身近な物質や現象を化学的な視点で理解し、自分のことばで説明できることを到達目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は、資料をプロジェクターで投影し、板書を交えて講義形式で行います。また、高校等で化学を履修していなくても理解できるよう配慮します。理解度の確認のための課題を出題します。課題内容については、次の講義で解説するなどフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義の概要と受講方法について説明する
第2回	分光法	物質を構成する原子・分子の構造を調べるための分光法について学ぶ
第3回	無機物質1	非金属元素とその化合物の構造や性質について理解する
第4回	無機物質2	金属元素とその化合物の構造や性質について学ぶ
第5回	有機化合物1	有機化合物の種類、炭化水素の構造や性質、異性体について学ぶ
第6回	有機化合物2	酸素を含む有機化合物の構造や性質について学ぶ
第7回	食品の化学1	食品の多量栄養素である炭水化物、脂質、タンパク質について、その構造や性質を学ぶ
第8回	食品の化学2	食品の微量栄養素であるビタミン、ミネラルについて、その構造や性質を学ぶ
第9回	遺伝子の化学	生物の遺伝情報を司るDNAの構造やはたらきについて学ぶ
第10回	きれいの化学	石鹸や洗剤(界面活性剤)について、その構造や性質を理解する
第11回	材料の化学1	三大材料のうちの金属、セラミクスについて学ぶ

第12回 材料の化学2

三大材料のうちのプラスチックなどの高分子材料について学ぶ
環境保全にも利用されるナノ材料について学ぶ
本授業の内容を振り返る

第13回 材料の化学3

第14回 まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。
身近なテーマを扱うので興味を持った事柄についてWebや書籍等で調べてみてください。各回終了後は、課題を行ってください。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

・下井 守、村田 滋 著「大学生のための基礎シリーズ3 化学入門 第2版」東京化学同人
・D.P. Heller, C.H. Snyder 著 渡辺 正 訳「教養の化学－暮らしのサイエンス－」東京化学同人
・Kimberley Waldron 著 竹内 敬人 訳「教養としての化学入門（第2版） 未来の環境・食・エネルギーを考えるために」化学同人
・山口佳隆、伊藤卓 共著「物質・材料をまなぶ化学」裳華房
その他に授業内で紹介することがあります。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムに、毎回授業の理解度を確認する簡単な課題を出題します。

成績は、授業で出題する課題(30%)と期末試験（70%）により評価します。

【学生の意見等からの気づき】

・内容を精査してより平易な説明に努めます。
・教材や課題は速やかに学習支援システムにアップロードします。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムに接続するためのPCやタブレットなどの端末機器が必要です。

【その他の重要事項】

春学期に開講される「入門化学A」を合わせて受講することをお勧めします。

【Outline (in English)】

Global interest in efforts to achieve a sustainable society has grown in recent years. Our daily lives and society are closely related to chemistry and therefore it is important to think from a chemical perspective in order to understand social issues. The goal of this lecture is to provide a chemical perspective to understand the materials and phenomena in our daily lives and social issues (environmental problems, energy problems) based on learning the basics of chemistry.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class. Students are also encouraged advanced reading or Web search based on their own interest after a class. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70%, required assignments: 30%

CHM100LA (その他の化学 / Chemistry 100)

入門化学 A

2017年度以降入学者

小林 令子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

これからの社会の持続的な発展を考えていくためには、基礎的な化学の知識は欠かせません。この授業では、無機化学と物理化学の領域を中心に、化学の基礎知識を修得し、自然科学的視点と思考を身に着けることを目的とします。

【到達目標】

授業の前半では、原子や分子の構造、化学反応の基礎的な知識を修得します。これらの知識をもとに、後半の授業では、私たちの生活を脅かす環境問題を、化学的知見から理解し、自らの言葉で説明できるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式で行います。授業教材は、事前に学習支援システム(LMS)に提示します。毎回の授業で、LMSを介して簡単な課題を出します。履修者は、授業終了後に課題を実施することで、授業の内容を復習し、理解できているか確認します。課題は成績評価の対象となるとともに、履修者の理解度を授業に反映させる手立てでもありますので、必ず提出してください。課題の解答は、授業内で解説します。高校等で化学を履修していなくても理解できるよう配慮します。状況によって下記の授業計画が変更になる場合は、授業中あるいはLMSを介してお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	1. ガイダンス 2. 量と単位	講義概要の説明 科学で使われる測定値の単位について
第2回	3. 物質をつくるもの①	原子、分子、イオンとは 原子の構造
第3回	3. 物質をつくるもの②	原子の電子配置と化学的性質、 周期表
第4回	3. 物質をつくるもの③	イオン結合、共有結合、金属結合の仕組みと性質
第5回	4. 化学反応①	化学量論 化学反応式の書き方 化学平衡
第6回	4. 化学反応②	酸塩基反応
第7回	4. 化学反応③	酸化還元反応
第8回	4. 化学反応④	化学反応と熱の出入り、反応熱の利用
第9回	5. 物質の状態①	気体・液体・固体間の変化と熱の出入り、気体の性質
第10回	5. 物質の状態②	溶液の性質
第11回	6. 地球温暖化①	地球温暖化の現状、地球温暖化の仕組みと原因物質
第12回	6. 地球温暖化②	温暖化の影響
第13回	試験	自作メモの持ち込み可
第14回	6. 地球温暖化③	温暖化の将来予測、エネルギー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業のあと、LMSを介した課題実施が必要です。復習をし、疑問に思うところ、理解できないところは積極的に質問してください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しません。LMSに教材をアップします。

【参考書】

化学の世界への招待(第2版)、小林憲司ほか(編著)、三共出版
一般化学(四訂版)、長島 弘三(著)、富田 功(著)、裳華房

【成績評価の方法と基準】

平常点(毎回の課題提出等)(50%)、期末試験(自作メモ持込可)(50%)

【学生の意見等からの気づき】

授業内容については概ね好評でしたが、ついていくのが大変だったという受講生もいたので、内容は前年度と同様にしつつも、メリハリをつけて重要事項にはより時間をかけて解説するようにします。

【学生が準備すべき機器他】

LMSにアクセスするための端末等、および通信環境が必要です。

【Outline (in English)】

This course covers the fundamentals of inorganic and physical chemistry tailored for non-science majors. Topics include the periodic table, atomic and molecular structure, chemical bonding, and chemical reactions. The objectives of this course are to gain a foundational understanding of general chemistry and to apply this knowledge to comprehend global environmental issues. Prior to and following each class, students are expected to dedicate four hours to grasp the course material. Grading will be determined by required assignments given after each class (50%) and a final examination (50%).

CHM100LA (その他の化学 / Chemistry 100)

入門化学B

2017年度以降入学者

小林 令子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

これからの社会の持続的な発展を考えていくためには、基礎的な化学の知識は欠かせません。この授業では、有機化学と生化学の領域を中心に、化学の基礎知識を修得し、自然科学の視点と思考を身に着けることを目的とします。

【到達目標】

前半の授業では、有機化合物の構造と特性についての基礎的な知識を修得します。これらの知識をもとに、後半の授業では、生体を構成する有機化合物、および有機化合物がかかわる身近な環境問題について、基礎的な知見を得ることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式で行います。授業教材は、事前に学習支援システム(LMS)に提示します。毎回の授業で、LMSを介して簡単な課題を出します。履修者は、授業終了後に課題を実施することで、授業の内容を復習し、理解できているか確認します。課題は成績評価の対象となるとともに、履修者の理解度を授業に反映させる手立てでもありますので、必ず提出してください。課題の解答は、授業内で解説します。高校等で化学を履修していなくても理解できるよう配慮します。状況によって下記の授業計画が変更になる場合は、授業中あるいはLMSを介してお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	1. ガイダンス	講義概要の説明
	2. 物質を構成するものの	物質の構成単位である原子・分子について
第2回	3. 有機化合物の構造	原子の電子配置と周期表、化学結合
第3回	4. 官能基	有機化合物の特性を決める主な官能基
第4回	5. 親水性・疎水性、酸性・塩基性	水への溶けやすさを決める官能基、酸性・塩基性官能基
第5回	6. 炭化水素	炭化水素の構造と性質、化石燃料
第6回	7. 酸素を含む有機化合物	身近な酸素含有化合物の構造と性質
第7回	8. 窒素を含む有機化合物	身近な窒素含有化合物の構造と性質
	9. 芳香族化合物	身近な芳香族化合物の構造と性質
第8回	10. 有機化合物の酸化反応	有機化合物の酸化反応と反応熱
第9回	11. 有機化合物の重合反応	重合反応とプラスチック、海洋プラスチック問題
第10回	12. 生体を作る有機化合物①	糖質
第11回	12. 生体を作る有機化合物②	タンパク質・脂質

第12回 12. 生体を作る有機化合物③ 核酸
代謝、酵素
13. 生体内の化学反応

第13回 試験 自作メモの持ち込み可

第14回 14. 有害化学物質 人体や生態系に有害な化学物質

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業のあと、LMSを介した課題実施が必要です。

復習をし、疑問に思うところ、理解できないところは積極的に質問してください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しません。LMSに教材をアップします。

【参考書】

一般化学(四訂版)、長島 弘三(著)、富田 功(著)、裳華房
マクマリー生体有機化学[有機化学編] 原書8版、菅原二三男(監訳)、丸善出版

【成績評価の方法と基準】

平常点(毎回の課題提出等)(50%)、期末試験(自作メモ持込可)(50%)

【学生の意見等からの気づき】

授業内容については概ね好評でしたが、ついていくのが大変だったという受講生もいたので、内容は前年度と同様にしつつも、メリハリをつけて重要事項にはより時間をかけて解説するようにします。

【学生が準備すべき機器他】

LMSにアクセスするための端末等、および通信環境が必要です。

【Outline (in English)】

This course covers the basics of organic chemistry and biochemistry, tailored for non-science majors. Topics include chemical bonding, functional groups, acid-base reactions, oxidation-reduction reactions, polymerization, and major compounds and reactions in living organisms. The objectives of this course are to acquire a foundational understanding of organic chemistry and biochemistry, and to apply this knowledge to comprehend environmental problems associated with organic compounds. Prior to and following each class, students are expected to dedicate four hours to grasp the course material. Grading will be based on required assignments given after each class (50%) and a final examination (50%).

CHM100LA (その他の化学 / Chemistry 100)

入門化学 A

2017年度以降入学者

田中 雅人

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界的に持続可能な社会を実現する取り組みに関心が高まっています。私たちの日常生活や社会は、化学と密接に関わっており、そのため社会問題を理解するために化学の視点で考えることは重要です。この授業では、化学の基礎を学び、身の回りの物質、身近で起きている現象や社会問題(環境問題、エネルギー問題)などを、化学的な視点で理解することを目的とします。

【到達目標】

本授業では、基本的な化学の知識を学習し、化学の視点を身につけます。その上で、主に持続可能な社会実現のための課題である環境問題、エネルギー問題についてとりあげます。これらの社会問題を化学的な視点で理解し、自分のことばで説明できることを到達目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は、資料をプロジェクターで投影し、板書を交えて講義形式で行います。また、高校等で化学を履修していなくても理解できるよう配慮します。理解度の確認のための課題を出題します。課題内容については、次の講義で解説するなどフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義の概要と受講方法について説明する
第2回	原子・分子の構造	物質の基本となる原子・分子について理解する
第3回	元素と周期表	原子の電子構造と化学的性質の関係と、それをまとめた周期表について理解する
第4回	化学結合	分子を形成する化学結合について理解する
第5回	酸・塩基	酸・塩基の定義や酸の強さの尺度であるpHについて理解する
第6回	酸化・還元	電子をやりとりする酸化・還元について理解する
第7回	化学熱力学	化学反応によって生じるエネルギーや反応の進みやすさを決める熱力学について理解する
第8回	地球温暖化	地球温暖化に関わる分子やそのメカニズムを理解する
第9回	環境汚染1	酸性雨などの大気汚染のメカニズムを理解する
第10回	環境汚染2	有害元素などによる土壌・水質汚染のメカニズムを理解する
第11回	化石燃料	石油など化石燃料の成り立ちやその利用について理解する
第12回	電池	電池の基本と燃料電池などの成り立ちやその利用について理解する

第13回 放射線と原子力

放射線・放射能の基本と原子力の成り立ちやその利用について理解する

第14回 まとめ

本授業の内容を振り返る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。身近なテーマを扱うので興味を持った事柄についてWebや書籍等で調べてみてください。各回終了後は、課題を行ってください。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

・下井 守、村田 滋 著「大学生のための基礎シリーズ3 化学入門 第2版」東京化学同人
 ・D.P. Heller, C.H. Snyder 著 渡辺 正 訳「教養の化学－暮らしのサイエンス－」東京化学同人
 ・Kimberley Waldron 著 竹内 敬人 訳「教養としての化学入門（第2版） 未来の環境・食・エネルギーを考えるために」化学同人
 その他に授業内で紹介することがあります。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムに、毎回授業の理解度を確認する簡単な課題を出題します。成績は、授業で出題する課題(30%)と期末試験(70%)により評価します。

【学生の意見等からの気づき】

・内容が詰め込まれて難易度が高かったというご意見があったので、内容を精査してより平易な説明に努めます。
 ・教材や課題は速やかに学習支援システムにアップロードします。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムに接続するためのPCやタブレットなどの端末機器が必要です。

【その他の重要事項】

秋学期に開講される「入門化学B」を合わせて受講することをお勧めします。

【Outline (in English)】

Global interest in efforts to achieve a sustainable society has grown in recent years. Our daily lives and society are closely related to chemistry and therefore it is important to think from a chemical perspective in order to understand social issues. The goal of this lecture is to provide a chemical perspective to understand the materials and phenomena in our daily lives and social issues (environmental problems, energy problems) based on learning the basics of chemistry.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class. Students are also encouraged advanced reading or Web search based on their own interest after a class. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70%, required assignments: 30%

CHM100LA (その他の化学 / Chemistry 100)

入門化学B

2017年度以降入学者

田中 雅人

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界的に持続可能な社会を実現する取り組みに関心が高まっています。私たちの日常生活や社会は、化学と密接に関わっており、そのため社会問題を理解するために化学の視点で考えることは重要です。この授業では、化学の基礎を学び、身の回りの物質、身近で起きている現象や社会問題(環境問題、エネルギー問題)などを、化学的な視点で理解することを目的とします。

【到達目標】

本授業では、基本的な化学の知識を学習し、化学の視点を身につけます。その上で、主に持続可能な社会実現のための課題である食や環境問題に関連して、食品や素材など身近な物質や関連する現象についてとりあげます。これらの身近な物質や現象を化学的な視点で理解し、自分のことばで説明できることを到達目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は、資料をプロジェクターで投影し、板書を交えて講義形式で行います。また、高校等で化学を履修していなくても理解できるよう配慮します。理解度の確認のための課題を出題します。課題内容については、次の講義で解説するなどフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義の概要と受講方法について説明する
第2回	分光法	物質を構成する原子・分子の構造を調べるための分光法について学ぶ
第3回	無機物質1	非金属元素とその化合物の構造や性質について理解する
第4回	無機物質2	金属元素とその化合物の構造や性質について学ぶ
第5回	有機化合物1	有機化合物の種類、炭化水素の構造や性質、異性体について学ぶ
第6回	有機化合物2	酸素を含む有機化合物の構造や性質について学ぶ
第7回	食品の化学1	食品の多量栄養素である炭水化物、脂質、タンパク質について、その構造や性質を学ぶ
第8回	食品の化学2	食品の微量栄養素であるビタミン、ミネラルについて、その構造や性質を学ぶ
第9回	遺伝子の化学	生物の遺伝情報を司るDNAの構造やはたらきについて学ぶ
第10回	きれいの化学	石鹸や洗剤(界面活性剤)について、その構造や性質を理解する
第11回	材料の化学1	三大材料のうちの金属、セラミクスについて学ぶ

第12回 材料の化学2

三大材料のうちのプラスチックなどの高分子材料について学ぶ
環境保全にも利用されるナノ材料について学ぶ
本授業の内容を振り返る

第13回 材料の化学3

第14回 まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。
身近なテーマを扱うので興味を持った事柄についてWebや書籍等で調べてみてください。各回終了後は、課題を行ってください。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

・下井 守、村田 滋 著「大学生のための基礎シリーズ3 化学入門 第2版」東京化学同人
・D.P. Heller, C.H. Snyder 著 渡辺 正 訳「教養の化学－暮らしのサイエンス－」東京化学同人
・Kimberley Waldron 著 竹内 敬人 訳「教養としての化学入門（第2版） 未来の環境・食・エネルギーを考えるために」化学同人
・山口佳隆、伊藤卓 共著「物質・材料をまなぶ化学」裳華房
その他に授業内で紹介することがあります。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムに、毎回授業の理解度を確認する簡単な課題を出題します。

成績は、授業で出題する課題(30%)と期末試験（70%）により評価します。

【学生の意見等からの気づき】

・内容を精査してより平易な説明に努めます。
・教材や課題は速やかに学習支援システムにアップロードします。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムに接続するためのPCやタブレットなどの端末機器が必要です。

【その他の重要事項】

春学期に開講される「入門化学A」を合わせて受講することをお勧めします。

【Outline (in English)】

Global interest in efforts to achieve a sustainable society has grown in recent years. Our daily lives and society are closely related to chemistry and therefore it is important to think from a chemical perspective in order to understand social issues. The goal of this lecture is to provide a chemical perspective to understand the materials and phenomena in our daily lives and social issues (environmental problems, energy problems) based on learning the basics of chemistry.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class. Students are also encouraged advanced reading or Web search based on their own interest after a class. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70%, required assignments: 30%

CHM100LA (その他の化学 / Chemistry 100)

入門化学 A

2017年度以降入学者

石塚 芽具美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

私たちが生きる地球において、その生活環境について考えていくことは、とても大切です。本講義では、地球上における環境について思考するための手助けとなる、目に見えない原子や分子についての化学事象を捉えていきます。

【到達目標】

私たちの身の回りにある物がどのような現象を起こしているのかを、目に見えないレベルで原子や元素といった化学的な考え方で習得します。

以前よりも化学現象にさらに興味を持ち、考える力を養います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

こちらで準備した資料を見てもらいながら、説明をします。学習支援システムを使用して、事前に資料をアップロードしたり、追加資料をアップロードし、授業のフィードバックも行う予定です。これまでに化学を履修していなくても理解できるようにします。提出された課題について質問があった場合などは、次回以降の授業で反映させて説明をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義の概要の説明と受講方法について
第2回	物質について	物質の考え方として、原子を理解する
第3回	元素	物質の考え方として、原子を理解する
第4回	電子軌道と電子配置	電子軌道や電子配置について理解し、分子の形について考える
第5回	イオン	イオンのでき方を理解する
第6回	イオン結合	イオン結合の仕組みを理解する
第7回	共有結合	電子配置の安定化とは何か
第8回	配位結合と金属結合	配位結合や金属結合を理解し、金属の特徴を知る
第9回	分子の極性	電気陰性度と分子の極性について理解する
第10回	分子間力	分子間力や分子の集合について考える
第11回	物質質量	地球上における環境を考えるための、物質量の概念を理解する
第12回	化学反応式を使った環境の思考	化学反応式を使って、地球上の環境について考える
第13回	分子の環境との関わり	分子が、私たちの環境にどのように関わっているかを考える
第14回	まとめ	これまでの内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習支援システムにおいて、講義内容に関する簡単な課題を提出してもらいます。

あらかじめ講義テーマに関することを本やインターネットで調べてみることをおすすめします。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。

学習支援システムに、資料を掲載します。

【参考書】

特にありません。

授業内で、紹介することがあります。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムに、毎回簡単な課題を出題します。

期末試験の結果を50%、平常点（毎回出題する課題）を50%の配分として成績を評価します。

【学生の意見等からの気づき】

化学を科目として受講したことがなくても、問題ありません。

日々の生活の中でのここが化学であると知ってもらえるような授業として、行っていききたいと思います。

少しずつでも自分の力で化学を考えていけるように、毎回各個人の考えを調査し、工夫していきます。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムに接続するためのPCなどの機器

【Outline (in English)】

This course introduces chemical events of invisible atoms or molecules to students taking this course.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

– To learn what phenomena are occurring in our surroundings at an invisible level, such as atoms and elements, using chemical ideas.

– To be more interested in chemical phenomena than before and develop the ability to think.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

CHM100LA (その他の化学 / Chemistry 100)

入門化学B

2017年度以降入学者

石塚 芽具美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

私たちが生活する上で、目に見えない化学的事象について考えることは、より生活を豊かにすることにもつながっていきます。本講義では、より生活を豊かにしていくために知っておくと便利な化学的知識を習得します。

【到達目標】

私たちの身の回りにある物がどのような現象を起こしているのかを、目に見えないレベルで原子や元素といった化学的な考え方で習得します。このようにして、化学現象を生活に生かしていくための能力を養います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

こちらで準備した資料を見もらいながら、説明をします。学習支援システムを使用して、事前に資料をアップロードしたり、追加資料をアップロードし、授業のフィードバックも行う予定です。これまでに化学を履修していなくても理解できるようにします。提出された課題について質問があった場合などは、次回以降の授業で反映させて説明をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義の概要の説明と受講方法について
第2回	周期表と電子配置	周期表と電子配置について考え、理解する
第3回	酸化と還元	酸化と還元について、現象を理解する
第4回	モル濃度	モル濃度について考え、生活との関連について学ぶ
第5回	化学平衡	化学平衡の概念を理解する
第6回	酸と塩基	酸と塩基について、理解する
第7回	混成軌道	混成軌道とは何かを考える
第8回	異性体	異性体の仕組みを理解し、どんなものがあるかを知る
第9回	共鳴と芳香族性	共鳴と芳香族性について捉え、生活と結び付け考える
第10回	有機物の酸と塩基	有機物の酸と塩基について、考える
第11回	界面活性剤について	洗浄作用のある界面活性剤の仕組みについて、考える
第12回	金属表面に関する分子の構造を知る手法	金属表面に吸着する分子の構造を知るには、どうすればよいかを考える
第13回	金属に吸着する分子の話	金属に吸着させると離れない分子について、紹介する
第14回	まとめ	これまでの内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習支援システムにおいて、講義内容に関する簡単な課題を提出してもらいます。

あらかじめ、講義テーマに関することを、本やインターネットで調べてみることをおすすめします。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。

学習支援システムに、資料を掲載します。

【参考書】

特にありません。

授業内で紹介することがあります。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムに、毎回簡単な課題を出題します。

期末試験の結果を50%、平常点（毎回出題する課題）を50%の配分として成績を評価します。

【学生の意見等からの気づき】

化学を科目として受講したことがなくても、問題ありません。

日々の生活の中でのこが化学であると知ってもらえるような授業として、行っていきたいと思います。

少しずつでも自分の力で化学を考えていけるように、毎回各個人の考えを調査し、工夫していきます。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムに接続するための、PCなどの機器

【Outline (in English)】

This course introduces chemical knowledge that is useful to enrich your life to students taking this course.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

– To learn what phenomena are occurring in our surroundings at an invisible level, such as atoms and elements, using chemical ideas.

– To develop the ability to make use of chemical phenomena in their lives.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

CHM100LA (その他の化学 / Chemistry 100)

入門化学 A

2017年度以降入学者

小林 令子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

これからの社会の持続的な発展を考えていくためには、基礎的な化学の知識は欠かせません。この授業では、無機化学と物理化学の領域を中心に、化学の基礎知識を修得し、自然科学的視点と思考を身に着けることを目的とします。

【到達目標】

授業の前半では、原子や分子の構造、化学反応の基礎的な知識を修得します。これらの知識をもとに、後半の授業では、私たちの生活を脅かす環境問題を、化学的知見から理解し、自らの言葉で説明できるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式で行います。授業教材は、事前に学習支援システム(LMS)に提示します。毎回の授業で、LMSを介して簡単な課題を出します。履修者は、授業終了後に課題を実施することで、授業の内容を復習し、理解できているか確認します。課題は成績評価の対象となるとともに、履修者の理解度を授業に反映させる手立てでもありますので、必ず提出してください。課題の解答は、授業内で解説します。高校等で化学を履修していなくても理解できるよう配慮します。状況によって下記の授業計画が変更になる場合は、授業中あるいはLMSを介してお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	1. ガイダンス 2. 量と単位	講義概要の説明 科学で使われる測定値の単位について
第2回	3. 物質をつくるもの①	原子、分子、イオンとは 原子の構造
第3回	3. 物質をつくるもの②	原子の電子配置と化学的性質、 周期表
第4回	3. 物質をつくるもの③	イオン結合、共有結合、金属結合の仕組みと性質
第5回	4. 化学反応①	化学量論 化学反応式の書き方 化学平衡
第6回	4. 化学反応②	酸塩基反応
第7回	4. 化学反応③	酸化還元反応
第8回	4. 化学反応④	化学反応と熱の出入り、反応熱の利用
第9回	5. 物質の状態①	気体・液体・固体間の変化と熱の出入り、気体の性質
第10回	5. 物質の状態②	溶液の性質
第11回	6. 地球温暖化①	地球温暖化の現状、地球温暖化の仕組みと原因物質
第12回	6. 地球温暖化②	温暖化の影響
第13回	試験	自作メモの持ち込み可
第14回	6. 地球温暖化③	温暖化の将来予測、エネルギー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業のあと、LMSを介した課題実施が必要です。復習をし、疑問に思うところ、理解できないところは積極的に質問してください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しません。LMSに教材をアップします。

【参考書】

化学の世界への招待(第2版)、小林憲司ほか(編著)、三共出版
一般化学(四訂版)、長島 弘三(著)、富田 功(著)、裳華房

【成績評価の方法と基準】

平常点(毎回の課題提出等)(50%)、期末試験(自作メモ持込可)(50%)

【学生の意見等からの気づき】

授業内容については概ね好評でしたが、ついていくのが大変だったという受講生もいたので、内容は前年度と同様にしつつも、メリハリをつけて重要事項にはより時間をかけて解説するようにします。

【学生が準備すべき機器他】

LMSにアクセスするための端末等、および通信環境が必要です。

【Outline (in English)】

This course covers the fundamentals of inorganic and physical chemistry tailored for non-science majors. Topics include the periodic table, atomic and molecular structure, chemical bonding, and chemical reactions. The objectives of this course are to gain a foundational understanding of general chemistry and to apply this knowledge to comprehend global environmental issues. Prior to and following each class, students are expected to dedicate four hours to grasp the course material. Grading will be determined by required assignments given after each class (50%) and a final examination (50%).

CHM100LA (その他の化学 / Chemistry 100)

入門化学B

2017年度以降入学者

小林 令子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

これからの社会の持続的な発展を考えていくためには、基礎的な化学の知識は欠かせません。この授業では、有機化学と生化学の領域を中心に、化学の基礎知識を修得し、自然科学的視点と思考を身に着けることを目的とします。

【到達目標】

前半の授業では、有機化合物の構造と特性についての基礎的な知識を修得します。これらの知識をもとに、後半の授業では、生体を構成する有機化合物、および有機化合物がかかわる身近な環境問題について、基礎的な知見を得ることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式で行います。授業教材は、事前に学習支援システム(LMS)に提示します。毎回の授業で、LMSを介して簡単な課題を出します。履修者は、授業終了後に課題を実施することで、授業の内容を復習し、理解できているか確認します。課題は成績評価の対象となるとともに、履修者の理解度を授業に反映させる手立てでもありますので、必ず提出してください。課題の解答は、授業内で解説します。高校等で化学を履修していなくても理解できるよう配慮します。状況によって下記の授業計画が変更になる場合は、授業中あるいはLMSを介してお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	1. ガイダンス	講義概要の説明
	2. 物質を構成するものの	物質の構成単位である原子・分子について
第2回	3. 有機化合物の構造	原子の電子配置と周期表、化学結合
第3回	4. 官能基	有機化合物の特性を決める主な官能基
第4回	5. 親水性・疎水性、酸性・塩基性	水への溶けやすさを決める官能基、酸性・塩基性官能基
第5回	6. 炭化水素	炭化水素の構造と性質、化石燃料
第6回	7. 酸素を含む有機化合物	身近な酸素含有化合物の構造と性質
第7回	8. 窒素を含む有機化合物	身近な窒素含有化合物の構造と性質
	9. 芳香族化合物	身近な芳香族化合物の構造と性質
第8回	10. 有機化合物の酸化反応	有機化合物の酸化反応と反応熱
第9回	11. 有機化合物の重合反応	重合反応とプラスチック、海洋プラスチック問題
第10回	12. 生体を作る有機化合物①	糖質
第11回	12. 生体を作る有機化合物②	タンパク質・脂質

第12回 12. 生体を作る有機化合物③ 核酸
代謝、酵素
13. 生体内の化学反応

第13回 試験 自作メモの持ち込み可

第14回 14. 有害化学物質 人体や生態系に有害な化学物質

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業のあと、LMSを介した課題実施が必要です。復習をし、疑問に思うところ、理解できないところは積極的に質問してください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しません。LMSに教材をアップします。

【参考書】

一般化学(四訂版)、長島 弘三(著)、富田 功(著)、裳華房
マクマリー生体有機化学[有機化学編] 原書8版、菅原二三男(監訳)、丸善出版

【成績評価の方法と基準】

平常点(毎回の課題提出等)(50%)、期末試験(自作メモ持込可)(50%)

【学生の意見等からの気づき】

授業内容については概ね好評でしたが、ついていくのが大変だったという受講生もいたので、内容は前年度と同様にしつつも、メリハリをつけて重要事項にはより時間をかけて解説するようにします。

【学生が準備すべき機器他】

LMSにアクセスするための端末等、および通信環境が必要です。

【Outline (in English)】

This course covers the basics of organic chemistry and biochemistry, tailored for non-science majors. Topics include chemical bonding, functional groups, acid-base reactions, oxidation-reduction reactions, polymerization, and major compounds and reactions in living organisms. The objectives of this course are to acquire a foundational understanding of organic chemistry and biochemistry, and to apply this knowledge to comprehend environmental problems associated with organic compounds. Prior to and following each class, students are expected to dedicate four hours to grasp the course material. Grading will be based on required assignments given after each class (50%) and a final examination (50%).

CHM100LA (その他の化学 / Chemistry 100)

入門化学 A

2017年度以降入学者

中田 和秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

近年、現代文明の成長や持続性への関心から、エネルギーや環境に関する諸問題が注目を集めるようになってきました。これらの問題の解決には、科学的な考察が必要不可欠です。本授業では核エネルギーの利用に関連する環境問題やエネルギー消費過程について化学的な視点から解説します。関連する諸問題を化学的に理解することが本授業の目的です。

【到達目標】

現代文明は膨大なエネルギー消費のうえに成立しています。しかしながら、一人当りのエネルギー消費量の増加および世界人口の増加によって、現在の主要エネルギー資源である化石燃料は枯渇の危機に瀕しており、新しいエネルギー資源の開発が必要不可欠となっています。春学期の本授業では核エネルギーを取り上げます。原子核の構造から原子力発電の仕組みに至るまで、関連分野を化学的に理解することを到達目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は、板書や資料のプロジェクターによるスクリーンへの投影を行いながら、講義形式で進めます。漫然と板書をノートに写すのではなく、自分で調べたことなどを書き加え、わかりやすくまとめてください。ノートは、ルーズリーフではなく、綴じたノートを購入して使用してください。また、化学の知識がなくても授業を理解できるように配慮いたします。時々、練習問題や宿題を課しますので、それらを通してより理解が深まることでしょう。課題内容については、次の講義にて解説などのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義計画と学習の仕方について解説する。
第2回	原子の構造	原子を構成する素粒子や原子が結合して生成する分子について解説し、原子に関する理解を深める。
第3回	同位体	同位体について解説する。安定同位体・放射性同位体の種類や性質を学習する。
第4回	放射性壊変（1）	α 壊変および β 壊変について学習する。
第5回	放射性壊変（2）	その他の放射性壊変について学習する。
第6回	天然放射性核種	自然界に存在する放射性核種について学習する。
第7回	人工放射性核種	人工的に核反応を起こさせて得られる放射性核種について学習する。

第8回	^{235}U の誘導核分裂	^{235}U に中性子を衝突させたときに起きる核反応について学習し、原子炉で起きている核反応について理解する。
第9回	^{239}Pu の誘導核分裂	^{239}Pu に中性子を衝突させたときに起きる核反応について学習し、原子炉で起きている核反応について理解する。
第10回	核エネルギー	核反応にともなって反応系に入力するエネルギーについて考察する。
第11回	原子力発電所の構造	原子力発電所の内部構造を概観し、どのように電気エネルギーが生産されるかを学習する。
第12回	原子力発電所の種類（1）	最も一般的な軽水炉について学習する。
第13回	原子力発電所の種類（2）	高速増殖炉、ブルサマル等、その他の形式の原子力発電所について学習する。
第14回	まとめ	本授業のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。できるだけ早い段階で、教科書を通読して学習に臨んでください。各回終了後は、各自の興味関心に基づいた発展的な読書を行うと共に、指示にしたがって課題作成を行ってください。

【テキスト（教科書）】

下記書籍を教科書として使用しますので、各自購入してください。教科書は、法政大学生協にて購入することができます。

書名：新版 エネルギーの科学（第2版）
著者名：安井伸郎
出版者名：三共出版

【参考書】

参考書として下記書籍を推薦します。他の参考書については授業中に適宜紹介します。

書名：放射化学・放射線化学
著者名：前田米蔵，百鳥則幸
出版者名：南山堂

【成績評価の方法と基準】

成績は、期末試験（教科書、プリント、およびノート持ち込み可）により評価します。（100%）

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業内容について概ね好評であったので今年度も同様に授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

状況に応じてオンライン授業を行う場合がありますので、PCやタブレット端末等、オンライン授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

【その他の重要事項】

秋学期に開講される「入門化学B」を合わせて受講することをお勧めします。

【Outline (in English)】

In recent years, energy and environment-related issues are attracting attention in connection with the interest in the growth and sustainability of modern civilization. To find solutions for such issues, natural sciences play crucial roles. In this lecture, environmental problems and energy-consumption process related to the utilization of nuclear energies will be discussed through the viewpoint of chemistry. Understanding chemistry fundamental to such topics is the aim of this lecture. Students should read the textbook as early as possible before a class and are encouraged advanced reading on the basis of their own interest after a class. The study time will be more than two hours. The overall grade in the class will be decided based on the term-end examination (100 %).

CHM100LA (その他の化学 / Chemistry 100)

入門化学B

2017年度以降入学者

中田 和秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

近年、現代文明の成長や持続性への関心から、エネルギーや環境に関する諸問題が注目を集めるようになってきました。これらの問題の解決には、科学的な考察が必要不可欠です。本授業では化石燃料の燃焼によって引き起こされる環境問題やエネルギー消費について化学的な視点から解説します。関連する諸問題を化学的に理解することが本授業の目的です。

【到達目標】

現代文明は、主に石炭、石油、天然ガスなどの化石燃料の消費に支えられています。この化石燃料の消費が多くの環境問題の原因となっている一方で、化石燃料は我々の生活に不可欠なほとんどの化学物質の原料としての役割を持っています。本授業では、文明の鍵である化石燃料について、成分分子の構造や性質に加え、燃焼反応に伴う生成物や反応熱に関して定量的に理解することを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は、板書や資料のプロジェクターによるスクリーンへの投影を行いながら、講義形式で進めます。漫然と板書をノートに写すのではなく、自分で調べたことなどを書き加え、わかりやすくまとめてください。ノートは、ルーズリーフではなく、綴じたノートを購入して使用してください。また、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮いたします。時々、練習問題や宿題を課しますので、それらを通してより理解が深まることでしょう。課題内容については、次の講義にて解説などのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義計画と学習の仕方について講義する。
第2回	分子	物質の基本単位である分子の構造や種類を学習する。
第3回	化学反応	物質の変化である化学反応に関して基本的な法則や表記法を演習を交えて学習する。
第4回	炭化水素の燃焼	化石燃料からエネルギーを取り出す際に本質的な炭化水素の燃焼反応について詳細に検討する。
第5回	化学量論	原子量・分子量の概念を学習し、反応物と生成物の量的関係を学習する。
第6回	熱化学方程式	化学反応に伴って出入りするエネルギーに関して、種類や関連する法則を学習する。
第7回	炭化水素のH/C比	炭化水素のH/C比と燃焼熱の関係について詳細に議論し、化石燃料に関する理解を深める。
第8回	CO ₂ の排出量	CO ₂ の排出量と燃焼熱の関係について詳細に議論し、化石燃料に関する理解を深める。

第9回	石炭	石炭に関して、成り立ち、特徴、利用法、関連する環境問題などを学習する。
第10回	石油	石油に関して、成り立ち、特徴、利用法、関連する環境問題などを学習する。
第11回	天然ガス	天然ガスに関して、成り立ち、特徴、利用法、関連する環境問題などを学習する。
第12回	その他の化石燃料	オイルサンド、オイルシェール等に関して、成り立ち、特徴、利用法などを学習する。
第13回	温暖化・酸性雨	化石燃料の燃焼に伴って発生した地球温暖化や酸性雨について学習する。
第14回	まとめ	本授業のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。できるだけ早い段階で、教科書を通読して学習に臨んでください。各回終了後は、各自の興味関心に基づいた発展的な読書を行うと共に、指示にしたがって課題作成を行ってください。

【テキスト（教科書）】

下記書籍を教科書として使用しますので、各自購入してください。教科書は、法政大学生協にて購入することができます。

書名：新版 エネルギーの科学（第2版）

著者名：安井伸郎

出版者名：三共出版

【参考書】

参考書として下記書籍を推薦します。他の参考書については授業中に適宜紹介します。

書名：教養としての化学入門（第2版）

著者名：Kimberley Waldron

訳者名：竹内敬人

出版者名：化学同人

【成績評価の方法と基準】

成績は、期末試験（教科書、プリント、およびノート持ち込み可）により評価します。（100%）

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業の進め方について概ね好評であったので今年度も同様に授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

状況に応じてオンライン授業を行うことがありますので、PCやタブレット端末等、オンライン授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

【その他の重要事項】

春学期に開講される「入門化学A」を合わせて受講することをお勧めします。

【Outline (in English)】

In recent years, energy and environment-related issues are attracting attention in connection with the interest in the growth and sustainability of modern civilization. To find solutions for such issues, natural sciences play crucial roles. In this lecture, environmental problems and energy-consumption process related to the utilization of fossil fuels will be discussed through the viewpoint of chemistry. Understanding chemistry fundamental to such topics is the aim of this lecture. Students should read the textbook as early as possible before a class and are encouraged advanced reading on the basis of their own interest after a class. The study time will be more than two hours. The overall grade in the class will be decided based on the term-end examination (100 %).

ASR100LA (天文学 / Astronomy 100)

天文学 A

2017年度以降入学者

小野 宜昭

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

宇宙はどのように始まり、今日に至ったのか？ この問いは、おそらく誰もが一度は抱く素朴な疑問でありながら、人類が現在の理解にたどり着くまでには長い科学的探究が必要であった。科学者たちは好奇心を原動力に、試行錯誤する中での発見やセレンディビティ等を契機にして、宇宙に対する理解を前進させてきた。この授業では、宇宙の探究に取り組んできた科学者たちの挑戦を通して、この宇宙の成り立ちや進化について学ぶ。

【到達目標】

宇宙の成り立ちや進化の解明に挑んできた先人たちの歩みを知り、ビッグバン宇宙論について理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行う。資料はHoppiiを通じて配布し、復習できるようにする。毎回Hoppiiでミニテストを行って理解度を確認する。随時、授業内容の質問を受け付け、質問に答えることでフィードバックをかける。この授業を受講するにあたって、特別な予備知識を必要としない。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業計画のロードマップを示す。受講の方法を示す。
第2回	天動説と地動説	地球中心説から太陽中心説へ至った経緯を学ぶ。
第3回	光速の測定と特殊相対論	光の速さを測定する実験と、特殊相対論について学ぶ。
第4回	一般相対論	重力の理論について学ぶ。
第5回	相対論的宇宙モデル	一般相対論をもとにした宇宙モデルについて学ぶ。
第6回	星雲論争	星雲が銀河系内の天体か銀河系外の天体かという論争について学ぶ。
第7回	膨張する宇宙	銀河の後退速度と距離の間の関係について学ぶ。
第8回	原子の近代史	原子の構造と原子核反応について学ぶ。
第9回	宇宙の始まり	ビッグバン元素合成について学ぶ。
第10回	宇宙の年齢問題	ビッグバン宇宙モデルと定常宇宙モデルの論争について学ぶ。
第11回	重い元素の合成	恒星内部の核融合について学ぶ。
第12回	宇宙からの電波	電波観測と宇宙マイクロ波背景放射について学ぶ。
第13回	宇宙初期の「化石」	宇宙マイクロ波背景放射の密度ゆらぎについて学ぶ。
第14回	期末試験	対面で期末試験を実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の中で指示をする。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストを使用しない。資料をweb上で配布する。

【参考書】

適宜授業の中で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験を行う。毎回ミニテストを行う。評価の割合は期末試験70%、ミニテスト30%である。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

web上の資料を閲覧したり、ミニテストに回答したりできる情報機器。

【その他の重要事項】

天文学Aと天文学Bはどちらを先に受講してもよく、必ずしも両方を受講する必要はない。ただし、両方を受講することで、天文学への理解がより深まることが期待される。

【Outline (in English)】

Course Outline:

How did the universe originate, and how has it evolved into its current state? This fundamental question, though seemingly simple and intuitive, has required an extensive and rigorous process of scientific investigation to reach our present understanding. Motivated by curiosity, scientists have advanced our knowledge of the universe through systematic experimentation, theoretical modeling, and occasional serendipitous discoveries. In this course, we will explore the origins and evolution of the universe by examining the scientific challenges and breakthroughs achieved by researchers who have dedicated themselves to unraveling its nature and underlying principles.

Learning Objectives:

We will learn about the efforts of previous pioneers who have challenged the fundamental questions regarding the origin and evolution of the universe and grasp the concept of the Big Bang cosmology.

Learning Activities outside of Classroom:

Instructions will be given during class. The standard time for preparation and review for this course is 2 hours each.

Grading Criteria/Policy:

A final exam will be conducted. Mini-tests will be given in each class. The grading distribution is 70% for the final exam and 30% for the mini-tests.

ASR100LA (天文学 / Astronomy 100)

天文学B

2017年度以降入学者

小野 宜昭

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、宇宙の始まりや進化、その中で形成される星やブラックホール、銀河、銀河団、さらには太陽系や太陽系外惑星、地球外生命など、天文学に関する幅広いトピックの基本的な内容を学ぶ。夜空の向こうに広がる豊かな宇宙に思いを巡らせ、私たちが住むこの世界を広い視点から理解する機会とする。

【到達目標】

天文学に関して現在までに得られているさまざまな科学的成果への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行う。資料はHoppiiを通じて配布し、復習できるようにする。毎回Hoppiiでミニテストを行って理解度を確認する。随時、授業内容の質問を受け付け、質問に答えることでフィードバックをかける。この授業を受講するにあたって、特別な予備知識を必要としない。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業計画のロードマップを示す。受講の方法を示す。
第2回	宇宙の観測と距離測定	宇宙を観測する方法と天体までの距離測定について学ぶ。
第3回	宇宙の歴史	ビッグバン宇宙論にもとづく宇宙の歴史について学ぶ。
第4回	ダークマター	ダークマターの存在を示唆する観測結果とその候補や検証実験について学ぶ。
第5回	銀河の形成と進化	宇宙の構造形成論にもとづく銀河の形成と進化について学ぶ。
第6回	恒星の誕生と進化	星形成や恒星の主系列段階および超新星爆発など、恒星の一生について学ぶ。
第7回	元素の合成	宇宙において元素がどのように作られてきたか学ぶ。
第8回	ブラックホール	ブラックホールに関する理論研究やさまざまな観測結果について学ぶ。
第9回	ダークエネルギー	宇宙の加速膨張を示す観測結果とダークエネルギーについて学ぶ。
第10回	太陽系	太陽系を構成する惑星や衛星などについて学ぶ。
第11回	惑星系	惑星系の形成と進化について学ぶ。
第12回	太陽系外惑星	太陽系以外の恒星の周囲に見つかっている惑星について学ぶ。
第13回	地球外生命	地球以外の太陽系内外の天体での生命探査について学ぶ。

第14回 期末試験

対面で期末試験を実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の中で指示をする。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストを使用しない。資料をweb上で配布する。

【参考書】

適宜授業の中で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験を行う。毎回ミニテストを行う。評価の割合は期末試験70%、ミニテスト30%である。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

web上の資料を閲覧したり、ミニテストに回答したりできる情報機器。

【その他の重要事項】

天文学Aと天文学Bはどちらを先に受講してもよく、必ずしも両方を受講する必要はない。ただし、両方を受講することで、天文学への理解がより深まることが期待される。

【Outline (in English)】

Course Outline:

This course provides an introduction to a wide range of fundamental topics in astronomy, including the origin and evolution of the universe, the formation of stars, black holes, galaxies, and galaxy clusters, as well as the solar system, exoplanets, and extraterrestrial life. It offers an opportunity to contemplate the expansive and profound universe beyond the night sky and to gain a broader perspective on the world that we inhabit.

Learning Objectives:

Students will deepen their understanding of the various scientific findings obtained in astronomy to date.

Learning Activities outside of Classroom:

Instructions will be given during class. The standard time for preparation and review for this course is 2 hours each.

Grading Criteria/Policy:

A final exam will be conducted. Mini-tests will be given in each class. The grading distribution is 70% for the final exam and 30% for the mini-tests.

ASR100LA (天文学 / Astronomy 100)	
天文学 A	2017年度以降入学者
水田 晃	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：水 4/Wed.4
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

約138億年前におきたビッグバン以降、宇宙がどのように進化し現在の姿に至ったのか、我々や身の回りの物質を構成するさまざまな元素がいつどのように作られたのかを学ぶ。太陽のような恒星、恒星の集団である銀河、銀河の集団、さらに宇宙全体を対象とするだけでなく重力波やニュートリノ観測など近年急速に観測が進んできた分野についても学ぶ。

【到達目標】

ビッグバン以降、星の誕生から銀河の形成を経て、現在の宇宙の姿に至るまでを学ぶ。星や銀河の性質を理解し我々を含め宇宙を構成する元素の起源を理解する。単に知識を増やすだけでなく、どのような観測や理論から現在の理解に至ったかという背景まで含めての理解を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行う。講義資料はHoppiiを通じて配布し、復習できるようにする。毎回授業の終わりにHoppiiでミニテストを行って理解度を確認をし、出席点とする。随時、授業内容の質問を受け付け、次回以降の授業中に質問に答えることでフィードバックをかける。

最新の観測や理論を紹介するだけでなく、関連する身近な話題や動画などを利用し、わかりやすい講義にする予定である。この授業を受講するにあたって、特別な予備知識を必要としない。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス、宇宙の階層構造	授業計画のロードマップを示す。受講の方法を示す。宇宙の構造についてふれる。
第2回	太陽と恒星(1)	我々にとって最も身近な恒星である太陽について学ぶと共に、恒星の多様性について学ぶ。
第3回	太陽と恒星(2)	恒星の一生について学ぶ。
第4回	万有引力の法則	万有引力の法則について学ぶ。
第5回	銀河	星の集団である銀河について学ぶ。
第6回	超新星爆発	星の一生の最期の一形態である超新星爆発について学ぶ。
第7回	宇宙の観測と望遠鏡	宇宙の観測手段の発展の歴史、最新の観測機器およびその成果について学ぶ。
第8回	ビッグバンと宇宙膨張	宇宙開闢時にあった大爆発「ビッグバン」とその後の宇宙膨張について学ぶ。
第9回	宇宙の歴史	ビッグバン以降約138億年に渡る宇宙の歴史について学ぶ。

第10回	元素の起源	私達を含め身の回りの全てのものは元素からなりたっている。宇宙においてさまざまな元素がどのようにできてきたのかを学ぶ。
第11回	ブラックホール	アインシュタインが提唱した一般相対性理論とその帰結の一つであるブラックホールについて学ぶ。
第12回	重力波	一般相対性理論から時空のゆがみが伝搬する重力波が予言された。重力波とは何か、どのように観測するのかを学ぶ。
第13回	ニュートリノ、ダークマター	幽霊粒子と言われたニュートリノの性質、観測方法について学ぶ。宇宙に存在するといわれながらいまだ発見されていないダークマター、その探索について学ぶ。
第14回	期末試験	対面で期末試験を実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の中で指示をする。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストを使用しない。資料をHoppiiを用いて配布する。

【参考書】

適宜授業の中で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験を行う。毎回ミニテストを行う。評価の割合は、期末試験が70%、ミニテストが30%である。

【学生の意見等からの気づき】

受講のきっかけは「授業内容に興味を持ったから」が最も多かった。学生の興味、関心に応えられるような講義を心がけたい。

【学生が準備すべき機器他】

毎回授業の最後にミニテストをHoppiiを用いて行う。Hoppiiにアクセスができれば簡単な入力作業ができる情報機器。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to understand the components of the universe such as stars, black holes, galaxies, etc. and to get an overall picture of them.

The goal of this course is to understand the 13.8 billion years history of the Universe from the Big Bang to today.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination: 70%, Short reports : 30%.

ASR100LA (天文学 / Astronomy 100)

天文学B

2017年度以降入学者

水田 晃

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

宇宙138億年の歴史のなかでどのようにして地球のような生命を育む環境が生じたのか、地球以外にも生命を宿す惑星、衛星があるのかについて学ぶ。太陽系全体を俯瞰すると同時に多様な生命を宿す地球の環境や歴史についても学ぶ。また、系外惑星（第二の地球）と地球外生命の可能性についても学ぶ。天文学Bは天文学Aからの続きである。必ずしも天文学Aを事前に受講する必要はないが、天文学AとBを両方受講するとより理解が深まるであろう。

【到達目標】

我々が住む地球を含む太陽系の現在の姿だけでなくその成り立ちや歴史を理解し、天体上に生命が誕生しうる条件を学ぶことで、宇宙・地球と生命との関係を時間的・空間的スケールにおいてとらえられるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行う。講義資料はHoppiiを通じて配布し、復習できるようにする。毎回授業の終わりにHoppiiでミニテストを行って理解度を確認をし、出席点とする。随時、授業内容の質問を受け付け、次回以降の授業中に質問に答えることでフィードバックをかける。

最新の観測や理論を紹介するだけでなく、関連する身近な話題や動画などを利用し、わかりやすい講義にする予定である。この授業を受講するにあたって、特別な予備知識を必要としない。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス、天文学と暦	授業計画のロードマップを示す。受講の方法を示す。天文観測から暦の決められ方を学ぶ。
第2回	星の運動、天動説と地動説	星の見かけの運動を理解し、そこからどのように地動説という考えに至ったかを学ぶ。
第3回	現代の太陽系像（1）	太陽系全体を概観し、太陽、地球型惑星について学ぶ。
第4回	現代の太陽系像（2）	木星型／天王星型惑星、準惑星、太陽系小天体（小惑星、彗星など）について学ぶ。
第5回	星間物質と星形成	太陽などの恒星の生まれる環境、条件について学ぶ。
第6回	太陽系の起源	惑星の誕生、地球の衛星である月の起源についても学ぶ。
第7回	地球の歴史（1）	地球の誕生から海、そして酸素を含む大気がどのように形成されたかを学ぶ。
第8回	地球の歴史（2）	大量の水を液体としてもつ地球とハビタブルゾーン概念について学ぶ。

第9回	地球が宇宙から受ける影響	地球が宇宙から受ける影響、特に宇宙線、隕石などから受ける影響について学ぶ。
第10回	太陽系の惑星、衛星の探査	人工衛星などを用いた惑星、衛星探査の成果について学ぶ。今後の観測計画についてもふれる。
第11回	系外惑星（1）	太陽系以外の恒星の周りを周回する惑星の発見について学ぶ。
第12回	系外惑星（2）	太陽系以外の恒星の周りを周回する惑星の多様性について学ぶ。
第13回	地球外生命探査	地球以外の太陽系天体、太陽系外の天体に生命が存在するかをどうやって探るかを考える。対面で期末試験を実施する。
第14回	期末試験	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の中で指示をする。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストを使用しない。資料をHoppiiを用いて配布する。

【参考書】

適宜授業の中で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験を行う。毎回ミニテストを行う。評価の割合は、期末試験が70%、ミニテストが30%である。

【学生の意見等からの気づき】

受講のきっかけは「授業内容に興味を持ったから」が最も多かった。学生の興味、関心に応えられるような講義を心がけたい。

【学生が準備すべき機器他】

毎回授業の最後にミニテストをHoppiiを用いて行う。Hoppiiにアクセスができ簡単な入力作業ができる情報機器。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to learn about the environment and history of the Earth, which is home to a variety of life, and solar system.

The goals of this course is to enable students to understand the relationship between the Universe, the earth, and life on both time and spatial scales.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination: 70%, Short reports : 30%.

ASR100LA (天文学 / Astronomy 100)

天文学 A

2017年度以降入学者

小野 宜昭

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

宇宙はどのように始まり、今日に至ったのか？ この問いは、おそらく誰もが一度は抱く素朴な疑問でありながら、人類が現在の理解にたどり着くまでには長い科学的探究が必要であった。科学者たちは好奇心を原動力に、試行錯誤する中での発見やセレンディビティ等を契機にして、宇宙に対する理解を前進させてきた。この授業では、宇宙の探究に取り組んできた科学者たちの挑戦を通して、この宇宙の成り立ちや進化について学ぶ。

【到達目標】

宇宙の成り立ちや進化の解明に挑んできた先人たちの歩みを知り、ビッグバン宇宙論について理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行う。資料はHoppiiを通じて配布し、復習できるようにする。毎回Hoppiiでミニテストを行って理解度を確認する。随時、授業内容の質問を受け付け、質問に答えることでフィードバックをかける。この授業を受講するにあたって、特別な予備知識を必要としない。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業計画のロードマップを示す。受講の方法を示す。
第2回	天動説と地動説	地球中心説から太陽中心説へ至った経緯を学ぶ。
第3回	光速の測定と特殊相対論	光の速さを測定する実験と、特殊相対論について学ぶ。
第4回	一般相対論	重力の理論について学ぶ。
第5回	相対論的宇宙モデル	一般相対論をもとにした宇宙モデルについて学ぶ。
第6回	星雲論争	星雲が銀河系内の天体か銀河系外の天体かという論争について学ぶ。
第7回	膨張する宇宙	銀河の後退速度と距離の間の関係について学ぶ。
第8回	原子の近代史	原子の構造と原子核反応について学ぶ。
第9回	宇宙の始まり	ビッグバン元素合成について学ぶ。
第10回	宇宙の年齢問題	ビッグバン宇宙モデルと定常宇宙モデルの論争について学ぶ。
第11回	重い元素の合成	恒星内部の核融合について学ぶ。
第12回	宇宙からの電波	電波観測と宇宙マイクロ波背景放射について学ぶ。
第13回	宇宙初期の「化石」	宇宙マイクロ波背景放射の密度ゆらぎについて学ぶ。
第14回	期末試験	対面で期末試験を実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の中で指示をする。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストを使用しない。資料をweb上で配布する。

【参考書】

適宜授業の中で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験を行う。毎回ミニテストを行う。評価の割合は期末試験70%、ミニテスト30%である。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

web上の資料を閲覧したり、ミニテストに回答したりできる情報機器。

【その他の重要事項】

天文学Aと天文学Bはどちらを先に受講してもよく、必ずしも両方を受講する必要はない。ただし、両方を受講することで、天文学への理解がより深まることが期待される。

【Outline (in English)】

Course Outline:

How did the universe originate, and how has it evolved into its current state? This fundamental question, though seemingly simple and intuitive, has required an extensive and rigorous process of scientific investigation to reach our present understanding. Motivated by curiosity, scientists have advanced our knowledge of the universe through systematic experimentation, theoretical modeling, and occasional serendipitous discoveries. In this course, we will explore the origins and evolution of the universe by examining the scientific challenges and breakthroughs achieved by researchers who have dedicated themselves to unraveling its nature and underlying principles.

Learning Objectives:

We will learn about the efforts of previous pioneers who have challenged the fundamental questions regarding the origin and evolution of the universe and grasp the concept of the Big Bang cosmology.

Learning Activities outside of Classroom:

Instructions will be given during class. The standard time for preparation and review for this course is 2 hours each.

Grading Criteria/Policy:

A final exam will be conducted. Mini-tests will be given in each class. The grading distribution is 70% for the final exam and 30% for the mini-tests.

ASR100LA (天文学 / Astronomy 100)

天文学B

2017年度以降入学者

小野 宜昭

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、宇宙の始まりや進化、その中で形成される星やブラックホール、銀河、銀河団、さらには太陽系や太陽系外惑星、地球外生命など、天文学に関する幅広いトピックの基本的な内容を学ぶ。夜空の向こうに広がる豊かな宇宙に思いを巡らせ、私たちが住むこの世界を広い視点から理解する機会とする。

【到達目標】

天文学に関して現在までに得られているさまざまな科学的成果への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行う。資料はHoppiiを通じて配布し、復習できるようにする。毎回Hoppiiでミニテストを行って理解度を確認する。随時、授業内容の質問を受け付け、質問に答えることでフィードバックをかける。この授業を受講するにあたって、特別な予備知識を必要としない。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業計画のロードマップを示す。受講の方法を示す。
第2回	宇宙の観測と距離測定	宇宙を観測する方法と天体までの距離測定について学ぶ。
第3回	宇宙の歴史	ビッグバン宇宙論にもとづく宇宙の歴史について学ぶ。
第4回	ダークマター	ダークマターの存在を示唆する観測結果とその候補や検証実験について学ぶ。
第5回	銀河の形成と進化	宇宙の構造形成論にもとづく銀河の形成と進化について学ぶ。
第6回	恒星の誕生と進化	星形成や恒星の主系列段階および超新星爆発など、恒星の一生について学ぶ。
第7回	元素の合成	宇宙において元素がどのように作られてきたか学ぶ。
第8回	ブラックホール	ブラックホールに関する理論研究やさまざまな観測結果について学ぶ。
第9回	ダークエネルギー	宇宙の加速膨張を示す観測結果とダークエネルギーについて学ぶ。
第10回	太陽系	太陽系を構成する惑星や衛星などについて学ぶ。
第11回	惑星系	惑星系の形成と進化について学ぶ。
第12回	太陽系外惑星	太陽系以外の恒星の周囲に見つかっている惑星について学ぶ。
第13回	地球外生命	地球以外の太陽系内外の天体での生命探査について学ぶ。

第14回 期末試験

対面で期末試験を実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の中で指示をする。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストを使用しない。資料をweb上で配布する。

【参考書】

適宜授業の中で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験を行う。毎回ミニテストを行う。評価の割合は期末試験70%、ミニテスト30%である。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

web上の資料を閲覧したり、ミニテストに回答したりできる情報機器。

【その他の重要事項】

天文学Aと天文学Bはどちらを先に受講してもよく、必ずしも両方を受講する必要はない。ただし、両方を受講することで、天文学への理解がより深まることが期待される。

【Outline (in English)】

Course Outline:

This course provides an introduction to a wide range of fundamental topics in astronomy, including the origin and evolution of the universe, the formation of stars, black holes, galaxies, and galaxy clusters, as well as the solar system, exoplanets, and extraterrestrial life. It offers an opportunity to contemplate the expansive and profound universe beyond the night sky and to gain a broader perspective on the world that we inhabit.

Learning Objectives:

Students will deepen their understanding of the various scientific findings obtained in astronomy to date.

Learning Activities outside of Classroom:

Instructions will be given during class. The standard time for preparation and review for this course is 2 hours each.

Grading Criteria/Policy:

A final exam will be conducted. Mini-tests will be given in each class. The grading distribution is 70% for the final exam and 30% for the mini-tests.

SHS100LA (科学社会学・科学技術史 / Sociology/History of science and technology 100)

科学論 A

2017年度以降入学者

木島 泰三

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「閉じた世界から無限宇宙へ」をテーマとし、西洋における科学のはじまりから「17世紀科学革命」の時期までの宇宙論の変遷を追う中で、近代科学および科学的思考について、歴史的、思想的な背景を中心に学んでいくことを目指す（秋学期の同一講師による「科学論B」の受講は必須ではないが、より深い理解のためには受講するのが望ましい）。

【到達目標】

到達目標は次の2点である：

- (1) 講義で取り上げた科学論、科学史、科学的思考に関する事項について、概略的にはあれ正確な説明ができる程度の知識を習得すること。
- (2) その知識をベースに、これらの事項に関して自分なりの論述を作成できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は毎回資料を配布し、それをベースに講義形式で進めていく。また、毎回の講義の受講確認課題の提出を、受講後学習支援システムを通じて求め、能動的、双方向的な学びの機会を設ける。学期末にはレポート提出を求める。レポートは最終の授業の後、学習支援システムで受け付ける（最終の授業の内容も反映できるよう、締切は少し後に設定する）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	講師の自己紹介、授業の進め方や成績評価の説明、授業の概要、など
第2回	古代ギリシャにおける哲学と科学的思考のはじまり	近代科学の母体となった古代ギリシャの自然哲学の歴史を見ていく
第3回	プラトンの思想／古代の天文学とその発展	古代ギリシャ思想の大きな転換点であったプラトンの思想を見た後、一度歴史をさかのぼり、ピュタゴラス派からプトレマイオスまでの西洋古代の天文学史を学ぶ
第4回	アリストテレスの形而上学と自然学(1)	再びプラトンの直後に戻り、プラトンの弟子であり中世において大きな影響力をもったアリストテレスの自然学を見ていく
第5回	アリストテレスの形而上学と自然学(2)／古代後期の自然哲学	引き続きアリストテレス自然学について学び、その後、近代世界にも大きな影響を与えた古代後期の代表的な学派であるストア派とエピクロス派の自然哲学を学ぶ

第6回	中世イスラム世界におけるプトレマイオス天文学の継承と見直し／ルネサンス期の天文学	中世におけるプトレマイオス天文学の発展と、コペルニクスに先立つルネサンス期ヨーロッパの天文学の動向を学ぶ
第7回	コペルニクス天文学の成立	ルネサンス人コペルニクスの人となり、プラトン、アリストテレス、およびイスラム天文学の影響下でプトレマイオス体系の見直しを試みたコペルニクスが地動説に到達するまでの経過を学ぶ
第8回	コペルニクス天文学の受容とその余波	コペルニクスが提起した体系がどのように受容され、見直されていったかを、ティコ、ガリレオ、ケプラー、ブルーノたちの研究を中心に見ていく
第9回	17世紀科学革命におけるアリストテレス自然学の批判	天文学の革新と呼応して進んだ「17世紀科学革命」と言われる、力学や物質論などの革新を含む大きな知の転換を見ていく
第10回	デカルトによる近代科学の基礎づけ	科学革命によって成立した「機械論的自然観」を哲学的に基礎づけようとしたデカルトの試みを見ていく
第11回	デカルトとヘンリー・モアの論争	ニュートンの空間概念に大きな影響を与えたとされる、ケンブリッジ・プラトン主義の創始者ヘンリー・モアの独特の空間論と、彼のデカルトとの論争を見ていく
第12回	スピノザの「神即自然」	科学革命が明らかにした「無限な宇宙」を「無限な実体としての神」と重ね合わせた異端的思想家であるスピノザの「神即自然」の思想を概観する
第13回	ニュートンとライプニッツの論争(1)	初期近世の科学史／哲学史のビッグネームであるニュートン vs. ライプニッツの論争を宇宙論や物理学の観点から考察するために、まずは両者の立場と論争の主要な争点を見ていく
第14回	ニュートンとライプニッツの論争(2)／ニュートン力学の発展とその後	18世紀を通じてのニュートン力学の完成とその影響力を概観し、さらに、20世紀におけるその見直しをごく簡単に見ておく

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講後学習支援システムの課題提出機能を用いた受講後の受講確認課題（ごく簡単な回答で済むものにする予定）によるポイントの理解の確認が必須の時間外の学習となる。
講義資料や講義内容を見返し、不明瞭な点があれば質問し理解を補うこと（質問等は受講者に告知するメールアドレスから受け付ける。受講確認課題提出と同時に進めてもよい）。
講義資料に付した重要文献の抜粋などは読んでおくこと。また、講義中紹介した文献なども、関心に応じて読むのが望ましい。（質問等は授業後および配付資料に記載するメールアドレスにて常時受け付ける。）
なお、本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特に定めず、適宜資料を配付する。

【参考書】

個々の主題に沿った参考書は授業内で適宜紹介するが、全般的な参考書として、ハーバート・バタウィールド『近代科学の誕生（上・下）』（講談社学術文庫）、ジョン・ヘンリー『一七世紀科学革命』（岩波書店）を挙げておく。今期の講義により密接に関わる文献としては、トマス・クーン『コペルニクス革命』（講談社学術文庫）と、アレクサンドル・コイレ『閉じた世界から無限宇宙へ』（みすず書房）／『コスモスの崩壊』（白水社）があるが、いずれも入門書とは言えず、難易度が高い。

【成績評価の方法と基準】

毎回の受講確認課題に基づく平常点30%、期末レポート70%とする。

【学生の意見等からの気づき】

板書は講義を理解するための補助としてのみ使用しているので、ノート作成においては前後の文脈なしに板書を書き写すのではなく、講義を聴き取って書き取することを心がけて欲しい。無論こちらも見やすく分かりやすい板書、聴き取りやすい講義を心がける。

【学生が準備すべき機器他】

毎回の受講確認課題とレポートは受講後学習支援システム上で受け付けるので、受講後学習支援システムにアクセスできる環境は必須である。

【Outline (in English)】

Course outline: Our primary objective is to learn about the history of cosmology from ancient to the age of "scientific revolution" in the seventeenth century. In this lecture, you shall learn about modern science and the scientific thinking from the historical viewpoint.

Learning Objectives: The goals of this course are the followings:

- (1) to learn about the topics on science, history of science, and the scientific thinking treated in the class so that you will be able to explain them at least in outline, and,
- (2) to produce your term-end report reflecting your knowledge which you will get in the class.

Learning activities outside of classroom: You will be expected to submit your task issued after each class through internet and to understand the course content if you would feel uncompleted. You are also expected to read relevant literature especially for your term-end report. Your required study time is at least four hours for each class meeting.

Grading Criteria /Policies: Final grade will be calculated based on term-end report (70%) and in-class contribution (including your attitude to after-class tasks)(30%) .

SHS100LA (科学社会学・科学技術史 / Sociology/History of science and technology 100)

科学論B

2017年度以降入学者

木島 泰三

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

秋学期は「進化論と人間観」と題し、19世紀におけるダーウィン進化論の登場までの科学の歩みとその後の進化論の発展の歴史、そしてその人間観への影響を見ていく中で、科学理論と社会や思想との関わりについて学ぶことを目指す。受講者は、古代ギリシャのアリストテレス自然学において「目的因」の概念の下に統一的に理解された生命現象が、近代の科学革命とともに迷っていた現象に変わり、最終的に「進化」の概念の下に改めて統一的に把握される過程を、時代ごとの研究や理論とともに学んでいくことになる（春学期の同一講師による「科学論A」の受講は必須ではないが、より適切な理解のためには受講しておくのが望ましい）。

【到達目標】

到達目標は次の2点である：

- (1) 講義で取り上げた科学論およびそれに関連する歴史的事項について、概略的にはあれ正確な説明ができる程度の知識を習得すること。
- (2) その知識をベースに、それらの事項に関して、自分なりの論述を作成できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は毎回資料を配布し、それをベースに講義形式で進めていく。また、毎回の講義の受講確認課題の提出を、受講後受講後学習支援システムを通じて求め求め、能動的、双方向的な学びの機会を設ける。学期末にはレポート提出を求める。レポートは最終の授業の後、受講後学習支援システムを通じて受け付ける（最終の授業の内容も反映できるように、締切は少し後に設定する）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	自己紹介、授業の進め方や成績評価の説明、授業の概要、など
第2回	古代哲学における目的論と反目的論(1)	古代ギリシャにおける目的論的自然観と反目的論的自然観の相克を見ていく。まずはデモクリトスの反目的論的自然観とプラトンの目的論的自然観
第3回	古代学における目的論と反目的論(2)	アリストテレスの目的論的自然観、およびストア派とエピクロスの自然観の衝突
第4回	デカルト・ライプニッツ・ニュートンにおける「いのち」と「こころ」	科学革命の担い手であるデカルト・ライプニッツ・ニュートンにおいてアリストテレス主義の「魂」の概念がどのように変容していったかを学ぶ
第5回	ヒュームの『自然宗教をめぐる対話』におけるダーウィン以前の「デザイン論」をめぐる問題	ヒュームの著書を手がかりに、ダーウィン以前における「知的デザイン」をめぐる思想状況を概観する

第6回	進化論前史(1)	ダーウィンの進化論に先立つ、それを準備した歴史的背景について見ていく
第7回	進化論前史(2)／ダーウィンの自然選択説(1)	前回に引き続き、主にダーウィン以前の進化思想について学び、引き続き、ダーウィンが進化のメカニズムとして提起した自然選択説について学ぶ
第8回	ダーウィンの自然選択説(2)	前回に引き続き、自然選択説の論理やその意義などについて学ぶ
第9回	「ダーウィニズムの失墜」の時代：「偽ダーウィニズム」と「反ダーウィニズム」	19世紀後期から20世紀初頭にかけて興隆した「非ダーウィンの進化論」の内容と、そこに共通する生命や進化についての見方をの特徴を考察する
第10回	「メンデル革命」から集団遺伝学の成立まで	20世紀前半、反ダーウィン主義の急先鋒であったメンデル遺伝学が、やがてダーウィニズムと結びつき、集団遺伝学を生み出すまでを学ぶ。
第11回	進化の総合説の確立とその後の発展	集団遺伝学において復権したダーウィニズムを生物学の基礎的な理論とする「進化の総合説」の確立と、その後の1970年代頃までのダーウィニズムの発展を見ていく。
第12回	進化論の社会的影響	いったん目を19世紀後半に戻し、進化論が社会にどのような影響を与えたかを見ていく。
第13回	社会生物学論争とその後の展開	第二次大戦後の人間研究の状況を概観したあと、1980年代に巻き起こった「社会生物学論争」について学ぶ。
第14回	現代における進化生物学の影響	前回に引き続き社会生物学論争の経過を追った後、生物学の領域を超えた範囲で浸透し影響力を増している進化生物学の現代的影响を見ていく

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講後学習支援システムを用いた受講後の受講確認課題（ごく簡単な回答で済むものにする予定）によるポイントの理解の確認が必須の時間外の学習となる。

講義資料や講義内容を見返し、不明瞭な点があれば質問し理解を補うこと（質問等は受講者に告知するメールアドレスから受け付ける。受講確認課題提出と同時に持ってよい）。

講義資料に付した重要文献の抜粋などは読んでおくこと。また、講義中紹介した文献なども、関心に応じて読むのが望ましい。（質問等は授業後および配付資料に記載するメールアドレスにて常時受け付ける。）

なお、本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特に定めず、適宜資料を配付する。

【参考書】

個々の主題に沿った参考書は授業内で適宜紹介するが、全般的な参考書として、ピーター・J・ボウラー『進化思想の歴史（上・下）』（朝日選書）、ピーター・J・ボウラー『ダーウィン革命の神話』（朝日新聞出版）、木島泰三『自由意志の向こう側』（講談社選書メチエ）など（なお、挙げた本の中には新刊が品切れのものもある）。

【成績評価の方法と基準】

毎回の受講確認課題に基づく平常点30%、期末レポート70%とする。

【学生の意見等からの気づき】

板書は講義を理解するための補助としてのみ使用しているので、ノート作成においては前後の文脈なしに板書を書き写すのではなく、講義を聴き取って書き取ることを心がけて欲しい。無論こちらも見やすく分かりやすい板書、聴き取りやすい講義を心がける。

【学生が準備すべき機器他】

毎回の受講確認課題とレポートは受講後学習支援システム上で受け付けるので、受講後学習支援システムにアクセスできる環境は必須である。

【Outline (in English)】

Course outline: Our primary objective is to learn about the history of evolutionary theory and its social influence. You shall learn the process of the dissolution of Aristotelian integral view of life and its re-synthesis centered in the idea of evolution.

Learning Objectives: The goals of this course are the followings:

- (1) to learn about the topics on history of science treated in the class so that you will be able to explain them at least in outline, and,
- (2) to produce your term-end report reflecting your knowledge which you will get in the class.

Learning activities outside of classroom: You will be expected to submit your task issued after each class through internet and to understand the course content if you would feel uncompleted. You are also expected to read relevant literature especially for your term-end report. Your required study time is at least four hours for each class meeting.

Grading Criteria /Policies: Final grade will be calculated based on term-end report (70%) and in-class contribution (including your attitude to after-class tasks)(30%) .

SHS100LA (科学社会学・科学技術史 / Sociology/History of science and technology 100)

科学論 A

2017年度以降入学者

金光 秀和

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

科学・技術の過去や現在を学ぶことは、科学・技術の未来を考察することにつながります。本授業では、環境問題を中心に現代の科学・技術がもたらした社会問題の歴史を学び、そうした問題について自らの社会観・価値観と関連づけながら考察することを目指します。それを通して、科学・技術が将来もたらしうる問題を自らの社会観・価値観と関連づけながら考察するための基礎づくりを行います。

【到達目標】

本授業で履修者が目指すべき到達目標は以下のとおりです。
 ・科学・技術がもたらした社会問題について、歴史的観点を踏まえて具体的に説明できる。
 ・科学・技術がもたらした社会問題について、自らの社会観・価値観と関連づけながら考察できる。
 ・科学・技術と社会の相互作用の中で生じる問題について、批判的に思考できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業では、一方向的な講義だけでなく、事例を用いたディスカッションを行います。そのため、知識を扱うオンデマンド配信回とディスカッションをメインとする対面回の混合型で授業を実施します。また、リアクションペーパーの作成を含めて、自らの考えを表現する機会を設けます。リアクションペーパー等におけるコメントは授業内で紹介し、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション 授業内レポート①	本授業の問題意識、内容、評価方法について説明します。また、授業内レポート①（Reflection Essay【受講前】）を実施します。
第2回	環境問題の歴史	科学・技術がもたらした環境問題について歴史的に概観します。
第3回	事例研究「水俣病」	水俣病を事例として研究します。
第4回	環境思想の歴史	環境思想について歴史的に概観します。
第5回	事例研究「アミノクロウサギ訴訟」	アミノクロウサギ訴訟を事例として研究します。
第6回	環境問題と市民	環境問題における当事者性について考察します。
第7回	事例研究「地球温暖化」	地球温暖化を事例として研究します。
第8回	科学による可視化と不可視化	科学の不確実性の問題を考察します。
第9回	事例研究「緑の革命」	緑の革命を事例として研究します。
第10回	巨大事故の時代	具体例を用いながら巨大事故について考察します。
第11回	事例研究「チャレンジャー号事故」	チャレンジャー号事故を事例として研究します。

第12回	巨大技術システムの構造的問題	具体例を用いながら巨大技術システムの構造的問題を考察します。
第13回	事例研究「阪神・淡路大震災」	阪神・淡路大震災を事例として研究します。
第14回	まとめと解説 授業内レポート② 授業内試験	授業内容全体を振り返ると同時に、授業内レポート②（Reflection Essay【受講後】）と授業内試験を実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業期間全体を通して、新聞、映画、SF小説などをもとに、科学・技術がもたらす問題に関心を払い、それを自らに関わる問題として考察する機会をもってください。また、授業で扱う事例については、授業前および授業後にじっくりと考察をして、自らの考えを練り上げてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しません。

【参考書】

塚原東吾 [ほか] 編著『よくわかる現代科学技術史・STS』ミネルヴァ書房、2022年
 野家啓一『科学哲学への招待』（ちくま学芸文庫）筑摩書房、2015年
 中島秀人『社会の中の科学』放送大学教育振興会、2008年
 伊勢田哲治 [ほか] 編『科学技術をよく考える：クリティカルシンキング練習帳』名古屋大学出版会、2013年

【成績評価の方法と基準】

本授業は、知識を得ることだけでなく、積極的にディスカッションに参加するなどして、自ら問題を考察することを期待します。このような観点から、対面回における議論への参加度合とリアクションペーパーを平常点として評価します（30％）。また、授業内レポート（20％）と授業内試験（50％）を実施し、本授業の到達目標を総合的に評価します。なお、授業内試験は知識の習得だけを目的としたものではありません。必ず初回の説明を確認してください。

【学生の意見等からの気づき】

グループディスカッションが好評でしたので、引き続き実施します。

【その他の重要事項】

本授業の受講を検討している方は必ず第1回の講義に出席してください。本授業の問題意識、内容、評価方法を詳しく説明すると同時に、授業内レポート①（Reflection Essay【受講前】）を実施します。

【Outline (in English)】

Course Outline

Studying the past and present of science and technology will lead us to consider the future of science and technology. In this course, we will study the history of social problems brought about by modern science and technology, with a focus on environmental issues, and will aim to examine such problems in relation to our own social views and values. Through this, students will build a foundation for examining the problems that science and technology may bring in the future while relating them to their own social views and values.

Learning Objectives

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Explain the social problems brought about by science and technology in concrete terms from a historical perspective.
- Consider the social problems brought about by science and technology while relating them to your own social views and values.
- Think critically about issues that arise in the interaction between science, technology, and society.

Learning activities outside of classroom

Throughout the course period, please pay attention to the problems brought about by technology based on newspapers, movies, science fiction novels, etc., and consider them as problems that concern you. In addition, please take the time to think about the cases we will discuss in class before and after it and formulate your own ideas. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading Criteria /Policy

Grading will be decided based on in class report (20%), in class exam (50%), and in class contribution (30%).

SHS100LA（科学社会学・科学技術史 / Sociology/History of science and technology 100）

科学論 B

2017年度以降入学者

金光 秀和

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

科学・技術の過去や現在を学ぶことは、科学・技術の未来を考察することにつながります。本授業では、科学者の社会的責任という観点から現代の科学・技術がもたらした社会問題の歴史を学び、そうした問題について自らの社会観・価値観と関連づけながら考察することを目指します。それを通して、科学・技術が将来もたらしうる問題を自らの社会観・価値観と関連づけながら考察するための基礎づくりを行います。

【到達目標】

本授業で履修者が目指すべき到達目標は以下のとおりです。

- ・科学・技術がもたらした社会問題について、歴史的観点を踏まえて具体的に説明できる。
- ・科学・技術がもたらした社会問題について、自らの社会観・価値観と関連づけながら考察できる。
- ・科学・技術と社会の相互作用の中で生じる問題について、批判的に思考できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業では、一方向的な講義だけでなく、事例を用いたディスカッションを行います。そのため、知識を扱うオンデマンド配信回とディスカッションをメインとする対面回の混合型で授業を実施します。また、リアクションペーパーの作成を含めて、自らの考えを表現する機会を設けます。リアクションペーパー等におけるコメントは授業内で紹介し、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション 授業内レポート①	本授業の問題意識、内容、評価方法について説明します。また、授業内レポート①（Reflection Essay【受講前】）を実施します。
第2回	科学者の社会的責任の歴史的概観	科学者の社会的責任について歴史的に概観します。
第3回	事例研究「マンハッタン計画」	マンハッタン計画を事例として研究します。
第4回	科学・技術と国家	科学・技術と国家の関係について、軍事技術を取り上げながら検討します。
第5回	事例研究「朝鮮戦争・ベトナム戦争と科学技術」	朝鮮戦争・ベトナム戦争を例に科学技術のあり方を考察します。
第6回	責任ある研究	具体例を用いながら責任ある研究と研究不正について解説します。
第7回	事例研究「東大RNA論文捏造事件」	東大RNA論文捏造事を事例として研究します。
第8回	研究不正の防止①	研究不正を防止するにはどうすればよいのかについて検討します。

第9回	事例研究「ベル研シェーン事件」	ベル研シェーン事件を事例として研究します。
第10回	研究不正の防止②	具体例を用いながら研究不正を防止について検討します。
第11回	事例研究「The Lab」	仮想事例The Labを通して問題を検討します。
第12回	科学者の社会的責任の3つの相	科学者の社会的責任の3つの相について考察します。
第13回	事例研究「BSE問題」	BSEを事例として研究します。
第14回	まとめと解説 授業内レポート② 授業内試験	授業内容全体を振り返ると同時に、授業内レポート②（Reflection Essay【受講後】）と授業内試験を実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業期間全体を通して、新聞、映画、SF小説などをもとに、科学・技術がもたらす問題に関心を払い、それを自らに関わる問題として考察する機会をもってください。また、授業で扱う事例については、授業前および授業後にじっくりと考察をして、自らの考えを練り上げてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しません。

【参考書】

藤垣裕子『科学者の社会的責任』岩波書店、2018年
唐木順三『「科学者の社会的責任」についての覚え書』筑摩書房、2012年
金森修『科学の危機』集英社、2015年

【成績評価の方法と基準】

本授業は、知識を得るだけでなく、積極的にディスカッションに参加するなどして、自ら問題を考察することを期待します。このような観点から、対面回における議論への参加度合とリアクションペーパーを平常点として評価します（30％）。また、授業内レポート（20％）と授業内試験（50％）を実施し、本授業の到達目標を総合的に評価します。なお、授業内試験は知識の習得だけを目的としたものではありません。必ず初回の説明を確認してください。

【学生の意見等からの気づき】

グループディスカッションが好評でしたので、引き続き実施します。

【その他の重要事項】

本授業の受講を検討している方は必ず第1回の講義に出席してください。本授業の問題意識、内容、評価方法を詳しく説明すると同時に、授業内レポート①（Reflection Essay【受講前】）を実施します。

【Outline (in English)】

Course Outline

Studying the past and present of science and technology will lead us to consider the future of science and technology. In this course, we will study the history of social problems brought about by modern science and technology, with a focus on social responsibility of scientists, and will aim to examine such problems in relation to our own social views and values. Through this, students will build a foundation for examining the problems that science and technology may bring in the future while relating them to their own social views and values.

Learning Objectives

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Explain the social problems brought about by science and technology in concrete terms from a historical perspective.
- Consider the social problems brought about by science and technology while relating them to your own social views and values.
- Think critically about issues that arise in the interaction between science, technology, and society.

Learning activities outside of classroom

Throughout the course period, please pay attention to the problems brought about by technology based on newspapers, movies, science fiction novels, etc., and consider them as problems that concern you. In addition, please take the time to think about the cases we will discuss in class before and after it and formulate your own ideas. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading Criteria /Policy

Grading will be decided based on in class report (20%), in class exam (50%), and in class contribution (30%).

SHS100LA (科学社会学・科学技術史 / Sociology/History of science and technology 100)

科学論 A

2017年度以降入学者

木島 泰三

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「閉じた世界から無限宇宙へ」をテーマとし、西洋における科学のはじまりから「17世紀科学革命」の時期までの宇宙論の変遷を追う中で、近代科学および科学的思考について、歴史的、思想的な背景を中心に学んでいくことを目指す（秋学期の同一講師による「科学論 B」の受講は必須ではないが、より深い理解のためには受講するのが望ましい）。

【到達目標】

到達目標は次の2点である：

- (1) 講義で取り上げた科学論、科学史、科学的思考に関する事項について、概略的にはあれ正確な説明ができる程度の知識を習得すること。
- (2) その知識をベースに、これらの事項に関して自分なりの論述を作成できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は毎回資料を配布し、それをベースに講義形式で進めていく。また、毎回の講義の受講確認課題の提出を、受講後学習支援システムを通じて求め、能動的、双方向的な学びの機会を設ける。学期末にはレポート提出を求める。レポートは最終の授業の後、学習支援システムで受け付ける（最終の授業の内容も反映できるよう、締切は少し後に設定する）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	講師の自己紹介、授業の進め方や成績評価の説明、授業の概要、など
第2回	古代ギリシャにおける哲学と科学的思考のはじまり	近代科学の母体となった古代ギリシャの自然哲学の歴史を見ていく
第3回	プラトンの思想／古代の天文学とその発展	古代ギリシャ思想の大きな転換点であったプラトンの思想を見た後、一度歴史をさかのぼり、ピュタゴラス派からプトレマイオスまでの西洋古代の天文学史を学ぶ
第4回	アリストテレスの形而上学と自然学(1)	再びプラトンの直後に戻り、プラトンの弟子であり中世において大きな影響力をもったアリストテレスの自然学を見ていく
第5回	アリストテレスの形而上学と自然学(2)／古代後期の自然哲学	引き続きアリストテレス自然学に付いて学び、その後、近代世界にも大きな影響を与えた古代後期の代表的な学派であるストア派とエピクロス派の自然哲学を学ぶ

第6回	中世イスラム世界におけるプトレマイオス天文学の継承と見直し／ルネサンス期の天文学	中世におけるプトレマイオス天文学の発展と、コペルニクスに先立つルネサンス期ヨーロッパの天文学の動向を学ぶ
第7回	コペルニクス天文学の成立	ルネサンス人コペルニクスの人となり、プラトン、アリストテレス、およびイスラム天文学の影響下でプトレマイオス体系の見直しを試みたコペルニクスが地動説に到達するまでの経過を学ぶ
第8回	コペルニクス天文学の受容とその余波	コペルニクスが提起した体系がどのように受容され、見直されていったかを、ティコ、ガリレオ、ケプラー、ブルーノたちの研究を中心に見ていく
第9回	17世紀科学革命におけるアリストテレス自然学の批判	天文学の革新と呼応して進んだ「17世紀科学革命」と言われる、力学や物質論などの革新を含む大きな知の転換を見ていく
第10回	デカルトによる近代科学の基礎づけ	科学革命によって成立した「機械論的自然観」を哲学的に基礎づけようとしたデカルトの試みを見ていく
第11回	デカルトとヘンリー・モアの論争	ニュートンの空間概念に大きな影響を与えたとされる、ケンブリッジ・プラトン主義の創始者ヘンリー・モアの独特の空間論と、彼のデカルトとの論争を見ていく
第12回	スピノザの「神即自然」	科学革命が明らかにした「無限な宇宙」を「無限な実体としての神」と重ね合わせた異端的思想家であるスピノザの「神即自然」の思想を概観する
第13回	ニュートンとライプニッツの論争(1)	初期近世の科学史／哲学史のビッグネームであるニュートン vs. ライプニッツの論争を宇宙論や物理学の観点から考察するために、まずは両者の立場と論争の主要な争点を見ていく
第14回	ニュートンとライプニッツの論争(2)／ニュートン力学の発展とその後	18世紀を通じてのニュートン力学の完成とその影響力を概観し、さらに、20世紀におけるその見直しをごく簡単に見ておく

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講後学習支援システムの課題提出機能を用いた受講後の受講確認課題（ごく簡単な回答で済むものにする予定）によるポイントの理解の確認が必須の時間外の学習となる。

講義資料や講義内容を見返し、不明瞭な点があれば質問し理解を補うこと（質問等は受講者に告知するメールアドレスから受け付ける。受講確認課題提出と同時に進めてもよい）。

講義資料に付した重要文献の抜粋などは読んでおくこと。また、講義中紹介した文献なども、関心に応じて読むのが望ましい。（質問等は授業後および配付資料に記載するメールアドレスにて常時受け付ける。）

なお、本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特に定めず、適宜資料を配付する。

【参考書】

個々の主題に沿った参考書は授業内で適宜紹介するが、全般的な参考書として、ハーバート・バタウィールド『近代科学の誕生（上・下）』（講談社学術文庫）、ジョン・ヘンリー『一七世紀科学革命』（岩波書店）を挙げておく。今期の講義により密接に関わる文献としては、トマス・クーン『コペルニクス革命』（講談社学術文庫）と、アレクサンドル・コイレ『閉じた世界から無限宇宙へ』（みすず書房）／『コスモスの崩壊』（白水社）があるが、いずれも入門書とは言えず、難易度が高い。

【成績評価の方法と基準】

毎回の受講確認課題に基づく平常点30%、期末レポート70%とする。

【学生の意見等からの気づき】

板書は講義を理解するための補助としてのみ使用しているので、ノート作成においては前後の文脈なしに板書を書き写すのではなく、講義を聴き取って書き取ることが心がけて欲しい。無論こちらも見やすく分かりやすい板書、聴き取りやすい講義を心がける。

【学生が準備すべき機器他】

毎回の受講確認課題とレポートは受講後学習支援システム上で受け付けるので、受講後学習支援システムにアクセスできる環境は必須である。

【Outline (in English)】

Course outline: Our primary objective is to learn about the history of cosmology from ancient to the age of "scientific revolution" in the seventeenth century. In this lecture, you shall learn about modern science and the scientific thinking from the historical viewpoint.

Learning Objectives: The goals of this course are the followings:

- (1) to learn about the topics on science, history of science, and the scientific thinking treated in the class so that you will be able to explain them at least in outline, and,
- (2) to produce your term-end report reflecting your knowledge which you will get in the class.

Learning activities outside of classroom: You will be expected to submit your task issued after each class through internet and to understand the course content if you would feel uncompleted. You are also expected to read relevant literature especially for your term-end report. Your required study time is at least four hours for each class meeting.

Grading Criteria /Policies: Final grade will be calculated based on term-end report (70%) and in-class contribution (including your attitude to after-class tasks)(30%) .

SHS100LA (科学社会学・科学技術史 / Sociology/History of science and technology 100)

科学論 B

2017年度以降入学者

木島 泰三

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

秋学期は「進化論と人間観」と題し、19世紀におけるダーウィン進化論の登場までの科学の歩みとその後の進化論の発展の歴史、そしてその人間観への影響を見ていく中で、科学理論と社会や思想との関わりについて学ぶことを目指す。受講者は、古代ギリシャのアリストテレス自然学において「目的因」の概念の下に統一的に理解された生命現象が、近代の科学革命とともに迷っていた現象に変わり、最終的に「進化」の概念の下に改めて統一的に把握される過程を、時代ごとの研究や理論とともに学んでいくことになる（春学期の同一講師による「科学論A」の受講は必須ではないが、より適切な理解のためには受講しておくのが望ましい）。

【到達目標】

到達目標は次の2点である：

- (1) 講義で取り上げた科学論およびそれに関連する歴史的事項について、概略的にはあれ正確な説明ができる程度の知識を習得すること。
- (2) その知識をベースに、それらの事項に関して、自分なりの論述を作成できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は毎回資料を配布し、それをベースに講義形式で進めていく。また、毎回の講義の受講確認課題の提出を、受講後受講後学習支援システムを通じて求め求め、能動的、双方向的な学びの機会を設ける。学期末にはレポート提出を求める。レポートは最終の授業の後、受講後学習支援システムを通じて受け付ける（最終の授業の内容も反映できるように、締切は少し後に設定する）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	自己紹介、授業の進め方や成績評価の説明、授業の概要、など
第2回	古代哲学における目的論と反目的論(1)	古代ギリシャにおける目的論的自然観と反目的論的自然観の相克を見ていく。まずはデモクリトスの反目的論的自然観とプラトンの目的論的自然観
第3回	古代学における目的論と反目的論(2)	アリストテレスの目的論的自然観、およびストア派とエピクロス派の自然観の衝突
第4回	デカルト・ライプニッツ・ニュートンにおける「いのち」と「こころ」	科学革命の担い手であるデカルト・ライプニッツ・ニュートンにおいてアリストテレス主義の「魂」の概念がどのように変容していったかを学ぶ
第5回	ヒュームの『自然宗教をめぐる対話』におけるダーウィン以前の「デザイン論」をめぐる問題	ヒュームの著書を手がかりに、ダーウィン以前における「知的デザイン」をめぐる思想状況を概観する

第6回	進化論前史(1)	ダーウィンの進化論に先立つ、それを準備した歴史的背景について見ていく
第7回	進化論前史(2)／ダーウィンの自然選択説(1)	前回に引き続き、主にダーウィン以前の進化思想について学び、引き続き、ダーウィンが進化のメカニズムとして提起した自然選択説について学ぶ
第8回	ダーウィンの自然選択説(2)	前回に引き続き、自然選択説の論理やその意義などについて学ぶ
第9回	「ダーウィニズムの失墜」の時代：「偽ダーウィニズム」と「反ダーウィニズム」	19世紀後期から20世紀初頭にかけて興隆した「非ダーウィンの進化論」の内容と、そこに共通する生命や進化についての見方をの特徴を考察する
第10回	「メンデル革命」から集団遺伝学の成立まで	20世紀前半、反ダーウィン主義の急先鋒であったメンデル遺伝学が、やがてダーウィニズムと結びつき、集団遺伝学を生み出すまでを学ぶ。
第11回	進化の総合説の確立とその後の発展	集団遺伝学において復権したダーウィニズムを生物学の基礎的な理論とする「進化の総合説」の確立と、その後の1970年代頃までのダーウィニズムの発展を見ていく。
第12回	進化論の社会的影響	いったん目を19世紀後半に戻し、進化論が社会にどのような影響を与えたかを見ていく。
第13回	社会生物学論争とその後の展開	第二次大戦後の人間研究の状況を概観したあと、1980年代に巻き起こった「社会生物学論争」について学ぶ。
第14回	現代における進化生物学の影響	前回に引き続き社会生物学論争の経過を追った後、生物学の領域を超えた範囲で浸透し影響力を増している進化生物学の現代的影响を見ていく

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講後学習支援システムを用いた受講後の受講確認課題（ごく簡単な回答で済むものにする予定）によるポイントの理解の確認が必須の時間外の学習となる。

講義資料や講義内容を見返し、不明瞭な点があれば質問し理解を補うこと（質問等は受講者に告知するメールアドレスから受け付ける。受講確認課題提出と同時に持ってよい）。

講義資料に付した重要文献の抜粋などは読んでおくこと。また、講義中紹介した文献なども、関心に応じて読むのが望ましい。（質問等は授業後および配付資料に記載するメールアドレスにて常時受け付ける。）

なお、本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特に定めず、適宜資料を配付する。

【参考書】

個々の主題に沿った参考書は授業内で適宜紹介するが、全般的な参考書として、ピーター・J・ボウラー『進化思想の歴史（上・下）』（朝日選書）、ピーター・J・ボウラー『ダーウィン革命の神話』（朝日新聞出版）、木島泰三『自由意志の向こう側』（講談社選書メチエ）など（なお、挙げた本の中には新刊が品切れのものもある）。

【成績評価の方法と基準】

毎回の受講確認課題に基づく平常点30%、期末レポート70%とする。

【学生の意見等からの気づき】

板書は講義を理解するための補助としてのみ使用しているので、ノート作成においては前後の文脈なしに板書を書き写すのではなく、講義を聴き取って書き取ることを心がけて欲しい。無論こちらも見やすく分かりやすい板書、聴き取りやすい講義を心がける。

【学生が準備すべき機器他】

毎回の受講確認課題とレポートは受講後学習支援システム上で受け付けるので、受講後学習支援システムにアクセスできる環境は必須である。

【Outline (in English)】

Course outline: Our primary objective is to learn about the history of evolutionary theory and its social influence. You shall learn the process of the dissolution of Aristotelian integral view of life and its re-synthesis centered in the idea of evolution.

Learning Objectives: The goals of this course are the followings:

(1) to learn about the topics on history of science treated in the class so that you will be able to explain them at least in outline, and,

(2) to produce your term-end report reflecting your knowledge which you will get in the class.

Learning activities outside of classroom: You will be expected to submit your task issued after each class through internet and to understand the course content if you would feel uncompleted. You are also expected to read relevant literature especially for your term-end report. Your required study time is at least four hours for each class meeting.

Grading Criteria /Policies: Final grade will be calculated based on term-end report (70%) and in-class contribution (including your attitude to after-class tasks)(30%) .

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第3週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第4週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。

第5週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。
第6週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第7週	太陽電池の実験 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第8週	光スペクトルの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。
第9週	ナノワールドの観察 (物理学)	光の最先端技術、光を用いたミクロ世界や宇宙の観察・観測の最近の成果、オーロラなど光の現象について学ぶ。
第10週	光の技術 (物理学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第11週	物質と光の相互作用 (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第12週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第13週	色素の抽出と合成 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第14週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA（自然科学全般 / Natural science 100）

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

定員制（48）

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第3週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第4週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。

第5週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第6週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第7週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気をういて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第8週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第9週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第10週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第11週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第12週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第13週	酸化還元反応と電池の仕組み（化学）	電気の歴史を振り返りながら、化学電池の仕組みを学ぶ。
第14週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第3週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第4週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。

第5週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。
第6週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第7週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第8週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第9週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。
第10週	光の技術 (物理学)	光の最先端技術、光を用いたミクロ世界や宇宙の観察・観測の最近の成果、オーロラなど光の現象について学ぶ。
第11週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第12週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第13週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第14週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA（自然科学全般 / Natural science 100）

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

定員制（48）

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第3週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第4週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。

第5週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第6週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第7週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気をういて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第8週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第9週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第10週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第11週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第12週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第13週	酸化還元反応と電池の仕組み（化学）	電気の歴史を振り返りながら、化学電池の仕組みを学ぶ。
第14週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

石塚 芽具美、田中 浩輔、吉田 智

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第3週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第4週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。

第5週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。
第6週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第7週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第8週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第9週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。
第10週	光の技術 (物理学)	光の最先端技術、光を用いたミクロ世界や宇宙の観察・観測の最近の成果、オーロラなど光の現象について学ぶ。
第11週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第12週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第13週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第14週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA（自然科学全般 / Natural science 100）

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

石塚 芽具美、田中 浩輔、鈴木 裕武

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

定員制（48）

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第3週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第4週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。

第5週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第6週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第7週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気をういて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第8週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第9週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第10週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第11週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第12週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第13週	酸化還元反応と電池の仕組み（化学）	電気の歴史を振り返りながら、化学電池の仕組みを学ぶ。
第14週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

石塚 芽具美、田中 浩輔、石川 壮一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第3週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第4週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。

第5週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。
第6週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第7週	太陽電池の実験 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第8週	光スペクトルの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。
第9週	ナノワールドの観察 (物理学)	光の最先端技術、光を用いたミクロ世界や宇宙の観察・観測の最近の成果、オーロラなど光の現象について学ぶ。
第10週	光の技術 (物理学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第11週	物質と光の相互作用 (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第12週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第13週	色素の抽出と合成 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第14週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA（自然科学全般 / Natural science 100）

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

石塚 芽具美、田中 浩輔、鈴木 裕武

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

定員制（48）

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第3週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第4週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。

第5週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第6週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第7週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気をういて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第8週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第9週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第10週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第11週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第12週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第13週	酸化還元反応と電池の仕組み（化学）	電気の歴史を振り返りながら、化学電池の仕組みを学ぶ。
第14週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

工藤 聡、川上 裕司、鈴木 裕武

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第3週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第4週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。

第5週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。
第6週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第7週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第8週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第9週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。
第10週	光の技術 (物理学)	光の最先端技術、光を用いたミクロ世界や宇宙の観察・観測の最近の成果、オーロラなど光の現象について学ぶ。
第11週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第12週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第13週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第14週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

向井 知大、川上 裕司、鈴木 裕武

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	細胞と染色体 (生物学)	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第3週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ (生物学)	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第4週	DNAの抽出 (生物学)	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。

第5週	現代のDNA学 (生物学)	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第6週	エネルギーとは (物理学)	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第7週	電気エネルギーと熱エネルギー (物理学)	電気をういて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第8週	落体実験 (物理学)	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第9週	LEDの実験 (物理学)	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第10週	燃焼から見る反応理解の変遷 (化学)	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第11週	銅の反応実験 (化学)	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第12週	マグネシウム金属の燃焼実験 (化学)	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第13週	酸化還元反応と電池の仕組み (化学)	電気の歴史を振り返りながら、化学電池の仕組みを学ぶ。
第14週	燃料電池の発電効率の測定 (化学)	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA（自然科学全般 / Natural science 100）

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

工藤 聡、川上 裕司、鈴木 裕武

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

定員制（48）

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

＜生物学＞前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係（光走性、概日リズムなど）を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

＜物理学＞太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

＜化学＞光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験（色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など）によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光合成のしくみ（生物学）	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第3週	植物と光（生物学）	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第4週	視覚のしくみ -1-（生物学）	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。

第5週	視覚のしくみ -2-（生物学）	盲斑の位置と形を測定し（続き）、その結果をレポートにまとめる。
第6週	光の性質（物理学）	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第7週	太陽電池の実験（物理学）	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第8週	光スペクトルの観察（物理学）	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。
第9週	ナノワールドの観察（物理学）	光の最先端技術、光を用いたミクロ世界や宇宙の観察・観測の最近の成果、オーロラなど光の現象について学ぶ。
第10週	光の技術（物理学）	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第11週	物質と光の相互作用（化学）	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第12週	分子模型を使った分子組み立て（化学）	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第13週	色素の抽出と合成（化学）	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第14週	色素増感太陽電池の評価（化学）	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA（自然科学全般 / Natural science 100）

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

向井 知大、川上 裕司、鈴木 裕武

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

定員制（48）

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第3週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第4週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。

第5週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第6週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第7週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気をういて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第8週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第9週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第10週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第11週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第12週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第13週	酸化還元反応と電池の仕組み（化学）	電気の歴史を振り返りながら、化学電池の仕組みを学ぶ。
第14週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

向井 知大、島野 智之、石川 壮一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第3週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第4週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。

第5週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。
第6週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第7週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第8週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第9週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。
第10週	光の技術 (物理学)	光の最先端技術、光を用いたミクロ世界や宇宙の観察・観測の最近の成果、オーロラなど光の現象について学ぶ。
第11週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第12週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第13週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第14週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

例えば、物理を苦手と思っている人でも物理のレポート作成は難しくありません。物理の授業で使うワークシートがそのままレポートになります。授業に参加すれば誰でも容易にレポートを完成させることができます。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ B

2017年度以降入学者

土居 英男、島野 智之、石川 壮一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室(サイエンスルーム)を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	細胞と染色体(生物学)	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第3週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ(生物学)	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第4週	DNAの抽出(生物学)	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。

第5週	現代のDNA学(生物学)	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第6週	エネルギーとは(物理学)	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第7週	電気エネルギーと熱エネルギー(物理学)	電気をういて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第8週	落体実験(物理学)	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第9週	LEDの実験(物理学)	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第10週	燃焼から見る反応理解の変遷(化学)	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第11週	銅の反応実験(化学)	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第12週	マグネシウム金属の燃焼実験(化学)	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第13週	酸化還元反応と電池の仕組み(化学)	電気の歴史を振り返りながら、化学電池の仕組みを学ぶ。
第14週	燃料電池の発電効率の測定(化学)	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント(大学院生)のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

例えば、物理を苦手と思っている人でも物理のレポート作成は難しくありません。物理の授業で使うワークシートがそのままレポートになります。授業に参加すれば誰でも容易にレポートを完成させることができます。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

向井 知大、島野 智之、石川 壮一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第3週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第4週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。

第5週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。
第6週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第7週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第8週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第9週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。
第10週	光の技術 (物理学)	光の最先端技術、光を用いたミクロ世界や宇宙の観察・観測の最近の成果、オーロラなど光の現象について学ぶ。
第11週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第12週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第13週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第14週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

例えば、物理を苦手と思っている人でも物理のレポート作成は難しくありません。物理の授業で使うワークシートがそのままレポートになります。授業に参加すれば誰でも容易にレポートを完成させることができます。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ B

2017年度以降入学者

土居 英男、島野 智之、石川 壮一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室(サイエンスルーム)を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	細胞と染色体(生物学)	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第3週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ(生物学)	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第4週	DNAの抽出(生物学)	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。

第5週	現代のDNA学(生物学)	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第6週	エネルギーとは(物理学)	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第7週	電気エネルギーと熱エネルギー(物理学)	電気をういて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第8週	落体実験(物理学)	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第9週	LEDの実験(物理学)	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第10週	燃焼から見る反応理解の変遷(化学)	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第11週	銅の反応実験(化学)	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第12週	マグネシウム金属の燃焼実験(化学)	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第13週	酸化還元反応と電池の仕組み(化学)	電気の歴史を振り返りながら、化学電池の仕組みを学ぶ。
第14週	燃料電池の発電効率の測定(化学)	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント(大学院生)のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

例えば、物理を苦手と思っている人でも物理のレポート作成は難しくありません。物理の授業で使うワークシートがそのままレポートになります。授業に参加すれば誰でも容易にレポートを完成させることができます。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第3週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第4週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。

第5週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。
第6週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第7週	太陽電池の実験 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第8週	光スペクトルの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。
第9週	ナノワールドの観察 (物理学)	光の最先端技術、光を用いたミクロ世界や宇宙の観察・観測の最近の成果、オーロラなど光の現象について学ぶ。
第10週	光の技術 (物理学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第11週	物質と光の相互作用 (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第12週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第13週	色素の抽出と合成 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第14週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特にありません。必要があればこちらから指示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	細胞と染色体 (生物学)	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第3週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ (生物学)	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第4週	DNAの抽出 (生物学)	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。

第5週	現代のDNA学 (生物学)	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第6週	エネルギーとは (物理学)	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第7週	電気エネルギーと熱エネルギー (物理学)	電気をういて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第8週	落体実験 (物理学)	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第9週	LEDの実験 (物理学)	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第10週	燃焼から見る反応理解の変遷 (化学)	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第11週	銅の反応実験 (化学)	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第12週	マグネシウム金属の燃焼実験 (化学)	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第13週	酸化還元反応と電池の仕組み (化学)	電気の歴史を振り返りながら、化学電池の仕組みを学ぶ。
第14週	燃料電池の発電効率の測定 (化学)	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特にありません。必要があればこちらから指示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第3週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第4週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。

第5週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。
第6週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第7週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第8週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第9週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。
第10週	光の技術 (物理学)	光の最先端技術、光を用いたミクロ世界や宇宙の観察・観測の最近の成果、オーロラなど光の現象について学ぶ。
第11週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第12週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第13週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第14週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特にありません。必要があればこちらから指示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室(サイエンスルーム)を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「生物学」から学習します。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	細胞と染色体(生物学)	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第3週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ(生物学)	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第4週	DNAの抽出(生物学)	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。

第5週	現代のDNA学(生物学)	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第6週	エネルギーとは(物理学)	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第7週	電気エネルギーと熱エネルギー(物理学)	電気をういて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第8週	落体実験(物理学)	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第9週	LEDの実験(物理学)	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第10週	燃焼から見る反応理解の変遷(化学)	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第11週	銅の反応実験(化学)	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第12週	マグネシウム金属の燃焼実験(化学)	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第13週	酸化還元反応と電池の仕組み(化学)	電気の歴史を振り返りながら、化学電池の仕組みを学ぶ。
第14週	燃料電池の発電効率の測定(化学)	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特にありません。必要があればこちらから指示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント(大学院生)のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

<生物学>前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

<物理学>太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

<化学>光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第3週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。

第4週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第5週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みや、光の最先端技術について学ぶ。
第6週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第7週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第8週	色素増感太陽電池の構造と仕組み (化学)	色素を使った太陽電池の仕組みを理解し、通常の太陽電池 (シリコン型) との違いを学ぶ。
第9週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第10週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第11週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第12週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第13週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼で目に見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第14週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第3週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気を用いて熱エネルギーを生じさせ、その変換と保存を調べる。

第4週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第5週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第6週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第7週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第8週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第9週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第10週	遺伝子とは何か？（生物学）	メンデルはどうやって遺伝子を発見したかについて学ぶ。
第11週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第12週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第13週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第14週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第3週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。

第4週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第5週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みや、光の最先端技術について学ぶ。
第6週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第7週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第8週	色素増感太陽電池の構造と仕組み (化学)	色素を使った太陽電池の仕組みを理解し、通常の太陽電池 (シリコン型) との違いを学ぶ。
第9週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第10週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第11週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第12週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第13週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第14週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA（自然科学全般 / Natural science 100）

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

定員制（48）

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

＜生物学＞メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

＜物理学＞電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

＜化学＞古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第3週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気を用いて熱エネルギーを生じさせ、その変換と保存を調べる。

第4週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第5週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第6週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第7週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第8週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第9週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第10週	遺伝子とは何か？（生物学）	メンデルはどうやって遺伝子を発見したかについて学ぶ。
第11週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第12週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第13週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第14週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

石塚 芽具美、田中 浩輔、吉田 智

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

<生物学>前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

<物理学>太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

<化学>光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第3週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。

第4週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第5週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みや、光の最先端技術について学ぶ。
第6週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第7週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第8週	色素増感太陽電池の構造と仕組み (化学)	色素を使った太陽電池の仕組みを理解し、通常の太陽電池 (シリコン型) との違いを学ぶ。
第9週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第10週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第11週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第12週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第13週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第14週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

石塚 芽具美、田中 浩輔、鈴木 裕武

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これら理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第3週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気を用いて熱エネルギーを生じさせ、その変換と保存を調べる。

第4週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第5週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第6週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第7週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第8週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第9週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第10週	遺伝子とは何か？（生物学）	メンデルはどうやって遺伝子を発見したかについて学ぶ。
第11週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第12週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第13週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第14週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

石塚 芽具美、田中 浩輔、石川 壮一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第3週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。

第4週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第5週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みや、光の最先端技術について学ぶ。
第6週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第7週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第8週	色素増感太陽電池の構造と仕組み (化学)	色素を使った太陽電池の仕組みを理解し、通常の太陽電池 (シリコン型) との違いを学ぶ。
第9週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第10週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第11週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第12週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第13週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第14週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

石塚 芽具美、田中 浩輔、鈴木 裕武

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これら理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第3週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気を用いて熱エネルギーを生み出し、その変換と保存を調べる。

第4週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第5週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第6週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第7週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第8週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第9週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第10週	遺伝子とは何か？（生物学）	メンデルはどうやって遺伝子を発見したかについて学ぶ。
第11週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第12週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第13週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第14週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

工藤 聡、川上 裕司、鈴木 裕武

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第3週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。

第4週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第5週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みや、光の最先端技術について学ぶ。
第6週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第7週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第8週	色素増感太陽電池の構造と仕組み (化学)	色素を使った太陽電池の仕組みを理解し、通常の太陽電池 (シリコン型) との違いを学ぶ。
第9週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第10週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第11週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第12週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第13週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第14週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

向井 知大、川上 裕司、鈴木 裕武

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第3週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気を用いて熱エネルギーを生じさせ、その変換と保存を調べる。

第4週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第5週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第6週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第7週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第8週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第9週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第10週	遺伝子とは何か？（生物学）	メンデルはどうやって遺伝子を発見したかについて学ぶ。
第11週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第12週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第13週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第14週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

工藤 聡、川上 裕司、鈴木 裕武

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第3週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。

第4週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第5週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みや、光の最先端技術について学ぶ。
第6週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第7週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第8週	色素増感太陽電池の構造と仕組み (化学)	色素を使った太陽電池の仕組みを理解し、通常の太陽電池 (シリコン型) との違いを学ぶ。
第9週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第10週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第11週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第12週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第13週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第14週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

向井 知大、川上 裕司、鈴木 裕武

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これら理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第3週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気を用いて熱エネルギーを生じさせ、その変換と保存を調べる。

第4週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第5週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第6週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第7週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第8週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第9週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第10週	遺伝子とは何か？（生物学）	メンデルはどうやって遺伝子を発見したかについて学ぶ。
第11週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第12週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第13週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第14週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

向井 知大、島野 智之、石川 壮一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第3週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。

第4週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第5週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みや、光の最先端技術について学ぶ。
第6週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第7週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第8週	色素増感太陽電池の構造と仕組み (化学)	色素を使った太陽電池の仕組みを理解し、通常の太陽電池 (シリコン型) との違いを学ぶ。
第9週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第10週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第11週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第12週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第13週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第14週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

例えば、物理を苦手と思っている人でも物理のレポート作成は難しくありません。物理の授業で使うワークシートがそのままレポートになります。授業に参加すれば誰でも容易にレポートを完成させることができます。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

土居 英男、島野 智之、石川 壮一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これら理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第3週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気を用いて熱エネルギーを生じさせ、その変換と保存を調べる。

第4週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第5週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第6週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第7週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第8週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第9週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第10週	遺伝子とは何か？（生物学）	メンデルはどうやって遺伝子を発見したかについて学ぶ。
第11週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第12週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第13週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第14週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

例えば、物理を苦手と思っている人でも物理のレポート作成は難しくありません。物理の授業で使うワークシートがそのままレポートになります。授業に参加すれば誰でも容易にレポートを完成させることができます。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

向井 知大、島野 智之、石川 壮一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第3週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。

第4週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第5週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みや、光の最先端技術について学ぶ。
第6週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第7週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第8週	色素増感太陽電池の構造と仕組み (化学)	色素を使った太陽電池の仕組みを理解し、通常の太陽電池 (シリコン型) との違いを学ぶ。
第9週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第10週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第11週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第12週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第13週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第14週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。例えば、物理を苦手と思っている人でも物理のレポート作成は難しくありません。物理の授業で使うワークシートがそのままレポートになります。授業に参加すれば誰でも容易にレポートを完成させることができます。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

土居 英男、島野 智之、石川 壮一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これら理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室(サイエンスルーム)を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	エネルギーとは(生物学)	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第3週	電気エネルギーと熱エネルギー(物理学)	電気を用いて熱エネルギーを生み出し、その変換と保存を調べる。

第4週	落体実験(物理学)	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第5週	LEDの実験(物理学)	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第6週	燃焼から見る反応理解の変遷(化学)	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第7週	銅の反応実験(化学)	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第8週	マグネシウム金属の燃焼実験(化学)	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第9週	燃料電池の発電効率の測定(化学)	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第10週	遺伝子とは何か?(生物学)	メンデルはどうやって遺伝子を発見したかについて学ぶ。
第11週	細胞と染色体(生物学)	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第12週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ(生物学)	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第13週	DNAの抽出(生物学)	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第14週	現代のDNA学(生物学)	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント(大学院生)のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

例えば、物理を苦手と思っている人でも物理のレポート作成は難しくありません。物理の授業で使うワークシートがそのままレポートになります。授業に参加すれば誰でも容易にレポートを完成させることができます。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

<生物学>前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

<物理学>太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

<化学>光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第3週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。

第4週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第5週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みや、光の最先端技術について学ぶ。
第6週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第7週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第8週	色素増感太陽電池の構造と仕組み (化学)	色素を使った太陽電池の仕組みを理解し、通常の太陽電池 (シリコン型) との違いを学ぶ。
第9週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第10週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第11週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第12週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第13週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第14週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特にありません。必要があればこちらから指示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これら理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第3週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気を用いて熱エネルギーを生じさせ、その変換と保存を調べる。

第4週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第5週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第6週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第7週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第8週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第9週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第10週	遺伝子とは何か？（生物学）	メンデルはどうやって遺伝子を発見したかについて学ぶ。
第11週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第12週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第13週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第14週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特にありません。必要があればこちらから指示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第3週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。

第4週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第5週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みや、光の最先端技術について学ぶ。
第6週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第7週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第8週	色素増感太陽電池の構造と仕組み (化学)	色素を使った太陽電池の仕組みを理解し、通常の太陽電池 (シリコン型) との違いを学ぶ。
第9週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。
第10週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第11週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第12週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第13週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第14週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特にありません。必要があればこちらから指示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「物理学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第3週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気を用いて熱エネルギーを生じさせ、その変換と保存を調べる。

第4週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第5週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第6週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第7週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。
第8週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第9週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第10週	遺伝子とは何か？（生物学）	メンデルはどうやって遺伝子を発見したかについて学ぶ。
第11週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第12週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第13週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第14週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特にありません。必要があればこちらから指示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

<生物学>前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係(光走性、概日リズムなど)を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

<物理学>太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

<化学>光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験(色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など)によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室(サイエンスルーム)を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし /No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	物質と光の相互作用(化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第3週	分子模型を使った分子組み立て(化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第4週	色素の抽出と合成(化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。

第5週	色素増感太陽電池の評価(化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第6週	光合成のしくみ(生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第7週	植物と光(生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第8週	動物と光(生物学)	光走性、概日リズムなど動物と光の関係を学ぶ。
第9週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第10週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し(続き)、その結果をレポートにまとめる。
第11週	光の性質(物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第12週	太陽電池の実験(物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第13週	光スペクトルの観察(物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第14週	ナノワールドの観察(物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント(大学院生)のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA（自然科学全般 / Natural science 100）

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

定員制（48）

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第3週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。

第4週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第5週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第6週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第7週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第8週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第9週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第10週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第11週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気を用いて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第12週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第13週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第14週	エネルギーに関する技術（物理学）	熱電発電、超伝導技術、放射線測定、など、エネルギーに関する技術について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第3週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第4週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。

第5週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第6週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第7週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第8週	動物と光 (生物学)	光走性、概日リズムなど動物と光の関係を学ぶ。
第9週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第10週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。
第11週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第12週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第13週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第14週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ B

2017年度以降入学者

西村 直美、長谷川 真紀子、井坂 政裕

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の実史と関係性を学ぶ。
第3週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。

第4週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第5週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第6週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第7週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第8週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第9週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第10週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第11週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気を用いて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第12週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第13週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第14週	エネルギーに関する技術（物理学）	熱電発電、超伝導技術、放射線測定、など、エネルギーに関する技術について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

石塚 芽具美、田中 浩輔、吉田 智

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第3週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第4週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。

第5週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第6週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第7週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第8週	動物と光 (生物学)	光走性、概日リズムなど動物と光の関係を学ぶ。
第9週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第10週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。
第11週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第12週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第13週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第14週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に慣れない学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ B

2017年度以降入学者

石塚 芽具美、田中 浩輔、鈴木 裕武

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第3週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。

第4週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第5週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第6週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第7週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第8週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第9週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第10週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第11週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気を用いて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第12週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第13週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第14週	エネルギーに関する技術（物理学）	熱電発電、超伝導技術、放射線測定、など、エネルギーに関する技術について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

石塚 芽具美、田中 浩輔、石川 壮一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第3週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第4週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。

第5週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第6週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第7週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第8週	動物と光 (生物学)	光走性、概日リズムなど動物と光の関係を学ぶ。
第9週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第10週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。
第11週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第12週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第13週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第14週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

石塚 芽具美、田中 浩輔、鈴木 裕武

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第3週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。

第4週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第5週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第6週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第7週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第8週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第9週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第10週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第11週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気を用いて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第12週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第13週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第14週	エネルギーに関する技術（物理学）	熱電発電、超伝導技術、放射線測定、など、エネルギーに関する技術について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

工藤 聡、川上 裕司、鈴木 裕武

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第3週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第4週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。

第5週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第6週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第7週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の関係を実験やビデオを介して理解する。
第8週	動物と光 (生物学)	光走性、概日リズムなど動物と光の関係を学ぶ。
第9週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第10週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。
第11週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第12週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第13週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第14週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

向井 知大、川上 裕司、鈴木 裕武

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第3週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。

第4週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第5週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第6週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第7週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第8週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第9週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第10週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第11週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気を用いて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第12週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第13週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第14週	エネルギーに関する技術（物理学）	熱電発電、超伝導技術、放射線測定、など、エネルギーに関する技術について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

工藤 聡、川上 裕司、鈴木 裕武

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第3週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第4週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。

第5週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第6週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第7週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第8週	動物と光 (生物学)	光走性、概日リズムなど動物と光の関係を学ぶ。
第9週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第10週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。
第11週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第12週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第13週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第14週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ B

2017年度以降入学者

向井 知大、川上 裕司、鈴木 裕武

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第3週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。

第4週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第5週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第6週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第7週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第8週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第9週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第10週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第11週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気を用いて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第12週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第13週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第14週	エネルギーに関する技術（物理学）	熱電発電、超伝導技術、放射線測定、など、エネルギーに関する技術について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特に定めません。配布資料以外に必要であれば授業内に適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA（自然科学全般 / Natural science 100）

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

向井 知大、島野 智之、石川 壮一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

定員制（48）

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

＜生物学＞前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係（光走性、概日リズムなど）を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

＜物理学＞太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

＜化学＞光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験（色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など）によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	物質と光の相互作用（化学）	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第3週	分子模型を使った分子組み立て（化学）	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第4週	色素の抽出と合成（化学）	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。

第5週	色素増感太陽電池の評価（化学）	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第6週	光合成のしくみ（生物学）	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第7週	植物と光（生物学）	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第8週	動物と光（生物学）	光走性、概日リズムなど動物と光の関係を学ぶ。
第9週	視覚のしくみ -1-（生物学）	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第10週	視覚のしくみ -2-（生物学）	盲斑の位置と形を測定し（続き）、その結果をレポートにまとめる。
第11週	光の性質（物理学）	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第12週	太陽電池の実験（物理学）	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第13週	光スペクトルの観察（物理学）	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第14週	ナノワールドの観察（物理学）	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

土居 英男、島野 智之、石川 壮一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第3週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。

第4週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第5週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第6週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第7週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第8週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第9週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第10週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第11週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気を用いて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第12週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第13週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第14週	エネルギーに関する技術（物理学）	熱電発電、超伝導技術、放射線測定、など、エネルギーに関する技術について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

例えば、物理を苦手と思っている人でも物理のレポート作成は難しくありません。物理の授業で使うワークシートがそのままレポートになります。授業に参加すれば誰でも容易にレポートを完成させることができます。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA（自然科学全般 / Natural science 100）

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

向井 知大、島野 智之、石川 壮一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

定員制（48）

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

＜生物学＞前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係（光走性、概日リズムなど）を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

＜物理学＞太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

＜化学＞光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験（色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など）によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	物質と光の相互作用（化学）	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第3週	分子模型を使った分子組み立て（化学）	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第4週	色素の抽出と合成（化学）	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。

第5週	色素増感太陽電池の評価（化学）	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第6週	光合成のしくみ（生物学）	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第7週	植物と光（生物学）	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第8週	動物と光（生物学）	光走性、概日リズムなど動物と光の関係を学ぶ。
第9週	視覚のしくみ -1-（生物学）	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第10週	視覚のしくみ -2-（生物学）	盲斑の位置と形を測定し（続き）、その結果をレポートにまとめる。
第11週	光の性質（物理学）	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第12週	太陽電池の実験（物理学）	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第13週	光スペクトルの観察（物理学）	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第14週	ナノワールドの観察（物理学）	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

土居 英男、島野 智之、石川 壮一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第3週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。

第4週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第5週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第6週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第7週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第8週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第9週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第10週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第11週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気を用いて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第12週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第13週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第14週	エネルギーに関する技術（物理学）	熱電発電、超伝導技術、放射線測定、など、エネルギーに関する技術について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

必要に応じて授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。例えば、物理を苦手と思っている人でも物理のレポート作成は難しくありません。物理の授業で使うワークシートがそのままレポートになります。授業に参加すれば誰でも容易にレポートを完成させることができます。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

<生物学>前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

<物理学>太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

<化学>光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第3週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第4週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。

第5週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第6週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第7週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第8週	動物と光 (生物学)	光走性、概日リズムなど動物と光の関係を学ぶ。
第9週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第10週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。
第11週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第12週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第13週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第14週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特にありません。必要があればこちらから指示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ B

2017年度以降入学者

田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の歴史と関係性を学ぶ。
第3週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。

第4週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第5週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第6週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第7週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第8週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第9週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第10週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第11週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気を用いて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第12週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第13週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第14週	エネルギーに関する技術（物理学）	熱電発電、超伝導技術、放射線測定、など、エネルギーに関する技術について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特にありません。必要があればこちらから指示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA (自然科学全般 / Natural science 100)

サイエンス・ラボ A

2017年度以降入学者

田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2単位

定員制 (48)

2015年度までに「自然総合講座A」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、生物学、物理学、化学それぞれの分野で下記の内容の講義と実験から構成されています。3つの分野を同時に学ぶことで、それぞれの分野の違いにも触れ、科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉前半は、植物が行う光合成のしくみや、光によって制御される発芽のしくみなどを実験やビデオを通じて学びます。後半は、動物と光の様々な関係 (光走性、概日リズムなど) を学んだ上で、人間の視覚のしくみを実験を通じて理解します。

〈物理学〉太陽電池を用いた実験、光の波長を測定する仕組みの学習、原子の発する光の波長の測定、光を用いたナノワールドの観察などによって、光の性質や光を用いた技術について学びます。

〈化学〉光を吸収することで色を作り出す色素に関連した講義と実験 (色素の構造的特徴、色素の合成やそれを使った太陽電池の作成など) によって、光と色の関係、光と物質の関係を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボAでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室 (サイエンスルーム) を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	物質と光の相互作用 (化学)	色素がなぜ色を持つのか、光と物質の関係について学ぶ。
第3週	分子模型を使った分子組み立て (化学)	色のある分子と色のない分子を模型を使って組み立てることで構造上の違いを理解する。
第4週	色素の抽出と合成 (化学)	天然色素からの色素の抽出と色素の合成を実験で行う。

第5週	色素増感太陽電池の評価 (化学)	実際に数種の色素を使って太陽電池を作成し、色素の違いによる効率の評価を実験で確かめる。
第6週	光合成のしくみ (生物学)	光合成のしくみを学び、葉の微細構造を観察する。
第7週	植物と光 (生物学)	発芽、光周性、光屈性など、光合成以外の植物と光の実験やビデオを介して理解する。
第8週	動物と光 (生物学)	光走性、概日リズムなど動物と光の関係を学ぶ。
第9週	視覚のしくみ -1- (生物学)	眼でものが見えるしくみを学び、盲斑の位置と形を測定する。
第10週	視覚のしくみ -2- (生物学)	盲斑の位置と形を測定し (続き)、その結果をレポートにまとめる。
第11週	光の性質 (物理学)	光の性質や、それらを調べる方法、色との関係について学ぶ。
第12週	太陽電池の実験 (物理学)	太陽電池の発電能力について調べ、光のエネルギーが電気エネルギーに変換する仕組みを学ぶ。
第13週	光スペクトルの観察 (物理学)	簡易分光器を用いて白熱灯、LED、蛍光灯、水素ランプなどが放つ光の波長を測定し、発光のメカニズムについて学ぶ。
第14週	ナノワールドの観察 (物理学)	CDやDVD表面の構造をレーザー光を用いて調べ、目に見えない微細な構造を知る仕組みについて学ぶ。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特にありません。必要があればこちらから指示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント (大学院生) のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces familiar natural phenomena especially light as a common theme in each field. By learning the three fields in one semester, the students will understand the differences between each field and will learn the scientific viewpoint. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

NAS100LA（自然科学全般 / Natural science 100）

サイエンス・ラボB

2017年度以降入学者

田中 雅人、鈴木 忠、土手 昭伸

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

定員制（48）

2015年度までに「自然総合講座B」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サイエンス・ラボは生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、生物学、物理学、化学それぞれの分野で転機となったテーマに関連した内容で講義と実験が構成されています。高校までに習った定説がどのようにして成立してきたのか、歴史的な背景とともに学ぶことで、3つの分野それぞれの科学的なものの見方を学びます。

〈生物学〉メンデルによる遺伝子の発見、遺伝子の本体がDNAであることの証明、それ以後のDNA学発展の歴史を学びます。これらを理解する上で必須となる染色体の観察やDNAの抽出実験を行います。

〈物理学〉電気、熱、光などいろいろな形態で存在し、現代社会の重要な課題の一つであるエネルギーについて、科学史上の重要な実験を通じて体験的に学びます。

〈化学〉古代からの物質観の変遷を振り返りながら、燃焼反応の正しい理解がどのようになされたのか、その後の酸化還元反応の理解と電池との関連を学びます。

【到達目標】

自然科学への苦手意識が払拭される。3つの分野の視点の違いを理解する。科学的なものの見方を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

サイエンス・ラボBでは、半期で生物学、物理学、化学の実験を行います。初回はガイダンスを行い、2回目以降は3つのグループに分かれて、ボアソナードタワーにある3つの実験室（サイエンスルーム）を4週あるいは5週単位で順次移動し、受講します。各分野の終了後に課題に対して講評します。

このクラスは初めに「化学」から学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	講義概要	講義の各コマの内容とその要点を逐一説明し、次週からの事前学習の進め方についての説明と指導を行う。
第2週	燃焼から見る反応理解の変遷（化学）	物質観、燃焼理論、電気の実史と関係性を学ぶ。
第3週	銅の反応実験（化学）	銅の各種反応を観察し、化学反応で元素変換ができないことを理解する。

第4週	マグネシウム金属の燃焼実験（化学）	燃焼によって消費された酸素量と金属灰の重量増の定量的な関係を学ぶ。
第5週	燃料電池の発電効率の測定（化学）	燃料電池を使って酸化に伴う電子の移動を実験で学ぶ。
第6週	細胞と染色体（生物学）	細胞の構造と機能を学び、遺伝の基礎となる染色体を観察する。
第7週	メンデル遺伝学から分子遺伝学へ（生物学）	遺伝子の本体がDNAであると証明されるまでの歴史を学ぶ。
第8週	DNAの抽出（生物学）	DNAの構造と機能を学んだ上で、DNAの抽出実験を行う。
第9週	現代のDNA学（生物学）	親子鑑定、犯罪捜査、遺伝子診断など応用も含めたDNA研究の現状を知る。
第10週	エネルギーとは（物理学）	エネルギーとは何か、エネルギーの変換と保存に関する基礎事項を学ぶ。
第11週	電気エネルギーと熱エネルギー（物理学）	電気を用いて熱エネルギーを発生させ、その変換と保存を調べる。
第12週	落体実験（物理学）	物体が重力により落下するときの様子を調べ、そこで起こっているエネルギーの変換と保存について調べる。
第13週	LEDの実験（物理学）	LEDを用いて、LEDを発光させるための電気エネルギーとその色との関係について調べる。光の粒子性という、現代物理学の一端に触れる。
第14週	エネルギーに関する技術（物理学）	熱電発電、超伝導技術、放射線測定、など、エネルギーに関する技術について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、授業内で出される課題の対応や実験の後のレポートの作成など、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特にありません。プリントを配布して授業を進めます。

【参考書】

特にありません。必要があればこちらから指示します。

【成績評価の方法と基準】

試験は行いません。授業への参加度とレポートによる素点をそれぞれの分野で1/3とし、合算して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

実験を自ら行うことに不安を感じる人もいますが、心配は必要ありません。ティーチングアシスタント（大学院生）のサポートもあり、実験手順の通りに進めれば、実験に不慣れな学生でも容易にできる実験内容になっています。

【Outline (in English)】

This course incorporates lecture and experiments in three basic areas of natural science such as biology, physics and chemistry. The aim of the course is to provide students with scientific interest and pleasure of science. This course introduces history of science containing turning point for each field. By learning established theory and historical background, the students will learn the scientific viewpoint of the three fields. The submission of a report is required after each experiment, and a grade point is evaluated from scores of those reports. Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

古橋 侑季

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスで説明する。

授業内で行った課題・レポートは、適時授業内で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス（講義）	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する。
第2回	体力測定（講義及び実習）	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する。
第3回	フットサルを学ぶ（講義及び実習）	フットサルのルールや技術を学び、実践する。
第4回	フットサルを学ぶ（講義及び実習）	フットサルのルールや技術を応用して、実践する。
第5回	バスケットボールを学ぶ（講義及び実習）	バスケットボールのルールや技術を学び、実践する。
第6回	バスケットボールを学ぶ（講義及び実習）	バスケットボールのルールや技術を応用して、実践する。
第7回	スポーツ科学を学ぶ①（講義及び実習）	スポーツ科学の基礎知識（目標設定）を学び、意見交換を行う。
第8回	スポーツ科学を学ぶ②（講義及び実習）	スポーツ科学の基礎知識（キャリア構築）を学び、意見交換を行う。
第9回	卓球を学ぶ（講義及び実習）	卓球のルールや技術を学び、実践する。
	フットサルを学ぶ（講義及び実習）	フットサルのルールや技術を学び、実践する。

第10回	卓球を学ぶ（講義及び実習）	卓球のルールや技術を応用して、実践する。
	フットサルを学ぶ（講義及び実習）	フットサルのルールや技術を応用して、実践する。
第11回	ボッチャを学ぶ（講義及び実習）	ボッチャのルールや技術を学び、実践する。
第12回	バレーボールを学ぶ（講義及び実習）	バレーボールのルールや技術を学び、実践する。
第13回	スポーツ科学を学ぶ③（講義及び実習）	スポーツ科学の基礎知識（日常生活に関連する内容）を学び、意見交換を行う。
第14回	バドミントンを学ぶ（講義及び実習）	バドミントンのルールや技術を学び、実践する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックする内容はあります。

【その他の重要事項】

諸事情によりシラバスの内容から授業内容が変更になる可能性があります。その場合には授業支援システム（Hoppii）および市ヶ谷体育館1階の掲示にてお知らせします。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

古橋 侑季

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。
この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。
スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスで説明する。
授業内で行った課題・レポートは、適時授業内で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス（講義）	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する。
第2回	体力測定（講義及び実習）	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する。
第3回	卓球を学ぶ（講義及び実習）	卓球のルールや技術を学び、実践する。
第4回	卓球を学ぶ（講義及び実習）	卓球のルールや技術を応用して、実践する。
第5回	スポーツ科学を学ぶ①（講義及び実習）	スポーツ科学の基礎知識（目標設定）を学び、意見交換を行う。
第6回	スポーツ科学を学ぶ②（講義及び実習）	スポーツ科学の基礎知識（キャリア構築）を学び、意見交換を行う。
第7回	バスケットボールを学ぶ（講義及び実習）	バスケットボールのルールや技術を学び、実践する。
第8回	バスケットボールを学ぶ（講義及び実習）	バスケットボールのルールや技術を応用して、実践する。
第9回	フットサルを学ぶ（講義及び実習）	フットサルのルールや技術を学び、実践する。
第10回	フットサルを学ぶ（講義及び実習）	フットサルのルールや技術を応用して、実践する。

第11回	バドミントンを学ぶ（講義及び実習）	バドミントンのルールや技術を学び、実践する。
第12回	スポーツ科学を学ぶ③（講義及び実習）	スポーツ科学の基礎知識（日常生活に関連する内容）を学び、意見交換を行う。
第13回	バレーボールを学ぶ（講義及び実習）	バレーボールのルールや技術を応用して、実践する。
第14回	ボッチャを学ぶ（講義及び実習）	ボッチャのルールや技術を学び、実践する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックする内容はあります。

【その他の重要事項】

諸事情によりシラバスの内容から授業内容が変更になる可能性があります。その場合には授業支援システム（Hoppii）および市ヶ谷体育館1階の掲示にてお知らせします。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

薛 載勲

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

授業の詳細については、初回のガイダンスで説明します。また、授業内で実施した演習や課した課題などについては、講義回で説明するなどの方法を用いて適宜フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する（講義）
2	体力測定	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する（講義及び実習）
3	健康と体力	体力測定のフィードバックおよび健康と体力について学ぶ（講義）
4	フライングディスクを学ぶ	フライングディスクのルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）
5	卓球を学ぶ	卓球のルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）
6	ドッジボールを学ぶ	ドッジボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
7	バドミントンを学ぶ	バドミントンのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
8	フットサルを学ぶ	フットサルのルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）

9	生活習慣病と運動	運動不足が身体に及ぼす影響について学ぶ。習慣的運動が生活習慣病に及ぼす予防効果について学ぶ（講義）
10	睡眠と身体活動・スポーツ	健康のための睡眠の役割や睡眠に及ぼす運動の効果について学ぶ（講義）
11	スクエアステップを学ぶ	スクエアステップのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
12	バスケットボールを学ぶ	バスケットボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
13	バレーボールを学ぶ	バレーボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
14	こころの健康と運動	脳の働きと気分や精神疾患に及ぼす運動の効果について学ぶ（講義）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、就寝・起床時刻などを記録し、提出しもらう課題があります。その作業により、本授業内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

今年度初めて授業を担当するため、特になし。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

山本 幸紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。
この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。
スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスで説明する。
各回の授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーや意見からいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容について、ガイダンスを通じて理解する。
2	体力測定	自分自身の体力について、現状を理解し考察する。
3	スポーツと情報戦略（講義）	スポーツに関する情報分析や戦略について学ぶ。
4	スポーツとオリンピック（講義）	スポーツの祭典オリンピックのあり方やスポーツについて理解を深める。
5	バスケットボール	バスケットボールのルールや技術を学び習得する。
6	バトミントン	バトミントンのルールや技術を学び習得する。
7	柔道	柔道のルールや礼法を学び武道に触れる。（柔道衣は着用しない）
8	ユニホック	ユニホックを通して、グループ活動を実践する。
9	フットサル	フットサルのルールや技術を学び習得する。

10	ドッチビー	ドッチビーを通して、グループ活動を実践する。
11	健康を考える（講義）	健康の維持増進に関連する運動の影響について学ぶ。
12	卓球	卓球のルールや技術を学び習得する。
13	バトミントン	応用技術・戦術を学びゲームへと展開する。
14	バレーボール	バレーボールのルールや技術を学び習得する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の体力や技術レベルをできるだけ考慮して行い、授業内で参加者を体力や技術レベル別に区分して実施することに加え様々なグループで行うことでスポーツを通じた交流を深めたい。また、必要に応じて受講者からの意見や要望を踏まえて授業の改善に努めたい。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 40%.

(2) Report on the lecture: 60%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

山本 幸紀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスで説明する。

各回の授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーや意見からいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容について、ガイダンスを通じて理解する。
2	体力測定	自分自身の体力について、現状を理解し考察する。
3	スポーツと情報戦略（講義）	スポーツに関する情報分析や戦略について学ぶ。
4	スポーツとオリンピック（講義）	スポーツの祭典オリンピックのあり方やスポーツについて理解を深める。
5	バスケットボール	バスケットボールのルールや技術を学び習得する。
6	バトミントン	バトミントンのルールや技術を学び習得する。
7	柔道	柔道のルールや礼法を学び武道に触れる。（柔道衣は着用しない）
8	ユニホック	ユニホックを通して、グループ活動を実践する。
9	フットサル	フットサルのルールや技術を学び習得する。

10	ドッチビー	ドッチビーを通して、グループ活動を実践する。
11	健康を考える（講義）	健康の維持増進に関連する運動の影響について学ぶ。
12	卓球	卓球のルールや技術を学び習得する。
13	バトミントン	応用技術・戦術を学びゲームへと展開する。
14	バレーボール	バレーボールのルールや技術を学び習得する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の体力や技術レベルをできるだけ考慮して行い、授業内で参加者を体力や技術レベル別に区分して実施することに加え様々なグループで行うことでスポーツを通じた交流を深めたい。また、必要に応じて受講者からの意見や要望を踏まえて授業の改善に努めたい。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 40%.

(2) Report on the lecture: 60%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

阿部 成雄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やリアクションペーパー等の評価を総合的に判定して単位を授与する。リアクションペーパーについては、授業の初めに、前回の授業で提出されたからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。また、13回目の授業において、授業内容の振り返りを実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する。(講義)
2	体力を測定する	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する。(講義および実習)
3	バドミントン(1)	バドミンントンのルールや技術を学び、実践する。(講義及び実習)
4	バドミントン(2)	バドミンントンの戦術を学び、団体戦を行う。(講義及び実習)
5	バスケットボール(1)	バスケットボールのルールや技術を学び、実践する。(講義及び実習)
6	バスケットボール(2)	バスケットボールの戦術を学び、試合を行う。(講義及び実習)
7	コミュニケーション(1)	自己理解を深めるワークを実施し、意見交換を行う。(講義)

8	コミュニケーション(2)	講義およびグループワークを通して、コミュニケーションのスタイルについて学び、意見を交換する。(講義)
9	卓球(1)	卓球のルールや技術を学び、実践する。(講義及び実習)
10	トレーニング演習	トレーニングの理論と実践方法について学び、実践する。(講義及び実習)
11	卓球(2)	卓球の戦術を学び、団体戦を行う。(講義及び実習)
12	ドッジビー	ドッジビーのルールや技術を学び、実践する。(講義および実習)
13	心身の健康、授業まとめ	心身の健康と生活習慣について学び、意見交換を行う。授業のまとめを行い、レポートを作成する。(講義)
14	フットサル	フットサルのルールや技術を学び、実践する。(講義および実習)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

「体育の競技全般が苦手でしたが、授業の中で上達を感じ、楽しむことができました」「私は実技が得意ではなかったので心配していましたが、気にすることなくみんなの輪に入って一緒に楽しむことができました」「ランダムでグループを組んでペアワークやグループワークを実施したことで、様々な人と話せるようになり、授業外でも話せるようになって、交友関係が大きく広がった」「人と関わるのが苦手だったが、回数を重ねていくことにいろいろな人に話をすることができました」などの意見をもらいました。今後も、受講生との対話を大事にして、より良い授業を行えるよう努めます。

【学生が準備すべき機器他】

実技の実施時には、スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。必要の際は事前にアナウンスします。

【その他の重要事項】

毎回授業は特別な指示が無い限り、原則授業が開講される時間割に合わせて行われます。授業に関する連絡や授業で必要となる資料等は、学習支援システムを通じて周知しますので、毎回必ず授業の前に確認してください。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

辻 大士

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。
この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。
スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスで説明する。
最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行った試験や小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する
2	体力測定	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する
3	フットサルを学ぶ	フットサルのルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）
4	フライングディスクを学ぶ	フライングディスクのルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）
5	卓球を学ぶ	卓球のルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）
6	ドッジボールを学ぶ	ドッジボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
7	バドミントンを学ぶ	バドミントンのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
8	フラッグフットボールを学ぶ	フラッグフットボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）

9	身体活動と社会（1）	超高齢社会の理解と身体活動のあり方を学ぶ（講義及び演習）
10	身体活動と社会（2）	健康格差と格差拡大予防に向けた方略を学ぶ（講義及び演習）
11	バスケットボールを学ぶ	バスケットボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
12	バレーボールを学ぶ	バレーボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
13	スクエアステップを学ぶ	スクエアステップのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
14	身体活動と心理的効果	大学生のストレス対処力と部・サークル活動との関係を学ぶ（講義及び演習）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況 60%、(2) 課題・レポート 40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

前年度までの受講学生から、授業内容について概ね良好な評価を受けており、本年度も踏襲して展開する予定である。授業内でのグループやチーム分けを、くじ引きで決めるか学生の自主性に委ねるか柔軟に判断する。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

辻 大士

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスで説明する。

最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行った試験や小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する
2	体力測定	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する
3	フットサルを学ぶ	フットサルのルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）
4	フライングディスクを学ぶ	フライングディスクのルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）
5	卓球を学ぶ	卓球のルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）
6	ドッジボールを学ぶ	ドッジボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
7	バドミントンを学ぶ	バドミントンのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
8	フラッグフットボールを学ぶ	フラッグフットボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）

9	身体活動と社会（1）	超高齢社会の理解と身体活動のあり方を学ぶ（講義及び演習）
10	身体活動と社会（2）	健康格差と格差拡大予防に向けた方略を学ぶ（講義及び演習）
11	バスケットボールを学ぶ	バスケットボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
12	バレーボールを学ぶ	バレーボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
13	スクエアステップを学ぶ	スクエアステップのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
14	身体活動と心理的効果	大学生のストレス対処力と部・サークル活動との関係を学ぶ（講義及び演習）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況 60%、(2) 課題・レポート 40% の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

前年度までの受講学生から、授業内容について概ね良好な評価を受けており、本年度も踏襲して展開する予定である。授業内でのグループやチーム分けを、くじ引きで決めるか学生の自主性に委ねるか柔軟に判断する。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

薛 載勲

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。
この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。
授業の詳細については、初回のガイダンスで説明します。また、授業内で実施した演習や課した課題などについては、講義回で説明するなどの方法を用いて適宜フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する（講義）
2	体力測定	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する（講義及び実習）
3	健康と体力	体力測定のフィードバックおよび健康と体力について学ぶ（講義）
4	フライングディスクを学ぶ	フライングディスクのルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）
5	卓球を学ぶ	卓球のルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）
6	ドッジボールを学ぶ	ドッジボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
7	バドミントンを学ぶ	バドミントンのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
8	フットサルを学ぶ	フットサルのルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）

9	生活習慣病と運動	運動不足が身体に及ぼす影響について学ぶ。習慣的運動が生活習慣病に及ぼす予防効果について学ぶ（講義）
10	睡眠と身体活動・スポーツ	健康のための睡眠の役割や睡眠に及ぼす運動の効果について学ぶ（講義）
11	スクエアステップを学ぶ	スクエアステップのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
12	バスケットボールを学ぶ	バスケットボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
13	バレーボールを学ぶ	バレーボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
14	こころの健康と運動	脳の働きと気分や精神疾患に及ぼす運動の効果について学ぶ（講義）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、就寝・起床時刻などを記録し、提出しもらう課題があります。その作業により、本授業内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

今年度初めて授業を担当するため、特になし。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

山本 幸紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスで説明する。

各回の授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーや意見からいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容について、ガイダンスを通じて理解する。
2	体力測定	自分自身の体力について、現状を理解し考察する。
3	スポーツと情報戦略（講義）	スポーツに関する情報分析や戦略について学ぶ。
4	スポーツとオリンピック（講義）	スポーツの祭典オリンピックのあり方やスポーツについて理解を深める。
5	バスケットボール	バスケットボールのルールや技術を学び習得する。
6	バトミントン	バトミントンのルールや技術を学び習得する。
7	柔道	柔道のルールや礼法を学び武道に触れる。（柔道衣は着用しない）
8	ユニホック	ユニホックを通して、グループ活動を実践する。
9	フットサル	フットサルのルールや技術を学び習得する。

10	ドッチビー	ドッチビーを通して、グループ活動を実践する。
11	健康を考える（講義）	健康の維持増進に関連する運動の影響について学ぶ。
12	卓球	卓球のルールや技術を学び習得する。
13	バトミントン	応用技術・戦術を学びゲームへと展開する。
14	バレーボール	バレーボールのルールや技術を学び習得する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の体力や技術レベルをできるだけ考慮して行い、授業内で参加者を体力や技術レベル別に区分して実施することに加え様々なグループで行うことでスポーツを通じた交流を深めたい。また、必要に応じて受講者からの意見や要望を踏まえて授業の改善に努めたい。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 40%.

(2) Report on the lecture: 60%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

古橋 侑季

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。
この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。
スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスで説明する。
授業内で行った課題・レポートは、適時授業内で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス（講義）	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する。
第2回	体力測定（講義及び実習）	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する。
第3回	フットサルを学ぶ（講義及び実習）	フットサルのルールや技術を学び、実践する。
第4回	フットサルを学ぶ（講義及び実習）	フットサルのルールや技術を応用して、実践する。
第5回	バスケットボールを学ぶ（講義及び実習）	バスケットボールのルールや技術を学び、実践する。
第6回	バスケットボールを学ぶ（講義及び実習）	バスケットボールのルールや技術を応用して、実践する。
第7回	スポーツ科学を学ぶ①（講義及び実習）	スポーツ科学の基礎知識（目標設定）を学び、意見交換を行う。
第8回	スポーツ科学を学ぶ②（講義及び実習）	スポーツ科学の基礎知識（キャリア構築）を学び、意見交換を行う。
第9回	卓球を学ぶ（講義及び実習）	卓球のルールや技術を学び、実践する。
第10回	卓球を学ぶ（講義及び実習）	卓球のルールや技術を応用して、実践する。

第11回	ボッチャを学ぶ（講義及び実習）	ボッチャのルールや技術を学び、実践する。
第12回	バレーボールを学ぶ（講義及び実習）	バレーボールのルールや技術を学び、実践する。
第13回	スポーツ科学を学ぶ③（講義及び実習）	スポーツ科学の基礎知識（日常生活に関連する内容）を学び、意見交換を行う。
第14回	バドミントンを学ぶ（講義及び実習）	バドミントンのルールや技術を学び、実践する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックする内容はあります。

【学生が準備すべき機器他】

教場や諸事情によりシラバスの内容から授業内容が変更になる可能性があります。その場合には授業支援システム（Hoppii）および市ヶ谷体育館1階の掲示にてお知らせします。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

古橋 侑季

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。
この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。
スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスで説明する。
授業内で行った課題・レポートは、適時授業内で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス（講義）	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する。
第2回	体力測定（講義及び実習）	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する。
第3回	卓球を学ぶ（講義及び実習）	卓球のルールや技術を学び、実践する。
第4回	卓球を学ぶ（講義及び実習）	卓球のルールや技術を応用して、実践する。
第5回	スポーツ科学を学ぶ①（講義及び実習）	スポーツ科学の基礎知識（目標設定）を学び、意見交換を行う。
第6回	スポーツ科学を学ぶ②（講義及び実習）	スポーツ科学の基礎知識（キャリア構築）を学び、意見交換を行う。
第7回	バスケットボールを学ぶ（講義及び実習）	バスケットボールのルールや技術を学び、実践する。
第8回	バスケットボールを学ぶ（講義及び実習）	バスケットボールのルールや技術を応用して、実践する。
第9回	フットサルを学ぶ（講義及び実習）	フットサルのルールや技術を学び、実践する。
第10回	フットサルを学ぶ（講義及び実習）	フットサルのルールや技術を応用して、実践する。

第11回	バドミントンを学ぶ（講義及び実習）	バドミントンのルールや技術を学び、実践する。
第12回	スポーツ科学を学ぶ③（講義及び実習）	スポーツ科学の基礎知識（日常生活に関連する内容）を学び、意見交換を行う。
第13回	バレーボールを学ぶ（講義及び実習）	バレーボールのルールや技術を応用して、実践する。
第14回	ボッチャを学ぶ（講義及び実習）	ボッチャのルールや技術を学び、実践する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックする内容はあります。

【その他の重要事項】

教場や諸事情によりシラバスの内容から授業内容が変更になる可能性があります。その場合には授業支援システム（Hoppii）および市ヶ谷体育館1階の掲示にてお知らせします

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

山本 幸紀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。
この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。
スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスで説明する。
各回の授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーや意見からいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容について、ガイダンスを通じて理解する。
2	体力測定	自分自身の体力について、現状を理解し考察する。
3	スポーツと情報戦略（講義）	スポーツに関する情報分析や戦略について学ぶ。
4	スポーツとオリンピック（講義）	スポーツの祭典オリンピックのあり方やスポーツについて理解を深める。
5	バスケットボール	バスケットボールのルールや技術を学び習得する
6	バトミントン	バトミントンのルールや技術を学び習得する
7	柔道	柔道のルールや礼法を学び武道に触れる。（柔道衣は着用しない）
8	ユニホック	ユニホックを通して、グループ活動を実践する
9	フットサル	フットサルのルールや技術を学び習得する。

10	ドッチビー	ドッチビーを通して、グループ活動を実践する。
11	健康を考える（講義）	健康の維持増進に関連する運動の影響について学ぶ。
12	卓球	卓球のルールや技術を学び習得する。
13	バトミントン	応用技術・戦術を学びゲームへと展開する。
14	バレーボール	バレーボールのルールや技術を学び習得する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の体力や技術レベルをできるだけ考慮して行い、授業内で参加者を体力や技術レベル別に区分して実施することに加え様々なグループで行うことでスポーツを通じた交流を深めたい。また、必要に応じて受講者からの意見や要望を踏まえて授業の改善に努めたい。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 40%.

(2) Report on the lecture: 60%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

阿部 成雄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やリアクションペーパー等の評価を総合的に判定して単位を授与する。リアクションペーパーについては、授業の初めに、前回の授業で提出されたからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。また、13回目の授業において、授業内容の振り返りを実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する。(講義)
2	体力を測定する	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する。(講義および実習)
3	バドミントン(1)	バドミンントンのルールや技術を学び、実践する。(講義及び実習)
4	バドミントン(2)	バドミンントンの戦術を学び、団体戦を行う。(講義及び実習)
5	バスケットボール(1)	バスケットボールのルールや技術を学び、実践する。(講義及び実習)
6	バスケットボール(2)	バスケットボールの戦術を学び、試合を行う。(講義及び実習)
7	コミュニケーション(1)	自己理解を深めるワークを実施し、意見交換を行う。(講義)

8	コミュニケーション(2)	講義およびグループワークを通して、コミュニケーションのスタイルについて学び、意見を交換する。(講義)
9	卓球(1)	卓球のルールや技術を学び、実践する。(講義及び実習)
10	トレーニング演習	トレーニングの理論と実践方法について学び、実践する。(講義及び実習)
11	卓球(2)	卓球の戦術を学び、団体戦を行う。(講義及び実習)
12	ドッジビー	ドッジビーのルールや技術を学び、実践する。(講義および実習)
13	心身の健康、授業まとめ	心身の健康と生活習慣について学び、意見交換を行う。授業のまとめを行い、レポートを作成する。(講義)
14	フットサル	フットサルのルールや技術を学び、実践する。(講義および実習)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

「体育の競技全般が苦手でしたが、授業の中で上達を感じ、楽しむことができました」「私は実技が得意ではなかったので心配していましたが、気にすることなくみんなの輪に入って一緒に楽しむことができました」「ランダムでグループを組んでペアワークやグループワークを実施したことで、様々な人と話せるようになり、授業外でも話せるようになって、交友関係が大きく広がった」「人と関わるのが苦手だったが、回数を重ねていくことにいろいろな人に話をすることができました」などの意見をもらいました。今後も、受講生との対話を大事にして、より良い授業を行えるよう努めます。

【学生が準備すべき機器他】

実技の実施時には、スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。必要な際は事前にアナウンスします。

【その他の重要事項】

毎回授業は特別な指示が無い限り、原則授業が開講される時間割に合わせて行われます。授業に関する連絡や授業で必要となる資料等は、学習支援システムを通じて周知しますので、毎回必ず授業の前に確認してください。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

辻 大士

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスで説明する。

最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行った試験や小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する
2	体力測定	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する
3	フットサルを学ぶ	フットサルのルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）
4	フライングディスクを学ぶ	フライングディスクのルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）
5	卓球を学ぶ	卓球のルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）
6	ドッジボールを学ぶ	ドッジボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
7	バドミントンを学ぶ	バドミントンのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
8	フライングフットボールを学ぶ	フライングフットボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）

9	身体活動と社会（1）	超高齢社会の理解と身体活動のあり方を学ぶ（講義及び演習）
10	身体活動と社会（2）	健康格差と格差拡大予防に向けた方略を学ぶ（講義及び演習）
11	バスケットボールを学ぶ	バスケットボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
12	バレーボールを学ぶ	バレーボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
13	スクエアステップを学ぶ	スクエアステップのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
14	身体活動と心理的効果	大学生のストレス対処力と部・サークル活動との関係を学ぶ（講義及び演習）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況 60%、(2) 課題・レポート 40% の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

前年度までの受講学生から、授業内容について概ね良好な評価を受けており、本年度も踏襲して展開する予定である。授業内でのグループやチーム分けを、くじ引きで決めるか学生の自主性に委ねるか柔軟に判断する。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

辻 大士

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。
この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。
スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスで説明する。
最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行った試験や小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する
2	体力測定	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する
3	フットサルを学ぶ	フットサルのルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）
4	フライングディスクを学ぶ	フライングディスクのルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）
5	卓球を学ぶ	卓球のルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）
6	ドッジボールを学ぶ	ドッジボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
7	バドミントンを学ぶ	バドミントンのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
8	フラッグフットボールを学ぶ	フラッグフットボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）

9	身体活動と社会（1）	超高齢社会の理解と身体活動のあり方を学ぶ（講義及び演習）
10	身体活動と社会（2）	健康格差と格差拡大予防に向けた方略を学ぶ（講義及び演習）
11	バスケットボールを学ぶ	バスケットボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
12	バレーボールを学ぶ	バレーボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
13	スクエアステップを学ぶ	スクエアステップのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
14	身体活動と心理的効果	大学生のストレス対処力と部・サークル活動との関係を学ぶ（講義及び演習）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

前年度までの受講学生から、授業内容について概ね良好な評価を受けており、本年度も踏襲して展開する予定である。授業内でのグループやチーム分けを、くじ引きで決めるか学生の自主性に委ねるか柔軟に判断する。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

薛 載勲

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

授業の詳細については、初回のガイダンスで説明します。また、授業内で実施した演習や課した課題などについては、講義回で説明するなどの方法を用いて適宜フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する（講義）
2	体力測定	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する（講義及び実習）
3	健康と体力	体力測定のフィードバックおよび健康と体力について学ぶ（講義）
4	フライングディスクを学ぶ	フライングディスクのルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）
5	卓球を学ぶ	卓球のルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）
6	ドッジボールを学ぶ	ドッジボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
7	バドミントンを学ぶ	バドミントンのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
8	フットサルを学ぶ	フットサルのルールや技術を学び、実践する（講義及び実習）

9	生活習慣病と運動	運動不足が身体に及ぼす影響について学ぶ。習慣的運動が生活習慣病に及ぼす予防効果について学ぶ（講義）
10	睡眠と身体活動・スポーツ	健康のための睡眠の役割や睡眠に及ぼす運動の効果について学ぶ（講義）
11	スクエアステップを学ぶ	スクエアステップのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
12	バスケットボールを学ぶ	バスケットボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
13	バレーボールを学ぶ	バレーボールのルールや技術を学び、技術を実践する（講義及び実習）
14	こころの健康と運動	脳の働きと気分や精神疾患に及ぼす運動の効果について学ぶ（講義）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、就寝・起床時刻などを記録し、提出しもらう課題があります。その作業により、本授業内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

今年度初めて授業を担当するため、特になし。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

林 容市

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能です。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目です。
この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与します。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスで説明します。また、授業内で実施した演習や課した課題などについては、講義回で説明するなどの方法を用いて適宜フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業ガイダンス、授業概要の説明（講義）
第2回	体力測定	体力測定の実践（講義と実技）
第3回	対戦形式（ネット型）の個人スポーツを学ぶ（1）	卓球の技能練習を通じたグループ活動の実践（講義および実習）
第4回	対戦形式（ネット型）の個人スポーツを学ぶ（2）	卓球のゲームを通じたグループ活動の実践（講義および実習）
第5回	健康関連情報の使い方を考える	様々な健康関連・医学的情報を理解し、自らの健康の維持・改善に必要な情報を適切に選択できる能力の修得（講義）
第6回	エネルギーの摂取・消費から身体活動を考える	基礎代謝量と摂取エネルギー量の算出法と日常における身体活動のあり方の理解（講義および演習）
第7回	対戦形式（ネット型）の集団スポーツを学ぶ（1）	バレーボールの基本的な技術習得を通じた協同活動の実践（講義および実習）

第8回	対戦形式（ネット型）の集団スポーツを学ぶ（2）	バレーボールのゲームを通じたグループ活動の実践（講義および実習）
第9回	ニューススポーツを学ぶ（1）	アルティメットの基本的な技術習得を通じたグループ活動の実践（講義および実習）
第10回	ニューススポーツを学ぶ（2）	アルティメットのゲームを通じたグループ活動の実践（講義および実習）
第11回	ニューススポーツを学ぶ（3）	ユニホックを通じたグループ活動の実践（講義および実習）
第12回	運動習慣の確立に係る要因を学ぶ	身体活動に関連する諸要因の理解と自身の運動習慣の確立に向けた検討（講義および演習）
第13回	身体活動時の感覚について学ぶ	身体活動時に重要となる各種感覚に関連した数種類の測定の実践（演習）
第14回	身体活動時を巧みに行うための生理的・心理的要因について学ぶ	体力要素としての調整力・巧緻性の理解、および前回の演習結果の評価と関連する要因の解説（講義）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

実習するにあたっては、授業での身体活動時に心身の不備が無いよう、各自が体調を整えた上で授業に臨んでください。
また、授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は必要に応じて指示します。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。資料は必要に応じて授業支援システムを通じて、または授業において直接配布します。

【参考書】

授業担当教員が必要・希望に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】

（1）授業中の活動に対する参画状況：60％、（2）課題・レポート：40％の配分として総合評価します。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。
なお、授業へ出席することは評価対象にはなりませんが、単位取得のための前提となります。特別な事情がない限り必ず出席してください。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業改善アンケートでは、「雰囲気の良い授業だった」、「楽しかったです」、「説明も分かりやすかったので楽しく身体を動かすことができた」など、比較的好意的なコメントを頂きました。他方、「自分たちで考えることが多かったのも面白いです」という意見と共に、「何も決まらない班は具体的な行動を指示してもらえるとうれしかった」という趣旨のコメントも頂いています。このような意見は、今後の授業で活かしていきたいと思います。次年度も、スポーツという座学にない学習効果を有する演習を効果的に実施し、本授業の到達目標の②と③を重視した授業実践を目指したいと考えています。

【学生が準備すべき機器他】

実技を行う回は、スポーツ・身体活動を行うのに適した服装・室内シューズで参加することを出席の条件とします。身体活動が「可能」な服装ではなく、「適した」服装であることが求められますので注意してください。詳細は初回のガイダンスで説明します。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

山本 幸紀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。
この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。
スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスで説明する。
各回の授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーや意見からいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容について、ガイダンスを通じて理解する。
2	体力測定	自分自身の体力について、現状を理解し考察する。
3	スポーツと情報戦略（講義）	スポーツに関する情報分析や戦略について学ぶ。
4	スポーツとオリンピック（講義）	スポーツの祭典オリンピックのあり方やスポーツについて理解を深める。
5	バスケットボール	バスケットボールのルールや技術を学び習得する。
6	バトミントン	バトミントンのルールや技術を学び習得する。
7	柔道	柔道のルールや礼法を学び武道に触れる。（柔道衣は着用しない）
8	ユニホック	ユニホックを通して、グループ活動を実践する。
9	フットサル	フットサルのルールや技術を学び習得する。

10	ドッチビー	ドッチビーを通して、グループ活動を実践する。
11	健康を考える（講義）	健康の維持増進に関連する運動の影響について学ぶ。
12	卓球	卓球のルールや技術を学び習得する。
13	バトミントン	応用技術・戦術を学びゲームへと展開する。
14	バレーボール	バレーボールのルールや技術を学び習得する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の体力や技術レベルをできるだけ考慮して行い、授業内で参加者を体力や技術レベル別に区分して実施することに加え様々なグループで行うことでスポーツを通じた交流を深めたい。また、必要に応じて受講者からの意見や要望を踏まえて授業の改善に努めたい。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 40%.

(2) Report on the lecture: 60%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

荒井 弘和

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ①身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ②豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスで説明する。

各回の授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーや意見からいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス（講義）	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する。
2	体力を測定する（講義および実習）	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する。
3	ボールを使ったコミュニケーション学ぶ（講義および実習）	ボールを使ったコミュニケーションの技術を学び、技術を実践する。
4	ユニホックを学ぶ（講義および実習）	ユニホックのルールや技術を学び、技術を実践する。
5	アルティメットを学ぶ（講義および実習）	アルティメットのルールや技術を学び、技術を実践する。
6	バレーボールを学ぶ①（講義および実習）	バレーボールのルールや技術を学び、技術を実践する。練習を中心に行う。
7	運動・食事・休養と身体的・精神的健康との関連を学ぶ（講義および実習）	運動・食事・休養と身体的・精神的健康との関連を学び、意見交換を行う。

8	運動と社会的健康との関連を学ぶ（講義および実習）	運動と社会的健康との関連を学び、意見交換やグループワークを行う。
9	トレーニング、スクエアステップ・ボッチャを学ぶ（講義および実習）	トレーニングの方法やスクエアステップ・ボッチャのルールや技術を学び、技術を実践する。
10	卓球を学ぶ①（講義および実習）	卓球のルールや技術を学び、習得する。
11	卓球を学ぶ②（講義および実習）	卓球のルールや技術を学び、習得した技術を実践する。
12	バレーボールを学ぶ②（講義および実習）	バレーボールのルールや技術を学び、技術を実践する。試合を中心に行う。
13	スポーツと文化との関連を学ぶ（講義）	スポーツと文化との関連を学び、意見交換やグループワークを行う。
14	バドミントンを学ぶ（講義および実習）	バドミントンのルールや技術を学び、技術を実践する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

「全員参加で授業が出来た所がよかった」、「やったことないスポーツを経験できたのがよかったです。友達も増え、とても授業が楽しかったです」、「仲を深められる機会を沢山与えてくださったので良かったです」、「学生同士の交流の場ともなるようよく配慮されて授業が行われていた」などの意見をもらいました。今後も、受講生との対話を大事にしながら授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

・実技において、戸籍上の性別に基づくグループ分けは行わない予定です。ただし、安全上の配慮のため、競技力等に基づいてグループ分けを行う場合があります。グループ分けについて懸念事項があれば担当教員に申し出てください。

・更衣室の使用について、懸念事項があれば担当教員に申し出てください。

・授業中の呼称について、希望があれば担当教員に申し出てください。・担当教員に申告しにくい事柄がある場合、学内の施設（学生相談室やDEIセンター等）を遠慮なく利用してください。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

荒井 弘和

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ①身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ②豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスで説明する。

各回の授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーや意見からいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス（講義）	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する。
2	体力を測定する（講義および実習）	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する。
3	ボールを使ったコミュニケーション学	ボールを使ったコミュニケーションの技術を学び、技術を実践する。
4	ユニホックを学ぶ（講義および実習）	ユニホックのルールや技術を学び、技術を実践する。
5	アルティメットを学ぶ（講義および実習）	アルティメットのルールや技術を学び、技術を実践する。
6	バレーボールを学ぶ①（講義および実習）	バレーボールのルールや技術を学び、技術を実践する。練習を中心に行う。
7	運動・食事・休養と身体的・精神的健康との関連を学ぶ（講義および実習）	運動・食事・休養と身体的・精神的健康との関連を学び、意見交換を行う。

8	運動と社会的健康との関連を学ぶ（講義および実習）	運動と社会的健康との関連を学び、意見交換やグループワークを行う。
9	トレーニング、スクエアステップ・ボッチャを学ぶ（講義および実習）	トレーニングの方法やスクエアステップ・ボッチャのルールや技術を学び、技術を実践する。
10	卓球を学ぶ①（講義および実習）	卓球のルールや技術を学び、習得する。
11	卓球を学ぶ②（講義および実習）	卓球のルールや技術を学び、習得した技術を実践する。
12	バレーボールを学ぶ②（講義および実習）	バレーボールのルールや技術を学び、技術を実践する。試合を中心に行う。
13	スポーツと文化との関連を学ぶ（講義）	スポーツと文化との関連を学び、意見交換やグループワークを行う。
14	バドミントンを学ぶ（講義および実習）	バドミントンのルールや技術を学び、技術を実践する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

「クラスの人数と性別に偏りがある感じがして、仲良くなりづかった」や「いろんな種目ができて楽しかったです。」などの意見をもらいました。クラスのバランスについては、できるだけ等しくなるように配慮します。いただいた意見を元に、受講生との対話を大事にしながら授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

・実技において、戸籍上の性別に基づくグループ分けは行わない予定です。ただし、安全上の配慮のため、競技力等に基づいてグループ分けを行う場合があります。グループ分けについて懸念事項があれば担当教員に申し出てください。

・更衣室の使用について、懸念事項があれば担当教員に申し出てください。

・授業中の呼称について、希望があれば担当教員に申し出てください。
・担当教員に申告しにくい事柄がある場合、学内の施設（学生相談室やDEIセンター等）を遠慮なく利用してください。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

位高 駿夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行った試験や小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンス	授業内容の説明及び評価基準の確認等の実施。
2	体力測定（実習＆講義）	体力測定の意義、内容及び手段を理解し、実践する。
3	バドミントンシングルの基本及び実践（実習＆講義）	バドミントンシングルのルールを理解し、基本技術の習得を行う。シングルスゲーム
4	ユニホック基本及び実践（実習＆講義）	ユニホックの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
5	アルティメットの基本及び実践（実習＆講義）	アルティメットの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
6	バスケットボールの基本及び実践（実習＆講義）	バスケットボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
7	トレーニング演習（実習＆講義）	トレーニングの理論と実践方法及び体力測定結果のフィードバックを行う。
8	運動の必要性について（講義）	一生涯運動の実施が必要な理由に関する講義
9	卓球シングルの基本及び実践（実習＆講義）	卓球シングルのルールを理解し、基本技術の習得を行う
10	卓球ダブルスの基本及び実践（実習＆講義）	卓球ダブルスのルールを理解し、基本技術の習得を行う

11	バドミントンダブルスの基本及び実践（実習＆講義）	バドミントンダブルスのルールを理解し、基本技術の習得を行う。ダブルスゲーム
12	フットサルの基本及び実践（実習＆講義）	フットサルのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
13	アルティメットの応用及び実践（実習＆講義）	アルティメットのルールを理解した上で、より戦術や戦略を考えたゲームを行う。
14	スポーツ健康科学総論（講義）	実習してきたスポーツを振り返り、運動の必要性などについてまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況 60 %、(2) 課題・レポート 40 %の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

各種目のルールや試合動画などから競技を理解してから実技しているの、倍の楽しさを感じています。1年生は友達も少ないので、それぞれがコミュニケーションを取り人間関係を広げていくことで、授業の楽しさや環境もよくなっていきますので、工夫して取り組みます。

また、実際に体を動かすだけでなく、健康スポーツ科学の知識（運動・ストレス・肥満・飲酒・栄養学）を学び、体力の向上・健康増進を理解した生活を送っていくことで日常生活の変革も狙っていきます。

【学生が準備すべき機器他】

急な日程変更や課題提出等のために学習支援システムを利用します。また、室内履き及び運動できる服装の準備が必要であるとともに、体調管理の上、参加してください。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

位高 駿夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行った試験や小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンス	授業内容の説明及び評価基準の確認等の実施。
2	体力測定（実習＆講義）	体力測定の意義、内容及び手段を理解し、実践する。
3	バドミントンシングルの基本及び実践（実習＆講義）	バドミントンシングルのルールを理解し、基本技術の習得を行う。シングルスゲーム
4	ユニホック基本及び実践（実習＆講義）	ユニホックの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
5	アルティメットの基本及び実践（実習＆講義）	アルティメットの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
6	バスケットボールの基本及び実践（実習＆講義）	バスケットボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
7	トレーニング演習（実習＆講義）	トレーニングの理論と実践方法及び体力測定結果のフィードバックを行う。
8	運動の必要性について（講義）	一生涯運動の実施が必要な理由に関する講義
9	卓球シングルの基本及び実践（実習＆講義）	卓球シングルのルールを理解し、基本技術の習得を行う
10	卓球ダブルスの基本及び実践（実習＆講義）	卓球ダブルスのルールを理解し、基本技術の習得を行う

11	バドミントンダブルスの基本及び実践（実習＆講義）	バドミントンダブルスのルールを理解し、基本技術の習得を行う。ダブルスゲーム
12	フットサルの基本及び実践（実習＆講義）	フットサルのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
13	アルティメットの応用及び実践（実習＆講義）	アルティメットのルールを理解した上で、より戦術や戦略を考えたゲームを行う。
14	スポーツ健康科学総論（講義）	実習してきたスポーツを振り返り、運動の必要性などについてまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況 60 %、(2) 課題・レポート 40 %の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

各種目のルールや試合動画などから競技を理解してから実技しているの、倍の楽しさを感じています。1年生は友達も少ないので、それぞれがコミュニケーションを取り人間関係を広げていくことで、授業の楽しさや環境もよくなっていきますので、工夫して取り組みます。

また、実際に体を動かすだけでなく、健康スポーツ科学の知識（運動・ストレス・肥満・飲酒・栄養学）を学び、体力の向上・健康増進を理解した生活を送っていくことで日常生活の変革も狙っていきます。

【学生が準備すべき機器他】

急な日程変更や課題提出等のために学習支援システムを利用します。また、室内履き及び運動できる服装の準備が必要であるとともに、体調管理の上、参加してください。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

小林 玄樹

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行った試験や小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンス	授業内容及び評価基準の確認等の実施。
2	体力測定（実習＆講義）	体力測定の意義、内容及び手段を理解し、実践する。
3	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（シングルス）のルールを理解し、基本技術の習得を行う。
4	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（ダブルス）のルールを理解し、基本技術の習得を行う。
5	バドミントンの基本及び実践（実習＆講義）	バドミントンのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
6	ユニホックの基本及び実践（実習＆講義）	ユニホックの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
7	アルティメットの基本及び実践（実習＆講義）	アルティメットの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
8	バスケットボールの基本及び実践（実習＆講義）	バスケットボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
9	トレーニング演習（実習＆講義）	トレーニング理論と実践方法及び体力測定のフィードバックを行う。
10	運動とメンタルヘルスの必要性（講義）	生涯運動が必要な理由、運動が及ぼす心への影響に関する講義。
11	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（シングルス）の応用技術、戦術を学び、ゲームを行う。

12	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（ダブルス）の応用技術、戦術を学び、ゲームを行う。
13	フットサルの基本及び実践（実習＆講義）	フットサルのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
14	スポーツ健康科学総論	実習してきたスポーツを振り返り、運動の必要性などについてまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況 60 %、(2) 課題・レポート 40 %の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

各種目のルールや試合動画などから競技を理解してから実技を行なっている、倍の楽しさを感じています。1年生は友達も少ないので、それぞれがコミュニケーションを取り、人間関係を広げていくことで、授業の楽しさや環境も良くなっていきますので、工夫して取り組みます。また、実際に体を動かすだけでなく、健康スポーツ科学の知識（運動・ストレス・肥満・飲酒・栄養学・スポーツ心理学）を学び、体力向上・健康増進を理解した生活を送っていくことで日常生活の変革も狙っていきます。

【学生が準備すべき機器他】

急な日程変更や課題提出等のために学習支援システムを利用します。また、室内履き及び運動できる服装の準備が必要であるとともに体調管理の上、参加して下さい。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

小林 玄樹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行った試験や小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンス	授業内容及び評価基準の確認等の実施。
2	体力測定（実習&講義）	体力測定の意義、内容及び手段を理解し、実践する。
3	卓球の基本及び実践（実習&講義）	卓球（シングルス）のルールを理解し、基本技術の習得を行う。
4	卓球の基本及び実践（実習&講義）	卓球（ダブルス）のルールを理解し、基本技術の習得を行う。
5	バドミントンの基本及び実践（実習&講義）	バドミントンのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
6	ユニホックの基本及び実践（実習&講義）	ユニホックの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
7	アルティメットの基本及び実践（実習&講義）	アルティメットの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
8	バスケットボールの基本及び実践（実習&講義）	バスケットボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。

9	トレーニング演習（実習&講義）	トレーニング理論と実践方法及び体力測定のフィードバックを行う。
10	運動とメンタルヘルスの必要性（講義）	生涯運動が必要な理由、運動が及ぼす心への影響に関する講義。
11	卓球の基本及び実践（実習&講義）	卓球（シングルス）の応用技術、戦術を学び、ゲームを行う。
12	卓球の基本及び実践（実習&講義）	卓球（ダブルス）の応用技術、戦術を学び、ゲームを行う。
13	フットサルの基本及び実践（実習&講義）	フットサルのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
14	スポーツ健康科学総論	実習してきたスポーツを振り返り、運動の必要性などについてまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

各種目のルールや試合動画などから競技を理解してから実技を行なっているのが、倍の楽しさを感じています。1年生は友達も少ないので、それぞれがコミュニケーションを取り、人間関係を広げていくことで、授業の楽しさや環境も良くなっていきますので、工夫して取り組みます。また、実際に体を動かすだけでなく、健康スポーツ科学の知識（運動・ストレス・肥満・飲酒・栄養学・スポーツ心理学）を学び、体力向上・健康増進を理解した生活を送っていくことで日常生活の変革も狙っていきます。

【学生が準備すべき機器他】

急な日程変更や課題提出等のために学習支援システムを利用します。また、室内履き及び運動できる服装の準備が必要であるとともに体調管理の上、参加して下さい。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

魚住 智広

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

また提出された課題は、次回授業でいくつか取り上げ全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要、目的、成績評価、安全上の注意事項
2	体力測定（実習＆講義）	体力測定の実施、意義、方法
3	トレーニング講習（実習＆講義）	トレーニング器具の使用方法、実践方法
4	スポーツとは何か（講義）	近代スポーツの定義、目的の変化
5	卓球①（実習＆講義）	ラケット操作
6	卓球②（実習＆講義）	基礎動作
7	バドミントン①（実習＆講義）	ラケット操作（卓球との違い）
8	バドミントン②（実習＆講義）	フットワーク
9	バドミントン③（実習＆講義）	基礎動作（卓球との違い）
10	バドミントン④（実習＆講義）	ダブルスルール・ゲーム
11	健康とは何か（講義）	なぜ人は健康を目指すのか、リスクと個人化
12	身体とは何か（講義）	カテゴリー化、規格化、象徴権力
13	卓球③（実習＆講義）	ダブルスルール・ゲーム（バドミントンとの違い）
14	卓球④（実習＆講義）	ダブルスの動き

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況 60 %、(2) 課題・レポート 40 % の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

スポーツに関する最新の人文社会科学の研究を取り入れながら、授業内容を随時更新する。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

魚住 智広

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

また提出された課題は、次回授業でいくつか取り上げ全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要、目的、成績評価、安全上の注意事項
2	体力測定（実習＆講義）	体力測定の実施、意義、方法
3	トレーニング講習（実習＆講義）	トレーニング器具の使用方法、実践方法
4	スポーツとは何か（講義）	近代スポーツの定義、目的の変化
5	卓球①（実習＆講義）	ラケット操作
6	卓球②（実習＆講義）	基礎動作
7	バドミントン①（実習＆講義）	ラケット操作（卓球との違い）
8	バドミントン②（実習＆講義）	フットワーク
9	バドミントン③（実習＆講義）	基礎動作（卓球との違い）
10	バドミントン④（実習＆講義）	ダブルスルール・ゲーム
11	健康とは何か（講義）	なぜ人は健康を目指すのか、リスクと個人化
12	身体とは何か（講義）	カテゴリー化、規格化、象徴権力
13	卓球③（実習＆講義）	ダブルスルール・ゲーム（バドミントンとの違い）
14	卓球④（実習＆講義）	ダブルスの動き

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

スポーツに関する最新の人文社会科学の研究を取り入れながら、授業内容を随時更新する。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

吉田 康伸

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

なお、授業でのフィードバックについては、毎授業後のオフィスアワーで、課題（レポート等）に対して講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンス	授業内容の説明及び評価基準の確認等の実施。
2	体力測定（実習&講義）	体力測定の意義、内容及び手段を理解し、実践する。
3	バスケットボールの基本及び実践（実習&講義）	バスケットボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
4	バスケットボールの応用及び実践（実習&講義）	バスケットボールの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
5	トレーニング演習（実習&講義）	トレーニングの理論と実践方法及び体力測定結果のフィードバック。
6	目的別栄養学について（講義）	各目的別の栄養摂取について取り上げる。
7	卓球の基本及び実践（実習&講義）	卓球のルールを理解し、基本技術の習得を行う。
8	卓球の応用及び実践（実習&講義）	卓球の各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
9	バドミントンの基本及び実践（実習&講義）	バドミントンのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
10	バドミントンの応用及び実践（実習&講義）	バドミントンの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
11	バレーボールの基本及び実践（実習&講義）	バレーボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。

12	バレーボールの応用及び実践（実習&講義）	バレーボールの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
13	ストレッチ及びバランスボールトレーニングの実践（実習&講義）	ストレッチの必要性を理解し、ストレッチ及びバランスボールエクササイズを実践する。
14	ストレスと健康観についての講義及びレポート作成・提出	ストレスと健康観について講義した後各自レポートを作成し、提出する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。必要に応じて資料等を配布する。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

スポーツ実践の楽しさは理解出来ているようなので、さらに身体的・精神的・社会的な健康の維持増進に対する意識を高めることを目指す。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

吉田 康伸

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種類のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

なお、授業でのフィードバックについては、毎授業後のオフィスアワーで、課題（レポート等）に対して講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンス	授業内容の説明及び評価基準の確認等の実施。
2	体力測定（実習＆講義）	体力測定の意義、内容及び手段を理解し、実践する。
3	バスケットボールの基本及び実践（実習＆講義）	バスケットボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
4	バスケットボールの応用及び実践（実習＆講義）	バスケットボールの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
5	トレーニング演習（実習＆講義）	トレーニングの理論と実践方法及び体力測定結果のフィードバック。
6	目的別栄養学について（講義）	各目的別の栄養摂取について取り上げる。
7	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球のルールを理解し、基本技術の習得を行う。
8	卓球の応用及び実践（実習＆講義）	卓球の各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
9	バドミントンの基本及び実践（実習＆講義）	バドミントンのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
10	バドミントンの応用及び実践（実習＆講義）	バドミントンの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
11	バレーボールの基本及び実践（実習＆講義）	バレーボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。

12	バレーボールの応用及び実践（実習＆講義）	バレーボールの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
13	ストレッチ及びバランスボールトレーニングの実践（実習＆講義）	ストレッチの必要性を理解し、ストレッチ及びバランスボールエクササイズを実践する。
14	ストレスと健康観についての講義及びレポート作成・提出	ストレスと健康観について講義した後各自レポートを作成し、提出する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。必要に応じて資料等を配布する。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60％、(2) 課題・レポート40％の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

スポーツ実践の楽しさは理解出来ているようなので、さらに身体的・精神的・社会的な健康の維持増進に対する意識を高めることを目指す。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

魚住 智広

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

また提出された課題は、次回授業でいくつか取り上げ全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要、目的、成績評価、安全上の注意事項
2	体力測定（実習＆講義）	体力測定の実施、意義、方法
3	トレーニング講習（実習＆講義）	トレーニング器具の使用法、実践方法
4	スポーツとは何か（講義）	近代スポーツの定義、目的の変化
5	卓球①（実習＆講義）	ラケット操作
6	卓球②（実習＆講義）	基礎動作
7	バドミントン①（実習＆講義）	ラケット操作（卓球との違い）
8	バドミントン②（実習＆講義）	フットワーク
9	バドミントン③（実習＆講義）	基礎動作（卓球との違い）
10	バドミントン④（実習＆講義）	ダブルスルール・ゲーム
11	健康とは何か（講義）	なぜ人は健康を目指すのか、リスクと個人化
12	身体とは何か（講義）	カテゴリー化、規格化、象徴権力
13	卓球③（実習＆講義）	ダブルスルール・ゲーム（バドミントンとの違い）
14	卓球④（実習＆講義）	ダブルスの動き

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

（1）授業中の活動に対する参画状況60％、（2）課題・レポート40％の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

スポーツに関する最新の人文社会科学の研究を取り入れながら、授業内容を随時更新する。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

魚住 智広

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

また提出された課題は、次回授業でいくつか取り上げ全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要、目的、成績評価、安全上の注意事項
2	体力測定（実習＆講義）	体力測定の実施、意義、方法
3	トレーニング講習（実習＆講義）	トレーニング器具の使用方法、実践方法
4	スポーツとは何か（講義）	近代スポーツの定義、目的の変化
5	卓球①（実習＆講義）	ラケット操作
6	卓球②（実習＆講義）	基礎動作
7	バドミントン①（実習＆講義）	ラケット操作（卓球との違い）
8	バドミントン②（実習＆講義）	フットワーク
9	バドミントン③（実習＆講義）	基礎動作（卓球との違い）
10	バドミントン④（実習＆講義）	ダブルスルール・ゲーム
11	健康とは何か（講義）	なぜ人は健康を目指すのか、リスクと個人化
12	身体とは何か（講義）	カテゴリー化、規格化、象徴権力
13	卓球③（実習＆講義）	ダブルスルール・ゲーム（バドミントンとの違い）
14	卓球④（実習＆講義）	ダブルスの動き

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

スポーツに関する最新の人文社会科学の研究を取り入れながら、授業内容を随時更新する。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

小林 玄樹

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行った試験や小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンス	授業内容及び評価基準の確認等の実施。
2	体力測定（実習＆講義）	体力測定の意義、内容及び手段を理解し、実践する。
3	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（シングルス）のルールを理解し、基本技術の習得を行う。
4	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（ダブルス）のルールを理解し、基本技術の習得を行う。
5	バドミントンの基本及び実践（実習＆講義）	バドミントンのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
6	ユニホックの基本及び実践（実習＆講義）	ユニホックの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
7	アルティメットの基本及び実践（実習＆講義）	アルティメットの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
8	バスケットボールの基本及び実践（実習＆講義）	バスケットボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
9	トレーニング演習（実習＆講義）	トレーニング理論と実践方法及び体力測定のフィードバックを行う。
10	運動とメンタルヘルスの必要性（講義）	生涯運動が必要な理由、運動が及ぼす心への影響に関する講義。
11	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（シングルス）の応用技術、戦術を学び、ゲームを行う。

12	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（ダブルス）の応用技術、戦術を学び、ゲームを行う。
13	フットサルの基本及び実践（実習＆講義）	フットサルのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
14	スポーツ健康科学総論	実習してきたスポーツを振り返り、運動の必要性などについてまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況 60 %、(2) 課題・レポート 40 %の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

各種目のルールや試合動画などから競技を理解してから実技を行なっている、倍の楽しさを感じています。1年生は友達も少ないので、それぞれがコミュニケーションを取り、人間関係を広げていくことで、授業の楽しさや環境も良くなっていきますので、工夫して取り組みます。また、実際に体を動かすだけでなく、健康スポーツ科学の知識（運動・ストレス・肥満・飲酒・栄養学・スポーツ心理学）を学び、体力向上・健康増進を理解した生活を送っていくことで日常生活の変革も狙っていきます。

【学生が準備すべき機器他】

急な日程変更や課題提出等のために学習支援システムを利用します。また、室内履き及び運動できる服装の準備が必要であるとともに体調管理の上、参加して下さい。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

小林 玄樹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行った試験や小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンス	授業内容及び評価基準の確認等の実施。
2	体力測定（実習＆講義）	体力測定の意義、内容及び手段を理解し、実践する。
3	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（シングルス）のルールを理解し、基本技術の習得を行う。
4	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（ダブルス）のルールを理解し、基本技術の習得を行う。
5	バドミントンの基本及び実践（実習＆講義）	バドミントンのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
6	ユニホックの基本及び実践（実習＆講義）	ユニホックの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
7	アルティメットの基本及び実践（実習＆講義）	アルティメットの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
8	バスケットボールの基本及び実践（実習＆講義）	バスケットボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
9	トレーニング演習（実習＆講義）	トレーニング理論と実践方法及び体力測定のフィードバックを行う。
10	運動とメンタルヘルスの必要性（講義）	生涯運動が必要な理由、運動が及ぼす心への影響に関する講義。
11	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（シングルス）の応用技術、戦術を学び、ゲームを行う。

12	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（ダブルス）の応用技術、戦術を学び、ゲームを行う。
13	フットサルの基本及び実践（実習＆講義）	フットサルのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
14	スポーツ健康科学総論	実習してきたスポーツを振り返り、運動の必要性などについてまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況 60 %、(2) 課題・レポート 40 %の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

各種目のルールや試合動画などから競技を理解してから実技を行なっているのが、倍の楽しさを感じています。1年生は友達も少ないので、それぞれがコミュニケーションを取り、人間関係を広げていくことで、授業の楽しさや環境も良くなっていきますので、工夫して取り組みます。また、実際に体を動かすだけでなく、健康スポーツ科学の知識（運動・ストレス・肥満・飲酒・栄養学・スポーツ心理学）を学び、体力向上・健康増進を理解した生活を送っていくことで日常生活の変革も狙っていきます。

【学生が準備すべき機器他】

急な日程変更や課題提出等のために学習支援システムを利用します。また、室内履き及び運動できる服装の準備が必要であるとともに体調管理の上、参加して下さい。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

位高 駿夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行った試験や小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンス	授業内容の説明及び評価基準の確認等の実施。
2	体力測定（実習&講義）	体力測定の意義、内容及び手段を理解し、実践する。
3	バドミントンシングルの基本及び実践（実習&講義）	バドミントンシングルのルールを理解し、基本技術の習得を行う。シングルスゲーム
4	ユニホック基本及び実践（実習&講義）	ユニホックの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
5	アルティメットの基本及び実践（実習&講義）	アルティメットの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
6	バスケットボールの基本及び実践（実習&講義）	バスケットボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
7	トレーニング演習（実習&講義）	トレーニングの理論と実践方法及び体力測定結果のフィードバックを行う。
8	運動の必要性について（講義）	一生涯運動の実施が必要な理由に関する講義
9	卓球シングルの基本及び実践（実習&講義）	卓球シングルのルールを理解し、基本技術の習得を行う
10	卓球ダブルスの基本及び実践（実習&講義）	卓球ダブルスのルールを理解し、基本技術の習得を行う

11	バドミントンダブルスの基本及び実践（実習&講義）	バドミントンダブルスのルールを理解し、基本技術の習得を行う。ダブルスゲーム
12	フットサルの基本及び実践（実習&講義）	フットサルのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
13	アルティメットの応用及び実践（実習&講義）	アルティメットのルールを理解した上で、より戦術や戦略を考えたゲームを行う。
14	スポーツ健康科学総論（講義）	実習してきたスポーツを振り返り、運動の必要性などについてまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況 60 %、(2) 課題・レポート 40 %の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

各種目のルールや試合動画などから競技を理解してから実技しているの、倍の楽しさを感じています。1年生は友達も少ないので、それぞれがコミュニケーションを取り人間関係を広げていくことで、授業の楽しさや環境もよくなっていきますので、工夫して取り組みます。

また、実際に体を動かすだけでなく、健康スポーツ科学の知識（運動・ストレス・肥満・飲酒・栄養学）を学び、体力の向上・健康増進を理解した生活を送っていくことで日常生活の変革も狙っていきます。

【学生が準備すべき機器他】

急な日程変更や課題提出等のために学習支援システムを利用します。また、室内履き及び運動できる服装の準備が必要であるとともに、体調管理の上、参加してください。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

位高 駿夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行った試験や小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンス	授業内容の説明及び評価基準の確認等の実施。
2	体力測定（実習&講義）	体力測定の意義、内容及び手法を理解し、実践する。
3	バドミントンシングルの基本及び実践（実習&講義）	バドミントンシングルのルールを理解し、基本技術の習得を行う。シングルスゲーム
4	ユニホック基本及び実践（実習&講義）	ユニホックの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
5	アルティメットの基本及び実践（実習&講義）	アルティメットの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
6	バスケットボールの基本及び実践（実習&講義）	バスケットボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
7	トレーニング演習（実習&講義）	トレーニングの理論と実践方法及び体力測定結果のフィードバックを行う。
8	運動の必要性について（講義）	一生涯運動の実施が必要な理由に関する講義
9	卓球シングルの基本及び実践（実習&講義）	卓球シングルのルールを理解し、基本技術の習得を行う
10	卓球ダブルスの基本及び実践（実習&講義）	卓球ダブルスのルールを理解し、基本技術の習得を行う

11	バドミントンダブルスの基本及び実践（実習&講義）	バドミントンダブルスのルールを理解し、基本技術の習得を行う。ダブルスゲーム
12	フットサルの基本及び実践（実習&講義）	フットサルのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
13	アルティメットの応用及び実践（実習&講義）	アルティメットのルールを理解した上で、より戦術や戦略を考えたゲームを行う。
14	スポーツ健康科学総論（講義）	実習してきたスポーツを振り返り、運動の必要性などについてまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

（1）授業中の活動に対する参画状況60％、（2）課題・レポート40％の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

各種目のルールや試合動画などから競技を理解してから実技しているの、倍の楽しさを感じています。1年生は友達も少ないので、それぞれがコミュニケーションを取り人間関係を広げていくことで、授業の楽しさや環境もよくなっていきますので、工夫して取り組みます。

また、実際に体を動かすだけでなく、健康スポーツ科学の知識（運動・ストレス・肥満・飲酒・栄養学）を学び、体力の向上・健康増進を理解した生活を送っていくことで日常生活の変革も狙っていきます。

【学生が準備すべき機器他】

急な日程変更や課題提出等のために学習支援システムを利用します。また、室内履き及び運動できる服装の準備が必要であるとともに、体調管理の上、参加してください。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

吉田 康伸

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種類のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

なお、授業でのフィードバックについては、毎授業後のオフィスアワーで、課題（レポート等）に対して講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンス	授業内容の説明及び評価基準の確認等の実施。
2	体力測定（実習&講義）	体力測定の意義、内容及び手段を理解し、実践する。
3	バスケットボールの基本及び実践（実習&講義）	バスケットボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
4	バスケットボールの応用及び実践（実習&講義）	バスケットボールの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
5	トレーニング演習（実習&講義）	トレーニングの理論と実践方法及び体力測定結果のフィードバック。
6	目的別栄養学について（講義）	各目的別の栄養摂取について取り上げる。
7	卓球の基本及び実践（実習&講義）	卓球のルールを理解し、基本技術の習得を行う。
8	卓球の応用及び実践（実習&講義）	卓球の各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
9	バドミントンの基本及び実践（実習&講義）	バドミントンのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
10	バドミントンの応用及び実践（実習&講義）	バドミントンの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
11	バレーボールの基本及び実践（実習&講義）	バレーボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。

12	バレーボールの応用及び実践（実習&講義）	バレーボールの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
13	ストレッチ及びバランスボールトレーニングの実践（実習&講義）	ストレッチの必要性を理解し、ストレッチ及びバランスボールエクササイズを実践する。
14	ストレスと健康観についての講義及びレポート作成・提出	ストレスと健康観について講義した後各自レポートを作成し、提出する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。必要に応じて資料等を配布する。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

スポーツ実践の楽しさは理解出来ているようなので、さらに身体的・精神的・社会的な健康の維持増進に対する意識を高めることを目指す。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

吉田 康伸

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

なお、授業でのフィードバックについては、毎授業後のオフィスアワーで、課題（レポート等）に対して講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンス	授業内容の説明及び評価基準の確認等の実施。
2	体力測定（実習＆講義）	体力測定の意義、内容及び手段を理解し、実践する。
3	バスケットボールの基本及び実践（実習＆講義）	バスケットボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
4	バスケットボールの応用及び実践（実習＆講義）	バスケットボールの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
5	トレーニング演習（実習＆講義）	トレーニングの理論と実践方法及び体力測定結果のフィードバック。
6	目的別栄養学について（講義）	各目的別の栄養摂取について取り上げる。
7	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球のルールを理解し、基本技術の習得を行う。
8	卓球の応用及び実践（実習＆講義）	卓球の各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
9	バドミントンの基本及び実践（実習＆講義）	バドミントンのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
10	バドミントンの応用及び実践（実習＆講義）	バドミントンの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
11	バレーボールの基本及び実践（実習＆講義）	バレーボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。

12	バレーボールの応用及び実践（実習＆講義）	バレーボールの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
13	ストレッチ及びバランスボールトレーニングの実践（実習＆講義）	ストレッチの必要性を理解し、ストレッチ及びバランスボールエクササイズを実践する。
14	ストレスと健康観についての講義及びレポート作成・提出	ストレスと健康観について講義した後各自レポートを作成し、提出する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。必要に応じて資料等を配布する。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

スポーツ実践の楽しさは理解出来ているようなので、さらに身体的・精神的・社会的な健康の維持増進に対する意識を高めることを目指す。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

魚住 智広

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

また提出された課題は、次回授業でいくつか取り上げ全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要、目的、成績評価、安全上の注意事項
2	体力測定（実習＆講義）	体力測定の実施、意義、方法
3	トレーニング講習（実習＆講義）	トレーニング器具の使用方法、実践方法
4	スポーツとは何か（講義）	近代スポーツの定義、目的の変化
5	卓球①（実習＆講義）	ラケット操作
6	卓球②（実習＆講義）	基礎動作
7	バドミントン①（実習＆講義）	ラケット操作（卓球との違い）
8	バドミントン②（実習＆講義）	フットワーク
9	バドミントン③（実習＆講義）	基礎動作（卓球との違い）
10	バドミントン④（実習＆講義）	ダブルスルール・ゲーム
11	健康とは何か（講義）	なぜ人は健康を目指すのか、リスクと個人化
12	身体とは何か（講義）	カテゴリー化、規格化、象徴権力
13	卓球③（実習＆講義）	ダブルスルール・ゲーム（バドミントンとの違い）
14	卓球④（実習＆講義）	ダブルスの動き

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況 60 %、(2) 課題・レポート 40 % の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

スポーツに関する最新の人文社会科学の研究を取り入れながら、授業内容を随時更新する。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

魚住 智広

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

また提出された課題は、次回授業でいくつか取り上げ全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要、目的、成績評価、安全上の注意事項
2	体力測定（実習＆講義）	体力測定の実施、意義、方法
3	トレーニング講習（実習＆講義）	トレーニング器具の使用法、実践方法
4	スポーツとは何か（講義）	近代スポーツの定義、目的の変化
5	卓球①（実習＆講義）	ラケット操作
6	卓球②（実習＆講義）	基礎動作
7	バドミントン①（実習＆講義）	ラケット操作（卓球との違い）
8	バドミントン②（実習＆講義）	フットワーク
9	バドミントン③（実習＆講義）	基礎動作（卓球との違い）
10	バドミントン④（実習＆講義）	ダブルスルール・ゲーム
11	健康とは何か（講義）	なぜ人は健康を目指すのか、リスクと個人化
12	身体とは何か（講義）	カテゴリー化、規格化、象徴権力
13	卓球③（実習＆講義）	ダブルスルール・ゲーム（バドミントンとの違い）
14	卓球④（実習＆講義）	ダブルスの動き

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

スポーツに関する最新の人文社会科学の研究を取り入れながら、授業内容を随時更新する。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

位高 駿夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行った試験や小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンス	授業内容の説明及び評価基準の確認等の実施。
2	体力測定（実習＆講義）	体力測定の意義、内容及び手段を理解し、実践する。
3	バドミントンシングルの基本及び実践（実習＆講義）	バドミントンシングルのルールを理解し、基本技術の習得を行う。シングルスゲーム
4	ユニホック基本及び実践（実習＆講義）	ユニホックの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
5	アルティメットの基本及び実践（実習＆講義）	アルティメットの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
6	バスケットボールの基本及び実践（実習＆講義）	バスケットボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
7	トレーニング演習（実習＆講義）	トレーニングの理論と実践方法及び体力測定結果のフィードバックを行う。
8	運動の必要性について（講義）	一生涯運動の実施が必要な理由に関する講義
9	卓球シングルの基本及び実践（実習＆講義）	卓球シングルのルールを理解し、基本技術の習得を行う
10	卓球ダブルスの基本及び実践（実習＆講義）	卓球ダブルスのルールを理解し、基本技術の習得を行う

11	バドミントンダブルスの基本及び実践（実習＆講義）	バドミントンダブルスのルールを理解し、基本技術の習得を行う。ダブルスゲーム
12	フットサルの基本及び実践（実習＆講義）	フットサルのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
13	アルティメットの応用及び実践（実習＆講義）	アルティメットのルールを理解した上で、より戦術や戦略を考えたゲームを行う。
14	スポーツ健康科学総論（講義）	実習してきたスポーツを振り返り、運動の必要性などについてまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況 60 %、(2) 課題・レポート 40 %の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

各種目のルールや試合動画などから競技を理解してから実技しているの、倍の楽しさを感じています。1年生は友達も少ないので、それぞれがコミュニケーションを取り人間関係を広げていくことで、授業の楽しさや環境もよくなっていきますので、工夫して取り組みます。

また、実際に体を動かすだけでなく、健康スポーツ科学の知識（運動・ストレス・肥満・飲酒・栄養学）を学び、体力の向上・健康増進を理解した生活を送っていくことで日常生活の変革も狙っていきます。

【学生が準備すべき機器他】

急な日程変更や課題提出等のために学習支援システムを利用します。また、室内履き及び運動できる服装の準備が必要であるとともに、体調管理の上、参加してください。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

位高 駿夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行った試験や小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンス	授業内容の説明及び評価基準の確認等の実施。
2	体力測定（実習＆講義）	体力測定の意義、内容及び手法を理解し、実践する。
3	バドミントンシングルの基本及び実践（実習＆講義）	バドミントンシングルのルールを理解し、基本技術の習得を行う。シングルスゲーム
4	ユニホック基本及び実践（実習＆講義）	ユニホックの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
5	アルティメットの基本及び実践（実習＆講義）	アルティメットの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
6	バスケットボールの基本及び実践（実習＆講義）	バスケットボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
7	トレーニング演習（実習＆講義）	トレーニングの理論と実践方法及び体力測定結果のフィードバックを行う。
8	運動の必要性について（講義）	一生涯運動の実施が必要な理由に関する講義
9	卓球シングルの基本及び実践（実習＆講義）	卓球シングルのルールを理解し、基本技術の習得を行う
10	卓球ダブルスの基本及び実践（実習＆講義）	卓球ダブルスのルールを理解し、基本技術の習得を行う

11	バドミントンダブルスの基本及び実践（実習＆講義）	バドミントンダブルスのルールを理解し、基本技術の習得を行う。ダブルスゲーム
12	フットサルの基本及び実践（実習＆講義）	フットサルのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
13	アルティメットの応用及び実践（実習＆講義）	アルティメットのルールを理解した上で、より戦術や戦略を考えたゲームを行う。
14	スポーツ健康科学総論（講義）	実習してきたスポーツを振り返り、運動の必要性などについてまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

（1）授業中の活動に対する参画状況60％、（2）課題・レポート40％の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

各種目のルールや試合動画などから競技を理解してから実技しているの、倍の楽しさを感じています。1年生は友達も少ないので、それぞれがコミュニケーションを取り人間関係を広げていくことで、授業の楽しさや環境もよくなっていきますので、工夫して取り組みます。

また、実際に体を動かすだけでなく、健康スポーツ科学の知識（運動・ストレス・肥満・飲酒・栄養学）を学び、体力の向上・健康増進を理解した生活を送っていくことで日常生活の変革も狙っていきます。

【学生が準備すべき機器他】

急な日程変更や課題提出等のために学習支援システムを利用します。また、室内履き及び運動できる服装の準備が必要であるとともに、体調管理の上、参加してください。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

小林 玄樹

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行った試験や小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンス	授業内容及び評価基準の確認等の実施。
2	体力測定（実習＆講義）	体力測定の意義、内容及び手段を理解し、実践する。
3	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（シングルス）のルールを理解し、基本技術の習得を行う。
4	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（ダブルス）のルールを理解し、基本技術の習得を行う。
5	バドミントンの基本及び実践（実習＆講義）	バドミントンのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
6	ユニホックの基本及び実践（実習＆講義）	ユニホックの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
7	アルティメットの基本及び実践（実習＆講義）	アルティメットの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
8	バスケットボールの基本及び実践（実習＆講義）	バスケットボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
9	トレーニング演習（実習＆講義）	トレーニング理論と実践方法及び体力測定のフィードバックを行う。
10	運動とメンタルヘルスの必要性（講義）	生涯運動が必要な理由、運動が及ぼす心への影響に関する講義。
11	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（シングルス）の応用技術、戦術を学び、ゲームを行う。

12	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（ダブルス）の応用技術、戦術を学び、ゲームを行う。
13	フットサルの基本及び実践（実習＆講義）	フットサルのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
14	スポーツ健康科学総論	実習してきたスポーツを振り返り、運動の必要性などについてまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況 60 %、(2) 課題・レポート 40 %の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

各種目のルールや試合動画などから競技を理解してから実技を行なっている、倍の楽しさを感じています。1年生は友達も少ないので、それぞれがコミュニケーションを取り、人間関係を広げていくことで、授業の楽しさや環境も良くなっていきますので、工夫して取り組みます。また、実際に体を動かすだけでなく、健康スポーツ科学の知識（運動・ストレス・肥満・飲酒・栄養学・スポーツ心理学）を学び、体力向上・健康増進を理解した生活を送っていくことで日常生活の変革も狙っていきます。

【学生が準備すべき機器他】

急な日程変更や課題提出等のために学習支援システムを利用します。また、室内履き及び運動できる服装の準備が必要であるとともに体調管理の上、参加して下さい。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

小林 玄樹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。

この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。

スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。

最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行った試験や小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンス	授業内容及び評価基準の確認等の実施。
2	体力測定（実習＆講義）	体力測定の意義、内容及び手段を理解し、実践する。
3	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（シングルス）のルールを理解し、基本技術の習得を行う。
4	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（ダブルス）のルールを理解し、基本技術の習得を行う。
5	バドミントンの基本及び実践（実習＆講義）	バドミントンのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
6	ユニホックの基本及び実践（実習＆講義）	ユニホックの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
7	アルティメットの基本及び実践（実習＆講義）	アルティメットの各技術の基本的な方法を理解し、ゲームを行う。
8	バスケットボールの基本及び実践（実習＆講義）	バスケットボールのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
9	トレーニング演習（実習＆講義）	トレーニング理論と実践方法及び体力測定のフィードバックを行う。
10	運動とメンタルヘルスの必要性（講義）	生涯運動が必要な理由、運動が及ぼす心への影響に関する講義。
11	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（シングルス）の応用技術、戦術を学び、ゲームを行う。

12	卓球の基本及び実践（実習＆講義）	卓球（ダブルス）の応用技術、戦術を学び、ゲームを行う。
13	フットサルの基本及び実践（実習＆講義）	フットサルのルールを理解し、基本技術の習得を行う。
14	スポーツ健康科学総論	実習してきたスポーツを振り返り、運動の必要性などについてまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

(1) 授業中の活動に対する参画状況 60 %、(2) 課題・レポート 40 %の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

各種目のルールや試合動画などから競技を理解してから実技を行なっている、倍の楽しさを感じています。1年生は友達も少ないので、それぞれがコミュニケーションを取り、人間関係を広げていくことで、授業の楽しさや環境も良くなっていきますので、工夫して取り組みます。また、実際に体を動かすだけでなく、健康スポーツ科学の知識（運動・ストレス・肥満・飲酒・栄養学・スポーツ心理学）を学び、体力向上・健康増進を理解した生活を送っていくことで日常生活の変革も狙っていきます。

【学生が準備すべき機器他】

急な日程変更や課題提出等のために学習支援システムを利用します。また、室内履き及び運動できる服装の準備が必要であるとともに体調管理の上、参加して下さい。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学/Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

藤岡 成美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

ー具体的な授業の到達目標ー

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好・柳川

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：柳川

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1＞4クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2＞身体組成・体力測定	教場：3F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3F（柔道場・空手場）、4F（卓球場）、5F（バレーボールコート） ①3F：ドッジボール（柔道場） ②3F：フットサル（空手場） ③4F：卓球 ④5F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3F（柔道場・空手場）、4F（卓球場）、5F（バスケットボールコート） ①3F：ドッジビー（柔道場） ②3F：ユニホック（空手場） ③4F：ポッチャ ④5F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
6	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
7	スポーツと体力AⅠ（トレーニングの基礎理論）	教場：1F（会議室）、3F（柔道場）、B1F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15RM）⇒記録提出 ③リアクションペーパー

8	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1F(会議室)、B1F(トレーニングセンター) ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3F(柔道場・空手場)、4F(卓球場)、5F(バドミントンコート) ①3F：スポーツ鬼ごっこ(柔道場) ②3F：フロアバレー(空手場) ③4F：スマートフェンシング ④5F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと健康Ⅰ (スポーツ障害の特徴と予防)	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー
11	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量(るい瘦と肥満) ②睡眠・食事・運動による対策(特に市実践的な食事の見直し) ③スポーツ活動中の感染症(含：性病) ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
12	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1(骨盤と脊柱の動作) ②リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

- 各授業では、リアクションペーパーまたは授業習熟度確認テスト(アンケートを含む場合がある)が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自のコンディションを日常的に記録し、レポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、レポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、Google Classroom から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
02. 星野公夫(編)『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
03. ボール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス

04. ブレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ(DVD付)』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

- 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
- その評価の割合は、**授業内評価が80%**(授業担当教員は各20点：計80点)、**期末試験が20%**です。
- 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動(準備学習や復習)、授業に取組む態度などが評価されます。
- 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格(単位認定)となります。
- 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
- 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
- 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえると考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施(グループワークやスポーツ交流会等)しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

- オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信用デバイスを各自で準備してください。
 - 以下の①～③に示した**継続的に記録可能な**スマートフォン・アプリ等を準備してください(詳細はオンラインガイダンスで説明します)。
- ①睡眠時間(睡眠状態)
②脈拍数(心拍数)
③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の専門分野別授業をオムニバス方式で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認します。必ず視聴**して下さい。
2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。
3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意して下さい。
4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

- (01) Understand how to proceed with the class
- (02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health
- (03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions
- (04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

- (05) To be able to use a training center appropriately
- (06) Effective training machines

3. Sports and Health

- 07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries
- 08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention
- 09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

(11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

(12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

(13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

14) Understand national sports policy and related legislation and plans

15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

(2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

藤岡 成美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

－具体的な授業の到達目標－

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好・柳川

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：柳川

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1＞4クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2＞身体組成・体力測定	教場：3 F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3 F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バレーボールコート） ①3 F：ドッジボール（柔道場） ②3 F：フットサル（空手場） ③4 F：卓球 ④5 F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バスケットボールコート） ①3 F：ドッジビー（柔道場） ②3 F：ユニホック（空手場） ③4 F：ポッチャ ④5 F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
6	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
7	スポーツと体力AⅠ（トレーニングの基礎理論）	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー

8	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1 F (会議室)、B 1 F (トレーニングセンター) ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3 F (柔道場・空手場)、4 F (卓球場)、5 F (バドミントンコート) ①3 F：スポーツ鬼ごっこ (柔道場) ②3 F：フロアバレー (空手場) ③4 F：スマートフェンシング ④5 F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと健康Ⅰ (スポーツ障害の特徴と予防)	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー
11	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量 (るい瘦と肥満) ②睡眠・食事・運動による対策 (特に市実践的な食事の見直し) ③スポーツ活動中の感染症 (含：性病) ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
12	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1 (骨盤と脊柱の動作) ②リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 各授業では、**リアクションペーパー**または**授業習熟度確認テスト** (アンケートを含む場合がある) が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自の**コンディション**を**日常的に記録**し、リポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習**では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、リポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、**Google Classroom** から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
02. 星野公夫 (編)『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
03. ボール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス

04. プレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ (DVD付)』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

- 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
- その評価の割合は、**授業内評価が80%** (授業担当教員は各20点：計80点)、**期末試験が20%**です。
- 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動 (準備学習や復習)、授業に取組む態度などが評価されます。
- 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格 (単位認定) となります。
- 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
- 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
- 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施 (グループワークやスポーツ交流会等) しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

- オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信用デバイスを各自で準備してください。
 - 以下の①～③に示した**継続的に記録可能な**スマートフォン・アプリ等を準備してください (詳細はオンラインガイダンスで説明します)。
- ①睡眠時間 (睡眠状態)
②脈拍数 (心拍数)
③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の専門分野別授業をオムニバス方式で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認します。必ず視聴**して下さい。
2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。
3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意してください。
4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

- (01) Understand how to proceed with the class
- (02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health
- (03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions
- (04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

- (05) To be able to use a training center appropriately
- (06) Effective training machines

3. Sports and Health

- (07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries
- (08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention
- (09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

- 10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

- (11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

- (12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

- (13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

- 14) Understand national sports policy and related legislation and plans

- 15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

- 16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

- (1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

- (2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

上岡 尚代

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

ー具体的な授業の到達目標ー

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好・柳川

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：柳川

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1 > 4 クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2 > 身体組成・体力測定	教場：3 F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3 F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バレーボールコート） ①3 F：ドッジボール（柔道場） ②3 F：フットサル（空手場） ③4 F：卓球 ④5 F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バスケットボールコート） ①3 F：ドッジビー（柔道場） ②3 F：ユニホック（空手場） ③4 F：ポッチャ ④5 F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと健康Ⅰ（スポーツ障害の特徴と予防）	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー

6	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量（るい瘦と肥満） ②睡眠・食事・運動による対策（特に市実践的な食事の見直し） ③スポーツ活動中の感染症（含：性病） ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
7	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
8	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1（骨盤と脊柱の動作） ②リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バドミントンコート） ①3 F：スポーツ鬼ごっこ（柔道場） ②3 F：フロアバレー（空手場） ③4 F：スマートフェンシング ④5 F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
11	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
12	スポーツと体力AⅠ (トレーニングの基礎理論)	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B 1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1 F（会議室）、B 1 F（トレーニングセンター） ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 各授業では、リアクションペーパーまたは授業習熟度確認テスト（アンケートを含む場合がある）が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自のコンディションを日常的に記録し、レポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、レポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、Google Classroom から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
 02. 星野公夫（編）『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
 03. ポール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス
 04. プレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ（DVD付）』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

- 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
- その評価の割合は、**授業内評価が80%**（授業担当教員は各20点：計80点）、**期末試験が20%**です。
- 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動（準備学習や復習）、授業に取組む態度などが評価されます。
- 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格（単位認定）となります。
- 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
- 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
- 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施（グループワークやスポーツ交流会等）しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

1. オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信用デバイスを各自で準備してください。

2. 以下の①～③に示した**継続的に記録可能なスマートフォン・アプリ**等を準備してください（詳細はオンラインガイダンスで説明します）。

①睡眠時間（睡眠状態）

②脈拍数（心拍数）

③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の**専門分野別授業をオムニバス方式**で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認します。必ず視聴**してください。

2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。

3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意してください。

4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

(01) Understand how to proceed with the class

(02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health

(03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions

(04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

(05) To be able to use a training center appropriately

(06) Effective training machines

3. Sports and Health

(07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries

(08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention

(09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

(10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

(11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

(12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

(13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

14) Understand national sports policy and related legislation and plans

15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

(2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学/Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

上岡 尚代

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

－具体的な授業の到達目標－

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好・柳川

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：柳川

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1＞4クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2＞身体組成・体力測定	教場：3F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3F（柔道場・空手場）、4F（卓球場）、5F（バレーボールコート） ①3F：ドッジボール（柔道場） ②3F：フットサル（空手場） ③4F：卓球 ④5F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3F（柔道場・空手場）、4F（卓球場）、5F（バスケットボールコート） ①3F：ドッジビー（柔道場） ②3F：ユニホック（空手場） ③4F：ポッチャ ④5F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと健康Ⅰ（スポーツ障害の特徴と予防）	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー

6	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量（るい瘦と肥満） ②睡眠・食事・運動による対策（特に市実践的な食事の見直し） ③スポーツ活動中の感染症（含：性病） ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
7	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
8	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1（骨盤と脊柱の動作） ②リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バドミントンコート） ①3 F：スポーツ鬼ごっこ（柔道場） ②3 F：フロアバレー（空手場） ③4 F：スマートフェンシング ④5 F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
11	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
12	スポーツと体力AⅠ (トレーニングの基礎理論)	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B 1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1 F（会議室）、B 1 F（トレーニングセンター） ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 各授業では、リアクションペーパーまたは授業習熟度確認テスト（アンケートを含む場合がある）が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自のコンディションを日常的に記録し、レポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、レポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、Google Classroom から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
 02. 星野公夫（編）『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
 03. ポール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス
 04. プレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ（DVD付）』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

1. 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
2. その評価の割合は、**授業内評価が80%**（授業担当教員は各20点：計80点）、**期末試験が20%**です。
3. 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動（準備学習や復習）、授業に取組む態度などが評価されます。
4. 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格（単位認定）となります。
5. 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
6. 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
7. 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施（グループワークやスポーツ交流会等）しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

1. オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信用デバイスを各自で準備してください。

2. 以下の①～③に示した**継続的に記録可能な**スマートフォン・アプリ等を準備してください（詳細はオンラインガイダンスで説明します）。

①睡眠時間（睡眠状態）

②脈拍数（心拍数）

③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の**専門分野別授業をオムニバス方式**で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認します。必ず視聴**してください。

2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。

3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意してください。

4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

(05) To be able to use a training center appropriately

(06) Effective training machines

3. Sports and Health

07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries

08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention

09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

(11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

(12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

(13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

14) Understand national sports policy and related legislation and plans

15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

(2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

柳川 洸輔

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

－具体的な授業の到達目標－

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好・柳川

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：柳川

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1＞4クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2＞身体組成・体力測定	教場：3 F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3 F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バレーボールコート） ①3 F：ドッジボール（柔道場） ②3 F：フットサル（空手場） ③4 F：卓球 ④5 F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バスケットボールコート） ①3 F：ドッジビー（柔道場） ②3 F：ユニホック（空手場） ③4 F：ポッチャ ④5 F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
6	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
7	スポーツと体力AⅠ（トレーニングの基礎理論）	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー

8	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1F(会議室)、B1F(トレーニングセンター) ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3F(柔道場・空手場)、4F(卓球場)、5F(バドミントンコート) ①3F：スポーツ鬼ごっこ(柔道場) ②3F：フロアバレー(空手場) ③4F：スマートフェンシング ④5F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと健康Ⅰ (スポーツ障害の特徴と予防)	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー
11	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量(るい瘦と肥満) ②睡眠・食事・運動による対策(特に市実践的な食事の見直し) ③スポーツ活動中の感染症(含：性病) ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
12	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1(骨盤と脊柱の動作) ②リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

- 各授業では、リアクションペーパーまたは授業習熟度確認テスト(アンケートを含む場合がある)が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自のコンディションを日常的に記録し、レポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、レポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、Google Classroom から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
02. 星野公夫(編)『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
03. ボール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス

04. ブレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ(DVD付)』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

- 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
- その評価の割合は、**授業内評価が80%**(授業担当教員は各20点：計80点)、**期末試験が20%**です。
- 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動(準備学習や復習)、授業に取組む態度などが評価されます。
- 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格(単位認定)となります。
- 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
- 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
- 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施(グループワークやスポーツ交流会等)しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

- オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信用デバイスを各自で準備してください。
 - 以下の①～③に示した**継続的に記録可能な**スマートフォン・アプリ等を準備してください(詳細はオンラインガイダンスで説明します)。
- ①睡眠時間(睡眠状態)
②脈拍数(心拍数)
③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の専門分野別授業をオムニバス方式で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認します。必ず視聴**して下さい。
2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。
3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意して下さい。
4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

- (01) Understand how to proceed with the class
- (02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health
- (03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions
- (04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

- (05) To be able to use a training center appropriately
- (06) Effective training machines

3. Sports and Health

- 07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries
- 08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention
- 09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

- (11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

- (12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

- (13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

- 14) Understand national sports policy and related legislation and plans

- 15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

- 16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

- (1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

- (2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

柳川 洸輔

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

－具体的な授業の到達目標－

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好・柳川

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：柳川

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1＞4クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2＞身体組成・体力測定	教場：3 F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3 F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バレーボールコート） ①3 F：ドッジボール（柔道場） ②3 F：フットサル（空手場） ③4 F：卓球 ④5 F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バスケットボールコート） ①3 F：ドッジビー（柔道場） ②3 F：ユニホック（空手場） ③4 F：ポッチャ ④5 F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
6	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
7	スポーツと体力AⅠ（トレーニングの基礎理論）	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー

8	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1 F (会議室)、B 1 F (トレーニングセンター) ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3 F (柔道場・空手場)、4 F (卓球場)、5 F (バドミントンコート) ①3 F：スポーツ鬼ごっこ (柔道場) ②3 F：フロアバレー (空手場) ③4 F：スマートフェンシング ④5 F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと健康Ⅰ (スポーツ障害の特徴と予防)	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー
11	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量 (るい瘦と肥満) ②睡眠・食事・運動による対策 (特に市実践的な食事の見直し) ③スポーツ活動中の感染症 (含：性病) ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
12	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1 (骨盤と脊柱の動作) ②リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 各授業では、**リアクションペーパー**または**授業習熟度確認テスト** (アンケートを含む場合がある) が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自の**コンディション**を**日常的に記録**し、リポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習**では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、リポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、**Google Classroom** から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
02. 星野公夫 (編)『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
03. ボール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス

04. プレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ (DVD付)』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

- 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
- その評価の割合は、**授業内評価が80%** (授業担当教員は各20点：計80点)、**期末試験が20%**です。
- 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動 (準備学習や復習)、授業に取組む態度などが評価されます。
- 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格 (単位認定) となります。
- 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
- 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
- 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施 (グループワークやスポーツ交流会等) しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

- オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信用デバイスを各自で準備してください。
 - 以下の①～③に示した**継続的に記録可能な**スマートフォン・アプリ等を準備してください (詳細はオンラインガイダンスで説明します)。
- ①睡眠時間 (睡眠状態)
②脈拍数 (心拍数)
③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の専門分野別授業をオムニバス方式で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認します。必ず視聴**してください。
2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。
3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意してください。
4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

- (01) Understand how to proceed with the class
- (02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health
- (03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions
- (04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

- (05) To be able to use a training center appropriately
- (06) Effective training machines

3. Sports and Health

- 07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries
- 08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention
- 09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

- (11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

- (12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

- (13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

- 14) Understand national sports policy and related legislation and plans

- 15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

- 16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

- (1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

- (2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学/Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

三好 英次

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

－具体的な授業の到達目標－

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好・柳川

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：柳川

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1＞4クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2＞身体組成・体力測定	教場：3 F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3 F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バレーボールコート） ①3 F：ドッジボール（柔道場） ②3 F：フットサル（空手場） ③4 F：卓球 ④5 F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バスケットボールコート） ①3 F：ドッジビー（柔道場） ②3 F：ユニホック（空手場） ③4 F：ポッチャ ④5 F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
6	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
7	スポーツと体力AⅠ（トレーニングの基礎理論）	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー

8	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1 F (会議室)、B 1 F (トレーニングセンター) ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3 F (柔道場・空手場)、4 F (卓球場)、5 F (バドミントンコート) ①3 F：スポーツ鬼ごっこ (柔道場) ②3 F：フロアバレー (空手場) ③4 F：スマートフェンシング ④5 F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと健康Ⅰ (スポーツ障害の特徴と予防)	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー
11	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量 (るい瘦と肥満) ②睡眠・食事・運動による対策 (特に市実践的な食事の見直し) ③スポーツ活動中の感染症 (含：性病) ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
12	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1 (骨盤と脊柱の動作) ②リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 各授業では、**リアクションペーパー**または**授業習熟度確認テスト** (アンケートを含む場合がある) が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自の**コンディション**を**日常的に記録**し、レポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習**では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、レポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、**Google Classroom** から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
02. 星野公夫 (編)『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
03. ボール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス

04. プレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ (DVD付)』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

- 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
- その評価の割合は、**授業内評価が80%** (授業担当教員は各20点：計80点)、**期末試験が20%**です。
- 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動 (準備学習や復習)、授業に取組む態度などが評価されます。
- 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格 (単位認定) となります。
- 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
- 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
- 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施 (グループワークやスポーツ交流会等) しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

- オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信デバイスを各自で準備してください。
 - 以下の①～③に示した**継続的に記録可能な**スマートフォン・アプリ等を準備してください (詳細はオンラインガイダンスで説明します)。
- ①睡眠時間 (睡眠状態)
②脈拍数 (心拍数)
③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の専門分野別授業をオムニバス方式で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認します。必ず視聴**して下さい。
2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。
3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意して下さい。
4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

- (01) Understand how to proceed with the class
- (02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health
- (03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions
- (04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

- (05) To be able to use a training center appropriately
- (06) Effective training machines

3. Sports and Health

- 07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries
- 08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention
- 09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

- (11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

- (12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

- (13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

- 14) Understand national sports policy and related legislation and plans

- 15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

- 16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

- (1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

- (2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

三好 英次

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

－具体的な授業の到達目標－

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好・柳川

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：柳川

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1＞4クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2＞身体組成・体力測定	教場：3 F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3 F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バレーボールコート） ①3 F：ドッジボール（柔道場） ②3 F：フットサル（空手場） ③4 F：卓球 ④5 F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バスケットボールコート） ①3 F：ドッジビー（柔道場） ②3 F：ユニホック（空手場） ③4 F：ポッチャ ④5 F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
6	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
7	スポーツと体力AⅠ（トレーニングの基礎理論）	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー

8	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1 F (会議室)、B 1 F (トレーニングセンター) ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3 F (柔道場・空手場)、4 F (卓球場)、5 F (バドミントンコート) ①3 F：スポーツ鬼ごっこ (柔道場) ②3 F：フロアバレー (空手場) ③4 F：スマートフェンシング ④5 F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと健康Ⅰ (スポーツ障害の特徴と予防)	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー
11	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量 (るい瘦と肥満) ②睡眠・食事・運動による対策 (特に市実践的な食事の見直し) ③スポーツ活動中の感染症 (含：性病) ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
12	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1 (骨盤と脊柱の動作) ②リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 各授業では、**リアクションペーパー**または**授業習熟度確認テスト** (アンケートを含む場合がある) が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自の**コンディション**を**日常的に記録**し、リポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習**では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、リポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、**Google Classroom** から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
02. 星野公夫 (編)『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
03. ボール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス

04. プレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ (DVD付)』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

- 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
- その評価の割合は、**授業内評価が80%** (授業担当教員は各20点：計80点)、**期末試験が20%**です。
- 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動 (準備学習や復習)、授業に取組む態度などが評価されます。
- 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格 (単位認定) となります。
- 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
- 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
- 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施 (グループワークやスポーツ交流会等) しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

- オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信デバイスを各自で準備してください。
 - 以下の①～③に示した**継続的に記録可能な**スマートフォン・アプリ等を準備してください (詳細はオンラインガイダンスで説明します)。
- ①睡眠時間 (睡眠状態)
②脈拍数 (心拍数)
③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の専門分野別授業をオムニバス方式で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認します。必ず視聴**して下さい。
2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。
3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意してください。
4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

- (01) Understand how to proceed with the class
- (02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health
- (03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions
- (04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

- (05) To be able to use a training center appropriately
- (06) Effective training machines

3. Sports and Health

- 07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries
- 08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention
- 09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

- (11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

- (12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

- (13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

- 14) Understand national sports policy and related legislation and plans

- 15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

- 16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

- (1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

- (2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

藤岡 成美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

－具体的な授業の到達目標－

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好・柳川

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：柳川

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1＞4クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2＞身体組成・体力測定	教場：3 F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3 F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バレーボールコート） ①3 F：ドッジボール（柔道場） ②3 F：フットサル（空手場） ③4 F：卓球 ④5 F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バスケットボールコート） ①3 F：ドッジビー（柔道場） ②3 F：ユニホック（空手場） ③4 F：ポッチャ ④5 F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
6	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
7	スポーツと体力AⅠ（トレーニングの基礎理論）	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー

8	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1F(会議室)、B1F(トレーニングセンター) ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3F(柔道場・空手場)、4F(卓球場)、5F(バドミントンコート) ①3F：スポーツ鬼ごっこ(柔道場) ②3F：フロアバレー(空手場) ③4F：スマートフェンシング ④5F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと健康Ⅰ (スポーツ障害の特徴と予防)	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー
11	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量(るい瘦と肥満) ②睡眠・食事・運動による対策(特に市実践的な食事の見直し) ③スポーツ活動中の感染症(含：性病) ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
12	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1(骨盤と脊柱の動作) ②リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

- 各授業では、リアクションペーパーまたは授業習熟度確認テスト(アンケートを含む場合がある)が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自のコンディションを日常的に記録し、レポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、レポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、Google Classroom から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
02. 星野公夫(編)『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
03. ボール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス

04. ブレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ(DVD付)』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

- 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
- その評価の割合は、**授業内評価が80%**(授業担当教員は各20点：計80点)、**期末試験が20%**です。
- 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動(準備学習や復習)、授業に取組む態度などが評価されます。
- 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格(単位認定)となります。
- 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
- 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
- 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえると考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施(グループワークやスポーツ交流会等)しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

- オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信用デバイスを各自で準備してください。
 - 以下の①～③に示した**継続的に記録可能な**スマートフォン・アプリ等を準備してください(詳細はオンラインガイダンスで説明します)。
- ①睡眠時間(睡眠状態)
②脈拍数(心拍数)
③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の専門分野別授業をオムニバス方式で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認します。必ず視聴**して下さい。
2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。
3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意してください。
4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

- (01) Understand how to proceed with the class
- (02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health
- (03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions
- (04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

- (05) To be able to use a training center appropriately
- (06) Effective training machines

3. Sports and Health

- 07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries
- 08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention
- 09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

- (11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

- (12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

- (13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

- 14) Understand national sports policy and related legislation and plans

- 15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

- 16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

- (1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

- (2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

藤岡 成美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

－具体的な授業の到達目標－

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好・柳川

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：柳川

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1＞4クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2＞身体組成・体力測定	教場：3 F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3 F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バレーボールコート） ①3 F：ドッジボール（柔道場） ②3 F：フットサル（空手場） ③4 F：卓球 ④5 F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バスケットボールコート） ①3 F：ドッジビー（柔道場） ②3 F：ユニホック（空手場） ③4 F：ポッチャ ④5 F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
6	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
7	スポーツと体力AⅠ（トレーニングの基礎理論）	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー

8	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1 F (会議室)、B 1 F (トレーニングセンター) ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3 F (柔道場・空手場)、4 F (卓球場)、5 F (バドミントンコート) ①3 F：スポーツ鬼ごっこ (柔道場) ②3 F：フロアバレー (空手場) ③4 F：スマートフェンシング ④5 F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと健康Ⅰ (スポーツ障害の特徴と予防)	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー
11	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量 (るい瘦と肥満) ②睡眠・食事・運動による対策 (特に市実践的な食事の見直し) ③スポーツ活動中の感染症 (含：性病) ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
12	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1 (骨盤と脊柱の動作) ②リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 各授業では、**リアクションペーパー**または**授業習熟度確認テスト** (アンケートを含む場合がある) が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自の**コンディション**を**日常的に記録**し、レポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習**では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、レポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、**Google Classroom** から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
02. 星野公夫 (編)『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
03. ボール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス

04. プレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ (DVD付)』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

- 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
- その評価の割合は、**授業内評価が80%** (授業担当教員は各20点：計80点)、**期末試験が20%**です。
- 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動 (準備学習や復習)、授業に取組む態度などが評価されます。
- 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格 (単位認定) となります。
- 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
- 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
- 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施 (グループワークやスポーツ交流会等) しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

- オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信用デバイスを各自で準備してください。
 - 以下の①～③に示した**継続的に記録可能な**スマートフォン・アプリ等を準備してください (詳細はオンラインガイダンスで説明します)。
- ①睡眠時間 (睡眠状態)
②脈拍数 (心拍数)
③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の専門分野別授業をオムニバス方式で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認します。必ず視聴**してください。
2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。
3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意してください。
4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

- (01) Understand how to proceed with the class
- (02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health
- (03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions
- (04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

- (05) To be able to use a training center appropriately
- (06) Effective training machines

3. Sports and Health

- 07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries
- 08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention
- 09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

- (11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

- (12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

- (13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

- 14) Understand national sports policy and related legislation and plans

- 15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

- 16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

- (1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

- (2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

上岡 尚代

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

－具体的な授業の到達目標－

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好・柳川

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：柳川

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1 > 4 クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2 > 身体組成・体力測定	教場：3 F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3 F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バレーボールコート） ①3 F：ドッジボール（柔道場） ②3 F：フットサル（空手場） ③4 F：卓球 ④5 F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バスケットボールコート） ①3 F：ドッジビー（柔道場） ②3 F：ユニホック（空手場） ③4 F：ポッチャ ④5 F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと健康Ⅰ（スポーツ障害の特徴と予防）	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー

6	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量（るい瘦と肥満） ②睡眠・食事・運動による対策（特に市実践的な食事の見直し） ③スポーツ活動中の感染症（含：性病） ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
7	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
8	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1（骨盤と脊柱の動作） ②リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バドミントンコート） ①3 F：スポーツ鬼ごっこ（柔道場） ②3 F：フロアバレー（空手場） ③4 F：スマートフェンシング ④5 F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
11	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
12	スポーツと体力AⅠ (トレーニングの基礎理論)	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B 1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1 F（会議室）、B 1 F（トレーニングセンター） ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 各授業では、リアクションペーパーまたは授業習熟度確認テスト（アンケートを含む場合がある）が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自のコンディションを日常的に記録し、レポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、レポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、Google Classroom から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
 02. 星野公夫（編）『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
 03. ポール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス
 04. プレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ（DVD付）』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

- 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
- その評価の割合は、**授業内評価が80%**（授業担当教員は各20点：計80点）、**期末試験が20%**です。
- 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動（準備学習や復習）、授業に取組む態度などが評価されます。
- 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格（単位認定）となります。
- 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
- 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
- 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施（グループワークやスポーツ交流会等）しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

1. オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信用デバイスを各自で準備してください。

2. 以下の①～③に示した**継続的に記録可能な**スマートフォン・アプリ等を準備してください（詳細はオンラインガイダンスで説明します）。

①睡眠時間（睡眠状態）

②脈拍数（心拍数）

③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の**専門分野別授業をオムニバス方式**で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認**します。**必ず視聴**してください。

2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。

3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意してください。

4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

(01) Understand how to proceed with the class

(02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health

(03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions

(04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

(05) To be able to use a training center appropriately

(06) Effective training machines

3. Sports and Health

(07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries

(08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention

(09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

(10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

(11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

(12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

(13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

14) Understand national sports policy and related legislation and plans

15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

(2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

上岡 尚代

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

－具体的な授業の到達目標－

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好・柳川

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：柳川

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1＞4クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2＞身体組成・体力測定	教場：3F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3F（柔道場・空手場）、4F（卓球場）、5F（バレーボールコート） ①3F：ドッジボール（柔道場） ②3F：フットサル（空手場） ③4F：卓球 ④5F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3F（柔道場・空手場）、4F（卓球場）、5F（バスケットボールコート） ①3F：ドッジビー（柔道場） ②3F：ユニホック（空手場） ③4F：ポッチャ ④5F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと健康Ⅰ（スポーツ障害の特徴と予防）	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー

6	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量（るい瘦と肥満） ②睡眠・食事・運動による対策（特に市実践的な食事の見直し） ③スポーツ活動中の感染症（含：性病） ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
7	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
8	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1（骨盤と脊柱の動作） ②リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バドミントンコート） ①3 F：スポーツ鬼ごっこ（柔道場） ②3 F：フロアバレー（空手場） ③4 F：スマートフェンシング ④5 F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
11	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
12	スポーツと体力AⅠ (トレーニングの基礎理論)	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B 1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1 F（会議室）、B 1 F（トレーニングセンター） ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 各授業では、リアクションペーパーまたは授業習熟度確認テスト（アンケートを含む場合がある）が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自のコンディションを日常的に記録し、レポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、レポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、Google Classroom から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
 02. 星野公夫（編）『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
 03. ポール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス
 04. プレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ（DVD付）』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

1. 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
2. その評価の割合は、**授業内評価が80%**（授業担当教員は各20点：計80点）、**期末試験が20%**です。
3. 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動（準備学習や復習）、授業に取組む態度などが評価されます。
4. 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格（単位認定）となります。
5. 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
6. 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
7. 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施（グループワークやスポーツ交流会等）しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

1. オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信用デバイスを各自で準備してください。

2. 以下の①～③に示した**継続的に記録可能なスマートフォン・アプリ**等を準備してください（詳細はオンラインガイダンスで説明します）。

①睡眠時間（睡眠状態）

②脈拍数（心拍数）

③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の**専門分野別授業をオムニバス方式**で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認します。必ず視聴**してください。

2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。

3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意してください。

4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

(05) To be able to use a training center appropriately

(06) Effective training machines

3. Sports and Health

07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries

08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention

09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

(11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

(12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

(13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

14) Understand national sports policy and related legislation and plans

15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

(2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

柳川 洸輔

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

－具体的な授業の到達目標－

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好・柳川

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：柳川

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1＞4クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2＞身体組成・体力測定	教場：3 F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3 F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バレーボールコート） ①3 F：ドッジボール（柔道場） ②3 F：フットサル（空手場） ③4 F：卓球 ④5 F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バスケットボールコート） ①3 F：ドッジビー（柔道場） ②3 F：ユニホック（空手場） ③4 F：ポッチャ ④5 F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
6	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
7	スポーツと体力AⅠ（トレーニングの基礎理論）	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー

8	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1F(会議室)、B1F(トレーニングセンター) ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3F(柔道場・空手場)、4F(卓球場)、5F(バドミントンコート) ①3F：スポーツ鬼ごっこ(柔道場) ②3F：フロアバレー(空手場) ③4F：スマートフェンシング ④5F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと健康Ⅰ (スポーツ障害の特徴と予防)	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー
11	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量(るい瘦と肥満) ②睡眠・食事・運動による対策(特に市実践的な食事の見直し) ③スポーツ活動中の感染症(含：性病) ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
12	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1(骨盤と脊柱の動作) ②リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

- 各授業では、リアクションペーパーまたは授業習熟度確認テスト(アンケートを含む場合がある)が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自のコンディションを日常的に記録し、レポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、レポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、Google Classroom から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
02. 星野公夫(編)『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
03. ボール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス

04. ブレット・コントララス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ(DVD付)』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

- 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
- その評価の割合は、**授業内評価が80%**(授業担当教員は各20点：計80点)、**期末試験が20%**です。
- 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動(準備学習や復習)、授業に取組む態度などが評価されます。
- 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格(単位認定)となります。
- 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
- 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
- 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施(グループワークやスポーツ交流会等)しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

- オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信デバイスを各自で準備してください。
 - 以下の①～③に示した**継続的に記録可能な**スマートフォン・アプリ等を準備してください(詳細はオンラインガイダンスで説明します)。
- ①睡眠時間(睡眠状態)
②脈拍数(心拍数)
③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の専門分野別授業をオムニバス方式で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認します。必ず視聴**して下さい。
2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。
3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意して下さい。
4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

- (01) Understand how to proceed with the class
- (02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health
- (03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions
- (04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

- (05) To be able to use a training center appropriately
- (06) Effective training machines

3. Sports and Health

- 07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries
- 08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention
- 09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

- (11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

- (12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

- (13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

- 14) Understand national sports policy and related legislation and plans

- 15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

- 16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

- (1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

- (2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

柳川 洸輔

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

－具体的な授業の到達目標－

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好・柳川

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：柳川

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1＞4クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2＞身体組成・体力測定	教場：3 F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3 F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バレーボールコート） ①3 F：ドッジボール（柔道場） ②3 F：フットサル（空手場） ③4 F：卓球 ④5 F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バスケットボールコート） ①3 F：ドッジビー（柔道場） ②3 F：ユニホック（空手場） ③4 F：ポッチャ ④5 F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
6	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
7	スポーツと体力AⅠ（トレーニングの基礎理論）	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B 1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー

8	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1 F (会議室)、B 1 F (トレーニングセンター) ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3 F (柔道場・空手場)、4 F (卓球場)、5 F (バドミントンコート) ①3 F：スポーツ鬼ごっこ (柔道場) ②3 F：フロアバレー (空手場) ③4 F：スマートフェンシング ④5 F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと健康Ⅰ (スポーツ障害の特徴と予防)	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー
11	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量 (るい瘦と肥満) ②睡眠・食事・運動による対策 (特に市実践的な食事の見直し) ③スポーツ活動中の感染症 (含：性病) ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
12	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1 (骨盤と脊柱の動作) ②リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 各授業では、**リアクションペーパー**または**授業習熟度確認テスト** (アンケートを含む場合がある) が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自の**コンディション**を**日常的に記録**し、レポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習**では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、レポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、**Google Classroom** から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
02. 星野公夫 (編)『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
03. ボール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス

04. プレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ (DVD付)』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

- 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
- その評価の割合は、**授業内評価が80%** (授業担当教員は各20点：計80点)、**期末試験が20%**です。
- 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動 (準備学習や復習)、授業に取組む態度などが評価されます。
- 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格 (単位認定) となります。
- 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
- 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
- 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施 (グループワークやスポーツ交流会等) しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

- オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信用デバイスを各自で準備してください。
 - 以下の①～③に示した**継続的に記録可能な**スマートフォン・アプリ等を準備してください (詳細はオンラインガイダンスで説明します)。
- ①睡眠時間 (睡眠状態)
②脈拍数 (心拍数)
③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の専門分野別授業をオムニバス方式で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認します。必ず視聴**してください。
2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。
3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意してください。
4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

- (01) Understand how to proceed with the class
- (02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health
- (03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions
- (04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

- (05) To be able to use a training center appropriately
- (06) Effective training machines

3. Sports and Health

- 07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries
- 08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention
- 09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

- (11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

- (12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

- (13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

- 14) Understand national sports policy and related legislation and plans

- 15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

- 16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

- (1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

- (2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学/Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

三好 英次

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

－具体的な授業の到達目標－

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好・柳川

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：柳川

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1＞4クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2＞身体組成・体力測定	教場：3 F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3 F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バレーボールコート） ①3 F：ドッジボール（柔道場） ②3 F：フットサル（空手場） ③4 F：卓球 ④5 F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バスケットボールコート） ①3 F：ドッジビー（柔道場） ②3 F：ユニホック（空手場） ③4 F：ポッチャ ④5 F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
6	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
7	スポーツと体力AⅠ（トレーニングの基礎理論）	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー

8	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1F(会議室)、B1F(トレーニングセンター) ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3F(柔道場・空手場)、4F(卓球場)、5F(バドミントンコート) ①3F：スポーツ鬼ごっこ(柔道場) ②3F：フロアバレー(空手場) ③4F：スマートフェンシング ④5F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと健康Ⅰ (スポーツ障害の特徴と予防)	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー
11	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量(るい瘦と肥満) ②睡眠・食事・運動による対策(特に市実践的な食事の見直し) ③スポーツ活動中の感染症(含：性病) ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
12	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1(骨盤と脊柱の動作) ②リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

- 各授業では、リアクションペーパーまたは授業習熟度確認テスト(アンケートを含む場合がある)が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自のコンディションを日常的に記録し、レポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、レポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、Google Classroom から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
02. 星野公夫(編)『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
03. ボール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス

04. ブレット・コントララス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ(DVD付)』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

- 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
- その評価の割合は、**授業内評価が80%**(授業担当教員は各20点：計80点)、**期末試験が20%**です。
- 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動(準備学習や復習)、授業に取組む態度などが評価されます。
- 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格(単位認定)となります。
- 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
- 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
- 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施(グループワークやスポーツ交流会等)しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

- オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信用デバイスを各自で準備してください。
 - 以下の①～③に示した**継続的に記録可能な**スマートフォン・アプリ等を準備してください(詳細はオンラインガイダンスで説明します)。
- ①睡眠時間(睡眠状態)
②脈拍数(心拍数)
③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の専門分野別授業をオムニバス方式で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認します。必ず視聴**して下さい。
2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。
3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意して下さい。
4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

- (01) Understand how to proceed with the class
- (02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health
- (03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions
- (04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

- (05) To be able to use a training center appropriately
- (06) Effective training machines

3. Sports and Health

- (07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries
- (08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention
- (09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

- (11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

- (12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

- (13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

- 14) Understand national sports policy and related legislation and plans

- 15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

- 16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

- (1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

- (2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

三好 英次

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

－具体的な授業の到達目標－

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好・柳川

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：柳川

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1＞4クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2＞身体組成・体力測定	教場：3 F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3 F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バレーボールコート） ①3 F：ドッジボール（柔道場） ②3 F：フットサル（空手場） ③4 F：卓球 ④5 F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バスケットボールコート） ①3 F：ドッジビー（柔道場） ②3 F：ユニホック（空手場） ③4 F：ポッチャ ④5 F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
6	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
7	スポーツと体力AⅠ（トレーニングの基礎理論）	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー

8	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1 F (会議室)、B 1 F (トレーニングセンター) ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3 F (柔道場・空手場)、4 F (卓球場)、5 F (バドミントンコート) ①3 F：スポーツ鬼ごっこ (柔道場) ②3 F：フロアバレー (空手場) ③4 F：スマートフェンシング ④5 F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと健康Ⅰ (スポーツ障害の特徴と予防)	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー
11	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量 (るい瘦と肥満) ②睡眠・食事・運動による対策 (特に市実践的な食事の見直し) ③スポーツ活動中の感染症 (含：性病) ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
12	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1 (骨盤と脊柱の動作) ②リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 各授業では、リアクションペーパーまたは授業習熟度確認テスト (アンケートを含む場合がある) が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自のコンディションを日常的に記録し、リポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、リポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、Google Classroom から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
02. 星野公夫 (編)『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
03. ボール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス

04. プレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ (DVD付)』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

- 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
- その評価の割合は、**授業内評価が80%** (授業担当教員は各20点：計80点)、**期末試験が20%**です。
- 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動 (準備学習や復習)、授業に取組む態度などが評価されます。
- 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格 (単位認定) となります。
- 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
- 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
- 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施 (グループワークやスポーツ交流会等) しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

- オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信用デバイスを各自で準備してください。
 - 以下の①～③に示した**継続的に記録可能な**スマートフォン・アプリ等を準備してください (詳細はオンラインガイダンスで説明します)。
- ①睡眠時間 (睡眠状態)
②脈拍数 (心拍数)
③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の専門分野別授業をオムニバス方式で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認します。必ず視聴**してください。
2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。
3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意してください。
4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

- (01) Understand how to proceed with the class
- (02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health
- (03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions
- (04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

- (05) To be able to use a training center appropriately
- (06) Effective training machines

3. Sports and Health

- 07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries
- 08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention
- 09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

- (11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

- (12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

- (13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

- 14) Understand national sports policy and related legislation and plans

- 15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

- 16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

- (1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

- (2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

三好 英次

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

ー具体的な授業の到達目標ー

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：藤岡・上岡・三好

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1 > 4 クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2 > 身体組成・体力測定	教場：3 F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3 F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バレーボールコート） ①3 F：ドッジボール（柔道場） ②3 F：フットサル（空手場） ③4 F：卓球 ④5 F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バスケットボールコート） ①3 F：ドッジビー（柔道場） ②3 F：ユニホック（空手場） ③4 F：ポッチャ ④5 F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
6	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
7	スポーツと体力AⅠ（トレーニングの基礎理論）	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B 1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー

8	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1F(会議室)、B1F(トレーニングセンター) ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3F(柔道場・空手場)、4F(卓球場)、5F(バドミントンコート) ①3F：スポーツ鬼ごっこ(柔道場) ②3F：フロアバレー(空手場) ③4F：スマートフェンシング ④5F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと健康Ⅰ (スポーツ障害の特徴と予防)	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー
11	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量(るい瘦と肥満) ②睡眠・食事・運動による対策(特に市実践的な食事の見直し) ③スポーツ活動中の感染症(含：性病) ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
12	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1(骨盤と脊柱の動作) ②リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

- 各授業では、リアクションペーパーまたは授業習熟度確認テスト(アンケートを含む場合がある)が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自のコンディションを日常的に記録し、レポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、レポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、Google Classroom から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
02. 星野公夫(編)『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
03. ボール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス

04. ブレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ(DVD付)』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

- 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
- その評価の割合は、**授業内評価が80%**(授業担当教員は各20点：計80点)、**期末試験が20%**です。
- 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動(準備学習や復習)、授業に取組む態度などが評価されます。
- 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格(単位認定)となります。
- 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
- 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
- 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施(グループワークやスポーツ交流会等)しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

- オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信用デバイスを各自で準備してください。
 - 以下の①～③に示した**継続的に記録可能な**スマートフォン・アプリ等を準備してください(詳細はオンラインガイダンスで説明します)。
- ①睡眠時間(睡眠状態)
②脈拍数(心拍数)
③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の専門分野別授業をオムニバス方式で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認します。必ず視聴**して下さい。
2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。
3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意してください。
4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

- (01) Understand how to proceed with the class
- (02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health
- (03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions
- (04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

- (05) To be able to use a training center appropriately
- (06) Effective training machines

3. Sports and Health

- 07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries
- 08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention
- 09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

- (11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

- (12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

- (13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

- 14) Understand national sports policy and related legislation and plans

- 15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

- 16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

- (1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

- (2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

藤岡 成美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

ー具体的な授業の到達目標ー

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：藤岡・上岡・三好

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1＞4クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2＞身体組成・体力測定	教場：3 F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3 F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バレーボールコート） ①3 F：ドッジボール（柔道場） ②3 F：フットサル（空手場） ③4 F：卓球 ④5 F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バスケットボールコート） ①3 F：ドッジビー（柔道場） ②3 F：ユニホック（空手場） ③4 F：ポッチャ ④5 F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
6	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
7	スポーツと体力AⅠ（トレーニングの基礎理論）	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B 1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー

8	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1 F (会議室)、B 1 F (トレーニングセンター) ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3 F (柔道場・空手場)、4 F (卓球場)、5 F (バドミントンコート) ①3 F：スポーツ鬼ごっこ (柔道場) ②3 F：フロアバレー (空手場) ③4 F：スマートフェンシング ④5 F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと健康Ⅰ (スポーツ障害の特徴と予防)	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー
11	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量 (るい瘦と肥満) ②睡眠・食事・運動による対策 (特に市実践的な食事の見直し) ③スポーツ活動中の感染症 (含：性病) ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
12	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1 (骨盤と脊柱の動作) ②リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 各授業では、**リアクションペーパー**または**授業習熟度確認テスト** (アンケートを含む場合がある) が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自の**コンディション**を**日常的に記録**し、レポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習**では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、レポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、**Google Classroom** から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
02. 星野公夫 (編)『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
03. ボール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス

04. プレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ (DVD付)』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

- 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
- その評価の割合は、**授業内評価が80%** (授業担当教員は各20点：計80点)、**期末試験が20%**です。
- 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動 (準備学習や復習)、授業に取組む態度などが評価されます。
- 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格 (単位認定) となります。
- 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
- 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
- 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施 (グループワークやスポーツ交流会等) しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

- オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信用デバイスを各自で準備してください。
 - 以下の①～③に示した**継続的に記録可能な**スマートフォン・アプリ等を準備してください (詳細はオンラインガイダンスで説明します)。
- ①睡眠時間 (睡眠状態)
②脈拍数 (心拍数)
③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の専門分野別授業をオムニバス方式で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認します。必ず視聴**してください。
2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。
3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意してください。
4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

- (01) Understand how to proceed with the class
- (02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health
- (03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions
- (04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

- (05) To be able to use a training center appropriately
- (06) Effective training machines

3. Sports and Health

- 07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries
- 08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention
- 09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

- (11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

- (12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

- (13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

- 14) Understand national sports policy and related legislation and plans

- 15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

- 16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

- (1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

- (2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

上岡 尚代

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

－具体的な授業の到達目標－

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：藤岡・上岡・三好

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1＞4クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2＞身体組成・体力測定	教場：3 F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3 F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バレーボールコート） ①3 F：ドッジボール（柔道場） ②3 F：フットサル（空手場） ③4 F：卓球 ④5 F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バスケットボールコート） ①3 F：ドッジビー（柔道場） ②3 F：ユニホック（空手場） ③4 F：ポッチャ ④5 F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと健康Ⅰ（スポーツ障害の特徴と予防）	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー

6	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量（るい瘦と肥満） ②睡眠・食事・運動による対策（特に市実践的な食事の見直し） ③スポーツ活動中の感染症（含：性病） ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
7	スポーツと体力AⅠ (トレーニングの基礎理論)	教場：1F（会議室）、3F（柔道場）、B1F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15RM）⇒記録提出 ③リアクションペーパー
8	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1F（会議室）、B1F（トレーニングセンター） ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3F（柔道場・空手場）、4F（卓球場）、5F（バドミントンコート） ①3F：スポーツ鬼ごっこ（柔道場） ②3F：フロアバレー（空手場） ③4F：スマートフェンシング ④5F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
11	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1（骨盤と脊柱の動作） ②リアクションペーパー
12	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
13	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 各授業では、リアクションペーパーまたは授業習熟度確認テスト（アンケートを含む場合がある）が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自のコンディションを日常的に記録し、レポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、レポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、Google Classroom から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
 02. 星野公夫（編）『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
 03. ポール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス
 04. プレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ（DVD付）』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

- 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
- その評価の割合は、**授業内評価が80%**（授業担当教員は各20点：計80点）、**期末試験が20%**です。
- 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動（準備学習や復習）、授業に取組む態度などが評価されます。
- 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格（単位認定）となります。
- 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
- 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
- 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがひ、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施（グループワークやスポーツ交流会等）しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

1. オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信用デバイスを各自で準備してください。

2. 以下の①～③に示した**継続的に記録可能な**スマートフォン・アプリ等を準備してください（詳細はオンラインガイダンスで説明します）。

①睡眠時間（睡眠状態）

②脈拍数（心拍数）

③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の**専門分野別授業をオムニバス方式**で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認**します。**必ず視聴**してください。

2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。

3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意してください。

4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

(01) Understand how to proceed with the class

(02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health

(03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions

(04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

(05) To be able to use a training center appropriately

(06) Effective training machines

3. Sports and Health

(07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries

(08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention

(09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

(10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

(11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

(12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

(13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

14) Understand national sports policy and related legislation and plans

15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

(2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

上岡 尚代

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

ー具体的な授業の到達目標ー

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：藤岡・上岡・三好

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1＞4クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2＞身体組成・体力測定	教場：3 F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3 F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バレーボールコート） ①3 F：ドッジボール（柔道場） ②3 F：フットサル（空手場） ③4 F：卓球 ④5 F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バスケットボールコート） ①3 F：ドッジビー（柔道場） ②3 F：ユニホック（空手場） ③4 F：ポッチャ ④5 F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと健康Ⅰ（スポーツ障害の特徴と予防）	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー

6	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量（るい瘦と肥満） ②睡眠・食事・運動による対策（特に市実践的な食事の見直し） ③スポーツ活動中の感染症（含：性病） ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
7	スポーツと体力AⅠ (トレーニングの基礎理論)	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B 1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー
8	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1 F（会議室）、B 1 F（トレーニングセンター） ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バドミントンコート） ①3 F：スポーツ鬼ごっこ（柔道場） ②3 F：フロアバレー（空手場） ③4 F：スマートフェンシング ④5 F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
11	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1（骨盤と脊柱の動作） ②リアクションペーパー
12	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
13	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 各授業では、リアクションペーパーまたは授業習熟度確認テスト（アンケートを含む場合がある）が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自のコンディションを日常的に記録し、レポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、レポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、Google Classroom から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
 02. 星野公夫（編）『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
 03. ポール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス
 04. プレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ（DVD付）』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

1. 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
2. その評価の割合は、**授業内評価が80%**（授業担当教員は各20点：計80点）、**期末試験が20%**です。
3. 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動（準備学習や復習）、授業に取組む態度などが評価されます。
4. 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格（単位認定）となります。
5. 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
6. 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
7. 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがひ、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施（グループワークやスポーツ交流会等）しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

1. オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信用デバイスを各自で準備してください。

2. 以下の①～③に示した**継続的に記録可能なスマートフォン・アプリ**等を準備してください（詳細はオンラインガイダンスで説明します）。

①睡眠時間（睡眠状態）

②脈拍数（心拍数）

③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の**専門分野別授業をオムニバス方式**で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認します。必ず視聴**してください。

2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。

3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意してください。

4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

(01) Understand how to proceed with the class

(02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health

(03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions

(04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

(05) To be able to use a training center appropriately

(06) Effective training machines

3. Sports and Health

(07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries

(08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention

(09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

(10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

(11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

(12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

(13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

14) Understand national sports policy and related legislation and plans

15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

(2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

藤岡 成美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

ー具体的な授業の到達目標ー

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：藤岡・上岡・三好

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1 > 4 クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2 > 身体組成・体力測定	教場：3 F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3 F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会 I（含：スポーツ外傷対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バレーボールコート） ①3 F：ドッジボール（柔道場） ②3 F：フットサル（空手場） ③4 F：卓球 ④5 F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会 II（含：筋肉痛対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バスケットボールコート） ①3 F：ドッジビー（柔道場） ②3 F：ユニホック（空手場） ③4 F：ポッチャ ④5 F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと政策 I	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
6	スポーツと政策 II	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
7	スポーツと体力A I（トレーニングの基礎理論）	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B 1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー

8	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場: 1 F (会議室)、B 1 F (トレーニングセンター) ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含: セルフケア)	教場: 3 F (柔道場・空手場)、4 F (卓球場)、5 F (バドミントンコート) ①3 F: スポーツ鬼ごっこ (柔道場) ②3 F: フロアバレー (空手場) ③4 F: スマートフェンシング ④5 F: バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと健康Ⅰ (スポーツ障害の特徴と予防)	教場: ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー
11	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場: ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策: 基礎代謝と体脂肪量 (るい瘦と肥満) ②睡眠・食事・運動による対策 (特に市実践的な食事の見直し) ③スポーツ活動中の感染症 (含: 性病) ④ストレスの原因と対策: 健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
12	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場: ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場: ガイダンスで指示する ①実習: 動作課題1 (骨盤と脊柱の動作) ②リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験: 各クラス共通問題

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 各授業では、**リアクションペーパー**または**授業習熟度確認テスト** (アンケートを含む場合がある) が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自の**コンディション**を**日常的に記録**し、レポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習**では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、レポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、**Google Classroom** から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
02. 星野公夫 (編)『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
03. ボール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス

04. プレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ (DVD付)』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

- 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
- その評価の割合は、**授業内評価が80%** (授業担当教員は各20点: 計80点)、**期末試験が20%**です。
- 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動 (準備学習や復習)、授業に取組む態度などが評価されます。
- 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格 (単位認定) となります。
- 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
- 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
- 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施 (グループワークやスポーツ交流会等) しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

- オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信用デバイスを各自で準備してください。
 - 以下の①～③に示した**継続的に記録可能な**スマートフォン・アプリ等を準備してください (詳細はオンラインガイダンスで説明します)。
- ①睡眠時間 (睡眠状態)
②脈拍数 (心拍数)
③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の専門分野別授業をオムニバス方式で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。**視聴状況を確認します。必ず視聴**して下さい。
2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。
3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意して下さい。
4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

- (01) Understand how to proceed with the class
- (02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health
- (03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions
- (04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

- (05) To be able to use a training center appropriately
- (06) Effective training machines

3. Sports and Health

- 07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries
- 08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention
- 09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

- (11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture

- (12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders

- (13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

- 14) Understand national sports policy and related legislation and plans

- 15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy

- 16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

- (1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80

- (2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

三好 英次

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持・増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を獲得する。
2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルを獲得する。
3. スポーツ活動を実践することで、他者との親睦を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。

【到達目標】

この授業の到達目標は、我が国のスポーツ政策への理解を深めた上で、体力およびコンディションの分析、トレーニング、姿勢、動作、身体組成、加齢、生活習慣病、栄養と食事などから、履修者自ら将来の健康増進に資する行動変容を獲得することです。

以下は、各分野における授業の到達目標です。

－具体的な授業の到達目標－

1. ガイダンスおよび共通授業：藤岡・上岡・三好

- 01) 授業の進め方を理解する
- 02) 健康の維持増進に関する自己目標を設定できる
- 03) 体力測定およびコンディションの変化を考察できる
- 04) 積極的にコミュニケーションできる

2. スポーツと体力A（動的機能の向上…トレーニング方法）：藤岡・上岡・三好

- 05) トレーニングセンターを適切に利用できる
- 06) 安全で効果的なトレーニングを実施するための留意点を述べられる

3. スポーツと健康：上岡

- 07) スポーツ障害予防の観点から性差、若年期と老年期に必要な体力について理解する
- 08) 生活習慣病予防の観点から栄養・食事や運動について理解する
- 09) スポーツ活動中の感染症リスクを述べられる
- 10) ストレスの影響とストレスマネジメントについて理解する

4. スポーツと体力B（静的機能の向上…姿勢と動作）：三好

- 11) 立位姿勢の構造を学び、自身の姿勢の特徴と問題点を理解する
- 12) 骨盤、背骨、肩を意識的に操作する動作課題を通じて、自分の身体に対する気づきを高める
- 13) 自分の身体と意識的に向き合うことが心身の健康に及ぼす影響を理解する

5. スポーツと政策：藤岡

- 14) 国のスポーツ政策や関連する法・計画を理解する
- 15) 国や自治体のスポーツ政策に関わる組織や業務内容を理解する
- 16) 政策プロセスに関するワークを通じ、政策を進める上でのポイントを理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

詳細はオンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認するので、必ず視聴してください。

授業は、対面授業を基本とし、必要に応じてオンライン授業を組み合わせて実施します。ただし、Covid-19等の予防感染対策に関する大学の方針に変化があった場合の授業計画の変更については、Hoppiiでその都度提示します。

初回ガイダンス以降、スポーツ総合演習の授業に関するアナウンスや授業資料の配布等はGoogle Classroomを通じて行います。そのため、Hoppiiに届いたオンライン・ガイダンスの案内に付されたGoogle ClassroomのURLにアクセスし、必ず入室を済ませてください。また、授業においてはリアクションペーパーなどにおける良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1＞4クラス合同ガイダンスおよびグループワーク（オンラインによる事前ガイダンスを含む） 2＞身体組成・体力測定	教場：3 F（柔道場・空手場） ①授業の意義と進め方（クラス担当教員と授業担当教員の違い等） ②諸注意（Google Classroomの利用について） ③授業外学習（コンディション記録について） ④身体組成・体力測定 ⑤リアクションペーパーおよびアンケート（Google Forms利用/各種測定の待ち時間に行う予定）
2	グループワーク（4クラス合同）	教場：3 F（柔道場・空手場） ①スポーツ交流会について ②参加するスポーツ種目の選択 ③第1回目の欠席者の体力測定、アンケート等 ④リアクションペーパー
3	スポーツ交流会Ⅰ（含：スポーツ外傷対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バレーボールコート） ①3 F：ドッジボール（柔道場） ②3 F：フットサル（空手場） ③4 F：卓球 ④5 F：バレーボール ⑤リアクションペーパー
4	スポーツ交流会Ⅱ（含：筋肉痛対策）	教場：3 F（柔道場・空手場）、4 F（卓球場）、5 F（バスケットボールコート） ①3 F：ドッジビー（柔道場） ②3 F：ユニホック（空手場） ③4 F：ポッチャ ④5 F：バスケットボール ⑤リアクションペーパー
5	スポーツと政策Ⅰ	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ基本法・基本計画、行政機構 ②スポーツ実施状況とその環境、ワーク ③リアクションペーパー
6	スポーツと政策Ⅱ	教場：ガイダンスで指示する ①自治体のスポーツ行政 ②スポーツ行政に関するワーク ③リアクションペーパー
7	スポーツと体力AⅠ（トレーニングの基礎理論）	教場：1 F（会議室）、3 F（柔道場）、B 1 F（トレーニングセンター） ①筋力トレーニングの効果 ②トレーニング・マシンの安全な使用方法と実践（12～15 R M）⇒記録提出 ③リアクションペーパー

8	スポーツと体力AⅡ (トレーニングマシンの効果的な実践)	教場：1 F (会議室)、B 1 F (トレーニングセンター) ①目的別トレーニングの負荷設定 ②筋力トレーニングの実践⇒記録提出 ③リアクションペーパー
9	スポーツ交流会Ⅲ (含：セルフケア)	教場：3 F (柔道場・空手場)、4 F (卓球場)、5 F (バドミントンコート) ①3 F：スポーツ鬼ごっこ (柔道場) ②3 F：フロアバレー (空手場) ③4 F：スマートフェンシング ④5 F：バドミントン ⑤リアクションペーパー
10	スポーツと健康Ⅰ (スポーツ障害の特徴と予防)	教場：ガイダンスで指示する ①スポーツ障害のメカニズム ②体力における性差 ③若年期に多いスポーツ障害と予防 ④老年期に多いスポーツ障害と予防 ⑤リアクションペーパー
11	スポーツと健康Ⅱ (生活習慣病予防と感染症対策)	教場：ガイダンスで指示する ①生活習慣病の原因と対策：基礎代謝と体脂肪量 (るい瘦と肥満) ②睡眠・食事・運動による対策 (特に市実践的な食事の見直し) ③スポーツ活動中の感染症 (含：性病) ④ストレスの原因と対策：健康との関連性 ⑤リアクションペーパー
12	スポーツと体力BⅠ (立位姿勢の構造と分析)	教場：ガイダンスで指示する ①立位姿勢のしくみ ②立位姿勢の撮影と分析・評価 ③リアクションペーパー
13	スポーツと体力BⅡ (姿勢のセルフコントロール2)	教場：ガイダンスで指示する ①実習：動作課題1 (骨盤と脊柱の動作) ②リアクションペーパー
14	期末試験・総括と解説	①コンディション記録の総括 ②今後の健康の保持増進 ③アンケート ④期末試験：各クラス共通問題

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 各授業では、**リアクションペーパー**または**授業習熟度確認テスト** (アンケートを含む場合がある) が実施されます。各授業担当教員の指示にしたがって提出してください。
- 各自の**コンディション**を**日常的に記録**し、レポートを提出してください。提出方法はガイダンスで説明します。
- スポーツと体力Aの事前学習**では、ガイダンスで指示されたオンデマンド教材を視聴し、①トレーニングセンター利用のためのルール、②更衣室利用のためのルール、③トレーニングマシンの扱い方などを学習し、レポートを提出してください。
- 以上1～3を含む本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

必要に応じて資料を配布します。また、また、担当者によっては、**Google Classroom** から配付資料を各自でダウンロードするように指示が出されます。

【参考書】

01. 出村慎一『健康・スポーツ科学のための動作と体力の測定法』杏林書院
02. 星野公夫 (編)『スポーツ選手のための動作法』高文堂出版
03. ボール・ウェイド著・山田雅久訳『プリズナートレーニング 圧倒的な強さを手に入れる究極の自重筋トレ』CCCメディアハウス

04. プレット・コントレラス著・東出顕子訳『自重筋力トレーニング アナトミ』ガイアブックス
 05. エディー・ジョーンズ・持田昌典著『勝つための準備』講談社
 06. 山本ケイイチ『仕事ができる人はなぜ筋トレをするのか』幻冬舎新書
 07. 吉江一彦『エグゼクティブが身体を鍛える本当のワケ』グラフ社
 08. 山本利春著『疲れたときは、からだを動かす』岩波書店
 09. 清水昭ほか『体温を上げて健康な体を手に入れる』ブティック・ムック通巻878号
 10. 伊藤マモル『最新版・基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』日本文芸社
 11. 伊藤マモル『もっと伸びるストレッチング』スキージャーナル社
 12. 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書
 13. 伊藤マモル『基本のストレッチ (DVD付)』主婦の友社
 14. 伊藤マモル『痛めない! ゆるまない! ひとりで巻くテーピング』日本文芸社
- 参考資料は、随時必要に応じて各担当教員から紹介されます。

【成績評価の方法と基準】

- 最終評価および単位認定は、クラス担当教員が分野別授業の各担当教員から提示された評価を総合して行います。
- その評価の割合は、**授業内評価が80%** (授業担当教員は各20点：計80点)、**期末試験が20%**です。
- 授業内評価では、リアクションペーパーや授業習熟度確認テストだけでなく授業外に行うべき学習活動 (準備学習や復習)、授業に取組む態度などが評価されます。
- 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格 (単位認定) となります。
- 期末試験の出題範囲は、各分野別授業で扱った内容のすべてですが、主として各自のコンディションを記録に関するレポートについて設問されます。
- 期末試験の受験資格は、**出席が10回以上**の者を対象とします。ただし、授業は全回出席が原則であり、特にスポーツ、トレーニング、コミュニケーションが教材となる性質上、欠席は望ましくありません。
- 本科目で求められた課題の未提出、欠席および遅刻、早退は減点されます。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度は、Covid-19の感染予防対策を重視する大学の方針にしたがい、対面授業とオンライン授業を重ね合わせました。これらの授業を履修した法学部生の意見をグループワークによるモニタリングやアンケートによって把握しました。その結果、授業に対する満足度は低いものではありませんでしたが、身体をもっと動かすための実習・実技を増やしてほしいという要望が少なからず認められました。その一方で、学習効率や習熟度が高まるなどのオンライン授業を支持する意見も多く寄せられました。

アンケートの結果については、Covid-19の影響による外出制限や自粛を求められた学生諸君の率直な心境が表れたものと解釈しています。しかしながら、大学における保健体育科目は、卒業後の健康の保持増進の在り方を見据えることが重要課題であり、単にスポーツ実技それだけを実施すれば良いわけではないことは理解してもらえと考えています。つまり、保健体育科目＝スポーツ種目に参加すればよいとか、出席だけしていれば単位が出るとの誤解を払拭し、皆さんの将来の健康づくりに深く関わるテーマを提示することで、自らの健康づくりに継続して取り組むための新たな素地を提供し、皆さんの教養を高めることを目指します。

2023年度は、Covid-19の影響により低迷した学生間のコミュニケーションを促し、交流を深めるための授業を実施 (グループワークやスポーツ交流会等) しました。2024年度の学習成果はアンケート等によって、授業による意識の変化などを分析し、法政大学スポーツ研究センター紀要内でフィードバックする予定です。

【学生が準備すべき機器他】

- オンライン授業を実施する場合があることを想定し、授業を円滑に受講するためのインターネットの通信環境およびパソコンやタブレットなどの通信用デバイスを各自で準備してください。
 - 以下の①～③に示した**継続的に記録可能な**スマートフォン・アプリ等を準備してください (詳細はオンラインガイダンスで説明します)。
- ①睡眠時間 (睡眠状態)
②脈拍数 (心拍数)
③歩数・歩行距離など

【その他の重要事項】

本演習はクラス単位の専門分野別授業をオムニバス方式で4人の教員がリレーします。そのため、学部ガイダンスに出席し、**クラス担任教員名、受講できる学期、時間割**を必ず確認して下さい。

1. 授業内容やその進め方などに関する詳細は、オンラインのガイダンスで説明します。ガイダンスのリンク先は、第1回授業開始前までに学習支援システム（通称：Hoppii）の「お知らせメール」等で周知します。視聴状況を確認します。必ず視聴してください。
2. ガイダンスを欠席および遅刻、早退した場合は減点されます。
3. 対面授業にあたっては、日常的に体温や体調の変化の把握に努め、各自が心身の体調を整え、授業に出席することに留意してください。
4. 授業の前後に行うべき課題や次の授業に向けての準備などは、分野別授業の担当教員から出される指示にしたがってください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The outline and objectives of the class are as follows.

1. To deepen understanding of the significance and role of physical activity and acquire basic knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental and social health and self-management throughout life.
2. To acquire various skills that will lead to the development of employability (such as the ability to build trusting relationships and act together), such as cooperativeness and social skills that will enable communication with others, leadership, and problem solving, which are considered extremely important for success in the real world after graduation.
3. To deepen friendship with others and acquire the ability to lead a rich and healthy student life and social life by practicing sports activities.

Therefore, by the end of the course, students should be able to do the following:

Improve properly learning and attitude about physical, mental and social health necessary throughout the students' future of life.

Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. And students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class.

【Learning Objectives】

The aim of this course is to deepen the sports policy in our country and to analyse the students' physical fitness, training, posture, movement, body composition, ageing, lifestyle-related diseases, nutrition and diet so that they can change their behaviour to improve their health in the future.

The following are the objectives of the classes in each field.

1. Guidance and common classes

- (01) Understand how to proceed with the class
- (02) To be able to set personal goals for maintaining and improving one's health
- (03) To be able to measure physical fitness and consider changes in conditions
- (04) Able to communicate proactively.

2. Sports and physical fitness A (Improvement of dynamic function...training methods)

- (05) To be able to use a training center appropriately
- (06) Effective training machines

3. Sports and Health

- 07) Understand gender differences and the physical fitness required in young and old age from the perspective of preventing sports injuries
- 08) Understand nutrition, diet and exercise from the perspective of lifestyle-related disease prevention
- 09) Describe the risks of infectious diseases during sports activities

10) Understand the effects of stress and stress management

4. Sports and Physical Fitness B (Improvement of static function...posture and movement)

- (11) To learn about the structure of standing posture and understand the characteristics and problems of one's own posture
- (12) To increase awareness of one's own body through movement tasks that consciously manipulate the pelvis, spine, and shoulders
- (13) To understand the effects of consciously facing one's own body on one's physical and mental health

5. sport and policy

- 14) Understand national sports policy and related legislation and plans
- 15) Understand the organisations and tasks involved in national and municipal sports policy
- 16) Understand the key points in advancing policy through work on the policy process

【Learning activities outside of classroom】

Learning activities outside of classroom are before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

- (1) Participation in class activities (including reaction papers and reports): 80
- (2) Examination (to be in the form of an essay): 20%.

These grading methods are in principle only. Students who have difficulty in participating in regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

佐藤 優希

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容を理解するとともにスポーツ活動への取り組みに対する動機づけを図る。また半期に渡って健康状態の記録を実施する。
2	体力測定	体力測定（50m走、シャトルランを除く）を通じて、現状の体力レベルを知る（講義および実習）
3	体力測定フィードバック	体力測定データのフィードバックから健康を維持するための方法を考える（講義）
4	トレーニングと健康	レーニンセンターの利用方法および安全講習を行い、「トレーニング」という観点から健康を維持するための方法を学ぶ（講義及び実習）
5	アイスブレイクグループワーク	他己紹介を用いたグループワークに取り組む。また、スポーツ経験を受講者間で共有する。（グループワークおよび実習）
6	集団スポーツを学ぶ1	ドッジビーを通じた相互理解の促進（講義及び実習）

7	集団スポーツを学ぶ2	ソフトバレーボールを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
8	個人スポーツを学ぶ1	バドミントンを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
9	個人スポーツを学ぶ2	バドミントンを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
10	スポーツとコーピング	スポーツの観点からストレスへの対処（コーピング）について学ぶ（講義）
11	個人スポーツを学ぶ3	卓球を通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
12	スポーツと人間心理	グループワーク「気になる自画像」を通して、他者から見た私を知る（講義およびグループワーク）
13	集団スポーツを学ぶ3	バスケットボールを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
14	総括、レポート	授業の総括およびレポートに取り組む。半期に渡り記録した健康状態について、分析・考察を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本演習の準備・復習時間の目安は1回の授業につき2時間以上です。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本講義内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【参考書】

特定の参考書は使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【成績評価の方法と基準】

授業中の活動に対する参画状況・リアクションペーパー60%、課題・レポート40%の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

1. レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。
2. リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。
3. リアクションペーパー、レポート等の提出物は、必ず本人が提出してください。
4. 授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。
5. 原則として欠席3回までを評価対象とします。また、授業開始から20分以内での入室を遅刻とし、それ以降の入室は欠席とします。
6. やむを得ない理由がない限り全ての授業に出席してください。やむを得ない理由とは、病気、ケガ等による欠席となります。
7. 前述の理由により欠席する場合、事前にその旨について担当教員に報告してください。また病気や怪我といった急性疾患等により欠席する場合、出席可能となった授業時にその旨について担当教員に報告してください。なお、病気や怪我による通院などによる欠席の場合、そのことを証明できる資料を担当教員に提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

1. 食事、休養、睡眠等の生活習慣について日々記録することが望ましい。
2. 多様な体験型実習やグループワークを取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。忘れた場合は見学になります。ネイルやアクセサリーの着用は事故およびケガの原因になるため、実習中は外すことが望ましい。

【その他の重要事項】

1. 原則として対面授業を実施する予定です。学習支援システムから授業に関する情報を配信します。そのため、都度、学習支援システムをチェックするようにしてください。
2. 授業内容に関する説明を実施するため、必ず初回授業に出席してください。
3. 授業とは関係のない行為（携帯使用、居眠り、会話等）は厳禁とし、その行為をした受講生は単位認定の評価外とします。
4. 上記の授業計画は、受講者の人数や要望に応じて変更する場合があります。
5. 授業終了後に教室・教場で質問を受け付ける。随時、電子メールでも質問可。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

佐藤 優希

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容を理解するとともにスポーツ活動への取り組みに対する動機づけを図る。また半期に渡って健康状態の記録を実施する。
2	体力測定	体力測定（50m走、シャトルランを除く）を通じて、現状の体力レベルを知る（講義および実習）
3	体力測定フィードバック	体力測定データのフィードバックから健康を維持するための方法を考える（講義）
4	トレーニングと健康	レーニンセンターの利用方法および安全講習を行い、「トレーニング」という観点から健康を維持するための方法を学ぶ（講義及び実習）
5	アイスブレイクグループワーク	他己紹介を用いたグループワークに取り組む。また、スポーツ経験を受講者間で共有する。（グループワークおよび実習）
6	集団スポーツを学ぶ1	ドッジビーを通じた相互理解の促進（講義及び実習）

7	集団スポーツを学ぶ2	ソフトバレーボールを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
8	個人スポーツを学ぶ1	バドミントンを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
9	個人スポーツを学ぶ2	バドミントンを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
10	スポーツとコーピング	スポーツの観点からストレスへの対処（コーピング）について学ぶ（講義）
11	個人スポーツを学ぶ3	卓球を通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
12	スポーツと人間心理	グループワーク「気になる自画像」を通して、他者から見た私を知る（講義およびグループワーク）
13	集団スポーツを学ぶ3	バスケットボールを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
14	総括、レポート	授業の総括およびレポートに取り組む。半期に渡り記録した健康状態について、分析・考察を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本演習の準備・復習時間の目安は1回の授業につき2時間以上です。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本講義内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【参考書】

特定の参考書は使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【成績評価の方法と基準】

授業中の活動に対する参画状況・リアクションペーパー60%、課題・レポート40%の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

1. レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。
2. リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。
3. リアクションペーパー、レポート等の提出物は、必ず本人が提出してください。
4. 授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。
5. 原則として欠席3回までを評価対象とします。また、授業開始から20分以内までの入室を遅刻とし、それ以降の入室は欠席とします。
6. やむを得ない理由がない限り全ての授業に出席してください。やむを得ない理由とは、病気、ケガ等による欠席となります。
7. 前述の理由により欠席する場合、事前にその旨について担当教員に報告してください。また病気や怪我といった急性疾患等により欠席する場合、出席可能となった授業時にその旨について担当教員に報告してください。なお、病気や怪我による通院などによる欠席の場合、そのことを証明できる資料を担当教員に提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

1. 食事、休養、睡眠等の生活習慣について日々記録することが望ましい。
2. 多様な体験型実習やグループワークを取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。忘れた場合は見学になります。ネイルやアクセサリーの着用は事故およびケガの原因になるため、実習中は外すことが望ましい。

【その他の重要事項】

1. 原則として対面授業を実施する予定です。学習支援システムから授業に関する情報を配信します。そのため、都度、学習支援システムをチェックするようにしてください。
2. 授業内容に関する説明を実施するため、必ず初回授業に出席してください。
3. 授業とは関係のない行為（携帯使用、居眠り、会話等）は厳禁とし、その行為をした受講生は単位認定の評価外とします。
4. 上記の授業計画は、受講者の人数や要望に応じて変更する場合があります。
5. 授業終了後に教室・教場で質問を受け付ける。随時、電子メールでも質問可。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

蔭山 雅洋

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

1. 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
2. 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
3. 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
4. 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
5. 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。なお、最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行ったリアクションペーパーや小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の説明、社会的スキル診断検査（1回目）（講義）
2	体力測定	体力測定の意義を学ぶ（講義及び実習）
3	健康と体力	体力測定のフィードバック及びレポート作成（講義）
4	個人スポーツを学ぶ1	バドミントンを通じた新規的な人間関係の構築（講義及び実習）
5	個人スポーツを学ぶ2	バドミントンを通じた相互理解の促進（講義及び実習）
6	トレーニング演習	トレーニングの理論と実践方法（講義及び実習）
7	健康科学	食事、睡眠、飲酒、喫煙、感染症について学び、自身の健康について考える（講義）
8	集団スポーツを学ぶ1	バレーボールを通じた新規的な人間関係の構築（講義及び実習）
9	集団スポーツを学ぶ2	バレーボールを通じた相互理解の促進（講義及び実習）

10	ライフスタイルに 応じ たスポーツとの関 わり 方	ライフスタイルについて学び、 自身のスポーツとの関わり方について理解を深める（講義）
11	オリンピック・パ ラリ ンピック	オリンピック・パラリンピック の意義を知り、スポーツへの理 解を深める（講義）
12	個人スポーツを学ぶ3	卓球を通じた新規的な人間関係の 構築（講義及び実習）
13	個人スポーツを学ぶ4	卓球を通じた相互理解の促進 （講義及び実習）
14	授業総括	社会的スキル診断検査および体 組成の測定（2回目）を実施し、 これまでの授業が自身の社会的 スキルと健康に与えた影響につ いて理解を深める（講義および 実習）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本授業内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。資料は必要に応じて担当教員が配布します。

【参考書】

特定の参考書は使用しません。担当教員が必要に応じて資料等を配布、あるいは参考書を紹介します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価基準

1) 授業中の活動に対する参画状況・リアクションペーパー60%、2) 課題レポート40%の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

※原則として欠席3回までを評価対象とします。

※授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。

※リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。

※レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。

【学生の意見等からの気づき】

新規的な人間関係の構築を促進する目的から、多様な体験型実習やグループワークを取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

1. スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。

2. 課題を作成・提出するためのノートパソコンやモバイル機器等を準備してください。

その他の重要事項

1. 授業内容に関する説明および社会的スキル診断検査を実施するため、必ず初回授業から出席してください。

2. 原則として対面授業を実施する予定です。ただし、感染症の影響等によりオンライン授業に変更される場合があります。そのため、学習支援システムやメールによる案内を確認するようにしてください。

3. 授業計画は、感染症の拡大状況、受講者数や受講者からの要望に応じて変更される場合があります。

4. 本授業では、社会的スキルの一つとみなされる「ホウ・レン・ソウ（報告、連絡、相談）」の実施を求めます。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This course will make students deeply understand the significance and the effect of physical activity. Therefore, students who take this course can improve properly learning and attitude about physical, mental, and social health necessary throughout the students' future of life.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to:

1. Understand more about the meaning and role of physical activity from various perspectives.
2. Use sports and physical activities to establish a prosperous and healthy student life and social life.
3. Develop essential knowledge and attitudes that contribute to self-management.
4. Develop the ability to demonstrate leadership and solve problems through communication with others.
5. Acquire various skills related to the development of employability.

【Learning activities outside of classroom】 Students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding the assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria/Policy】 Grading will be decided based on the class participation (not attendance)(60 %) and report on the lecture (40%).

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

蔭山 雅洋

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

1. 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
2. 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
3. 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
4. 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
5. 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。なお、最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行ったリアクションペーパーや小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の説明、社会的スキル診断検査（1回目）（講義）
2	体力測定	体力測定の意義を学ぶ（講義及び実習）
3	健康と体力	体力測定のフィードバック及びレポート作成（講義）
4	個人スポーツを学ぶ1	バドミントンを通じた新規的な人間関係の構築（講義及び実習）
5	個人スポーツを学ぶ2	バドミントンを通じた相互理解の促進（講義及び実習）
6	トレーニング演習	トレーニングの理論と実践方法（講義及び実習）
7	健康科学	食事、睡眠、飲酒、喫煙、感染症について学び、自身の健康について考える（講義）
8	集団スポーツを学ぶ1	バレーボールを通じた新規的な人間関係の構築（講義及び実習）
9	集団スポーツを学ぶ2	バレーボールを通じた相互理解の促進（講義及び実習）

10	ライフスタイルに 応じたスポーツとの関 わり 方	ライフスタイルについて学び、 自身のスポーツとの関わり方について理解を深める（講義）
11	オリンピック・パ ラリンピック	オリンピック・パラリンピック の意義を知り、スポーツへの理 解を深める（講義）
12	個人スポーツを学ぶ3	卓球を通じた新規的な人間関係の 構築（講義及び実習）
13	個人スポーツを学ぶ4	卓球を通じた相互理解の促進 （講義及び実習）
14	授業総括	社会的スキル診断検査および体 組成の測定（2回目）を実施し、 これまでの授業が自身の社会的 スキルと健康に与えた影響につ いて理解を深める（講義および 実習）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本授業内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。資料は必要に応じて担当教員が配布します。

【参考書】

特定の参考書は使用しません。担当教員が必要に応じて資料等を配布、あるいは参考書を紹介します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価基準

1) 授業中の活動に対する参画状況・リアクションペーパー60%、2) 課題レポート40%の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

※原則として欠席3回までを評価対象とします。

※授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。

※リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。

※レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。

【学生の意見等からの気づき】

新規的な人間関係の構築を促進する目的から、多様な体験型実習やグループワークを取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

1. スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。

2. 課題を作成・提出するためのノートパソコンやモバイル機器等を準備してください。

その他の重要事項

1. 授業内容に関する説明および社会的スキル診断検査を実施するため、必ず初回授業から出席してください。

2. 原則として対面授業を実施する予定です。ただし、感染症の影響等によりオンライン授業に変更される場合があります。そのため、学習支援システムやメールによる案内を確認するようにしてください。

3. 授業計画は、感染症の拡大状況、受講者数や受講者からの要望に応じて変更される場合があります。

4. 本授業では、社会的スキルの一つとみなされる「ホウ・レン・ソウ（報告、連絡、相談）」の実施を求めます。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This course will make students deeply understand the significance and the effect of physical activity. Therefore, students who take this course can improve properly learning and attitude about physical, mental, and social health necessary throughout the students' future of life.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to:

1. Understand more about the meaning and role of physical activity from various perspectives.
2. Use sports and physical activities to establish a prosperous and healthy student life and social life.
3. Develop essential knowledge and attitudes that contribute to self-management.
4. Develop the ability to demonstrate leadership and solve problems through communication with others.
5. Acquire various skills related to the development of employability.

【Learning activities outside of classroom】 Students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding the assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria/Policy】 Grading will be decided based on the class participation (not attendance)(60 %) and report on the lecture (40%).

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

加藤 玲

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。
この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。
スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。なお、最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行ったリアクションペーパーや小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
No.1	ガイダンス	授業内容の説明（講義）
No.2	体力測定	体力測定の意義を学ぶ（講義及び実習）
No.3	健康と体力	体力測定のフィードバックおよびレポート（1回目）の作成（講義）
No.4	生涯スポーツとしての運動との関わり方について	生涯における運動・スポーツとの様々な関わり方について学ぶ（講義）
No.5	トレーニング演習	トレーニング施設に関する安全講習を受講する（講義及び実習）
No.6	ラケットスポーツを学ぶ1：バドミントン①	バドミントンを通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）
No.7	ラケットスポーツを学ぶ2：バドミントン②	バドミントンを通して社会的スキルの促進を図る（講義及び実習）
No.8	ラケットスポーツを学ぶ3：卓球①	卓球を通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）

No.9	ラケットスポーツを学ぶ4：卓球②	卓球を通して社会的スキルの促進を図る（講義及び実習）
No.10	集団球技スポーツを学ぶ1：バレーボール	バレーボールを通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）
No.11	集団球技スポーツを学ぶ2：バレーボール	バレーボールを通して社会的スキルの促進を図る（講義及び実習）
No.12	ニュースポーツを学ぶ	アルティメットを通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）
No.13	パラスポーツを学ぶ	ボッチャを通して相互理解の促進および社会的スキルの促進を図る（講義及び実習）
No.14	総括	授業のまとめ、レポート（2回目）の作成（講義）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1. 本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
2. 授業目標を達成するために、日々の身体活動に費やした時間、食事内容、睡眠時間などを意識した生活を送ってください。
3. 情報サイトなどで発信されるスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

1. ①授業中の活動に対する参画状況・リアクションペーパー60%、②課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。
2. 授業の概要等について説明するため、必ず初回授業から出席してください。初回授業から欠席を確認します。
3. 原則として欠席3回までを評価対象とします。
4. 授業開始から20分以内までの入室を遅刻とし、それ以降の入室は欠席とします。また、遅刻3回で欠席1回の扱いとします。
5. やむを得ない理由がない限り全ての授業に出席してください。やむを得ない理由とは、病気、怪我、冠婚葬祭等による欠席を指します。
6. 急遽、病気、怪我、冠婚葬祭等により欠席することになった場合、出席可能となった授業時にその旨について担当教員に報告するとともに、そのことを証明できる資料を担当教員に提出してください。
7. レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。
8. リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。
9. 授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。
10. 授業とは無関係な行為（携帯電話の使用、私語、食事など）は禁止します。指導を受けても改善が見られない場合はE評価とします。

【学生の意見等からの気づき】

今年度から本授業を担当するためありません。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェア、室内用シューズ等の貸出はありません。

【その他の重要事項】

1. 原則として対面授業を実施する予定です。ただし、感染症の影響などにより、Zoomなどによるオンライン授業などに変更される場合があります。そのため、都度、学習支援システムなどをチェックするようにしてください。
2. 授業内容に関する説明を行うため、必ず初回授業に出席してください。
3. 授業とは関係のない行為（携帯使用、居眠り、会話等）は厳禁とし、その行為をした受講生は単位認定の評価外とします。
4. 上記の授業計画は、受講者の人数等に応じて変更する場合もあります。
5. 本授業では、社会スキルの一つとみなされる「ハウ・レン・ソウ（報告、連絡、相談）」の実施を求めます。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 40%.

(2) Report on the lecture: 60%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

前原 千佳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。
この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。
スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行った小レポートや課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の説明（講義）
2	体力測定	体力測定の意義を学ぶ（講義及び実習）、レポート（1回目）
3	健康と体力	体力測定のフィードバックおよび健康と体力について学ぶ（講義）
4	健康と栄養	健康と栄養の関係について学び、健康的な食事の選択方法を学ぶ（講義）
5	トレーニング演習	トレーニング施設利用に関する安全講習を受講する（講義及び実習）
6	ラケットスポーツを学ぶ1 バドミントン①	バドミントンを通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）
7	ラケットスポーツを学ぶ2 バドミントン②	バドミントンを通して社会的スキルの促進を図る（講義及び実習）
8	ラケットスポーツを学ぶ3 卓球①	卓球を通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）

9	ラケットスポーツを学ぶ4 卓球②	卓球を通して社会的スキルの促進を図る（講義及び実習）
10	集団球技スポーツを学ぶ バレーボール	バレーボールを通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）
11	ニューススポーツを学ぶ1 ユニホック	ユニホックを通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）
12	ニューススポーツを学ぶ2 アルティメット	アルティメットを通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）
13	パラスポーツを学ぶ ボッチャ	ボッチャを通して相互理解の促進および社会的スキルの促進を図る（講義及び実習）
14	授業の総括	授業のまとめ、レポート（2回目）の作成（講義）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本講義内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- (1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。
1. レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。
2. リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。
3. リアクションペーパー、レポート等の提出物は、必ず本人が提出してください。
4. 授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。
5. 原則として欠席3回までを評価対象とします。また、授業開始から20分以内までの入室を遅刻とし、それ以降の入室は欠席とします。
6. やむを得ない理由がない限り全ての授業に出席してください。やむを得ない理由とは、病気、ケガ等による欠席となります。
7. 前述の理由により欠席する場合、事前について担当教員に報告してください。また病気や怪我といった急性疾患等により欠席する場合、出席可能となった授業時にその旨について担当教員に報告してください。なお、病気や怪我による通院などによる欠席の場合、そのことを証明できる資料を担当教員に提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

・直近の授業改善アンケートを踏まえた授業改善のための取り組みや工夫の内容を示します。

1. 食事、休養、睡眠等の生活習慣について日々記録することが望ましい。
2. 多様な体験型実習やグループワークを取り入れ、より実践的な授業を展開します。
3. 本授業では、社会的スキルの一つとみなされる「ハウ・レン・ソウ（報告、連絡、相談）」の実施を求めます。そのため、やむを得ない理由により欠席する場合は必ず事前に連絡してください。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。

【その他の重要事項】

1. 原則として対面授業を実施する予定です。ただし、感染症の影響などにより、Zoomなどによるオンライン授業などに変更される場合があります。そのため、都度、学習支援システムなどをチェックするようにしてください。
2. 授業内容に関する説明および授業ルールを共有するため、必ず初回授業に出席してください。
3. 授業とは関係のない行為（携帯使用、居眠り、会話等）は厳禁とし、その行為をした受講生は単位認定の評価外とします。
4. 上記の授業計画は、受講者の人数や要望に応じて変更する場合があります。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

武井 敦彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

1. 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
2. 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
3. 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
4. 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
5. 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。なお、最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行ったリアクションペーパーや小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の説明、プレゼンテーション（1回目）の実施（講義及び実習）
2	体力測定	体力測定の意義を知る（講義及び実習）
3	健康と体力	体力測定のフィードバック及びレポート作成（講義）
4	集団スポーツを学ぶ1	バレーボールを通じた新規的人間関係の構築（講義及び実習）
5	集団スポーツを学ぶ2	バレーボールを通じた相互理解の促進（講義及び実習）
6	個人スポーツを学ぶ1	卓球を通じたコミュニケーション能力向上（講義及び実習）
7	個人スポーツを学ぶ2	卓球を通じた相互理解の促進（講義及び実習）
8	トレーニング演習	トレーニング施設利用に関する安全講習（講義及び実習）
9	トレーニングの理論と方法	効果的なトレーニングの理論と方法を学ぶ（講義及び実習）
10	健康とトレーニング	正しい身体機能を知る事により「QOL向上」を行う（講義及び実習）

11	ウォームアップ	効果的なウォームアップの理論と方法を学ぶ（講義及び実習）
12	個人スポーツを学ぶ3	バドミントンを通じた新規的人間関係の構築（講義及び実習）
13	個人スポーツを学ぶ4	バドミントンを通じた相互理解の促進、プレゼンテーション（2回目）の実施（講義及び実習）
14	総括	授業のまとめ、課題レポートの作成（講義）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本授業内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。資料は必要に応じて担当教員が配布します。

【参考書】

担当教員が必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- 1) 授業中の活動に対する参画状況・プレゼンテーション・リアクションペーパー 60%
 - 2) 課題レポート 40%
- の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

※原則として欠席3回までを評価対象とします。

※授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。

※リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。

※レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。

【学生の意見等からの気づき】

新たな人間関係の構築促進やコミュニケーション能力向上の為、多様な体験型学習を取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

1. スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。
2. 課題を作成・提出するためのノートパソコンやモバイル機器等を準備してください。

【その他の重要事項】

1. 授業内容に関する説明およびプレゼンテーションを実施するため、必ず初回授業から出席してください。
2. 原則として対面授業を実施する予定です。ただし、感染症の影響等によりオンライン授業に変更される場合があります。そのため、学習支援システムやメールによる案内を確認するようにしてください。
3. 授業計画は、感染症の拡大状況、受講者数や受講者からの要望に応じて変更される場合があります。
4. 本授業では、社会的スキルの一つとみなされる「ホウ・レン・ソウ（報告、連絡、相談）」の実施を求めます。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to maintaining and promoting physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training. Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class.

This class's standard preparatory study and review time is 2 hours each. This class aims to understand that sports activities contribute to promoting physical and mental health and interpersonal relationships through lectures and practical training. Therefore, record the time spent on daily physical activity, meals, sleep time, etc., look back on the contents, and record the effects and future tasks. Also, get in the habit of looking at various sports-related information sent from TV, newspapers, the Web, etc. This work will deepen your understanding of the contents of this class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

- 1) Participation status for activities during class/presentation/
reaction paper 60%,
- 2) Assignments/reports 40%.

In principle, this grade evaluation method is used, and students with difficulty in regular activities will be treated and evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

武井 敦彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

1. 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
2. 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
3. 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
4. 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
5. 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。なお、最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行ったリアクションペーパーや小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の説明、プレゼンテーション（1回目）の実施（講義及び実習）
2	体力測定	体力測定の意義を知る（講義及び実習）
3	健康と体力	体力測定のフィードバック及びレポート作成（講義）
4	集団スポーツを学ぶ1	バレーボールを通じた新規的人間関係の構築（講義及び実習）
5	集団スポーツを学ぶ2	バレーボールを通じた相互理解の促進（講義及び実習）
6	個人スポーツを学ぶ1	卓球を通じたコミュニケーション能力向上（講義及び実習）
7	個人スポーツを学ぶ2	卓球を通じた相互理解の促進（講義及び実習）
8	トレーニング演習	トレーニング施設利用に関する安全講習（講義及び実習）
9	トレーニングの理論と方法	効果的なトレーニングの理論と方法を学ぶ（講義及び実習）
10	健康とトレーニング	正しい身体機能を知る事により「QOL向上」を行う（講義及び実習）

11	ウォームアップ	効果的なウォームアップの理論と方法を学ぶ（講義及び実習）
12	個人スポーツを学ぶ3	バドミントンを通じた新規的人間関係の構築（講義及び実習）
13	個人スポーツを学ぶ4	バドミントンを通じた相互理解の促進、プレゼンテーション（2回目）の実施（講義及び実習）
14	総括	授業のまとめ、課題レポートの作成（講義）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本授業内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。資料は必要に応じて担当教員が配布します。

【参考書】

担当教員が必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- 1) 授業中の活動に対する参画状況・プレゼンテーション・リアクションペーパー 60%
 - 2) 課題レポート 40%
- の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

※原則として欠席3回までを評価対象とします。

※授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。

※リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。

※レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。

【学生の意見等からの気づき】

新たな人間関係の構築促進やコミュニケーション能力向上の為、多様な体験型学習を取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

1. スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。
2. 課題を作成・提出するためのノートパソコンやモバイル機器等を準備してください。

【その他の重要事項】

1. 授業内容に関する説明およびプレゼンテーションを実施するため、必ず初回授業から出席してください。
2. 原則として対面授業を実施する予定です。ただし、感染症の影響等によりオンライン授業に変更される場合があります。そのため、学習支援システムやメールによる案内を確認するようにしてください。
3. 授業計画は、感染症の拡大状況、受講者数や受講者からの要望に応じて変更される場合があります。
4. 本授業では、社会的スキルの一つとみなされる「ホウ・レン・ソウ（報告、連絡、相談）」の実施を求めます。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to maintaining and promoting physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training. Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class.

This class's standard preparatory study and review time is 2 hours each. This class aims to understand that sports activities contribute to promoting physical and mental health and interpersonal relationships through lectures and practical training. Therefore, record the time spent on daily physical activity, meals, sleep time, etc., look back on the contents, and record the effects and future tasks. Also, get in the habit of looking at various sports-related information sent from TV, newspapers, the Web, etc. This work will deepen your understanding of the contents of this class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

- 1) Participation status for activities during class/presentation/
reaction paper 60%,
- 2) Assignments/reports 40%.

In principle, this grade evaluation method is used, and students with difficulty in regular activities will be treated and evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

佐藤 優希

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容を理解するとともにスポーツ活動への取り組みに対する動機づけを図る。また半期に渡って健康状態の記録を実施する。
2	体力測定	体力測定（50m走、シャトルランを除く）を通じて、現状の体力レベルを知る（講義および実習）
3	体力測定フィードバック	体力測定データのフィードバックから健康を維持するための方法を考える（講義）
4	トレーニングと健康	レーニンセンターの利用方法および安全講習を行い、「トレーニング」という観点から健康を維持するための方法を学ぶ（講義及び実習）
5	アイスブレイクグループワーク	他己紹介を用いたグループワークに取り組む。また、スポーツ経験を受講者間で共有する。（グループワークおよび実習）
6	集団スポーツを学ぶ1	ドッジビーを通じた相互理解の促進（講義及び実習）

7	集団スポーツを学ぶ2	ソフトバレーボールを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
8	個人スポーツを学ぶ1	バドミントンを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
9	個人スポーツを学ぶ2	バドミントンを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
10	スポーツとコーピング	スポーツの観点からストレスへの対処（コーピング）について学ぶ（講義）
11	個人スポーツを学ぶ3	卓球を通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
12	スポーツと人間心理	グループワーク「気になる自画像」を通して、他者から見た私を知る（講義およびグループワーク）
13	集団スポーツを学ぶ3	バスケットボールを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
14	総括、レポート	授業の総括およびレポートに取り組む。半期に渡り記録した健康状態について、分析・考察を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本演習の準備・復習時間の目安は1回の授業につき2時間以上です。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本講義内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【参考書】

特定の参考書は使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【成績評価の方法と基準】

授業中の活動に対する参画状況・リアクションペーパー60%、課題・レポート40%の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

1. レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。
2. リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。
3. リアクションペーパー、レポート等の提出物は、必ず本人が提出してください。
4. 授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。
5. 原則として欠席3回までを評価対象とします。また、授業開始から20分以内までの入室を遅刻とし、それ以降の入室は欠席とします。
6. やむを得ない理由がない限り全ての授業に出席してください。やむを得ない理由とは、病気、ケガ等による欠席となります。
7. 前述の理由により欠席する場合、事前にその旨について担当教員に報告してください。また病気や怪我といった急性疾患等により欠席する場合、出席可能となった授業時にその旨について担当教員に報告してください。なお、病気や怪我による通院などによる欠席の場合、そのことを証明できる資料を担当教員に提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

1. 食事、休養、睡眠等の生活習慣について日々記録することが望ましい。
2. 多様な体験型実習やグループワークを取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。忘れた場合は見学になります。ネイルやアクセサリーの着用は事故およびケガの原因になるため、実習中は外すことが望ましい。

【その他の重要事項】

1. 原則として対面授業を実施する予定です。学習支援システムから授業に関する情報を配信します。そのため、都度、学習支援システムをチェックするようにしてください。
2. 授業内容に関する説明を実施するため、必ず初回授業に出席してください。
3. 授業とは関係のない行為（携帯使用、居眠り、会話等）は厳禁とし、その行為をした受講生は単位認定の評価外とします。
4. 上記の授業計画は、受講者の人数や要望に応じて変更する場合があります。
5. 授業終了後に教室・教場で質問を受け付ける。随時、電子メールでも質問可。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

佐藤 優希

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容を理解するとともにスポーツ活動への取り組みに対する動機づけを図る。また半期に渡って健康状態の記録を実施する。
2	体力測定	体力測定（50m走、シャトルランを除く）を通じて、現状の体力レベルを知る（講義および実習）
3	体力測定フィードバック	体力測定データのフィードバックから健康を維持するための方法を考える（講義）
4	トレーニングと健康	レーニンセンターの利用方法および安全講習を行い、「トレーニング」という観点から健康を維持するための方法を学ぶ（講義及び実習）
5	アイスブレイクグループワーク	他己紹介を用いたグループワークに取り組む。また、スポーツ経験を受講者間で共有する。（グループワークおよび実習）
6	集団スポーツを学ぶ1	ドッジビーを通じた相互理解の促進（講義及び実習）

7	集団スポーツを学ぶ2	ソフトバレーボールを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
8	個人スポーツを学ぶ1	バドミントンを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
9	個人スポーツを学ぶ2	バドミントンを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
10	スポーツとコーピング	スポーツの観点からストレスへの対処（コーピング）について学ぶ（講義）
11	個人スポーツを学ぶ3	卓球を通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
12	スポーツと人間心理	グループワーク「気になる自画像」を通して、他者から見た私を知る（講義およびグループワーク）
13	集団スポーツを学ぶ3	バスケットボールを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
14	総括、レポート	授業の総括およびレポートに取り組む。半期に渡り記録した健康状態について、分析・考察を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本演習の準備・復習時間の目安は1回の授業につき2時間以上です。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本講義内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【参考書】

特定の参考書は使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【成績評価の方法と基準】

授業中の活動に対する参画状況・リアクションペーパー60%、課題・レポート40%の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

1. レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。
2. リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。
3. リアクションペーパー、レポート等の提出物は、必ず本人が提出してください。
4. 授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。
5. 原則として欠席3回までを評価対象とします。また、授業開始から20分以内での入室を遅刻とし、それ以降の入室は欠席とします。
6. やむを得ない理由がない限り全ての授業に出席してください。やむを得ない理由とは、病気、ケガ等による欠席となります。
7. 前述の理由により欠席する場合、事前にその旨について担当教員に報告してください。また病気や怪我といった急性疾患等により欠席する場合、出席可能となった授業時にその旨について担当教員に報告してください。なお、病気や怪我による通院などによる欠席の場合、そのことを証明できる資料を担当教員に提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

1. 食事、休養、睡眠等の生活習慣について日々記録することが望ましい。
2. 多様な体験型実習やグループワークを取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。忘れた場合は見学になります。ネイルやアクセサリーの着用は事故およびケガの原因になるため、実習中は外すことが望ましい。

【その他の重要事項】

1. 原則として対面授業を実施する予定です。学習支援システムから授業に関する情報を配信します。そのため、都度、学習支援システムをチェックするようにしてください。
2. 授業内容に関する説明を実施するため、必ず初回授業に出席してください。
3. 授業とは関係のない行為（携帯使用、居眠り、会話等）は厳禁とし、その行為をした受講生は単位認定の評価外とします。
4. 上記の授業計画は、受講者の人数や要望に応じて変更する場合があります。
5. 授業終了後に教室・教場で質問を受け付ける。随時、電子メールでも質問可。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

蔭山 雅洋

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

1. 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
2. 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
3. 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
4. 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
5. 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。なお、最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行ったリアクションペーパーや小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の説明、社会的スキル診断検査（1回目）（講義）
2	体力測定	体力測定の意義を学ぶ（講義及び実習）
3	健康と体力	体力測定のフィードバック及びレポート作成（講義）
4	個人スポーツを学ぶ1	バドミントンを通じた新規的な人間関係の構築（講義及び実習）
5	個人スポーツを学ぶ2	バドミントンを通じた相互理解の促進（講義及び実習）
6	トレーニング演習	トレーニングの理論と実践方法（講義及び実習）
7	健康科学	食事、睡眠、飲酒、喫煙、感染症について学び、自身の健康について考える（講義）
8	集団スポーツを学ぶ1	バレーボールを通じた新規的な人間関係の構築（講義及び実習）
9	集団スポーツを学ぶ2	バレーボールを通じた相互理解の促進（講義及び実習）

10	ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方	ライフスタイルについて学び、自身のスポーツとの関わり方について理解を深める（講義）
11	オリンピック・パラリンピック	オリンピック・パラリンピックの意義を知り、スポーツへの理解を深める（講義）
12	個人スポーツを学ぶ3	卓球を通じた新規的な人間関係の構築（講義及び実習）
13	個人スポーツを学ぶ4	卓球を通じた相互理解の促進（講義及び実習）
14	授業総括	社会的スキル診断検査および身体組成の測定（2回目）を実施し、これまでの授業が自身の社会的スキルと健康に与えた影響について理解を深める（講義および実習）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本授業内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。資料は必要に応じて担当教員が配布します。

【参考書】

特定の参考書は使用しません。担当教員が必要に応じて資料等を配布、あるいは参考書を紹介します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価基準

1) 授業中の活動に対する参画状況・リアクションペーパー60%、2) 課題レポート40%の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

※原則として欠席3回までを評価対象とします。

※授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。

※リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。

※レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。

【学生の意見等からの気づき】

新規的な人間関係の構築を促進する目的から、多様な体験型実習やグループワークを取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

1. スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。

2. 課題を作成・提出するためのノートパソコンやモバイル機器等を準備してください。

その他の重要事項

1. 授業内容に関する説明および社会的スキル診断検査を実施するため、必ず初回授業から出席してください。

2. 原則として対面授業を実施する予定です。ただし、感染症の影響等によりオンライン授業に変更される場合があります。そのため、学習支援システムやメールによる案内を確認するようにしてください。

3. 授業計画は、感染症の拡大状況、受講者数や受講者からの要望に応じて変更される場合があります。

4. 本授業では、社会的スキルの一つとみなされる「ホウ・レン・ソウ（報告、連絡、相談）」の実施を求めます。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This course will make students deeply understand the significance and the effect of physical activity. Therefore, students who take this course can improve properly learning and attitude about physical, mental, and social health necessary throughout the students' future of life.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to:

1. Understand more about the meaning and role of physical activity from various perspectives.
2. Use sports and physical activities to establish a prosperous and healthy student life and social life.
3. Develop essential knowledge and attitudes that contribute to self-management.
4. Develop the ability to demonstrate leadership and solve problems through communication with others.
5. Acquire various skills related to the development of employability.

【Learning activities outside of classroom】 Students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding the assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria/Policy】 Grading will be decided based on the class participation (not attendance)(60 %) and report on the lecture (40%).

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

蔭山 雅洋

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

1. 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
2. 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
3. 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
4. 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
5. 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。なお、最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行ったリアクションペーパーや小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の説明、社会的スキル診断検査（1回目）（講義）
2	体力測定	体力測定の意義を学ぶ（講義及び実習）
3	健康と体力	体力測定のフィードバック及びレポート作成（講義）
4	個人スポーツを学ぶ1	バドミントンを通じた新規的な人間関係の構築（講義及び実習）
5	個人スポーツを学ぶ2	バドミントンを通じた相互理解の促進（講義及び実習）
6	トレーニング演習	トレーニングの理論と実践方法（講義及び実習）
7	健康科学	食事、睡眠、飲酒、喫煙、感染症について学び、自身の健康について考える（講義）
8	集団スポーツを学ぶ1	バレーボールを通じた新規的な人間関係の構築（講義及び実習）
9	集団スポーツを学ぶ2	バレーボールを通じた相互理解の促進（講義及び実習）

10	ライフスタイルに 応じたスポーツとの関 わり 方	ライフスタイルについて学び、自身のスポーツとの関わり方について理解を深める（講義）
11	オリンピック・パ ラリンピック	オリンピック・パラリンピックの意義を知り、スポーツへの理解を深める（講義）
12	個人スポーツを学ぶ3	卓球を通じた新規的な人間関係の構築（講義及び実習）
13	個人スポーツを学ぶ4	卓球を通じた相互理解の促進（講義及び実習）
14	授業総括	社会的スキル診断検査および身体組成の測定（2回目）を実施し、これまでの授業が自身の社会的スキルと健康に与えた影響について理解を深める（講義および実習）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本授業内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。資料は必要に応じて担当教員が配布します。

【参考書】

特定の参考書は使用しません。担当教員が必要に応じて資料等を配布、あるいは参考書を紹介します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価基準

1) 授業中の活動に対する参画状況・リアクションペーパー60%、2) 課題レポート40%の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

※原則として欠席3回までを評価対象とします。

※授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。

※リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。

※レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。

【学生の意見等からの気づき】

新規的な人間関係の構築を促進する目的から、多様な体験型実習やグループワークを取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

1. スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。

2. 課題を作成・提出するためのノートパソコンやモバイル機器等を準備してください。

その他の重要事項

1. 授業内容に関する説明および社会的スキル診断検査を実施するため、必ず初回授業から出席してください。

2. 原則として対面授業を実施する予定です。ただし、感染症の影響等によりオンライン授業に変更される場合があります。そのため、学習支援システムやメールによる案内を確認するようにしてください。

3. 授業計画は、感染症の拡大状況、受講者数や受講者からの要望に応じて変更される場合があります。

4. 本授業では、社会的スキルの一つとみなされる「ホウ・レン・ソウ（報告、連絡、相談）」の実施を求めます。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This course will make students deeply understand the significance and the effect of physical activity. Therefore, students who take this course can improve properly learning and attitude about physical, mental, and social health necessary throughout the students' future of life.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to:

1. Understand more about the meaning and role of physical activity from various perspectives.
2. Use sports and physical activities to establish a prosperous and healthy student life and social life.
3. Develop essential knowledge and attitudes that contribute to self-management.
4. Develop the ability to demonstrate leadership and solve problems through communication with others.
5. Acquire various skills related to the development of employability.

【Learning activities outside of classroom】 Students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding the assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria/Policy】 Grading will be decided based on the class participation (not attendance)(60 %) and report on the lecture (40%).

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

武井 敦彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

1. 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
2. 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
3. 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
4. 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
5. 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。なお、最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行ったリアクションペーパーや小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の説明、プレゼンテーション（1回目）の実施（講義及び実習）
2	体力測定	体力測定の意義を知る（講義及び実習）
3	健康と体力	体力測定のフィードバック及びレポート作成（講義）
4	トレーニングの理論と方法	効果的なトレーニングの理論と方法を学ぶ（講義）
5	トレーニング演習	トレーニング施設利用に関する安全講習（講義及び実習）
6	個人スポーツを学ぶ1	バドミントンを通じたコミュニケーション能力向上（講義及び実習）
7	個人スポーツを学ぶ2	バドミントンを通じた相互理解の促進（講義及び実習）
8	個人スポーツを学ぶ3	卓球を通じた新規の人間関係の構築（講義及び実習）
9	個人スポーツを学ぶ4	卓球を通じた相互理解の促進（講義及び実習）
10	集団スポーツを学ぶ1	バレーボールを通じた新規の人間関係の構築（講義及び実習）

11	集団スポーツを学ぶ2	バレーボールを通じた相互理解の促進（講義及び実習）
12	ウォームアップ	効果的なウォームアップの理論と方法を学ぶ（講義及び実習）
13	健康とトレーニング	正しい身体機能を知る事により「QOL向上」を行う、プレゼンテーション（2回目）の実施、（講義及び実習）
14	総括	授業のまとめ、課題レポートの作成（講義）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本授業内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。資料は必要に応じて担当教員が配布します。

【参考書】

担当教員が必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- 1) 授業中の活動に対する参画状況・プレゼンテーション・リアクションペーパー 60%
- 2) 課題レポート 40%

の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

※原則として欠席3回までを評価対象とします。

※授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。

※リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。

※レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。

【学生の意見等からの気づき】

新たな人間関係の構築促進やコミュニケーション能力向上の為、多様な体験型学習を取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

1. スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。
2. 課題を作成・提出するためのノートパソコンやモバイル機器等を準備してください。

【その他の重要事項】

1. 授業内容に関する説明およびプレゼンテーションを実施するため、必ず初回授業から出席してください。
2. 原則として対面授業を実施する予定です。ただし、感染症の影響等によりオンライン授業に変更される場合があります。そのため、学習支援システムやメールによる案内を確認するようにしてください。
3. 授業計画は、感染症の拡大状況、受講者数や受講者からの要望に応じて変更される場合があります。
4. 本授業では、社会的スキルの一つとみなされる「ホウ・レン・ソウ（報告、連絡、相談）」の実施を求めます。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to maintaining and promoting physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training. Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class.

This class's standard preparatory study and review time is 2 hours each. This class aims to understand that sports activities contribute to promoting physical and mental health and interpersonal relationships through lectures and practical training. Therefore, record the time spent on daily physical activity, meals, sleep time, etc., look back on the contents, and record the effects and future tasks. Also, get in the habit of looking at various sports-related information sent from TV, newspapers, the Web, etc. This work will deepen your understanding of the contents of this class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

- 1) Participation status for activities during class/presentation/
reaction paper 60%,
- 2) Assignments/reports 40%.

In principle, this grade evaluation method is used, and students with difficulty in regular activities will be treated and evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

前原 千佳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。
この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。
スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行った小レポートや課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の説明（講義）
2	体力測定	体力測定の意義を学ぶ（講義及び実習）
3	健康と体力	体力測定のフィードバックおよび健康と体力について学ぶ（講義）、レポート（1回目）
4	健康と栄養	健康と栄養の関係について学び、健康的な食事の選択方法を学ぶ（講義）
5	トレーニング演習	トレーニング施設利用に関する安全講習を受講する（講義及び実習）
6	ラケットスポーツを学ぶ1 バドミントン①	バドミントンを通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）
7	ラケットスポーツを学ぶ2 バドミントン②	バドミントンを通して社会的スキルの促進を図る（講義及び実習）
8	ラケットスポーツを学ぶ3 卓球①	卓球を通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）

9	ラケットスポーツを学ぶ4 卓球②	卓球を通して社会的スキルの促進を図る（講義及び実習）
10	集団球技スポーツを学ぶ バレーボール	バレーボールを通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）
11	ニューススポーツを学ぶ1 ユニホック	ユニホックを通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）
12	ニューススポーツを学ぶ2 アルティメット	アルティメットを通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）
13	パラスポーツを学ぶ ボッチャ	ボッチャを通して相互理解の促進および社会的スキルの促進を図る（講義及び実習）
14	授業の総括	授業のまとめ、レポート（2回目）の作成（講義）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本講義内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- (1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。
1. レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。
2. リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。
3. リアクションペーパー、レポート等の提出物は、必ず本人が提出してください。
4. 授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。
5. 原則として欠席3回までを評価対象とします。また、授業開始から20分以内までの入室を遅刻とし、それ以降の入室は欠席とします。
6. やむを得ない理由がない限り全ての授業に出席してください。やむを得ない理由とは、病気、ケガ等による欠席となります。
7. 前述の理由により欠席する場合、事前にその旨について担当教員に報告してください。また病気や怪我といった急性疾患等により欠席する場合、出席可能となった授業時にその旨について担当教員に報告してください。なお、病気や怪我による通院などによる欠席の場合、そのことを証明できる資料を担当教員に提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

・直近の授業改善アンケートを踏まえた授業改善のための取り組みや工夫の内容を示します。

1. 食事、休養、睡眠等の生活習慣について日々記録することが望ましい。
2. 多様な体験型実習やグループワークを取り入れ、より実践的な授業を展開します。
3. 本授業では、社会的スキルの一つとみなされる「ハウ・レン・ソウ（報告、連絡、相談）」の実施を求めます。そのため、やむを得ない理由により欠席する場合は必ず事前に連絡してください。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。

【その他の重要事項】

1. 原則として対面授業を実施する予定です。ただし、感染症の影響などにより、**Zoom**などによるオンライン授業などに変更される場合があります。そのため、都度、学習支援システムなどをチェックするようにしてください。
2. 授業内容に関する説明および社会的スキル診断検査を実施するため、必ず初回授業に出席してください。
3. 授業とは関係のない行為（携帯使用、居眠り、会話等）は厳禁とし、その行為をした受講生は単位認定の評価外とします。
4. 上記の授業計画は、受講者の人数や要望に応じて変更する場合があります。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

中澤 史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

1. 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
2. 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
3. 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
4. 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
5. 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。なお、最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行ったリアクションペーパーや小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の説明及び社会的スキル診断検査（1回目）を実施する（講義）
2	体力測定	体力測定の意義を学ぶ（講義及び実習）
3	健康と体力	体力測定のフィードバック及びレポート（1回目）の作成（講義）
4	集団スポーツを学ぶ1	バレーボールを通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）
5	集団スポーツを学ぶ2	バレーボールを通して集団スポーツの意義を学ぶ（講義及び実習）
6	トレーニングの理論と方法	トレーニングの理論と方法を学ぶ（講義）
7	トレーニング演習	トレーニング施設利用に関する安全講習を受講する（講義及び実習）
8	健康とトレーニング1	トレーニング記録を収集する（講義及び実習）
9	健康とトレーニング2	トレーニング記録の分析と振り返り（講義及び実習）

10	グループワーク 1	描画法を用いたグループワークに取り組む（講義）
11	グループワーク 2	グループワークを通して「他者からみた私」を知る（講義）
12	個人スポーツを学ぶ 1	バドミントンを通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）
13	個人スポーツを学ぶ 2	バドミントンを通して社会的スキルの促進を図る、社会的スキル診断検査（2回目）を実施する（講義及び実習）
14	総括	授業のまとめ、レポート（2回目）の作成（講義）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1. 本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
2. 授業目標を達成するために、日々の身体活動に費やした時間、食事内容、睡眠時間などを記録してください。
3. 情報サイトなどで発信されるスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

1. ①授業中の活動に対する参画状況・リアクションペーパー 60 %、②課題・レポート 40 %の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。
2. 授業の概要について説明するため、また、社会的スキル診断検査を実施するため、必ず初回授業から出席してください。初回授業から出欠を確認します。
3. 原則として欠席3回までを評価対象とします。
4. 授業開始から20分以内までの入室を遅刻とし、それ以降の入室は欠席とします。また、遅刻3回で欠席1回の扱いとします。
5. やむを得ない理由がない限り全ての授業に出席してください。やむを得ない理由とは、病気、怪我、冠婚葬祭等による欠席を指します。
6. 急遽、病気、怪我、冠婚葬祭等により欠席することになった場合、出席可能となった授業時にその旨について担当教員に報告するとともに、そのことを証明できる資料を担当教員に提出してください。
7. レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。
8. リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。
9. 授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。
10. 授業とは無関係な行為（携帯電話の使用、私語、食事など）は禁止します。指導を受けても改善が見られない場合はE評価とします。

【学生の意見等からの気づき】

体験型学習やグループワークを取り入れ、新規の人間関係の構築に資する授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェア、室内用シューズ等の貸出はありません。

【その他の重要事項】

1. 授業計画は、受講者の人数や要望に応じて変更する場合があります。
2. 本授業では、社会的スキルの一つとみなされる「ホウ・レン・ソウ（報告、連絡、相談）」の実施を求めます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

1. Deepen understanding of the significance and role of physical activity from various perspectives.
2. Acquire the ability to use sports activities as a means of establishing a prosperous and healthy student and social life.
3. Acquire basic knowledge and develop attitudes that contribute to self-management.
4. To acquire the ability to demonstrate leadership and solve problems through communication with others, which is considered to be extremely important for playing an active role in the real world after graduation.
5. Aim to acquire various skills that lead to the development of employment ability (ability to build relationships of trust, ability to act jointly, etc.).

【Learning activities outside of classroom】

1. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.
2. In order to achieve the class goals, please record the time spent in daily physical activity, diet, sleeping hours, etc.
3. In order to achieve the class goals, please make it a habit to pay attention to sports-related information disseminated through informational websites and other media.

【Grading Criteria /Policy】

The overall evaluation will be made as an allocation of: 1) participation in class activities and reaction papers 60%; 2) assignments and reports 40%. This grading method is in principle only, and students who have difficulty with the usual activities will be dealt with and assessed on an individual basis.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

中澤 史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

1. 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
2. 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
3. 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
4. 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
5. 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。なお、最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行ったリアクションペーパーや小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の説明及び社会的スキル診断検査（1回目）を実施する（講義）
2	体力測定	体力測定の意義を学ぶ（講義及び実習）
3	健康と体力	体力測定のフィードバック及びレポート（1回目）の作成（講義）
4	集団スポーツを学ぶ1	バレーボールを通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）
5	集団スポーツを学ぶ2	バレーボールを通して集団スポーツの意義を学ぶ（講義及び実習）
6	トレーニングの理論と方法	トレーニングの理論と方法を学ぶ（講義）
7	トレーニング演習	トレーニング施設利用に関する安全講習を受講する（講義及び実習）
8	健康とトレーニング1	トレーニング記録を収集する（講義及び実習）
9	健康とトレーニング2	トレーニング記録の分析と振り返り（講義及び実習）

10	グループワーク 1	描画法を用いたグループワークに取り組む（講義）
11	グループワーク 2	グループワークを通して「他者からみた私」を知る（講義）
12	個人スポーツを学ぶ 1	バドミントンを通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）
13	個人スポーツを学ぶ 2	バドミントンを通して社会的スキルの促進を図る、社会的スキル診断検査（2回目）を実施する（講義及び実習）
14	総括	授業のまとめ、レポート（2回目）の作成（講義）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1. 本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
2. 授業目標を達成するために、日々の身体活動に費やした時間、食事内容、睡眠時間などを記録してください。
3. 情報サイトなどで発信されるスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

1. ①授業中の活動に対する参画状況・リアクションペーパー60%、②課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。
2. 授業の概要について説明するため、また、社会的スキル診断検査を実施するため、必ず初回授業から出席してください。初回授業から出欠を確認します。
3. 原則として欠席3回までを評価対象とします。
4. 授業開始から20分以内までの入室を遅刻とし、それ以降の入室は欠席とします。また、遅刻3回で欠席1回の扱いとします。
5. やむを得ない理由がない限り全ての授業に出席してください。やむを得ない理由とは、病気、怪我、冠婚葬祭等による欠席を指します。
6. 急遽、病気、怪我、冠婚葬祭等により欠席することになった場合、出席可能となった授業時にその旨について担当教員に報告するとともに、そのことを証明できる資料を担当教員に提出してください。
7. レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。
8. リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。
9. 授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。
10. 授業とは無関係な行為（携帯電話の使用、私語、食事など）は禁止します。指導を受けても改善が見られない場合はE評価とします。

【学生の意見等からの気づき】

体験型学習やグループワークを取り入れ、新規の人間関係の構築に資する授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェア、室内用シューズ等の貸出はありません。

【その他の重要事項】

1. 授業計画は、受講者の人数や要望に応じて変更する場合があります。
2. 本授業では、社会的スキルの一つとみなされる「ホウ・レン・ソウ（報告、連絡、相談）」の実施を求めます。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

1. Deepen understanding of the significance and role of physical activity from various perspectives.
2. Acquire the ability to use sports activities as a means of establishing a prosperous and healthy student and social life.
3. Acquire basic knowledge and develop attitudes that contribute to self-management.
4. To acquire the ability to demonstrate leadership and solve problems through communication with others, which is considered to be extremely important for playing an active role in the real world after graduation.
5. Aim to acquire various skills that lead to the development of employment ability (ability to build relationships of trust, ability to act jointly, etc.).

【Learning activities outside of classroom】

1. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.
2. In order to achieve the class goals, please record the time spent in daily physical activity, diet, sleeping hours, etc.
3. In order to achieve the class goals, please make it a habit to pay attention to sports-related information disseminated through informational websites and other media.

【Grading Criteria /Policy】

The overall evaluation will be made as an allocation of: 1) participation in class activities and reaction papers 60%; 2) assignments and reports 40%. This grading method is in principle only, and students who have difficulty with the usual activities will be dealt with and assessed on an individual basis.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

佐藤 優希

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容を理解するとともにスポーツ活動への取り組みに対する動機づけを図る。また半期に渡って健康状態の記録を実施する。
2	体力測定	体力測定（50m走、シャトルランを除く）を通じて、現状の体力レベルを知る（講義および実習）
3	体力測定フィードバック	体力測定データのフィードバックから健康を維持するための方法を考える（講義）
4	トレーニングと健康	レーニングセンターの利用方法および安全講習を行い、「トレーニング」という観点から健康を維持するための方法を学ぶ（講義及び実習）
5	アイスブレイクグループワーク	他己紹介を用いたグループワークに取り組む。また、スポーツ経験を受講者間で共有する。（グループワークおよび実習）
6	集団スポーツを学ぶ1	ドッジビーを通じた相互理解の促進（講義及び実習）

7	集団スポーツを学ぶ2	ソフトバレーボールを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
8	個人スポーツを学ぶ1	バドミントンを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
9	個人スポーツを学ぶ2	バドミントンを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
10	スポーツとコーピング	スポーツの観点からストレスへの対処（コーピング）について学ぶ（講義）
11	個人スポーツを学ぶ3	卓球を通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
12	スポーツと人間心理	グループワーク「気になる自画像」を通して、他者から見た私を知る（講義およびグループワーク）
13	集団スポーツを学ぶ3	バスケットボールを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
14	総括、レポート	授業の総括およびレポートに取り組む。半期に渡り記録した健康状態について、分析・考察を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本演習の準備・復習時間の目安は1回の授業につき2時間以上です。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本講義内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【参考書】

特定の参考書は使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【成績評価の方法と基準】

授業中の活動に対する参画状況・リアクションペーパー60%、課題・レポート40%の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

1. レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。
2. リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。
3. リアクションペーパー、レポート等の提出物は、必ず本人が提出してください。
4. 授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。
5. 原則として欠席3回までを評価対象とします。また、授業開始から20分以内までの入室を遅刻とし、それ以降の入室は欠席とします。
6. やむを得ない理由がない限り全ての授業に出席してください。やむを得ない理由とは、病気、ケガ等による欠席となります。
7. 前述の理由により欠席する場合、事前にその旨について担当教員に報告してください。また病気や怪我といった急性疾患等により欠席する場合、出席可能となった授業時にその旨について担当教員に報告してください。なお、病気や怪我による通院などによる欠席の場合、そのことを証明できる資料を担当教員に提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

1. 食事、休養、睡眠等の生活習慣について日々記録することが望ましい。
2. 多様な体験型実習やグループワークを取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。忘れた場合は見学になります。ネイルやアクセサリーの着用は事故およびケガの原因になるため、実習中は外すことが望ましい。

【その他の重要事項】

1. 原則として対面授業を実施する予定です。学習支援システムから授業に関する情報を配信します。そのため、都度、学習支援システムをチェックするようにしてください。
2. 授業内容に関する説明を実施するため、必ず初回授業に出席してください。
3. 授業とは関係のない行為（携帯使用、居眠り、会話等）は厳禁とし、その行為をした受講生は単位認定の評価外とします。
4. 上記の授業計画は、受講者の人数や要望に応じて変更する場合があります。
5. 授業終了後に教室・教場で質問を受け付ける。随時、電子メールでも質問可。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

佐藤 優希

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容を理解するとともにスポーツ活動への取り組みに対する動機づけを図る。また半期に渡って健康状態の記録を実施する。
2	体力測定	体力測定（50m走、シャトルランを除く）を通じて、現状の体力レベルを知る（講義および実習）
3	体力測定フィードバック	体力測定データのフィードバックから健康を維持するための方法を考える（講義）
4	トレーニングと健康	レーニンセンターの利用方法および安全講習を行い、「トレーニング」という観点から健康を維持するための方法を学ぶ（講義及び実習）
5	アイスブレイクグループワーク	他己紹介を用いたグループワークに取り組む。また、スポーツ経験を受講者間で共有する。（グループワークおよび実習）
6	集団スポーツを学ぶ1	ドッジビーを通じた相互理解の促進（講義及び実習）

7	集団スポーツを学ぶ2	ソフトバレーボールを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
8	個人スポーツを学ぶ1	バドミントンを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
9	個人スポーツを学ぶ2	バドミントンを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
10	スポーツとコーピング	スポーツの観点からストレスへの対処（コーピング）について学ぶ（講義）
11	個人スポーツを学ぶ3	卓球を通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
12	スポーツと人間心理	グループワーク「気になる自画像」を通して、他者から見た私を知る（講義およびグループワーク）
13	集団スポーツを学ぶ3	バスケットボールを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
14	総括、レポート	授業の総括およびレポートに取り組む。半期に渡り記録した健康状態について、分析・考察を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本演習の準備・復習時間の目安は1回の授業につき2時間以上です。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本講義内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【参考書】

特定の参考書は使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【成績評価の方法と基準】

授業中の活動に対する参画状況・リアクションペーパー60%、課題・レポート40%の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

1. レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。
2. リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。
3. リアクションペーパー、レポート等の提出物は、必ず本人が提出してください。
4. 授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。
5. 原則として欠席3回までを評価対象とします。また、授業開始から20分以内までの入室を遅刻とし、それ以降の入室は欠席とします。
6. やむを得ない理由がない限り全ての授業に出席してください。やむを得ない理由とは、病気、ケガ等による欠席となります。
7. 前述の理由により欠席する場合、事前にその旨について担当教員に報告してください。また病気や怪我といった急性疾患等により欠席する場合、出席可能となった授業時にその旨について担当教員に報告してください。なお、病気や怪我による通院などによる欠席の場合、そのことを証明できる資料を担当教員に提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

1. 食事、休養、睡眠等の生活習慣について日々記録することが望ましい。
2. 多様な体験型実習やグループワークを取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。忘れた場合は見学になります。ネイルやアクセサリーの着用は事故およびケガの原因になるため、実習中は外すことが望ましい。

【その他の重要事項】

1. 原則として対面授業を実施する予定です。学習支援システムから授業に関する情報を配信します。そのため、都度、学習支援システムをチェックするようにしてください。
2. 授業内容に関する説明を実施するため、必ず初回授業に出席してください。
3. 授業とは関係のない行為（携帯使用、居眠り、会話等）は厳禁とし、その行為をした受講生は単位認定の評価外とします。
4. 上記の授業計画は、受講者の人数や要望に応じて変更する場合があります。
5. 授業終了後に教室・教場で質問を受け付ける。随時、電子メールでも質問可。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

武井 敦彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

1. 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
2. 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
3. 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
4. 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
5. 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。なお、最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行ったリアクションペーパーや小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の説明、プレゼンテーション（1回目）の実施（講義及び実習）
2	体力測定	体力測定の意義を知る（講義及び実習）
3	健康と体力	体力測定のフィードバック及びレポート作成（オンデマンド講義）
4	トレーニングの理論と方法	効果的なトレーニングの理論と方法を学ぶ（講義）
5	トレーニング演習	トレーニング施設利用に関する安全講習（講義及び実習）
6	スポーツ傷害	スポーツ傷害の理解と予防（オンデマンド講義）
7	個人スポーツを学ぶ1	バドミントンを通じた相互理解の促進（講義及び実習）
8	個人スポーツを学ぶ2	卓球を通じた新規の人間関係の構築（講義及び実習）
9	個人スポーツを学ぶ3	卓球を通じた相互理解の促進（講義及び実習）
10	集団スポーツを学ぶ1	バレーボールを通じた新規の人間関係の構築（講義及び実習）

11	健康とトレーニング	正しい身体機能を知る事により「QOL向上」を行う（オンデマンド講義）
12	ウォームアップ	効果的なウォームアップの理論と方法を学ぶ（講義及び実習）
13	集団スポーツを学ぶ2	バレーボールを通じたコミュニケーション能力の向上、プレゼンテーション（2回目）の実施（講義及び実習）
14	総括	授業のまとめ、課題レポートの作成（講義）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本授業内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。資料は必要に応じて担当教員が配布します。

【参考書】

担当教員が必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】

1) 授業中の活動に対する参画状況・プレゼンテーション・リアクションペーパー 60%

2) 課題レポート 40%

の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

※原則として欠席3回までを評価対象とします。

※授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。

※リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。

※レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。

【学生の意見等からの気づき】

新たな人間関係の構築促進やコミュニケーション能力向上の為、多様な体験型学習を取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

1. スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。
2. 課題を作成・提出するためのノートパソコンやモバイル機器等を準備してください。

【その他の重要事項】

1. 授業内容に関する説明およびプレゼンテーションを実施するため、必ず初回授業から出席してください。
2. 対面授業並びにオンデマンド授業を実施する予定です。ただし、対面授業を感染症の影響等によりオンライン授業に変更される場合があります。そのため、学習支援システムやメールによる案内を確認するようにしてください。
3. 授業計画は、感染症の拡大状況、受講者数や受講者からの要望に応じて変更される場合があります。
4. 本授業では、社会的スキルの一つとみなされる「ホウ・レン・ソウ（報告、連絡、相談）」の実施を求めます。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to maintaining and promoting physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training. Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class.

This class's standard preparatory study and review time is 2 hours each. This class aims to understand that sports activities contribute to promoting physical and mental health and interpersonal relationships through lectures and practical training. Therefore, record the time spent on daily physical activity, meals, sleep time, etc., look back on the contents, and record the effects and future tasks. Also, get in the habit of looking at various sports-related information sent from TV, newspapers, the Web, etc. This work will deepen your understanding of the contents of this class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

- 1) Participation status for activities during class/presentation/
reaction paper 60%,
- 2) Assignments/reports 40%.

In principle, this grade evaluation method is used, and students with difficulty in regular activities will be treated and evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

前原 千佳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、原則学部・所属クラス単位で構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修可能である。春学期または秋学期いずれかにおいて、週1回開講される必修科目である。
この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。
スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行った小レポートや課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の説明（講義）
2	体力測定	体力測定の意義を学ぶ（講義及び実習）
3	健康と体力	体力測定のフィードバックおよび健康と体力について学ぶ（講義）、レポート（1回目）
4	健康と栄養	健康と栄養の関係について学び、健康的な食事の選択方法を学ぶ（講義）
5	トレーニング演習	トレーニング施設利用に関する安全講習を受講する（講義及び実習）
6	ラケットスポーツを学ぶ1 バドミントン①	バドミントンを通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）
7	ラケットスポーツを学ぶ2 バドミントン②	バドミントンを通して社会的スキルの促進を図る（講義及び実習）
8	ラケットスポーツを学ぶ3 卓球①	卓球を通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）

9	ラケットスポーツを学ぶ4 卓球②	卓球を通して社会的スキルの促進を図る（講義及び実習）
10	集団球技スポーツを学ぶ バレーボール	バレーボールを通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）
11	ニューススポーツを学ぶ1 ユニホック	ユニホックを通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）
12	ニューススポーツを学ぶ2 アルティメット	アルティメットを通して相互理解の促進を図る（講義及び実習）
13	パラスポーツを学ぶ ボッチャ	ボッチャを通して相互理解の促進および社会的スキルの促進を図る（講義及び実習）
14	授業の総括	授業のまとめ、レポート（2回目）の作成（講義）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本講義内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて担当教員が配付する。

【参考書】

授業担当教員が必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- (1) 授業中の活動に対する参画状況60%、(2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。
1. レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。
2. リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。
3. リアクションペーパー、レポート等の提出物は、必ず本人が提出してください。
4. 授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。
5. 原則として欠席3回までを評価対象とします。また、授業開始から20分以内までの入室を遅刻とし、それ以降の入室は欠席とします。
6. やむを得ない理由がない限り全ての授業に出席してください。やむを得ない理由とは、病気、ケガ等による欠席となります。
7. 前述の理由により欠席する場合、事前にその旨について担当教員に報告してください。また病気や怪我といった急性疾患等により欠席する場合、出席可能となった授業時にその旨について担当教員に報告してください。なお、病気や怪我による通院などによる欠席の場合、そのことを証明できる資料を担当教員に提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

・直近の授業改善アンケートを踏まえた授業改善のための取り組みや工夫の内容を示します。

1. 食事、休養、睡眠等の生活習慣について日々記録することが望ましい。
2. 多様な体験型実習やグループワークを取り入れ、より実践的な授業を展開します。
3. 本授業では、社会的スキルの一つとみなされる「ハウ・レン・ソウ（報告、連絡、相談）」の実施を求めます。そのため、やむを得ない理由により欠席する場合は必ず事前に連絡してください。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。

【その他の重要事項】

1. 原則として対面授業を実施する予定です。ただし、感染症の影響などにより、Zoomなどによるオンライン授業などに変更される場合があります。そのため、都度、学習支援システムなどをチェックするようにしてください。
2. 授業内容に関する説明および社会的スキル診断検査を実施するため、必ず初回授業に出席してください。
3. 授業とは関係のない行為（携帯使用、居眠り、会話等）は厳禁とし、その行為をした受講生は単位認定の評価外とします。
4. 上記の授業計画は、受講者の人数や要望に応じて変更する場合があります。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

蔭山 雅洋

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

1. 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
2. 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
3. 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
4. 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
5. 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。なお、最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行ったリアクションペーパーや小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の説明、社会的スキル診断検査（1回目）（講義）
2	体力測定	体力測定の意義を学ぶ（講義及び実習）
3	健康と体力	体力測定のフィードバック及びレポート作成（講義）
4	個人スポーツを学ぶ1	バドミントンを通じた新規的な人間関係の構築（講義及び実習）
5	個人スポーツを学ぶ2	バドミントンを通じた相互理解の促進（講義及び実習）
6	トレーニング演習	トレーニングの理論と実践方法（講義及び実習）
7	健康科学	食事、睡眠、飲酒、喫煙、感染症について学び、自身の健康について考える（講義）
8	集団スポーツを学ぶ1	バレーボールを通じた新規的な人間関係の構築（講義及び実習）
9	集団スポーツを学ぶ2	バレーボールを通じた相互理解の促進（講義及び実習）

10	ライフスタイルに 応じ たスポーツとの関 わり 方	ライフスタイルについて学び、自身のスポーツとの関わり方について理解を深める（講義）
11	オリンピック・パ ラリ ンピック	オリンピック・パラリンピックの意義を知り、スポーツへの理解を深める（講義）
12	個人スポーツを学ぶ3	卓球を通じた新規的な人間関係の構築（講義及び実習）
13	個人スポーツを学ぶ4	卓球を通じた相互理解の促進（講義及び実習）
14	授業総括	社会的スキル診断検査および体組成の測定（2回目）を実施し、これまでの授業が自身の社会的スキルと健康に与えた影響について理解を深める（講義および実習）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本授業内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。資料は必要に応じて担当教員が配布します。

【参考書】

特定の参考書は使用しません。担当教員が必要に応じて資料等を配布、あるいは参考書を紹介します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価基準

1) 授業中の活動に対する参画状況・リアクションペーパー60%、2) 課題レポート40%の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

※原則として欠席3回までを評価対象とします。

※授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。

※リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。

※レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。

【学生の意見等からの気づき】

新規的な人間関係の構築を促進する目的から、多様な体験型実習やグループワークを取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

1. スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。

2. 課題を作成・提出するためのノートパソコンやモバイル機器等を準備してください。

その他の重要事項

1. 授業内容に関する説明および社会的スキル診断検査を実施するため、必ず初回授業から出席してください。

2. 原則として対面授業を実施する予定です。ただし、感染症の影響等によりオンライン授業に変更される場合があります。そのため、学習支援システムやメールによる案内を確認するようにしてください。

3. 授業計画は、感染症の拡大状況、受講者数や受講者からの要望に応じて変更される場合があります。

4. 本授業では、社会的スキルの一つとみなされる「ホウ・レン・ソウ（報告、連絡、相談）」の実施を求めます。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This course will make students deeply understand the significance and the effect of physical activity. Therefore, students who take this course can improve properly learning and attitude about physical, mental, and social health necessary throughout the students' future of life.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to:

1. Understand more about the meaning and role of physical activity from various perspectives.
2. Use sports and physical activities to establish a prosperous and healthy student life and social life.
3. Develop essential knowledge and attitudes that contribute to self-management.
4. Develop the ability to demonstrate leadership and solve problems through communication with others.
5. Acquire various skills related to the development of employability.

【Learning activities outside of classroom】 Students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding the assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria/Policy】 Grading will be decided based on the class participation (not attendance)(60 %) and report on the lecture (40%).

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

蔭山 雅洋

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

1. 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
2. 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
3. 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
4. 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
5. 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目で、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。なお、最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で行ったリアクションペーパーや小レポート等、課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の説明、社会的スキル診断検査（1回目）（講義）
2	体力測定	体力測定の意義を学ぶ（講義及び実習）
3	健康と体力	体力測定のフィードバック及びレポート作成（講義）
4	個人スポーツを学ぶ1	バドミントンを通じた新規的人間関係の構築（講義及び実習）
5	個人スポーツを学ぶ2	バドミントンを通じた相互理解の促進（講義及び実習）
6	トレーニング演習	トレーニングの理論と実践方法（講義及び実習）
7	健康科学	食事、睡眠、飲酒、喫煙、感染症について学び、自身の健康について考える（講義）
8	集団スポーツを学ぶ1	バレーボールを通じた新規的人間関係の構築（講義及び実習）
9	集団スポーツを学ぶ2	バレーボールを通じた相互理解の促進（講義及び実習）

10	ライフスタイルに 応じたスポーツとの関 わり 方	ライフスタイルについて学び、 自身のスポーツとの関わり方について理解を深める（講義）
11	オリンピック・パ ラリンピック	オリンピック・パラリンピック の意義を知り、スポーツへの理 解を深める（講義）
12	個人スポーツを学ぶ3	卓球を通じた新規的人間関係の 構築（講義及び実習）
13	個人スポーツを学ぶ4	卓球を通じた相互理解の促進 （講義及び実習）
14	授業総括	社会的スキル診断検査および体 組成の測定（2回目）を実施し、 これまでの授業が自身の社会的 スキルと健康に与えた影響につ いて理解を深める（講義および 実習）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本授業内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。資料は必要に応じて担当教員が配布します。

【参考書】

特定の参考書は使用しません。担当教員が必要に応じて資料等を配布、あるいは参考書を紹介します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価基準

1) 授業中の活動に対する参画状況・リアクションペーパー60%、2) 課題レポート40%の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

※原則として欠席3回までを評価対象とします。

※授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。

※リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。

※レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。

【学生の意見等からの気づき】

新規的な人間関係の構築を促進する目的から、多様な体験型実習やグループワークを取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

1. スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。

2. 課題を作成・提出するためのノートパソコンやモバイル機器等を準備してください。

その他の重要事項

1. 授業内容に関する説明および社会的スキル診断検査を実施するため、必ず初回授業から出席してください。

2. 原則として対面授業を実施する予定です。ただし、感染症の影響等によりオンライン授業に変更される場合があります。そのため、学習支援システムやメールによる案内を確認するようにしてください。

3. 授業計画は、感染症の拡大状況、受講者数や受講者からの要望に応じて変更される場合があります。

4. 本授業では、社会的スキルの一つとみなされる「ホウ・レン・ソウ（報告、連絡、相談）」の実施を求めます。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This course will make students deeply understand the significance and the effect of physical activity. Therefore, students who take this course can improve properly learning and attitude about physical, mental, and social health necessary throughout the students' future of life.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to:

1. Understand more about the meaning and role of physical activity from various perspectives.
2. Use sports and physical activities to establish a prosperous and healthy student life and social life.
3. Develop essential knowledge and attitudes that contribute to self-management.
4. Develop the ability to demonstrate leadership and solve problems through communication with others.
5. Acquire various skills related to the development of employability.

【Learning activities outside of classroom】 Students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding the assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria/Policy】 Grading will be decided based on the class participation (not attendance)(60 %) and report on the lecture (40%).

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

朝比奈 茂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月6/Mon.6

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ①身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ②豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は必修科目であり、法学部以外の学部再履修生および社会人（RSP）学生を対象とする。第1回から第7回は市ヶ谷キャンパスで開講し、第8回から第14回はサマーセッション期間中に、多摩キャンパスにおいて2日間連続で実施する。学部を問わず履修可能であるが、履修希望者が多数の場合は、事前のガイダンスにおいて抽選を行い、履修者を決定する。授業はスポーツ実践と講義を組み合わせて実施する。授業の冒頭で提出されたリアクションペーパーの内容からいくつかを取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	講義の概要、ねらい、進め方、到達目標などを説明する。 体格・身体組成の測定を行う。
2	体力測定 (講義および実習)	文部科学省新体力テストに沿って実施する。
3	身体運動と健康 (講義)	体力測定のフィードバックおよびレポート作成を行う。 運動が健康に及ぼす影響およびその効果について説明し、体力と健康との関わりについて理解する。
4	トレーニング演習 (講義および実習)	トレーニング理論および実践方法を理解し、実際に機器を使ってトレーニングを行う。また、自重を用いたトレーニング方法を習得する。
5	ヨガと瞑想 (講義および実習)	ヨガについて概説し、基本のポーズについて、筋肉の解剖を理解しながら実践する。同時に、呼吸法について、その効果と方法を理解し、実践することで瞑想状態を体験する。

6	スポーツ傷害と応急処置 (講義および実習)	スポーツ傷害について、発生要因とその応急処置を説明する。特に冷却療法（アイシング）について説明し、実践する。
7	スポーツウォーキングの基本 (講義および実習)	スポーツ・ウォーキングが身体に及ぼす影響を理解するとともに、基本的なウォーキング技術を習得しながら、校外でウォーキングを実施する。
8	スポーツウォーキングの実践 (講義および実習)	スポーツウォーキングを実践しながら、多摩キャンパスの各学部棟を巡る。多摩キャンパス内の外周（トレイルランコース）を歩くことで、自然環境を理解し、ウォーキングの効果を実感する。
9	食事と健康 (講義)	食事内容が脂質異常症に及ぼす影響について説明し、理想的な食習慣について、具体的な食材を示しながら解説する。
10	ラケットスポーツ（卓球） (講義および実習)	ラケットスポーツの一つである卓球を取り上げ、ルールの理解、基本技術の習得、ゲーム運営について実践と講義を交えて理解する。
11	ウォーミングアップとクーリングダウン (講義および実習)	ウォーミングアップ、クーリングダウンの重要性について説明する。特にストレッチの種類、正確な行い方については実践を通じて習得する。
12	トレッキングの基礎知識と自然環境 (講義および実習)	トレッキングの基礎知識を概説し、多摩キャンパス近くにある高尾山で実際にトレッキングを体験する。また、高尾山の自然環境を体感することで環境問題への意識を高め、その対策について確認しながらトレッキングを実践する。
13	トレッキングと健康 (講義および実習)	トレッキングが身体の諸器官に与える影響について説明するとともに、適切な水分摂取の方法や身体のケア方法を習得する。また、自然活動におけるマナーやルールについて学生同士で話し合いを行う。
14	まとめ (講義)	授業全体を通じて、学んだこと、感じたことを振り返り、身体活動の意義や役割について、学生同士意見交換を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

実習を行うにあたっては、授業での身体活動時に心身の不備がないよう、各自が体調を整えた上で授業に参加すること。
毎回の講義で使用するレジュメ及び資料を参考に必ず予習・復習をすること。
レジュメ及び資料は学習支援システム上に掲載する。受講者は各自ダウンロードし授業に持参すること。
授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて授業中に伝達する。なお本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて配布する。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- 1) 授業中の活動に対する参画状況や授業態度：80%
 - 2) 課題・レポート：20%
- 上記の配分として総合評価する。
この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

毎回の講義はじめに、その日のスケジュールおよびポイントを示すことで、目標を明確にし講義に臨めるように工夫を行う。
常に受講生の反応を確認しながら、講義内容を柔軟に変化させることにより、集中力を持続させる工夫を行う。
授業の最後に次回の内容を伝達し、自宅での予習や資料収集に役立つよう工夫する。

【学生が準備すべき機器他】

必要に応じてオンライン授業をおこなう場合がある。オンライン授業をより効果的に行うために、通信環境を整えておく。また通信機器としてパソコンを準備することがのぞましい。
配布資料、課題の提出は全て学習支援システムを通じて行う。

【その他の重要事項】

授業に関する質問や相談は、授業中または授業の前後に受け付ける。
それ以外については、随時メールにて対応する。
オフィスアワーとして毎週月曜日の16時50分～18時30分までの100分を設ける。
オフィスアワーを利用する場合は、事前にメールで連絡を取ること。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

This course will be conducted to make students understand the significance and effect of physical activity deeply.
Therefore, students who take this course are learnable to improve properly learning and attitude about physical, mental, social health necessary throughout the students' future of life.
Concretely, we will educate to maintain and promote their own health, to acquire important knowledge to self health care, and to develop attitudes for that.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to:

1. Understand more about the meaning and role of physical activity from various perspectives.
2. Use sports and physical activities to establish a prosperous and healthy student life and social life.
3. Develop essential knowledge and attitudes that contribute to self-management.
4. Develop the ability to demonstrate leadership and solve problems through communication with others.
5. Acquire various skills related to the development of employability.

【Learning activities outside of classroom】

Each student is expected to be in good physical condition before attending the class so that there will be no physical or mental deficiencies during the physical activities in the class. You will be instructed on assignments to be done after class and preparations for the next class as necessary. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria/Policy】

The overall evaluation will be based on the following distribution.

- 1) Participation in class activities (not attendance) : 80%
- 2) Assignments and reports : 20%

This grading method is a general rule, and students who have difficulty with regular activities will be dealt with and evaluated on an individual basis.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

竹内 洋輔

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月6/Mon.6

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ①身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ②豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス時に説明か、もしくは動画で説明する。

毎回の授業の初めに、前回の授業で提出された意見や感想をいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

基本的に対面での実施をするため、大学の感染症対策等を守って対面で参加できる学生が受講することが望ましい。

その他、授業に関わる連絡事項については、市ヶ谷総合体育館の掲示板や、授業前日までに授業支援システム（Hoppii）を通して告知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス（講義）	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する。
2	体力測定（講義および実習）	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する。
3	健康と体力（講義）	様々な健康関連・医学的情報を理解し、体力測定の結果を踏まえ、自らの健康の維持・改善に必要な情報を適切に選択できる能力を修得する（講義）
4	トレーニング演習（講義及び実習）	トレーニングの理論及び実践方法を理解する
5	対戦形式（ネット型）のスポーツを学ぶⅠ（講義および実習）	対戦形式（ネット型）を通じた協同活動の理解、バドミントンの基礎技術のトレーニングおよび、ミニゲームを行う

6	対戦形式（ネット型）のスポーツを学ぶⅡ（講義および実習）	バドミントンの基礎技術に応用し、実践を行う
7	ウォーキング（講義および実習）	有酸素運動としてウォーキングを校外にて実施し、人間のエネルギーの消費系統に関する理解を深める
8	得点形式スポーツを学ぶⅠ（講義および実習）	得点形式スポーツの特徴の理解、バレーボールの競技特性を理解したうえで、対戦相手に応じてルールを工夫し、安全に配慮してゲームを行う
9	得点形式スポーツを学ぶⅡ（講義および実習）	バレーボールの基礎技術に応用し、安全に配慮してゲームを行う
10	対戦形式（ネット型）のスポーツを学ぶⅢ（理論と実習）	対戦形式（ネット型）を通じた協同活動の理解、ネットスポーツとして卓球の基礎技術のトレーニングおよび、シングルスゲームを行う
11	対戦形式（ネット型）のスポーツを学ぶⅣ（理論と実習）	卓球の応用技術を習得し、ダブルスのゲームを行う
12	得点形式スポーツを学ぶⅢ（理論と実習）	得点形式スポーツの特徴の理解、フットサルについて、基礎技術のトレーニングおよび、ミニゲームを行う
13	得点形式スポーツを学ぶⅣ（理論と実習）	フットサルについて、応用技術の習得し、ゲームを行う
14	総括（講義）	これまで授業で行った内容やその関連項目について理論を含め講義し、質問や意見交換を行い総括とする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。実習するにあたっては、授業での身体活動時に心身の不備が無いよう、各自が体調を整えた上で授業に臨むこと。また授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、授業担当教員の指示に従って実践すること。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて配布する。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

1)授業中の活動に対する参画状況・授業態度を60% 2)授業に対する理解度や課題・レポートを40%の配分として総合評価する。またこの成績評価方法は原則的なものであり、病弱者、見学者、特別な身体的理由により通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

大学で体育を行う意味や、健康の維持・増進に運動がどう関わるのか、またそのための運動についてや、他者とのコミュニケーションの重要性について良く理解できた等の意見を頂きました。今後も受講生との対話や授業改善アンケートをもとに、より良い授業内容を実施できるよう努めます。

【学生が準備すべき機器他】

必要時に案内を行う。
学習支援システムを使用する。

【その他の重要事項】

実技種目を実施するにあたって他の学生と協力し実施することが多いことから、個別の身体状況に対応して授業を実施することが難しい。そのため受講にあたっては、健康診断書の結果および、自己の評価から、運動に支障が無い身体状態であることが必要である。授業において実技にあたっては、運動着の着用および室内運動靴が必須となる。教場の関係により、授業計画の順序等が変更になることがある。初回授業に関しては、ガイダンスの為、運動着への着替えを必要としない。

授業当日、実技実施前後において、自身の身体で体調・障害等気になる点がある際には、必ず担当教員に申告し、対応の指示を受けること。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This course will make students deeply understand the significance and the effect of physical activity. Therefore, students who take this course can improve properly learning and attitude about physical, mental, and social health necessary throughout the students' future of life.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to:

1. Understand more about the meaning and role of physical activity from various perspectives.
2. Use sports and physical activities to establish a prosperous and healthy student life and social life.
3. Develop essential knowledge and attitudes that contribute to self-management.
4. Develop the ability to demonstrate leadership and solve problems through communication with others.
5. Acquire various skills related to the development of employability.

【Learning activities outside of classroom】 Students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding the assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria/Policy】

Grading will be based on two points.

- (1) Participation in class activities and class attitude: 60%.
- (2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

佐藤 優希

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容を理解するとともにスポーツ活動への取り組みに対する動機づけを図る。また半期に渡って健康状態の記録を実施する。
2	体力測定	体力測定（50m走、シャトルランを除く）を通じて、現状の体力レベルを知る（講義および実習）
3	体力測定フィードバック	体力測定データのフィードバックから健康を維持するための方法を考える（講義）
4	トレーニングと健康	レーニンセンターの利用方法および安全講習を行い、「トレーニング」という観点から健康を維持するための方法を学ぶ（講義及び実習）
5	アイスブレイクグループワーク	他己紹介を用いたグループワークに取り組む。また、スポーツ経験を受講者間で共有する。（グループワークおよび実習）
6	集団スポーツを学ぶ1	ドッジビーを通じた相互理解の促進（講義及び実習）

7	集団スポーツを学ぶ2	バレーボールを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
8	個人スポーツを学ぶ1	バドミントンを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
9	個人スポーツを学ぶ2	バドミントンを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
10	スポーツとコーピング	スポーツの観点からストレスへの対処（コーピング）について学ぶ（講義）
11	個人スポーツを学ぶ3	卓球を通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
12	スポーツと人間心理	グループワーク「気になる自画像」を通して、他者から見た私を知る（講義およびグループワーク）
13	集団スポーツを学ぶ3	バスケットボールを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
14	総括、レポート	授業の総括およびレポートに取り組む。半期に渡り記録した健康状態について、分析・考察を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本演習の準備・復習時間の目安は1回の授業につき各2時間以上です。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本講義内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【参考書】

特定の参考書は使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【成績評価の方法と基準】

授業中の活動に対する参画状況・リアクションペーパー60%、課題・レポート40%の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

1. レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。
2. リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。
3. リアクションペーパー、レポート等の提出物は、必ず本人が提出してください。
4. 授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。
5. 原則として欠席4回までを評価対象とします。また、授業開始から20分以内までの入室を遅刻とし、それ以降の入室は欠席とします。
6. やむを得ない理由がない限り全ての授業に出席してください。やむを得ない理由とは、病気、ケガ等による欠席となります。
7. 前述の理由により欠席する場合、事前にその旨について担当教員に報告してください。また病気や怪我といった急性疾患等により欠席する場合、出席可能となった授業時にその旨について担当教員に報告してください。なお、病気や怪我による通院などによる欠席の場合、そのことを証明できる資料を担当教員に提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

多様な体験型実習やグループワークを取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。忘れた場合は見学になります。

ネイルやアクセサリーの着用は事故およびケガの原因になるため、実習中は外すことが望ましい。

【その他の重要事項】

1. 原則として対面授業を実施する予定です。学習支援システムから授業に関する情報を配信します。そのため、都度、学習支援システムをチェックするようにしてください。
2. 授業内容に関する説明を実施するため、必ず初回授業に出席してください。
3. 授業とは関係のない行為（携帯使用、居眠り、会話等）は厳禁とし、その行為をした受講生は単位認定の評価外とします。
4. 上記の授業計画は、受講者の人数や要望に応じて変更する場合があります。
5. 授業終了後に教室・教場で質問を受け付ける。随時、電子メールでも質問可。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）		
スポーツ総合演習		2017年度以降入学者
佐藤 優希		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月3/Mon.3		
単位数：2単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は必修科目、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与する。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンスの際に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容を理解するとともにスポーツ活動への取り組みに対する動機づけを図る。また半期に渡って健康状態の記録を実施する。
2	体力測定	体力測定（50m走、シャトルランを除く）を通じて、現状の体力レベルを知る（講義および実習）
3	体力測定フィードバック	体力測定データのフィードバックから健康を維持するための方法を考える（講義）
4	トレーニングと健康	レーニングセンターの利用方法および安全講習を行い、「トレーニング」という観点から健康を維持するための方法を学ぶ（講義及び実習）
5	アイスブレイクグループワーク	他己紹介を用いたグループワークに取り組む。また、スポーツ経験を受講者間で共有する。（グループワークおよび実習）
6	集団スポーツを学ぶ1	ドッジビーを通じた相互理解の促進（講義及び実習）

7	集団スポーツを学ぶ2	バレーボールを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
8	個人スポーツを学ぶ1	バドミントンを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
9	個人スポーツを学ぶ2	バドミントンを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
10	スポーツとコーピング	スポーツの観点からストレスへの対処（コーピング）について学ぶ（講義）
11	個人スポーツを学ぶ3	卓球を通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
12	スポーツと人間心理	グループワーク「気になる自画像」を通して、他者から見た私を知る（講義およびグループワーク）
13	集団スポーツを学ぶ3	バスケットボールを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
14	総括、レポート	授業の総括およびレポートに取り組む。半期に渡り記録した健康状態について、分析・考察を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本演習の準備・復習時間の目安は1回の授業につき各2時間以上です。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本講義内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【参考書】

特定の参考書は使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【成績評価の方法と基準】

授業中の活動に対する参画状況・リアクションペーパー60%、課題・レポート40%の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

1. レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。
2. リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。
3. リアクションペーパー、レポート等の提出物は、必ず本人が提出してください。
4. 授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。
5. 原則として欠席4回までを評価対象とします。また、授業開始から20分以内までの入室を遅刻とし、それ以降の入室は欠席とします。
6. やむを得ない理由がない限り全ての授業に出席してください。やむを得ない理由とは、病気、ケガ等による欠席となります。
7. 前述の理由により欠席する場合、事前にその旨について担当教員に報告してください。また病気や怪我といった急性疾患等により欠席する場合、出席可能となった授業時にその旨について担当教員に報告してください。なお、病気や怪我による通院などによる欠席の場合、そのことを証明できる資料を担当教員に提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

多様な体験型実習やグループワークを取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。忘れた場合は見学になります。ネイルやアクセサリーの着用は事故およびケガの原因になるため、実習中は外すことが望ましい。

【その他の重要事項】

1. 原則として対面授業を実施する予定です。学習支援システムから授業に関する情報を配信します。そのため、都度、学習支援システムをチェックするようにしてください。
2. 授業内容に関する説明を実施するため、必ず初回授業に出席してください。
3. 授業とは関係のない行為（携帯使用、居眠り、会話等）は厳禁とし、その行為をした受講生は単位認定の評価外とします。
4. 上記の授業計画は、受講者の人数や要望に応じて変更する場合があります。
5. 授業終了後に教室・教場で質問を受け付ける。随時、電子メールでも質問可。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

竹内 洋輔

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ①身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ②豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス時に説明か、もしくは動画で説明する。

毎回の授業の初めに、前回の授業で提出された意見や感想をいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

基本的に対面での実施をするため、大学の感染症対策等を守って対面で参加できる学生が受講することが望ましい。

その他、授業に関わる連絡事項については、市ヶ谷総合体育館の掲示板や、授業前日までに授業支援システム（Hoppii）を通して告知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス（講義）	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する。
2	体力測定（講義および実習）	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する。
3	健康と体力（講義）	様々な健康関連・医学的情報を理解し、体力測定の結果を踏まえ、自らの健康の維持・改善に必要な情報を適切に選択できる能力を修得する（講義）
4	トレーニング演習（講義及び実習）	トレーニングの理論及び実践方法を理解する
5	対戦形式（ネット型）のスポーツを学ぶⅠ（講義及び実習）	対戦形式（ネット型）を通じた協同活動の理解、バドミントンの基礎技術のトレーニングおよび、ミニゲームを行う

6	対戦形式（ネット型）のスポーツを学ぶⅡ（講義および実習）	バドミントンの基礎技術に応用し、実践を行う
7	ウォーキング（講義および実習）	有酸素運動としてウォーキングを校外にて実施し、人間のエネルギーの消費系統に関する理解を深める
8	得点形式スポーツを学ぶⅠ（講義および実習）	得点形式スポーツの特徴の理解、バレーボールの競技特性を理解したうえで、対戦相手に応じてルールを工夫し、安全に配慮してゲームを行う
9	得点形式スポーツを学ぶⅡ（講義および実習）	バレーボールの基礎技術に応用し、安全に配慮してゲームを行う
10	対戦形式（ネット型）のスポーツを学ぶⅢ（理論と実習）	対戦形式（ネット型）を通じた協同活動の理解、ネットスポーツとして卓球の基礎技術のトレーニングおよび、シングルスゲームを行う
11	対戦形式（ネット型）のスポーツを学ぶⅣ（理論と実習）	卓球の応用技術を習得し、ダブルスのゲームを行う
12	得点形式スポーツを学ぶⅢ（理論と実習）	得点形式スポーツの特徴の理解、フットサルについて、基礎技術のトレーニングおよび、ミニゲームを行う
13	得点形式スポーツを学ぶⅣ（理論と実習）	フットサルについて、応用技術の習得し、ゲームを行う
14	総括（講義）	これまで授業で行った内容やその関連項目について理論を含め講義し、質問や意見交換を行い総括とする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。実習するにあたっては、授業での身体活動時に心身の不備が無いよう、各自が体調を整えた上で授業に臨むこと。また授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、授業担当教員の指示に従って実践すること。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて配布する。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

1)授業中の活動に対する参画状況・授業態度を60% 2)授業に対する理解度や課題・レポートを40%の配分として総合評価する。またこの成績評価方法は原則的なものであり、病弱者、見学者、特別な身体的理由により通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

大学で体育を行う意味や、健康の維持・増進に運動がどう関わるのか、またそのための運動についてや、他者とのコミュニケーションの重要性について良く理解できた等の意見を頂きました。今後も受講生との対話や授業改善アンケートをもとに、より良い授業内容を実施できるよう努めます。

【学生が準備すべき機器他】

必要時に案内を行う。
学習支援システムを使用する。

【その他の重要事項】

実技種目を実施するにあたって他の学生と協力し実施することが多いことから、個別の身体状況に対応して授業を実施することが難しい。そのため受講にあたっては、健康診断書の結果および、自己の評価から、運動に支障が無い身体状態であることが必要である。授業において実技にあたっては、運動着の着用および室内運動靴が必須となる。教場の関係により、授業計画の順序等が変更になることがある。初回授業に関しては、ガイダンスの為、運動着への着替えを必要としない。

授業当日、実技実施前後において、自身の身体で体調・障害等気になる点がある際には、必ず担当教員に申告し、対応の指示を受けること。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This course will make students deeply understand the significance and the effect of physical activity. Therefore, students who take this course can improve properly learning and attitude about physical, mental, and social health necessary throughout the students' future of life.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to:

1. Understand more about the meaning and role of physical activity from various perspectives.
2. Use sports and physical activities to establish a prosperous and healthy student life and social life.
3. Develop essential knowledge and attitudes that contribute to self-management.
4. Develop the ability to demonstrate leadership and solve problems through communication with others.
5. Acquire various skills related to the development of employability.

【Learning activities outside of classroom】 Students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding the assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria/Policy】 Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習

2017年度以降入学者

竹内 洋輔

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ①身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ②豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス時に説明か、もしくは動画で説明する。

毎回の授業の初めに、前回の授業で提出された意見や感想をいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

基本的に対面での実施をするため、大学の感染症対策等を守って対面で参加できる学生が受講することが望ましい。

その他、授業に関わる連絡事項については、市ヶ谷総合体育館の掲示板や、授業前日までに授業支援システム（Hoppii）を通して告知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス（講義）	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する。
2	体力測定（講義および実習）	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する。
3	健康と体力（講義）	様々な健康関連・医学的情報を理解し、体力測定の結果を踏まえ、自らの健康の維持・改善に必要な情報を適切に選択できる能力を修得する（講義）
4	トレーニング演習（講義及び実習）	トレーニングの理論及び実践方法を理解する
5	対戦形式（ネット型）のスポーツを学ぶⅠ（講義および実習）	対戦形式（ネット型）を通じた協同活動の理解、バドミントンの基礎技術のトレーニングおよび、ミニゲームを行う

6	対戦形式（ネット型）のスポーツを学ぶⅡ（講義および実習）	バドミントンの基礎技術に応用し、実践を行う
7	ウォーキング（講義および実習）	有酸素運動としてウォーキングを校外にて実施し、人間のエネルギーの消費系統に関する理解を深める
8	得点形式スポーツを学ぶⅠ（講義および実習）	得点形式スポーツの特徴の理解、バレーボールの競技特性を理解したうえで、対戦相手に応じてルールを工夫し、安全に配慮してゲームを行う
9	得点形式スポーツを学ぶⅡ（講義および実習）	バレーボールの基礎技術に応用し、安全に配慮してゲームを行う
10	対戦形式（ネット型）のスポーツを学ぶⅢ（理論と実習）	対戦形式（ネット型）を通じた協同活動の理解、ネットスポーツとして卓球の基礎技術のトレーニングおよび、シングルスゲームを行う
11	対戦形式（ネット型）のスポーツを学ぶⅣ（理論と実習）	卓球の応用技術を習得し、ダブルスのゲームを行う
12	得点形式スポーツを学ぶⅢ（理論と実習）	得点形式スポーツの特徴の理解、フットサルについて、基礎技術のトレーニングおよび、ミニゲームを行う
13	得点形式スポーツを学ぶⅣ（理論と実習）	フットサルについて、応用技術の習得し、ゲームを行う
14	総括（講義）	これまで授業で行った内容やその関連項目について理論を含め講義し、質問や意見交換を行い総括とする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。実習するにあたっては、授業での身体活動時に心身の不備が無いよう、各自が体調を整えた上で授業に臨むこと。また授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、授業担当教員の指示に従って実践すること。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて配布する。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

1)授業中の活動に対する参画状況・授業態度を60% 2)授業に対する理解度や課題・レポートを40%の配分として総合評価する。またこの成績評価方法は原則的なものであり、病弱者、見学者、特別な身体的理由により通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

大学で体育を行う意味や、健康の維持・増進に運動がどう関わるのか、またそのための運動についてや、他者とのコミュニケーションの重要性について良く理解できた等の意見を頂きました。今後も受講生との対話や授業改善アンケートをもとに、より良い授業内容を実施できるよう努めます。

【学生が準備すべき機器他】

必要時に案内を行う。
学習支援システムを使用する。

【その他の重要事項】

実技種目を実施するにあたって他の学生と協力し実施することが多いことから、個別の身体状況に対応して授業を実施することが難しい。そのため受講にあたっては、健康診断書の結果および、自己の評価から、運動に支障が無い身体状態であることが必要である。授業において実技にあたっては、運動着の着用および室内運動靴が必須となる。教場の関係により、授業計画の順序等が変更になることがある。初回授業に関しては、ガイダンスの為、運動着への着替えを必要としない。

授業当日、実技実施前後において、自身の身体で体調・障害等気になる点がある際には、必ず担当教員に申告し、対応の指示を受けること。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This course will make students deeply understand the significance and the effect of physical activity. Therefore, students who take this course can improve properly learning and attitude about physical, mental, and social health necessary throughout the students' future of life.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to:

1. Understand more about the meaning and role of physical activity from various perspectives.
2. Use sports and physical activities to establish a prosperous and healthy student life and social life.
3. Develop essential knowledge and attitudes that contribute to self-management.
4. Develop the ability to demonstrate leadership and solve problems through communication with others.
5. Acquire various skills related to the development of employability.

【Learning activities outside of classroom】 Students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding the assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria/Policy】 Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）		
スポーツ総合演習		2017年度以降入学者
荒井 弘和		
開講時期：春学期集中/Intensive(Spring) 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses		
単位数：2単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、「スポーツ総合演習（アダプテッド・コース）」というコースであることに注意されたい。
本コースでは、自らの心身の状況を考慮しつつ、自己に適した運動・スポーツを行うことを重視する。
本授業では、身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ①身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ②豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、市ヶ谷キャンパスで開講される。
この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。
毎回の授業の初めに、前回の授業で提出された意見や感想をいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。
スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス動画で説明する。
各回の授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーや意見からいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス（講義）	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する。
2	コミュニケーションを学ぶ（講義および実習）	コミュニケーションの基礎を学び、コミュニケーション促進のためのアクティビティを実践する。
3	ストレッチを学ぶ（講義および実習）	ストレッチの概要を学び、実践する。
4	体力を測定する（講義および実習）	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する。
5	運動と身体的・精神的健康との関連を学ぶ（講義および実習）	運動と身体的・精神的健康との関連を学び、意見交換を行う。

6	運動と社会的健康との関連を学ぶ（講義および実習）	運動と社会的健康との関連を学び、意見交換やグループワークを行う。
7	トレーニング演習：トレーニングの理論と実践方法（講義と実技）	トレーニング理論・実践方法を学び、トレーニングルームにおいて、各種トレーニングを実践する。
8	ボッチャを学ぶ（講義および実習）	ボッチャのルールや技術を学び、実践する。
9	スポーツと文化との関連を学ぶ（講義）	スポーツと文化との関連を学び、意見交換やグループワークを行う。
10	運動習慣を促進するための方法を学ぶ（講義および実習）	運動習慣を促進するための方法を学び、意見交換を行う。
11	卓球を学ぶ（講義および実習）	卓球のルールや技術を学び、習得する。
12	卓球を学ぶ（講義および実習）	卓球のルールや技術を学び、実践する。
13	コミュニケーションを学ぶ（講義および実習）	健康を題材として、コミュニケーションの応用を学び、コミュニケーション促進のためのアクティビティを実践する。
14	コミュニケーションを学ぶ（講義および実習）	スポーツを題材として、コミュニケーションの応用を学び、コミュニケーション促進のためのアクティビティを実践する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、必要に応じて指示をする。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて配布する。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

1) 授業中の活動に対する参画状況・授業態度60%、2) 課題・レポート40%の配分として総合評価する。またこの成績評価方法は原則的なものであり、病弱者、見学者、特別な身体的理由により通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

「時勢に合わせた授業内容が臨機応変で良かったです。他学生や先生との交流も多く、得るものが多い授業でした」などの意見をもらいました。今後も、受講生の心身の状況（疾患、負傷、障がいなど）に合わせて、授業を実施します。

【その他の重要事項】

【アダプテッドコースの説明】

アダプテッド・コースの受講者は、以下に示す条件を満たして、担当教員から受講が認められた者とする。

1. スポーツ総合演習の受講に影響のある疾患または障がいのある者。
2. 負傷しており、所属学部・学科に割り当てられたスポーツ総合演習の受講が困難な者。
3. 所属学部・学科に割り当てられたスポーツ総合演習を履修する者の中で、授業期間中に授業参加が困難なほどに負傷した者。
4. その他、妥当だと判断される理由のある者。
5. 「選択科目」としての履修は、原則として認めない。
6. 「再履修」としての履修は認める。

なお、負傷している、または、障がいのある者であっても、本コースのスポーツ総合演習を履修するかどうかは、本人の希望を尊重する。また、本コースの受講を検討している者は、原則として、受講を希望する年度の履修登録期間の前に、保健体育部（事務）に連絡をすること。その後、担当教員と面談や情報交換を行った上で、受講の可否が決定される。

【その他】

・実技において、戸籍上の性別に基づくグループ分けは行わない予定です。ただし、安全上の配慮のため、競技力等に基づいてグループ分けを行う場合があります。グループ分けについて懸念事項があれば担当教員に申し出てください。

- ・更衣室の使用について、懸念事項があれば担当教員に申し出てください。
- ・授業中の呼称について、希望があれば担当教員に申し出てください。
- ・担当教員に申告しにくい事柄がある場合、学内の施設（学生相談室やDEIセンター等）を遠慮なく利用してください。

【Outline (in English)】

Please note that this class is a special course called an adapted course.

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

- (1) Participation in class activities and class attitude: 60%.
- (2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習 S

2017年度以降入学者

佐藤 優希

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、履修に際して学部等の制限はないが、定員を30名程度とする。定員超過の場合は抽選を行うため、初回授業に必ず出席すること。

授業は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容を理解するとともにスポーツ活動への取り組みに対する動機づけを図る。
2	体力測定	体力測定（50m走、シャトルランを除く）を通じて、現状の体力レベルを知る（講義および実習）
3	体力測定フィードバック	体力測定データのフィードバックから健康を維持するための方法を考える（講義）
4	トレーニングと健康	レーニンセンターの利用方法および安全講習を行い、「トレーニング」という観点から健康を維持するための方法を学ぶ（講義及び実習）
5	アイスブレイクグループワーク	他己紹介を用いたグループワークに取り組む。また、スポーツ経験を受講者間で共有する。（グループワークおよび実習）
6	集団スポーツを学ぶ1	ドッジビーを通じた相互理解の促進（講義及び実習）

7	集団スポーツを学ぶ2	バレーボールを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
8	個人スポーツを学ぶ1	バドミントンを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
9	個人スポーツを学ぶ2	バドミントンを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
10	スポーツとコーピング	スポーツの観点からストレスへの対処（コーピング）について学ぶ（講義）
11	個人スポーツを学ぶ3	卓球を通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
12	個人スポーツを学ぶ4	ネオテニスを通じた相互理解の促進（講義及び実習）
13	集団スポーツを学ぶ3	バスケットボールを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
14	総括、レポート	授業の総括およびレポートに取り組む。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本演習の準備・復習時間の目安は1回の授業につき各2時間以上です。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本講義内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【参考書】

特定の参考書は使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【成績評価の方法と基準】

授業中の活動に対する参画状況・リアクションペーパー60%、課題・レポート40%の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

1. レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。
2. リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。
3. リアクションペーパー、レポート等の提出物は、必ず本人が提出してください。
4. 授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。
5. 原則として欠席4回までを評価対象とします。また、授業開始から20分以内までの入室を遅刻とし、それ以降の入室は欠席とします。
6. やむを得ない理由がない限り全ての授業に出席してください。やむを得ない理由とは、病気、ケガ等による欠席となります。
7. 前述の理由により欠席する場合、事前にその旨について担当教員に報告してください。また病気や怪我といった急性疾患等により欠席する場合、出席可能となった授業時にその旨について担当教員に報告してください。なお、病気や怪我による通院などによる欠席の場合、そのことを証明できる資料を担当教員に提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

多様な体験型実習やグループワークを取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。忘れた場合は見学になります。

ネイルやアクセサリーの着用は事故およびケガの原因になるため、実習中は外すことが望ましい。

【その他の重要事項】

1. 原則として対面授業を実施する予定です。学習支援システムから授業に関する情報を配信します。そのため、都度、学習支援システムをチェックするようにしてください。

2. 授業内容に関する説明を実施するため、必ず初回授業に出席してください。
3. 授業とは関係のない行為（携帯使用、居眠り、会話等）は厳禁とし、その行為をした受講生は単位認定の評価外とします。
4. 上記の授業計画は、受講者の人数や要望に応じて変更する場合があります。
5. 授業終了後に教室・教場で質問を受け付ける。随時、電子メールでも質問可。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

- (1) Participation in class activities and class attitude: 60%.
- (2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習 S

2017年度以降入学者

佐藤 優希

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：2単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ① 身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ② 豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③ 自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④ 卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤ 就業力（信頼関係構築力や共同行動力など）の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この科目は、履修に際して学部等の制限はないが、定員を30名程度とする。定員超過の場合は抽選を行うため、初回授業に必ず出席すること。

授業は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容を理解するとともにスポーツ活動への取り組みに対する動機づけを図る。
2	体力測定	体力測定（50m走、シャトルランを除く）を通じて、現状の体力レベルを知る（講義および実習）
3	体力測定フィードバック	体力測定データのフィードバックから健康を維持するための方法を考える（講義）
4	トレーニングと健康	レーニンセンターの利用方法および安全講習を行い、「トレーニング」という観点から健康を維持するための方法を学ぶ（講義及び実習）
5	アイスブレイクグループワーク	他己紹介を用いたグループワークに取り組む。また、スポーツ経験を受講者間で共有する。（グループワークおよび実習）
6	集団スポーツを学ぶ1	ドッジビーを通じた相互理解の促進（講義及び実習）

7	集団スポーツを学ぶ2	バレーボールを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
8	個人スポーツを学ぶ1	バドミントンを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
9	個人スポーツを学ぶ2	バドミントンを通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
10	スポーツとコーピング	スポーツの観点からストレスへの対処（コーピング）について学ぶ（講義）
11	個人スポーツを学ぶ3	卓球を通じた対人スキルの促進（講義及び実習）
12	個人スポーツを学ぶ4	ネオテニスを通じた相互理解の促進（講義及び実習）
13	集団スポーツを学ぶ3	バスケットボールを通じた共同活動の理解と実践（講義および実習）
14	総括、レポート	授業の総括およびレポートに取り組む。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本演習の準備・復習時間の目安は1回の授業につき各2時間以上です。本授業は講義および実習を通じてスポーツ活動が心身の健康および対人関係の促進に資することについて理解することを目的としています。そのため、日々の身体活動に費やした時間、食事、睡眠時間などを記録し、その内容を振り返り、その効果と今後の課題を記録してください。また、テレビ、新聞、Web等から発信される種々のスポーツ関連の情報に目を向ける習慣をつけてください。その作業により、本講義内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストは使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【参考書】

特定の参考書は使用しません。必要に応じて資料等を配布します。

【成績評価の方法と基準】

授業中の活動に対する参画状況・リアクションペーパー60%、課題・レポート40%の配分として総合評価します。なお、この成績評価方法は原則的なものであり、通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価します。

1. レポート課題では、授業のテーマや内容を踏まえた上で適切な記述がされているかについて評価します。
2. リアクションペーパーでは、授業で習得した内容が適切に記述できているかについて評価します。
3. リアクションペーパー、レポート等の提出物は、必ず本人が提出してください。
4. 授業への参画状況とは、単に出席していることを意味するのではなく、ディスカッションや各種授業運営に主体的に関わることを評価の対象とするという意味です。
5. 原則として欠席4回までを評価対象とします。また、授業開始から20分以内までの入室を遅刻とし、それ以降の入室は欠席とします。
6. やむを得ない理由がない限り全ての授業に出席してください。やむを得ない理由とは、病気、ケガ等による欠席となります。
7. 前述の理由により欠席する場合、事前にその旨について担当教員に報告してください。また病気や怪我といった急性疾患等により欠席する場合、出席可能となった授業時にその旨について担当教員に報告してください。なお、病気や怪我による通院などによる欠席の場合、そのことを証明できる資料を担当教員に提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

多様な体験型実習やグループワークを取り入れ、より実践的な授業を展開します。

【学生が準備すべき機器他】

スポーツに適した服装と室内用シューズを準備してください。スポーツウェアや室内用シューズ等の貸出はありません。忘れた場合は見学になります。

ネイルやアクセサリーの着用は事故およびケガの原因になるため、実習中は外すことが望ましい。

【その他の重要事項】

1. 原則として対面授業を実施する予定です。学習支援システムから授業に関する情報を配信します。そのため、都度、学習支援システムをチェックするようにしてください。

2. 授業内容に関する説明を実施するため、必ず初回授業に出席してください。
3. 授業とは関係のない行為（携帯使用、居眠り、会話等）は厳禁とし、その行為をした受講生は単位認定の評価外とします。
4. 上記の授業計画は、受講者の人数や要望に応じて変更する場合があります。
5. 授業終了後に教室・教場で質問を受け付ける。随時、電子メールでも質問可。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity, and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading will be based on two points.

- (1) Participation in class activities and class attitude: 60%.
- (2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習 (補講) 2017年度以降入学者

竹内 洋輔

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ①身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ②豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤就業力 (信頼関係構築力や共同行動力など) の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス時に説明か、もしくは動画で説明する。

毎回の授業の初めに、前回の授業で提出された意見や感想をいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

基本的に対面での実施をするため、大学の感染症対策等を守って対面で参加できる学生が受講することが望ましい。

その他、授業に関わる連絡事項については、市ヶ谷総合体育館の掲示板や、授業前日までに授業支援システム (Hoppii) を通して告知する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス (講義)	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する。
2	体力測定 (講義および実習)	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する。
3	健康と体力 (講義)	様々な健康関連・医学的情報を理解し、体力測定の結果を踏まえ、自らの健康の維持・改善に必要な情報を適切に選択できる能力を修得する (講義)
4	トレーニング演習 (講義及び実習)	トレーニングの理論及び実践方法を理解する
5	対戦形式 (ネット型) のスポーツを学ぶ I (講義及び実習)	対戦形式 (ネット型) を通じた協同活動の理解、バドミントンの基礎技術のトレーニングおよび、ミニゲームを行う

6	対戦形式 (ネット型) のスポーツを学ぶ II (講義および実習)	バドミントンの基礎技術に応用し、実践を行う
7	ウォーキング (講義および実習)	有酸素運動としてウォーキングを校外にて実施し、人間のエネルギーの消費系統に関する理解を深める
8	得点形式スポーツを学ぶ I (講義および実習)	得点形式スポーツの特徴の理解、バレーボールの競技特性を理解したうえで、対戦相手に応じてルールを工夫し、安全に配慮してゲームを行う
9	得点形式スポーツを学ぶ II (講義および実習)	バレーボールの基礎技術に応用し、安全に配慮してゲームを行う
10	対戦形式 (ネット型) のスポーツを学ぶ III (理論と実習)	対戦形式 (ネット型) を通じた協同活動の理解、ネットスポーツとして卓球の基礎技術のトレーニングおよび、シングルスゲームを行う
11	対戦形式 (ネット型) のスポーツを学ぶ IV (理論と実習)	卓球の応用技術を習得し、ダブルスのゲームを行う
12	得点形式スポーツを学ぶ III (理論と実習)	得点形式スポーツの特徴の理解、フットサルについて、基礎技術のトレーニングおよび、ミニゲームを行う
13	得点形式スポーツを学ぶ IV (理論と実習)	フットサルについて、応用技術の習得し、ゲームを行う
14	総括 (講義)	これまで授業で行った内容やその関連項目について理論を含め講義し、質問や意見交換を行い総括とする。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。実習するにあたっては、授業での身体活動時に心身の不備が無いよう、各自が体調を整えた上で授業に臨むこと。また授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、授業担当教員の指示に従って実践すること。

【テキスト (教科書)】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて配布する。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

1) 授業中の活動に対する参画状況・授業態度を60% 2) 授業に対する理解度や課題・レポートを40%の配分として総合評価する。またこの成績評価方法は原則的なものであり、病弱者、見学者、特別な身体的理由により通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

大学で体育を行う意味や、健康の維持・増進に運動がどう関わるのか、またそのための運動についてや、他者とのコミュニケーションの重要性について良く理解できた等の意見を頂きました。今後も受講生との対話や授業改善アンケートをもとに、より良い授業内容を実施できるよう努めます。

【学生が準備すべき機器他】

必要時に案内を行う。
学習支援システムを使用する。

【その他の重要事項】

実技種目を実施するにあたって他の学生と協力し実施することが多いことから、個別の身体状況に対応して授業を実施することが難しい。そのため受講にあたっては、健康診断書の結果および、自己の評価から、運動に支障が無い身体状態であることが必要である。授業において実技にあたっては、運動着の着用および室内運動靴が必須となる。教場の関係により、授業計画の順序等が変更になることがある。初回授業に関しては、ガイダンスの為、運動着への着替えを必要としない。

授業当日、実技実施前後において、自身の身体で体調・障害等気になる点がある際には、必ず担当教員に申告し、対応の指示を受けること。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This course will make students deeply understand the significance and the effect of physical activity. Therefore, students who take this course can improve properly learning and attitude about physical, mental, and social health necessary throughout the students' future of life.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to:

1. Understand more about the meaning and role of physical activity from various perspectives.
2. Use sports and physical activities to establish a prosperous and healthy student life and social life.
3. Develop essential knowledge and attitudes that contribute to self-management.
4. Develop the ability to demonstrate leadership and solve problems through communication with others.
5. Acquire various skills related to the development of employability.

【Learning activities outside of classroom】 Students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding the assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria/Policy】 Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

HSS100LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100)

スポーツ総合演習 (補講) 2017年度以降入学者

竹内 洋輔

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。

【到達目標】

- ①身体活動の意義や役割について様々な視点から理解を深める。
- ②豊かで健康的な学生生活や社会生活を確立する手段としてスポーツ活動を利用する能力を獲得する。
- ③自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度の育成を図る。
- ④卒業後の実社会において活躍する上で、極めて重要であると考えられる他者とのコミュニケーションを通して、リーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける。
- ⑤就業力 (信頼関係構築力や共同行動力など) の育成につながる種々のスキルの獲得を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、原則学部・所属クラスごとに履修する授業の学期・曜日・時限が指定され、週1回、半期にわたって開講される。この科目は数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与する。スポーツ総合演習の詳細については、ガイダンス時に説明か、もしくは動画で説明する。

毎回の授業の初めに、前回の授業で提出された意見や感想をいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

基本的に対面での実施をするため、大学の感染症対策等を守って対面で参加できる学生が受講することが望ましい。

その他、授業に関わる連絡事項については、市ヶ谷総合体育館の掲示板や、授業前日までに授業支援システム (Hoppii) を通して告知する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス (講義)	授業ガイダンスによって、授業の概要を理解する。
2	体力測定 (講義および実習)	体力測定の意義を理解して実施する。自らの体力測定結果を評価し、考察する。
3	健康と体力 (講義)	様々な健康関連・医学的情報を理解し、体力測定の結果を踏まえ、自らの健康の維持・改善に必要な情報を適切に選択できる能力を修得する (講義)
4	トレーニング演習 (講義及び実習)	トレーニングの理論及び実践方法を理解する
5	対戦形式 (ネット型) のスポーツを学ぶ I (講義及び実習)	対戦形式 (ネット型) を通じた協同活動の理解、バドミントンの基礎技術のトレーニングおよび、ミニゲームを行う

6	対戦形式 (ネット型) のスポーツを学ぶ II (講義および実習)	バドミントンの基礎技術に応用し、実践を行う
7	ウォーキング (講義および実習)	有酸素運動としてウォーキングを校外にて実施し、人間のエネルギーの消費系統に関する理解を深める
8	得点形式スポーツを学ぶ I (講義および実習)	得点形式スポーツの特徴の理解、バレーボールの競技特性を理解したうえで、対戦相手に応じてルールを工夫し、安全に配慮してゲームを行う
9	得点形式スポーツを学ぶ II (講義および実習)	バレーボールの基礎技術に応用し、安全に配慮してゲームを行う
10	対戦形式 (ネット型) のスポーツを学ぶ III (理論と実習)	対戦形式 (ネット型) を通じた協同活動の理解、ネットスポーツとして卓球の基礎技術のトレーニングおよび、シングルスゲームを行う
11	対戦形式 (ネット型) のスポーツを学ぶ IV (理論と実習)	卓球の応用技術を習得し、ダブルスゲームを行う
12	得点形式スポーツを学ぶ III (理論と実習)	得点形式スポーツの特徴の理解、フットサルについて、基礎技術のトレーニングおよび、ミニゲームを行う
13	得点形式スポーツを学ぶ IV (理論と実習)	フットサルについて、応用技術の習得し、ゲームを行う
14	総括 (講義)	これまで授業で行った内容やその関連項目について理論を含め講義し、質問や意見交換を行い総括とする。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。実習するにあたっては、授業での身体活動時に心身の不備が無いよう、各自が体調を整えた上で授業に臨むこと。また授業後に行うべき課題や次の授業に向けての準備等は、授業担当教員の指示に従って実践すること。

【テキスト (教科書)】

特定のテキストは使用しない。資料は必要に応じて配布する。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

1) 授業中の活動に対する参画状況・授業態度を60% 2) 授業に対する理解度や課題・レポートを40%の配分として総合評価する。またこの成績評価方法は原則的なものであり、病弱者、見学者、特別な身体的理由により通常の活動が困難な受講者に対しては、個別に対応・評価する。

【学生の意見等からの気づき】

大学で体育を行う意味や、健康の維持・増進に運動がどう関わるのか、またそのための運動についてや、他者とのコミュニケーションの重要性について良く理解できた等の意見を頂きました。今後も受講生との対話や授業改善アンケートをもとに、より良い授業内容を実施できるよう努めます。

【学生が準備すべき機器他】

必要時に案内を行う。
学習支援システムを使用する。

【その他の重要事項】

実技種目を実施するにあたって他の学生と協力し実施することが多いことから、個別の身体状況に対応して授業を実施することが難しい。そのため受講にあたっては、健康診断書の結果および、自己の評価から、運動に支障が無い身体状態であることが必要である。授業において実技にあたっては、運動着の着用および室内運動靴が必須となる。教場の関係により、授業計画の順序等が変更になることがある。初回授業に関しては、ガイダンスの為、運動着への着替えを必要としない。

授業当日、実技実施前後において、自身の身体で体調・障害等気になる点がある際には、必ず担当教員に申告し、対応の指示を受けること。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This course will make students deeply understand the significance and the effect of physical activity. Therefore, students who take this course can improve properly learning and attitude about physical, mental, and social health necessary throughout the students' future of life.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to:

1. Understand more about the meaning and role of physical activity from various perspectives.
2. Use sports and physical activities to establish a prosperous and healthy student life and social life.
3. Develop essential knowledge and attitudes that contribute to self-management.
4. Develop the ability to demonstrate leadership and solve problems through communication with others.
5. Acquire various skills related to the development of employability.

【Learning activities outside of classroom】 Students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding the assignments to be done after class and preparations for the next class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria/Policy】 Grading will be based on two points.

(1) Participation in class activities and class attitude: 60%.

(2) Report on the lecture: 40%.

This grading method is a general rule, and students who are sick or weak, observers, or have special physical reasons that make normal activities difficult will be evaluated individually.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

吉田 季実子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキスト上での様々な題材を通して、文化理解を深めるとともに、英語の4技能を総合的に強化する。

【到達目標】

テキストの中で扱われている多種多様な題材を通して、口語表現を含んだ会話表現を含む、「読む、書く、聞く、話す、議論する」の各技能を高めることを目標とする。同時に、15の題材を通しての知識を向上させることも目標の一つである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに添って、語彙学習、読解、リスニング、会話、作文などの課題を行う。

1章に2～3回を当てる予定で、各章のまとめとして小テストを行う。課題のフィードバックに関しては授業内、あるいは次の週に充てる。なお、感染症拡大の状況を鑑みて、オンラインと対面授業とのハイブリッド方式とする可能性もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter1	語彙の予習と本文の精読
2	CXchapter1	Listening, Writing等の問題演習
3	Chapter1,2	Unit1小テスト、Unit2の語彙の予習と本文の精読
4	Chapter2	Listening, Writing等の問題演習
5	Chapter2,3	Unit2小テスト、Unit3の語彙の予習と本文の精読
6	Chapter3	Listening, Writing等の問題演習
7	Chapter3,4	Unit3小テスト、Unit4の語彙の予習と本文の精読
8	Chapter4	Listening, Writing等の問題演習
9	Chapter4,5	Unit4小テスト、Unit5の語彙の予習と本文の精読
10	Chapter5	Listening, Writing等の問題演習
11	Chapter5,6	Unit5小テスト、Unit6の語彙の予習と本文の精読
12	Chapter6	Listening, Writing等の問題演習
13	Chapter6,7	Unit6小テスト、Unit7の語彙の予習と本文の精読
14	Chapter7	Listening, Writing等の問題演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

事前に次回学習範囲の和訳、単語のチェック、問題演習などの予習を行う。

また授業内で示された次回課題に取り組むこと。

【テキスト（教科書）】

『タイムズとガーディアンでめぐる知の世界』

田中孝信、野田三貴、筒井香代子編著

音羽書房鶴見書店

2016年初版発行 2021年第7刷発行 2000円＋税

【参考書】

とくになし

【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%

平常点 15%

その他提出物 15%

とします

なお、4回以上欠席、あるいは課題不提出の場合

単位が認定されません

【学生の意見等からの気づき】

英語だけでなくテキストの中で扱われている題材について適宜解説をする予定です

【学生が準備すべき機器他】

辞書

オンライン学習時はリソースを視聴できるようなPC環境

(音声を用いたリスニングがあるため)

【Outline (in English)】

In this course, we will learn 4 skills through text. The interesting topics from Newspaper's articles will give you information about different culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

吉田 季実子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキスト上での様々な題材を通して、文化理解を深めるとともに、英語の4技能を総合的に強化する。

【到達目標】

テキストの中で扱われている多種多様な題材を通して、口語表現を含んだ会話表現を含む、「読む、書く、聞く、話す、議論する」の各技能を高めることを目標とする。同時に、15の題材を通しての知識を向上させることも目標の一つである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに添って、語彙学習、読解、リスニング、会話、作文などの課題を行う。

1章に2～3回を当てる予定で、各章のまとめとして小テストを行う。課題のフィードバックに関しては授業内、あるいは次の週に充てる。なお、感染症の拡大状況によってはオンライン授業との併用とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit7,8	Unit7小テスト、Unit8の語彙の予習と本文の精読
2	Unit8	Listening, Writing等の問題演習
3	Unit8,9	Unit8小テスト、Unit9の語彙の予習と本文の精読
4	Unit9	Listening, Writing等の問題演習
5	Unit9,10	Unit9小テスト、Unit10の語彙の予習と本文の精読
6	Unit10	Listening, Writing等の問題演習
7	Unit10,11	Unit10小テスト、Unit11の語彙の予習と本文の精読
8	Unit11	Listening, Writing等の問題演習
9	Unit11,12	Unit11小テスト、Unit12の語彙の予習と本文の精読
10	Unit12	Listening, Writing等の問題演習
11	Unit12,13	Unit12小テスト、Unit13の語彙の予習と本文の精読
12	Unit13	Listening, Writing等の問題演習
13	Unit13,14	Unit13小テスト、Unit14の語彙の予習と本文の精読
14	Unit14	Listening, Writing等の問題演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

事前に次回学習範囲の和訳、単語のチェック、問題演習などの予習を行う。

また授業内で示された次回課題に取り組むこと。

【テキスト（教科書）】

『タイムズとガーディアンでめぐる知の世界』

田中孝信、野田三貴、筒井香代子

音羽書房鶴見書店

2016年初版発行、2021年7刷発行 2000円+税

【参考書】

とくになし

【成績評価の方法と基準】

小テスト70%

平常点 15%

その他提出物 15%

とします

なお、4回以上欠席、あるいは課題不提出の場合

単位が認定されません

【学生の意見等からの気づき】

英語だけでなくテキストの中で扱われている題材について適宜解説をする予定です

【学生が準備すべき機器他】

辞書

オンライン学習時はリソースを視聴できるようなPC環境

（音声を用いたリスニングがあるため）

【Outline (in English)】

In this course, we will learn 4 skills through text. The interesting topics from Newspaper's articles will give you information about different culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

豊口 真衣子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ブレグジットという言葉聞いたことがあるだろう。イギリスのEU離脱はヨーロッパで大きな問題となっている。そこで、このクラスでは、イギリスに関するテキストを使って、イギリス文化への理解を深めつつ、リーディングとリスニングのスキルの向上を目的とする。

テキストのテーマは政治、文化、芸術など多様であり、テキストを通じてイギリスという、ヨーロッパで重要な国を理解することが可能となっている。

【到達目標】

- ・学生が複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に理解できるようになる。
- ・学生が構文・論旨を正確に把握し、必要な知識や情報を把握できるようになる。
- ・学生が得られた情報を多面的・客観的に分析し、批判的思考力を身に付けられるようになる。
- ・学生がアメリカ英語だけでなく、イギリス英語の発音も聞き取れるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・春学期の授業は対面7回、オンライン7回とします。
- ・オンライン授業は、基本的にリアルタイム配信型でZoomで実施しますが、オンデマンド型の回もありえます。
- ・授業各回の連絡は、学習支援システムで、その都度提示します。
- ・テキストの読解および問題演習。授業中に学生全員に指名するので、必ず音声聞き、予習しておくこと。
- ・わからない単語は辞書をひいて5回ずつ練習して下さい。
- ・音声教材を用いて、テキストの聞き取りを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業説明
2	Chapter 1 The United Kingdom?	英国人の国籍は？ (前半)
3	Chapter 1	(後半)
4	Chapter 2 Multicultural Britain	多民族社会の現状 (前半)
5	Chapter 2	(後半)
6	Chapter 3 The UK and the EU	EU離脱とUKの未来 (前半)
7	Chapter 3	(後半)
8	Chapter 4 Tea	なんととっても「ティー」 (前半)
9	Chapter 4	(後半)
10	Chapter 5 Social class	階級社会の実情 (前半)
11	Chapter 5	(後半)

12	Chapter 6 Schools and education	学校教育の仕組み (前半)
13	学期末試験	試験、まとめと解説
14	Chapter 6	(後半)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを事前に読み、問題を解いてくる。わからない単語は辞書で調べ、ノートもしくはルーズリーフに5回ずつ練習する。テキスト本文の音声は教科書のHPから無料でダウンロードできるので、事前に聞いてくる。

<http://www.otowatsurumi.com/3838/>

リスニング問題の音声は学習支援システムからダウンロードしてください。

本授業の準備学習・復習時間は、1回につき1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Tim Knight 著『Welcome to Britain, Revised Edition 英国のくいま』を知りたい（改定新版）音羽書房鶴見書店、2018年、1800円＋税

【参考書】

辞書は『リーダーズ英和辞典』（研究社）が入っている電子辞書をお勧めします（紙媒体でも可）。授業にも必ず持参のこと。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（授業参加度、授業態度等）30％＋学期末試験70％＝100％
- ・各学期の欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
- ・1回の欠席につき、平常点から10点の減点とする。1回の遅刻及び早退は3点の減点とし、30分以上遅刻もしくは早退した場合は、いかなる場合も欠席扱いとする。
- ・授業態度が悪い（居眠り、私語など）場合は減点対象とする。
- ・翻訳ソフトの使用は不正とし、発覚次第不可とする。

【学生の意見等からの気づき】

イギリスの文化について、授業の最初に補足説明を行い、英文読解への理解を深める。時間があれば英会話が適宜行う。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業時は、パソコンが必要となります。大学でオンライン授業を受ける際は、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

テキストは必ず大学の三省堂書店を通して購入してください。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

You have probably heard of the word, "Brexit." The British decision to leave the EU was a very important factor in the world. This course introduces the British culture to students by reading a textbook on Britain.

(Learning Objectives)

The goal of this course is to improve the reading and listening skills as well as understanding the British culture. The topics of the textbook vary from politics, culture to art. Therefore, students will be able to understand the background of Britain. (Learning activities outside of classroom)

Students are expected to read the textbook beforehand. Your study time will be about one hour for a class.

(Grading Criteria/Policies)

Grading will be decided based on in-class contribution (30%) and term-end examination (70%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

豊口 真衣子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 土1/Sat.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ブレグジットという言葉聞いたことがあるだろう。イギリスのEU離脱はヨーロッパで大きな問題となっている。そこで、このクラスでは、イギリスに関するテキストを使って、イギリス文化への理解を深めつつ、リーディングとリスニングのスキルの向上を目的とする。

テキストのテーマは政治、文化、芸術など多様であり、テキストを通じてイギリスという、ヨーロッパで重要な国を理解することが可能となっている。

【到達目標】

- ・学生が複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に理解できるようになる。
- ・学生が構文・論旨を正確に把握し、必要な知識や情報を把握できるようになる。
- ・学生が得られた情報を多面的・客観的に分析し、批判的思考力を身に付けられるようになる。
- ・学生がアメリカ英語だけでなく、イギリス英語の発音も聞き取れるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

- ・秋学期の授業は対面7回、オンライン7回とします。
- ・オンライン授業は、基本的にリアルタイム配信型でZoomで実施しますが、オンデマンド型の回もあります。
- ・授業各回の連絡は、学習支援システムで、その都度提示します。
- ・テキストの読解および問題演習。授業中に学生全員に指名するので、必ず予習しておくこと。
- ・わからない単語は辞書をひいて5回ずつ練習して下さい。
- ・音声教材を用いて、テキストの聞き取りを行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 7 University students and higher education	大学と高等教育 (前半)
2	Chapter 7	(後半)
3	Chapter 8 Women in society	活躍する英国女性 (前半)
4	Chapter 8	(後半)
5	Chapter 10 Politics and government	英国政治のいま (前半)
6	Chapter 10	(後半)
7	Chapter 11 Food	英国の食文化 (前半)
8	Chapter 11	(後半)
9	Chapter 12 Music and fashion	音楽とファッションの密な関係 (前半)
10	Chapter 13 Fantasy and castles	ファンタジーの系譜 (前半)
11	Chapter 13	(後半)

12	学期末試験	試験、まとめと解説
13	Chapter 16 Homes, gardens and the countryside	「home」と「garden」 (前半)
14	Chapter 16	(後半)

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

テキストを事前に読み、問題を解いてくる。わからない単語は辞書で調べ、ノートもしくはルーズリーフに5回ずつ練習する。テキスト本文の音声は教科書のHPから無料でダウンロードできるので、事前に聞いてくる。

<http://www.otowatsurumi.com/3838/>

リスニング問題の音声は学習支援システムからダウンロードしてください。

本授業の準備学習・復習時間は、1回につき1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Tim Knight 著『Welcome to Britain, Revised Edition 英国のいま』を知りたい (改定新版) 音羽書房鶴見書店、2018年、1800円+税

【参考書】

辞書は『リーダーズ英和辞典』(研究社)が入っている電子辞書をお薦めします (紙媒体でも可)。授業にも必ず持参のこと。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点 (授業参加度、授業態度等) 30% + 学期末試験 70% = 100%
- ・各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
- ・1回の欠席につき平常点から10点の減点とする。1回の遅刻及び早退は3点の減点とし、30分以上遅刻もしくは早退した場合は、いかなる場合も欠席扱いとする。
- ・授業態度が悪い (居眠り、私語など) 場合は減点対象とする。
- ・翻訳ソフトの使用は不正とし、発覚次第、当該科目を不可とする。

【学生の意見等からの気づき】

イギリスの文化について、授業の最初に補足説明を行い、英文読解への理解を深める。英会話も適宜行う。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業時は、パソコンが必要となります。大学でオンライン授業を受ける際は、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

You have probably heard of the word, "Brexit." The British decision to leave the EU was a very important factor in the world. This course introduces the British culture to students by reading a textbook on Britain.

(Learning Objectives)

The goal of this course is to improve the reading and listening skills as well as understanding the British culture. The topics of the textbook vary from politics, culture to art. Therefore, students will be able to understand the background of Britain. (Learning activities outside of classroom)

Students are expected to read the textbook beforehand. Your study time will be about one hour for a class.

(Grading Criteria/Policies)

Grading will be decided based on in-class contribution (30%) and term-end examination (70%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

吉田 季実子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキスト上での様々な題材を通して、文化理解を深めるとともに、英語の5技能を総合的に強化する。

【到達目標】

テキストの中で扱われている多種多様な題材を通して、口語表現を含んだ会話表現を含む、「読む、書く、聞く、話す、議論する」の各技能を高めることを目標とする。同時に、15の題材を通しての知識を向上させることも目標の一つである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに添って、語彙学習、読解、リスニング、会話、作文などの課題を行う。

1章に2～3回を当てる予定で、各章のまとめとして小テストを行う。課題のフィードバックに関しては授業内、あるいは次の週に充てる。なお、感染症拡大の状況を鑑みて、オンラインと対面授業とのハイブリッド方式とする可能性もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter1	語彙の予習と本文の精読
2	CXchapter1	Listening, Writing等の問題演習
3	Chapter1,2	Unit1小テスト、Unit2の語彙の予習と本文の精読
4	Chapter2	Listening, Writing等の問題演習
5	Chapter2,3	Unit2小テスト、Unit3の語彙の予習と本文の精読
6	Chapter3	Listening, Writing等の問題演習
7	Chapter3,4	Unit3小テスト、Unit4の語彙の予習と本文の精読
8	Chapter4	Listening, Writing等の問題演習
9	Chapter4,5	Unit4小テスト、Unit5の語彙の予習と本文の精読
10	Chapter5	Listening, Writing等の問題演習
11	Chapter5,6	Unit5小テスト、Unit6の語彙の予習と本文の精読
12	Chapter6	Listening, Writing等の問題演習
13	Chapter6,7	Unit6小テスト、Unit7の語彙の予習と本文の精読
14	Chapter7	Listening, Writing等の問題演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

事前に次回学習範囲の和訳、単語のチェック、問題演習などの予習を行う。

また授業内で示された次回課題に取り組むこと。

【テキスト（教科書）】

『タイムズとガーディアンでめぐる知の世界』

田中孝信、野田三貴、筒井香代子編著

音羽書房鶴見書店

2016年初版発行 2021年第7刷発行 2000円＋税

【参考書】

とくになし

【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%

平常点 15%

その他提出物 15%

とします

なお、4回以上欠席、あるいは課題不提出の場合

単位が認定されません

【学生の意見等からの気づき】

英語だけでなくテキストの中で扱われている題材について適宜解説をする予定です

【学生が準備すべき機器他】

辞書

オンライン学習時はリソースを視聴できるようなPC環境

(音声を用いたリスニングがあるため)

【Outline (in English)】

In this course, we will learn 5 skills through text. The interesting topics from Newspaper's articles will give you information about different culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

竹内 晶子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界に流通する情報の中で、日本語だけを使ってアクセスできるものなどごく一部でしかありません。インターネットの時代、英語で発信された膨大な情報が手の届くところにあるのだから、それを利用しない手はない筈です。その基礎となるのが、高校までに学んだ英語です。この授業では、文法・語彙・構文をしっかりとおさえながら、実際の英語ニュース記事を読んでいきます。また、同テーマの別記事や動画ニュースなども併用し、読んだ記事を鵜呑みにせず「批判的に分析する」critical thinkingの訓練、およびまとまった意見を英語で論理的に書く・しゃべる練習なども行っていきます。

【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルになれ、読解および聴解によって、記事概要を容易に把握できるようになる。
- ・記事の要約やそれに対する自分の意見を、文法的に正確な文章で論理的に表現することができる。
- ・政治・経済・文化などのさまざまな分野の記事に頻出する基本単語を習得する。
- ・書かれた内容を鵜呑みにせず、それを批判的に分析するスキルを身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を持ちて、世界に発信された様々な英語ニュースをまず聴解し、さらに読解します。全訳をノートに書いてくることが必須の予習です。授業内ではアトランダムに訳をあて、内容理解とともに構文把握を確認していきます。

授業時間中にはリスニングテスト、発音の練習、critical thinkingの実践も行います。英文ライティングの提出も課題となります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業紹介
2	Unit 2-I: From Seaspeak to Singlish: Celebrating Other Kinds of English	reading and listening
3	Unit 2-II: From Seaspeak to Singlish: Celebrating Other Kinds of English	reading and writing
4	Unit 4-I: Future Predictions for Artificial Intelligence and Automation	reading and listening

5	Unit 4-II: Future Predictions for Artificial Intelligence and Automation	reading and writing
6	Unit 6-I: UNESCO "Japanese Food: Intangible Cultural Heritage"	reading and listening
7	Unit 6-II: UNESCO "Japanese Food: Intangible Cultural Heritage"	reading and writing
8	Unit 9-I: The History of Hanukkah	reading and listening
9	Unit 9-II: The History of Hanukkah	reading and writing
10	Unit 11-I: A City's Art Biennial Can Be Like Watching an Army of Curatorial Truffle Pigs	reading and listening
11	Unit 11-II: A City's Art Biennial Can Be Like Watching an Army of Curatorial Truffle Pigs	reading and writing
12	Unit 12-I: Should Literature Be Useful?	reading and listening
13	Unit 12-II: Should Literature Be Useful?	reading and writing
14	Review Exam	Units 10-15

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキスト全訳をノートに書いてくることが必須の予習です（教科書に訳を書き込むのは不可）。あてられたその場で訳をつくる場合は、予習をしてこなかったものとみなします。ほぼ毎週、授業前日が締切の予習テストと復習テストをHoppii上で行います。英文ライティングの提出、リスニングテストの準備も課題となります。本授業の準備・復習時間は、約1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

河原真也・伊藤健一郎『世界を読み解く15の扉 15 Doors to Global Issues』朝日出版社、2019年。

【参考書】

『リーダーズ・リーダーズプラス英和辞典』研究社。

【成績評価の方法と基準】

毎週の予習テスト：15 %
毎週の復習テスト：15 %
ライティング課題：20 %
積極的なクラス参加（予習・リスニングテスト・クラス内発表含む）：25 %
期末テスト：25 %

【学生の意見等からの気づき】

構文把握を丁寧に行います。

【その他の重要事項】

原則として、欠席が四回以上になると単位修得の権利を失います。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

Students will learn reading/listening/writing skills in English, using English News articles on diverse issues.

【Learning Objectives】

Students will learn to read English newspaper articles with more ease.

They will also learn how to express their opinions on current issues both in spoken and written forms.

【Learning Activities outside of Classroom】

Students are required to read the assigned articles before each class with the use of dictionaries. Almost every week, there are small tests to check the students' preparation as well as their comprehension of the previous class.

【Grading Criteria/Policy】

Students who miss more than 3 classes won't get a credit.

weekly preparatory exam : 15%

weekly review exam : 15%

writing assignments:20%

active class participation (including listening exams and presentations) : 25%

final exam:25%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

當麻 幸子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アメリカの歴史や文化について読む。各章でポイントを絞り、時代の流れに沿って、建国から現代に至るまでのアメリカで何が起こったのかを学ぶ。

【到達目標】

英語の読解力、語彙力、聴解力、表現力を養う。また、アメリカの歴史や文化に関する知識を深める。アメリカがどのように誕生して、どのように発展してきたか、そしてそれが今日のアメリカ人にどのような影響を与えているかを理解する。アメリカという国を理解し、日本との関わり方を考える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを精読する。また、各章の終わりでは、練習問題で内容を理解できているかどうかを確認する。予め担当者を決めておかず、アトランダムに当てるので、学生は全員毎回の予習が必要である。更に、キーワードについて調べたことを発表してもらう。リアクションペーパー・課題等については、正答、解説、コメントによってフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業についての詳しい説明
2	Lesson 1 前半	Pocahontas, Reading
3	Lesson 1 後半	Pocahontas, Exercises
4	Lesson 2 前半	Celebrating July Fourth at the Statue of Liberty, Reading
5	Lesson 2 後半	Celebrating July Fourth at the Statue of Liberty, Exercises
6	Lesson 3 前半	Babe Ruth, Reading
7	Lesson 3 後半	Babe Ruth, Exercises
8	Lesson 4 前半	Marilyn Monroe, Reading
9	Lesson 4 後半	Marilyn Monroe, Exercises
10	Lesson 5 前半	American History, Reading
11	Lesson 5 後半	American History, Exercises
12	Lesson 6 前半	US Civil Rights Icon Dies at Age of 92, Reading
13	期末試験・まとめと解説	春学期に学習した範囲から出題
14	レポート・まとめ	原則として春学期に学習した範囲から自由に題材を選んで提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。/ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

予習：テキストを読み、和訳できるようにする。練習問題を解く。また、分からない単語や事柄、人物などについて調べる。関連する文献を読む。

復習：準備段階で分からなかったところや間違えたところを中心に見直し、深く理解できるようにする。

発表準備：テキストに関連した事柄から興味のある人物や事柄などを調べ、発表できるようにしておく。

レポート準備：興味のある人物や事柄などを調べ、考察を加えてまとめる。

【テキスト（教科書）】

People and Culture in America, 秋葉勉、星かおり、野口元康、英宝社

【参考書】

追って指示する。

【成績評価の方法と基準】

以下の点の総合で判断する。

期末試験及びレポート 60%

小テスト 10%

通常授業の成績 10%

発表 10%

平常点 10%

3回の遅刻を1回の欠席とみなす。如何なる理由があっても欠席は欠席として扱い、出席扱いにはしない。欠席が4回以上になった学生は単位修得の資格を失う。

オンライン授業となった場合は、提出期限までに課題を提出すれば出席、未提出であれば欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

興味を持ったこと、疑問に思ったことは、学生が自ら進んで調べ、研究するよう促す。

【Outline (in English)】

Course outline:The aim of this course is to help students widen the knowledge of American history and culture.

Learning Objectives:The goal of this course is to develop overall comprehension abilities with stress on reading comprehension, grammar and vocabulary.

Learning activities outside of classroom:Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Grading Criteria/Policies:Grading will be decided based on term-end examination and report 60%, quizzes 10%, translation test question 10%, presentation 10%, and in-class contribution 10%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

當麻 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アメリカの歴史や文化について読む。各章でポイントを絞り、時代の流れに沿って、建国から現代に至るまでのアメリカで何が起こったのかを学ぶ。

【到達目標】

英語の読解力、語彙力、聴解力、表現力を養う。また、アメリカの歴史や文化に関する知識を深める。アメリカがどのように誕生して、どのように発展してきたか、そしてそれが今日のアメリカ人にどのような影響を与えているかを理解する。アメリカという国を理解し、日本との関わり方を考える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを精読する。また、各章の終わりでは、練習問題で内容を理解できているかどうかを確認する。予め担当者を決めておらず、アトラダムに当てるので、学生は全員毎回の予習が必要である。更に、キーワードについて調べたことを発表してもらう。リアクションペーパー・課題等については、正答、解説、コメントによってフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期の復習及び秋学期の授業についての詳しい説明
2	Lesson 7 前半	This Is America, Reading
3	Lesson 7 後半	This Is America, Exercises
4	Lesson 8 前半	Betty Friedan, Reading
5	Lesson 8 後半	Betty Friedan, Exercises
6	Lesson 9 前半	Walt Disney, Reading
7	Lesson 9 後半	Walt Disney, Exercises
8	Lesson 10 前半	Andy Warhol, Reading
9	Lesson 10 後半	Andy Walhol, Exercises
10	Lesson 11 前半	Blues Music, Reading
11	Lesson 11 後半	Blues Music, Exercises
12	Lesson 12 前半	Immigration Issues Shape the Experience of US Latinos, Reading
13	期末試験・まとめと解説	秋学期に学習した範囲から出題
14	レポート・まとめ	原則として秋学期に学習した範囲から自由に題材を選んで提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。/ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

予習：テキストを読み、和訳できるようにする。練習問題を解く。また、分からない単語や事柄、人物などについて調べる。関連する文献を読む。

復習：準備段階で分からなかったところや間違えたところを中心に見直し、深く理解できるようにする。

発表準備：テキストに関連した事柄から興味のある人物や事柄などを調べ、発表できるようにしておく。

レポート準備：興味のある人物や事柄などを調べ、考察を加えてまとめる。

【テキスト（教科書）】

People and Culture in America, 秋葉勉、星かおり、野口元康、英宝社

【参考書】

追って指示する。

【成績評価の方法と基準】

以下の点の総合で判断する。

期末試験及びレポート 60%

小テスト 10%

通常授業の成績 10%

発表 10%

平常点 10%

3回の遅刻を1回の欠席とみなす。如何なる理由があっても欠席は欠席として扱い、出席扱いにはしない。欠席が4回以上になった学生は単位修得の資格を失う。

オンライン授業となった場合は、提出期限までに課題を提出すれば出席、未提出であれば欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

興味を持ったこと、疑問に思ったことは、学生が自ら進んで調べ、研究するよう促す。

【Outline (in English)】

Course outline:The aim of this course is to help students widen the knowledge of American history and culture.

Learning Objectives:The goal of this course is to develop overall comprehension abilities with stress on reading comprehension, grammar and vocabulary.

Learning activities outside of classroom:Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Grading Criteria/Policies:Grading will be decided based on term-end examination and report 60%, quizzes 10%, translation test question 10%, presentation 10%, and in-class contribution 10%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

神 康介

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。ビジネスの分野では、英語が世界共通語になっているので、現代の職業人は必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置か見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】

本授業は主として読解力向上に主眼を置き、英文の中で重要な語彙、イデオム、構文などを学習する。授業内の練習問題は各種検定試験等に対応する内容を演習する。会話やパッセージを通じて、多岐にわたる思考のあり方を学び、それに続くExercisesで物事の適切な捉え方を実践学習しながら答えを導き出す訓練を行う。英語力習得のみならず、将来必要とする思考力の習得を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

読みにおける語義の意味を類推することの重要性を考えて、派生語、言葉の定義、適語挿入問題、同意語および反意語についての練習問題を行い、語彙力が高まるように学習する。テキスト本文既出の構文を応用すれば書ける英作文の演習を行う。

授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション、辞書指導等	授業の進め方、英語の勉強法などを説明する。
2	1. Ken Watanabe 2. Sakana-kun 3. Kohei Uchimura 4. Hiromi Miyake	日本の著名人について学習する。
3	5. Taiwan	日本の歴史について学習する。
4	6. Apples	日本未来について学習する。
5	7. B-Class Food Boom	日本の新しい産業について学習する。
6	8. Food Traceability	食について学習する。
7	9. Naming Rights	経済について学習する。
8	10. Smart Cities	工業技術について学習する。
9	11. Geopark	資源について学習する。
10	12. Rare Earths	材料科学について学習する。
11	13. Biomass	最新医療について学習する（2）。
12	14. Green Curtains	環境について学習する。
13	15. The Robot Industry	産業について学習する。

14 期末試験

まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回任意の人数が発表するので、辞書を教室に持参し、クラス全員が予習してくること。テキストの注釈に関しては大学教養課程以上の単語や分かりにくい慣用語句、専門用語を中心に解説を加えてあるので、注釈にない語句や表現は、辞書を引く前に、前後の文脈から類推して読み進めること。予習は、事前に内容を理解し、演習問題を解答する。復習は、授業の内容をノート等に整理する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Japan Innovation (ジャパンイノベーション) 南雲堂

【参考書】

参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】

クラスでの平常点で40%、期末試験の結果で60%で評価する。原則として半期で4回欠席した場合単位は認めない。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。

【学生の意見等からの気づき】

オンライン授業を有効活用する。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking).

(Learning object)

At the end of the course, students are expected to acquire the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Policy)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%, in class contribution: 40%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
English 1 II		2017年度以降入学者
神 康介		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：土1/Sat.1		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。ビジネスの分野では、英語が世界共通語になっているので、現代の職業人は必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】

主として読解力向上に主眼を置き、英文の中で重要な語彙、イデオム、構文などを学習する。授業内の練習問題は各種検定試験等に対応するよう工夫する予定である。会話やパッセージを通じて、多岐にわたる思考のあり方を学び、それに続く練習問題で物事の適切な捉え方を実践学習しながら答えを導き出す訓練を行う。英語力習得のみならず、将来必要とする思考力の習得を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

読みにおける語義の意味を類推することの重要性を考えて、派生語、言葉の定義、適語挿入問題、同意語および反意語についての練習問題を用意し、語彙力が高まるよう工夫する。基本的な英作文の演習を行うが、テキスト本文既出の構文を応用すれば書けるように工夫する。

授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. EXILE HIRO	EXILE HIRO 代名詞
	2. Ebizo Ichikawa	伝統的歌舞伎を超越する市川海老蔵 冠詞
2	3. 400m Relay	400m リレー銀メダル 強調・
	Silver Medal	倒置
3	4. The Kimono	着物復権 助動詞
	5. The Sanriku Railway	恋する三陸鉄道 時制
4	6. Local Issues	地方活性化の鍵 完了形
	5	7. Digital Manga
6	8. Stock Investment	トライ 株式投資！ 不定詞
7	9. Japan House	魅力発信のジャパン・ハウス 分詞
	8	10. Meat Types
9	11. Functional Foods	機能性食品 仮定法

10	12. Sake	世界の日本酒 関係代名詞
11	13. Royalty-free Strategy	燃料電池車特許権無償 比較
	14. Telematics	会話する車 前置詞
12	15. Biogas	代替燃料 バイオガス 接続詞
13	16. 期末試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
毎回任意の数人に発表してもらうので、辞書を教室に持参し、クラス全員が予習してくる。テキストの注釈に関しては、大学教養課程以上の単語や分かりにくい慣用語句、専門用語を中心に解説を加えてあるので、注釈にない語句や表現は、辞書を引く前に、前後の文脈から類推してみる。予習は、事前に内容を理解し、演習問題を解答する。復習は、授業の内容をノート等に整理する。

【テキスト（教科書）】

Breakthrough Japan (躍進日本) 南雲堂

【参考書】

参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】

クラスでの平常点で40%、期末試験の結果で60%で評価する。半期で4回欠席した場合単位は認めない。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。

【学生の意見等からの気づき】

視聴覚機器をもっと活用したい。

【学生が準備すべき機器他】

【Outline (in English)】

(Course outline)

This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking)..

(Learning object)

At the end of the course, students are expected to acquire the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Policy)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%、in class contribution: 40%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

小川 真也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の主な目的は読解力と語彙を高めることである。学生はパラグラフ構造とパラグラフ同士の関係性に注意を払いながら、社会問題や現代事象を扱う英文を読み、英語の読解力を高めるとともに、英語を通して知識を得られるようになることが望まれる。

また、自分自身の意見を持つことも重要である。筆者の意見を理解することも重要だが、疑問があれば、その意見を容易く受け入れなければならない。筆者と自身との意見の相違を見極め、自分自身の意見をまとめ、それを英語で表現できるようになることが望まれる。

リスニング能力を高めることも重視する。教員が作成したリスニング問題を解き、リスニング力を高めて頂きたい。

【到達目標】

この授業ではリーディングを中心に勉強し、次の項目を目標とする。

- ①英文を読む上で必要な文法事項と語彙を身につけること。
- ②まとまった量の英語の文章を独力で理解できるようになること。
- ③段落の構造を意識して論理の流れを把握できるようになること。
- ④練習問題を通して、リスニング力を向上させること。
- ⑤記事に対する自分の意見を英作文し、英語で表現する力を身につけること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は演習形式を取り、2回の授業で1つのUnitを扱う。授業の初めにテキストから作成したリスニング問題を実施する。正確に読むことに主眼を置き、単語・熟語・文法事項等を確認しながら記事を訳読し、段落ごとに要約し、トピック全体の理解を図る。段落ごとの要約とトピックに対する意見を英作文して課題として提出する。提出課題は教員が添削するので、添削された箇所を確認し、英語の表現や内容理解などを深める。

Unitごとに前半後半に分けて2回、復習の小テストを実施する。フィードバックとして英作文は教員が添削し、返却する。小テスト・期末テストに関してはテスト終了後に模範解答を提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明
2	Unit 1-1 100-Yen Shops: Still going strong	「日本の100円ショップ：絶好調の理由」前半講読
3	Unit 1-2 100-Yen Shops: Still going strong	「日本の100円ショップ：絶好調の理由」後半講読
4	Unit 6-1 Tricks of the Trade: How companies get us to spend	「商売の秘訣：企業はどのように私たちの購買意欲を刺激するか」前半講読
5	Unit 6-2 Tricks of the Trade: How companies get us to spend	「商売の秘訣：企業はどのように私たちの購買意欲を刺激するか」後半講読

6	Unit 11-1 Dialects: How English is spoken across the world	「方言：英語は世界中でどのように話されているか」前半講読
7	Unit 11-2 Dialects: How English is spoken across the world	「方言：英語は世界中でどのように話されているか」後半講読
8	Unit 16-1 New Solar Power: A breakthrough in clean energy	「新しい太陽光発電：クリーンエネルギーにおける飛躍的進歩」前半講読
9	Unit 16-2 New Solar Power: A breakthrough in clean energy	「新しい太陽光発電：クリーンエネルギーにおける飛躍的進歩」後半講読
10	Unit 2-1 Work-Life Balance: Do it like the Germans	「仕事と生活のバランス：ドイツ人を見習え」前半講読
11	Unit 2-2 Work-Life Balance: Do it like the Germans	「仕事と生活のバランス：ドイツ人を見習え」後半講読
12	Unit 7-1 The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body	「ゲーマーの秘密の生涯：自分の体から脱出した少年」前半講読
13	Unit 7-2 The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body	「ゲーマーの秘密の生涯：自分の体から脱出した少年」後半講読
14	期末テスト	期末テスト・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。予習を前提に授業を進め、unitごとに2回小テストを実施するので、少なくとも1時間取って、教科書を読み、授業後には予習時にわからなかった箇所を復習すること。

小テストでは英単語の定義が問われるので、予め英英辞書を使って単語の定義を調べておくこと。

【テキスト（教科書）】

Understanding the World Today
(Dave Rear 著, 成美堂, 2022年)

【参考書】

英語系辞書（特に英英辞書）

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100満点とし、60点以上が合格となる。
授業への貢献10% 小テスト30% 期末テスト50% 英作文10%
欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
授業開始から30分以上の遅刻した場合は欠席扱い、遅刻2回で欠席1回とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

教科書に物足りなくなった場合や難しく感じられる場合、代替の記事を読む。

【Outline (in English)】

One of the main objectives in this course is improvement of reading skill and developing of students' vocabulary. Students will read English passages discussing social issues and recent events, paying much attention to paragraph structure and relationship between paragraphs. The ability to read and comprehend the argument of the passage and to acquire the knowledge and information through English will be improved by reading articles.

Another objective is formation and expression of students' own opinion. Emphasis should be put on understanding the writer's feeling and intention. However, students should not accept the writer's opinion easily if they have questions or doubts. Students have to form their own opinion after they find out the difference between the writer's opinion and theirs. In addition, they will practice summarizing the passages they read and writing the opinion which they formed in English.

Listening skill is also regarded as an important factor. Listening skill will be developed through the quizzes which the instructor makes from passages of the textbook. In some cases, other materials will be used for listening quizzes.

This class has five learning objectives.

First, They are expected to acquire the knowledge of English grammar, words and phrases which is necessary to read English.

Second, students are expected to acquire the ability to understand middle-length English articles by themselves

Third, students are expected to acquire the capacity to grasp logic of them, considering what role each paragraph has.

Fourth, students are expected to improve their listening skill through exercises.

Fifth, students are expected to acquire the faculty to write their own thoughts about articles in English.

The final evaluating score between 60%and 100%will be awarded. Percentages of evaluation are Presentation (Reading and Translating) 10%, Quizzes 30%, Final exam 50%, and Writing 10 %. Credits will not be given to those who have missed 4 class hours or its equivalent in being late. When being late for thirty minutes is considered as one absence. Being late two times will be counted as one absence.

As for learning activities outside of classroom, students have to prepare and review for at least one hour. Students have to read texts and consult dictionaries about unknown words and phrases before class. After finishing reading an article, students have to reread it and review what you didn't understand for quizzes. As students answer the English definitions of words in quizzes, they have to consult an English-English dictionary.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

小川 真也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の主な目的は読解力と語彙を高めることである。学生はパラグラフ構造とパラグラフ同士の関係性に注意を払いながら、社会問題や現代事象を扱う英文を読み、英語の読解力を高めるとともに、英語を通して知識を得られるようになることが望まれる。

また、自分自身の意見を持つことも重要である。筆者の意見を理解することも重要だが、疑問があれば、その意見を容易く受け入れなければならない。筆者と自身との意見の相違を見極め、自分自身の意見をまとめ、それを英語で表現できるようになることが望まれる。

リスニング能力を高めることも重視する。教員が作成したリスニング問題を解き、リスニング力を高めて頂きたい。

【到達目標】

この授業ではリーディングを中心に勉強し、次の項目を目標とする。

- ①英文を読む上で必要な文法事項と語彙を身につけること。
- ②まとまった量の英語の文章を独力で理解できるようになること。
- ③段落の構造を意識して論理の流れを把握できるようになること。
- ④練習問題を通して、リスニング力を向上させること。
- ⑤記事に対する自分の意見を英作文し、英語で表現する力を身につけること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は演習形式を取り、2回の授業で1つのunitを扱う。授業の初めにテキストから作成したリスニング問題を実施する。正確に読むことに主眼を置き、単語・熟語・文法事項等を確認しながら記事を訳読し、段落ごとに要約し、トピック全体の理解を図る。段落ごとの要約とトピックに対する意見を英作文して課題として提出する。提出課題は教員が添削するので、添削された箇所を確認し、英語の表現や内容理解などを深める。

unitごとに前半後半に分けて2回、復習の小テストを実施する。フィードバックとして英作文は教員が添削し、返却する。小テスト・期末テストに関してはテスト終了後に模範解答を提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方説明と英作文
2	Unit 12-1 Child Prodigies: Raising a little genius	「天才児：小さな天才を育てる」前半講読
3	Unit 12-2 Child Prodigies: Raising a little genius	「天才児：小さな天才を育てる」後半講読
4	Unit 17-1 Vaccines: A history of keeping us safe	「ワクチン：人類を守る歴史」前半講読
5	Unit 17-2 Vaccines: A history of keeping us safe	「ワクチン：人類を守る歴史」後半講読

6	Unit 3-1 Lasting the Ages: Japan's 200-year-old companies	「時代を越えて：創業200年の日本企業」前半講読
7	Unit 3-2 Lasting the Ages: Japan's 200-year-old companies	「時代を越えて：創業200年の日本企業」後半講読
8	Unit 8-1 Social Media: Big tech's addiction to addiction	「ソーシャルメディア：依存させて利益を得るテクノロジー会社」前半講読
9	Unit 8-2 Social Media: Big tech's addiction to addiction	「ソーシャルメディア：依存させて利益を得るテクノロジー会社」後半講読
10	Unit 13-1 Mentalism: Mastering the human brain	「メンタリズム：人間の脳を使いこなす」前半講読
11	Unit 13-2 Mentalism: Mastering the human brain	「メンタリズム：人間の脳を使いこなす」後半講読
12	Unit 18-1 International Space Station: Is it worth the money?	「国際宇宙ステーション：コストに見合っているか」前半講読
13	Unit 18-2 International Space Station: Is it worth the money?	「国際宇宙ステーション：コストに見合っているか」後半講読
14	期末テスト	期末テスト・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。予習を前提に授業を進め、unitごとに2回小テストを実施するので、少なくとも1時間取って、教科書を読み、授業後には予習時にわからなかった箇所を復習すること。小テストでは英単語の定義が問われるので、予め英英辞書を使って単語の定義を調べておくこと。

【テキスト（教科書）】

Understanding the World Today
(Dave Rear 著, 成美堂, 2022年)

【参考書】

英語系辞書（特に英英辞書）

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100満点とし、60点以上が合格となる。
授業への貢献10% 小テスト30% 期末テスト50% 英作文10%
欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
授業開始から30分以上の遅刻した場合は欠席扱い、遅刻2回で欠席1回とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

教科書に物足りなくなった場合や難しく感じられる場合、代替の記事を読む。

【Outline (in English)】

One of the main objectives in this course is improvement of reading skill and developing of students' vocabulary. Students will read English passages discussing social issues and recent events, paying much attention to paragraph structure and relationship between paragraphs. The ability to read and comprehend the argument of the passage and to acquire the knowledge and information through English will be improved by reading articles.

Another objective is formation and expression of students' own opinion. Emphasis should be put on understanding the writer's feeling and intention. However, students should not accept the writer's opinion easily if they have questions or doubts. Students have to form their own opinion after they find out the difference between the writer's opinion and theirs. In addition, they will practice summarizing the passages they read and writing the opinion which they formed in English.

Listening skill is also regarded as an important factor. Listening skill will be developed through the quizzes which the instructor makes from passages of the textbook. In some cases, other materials will be used for listening quizzes.

This class has five learning objectives.

First, They are expected to acquire the knowledge of English grammar, words and phrases which is necessary to read English.

Second, students are expected to acquire the ability to understand middle-length English articles by themselves

Third, students are expected to acquire the capacity to grasp logic of them, considering what role each paragraph has.

Fourth, students are expected to improve their listening skill through exercises.

Fifth, students are expected to acquire the faculty to write their own thoughts about articles in English.

The final evaluating score between 60%and 100%will be awarded. Percentages of evaluation are Presentation (Reading and Translating) 10%, Quizzes 30%, Final exam 50%, and Writing 10 %. Credits will not be given to those who have missed 4 class hours or its equivalent in being late. When being late for thirty minutes is considered as one absence. Being late two times will be counted as one absence.

As for learning activities outside of classroom, students have to prepare and review for at least one hour. Students have to read texts and consult dictionaries about unknown words and phrases before class. After finishing reading an article, students have to reread it and review what you didn't understand for quizzes. As students answer the English definitions of words in quizzes, they have to consult an English-English dictionary.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

今井 澄子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会のさまざまなトピックに関するアカデミックな英文 Essay 読解を通して Active Reading と Critical-thinking のスキルを身につけ、大学生に必要な英語力を養成する。

【到達目標】

800 語程度の英文 Essay を読み、アカデミックな現代英語の論理展開や書き方を知る。テキスト英文は標準的な構文・文法にのっとり、大学生として知る必要のあるメディアや学問レベルの語彙を使って書かれているので、これを読むことで望ましい英語の文体が身に付き、ヴォキャブラリー強化ができる。語彙問題や内容理解のための設問も豊富なので、問題を解きながら正しく内容を捉える。また、Listening&Dictation 問題を通して音声による英語を理解する。読解内容に対して英語でコメントを書くが、まずは 1 パラグラフの要約やショートコメントから始め、複数パラグラフによる英文 Essay 形式で自分の考えを述べることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回授業初めにリスニング小テストを行い、その後に読解に入る。英文の音読・日本語訳、語彙・内容把握問題を課すので、必ずこなすこと。英文読解後は関連する内容の Listening&Dictation を行う。また、要約やコメントの英文 Writing を随時行い、添削指導する。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Listening, Active Reading and Critical Thinkingについて	Lesson 1 Language を解説しながら、テキスト構成、授業内容、評価等に関する説明を行う
第2回	Listening 小テスト 1	Ceremony 聴解 Can the Humanities be Saved? 英文読解、コメント Writing
第3回	Lesson 3 Higher Education Listening 小テスト 2	School Life 聴解 Can the Humanities be Saved? 語彙問題と Listening&Dictation
第4回	Lesson 3 Higher Education Listening 小テスト 3	Transportation 聴解 How Far Will People Go? 英文読解、コメント Writing
第5回	Lesson 2 Social Psychology Listening 小テスト 4	Outdoor Activities 聴解 How Far Will People Go? 語彙問題と Listening&Dictation
第6回	Lesson 2 Social Psychology Listening 小テスト 5	Weather 聴解 Yellowface 英文読解、コメント Writing
	Lesson 4 Musical Theater	

第7回	Listening 小テスト 6 Lesson 4 Musical Theater	Holiday Plans 聴解 Yellowface 語彙問題と Listening&Dictation
第8回	Listening 小テスト 7 Lesson 5 The Environment	Resort Area 聴解 Meeting Mankind's Greatest Challenge 英文読解、コメント Writing
第9回	Listening 小テスト 8 Lesson 5 The Environment	Job Experience 聴解 Meeting Mankind's Greatest Challenge 語彙問題と Listening&Dictation
第10回	Listening 小テスト 9 環境問題の英文読解	Summer Sale 聴解 追加プリントによる英文読解
第11回	Listening 小テスト 10 Lesson 6 Anthropology/Paleontology	Restaurant 聴解 Not So Stupid After All 英文読解、コメント Writing
第12回	Listening 小テスト 11 Lesson 6 Anthropology/Paleontology	Review Test1・2 聴解 Not So Stupid After All 語彙問題と Listening&Dictation
第13回	Paragraph 論理展開 学習	Paragraph Writing を通して英語の論理展開を学ぶ
第14回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキスト英文は全員参加で読んでいく。また、テキスト英文の構文は難解というわけではないが、語彙はレベルが高く、授業内容を十分に理解するためには辞書で単語を調べながら英文を読んでいくことが必要。教科書にある Listening&Dictation 問題音声は、インターネット上でダウンロードし、事前に聴くことができる。なお、リスニング小テストは毎回行うが、特に準備は必要ない。Writing も授業中に行うため自宅に持ち帰る必要はない。

【テキスト（教科書）】

Readers' Forum 3 ACTIVE ENGLISH: Readings in the Liberal Arts and Humanities. 南雲堂

Practical Situations for the TOEIC® Test Listening. 成美堂

【参考書】

特に指定しないが、必ず英和辞書を使うこと。授業にも毎回辞書を持参すること。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、Writing・和訳などの課題 20% を原則とする。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点とし、60% 以上の得点で合格。授業初めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも 0 点となる。課題を遂行しない、担当があるのに無断欠席などは課題点がマイナスになる。欠席が 4 回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

今年度初めて担当のため、特になし。

【Outline (in English)】

This class focuses on reading of academic English essays. The genre of topics of these essays are various such as language, social psychology, higher education, the environment, neuroscience, technology, cybercrime, and so on, which are based on the interest or a problem of our present day society. Each essay has around eight hundred words, is written in a high level of academic and literate English which has a complex sentence structure and syntax, and includes difficult vocabulary. Reading these essays enables students to have both active reading and critical thinking skill and they can acquire English proficiency sufficient as a university student. Additionally, writing a comment is another important task of this class and every student is required to write a comment in English after reading every essay. Beginning from writing a short paragraph, the final goal is writing an essay composed of more than at least three paragraphs, which enables students to cultivate academic writing skill enough to write a short report in the future. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing score 10%, and in class contribution 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

今井 澄子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会のさまざまなトピックに関するアカデミックな英文 Essay 読解を通して Active Reading と Critical-thinking のスキルを身につけ、大学生に必要な英語力を養成する。

【到達目標】

800 語程度の英文 Essay を読み、アカデミックな現代英語の論理展開や書き方を知る。テキスト英文は標準的な構文・文法にのっとり、大学生として知る必要のあるメディアや学問レベルの語彙を使って書かれているので、これを読むことで望ましい英語の文体が身に付き、ヴォキャブラリー強化ができる。語彙問題や内容理解のための設問も豊富なので、問題を解きながら正しく内容を捉える。また、Listening&Dictation 問題を通して音声による英語を理解する。読解内容に対して英語でコメントを書くが、まずは 1 パラグラフの要約やショートコメントから始め、複数パラグラフによる英文 Essay 形式で自分の考えを述べることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回授業初めにリスニング小テストを行い、その後に読解に入る。英文の音読・日本語訳、語彙・内容把握問題を課すので、必ずこなすこと。英文読解後は関連する内容の Listening&Dictation を行う。また、要約やコメントの英文 Writing を随時行い、添削指導する。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Listening 小テスト 1 Lesson 7 Neuroscience	Restaurant 聴解 Mapping the Brain 英文読解、コメント Writing
第2回	Listening 小テスト 2 Lesson 7 Neuroscience	Arts & Entertainment 聴解 Mapping the Brain 語彙問題と Listening&Dictation
第3回	Listening 小テスト 3 Lesson 8 Military History	Sports Events 聴解 No Shoot! 英文読解、コメント Writing
第4回	Listening 小テスト 4 Lesson 8 Military History	Having a Party 聴解 No Shoot! 語彙問題と Listening&Dictation
第5回	Listening 小テスト 5 Lesson 9 Technology	Health 聴解 The Reality of Virtual Reality 英文読解、コメント Writing
第6回	Listening 小テスト 6 Lesson 9 Technology	Christmas 聴解 The Reality of Virtual Reality 語彙問題と Listening&Dictation

第7回	Listening 小テスト 7 Lesson 10 Literature	Cleanup 聴解 The Man Who Re-invented Christmas 英文読解、コメント Writing
第8回	Listening 小テスト 8 Lesson 10 Literature	Our Traditions & Customs 聴解 The Man Who Re-invented Christmas 語彙問題と Listening&Dictation
第9回	Listening 小テスト 9 Lesson 11 Art Appreciation	Examinations 聴解 Accounting for Taste 英文読解、コメント Writing
第10回	Listening 小テスト 10 Lesson 11 Art Appreciation	Housing 聴解 Accounting for Taste 語彙問題と Listening&Dictation
第11回	Listening 小テスト 11 Lesson 12 Cybercrime	Review Test3・4 聴解 The Dark Tetrad 英文読解、コメント Writing
第12回	Lesson 12 Cybercrime 英文エッセイの構成と書き方	The Dark Tetrad 語彙問題と Listening&Dictation プリントによる説明
第13回	エッセイ論理展開学習	読んだものへの意見を述べる Essay Writing を通して英語長文の論理展開を学ぶ
第14回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキスト英文は全員参加で読んでいく。また、テキスト英文の構文は難解というわけではないが、語彙はレベルが高く、授業内容を十分に理解するためには辞書で単語を調べながら英文を読んでいくことが必要。教科書にある Listening&Dictation 問題音声は、インターネット上でダウンロードし、事前に聴くことができる。なお、リスニング小テストは毎回行うが、特に準備は必要ない。Writing も授業中に行うため自宅に持ち帰る必要はない。

【テキスト（教科書）】

Readers' Forum 3 ACTIVE ENGLISH: Readings in the Liberal Arts and Humanities. 南雲堂

Practical Situations for the TOEIC® Test Listening. 成美堂

【参考書】

特に指定しないが、必ず英和辞書を使うこと。授業にも毎回辞書を持参すること。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、Writing・和訳などの課題 20% を原則とする。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点とし、60%以上の得点で合格。授業初めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも 0 点となる。課題を遂行しない、担当があるのに無断欠席などは課題点がマイナスになる。欠席が 4 回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

今年度初めて担当のため、特になし。

【Outline (in English)】

This class focuses on reading of academic English essays. The genre of topics of these essays are various such as language, social psychology, higher education, the environment, neuroscience, technology, cybercrime, and so on, which are based on the interest or a problem of our present day society. Each essay has around eight hundred words, is written in a high level of academic and literate English which has a complex sentence structure and syntax, and includes difficult vocabulary. Reading these essays enables students to have both active reading and critical thinking skill and they can acquire English proficiency sufficient as a university student. Additionally, writing a comment is another important task of this class and every student is required to write a comment in English after reading every essay. Beginning from writing a short paragraph, the final goal is writing an essay composed of more than at least three paragraphs, which enables students to cultivate academic writing skill enough to write a short report in the future. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing score 10%, and in class contribution 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

永井 大輔

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな英文読解に必要なコア文法をを習得しながら、英文の主題や状況設定を捉えるスキルの向上を目指す。リーディング力育成において基礎となる語彙知識を身に付ける。また、英文の構造的把握に基づいたより高度な読解にも挑戦する。

【到達目標】

- ・リーディングの基礎となる文法事項の知識を駆使しながら、短い文章を読解できるようになる。
- ・リーディング力育成において基礎となる語彙知識を身に付ける。
- ・辞書の基本的な利用方法や利用習慣を身につける。
- ・英語に関することであろうとなかろうと、読んでいて分からないことは、自主的に調べる習慣を身につける。
- ・あまり知識のないトピックに関する英語音声聴く際にも障害にならない程度に、基本的なフレーズや文法、発音のルールを覚える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には教科書を進めていく。単なる答え合わせや訳出にとどまらず、英文の朗読や辞書での内容確認など、さまざまなタスクが含まれる。

第2回～第13回授業回では、教員の用意したプリントを使って、英単語の小テストを実施する。小テストは各授業回の最初に実施する。Unitごとの感想や質問は「学習支援システム」を通じて行ない、一部は次の授業回でのフィードバックで取り上げる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期イントロダクション	シラバス内容の説明および履修上の細かいルールを説明する。 英語学習において確保すべき環境や実践すべき習慣について説明する。 各自の使用する辞書を確認するので必ず持参すること。
2	Unit 1：名詞	可算名詞・不可算名詞
3	Unit 2：冠詞	不定冠詞・定冠詞
4	Unit 3：代名詞（1）	it・this, that・再帰代名詞
5	Unit 4：代名詞（2）	不定代名詞
6	Unit 5：時制	現在時制・過去時制・未来時制
7	Unit 6：進行形	現在進行形・過去進行形・未来進行形 状態動詞・動作動詞
8	Unit 7：完了形（1）	現在完了形・現在完了進行形
9	Unit 8：完了形（2）	過去完了形・過去完了進行形・未来完了形
10	Unit 9：助動詞（1）	can・may・must
11	Unit10：助動詞（2）	would・should・ought to・used toほか
12	Unit11：態（1）	受動態の作り方・各文型の受動態
13	Unit12：態（2）	注意すべき受動態ほか

14 試験・まとめと解説 Unit 1 12のまとめと筆記試験
筆記試験は、単位取得資格がある人は必ず受けなければならない。授業内試験なので、通常の授業と同じ時間・同じ教室で実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。/ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

教科書の予習においては、一度辞書やその他の調べ物をせずに問題を解いてみてから、自分の気になる箇所について調べるようにすること。

予習時には英単語の小テストの準備も行う。出題範囲の単語は、スペルや品詞、実際の文内での使われ方を覚えるようにする。

また、本授業の内容だけにとどまらない、自分独自の「英語ノート」を用意し、予習・復習で自分に必要だと思われる知識はそちらに書き留める習慣をつける。

本授業の到達目標には発音も含まれるので、英単語の語釈・語用だけを調べるのではなく、文章のなかで聞こえたように発音できるように声に出して練習する。

その他、英語にかかわらない事柄であっても、自分にとって未知なことは積極的に調べる（情報源は問わず）。

【テキスト（教科書）】

福井慶一郎/山中マーガレット/北山長貴著、『Fundamental English Grammar with Short Readings（読解力につなげるコア英文法）』、朝日出版社、2019年。1600円＋税 ISBN: 978-4-255-15638-5

【参考書】

できるだけ新しい版の英和もしくは英英学習辞典が必須となる。教室での対面授業時に使用できるのは、紙媒体もしくは専用装置型の電子辞書のみとする。初回授業時に確認する。
武蔵大学外国語教育センター英語部会、『武蔵大学 必須英単語 2000』、南雲堂。

【成績評価の方法と基準】

教科書Unit 1 12を範囲とする筆記試験（第14回授業回）：60%

英単語の小テスト（第2回～第13回授業回）：15%

毎授業回の授業参加度（質問に対して十分な予習をふまえた回答や朗読ができたか）：25%

欠席および遅刻について

学期中に4回欠席した受講生は単位取得資格を失なう。遅刻は累積3回で欠席1回と同等の扱いとする。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられる。30分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとする。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となる。

不正について

各タスクにおいてコピー、他受講生の引き写し、著作物の剽窃（生成AIの使用を含む）、機械翻訳を行なったことが発覚した場合、該当授業回の評価は取り消される。複数回の不正が発覚した場合は、単位取得資格を停止する。複数の受講生が関与した場合、全員同様の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

授業後に質問を受け付ける時間を十分に設けます。

【Outline (in English)】

Course Outline: Students will master fundamental English grammar, which will help them better understand the subjects and contexts of English texts. They will be required to build a basic level of English vocabulary necessary for reading texts. They will also learn some of the basic structures of English essays.

Learning Objectives: Students will 1) learn some fundamental rules in English grammar; 2) understand the message and context of the text; 3) learn some of basic paragraph structures; 4) master how to consult dictionaries; 5) have a habit to study on the subjects referred in the texts; 6) master some of basic rules of pronunciation.

Learning Activities Outside of Classroom: Students must spend at least one hour for reviewing and preparing for each session, including an English vocabulary quiz. They should make an independent "English Learning" notebook of their own. They are also asked to read aloud unfamiliar words and phrases.

Grading Criteria/Policy: Written exam - 60%; Vocabulary quizzes - 15%; Performance at each session - 25%. Students with 4 or more absences will lose their qualification for the unit of this course. Three days late are counted as one absence. Other penalties given during sessions are counted as days late.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

永井 大輔

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな英文読解に必要なコア文法をを習得しながら、英文の主題や状況設定を捉えるスキルの向上を目指す。リーディング力育成において基礎となる語彙知識を身に付ける。また、英文の構造的把握に基づいたより高度な読解にも挑戦する。

【到達目標】

- ・リーディングの基礎となる文法事項の知識を駆使しながら、短い文章を読解できるようになる。
- ・リーディング力育成において基礎となる語彙知識を身に付ける。
- ・辞書の基本的な利用方法や利用習慣を身につける。
- ・英語に関することであろうとなかろうと、読んでいて分からないことは、自主的に調べる習慣を身につける。
- ・あまり知識のないトピックに関する英語音声聴く際にも障害にならない程度に、基本的なフレーズや文法、発音のルールを覚える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には教科書を進めていく。単なる答え合わせや訳出にとどまらず、英文の朗読や辞書での内容確認など、さまざまなタスクが含まれる。

第2回～第13回授業回では、教員の用意したプリントを使って、英単語の小テストを実施する。小テストは各授業回の最初に実施する。Unitごとの感想や質問は「学習支援システム」を通じて行ない、一部は次の授業回でのフィードバックで取り上げる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	秋学期イントロダクション	シラバス内容の説明および履修上の細かいルールを説明する。 春学期の筆記試験について講評する。 授業に必要なプリントがあれば配布する。
2	Unit13：不定詞（1）	名詞用法・形容詞用法・副詞用法
3	Unit14：不定詞（2）	注意すべき不定詞の用法・原形不定詞
4	Unit15：分詞（1）	分詞の限定用法・叙述用法
5	Unit16：分詞（2）	分詞構文・独立分詞構文
6	Unit17：動名詞（1）	動名詞の用法・動名詞と不定詞
7	Unit18：動名詞（2）	動名詞の意味上の主語・完了形の動名詞ほか
8	Unit19：形容詞・副詞	形容詞の用法・副詞の用法
9	Unit20：比較（1）	基本的な比較表現
10	Unit21：比較（2）	注意すべき原級・比較級・最上級の用法
11	Unit22：前置詞	基本的な前置詞・注意すべき前置詞
12	Unit23：関係詞（1）	関係代名詞の用法・前置詞と関係代名詞

13	Unit24：関係詞（2）	what・関係副詞・限定用法と継続用法
14	試験・まとめと解説	Unit13 Unit24のまとめと筆記試験 筆記試験は、単位取得資格がある人は必ず受けなければならない。授業内試験なので、通常の授業と同じ時間・同じ教室で実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。/ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

教科書の予習においては、一度辞書やその他の調べ物をせずに問題を解いてみてから、自分の気になる箇所について調べるようにすること。

予習時には英単語の小テストの準備も行う。出題範囲の単語は、スベルや品詞、実際の文内での使われ方を覚えるようにする。

また、本授業の内容だけにとどまらない、自分独自の「英語ノート」を用意し、予習・復習で自分に必要だと思われる知識はそちらに書き留める習慣をつける。

本授業の到達目標には発音も含まれるので、英単語の語釈・語用だけを調べるのではなく、文章のなかで聞こえたように発音できるように声に出して練習する。

その他、英語にかかわらない事柄であっても、自分にとって未知なことは積極的に調べる（情報源は問わず）。

【テキスト（教科書）】

福井慶一郎/山中マーガレット/北山長貴著、『Fundamental English Grammar with Short Readings（読解力につなげるコア英文法）』、朝日出版社、2019年。1600円＋税 ISBN: 978-4-255-15638-5

【参考書】

できるだけ新しい版の英和もしくは英英学習辞典が必須となる。教室での対面授業時に使用できるのは、紙媒体もしくは専用装置型の電子辞書のみとする。初回授業時に確認する。

武蔵大学外国語教育センター英語部会、『武蔵大学 必須英単語 2000』、南雲堂。

【成績評価の方法と基準】

教科書Unit 13 24を範囲とする筆記試験（第14回授業回）：60%
英単語の小テスト（第2回～第13回授業回）：15%

毎授業回の授業参加度（質問に対して十分な予習をふまえた回答や朗読ができたか）：25%

欠席および遅刻について

学期中に4回欠席した受講生は単位取得資格を失なう。遅刻は累積3回で欠席1回と同等の扱いとする。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられる。30分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとする。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となる。

不正について

各タスクにおいてコピー、他受講者の引き写し、著作物の剽窃（生成AIの使用を含む）、機械翻訳を行なったことが発覚した場合、該当授業回の評価は取り消される。複数回の不正が発覚した場合は、単位取得資格を停止する。複数の受講生が関与した場合、全員同様の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

授業後に質問を受け付ける時間を十分に設けます。

【Outline (in English)】

Course Outline: Students will master fundamental English grammar, which will help them better understand the subjects and contexts of English texts. They will be required to build a basic level of English vocabulary necessary for reading texts. They will also learn some of the basic structures of English essays.

Learning Objectives: Students will 1) learn some fundamental rules in English grammar; 2) understand the message and context of the text; 3) learn some of basic paragraph structures; 4) master how to consult dictionaries; 5) have a habit to study on the subjects referred in the texts; 6) master some of basic rules of pronunciation.

Learning Activities Outside of Classroom: Students must spend at least one hour for reviewing and preparing for each session, including an English vocabulary quiz. They should make an independent "English Learning" notebook of their own. They are also asked to read aloud unfamiliar words and phrases.

Grading Criteria/Policy: Written exam - 60%; Vocabulary quizzes - 15%; Performance at each session - 25%. Students with 4 or more absences will lose their qualification for the unit of this course. Three days late are counted as one absence. Other penalties given during sessions are counted as days late.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

高 友希子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水2/Wed.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、英語で発信されたニュースの講読および視聴を通じて、リーディングとリスニングを中心に総合的な英語力の向上をはかります。

【到達目標】

- 1 英語で発信されたニュースを正確に読み、聴き取ることができるようになる。
- 2 読み取った記事や関連するテーマを批判的あるいは多角的に分析できるようになる。
- 3 論理的に思考し、自らの見解を他者に正確に発信できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

- ①テキストの予習結果を学習支援システムに準備した予習フォームに入力し、フィードバック機能を利用して、各自で理解度を確認する。
- ②学習支援システムに準備した語彙クイズに取り組む。クイズの結果は、フィードバック機能を利用して各自で確認する。
- ③リーディングの解説をし、あわせて質問にも回答する。
- ④テキストの内容に関連するテーマについて、グループで議論する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業概要の説明
第2回	Story 1: Volunteers in Loveland	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第3回	Story 2: Commemorating Juneteeth	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第4回	Story 3: Penguin at Arizona Aquarium	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第5回	Story 4: Colorado River Most Endangered	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第6回	Story 5: Controversial "Don't Say Gay" Bill	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第7回	Story 6: Standing in Solidarity	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション

第8回	Story 7: Endurance Ship Found in Antarctica	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第9回	Story 8: An Inspiring Child Author	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第10回	Story 9: Historic Gunmaker Settlement	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第11回	Story 10: Saving the Galapagos	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第12回	Story 11: The Marathon Mom	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第13回	Story 12: Rising Prices	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第14回	Story 13: International Holocaust Remembrance Day	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習・復習のほか、ニュースを見聞きすることを通して社会問題について考えるようにしてください。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

S. Yamane and K. Yamane, ABC NEWSROOM, Kinseido (2023).

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

学期末試験 (50%)、予習およびクイズ (30%)、平常点 (授業への積極的参加) (20%)
なお、欠席が4回以上の場合には、原則として単位修得の権利を失います。

【学生の意見等からの気づき】

グループ・ワークを継続する。

【学生が準備すべき機器他】

辞書、学習支援システムを利用するための通信機器、(必要に応じて) zoom利用時のマイク付きヘッドセット

【Outline (in English)】

This course is intended to enhance students' ability to understand, analyze and discuss the news in English. Students will be able to 1) critically analyze issues and express their own opinions, 2) acquire more effective listening skills.

Students are expected to complete homework assignments and vocabulary quizzes. Your study time will be more than one hour for a class.

Students will be graded on:

Final exam (50%)

Homework assignments and quizzes (30%)

Participation (20%)

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

高 友希子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、英語で発信されたニュースの講読および視聴を通じて、リーディングとリスニングを中心に総合的な英語力の向上をはかります。

【到達目標】

- 1 英語で発信されたニュースを正確に読み、聴き取ることができるようになる。
- 2 読み取った記事や関連するテーマを批判的あるいは多角的に分析できるようになる。
- 3 論理的に思考し、自らの見解を他者に正確に発信できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ①テキストの予習結果を学習支援システムに準備した予習フォームに入力し、フィードバック機能を利用して、各自で理解度を確認する。
- ②学習支援システムに準備した語彙クイズに取り組む。クイズの結果は、フィードバック機能を利用して各自で確認する。
- ③リーディングの解説をし、あわせて質問にも回答する。
- ④テキストの内容に関連するテーマについて、グループで議論する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業内容の説明
第2回	Unit 1: The Window of Canterbury Cathedral	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第3回	Unit 2: A Skateboarding School for Women	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第4回	Unit 3: West London's Community Gardens	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第5回	Unit 4: Two Generations Sharing a Home	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第6回	Unit 5: Cornwall's Lithium Mines	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第7回	Unit 6: How to Be Happy on Blue Monday	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション

第8回	Unit 7: The New Brixham Banking Hub	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第9回	Unit 8: Call to Clean Up London's Diesel Trains	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第10回	Unit 9: The Fair Shot Cafe	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第11回	Unit 10: The Impact of Covid on the Brain	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第12回	Unit 11: Women Learning Skills for life after Prison	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第13回	Unit 12: A Space for Green Businesses	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第14回	Unit 13: Diversity in the Workplace	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習のほか、ニュースを見聞きすることを通して社会問題について考えるようにしてください。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

T. Knowles, M. Tanaka, M. Nakamura and S. Moue, British News Update 5, Kinseido (2023).

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（50％）、予習およびクイズ（30％）、平常点（授業への積極的参加）（20％）

なお、欠席が4回以上の場合には、原則として単位修得の権利を失います。

【学生の意見等からの気づき】

グループ・ワークを継続する。

【学生が準備すべき機器他】

辞書、学習支援システムを利用するための通信機器、（必要に応じて）zoom利用時のマイク付きヘッドセット

【Outline (in English)】

This course is intended to enhance students' ability to understand, analyze and discuss the news in English. Students will be able to 1) critically analyze issues and express their own opinions, 2) acquire more effective listening skills.

Students are expected to complete homework assignments and vocabulary quizzes. Your study time will be more than one hour for a class.

Students will be graded on:

Final exam (50%)

Homework assignments and quizzes (30%)

Participation (20%)

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

中和 彩子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ある程度の長さの論理的な英語の文章を正確に理解するためのリーディング・スキルを身につける。同時に、速読・精読の使い分け、要約・批評の仕方についても学ぶ。

使用教科書は、さまざまな文化が時代、宗教、民族を超えて交錯し、影響し合い、変容するさまを、15の切り口から概観したエッセイ集である。大学生に必須の知識を、知的な英文を通じて吸収することができるだろう。

【到達目標】

1. 英文を、一語ずつ立ちどまることなく、「意味のかたまり」を意識して一定の速さで正確に読むことができる（フレーズ・リーディング）。
2. 英語の長文を、パラグラフの構造・構成を意識して一定の速さで正確に読むことができる（パラグラフ・リーディング）。
3. 読んで理解できる英語を、聴き取りによっても理解することができる。
4. 読んだ英文に関して、日本語・英語の両方で問いを立てたり、要約したり、批評したりすることができる。
5. 使える語彙を増やす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

全員の準備学習を前提として授業を進める。

講師が学生を当てて答えさせたり、解説をしたりするほかに、ペアまたはグループワークをとりいれ、学生同士で問題解決を行う時間を設ける。

音声教材を用いた、テキストの聴き取りや音読の練習も行う。

隔週、本文の理解を深めたり確認したりするための課題やリフレクションペーパーを課し、提出の翌週の授業でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方、予習復習の仕方、辞書の活用法、などについて Unit 1の冒頭を用いて説明する。 第1～3パラグラフ
2	Unit 1 The Concept of Beauty「美」の概念 <前半>	
3	Unit 1 <後半>	第4～7パラグラフ、および練習問題
4	Unit 2 Greek Mythology – Stories of Gods and Humans ギリシア神話—— —神々と人間の物語 <前半>	第1～3パラグラフ
5	Unit 2 <後半>	第4～7パラグラフ、および練習問題

6	Unit 3 The Bible— Mainstay of Christianity 聖書——キリス ト教の支柱 <前半>	第1～4パラグラフ前半まで
7	Unit 3 <後半>	第4パラグラフ後半～6パラグラフ、および練習問題
8	復習・復習試験	Unit 1～3の復習、および試験
9	Unit 4 Renaissance— Transcending Cultural Movements ルネサンス—— ジャンルを横断する ムーブメント <前半>	第1～4パラグラフ
10	Unit 4 <後半>	第5～8パラグラフ、および練習問題
11	Unit 7 The English Language 英語の変遷 <前半>	第1～4パラグラフ
12	Unit 7 <後半>	第5～7パラグラフ、および練習問題
13	復習・復習試験	前半：Unit4,7の復習、補足 後半：復習試験
14	Unit 5 The Structure of Fictional Literature / Unit 6 The Theater and Acting	各自のレポートに基づく、グループワーク

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習の基本的な進め方は次のとおり。

教科書本文の当該範囲（前半／後半）を、音声（無料でダウンロードできる）を聞きながら一通り読み、不明箇所印をつける。それらの箇所をできるかぎり辞書等で調べる。「後半」の回については、章末の練習問題を解いておく。予習の過程で、音読練習も行うことが望ましい。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Christopher Belton /小田島恒志,
TRANSCULTURE: Transcending Time, Region and Ethnicity,
Kinseido, 2017. [『多元文化論エッセイ—響き合う文化たち』金星堂]

【参考書】

大学～一般向けの英和および英英辞書、各1点以上（電子辞書または本）。

毎回の授業にも持参のこと。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内の課題やレポート）20%、復習試験（2回）80%の成績の総合評価。

4回以上欠席の場合、単位を与えない。

遅刻・早退や授業態度の不良については、頻度や程度に応じて、総合点から減点する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

・ペア／グループワークを積極的にとりいれる。

【学生が準備すべき機器他】

必要に応じてZoomを使用したリアルタイムオンライン授業を行う可能性がある。その際、受講環境によってはヘッドセットが必要となる。

【その他の重要事項】

・情報の周知、課題の出題などに学習支援システムを使用する。

・対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業を行う可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【Outline (in English)】

Course outline: English 1 focuses on developing reading, listening, and summarizing skills. Using a textbook that discusses the cultural side of globalization, students will learn how to grasp the meaning and content of logical writings. They will also attain knowledge necessary for their university studies.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to acquire the skills mentioned above, mainly through practicing phrase reading, paragraph reading, summarizing and commenting on the reading passage of each unit.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to prepare for each class meeting by reading the passage and working on the accompanying exercises. ※ Students are expected to spend at least 60 minutes per week before and/or after each class.

Grading Policies: Grading will be decided based on reflection papers and short reports (20%), and the mid-term and term-end examinations (80%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

中和 彩子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ある程度の長さの論理的な英語の文章を正確に理解するためのリーディング・スキルを身につける。同時に、速読・精読の使い分け、要約・批評の仕方についても学ぶ。

使用教科書は、さまざまな文化が時代、宗教、民族を超えて交錯し、影響し合い、変容するさまを、15の切り口から概観したエッセイ集である。大学生に必須の知識を、知的な英文を通じて吸収することができるだろう。

【到達目標】

1. 英文を、一語ずつ立ちどまることなく、「意味のかたまり」を意識して一定の速さで正確に読むことができる（フレーズ・リーディング）。
2. 英語の長文を、パラグラフの構造・構成を意識して一定の速さで正確に読むことができる（パラグラフ・リーディング）。
3. 読んで理解できる英語を、聴き取りによっても理解することができる。
4. 読んだ英文に関して、日本語・英語の両方で問いを立てたり、要約したり、批評したりすることができる。
5. 使える語彙を増やす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

全員の準備学習を前提として授業を進める。

講師が学生を当てて答えさせたり、解説をしたりするほかに、ペアまたはグループワークをとりいれ、学生同士で問題解決を行う時間を設ける。

音声教材を用いた、テキストの聴き取りや音読の練習も行う。

隔週、本文の理解を深めたり確認したりするための課題やリフレクションペーパーを課し、提出の翌週の授業でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 9 Trusting in Recorded History	第1～4段落 歴史という記録の信頼性 <前半>
2	Unit 9 <後半>	第5～8段落、および練習問題
3	Unit 11 How Democracy Works	第1～2段落 民主主義という制度 <前半>
4	Unit 11 <後半>	第3～6段落、および練習問題
5	Unit 12 Marriage and the State	第1～3段落 結婚と国家 <前半>
6	Unit 12 <後半>	第4～5段落、および練習問題 ※リフレクションペーパー
7	復習・復習試験	Unit 9,11,12の復習および試験

8	Unit 8 The Rise of Cities	各自のレポートにもとづくグループワーク 都市の隆盛
9	Unit 13 The Meaning of Prayers	第1～3段落 「祈り」のもつ意味 <前半>
10	Unit 13 <後半>	第4～5段落、および練習問題
11	Unit 14 Mankind and Laughter	第1～3段落 笑いと人間
12	Unit 14 <後半>	第4～6段落、および練習問題
13	復習・復習試験	Unit13～14の復習および試験
14	Unit 10 Battles on Board Games	各自のレポートにもとづくグループワーク 盤上の戦い—— チェス／将棋／チャ トランガ…

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習の基本的な進め方は次のとおり。

教科書本文の当該範囲（前半／後半）を、音声（無料でダウンロードできる）を聞きながら一通り読み、不明箇所印をつける。それらの箇所をできるかぎり辞書等で調べる。「後半」の回については、章末の練習問題を解いておく。予習の過程で、音読練習も行うことが望ましい。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Christopher Belton/小田島恒志, TRANSCULTURE: Transcending Time, Region and Ethnicity, Kinseido, 2017. [『多元文化論エッセイ——響き合う文化たち』金星堂]

【参考書】

大学～一般向けの英和および英英辞書、各1点以上（電子辞書または本）。

毎回の授業にも持参のこと。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内課題、レポート）20%、復習試験（2回）80%の成績の総合評価。

4回以上欠席の場合、単位を与えない。

遅刻や授業態度の不良については、頻度や程度に応じて、総合点から減点する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

・ペア／グループワークを活用して、受講者が互いに教え合う環境、発言や質問のしやすい環境を作る。

【学生が準備すべき機器他】

必要に応じてZoomを使用したリアルタイムオンライン授業を行う可能性がある。その際、受講環境によってはヘッドセットが必要となる。

【その他の重要事項】

- ・情報の周知、課題の出題などに学習支援システムを使用する。
- ・対面授業を基本とするが、必要に応じてリアルタイムオンライン授業を行う可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【Outline (in English)】

Course outline: English 1 focuses on developing reading, listening, and summarizing skills. Using a textbook that discusses the cultural side of globalization, students will learn how to grasp the meaning and content of logical writings. They will also attain knowledge necessary for their university studies.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to acquire the skills mentioned above, mainly through practicing phrase reading, paragraph reading, summarizing and commenting on the reading passage of each unit.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to prepare for each class meeting by reading the passage and

working on the accompanying exercises. ※ Students are expected to spend at least 60 minutes per week before and/or after each class.

Grading Policies: Grading will be decided based on reflection papers and short reports (20%), and the mid-term and term-end exams(80%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

豊口 真衣子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ブレグジットという言葉聞いたことがあるだろう。イギリスのEU離脱はヨーロッパで大きな問題となっている。そこで、このクラスでは、イギリスに関するテキストを使って、イギリス文化への理解を深めつつ、リーディングとリスニングのスキルの向上を目的とする。

テキストのテーマは政治、文化、芸術など多様であり、テキストを通じてイギリスという、ヨーロッパで重要な国を理解することが可能となっている。

【到達目標】

- ・学生が複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に理解できるようになる。
- ・学生が構文・論旨を正確に把握し、必要な知識や情報を把握できるようになる。
- ・学生が得られた情報を多面的・客観的に分析し、批判的思考力を身に付けられるようになる。
- ・学生がアメリカ英語だけでなく、イギリス英語の発音も聞き取れるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・春学期の授業は対面7回、オンライン7回とします。
- ・オンライン授業は、基本的にリアルタイム配信型でZoomで実施しますが、オンデマンド型の回もありえます。
- ・授業各回の連絡は、学習支援システムで、その都度提示します。
- ・テキストの読解および問題演習。授業中に学生全員に指名するので、必ず音声聞き、予習しておくこと。
- ・わからない単語は辞書をひいて5回ずつ練習して下さい。
- ・音声教材を用いて、テキストの聞き取りを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業説明
2	Chapter 1 The United Kingdom?	英国人の国籍は？ (前半)
3	Chapter 1	(後半)
4	Chapter 2 Multicultural Britain	多民族社会の現状 (前半)
5	Chapter 2	(後半)
6	Chapter 3 The UK and the EU	EU離脱とUKの未来 (前半)
7	Chapter 3	(後半)
8	Chapter 4 Tea	なんととっても「ティー」 (前半)
9	Chapter 4	(後半)
10	Chapter 5 Social class	階級社会の実情 (前半)
11	Chapter 5	(後半)

12	Chapter 6 Schools and education	学校教育の仕組み (前半)
13	Chapter 6	(後半)
14	学期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを事前に読み、問題を解いてくる。わからない単語は辞書で調べ、ノートもしくはルーズリーフに5回ずつ練習する。テキスト本文の音声は教科書のHPから無料でダウンロードできるので、事前に聞いてくる。

<http://www.otowatsurumi.com/3838/>

リスニング問題の音声は学習支援システムからダウンロードしてください。

本授業の準備学習・復習時間は、1回につき1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Tim Knight 著『Welcome to Britain, Revised Edition 英国のくいま』を知りたい（改定新版）音羽書房鶴見書店、2018年、1800円＋税

【参考書】

辞書は『リーダーズ英和辞典』（研究社）が入っている電子辞書をお勧めします（紙媒体でも可）。授業にも必ず持参のこと。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（授業参加度、授業態度等）30％＋学期末試験70％＝100％
- ・各学期の欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
- ・1回の欠席につき、平常点から10点の減点とする。1回の遅刻及び早退は3点の減点とし、30分以上遅刻もしくは早退した場合は、いかなる場合も欠席扱いとする。
- ・授業態度が悪い（居眠り、私語など）場合は減点対象とする。
- ・翻訳ソフトの使用は不正とし、発覚次第不可とする。

【学生の意見等からの気づき】

イギリスの文化について、授業の最初に補足説明を行い、英文読解への理解を深める。時間があれば英会話が適宜行う。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業時は、パソコンが必要となります。大学でオンライン授業を受ける際は、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

テキストは必ず大学の三省堂書店を通して購入してください。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

You have probably heard of the word, "Brexit." The British decision to leave the EU was a very important factor in the world. This course introduces the British culture to students by reading a textbook on Britain.

(Learning Objectives)

The goal of this course is to improve the reading and listening skills as well as understanding the British culture. The topics of the textbook vary from politics, culture to art. Therefore, students will be able to understand the background of Britain. (Learning activities outside of classroom)

Students are expected to read the textbook beforehand. Your study time will be about one hour for a class.

(Grading Criteria/Policies)

Grading will be decided based on in-class contribution (30%) and term-end examination (70%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

豊口 真衣子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ブレグジットという言葉を知ったことがあるだろう。イギリスのEU離脱はヨーロッパで大きな問題となっている。そこで、このクラスでは、イギリスに関するテキストを使って、イギリス文化への理解を深めつつ、リーディングとリスニングのスキルの向上を目的とする。

テキストのテーマは政治、文化、芸術など多様であり、テキストを通じてイギリスという、ヨーロッパで重要な国を理解することが可能となっている。

【到達目標】

- ・学生が複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に理解できるようになる。
- ・学生が構文・論旨を正確に把握し、必要な知識や情報を把握できるようになる。
- ・学生が得られた情報を多面的・客観的に分析し、批判的思考力を身に付けられるようになる。
- ・学生がアメリカ英語だけでなく、イギリス英語の発音も聞き取れるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・秋学期の授業は対面7回、オンライン7回とします。
- ・オンライン授業は、基本的にリアルタイム配信型でZoomで実施しますが、オンデマンド型の回もあります。
- ・授業各回の連絡は、学習支援システムで、その都度提示します。
- ・テキストの読解および問題演習。授業中に学生全員に指名するので、必ず予習しておくこと。
- ・わからない単語は辞書をひいて5回ずつ練習して下さい。
- ・音声教材を用いて、テキストの聞き取りを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 7 University students and higher education	大学と高等教育 (前半)
2	Chapter 7	(後半)
3	Chapter 8 Women in society	活躍する英国女性 (前半)
4	Chapter 8	(後半)
5	Chapter 10 Politics and government	英国政治のいま (前半)
6	Chapter 10	(後半)
7	Chapter 11 Food	英国の食文化 (前半)
8	Chapter 11	(後半)
9	Chapter 12 Music and fashion	音楽とファッションの密な関係 (前半)
10	Chapter 13 Fantasy and castles	ファンタジーの系譜 (前半)
11	Chapter 13	(後半)

12	Chapter 16 Homes, gardens and the countryside	「home」と「garden」 (前半)
13	学期末試験	試験、まとめと解説
14	Chapter 16	(後半)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを事前に読み、問題を解いてくる。わからない単語は辞書で調べ、ノートもしくはルーズリーフに5回ずつ練習する。テキスト本文の音声は教科書のHPから無料でダウンロードできるので、事前に聞いてくる。

<http://www.otowatsurumi.com/3838/>

リスニング問題の音声は学習支援システムからダウンロードしてください。

本授業の準備学習・復習時間は、1回につき1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Tim Knight 著『Welcome to Britain, Revised Edition 英国のいま』を知りたい（改定新版）音羽書房鶴見書店、2018年、1800円＋税

【参考書】

辞書は『リーダーズ英和辞典』（研究社）が入っている電子辞書をお薦めします（紙媒体でも可）。授業にも必ず持参のこと。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（授業参加度、授業態度等）30％＋学期末試験70％＝100％
- ・各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
- ・1回の欠席につき平常点から10点の減点とする。1回の遅刻及び早退は3点の減点とし、30分以上遅刻もしくは早退した場合は、いかなる場合も欠席扱いとする。
- ・授業態度が悪い（居眠り、私語など）場合は減点対象とする。
- ・翻訳ソフトの使用は不正とし、発覚次第、当該科目を不可とする。

【学生の意見等からの気づき】

イギリスの文化について、授業の最初に補足説明を行い、英文読解への理解を深める。英会話も適宜行う。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業時は、パソコンが必要となります。大学でオンライン授業を受ける際は、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

You have probably heard of the word, "Brexit." The British decision to leave the EU was a very important factor in the world. This course introduces the British culture to students by reading a textbook on Britain.

(Learning Objectives)

The goal of this course is to improve the reading and listening skills as well as understanding the British culture. The topics of the textbook vary from politics, culture to art. Therefore, students will be able to understand the background of Britain. (Learning activities outside of classroom)

Students are expected to read the textbook beforehand. Your study time will be about one hour for a class.

(Grading Criteria/Policies)

Grading will be decided based on in-class contribution (30%) and term-end examination (70%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

根本 怜奈

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「科学技術」・「健康」・「環境」・「人間の精神」・「宇宙」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力、文法力を高めることを目指す。
2. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
3. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。
4. 授業内での発表を通して、自分の意見を聞き手に伝えるプレゼンテーション能力の基礎を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。単語・熟語・文法・文章構造等を確認しながら、英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。語彙表現の小テストを実施するので、語彙の定着のために、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Unit が3つか4つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出および授業内で発表をする。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。授業内での発表については、授業内でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明
第2回	Unit 1	Digital Amnesia
第3回	Unit 2	Sleep Paralysis
第4回	Unit 3	Why Are Some People Better at Learning Languages?
第5回	Unit 1 ～ Unit 3 のまとめ	Unit 1 ～ Unit 3 の中のいずれかについて、ライティング
第6回	Unit 4	The McCollough Effect
第7回	Unit 5	The Healthiest Drink?
第8回	Unit 6	Health Advice for Fashion Lovers
第9回	Unit 7	Live to Be 120
第10回	Unit 4 ～ Unit 7 のまとめ	Unit 4 ～ Unit 7 の中のいずれかについて、ライティングと授業内発表
第11回	Unit 8	A New Antibiotic Found in the Soil
第12回	Unit 9	The World's Oldest Creature?
第13回	Unit 10	Lazy Ants
第14回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各Unit の英文について、必ず予習をすること。

語彙表現の復習小テストを実施するので、復習もしっかりすること。語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Science Finder (『科学の不思議』) (Jonathan Lynch 他著、成美堂、1,900円(税別))

配布プリントで授業を行うことがある。

英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験（50％）、授業態度・授業内に課した課題（ライティング課題の提出と発表を重視）や小テストと各回のコメントを含む平常点（50％）によって総合的に評価する。

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。遅刻2回は欠席1回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

英作文のクラス内発表を通して、クラスメイトの意見や発表の仕方を参考にしよう促す。英作文や小テストなどの課題において、テキスト内に出てきた語彙や表現の使用・応用を呼びかけることで予習・復習の時間をしっかりとるよう促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions
5. Learn basic skills of presentation.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

根本 怜奈

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「科学技術」・「健康」・「環境」・「人間の精神」・「宇宙」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。春学期よりも量を重視し、速読演習も取り入れる。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力、文法力を高めることを目指す。
2. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
3. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。
4. 授業内での発表を通して、自分の意見を聞き手に伝えるプレゼンテーション能力の基礎を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。単語・熟語・文法・文章構造等を確認しながら、英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。語彙表現の小テストを実施するので、語彙の定着のために、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Unit が3つか4つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出および授業内で発表をする。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。授業内での発表については、授業内でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	パラグラフ・リーディングと速読演習
第2回	Unit 11	(Almost) Vegetarian Bears
第3回	Unit 12	Animals and Earthquakes
第4回	Unit 13	LiquiGlide
第5回	Unit 11 ~ Unit 13 のまとめ	Unit 11 ~ Unit 13 の中のいずれかについて、ライティング
第6回	Unit 14	Unbreakable Glass
第7回	Unit 15	Robots Are Winning
第8回	Unit 16	Li-Fi
第9回	Unit 17	Enceladus
第10回	Unit 14 ~ Unit 17 のまとめ	Unit 14 ~ Unit 17 の中のいずれかについて、ライティングと授業内発表
第11回	Unit 18	The Ninth Planet
第12回	Unit 19	Dyson Sphere
第13回	Unit 20	When Will We See a Great Comet?
第14回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各Unit の英文について、必ず予習をすること。

語彙表現の復習小テストを実施するので、復習もしっかりすること。語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Science Finder (『科学の不思議』) (Jonathan Lynch 他著、成美堂、1,900円(税別))

配布プリントで授業を行うことがある。

英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 (50%)、授業態度・授業内に課した課題 (ライティング課題の提出と発表を重視) や小テストと各回のコメントを含む平常点 (50%) によって総合的に評価する。

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。遅刻2回は欠席1回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

英作文のクラス内発表を通して、クラスメイトの意見や発表の仕方を参考にしよう促す。英作文や小テストなどの課題において、テキスト内に出てきた語彙や表現の使用・応用を呼びかけることで予習・復習の時間をしっかりとるよう促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions
5. Learn basic skills of presentation
6. Improve rapid reading skill.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

余田 亜希

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

イギリスについて書かれたテキストを使用して、精読と速読の練習をします。読解の際には辞典を活用し、語彙力の強化を図ります。併せてイギリスの社会や文化に関する知識を増やしていきます。

【到達目標】

必要に応じて精読と速読の技術を使い分けられるようにします。精読が必要な場面では英文の構造を理解して正確な日本語訳ができるようにします。速読が必要な場合には文章全体のパラグラフ構成に着目して大意を把握できるようにします。また、時事英語の読解や聴解に必要な知識を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習していることを前提として進めます。まずその日の主題の背景となっている社会的、文化的な基礎知識を確認し、文章全体のパラグラフ構成に注意しながら概要を確認します。必要に応じてパラフレーズの練習も行います。次に、本文の中から事前に指定した箇所の日本語訳を行い、併せて演習問題の解説をします。そのあと時間に余裕のあるときは、こちらで用意した資料を使用してリスニングやディスカッションの練習をします。提出された課題へのフィードバックは学習支援システム等を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方や成績評価についての説明
2	Chapter 1 Class (1)	本文読解 リスニング 演習問題
3	Chapter 1 Class (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
4	Chapter 2 Education (1)	本文読解 リスニング 演習問題
5	Chapter 2 Education (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
6	新聞または雑誌記事 の講読 (1)	最新のイギリス事情について書かれた記事のリスニングと読解
7	Chapter 3 Gender (1)	本文読解 リスニング 演習問題
8	Chapter 3 Gender (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
9	Chapter 4 Health &Age (1)	本文読解 リスニング 演習問題

10	Chapter 4 Health &Age (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
11	Chapter 5 Crime & Punishment (1)	本文読解 リスニング 演習問題
12	Chapter 5 Crime & Punishment (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
13	新聞または雑誌記事 の講読 (2)	最新のイギリス事情について書かれた記事の読解とディスカッション
14	期末試験	授業で学んだことに関する筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

必ず事前に教科書を読み、わからない単語は辞書で調べてから出席してください。予習をしていないことが発覚した場合は、平常点の大幅減点の対象となったり、場合によっては欠席扱いとなることもありますので注意してください。

【テキスト（教科書）】

『Life and Society in Modern Britain [Revised Edition] 現代イギリスの暮らしと文化（改訂版）』（英宝社）

【参考書】

授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な取り組み（予習や質疑応答の内容など）40%

期末試験 60%

欠席回数が4回となった時点で単位取得の資格がなくなります。

30分以内の遅刻・早退は3回で欠席1回として扱います。

30分以上の遅刻・早退は欠席と見なします。

予習をしていないことが発覚した場合は欠席扱いまたは大幅減点の対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

パワーポイントの文字をできるだけ大きくするようにします。

【その他の重要事項】

授業時間外の学習でスマートフォンやタブレットを使用することについては否定しませんが、授業時間中は電子辞書専用機か紙の辞書以外は使用できません。

授業中はスマートフォンやタブレットなどの通信機器はかばんの中にしまってください。

【Outline (in English)】

This course will focus on reading articles and essays on United Kingdom to help students improve their vocabulary and comprehension of what is written in English. Students will also be required to learn how to use dictionaries and reference books as well as acquire knowledge about current and historic topics of the UK.

The goals of this course are to use the skills of quick or close reading appropriately. Students will be expected to make an accurate translation of English text into Japanese and give an outline of the text paying close attention to the relation between paragraphs. Students should also learn general information about British society that would be necessary when trying to understand current issues through TV or newspapers.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part of the text with consulting dictionary. Your required study time is at least one hour for each class meeting. If you fail to make preparation for the class, you will lose many points or will be considered as absent.

Grading will be decided based on term-end examination (60 %) and in class contribution (40%). As a rule, anyone who are absent more than three times will lose a credit. Students who come 30 minutes or more late will be considered absent. You will be considered absent one time if you come late three times.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

余田 亜希

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、イギリスについて書かれたテキストを使用して、精読と速読の練習をします。読解の際には辞典を活用し、語彙力の強化を図ります。併せてイギリスの社会や文化に関する知識を増やしていきます。

【到達目標】

必要に応じて精読と速読の技術を使い分けられるようにします。精読が必要な場面では英文の構造を理解して正確な日本語訳ができるようにします。速読が必要な場合には文章全体のパラグラフ構成に着目して大意を把握できるようにします。また、時事英語の読解や聴解に必要な知識を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習していることを前提として進めます。まずその日の主題の背景となっている社会的、文化的な基礎知識を確認し、文章全体のパラグラフ構成に注意しながら概要を確認します。必要に応じてパラフレーズの練習も行います。次に、本文の中から事前に指定した箇所の日本語訳を行い、併せて演習問題の解説をします。そのあと時間に余裕のあるときは、こちらで用意した資料を使用してリスニングやディスカッションの練習をします。提出された課題へのフィードバックは学習支援システム等を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方や成績評価についての説明
2	Chapter 8 Religion (1)	本文読解 リスニング 演習問題
3	Chapter 8 Religion (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
4	Chapter 11 The Environment (1)	本文読解 リスニング 演習問題
5	Chapter 11 The Environment (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
6	新聞または雑誌記事の講読 (1)	最新のイギリス事情について書かれた記事のリスニングと読解
7	Chapter 12 Immigration & Race (1)	本文読解 リスニング 演習問題
8	Chapter 12 Immigration & Race (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
9	Chapter 13 Scotland (1)	本文読解 リスニング 演習問題

10	Chapter 13 Scotland (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
11	Chapter 14 Ireland (1)	本文読解 リスニング 演習問題
12	Chapter 14 Ireland (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
13	新聞または雑誌記事の講読 (2)	最新のイギリス事情について書かれた記事の読解とディスカッション
14	期末試験	授業で学んだことに関する筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

必ず事前に教科書を読み、わからない単語は辞書で調べてから出席してください。予習をしていないことが発覚した場合は、平常点の大幅減点の対象となったり、場合によっては欠席扱いとなることもありますので注意してください。

【テキスト（教科書）】

『Life and Society in Modern Britain [Revised Edition] 現代イギリスの暮らしと文化（改訂版）』（英宝社）

【参考書】

授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な取り組み（予習や質疑応答の内容など）40%

期末試験 60%

欠席回数が4回となった時点で単位取得の資格がなくなります。

30分以内の遅刻・早退は3回で欠席1回として扱います。

30分以上の遅刻・早退は欠席と見なします。

予習をしていないことが発覚した場合は欠席扱いまたは大幅減点の対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

パワーポイントの文字をできるだけ大きくするようにします。

【その他の重要事項】

授業時間外の学習でスマートフォンやタブレットを使用することについては否定しませんが、授業時間中は電子辞書専用機か紙の辞書以外は使用できません。

授業中はスマートフォンやタブレットなどの通信機器はかばんの中にしまってください。

【Outline (in English)】

This course will focus on reading articles and essays on United Kingdom to help students improve their vocabulary and comprehension of what is written in English. Students will also be required to learn how to use dictionaries and reference books as well as acquire knowledge about current and historic topics of the UK.

The goals of this course are to use the skills of quick or close reading appropriately. Students will be expected to make an accurate translation of English text into Japanese and give an outline of the text paying close attention to the relation between paragraphs. Students should also learn general information about British society that would be necessary when trying to understand current issues through TV or newspapers.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part of the text with consulting dictionary. Your required study time is at least one hour for each class meeting. If you fail to make preparation for the class, you will lose many points or will be considered as absent.

Grading will be decided based on term-end examination (60 %) and in class contribution (40%). As a rule, anyone who are absent more than three times will lose a credit. Students who come 30 minutes or more late will be considered absent. You will be considered absent one time if you come late three times.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

深澤 清

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

これまでに学習したことを基礎として、総合的な英語力を養うことを目的とする。特に英語の4技能の一つであるリーディング(文章理解、基礎的な文法の理解、語彙の増強)のスキルを強化し、英文の読解力向上のための基盤づくりができるようにする。また、英語のリスニング、スピーキングの力も強化する。英語でコミュニケーションをすることの楽しさを実感し、日常的な場面で自分が伝えたいことを表現し、又相手が伝えたいことを理解できるようにする。コミュニケーション活動を通して、他者との相互理解を深める機会を得る。さらに学習を通して海外事情を知り、世界の中の日本、そして日本の中の世界を知る。様々なテーマを含む英文資料を理解し、クリティカルな分析能力を養う。

【到達目標】

テキストの予習・復習を通して文法、イディオム、フレーズを理解し使えることができる。英語語彙力を身につける。短いフレーズは何度もドリル練習をして暗記する。英語ジャーナルを書いて発表する。テキスト、プリント等の記述内容を理解し、それに対する自分の意見を他者に伝えることができる。他者の発言を尊重しつつ、自分の意見との妥協点を見出すことができる。英語で自分の意見を述べるができる。コミュニケーションスキルを培い、自信を持って話せることができる。リスニング、リーディング、ライティングの課題に取り組む。ペアワーク、グループワークに参加し、課題やプロジェクトを完成させることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面による講義形態で行い、基本的に教科書に沿って授業を進めます。授業では教科書の内容について解説し、提出されたリアクションペーパー、演習問題の回答についてフィードバックします。さらに、積極的にHoppii等の授業支援システムを活用し、補足説明や演習問題、課題等に対する解説、正答のフィードバックを行います。教科書の内容について、ペアワーク、グループワークにより意見交換をします。授業時間以外でもHoppiiに出された課題に取り組み、継続的に学習します。英語によるプレゼンテーションを行い、パワーポイント等の視覚ツールを用いながら、自分の意見を他者に伝える機会を持ちます。尚、プレゼンテーション実施の際は、視覚資料等の円滑な運用のため、ZOOM等のツールを用いる場合があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Unit 1	Orientation	Planning for summer holiday
	Summer Holiday Plans.	plan. Anticipation is an important source of
	Introduction to Life	happiness.
	Topics changing views. The Joy of Anticipation	

Unit 2	Online Booking. How Long does it Take to Make a Friend?	How to book a ticket. People are naturally social and want to bond with one another.
Unit 3	In an airplane. How to Form Good Habits	Conversation in an airplane. We all have behaviors that we want to replace with good habits, but most of us have no idea how good habits are formed.
Unit 4	Exchanging Money. How to Become More Productive	Money Exchange. We all want to become more efficient at our jobs and at getting more done, but often we simply do not know how to do it.
Unit 5	At the Accommodation. Introverts and Extroverts	Where do you stay? Examples of introvert and extrovert character traits and behaviors
Unit 6	Smartphones and PCs. Social Media and Loneliness	SIM Free world. Is using social media good or bad for us? Why do you think so?
Unit 7	Using Uber. Five Healthy Habits	How to catch a taxi. What are five good habits that will keep you healthier and extend your life?
Unit 8	Public Transport. Are Humans Outdated Machines? Part I	Taking a train in UK. It has been said that humans are outdated machines. Do you agree or disagree?
Unit 9	A study tour. Are humans Outdated Machines? Part II	Go somewhere to do research. When we feel threatened or afraid, how can we control our stress? Explain.
Unit 10	Music Festival. The Happiness Set Point	Enjoy music. Can we boost our level of happiness? How much control do we have over our happiness? Express it in a percentage.
Unit 11	Ordering Food. The Hedonic Treadmill, Part I	Ordering Food. Does having a lot of nice, expensive possessions make you happy? Explain.
Unit 12	Shopping. The Hedonic Treadmill, Part II	Shopping. How can we control ourselves so that we don't get stuck on the hedonic treadmill?
Unit 13	Amusement. The Relationship between Cats and People	Enjoy sports. How and when did cats become humans' pets and begin to share our lives?
Unit 14	Emails. The power of Forgiveness, Part I &Part II	Emails. Is there someone you need to forgive? How important is it for you to do so? And How can you forgive another person?

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業において指示された文献等を読む。テキストにある演習問題の予習・復習をする。授業内で示される課題（レポート、演習問題）に取り組む。準備学習・復習・宿題等は積極的にHoppii等の学習支援システムを活用する。尚、本授業の準備学習・復習時間は1回につき4時間以上とする。

【テキスト（教科書）】

Textbook: Travel English in Action 著者名: Burden Tyler
Publisher: 南雲堂, ISBN: 978-4-523-17942-9-C0082

【参考書】

英和辞典(電子辞書・本型の辞書)など、英単語の意味を知る機能のあるものを必要に応じて持参すること。

【成績評価の方法と基準】

Grading Criteria

70 % 平常点: 英語によるプレゼンテーションの評価

20 % 課題評価: Forms、Hoppii 等の課題についての評価

10 % レポート評価: エッセー(英文)の内容

尚、各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

特にありませんが、今後も優れた授業ができるよう研究を重ねていきます。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム Hoppii の課題等を行うための情報機器(パソコン等)が必要です。

【その他の重要事項】

学生による英語の「プレゼンテーション」は、円滑な運営のために Zoom によるオンラインで行うことがある。その場合には事前に学生に連絡する。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to develop English oral and aural communication skills in a wide variety of real-world situations and emphasizing natural speech and vocabulary development.

Learning objectives: Students will read passages of multiple paragraphs to discuss and talk on general topics and grasp the writer's intention and feeling. This course also helps students foster critical thinking skills to make an objective and multifaceted analysis of the given information.

Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text and complete the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least four hours for a class.

Grading Criteria/policy: Your overall grade in the class will be decided based on the following: In class contribution (presentation in English) 70%: Evaluation of Hoppii's assignment 20%: Short reports: 10%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

深澤 清

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語の構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報をつかみ取ること、また書き手の感情や意図をつかむことに重点を置く。得られた情報を鵜呑みにするのではなく、多面的・客観的観点から分析する、いわゆる批判的思考力の養成も行う。また、英語を使って人前で情報を伝えたり、自分の考えを説明したりする、いわゆる「プレゼンテーション能力」(Presentation Skills in English)の向上を目指す。さらに、英語リスニングのスキルを身につける。

【到達目標】

日常生活や現代社会の様々なトピックに関して自分なりの意見をまとめ、それを口頭や文章で効果的に表現する力を養うことができる。必要な知識・情報を掴み取る力を養うことができる。英語で書かれたトピックの内容を理解し、その内容を他者に伝えることができる。他者の発言を尊重しつつ、自分の意見との妥協点を見出すことができる。プレゼンテーションのための基礎的な知識を身につける。英語のリスニング・スキルアップを図ることができる。英語語彙力をアップさせることができる。テキストの予習・復習を通して文法、イディオム、短いフレーズを理解することができる。英語の短いフレーズは何度もドリル練習をして暗記することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は原則として対面による講義形態で行い、担当教員作成のオリジナルテキストに沿って授業を進めます。授業ではテキストの内容について解説し、演習問題の正答などのフィードバックは授業支援システムのHoppiiを積極的に活用します。テキストの内容については、ペアワーク、グループワークにより意見交換をします。事前に配布するプリント、Hoppiiに出された課題に取り組み、授業時間以外でも受講生は継続的に学習します。学生は英語によるプレゼンテーションを行い、自分の意見を他者に伝える機会を持ちます。さらにHoppiiシステムを活用して、TOEIC(R)、TOEFL、英検等の資格試験対策も早期に取り組みます。正答のフィードバックについても、Hoppiiの情報システムを使います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Unit 1	Conclusions/ Reasons Should mothers stay at home until their children go to school?	Brainstorming &Organizing
Unit 2	Social Trend/ Analysis Why are coffee shops so popular in Japan?	Informative Presentations: Place「場所」
Unit 3	Theory/Proof Your eyebrows express more than your eyes.	Informative Presentations: Topical pattern「理論・実験結果」

Unit 4	Controversy What are the merits and demerits of the lifetime employment system?	Informative Presentations: Advantages &Disadvantages 「長所・短所型」
Unit 5	Comparison/ Contrast Compare city life and country life	Persuasive Presentation: Comparative-Advantage Method「比較優位法」
Unit 6	Classification Developed, rapidly developing, and still underdeveloped countries.	Informative Presentations: Classification pattern「分類型」
Unit 7	Instructions How to stay fit.	Talk about Topical pattern
Unit 8	Chronological Order Write your CV, then re-write it as a paragraph	Informative Presentations: Time「時間」
Unit 9	Cause &Effect What effects have computers had on society?	Persuasive Presentations: Questions of Fact「事実型」
Unit 10	Process How to proceed with conversation	Persuasive Presentations: Problem -Solution Method「問題解決法」
Unit 11	Explanation Exercise and Physical Fitness	Persuasive Presentations: Problem-Cause-Solution Method「問題・原因・解決法」
Unit 12	Definition How to explain the meaning of the new words.	Persuasive Presentations: Talk about Topical pattern
Unit 13	Explanation Statistics	Informative Presentations: Concepts「概念型」
Unit 14	Presentation Practice	Students give presentations.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指示された文献等を事前に読む。テキストにある演習問題の予習・復習をする。授業内で示される課題（レポート、演習問題）に取り組む。準備学習・復習・宿題等は積極的にHoppiiの学習システムを活用する。尚、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて4時間以上とします。

【テキスト（教科書）】

担当教員作成のオリジナルテキストを使用します。印刷物を授業中に配布します。

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

Grading Criteria

70% 平常点: 英語によるプレゼンテーション等、
20% 小テスト: Forms、Hoppiiに出された課題の評価
10% レポート: エッセー(英文)、レポート課題等の内容評価
尚、各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない

【学生の意見等からの気づき】

特にありませんが、今後もより実りある授業にしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムHoppiiの課題を行うための情報機器(パソコン等)が必要です。

【その他の重要事項】

学生による「英語プレゼンテーション」の発表等は、円滑な運営のためにZoomによるオンラインで行うことがある。その場合には事前に学生に連絡する。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students acquire communicative ability and confidence in speaking English. It also enhances the development of students' skills in presentation skills.

Learning objectives: By the end of the course, students should be able to learn and do the followings; 1. Informative Presentations, 2. Persuasive Presentations, 3. Presentation Practice.

Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text and complete the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least four hours for a class.

Grading Criteria/policy: Your overall grade in the class will be decided based on the following: In class contribution (presentation in English) 70%; Evaluation of Hoppii's assignment 20%; Short reports: 10%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

永井 大輔

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

海外の出来事が国内の政治やビジネス、日常生活に影響することもあるなかで、成功するため（あるいは失敗しないため）には、皆さんは国内外のニュースに常日頃から注意を向けなければなりません。重要なニュースがすべて日本語になっているわけではないため、皆さんは世界各国のメディアが配信している英語のニュースから情報を得ることが必要になるでしょう。この授業で皆さんは、みずからの今後を左右する情報の世界への鍵を手に入れるため、ニュースメディアの英語に触れて熟達することを目指します。

【到達目標】

長文の英語を正確に読み取る力を身につけます。なるべく辞書に頼らないで新聞・雑誌を読む力を養うことが目標です。この授業で皆さんは、
・ニュースメディア独特の英語の使い方があることを知り、それに文体・語彙・熟語の面で対応できるようにする
・高校までの文法のおさらいをしつつ、文章の内容・情報を正確に読み取れるようにする
・発音に対してこれまで以上に意識をし、音声でのニュースメディアの英語にも対応できるよう準備する
・未知の、あるいはやや複雑な時事問題について自主的に調べる習慣をつけ、見識を広める
ことを目指して下さい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

国内外の有名な新聞の記事で構成された教科書を使用します。ニュースの内容は社会・文化・政治経済から環境・娯楽・スポーツまで多岐にわたります。

授業中は、朗読の発音に気をつけつつ、アトランダムに指名しながら記事の内容を確認していきます。予習を怠って指名されてから初めて文章に目を通すような行為は、授業を共にしているクラス全体に迷惑がかかりますので、絶対にやめて下さい。

語彙やフレーズ、内容の把握具合、そして音声でのニュース理解を確認する小テストも実施する予定です。

記事内容の要点・感想ほか課題類の提出は「学習支援システム」を通じて行う予定です。提出物の一部は次の授業回でのフィードバックで取り上げます。

当然のことですが、聞かなくてもよい授業は一回もありません。各文の読解のポイントは聞き逃さず、メモをとりましょう。毎回の出席が原則です。欠席や遅刻の回数には限度を設けます。たとえ限度内であったとしても、欠席した分の遅れを皆さん自身が取り戻す努力をしなければ、単位取得はおぼつかなくなるでしょう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	このシラバスに書かれた内容の説明だけでなく、学期中・授業中の注意点や、次回以降の授業に必要な課題についても言及しますので、必ず出席して下さい。出席数にもカウントされます。
2	新聞英語の特徴	プリントをもとに解説・練習
3	Unit 3 (1)	台湾 高齢者とフェイクニュース対策 小テスト (前回の続き)
4	Unit 3 (2)	In Taiwan, a group is battling fake news one conversation at a time— with a focus on seniors
5	Unit 5 (1)	違法電動自転車と偽名：地下経済で生きる難民 小テスト
6	Unit 5 (2)	(前回の続き) Illegal Mopeds and Fake Names: Migrants Scrape By in Underground Economy
7	Unit 8 (1)	ナイジェリアでの自動大量誘拐事件、残された親たちは… 小テスト
8	Unit 8 (2)	(前回の続き) Mass kidnappings of Nigerian students leave parents in shock and despair
9	Unit 10 (1)	国連事務総長、EUにガザとウクライナを巡る「二重基準」を避けるよう要請 小テスト
10	Unit 10 (2)	(前回の続き) U.N. chief urges the EU to avoid 'double standards' over Gaza and Ukraine
11	Unit 11 (1)	ロシアの拒否権発動で、北朝鮮への核兵器制裁を監視できず 小テスト
12	Unit 11 (2)	(前回の続き) 金総書記 プーチン大統領からの贈り物にご満悦
13	予備日 アクティビティ	教科書の未消化分を扱う。 英文エッセイの構造パターンについて説明し、実際の英文を読解してみる。
14	試験・まとめと解説	Unit 12のフィードバック 筆記試験は、単位取得資格がある人は必ず受けて下さい。授業内試験なので、通常の授業と同じ時間・同じ教室で実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。
予習:教科書指定範囲を熟読し、内容を理解する。未知の事項について事前に調べる。予習中に必要と思った知識を英語学習用ノートに記す。
復習:授業中に得た知識のなかから、必要なものを英語学習用ノートに記す。

【テキスト（教科書）】

高橋優身・伊藤典子・Richard Powell 編『English through the News Media, 2025 edition（ニュースメディアの英語—演習と解説2025年度版）』、朝日出版社、2025年。1980円（税込）。ISBN: 978-4-255-15728-3

【参考書】

できるだけ新しい版の英和もしくは英英学習辞典が必須となる。教室での対面授業時に使用できるのは、紙媒体もしくは専用装置型の電子辞書のみとする。初回授業時に確認する。

新聞英語の特徴に関するプリント（教員が配布する）
英文エッセイの構造パターンに関するプリント（教員が配布する）

【成績評価の方法と基準】

第14回授業回に実施する筆記試験：60%-- 筆記試験では、授業で扱った全ての内容の中から、「授業の到達目標」で掲げた項目についてチェックする。

各Unitで実施する小テスト：15%-- 各UnitのWords & Phrases
およびSummaryからの出題

授業への取り組み：25%-- 単語の意味用法の確認・教科書の読解・背景知識の確認・これまでの授業内容に関する質問に対する、授業中の受け答えはすべて評価対象になる。

欠席および遅刻について

学期中に4回欠席した受講生は単位取得資格を失います。遅刻は累積3回で欠席1回と同等の扱いとします。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられます。30分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとします。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

テーマごとの背景事情の説明にもっと時間を割きます。

【学生が準備すべき機器他】

Unitごとの記事内容の要点・感想ほか課題類の提出に学習支援システムを利用します。

【Outline (in English)】

Course outline:

As events in other countries can have a significant impact on our domestic politics, business, or daily lives (and vice versa), we all have to pay attention to both worldwide and domestic news media every day.

Since not all news items are translated to Japanese, students will be required to obtain information from English news media around the world.

In this course, students will learn how to read and listen to English for mass communication.

Learning Objectives:

Students are expected to master some expressions peculiar to the English news media; understand the contents and main messages of the news articles they read; comprehend the contents of news clips they listen to; acquire a habit of reading up on subjects they are not familiar with.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to review and prepare for each lesson, which will require more than one hour. In their preparation, they should try to find out and learn English expressions peculiar to the news media; gain accurate information from the texts; listen to the streaming audio contents; independently read up on the unfamiliar subjects in the texts.

Grading Criteria/Policy:

Term-end examination: 60%, quiz for each Unit: 15%, class contribution: 25%. Students with four absences are disqualified. Being late for three times will be counted as one absence.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

永井 大輔

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

海外の出来事が国内の政治やビジネス、日常生活に影響することもあるなかで、成功するため（あるいは失敗しないため）には、皆さんは国内外のニュースに常日頃から注意を向けなければなりません。重要なニュースがすべて日本語になっているわけではないため、皆さんは世界各国のメディアが配信している英語のニュースから情報を得ることが必要になるでしょう。この授業で皆さんは、みずからの今後を左右する情報の世界への鍵を手に入れるため、ニュースメディアの英語に触れて熟達することを目指します。

【到達目標】

長文の英語を正確に読み取る力を身につけます。なるべく辞書に頼らないで新聞・雑誌を読む力を養うことが目標です。この授業で皆さんは、
・ニュースメディア独特の英語の使い方があることを知り、それに文体・語彙・熟語の面で対応できるようにする
・高校までの文法のおさらいをしつつ、文章の内容・情報を正確に読み取れるようにする
・発音に対してこれまで以上に意識をし、音声でのニュースメディアの英語にも対応できるよう準備する
・未知の、あるいはやや複雑な時事問題について自主的に調べる習慣をつけ、見識を広める
ことを目指して下さい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

国内外の有名な新聞の記事で構成された教科書を使用します。ニュースの内容は社会・文化・政治経済から環境・娯楽・スポーツまで多岐にわたります。

授業中は、朗読の発音に気をつけつつ、アトランダムに指名しながら記事の内容を確認していきます。予習を怠って指名されてから初めて文章に目を通すような行為は、授業を共にしているクラス全体に迷惑がかかりますので、絶対にやめて下さい。

語彙やフレーズ、内容の把握具合、そして音声でのニュース理解を確認する小テストも実施する予定です。

記事内容の要点・感想ほか課題類の提出は「学習支援システム」を通じて行う予定です。提出物の一部は次の授業回でのフィードバックで取り上げます。

当然のことですが、聞かなくてもよい授業は一回もありません。各文の読解のポイントは聞き逃さず、メモをとりましょう。毎回の出席が原則です。欠席や遅刻の回数には限度を設けます。たとえ限度内であったとしても、欠席した分の遅れを皆さん自身が取り戻す努力をしなければ、単位取得はおぼつかなくなるでしょう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	秋学期イントロダクション	シラバス内容の説明 前学期筆記試験の講評 英語学習において確保すべき環境や実践すべき習慣について説明を再度行なう。
2	Unit 12 (1)	モスクワでの攻撃で容疑者は一握りだが、100万人のタジキスタン人に嫌疑 小テスト
3	Unit 12 (2)	（前回の続き） In Moscow Attack, a Handful of Suspects but a Million Tajiks Under Suspicion
4	Unit 16 (1)	チリのおばあちゃん(81)オンライン対戦ゲームにハマり、有名な人 小テスト
5	Unit 16 (2)	（前回の続き） Chile Granny Finds Solace, Celebrity in Online Gaming
6	Unit 18 (1)	パンデミック後中国の若者の間に海外留学熱が再び高まるが、米国は不人気 小テスト
7	Unit 18 (2)	（前回の続き） After pandemic, young Chinese again want to study abroad, just not so much in US
8	Unit 20 (1)	富士通 英国郵政公社のスキャンダルで謝罪 小テスト
9	Unit 20 (2)	（前回の続き） Fujitsu apologizes to hundreds affected by U.K. Post Office scandal
10	Unit 21 (1)	ケニア中部のサイ 絶滅から帰還 小テスト
11	Unit 21 (2)	（前回の続き） Rhinos are returned to a plateau in central Kenya, decades after poachers wiped them out
12	Unit 22 (1)	16年前に王位を追放されたネパール国王 今復位されそう 小テスト
13	Unit 22 (2)	Protests drove Nepal's king off the throne 16 years ago. Now protests are trying to bring him back
14	試験・まとめと解説	Unit 22のフィードバック 筆記試験は、単位取得資格がある人は必ず受けて下さい。授業内試験なので、通常の授業と同じ時間・同じ教室で実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。
予習:教科書指定範囲を熟読し、内容を理解する。未知の事項について事前に調べる。予習中に必要と思った知識を英語学習用ノートに記す。
復習:授業中に得た知識のなかから、必要なものを英語学習用ノートに記す。

【テキスト（教科書）】

高橋優身・伊藤典子・Richard Powell 編『English through the News Media, 2025 edition（ニュースメディアの英語—演習と解説2025年度版）』、朝日出版社、2025年。1980円（税込）。ISBN: 978-4-255-15728-3

【参考書】

できるだけ新しい版の英和もしくは英英学習辞典が必須となる。教室での対面授業時に使用できるのは、紙媒体もしくは専用装置型の電子辞書のみとする。初回授業時に確認する。

新聞英語の特徴に関するプリント（教員が配布する）

英文エッセイの構造パターンに関するプリント（教員が配布する）

【成績評価の方法と基準】

第14回授業回に実施する筆記試験：60%-- 筆記試験では、授業で扱った全ての内容の中から、「授業の到達目標」で掲げた項目についてチェックする。

各Unitで実施する小テスト：15%-- 各UnitのWords & PhrasesおよびSummaryからの出題

授業への取り組み：25%-- 単語の意味用法の確認・教科書の読解・背景知識の確認・これまでの授業内容に関する質問に対する、授業中の受け答えはすべて評価対象になる。

欠席および遅刻について

学期中に4回欠席した受講生は単位取得資格を失います。遅刻は累積3回で欠席1回と同等の扱いとします。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられます。30分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとします。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

テーマごとの背景事情の説明にもっと時間を割きます。

【学生が準備すべき機器他】

Unitごとの記事内容の要点・感想ほか課題類の提出に学習支援システムを利用します。

【Outline (in English)】

Course outline:

As events in other countries can have a significant impact on our domestic politics, business, or daily lives (and vice versa), we all have to pay attention to both worldwide and domestic news media every day.

Since not all news items are translated to Japanese, students will be required to obtain information from English news media around the world.

In this course, students will learn how to read and listen to English for mass communication.

Learning Objectives:

Students are expected to master some expressions peculiar to the English news media; understand the contents and main messages of the news articles they read; comprehend the contents of news clips they listen to; acquire a habit of reading up on subjects they are not familiar with.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to review and prepare for each lesson, which will require more than one hour. In their preparation, they should try to find out and learn English expressions peculiar to the news media; gain accurate information from the texts; listen to the streaming audio contents; independently read up on the unfamiliar subjects in the texts.

Grading Criteria/Policy:

Term-end examination: 60%, quiz for each Unit: 15%, class contribution: 25%. Students with four absences are disqualified. Being late for three times will be counted as one absence.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

吉田 季実子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキスト上での様々な題材を通して、文化理解を深めるとともに、英語の4技能を総合的に強化する。

【到達目標】

テキストの中で扱われている多種多様な題材を通して、口語表現を含んだ会話表現を含む、「読む、書く、聞く、話す、議論する」の各技能を高めることを目標とする。同時に、15の題材を通しての知識を向上させることも目標の一つである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに添って、語彙学習、読解、リスニング、会話、作文などの課題を行う。

1章に2～3回を当てる予定で、各章のまとめとして小テストを行う。課題のフィードバックに関しては授業内、あるいは次の週に充てる。なお、感染症拡大の状況を鑑みて、オンラインと対面授業とのハイブリッド方式とする可能性もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter1	語彙の予習と本文の精読
2	CXchapter1	Listening, Writing等の問題演習
3	Chapter1,2	Unit1小テスト、Unit2の語彙の予習と本文の精読
4	Chapter2	Listening, Writing等の問題演習
5	Chapter2,3	Unit2小テスト、Unit3の語彙の予習と本文の精読
6	Chapter3	Listening, Writing等の問題演習
7	Chapter3,4	Unit3小テスト、Unit4の語彙の予習と本文の精読
8	Chapter4	Listening, Writing等の問題演習
9	Chapter4,5	Unit4小テスト、Unit5の語彙の予習と本文の精読
10	Chapter5	Listening, Writing等の問題演習
11	Chapter5,6	Unit5小テスト、Unit6の語彙の予習と本文の精読
12	Chapter6	Listening, Writing等の問題演習
13	Chapter6,7	Unit6小テスト、Unit7の語彙の予習と本文の精読
14	Chapter7	Listening, Writing等の問題演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

事前に次回学習範囲の和訳、単語のチェック、問題演習などの予習を行う。

また授業内で示された次回課題に取り組むこと。

【テキスト（教科書）】

『タイムズとガーディアンでめぐる知の世界』

田中孝信、野田三貴、筒井香代子編著

音羽書房鶴見書店

2016年初版発行 2021年第7刷発行 2000円＋税

【参考書】

とくになし

【成績評価の方法と基準】

小テスト70%

平常点 15%

その他提出物 15%

とします

なお、4回以上欠席、あるいは課題不提出の場合

単位が認定されません

【学生の意見等からの気づき】

英語だけでなくテキストの中で扱われている題材について適宜解説をする予定です

【学生が準備すべき機器他】

辞書

オンライン学習時はリソースを視聴できるようなPC環境

（音声を用いたリスニングがあるため）

【Outline (in English)】

In this course, we will learn 4 skills through text. The interesting topics from Newspaper's articles will give you information about different culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

吉田 季実子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキスト上での様々な題材を通して、文化理解を深めるとともに、英語の4技能を総合的に強化する。

【到達目標】

テキストの中で扱われている多種多様な題材を通して、口語表現を含んだ会話表現を含む、「読む、書く、聞く、話す、議論する」の各技能を高めることを目標とする。同時に、15の題材を通しての知識を向上させることも目標の一つである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに添って、語彙学習、読解、リスニング、会話、作文などの課題を行う。

1章に2～3回を当てる予定で、各章のまとめとして小テストを行う。課題のフィードバックに関しては授業内、あるいは次の週に充てる。なお、感染症の拡大状況によってはオンライン授業との併用とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit7,8	Unit7小テスト、Unit8の語彙の予習と本文の精読
2	Unit8	Listening, Writing等の問題演習
3	Unit8,9	Unit8小テスト、Unit9の語彙の予習と本文の精読
4	Unit9	Listening, Writing等の問題演習
5	Unit9,10	Unit9小テスト、Unit10の語彙の予習と本文の精読
6	Unit10	Listening, Writing等の問題演習
7	Unit10,11	Unit10小テスト、Unit11の語彙の予習と本文の精読
8	Unit11	Listening, Writing等の問題演習
9	Unit11,12	Unit11小テスト、Unit12の語彙の予習と本文の精読
10	Unit12	Listening, Writing等の問題演習
11	Unit12,13	Unit12小テスト、Unit13の語彙の予習と本文の精読
12	Unit13	Listening, Writing等の問題演習
13	Unit13,14	Unit13小テスト、Unit14の語彙の予習と本文の精読
14	Unit14	Listening, Writing等の問題演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

事前に次回学習範囲の和訳、単語のチェック、問題演習などの予習を行う。

また授業内で示された次回課題に取り組むこと。

【テキスト（教科書）】

『タイムズとガーディアンでめぐる知の世界』

田中孝信、野田三貴、筒井香代子

音羽書房鶴見書店

2016年初版発行、2021年7刷発行 2000円+税

【参考書】

とくになし

【成績評価の方法と基準】

小テスト70%

平常点 15%

その他提出物 15%

とします

なお、4回以上欠席、あるいは課題不提出の場合

単位が認定されません

【学生の意見等からの気づき】

英語だけでなくテキストの中で扱われている題材について適宜解説をする予定です

【学生が準備すべき機器他】

辞書

オンライン学習時はリソースを視聴できるようなPC環境

（音声を用いたリスニングがあるため）

【Outline (in English)】

In this course, we will learn 4 skills through text. The interesting topics from Newspaper's articles will give you information about different culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

吉田 季実子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキスト上での様々な題材を通して、文化理解を深めるとともに、英語の4技能を総合的に強化する。

【到達目標】

テキストの中で扱われている多種多様な題材を通して、口語表現を含んだ会話表現を含む、「読む、書く、聞く、話す、議論する」の各技能を高めることを目標とする。同時に、15の題材を通しての知識を向上させることも目標の一つである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに添って、語彙学習、読解、リスニング、会話、作文などの課題を行う。

1章に2～3回を当てる予定で、各章のまとめとして小テストを行う。課題のフィードバックに関しては授業内、あるいは次の週に充てる。なお、感染症拡大の状況を鑑みて、オンラインと対面授業とのハイブリッド方式とする可能性もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter1	語彙の予習と本文の精読
2	CXchapter1	Listening, Writing等の問題演習
3	Chapter1,2	Unit1小テスト、Unit2の語彙の予習と本文の精読
4	Chapter2	Listening, Writing等の問題演習
5	Chapter2,3	Unit2小テスト、Unit3の語彙の予習と本文の精読
6	Chapter3	Listening, Writing等の問題演習
7	Chapter3,4	Unit3小テスト、Unit4の語彙の予習と本文の精読
8	Chapter4	Listening, Writing等の問題演習
9	Chapter4,5	Unit4小テスト、Unit5の語彙の予習と本文の精読
10	Chapter5	Listening, Writing等の問題演習
11	Chapter5,6	Unit5小テスト、Unit6の語彙の予習と本文の精読
12	Chapter6	Listening, Writing等の問題演習
13	Chapter6,7	Unit6小テスト、Unit7の語彙の予習と本文の精読
14	Chapter7	Listening, Writing等の問題演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

事前に次回学習範囲の和訳、単語のチェック、問題演習などの予習を行う。

また授業内で示された次回課題に取り組むこと。

【テキスト（教科書）】

『タイムズとガーディアンでめぐる知の世界』

田中孝信、野田三貴、筒井香代子編著

音羽書房鶴見書店

2016年初版発行 2021年第7刷発行 2000円＋税

【参考書】

とくになし

【成績評価の方法と基準】

小テスト70%

平常点 15%

その他提出物 15%

とします

なお、4回以上欠席、あるいは課題不提出の場合

単位が認定されません

【学生の意見等からの気づき】

英語だけでなくテキストの中で扱われている題材について適宜解説をする予定です

【学生が準備すべき機器他】

辞書

オンライン学習時はリソースを視聴できるようなPC環境

(音声を用いたリスニングがあるため)

【Outline (in English)】

In this course, we will learn 4 skills through text. The interesting topics from Newspaper's articles will give you information about different culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

吉田 季実子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキスト上での様々な題材を通して、文化理解を深めるとともに、英語の4技能を総合的に強化する。

【到達目標】

テキストの中で扱われている多種多様な題材を通して、口語表現を含んだ会話表現を含む、「読む、書く、聞く、話す、議論する」の各技能を高めることを目標とする。同時に、15の題材を通しての知識を向上させることも目標の一つである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに添って、語彙学習、読解、リスニング、会話、作文などの課題を行う。

1章に2～3回を当てる予定で、各章のまとめとして小テストを行う。課題のフィードバックに関しては授業内、あるいは次の週に充てる。なお、感染症の拡大状況によってはオンライン授業との併用とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit7,8	Unit7小テスト、Unit8の語彙の予習と本文の精読
2	Unit8	Listening, Writing等の問題演習
3	Unit8,9	Unit8小テスト、Unit9の語彙の予習と本文の精読
4	Unit9	Listening, Writing等の問題演習
5	Unit9,10	Unit9小テスト、Unit10の語彙の予習と本文の精読
6	Unit10	Listening, Writing等の問題演習
7	Unit10,11	Unit10小テスト、Unit11の語彙の予習と本文の精読
8	Unit11	Listening, Writing等の問題演習
9	Unit11,12	Unit11小テスト、Unit12の語彙の予習と本文の精読
10	Unit12	Listening, Writing等の問題演習
11	Unit12,13	Unit12小テスト、Unit13の語彙の予習と本文の精読
12	Unit13	Listening, Writing等の問題演習
13	Unit13,14	Unit13小テスト、Unit4の語彙の予習と本文の精読
14	Unit14	Listening, Writing等の問題演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

事前に次回学習範囲の和訳、単語のチェック、問題演習などの予習を行う。

また授業内で示された次回課題に取り組むこと。

【テキスト（教科書）】

『タイムズとガーディアンでめぐる知の世界』

田中孝信、野田三貴、筒井香代子

音羽書房鶴見書店

2016年初版発行、2021年7刷発行 2000円+税

【参考書】

とくになし

【成績評価の方法と基準】

小テスト70%

平常点 15%

その他提出物 15%

とします

なお、4回以上欠席、あるいは課題不提出の場合

単位が認定されません

【学生の意見等からの気づき】

英語だけでなくテキストの中で扱われている題材について適宜解説をする予定です

【学生が準備すべき機器他】

辞書

オンライン学習時はリソースを視聴できるようなPC環境

（音声を用いたリスニングがあるため）

【Outline (in English)】

In this course, we will learn 4 skills through text. The interesting topics from Newspaper's articles will give you information about different culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

豊口 真衣子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ブレグジットという言葉聞いたことがあるだろう。イギリスのEU離脱はヨーロッパで大きな問題となっている。そこで、このクラスでは、イギリスに関するテキストを使って、イギリス文化への理解を深めつつ、リーディングとリスニングのスキルの向上を目的とする。

テキストのテーマは政治、文化、芸術など多様であり、テキストを通じてイギリスという、ヨーロッパで重要な国を理解することが可能となっている。

【到達目標】

- ・学生が複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に理解できるようになる。
- ・学生が構文・論旨を正確に把握し、必要な知識や情報を把握できるようになる。
- ・学生が得られた情報を多面的・客観的に分析し、批判的思考力を身に付けられるようになる。
- ・学生がアメリカ英語だけでなく、イギリス英語の発音も聞き取れるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・春学期の授業は対面7回、オンライン7回とします。
- ・オンライン授業は、基本的にリアルタイム配信型でZoomで実施しますが、オンデマンド型の回もありえます。
- ・授業各回の連絡は、学習支援システムで、その都度提示します。
- ・テキストの読解および問題演習。授業中に学生全員に指名するので、必ず音声聞き、予習しておくこと。
- ・わからない単語は辞書をひいて5回ずつ練習して下さい。
- ・音声教材を用いて、テキストの聞き取りを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業説明
2	Chapter 1 The United Kingdom?	英国人の国籍は？ (前半)
3	Chapter 1	(後半)
4	Chapter 2 Multicultural Britain	多民族社会の現状 (前半)
5	Chapter 2	(後半)
6	Chapter 3 The UK and the EU	EU離脱とUKの未来 (前半)
7	Chapter 3	(後半)
8	Chapter 4 Tea	なんととっても「ティー」 (前半)
9	Chapter 4	(後半)
10	Chapter 5 Social class	階級社会の実情 (前半)
11	Chapter 5	(後半)

12	Chapter 6 Schools and education	学校教育の仕組み (前半)
13	学期末試験	試験、まとめと解説
14	Chapter 6	(後半)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを事前に読み、問題を解いてくる。わからない単語は辞書で調べ、ノートもしくはルーズリーフに5回ずつ練習する。テキスト本文の音声は教科書のHPから無料でダウンロードできるので、事前に聞いてくる。

<http://www.otowatsurumi.com/3838/>

リスニング問題の音声は学習支援システムからダウンロードしてください。

本授業の準備学習・復習時間は、1回につき1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Tim Knight 著『Welcome to Britain, Revised Edition 英国のくいま』を知りたい（改定新版）音羽書房鶴見書店、2018年、1800円＋税

【参考書】

辞書は『リーダーズ英和辞典』（研究社）が入っている電子辞書をお勧めします（紙媒体でも可）。授業にも必ず持参のこと。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（授業参加度、授業態度等）30％＋学期末試験70％＝100％
- ・各学期の欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
- ・1回の欠席につき、平常点から10点の減点とする。1回の遅刻及び早退は3点の減点とし、30分以上遅刻もしくは早退した場合は、いかなる場合も欠席扱いとする。
- ・授業態度が悪い（居眠り、私語など）場合は減点対象とする。
- ・翻訳ソフトの使用は不正とし、発覚次第不可とする。

【学生の意見等からの気づき】

イギリスの文化について、授業の最初に補足説明を行い、英文読解への理解を深める。時間があれば英会話が適宜行う。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業時は、パソコンが必要となります。大学でオンライン授業を受ける際は、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

テキストは必ず大学の三省堂書店を通して購入してください。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

You have probably heard of the word, "Brexit." The British decision to leave the EU was a very important factor in the world. This course introduces the British culture to students by reading a textbook on Britain.

(Learning Objectives)

The goal of this course is to improve the reading and listening skills as well as understanding the British culture. The topics of the textbook vary from politics, culture to art. Therefore, students will be able to understand the background of Britain. (Learning activities outside of classroom)

Students are expected to read the textbook beforehand. Your study time will be about one hour for a class.

(Grading Criteria/Policies)

Grading will be decided based on in-class contribution (30%) and term-end examination (70%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

豊口 真衣子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ブレグジットという言葉聞いたことがあるだろう。イギリスのEU離脱はヨーロッパで大きな問題となっている。そこで、このクラスでは、イギリスに関するテキストを使って、イギリス文化への理解を深めつつ、リーディングとリスニングのスキルの向上を目的とする。

テキストのテーマは政治、文化、芸術など多様であり、テキストを通じてイギリスという、ヨーロッパで重要な国を理解することが可能となっている。

【到達目標】

- ・学生が複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に理解できるようになる。
- ・学生が構文・論旨を正確に把握し、必要な知識や情報を把握できるようになる。
- ・学生が得られた情報を多面的・客観的に分析し、批判的思考力を身に付けられるようになる。
- ・学生がアメリカ英語だけでなく、イギリス英語の発音も聞き取れるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・秋学期の授業は対面7回、オンライン7回とします。
- ・オンライン授業は、基本的にリアルタイム配信型でZoomで実施しますが、オンデマンド型の回もあります。
- ・授業各回の連絡は、学習支援システムで、その都度提示します。
- ・テキストの読解および問題演習。授業中に学生全員に指名するので、必ず予習しておくこと。
- ・わからない単語は辞書をひいて5回ずつ練習して下さい。
- ・音声教材を用いて、テキストの聞き取りを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 7 University students and higher education	大学と高等教育 (前半)
2	Chapter 7	(後半)
3	Chapter 8 Women in society	活躍する英国女性 (前半)
4	Chapter 8	(後半)
5	Chapter 10 Politics and government	英国政治のいま (前半)
6	Chapter 10	(後半)
7	Chapter 11 Food	英国の食文化 (前半)
8	Chapter 11	(後半)
9	Chapter 12 Music and fashion	音楽とファッションの密な関係 (前半)
10	Chapter 13 Fantasy and castles	ファンタジーの系譜 (前半)
11	Chapter 13	(後半)

12	学期末試験	試験、まとめと解説
13	Chapter 16 Homes, gardens and the countryside	「home」と「garden」 (前半)
14	Chapter 16	(後半)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを事前に読み、問題を解いてくる。わからない単語は辞書で調べ、ノートもしくはルーズリーフに5回ずつ練習する。テキスト本文の音声は教科書のHPから無料でダウンロードできるので、事前に聞いてくる。

<http://www.otowatsurumi.com/3838/>

リスニング問題の音声は学習支援システムからダウンロードしてください。

本授業の準備学習・復習時間は、1回につき1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Tim Knight 著『Welcome to Britain, Revised Edition 英国のくいま』を知りたい（改定新版）音羽書房鶴見書店、2018年、1800円＋税

【参考書】

辞書は『リーダーズ英和辞典』（研究社）が入っている電子辞書をお薦めします（紙媒体でも可）。授業にも必ず持参のこと。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（授業参加度、授業態度等）30％＋学期末試験70％＝100％
- ・各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
- ・1回の欠席につき平常点から10点の減点とする。1回の遅刻及び早退は3点の減点とし、30分以上遅刻もしくは早退した場合は、いかなる場合も欠席扱いとする。
- ・授業態度が悪い（居眠り、私語など）場合は減点対象とする。
- ・翻訳ソフトの使用は不正とし、発覚次第、当該科目を不可とする。

【学生の意見等からの気づき】

イギリスの文化について、授業の最初に補足説明を行い、英文読解への理解を深める。英会話が適宜行う。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業時は、パソコンが必要となります。大学でオンライン授業を受ける際は、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

You have probably heard of the word, "Brexit." The British decision to leave the EU was a very important factor in the world. This course introduces the British culture to students by reading a textbook on Britain.

(Learning Objectives)

The goal of this course is to improve the reading and listening skills as well as understanding the British culture. The topics of the textbook vary from politics, culture to art. Therefore, students will be able to understand the background of Britain. (Learning activities outside of classroom)

Students are expected to read the textbook beforehand. Your study time will be about one hour for a class.

(Grading Criteria/Policies)

Grading will be decided based on in-class contribution (30%) and term-end examination (70%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

神 康介

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。ビジネスの分野では、英語が世界共通語になっているので、現代の職業人は必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置か見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】

本授業は主として読解力向上に主眼を置き、英文の中で重要な語彙、イデオム、構文などを学習する。授業内の練習問題は各種検定試験等に対応する内容を演習する。会話やパッセージを通じて、多岐にわたる思考のあり方を学び、それに続く Exercises で物事の適切な捉え方を実践学習しながら答えを導き出す訓練を行う。英語力習得のみならず、将来必要とする思考力の習得を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

読みにおける語義の意味を類推することの重要性を考えて、派生語、言葉の定義、適語挿入問題、同意語および反意語についての練習問題を行い、語彙力が高まるように学習する。テキスト本文既出の構文を応用すれば書ける英作文の演習を行う。

授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション、辞書指導等	授業の進め方、英語の勉強法などを説明する。
2	1. Ken Watanabe 2. Sakana-kun 3. Kohei Uchimura 4. Hiromi Miyake	日本の著名人について学習する。
3	5. Taiwan	日本の歴史について学習する。
4	6. Apples	日本未来について学習する。
5	7. B-Class Food Boom	日本の新しい産業について学習する。
6	8. Food Traceability	食について学習する。
7	9. Naming Rights	経済について学習する。
8	10. Smart Cities	工業技術について学習する。
9	11. Geopark	資源について学習する。
10	12. Rare Earths	材料科学について学習する。
11	13. Biomass	最新医療について学習する（2）。
12	14. Green Curtains	環境について学習する。
13	15. The Robot Industry	産業について学習する。

14 期末試験

まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回任意の人数が発表するので、辞書を教室に持参し、クラス全員が予習してくること。テキストの注釈に関しては大学教養課程以上の単語や分かりにくい慣用語句、専門用語を中心に解説を加えてあるので、注釈にない語句や表現は、辞書を引く前に、前後の文脈から類推して読み進めること。予習は、事前に内容を理解し、演習問題を解答する。復習は、授業の内容をノート等に整理する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Japan Innovation (ジャパンイノベーション) 南雲堂

【参考書】

参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】

クラスでの平常点で40%、期末試験の結果で60%で評価する。原則として半期で4回欠席した場合単位は認めない。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。

【学生の意見等からの気づき】

オンライン授業を有効活用する。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking).

(Learning object)

At the end of the course, students are expected to acquire the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Policy)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%, in class contribution: 40%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

神 康介

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。ビジネスの分野では、英語が世界共通語になっているので、現代の職業人は必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】

主として読解力向上に主眼を置き、英文の中で重要な語彙、イデオム、構文などを学習する。授業内の練習問題は各種検定試験等に対応するよう工夫する予定である。会話やパッセージを通じて、多岐にわたる思考のあり方を学び、それに続く練習問題で物事の適切な捉え方を実践学習しながら答えを導き出す訓練を行う。英語力習得のみならず、将来必要とする思考力の習得を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

読みにおける語義の意味を類推することの重要性を考えて、派生語、言葉の定義、適語挿入問題、同意語および反意語についての練習問題を用意し、語彙力が高まるよう工夫する。基本的な英作文の演習を行うが、テキスト本文既出の構文を応用すれば書けるように工夫する。

授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. EXILE HIRO 2. Ebizo Ichikawa	EXILE HIRO 代名詞 伝統的歌舞伎を超越する市川海老蔵 冠詞
2	3. 400m Relay Silver Medal 4. The Kimono	400m リレー銀メダル 強調・倒置 着物復権 助動詞
3	5. The Sanriku Railway	恋する三陸鉄道 時制
4	6. Local Issues	地方活性化の鍵 完了形
5	7. Digital Manga	進化するデジタル漫画 受動態
6	8. Stock Investment	トライ 株式投資！ 不定詞
7	9. Japan House	魅力発信のジャパン・ハウス 分詞
8	10. Meat Types	ミートタイプ 動名詞
9	11. Functional Foods	機能性食品 仮定法

10	12. Sake	世界の日本酒 関係代名詞
11	13. Royalty-free Strategy	燃料電池車特許権無償 比較
12	14. Telematics	会話する車 前置詞
13	15. Biogas	代替燃料 バイオガス 接続詞
14	期末試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
毎回任意の数人に発表してもらうので、辞書を教室に持参し、クラス全員が予習してくる。テキストの注釈に関しては、大学教養課程以上の単語や分かりにくい慣用語句、専門用語を中心に解説を加えてあるので、注釈にない語句や表現は、辞書を引く前に、前後の文脈から類推してみる。予習は、事前に内容を理解し、演習問題を解答する。復習は、授業の内容をノート等に整理する。

【テキスト（教科書）】

Breakthrough Japan (躍進日本) 南雲堂

【参考書】

参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】

クラスでの平常点で40%、期末試験の結果で60%で評価する。半期で4回欠席した場合単位は認めない。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。

【学生の意見等からの気づき】

視聴覚機器をもっと活用したい。

【学生が準備すべき機器他】

【Outline (in English)】

(Course outline)

This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking)..

(Learning object)

At the end of the course, students are expected to acquire the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Policy)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%, in class contribution: 40%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

妻鹿 裕子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNNのニュース映像とスクリプトを使用し、様々なトピックについて学びながら、リスニングとリーディングを中心に総合的な英語力の向上を目指します。

【到達目標】

- ・英語の文章を正確に読む力をつけます
- ・論理的な思考力を養います
- ・語彙力を増やします
- ・様々な英語（Englishes）の発音に慣れます
- ・英語のリズムを身につけます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

一つのunitを二回の授業で扱います。前半は語彙とリスニングを、後半はリーディングを中心に進めます。前半はExamplesを小テストとして行い、DefinitionとExamplesの答え合わせをした後、Blanks to Fill inでリスニングをし、答えの確認をします。後半はJudgments to Makeを小テストとして行い、リスニングのスクリプトの訳をした後、Judgments to Makeの答え合わせをします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容・成績評価等に関する説明
2	Unit 1	AI Comes to Hollywood (listening)
3	Unit 1	AI Comes to Hollywood (reading)
4	Unit 2	TikTok CEO in the Hot Seat (listening)
5	Unit 2	TikTok CEO in the Hot Seat (reading)
6	Unit 3	Away with the Language Barrier (listening)
7	Unit 3	Away with the Language Barrier (reading)
8	Unit 4	Enduring Joy (listening)
9	Unit 4	Enduring Joy (reading)
10	Unit 5	Redefining Women's Work (listening)
11	Unit 5	Redefining Women's Work (reading)
12	Unit 6	A Blessing Marred (listening)
13	Unit 6	A Blessing Marred (reading)
14	試験・まとめと解説	学期末試験・春学期の総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習を前提として授業を行います。前半はWords and Phrases to StudyのDefinitionとExamplesを、後半はニュースのスクリプトとJudgments to Makeを予習して下さい。本授業の準備・復習時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『CNN ビデオで見る世界のニュース(26)』
(朝日出版社)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

テスト50%、小テスト20%、平常点30%で評価します。遅刻は授業開始時刻から30分までとし、遅刻三回で欠席とみなします。各学期欠席が四回以上の場合は、原則として単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

積極的な授業参加を求めます。どんどん発言して下さい。

【その他の重要事項】

- ・授業で辞書（英和と英英）を使用します。
- ・Hoppiiの「お知らせ」で連絡する場合があります。

【Outline (in English)】

Course Outline

This class aims to help you develop your listening and reading skills.

Learning Objectives

Students will build up their vocabulary, learn the pronunciation features of English, and acquire reading strategies.

Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Study time will be an hour for each class.

Grading Criteria/Policy

The final grade will be based on the following criteria:

1. Final Exam 50%
2. Reports 20%
3. Classroom Participation 30%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

妻鹿 裕子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNNのニュース映像とスクリプトを使用し、様々なトピックについて学びながら、リスニングとリーディングを中心に総合的な英語力の向上を目指します。

【到達目標】

- ・英語の文章を正確に読む力をつけます
- ・論理的な思考力を養います
- ・語彙力を増やします
- ・様々な英語（Englishes）の発音に慣れます
- ・英語のリズムを身につけます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

一つのunitを二回の授業で扱います。前半は語彙とリスニングを、後半はリーディングを中心に進めます。前半はExamplesを小テストとして行い、DefinitionとExamplesの答え合わせをした後、Blanks to Fill inでリスニングをし、答えの確認をします。後半はJudgments to Makeを小テストとして行い、リスニングのスクリプトの訳をした後、Judgments to Makeの答え合わせをします。小テストの答え合わせをする際に、解説を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容・成績評価等に関する説明
2	Unit 7	Interloping Nomads (listening)
3	Unit 7	Interloping Nomads (reading)
4	Unit 8	Flawed Roadmap (listening)
5	Unit 8	Flawed Roadmap (reading)
6	Unit 9	Antiaging Before Aging (listening)
7	Unit 9	Antiaging Before Aging (reading)
8	Unit 10	Japan's Delivery-system Threatened (listening)
9	Unit 10	Japan's Delivery-system Threatened (reading)
10	Unit 11	Toward Early Diagnosis (listening)
11	Unit 11	Toward Early Diagnosis (reading)
12	Unit 12	Controversial Move (listening)
13	Unit 12	Controversial Move (reading)
14	試験・まとめと解説	学期末試験・秋学期の総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習を前提として授業を行います。前半はWords and Phrases to StudyのDefinitionとExamplesを、後半はニュースのスクリプトとJudgments to Makeを予習して下さい。本授業の準備・復習時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『CNNビデオで見る世界のニュース(26)』
(朝日出版社)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

テスト50%、小テスト20%、平常点30%で評価します。遅刻は授業開始時刻から30分までとし、遅刻三回で欠席とみなします。各学期欠席が四回以上の場合は、原則として単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

積極的な授業参加を求めます。どんどん発言して下さい。

【その他の重要事項】

- ・授業で辞書（英和と英英）を使用します。
- ・Hoppiiの「お知らせ」で連絡する場合があります。

【Outline (in English)】

Course Outline

This class aims to help you develop your listening and reading skills.

Learning Objectives

Students will build up their vocabulary, learn the pronunciation features of English, and acquire reading strategies.

Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Study time will be an hour for each class.

Grading Criteria/Policy

The final grade will be based on the following criteria:

1. Final Exam 50%
2. Reports 20%
3. Classroom Participation 30%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

小川 真也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の主な目的は読解力と語彙を高めることである。学生はパラグラフ構造とパラグラフ同士の関係性に注意を払いながら、社会問題や現代事象を扱う英文を読み、英語の読解力を高めるとともに、英語を通して知識を得られるようになることが望まれる。

また、自分自身の意見を持つことも重要である。筆者の意見を理解することも重要だが、疑問があれば、その意見を容易く受け入れなければならない。筆者と自身との意見の相違を見極め、自分自身の意見をまとめ、それを英語で表現できるようになることが望まれる。

リスニング能力を高めることも重視する。教員が作成したリスニング問題を解き、リスニング力を高めて頂きたい。

【到達目標】

この授業ではリーディングを中心に勉強し、次の項目を目標とする。

- ①英文を読む上で必要な文法事項と語彙を身につけること。
- ②まとまった量の英語の文章を独力で理解できるようになること。
- ③段落の構造を意識して論理の流れを把握できるようになること。
- ④練習問題を通して、リスニング力を向上させること。
- ⑤記事に対する自分の意見を英作文し、英語で表現する力を身につけること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は演習形式を取り、2回の授業で1つのUnitを扱う。授業の初めにテキストから作成したリスニング問題を実施する。正確に読むことに主眼を置き、単語・熟語・文法事項等を確認しながら記事を訳読し、段落ごとに要約し、トピック全体の理解を図る。段落ごとの要約とトピックに対する意見を英作文して課題として提出する。提出課題は教員が添削するので、添削された箇所を確認し、英語の表現や内容理解などを深める。

Unitごとに前半後半に分けて2回、復習の小テストを実施する。フィードバックとして英作文は教員が添削し、返却する。小テスト・期末テストに関してはテスト終了後に模範解答を提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明
2	Unit 1-1 100-Yen Shops: Still going strong	「日本の100円ショップ：絶好調の理由」前半講読
3	Unit 1-2 100-Yen Shops: Still going strong	「日本の100円ショップ：絶好調の理由」後半講読
4	Unit 6-1 Tricks of the Trade: How companies get us to spend	「商売の秘訣：企業はどのように私たちの購買意欲を刺激するか」前半講読
5	Unit 6-2 Tricks of the Trade: How companies get us to spend	「商売の秘訣：企業はどのように私たちの購買意欲を刺激するか」後半講読

6	Unit 11-1 Dialects: How English is spoken across the world	「方言：英語は世界中でどのように話されているか」前半講読
7	Unit 11-2 Dialects: How English is spoken across the world	「方言：英語は世界中でどのように話されているか」後半講読
8	Unit 16-1 New Solar Power: A breakthrough in clean energy	「新しい太陽光発電：クリーンエネルギーにおける飛躍的進歩」前半講読
9	Unit 16-2 New Solar Power: A breakthrough in clean energy	「新しい太陽光発電：クリーンエネルギーにおける飛躍的進歩」後半講読
10	Unit 2-1 Work-Life Balance: Do it like the Germans	「仕事と生活のバランス：ドイツ人を見習え」前半講読
11	Unit 2-2 Work-Life Balance: Do it like the Germans	「仕事と生活のバランス：ドイツ人を見習え」後半講読
12	Unit 7-1 The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body	「ゲーマーの秘密の生涯：自分の体から脱出した少年」前半講読
13	Unit 7-2 The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body	「ゲーマーの秘密の生涯：自分の体から脱出した少年」後半講読
14	期末テスト	期末テスト・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。予習を前提に授業を進め、unitごとに2回小テストを実施するので、少なくとも1時間取って、教科書を読み、授業後には予習時にわからなかった箇所を復習すること。小テストでは英単語の定義が問われるので、予め英英辞書を使って単語の定義を調べておくこと。

【テキスト（教科書）】

Understanding the World Today
(Dave Rear 著, 成美堂, 2022年)

【参考書】

英語系辞書（特に英英辞書）

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100満点とし、60点以上が合格となる。
授業への貢献10% 小テスト30% 期末テスト50% 英作文10%
欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
授業開始から30分以上の遅刻した場合は欠席扱い、遅刻2回で欠席1回とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

教科書に物足りなくなった場合や難しく感じられる場合、代替の記事を読む。

【Outline (in English)】

One of the main objectives in this course is improvement of reading skill and developing of students' vocabulary. Students will read English passages discussing social issues and recent events, paying much attention to paragraph structure and relationship between paragraphs. The ability to read and comprehend the argument of the passage and to acquire the knowledge and information through English will be improved by reading articles.

Another objective is formation and expression of students' own opinion. Emphasis should be put on understanding the writer's feeling and intention. However, students should not accept the writer's opinion easily if they have questions or doubts. Students have to form their own opinion after they find out the difference between the writer's opinion and theirs. In addition, they will practice summarizing the passages they read and writing the opinion which they formed in English.

Listening skill is also regarded as an important factor. Listening skill will be developed through the quizzes which the instructor makes from passages of the textbook. In some cases, other materials will be used for listening quizzes.

This class has five learning objectives.

First, They are expected to acquire the knowledge of English grammar, words and phrases which is necessary to read English.

Second, students are expected to acquire the ability to understand middle-length English articles by themselves

Third, students are expected to acquire the capacity to grasp logic of them, considering what role each paragraph has.

Fourth, students are expected to improve their listening skill through exercises.

Fifth, students are expected to acquire the faculty to write their own thoughts about articles in English.

The final evaluating score between 60%and 100%will be awarded. Percentages of evaluation are Presentation (Reading and Translating) 10%, Quizzes 30%, Final exam 50%, and Writing 10 %. Credits will not be given to those who have missed 4 class hours or its equivalent in being late. When being late for thirty minutes is considered as one absence. Being late two times will be counted as one absence.

As for learning activities outside of classroom, students have to prepare and review for at least one hour. Students have to read texts and consult dictionaries about unknown words and phrases before class. After finishing reading an article, students have to reread it and review what you didn't understand for quizzes. As students answer the English definitions of words in quizzes, they have to consult an English-English dictionary.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

小川 真也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の主な目的は読解力と語彙を高めることである。学生はパラグラフ構造とパラグラフ同士の関係性に注意を払いながら、社会問題や現代事象を扱う英文を読み、英語の読解力を高めるとともに、英語を通して知識を得られるようになることが望まれる。

また、自分自身の意見を持つことも重要である。筆者の意見を理解することも重要だが、疑問があれば、その意見を容易く受け入れなければならない。筆者と自身との意見の相違を見極め、自分自身の意見をまとめ、それを英語で表現できるようになることが望まれる。

リスニング能力を高めることも重視する。教員が作成したリスニング問題を解き、リスニング力を高めて頂きたい。

【到達目標】

この授業ではリーディングを中心に勉強し、次の項目を目標とする。

- ①英文を読む上で必要な文法事項と語彙を身につけること。
- ②まとまった量の英語の文章を独力で理解できるようになること。
- ③段落の構造を意識して論理の流れを把握できるようになること。
- ④練習問題を通して、リスニング力を向上させること。
- ⑤記事に対する自分の意見を英作文し、英語で表現する力を身につけること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は演習形式を取り、2回の授業で1つのunitを扱う。授業の初めにテキストから作成したリスニング問題を実施する。正確に読むことに主眼を置き、単語・熟語・文法事項等を確認しながら記事を訳読し、段落ごとに要約し、トピック全体の理解を図る。段落ごとの要約とトピックに対する意見を英作文して課題として提出する。提出課題は教員が添削するので、添削された箇所を確認し、英語の表現や内容理解などを深める。

unitごとに前半後半に分けて2回、復習の小テストを実施する。フィードバックとして英作文は教員が添削し、返却する。小テスト・期末テストに関してはテスト終了後に模範解答を提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方説明と英作文
2	Unit 12-1 Child Prodigies: Raising a little genius	「天才児：小さな天才を育てる」前半講読
3	Unit 12-2 Child Prodigies: Raising a little genius	「天才児：小さな天才を育てる」後半講読
4	Unit 17-1 Vaccines: A history of keeping us safe	「ワクチン：人類を守る歴史」前半講読
5	Unit 17-2 Vaccines: A history of keeping us safe	「ワクチン：人類を守る歴史」後半講読

6	Unit 3-1 Lasting the Ages: Japan's 200-year-old companies	「時代を越えて：創業200年の日本企業」前半講読
7	Unit 3-2 Lasting the Ages: Japan's 200-year-old companies	「時代を越えて：創業200年の日本企業」後半講読
8	Unit 8-1 Social Media: Big tech's addiction to addiction	「ソーシャルメディア：依存させて利益を得るテクノロジー会社」前半講読
9	Unit 8-2 Social Media: Big tech's addiction to addiction	「ソーシャルメディア：依存させて利益を得るテクノロジー会社」後半講読
10	Unit 13-1 Mentalism: Mastering the human brain	「メンタリズム：人間の脳を使いこなす」前半講読
11	Unit 13-2 Mentalism: Mastering the human brain	「メンタリズム：人間の脳を使いこなす」後半講読
12	Unit 18-1 International Space Station: Is it worth the money?	「国際宇宙ステーション：コストに見合っているか」前半講読
13	Unit 18-2 International Space Station: Is it worth the money?	「国際宇宙ステーション：コストに見合っているか」後半講読
14	期末テスト	期末テスト・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。予習を前提に授業を進め、unitごとに2回小テストを実施するので、少なくとも1時間取って、教科書を読み、授業後には予習時にわからなかった箇所を復習すること。小テストでは英単語の定義が問われるので、予め英英辞書を使って単語の定義を調べておくこと。

【テキスト（教科書）】

Understanding the World Today
(Dave Rear 著, 成美堂, 2022年)

【参考書】

英語系辞書（特に英英辞書）

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100満点とし、60点以上が合格となる。
授業への貢献10% 小テスト30% 期末テスト50% 英作文10%
欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
授業開始から30分以上の遅刻した場合は欠席扱い、遅刻2回で欠席1回とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

教科書に物足りなくなった場合や難しく感じられる場合、代替の記事を読む。

【Outline (in English)】

One of the main objectives in this course is improvement of reading skill and developing of students' vocabulary. Students will read English passages discussing social issues and recent events, paying much attention to paragraph structure and relationship between paragraphs. The ability to read and comprehend the argument of the passage and to acquire the knowledge and information through English will be improved by reading articles.

Another objective is formation and expression of students' own opinion. Emphasis should be put on understanding the writer's feeling and intention. However, students should not accept the writer's opinion easily if they have questions or doubts. Students have to form their own opinion after they find out the difference between the writer's opinion and theirs. In addition, they will practice summarizing the passages they read and writing the opinion which they formed in English.

Listening skill is also regarded as an important factor. Listening skill will be developed through the quizzes which the instructor makes from passages of the textbook. In some cases, other materials will be used for listening quizzes.

This class has five learning objectives.

First, They are expected to acquire the knowledge of English grammar, words and phrases which is necessary to read English.

Second, students are expected to acquire the ability to understand middle-length English articles by themselves

Third, students are expected to acquire the capacity to grasp logic of them, considering what role each paragraph has.

Fourth, students are expected to improve their listening skill through exercises.

Fifth, students are expected to acquire the faculty to write their own thoughts about articles in English.

The final evaluating score between 60%and 100%will be awarded. Percentages of evaluation are Presentation (Reading and Translating) 10%, Quizzes 30%, Final exam 50%, and Writing 10%. Credits will not be given to those who have missed 4 class hours or its equivalent in being late. When being late for thirty minutes is considered as one absence. Being late two times will be counted as one absence.

As for learning activities outside of classroom, students have to prepare and review for at least one hour. Students have to read texts and consult dictionaries about unknown words and phrases before class. After finishing reading an article, students have to reread it and review what you didn't understand for quizzes. As students answer the English definitions of words in quizzes, they have to consult an English-English dictionary.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

今井 澄子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会のさまざまなトピックに関するアカデミックな英文 Essay 読解を通して Active Reading と Critical-thinking のスキルを身につけ、大学生に必要な英語力を養成する。

【到達目標】

800 語程度の英文 Essay を読み、アカデミックな現代英語の論理展開や書き方を知る。テキスト英文は標準的な構文・文法にのっとり、大学生として知る必要のあるメディアや学問レベルの語彙を使って書かれているので、これを読むことで望ましい英語の文体が身に付き、ヴォキャブラリー強化ができる。語彙問題や内容理解のための設問も豊富なので、問題を解きながら正しく内容を捉える。また、Listening&Dictation 問題を通して音声による英語を理解する。読解内容に対して英語でコメントを書くが、まずは1パラグラフの要約やショートコメントから始め、複数パラグラフによる英文 Essay 形式で自分の考えを述べることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回授業初めにリスニング小テストを行い、その後に読解に入る。英文の音読・日本語訳、語彙・内容把握問題を課すので、必ずこなすこと。英文読解後は関連する内容の Listening&Dictation を行う。また、要約やコメントの英文 Writing を随時行い、添削指導する。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Listening, Active Reading and Critical Thinkingについて	Lesson 1 Language を解説しながら、テキスト構成、授業内容、評価等に関する説明を行う
第2回	Listening 小テスト 1	Ceremony 聴解 Can the Humanities be Saved? 英文読解、コメント Writing
第3回	Lesson 3 Higher Education Listening 小テスト 2	School Life 聴解 Can the Humanities be Saved? 語彙問題と Listening&Dictation
第4回	Lesson 3 Higher Education Listening 小テスト 3	Transportation 聴解 How Far Will People Go? 英文読解、コメント Writing
第5回	Lesson 2 Social Psychology Listening 小テスト 4	Outdoor Activities 聴解 How Far Will People Go? 語彙問題と Listening&Dictation
第6回	Lesson 2 Social Psychology Listening 小テスト 5	Weather 聴解 Yellowface 英文読解、コメント Writing
	Lesson 4 Musical Theater	

第7回	Listening 小テスト 6 Lesson 4 Musical Theater	Holiday Plans 聴解 Yellowface 語彙問題と Listening&Dictation
第8回	Listening 小テスト 7 Lesson 5 The Environment	Resort Area 聴解 Meeting Mankind's Greatest Challenge 英文読解、コメント Writing
第9回	Listening 小テスト 8 Lesson 5 The Environment	Job Experience 聴解 Meeting Mankind's Greatest Challenge 語彙問題と Listening&Dictation
第10回	Listening 小テスト 9 環境問題の英文読解	Summer Sale 聴解 追加プリントによる英文読解
第11回	Listening 小テスト 10 Lesson 6 Anthropology/Paleontology	Restaurant 聴解 Not So Stupid After All 英文読解、コメント Writing
第12回	Listening 小テスト 11 Lesson 6 Anthropology/Paleontology	Review Test1・2 聴解 Not So Stupid After All 語彙問題と Listening&Dictation
第13回	Paragraph 論理展開 学習	Paragraph Writing を通して英語の論理展開を学ぶ
第14回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキスト英文は全員参加で読んでいく。また、テキスト英文の構文は難解というわけではないが、語彙はレベルが高く、授業内容を十分に理解するためには辞書で単語を調べながら英文を読んでいくことが必要。教科書にある Listening&Dictation 問題音声は、インターネット上でダウンロードし、事前に聴くことができる。なお、リスニング小テストは毎回行うが、特に準備は必要ない。Writing も授業中に行うため自宅に持ち帰る必要はない。

【テキスト（教科書）】

Readers' Forum 3 ACTIVE ENGLISH: Readings in the Liberal Arts and Humanities. 南雲堂

Practical Situations for the TOEIC® Test Listening. 成美堂

【参考書】

特に指定しないが、必ず英和辞書を使うこと。授業にも毎回辞書を持参すること。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、Writing・和訳などの課題 20% を原則とする。よって、評価点は試験 60点、平常点 40点の合計 100点とし、60%以上の得点で合格。授業初めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも0点となる。課題を遂行しない、担当があるのに無断欠席などは課題点がマイナスになる。欠席が4回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

今年度初めて担当のため、特になし。

【Outline (in English)】

This class focuses on reading of academic English essays. The genre of topics of these essays are various such as language, social psychology, higher education, the environment, neuroscience, technology, cybercrime, and so on, which are based on the interest or a problem of our present day society. Each essay has around eight hundred words, is written in a high level of academic and literate English which has a complex sentence structure and syntax, and includes difficult vocabulary. Reading these essays enables students to have both active reading and critical thinking skill and they can acquire English proficiency sufficient as a university student. Additionally, writing a comment is another important task of this class and every student is required to write a comment in English after reading every essay. Beginning from writing a short paragraph, the final goal is writing an essay composed of more than at least three paragraphs, which enables students to cultivate academic writing skill enough to write a short report in the future. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing score 10%, and in class contribution 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

今井 澄子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会のさまざまなトピックに関するアカデミックな英文 Essay 読解を通して Active Reading と Critical-thinking のスキルを身につけ、大学生に必要な英語力を養成する。

【到達目標】

800 語程度の英文 Essay を読み、アカデミックな現代英語の論理展開や書き方を知る。テキスト英文は標準的な構文・文法にのっとり、大学生として知る必要のあるメディアや学問レベルの語彙を使って書かれているので、これを読むことで望ましい英語の文体が身に付き、ヴォキャブラリー強化ができる。語彙問題や内容理解のための設問も豊富なので、問題を解きながら正しく内容を捉える。また、Listening&Dictation 問題を通して音声による英語を理解する。読解内容に対して英語でコメントを書くが、まずは1パラグラフの要約やショートコメントから始め、複数パラグラフによる英文 Essay 形式で自分の考えを述べることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回授業初めにリスニング小テストを行い、その後に読解に入る。英文の音読・日本語訳、語彙・内容把握問題を課すので、必ずこなすこと。英文読解後は関連する内容の Listening&Dictation を行う。また、要約やコメントの英文 Writing を随時行い、添削指導する。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Listening 小テスト 1 Lesson 7 Neuroscience	Restaurant 聴解 Mapping the Brain 英文読解、コメント Writing
第2回	Listening 小テスト 2 Lesson 7 Neuroscience	Arts & Entertainment 聴解 Mapping the Brain 語彙問題と Listening&Dictation
第3回	Listening 小テスト 3 Lesson 8 Military History	Sports Events 聴解 No Shoot! 英文読解、コメント Writing
第4回	Listening 小テスト 4 Lesson 8 Military History	Having a Party 聴解 No Shoot! 語彙問題と Listening&Dictation
第5回	Listening 小テスト 5 Lesson 9 Technology	Health 聴解 The Reality of Virtual Reality 英文読解、コメント Writing
第6回	Listening 小テスト 6 Lesson 9 Technology	Christmas 聴解 The Reality of Virtual Reality 語彙問題と Listening&Dictation

第7回	Listening 小テスト 7 Lesson 10 Literature	Cleanup 聴解 The Man Who Re-invented Christmas 英文読解、コメント Writing
第8回	Listening 小テスト 8 Lesson 10 Literature	Our Traditions & Customs 聴解 The Man Who Re-invented Christmas 語彙問題と Listening&Dictation
第9回	Listening 小テスト 9 Lesson 11 Art Appreciation	Examinations 聴解 Accounting for Taste 英文読解、コメント Writing
第10回	Listening 小テスト 10 Lesson 11 Art Appreciation	Housing 聴解 Accounting for Taste 語彙問題と Listening&Dictation
第11回	Listening 小テスト 11 Lesson 12 Cybercrime	Review Test3・4 聴解 The Dark Tetrad 英文読解、コメント Writing
第12回	Lesson 12 Cybercrime 英文エッセイの構成と書き方	The Dark Tetrad 語彙問題と Listening&Dictation プリントによる説明
第13回	エッセイ論理展開学習	読んだものへの意見を述べる Essay Writing を通して英語長文の論理展開を学ぶ
第14回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキスト英文は全員参加で読んでいく。また、テキスト英文の構文は難解というわけではないが、語彙はレベルが高く、授業内容を十分に理解するためには辞書で単語を調べながら英文を読んでいくことが必要。教科書にある Listening&Dictation 問題音声は、インターネット上でダウンロードし、事前に聴くことができる。なお、リスニング小テストは毎回行うが、特に準備は必要ない。Writing も授業中に行うため自宅に持ち帰る必要はない。

【テキスト（教科書）】

Readers' Forum 3 ACTIVE ENGLISH: Readings in the Liberal Arts and Humanities. 南雲堂

Practical Situations for the TOEIC® Test Listening. 成美堂

【参考書】

特に指定しないが、必ず英和辞書を使うこと。授業にも毎回辞書を持参すること。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、Writing・和訳などの課題 20% を原則とする。よって、評価点は試験 60点、平常点 40点の合計 100点とし、60%以上の得点で合格。授業初めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも0点となる。課題を遂行しない、担当があるのに無断欠席などは課題点がマイナスになる。欠席が4回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

今年度初めて担当のため、特になし。

【Outline (in English)】

This class focuses on reading of academic English essays. The genre of topics of these essays are various such as language, social psychology, higher education, the environment, neuroscience, technology, cybercrime, and so on, which are based on the interest or a problem of our present day society. Each essay has around eight hundred words, is written in a high level of academic and literate English which has a complex sentence structure and syntax, and includes difficult vocabulary. Reading these essays enables students to have both active reading and critical thinking skill and they can acquire English proficiency sufficient as a university student. Additionally, writing a comment is another important task of this class and every student is required to write a comment in English after reading every essay. Beginning from writing a short paragraph, the final goal is writing an essay composed of more than at least three paragraphs, which enables students to cultivate academic writing skill enough to write a short report in the future. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing score 10%, and in class contribution 20%.

LAnE100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

永井 大輔

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな英文読解に必要なコア文法をを習得しながら、英文の主題や状況設定を捉えるスキルの向上を目指す。リーディング力育成において基礎となる語彙知識を身に付ける。また、英文の構造的把握に基づいたより高度な読解にも挑戦する。

【到達目標】

- ・リーディングの基礎となる文法事項の知識を駆使しながら、短い文章を読解できるようになる。
- ・リーディング力育成において基礎となる語彙知識を身に付ける。
- ・辞書の基本的な利用方法や利用習慣を身につける。
- ・英語に関することであろうとなかろうと、読んでいて分からないことは、自主的に調べる習慣を身につける。
- ・あまり知識のないトピックに関する英語音声聴く際にも障害にならない程度に、基本的なフレーズや文法、発音のルールを覚える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には教科書を進めていく。単なる答え合わせや訳出にとどまらず、英文の朗読や辞書での内容確認など、さまざまなタスクが含まれる。

第2回～第13回授業回では、教員の用意したプリントを使って、英単語の小テストを実施する。小テストは各授業回の最初に実施する。Unitごとの感想や質問は「学習支援システム」を通じて行ない、一部は次の授業回でのフィードバックで取り上げる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期イントロダクション	シラバス内容の説明および履修上の細かいルールを説明する。 英語学習において確保すべき環境や実践すべき習慣について説明する。 各自の使用する辞書を確認するので必ず持参すること。
2	Unit 1：名詞	可算名詞・不可算名詞
3	Unit 2：冠詞	不定冠詞・定冠詞
4	Unit 3：代名詞（1）	it・this, that・再帰代名詞
5	Unit 4：代名詞（2）	不定代名詞
6	Unit 5：時制	現在時制・過去時制・未来時制
7	Unit 6：進行形	現在進行形・過去進行形・未来進行形 状態動詞・動作動詞
8	Unit 7：完了形（1）	現在完了形・現在完了進行形
9	Unit 8：完了形（2）	過去完了形・過去完了進行形・未来完了形
10	Unit 9：助動詞（1）	can・may・must
11	Unit10：助動詞（2）	would・should・ought to・used toほか
12	Unit11：態（1）	受動態の作り方・各文型の受動態
13	Unit12：態（2）	注意すべき受動態ほか

14 試験・まとめと解説 Unit 1 12のまとめと筆記試験
筆記試験は、単位取得資格がある人は必ず受けなければならない。授業内試験なので、通常の授業と同じ時間・同じ教室で実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。/ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

教科書の予習においては、一度辞書やその他の調べ物をせずに問題を解いてみてから、自分の気になる箇所について調べるようにすること。

予習時には英単語の小テストの準備も行う。出題範囲の単語は、スペルや品詞、実際の文内での使われ方を覚えるようにする。

また、本授業の内容だけにとどまらない、自分独自の「英語ノート」を用意し、予習・復習で自分に必要だと思われる知識はそちらに書き留める習慣をつける。

本授業の到達目標には発音も含まれるので、英単語の語釈・語用だけを調べるのではなく、文章のなかで聞こえたように発音できるように声に出して練習する。

その他、英語にかかわらない事柄であっても、自分にとって未知なことは積極的に調べる（情報源は問わず）。

【テキスト（教科書）】

福井慶一郎/山中マーガレット/北山長貴著、『Fundamental English Grammar with Short Readings（読解力につなげるコア英文法）』、朝日出版社、2019年。1600円＋税 ISBN: 978-4-255-15638-5

【参考書】

できるだけ新しい版の英和もしくは英英学習辞典が必須となる。教室での対面授業時に使用できるのは、紙媒体もしくは専用装置型の電子辞書のみとする。初回授業時に確認する。
武蔵大学外国語教育センター英語部会、『武蔵大学 必須英単語 2000』、南雲堂。

【成績評価の方法と基準】

教科書Unit 1 12を範囲とする筆記試験（第14回授業回）：60%

英単語の小テスト（第2回～第13回授業回）：15%

毎授業回の授業参加度（質問に対して十分な予習をふまえた回答や朗読ができたか）：25%

欠席および遅刻について

学期中に4回欠席した受講生は単位取得資格を失なう。遅刻は累積3回で欠席1回と同等の扱いとする。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられる。30分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとする。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となる。

不正について

各タスクにおいてコピー、他受講生の引き写し、著作物の剽窃（生成AIの使用を含む）、機械翻訳を行なったことが発覚した場合、該当授業回の評価は取り消される。複数回の不正が発覚した場合は、単位取得資格を停止する。複数の受講生が関与した場合、全員同様の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

授業後に質問を受け付ける時間を十分に設けます。

【Outline (in English)】

Course Outline: Students will master fundamental English grammar, which will help them better understand the subjects and contexts of English texts. They will be required to build a basic level of English vocabulary necessary for reading texts. They will also learn some of the basic structures of English essays.

Learning Objectives: Students will 1) learn some fundamental rules in English grammar; 2) understand the message and context of the text; 3) learn some of basic paragraph structures; 4) master how to consult dictionaries; 5) have a habit to study on the subjects referred in the texts; 6) master some of basic rules of pronunciation.

Learning Activities Outside of Classroom: Students must spend at least one hour for reviewing and preparing for each session, including an English vocabulary quiz. They should make an independent "English Learning" notebook of their own. They are also asked to read aloud unfamiliar words and phrases.

Grading Criteria/Policy: Written exam - 60%; Vocabulary quizzes - 15%; Performance at each session - 25%. Students with 4 or more absences will lose their qualification for the unit of this course. Three days late are counted as one absence. Other penalties given during sessions are counted as days late.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

永井 大輔

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな英文読解に必要なコア文法をを習得しながら、英文の主題や状況設定を捉えるスキルの向上を目指す。リーディング力育成において基礎となる語彙知識を身に付ける。また、英文の構造的把握に基づいたより高度な読解にも挑戦する。

【到達目標】

- ・リーディングの基礎となる文法事項の知識を駆使しながら、短い文章を読解できるようになる。
- ・リーディング力育成において基礎となる語彙知識を身に付ける。
- ・辞書の基本的な利用方法や利用習慣を身につける。
- ・英語に関することであろうとなかろうと、読んでいて分からないことは、自主的に調べる習慣を身につける。
- ・あまり知識のないトピックに関する英語音声聴く際にも障害にならない程度に、基本的なフレーズや文法、発音のルールを覚える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には教科書を進めていく。単なる答え合わせや訳出にとどまらず、英文の朗読や辞書での内容確認など、さまざまなタスクが含まれる。

第2回～第13回授業回では、教員の用意したプリントを使って、英単語の小テストを実施する。小テストは各授業回の最初に実施する。Unitごとの感想や質問は「学習支援システム」を通じて行ない、一部は次の授業回でのフィードバックで取り上げる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	秋学期イントロダクション	シラバス内容の説明および履修上の細かいルールを説明する。 春学期の筆記試験について講評する。 授業に必要なプリントがあれば配布する。
2	Unit13：不定詞（1）	名詞用法・形容詞用法・副詞用法
3	Unit14：不定詞（2）	注意すべき不定詞の用法・原形不定詞
4	Unit15：分詞（1）	分詞の限定用法・叙述用法
5	Unit16：分詞（2）	分詞構文・独立分詞構文
6	Unit17：動名詞（1）	動名詞の用法・動名詞と不定詞
7	Unit18：動名詞（2）	動名詞の意味上の主語・完了形の動名詞ほか
8	Unit19：形容詞・副詞	形容詞の用法・副詞の用法
9	Unit20：比較（1）	基本的な比較表現
10	Unit21：比較（2）	注意すべき原級・比較級・最上級の用法
11	Unit22：前置詞	基本的な前置詞・注意すべき前置詞
12	Unit23：関係詞（1）	関係代名詞の用法・前置詞と関係代名詞

13	Unit24：関係詞（2）	what・関係副詞・限定用法と継続用法
14	試験・まとめと解説	Unit13 Unit24のまとめと筆記試験 筆記試験は、単位取得資格がある人は必ず受けなければならない。授業内試験なので、通常の授業と同じ時間・同じ教室で実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。/ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

教科書の予習においては、一度辞書やその他の調べ物をせずに問題を解いてみてから、自分の気になる箇所について調べるようにすること。

予習時には英単語の小テストの準備も行う。出題範囲の単語は、スベルや品詞、実際の文内での使われ方を覚えるようにする。

また、本授業の内容だけにとどまらない、自分独自の「英語ノート」を用意し、予習・復習で自分に必要だと思われる知識はそちらに書き留める習慣をつける。

本授業の到達目標には発音も含まれるので、英単語の語釈・語用だけを調べるのではなく、文章のなかで聞こえたように発音できるように声に出して練習する。

その他、英語にかかわらない事柄であっても、自分にとって未知なことは積極的に調べる（情報源は問わず）。

【テキスト（教科書）】

福井慶一郎/山中マーガレット/北山長貴著、『Fundamental English Grammar with Short Readings（読解力につなげるコア英文法）』、朝日出版社、2019年。1600円＋税 ISBN: 978-4-255-15638-5

【参考書】

できるだけ新しい版の英和もしくは英英学習辞典が必須となる。教室での対面授業時に使用できるのは、紙媒体もしくは専用装置型の電子辞書のみとする。初回授業時に確認する。

武蔵大学外国語教育センター英語部会、『武蔵大学 必須英単語 2000』、南雲堂。

【成績評価の方法と基準】

教科書Unit 13 24を範囲とする筆記試験（第14回授業回）：60%
英単語の小テスト（第2回～第13回授業回）：15%

毎授業回の授業参加度（質問に対して十分な予習をふまえた回答や朗読ができたか）：25%

欠席および遅刻について

学期中に4回欠席した受講生は単位取得資格を失なう。遅刻は累積3回で欠席1回と同等の扱いとする。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられる。30分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとする。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となる。

不正について

各タスクにおいてコピー、他受講者の引き写し、著作物の剽窃（生成AIの使用を含む）、機械翻訳を行なったことが発覚した場合は、該当授業回の評価は取り消される。複数回の不正が発覚した場合は、単位取得資格を停止する。複数の受講生が関与した場合、全員同様の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

授業後に質問を受け付ける時間を十分に設けます。

【Outline (in English)】

Course Outline: Students will master fundamental English grammar, which will help them better understand the subjects and contexts of English texts. They will be required to build a basic level of English vocabulary necessary for reading texts. They will also learn some of the basic structures of English essays.

Learning Objectives: Students will 1) learn some fundamental rules in English grammar; 2) understand the message and context of the text; 3) learn some of basic paragraph structures; 4) master how to consult dictionaries; 5) have a habit to study on the subjects referred in the texts; 6) master some of basic rules of pronunciation.

Learning Activities Outside of Classroom: Students must spend at least one hour for reviewing and preparing for each session, including an English vocabulary quiz. They should make an independent "English Learning" notebook of their own. They are also asked to read aloud unfamiliar words and phrases.

Grading Criteria/Policy: Written exam - 60%; Vocabulary quizzes - 15%; Performance at each session - 25%. Students with 4 or more absences will lose their qualification for the unit of this course. Three days late are counted as one absence. Other penalties given during sessions are counted as days late.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

高 友希子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、英語で発信されたニュースの講読および視聴を通じて、リーディングとリスニングを中心に総合的な英語力の向上をはかります。

【到達目標】

- 1 英語で発信されたニュースを正確に読み、聴き取ることができるようになる。
- 2 読み取った記事や関連するテーマを批判的あるいは多角的に分析できるようになる。
- 3 論理的に思考し、自らの見解を他者に正確に発信できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ①テキストの予習結果を学習支援システムに準備した予習フォームに入力し、フィードバック機能を利用して、各自で理解度を確認する。
- ②学習支援システムに準備した語彙クイズに取り組む。クイズの結果は、フィードバック機能を利用して各自で確認する。
- ③リーディングの解説をし、あわせて質問にも回答する。
- ④テキストの内容に関連するテーマについて、グループで議論する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業概要の説明
第2回	Story 1: Volunteers in Loveland	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第3回	Story 2: Commemorating Juneteeth	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第4回	Story 3: Penguin at Arizona Aquarium	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第5回	Story 4: Colorado River Most Endangered	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第6回	Story 5: Controversial "Don't Say Gay" Bill	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第7回	Story 6: Standing in Solidarity	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション

第8回	Story 7: Endurance Ship Found in Antarctica	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第9回	Story 8: An Inspiring Child Author	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第10回	Story 9: Historic Gunmaker Settlement	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第11回	Story 10: Saving the Galapagos	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第12回	Story 11: The Marathon Mom	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第13回	Story 12: Rising Prices	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第14回	Story 13: International Holocaust Remembrance Day	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習のほか、ニュースを見聞きすることを通して社会問題について考えるようにしてください。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

S. Yamane and K. Yamane, ABC NEWSROOM, Kinseido (2023).

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（50％）、予習およびクイズ（30％）、平常点（授業への積極的参加）（20％）
なお、欠席が4回以上の場合には、原則として単位修得の権利を失います。

【学生の意見等からの気づき】

グループ・ワークを継続する。

【学生が準備すべき機器他】

辞書、学習支援システムを利用するための通信機器、（必要に応じて）zoom利用時のマイク付きヘッドセット

【Outline (in English)】

This course is intended to enhance students' ability to understand, analyze and discuss the news in English. Students will be able to 1) critically analyze issues and express their own opinions, 2) acquire more effective listening skills.

Students are expected to complete homework assignments and vocabulary quizzes. Your study time will be more than one hour for a class.

Students will be graded on:

Final exam (50%)

Homework assignments and quizzes (30%)

Participation (20%)

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

高 友希子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、英語で発信されたニュースの講読および視聴を通じて、リーディングとリスニングを中心に総合的な英語力の向上をはかります。

【到達目標】

- 1 英語で発信されたニュースを正確に読み、聴き取ることができるようになる。
- 2 読み取った記事や関連するテーマを批判的あるいは多角的に分析できるようになる。
- 3 論理的に思考し、自らの見解を他者に正確に発信できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ①テキストの予習結果を学習支援システムに準備した予習フォームに入力し、フィードバック機能を利用して、各自で理解度を確認する。
- ②学習支援システムに準備した語彙クイズに取り組む。クイズの結果は、フィードバック機能を利用して各自で確認する。
- ③リーディングの解説をし、あわせて質問にも回答する。
- ④テキストの内容に関連するテーマについて、グループで議論する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業内容の説明
第2回	Unit 1: The Window of Canterbury Cathedral	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第3回	Unit 2: A Skateboarding School for Women	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第4回	Unit 3: West London's Community Gardens	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第5回	Unit 4: Two Generations Sharing a Home	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第6回	Unit 5: Cornwall's Lithium Mines	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第7回	Unit 6: How to Be Happy on Blue Monday	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション

第8回	Unit 7: The New Brixham Banking Hub	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第9回	Unit 8: Call to Clean Up London's Diesel Trains	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第10回	Unit 9: The Fair Shot Cafe	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第11回	Unit 10: The Impact of Covid on the Brain	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第12回	Unit 11: Women Learning Skills for life after Prison	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第13回	Unit 12: A Space for Green Businesses	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション
第14回	Unit 13: Diversity in the Workplace	リスニング、語彙のエクササイズ リーディングの解説 グループディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習のほか、ニュースを見聞きすることを通して社会問題について考えるようにしてください。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

T. Knowles, M. Tanaka, M. Nakamura and S. Moue, British News Update 5, Kinseido (2023).

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（50％）、予習およびクイズ（30％）、平常点（授業への積極的参加）（20％）

なお、欠席が4回以上の場合には、原則として単位修得の権利を失います。

【学生の意見等からの気づき】

グループ・ワークを継続する。

【学生が準備すべき機器他】

辞書、学習支援システムを利用するための通信機器、（必要に応じて）zoom利用時のマイク付きヘッドセット

【Outline (in English)】

This course is intended to enhance students' ability to understand, analyze and discuss the news in English. Students will be able to 1) critically analyze issues and express their own opinions, 2) acquire more effective listening skills.

Students are expected to complete homework assignments and vocabulary quizzes. Your study time will be more than one hour for a class.

Students will be graded on:

Final exam (50%)

Homework assignments and quizzes (30%)

Participation (20%)

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

余田 亜希

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

イギリスについて書かれたテキストを使用して、精読と速読の練習をします。読解の際には辞典を活用し、語彙力の強化を図ります。併せてイギリスの社会や文化に関する知識を増やしていきます。

【到達目標】

必要に応じて精読と速読の技術を使い分けられるようにします。精読が必要な場面では英文の構造を理解して正確な日本語訳ができるようにします。速読が必要な場合には文章全体のパラグラフ構成に着目して大意を把握できるようにします。また、時事英語の読解や聴解に必要な知識を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習していることを前提として進めます。まずその日の主題の背景となっている社会的、文化的な基礎知識を確認し、文章全体のパラグラフ構成に注意しながら概要を確認します。必要に応じてパラフレーズの練習も行います。次に、本文の中から事前に指定した箇所の日本語訳を行い、併せて演習問題の解説をします。そのあと時間に余裕のあるときは、こちらで用意した資料を使用してリスニングやディスカッションの練習をします。提出された課題へのフィードバックは学習支援システム等を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方や成績評価についての説明
2	Chapter 1 Class (1)	本文読解 リスニング 演習問題
3	Chapter 1 Class (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
4	Chapter 2 Education (1)	本文読解 リスニング 演習問題
5	Chapter 2 Education (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
6	新聞または雑誌記事 の講読 (1)	最新のイギリス事情について書かれた記事のリスニングと読解
7	Chapter 3 Gender (1)	本文読解 リスニング 演習問題
8	Chapter 3 Gender (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
9	Chapter 4 Health &Age (1)	本文読解 リスニング 演習問題

10	Chapter 4 Health &Age (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
11	Chapter 5 Crime & Punishment (1)	本文読解 リスニング 演習問題
12	Chapter 5 Crime & Punishment (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
13	新聞または雑誌記事 の講読 (2)	最新のイギリス事情について書かれた記事の読解とディスカッション
14	期末試験	授業で学んだことに関する筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

必ず事前に教科書を読み、わからない単語は辞書で調べてから出席してください。予習をしていないことが発覚した場合は、平常点の大幅減点の対象となったり、場合によっては欠席扱いとなることもありますので注意してください。

【テキスト（教科書）】

『Life and Society in Modern Britain [Revised Edition] 現代イギリスの暮らしと文化（改訂版）』（英宝社）

【参考書】

授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な取り組み（予習や質疑応答の内容など）40%

期末試験 60%

欠席回数が4回となった時点で単位取得の資格がなくなります。

30分以内の遅刻・早退は3回で欠席1回として扱います。

30分以上の遅刻・早退は欠席と見なします。

予習をしていないことが発覚した場合は欠席扱いまたは大幅減点の対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

パワーポイントの文字をできるだけ大きくするようにします。

【その他の重要事項】

授業時間外の学習でスマートフォンやタブレットを使用することについては否定しませんが、授業時間中は電子辞書専用機か紙の辞書以外は使用できません。

授業中はスマートフォンやタブレットなどの通信機器はかばんの中にしまってください。

【Outline (in English)】

This course will focus on reading articles and essays on United Kingdom to help students improve their vocabulary and comprehension of what is written in English. Students will also be required to learn how to use dictionaries and reference books as well as acquire knowledge about current and historic topics of the UK.

The goals of this course are to use the skills of quick or close reading appropriately. Students will be expected to make an accurate translation of English text into Japanese and give an outline of the text paying close attention to the relation between paragraphs. Students should also learn general information about British society that would be necessary when trying to understand current issues through TV or newspapers.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part of the text with consulting dictionary. Your required study time is at least one hour for each class meeting. If you fail to make preparation for the class, you will lose many points or will be considered as absent.

Grading will be decided based on term-end examination (60 %) and in class contribution (40%). As a rule, anyone who are absent more than three times will lose a credit. Students who come 30 minutes or more late will be considered absent. You will be considered absent one time if you come late three times.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

余田 亜希

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、イギリスについて書かれたテキストを使用して、精読と速読の練習をします。読解の際には辞典を活用し、語彙力の強化を図ります。併せてイギリスの社会や文化に関する知識を増やしていきます。

【到達目標】

必要に応じて精読と速読の技術を使い分けられるようにします。精読が必要な場面では英文の構造を理解して正確な日本語訳ができるようにします。速読が必要な場合には文章全体のパラグラフ構成に着目して大意を把握できるようにします。また、時事英語の読解や聴解に必要な知識を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習していることを前提として進めます。まずその日の主題の背景となっている社会的、文化的な基礎知識を確認し、文章全体のパラグラフ構成に注意しながら概要を確認します。必要に応じてパラフレーズの練習も行います。次に、本文の中から事前に指定した箇所の日本語訳を行い、併せて演習問題の解説をします。そのあと時間に余裕のあるときは、こちらで用意した資料を使用してリスニングやディスカッションの練習をします。提出された課題へのフィードバックは学習支援システム等を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方や成績評価についての説明
2	Chapter 8 Religion (1)	本文読解 リスニング 演習問題
3	Chapter 8 Religion (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
4	Chapter 11 The Environment (1)	本文読解 リスニング 演習問題
5	Chapter 11 The Environment (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
6	新聞または雑誌記事の講読 (1)	最新のイギリス事情について書かれた記事のリスニングと読解
7	Chapter 12 Immigration & Race (1)	本文読解 リスニング 演習問題
8	Chapter 12 Immigration & Race (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
9	Chapter 13 Scotland (1)	本文読解 リスニング 演習問題

10	Chapter 13 Scotland (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
11	Chapter 14 Ireland (1)	本文読解 リスニング 演習問題
12	Chapter 14 Ireland (2)	本文読解 リスニング 演習問題解説
13	新聞または雑誌記事の講読 (2)	最新のイギリス事情について書かれた記事の読解とディスカッション
14	期末試験	授業で学んだことに関する筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

必ず事前に教科書を読み、わからない単語は辞書で調べてから出席してください。予習をしていないことが発覚した場合は、平常点の大幅減点の対象となったり、場合によっては欠席扱いとなることもありますので注意してください。

【テキスト（教科書）】

『Life and Society in Modern Britain [Revised Edition] 現代イギリスの暮らしと文化（改訂版）』（英宝社）

【参考書】

授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な取り組み（予習や質疑応答の内容など）40%

期末試験 60%

欠席回数が4回となった時点で単位取得の資格がなくなります。

30分以内の遅刻・早退は3回で欠席1回として扱います。

30分以上の遅刻・早退は欠席と見なします。

予習をしていないことが発覚した場合は欠席扱いまたは大幅減点の対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

パワーポイントの文字をできるだけ大きくするようにします。

【その他の重要事項】

授業時間外の学習でスマートフォンやタブレットを使用することについては否定しませんが、授業時間中は電子辞書専用機か紙の辞書以外は使用できません。

授業中はスマートフォンやタブレットなどの通信機器はかばんの中にしまってください。

【Outline (in English)】

This course will focus on reading articles and essays on United Kingdom to help students improve their vocabulary and comprehension of what is written in English. Students will also be required to learn how to use dictionaries and reference books as well as acquire knowledge about current and historic topics of the UK.

The goals of this course are to use the skills of quick or close reading appropriately. Students will be expected to make an accurate translation of English text into Japanese and give an outline of the text paying close attention to the relation between paragraphs. Students should also learn general information about British society that would be necessary when trying to understand current issues through TV or newspapers.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part of the text with consulting dictionary. Your required study time is at least one hour for each class meeting. If you fail to make preparation for the class, you will lose many points or will be considered as absent.

Grading will be decided based on term-end examination (60 %) and in class contribution (40%). As a rule, anyone who are absent more than three times will lose a credit. Students who come 30 minutes or more late will be considered absent. You will be considered absent one time if you come late three times.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

豊口 真衣子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ブレグジットという言葉聞いたことがあるだろう。イギリスのEU離脱はヨーロッパで大きな問題となっている。そこで、このクラスでは、イギリスに関するテキストを使って、イギリス文化への理解を深めつつ、リーディングとリスニングのスキルの向上を目的とする。

テキストのテーマは政治、文化、芸術など多様であり、テキストを通じてイギリスという、ヨーロッパで重要な国を理解することが可能となっている。

【到達目標】

- ・学生が複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に理解できるようになる。
- ・学生が構文・論旨を正確に把握し、必要な知識や情報を把握できるようになる。
- ・学生が得られた情報を多面的・客観的に分析し、批判的思考力を身に付けられるようになる。
- ・学生がアメリカ英語だけでなく、イギリス英語の発音も聞き取れるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・春学期の授業は対面7回、オンライン7回とします。
- ・オンライン授業は、基本的にリアルタイム配信型でZoomで実施しますが、オンデマンド型の回もありえます。
- ・授業各回の連絡は、学習支援システムで、その都度提示します。
- ・テキストの読解および問題演習。授業中に学生全員に指名するので、必ず音声聞き、予習しておくこと。
- ・わからない単語は辞書をひいて5回ずつ練習して下さい。
- ・音声教材を用いて、テキストの聞き取りを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業説明
2	Chapter 1 The United Kingdom?	英国人の国籍は？ (前半)
3	Chapter 1	(後半)
4	Chapter 2 Multicultural Britain	多民族社会の現状 (前半)
5	Chapter 2	(後半)
6	Chapter 3 The UK and the EU	EU離脱とUKの未来 (前半)
7	Chapter 3	(後半)
8	Chapter 4 Tea	なんといっても「ティー」 (前半)
9	Chapter 4	(後半)
10	Chapter 5 Social class	階級社会の実情 (前半)
11	Chapter 5	(後半)

12	Chapter 6 Schools and education	学校教育の仕組み (前半)
13	Chapter 6	(後半)
14	学期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを事前に読み、問題を解いてくる。わからない単語は辞書で調べ、ノートもしくはルーズリーフに5回ずつ練習する。テキスト本文の音声は教科書のHPから無料でダウンロードできるので、事前に聞いてくる。

<http://www.otowatsurumi.com/3838/>

リスニング問題の音声は学習支援システムからダウンロードしてください。

本授業の準備学習・復習時間は、1回につき1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Tim Knight 著『Welcome to Britain, Revised Edition 英国のくいま』を知りたい（改定新版）音羽書房鶴見書店、2018年、1800円＋税

【参考書】

辞書は『リーダーズ英和辞典』（研究社）が入っている電子辞書をお勧めします（紙媒体でも可）。授業にも必ず持参のこと。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（授業参加度、授業態度等）30％＋学期末試験70％＝100％
- ・各学期の欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
- ・1回の欠席につき、平常点から10点の減点とする。1回の遅刻及び早退は3点の減点とし、30分以上遅刻もしくは早退した場合は、いかなる場合も欠席扱いとする。
- ・授業態度が悪い（居眠り、私語など）場合は減点対象とする。
- ・翻訳ソフトの使用は不正とし、発覚次第不可とする。

【学生の意見等からの気づき】

イギリスの文化について、授業の最初に補足説明を行い、英文読解への理解を深める。時間があれば英会話が適宜行う。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業時は、パソコンが必要となります。大学でオンライン授業を受ける際は、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

テキストは必ず大学の三省堂書店を通して購入してください。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

You have probably heard of the word, "Brexit." The British decision to leave the EU was a very important factor in the world. This course introduces the British culture to students by reading a textbook on Britain.

(Learning Objectives)

The goal of this course is to improve the reading and listening skills as well as understanding the British culture. The topics of the textbook vary from politics, culture to art. Therefore, students will be able to understand the background of Britain. (Learning activities outside of classroom)

Students are expected to read the textbook beforehand. Your study time will be about one hour for a class.

(Grading Criteria/Policies)

Grading will be decided based on in-class contribution (30%) and term-end examination (70%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

豊口 真衣子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ブレグジットという言葉を知ったことがあるだろう。イギリスのEU離脱はヨーロッパで大きな問題となっている。そこで、このクラスでは、イギリスに関するテキストを使って、イギリス文化への理解を深めつつ、リーディングとリスニングのスキルの向上を目的とする。

テキストのテーマは政治、文化、芸術など多様であり、テキストを通じてイギリスという、ヨーロッパで重要な国を理解することが可能となっている。

【到達目標】

- ・学生が複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に理解できるようになる。
- ・学生が構文・論旨を正確に把握し、必要な知識や情報を把握できるようになる。
- ・学生が得られた情報を多面的・客観的に分析し、批判的思考力を身に付けられるようになる。
- ・学生がアメリカ英語だけでなく、イギリス英語の発音も聞き取れるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・秋学期の授業は対面7回、オンライン7回とします。
- ・オンライン授業は、基本的にリアルタイム配信型でZoomで実施しますが、オンデマンド型の回もあります。
- ・授業各回の連絡は、学習支援システムで、その都度提示します。
- ・テキストの読解および問題演習。授業中に学生全員に指名するので、必ず予習しておくこと。
- ・わからない単語は辞書をひいて5回ずつ練習して下さい。
- ・音声教材を用いて、テキストの聞き取りを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 7 University students and higher education	大学と高等教育 (前半)
2	Chapter 7	(後半)
3	Chapter 8 Women in society	活躍する英国女性 (前半)
4	Chapter 8	(後半)
5	Chapter 10 Politics and government	英国政治のいま (前半)
6	Chapter 10	(後半)
7	Chapter 11 Food	英国の食文化 (前半)
8	Chapter 11	(後半)
9	Chapter 12 Music and fashion	音楽とファッションの密な関係 (前半)
10	Chapter 13 Fantasy and castles	ファンタジーの系譜 (前半)
11	Chapter 13	(後半)

12	Chapter 16 Homes, gardens and the countryside	「home」と「garden」 (前半)
13	学期末試験	試験、まとめと解説
14	Chapter 16	(後半)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを事前に読み、問題を解いてくる。わからない単語は辞書で調べ、ノートもしくはルーズリーフに5回ずつ練習する。テキスト本文の音声は教科書のHPから無料でダウンロードできるので、事前に聞いてくる。

<http://www.otowatsurumi.com/3838/>

リスニング問題の音声は学習支援システムからダウンロードしてください。

本授業の準備学習・復習時間は、1回につき1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Tim Knight 著『Welcome to Britain, Revised Edition 英国のいま』を知りたい（改定新版）音羽書房鶴見書店、2018年、1800円＋税

【参考書】

辞書は『リーダーズ英和辞典』（研究社）が入っている電子辞書をお薦めします（紙媒体でも可）。授業にも必ず持参のこと。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（授業参加度、授業態度等）30%＋学期末試験70%＝100%
- ・各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
- ・1回の欠席につき平常点から10点の減点とする。1回の遅刻及び早退は3点の減点とし、30分以上遅刻もしくは早退した場合は、いかなる場合も欠席扱いとする。
- ・授業態度が悪い（居眠り、私語など）場合は減点対象とする。
- ・翻訳ソフトの使用は不正とし、発覚次第、当該科目を不可とする。

【学生の意見等からの気づき】

イギリスの文化について、授業の最初に補足説明を行い、英文読解への理解を深める。英会話も適宜行う。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業時は、パソコンが必要となります。大学でオンライン授業を受ける際は、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

You have probably heard of the word, "Brexit." The British decision to leave the EU was a very important factor in the world. This course introduces the British culture to students by reading a textbook on Britain.

(Learning Objectives)

The goal of this course is to improve the reading and listening skills as well as understanding the British culture. The topics of the textbook vary from politics, culture to art. Therefore, students will be able to understand the background of Britain. (Learning activities outside of classroom)

Students are expected to read the textbook beforehand. Your study time will be about one hour for a class.

(Grading Criteria/Policies)

Grading will be decided based on in-class contribution (30%) and term-end examination (70%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

根本 怜奈

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「科学技術」・「健康」・「環境」・「人間の精神」・「宇宙」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力、文法力を高めることを目指す。
2. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
3. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。
4. 授業内での発表を通して、自分の意見を聞き手に伝えるプレゼンテーション能力の基礎を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。単語・熟語・文法・文章構造等を確認しながら、英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。語彙表現の小テストを実施するので、語彙の定着のために、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Unit が3つか4つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出および授業内で発表をする。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。授業内での発表については、授業内でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明
第2回	Unit 1	Digital Amnesia
第3回	Unit 2	Sleep Paralysis
第4回	Unit 3	Why Are Some People Better at Learning Languages?
第5回	Unit 1 ～ Unit 3 のまとめ	Unit 1 ～ Unit 3 の中のいずれかについて、ライティング
第6回	Unit 4	The McCollough Effect
第7回	Unit 5	The Healthiest Drink?
第8回	Unit 6	Health Advice for Fashion Lovers
第9回	Unit 7	Live to Be 120
第10回	Unit 4 ～ Unit 7 のまとめ	Unit 4 ～ Unit 7 の中のいずれかについて、ライティングと授業内発表
第11回	Unit 8	A New Antibiotic Found in the Soil
第12回	Unit 9	The World's Oldest Creature?
第13回	Unit 10	Lazy Ants
第14回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各Unit の英文について、必ず予習をすること。

語彙表現の復習小テストを実施するので、復習もしっかりすること。語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Science Finder (『科学の不思議』) (Jonathan Lynch 他著、成美堂、1,900円(税別))

配布プリントで授業を行うことがある。

英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験（50％）、授業態度・授業内に課した課題（ライティング課題の提出と発表を重視）や小テストと各回のコメントを含む平常点（50％）によって総合的に評価する。

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。遅刻2回は欠席1回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

英作文のクラス内発表を通して、クラスメイトの意見や発表の仕方を参考にしよう促す。英作文や小テストなどの課題において、テキスト内に出てきた語彙や表現の使用・応用を呼びかけることで予習・復習の時間をしっかりとるよう促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions
5. Learn basic skills of presentation.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

根本 怜奈

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「科学技術」・「健康」・「環境」・「人間の精神」・「宇宙」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。春学期よりも量を重視し、速読演習も取り入れる。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力、文法力を高めることを目指す。
2. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
3. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。
4. 授業内での発表を通して、自分の意見を聞き手に伝えるプレゼンテーション能力の基礎を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。単語・熟語・文法・文章構造等を確認しながら、英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。語彙表現の小テストを実施するので、語彙の定着のために、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Unit が3つか4つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出および授業内で発表をする。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。授業内での発表については、授業内でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	パラグラフ・リーディングと速読演習
第2回	Unit 11	(Almost) Vegetarian Bears
第3回	Unit 12	Animals and Earthquakes
第4回	Unit 13	LiquiGlide
第5回	Unit 11 ~ Unit 13 のまとめ	Unit 11 ~ Unit 13 の中のいずれかについて、ライティング
第6回	Unit 14	Unbreakable Glass
第7回	Unit 15	Robots Are Winning
第8回	Unit 16	Li-Fi
第9回	Unit 17	Enceladus
第10回	Unit 14 ~ Unit 17 のまとめ	Unit 14 ~ Unit 17 の中のいずれかについて、ライティングと授業内発表
第11回	Unit 18	The Ninth Planet
第12回	Unit 19	Dyson Sphere
第13回	Unit 20	When Will We See a Great Comet?
第14回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各Unit の英文について、必ず予習をすること。

語彙表現の復習小テストを実施するので、復習もしっかりすること。語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Science Finder (『科学の不思議』) (Jonathan Lynch 他著、成美堂、1,900円(税別))

配布プリントで授業を行うことがある。

英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 (50%)、授業態度・授業内に課した課題 (ライティング課題の提出と発表を重視) や小テストと各回のコメントを含む平常点 (50%) によって総合的に評価する。

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。遅刻2回は欠席1回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

英作文のクラス内発表を通して、クラスメイトの意見や発表の仕方を参考にしよう促す。英作文や小テストなどの課題において、テキスト内に出てきた語彙や表現の使用・応用を呼びかけることで予習・復習の時間をしっかりとるよう促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions
5. Learn basic skills of presentation
6. Improve rapid reading skill.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

深澤 清

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

これまでに学習したことを基礎として、総合的な英語力を養うことを目的とする。特に英語の4技能の一つであるリーディング(文章理解、基礎的な文法の理解、語彙の増強)のスキルを強化し、英文の読解力向上のための基盤づくりができるようにする。また、英語のリスニング、スピーキングの力も強化する。英語でコミュニケーションをすることの楽しさを実感し、日常的な場面で自分が伝えたいことを表現し、又相手が伝えたいことを理解できるようにする。コミュニケーション活動を通して、他者との相互理解を深める機会を得る。さらに学習を通して海外事情を知り、世界の中の日本、そして日本の中の世界を知る。様々なテーマを含む英文資料を理解し、クリティカルな分析能力を養う。

【到達目標】

テキストの予習・復習を通して文法、イディオム、フレーズを理解し使えることができる。英語語彙力を身につける。短いフレーズは何度もドリル練習をして暗記する。英語ジャーナルを書いて発表する。テキスト、プリント等の記述内容を理解し、それに対する自分の意見を他者に伝えることができる。他者の発言を尊重しつつ、自分の意見との妥協点を見い出すことができる。英語で自分の意見を述べるができる。コミュニケーションスキルを培い、自信を持って話せることができる。リスニング、リーディング、ライティングの課題に取り組む。ペアワーク、グループワークに参加し、課題やプロジェクトを完成させることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面による講義形態で行い、基本的に教科書に沿って授業を進めます。授業では教科書の内容について解説し、提出されたリアクションペーパー、演習問題の回答についてフィードバックします。さらに、積極的にHoppii等の授業支援システムを活用し、補足説明や演習問題、課題等に対する解説、正答のフィードバックを行います。教科書の内容について、ペアワーク、グループワークにより意見交換をします。授業時間以外でもHoppiiに出された課題に取り組み、継続的に学習します。英語によるプレゼンテーションを行い、パワーポイント等の視覚ツールを用いながら、自分の意見を他者に伝える機会を持ちます。尚、プレゼンテーション実施の際は、視覚資料等の円滑な運用のため、ZOOM等のツールを用いる場合があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Unit 1	Orientation Summer Holiday Plans. Introduction to Life Topics changing views. The Joy of Anticipation	Planning for summer holiday plan. Anticipation is an important source of happiness.

Unit 2	Online Booking. How Long does it Take to Make a Friend?	How to book a ticket. People are naturally social and want to bond with one another.
Unit 3	In an airplane. How to Form Good Habits	Conversation in an airplane. We all have behaviors that we want to replace with good habits, but most of us have no idea how good habits are formed.
Unit 4	Exchanging Money. How to Become More Productive	Money Exchange. We all want to become more efficient at our jobs and at getting more done, but often we simply do not know how to do it.
Unit 5	At the Accommodation. Introverts and Extroverts	Where do you stay? Examples of introvert and extrovert character traits and behaviors
Unit 6	Smartphones and PCs. Social Media and Loneliness	SIM Free world. Is using social media good or bad for us? Why do you think so?
Unit 7	Using Uber. Five Healthy Habits	How to catch a taxi. What are five good habits that will keep you healthier and extend your life?
Unit 8	Public Transport. Are Humans Outdated Machines? Part I	Taking a train in UK. It has been said that humans are outdated machines. Do you agree or disagree?
Unit 9	A study tour. Are humans Outdated Machines? Part II	Go somewhere to do research. When we feel threatened or afraid, how can we control our stress? Explain.
Unit 10	Music Festival. The Happiness Set Point	Enjoy music. Can we boost our level of happiness? How much control do we have over our happiness? Express it in a percentage.
Unit 11	Ordering Food. The Hedonic Treadmill, Part I	Ordering Food. Does having a lot of nice, expensive possessions make you happy? Explain.
Unit 12	Shopping. The Hedonic Treadmill, Part II	Shopping. How can we control ourselves so that we don't get stuck on the hedonic treadmill?
Unit 13	Amusement. The Relationship between Cats and People	Enjoy sports. How and when did cats become humans' pets and begin to share our lives?
Unit 14	Emails. The power of Forgiveness, Part I &Part II	Emails. Is there someone you need to forgive? How important is it for you to do so? And How can you forgive another person?

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業において指示された文献等を読む。テキストにある演習問題の予習・復習をする。授業内で示される課題（レポート、演習問題）に取り組む。準備学習・復習・宿題等は積極的にHoppii等の学習支援システムを活用する。尚、本授業の準備学習・復習時間は1回につき4時間以上とする。

【テキスト（教科書）】

Textbook: Travel English in Action 著者名: Burden Tyler
Publisher: 南雲堂, ISBN: 978-4-523-17942-9-C0082

【参考書】

英和辞典(電子辞書・本型の辞書)など、英単語の意味を知る機能のあるものを必要に応じて持参すること。

【成績評価の方法と基準】

Grading Criteria

70 % 平常点: 英語によるプレゼンテーションの評価

20 % 課題評価: Forms、Hoppii 等の課題についての評価

10 % レポート評価: エッセー(英文)の内容

尚、各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

特にありませんが、今後も優れた授業ができるよう研究を重ねていきます。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム Hoppii の課題等を行うための情報機器(パソコン等)が必要です。

【その他の重要事項】

学生による英語の「プレゼンテーション」は、円滑な運営のために Zoom によるオンラインで行うことがある。その場合には事前に学生に連絡する。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to develop English oral and aural communication skills in a wide variety of real-world situations and emphasizing natural speech and vocabulary development.

Learning objectives: Students will read passages of multiple paragraphs to discuss and talk on general topics and grasp the writer's intention and feeling. This course also helps students foster critical thinking skills to make an objective and multifaceted analysis of the given information.

Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text and complete the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least four hours for a class.

Grading Criteria/policy: Your overall grade in the class will be decided based on the following: In class contribution (presentation in English) 70%: Evaluation of Hoppii's assignment 20%: Short reports: 10%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

深澤 清

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語の構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報をつかみ取ること、また書き手の感情や意図をつかむことに重点を置く。得られた情報を鵜呑みにするのではなく、多面的・客観的観点から分析する、いわゆる批判的思考力の養成も行う。また、英語を使って人前で情報を伝えたり、自分の考えを説明したりする、いわゆる「プレゼンテーション能力」(Presentation Skills in English)の向上を目指す。さらに、英語リスニングのスキルを身につける。

【到達目標】

日常生活や現代社会の様々なトピックに関して自分なりの意見をまとめ、それを口頭や文章で効果的に表現する力を養うことができる。必要な知識・情報を掴み取る力を養うことができる。英語で書かれたトピックの内容を理解し、その内容を他者に伝えることができる。他者の発言を尊重しつつ、自分の意見との妥協点を見出すことができる。プレゼンテーションのための基礎的な知識を身につける。英語のリスニング・スキルアップを図ることができる。英語語彙力をアップさせることができる。テキストの予習・復習を通して文法、イディオム、短いフレーズを理解することができる。英語の短いフレーズは何度もドリル練習をして暗記することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は原則として対面による講義形態で行い、担当教員作成のオリジナルテキストに沿って授業を進めます。授業ではテキストの内容について解説し、演習問題の正答などのフィードバックは授業支援システムのHoppiiを積極的に活用します。テキストの内容については、ペアワーク、グループワークにより意見交換をします。事前に配布するプリント、Hoppiiに出された課題に取り組み、授業時間以外でも受講生は継続的に学習します。学生は英語によるプレゼンテーションを行い、自分の意見を他者に伝える機会を持ちます。さらにHoppiiシステムを活用して、TOEIC(R)、TOEFL、英検等の資格試験対策も早期に取り組みます。正答のフィードバックについても、Hoppiiの情報システムを使います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Unit 1	Conclusions/ Reasons Should mothers stay at home until their children go to school?	Brainstorming &Organizing
Unit 2	Social Trend/ Analysis Why are coffee shops so popular in Japan?	Informative Presentations: Place「場所」
Unit 3	Theory/Proof Your eyebrows express more than your eyes.	Informative Presentations: Topical pattern「理論・実験結果」

Unit 4	Controversy What are the merits and demerits of the lifetime employment system?	Informative Presentations: Advantages &Disadvantages 「長所・短所型」
Unit 5	Comparison/ Contrast Compare city life and country life	Persuasive Presentation: Comparative-Advantage Method「比較優位法」
Unit 6	Classification Developed, rapidly developing, and still underdeveloped countries.	Informative Presentations: Classification pattern「分類型」
Unit 7	Instructions How to stay fit.	Talk about Topical pattern
Unit 8	Chronological Order Write your CV, then re-write it as a paragraph	Informative Presentations: Time「時間」
Unit 9	Cause &Effect What effects have computers had on society?	Persuasive Presentations: Questions of Fact「事実型」
Unit 10	Process How to proceed with conversation	Persuasive Presentations: Problem -Solution Method「問題解決法」
Unit 11	Explanation Exercise and Physical Fitness	Persuasive Presentations: Problem-Cause-Solution Method「問題・原因・解決法」
Unit 12	Definition How to explain the meaning of the new words.	Persuasive Presentations: Talk about Topical pattern
Unit 13	Explanation Statistics	Informative Presentations: Concepts「概念型」
Unit 14	Presentation Practice	Students give presentations.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指示された文献等を事前に読む。テキストにある演習問題の予習・復習をする。授業内で示される課題（レポート、演習問題）に取り組む。準備学習・復習・宿題等は積極的にHoppiiの学習システムを活用する。尚、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて4時間以上とします。

【テキスト（教科書）】

担当教員作成のオリジナルテキストを使用します。印刷物を授業中に配布します。

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

Grading Criteria

70% 平常点: 英語によるプレゼンテーション等、
20% 小テスト: Forms、Hoppiiに出された課題の評価
10% レポート: エッセー(英文)、レポート課題等の内容評価
尚、各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない

【学生の意見等からの気づき】

特にありませんが、今後もより実りある授業にしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムHoppiiの課題を行うための情報機器(パソコン等)が必要です。

【その他の重要事項】

学生による「英語プレゼンテーション」の発表等は、円滑な運営のためにZoomによるオンラインで行うことがある。その場合には事前に学生に連絡する。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students acquire communicative ability and confidence in speaking English. It also enhances the development of students' skills in presentation skills.

Learning objectives: By the end of the course, students should be able to learn and do the followings; 1. Informative Presentations, 2. Persuasive Presentations, 3. Presentation Practice.

Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text and complete the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least four hours for a class.

Grading Criteria/policy: Your overall grade in the class will be decided based on the following: In class contribution (presentation in English) 70%; Evaluation of Hoppii's assignment 20%; Short reports: 10%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

妻鹿 裕子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNNのニュース映像とスクリプトを使用し、様々なトピックについて学びながら、リスニングとリーディングを中心に総合的な英語力の向上を目指します。

【到達目標】

- ・英語の文章を正確に読む力をつけます
- ・論理的な思考力を養います
- ・語彙力を増やします
- ・様々な英語（Englishes）の発音に慣れます
- ・英語のリズムを身につけます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

一つのunitを二回の授業で扱います。前半は語彙とリスニングを、後半はリーディングを中心に進めます。前半はExamplesを小テストとして行い、DefinitionとExamplesの答え合わせをした後、Blanks to Fill inでリスニングをし、答えの確認をします。後半はJudgments to Makeを小テストとして行い、リスニングのスクリプトの訳をした後、Judgments to Makeの答え合わせをします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容・成績評価等に関する説明
2	Unit 1	AI Comes to Hollywood (listening)
3	Unit 1	AI Comes to Hollywood (reading)
4	Unit 2	TikTok CEO in the Hot Seat (listening)
5	Unit 2	TikTok CEO in the Hot Seat (reading)
6	Unit 3	Away with the Language Barrier (listening)
7	Unit 3	Away with the Language Barrier (reading)
8	Unit 4	Enduring Joy (listening)
9	Unit 4	Enduring Joy (reading)
10	Unit 5	Redefining Women's Work (listening)
11	Unit 5	Redefining Women's Work (reading)
12	Unit 6	A Blessing Marred (listening)
13	Unit 6	A Blessing Marred (reading)
14	試験・まとめと解説	学期末試験・春学期の総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習を前提として授業を行います。前半はWords and Phrases to StudyのDefinitionとExamplesを、後半はニュースのスクリプトとJudgments to Makeを予習して下さい。本授業の準備・復習時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『CNNビデオで見る世界のニュース(26)』
(朝日出版社)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

テスト50%、小テスト20%、平常点30%で評価します。遅刻は授業開始時刻から30分までとし、遅刻三回で欠席とみなします。各学期欠席が四回以上の場合は、原則として単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

積極的な授業参加を求めます。どんどん発言して下さい。

【その他の重要事項】

- ・授業で辞書（英和と英英）を使用します。
- ・Hoppiiの「お知らせ」で連絡する場合があります。

【Outline (in English)】

Course Outline

This class aims to help you develop your listening and reading skills.

Learning Objectives

Students will build up their vocabulary, learn the pronunciation features of English, and acquire reading strategies.

Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Study time will be an hour for each class.

Grading Criteria/Policy

The final grade will be based on the following criteria:

1. Final Exam 50%
2. Reports 20%
3. Classroom Participation 30%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

妻鹿 裕子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNNのニュース映像とスクリプトを使用し、様々なトピックについて学びながら、リスニングとリーディングを中心に総合的な英語力の向上を目指します。

【到達目標】

- ・英語の文章を正確に読む力をつけます
- ・論理的な思考力を養います
- ・語彙力を増やします
- ・様々な英語（Englishes）の発音に慣れます
- ・英語のリズムを身につけます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

一つのunitを二回の授業で扱います。前半は語彙とリスニングを、後半はリーディングを中心に進めます。前半はExamplesを小テストとして行い、DefinitionとExamplesの答え合わせをした後、Blanks to Fill inでリスニングをし、答えの確認をします。後半はJudgments to Makeを小テストとして行い、リスニングのスクリプトの訳をした後、Judgments to Makeの答え合わせをします。小テストの答え合わせをする際に、解説を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容・成績評価等に関する説明
2	Unit 7	Interloping Nomads (listening)
3	Unit 7	Interloping Nomads (reading)
4	Unit 8	Flawed Roadmap (listening)
5	Unit 8	Flawed Roadmap (reading)
6	Unit 9	Antiaging Before Aging (listening)
7	Unit 9	Antiaging Before Aging (reading)
8	Unit 10	Japan's Delivery-system Threatened (listening)
9	Unit 10	Japan's Delivery-system Threatened (reading)
10	Unit 11	Toward Early Diagnosis (listening)
11	Unit 11	Toward Early Diagnosis (reading)
12	Unit 12	Controversial Move (listening)
13	Unit 12	Controversial Move (reading)
14	試験・まとめと解説	学期末試験・秋学期の総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習を前提として授業を行います。前半はWords and Phrases to StudyのDefinitionとExamplesを、後半はニュースのスクリプトとJudgments to Makeを予習して下さい。本授業の準備・復習時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『CNNビデオで見る世界のニュース(26)』
(朝日出版社)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

テスト50%、小テスト20%、平常点30%で評価します。遅刻は授業開始時刻から30分までとし、遅刻三回で欠席とみなします。各学期欠席が四回以上の場合は、原則として単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

積極的な授業参加を求めます。どんどん発言して下さい。

【その他の重要事項】

- ・授業で辞書（英和と英英）を使用します。
- ・Hoppiiの「お知らせ」で連絡する場合があります。

【Outline (in English)】

Course Outline

This class aims to help you develop your listening and reading skills.

Learning Objectives

Students will build up their vocabulary, learn the pronunciation features of English, and acquire reading strategies.

Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Study time will be an hour for each class.

Grading Criteria/Policy

The final grade will be based on the following criteria:

1. Final Exam 50%
2. Reports 20%
3. Classroom Participation 30%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

當麻 幸子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アメリカの歴史や文化について読む。各章でポイントを絞り、時代の流れに沿って、建国から現代に至るまでのアメリカで何が起こったのかを学ぶ。

【到達目標】

英語の読解力、語彙力、聴解力、表現力を養う。また、アメリカの歴史や文化に関する知識を深める。アメリカがどのように誕生して、どのように発展してきたか、そしてそれが今日のアメリカ人にどのような影響を与えているかを理解する。アメリカという国を理解し、日本との関わり方を考える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを精読する。また、各章の終わりでは、練習問題で内容を理解できているかどうかを確認する。予め担当者を決めておかず、アトランダムに当てるので、学生は全員毎回の予習が必要である。更に、キーワードについて調べたことを発表してもらう。リアクションペーパー・課題等については、正答、解説、コメントによってフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業についての詳しい説明
2	Lesson 1 前半	Pocahontas, Reading
3	Lesson 1 後半	Pocahontas, Exercises
4	Lesson 2 前半	Celebrating July Fourth at the Statue of Liberty, Reading
5	Lesson 2 後半	Celebrating July Fourth at the Statue of Liberty, Exercises
6	Lesson 3 前半	Babe Ruth, Reading
7	Lesson 3 後半	Babe Ruth, Exercises
8	Lesson 4 前半	Marilyn Monroe, Reading
9	Lesson 4 後半	Marilyn Monroe, Exercises
10	Lesson 5 前半	American History, Reading
11	Lesson 5 後半	American History, Exercises
12	Lesson 6 前半	US Civil Rights Icon Dies at Age of 92, Reading
13	期末試験・まとめと解説	春学期に学習した範囲から出題
14	レポート・まとめ	原則として春学期に学習した範囲から自由に題材を選んで提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。/ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

予習：テキストを読み、和訳できるようにする。練習問題を解く。また、分からない単語や事柄、人物などについて調べる。関連する文献を読む。

復習：準備段階で分からなかったところや間違えたところを中心に見直し、深く理解できるようにする。

発表準備：テキストに関連した事柄から興味のある人物や事柄などを調べ、発表できるようにしておく。

レポート準備：興味のある人物や事柄などを調べ、考察を加えてまとめる。

【テキスト（教科書）】

People and Culture in America, 秋葉勉、星かおり、野口元康、英宝社

【参考書】

追って指示する。

【成績評価の方法と基準】

以下の点の総合で判断する。

期末試験及びレポート 60%

小テスト 10%

通常授業の成績 10%

発表 10%

平常点 10%

3回の遅刻を1回の欠席とみなす。如何なる理由があっても欠席は欠席として扱い、出席扱いにはしない。欠席が4回以上になった学生は単位修得の資格を失う。

オンライン授業となった場合は、提出期限までに課題を提出すれば出席、未提出であれば欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

興味を持ったこと、疑問に思ったことは、学生が自ら進んで調べ、研究するよう促す。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students widen the knowledge of American history and culture.

Learning Objectives: The goal of this course is to develop overall comprehension abilities with stress on reading comprehension, grammar and vocabulary.

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Grading Criteria/Policies: Grading will be decided based on term-end examination and report 60%, quizzes 10%, translation test question 10%, presentation 10%, and in-class contribution 10%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

當麻 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アメリカの歴史や文化について読む。各章でポイントを絞り、時代の流れに沿って、建国から現代に至るまでのアメリカで何が起こったのかを学ぶ。

【到達目標】

英語の読解力、語彙力、聴解力、表現力を養う。また、アメリカの歴史や文化に関する知識を深める。アメリカがどのように誕生して、どのように発展してきたか、そしてそれが今日のアメリカ人にどのような影響を与えているかを理解する。アメリカという国を理解し、日本との関わり方を考える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを精読する。また、各章の終わりでは、練習問題で内容を理解できているかどうかを確認する。予め担当者を決めておらず、アトランダムに当てるので、学生は全員毎回の予習が必要である。更に、キーワードについて調べたことを発表してもらう。リアクションペーパー・課題等については、正答、解説、コメントによってフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期の復習及び秋学期の授業についての詳しい説明
2	Lesson 7 前半	This Is America, Reading
3	Lesson 7 後半	This Is America, Exercises
4	Lesson 8 前半	Betty Friedan, Reading
5	Lesson 8 後半	Betty Friedan, Exercises
6	Lesson 9 前半	Walt Disney, Reading
7	Lesson 9 後半	Walt Disney, Exercises
8	Lesson 10 前半	Andy Warhol, Reading
9	Lesson 10 後半	Andy Walhol, Exercises
10	Lesson 11 前半	Blues Music, Reading
11	Lesson 11 後半	Blues Music, Exercises
12	Lesson 12 前半	Immigration Issues Shape the Experience of US Latinos, Reading
13	期末試験・まとめと解説	秋学期に学習した範囲から出題
14	レポート・まとめ	原則として秋学期に学習した範囲から自由に題材を選んで提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。/ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

予習：テキストを読み、和訳できるようにする。練習問題を解く。また、分からない単語や事柄、人物などについて調べる。関連する文献を読む。

復習：準備段階で分からなかったところや間違えたところを中心に見直し、深く理解できるようにする。

発表準備：テキストに関連した事柄から興味のある人物や事柄などを調べ、発表できるようにしておく。

レポート準備：興味のある人物や事柄などを調べ、考察を加えてまとめる。

【テキスト（教科書）】

People and Culture in America, 秋葉勉、星かおり、野口元康、英宝社

【参考書】

追って指示する。

【成績評価の方法と基準】

以下の点の総合で判断する。

期末試験及びレポート 60%

小テスト 10%

通常授業の成績 10%

発表 10%

平常点 10%

3回の遅刻を1回の欠席とみなす。如何なる理由があっても欠席は欠席として扱い、出席扱いにはしない。欠席が4回以上になった学生は単位修得の資格を失う。

オンライン授業となった場合は、提出期限までに課題を提出すれば出席、未提出であれば欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

興味を持ったこと、疑問に思ったことは、学生が自ら進んで調べ、研究するよう促す。

【Outline (in English)】

Course outline:The aim of this course is to help students widen the knowledge of American history and culture.

Learning Objectives:The goal of this course is to develop overall comprehension abilities with stress on reading comprehension, grammar and vocabulary.

Learning activities outside of classroom:Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Grading Criteria/Policies:Grading will be decided based on term-end examination and report 60%, quizzes 10%, translation test question 10%, presentation 10%, and in-class contribution 10%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

岩坪 友子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月1/Mon.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

社会・文化のさまざまなテーマを扱う英語教材を通して、知識や問題意識、クリティカル・シンキング力を養いながら、主として英語リーディング力とリスニング力を伸ばします。書かれた／話された内容を理解し、考察し、要約・説明したり意見を述べる練習を行い、自信と関心を深めます。

【到達目標】

- (1)教材レベルの英文について、構成・内容を理解し、日本語や平易な英語で説明・要約・意見交換できる
- (2)教材レベルの英語の音声聞いて理解し、日本語や平易な英語で説明したり意見交換できる
- (3)教材レベルの英語を明瞭で自然なイントネーションで音読できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業では予習シートに解答を記入、スライドを活用しながら指名やペアワークなどで理解を確認、日本語や英語での要約や意見交換、会話などの音読練習を行い、終了時にリアクションを記入します。教科書は多様なテーマの会話と文章で構成され、受信・考察・発信の流れを促すよう工夫されています。リスニングでは大意把握とディクテーションを行い、音の性質・会話の展開・話者の態度・表現などに注目します。リーディングでは批判的思考も意識しつつ全体と各パラグラフの構成・趣旨の把握を主眼とし、必要に応じて細部の確認も行います。語彙・表現・構成は使う目線でも参考にします。付属音声は予習復習での活用を奨励し、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意してリスニングと読解力の向上に役立てながら、内容を理解した上での自然で明瞭な発話のモデルとします。予復習や理解・考察などについて、口頭や各課小テスト、期末テストなどで確認します。質問や小テストなどへのフィードバックを授業内で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション。Unit 1 Cross-cultural understanding 導入	授業の概要説明。Unit 1 リスニング (ディクテーション・音読)、リーディング (T/F・前半要約)
2	Unit 1 High & Low 理解と考察	Unit 1 リーディング (後半要約・細部確認・練習問題・意見交換)
3	Unit 2 Foods 導入	U1小テスト。Unit 2 リスニング (ディクテーション・音読)、リーディング (T/F・前半要約)
4	Unit 2 Sustaining Culture 理解と考察	Unit 2 リーディング (後半要約・細部確認・練習問題・意見交換)
5	Unit 3 Foreign language learning 導入	U2小テスト。Unit 3 リスニング (ディクテーション・音読)、リーディング (T/F・前半要約)

6	Unit 3 Will Machine Translation Replace Human Translators? 理解と考察	Unit 3 リーディング (後半要約・細部確認・練習問題・意見交換)
7	Unit 4 Sports 導入	U3小テスト。Unit 4 リスニング (ディクテーション・音読)、リーディング (T/F・前半要約)
8	Unit 4 Obstacle Course Racing 理解と考察	Unit 4 リーディング (後半要約・細部確認・練習問題・意見交換)
9	Unit 5 Fashion 導入	U4小テスト。Unit 5 リスニング (ディクテーション・音読)、リーディング (T/F・前半要約)
10	Unit 5 The History of Jeans 理解と考察	Unit 5 リーディング (後半要約・細部確認・練習問題・意見交換)
11	Unit 6 Living things 導入	U5小テスト。Unit 6 リスニング (ディクテーション・音読)、リーディング (T/F・前半要約)
12	Unit 6 Safer Distance 理解と考察	Unit 6 リーディング (後半要約・細部確認・練習問題・意見交換)
13	春学期の総復習	U6小テスト。Unit 1-6の復習 (再確認・定着・考察・意見交換)
14	期末テスト。春学期のまとめ	春学期末テスト。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

予習・授業・復習のセットで苦手克服と実力向上、意欲・習慣の構築を目指します。①予習 (1)テキストのリスニング／リーディング問題を解き根拠も準備 (2)会話／文章の趣旨の把握。未知語は文脈から推測後、辞書で確認 (3)パラグラフごとの要約 (1～2文程度) を日本語と英語で練習 (4)ダウンロード音声の区切り・抑揚などに留意して音読練習

②復習 (1)テキストを再読。スライド資料を活用。重要表現は書いて声に出して定着 (2)ダウンロード音声を (テキストを見ながら／見ないで) リピート／シャドーイング (3)テキストのキーワードなどを使って内容の要約を言う／書く (4)テーマについて (書籍やウェブサイト等で情報収集し視野を広げる意識を持ちつつ) 自分の意見を言う／書く

※音声活用 (1)スクリプトなしで大意の把握を目指して聞く (2)スクリプトを見て (印をつけたり) 確認しながら繰り返し聞く (3)リピート／シャドーイング練習

【テキスト (教科書)】

VELC研究会教材開発グループ、望月正道、静哲人、熊澤孝昭 編著、*AMBITIONS Intermediate* (4技能統合型で学ぶ英語コース: 中級編) 金星堂、¥2,100 (税込¥2,310)

【参考書】

授業やスライド内で紹介・指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (予習・授業の取り組み・小テストなど) 40%、期末テスト 60%の割合で、上記到達目標 (1)(2)(3)の達成度に照らして評価します。※欠席が3回を超過すると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください。遅刻に注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

多様なトピックで、予習復習のペースもよかったなどの声が聞かれましたので、みなさんの取り組み・成長をサポートできるよう内容・手法の充実を図りたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

授業の連絡事項・資料配布などに学習支援システムを使います。大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください。

【Outline (in English)】

Course outline:

This course is designed to help students develop their confidence in English communication, including reading and listening skills, through reading articles and listening to conversations on a wide range of issues in the world today. Students will learn about paragraph structure and practice summarizing and commenting on the text. They will also practice listening and reading aloud.

Learning objectives:

The goals are to develop the ability to summarize the text, understand spoken language, read aloud, and express opinions on relevant topics.

Learning activities outside of classroom:

Completing assignments (reading the text, listening to a recording and answering questions) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least one hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria/policy:

Active class participation and quizzes (40%), and a final examination (60%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

岩坪 友子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

社会・文化のさまざまなテーマを扱う英語教材を通して、知識や問題意識、クリティカル・シンキング力を養いながら、主として英語リーディング力とリスニング力を伸ばします。書かれた／話された内容を理解し、考察し、要約・説明したり意見を述べる練習を行い、自信と関心を深めます。

【到達目標】

- (1)教材レベルの英文について、構成・内容を理解し、日本語や平易な英語で説明・要約・意見交換できる
- (2)教材レベルの英語の音声聞いて理解し、日本語や平易な英語で説明したり意見交換できる
- (3)教材レベルの英語を明瞭で自然なイントネーションで音読できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業では予習シートに解答を記入、スライドを活用しながら指名やペアワークなどで理解を確認、日本語や英語での要約や意見交換、会話などの音読練習を行い、終了時にリアクションを記入します。教科書は多様なテーマの会話と文章で構成され、受信・考察・発信の流れを促すよう工夫されています。リスニングでは大意把握とディクテーションを行い、音の性質・会話の展開・話者の態度・表現などに注目します。リーディングでは批判的思考も意識しつつ全体と各パラグラフの構成・趣旨の把握を主眼とし、必要に応じて細部の確認も行います。語彙・表現・構成は使う目線で参考にします。付属音声は予習復習での活用を奨励し、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意してリスニングと読解力の向上に役立てながら、内容を理解した上での自然で明瞭な発話のモデルとします。予復習や理解・考察などについて、口頭や各課小テスト、期末テストなどで確認します。質問や小テストなどへのフィードバックを授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7 Art 導入	Unit 7 リスニング（ディクテーション・音読）、リーディング（T/F・前半要約）
2	Unit 7 Moving Pictures, Before There Were Movies	Unit 7 リーディング（後半要約・細部確認・練習問題・意見交換）
3	Unit 8 Global issues 導入	U7小テスト。Unit 8 リスニング（ディクテーション・音読）、リーディング（T/F・前半要約）
4	Unit 8 Jack's Cambodian Blog 理解と考察	Unit 8 リーディング（後半要約・細部確認・練習問題・意見交換）
5	Unit 9 Japanese culture 導入	U8小テスト。Unit 9 リスニング（ディクテーション・音読）、リーディング（T/F・前半要約）

6	Unit 9 Cosplay: Bringing Anime to Life 理解と考察	Unit 9 リーディング（後半要約・細部確認・練習問題・意見交換）
7	Unit 10 Human rights 導入	U9小テスト。Unit 10 リスニング（ディクテーション・音読）、リーディング（T/F・前半要約）
8	Unit 10 Terrorism and Torture 理解と考察	Unit 10 リーディング（後半要約・細部確認・練習問題・意見交換）
9	Unit 11 Health & medical issues 導入	U10小テスト。Unit 11 リスニング（ディクテーション・音読）、リーディング（T/F・前半要約）
10	Unit 11 How to Live a Long Life: Secrets of the Japanese 理解と考察。プレゼンテーション・リハーサル 導入	Unit 11 リーディング（後半要約・細部確認・練習問題・意見交換）
11	Unit 12 Environmental issues 導入。プレゼンテーション・リハーサル 導入	U11小テスト。Unit 12 リスニング（ディクテーション・音読）、リーディング（T/F・前半要約）
12	Unit 12 Great Barrier Reef Speech 理解と考察	Unit 12 リーディング（後半要約・細部確認・練習問題・意見交換）
13	秋学期の総復習	U12小テスト。Unit 7-12の復習（再確認・定着・考察・意見交換）
14	期末テスト。秋学期のまとめ	秋学期末テスト。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

予習・授業・復習のセットで苦手克服と実力向上、意欲・習慣の構築を目指します。①予習 (1)テキストのリスニング／リーディング問題を解き根拠も準備 (2)会話／文章の趣旨の把握。未知語は文脈から推測後、辞書で確認 (3)パラグラフごとの要約（1～2文程度）を日本語と英語で練習 (4)ダウンロード音声の区切り・抑揚などに留意して音読練習

②復習 (1)テキストを再読。スライド資料を活用。重要表現は書いて声に出して定着 (2)ダウンロード音声（テキストを見ながら／見ないで）リピート／シャドーイング (3)テキストのキーワードなどを使って内容の要約を言う／書く (4)テーマについて（書籍やウェブサイト等で情報収集し視野を広げる意識を持ちつつ）自分の意見を言う／書く

※音声活用 (1)スクリプトなしで大意の把握を目指して聞く (2)スクリプトを見て（印をつけたり）確認しながら繰り返し聞く (3)リピート／シャドーイング練習

【テキスト（教科書）】

VELC研究会教材開発グループ、望月正道、静哲人、熊澤孝昭 編著、*AMBITIONS Intermediate*（4技能統合型で学ぶ英語コース：中級編）金星堂、¥2,100（税込¥2,310）

【参考書】

授業やスライド内で紹介・指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（予習・授業の取り組み・小テストなど）40%、期末テスト60%の割合で、上記到達目標(1)(2)(3)の達成度に照らして評価します。※欠席が3回を超過すると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください。遅刻に注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

多様なトピックで、予習復習のペースもよかったなどの声が聞かれましたので、みなさんの取り組み・成長をサポートできるよう内容・手法の充実を図りたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

授業の連絡事項・資料配布などに学習支援システムを使います。大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください。

【Outline (in English)】

Course outline:

This course is designed to help students develop their confidence in English communication, including reading and listening skills, through reading articles and listening to conversations on a wide range of issues in the world today. Students will learn about paragraph structure and practice summarizing and commenting on the text. They will also practice listening and reading aloud.

Learning objectives:

The goals are to develop the ability to summarize the text, understand spoken language, read aloud, and express opinions on relevant topics.

Learning activities outside of classroom:

Completing assignments (reading the text, listening to a recording and answering questions) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least one hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria/policy:

Active class participation and quizzes (40%), and a final examination (60%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

大澤 岳彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュース英語に慣れ、理解し、検討することが、この授業の主眼である。英語を手段にして、世界の今を直に感じられるように努力してもらいたい。授業では、実際の記事、ニュースを素材にして、ヘッドライン、構成、語法をつかむのは、勿論のこと、リスニング力・語彙力の強化と背景の理解を最大の課題とする。

【到達目標】

ニュース英語の基礎（ヘッドライン、リード、ボディ、キーワード等）を理解し、記事が書かれたバックグラウンドに迫る。ニュース英語についての幅広い知識を身に着け、実践的な現代英語運用能力を体得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の授業では、米ABCニュースや英字新聞等の課題に取り組み、その解答やフィードバックをGoogle Classroomを使って行なう。ニュース英語の特徴（ニュースの内容や構成、文化背景、特徴的な語彙等）を把握する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業内容・進め方、テキスト、ABC World News Tonight の紹介
2	英語ニュースの構成、特色	ヘッドライン、リード、ボディ、キーワード、ニュースバリュー等
3	News Story 1 Deepfake AI Images 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
4	News Story 1 Deepfake AI Images 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
5	News Story 2 Professional Dog Photos 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
6	News Story 2 Professional Dog Photos 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
7	News Story 3 Columbia Protests Force Remote Classes 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
8	News Story 3 Columbia Protests Force Remote Classes 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
9	News Story 4 Autism Through Broadway 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解

10	News Story 4 Autism Through Broadway 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
11	News Story 5 Cleaning Up Our Planet 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
12	News Story 5 Cleaning Up Our Planet 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
13	News Story 6 Rosie the Riveters	総まとめ 1、期末課題
14	News Story 7 Mission to the Moon	総まとめ 2、期末課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

メディア英語の学習のためには、日々のニュース理解がまず必要である。新聞、テレビ、ネットなどの世界ニュースを継続してフォローしてもらいたい。

授業外では、自習用オンラインビデオを使って、毎回の授業準備、予習に最低1時間、復習時間が必要。

【テキスト（教科書）】

大澤岳彦、堤龍一郎 "A Shorter Course in Newspaper English"
Revised edition 5刷 南雲堂
山根繁、山根キャサリン "ABC Newsroom 3" 金星堂

【参考書】

新語、固有名詞を詳細に説明している語数の多い辞書を用意のこと。参考情報は以下から確認のこと

<https://abcnews.go.com/>

<https://plusmedia.kinsei-do.co.jp/plusmedia/html/user/login.php>

【成績評価の方法と基準】

通常課題：70%、期末課題：30%

毎回の課題、授業への取組み、期末課題を考慮して総合的に評価する。欠席が4回以上になった場合は原則として単位取得の資格を失う。正当な理由なき40分以上の遅刻、早退は欠席、また同じく20分以上の遅刻、早退2回で欠席1回とする。

【学生の意見等からの気づき】

Google Classroom を通じた毎回の課題とフィードバックを学生との大事なコミュニケーションツールとしたい。感想、質問、リクエスト等を授業で出来る限り具現化していきたい。前年度学生からの指摘があり、遅刻の基準を成績基準として明確化した。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム、Google Classroom を使用する

授業を受ける際にはヘッドセットが必要となる。

【その他の重要事項】

時事英語学習のためには、まず日本語での世界情勢の理解が必要である。毎日、ニュースを見て、新聞を読むくせをつけてもらいたい。＜実務経験＞業種：民間放送局/職種：編成、プロデューサー、営業促進等/年数：11年
＜実務経験＞業種：財団法人（東京国際映画祭、高松宮殿下記念世界文化賞等実施）/職種：企画広報、プロデューサー/年数：15年

【Outline (in English)】

Course outline:

The main focus of this lesson is to become accustomed to, understand, and consider media English. I would like you to make an effort to feel the present of the world directly by using English. In class, I would like to use actual news as materials to grasp headlines, composition, and grammar, as well as strengthen listening and vocabulary skills and understand the background.

Learning objectives: Delivers classes that raise students' desire to learn as well as their Media English ability, classes that give students a sense of achievement in their studies so that they themselves take the initiative in their Media English learning.

Learning activities outside of classroom: In order to learn media English, daily news understanding is compulsory. I want you to continue to follow world news such as newspapers, TV, and the Internet.

Outside of class, one hour of preparation /review is standard every week using online videos for self-study.

Grading criteria/policy:

Class assignments 70%, term-end assignments 30%

Comprehensive evaluation will be made in consideration of each assignment, class approach, and term-end assignment.

As a general rule, those who are absent four times or more will be disqualified from earning credits.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

大澤 岳彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

メディア英語に慣れ、理解し、検討することが、この授業の主眼である。英語を手段にして、世界の今を直に感じられるように努力してもらいたい。授業では、実際の記事、ニュースを素材にして、ヘッドライン、構成、語法をつかむのは、勿論のこと、リスニング力・語彙力の強化と背景の理解を最大の課題としたい。

【到達目標】

ニュース英語の基礎（ヘッドライン、リード、ボディ、キーワード等）を理解し、記事が書かれたバックグラウンドに迫る。ニュース英語についての幅広い知識を身につけ、実践的な現代英語運用能力を体得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の授業では、Google Classroom を通じて、米ABCニュースや英字新聞記事等の課題に取り組み、その解答やフィードバックを行う。

ニュース英語の特徴（ニュースの内容や構成、文化背景、特徴的な語彙等）を把握する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	News Story 8 Legendary Tailor 1	休暇中ニュースのフォローアップ、秋学期の進め方等
2	News Story 8 Legendary Tailor 2	英字新聞、テレビニュース英語の形式、構成の理解
3	News Story 9 CDC Issues Bird Flu Alert 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
4	News Story 9 CDC Issues Bird Flu Alert 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
5	News Story 10 Driving Toll for New York City 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
6	News Story 10 Driving Toll for New York City 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
7	News Story 11 The Eclipse Across America 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
8	News Story 11 The Eclipse Across America 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
9	News Story 12 Migrant Crisis 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
10	News Story 12 Migrant Crisis 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
11	News Story 13 Made in America Christmas Trees 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解

12	News Story 13 Made in America Christmas Trees 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
13	News Story 14 First Female Supreme Court Justice	総まとめ 1, 期末課題
14	News Story 15 Uncovered Secrets of Plastic Waste	総まとめ 2, 期末課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

メディア英語の学習のためには、日々のニュース理解がまず必要である。新聞、テレビ、ネットなどの世界ニュースを継続してフォローしてもらいたい。
授業外では、自習用オンラインビデオを使って、毎週1時間の予習・復習を標準とする。

【テキスト（教科書）】

大澤岳彦、堤龍一郎 "A Shorter Course in Newspaper English" Revised edition 5刷 南雲堂
山根繁、山根キャサリン "ABC Newsroom 3" 金星堂

【参考書】

新語、固有名詞を詳細に説明している語数の多い辞書を用意のこと。参考情報は以下から確認のこと

<https://abcnews.go.com/>

<https://plusmedia.kinsei-do.co.jp/plusmedia/html/user/login.php>

【成績評価の方法と基準】

通常課題：70%、期末課題：30%

毎回の課題、授業への取り組み、期末課題を考慮して総合的に評価する。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得の資格を失う。

正当な理由なき40分以上の遅刻、早退は欠席、また同じく20分以上の遅刻、早退2回で欠席1回とする。

【学生の意見等からの気づき】

Google Classroom を通じた毎回の課題とフィードバックを学生との大事なコミュニケーションツールとしたい。感想、質問、リクエスト等を授業で出来る限り具現化していきたい。前年度学生からの指摘があり、遅刻の基準を成績基準として明確化した。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布、課題提出等は、Google クラウドと学習支援システムを通して実施。パソコンとヘッドホンが必要となる。

【その他の重要事項】

時事英語学習のためには、まず日本語での世界情勢の理解が必要である。毎日、ニュースを見て、新聞を読むくせをつけてもらいたい。
＜実務経験＞業種：民間放送局/職種：編成、プロデューサー、営業促進等/年数：11年
＜実務経験＞業種：財団法人（東京国際映画祭、高松宮殿下記念世界文化賞等実施）/職種：企画広報、プロデューサー/年数：15年

【Outline (in English)】

Course outline:

The main focus of this lesson is to become accustomed to, understand, and consider media English. I would like you to make an effort to feel the present of the world directly by using English. In class, I would like to use actual news as materials to grasp headlines, composition, and grammar, as well as strengthen listening and vocabulary skills and understand the background.

Learning objectives: Delivers classes that raise students' desire to learn as well as their Media English ability, classes that give students a sense of achievement in their studies so that they themselves take the initiative in their Media English learning.

Learning activities outside of classroom: In order to learn media English, daily news understanding is compulsory. I want you to continue to follow world news such as newspapers, TV, and the Internet.

Outside of class, one hour of preparation /review is standard every week using online videos for self-study.

Grading criteria/policy:

Class assignments 70%, term-end assignments 30%

Comprehensive evaluation will be made in consideration of each assignment, class approach, and term-end assignment.

As a general rule, those who are absent four times or more will be disqualified from earning credits.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

本間 章郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、複数のパラグラフからなる英語の文章を的確に読むことのできる能力の育成を目指します。授業では英字新聞を中心とする、時事英語の教科書を使用します。前後のパラグラフの関連性を意識して、重要な情報を的確につかみ取り、内容を把握できるようになることを意識してください。同時に時事英語を理解する上で必要な単語や語句を覚えていきます。自分で英語の勉強を進める上で、英字新聞に限らず、さまざまなメディアの英語に接すると思いますが、授業で学んだ単語・語句、あるいは表現などを活用できるようになることを期待します。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の技能の運用能力の向上を目指して次の目標を意識してほしいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 時事英語に頻出する重要な単語・語句を覚える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、英作文を提出してもらいます。また、数回、小テストをおこないます。小テストは語彙の理解や、リスニングなどを問う問題になります。授業の進捗と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	Chapter 1: 国内政治	本文読解
第3回	Chapter 1: 国内政治	問題演習
第4回	Chapter 2: 経済・ビジネス (1)	本文読解
第5回	Chapter 2: 経済・ビジネス (1)	問題演習
第6回	Chapter 3: 経済・ビジネス (2)	本文読解
第7回	Chapter 3: 経済・ビジネス (2)	問題演習
第8回	Chapter 4: 外交・国際会議	本文読解
第9回	Chapter 4: 外交・国際会議	問題演習
第10回	Chapter 5: 軍事	本文読解
第11回	Chapter 5: 軍事	問題演習
第12回	Chapter 6: 海外政治情勢	本文読解

第13回 Chapter 6: 海外政治 問題演習

情勢

第14回 試験・まとめと解説 授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。該当する英文を読み、わからない単語・表現を調べて内容を把握し、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

English for Mass Communication 2025 Edition (『時事英語の総合演習 — 2025 年度版』)

堀江洋文他著 朝日出版社 2025年 1800円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (60%)、英作文 (20%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)と(4)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位習得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業の実施状況と学期末試験の結果を踏まえて、今年度は教科書の英文の説明にもっと時間を掛けたいと思います。昨年度も説明に時間を掛けるよう意識しましたが、不十分なところもあったかと思っています。今年度はもっと受講生に理解度を深めて欲しいと考えています。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various contemporary issues of Japan and the World through news reports in English. The news topics range widely from politics or economy to entertainment or sports, which help students understand contemporary issues in Japan and the world. Some students may think it is rather difficult to read news reports in English. But most of students know more or less about these topics, because these topics were reported in Japanese news media. I think it is easy for them to get the gist of the news reports. The topics help students realize how critical various problems facing Japan and the world are. By reading the news articles, students will keep in mind the logical relationships between paragraphs and get proper understanding of them. And students have to memorize frequently used words and phrases in English news reports. These words and phrases related with important topics are helpful for students willing to read or watch more news reports in English. I hope students can improve their English skills and get a better sense of various contemporary issues.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, memorize important words and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria / Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 60%, writing : 20%, quizzes: 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
English 1 II	2017年度以降入学者
本間 章郎	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：金 2/Fri.2
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、複数のパラグラフからなる英語の文章を的確に読むことのできる能力の育成を目指します。授業では英字新聞を中心とする、時事英語の教科書を使用します。前後のパラグラフの関連性を意識して、重要な情報を的確につかみ取り、内容を把握できるようにすることを意識してください。同時に時事英語を理解する上で必要な単語や語句を覚えていきます。自分で英語の勉強を進める上で、英字新聞に限らず、さまざまなメディアの英語に接すると思いますが、授業で学んだ単語・語句、あるいは表現などを活用できるようになることを期待します。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の技能の運用能力の向上を目指して次の目標を意識してほしいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 時事英語に頻出する重要な単語・語句を覚える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、英作文を提出してもらいます。また、数回、小テストをおこないます。小テストは語彙の理解や、リスニングなどを問う問題になります。授業の進捗と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	Chapter 7: 文化・社会	本文読解
第3回	Chapter 7: 文化・社会	問題演習
第4回	Chapter 8: 犯罪・事件	本文読解
第5回	Chapter 8: 犯罪・事件	問題演習
第6回	Chapter 9: 裁判・法令	本文読解
第7回	Chapter 9: 裁判・法令	問題演習
第8回	Chapter 10: 地球環境・気象	本文読解
第9回	Chapter 10: 地球環境・気象	問題演習
第10回	Chapter 11: エネルギー・資源	本文読解

第11回	Chapter 11: エネルギー・資源	問題演習
第12回	Chapter 12: 人口問題	本文読解
第13回	Chapter 12: 人口問題	問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。該当する英文を読み、わからない単語・表現を調べて内容を把握し、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

English for Mass Communication 2025 Edition (『時事英語の総合演習 — 2025 年度版』)
堀江洋文他著 朝日出版社 2025 年 1800 円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (60%)、英作文 (20%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)と(4)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から判断します。なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位習得を認めないので注意してください。オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業の実施状況と学期末試験の結果を踏まえて、今年度は教科書の英文の説明にもっと時間を掛けたいと思います。昨年度も説明に時間を掛けるよう意識しましたが、不十分なところもあったかと思っています。今年度はもっと受講生に理解度を深めて欲しいと考えています。

【Outline (in English)】
(Course outline)

In this course, students will be introduced to various contemporary issues of Japan and the World through news reports in English. The news topics range widely from politics or economy to entertainment or sports, which help students understand contemporary issues in Japan and the world. Some students may think it is rather difficult to read news reports in English. But most of students know more or less about these topics, because these topics were reported in Japanese news media. I think it is easy for them to get the gist of the news reports. The topics help students realize how critical various problems facing Japan and the world are. By reading the news articles, students will keep in mind the logical relationships between paragraphs and get proper understanding of them. And students have to memorize frequently used words and phrases in English news reports. These words and phrases related with important topics are helpful for students willing to read or watch more news reports in English. I hope students can improve their English skills and get a better sense of various contemporary issues.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, memorize important words and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. (Grading Criteria / Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 60%, writing : 20%, quizzes: 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

中和 彩子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

使用教科書は、現代社会の興味深い出来事や問題について、平易な英語で書かれた読み物を軸に構成されている。「クリティカル・リーディング」のスキルを中心として総合的に英語力を養いつつ、大学生にふさわしい教養・知識を身につける。

【到達目標】

1. 英文を、一語ずつ立ちどまることなく、意味のかたまりを意識して一定の速さで正確に読むことができる。
2. 英語の文章を、パラグラフの構造・構成を意識して一定の速さで正確に読むことができる。
3. 読んで理解できる英文を、聞き取りによっても理解することができる。
4. 英語の文章をクリティカル（批評的・批判的）に読むことができる。
5. 英語の文章を英語で要約したり、内容について英語でコメントしたりすることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

全員の準備学習を前提とし、教科書の構成に沿って授業を進める。講師が学生を当てて答えさせたり、解説をしたりするほかに、ペアまたはグループワークをとりいれ、学生同士で問題解決を行う時間を設ける。

教科書の章ごとに、理解を確認するための「小テスト」と「復習課題」を課し、授業内でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業、教材についての説明。英語履修指導。
2	Chapter 1 Human Intelligence (1)	Are We Getting Dumber? (前半)
3	Chapter 1 Human Intelligence (2)	Are We Getting Dumber? (後半、まとめ)
4	Chapter 2 Social Media (1)	The Clock is "Tik-ing" for Facebook (前半)
5	Chapter 2 Social Media (2)	The Clock is "Tik-ing" for Facebook (後半、まとめ)
6	Chapter 3 Working Dogs	Lending a Helping Paw
7	Chapter 4 15-minute City (1)	Everything on Your Doorstep (前半)
8	Chapter 4 15-minute City (2)	Everything on Your Doorstep (後半、まとめ)
9	Chapter 5 Tiny Houses (1)	Moving to Minimalism (前半)
10	Chapter 5 Tiny Houses (2)	Moving to Minimalism (後半、まとめ)
11	Chapter 6 Powering Our Homes	Saying Goodbye to Gas

12	Chapter 7 The Future of Cars (1)	Cars—Who Needs Them? (前半)
13	Chapter 7 The Future of Cars (2)	Cars—Who Needs Them? (後半、まとめ)
14	復習・復習試験	前半は今学期の復習。後半に試験を実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各章の“Before You Read”、“Reading Passage”（読み物）、“Test Yourself”、“Focus on Details”は準備学習が必須である。

“Before You Read”に答えながら読み物の内容について予測を立てたうえで、“Reading Passage”を音声（教科書会社のサイトからダウンロード／ストリーミング可能）を聞きながら読み、不明点を辞書等でできる限り調べておく。“Test Yourself”、“Focus on Details”については、解答の根拠も示せるようにしておくこと。

予習時の不明点については、授業中にすぐに質問できるように印をつけるか、ノートに書き出しておく。

※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Katsuhiko Muto and Bill Benfield 『Reading Palette Blue-Intermediate-（英文読解への多面的アプローチ＜中級＞クリティカル・リーディング）』成美堂

【参考書】

大学〜一般向けの英和および英英辞書、各1点以上（電子辞書または本）。

毎回の授業にも持参のこと。

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テスト30%、復習課題30%、ライティング課題10%）と試験(30%)の総合評価とする。

欠席が4回以上の場合は原則として単位修得を認めない。遅刻・早退は程度や回数に応じて減点の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

英文についての解説をゆっくり、丁寧に行う。

グループワークを円滑に進められるよう指導する。

【学生が準備すべき機器他】

必要に応じてZoomを使用したリアルタイムオンライン授業を行う可能性がある。その際、受講環境によってはヘッドセットが必要となる。

【その他の重要事項】

・情報の周知、課題の出題などに学習支援システムを使用する。

・対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業を行う可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【Outline (in English)】

Course outline: The textbook used in this class focuses on critical reading skills while covering a wide range of current global topics that will interest university students. Through reading the passages and working on the accompanying exercises, students will be able to learn how to read texts critically, and also improve their listening and writing skills.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to develop their skills of reading and listening comprehension, and also of summarizing and commenting on what they read in written form.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to prepare for each class meeting by reading the passage and working on the accompanying exercises. They will also be required to submit a couple of writing assignments during the term. ※ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading Policies: Grading will be decided based on in-class mini-quizzes (30%), passage summary and dictation homework (30%), short writing assignments (10%), and the term-end exam (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit for the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

中和 彩子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

使用教科書は、現代社会の興味深い出来事や問題について、平易な英語で書かれた読み物を軸に構成されている。「クリティカル・リーディング」のスキルを中心として総合的に英語力を養いつつ、大学生にふさわしい教養・知識を身につける。

【到達目標】

1. 英文を、一語ずつ立ちどまることなく、意味のかたまりを意識して一定の速さで正確に読むことができる。
2. 英語の文章を、パラグラフの構造・構成を意識して一定の速さで正確に読むことができる。
3. 読んで理解できる英文を、聞き取りによっても理解することができる。
4. 英語の文章をクリティカル（批評的・批判的）に読むことができる。
5. 英語の文章を英語で要約したり、内容について英語でコメントしたりすることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

全員の準備学習を前提とし、教科書の構成に沿って授業を進める。講師が学生を当てて答えさせたり、解説をしたりするほかに、ペアまたはグループワークをとりいれ、学生同士で問題解決を行う時間を設ける。

教科書の章ごとに、理解を確認するための「小テスト」と「復習課題」を課し、授業内でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 8 Superhumans (1)	Leaving Our Old Selves Behind (前半)
2	Chapter 8 Superhumans (2)	Leaving Our Old Selves Behind (後半、まとめ)
3	Chapter 9 Restaurants in Crisis	Kitchen Staff-Workers or Slaves?
4	Chapter 10 Lab-grown Meat (1)	Better Than the Real Thing? (前半)
5	Chapter 10 Lab-grown Meat (2)	Better Than the Real Thing? (後半、まとめ)
6	Chapter 11 Van Living	Time to Hit the Road
7	Chapter 12 Sportswashing (1)	Let Sports Clean Up Your Image (前半)
8	Chapter 12 Sportswashing (2)	Let Sports Clean Up Your Image (後半、まとめ)
9	Chapter 13 Board Games and Climate Change (1)	Everyone Is a Winner (前半)
10	Chapter 13 Board Games and Climate Change (2)	Everyone Is a Winner (後半、まとめ)

11	Chapter 14 The Gig Economy (1)	Freedom or Security? (前半)
12	Chapter 14 The Gig Economy (2)	Freedom or Security? (後半、まとめ)
13	Chapter 15 Digital Music	Are Computers Destroying Music?
14	復習・復習試験	前半は今学期の復習。後半に試験を実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各章の“Before You Read”、“Reading Passage”（読み物）、“Test Yourself”、“Focus on Details”は準備学習が必須である。

“Before You Read”に答えながら読み物の内容について予測を立てたうえで、“Reading Passage”を音声（教科書会社のサイトからダウンロード／ストリーミング可能）を聞きながら読み、不明点を辞書等でできる限り調べておく。“Test Yourself”、“Focus on Details”については、解答の根拠も示せるようにしておくこと。

予習時の不明点については、授業中にすぐに質問できるように印をつけるか、ノートに書き出しておく。

※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Katsuhiko Muto and Bill Benfield 『Reading Palette Blue-Intermediate-（英文読解への多面的アプローチ＜中級＞クリティカル・リーディング）』成美堂

【参考書】

大学〜一般向けの英和および英英辞書、各1点以上（電子辞書または本）。

毎回の授業にも持参のこと。

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テスト30%、復習課題30%、ライティング課題10%）と試験（30%）の総合評価とする。

欠席が4回以上の場合原則として単位修得を認めない。遅刻・早退は程度や回数に応じて減点の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

英文についての解説をゆっくり、丁寧に行う。
グループワークを円滑に進められるよう指導する。

【学生が準備すべき機器他】

必要に応じてZoomを使用したリアルタイムオンライン授業を行う可能性がある。その際、受講環境によってはヘッドセットが必要となる。

【その他の重要事項】

- ・情報の周知、課題の出題などに学習支援システムを使用する。
- ・対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業を行う可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【Outline (in English)】

Course outline: The textbook used in this class focuses on critical reading skills while covering a wide range of current global topics that will interest university students. Through reading the passages and working on the accompanying exercises, students will be able to learn how to read texts critically, and also improve their listening and writing skills.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to develop their skills of reading and listening comprehension, and also of summarizing and commenting on what they read in written form.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to prepare for each class meeting by reading the passage and working on the accompanying exercises. They will also be required to submit a couple of writing assignments during the term. ※ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading Policies: Grading will be decided based on in-class mini-quizzes (30%), passage summary and dictation homework (30%), short writing assignments (10%), and the term-end exam (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit for the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

余田 剛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNNで配信されたニュースを素材として扱ったテキストを使用してメディアの英語に触れることと、TOEIC® 用対策問題の演習をおこなうことを通して、リーディング、リスニングと、表現に関する英語の語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

より多くの語彙・語法についての知識と、基本的なリーディングとリスニングを中心とした英語の技能を身に付ける。

2) 文化理解

世界中で起こる現代社会の様々な問題について、独自の分析ができることに意識を向けながら、見聞を広める。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付けることが重要である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業計画に示した各Unit前半の回と後半の回とで内容を分け、それぞれ以下の個所の演習を行う。授業時間内にその場で課題として問題を解いてもらいその答えや解説をフィードバックとして口頭で提示する。

前半の回:

・TOEIC® のテキスト各Unit中、Warm-up Exerciseの演習と表現の練習とMini-TOEIC® ListeningのPart 1と2

・CNNのテキスト等からニュース一つを題材としたリスニングとリーディングの演習

後半の回:

・TOEIC® のテキスト各Unit中、Mini-TOEIC® ListeningのPart 3と4

・CNNのテキスト等からニュース一つを題材としたリスニングとリーディングの演習

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	TOEIC® テキスト Unit 1前半+ CNNテキストUnit 1	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + Toymaker Raises Money for Ukraineのリスニング、リーディング
3	TOEIC® テキスト Unit 1後半+ CNNテキストUnit 2	資格試験問題を使ったリスニング + Face ID Updated for Mask Wearersのリスニング、リーディング

4	TOEIC® テキスト Unit 2前半+ CNNテキストUnit 3	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + Virgin Galactic Tests Spaceplaneのリスニング、リーディング
5	TOEIC® テキスト Unit 2後半+ CNNテキストUnit 4	資格試験問題を使ったリスニング + Monkeys Used in Auto Testsのリスニング、リーディング
6	TOEIC® テキスト Unit 3前半+ CNNテキストUnit 5	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + Elon Musk Unhappy with News Mediaのリスニング、リーディング
7	TOEIC® テキスト Unit 3後半+ CNNテキストUnit 6	資格試験問題を使ったリスニング + Citigroup Gauges Gender Pay Gap at 1%のリスニング、リーディング
8	TOEIC® テキスト Unit 4前半+ CNNテキストUnit 7	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + H&M Criticized for "Racist" Hoodieのリスニング、リーディング
9	TOEIC® テキスト Unit 4後半+ CNNテキストUnit 8	資格試験問題を使ったリスニング + iCloud Data Put under Chinese Controlのリスニング、リーディング
10	TOEIC® テキスト Unit 5前半+ CNN等のニュース	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + ニュースを使ったリスニング、リーディング
11	TOEIC® テキスト Unit 5後半+ CNN等のニュース	資格試験問題を使ったリスニング + ニュースを使ったリスニング、リーディング
12	TOEIC® テキスト Unit 6前半+ CNN等のニュース	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + ニュースを使ったリスニング、リーディング
13	TOEIC® テキスト Unit 6後半+ CNN等のニュース	資格試験問題を使ったリスニング + ニュースを使ったリスニング、リーディング
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業後各自わからなかった単語や表現などをまとめた語彙リストをつくり復習すること。

【テキスト（教科書）】

CNN Short News for Listening: Business, JACET関西支部教材開発研究会編著, (朝日出版社, 2024年), ¥1,200 + tax
Practical Situations for the TOEIC® Test Listening-Revised Edition-, Kayo Yoshida 他著, (成美堂, 2019年), ¥1,300 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（や小テスト）を70％、平常点を30％とし、総合的に評価する。欠席が4回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は3回に達するごとに1回の欠席とカウントする。また授業開始から30分以降の遅刻は欠席と見なす。午前中の授業でもあることから、交通機関の遅れに注意し、時間には余裕をもって来ること。

【学生の意見等からの気づき】

授業外の自習は目標は学生が各自立てても、なかなか実現できない場合が多いため、授業の延長で同じテキストを使って自習をしてもらえるような指示も出したいと思います。

【Outline (in English)】

- ・ This course aims to improve students' English language skills in reading, listening, and writing, using two textbooks, one made up of news stories drawn from CNN TV shows and the other consisting of practice tests to prepare students for TOEIC® examination. Students will develop their abilities to understand the information accurately and express themselves clearly. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.
- ・ After each class meeting, students will be expected to review the lesson and write down the words, phrases, or expressions they are unfamiliar with in their own vocabulary notebooks. Required study time is at least one hour for each class meeting.
- ・ Final grade will be decided based on term-end examination (70%) and in-class contribution (30%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

余田 剛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNNで配信されたニュースを素材として扱ったテキストを使用してメディアの英語に触れることと、TOEIC® 用対策問題の演習をおこなうことを通して、リーディング、リスニングと、表現に関する英語の語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

より多くの語彙・語法についての知識と、基本的なリーディングとリスニングを中心とした英語の技能を身に付ける。

2) 文化理解

世界中で起こる現代社会の様々な問題について、独自の分析ができることに意識を向けながら、見聞を広める。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付けることが重要である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業計画に示した各Unit前半の回と後半の回とで内容を分け、それぞれ以下の個所の演習を行う。授業時間内にその場で課題として問題を解いてもらいその答えや解説をフィードバックとして口頭で提示する。

前半の回:

・TOEIC® のテキスト各Unit中、Warm-up Exerciseの演習と表現の練習とMini-TOEIC® ListeningのPart 1と2

・CNNのテキスト等からニュース一つを題材としたリスニングとリーディングの演習

後半の回:

・TOEIC® のテキスト各Unit中、Mini-TOEIC® ListeningのPart 3と4

・CNNのテキスト等からニュース一つを題材としたリスニングとリーディングの演習

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	TOEIC® テキスト Unit 7前半+ CNNテキストUnit 9	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + All Lamborghinis to Be Hybridのリスニング、リーディング
3	TOEIC® テキスト Unit 7後半+ CNNテキストUnit 10	資格試験問題を使ったリスニング + Four-Legged Robot Now on Saleのリスニング、リーディング

4	TOEIC® テキスト Unit 8前半+ CNNテキストUnit 11	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + First Female CEO of a Major US Bankのリスニング、リーディング
5	TOEIC® テキスト Unit 8後半+ CNNテキストUnit 12	資格試験問題を使ったリスニング + Space X's Starship Lands Successfullyのリスニング、リーディング
6	TOEIC® テキスト Unit 9前半+ CNNテキストUnit 13	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + Amazon Tests Scout Delivery Systemのリスニング、リーディング
7	TOEIC® テキスト Unit 9後半+ CNNテキストUnit 14	資格試験問題を使ったリスニング + Honda and LG Energy Solution Team Upのリスニング、リーディング
8	TOEIC® テキスト Unit 10前半+ CNNテキストUnit 15	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + Trials Show Less Work Is Betterのリスニング、リーディング
9	TOEIC® テキスト Unit 10後半+ CNN等のニュース	資格試験問題を使ったリスニング + ニュースを使ったリスニング、リーディング
10	TOEIC® テキスト Unit 11前半+ CNN等のニュース	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + ニュースを使ったリスニング、リーディング
11	TOEIC® テキスト Unit 11後半+ CNN等のニュース	資格試験問題を使ったリスニング + ニュースを使ったリスニング、リーディング
12	TOEIC® テキスト Unit 12前半+ CNN等のニュース	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + ニュースを使ったリスニング、リーディング
13	TOEIC® テキスト Unit 12後半+ CNN等のニュース	資格試験問題を使ったリスニング + ニュースを使ったリスニング、リーディング
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業後各自わからなかった単語や表現などをまとめた語彙リストをつくり復習すること。

【テキスト（教科書）】

CNN Short News for Listening: Business, JACET関西支部教材開発研究会編著, (朝日出版社, 2024年), ¥1,200 + tax
Practical Situations for the TOEIC® Test Listening-Revised Edition-, Kayo Yoshida 他著, (成美堂, 2019年), ¥1,300 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（や小テスト）を70％、平常点を30％とし、総合的に評価する。欠席が4回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は3回に達するごとに1回の欠席とカウントする。また授業開始から30分以降の遅刻は欠席と見なす。午前中の授業でもあることから、交通機関の遅れに注意し、時間には余裕をもって来ること。

【学生の意見等からの気づき】

授業外の自習は目標は学生が各自立てても、なかなか実現できない場合が多いため、授業の延長で同じテキストを使って自習をしてもらえるような指示も出したいと思います。

【Outline (in English)】

- ・ This course aims to improve students' English language skills in reading, listening, and writing, using two textbooks, one made up of news stories drawn from CNN TV shows and the other consisting of practice tests to prepare students for TOEIC® examination. Students will develop their abilities to understand the information accurately and express themselves clearly. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.
- ・ After each class meeting, students will be expected to review the lesson and write down the words, phrases, or expressions they are unfamiliar with in their own vocabulary notebooks. Required study time is at least one hour for each class meeting.
- ・ Final grade will be decided based on term-end examination (70%) and in-class contribution (30%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

大和久 悌一郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語読解は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語読解能力の習得を目的として、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実に努めることを目指したい。

【到達目標】

- ・TOEICレベルのリーディングで用いられる文法事項の基礎を理解する。
- ・TOEICレベルのリーディングで用いられる語彙の基礎を身につける。
- ・英語時事ニュースの要旨を把握できる、基礎力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

日本のニュースについて英語で発信されたテキストを用いて、読解を進めていきます。基本的にテキスト1章分を2回の授業で扱います。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読みます。毎回、リアクションペーパーでの出欠の確認をして、質問・感想・意見などの提出をお願いします。回答については、次の回で解説や応答を行います。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明する。
2	Chapter 1	Chapter 1 Washoku on the rise 和食が人気に（精読）
3	Chapter 1	Chapter 1 Washoku on the rise 和食が人気に（再読、リスニング、質疑応答）
4	Chapter 2	Chapter 2 Female android helps men become fashionistas 女性型アンドロイドが男性をファッションистに（精読）
5	Chapter 2	Chapter 2 Female android helps men become fashionistas 女性型アンドロイドが男性をファッションистに（再読、リスニング、質疑応答）
6	Chapter 3	Chapter 3 Quarter of high schoolers net-dependent: study 高校生の4分の1がネット依存（精読）

7	Chapter 3	Chapter 3 Quarter of high schoolers net-dependent: study 高校生の4分の1がネット依存（再読、リスニング、質疑応答）
8	Chapter 4	Chapter 4 Japan local products 日本の地産品を世界へ（精読）
9	Chapter 4	Chapter 4 Japan local products 日本の地産品を世界へ（再読、リスニング、質疑応答）
10	Chapter 5	Chapter 5 Hachiko finally reunited with master ついに飼い主に会えたハチ公（精読）
11	Chapter 5	Chapter 5 Hachiko finally reunited with master ついに飼い主に会えたハチ公（再読、リスニング、質疑応答）
12	Chapter 6	Chapter 6 Hi-tech handrail aims to ease passage for the elderly 高齢者のための（精読） ここまでの復習の小テスト
13	Chapter 6	Chapter 6 Hi-tech handrail aims to ease passage for the elderly 高齢者のための（再読、リスニング、質疑応答）
14	Chapter 7	Chapter 7 26-year-old designs Honda's new sports car 26歳がスポーツカーをデザイン（精読）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に、事前に該当ページについての予習をおこなうこと。また単語、熟語については授業後に復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

津田晶子、金志佳代子、Kelly MacDonald 著『NTV News24 English 一日テレNews24 Englishで考える日本事情』英宝社、2017年

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席・予習・小テスト等）60%、期末試験40%で評価します。30分以上の遅刻は欠席とみなし、また3回の遅刻は1回の欠席とみなします。4回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムで資料の配布やアンケートを行いますので、アクセスできる環境を用意しておいてください。オンラインでの回は、資料配布ですので、zoomなどの動画に対応する必要はありません。

【Outline (in English)】

[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting. [Learning activities outside of classroom] reading and listening textbook before and after class. [Grading Criteria/Policy] Activities in class (attendance, question, and discussion) : 60% , Term-end exam : 40%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)			7	Chapter 10	Chapter 10 Japanese tea ceremony celebrates peace at UN 国連でお茶会 (再読、リスニング、質疑応答)
English 1 II			8	Chapter 11	Chapter 11 Nation's workers to undergo stress tests 全国の労働者にストレステスト (精読)
大和久 悌一郎			9	Chapter 11	Chapter 11 Nation's workers to undergo stress tests 全国の労働者にストレステスト (再読、リスニング、質疑応答)
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月 1/Mon.1			10	Chapter 12	Chapter 12 New high-rise to tower over 都心に新構想のビルの発表 (精読)
単位数：1 単位			11	Chapter 12	Chapter 12 New high-rise to tower over 都心に新構想のビルの発表 (再読、リスニング、質疑応答)
その他属性：			12	Chapter 13	Chapter 13 Historic festival kicks off In Nagasaki 長崎のおくんち、始まる (精読)
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】			13	Chapter 13	Chapter 13 Historic festival kicks off In Nagasaki 長崎のおくんち、始まる (再読、リスニング、質疑応答)
国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語読解は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語読解能力の習得を目的として、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実に努めることを目指したい。			14	Chapter 14	Chapter 14 UN Women opens Japan office 国連女性事務所を東京に開設 (精読、リスニング、質疑応答)
【到達目標】			【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】		
・TOEIC レベルのリーディングで用いられる文法事項の基礎を理解する。			事前に該当ページについては予習をおこなうこと。また単語、熟語、慣例表現については復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。		
・TOEIC レベルのリーディングで用いられる語彙の基礎を身につける。			【テキスト (教科書)】		
・英語時事ニュースの要旨を把握できる、基礎力を身につける。			津田晶子、金志佳代子、Kelly MacDonald著『NTV News24 English 一日テレNews24 Englishで考える日本事情』英宝社、2017年		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】			【参考書】		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1			授業内で適宜指示します。		
【授業の進め方と方法】			【成績評価の方法と基準】		
日本のニュースについて英語で発信されたテキストを用いて、読解を進めていきます。基本的にテキスト1章分を2回の授業で扱います。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読みます。毎回、リアクションペーパーでの出欠の確認をして、質問・感想・意見などの提出をお願いします。回答については、次の回で解説や応答を行います。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。			平常点 (出席・予習・小テスト等) 60%、学期末試験40%で評価します。30分を過ぎた場合は遅刻とみなし、また3回の遅刻は1回の欠席とみなします。4回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。		
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】			【学生の意見等からの気づき】		
あり /Yes			特になし		
【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】			【Outline (in English)】		
なし /No			[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting. [Learning activities outside of classroom] reading and listening textbook before and after class. [Grading Criteria/Policy] Activities in class (attendance, question, and discussion) : 60% , Term-end exam : 40%.		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明する。			
2	Chapter 8	Chapter 8 Flight attendants compete to be Master of Hospitality 客室乗務員のおもてなしコンテスト (精読)			
3	Chapter 8	Chapter 8 Flight attendants compete to be Master of Hospitality 客室乗務員のおもてなしコンテスト (再読、リスニング、質疑応答)			
4	Chapter 9	Chapter 9 Japan unveils rescue robot 日本の災害救助ロボット (精読)			
5	Chapter 9	Chapter 9 Japan unveils rescue robot 日本の災害救助ロボット (再読、リスニング、質疑応答)			
6	Chapter 10	Chapter 10 Japanese tea ceremony celebrates peace at UN 国連でお茶会 (精読) ここまでの復習の小テスト			

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

木瀬 康太

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、対面で行う演習形式の授業です。高校までに学んだ語彙・文法・構文の基礎を強化しつつ、英語4技能の中でも、特に「読む」「聴く」「書く」の分野における意欲を高め、スキルを伸ばすことを目的とします。

用いるテキスト（教科書）のテーマは、芸術（絵画）と食文化に関するものを選びました。芸術と食文化は、楽しさを与えてくれるだけでなく、異文化の視点を学び想像力を養う役目も大いに果たし、法政大学の理念である「実践知」の涵養にも資するはずです。

【到達目標】

1. 複数のパラグラフから成る英語の文章の発音とリズムに慣れ、目的に応じて速読と精読を使い分けながら、読むことができる。
2. 未知の語彙に遭遇しても慌てず、パラグラフの構造およびパラグラフ同士のつながりに留意して、文章全体から論理的に内容をつかむことができる。
3. 読み取った、あるいは聴き取った情報を鵜呑みにするのではなく、多面的な観点から批判的に分析し、英語で簡潔に自分の意見を表現する意欲と能力を持つことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 毎回の授業の初めに（初回、第2回、および最後の第14回の授業は除く）、前回の授業内容から作成した小テスト（読解およびリスニング）を実施します。
2. 毎回の授業は、学生が自分の予習成果を発表する形で進めていくため、予習は必須です（予習内容に関しては、「授業時間外の学習」の欄に記載してあります）。語彙・文法・構文については授業中にも説明しますが、事前に辞書や参考書を積極的に活用して、自分で調べてくる習慣をつけてください。
3. 論理的かつ批判的に英文を読解する方法（パラグラフリーディングやシグナルワードなど）について、逐次説明します。
4. 英文を音読することで、英語独特の発音とリズムを口にすることに慣れる練習も行います。音読は、「聴く」力を鍛えるための非常に有効な方法です。
5. リスニング力強化のために、リスニングドリル（練習問題）を毎回の授業で行い、リスニングの基本的なコツについても逐一説明します。
6. 毎回の授業の最後で、「出席シート」に質問・意見・要望を自由に書いて提出してください。教員はこれらの質問・意見・要望にコメントをして、次回授業の一番最初（小テストの前）で学生に戻します。良いコメントは全員に紹介し、さらなる議論に活かします。この「出席シート」に書いてもらった質問・意見・要望に応じて、教員は授業形態を調整していきますので、積極的に書いて提出してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	①教員の自己紹介 ②大学で学ぶということについての説明 ③授業の進め方、教科書、および成績評価についての説明 ④辞書の使い方についての説明 ⑤外国語を学ぶということについての説明
2	Chapter1 前半	「フェルメール(1632-75)と牛乳」の本文読解
3	Chapter1 後半	「フェルメールと牛乳」の練習問題
4	Chapter2 前半	「ミレー(1814-75)とパン」の本文読解
5	Chapter2 後半	「ミレーとパン」の練習問題
6	Chapter3 前半	「ゴッホ(1853-90)とじゃがいも」の本文読解
7	Chapter3 後半	「ゴッホとじゃがいも」の練習問題
8	Chapter4 前半	「ゴーギャン(1848-1903)とマンゴー」の本文読解
9	Chapter4 後半	「ゴーギャンとマンゴー」の練習問題
10	Chapter5 前半	「カラヴァッジョ(1571-1610)と晩餐」の本文読解
11	Chapter5 後半	「カラヴァッジョと晩餐」の練習問題
12	Chapter8 前半	「マネ(1832-83)とピクニックの昼食」の本文読解
13	Chapter8 後半	「マネとピクニックの昼食」の練習問題
14	期末試験	①Chapter1 5および8の語彙・文法・構文・リスニングについての試験 ②これまでの授業のまとめ（講評）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1. 授業で使用する教科書は、1つのChapterが4ページで構成されており、前半の2ページが本文、後半の2ページが練習問題で構成されています。各Chapterにおける前半2ページの本文の予習では、和訳をあらかじめ用意してきてください。また、本文の音声（Webサイト上で無料で配信してあります(<https://text.asahipress.com/free/english/>)）も繰り返し聞いて、英語の発音やリズムに少しでも慣れる予習・復習も行ってください。
2. 各Chapterにおける後半2ページの練習問題については、教科書に解答を書き込む形で予習してきてください。
3. 本授業の準備学習と復習の時間は、個人差はありますが、それぞれ1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書名：A View from Painters' Palettes: Food and Culture (『絵画を彩る食文化』)

著者：Josh Norman/Maho Matsui/Fujiko Motoyama

出版社：Asahi Press（朝日出版社）

出版年：初版2020年

価格：1,980円（税込）

【参考書】

文法書：高校時代に使っていたものを、引き続き積極的に活用してください。

辞書：『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）などの学習用英和辞典を必ず1冊は手元に置き、自分のお気に入りの大切な道具としてください。

なお、最近では紙媒体の辞書よりも電子辞書、あるいはパソコン、タブレット端末、スマートフォン上のアプリのほうが、利便性に優れていると言われることもあります。確かに、「読む」ためだけならそうかもしれません。ただ、「書く」ということ（「書く」ということは知性の表れです）になると、複数の語義や派生語を比較検討して最適の表現を考えるためには、パッと開いて一度に目に入ってくる情報量が圧倒的に多い紙媒体の辞書のほうが、断然有利です。

【成績評価の方法と基準】

以下の各配点（合計100点）で成績評価を行います。

平常点（毎回の「出席シート」の提出、予習成果の発表、および授業態度。予習は必須ですが、正解でないことで減点にはなりません。）

：26点

毎回の小テスト：1回あたり4点×11回(第3回 第13回) = 44点

期末試験（最後の第14回授業で行います）：30点

単位取得のためには、最低60点が必要です。

4回以上無断欠席した場合には、単位取得資格を失います。

授業開始から10分以上遅れた場合は遅刻とし、遅刻3回で無断欠席1回と見なします。30分以上遅刻した場合は、出席しても無断欠席扱いとなります。遅刻1回につき1点減点、無断欠席1回につき3点減点とします。

体調が悪い、通院する、部活動の試合、忌引等で欠席する場合や、電車遅延で遅刻する場合は、必ず事前に教員宛にメールで連絡をください。その後診断書等の適切な証拠を提出した場合には、後日補講を設けます。

また、いわゆる「翻訳ソフト」（Google翻訳やDeepLなど）の使用は、発覚次第、単位認定を不可とします。

【学生の意見等からの気づき】

分かりやすく楽しい授業を心がけます。また、毎回の授業で行うリスニングドリル（練習問題）が好評で、昨年度は「リスニング力が上がったと実感できた」「リスニングに対する苦手意識が緩和されていった」といった意見を頂きましたので、引き続き重点的に時間を割いて行っていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

授業中は、紙媒体の辞書、および電子辞書の使用は認めますが、パソコン、タブレット端末、スマートフォンの使用は、教員の許可がある場合を除いて、原則禁止します。

【その他の重要事項】

授業に関する連絡には、「学習支援システム(Hoppii)」を用います。また、授業に関する質問・意見・要望は、原則としては毎回の授業の最後に書いてもらう「出席シート」で受け付けますが、それ以外にも教員宛のメールで随時受け付けます。

【Outline (in English)】

(1)Course outline

The aim of this course is to enforce English vocabulary, grammar and structure of sentences and to enhance students' incentive and skills in reading, listening and writing.

The theme of the text used in this course is art(paintings) and food culture, which are necessary as "practical wisdom" in order to comprehend foreign points of view and to enhance one's own imagination.

(2)Learning objectives

By the end of this course, students should be able to:

- 1.read English passages quickly or attentively according to the purpose of the reading.
- 2.pay attention to the paragraph structure and the relationship between paragraphs and to comprehend the argument and intention of the writer.
- 3.analyze critically English passages from various points of view and to express students' own opinions in English.

(3)Learning activities outside of classroom

Students have to prepare the translation of the reading passage and solve the questions in the text.

Preparation and review should be around an hour a week.

(4)Grading criteria/policy

Grading will be decided based on:

In-class attendance sheet, assignment, and attitude:26%

Reading and Listening tests:44%

Final exam:30%

The minimum passing grade is 60%.

Students with four absences will lose their credits for this class.

Being late for more than thirty minutes will be counted as one absence.

Being late three times will be counted as one absence.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

木瀬 康太

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、対面で行う演習形式の授業です。高校までに学んだ語彙・文法・構文の基礎を強化しつつ、英語4技能の中でも、特に「読む」「聴く」「書く」の分野における意欲を高め、スキルを伸ばすことを目的とします。

用いるテキスト（教科書）のテーマは、芸術（絵画）と食文化に関するものを選びました。芸術と食文化は、楽しさを与えてくれるだけでなく、異文化の視点を学び想像力を養う役目も大いに果たし、法政大学の理念である「実践知」の涵養にも資するはずです。

【到達目標】

- 複数のパラグラフから成る英語の文章の発音とリズムに慣れ、目的に応じて速読と精読を使い分けながら、読むことができる。
- 未知の語彙に遭遇しても慌てず、パラグラフの構造およびパラグラフ同士のつながりに留意して、文章全体から論理的に内容をつかむことができる。
- 読み取った、あるいは聴き取った情報を鵜呑みにするのではなく、多面的な観点から批判的に分析し、英語で簡潔に自分の意見を表現する意欲と能力を持つことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 毎回の授業の初めに（初回および最後の第14回の授業は除く）、前回の授業内容から作成した小テスト（読解およびリスニング）を実施します。
- 毎回の授業は、学生が自分の予習成果を発表する形で進めていくため、予習は必須です（予習内容に関しては、「授業時間外の学習」の欄に記載してあります）。語彙・文法・構文については授業中にも説明しますが、事前に辞書や参考等を積極的に活用して、自分で調べてくる習慣をつけてください。
- 論理的かつ批判的に英文を読解する方法（パラグラフリーディングやシグナルワードなど）について、逐次説明します。
- 英文を音読することで、英語独特の発音とリズムを口にすることに慣れる練習も行います。音読は、「聴く」力を鍛えるための非常に有効な方法です。
- リスニング力強化のために、リスニングドリル（練習問題）を毎回の授業で行い、リスニングの基本的なコツについても逐一説明します。
- 毎回の授業の最後で、「出席シート」に質問・意見・要望を自由に書いて提出してください。教員はこれらの質問・意見・要望にコメントをして、次回授業の一番最初（小テストの前）で学生に戻します。良いコメントは全員に紹介し、さらなる議論に活かします。この「出席シート」に書いてもらった質問・意見・要望に応じて、教員は授業形態を調整していきますので、積極的に書いて提出してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter9 前半	「ルノワール(1841-1919)と舟遊びの昼食」の本文読解
2	Chapter9 後半	「ルノワールと舟遊びの昼食」の練習問題

3	Chapter10 前半	「歌川国芳(1797-1861)と江戸の天麩羅」の本文読解
4	Chapter10 後半	「歌川国芳と江戸の天麩羅」の練習問題
5	Chapter11 前半	「ミュシャ(1860-1939)とビスケット」の本文読解
6	Chapter11 後半	「ミュシャとビスケット」の練習問題
7	Chapter12 前半	「シャガール(1887-1985)と誕生日の料理」の本文読解
8	Chapter12 後半	「シャガールと誕生日の料理」の練習問題
9	Chapter13 前半	「ホッパー(1882-1967)と深夜の小食堂」の本文読解
10	Chapter13 後半	「ホッパーと深夜の小食堂」の練習問題
11	Chapter14 前半	「ウォーホル(1928-87)とスープの缶詰」の本文読解
12	Chapter14 後半	「ウォーホルとスープの缶詰」の練習問題
13	発展学習	①リスニングドリル（練習問題）特別練習 ②これまでの授業のまとめ（講評）
14	期末試験	Chapter9 14の語彙・文法・構文・リスニングについての試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1. 授業で使用する教科書は、1つのChapterが4ページで構成されており、前半の2ページが本文、後半の2ページが練習問題で構成されています。

各Chapterにおける前半2ページの本文の予習では、和訳をあらかじめ用意してきてください。

また、本文の音声（Webサイト上で無料で配信してあります(<https://text.asahipress.com/free/english/>)）も繰り返し聞いて、英語の発音やリズムに少しでも慣れる予習・復習も行ってください。

2. 各Chapterにおける後半2ページの練習問題については、教科書に解答を書き込む形で予習してきてください。

3. 本授業の準備学習と復習の時間は、個人差はありますが、それぞれ1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書名：A View from Painters' Palettes: Food and Culture (『絵画を彩る食文化』)

著者：Josh Norman/Maho Matsui/Fujiko Motoyama

出版社：Asahi Press（朝日出版社）

出版年：初版2020年

価格：1,980円（税込）

【参考書】

文法書：高校時代に使っていたものを、引き続き積極的に活用してください。

辞書：『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）などの学習用英和辞典を必ず1冊は手元に置き、自分のお気に入りの大切な道具としてください。

なお、最近では紙媒体の辞書よりも電子辞書、あるいはパソコン、タブレット端末、スマートフォン上のアプリのほうが、利便性に優れていると言われることもあります。確かに、「読む」ためだけならそうかもしれませんが、ただ、「書く」ということ（「書く」ということは知性の表れです）になると、複数の語義や派生語を比較検討して最適の表現を考えるためには、パッと開いて一度に目に入ってくる情報量が圧倒的に多い紙媒体の辞書のほうが、断然有利です。

【成績評価の方法と基準】

以下の各配点（合計100点）で成績評価を行います。

平常点（毎回の「出席シート」の提出、予習成果の発表、および授業態度。予習は必須ですが、正解でないことで減点にはなりません。）：22点

毎回の小テスト：1回あたり4点×12回（第2回 第13回）= 48点

期末試験（最後の第14回授業で行います）：30点

単位取得のためには、最低60点が必要です。

4回以上無断欠席した場合には、単位取得資格を失います。

授業開始から10分以上遅れた場合は遅刻とし、遅刻3回で無断欠席1回と見なします。30分以上遅刻した場合は、出席しても無断欠席扱いとなります。遅刻1回につき1点減点、無断欠席1回につき3点減点とします。

体調が悪い、通院する、部活動の試合、忌引等で欠席する場合や、電車遅延で遅刻する場合は、必ず事前に教員宛にメールで連絡をください。その後診断書等の適切な証拠を提出した場合には、後日補講を設けます。

また、いわゆる「翻訳ソフト」(Google翻訳やDeepLなど)の使用は、発覚次第、単位認定を不可とします。

【学生の意見等からの気づき】

分かりやすく楽しい授業を心がけます。また、毎回の授業で行うリスニングドリル(練習問題)が好評で、昨年度は「リスニング力が上がったと実感できた」「リスニングに対する苦手意識が緩和されていった」といった意見を頂きましたので、引き続き重点的に時間を割いて行っていきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業中は、紙媒体の辞書、および電子辞書の使用は認めますが、パソコン、タブレット端末、スマートフォンの使用は、教員の許可がある場合を除いて、原則禁止します。

【その他の重要事項】

授業に関する連絡には、「学習支援システム(Hoppii)」を用います。また、授業に関する質問・意見・要望は、原則としては毎回の授業の最後に書いてもらう「出席シート」で受け付けますが、それ以外にも教員宛のメールで随時受け付けます。

【Outline (in English)】

(1)Course outline

The aim of this course is to enforce English vocabulary, grammar and structure of sentences and to enhance students' incentive and skills in reading, listening and writing.

The theme of the text used in this course is art(paintings) and food culture, which are necessary as "practical wisdom" in order to comprehend foreign points of view and to enhance one's own imagination.

(2)Learning objectives

By the end of this course, students should be able to:

1.read English passages quickly or attentively according to the purpose of the reading.

2.pay attention to the paragraph structure and the relationship between paragraphs and to comprehend the argument and intention of the writer.

3.analyze critically English passages from various points of view and to express students' own opinions in English.

(3)Learning activities outside of classroom

Students have to prepare the translation of the reading passage and solve the questions in the text.

Preparation and review should be around an hour a week.

(4)Grading criteria/policy

Grading will be decided based on:

In-class attendance sheet, assignment, and attitude:22%

Reading and Listening tests:48%

Final exam:30%

The minimum passing grade is 60%.

Students with four absences will lose their credits for this class.

Being late for more than thirty minutes will be counted as one absence.

Being late three times will be counted as one absence.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

齊藤 昇

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

リーディングとしてO・ヘンリーの代表作The Last Leafの英語文章を精読することにより、受講生はその文学と時代性についても理解し、文構造を的確に把握できるようになる。さらに随時、英作文の小テスト実施とネット等で配信されるBBCワールドニュースなどの概要をディベートすることで総合的な語学力が的確に身につく。

【到達目標】

本授業では受講生がO・ヘンリーの作品(The Last Leaf)の精読を通して、主要な文法である語法、比較、接続詞、特殊構文に関して理解を深めることを到達目標とすると同時に、随時、英作文の小テスト実施とネット等で配信されるBBCワールドニュースなどの概要をディベートすることで英語の総合力を身に付けてもらう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業では精読と英作文などについて複数回のリアクションペーパーを課すことや授業内での海外の英語ニュースに関する発表を通して、受講生は学ぶことの充実感や達成感を体得できる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
一回	O・ヘンリー文学の説明	20世紀アメリカ文学における短編小説の位置づけとその意義について
二回	O・ヘンリーの特異な文章に関する説明	特に倒置法と強調法についての説明
三回	The Last Leafの精読	当時のニューヨークの文化と社会について
四回	The Last Leafの精読	登場人物のキャラクターの特徴について
五回	The Last Leafの精読	本文に登場する「デルモニコズ」というレストランの歴史と文学的な意義について
六回	The Last Leafの精読	擬人法の扱い方について
七回	The Last Leafの精読	グリニッジヴィレッジの過去と現在について
八回	The Last Leafの精読	肺炎を巡って当時の医療水準について
九回	The Last Leafの精読	登場人物の犠牲的精神について
十回	The Last Leafの精読	この作品の文学性と今日性について
十一回	英作文の書き方について(1)	英語の構文や文法的要素を扱った英作文の書き方について
十二回	英作文の書き方について(2)	社会的事象に関する英作文の書き方について
十三回	英作文の小テスト	文化、社会などの話題性の高いテーマを中心に出題する

十四回 海外の英語ニュース インターネットに社会性を帯びた英語ニュースを取り上げてディベートする

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

『O.Henry: The Best Short Stories』（鈴木・齊藤編注/松柏社/2009年、1,200円）

【参考書】

『「最後の一葉」はこうして生まれた』（齊藤著/角川学芸出版/2005年、1,500円）

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%、小テスト30%、授業内でのディベートなど10%として総合評価する

【学生の意見等からの気づき】

なし

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

なし

【Outline (in English)】

Course outline

The purpose of this course is for students to enhance their reading ability and improve their understanding the structure of English through the reading O.Henry's work(The Last Leaf) and more current affairs on the Internet.

Learning objectives

The aim of this course is to help students acquire the necessary English reading skills and develop composition skills and some knowledge needed to achieve a better performance.

Learning activities outside of classroom

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hours for a class.

Grading Criteria/policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following; Term-end examination:60%, short report:30%, in the class contribution:10%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

齊藤 昇

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

リーディングとしてO・ヘンリーの代表作The Gift of the Magiの英語文章を精読することにより、受講生はその文学と時代性についても理解し、文構造が把握できるようになる。さらに随時、英作文の小テスト実施とネット等で配信されるBBCワールドニュースなどの概要をディベートすることで総合的な語学力が的確に身につく。

【到達目標】

本授業では受講生がO・ヘンリー作品(The Gift of the Magi)の精読を通して、主要な文法である語法、比較、接続詞、特殊構文に関して理解を深めることを到達目標とすると同時に、随時、英作文の小テスト実施とネット等で配信されるBBCワールドニュースなどの概要をディベートすることで英語の総合力を身に付けてもらう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業では精読と英作文などについて複数回のリアクションペーパーを課すことや授業内での海外の英語ニュースに関する発表を通して、受講生は様々な英語文体と英語コミュニケーションスキルの上達を図ることで充実感や達成感を体得できる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
一回	O・ヘンリーの生い立ちについての説明	当時の文化と社会を背景に
二回	O・ヘンリーの会話文章に関しての説明	この作品に頻回に出て来る会話文の特徴について
三回	The Gift of the Magiの精読	この作品のテーマであるクリスマス文化と歴史について
四回	The Gift of the Magiの精読	登場人物のキャラクターの特徴について
五回	The Gift of the Magiの精読	本文における様々な職業の変遷について
六回	The Gift of the Magiの精読	本文に登場するシバの女王について
七回	The Gift of the Magiの精読	本文に登場するソロモン王について
八回	The Gift of the Magiの精読	妻のDellaの髪を売らなければならなかった心情について
九回	The Gift of the Magiの精読	夫のJimのその対応について
十回	The Gift of the Magiの精読	クリスマスを巡る文学性について
十一回	英語文章の書き方について	文法と構文の把握について
十二回	話題性の高い事象についての英作文の書き方について	社会と文化と政治に関する英語文章の書き方について
十三回	英作文の小テスト	様々な分野における出来事について出題する

十四回 海外の話題性の高い英語ニュースについてディベート 最新の英語ニュースを取り上げてグループディスカッションを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

『O.Henry:The Best Short Stories』（鈴木・齊藤編注/松柏社/2009年、1,200円）

【参考書】

『最後の一葉』はこうして生まれた』（齊藤著/角川学芸出版/2005年、1,500円）

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%、小テスト30%、授業内でのディベートなど10%として総合評価する

【学生の意見等からの気づき】

なし

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

なし

【Outline (in English)】

Course outline

The purpose of this course is for students to enhance their reading ability and improve their understanding the structure of English through the reading O.Henry's work(The Gift of the Magi) and more current affairs on the Internet.

Learning objectives

The aim of this course is to help students acquire the necessary English reading skills and develop composition skills and some knowledge needed to achieve a better performance.

Learning activities outside of classroom

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hours for a class.

Grading Criteria/policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following; Term-end examination:60%,short report:30%,in the class contribution:10%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

小田井 勝彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に、かつ速読や精読など目的に応じた速度で読むことのできる力を養います。特にパラグラフの構造（topic sentence, supporting sentence, concluding sentence など）およびパラグラフ同士のつながりに留意しつつ、構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報をつかみ取ること、また書き手の感情や意図をつかむことに重点を置きます。さらに、得られた情報を鵜呑みにするのではなく、多面的・客観的観点から分析する、いわゆる批判的思考力の養成も行います。「聴く力」の育成も、授業の一環として行います。また精読した英文の要旨や、それについての批評的なコメントなどを英語で書く練習も行います。

【到達目標】

- ・英語の文章を読むのに必要な語彙・文法を習得する
- ・パラグラフの構造やパラグラフ同士のつながりを理解し、英語の文章の論旨を正確に理解できるようになる
- ・正しい態度で、批判的に文章を読み、自らの意見を英語で発信できるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

2回で1章のペースで進めていきます。まず授業で扱う内容に関する映像などを視聴し、リスニングエクササイズをするとともに、本文の内容についての基礎知識を学びます。そして本文を英文の構造をしっかりと確認しながら、読解を進めます。そして本文の読解後、英語で内容の要約やリアクションペーパーなどを作成します。授業内で回収したもの、中間テストに関しては随時返却し、フィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方、教科書、評価方法などについて説明
2	Unit 1 This man married a fictional character. He'd like you to hear him out. 前半	フィクトセクシャルについて映像を視聴、本文の前半を読解
3	Unit 1 This man married a fictional character. He'd like you to hear him out. 後半	フィクトセクシャルについて本文の後半を読解、Exercises
4	Unit 2 British-born actress and singer Jane Birkin, who found fame in France, dies age 76 前半	バーキンさんについて映像を視聴、本文の前半を読解

5	Unit 2 British-born actress and singer Jane Birkin, who found fame in France, dies age 76 後半	バーキンさんについて本文の後半を読解、英作文エクササイズ
6	Unit 3 Train versus plane 前半	エコソリズムについての映像を視聴、本文の前半を読解
7	Unit 3 Train versus plane 後半	エコソリズムについて本文の後半を読解、英作文エクササイズ
8	中間テストと解説	Unit 1～3から出題します
9	Unit 4 Menswear has made women feel confident for centuries, but will the gendered separation ever cease to exist 前半	女性の衣装について映像を視聴、本文の前半を読解
10	Unit 4 Menswear has made women feel confident for centuries, but will the gendered separation ever cease to exist 後半	女性の衣装について本文の後半を読解、英作文エクササイズ
11	Unit 6 Could sand be the next lithium? 前半	エネルギー問題について映像を視聴、本文の前半を読解
12	Unit 6 Could sand be the next lithium? 後半	気候変動について本文の後半を読解、英作文エクササイズ
13	総復習	これまでの総復習をします
14	期末テストと解説	Unit 4、6から出題します

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に、知らない語彙について辞書を引き、教科書の本文を日本語に訳す。授業後は、間違えに気付いた箇所について確認し、語彙を覚える。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

河原真也、伊藤健一郎、小田井勝彦、山田幸代『時代の転換点を読む』（朝日出版社、2025）

【参考書】

各自『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典を用意して下さい（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

中間テスト40%、期末テスト40%、平常点20%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

単調とならないよう様々なアクティビティを行ないます

【その他の重要事項】

4回以上欠席した場合には、原則として単位認定を行ないません。（遅刻は欠席0.5回としてカウントします）

【Outline (in English)】

The goal of this class is that students will improve literacy in English and get to understand logical passages. In order to achieve the goal, students will read refined articles which were published in newspapers, in magazines or on the Internet. In addition, students will do listening and writing practices.

[Learning Objectives]

1. Students can read English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for reading English passages.
3. Students understand English grammar.
4. Students get the knowledge about a variety of social problems.

[Learning activities outside of classroom]

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

- mid-term test 40%
- term test 40%
- activities in class 20%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

小田井 勝彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に、かつ速読や精読など目的に応じた速度で読むことのできる力を養います。特にパラグラフの構造（topic sentence, supporting sentence, concluding sentenceなど）およびパラグラフ同士のつながりに留意しつつ、構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報をつかみ取ること、また書き手の感情や意図をつかむことに重点を置きます。さらに、得られた情報を鵜呑みにするのではなく、多面的・客観的観点から分析する、いわゆる批判的思考力の養成も行います。「聴く力」の育成も、授業の一環として行います。また精読した英文の要旨や、それについての批評的なコメントなどを英語で書く練習も行います。

【到達目標】

- ・英語の文章を読むのに必要な語彙・文法を習得する
- ・パラグラフの構造やパラグラフ同士のつながりを理解し、英語の文章の論旨を正確に理解できるようになる
- ・正しい態度で、批判的に文章を読み、自らの意見を英語で発信できるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

2回で1章のペースで進めていきます。まず授業で扱う内容に関する映像などを視聴し、リスニングエクササイズをするとともに、本文の内容についての基礎知識を学びます。そして本文を1文1文日本語に直し、英文の構造をしっかりと確認しながら、読解を進めます。そして本文の読解後、英語で内容の要約やリアクションペーパーなどを作成します。授業内で回収したもの、中間テストに関しては随時返却し、フィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7 What does it mean to be Jewish in the US? 前半	ユダヤ人問題について映像を視聴、本文の前半を読解
2	Unit 7 What does it mean to be Jewish in the US? 後半	ユダヤ人問題について本文の後半を読解、英作文エクササイズ
3	Unit 8 A window on infinity: rediscovering the short films of the Lumiere brothers 前半	リュミエール兄弟について映像を視聴、本文の前半を読解
4	Unit 8 A window on infinity: rediscovering the short films of the Lumiere brothers 後半	リュミエール兄弟について本文の後半を読解、英作文エクササイズ

5	Unit 9 Abortion: The story of suffering and death behind Ireland's ban and subsequent legalization 前半	中絶問題について映像を視聴、本文の前半を読解
6	Unit 9 Abortion: The story of suffering and death behind Ireland's ban and subsequent legalization 後半	中絶問題について本文の後半を読解、英作文エクササイズ
7	中間テストと解説	Unit 7～9から出題します
8	Unit 10 'Let It Go' was about pressure on Women: Frozen's songwriters on redefining Disney 前半	『アナ雪』について映像を視聴、本文の前半を読解
9	Unit 10 'Let It Go' was about pressure on Women: Frozen's songwriters on redefining Disney 後半	『アナ雪』について本文の後半を読解、英作文エクササイズ
10	Unit 11 "Green Book," Reviewed: Peter Farrelly's Bland, Regressive Flip on "Driving Miss Daisy" 前半	人種差別について映像を視聴、本文の前半を読解
11	Unit 11 "Green Book," Reviewed: Peter Farrelly's Bland, Regressive Flip on "Driving Miss Daisy" 後半	人種差別について本文の後半を読解、英作文エクササイズ
12	Unit 12 Who owns the sentiment in a love letter 前半	プライバシーについて映像を視聴、本文の前半を読解
13	Unit 12 Who owns the sentiment in a love letter 後半	プライバシーについて本文の後半を読解、英作文エクササイズ
14	期末テストと解説	Unit 10～12から出題します

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に、知らない語彙について辞書を引き、教科書の本文を日本語に訳す。授業後は、間違えに気付いた箇所について確認し、語彙を覚える。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

河原真也、伊藤健一郎、小田井勝彦、山田幸代『時代の転換点を読む』（朝日出版社、2025）

【参考書】

各自『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典を用意して下さい（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

中間テスト40%、期末テスト40%、平常点20%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

単調にならないよう様々なアクティビティを行ないます

【その他の重要事項】

4回以上欠席した場合には、原則として単位認定を行ないません。（遅刻は欠席0.5回分としてカウントします）

【Outline (in English)】

The goal of this class is that students will improve literacy in English and get to understand logical passages. In order to achieve the goal, students will read refined articles which were published in newspapers, in magazines or on the Internet. In addition, students will do listening and writing practices.

[Learning Objectives]

1. Students can read English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for reading English passages.
3. Students understand English grammar.
4. Students get the knowledge about a variety of social problems.

[Learning activities outside of classroom]

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

- mid-term test 40%
- term test 40%
- activities in class 20%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

妻鹿 裕子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNNのニュース映像とスクリプトを使用し、様々なトピックについて学びながら、リスニングとリーディングを中心に総合的な英語力の向上を目指します。

【到達目標】

- ・英語の文章を正確に読む力をつけます
- ・論理的な思考力を養います
- ・語彙力を増やします
- ・様々な英語（Englishes）の発音に慣れます
- ・英語のリズムを身につけます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

一つのunitを二回の授業で扱います。前半は語彙とリスニングを、後半はリーディングを中心に進めます。前半はExamplesを小テストとして行い、DefinitionとExamplesの答え合わせをした後、Blanks to Fill inでリスニングをし、答えの確認をします。後半はJudgments to Makeを小テストとして行い、リスニングのスクリプトの訳をした後、Judgments to Makeの答え合わせをします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容・成績評価等に関する説明
2	Unit 1	AI Comes to Hollywood (listening)
3	Unit 1	AI Comes to Hollywood (reading)
4	Unit 2	TikTok CEO in the Hot Seat (listening)
5	Unit 2	TikTok CEO in the Hot Seat (reading)
6	Unit 3	Away with the Language Barrier (listening)
7	Unit 3	Away with the Language Barrier (reading)
8	Unit 4	Enduring Joy (listening)
9	Unit 4	Enduring Joy (reading)
10	Unit 5	Redefining Women's Work (listening)
11	Unit 5	Redefining Women's Work (reading)
12	Unit 6	A Blessing Marred (listening)
13	Unit 6	A Blessing Marred (reading)
14	試験・まとめと解説	学期末試験・春学期の総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習を前提として授業を行います。前半はWords and Phrases to StudyのDefinitionとExamplesを、後半はニュースのスクリプトとJudgments to Makeを予習して下さい。本授業の準備・復習時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『CNNビデオで見る世界のニュース(26)』
(朝日出版社)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

テスト50%、小テスト20%、平常点30%で評価します。遅刻は授業開始時刻から30分までとし、遅刻三回で欠席とみなします。各学期欠席が四回以上の場合は、原則として単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

積極的な授業参加を求めます。どんどん発言して下さい。

【その他の重要事項】

- ・授業で辞書（英和と英英）を使用します。
- ・Hoppiiの「お知らせ」で連絡する場合があります。

【Outline (in English)】

Course Outline

This class aims to help you develop your listening and reading skills.

Learning Objectives

Students will build up their vocabulary, learn the pronunciation features of English, and acquire reading strategies.

Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Study time will be an hour for each class.

Grading Criteria/Policy

The final grade will be based on the following criteria:

1. Final Exam 50%
2. Reports 20%
3. Classroom Participation 30%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

妻鹿 裕子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNNのニュース映像とスクリプトを使用し、様々なトピックについて学びながら、リスニングとリーディングを中心に総合的な英語力の向上を目指します。

【到達目標】

- ・英語の文章を正確に読む力をつけます
- ・論理的な思考力を養います
- ・語彙力を増やします
- ・様々な英語（Englishes）の発音に慣れます
- ・英語のリズムを身につけます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

一つのunitを二回の授業で扱います。前半は語彙とリスニングを、後半はリーディングを中心に進めます。前半はExamplesを小テストとして行い、DefinitionとExamplesの答え合わせをした後、Blanks to Fill inでリスニングをし、答えの確認をします。後半はJudgments to Makeを小テストとして行い、リスニングのスクリプトの訳をした後、Judgments to Makeの答え合わせをします。小テストの答え合わせをする際に、解説を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容・成績評価等に関する説明
2	Unit 7	Interloping Nomads (listening)
3	Unit 7	Interloping Nomads (reading)
4	Unit 8	Flawed Roadmap (listening)
5	Unit 8	Flawed Roadmap (reading)
6	Unit 9	Antiaging Before Aging (listening)
7	Unit 9	Antiaging Before Aging (reading)
8	Unit 10	Japan's Delivery-system Threatened (listening)
9	Unit 10	Japan's Delivery-system Threatened (reading)
10	Unit 11	Toward Early Diagnosis (listening)
11	Unit 11	Toward Early Diagnosis (reading)
12	Unit 12	Controversial Move (listening)
13	Unit 12	Controversial Move (reading)
14	試験・まとめと解説	学期末試験・秋学期の総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習を前提として授業を行います。前半はWords and Phrases to StudyのDefinitionとExamplesを、後半はニュースのスクリプトとJudgments to Makeを予習して下さい。本授業の準備・復習時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『CNNビデオで見る世界のニュース(26)』

(朝日出版社)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

テスト50%、小テスト20%、平常点30%で評価します。遅刻は授業開始時刻から30分までとし、遅刻三回で欠席とみなします。各学期欠席が四回以上の場合は、原則として単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

積極的な授業参加を求めます。どんどん発言して下さい。

【その他の重要事項】

- ・授業で辞書（英和と英英）を使用します。
- ・Hoppiiの「お知らせ」で連絡する場合があります。

【Outline (in English)】

Course Outline

This class aims to help you develop your listening and reading skills.

Learning Objectives

Students will build up their vocabulary, learn the pronunciation features of English, and acquire reading strategies.

Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Study time will be an hour for each class.

Grading Criteria/Policy

The final grade will be based on the following criteria:

1. Final Exam 50%
2. Reports 20%
3. Classroom Participation 30%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

高井 美紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、学生は、現代の世界各国のポップカルチャー、ファッション、ジェンダー、環境、社会、政治、経済、歴史、文化をテーマとした、760～1300 words程度の比較的長い英文を読みます。題材は、New York TimesやCNN、The Guardian、その他さまざまなメディアの記事から取られており、学生はまとまった意味を持つ長い英文を読みこなすために不可欠なパラグラ・フリーディングやスキミング、スキヤニングの技法を身に着けます。また、英文に書かれた内容をもとに、自分の考えを英語で述べられるようになることも目指します。本授業を通じて学生は、英語力を養うだけでなく、21世紀の現代社会を生きていくうえで欠かすことのできない知見を身に着けることを目指します。

【到達目標】

学生はこの授業を通して以下の能力を身に着けることを目標とします。

- ①メディア記事の英文を読む力。
- ②1000words前後の長い英文を大意を見失わずに最後まで読み通す読解力。
- ③英語の派生語や品詞を理解して、自ら語彙を増やす力。
- ④英文法やイディオムの正確な理解。
- ⑤提起された問題について自分の意見を英語で述べる力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で進めます。グループワークやペアワークによる学生の発表を中心に授業を勧めます。学生の積極的な授業参加、協力しながら問題の解決に取り組む姿勢が評価されます。テキストの1ユニットを2回の授業で進めていきます。1回目の授業で読解を行い、2回目の授業で確認テストを行います。確認テストは、授業支援システムを通じて提出し、フィードバックも授業支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回授業	オリエンテーション	授業の方針説明
第2回授業	Unit 1: This man married a fictional character. He'd like you to hear him out. ①	リーディング
第3回授業	Unit 1: This man married a fictional character. He'd like you to hear him out. ②	リーディング、確認テスト

第4回授業	Unit 2: British-born actress and singer Jane Birkin, who found fame in France, dies age 76 ①	リーディング
第5回授業	Unit 2: British-born actress and singer Jane Birkin, who found fame in France, dies age 76 ②	リーディング、確認テスト
第6回授業	Unit 3: Train versus plane ①	リーディング
第7回授業	Unit 3: Train versus plane ②	リーディング、確認テスト
第8回授業	Unit 4: Mensewer has made women feel confident for centuries, but will gendered separation ever cease to exist? ①	リーディング
第9回授業	Unit 4: Mensewer has made women feel confident for centuries, but will gendered separation ever cease to exist? ②	リーディング、確認テスト
第10回授業	Unit 5: 'The Boy and the Heron' is a legendary director's radical take on imagination ①	リーディング
第11回授業	Unit 5: 'The Boy and the Heron' is a legendary director's radical take on imagination ②	リーディング、確認テスト
第12回授業	Unit 6: Could sand be the next lithium? ①	リーディング
第13回授業	Unit 6: Could sand be the next lithium? ②	リーディング、確認テスト
第14回授業	Unit 7: What does it mean to be jewish in the US?	リーディング、確認テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習として、各ユニットのタイトルと導入文の日本語文章を読んで、内容を予測し、次にテキスト英文本文下の注の英単語を確認し、知らない語にチェックを入れておいてください（所要時間30分）。復習としては、各ユニット終了後に行う知識確認テストを、授業支援システムを通じてレポートとして提出してください（所要時間30時間）。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】Tipping Point: Thinking from Diverse Perspectives

【編著者名】河原真也、伊藤健一郎、小田井勝彦、山田幸代

【出版社】朝日出版社

【出版年】2025年

【価格】1980円

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の通り評価します。

通常発表：50 %

確認テストレポート：50 %

成績評価は100点満点とし、60点以上で合格です。

本授業は、理由のない欠席が4回を超えた場合、成績評価の対象外となります。

部活動での公欠や、病気による欠席の場合、その証明を提出してください。部活動の場合は大学を通じて出される公欠届、病欠の場合は病院の受診証明や、大学を通じて出される感染症罹患証明などを出してください。これらの証明がない欠席の場合は、公欠とは認められません。

その他、教育実習や就職活動等の欠席も公欠扱いになりますので、証明を出してください。

また、授業開始15分以上過ぎて教室に来た場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。交通の遅延がある場合は考慮しますので、遅延証明を提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

学期末にまとめてテストを行うのではなく、ユニットを学ぶごとに確認テストを行うことで、通常授業に緊張感が出ると同時に、フィードバックもスムーズになると感じた。

【学生が準備すべき機器他】

初回の授業と最終回の授業はオンライン授業（Zoom 授業）を行います。それ以外は基本的に対面授業を行います。感染症の蔓延や災害、事故発生等、必要に応じてオンライン授業に変更することがあります。

また、課題やレポートのやり取りは、授業支援システムを通じて行います。

パソコンとインターネット環境を準備してください。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This course introduces English articles with 760~1300 words about current topics around the world like pop-culture, fashion, gender, environment, society, politics, economy, history, culture, etc. ... to students taking this course. Articles are picked from various media such as New York Times, CNN, The Guardian, and so on. The aim of this course is to help students acquire the ability to read and understand authentic English writings using some useful reading skills such as paragraph reading, skimming, and scanning. It also enhances the development of students' skill in considering the topic and expressing their ideas about the topic in English. At the end of the course, students are expected not only to improve their English proficiency, but also to acquire knowledge indispensable for living in the 21st century.

Before each class meeting, students will be expected to have read the title and the Japanese introduction of each unit, and checked the words in notes under the reading text. Your required study time is at least half an hour for each class meeting.

After each class meeting, students will be expected to spend at least half an hour to understand the course content and complete the required assignments.

Grading will be decided based on short reports: 50%, and in class contribution 50%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

高井 美紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、学生は、現代の世界各国のポップカルチャー、ファッション、ジェンダー、環境、社会、政治、経済、歴史、文化をテーマとした、760～1300 words程度の比較的長い英文を読みます。題材は、New York TimesやCNN、The Guardian、その他さまざまなメディアの記事から取られており、学生はまとまった意味を持つ長い英文を読みこなすために不可欠なパラグラフ・リーディングやスキミング、スキニングの技法を身に着けます。また、英文に書かれた内容をもとに、自分の考えを英語で述べられるようになることも目指します。本授業を通じて学生は、英語力を養うだけでなく、21世紀の現代社会を生きていくうえで欠かすことのできない知見を身に着けることを目指します。

【到達目標】

学生はこの授業を通して以下の能力を身に着けることを目標とします。

- ①メディア記事の英文を読む力。
- ②1000words以上の長い英文を大意を見失わずに最後まで読み通す読解力。
- ③英語の派生語や品詞を理解して、自分で語彙を増やす力。
- ④英文法やイディオムの正確な理解。
- ⑤提起された問題について自分の意見を英語で述べる力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で進めます。グループワークやペアワークによる学生の発表を中心に授業を勧めます。学生の積極的な授業参加、協力しながら問題の解決に取り組む姿勢が評価されます。テキストの1ユニットを2回の授業で進めていきます。1回目の授業で読解を行い、2回目の授業で確認テストを行います。確認テストは、授業支援システムを通じて提出し、フィードバックも授業支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回授業	Unit 8: A window on infinity: rediscovering the short films of the Lumiere brothers①	リーディング
第2回授業	Unit 8: A window on infinity: rediscovering the short films of the Lumiere brothers②	リーディング、確認テスト
第3回授業	Unit 9: Abortion: The story of suffering and death behind Ireland's ban and subsequent legalization①	リーディング

第4回授業 Unit 9: Abortion: The story of suffering and death behind Ireland's ban and subsequent legalization②

第5回授業 Unit 10: 'Let It Go' was about pressure on women: Frozen's songwriters on redefining Disney①

第6回授業 Unit 10: 'Let It Go' was about pressure on women: Frozen's songwriters on redefining Disney②

第7回授業 Unit 11: "Green Book," Reviewed: Peter Farrelly's Bland, Regressive Flip on "Driving Miss Daisy"①

第8回授業 Unit 11: "Green Book," Reviewed: Peter Farrelly's Bland, Regressive Flip on "Driving Miss Daisy"②

第9回授業 Unit 12: Who owns the sentiment in a love letter?①

第10回授業 Unit 12: Who owns the sentiment in a love letter?②

第11回授業 Unit 13: The Old and the New Schoolmaster①

第12回授業 Unit 13: The Old and the New Schoolmaster②

第13回授業 Unit 14: Professions for Women (Part 1)

第14回授業 Unit 15: Professions for Women (Part 2)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習として、各ユニットのタイトルと導入文の日本語文章を読んで、内容を予測し、次にテキスト英文本文下の注の英単語を確認し、知らない語にチェックを入れておいてください（所要時間30分）。復習としては、各ユニット終了後に行う知識確認テストを、授業支援システムを通じてレポートとして提出してください（所要時間30時間）。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】 Tipping Point: Thinking from Diverse Perspectives
【編著者名】 河原真也、伊藤健一郎、小田井勝彦、山田幸代
【出版社】 朝日出版社
【出版年】 2025年
【価格】 1980円

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の通り評価します。

通常発表：50 %

確認テストレポート：50 %

成績評価は100点満点とし、60点以上で合格です。

本授業は、理由のない欠席が4回を超えた場合、成績評価の対象外となります。

部活動での公欠や、病気による欠席の場合、その証明を提出してください。部活動の場合は大学を通じて出される公欠届、病欠の場合は病院の受診証明や、大学を通じて出される感染症罹患証明などを出してください。これらの証明がない欠席の場合は、公欠とは認められません。

その他、教育実習や就職活動等の欠席も公欠扱いになりますので、証明を出してください。

また、授業開始15分以上過ぎて教室に来た場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。交通の遅延がある場合は考慮しますので、遅延証明を提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

学期末にまとめてテストを行うのではなく、ユニットを学ぶごとに確認テストを行うことで、通常授業に緊張感が出ると同時に、フィードバックもスムーズになると感じた。

【学生が準備すべき機器他】

初回の授業と最終回の授業はオンライン授業（Zoom授業）を行います。それ以外は基本的に対面授業を行います。感染症の蔓延や災害、事故発生等、必要に応じてオンライン授業に変更することがあります。

また、課題やレポートのやり取りは、授業支援システムを通じて行います。

パソコンとインターネット環境を準備してください。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This course introduces English articles with 760~1300 words about current topics around the world like pop-culture, fashion, gender, environment, society, politics, economy, history, culture, etc. ... to students taking this course. Articles are picked from various media such as New York Times, CNN, The Guardian, and so on. The aim of this course is to help students acquire the ability to read and understand authentic English writings using some useful reading skills such as paragraph reading, skimming, and scanning. It also enhances the development of students' skill in considering the topic and expressing their ideas about the topic in English. At the end of the course, students are expected not only to improve their English proficiency, but also to acquire knowledge indispensable for living in the 21st century.

Before each class meeting, students will be expected to have read the title and the Japanese introduction of each unit, and checked the words in notes under the reading text. Your required study time is at least half an hour for each class meeting.

After each class meeting, students will be expected to spend at least half an hour to understand the course content and complete the required assignments.

Grading will be decided based on short reports: 50%, and in class contribution 50%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

利根川 真紀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業ではリーディングを中心に勉強します。現代社会の幅広いトピックについて書かれたある程度の長さの文章を、パラグラフ構成に注意して、より良く速く読めるようになることを目指します。語彙力を高めていくことも目標のひとつです。さらに、教科書以外の英文資料も駆使することによって、社会の動向について理解を深め、多角的、国際的な視野も身につけます。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 パラグラフ・リーディングの癖をつけ、長文の理解力を養う
- 3 英語の文章を読み、その内容に対して意見をもてるようになる（資料としての英語文献に慣れる）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行ないます。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングの力も同時につけていきましょう。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明
2回目	Chapter 2. Health Care Megatrends: How Well Can Your Doctor Play Video Games? 導入	健康についての文章の大枠を把握する
3回目	Chapter 2 詳細	健康についての文章の細部を理解する
4回目	Chapter 6. Global Warming: Get Ready to Mitigate and Adapt 導入	環境についての文章の大枠を把握する
5回目	Chapter 6 詳細	環境についての文章の細部を理解する
6回目	Chapter 9. Personalization: The Megatrend that is Reshaping Marketing 導入	ビジネスについての文章の大枠を把握する
7回目	Chapter 9 詳細	ビジネスについての文章の細部を理解する
8回目	新聞記事 選択	各自が持ち寄った記事を紹介し、投票する
9回目	Chapter 11. Urbanization: The Pros and Cons 導入	ライフスタイルについての文章の大枠を把握する

10回目	Chapter 11 詳細	ライフスタイルについての文章の細部を理解する
11回目	新聞記事 導入	投票で決めた記事の大枠を把握する
12回目	新聞記事 詳細	投票で決めた記事の細部を理解する
13回目	TEDのスク립ト 導入	スク립トの大枠を把握する
14回目	TEDのスク립ト 詳細	スク립トの細部を理解する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業は予習を前提に進みますので、予習として、本文を少なくとも3回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに1行程度に要約します。また、各チャプターから内容的に一番印象に残る1文、英語として一番難しい1文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。記事紹介に向けて、各自が関心のある記事を探して読み、提出課題を作成します。

【テキスト（教科書）】

『Megatrends Shaping Our Future（新たな時代を見据えて）』（成美堂）

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への取り組み、小テストなど）80%、記事紹介課題関連20%。欠席が4回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

パラグラフごとの内容把握の際に、あらかじめ準備したチャートなどが理解の助けになるという意見があったので、今年度も適宜工夫したいと思います。

【Outline (in English)】

This course aims to improve students' reading skills and strategies, with an emphasis on paragraph reading. Through pair work practices and group activities, the course will help to expand one's active vocabulary. In addition to studying the textbook, each student will search independently for an interesting article in English newspapers and will become familiar with authentic materials offered in English. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (80%) and journal article assignments (20%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

利根川 真紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、パラグラフの理解や語彙力の向上に力を入れ、現代社会の幅広いトピックについて書かれた文章を正確に、そして速く読むことができるようにしていきます。さらに、教科書以外の英文資料も駆使することによって、様々な英語の文体に慣れ、社会の動向について理解を深め、多角的、国際的な視野も養いましょう。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 パラグラフ・リーディングの癖をつけ、長文の理解力を養う
- 3 英語の文章を読み、その内容に対して意見をもてるようになる（資料としての英語文献に慣れる）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行います。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングの力も同時につけていきましょう。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明
2回目	Chapter 4. The Globalization of Food: Advantages and Disadvantages 導入	健康についての文章の大枠を把握する
3回目	Chapter 4 詳細	健康についての文章の細部を理解する
4回目	Chapter 7. Deadly Natural Disasters: Dealing with Tsunamis 導入	環境についての文章の大枠を把握する
5回目	Chapter 7 詳細	環境についての文章の細部を理解する
6回目	プレゼンテーションの準備	リーディングパッセージの決定
7回目	プレゼンテーションの練習	スライドの作成と練習
8回目	プレゼンテーションの実施	共有とフィードバック
9回目	Chapter 10. Rethinking Regulation: Finance and Investment after the Subprime Loan Meltdown 導入	ビジネスについての文章の大枠を把握する

10回目	Chapter 10 詳細	ビジネスについての文章の細部を理解する
11回目	Chapter 12. Depopulation: Vanishing Villages in Rural Japan 導入	ライフスタイルについての文章の大枠を把握する
12回目	Chapter 12 詳細	ライフスタイルについての文章の細部を理解する
13回目	TED のスクリプト	スクリプトの大枠を把握し、細部を理解する
14回目	期末テストと秋学期のまとめ	秋学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業は予習を前提に進みますので、予習として、本文を少なくとも3回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに1行程度に要約します。また、各チャプターから内容的に一番印象に残る1文、英語として一番難しい1文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。

【テキスト（教科書）】

『Megatrends Shaping Our Future（新たな時代を見据えて）』（成美堂）

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への取り組み、小テスト、プレゼンなど）60%、期末テスト40%。欠席が4回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

パラグラフごとの内容把握の際に、あらかじめ準備したチャートなどが理解の助けになるという意見があったので、今年度も適宜工夫したいと思います。

【Outline (in English)】

This course aims to improve students' reading skills and strategies, with an emphasis on paragraph reading. Through pair work practices and group activities, the course will help to expand one's active vocabulary. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (60%) and term-end examination (40%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

塩谷 幸子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界を取り巻く様々な状況を英語で正確に理解して、それを批判的に読み解き、その上で自国の社会や文化についても客観的かつ多面的な視点で捉えることのできる教養豊かな国際人を養成する。

【到達目標】

英文を正確にすばやく読み取る力を養う。そのために英文を意味のかたまりごとに読み（チャンク・リーディング）、ある一定の速度で安定的に読む訓練を行う。音読とチャンク・リーディングは車の両輪のようなものであるから、音読練習も時間をかけて行う。意味のかたまりを意識し、英語らしい読み方を身につけることによって、リスニング力やライティング力も鍛えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ペア / グループワークを多用し、主体的に、対話的に、そしてより深く学び合う参加型（＝協働学習）の授業を行う。英文をかたまりごとに分け、前から読んで理解する訓練を行う。各章の終わりには日英の変換練習を行い、ライティング・スピーキング力の向上に繋げていく。提出課題に対しては、個別またはクラス全体のフィードバックを行う。洋楽、洋画、TOEICの問題等も副教材として積極的に活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業方針の説明・プレテスト
第2回	Chapter 01: Reading	Vocabulary /Chunk reading
第3回	Chapter 01: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第4回	Chapter 02: Reading	Vocabulary /Chunk reading
第5回	Chapter 02: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第6回	Chapter 03: Reading	Vocabulary /Chunk reading
第7回	Chapter 03: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第8回	Chapter 04: Reading	Vocabulary /Chunk reading
第9回	Chapter 04: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第10回	Chapter 05: Reading	Vocabulary /Chunk reading
第11回	Chapter 05: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第12回	Chapter 06: Reading	Vocabulary /Chunk reading
第13回	プレゼンテーション	口頭発表とクラスメートによる評価
第14回	期末試験（筆記）	まとめ & ポストテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて60分程度を標準とする。
・テキストの予習と英文のチャンク分け、音読練習を続けることによって、自律的な学習習慣を身につけて欲しい。
・ペア・ワークやグループ・ワークを頻繁に行う参加型の授業である。予習を怠ると授業に参加できないばかりか、他の受講生にも迷惑がかかるので十分な準備が必要である。

【テキスト（教科書）】

VOA News: Reading for Cross-cultural Understanding (英宝社, 2021)

【参考書】

Grammar in Use Intermediate, 3rd Edition (Cambridge U. P., 2010)

Practical English Usage (Oxford U. P., 2005)

その他の参考書や参考サイトについては授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（筆記）50% + プレゼンテーション20% + 提出課題20% + 平常点10%によって評価する。成績評価は100点満点とし、60点以上を合格点とする。

欠席が4回以上になった場合は単位修得の資格を失う（ただし、忌引きや登校停止を必要とする流行性疾患は除く）。遅刻・早退3回で欠席1回の扱いとする。授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の退出は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

チャンクリーディング、洋楽クイズ、クイズサイトの利用を引き続き行う。

【学生が準備すべき機器他】

学内ネットワークを利用するので、受講生はIDとパスワードを確認しておく必要がある。資料配布や課題提出には、大学の授業支援システムだけでなく、担当教員の授業ページも利用する。

【その他の重要事項】

教科書は初回授業までに購入しておくことが望ましい。

【Outline (in English)】

This course is designed to nurture well-educated global citizens who can accurately understand various situations surrounding the world today and also grasp the society and culture of their own countries from an objective and multifaceted viewpoint. The main focus of this class is to improve students' reading speed and accuracy through phrase reading and oral reading practice. The course will examine American culture and society. It expects students to gain an increased critical understanding of them and express themselves effectively.

・ Students will learn to read efficiently.
・ Students will develop critical and analytical reading and thinking skills.
・ Students will acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English.

Students are required to practice phrase reading and oral reading at least for 60 minutes a week outside of class.

Grading Criteria: Final Exam (50%) + Presentation (20%) + Assignments (20%) + Participation (10%)

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

塩谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界を取り巻く様々な状況を英語で正確に理解して、それを批判的に読み解き、その上で自国の社会や文化についても客観的かつ多面的な視点で捉えることのできる教養豊かな国際人を養成する。

【到達目標】

英文を正確にすばやく読み取る力を養う。そのために英文を意味のかたまりごとに読み（チャンク・リーディング）、ある一定の速度で安定的に読む訓練を行う。音読とチャンク・リーディングは車の両輪のようなものであるから、音読練習も時間をかけて行う。意味のかたまりを意識し、英語らしい読み方を身につけることによって、リスニング力やライティング力も鍛えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ペア/グループワークを多用し、主体的に、対話的に、そしてより深く学び合う参加型（＝協働学習）の授業を行う。英文をかたまりごとに分け、前から読んで理解する訓練を行う。各章の終わりに日英の変換練習を行い、ライティング・スピーキング力の向上に繋げていく。提出課題に対しては、個別またはクラス全体のフィードバックを行う。洋楽、洋画、TOEICの問題等も副教材として積極的に活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業方針の説明・プレテスト
第2回	Chapter 06: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第3回	Chapter 07: Reading	Vocabulary /Chunk Reading
第4回	Chapter 07: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第5回	Chapter 08: Reading	Vocabulary /Chunk Reading
第6回	Chapter 08: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第7回	Chapter 09: Reading	Vocabulary /Chunk Reading
第8回	Chapter 09: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第9回	Chapter 10: Reading	Vocabulary /Chunk Reading
第10回	Chapter 10: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第11回	Chapter 11: Reading	Vocabulary /Chunk Reading
第12回	Chapter 11: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第13回	プレゼンテーション	口頭発表とクラスメートによる評価
第14回	期末試験（筆記）	まとめ & ポストテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて60分程度を標準とする。
・テキストの予習と英文のチャンク分け、音読練習を続けることによって、自律的な学習習慣を身につけて欲しい。
・ペア・ワークやグループ・ワークを頻繁に行う参加型の授業である。予習を怠ると授業に参加できないばかりか、他の受講生にも迷惑がかかるので十分な準備が必要である。

【テキスト（教科書）】

VOA News: Reading for Cross-cultural Understanding (英宝社, 2021)

【参考書】

Grammar in Use Intermediate, 3rd Edition (Cambridge U. P., 2010)

Practical English Usage (Oxford U. P., 2005)

その他の参考書や参考サイトについては授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（筆記）50%＋プレゼンテーション20%＋提出課題20%＋平常点10%によって評価する。成績評価は100点満点とし、60点以上を合格点とする。

欠席が4回以上になった場合は単位修得の資格を失う（ただし、忌引きや登校停止を必要とする流行性疾患は除く）。遅刻・早退3回で欠席1回の扱いとする。授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の退出は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

チャンクリーディング、洋楽クイズ、クイズサイトの利用を引き続き行う。

【学生が準備すべき機器他】

学内ネットワークを利用するので、受講生はIDとパスワードを確認しておく必要がある。資料配布や課題提出には、大学の授業支援システムだけでなく、担当教員の授業ページも利用する。

【Outline (in English)】

This course is designed to nurture well-educated global citizens who can accurately understand various situations surrounding the world today and also grasp the society and culture of their own countries from an objective and multifaceted viewpoint. The main focus of this class is to improve students' reading speed and accuracy through phrase reading and oral reading practice. The course will examine American culture and society. It expects students to gain an increased critical understanding of them and express themselves effectively.

・ Students will learn to read efficiently.

・ Students will develop critical and analytical reading and thinking skills.

・ Students will acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English.

Students are required to practice phrase reading and oral reading at least for 60 minutes a week outside of class.

Grading Criteria: Final Exam (50%) + Presentation (20%) + Assignments (20%) + Participation (10%)

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

村松 美映子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

学生は、読む、書く、聞く、話すといった英語運用能力を高めるとともに、日本と日本文化を国際的な視点に立つてとらえることができるようになることを目的としています。学生は、経済、仕事、社会と文化、言語と学習、科学技術の分野を学んでいきます。学生は、学びを通して、様々な視点をもって物事をとらえることができるようになります。

【到達目標】

学生は以下の目標を掲げ、到達できるようにします。

1. 文章のパラグラフを意識しながら、精読、速読の力を高めることができる。
2. 文章の要旨をまとめたり、自分の意見を英語で表現できるようになる。
3. 未習の単語、熟語が出てきたときに、辞書を効果的に使うことができるようになる。
4. ある程度の長さの英語を理解し、自分の意見を英語で表現できるようになる。
5. 授業外でも自律的に英語を学べる姿勢を身に着ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

< テキストの学習 >

1. Introduction
 2. Key Vocabulary
 3. Reading (和訳、英語でのパラグラフ要約、英語での全文要約、文法チェック、まとめのスピーチ)
 4. True or False
 5. Finding Specific Information
 6. Summary
 7. What do you think? (グループワーク、英語での意見の発表)
- 課題のフィードバックは、各学生にメールで伝えます。
メールアドレスは授業中にお伝えします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の概要の説明
2	テキストの学習	100-yen shops: Still going strong (3まで)
3	テキストの学習	100-yen shops: Still going strong (4以降)
4	テキストの学習	Work-life balance: Do it like the Germans (3まで)
5	テキストの学習	Work-life balance: Do it like the Germans (4以降)
6	テキストの学習	Lasting the ages: Japan's 200-year-old companies (3まで)

7	テキストの学習	Lasting the ages: Japan's 200-year-old companies (4以降)
8	テキストの学習	Universal basic income: An idea whose time has come? (3まで)
9	テキストの学習	Universal basic income: An idea whose time has come? (4以降)
10	テキストの学習	Remote work: A new way to live and work (3まで)
11	テキストの学習	Remote work: A new way to live and work (4以降)
12	テキストの学習	Tricks of the trade: How companies get us spend? (3まで)
13	テキストの学習	Tricks of the trade: How companies get us spend? (4以降)
14	春学期のまとめ	質問、総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学生は以下のように、準備学習、復習をする。

1. 準備学習テキストの指定箇所の予習。音読、訳読（パラグラフごとに大体の意味が分かるまで精読し、分からない箇所はどこか明らかにしてから授業に出席しましょう。）
 2. 復習（テキストは音読3回。内容と語彙の確認をしましょう。他のニュースにもふれるようにしましょう。）
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Dave Rear (2022) Understanding the World Today, Seibido.2nd edition 2200円

【参考書】

VOA Learning English <https://learningenglish.voanews.com/>

【成績評価の方法と基準】

期末レポート80%、平常点20% 合格点は60%。欠席が4回以上の場合は、単位の認定はいたしません。

学生は、期末レポートでは、パラグラフを意識しながら読解できたか(訳読)、文章の要旨をまとめたり、自分の意見を英語で表現できたか、辞書を使えたか、テキストの英語を理解したか、自律的に課題に取り組めたか(意見の発表、英語の正確さ、論理性)等で評価いたします。

期末レポートは、必ず提出期限内にHoppiiに提出してください。その他の提出手段は認めておりません。やむを得ず病気がでる期限に遅延する場合は、医師による診断書が必要になりますので注意してください。一度提出したレポートを再提出することはできません。平常点は、授業中の積極性、態度等により評価いたします（パラグラフのサマリ発表1点、全体のサマリ2点、グループワークの発表2点、スピーチ3点）

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度をみながら授業を進めていきたい。
例年、音声英語が苦手な学生が多いので、まとめにシャドーイングをして、音声言語にも注意したい。

【学生が準備すべき機器他】

英和、和英辞書を持参すること (iphoneでも構わない)

【その他の重要事項】

上記のシラバスは、授業進行上、変更を加えることがあります。担当教員との連絡方法は、授業中にお知らせいたします。授業に対するご意見は、直接担当教員に申し出てください。遅刻は15分まで、遅刻3回で欠席1回。遅延の場合は遅延証が必要になります。学校伝染病で欠席された場合、医師による診断書が必要になります。体温計の写真を送ってくるのはお控えください。熱中症や風邪などで休まれた場合は診断書があろうとも、欠席になります。大学生ですので、出欠管理は自分でい、学年の途中で自分が何回休んだかを問い合わせるのはお控えください。昨年度この授業を履修していた学生は、他の授業を履修してください。

【Outline (in English)】

< Course Outline >

The students are to study the four areas of English: Reading, Writing, Listening, Speaking, and also to view Japan and Japanese culture from the international points of views. The students are to study economy and work, culture and society, language and culture, and science and technology. Through classes, the students will be able to understand things from many points of views,

< Goals >

The students will attain the following goals in this term:

- 1.To improve reading skills while paying attention to the structures of paragraphs.
2. To summarize the reading materials and express the students' opinions in English.
3. To use English-English dictionary or English-Japanese dictionary effectively.
- 4.To understand News in English and express the students' opinions in English.
5. To Study English by themselves even outside classroom.

< Work to be done outside class >

The students will prepare for the class and review the class as follows:

- 1.To prepare for the class by reading aloud and translating the text.

(The students have to understand where to ask in the next class.)

- 2.To review the class by reading aloud three times and by checking the content of the text and vocabulary)

The students need to study one hour for this class.

< Grading criteria >

Term-end paper 80%Attendance 20%Passing Grade 60%

The students cannot be absent from class more than four times for credits.

The students will be judged if they attain five goals above.

The students have to submit their papers to Hoppii before the set deadline. Other means will not be allowed. If the students cannot submit them due to circumstances beyond their control (illness, for example), the students need to attach medical certificate by a doctor. The students cannot correct papers that they once submitted.

Attendance includes the students' positive attitudes.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

村松 美映子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、学生は、読む、書く、聞く、話すといった英語運用能力を高めるとともに、日本と日本文化を国際的な視座に立つてとらえることができるようになることを目的としています。学生は、経済、仕事、社会と文化、言語と学習、科学技術の分野を学んでいきます。学生は、学びを通して、様々な視点をもって物事をとらえることができるようになります。

【到達目標】

学生は以下の目標を掲げ、到達できるようにします。

1. 文章のパラグラフを意識しながら、精読、速読の力を高めることができる。
2. 文章の要旨をまとめたり、自分の意見を英語で表現できるようになる。
3. 未習の単語、熟語が出てきたときに、辞書を効果的に使うことができるようになる。
4. ある程度の長さの英語を理解し、自分の意見を英語で表現できるようになる。
5. 授業外でも自律的に英語を学べる姿勢を身に着ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

< テキストの学習 >

1. Introduction
 2. Key Vocabulary
 3. Reading (訳読、英語でのパラグラフのサマリ、英語での全体のサマリ、文法チェック)
 4. True or False
 5. Finding Specific Information
 6. Summary
 7. What do you think? (グループワーク、意見の発表)
- 課題のフィードバックは、各学生にメールで伝えます。
メールアドレスは授業中にお伝えします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	テキストの学習	The secret life of gamers: The boy who escaped his body (3 まで)
2	テキストの学習	The secret life of gamers: The boy who escaped his body (4 以降)
3	テキストの学習	Social media: Big tech's addiction to addiction (3 まで)
4	テキストの学習	Social media: Big tech's addiction to addiction (4 以降)
5	テキストの学習	Super solos: Catering to Japan's singletons (3 まで)

6	テキストの学習	Super solos: Catering to Japan's singletons (4 以降)
7	テキストの学習	ここまでの復習、進度の調整、質問
8	テキストの学習	Happiness: What is the secret? (3 まで)
9	テキストの学習	Happiness: What is the secret? (4 以降)
10	テキストの学習	Dialects: How English is spoken across the world (3 まで)
11	テキストの学習	Dialects: How English is spoken across the world (4 以降)
12	テキストの学習	Child Prodigies: Raising a little genius (3 まで)
13	テキストの学習	Child Prodigies: Raising a little genius (4 以降)
14	春学期のまとめ	質問、総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学生は以下のように、準備学習、復習をする。

1. 準備学習テキストの指定箇所の予習。音読、訳読（パラグラフごとに大体の意味が分かるまで精読し、分からない箇所はどこか明らかにしてから授業に出席しましょう。）
 2. 復習（テキストは音読3回。内容と語彙の確認をしましょう。他のニュースにもふれるようにしましょう。）
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Dave Rear (2022) Understanding the World Today, Seibido.2nd edition 2200円

【参考書】

VOA Learning English <https://learningenglish.voanews.com/>

【成績評価の方法と基準】

期末レポート80%、平常点20% 合格点は60%。欠席が4回以上の場合は、単位の認定はいたしません。

学生は、期末レポートでは、パラグラフを意識しながら読解できたか、文章の要旨をまとめたり、自分の意見を英語で表現できたか、辞書を使えたか、テキストの英語を理解したか、自律的に課題に取り組めたか等で評価いたします。

期末レポートは、必ず提出期限内にHoppiiに提出してください。その他の提出手段は認めておりません。やむを得ず病気がでる期限に遅延する場合は、医師による診断書が必要になりますので注意してください。一度提出したレポートを再提出することはできません。平常点は、授業中の積極性、態度等（パラグラフのサマリ1点、全体のサマリ2点、グループワークのサマリ2点、スピーチ3点）により評価いたします。

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度をみながら授業を進めていきたい。
例年、音声英語が苦手な学生が多いので、まとめにシャドーイングをして、丁寧にみていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

英和、和英辞書を持参すること (iphoneでも構わない)

【その他の重要事項】

上記のシラバスは、授業進行上、変更を加えることがあります。担当教員との連絡方法は、授業中にお知らせいたします。授業に対するご意見は、直接担当教員に申し出てください。遅刻は15分まで、遅刻3回で欠席1回。遅延の場合は遅延証が必要になります。学校伝染病で欠席された場合、医師による診断書が必要になります。体温計の写真を送ってくるのはお控えください。熱中症や風邪などで休まれた場合は診断書があろうとも、欠席になります。大学生ですので、出欠管理は自分でい、学年の途中で自分が何回休んだかを問い合わせるのはお控えください。昨年度この授業を履修していた学生は、他の授業を履修してください。

【Outline (in English)】

< Course Outline >

The students are to study the four areas of English: Reading, Writing, Listening, Speaking, and also to view Japan and Japanese culture from the international points of views. The students are to study economy and work, culture and society, language and culture, and science and technology. Through classes, the students will be able to understand things from many points of views.

< Goals >

The students will attain the following goals in this term:

- 1.To improve reading skills while paying attention to the structures of paragraphs.
2. To summarize the reading materials and express the students' opinions in English.
3. To use English-English dictionary or English-Japanese dictionary effectively.
- 4.To understand News in English and express the students' opinions in English
5. To Study English by themselves even outside classroom.

< Work to be done outside class >

The students will prepare for the class and review the class as follows:

- 1.To prepare for the class by reading aloud and translating the text.

(The students have to understand where to ask in the next class.)

- 2.To review the class by reading aloud three times and by checking the content of the text and vocabulary)

The students need to study one hour for this class.

< Grading criteria >

Term-end paper 80%Attendance 20%Passing Grade 60%

The students cannot be absent from class more than four times for credits.

The students will be judged if they attain five goals above.

The students have to submit their papers to Hoppii before the set deadline. Other means will not be allowed. If the students cannot submit them due to circumstances beyond their control (illness, for example), the students need to attach medical certificate by a doctor. The students cannot correct papers that they once submitted.

Attendance includes the students' positive attitudes.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

吉田 季実子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

社会・文化の諸相を扱う英語教材を通して、知識や問題意識、クリティカル・シンキング力を養いながら、主として英語リーディング力とリスニング力を伸ばします。書かれた／話された内容を理解し、考察し、要約・説明したり意見を述べる練習を行い、自信と関心を深めます。

【到達目標】

- (1)教材レベルの英語の文章について、構成・内容を理解し、日本語や平易な英語で要約できる
- (2)教材レベルの英語の音声聞いて、内容を理解できるとともに、伝わりやすいイントネーションで発音・音読できる
- (3)教材の多様なトピックについて、情報収集や多面的考察を行い、情報や自分の見解を日本語や平易な英語で論理的に表現できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業ではまとまった長さの会話および文章の内容や表現の確認・練習を行います。教科書は各課リスニングとリーディングのパートから成り、受信→考察→発信の流れを促す構成です。リスニングでは音の性質・会話の展開・話者の態度・表現などに注目します。リーディングでは批判的思考も意識しつつ全体および各パラグラフの構成・要旨の把握を主眼とし、必要に応じて細部の確認も行います。また、使う目線から便利な語彙や表現を参考にして論理的な表現方法を身につけることを目指します。付属音声は、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意して、リスニング力と読解力の向上に役立てるとともに、スピーキングや音読のモデルとして音読練習に活用し、内容を理解した上での自然で明瞭な発話を目指します。ペア・グループ・クラス全体で、日本語や英語での要約や意見交換、会話・音読練習を行います。予習・復習や理解・考察などについて、口頭や小テスト、期末テスト等で確認します。質問や小テスト等へのフィードバックやアドバイスを授業内で行います。学期末プレゼンテーションは指示に沿って原稿を期日までに提出し、リハーサル・推敲を経て実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション Unit 1 Cross-cultural understanding 導入	授業の概要説明。リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
2	Unit 1 High & Low	リーディング（要約・精読・意見交換）
3	Unit 2 Foods 導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
4	Unit 2 Sustaining Culture 理解と考察	リーディング（要約・精読・意見交換）
5	Unit 3 Foreign language learning 導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）

6	Unit 3 Will Machine Translation Replace Human Translators? 理解と考察	リーディング（要約・精読・意見交換）
7	Unit 4 Sports 導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
8	Unit 4 Obstacle Course Racing 理解と考察	リーディング（要約・精読・意見交換）
9	Unit 5 Fashion 導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
10	Unit 5 The History of Jeans 理解と考察。プレゼンテーション・リハーサル導入	リーディング（要約・精読・意見交換）
11	Unit 6 Living things 導入。プレゼンテーション・リハーサル導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
12	Unit 6 Safer Distance 理解と考察。プレゼンテーション・リハーサル導入	リーディング（要約・精読・意見交換）。プレゼンテーションのアドバイス
13	期末テスト。プレゼンテーションのリハーサルと春学期の復習	春学期末テスト。プレゼンテーションの準備・練習・アドバイス。春学期の総復習
14	プレゼンテーション。春学期のまとめ	発表・質疑応答・意見交換・講評。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

※予習→授業→復習を基本のセットとし、準備学習して積極的に授業に臨み、復習で理解を深め定着させ、苦手克服・実力向上を目指すとともに、発展的な自習の意欲・習慣の構築を目指します

①予習：(1)テキストのリスニング・リーディング問題を解き、根拠も準備(2)会話と文章の主旨の把握。未知の語句は文脈から類推、続いて辞書で確認(3)パラグラフごとの要約（1～2文程度）を日本語と英語で練習(4)ダウンロード音声の区切り・抑揚などに留意して音読練習

②復習：(1)テキストを再読。復習用資料を活用し重要表現は書いたり声に出して定着(2)ダウンロード音声を（テキストを見ながら／見ないで）リポート／シャドーイング(3)テキストで使われているキーワードや表現を使って内容の要約を言う／書く(4)主題についての自分の意見を言う／書く(5)書籍やウェブサイト等で情報収集し視野を広げる

③プレゼンテーション準備：プレゼン用資料を参考に少しずつ準備、原稿を指示に沿って期限内に提出、リハーサル・推敲する

※指示されたリスニング教材：(1)スクリプトなしで大意の把握を目指して聞く(2)スクリプトを見て細部を確認しながら繰り返し聞く(3)音読練習

【テキスト（教科書）】

VELC研究会教材開発グループ、望月正道、静哲人、熊澤孝昭 編著、*AMBITIONS Intermediate*（4技能統合型で学ぶ英語コース：中級編）金星堂、¥2,100(税込¥2,310) ※必要に応じてその他の教材・資料を活用する際は配布または指示します

【参考書】

随時授業中に紹介・指示します

【成績評価の方法と基準】

平常点（毎回の授業への取り組み・課題・小テストなど）50%、期末テスト25%、プレゼンテーション25%の割合で、上記到達目標(1)(2)(3)の達成度に照らして評価します。※欠席が3回を超過すると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください

【学生の意見等からの気づき】

多様なトピックでいろいろな能力を鍛えることができ楽しかったなどの声が聞かれましたので、みなさんの取り組み・成長をサポートできるよう内容・手法の充実を図りたいと思います

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください

【その他の重要事項】

授業の連絡事項・課題・資料配布などに学習支援システムを使います。各自の大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください

【Outline (in English)】

This course is designed to help students develop their reading and listening skills. Students will read essays on a wide range of issues in the world today and listen to conversations on a variety of related topics, thinking critically about them. Students will learn how to comprehend the structure and the argument of the passage and acquire the information they need. They will practice summarizing the passage they have read and commenting on related topics. The course will offer instruction of and practice in the development of effective listening skills. Students will also give a short presentation, integrating skills and knowledge acquired during the course and developing their confidence in English communication.

The goals are to develop the abilities to understand and summarize the essays accurately, grasp the main points of spoken materials, read aloud effectively, and communicate one's thoughts and opinions on the topics.

Completing assignments (preparation for the class, including listening to a recording, reading the text and answering questions) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least one hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria: active class participation, assignments and quizzes (50%), final examination (25%), final presentation (25%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

吉田 季実子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

社会・文化の諸相を扱う英語教材を通して、知識や問題意識、クリティカル・シンキング力を養いながら、主として英語リーディング力とリスニング力を伸ばします。書かれた／話された内容を理解し、考察し、要約・説明したり意見を述べる練習を行い、自信と関心を深めます。

【到達目標】

- (1)教材レベルの英語の文章について、構成・内容を理解し、日本語や平易な英語で要約できる
- (2)教材レベルの英語の音声聞いて内容を理解できるとともに、伝わりやすいイントネーションで発音・音読できる
- (3)教材の多様なトピックについて、情報収集や多面的考察を行い、情報や自分の見解を日本語や平易な英語で論理的に表現できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業ではまとまった長さの会話および文章の内容や表現の確認・練習を行います。教科書は各課リスニングとリーディングのパートから成り、受信→考察→発信の流れを促す構成です。リスニングでは音の性質・会話の展開・話者の態度・表現などに注目します。リーディングでは批判的思考も意識しつつ全体および各パラグラフの構成・要旨の把握を主眼とし、必要に応じて細部の確認も行います。また、使う目線から便利な語彙や表現を参考にして論理的な表現方法を身につけることを目指します。付属音声は、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意して、リスニング力と読解力の向上に役立てるとともに、スピーキングや音読のモデルとして音読練習に活用し、内容を理解した上での自然で明瞭な発話を目指します。ペア・グループ・クラス全体で、日本語や英語での要約や意見交換、会話・音読練習を行います。予習・復習や理解・考察などについて、口頭や小テスト、期末テスト等で確認します。質問や小テスト等へのフィードバックやアドバイスを授業内で行います。学期末プレゼンテーションは指示に沿って原稿を期日までに提出し、リハーサル・推敲を経て実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7 Art 導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
2	Unit 7 Moving Pictures, Before There Were Movies	リーディング（要約・精読・意見交換） 理解と考察
3	Unit 8 Global issues 導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
4	Unit 8 Jack's Cambodian Blog 理解と考察	リーディング（要約・精読・意見交換）

5	Unit 9 Japanese culture 導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
6	Unit 9 Cosplay: Bringing Anime to Life 理解と考察	リーディング（要約・精読・意見交換）
7	Unit 10 Human rights 導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
8	Unit 10 Terrorism and Torture 理解と考察	リーディング（要約・精読・意見交換）
9	Unit 11 Health & medical issues 導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
10	Unit 11 How to Live a Long Life: Secrets of the Japanese 理解と考察。プレゼンテーション・リハーサル導入	リーディング（要約・精読・意見交換）
11	Unit 12 Environmental issues 導入。プレゼンテーション・リハーサル導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
12	Unit 12 Great Barrier Reef Speech 理解と考察。プレゼンテーション・リハーサル導入	リーディング（要約・精読・意見交換）。プレゼンテーションのアドバイス
13	期末テスト。プレゼンテーション・リハーサルと秋学期の復習	秋学期末テスト。プレゼンテーション・リハーサル。秋学期の総復習
14	プレゼンテーション。秋学期のまとめ	発表・質疑応答・意見交換・講評。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

※予習→授業→復習を基本のセットとし、準備学習して積極的に授業に臨み、復習で理解を深め定着させ、苦手克服・実力向上を目指すとともに、発展的な自習の意欲・習慣の構築を目指します

①予習：(1)テキストのリスニング・リーディング問題を解き、根拠も準備(2)会話と文章の主旨の把握。未知の語句は文脈から類推、続いて辞書で確認(3)パラグラフごとの要約（1～2文程度）を日本語と英語で練習(4)ダウンロード音声の区切り・抑揚などに留意して音読練習

②復習：(1)テキストを再読。復習用資料を活用し重要表現は書いたリ声に出して定着(2)ダウンロード音声を（テキストを見ながら／見ないで）リピート／シャドーイング(3)テキストで使われているキーワードや表現を使って内容の要約を言う／書く(4)主題についての自分の意見を言う／書く(5)書籍やウェブサイト等で情報収集し視野を広げる

③プレゼンテーション準備：プレゼン用資料を参考に少しずつ準備、原稿を指示に沿って期限内に提出、リハーサル・推敲する
※指示されたリスニング教材：(1)スクリプトなしで大意の把握を目指して聞く(2)スクリプトを見て細部を確認しながら繰り返し聞く(3)音読練習

【テキスト（教科書）】

VELC研究会教材開発グループ、望月正道、静哲人、熊澤孝昭 編著、*AMBITIONS Intermediate*（4技能統合型で学ぶ英語コース：中級編）金星堂、¥2,100(税込¥2,310) ※必要に応じてその他の教材・資料を活用する際は配布または指示します

【参考書】

随時授業中に紹介・指示します

【成績評価の方法と基準】

平常点（毎回の授業への取り組み・課題・小テストなど）50%、期末テスト 25%、プレゼンテーション 25%の割合で、上記到達目標 (1)(2)(3)の達成度に照らして評価します。※欠席が3回を超過すると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください

【学生の意見等からの気づき】

多様なトピックでいろいろな能力を鍛えることができ楽しかったなどの声が聞かれましたので、みなさんの取り組み・成長をサポートできるよう内容・手法の充実を図りたいと思います

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください

【その他の重要事項】

授業の連絡事項や課題・資料配布などに学習支援システムを使います。各自の大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください

【Outline (in English)】

This course is designed to help students develop their reading and listening skills. Students will read essays on a wide range of issues in the world today and listen to conversations on a variety of related topics, thinking critically about them. Students will learn how to comprehend the structure and the argument of the passage and acquire the information they need. They will practice summarizing the passage they have read and commenting on related topics. The course will offer instruction of and practice in the development of effective listening skills. Students will also give a short presentation, integrating skills and knowledge acquired during the course and developing their confidence in English communication.

The goals are to develop the abilities to understand and summarize the essays accurately, grasp the main points of spoken materials, read aloud effectively, and communicate one's thoughts and opinions on the topics.

Completing assignments (preparation for the class, including listening to a recording, reading the text and answering questions) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least one hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria: active class participation, assignments and quizzes (50%), final examination (25%), final presentation (25%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

村松 美映子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

学生は、読む、書く、聞く、話すといった英語運用能力を高めるとともに、日本と日本文化を国際的な視点に立つてとらえることができるようになることを目的としています。学生は、経済、仕事、社会と文化、言語と学習、科学技術の分野を学んでいきます。学生は、学びを通して、様々な視点をもって物事をとらえることができるようになります。

【到達目標】

学生は以下の目標を掲げ、到達できるようにします。

1. 文章のパラグラフを意識しながら、精読、速読の力を高めることができる。
2. 文章の要旨をまとめたり、自分の意見を英語で表現できるようになる。
3. 未習の単語、熟語が出てきたときに、辞書を効果的に使うことができるようになる。
4. ある程度の長さの英語を理解し、自分の意見を英語で表現できるようになる。
5. 授業外でも自律的に英語を学べる姿勢を身に着ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

< テキストの学習 >

1. Introduction
 2. Key Vocabulary
 3. Reading (和訳、英語でのパラグラフ要約、英語での全文要約、文法チェック)
 4. True or False
 5. Finding Specific Information
 6. Summary
 7. What do you think? (グループワーク、英語での意見の発表)
- 課題のフィードバックは、各学生にメールで伝えます。
メールアドレスは授業中にお伝えします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の概要の説明
2	テキストの学習	100-yen shops: Still going strong (3まで)
3	テキストの学習	100-yen shops: Still going strong (4以降)
4	テキストの学習	Work-life balance: Do it like the Germans (3まで)
5	テキストの学習	Work-life balance: Do it like the Germans (4以降)
6	テキストの学習	Lasting the ages: Japan's 200-year-old companies (3まで)

7	テキストの学習	Lasting the ages: Japan's 200-year-old companies (4以降)
8	テキストの学習	Universal basic income: An idea whose time has come? (3まで)
9	テキストの学習	Universal basic income: An idea whose time has come? (4以降)
10	テキストの学習	Remote work: A new way to live and work (3まで)
11	テキストの学習	Remote work: A new way to live and work (4以降)
12	テキストの学習	Tricks of the trade: How companies get us spend? (3まで)
13	テキストの学習	Tricks of the trade: How companies get us spend? (4以降)
14	春学期のまとめ	質問、総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学生は以下のように、準備学習、復習をする。

1. 準備学習テキストの指定箇所の予習。音読、訳読（パラグラフごとに大体の意味が分かるまで精読し、分からない箇所はどこか明らかにしてから授業に出席しましょう。）
 2. 復習（テキストは音読3回。内容と語彙の確認をしましょう。他のニュースにもふれるようにしましょう。）
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Dave Rear (2022) Understanding the World Today, Seibido.2nd edition 2200円

【参考書】

VOA Learning English <https://learningenglish.voanews.com/>

【成績評価の方法と基準】

期末レポート80%、平常点20% 合格点は60%。欠席が4回以上の場合は、単位の認定はいたしません。

学生は、期末レポートでは、パラグラフを意識しながら読解できたか(訳読)、文章の要旨をまとめたり、自分の意見を英語で表現できたか、辞書を使えたか、テキストの英語を理解したか、自律的に課題に取り組めたか(意見の発表、英語の正確さ、論理性)等で評価いたします。

期末レポートは、必ず提出期限内にHoppiiに提出してください。その他の提出手段は認めておりません。やむを得ず病気がでる期限に遅延する場合は、医師による診断書が必要になりますので注意してください。一度提出したレポートを再提出することはできません。平常点は、授業中の積極性、態度等により評価いたします（パラグラフのサマリ発表1点、全体のサマリ2点、グループワークの発表2点、スピーチ3点）

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度をみながら授業を進めていきたい。

例年、音声英語が苦手な学生が多いので、まとめにシャドーイングをして、音声言語にも注意したい。

【学生が準備すべき機器他】

英和、和英辞書を持参すること (iphoneでも構わない)

【その他の重要事項】

上記のシラバスは、授業進行上、変更を加えることがあります。担当教員との連絡方法は、授業中にお知らせいたします。授業に対するご意見は、直接担当教員に申し出てください。遅刻は15分まで、遅刻3回で欠席1回。遅延の場合は遅延証が必要になります。学校伝染病で欠席された場合、医師による診断書が必要になります。体温計の写真を送ってくるのはお控えください。熱中症や風邪などで休まれた場合は診断書があろうとも、欠席になります。大学生ですので、出欠管理は自分で行き、学年の途中で自分が何回休んだかを問い合わせるのはお控えください。昨年度この授業を履修していた学生は、他の授業を履修してください。

【Outline (in English)】

< Course Outline >

The students are to study the four areas of English: Reading, Writing, Listening, Speaking, and also to view Japan and Japanese culture from the international points of views. The students are to study economy and work, culture and society, language and culture, and science and technology. Through classes, the students will be able to understand things from many points of views,

< Goals >

The students will attain the following goals in this term:

- 1.To improve reading skills while paying attention to the structures of paragraphs.
2. To summarize the reading materials and express the students' opinions in English.
3. To use English-English dictionary or English-Japanese dictionary effectively.
- 4.To understand News in English and express the students' opinions in English.
5. To Study English by themselves even outside classroom.

< Work to be done outside class >

The students will prepare for the class and review the class as follows:

- 1.To prepare for the class by reading aloud and translating the text.

(The students have to understand where to ask in the next class.)

- 2.To review the class by reading aloud three times and by checking the content of the text and vocabulary)

The students need to study one hour for this class.

< Grading criteria >

Term-end paper 80%Attendance 20%Passing Grade 60%

The students cannot be absent from class more than four times for credits.

The students will be judged if they attain five goals above.

The students have to submit their papers to Hoppii before the set deadline. Other means will not be allowed. If the students cannot submit them due to circumstances beyond their control (illness, for example), the students need to attach medical certificate by a doctor. The students cannot correct papers that they once submitted.

Attendance includes the students' positive attitudes.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

村松 美映子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、学生は、読む、書く、聞く、話すといった英語運用能力を高めるとともに、日本と日本文化を国際的な視座に立つてとらえることができるようになることを目的としています。学生は、経済、仕事、社会と文化、言語と学習、科学技術の分野を学んでいきます。学生は、学びを通して、様々な視点をもって物事をとらえることができるようになります。

【到達目標】

学生は以下の目標を掲げ、到達できるようにします。

1. 文章のパラグラフを意識しながら、精読、速読の力を高めることができる。
2. 文章の要旨をまとめたり、自分の意見を英語で表現できるようになる。
3. 未習の単語、熟語が出てきたときに、辞書を効果的に使うことができるようになる。
4. ある程度の長さの英語を理解し、自分の意見を英語で表現できるようになる。
5. 授業外でも自律的に英語を学べる姿勢を身に着ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

< テキストの学習 >

1. Introduction
 2. Key Vocabulary
 3. Reading (訳読、英語でのパラグラフのサマリ、英語での全体のサマリ、文法チェック)
 4. True or False
 5. Finding Specific Information
 6. Summary
 7. What do you think? (グループワーク、意見の発表)
- 課題のフィードバックは、各学生にメールで伝えます。
メールアドレスは授業中にお伝えします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	テキストの学習	The secret life of gamers: The boy who escaped his body (3 まで)
2	テキストの学習	The secret life of gamers: The boy who escaped his body (4 以降)
3	テキストの学習	Social media: Big tech's addiction to addiction (3 まで)
4	テキストの学習	Social media: Big tech's addiction to addiction (4 以降)
5	テキストの学習	Super solos: Catering to Japan's singletons (3 まで)

6	テキストの学習	Super solos: Catering to Japan's singletons (4 以降)
7	テキストの学習	ここまでの復習、進度の調整、質問
8	テキストの学習	Happiness: What is the secret? (3 まで)
9	テキストの学習	Happiness: What is the secret? (4 以降)
10	テキストの学習	Dialects: How English is spoken across the world (3 まで)
11	テキストの学習	Dialects: How English is spoken across the world (4 以降)
12	テキストの学習	Child Prodigies: Raising a little genius (3 まで)
13	テキストの学習	Child Prodigies: Raising a little genius (4 以降)
14	春学期のまとめ	質問、総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学生は以下のように、準備学習、復習をする。

1. 準備学習テキストの指定箇所の予習。音読、訳読（パラグラフごとに大体の意味が分かるまで精読し、分からない箇所はどこか明らかにしてから授業に出席しましょう。）
 2. 復習（テキストは音読3回。内容と語彙の確認をしましょう。他のニュースにもふれるようにしましょう。）
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Dave Rear (2022) Understanding the World Today, Seibido.2nd edition 2200円

【参考書】

VOA Learning English <https://learningenglish.voanews.com/>

【成績評価の方法と基準】

期末レポート80%、平常点20% 合格点は60%。欠席が4回以上の場合は、単位の認定はいたしません。

学生は、期末レポートでは、パラグラフを意識しながら読解できたか、文章の要旨をまとめたり、自分の意見を英語で表現できたか、辞書を使えたか、テキストの英語を理解したか、自律的に課題に取り組めたか等で評価いたします。

期末レポートは、必ず提出期限内にHoppiiに提出してください。その他の提出手段は認めておりません。やむを得ず病気がでる期限に遅延する場合は、医師による診断書が必要になりますので注意してください。一度提出したレポートを再提出することはできません。平常点は、授業中の積極性、態度等（パラグラフのサマリ1点、全体のサマリ2点、グループワークのサマリ2点、スピーチ3点）により評価いたします。

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度をみながら授業を進めていきたい。
例年、音声英語が苦手な学生が多いので、まとめにシャドーイングをして、丁寧にみていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

英和、和英辞書を持参すること (iphoneでも構わない)

【その他の重要事項】

上記のシラバスは、授業進行上、変更を加えることがあります。担当教員との連絡方法は、授業中にお知らせいたします。授業に対するご意見は、直接担当教員に申し出てください。遅刻は15分まで、遅刻3回で欠席1回。遅延の場合は遅延証が必要になります。学校伝染病で欠席された場合、医師による診断書が必要になります。体温計の写真を送ってくるのはお控えください。熱中症や風邪などで休まれた場合は診断書があろうとも、欠席になります。大学生ですので、出欠管理は自分でい、学年の途中で自分が何回休んだかを問い合わせるのはお控えください。昨年度この授業を履修していた学生は、他の授業を履修してください。

【Outline (in English)】

< Course Outline >

The students are to study the four areas of English: Reading, Writing, Listening, Speaking, and also to view Japan and Japanese culture from the international points of views. The students are to study economy and work, culture and society, language and culture, and science and technology. Through classes, the students will be able to understand things from many points of views.

< Goals >

The students will attain the following goals in this term:

- 1.To improve reading skills while paying attention to the structures of paragraphs.
2. To summarize the reading materials and express the students' opinions in English.
3. To use English-English dictionary or English-Japanese dictionary effectively.
- 4.To understand News in English and express the students' opinions in English
5. To Study English by themselves even outside classroom.

< Work to be done outside class >

The students will prepare for the class and review the class as follows:

- 1.To prepare for the class by reading aloud and translating the text.

(The students have to understand where to ask in the next class.)

- 2.To review the class by reading aloud three times and by checking the content of the text and vocabulary)

The students need to study one hour for this class.

< Grading criteria >

Term-end paper 80%Attendance 20%Passing Grade 60%

The students cannot be absent from class more than four times for credits.

The students will be judged if they attain five goals above.

The students have to submit their papers to Hoppii before the set deadline. Other means will not be allowed. If the students cannot submit them due to circumstances beyond their control (illness, for example), the students need to attach medical certificate by a doctor. The students cannot correct papers that they once submitted.

Attendance includes the students' positive attitudes.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

大澤 岳彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュース英語に慣れ、理解し、検討することが、この授業の主眼である。英語を手段にして、世界の今を直に感じられるように努力してもらいたい。授業では、実際の記事、ニュースを素材にして、ヘッドライン、構成、語法をつかむのは、勿論のこと、リスニング力・語彙力の強化と背景の理解を最大の課題とする。

【到達目標】

ニュース英語の基礎（ヘッドライン、リード、ボディ、キーワード等）を理解し、記事が書かれたバックグラウンドに迫る。ニュース英語についての幅広い知識を身に着け、実践的な現代英語運用能力を体得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の授業では、米ABCニュースや英字新聞等の課題に取り組み、その解答やフィードバックをGoogle Classroomを使って行なう。ニュース英語の特徴（ニュースの内容や構成、文化背景、特徴的な語彙等）を把握する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業内容・進め方、テキスト、ABC World News Tonight の紹介
2	英語ニュースの構成、特色	ヘッドライン、リード、ボディ、キーワード、ニュースバリュー等
3	News Story 1 Deepfake AI Images 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
4	News Story 1 Deepfake AI Images 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
5	News Story 2 Professional Dog Photos 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
6	News Story 2 Professional Dog Photos 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
7	News Story 3 Columbia Protests Force Remote Classes 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
8	News Story 3 Columbia Protests Force Remote Classes 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
9	News Story 4 Autism Through Broadway 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解

10	News Story 4 Autism Through Broadway 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
11	News Story 5 Cleaning Up Our Planet 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
12	News Story 5 Cleaning Up Our Planet 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
13	News Story 6 Rosie the Riveters	総まとめ 1、期末課題
14	News Story 7 Mission to the Moon	総まとめ 2、期末課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

メディア英語の学習のためには、日々のニュース理解がまず必要である。新聞、テレビ、ネットなどの世界ニュースを継続してフォローしてもらいたい。

授業外では、自習用オンラインビデオを使って、毎回の授業準備、予習に最低1時間、復習時間が必要。

【テキスト（教科書）】

大澤岳彦、堤龍一郎 "A Shorter Course in Newspaper English"
Revised edition 5刷 南雲堂
山根繁、山根キャサリン "ABC Newsroom 3" 金星堂

【参考書】

新語、固有名詞を詳細に説明している語数の多い辞書を用意のこと。参考情報は以下から確認のこと

<https://abcnews.go.com/>

<https://plusmedia.kinsei-do.co.jp/plusmedia/html/user/login.php>

【成績評価の方法と基準】

通常課題：70%、期末課題：30%

毎回の課題、授業への取組み、期末課題を考慮して総合的に評価する。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得の資格を失う。

正当な理由なき40分以上の遅刻、早退は欠席、また同じく20分以上の遅刻、早退2回で欠席1回とする。

【学生の意見等からの気づき】

Google Classroom を通じた毎回の課題とフィードバックを学生との大事なコミュニケーションツールとしたい。感想、質問、リクエスト等を授業で出来る限り具現化していきたい。前年度学生からの指摘があり、遅刻の基準を成績基準として明確化した。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム、Google Classroom を使用する

授業を受ける際にはヘッドセットが必要となる。

【その他の重要事項】

時事英語学習のためには、まず日本語での世界情勢の理解が必要である。毎日、ニュースを見て、新聞を読むくせをつけてもらいたい。＜実務経験＞業種：民間放送局/職種：編成、プロデューサー、営業促進等/年数：11年

＜実務経験＞業種：財団法人（東京国際映画祭、高松宮殿下記念世界文化賞等実施）/職種：企画広報、プロデューサー/年数：15年

【Outline (in English)】

Course outline:

The main focus of this lesson is to become accustomed to, understand, and consider media English. I would like you to make an effort to feel the present of the world directly by using English. In class, I would like to use actual news as materials to grasp headlines, composition, and grammar, as well as strengthen listening and vocabulary skills and understand the background.

Learning objectives: Delivers classes that raise students' desire to learn as well as their Media English ability, classes that give students a sense of achievement in their studies so that they themselves take the initiative in their Media English learning.

Learning activities outside of classroom: In order to learn media English, daily news understanding is compulsory. I want you to continue to follow world news such as newspapers, TV, and the Internet.

Outside of class, one hour of preparation /review is standard every week using online videos for self-study.

Grading criteria/policy:

Class assignments 70%, term-end assignments 30%

Comprehensive evaluation will be made in consideration of each assignment, class approach, and term-end assignment.

As a general rule, those who are absent four times or more will be disqualified from earning credits.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

大澤 岳彦

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月2/Mon.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

メディア英語に慣れ、理解し、検討することが、この授業の主眼である。英語を手段にして、世界の今を直に感じられるように努力してもらいたい。授業では、実際の記事、ニュースを素材にして、ヘッドライン、構成、語法をつかむのは、勿論のこと、リスニング力・語彙力の強化と背景の理解を最大の課題としたい。

【到達目標】

ニュース英語の基礎 (ヘッドライン、リード、ボディ、キーワード等) を理解し、記事が書かれたバックグラウンドに迫る。ニュース英語についての幅広い知識を身につけ、実践的な現代英語運用能力を体得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の授業では、Google Classroom を通じて、米ABCニュースや英字新聞記事等の課題に取り組み、その解答やフィードバックを行う。

ニュース英語の特徴 (ニュースの内容や構成、文化背景、特徴的な語彙等) を把握する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	News Story 8 Legendary Tailor 1	休暇中ニュースのフォローアップ、秋学期の進め方等
2	News Story 8 Legendary Tailor 2	英字新聞、テレビニュース英語の形式、構成の理解
3	News Story 9 CDC Issues Bird Flu Alert 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
4	News Story 9 CDC Issues Bird Flu Alert 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
5	News Story 10 Driving Toll for New York City 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
6	News Story 10 Driving Toll for New York City 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
7	News Story 11 The Eclipse Across America 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
8	News Story 11 The Eclipse Across America 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
9	News Story 12 Migrant Crisis 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
10	News Story 12 Migrant Crisis 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
11	News Story 13 Made in America Christmas Trees 1	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解

12	News Story 13 Made in America Christmas Trees 2	ヘッドライン、構成、語法、語彙、背景の理解
13	News Story 14 First Female Supreme Court Justice	総まとめ 1, 期末課題
14	News Story 15 Uncovered Secrets of Plastic Waste	総まとめ 2, 期末課題

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

メディア英語の学習のためには、日々のニュース理解がまず必要である。新聞、テレビ、ネットなどの世界ニュースを継続してフォローしてもらいたい。
授業外では、自習用オンラインビデオを使って、毎週1時間の予習・復習を標準とする。

【テキスト (教科書)】

大澤岳彦、堤龍一郎 "A Shorter Course in Newspaper English" Revised edition 5刷 南雲堂
山根繁、山根キャサリン "ABC Newsroom 3" 金星堂

【参考書】

新語、固有名詞を詳細に説明している語数の多い辞書を用意のこと。参考情報は以下から確認のこと

<https://abcnews.go.com/>

<https://plusmedia.kinsei-do.co.jp/plusmedia/html/user/login.php>

【成績評価の方法と基準】

通常課題: 70%、期末課題: 30%

毎回の課題、授業への取り組み、期末課題を考慮して総合的に評価する。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得の資格を失う。

正当な理由なき40分以上の遅刻、早退は欠席、また同じく20分以上の遅刻、早退2回で欠席1回とする。

【学生の意見等からの気づき】

Google Classroom を通じた毎回の課題とフィードバックを学生との大事なコミュニケーションツールとしたい。感想、質問、リクエスト等を授業で出来る限り具現化していきたい。前年度学生からの指摘があり、遅刻の基準を成績基準として明確化した。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布、課題提出等は、Google クラウドと学習支援システムを通して実施。パソコンとヘッドホンが必要となる。

【その他の重要事項】

時事英語学習のためには、まず日本語での世界情勢の理解が必要である。毎日、ニュースを見て、新聞を読むくせをつけてもらいたい。
＜実務経験＞業種: 民間放送局/職種: 編成、プロデューサー、営業促進等/年数: 11年
＜実務経験＞業種: 財団法人 (東京国際映画祭、高松宮殿下記念世界文化賞等実施)/職種: 企画広報、プロデューサー/年数: 15年

【Outline (in English)】

Course outline:

The main focus of this lesson is to become accustomed to, understand, and consider media English. I would like you to make an effort to feel the present of the world directly by using English. In class, I would like to use actual news as materials to grasp headlines, composition, and grammar, as well as strengthen listening and vocabulary skills and understand the background.

Learning objectives: Delivers classes that raise students' desire to learn as well as their Media English ability, classes that give students a sense of achievement in their studies so that they themselves take the initiative in their Media English learning.

Learning activities outside of classroom: In order to learn media English, daily news understanding is compulsory. I want you to continue to follow world news such as newspapers, TV, and the Internet.

Outside of class, one hour of preparation /review is standard every week using online videos for self-study.

Grading criteria/policy:

Class assignments 70%, term-end assignments 30%

Comprehensive evaluation will be made in consideration of each assignment, class approach, and term-end assignment.

As a general rule, those who are absent four times or more will be disqualified from earning credits.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

中和 彩子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

使用教科書は、現代社会の興味深い出来事や問題について、平易な英語で書かれた読み物を軸に構成されている。「クリティカル・リーディング」のスキルを中心として総合的に英語力を養いつつ、大学生にふさわしい教養・知識を身につける。

【到達目標】

1. 英文を、一語ずつ立ちどまることなく、意味のかたまりを意識して一定の速さで正確に読むことができる。
2. 英語の文章を、パラグラフの構造・構成を意識して一定の速さで正確に読むことができる。
3. 読んで理解できる英文を、聞き取りによっても理解することができる。
4. 英語の文章をクリティカル（批評的・批判的）に読むことができる。
5. 英語の文章を英語で要約したり、内容について英語でコメントしたりすることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

全員の準備学習を前提とし、教科書の構成に沿って授業を進める。講師が学生を当てて答えさせたり、解説をしたりするほかに、ペアまたはグループワークをとりいれ、学生同士で問題解決を行う時間を設ける。

教科書の章ごとに、理解を確認するための「小テスト」と「復習課題」を課し、授業内でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業、教材についての説明。英語履修指導。
2	Chapter 1 Human Intelligence (1)	Are We Getting Dumber? (前半)
3	Chapter 1 Human Intelligence (2)	Are We Getting Dumber? (後半、まとめ)
4	Chapter 2 Social Media (1)	The Clock is "Tik-ing" for Facebook (前半)
5	Chapter 2 Social Media (2)	The Clock is "Tik-ing" for Facebook (後半、まとめ)
6	Chapter 3 Working Dogs	Lending a Helping Paw
7	Chapter 4 15-minute City (1)	Everything on Your Doorstep (前半)
8	Chapter 4 15-minute City (2)	Everything on Your Doorstep (後半、まとめ)
9	Chapter 5 Tiny Houses (1)	Moving to Minimalism (前半)
10	Chapter 5 Tiny Houses (2)	Moving to Minimalism (後半、まとめ)
11	Chapter 6 Powering Our Homes	Saying Goodbye to Gas

12	Chapter 7 The Future of Cars (1)	Cars—Who Needs Them? (前半)
13	Chapter 7 The Future of Cars (2)	Cars—Who Needs Them? (後半、まとめ)
14	復習・復習試験	前半は今学期の復習。後半に試験を実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各章の“Before You Read”、“Reading Passage”（読み物）、“Test Yourself”、“Focus on Details”は準備学習が必須である。

“Before You Read”に答えながら読み物の内容について予測を立てたうえで、“Reading Passage”を音声（教科書会社のサイトからダウンロード／ストリーミング可能）を聞きながら読み、不明点を辞書等でできる限り調べておく。“Test Yourself”、“Focus on Details”については、解答の根拠も示せるようにしておくこと。

予習時の不明点については、授業中にすぐに質問できるように印をつけるか、ノートに書き出しておく。

※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Katsuhiko Muto and Bill Benfield 『Reading Palette Blue-Intermediate-（英文読解への多面的アプローチ＜中級＞クリティカル・リーディング）』成美堂

【参考書】

大学〜一般向けの英和および英英辞書、各1点以上（電子辞書または本）。

毎回の授業にも持参のこと。

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テスト30%、復習課題30%、ライティング課題10%）と試験(30%)の総合評価とする。

欠席が4回以上の場合は原則として単位修得を認めない。遅刻・早退は程度や回数に応じて減点の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

英文についての解説をゆっくり、丁寧に行う。

グループワークを円滑に進められるよう指導する。

【学生が準備すべき機器他】

必要に応じてZoomを使用したリアルタイムオンライン授業を行う可能性がある。その際、受講環境によってはヘッドセットが必要となる。

【その他の重要事項】

・情報の周知、課題の出題などに学習支援システムを使用する。

・対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業を行う可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【Outline (in English)】

Course outline: The textbook used in this class focuses on critical reading skills while covering a wide range of current global topics that will interest university students. Through reading the passages and working on the accompanying exercises, students will be able to learn how to read texts critically, and also improve their listening and writing skills.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to develop their skills of reading and listening comprehension, and also of summarizing and commenting on what they read in written form.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to prepare for each class meeting by reading the passage and working on the accompanying exercises. They will also be required to submit a couple of writing assignments during the term. ※ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading Policies: Grading will be decided based on in-class mini-quizzes (30%), passage summary and dictation homework (30%), short writing assignments (10%), and the term-end exam (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit for the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

中和 彩子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

使用教科書は、現代社会の興味深い出来事や問題について、平易な英語で書かれた読み物を軸に構成されている。「クリティカル・リーディング」のスキルを中心として総合的に英語力を養いつつ、大学生にふさわしい教養・知識を身につける。

【到達目標】

1. 英文を、一語ずつ立ちどまることなく、意味のかたまりを意識して一定の速さで正確に読むことができる。
2. 英語の文章を、パラグラフの構造・構成を意識して一定の速さで正確に読むことができる。
3. 読んで理解できる英文を、聞き取りによっても理解することができる。
4. 英語の文章をクリティカル（批評的・批判的）に読むことができる。
5. 英語の文章を英語で要約したり、内容について英語でコメントしたりすることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

全員の準備学習を前提とし、教科書の構成に沿って授業を進める。講師が学生を当てて答えさせたり、解説をしたりするほかに、ペアまたはグループワークをとりいれ、学生同士で問題解決を行う時間を設ける。

教科書の章ごとに、理解を確認するための「小テスト」と「復習課題」を課し、授業内でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 8 Superhumans (1)	Leaving Our Old Selves Behind (前半)
2	Chapter 8 Superhumans (2)	Leaving Our Old Selves Behind (後半、まとめ)
3	Chapter 9 Restaurants in Crisis	Kitchen Staff-Workers or Slaves?
4	Chapter 10 Lab-grown Meat (1)	Better Than the Real Thing? (前半)
5	Chapter 10 Lab-grown Meat (2)	Better Than the Real Thing? (後半、まとめ)
6	Chapter 11 Van Living	Time to Hit the Road
7	Chapter 12 Sportswashing (1)	Let Sports Clean Up Your Image (前半)
8	Chapter 12 Sportswashing (2)	Let Sports Clean Up Your Image (後半、まとめ)
9	Chapter 13 Board Games and Climate Change (1)	Everyone Is a Winner (前半)
10	Chapter 13 Board Games and Climate Change (2)	Everyone Is a Winner (後半、まとめ)

11	Chapter 14 The Gig Economy (1)	Freedom or Security? (前半)
12	Chapter 14 The Gig Economy (2)	Freedom or Security? (後半、まとめ)
13	Chapter 15 Digital Music	Are Computers Destroying Music?
14	復習・復習試験	前半は今学期の復習。後半に試験を実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各章の“Before You Read”、“Reading Passage”（読み物）、“Test Yourself”、“Focus on Details”は準備学習が必須である。

“Before You Read”に答えながら読み物の内容について予測を立てたうえで、“Reading Passage”を音声（教科書会社のサイトからダウンロード／ストリーミング可能）を聞きながら読み、不明点を辞書等でできる限り調べておく。“Test Yourself”、“Focus on Details”については、解答の根拠も示せるようにしておくこと。

予習時の不明点については、授業中にすぐに質問できるように印をつけるか、ノートに書き出しておく。

※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Katsuhiko Muto and Bill Benfield 『Reading Palette Blue-Intermediate-（英文読解への多面的アプローチ＜中級＞クリティカル・リーディング）』成美堂

【参考書】

大学～一般向けの英和および英英辞書、各1点以上（電子辞書または本）。

毎回の授業にも持参のこと。

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テスト30%、復習課題30%、ライティング課題10%）と試験（30%）の総合評価とする。

欠席が4回以上の場合原則として単位修得を認めない。遅刻・早退は程度や回数に応じて減点の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

英文についての解説をゆっくり、丁寧に行う。

グループワークを円滑に進められるよう指導する。

【学生が準備すべき機器他】

必要に応じてZoomを使用したリアルタイムオンライン授業を行う可能性がある。その際、受講環境によってはヘッドセットが必要となる。

【その他の重要事項】

・情報の周知、課題の出題などに学習支援システムを使用する。

・対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業を行う可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【Outline (in English)】

Course outline: The textbook used in this class focuses on critical reading skills while covering a wide range of current global topics that will interest university students. Through reading the passages and working on the accompanying exercises, students will be able to learn how to read texts critically, and also improve their listening and writing skills.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to develop their skills of reading and listening comprehension, and also of summarizing and commenting on what they read in written form.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to prepare for each class meeting by reading the passage and working on the accompanying exercises. They will also be required to submit a couple of writing assignments during the term. ※ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading Policies: Grading will be decided based on in-class mini-quizzes (30%), passage summary and dictation homework (30%), short writing assignments (10%), and the term-end exam (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit for the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

余田 剛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNNで配信されたニュースを素材として扱ったテキストを使用してメディアの英語に触れることと、TOEIC® 用対策問題の演習をおこなうことを通して、リーディング、リスニングと、表現に関する英語の語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

より多くの語彙・語法についての知識と、基本的なリーディングとリスニングを中心とした英語の技能を身に付ける。

2) 文化理解

世界中で起こる現代社会の様々な問題について、独自の分析ができることに意識を向けながら、見聞を広める。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付けることが重要である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業計画に示した各Unit前半の回と後半の回とで内容を分け、それぞれ以下の個所の演習を行う。授業時間内にその場で課題として問題を解いてもらいその答えや解説をフィードバックとして口頭で提示する。

前半の回:

・TOEIC® のテキスト各Unit中、Warm-up Exerciseの演習と表現の練習とMini-TOEIC® ListeningのPart 1と2

・CNNのテキスト等からニュース一つを題材としたリスニングとリーディングの演習

後半の回:

・TOEIC® のテキスト各Unit中、Mini-TOEIC® ListeningのPart 3と4

・CNNのテキスト等からニュース一つを題材としたリスニングとリーディングの演習

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	TOEIC® テキスト Unit 1前半+ CNNテキストUnit 1	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + Toymaker Raises Money for Ukraineのリスニング、リーディング
3	TOEIC® テキスト Unit 1後半+ CNNテキストUnit 2	資格試験問題を使ったリスニング + Face ID Updated for Mask Wearersのリスニング、リーディング

4	TOEIC® テキスト Unit 2前半+ CNNテキストUnit 3	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + Virgin Galactic Tests Spaceplaneのリスニング、リーディング
5	TOEIC® テキスト Unit 2後半+ CNNテキストUnit 4	資格試験問題を使ったリスニング + Monkeys Used in Auto Testsのリスニング、リーディング
6	TOEIC® テキスト Unit 3前半+ CNNテキストUnit 5	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + Elon Musk Unhappy with News Mediaのリスニング、リーディング
7	TOEIC® テキスト Unit 3後半+ CNNテキストUnit 6	資格試験問題を使ったリスニング + Citigroup Gauges Gender Pay Gap at 1%のリスニング、リーディング
8	TOEIC® テキスト Unit 4前半+ CNNテキストUnit 7	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + H&M Criticized for "Racist" Hoodieのリスニング、リーディング
9	TOEIC® テキスト Unit 4後半+ CNNテキストUnit 8	資格試験問題を使ったリスニング + iCloud Data Put under Chinese Controlのリスニング、リーディング
10	TOEIC® テキスト Unit 5前半+ CNN等のニュース	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + ニュースを使ったリスニング、リーディング
11	TOEIC® テキスト Unit 5後半+ CNN等のニュース	資格試験問題を使ったリスニング + ニュースを使ったリスニング、リーディング
12	TOEIC® テキスト Unit 6前半+ CNN等のニュース	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + ニュースを使ったリスニング、リーディング
13	TOEIC® テキスト Unit 6後半+ CNN等のニュース	資格試験問題を使ったリスニング + ニュースを使ったリスニング、リーディング
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業後各自わからなかった単語や表現などをまとめた語彙リストをつくり復習すること。

【テキスト（教科書）】

CNN Short News for Listening: Business, JACET関西支部教材開発研究会編著, (朝日出版社, 2024年), ¥1,200 + tax
Practical Situations for the TOEIC® Test Listening-Revised Edition-, Kayo Yoshida 他著, (成美堂, 2019年), ¥1,300 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（や小テスト）を70％、平常点を30％とし、総合的に評価する。欠席が4回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は3回に達するごとに1回の欠席とカウントする。また授業開始から30分以降の遅刻は欠席と見なす。午前中の授業でもあることから、交通機関の遅れに注意し、時間には余裕をもって来ること。

【学生の意見等からの気づき】

授業外の自習は目標は学生が各自立てても、なかなか実現できない場合が多いため、授業の延長で同じテキストを使って自習をしてもらえるような指示も出したいと思います。

【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' English language skills in reading, listening, and writing, using two textbooks, one made up of news stories drawn from CNN TV shows and the other consisting of practice tests to prepare students for TOEIC® examination. Students will develop their abilities to understand the information accurately and express themselves clearly. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ After each class meeting, students will be expected to review the lesson and write down the words, phrases, or expressions they are unfamiliar with in their own vocabulary notebooks. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (70%) and in-class contribution (30%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

余田 剛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNNで配信されたニュースを素材として扱ったテキストを使用してメディアの英語に触れることと、TOEIC® 用対策問題の演習をおこなうことを通して、リーディング、リスニングと、表現に関する英語の語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

より多くの語彙・語法についての知識と、基本的なリーディングとリスニングを中心とした英語の技能を身に付ける。

2) 文化理解

世界中で起こる現代社会の様々な問題について、独自の分析ができることに意識を向けながら、見聞を広める。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付けることが重要である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業計画に示した各Unit前半の回と後半の回とで内容を分け、それぞれ以下の個所の演習を行う。授業時間内にその場で課題として問題を解いてもらいその答えや解説をフィードバックとして口頭で提示する。

前半の回:

・TOEIC® のテキスト各Unit中、Warm-up Exerciseの演習と表現の練習とMini-TOEIC® ListeningのPart 1と2

・CNNのテキスト等からニュース一つを題材としたリスニングとリーディングの演習

後半の回:

・TOEIC® のテキスト各Unit中、Mini-TOEIC® ListeningのPart 3と4

・CNNのテキスト等からニュース一つを題材としたリスニングとリーディングの演習

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	TOEIC® テキスト Unit 7前半+ CNNテキストUnit 9	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + All Lamborghinis to Be Hybridのリスニング、リーディング
3	TOEIC® テキスト Unit 7後半+ CNNテキストUnit 10	資格試験問題を使ったリスニング + Four-Legged Robot Now on Saleのリスニング、リーディング

4	TOEIC® テキスト Unit 8前半+ CNNテキストUnit 11	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + First Female CEO of a Major US Bankのリスニング、リーディング
5	TOEIC® テキスト Unit 8後半+ CNNテキストUnit 12	資格試験問題を使ったリスニング + Space X's Starship Lands Successfullyのリスニング、リーディング
6	TOEIC® テキスト Unit 9前半+ CNNテキストUnit 13	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + Amazon Tests Scout Delivery Systemのリスニング、リーディング
7	TOEIC® テキスト Unit 9後半+ CNNテキストUnit 14	資格試験問題を使ったリスニング + Honda and LG Energy Solution Team Upのリスニング、リーディング
8	TOEIC® テキスト Unit 10前半+ CNNテキストUnit 15	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + Trials Show Less Work Is Betterのリスニング、リーディング
9	TOEIC® テキスト Unit 10後半+ CNN等のニュース	資格試験問題を使ったリスニング + ニュースを使ったリスニング、リーディング
10	TOEIC® テキスト Unit 11前半+ CNN等のニュース	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + ニュースを使ったリスニング、リーディング
11	TOEIC® テキスト Unit 11後半+ CNN等のニュース	資格試験問題を使ったリスニング + ニュースを使ったリスニング、リーディング
12	TOEIC® テキスト Unit 12前半+ CNN等のニュース	資格試験問題を使ったリスニング、表現 + ニュースを使ったリスニング、リーディング
13	TOEIC® テキスト Unit 12後半+ CNN等のニュース	資格試験問題を使ったリスニング + ニュースを使ったリスニング、リーディング
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業後各自わからなかった単語や表現などをまとめた語彙リストをつくり復習すること。

【テキスト（教科書）】

CNN Short News for Listening: Business, JACET関西支部教材開発研究会編著, (朝日出版社, 2024年), ¥1,200 + tax
Practical Situations for the TOEIC® Test Listening-Revised Edition-, Kayo Yoshida 他著, (成美堂, 2019年), ¥1,300 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（や小テスト）を70％、平常点を30％とし、総合的に評価する。欠席が4回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は3回に達するごとに1回の欠席とカウントする。また授業開始から30分以降の遅刻は欠席と見なす。午前中の授業でもあることから、交通機関の遅れに注意し、時間には余裕をもって来ること。

【学生の意見等からの気づき】

授業外の自習は目標は学生が各自立てても、なかなか実現できない場合が多いため、授業の延長で同じテキストを使って自習をしてもらえるような指示も出したいと思います。

【Outline (in English)】

- ・ This course aims to improve students' English language skills in reading, listening, and writing, using two textbooks, one made up of news stories drawn from CNN TV shows and the other consisting of practice tests to prepare students for TOEIC® examination. Students will develop their abilities to understand the information accurately and express themselves clearly. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.
- ・ After each class meeting, students will be expected to review the lesson and write down the words, phrases, or expressions they are unfamiliar with in their own vocabulary notebooks. Required study time is at least one hour for each class meeting.
- ・ Final grade will be decided based on term-end examination (70%) and in-class contribution (30%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

宇野 毅

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

- ・現代英語の総合的学力向上
- ・平易な英文を読んで、背後にある文化的な事柄を的確に理解する。

【到達目標】

- ・日英文化に関する平易なエッセイを読んで、その中に出てくる文化事象の違いを習得できるように、日英比較文化論的見地からも授業を進める。
- ・本講義では、英語を通してその背後にある社会や文化を修得して、グローバルな異文化の世界に対応できるようになることが、究極的な到達目標といえるであろう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・受講生諸君は、必ず予習をして忘れずに辞書を持参する事。次週の学習範囲の予習が毎週の宿題である。出席は極めて重要であるが、教室にいるだけでは出席にはならないので、注意が必要である。
- ・履修者には授業内容に関して、自発的に発表してもらう予定である。これは、平常点として評価の対象となる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction Chapter 1 Trainspotting (前半)	イギリスの鉄道： 本文理解・解説 意見交換
第2回	Chapter 1 Trainspotting (後半)	鉄道事情の日英比較 内容確認・問題練習 まとめ
第3回	Chapter 2 Pedal Power (前半)	イギリスの自転車事情 本文理解・解説 意見交換
第4回	Chapter 2 Pedal Power (後半)	自転車利用の日英比較 内容確認・問題練習 まとめ
第5回	Chapter 3 Crime and Punishment (前半)	イギリスの犯罪事情 本文理解・解説 意見交換
第6回	Chapter 3 Crime and Punishment (後半)	犯罪事情の日英比較 内容確認・問題練習 まとめ
第7回	Chapter 4 Power to the People (前半)	イギリス人の権利 本文理解・解説 意見交換
第8回	Chapter 4 Power to the People (後半)	権利意識の日英比較 内容確認・問題練習 まとめ
第9回	Chapter 5 Please, Belt Up! (前半)	イギリスの自動車事情 本文理解・解説 意見交換

第10回	Chapter 5 Please, Belt Up! (後半)	自動車事情の日英比較 内容確認・問題練習 まとめ
第11回	Chapter 6 Rise of the Vending Machines (前半)	イギリスの自動販売機は？ 本文理解・解説 意見交換
第12回	Chapter 6 Rise of the Vending Machines (後半)	自動販売機の日英比較 内容確認・問題練習 まとめ
第13回	Chapter 7 Lovely Day, Isn't It? (前半)	英国の気候 本文理解・解説 意見交換
第14回	Chapter 7 Lovely Day, Isn't It? (後半)	気候の日英比較 内容確認・問題練習 まとめ 試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・授業出席には、必ず予習が必須である。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて【最低でも】2時間を標準とする。
- ・(できれば紙の)辞書持参も必須である。

【テキスト（教科書）】

Your Japan, My Japan『わかる日本と不思議な日本』（南雲堂）

【参考書】

授業開講時に教室で指示する

【成績評価の方法と基準】

- ・期末試験等70点・平常点30点（計100点）で、60点以上を合格基準として評価する。
- ・全出席が原則であるが、欠席が4回以上の場合は、単位修得を認めない事になっている。

【学生の意見等からの気づき】

- ・真面目にきちんと努力した人が報われる。

【Outline (in English)】

- ・ Perfect understanding of the English Language and culture
- ・ Improvement of the English 4 skills
- ・ Learning activities outside of classroom : Preparation is essential
- ・ Term-end examination: 70%, in class contribution: 30%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

宇野 毅

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

- ・現代英語の総合的学力向上。
- ・平易な英文を読んで、背後にある文化的な事柄を的確に理解する。

【到達目標】

- ・日英文化に関する平易なエッセイを読んで、その中に出てくる文化事象の違いを習得できるように、日英比較文化論的見地からも授業を進める。
- ・本講義では、英語を通してその背後にある社会や文化を修得して、グローバルな異文化の世界に対応できるようになることが、究極的な到達目標といえるであろう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・受講生諸君は、必ず予習をして忘れずに辞書を持参する事。次週の学習範囲の予習が毎週の宿題である。出席は極めて重要であるが、教室にいただけでは出席にはならないので、注意が必要である。
- ・履修者には授業内容（予習）に関して、自発的に発表してもらう予定である。これは、平常点として評価の対象となる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Chapter 8 The Graduate 前半	英語圏の卒業式 本文理解・解説 意見交換
第2回	Chapter 8 The Graduate 後半	卒業式の日英比較 内容確認・問題練習 まとめ
第3回	Chapter 9 A Change for the Worse 前半	欧米人の食事傾向 本文理解・解説 意見交換
第4回	Chapter 9 A Change for the Worse 後半	食事の日英比較 内容確認・問題練習 まとめ
第5回	Chapter 10 Is Bigger Always Better? 前半	車の環境問題 本文理解・解説 意見交換
第6回	Chapter 10 Is Bigger Always Better? 後半	日英環境比較 内容確認・問題練習 まとめ
第7回	Chapter 11 The Land of the Loudspeaker 前半	イギリスの選挙 本文理解・解説 意見交換
第8回	Chapter 11 The Land of the Loudspeaker 後半	日英政治比較 内容確認・問題練習 まとめ
第9回	Chapter 12 Taxi! 前半	欧米のタクシー事情 本文理解・解説 意見交換
第10回	Chapter 12 Taxi! 後半	日英タクシー事情比較 内容確認・問題練習 まとめ

第11回	Chapter 13 Responsible Sleeping 前半	仕事と睡眠 本文理解・解説 意見交換
第12回	Chapter 13 Responsible Sleeping 後半	日英ライフワークバランス比較 内容確認・問題練習 まとめ
第13回	Chapter 14 That's Rubbish! 前半	イギリスの環境問題 本文理解・解説 意見交換
第14回	Chapter 14 That's Rubbish! 後半	日英環境問題比較 内容確認・問題練習 まとめ 試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・授業出席には、必ず予習が必須である。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて【最低でも】2時間を標準とする。
- ・(できれば紙の)辞書持参も必須である。

【テキスト（教科書）】

Your Japan, My Japan『わかる日本と不思議な日本』（南雲堂）

【参考書】

授業開講時に教室で指示する

【成績評価の方法と基準】

- ・期末試験等70点・平常点30点（計100点）で、60点以上を合格基準として評価する。
- ・全出席が原則であるが、欠席が4回以上の場合は、単位修得を認めない事になっている。

【学生の意見等からの気づき】

- ・真面目にきちんと努力した人が報われる。

【Outline (in English)】

- ・ Perfect understanding of English Language and culture
- ・ Improvement of the English 4 skill
- ・ Learning activities outside of classroom : Preparation is essential
- ・ Term-end examination: 70%, in class contribution: 30%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

鈴木 理枝

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

食と食文化のグローバル化に伴い、外国人との情報交換、海外への観光旅行、ビジネス、留学などの可能性が増している。この授業では、「現代の食をめぐる話題」と「英米の伝統的な祝祭と食文化」をテーマに取り上げ、日常生活に必要な英語を習得する。前期は、読解力を身につけるために、通訳訓練法の頭ごなし訳などの訳出テクニックを習得する。基礎的な英語を復習しながら、更に英語力のレベルアップを図る。

【到達目標】

- ・食文化をテーマに英米の文化を理解する
- ・リスニング力を向上させ、簡単な通訳ができるようになる
- ・訳出テクニックを身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形式は、テキストを中心に、演習授業になる。各学生は、予習して授業に臨み、順番に訳出して、練習問題を解いていく。読解力の向上のみならず、音読やシャドーイングの通訳訓練法も取り入れ、リスニング力の向上にも努める。発表後、毎回アドバイスする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクションと自己紹介ゲーム	授業内容、授業の進め方、成績のつけ方、出欠について説明する。自己紹介をする。
2	Unit 1 Counting Calories	ダイエットに関しての語彙や英語表現について学ぶ。
3	Unit 1 Dieting: Japan VS. America	食について、日本とアメリカの考え方の違いについて学ぶ。
4	Unit 2 A New Sports Tradition	新しいスポーツの伝統として、テールゲートパーティーについて学ぶ。
5	Unit 2 The Tailgate Party	テールゲートパーティーの内容や、それに関しての語彙や英語表現について学ぶ。
6	Unit 3 As American as Apple Pie	お茶に招かれて、手作りのアップルパイを出される設定の会話を学ぶ。
7	Unit 3 An Apple a Day	リンゴの栄養や、歴史について、語彙や英語表現を学ぶ。
8	Unit 4 The Shimannto River and Sweetfish Dishes	四万十川と鮎料理についての語彙や英語表現について学ぶ。
9	Unit 4 Best-Before and Use-By Dates	賞味期限と消費期限の意味について、語彙と英語表現について学ぶ。
10	Unit 5 Drive-Thru	ドライブスルーでの会話について、語彙と英語表現について学ぶ。

11	Unit 5 Cooking for a Family VS. Eating Out	家庭料理VS外食のテーマで、食文化の変化について、語彙や英語表現について学ぶ。
12	Unit 6 Mother's Curry	日本のカレーとインドのカレーの違いについての会話を通して、語彙や英語表現について学ぶ。
13	Unit 6 Japanese Flavors and the Traditional Diet	日本の伝統料理についての語彙や英語表現について学ぶ。
14	期末試験	まとめ、期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。分からない語彙、訳があれば、辞書を引き予習しておくことCDを聞き、発音を確認しておくことテキストの練習問題をしておくこと。授業内で習得した内容について、復習して下さい。

【テキスト（教科書）】

『Food for Thought』『現代の食を考える』須永紫乃生 鈴木理枝 関根紳太郎 宮下リンダ 南雲堂 ISBN978-4-523-17651-0 C0082 1,700円+税

【参考書】

学生のレベルを鑑み、授業内で指定する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験：（筆記）50%

平常点：50%（授業への参加度、態度、発表、小テスト）

成績評価の基準

- (1) 内容を把握しているか
 - (2) 適切に訳出できるか
 - (3) リスニング力が身についているか
- 欠席4回以上で単位取得不可。

【学生の意見等からの気づき】

発表中心の双方向の授業に対して学生から高評価をもらい、今後も英語力と同時に積極性を身につける授業を展開していく。また、学生が、より一層英語が好きになるよう工夫して、楽しい授業を心がける。

【Outline (in English)】

Course Outline:

In this class, you will learn the daily English, with the themes of "modern food topics" and "traditional British and American festivals and food culture." Quick Response, Shadowing, and Synchronized reading are used to improve listening comprehension. Also, in order to acquire reading comprehension, you will acquire slash reading and translation techniques.

Learning Objectives:

- (1) Understanding British and American culture with the theme of food culture
- (2) Acquire Listening skills
- (3) Learn translation techniques

Learning activities outside of classroom

Preparatory learning:

For vocabulary and translations that you do not understand, look up the dictionary and prepare. Listen to the CD and check the pronunciation. Do text exercises.

Review:

Review that what you learned in class.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading Criteria/Policy:

Final exam: 50%

Normal point: 50%(Participation in class, attitude, presentation)

Grade evaluation criteria:

- (1) Understanding the contents
- (2) Appropriate translation
- (3) Acquire listening skills

Credits can not be earned if absent 4 times or more.

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
English 1 II	2017年度以降入学者
鈴木 理枝	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：金 1/Fri.1
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

後期もテキストを中心に通訳訓練法を取り入れながら、総合的な英語力の育成に努める。リピーティング、シャドーイング等の訓練を行い、集中力を身につけ、スピーキング、リスニング力の向上に努める。この授業の目的は、基礎英語力をベースにして、日常生活に役立つ実践的な英語力を身につけることである。

【到達目標】

- ・食文化をテーマに英米の文化を理解する
- ・リスニング力を身につけ、簡単な通訳ができるようになる
- ・訳出テクニックを身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

後期の授業も同様に、テキストを中心に演習授業になる。各学生は予習して、授業に臨み、順番に訳出をして、練習問題を解いていく。読解力の向上のみならず、シンクロリーディング、シャドーイングの訓練法も取り入れ、リスニング力の向上にも努める。発表後、学生にアドバイスする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション・Unit 7 Supplemental Health	サプリメントに関する会話を通して、語彙や英語表現を習得する。
2	Unit 8 Coffee or Tea?①	コーヒーと紅茶の効用についての会話を通して、語彙と英語表現を習得する。
3	Unit 8 Tea Time: The difference between Green, Black, and Red Tea②	お茶にもいろいろな種類がある。それぞれのお茶の効用が書かれた読み物を通して、語彙や英語表現を習得する。
4	Unit 9 Vegetable Garden ①	菜園についての会話を通して、語彙や英語表現を習得する。
5	Unit 9 On the History of Mayonnaise②	マヨネーズの歴史と栄養について読み、語彙や英語表現を習得する。
6	Unit 10 Local Delicacies①	日本のご馳走についての会話を通して、語彙や英語表現を習得する。
7	Unit 10 Different National Cuisines in Japan ②	日本で味わえる各国料理について読み、語彙や英語表現を習得する。
8	Unit 11 Halloween Barmbrack①	アイルランドのハロウィーンのパンについての会話を通して、語彙や英語表現を習得する。

9	Unit 11 History of Halloween②	ハロウィーンの歴史を読み、語彙や英語表現を習得する。
10	Unit 12 Thanksgiving Break①	感謝祭休暇についての会話を通して、語彙や英語表現を習得する。
11	Unit 12 The American Holiday Rush: Thanksgiving to New Year's②	アメリカの祝祭日、感謝祭から新年にかけての伝統行事について読み、語彙や英語表現を習得する。
12	Unit 13 Christmas Recipe: Roast Turkey	クリスマス料理の定番であるローストターキーのレシピを読み、語彙や英語表現を習得する。
13	Unit 14 Saint Valentine's Day	バレンタインデーの歴史について読み、語彙や英語表現を習得する。
14	期末試験	まとめ、期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。準備学習

分からない語彙、訳があれば、辞書を引き予習しておくことCDを聞き、発音を確認しておくことテキストの練習問題をしておくこと。復習時間

授業内で習得した内容について、復習して下さい。

【テキスト（教科書）】

『Food for Thought』『現代の食を考える』須永紫乃生 鈴木理枝 関根紳太郎 宮下リンダ 南雲堂、ISBN978-4-523-17651-0 C0082 1,700円+税

【参考書】

学生のレベルを鑑みて、授業内で指定する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（筆記）50%、平常点 50%（授業への参加度、態度、発表、出席状況）成績評価の基準

- (1) 内容を把握しているか
 - (2) 適切に訳出できるか
 - (3) リスニング力が身についているか
- 欠席4回以上は単位取得不可。

【学生の意見等からの気づき】

発表中心の双方向の授業に対して学生から高評価をもらい、今後も英語力と同時に積極性を身につける授業を展開していく。また、学生が、より一層英語が好きになるよう工夫して、楽しい授業を心がける。

【Outline (in English)】

Course Outline:

In this class, you will learn the daily English, with the themes of "modern food topics" and "traditional British and American festivals and food culture." Quick Response, Shadowing, and Synchronized reading are used to improve listening comprehension. Also, in order to acquire reading comprehension, you will acquire slash reading and translation techniques.

Learning Objectives:

- (1) Understanding British and American culture with the theme of food culture
- (2) Acquire Listening skills
- (3) Learn translation techniques

Learning activities outside of classroom:

Preparatory learning:

For vocabulary and translations that you do not understand, look up the dictionary and prepare. Listen to the CD and check the pronunciation. Do text exercises.

Review:

Review that what you learned in class.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading Criteria/Policy:

Final exam: 50%

Normal point: 50%(Participation in class, attitude, presentation)

Grade evaluation criteria:

- (1) Understanding the contents
- (2) Appropriate translation
- (3) Acquire listening skills

Credits can not be earned if absent 4 times or more.

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
English 1 I	2017年度以降入学者
木瀬 康太	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月2/Mon.2	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、対面で行う演習形式の授業です。高校までに学んだ語彙・文法・構文の基礎を強化しつつ、英語4技能の中でも、特に「読む」「聴く」「書く」の分野における意欲を高め、スキルを伸ばすことを目的とします。

用いるテキスト（教科書）のテーマは、芸術（絵画）と食文化に関するものを選びました。芸術と食文化は、楽しさを与えてくれるだけでなく、異文化の視点を学び想像力を養う役目も大いに果たし、法政大学の理念である「実践知」の涵養にも資するはずです。

【到達目標】

- 複数のパラグラフから成る英語の文章の発音とリズムに慣れ、目的に応じて速読と精読を使い分けながら、読むことができる。
- 未知の語彙に遭遇しても慌てず、パラグラフの構造およびパラグラフ同士のつながりに留意して、文章全体から論理的に内容をつかむことができる。
- 読み取った、あるいは聴き取った情報を鵜呑みにするのではなく、多面的な観点から批判的に分析し、英語で簡潔に自分の意見を表現する意欲と能力を持つことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 毎回の授業の初めに（初回、第2回、および最後の第14回の授業は除く）、前回の授業内容から作成した小テスト（読解およびリスニング）を実施します。
- 毎回の授業は、学生が自分の予習成果を発表する形で進めていくため、予習は必須です（予習内容に関しては、「授業時間外の学習」の欄に記載してあります）。語彙・文法・構文については授業中にも説明しますが、事前に辞書や参考書を積極的に活用して、自分で調べてくる習慣をつけてください。
- 論理的かつ批判的に英文を読解する方法（パラグラフリーディングやシグナルワードなど）について、逐次説明します。
- 英文を音読することで、英語独特の発音とリズムを口にすることに慣れる練習も行います。音読は、「聴く」力を鍛えるための非常に有効な方法です。
- リスニング力強化のために、リスニングドリル（練習問題）を毎回の授業で行い、リスニングの基本的なコツについても逐一説明します。
- 毎回の授業の最後で、「出席シート」に質問・意見・要望を自由に書いて提出してください。教員はこれらの質問・意見・要望にコメントをして、次回授業の一番最初（小テストの前）で学生に戻します。良いコメントは全員に紹介し、さらなる議論に活かします。この「出席シート」に書いてもらった質問・意見・要望に応じて、教員は授業形態を調整していきますので、積極的に書いて提出してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	①教員の自己紹介 ②大学で学ぶということについての説明 ③授業の進め方、教科書、および成績評価についての説明 ④辞書の使い方についての説明 ⑤外国語を学ぶということについての説明
2	Chapter1 前半	「フェルメール(1632-75)と牛乳」の本文読解
3	Chapter1 後半	「フェルメールと牛乳」の練習問題
4	Chapter2 前半	「ミレー(1814-75)とパン」の本文読解
5	Chapter2 後半	「ミレーとパン」の練習問題
6	Chapter3 前半	「ゴッホ(1853-90)とじゃがいも」の本文読解
7	Chapter3 後半	「ゴッホとじゃがいも」の練習問題
8	Chapter4 前半	「ゴーギャン(1848-1903)とマンゴー」の本文読解
9	Chapter4 後半	「ゴーギャンとマンゴー」の練習問題
10	Chapter5 前半	「カラヴァッジョ(1571-1610)と晩餐」の本文読解
11	Chapter5 後半	「カラヴァッジョと晩餐」の練習問題
12	Chapter8 前半	「マネ(1832-83)とピクニックの昼食」の本文読解
13	Chapter8 後半	「マネとピクニックの昼食」の練習問題
14	期末試験	①Chapter1 5および8の語彙・文法・構文・リスニングについての試験 ②これまでの授業のまとめ（講評）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 授業で使用する教科書は、1つのChapterが4ページで構成されており、前半の2ページが本文、後半の2ページが練習問題で構成されています。各Chapterにおける前半2ページの本文の予習では、和訳をあらかじめ用意してきてください。また、本文の音声（Webサイト上で無料で配信してあります(<https://text.asahipress.com/free/english/>)）も繰り返し聞いて、英語の発音やリズムに少しでも慣れる予習・復習も行ってください。
- 各Chapterにおける後半2ページの練習問題については、教科書に解答を書き込む形で予習してきてください。
- 本授業の準備学習と復習の時間は、個人差はありますが、それぞれ1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書名：A View from Painters' Palettes: Food and Culture（『絵画を彩る食文化』）

著者：Josh Norman/Maho Matsui/Fujiko Motoyama

出版社：Asahi Press（朝日出版社）

出版年：初版2020年

価格：1,980円（税込）

【参考書】

文法書：高校時代に使っていたものを、引き続き積極的に活用してください。

辞書：『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）などの学習用英和辞典を必ず1冊は手元に置き、自分のお気に入りの大切な道具としてください。

なお、最近では紙媒体の辞書よりも電子辞書、あるいはパソコン、タブレット端末、スマートフォン上のアプリのほうが、利便性に優れていると言われることもあります。確かに、「読む」ためだけならそうかもしれません。ただ、「書く」ということ（「書く」ということは知性の表れです）になると、複数の語義や派生語を比較検討して最適の表現を考えるためには、パッと開いて一度に目に入ってくる情報量が圧倒的に多い紙媒体の辞書のほうが、断然有利です。

【成績評価の方法と基準】

以下の各配点（合計100点）で成績評価を行います。

平常点（毎回の「出席シート」の提出、予習成果の発表、および授業態度。予習は必須ですが、正解でないことで減点にはなりません。）

：26点

毎回の小テスト：1回あたり4点×11回(第3回 第13回) = 44点

期末試験（最後の第14回授業で行います）：30点

単位取得のためには、最低60点が必要です。

4回以上無断欠席した場合には、単位取得資格を失います。

授業開始から10分以上遅れた場合は遅刻とし、遅刻3回で無断欠席1回と見なします。30分以上遅刻した場合は、出席しても無断欠席扱いとなります。遅刻1回につき1点減点、無断欠席1回につき3点減点とします。

体調が悪い、通院する、部活動の試合、忌引等で欠席する場合や、電車遅延で遅刻する場合は、必ず事前に教員宛にメールで連絡をください。その後診断書等の適切な証拠を提出した場合には、後日補講を設けます。

また、いわゆる「翻訳ソフト」（Google翻訳やDeepLなど）の使用は、発覚次第、単位認定を不可とします。

【学生の意見等からの気づき】

分かりやすく楽しい授業を心がけます。また、毎回の授業で行うリスニングドリル（練習問題）が好評で、昨年度は「リスニング力が上がったと実感できた」「リスニングに対する苦手意識が緩和されていった」といった意見を頂きましたので、引き続き重点的に時間を割いて行っていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

授業中は、紙媒体の辞書、および電子辞書の使用は認めますが、パソコン、タブレット端末、スマートフォンの使用は、教員の許可がある場合を除いて、原則禁止します。

【その他の重要事項】

授業に関する連絡には、「学習支援システム(Hoppii)」を用います。また、授業に関する質問・意見・要望は、原則としては毎回の授業の最後に書いてもらう「出席シート」で受け付けますが、それ以外にも教員宛のメールで随時受け付けます。

【Outline (in English)】

(1)Course outline

The aim of this course is to enforce English vocabulary, grammar and structure of sentences and to enhance students' incentive and skills in reading, listening and writing.

The theme of the text used in this course is art(paintings) and food culture, which are necessary as "practical wisdom" in order to comprehend foreign points of view and to enhance one's own imagination.

(2)Learning objectives

By the end of this course, students should be able to:

- 1.read English passages quickly or attentively according to the purpose of the reading.
- 2.pay attention to the paragraph structure and the relationship between paragraphs and to comprehend the argument and intention of the writer.
- 3.analyze critically English passages from various points of view and to express students' own opinions in English.

(3)Learning activities outside of classroom

Students have to prepare the translation of the reading passage and solve the questions in the text.

Preparation and review should be around an hour a week.

(4)Grading criteria/policy

Grading will be decided based on:

In-class attendance sheet, assignment, and attitude:26%

Reading and Listening tests:44%

Final exam:30%

The minimum passing grade is 60%.

Students with four absences will lose their credits for this class.

Being late for more than thirty minutes will be counted as one absence.

Being late three times will be counted as one absence.

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
English 1 II		2017年度以降入学者
木瀬 康太		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月2/Mon.2		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、対面で行う演習形式の授業です。高校までに学んだ語彙・文法・構文の基礎を強化しつつ、英語4技能の中でも、特に「読む」「聴く」「書く」の分野における意欲を高め、スキルを伸ばすことを目的とします。

用いるテキスト（教科書）のテーマは、芸術（絵画）と食文化に関するものを選びました。芸術と食文化は、楽しさを与えてくれるだけでなく、異文化の視点を学び想像力を養う役目も大いに果たし、法政大学の理念である「実践知」の涵養にも資するはずです。

【到達目標】

- 複数のパラグラフから成る英語の文章の発音とリズムに慣れ、目的に応じて速読と精読を使い分けながら、読むことができる。
- 未知の語彙に遭遇しても慌てず、パラグラフの構造およびパラグラフ同士のつながりに留意して、文章全体から論理的に内容をつかむことができる。
- 読み取った、あるいは聴き取った情報を鵜呑みにするのではなく、多面的な観点から批判的に分析し、英語で簡潔に自分の意見を表現する意欲と能力を持つことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 毎回の授業の初めに（初回および最後の第14回の授業は除く）、前回の授業内容から作成した小テスト（読解およびリスニング）を実施します。
- 毎回の授業は、学生が自分の予習成果を発表する形で進めていくため、予習は必須です（予習内容に関しては、「授業時間外の学習」の欄に記載してあります）。語彙・文法・構文については授業中にも説明しますが、事前に辞書や参考等を積極的に活用して、自分で調べてくる習慣をつけてください。
- 論理的かつ批判的に英文を読解する方法（パラグラフリーディングやシグナルワードなど）について、逐次説明します。
- 英文を音読することで、英語独特の発音とリズムを口にすることに慣れる練習も行います。音読は、「聴く」力を鍛えるための非常に有効な方法です。
- リスニング力強化のために、リスニングドリル（練習問題）を毎回の授業で行い、リスニングの基本的なコツについても逐一説明します。
- 毎回の授業の最後で、「出席シート」に質問・意見・要望を自由に書いて提出してください。教員はこれらの質問・意見・要望にコメントをして、次回授業の一番最初（小テストの前）で学生に戻します。良いコメントは全員に紹介し、さらなる議論に活かします。この「出席シート」に書いてもらった質問・意見・要望に応じて、教員は授業形態を調整していきますので、積極的に書いて提出してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter9前半	「ルノワール(1841-1919)と舟遊びの昼食」の本文読解
2	Chapter9後半	「ルノワールと舟遊びの昼食」の練習問題

3	Chapter10前半	「歌川国芳(1797-1861)と江戸の天麩羅」の本文読解
4	Chapter10後半	「歌川国芳と江戸の天麩羅」の練習問題
5	Chapter11前半	「ミュシャ(1860-1939)とビスケット」の本文読解
6	Chapter11後半	「ミュシャとビスケット」の練習問題
7	Chapter12前半	「シャガール(1887-1985)と誕生日の料理」の本文読解
8	Chapter12後半	「シャガールと誕生日の料理」の練習問題
9	Chapter13前半	「ホッパー(1882-1967)と深夜の小食堂」の本文読解
10	Chapter13後半	「ホッパーと深夜の小食堂」の練習問題
11	Chapter14前半	「ウォーホル(1928-87)とスープの缶詰」の本文読解
12	Chapter14後半	「ウォーホルとスープの缶詰」の練習問題
13	発展学習	①リスニングドリル（練習問題）特別練習 ②これまでの授業のまとめ（講評）
14	期末試験	Chapter9 14の語彙・文法・構文・リスニングについての試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1. 授業で使用する教科書は、1つのChapterが4ページで構成されており、前半の2ページが本文、後半の2ページが練習問題で構成されています。

各Chapterにおける前半2ページの本文の予習では、和訳をあらかじめ用意してきてください。

また、本文の音声（Webサイト上で無料で配信してあります(<https://text.asahipress.com/free/english/>)）も繰り返し聞いて、英語の発音やリズムに少しでも慣れる予習・復習も行ってください。

2. 各Chapterにおける後半2ページの練習問題については、教科書に解答を書き込む形で予習してきてください。

3. 本授業の準備学習と復習の時間は、個人差はありますが、それぞれ1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書名：A View from Painters' Palettes: Food and Culture (『絵画を彩る食文化』)

著者：Josh Norman/Maho Matsui/Fujiko Motoyama

出版社：Asahi Press（朝日出版社）

出版年：初版2020年

価格：1,980円（税込）

【参考書】

文法書：高校時代に使っていたものを、引き続き積極的に活用してください。

辞書：『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）などの学習用英和辞典を必ず1冊は手元に置き、自分のお気に入りの大切な道具としてください。

なお、最近では紙媒体の辞書よりも電子辞書、あるいはパソコン、タブレット端末、スマートフォン上のアプリのほうが、利便性に優れていると言われることもあります。確かに、「読む」ためだけならそうかもしれませんが、ただ、「書く」ということ（「書く」ということは知性の表れです）になると、複数の語義や派生語を比較検討して最適の表現を考えるためには、パッと開いて一度に目に入ってくる情報量が圧倒的に多い紙媒体の辞書のほうが、断然有利です。

【成績評価の方法と基準】

以下の各配点（合計100点）で成績評価を行います。

平常点（毎回の「出席シート」の提出、予習成果の発表、および授業態度。予習は必須ですが、正解でないことで減点にはなりません。）：22点

毎回の小テスト：1回あたり4点×12回（第2回 第13回）= 48点

期末試験（最後の第14回授業で行います）：30点

単位取得のためには、最低60点が必要です。

4回以上無断欠席した場合には、単位取得資格を失います。

授業開始から10分以上遅れた場合は遅刻とし、遅刻3回で無断欠席1回と見なします。30分以上遅刻した場合は、出席しても無断欠席扱いとなります。遅刻1回につき1点減点、無断欠席1回につき3点減点とします。

体調が悪い、通院する、部活動の試合、忌引等で欠席する場合や、電車遅延で遅刻する場合は、必ず事前に教員宛にメールで連絡をください。その後診断書等の適切な証拠を提出した場合には、後日補講を設けます。

また、いわゆる「翻訳ソフト」(Google翻訳やDeepLなど)の使用は、発覚次第、単位認定を不可とします。

【学生の意見等からの気づき】

分かりやすく楽しい授業を心がけます。また、毎回の授業で行うリスニングドリル(練習問題)が好評で、昨年度は「リスニング力が上がったと実感できた」「リスニングに対する苦手意識が緩和されていった」といった意見を頂きましたので、引き続き重点的に時間を割いて行っていきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業中は、紙媒体の辞書、および電子辞書の使用は認めますが、パソコン、タブレット端末、スマートフォンの使用は、教員の許可がある場合を除いて、原則禁止します。

【その他の重要事項】

授業に関する連絡には、「学習支援システム(Hoppii)」を用います。また、授業に関する質問・意見・要望は、原則としては毎回の授業の最後に書いてもらう「出席シート」で受け付けますが、それ以外にも教員宛のメールで随時受け付けます。

【Outline (in English)】

(1)Course outline

The aim of this course is to enforce English vocabulary, grammar and structure of sentences and to enhance students' incentive and skills in reading, listening and writing.

The theme of the text used in this course is art(paintings) and food culture, which are necessary as "practical wisdom" in order to comprehend foreign points of view and to enhance one's own imagination.

(2)Learning objectives

By the end of this course, students should be able to:

1.read English passages quickly or attentively according to the purpose of the reading.

2.pay attention to the paragraph structure and the relationship between paragraphs and to comprehend the argument and intention of the writer.

3.analyze critically English passages from various points of view and to express students' own opinions in English.

(3)Learning activities outside of classroom

Students have to prepare the translation of the reading passage and solve the questions in the text.

Preparation and review should be around an hour a week.

(4)Grading criteria/policy

Grading will be decided based on:

In-class attendance sheet, assignment, and attitude:22%

Reading and Listening tests:48%

Final exam:30%

The minimum passing grade is 60%.

Students with four absences will lose their credits for this class.

Being late for more than thirty minutes will be counted as one absence.

Being late three times will be counted as one absence.

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
English 1 I	2017年度以降入学者
小田井 勝彦	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：金 1/Fri.1
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に、かつ速読や精読など目的に応じた速度で読むことのできる力を養います。特にパラグラフの構造（topic sentence, supporting sentence, concluding sentence など）およびパラグラフ同士のつながりに留意しつつ、構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報をつかみ取ること、また書き手の感情や意図をつかむことに重点を置きます。さらに、得られた情報を鵜呑みにするのではなく、多面的・客観的観点から分析する、いわゆる批判的思考力の養成も行います。「聴く力」の育成も、授業の一環として行います。また精読した英文の要旨や、それについての批評的なコメントなどを英語で書く練習も行います。

【到達目標】

- ・英語の文章を読むのに必要な語彙・文法を習得する
- ・パラグラフの構造やパラグラフ同士のつながりを理解し、英語の文章の論旨を正確に理解できるようになる
- ・正しい態度で、批判的に文章を読み、自らの意見を英語で発信できるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

2回で1章のペースで進めていきます。まず教科書のWarm Upに取り組み、授業で扱う内容に関する基礎知識を学びます。そして本文を1文1文日本語に直し、英文の構造をしっかりと確認しながら、読解を進めます。そして本文の読解後、教科書の練習問題を通じて、内容理解を深め、語彙の定着、リスニングエクササイズ、話題に関して自分の意見を書くライティングを行ないます。授業中に回収したライティングや中間テストは採点后講評または返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方、教科書、評価方法などについて説明。
2	Chapter 1 Colonialism < Warm Upと読解>	Chapter 1のWarm Upと本文の前半を読解します。
3	Chapter 1 Colonialism < 読 解とExercise>	Chapter 1の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Studyを行ないます。
4	Chapter 2 Postcolonialism < Warm Upと読解>	Chapter 2のWarm Upと本文の前半を読解します。
5	Chapter 2 Postcolonialism < 読解とExercise>	Chapter 2の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Studyを行ないます。
6	Chapter 3 Neocolonialism < Warm Upと読解>	Chapter 3のWarm Upと本文の前半を読解します。

7	Chapter 3 Neocolonialism < 読解とExercise>	Chapter 3の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Studyを行ないます。
8	中間テストと解説	unit 1～3を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。
9	Chapter 4 The UK < Warm Upと読解 >	Chapter 4のWarm Upと本文の前半を読解します。
10	Chapter 4 The UK < 読解とExercise>	Chapter 4の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Studyを行ないます。
11	Chapter 5 Ireland < Warm Upと読解 >	Chapter 5のWarm Upと本文の前半を読解します。
12	Chapter 5 Ireland < 読解とExercise>	Chapter 5の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Studyを行ないます。
13	総復習	これまでの総復習をします
14	期末テストと解説	unit 4～5を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に、知らない語彙について辞書を引き、教科書の本文を日本語に訳す。授業後は、間違えに気付いた箇所について確認し、語彙を覚える。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

JA Kusaka, Jesse Elam, Dax Thomas『グローバル・マインドへの道』（松柏社、2022）

【参考書】

各自『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典を用意して下さい（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

中間テスト40%、期末テスト40%、平常点20%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

単調にならないよう様々なアクティビティを行いたいと思います

【その他の重要事項】

4回以上欠席した場合には、原則として単位認定を行ないません。（遅刻は欠席0.5回としてカウントします）

【Outline (in English)】

This class is aimed at improving comprehensive communication skills in English. In order to attain the goal, students read short essays about a variety of topics such as human relationship, health and fashion. Listening practice and grammar exercise will also be conducted.

[Learning Objectives]

1. Students can read English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for reading English passages.
3. Students understand English grammar.
4. Students get the knowledge about a variety of social problems.

[Learning activities outside of classroom]

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

- ・ mid-term test 40%
- ・ term test 40%
- ・ activities in class 20%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

小田井 勝彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に、かつ速読や精読など目的に応じた速度で読むことのできる力を養います。特にパラグラフの構造（topic sentence, supporting sentence, concluding sentenceなど）およびパラグラフ同士のつながりに留意しつつ、構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報をつかみ取ること、また書き手の感情や意図をつかむことに重点を置きます。さらに、得られた情報を鵜呑みにするのではなく、多面的・客観的観点から分析する、いわゆる批判的思考力の養成も行います。「聴く力」の育成も、授業の一環として行います。また精読した英文の要旨や、それについての批評的なコメントなどを英語で書く練習も行います。

【到達目標】

- ・英語の文章を読むのに必要な語彙・文法を習得する
- ・パラグラフの構造やパラグラフ同士のつながりを理解し、英語の文章の論旨を正確に理解できるようになる
- ・正しい態度で、批判的に文章を読み、自らの意見を英語で発信できるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

2回で1章のペースで進めていきます。まず教科書のWarm Upに取り組み、授業で扱う内容に関する基礎知識を学びます。そして本文を1文1文日本語に直し、英文の構造をしっかりと確認しながら、読解を進めます。そして本文の読解後、教科書の練習問題を通じて、内容理解を深め、語彙の定着、リスニングエクササイズ、話題に関して自分の意見を書くライティングを行います。

授業中に回収したライティングや中間テストは採点后講評または返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 6 Nigeria < Warm Up と読解 >	Chapter 6 の Warm Up と本文の前半を読解します。
2	Chapter 6 Nigeria < 読解と Exercise >	Chapter 6 の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Study を行ないます。
3	Chapter 7 South Africa < Warm Up と読解 >	Chapter 7 の Warm Up と本文の前半を読解します
4	Chapter 7 South Africa < 読解と Exercise >	Chapter 7 の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Study を行ないます。
5	Chapter 8 New Zealand < Warm Up と読解 >	Chapter 8 の Warm Up と本文の前半を読解します

6	Chapter 8 New Zealand < 読解と Exercise >	Chapter 8 の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Study を行ないます。
7	中間テストと解説	unit 6～8 を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。
8	Chapter 9 Australia < Warm Up と読解 >	Chapter 9 の Warm Up と本文の前半を読解します
9	Chapter 9 Australia < 読解と Exercise >	Chapter 9 の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Study を行ないます。
10	Chapter 10 Singapore < Warm Up と読解 >	Chapter 10 の Warm Up と本文の前半を読解します
11	Chapter 10 Singapore < 読解と Exercise >	Chapter 10 の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Study を行ないます。
12	Chapter 11 India < Warm Up と読解 >	Chapter 11 の Warm Up と本文の前半を読解します
13	Chapter 11 India < 読解と Exercise >	Chapter 11 の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Study を行ないます。
14	期末テストと解説	unit 9～11 を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に、知らない語彙について辞書を引き、教科書の本文を日本語に訳す。授業後は、間違えに気付いた箇所について確認し、語彙を覚える。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

JA Kusaka, Jesse Elam, Dax Thomas『グローバル・マインドへの道』（松柏社、2022）

【参考書】

各自『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典を用意して下さい（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

中間テスト40%、期末テスト40%、平常点20%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

単調にならないよう様々なアクティビティを行いたいと思います

【その他の重要事項】

4回以上欠席した場合には、原則として単位認定を行ないません。（遅刻は欠席0.5としてカウントします）

【Outline (in English)】

This class is aimed at improving comprehensive communication skills in English. In order to attain the goal, students read short essays about a variety of topics such as human relationship, health and fashion. Listening practice and grammar exercise will also be conducted.

[Learning Objectives]

1. Students can read English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for reading English passages.
3. Students understand English grammar.
4. Students get the knowledge about a variety of social problems.

[Learning activities outside of classroom]

University guidelines suggest preparation and review should

be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

- mid-term test 40%
- term test 40%
- activities in class 20%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

小堀 洋

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、アメリカ映画に関する文章を読み、その内容を各文ごとに正確に理解し、各段落の構成や段落間のつながりなども理解できるようにします。また、文章を理解する上で役に立つ社会背景も学びます。

さらに、本授業では、エッセイの構成や書き方を学び、実際にエッセイを書いて発表します。そうすることで、英語の文章の書き方や構成の理解を深めます。

最終的に、本授業では、英語の文章の構成や書き方を学ぶことで、英語における考え方や表現方法を学びます。

【到達目標】

- ・英語の文章を読むのに必要な語彙・文法を習得する
- ・段落構造や段落間の関係を理解し、英語の文章の構造や構成を理解できるようになる
- ・正確な方法で、自らの意見を英語で発信できるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は対面形式で行います。授業はテキストに沿って進めます。みなさんには授業中に質問に答えて頂いたり、クラスメイトと一緒に課題に取り組んだりして頂きます。質問などは授業中でも、リアクションペーパーに書いて頂いても構いません。随時フィードバックいたします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業についての説明と注意、成績評価について
第2回	Unit 1: Star Wars	Reading: Unit 1 の本文を読む
第3回	Unit 1: Star Wars	Comprehension Check: Unit 1 の問題に取り組む
第4回	Unit 2: Frozen	Reading: Unit 2 の本文を読む
第5回	Unit 2: Frozen	Comprehension Check: Unit 2 の問題に取り組む
第6回	Unit 3: Toy Story	Reading: Unit 3 の本文を読む
第7回	Unit 3: Toy Story	Comprehension Check: Unit 3 の問題に取り組む
第8回	Unit 4: Harry Potter	Reading: Unit 4 の本文を読む
第9回	Unit 4: Harry Potter	Comprehension Check: Unit 4 の問題に取り組む
第10回	Unit 6: Titanic	Reading: Unit 6 の本文を読む
第11回	Unit 6: Titanic	Comprehension Check: Unit 6 の問題に取り組む
第12回	Unit 7: Stand by Me	Reading: Unit 7 の本文を読む
第13回	Unit 7: Stand by Me	Comprehension Check: Unit 7 の問題に取り組む
第14回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

『Our Time, Our Lives, Our Movies 映画で読むわたしたちの時代と社会』、Joseph Tabolt, 森永弘司、金星堂、ISBN: 978-7647-4044-0

【参考書】

辞書を持参して下さい

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、期末試験（50%）、課題と発表（30%）の合計で評価します。60点以上で合格です。

4回以上欠席すると単位は与えられませんので注意してください。毎回授業のはじめに出席カードを配りますので、その時に教室にいない学生は欠席とみなします。また、公共交通機関の遅延等を除いた遅刻も欠席とします。公共交通機関の遅延等の場合は遅延証明証を持参してください。

【学生の意見等からの気づき】

今年度からの担当のため、特になし。

【Outline (in English)】

Course outline:

In this class, you will learn how to read and write in English so that you can understand how to think and express yourself in English.

In order to accomplish them, you will read a textbook about American films in English. You will understand not only the meaning of the passages, but also the roles and the structures of the passages.

Furthermore, you will give a presentation after learning how to write a short essay.

Learning Objectives:

1. Students can read English passages accurately.
2. Students can write an English essay.
3. Students can understand American and British cultures.

Learning activities outside of classroom:

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading Criteria/Policy:

Participation in class activities and presentation 50%

The final exam 50%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

小堀 洋

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、アメリカ映画に関する文章を読み、その内容を各文ごとに正確に理解し、各段落の構成や段落間のつながりなども理解できるようにします。また、文章を理解する上で役に立つ社会背景も学びます。

さらに、本授業では、エッセイの構成や書き方を学び、実際にエッセイを書いて発表します。そうすることで、英語の文章の書き方や構成の理解を深めます。

最終的に、本授業では、英語の文章の構成や書き方を学ぶことで、英語における考え方や表現方法を学びます。

【到達目標】

- ・英語の文章を読むのに必要な語彙・文法を習得する
- ・段落構造や段落間の関係を理解し、英語の文章の構造や構成を理解できるようになる
- ・正確な方法で、自らの意見を英語で発信できるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は対面形式で行います。授業はテキストに沿って進めます。みなさんには授業中に質問に答えて頂いたり、クラスメイトと一緒に課題に取り組んだりして頂きます。質問などは授業中でも、リアクションペーパーに書いて頂いても構いません。随時フィードバックいたします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業についての説明と注意、成績評価について
第2回	Unit 8: Pirates of the Caribbean	Reading: Unit 8 の本文を読む
第3回	Unit 8: Pirates of the Caribbean	Comprehension Check: Unit 8 の問題に取り組む
第4回	Unit 10: Back to the Future	Reading: Unit 10 の本文を読む
第5回	Unit 10: Back to the Future	Comprehension Check: Unit 10 の問題に取り組む
第6回	Unit 12: Die Hard	Reading: Unit 12 の本文を読む
第7回	Unit 12: Die Hard	Comprehension Check: Unit 12 の問題に取り組む
第8回	Unit 13: The Dark Knight	Reading: Unit 13 の本文を読む
第9回	Unit 13: The Dark Knight	Comprehension Check: Unit 13 の問題に取り組む
第10回	Unit 14: Good Will Hunting	Reading: Unit 14 の本文を読む
第11回	Unit 14: Good Will Hunting	Comprehension Check: Unit 14 の問題に取り組む
第12回	Unit 15: The Devil Wears Prada	Reading: Unit 15 の本文を読む
第13回	Unit 15: The Devil Wears Prada	Comprehension Check: Unit 15 の問題に取り組む

第14回 期末試験

試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

『Our Time, Our Lives, Our Movies 映画で読むわたしたちの時代と社会』、Joseph Tabolt, 森永弘司、金星堂、ISBN: 978-7647-4044-0

【参考書】

辞書を持参して下さい

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、期末試験（50%）、課題と発表（30%）の合計で評価します。60点以上で合格です。

4回以上欠席すると単位は与えられませんので注意してください。毎回授業のはじめに出席カードを配りますので、その時に教室にいない学生は欠席とみなします。また、公共交通機関の遅延等を除いた遅刻も欠席とします。公共交通機関の遅延等の場合は遅延証明証を持参してください。

【学生の意見等からの気づき】

今年度からの担当のため、特になし。

【Outline (in English)】

Course outline:

In this class, you will learn how to read and write in English so that you can understand how to think and express yourself in English.

In order to accomplish them, you will read a textbook about American films in English. You will understand not only the meaning of the passages, but also the roles and the structures of the passages.

Furthermore, you will give a presentation after learning how to write a short essay.

Learning Objectives:

1. Students can read English passages accurately.
2. Students can write an English essay.
3. Students can understand American and British cultures.

Learning activities outside of classroom:

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading Criteria/Policy:

Participation in class activities and presentation 50%

The final exam 50%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

高井 美紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、学生は、現代の世界各国のポップカルチャー、ファッション、ジェンダー、環境、社会、政治、経済、歴史、文化をテーマとした、760～1300 words程度の比較的長い英文を読みます。題材は、New York TimesやCNN、The Guardian、その他さまざまなメディアの記事から取られており、学生はまとまった意味を持つ長い英文を読みこなすために不可欠なパラグラ・フリーディングやスキミング、スキヤニングの技法を身に着けます。また、英文に書かれた内容をもとに、自分の考えを英語で述べられるようになることも目指します。本授業を通じて学生は、英語力を養うだけでなく、21世紀の現代社会を生きていくうえで欠かすことのできない知見を身に着けることを目指します。

【到達目標】

学生はこの授業を通して以下の能力を身に着けることを目標とします。

- ①メディア記事の英文を読む力。
- ②1000words前後の長い英文を大意を見失わずに最後まで読み通す読解力。
- ③英語の派生語や品詞を理解して、自ら語彙を増やす力。
- ④英文法やイディオムの正確な理解。
- ⑤提起された問題について自分の意見を英語で述べる力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で進めます。グループワークやペアワークによる学生の発表を中心に授業を勧めます。学生の積極的な授業参加、協力しながら問題の解決に取り組む姿勢が評価されます。テキストの1ユニットを2回の授業で進めていきます。1回目の授業で読解を行い、2回目の授業で確認テストを行います。確認テストは、授業支援システムを通じて提出し、フィードバックも授業支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回授業	オリエンテーション	授業の方針説明
第2回授業	Unit 1: This man married a fictional character. He'd like you to hear him out. ①	リーディング
第3回授業	Unit 1: This man married a fictional character. He'd like you to hear him out. ②	リーディング、確認テスト

第4回授業	Unit 2: British-born actress and singer Jane Birkin, who found fame in France, dies age 76 ①	リーディング
第5回授業	Unit 2: British-born actress and singer Jane Birkin, who found fame in France, dies age 76 ②	リーディング、確認テスト
第6回授業	Unit 3: Train versus plane ①	リーディング
第7回授業	Unit 3: Train versus plane ②	リーディング、確認テスト
第8回授業	Unit 4: Mensewer has made women feel confident for centuries, but will gendered separation ever cease to exist? ①	リーディング
第9回授業	Unit 4: Mensewer has made women feel confident for centuries, but will gendered separation ever cease to exist? ②	リーディング、確認テスト
第10回授業	Unit 5: 'The Boy and the Heron' is a legendary director's radical take on imagination ①	リーディング
第11回授業	Unit 5: 'The Boy and the Heron' is a legendary director's radical take on imagination ②	リーディング、確認テスト
第12回授業	Unit 6: Could sand be the next lithium? ①	リーディング
第13回授業	Unit 6: Could sand be the next lithium? ②	リーディング、確認テスト
第14回授業	Unit 7: What does it mean to be jewish in the US?	リーディング、確認テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習として、各ユニットのタイトルと導入文の日本語文章を読んで、内容を予測し、次にテキスト英文本文下の注の英単語を確認し、知らない語にチェックを入れておいてください（所要時間30分）。復習としては、各ユニット終了後に行う知識確認テストを、授業支援システムを通じてレポートとして提出してください（所要時間30時間）。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】 Tipping Point: Thinking from Diverse Perspectives

【編著者名】 河原真也、伊藤健一郎、小田井勝彦、山田幸代

【出版社】 朝日出版社

【出版年】 2025年

【価格】 1980円

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の通り評価します。

通常発表：50 %

確認テストレポート：50 %

成績評価は100点満点とし、60点以上で合格です。

本授業は、理由のない欠席が4回を超えた場合、成績評価の対象外となります。

部活動での公欠や、病気による欠席の場合、その証明を提出してください。部活動の場合は大学を通じて出される公欠届、病欠の場合は病院の受診証明や、大学を通じて出される感染症罹患証明などを出してください。これらの証明がない欠席の場合は、公欠とは認められません。

その他、教育実習や就職活動等の欠席も公欠扱いになりますので、証明を出してください。

また、授業開始15分以上過ぎて教室に来た場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。交通の遅延がある場合は考慮しますので、遅延証明を提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

学期末にまとめてテストを行うのではなく、ユニットを学ぶごとに確認テストを行うことで、通常授業に緊張感が出ると同時に、フィードバックもスムーズになると感じた。

【学生が準備すべき機器他】

初回の授業と最終回の授業はオンライン授業（Zoom授業）を行います。それ以外は基本的に対面授業を行います。感染症の蔓延や災害、事故発生等、必要に応じてオンライン授業に変更することがあります。

また、課題やレポートのやり取りは、授業支援システムを通じて行います。

パソコンとインターネット環境を準備してください。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This course introduces English articles with 760~1300 words about current topics around the world like pop-culture, fashion, gender, environment, society, politics, economy, history, culture, etc. ... to students taking this course. Articles are picked from various media such as New York Times, CNN, The Guardian, and so on. The aim of this course is to help students acquire the ability to read and understand authentic English writings using some useful reading skills such as paragraph reading, skimming, and scanning. It also enhances the development of students' skill in considering the topic and expressing their ideas about the topic in English. At the end of the course, students are expected not only to improve their English proficiency, but also to acquire knowledge indispensable for living in the 21st century.

Before each class meeting, students will be expected to have read the title and the Japanese introduction of each unit, and checked the words in notes under the reading text. Your required study time is at least half an hour for each class meeting.

After each class meeting, students will be expected to spend at least half an hour to understand the course content and complete the required assignments.

Grading will be decided based on short reports: 50%, and in class contribution 50%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

高井 美紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、学生は、現代の世界各国のポップカルチャー、ファッション、ジェンダー、環境、社会、政治、経済、歴史、文化をテーマとした、760～1300 words程度の比較的長い英文を読みます。題材は、New York TimesやCNN、The Guardian、その他さまざまなメディアの記事から取られており、学生はまとまった意味を持つ長い英文を読みこなすために不可欠なパラグラフ・リーディングやスキミング、スキニングの技法を身に着けます。また、英文に書かれた内容をもとに、自分の考えを英語で述べられるようになることも目指します。本授業を通じて学生は、英語力を養うだけでなく、21世紀の現代社会を生きていくうえで欠かすことのできない知見を身に着けることを目指します。

【到達目標】

学生はこの授業を通して以下の能力を身に着けることを目標とします。

- ①メディア記事の英文を読む力。
- ②1000words以上の長い英文を大意を見失わずに最後まで読み通す読解力。
- ③英語の派生語や品詞を理解して、自分で語彙を増やす力。
- ④英文法やイディオムの正確な理解。
- ⑤提起された問題について自分の意見を英語で述べる力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で進めます。グループワークやペアワークによる学生の発表を中心に授業を勧めます。学生の積極的な授業参加、協力しながら問題の解決に取り組む姿勢が評価されます。テキストの1ユニットを2回の授業で進めていきます。1回目の授業で読解を行い、2回目の授業で確認テストを行います。確認テストは、授業支援システムを通じて提出し、フィードバックも授業支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回授業	Unit 8: A window on infinity: rediscovering the short films of the Lumiere brothers①	リーディング
第2回授業	Unit 8: A window on infinity: rediscovering the short films of the Lumiere brothers②	リーディング、確認テスト
第3回授業	Unit 9: Abortion: The story of suffering and death behind Ireland's ban and subsequent legalization①	リーディング

第4回授業 Unit 9: Abortion: The story of suffering and death behind Ireland's ban and subsequent legalization②

第5回授業 Unit 10: 'Let It Go' was about pressure on women: Frozen's songwriters on redefining Disney①

第6回授業 Unit 10: 'Let It Go' was about pressure on women: Frozen's songwriters on redefining Disney②

第7回授業 Unit 11: "Green Book," Reviewed: Peter Farrelly's Bland, Regressive Flip on "Driving Miss Daisy"①

第8回授業 Unit 11: "Green Book," Reviewed: Peter Farrelly's Bland, Regressive Flip on "Driving Miss Daisy"②

第9回授業 Unit 12: Who owns the sentiment in a love letter?①

第10回授業 Unit 12: Who owns the sentiment in a love letter?②

第11回授業 Unit 13: The Old and the New Schoolmaster①

第12回授業 Unit 13: The Old and the New Schoolmaster②

第13回授業 Unit 14: Professions for Women (Part 1)

第14回授業 Unit 15: Professions for Women (Part 2)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習として、各ユニットのタイトルと導入文の日本語文章を読んで、内容を予測し、次にテキスト英文本文下の注の英単語を確認し、知らない語にチェックを入れておいてください（所要時間30分）。復習としては、各ユニット終了後に行う知識確認テストを、授業支援システムを通じてレポートとして提出してください（所要時間30時間）。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】 Tipping Point: Thinking from Diverse Perspectives
【編著者名】 河原真也、伊藤健一郎、小田井勝彦、山田幸代
【出版社】 朝日出版社
【出版年】 2025年
【価格】 1980円

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の通り評価します。

通常発表：50 %

確認テストレポート：50 %

成績評価は100点満点とし、60点以上で合格です。

本授業は、理由のない欠席が4回を超えた場合、成績評価の対象外となります。

部活動での公欠や、病気による欠席の場合、その証明を提出してください。部活動の場合は大学を通じて出される公欠届、病欠の場合は病院の受診証明や、大学を通じて出される感染症罹患証明などを出してください。これらの証明がない欠席の場合は、公欠とは認められません。

その他、教育実習や就職活動等の欠席も公欠扱いになりますので、証明を出してください。

また、授業開始15分以上過ぎて教室に来た場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。交通の遅延がある場合は考慮しますので、遅延証明を提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

学期末にまとめてテストを行うのではなく、ユニットを学ぶごとに確認テストを行うことで、通常授業に緊張感が出ると同時に、フィードバックもスムーズになると感じた。

【学生が準備すべき機器他】

初回の授業と最終回の授業はオンライン授業（Zoom授業）を行います。それ以外は基本的に対面授業を行います。感染症の蔓延や災害、事故発生等、必要に応じてオンライン授業に変更することがあります。

また、課題やレポートのやり取りは、授業支援システムを通じて行います。

パソコンとインターネット環境を準備してください。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This course introduces English articles with 760~1300 words about current topics around the world like pop-culture, fashion, gender, environment, society, politics, economy, history, culture, etc. ... to students taking this course. Articles are picked from various media such as New York Times, CNN, The Guardian, and so on. The aim of this course is to help students acquire the ability to read and understand authentic English writings using some useful reading skills such as paragraph reading, skimming, and scanning. It also enhances the development of students' skill in considering the topic and expressing their ideas about the topic in English. At the end of the course, students are expected not only to improve their English proficiency, but also to acquire knowledge indispensable for living in the 21st century.

Before each class meeting, students will be expected to have read the title and the Japanese introduction of each unit, and checked the words in notes under the writing text. Your required study time is at least half an hour for each class meeting.

After each class meeting, students will be expected to spend at least half an hour to understand the course content and complete the required assignments.

Grading will be decided based on short reports: 50%, and in class contribution 50%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

塩谷 幸子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界を取り巻く様々な状況を英語で正確に理解して、それを批判的に読み解き、その上で自国の社会や文化についても客観的かつ多面的な視点で捉えることのできる教養豊かな国際人を養成する。

【到達目標】

英文を正確にすばやく読み取る力を養う。そのために英文を意味のかたまりごとに読み（チャンク・リーディング）、ある一定の速度で安定的に読む訓練を行う。音読とチャンク・リーディングは車の両輪のようなものであるから、音読練習も時間をかけて行う。意味のかたまりを意識し、英語らしい読み方を身につけることによって、リスニング力やライティング力も鍛えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ペア / グループワークを多用し、主体的に、対話的に、そしてより深く学び合う参加型（＝協働学習）の授業を行う。英文をかたまりごとに分け、前から読んで理解する訓練を行う。各章の終わりには日英の変換練習を行い、ライティング・スピーキング力の向上に繋げていく。提出課題に対しては、個別またはクラス全体のフィードバックを行う。洋楽、洋画、TOEICの問題等も副教材として積極的に活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業方針の説明・プレテスト
第2回	Chapter 01: Reading	Vocabulary /Chunk reading
第3回	Chapter 01: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第4回	Chapter 02: Reading	Vocabulary /Chunk reading
第5回	Chapter 02: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第6回	Chapter 03: Reading	Vocabulary /Chunk reading
第7回	Chapter 03: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第8回	Chapter 04: Reading	Vocabulary /Chunk reading
第9回	Chapter 04: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第10回	Chapter 05: Reading	Vocabulary /Chunk reading
第11回	Chapter 05: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第12回	Chapter 06: Reading	Vocabulary /Chunk reading
第13回	プレゼンテーション	口頭発表とクラスメートによる評価
第14回	期末試験（筆記）	まとめ & ポストテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて60分程度を標準とする。
・テキストの予習と英文のチャンク分け、音読練習を続けることによって、自律的な学習習慣を身につけて欲しい。
・ペア・ワークやグループ・ワークを頻繁に行う参加型の授業である。予習を怠ると授業に参加できないばかりか、他の受講生にも迷惑がかかるので十分な準備が必要である。

【テキスト（教科書）】

VOA News: Reading for Cross-cultural Understanding (英宝社, 2021)

【参考書】

Grammar in Use Intermediate, 3rd Edition (Cambridge U. P., 2010)

Practical English Usage (Oxford U. P., 2005)

その他の参考書や参考サイトについては授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（筆記）50% + プレゼンテーション20% + 提出課題20% + 平常点10%によって評価する。成績評価は100点満点とし、60点以上を合格点とする。

欠席が4回以上になった場合は単位修得の資格を失う（ただし、忌引きや登校停止を必要とする流行性疾患は除く）。遅刻・早退3回で欠席1回の扱いとする。授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の退出は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

チャンクリーディング、洋楽クイズ、クイズサイトの利用を引き続き行う。

【学生が準備すべき機器他】

学内ネットワークを利用するので、受講生はIDとパスワードを確認しておく必要がある。資料配布や課題提出には、大学の授業支援システムだけでなく、担当教員の授業ページも利用する。

【その他の重要事項】

教科書は初回授業までに購入しておくことが望ましい。

【Outline (in English)】

This course is designed to nurture well-educated global citizens who can accurately understand various situations surrounding the world today and also grasp the society and culture of their own countries from an objective and multifaceted viewpoint. The main focus of this class is to improve students' reading speed and accuracy through phrase reading and oral reading practice. The course will examine American culture and society. It expects students to gain an increased critical understanding of them and express themselves effectively.

・ Students will learn to read efficiently.

・ Students will develop critical and analytical reading and thinking skills.

・ Students will acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English.

Students are required to practice phrase reading and oral reading at least for 60 minutes a week outside of class.

Grading Criteria: Final Exam (50%) + Presentation (20%) + Assignments (20%) + Participation (10%)

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

塩谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界を取り巻く様々な状況を英語で正確に理解して、それを批判的に読み解き、その上で自国の社会や文化についても客観的かつ多面的な視点で捉えることのできる教養豊かな国際人を養成する。

【到達目標】

英文を正確にすばやく読み取る力を養う。そのために英文を意味のかたまりごとに読み（チャンク・リーディング）、ある一定の速度で安定的に読む訓練を行う。音読とチャンク・リーディングは車の両輪のようなものであるから、音読練習も時間をかけて行う。意味のかたまりを意識し、英語らしい読み方を身につけることによって、リスニング力やライティング力も鍛えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ペア/グループワークを多用し、主体的に、対話的に、そしてより深く学び合う参加型（＝協働学習）の授業を行う。英文をかたまりごとに分け、前から読んで理解する訓練を行う。各章の終わりに日英の変換練習を行い、ライティング・スピーキング力の向上に繋げていく。提出課題に対しては、個別またはクラス全体のフィードバックを行う。洋楽、洋画、TOEICの問題等も副教材として積極的に活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業方針の説明・プレテスト
第2回	Chapter 06: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第3回	Chapter 07: Reading	Vocabulary /Chunk Reading
第4回	Chapter 07: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第5回	Chapter 08: Reading	Vocabulary /Chunk Reading
第6回	Chapter 08: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第7回	Chapter 09: Reading	Vocabulary /Chunk Reading
第8回	Chapter 09: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第9回	Chapter 10: Reading	Vocabulary /Chunk Reading
第10回	Chapter 10: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第11回	Chapter 11: Reading	Vocabulary /Chunk Reading
第12回	Chapter 11: Post-reading	Comprehension /Grammar section /Sight translation
第13回	プレゼンテーション	口頭発表とクラスメートによる評価
第14回	期末試験（筆記）	まとめ & ポストテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて60分程度を標準とする。
・テキストの予習と英文のチャンク分け、音読練習を続けることによって、自律的な学習習慣を身につけて欲しい。
・ペア・ワークやグループ・ワークを頻繁に行う参加型の授業である。予習を怠ると授業に参加できないばかりか、他の受講生にも迷惑がかかるので十分な準備が必要である。

【テキスト（教科書）】

VOA News: Reading for Cross-cultural Understanding (英宝社, 2021)

【参考書】

Grammar in Use Intermediate, 3rd Edition (Cambridge U. P., 2010)

Practical English Usage (Oxford U. P., 2005)

その他の参考書や参考サイトについては授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（筆記）50%＋プレゼンテーション20%＋提出課題20%＋平常点10%によって評価する。成績評価は100点満点とし、60点以上を合格点とする。

欠席が4回以上になった場合は単位修得の資格を失う（ただし、忌引きや登校停止を必要とする流行性疾患は除く）。遅刻・早退3回で欠席1回の扱いとする。授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の退出は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

チャンクリーディング、洋楽クイズ、クイズサイトの利用を引き続き行う。

【学生が準備すべき機器他】

学内ネットワークを利用するので、受講生はIDとパスワードを確認しておく必要がある。資料配布や課題提出には、大学の授業支援システムだけでなく、担当教員の授業ページも利用する。

【Outline (in English)】

This course is designed to nurture well-educated global citizens who can accurately understand various situations surrounding the world today and also grasp the society and culture of their own countries from an objective and multifaceted viewpoint. The main focus of this class is to improve students' reading speed and accuracy through phrase reading and oral reading practice. The course will examine American culture and society. It expects students to gain an increased critical understanding of them and express themselves effectively.

- ・ Students will learn to read efficiently.
- ・ Students will develop critical and analytical reading and thinking skills.
- ・ Students will acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English.

Students are required to practice phrase reading and oral reading at least for 60 minutes a week outside of class.

Grading Criteria: Final Exam (50%) + Presentation (20%) + Assignments (20%) + Participation (10%)

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

利根川 真紀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業ではリーディングを中心に勉強します。現代社会の幅広いトピックについて書かれたある程度の長さの文章を、パラグラフ構成に注意して、より良く速く読めるようになることを目指します。語彙力を高めていくことも目標のひとつです。さらに、教科書以外の英文資料も駆使することによって、社会の動向について理解を深め、多角的、国際的な視野も身につけます。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 パラグラフ・リーディングの癖をつけ、長文の理解力を養う
- 3 英語の文章を読み、その内容に対して意見をもてるようになる（資料としての英語文献に慣れる）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行ないます。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングの力も同時につけていきましょう。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明
2回目	Chapter 2. Health Care Megatrends: How Well Can Your Doctor Play Video Games? 導入	健康についての文章の大枠を把握する
3回目	Chapter 2 詳細	健康についての文章の細部を理解する
4回目	Chapter 6. Global Warming: Get Ready to Mitigate and Adapt 導入	環境についての文章の大枠を把握する
5回目	Chapter 6 詳細	環境についての文章の細部を理解する
6回目	Chapter 9. Personalization: The Megatrend that is Reshaping Marketing 導入	ビジネスについての文章の大枠を把握する
7回目	Chapter 9 詳細	ビジネスについての文章の細部を理解する
8回目	新聞記事 選択	各自が持ち寄った記事を紹介し、投票する
9回目	Chapter 11. Urbanization: The Pros and Cons 導入	ライフスタイルについての文章の大枠を把握する

10回目	Chapter 11 詳細	ライフスタイルについての文章の細部を理解する
11回目	新聞記事 導入	投票で決めた記事の大枠を把握する
12回目	新聞記事 詳細	投票で決めた記事の細部を理解する
13回目	TEDのスク립ト 導入	スク립トの大枠を把握する
14回目	TEDのスク립ト 詳細	スク립トの細部を理解する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業は予習を前提に進みますので、予習として、本文を少なくとも3回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに1行程度に要約します。また、各チャプターから内容的に一番印象に残る1文、英語として一番難しい1文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。記事紹介に向けて、各自が関心のある記事を探して読み、提出課題を作成します。

【テキスト（教科書）】

『Megatrends Shaping Our Future（新たな時代を見据えて）』（成美堂）

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への取り組み、小テストなど）80%、記事紹介課題関連20%。欠席が4回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

パラグラフごとの内容把握の際に、あらかじめ準備したチャートなどが理解の助けになるという意見があったので、今年度も適宜工夫したいと思います。

【Outline (in English)】

This course aims to improve students' reading skills and strategies, with an emphasis on paragraph reading. Through pair work practices and group activities, the course will help to expand one's active vocabulary. In addition to studying the textbook, each student will search independently for an interesting article in English newspapers and will become familiar with authentic materials offered in English. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (80%) and journal article assignments (20%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

利根川 真紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、パラグラフの理解や語彙力の向上に力を入れ、現代社会の幅広いトピックについて書かれた文章を正確に、そして速く読むことができるようにしていきます。さらに、教科書以外の英文資料も駆使することによって、様々な英語の文体に慣れ、社会の動向について理解を深め、多角的、国際的な視野も養いましょう。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 パラグラフ・リーディングの癖をつけ、長文の理解力を養う
- 3 英語の文章を読み、その内容に対して意見をもてるようになる（資料としての英語文献に慣れる）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行います。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングの力も同時につけていきましょう。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明
2回目	Chapter 4. The Globalization of Food: Advantages and Disadvantages 導入	健康についての文章の大枠を把握する
3回目	Chapter 4 詳細	健康についての文章の細部を理解する
4回目	Chapter 7. Deadly Natural Disasters: Dealing with Tsunamis 導入	環境についての文章の大枠を把握する
5回目	Chapter 7 詳細	環境についての文章の細部を理解する
6回目	プレゼンテーションの準備	リーディングパッセージの決定
7回目	プレゼンテーションの練習	スライドの作成と練習
8回目	プレゼンテーションの実施	共有とフィードバック
9回目	Chapter 10. Rethinking Regulation: Finance and Investment after the Subprime Loan Meltdown 導入	ビジネスについての文章の大枠を把握する

10回目	Chapter 10 詳細	ビジネスについての文章の細部を理解する
11回目	Chapter 12. Depopulation: Vanishing Villages in Rural Japan 導入	ライフスタイルについての文章の大枠を把握する
12回目	Chapter 12 詳細	ライフスタイルについての文章の細部を理解する
13回目	TED のスクリプト	スクリプトの大枠を把握し、細部を理解する
14回目	期末テストと秋学期のまとめ	秋学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業は予習を前提に進みますので、予習として、本文を少なくとも3回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに1行程度に要約します。また、各チャプターから内容的に一番印象に残る1文、英語として一番難しい1文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。

【テキスト（教科書）】

『Megatrends Shaping Our Future（新たな時代を見据えて）』（成美堂）

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への取り組み、小テスト、プレゼンなど）60%、期末テスト40%。欠席が4回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

パラグラフごとの内容把握の際に、あらかじめ準備したチャートなどが理解の助けになるという意見があったので、今年度も適宜工夫したいと思います。

【Outline (in English)】

This course aims to improve students' reading skills and strategies, with an emphasis on paragraph reading. Through pair work practices and group activities, the course will help to expand one's active vocabulary. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (60%) and term-end examination (40%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

吉田 季実子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

社会・文化の諸相を扱う英語教材を通して、知識や問題意識、クリティカル・シンキング力を養いながら、主として英語リーディング力とリスニング力を伸ばします。書かれた／話された内容を理解し、考察し、要約・説明したり意見を述べる練習を行い、自信と関心を深めます。

【到達目標】

- (1)教材レベルの英語の文章について、構成・内容を理解し、日本語や平易な英語で要約できる
- (2)教材レベルの英語の音声聞いて、内容を理解できるとともに、伝わりやすいイントネーションで発音・音読できる
- (3)教材の多様なトピックについて、情報収集や多面的考察を行い、情報や自分の見解を日本語や平易な英語で論理的に表現できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業ではまとまった長さの会話および文章の内容や表現の確認・練習を行います。教科書は各課リスニングとリーディングのパートから成り、受信→考察→発信の流れを促す構成です。リスニングでは音の性質・会話の展開・話者の態度・表現などに注目します。リーディングでは批判的思考も意識しつつ全体および各パラグラフの構成・要旨の把握を主眼とし、必要に応じて細部の確認も行います。また、使う目線から便利な語彙や表現を参考にして論理的な表現方法を身につけることを目指します。付属音声は、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意して、リスニング力と読解力の向上に役立てるとともに、スピーキングや音読のモデルとして音読練習に活用し、内容を理解した上での自然で明瞭な発話を目指します。ペア・グループ・クラス全体で、日本語や英語での要約や意見交換、会話・音読練習を行います。予習・復習や理解・考察などについて、口頭や小テスト、期末テスト等で確認します。質問や小テスト等へのフィードバックやアドバイスを授業内で行います。学期末プレゼンテーションは指示に沿って原稿を期日までに提出し、リハーサル・推敲を経て実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション Unit 1 Cross-cultural understanding 導入	授業の概要説明。リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
2	Unit 1 High & Low	リーディング（要約・精読・意見交換）
3	Unit 2 Foods 導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
4	Unit 2 Sustaining Culture 理解と考察	リーディング（要約・精読・意見交換）
5	Unit 3 Foreign language learning 導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）

6	Unit 3 Will Machine Translation Replace Human Translators? 理解と考察	リーディング（要約・精読・意見交換）
7	Unit 4 Sports 導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
8	Unit 4 Obstacle Course Racing 理解と考察	リーディング（要約・精読・意見交換）
9	Unit 5 Fashion 導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
10	Unit 5 The History of Jeans 理解と考察。プレゼンテーション・リハーサル導入	リーディング（要約・精読・意見交換）
11	Unit 6 Living things 導入。プレゼンテーション・リハーサル導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
12	Unit 6 Safer Distance 理解と考察。プレゼンテーション・リハーサル導入	リーディング（要約・精読・意見交換）。プレゼンテーションのアドバイス
13	期末テスト。プレゼンテーションのリハーサルと春学期の復習	春学期末テスト。プレゼンテーションの準備・練習・アドバイスの。春学期の総復習
14	プレゼンテーション。春学期のまとめ	発表・質疑応答・意見交換・講評。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

※予習→授業→復習を基本のセットとし、準備学習して積極的に授業に臨み、復習で理解を深め定着させ、苦手克服・実力向上を目指すとともに、発展的な自習の意欲・習慣の構築を目指します

①予習：(1)テキストのリスニング・リーディング問題を解き、根拠も準備(2)会話と文章の主旨の把握。未知の語句は文脈から類推、続いて辞書で確認(3)パラグラフごとの要約（1～2文程度）を日本語と英語で練習(4)ダウンロード音声の区切り・抑揚などに留意して音読練習

②復習：(1)テキストを再読。復習用資料を活用し重要表現は書いたり声に出して定着(2)ダウンロード音声を（テキストを見ながら／見ないで）リポート／シャドーイング(3)テキストで使われているキーワードや表現を使って内容の要約を言う／書く(4)主題についての自分の意見を言う／書く(5)書籍やウェブサイト等で情報収集し視野を広げる

③プレゼンテーション準備：プレゼン用資料を参考に少しずつ準備、原稿を指示に沿って期限内に提出、リハーサル・推敲する

※指示されたリスニング教材：(1)スクリプトなしで大意の把握を目指して聞く(2)スクリプトを見て細部を確認しながら繰り返し聞く(3)音読練習

【テキスト（教科書）】

VELC研究会教材開発グループ、望月正道、静哲人、熊澤孝昭 編著、*AMBITIONS Intermediate*（4技能統合型で学ぶ英語コース：中級編）金星堂、¥2,100(税込¥2,310) ※必要に応じてその他の教材・資料を活用する際は配布または指示します

【参考書】

随時授業中に紹介・指示します

【成績評価の方法と基準】

平常点（毎回の授業への取り組み・課題・小テストなど）50%、期末テスト25%、プレゼンテーション25%の割合で、上記到達目標(1)(2)(3)の達成度に照らして評価します。※欠席が3回を超過すると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください

【学生の意見等からの気づき】

多様なトピックでいろいろな能力を鍛えることができ楽しかったなどの声が聞かれましたので、みなさんの取り組み・成長をサポートできるよう内容・手法の充実を図りたいと思います

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください

【その他の重要事項】

授業の連絡事項・課題・資料配布などに学習支援システムを使います。各自の大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください

【Outline (in English)】

This course is designed to help students develop their reading and listening skills. Students will read essays on a wide range of issues in the world today and listen to conversations on a variety of related topics, thinking critically about them. Students will learn how to comprehend the structure and the argument of the passage and acquire the information they need. They will practice summarizing the passage they have read and commenting on related topics. The course will offer instruction of and practice in the development of effective listening skills. Students will also give a short presentation, integrating skills and knowledge acquired during the course and developing their confidence in English communication.

The goals are to develop the abilities to understand and summarize the essays accurately, grasp the main points of spoken materials, read aloud effectively, and communicate one's thoughts and opinions on the topics.

Completing assignments (preparation for the class, including listening to a recording, reading the text and answering questions) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least one hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria: active class participation, assignments and quizzes (50%), final examination (25%), final presentation (25%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

吉田 季実子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

社会・文化の諸相を扱う英語教材を通して、知識や問題意識、クリティカル・シンキング力を養いながら、主として英語リーディング力とリスニング力を伸ばします。書かれた／話された内容を理解し、考察し、要約・説明したり意見を述べる練習を行い、自信と関心を深めます。

【到達目標】

- (1)教材レベルの英語の文章について、構成・内容を理解し、日本語や平易な英語で要約できる
- (2)教材レベルの英語の音声聞いて内容を理解できるとともに、伝わりやすいイントネーションで発音・音読できる
- (3)教材の多様なトピックについて、情報収集や多面的考察を行い、情報や自分の見解を日本語や平易な英語で論理的に表現できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業ではまとまった長さの会話および文章の内容や表現の確認・練習を行います。教科書は各課リスニングとリーディングのパートから成り、受信→考察→発信の流れを促す構成です。リスニングでは音の性質・会話の展開・話者の態度・表現などに注目します。リーディングでは批判的思考も意識しつつ全体および各パラグラフの構成・要旨の把握を主眼とし、必要に応じて細部の確認も行います。また、使う目線から便利な語彙や表現を参考にして論理的な表現方法を身につけることを目指します。付属音声は、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意して、リスニング力と読解力の向上に役立てるとともに、スピーキングや音読のモデルとして音読練習に活用し、内容を理解した上での自然で明瞭な発話を目指します。ペア・グループ・クラス全体で、日本語や英語での要約や意見交換、会話・音読練習を行います。予習・復習や理解・考察などについて、口頭や小テスト、期末テスト等で確認します。質問や小テスト等へのフィードバックやアドバイスを授業内で行います。学期末プレゼンテーションは指示に沿って原稿を期日までに提出し、リハーサル・推敲を経て実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7 Art 導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
2	Unit 7 Moving Pictures, Before There Were Movies	リーディング（要約・精読・意見交換） 理解と考察
3	Unit 8 Global issues 導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
4	Unit 8 Jack's Cambodian Blog	リーディング（要約・精読・意見交換） 理解と考察

5	Unit 9 Japanese culture 導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
6	Unit 9 Cosplay: Bringing Anime to Life 理解と考察	リーディング（要約・精読・意見交換）
7	Unit 10 Human rights 導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
8	Unit 10 Terrorism and Torture 理解と考察	リーディング（要約・精読・意見交換）
9	Unit 11 Health & medical issues 導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
10	Unit 11 How to Live a Long Life: Secrets of the Japanese 理解と考察。プレゼンテーション・リハーサル導入	リーディング（要約・精読・意見交換）
11	Unit 12 Environmental issues 導入。プレゼンテーション・リハーサル導入	リスニング（ディクテーション・会話練習）、リーディング（速読・要約・意見交換）
12	Unit 12 Great Barrier Reef Speech 理解と考察。プレゼンテーション・リハーサル導入	リーディング（要約・精読・意見交換）。プレゼンテーションのアドバイス
13	期末テスト。プレゼンテーション・リハーサルと秋学期の復習	秋学期末テスト。プレゼンテーション・リハーサル。秋学期の総復習
14	プレゼンテーション。秋学期のまとめ	発表・質疑応答・意見交換・講評。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

※予習→授業→復習を基本のセットとし、準備学習して積極的に授業に臨み、復習で理解を深め定着させ、苦手克服・実力向上を目指すとともに、発展的な自習の意欲・習慣の構築を目指します

①予習：(1)テキストのリスニング・リーディング問題を解き、根拠も準備(2)会話と文章の主旨の把握。未知の語句は文脈から類推、続いて辞書で確認(3)パラグラフごとの要約（1～2文程度）を日本語と英語で練習(4)ダウンロード音声の区切り・抑揚などに留意して音読練習

②復習：(1)テキストを再読。復習用資料を活用し重要表現は書いたリ声に出して定着(2)ダウンロード音声を（テキストを見ながら／見ないで）リピート／シャドーイング(3)テキストで使われているキーワードや表現を使って内容の要約を言う／書く(4)主題についての自分の意見を言う／書く(5)書籍やウェブサイト等で情報収集し視野を広げる

③プレゼンテーション準備：プレゼン用資料を参考に少しずつ準備、原稿を指示に沿って期限内に提出、リハーサル・推敲する
※指示されたリスニング教材：(1)スクリプトなしで大意の把握を目指して聞く(2)スクリプトを見て細部を確認しながら繰り返し聞く(3)音読練習

【テキスト（教科書）】

VELC研究会教材開発グループ、望月正道、静哲人、熊澤孝昭 編著、*AMBITIONS Intermediate*（4技能統合型で学ぶ英語コース：中級編）金星堂、¥2,100(税込¥2,310) ※必要に応じてその他の教材・資料を活用する際は配布または指示します

【参考書】

随時授業中に紹介・指示します

【成績評価の方法と基準】

平常点（毎回の授業への取り組み・課題・小テストなど）50%、期末テスト25%、プレゼンテーション25%の割合で、上記到達目標(1)(2)(3)の達成度に照らして評価します。※欠席が3回を超過すると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください

【学生の意見等からの気づき】

多様なトピックでいろいろな能力を鍛えることができ楽しかったなどの声が聞かれましたので、みなさんの取り組み・成長をサポートできるよう内容・手法の充実を図りたいと思います

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください

【その他の重要事項】

授業の連絡事項や課題・資料配布などに学習支援システムを使います。各自の大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください

【Outline (in English)】

This course is designed to help students develop their reading and listening skills. Students will read essays on a wide range of issues in the world today and listen to conversations on a variety of related topics, thinking critically about them. Students will learn how to comprehend the structure and the argument of the passage and acquire the information they need. They will practice summarizing the passage they have read and commenting on related topics. The course will offer instruction of and practice in the development of effective listening skills. Students will also give a short presentation, integrating skills and knowledge acquired during the course and developing their confidence in English communication.

The goals are to develop the abilities to understand and summarize the essays accurately, grasp the main points of spoken materials, read aloud effectively, and communicate one's thoughts and opinions on the topics.

Completing assignments (preparation for the class, including listening to a recording, reading the text and answering questions) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least one hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria: active class participation, assignments and quizzes (50%), final examination (25%), final presentation (25%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

岩坪 友子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月2/Mon.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

社会・文化のさまざまなテーマを扱う英語教材を通して、知識や問題意識、クリティカル・シンキング力を養いながら、主として英語リーディング力とリスニング力を伸ばします。書かれた／話された内容を理解し、考察し、要約・説明したり意見を述べる練習を行い、自信と関心を深めます。

【到達目標】

- (1)教材レベルの英文について、構成・内容を理解し、日本語や平易な英語で説明・要約・意見交換できる
- (2)教材レベルの英語の音声聞いて理解し、日本語や平易な英語で説明したり意見交換できる
- (3)教材レベルの英語を明瞭で自然なイントネーションで音読できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業では予習シートに解答を記入、スライドを活用しながら指名やペアワークなどで理解を確認、日本語や英語での要約や意見交換、会話などの音読練習を行い、終了時にリアクションを記入します。教科書は多様なテーマの会話と文章で構成され、受信・考察・発信の流れを促すよう工夫されています。リスニングでは大意把握とディクテーションを行い、音の性質・会話の展開・話者の態度・表現などに注目します。リーディングでは批判的思考も意識しつつ全体と各パラグラフの構成・趣旨の把握を主眼とし、必要に応じて細部の確認も行います。語彙・表現・構成は使う目線に参考になります。付属音声は予習復習での活用を奨励し、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意してリスニングと読解力の向上に役立てながら、内容を理解した上での自然で明瞭な発話のモデルとします。予復習や理解・考察などについて、口頭や各課小テスト、期末テストなどで確認します。質問や小テストなどへのフィードバックを授業内で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション。Unit 1 Cross-cultural understanding 導入	授業の概要説明。Unit 1 リスニング (ディクテーション・音読)、リーディング (T/F・前半要約)
2	Unit 1 High & Low 理解と考察	Unit 1 リーディング (後半要約・細部確認・練習問題・意見交換)
3	Unit 2 Foods 導入	U1小テスト。Unit 2 リスニング (ディクテーション・音読)、リーディング (T/F・前半要約)
4	Unit 2 Sustaining Culture 理解と考察	Unit 2 リーディング (後半要約・細部確認・練習問題・意見交換)
5	Unit 3 Foreign language learning 導入	U2小テスト。Unit 3 リスニング (ディクテーション・音読)、リーディング (T/F・前半要約)

6	Unit 3 Will Machine Translation Replace Human Translators? 理解と考察	Unit 3 リーディング (後半要約・細部確認・練習問題・意見交換)
7	Unit 4 Sports 導入	U3小テスト。Unit 4 リスニング (ディクテーション・音読)、リーディング (T/F・前半要約)
8	Unit 4 Obstacle Course Racing 理解と考察	Unit 4 リーディング (後半要約・細部確認・練習問題・意見交換)
9	Unit 5 Fashion 導入	U4小テスト。Unit 5 リスニング (ディクテーション・音読)、リーディング (T/F・前半要約)
10	Unit 5 The History of Jeans 理解と考察	Unit 5 リーディング (後半要約・細部確認・練習問題・意見交換)
11	Unit 6 Living things 導入	U5小テスト。Unit 6 リスニング (ディクテーション・音読)、リーディング (T/F・前半要約)
12	Unit 6 Safer Distance 理解と考察	Unit 6 リーディング (後半要約・細部確認・練習問題・意見交換)
13	春学期の総復習	U6小テスト。Unit 1-6の復習 (再確認・定着・考察・意見交換)
14	期末テスト。春学期のまとめ	春学期末テスト。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

予習・授業・復習のセットで苦手克服と実力向上、意欲・習慣の構築を目指します。①予習 (1)テキストのリスニング／リーディング問題を解き根拠も準備 (2)会話／文章の趣旨の把握。未知語は文脈から推測後、辞書で確認 (3)パラグラフごとの要約 (1～2文程度)を日本語と英語で練習 (4)ダウンロード音声の区切り・抑揚などに留意して音読練習

②復習 (1)テキストを再読。スライド資料を活用。重要表現は書いて声に出して定着 (2)ダウンロード音声を (テキストを見ながら／見ないで) リピート／シャドーイング (3)テキストのキーワードなどを使って内容の要約を言う／書く (4)テーマについて (書籍やウェブサイト等で情報収集し視野を広げる意識を持ちつつ) 自分の意見を言う／書く

※音声活用 (1)スクリプトなしで大意の把握を目指して聞く (2)スクリプトを見て (印をつけたり) 確認しながら繰り返し聞く (3)リピート／シャドーイング練習

【テキスト (教科書)】

VELC研究会教材開発グループ、望月正道、静哲人、熊澤孝昭 編著、*AMBITIONS Intermediate* (4技能統合型で学ぶ英語コース: 中級編) 金星堂、¥2,100 (税込¥2,310)

【参考書】

授業やスライド内で紹介・指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (予習・授業の取り組み・小テストなど) 40%、期末テスト 60%の割合で、上記到達目標 (1)(2)(3)の達成度に照らして評価します。※欠席が3回を超過すると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください。遅刻に注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

多様なトピックで、予習復習のペースもよかったなどの声が聞かれましたので、みなさんの取り組み・成長をサポートできるよう内容・手法の充実を図りたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

授業の連絡事項・資料配布などに学習支援システムを使います。大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください。

【Outline (in English)】

Course outline:

This course is designed to help students develop their confidence in English communication, including reading and listening skills, through reading articles and listening to conversations on a wide range of issues in the world today. Students will learn about paragraph structure and practice summarizing and commenting on the text. They will also practice listening and reading aloud.

Learning objectives:

The goals are to develop the ability to summarize the text, understand spoken language, read aloud, and express opinions on relevant topics.

Learning activities outside of classroom:

Completing assignments (reading the text, listening to a recording and answering questions) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least one hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria/policy:

Active class participation and quizzes (40%), and a final examination (60%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

岩坪 友子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

社会・文化のさまざまなテーマを扱う英語教材を通して、知識や問題意識、クリティカル・シンキング力を養いながら、主として英語リーディング力とリスニング力を伸ばします。書かれた／話された内容を理解し、考察し、要約・説明したり意見を述べる練習を行い、自信と関心を深めます。

【到達目標】

- (1)教材レベルの英文について、構成・内容を理解し、日本語や平易な英語で説明・要約・意見交換できる
- (2)教材レベルの英語の音声聞いて理解し、日本語や平易な英語で説明したり意見交換できる
- (3)教材レベルの英語を明瞭で自然なイントネーションで音読できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業では予習シートに解答を記入、スライドを活用しながら指名やペアワークなどで理解を確認、日本語や英語での要約や意見交換、会話などの音読練習を行い、終了時にリアクションを記入します。教科書は多様なテーマの会話と文章で構成され、受信・考察・発信の流れを促すよう工夫されています。リスニングでは大意把握とディクテーションを行い、音の性質・会話の展開・話者の態度・表現などに注目します。リーディングでは批判的思考も意識しつつ全体と各パラグラフの構成・趣旨の把握を主眼とし、必要に応じて細部の確認も行います。語彙・表現・構成は使う目線で参考にします。付属音声は予習復習での活用を奨励し、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意してリスニングと読解力の向上に役立てながら、内容を理解した上での自然で明瞭な発話のモデルとします。予復習や理解・考察などについて、口頭や各課小テスト、期末テストなどで確認します。質問や小テストなどへのフィードバックを授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7 Art 導入	Unit 7 リスニング（ディクテーション・音読）、リーディング（T/F・前半要約）
2	Unit 7 Moving Pictures, Before There Were Movies	Unit 7 リーディング（後半要約・細部確認・練習問題・意見交換）
3	Unit 8 Global issues 導入	U7小テスト。Unit 8 リスニング（ディクテーション・音読）、リーディング（T/F・前半要約）
4	Unit 8 Jack's Cambodian Blog 理解と考察	Unit 8 リーディング（後半要約・細部確認・練習問題・意見交換）
5	Unit 9 Japanese culture 導入	U8小テスト。Unit 9 リスニング（ディクテーション・音読）、リーディング（T/F・前半要約）

6	Unit 9 Cosplay: Bringing Anime to Life 理解と考察	Unit 9 リーディング（後半要約・細部確認・練習問題・意見交換）
7	Unit 10 Human rights 導入	U9小テスト。Unit 10 リスニング（ディクテーション・音読）、リーディング（T/F・前半要約）
8	Unit 10 Terrorism and Torture 理解と考察	Unit 10 リーディング（後半要約・細部確認・練習問題・意見交換）
9	Unit 11 Health & medical issues 導入	U10小テスト。Unit 11 リスニング（ディクテーション・音読）、リーディング（T/F・前半要約）
10	Unit 11 How to Live a Long Life: Secrets of the Japanese 理解と考察。プレゼンテーション・リハーサル 導入	Unit 11 リーディング（後半要約・細部確認・練習問題・意見交換）
11	Unit 12 Environmental issues 導入。プレゼンテーション・リハーサル導入	U11小テスト。Unit 12 リスニング（ディクテーション・音読）、リーディング（T/F・前半要約）
12	Unit 12 Great Barrier Reef Speech 理解と考察	Unit 12 リーディング（後半要約・細部確認・練習問題・意見交換）
13	秋学期の総復習	U12小テスト。Unit 7-12の復習（再確認・定着・考察・意見交換）
14	期末テスト。秋学期のまとめ	秋学期末テスト。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

予習・授業・復習のセットで苦手克服と実力向上、意欲・習慣の構築を目指します。①予習 (1)テキストのリスニング／リーディング問題を解き根拠も準備 (2)会話／文章の趣旨の把握。未知語は文脈から推測後、辞書で確認 (3)パラグラフごとの要約（1～2文程度）を日本語と英語で練習 (4)ダウンロード音声の区切り・抑揚などに留意して音読練習

②復習 (1)テキストを再読。スライド資料を活用。重要表現は書いて声に出して定着 (2)ダウンロード音声（テキストを見ながら／見ないで）リピート／シャドーイング (3)テキストのキーワードなどを使って内容の要約を言う／書く (4)テーマについて（書籍やウェブサイト等で情報収集し視野を広げる意識を持ちつつ）自分の意見を言う／書く

※音声活用 (1)スクリプトなしで大意の把握を目指して聞く (2)スクリプトを見て（印をつけたり）確認しながら繰り返し聞く (3)リピート／シャドーイング練習

【テキスト（教科書）】

VELC研究会教材開発グループ、望月正道、静哲人、熊澤孝昭 編著、*AMBITIONS Intermediate*（4技能統合型で学ぶ英語コース：中級編）金星堂、¥2,100(税込¥2,310)

【参考書】

授業やスライド内で紹介・指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（予習・授業の取り組み・小テストなど）40%、期末テスト60%の割合で、上記到達目標(1)(2)(3)の達成度に照らして評価します。※欠席が3回を超過すると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください。遅刻に注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

多様なトピックが興味深く、予習復習のペースもよかったなどの声が聞かれましたので、みなさんの取り組み・成長をサポートできるよう内容・手法の充実を図りたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

授業の連絡事項・資料配布などに学習支援システムを使います。大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください。

【Outline (in English)】

Course outline:

This course is designed to help students develop their confidence in English communication, including reading and listening skills, through reading articles and listening to conversations on a wide range of issues in the world today. Students will learn about paragraph structure and practice summarizing and commenting on the text. They will also practice listening and reading aloud.

Learning objectives:

The goals are to develop the ability to summarize the text, understand spoken language, read aloud, and express opinions on relevant topics.

Learning activities outside of classroom:

Completing assignments (reading the text, listening to a recording and answering questions) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least one hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria/policy:

Active class participation and quizzes (40%), and a final examination (60%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

三原 里美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文章の速読と精読の両方を行い、パラグラフの構造や文法を正確に把握する力を身につける。読解を通して語彙力を増やし、英作文に活用できるよう練習を行う。

【到達目標】

- ・パラグラフの構成や文法を理解し、文章の構造を正確に把握することができる。
- ・文章を速読し大意を捉えることができる。
- ・英単語・熟語の知識を身につけ、英作文において適切に使用できる。
- ・様々なトピックについて自分の考えをまとめ、平易な英語で表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各Unitを2回の授業に分けて進める。速読の練習をしながら問題を解いた後、本文を精読し、その後もう一度問題を解き直して理解度を確認する。各Unitの終わりには英語でリアクションペーパーを作成、翌週にライティングのフィードバックを行う。授業の進捗状況に応じて、英字新聞の記事など教科書以外の教材を用いて読解を行う。また、Unitごとに単語・熟語の小テストを実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方についての説明
2	Unit 1	Poor Little Laika (スキミングとスキヤニング①)
3	Unit 1	Poor Little Laika (スキミングとスキヤニング②)
4	Unit 2	Where Did That Idiom Come From? (下見と予測読み①)
5	Unit 2	Where Did That Idiom Come From? (下見と予測読み②)
6	Unit 3	Heroes from the Canine Kingdom (文脈による内容の予測①)
7	Unit 3	Heroes from the Canine Kingdom (文脈による内容の予測②)
8	Unit 4	Pack Carefully! (パラグラフの構成を知る①)
9	Unit 4	Pack Carefully! (パラグラフの構成を知る②)
10	Unit 5	The Many Lives of Yoshiko Yamaguchi (アウトラインとブレンストーミング①)
11	Unit 5	The Many Lives of Yoshiko Yamaguchi (アウトラインとブレンストーミング②)
12	Unit 6	Taxation in the 21st Century (マインド・マップ①)

13	Unit 6	Taxation in the 21st Century (マインド・マップ②)
14	試験	Unit1～6の内容に関する試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業までに教科書の本文を読み、分からない単語・熟語を辞書で調べておく。リアクションペーパーに備え、各Unitのテーマに関する自分の考えを事前に日本語でまとめておく。

【テキスト（教科書）】

Robert Juppe、馬場幸雄著『Premium Reader: Intermediate』金星堂、2022年（税込 ¥2,200）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%

平常点（小テスト、リアクションペーパー、授業態度）40%

欠席が4回以上の場合、原則として単位取得を認めない。遅刻3回で欠席1回扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書または紙媒体）を必ず持参すること。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students understand English grammar and the structure of paragraphs through quick reading and close reading. Students are expected to increase their vocabulary to use new words and phrases in short essays.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- ・ Understand English grammar and the structure of paragraphs
- ・ Improve vocabulary to use new words and phrases in short essays
- ・ Express thoughts and opinions about various topics in plain English

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to consult a dictionary for the meaning of words and phrases in a textbook.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end examination 60%

Quizzes, submission assignments, class contribution 40%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

三原 里美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文章の速読と精読の両方を行い、パラグラフの構造や文法を正確に把握する力を身につける。読解を通して語彙力を増やし、英作文に活用できるよう練習を行う。

【到達目標】

- ・パラグラフの構成や文法を理解し、文章の構造を正確に把握することができる。
- ・文章を速読し大意を捉えることができる。
- ・英単語・熟語の知識を身につけ、英作文において適切に使用できる。
- ・様々なトピックについて自分の考えをまとめ、平易な英語で表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各Unitを2回の授業に分けて進める。速読の練習をしながら問題を解いた後、本文を精読し、その後もう一度問題を解き直して理解度を確認する。各Unitの終わりには英語でリアクションペーパーを作成、翌週にライティングのフィードバックを行う。授業の進捗状況に応じて、英字新聞の記事など教科書以外の教材を用いて読解を行う。また、Unitごとに単語・熟語の小テストを実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7	The Unusual Secretary ... or Secretaries? (パラグラフの構成：時間的順序①)
2	Unit 7	The Unusual Secretary ... or Secretaries? (パラグラフの構成：時間的順序②)
3	Unit 8	Mother Complex (パラグラフの構成：原因と結果①)
4	Unit 8	Mother Complex (パラグラフの構成：原因と結果②)
5	Unit 9	The Death of the Newspaper (パラグラフの構成：理由①)
6	Unit 9	The Death of the Newspaper (パラグラフの構成：理由②)
7	Unit 10	The Great Escape: Over, Under, or Through the Berlin Wall (パラグラフの構成：手順と方法の説明①)
8	Unit 10	The Great Escape: Over, Under, or Through the Berlin Wall (パラグラフの構成：手順と方法の説明②)
9	Unit 11	Technology, Friend or Fiend? (パラグラフの構成：比較と対照①)
10	Unit 11	Technology, Friend or Fiend? (パラグラフの構成：比較と対照②)

11	Unit 12	Alcohol: A Dangerous Drug Across Cultures (パラグラフの構成：具体例①)
12	Unit 12	Alcohol: A Dangerous Drug Across Cultures (パラグラフの構成：具体例②)
13	Unit 13	The Superior Bee (パラグラフの構成：定義)
14	試験	Unit7～13の内容に関する試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
授業までに教科書の本文を読み、分からない単語・熟語を辞書で調べておく。リアクションペーパーに備え、各Unitのテーマに関する自分の考えを事前に日本語でまとめておく。

【テキスト（教科書）】

Robert Juppe、馬場幸雄著『Premium Reader: Intermediate』金星堂、2022年（税込 ¥2,200）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%

平常点（小テスト、リアクションペーパー、授業態度）40%

欠席が4回以上の場合、原則として単位取得を認めない。遅刻3回で欠席1回扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書または紙媒体）を必ず持参すること。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students understand English grammar and the structure of paragraphs through quick reading and close reading. Students are expected to increase their vocabulary to use new words and phrases in short essays.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- ・ Understand English grammar and the structure of paragraphs
- ・ Improve vocabulary to use new words and phrases in short essays
- ・ Express thoughts and opinions about various topics in plain English

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to consult a dictionary for the meaning of words and phrases in a textbook.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end examination 60%

Quizzes, submission assignments, class contribution 40%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

妻鹿 裕子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNNのニュース映像とスクリプトを使用し、様々なトピックについて学びながら、リスニングとリーディングを中心に総合的な英語力の向上を目指します。

【到達目標】

- ・英語の文章を正確に読む力をつけます
- ・論理的な思考力を養います
- ・語彙力を増やします
- ・様々な英語（Englishes）の発音に慣れます
- ・英語のリズムを身につけます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

一つのunitを二回の授業で扱います。前半は語彙とリスニングを、後半はリーディングを中心に進めます。前半はExamplesを小テストとして行い、DefinitionとExamplesの答え合わせをした後、Blanks to Fill inでリスニングをし、答えの確認をします。後半はJudgments to Makeを小テストとして行い、リスニングのスクリプトの訳をした後、Judgments to Makeの答え合わせをします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容・成績評価等に関する説明
2	Unit 1	AI Comes to Hollywood (listening)
3	Unit 1	AI Comes to Hollywood (reading)
4	Unit 2	TikTok CEO in the Hot Seat (listening)
5	Unit 2	TikTok CEO in the Hot Seat (reading)
6	Unit 3	Away with the Language Barrier (listening)
7	Unit 3	Away with the Language Barrier (reading)
8	Unit 4	Enduring Joy (listening)
9	Unit 4	Enduring Joy (reading)
10	Unit 5	Redefining Women's Work (listening)
11	Unit 5	Redefining Women's Work (reading)
12	Unit 6	A Blessing Marred (listening)
13	Unit 6	A Blessing Marred (reading)
14	試験・まとめと解説	学期末試験・春学期の総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習を前提として授業を行います。前半はWords and Phrases to StudyのDefinitionとExamplesを、後半はニュースのスクリプトとJudgments to Makeを予習して下さい。本授業の準備・復習時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『CNNビデオで見る世界のニュース(26)』
(朝日出版社)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

テスト50%、小テスト20%、平常点30%で評価します。遅刻は授業開始時刻から30分までとし、遅刻三回で欠席とみなします。各学期欠席が四回以上の場合は、原則として単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

積極的な授業参加を求めます。どんどん発言して下さい。

【その他の重要事項】

- ・授業で辞書（英和と英英）を使用します。
- ・Hoppiiの「お知らせ」で連絡する場合があります。

【Outline (in English)】

Course Outline

This class aims to help you develop your listening and reading skills.

Learning Objectives

Students will build up their vocabulary, learn the pronunciation features of English, and acquire reading strategies.

Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Study time will be an hour for each class.

Grading Criteria/Policy

The final grade will be based on the following criteria:

1. Final Exam 50%
2. Reports 20%
3. Classroom Participation 30%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

妻鹿 裕子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNNのニュース映像とスクリプトを使用し、様々なトピックについて学びながら、リスニングとリーディングを中心に総合的な英語力の向上を目指します。

【到達目標】

- ・英語の文章を正確に読む力をつけます
- ・論理的な思考力を養います
- ・語彙力を増やします
- ・様々な英語（Englishes）の発音に慣れます
- ・英語のリズムを身につけます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

一つのunitを二回の授業で扱います。前半は語彙とリスニングを、後半はリーディングを中心に進めます。前半はExamplesを小テストとして行い、DefinitionとExamplesの答え合わせをした後、Blanks to Fill inでリスニングをし、答えの確認をします。後半はJudgments to Makeを小テストとして行い、リスニングのスクリプトの訳をした後、Judgments to Makeの答え合わせをします。小テストの答え合わせをする際に、解説を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容・成績評価等に関する説明
2	Unit 7	Interloping Nomads (listening)
3	Unit 7	Interloping Nomads (reading)
4	Unit 8	Flawed Roadmap (listening)
5	Unit 8	Flawed Roadmap (reading)
6	Unit 9	Antiaging Before Aging (listening)
7	Unit 9	Antiaging Before Aging (reading)
8	Unit 10	Japan's Delivery-system Threatened (listening)
9	Unit 10	Japan's Delivery-system Threatened (reading)
10	Unit 11	Toward Early Diagnosis (listening)
11	Unit 11	Toward Early Diagnosis (reading)
12	Unit 12	Controversial Move (listening)
13	Unit 12	Controversial Move (reading)
14	試験・まとめと解説	学期末試験・秋学期の総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習を前提として授業を行います。前半はWords and Phrases to StudyのDefinitionとExamplesを、後半はニュースのスクリプトとJudgments to Makeを予習して下さい。本授業の準備・復習時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『CNNビデオで見る世界のニュース(26)』
(朝日出版社)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

テスト50%、小テスト20%、平常点30%で評価します。遅刻は授業開始時刻から30分までとし、遅刻三回で欠席とみなします。各学期欠席が四回以上の場合は、原則として単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

積極的な授業参加を求めます。どんどん発言して下さい。

【その他の重要事項】

- ・授業で辞書（英和と英英）を使用します。
- ・Hoppiiの「お知らせ」で連絡する場合があります。

【Outline (in English)】

Course Outline

This class aims to help you develop your listening and reading skills.

Learning Objectives

Students will build up their vocabulary, learn the pronunciation features of English, and acquire reading strategies.

Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Study time will be an hour for each class.

Grading Criteria/Policy

The final grade will be based on the following criteria:

1. Final Exam 50%
2. Reports 20%
3. Classroom Participation 30%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

池田 しおり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

イギリス人の著者リチャード・パウエルが、四つの地域からなるUnited Kingdomについて、それぞれの地域の特色を述べているテキストを使用する。テキストから、多様で実際の知識を学ぶことができる。

I use a textbook which Richard Powell writes about United Kingdom.

students can learn the diverse and practical knowledge about United Kingdom.

【到達目標】

Dialogue、Passage、Exerciseを行うことにより実践力を高める。文化的背景を英語で学ぶことで国際的なコミュニケーション能力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

演習の形式で行う。

フィードバック方法 最終授業では、13回までの講義内容のまとめと解説を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	Unit 1 Arriving in London	Londonの代表的な公共交通機関には、世界で最も古い列車である地下鉄(tube)、London市内を走行する赤い二階建てバス(double decker)、cubeというタクシーがある。列車やバスにはプリペイド式のオイスターカードが使用できる。
②	Unit 1 Arriving in London	Unit1のExerciseを行う。
③	Unit 2 London's museums and art galleries	イギリスの主な博物館や美術館は入場料無料である。LondonにあるNational GalleryやTate Modernも無料であり、多くの人に絵画や展示品を見せる機会を与えている。
④	Unit 2 London's museums and art galleries	Unit2のExerciseを行う。
⑤	Unit 4 Sports Venues	現在世界で行われているスポーツの多くは、その発祥国をイギリスとする。いくつものトップのサッカーチームは、本拠地を首都ロンドンに置いており、また、ロンドン南西部のウインブルドンでは、毎年6月にウインブルドン選手権が行われる。

⑥	Unit 4 Sports Venues	Unit4のExerciseを行う。
⑦	Unit 5 Shopping in London	LondonにはHarrodsやFortnum and Masonのような伝統的な店がある一方で、多くのリーズナブルな品物を販売するfair（市）がある。
⑧	Unit 5 Shopping in London	Unit5のExerciseを行う。
⑨	Unit 7 Cheddar, Wells and Glastonbury	Somersetは、田園地方であり、cider（リンゴ酒）、beer、cheeseの製造でよく知られている。
⑩	Unit 7 Cheddar, Wells and Glastonbury	Unit7のExerciseを行う。
⑪	Unit 10 The Yorkshire Dales	Yorkshireは、イングランドの一番北の州であり、スコットランドとの境界の州である。The Yorkshire Dalesという国立公園となっている溪谷が広がっている。
⑫	Unit 10 The Yorkshire Dales	Unit10のExerciseを行う。
⑬	Unit 11 Newcastle-upon-Tyne	Newcastle-upon-Tyneは、イングランドとスコットランドとの境界のTyne川のほとりにある町である。Newcastleの対岸には、Gatesheadの町があり、そこには、歩行者と自転車専用のGateshead Millennium Bridgeがある。
⑭	試験日	試験範囲は授業で進んだ範囲とする。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。テキストのComprehension, Vocabulary, Expressionsを読んで、授業に望んでください。

It takes an hour for students to review and prepare for this class.

I hope students will attend this class preparing for Comprehension, Vocabulary, Expressions.

【テキスト（教科書）】

Touring Britain (Richard Powell) 朝日出版社

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点50%として評価する。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。遅刻を3回で欠席1とみなす。

Grades are evaluated as final exam of spring term is 50% and normal point is 50%.

Grades aren't evaluated in class that students are absent from this class 4 or more each term.

【学生の意見等からの気づき】

イギリスや、イギリスの文化についての詳しい知識が持っていたという学生からの声があり、このことをさらに深めて授業を行う。

【Outline (in English)】

Using the textbook written by English author, students can learn the diverse and practical knowledge about United Kingdom and raise the level by studying Dialogue, Passage, Exercise.

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
English 1 II	2017年度以降入学者
池田 しおり	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：火2/Tue.2
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

イギリス人の著者リチャード・パウエルが、四つの地域からなる United Kingdom について、それぞれの地域の特色を述べているテキストを使用する。テキストから、多様で実際の知識を学ぶことができる。

I use a textbook which Richard Powell writes about United Kingdom.

Students can learn the diverse and practical knowledge from a textbook.

【到達目標】

Dialogue、Passage、Exerciseを行うことにより実践力を高める。文化的背景を英語で学ぶことで国際的なコミュニケーション能力を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

演習の形式で行う。

フィードバック方法 最終授業では、13回までの講義内容のまとめと解説を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	Unit 12 Swansea and Gower	Swanseaは、ウェールズの首都 Cardiffの次に大きな町であり、20世紀の詩人Dylan Thomasの故郷でもある。
②	Unit 12 Swansea and Gower	Unit12のExerciseを行う。
③	Unit 13 Brecon Beacons	ウェールズのBrecon Beaconsは、イギリスの国立公園の一つである。自然の美しい地域として指定されていて、そこには植物や動物を保護する特別な法律がある。
④	Unit 13 Brecon Beacons	Unit13のExerciseを行う。
⑤	Unit 14 Conwy and Caernarfon	北ウェールズのConwyとCaernarfonの町には、それぞれConwy城とCaernarfon城がある。
⑥	Unit 14 Conwy and Caernarfon	Unit14のExerciseを行う。
⑦	Unit 15 Edinburgh	ブリテン島の北部の地域にあるEdinburghは、多くの学者や科学者を輩出していることから、'Athens of North'「北のアテネ」と呼ばれている。
⑧	Unit 15 Edinburgh	Unit15のExerciseを行う。

⑨	Unit 16 Glasgow	Glasgowは、19世紀の産業革命の時代には、造船業で発達したが、現在は、Glasgow出身の建築家Charles Rennie Macintoshゆかりの建造物を多くの観光客が訪れる場所となっている。
		Unit16のExerciseを行う。
⑩	Unit 16 Glasgow	
⑪	Unit 18 Belfast	アイルランドは、イギリスの自治領である北アイルランドと南のアイルランド共和国に分離している。1990年代初頭まで、北アイルランドでは、プロテスタント系住民とカソリック系住民の間で、毎日のように小競り合いが起きていた。しかし、1998年に平和協定が結ばれてからは、抗争はなくなっている。
⑫	Unit 18 Belfast	Unit18のExerciseを行う。
⑬	Unit 19 Causeway Coast	BelfastからLondonderryまでの道路沿いに広がっているCausewayの海岸には、世界遺産の火山岩からなる何千もの六角形の石柱群がある。
⑭	試験日	試験範囲は授業で進んだ範囲とする。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。テキストのComprehension,Vocabulary,Expressionsの予習をして、授業に望んでください。It takes an hour for students to review and prepare for this class.

I hope students will attend this class preparing for Comprehension, Vocabulary, Expressions.

【テキスト（教科書）】

Touring Britain (Richard Powell)朝日出版社

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点50%として評価する。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。遅刻を3回で欠席1とみなす。

Grades are evaluated as final exam of autumn term is 50%and normal point is 50%.

Grades aren't evaluated in class that students are absent from this class 4

or more each term.

Three lateness is regarded as one absence.

【学生の意見等からの気づき】

イギリスや、イギリスの文化についての詳しい知識が持たたという学生からの声があり、このことをさらに深めて授業を行う。

【Outline (in English)】

Using the textbook written by English author, students can learn the diverse and practical knowledge about United Kingdom and raise the level by studying Dialogue, Passage, Exercise.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

根本 怜奈

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「科学技術」・「健康」・「環境」・「人間の精神」・「宇宙」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力、文法力を高めることを目指す。
2. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
3. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。
4. 授業内での発表を通して、自分の意見を聞き手に伝えるプレゼンテーション能力の基礎を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。単語・熟語・文法・文章構造等を確認しながら、英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。語彙表現の小テストを実施するので、語彙の定着のために、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Unit が3つか4つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出および授業内で発表をする。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。授業内での発表については、授業内でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明
第2回	Unit 1	Digital Amnesia
第3回	Unit 2	Sleep Paralysis
第4回	Unit 3	Why Are Some People Better at Learning Languages?
第5回	Unit 1 ～ Unit 3 のまとめ	Unit 1 ～ Unit 3 の中のいずれかについて、ライティング
第6回	Unit 4	The McCollough Effect
第7回	Unit 5	The Healthiest Drink?
第8回	Unit 6	Health Advice for Fashion Lovers
第9回	Unit 7	Live to Be 120
第10回	Unit 4 ～ Unit 7 のまとめ	Unit 4 ～ Unit 7 の中のいずれかについて、ライティングと授業内発表
第11回	Unit 8	A New Antibiotic Found in the Soil
第12回	Unit 9	The World's Oldest Creature?
第13回	Unit 10	Lazy Ants
第14回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各Unit の英文について、必ず予習をすること。

語彙表現の復習小テストを実施するので、復習もしっかりすること。語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Science Finder (『科学の不思議』) (Jonathan Lynch 他著、成美堂、1,900円(税別))

配布プリントで授業を行うことがある。

英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験（50％）、授業態度・授業内に課した課題（ライティング課題の提出と発表を重視）や小テストと各回のコメントを含む平常点（50％）によって総合的に評価する。

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。遅刻2回は欠席1回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

英作文のクラス内発表を通して、クラスメイトの意見や発表の仕方を参考にしよう促す。英作文や小テストなどの課題において、テキスト内に出てきた語彙や表現の使用・応用を呼びかけることで予習・復習の時間をしっかりとるよう促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions
5. Learn basic skills of presentation.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

根本 怜奈

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「科学技術」・「健康」・「環境」・「人間の精神」・「宇宙」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。春学期よりも量を重視し、速読演習も取り入れる。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力、文法力を高めることを目指す。
2. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
3. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。
4. 授業内での発表を通して、自分の意見を聞き手に伝えるプレゼンテーション能力の基礎を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。単語・熟語・文法・文章構造等を確認しながら、英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。語彙表現の小テストを実施するので、語彙の定着のために、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Unit が3つか4つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出および授業内で発表をする。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。授業内での発表については、授業内でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	パラグラフ・リーディングと速読演習
第2回	Unit 11	(Almost) Vegetarian Bears
第3回	Unit 12	Animals and Earthquakes
第4回	Unit 13	LiquiGlide
第5回	Unit 11 ~ Unit 13 のまとめ	Unit 11 ~ Unit 13 の中のいずれかについて、ライティング
第6回	Unit 14	Unbreakable Glass
第7回	Unit 15	Robots Are Winning
第8回	Unit 16	Li-Fi
第9回	Unit 17	Enceladus
第10回	Unit 14 ~ Unit 17 のまとめ	Unit 14 ~ Unit 17 の中のいずれかについて、ライティングと授業内発表
第11回	Unit 18	The Ninth Planet
第12回	Unit 19	Dyson Sphere
第13回	Unit 20	When Will We See a Great Comet?
第14回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各Unit の英文について、必ず予習をすること。

語彙表現の復習小テストを実施するので、復習もしっかりすること。語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Science Finder (『科学の不思議』) (Jonathan Lynch 他著、成美堂、1,900円(税別))

配布プリントで授業を行うことがある。

英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 (50%)、授業態度・授業内に課した課題 (ライティング課題の提出と発表を重視) や小テストと各回のコメントを含む平常点 (50%) によって総合的に評価する。

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。遅刻2回は欠席1回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

英作文のクラス内発表を通して、クラスメイトの意見や発表の仕方を参考にしよう促す。英作文や小テストなどの課題において、テキスト内に出てきた語彙や表現の使用・応用を呼びかけることで予習・復習の時間をしっかりとるよう促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions
5. Learn basic skills of presentation
6. Improve rapid reading skill.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

小泉 和弘

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

複数のパラグラフからなる英文を読む。構文など、文法事項に関することを学ぶ。速読や精読など目的に応じた速度で効果的に読む訓練をする。

必要な知識・情報を掴み取るを訓練をする。書き手の感情や意図、論旨を正確に把握する訓練をする。精読した英文の要旨や、それについてのコメントなどを英語で書く練習をする。英語辞書の効果的な使い方について学習する。

【到達目標】

複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に、かつ速読や精読など目的に応じた速度で読むことのできる。特にパラグラフの構造およびパラグラフ同士のつながりに留意しつつ、構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報を掴み取ること、また書き手の感情や意図を掴むことが出来る。さらに、得られた情報を鵜呑みにするのではなく、多面的・客観的観点から分析する、いわゆる批判的思考力を養うことが出来る。「聴く力」の育成も、授業の一環で行い、精読した英文の要旨や、それについての批判的コメントなどを英語で書ける。

入学時に受けたELPAの英語プレスメントaのスコアを10%以上上げることが目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

演習形式をとります。まず、CDを聞き、学生に音読してもらい、内容について質問し答えてもらいます。この授業では、課題を課すことがあり、その課題を学生が提出し、そのフィードバックとして教室で課題の解説を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	1年間の予定、授業の進め方などを説明する。
第2回	Growth and Chapter Development	人間の誕生から死までのことを学び、本文の内容の練習問題を解く。
第3回	Human Body / Chapter Sleep	人間の体と睡眠について学び、本文の練習問題を解く。
第4回	Health and fitness / Chapter Allergies	健康とアレルギーに関して学び、本文の練習問題を解く。
第5回	Diseases (1) Chapter	細菌、ウイルス、プリオン等に関して学び、本文の練習問題を解く。
第6回	Diseases (2) Chapter	遺伝病、精神の病等を学び、本文の練習問題を解く。
第7回	Immunity /AIDS Chapter	免疫とエイズに関して学び、本文の練習問題を解く。

第8回	Smoking /Cancer Chapter	喫煙と癌に関して学び、本文の練習問題を解く。
第9回	Medicine Chapter	医療に関して学び、本文の練習問題を解く。
第10回	Complementary Chapter medicine	補充医療（漢方、整体、鍼灸）を学び、本文の練習問題を解く。
第11回	First Aids /Doctors Chapter	救急医療と医師に関して学び、本文の練習問題を解く。
第12回	Nightingale, Chapter Florence /Nurses	ナイチンゲールの生涯と、看護師に関して学び、本文の練習問題を解く。
第13回	Hospitals Chapter	大学病院の役割に関して学び、本文の練習問題を解く。
第14回	試験を行う。試験・まとめ	試験を行い、その後、試験のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の前には、予習をしておくこと。授業の後には、復習をしておくこと。また、授業のまえには、英文の音読をしておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Life and Health (生活と健康) (鳳書房) 1,980円 (税込み)

【参考書】

Longman Dictionary of Contemporary English (桐原書店)

【成績評価の方法と基準】

試験 80%, 授業への積極性 20%, セメスター内で、4回以上の欠席をした場合には単位取得が不可能になります。

【学生の意見等からの気づき】

気力が感じられる授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業中の私語、食事は禁止します。英語の授業なので、辞書または電子辞書を持参すること。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course introduces reading and writing to students taking this course. (Learning Objectives) The goal of this course is to improve your reading and writing. (Learning activities outside of classroom) Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting. (Grading Criteria /Policies) Your overall grade in the class will be decided based on the following : Term-end examination 80% in the class contribution 20 %

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

小泉 和弘

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ジャンルを限定せず、4技能のバランスの良い学習効果を念頭に置きつつ、主として複数のパラグラフからなる英文を読めるようにする。速読や精読など目的に応じた速度で読むことが出来るようにする。必要な知識・情報を掴み取ることが出来るようにする。書き手の感情や意図を掴むことが出来るようにする。

【到達目標】

複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に、かつ速読や精読など目的に応じた速度で読むことが出来る。特にパラグラフの構造およびパラグラフ同士のつながりに留意しつつ、構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報を掴み取ること、また書き手の感情や意図を掴むことができる。さらに、得られた情報を鵜呑みにするのではなく、多面的・客観的観点から分析する、いわゆる批判的思考力が出来る。「聴く力」の育成出来る。また、精読した英文の要旨や、それについての批判的なコメントを英語で書ける。

入学時に受けたELPAの英語プレズメントaのスコアを20%以上上げることが目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

演習形式をとります。まず、CDを聞いて、学生に英文を読んでもらい、その文章に対して質問をし、学生はその答えをします。この授業では、課題を課すことがあり、その課題を学生が提出し、そのフィードバックとして教室で課題の解説を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	味の素	味の素の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 1		
第 2 回	花王株式会社	花王株式会社の企業理念、持続可能な企業活動などが学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 2		
第 3 回	CYBERDYNE	CYBERDYNEの会社内容、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 3		
第 4 回	サントリー	サントリーの歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 4		
第 5 回	Spiber	Spiberの歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 5		
第 6 回	セコム株式会社	セコム株式会社の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 6		
第 7 回	ヤマト運輸株式会社	ヤマト運輸の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 14		

第 8 回	セブン&アイ・ホールディングス	セブン&アイ・ホールディングス企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 7		
第 9 回	大正製薬	大正製薬の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 8		
第 10 回	東レ	東レの歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 9		
第 11 回	豊田通商	豊田通商の歴史、企業理念等を学び、そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 10		
第 12 回	日清食品	日清食品の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 11		
第13回	ビデオ学習。	ビデオ学習をする。
デオ		
第 14 回	試験を行う。	試験を行い、その後、試験のまとめと解説を行う。
試験・まとめ		

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の前には、予習をしておくこと。授業の後には、復習をしておくこと。また、授業のまえには、英文の音読をしておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Leading the Way: Major Japanese Corporation（南雲堂）2,000円＋税

【参考書】

Longman Dictionary of Contemporary English 桐原書店

【成績評価の方法と基準】

試験 80%、授業への積極性 20%、1 Semesterで4回以上の欠席をした場合は、単位取得が不可能になります。

【学生の意見等からの気づき】

気力を感じられる授業をするように心がけます。

【その他の重要事項】

授業中の私語、食事は禁止します。
英語の授業なので、辞書または電子辞書を持参すること。
授業中、スマホはカバンの中に入れておくこと。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course introduces reading and writing to students taking this course. (Learning Objectives) The goal of this course is to improve your reading and writing. (Learning activities outside of classroom) Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting. (Grading Criteria /Policies) Your overall grade in the class will be decided based on the following : Term-end examination 80 % in the class contribution 20 %

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

坂梨 健史郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

- ・複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に理解し、また理解したことを日本語と英語で説明できる力を養う。
- ・特にパラグラフの構造およびパラグラフ同士のつながりに留意する。
- ・構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報をつかみ取ること、また書き手の感情や意図をつかむことに重点を置く。
- ・さらに、得られた情報を鵜呑みにするのではなく、多面的・客観的観点から分析する、いわゆる批判的思考力の養成も行う。
- ・異なる分野の語彙力の強化および文法・語法の整理・活用を図る。
- ・朗読テープを用いて「聴く力」の育成も行う。
- ・また、英語辞書の効果的な使い方についても指導する。

【到達目標】

- ・GRAMMAR FOCUSおよびBEFORE READINGで扱う文法事項を踏まえて、BEFORE READINGの各例文を正確に理解し説明できる。
- ・READINGの本文の構文や意味を正確に理解した上で説明できるとともに、関連する設問に正解できる。
- ・ACTIVITIESの各文法問題に正解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・テキスト本文の講読および問題演習。授業中に全員に指名するので必ず予習（単語調べ、解答作成など）をしてくること。指名時の回答に対しては即座に正誤判定を行い、正解およびコメントを発表する。
- ・各ユニットは4セクションで構成されている。GRAMMAR FOCUS、BEFORE READINGおよびACTIVITIESでは文法事項の復習と整理に努める。READINGでは本文の訳読を主体に進め、またパラグラフごとに和文および英文の設問があるのでそれに答えることで、より深い読みを目指す。興味深いテーマと明快な英文で書かれたエッセイを楽しみつつ学習していったほしい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業内容の説明等
2	Unit 1	読解：試験やアンケートに関する英文
3	Unit 1 (続き)	文法：主語と目的語
4	Unit 2	読解：食生活に関する英文
5	Unit 2 (続き)	文法：述部、付加語、補語
6	Unit 3	読解：サブカルチャーに関する英文
7	Unit 3 (続き)	文法：様々な修飾
8	Unit 4	読解：映画に関する英文
9	Unit 4 (続き)	文法：完了形
10	Unit 5	読解：社会制度に関する英文
11	Unit 5 (続き)	文法：不定詞
12	Unit 6	読解：ポピュラーミュージックに関する英文
13	Unit 6 (続き)	文法：動名詞および現在分詞
14	試験・まとめと解説	授業時間内に実施する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 必ず予習復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
- ・GRAMMAR FOCUSおよびBEFORE READING：読んでくる。例文中の単語や表現の意味を調べてくる。
- ・READING：本文については読んで、指名されたら訳せるように、単語や表現の意味を調べてくる。設問については解答を和文および英文で作成してくる。
- ・ACTIVITIES：問題文の意味を調べ、解答を作成してくる。

【テキスト（教科書）】

『Ins & Outs: Reading Focusing on Grammar Skills 文法中心のパラグラフリーディング―正しい英語の読み方』 金星堂

【参考書】

- 文法の参考書は
- ・『FOREST』 桐原書店を薦める。
- 英和辞典は
- ・『リーダーズ英和辞典＋リーダーズプラス』 研究社
- ・『研究社英和大辞典』 研究社
- ・『ランダムハウス英和大辞典』 小学館
- ・『ジーニアス英和大辞典』 大修館書店を薦めるが、どれも大部なので電子辞書でないと携帯が難しい。

【成績評価の方法と基準】

単位取得条件

- ・欠席が3回以内であること（遅刻については下記参照）。
- ・受講態度が良好であること（無予習、私語、居眠りは厳禁）
- ・期末試験の結果が100点満点中60点以上であること。
- 以上3点をすべて満たす者のみが単位を取得できる。
- ・なお、受講態度や学習態度が不良の者は、欠席扱いや学期途中での履修取り消し等の措置を取ることがある。

期末試験

- ・上記「授業の到達目標」がどの程度達成できているかを測る内容とする。

成績評価

- ・期末試験50%
- ・平常点（学習態度および受講態度）50%

遅刻の扱い

- ・遅刻とは「出欠確認後に教室に入る行為」を指す。遅刻の理由は問わない。
- ・遅刻は分数を記録し、合計が60の倍数に達するごとに1回の欠席とする。記録は10分刻みとし、端数は切り上げる（1分の遅刻は10と記録する）。
- ・なお、中座（用便等の理由で一時退室する行為）や早退（体調不良等で授業終了前に退室する行為）も遅刻と同様に扱う。

【学生の意見等からの気づき】

「文法をもっと教えて欲しい」という指摘があった。基本的にはテキストの内容に沿って授業を進めるが、関連する文法事項にもなるべく多く触れたいと思う。

【その他の重要事項】

座席

- ・座席は指定する。

オフィスアワー

- ・授業に関する質問や相談は授業の前後に受け付ける。

【Outline (in English)】

Students will read passages of multiple paragraphs at a speed necessary for different purposes (e.g. speed reading and close reading). Attention should be paid to paragraph structure, e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence and the logical relationship between paragraphs. Students will learn how to comprehend the structure and the argument of the passage, acquire the knowledge and information they need, and grasp the writer's intention and feelings. In addition, the course will help students foster critical thinking skills, that is, skills to make an objective and multifaceted analysis of the given information, instead of accepting it unquestioningly. The course will offer instruction of and practice in the development of effective listening skills. Students will also learn how to paraphrase what they have read, and then write in English a summary of and comments on what they have read.

Learning Objectives

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- A. rightly understand and explain the example sentences in BEFORE READING, based on the grammatical knowledge learned in GRAMMAR FOCUS and BEFORE READING.
- B. rightly understand and explain the structure and meaning of every sentence of the passage in READING, and rightly answer the related questions.
- C. rightly answer the grammar questions in ACTIVITIES.

Learning Activities Outside of Classroom

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant pages from the textbook and prepare for oral questions about them from the teacher. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term end examination: 50%and in-class oral questions: 50%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

坂梨 健史郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

- ・複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に理解し、また理解したことを日本語と英語で説明できる力を養う。
- ・特にパラグラフの構造およびパラグラフ同士のつながりに留意する。
- ・構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報をつかみ取ること、また書き手の感情や意図をつかむことに重点を置く。
- ・さらに、得られた情報を鵜呑みにするのではなく、多面的・客観的観点から分析する、いわゆる批判的思考力の養成も行う。
- ・異なる分野の語彙力の強化および文法・語法の整理・活用を図る。
- ・朗読テープを用いて「聴く力」の育成も行う。
- ・また、英語辞書の効果的な使い方についても指導する。

【到達目標】

- ・GRAMMAR FOCUSおよびBEFORE READINGで扱う文法事項を踏まえて、BEFORE READINGの各例文を正確に理解し説明できる。
- ・READINGの本文の構文や意味を正確に理解した上で説明できるとともに、関連する設問に正解できる。
- ・ACTIVITIESの各文法問題に正解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・テキスト本文の講読および問題演習。授業中に全員に指名するので必ず予習（単語調べ、解答作成など）をしてくる。指名時の回答に対しては即座に正誤判定を行い、正解およびコメントを発表する。
- ・各ユニットは4セクションで構成されている。GRAMMAR FOCUS、BEFORE READINGおよびACTIVITIESでは文法事項の復習と整理に努める。READINGでは本文の訳読を主体に進め、またパラグラフごとに和文および英文の設問があるのでそれに答えることで、より深い読みを目指す。興味深いテーマと明快な英文で書かれたエッセイを楽しみつつ学習していったほしい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7	読解：リサイクルに関する英文
2	Unit 7 (続き)	文法：助動詞
3	Unit 8	読解：起業に関する英文
4	Unit 8 (続き)	文法：関係詞
5	Unit 9	読解：伝統文化に関する英文
6	Unit 9 (続き)	文法：itやthereを用いる構文
7	Unit 10	読解：日本文化に関する英文
8	Unit 10 (続き)	文法：受動文
9	Unit 11	読解：健康に関する英文
10	Unit 11 (続き)	文法：比較の表現
11	Unit 12	読解：消費行動に関する英文
12	Unit 12 (続き)	文法：名詞構文
13	Unit 13	読解：日本と西洋の文化比較に関する英文
14	試験・まとめと解説	授業時間内に実施する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 必ず予習復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
- ・GRAMMAR FOCUSおよびBEFORE READING：読んでくる。例文中の単語や表現の意味を調べてくる。
- ・READING：本文については読んで、指名されたら訳せるように、単語や表現の意味を調べてくる。設問については解答を和文および英文で作成してくる。
- ・ACTIVITIES：問題文の意味を調べ、解答を作成してくる。

【テキスト（教科書）】

『Ins & Outs: Reading Focusing on Grammar Skills 文法中心のパラグラフリーディング―正しい英語の読み方』金星堂

【参考書】

- 文法の参考書は
 - ・『FOREST』桐原書店を薦める。
 - 英和辞典は
 - ・『リーダーズ英和辞典＋リーダーズプラス』研究社
 - ・『研究社英和大辞典』研究社
 - ・『ランダムハウス英和大辞典』小学館
- をどれかを薦めるが、どれも大部なので電子辞書でないと携帯が難しい。

【成績評価の方法と基準】

単位取得条件

- ・欠席が3回以内であること（遅刻については下記参照）。
 - ・受講態度が良好であること（無予習、私語、居眠りは厳禁）
 - ・期末試験成績が100点満点中60点以上であること。
- 以上3点をすべて満たす者のみが単位を取得できる。
- ・なお、受講態度や学習態度が不良の者は、欠席扱いや学期途中での履修取り消し等の措置を取ることがある。

期末試験

- ・上記「授業の到達目標」がどの程度達成できているかを測る内容とする。

成績評価

- ・期末試験50%
- ・平常点（学習態度および受講態度）50%

遅刻の扱い

- ・遅刻とは「出欠確認後に教室に入る行為」を指す。遅刻の理由は問わない。
- ・遅刻は分数を記録し、合計が60の倍数に達するごとに1回の欠席とする。記録は10分刻みとし、端数は切り上げる（1分の遅刻は10と記録する）。
- ・なお、中座（用便等の理由で一時的退室する行為）や早退（体調不良等で授業終了前に退室する行為）も遅刻と同様に扱う。

【学生の意見等からの気づき】

「文法をもっと教えて欲しい」という指摘があった。基本的にはテキストの内容に沿って授業を進めるが、関連する文法事項にもなるべく多く触れたいと思う。

【その他の重要事項】

座席

- ・座席は指定する。

オフィスアワー

- ・授業に関する質問や相談は授業の前後に受け付ける。

【Outline (in English)】

Students will read passages of multiple paragraphs at a speed necessary for different purposes (e.g. speed reading and close reading). Attention should be paid to paragraph structure, e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence and the logical relationship between paragraphs. Students will learn how to comprehend the structure and the argument of the passage, acquire the knowledge and information they need, and grasp the writer's intention and feelings. In addition, the course will help students foster critical thinking skills, that is, skills to make an objective and multifaceted analysis of the given information, instead of accepting it unquestioningly.

The course will offer instruction of and practice in the development of effective listening skills. Students will also learn how to paraphrase what they have read, and then write in English a summary of and comments on what they have read.

Learning Objectives

By the end of the course, students should be able to do the followings:

-A. rightly understand and explain the example sentences in BEFORE READING, based on the grammatical knowledge learned in GRAMMAR FOCUS and BEFORE READING.

-B. rightly understand and explain the structure and meaning of every sentence of the passage in READING, and rightly answer the related questions.

-C. rightly answer the grammar questions in ACTIVITIES.

Learning Activities Outside of Classroom

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant pages from the textbook and prepare for oral questions about them from the teacher. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term end examination: 50%and in-class oral questions: 50%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

田口 清一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学入学時までの英語力に更に磨きをかけるために、グローバルな視野に立ち、語彙・文法・背景知識（一般教養）が三位一体となった総合的英語力の向上を目指す。語彙に関しては重要な語源を活用した能率的な方法によって豊かにしていき、文法に関しては特に「コミュニケーション」という観点から体系的かつ本質的理解を深めていきたい。こうした純粋に語学的要素に一般教養という要素が加わって初めて本物の読解力と表現力が得られるのである。

【到達目標】

- * 英文の正確かつ迅速な理解のために、一語・一句を疎かにしない精密な読みができるようにする。
- * 英文の内容と文脈を常に考えながら批判的に読む習慣を身に付ける。
- * 読解と表現に必要な文法を体系的に身に付ける。
- * 日々の英語学習においてリスニングを習慣化し、英語の耳を養う。
- * 英語の根本的論理を理解し、「日本語モード」ではなく「英語モード」で英文を捉えられるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本文の精読による英文の正確かつ深い読みの訓練を柱とし、各箇所について必要なコメントを加えと共に、関連事項の解説などを行ってゆく。授業では、日本語と英語の論理や発想の違いに常に留意しながら、英語的論理で英文を理解した上で「自然な日本語」に翻訳する力を磨くと共に、理解した内容について英語で表現する能力も高めてゆきたい。同時にテキストの内容から、真の英語理解に不可欠なイギリスの文化や歴史に対する認識をも深められれば一石二鳥であろう。年間を通して、無味乾燥な「暗記語学」ではなく、「知的に考える語学」というものを実践したい。

課題の提示と提出は「学習支援システム」を通して行い、各回の課題に対し、授業（対面又はオンライン）での解説によってフィードバックを行う。最終回には春学期全体の講評も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	年間の授業についての説明
第2回	英語の論理と考え方	名詞を中心とした論理(可算と不可算)
第3回	英語の論理と考え方	名詞を中心とした論理(冠詞と限定詞)
第4回	Chapter1 (Four Countries)①	本文読解・リスニング・音読
第5回	Chapter1 (Four Countries)②	本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文
第6回	Chapter2 (The Lake District)①	本文読解・リスニング・音読
第7回	Chapter2 (The Lake District)②	本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文

第8回 Chapter3 (Stratford-upon-Avon)

本文読解・リスニング・音読

①

第9回 Chapter3 (Stratford-upon-Avon)

本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文

②

第10回 Chapter4 (London through the Ages)

本文読解・リスニング・音読

①

第11回 Chapter4 (London through the Ages)

本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文

②

第12回 Chapter5 (Wessex)

本文読解・リスニング・音読

①

第13回 Chapter5 (Wessex)

本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文

②

第14回 学期末の講評

春学期の課題の総評とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回の授業と課題に対するしっかりした予習・復習が必須である。本文読解においては、リスニングを行った後に必ず英文を数回音読した上で精読すること。その際に、辞書を調べる場合には用例も含めて必ずその項目を全て読むこと。また、文法・構文的にあやふやな時には必ず文法書を調べること。各回の授業のポイントは次回までに必ず復習しておくこと。

尚、本授業の準備学習・復習時間は合わせて最低1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Cultural Walks in Britain(イギリス文化散策) 成美堂

【参考書】

特に指定はしないが、必ず文法書(体系的にある程度詳しく記述されたもの)を一冊は備え、予習・復習の際や、自分で英文を読み書きする際には辞書だけでなく、必ず文法書も参照することが重要である。

【成績評価の方法と基準】

期末試験は行わず、「平常点」40%、課題の出来60%で評価する。課題に取り組む際に、【到達目標】に掲げた項目をどの程度意識して行っているかを重視する。

尚、原則として、未提出の課題と欠席が4回以上ある場合は単位修得の資格を失うものとする。

【学生の意見等からの気づき】

真剣に取り組んだ学生からは、英語の見方が変わったという感想もあるので、今年度も本質的な論理に関しては丁寧に解説していきたいと思う。

【その他の重要事項】

年間を通してのレベル・アップを目指すので、春学期・秋学期合わせての履修を原則とする。

【Outline (in English)】

[Course Outline]

The main purpose of this course is to improve the ability in English from a broader point of view by integrating vocabulary and grammar with cultural literacy. To enrich vocabulary, it is necessary to make good use of important etymologies; to understand grammar systematically and fundamentally, it will be examined from the perspective of "communicative grammar". To these genuinely linguistic factors should be added the factor of cultural literacy to acquire a real understanding of English.

[Learning Objectives]

The final objective of this course is to understand English in the English modes of thinking, not in the Japanese ones.

[Learning Activities Outside of Classroom]

Students will be expected to spend at least an hour in preparing for and reviewing each class.

[Grading Criteria]

Each student's final grade will be decided, based on his or her overall class contribution marks(40%) and the results of the required assignments(60%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

田口 清一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学入学時までの英語力に更に磨きをかけるために、グローバルな視野に立ち、語彙・文法・背景知識（一般教養）が三位一体となった総合的英語力の向上を目指す。語彙に関しては重要な語源を活用した能率的な方法によって豊かにしていき、文法に関しては特に「コミュニケーション」という観点から体系的かつ本質的理解を深めていきたい。こうした純粋に語学的要素に一般教養という要素が加わって初めて本物の読解力と表現力が得られるのである。

【到達目標】

- * 英文の正確かつ迅速な理解のために、一語・一句を疎かにしない精密な読みができるようにする。
- * 英文の内容と文脈を常に考えながら読む習慣を身に付ける。
- * 読解と表現に必要な文法を体系的に身に付ける。
- * 日々の英語学習においてリスニングを習慣化し、英語の耳を養う。
- * 英語の根本的論理を理解し、「日本語モード」ではなく「英語モード」で英文を捉えられるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本文の精読による英文の正確かつ深い読みの訓練を柱とし、各箇所について必要なコメントを加えと共に、関連事項の解説などを行なってゆく。授業では、日本語と英語の論理や発想の違いに常に留意しながら、英語的論理で英文を理解した上で「自然な日本語」に翻訳する力を磨くと共に、理解した内容について英語で表現する能力も高めてゆきたい。同時にテキストの内容から、真の英語理解に不可欠なイギリスの文化や歴史に対する認識をも深められれば一石二鳥であろう。年間を通して、無味乾燥な「暗記語学」ではなく、「知的に考える語学」というものを実践したい。

課題の提示と提出は「学習支援システム」を通して行い、各回の課題に対し、授業（対面又はオンライン）での解説によってフィードバックを行う。最終回には年間を通しての総評も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	日本語と英語の相違	文圧縮(名詞構文)
第2回	日本語と英語の相違	人称代名詞
第3回	Chapter6 (Winchester)①	本文読解・リスニング・音読
第4回	Chapter6 (Winchester)②	本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文
第5回	Chapter7 (Oxbridge)①	本文読解・リスニング・音読
第6回	Chapter7 (Oxbridge)②	本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文
第7回	Chapter8 (The Cotswolds)①	本文読解・リスニング・音読
第8回	Chapter8 (The cotswolds)②	本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文
第9回	Chapter9 (Canterbury)①	本文読解・リスニング・音読

第10回	Chapter9 (Canterbury)②	本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文
第11回	Chapter10 (Manchester)①	本文読解・リスニング・音読
第12回	Chapter10 (Manchester)②	本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文
第13回	年間の仕上げの課題	Writing an Essay
第14回	今年度の総括	年間の課題に対する総評とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回の授業と課題に対するしっかりした予習・復習が必須である。本文読解においては、リスニングを行った後に必ず英文を数回音読した上で精読すること。その際に辞書を調べる場合には用例も含めて必ずその項目を全て読むこと。また、文法・構文的にあやふやな時には必ず文法書を調べる。各回の授業のポイントは次回までに必ず復習しておくこと。

尚、本授業の準備学習・復習時間は合わせて最低1時間が標準である。

【テキスト（教科書）】

Cultural Walks in Britain(イギリス文化散策) 成美堂

【参考書】

特に指定はしないが、必ず文法書(体系的にある程度詳しく記述されたもの)を一冊は備え、予習・復習の際や、自分で英文を読み書きする際には辞書だけでなく、必ず文法書も参照することが重要である。

【成績評価の方法と基準】

期末試験は行わず、「平常点」40%、課題の出来60%で評価する。課題に取り組む際に、【到達目標】に掲げた項目をどの程度意識して行っているかを重視する。秋学期は春学期からの習熟度も考慮に入れる。

尚、原則として、未提出の課題と欠席が4回以上ある場合は単位修得の資格を失うものとする。

【学生の意見等からの気づき】

真剣に取り組んだ学生からは、英語の見方が変わったという感想もあるので、今年度も本質的な論理に関しては丁寧に解説していきたいと思う。

【その他の重要事項】

年間を通してのレベル・アップを目指すので、春学期・秋学期合わせての履修を原則とする。

【Outline (in English)】

[Course Outline]

The main purpose of this class is to improve the ability in English from a broader point of view by integrating vocabulary and grammar with cultural literacy. To enrich vocabulary, it is necessary to make good use of important etymologies; to understand grammar systematically and fundamentally, it will be examined from the perspective of "communicative grammar". To these genuinely linguistic factors should be added the factor of cultural literacy to acquire a real understanding of English.

[Learning Objectives]

The final objective of this course is to understand English in the English modes of thinking, not in the Japanese ones.

[Learning Activities Outside of Classroom]

Students will be expected to spend at least an hour in preparing for and reviewing each class.

[Grading Criteria]

Each student's final grade will be decided, based on his or her overall class contribution marks(40%) and the results of the required assignments(60%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

田中 邦佳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

様々なテーマの英文記事の読解をします。授業のテーマの1つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。2つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。1文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】

- ・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
- ・ある程度まとまった量の英文の内容を人に伝わるような日本語で説明する
- ・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは目安として2～3回の授業で1章分というペースで進めることを目標とします。1章毎に内容確認の小テストを実施する予定です。特に難解な文については解説を行います。一字一句全て訳していくようなことはしません。可能であればグループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	授業の進め方、評価についての説明をします。
第2回	Is it in your blood? (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第3回	Is it in your blood? (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第4回	An unpunished crime (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第5回	An unpunished crime (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第6回	Extensive reading Q & A with Julian Bamford (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第7回	Extensive reading Q & A with Julian Bamford (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第8回	試験・まとめと解説 (中間)	試験・まとめと解説
第9回	Money matters (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第10回	Money matters (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。

第11回	Is netspeak harming the English language? (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第12回	Is netspeak harming the English language? (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第13回	まとめ方を考察する	記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
第14回	試験・まとめと解説 (期末)	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト（教科書）】

・Essential Reading Second Edition Level 3, ゴフ クリス/マカボイ ジャッキー/マイルズ スコット, マクミラン ランゲージハウス, (¥2,600円+税)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

以下の配分で評価する。

試験(80%)

平常点および課題(20%)

欠席回数が通算4回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が3回に達するごとに1回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students improve skills for English reading comprehension and for summarizing the contents of paragraphs.

Learning Objectives: At the end of the course, students are expected to understand the contents and intentions of English articles and briefly explain contents of articles.

Learning activities outside of classroom: University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course

Grading Criteria /Policy: Class Assignments 20%, Exam 80%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

田中 邦佳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

様々なテーマの英文記事の読解をします。授業のテーマの1つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。2つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。1文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】

- ・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
- ・ある程度まとまった量の英文の内容を人に伝わるような日本語で説明する
- ・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは目安として2～3回の授業で1章分というペースで進めることを目標とします。1章毎に内容確認の小テストを実施する予定です。特に難解な文については解説を行います。一字一句全て訳していくようなことはしません。可能であればグループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	授業の進め方、評価についての説明をします。
第2回	Language and the world (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第3回	Language and the world (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第4回	Population crisis (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第5回	Population crisis (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第6回	The greatest show on earth (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第7回	The greatest show on earth (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第8回	試験・まとめと解説 (中間)	試験・まとめと解説
第9回	Consumer beware: advertising techniques (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第10回	Consumer beware: advertising techniques (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第11回	For an effective interview (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。

第12回	For an effective interview (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第13回	まとめ方を考察する	記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
第14回	試験・まとめと解説 (期末)	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト（教科書）】

・Essential Reading Second Edition Level 3, ゴフ クリス/マカボイ ジャッキー/マイルズ スコット, マクミラン ランゲージハウス. (¥2,600円＋税)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

以下の配分で評価する。

試験(80%)

平常点および課題 (20%)

欠席回数が通算4回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が3回に達するごとに1回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students improve skills for English reading comprehension and for summarizing the contents of paragraphs.

Learning Objectives: At the end of the course, students are expected to understand the contents and intentions of English articles and briefly explain contents of articles.

Learning activities outside of classroom: University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course

Grading Criteria /Policy: Class Assignments 20%, Exam 80%

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
English 1 I	2017年度以降入学者
永井 大輔	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：木1/Thu.1
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな英文読解に必要なコア文法をを習得しながら、英文の主題や状況設定を捉えるスキルの向上を目指す。リーディング力育成において基礎となる語彙知識を身に付ける。また、英文の構造的把握に基づいたより高度な読解にも挑戦する。

【到達目標】

- ・リーディングの基礎となる文法事項の知識を駆使しながら、短い文章を読解できるようになる。
- ・リーディング力育成において基礎となる語彙知識を身に付ける。
- ・辞書の基本的な利用方法や利用習慣を身につける。
- ・英語に関することであろうとなかろうと、読んでいて分からないことは、自主的に調べる習慣を身につける。
- ・あまり知識のないトピックに関する英語音声聴く際にも障害にならない程度に、基本的なフレーズや文法、発音のルールを覚える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には教科書を進めていく。単なる答え合わせや訳出にとどまらず、英文の朗読や辞書での内容確認など、さまざまなタスクが含まれる。

第2回～第13回授業回では、教員の用意したプリントを使って、英単語の小テストを実施する。小テストは各授業回の最初に実施する。Unitごとの感想や質問は「学習支援システム」を通じて行ない、一部は次の授業回でのフィードバックで取り上げる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期イントロダクション	シラバス内容の説明および履修上の細かいルールを説明する。 英語学習において確保すべき環境や実践すべき習慣について説明する。 各自の使用する辞書を確認するので必ず持参すること。
2	Unit 1：名詞	可算名詞・不可算名詞
3	Unit 2：冠詞	不定冠詞・定冠詞
4	Unit 3：代名詞（1）	it・this, that・再帰代名詞
5	Unit 4：代名詞（2）	不定代名詞
6	Unit 5：時制	現在時制・過去時制・未来時制
7	Unit 6：進行形	現在進行形・過去進行形・未来進行形 状態動詞・動作動詞
8	Unit 7：完了形（1）	現在完了形・現在完了進行形
9	Unit 8：完了形（2）	過去完了形・過去完了進行形・未来完了形
10	Unit 9：助動詞（1）	can・may・must
11	Unit10：助動詞（2）	would・should・ought to・used toほか
12	Unit11：態（1）	受動態の作り方・各文型の受動態
13	Unit12：態（2）	注意すべき受動態ほか

14 試験・まとめと解説 Unit 1 12のまとめと筆記試験
筆記試験は、単位取得資格がある人は必ず受けなければならない。授業内試験なので、通常の授業と同じ時間・同じ教室で実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。/ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

教科書の予習においては、一度辞書やその他の調べ物をせずに問題を解いてみてから、自分の気になる箇所について調べるようにすること。

予習時には英単語の小テストの準備も行う。出題範囲の単語は、スペルや品詞、実際の文内での使われ方を覚えるようにする。

また、本授業の内容だけにとどまらない、自分独自の「英語ノート」を用意し、予習・復習で自分に必要だと思われる知識はそちらに書き留める習慣をつける。

本授業の到達目標には発音も含まれるので、英単語の語釈・語用だけを調べるのではなく、文章のなかで聞こえたように発音できるように声に出して練習する。

その他、英語にかかわらない事柄であっても、自分にとって未知なことは積極的に調べる（情報源は問わず）。

【テキスト（教科書）】

福井慶一郎/山中マーガレット/北山長貴著、『Fundamental English Grammar with Short Readings（読解力につなげるコア英文法）』、朝日出版社、2019年。1600円＋税 ISBN: 978-4-255-15638-5

【参考書】

できるだけ新しい版の英和もしくは英英学習辞典が必須となる。教室での対面授業時に使用できるのは、紙媒体もしくは専用装置型の電子辞書のみとする。初回授業時に確認する。
武蔵大学外国語教育センター英語部会、『武蔵大学 必須英単語 2000』、南雲堂。

【成績評価の方法と基準】

教科書Unit 1 12を範囲とする筆記試験（第14回授業回）：60%
英単語の小テスト（第2回～第13回授業回）：15%
毎授業回の授業参加度（質問に対して十分な予習をふまえた回答や朗読ができたか）：25%
欠席および遅刻について

学期中に4回欠席した受講生は単位取得資格を失なう。遅刻は累積3回で欠席1回と同等の扱いとする。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられる。30分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとする。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となる。

不正について

各タスクにおいてコピー、他受講生の引き写し、著作物の剽窃（生成AIの使用を含む）、機械翻訳を行なったことが発覚した場合、該当授業回の評価は取り消される。複数回の不正が発覚した場合は、単位取得資格を停止する。複数の受講生が関与した場合、全員同様の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

授業後に質問を受け付ける時間を十分に設けます。

【Outline (in English)】

Course Outline: Students will master fundamental English grammar, which will help them better understand the subjects and contexts of English texts. They will be required to build a basic level of English vocabulary necessary for reading texts. They will also learn some of the basic structures of English essays.

Learning Objectives: Students will 1) learn some fundamental rules in English grammar; 2) understand the message and context of the text; 3) learn some of basic paragraph structures; 4) master how to consult dictionaries; 5) have a habit to study on the subjects referred in the texts; 6) master some of basic rules of pronunciation.

Learning Activities Outside of Classroom: Students must spend at least one hour for reviewing and preparing for each session, including an English vocabulary quiz. They should make an independent "English Learning" notebook of their own. They are also asked to read aloud unfamiliar words and phrases.

Grading Criteria/Policy: Written exam - 60%; Vocabulary quizzes - 15%; Performance at each session - 25%. Students with 4 or more absences will lose their qualification for the unit of this course. Three days late are counted as one absence. Other penalties given during sessions are counted as days late.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

永井 大輔

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな英文読解に必要なコア文法をを習得しながら、英文の主題や状況設定を捉えるスキルの向上を目指す。リーディング力育成において基礎となる語彙知識を身に付ける。また、英文の構造的把握に基づいたより高度な読解にも挑戦する。

【到達目標】

- ・リーディングの基礎となる文法事項の知識を駆使しながら、短い文章を読解できるようになる。
- ・リーディング力育成において基礎となる語彙知識を身に付ける。
- ・辞書の基本的な利用方法や利用習慣を身につける。
- ・英語に関することであろうとなかろうと、読んでいて分からないことは、自主的に調べる習慣を身につける。
- ・あまり知識のないトピックに関する英語音声聴く際にも障害にならない程度に、基本的なフレーズや文法、発音のルールを覚える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には教科書を進めていく。単なる答え合わせや訳出にとどまらず、英文の朗読や辞書での内容確認など、さまざまなタスクが含まれる。

第2回～第13回授業回では、教員の用意したプリントを使って、英単語の小テストを実施する。小テストは各授業回の最初に実施する。Unitごとの感想や質問は「学習支援システム」を通じて行ない、一部は次の授業回でのフィードバックで取り上げる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	秋学期イントロダクション	シラバス内容の説明および履修上の細かいルールを説明する。 春学期の筆記試験について講評する。 授業に必要なプリントがあれば配布する。
2	Unit13：不定詞（1）	名詞用法・形容詞用法・副詞用法
3	Unit14：不定詞（2）	注意すべき不定詞の用法・原形不定詞
4	Unit15：分詞（1）	分詞の限定用法・叙述用法
5	Unit16：分詞（2）	分詞構文・独立分詞構文
6	Unit17：動名詞（1）	動名詞の用法・動名詞と不定詞
7	Unit18：動名詞（2）	動名詞の意味上の主語・完了形の動名詞ほか
8	Unit19：形容詞・副詞	形容詞の用法・副詞の用法
9	Unit20：比較（1）	基本的な比較表現
10	Unit21：比較（2）	注意すべき原級・比較級・最上級の用法
11	Unit22：前置詞	基本的な前置詞・注意すべき前置詞
12	Unit23：関係詞（1）	関係代名詞の用法・前置詞と関係代名詞

13 Unit24：関係詞（2） what・関係副詞・限定用法と継続用法

14 試験・まとめと解説 Unit13 Unit24のまとめと筆記試験
筆記試験は、単位取得資格がある人は必ず受けなければならない。授業内試験なので、通常の授業と同じ時間・同じ教室で実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。/ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

教科書の予習においては、一度辞書やその他の調べ物をせずに問題を解いてみてから、自分の気になる箇所について調べるようにすること。

予習時には英単語の小テストの準備も行う。出題範囲の単語は、スベルや品詞、実際の文内での使われ方を覚えるようにする。

また、本授業の内容だけにとどまらない、自分独自の「英語ノート」を用意し、予習・復習で自分に必要だと思われる知識はそちらに書き留める習慣をつける。

本授業の到達目標には発音も含まれるので、英単語の語釈・語用だけを調べるのではなく、文章のなかで聞こえたように発音できるように声に出して練習する。

その他、英語にかかわらない事柄であっても、自分にとって未知なことは積極的に調べる（情報源は問わず）。

【テキスト（教科書）】

福井慶一郎/山中マーガレット/北山長貴著、『Fundamental English Grammar with Short Readings（読解力につなげるコア英文法）』、朝日出版社、2019年。1600円＋税 ISBN: 978-4-255-15638-5

【参考書】

できるだけ新しい版の英和もしくは英英学習辞典が必須となる。教室での対面授業時に使用できるのは、紙媒体もしくは専用装置型の電子辞書のみとする。初回授業時に確認する。

武蔵大学外国語教育センター英語部会、『武蔵大学 必須英単語 2000』、南雲堂。

【成績評価の方法と基準】

教科書Unit 13 24を範囲とする筆記試験（第14回授業回）：60%

英単語の小テスト（第2回～第13回授業回）：15%

毎授業回の授業参加度（質問に対して十分な予習をふまえた回答や朗読ができたか）：25%

欠席および遅刻について

学期中に4回欠席した受講生は単位取得資格を失なう。遅刻は累積3回で欠席1回と同等の扱いとする。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられる。30分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとする。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となる。

不正について

各タスクにおいてコピー、他受講者の引き写し、著作物の剽窃（生成AIの使用を含む）、機械翻訳を行なったことが発覚した場合は、該当授業回の評価は取り消される。複数回の不正が発覚した場合は、単位取得資格を停止する。複数の受講生が関与した場合、全員同様の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

授業後に質問を受け付ける時間を十分に設けます。

【Outline (in English)】

Course Outline: Students will master fundamental English grammar, which will help them better understand the subjects and contexts of English texts. They will be required to build a basic level of English vocabulary necessary for reading texts. They will also learn some of the basic structures of English essays.

Learning Objectives: Students will 1) learn some fundamental rules in English grammar; 2) understand the message and context of the text; 3) learn some of basic paragraph structures; 4) master how to consult dictionaries; 5) have a habit to study on the subjects referred in the texts; 6) master some of basic rules of pronunciation.

Learning Activities Outside of Classroom: Students must spend at least one hour for reviewing and preparing for each session, including an English vocabulary quiz. They should make an independent "English Learning" notebook of their own. They are also asked to read aloud unfamiliar words and phrases.

Grading Criteria/Policy: Written exam - 60%; Vocabulary quizzes - 15%; Performance at each session - 25%. Students with 4 or more absences will lose their qualification for the unit of this course. Three days late are counted as one absence. Other penalties given during sessions are counted as days late.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I 2017年度以降入学者

大 概 諒

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代米国の文化や社会について書かれた英文の読解を通して、複数のパラグラフから成る英文を正確に理解するためのリーディング・スキルと、音声から英語を聞き取って理解するリスニング・スキルを身につける。同時に、英語を通して情報を得、自分の意見を持つことができるようになることを目指す。

【到達目標】

- ・英語の文章を、パラグラフの構成を意識して正確に読む能力を身につける
- ・英語の文章を正確に聞き取る能力を身につける
- ・基本的な文法力を向上させる
- ・語彙力を増やす
- ・論理的な思考力を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1章につき、2回の授業を充てる。

1回目の授業は、Reading 1の読解（大意把握、精読）と教科書の設問を解く。

2回目の授業は、Reading 2の読解（大意把握、精読）と教科書の設問を解く。

いずれの授業でも、本文の内容に関わるプレゼンテーションおよびディスカッションをおこなう。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要の説明 予習の仕方の説明
第2回	Chapter 1	Reading 1 The Easter Parade
第3回	Chapter 1	Reading 2 Easter Candy
第4回	Chapter 2	Reading 1 Hip Hop
第5回	Chapter 2	Reading 2 Kendrick Lamer
第6回	Chapter 3	Reading 1 Rhythm and Blues
第7回	Chapter 3	Reading 2 Beyonce
第8回	Chapter 4	Reading 1 The Academy Awards
第9回	Chapter 4	Reading 2 Academy Members and Voting
第10回	Chapter 5	Reading 1 Ralph Lauren
第11回	Chapter 5	Reading 2 Tommy Hilfiger

第12回 Chapter 6

Reading 1

Fraternities and Sororities

第13回 Chapter 6

Reading 2

Higher Education in America

第14回 期末試験

筆記試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指示された箇所の予習を必ずおこなうこと。

発表担当者は、発表資料の作成をおこなう。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Ryan Smithers, Craig Gamble 『Modern America: Culture, Society and History 現代米国の文化・社会・歴史』、松柏社、2021年、2200円

【参考書】

英和辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%

平常点（授業内での発表、発言、小テスト等を含む）40%

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。

発表担当者および質問担当者が正当な理由なく準備を怠ったり欠席したりした場合は、単位を認定しない。

授業内での取り組みが著しく不十分であると判断した場合は、欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に即した授業運営を心がけ、丁寧に解説します。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業に関する連絡は、学習支援システムを通じておこないます。適宜チェックするようにしてください。

【Outline (in English)】

This class aims to develop the abilities to read and listen to English materials and learn how to collect intelligence and to express their opinions in English. The materials are about culture and society of modern America.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

To acquire the ability to read English sentences accurately.

To acquire the ability to listen to English sentences accurately.

To Improve basic grammar skills.

To Increase vocabulary.

To acquire the ability to think logically.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%

in class contribution: 40%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

大 概 諒

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代米国の文化や社会について書かれた英文の読解を通して、複数のパラグラフから成る英文を正確に理解するためのリーディング・スキルと、音声から英語を聞き取って理解するリスニング・スキルを身につける。同時に、英語を通して情報を得、自分の意見を持つことができるようになることを目指す。

【到達目標】

- ・英語の文章を、パラグラフの構成を意識して正確に読む能力を身につける
- ・英語の文章を正確に聞き取る能力を身につける
- ・基本的な文法力を向上させる
- ・語彙力を増やす
- ・論理的な思考力を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1章につき、2回の授業を充てる。

1回目の授業は、Reading 1の読解（大意把握、精読）と教科書の設問を解く。

2回目の授業は、Reading 2の読解（大意把握、精読）と教科書の設問を解く。

いずれの授業でも、本文の内容に関わるプレゼンテーションおよびディスカッションをおこなう。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要の説明 予習の仕方の説明
第2回	Chapter 7	Reading 1 Twitter
第3回	Chapter 8	Reading 1 Elon Musk
第4回	Chapter 8	Reading 2 SpaceX
第5回	Chapter 9	Reading 1 History of the Game
第6回	Chapter 9	Reading 2 Colin Kaepernick
第7回	Chapter 10	Reading 1 Humble Beginnings
第8回	Chapter 10	Reading 2 The Hollywood Walk of Fame
第9回	Chapter 11	Reading 1 The Man Behind the Mouse
第10回	Chapter 11	Reading 2 Imagining Disneyland
第11回	Chapter 12	Reading 1 A Symbol of Freedom & Mobility

第12回 Chapter 12

Reading 2
Tourist Attractions of Route 66

第13回 Chapter 13

Reading 1
The Invention of the Drive-in

第14回 期末試験

筆記試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指示された箇所の予習を必ずおこなうこと。

発表担当者は、発表資料の作成をおこなう。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Ryan Smithers, Craig Gamble『Modern America: Culture, Society and History 現代米国の文化・社会・歴史』、松柏社、2021年、2200円

【参考書】

英和辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%

平常点（授業内での発表、発言、小テスト等を含む）40%

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。

発表担当者および質問担当者が正当な理由なく準備を怠ったり欠席したりした場合は、単位を認定しない。

授業内での取り組みが著しく不十分であると判断した場合は、欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に即した授業運営を心がけ、丁寧に解説します。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業に関する連絡は、学習支援システムを通じておこないます。適宜チェックするようにしてください。

【Outline (in English)】

This class aims to develop the abilities to read and listen to English materials and learn how to collect intelligence and to express their opinions in English. The materials are about culture and society of modern America.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

To acquire the ability to read English sentences accurately.

To acquire the ability to listen to English sentences accurately.

To Improve basic grammar skills.

To Increase vocabulary.

To acquire the ability to think logically.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%

in class contribution: 40%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

木瀬 康太

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、対面で行う演習形式の授業です。高校までに学んだ語彙・文法・構文の基礎を強化しつつ、英語4技能の中でも、特に「読む」「聴く」「書く」の分野における意欲を高め、スキルを伸ばすことを目的とします。

用いるテキスト（教科書）のテーマは、芸術（絵画）と食文化に関するものを選びました。芸術と食文化は、楽しさを与えてくれるだけでなく、異文化の視点を学び想像力を養う役目も大いに果たし、法政大学の理念である「実践知」の涵養にも資するはずです。

【到達目標】

1. 複数のパラグラフから成る英語の文章の発音とリズムに慣れ、目的に応じて速読と精読を使い分けながら、読むことができる。
2. 未知の語彙に遭遇しても慌てず、パラグラフの構造およびパラグラフ同士のつながりに留意して、文章全体から論理的に内容をつかむことができる。
3. 読み取った、あるいは聴き取った情報を鵜呑みにするのではなく、多面的な観点から批判的に分析し、英語で簡潔に自分の意見を表現する意欲と能力を持つことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 毎回の授業の初めに（初回、第2回、および最後の第14回の授業は除く）、前回の授業内容から作成した小テスト（読解およびリスニング）を実施します。
2. 毎回の授業は、学生が自分の予習成果を発表する形で進めていくため、予習は必須です（予習内容に関しては、「授業時間外の学習」の欄に記載してあります）。語彙・文法・構文については授業中にも説明しますが、事前に辞書や参考書を積極的に活用して、自分で調べてくる習慣をつけてください。
3. 論理的かつ批判的に英文を読解する方法（パラグラフリーディングやシグナルワードなど）について、逐次説明します。
4. 英文を音読することで、英語独特の発音とリズムを口にすることに慣れる練習も行います。音読は、「聴く」力を鍛えるための非常に有効な方法です。
5. リスニング力強化のために、リスニングドリル（練習問題）を毎回の授業で行い、リスニングの基本的なコツについても逐一説明します。
6. 毎回の授業の最後で、「出席シート」に質問・意見・要望を自由に書いて提出してください。教員はこれらの質問・意見・要望にコメントをして、次回授業の一番最初（小テストの前）で学生に戻します。良いコメントは全員に紹介し、さらなる議論に活かします。この「出席シート」に書いてもらった質問・意見・要望に応じて、教員は授業形態を調整していきますので、積極的に書いて提出してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	①教員の自己紹介 ②大学で学ぶということについての説明 ③授業の進め方、教科書、および成績評価についての説明 ④辞書の使い方についての説明 ⑤外国語を学ぶということについての説明
2	Chapter1 前半	「フェルメール(1632-75)と牛乳」の本文読解
3	Chapter1 後半	「フェルメールと牛乳」の練習問題
4	Chapter2 前半	「ミレー(1814-75)とパン」の本文読解
5	Chapter2 後半	「ミレーとパン」の練習問題
6	Chapter3 前半	「ゴッホ(1853-90)とじゃがいも」の本文読解
7	Chapter3 後半	「ゴッホとじゃがいも」の練習問題
8	Chapter4 前半	「ゴーギャン(1848-1903)とマンゴー」の本文読解
9	Chapter4 後半	「ゴーギャンとマンゴー」の練習問題
10	Chapter5 前半	「カラヴァッジョ(1571-1610)と晩餐」の本文読解
11	Chapter5 後半	「カラヴァッジョと晩餐」の練習問題
12	Chapter8 前半	「マネ(1832-83)とピクニックの昼食」の本文読解
13	Chapter8 後半	「マネとピクニックの昼食」の練習問題
14	期末試験	①Chapter1 5および8の語彙・文法・構文・リスニングについての試験 ②これまでの授業のまとめ（講評）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1. 授業で使用する教科書は、1つのChapterが4ページで構成されており、前半の2ページが本文、後半の2ページが練習問題で構成されています。各Chapterにおける前半2ページの本文の予習では、和訳をあらかじめ用意してきてください。また、本文の音声（Webサイト上で無料で配信してあります(<https://text.asahipress.com/free/english/>)）も繰り返し聞いて、英語の発音やリズムに少しでも慣れる予習・復習も行ってください。
2. 各Chapterにおける後半2ページの練習問題については、教科書に解答を書き込む形で予習してきてください。
3. 本授業の準備学習と復習の時間は、個人差はありますが、それぞれ1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書名：A View from Painters' Palettes: Food and Culture (『絵画を彩る食文化』)

著者：Josh Norman/Maho Matsui/Fujiko Motoyama

出版社：Asahi Press（朝日出版社）

出版年：初版2020年

価格：1,980円（税込）

【参考書】

文法書：高校時代に使っていたものを、引き続き積極的に活用してください。

辞書：『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）などの学習用英和辞典を必ず1冊は手元に置き、自分のお気に入りの大切な道具としてください。

なお、最近では紙媒体の辞書よりも電子辞書、あるいはパソコン、タブレット端末、スマートフォン上のアプリのほうが、利便性に優れていると言われることもあります。確かに、「読む」ためだけならそうかもしれません。ただ、「書く」ということ（「書く」ということは知性の表れです）になると、複数の語義や派生語を比較検討して最適の表現を考えるためには、パッと開いて一度に目に入ってくる情報量が圧倒的に多い紙媒体の辞書のほうが、断然有利です。

【成績評価の方法と基準】

以下の各配点（合計100点）で成績評価を行います。

平常点（毎回の「出席シート」の提出、予習成果の発表、および授業態度。予習は必須ですが、正解でないことで減点にはなりません。）

：26点

毎回の小テスト：1回あたり4点×11回(第3回 第13回) = 44点

期末試験（最後の第14回授業で行います）：30点

単位取得のためには、最低60点が必要です。

4回以上無断欠席した場合には、単位取得資格を失います。

授業開始から10分以上遅れた場合は遅刻とし、遅刻3回で無断欠席1回と見なします。30分以上遅刻した場合は、出席しても無断欠席扱いとなります。遅刻1回につき1点減点、無断欠席1回につき3点減点とします。

体調が悪い、通院する、部活動の試合、忌引等で欠席する場合や、電車遅延で遅刻する場合は、必ず事前に教員宛にメールで連絡をください。その後診断書等の適切な証拠を提出した場合には、後日補講を設けます。

また、いわゆる「翻訳ソフト」（Google翻訳やDeepLなど）の使用は、発覚次第、単位認定を不可とします。

【学生の意見等からの気づき】

分かりやすく楽しい授業を心がけます。また、毎回の授業で行うリスニングドリル（練習問題）が好評で、昨年度は「リスニング力が上がったと実感できた」「リスニングに対する苦手意識が緩和されていった」といった意見を頂きましたので、引き続き重点的に時間を割いて行っていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

授業中は、紙媒体の辞書、および電子辞書の使用は認めますが、パソコン、タブレット端末、スマートフォンの使用は、教員の許可がある場合を除いて、原則禁止します。

【その他の重要事項】

授業に関する連絡には、「学習支援システム(Hoppii)」を用います。また、授業に関する質問・意見・要望は、原則としては毎回の授業の最後に書いてもらう「出席シート」で受け付けますが、それ以外にも教員宛のメールで随時受け付けます。

【Outline (in English)】

(1)Course outline

The aim of this course is to enforce English vocabulary, grammar and structure of sentences and to enhance students' incentive and skills in reading, listening and writing.

The theme of the text used in this course is art(paintings) and food culture, which are necessary as "practical wisdom" in order to comprehend foreign points of view and to enhance one's own imagination.

(2)Learning objectives

By the end of this course, students should be able to:

- 1.read English passages quickly or attentively according to the purpose of the reading.
- 2.pay attention to the paragraph structure and the relationship between paragraphs and to comprehend the argument and intention of the writer.
- 3.analyze critically English passages from various points of view and to express students' own opinions in English.

(3)Learning activities outside of classroom

Students have to prepare the translation of the reading passage and solve the questions in the text.

Preparation and review should be around an hour a week.

(4)Grading criteria/policy

Grading will be decided based on:

In-class attendance sheet, assignment, and attitude:26%

Reading and Listening tests:44%

Final exam:30%

The minimum passing grade is 60%.

Students with four absences will lose their credits for this class.

Being late for more than thirty minutes will be counted as one absence.

Being late three times will be counted as one absence.

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
English 1 II		2017年度以降入学者
木瀬 康太		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：木1/Thu.1		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、対面で行う演習形式の授業です。高校までに学んだ語彙・文法・構文の基礎を強化しつつ、英語4技能の中でも、特に「読む」「聴く」「書く」の分野における意欲を高め、スキルを伸ばすことを目的とします。

用いるテキスト（教科書）のテーマは、芸術（絵画）と食文化に関するものを選びました。芸術と食文化は、楽しさを与えてくれるだけでなく、異文化の視点を学び想像力を養う役目も大いに果たし、法政大学の理念である「実践知」の涵養にも資するはずです。

【到達目標】

- 複数のパラグラフから成る英語の文章の発音とリズムに慣れ、目的に応じて速読と精読を使い分けながら、読むことができる。
- 未知の語彙に遭遇しても慌てず、パラグラフの構造およびパラグラフ同士のつながりに留意して、文章全体から論理的に内容をつかむことができる。
- 読み取った、あるいは聴き取った情報を鵜呑みにするのではなく、多面的な観点から批判的に分析し、英語で簡潔に自分の意見を表現する意欲と能力を持つことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 毎回の授業の初めに（初回および最後の第14回の授業は除く）、前回の授業内容から作成した小テスト（読解およびリスニング）を実施します。
- 毎回の授業は、学生が自分の予習成果を発表する形で進めていくため、予習は必須です（予習内容に関しては、「授業時間外の学習」の欄に記載してあります）。語彙・文法・構文については授業中にも説明しますが、事前に辞書や参考等を積極的に活用して、自分で調べてくる習慣をつけてください。
- 論理的かつ批判的に英文を読解する方法（パラグラフリーディングやシグナルワードなど）について、逐次説明します。
- 英文を音読することで、英語独特の発音とリズムを口にすることに慣れる練習も行います。音読は、「聴く」力を鍛えるための非常に有効な方法です。
- リスニング力強化のために、リスニングドリル（練習問題）を毎回の授業で行い、リスニングの基本的なコツについても逐一説明します。
- 毎回の授業の最後で、「出席シート」に質問・意見・要望を自由に書いて提出してください。教員はこれらの質問・意見・要望にコメントをして、次回授業の一番最初（小テストの前）で学生に戻します。良いコメントは全員に紹介し、さらなる議論に活かします。この「出席シート」に書いてもらった質問・意見・要望に応じて、教員は授業形態を調整していきますので、積極的に書いて提出してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter9前半	「ルノワール(1841-1919)と舟遊びの昼食」の本文読解
2	Chapter9後半	「ルノワールと舟遊びの昼食」の練習問題

3	Chapter10前半	「歌川国芳(1797-1861)と江戸の天麩羅」の本文読解
4	Chapter10後半	「歌川国芳と江戸の天麩羅」の練習問題
5	Chapter11前半	「ミュシャ(1860-1939)とビスケット」の本文読解
6	Chapter11後半	「ミュシャとビスケット」の練習問題
7	Chapter12前半	「シャガール(1887-1985)と誕生日の料理」の本文読解
8	Chapter12後半	「シャガールと誕生日の料理」の練習問題
9	Chapter13前半	「ホッパー(1882-1967)と深夜の小食堂」の本文読解
10	Chapter13後半	「ホッパーと深夜の小食堂」の練習問題
11	Chapter14前半	「ウォーホル(1928-87)とスープの缶詰」の本文読解
12	Chapter14後半	「ウォーホルとスープの缶詰」の練習問題
13	発展学習	①リスニングドリル（練習問題）特別練習 ②これまでの授業のまとめ（講評）
14	期末試験	Chapter9 14の語彙・文法・構文・リスニングについての試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1. 授業で使用する教科書は、1つのChapterが4ページで構成されており、前半の2ページが本文、後半の2ページが練習問題で構成されています。

各Chapterにおける前半2ページの本文の予習では、和訳をあらかじめ用意してきてください。

また、本文の音声（Webサイト上で無料で配信してあります(<https://text.asahipress.com/free/english/>)）も繰り返し聞いて、英語の発音やリズムに少しでも慣れる予習・復習も行ってください。

2. 各Chapterにおける後半2ページの練習問題については、教科書に解答を書き込む形で予習してきてください。

3. 本授業の準備学習と復習の時間は、個人差はありますが、それぞれ1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書名：A View from Painters' Palettes: Food and Culture (『絵画を彩る食文化』)

著者：Josh Norman/Maho Matsui/Fujiko Motoyama

出版社：Asahi Press（朝日出版社）

出版年：初版2020年

価格：1,980円（税込）

【参考書】

文法書：高校時代に使っていたものを、引き続き積極的に活用してください。

辞書：『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）などの学習用英和辞典を必ず1冊は手元に置き、自分のお気に入りの大切な道具としてください。

なお、最近では紙媒体の辞書よりも電子辞書、あるいはパソコン、タブレット端末、スマートフォン上のアプリのほうが、利便性に優れていると言われることもあります。確かに、「読む」ためだけならそうかもしれませんが、ただ、「書く」ということ（「書く」ということは知性の表れです）になると、複数の語義や派生語を比較検討して最適の表現を考えるためには、パッと開いて一度に目に入ってくる情報量が圧倒的に多い紙媒体の辞書のほうが、断然有利です。

【成績評価の方法と基準】

以下の各配点（合計100点）で成績評価を行います。

平常点（毎回の「出席シート」の提出、予習成果の発表、および授業態度。予習は必須ですが、正解でないことで減点にはなりません。）：22点

毎回の小テスト：1回あたり4点×12回（第2回 第13回）= 48点

期末試験（最後の第14回授業で行います）：30点

単位取得のためには、最低60点が必要です。

4回以上無断欠席した場合には、単位取得資格を失います。

授業開始から10分以上遅れた場合は遅刻とし、遅刻3回で無断欠席1回と見なします。30分以上遅刻した場合は、出席しても無断欠席扱いとなります。遅刻1回につき1点減点、無断欠席1回につき3点減点とします。

体調が悪い、通院する、部活動の試合、忌引等で欠席する場合や、電車遅延で遅刻する場合は、必ず事前に教員宛にメールで連絡をください。その後診断書等の適切な証拠を提出した場合には、後日補講を設けます。

また、いわゆる「翻訳ソフト」(Google翻訳やDeepLなど)の使用は、発覚次第、単位認定を不可とします。

【学生の意見等からの気づき】

分かりやすく楽しい授業を心がけます。また、毎回の授業で行うリスニングドリル(練習問題)が好評で、昨年度は「リスニング力が上がったと実感できた」「リスニングに対する苦手意識が緩和されていった」といった意見を頂きましたので、引き続き重点的に時間を割いて行っていきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業中は、紙媒体の辞書、および電子辞書の使用は認めますが、パソコン、タブレット端末、スマートフォンの使用は、教員の許可がある場合を除いて、原則禁止します。

【その他の重要事項】

授業に関する連絡には、「学習支援システム(Hoppii)」を用います。また、授業に関する質問・意見・要望は、原則としては毎回の授業の最後に書いてもらう「出席シート」で受け付けますが、それ以外にも教員宛のメールで随時受け付けます。

【Outline (in English)】

(1)Course outline

The aim of this course is to enforce English vocabulary, grammar and structure of sentences and to enhance students' incentive and skills in reading, listening and writing.

The theme of the text used in this course is art(paintings) and food culture, which are necessary as "practical wisdom" in order to comprehend foreign points of view and to enhance one's own imagination.

(2)Learning objectives

By the end of this course, students should be able to:

1.read English passages quickly or attentively according to the purpose of the reading.

2.pay attention to the paragraph structure and the relationship between paragraphs and to comprehend the argument and intention of the writer.

3.analyze critically English passages from various points of view and to express students' own opinions in English.

(3)Learning activities outside of classroom

Students have to prepare the translation of the reading passage and solve the questions in the text.

Preparation and review should be around an hour a week.

(4)Grading criteria/policy

Grading will be decided based on:

In-class attendance sheet, assignment, and attitude:22%

Reading and Listening tests:48%

Final exam:30%

The minimum passing grade is 60%.

Students with four absences will lose their credits for this class.

Being late for more than thirty minutes will be counted as one absence.

Being late three times will be counted as one absence.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

吉田 和久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基本的な英文の読解（リーディング）と聴解（リスニング）の実力を向上させるための演習を行います。リーディングに関しては、文法的に正確に読むことがまず必要です。リスニングに関しては、英語の基本的な音をきちんと聞き取りかつ自分で発音できることがまず必要です。

【到達目標】

上記の目的に少し手も近づくことが到達目標です。具体的には、英語の検定試験として広く利用されているTOEIC（トイック）のスコアを上げることを目標とすることを皆さんにはおすすめしています。学内で受検する機会もあるはずですので、最低一年に一度は受けてみましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は大きく二つの部分に分けられます。読解（リーディング）のセクションでは、TOEICやTOEFL（トフル）の問題を使いながら、それを読み、基本的な文法や語彙を復習・習得し、更に設問に適切に答える練習をします。同様に、聴解（リスニング）のセクションでは、問題を解きながら、基本的な英語を聞く練習をします。併せて、英語の発音の基本的な練習をします。提出課題等は、その都度チェックして返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション とプレイズメント・ テスト	授業の内容を説明します。皆さんの現在の英語力を知るために、簡単なテストを行います。
2	テキストの演習	トピック・センテンス①【主語】
3	テキストの演習	トピック・センテンス②【動詞】
4	テキストの演習	文と文の関係①【順接】
5	テキストの演習	文と文の関係②【逆接】
6	テキストの演習	文と文の関係③【付加、例示、その他】
7	テキストの演習	パラグラフの構造①【トピックセンテンス】
8	テキストの演習	パラグラフの全体構造②【展開の仕方】
9	テキストの演習	パラグラフの構造③【情報構造】
10	テキストの演習	エッセイの全体構造①【イントロダクション】
11	テキストの演習	エッセイの全体構造②【ボディ】
12	テキストの演習	エッセイの全体構造③【コンクリュージョン】
13	テキストの演習	全体のまとめ
14	期末試験	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

読解（リーディング）に関しては、授業の前に問題を簡単に読んで設問に答えておくことおすすめします。わからない単語や熟語があっても構いませんし、設問の解答に自信がなくても構いません。授業後には、主として単語と熟語の復習を行ってください。聴解（リスニング）については、特に予習・復習は必要ありません。授業中に集中してください。この授業の準備・復習時間はあわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

【参考書】

『公式TOEIC LISTENING & READING 問題集』が便利です。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の成績を見て、評価をします。出席は必須です。平常点30%、試験70パーセントの割合です。遅刻等が多い場合には、出席とは見なさない場合もありますので、注意してください。欠席はその分を最終評価からマイナスします。各学期欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

《ズーム》などの教授手段も積極的に取り入れたい。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【Outline (in English)】

This course is designed to provide students with a basic training of reading and listening comprehension of academic and business English. The goal of this course is to enhance students' ability of reading and listening. Students are expected to do the assignment before and after the class at least for an hour. Final grade will be calculated according to the following process: Weekly assignment (30%), term-end examination (70%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

吉田 和久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基本的な英文の読解（リーディング）と聴解（リスニング）の実力を向上させるための演習を行います。リーディングに関しては、文法的に正確に読むことがまず必要です。リスニングに関しては、英語の基本的な音をきちんと聞き取りかつ自分で発音できることがまず必要です。

【到達目標】

上記の目的に少しでも近づくことが到達目標です。具体的には、英語の検定試験として広く利用されているTOEIC（トイック）のスコアを上げることを目標とすることを皆さんにはおすすめしています。学内で受検する機会もあるはずですので、最低一年に一度は受けてみましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は大きく二つの部分に分けられます。読解（リーディング）のセクションでは、TOEICやTOEFL（トフル）の問題を使いながら、それを読み、基本的な文法や語彙を復習・習得し、更に設問に適切に答える練習をします。同様に、聴解（リスニング）のセクションでは、問題を解きながら、基本的な英語を聞く練習をします。提出していただいた課題は、その都度、返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション とプレイズメント・ テスト	授業の内容を説明します。皆さんの現在の英語力を知るために、簡単なテストを行います。
2	テキストの演習	英単語の構造①【接頭辞・ギリシャ語系】
3	テキストの演習	英単語の構造②【接頭辞・ラテン語系】
4	テキストの演習	英単語の構造③【語幹・ラテン語系】
5	テキストの演習	英単語の構造④【語幹・ギリシャ語系】
6	テキストの演習	英単語の構造⑤【接尾辞・ラテン語系】
7	テキストの演習	英単語の構造⑥【接尾辞・ギリシャ語系】
8	テキストの演習	英語の発音①【母音】
9	テキストの演習	英語の発音②【二重母音】
10	テキストの演習	英語の発音③【子音】
11	テキストの演習	英語の発音④【二重子音】
12	テキストの演習	英語の発音⑤【連結】
13	テキストの演習	英語の発音【イントネーション】
14	期末試験	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

読解（リーディング）に関しては、授業の前に問題を簡単に読んで設問に答えておくことおすすめします。わからない単語や熟語があっても構いませんし、設問の解答に自信がなくても構いません。授業後には、主として単語と熟語の復習を行ってください。聴解（リスニング）については、特に予習・復習は必要ありません。授業中に集中してください。この授業の準備・復習時間はあわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

【参考書】

『公式TOEIC LISTENING & READING 問題集』が便利です。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の成績を見て、評価をします。出席は必須です。平常点30%、試験成績70パーセントの割合です。遅刻等が多い場合には、出席とは見なさない場合もありますので、注意してください。欠席はその分を最終評価からマイナスします。各学期欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

《ズーム》などの教授手段も積極的に取り入れたい。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【Outline (in English)】

This course is designed to provide students with a basic training of reading and listening comprehension of academic and business English. The goal of this course is to enhance students' ability of reading and listening. Students are expected to do the assignment before and after the class at least for an hour. Final grade will be calculated according to the following process: Weekly assignment (30%), term-end examination (70%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

渡辺 英依美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

読解を中心に英語力の向上を図る。専門科目の履修時や卒業後も、関心や目的に応じて英文を多面的に解釈し、さらに英語による議論や記述を可能にするための基礎作りを行う。

【到達目標】

- この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。
- (1) 目的に応じた速度で英文を読み、書き手の意図を理解する。
 - (2) 多面的な視点でパラグラフを分析し、知識・情報を正確に捉える。
 - (3) 書かれた内容について自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

反転形式で進めるので、テキストの予習が必須である。受講生は毎週発表を求められる。授業では各自の読解を確認し、関連する知識を少人数のグループディスカッションで深めていく。各課題や中間テストの結果は翌週の授業内に講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 1: Travel (1)	Scanning
3	Unit 1: Travel (2)	Predicting
4	Unit 2: Fashion (1)	Skimming for the main idea
5	Unit 2: Fashion (2)	Identifying main and supporting ideas
6	Unit 3: Disappearing Animals (1)	Identifying meaning from context
7	Unit 3: Disappearing Animals (2)	Identifying main ideas within paragraphs
8	Mid-semester Examination	Mid-semester exam
	Unit 4: Big Money (1)	Identifying cause and effect
9	Review of the Exam	Review of the exam
	Unit 4: Big Money (2)	Previewing
10	Unit 5: Celebrations Around the World (1)	Using subheadings to predict content
11	Unit 5: Celebrations Around the World (2)	Recognizing sequence of events
12	Unit 6: It's a Mystery! (1)	Making inferences
13	Unit 6: It's a Mystery! (2)	Identifying main ideas within paragraphs

14 Summary and Review and final examination
Final Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習が必須。個々の単語を理解するだけでなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Anderson, N. J. (2014). *Active Skills for Reading 3* (3rd ed.). Heinle Cengage Learning.

【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25 %

中間試験 35%

期末試験 40 %

欠席が4回以上の場合は、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評のため、積極的に取り入れる。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course aims to improve reading and critical thinking skills in English. Students will read a variety of topics and issues in the present-day society, and participate in small group discussions. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter of the textbook prior to attending the class.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students will be able to:

- (1) Read passages of multiple paragraphs at a speed necessary for different purposes.
- (2) Critically read and analyze texts and grasp the writer's views.
- (3) Present thoughts and opinions on related issues in English.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25 %

Mid-semester examination 35%

Final examination 40 %

More than 3 absences will result in failure of the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

渡辺 英依美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

読解を中心に英語力の向上を図る。専門科目の履修時や卒業後も、関心や目的に応じて英文を多面的に解釈し、さらに英語による議論や記述を可能にするための基礎作りを行う。

【到達目標】

この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。
 (1) 目的に応じた速度で英文を読み、書き手の意図を理解する。
 (2) 多面的な視点でパラグラフを分析し、知識・情報を正確に捉える。
 (3) 書かれた内容について自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

反転形式で進めるので、テキストの予習が必須である。受講生は毎週発表を求められる。授業では各自の読解を確認し、関連する知識を少人数のグループディスカッションで深めていく。各課題や中間テストの結果は翌週の授業内に講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 7: Health and Fitness (1)	Scanning
3	Unit 7: Health and Fitness (2)	Predicting
4	Unit 8: Space and Flight (1)	Identifying main and supporting ideas
5	Unit 8: Space and Flight (2)	Making inferences
6	Unit 9: The Changing Family (1)	Recognizing facts and opinions
7	Unit 9: The Changing Family (2)	Previewing
8	Mid-semester Examination	Mid-semester exam
	Unit 10: The Future of Education (1)	Arguing for and against a topic
9	Unit 10: The Future of Education (2)	Review of the exam
10	Unit 11: The Mystery of Memory (1)	Identifying meaning from context
11	Unit 11: The Mystery of Memory (2)	Identifying main ideas within paragraphs
12	Unit 12: Comics (1)	Scanning
	Unit 12: Comics (2)	Recognizing sequence of events

13	Unit 12: Comics (2)	Identifying main and supporting ideas
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習が必須。個々の単語を理解するだけでなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Anderson, N. J. (2014). *Active Skills for Reading 3* (3rd ed.). Heinle Cengage Learning.

【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25 %

中間試験 35%

期末試験 40 %

欠席が4回以上の場合は、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評のため、積極的に取り入れる。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course aims to improve reading and critical thinking skills in English. Students will read a variety of topics and issues in the present-day society, and participate in small group discussions. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter of the textbook prior to attending the class.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students will be able to:

- (1) Read passages of multiple paragraphs at a speed necessary for different purposes.
- (2) Critically read and analyze texts and grasp the writer's views.
- (3) Present thoughts and opinions on related issues in English.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25 %

Mid-semester examination 35%

Final examination 40 %

More than 3 absences will result in failure of the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

吉田 季実子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキスト上での様々な題材を通して、文化理解を深めるとともに、英語の4技能を総合的に強化する。

【到達目標】

テキストの中で扱われている多種多様な題材を通して、口語表現を含んだ会話表現を含む、「読む、書く、聞く、話す、議論する」の各技能を高めることを目標とする。同時に、15の題材を通しての知識を向上させることも目標の一つである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに添って、語彙学習、読解、リスニング、会話、作文などの課題を行う。

1章に2～3回を当てる予定で、各章のまとめとして小テストを行う。課題のフィードバックに関しては授業内、あるいは次の週に充てる。なお、感染症拡大の状況を鑑みて、オンラインと対面授業とのハイブリッド方式とする可能性もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter1	語彙の予習と本文の精読
2	CXchapter1	Listening, Writing等の問題演習
3	Chapter1,2	Unit1小テスト、Unit2の語彙の予習と本文の精読
4	Chapter2	Listening, Writing等の問題演習
5	Chapter2,3	Unit2小テスト、Unit3の語彙の予習と本文の精読
6	Chapter3	Listening, Writing等の問題演習
7	Chapter3,4	Unit3小テスト、Unit4の語彙の予習と本文の精読
8	Chapter4	Listening, Writing等の問題演習
9	Chapter4,5	Unit4小テスト、Unit5の語彙の予習と本文の精読
10	Chapter5	Listening, Writing等の問題演習
11	Chapter5,6	Unit5小テスト、Unit6の語彙の予習と本文の精読
12	Chapter6	Listening, Writing等の問題演習
13	Chapter6,7	Unit6小テスト、Unit7の語彙の予習と本文の精読
14	Chapter7	Listening, Writing等の問題演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

事前に次回学習範囲の和訳、単語のチェック、問題演習などの予習を行う。

また授業内で示された次回課題に取り組むこと。

【テキスト（教科書）】

『タイムズとガーディアンでめぐる知の世界』

田中孝信、野田三貴、筒井香代子編著

音羽書房鶴見書店

2016年初版発行 2021年第7刷発行 2000円＋税

【参考書】

とくになし

【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%

平常点 15%

その他提出物 15%

とします

なお、4回以上欠席、あるいは課題不提出の場合

単位が認定されません

【学生の意見等からの気づき】

英語だけでなくテキストの中で扱われている題材について適宜解説をする予定です

【学生が準備すべき機器他】

辞書

オンライン学習時はリソースを視聴できるようなPC環境

(音声を用いたリスニングがあるため)

【Outline (in English)】

In this course, we will learn 4 skills through text. The interesting topics from Newspaper's articles will give you information about different culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

吉田 季実子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキスト上での様々な題材を通して、文化理解を深めるとともに、英語の4技能を総合的に強化する。

【到達目標】

テキストの中で扱われている多種多様な題材を通して、口語表現を含んだ会話表現を含む、「読む、書く、聞く、話す、議論する」の各技能を高めることを目標とする。同時に、15の題材を通しての知識を向上させることも目標の一つである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに添って、語彙学習、読解、リスニング、会話、作文などの課題を行う。

1章に2～3回を当てる予定で、各章のまとめとして小テストを行う。課題のフィードバックに関しては授業内、あるいは次の週に充てる。なお、感染症の拡大状況によってはオンライン授業との併用とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit7,8	Unit7小テスト、Unit8の語彙の予習と本文の精読
2	Unit8	Listening, Writing等の問題演習
3	Unit8,9	Unit8小テスト、Unit9の語彙の予習と本文の精読
4	Unit9	Listening, Writing等の問題演習
5	Unit9,10	Unit9小テスト、Unit10の語彙の予習と本文の精読
6	Unit10	Listening, Writing等の問題演習
7	Unit10,11	Unit10小テスト、Unit11の語彙の予習と本文の精読
8	Unit11	Listening, Writing等の問題演習
9	Unit11,12	Unit11小テスト、Unit12の語彙の予習と本文の精読
10	Unit12	Listening, Writing等の問題演習
11	Unit12,13	Unit12小テスト、Unit13の語彙の予習と本文の精読
12	Unit13	Listening, Writing等の問題演習
13	Unit13,14	Unit13小テスト、Unit14の語彙の予習と本文の精読
14	Unit14	Listening, Writing等の問題演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

事前に次回学習範囲の和訳、単語のチェック、問題演習などの予習を行う。

また授業内で示された次回課題に取り組むこと。

【テキスト（教科書）】

『タイムズとガーディアンでめぐる知の世界』

田中孝信、野田三貴、筒井香代子

音羽書房鶴見書店

2016年初版発行、2021年7刷発行 2000円+税

【参考書】

とくになし

【成績評価の方法と基準】

小テスト70%

平常点 15%

その他提出物 15%

とします

なお、4回以上欠席、あるいは課題不提出の場合

単位が認定されません

【学生の意見等からの気づき】

英語だけでなくテキストの中で扱われている題材について適宜解説をする予定です

【学生が準備すべき機器他】

辞書

オンライン学習時はリソースを視聴できるようなPC環境

（音声を用いたリスニングがあるため）

【Outline (in English)】

In this course, we will learn 4 skills through text. The interesting topics from Newspaper's articles will give you information about different culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

岩坪 友子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の動向を考察する英語教材で知識や批判的思考力を養いながら、英文を読み通す力を身につけることを目的とします。リスニング力・表現力の向上も目指して、英文の構成・表現・音声に慣れ親しみ、要約したり意見を述べる練習も行い、自信と関心を深めます。

【到達目標】

- (1)教材レベルの英文について、構成・内容を理解し、日本語や平易な英語で説明・要約できる
- (2)教材レベルの英語の音声聞いて理解し、日本語や平易な英語で説明したり、自分でも明瞭で自然なイントネーションで音読できる
- (3)教材の多様なトピックについて、多面的に考察し、情報や自分の考えを日本語や平易な英語で論理的に表現できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業では予習シートに解答を記入、スライドを活用しながら、英文の内容把握問題、表現の確認、日本語や英語での要約、意見交換などを指名やペアワークで行い、終了時にリアクションを記入します。リーディングにおいては批判的思考も意識しつつ、全体と各パラグラフの構成・趣旨の把握を主眼とし、必要に応じて細部の確認も行います。教材の英文を論理的なエッセイのモデルとして意識することで、使う目線から便利な表現・構成を参考にして論理的な表現方法を身につけることも目指します。付属音声は、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意、リスニングと読解力両方の向上に役立てながら、内容を理解した上での明瞭で自然な音読のモデルとして、予習復習で活用することを奨励します。予復習や理解・考察などについて、口頭や各課小テスト、期末テストなどで確認します。質問や小テストなどへのフィードバックを授業内で行います。必要に応じて補助教材を活用することがあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション。 Section I: Economy and Work (1) 導入	授業の概要説明。Unit 5 Remote Work: A new way to live and work (前半) 語彙・T/F・要約・表現
2	Unit 5 Remote Work: A new way to live and work (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
3	Section II: Culture and Society (1) 導入	U5小テスト。Unit 8 Social Media: Big tech's addiction to addiction (前半) 語彙・T/F・要約・表現
4	Unit 8 Social Media: Big tech's addiction to addiction (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換

5	Section III: Language and Learning (1) 導入	U8小テスト。Unit 15 Memory Hack: The one study habit every student needs to know (前半) 語彙・T/F・要約・表現
6	Unit 15 Memory Hack: The one study habit every student needs to know (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
7	Section IV: Science and Technology (1) 導入	U15小テスト。Unit 18 International Space Station: Is it worth the money? (前半) 語彙・T/F・要約・表現
8	Unit 18 International Space Station: Is it worth the money? (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
9	Section I: Economy and Work (2) 導入	U18小テスト。Unit 3 Lasting the Ages: Japan's 200-year-old companies (前半) 語彙・T/F・要約・表現
10	Unit 3 Lasting the Ages: Japan's 200-year-old companies (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
11	Section II: Culture and Society (2) 導入	U3小テスト。Unit 10 Happiness: What is the secret? (前半) 語彙・T/F・要約・表現
12	Unit 10 Happiness: What is the secret? (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
13	Section III: Language and Learning (2) 導入	U10小テスト。Unit 11 Dialects: How English is spoken (前半) across the world 語彙・T/F・要約・表現
14	期末テスト。春学期のまとめ	春学期末テスト。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

予習・授業・復習のセットで苦手克服と実力向上、意欲・習慣の構築を目指します。

①予習 (1)テキストの問題を解き、根拠も準備 (2)文章の趣旨の把握。未知語は文脈から推測後、辞書で確認 (3)パラグラフごとの要約 (1～2文程度) を日本語と英語で練習 (4)ダウンロード音声の区切り・抑揚などに留意して音読練習

②復習 (1)テキストを再読。スライド資料を活用。重要表現は書いて声に出して定着 (2)ダウンロード音声を (テキストを見ながら／見ないで) リピート／シャドーイング (3)テキストのキーワードなど (スライド参照) を使って内容の要約を言う／書く (4)テーマについて (書籍やウェブサイト等で情報収集し視野を広げる意識を持ちつつ) 自分の意見を言う／書く

※音声活用 (1)スクリプトなしで大意の把握を目指して聞く (2)スクリプトを見て (印をつけたり) 確認しながら繰り返し聞く (3)リピート／シャドーイング練習

【テキスト（教科書）】

Dave Rear 著、*Understanding the World Today* (現代を取り巻く新しい真実) 成美堂、2,200円 (本体2,000円＋税)

【参考書】

授業やスライド内で紹介・指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（予習・授業の取り組み・小テストなど）40%、期末テスト60%の割合で、上記到達目標(1)(2)(3)の達成度に照らして評価します。※欠席が3回を超過すると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください。遅刻に注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

文章の内容が興味深く、予習復習のペースもよかったなどの声が聞かれましたので、みなさんの取り組み・成長をサポートできるよう内容・手法の充実を図りたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

授業の連絡事項・資料配布などに学習支援システムを使います。大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください。教科書の各ユニットを扱う順序は【授業計画】の通りです。変更の必要が生じた場合には、事前にお知らせしますので、注意してください。

【Outline (in English)】**Course outline:**

This course is designed to help students develop their reading skills through reading articles on a wide range of issues in the world today, thinking critically about them. Students will learn about paragraph structure and practice summarizing the text and commenting on relevant topics. They will also practice listening and reading aloud.

Learning objectives:

The goals are to develop the ability to summarize the text, understand spoken language, read aloud, and express opinions on relevant topics.

Learning activities outside of classroom:

Completing assignments (reading the text, listening to a recording and answering questions) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least one hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria/policy:

Active class participation and quizzes (40%), and a final examination (60%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

岩坪 友子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の動向を考察する英語教材で知識や批判的思考力を養いながら、大学レベルで求められる英文を読み通す力を身につけることを目的とします。リスニング力・表現力の向上も目指して、英文の構成・表現・音声に慣れ親しみ、要約したり意見を述べる練習も行い、自信と関心を深めます。

【到達目標】

- (1)教材レベルの英文について、構成・内容を理解し、日本語や平易な英語で説明・要約できる
- (2)教材レベルの英語の音声を聞いて理解し、日本語や平易な英語で説明したり、自分でも明瞭で自然なイントネーションで音読できる
- (3)教材の多様なトピックについて、多面的に考察し、情報や自分の考えを日本語や平易な英語で論理的に表現できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業では予習シートに解答を記入、スライドを活用しながら、英文の内容把握問題、表現の確認、日本語や英語での要約、意見交換などを指名やペアワークで行い、終了時にリアクションを記入します。リーディングにおいては批判的思考も意識しつつ、全体と各パラグラフの構成・趣旨の把握を主眼とし、必要に応じて細部の確認も行います。教材の英文を論理的なエッセイのモデルとして意識することで、使う目線から便利な表現・構成を参考にして論理的な表現方法を身につけることも目指します。付属音声は、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意、リスニングと読解力両方の向上に役立てながら、内容を理解した上での明瞭で自然な音読のモデルとして、予習復習で活用することを奨励します。予復習や理解・考察などについて、口頭や各課小テスト、期末テストなどで確認します。質問や小テストなどへのフィードバックを授業内で行います。必要に応じて補助教材を活用することがあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 11 Dialects: How English is spoken across the world (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
2	Section IV: Science and Technology (2) 導入	U11小テスト。Unit 19 Healthspan: Changing the way we age (前半) 語彙・T/F・要約・表現
3	Unit 19 Healthspan: Changing the way we age (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
4	Section I: Economy and Work (3) 導入	U19小テスト。Unit 1 100-Yen Shops: Still going strong (前半) 語彙・T/F・要約・表現

5	Unit 1 100-Yen Shops: Still going strong (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
6	Section II: Culture and Society (3) 導入	U1小テスト。Unit 7 The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body (前半) 語彙・T/F・要約・表現
7	Unit 7 The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
8	Section III: Language and Learning (3) 導入	U7小テスト。Unit 14 The Origins of Language: How did humans learn to speak? (前半) 語彙・T/F・要約・表現
9	Unit 14 The Origins of Language: How did humans learn to speak? (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
10	Section IV: Science and Technology (3) 導入	U14小テスト。Unit 16 New Solar Power: A breakthrough in clean energy (前半) 語彙・T/F・要約・表現
11	Unit 16 New Solar Power: A breakthrough in clean energy (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
12	Section I: Economy and Work (4) 導入	U16小テスト。Unit 2 Work-Life Balance: Do it like the Germans (前半) 語彙・T/F・要約・表現
13	Unit 2 Work-Life Balance: Do it like the Germans (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換。U2小テスト
14	期末テスト。秋学期のまとめ	秋学期末テスト。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

予習・授業・復習のセットで苦手克服と実力向上、意欲・習慣の構築を目指します。

①予習 (1)テキストの問題を解き、根拠も準備 (2)文章の趣旨の把握。未知語は文脈から推測後、辞書で確認 (3)パラグラフごとの要約 (1～2文程度) を日本語と英語で練習 (4)ダウンロード音声の区切り・抑揚などに留意して音読練習

②復習 (1)テキストを再読。スライド資料を活用。重要表現は書いて声に出して定着 (2)ダウンロード音声を（テキストを見ながら／見ないで）リピート／シャドーイング (3)テキストのキーワードなど（スライド参照）を使って内容の要約を言う／書く (4)テーマについて（書籍やウェブサイト等で情報収集し視野を広げる意識を持ちつつ）自分の意見を言う／書く

※音声活用 (1)スクリプトなしで大意の把握を目指して聞く (2)スクリプトを見て（印をつけたり）確認しながら繰り返し聞く (3)リピート／シャドーイング練習

【テキスト（教科書）】

Dave Rear 著、*Understanding the World Today*（現代を取り巻く新しい真実）成美堂、2,200円（本体2,000円＋税）

【参考書】

授業やスライド内で紹介・指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（予習・授業の取り組み・小テストなど）40%、期末テスト60%の割合で、上記到達目標(1)(2)(3)の達成度に照らして評価します。※欠席が3回を超過すると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください。遅刻に注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

文章の内容が興味深く、予習復習のペースもよかったなどの声が聞かれましたので、みなさんの取り組み・成長をサポートできるよう内容・手法の充実を図りたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

授業の連絡事項・資料配布などに学習支援システムを使います。大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください。教科書の各ユニットを扱う順序は【授業計画】の通りです。変更の必要が生じた場合には、事前にお知らせしますので、注意してください。

【Outline (in English)】

Course outline:

This course is designed to help students develop their reading skills through reading articles on a wide range of issues in the world today, thinking critically about them. Students will learn about paragraph structure and practice summarizing the text and commenting on relevant topics. They will also practice listening and reading aloud.

Learning objectives:

The goals are to develop the ability to summarize the text, understand spoken language, read aloud, and express opinions on relevant topics.

Learning activities outside of classroom:

Completing assignments (reading the text, listening to a recording and answering questions) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least one hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria/policy:

Active class participation and quizzes (40%), and a final examination (60%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

岩坪 友子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の動向を考察する英語教材で知識や批判的思考力を養いながら、英文を読み通す力を身につけることを目的とします。リスニング力・表現力の向上も目指して、英文の構成・表現・音声に慣れ親しみ、要約したり意見を述べる練習も行い、自信と関心を深めます。

【到達目標】

- (1)教材レベルの英文について、構成・内容を理解し、日本語や平易な英語で説明・要約できる
- (2)教材レベルの英語の音声を聞いて理解し、日本語や平易な英語で説明したり、自分でも明瞭で自然なイントネーションで音読できる
- (3)教材の多様なトピックについて、多面的に考察し、情報や自分の考えを日本語や平易な英語で論理的に表現できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業では予習シートに解答を記入、スライドを活用しながら、英文の内容把握問題、表現の確認、日本語や英語での要約、意見交換などを指名やペアワークで行い、終了時にリアクションを記入します。リーディングにおいては批判的思考も意識しつつ、全体と各パラグラフの構成・趣旨の把握を主眼とし、必要に応じて細部の確認も行います。教材の英文を論理的なエッセイのモデルとして意識することで、使う目線から便利な表現・構成を参考にして論理的な表現方法を身につけることも目指します。付属音声は、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意、リスニングと読解力両方の向上に役立てながら、内容を理解した上での明瞭で自然な音読のモデルとして、予習復習で活用することを奨励します。予復習や理解・考察などについて、口頭や各課小テスト、期末テストなどで確認します。質問や小テストなどへのフィードバックを授業内で行います。必要に応じて補助教材を活用することがあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション。 Section I: Economy and Work (1) 導入	授業の概要説明。Unit 5 Remote Work: A new way to live and work (前半) 語彙・T/F・要約・表現
2	Unit 5 Remote Work: A new way to live and work (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
3	Section II: Culture and Society (1) 導入	U5小テスト。Unit 8 Social Media: Big tech's addiction to addiction (前半) 語彙・T/F・要約・表現
4	Unit 8 Social Media: Big tech's addiction to addiction (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換

5	Section III: Language and Learning (1) 導入	U8小テスト。Unit 15 Memory Hack: The one study habit every student needs to know (前半) 語彙・T/F・要約・表現
6	Unit 15 Memory Hack: The one study habit every student needs to know (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
7	Section IV: Science and Technology (1) 導入	U15小テスト。Unit 18 International Space Station: Is it worth the money? (前半) 語彙・T/F・要約・表現
8	Unit 18 International Space Station: Is it worth the money? (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
9	Section I: Economy and Work (2) 導入	U18小テスト。Unit 3 Lasting the Ages: Japan's 200-year-old companies (前半) 語彙・T/F・要約・表現
10	Unit 3 Lasting the Ages: Japan's 200-year-old companies (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
11	Section II: Culture and Society (2) 導入	U3小テスト。Unit 10 Happiness: What is the secret? (前半) 語彙・T/F・要約・表現
12	Unit 10 Happiness: What is the secret? (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
13	Section III: Language and Learning (2) 導入	U10小テスト。Unit 11 Dialects: How English is spoken (前半) across the world 語彙・T/F・要約・表現
14	期末テスト。春学期のまとめ	春学期末テスト。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

予習・授業・復習のセットで苦手克服と実力向上、意欲・習慣の構築を目指します。

①予習 (1)テキストの問題を解き、根拠も準備 (2)文章の趣旨の把握。未知語は文脈から推測後、辞書で確認 (3)パラグラフごとの要約 (1～2文程度) を日本語と英語で練習 (4)ダウンロード音声の区切り・抑揚などに留意して音読練習

②復習 (1)テキストを再読。スライド資料を活用。重要表現は書いて声に出して定着 (2)ダウンロード音声を (テキストを見ながら／見ないで) リピート／シャドーイング (3)テキストのキーワードなど (スライド参照) を使って内容の要約を言う／書く (4)テーマについて (書籍やウェブサイト等で情報収集し視野を広げる意識を持ちつつ) 自分の意見を言う／書く

※音声活用 (1)スクリプトなしで大意の把握を目指して聞く (2)スクリプトを見て (印をつけたり) 確認しながら繰り返し聞く (3)リピート／シャドーイング練習

【テキスト（教科書）】

Dave Rear 著、*Understanding the World Today* (現代を取り巻く新しい真実) 成美堂、2,200円 (本体2,000円＋税)

【参考書】

授業やスライド内で紹介・指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（予習・授業の取り組み・小テストなど）40%、期末テスト60%の割合で、上記到達目標(1)(2)(3)の達成度に照らして評価します。※欠席が3回を超過すると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください。遅刻に注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

文章の内容が興味深く、予習復習のペースもよかったなどの声が聞かれましたので、みなさんの取り組み・成長をサポートできるよう内容・手法の充実を図りたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

授業の連絡事項・資料配布などに学習支援システムを使います。大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください。教科書の各ユニットを扱う順序は【授業計画】の通りです。変更の必要が生じた場合には、事前にお知らせしますので、注意してください。

【Outline (in English)】

Course outline:

This course is designed to help students develop their reading skills through reading articles on a wide range of issues in the world today, thinking critically about them. Students will learn about paragraph structure and practice summarizing the text and commenting on relevant topics. They will also practice listening and reading aloud.

Learning objectives:

The goals are to develop the ability to summarize the text, understand spoken language, read aloud, and express opinions on relevant topics.

Learning activities outside of classroom:

Completing assignments (reading the text, listening to a recording and answering questions) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least one hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria/policy:

Active class participation and quizzes (40%), and a final examination (60%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

岩坪 友子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の動向を考察する英語教材で知識や批判的思考力を養いながら、大学レベルで求められる英文を読み通す力を身につけることを目的とします。リスニング力・表現力の向上も目指して、英文の構成・表現・音声に慣れ親しみ、要約したり意見を述べる練習も行い、自信と関心を深めます。

【到達目標】

- (1)教材レベルの英文について、構成・内容を理解し、日本語や平易な英語で説明・要約できる
- (2)教材レベルの英語の音声を聞いて理解し、日本語や平易な英語で説明したり、自分でも明瞭で自然なイントネーションで音読できる
- (3)教材の多様なトピックについて、多面的に考察し、情報や自分の考えを日本語や平易な英語で論理的に表現できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業では予習シートに解答を記入、スライドを活用しながら、英文の内容把握問題、表現の確認、日本語や英語での要約、意見交換などを指名やペアワークで行い、終了時にリアクションを記入します。リーディングにおいては批判的思考も意識しつつ、全体と各パラグラフの構成・趣旨の把握を主眼とし、必要に応じて細部の確認も行います。教材の英文を論理的なエッセイのモデルとして意識することで、使う目線から便利な表現・構成を参考にして論理的な表現方法を身につけることも目指します。付属音声は、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意、リスニングと読解力両方の向上に役立てながら、内容を理解した上での明瞭で自然な音読のモデルとして、予習復習で活用することを奨励します。予復習や理解・考察などについて、口頭や各課小テスト、期末テストなどで確認します。質問や小テストなどへのフィードバックを授業内で行います。必要に応じて補助教材を活用することがあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 11 Dialects: How English is spoken across the world (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
2	Section IV: Science and Technology (2) 導入	U11小テスト。Unit 19 Healthspan: Changing the way we age (前半) 語彙・T/F・要約・表現
3	Unit 19 Healthspan: Changing the way we age (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
4	Section I: Economy and Work (3) 導入	U19小テスト。Unit 1 100-Yen Shops: Still going strong (前半) 語彙・T/F・要約・表現

5	Unit 1 100-Yen Shops: Still going strong (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
6	Section II: Culture and Society (3) 導入	U1小テスト。Unit 7 The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body (前半) 語彙・T/F・要約・表現
7	Unit 7 The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
8	Section III: Language and Learning (3) 導入	U7小テスト。Unit 14 The Origins of Language: How did humans learn to speak? (前半) 語彙・T/F・要約・表現
9	Unit 14 The Origins of Language: How did humans learn to speak? (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
10	Section IV: Science and Technology (3) 導入	U14小テスト。Unit 16 New Solar Power: A breakthrough in clean energy (前半) 語彙・T/F・要約・表現
11	Unit 16 New Solar Power: A breakthrough in clean energy (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換
12	Section I: Economy and Work (4) 導入	U16小テスト。Unit 2 Work-Life Balance: Do it like the Germans (前半) 語彙・T/F・要約・表現
13	Unit 2 Work-Life Balance: Do it like the Germans (後半) 理解と考察	練習問題・要約・詳細・表現・意見交換。U2小テスト
14	期末テスト。秋学期のまとめ	秋学期末テスト。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

予習・授業・復習のセットで苦手克服と実力向上、意欲・習慣の構築を目指します。

①予習 (1)テキストの問題を解き、根拠も準備 (2)文章の趣旨の把握。未知語は文脈から推測後、辞書で確認 (3)パラグラフごとの要約 (1～2文程度) を日本語と英語で練習 (4)ダウンロード音声の区切り・抑揚などに留意して音読練習

②復習 (1)テキストを再読。スライド資料を活用。重要表現は書いて声に出して定着 (2)ダウンロード音声を（テキストを見ながら／見ないで）リピート／シャドーイング (3)テキストのキーワードなど（スライド参照）を使って内容の要約を言う／書く (4)テーマについて（書籍やウェブサイト等で情報収集し視野を広げる意識を持ちつつ）自分の意見を言う／書く

※音声活用 (1)スクリプトなしで大意の把握を目指して聞く (2)スクリプトを見て（印をつけたり）確認しながら繰り返し聞く (3)リピート／シャドーイング練習

【テキスト（教科書）】

Dave Rear 著、*Understanding the World Today*（現代を取り巻く新しい真実）成美堂、2,200円（本体2,000円＋税）

【参考書】

授業やスライド内で紹介・指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（予習・授業の取り組み・小テストなど）40%、期末テスト60%の割合で、上記到達目標(1)(2)(3)の達成度に照らして評価します。※欠席が3回を超過すると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください。遅刻に注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

文章の内容が興味深く、予習復習のペースもよかったなどの声が聞かれましたので、みなさんの取り組み・成長をサポートできるよう内容・手法の充実を図りたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

授業の連絡事項・資料配布などに学習支援システムを使います。大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください。教科書の各ユニットを扱う順序は【授業計画】の通りです。変更の必要が生じた場合には、事前にお知らせしますので、注意してください。

【Outline (in English)】

Course outline:

This course is designed to help students develop their reading skills through reading articles on a wide range of issues in the world today, thinking critically about them. Students will learn about paragraph structure and practice summarizing the text and commenting on relevant topics. They will also practice listening and reading aloud.

Learning objectives:

The goals are to develop the ability to summarize the text, understand spoken language, read aloud, and express opinions on relevant topics.

Learning activities outside of classroom:

Completing assignments (reading the text, listening to a recording and answering questions) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least one hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria/policy:

Active class participation and quizzes (40%), and a final examination (60%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

吉江 秀和

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

イギリスの歴史や社会を建造物を通して英語で学ぶテキスト『ブリティッシュ・ビルディングス **British Society through its buildings**』の英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、包括的に英語学習をすすめていきます。その際に、英文の概訳ではなく、構文を意識した読解力を身につけていくとともに、関連する内容を確認することで英文をより深く理解する方策を身につけていきます。

【到達目標】

テキストの読解を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③リスニングを繰り返すことにより、英語の聞き取りの力をつける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト『ブリティッシュ・ビルディングス **British Society through its buildings**』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、予習の段階で構文の理解をより深めるための作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。実施した確認テストの採点・返却後、そのテストや予習したものを活用して自分の理解度を確認して改めて復習をしてもらいます。

フィードバックは各チャプター終了後に実施する確認テストの返却のさいにおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	予習のやり方や授業の進め方など、授業を受けるうえでの注意点の説明をします。
2	Chapter 1	Stonehenge
3	Chapter 2	Hadrian's Wall
4	Chapter 3	Caernarfon Castle
5	Chapter 4	Canterbury Cathedral
6	Chapter 5	Tudor Houses
7	Chapter 6	Country Houses
8	Chapter 7	Derwent Valley Mills
9	テキスト以外の英文 講読①	イギリスの文化に関連する内容
10	テキスト以外の英文 講読②	イギリスの社会に関連する内容
11	テキスト以外の英文 講読③	イギリスの教育に関連する内容
12	テキスト以外の英文 講読④	イギリスの政治に関連する内容
13	テキスト以外の英文 講読⑤	イギリスの経済に関連する内容

14 期末試験・まとめ 今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方・提出については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Simon Rosati, 近藤久雄『ブリティッシュ・ビルディングス **British Society through its buildings**』2017年、英宝社、2,000 円+税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）と期末試験（80%）から総合的に評価。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのかが分かったりするものを用意してください（主要な動詞がどの文型をとるのが示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです）。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Reading stories in the textbook 'British Society through its buildings', which consists of 15 topics that cover British history and society through British built structures, students primarily learn how to read the sentences correctly. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 80%, exams for each chapter and in-class contribution, 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

吉江 秀和

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

イギリスの歴史や社会を建造物を通して英語で学ぶテキスト『ブリティッシュ・ビルディングス British Society through its buildings』の英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、包括的に英語学習をすすめていきます。その際に、英文の概訳ではなく、構文を意識した読解力を身につけていくとともに、関連する内容を確認することで英文をより深く理解する方策を身につけていきます。

【到達目標】

テキストの読解を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③リスニングを繰り返すことにより、英語の聞き取りの力をつける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト『ブリティッシュ・ビルディングス British Society through its buildings』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、予習の段階で構文の理解をより深めるための作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。実施した確認テストの採点・返却後、そのテストや予習したものを活用して自分の理解度を確認して改めて復習をしてもらいます。

フィードバックは各チャプター終了後に実施する確認テストの返却のさいにおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 8	Terraced House
2	Chapter 9	Manchester Town Hall
3	Chapter 10	The Forth Bridge
4	Chapter 11	Brighton Pier
5	Chapter 12	Liverpool Docks
6	Chapter 13	The South Bank
7	Chapter 14	The Channel Tunnel
8	Chapter 15	The Shard
9	テキスト以外の英文	イギリスの文化に関連する内容 講読①
10	テキスト以外の英文	イギリスの社会に関連する内容 講読②
11	テキスト以外の英文	イギリスのスポーツに関連する 内容 講読③
12	テキスト以外の英文	イギリスの政治に関連する内容 講読④
13	テキスト以外の英文	イギリスの経済に関連する内容 講読⑤

- 14 期末試験・まとめ 今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方・提出については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Simon Rosati, 近藤久雄『ブリティッシュ・ビルディングス British Society through its buildings』2017年、英宝社、2,000 円+税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）と期末試験（80%）から総合的に評価。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのかが分かったりするものを用意してください（主要な動詞がどの文型をとるのが示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです）。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Reading stories in the textbook 'British Society through its buildings', which consists of 15 topics that cover British history and society through British built structures, students primarily learn how to read the sentences correctly. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 80%, exams for each chapter and in-class contribution, 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
English 1 I	2017年度以降入学者
近藤 隆子	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：木1/Thu.1
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界の国々の歴史・文化・社会などを扱う英語教材を通して、他国について様々な角度から理解を深めるとともに、総合的な英語力を養う。主として英語のリーディング力とリスニング力を伸ばす。各課は、リーディング中心の前半とリスニング中心の後半で構成されている。前半は、**Warm-up Exercise**で各国に関する背景知識をクラスメートと活性化し、**Vocabulary Exercise**でReadingの中に出てくる重要語彙を予習したうえで、**Reading**と**Reading Comprehension**で読解練習をし、読む力を育成する。そして、後半は、英語のネイティブスピーカーが各国について視覚的に紹介する映像と地元の人々がそれぞれの国について話すインタビュー形式の映像の視聴をとおして、聴解練習をしていく。英語のネイティブスピーカーだけではなく、ノンネイティブスピーカーの英語にも触れ、聴く力を育成する。

【到達目標】

- ・複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に理解できる
- ・目的に応じた速度で効果的に英文を読むことができる
- ・構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報を把握できる
- ・英語で書かれた・話された内容を、日本語や英語で要約・説明できる
- ・論理的に文法・構文を説明できる
- ・世界で使用されている様々な英語を効果的に聞き取り、内容を理解することができる
- ・英語辞書を効果的に使うことができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生は予習としてReading passageを事前に読み、online videosを視聴し、指定された問題を解いてから授業に臨んでください。授業では、基本的に教科書に沿って予習してきた問題・内容確認を行います。また、文章の内容や注意すべき文法・構文、語彙などを確認します。ペア・グループワークの時間を多く設け、予習で分からなかった箇所を学生同士で説明し合ったり、教員が提示する問題について話し合ってください。一つのチャプターが終わったら、次の週に小テストを行います。小テスト、課題へのフィードバックは学習支援システムと授業にて、適宜おこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要説明、英語履修指導、自己紹介 等
第2回	Chapter 1 India	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認
第3回	Chapter 2 Philippines	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第4回	Chapter 3 Thailand	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第5回	Chapter 4 Vietnam	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト

第6回	Chapter 5 Korea	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第7回	Chapter 6 France	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第8回	Chapter 7 Italy	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第9回	Chapter 8 Denmark	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第10回	Chapter 9 Portugal	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第11回	Chapter 10 Turkey	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第12回	Chapter 11 Egypt	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第13回	Chapter 12 South Africa	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第14回	Chapter 13 Brazil	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：指示に従って、教科書の本文の要約、エクササイズ、オンラインビデオの視聴、内容理解をしたうえで、授業に出席する。
復習：学習した内容が定着するよう（同時に、小テスト対策として）、語彙、文法事項、本文内容、オンラインビデオの内容を復習する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Scott Berlin & Megumi Kobayashi. "World Adventures" 金星堂、2021年

【参考書】

授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

学期中の小テスト60%、平常点40%（課題を含む）による総合評価。欠席が4回以上の場合は原則的に単位修得を認めません（30分を超えた遅刻は1回の欠席とみなします）。また、遅刻・早退は減点の対象となります。オンライン授業（Zoom使用）の場合も同様で、授業の最初に出席状況を確認します。

【学生の意見等からの気づき】

成績評価の方法と基準を学生がきちんと理解できるように説明する。ペア・グループワークで学生がより一層積極的に参加するようにやり方を工夫する。

【学生が準備すべき機器他】

資料の配布・課題の提出などには、学習支援システムを使用します。また、状況によっては、Zoomで授業を行うことがあります。

【その他の重要事項】

- ・初回の授業に出席してください
- ・授業には辞書を持参してください（英英辞典、英和・和英辞典どちらでも良い）
- ・積極的に授業に参加することが求められます
- ・授業中の携帯電話の使用は不可です
- ・遠隔の場合は代替案を授業中に指示します

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students deepen their understanding of other countries from various perspectives and cultivate comprehensive English abilities. This course mainly enhances the development of students' skills in reading and listening in English.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Students should be able to read passages of multiple paragraphs at a speed necessary for different purposes
- Students will acquire effective listening skills
- Students should be able to use dictionaries effectively

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignments. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Grading will be decided based on unit tests (60%) and in-class contribution (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
English 1 II	2017年度以降入学者
近藤 隆子	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：木1/Thu.1	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界の国々の歴史・文化・社会などを扱う英語教材を通して、他国について様々な角度から理解を深めるとともに、総合的な英語力を養う。主として英語のリーディング力とリスニング力を伸ばす。各課は、リーディング中心の前半とリスニング中心の後半で構成されている。前半では、**Warm-up Exercise**で各国に関する背景知識をクラスメートと活性化し、**Vocabulary Exercise**でReadingの中に出てくる重要語彙を予習したうえで、**Reading**と**Reading Comprehension**で読解練習をし、読む力を育成する。そして、後半では、英語のネイティブスピーカーが各国について視覚的に紹介する映像と地元の人がそれぞれの国について話すインタビュー形式の映像の視聴をとおして聴解練習をしていく。英語のネイティブスピーカーだけではなく、ノンネイティブスピーカーの英語にも触れ、聴く力を育成する。

【到達目標】

- ・複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に理解できる
- ・目的に応じた速度で効果的に英文を読むことができる
- ・構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報を把握できる
- ・英語で書かれた・話された内容を、日本語や英語で要約・説明できる
- ・論理的に文法・構文を説明できる
- ・世界で使用されている様々な英語を効果的に聞き取り、意味をつかむことができる
- ・英語辞書を効果的に使うことができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生は予習としてReading passageを事前に読み、online videosを視聴し、指定された問題を解いてから授業に臨んでください。授業では、基本的に教科書に沿って予習してきた問題・内容確認を行います。また、文章の内容や注意すべき文法・構文、語彙などを確認します。ペア・グループワークの時間を多く設け、予習で分からなかった箇所を学生同士で説明し合ったり、教員が提示する問題について話し合ってください。一つのチャプターが終わったら、次の週に小テストを行います。小テスト、課題へのフィードバックは学習支援システムと授業にて、適宜おこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要説明, 春学期テキスト"World Adventures" Chapters 13-15 Listening parts
第2回	Chapter 1 Australia	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第3回	Chapter 2 Indonesia	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第4回	Chapter 3 Singapore	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト

第5回	Chapter 4 China	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第6回	Chapter 5 Argentina	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第7回	Chapter 6 Mexico	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第8回	Chapter 7 Germany	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第9回	Chapter 8 Finland	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第10回	Chapter 9 Poland	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第11回	Chapter 10 Spain	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第12回	Chapter 11 Greece	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第13回	Chapter 12 Kenya	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第14回	Chapter 13 Morocco	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：指示に従って教科書の本文の要約、エクササイズ、オンラインビデオの視聴、内容理解をしたうえで、授業に出席する。
復習：学習した内容が定着するよう（同時に、小テスト対策として）、語彙、文法事項、本文内容、オンラインビデオの内容を復習する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Scott Berlin & Megumi Kobayashi. "On Board for More World Adventures" 金星堂、2021年

【参考書】

授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

学期中の小テスト60%、平常点40%（課題を含む）による総合評価。欠席が4回以上の場合は原則的に単位修得を認めません（30分を超えた遅刻は1回の欠席とみなします）。また、遅刻・早退は減点の対象となります。オンライン授業（Zoom使用）の場合も同様で、授業の最初に出席状況を確認します。

【学生の意見等からの気づき】

成績評価の方法と基準を学生がきちんと理解できるように説明する。ペア・グループワークで学生がより一層積極的に参加するようにやり方を工夫する。

【学生が準備すべき機器他】

資料の配布・課題の提出などには、学習支援システムを使用します。また、状況によっては、Zoomで授業を行うことがあります。

【その他の重要事項】

- ・初回の授業に出席してください
- ・授業には辞書を持参してください（英英辞典、英和・和英辞典どちらでも良い）
- ・積極的に授業に参加することが求められます
- ・授業中の携帯電話の使用は不可です
- ・遠隔の場合は代替案を授業中に指示します

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students deepen their understanding of other countries from various perspectives and cultivate comprehensive English abilities. This course mainly enhances the development of students' skills in reading and listening in English.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Students should be able to read passages of multiple paragraphs at a speed necessary for different purposes
- Students will acquire effective listening skills
- Students should be able to use dictionaries effectively

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignments. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Grading will be decided based on vocabulary quizzes and unit tests (60%) and in-class contribution (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

滝沢 玄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会のさまざまな出来事について英文を読むことによって、読解力と語彙のみならず批評意識と知的関心を高める。

【到達目標】

各章のテーマが提起する問題について、パラグラフ間の論理的な筋道を的確に把握する。批評的な観点を持ちながら読み、自らの意見の発信につなげる。会話に生かせるよう、イントネーションやアクセントを意識して英文を読む。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として挙手による発言を優先し、必要に応じてランダムに当てる。語句問題を解いたあとと本文を部分的に音読し、読解の問題を解きながら要点と話の展開をおさえる。

テキストの進度や授業形式（現時点では対面とオンラインのハイブリッド）によるが、各章の内容に関する作文提出あるいはグループによる英語ディスカッションをする予定。また、復習のヴォキャブラリーやリスニングの小テストを行なう予定。

課題へのフィードバックについては、授業での返却とレビューによって可能な限り速やかに対処する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	授業の概要についての説明。時間があればChapter 1に入る。
第2回	Chapter 1	スマホを捨てた若者たち
第3回	Chapter 1	スマホを捨てた若者たち
第4回	Chapter 3	AIで動物と会話？
第5回	Chapter 3	AIで動物と会話？
第6回	Chapter 4	男性らしさからの解放
第7回	Chapter 4	男性らしさからの解放
第8回	Chapter 6	人種差別に抗った黒人ランナー
第9回	Chapter 6	人種差別に抗った黒人ランナー
第10回	Chapter 7	コスメ広告から「美の概念」の変貌を考える
第11回	Chapter 7	コスメ広告から「美の概念」の変貌を考える
第12回	Chapter 8	SNSの悲劇-小学校で起きたヒジャブ騒動の拡大
第13回	Chapter 8	SNSの悲劇-小学校で起きたヒジャブ騒動の拡大
第14回	Test	春学期の授業を範囲とした筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

各章は先ず大まかな理解のためにざっと読み、それから2度目に精読し、話の細部にも目を向け、何が起き、誰が何をしたかといった要点は日本語で説明できるようにしておく。

テキストの進度や授業形式（現時点では対面とオンラインのハイブリッド）によるが、各章の内容に関する作文提出あるいはグループによる英語でディスカッションをする予定。また、復習のヴォキャブラリーやリスニングの小テストを行なう予定。

課題へのフィードバックについては、授業での返却とレビューによって可能な限り速やかに対処する。

【テキスト（教科書）】

Kyoko Horie et als., Stories of the World We live In (金星堂), ¥2400 (税別)

【参考書】

(書く必要はないと思うが) 英語辞書。単語や成句の意味だけでなく、アクセントのチェックなどにも十分に活用すること。電子あるいは本の辞書を推奨するが、時代も変わったのでスマートフォンの使用も可とする。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、小テストと課題（作文やディスカッション）30%、平常点（予習をふまえた授業での積極的発言）20%。

欠席が4回以上の者には単位修得を認めないが、ただの出席点はないので誤解のないように。

【学生の意見等からの気づき】

昨年は私の健康上の理由により、予定外のオンライン併用になった。今年度も前年を踏襲するが、回復の度合に応じて対面中心に切りかえてゆくつもりなので、その場合の変更についてはご了承願いたい。

【その他の重要事項】

担当者へのアクセス：

gen.takizawa.cy (以下は共通の学内アドレス)

【Outline (in English)】

The main aim of this course is to develop critical awareness as well as reading skills and vocabulary through reading about various phenomena in modern society. Students are also required to express their opinions about the topics of reading in English.

Before each class meeting, you will be expected to have made preparations for it. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%; quizzes and assignments: 30%; in-class contribution: 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

滝沢 玄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会のさまざまな出来事について英文を読むことによって、読解力と語彙のみならず批評意識と知的関心を高める。

【到達目標】

各章のテーマが提起する問題について、パラグラフ間の論理的な筋道を的確に把握する。批評的な観点を持ちながら読み、自らの意見の発信につなげる。会話に生かせるよう、イントネーションやアクセントを意識して英文を読む。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として挙手による発言を優先し、必要に応じてランダムに当てる。語句問題を解いたあとと本文を部分的に音読し、読解の問題を解きながら要点と話の展開をおさえる。
テキストの進度や授業形式（現時点では対面とオンラインのハイブリッド）によるが、各章の内容に関する作文提出あるいはグループによる英語でディスカッションをする予定。また、ヴォキャブラリーやリスニングの小テストを行なう予定。
課題へのフィードバックについては、授業での返却とレビューによって可能な限り速やかに対処する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Review etc.	春学期試験レビュー。時間があればプリントを配布。
第2回	Chapter 9	難病の少年の願い
第3回	Chapter 9	難病の少年の願い
第4回	Chapter 10	ロシア人亡命者の苦難
第5回	Chapter 10	ロシア人亡命者の苦難
第6回	Chapter 11	先住民族の伝統農法
第7回	Chapter 11	先住民族の伝統農法
第8回	Chapter 13	持続可能性とファッション
第9回	Chapter 13	持続可能性とファッション
第10回	Chapter 14	AIの美術作品
第11回	Chapter 14	AIの美術作品
第12回	Chapter 15	PFASの除去
第13回	Chapter 15	PFASの除去
	8	
第14回	Test	秋学期の授業を範囲とした筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

各章は先ず大まかな理解のためにざっと読み、それから2度目に精読し、話の細部にも目を向け、何が起き、誰が何をしたかといった要点は日本語で説明できるようにしておく。
単語は意味を調べるだけでなくアクセントを事前にチェックし、ダウンロード音声で音読を練習する。語句・読解問題も事前に解いておく。

【テキスト（教科書）】

Kyoko Horie et als., Stories of the World We live In (金星堂), ¥2400 (税別)

【参考書】

(書く必要はないと思うが) 英語辞書。単語や成句の意味だけでなく、アクセントのチェックなどにも十分に活用すること。電子あるいは本の辞書を推奨するが、時代も変わったのでスマートフォンの使用も可とする。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、小テストと課題（作文やディスカッション）30%、平常点（予習をふまえた授業での積極的発言）20%。
欠席が4回以上の者には単位修得を認めないが、ただの出席点はないので誤解のないように。

【学生の意見等からの気づき】

昨年は私の健康上の理由により、予定外のオンライン併用になった。今年度も前年を踏襲するが、回復の度合いに応じて対面中心に切りかえてゆくつもりなので、その場合の変更についてはご了承願いたい。

【その他の重要事項】

担当者へのアクセス：
gen.takizawa.cy (以下は共通の学内アドレス)

【Outline (in English)】

The main aim of this course is to develop critical awareness as well as reading skills and vocabulary through reading about various phenomena in modern society. Students are also required to express their opinions about the topics of reading in English.

Before each class meeting, you will be expected to have made preparations for it. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%; quizzes and assignments: 30%; in-class contribution: 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

小川 真也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の主な目的は読解力と語彙を高めることである。学生はパラグラフ構造とパラグラフ同士の関係性に注意を払いながら、社会問題や現代事象を扱う英文を読み、英語の読解力を高めるとともに、英語を通して知識を得られるようになることが望まれる。

また、自分自身の意見を持つことも重要である。筆者の意見を理解することも重要だが、疑問があれば、その意見を容易く受け入れはならない。筆者と自身との意見の相違を見極め、自分自身の意見をまとめ、それを英語で表現できるようになることが望まれる。

リスニング能力を高めることも重視する。教員が作成したリスニング問題を解き、リスニング力を高めて頂きたい。

【到達目標】

この授業ではリーディングを中心に勉強し、次の項目を目標とする。

- ①英文を読む上で必要な文法事項と語彙を身につけること。
- ②まとまった量の英語の文章を独力で理解できるようになること。
- ③段落の構造を意識して論理の流れを把握できるようになること。
- ④練習問題を通して、リスニング力を向上させること。
- ⑤記事に対する自分の意見を英作文し、英語で表現する力を身につけること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は演習形式を取り、2回の授業で1つのUnitを扱う。授業の初めにテキストから作成したリスニング問題を実施する。正確に読むことに主眼を置き、単語・熟語・文法事項等を確認しながら記事を訳読し、段落ごとに要約し、トピック全体の理解を図る。段落ごとの要約とトピックに対する意見を英作文して課題として提出する。提出課題は教員が添削するので、添削された箇所を確認し、英語の表現や内容理解などを深める。

Unitごとに前半後半に分けて2回、復習の小テストを実施する。フィードバックとして英作文は教員が添削し、返却する。小テスト・期末テストに関してはテスト終了後に模範解答を提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明
2	Unit 1-1 Pressure to Please: Why can't we say no?	「人を喜ばせるプレッシャー：ノーと言えないのはなぜか」前半講読
3	Unit 1-2 Pressure to Please: Why can't we say no?	「人を喜ばせるプレッシャー：ノーと言えないのはなぜか」後半講読
4	Unit 6-1 Tourism: Is it a blessing or a curse?	「観光：それは祝福なのか、それとも災いか」前半講読
5	Unit 6-2 Tourism: Is it a blessing or a curse?	「観光：それは祝福なのか、それとも災いか」後半講読
6	Unit 11-1 Left or Right: What is bias in the media?	「左か右か：マスコミの偏向報道とは何か」前半講読

7	Unit 11-2 Left or Right: What is bias in the media?	「左か右か：マスコミの偏向報道とは何か」後半講読
8	Unit 16-1 Spooky Science: Are ghosts real?	「不気味な科学：幽霊は実在するのか」前半講読
9	Unit 16-1 Spooky Science: Are ghosts real?	「不気味な科学：幽霊は実在するのか」後半講読
10	Unit 2-1 No Time to Waste: Should we ban meetings?	「時間を無駄にしない：企業は会議を禁止するべきか」前半講読
11	Unit 2-2 No Time to Waste: Should we ban meetings?	「時間を無駄にしない：企業は会議を禁止するべきか」後半講読
12	Unit 7-1 Agony of Uncertainty: Is it better to know what will happen?	「不確実性の苦しみ：将来の出来事を予期すべきか」前半講読
13	Unit 7-2 Agony of Uncertainty: Is it better to know what will happen?	「不確実性の苦しみ：将来の出来事を予期すべきか」後半講読
14	期末テストとまとめ	期末テスト・まとめと解説と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。予習を前提に授業を進め、unitごとに2回小テストを実施するので、少なくとも1時間取って、教科書を読み、授業後には予習時にわからなかった箇所を復習すること。小テストでは英単語の定義が問われるので、予め英英辞書を使って単語の定義を調べておくこと。

【テキスト（教科書）】

Our World, Our Stories (Dave Rear 著, 成美堂, 2025年)

【参考書】

英語系辞書（特に英英辞書）

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100満点とし、60点以上が合格となる。授業への貢献10% 小テスト30% 期末テスト50% 英作文10% 欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。授業開始から30分以上の遅刻した場合は欠席扱い、遅刻2回で欠席1回とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

教科書に物足りなくなった場合や難しく感じられる場合、代替の記事を読む。

【Outline (in English)】

One of the main objectives in this course is improvement of reading skill and developing of students' vocabulary. Students will read English passages discussing social issues and recent events, paying much attention to paragraph structure and relationship between paragraphs. The ability to read and comprehend the argument of the passage and to acquire the knowledge and information through English will be improved by reading articles.

Another objective is formation and expression of students' own opinion. Emphasis should be put on understanding the writer's feeling and intention. However, students should not accept the writer's opinion easily if they have questions or doubts. Students have to form their own opinion after they find out the difference between the writer's opinion and theirs. In addition, they will practice summarizing the passages they read and writing the opinion which they formed in English.

Listening skill is also regarded as an important factor. Listening skill will be developed through the quizzes which the instructor makes from passages of the textbook. In some cases, other materials will be used for listening quizzes.

This class has five learning objectives.

First, They are expected to acquire the knowledge of English grammar, words and phrases which is necessary to read English.

Second, students are expected to acquire the ability to understand middle-length English articles by themselves

Third, students are expected to acquire the capacity to grasp logic of them, considering what role each paragraph has.

Fourth, students are expected to improve their listening skill through exercises.

Fifth, students are expected to acquire the faculty to write their own thoughts about articles in English.

The final evaluating score between 60%and 100%will be awarded. Percentages of evaluation are Presentation (Reading and Translating) 10%, Quizzes 30%, Final exam 50%, and Writing 10 %. Credits will not be given to those who have missed 4 class hours or its equivalent in being late. When being late for thirty minutes is considered as one absence. Being late two times will be counted as one absence.

As for learning activities outside of classroom, students have to prepare and review for at least one hour. Students have to read texts and consult dictionaries about unknown words and phrases before class. After finishing reading an article, students have to reread it and review what you didn't understand for quizzes. As students answer the English definitions of words in quizzes, they have to consult an English-English dictionary.

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
English 1 II		2017年度以降入学者
小川 真也		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：木2/Thu.2		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の主な目的は読解力と語彙を高めることである。学生はパラグラフ構造とパラグラフ同士の関係性に注意を払いながら、社会問題や現代事象を扱う英文を読み、英語の読解力を高めるとともに、英語を通して知識を得られるようになることが望まれる。

また、自分自身の意見を持つことも重要である。筆者の意見を理解することも重要だが、疑問があれば、その意見を容易く受け入れてはならない。筆者と自身との意見の相違を見極め、自分自身の意見をまとめ、それを英語で表現できるようになることが望まれる。

リスニング能力を高めることも重視する。教員が作成したリスニング問題を解き、リスニング力を高めて頂きたい。

【到達目標】

この授業ではリーディングを中心に勉強し、次の項目を目標とする。

- ①英文を読む上で必要な文法事項と語彙を身につけること。
- ②まとまった量の英語の文章を独力で理解できるようになること。
- ③段落の構造を意識して論理の流れを把握できるようになること。
- ④練習問題を通して、リスニング力を向上させること。
- ⑤記事に対する自分の意見を英作文し、英語で表現する力を身につけること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は演習形式を取り、2回の授業で1つのunitを扱う。授業の初めにテキストから作成したリスニング問題を実施する。正確に読むことに主眼を置き、単語・熟語・文法事項等を確認しながら記事を訳読し、段落ごとに要約し、トピック全体の理解を図る。段落ごとの要約とトピックに対する意見を英作文して課題として提出する。提出課題は教員が添削するので、添削された箇所を確認し、英語の表現や内容理解などを深める。

unitごとに前半後半に分けて2回、復習の小テストを実施する。フィードバックとして英作文は教員が添削し、返却する。小テスト・期末テストに関してはテスト終了後に模範解答を提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方説明と英作文
2	Unit 12-1 Gaming to Success: Can video games be good for us?	「ゲームで成功する：テレビゲームは私たちのためになるのか」前半講読
3	Unit 12-2 Gaming to Success: Can video games be good for us?	「ゲームで成功する：テレビゲームは私たちのためになるのか」後半講読
4	Unit 17-1 Believing a Lie: Can we plant memories in the brain?	「記憶の書き換え：脳に記憶を植え付けることはできるのか」前半講読

5	Unit 17-2 Believing a Lie: Can we plant memories in the brain?	「記憶の書き換え：脳に記憶を植え付けることはできるのか」後半講読
6	Unit 3-1 Marketing Genius: How did Red Bull achieve its success?	「マーケティングの天才：レッドブル社はいかにして成功を収めたのか」前半講読
7	Unit 3-2 Marketing Genius: How did Red Bull achieve its success?	「マーケティングの天才：レッドブル社はいかにして成功を収めたのか」後半講読
8	Unit 8-1 A Long Way to Go: What's it like to walk around the world?	「長い道のり：人はなぜ世界を歩くのか」前半講読
9	Unit 8-2 A Long Way to Go: What's it like to walk around the world?	長い道のり：人はなぜ世界を歩くのか」後半講読
10	Unit 13-1 Digital Town Square: Why is Twitter always in the news?	「自由な会話の場：なぜツイッターは話題になるのか」前半講読
11	Unit 13-2 Digital Town Square: Why is Twitter always in the news?	「自由な会話の場：なぜツイッターは話題になるのか」後半講読
12	Unit 18-1 Cell Magic: Can we make a living robot?	「細胞のマジック：生きたロボットは作れるか」前半講読
13	Unit 18-2 Cell Magic: Can we make a living robot?	細胞のマジック：生きたロボットは作れるか」後半講読
14	期末テストとまとめ	期末テストとまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。予習を前提に授業を進め、unitごとに2回小テストを実施するので、少なくとも1時間取って、教科書を読み、授業後には予習時にわからなかった箇所を復習すること。小テストでは英単語の定義が問われるので、予め英英辞書を使って単語の定義を調べておくこと。

【テキスト（教科書）】

Our World, Our Stories
(Dave Rear 著, 成美堂, 2025年)

【参考書】

英語系辞書（特に英英辞書）

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100満点とし、60点以上が合格となる。
授業への貢献10% 小テスト30% 期末テスト50% 英作文10%
欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
授業開始から30分以上の遅刻した場合は欠席扱い、遅刻2回で欠席1回とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

教科書に物足りなくなった場合や難しく感じられる場合、代替の記事を読む。

【Outline (in English)】

One of the main objectives in this course is improvement of reading skill and developing of students' vocabulary. Students will read English passages discussing social issues and recent events, paying much attention to paragraph structure and relationship between paragraphs. The ability to read and comprehend the argument of the passage and to acquire the knowledge and information through English will be improved by reading articles.

Another objective is formation and expression of students' own opinion. Emphasis should be put on understanding the writer's feeling and intention. However, students should not accept the writer's opinion easily if they have questions or doubts. Students have to form their own opinion after they find out the difference between the writer's opinion and theirs. In addition, they will practice summarizing the passages they read and writing the opinion which they formed in English.

Listening skill is also regarded as an important factor. Listening skill will be developed through the quizzes which the instructor makes from passages of the textbook. In some cases, other materials will be used for listening quizzes.

This class has five learning objectives.

First, They are expected to acquire the knowledge of English grammar, words and phrases which is necessary to read English.

Second, students are expected to acquire the ability to understand middle-length English articles by themselves

Third, students are expected to acquire the capacity to grasp logic of them, considering what role each paragraph has.

Fourth, students are expected to improve their listening skill through exercises.

Fifth, students are expected to acquire the faculty to write their own thoughts about articles in English.

The final evaluating score between 60%and 100%will be awarded. Percentages of evaluation are Presentation (Reading and Translating) 10%, Quizzes 30%, Final exam 50%, and Writing 10%. Credits will not be given to those who have missed 4 class hours or its equivalent in being late. When being late for thirty minutes is considered as one absence. Being late two times will be counted as one absence.

As for learning activities outside of classroom, students have to prepare and review for at least one hour. Students have to read texts and consult dictionaries about unknown words and phrases before class. After finishing reading an article, students have to reread it and review what you didn't understand for quizzes. As students answer the English definitions of words in quizzes, they have to consult an English-English dictionary.

LANe100LA (英語 / English language education 100)			5	Chapter 3 Mozart & the Beef Tongue	ザルツブルグ生まれのモーツアルトは、ウィーンに行き、成功をおさめてからも、故郷ザルツブルグで食べていた塩漬けの Beef Tongue の味わいが心に残っているのである。ザルツブルグのモーツアルトの生家は、今は、モーツアルト museum になっており、そこには、モーツアルトが生まれた部屋や、使っていたピアノが、18世紀当時のままに残されている。 Chapter 3のExerciseを行う。
English 1 I			6	Chapter 3 Mozart & the Beef Tongue	
池田 しおり			7	Chapter 4 Mozart & Fashionable Foods	モーツアルトの生きた時代は、音楽家の地位は、かなり低く、ザルツブルグの宮庭では、召使いのように扱われているとモーツアルトは、感じていた。彼のその社会的な位置から、庶民の素朴な料理と貴族が好む豪華な料理のどちらも味わっていた。 Chapter 4のExerciseを行う。
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火1/Tue.1 単位数：1単位 その他属性：			8	Chapter 4 Mozart & Fashionable Foods	
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 世界的に有名な音楽家、ビートルズ、エルビス・プレスリー、テイラー・スウィフトなどのミュージシャンと彼らのライフスタイルについての授業を英語のテキストを通して行う。 テキストから、多様で実地的な知識を学ぶことができる。 I use a textbook about worldwide musicians such as The Beatles, Elvis Presley, Taylor Swift. Students can learn diverse and practical knowledge.			9	Chapter 5 Beethoven & his Particular Viands	ベートーベン、simpleな料理を好み、コーヒーと新鮮な卵が好きであった。彼は料理も作り、友人をもてなすこともあった。 Chapter 5のExerciseを行う。
【到達目標】 Exerciseを行うことにより、実践力を高める。 世界的に有名な音楽家とそのライフスタイルを英語で学ぶことにより、国際人としての感覚を身に付け、コミュニケーション能力を高める。			10	Chapter 5 Beethoven & his Particular Viands	
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1			11	Chapter 6 Rentaro Taki & Fukujinzuke	滝廉太郎は、明治期にライプツィヒ音楽院に留学し、音楽でドイツに留学した3人目の留学生だった。 彼は、当時の日本の中学生の音楽教育にも貢献した。現在、ライプツィヒの街には、滝廉太郎のモニュメントが建てられている。 Chapter 6のExerciseを行う。
【授業の進め方と方法】 演習の形式で行う。 フィードバック方法 最終授業では、13回までの講義内容のまとめと解説を行う。			12	Chapter 6 Rentaro Taki & Fukujinzuke	
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 なし / No			13	Chapter 7 Frederic Chopin & Pot-au-feu	ショパンは、病弱だったことから、魚と野菜の入ったポトフを好んだ。 イギリスのビクトリア女王の前で演奏したのが、彼の最後の演奏となった。 試験範囲は授業で進んだ範囲とする。試験・まとめと解説
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No			14	試験日	
【授業計画】 授業形態：対面/face to face			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。 University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Reading Passage、Exerciseの問題の予習をして、授業に望んでください。 I hope that students attend this class after reading Reading Passage and Exercise.		
回	テーマ	内容	【テキスト（教科書）】 At the Musician's Table: Food and Music 朝日出版社		
1	Chapter 1 The Beatles & Strawberry Fields	ビートルズには、Strawberry Fields Foreverという楽曲がある。ちなみにstrawberry and creamは、伝統的なイギリスのデザートであり、ウインブルドン選手権の時、このスポーツの観戦者は、試合を楽しみながら、strawberry creamを食するのである。 Chapter 1のExerciseを行う。	【参考書】 なし		
2	Chapter 1 The Beatles & Strawberry Fields				
3	Chapter 2 Fuzjiko Hemming & Potato Pancakes	Fuzjiko Hemmingは、第二次世界大戦後の1960年代のドイツに留学する。戦後の食料のあまりない時代に、ドイツでは、ポテト・パンケーキがよく食べられていた。 彼女は、ポテト・パンケーキを作るたびに父親と幼い頃ベルリンで食べたポテト・パンケーキを思い出すのである。 Chapter 2のExerciseを行う。			
4	Chapter 2 Fuzjiko Hemming & Potato Pancakes				

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点50%として評価する。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位習得を認めない。遅刻3回で欠席1とみなす。

Grades are evaluated as final exam of spring term is 50% and normal point is 50%.

Grades aren't evaluated in class that students are absent from this class 4 or more each term.

Three lateness is regarded as one absence.

【学生の意見等からの気づき】

イギリスや、アメリカの文化についての詳しい知識が持てたという学生からの声があり、このことをさらに深めて授業を行う。

【Outline (in English)】

I give students tuition on a textbook described about world-famous musicians such as The Beatles, Elvis Presley, Taylor Swift.

Students can learn diverse and practical knowledge.

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
English 1 II		2017年度以降入学者
池田 しおり		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：火1/Tue.1		
単位数：1単位		
その他属性：		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		
世界的に有名な音楽家、ビートルズ、エルビス・プレスリー、テイラー・スウィフトなどのミュージシャンと彼らのライフスタイルについての授業を英語のテキストを通して行う。		
テキストから、多様で実践的な知識を学ぶことができる。		
I use a textbook about worldwide musicians such as The Beatles, Elvis Presley, Taylor Swift. Students can learn diverse and practical knowledge.		
【到達目標】		
Exerciseを行うことにより、実践力を高める。		
世界的に有名な音楽家とそのライフスタイルを英語で学ぶことにより、国際人としての感覚を身に付け、コミュニケーション能力を高める		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1		
【授業の進め方と方法】		
演習の形式で行う。		
フィードバック方法 最終授業では、13回までの講義内容のまとめと解説を行う。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】		
なし /No		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】		
なし /No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
1	Chapter 8 Antonin Dvorak & his Last Dinner	ドボルザークは、アメリカに滞在していた時代にアメリカを意味する曲の『新世界より』の演奏会を行い、聴衆はとても感銘を受けた。 しかしながら彼は生涯、故郷のチェコと家族を愛した。また、ブラハの郷土と文化をこよなく愛した ドボルザークは、その土地の local food も好んだ。 Chapter 8のExerciseを行う。
2	Chapter 8 Antonin Dvorak & his Last Dinner	
3	Chapter 9 Elvis Presley & the Elvis Sandwich	貧しい家庭の出身であるエルビス・プレスリーは、アメリカンドリームを実現し、キング・オブ・ロックン・ロールとして知られている。 エルビスは、彼の母親が幼い頃に作ってくれた後にエルビス・サンドイッチといわれるようになるサンドイッチを非常に好んでいた。 彼の生涯は、絶大な人気があるミュージシャンの側面ともう一方で、孤独にさいなまれた面があった。
4	Chapter 9 Elvis Presley & the Elvis Sandwich	Chapter 9のExerciseを行う。
5	Chapter 10 Aretha Franklin & Soul Food	アレサ・フランクリンは、父が、バプティスト派の牧師であり、母は、ゴスペルシンガーであった。また、アレサ・フランクリンは、カーター、クリントン、オバマ大統領の就任式で歌を披露した。彼女は、アメリカ南部の黒人料理である soul food で友人をもてなすのが好きであった。 2013年には、偉大なミュージシャン100人のトップの地位を占めている。
6	Chapter 10 Aretha Franklin & Soul Food	Chapter 10のExerciseを行う。
7	Chapter 11 Seiji Ozawa & Nostalgic Nibbles	小沢征爾の海外公演での食事は、オーソドックスな和食であった。また、彼は、自身のミュージック・アカデミーを創設し、若いミュージシャンの育成にも熱心である。
8	Chapter 11 Seiji Ozawa & Nostalgic Nibbles	Chapter 11のExerciseを行う。
9	Chapter 12 Bob Dylan & Country Pie	ボブ・ディランの作品の一つに Country Pie という曲がある。フルーツと野菜の入った素朴な pie であるが、この曲からは、country pie への彼の愛着が感じられる。
10	Chapter 12 Bob Dylan & Country Pie	Chapter 12のExerciseを行う。
11	Chapter 13 Taylor Swift & her Shake Shake	テイラー・スウィフトは、影響力のある著名人であるが、一般的なアメリカの若者が好む食事を取っている。 また、若いミュージシャンに経済的援助をしたり、助けを必要としている若者をサポートする活動も行なっている。
12	Chapter 13 Taylor Swift & her Shake Shake	Chapter 13のExerciseを行う。
13	Chapter 14 Billy Eilish & Veganism	ビリー・アイリッシュは、動物愛護活動家 (animal rights activist) であり、また彼女は、ビーガン(完全な採食主義者)でもある。 社会問題にも関心を持ち、同世代の若者に選挙に行くように呼びかけている。
14	試験日	試験範囲は授業で進んだ範囲とする。試験・まとめと解説
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。 /University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.		
テキストの Reading Passage、Exercise を読んで、授業に望んでください。I hope that students attend this class after reading Reading Passage and Exercise.		
【テキスト（教科書）】		
At the Musician's Table: Food and Music 朝日出版社		
【参考書】		
なし		

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点50%として評価する。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位習得を認めない。遅刻3回で欠席1とみなす。

Grades are evaluated as final exam of autumn term is 50% and normal point is 50%.

Grades aren't evaluated in class that students are absent from this class 4 or more each term.

Three lateness is regarded as one absence.

【学生の意見等からの気づき】

イギリスや、アメリカの文化についての詳しい知識が持てたという学生からの声があり、このことをさらに深めて授業を行う。

【Outline (in English)】

I give students tuition on English textbook described about world-famous musicians such as The Beatles, Elvis Presley, Taylor Swift.

Students can learn diverse and practical knowledge.

LANe100LA (英語 / English language education 100)			5	Vocabulary Test (U1); Unit 2: Review on Chapter 1; Chapter 2 (Web forum); Real Life Skill	Vocabulary test; Reading comprehension; Building vocabulary; Dictionary Skills
English 1 I			6	Unit 2: Review on Chapter 2; Unit 3: STUDYING ABROAD, Chapter 1 (Advertisement)	Reviewing the context; Reading comprehension; Building vocabulary
杉 亜希子			7	Vocabulary test (U2); Unit 3: Review on Chapter 1; Chapter 2 (Diary extract)	Vocabulary test; Reading comprehension; Building vocabulary; Writing an English journal
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：木2/Thu.2			8	Unit 3: Review on Chapter 2; Unit 4: MONEY AND BUDGETS, Chapter 1 (Magazine article)	Reviewing the context; Reading comprehension; Building vocabulary
単位数：1単位			9	Vocabulary test (U3); Unit 4: Review on Chapter 1; Chapter 2 (Web interview); Real Life Skill	Vocabulary test; Reading comprehension; Building vocabulary; Creating a personal budget
その他属性：			10	Unit 4: Review on Chapter 2; Unit 5: OUR MODERN LIFESTYLE, Chapter 1 (Newspaper letter)	Reviewing the context; Reading comprehension; Building vocabulary
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			11	Vocabulary Test (U4); Unit 5: Review on Chapter 1; Chapter 2 (Magazine article); Real Life Skill	Vocabulary test; Reading comprehension; Building vocabulary; Reading blogs
日常的に使われる自然な英語で書かれている教材を使い、多種多様な英語の文章を読みながら、効果的に英文を読むためのストラテジーを学び応用する力をつけていく。各パラグラフの構造とパラグラフ同士のつながりを意識しながら全体の流れと大意を取ることで読解力を上げ、さらにその内容を「自分の言葉」で説明する練習をする。			12	Unit 5: Review on Chapter 2; Unit 6: THE OLYMPICS, Chapter 1 (Reference article)	Reviewing the context; Reading comprehension; Building vocabulary
【到達目標】			13	Vocabulary Test (U5); Unit 6: Chapter 2 (Webpage); Real Life Skill	Vocabulary test; Reading comprehension; Building vocabulary; Understanding punctuation
・英語独自の音やリズムを身につける			14	Review Test	Review Test
・英語を目で追うだけでなく、口に出して言うことに慣れる			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
・難しい単語の理解に執着せず、文脈から意味を予測できる			・予習では各パッセージを事前に読み、練習問題に目を通しておく。筆者が「なにを」「どのように」主張・説明しているかを把握し、英語で書きだす		
・英語のセンテンスをフレーズごとに英語の順序のまま把握できる			・テキストで使用されたフレーズ表現を徹底して復習し、日本語を介さず理解できるように復唱することを習慣化する		
・リーディングやエクササイズを通して文脈内での使われ方を意識し、語彙力を上げる			・理解するだけで満足せず、それを英語で「自分の言葉で」説明する練習も面倒がらずに繰り返していく		
・エッセイから必要な「情報」を取り出し、メモすることができる			・ユニットごとに実施される単語の試験で修得程度を確認する		
・各パラグラフの論旨、そしてエッセイ全体の構造を把握できる			・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする		
・把握した内容を自分の言葉で説明できる					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1					
【授業の進め方と方法】					
・ペアまたはグループ・ワークを中心に集中力を持って内容を理解し大意をつかむ					
・内容把握後に音読することで英語独特のリズムや語順を身に付けると同時に、英語を口にすることに慣れる					
・重要なフレーズを訓練し自分のものにすることで、語彙・表現力を上げる					
・ユニットごとに単語の試験を実施し修得確認の機会を設ける					
・パラグラフに始まり、文章全体の要旨を英語で説明できるように練習する					
・質問などへのフィードバックは授業内または学習支援システムやメールで行う					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
あり /Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	Guidance	General briefing			
2	Unit 1 : ALL ABOUT FOOD, Chapter 1 (Newspaper article)	Reading comprehension; Building vocabulary			
3	Unit 1 : Review on Chapter 1; Chapter 2 (Recipe); Real Life Skill	Reviewing the context; Reading comprehension; Building vocabulary; Reading Food Labels			
4	Unit 1 : Review on Chapter 2; Unit 2: INVENTIONS, Chapter 1 (Newspaper article)	Reviewing the context; Reading comprehension; Building vocabulary			

【テキスト（教科書）】

Anderson, N.J., *Active Skills for Reading 1* (National Geographic Learning, a part of Cengage Learning, 2013, ¥3,170+Tax)

富士見ゲート棟内の法政大学売店、三省堂書店にて購入できる

【参考書】

An English-English dictionary should be used as well as a Japanese-English or English-Japanese dictionary.

<http://dictionary.cambridge.org/>

<http://www.merriam-webster.com/>

Thesaurus: <http://thesaurus.com/>

Britannica: www.britannica.com/

【成績評価の方法と基準】

・授業態度・積極性 30 %（授業にただ参加するだけではなく oral activity を中心とした授業中の英語への積極的な取り組みを重視）

・ユニットごとに行われる小テスト 20 %

・Review text 50 %

適切な理由のない遅刻（授業開始から30分以内）は2回で欠席扱いとする。また各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない

・適切な理由と証拠提出による欠席の場合は代替措置を設定できるので要相談

【学生の意見等からの気づき】

・受講者である皆さんの積極的な参加があるとテンポよく進み、またグループワークで互いに刺激しあうことが出来ている

・毎年、英語を英語で説明することに序盤は苦勞するものの、英語で考える習慣がつくように繰り返しの練習が積極的にできた受講者は、英語で説明し発話することに抵抗がなくなるまで成長している

・英文を「ただなんとなく読む」だけでは語学力は向上しない。読んで理解した内容を筆者の立てた筋道に沿って説明するのは簡単ではなく練習が必要となり、年度により完成度は異なるものの、その意義を理解した受講者は確実に英語力を向上させている

【学生が準備すべき機器他】

英語の辞書。電子辞書や携帯電話やスマホの辞書アプリの使用や必要に応じた検索機能の使用を認める

【その他の重要事項】

・授業中の共同作業では大人として積極的な協力姿勢が求められる

・生成AIや翻訳機能の許可しない使用は認められず、評価にも影響する

・欠席や遅延をメールで連絡する場合には (akiko.sugi4i@hosei.ac.jp)、理由説明と「根拠となる証拠」の提示が必須である

・適切な理由と証拠提出による欠席の場合には、代替措置を設定するので要相談

【Outline (in English)】

This course is designed to give opportunities to read authentic English passages from a wide range of subjects effectively and to acquire a habit of thinking logically by recognizing the flow of ideas and learning structural patterns. We will also aim at expanding your vocabulary and phrases to develop your confidence of presenting your ideas in your own words.

< Learning Objectives >

・ You will expand your vocabulary

・ You will learn the natural flow of English

・ You will get used to the natural word order by pronouncing English sentences and improving your pronunciation

・ You will be able to guess words in context

・ You will identify main ideas as well as supporting detail

・ You will identify the structure and outline the passage

・ You will be able to read between the lines, make inferences and draw appropriate conclusions

・ You will be able to retell the story in English

< Learning Activities outside of class >

・ Preparation: You are expected to understand the subject of each chapter and go through the reading passage before each class. Write out the topic ("what" is the passage about) and "how" the author explains his or her ideas/claim in the passage

・ Review: Review thoroughly on new words and phrases you come across and make a habit of using such expressions; Do make sure to retell the story you have understood in your own words

・ University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course

< Grading Criteria/Policy >

Active participation and positive attitude 30%, quizzes 20%, exam 50%

LANe100LA (英語 / English language education 100)			4	Vocabulary Test (U7); Unit 8: Reviewing on Chapter 1; Chapter 2 (Reference article); Real Life Skill	Vocabulary test; Reading comprehension; Building vocabulary; Distinguishing American and British words
English 1 II			5	Unit 8: Review on Chapter 2; Unit 9: FESTIVALS AND CELEBRATIONS, Chapter 1 (Reference article)	Review the context; Reading comprehension; Building vocabulary
杉 亜希子			6	Vocabulary Test (U8) Unit 9: Review on Chapter 1; Chapter 2 (Diary extract); Real Life Skill	Vocabulary test; Reading comprehension; Building vocabulary; Reading tourist information
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：木2/Thu.2			7	Unit 9: Review on Chapter 2; Unit 10: GROWING UP, Chapter 1 (Reference article)	Review the context; Reading comprehension; Building vocabulary
単位数：1単位			8	Vocabulary Test (U9); Unit 10: Review on Chapter 1; Chapter 2 (Web interview); Real Life Skill	Vocabulary test; Reading comprehension; Building vocabulary; Choosing the right word
その他属性：			9	Unit 10: Review on Chapter 2; Unit 11: LOOK INTO THE FUTURE, Chapter 1 (Reference article)	Review the context; Reading comprehension; Building vocabulary
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			10	Vocabulary Test (U10) Unit 11: Review on Chapter 1; Chapter 2 (Newspaper letter)	Vocabulary test; Reading comprehension; Building vocabulary; Doing research on the Internet
日常的に使われる自然な英語で書かれている教材を使い、多種多様な英語の文章を読みながら、効果的に英文を読むためのストラテジーを学び応用する力をつけていく。各パラグラフの構造とパラグラフ同士のつながりを意識しながら全体の流れと大意を取ることで読解力を上げ、さらにその内容を「自分の言葉」で説明する練習をする。			11	Unit 11: Review on Chapter 2; Unit 12: THE POWER OF STORIES, Chapter 1 (Story)	Review the context; Reading comprehension; Building vocabulary
【到達目標】			12	Unit 12: Review on Chapter 1; Chapter 2 (Magazine article); Real Life Skill	Review the context; Reading comprehension; Building vocabulary
・英語独自の音やリズムを身につける			13	Vocabulary Test (U11); Unit 12: Review on Chapter 2; Real Life Skill	Vocabulary test; Reading comprehension; Building vocabulary; Understanding Internet speak
・英語を目で追うだけでなく、口に出して言うことに慣れる			14	Review Test	Review Test
・難しい単語の理解に執着せず、文脈から意味を予測できる			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
・英語のセンテンスをフレーズごとに英語の順序のまま把握できる			・予習では各パッセージを事前に読み、練習問題に目を通しておく。筆者が「なにを」「どのようにに」主張・説明しているかを把握し、英語で書きだす		
・リーディングやエクササイズを通して文脈内での使われ方を意識し、語彙力を上げる			・テキストで使用されたフレーズ表現を徹底して復習し、日本語を介さず理解できるように復唱することを習慣化する		
・エッセイから必要な「情報」を取り出し、メモすることができる					
・各パラグラフの論旨、そしてエッセイ全体の構造を把握できる					
・把握した内容を自分の言葉で説明できる					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1					
【授業の進め方と方法】					
・ペアまたはグループ・ワークを中心に集中力を持って内容を理解し大意をつかむ					
・内容把握後に音読することで英語独特のリズムや語順を身に付けると同時に、英語を口にすることに慣れる					
・重要なフレーズを訓練し自分のものにすることで、語彙・表現力を上げる					
・ユニットごとに単語の試験を実施し修得確認の機会を設ける					
・パラグラフに始まり、文章全体の要旨を英語で説明できるよう練習する					
・質問などへのフィードバックは授業内または学習支援システムやメールで行う					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
あり /Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	Unit 7: GREAT STRUCTURES, Chapter 1 (Reference article)	Reading comprehension; Building vocabulary			
2	Unit 7: Review on Chapter 1; Chapter 2 (Webpage); Real Life Skill	Review the context; Reading comprehension; Building vocabulary; Recognizing survey question types			
3	Unit 7: Review on Chapter 2; Unit 8: LANGUAGE AND COMMUNICATION, Chapter 1 (Reference article)	Review the context; Reading comprehension; Building vocabulary			

- ・理解するだけで満足せず、それを英語で「自分の言葉で」説明する練習も面倒がらずに繰り返していく
- ・ユニットごとに実施される単語の試験で修得程度を確認する
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする

【テキスト（教科書）】

Anderson, N.J., *Active Skills for Reading 1* (National Geographic Learning, a part of Cengage Learning, 2013, ¥3,170+Tax)

【参考書】

An English-English dictionary should be used as well as a Japanese-English or English-Japanese dictionary.

<http://dictionary.cambridge.org/>

<http://www.merriam-webster.com/>

Thesaurus: <http://thesaurus.com/>

Britannica: www.britannica.com

【成績評価の方法と基準】

- ・授業態度・積極性30%（授業にただ参加するだけではなく、oral activityを中心とした授業中の英語への積極的な取り組みを重視）
- ・ユニットごとに行われる小テスト20%
- ・Review Text 50%
- ・適切な理由のない遅刻（授業開始から30分以内）は2回で欠席扱いとする。また各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位習得を認めない。
- ・適切な理由と証拠提出による公欠の場合には、代替措置を設定できるので要相談

【学生の意見等からの気づき】

- ・受講者である皆さんの積極的な参加があるとテンポよく進み、またグループワークで互いに刺激しあうことが出来ている
- ・毎年、英語を英語で説明することに序盤は苦勞するものの、英語で考える習慣がつくように繰り返しの練習を積極的にできた受講者は、英語で説明し発話することに抵抗がなくなるまで成長している
- ・英文を「ただなんとなく読む」だけでは語学力は向上しない。読んで理解した内容を筆者の立てた筋道に沿って説明するのは簡単ではなく練習が必要となり、年度により完成度は異なるものの、その意義を理解した受講者は確実に英語力を向上させている

【学生が準備すべき機器他】

英語の辞書。電子辞書や携帯電話・スマホの辞書アプリの使用や必要に応じた検索機能の使用を認める

【その他の重要事項】

- ・授業中の共同作業では大人として積極的な協力姿勢が求められる
- ・生成AIや翻訳機能の許可のない使用は認められず、評価にも影響する
- ・欠席や遅延をメールで連絡する場合には (akiko.sugi4i@hosei.ac.jp)、理由説明と「根拠となる証拠」の提示が必須である
- ・適切な理由と証拠提出による欠席の場合には、代替措置を設定するので要相談

【Outline (in English)】

This course is designed to give opportunities to read authentic English passages from a wide range of subjects effectively and to acquire a habit of thinking logically by recognizing the flow of ideas and learning structural patterns. We will also aim at expanding your vocabulary and phrases to develop your confidence of presenting your ideas in your own words.

< Learning Objectives >

- ・ You will expand your vocabulary
- ・ You will learn the natural flow of English
- ・ You will get used to the natural word order by pronouncing English sentences and improving your pronunciation
- ・ You will be able to guess words in context
- ・ You will identify main ideas as well as supporting detail
- ・ You will identify the structure and outline the passage
- ・ You will be able to read between the lines, make inferences and draw appropriate conclusions
- ・ You will be able to retell the story in English

< Learning Activities outside of class >

- ・ Preparation: You are expected to understand the subject of each chapter and go through the reading passage before each class. Write out the topic ("what" is the passage about) and "how" the author explains his or her ideas/claim in the passage
 - ・ Review: Review thoroughly on new words and phrases you come across and make a habit of using such expressions; Do make sure to retell the story you have understood in your own words
 - ・ University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course
- < Grading Criteria/Policy >
- Active participation and positive attitude 30%, quizzes 20%, exam 50%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

坂梨 健史郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

- ・複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に理解し、また理解したことを日本語と英語で説明できる力を養う。
- ・特にパラグラフの構造およびパラグラフ同士のつながりに留意する。
- ・構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報をつかみ取ること、また書き手の感情や意図をつかむことに重点を置く。
- ・さらに、得られた情報を鵜呑みにするのではなく、多面的・客観的観点から分析する、いわゆる批判的思考力の養成も行う。
- ・異なる分野の語彙力の強化および文法・語法の整理・活用を図る。
- ・朗読テープを用いて「聴く力」の育成も行う。
- ・また、英語辞書の効果的な使い方についても指導する。

【到達目標】

- ・GRAMMAR FOCUSおよびBEFORE READINGで扱う文法事項を踏まえて、BEFORE READINGの各例文を正確に理解し説明できる。
- ・READINGの本文の構文や意味を正確に理解した上で説明できるとともに、関連する設問に正解できる。
- ・ACTIVITIESの各文法問題に正解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・テキスト本文の講読および問題演習。授業中に全員に指名するので必ず予習（単語調べ、解答作成など）をしてくる。指名時の回答に対しては即座に正誤判定を行い、正解およびコメントを発表する。
- ・各ユニットは4セクションで構成されている。GRAMMAR FOCUS、BEFORE READINGおよびACTIVITIESでは文法事項の復習と整理に努める。READINGでは本文の訳読を主体に進め、またパラグラフごとに和文および英文の設問があるのでそれに答えることで、より深い読みを目指す。興味深いテーマと明快な英文で書かれたエッセイを楽しみつつ学習していったほしい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業内容の説明等
2	Unit 1	読解：試験やアンケートに関する英文
3	Unit 1 (続き)	文法：主語と目的語
4	Unit 2	読解：食生活に関する英文
5	Unit 2 (続き)	文法：述部、付加語、補語
6	Unit 3	読解：サブカルチャーに関する英文
7	Unit 3 (続き)	文法：様々な修飾
8	Unit 4	読解：映画に関する英文
9	Unit 4 (続き)	文法：完了形
10	Unit 5	読解：社会制度に関する英文
11	Unit 5 (続き)	文法：不定詞
12	Unit 6	読解：ポピュラーミュージックに関する英文
13	Unit 6 (続き)	文法：動名詞および現在分詞
14	試験・まとめと解説	授業時間内に実施する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 必ず予習復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
- ・GRAMMAR FOCUSおよびBEFORE READING：読んでくる。例文中の単語や表現の意味を調べてくる。
- ・READING：本文については読んで、指名されたら訳せるように、単語や表現の意味を調べてくる。設問については解答を和文および英文で作成してくる。
- ・ACTIVITIES：問題文の意味を調べ、解答を作成してくる。

【テキスト（教科書）】

『Ins & Outs: Reading Focusing on Grammar Skills 文法中心のパラグラフリーディング―正しい英語の読み方』 金星堂

【参考書】

- 文法の参考書は
- ・『FOREST』 桐原書店を薦める。
- 英和辞典は
- ・『リーダーズ英和辞典＋リーダーズプラス』 研究社
- ・『研究社英和大辞典』 研究社
- ・『ランダムハウス英和大辞典』 小学館
- ・『ジーニアス英和大辞典』 大修館書店を薦めるが、どれも大部なので電子辞書でないと携帯が難しい。

【成績評価の方法と基準】

単位取得条件

- ・欠席が3回以内であること（遅刻については下記参照）。
 - ・受講態度が良好であること（無予習、私語、居眠りは厳禁）
 - ・期末試験の結果が100点満点中60点以上であること。
- 以上3点をすべて満たす者のみが単位を取得できる。
- ・なお、受講態度や学習態度が不良の者は、欠席扱いや学期途中での履修取り消し等の措置を取ることがある。

期末試験

- ・上記「授業の到達目標」がどの程度達成できているかを測る内容とする。

成績評価

- ・期末試験50 %
- ・平常点（学習態度および受講態度）50 %

遅刻の扱い

- ・遅刻とは「出欠確認後に教室に入る行為」を指す。遅刻の理由は問わない。
- ・遅刻は分数を記録し、合計が60の倍数に達するごとに1回の欠席とする。記録は10分刻みとし、端数は切り上げる（1分の遅刻は10と記録する）。
- ・なお、中座（用便等の理由で一時退室する行為）や早退（体調不良等で授業終了前に退室する行為）も遅刻と同様に扱う。

【学生の意見等からの気づき】

「文法をもっと教えて欲しい」という指摘があった。基本的にはテキストの内容に沿って授業を進めるが、関連する文法事項にもなるべく多く触れたいと思う。

【その他の重要事項】

座席

- ・座席は指定する。

オフィスアワー

- ・授業に関する質問や相談は授業の前後に受け付ける。

【Outline (in English)】

Students will read passages of multiple paragraphs at a speed necessary for different purposes (e.g. speed reading and close reading). Attention should be paid to paragraph structure, e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence and the logical relationship between paragraphs. Students will learn how to comprehend the structure and the argument of the passage, acquire the knowledge and information they need, and grasp the writer's intention and feelings. In addition, the course will help students foster critical thinking skills, that is, skills to make an objective and multifaceted analysis of the given information, instead of accepting it unquestioningly. The course will offer instruction of and practice in the development of effective listening skills. Students will also learn how to paraphrase what they have read, and then write in English a summary of and comments on what they have read.

Learning Objectives

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- A. rightly understand and explain the example sentences in BEFORE READING, based on the grammatical knowledge learned in GRAMMAR FOCUS and BEFORE READING.
- B. rightly understand and explain the structure and meaning of every sentence of the passage in READING, and rightly answer the related questions.
- C. rightly answer the grammar questions in ACTIVITIES.

Learning Activities Outside of Classroom

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant pages from the textbook and prepare for oral questions about them from the teacher. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term end examination: 50%and in-class oral questions: 50%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

坂梨 健史郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

- ・複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に理解し、また理解したことを日本語と英語で説明できる力を養う。
- ・特にパラグラフの構造およびパラグラフ同士のつながりに留意する。
- ・構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報をつかみ取ること、また書き手の感情や意図をつかむことに重点を置く。
- ・さらに、得られた情報を鵜呑みにするのではなく、多面的・客観的観点から分析する、いわゆる批判的思考力の養成も行う。
- ・異なる分野の語彙力の強化および文法・語法の整理・活用を図る。
- ・朗読テープを用いて「聴く力」の育成も行う。
- ・また、英語辞書の効果的な使い方についても指導する。

【到達目標】

- ・GRAMMAR FOCUSおよびBEFORE READINGで扱う文法事項を踏まえて、BEFORE READINGの各例文を正確に理解し説明できる。
- ・READINGの本文の構文や意味を正確に理解した上で説明できるとともに、関連する設問に正解できる。
- ・ACTIVITIESの各文法問題に正解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・テキスト本文の講読および問題演習。授業中に全員に指名するので必ず予習（単語調べ、解答作成など）をしてくる。指名時の回答に対しては即座に正誤判定を行い、正解およびコメントを発表する。
- ・各ユニットは4セクションで構成されている。GRAMMAR FOCUS、BEFORE READINGおよびACTIVITIESでは文法事項の復習と整理に努める。READINGでは本文の訳読を主体に進め、またパラグラフごとに和文および英文の設問があるのでそれに答えることで、より深い読みを目指す。興味深いテーマと明快な英文で書かれたエッセイを楽しみつつ学習していったほしい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7	読解：リサイクルに関する英文
2	Unit 7 (続き)	文法：助動詞
3	Unit 8	読解：起業に関する英文
4	Unit 8 (続き)	文法：関係詞
5	Unit 9	読解：伝統文化に関する英文
6	Unit 9 (続き)	文法：itやthereを用いる構文
7	Unit 10	読解：日本文化に関する英文
8	Unit 10 (続き)	文法：受動文
9	Unit 11	読解：健康に関する英文
10	Unit 11 (続き)	文法：比較の表現
11	Unit 12	読解：消費行動に関する英文
12	Unit 12 (続き)	文法：名詞構文
13	Unit 13	読解：日本と西洋の文化比較に関する英文
14	試験・まとめと解説	授業時間内に実施する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 必ず予習復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
- ・GRAMMAR FOCUSおよびBEFORE READING：読んでくる。例文中の単語や表現の意味を調べてくる。
- ・READING：本文については読んで、指名されたら訳せるように、単語や表現の意味を調べてくる。設問については解答を和文および英文で作成してくる。
- ・ACTIVITIES：問題文の意味を調べ、解答を作成してくる。

【テキスト（教科書）】

『Ins & Outs: Reading Focusing on Grammar Skills 文法中心のパラグラフリーディング—正しい英語の読み方』金星堂

【参考書】

- 文法の参考書は
 - ・『FOREST』桐原書店を薦める。
 - 英和辞典は
 - ・『リーダーズ英和辞典＋リーダーズプラス』研究社
 - ・『研究社英和大辞典』研究社
 - ・『ランダムハウス英和大辞典』小学館
- をどれかを薦めるが、どれも大部なので電子辞書でないと携帯が難しい。

【成績評価の方法と基準】

- 単位取得条件
- ・欠席が3回以内であること（遅刻については下記参照）。
- ・受講態度が良好であること（無予習、私語、居眠りは厳禁）
- ・期末試験成績が100点満点中60点以上であること。
- 以上3点をすべて満たす者のみが単位を取得できる。
- ・なお、受講態度や学習態度が不良の者は、欠席扱いや学期途中での履修取り消し等の措置を取ることがある。
- 期末試験
- ・上記「授業の到達目標」がどの程度達成できているかを測る内容とする。
- 成績評価
- ・期末試験50%
- ・平常点（学習態度および受講態度）50%
- 遅刻の扱い
- ・遅刻とは「出欠確認後に教室に入る行為」を指す。遅刻の理由は問わない。
- ・遅刻は分数を記録し、合計が60の倍数に達するごとに1回の欠席とする。記録は10分刻みとし、端数は切り上げる（1分の遅刻は10と記録する）。
- ・なお、中座（用便等の理由で一時退室する行為）や早退（体調不良等で授業終了前に退室する行為）も遅刻と同様に扱う。

【学生の意見等からの気づき】

「文法をもっと教えて欲しい」という指摘があった。基本的にはテキストの内容に沿って授業を進めるが、関連する文法事項にもなるべく多く触れたいと思う。

【その他の重要事項】

- 座席
- ・座席は指定する。
- オフィスアワー
- ・授業に関する質問や相談は授業の前後に受け付ける。

【Outline (in English)】

Students will read passages of multiple paragraphs at a speed necessary for different purposes (e.g. speed reading and close reading). Attention should be paid to paragraph structure, e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence and the logical relationship between paragraphs. Students will learn how to comprehend the structure and the argument of the passage, acquire the knowledge and information they need, and grasp the writer's intention and feelings. In addition, the course will help students foster critical thinking skills, that is, skills to make an objective and multifaceted analysis of the given information, instead of accepting it unquestioningly.

The course will offer instruction of and practice in the development of effective listening skills. Students will also learn how to paraphrase what they have read, and then write in English a summary of and comments on what they have read.

Learning Objectives

By the end of the course, students should be able to do the followings:

-A. rightly understand and explain the example sentences in BEFORE READING, based on the grammatical knowledge learned in GRAMMAR FOCUS and BEFORE READING.

-B. rightly understand and explain the structure and meaning of every sentence of the passage in READING, and rightly answer the related questions.

-C. rightly answer the grammar questions in ACTIVITIES.

Learning Activities Outside of Classroom

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant pages from the textbook and prepare for oral questions about them from the teacher. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term end examination: 50%and in-class oral questions: 50%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

小泉 和弘

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

複数のパラグラフからなる英文を読む。構文など、文法事項に関することを学ぶ。速読や精読など目的に応じた速度で効果的に読む訓練をする。

必要な知識・情報を掴み取るを訓練をする。書き手の感情や意図、論旨を正確に把握する訓練をする。精読した英文の要旨や、それについてのコメントなどを英語で書く練習をする。英語辞書の効果的な使い方について学習する。

【到達目標】

複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に、かつ速読や精読など目的に応じた速度で読むことのできる。特にパラグラフの構造およびパラグラフ同士のつながりに留意しつつ、構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報を掴み取ること、また書き手の感情や意図を掴むことが出来る。さらに、得られた情報を鵜呑みにするのではなく、多面的・客観的観点から分析する、いわゆる批判的思考力を養うことが出来る。「聴く力」の育成も、授業の一環で行い、精読した英文の要旨や、それについての批判的コメントなどを英語で書ける。

入学時に受けたELPAの英語プレスメントaのスコアを10%以上上げることが目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

演習形式をとります。まず、CDを聞き、学生に音読してもらい、内容について質問し答えてもらいます。この授業では、課題を課すことがあり、その課題を学生が提出し、そのフィードバックとして教室で課題の解説を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	1年間の予定、授業の進め方などを説明する。
第2回	Growth and Chapter Development	人間の誕生から死までのことを学び、本文の内容の練習問題を解く。
第3回	Human Body / Chapter Sleep	人間の体と睡眠について学び、本文の練習問題を解く。
第4回	Health and fitness / Chapter Allergies	健康とアレルギーに関して学び、本文の練習問題を解く。
第5回	Diseases (1) Chapter	細菌、ウイルス、プリオン等に関して学び、本文の練習問題を解く。
第6回	Diseases (2) Chapter	遺伝病、精神の病等を学び、本文の練習問題を解く。
第7回	Immunity /AIDS Chapter	免疫とエイズに関して学び、本文の練習問題を解く。

第8回	Smoking /Cancer Chapter	喫煙と癌に関して学び、本文の練習問題を解く。
第9回	Medicine Chapter	医療に関して学び、本文の練習問題を解く。
第10回	Complementary Chapter medicine	補充医療（漢方、整体、鍼灸）を学び、本文の練習問題を解く。
第11回	First Aids /Doctors Chapter	救急医療と医師に関して学び、本文の練習問題を解く。
第12回	Nightingale, Chapter Florence /Nurses	ナイチンゲールの生涯と、看護師に関して学び、本文の練習問題を解く。
第13回	Hospitals Chapter	大学病院の役割に関して学び、本文の練習問題を解く。
第14回	試験を行う。試験・まとめ	試験を行い、その後、試験のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の前には、予習をしておくこと。授業の後には、復習をしておくこと。また、授業のまえには、英文の音読をしておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Life and Health (生活と健康) (鳳書房) 1,980円 (税込み)

【参考書】

Longman Dictionary of Contemporary English (桐原書店)

【成績評価の方法と基準】

試験 80%, 授業への積極性 20%, セメスター内で、4回以上の欠席をした場合には単位取得が不可能になります。

【学生の意見等からの気づき】

気力が感じられる授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業中の私語、食事は禁止します。英語の授業なので、辞書または電子辞書を持参すること。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course introduces reading and writing to students taking this course. (Learning Objectives) The goal of this course is to improve your reading and writing. (Learning activities outside of classroom) Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting. (Grading Criteria /Policies) Your overall grade in the class will be decided based on the following : Term-end examination 80% in the class contribution 20 %

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

小泉 和弘

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ジャンルを限定せず、4技能のバランスの良い学習効果を念頭に置きつつ、主として複数のパラグラフからなる英文を読めるようにする。速読や精読など目的に応じた速度で読むことが出来るようにする。必要な知識・情報を掴み取ることが出来るようにする。書き手の感情や意図を掴むことが出来るようにする。

【到達目標】

複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に、かつ速読や精読など目的に応じた速度で読むことが出来る。特にパラグラフの構造およびパラグラフ同士のつながりに留意しつつ、構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報を掴み取ること、また書き手の感情や意図を掴むことができる。さらに、得られた情報を鵜呑みにするのではなく、多面的・客観的観点から分析する、いわゆる批判的思考力が出来る。「聴く力」の育成出来る。また、精読した英文の要旨や、それについての批判的なコメントを英語で書ける。

入学時に受けたELPAの英語プレズメントaのスコアを20%以上上げることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

演習形式をとります。まず、CDを聞いて、学生に英文を読んでもらい、その文章に対して質問をし、学生はその答えをします。この授業では、課題を課すことがあり、その課題を学生が提出し、そのフィードバックとして教室で課題の解説を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	味の素	味の素の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 1		
第 2 回	花王株式会社	花王株式会社の企業理念、持続可能な企業活動などが学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 2		
第 3 回	CYBERDYNE	CYBERDYNEの会社内容、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 3		
第 4 回	サントリー	サントリーの歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 4		
第 5 回	Spiber	Spiberの歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 5		
第 6 回	セコム株式会社	セコム株式会社の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 6		
第 7 回	ヤマト運輸株式会社	ヤマト運輸の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 14		

第 8 回	セブン&アイ・ホールディングス	セブン&アイ・ホールディングス企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 7		
第 9 回	大正製薬	大正製薬の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 8		
第 10 回	東レ	東レの歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 9		
第 11 回	豊田通商	豊田通商の歴史、企業理念等を学び、そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 10		
第 12 回	日清食品	日清食品の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
Chapter 11		
第13回ビ	ビデオ学習。	ビデオ学習をする。
デオ		
第 14 回	試験を行う。	試験を行い、その後、試験のまとめと解説を行う。
試験・まとめ		

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の前には、予習をしておくこと。授業の後には、復習をしておくこと。また、授業のまえには、英文の音読をしておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Leading the Way: Major Japanese Corporation（南雲堂）2,000円＋税

【参考書】

Longman Dictionary of Contemporary English 桐原書店

【成績評価の方法と基準】

試験 80%、授業への積極性 20%、1セメスターで4回以上の欠席をした場合は、単位取得が不可能になります。

【学生の意見等からの気づき】

気力を感じられる授業をするように心がけます。

【その他の重要事項】

授業中の私語、食事は禁止します。
英語の授業なので、辞書または電子辞書を持参すること。
授業中、スマホはカバンの中に入れておくこと。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course introduces reading and writing to students taking this course. (Learning Objectives) The goal of this course is to improve your reading and writing. (Learning activities outside of classroom) Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting. (Grading Criteria /Policies) Your overall grade in the class will be decided based on the following : Term-end examination 80 % in the class contribution 20 %

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

田中 邦佳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

様々なテーマの英文記事の読解をします。授業のテーマの1つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。2つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。1文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】

- ・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
- ・ある程度まとまった量の英文の内容を人に伝わるような日本語で説明する
- ・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは目安として2～3回の授業で1章分というペースで進めることを目標とします。1章毎に内容確認の小テストを実施する予定です。特に難解な文については解説を行います。一字一句全て訳していくようなことはしません。可能であればグループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	授業の進め方、評価についての説明をします。
第2回	Is it in your blood? (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第3回	Is it in your blood? (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第4回	An unpunished crime (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第5回	An unpunished crime (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第6回	Extensive reading Q & A with Julian Bamford (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第7回	Extensive reading Q & A with Julian Bamford (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第8回	試験・まとめと解説 (中間)	試験・まとめと解説
第9回	Money matters (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第10回	Money matters (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。

第11回	Is netspeak harming the English language? (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第12回	Is netspeak harming the English language? (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第13回	まとめ方を考察する	記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
第14回	試験・まとめと解説 (期末)	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト（教科書）】

・Essential Reading Second Edition Level 3, ゴフ クリス/マカボイ ジャッキー/マイルズ スコット, マクミラン ランゲージハウス, (¥2,600円+税)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

以下の配分で評価する。

試験(80%)

平常点および課題(20%)

欠席回数が通算4回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が3回に達するごとに1回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students improve skills for English reading comprehension and for summarizing the contents of paragraphs.

Learning Objectives: At the end of the course, students are expected to understand the contents and intentions of English articles and briefly explain contents of articles.

Learning activities outside of classroom: University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course

Grading Criteria /Policy: Class Assignments 20%, Exam 80%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

田中 邦佳

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火1/Tue.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

様々なテーマの英文記事の読解をします。授業のテーマの1つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。2つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。1文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】

- ・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
- ・ある程度まとまった量の英文の内容を人に伝わるような日本語で説明する
- ・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは目安として2～3回の授業で1章分というペースで進めることを目標とします。1章毎に内容確認の小テストを実施する予定です。特に難解な文については解説を行います。一字一句全て訳していくようなことはしません。可能であればグループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	授業の進め方、評価についての説明をします。
第2回	Language and the world (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第3回	Language and the world (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第4回	Population crisis (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第5回	Population crisis (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第6回	The greatest show on earth (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第7回	The greatest show on earth (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第8回	試験・まとめと解説 (中間)	試験・まとめと解説
第9回	Consumer beware: advertising techniques (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第10回	Consumer beware: advertising techniques (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第11回	For an effective interview (前半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。

第12回	For an effective interview (後半)	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第13回	まとめ方を考察する	記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
第14回	試験・まとめと解説 (期末)	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト (教科書)】

・Essential Reading Second Edition Level 3, ゴフ クリス/マカボイ ジャッキー/マイルズ スコット, マクミラン ランゲージハウス. (¥2,600円+税)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

以下の配分で評価する。

試験(80%)

平常点および課題 (20%)

欠席回数が通算4回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が3回に達するごとに1回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students improve skills for English reading comprehension and for summarizing the contents of paragraphs.

Learning Objectives: At the end of the course, students are expected to understand the contents and intentions of English articles and briefly explain contents of articles.

Learning activities outside of classroom: University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course

Grading Criteria /Policy: Class Assignments 20%, Exam 80%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

田口 清一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学入学時までの英語力に更に磨きをかけるために、グローバルな視野に立ち、語彙・文法・背景知識（一般教養）が三位一体となった総合的英語力の向上を目指す。語彙に関しては重要な語源を活用した能率的な方法によって豊かにしていき、文法に関しては特に「コミュニケーション」という観点から体系的かつ本質的理解を深めていきたい。こうした純粋に語学的要素に一般教養という要素が加わって初めて本物の読解力と表現力が得られるのである。

【到達目標】

- * 英文の正確かつ迅速な理解のために、一語・一句を疎かにしない精密な読みができるようにする。
- * 英文の内容と文脈を常に考えながら批判的に読む習慣を身に付ける。
- * 読解と表現に必要な文法を体系的に身に付ける。
- * 日々の英語学習においてリスニングを習慣化し、英語の耳を養う。
- * 英語の根本的論理を理解し、「日本語モード」ではなく「英語モード」で英文を捉えられるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本文の精読による英文の正確かつ深い読みの訓練を柱とし、各箇所について必要なコメントを加えと共に、関連事項の解説などを行ってゆく。授業では、日本語と英語の論理や発想の違いに常に留意しながら、英語的論理で英文を理解した上で「自然な日本語」に翻訳する力を磨くと共に、理解した内容について英語で表現する能力も高めてゆきたい。同時にテキストの内容から、真の英語理解に不可欠なイギリスの文化や歴史に対する認識をも深められれば一石二鳥であろう。年間を通して、無味乾燥な「暗記語学」ではなく、「知的に考える語学」というものを実践したい。

課題の提示と提出は「学習支援システム」を通して行い、各回の課題に対し、授業（対面又はオンライン）での解説によってフィードバックを行う。最終回には春学期全体の講評も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	年間の授業についての説明
第2回	英語の論理と考え方	名詞を中心とした論理(可算と不可算)
第3回	英語の論理と考え方	名詞を中心とした論理(冠詞と限定詞)
第4回	Chapter1 (Four Countries)①	本文読解・リスニング・音読
第5回	Chapter1 (Four Countries)②	本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文
第6回	Chapter2 (The Lake District)①	本文読解・リスニング・音読
第7回	Chapter2 (The Lake District)②	本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文

第8回 Chapter3 (Stratford-upon-Avon)

本文読解・リスニング・音読

①

第9回 Chapter3 (Stratford-upon-Avon)

本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文

②

第10回 Chapter4 (London through the Ages)

本文読解・リスニング・音読

①

第11回 Chapter4 (London through the Ages)

本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文

②

第12回 Chapter5 (Wessex)

本文読解・リスニング・音読

①

第13回 Chapter5 (Wessex)

本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文

②

第14回 学期末の講評

春学期の課題の総評とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回の授業と課題に対するしっかりした予習・復習が必須である。本文読解においては、リスニングを行った後に必ず英文を数回音読した上で精読すること。その際に、辞書を調べる場合には用例も含めて必ずその項目を全て読むこと。また、文法・構文的にあやふやな時には必ず文法書を調べる。各回の授業のポイントは次回までに必ず復習しておくこと。

尚、本授業の準備学習・復習時間は合わせて最低1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Cultural Walks in Britain(イギリス文化散策) 成美堂

【参考書】

特に指定はしないが、必ず文法書(体系的にある程度詳しく記述されたもの)を一冊は備え、予習・復習の際や、自分で英文を読み書きする際には辞書だけでなく、必ず文法書も参照することが重要である。

【成績評価の方法と基準】

期末試験は行わず、「平常点」40%、課題の出来60%で評価する。課題に取り組む際に、【到達目標】に掲げた項目をどの程度意識して行っているかを重視する。

尚、原則として、未提出の課題と欠席が4回以上ある場合は単位修得の資格を失うものとする。

【学生の意見等からの気づき】

真剣に取り組んだ学生からは、英語の見方が変わったという感想もあるので、今年度も本質的な論理に関しては丁寧な解説していきたいと思う。

【その他の重要事項】

年間を通してのレベル・アップを目指すので、春学期・秋学期合わせての履修を原則とする。

【Outline (in English)】

[Course Outline]

The main purpose of this course is to improve the ability in English from a broader point of view by integrating vocabulary and grammar with cultural literacy. To enrich vocabulary, it is necessary to make good use of important etymologies; to understand grammar systematically and fundamentally, it will be examined from the perspective of "communicative grammar". To these genuinely linguistic factors should be added the factor of cultural literacy to acquire a real understanding of English.

[Learning Objectives]

The final objective of this course is to understand English in the English modes of thinking, not in the Japanese ones.

[Learning Activities Outside of Classroom]

Students will be expected to spend at least an hour in preparing for and reviewing each class.

[Grading Criteria]

Each student's final grade will be decided, based on his or her overall class contribution marks(40%) and the results of the required assignments(60%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

田口 清一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学入学時までの英語力に更に磨きをかけるために、グローバルな視野に立ち、語彙・文法・背景知識（一般教養）が三位一体となった総合的英語力の向上を目指す。語彙に関しては重要な語源を活用した能率的な方法によって豊かにしていき、文法に関しては特に「コミュニケーション」という観点から体系的かつ本質的理解を深めていきたい。こうした純粋に語学的要素に一般教養という要素が加わって初めて本物の読解力と表現力が得られるのである。

【到達目標】

- * 英文の正確かつ迅速な理解のために、一語・一句を疎かにしない精密な読みができるようにする。
- * 英文の内容と文脈を常に考えながら読む習慣を身に付ける。
- * 読解と表現に必要な文法を体系的に身に付ける。
- * 日々の英語学習においてリスニングを習慣化し、英語の耳を養う。
- * 英語の根本的論理を理解し、「日本語モード」ではなく「英語モード」で英文を捉えられるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本文の精読による英文の正確かつ深い読みの訓練を柱とし、各箇所について必要なコメントを加えと共に、関連事項の解説などを行なってゆく。授業では、日本語と英語の論理や発想の違いに常に留意しながら、英語的論理で英文を理解した上で「自然な日本語」に翻訳する力を磨くと共に、理解した内容について英語で表現する能力も高めてゆきたい。同時にテキストの内容から、真の英語理解に不可欠なイギリスの文化や歴史に対する認識をも深められれば一石二鳥であろう。年間を通して、無味乾燥な「暗記語学」ではなく、「知的に考える語学」というものを実践したい。

課題の提示と提出は「学習支援システム」を通して行い、各回の課題に対し、授業（対面又はオンライン）での解説によってフィードバックを行う。最終回には年間を通しての総評も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	日本語と英語の相違	文圧縮(名詞構文)
第2回	日本語と英語の相違	人称代名詞
第3回	Chapter6 (Winchester)①	本文読解・リスニング・音読
第4回	Chapter6 (Winchester)②	本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文
第5回	Chapter7 (Oxbridge)①	本文読解・リスニング・音読
第6回	Chapter7 (Oxbridge)②	本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文
第7回	Chapter8 (The Cotswolds)①	本文読解・リスニング・音読
第8回	Chapter8 (The cotswolds)②	本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文
第9回	Chapter9 (Canterbury)①	本文読解・リスニング・音読

第10回	Chapter9 (Canterbury)②	本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文
第11回	Chapter10 (Manchester)①	本文読解・リスニング・音読
第12回	Chapter10 (Manchester)②	本文読解・リスニング・音読、英問英答、英作文
第13回	年間の仕上げの課題	Writing an Essay
第14回	今年度の総括	年間の課題に対する総評とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回の授業と課題に対するしっかりした予習・復習が必須である。本文読解においては、リスニングを行った後に必ず英文を数回音読した上で精読すること。その際に辞書を調べる場合には用例も含めて必ずその項目を全て読むこと。また、文法・構文的にあやふやな時には必ず文法書を調べる。各回の授業のポイントは次回までに必ず復習しておくこと。

尚、本授業の準備学習・復習時間は合わせて最低1時間が標準である。

【テキスト（教科書）】

Cultural Walks in Britain(イギリス文化散策) 成美堂

【参考書】

特に指定はしないが、必ず文法書(体系的にある程度詳しく記述されたもの)を一冊は備え、予習・復習の際や、自分で英文を読み書きする際には辞書だけでなく、必ず文法書も参照することが重要である。

【成績評価の方法と基準】

期末試験は行わず、「平常点」40%、課題の出来60%で評価する。課題に取り組む際に、【到達目標】に掲げた項目をどの程度意識して行っているかを重視する。秋学期は春学期からの習熟度も考慮に入れる。

尚、原則として、未提出の課題と欠席が4回以上ある場合は単位修得の資格を失うものとする。

【学生の意見等からの気づき】

真剣に取り組んだ学生からは、英語の見方が変わったという感想もあるので、今年度も本質的な論理に関しては丁寧に解説していきたいと思う。

【その他の重要事項】

年間を通してのレベル・アップを目指すので、春学期・秋学期合わせての履修を原則とする。

【Outline (in English)】

[Course Outline]

The main purpose of this class is to improve the ability in English from a broader point of view by integrating vocabulary and grammar with cultural literacy. To enrich vocabulary, it is necessary to make good use of important etymologies; to understand grammar systematically and fundamentally, it will be examined from the perspective of "communicative grammar". To these genuinely linguistic factors should be added the factor of cultural literacy to acquire a real understanding of English.

[Learning Objectives]

The final objective of this course is to understand English in the English modes of thinking, not in the Japanese ones.

[Learning Activities Outside of Classroom]

Students will be expected to spend at least an hour in preparing for and reviewing each class.

[Grading Criteria]

Each student's final grade will be decided, based on his or her overall class contribution marks(40%) and the results of the required assignments(60%).

LAnE100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

永井 大輔

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな英文読解に必要なコア文法をを習得しながら、英文の主題や状況設定を捉えるスキルの向上を目指す。リーディング力育成において基礎となる語彙知識を身に付ける。また、英文の構造的把握に基づいたより高度な読解にも挑戦する。

【到達目標】

- ・リーディングの基礎となる文法事項の知識を駆使しながら、短い文章を読解できるようになる。
- ・リーディング力育成において基礎となる語彙知識を身に付ける。
- ・辞書の基本的な利用方法や利用習慣を身につける。
- ・英語に関することであろうとなかろうと、読んでいて分からないことは、自主的に調べる習慣を身につける。
- ・あまり知識のないトピックに関する英語音声聴く際にも障害にならない程度に、基本的なフレーズや文法、発音のルールを覚える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には教科書を進めていく。単なる答え合わせや訳出にとどまらず、英文の朗読や辞書での内容確認など、さまざまなタスクが含まれる。

第2回～第13回授業回では、教員の用意したプリントを使って、英単語の小テストを実施する。小テストは各授業回の最初に実施する。Unitごとの感想や質問は「学習支援システム」を通じて行ない、一部は次の授業回でのフィードバックで取り上げる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期イントロダクション	シラバス内容の説明および履修上の細かいルールを説明する。 英語学習において確保すべき環境や実践すべき習慣について説明する。 各自の使用する辞書を確認するので必ず持参すること。
2	Unit 1：名詞	可算名詞・不可算名詞
3	Unit 2：冠詞	不定冠詞・定冠詞
4	Unit 3：代名詞（1）	it・this, that・再帰代名詞
5	Unit 4：代名詞（2）	不定代名詞
6	Unit 5：時制	現在時制・過去時制・未来時制
7	Unit 6：進行形	現在進行形・過去進行形・未来進行形 状態動詞・動作動詞
8	Unit 7：完了形（1）	現在完了形・現在完了進行形
9	Unit 8：完了形（2）	過去完了形・過去完了進行形・未来完了形
10	Unit 9：助動詞（1）	can・may・must
11	Unit10：助動詞（2）	would・should・ought to・used toほか
12	Unit11：態（1）	受動態の作り方・各文型の受動態
13	Unit12：態（2）	注意すべき受動態ほか

14 試験・まとめと解説 Unit 1 12のまとめと筆記試験
筆記試験は、単位取得資格がある人は必ず受けなければならない。授業内試験なので、通常の授業と同じ時間・同じ教室で実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。/ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

教科書の予習においては、一度辞書やその他の調べ物をせずに問題を解いてみてから、自分の気になる箇所について調べるようにすること。

予習時には英単語の小テストの準備も行う。出題範囲の単語は、スペルや品詞、実際の文内での使われ方を覚えるようにする。

また、本授業の内容だけにとどまらない、自分独自の「英語ノート」を用意し、予習・復習で自分に必要だと思われる知識はそちらに書き留める習慣をつける。

本授業の到達目標には発音も含まれるので、英単語の語釈・語用だけを調べるのではなく、文章のなかで聞こえたように発音できるように声に出して練習する。

その他、英語にかかわらない事柄であっても、自分にとって未知なことは積極的に調べる（情報源は問わず）。

【テキスト（教科書）】

福井慶一郎/山中マーガレット/北山長貴著、『Fundamental English Grammar with Short Readings（読解力につなげるコア英文法）』、朝日出版社、2019年。1600円＋税 ISBN: 978-4-255-15638-5

【参考書】

できるだけ新しい版の英和もしくは英英学習辞典が必須となる。教室での対面授業時に使用できるのは、紙媒体もしくは専用装置型の電子辞書のみとする。初回授業時に確認する。
武蔵大学外国語教育センター英語部会、『武蔵大学 必須英単語 2000』、南雲堂。

【成績評価の方法と基準】

教科書Unit 1 12を範囲とする筆記試験（第14回授業回）：60%
英単語の小テスト（第2回～第13回授業回）：15%
毎授業回の授業参加度（質問に対して十分な予習をふまえた回答や朗読ができたか）：25%
欠席および遅刻について

学期中に4回欠席した受講生は単位取得資格を失なう。遅刻は累積3回で欠席1回と同等の扱いとする。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられる。30分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとする。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となる。

不正について

各タスクにおいてコピー、他受講生の引き写し、著作物の剽窃（生成AIの使用を含む）、機械翻訳を行なったことが発覚した場合、該当授業回の評価は取り消される。複数回の不正が発覚した場合は、単位取得資格を停止する。複数の受講生が関与した場合、全員同様の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

授業後に質問を受け付ける時間を十分に設けます。

【Outline (in English)】

Course Outline: Students will master fundamental English grammar, which will help them better understand the subjects and contexts of English texts. They will be required to build a basic level of English vocabulary necessary for reading texts. They will also learn some of the basic structures of English essays.

Learning Objectives: Students will 1) learn some fundamental rules in English grammar; 2) understand the message and context of the text; 3) learn some of basic paragraph structures; 4) master how to consult dictionaries; 5) have a habit to study on the subjects referred in the texts; 6) master some of basic rules of pronunciation.

Learning Activities Outside of Classroom: Students must spend at least one hour for reviewing and preparing for each session, including an English vocabulary quiz. They should make an independent "English Learning" notebook of their own. They are also asked to read aloud unfamiliar words and phrases.

Grading Criteria/Policy: Written exam - 60%; Vocabulary quizzes - 15%; Performance at each session - 25%. Students with 4 or more absences will lose their qualification for the unit of this course. Three days late are counted as one absence. Other penalties given during sessions are counted as days late.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

永井 大輔

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな英文読解に必要なコア文法をを習得しながら、英文の主題や状況設定を捉えるスキルの向上を目指す。リーディング力育成において基礎となる語彙知識を身に付ける。また、英文の構造的把握に基づいたより高度な読解にも挑戦する。

【到達目標】

- ・リーディングの基礎となる文法事項の知識を駆使しながら、短い文章を読解できるようになる。
- ・リーディング力育成において基礎となる語彙知識を身に付ける。
- ・辞書の基本的な利用方法や利用習慣を身につける。
- ・英語に関することであろうとなかろうと、読んでいて分からないことは、自主的に調べる習慣を身につける。
- ・あまり知識のないトピックに関する英語音声聴く際にも障害にならない程度に、基本的なフレーズや文法、発音のルールを覚える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には教科書を進めていく。単なる答え合わせや訳出にとどまらず、英文の朗読や辞書での内容確認など、さまざまなタスクが含まれる。

第2回～第13回授業回では、教員の用意したプリントを使って、英単語の小テストを実施する。小テストは各授業回の最初に実施する。Unitごとの感想や質問は「学習支援システム」を通じて行ない、一部は次の授業回でのフィードバックで取り上げる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	秋学期イントロダクション	シラバス内容の説明および履修上の細かいルールを説明する。 春学期の筆記試験について講評する。 授業に必要なプリントがあれば配布する。
2	Unit13：不定詞（1）	名詞用法・形容詞用法・副詞用法
3	Unit14：不定詞（2）	注意すべき不定詞の用法・原形不定詞
4	Unit15：分詞（1）	分詞の限定用法・叙述用法
5	Unit16：分詞（2）	分詞構文・独立分詞構文
6	Unit17：動名詞（1）	動名詞の用法・動名詞と不定詞
7	Unit18：動名詞（2）	動名詞の意味上の主語・完了形の動名詞ほか
8	Unit19：形容詞・副詞	形容詞の用法・副詞の用法
9	Unit20：比較（1）	基本的な比較表現
10	Unit21：比較（2）	注意すべき原級・比較級・最上級の用法
11	Unit22：前置詞	基本的な前置詞・注意すべき前置詞
12	Unit23：関係詞（1）	関係代名詞の用法・前置詞と関係代名詞

13	Unit24：関係詞（2）	what・関係副詞・限定用法と継続用法
14	試験・まとめと解説	Unit13 Unit24のまとめと筆記試験 筆記試験は、単位取得資格がある人は必ず受けなければならない。授業内試験なので、通常の授業と同じ時間・同じ教室で実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。/ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

教科書の予習においては、一度辞書やその他の調べ物をせずに問題を解いてみてから、自分の気になる箇所について調べるようにすること。

予習時には英単語の小テストの準備も行う。出題範囲の単語は、スベルや品詞、実際の文内での使われ方を覚えるようにする。

また、本授業の内容だけにとどまらない、自分独自の「英語ノート」を用意し、予習・復習で自分に必要だと思われる知識はそちらに書き留める習慣をつける。

本授業の到達目標には発音も含まれるので、英単語の語釈・語用だけを調べるのではなく、文章のなかで聞こえたように発音できるように声に出して練習する。

その他、英語にかかわらない事柄であっても、自分にとって未知なことは積極的に調べる（情報源は問わず）。

【テキスト（教科書）】

福井慶一郎/山中マーガレット/北山長貴著、『Fundamental English Grammar with Short Readings（読解力につなげるコア英文法）』、朝日出版社、2019年。1600円＋税 ISBN: 978-4-255-15638-5

【参考書】

できるだけ新しい版の英和もしくは英英学習辞典が必須となる。教室での対面授業時に使用できるのは、紙媒体もしくは専用装置型の電子辞書のみとする。初回授業時に確認する。

武蔵大学外国語教育センター英語部会、『武蔵大学 必須英単語 2000』、南雲堂。

【成績評価の方法と基準】

教科書Unit 13 24を範囲とする筆記試験（第14回授業回）：60%
英単語の小テスト（第2回～第13回授業回）：15%

毎授業回の授業参加度（質問に対して十分な予習をふまえた回答や朗読ができたか）：25%

欠席および遅刻について

学期中に4回欠席した受講生は単位取得資格を失なう。遅刻は累積3回で欠席1回と同等の扱いとする。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられる。30分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとする。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となる。

不正について

各タスクにおいてコピー、他受講者の引き写し、著作物の剽窃（生成AIの使用を含む）、機械翻訳を行なったことが発覚した場合、該当授業回の評価は取り消される。複数回の不正が発覚した場合は、単位取得資格を停止する。複数の受講生が関与した場合、全員同様の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

授業後に質問を受け付ける時間を十分に設けます。

【Outline (in English)】

Course Outline: Students will master fundamental English grammar, which will help them better understand the subjects and contexts of English texts. They will be required to build a basic level of English vocabulary necessary for reading texts. They will also learn some of the basic structures of English essays.

Learning Objectives: Students will 1) learn some fundamental rules in English grammar; 2) understand the message and context of the text; 3) learn some of basic paragraph structures; 4) master how to consult dictionaries; 5) have a habit to study on the subjects referred in the texts; 6) master some of basic rules of pronunciation.

Learning Activities Outside of Classroom: Students must spend at least one hour for reviewing and preparing for each session, including an English vocabulary quiz. They should make an independent "English Learning" notebook of their own. They are also asked to read aloud unfamiliar words and phrases.

Grading Criteria/Policy: Written exam - 60%; Vocabulary quizzes - 15%; Performance at each session - 25%. Students with 4 or more absences will lose their qualification for the unit of this course. Three days late are counted as one absence. Other penalties given during sessions are counted as days late.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

大 概 諒

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代米国の文化や社会について書かれた英文の読解を通して、複数のパラグラフから成る英文を正確に理解するためのリーディング・スキルと、音声から英語を聞き取って理解するリスニング・スキルを身につける。同時に、英語を通して情報を得、自分の意見を持つことができるようになることを目指す。

【到達目標】

- ・英語の文章を、パラグラフの構成を意識して正確に読む能力を身につける
- ・英語の文章を正確に聞き取る能力を身につける
- ・基本的な文法力を向上させる
- ・語彙力を増やす
- ・論理的な思考力を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1章につき、2回の授業を充てる。

1回目の授業は、Reading 1の読解（大意把握、精読）と教科書の設問を解く。

2回目の授業は、Reading 2の読解（大意把握、精読）と教科書の設問を解く。

いずれの授業でも、本文の内容に関わるプレゼンテーションおよびディスカッションをおこなう。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要の説明 予習の仕方の説明
第2回	Chapter 1	Reading 1 The Easter Parade
第3回	Chapter 1	Reading 2 Easter Candy
第4回	Chapter 2	Reading 1 Hip Hop
第5回	Chapter 2	Reading 2 Kendrick Lamer
第6回	Chapter 3	Reading 1 Rhythm and Blues
第7回	Chapter 3	Reading 2 Beyonce
第8回	Chapter 4	Reading 1 The Academy Awards
第9回	Chapter 4	Reading 2 Academy Members and Voting
第10回	Chapter 5	Reading 1 Ralph Lauren
第11回	Chapter 5	Reading 2 Tommy Hilfiger

第12回 Chapter 6

Reading 1
Fraternities and Sororities

第13回 Chapter 6

Reading 2
Higher Education in America
筆記試験、まとめと解説

第14回 期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指示された箇所の予習を必ずおこなうこと。

発表担当者は、発表資料の作成をおこなう。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Ryan Smithers, Craig Gamble 『Modern America: Culture, Society and History 現代米国の文化・社会・歴史』、松柏社、2021年、2200円

【参考書】

英和辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%

平常点（授業内での発表、発言、小テスト等を含む）40%

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。

発表担当者および質問担当者が正当な理由なく準備を怠ったり欠席したりした場合は、単位を認定しない。

授業内での取り組みが著しく不十分であると判断した場合は、欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に即した授業運営を心がけ、丁寧に解説します。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業に関する連絡は、学習支援システムを通じておこないます。適宜チェックするようにしてください。

【Outline (in English)】

This class aims to develop the abilities to read and listen to English materials and learn how to collect intelligence and to express their opinions in English. The materials are about culture and society of modern America.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

To acquire the ability to read English sentences accurately.

To acquire the ability to listen to English sentences accurately.

To Improve basic grammar skills.

To Increase vocabulary.

To acquire the ability to think logically.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%

in class contribution: 40%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

大 概 諒

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代米国の文化や社会について書かれた英文の読解を通して、複数のパラグラフから成る英文を正確に理解するためのリーディング・スキルと、音声から英語を聞き取って理解するリスニング・スキルを身につける。同時に、英語を通して情報を得、自分の意見を持つことができるようになることを目指す。

【到達目標】

- ・英語の文章を、パラグラフの構成を意識して正確に読む能力を身につける
- ・英語の文章を正確に聞き取る能力を身につける
- ・基本的な文法力を向上させる
- ・語彙力を増やす
- ・論理的な思考力を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1章につき、2回の授業を充てる。

1回目の授業は、Reading 1の読解（大意把握、精読）と教科書の設問を解く。

2回目の授業は、Reading 2の読解（大意把握、精読）と教科書の設問を解く。

いずれの授業でも、本文の内容に関わるプレゼンテーションおよびディスカッションをおこなう。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要の説明 予習の仕方の説明
第2回	Chapter 7	Reading 1 Twitter
第3回	Chapter 8	Reading 1 Elon Musk
第4回	Chapter 8	Reading 2 SpaceX
第5回	Chapter 9	Reading 1 History of the Game
第6回	Chapter 9	Reading 2 Colin Kaepernick
第7回	Chapter 10	Reading 1 Humble Beginnings
第8回	Chapter 10	Reading 2 The Hollywood Walk of Fame
第9回	Chapter 11	Reading 1 The Man Behind the Mouse
第10回	Chapter 11	Reading 2 Imagining Disneyland
第11回	Chapter 12	Reading 1 A Symbol of Freedom & Mobility

第12回 Chapter 12

Reading 2

Tourist Attractions of Route 66

第13回 Chapter 13

Reading 1

The Invention of the Drive-in

第14回 期末試験

筆記試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指示された箇所の予習を必ずおこなうこと。

発表担当者は、発表資料の作成をおこなう。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Ryan Smithers, Craig Gamble『Modern America: Culture, Society and History 現代米国の文化・社会・歴史』、松柏社、2021年、2200円

【参考書】

英和辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%

平常点（授業内での発表、発言、小テスト等を含む）40%

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。

発表担当者および質問担当者が正当な理由なく準備を怠ったり欠席したりした場合は、単位を認定しない。

授業内での取り組みが著しく不十分であると判断した場合は、欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に即した授業運営を心がけ、丁寧に解説します。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業に関する連絡は、学習支援システムを通じておこないます。適宜チェックするようにしてください。

【Outline (in English)】

This class aims to develop the abilities to read and listen to English materials and learn how to collect intelligence and to express their opinions in English. The materials are about culture and society of modern America.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

To acquire the ability to read English sentences accurately.

To acquire the ability to listen to English sentences accurately.

To Improve basic grammar skills.

To Increase vocabulary.

To acquire the ability to think logically.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%

in class contribution: 40%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

吉田 和久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基本的な英文の読解（リーディング）と聴解（リスニング）の実力を向上させるための演習を行います。リーディングに関しては、文法的に正確に読むことがまず必要です。リスニングに関しては、英語の基本的な音をきちんと聞き取りかつ自分で発音できることがまず必要です。

【到達目標】

上記の目的に少し手も近づくことが到達目標です。具体的には、英語の検定試験として広く利用されているTOEIC（トイック）のスコアを上げることを目標とすることを皆さんにはおすすめしています。学内で受検する機会もあるはずですので、最低一年に一度は受けてみましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は大きく二つの部分に分けられます。読解（リーディング）のセクションでは、TOEICやTOEFL（トフル）の問題を使いながら、それを読み、基本的な文法や語彙を復習・習得し、更に設問に適切に答える練習をします。同様に、聴解（リスニング）のセクションでは、問題を解きながら、基本的な英語を聞く練習をします。併せて、英語の発音の基本的な練習をします。提出課題等は、その都度チェックして返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション とプレイズメント・ テスト	授業の内容を説明します。皆さんの現在の英語力を知るために、簡単なテストを行います。
2	テキストの演習	トピック・センテンス①【主語】
3	テキストの演習	トピック・センテンス②【動詞】
4	テキストの演習	文と文の関係①【順接】
5	テキストの演習	文と文の関係②【逆接】
6	テキストの演習	文と文の関係③【付加、例示、その他】
7	テキストの演習	パラグラフの構造①【トピックセンテンス】
8	テキストの演習	パラグラフの全体構造②【展開の仕方】
9	テキストの演習	パラグラフの構造③【情報構造】
10	テキストの演習	エッセイの全体構造①【イントロダクション】
11	テキストの演習	エッセイの全体構造②【ボディ】
12	テキストの演習	エッセイの全体構造③【コンクリュージョン】
13	テキストの演習	全体のまとめ
14	期末試験	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

読解（リーディング）に関しては、授業の前に問題を簡単に読んで設問に答えておくことおすすめします。わからない単語や熟語があっても構いませんし、設問の解答に自信がなくても構いません。授業後には、主として単語と熟語の復習を行ってください。聴解（リスニング）については、特に予習・復習は必要ありません。授業中に集中してください。この授業の準備・復習時間はあわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

【参考書】

『公式TOEIC LISTENING & READING 問題集』が便利です。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の成績を見て、評価をします。出席は必須です。平常点30%、試験70パーセントの割合です。遅刻等が多い場合には、出席とは見なさない場合もありますので、注意してください。欠席はその分を最終評価からマイナスします。各学期欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

《ズーム》などの教授手段も積極的に取り入れたい。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【Outline (in English)】

This course is designed to provide students with a basic training of reading and listening comprehension of academic and business English. The goal of this course is to enhance students' ability of reading and listening. Students are expected to do the assignment before and after the class at least for an hour. Final grade will be calculated according to the following process: Weekly assignment (30%), term-end examination (70%).

LANe100LA（英語 / English language education 100）	
English 1 II	2017年度以降入学者
吉田 和久	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：火 1/Tue.1	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基本的な英文の読解（リーディング）と聴解（リスニング）の実力を向上させるための演習を行います。リーディングに関しては、文法的に正確に読むことがまず必要です。リスニングに関しては、英語の基本的な音をきちんと聞き取りかつ自分で発音できることがまず必要です。

【到達目標】

上記の目的に少しでも近づくことが到達目標です。具体的には、英語の検定試験として広く利用されているTOEIC（トイック）のスコアを上げることを目標とすることを皆さんにはおすすめしています。学内で受検する機会もあるはずですので、最低一年に一度は受けてみましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は大きく二つの部分に分けられます。読解（リーディング）のセクションでは、TOEICやTOEFL（トフル）の問題を使いながら、それを読み、基本的な文法や語彙を復習・習得し、更に設問に適切に答える練習をします。同様に、聴解（リスニング）のセクションでは、問題を解きながら、基本的な英語を聞く練習をします。提出していただいた課題は、その都度、返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション とブレイズメント・ テスト	授業の内容を説明します。皆さんの現在の英語力を知るために、簡単なテストを行います。
2	テキストの演習	英単語の構造①【接頭辞・ギリシャ語系】
3	テキストの演習	英単語の構造②【接頭辞・ラテン語系】
4	テキストの演習	英単語の構造③【語幹・ラテン語系】
5	テキストの演習	英単語の構造④【語幹・ギリシャ語系】
6	テキストの演習	英単語の構造⑤【接尾辞・ラテン語系】
7	テキストの演習	英単語の構造⑥【接尾辞・ギリシャ語系】
8	テキストの演習	英語の発音①【母音】
9	テキストの演習	英語の発音②【二重母音】
10	テキストの演習	英語の発音③【子音】
11	テキストの演習	英語の発音④【二重子音】
12	テキストの演習	英語の発音⑤【連結】
13	テキストの演習	英語の発音【イントネーション】
14	期末試験	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

読解（リーディング）に関しては、授業の前に問題を簡単に読んで設問に答えておくことおすすめします。わからない単語や熟語があっても構いませんし、設問の解答に自信がなくても構いません。授業後には、主として単語と熟語の復習を行ってください。聴解（リスニング）については、特に予習・復習は必要ありません。授業中に集中してください。この授業の準備・復習時間はあわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

【参考書】

『公式TOEIC LISTENING & READING 問題集』が便利です。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の成績を見て、評価をします。出席は必須です。平常点30%、試験成績70パーセントの割合です。遅刻等が多い場合には、出席とは見なさない場合もありますので、注意してください。欠席はその分を最終評価からマイナスします。各学期欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

《ズーム》などの教授手段も積極的に取り入れたい。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【Outline (in English)】

This course is designed to provide students with a basic training of reading and listening comprehension of academic and business English. The goal of this course is to enhance students' ability of reading and listening. Students are expected to do the assignment before and after the class at least for an hour. Final grade will be calculated according to the following process: Weekly assignment (30%), term-end examination (70%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

吉田 季実子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキスト上での様々な題材を通して、文化理解を深めるとともに、英語の4技能を総合的に強化する。

【到達目標】

テキストの中で扱われている多種多様な題材を通して、口語表現を含んだ会話表現を含む、「読む、書く、聞く、話す、議論する」の各技能を高めることを目標とする。同時に、15の題材を通しての知識を向上させることも目標の一つである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに添って、語彙学習、読解、リスニング、会話、作文などの課題を行う。

1章に2～3回を当てる予定で、各章のまとめとして小テストを行う。課題のフィードバックに関しては授業内、あるいは次の週に充てる。なお、感染症拡大の状況を鑑みて、オンラインと対面授業とのハイブリッド方式とする可能性もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter1	語彙の予習と本文の精読
2	CXchapter1	Listening, Writing等の問題演習
3	Chapter1,2	Unit1小テスト、Unit2の語彙の予習と本文の精読
4	Chapter2	Listening, Writing等の問題演習
5	Chapter2,3	Unit2小テスト、Unit3の語彙の予習と本文の精読
6	Chapter3	Listening, Writing等の問題演習
7	Chapter3,4	Unit3小テスト、Unit4の語彙の予習と本文の精読
8	Chapter4	Listening, Writing等の問題演習
9	Chapter4,5	Unit4小テスト、Unit5の語彙の予習と本文の精読
10	Chapter5	Listening, Writing等の問題演習
11	Chapter5,6	Unit5小テスト、Unit6の語彙の予習と本文の精読
12	Chapter6	Listening, Writing等の問題演習
13	Chapter6,7	Unit6小テスト、Unit7の語彙の予習と本文の精読
14	Chapter7	Listening, Writing等の問題演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

事前に次回学習範囲の和訳、単語のチェック、問題演習などの予習を行う。

また授業内で示された次回課題に取り組むこと。

【テキスト（教科書）】

『タイムズとガーディアンでめぐる知の世界』

田中孝信、野田三貴、筒井香代子編著

音羽書房鶴見書店

2016年初版発行 2021年第7刷発行 2000円＋税

【参考書】

とくになし

【成績評価の方法と基準】

小テスト70%

平常点 15%

その他提出物 15%

とします

なお、4回以上欠席、あるいは課題不提出の場合

単位が認定されません

【学生の意見等からの気づき】

英語だけでなくテキストの中で扱われている題材について適宜解説をする予定です

【学生が準備すべき機器他】

辞書

オンライン学習時はリソースを視聴できるようなPC環境

(音声を用いたリスニングがあるため)

【Outline (in English)】

In this course, we will learn 4 skills through text. The interesting topics from Newspaper's articles will give you information about different culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

吉田 季実子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキスト上での様々な題材を通して、文化理解を深めるとともに、英語の4技能を総合的に強化する。

【到達目標】

テキストの中で扱われている多種多様な題材を通して、口語表現を含んだ会話表現を含む、「読む、書く、聞く、話す、議論する」の各技能を高めることを目標とする。同時に、15の題材を通しての知識を向上させることも目標の一つである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに添って、語彙学習、読解、リスニング、会話、作文などの課題を行う。

1章に2～3回を当てる予定で、各章のまとめとして小テストを行う。課題のフィードバックに関しては授業内、あるいは次の週に充てる。なお、感染症の拡大状況によってはオンライン授業との併用とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit7,8	Unit7小テスト、Unit8の語彙の予習と本文の精読
2	Unit8	Listening, Writing等の問題演習
3	Unit8,9	Unit8小テスト、Unit9の語彙の予習と本文の精読
4	Unit9	Listening, Writing等の問題演習
5	Unit9,10	Unit9小テスト、Unit10の語彙の予習と本文の精読
6	Unit10	Listening, Writing等の問題演習
7	Unit10,11	Unit10小テスト、Unit11の語彙の予習と本文の精読
8	Unit11	Listening, Writing等の問題演習
9	Unit11,12	Unit11小テスト、Unit12の語彙の予習と本文の精読
10	Unit12	Listening, Writing等の問題演習
11	Unit12,13	Unit12小テスト、Unit13の語彙の予習と本文の精読
12	Unit13	Listening, Writing等の問題演習
13	Unit13,14	Unit13小テスト、Unit14の語彙の予習と本文の精読
14	Unit14	Listening, Writing等の問題演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

事前に次回学習範囲の和訳、単語のチェック、問題演習などの予習を行う。

また授業内で示された次回課題に取り組むこと。

【テキスト（教科書）】

『タイムズとガーディアンでめぐる知の世界』

田中孝信、野田三貴、筒井香代子

音羽書房鶴見書店

2016年初版発行、2021年7刷発行 2000円+税

【参考書】

とくになし

【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%

平常点 15%

その他提出物 15%

とします

なお、4回以上欠席、あるいは課題不提出の場合

単位が認定されません

【学生の意見等からの気づき】

英語だけでなくテキストの中で扱われている題材について適宜解説をする予定です

【学生が準備すべき機器他】

辞書

オンライン学習時はリソースを視聴できるようなPC環境

（音声を用いたリスニングがあるため）

【Outline (in English)】

In this course, we will learn 4 skills through text. The interesting topics from Newspaper's articles will give you information about different culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

渡辺 英依美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

読解を中心に英語力の向上を図る。専門科目の履修時や卒業後も、関心や目的に応じて英文を多面的に解釈し、さらに英語による議論や記述を可能にするための基礎作りを行う。

【到達目標】

- この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。
- (1) 目的に応じた速度で英文を読み、書き手の意図を理解する。
 - (2) 多面的な視点でパラグラフを分析し、知識・情報を正確に捉える。
 - (3) 書かれた内容について自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

反転形式で進めるので、テキストの予習が必須である。受講生は毎週発表を求められる。授業では各自の読解を確認し、関連する知識を少人数のグループディスカッションで深めていく。各課題や中間テストの結果は翌週の授業内に講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 1: Travel (1)	Scanning
3	Unit 1: Travel (2)	Predicting
4	Unit 2: Fashion (1)	Skimming for the main idea
5	Unit 2: Fashion (2)	Identifying main and supporting ideas
6	Unit 3: Disappearing Animals (1)	Identifying meaning from context
7	Unit 3: Disappearing Animals (2)	Identifying main ideas within paragraphs
8	Mid-semester Examination	Mid-semester exam
	Unit 4: Big Money (1)	Identifying cause and effect
9	Review of the Exam	Review of the exam
	Unit 4: Big Money (2)	Previewing
10	Unit 5: Celebrations Around the World (1)	Using subheadings to predict content
11	Unit 5: Celebrations Around the World (2)	Recognizing sequence of events
12	Unit 6: It's a Mystery! (1)	Making inferences
13	Unit 6: It's a Mystery! (2)	Identifying main ideas within paragraphs

14 Summary and Review and final examination
Final Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習が必須。個々の単語を理解するだけでなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Anderson, N. J. (2014). *Active Skills for Reading 3* (3rd ed.). Heinle Cengage Learning.

【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25 %

中間試験 35%

期末試験 40 %

欠席が4回以上の場合は、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評のため、積極的に取り入れる。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course aims to improve reading and critical thinking skills in English. Students will read a variety of topics and issues in the present-day society, and participate in small group discussions. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter of the textbook prior to attending the class.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students will be able to:

- (1) Read passages of multiple paragraphs at a speed necessary for different purposes.
- (2) Critically read and analyze texts and grasp the writer's views.
- (3) Present thoughts and opinions on related issues in English.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25 %

Mid-semester examination 35%

Final examination 40 %

More than 3 absences will result in failure of the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

渡辺 英依美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

読解を中心に英語力の向上を図る。専門科目の履修時や卒業後も、関心や目的に応じて英文を多面的に解釈し、さらに英語による議論や記述を可能にするための基礎作りを行う。

【到達目標】

この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。
 (1) 目的に応じた速度で英文を読み、書き手の意図を理解する。
 (2) 多面的な視点でパラグラフを分析し、知識・情報を正確に捉える。
 (3) 書かれた内容について自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

反転形式で進めるので、テキストの予習が必須である。受講生は毎週発表を求められる。授業では各自の読解を確認し、関連する知識を少人数のグループディスカッションで深めていく。各課題や中間テストの結果は翌週の授業内に講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 7: Health and Fitness (1)	Scanning
3	Unit 7: Health and Fitness (2)	Predicting
4	Unit 8: Space and Flight (1)	Identifying main and supporting ideas
5	Unit 8: Space and Flight (2)	Making inferences
6	Unit 9: The Changing Family (1)	Recognizing facts and opinions
7	Unit 9: The Changing Family (2)	Previewing
8	Mid-semester Examination	Mid-semester exam
	Unit 10: The Future of Education (1)	Arguing for and against a topic
9	Unit 10: The Future of Education (2)	Review of the exam
10	Unit 11: The Mystery of Memory (1)	Identifying meaning from context
11	Unit 11: The Mystery of Memory (2)	Identifying main ideas within paragraphs
12	Unit 12: Comics (1)	Scanning
	Unit 12: Comics (2)	Recognizing sequence of events

13	Unit 12: Comics (2)	Identifying main and supporting ideas
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習が必須。個々の単語を理解するだけでなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Anderson, N. J. (2014). *Active Skills for Reading 3* (3rd ed.). Heinle Cengage Learning.

【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25 %

中間試験 35 %

期末試験 40 %

欠席が4回以上の場合は、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評のため、積極的に取り入れる。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course aims to improve reading and critical thinking skills in English. Students will read a variety of topics and issues in the present-day society, and participate in small group discussions. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter of the textbook prior to attending the class.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students will be able to:

- (1) Read passages of multiple paragraphs at a speed necessary for different purposes.
- (2) Critically read and analyze texts and grasp the writer's views.
- (3) Present thoughts and opinions on related issues in English.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25 %

Mid-semester examination 35 %

Final examination 40 %

More than 3 absences will result in failure of the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

水野 太郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、受講生の英文読解能力の向上を主たる目的とします。その際、論理構造に対する意識と実用的な英語についての理解に重点を置きます。

【到達目標】

英文の論理構成を体得することによって、読解を円滑に進められる技術を身につけてゆきます。また、メディアで流通しているような実践的な英語に取り組むことを通じて、今般の社会においても通用しうる読解力を涵養してゆきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

『Pros and Cons: Arguing Different Points of View 議論伯仲：ふたつの意見』と『English for Mass Communication 時事英語の総合演習 2025年度版』の二冊を教材として使用します。前者は英語による議論のパターンを修得するため、後者は実社会で用いられている英語の文章についてより理解を深めるために、それぞれ精読してゆく予定です。授業に際しては一文ずつ受講生を指名し、口頭で訳出してもらったうえで、順次ポイントをおさえながら解説してゆきます。また、音読による即読即解の訓練も行いたいと思います。進捗については授業中の演習を通じ、習熟度を確認しつつ適宜調整するつもりです。必要であれば追加の講読用教材もプリントの形で配布します。なお、質問等に対するフィードバックは授業中に随時行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	Food Additives [Pro] /国内政治 (1)	Nothing to worry about / Koike leans on her achievements to win Tokyo Gov.'s race; Renho weighed down by JCP Ties (1)
第02回	Food Additives [Con] /国内政治 (2)	Don't gamble with your health /Koike leans on her achievements to win Tokyo Gov.'s race; Renho weighed down by JCP Ties (2)
第03回	Body Image and Photoshopping [Pro] /経済 (1)	Show me at my best /Global economy picking up, though medium-term outlook weaker, IMF says (1)
第04回	Body Image and Photoshopping [Con] /経済 (2)	Time to get real /Global economy picking up, though medium-term outlook weaker, IMF says (2)
第05回	Undergrounding [Pro] /ビジネス (1)	Less is more /Japan's Stock Market Is Booming. It Isn't All About the Weak Yen (1)

第06回	Undergrounding [Con] /ビジネス (2)	Hidden obstacles to success / Japan's Stock Market Is Booming. It Isn't All About the Weak Yen (2)
第07回	Do We Need the Olympics? [Pro] /外交 (1)	More than just a sports festival /G7 leaders end summit with warning to China, commitment to manage AI (1)
第08回	Do We Need the Olympics? [Con] /外交 (2)	We have better things to do with our money /G7 leaders end summit with warning to China, commitment to manage AI (2)
第09回	Mobile Ads [Pro] /軍事 (1)	Something for nothing /China says military drills encircling Taiwan designed to test its ability to "seize power" (1)
第10回	Mobile Ads [Con] /軍事 (2)	A great way to lose customers /China says military drills encircling Taiwan designed to test its ability to "seize power" (2)
第11回	SIM-Free Smartphones [Pro] /国外政治 (1)	The sooner the better /US President Joe Biden ends reelection bid (1)
第12回	SIM-Free Smartphones [Con] /国外政治 (2)	The grass is always greener... /US President Joe Biden ends reelection bid (2)
第13回	100-Yen Shops [Pro] /社会 (1)	Luxury on the cheap / Godzilla, Hayao Miyazaki both take home Oscars; first double win for Japanese films since 2009 (1)
第14回	100-Yen Shops [Con] /社会 (2)	Save now, pay later /Godzilla, Hayao Miyazaki both take home Oscars; first double win for Japanese films since 2009 (2)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回の授業においては、教科書を事前に読んでおくことが前提となります。授業の予習・復習には少なくとも一時間を要します。

【テキスト（教科書）】

Mark Jewel『Pros and Cons: Arguing Different Points of View 議論伯仲：ふたつの意見』（朝日出版社）ISBN:9784255156477
堀江洋文、小西和久、宮崎修二、内野泰子（編著）『English for Mass Communication 2025 Edition 時事英語の総合演習 2025年度版』（朝日出版社）ISBN:9784255157306

【参考書】

必要に応じて、授業時にプリントを配布します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（100％）

なお、ILAC英語科目に共通するルールとして「各学期の欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない」という項目があり、本科目もこれに該当しますので、十分に留意してください。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度・習熟度に応じて、進度を適宜調整したいと思います。

【Outline (in English)】

Course outline: In this course, students are mainly expected to improve their reading skill in English, paying attention to paragraph structure and comprehending practical English.

Learning objectives: The goals of this course are to acquire better reading skill by learning the logical structure of English and to develop an understanding of contemporary world through the language for the media.

Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. The required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading criteria /Policies: Final grade will be decided based on term-end examination (100 %)

Absence guideline for ILAC English courses: In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit for the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

水野 太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、受講生の英文読解能力の向上を主たる目的とします。その際、論理構造に対する意識と実用的な英語についての理解に重点を置きます。

【到達目標】

英文の論理構成を体得することによって、読解を円滑に進められる技術を身につけてゆきます。また、メディアで流通しているような実践的な英語に取り組むことを通じて、今般の社会においても通用しうる読解力を涵養してゆきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

『Pros and Cons: Arguing Different Points of View 議論伯仲：ふたつの意見』と『English for Mass Communication 時事英語の総合演習 2025年度版』の二冊を教材として使用します。前者は英語による議論のパターンを修得するため、後者は実社会で用いられている英語の文章についてより理解を深めるために、それぞれ精読してゆく予定です。授業に際しては一文ずつ受講生を指名し、口頭で訳出してもらったうえで、順次ポイントをおさえながら解説してゆきます。また、音読による即読即解の訓練も行いたいと思います。進捗については授業中の演習を通じ、習熟度を確認しつつ適宜調整するつもりです。必要であれば追加の講読用教材もプリントの形で配布します。なお、質問等に対するフィードバックは授業中に随時行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	Barrier-Free Everywhere? [Pro] / 事件 (1)	Access for all / Chinese "overseas police station" in Tokyo raided over benefit fraud (1)
第02回	Barrier-Free Everywhere? [Con] / 事件 (2)	Possibilities and limitations / Chinese "overseas police station" in Tokyo raided over benefit fraud (2)
第03回	Elderly Drivers [Pro] / 裁判 (1)	Keep our seniors licensed / The Supreme Court overturned Roe v. Wade 2 years ago. Here's what's happened since (1)
第04回	Elderly Drivers [Con] / 裁判 (2)	Keep our seniors licensed / The Supreme Court overturned Roe v. Wade 2 years ago. Here's what's happened since (2)
第05回	School Clubs [Pro] / 環境 (1)	Friends and fulfillment / Paris is aiming for the most sustainable Olympics yet (1)
第06回	School Clubs [Con] / 環境 (2)	Stress and frustration / Paris is aiming for the most sustainable Olympics yet (2)

第07回	The NIMBY Syndrome [Pro] / 資源 (1)	Welcome, neighbor / IEA expects global clean energy investment to hit \$2 trillion in 2024 (1)
第08回	The NIMBY Syndrome [Con] / 資源 (2)	Too far outside my comfort zone / IEA expects global clean energy investment to hit \$2 trillion in 2024 (2)
第09回	Electronic Voting [Pro] / 人口 (1)	A win for democracy / Japan's birth rate falls to a record low as the number of marriages also drops (1)
第10回	Electronic Voting [Con] / 人口 (2)	I vote no / Japan's birth rate falls to a record low as the number of marriages also drops (2)
第11回	Aid in Dying [Pro] / 科学 (1)	My life, my decision / AI will shrink workforces within five years, say company execs (1)
第12回	Aid in Dying [Con] / 科学 (2)	Where do we draw the line? / AI will shrink workforces within five years, say company execs (2)
第13回	Biometric Authentication [Pro] / スポーツ (1)	The real deal / History made as Colorado Rockies win with first walk-off pitch clock violation (1)
第14回	Biometric Authentication [Con] / スポーツ (2)	A false sense of security / History made as Colorado Rockies win with first walk-off pitch clock violation (2)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回の授業においては、教科書を事前に読んでおくことが前提となります。授業の予習・復習には少なくとも一時間を要します。

【テキスト（教科書）】

Mark Jewel『Pros and Cons: Arguing Different Points of View 議論伯仲：ふたつの意見』（朝日出版社）ISBN:9784255156477
堀江洋文、小西和久、宮崎修二、内野泰子（編著）『English for Mass Communication 2025 Edition 時事英語の総合演習 2025年度版』（朝日出版社）ISBN:9784255157306

【参考書】

必要に応じて、授業時にプリントを配布します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（100％）

なお、ILAC英語科目に共通するルールとして「各学期の欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない」という項目があり、本科目もこれに該当しますので、十分に留意してください。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度・習熟度に応じて、進度を適宜調整したいと思います。

【Outline (in English)】

Course outline: In this course, students are mainly expected to improve their reading skill in English, paying attention to paragraph structure and comprehending practical English.

Learning objectives: The goals of this course are to acquire better reading skill by learning the logical structure of English and to develop an understanding of contemporary world through the language for the media.

Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. The required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading criteria / Policies: Final grade will be decided based on term-end examination (100％)

Absence guideline for ILAC English courses: In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit for the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
English 1 I		2017年度以降入学者
飛田 英伸		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：木2/Thu.2		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本企業の取り組みについて書かれた英文を教材として、正確にかつ批評的に「読む」力の向上を図るとともに、コミュニケーションに必要な「聴く・話す・書く」能力を養い、英語で発信される情報に対応できるようになる。

【到達目標】

- ・英語の文章の基本的な構造を理解する。
- ・英文を速読してその大意や要点、おおまかな構造をつかむことができるようになる。
- ・文章に使われている構文や文法を把握できるようになる。
- ・精読を通して書き手の考えや論理の展開について分析することができるようになる。
- ・標準的な速度で話される英語をおおまかに聞き取ることができるようになる。
- ・簡潔な英語で物事を説明したり、自分の考えを表明したりできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はすべて対面で行う予定。
予習を前提に、講義と演習を行う。
1つのユニットを2回の授業で進める。
1回目の授業では、語彙・文法の確認・解説と、リスニング、リーディング（大意把握）を行う。
2回目の授業では、リーディング（速読、精読）とリスニング、スピーキング、ライティングを行う。
学習支援システムを通して試験や課題へのフィードバックを行う。
また、作文課題は添削して返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の説明、自己紹介
2	Case 1: Initiating World's Biggest Joint Marketing Project	語彙、リスニング、大意把握、文法
3	Case 1: Initiating World's Biggest Joint Marketing Project	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
4	Case 2: Creating Value and Making a Difference	語彙、リスニング、大意把握、文法
5	Case 2: Creating Value and Making a Difference	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
6	Case 3: Enhancing Luxury Identity	語彙、リスニング、大意把握、文法
7	Case 3: Enhancing Luxury Identity	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文

8	Case 4: Changing a Big Company with Management of Technology	語彙、リスニング、大意把握、文法
9	Case 4: Changing a Big Company with Management of Technology	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
10	Case 5: Reviving a Leading Brand	語彙、リスニング、大意把握、文法
11	Case 5: Reviving a Leading Brand	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
12	Case 7: Making a Challenging Business Profitable	語彙、リスニング、大意把握、文法
13	Case 7: Making a Challenging Business Profitable	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【予習】

1. テキストを読み、問題に答える。
2. テキストを日本語に訳す。

【復習】

1. テキストの内容、語彙・文法事項を確認する。
2. リスニングの音声聞き直す。
3. 作文の添削を確認する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Global Leadership (第2版、中谷安男・Ryan Smithers 著、金星堂、2022年、2,000円＋税)

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%
平常点（予習、作文、スピーキング、受講態度）40%
欠席が4回以上の場合は、原則として単位取得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

授業中の演習の時間を増やす。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書可）。
学習支援システムを使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器の持参を奨励する。

【その他の重要事項】

生成AIの使用は原則として禁止する。
ただし、部分的に使用し（例えば、英語での言い方を調べる）、その結果を検証する場合には例外的に使用を認める。その場合は必ず申告し、どこに使ったのかと、その検証の過程と結果を示すこと。
生成AIが作成したものを自らの成果としてそのまま提出した場合は単位の取得を認めない。また、使用の可能性が極めて高いと判断される場合も同様に処理する。

【Outline (in English)】

Through reading English articles about Japanese companies, students will develop their abilities to correctly understand and critically evaluate English texts. Students will also improve their basic English skills through listening, speaking, and writing activities.
The goals of this course are to understand basic sentence structures and grammatical rules, acquire reading skills to gather and analyze information, and improve ability in listening and writing.
Before and after each class meeting, students will be expected to spend an hour to complete the required assignments. Grading will be decided based on term-end examination (60%) and in class contribution including assignment submissions (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

飛田 英伸

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本企業の取り組みについて書かれた英文を教材として、正確かつ批評的に「読む」力の向上を図るとともに、コミュニケーションに必要な「聴く・話す・書く」能力を養い、英語で発信される情報に対応できるようになる。

【到達目標】

- ・英語の文章の基本的な構造を理解する。
- ・英文を速読してその大意や要点、おおまかな構造をつかむことができるようになる。
- ・文章に使われている構文や文法を把握できるようになる。
- ・精読を通して書き手の考えや論理の展開について分析することができるようになる。
- ・標準的な速度で話される英語をおおまかに聞き取ることができるようになる。
- ・簡潔な英語で物事を説明したり、自分の考えを表明したりできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はすべて対面で行う予定。

予習を前提に、講義と演習を行う。

1つのユニットを2回の授業で進める。

1回目の授業では、語彙・文法の確認・解説と、リスニング、リーディング（大意把握）を行う。

2回目の授業では、リーディング（速読、精読）とリスニング、スピーキング、ライティングを行う。

学習支援システムを通して試験や課題へのフィードバックを行う。また、作文課題は添削して返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の説明、春学期の復習
2	Case 8: Becoming a Representative Corporate Citizen in China	語彙、リスニング、大意把握、文法
3	Case 8: Becoming a Representative Corporate Citizen in China	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
4	Case 9: Developing New Business in Emerging Markets	語彙、リスニング、大意把握、文法
5	Case 9: Developing New Business in Emerging Markets	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
6	Case 11: Competing with Big Companies by Establishing a Regional Brand	語彙、リスニング、大意把握、文法

7	Case 11: Competing with Big Companies by Establishing a Regional Brand	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
8	Case 12: Sustaining Brand Identity and Global Business Strategies	語彙、リスニング、大意把握、文法
9	Case 12: Sustaining Brand Identity and Global Business Strategies	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
10	Case 14: Developing a Global Leader for Diversity Management	語彙、リスニング、大意把握、文法
11	Case 14: Developing a Global Leader for Diversity Management	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
12	Case 15: Building Global Business Models	語彙、リスニング、大意把握、文法
13	Case 15: Building Global Business Models	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

[予習]

1. テキストを読み、問題に答える。

2. テキストを日本語に訳す。

[復習]

1. テキストの内容、語彙・文法事項を確認する。

2. リスニングの音声聞き直す。

3. 作文の添削を確認する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Global Leadership (第2版、中谷安男・Ryan Smithers 著、金星堂、2022年、2,000円＋税)

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%

平常点（予習、作文、スピーキング、受講態度）40%

欠席が4回以上の場合は、原則として単位取得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

授業中の演習の時間を増やす。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書可）。

学習支援システムを使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器の持参を奨励する。

【その他の重要事項】

生成AIの使用は原則として禁止する。

ただし、部分的に使用し（例えば、英語での言い方を調べる）、その結果を検証する場合には例外的に使用を認める。その場合は必ず申告し、どこに使ったのかと、その検証の過程と結果を示すこと。生成AIが作成したものを自らの成果としてそのまま提出した場合は単位の取得を認めない。また、使用の可能性が極めて高いと判断される場合も同様に処理する。

【Outline (in English)】

Through reading English articles about Japanese companies, students will develop their abilities to correctly understand and critically evaluate English texts. Students will also improve their basic English skills through listening, speaking, and writing activities.

The goals of this course are to understand basic sentence structures and grammatical rules, acquire reading skills to gather and analyze information, and improve ability in listening and writing.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend an hour to complete the required assignments. Grading will be decided based on term-end examination (60%) and in class contribution including assignment submissions (40%).

吉江 秀和

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

イギリスの歴史や社会を建造物を通して英語で学ぶテキスト『ブリティッシュ・ビルディングス **British Society through its buildings**』の英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、包括的に英語学習をすすめていきます。その際に、英文の概訳ではなく、構文を意識した読解力を身につけていくとともに、関連する内容を確認することで英文をより深く理解する方策を身につけていきます。

【到達目標】

テキストの読解を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③リスニングを繰り返すことにより、英語の聞き取りの力をつける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト『ブリティッシュ・ビルディングス **British Society through its buildings**』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、予習の段階で構文の理解をより深めるための作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。実施した確認テストの採点・返却後、そのテストや予習したものを活用して自分の理解度を確認して改めて復習をしてもらいます。

フィードバックは各チャプター終了後に実施する確認テストの返却のさいにおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	予習のやり方や授業の進め方など、授業を受けるうえでの注意点の説明をします。
2	Chapter 1	Stonehenge
3	Chapter 2	Hadrian's Wall
4	Chapter 3	Caernarfon Castle
5	Chapter 4	Canterbury Cathedral
6	Chapter 5	Tudor Houses
7	Chapter 6	Country Houses
8	Chapter 7	Derwent Valley Mills
9	テキスト以外の英文 講読①	イギリスの文化に関連する内容
10	テキスト以外の英文 講読②	イギリスの社会に関連する内容
11	テキスト以外の英文 講読③	イギリスの教育に関連する内容
12	テキスト以外の英文 講読④	イギリスの政治に関連する内容
13	テキスト以外の英文 講読⑤	イギリスの経済に関連する内容

- 14 期末試験・まとめ 今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方・提出については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Simon Rosati, 近藤久雄『ブリティッシュ・ビルディングス **British Society through its buildings**』2017年、英宝社、2,000 円+税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）と期末試験（80%）から総合的に評価。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのかが分かったりするものを用意してください（主要な動詞がどの文型をとるのが示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです）。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Reading stories in the textbook 'British Society through its buildings', which consists of 15 topics that cover British history and society through British built structures, students primarily learn how to read the sentences correctly. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 80%, exams for each chapter and in-class contribution, 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

吉江 秀和

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

イギリスの歴史や社会を建造物を通して英語で学ぶテキスト『ブリティッシュ・ビルディングス British Society through its buildings』の英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、包括的に英語学習をすすめていきます。その際に、英文の概訳ではなく、構文を意識した読解力を身につけていくとともに、関連する内容を確認することで英文をより深く理解する方策を身につけていきます。

【到達目標】

テキストの読解を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③リスニングを繰り返すことにより、英語の聞き取りの力をつける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト『ブリティッシュ・ビルディングス British Society through its buildings』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、予習の段階で構文の理解をより深めるための作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。実施した確認テストの採点・返却後、そのテストや予習したものを活用して自分の理解度を確認して改めて復習をしてもらいます。

フィードバックは各チャプター終了後に実施する確認テストの返却のさいにおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 8	Terraced House
2	Chapter 9	Manchester Town Hall
3	Chapter 10	The Forth Bridge
4	Chapter 11	Brighton Pier
5	Chapter 12	Liverpool Docks
6	Chapter 13	The South Bank
7	Chapter 14	The Channel Tunnel
8	Chapter 15	The Shard
9	テキスト以外の英文	イギリスの文化に関連する内容 講読①
10	テキスト以外の英文	イギリスの社会に関連する内容 講読②
11	テキスト以外の英文	イギリスのスポーツに関連する 内容 講読③
12	テキスト以外の英文	イギリスの政治に関連する内容 講読④
13	テキスト以外の英文	イギリスの経済に関連する内容 講読⑤

14 期末試験・まとめ 今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方・提出については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Simon Rosati, 近藤久雄『ブリティッシュ・ビルディングス British Society through its buildings』2017年、英宝社、2,000 円+税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）と期末試験（80%）から総合的に評価。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのかが分かったりするものを用意してください（主要な動詞がどの文型をとるのが示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです）。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Reading stories in the textbook 'British Society through its buildings', which consists of 15 topics that cover British history and society through British built structures, students primarily learn how to read the sentences correctly. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 80%, exams for each chapter and in-class contribution, 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

近藤 隆子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界の国々の歴史・文化・社会などを扱う英語教材を通して、他国について様々な角度から理解を深めるとともに、総合的な英語力を養う。主として英語のリーディング力とリスニング力を伸ばす。各課は、リーディング中心の前半とリスニング中心の後半で構成されている。前半は、**Warm-up Exercise**で各国に関する背景知識をクラスメートと活性化し、**Vocabulary Exercise**でReadingの中に出てくる重要語彙を予習したうえで、**Reading**と**Reading Comprehension**で読解練習をし、読む力を育成する。そして、後半は、英語のネイティブスピーカーが各国について視覚的に紹介する映像と地元の人がそれぞれの国について話すインタビュー形式の映像の視聴をとおして、聴解練習をしていく。英語のネイティブスピーカーだけではなく、ノンネイティブスピーカーの英語にも触れ、聴く力を育成する。

【到達目標】

- ・複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に理解できる
- ・目的に応じた速度で効果的に英文を読むことができる
- ・構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報を把握できる
- ・英語で書かれた・話された内容を、日本語や英語で要約・説明できる
- ・論理的に文法・構文を説明できる
- ・世界で使用されている様々な英語を効果的に聞き取り、内容を理解することができる
- ・英語辞書を効果的に使うことができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生は予習としてReading passageを事前に読み、online videosを視聴し、指定された問題を解いてから授業に臨んでください。授業では、基本的に教科書に沿って予習してきた問題・内容確認を行います。また、文章の内容や注意すべき文法・構文、語彙などを確認します。ペア・グループワークの時間を多く設け、予習で分からなかった箇所を学生同士で説明し合ったり、教員が提示する問題について話し合ってください。一つのチャプターが終わったら、次の週に小テストを行います。小テスト、課題へのフィードバックは学習支援システムと授業にて、適宜おこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要説明、英語履修指導、自己紹介 等
第2回	Chapter 1 India	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認
第3回	Chapter 2 Philippines	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第4回	Chapter 3 Thailand	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第5回	Chapter 4 Vietnam	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト

第6回	Chapter 5 Korea	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第7回	Chapter 6 France	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第8回	Chapter 7 Italy	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第9回	Chapter 8 Denmark	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第10回	Chapter 9 Portugal	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第11回	Chapter 10 Turkey	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第12回	Chapter 11 Egypt	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第13回	Chapter 12 South Africa	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第14回	Chapter 13 Brazil	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：指示に従って、教科書の本文の要約、エクササイズ、オンラインビデオの視聴、内容理解をしたうえで、授業に出席する。
復習：学習した内容が定着するよう（同時に、小テスト対策として）、語彙、文法事項、本文内容、オンラインビデオの内容を復習する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Scott Berlin & Megumi Kobayashi. "World Adventures" 金星堂、2021年

【参考書】

授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

学期中の小テスト60%、平常点40%（課題を含む）による総合評価。欠席が4回以上の場合は原則的に単位修得を認めません（30分を超えた遅刻は1回の欠席とみなします）。また、遅刻・早退は減点の対象となります。
オンライン授業（Zoom使用）の場合も同様で、授業の最初に出席状況を確認します。

【学生の意見等からの気づき】

成績評価の方法と基準を学生がきちんと理解できるように説明する。ペア・グループワークで学生がより一層積極的に参加するようにやり方を工夫する。

【学生が準備すべき機器他】

資料の配布・課題の提出などには、学習支援システムを使用します。また、状況によっては、Zoomで授業を行うことがあります。

【その他の重要事項】

- ・初回の授業に出席してください
- ・授業には辞書を持参してください（英英辞典、英和・和英辞典どちらでも良い）
- ・積極的に授業に参加することが求められます
- ・授業中の携帯電話の使用は不可です
- ・遠隔の場合は代替案を授業中に指示します

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students deepen their understanding of other countries from various perspectives and cultivate comprehensive English abilities. This course mainly enhances the development of students' skills in reading and listening in English.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Students should be able to read passages of multiple paragraphs at a speed necessary for different purposes
- Students will acquire effective listening skills
- Students should be able to use dictionaries effectively

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignments. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Grading will be decided based on unit tests (60%) and in-class contribution (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

近藤 隆子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界の国々の歴史・文化・社会などを扱う英語教材を通して、他国について様々な角度から理解を深めるとともに、総合的な英語力を養う。主として英語のリーディング力とリスニング力を伸ばす。各課は、リーディング中心の前半とリスニング中心の後半で構成されている。前半では、**Warm-up Exercise**で各国に関する背景知識をクラスメートと活性化し、**Vocabulary Exercise**でReadingの中に出てくる重要語彙を予習したうえで、**Reading**と**Reading Comprehension**で読解練習をし、読む力を育成する。そして、後半では、英語のネイティブスピーカーが各国について視覚的に紹介する映像と地元の人がそれぞれの国について話すインタビュー形式の映像の視聴をとおして聴解練習をしていく。英語のネイティブスピーカーだけではなく、ノンネイティブスピーカーの英語にも触れ、聴く力を育成する。

【到達目標】

- ・複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に理解できる
- ・目的に応じた速度で効果的に英文を読むことができる
- ・構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報を把握できる
- ・英語で書かれた・話された内容を、日本語や英語で要約・説明できる
- ・論理的に文法・構文を説明できる
- ・世界で使用されている様々な英語を効果的に聞き取り、意味をつかむことができる
- ・英語辞書を効果的に使うことができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生は予習としてReading passageを事前に読み、online videosを視聴し、指定された問題を解いてから授業に臨んでください。授業では、基本的に教科書に沿って予習してきた問題・内容確認を行います。また、文章の内容や注意すべき文法・構文、語彙などを確認します。ペア・グループワークの時間を多く設け、予習で分からなかった箇所を学生同士で説明し合ったり、教員が提示する問題について話し合ってください。一つのチャプターが終わったら、次の週に小テストを行います。小テスト、課題へのフィードバックは学習支援システムと授業にて、適宜おこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要説明, 春学期テキスト"World Adventures" Chapters 13-15 Listening parts
第2回	Chapter 1 Australia	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第3回	Chapter 2 Indonesia	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第4回	Chapter 3 Singapore	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト

第5回	Chapter 4 China	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第6回	Chapter 5 Argentina	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第7回	Chapter 6 Mexico	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第8回	Chapter 7 Germany	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第9回	Chapter 8 Finland	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第10回	Chapter 9 Poland	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第11回	Chapter 10 Spain	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第12回	Chapter 11 Greece	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第13回	Chapter 12 Kenya	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認、小テスト
第14回	Chapter 13 Morocco	文章の内容確認、エクササイズ、Online video内容確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：指示に従って教科書の本文の要約、エクササイズ、オンラインビデオの視聴、内容理解をしたうえで、授業に出席する。
 復習：学習した内容が定着するよう（同時に、小テスト対策として）、語彙、文法事項、本文内容、オンラインビデオの内容を復習する。
 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
 /University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Scott Berlin & Megumi Kobayashi. "On Board for More World Adventures" 金星堂、2021年

【参考書】

授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

学期中の小テスト60%、平常点40%（課題を含む）による総合評価。欠席が4回以上の場合は原則的に単位修得を認めません（30分を超えた遅刻は1回の欠席とみなします）。また、遅刻・早退は減点の対象となります。
 オンライン授業（Zoom使用）の場合も同様で、授業の最初に出席状況を確認します。

【学生の意見等からの気づき】

成績評価の方法と基準を学生がきちんと理解できるように説明する。ペア・グループワークで学生がより一層積極的に参加するようにやり方を工夫する。

【学生が準備すべき機器他】

資料の配布・課題の提出などには、学習支援システムを使用します。また、状況によっては、Zoomで授業を行うことがあります。

【その他の重要事項】

- ・初回の授業に出席してください
- ・授業には辞書を持参してください（英英辞典、英和・和英辞典どちらでも良い）
- ・積極的に授業に参加することが求められます
- ・授業中の携帯電話の使用は不可です
- ・遠隔の場合は代替案を授業中に指示します

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students deepen their understanding of other countries from various perspectives and cultivate comprehensive English abilities. This course mainly enhances the development of students' skills in reading and listening in English.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Students should be able to read passages of multiple paragraphs at a speed necessary for different purposes
- Students will acquire effective listening skills
- Students should be able to use dictionaries effectively

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignments. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Grading will be decided based on vocabulary quizzes and unit tests (60%) and in-class contribution (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

滝沢 玄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会のさまざまな出来事について英文を読むことによって、批評意識と知的関心を高める。

【到達目標】

各章のテーマが提起する問題について、パラグラフ間の論理的な筋道を的確に把握する。批評的な観点を持ちながら読み、自らの意見の発信につなげる。会話に生かせるよう、イントネーションやアクセントを意識して英文を読む。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として挙手による発言を優先し、必要に応じてランダムに当てる。語句問題を解いたあと本文を音読し、読解の問題を解き、関連したパラグラフの要点と話の展開をおさえる。授業形式は現時点では対面とオンラインのハイブリッドであるが、対面中心の場合、ユニット読了の翌週にあらかじめ割り当てられたグループが、指定された質問について英語でディスカッションをする。オンライン中心の場合は個人の作文提出に変更の可能性もあり。また、復習の小テストも行なう予定。課題へのフィードバックについては、授業での返却とレビューによって可能な限り速やかに対処する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	授業の概要についての説明。時間があればUnit 1に入る。
第2回	Unit 1	Why can't we say no?
第3回	Unit 1	Why can't we say no?
第4回	Unit 2	Should we ban meetings?
第5回	Unit 2	Should we ban meetings?
第6回	Unit 3	How did Red Bull achieve its success?
第7回	Unit 3	How did Red Bull achieve its success?
第8回	Unit 4	What is a Supercommuter?
第9回	Unit 4	What is a Supercommuter?
第10回	Unit 5	Should we work four days a week?
第11回	Unit 5	Should we work four days a week?
第12回	Unit 6	Is tourism a blessing or a curse?
第13回	Unit 6	Is tourism a blessing or a curse?
第14回	Test	春学期の授業を範囲とした筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

単語は意味を調べるだけでなくアクセントを事前にチェックし、ダウンロード音声で音読を練習する。各パラグラフの要点は説明できるようにしておき、語句・読解問題も事前に解いておく。

【テキスト（教科書）】

Dave Rear, Our World, Our Stories (成美堂), ¥2200.

【参考書】

(書く必要はないと思うが) 英語辞書。単語や成句の意味だけでなく、アクセントのチェックなどにも十分に活用すること。スマートフォンやタブレットはときに重要なツールになりうることは確かだが、電子あるいは本の辞書を推奨する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、小テストと課題30%、平常点（予習をふまえた授業での積極的発言、授業のフィードバック）20%。グループ活動に参加しなかった場合、試験欠席と同等にみなす。欠席が4回以上の者には単位修得を認めないが、ただの出席点はないので誤解のないように。

【学生の意見等からの気づき】

昨年は私の健康上の理由により、予定外のオンライン併用になった。今年度もまだ不確定な要素があるため前年を踏襲するが、回復の度合いに応じて対面中心に切りかえてゆくつもりなので、状況による変更についてはご了承願いたい。

【その他の重要事項】

担当者へのアクセス：

gen.takizawa.cy (以下は共通の学内アドレス)

【Outline (in English)】

The main aim of this course is to develop critical awareness through reading about various phenomena in modern society. Students are also required to express their opinions about these topics in English.

Before each class meeting, you will be expected to have made preparations for it. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%; quizzes and assignments: 30%; in-class contribution: 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

滝沢 玄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会のさまざまな出来事について英文を読むことによって、批評意識と知的関心を高める。

【到達目標】

各章のテーマが提起する問題について、パラグラフ間の論理的な筋道を的確に把握する。批評的な観点を持ちながら読み、自らの意見の発信につなげる。会話に生かせるよう、イントネーションやアクセントを意識して英文を読む。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として挙手による発言を優先し、必要に応じてランダムに当てる。語句問題を解いたあと本文を音読し、読解の問題を解き、関連したパラグラフの要点と話の展開をおさえる。授業形式は現時点では対面とオンラインのハイブリッドであるが、対面中心の場合、ユニット読了の翌週にあらかじめ割り当てられたグループが、指定された質問について英語でディスカッションをする。オンライン中心の場合は個人の作文提出に変更の可能性もあり。また、復習の小テストも行なう予定。課題へのフィードバックについては、授業での返却とレビューによって可能な限り速やかに対処する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Review etc.	前期レビュー。秋学期について。時間があればテキスト、あるいはプリント配布。
第2回	Unit 7	Is it better to know what will happen?
第3回	Unit 7	Is it better to know what will happen?
第4回	Unit 11	What is bias in the media?
第5回	Unit 11	What is bias in the media?
第6回	Unit 12	Can video games be good for us?
第7回	Unit 12	Can video games be good for us?
第8回	Unit 13	Why is Twitter always in the News?
第9回	Unit 13	Why is Twitter always in the News?
第10回	Unit 15	How did Disney take over the world?
第11回	Unit 15	How did Disney take over the world?
第12回	Unit 17	Can we plant memories in the Brain?
第13回	Unit 17	Can we plant memories in the Brain?
第14回	Test	秋学期の授業を範囲とした筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

単語は意味を調べるだけではなくアクセントを事前にチェックし、ダウンロード音声で音読を練習する。各パラグラフの要点は説明できるようにしておき、語句・読解問題も事前に解いておく。

【テキスト（教科書）】

Dave Rear, Our World, Our Stories (成美堂), ¥2200.

【参考書】

(書く必要はないと思うが) 英語辞書。単語や成句の意味だけでなく、アクセントのチェックなどにも十分に活用すること。スマートフォンやタブレットはときに重要なツールになりうることは確かだが、電子あるいは本の辞書を推奨する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、小テストと課題30%、平常点（予習をふまえた授業での積極的発言、授業のフィードバック）20%。グループ活動に参加しなかった場合、試験欠席と同等にみなす。欠席が4回以上の者には単位修得を認めないが、ただの出席点はないので誤解のないように。

【学生の意見等からの気づき】

昨年は私の健康上の理由により、予定外のオンライン併用になった。今年度もまだ不確定な要素があるため前年を踏襲するが、回復の度合いに応じて対面中心に切りかえてゆくつもりなので、状況による変更についてはご了承願いたい。

【その他の重要事項】

担当者へのアクセス：

gen.takizawa.cy (以下は共通の学内アドレス)

【Outline (in English)】

The main aim of this course is to develop critical awareness through reading about various phenomena in modern society. Students are also required to express their opinions about these topics in English.

Before each class meeting, you will be expected to have made preparations for it. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%; quizzes and assignments: 30%; in-class contribution: 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

深澤 清

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土3/Sat.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

これまでに学習したことを基礎として、総合的な英語力を養うことを目的とする。特に英語の4技能の一つであるリーディング(文章理解、基礎的な文法の理解、語彙の増強)のスキルを強化し、英文の読解力向上のための基盤づくりができるようにする。また、英語のリスニング、スピーキングの力も強化する。英語でコミュニケーションをすることの楽しさを実感し、日常的な場面で自分が伝えたいことを表現し、又相手が伝えたいことを理解できるようにする。コミュニケーション活動を通して、他者との相互理解を深める機会を得る。さらに学習を通して海外事情を知り、世界の中の日本、そして日本の中の世界を知る。様々なテーマを含む英文資料を理解し、クリティカルな分析能力を養う。

【到達目標】

テキストの予習・復習を通して文法、イディオム、フレーズを理解し使えることができる。英語語彙力を身につける。短いフレーズは何度もドリル練習をして暗記する。英語ジャーナルを書いて発表する。テキスト、プリント等の記述内容を理解し、それに対する自分の意見を他者に伝えることができる。他者の発言を尊重しつつ、自分の意見との妥協点を見い出すことができる。英語で自分の意見を述べるができる。コミュニケーションスキルを培い、自信を持って話せることができる。リスニング、リーディング、ライティングの課題に取り組む。ペアワーク、グループワークに参加し、課題やプロジェクトを完成させることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面による講義形態で行い、基本的に教科書に沿って授業を進めます。授業では教科書の内容について解説し、提出されたリアクションペーパー、演習問題の回答についてフィードバックします。さらに、積極的にHoppii等の授業支援システムを活用し、補足説明や演習問題、課題等に対する解説、正答のフィードバックを行います。教科書の内容について、ペアワーク、グループワークにより意見交換をします。授業時間以外でもHoppiiに出された課題に取り組み、継続的に学習します。英語によるプレゼンテーションを行い、パワーポイント等の視覚ツールを用いながら、自分の意見を他者に伝える機会を持ちます。尚、プレゼンテーション実施の際は、視覚資料等の円滑な運用のため、ZOOM等のツールを用いる場合があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Unit 1	Orientation	Planning for summer holiday
	Summer Holiday	plan. Anticipation is an
	Plans.	important source of
	Introduction to Life	happiness.
	Topics changing	
	views. The Joy of	
	Anticipation	

Unit 2	Online Booking. How Long does it Take to Make a Friend?	How to book a ticket. People are naturally social and want to bond with one another.
Unit 3	In an airplane. How to Form Good Habits	Conversation in an airplane. We all have behaviors that we want to replace with good habits, but most of us have no idea how good habits are formed.
Unit 4	Exchanging Money. How to Become More Productive	Money Exchange. We all want to become more efficient at our jobs and at getting more done, but often we simply do not know how to do it.
Unit 5	At the Accommodation. Introverts and Extroverts	Where do you stay? Examples of introvert and extrovert character traits and behaviors
Unit 6	Smartphones and PCs. Social Media and Loneliness	SIM Free world. Is using social media good or bad for us? Why do you think so?
Unit 7	Using Uber. Five Healthy Habits	How to catch a taxi. What are five good habits that will keep you healthier and extend your life?
Unit 8	Public Transport. Are Humans Outdated Machines? Part I	Taking a train in UK. It has been said that humans are outdated machines. Do you agree or disagree?
Unit 9	A study tour. Are humans Outdated Machines? Part II	Go somewhere to do research. When we feel threatened or afraid, how can we control our stress? Explain.
Unit 10	Music Festival. The Happiness Set Point	Enjoy music. Can we boost our level of happiness? How much control do we have over our happiness? Express it in a percentage.
Unit 11	Ordering Food. The Hedonic Treadmill, Part I	Ordering Food. Does having a lot of nice, expensive possessions make you happy? Explain.
Unit 12	Shopping. The Hedonic Treadmill, Part II	Shopping. How can we control ourselves so that we don't get stuck on the hedonic treadmill?
Unit 13	Amusement. The Relationship between Cats and People	Enjoy sports. How and when did cats become humans' pets and begin to share our lives?
Unit 14	Emails. The power of Forgiveness, Part I & Part II	Emails. Is there someone you need to forgive? How important is it for you to do so? And How can you forgive another person?

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業において指示された文献等を読む。テキストにある演習問題の予習・復習をする。授業内で示される課題（レポート、演習問題）に取り組む。準備学習・復習・宿題等は積極的にHoppii等の学習支援システムを活用する。尚、本授業の準備学習・復習時間は1回につき4時間以上とする。

【テキスト（教科書）】

Textbook: Travel English in Action 著者名: Burden Tyler
Publisher: 南雲堂, ISBN: 978-4-523-17942-9-C0082

【参考書】

英和辞典(電子辞書・本型の辞書)など、英単語の意味を知る機能のあるものを必要に応じて持参すること。

【成績評価の方法と基準】

Grading Criteria

70 % 平常点: 英語によるプレゼンテーションの評価

20 % 課題評価: Forms、Hoppii 等の課題についての評価

10 % レポート評価: エッセー(英文)の内容

尚、各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

特にありませんが、今後も優れた授業ができるよう研究を重ねていきます。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム Hoppii の課題等を行うための情報機器(パソコン等)が必要です。

【その他の重要事項】

学生による英語の「プレゼンテーション」は、円滑な運営のために Zoom によるオンラインで行うことがある。その場合には事前に学生に連絡する。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to develop English oral and aural communication skills in a wide variety of real-world situations and emphasizing natural speech and vocabulary development.

Learning objectives: Students will read passages of multiple paragraphs to discuss and talk on general topics and grasp the writer's intention and feeling. This course also helps students foster critical thinking skills to make an objective and multifaceted analysis of the given information.

Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text and complete the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least four hours for a class.

Grading Criteria/policy: Your overall grade in the class will be decided based on the following: In class contribution (presentation in English) 70%: Evaluation of Hoppii's assignment 20%: Short reports: 10%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

深澤 清

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土3/Sat.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語の構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報をつかみ取ること、また書き手の感情や意図をつかむことに重点を置く。得られた情報を鵜呑みにするのではなく、多面的・客観的観点から分析する、いわゆる批判的思考力の養成も行う。また、英語を使って人前で情報を伝えたり、自分の考えを説明したりする、いわゆる「プレゼンテーション能力」(Presentation Skills in English)の向上を目指す。さらに、英語リスニングのスキルを身につける。

【到達目標】

日常生活や現代社会の様々なトピックに関して自分なりの意見をまとめ、それを口頭や文章で効果的に表現する力を養うことができる。必要な知識・情報を掴み取る力を養うことができる。英語で書かれたトピックの内容を理解し、その内容を他者に伝えることができる。他者の発言を尊重しつつ、自分の意見との妥協点を見出すことができる。プレゼンテーションのための基礎的な知識を身につける。英語のリスニング・スキルアップを図ることができる。英語語彙力をアップさせることができる。テキストの予習・復習を通して文法、イディオム、短いフレーズを理解することができる。英語の短いフレーズは何度もドリル練習をして暗記することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は原則として対面による講義形態で行い、担当教員作成のオリジナルテキストに沿って授業を進めます。授業ではテキストの内容について解説し、演習問題の正答などのフィードバックは授業支援システムのHoppiiを積極的に活用します。テキストの内容については、ペアワーク、グループワークにより意見交換をします。事前に配布するプリント、Hoppiiに出された課題に取り組み、授業時間以外でも受講生は継続的に学習します。学生は英語によるプレゼンテーションを行い、自分の意見を他者に伝える機会を持ちます。さらにHoppiiシステムを活用して、TOEIC(R)、TOEFL、英検等の資格試験対策も早期に取り組みます。正答のフィードバックについても、Hoppiiの情報システムを使います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Unit 1	Conclusions/ Reasons Should mothers stay at home until their children go to school?	Brainstorming & Organizing
Unit 2	Social Trend/ Analysis Why are coffee shops so popular in Japan?	Informative Presentations: Place「場所」
Unit 3	Theory/Proof Your eyebrows express more than your eyes.	Informative Presentations: Topical pattern「理論・実験結果」

Unit 4	Controversy What are the merits and demerits of the lifetime employment system?	Informative Presentations: Advantages & Disadvantages 「長所・短所型」
Unit 5	Comparison/ Contrast Compare city life and country life	Persuasive Presentation: Comparative-Advantage Method「比較優位法」
Unit 6	Classification Developed, rapidly developing, and still underdeveloped countries.	Informative Presentations: Classification pattern「分類型」
Unit 7	Instructions How to stay fit.	Talk about Topical pattern
Unit 8	Chronological Order Write your CV, then re-write it as a paragraph	Informative Presentations: Time「時間」
Unit 9	Cause & Effect What effects have computers had on society?	Persuasive Presentations: Questions of Fact「事実型」
Unit 10	Process How to proceed with conversation	Persuasive Presentations: Problem -Solution Method「問題解決法」
Unit 11	Explanation Exercise and Physical Fitness	Persuasive Presentations: Problem-Cause-Solution Method「問題・原因・解決法」
Unit 12	Definition How to explain the meaning of the new words.	Persuasive Presentations: Talk about Topical pattern
Unit 13	Explanation Statistics	Informative Presentations: Concepts「概念型」
Unit 14	Presentation Practice	Students give presentations.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指示された文献等を事前に読む。テキストにある演習問題の予習・復習をする。授業内で示される課題（レポート、演習問題）に取り組む。準備学習・復習・宿題等は積極的にHoppiiの学習システムを活用する。尚、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて4時間以上とします。

【テキスト（教科書）】

担当教員作成のオリジナルテキストを使用します。印刷物を授業中に配布します。

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

Grading Criteria

70% 平常点: 英語によるプレゼンテーション等、
20% 小テスト: Forms、Hoppiiに出された課題の評価
10% レポート: エッセー(英文)、レポート課題等の内容評価
尚、各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない

【学生の意見等からの気づき】

特にありませんが、今後もより実りある授業にしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムHoppiiの課題を行うための情報機器(パソコン等)が必要です。

【その他の重要事項】

学生による「英語プレゼンテーション」の発表等は、円滑な運営のためにZoomによるオンラインで行うことがある。その場合には事前に学生に連絡する。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students acquire communicative ability and confidence in speaking English. It also enhances the development of students' skills in presentation skills.

Learning objectives: By the end of the course, students should be able to learn and do the followings; 1. Informative Presentations, 2. Persuasive Presentations, 3. Presentation Practice.

Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text and complete the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least four hours for a class.

Grading Criteria/policy: Your overall grade in the class will be decided based on the following: In class contribution (presentation in English) 70%; Evaluation of Hoppii's assignment 20%; Short reports: 10%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

中垣 恒太郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土3/Sat.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アカデミック・エッセイを講読しながら、(1) パラグラフ・リーディングを軸とした「情報処理としての英文資料の読解方法」について学ぶ、(2) 英文資料をもとに説得力をもって自分の意見を述べる訓練を行う（クリティカル・シンキング／アカデミック・スキルとしての英語）。

英語総合教材『映画で見るジェンダー

Let's look into various issues in Japan and America through films!』を教科書として、映画に基づくジェンダーにまつわるさまざまな論点に触れ、考え、自分の意見を表現する訓練を行う。ジェンダーの論点を軸に、日本文化・社会とアメリカ文化・社会の比較考察も主要な観点となる。随時、リスニング演習なども導入する。

【到達目標】

- (1) パラグラフ・リーディングを軸とした「情報処理としての英文資料の読解方法」について学ぶ
 (2) 英文資料をもとに説得力をもって自分の意見を述べる訓練を行う（クリティカル・シンキング／アカデミック・スキルとしての英語）。
 (3) 時事的／専門的な英語の文章に触れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回教科書の一章分を扱い一回完結型の演習を基本構成とし、本文の読解にまつわる報告・意見交換の演習を行う。パラグラフ・リーディングの基礎を身につけながら、英語文献の読解を踏まえた上で批評的に分析し、自説に繋げていくアカデミック・スキルの基礎を実践的に身につけることを目指す。

課題のフィードバックについては、全体の講評を軸に行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の運営方針／アカデミック・リーディングの方法について。
第2回	教科書『映画で見るジェンダー』（第1章）「The Ideal Man」	アメリカと日本における理想の男性像について考える
第3回	教科書『映画で見るジェンダー』講読演習（第2章）「Toxic Masculinity」	「男らしく」あることは有害か？
第4回	教科書『映画で見るジェンダー』講読演習（第3章）「Men and Household Chores」	性的役割モデルの理想と現実

第5回	教科書『映画で見るジェンダー』講読演習（第4章）「Ikumen and Fatherhood」	英語圏では「イクメン」が普通の父親
第6回	教科書『映画で見るジェンダー』講読演習（第5章）「Sports」	スポーツにおける根性論とマッジョ崇拝とは？
第7回	教科書『映画で見るジェンダー』講読演習（第6章）「Fighting Men」	「男らしさ」の象徴、「男らしい姿」とはどんなものか？
第8回	教科書『映画で見るジェンダー』講読演習（第7章）「Ikemen: Good-looking Men」	日本とアメリカの「イケメン」の定義について考える
第9回	教科書『映画で見るジェンダー』講読演習（第8章）「Artists」	芸術家は女性的なイメージ？それとも男性的？
第10回	教科書『映画で見るジェンダー』講読演習（第9章）「Otaku」	日本とアメリカの『オタク』のイメージについて
第11回	教科書『映画で見るジェンダー』講読演習（第10章）「Incel」	世界的に広がる男たちのコミュニティ「インセル」とは？
第12回	教科書『映画で見るジェンダー』講読演習（第11章）「Racial Issues and Peer Pressure」	同調圧力の強い日本社会にみられる問題とは？
第13回	教科書『映画で見るジェンダー』講読演習（第14章）「LGBT」	日本におけるLGBTの現状や偏見とは？
第14回	教科書『映画で見るジェンダー』講読演習（第15章）「The Age of Diversity」 ～まとめ	民主的で多様性を認め合う共生社会を目指して

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ジェンダーという繊細な領域を扱うことから時事的な関心を持つように心がけることが望ましい。演習を通しての課題を復習として活かすことが期待される。
 本授業の復習時間は、各1時間を標準とするが、教室での演習にもっとも力点を置く。

【テキスト（教科書）】

伊藤公雄／國友万裕／安田優／松本恵美／轟里香『映画で見るジェンダー

Let's look into various issues in Japan and America through films!』（英宝社）

【参考書】

関口洋平『「イクメン」を疑え！』（集英社新書、2023年）。
 河野真太郎『新しい声を聞くほくたち』（講談社、2022年）。
 レイウイン・コンネル『マスキュリニティーズ 男性性の社会科学』
 伊藤公雄訳（新曜社、2022年）。

【成績評価の方法と基準】

平常点：100%（「パラグラフ・リーディング」にもとづく講読演習に基づく）。
 （学期の「まとめ」とする最終課題は配点の比重を高く設定する）。
 各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

前年度に担当していないためアンケートの実施およびフィードバックなし。

【その他の重要事項】

教科書は毎回必ず持参すること。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

Students will read passages of multiple paragraphs at a speed that is necessary for different purposes (e.g. speed-reading and close reading). Attention should be paid to paragraph structure (e.g. topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence) and the logical relationship between paragraphs. Students will learn how to comprehend the structure and the argument of the passage, acquire the knowledge and information they need, and grasp the writer's intention and feelings. In addition, the course will help students foster critical thinking skills, that is, skills to make an objective and multifaceted analysis of the given information, instead of accepting it unquestioningly. Students will also learn how to paraphrase what they have read and then write in English a summary of and comments on what they have read.

【Learning Objectives】

The goal is to develop students' reading ability so that they can grasp the outline and the main point of some academic essays and pick out necessary information.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to spend at least 60 minutes per week before and after each class. Specific instructions will be given.

【Grading Criteria/Policy】

Evaluation will be based on weekly assignments submitted in due time = 100%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

中垣 恒太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土3/Sat.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アカデミック・エッセイを講読しながら、(1) パラグラフ・リーディングを軸とした「情報処理としての英文資料の読解方法」について学ぶ、(2) 英文資料をもとに説得力をもって自分の意見を述べる訓練を行う（クリティカル・シンキング／アカデミック・スキルとしての英語）。

英語総合教材『From Reel to Real 実話の映画で世界を観る』を教科書として、映画を通して、社会、歴史、医療、法律、音楽、スポーツの観点から英語圏の文化社会を考える。随時、リスニング演習なども導入する。

【到達目標】

- (1) パラグラフ・リーディングを軸とした「情報処理としての英文資料の読解方法」について学ぶ
 (2) 英文資料をもとに説得力をもって自分の意見を述べる訓練を行う（クリティカル・シンキング／アカデミック・スキルとしての英語）。
 (3) 時事的／専門的な英語の文章に触れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回教科書の一章分を扱い一回完結型の演習を基本構成とし、本文の読解にまつわる報告・意見交換の演習を行う。パラグラフ・リーディングの基礎を身につけながら、英語文献の読解を踏まえた上で批評的に分析し、自説に繋げていくアカデミック・スキルの基礎を実践的に身につけることを目指す。

課題のフィードバックについては、授業時に全体の講評を軸に行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の運営方針／アカデミック・リーディングの方法について。
第2回	教科書『From Reel to Real 実話の映画で世界を観る』（第1章）「Titanic」	Tragedies at Sea
第3回	教科書『From Reel to Real 実話の映画で世界を観る』（第2章）「Lion」	The Miracles in People's Lives
第4回	教科書『From Reel to Real 実話の映画で世界を観る』（第3章）「Sully」	What Makes You A Hero?
第5回	教科書『From Reel to Real 実話の映画で世界を観る』（第4章）「The King's Speech」	Behind the Scenes with the Royals

第6回	教科書『From Reel to Real 実話の映画で世界を観る』（第5章）「A Street Cat Named Bob」	Emotional Bonds with Animals
第7回	教科書『From Reel to Real 実話の映画で世界を観る』（第6章）「42」	A New Era of Sports
第8回	教科書『From Reel to Real 実話の映画で世界を観る』（第7章）「Hidden Figures」	Breaking Boundaries, Pioneering Diversity
第9回	教科書『From Reel to Real 実話の映画で世界を観る』（第8章）「Patch Adams」	Doctors Who Change the World
第10回	教科書『From Reel to Real 実話の映画で世界を観る』（第9章）「Bohemian Rhapsody」	Stardom and Struggles of a Rock Legend
第11回	教科書『From Reel to Real 実話の映画で世界を観る』（第10章）「The Social Network」	Pursuing Dreams and Building Empires
第12回	教科書『From Reel to Real 実話の映画で世界を観る』（第11章）「Apollo 13」	Coping With Crisis
第13回	教科書『From Reel to Real 実話の映画で世界を観る』（第12章）「The Theory of Everything」	A Legacy of Love and Patience
第14回	教科書『From Reel to Real 実話の映画で世界を観る』（第13章）「On the Basis of Sex」～まとめ	What is Happening at Court? ～まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

時事的な関心を持つように心がけることが望ましい。演習を通しての課題を復習として活かすことが期待される。

本授業の復習時間は、各1時間を標準とするが、教室での演習にもっとも力点を置く。

【テキスト（教科書）】

飯田泰弘ほか『From Reel to Real 実話の映画で世界を観る——Improving English with the Magic of Movies』（南雲堂）

【参考書】

『21世紀を生きのびるためのドキュメンタリー映画カタログ』（キネマ旬報社、2016年）。

渡辺将人『アメリカ映画の文化副読本』（日本経済新聞出版、2024年）。
 稲田豊史『このドキュメンタリーはフィクションです』（光文社、2024年）。

【成績評価の方法と基準】

平常点: 100%（「パラグラフ・リーディング」にもとづく講読演習に基づく）。

（学期の「まとめ」とする最終課題は配点の比重を高く設定する）。
 各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

前年度に担当していないためアンケートの実施およびフィードバックなし。

【その他の重要事項】

教科書は毎回必ず持参すること。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

Students will read passages of multiple paragraphs at a speed that is necessary for different purposes (e.g. speed-reading and close reading). Attention should be paid to paragraph structure (e.g. topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence) and the logical relationship between paragraphs. Students will learn how to comprehend the structure and the argument of the passage, acquire the knowledge and information they need, and grasp the writer's intention and feelings. In addition, the course will help students foster critical thinking skills, that is, skills to make an objective and multifaceted analysis of the given information, instead of accepting it unquestioningly. Students will also learn how to paraphrase what they have read and then write in English a summary of and comments on what they have read.

【Learning Objectives】

The goal is to develop students' reading ability so that they can grasp the outline and the main point of some academic essays and pick out necessary information.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to spend at least 60 minutes per week before and after each class. Specific instructions will be given.

【Grading Criteria/Policy】

Evaluation will be based on weekly assignments submitted in due time = 100%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

根本 怜奈

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土3/Sat.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「科学技術」・「健康」・「環境」・「人間の精神」・「宇宙」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力、文法力を高めることを目指す。
2. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
3. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。単語・熟語・文法・文章構造等を確認しながら、英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。語彙表現の小テストを実施するので、語彙の定着のために、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Unit が3つか4つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングする。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明
第2回	Unit 1	Digital Amnesia
第3回	Unit 2	Sleep Paralysis
第4回	Unit 3	Why Are Some People Better at Learning Languages?
第5回	Unit 1 ～ Unit 3 のまとめ	Unit 1 ～ Unit 3 の中のいずれかについて、ライティング
第6回	Unit 4	The McCollough Effect
第7回	Unit 5	The Healthiest Drink?
第8回	Unit 6	Health Advice for Fashion Lovers
第9回	Unit 7	Live to Be 120
第10回	Unit 4 ～ Unit 7 のまとめ	Unit 4 ～ Unit 7 の中のいずれかについて、ライティング
第11回	Unit 8	A New Antibiotic Found in the Soil
第12回	Unit 9	The World's Oldest Creature?
第13回	Unit 10	Lazy Ants
第14回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各Unitの英文について、必ず予習をすること。
語彙表現の復習小テストを実施するので、復習もしっかりすること。
語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Science Finder (『科学の不思議』) (Jonathan Lynch 他著、成美堂、1,900円(税別))

配布プリントで授業を行うことがある。

英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 (50%)、授業態度・授業内に課した課題 (ライティング課題の提出を重視) や小テストと各回のコメントを含む平常点 (50%) によって総合的に評価する。

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。遅刻2回は欠席1回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

英作文や小テストなどの課題において、テキスト内で出てきた語彙や表現の使用・応用を呼びかけることで予習・復習の時間をしっかりとるよう促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions
5. Learn basic skills of presentation.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

根本 怜奈

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土3/Sat.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「科学技術」・「健康」・「環境」・「人間の精神」・「宇宙」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。春学期よりも量を重視し、速読演習も取り入れる。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力、文法力を高めることを目指す。
2. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
3. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。単語・熟語・文法・文章構造等を確認しながら、英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。語彙表現の小テストを実施するので、語彙の定着のために、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Unit が3つか4つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングする。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	パラグラフ・リーディングと速読演習
第2回	Unit 11	(Almost) Vegetarian Bears
第3回	Unit 12	Animals and Earthquakes
第4回	Unit 13	LiquiGlide
第5回	Unit 11 ~ Unit 13 のまとめ	Unit 11 ~ Unit 13 の中のいずれかについて、ライティング
第6回	Unit 14	Unbreakable Glass
第7回	Unit 15	Robots Are Winning
第8回	Unit 16	Li-Fi
第9回	Unit 17	Enceladus
第10回	Unit 14 ~ Unit 17 のまとめ	Unit 14 ~ Unit 17 の中のいずれかについて、ライティング
第11回	Unit 18	The Ninth Planet
第12回	Unit 19	Dyson Sphere
第13回	Unit 20	When Will We See a Great Comet?
第14回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各Unit の英文について、必ず予習をすること。
語彙表現の復習小テストを実施するので、復習もしっかりすること。
語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Science Finder (『科学の不思議』) (Jonathan Lynch 他著、成美堂、1,900円(税別))

配布プリントで授業を行うことがある。

英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 (50%)、授業態度・授業内に課した課題 (ライティング課題の提出を重視) や小テストと各回のコメントを含む平常点 (50%) によって総合的に評価する。

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。遅刻2回は欠席1回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

英作文や小テストなどの課題において、テキスト内で出てきた語彙や表現の使用・応用を呼びかけることで予習・復習の時間をしっかりとるよう促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions
5. Learn basic skills of presentation
6. Improve rapid reading skill.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

ジェフリー B タロフスキー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based English language course which uses horror films as the content of the course. Themes covered include shifting aesthetic standards and the history of Western moral values, cultural taboos and universals, iconography and censorship.

【到達目標】

For first year students who have successfully completed their high-school English classes.

There will be an initial focus on listening and note taking skills supplemented by readings which both reinforce the lectures and introduce additional topics for writing and discussion. Throughout the semester writing skills will emphasize the production of paragraphs with proper topic and supporting sentences along with a clear conclusion. Students will comment on lectures and readings and ask and answer questions during each class.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students watch excerpts from selected films, listen to lectures, read transcripts of the lectures, read additional supporting materials, do worksheets and on line research in order to prepare writing assignments and ask and answers questions, make comments and take weekly quizzes.

During live classes focused on writing feedback will be provided throughout the class as students work on assignments individually and in small groups. During classes which focus on small group discussions students will receive immediate feedback following their discussions. Written work submitted by students will receive written commentary within three weeks of submission.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction to the course Lecture #1 Web class #1, Lecture #1 What Is Horror? Excerpts from Phantom of the Opera (1925) and Nosferatu: A Symphony of Terror(1922)	Transcript of lecture, Worksheet : What is Horror?Class #1 . Homework : Read and understand Writing worksheet #1 . Do Writing Assignment #1 and print it out so you can submit it during class #2.

Week 2	Class #2. Writing Workshop . Submit Assignment #1 for peer correction (what is that?) . Return the peer corrected assignment to the writer and review Worksheet #2. (Time permitting) Worksheet #3 : Expository Writing .	Homework : Discussion topics Distributed Writing Assignment #2 From The Subjective to the Objective
Week 3	Lecture #2 from Web Class #2 The Man of 1,000 faces: Excerpts from The The Hunchback of Notre Dame (1923).	Transcript of lecture 2 , Reading: Lon Chaney Quiz #1
Week 4	Lecture #3 from Web class #3 The Ugly and the Evil. Excerpts from The Phantom of the Opera.	Transcript of lecture 3 , Reading: The Gruesome Twosome: Lon Chaney and Tod Browning . Quiz#2 Choose Discussion topics
Week 5	Lecture #4 from Web class 4 The Real Monsters: Tod Browning's Freaks	Transcript of lecture 4 , HW Reading : London After Midnight (1926). Quiz #3 Prepare for discussions. Each group will have between fifteen and thirty minutes to discuss the topic of their choosing
Week 6	First half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Lecture #5 Web class 5 :Replacing Lon Chaney? Carl Laemmle looks towards home. Paul Leni's Waxworks (1924). The Cat and The Canary	Transcript of lecture 5 , Reading : Who Thought of it First? Quiz #4

Week 7	Second half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Lecture #5 Web class 5 :Replacing Lon Chaney? Carl Laemmle looks towards home. Paul Leni's Waxworks (1924). The Cat and The Canary	Transcript of lecture 5 , Reading : Who Thought of it First? Quiz #5
Week 8	Web class #6, Lecture #6 : What went wrong with The Man Who Laughs (1928)? In class writing exercise #2	Transcript of lecture 6 , Reading: The Crash of 1929 and The Great Depression. Quiz #6
Week 9	Web Class #7 , Lecture #7 : Murnau's Nosferatu (1922) Bram Stoker and Merhage's Shadow of The Vampire (2000) . Complete writing exercise #2	Transcript of lecture 7 , Reading : The Historical Dracula Quiz #7 Choose Discussion topics Discussion topics Distributed Read: Writing Worksheet #4 . Do: Writing Assignment #3
Week 10	Writing Workshop Review Writing Worksheet #4 and Assignment #3	Homework: Read: Writing worksheet #5 Do: Writing Assignment #4 (will be due to be submitted on line by Class #12)
Week 11	Web class #9, Lecture #9 Universal's search for a Dracula, Excerpts from Dracula (1931)	Transcript of lecture 9, HW Reading Bela Lugosi Quiz # 8
Week 12	Web class #10, Lecture #10 What was missing from Dracula? Excerpts from Shadow Of The Vampire and Bram Stoker's Dracula and Interview With A Vampire	Transcript of lecture 10, Reading : The origins of Evil. Quiz # 9

Week 13	First half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Web class #11, Lecture #11 What did Dracula think about being a vampire? Another look at Dracula (1931), Nosferatu (1922) and Bram Stoker's Dracula.	Transcript of lecture.#11 Reading : The Origins of Evil . Quiz #10
Week 14	Second half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Web class #11, Lecture #11 What did Dracula think about being a vampire? Another look at Dracula (1931), Nosferatu (1922) and Bram Stoker's Dracula.	Transcript of lecture.#11 Reading : The Origins of Evil . Quiz #10

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
There will be homework assigned each week which will include both reading and listening assignments and may also include a writing component as well as research on line.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

All the materials for this course will be provided by the instructor or will be available on line for free.

【参考書】

Students should familiarize themselves with how to use online dictionaries.

【成績評価の方法と基準】

There are three components to the grade. 1) There are between eight and ten quizzes this semester. The average score of these quizzes will be 30%of the grade. The instructor may , (entirely at his discretion) , drop the lowest one or two quiz grades for the entire class or on a case by case basis if a student has a legitimate reason for failing to submit a quiz . 2) The writing component of the class counts for an additional 30%of the grade. The discussions /presentations count for a further 30%of the grade . The final 10%of the grade will be weighted according to which of the three areas the student achieved the highest score.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Students have asked for more guidance in their writing assignments and so there will be more time provided for that as well as some additional support materials.

【学生が準備すべき機器他】

Students should have a laptop computer for the "writing workshop" days of the class .

【Outline (in English)】

The learning objectives for this class are as follows: there will be a focus on listening and note taking skills supplemented by readings which both reinforce the lectures and introduce additional topics for writing and discussion. Throughout the semester writing skills will emphasize the production of expository paragraphs with proper topic and supporting sentences along with a clear conclusion. Students will comment on lectures and readings and ask and answer questions.

Outside of class time Students are required to read the text for the week's assigned lesson on the website and listen to the lectures and review the excerpts from the films . This requires a minimum of between 1 and 2 hours of work outside of class.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

ジェフリー B タロフスキー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based English language course which uses horror films as the content of the course. Themes covered include shifting aesthetic standards and the history of Western moral values, cultural taboos and universals, iconography and censorship.

【到達目標】

For first year students who have successfully completed their high-school English classes.

There will be an initial focus on listening and note taking skills supplemented by readings which both reinforce the lectures and introduce additional topics for writing and discussion. Throughout the semester writing skills will emphasize the production of paragraphs with proper topic and supporting sentences along with a clear conclusion. Students will comment on lectures and readings and ask and answer questions during each class.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students watch excerpts from selected films, listen to lectures, read transcripts of the lectures, read additional supporting materials, do worksheets and on line research in order to prepare writing assignments and ask and answers questions, make comments and take weekly quizzes.

During live classes focused on writing feedback will be provided throughout the class as students work on assignments individually and in small groups. During classes which focus on small group discussions students will receive immediate feedback following their discussions. Written work submitted by students will receive written commentary within three weeks of submission.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Writing workshop #3 Writing Worksheet #6 Supporting sentences . Writing worksheet #7 Plagiarism.	Homework: Writing Assignment #5 Due to be submitted on line before the next class .
Week 2	Website Class #13. Screening of Frankenstein (1931) in ten parts. Watch the film one part at a time as you simultaneously complete Quiz #11	Transcript of lecture Reading: Go back to Website Class #12 and review the reading: Mary Shelley, at the very end of the unit. Quiz #11 (which requires you to listen for the missing word).

Week 3	Website Class #14 .The Production of Frankenstein, Breaking of Taboos (including the fourth Wall) , “recycled parts” , The Great Ray of Life.	Transcript of Lecture Research: Go on line and learn all you can about the Myth of Prometheus HW Reading: The Origins of Evil : Brief Review (important enough to go over again) Discussion topics distributed Quiz#12
Week 4	Website Class #15, The Gift of Fire, Blas-phemy,Pronouns.	Transcript of lecture HW ; Think about why Frankenstein and Waldman shut out the light. Reading: Boris Karloff Quiz#13 . Choose Discussion Topics
Week 5	Website Class #16 The Reveal , audience reaction, Karloff’s performance, vivisection , The gift of a flower, A final symbol	Transcript of Lecture Reading :The First Horror Sequel Practice Discussions for a minimum of one hour. Quiz #14
Week 6	Half of the class engages in small group discussions while the other half does Website Class #17, The First Horror Sequel. Excerpts from The Bride of Frankenstein (1935) .	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing. Groups not presenting doReading : The Hollywood Production Code Quiz#15
Week 7	Half of the class engages in small group discussions while the other half does Website Class #17, The First Horror Sequel. Excerpts from The Bride of Frankenstein (1935) .	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing. Groups not presenting doReading : The Hollywood Production Code Quiz#15
Week 8	Writing Workshop #4 Writing worksheet #8 Facts, examples and arguments	Writing assignment #6 Turn in the assignment On line as well as printing out a copy for in class use during week #10
Week 9	Website class #18: Frankenstein and Censorship , ceasing production (briefly) . the Universal return to Horror	Transcript of Lecture Reading: The Fall of the House of Laemmle Quiz#16
Week 10	Writing workshop #5 Peer correction of Writing assignment #6	Website Class #19 : Excerpts from and Lecture on The Wolfman (1941) Reading: Werewolf Tales Discussion topics distributed Quiz#17

Week 11	Website Class #20: Hammer Studios reboots the Universal Classics , The best of the bunch: The Curse of the Werewolf (1961)	Transcript of Lecture Quiz #18 Choose Discussion topic
Week 12	Website Class #21. The conclusion of Curse of the Werewolf, an almost Shakespearean tragedy.	Transcript of lecture Reading : Internal Contradictions in Curse of the Werewolf and a Few Thoughts About Criticism . After lesson do Quiz #19
Week 13	First half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes writing exercise #6 in class	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing.
Week 14	Second half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes writing exercise #6 in class.	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

There will be homework assigned each week which will include both reading and listening assignments and may also include a writing component as well as research on line.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

All the materials for this course will be provided by the instructor or will be available on line for free.

【参考書】

Students should familiarize themselves with how to use on line dictionaries.

【成績評価の方法と基準】

There are three components to the grade. 1) There are between eight and ten quizzes this semester. The average score of these quizzes will be 30% of the grade. The instructor may , (entirely at his discretion) , drop the lowest one or two quiz grades for the entire class or on a case by case basis if a student has a legitimate reason for failing to submit a quiz . 2) The writing component of the class counts for an additional 30% of the grade. The discussions / presentations count for a further 30% of the grade . The final 10% of the grade will be weighted according to which of the three areas the student achieved the highest score.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Students have asked for more guidance in their writing assignments and so there will be more time provided for that as well as some additional support materials.

【Outline (in English)】

This is a content based English language course which uses horror films as the content of the course. Themes covered include shifting aesthetic standards and the history of Western moral values, cultural taboos and universals, iconography and censorship.

Outside of class time Students are required to read the text for the week's assigned lesson on the website and listen to the lectures and review the excerpts from the films . This requires a minimum of between 1 and 2 hours of work outside of class.

LANe100LA (英語 / English language education 100)			5	Unit 3	Read “Learning a new language” and understand the situation and think about the issue.
English 2 I					Review Vocabulary.
北原 ルック 明子			6	Unit 3	Continuation from the previous class. What do you think of learning a new language.
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水2/Wed.2			7	Unit 3	Continuation from the previous class. Form a small group and discuss what you think about learning a new language. Summarize what you have discussed and present it to the class.
単位数：1単位			8	Unit 5	Read “Forever Single” and understand the situation and think about the issue.
その他属性：			9	Unit 5	Review vocabulary. Continuation from the previous class. What do you think about getting or staying single. Start preparing for the presentation at the end of the term
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			10	Unit 5	Continuation from the previous week. Form a small group and discuss what you think about getting married or staying single. Summarize the discussion and present it to the class.
小学校、中学校、そして高校において英語に親しんできたと思われるが大学では一層と英語に親しみ文法、読解を中心とするのではなくコミュニケーションを図りながら英語を道具としてそれぞれの専門分野で生かしていけるようにして行きたい。			11	Unit 5	Preparing for the presentation. Start preparing for a bigger presentation. Continuation from the previous class. Ask your classmates the benefits of staying single or getting married. Summarize what you have discussed and present it to the class.
【到達目標】					Preparing for the presentation.
英語で考えられるようにし英語で相手に伝わるようにして行きたい。まず短く簡単な英語でいいので自分の言いたいことを相手に伝えられるようにする。日常の様々なトピックについて自分の知識、経験、意見を口頭で表現していくことをプレゼンテーション、スピーチ、ディスカッションなどを通して練習していく。ライティングに関してはプレゼンテーションを準備をする上で導入部分、メイン、締めをしっかりと順序立ててかけるようにする。また聴く力も養っていきたいと思う。					Reserve class.
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】					Preparing for the presentation.
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1					Each group will give a presentation using power point.
【授業の進め方と方法】					Test on listening and on the units we have covered.
教科書“Impact Issues”に入る前に簡単なリスニングをし簡単な会話をします。この教科書は様々なテーマをユニットごとに扱っているのでそれをしっかり読み、内容を理解しその内容に対してその都度そのテーマに関して自分の意見が言えるようにする。またこの教科書は様々な activity などがありそれらをとおして英語に一層親しんでいきたいと思う。自分の意見をクラスの前で言える様に大小のプレゼンテーションを授業内で多く行う。前の授業での復習をしながらフィードバックをしながら授業を進めていく。各ユニットで出題されている単語などの意味及び文章も作れるようにする。					【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
あり /Yes					/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Read the unit and understand the content well. Be able to discuss the ideas which are presented in the unit and introduce your ideas.
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					【テキスト（教科書）】
なし /No					Impact Issues 2
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					Richard R Day. Joseph Shaules. Junko Yamanaka
回	テーマ	内容			Pearson
1	Self introduction	Introducing yourselves in English.	12	Reserve class	【参考書】
2	Unit 1	Read “First Impressions” and understand the situation and think about the issue. Review vocabulary.	13	Presentation	none
3	Unit 1	Continuation from the previous class Put yourself in the characters of Sandy and Tamara. Who do you agree with and why?	14	Test	
4	Unit 1	Continuation from the previous class. Form a small group and discuss why first impressions are important. Summarize the discussion and present it to the class.			

【成績評価の方法と基準】

Your overall grade will be decided based on the following.

Term-end examination. 70%

Short reports 10%

Presentation 20%

In addition to your overall grade, in principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

To speak more slowly

【Outline (in English)】

You have all studied English in junior school, middle school and in high school but in the university it is not a place just to study grammar or reading. It is a place to enhance your communication skills and to use English as a tool to make use for your specialization.

LANe100LA (英語 / English language education 100)			5	Unit 8	Continuation from the previous class.
English 2 II					How is online convenient? Is the internet necessary? Why? What are the merits and demerits of online?
北原 ルック 明子					
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水2/Wed.2			6	Unit 8	Continuation from the previous class.
単位数：1単位					Form a small group and discuss about online and SNS. Summarize the discussion and present it in class.
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			7	Recitation	Reciting the poem that you have written.
小学校、中学校、そして高校において英語に親しんできたと思われるが大学では一層と英語に親しみ文法、読解を中心とするのではなくコミュニケーションを図りながら英語を道具としてそれぞれの専門分野で生かしていけるようにして行きたい。			8	Unit 10	Read "My Student Life" and understand the situation and think about the issue.
【到達目標】					Review vocabulary.
英語で考えられるようにし英語で相手に伝わるようにして行きたい。春学期ではまず短く簡単な英語でいいので自分の言いたいこと相手に伝えられるようにするということが秋学期ではもっと長い文章で話せるようにして行きたい。日常の様々なトピックについて自分の知識、経験、意見を口頭で表現していくことをプレゼンテーション、スピーチ、ディスカッションなどを通して練習していく。ライティングに関してはプレゼンテーションを準備をする上で導入部分、メイン、締めをしっかりと順序立ててかけるようにする。教科書には多くの activities が記載されているのでそれらを通して role playing を行っていくと思う。			9	Unit 10	Continuation from the previous class. Who do you agree with. Mariko or Jin? Why? Start preparing for a presentation at the end of the term.
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			10	Unit 10	Continuation from the previous class. Form a small group and discuss about your university life. Summarize the discussion and present it to the class.
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1					Preparing for the presentation.
【授業の進め方と方法】			11	Unit 12	Read "Create another Future" and understand the situation and think about the issue. Think of what is happening to the earth and why.
教科書"Impact Issues"に入る前に簡単なリスニングをし簡単な会話をします。この教科書は様々なテーマをユニットごとに扱っているのでそれをしっかり読み、内容を理解しその内容に対してその都度そのテーマに関して自分の意見が言えるようにする。またこの教科書は様々な activity などがありそれらをととして英語に一層親しんでいきたいと思う。自分の意見をクラスの前で言える様に大小のプレゼンテーションを授業内で多く行う。前の授業での復習をしながらフィードバックをして行く。各ユニットで出題されている単語などの意味及び文章も作れるようにする。					Review vocabulary. Prepare for the Presentation.
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】			12	Unit 12	Continuation from the previous class. What can we do to see earth? Form a small group and discuss.
あり/Yes					Summarize the discussion and present it in class.
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					Preparing for the presentation.
なし/No					Presentation
【授業計画】 授業形態：対面/face to face			13	Presentation	Test
回	テーマ	内容	14	Test	Test
1	Presentation	Students will present their task on their interview with foreigners visiting Japan.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
2	Reading a poem	Reading "What Do I Remember of the Evacuation" Understand the content and think about it.	本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Read the unit and understand the content well. Be able to discuss the ideas which are presented in the unit and introduce your ideas.		
3	Reading a poem	Continuation from the previous class. Studying the poem deeply and think of the symbols in the poem.	【テキスト（教科書）】		
4	Unit 8	Writing a poem of your own. Read "Your online Past" and understand the situation and think about the issue. Review vocabulary.	Impact Issues 2 Richard R Day Joseph Shaules Junko Yamanaka Pearson		
			【参考書】		
			None		
			【成績評価の方法と基準】		
			Your overall grade in the class will be decided based on the following.		
			Term-end examination 70%		
			Short reports 10%		
			Presentation 20%		

In addition to your overall grade, in principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

To talk more slowly

【学生が準備すべき機器他】

None

【Outline (in English)】

You have all studied English in junior school, middle school and in high school but in the university it is not a place just to study grammar or reading. It is a place to enhance your communication skills and to use English as a tool to make use for your specialization.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

JUSTIN FALKUS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to help students enjoy improving their understanding of the language skills needed to effectively communicate in today's English speaking world. All four skills are exercised with a classroom focus on listening and speaking.

【到達目標】

Students will develop the ability to more accurately and fluently express themselves, both orally and in writing.

In addition, students will develop a greater ability to match meaning and form, thereby learning to make better choices when participating in English communication.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will work mostly in pairs and in small groups. Students will practise new material covered by the teacher, both in class and for homework. There will be three short presentation tasks, one performed alone, one performed with a single partner, and one performed in a small group. Feedback, in the form of teacher comments (oral) and peer evaluation (written), will be provided.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation	Introduction to the course
2	Hobbies; Likes and Dislikes	Mental and Material Processes. Primary Tense Present.
3	Describing Appearance and Personality	Relational Processes, Primary Tense Present
4	Speaking Test 1 - Introducing Myself	3-Minute Presentation using the material taught hitherto. Plus Feedback and discussion.
5	The Best Day Of My Life	Material, Relational and Existential Processes; Primary Tense Past
6	What Is/Was Happening?	Introducing Secondary Tense Present
7	What Have/Had You Done?	Introducing Secondary Tense Past
8	Speaking Test 2 - Interview Role Play.	Pairwork - Interview a partner about their past, using the material taught hitherto. Plus feedback and discussion.

9	Future Plans - Certain.	Talking about Future Certainty in English. Primary Tense Present, Secondary Tense Present, Secondary Tense Future, Using Primary Tense Future to discuss uncertain future plans.
10	Future Plans - Uncertain	
11	That Must Be True!	Introducing Modal Assessment - Probability, Usuality
12	Giving Advice.	Modal Assessment - Obligation, Ability.
13	Course Overview and Final Speaking Test Preparation	We review all the material covered hitherto, and practise for the final speaking test.
14	Speaking Test 3 - Group Discussion. Feedback.	In small groups, students will have a 7-10 minute discussion, using all the material taught in this course. Plus feedback.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。Students are expected to review all material covered in class, and to prepare adequately for speaking tests. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

The teacher will provide his own materials.

【参考書】

There are no particular references for this class.

【成績評価の方法と基準】

Participation: (including the timely completion of all homework assignments) 30%

Speaking Tests: 70%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

The intention at the moment is to conduct the class face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to ZOOM.

【None】

、

【Outline (in English)】

This course is designed to help students enjoy improving their understanding of the language skills needed to effectively communicate in today's English speaking world. All four skills are exercised with a classroom focus on listening and speaking.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

JUSTIN FALKUS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to help students continue to improve their understanding of the language skills needed to effectively communicate in today's English speaking world.

【到達目標】

Students will continue to develop the ability to accurately and fluently express themselves, both orally and in writing. Students will further develop the skill to match meaning with form, thereby learning to make better choices when participating in English communication.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will work mostly in pairs and in small groups. Students will practise new material covered by the teacher, both in class and for homework. There will be several short presentation tasks, performed alone, and in small groups. Feedback, in the form of teacher comments (oral) and peer evaluation (written), will be provided.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation	Introduction to the Course
2	The Important Thing is...	Information Structure and Thematic Structure
3	Introduction to English Intonation	Syllables and Rhythm.
4	Speak With Confidence!	Tone groups
5	Speaking Test 1 - Making a Speech. Feedback and discussion.	3-5 minute speech given by each student. Plus feedback and discussion
6	What Would You Do?	Practising the grammar of hypothetical situations
7	Telling A Story	Using a variety of verb tenses to tell a narrative
8	Describing People And Things	Understanding the English Nominal Group
9	Speaking Test 2 - Group Discussion. Feedback.	Students will discuss a topic for 7-10 minutes using the material covered hitherto. Plus feedback.
10	You Know What I'm Talking About!	Mastering the use of Deictics.
11	Discussion Skills - Focus on The Speaker	How speakers in a discussion can keep a conversation going.
12	Discussion Skills - Focus on The Listeners	How listeners in a discussion can keep a conversation going.

13	Put it Together!	We review and practise all the skills learned hitherto.
14	Speaking Test 3 - Group Discussion. Feedback.	Students will discuss a topic for 7-10 minutes using all the material covered in this course. Plus feedback.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。Students are expected to review all material covered in class, and to prepare adequately for speaking tests. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

The teacher will provide his own materials.

【参考書】

There are no particular references for this class.

【成績評価の方法と基準】

Participation: (including the timely completion of all home-work assignments) 30%

Speaking Tests: 70%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

The intention at the moment is to conduct the class face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to ZOOM.

【None】

,

【Outline (in English)】

This course is designed to help students continue to improve their understanding of the language skills needed to effectively communicate in today's English speaking world.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

中垣 恒太郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

定評ある口語会話教材『アメリカ口語教本（中級）』を用い、インプット／アウトプットの訓練を行う。ボキャブラリー／フレーズの増強、イントネーション／リズムなどの音声面によるインプットと、短い時間でのレスポンスによるアウトプットの訓練を行うことは、英語によるコミュニケーションの幅を広げていくうえで有益である。単調な作業に映るかもしれないが、音読／リスニングのトレーニングをくりかえし行うことにより、英語によるリズム感を体得することを主眼とする。

【到達目標】

・パターン・プラクティス、音読・オーバーラッピング・シャドーイングなどの演習をくりかえすことによって英語表現をインプットする学習方法について学ぶ。
・会話表現演習／瞬間英作文を通じて、アウトプットの回路を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は演習型を軸に展開する。

教科書『改定版 アメリカ口語教本（中級）』を軸に、音読・オーバーラッピング・シャドーイング・瞬間英作文の演習を通して英語で表現する練習を行う。

提出された課題に関しては全体の講評としてフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業の運営方針について。「シャドーイング／瞬間英作文」の学習法。
2回目	シャドーイング入門	シャドーイング演習（シャドーイング入門）
3回目	教科書1章	教科書に基づく演習（教科書1章）
4回目	教科書2章	教科書に基づく演習（教科書2章）
5回目	教科書3章	教科書に基づく演習（教科書3章）
6回目	パラグラフ・ライティング（入門）	パラグラフ・ライティング（入門）
7回目	教科書4章	教科書に基づく演習（教科書4章）
8回目	パラグラフ・ライティング（実践編）	パラグラフ・ライティング（実践編）
9回目	教科書5章	教科書に基づく演習（教科書5章）
10回目	教科書6章	教科書に基づく演習（教科書6章）
11回目	教科書7章＋「瞬間英作文」の学習法	教科書に基づく演習（教科書7章）＋「瞬間英作文」の学習法

12回目	教科書8章	教科書に基づく演習（教科書8章）
13回目	教科書9章	教科書に基づく演習（教科書9章）
14回目	まとめ	オンラインメディアを活用したシャドーイング学習法について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

翌週までに教室外でのシャドーイング演習に基づいた復習を行う。身体に英語表現のリズムが染み込むまでくりかえし練習してから授業に臨むこと。

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『改定版 アメリカ口語教本（中級用）』（研究社）

【参考書】

木内裕也・工藤紘実『耳と口が「英語モード」になる 同時通訳者のシャドーイング』（KADOKAWA）。

長尾和夫、トーマス・マーティン『音声DL対応 改訂版 絶対「英語の口」になる！——リアルな日常会話で鍛える シャドーイング大特訓50』（三修社）。

研究社『改定版 アメリカ口語教本（上級用）』。

スクリーンプレイ社による映画シナリオ教材シリーズ。

森沢洋介『英語構文を使いこなす瞬間英作文トレーニング（マスタークラス）』（ベレ出版）。

鈴木健士、ジェームズ・M・バーダマン『英文ライティングのメタモルフォーゼ』（KADOKAWA）。

三石郷史『英検準1級ライティング合格メソッド はじめに読みたいライティング勉強法』（高橋書店）。

川端淳司『TOEFLテスト集中攻略ライティング 第2版』（テイエス企画）。

【成績評価の方法と基準】

演習（70%）、ライティング課題（30%）

各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

シャドーイング学習は地味で地道な学習法であるが、やり方次第で中級から上級者まで英語力をブラッシュアップするのに効果的な学習法である。また、「瞬間英作文」として日本語を瞬時に英語にするトレーニングも導入し、自主学習の方法を伝達することに力を注いだ。概ねその趣旨をうけとめてもらえたという手ごたえを得ることができた。

【学生が準備すべき機器他】

大学で Zoom 授業を受ける際にはマイク付きのヘッドセットが必要である。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course aims to provide students with opportunities to improve their English listening and speaking abilities through “shadowing” practice.

【Learning Objectives】

Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in the written form. Drawing attention to the basic paragraph structure (e.g. topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence), students will be required to learn how to write a logically paragraph, and then to write a short essay with multiple paragraphs. Students will learn how to effectively participate in and facilitate discussions and/or give presentations and speeches, depending on their English levels.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to spend at least 60 minutes per week before and after each class. Specific instructions will be given.

【Grading Criteria/Policy】

Evaluation will be based on (1) active class participation and commitment in class projects = 70%(2) essays submitted in due time = 30%.

Details will be given in class. In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

中垣 恒太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「English2 I」を継続する形で、定評ある口語会話教材『アメリカ口語教本（中級）』を用い、インプット／アウトプットの訓練を行う。ボキャブラリー／フレーズの増強、イントネーション／リズムなどの音声面によるインプットと、短い時間でのレスポンスによるアウトプットの訓練を行うことは、英語によるコミュニケーションの幅を広げていくうえで有益である。単調な作業に映るかもしれないが、音読／リスニングのトレーニングをくりかえし行うことにより、英語によるリズム感を体得することを主眼とする。

【到達目標】

- ・パターン・プラクティス、音読・オーバーラッピング・シャドーイングなどをくりかえすことによって英語表現をインプットする学習方法について学ぶ。
- ・会話表現演習／瞬間英作文を通じてアウトプットの回路を身につける。
- ・パラグラフ・ライティングの基礎を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は演習型として実施する。

教科書『改定版 アメリカ口語教本（中級）』を軸に、音読・オーバーラッピング・シャドーイング・瞬間英作文の演習を通して英語で表現する練習を行う。

提出された課題に関しては全体の講評としてフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業の運営方針について。「シャドーイング／瞬間英作文」の学習法。
2回目	教科書10章	教科書に基づく演習（教科書10章）
3回目	教科書11章	教科書に基づく演習（教科書11章）
4回目	教科書12章	教科書に基づく演習（教科書12章）
5回目	教科書13章	教科書に基づく演習（教科書13章）
6回目	検定試験型ライティング（導入）	検定試験型ライティングのパターンについて
7回目	教科書14章	教科書に基づく演習（教科書14章）
8回目	教科書15章	教科書に基づく演習（教科書15章）
9回目	教科書16章	教科書に基づく演習（教科書16章）
10回目	教科書17章	教科書に基づく演習（教科書17章）
11回目	教科書18章	教科書に基づく演習（教科書18章）

12回目	検定試験型ライティング（実践編）	検定試験型ライティング（実践編）
13回目	教科書19章	教科書に基づく演習（教科書19章）
14回目	まとめ	インタビューを素材にしたシャドーイングの学習法

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

翌週までに教室外でのシャドーイング演習に基づいた復習を行う。身体に英語表現のリズムが染み込むまでくりかえし練習して授業に臨むこと。

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

研究社『改定版 アメリカ口語教本（中級用）』

【参考書】

木内裕也・工藤紘実『耳と口が「英語モード」になる 同時通訳者のシャドーイング』（KADOKAWA）。

長尾和夫、トーマス・マーティン『音声DL対応 改訂版 絶対「英語の口」になる！——リアルな日常会話で鍛える シャドーイング大特訓50』（三修社）。

研究社『改定版 アメリカ口語教本（上級用）』。

スクリーンプレイ社による映画シナリオ教材シリーズ。

森沢洋介『英語構文を使いこなす瞬間英作文トレーニング（マスタークラス）』（ベレ出版）。

鈴木健士、ジェームズ・M・バーダマン『英文ライティングのメタモルフォーゼ』（KADOKAWA）。

三石郷史『英検準1級ライティング合格メソッド はじめに読みたいライティング勉強法』（高橋書店）。

川端淳司『TOEFLテスト集中攻略ライティング 第2版』（テイエス企画）。

【成績評価の方法と基準】

演習（70%）、ライティング課題（30%）

各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

シャドーイング学習は地味で地道な学習法であるが、やり方次第で中級から上級者まで英語力をブラッシュアップするのに効果的な学習法である。また、「瞬間英作文」として日本語を瞬時に英語にするトレーニングも導入し、自主学習の方法を伝達することに力を注いだ。概ねその趣旨をうけとめてもらえたという手ごたえを得ることができた。

【学生が準備すべき機器他】

大学で Zoom 授業を受ける際にはマイク付きのヘッドセットが必要である。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course aims to provide students with opportunities to improve their English listening and speaking abilities through “shadowing” practice.

【Learning Objectives】

Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in the written form. Drawing attention to the basic paragraph structure (e.g. topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence), students will be required to learn how to write a logically paragraph, and then to write a short essay with multiple paragraphs. Students will learn how to effectively participate in and facilitate discussions and/or give presentations and speeches, depending on their English levels.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to spend at least 60 minutes per week before and after each class. Specific instructions will be given.

【Grading Criteria/Policy】

Evaluation will be based on (1) active class participation and commitment in class projects = 70%(2) essays submitted in due time = 30%.

Details will be given in class. In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)			2	Housemates & Helping around the House	Students will listen to a conversation about co-living and problems which may arise. Next, they will build more vocabulary on the subject by completing the selected activities for the day. Following this, students will practice listening once again to assess knowledge.
English 2 I					
GENC BURCU					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水2/Wed.2					
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			3	Difficult Neighbors & Apologizing in a Proper Way	Students will start the day with a simple matching activity to talk about problems with neighbors. The goal of the day is to learn and practice making requests in difficult situations and apologizing. Reading passage will be also covered as much as possible.
This course primarily follows a task-based approach, integrating all four language skills: listening, speaking, reading, and writing. Lessons are organized around thematic units to encourage an interactive classroom. Students strengthen their grasp of English by discussing ideas in English and completing activities which require them to use all four core skills. Grammar is introduced, practiced, and reinforced within a communicative framework, ensuring it supports practical language use. The overarching goal is to equip students with essential language skills, enabling them to communicate at intermediate level in English.			4	How Do We Use Technology? We Are All Different	Students will start working on the new unit which is about technology and device use. They will shortly talk about their choices. Grammar point will be covered at the end of the day.
【到達目標】			5	They've Thought of Everything & Applications Are Everywhere	A talk on technology use will continue in this lesson, too. Vocabulary knowledge will be built & a key grammar point will be introduced for further listening practice.
The main goal of this course is to provide students with practical exposure to contemporary English, enabling them to build competence and, in turn, gain the confidence to use it effectively in everyday situations.			6	Sharing Economy? What's It Good for?	Students will work in groups and complete reading text activities. They will exchange views about sharing-economy services and reveal if they find these services useful. Students will also give short presentations in this lesson by sharing more ideas on the topic.
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			7	Favorite Celebrations & Holidays	Grammar point of the unit will be covered in this lesson. Students will learn and practice relative clauses of time. After this, students will have a short group work to exchange views on the unit theme. This will be followed by a focused listening task to wrap up all for the day.
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1			8	Traditions We Don't Know and Why They Matter	Students will start the day with a listening activity on the main theme of the unit. This listening task will be followed by another one to practice more. The goal is to develop ideas on the subject for a writing task and short presentation.
【授業の進め方と方法】					
The method primarily follows a communication-driven and task-oriented approach. The goal is to place learner needs at the center of classroom teaching. While each class will include some lecture components, active student participation through interactive tasks in pairs and groups is given priority for skill development. Weekly assignments in writing, listening, and speaking—drawn from the textbook and supplemented with occasional handouts—will be also included to support student learning. Lastly, constructive feedback on all assignments will be provided to reinforce improvement and further skill development.					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
あり /Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	Introduction to English 2	Introduction & Course Overview. Speaking activity on the unit theme. Students will gain insight into the main theme and discuss family life and complaints members can often have. Then, they will be introduced to the key grammar topic to practice making complaints and responding to requests in a relevant way.			

9	Unit Tests & Introduction to a New Unit	Unit test will be given at the start of the day. Students will focus on the new unit theme and talk about significant changes that have taken place over the last century to describe our lives at present and develop initial ideas about the unit theme. For the purpose, a conversation task will be also completed before the day ends.	University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
10	That's a Thing of a Past & Our Lives at Present	Collocation knowledge will be tested through a vocabulary task. Students will express views by making use of the target set of words in speech. They will give opinions about causes & effects of some issues for a short presentation. At the end of the day, they will learn their test results and receive teacher feedback.	【テキスト（教科書）】 Interchange 2, Fifth Edition Jack C Richards Cambridge University Press 2017 ￥2750 【参考書】 Interchange 2, Fifth Edition: Self-Study DVD-ROM Level 2. 【成績評価の方法と基準】 Evaluation criteria for the course: Participation: 30%(including the timely completion of all assignments, reading and written) Mini presentations, paired and small group: 30% Unit Tests and quizzes: 40% * Please be aware that, in principle, no more than 3 absences are permitted throughout the term. A fourth absence will result in failure for the term. 【学生の意見等からの気づき】 Students seem to enjoy the textbook. Speaking and listening activities are found useful and fun. 【学生が準備すべき機器他】 Students do not need to prepare any equipment unless it is requested from them prior to a class.
11	Work Life & Skills We Need	Unit reading passage will be mainly covered during this lesson. Students will engage in a detailed reading and complete the required tasks for a discussion about the main topic. They will be given a short grammar task for revision of important topics at the end of the day. This task will be marked and has a quiz value.	【その他の重要事項】 N/A 【Outline (in English)】 This course primarily follows a task-based approach, integrating all four language skills: listening, speaking, reading, and writing. Lessons are organized around thematic units to encourage an interactive classroom. Students strengthen their grasp of English by discussing ideas in English and completing activities which require them to use all four core skills. Grammar is introduced, practiced, and reinforced within a communicative framework, ensuring it supports practical language use. The overarching goal is to equip students with essential language skills, enabling them to communicate at intermediate level in English.
12	My Ideal Career & Making the Right Choices	The day will start with a new unit from the selected textbook. Students will start working on the snapshot task for ideas on this unit theme. They will explore the theme further by listening to a short conversation and completing the word power activity of the unit. All of these will be benefitted later to express ideas about career choices.	
13	Personality Traits & Office Problems	The day will start with the unit's reading passage. A detailed reading of the passage will be followed by other related activities to check comprehension and built-knowledge on the main subject. After this, students will create a job profile and share it with classmates.	
14	Unit Tests & Review	This is the last lesson of the Spring term. Students will be given their final test on this day. Following this, both the lesson and the term will be wrapped up with feedback on progress. Students will be also given short guidance for the Autumn term.	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete all assignments and come to class fully prepared for discussion and class activities.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

GENC BURCU

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is a continuation of English 2 I taught in the Spring semester. It remains as a mainly task-based course in which all four language skills are practiced through interactive activities. The overall goal is to assist students in acquiring essential language skills for communication at an intermediate level in everyday English.

【到達目標】

The main goal of the Autumn sessions is to help students develop greater competence in English and improve their fluency. By the end of the course, students are expected to express themselves with increased confidence.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The core methodology will remain unchanged. The course will continue to be largely task-based to provide ample opportunities for communication in English. Skill growth will be mostly achieved through collaborative learning tasks as before. Lecture components will continue to reinforce student learning before and after the activities by highlighting key grammar markers and essential vocabulary usage. Finally, all assignments will be provided with constructive feedback to promote progress and foster skill growth.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to English 2 II	Introduction & Course Overview. Speaking activity on the unit theme. Students will gain insight into the main theme and exchange ideas about famous landmarks and monuments they are familiar with. Then, they will be introduced to the key grammar topic to practice giving descriptions and discussing facts about historical places.

2	Country Fast Facts & What do You Know about These Countries?	The lesson will start with a vocabulary task to review essential words which are needed for the day. This will be followed by a pair work to discuss facts about Japan. Students will also listen to a short conversation to exchange more ideas about countries and what we know about them. Before the end of the class, a quiz will be given for reinforcing learning and understanding.
3	It's a Long Story & What Happened to These People?	Students are expected to write a short paragraph about a city to give guidance for any tourist. For ideas, they will listen to an interview about tourism in Costa Rica. Following this, reading passage of the unit will be covered for key ideas and a discussion on museums and tourism. In the remaining time, students will be introduced to a new unit from the assigned textbook and complete two short activities to warm up to the unit focus. The day will start with a quiz for some revision. After the quiz, students will complete a vocabulary activity which relate to story writing and do pair work. To foster storytelling language further, grammar focus activity will follow. Students will also listen to a short conversation to understand the application in real life. Lastly, all will be put into practice through a speaking task.
4	How did It All Begin? & Success Stories of Our Times	Students are expected to work on the unit reading passage before coming to class this week. In the class, passage will be read once again for key ideas and discussion on the main topic of the reading passage. Before the end of the day, students will practice further for a warm-up on movie trivia. They will complete two short activities on a different theme trivia.
5	Success Stories of Our Times & Progress Check	Unit test will be given at the start of the day. Following the test, students will focus on the new unit theme and complete an activity movie trivia. They will exchange views about their favorite actors & actresses. Before the class ends, a short dialogue work will be also carried out.
6	Unit Test & Introduction to a New Unit	

7	Movie Trivia: Which One Do You Know?	Grammar point of the unit will be covered in this lesson. Students will learn and practice participles as adjectives. This task will be paired up with word power activity from the assigned textbook to deepen overall knowledge on adjectives. Following this, students will shortly rate a movie of their choice to apply knowledge into practice. For ideas, they will first work in pairs and then present in front of all. Before the end of the day, students will be informed about their test results and will be provided with feedback.	12	Tough Situations: What Would You Do?	The day will start with a new unit from the assigned textbook. Students will start working on the snapshot task for ideas on this unit theme. They will explore the theme further by listening both to a short conversation and a talk about tough situations. All of these will be benefitted later to express ideas for a writing task on giving advice. Key grammar points will be also covered on the day.
8	Give It Two Thumbs Up &The Real Art of Acting	Students will start the day with a listening activity on the main theme of the unit. This listening task will be followed by another one to practice more. The goal is to develop ideas on the subject for a writing task. Students will be given guidance to write a movie review as a short paragraph. Writings will be collected to be marked at the end of the class.	13	Advice Needed & Problem Solved	The lesson day will start with the remaining listening task on giving advice to practice on the subject one last time. After this, students will be provided with feedback on their writing tasks. In the latter part of the lesson, the unit's reading passage will be covered. A detailed reading of the passage will be made and this will be followed by other related activities to check comprehension and exchange ideas on the main subject.
9	Reading Passage & Introduction to the Next Unit	Reading passage will be covered at the start of the day. Students will read in details and complete all activities for idea development. Following this, a group work will be carried out on the subject. What does it mean to be a good actor or actress? Is it about taking risks or something else?	14	Unit Tests & Review	This is the last lesson of the Autumn term. Students will be given their final test on this day. Following this, both the lesson and the term will be wrapped up with feedback on progress.
10	Body Language: It's Pretty Confusing	The lesson day will start with a listening activity. Students will listen to a conversation about body language and exchange views on the subject. Following this, key grammar points of the unit will be studied and practiced. These activities will be paired up with two short listenings to reinforce learning.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Students are expected to have fully completed all written, reading and speaking preparation assignments before each class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 Interchange 2 Fifth Edition, Jack C. Richards Cambridge University Press, 2017. 【参考書】 Interchange Fifth Edition: Online Self-Study, Level 2. 【成績評価の方法と基準】 Grading criteria for this course will be based on: Class participation (including the timely completion of home-work assignments): 30% Mini-presentations and quizzes: 30% Unit Tests: 40%. *Attendance is expected every class. No more than three absences are allowed throughout the term. Without a valid reason (i.e. a medical emergency or family problem) a fourth absence will result in failure for the term. 【学生の意見等からの気づき】 None 【学生が準備すべき機器他】 When there is a need, class announcement will be provided. 【Outline (in English)】 This course is a continuation of English 2 I taught in the Spring semester. It remains as a mainly task-based course in which all four language skills are practiced through interactive activities. The overall goal is to assist students in acquiring essential language skills for communication at an intermediate level in everyday English.		
11	Understanding Idioms &Play by the Rules	Unit reading passage will be mainly covered during this lesson. Students will engage in a detailed reading and complete the required tasks for a discussion about the main topic. They will be given a short grammar task for revision of important topics at the end of the day. This task will be marked and has a quiz value.			

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Practice speaking, listening and writing English. Talk a lot about your own ideas and experiences, and share them with classmates.

【到達目標】

This course will help students to improve their ability to communicate in English. Students will increase their confidence in English through talking, reading and writing about a variety of everyday topics. Students will focus in particular on developing and explaining their own opinions and ideas.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

You will work in pairs, small groups and individually. We will follow the themes in the textbook closely. You will have many opportunities to improve your everyday spoken English communication and discuss information and ideas in English. Feedback will be given online and in the classroom. Please come to class ready to participate actively and positively.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation & Getting to Know You. Unit 1. Where are you from?	An explanation of the class requirements. We will get to know each other.
2	Unit 1. Charlotte's choice	Describing people: appearance and personality. Present simple
3	Unit 1. Mr and Mrs Clark and Percy	Clothes. Prepositions of place
4	Unit 2. Right Place Wrong Person	Holidays. Past simple
5	Unit 2. The story behind the photo	Prepositions of time and place: at, in, on. Past continuous
6	Unit 3. Plans and dreams	Airports. Plans & predictions
7	Unit 3. Let's meet again	Future arrangements. Verbs + prepositions
8	Unit 3. What's the word?	Defining. Paraphrasing
9	Unit 4. Fashion and shopping	Shopping. Present perfect vs. past simple
10	Unit 5. No time for anything	Time expressions. Comparative adjectives
11	Unit 5. Superlative cities	Describing a city. Superlative adjectives

12	Unit 5. How much is too much?	Health & the body. Too much, not enough
13	Unit 6. Are you a pessimist?	Predictions. Opposites
14	Unit 6. The meaning of dreaming	Review of verb forms: present, past, and future.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Homework will include writing and preparation tasks as well as listening to the text CD.

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Christina Latham-Koenig, Clive Oxenden, Jerry Lambert. English File: 4th Edition, Pre-Intermediate Student Book with Online Practice, Oxford University Press, 2019.

【参考書】

Please bring a good English dictionary.

You can register for the online practice, quizzes and download the extra audio activities for our textbook. The textbook contains the activation code. Completing these activities will sometimes be homework.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 35%

Report 10%

Quizzes 35%

Speaking test 20%

*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】

Students requested less homework.

【学生が準備すべき機器他】

Prepare an English dictionary.

Please check Google Classroom for all class information, homework, assignments and so on. You will get the information on how to do this in the first class.

You can sign up for the online games, quizzes and download the extra audio activities for our textbook. The textbook contains the activation code.

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

【Outline (in English)】

Use English and express yourself.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Practice speaking, listening and writing English. Talk a lot about your own ideas and experiences, and share them with classmates.

【到達目標】

This course will help students to improve their ability to communicate in English. Students will increase their confidence in English through talking, reading and writing about a variety of everyday topics. Students will focus in particular on developing and explaining their own opinions and ideas.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

You will work in pairs, small groups and individually. We will follow the themes in the textbook closely. You will have many opportunities to improve your everyday spoken English communication and discuss information and ideas in English. Feedback will be given online and in the classroom. Please come to class ready to participate actively and positively.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7. How to... & Being happy	Infinitive + to. Verbs + ing
2	Unit 7. Learn a language in a month	Have to, don't have to, mustn't
3	Unit 8. I don't know what to do	Advice. Should
4	Unit 8. If something can go wrong...	Confusing verbs. If + present, will + infinitive
5	Unit 9. What would you do?	Animals. If + past, would + infinitive
6	Unit 9. I've been afraid of it for years	Phobias. Present perfect+ for and since
7	Unit 9. Born to sing	Biographies. Present perfect or past simple
8	Unit 10. The mothers of invention	Passive.
9	Unit 10. Could do better	School subjects. Used to
10	Unit 11. Are you a morning person?	Phrasal verbs
11	Unit 11. What a coincidence!	So, neither. Similarities
12	Unit 12. Strange but true!	Past perfect. Verb phrases

13	Unit 12. Gossip is good for you	Reported speech. Say or tell?
14	Unit 12. The Quiz	Question types. Book revision

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Homework will include writing and preparation tasks as well as listening to the text CD.

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Christina Latham-Koenig, Clive Oxenden and Jerry Lambert. English File: 4th Edition, Pre-Intermediate Student Book with Online Practice, Oxford University Press, 2019.

【参考書】

Please bring a good English dictionary.

You can register for the online practice, quizzes and download the extra audio activities for our textbook. The textbook contains the activation code. Completing these activities will sometimes be homework.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 35%

Report 10%

Quizzes 35%

Speaking test 20%

*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】

Students requested fewer partner changes.

【学生が準備すべき機器他】

Prepare an English dictionary.

Please check Google Classroom for all class information, homework, assignments and so on. You will get the information on how to do this in the first class.

You can sign up for the online games, quizzes and download the extra audio activities for our textbook. The textbook contains the activation code.

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

【Outline (in English)】

Use English and express yourself.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

PAUL K KALLENDER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is an introductory course comprised of 12 units and two review classes that is designed to enable students to learn, practice and improve their practical abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in the written form. While this is a four skills course including reading and listening exercises, the focus is on developing speaking and writing skills.

- In speaking, students will interact in practiced and free communicative exercises designed to enable them to speak simple, effective English covering a range of topics.

- For writing, students will learn how to develop writing skills beginning with basic paragraph structure e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence, students will be required to learn how to write a logically organized paragraph, and then to write a short essay with multiple paragraphs.

【到達目標】

As well as fostering skills in listening and reading the main goals are:

Oral:

1. Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in the written form.

Writing:

2. Drawing attention to the basic paragraph structure e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence, students will be required to learn how to write a logically organized paragraph, and then to write a short essay with multiple paragraphs.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each of the 12 units will contain a series of in-class exercises involving speaking, reading, listening, and writing exercises, with an emphasis on speaking and listening. Speaking exercises will be conducted in pairs who are swapped frequently, and in groups of three or four students. Writing exercises will focus on writing single paragraphs in the first half of the semester, and writing a series of paragraphs in the second half of the semester.

The instructor will check the completion of student work, especially writing, in class. The instructor will give verbal feedback and make corrections to student work during each class. If the students have any difficulties, they may contact the instructor via the email address provided.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Course Introduction Topic: You and Me	Expectations, grading, class conduct. Speaking: Introducing yourself Writing: Introducing yourself
Class 2	Topic: A Good Job	Speaking: Talking about jobs Writing: Writing about jobs
Class 3	Topic: Work hard, play hard	Speaking: Talking about activities Writing: Filling out an application form
Class 4	Topic: Somewhere to live	Speaking: Describing objects and locations Writing: Describing your home
Class 5	Topic: Super me!	Speaking: Talking about what you can do, requests Writing: Applying for a job in a formal email
Class 6	Topic: Life's ups and downs Speaking: Talking about other people Writing: Writing a short biography	Speaking: Talking about other people Writing: Writing a short biography
Class 7	Topic: Dates to remember Writing: (Mid-Term Test)	Speaking: Talking about your life Writing: (Mid-Term Test) Writing about a historical character This will be several paragraphs and be formally graded
Class 8	Topic: Eat in or out?	Speaking: Talking foods Writing: Writing to friends in an informal email
Class 9	Topic: City living	Speaking: Comparing places Writing: Writing about a city
Class 10	Topic: Where on earth are	Speaking: Describing people Writing: Writing a description of someone
Class 11	Topic: Going far	Speaking: Talking about places you went to Writing: Writing a vacation postcard
Class 12	Topic: Never ever	Speaking: Talking about past experiences Writing: Writing about a past holiday
Class 13	Review and Consolidation	Speaking: Practicing scenarios for the exam Writing: Reviewing paragraph composition
Class 14	Speaking and Writing Tests	Speaking: Students will be orally tested in pairs Writing: Students will submit a four paragraph short essay on Hoppi for grading

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students are expected to review and learn any unfamiliar vocabulary or grammar covered in the class and to preview vocabulary and grammar for the upcoming lesson. In particular, students are to review their paragraph writing assignments and prepare for the mid-term and end-of-term formal writing tasks so that their grammar, syntax, and narrative structure are at the appropriate level

【テキスト（教科書）】

Students must purchase the required textbook and have it ready for the first class.

American Headway Third Edition, Level 1 Liz and John Soars,
Oxford University Press
ISBN 978-0-19-472565-1

【参考書】

The instructor will provide these each and every time.

In addition to the work in the textbook, the instructor will provide supplementary materials, reference

【成績評価の方法と基準】

Student evaluation will be based on the following criteria

1. Positive participation in speaking practice: (25%)
2. Mid-term writing test (25%)
3. End-of-term speaking test (25%)
4. End-of-term writing test (25%)

* Students missing more than three classes without adequate explanation cannot pass the course.

* Lateness (more than 5 minutes late, more than two occurrences) without adequate reason will negatively impact grades.

* Chatting in Japanese, non-attention will severely impact grades

* Sleeping in class will result in a non-attendance registered.

【学生の意見等からの気づき】

No changes

【学生が準備すべき機器他】

1. Each student should bring a B5 notebook, sharp pencil, and eraser, and have an electronic dictionary ready.
2. The instructor will explain vocabulary upon request if another student does not know the answer.
3. The use of smartphones for social media, etc. not related to the academic work in the class is strictly prohibited.

【その他の重要事項】

Addressing and Contacting the Instructor

1. Please address the instructor as Mr. Kallender
2. Please always state your first name, family name, class name, and period name.

For Example:

Dear Mr. Kallender,

My name is Taro Suzuki.

I am a student in (English2 I)

I could not attend today /cannot attend tomorrow (etc.) because of a fever.

I will bring a medical certificate next week.

Yours sincerely,

Taro Suzuki

【Outline (in English)】

In the 12 units covered, students will practice speaking and writing exercises covering a range of topics expressing opinions, knowledge and experiences orally in an effective manner and practice in effectively expressing opinions, knowledge and experiences in the written form. Students will practice constructing logically organized paragraphs.

Students will practice in effectively participating in and facilitating simple discussions and/or giving simple presentations and speeches.

While the focus is on speaking and writing, students will develop their skills further through listening and reading exercises.

In-class (immediate) feedback will be given as well as written feedback when necessary on writing tasks

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

PAUL K KALLENDER

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course follows from the first semester. It is comprised of 12 units and two review classes that are designed to enable students to learn, practice and improve their practical abilities to effectively express their opinions, knowledge, and experience both orally and in the written form using more complex grammar. While this is a four skills course including reading and listening exercises, the focus is on further developing speaking and writing skills.

- In speaking, students will interact in practiced and free communicative exercises designed to enable them to speak simple, effective English covering a range of topics.

- For writing, students will learn how to develop writing skills including paragraph structure e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence. Students will be required to learn how to write logically organized paragraphs into two short essays.

【到達目標】

Goals

As well as further practicing and improving reading and listening, the main goals of this course are to provide practical elementary skills in speaking and writing.

Oral:

1. Students will further develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge, and experience both orally and in written form.

Writing:

2. Drawing attention to the basic paragraph structure e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence, students will be required to write several short essays with logically organized paragraphs.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each of the 12 units will contain a series of in-class exercises involving speaking, reading, listening and writing exercises, with an emphasis on speaking and listening. Speaking exercises will be conducted in pairs who are swapped frequently, and in groups of three or four students. Writing exercises will focus on writing single paragraphs in the first half of the semester, and writing a series of paragraphs in the second half of the semester.

The instructor will check the completion of student work, especially writing, in class. The instructor will give verbal feedback and make corrections to student work during each class. If the students have any difficulties, they may contact the instructor via the email address provided.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Course Introduction Topic: Getting to know you	Expectations, grading, class conduct. Speaking: Talking about your friends Writing: Writing about friends
Class 2	Topic: Whatever makes you happy	Speaking: Discussing what is most important to you Writing: Writing about a past experience
Class 3	Topic: What's in the news?	Speaking: Retelling a news story Writing: Building a story
Class 4	Topic: Eat, drink, and be merry!	Speaking: Talking about food habits and restaurants Writing: Writing an email to a friend
Class 5	Topic: Looking forward	Speaking: Talking about life and the future Writing: Writing about future plans
Class 6	Topic: The way I see it	Speaking: Talking about yourself compared to others Writing: Writing about your hometown
Class 7	Topic: Living history Mid-Term Test	Speaking: Talking about adventures Writing: (Mid-Term Test) Writing about a famous person Note: This person must be different from the first semester This will be four paragraphs or longer, and be formally graded
Class 8	Topic: Girls and boys	Speaking: Describing people and outfits Writing: Writing a formal letter
Class 9	Topic: Time for a story	Speaking: Retelling a story/stories from your childhood Writing: Writing about a book or a movie
Class 10	Topic: Our interactive world	Speaking: What do you do on your phone, how you use media Writing: Writing about how you use social media
Class 11	Topic: Life's what you make it!	Speaking: Talking about famous people Writing: Filling in an application form
Class 12	Topic: Just wondering	Speaking: Talking about dilemmas Writing: Your vision for the 21st century
Class 13	Speaking: Talking about dilemmas Writing: Your vision for the 21st century	Speaking: Practicing scenarios for the exam Writing: Reviewing paragraph composition
Class 14	Speaking and Writing Tests	Speaking: Students will be orally tested in pairs Writing: Students will submit a four paragraph short essay on Hoppi for grading

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students are expected to review and learn any unfamiliar vocabulary or grammar covered in the class and to preview vocabulary and grammar for the upcoming lesson. In particular, students are to review their paragraph writing assignments and prepare for the mid-term and end-of-term formal writing tasks so that their grammar, syntax, and narrative structure are at the appropriate level.

【テキスト（教科書）】

Students must purchase the required textbook and have it ready for the first class.

American Headway Third Edition, Level 2 John and Liz Soars, Oxford University Press
ISBN 978-0-19-472588-0

【参考書】

The instructor will provide these each and every time.

In addition to the work in the textbook, the instructor will provide supplementary materials, references, etc.

【成績評価の方法と基準】

Student evaluation will be based on the following criteria

1. Positive participation in speaking practice: (25%)
2. Mid-term writing test (25%)
3. End-of-term speaking test (25%)
4. End-of-term writing test (25%)

* Students missing more than three classes without adequate explanation cannot pass the course.

* Lateness (more than 5 minutes late, more than two occurrences) without adequate reason will negatively impact grades.

* Chatting in Japanese, non-attention will severely impact grades

* Sleeping in class will result in a non-attendance registered.

【学生の意見等からの気づき】

No changes

【学生が準備すべき機器他】

1. Each student should bring a B5 notebook, sharp pencil, and eraser, and have an electronic dictionary ready.
2. The instructor will explain vocabulary upon request if another student does not know the answer.
3. The use of smartphones for social media, etc. not related to the academic work in the class is strictly prohibited.

【その他の重要事項】

Addressing and Contacting the Instructor

1. Please address the instructor as Mr. Kallender
2. Please always state your first name, family name, class name, and period name.

For Example:

Dear Mr. Kallender,

My name is Taro Suzuki.

I am a student in (English2 I)

I could not attend today /cannot attend tomorrow (etc.) because of a fever.

I will bring a medical certificate next week.

Yours sincerely,

Taro Suzuki

【Outline (in English)】

In the 12 units covered, students will further practice speaking and writing exercises covering a range of topics expressing opinions, knowledge, and experiences orally in an effective manner, and practice in effectively expressing opinions, knowledge, and experiences in the written form. Students will practice constructing short essays of logically organized paragraphs.

Students will practice effectively participating in and facilitating simple discussions and/or giving simple presentations and speeches.

While the focus is on speaking and writing, students will develop their skills further through listening and reading exercises.

In-class (immediate) feedback will be given as well as written feedback when necessary on writing tasks

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

高橋 佳江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常生活や現代社会のさまざまなトピックについての自分の知識、意見を、口頭および文章で効果的に表現する力を養います。

また関心の高いトピックについて、レベルに応じてプレゼンテーションやスピーチ、ディスカッションなどを行う練習をします。「聞く力」の育成も、授業の一環として行います。

【到達目標】

教科書で学んだ語彙や定型表現を使って、観光や海外旅行での様々な場面で双方向的コミュニケーションができるようになることを目指す。

またナチュラルスピードで話される英語を聞き取ることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、予習を毎回必ず行うことを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書（電子辞書可）、授業用ノートを必ず忘れずに持ってくる。適宜、発表、レポートを課す。対面授業の際はその都度フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	この授業の進め方などを詳しく説明する
2	イントロダクション	基礎的な文法事項の確認
3	第1課	この教科書の使い方
3	第1課	第1課
4	In-Flight Announcements	単語 ディクテーション
4	第1課	発音 口頭練習
5	第2課	単語
5	At Immigration and Customs	ディクテーション
6	第2課	第1課小テスト 発音 口頭練習
7	第3課	単語
7	Getting to a Hotel	ディクテーション
8	第3課	第2課小テスト 発音 口頭練習
9	第4課	第3課小テスト
9	Checking into a Hotel	単語 ディクテーション
10	第4課	発音 口頭練習
11	第5課	第4課小テスト
11	Checking in without a Reservation	単語 ディクテーション

12 発表 発表事項について調べる

13 授業時試験 復習と試験

14 予備日 春学期の見直し

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。NHK語学講座・単語帳作成・単語・熟語のチェック等など行ってください。

【テキスト（教科書）】

実用観光英語 ―改訂新版― 島田 他著 2019年 成美堂
1900円

ISBN978-4-7919-7185-5

【参考書】

辞書（電子辞書可）を必ず持ってくる。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%

小テスト 10%

レポート課題・発言点 20%

平常点 10%

欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。

遅刻は3回で欠席1回に換算される。

各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

オンライン時でも連絡を密に取りたいです。

【Outline (in English)】

Course outline

The primary objective of this class is to develop students' listening skills and to improve abilities in practical conversations when travelling

Learning Objectives

Students will develop the ability to effectively express their knowledge and opinions, both orally and in writing, on a variety of topics in daily life and contemporary society.

Students will also practice giving presentations, speeches, and discussions on topics of interest to them, depending on their level. Listening skills will also be developed as part of the class.

Learning activities outside of classroom

The standard preparation and review time for this class is one hour.

Please use the NHK language course, make a vocabulary book, check words and phrases, etc.

Grading Criteria/Policy

Final exam 60%

Quiz: 10%.

Report assignment and remarks: 20%.

Ordinary points 10%.

If you are going to be absent, you must submit a report of your absence.

Three tardies will count as one absence.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed to earn credits.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

高橋 佳江

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常生活や現代社会のさまざまなトピックについての自分の知識、意見を、口頭および文章で効果的に表現する力を養います。

また関心の高いトピックについて、レベルに応じてプレゼンテーションやスピーチ、ディスカッションなどを行う練習をします。「聴く力」の育成も、授業の一環として行います。

【到達目標】

教科書で学んだ語彙や定型表現を使って、観光や海外旅行での様々な場面で双方向的コミュニケーションが口頭および文章でできるようになることを目指す。

またナチュラルスピードで話される英語を聞き取ることを目指す。海外旅行で使う表現を覚えることで、会話のインプット・アウトプットを行う。

ボキャブラリーやフレーズを覚えてパターンプラクティスを行い、英語によるコミュニケーションの幅を広げていく。また、そのために必要な効果的な辞書の使い方を学ぶ。

滑らかにシャドーイングができるようにしていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、予習を毎回必ず行うことを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書（電子辞書可）、授業用ノート必ず忘れずに持ってくる。適宜、発表、レポートを課す。対面授業の際はその都度フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	秋学期の授業の進め方など
2	第6課	単語 ディクテーション
3	第6課	発音 口頭練習
4	第7課 Taking the Subway	6課小テスト 単語 ディクテーション
5	第7課	発音 口頭練習
6	第8課 At a Fast-Food Restaurant	単語 ディクテーション
7	第8課	第7課小テスト 発音 口頭練習
8	第9課 Hotel Service	単語 ディクテーション
9	第9課	第8課小テスト 発音 口頭練習
10	第10課 Booking a Tour	単語 ディクテーション

11	第10課	第9課小テスト 発音 口頭練習
12	発表	発表事項について調べる
13	授業時試験	復習と試験
14	予備日	復習・発表など

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。NHK語学講座・単語帳作成・単語・熟語のチェック等など行ってください。

【テキスト（教科書）】

実用観光英語 ―改訂新版― 島田 他著 2019年 成美堂
1900円
ISBN978-4-7919-7185-5

【参考書】

辞書（電子辞書可）を必ず持ってくる。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%

小テスト 10%

レポート課題・発言点 20%

平常点 10%

欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。

遅刻は3回で欠席1回に換算される。

各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

オンライン時でも連絡を密に取りたいです。

【Outline (in English)】

Course outline

The primary objective of this class is to develop students' listening skills and to improve abilities in practical conversations when travelling.

Learning Objectives

Students will develop the ability to effectively express their knowledge and opinions, both orally and in writing, on a variety of topics in daily life and contemporary society.

Students will also practice giving presentations, speeches, and discussions on topics of interest to them, depending on their level. Listening skills will also be developed as part of the class.

Learning activities outside of classroom

The standard preparation and review time for this class is one hour.

Please use the NHK language course, make a vocabulary book, check words and phrases, etc.

Grading Criteria/Policy

Final exam 60%

Quiz: 10%.

Report assignment and remarks: 20%.

Ordinary points 10%.

If you are going to be absent, you must submit a report of your absence.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Three tardies will count as one absence.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

HUGH A GRAHAM-MARR

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

To improve English communication skills including work on rhythm, pronunciation, intonation, stress, and vocabulary with a particular focus on helping students better exploit English that they already have but are not yet able to effectively utilize. In terms of listening, this means that in addition to giving listening practice and suggestions as to how students can get more practice outside of class, drawing explicit attention to some of the changes that occur in English with connected speech (how we link sounds, drop sounds, meld sounds, or even add sounds). These are the changes that can make it difficult for students to 'hear' language that they are able to read. In terms of speaking, explicit attention will be drawn to strategies that students can use when they communicate, especially when they may have incomplete understanding: repair strategies, confirmation strategies, engagement strategies, and the like. Speaking practice activities are designed to encourage use of specific strategies.

【到達目標】

Students should be better able to use the English they have in communicative situations, to better 'hear' connected speech that they might have previously had more trouble with, and to be able to use speaking strategies to communicate in situations where they may not have complete understanding.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・ Listening to dialogues, answering comprehension questions, noticing aspects of connected speech, and identifying speaking strategies used
- ・ Pair and group work to practice different speaking strategies. The instructor will walk around the classroom for these, monitoring and occasionally commenting.
- ・ Assignments 1 and 2 are short presentations on video on topics related to those we have looked at. We will use Google classroom for this. Students will receive both marks and comments on the work submitted.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	introductions	classroom English
Week 2	Unit 1: describing schedules	linking sounds /classroom English
Week 3	Unit 2: Describing routines	sentence stress /repeating key information
Week 4	Unit 2: Describing routines cont.	sentence stress /repeating key information
Week 5	Unit 3: describing objects	disappearing sounds /talking around things
Week 6	Unit 3: describing objects cont.	disappearing sounds /talking around things

Week 7	Unit 4: talking about people	blended sounds /involvement
Week 8	Unit 4: talking about people cont. / ASSIGNMENT 1 / REVIEW	blended sounds /involvement /REVIEW
Week 9	Unit 5: describing location	weak vowels /explaining meaning
Week 10	Unit 5: describing location cont.	weak vowels /explaining meaning
Week 11	Unit 6: fluency with numbers	word stress /repeating key information
Week 12	Unit 6: fluency with numbers cont.	word stress /repeating key information
Week 13	Unit 7: talking about the future / ASSIGNMENT 2	casual English /confirmation ASSIGNMENT 2 /REVIEW
Week 14	SPEAKING AND LISTENING EXAM	exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

There will be a weekly homework listening. Students will also be expected to review material covered in class for 1-2 hours per week. This should involve listening, shadowing practice and vocabulary review, though extra time spent on listening would be ideal.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Communication Spotlight: Pre-Intermediate + handouts

【参考書】

An English to English dictionary

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Homework: 15%

Assignments 1 + 2: 30%

Final Speaking and Listening Exam: 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Will try to be flexible where possible in response to student feedback

【Outline (in English)】

The course will look at different communication areas. Each week there will be a focus on a different aspect of listening in English and on a different speaking strategy. Much of the time in class will be given over to the focused practice of listening and speaking skills.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

HUGH A GRAHAM-MARR

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

To improve English communication skills including work on rhythm, pronunciation, intonation, stress, and vocabulary with a particular focus on helping students better exploit English that they already have but are not yet able to effectively utilize. In terms of listening, this means that in addition to giving listening practice and suggestions as to how students can get more practice outside of class, drawing explicit attention to some of the changes that occur in English with connected speech (how we link sounds, drop sounds, meld sounds, or even add sounds). These are the changes that can make it difficult for students to 'hear' language that they are able to read. In terms of speaking, explicit attention will be drawn to strategies that students can use when they communicate, especially when they may have incomplete understanding: repair strategies, confirmation strategies, engagement strategies, and the like. Speaking practice activities are designed to encourage use of specific strategies.

【到達目標】

Students should be better able to use the English they have in communicative situations, to better 'hear' connected speech that they might have previously had more trouble with, and to be able to use speaking strategies to communicate in situations where they may not have complete understanding.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・ Listening to dialogues, answering comprehension questions, noticing aspects of connected speech, and identifying speaking strategies used
- ・ Pair and group work to practice different speaking strategies. The instructor will walk around the classroom for these, monitoring and occasionally commenting.
- ・ Assignments 1 and 2 are short presentations on video on topics related to those we have looked at. We will use Google classroom for this. Students will receive both marks and comments on the work submitted.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Unit 8: things you did	disappearing sounds / involvement
Week 2	Unit 8: things you did cont.	disappearing sounds / involvement
Week 3	Unit 9: introducing places	sentence stress / backchanneling
Week 4	Unit 9: introducing places cont.	sentence stress / backchanneling
Week 5	Unit 10: story telling	weak vowels /paraphrasing

Week 6	Unit 10: story telling cont.	weak vowels /paraphrasing
Week 7	Unit 11: fluency with numbers	understanding tone / confirmation
Week 8	Unit 11: fluency with numbers cont. ASSIGNMENT 1	understanding tone / confirmation /REVIEW
Week 9	Unit 12: describing jobs	disappearing sounds /asking for help
Week 10	Unit 12: describing jobs cont.	disappearing sounds /asking for help
Week 11	Unit 13: talking about experiences	guessing meaning / paraphrasing
Week 12	Unit 13: talking about experiences cont.	guessing meaning / paraphrasing
Week 13	Unit 14: asking for infor / ASSIGNMENT 2	compensation /asking wh- and yes/no questions / REVIEW
Week 14	SPEAKING AND LISTENING EXAM	exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

There will be a weekly homework listening. Students will also be expected to review material covered in class for 1-2 hours per week, though even more time spent on listening would be ideal.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Communication Spotlight: Pre-Intermediate

【参考書】

An English to English dictionary

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Homework: 15%

Assignments 1 + 2: 30%

Final Speaking and Listening Exam: 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Will try to be flexible where possible in response to student feedback

【学生が準備すべき機器他】

None

【Outline (in English)】

To improve English communication skills including work on rhythm, pronunciation, intonation, stress, and vocabulary with a particular focus on helping students better exploit English that they already have but are not yet able to effectively utilize. In terms of listening, this means that in addition to giving listening practice and suggestions as to how students can get more practice outside of class, drawing explicit attention to some of the changes that occur in English with connected speech (how we link sounds, drop sounds, meld sounds, or even add sounds). These are the changes that can make it difficult for students to 'hear' language that they are able to read. In terms of speaking, explicit attention will be drawn to strategies that students can use when they communicate, especially when they may have incomplete understanding: repair strategies, confirmation strategies, engagement strategies, and the like. Speaking practice activities are designed to encourage use of specific strategies.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

URBANOVA JANA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Learning English for active communication in the international environment

【到達目標】

This course aims to develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) by placing special emphasis on active communication abilities. Students will practice and learn to express themselves effectively in speaking and writing which will help them become more active and confident communicators in the global society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be conducted entirely in English. Students will develop speaking skills by participating in a variety of activities, such as pair & group work, delivering a presentation and practicing parrotting. There will also be regular listening and reading exercises, as well as short writing assignments based on the topics discussed in each unit. Through these exercises, students will become more familiar with the active use of language and gain higher word consciousness of vocabulary used in context.

Comments, feedback, explanation about assignments and answers to questions from students are given at the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Self-introduction and getting to know other people	Vocabulary and speaking: getting to know you; Listening: conversations about different people; Grammar explanation and practice: present simple, question forming
Week 3	Describing people	Reading: the perfect date; Vocabulary: describing appearance and personality; Grammar explanation and practice: present simple and adverbs of frequency; Writing: describing yourself
Week 4	Describing pictures	Vocabulary: clothes and accessories; Speaking and pair work: describing a picture; Grammar: present continuous

Week 5	Practical English - Hotel problems	Watching a video: hotel problems; role play& conversation practice: hotel reception; Focus on social English expressions
Week 6	Holiday experience	Reading and listening: unexpected challenges during the holiday; Speaking: talking about one's experience during the holiday; Grammar: past simple-regular and irregular verbs; Explaining requirements for presentation No. 1 (parrotting)
Week 7	Telling a story	Reading, listening and speaking: my happy memories; Vocabulary: prepositions; Grammar: past continuous; Writing: describing one's favourite photo
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parrotting; Explaining requirements and introducing topics for presentation No. 2
Week 9	What happened next?	Reading and listening: One dark October night; Grammar practice: past tense and time sequencers; Pair work: retelling someone's story
Week 10	Planning a trip	Reading and listening: guided tour; Grammar: be going to (plans and predictions); Vocabulary and speaking: airports and travelling
Week 11	Organising your time	Reading and speaking: how organised are you? Grammar: present continuous (future arrangements); Listening and pair work: arranging schedules; Writing an informal email
Week 12	Word games	Reading and listening: word game; Speaking: explaining words and paraphrasing; Grammar practice: defining relative clauses
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Course feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Required time for work to be done outside of class: 1 hour per week. Required work: class preparation, vocabulary review, homework assignments, preparation for presentations. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Christina Latham-Koenig, Clive Oxenden, Jerry Lambert: English File Pre-Intermediate Student's Book with Online Practice (Fourth Edition), Oxford University Press, 2019. ISBN: 978-0-19-403741-9

【参考書】

English to English dictionary:
<https://dictionary.cambridge.org/>
 Further references will be provided by the instructor during the class.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, prepare short presentations, complete homework assignments and pass the final test.

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

- Active participation in class and completing homework assignments: 40%
- Presentations and tests: 60%

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course.

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- Textbook
- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

【その他の重要事項】

The content of lessons may differ from the syllabus depending on the needs and language level of the students taking this class.

【Outline (in English)】

Learning English for active communication in the international environment

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

URBANOVA JANA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Learning English for active communication in the international environment

【到達目標】

This course aims to develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) by placing special emphasis on active communication abilities. Students will practice and learn to express themselves effectively in speaking and writing which will help them become more active and confident communicators in the global society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be conducted entirely in English. Students will develop speaking skills by participating in a variety of activities, such as pair & group work, delivering a presentation and practicing parrotting. There will also be regular listening and reading exercises, as well as short writing assignments based on the topics discussed in each unit. Through these exercises, students will become more familiar with the active use of language and gain higher word consciousness of vocabulary used in context.

Comments, feedback, explanation about assignments and answers to questions from students are given at the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Review of the main points studied in the spring semester
Week 2	Housework	Reading and listening: housework; Vocabulary practice: make or do?; Grammar: present perfect
Week 3	Shopping	Speaking and vocabulary: shopping; Grammar explanation and practice: present perfect or past simple?
Week 4	Great weekend	Explaining requirements for presentation No. 1 (parrotting); Reading: A boring weekend? Don't tell anybody; Grammar: something/nothing/anything, -ed/-ing adjectives; Writing: a formal email

Week 5	Practical English - At the restaurant	Watching a video and speaking (role play): At the restaurant, Focus on social English phrases
Week 6	I want it now!	Reading and speaking: how fast is your life? Grammar: comparatives; Vocabulary: approximate numbers
Week 7	Describing a town or city	Listening and speaking: The most/least honest cities in the world; Grammar: superlatives; Writing: the place where I live
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parrotting; Explaining requirements and introducing topics for presentation No. 2
Week 9	How much is enough?	Listening and speaking: food and drinks; Grammar practice: quantifiers
Week 10	Think positive or negative?	Listening and reading: why negative thinking can be positive; Speaking (pair work): are you a positive or negative thinker?; Vocabulary: opposite verbs
Week 11	I'll never forget you	Reading and listening: I'll always love you; Grammar: will/won't (predictions and other uses); Conversation practice: predictions and instant decisions
Week 12	Dreams	Listening and speaking: Do you remember your dreams?; Grammar practice: review of verb forms - present, past and future
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Course feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Required time for work to be done outside of class: 1 hour per week.

Required work: class preparation, vocabulary review, homework assignments, preparation for presentations.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Christina Latham-Koenig, Clive Oxenden, Jerry Lambert: English File Pre-Intermediate Student's Book with Online Practice (Fourth Edition), Oxford University Press, 2019. ISBN: 978-0-19-403741-9

【参考書】

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

Further references will be provided by the instructor during the class.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, prepare short presentations, complete homework assignments and pass the final test.

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

- Active participation in class and completing homework assignments: 40%

- Presentations and tests: 60%

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course.

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

● Textbook

● Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

【その他の重要事項】

The contents and timing of the syllabus may change depending on the needs and language level of the students taking this class.

【Outline (in English)】

Learning English for active communication in the international environment

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

JAMES O ESSEX

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、英語の短編小説を題材にしたディスカッションと筆記を行います。毎週、異なる英語短編小説を取り上げ、同学科のライティング・ハンドブックと並行して学習します。英語のパラグラフやエッセイが上手に書けるようになり、自分の考えやアイデア、意見を口頭で表現できるようになるための指導を行います。

自分の意見、知識、経験を口頭と文章の両方で効果的に表現する能力を養う。トピックセンテンス、サポートセンテンス、結論センテンスなどの基本的な段落構成に注意しながら、論理的に構成された段落の書き方を学び、複数の段落からなる小論文の書き方を学びます。生徒の英語レベルに応じて、ディスカッションへの効果的な参加や進行の仕方、プレゼンテーションやスピーチの仕方を学びます。また、効果的なリスニングスキルの習得も目指します。

【到達目標】

Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Drawing attention to the basic paragraph structure e.g. topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence, students will be required to learn how to write a logically organized paragraph, and then to write a short essay with multiple paragraphs. Students will learn how to effectively participate in and facilitate discussions and/or give presentations and speeches, depending on their English levels. The course will also help students acquire effective listening skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This class will be a mix of lecture and group discussion. Although the language of the lectures is English, the professor will explain clearly and concisely to ensure students' maximum understanding. The professor will also use Powerpoint slides. Feedback on assignments/performance etc will be provided either in written or verbal form in the classroom, or through Hoppii.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 of 14	Orientation The Writer's Handbook Group discussions	- Course explanation and overview - Explanation of key terms: plot, character, setting, theme and style. - Introduction to reading strategies for English short stories. - Brief introduction to the history of the short story. Homework in preparation for next class: Read "The Gift of the Magi" by O. Henry.

2 of 14	Plot and Structure: Understand plot and narrative techniques. The Writer's Handbook Group discussions	- Discuss "The Gift of the Magi". Explanation of plot elements: exposition, rising action, climax, falling action, resolution. - Group activity: Create a plot diagram for "The Gift of the Magi". Homework in preparation for next class: Read "A Good Man is Hard to Find" by Flannery O'Connor.
3 of 14	Character and Characterisation: Analyse characters and methods of characterisation. The Writer's Handbook Group discussions	- Discuss "A Good Man is Hard to Find". - Explanation of character types: protagonist, antagonist, flat, round, dynamic, static. - Group activity: Character analysis of the main characters. Homework in preparation for next class: Read "Harrison Bergeron" by Kurt Vonnegut.
4 of 14	Setting and atmosphere: Explore the importance of setting and atmosphere in a short story. The Writer's Handbook Group discussions	- Discuss "Harrison Bergeron". - Explanation of setting, time, place, social environment. - Group activity: Analyse the setting and atmosphere of "Harrison Bergeron". Homework in preparation for next class: Read "The Lottery" by Shirley Jackson.
5 of 14	Theme and symbolism: Identify and interpret themes and symbols. The Writer's Handbook Group discussions	- Discuss "The Lottery". - Explanation of theme and symbolism. Group activity: Identify themes and symbols in "The Lottery". Homework in preparation for next class: Read "The Yellow Wallpaper" by Charlotte Perkins Gilman.
6 of 14	Point of View and Narration: Understand different points of view and their effects. The Writer's Handbook Group discussions	- Discuss "The Yellow Wallpaper". - Explanation of narrative perspectives: first person, third person (limited, omniscient). - Group activity: Analyse the narrative perspective of "The Yellow Wallpaper". Homework in preparation for next class: Read "Cathedral" by Raymond Carver.
7 of 14	Style and Tone: Analyse the author's style and tone. The Writer's Handbook Group discussions	- Discuss "Cathedral". - Explanation of style and tone. - Group activity: Examine style and tone in "Cathedral". Homework in preparation for next class: Read "Everyday Use" by Alice Walker

8 of 14	Literary Analysis Techniques: Apply literary analysis techniques to short stories. The Writer's Handbook Group discussions	- Discuss "Everyday Use". - Explanation of literary analysis techniques. - Group activity: Conduct a literary analysis of "Everyday Use". Homework in preparation for next class: Read "A Very Old Man with Enormous Wings" by Gabriel Garcia Marquez.
9 of 14	Historical and Cultural Contexts: Understand the influence of historical and cultural contexts on short stories, The Writer's Handbook Group discussions	- Discuss how historical and cultural contexts shape short stories. - Case study: "A Very Old Man with Enormous Wings" Homework in preparation for next class: Read "The Tell-Tale Heart" by Edgar Allan Poe.
10 of 14	Psychological and Social Themes: Analyse psychological and social themes. The Writer's Handbook Group discussions	- Discuss "The Tell-Tale Heart". - Exploration of psychological and social themes. - Group activity: Analyse the psychological themes in "The Tell-Tale Heart". Homework in preparation for next class: Review your lecture notes
11 of 14	Review, consolidation and wrap-up. The Writer's Handbook Group discussions	Students will be given the opportunity to review the week's lectures, and their corresponding class notes in preparation for the final report.
12 of 14	Essay topic selection and type (compare/contrast, definition, narrative etc) Group discussions	Students will be guided in deciding a theme for their essay (in response to one of the short stories read this semester), and its type
13 of 14	Final paragraph submission	Students should submit their final paragraph by the end of the lesson.
14 of 14	Group discussion final exam	Students will discuss the exam question in groups.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Homework will be assigned every week, and students are expected to spend a minimum of one hour/week on this. This homework will both help to prepare students for the subsequent lesson and help them to consolidate their knowledge and understanding of the previous lesson. In addition, students are expected to review their class notes each week.

【テキスト（教科書）】

No textbook is required: materials will be provided either through Hoppii or distributed in the classroom.

【参考書】

No reference books are required.

【成績評価の方法と基準】

Participation 50%

Final paragraph 25%

Group discussion final exam 25%

Please note 4% will be deducted for every class you are unable to participate in. Please note also that medical receipts/doctors' letters etc do not excuse absences, they merely explain them. Students will be unable to pass the class if they are absent 4+ times (for any reason).

Rubrics will be provided for both the final paragraph and group discussion in order to ensure objective grading.

【学生の意見等からの気づき】

Following student comments and feedback from previous summer intensive courses and personal reflections, I have overhauled my syllabus and made improvements.

【学生が準備すべき機器他】

Students need to prepare:

- a notebook specifically for this class

- a pen or pencil

- a dictionary (preferably not a smartphone app)

【その他の重要事項】

Students are discouraged from using AI tools for understanding the stories in this class, and for completing homework assignments.

Many students automatically sit at the back of the room. I plan on using the projector intensively. Please sit where you can see the screen easily (and I can see you!).

Above all, I hope you enjoy my course, and that you can take something away from it that will benefit you long after you complete it.

【None】

No pre-requisite.

【Outline (in English)】

The written assignments and discussions you undertake in this class will be in response to English short stories. Each week, students will look at a different English short story, alongside the department's writing handbook. Instruction will be provided that enables students to become better writers of English paragraphs and essays, and better able to express their thoughts, ideas and opinions orally.

LANe100LA (英語 / English language education 100)			3 of 14	Character Development Writing handbook	- Read "Thank You, Ma'am" by Langston Hughes - Group discussion: Analyze character traits and motivations - Create a character profile for the main character of your short story
English 2 II			4 of 14	Setting and Atmosphere Writing handbook	- Read A Worn Path by Eudora Welty - Discussion: How does the setting influence the story's atmosphere and character decisions? - Workshop: Write a descriptive paragraph of the setting for your story.
JAMES O ESSEX			5 of 14	Theme and Message Writing handbook	- Read The Lottery Ticket by Anton Chekhov - Discussion: Identifying the theme and its relevance to society - Group activity: Brainstorm themes for your short stories
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：土1/Sat.1 単位数：1単位 その他属性：			6 of 14	Point of View Writing handbook	- Read Girl by Jamaica Kincaid AND Hills Like White Elephants by Ernest Hemingway - Discussion: How does the point of view influence the reader's perception? - Workshop: Write the opening paragraph of their story using a chosen point of view.
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 このコースは、前学期で学んだスキルを基礎としています。このクラスでは、英語の短編小説（前学期で使用したものと異なります）に対して、筆記（パラグラフ）と口頭（ディスカッション）の課題を行います。毎週、異なる英短編を取り上げます。前セメスターでは、受講生は短編小説の一つを基にパラグラフを完成させ、その週の短編小説を基に毎週グループ・ディスカッションを行いました。今学期は、より創造的な基準が設けられた。グループ・ディスカッションに加え、(i)自分の短編小説を書くこと、(ii)その短編小説の解説・分析することが求められる。さらに、学期末には自分の短編小説についてディスカッションする機会も与えられる。			7 of 14	Dialogue Writing handbook	- Read A Temporary Matter by Jhumpa Lahiri - Analyze how dialogue reveals character and subtext - Workshop: Write a dialogue exchange between two characters in your short story
【到達目標】 The primary goal of this course is for students to become better writers of English (creative writing by way of a short story and academic writing by way of an accompanying commentary), and to become better able to express their thoughts/ideas/opinions in group discussions. The second aim is for students to gain a better understanding of and appreciation for, English short stories. Such short stories will provide the stimuli about which students' paragraphs and essays will be composed.			8 of 14	Conflict and Tension Writing handbook	- Read The Rocking Horse Winner by D.H. Lawrence - Discussion: Types of conflict (internal vs. external) - Outline the central conflict of your story
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1			9 of 14	Revising the First Draft	- Peer review: Exchange and critique first drafts - Group discussion: Giving constructive feedback - Revise the draft based on feedback
【授業の進め方と方法】 This class will be a mix of lecture and group discussion. Although the language of the lectures is English, the professor will explain clearly and concisely to ensure students' maximum understanding. The professor will also use Powerpoint slides. Feedback on assignments will be given orally in the classroom or in written form through Hoppii.			10 of 14	Symbolism and Imagery Writing handbook	- Read The Garden Party by Katherine Mansfield - Analyze the use of symbols and imagery - Add symbolic elements to your short stories
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり/Yes			11 of 14	Tone and Style Writing handbook	- Read The Storm by Kate Chopin - Discussion: How tone and style shape the reader's experience - Workshop: Experiment with tone in a key scene
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし/No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1 of 14	Introduction to Short Stories Writing handbook	- Icebreaker: Share favourite stories in small groups. - Lecture: Key elements of short stories (plot, character, setting, theme, point of view). - Reading: The Necklace by Guy de Maupassant (focus on plot structure).			
2 of 14	Plot and Structure Writing handbook	- Review and discuss summaries of The Necklace. - Read and discuss A Sound of Thunder by Ray Bradbury (focus on plot twists and resolution). - Small group activity: Map the plot structure			

12 of 14	Title and Opening Writing handbook	- Read memorable opening lines from short stories - Workshop: Revise the opening paragraph and create a title for your short story
13 of 14	Endings and Closure Writing handbook	- Read The Shawl by Cynthia Ozick - Discussion: What makes a strong ending? - Workshop: Develop the ending for the your short story
14 of 14	Submission of short story and commentary/analysis/self-reflection	Students are to submit their short story and accompanying commentary/analysis/self-reflection by the end of the lesson

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Homework will be assigned every week, and students are expected to spend a minimum of one hour/week on this. This homework will both help to prepare students for the subsequent lesson and help them to consolidate their knowledge and understanding of the previous lesson. In addition, students are expected to review their class notes each week.

【テキスト（教科書）】

No textbook. Materials will be provided.

【参考書】

No additional references.

【成績評価の方法と基準】

Participation: 20%

Short Story: 30%

Commentary; 30%

Discussions:20%

Please note 4% will be deducted for every class you are unable to participate in. Please note also that medical receipts/doctors' letters etc do not excuse absences, they merely explain them. Students will be unable to pass the class if they are absent 4+ times (for any reason).

Rubrics will be used to ensure objective grading of writing and discussion tasks.

【学生の意見等からの気づき】

Following student comments and feedback from previous summer intensive courses and personal reflections, I have overhauled my syllabus and made improvements.

【学生が準備すべき機器他】

Students need to prepare:

- a notebook specifically for this class

- a pen or pencil

- a dictionary (preferably not a smartphone app)

【Prerequisite】

None

【Outline (in English)】

This course builds on the skills learnt in the previous semester. The written (paragraphs) and oral (discussion) assignments you complete in this class will be in response to English short stories (which are different to those used in the previous semester). Each week, students will look at a different English short story. In the previous semester, students completed paragraphs based on one of the short stories they were exposed to, and weekly group discussions based on that week's short story. This semester, the criteria is somewhat more creative. In addition to continuing the group discussion tasks, students will be required to (i) write their own short story and (ii) a commentary/analysis of their short story. In addition, students will be given opportunities to discuss their own short stories at the end of the semester.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

Richard J Burrows

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Through a variety of stimulating topics and a number of different writing techniques, students will be challenged to improve their compositional skills to a satisfactory academic level.

【到達目標】

To produce competent written assignments in English, students need to be able to generate ideas & organize them on paper, create the various paragraph types that are used in writing assignments and order & link paragraphs into cohesive & coherent essays. This course will provide students with a variety of stimulating writing tasks, plenty of practice to help students master each stage of the writing process & models of writing that are based on real assignments. In addition to format, grammar & punctuation review, students will be helped through the transition from paragraph structuring to basic essay composition.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will cover a separate writing skill, grammatical structures & vocabulary required.

Students will be able to read samples before practicing various writing tasks.

Writing assignments will be set as homework and must either be uploaded, or printed on A4 paper before the deadline.

Individual reports will be checked & graded by the instructor & returned to each student on a one-to-one basis with additional comments or advice.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductory Class	Textbook introduction, required material guidance and class schedule. Pairwork self-introductions.
Week 2	Writing - Format & Process	Essential features of an academic report layout & the thought process of writing an essay
Week 3	Writing - Pre-Writing	Topic selection, brainstorming & editing.
Week 4	Writing - The Structure of a Paragraph	Topic sentence, supporting points & concluding sentence
Week 5	Writing - The Development of a Paragraph	Using details, an explanation or an example to construct a paragraph

Week 6	Writing - Descriptive Paragraphs	Describing places & people using adjectives & prepositions of position. Pairwork discussion of places & locations
Week 7	Writing - Process Paragraphs	Use of Transition words/ Conjunctions & the imperative verb form
Week 8	Writing - Opinion Paragraphs	Opinions vs facts & causative adverbs. Classmate opinion interviews
Week 9	Writing - The Structure of an Essay	Introduction, body paragraphs & conclusion
Week 10	Writing - Thesis Statements	Effective construction of a thesis statement
Week 11	Writing - Outlines	Correct outline format & common errors
Week 12	Writing - Problem/ Solution Writing	Use of the first conditional & linking phrases
Week 13	Writing - Introductions & Conclusions	How to write effective opening & closing paragraphs
Week 14	Writing - Comparison & Contrast Writing	Explaining similarities & differences

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare homework prior to each class on a weekly basis. In addition, regular reports will be assigned which will require around 2 hours of work & must either be uploaded or printed on A4 paper, before the deadline. No more than 3 absences will be permitted. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】

'Writing Essay's by Dorothy E. Zemach & Lisa A. Ghulldu. Publisher: Macmillan Language House

【参考書】

An electronic or smartphone dictionary, or dictionary app is required at every lesson.

【成績評価の方法と基準】

Grades will be decided according to the following criteria:

30%- Participation & Punctuality

40%- Course Work

30%- Term-End Report

Feedback including corrections & a grade for each report will be given to students individually during lesson time.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Online access to the course materials will allow to students to both preview & review class work.

【学生が準備すべき機器他】

Access to a PC & Printer in order to prepare & upload, or print reports.

A smartphone can ONLY be used as a dictionary, not to study course materials or submit homework

【その他の重要事項】

Regular attendance is required, a willingness to practice & improve your English writing skills, and submit assignments on time.

【Outline (in English)】

This course allows students to proceed step by step through the writing process, from paragraph to essay, acquiring the necessary skills to produce reports suitable for the academic environment

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

Richard J Burrows

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水2/Wed.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Through the lives of 2 young people growing up in present day United Kingdom, we will look at the difficulty of fulfilling your talent and ambition in a challenging environment. Issues such as sexism, racism & homophobia will be examined, while students will be introduced to new & challenging vocabulary, and be able to extensively practice their audio-visual skills.

【到達目標】

1. To give students the opportunity to discuss & analyze issues related to growing up and education in a different culture & environment.
2. To expose students to everyday spoken English through the film's dialogue and weekly pairwork practice.
3. To introduce students to new vocabulary, and offer practice in sentence structure responses.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This course is based on 2 recent films that explore the subject of growing up with a talent or gift and struggling to fulfill it in hostile circumstances. In 'Billy Elliot', students will focus on growing up in contemporary northern England with a story about a boy with a talent for ballet at the time of the miners' strike of the 1980s. In 'Bend It Like Beckham', focus will shift to an Indian girl growing up in a traditional family in a multi-cultural community with a talent for playing soccer.

Each week students will be assigned a reading passage, with both vocabulary & comprehension questions, in preparation for the following lesson. In addition, students will be required to prepare relevant vocabulary and preview themes that will be raised in that lesson's segment. After viewing two 10+ minute segments of the film, students will complete pairwork comprehension questions and analyze a piece of dialogue. Students will be assigned an additional reading passage & vocabulary exercise as homework as well as completing a review of what has been seen and discussed in the lesson.

Individual reports will be checked & graded by the instructor & returned to each student on a one-to-one basis with additional comments or advice.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Review & Preview	Review the previous semester & summer vacation, explain about new semester
Weeks 2	Speaking & Listening: Billy Elliot 1 (The Ballet Class):	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,

Week 3	Speaking & Listening: Billy Elliot 2 (The Private Lesson)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 4	Speaking & Listening: Billy Elliot 3 (Family Trouble)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 4	Speaking & Listening: Billy Elliot 4 (The Audition)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 5	Speaking & Listening: Billy Elliot 5 (Leaving Home)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 6	Writing: Billy Elliot Report	Mid-Term Evaluation
Week 7	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 1 (Jess & her family)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 8	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 2 (Playing for the Team)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 9	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 3 (Trouble in Germany)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 10	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 4 (Jess vs Jules)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 12	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 5 (The Final Match)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 13	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 6 (Going to America)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 14	Writing: Bend It Like Beckham	Final Evaluation

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to spend approximately 1 hour on each weekly reading assignment, and 30 minutes to prepare vocabulary & review the previous lesson's material, prior to each class. In addition, students will have to write a 1,200 word report for each film. No more than 3 absences will be permitted. University guidelines suggest preparation around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

No set text is required. However, since all materials will be available online, students must either download & print, or download and have ready on their laptop or tablet device, the required files before the lesson begins.

【参考書】

An electronic or smartphone dictionary, or dictionary app is required at each lesson.

【成績評価の方法と基準】

Grades will be decided according to the following criteria:

30%- Participation & Punctuality

30%- Classroom & Homework Assignments

40%- Mid-term Written Assignment & Final Evaluation

Student will receive feedback & guidance on each report.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased time will be allocated to allow students to complete the listening comprehension questions with their partner, while online access to the course materials will allow to students to both preview & review class work.

【学生が準備すべき機器他】

Students will require a laptop or tablet device with a reliable internet connection, in order to download materials , and to prepare and either upload or print reports.

A smartphone can ONLY be used as a dictionary, not to study course materials or submit homework

【その他の重要事項】

Since these films follow a story, regular attendance is essential to understanding each lesson, and getting maximum benefit from the course.

【Outline (in English)】

As students enter university, they are faced with questions about their identity & future. Both of these films seek to offer guidance & encouragement on what is possible for young people with clear aims & sufficient determination to see their goals realized.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

PATRICK M MCEVILLY

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 土1/Sat.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This once a week required class for first-year students develops the range of English language skills (with an emphasis on oral communication) by applying practical communication strategies to help build on those linguistic skills learned by students in high school.

【到達目標】

To help students become more fluent in English by building their vocabulary and teaching them structures for communicative tasks such as giving opinions. The students will learn English for travel such as booking an airline ticket, making a hotel reservation, and ordering food in a restaurant.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

There will be some lectures by the Instructor and interactive activities such as pair work, group work, and discussion. There will be some individual presentation assignments. Any written assignments will receive feedback by the Instructor assigning a grade. For presentations, I will give verbal feedback and assign a grade for them.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Introductions	Question words - Where were you born? What is your hobby?
Class 2	Getting to know you	Reading - A Blind Date, Discussion - Talking about your friends
Class 3	Whatever makes you happy	She works in comedy clubs. She makes people laugh
Class 4	Whatever makes you happy	Money - the best things in life are free Discussion - What's important to you?
Class 5	What's in the news?	Walking the Amazon
Class 6	The flight attendant who lost his cool	Discussion - Famous for 15 minutes
Class 7	Eat, drink, and be merry!	A couple talks about their diet.
Class 8	Unusual places to eat	People talk about their experiences eating in restaurants
Class 9	Looking forward	The girl with two families
Class 10	How does it feel to be in your twenties?	Living at home/leaving home
Class 11	The way I see it	Multicultural London

Class 12 Talking about a new country Describing my hometown

Class 13 Review Will review material that will be on a speaking exam

Class 14 Final Examination & Review Will have short interviews with students covering the course materials

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. There will be some writing and reading assignments. There will be some individual presentations that students must prepare on their own outside of class.

【テキスト (教科書)】

American Headway Book 2 (Third Edition) by John and Liz Soars, Oxford University Press

【参考書】

It would be useful for students to have an English-Japanese dictionary.

【成績評価の方法と基準】

Class participation - 40%, Midterm Exam - 30%, and Final Exam - 30% In principle, no more than three absences are allowed per semester.

【学生の意見等からの気づき】

I will consider changes.

【学生が準備すべき機器他】

The textbook.

【Outline (in English)】

Course Objectives

To give students maximum opportunities to communicate

To build student confidence in interpersonal communication

To develop the basic study skills needed to successfully carry out their English study at this institution.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

PATRICK M MCEVILLY

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This once a week required class for first-year students develops the range of English language skills (with an emphasis on oral communication) by applying practical communication strategies to help build on those linguistic skills learned by students in high school.

【到達目標】

To help students become more fluent in English by building their vocabulary and teaching them structures for communicative tasks such as giving opinions. The students will learn English for travel such as booking an airline ticket, making a hotel reservation, and ordering food in a restaurant.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

There will be some lectures by the Instructor and interactive activities such as pair work, group work, and discussion. There will be some individual presentation assignments. Any written assignments will receive feedback by the Instructor assigning a grade. For presentations, I will give verbal feedback and assign a grade for them.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Living History	Have you ever done anything dangerous? Family history
Class 2	Living History	Living in a stately home, The upper class and inherited wealth
Class 3	Girls and Boys	An interview with Jessica Ennis, Olympic champion
Class 4	Girls and Boys	Families with all boys or all girls, People talk about their families
Class 5	Time for a Story	Good and evil - The strange case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde
Class 6	Time for a Story	My favorite writers - Harper Lee and Robert Louis Stevenson
Class 7	Midterm Exam	Discussion questions on Living History, Girls and boys, or Time for a story
Class 8	Our interactive world	Smartphones, On the phone - Can I speak to >>> ? I'm calling because
Class 9	Our interactive world	Five internet firsts, Modern life drives me crazy!
Class 10	Life's what you make it	Good news, bad news, Four generations of Gettys - a tragic dynasty

Class 11	Life's what you make it	Alison's life - A woman talks about her marriage, husband, and children
Class 12	Just wondering	Life, the universe, and everything
Class 13	Review	smartphones, good news, bad news, Life and the universe
Class 14	Final Examination & Review	Discussion question on smartphones, good news, bad news, Life and the universe

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. There will be some writing and reading assignments. There will be some individual presentations that students must prepare on their own outside of class.

【テキスト（教科書）】

American Headway Book 2 - Third Edition by John and Liz Soars

Publisher: Oxford University Press

【参考書】

An English-Japanese Dictionary would be useful.

【成績評価の方法と基準】

Classroom participation - 40%, Midterm Exam - 30% and Final Exam - 30%

In principle, no more than three absences are allowed per semester.

【学生の意見等からの気づき】

I will consider changes.

【学生が準備すべき機器他】

Students need to have the textbook.

【Outline (in English)】

Course Objectives

To give students maximum opportunities to communicate

To build student confidence in interpersonal communication

To develop the basic study skills needed to successfully carry out their English study at this institution.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

CALVIN R RADAKOVICH

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水2/Wed.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業を通じて、学生は自らの考え、知識、経験を効果的に英語で表現する力を養います。基本的なパラグラフ構成 (トピックセンテンス、支持文、結論文) に焦点を当て、論理的に整理された文章を書くスキルを身につけ、単一のパラグラフから複数のパラグラフで構成されるエッセイへと発展させていきます。

また、学生はディスカッションへの積極的な参加や進行、プレゼンテーション、スピーチのスキルを強化し、英語の習熟度に応じた課題に取り組みます。さらに、本授業ではリスニングスキルの向上にも重点を置き、学術的・実務的な場面での効果的なコミュニケーション能力を高めます。これらのスキルを通じて、学生はさまざまな場面で自分の考えを明確かつ説得力をもって伝える自信と能力を身につけることを目指します。

【到達目標】

By focusing on fundamental paragraph structures — such as topic sentences, supporting details, and concluding statements — students will learn to organize their ideas logically and progress from writing well-structured paragraphs to composing multi-paragraph essays.

Students will also strengthen their ability to actively participate in and facilitate discussions, deliver presentations, and engage in debates, with activities tailored to their proficiency levels.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This course will follow an interactive and discussion-based approach. Students will engage in pair work discussions, which will sometimes expand into class-wide discussions to encourage collaborative learning and critical thinking.

Following these discussions, students will be given writing assignments requiring them to reflect on and articulate their ideas based on the topics discussed in class. When providing feedback on writing, the instructor will focus on the structure of essays, ensuring that ideas are presented clearly and logically. Similarly, this approach will be applied to presentation structures, helping students organize their thoughts effectively for oral delivery. To support this, the instructor will share strong examples of well-structured paragraphs, essays, and presentations, guiding students in developing clear and coherent communication skills.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction & Course Overview	Course expectations, introduction to discussion-based learning, writing & presentation skills overview

2	Expressing Opinions	Structuring arguments, supporting ideas with examples, pair & class discussions
3	Paragraph Structure & Writing Clarity	Topic sentences, supporting details, concluding sentences; writing assignment 1
4	Discussion & Critical Thinking	Analyzing different perspectives
5	From Paragraphs to Essays	Transitioning from single paragraphs to multi-paragraph essays including introductions; writing assignment 2
6	Presentation Basics	Structuring presentations, effective delivery techniques
7	Mid-Semester Discussion & Writing Review	Peer review of writing, feedback on structure & clarity
8	Persuasive Communication	Persuasive writing techniques, argument-driven discussions
9	Counterarguments & Refutations	Addressing opposing viewpoints, strengthening persuasive arguments
10	Oral Persuasion	Practicing persuasive techniques through structured debate
11	More complex discussions, debates	Reinforcing structured arguments, attacking premises
12	Analyzing biases in writing	Strengthening essay structure, using supporting evidence effectively; writing assignment 3
13	Final Presentations	Student presentations, peer & instructor feedback
14	Course Wrap-up & Final Writing Task	Reflecting on learning progress, final writing assignment submission

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students will be required to complete regular writing assignments and actively prepare for debates, presentations, and scheduled discussion topics.

【テキスト (教科書)】

No textbooks will be used in class. Handouts and reading materials will be provided by the instructor.

【参考書】

No references are listed for this class.

【成績評価の方法と基準】

Writing Assignments: 30%

Class Participation, Attendance & Discussions: 30%

Presentations and Debates: 40%

Students are not allowed more than three unexcused absences. Students with a fourth unexcused absence will be unable to receive credit for this course. Feedback on writing assignments, presentations and debates will be provided face-to-face in class.

【学生の意見等からの気づき】

Unable to provide feedback due to a change in course instructor this year.

【Prerequisite】

English 1 is a required course.

【Outline (in English)】

Through this course, students will develop their ability to express their thoughts, knowledge, and experiences effectively in both spoken and written English.

Additionally, the course will help students enhance their listening skills, enabling them to engage more effectively in academic and professional communication. Through these skills, students will gain the confidence and competence necessary to communicate their ideas clearly and persuasively in various contexts.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

CALVIN R RADAKOVICH

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このコースはEnglish 2の続編として、前学期に習得したスキルを復習し、さらに発展させることを目的としています。学生は、自分の考えや知識、経験を英語で効果的に表現する力を、話し言葉と書き言葉の両方でさらに向上させます。

また、本コースではリスニングスキルの強化にも重点を置き、学生が学術のおよび専門的な場面でより効果的にコミュニケーションを取れるよう支援します。これらのスキルを磨くことで、学生はさまざまな状況で自分の考えを明確かつ説得力を持って伝える自信と能力を身につけることができます。

【到達目標】

By focusing on fundamental paragraph structures — such as topic sentences, supporting details, and concluding statements — students will learn to organize their ideas logically and progress from writing well-structured paragraphs to composing multi-paragraph essays.

Students will also strengthen their ability to actively participate in and facilitate discussions, deliver presentations, and engage in debates, with activities tailored to their proficiency levels.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course will follow an interactive and discussion-based approach. Students will engage in pair work discussions, which will sometimes expand into class-wide discussions to encourage collaborative learning and critical thinking.

Following these discussions, students will be given writing assignments requiring them to reflect on and articulate their ideas based on the topics discussed in class. When providing feedback on writing, the instructor will focus on the structure of essays, ensuring that ideas are presented clearly and logically. Similarly, this approach will be applied to presentation structures, helping students organize their thoughts effectively for oral delivery. To support this, the instructor will share strong examples of well-structured paragraphs, essays, and presentations, guiding students in developing clear and coherent communication skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction & Course Overview	Course expectations, introduction to discussion-based learning, writing & presentation skills overview
2	Expressing Opinions	Structuring arguments, supporting ideas with examples, pair & class discussions

3	Paragraph Structure & Writing Clarity	Topic sentences, supporting details, concluding sentences; writing assignment 1
4	Discussion & Critical Thinking	Analyzing different perspectives, debating viewpoints
5	From Paragraphs to Essays	Transitioning from single paragraphs to multi-paragraph essays; writing assignment 2
6	Presentation Basics	Structuring presentations, effective delivery techniques
7	Mid-Semester Discussion & Writing Review	Peer review of writing, feedback on structure & clarity
8	Persuasive Communication	Persuasive writing techniques, argument-driven discussions
9	Counterarguments & Refutations	Addressing opposing viewpoints, strengthening persuasive arguments
10	Oral Persuasion	Practicing persuasive techniques through structured debate
11	More complex discussions, debates	Reinforcing structured arguments, attacking premises
12	Analyzing biases in writing	Strengthening essay structure, using supporting evidence effectively; writing assignment 3
13	Final Presentations	Student presentations, peer & instructor feedback
14	Course Wrap-up & Final Writing Task	Reflecting on learning progress, final writing assignment submission

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Students will be required to complete regular writing assignments and actively prepare for debates, presentations, and scheduled discussion topics.

【テキスト（教科書）】

No textbooks will be used in class. Handouts and reading materials will be provided by the instructor.

【参考書】

No references are listed for this class.

【成績評価の方法と基準】

Writing Assignments: 30%

Class Participation, Attendance & Discussions: 30%

Presentations and Debates: 40%

Students are not allowed more than three unexcused absences. Students with a fourth unexcused absence will be unable to receive credit for this course. Feedback on writing assignments, presentations and debates will be provided face-to-face in class.

【学生の意見等からの気づき】

Unable to provide feedback due to a change in course instructor this year.

【Prerequisite】

English 1 is a required course.

【Outline (in English)】

This course serves as a continuation of English 2, reviewing and building upon the skills developed in the previous semester. Students will further enhance their ability to express their thoughts, knowledge, and experiences effectively in both spoken and written English.

Additionally, the course will strengthen students' listening skills, allowing them to engage more effectively in academic and professional communication. By refining these skills, students will gain the confidence and competence necessary to communicate their ideas clearly and persuasively in a variety of contexts.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to improve students' oral and written communication skills through a variety of assigned listening, speaking and writing activities, both in and outside the classroom. Focus will be on regular student input with instructor feedback.

【到達目標】

Upon completion of the course, students should be more confident in expressing their ideas on a variety of topics, both orally and in writing. Through in-class group discussions and assigned readings, students will be able to broaden their vocabulary and make themselves understood with improved enunciation and solid reasoning. Through in-class practice exercises, students will be able to write a short essay with a clear topic sentence, logical support and summary.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will start with a brief explanation of the course objective(s) for that day. A brief introductory lecture by the instructor will be followed by textbook (Perspectives 2) exercises, both listening and speaking. Students will be encouraged to "step out of their comfort zone" and speak out without hesitation or fear of making mistakes. Regular verbal feedback will be given on class discussions and written feedback will be given on outside class assignments.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Course Overview	Course Overview & Expectations	Student interviews / introductions
Unit 1	Making subject / object questions	Asking other students about their hobbies
Unit 1	Using suffixes to expand vocabulary	Changing adjectives into nouns and using them in a short conversation
Unit 2	Using tag questions in a conversation	Asking other students about their recent travels
Unit 2	Using adjectives ending in -ed & -ing	Writing about a recent travel experience
Unit 3	Using phrasal verbs	Discussing favorite sports to watch & play
Unit 3	Talking about future plans	Sharing future school & career goals
Unit 4	Making conversations with simple past and present perfect verbs	Correcting grammatical mistakes in a reading passage

Unit 4	Describing the steps in a process	Sharing favorite recipes with other students
Unit 5	Describing different jobs	Sharing part-time work experiences
Unit 5	Comparing different work environments	Describing the ideal work environment
Class 12	Individual Speech	3-minute speech (topic to be assigned)
Class 13	Individual Speech	3-minute speech (topic to be assigned)
Class 14	Final exam	Textbook units 1-5

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

2-3 hours per week based on assigned readings & writing homework

【テキスト（教科書）】

Perspectives 2

Publisher: National Geographic Learning

ISBN: 979-8-214-33460-8

【参考書】

None required

【成績評価の方法と基準】

25%—Individual speech

25%—Assigned homework

25%—Class participation

25%—Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

New course textbook has been adopted for this year.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

Students will be expected to come to every class, having done any assigned homework and other necessary preparations. Classroom listening and speaking activities will be centered around the course textbook (Perspectives 2) as well as group discussions on current topics. Students will spend approximately 2-3 hours each week on homework and class preparation.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to improve students' oral and written communication skills through a variety of assigned listening, speaking and writing activities, both in and outside the classroom. Focus will be on regular student input with instructor feedback.

【到達目標】

Upon completion of the course, students should be more confident in expressing their ideas on a variety of topics, both orally and in writing. Through in-class group discussions and assigned readings, students will be able to broaden their vocabulary and make themselves understood with improved enunciation and solid reasoning. Through in-class practice exercises, students will be able to write a short essay with a clear topic sentence, logical support and summary.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will start with a brief explanation of the course objective(s) for that day. A brief introductory lecture by the instructor will be followed by textbook (Perspectives 2) exercises, both listening and speaking. Students will be encouraged to "step out of their comfort zone" and speak out without hesitation or fear of making mistakes. Regular verbal feedback will be given on in-class work and written feedback on outside class assignments.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Course Overview	Explanation of course goals & student expectations	Student interviews of summer holiday activities
Unit 6	Overcoming disabilities	Using the first & second conditional
Unit 6	Expressing oneself in writing	Writing an informal email to a colleague
Unit 7	Contrasting use of the active vs. passive voice	Shopping role play
Unit 7	Recognizing non-verbal vs verbal communication clues	Using appropriate pragmatic expressions
Unit 8	Understanding cultural differences in communication	High vs. Low context speaking role play

Unit 8	Using the appropriate voice in different situations	Writing a complaint email to a store
Unit 9	Using relative clauses in daily speech	Group PB Technologies role play
Class 9	Comparing digital vs analog forms of communication	Selecting the right media to express one's thoughts
Unit 10	Using time expressions with phrasal verbs	Talking about weekly / monthly plans
Unit 10	Setting priorities in daily life	Sharing key priorities at school & home
Individual speech	Individual speech	3-minute speech (topic to be assigned)
Individual speech	Individual speech	3-minute speech (topic to be assigned)
Final exam	Units 6-10	Multiple choice & short answer

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

2-3 hours per week based on class preparation & outside assignments

【テキスト（教科書）】

Perspectives 2

Publisher: National Geographic Learning

ISBN: 979-8-214-33460-8

【参考書】

None required

【成績評価の方法と基準】

25%—Individual speech

25%—Outside assignments

25%—Class participation

25%—Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

A new course textbook has been adopted for this year.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

Students will be expected to come to every class, having done any assigned homework and other necessary preparations. Classroom listening and speaking activities will be centered around the course textbook (Perspectives 2) as well as group discussions on current topics. Students will spend approximately 2-3 hours each week on homework and class preparation.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

中垣 恒太郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

定評ある口語会話教材『アメリカ口語教本（中級）』を用い、インプット／アウトプットの訓練を行う。ボキャブラリー／フレーズの増強、イントネーション／リズムなどの音声面によるインプットと、短い時間でのレスポンスによるアウトプットの訓練を行うことは、英語によるコミュニケーションの幅を広げていくうえで有益である。単調な作業に映るかもしれないが、音読／リスニングのトレーニングをくりかえし行うことにより、英語によるリズム感を体得することを主眼とする。

【到達目標】

・パターン・プラクティス、音読・オーバーラッピング・シャドーイングなどの演習をくりかえすことによって英語表現をインプットする学習方法について学ぶ。
・会話表現演習／瞬間英作文を通じて、アウトプットの回路を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は演習型を軸に展開する。

教科書『改定版 アメリカ口語教本（中級）』を軸に、音読・オーバーラッピング・シャドーイング・瞬間英作文の演習を通して英語で表現する練習を行う。

提出された課題に関しては全体の講評としてフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業の運営方針について。「シャドーイング／瞬間英作文」の学習法。
2回目	シャドーイング入門	シャドーイング演習（シャドーイング入門）
3回目	教科書1章	教科書に基づく演習（教科書1章）
4回目	教科書2章	教科書に基づく演習（教科書2章）
5回目	教科書3章	教科書に基づく演習（教科書3章）
6回目	パラグラフ・ライティング（入門）	パラグラフ・ライティング（入門）
7回目	教科書4章	教科書に基づく演習（教科書4章）
8回目	パラグラフ・ライティング（実践編）	パラグラフ・ライティング（実践編）
9回目	教科書5章	教科書に基づく演習（教科書5章）
10回目	教科書6章	教科書に基づく演習（教科書6章）
11回目	教科書7章＋「瞬間英作文」の学習法	教科書に基づく演習（教科書7章）＋「瞬間英作文」の学習法

12回目	教科書8章	教科書に基づく演習（教科書8章）
13回目	教科書9章	教科書に基づく演習（教科書9章）
14回目	まとめ	オンラインメディアを活用したシャドーイング学習法について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

翌週までに教室外でのシャドーイング演習に基づいた復習を行う。身体に英語表現のリズムが染み込むまでくりかえし練習してから授業に臨むこと。

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『改定版 アメリカ口語教本（中級用）』（研究社）

【参考書】

木内裕也・工藤紘実『耳と口が「英語モード」になる 同時通訳者のシャドーイング』（KADOKAWA）。

長尾和夫、トーマス・マーティン『音声DL対応 改訂版 絶対「英語の口」になる！——リアルな日常会話で鍛える シャドーイング大特訓50』（三修社）。

研究社『改定版 アメリカ口語教本（上級用）』。

スクリーンプレイ社による映画シナリオ教材シリーズ。

森沢洋介『英語構文を使いこなす瞬間英作文トレーニング（マスタークラス）』（ベレ出版）。

鈴木健士、ジェームズ・M・バーダマン『英文ライティングのメタモルフォーゼ』（KADOKAWA）。

三石郷史『英検準1級ライティング合格メソッド はじめに読みたいライティング勉強法』（高橋書店）。

川端淳司『TOEFLテスト集中攻略ライティング 第2版』（テイエス企画）。

【成績評価の方法と基準】

演習（70%）、ライティング課題（30%）

各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

シャドーイング学習は地味で地道な学習法であるが、やり方次第で中級から上級者まで英語力をブラッシュアップするのに効果的な学習法である。また、「瞬間英作文」として日本語を瞬時に英語にするトレーニングも導入し、自主学習の方法を伝達することに力を注いだ。概ねその趣旨をうけとめてもらえたという手ごたえを得ることができた。

【学生が準備すべき機器他】

大学で Zoom 授業を受ける際にはマイク付きのヘッドセットが必要である。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course aims to provide students with opportunities to improve their English listening and speaking abilities through “shadowing” practice.

【Learning Objectives】

Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in the written form. Drawing attention to the basic paragraph structure (e.g. topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence), students will be required to learn how to write a logically paragraph, and then to write a short essay with multiple paragraphs. Students will learn how to effectively participate in and facilitate discussions and/or give presentations and speeches, depending on their English levels.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to spend at least 60 minutes per week before and after each class. Specific instructions will be given.

【Grading Criteria/Policy】

Evaluation will be based on (1) active class participation and commitment in class projects = 70%(2) essays submitted in due time = 30%.

Details will be given in class. In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

中垣 恒太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「English2 I」を継続する形で、定評ある口語会話教材『アメリカ口語教本（中級）』を用い、インプット／アウトプットの訓練を行う。ボキャブラリー／フレーズの増強、イントネーション／リズムなどの音声面によるインプットと、短い時間でのレスポンスによるアウトプットの訓練を行うことは、英語によるコミュニケーションの幅を広げていくうえで有益である。単調な作業に映るかもしれないが、音読／リスニングのトレーニングをくりかえし行うことにより、英語によるリズム感を体得することを主眼とする。

【到達目標】

- ・パターン・プラクティス、音読・オーバーラッピング・シャドーイングなどをくりかえすことによって英語表現をインプットする学習方法について学ぶ。
- ・会話表現演習／瞬間英作文を通じてアウトプットの回路を身につける。
- ・パラグラフ・ライティングの基礎を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は演習型として実施する。

教科書『改定版 アメリカ口語教本（中級）』を軸に、音読・オーバーラッピング・シャドーイング・瞬間英作文の演習を通して英語で表現する練習を行う。

提出された課題に関しては全体の講評としてフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業の運営方針について。「シャドーイング／瞬間英作文」の学習法。
2回目	教科書10章	教科書に基づく演習（教科書10章）
3回目	教科書11章	教科書に基づく演習（教科書11章）
4回目	教科書12章	教科書に基づく演習（教科書12章）
5回目	教科書13章	教科書に基づく演習（教科書13章）
6回目	検定試験型ライティング（導入）	検定試験型ライティングのパターンについて
7回目	教科書14章	教科書に基づく演習（教科書14章）
8回目	教科書15章	教科書に基づく演習（教科書15章）
9回目	教科書16章	教科書に基づく演習（教科書16章）
10回目	教科書17章	教科書に基づく演習（教科書17章）
11回目	教科書18章	教科書に基づく演習（教科書18章）

12回目	検定試験型ライティング（実践編）	検定試験型ライティング（実践編）
13回目	教科書19章	教科書に基づく演習（教科書19章）
14回目	まとめ	インタビューを素材にしたシャドーイングの学習法

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

翌週までに教室外でのシャドーイング演習に基づいた復習を行う。身体に英語表現のリズムが染み込むまでくりかえし練習して授業に臨むこと。

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

研究社『改定版 アメリカ口語教本（中級用）』

【参考書】

木内裕也・工藤紘実『耳と口が「英語モード」になる 同時通訳者のシャドーイング』（KADOKAWA）。

長尾和夫、トーマス・マーティン『音声DL対応 改訂版 絶対「英語の口」になる！——リアルな日常会話で鍛える シャドーイング大特訓50』（三修社）。

研究社『改定版 アメリカ口語教本（上級用）』。

スクリーンプレイ社による映画シナリオ教材シリーズ。

森沢洋介『英語構文を使いこなす瞬間英作文トレーニング（マスタークラス）』（ベレ出版）。

鈴木健士、ジェームズ・M・バーダマン『英文ライティングのメタモルフォーゼ』（KADOKAWA）。

三石郷史『英検準1級ライティング合格メソッド はじめに読みたいライティング勉強法』（高橋書店）。

川端淳司『TOEFLテスト集中攻略ライティング 第2版』（テイエス企画）。

【成績評価の方法と基準】

演習（70%）、ライティング課題（30%）

各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

シャドーイング学習は地味で地道な学習法であるが、やり方次第で中級から上級者まで英語力をブラッシュアップするのに効果的な学習法である。また、「瞬間英作文」として日本語を瞬時に英語にするトレーニングも導入し、自主学習の方法を伝達することに力を注いだ。概ねその趣旨をうけとめてもらえたという手ごたえを得ることができた。

【学生が準備すべき機器他】

大学で Zoom 授業を受ける際にはマイク付きのヘッドセットが必要である。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course aims to provide students with opportunities to improve their English listening and speaking abilities through “shadowing” practice.

【Learning Objectives】

Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in the written form. Drawing attention to the basic paragraph structure (e.g. topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence), students will be required to learn how to write a logically paragraph, and then to write a short essay with multiple paragraphs. Students will learn how to effectively participate in and facilitate discussions and/or give presentations and speeches, depending on their English levels.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to spend at least 60 minutes per week before and after each class. Specific instructions will be given.

【Grading Criteria/Policy】

Evaluation will be based on (1) active class participation and commitment in class projects = 70%(2) essays submitted in due time = 30%.

Details will be given in class. In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

GENC BURCU

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course primarily follows a task-based approach, integrating all four language skills: listening, speaking, reading, and writing. Lessons are organized around thematic units to encourage an interactive classroom. Students strengthen their grasp of English by discussing ideas in English and completing activities which require them to use all four core skills. Grammar is introduced, practiced, and reinforced within a communicative framework, ensuring it supports practical language use. The overarching goal is to equip students with essential language skills, enabling them to communicate at intermediate level in English.

【到達目標】

The main goal of this course is to provide students with practical exposure to contemporary English, enabling them to build competence and, in turn, gain the confidence to use it effectively in everyday situations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The method primarily follows a communication-driven and task-oriented approach. The goal is to place learner needs at the center of classroom teaching. While each class will include some lecture components, active student participation through interactive tasks in pairs and groups is given priority for skill development. Weekly assignments in writing, listening, and speaking—drawn from the textbook and supplemented with occasional handouts—will be also included to support student learning. Lastly, constructive feedback on all assignments will be provided to reinforce improvement and further skill development.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to English 2	Introduction & Course Overview. Speaking activity on the unit theme. Students will gain insight into the main theme and discuss family life and complaints members can often have. Then, they will be introduced to the key grammar topic to practice making complaints and responding to requests in a relevant way.

2	Housemates & Helping around the House	Students will listen to a conversation about co-living and problems which may arise. Next, they will build more vocabulary on the subject by completing the selected activities for the day. Following this, students will practice listening once again to assess knowledge.
3	Difficult Neighbors & Apologizing in a Proper Way	Students will start the day with a simple matching activity to talk about problems with neighbors. The goal of the day is to learn and practice making requests in difficult situations and apologizing. Reading passage will be also covered as much as possible.
4	How Do We Use Technology? We Are All Different	Students will start working on the new unit which is about technology and device use. They will shortly talk about their choices. Grammar point will be covered at the end of the day.
5	They've Thought of Everything & Applications Are Everywhere	A talk on technology use will continue in this lesson, too. Vocabulary knowledge will be built & a key grammar point will be introduced for further listening practice.
6	Sharing Economy? What's It Good for?	Students will work in groups and complete reading text activities. They will exchange views about sharing-economy services and reveal if they find these services useful. Students will also give short presentations in this lesson by sharing more ideas on the topic.
7	Favorite Celebrations & Holidays	Grammar point of the unit will be covered in this lesson. Students will learn and practice relative clauses of time. After this, students will have a short group work to exchange views on the unit theme. This will be followed by a focused listening task to wrap up all for the day.
8	Traditions We Don't Know and Why They Matter	Students will start the day with a listening activity on the main theme of the unit. This listening task will be followed by another one to practice more. The goal is to develop ideas on the subject for a writing task and short presentation.

9	Unit Tests & Introduction to a New Unit	Unit test will be given at the start of the day. Students will focus on the new unit theme and talk about significant changes that have taken place over the last century to describe our lives at present and develop initial ideas about the unit theme. For the purpose, a conversation task will be also completed before the day ends.	University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
10	That's a Thing of a Past & Our Lives at Present	Collocation knowledge will be tested through a vocabulary task. Students will express views by making use of the target set of words in speech. They will give opinions about causes & effects of some issues for a short presentation. At the end of the day, they will learn their test results and receive teacher feedback.	【テキスト（教科書）】 Interchange 2, Fifth Edition Jack C Richards Cambridge University Press 2017 ￥ 2750 【参考書】 Interchange 2, Fifth Edition: Self-Study DVD-ROM Level 2. 【成績評価の方法と基準】 Evaluation criteria for the course: Participation: 30%(including the timely completion of all assignments, reading and written) Mini presentations, paired and small group: 30% Unit Tests and quizzes: 40% * Please be aware that, in principle, no more than 3 absences are permitted throughout the term. A fourth absence will result in failure for the term. 【学生の意見等からの気づき】 Students seem to enjoy the textbook. Speaking and listening activities are found useful and fun. 【学生が準備すべき機器他】 Students do not need to prepare any equipment unless it is requested from them prior to a class.
11	Work Life & Skills We Need	Unit reading passage will be mainly covered during this lesson. Students will engage in a detailed reading and complete the required tasks for a discussion about the main topic. They will be given a short grammar task for revision of important topics at the end of the day. This task will be marked and has a quiz value.	【その他の重要事項】 N/A 【Outline (in English)】 This course primarily follows a task-based approach, integrating all four language skills: listening, speaking, reading, and writing. Lessons are organized around thematic units to encourage an interactive classroom. Students strengthen their grasp of English by discussing ideas in English and completing activities which require them to use all four core skills. Grammar is introduced, practiced, and reinforced within a communicative framework, ensuring it supports practical language use. The overarching goal is to equip students with essential language skills, enabling them to communicate at intermediate level in English.
12	My Ideal Career & Making the Right Choices	The day will start with a new unit from the selected textbook. Students will start working on the snapshot task for ideas on this unit theme. They will explore the theme further by listening to a short conversation and completing the word power activity of the unit. All of these will be benefitted later to express ideas about career choices.	
13	Personality Traits & Office Problems	The day will start with the unit's reading passage. A detailed reading of the passage will be followed by other related activities to check comprehension and built-knowledge on the main subject. After this, students will create a job profile and share it with classmates.	
14	Unit Tests & Review	This is the last lesson of the Spring term. Students will be given their final test on this day. Following this, both the lesson and the term will be wrapped up with feedback on progress. Students will be also given short guidance for the Autumn term.	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete all assignments and come to class fully prepared for discussion and class activities.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

GENC BURCU

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is a continuation of English 2 I taught in the Spring semester. It remains as a mainly task-based course in which all four language skills are practiced through interactive activities. The overall goal is to assist students in acquiring essential language skills for communication at an intermediate level in everyday English.

【到達目標】

The main goal of the Autumn sessions is to help students develop greater competence in English and improve their fluency. By the end of the course, students are expected to express themselves with increased confidence.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The core methodology will remain unchanged. The course will continue to be largely task-based to provide ample opportunities for communication in English. Skill growth will be mostly achieved through collaborative learning tasks as before. Lecture components will continue to reinforce student learning before and after the activities by highlighting key grammar markers and essential vocabulary usage. Finally, all assignments will be provided with constructive feedback to promote progress and foster skill growth.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to English 2 II	Introduction & Course Overview. Speaking activity on the unit theme. Students will gain insight into the main theme and exchange ideas about famous landmarks and monuments they are familiar with. Then, they will be introduced to the key grammar topic to practice giving descriptions and discussing facts about historical places.

2	Country Fast Facts & What do You Know about These Countries?	The lesson will start with a vocabulary task to review essential words which are needed for the day. This will be followed by a pair work to discuss facts about Japan. Students will also listen to a short conversation to exchange more ideas about countries and what we know about them. Before the end of the class, a quiz will be given for reinforcing learning and understanding.
3	It's a Long Story & What Happened to These People?	Students are expected to write a short paragraph about a city to give guidance for any tourist. For ideas, they will listen to an interview about tourism in Costa Rica. Following this, reading passage of the unit will be covered for key ideas and a discussion on museums and tourism. In the remaining time, students will be introduced to a new unit from the assigned textbook and complete two short activities to warm up to the unit focus. The day will start with a quiz for some revision. After the quiz, students will complete a vocabulary activity which relate to story writing and do pair work. To foster storytelling language further, grammar focus activity will follow. Students will also listen to a short conversation to understand the application in real life. Lastly, all will be put into practice through a speaking task.
4	How did It All Begin? & Success Stories of Our Times	Students are expected to work on the unit reading passage before coming to class this week. In the class, passage will be read once again for key ideas and discussion on the main topic of the reading passage. Before the end of the day, students will practice further for a warm-up on movie trivia. They will complete two short activities on a different theme trivia.
5	Success Stories of Our Times & Progress Check	Unit test will be given at the start of the day. Following the test, students will focus on the new unit theme and complete an activity movie trivia. They will exchange views about their favorite actors & actresses. Before the class ends, a short dialogue work will be also carried out.
6	Unit Test & Introduction to a New Unit	

7	Movie Trivia: Which One Do You Know?	Grammar point of the unit will be covered in this lesson. Students will learn and practice participles as adjectives. This task will be paired up with word power activity from the assigned textbook to deepen overall knowledge on adjectives. Following this, students will shortly rate a movie of their choice to apply knowledge into practice. For ideas, they will first work in pairs and then present in front of all. Before the end of the day, students will be informed about their test results and will be provided with feedback.	12	Tough Situations: What Would You Do?	The day will start with a new unit from the assigned textbook. Students will start working on the snapshot task for ideas on this unit theme. They will explore the theme further by listening both to a short conversation and a talk about tough situations. All of these will be benefitted later to express ideas for a writing task on giving advice. Key grammar points will be also covered on the day.
8	Give It Two Thumbs Up &The Real Art of Acting	Students will start the day with a listening activity on the main theme of the unit. This listening task will be followed by another one to practice more. The goal is to develop ideas on the subject for a writing task. Students will be given guidance to write a movie review as a short paragraph. Writings will be collected to be marked at the end of the class.	13	Advice Needed & Problem Solved	The lesson day will start with the remaining listening task on giving advice to practice on the subject one last time. After this, students will be provided with feedback on their writing tasks. In the latter part of the lesson, the unit's reading passage will be covered. A detailed reading of the passage will be made and this will be followed by other related activities to check comprehension and exchange ideas on the main subject.
9	Reading Passage & Introduction to the Next Unit	Reading passage will be covered at the start of the day. Students will read in details and complete all activities for idea development. Following this, a group work will be carried out on the subject. What does it mean to be a good actor or actress? Is it about taking risks or something else?	14	Unit Tests & Review	This is the last lesson of the Autumn term. Students will be given their final test on this day. Following this, both the lesson and the term will be wrapped up with feedback on progress.
10	Body Language: It's Pretty Confusing	The lesson day will start with a listening activity. Students will listen to a conversation about body language and exchange views on the subject. Following this, key grammar points of the unit will be studied and practiced. These activities will be paired up with two short listenings to reinforce learning.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Students are expected to have fully completed all written, reading and speaking preparation assignments before each class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 Interchange 2 Fifth Edition, Jack C. Richards Cambridge University Press, 2017. 【参考書】 Interchange Fifth Edition: Online Self-Study, Level 2. 【成績評価の方法と基準】 Grading criteria for this course will be based on: Class participation (including the timely completion of home-work assignments): 30% Mini-presentations and quizzes: 30% Unit Tests: 40%. *Attendance is expected every class. No more than three absences are allowed throughout the term. Without a valid reason (i.e. a medical emergency or family problem) a fourth absence will result in failure for the term. 【学生の意見等からの気づき】 None 【学生が準備すべき機器他】 When there is a need, class announcement will be provided. 【Outline (in English)】 This course is a continuation of English 2 I taught in the Spring semester. It remains as a mainly task-based course in which all four language skills are practiced through interactive activities. The overall goal is to assist students in acquiring essential language skills for communication at an intermediate level in everyday English.		
11	Understanding Idioms &Play by the Rules	Unit reading passage will be mainly covered during this lesson. Students will engage in a detailed reading and complete the required tasks for a discussion about the main topic. They will be given a short grammar task for revision of important topics at the end of the day. This task will be marked and has a quiz value.			

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

ジェフリー B タロフスキー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based English language course which uses horror films as the content of the course. Themes covered include shifting aesthetic standards and the history of Western moral values, cultural taboos and universals, iconography and censorship.

【到達目標】

For first year students who have successfully completed their high-school English classes.

There will be an initial focus on listening and note taking skills supplemented by readings which both reinforce the lectures and introduce additional topics for writing and discussion. Throughout the semester writing skills will emphasize the production of paragraphs with proper topic and supporting sentences along with a clear conclusion. Students will comment on lectures and readings and ask and answer questions during each class.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students watch excerpts from selected films, listen to lectures, read transcripts of the lectures, read additional supporting materials, do worksheets and on line research in order to prepare writing assignments and ask and answers questions, make comments and take weekly quizzes.

During live classes focused on writing feedback will be provided throughout the class as students work on assignments individually and in small groups. During classes which focus on small group discussions students will receive immediate feedback following their discussions. Written work submitted by students will receive written commentary within three weeks of submission.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction to the course Lecture #1 Web class #1, Lecture #1 What Is Horror? Excerpts from Phantom of the Opera (1925) and Nosferatu: A Symphony of Terror(1922)	Transcript of lecture, Worksheet : What is Horror?Class #1 . Homework : Read and understand Writing worksheet #1 . Do Writing Assignment #1 and print it out so you can submit it during class #2.

Week 2	Class #2. Writing Workshop . Submit Assignment #1 for peer correction (what is that?) . Return the peer corrected assignment to the writer and review Worksheet #2. (Time permitting) Worksheet #3 : Expository Writing .	Homework : Discussion topics Distributed Writing Assignment #2 From The Subjective to the Objective
Week 3	Lecture #2 from Web Class #2 The Man of 1,000 faces: Excerpts from The The Hunchback of Notre Dame (1923).	Transcript of lecture 2 , Reading: Lon Chaney Quiz #1
Week 4	Lecture #3 from Web class #3 The Ugly and the Evil. Excerpts from The Phantom of the Opera.	Transcript of lecture 3 , Reading: The Gruesome Twosome: Lon Chaney and Tod Browning . Quiz#2 Choose Discussion topics
Week 5	Lecture #4 from Web class 4 The Real Monsters: Tod Browning's Freaks	Transcript of lecture 4 , HW Reading : London After Midnight (1926). Quiz #3 Prepare for discussions. Each group will have between fifteen and thirty minutes to discuss the topic of their choosing
Week 6	First half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Lecture #5 Web class 5 :Replacing Lon Chaney? Carl Laemmle looks towards home. Paul Leni's Waxworks (1924). The Cat and The Canary	Transcript of lecture 5 , Reading : Who Thought of it First? Quiz #4

Week 7	Second half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Lecture #5 Web class 5 :Replacing Lon Chaney? Carl Laemmle looks towards home. Paul Leni's Waxworks (1924). The Cat and The Canary	Transcript of lecture 5 , Reading : Who Thought of it First? Quiz #5
Week 8	Web class #6, Lecture #6 : What went wrong with The Man Who Laughs (1928)? In class writing exercise #2	Transcript of lecture 6 , Reading: The Crash of 1929 and The Great Depression. Quiz #6
Week 9	Web Class #7 , Lecture #7 : Murnau's Nosferatu (1922) Bram Stoker and Merhage's Shadow of The Vampire (2000) . Complete writing exercise #2	Transcript of lecture 7 , Reading : The Historical Dracula Quiz #7 Choose Discussion topics Discussion topics Distributed Read: Writing Worksheet #4 . Do: Writing Assignment #3
Week 10	Writing Workshop Review Writing Worksheet #4 and Assignment #3	Homework: Read: Writing worksheet #5 Do: Writing Assignment #4 (will be due to be submitted on line by Class #12)
Week 11	Web class #9, Lecture #9 Universal's search for a Dracula, Excerpts from Dracula (1931)	Transcript of lecture 9, HW Reading Bela Lugosi Quiz # 8
Week 12	Web class #10, Lecture #10 What was missing from Dracula? Excerpts from Shadow Of The Vampire and Bram Stoker's Dracula and Interview With A Vampire	Transcript of lecture 10, Reading : The origins of Evil. Quiz # 9

Week 13	First half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Web class #11, Lecture #11 What did Dracula think about being a vampire? Another look at Dracula (1931), Nosferatu (1922) and Bram Stoker's Dracula.	Transcript of lecture.#11 Reading : The Origins of Evil . Quiz #10
Week 14	Second half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Web class #11, Lecture #11 What did Dracula think about being a vampire? Another look at Dracula (1931), Nosferatu (1922) and Bram Stoker's Dracula.	Transcript of lecture.#11 Reading : The Origins of Evil . Quiz #10

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
There will be homework assigned each week which will include both reading and listening assignments and may also include a writing component as well as research on line.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

All the materials for this course will be provided by the instructor or will be available on line for free.

【参考書】

Students should familiarize themselves with how to use online dictionaries.

【成績評価の方法と基準】

There are three components to the grade. 1) There are between eight and ten quizzes this semester. The average score of these quizzes will be 30%of the grade. The instructor may , (entirely at his discretion) , drop the lowest one or two quiz grades for the entire class or on a case by case basis if a student has a legitimate reason for failing to submit a quiz . 2) The writing component of the class counts for an additional 30%of the grade. The discussions /presentations count for a further 30%of the grade . The final 10%of the grade will be weighted according to which of the three areas the student achieved the highest score.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Students have asked for more guidance in their writing assignments and so there will be more time provided for that as well as some additional support materials.

【学生が準備すべき機器他】

Students should have a laptop computer for the "writing workshop" days of the class .

【Outline (in English)】

The learning objectives for this class are as follows: there will be a focus on listening and note taking skills supplemented by readings which both reinforce the lectures and introduce additional topics for writing and discussion. Throughout the semester writing skills will emphasize the production of expository paragraphs with proper topic and supporting sentences along with a clear conclusion. Students will comment on lectures and readings and ask and answer questions.

Students are expected to study for a total of 1-2 hours outside of class for each lecture.

Outside of class time Students are required to read the text for the week's assigned lesson on the website and listen to the lectures and review the excerpts from the films . This requires a minimum of between 1 and 2 hours of work outside of class.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

ジェフリー B タロフスキー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based English language course which uses horror films as the content of the course. Themes covered include shifting aesthetic standards and the history of Western moral values, cultural taboos and universals, iconography and censorship.

【到達目標】

For first year students who have successfully completed their high-school English classes.

There will be an initial focus on listening and note taking skills supplemented by readings which both reinforce the lectures and introduce additional topics for writing and discussion. Throughout the semester writing skills will emphasize the production of paragraphs with proper topic and supporting sentences along with a clear conclusion. Students will comment on lectures and readings and ask and answer questions during each class.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students watch excerpts from selected films, listen to lectures, read transcripts of the lectures, read additional supporting materials, do worksheets and on line research in order to prepare writing assignments and ask and answers questions, make comments and take weekly quizzes.

During live classes focused on writing feedback will be provided throughout the class as students work on assignments individually and in small groups. During classes which focus on small group discussions students will receive immediate feedback following their discussions. Written work submitted by students will receive written commentary within three weeks of submission.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Writing workshop #3 Writing Worksheet #6 Supporting sentences . Writing worksheet #7 Plagiarism.	Homework: Writing Assignment #5 Due to be submitted on line before the next class .
Week 2	Website Class #13. Screening of Frankenstein (1931) in ten parts. Watch the film one part at a time as you simultaneously complete Quiz #11	Transcript of lecture Reading: Go back to Website Class #12 and review the reading: Mary Shelley, at the very end of the unit. Quiz #11 (which requires you to listen for the missing word).

Week 3	Website Class #14 .The Production of Frankenstein, Breaking of Taboos (including the fourth Wall) , “recycled parts” , The Great Ray of Life.	Transcript of Lecture Research: Go on line and learn all you can about the Myth of Prometheus HW Reading: The Origins of Evil : Brief Review (important enough to go over again) Discussion topics distributed Quiz#12
Week 4	Website Class #15, The Gift of Fire, Blas-phemy,Pronouns.	Transcript of lecture HW ; Think about why Frankenstein and Waldman shut out the light. Reading: Boris Karloff Quiz#13 . Choose Discussion Topics
Week 5	Website Class #16 The Reveal , audience reaction, Karloff’s performance, vivisection , The gift of a flower, A final symbol	Transcript of Lecture Reading :The First Horror Sequel Practice Discussions for a minimum of one hour. Quiz #14
Week 6	Half of the class engages in small group discussions while the other half does Website Class #17, The First Horror Sequel. Excerpts from The Bride of Frankenstein (1935) .	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing. Groups not presenting doReading : The Hollywood Production Code Quiz#15
Week 7	Half of the class engages in small group discussions while the other half does Website Class #17, The First Horror Sequel. Excerpts from The Bride of Frankenstein (1935) .	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing. Groups not presenting doReading : The Hollywood Production Code Quiz#15
Week 8	Writing Workshop #4 Writing worksheet #8 Facts, examples and arguments	Writing assignment #6 Turn in the assignment On line as well as printing out a copy for in class use during week #10
Week 9	Website class #18: Frankenstein and Censorship , ceasing production (briefly) . the Universal return to Horror	Transcript of Lecture Reading: The Fall of the House of Laemmle Quiz#16
Week 10	Writing workshop #5 Peer correction of Writing assignment #6	Website Class #19 : Excerpts from and Lecture on The Wolfman (1941) Reading: Werewolf Tales Discussion topics distributed Quiz#17

Week 11	Website Class #20: Hammer Studios reboots the Universal Classics , The best of the bunch: The Curse of the Werewolf (1961)	Transcript of Lecture Quiz #18 Choose Discussion topic	【Outline (in English)】 This is a content based English language course which uses horror films as the content of the course. Themes covered include shifting aesthetic standards and the history of Western moral values, cultural taboos and universals, iconography and censorship. Outside of class time Students are required to read the text for the week's assigned lesson on the website and listen to the lectures and review the excerpts from the films . This requires a minimum of between 1 and 2 hours of work outside of class.
Week 12	Website Class #21. The conclusion of Curse of the Werewolf, an almost Shakespearean tragedy.	Transcript of lecture Reading : Internal Contradictions in Curse of the Werewolf and a Few Thoughts About Criticism . After lesson do Quiz #19	
Week 13	First half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes writing exercise #6 in class	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing.	
Week 14	Second half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes writing exercise #6 in class.	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing.	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

There will be homework assigned each week which will include both reading and listening assignments and may also include a writing component as well as research on line.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

All the materials for this course will be provided by the instructor or will be available on line for free.

【参考書】

Students should familiarize themselves with how to use on line dictionaries.

【成績評価の方法と基準】

There are three components to the grade. 1) There are between eight and ten quizzes this semester. The average score of these quizzes will be 30%of the grade. The instructor may , (entirely at his discretion) , drop the lowest one or two quiz grades for the entire class or on a case by case basis if a student has a legitimate reason for failing to submit a quiz . 2) The writing component of the class counts for an additional 30%of the grade. The discussions /presentations count for a further 30%of the grade . The final 10%of the grade will be weighted according to which of the three areas the student achieved the highest score.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Students have asked for more guidance in their writing assignments and so there will be more time provided for that as well as some additional support materials.

LANe100LA (英語 / English language education 100)			6	Unit 3	Continuation from the previous class. Why are we learning a different language that is not our mother tongue? What are the merits of learning a different language?
English 2 I					
2017年度以降入学者			7	Unit 3	Continuation from the previous class. Understand the situation and think about the issue. Forming a group, exchange your opinions with classmates and summarize what you think.
北原 ルック 明子			8	Unit 3 Unit 5 Forever Single	Continuation of the previous class. Presenting your summary on this unit. Review the vocabulary. Read "Forever Single" and undertake the context.
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水1/Wed.1			9	Unit 5	What do you think about getting married? Nowadays, many people opt towards getting married. What do you think about it?
単位数：1単位			10	Unit 5	Start preparing for the presentation. Continuation from the previous class. Understand the situation and think about the issue.
その他属性：			11	Unit 5	Preparing for the presentation. Which is better, staying single or getting married? Form a small group and exchange your opinions.
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			12	Unit 5	Preparing for the presentation. Continuation from the previous class. Presenting what you have exchanged with your classmates.
小学校、中学校そして高校において英語に親しんできたと思われるが大学ではより英語に親しみ文法、読解を中心にするのではなくコミュニケーションを図りながら英語を道具としてそれぞれの専門分野で活かしていけるようにしたい。			13	Presentation	Preparing for the presentation. Presentation
【到達目標】			14	Test	Test
英語で考えられるようにし英語で相手に伝わるようにして行きたい。まず短く簡単な英語でいいので自分の言いたいことを相手に伝えられるようにする。日常の様々なトピックについて自分の知識、経験、意見を口頭で表現していくことをプレゼンテーション、スピーチ、ディスカッションなどを通して練習していく。ライティングに関してはプレゼンテーションを準備する上で導入部分、メイン、締めをしつかりと順序立てて整理してかけるようにする。また聴く力も養っていきたいと思う。			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The students will have to read the units and understand it and be able to present their ideas on it.		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1			【テキスト（教科書）】		
【授業の進め方と方法】			Impact Issues 2 Richard R. Day, Joseph Shaules, Junko Yamanaka Pearson		
教科書"Impact Issues"に入る前に簡単なリスニングをし簡単な会話をします。この教科書は様々なテーマをユニットごとに扱っているのでそれをしっかり読み、内容を理解しその内容に対してその都度そのテーマに関して自分の意見が言えるようにする。またこの教科書は様々な activity などがありそれらをとおして英語に一層親しんでいきたいと思う。自分の意見をクラスの前で言える様に大小のプレゼンテーションを授業内で多く行う。前の授業での復習をしながらフィードバックをしながら授業を進めていく。各ユニットで出題されている単語などの意味及び文章も作れるようにする。			【参考書】		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】			None		
あり /Yes			【成績評価の方法と基準】		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】			Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination. 70% Short reports 10% Presentation 20% In addition to your overall grade, in principle, no more than 3 absences per term are allowed.		
なし /No			【学生の意見等からの気づき】		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face			To talk more slowly		
回	テーマ	内容			
1	Introduction	Introducing yourself to the class in English.			
2	Unit 1 First Impressions	Understand what the unit is about. Is a first impression important when we meet a person for the first time?			
3	Unit 1	Continuation from the previous class. Understand the situation and think about the issue.			
4	Unit 1	Continuation from the previous class. Exchanging opinions with classmates and summarize what you think about first impressions.			
5	Unit 1 First impressions Unit 3 The Good Language Learner	Continuation from the previous class. Review on the vocabulary. Read "The Good Language Learner" and understand the context.			

【学生が準備すべき機器他】

None

【Outline (in English)】

This class will be conducted mainly in English and the students will be required to state their opinions and to exchange their opinions with their classmates. The students are required to talk in English as much as possible to communicate with their classmates.

LANe100LA (英語 / English language education 100)		4	Unit 8	Continuation from the previous class.
English 2 II				Understand the content and think about the issue.
北原 ルック 明子				Review vocabulary.
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水1/Wed.1		5	Unit 8	Continuation from the previous class.
単位数：1単位				How is online convenient? Is the internet necessary? Why?
その他属性：				What are the merits and demerits of online?
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		6	Unit 8	Continuation from the previous class.
小学校、中学校、そして高校において英語に親しんできたと思われるが大学では一層と英語に親しみ文法、読解を中心とするのではなくコミュニケーションを図りながら英語を道具としてそれぞれの専門分野で生かしていけるようにして行きたい。小学校、中学校、そして高校において英語に親しんできたと思われる				Form a small group and discuss about online and SNS. Summarize the discussion and present it in class.
【到達目標】		7	Recitation	Reciting the poem that you have read to the class.
英語で考えられるようにし英語で相手に伝わるようにして行きたい。春学期ではまず短く簡単な英語でいいので自分の言いたいことを相手に伝えられるようにするということが秋学期ではもっと長い文章で話せるようにして行きたい。日常の様々なトピックについて自分の知識、経験、意見を口頭で表現していくことをプレゼンテーション、スピーチ、ディスカッションなどを通して練習していく。ライティングに関してはプレゼンテーションを準備をする上で導入部分、メイン、締めをしっかりと順序立ててかけるようにする。教科書には多くの activities が記載されているのどそれらを通して role playing を行って行きたいと思う。		8	Unit 10	Read "My Student Life" and understand the situation and think about the issue.
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		9	Unit 10	Continuation from the previous class.
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1		10	Unit 10	Who do you agree with. Mariko or Jin? Why? Start preparing for a presentation at the end of the term.
【授業の進め方と方法】				Continuation from the previous class.
教科書"Impact Issues"に入る前に簡単なリスニングをし簡単な会話をします。この教科書は様々なテーマをユニットごとに扱っているのでそれをしっかり読み、内容を理解しその内容に対してその都度そのテーマに関して自分の意見が言えるようにする。またこの教科書は様々な activity などがそれぞれをとおして英語に一層親しんでいきたいと思います。自分の意見をクラスの前で言える様に大小のプレゼンテーションを授業内で多く行う。前の授業での復習をしながらフィードバックをして行く。各ユニットで出題されている単語などの意味及び文章も作れるようにする。		11	Unit 12	Form a small group and discuss about your university life. Summarize the discussion and present it to the class.
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】				Preparing for the presentation.
あり/Yes				Read "Create another Future" and understand the situation and think about the issue. Think of what is happening to the earth and why.
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】		12	Unit 12	Review vocabulary.
なし/No				Prepare for the Presentation.
【授業計画】 授業形態：対面/face to face				Continuation from the previous class. Form a small group and discuss the world's problems. Summarize and present it to the class.
回	テーマ	内容		Prepare for term-end presentation.
1	Presentation	Presentation of the questionnaire done to the tourists during the summer holidays.	13	Presentation
2	Reading a poem	Reading "What Do I Remember of the Evacuation", analyze the poem and discuss.	14	Test
3	Reading a poem Unit 8	Continuation from the previous class. Talk about the symbols in the poem. Read "Read Your online Past" and understand the situation and think about the issue.		

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
 /University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The students will have to read the units and understand it and be able to present their ideas on it.

【テキスト（教科書）】
 Impact Issues 2
 Richard R Day, Joseph Shaules, Junko Yamanaka
 Pearson

【参考書】
 None

【成績評価の方法と基準】

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination. 70%

Short reports. 10%

Presentation. 20%

In addition to your overall grade, in principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

To talk more slowly

【Outline (in English)】

This course is to enhance the students to speak in detail what they are thinking and feeling. It is not easy to present your feeling, but in this term reasoning will be essential.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

JUSTIN FALKUS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to help students enjoy improving their understanding of the language skills needed to effectively communicate in today's English speaking world. All four skills are exercised with a classroom focus on listening and speaking.

【到達目標】

Students will develop the ability to more accurately and fluently express themselves, both orally and in writing. In addition, students will develop a greater ability to match meaning and form, thereby learning to make better choices when participating in English communication.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will work mostly in pairs and in small groups. Students will practise new material covered by the teacher, both in class and for homework. There will be three short presentation tasks, one performed alone, one performed with a single partner, and one performed in a small group. Feedback, in the form of teacher comments (oral) and peer evaluation (written), will be provided.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation	Introduction to the course
2	Hobbies; Likes and Dislikes	Mental and Material Processes. Primary Tense Present.
3	Describing Appearance and Personality	Relational Processes, Primary Tense Present
4	Speaking Test 1 - Introducing Myself	3-Minute Presentation using the material taught hitherto. Plus Feedback and discussion.
5	The Best Day Of My Life	Material, Relational and Existential Processes; Primary Tense Past
6	What Is/Was Happening?	Introducing Secondary Tense Present
7	What Have/Had You Done?	Introducing Secondary Tense Past
8	Speaking Test 2 - Interview Role Play.	Pairwork - Interview a partner about their past, using the material taught hitherto. Plus feedback and discussion.

9	Future Plans - Certain.	Talking about Future Certainty in English. Primary Tense Present, Secondary Tense Present, Secondary Tense Future, Using Primary Tense Future to discuss uncertain future plans.
10	Future Plans - Uncertain	Introducing Modal Assessment - Probability, Usuality
11	That Must Be True!	Modal Assessment - Obligation, Ability.
12	Giving Advice.	We review all the material covered hitherto, and practise for the final speaking test.
13	Course Overview and Final Speaking Test Preparation	In small groups, students will have a 7-10 minute discussion, using all the material taught in this course. Plus feedback.
14	Speaking Test 3 - Group Discussion. Feedback.	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。Students are expected to review all material covered in class, and to prepare adequately for speaking tests. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

The teacher will provide his own materials.

【参考書】

There are no particular references for this class.

【成績評価の方法と基準】

Participation: (including the timely completion of all homework assignments) 30%

Speaking Tests: 70%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

The intention at the moment is to conduct the class face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to ZOOM.

【None】

、

【Outline (in English)】

This course is designed to help students enjoy improving their understanding of the language skills needed to effectively communicate in today's English speaking world. All four skills are exercised with a classroom focus on listening and speaking.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

JUSTIN FALKUS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to help students continue to improve their understanding of the language skills needed to effectively communicate in today's English speaking world.

【到達目標】

Students will continue to develop the ability to accurately and fluently express themselves, both orally and in writing. Students will further develop the skill to match meaning with form, thereby learning to make better choices when participating in English communication.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will work mostly in pairs and in small groups. Students will practise new material covered by the teacher, both in class and for homework. There will be three short presentation tasks, one performed alone, one performed with a single partner, and one performed in a small group. Feedback, in the form of teacher comments (oral) and peer evaluation (written), will be provided.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation	Introduction to the Course
2	The Important Thing is...	Information Structure and Thematic Structure
3	Introduction to English Intonation	Syllables and Rhythm.
4	Speak With Confidence!	Tone groups
5	Speaking Test 1 - Making a Speech. Feedback and discussion.	3-5 minute speech given by each student. Plus feedback and discussion
6	What Would You Do?	Practising the grammar of hypothetical situations
7	Telling A Story	Using a variety of verb tenses to tell a narrative
8	Describing People And Things	Understanding the English Nominal Group
9	Speaking Test 2 - Group Discussion. Feedback.	Students will discuss a topic for 7-10 minutes using the material covered hitherto. Plus feedback.
10	You Know What I'm Talking About!	Mastering the use of Deictics.
11	Discussion Skills - Focus on The Speaker	How speakers in a discussion can keep a conversation going.

12	Discussion Skills - Focus on The Listeners	How listeners in a discussion can keep a conversation going.
13	Put it Together!	We review and practise all the skills learned hitherto.
14	Speaking Test 3 - Group Discussion. Feedback.	Students will discuss a topic for 7-10 minutes using all the material covered in this course. Plus feedback.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。Students are expected to review all material covered in class, and to prepare adequately for speaking tests. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

The teacher will provide his own materials.

【参考書】

There are no particular references for this class.

【成績評価の方法と基準】

Participation: (including the timely completion of all home-work assignments) 30%

Speaking Tests: 70%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

The intention at the moment is to conduct the class face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to ZOOM.

【None】

,

【Outline (in English)】

This course is designed to help students continue to improve their understanding of the language skills needed to effectively communicate in today's English speaking world.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Practice speaking, listening and writing English. Talk a lot about your own ideas and experiences, and share them with classmates.

【到達目標】

This course will help students to improve their ability to communicate in English. Students will increase their confidence in English through talking, reading and writing about a variety of everyday topics. Students will focus in particular on developing and explaining their own opinions and ideas.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

You will work in pairs, small groups and individually. We will follow the themes in the textbook closely. You will have many opportunities to improve your everyday spoken English communication and discuss information and ideas in English. Feedback will be given online and in the classroom. Please come to class ready to participate actively and positively.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation & Getting to Know You.	An explanation of the class requirements. We will get to know each other.
	Unit 1. Where are you from?	
2	Unit 1. Charlotte's choice	Describing people: appearance and personality. Present simple
3	Unit 1. Mr and Mrs Clark and Percy	Clothes. Prepositions of place
4	Unit 2. Right Place Wrong Person	Holidays. Past simple
5	Unit 2. The story behind the photo	Prepositions of time and place: at, in, on. Past continuous
6	Unit 3. Plans and dreams	Airports. Plans & predictions
7	Unit 3. Let's meet again	Future arrangements. Verbs + prepositions
8	Unit 3. What's the word?	Defining. Paraphrasing
9	Unit 4. Fashion and shopping	Shopping. Present perfect vs. past simple
10	Unit 5. No time for anything	Time expressions. Comparative adjectives
11	Unit 5. Superlative cities	Describing a city. Superlative adjectives

12	Unit 5. How much is too much?	Health & the body. Too much, not enough
13	Unit 6. Are you a pessimist?	Predictions. Opposites
14	Unit 6. The meaning of dreaming	Review of verb forms: present, past, and future.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Homework will include writing and preparation tasks as well as listening to the text CD.

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Christina Latham-Koenig, Clive Oxenden, Jerry Lambert. English File: 4th Edition, Pre-Intermediate Student Book with Online Practice, Oxford University Press, 2019.

【参考書】

Please bring a good English dictionary.

You can register for the online practice, quizzes and download the extra audio activities for our textbook. The textbook contains the activation code. Completing these activities will sometimes be homework.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 35%

Report 10%

Quizzes 35%

Speaking test 20%

*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】

Students requested that they change classroom partners more frequently.

【学生が準備すべき機器他】

Prepare an English dictionary.

Please check Google Classroom for all class information, homework, assignments and so on. You will get the information on how to do this in the first class.

You can sign up for the online games, quizzes and download the extra audio activities for our textbook. The textbook contains the activation code.

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

【Outline (in English)】

Use English and express yourself.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Practice speaking, listening and writing English. Talk a lot about your own ideas and experiences, and share them with classmates.

【到達目標】

This course will help students to improve their ability to communicate in English. Students will increase their confidence in English through talking, reading and writing about a variety of everyday topics. Students will focus in particular on developing and explaining their own opinions and ideas.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

You will work in pairs, small groups and individually. We will follow the themes in the textbook closely. You will have many opportunities to improve your everyday spoken English communication and discuss information and ideas in English. Feedback will be given online and in the classroom. Please come to class ready to participate actively and positively.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7. How to... & Being happy	Infinitive + to. Verbs + ing
2	Unit 7. Learn a language in a month	Have to, don't have to, must, mustn't
3	Unit 8. I don't know what to do	Advice. Should
4	Unit 8. If something can go wrong...	Confusing verbs. If + present, will + infinitive
5	Unit 9. What would you do?	Animals. If + past, would + infinitive
6	Unit 9. I've been afraid of it for years	Phobias. Present perfect+ for and since
7	Unit 9. Born to sing	Biographies. Present perfect or past simple
8	Unit 10. The mothers of invention	Passive.
9	Unit 10. Could do better	School subjects. Used to
10	Unit 11. Are you a morning person?	Phrasal verbs
11	Unit 11. What a coincidence!	So, neither. Similarities
12	Unit 12. Strange but true!	Past perfect. Verb phrases

13	Unit 12. Gossip is good for you	Reported speech. Say or tell?
14	Unit 12. The Quiz	Question types. Book revision

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Homework will include writing and preparation tasks as well as listening to the text CD.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Christina Latham-Koenig, Clive Oxenden and Jerry Lambert. English File: 4th Edition, Pre-Intermediate Student Book with Online Practice, Oxford University Press, 2019.

【参考書】

Please bring a good English dictionary.

You can register for the online practice, quizzes and download the extra audio activities for our textbook. The textbook contains the activation code. Completing these activities will sometimes be homework.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 35%

Report 10%

Quizzes 35%

Speaking test 20%

*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】

Students requested fewer partner changes.

【学生が準備すべき機器他】

Prepare an English dictionary.

Please check Google Classroom for all class information, homework, assignments and so on. You will get the information on how to do this in the first class.

You can sign up for the online games, quizzes and download the extra audio activities for our textbook. The textbook contains the activation code.

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

【Outline (in English)】

Use English and express yourself.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

PAUL K KALLENDER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is an introductory course comprised of 12 units and two review classes that is designed to enable students to learn, practice and improve their practical abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in the written form. While this is a four skills course including reading and listening exercises, the focus is on developing speaking and writing skills.

- In speaking, students will interact in practiced and free communicative exercises designed to enable them to speak simple, effective English covering a range of topics.

- For writing, students will learn how to develop writing skills beginning with basic paragraph structure e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence, students will be required to learn how to write a logically organized paragraph, and then to write a short essay with multiple paragraphs.

【到達目標】

As well as fostering skills in listening and reading the main goals are:

Oral:

1. Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in the written form.

Writing:

2. Drawing attention to the basic paragraph structure e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence, students will be required to learn how to write a logically organized paragraph, and then to write a short essay with multiple paragraphs.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each of the 12 units will contain a series of in-class exercises involving speaking, reading, listening, and writing exercises, with an emphasis on speaking and listening. Speaking exercises will be conducted in pairs who are swapped frequently, and in groups of three or four students. Writing exercises will focus on writing single paragraphs in the first half of the semester, and writing a series of paragraphs in the second half of the semester.

The instructor will check the completion of student work, especially writing, in class. The instructor will give verbal feedback and make corrections to student work during each class. If the students have any difficulties, they may contact the instructor via the email address provided.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Course Introduction Topic: You and Me	Expectations, grading, class conduct. Speaking: Introducing yourself Writing: Introducing yourself
Class 2	Topic: A Good Job	Speaking: Talking about jobs Writing: Writing about jobs
Class 3	Topic: Work hard, play hard	Speaking: Talking about activities Writing: Filling out an application form
Class 4	Topic: Somewhere to live	Speaking: Describing objects and locations Writing: Describing your home
Class 5	Topic: Super me!	Speaking: Talking about what you can do, requests Writing: Applying for a job in a formal email
Class 6	Topic: Life's ups and downs	Speaking: Talking about other people Writing: Writing a short biography
Class 7	Topic: Dates to remember Mid-Term Test	Speaking: Talking about your life Writing: (Mid-Term Test) Writing about a historical character This will be several paragraphs and be formally graded
Class 8	Topic: Eat in or out?	Speaking: Talking about foods Writing: Writing to friends in an informal email
Class 9	Topic: City living	Speaking: Comparing places Writing: Writing about a city
Class 10	Topic: Where on earth are	Speaking: Describing people Writing: Writing a description of someone
Class 11	Topic: Going far	Speaking: Talking about places you went to Writing: Writing a vacation postcard
Class 12	Topic: Never ever	Speaking: Talking about past experiences Writing: Writing about a past holiday
Class 13	Review and Consolidation	Speaking: Practicing scenarios for the exam Writing: Reviewing paragraph composition
Class 14	Speaking and Writing Tests	Speaking: Students will be orally tested in pairs Writing: Students will submit a four paragraph short essay on Hoppi for grading

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Students are expected to review and learn any unfamiliar vocabulary or grammar covered in the class and to preview vocabulary and grammar for the upcoming lesson. In particular, students are to review their paragraph writing assignments and prepare for the mid-term and end-of-term formal writing tasks so that their grammar, syntax, and narrative structure are at the appropriate level.

【テキスト（教科書）】

Students must purchase the required textbook and have it ready for the first class.

American Headway Third Edition, Level 1 Liz and John Soars,
Oxford University Press
ISBN 978-0-19-472565-1

【参考書】

The instructor will provide these.

In addition to the work in the textbook, the instructor will provide supplementary materials as needed/necessary.

【成績評価の方法と基準】

Student evaluation will be based on the following criteria

1. Positive participation in speaking practice: (25%)
2. Mid-term writing test (25%)
3. End-of-term speaking test (25%)
4. End-of-term writing test (25%)

* Students missing more than three classes without adequate explanation cannot pass the course.

* Lateness (more than 5 minutes late, more than two occurrences) without adequate reason will negatively impact grades.

* Chatting in Japanese, non-attention will severely impact grades

* Sleeping in class will result in a non-attendance registered.

【学生の意見等からの気づき】

No changes

【学生が準備すべき機器他】

1. Each student should bring a B5 notebook, sharp pencil, and eraser, and have an electronic dictionary ready.
2. The instructor will explain vocabulary upon request if another student does not know the answer.
3. The use of smartphones for social media, etc. not related to the academic work in the class is strictly prohibited.

【その他の重要事項】

Addressing and Contacting the Instructor

1. Please address the instructor as Mr. Kallender
2. Please always state your first name, family name, class name, and period name.

For Example:

Dear Mr. Kallender,

My name is Taro Suzuki.

I am a student in (English2 I)

I could not attend today /cannot attend tomorrow (etc.) because of a fever.

I will bring a medical certificate next week.

Yours sincerely,

Taro Suzuki

【Outline (in English)】

In the 12 units covered, students will practice speaking and writing exercises covering a range of topics expressing opinions, knowledge and experiences orally in an effective manner and practice in effectively expressing opinions, knowledge and experiences in the written form. Students will practice constructing logically organized paragraphs.

Students will practice in effectively participating in and facilitating simple discussions and/or giving simple presentations and speeches.

While the focus is on speaking and writing, students will develop their skills further through listening and reading exercises.

In-class (immediate) feedback will be given as well as written feedback when necessary on writing tasks

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

PAUL K KALLENDER

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course follows from the first semester. It is comprised of 12 units and two review classes that are designed to enable students to learn, practice and improve their practical abilities to effectively express their opinions, knowledge, and experience both orally and in the written form using more complex grammar. While this is a four skills course including reading and listening exercises, the focus is on further developing speaking and writing skills.

- In speaking, students will interact in practiced and free communicative exercises designed to enable them to speak simple, effective English covering a range of topics.

- For writing, students will learn how to develop writing skills including paragraph structure e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence. Students will be required to learn how to write logically organized paragraphs into two short essays.

【到達目標】

Goals

As well as further practicing and improving reading and listening, the main goals of this course are to provide practical elementary skills in speaking and writing.

Oral:

1. Students will further develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge, and experience both orally and in written form.

Writing:

2. Drawing attention to the basic paragraph structure e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence, students will be required to write several short essays with logically organized paragraphs.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each of the 12 units will contain a series of in-class exercises involving speaking, reading, listening and writing exercises, with an emphasis on speaking and listening. Speaking exercises will be conducted in pairs who are swapped frequently, and in groups of three or four students. Writing exercises will focus on writing single paragraphs in the first half of the semester, and writing a series of paragraphs in the second half of the semester.

The instructor will check the completion of student work, especially writing, in class. The instructor will give verbal feedback and make corrections to student work during each class. If the students have any difficulties, they may contact the instructor via the email address provided.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Course Introduction Topic: Getting to know you	Expectations, grading, class conduct. Speaking: Talking about your friends Writing: Writing about friends
Class 2	Topic: Whatever makes you happy	Speaking: Discussing what is most important to you Writing: Writing about a past experience
Class 3	Topic: What's in the news?	Speaking: Retelling a news story Writing: Building a story
Class 4	Topic: Eat, drink, and be merry!	Speaking: Talking about food habits and restaurants Writing: Writing an email to a friend
Class 5	Topic: Looking forward	Speaking: Talking about life and the future Writing: Writing about future plans
Class 6	Topic: The way I see it	Speaking: Talking about yourself compared to others Writing: Writing about your hometown
Class 7	Topic: Living history Mid-Term Test	Speaking: Talking about adventures Writing: (Mid-Term Test) Writing about a famous person Note: This person must be different from the first semester This will be four paragraphs or longer, and be formally graded
Class 8	Topic: Girls and boys	Speaking: Describing people and outfits Writing: Writing a formal letter
Class 9	Topic: Time for a story	Speaking: Retelling a story/stories from your childhood Writing: Writing about a book or a movie
Class 10	Topic: Our interactive world	Speaking: What do you do on your phone, how you use media Writing: Writing about how you use social media
Class 11	Topic: Life's what you make it!	Speaking: Talking about famous people Writing: Filling in an application form
Class 12	Topic: Just wondering	Speaking: Talking about dilemmas Writing: Your vision for the 21st century
Class 13	Speaking: Talking about dilemmas Writing: Your vision for the 21st century	Speaking: Practicing scenarios for the exam Writing: Reviewing paragraph composition
Class 14	Speaking and Writing Tests	Speaking: Students will be orally tested in pairs Writing: Students will submit a four paragraph short essay on Hoppi for grading

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students are expected to review and learn any unfamiliar vocabulary or grammar covered in the class and to preview vocabulary and grammar for the upcoming lesson. In particular, students are to review their paragraph writing assignments and prepare for the mid-term and end-of-term formal writing tasks so that their grammar, syntax, and narrative structure are at the appropriate level.

【テキスト（教科書）】

Students must purchase the required textbook and have it ready for the first class.

American Headway Third Edition, Level 2 John and Liz Soars,
Oxford University Press
ISBN 978-0-19-472588-0

【参考書】

The instructor will provide these each and every time.

In addition to the work in the textbook, the instructor will provide supplementary materials, references, etc.

【成績評価の方法と基準】

Student evaluation will be based on the following criteria

1. Positive participation in speaking practice: (25%)
2. Mid-term writing test (25%)
3. End-of-term speaking test (25%)
4. End-of-term writing test (25%)

* Students missing more than three classes without adequate explanation cannot pass the course.

* Lateness (more than 5 minutes late, more than two occurrences) without adequate reason will negatively impact grades.

* Chatting in Japanese, non-attention will severely impact grades

* Sleeping in class will result in a non-attendance registered.

【学生の意見等からの気づき】

No changes

【学生が準備すべき機器他】

1. Each student should bring a B5 notebook, sharp pencil, and eraser, and have an electronic dictionary ready.
2. The instructor will explain vocabulary upon request if another student does not know the answer.
3. The use of smartphones for social media, etc. not related to the academic work in the class is strictly prohibited.

【その他の重要事項】

Addressing and Contacting the Instructor

1. Please address the instructor as Mr. Kallender
2. Please always state your first name, family name, class name, and period name.

For Example:

Dear Mr. Kallender,

My name is Taro Suzuki.

I am a student in (English2 I)

I could not attend today /cannot attend tomorrow (etc.) because of a fever.

I will bring a medical certificate next week.

Yours sincerely,

Taro Suzuki

【Outline (in English)】

In the 12 units covered, students will further practice speaking and writing exercises covering a range of topics expressing opinions, knowledge, and experiences orally in an effective manner, and practice in effectively expressing opinions, knowledge, and experiences in the written form. Students will practice constructing short essays of logically organized paragraphs.

Students will practice effectively participating in and facilitating simple discussions and/or giving simple presentations and speeches.

While the focus is on speaking and writing, students will develop their skills further through listening and reading exercises.

In-class (immediate) feedback will be given as well as written feedback when necessary on writing tasks

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
English 2 I	2017年度以降入学者
高橋 佳江	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：土2/Sat.2
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常生活や現代社会のさまざまなトピックについての自分の知識、意見を、口頭および文章で効果的に表現する力を養います。

また関心の高いトピックについて、レベルに応じてプレゼンテーションやスピーチ、ディスカッションなどを行う練習をします。「聞く力」の育成も、授業の一環として行います。

【到達目標】

教科書で学んだ語彙や定型表現を使って、観光や海外旅行での様々な場面で双方向的コミュニケーションができるようになることを目指す。

またナチュラルスピードで話される英語を聞き取ることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、予習を毎回必ず行うことを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書（電子辞書可）、授業用ノートを必ず忘れずに持ってくる。適宜、発表、レポートを課す。対面授業の際はその都度フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	この授業の進め方などを詳しく説明する
2	イントロダクション	基礎的な文法事項の確認
3	第1課 Travel-1	この教科書の使い方 第1課 単語 ディクテーション
4	第1課 Travel-2	リーディング 口頭練習
5	第2課 Jobs and People-1	第1課小テスト 単語 ディクテーション
6	第2課 Jobs and People-2	リーディング 口頭練習
7	第3課 Getting on the Plane-1	第2課単語テスト 単語 ディクテーション
8	第3課 Getting on the Plane-2	リーディング 口頭練習
9	第4課 At the Immigration and Customs-1	第3課小テスト 単語 ディクテーション
10	第4課 At the Immigration and Customs-2	リーディング 口頭練習
11	第5課 At the Airport-1	第4課小テスト 単語 ディクテーション

12	発表 (教科書に関連したもので詳細は授業時に説明)	発表事項について調べる
13	授業時試験	復習と試験
14	予備日	発表、復習など

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。NHK語学講座・単語帳作成・単語・熟語のチェック等など行ってください。

【テキスト（教科書）】

ベーシック観光英語
観光英検センター著 2014年 三修社 2000円
ISBN 978-4-384-33437-1

【参考書】

辞書（電子辞書可）を必ず持ってくる。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60 %
小テスト 10 %
レポート課題・発言点 20 %
平常点 10 %
欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。
遅刻は3回で欠席1回に換算される。
各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

オンライン時でも連絡を密に取りたいです。

【Outline (in English)】

Course outline

The primary objective of this class is to develop students' listening skills and to improve abilities in practical conversations when travelling

Learning Objectives

Students will develop the ability to effectively express their knowledge and opinions, both orally and in writing, on a variety of topics in daily life and contemporary society.

Students will also practice giving presentations, speeches, and discussions on topics of interest to them, depending on their level. Listening skills will also be developed as part of the class.

Learning activities outside of classroom

The standard preparation and review time for this class is one hour.

Please use the NHK language course, make a vocabulary book, check words and phrases, etc.

Grading Criteria/Policy

Final exam 60%

Quiz: 10%.

Report assignment and remarks: 20%.

Ordinary points 10%.

If you are going to be absent, you must submit a report of your absence.

Three tardies will count as one absence.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

高橋 佳江

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常生活や現代社会のさまざまなトピックについての自分の知識、意見を、口頭および文章で効果的に表現する力を養います。

また関心の高いトピックについて、レベルに応じてプレゼンテーションやスピーチ、ディスカッションなどを行う練習をします。「聞く力」の育成も、授業の一環として行います。

【到達目標】

教科書で学んだ語彙や定型表現を使って、観光や海外旅行での様々な場面で双方向的コミュニケーションが口頭および文章でできるようになることを目指す。

またナチュラルスピードで話される英語を聞き取ることを目指す。海外旅行で使う表現を覚えることで、会話のインプット・アウトプットを行う。

ボキャブラリーやフレーズを覚えてパターンプラクティスを行い、英語によるコミュニケーションの幅を広げていく。また、そのために必要な効果的な辞書の使い方を学ぶ。

春学期に引き続きより滑らかにシャドーイングができるようにしていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、予習を毎回必ず行うことを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書（電子辞書可）、授業用ノートを必ず忘れずに持ってくる。適宜、発表、レポートを課す。対面授業の際はその都度フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	秋学期の授業の進め方など
2	第5課 At the Airport-2	リーディング 口頭練習
3	第6課 Hotel (Accommodations)-1	単語 ディクテーション
4	第6課 Hotel (Accommodations)-2	リーディング 口頭練習
5	第7課 Restaurant (Breakfast and Fast Food)-1	第6課小テスト 単語 ディクテーション
6	第7課 Restaurant (Breakfast and Fast Food)-2	リーディング 口頭練習
7	第8課 Sightseeing-1	第7課小テスト 単語 ディクテーション

8	第8課 Sightseeing-2	リーディング 口頭練習
9	第9課 Shopping-1	第8課小テスト 単語 ディクテーション
10	第9課 Shopping-2	リーディング 口頭練習
11	第10課 Transportation-1	第9課小テスト 単語 ディクテーション
12	発表 (英語劇)	発表事項について調べる
13	授業時試験	復習と試験
14	予備日	復習・発表など

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。NHK語学講座・単語帳作成・単語・熟語のチェック等など行ってください。

【テキスト（教科書）】

ベーシック観光英語

観光英検センター著 2014年 三修社 2000円

ISBN 978-4-384-33437-1

【参考書】

辞書（電子辞書可）を必ず持ってくる。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%

小テスト 10%

レポート課題・発言点 20%

平常点 10%

欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。

遅刻は3回で欠席1回に換算される。

各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

オンライン時でも連絡を密に取りたいです。

【Outline (in English)】

Course outline

The primary objective of this class is to develop students' listening skills and to improve abilities in practical conversations when travelling.

Learning Objectives

Students will develop the ability to effectively express their knowledge and opinions, both orally and in writing, on a variety of topics in daily life and contemporary society.

Students will also practice giving presentations, speeches, and discussions on topics of interest to them, depending on their level. Listening skills will also be developed as part of the class.

Learning activities outside of classroom

The standard preparation and review time for this class is one hour.

Please use the NHK language course, make a vocabulary book, check words and phrases, etc.

Grading Criteria/Policy

Final exam 60%

Quiz: 10%.

Report assignment and remarks: 20%.

Ordinary points 10%.

If you are going to be absent, you must submit a report of your absence.

Three tardies will count as one absence.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

HUGH A GRAHAM-MARR

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

To improve English communication skills including work on rhythm, pronunciation, intonation, stress, and vocabulary with a particular focus on helping students better exploit English that they already have but are not yet able to effectively utilize. In terms of listening, this means that in addition to giving listening practice and suggestions as to how students can get more practice outside of class, drawing explicit attention to some of the changes that occur in English with connected speech (how we link sounds, drop sounds, meld sounds, or even add sounds). These are the changes that can make it difficult for students to 'hear' language that they are able to read. In terms of speaking, explicit attention will be drawn to strategies that students can use when they communicate, especially when they may have incomplete understanding: repair strategies, confirmation strategies, engagement strategies, and the like. Speaking practice activities are designed to encourage use of specific strategies.

【到達目標】

Students should be better able to use the English they have in communicative situations, to better 'hear' connected speech that they might have previously had more trouble with, and to be able to use speaking strategies to communicate in situations where they may not have complete understanding.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・ Listening to dialogues, answering comprehension questions, noticing aspects of connected speech, and identifying speaking strategies used
- ・ Pair and group work to practice different speaking strategies. The instructor will walk around the classroom for these, monitoring and occasionally commenting.
- ・ Assignments 1 and 2 are short presentations on video on topics related to those we have looked at. We will use Google classroom for this. Students will receive both marks and comments on the work submitted.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introductions	classroom English
2	Unit 1: Describing schedules	linking sounds /classroom English
3	Unit 2: Describing routines	sentence stress /repeating key information
4	Unit 2: Describing routines cont.	sentence stress /repeating key information
5	Unit 3: Describing objects	disappearing sounds /talking around things
6	Unit 3: Describing objects cont.	disappearing sounds /talking around things

7	Unit 4: Talking about people	blended sounds /involvement
8	Unit 4: Talking about people cont. ASSIGNMENT 1	blended sounds /involvement /REVIEW /ASSIGNMENT 1
9	Unit 5: Describing location	weak vowels /explaining meaning
10	Unit 5: Describing location cont.	weak vowels /explaining meaning
11	Unit 6: Fluency with numbers	word stress /repeating key information
12	Unit 6: Fluency with numbers cont.	word stress /repeating key information
13	Unit 7: Talking about the future	casual English /confirmation
14	SPEAKING AND LISTENING EXAM	ASSIGNMENT 2 /REVIEW exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

There will be a weekly homework listening. Students will also be expected to review material covered in class for 1-2 hours per week, though even more time spent on listening would be ideal.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Communication Spotlight: Pre-Intermediate + handouts

【参考書】

An English to English dictionary

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Homework: 15%

Assignments 1 + 2: 30%

Final Speaking and Listening Exam: 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Will try to be flexible where possible in response to student feedback

【Outline (in English)】

The course will look at different communication areas. Each week there will be a focus on a different aspect of listening in English and on a different speaking strategy. Much of the time in class will be given over to the focused practice of listening and speaking skills.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

HUGH A GRAHAM-MARR

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 土2/Sat.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

To improve English communication skills including work on rhythm, pronunciation, intonation, stress, and vocabulary with a particular focus on helping students better exploit English that they already have but are not yet able to effectively utilize. In terms of listening, this means that in addition to giving listening practice and suggestions as to how students can get more practice outside of class, drawing explicit attention to some of the changes that occur in English with connected speech (how we link sounds, drop sounds, meld sounds, or even add sounds). These are the changes that can make it difficult for students to 'hear' language that they are able to read. In terms of speaking, explicit attention will be drawn to strategies that students can use when they communicate, especially when they may have incomplete understanding: repair strategies, confirmation strategies, engagement strategies, and the like. Speaking practice activities are designed to encourage use of specific strategies.

【到達目標】

Students should be better able to use the English they have in communicative situations, to better 'hear' connected speech that they might have previously had more trouble with, and to be able to use speaking strategies to communicate in situations where they may not have complete understanding.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

- ・ Listening to dialogues, answering comprehension questions, noticing aspects of connected speech, and identifying speaking strategies used
- ・ Pair and group work to practice different speaking strategies. The instructor will walk around the classroom for these, monitoring and occasionally commenting.
- ・ Assignments 1 and 2 are short presentations on video on topics related to those we have looked at. We will use Google classroom for this. Students will receive both marks and comments on the work submitted.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Unit 8: things you did	disappearing sounds / involvement
Week 2	Unit 8: things you did cont.	disappearing sounds / involvement
Week 3	Unit 9: introducing places	sentence stress / backchanneling
Week 4	Unit 9: introducing places cont.	sentence stress / backchanneling
Week 5	Unit 10: story telling	weak vowels /paraphrasing

Week 6	Unit 10: story telling cont.	weak vowels /paraphrasing
Week 7	Unit 11: fluency with numbers	understanding tone / confirmation
Week 8	Unit 11: fluency with numbers cont. ASSIGNMENT 1	understanding tone / confirmation /REVIEW
Week 9	Unit 12: describing jobs	disappearing sounds /asking for help
Week 10	Unit 12: describing jobs cont.	disappearing sounds /asking for help
Week 11	Unit 13: talking about experiences	guessing meaning / paraphrasing
Week 12	Unit 13: talking about experiences cont.	guessing meaning / paraphrasing
Week 13	Unit 14: asking for infor / ASSIGNMENT 2	compensation /asking wh- and yes/no questions / REVIEW
Week 14	SPEAKING AND LISTENING EXAM	exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

There will be a weekly homework listening. Students will also be expected to review material covered in class for 1-2 hours per week, though even more time spent on listening would be ideal.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Communication Spotlight: Pre-Intermediate (publisher Abax)

【参考書】

An English to English dictionary

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Homework: 15%

Assignments 1 + 2: 30%

Final Speaking and Listening Exam: 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Will try to be flexible where possible in response to student feedback

【学生が準備すべき機器他】

None

【Outline (in English)】

To improve English communication skills including work on rhythm, pronunciation, intonation, stress, and vocabulary with a particular focus on helping students better exploit English that they already have but are not yet able to effectively utilize. In terms of listening, this means that in addition to giving listening practice and suggestions as to how students can get more practice outside of class, drawing explicit attention to some of the changes that occur in English with connected speech (how we link sounds, drop sounds, meld sounds, or even add sounds). These are the changes that can make it difficult for students to 'hear' language that they are able to read. In terms of speaking, explicit attention will be drawn to strategies that students can use when they communicate, especially when they may have incomplete understanding: repair strategies, confirmation strategies, engagement strategies, and the like. Speaking practice activities are designed to encourage use of specific strategies.

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
English 2 I		2017年度以降入学者
永井 大輔		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：土2/Sat.2		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語による意思疎通や議論に参加するために必要となる基礎的技術の習得を目指します。

身近な話題や現代における問題を扱った教材に含まれる読み物や映像の情報をベースに、受講者同士が英語で自身の考えを示しながら議論し、最終的には簡単なプレゼンテーションの準備をします。

【到達目標】

- ・ある程度自分の考えを英語で伝えることができると同時に、相手の考えを英語で聞き取ることができるようにする
- ・英語のプレゼンテーションをある程度理解し、内容と構成を整理して、メモをとること(notetaking)ができる
- ・パラグラフを基本単位とするプレゼンテーションやエッセイの構成を理解し、説得力のある短い文章を作成することができる
- ・簡単なプレゼンテーションを、聞き手が理解しやすい英語で行なうことができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 各授業回は、教科書およびそれに付随する教材（TED Talks）をベースに進めていきます。
- ・リスニング、ノートテイキング、スピーキング（発音含む）、プレゼンテーションに関するさまざまなスキルについてのコラムを、受講生に内容確認しながら説明します。
 - ・教科書の各設問について、受講生の中から無作為に指名し、答えを回答してもらいます。
 - ・教科書でディスカッションの指示がある場合、ペアもしくはグループでディスカッションし、その中から無作為に指名し、内容を回答してもらいます。
 - ・ノートテイキングで作成したメモやプレゼンテーションの資料（アウトライン、スクリプト、VAなど）は課題として提出します。
 - ・提出された課題の一部については、次の授業回で言及し、クラス全体にフィードバックします。
 - ・グループもしくは個人での英語プレゼンテーションの機会を学期中に2回以上設けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	シラバス内容およびそれ以外の事項について説明する（あるいは検討する）ほか、次回以降の予習や課題についても話すので、必ず出席してください。当然のことながら出席にカウントされます。
2	Independent Student Handbook	教科書の構成やISHの解説
3	Unit 1: Team Success	A: VOCABULARY B: VIEWING
4	Unit 1: Team Success	C: LANGUAGE D: COMMUNICATION

5	Unit 1: Team Success	E: VOCABULARY F: VIEWING
6	Unit 1: Team Success	G: CRITICAL THINKING H: PRESENTATION outlineの準備 scriptの準備
7	Unit 1: Team Success	
8	Unit 1: Team Success	Individual presentation
9	Unit 2: The Power of One	A: VOCABULARY B: VIEWING
10	Unit 2: The Power of One	C: LANGUAGE D: COMMUNICATION
11	Unit 2: The Power of One	E: VOCABULARY F: VIEWING
12	Unit 2: The Power of One	G: CRITICAL THINKING H: PRESENTATION outlineの準備 scriptの準備
13	Unit 2: The Power of One	
14	Unit 2: The Power of One	Individual presentation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。授業は事前に教科書を十分予習したことを前提として進めます。教科書で正答を選ぶだけでは十分な予習とは見なされません。見慣れぬ／聞き慣れぬ語彙やフレーズは積極的に調べてノートするようにします。

語彙は必ず音声とセットで覚えるようにします。そうでないと語彙がリスニング問題にまったく役立ちません。したがって音声データの利用は必須であり、利用しているという前提で授業への参加度を評価していきます。

【テキスト（教科書）】

Laurie Blass and Lida Baker, 21st Century Communication, Second Edition: Listening, Speaking, and Critical Thinking, Student Book Split 1A (Cengage Learning, 2023), ¥ 2,700+税, ISBN:9798214326122

【注意】必ずSecond Editionであることを確認して下さい。

授業時には、必ず紙媒体もしくは専用装置型の英和辞典もしくは英英辞典を持参して下さい（つまりWeb辞書・辞書アプリ以外）。

【参考書】

TED Talks (TED公式サイト) : <https://www.ted.com/talks>
教科書で扱うTED Talksのフルバージョンを視聴できます。英語・日本語を含む各国語の字幕も表示可能であり、自主学習の際のリスニングの内容確認に有用です。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への取り組み）：60%

- ・受け答えにおいて予習・復習を踏まえた発言ができているか
 - ・グループやペアの活動・議論に積極的に参加し、貢献しているか
 - ・明瞭かつ正確な英語の発音ができているか
- 提出課題：20%
- ・アウトライン
 - ・スクリプト
 - ・VA
 - ・その他

プレゼンテーションの完成度：20%

- ・構成
- ・英語（正確な英語およびUnitごとに課される表現の使用）
- ・事実に照らして妥当であり、十分な説得力をもつ内容か
- ・聞き手の理解を助ける工夫

欠席および遅刻について

学期中に4回欠席した受講生は単位取得資格を失います。遅刻は累積3回で欠席1回と同等の扱いとします。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられます。30分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとします。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となります。

不正について

各課題においてコピー、他受講者の引き写し、著作物の剽窃（生成AIの使用を含む）、機械翻訳を行なったことが発覚した場合、該当授業回の評価は取り消されます。複数回の不正が発覚した場合は、単位取得資格を停止します。複数の受講生が関与した場合、全員同様の対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

課題のスケジュールをより規則的に管理します。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出や補助教材の配布、その他教員とのやりとりは学習支援システムおよび大学アカウントのEメールで行なわれます。

【Outline (in English)】

Course outline:

In this course, students will improve their skills in English (i.e. listening, writing, and speaking) through notetaking and group/individual presentations on everyday topics or current issues.

Learning Objectives:

Students are expected to master some English communication skills (speaking and listening); understand the structures and contents of presentations given in English; learn how to write logically coherent and persuasive paragraphs according to basic structures of the English essay; give well-structured presentations in plain English.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to review and prepare for each lesson, which will require more than one hour. In their preparation, they should try to look up unfamiliar words and phrases; listen to the audio materials on Resources page of this class in Hoppii; carefully watch the relevant videos on TED website.

Grading Criteria/Policy:

Class contribution: 60%, Assignments: 20%, Presentations: 20%. Students with four absences will be disqualified. Being late for three times will be counted as one absence.

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
English 2 II	2017年度以降入学者
永井 大輔	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：土2/Sat.2	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語による意思疎通や議論に参加するために必要となる基礎的技術の習得を目指します。

身近な話題や現代における問題を扱った教材に含まれる読み物や映像の情報をベースに、受講者同士が英語で自身の考えを示しながら議論し、最終的には簡単なプレゼンテーションの準備をします。

【到達目標】

- ・ある程度自分の考えを英語で伝えることができると同時に、相手の考えを英語で聞き取ることができるようにする
- ・英語のプレゼンテーションをある程度理解し、内容と構成を整理して、メモをとること(notetaking)ができる
- ・パラグラフを基本単位とするプレゼンテーションやエッセイの構成を理解し、説得力のある短い文章を作成することができる
- ・簡単なプレゼンテーションを、聞き手が理解しやすい英語で行なうことができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各授業回は、教科書およびそれに付随する教材（TED Talks）をベースに進めていきます。

- ・リスニング、ノートテイキング、スピーキング（発音含む）、プレゼンテーションに関するさまざまなスキルについてのコラムを、受講生に内容確認しながら説明します。
- ・教科書の各設問について、受講生の中から無作為に指名し、答えを回答してもらいます。
- ・教科書でディスカッションの指示がある場合、ペアもしくはグループでディスカッションし、その中から無作為に指名し、内容を回答してもらいます。
- ・ノートテイキングで作成したメモやプレゼンテーションの資料（アウトライン、スクリプト、VAなど）は課題として提出します。
- ・提出された課題の一部については、次の授業回で言及し、クラス全体にフィードバックします。
- ・グループもしくは個人での英語プレゼンテーションの機会を学期中に2回以上設けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション Unit 3: Big Decisions	今学期の授業計画の確認 A: VOCABULARY
2	Unit 3: Big Decisions	B: VIEWING C: LANGUAGE
3	Unit 3: Big Decisions	D: COMMUNICATION E: VOCABULARY
4	Unit 3: Big Decisions	F: VIEWING G: CRITICAL THINKING
5	Unit 3: Big Decisions	H: PRESENTATION outlineの準備
6	Unit 3: Big Decisions	scriptの準備

7	Unit 3: Big Decisions	Individual presentation
8	Unit 4: Changed by Technology	A: VOCABULARY B: VIEWING
9	Unit 4: Changed by Technology	C: LANGUAGE D: COMMUNICATION
10	Unit 4: Changed by Technology	E: VOCABULARY F: VIEWING
11	Unit 4: Changed by Technology	G: CRITICAL THINKING H: PRESENTATION outlineの準備
12	Unit 4: Changed by Technology	outlineの準備
13	Unit 4: Changed by Technology	scriptの準備
14	Unit 4: Changed by Technology	Group presentation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。授業は事前に教科書を十分予習したことを前提として進めます。教科書で正答を選ぶだけでは十分な予習とは見なされません。見慣れぬ／聞き慣れぬ語彙やフレーズは積極的に調べてノートするようにします。

語彙は必ず音声とセットで覚えるようにします。そうでないと語彙がリスニング問題にまったく役立ちません。したがって音声データの利用は必須であり、利用しているという前提で授業への参加度を評価していきます。

【テキスト（教科書）】

Laurie Blass and Lida Baker, 21st Century Communication, Second Edition: Listening, Speaking, and Critical Thinking, Student Book Split 1A (Cengage Learning, 2023), ¥ 2,700+税, ISBN:9798214326122

【注意】必ずSecond Editionであることを確認して下さい。

授業時には、必ず紙媒体もしくは専用装置型の英和辞典もしくは英英辞典を持参して下さい（つまりWeb辞書・辞書アプリ以外）。

【参考書】

TED Talks (TED公式サイト) : <https://www.ted.com/talks>

教科書で扱うTED Talksのフルバージョンを視聴できます。英語・日本語を含む各国語の字幕も表示可能であり、自主学習の際のリスニングの内容確認に有用です。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への取り組み）：60%

- ・受け答えにおいて予習・復習を踏まえた発言ができているか
- ・グループやペアの活動・議論に積極的に参加し、貢献しているか
- ・明瞭かつ正確な英語の発音ができているか

提出課題：20%

- ・アウトライン
- ・スクリプト
- ・VA
- ・その他

プレゼンテーションの完成度：20%

- ・構成
- ・英語（正確な英語およびUnitごとに課される表現の使用）
- ・事実に照らして妥当であり、十分な説得力をもつ内容か
- ・聞き手の理解を助ける工夫

欠席および遅刻について

学期中に4回欠席した受講生は単位取得資格を失いません。遅刻は累積3回で欠席1回と同等の扱いとします。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられます。30分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとします。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となります。

不正について

各課題においてコピー、他受講者の引き写し、著作物の剽窃（生成AIの使用を含む）、機械翻訳を行なったことが発覚した場合、該当授業回の評価は取り消されます。複数回の不正が発覚した場合は、単位取得資格を停止します。複数の受講生が関与した場合、全員同様の対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

課題のスケジュールをより規則的に管理します。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出や補助教材の配布、その他教員とのやりとりは学習支援システムおよび大学アカウントのEメールで行なわれます。

【Outline (in English)】

Course outline:

In this course, students will improve their skills in English (i.e. listening, writing, and speaking) through notetaking and group /individual presentations on everyday topics or current issues.

Learning Objectives:

Students are expected to master some English communication skills (speaking and listening); understand the structures and contents of presentations given in English; learn how to write logically coherent and persuasive paragraphs according to basic structures of the English essay; give well-structured presentations in plain English.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to review and prepare for each lesson, which will require more than one hour. In their preparation, they should try to look up unfamiliar words and phrases; listen to the audio materials on Resources page of this class in Hoppii; carefully watch the relevant videos on TED website.

Grading Criteria/Policy:

Class contribution: 60%, Assignments: 20%, Presentations: 20%. Students with four absences will be disqualified. Being late for three times will be counted as one absence.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

JAMES O ESSEX

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、英語の短編小説を題材にしたディスカッションと筆記を行います。毎週、異なる英語短編小説を取り上げ、同学科のライティング・ハンドブックと並行して学習します。英語のパラグラフやエッセイが上手に書けるようになり、自分の考えやアイデア、意見を口頭で表現できるようになるための指導を行います。

自分の意見、知識、経験を口頭と文章の両方で効果的に表現する能力を養う。トピックセンテンス、サポートセンテンス、結論センテンスなどの基本的な段落構成に注意しながら、論理的に構成された段落の書き方を学び、複数の段落からなる小論文の書き方を学びます。生徒の英語レベルに応じて、ディスカッションへの効果的な参加や進行の仕方、プレゼンテーションやスピーチの仕方を学びます。また、効果的なリスニングスキルの習得も目指します。

【到達目標】

Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Drawing attention to the basic paragraph structure e.g. topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence, students will be required to learn how to write a logically organized paragraph, and then to write a short essay with multiple paragraphs. Students will learn how to effectively participate in and facilitate discussions and/or give presentations and speeches, depending on their English levels. The course will also help students acquire effective listening skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This class will be a mix of lecture and group discussion. Although the language of the lectures is English, the professor will explain clearly and concisely to ensure students' maximum understanding. The professor will also use Powerpoint slides. Feedback on assignments/performance etc will be provided either in written or verbal form in the classroom, or through Hoppii.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 of 14	Orientation The Writer's Handbook Group discussions	- Course explanation and overview - Explanation of key terms: plot, character, setting, theme and style. - Introduction to reading strategies for English short stories. - Brief introduction to the history of the short story. Homework in preparation for next class: Read "The Gift of the Magi" by O. Henry.

2 of 14	Plot and Structure: Understand plot and narrative techniques. The Writer's Handbook Group discussions	- Discuss "The Gift of the Magi". Explanation of plot elements: exposition, rising action, climax, falling action, resolution. - Group activity: Create a plot diagram for "The Gift of the Magi". Homework in preparation for next class: Read "A Good Man is Hard to Find" by Flannery O'Connor.
3 of 14	Character and Characterisation: Analyse characters and methods of characterisation. The Writer's Handbook Group discussions	- Discuss "A Good Man is Hard to Find". - Explanation of character types: protagonist, antagonist, flat, round, dynamic, static. - Group activity: Character analysis of the main characters. Homework in preparation for next class: Read "Harrison Bergeron" by Kurt Vonnegut.
4 of 14	Setting and atmosphere: Explore the importance of setting and atmosphere in a short story. The Writer's Handbook Group discussions	- Discuss "Harrison Bergeron". - Explanation of setting, time, place, social environment. - Group activity: Analyse the setting and atmosphere of "Harrison Bergeron". Homework in preparation for next class: Read "The Lottery" by Shirley Jackson.
5 of 14	Theme and symbolism: Identify and interpret themes and symbols. The Writer's Handbook Group discussions	- Discuss "The Lottery". - Explanation of theme and symbolism. Group activity: Identify themes and symbols in "The Lottery". Homework in preparation for next class: Read "The Yellow Wallpaper" by Charlotte Perkins Gilman.
6 of 14	Point of View and Narration: Understand different points of view and their effects. The Writer's Handbook Group discussions	- Discuss "The Yellow Wallpaper". - Explanation of narrative perspectives: first person, third person (limited, omniscient). - Group activity: Analyse the narrative perspective of "The Yellow Wallpaper". Homework in preparation for next class: Read "Cathedral" by Raymond Carver.
7 of 14	Style and Tone: Analyse the author's style and tone. The Writer's Handbook Group discussions	- Discuss "Cathedral". - Explanation of style and tone. - Group activity: Examine style and tone in "Cathedral". Homework in preparation for next class: Read "Everyday Use" by Alice Walker

8 of 14	Literary Analysis Techniques: Apply literary analysis techniques to short stories. The Writer's Handbook Group discussions	- Discuss "Everyday Use". - Explanation of literary analysis techniques. - Group activity: Conduct a literary analysis of "Everyday Use". Homework in preparation for next class: Read "A Very Old Man with Enormous Wings" by Gabriel Garcia Marquez.
9 of 14	Historical and Cultural Contexts: Understand the influence of historical and cultural contexts on short stories, The Writer's Handbook Group discussions	- Discuss how historical and cultural contexts shape short stories. - Case study: "A Very Old Man with Enormous Wings" Homework in preparation for next class: Read "The Tell-Tale Heart" by Edgar Allan Poe.
10 of 14	Psychological and Social Themes: Analyse psychological and social themes. The Writer's Handbook Group discussions	- Discuss "The Tell-Tale Heart". - Exploration of psychological and social themes. - Group activity: Analyse the psychological themes in "The Tell-Tale Heart". Homework in preparation for next class: Review your lecture notes
11 of 14	Review, consolidation and wrap-up. The Writer's Handbook Group discussions	Students will be given the opportunity to review the week's lectures, and their corresponding class notes in preparation for the final report.
12 of 14	Essay topic selection and type (compare/contrast, definition, narrative etc) Group discussions	Students will be guided in deciding a theme for their essay (in response to one of the short stories read this semester), and its type
13 of 14	Final paragraph submission	Students should submit their final paragraph by the end of the lesson.
14 of 14	Group discussion final exam	Students will discuss the exam question in groups.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Homework will be assigned every week, and students are expected to spend a minimum of one hour/week on this. This homework will both help to prepare students for the subsequent lesson and help them to consolidate their knowledge and understanding of the previous lesson. In addition, students are expected to review their class notes each week.

【テキスト（教科書）】

No textbook is required: materials will be provided either through Hoppii or distributed in the classroom.

【参考書】

No reference books are required.

【成績評価の方法と基準】

Participation 50%

Final paragraph 25%

Group discussion final exam 25%

Please note 4% will be deducted for every class you are unable to participate in. Please note also that medical receipts/doctors' letters etc do not excuse absences, they merely explain them. Students will be unable to pass the class if they are absent 4+ times (for any reason).

Rubrics will be provided for both the final paragraph and group discussion in order to ensure objective grading.

【学生の意見等からの気づき】

Following student comments and feedback from previous summer intensive courses and personal reflections, I have overhauled my syllabus and made improvements.

【学生が準備すべき機器他】

Students need to prepare:

- a notebook specifically for this class

- a pen or pencil

- a dictionary (preferably not a smartphone app)

【その他の重要事項】

Students are discouraged from using AI tools for understanding the stories in this class, and for completing homework assignments.

Many students automatically sit at the back of the room. I plan on using the projector intensively. Please sit where you can see the screen easily (and I can see you!).

Above all, I hope you enjoy my course, and that you can take something away from it that will benefit you long after you complete it.

【None】

No pre-requisite.

【Outline (in English)】

The written assignments and discussions you undertake in this class will be in response to English short stories. Each week, students will look at a different English short story, alongside the department's writing handbook. Instruction will be provided that enables students to become better writers of English paragraphs and essays, and better able to express their thoughts, ideas and opinions orally.

LANe100LA (英語 / English language education 100)			3 of 14	Character Development Writing handbook	- Read "Thank You, Ma'am" by Langston Hughes - Group discussion: Analyze character traits and motivations - Create a character profile for the main character of your short story
English 2 II			4 of 14	Setting and Atmosphere Writing handbook	- Read A Worn Path by Eudora Welty - Discussion: How does the setting influence the story's atmosphere and character decisions? - Workshop: Write a descriptive paragraph of the setting for your story.
JAMES O ESSEX			5 of 14	Theme and Message Writing handbook	- Read The Lottery Ticket by Anton Chekhov - Discussion: Identifying the theme and its relevance to society - Group activity: Brainstorm themes for your short stories
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：土2/Sat.2 単位数：1単位 その他属性：			6 of 14	Point of View Writing handbook	- Read Girl by Jamaica Kincaid AND Hills Like White Elephants by Ernest Hemingway - Discussion: How does the point of view influence the reader's perception? - Workshop: Write the opening paragraph of their story using a chosen point of view.
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 このコースは、前学期で学んだスキルを基礎としています。このクラスでは、英語の短編小説（前学期で使用したものと異なります）に対して、筆記（パラグラフ）と口頭（ディスカッション）の課題を行います。毎週、異なる英短編を取り上げます。前セメスターでは、受講生は短編小説の一つを基にパラグラフを完成させ、その週の短編小説を基に毎週グループ・ディスカッションを行いました。今学期は、より創造的な基準が設けられた。グループ・ディスカッションに加え、(i)自分の短編小説を書くこと、(ii)その短編小説の解説・分析をすることが求められる。さらに、学期末には自分の短編小説についてディスカッションする機会も与えられる。			7 of 14	Dialogue Writing handbook	- Read A Temporary Matter by Jhumpa Lahiri - Analyze how dialogue reveals character and subtext - Workshop: Write a dialogue exchange between two characters in your short story
【到達目標】 The primary goal of this course is for students to become better writers of English (creative writing by way of a short story and academic writing by way of an accompanying commentary), and to become better able to express their thoughts/ideas/opinions in group discussions. The second aim is for students to gain a better understanding of and appreciation for, English short stories. Such short stories will provide the stimuli about which students' paragraphs and essays will be composed.			8 of 14	Conflict and Tension Writing handbook	- Read The Rocking Horse Winner by D.H. Lawrence - Discussion: Types of conflict (internal vs. external) - Outline the central conflict of your story
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1			9 of 14	Revising the First Draft	- Peer review: Exchange and critique first drafts - Group discussion: Giving constructive feedback - Revise the draft based on feedback
【授業の進め方と方法】 This class will be a mix of lecture and group discussion. Although the language of the lectures is English, the professor will explain clearly and concisely to ensure students' maximum understanding. The professor will also use Powerpoint slides. Feedback on assignments will be given orally in the classroom or in written form through Hoppii.			10 of 14	Symbolism and Imagery Writing handbook	- Read The Garden Party by Katherine Mansfield - Analyze the use of symbols and imagery - Add symbolic elements to your short stories
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり / Yes			11 of 14	Tone and Style Writing handbook	- Read The Storm by Kate Chopin - Discussion: How tone and style shape the reader's experience - Workshop: Experiment with tone in a key scene
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1 of 14	Introduction to Short Stories Writing handbook	- Icebreaker: Share favourite stories in small groups. - Lecture: Key elements of short stories (plot, character, setting, theme, point of view). - Reading: The Necklace by Guy de Maupassant (focus on plot structure).			
2 of 14	Plot and Structure Writing handbook	- Review and discuss summaries of The Necklace. - Read and discuss A Sound of Thunder by Ray Bradbury (focus on plot twists and resolution). - Small group activity: Map the plot structure			

12 of 14	Title and Opening Writing handbook	- Read memorable opening lines from short stories - Workshop: Revise the opening paragraph and create a title for your short story
13 of 14	Endings and Closure Writing handbook	- Read The Shawl by Cynthia Ozick - Discussion: What makes a strong ending? - Workshop: Develop the ending for the your short story
14 of 14	Submission of short story and commentary/analysis/self-reflection	Students are to submit their short story and accompanying commentary/analysis/self-reflection by the end of the lesson

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Homework will be assigned every week, and students are expected to spend a minimum of one hour/week on this. This homework will both help to prepare students for the subsequent lesson and help them to consolidate their knowledge and understanding of the previous lesson. In addition, students are expected to review their class notes each week.

【テキスト（教科書）】

No textbook. Materials will be provided.

【参考書】

No additional references.

【成績評価の方法と基準】

Participation: 20%

Short Story: 30%

Commentary; 30%

Discussions:20%

Please note 4% will be deducted for every class you are unable to participate in. Please note also that medical receipts/doctors' letters etc do not excuse absences, they merely explain them. Students will be unable to pass the class if they are absent 4+ times (for any reason).

Rubrics will be used to ensure objective grading of writing and discussion tasks.

【学生の意見等からの気づき】

Following student comments and feedback from previous summer intensive courses and personal reflections, I have overhauled my syllabus and made improvements.

【学生が準備すべき機器他】

Students need to prepare:

- a notebook specifically for this class

- a pen or pencil

- a dictionary (preferably not a smartphone app)

【Prerequisite】

None

【Outline (in English)】

This course builds on the skills learnt in the previous semester. The written (paragraphs) and oral (discussion) assignments you complete in this class will be in response to English short stories (which are different to those used in the previous semester). Each week, students will look at a different English short story. In the previous semester, students completed paragraphs based on one of the short stories they were exposed to, and weekly group discussions based on that week's short story. This semester, the criteria is somewhat more creative. In addition to continuing the group discussion tasks, students will be required to (i) write their own short story and (ii) a commentary/analysis of their short story. In addition, students will be given opportunities to discuss their own short stories at the end of the semester.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The course will develop student's ability to communicate in Spoken and Written English. Students will be able to discuss topics and practice skills including: Asking for and giving opinions, Giving reasons and Asking questions. Students will also practice techniques to maintain a conversation. Students will also practice using voice modulation to help communicate content words in an on-line presentation. In addition, students will practice writing paragraphs in an academic style using: Topic sentences with main idea, Supporting ideas with Details and Conclusion. Students will practice using contemporary meeting and presentation applications to achieve the goals.

【到達目標】

This course will enable the student to communicate his/her thoughts, in written format and spoken language, to a given audience. The course will cover paragraph development and organization. Students will be encouraged to express their opinions in spoken English giving reasons and asking questions.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will participate in pair and group activities to practice reading, speaking and listening skills. Students will practice writing logically organized paragraphs using the basic paragraph structure: Topic sentence, Supporting sentences, Conclusion.

We will watch some short on-line video presentations to compare the spoken format to the written format.

All assignments will be issued, submitted and returned in digital format via Google Classroom. All written assignments will be returned with detailed comments showing how students can improve their writing skills. We will use Artificial Intelligence applications (OpenAI, Gemini, Pilot etc.) to generate written assignments and analyze the results.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction of Course /Google Classroom /Policies.	Introduction of English Writing, assignments and assessment.
2.	Vacations	Vocabulary of vacations and small group discussion. Giving an opinion.
3.	Vacations: Listening	Listening to expressions to give an opinion. Shadowing with Audio and Text.
4.	Vacations: Group Discussion	Small group discussion and planning a vacation

5.	Vacations: Writing	Basic paragraph structure using Adjectives: Topic Sentence, Supporting ideas, Concluding sentence.
6.	Part-Time jobs:	Vocabulary and discussion of part-time jobs.
7.	Part time jobs: Listening	Listening to expressions to give reasons. Shadowing with Audio and Text.
8.	Part time jobs: Group discussions	Small group discussions and giving advice about part time jobs. Negative and Tag Questions
9.	Part time jobs: Writing	Vocabulary and discussion of future actions. Introduce Clancy presentation.
10.	Hopes and Dreams:	Audio and Text. Closed/Open/ Choose/Negative/Tag questions.
11.	Hopes and dreams: Listening. Contrast structures.	Introduce ChatGPT and other AI Text generators. Write instructions to create a Contrast Paragraph about Clancy.
12.	Hopes and Dreams: Group discussion	Discussion of future plans. Prepare a paragraph.
13.	Hopes and Dreams: Writing	Group Presentations with Metre and Rhythm.
14.	BBC Ideas Video	Watch a BBC Ideas video and complete a worksheet.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

2 Homework assignments writing different styles of paragraph.

All assignments must be written in digital format and submitted via Google Classroom.

Students must complete an on-line word puzzle (Wordle) assignment at least 8 times and submit the results.

Students must complete a weekly assignment of 75 Experience Points (XP).

Students will be required to work in groups of 3 or 4 to prepare a spoken presentation of a popular poem to practice Rhythm and Metre in speech.

To assist in providing feedback, Google Docs format is required. Students will be required to preview the lyrics of 6 short ballads and complete a short multiple choice worksheet.

【テキスト（教科書）】

The English Course "Discussion Book One", Gary Ireland and Max Woolerton. Available on-line from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the カタログ and search for DB1. A CD is not required but you might like to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company ¥ 3000 to access The Study Centre. Also available at the bookshop on campus.

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Written Homework Assignment:20%

Worksheet Assignments:10%

Participation: 10%

On-line Tests: 12%

On-line Exercises/Tasks: 12%

Duolingo Activity: 14%

Group Presentation: 12%

Word Games: 10%

Attendance: In Principle: no more than 3 absences are allowed to achieve a Credit grade for this course.

【学生の意見等からの気づき】

Changes made to include use of new technology: Generative Artificial Intelligence and Language Acquisition applications.

【学生が準備すべき機器他】

A portable electronic device, laptop or tablet is best. Smartphones are only acceptable for unavoidable situations. Hosei Gmail account details will be required. We will use Hosei University wi-fi service.

【その他の重要事項】

We will use Google “Classroom” to send, submit and record Written and Worksheet assignments. Students will be required to join the subject using Google “Classroom”. Please download Google Classroom to your device before our first class. The “Classroom” Course code will be advised, via the university Hoppii system, in April. Students are expected to check their Hosei Gmail account at least once per week.

【Outline (in English)】

The course will develop student's ability to communicate in Spoken and Written English. Students will be able to discuss topics and practice skills including: Asking for and giving opinions, Giving reasons and Asking questions. Students will also practice techniques to maintain a conversation. Students will also practice using voice modulation to help communicate content words in an online presentation. In addition, students will practice writing paragraphs in an academic style using: Topic sentences with: Main idea, Supporting ideas with Details and a Conclusion. Students will practice using contemporary meeting and presentation applications to achieve the goals.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will participate in pair and group activities to practice speaking and presentation skills. Students will prepare a short essay with multiple paragraphs that have unity and cohesion. Students will be able to generate and analyze an Academic style essay.

【到達目標】

Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in the written form.

Students will learn how to effectively participate in and facilitate discussions through: 1) Asking for and giving opinions, 2) Agreeing and Disagreeing and 3) supporting their reasons. Students will also practice making on-line presentations and speeches using contemporary software applications. The course will also help students acquire effective listening skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Listening and speaking: Students will be required to participate in pair and group discussions of issues related to their everyday opinions, knowledge and experience.

Writing: Students will be taught the basic structure of Academic-style essays: Grammatical devices will be taught, as appropriate, for different paragraph types to achieve Unity. Students will generate an essay and analyze it to identify: an Introduction and Thesis statement, 2-3 body paragraphs and a Concluding paragraph.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Introduction of goals for semester 2.	Review of Semester 1 Objectives and achievements. Join Classroom
Class 2	Eating Out: Understanding Criteria	Small group discussion. Vocabulary for criteria
Class 3	Eating Out.	Listening and shadowing. Where does English come from?
Class 4	Eating out.	Group task: Grade a restaurant using criteria. Why is English the International language of Trade?
Class 5	Eating Out.	Writing: Prepare an Essay outline about a Topic.

Class 6	Family: Agreeing and Disagreeing	Small group discussions. Essay Structure Introduction, Body Conclusion Thesis statement
Class 7	Family	Listening and Shadowing. Ballad Groups: Prepare a ballad presentation
Class 8	Family.	Using expressions for agreeing and disagreeing. Ballad preparation
Class 9	Family:	Role Play a family problem. Writing: Cohesive Body paragraphs
Class 10	Interests: Supporting your reasons.	Small group discussions and Vocabulary. Ballad Presentation preparation.
Class 11	Interests	Listening and shadowing. Using supporting sentences in speech and writing.
Class 12	Interests	Writing: Conclusion paragraphs. Final Ballad Preparation
Class 13	Presentation	Groups present their Ballad Presentations to the class.
Class 14	Final Presentations and Review	Groups present their Ballad Presentations to the class.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students will be required to generate an Academic Essay and then identify the components of each paragraph. Students will then condense the Essay to an outline and check it for unity.

Students will be required to complete a series of word puzzles to develop their vocabulary.

Students will be required to complete online Tests and Exercises for each Unit of the text that is completed.

Students will prepare a presentation of a Ballad of their choice in small groups.

Students will be required to complete about 30 minutes of online English practice each week.

【テキスト（教科書）】

The English Course "Discussion Book One" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the カタログ and search for DB1. A CD is not required but you might like to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company ¥ 3,000 to access The Study Centre.

【参考書】

To be advised during course

【成績評価の方法と基準】

Homework written assignments: 20%

On-line Tests: 12%

Online Exercises/Tasks: 12%

Participation: 10%

Presentation: 12%

Video Worksheets: 10%

Vocabulary puzzles: 10%

On-line English practice: 14%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

2022: New Text-book and course structure. More focus on speaking.

2023: Practice using Generative Artificial Intelligence applications. Word puzzles to develop vocabulary.

2024: Added on-line English practice (Duolingo).

【学生が準備すべき機器他】

A tablet or laptop device is strongly encouraged (Smartphones are only acceptable in unplanned situation). Students should have access to Japanese-English and English-English e-dictionaries or Wikipedia. Paper and pens/pencils are rarely required.

【その他の重要事項】

We will use "Google Classroom" to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using "Google Classroom". Please download "Google Classroom" from the Google store before the first lesson. The Course code for the class will be advised via the university Learning Management System.

【Outline (in English)】

Students will participate in pair and group activities to practice speaking and presentation skills. Students will prepare a short essay with multiple paragraphs that have unity and cohesion. Students will be able to generate and analyze an Academic style essay.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

Richard J Burrows

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Through a variety of stimulating topics and a number of different writing techniques, students will be challenged to improve their compositional skills to a satisfactory academic level.

【到達目標】

To produce competent written assignments in English, students need to be able to generate ideas & organize them on paper, create the various paragraph types that are used in writing assignments and order & link paragraphs into cohesive & coherent essays. This course will provide students with a variety of stimulating writing tasks, plenty of practice to help students master each stage of the writing process & models of writing that are based on real assignments. In addition to format, grammar & punctuation review, students will be helped through the transition from paragraph structuring to basic essay composition.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will cover a separate writing skill, grammatical structures & vocabulary required.

Students will be able to read samples before practicing various writing tasks.

Writing assignments will be set as homework and must either be uploaded, or printed on A4 paper before the deadline.

Individual reports will be checked & graded by the instructor & returned to each student on a one-to-one basis with additional comments or advice.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductory Class	Textbook introduction, required material guidance and class schedule. Pairwork self-introductions.
Week 2	Writing - Format & Process	Essential features of an academic report layout & the thought process of writing an essay
Week 3	Writing - Pre-Writing	Topic selection, brainstorming & editing.
Week 4	Writing - The Structure of a Paragraph	Topic sentence, supporting points & concluding sentence
Week 5	Writing - The Development of a Paragraph	Using details, an explanation or an example to construct a paragraph

Week 6	Writing - Descriptive Paragraphs	Describing places & people using adjectives & prepositions of position. Pairwork discussion of places & locations
Week 7	Writing - Process Paragraphs	Use of Transition words/ Conjunctions & the imperative verb form
Week 8	Writing - Opinion Paragraphs	Opinions vs facts & causative adverbs. Classmate opinion interviews
Week 9	Writing - The Structure of an Essay	Introduction, body paragraphs & conclusion
Week 10	Writing - Thesis Statements	Effective construction of a thesis statement
Week 11	Writing - Outlines	Correct outline format & common errors
Week 12	Writing - Problem/ Solution Writing	Use of the first conditional & linking phrases
Week 13	Writing - Introductions & Conclusions	How to write effective opening & closing paragraphs
Week 14	Writing - Comparison & Contrast Writing	Explaining similarities & differences

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare homework prior to each class on a weekly basis. In addition, regular reports will be assigned which will require around 2 hours of work & must either be uploaded or printed on A4 paper, before the deadline. No more than 3 absences will be permitted. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】

'Writing Essay's by Dorothy E. Zemach & Lisa A. Ghulldu. Publisher: Macmillan Language House

【参考書】

An electronic or smartphone dictionary, or dictionary app is required at every lesson.

【成績評価の方法と基準】

Grades will be decided according to the following criteria:

30%- Participation & Punctuality

40%- Course Work

30%- Term-End Report

Feedback including corrections & a grade for each report will be given to students individually during lesson time.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Online access to the course materials will allow to students to both preview & review class work.

【学生が準備すべき機器他】

Access to a PC & Printer in order to prepare & upload, or print reports.

A smartphone can ONLY be used as a dictionary, not to study course materials or submit homework

【その他の重要事項】

Regular attendance is required, a willingness to practice & improve your English writing skills, and submit assignments on time.

【Outline (in English)】

This course allows students to proceed step by step through the writing process, from paragraph to essay, acquiring the necessary skills to produce reports suitable for the academic environment

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

Richard J Burrows

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水1/Wed.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Through the lives of 2 young people growing up in present day United Kingdom, we will look at the difficulty of fulfilling your talent and ambition in a challenging environment. Issues such as sexism, racism & homophobia will be examined, while students will be introduced to new & challenging vocabulary, and be able to extensively practice their audio-visual skills.

【到達目標】

1. To give students the opportunity to discuss & analyze issues related to growing up and education in a different culture & environment.
2. To expose students to everyday spoken English through the film's dialogue and weekly pairwork practice.
3. To introduce students to new vocabulary, and offer practice in sentence structure responses.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This course is based on 2 recent films that explore the subject of growing up with a talent or gift and struggling to fulfill it in hostile circumstances. In 'Billy Elliot', students will focus on growing up in contemporary northern England with a story about a boy with a talent for ballet at the time of the miners' strike of the 1980s. In 'Bend It Like Beckham', focus will shift to an Indian girl growing up in a traditional family in a multi-cultural community with a talent for playing soccer.

Each week students will be assigned a reading passage, with both vocabulary & comprehension questions, in preparation for the following lesson. In addition, students will be required to prepare relevant vocabulary and preview themes that will be raised in that lesson's segment. After viewing two 10+ minute segments of the film, students will complete pairwork comprehension questions and analyze a piece of dialogue. Students will be assigned an additional reading passage & vocabulary exercise as homework as well as completing a review of what has been seen and discussed in the lesson.

Individual reports will be checked & graded by the instructor & returned to each student on a one-to-one basis with additional comments or advice.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Review & Preview	Review the previous semester & summer vacation, explain about new semester
Weeks 2	Speaking & Listening: Billy Elliot 1 (The Ballet Class):	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,

Week 3	Speaking & Listening: Billy Elliot 2 (The Private Lesson)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 4	Speaking & Listening: Billy Elliot 3 (Family Trouble)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 4	Speaking & Listening: Billy Elliot 4 (The Audition)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 5	Speaking & Listening: Billy Elliot 5 (Leaving Home)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 6	Writing: Billy Elliot Report	Mid-Term Evaluation
Week 7	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 1 (Jess & her family)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 8	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 2 (Playing for the Team)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 9	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 3 (Trouble in Germany)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 10	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 4 (Jess vs Jules)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 12	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 5 (The Final Match)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 13	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 6 (Going to America)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 14	Writing: Bend It Like Beckham	Final Evaluation

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to spend approximately 1 hour on each weekly reading assignment, and 30 minutes to prepare vocabulary & review the previous lesson's material, prior to each class. In addition, students will have to write a 1,200 word report for each film. No more than 3 absences will be permitted. University guidelines suggest preparation around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

No set text is required. However, since all materials will be available online, students must either download & print, or download and have ready on their laptop or tablet device, the required files before the lesson begins.

【参考書】

An electronic or smartphone dictionary, or dictionary app is required at each lesson.

【成績評価の方法と基準】

Grades will be decided according to the following criteria:

30%- Participation & Punctuality

30%- Classroom & Homework Assignments

40%- Mid-term Written Assignment & Final Evaluation

Student will receive feedback & guidance on each report.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased time will be allocated to allow students to complete the listening comprehension questions with their partner, while online access to the course materials will allow to students to both preview & review class work.

【学生が準備すべき機器他】

Students will require a laptop or tablet device with a reliable internet connection, in order to download materials , and to prepare and either upload or print reports.

A smartphone can ONLY be used as a dictionary, not to study course materials or submit homework

【その他の重要事項】

Since these films follow a story, regular attendance is essential to understanding each lesson, and getting maximum benefit from the course.

【Outline (in English)】

As students enter university, they are faced with questions about their identity & future. Both of these films seek to offer guidance & encouragement on what is possible for young people with clear aims & sufficient determination to see their goals realized.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to improve students' oral and written communication skills through a variety of assigned listening, speaking and writing activities, both in and outside the classroom. Focus will be on regular student input with instructor feedback.

【到達目標】

Upon completion of the course, students should be more confident in expressing their ideas on a variety of topics, both orally and in writing. Through in-class group discussions and assigned readings, students will be able to broaden their vocabulary and make themselves understood with improved enunciation and solid reasoning. Through in-class practice exercises, students will be able to write short essay with a clear topic sentence, logical support and summary.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will start with a brief explanation of the course objective(s) for that day. A brief introductory lecture by the instructor will be followed by textbook (Perspectives 2) exercises, both listening and speaking. Students will be encouraged to "step out of their comfort zone" and speak out without hesitation or fear of making mistakes. Regular verbal feedback will be given on class discussions and written feedback will be given on outside class assignments.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Course Overview	Course Overview & Expectations	Student interviews / introductions
Unit 1	Making subject / object questions	Asking other students about their hobbies
Unit 1	Using suffixes to expand vocabulary	Changing adjectives into nouns and using them in a short conversation
Unit 2	Using tag questions in a conversation	Asking other students about their recent travels
Unit 2	Using adjectives ending in -ed & -ing	Writing about a recent travel experience
Unit 3	Using phrasal verbs	Discussing favorite sports to watch & play
Unit 3	Talking about future plans	Sharing future school & career goals
Unit 4	Making conversations with simple past and present perfect verbs	Correcting grammatical mistakes in a reading passage

Unit 4	Describing the steps in a process	Sharing favorite recipes with other students
Unit 5	Describing different jobs	Sharing part-time work experiences
Unit 5	Comparing different work environments	Describing the ideal work environment
Class 12	Individual Speech	3-minute speech (topic to be assigned)
Class 13	Individual Speech	3-minute speech (topic to be assigned)
Class 14	Final exam	Textbook units 1-5

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

2-3 hours per week based on assigned readings & writing homework

【テキスト（教科書）】

Perspectives 2

Publisher: National Geographic Learning

ISBN: 979-8-214-33460-8

【参考書】

None required

【成績評価の方法と基準】

25%—Individual speech

25%—Assigned homework

25%—Class participation

25%—Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

New course textbook has been adopted for this year.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

Students will be expected to come to every class, having done any assigned homework and other necessary preparations. Classroom listening and speaking activities will be centered around the course textbook (Perspectives 2) as well as group discussions on current topics. Students will spend approximately 2-3 hours each week on homework and class preparation.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to improve students' oral and written communication skills through a variety of assigned listening, speaking and writing activities, both in and outside the classroom. Focus will be on regular student input with instructor feedback.

【到達目標】

Upon completion of the course, students should be more confident in expressing their ideas on a variety of topics, both orally and in writing. Through in-class group discussions and assigned readings, students will be able to broaden their vocabulary and make themselves understood with improved enunciation and solid reasoning. Through in-class practice exercises, students will be able to write a short essay with a clear topic sentence, logical support and summary.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will start with a brief explanation of the course objective(s) for that day. A brief introductory lecture by the instructor will be followed by textbook (Perspectives 2) exercises, both listening and speaking. Students will be encouraged to "step out of their comfort zone" and speak out without hesitation or fear of making mistakes. Regular verbal feedback will be given on in-class work and written feedback on outside class assignments.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Course Overview	Explanation of course goals & student expectations	Student interviews of summer holiday activities
Unit 6	Overcoming disabilities	Using the first & second conditional
Unit 6	Expressing oneself in writing	Writing an informal email to a colleague
Unit 7	Contrasting use of the active vs. passive voice	Shopping role play
Unit 7	Recognizing non-verbal vs verbal communication clues	Using appropriate pragmatic expressions
Unit 8	Understanding cultural differences in communication	High vs. Low context speaking role play

Unit 8	Using the appropriate voice in different situations	Writing a complaint email to a store
Unit 9	Using relative clauses in daily speech	Group PB Technologies role play
Class 9	Comparing digital vs analog forms of communication	Selecting the right media to express one's thoughts
Unit 10	Using time expressions with phrasal verbs	Talking about weekly / monthly plans
Unit 10	Setting priorities in daily life	Sharing key priorities at school & home
Individual speech	Individual speech	3-minute speech (topic to be assigned)
Individual speech	Individual speech	3-minute speech (topic to be assigned)
Final exam	Units 6-10	Multiple choice & short answer

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

2-3 hours per week based on class preparation & outside assignments

【テキスト（教科書）】

Perspectives 2

Publisher: National Geographic Learning

ISBN: 979-8-214-33460-8

【参考書】

None required

【成績評価の方法と基準】

25%—Individual speech

25%—Outside assignments

25%—Class participation

25%—Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

A new course textbook has been adopted for this year.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

Students will be expected to come to every class, having done any assigned homework and other necessary preparations. Classroom listening and speaking activities will be centered around the course textbook (Perspectives 2) as well as group discussions on current topics. Students will spend approximately 2-3 hours each week on homework and class preparation.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

PATRICK M MCEVILLY

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 土2/Sat.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This once a week required class for first year students develops the range of English language skills (with an emphasis on oral communication) by applying practical communication strategies to help build on those linguistic skills learned by students in high school.

【到達目標】

To give students maximum opportunities to communicate
To build student confidence in interpersonal communication
To develop the basic study skills needed to successfully carry out their English study at this institution.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

There will be some lectures by the Instructor and interactive activities such as pairwork, group work, and discussion. There will be some individual presentation assignments. Any written assignments will receive feedback by the Instructor assigning a grade. For presentations, I will give verbal feedback and assign a grade for them.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Introductions	Question words - Where were you born? What is your hobby?
Class 2	Getting to know you	Reading - A Blind Date, Discussion - Talking about your friends
Class 3	Whatever makes you happy	She works in comedy clubs. She makes people laugh
Class 4	Whatever makes you happy	Money - the best Things in life are free Discussion - What's important to you?
Class 5	What's in the news?	Walking the Amazon
Class 6	The flight attendant who lost his cool.	Discussion - Famous for 15 minutes
Class 7	Eat, drink, and be merry!	A couple talks about their diet.
Class 8	Unusual places to eat	People talk about their experiences eating in restaurants
Class 9	Looking forward	The girl with two families
Class 10	How does it feel to be in your twenties?	Living at home/leaving home
Class 11	The way I see	Multicultural London

Class 12 People talk about who they like in their family
Deciding what to do in Los Angeles

Class 13 Review
Will review material that will be on a speaking exam

Class 14 Final Examination and Review
Will have short interviews with students covering the course materials

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. There will be some writing and reading assignments. There will be some individual presentations that students must prepare on their own outside of class.

【テキスト (教科書)】

American Headway Book 2 - Third Edition Authors - John and Liz Soars

Publisher: Oxford University Press

【参考書】

An English-Japanese Dictionary would be useful.

【成績評価の方法と基準】

Classroom participation - 40%, Midterm Exam - 30%, Final Exam - 30%

In principle, no more than three absences are allowed per semester.

【学生の意見等からの気づき】

I will consider changes.

【Outline (in English)】

To help students become more fluent in English by building their vocabulary and teaching them structures for communicative tasks such as giving opinions. The students will learn English for travel such as booking an airline ticket, making a hotel reservation, and ordering food in a restaurant.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

PATRICK M MCEVILLY

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This once a week required class for first year students develops the range of English language skills (with an emphasis on oral communication) by applying practical communication strategies to help build on those linguistic skills learned by students in high school.

【到達目標】

To give students maximum opportunities to communicate
To build student confidence in interpersonal communication
To develop the basic study skills needed to successfully carry out their English study at this institution.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

There will be some lectures by the Instructor and interactive activities such as pairwork, group work, and discussion. There will be some individual presentation assignments. Any written assignments will receive feedback by the Instructor assigning a grade. For presentations, I will give verbal feedback and assign a grade for them.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Living History	Have you ever done anything dangerous? Family history
Class 2	Living History	Living in a stately home, The upper class and inherited wealth
Class 3	Girls and boys	An interview with Jessica Ennis, Olympic champion
Class 4	Girls and boys	Families with all boys or all girls, People talk about their families
Class 5	Time for a story	Good and evil - The strange case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde
Class 6	Time for a story	My favorite writer - Harper Lee and Robert Louis Stevenson
Class 7	Midterm Exam	Discussion questions on Living History, Girls and boys, or Time for a story
Class 8	Our interactive world	Smartphones, On the phone - Can I speak to >>> ? I'm calling because
Class 9	Our interactive world	Five internet firsts, Modern life drives me crazy!
Class 10	Life's what you make it	Good news, bad news, Four generations of Gettys - a tragic dynasty

Class 11	Life's what you make it	Alison's life - A woman talks about her marriage, husband, and children
Class 12	Just wondering	Life, the universe, and everything
Class 13	Review	Smartphones, good news, bad news, Life and the universe
Class 14	Final Examination and Review	Discussion question on smartphones, good news, bad news, Life and the universe

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. There will be some writing and reading assignments. There will be some individual presentations that students must prepare on their own outside of class.

【テキスト（教科書）】

American Headway - Book 2 - Third Edition Authors: John and Liz Soars

Publisher: Oxford University Press

【参考書】

An English-Japanese Dictionary could be useful.

【成績評価の方法と基準】

Classroom participation - 40% Midterm exam - 30% Final Exam - 30%

In principle, no more than three absences are allowed per semester.

【学生の意見等からの気づき】

I will consider changes.

【Outline (in English)】

To help students become more fluent in English by building their vocabulary and teaching them structures for communicative tasks such as giving opinions. The students will learn English for travel such as booking an airline ticket, making a hotel reservation, and ordering food in a restaurant.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

CHIA-WEI KANG

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

In this course, you will read and listen to essays on current topics, practice the language, and exchange your opinions and experiences related to the course themes. We will focus on developing frequently-used vocabulary and general discussion skills. In order to improve your communicative English, you will need to practice English before and after each class meeting as instructed using online materials.

【到達目標】

This course is designed to develop the language skills necessary to understand others and express yourself in basic English online and offline. The main goal is communication, not translation or accuracy. We will focus on listening and speaking skills, but you will also practice academic writing. You will become aware of some of the current issues in the world and be able to communicate your ideas about them in English. You will also gain an enhanced understanding of global cultures.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This class includes a number of highly interactive activities. You will practice communicating effectively in person and online using a variety of verbal and nonverbal cues. Before class you must prepare by using the book and online exercises independently. In class, we will review new material, practice the language in pairs, and discuss ideas in small groups. You will be encouraged to actively participate in Task/Problem-Based Learning (TBL/PBL) through collaborative work. Oral feedback will be provided during interactions throughout the course. Written feedback will be offered on your written essays within one week of submission.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction to the course/The effects of advertising (Unit 1): Day 1	Critical cartoons, discussion, core vocabulary
Lesson 2	The effects of advertising (Unit 1): Day 2	Discussion, understanding inferences, critical thinking
Lesson 3	Online advertising (Unit 2) Day 1	Critical cartoons, discussion, core vocabulary
Lesson 4	Online advertising (Unit 2) Day 2	Discussion, understanding inferences, critical thinking
Lesson 5	Going to Extremes (Unit 3): Day 1	Critical cartoons, discussion, core vocabulary
Lesson 6	Going to Extremes (Unit 3): Day 2	Discussion, understanding inferences, critical thinking

Lesson 7	Special Topic:the Power of Storytelling	Critical cartoons, discussion, core vocabulary
Lesson 8	Special Topic:the Power of Storytelling/In-Class Writing	In-Class Writing
Lesson 9	Winning at any cost (Unit 4): Day 1	Critical cartoons, discussion, core vocabulary
Lesson 10	Winning at any cost (Unit 4): Day 2	Discussion, understanding inferences, critical thinking
Lesson 11	Our aging population (Unit 5): Day 1	Critical cartoons, discussion, core vocabulary
Lesson 12	Our aging population (Unit 5): Day 2	Discussion, understanding inferences, critical thinking
Lesson 13	Do you want to live forever? (Unit 6): Day 1	Critical cartoons, discussion, core vocabulary
Lesson 14	Do you want to live forever? (Unit 6): Day 2/In-Class Writing 2	In-Class Writing

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You will need to study the textbook to familiarize yourself with the week's topic and to get ready for discussion. Spend at least one hour each week preparing for and reviewing the lesson thoroughly. University guidelines suggest the preparation and review time of around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

In Focus 1 (2024) by Brown, Culligan, & Phillips. Kinseido.

【参考書】

Handouts related to the course content may be distributed on the course website.

【成績評価の方法と基準】

- 1) Participation (20%)
- 2) 2 In-Class writings (20%/10%Each)
- 3) 6 Quizzes (60%/10%Each)

Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in special circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

Most students have very little opportunity to use English outside of class. In order to maximize the chance, this class will be taught in English. It's all right to make mistakes; focus on communication! Participate actively and express your ideas openly.

【学生が準備すべき機器他】

Be prepared to use Hoppii, Google Classroom, and Zoom with your university account and check your university email daily.

【Outline (in English)】

In this course, you will read and listen to essays on current topics, practice the language, and exchange your opinions and experiences related to the course themes. We will focus on developing frequently-used vocabulary and general discussion skills. In order to improve your communicative English, you will need to practice English before and after each class meeting as instructed using online materials.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

石原 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

In this course, you will read and listen to essays on timely topics, practice the language, and exchange your opinions and experiences related to the themes. We will focus on the development of frequently-used vocabulary and general fluency in discussion. In order to improve your communicative English, you need to practice English before and after each class meeting as instructed using online materials.

【到達目標】

This course is designed to develop language skills necessary for understanding others and expressing yourself in basic English. The main goal is communication, not translation or accuracy. We will focus on listening and speaking skills, but you will also practice writing academically. You will become aware of some issues in the world and able to communicate your ideas about them in English. You will also gain an enhanced understanding of global cultures.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Before class you must make preparation by using the book and online exercises independently (see below). In class, we review the new material, practice the language in pairs, and discuss ideas in small groups. You are encouraged to actively participate in the task/problem-based learning (TBL/PBL) through group work. Feedback will be given immediately upon your response to unit quizzes. Oral feedback will be provided in interaction throughout the course. Written feedback will be offered for your written essays within a week of submission.

This class involves a number of highly interactive activities. In order to learn to communicate multimodally, that is, to communicate effectively online as well as in person, we will alternate between face to face (F2F) and Zoom course meetings. Please be prepared to use your webcam throughout the online class and participate actively at all times.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Course information, ice-breaking
2	Robots in the house (Unit 7): Day 1	Critical cartoons, discussion
3	Robots in the house (Unit 7): Day 2	Discussion, critical thinking, essay structure
4	I lost my job to a machine (Unit 8): Day 1	Critical cartoons, discussion, essay writing
5	I lost my job to a machine (Unit 8): Day 2	Discussion, critical thinking

6	Animals: Our research partners? (Unit 9): Day 1	Critical cartoons, discussion, essay writing
7	Animals: Our research partners? (Unit 9): Day 2	Discussion, critical thinking
8	Treatment of animals (Unit 10): Day 1	Critical cartoons, discussion, essay writing
9	Treatment of animals (Unit 10): Day 2	Discussion, critical thinking
10	Online (dis)-information (Unit 11): Day 1	Critical cartoons, discussion, essay writing
11	Online (dis)-information (Unit 11): Day 2	Discussion, critical thinking
12	News: Facts or fake? (Unit 12): Day 1	Critical cartoons, discussion
13	News: Facts or fake? (Unit 12): Day 2	Discussion, critical thinking
14	Special class: TBA (to be announced)	reflective discussion

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You must finish the specified listening/reading and comprehension tasks as well as vocabulary exercises online ("Core Vocabulary") before coming to class. Also study the textbook to become familiar with the topic of the week and to get ready for discussion. Preview and review your lesson thoroughly after class for at least one hour each week.

University guidelines suggest the preparation and review time of around an hour a week for a one-credit course. 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

In Focus 1 (2024) by Brown, Culligan, &Phillips. Kinseido.

【参考書】

Handouts related to the course content may be distributed in the course website. Bring some loose sheets of paper for occasional writing practice.

【成績評価の方法と基準】

- 1) Participation (20%)
- 2) Online assignments and writing (20%)
- 3) Unit quizzes (60%)

Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in special circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

Most students have very little opportunity to use English outside of class. In order to maximize the chance, this class will be taught as much as possible in English. It's all right to make mistakes; focus on communication! Participate actively and express your ideas openly.

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム、Google Classroom、Zoom等を使用して授業を行いますので、大学のアカウントでログインし、大学の電子メールを毎日確認してください。大学の教室でZoom授業を受ける際にはマイク付きのヘッドセットが必要です。Please be prepared to use Hoppii, Google Classroom, and Zoom with your university account and check your university email daily. You will need to use a headset with a microphone if you are attending an online class on campus.

【Outline (in English)】

In this course, you will read and listen to essays on timely topics, practice the language, and exchange your opinions and experiences related to the themes. We will focus on the development of frequently-used vocabulary and general fluency in discussion. In order to improve your communicative English, you need to practice English before and after each class meeting as instructed using online materials. Your work will be assessed through unit quizzes, writing, and participation. Feedback will be given immediately upon your response to unit quizzes. Oral feedback will be provided in interaction throughout the course. Written feedback will be offered for your written essays within a week of submission.

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
English 2 I		2017年度以降入学者
岩崎 博		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金2/Fri.2		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

リスニング、スピーチ・プレゼンテーション、ライティングの基本的な技術を習得することを目的にする。音声の特徴を理解し、発音能力を高めることによって、リスニング能力の向上を目指す。また、自分の言いたいことを口頭で効果的に伝える方法を学ぶ。さらに、英語エッセーの構造を学び、アカデミックな論文を作成する技術を学ぶ。

【到達目標】

英語の音声上の特徴を知り、自分で発音できるようになる。
シャドーイングという学習法を实践し、英語を耳から理解できるようにする。
効果的なスピーチのやり方を習得する。
自分の考えを簡単な英語で表現できるようになる。
英語エッセーの形式を理解し、4パラグラフからなるエッセーを作成できるようにする。
英文のパラグラフの構造を理解し、主題文と支持文から成るパラグラフを作成できるようにする。
辞書の使い方を学び、英文を作成するとき様々な辞書を活用できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ①リスニング。英語のニュースを聞きながら、スクリプトの穴埋めを行う。教材にはアメリカのテレビニュースを用いる。リスニング能力強化のために、英語特有の音声の法則を知り英語の発音を向上させる。また、シャドーイングを徹底的に行い英語の発音リズムを体得し、英語を感覚的に理解できるようになることによってスピーキング能力向上につなげる。英語ニュースの内容を理解した後、それを英語で要約し、最終的には自分の意見を英語で発表する。教材は毎回作成する。
- ②スピーキング。テキストの内容に沿って様々な場面に対応できるよう発話練習をする。
- ③プレゼンテーション。あるテーマに関して毎回5人が英語でプレゼンテーションを行う。それに関してクラスで話し合う。
- ④ライティング。テキスト内の問題を解きながら、様々なタイプのエッセーの基本構造を学習する。春学期に一度エッセイプランを作成し、基本構造を自分のものにす。エッセイプランにしたがって、4パラグラフからなるエッセーを作成する。
- ⑤フィードバック。①に関しては授業中に教師が口頭でコメントを出す。③は、プレゼン原稿にコメントをつけて返却する。④作成したエッセーに関して、教師が添削を行い詳細なコメントをつける。2回目以降のエッセーには簡単なコメントをつける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明	授業方針の説明。 学生による英語での自己紹介。
2	Unit 1 College Life お互いを知る(1) スピーキングを中心に	指名された学生5名が英語でスピーチを行う。 初対面の相手から情報を聞き出す会話パターンを練習する。

3	Unit 1 College Life お互いを知る(2) リスニングを中心に	能登半島地震を伝えるCBSのニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを实践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。最終的には自分の意見を英語で表明する。ニュース映像に関してはNBCが米国で毎晩放送する新しいニュース映像を教材にするので、内容に関しては後日決定。 テキストのリスニング教材の聞き取り。テキストのリスニング教材の聞き取り。初対面の二人の比較的最長い会話を聞き、メモを取って大まかな内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。発音練習をする際、thの発音を習得する。指名された学生5名が英語でスピーチを行う。 自分の意図や将来のプランを伝える表現を使った会話パターンを練習する。
4	Unit 2 Future Plans 意図を告げる(1) スピーキングを中心に	自分の意図や将来のプランを伝える表現を使った会話パターンを練習する。
5	Unit 2 Future Plans 意図を告げる(2) リスニングを中心に	少年の拒食症を伝えるNBCのニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを实践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。 テキストのリスニング教材の聞き取り。将来のプランについての比較的最長い会話を聞き、メモを取って大まかに内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。 /ð/と/v/の発音を習得する。
6	Unit 3 Part-time Jobs 趣味について語る(1) スピーキングを中心に	指名された学生5名が英語でスピーチを行う。 バイトや趣味を伝える表現を使った会話パターンを練習する。
7	Unit 3 Part-time Jobs 趣味について語る(2) リスニングを中心に	アメリカでセミ大発生を伝えるNBCのニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを实践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。 テキストのリスニング教材の聞き取り。趣味に関する比較的最長い会話を聞き、メモを取って大まかに内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。/w/の発音を習得する。
8	Unit 4 Movies 誰かを誘いアポを取る(1) スピーキング中心に	指名された学生5名が英語でスピーチを行う。 他人を誘い出し、約束をする表現を使った会話パターンを練習する。

- 9 Unit 4 Movies 誰かを誘いアポを取る (2) リスニングを中心に アフターマティブアクション連邦最高裁違憲判決を伝える NBC のニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを实践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。テキストのリスニング教材の聞き取り。デートの打ち合わせをする男女の比較的長い会話を聞き、メモを取って大まかに内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。/s/ と /z/ の発音を習得する。
- 10 Unit 5 Parties 相手の好みを聞く (1) スピーキングを中心に 指名された学生 5 名が英語でスピーチを行う。相手の好みを聞いたり、パーティーなどに誘い出す会話パターンを練習する。
- 11 アカデミック・ライティング 1 (4 パラグラフからなるエッセイの構造) 自分の意見を主張する 4 パラグラフからなるエッセイの構造を理解し、エッセイプランを作成する。
- 12 アカデミック・ライティング 2 (エッセイプランから英文作成へ) エッセイプランから英文を作成する方法を学ぶ。特に辞書の使い方を詳しく学習する。
- 13 Unit 5 Parties 相手の好みを聞く (2) リスニングを中心に 第二次世界大戦中アメリカが日系人を強制収容所に送ったことを伝える NBC のニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを实践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。テキストのリスニング教材の聞き取り。パーティーの打ち合わせをする男女の比較的長い会話を聞き、メモを取って大まかに内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。/m/ と /n/ の発音を習得する。
- 14 提出されたエッセイに対するフィードバック 添削しコメントを添えてエッセイを返却する。添削・コメントというフィードバックから、学生はエッセイライティングの技法を学び直す。学生が作成したエッセイの代表的な間違いを辞書を活用しながら正しく書き直す。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。ただし、スピーチの作成準備には 5 時間前後、エッセイ作成には 8 時間前後を要します。

授業の予習。テキストの指定箇所の問題を解く。

授業の復習。前回聞いた英語ニュースのシャドーイングをし、英語ニュースの内容を英語で要約し、自分の意見をクラスで発表する準備をします。

スピーチ原稿の作成とスピーチの練習（春学期に一度）。

英文エッセイの作成（春学期に一度）。

【テキスト（教科書）】

『Activator Next』、塩澤正他、金星堂

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

授業参加 40 パーセント、レポート・スピーチ・試験 60 パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。

一度休むごとに授業参加点から 2 点ずつ引いていく。

4 回以上欠席の場合は、原則として単位修得を認めない。

原則的に遅刻は認めない。

オンライン授業では課題の提出を持って出席とする。

原則的に遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

リスニング教材をより興味深いものにする。

ライティングの比重を高くする。

英語で発言する機会を増やす。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を持っている人は電子辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業と関係のない目的でスマホをいじるなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。教師と学生の対話を通して、適度楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

This course is to help students improve their skills of listening, speaking, and writing. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations in the class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English.

Participants are expected to spend one hour answering assigned questions on the textbook before the class and reviewing what they have learned after the class.

The final grade will be decided based on class-participation 40 %, essays 30 % and term-end examination 30 %.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

岩崎 博

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

リスニング、スピーチ・プレゼンテーション、ライティングの基本的な技術を得得することを目的にする。音声の特徴を理解し、発音能力を高めることによって、リスニング能力の向上を目指す。また、自分の言いたいことを口頭で効果的に伝える方法を学ぶ。さらに、英語エッセーの構造を学び、アカデミックな論文を作成する技術を学ぶ。

【到達目標】

英語の音声上の特徴を知り、自分で発音できるようになる。
シャドーイングという学習法を実践し、英語を耳から理解できるようにする。
効果的なスピーチのやり方を習得する。
自分の考えを簡単な英語で表現できるようになる。
英語エッセーの形式を理解し、4パラグラフからなるエッセーを作成できるようにする。
英文のパラグラフの構造を理解し、主題文と支持文から成るパラグラフを作成できるようにする。
辞書の使い方を学び、英文を作成するとき様々な辞書を活用できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を得得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ①リスニング。英語のニュースを聞きながら、スクリプトの穴埋めを行う。教材にはアメリカのテレビニュースを用いる。リスニング能力強化のために、英語特有の音声の法則を知り英語の発音を向上させる。また、シャドーイングを徹底的に行い英語の発音リズムを体得し、英語を感覚的に理解できるようになることによってスピーキング能力向上につなげる。英語ニュースの内容を理解した後、それを英語で要約し、最終的には自分の意見を英語で発表する。教材は毎回作成する。
- ②スピーキング。テキストの内容に沿って様々な場面に対応できるよう発話練習をする。
- ③プレゼンテーション。あるテーマに関して毎回5人が英語でプレゼンテーションを行う。それに関してクラスで話し合う。
- ④ライティング。テキスト内の問題を解きながら、様々なタイプのエッセーの基本構造を学習する。春学期に一度エッセイプランを作成し、基本構造を自分のものにする。エッセイプランにしたがって、4パラグラフからなるエッセーを作成する。
- ⑤フィードバック。①に関しては授業中に教師が口頭でコメントを出す。③は、プレゼン原稿にコメントをつけて返却する。④作成したエッセーに関して、教師が添削を行い詳細なコメントをつける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ニュース映像の聞き取り	ナキウサギ絶滅の危機を伝えるABCのニュース映像を視聴し、地球温暖化が切実な問題になっていることを実感する。ニュース映像を使った聞き取りを行なったのちシャドーイングを実践する。 /n/, /m/, /ŋ /の発音を習得する。
2	Unit 6 Friends 感謝と謝罪の気持ちを伝える(1)	指名された学生5名が英語でスピーチを行う。感謝や謝罪など、自分の気持ちを伝える表現を伝える会話パターンを練習する。
3	Unit 6 Friends 感謝と謝罪の気持ちを伝える(2)	米でアジア人襲撃が多発していることを伝えるNBCニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを実践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。最終的には自分の意見を英語で表明する。ニュース映像に関してはNBCが米国で每晚放送する新しいニュース映像を教材にするので、内容に関しては未定。 テキストのリスニング教材の聞き取り。謝罪とそれに対する対応が交わされる会話を聞き、メモを取って大まかな内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。発音練習をする際、/r/の発音を習得する。
4	Unit 7 Abroad 繰り返しを求める(1)	指名された学生5名が英語でスピーチを行う。相手の言っていることを聞き逃した時、再び同じことを繰り返してもらおうための表現を使った会話パターンを練習する。
5	Unit 7 Abroad 繰り返しを求める(2)	核実験成功から78年を伝えるNBCのニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを実践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。 テキストのリスニング教材の聞き取り。相手の意図を確認する表現を含む会話を聞き、メモを取って大まかに内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。 /l/の発音を習得する。
6	Unit 8 Social Media 世間話をする(1)	指名された学生5名が英語でスピーチを行う。あまり親しくない人と世間話を続けるためのパターンを練習する。

- 7 Unit 8 Social Media 世間話をする(2) リスニングを中心に ハマスがイスラエルを急襲したことを伝えるNBCのニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを実践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。テキストのリスニング教材の聞き取り。当たり障りのない会話を聞き、メモを取って大まかに内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。破裂音の発音を習得する。
- 8 Unit 9 Cultures 相手に質問をする(1) スピーキングを中心に 指名された学生5名が英語でスピーチを行う。様々な質問をするためのパターンを練習する。
- 9 Unit 9 Cultures 相手に質問をする(2) リスニングを中心に 餌やりが危険なクマを作り出すことを伝えるNBCのニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを実践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。テキストのリスニング教材の聞き取り。パチンコに関する会話を聞き、メモを取って大まかに内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。/i:/の発音を習得する。
- 10 Unit 10 Music 許可を求める(1) スピーキングを中心に 指名された学生5名が英語でスピーチを行う。許可を得たり、提案をするためのパターンを練習する。
- 11 アカデミック・ライティング1（原因から結果へ向かうエッセイの構造） 原因から結果へ向かう4パラグラフからなるエッセイの構造を学び、エッセイプランを作成する。
- 12 アカデミック・ライティング2（エッセイプランから英文作成へ） エッセイプランから英文を作成する方法を再度学ぶ。特に辞書の使い方を再度詳しく学習する。
- 13 Unit 10 Music 許可を求める(2) リスニングを中心に 米大統領選挙の結果を伝えるCBSのニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを実践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。テキストのリスニング教材の聞き取り。許可と提案の表現を含む会話を聞き、メモを取って大まかに内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。/d/の発音を習得する。
- 14 提出されたエッセイに対するフィードバック 添削されたエッセイをコメントを添えて返却する。学生が作成したエッセイの代表的な間違いを辞書を活用しながら正しく書き直す。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。ただし、スピーチの作成準備には5時間前後、エッセイ作成には8時間前後を要す。

授業の予習。テキストの指定箇所の問題を解く。具体的にはパラグラフの構造分析、和文英訳、英文エッセイのレイアウト作成をする。授業の復習。前回聞いた英語ニュースのシャドーイングをする、英語ニュースの内容を英語で要約し、自分の意見をクラスで発表する準備をする。

スピーチ原稿の作成とスピーチの練習（秋学期に一度）。

英文エッセイの作成（秋学期に一度）。

【テキスト（教科書）】

『Activator Next』、塩澤正他、金星堂

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

授業参加40パーセント、レポート・スピーチ・試験60パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。

一度休むごとに授業参加点から2点ずつ引いていく。

4回以上欠席の場合は、原則として単位修得を認めない。

原則的に遅刻は認めない。

オンライン授業では課題の提出を持って出席とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生の授業参加をもっと促す。

英会話にもっと時間を割く。

学生とのコミュニケーションをもっととる。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を持っている人は電子辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業と関係のない目的でスマホをいじるなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

This course is to help students improve their skills of listening, speaking, and writing. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations in the class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English.

Participants are expected to spend one hour answering assigned questions on the textbook before the class and reviewing what they have learned after the class.

The final grade will be decided based on class-participation 40 %,essays 30 %and term-end examination 30 %.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

ジェフリー B タロフスキー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based English language course which uses horror films as the content of the course. Themes covered include shifting aesthetic standards and the history of Western moral values, cultural taboos and universals, iconography and censorship.

【到達目標】

For first year students who have successfully completed their high-school English classes.

There will be an initial focus on listening and note taking skills supplemented by readings which both reinforce the lectures and introduce additional topics for writing and discussion. Throughout the semester writing skills will emphasize the production of paragraphs with proper topic and supporting sentences along with a clear conclusion. Students will comment on lectures and readings and ask and answer questions during each class.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students watch excerpts from selected films, listen to lectures, read transcripts of the lectures, read additional supporting materials, do worksheets and on line research in order to prepare writing assignments and ask and answers questions, make comments and take weekly quizzes.

During live classes focused on writing feedback will be provided throughout the class as students work on assignments individually and in small groups. During classes which focus on small group discussions students will receive immediate feedback following their discussions. Written work submitted by students will receive written commentary within three weeks of submission.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction to the course Lecture #1 Web class #1, Lecture #1 What Is Horror? Excerpts from Phantom of the Opera (1925) and Nosferatu: A Symphony of Terror(1922)	Transcript of lecture, Worksheet : What is Horror?Class #1 . Homework : Read and understand Writing worksheet #1 . Do Writing Assignment #1 and print it out so you can submit it during class #2.

Week 2	Class #2. Writing Workshop . Submit Assignment #1 for peer correction (what is that?) . Return the peer corrected assignment to the writer and review Worksheet #2. (Time permitting) Worksheet #3 : Expository Writing .	Homework : Discussion topics Distributed Writing Assignment #2 From The Subjective to the Objective
Week 3	Lecture #2 from Web Class #2 The Man of 1,000 faces: Excerpts from The The Hunchback of Notre Dame (1923).	Transcript of lecture 2 , Reading: Lon Chaney Quiz #1
Week 4	Lecture #3 from Web class #3 The Ugly and the Evil. Excerpts from The Phantom of the Opera.	Transcript of lecture 3 , Reading: The Gruesome Twosome: Lon Chaney and Tod Browning . Quiz#2 Choose Discussion topics
Week 5	Lecture #4 from Web class 4 The Real Monsters: Tod Browning's Freaks	Transcript of lecture 4 , HW Reading : London After Midnight (1926). Quiz #3 Prepare for discussions. Each group will have between fifteen and thirty minutes to discuss the topic of their choosing
Week 6	First half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Lecture #5 Web class 5 :Replacing Lon Chaney? Carl Laemmle looks towards home. Paul Leni's Waxworks (1924). The Cat and The Canary	Transcript of lecture 5 , Reading : Who Thought of it First? Quiz #4

Week 7	Second half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Lecture #5 Web class 5 :Replacing Lon Chaney? Carl Laemmle looks towards home. Paul Leni's Waxworks (1924). The Cat and The Canary	Transcript of lecture 5 , Reading : Who Thought of it First? Quiz #5	Week 13	First half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Web class #11, Lecture #11 What did Dracula think about being a vampire? Another look at Dracula (1931), Nosferatu (1922) and Bram Stoker's Dracula.	Transcript of lecture.#11 Reading : The Origins of Evil . Quiz #10
Week 8	Web class #6, Lecture #6 : What went wrong with The Man Who Laughs (1928)? In class writing exercise #2	Transcript of lecture 6 , Reading: The Crash of 1929 and The Great Depression. Quiz #6	Week 14	Second half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Web class #11, Lecture #11 What did Dracula think about being a vampire? Another look at Dracula (1931), Nosferatu (1922) and Bram Stoker's Dracula.	Transcript of lecture.#11 Reading : The Origins of Evil . Quiz #10
Week 9	Web Class #7 , Lecture #7 : Murnau's Nosferatu (1922) Bram Stoker and Merhage's Shadow of The Vampire (2000) . Complete writing exercise #2	Transcript of lecture 7 , Reading : The Historical Dracula Quiz #7 Choose Discussion topics Discussion topics Distributed Read: Writing Worksheet #4 . Do: Writing Assignment #3			
Week 10	Writing Workshop Review Writing Worksheet #4 and Assignment #3	Homework: Read: Writing worksheet #5 Do: Writing Assignment #4 (will be due to be submitted on line by Class #12)			
Week 11	Web class #9, Lecture #9 Universal's search for a Dracula, Excerpts from Dracula (1931)	Transcript of lecture 9, HW Reading Bela Lugosi Quiz # 8			
Week 12	Web class #10, Lecture #10 What was missing from Dracula? Excerpts from Shadow Of The Vampire and Bram Stoker's Dracula and Interview With A Vampire	Transcript of lecture 10, Reading : The origins of Evil. Quiz # 9			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
 /University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
 There will be homework assigned each week which will include both reading and listening assignments and may also include a writing component as well as research on line.
 University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

All the materials for this course will be provided by the instructor or will be available on line for free.

【参考書】

Students should familiarize themselves with how to use online dictionaries.

【成績評価の方法と基準】

There are three components to the grade. 1) There are between eight and ten quizzes this semester. The average score of these quizzes will be 30%of the grade. The instructor may , (entirely at his discretion) , drop the lowest one or two quiz grades for the entire class or on a case by case basis if a student has a legitimate reason for failing to submit a quiz . 2) The writing component of the class counts for an additional 30%of the grade. The discussions /presentations count for a further 30%of the grade . The final 10%of the grade will be weighted according to which of the three areas the student achieved the highest score.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Students have asked for more guidance in their writing assignments and so there will be more time provided for that as well as some additional support materials.

【学生が準備すべき機器他】

Students should have a laptop computer for the "writing workshop" days of the class .

【Outline (in English)】

The learning objectives for this class are as follows: there will be a focus on listening and note taking skills supplemented by readings which both reinforce the lectures and introduce additional topics for writing and discussion. Throughout the semester writing skills will emphasize the production of expository paragraphs with proper topic and supporting sentences along with a clear conclusion. Students will comment on lectures and readings and ask and answer questions.

Students are expected to study for a total of 1-2 hours outside of class for each lecture.

Outside of class time Students are required to read the text for the week's assigned lesson on the website and listen to the lectures and review the excerpts from the films . This requires a minimum of between 1 and 2 hours of work outside of class.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

ジェフリー B タロフスキー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based English language course which uses horror films as the content of the course. Themes covered include shifting aesthetic standards and the history of Western moral values, cultural taboos and universals, iconography and censorship.

【到達目標】

For first year students who have successfully completed their high-school English classes.

There will be an initial focus on listening and note taking skills supplemented by readings which both reinforce the lectures and introduce additional topics for writing and discussion. Throughout the semester writing skills will emphasize the production of paragraphs with proper topic and supporting sentences along with a clear conclusion. Students will comment on lectures and readings and ask and answer questions during each class.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students watch excerpts from selected films, listen to lectures, read transcripts of the lectures, read additional supporting materials, do worksheets and on line research in order to prepare writing assignments and ask and answers questions, make comments and take weekly quizzes.

During live classes focused on writing feedback will be provided throughout the class as students work on assignments individually and in small groups. During classes which focus on small group discussions students will receive immediate feedback following their discussions. Written work submitted by students will receive written commentary within three weeks of submission.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Writing workshop #3 Writing Worksheet #6 Supporting sentences. Writing worksheet #7 Plagiarism.	Homework: Writing Assignment #5 Due to be submitted on line before the next class.
Week 2	Website Class #13. Screening of Frankenstein (1931) in ten parts. Watch the film one part at a time as you simultaneously complete Quiz #11	Transcript of lecture Reading: Go back to Website Class #12 and review the reading: Mary Shelley, at the very end of the unit. Quiz #11 (which requires you to listen for the missing word).

Week 3	Website Class #14 .The Production of Frankenstein, Breaking of Taboos (including the fourth Wall), "recycled parts", The Great Ray of Life.	Transcript of Lecture Research: Go on line and learn all you can about the Myth of Prometheus HW Reading: The Origins of Evil : Brief Review (important enough to go over again) Discussion topics distributed Quiz#12
Week 4	Website Class #15, The Gift of Fire, Blas-phemy,Pronouns.	Transcript of lecture HW ; Think about why Frankenstein and Waldman shut out the light. Reading: Boris Karloff Quiz#13 . Choose Discussion Topics
Week 5	Website Class #16 The Reveal , audience reaction, Karloff's performance, vivisection , The gift of a flower, A final symbol	Transcript of Lecture Reading :The First Horror Sequel Practice Discussions for a minimum of one hour. Quiz #14
Week 6	Half of the class engages in small group discussions while the other half does Website Class #17, The First Horror Sequel. Excerpts from The Bride of Frankenstein (1935) .	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing. Groups not presenting doReading : The Hollywood Production Code Quiz#15
Week 7	Half of the class engages in small group discussions while the other half does Website Class #17, The First Horror Sequel. Excerpts from The Bride of Frankenstein (1935) .	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing. Groups not presenting doReading : The Hollywood Production Code Quiz#15
Week 8	Writing Workshop #4 Writing worksheet #8 Facts, examples and arguments	Writing assignment #6 Turn in the assignment On line as well as printing out a copy for in class use during week #10
Week 9	Website class #18: Frankenstein and Censorship , ceasing production (briefly) . the Universal return to Horror	Transcript of Lecture Reading: The Fall of the House of Laemmle Quiz#16
Week 10	Writing workshop #5 Peer correction of Writing assignment #6	Website Class #19 : Excerpts from and Lecture on The Wolfman (1941) Reading: Werewolf Tales Discussion topics distributed Quiz#17

Week 11	Website Class #20: Hammer Studios reboots the Universal Classics , The best of the bunch: The Curse of the Werewolf (1961)	Transcript of Lecture Quiz #18 Choose Discussion topic
Week 12	Website Class #21. The conclusion of Curse of the Werewolf, an almost Shakespearean tragedy.	Transcript of lecture Reading : Internal Contradictions in Curse of the Werewolf and a Few Thoughts About Criticism . After lesson do Quiz #19
Week 13	First half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes writing exercise #6 in class	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing.
Week 14	Second half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes writing exercise #6 in class.	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing.

【Outline (in English)】

This is a content based English language course which uses horror films as the content of the course. Themes covered include shifting aesthetic standards and the history of Western moral values, cultural taboos and universals, iconography and censorship.

Outside of class time Students are required to read the text for the week's assigned lesson on the website and listen to the lectures and review the excerpts from the films . This requires a minimum of between 1 and 2 hours of work outside of class.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

There will be homework assigned each week which will include both reading and listening assignments and may also include a writing component as well as research on line.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

All the materials for this course will be provided by the instructor or will be available on line for free.

【参考書】

Students should familiarize themselves with how to use on line dictionaries.

【成績評価の方法と基準】

There are three components to the grade. 1) There are between eight and ten quizzes this semester. The average score of these quizzes will be 30%of the grade. The instructor may , (entirely at his discretion) , drop the lowest one or two quiz grades for the entire class or on a case by case basis if a student has a legitimate reason for failing to submit a quiz . 2) The writing component of the class counts for an additional 30%of the grade. The discussions /presentations count for a further 30%of the grade . The final 10%of the grade will be weighted according to which of the three areas the student achieved the highest score.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Students have asked for more guidance in their writing assignments and so there will be more time provided for that as well as some additional support materials.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

THOMAS G POWER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

In this course, students will develop the skills needed to express their opinions, knowledge, and experience in English in both written and oral forms. Students will study paragraph writing, critical thinking skills, discussion skills, and presentation skills in English.

【到達目標】

This course aims to improve students' overall English fluency in both spoken and written forms. Students will develop their speaking skills by discussing issues in pairs or groups and by making presentations about topics of personal interest. Students are encouraged to express their opinions and ideas clearly in academic writing assignments and in presentations and to apply critical thinking skills in the analysis and discussion of reading passages.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The first class and most other classes in Spring 2025 will be held face-to-face in the classroom on the Ichigaya campus. When necessary, some classes will be held on Zoom or in on-demand lectures. Active participation is essential. Students will study 4 units in the textbook in the first semester. As each unit is completed, students will discuss the topics introduced in the unit with a partner or in small groups. Students will practice writing academic paragraphs and giving presentations with peer feedback. There will also be periodic quizzes on the textbook content.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the next class and in Google Classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	・ Course overview ・ Introduce communicative learning ・ Course rules	・ Self-introductions ・ Ice-breaker activity
Week 2	・ Icebreakers ・ Begin Unit 1 ・ Simple past tens questions/answers	・ Unit 1 grammar focus pages 3,5 ・ Unit 1 worksheets
Week 3	・ Finish Unit 1 ・ Describing changes ・ Using "(didn't) used to" ・ Paragraph structure and outlining	・ Unit 1 reading page 7 ・ Paragraph writing about 3 ways that you have changed

Week 4	・ Review paragraph writing assignment ・ Begin Unit 2 ・ Opinion statements with adverbs of quantity ・ Giving opinions on public transportation	・ Unit 2 grammar focus pages 9, 11 ・ Unit 2 worksheets
Week 5	・ Finish Unit 2 ・ Asking indirect questions ・ Mentioning advantages/disadvantages	・ Paragraph writing about 3 problems in your city ・ Review Units 1-2 for quiz
Week 6	・ Review paragraph writing assignment ・ Quiz on Units 1-2 ・ Presentation skills #1	・ Research and note-taking ・ Presentation # 1
Week 7	・ Group presentations 1A	・ Strategies for presentations ・ Peer feedback
Week 8	・ Group presentations 1B	・ Strategies for presentations ・ Peer feedback
Week 9	・ Begin Unit 3 ・ Conversation, vocabulary and grammar ・ Evaluating & comparing housing	・ Unit 3 grammar focus page 17 ・ Unit 3 worksheets
Week 10	・ Finish Unit 3 ・ Begin Unit 4 ・ Talking about experiences ・ Using the simple past and present perfect	・ Unit 4 grammar focus page 23 ・ Unit 4 worksheets
Week 11	・ Finish Unit 4 ・ Describing steps in a process ・ Using sequence adverbs ・ Ordering events in a process	・ Unit 4 reading page 27 ・ Review Units 3-4 for quiz
Week 12	・ Quiz on Units 3-4 ・ Presentation #2 (5 step process)	・ Preparation for presentation #2
Week 13	・ Final presentations 2A	・ Strategies for presentations ・ Peer feedback
Week 14	・ Final presentations 2B	・ Peer feedback ・ Course review ・ Final comments

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

The first class will be "face-to-face" in the classroom. Most other classes in Spring 2025 will be held in the classroom on the Ichigaya campus. If necessary, some classes will be held on Zoom or in on-demand lectures. Active participation is essential. It is important that you are well prepared for each class and meet on time. If you are absent, you must complete all missed assignments, inform me in person or by email, and be ready for the next class. Assignments will be submitted in Google Classroom with feedback online and in the next class. 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around one hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Interchange 2 Student's Book, Richards 5th ed. ISBN:978-1-316-62023-6

【参考書】

Students are required to refer to various sources when researching for writing and presentation assignments. Most research will be done on the internet and in the library.

【成績評価の方法と基準】

You will be graded on:

20%Active participation in English

30%Weekly homework and paragraph assignments

20%Two short presentations

30%Quizzes/tests

* Students must attend 80%of the classes in order to pass. (No more than 3 unexcused absences are allowed.)

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【Outline (in English)】

In this course, students will develop the skills needed to express their opinions, knowledge, and experience in English in both written and oral forms. Students will study paragraph writing, critical thinking skills, discussion skills, and presentation skills in English.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

Kregg Johnston

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金2/Fri.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Students will develop the skills needed to express their opinions, knowledge, and experience in English in both written and oral forms.

【到達目標】

This course aims to improve students overall English fluency in both spoken and written forms. The students will learn to express their ideas clearly in writing at the paragraph level. The students will also improve their oral fluency by discussing issues in pairs or groups and making speeches for a variety of situations and topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Class time is divided equally among the 8 units of the 2nd half of the textbook and each unit will be covered in 2 weeks. In the 2nd week, after completing each unit, students will spend time discussing/debating the topics introduced in that unit. A paragraph writing assignment will also be given based on the topics in selected units allowing the students to express their opinions in writing. There will be periodic quizzes on material studied.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Ice breakers Review of past tense	Ice breakers Compare activities over the summer
Week 2	Unit 5 Going places: vocabulary & listening	Describing vacation plans Stating personal plans in the future
Week 3	Unit 5 Going Places: reading & speaking	Giving travel advice Explaining future plans Using modals for necessity & suggestion
Week 4	Unit 5 Going Places: reading & speaking	Discuss how to do activities Write paragraph on a process
Week 5	Unit 6 Complaints, requests, excuses, apologies: vocabulary & listening	Making requests Accepting and refusing
Week 6	Unit 6 Complaints, requests, excuses, apologies: reading & speaking	Complaining, apologizing, making excuses

Week 7	Unit 6 Complaints, requests, excuses, apologies: discussion & writing	Discuss making apologies and giving excuses Writing: 3 suggestions for handling a situation
Week 8	Quiz Units 5-6 Unit 7 What do you use this for: vocabulary & listening	Quiz Units 5-6 Use of technology Using infinitives of purpose
Week 9	Unit 7 What do you use this for: reading & speaking	Using imperatives & infinitives Giving advice
Week 10	Unit 7 What do you use this for: discussion & writing	Discuss advice for problems Write about uses for technological devices
Week 11	Unit 8 Time to celebrate: vocabulary & listening	Describing holidays & festivals Relative clauses of time
Week 12	Unit 8 Time to celebrate: reading & speaking	Discussing pros and cons Adverb clauses of time
Week 13	Unit 8 Time to celebrate: discussion & writing	Discuss customs & celebrations
Week 14	Quiz: units 7-8 Presentation	Quiz: units 7-8 Presentation on a process

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

【テキスト (教科書)】

Interchange 2 (5th edition), Jack C. Richards (Cambridge University Press)
Students' book ISBN 978-1-316-62023-6

【参考書】

Interchange 2, Jack C. Richards (Cambridge University Press)
Workbook
Vocabulary development:
<https://quizlet.com/KreggJ>
<https://www.memrise.com/>

【成績評価の方法と基準】

Grade points are given for the satisfactory completion of assignments, performance on quizzes, as well as for the degree of class participation and attendance.

Homework 25%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

*In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on listening strategies vocabulary development & communication & discussion skills.

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on "WebClass", the University's Learning Management System.

【Outline (in English)】

Course outline:

This course deals with the development English communication in written and spoken forms. It also enhances the development of students' skills in listening and, grammar usage, and vocabulary development.

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Express opinions, knowledge and experience orally and in writing.
- Participate in and lead discussions on topics introduced in class.
- Make presentations in small groups and in front of the class.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to have completed the assigned homework exercises after each class meeting and review before each in-class quiz given. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria:

Homework 25%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

鈴木 真奈美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、英語のライティングとスピーキングを中心に学習しますが、リーディング、リスニングも含めた4技能を統合的に発展させることを目標とします。クラスでは英語でのコミュニケーションの機会がたくさんあります。ディベートやグループプレゼンテーションも行います。このような授業に積極的に参加することで良い学習環境をともに創造していきましょう。

【到達目標】

You will try to achieve four goals: 1) to improve your English writing and speaking communicative competence; 2) to know and understand yourself better; 3) to think of your future life and career through the course work; and 4) to progress your English proficiency (listening, speaking, reading and writing) holistically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

You will learn:

- 1) communication strategies (e.g., shadowing and summarizing)
- 2) basic English writing knowledge (e.g., organization, topic sentences, how to write a letter or an e-mail)
- 3) presentation/debate skills and strategies
- 4) collaborative learning
- 5) the importance of understanding various perspectives on controversial issues and logical thinking
- 6) practice making small talk in every class

*I will give you my oral and written feedback on your assignments in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction Writing: Goals and Self-introduction	I will introduce this course. You will learn how to introduce yourself. You will set your goals for this semester and this English course and write them in English.
2	Speaking: Self-Introduction Thank-you Letter	You will introduce yourself in class. You will learn how to write a thank-you letter.
3	Shadowing and Summarizing	You will watch a DVD on shadowing and summarizing in class.
4	Review of Shadowing and Summarizing Units 1-2	You will review shadowing and summarizing. pp.10-17
5	Units 3-4	pp.18-25

6	Preparation for Debates	You will learn about debates and prepare for your debates on issues you select.
7	Debate	You will do the debate.
8	Debate	You will continue to do the debate.
9	Units 5-6 Preparation for a Group Presentation	pp.26-33 You will prepare for a group presentation.
10	Presentation	You will make a group presentation.
11	Presentation	You will continue to make a group presentation.
12	Units 7-8	pp.34-41
13	Units 9-10	pp.42-49
14	Discussion Review Reflection	You will discuss your favorite topics with your classmates. You will review what you have learned in this class and discuss impressive units with your classmates. You will reflect on your academic achievement this semester.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You are expected:

- 1) to read assigned units and look up words and phrases you don't know in the dictionary before the class.
- 2) to watch or listen to an English program regularly.

University guidelines suggest preparation and review are around four hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Title: Impact Issues 3: Presenting your ideas in English (3rd Edition)

Authors: Richard R. Day, Joseph Shaules, and Junko Yamanaka

Publisher: Pearson Education South Asia

Publishing Year: 2019

【参考書】

Longman Dictionary of Contemporary English

【成績評価の方法と基準】

class participation (20%), presentation (5%), debate (5%) assignments (10%), and final examination (60%)

*If you have four absences per semester without permission, do not debate, do not make a group presentation, or do not take a term examination, you cannot receive a credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

I hope that we will enjoy learning English together.

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (Hosei's Educational Internet System), E-mail, computer, USB

【その他の重要事項】

What you are expected for every class:

- 1) to bring an English-English dictionary
- 2) to contact me when you are absent from class

*Good manners and collaborative learning are important in this class.

【Outline (in English)】

You will learn English writing and speaking mainly in this class. However, this course aims to enhance your English (listening, speaking, reading and writing) holistically. You will have a lot of chances to communicate with your classmates and me in English. You will also debate and make a group presentation with your classmates. You are expected to make a good learning community through participation in this class.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

鈴木 眞奈美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、英語のライティングとスピーキングを中心に学習しますが、リーディング、リスニングも含めた4技能を統合的に発展させることを目標とします。クラスでは英語でのコミュニケーションの機会がたくさんあります。ディベートやグループプレゼンテーションも行います。このような授業に積極的に参加することで良い学習環境をともに創造していきましょう。

【到達目標】

You will try to achieve four goals: 1) to improve your English writing and speaking communicative competence; 2) to know and understand yourself better; 3) to think of your future life and career through the course work; and 4) to progress your English proficiency (listening, speaking, reading and writing) holistically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

You will learn:

- 1) communication strategies (e.g., shadowing and summarizing)
- 2) basic English writing knowledge (e.g., organization, topic sentences)
- 3) presentation skills
- 4) collaborative learning
- 5) the importance of understanding various perspectives on controversial issues and logical thinking
- 6) practice making small talk in every class

*I will give you my oral and written feedback on your assignments in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction; Review; Setting Goals	I will introduce this course. You will review what you learned in the previous semester. You will set your goals for this semester and this English course and write them in English.
2	Units 11	pp.50-53 You will discuss the topic of each chapter.
3	Units 12	pp.54-57 You will discuss the topic of each chapter.
4	Unit 13	pp.58-61 You will discuss the topic of each chapter.
5	Unit 14	pp.62-65 You will discuss the topic of each chapter.

6	Unit 15	pp.66-69 You will discuss the topic of each chapter.
7	Unit 16	pp.70-73 You will discuss the topic of each chapter.
8	Preparation for Presentation	You will prepare for your presentation.
9	Presentation	You will make a presentation.
10	Presentation	You will continue to make a presentation.
11	Presentation	You will continue to make a presentation
12	Units 17-18	pp.74-81 You will discuss the topic of each chapter.
13	Review	You will review what you learn in this class and discuss impressive units with your classmates.
14	Discussion Reflection	You will discuss your favorite topics with your classmates. You will reflect on your academic performance and set your goals for the next academic year.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You are expected:

- 1) to read assigned units and look up words and phrases you don't know in the dictionary before the class.
 - 2) to watch or listen to an English program regularly.
- University guidelines suggest preparation and review are around four hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Title: Impact Issues 3: Presenting your ideas in English (3rd Edition)

Authors: Richard R. Day, Joseph Shaules, and Junko Yamanaka

Publisher: Pearson Education South Asia

Publishing Year: 2019

【参考書】

Longman Dictionary of Contemporary English

【成績評価の方法と基準】

class participation (20%), presentation (20%), assignments (10%), and final examination (50%)

*If you have four absences per semester without permission, do not make a group presentation, or do not take a term examination, you cannot receive a credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

I hope you will come to like studying English more and that you will keep on learning English.

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (Hosei's Educational Internet System), E-mail, computer, USB

【その他の重要事項】

What you are expected for every class:

- 1) to bring an English-English dictionary
- 2) to contact me when you are absent from class

*Good manners and collaborative learning are important in this class.

【Outline (in English)】

You will learn English writing and speaking mainly in this class. However, this course aims to enhance your English (listening, speaking, reading and writing) holistically. You will have a lot of chances to communicate with your classmates and me in English. You will also debate and make a group presentation with your classmates. You are expected to make a good learning community through participation in this class.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to improve students' understanding and use of business phrases and terms to become more proficient when using English at work.

【到達目標】

Students should be able to communicate in a variety of business situations that they may encounter when working with English-speaking people.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This will be a real-time class at the Ichigaya campus. Each class will incorporate short lectures supplemented by textbook exercises, class discussions, and group activities. Students will receive feedback on homework assignments and in class activities throughout the term either in person or through email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり/Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Class overview	Course goals Expectations of students Introductions
Class 2	Unit 1 Careers	Business phone calls
Class 3	Unit 1 Careers	You Juice case study
Class 4	Unit 2 Companies	Describing companies
Class 5	Unit 2 Companies	Dino Conti case study
Class 6	Unit 3 Selling	Participating in negotiations
Class 7	Unit 3 Selling	Negotiating role play
Class 8	Unit 4 New Products	Conducting a meeting
Class 9	Unit 4 New Products	PB Technologies role play
Class 10	Unit 5 Work-related Stress	Agreeing & Disagreeing
Class 11	Unit 5 Work-related Stress	Davies-Miller case study
Class 12	Unit 6 Entertaining	Socializing & Making small talk
Class 13	Final exam review	Listening & Vocabulary
Class 14	Final exam units 1-6	In-class exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Pre-Intermediate Market Leader 3rd edition (Pearson)

ISBN: 978-1-4082-3737-6

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

30%-Classroom activities

40%-Outside assignments

30%-Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None

【Outline (in English)】

Classes will integrate short lectures with listening and group speaking activities with the aim of improving oral communication skills. Students will also be expected to complete outside reading & writing assignments.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金2/Fri.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course is designed to improve students' oral and written communication skills through a variety of assigned listening, speaking and writing activities, both in and outside the classroom. Focus will be on regular student input with instructor feedback.

【到達目標】

Upon completion of the course, students should be more confident in expressing their ideas on a variety of topics, both orally and in writing. Through in-class group discussions and assigned readings, students will be able to broaden their vocabulary and make themselves understood with improved enunciation and solid reasoning. Through in-class practice exercises, students will be able to write a short essay with a clear topic sentence, logical support and summary.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will start with a brief explanation of the course objective(s) for that day. A brief introductory lecture by the instructor will be followed by textbook (Perspectives 2) exercises, both listening and speaking. Students will be encouraged to "step out of their comfort zone" and speak out without hesitation or fear of making mistakes. Regular verbal feedback will be given on in-class work and written feedback on outside class assignments.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Course Overview	Explanation of course goals & student expectations	Student interviews of summer holiday activities
Unit 6	Overcoming disabilities	Using the first & second conditional
Unit 6	Expressing oneself in writing	Writing an informal email to a colleague
Unit 7	Contrasting use of the active vs. passive voice	Shopping role play
Unit 7	Recognizing non-verbal vs verbal communication clues	Using appropriate pragmatic expressions
Unit 8	Understanding cultural differences in communication	High vs. Low context speaking role play

Unit 8	Using the appropriate voice in different situations	Writing a complaint email to a store
Unit 9	Using relative clauses in daily speech	Group PB Technologies role play
Class 9	Comparing digital vs analog forms of communication	Selecting the right media to express one's thoughts
Unit 10	Using time expressions with phrasal verbs	Talking about weekly / monthly plans
Unit 10	Setting priorities in daily life	Sharing key priorities at school & home
Individual speech	Individual speech	3-minute speech (topic to be assigned)
Individual speech	Individual speech	3-minute speech (topic to be assigned)
Final exam	Units 6-10	Multiple choice & short answer

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

2-3 hours per week based on class preparation & outside assignments

【テキスト (教科書)】

Perspectives 2

Publisher: National Geographic Learning

ISBN: 979-8-214-33460-8

【参考書】

None required

【成績評価の方法と基準】

25%—Individual speech

25%—Outside assignments

25%—Class participation

25%—Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

A new course textbook has been adopted for this year.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

Students will be expected to come to every class, having done any assigned homework and other necessary preparations. Classroom listening and speaking activities will be centered around the course textbook (Perspectives 2) as well as group discussions on current topics. Students will spend approximately 2-3 hours each week on homework and class preparation.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

ジェフリー B タロフスキー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based English language course which uses horror films as the content of the course. Themes covered include shifting aesthetic standards and the history of Western moral values, cultural taboos and universals, iconography and censorship.

【到達目標】

For first year students who have successfully completed their high-school English classes.

There will be an initial focus on listening and note taking skills supplemented by readings which both reinforce the lectures and introduce additional topics for writing and discussion. Throughout the semester writing skills will emphasize the production of paragraphs with proper topic and supporting sentences along with a clear conclusion. Students will comment on lectures and readings and ask and answer questions during each class.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students watch excerpts from selected films, listen to lectures, read transcripts of the lectures, read additional supporting materials, do worksheets and on line research in order to prepare writing assignments and ask and answers questions, make comments and take weekly quizzes.

During live classes focused on writing feedback will be provided throughout the class as students work on assignments individually and in small groups. During classes which focus on small group discussions students will receive immediate feedback following their discussions. Written work submitted by students will receive written commentary within three weeks of submission.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction to the course Lecture #1 Web class #1, Lecture #1 What Is Horror? Excerpts from Phantom of the Opera (1925) and Nosferatu: A Symphony of Terror(1922)	Transcript of lecture, Worksheet : What is Horror?Class #1 . Homework : Read and understand Writing worksheet #1 . Do Writing Assignment #1 and print it out so you can submit it during class #2.

Week 2	Class #2. Writing Workshop . Submit Assignment #1 for peer correction (what is that?) . Return the peer corrected assignment to the writer and review Worksheet #2. (Time permitting) Worksheet #3 : Expository Writing .	Homework : Discussion topics Distributed Writing Assignment #2 From The Subjective to the Objective
Week 3	Lecture #2 from Web Class #2 The Man of 1,000 faces: Excerpts from The The Hunchback of Notre Dame (1923).	Transcript of lecture 2 , Reading: Lon Chaney Quiz #1
Week 4	Lecture #3 from Web class #3 The Ugly and the Evil. Excerpts from The Phantom of the Opera.	Transcript of lecture 3 , Reading: The Gruesome Twosome: Lon Chaney and Tod Browning . Quiz#2 Choose Discussion topics
Week 5	Lecture #4 from Web class 4 The Real Monsters: Tod Browning's Freaks	Transcript of lecture 4 , HW Reading : London After Midnight (1926). Quiz #3 Prepare for discussions. Each group will have between fifteen and thirty minutes to discuss the topic of their choosing
Week 6	First half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Lecture #5 Web class 5 :Replacing Lon Chaney? Carl Laemmle looks towards home. Paul Leni's Waxworks (1924). The Cat and The Canary	Transcript of lecture 5 , Reading : Who Thought of it First? Quiz #4

Week 7	Second half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Lecture #5 Web class 5 :Replacing Lon Chaney? Carl Laemmle looks towards home. Paul Leni's Waxworks (1924). The Cat and The Canary	Transcript of lecture 5 , Reading : Who Thought of it First? Quiz #5
Week 8	Web class #6, Lecture #6 : What went wrong with The Man Who Laughs (1928)? In class writing exercise #2	Transcript of lecture 6 , Reading: The Crash of 1929 and The Great Depression. Quiz #6
Week 9	Web Class #7 , Lecture #7 : Murnau's Nosferatu (1922) Bram Stoker and Merhage's Shadow of The Vampire (2000) . Complete writing exercise #2	Transcript of lecture 7 , Reading : The Historical Dracula Quiz #7 Choose Discussion topics Discussion topics Distributed Read: Writing Worksheet #4 . Do: Writing Assignment #3
Week 10	Writing Workshop Review Writing Worksheet #4 and Assignment #3	Homework: Read: Writing worksheet #5 Do: Writing Assignment #4 (will be due to be submitted on line by Class #12)
Week 11	Web class #9, Lecture #9 Universal's search for a Dracula, Excerpts from Dracula (1931)	Transcript of lecture 9, HW Reading Bela Lugosi Quiz # 8
Week 12	Web class #10, Lecture #10 What was missing from Dracula? Excerpts from Shadow Of The Vampire and Bram Stoker's Dracula and Interview With A Vampire	Transcript of lecture 10, Reading : The origins of Evil. Quiz # 9

Week 13	First half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Web class #11, Lecture #11 What did Dracula think about being a vampire? Another look at Dracula (1931), Nosferatu (1922) and Bram Stoker's Dracula.	Transcript of lecture.#11 Reading : The Origins of Evil . Quiz #10
Week 14	Second half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Web class #11, Lecture #11 What did Dracula think about being a vampire? Another look at Dracula (1931), Nosferatu (1922) and Bram Stoker's Dracula.	Transcript of lecture.#11 Reading : The Origins of Evil . Quiz #10

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
There will be homework assigned each week which will include both reading and listening assignments and may also include a writing component as well as research on line.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

All the materials for this course will be provided by the instructor or will be available on line for free.

【参考書】

Students should familiarize themselves with how to use online dictionaries.

【成績評価の方法と基準】

There are three components to the grade. 1) There are between eight and ten quizzes this semester. The average score of these quizzes will be 30%of the grade. The instructor may , (entirely at his discretion) , drop the lowest one or two quiz grades for the entire class or on a case by case basis if a student has a legitimate reason for failing to submit a quiz . 2) The writing component of the class counts for an additional 30%of the grade. The discussions /presentations count for a further 30%of the grade . The final 10%of the grade will be weighted according to which of the three areas the student achieved the highest score.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Students have asked for more guidance in their writing assignments and so there will be more time provided for that as well as some additional support materials.

【学生が準備すべき機器他】

Students should have a laptop computer for the "writing workshop" days of the class .

【Outline (in English)】

The learning objectives for this class are as follows: there will be a focus on listening and note taking skills supplemented by readings which both reinforce the lectures and introduce additional topics for writing and discussion. Throughout the semester writing skills will emphasize the production of expository paragraphs with proper topic and supporting sentences along with a clear conclusion. Students will comment on lectures and readings and ask and answer questions.

Students are expected to study for a total of 1-2 hours outside of class for each lecture.

Outside of class time Students are required to read the text for the week's assigned lesson on the website and listen to the lectures and review the excerpts from the films . This requires a minimum of between 1 and 2 hours of work outside of class.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

ジェフリー B タロフスキー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based English language course which uses horror films as the content of the course. Themes covered include shifting aesthetic standards and the history of Western moral values, cultural taboos and universals, iconography and censorship.

【到達目標】

For first year students who have successfully completed their high-school English classes.

There will be an initial focus on listening and note taking skills supplemented by readings which both reinforce the lectures and introduce additional topics for writing and discussion. Throughout the semester writing skills will emphasize the production of paragraphs with proper topic and supporting sentences along with a clear conclusion. Students will comment on lectures and readings and ask and answer questions during each class.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students watch excerpts from selected films, listen to lectures, read transcripts of the lectures, read additional supporting materials, do worksheets and on line research in order to prepare writing assignments and ask and answers questions, make comments and take weekly quizzes.

During live classes focused on writing feedback will be provided throughout the class as students work on assignments individually and in small groups. During classes which focus on small group discussions students will receive immediate feedback following their discussions. Written work submitted by students will receive written commentary within three weeks of submission.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Writing workshop #3 Writing Worksheet #6 Supporting sentences . Writing worksheet #7 Plagiarism.	Homework: Writing Assignment #5 Due to be submitted on line before the next class .
Week 2	Website Class #13. Screening of Frankenstein (1931) in ten parts. Watch the film one part at a time as you simultaneously complete Quiz #11	Transcript of lecture Reading: Go back to Website Class #12 and review the reading: Mary Shelley, at the very end of the unit. Quiz #11 (which requires you to listen for the missing word).

Week 3	Website Class #14 .The Production of Frankenstein, Breaking of Taboos (including the fourth Wall) , “recycled parts” , The Great Ray of Life.	Transcript of Lecture Research: Go on line and learn all you can about the Myth of Prometheus HW Reading: The Origins of Evil : Brief Review (important enough to go over again) Discussion topics distributed Quiz#12
Week 4	Website Class #15, The Gift of Fire, Blas-phemy,Pronouns.	Transcript of lecture HW ; Think about why Frankenstein and Waldman shut out the light. Reading: Boris Karloff Quiz#13 . Choose Discussion Topics
Week 5	Website Class #16 The Reveal , audience reaction, Karloff’s performance, vivisection , The gift of a flower, A final symbol	Transcript of Lecture Reading :The First Horror Sequel Practice Discussions for a minimum of one hour. Quiz #14
Week 6	Half of the class engages in small group discussions while the other half does Website Class #17, The First Horror Sequel. Excerpts from The Bride of Frankenstein (1935) .	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing. Groups not presenting doReading : The Hollywood Production Code Quiz#15
Week 7	Half of the class engages in small group discussions while the other half does Website Class #17, The First Horror Sequel. Excerpts from The Bride of Frankenstein (1935) .	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing. Groups not presenting doReading : The Hollywood Production Code Quiz#15
Week 8	Writing Workshop #4 Writing worksheet #8 Facts, examples and arguments	Writing assignment #6 Turn in the assignment On line as well as printing out a copy for in class use during week #10
Week 9	Website class #18: Frankenstein and Censorship , ceasing production (briefly) . the Universal return to Horror	Transcript of Lecture Reading: The Fall of the House of Laemmle Quiz#16
Week 10	Writing workshop #5 Peer correction of Writing assignment #6	Website Class #19 : Excerpts from and Lecture on The Wolfman (1941) Reading: Werewolf Tales Discussion topics distributed Quiz#17

Week 11	Website Class #20: Hammer Studios reboots the Universal Classics , The best of the bunch: The Curse of the Werewolf (1961)	Transcript of Lecture Quiz #18 Choose Discussion topic
Week 12	Website Class #21. The conclusion of Curse of the Werewolf, an almost Shakespearean tragedy.	Transcript of lecture Reading : Internal Contradictions in Curse of the Werewolf and a Few Thoughts About Criticism . After lesson do Quiz #19
Week 13	First half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes writing exercise #6 in class	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing.
Week 14	Second half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes writing exercise #6 in class.	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing.

【Outline (in English)】

This is a content based English language course which uses horror films as the content of the course. Themes covered include shifting aesthetic standards and the history of Western moral values, cultural taboos and universals, iconography and censorship.

Outside of class time Students are required to read the text for the week's assigned lesson on the website and listen to the lectures and review the excerpts from the films . This requires a minimum of between 1 and 2 hours of work outside of class.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

There will be homework assigned each week which will include both reading and listening assignments and may also include a writing component as well as research on line.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

All the materials for this course will be provided by the instructor or will be available on line for free.

【参考書】

Students should familiarize themselves with how to use on line dictionaries.

【成績評価の方法と基準】

There are three components to the grade. 1) There are between eight and ten quizzes this semester. The average score of these quizzes will be 30%of the grade. The instructor may , (entirely at his discretion) , drop the lowest one or two quiz grades for the entire class or on a case by case basis if a student has a legitimate reason for failing to submit a quiz . 2) The writing component of the class counts for an additional 30%of the grade. The discussions /presentations count for a further 30%of the grade . The final 10%of the grade will be weighted according to which of the three areas the student achieved the highest score.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Students have asked for more guidance in their writing assignments and so there will be more time provided for that as well as some additional support materials.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

ジョナサン エイブル

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a course in understanding and using English in practical situations.

Classroom work will include discussion and presentation in small groups and individual study with personal attention from the instructor.

There will be writing exercises in alternate classes designed to improve the structure and grammatical quality of the students' written English.

【到達目標】

The aim of this class is to improve the communication skills of the students with a view to future use of the language in life during after University.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students are encouraged to speak to each other in English while in class. Writing assignments will be returned with comments and corrections face to face in class to facilitate understanding.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Getting to know the teacher and the other students in class.
2	Transport and travel 1	How we get around
3	Transport and travel 2	Where we go and why. Writing assignment.
4	Presentation preparation 1	Deciding groups and topics and planning a presentation
5	Presentation 1	Giving presentations in class and receiving feedback.
6	Location.	How we describe places and features of the world around us. Writing assignment.
7	Food	Explaining and describing our own food and talking about food around the world.
8	Entertainment.	How people around the world spend their leisure time. Writing assignment.
9	The Media	How we gather information and the issues around social media.
10	Presentation preparation 2	Topics and preparation for the second presentation
11	Presentation 2	Giving presentations in class and receiving feedback.

12	Sport	Why do we play sport? Writing assignment.
13	Music	Music as a social force in popular culture.
14	Test	Written self-assessment and short interview.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Materials provided in class will give students the opportunity to review the week's work and prepare for the next class.

Presentations will require student cooperation outside class hours.

【テキスト（教科書）】

Materials provided by instructor.

【参考書】

N/A

【成績評価の方法と基準】

Class participation 40%

Presentations 20%

Writing assignments 20%

Self-assessment and interview 20%

In principle only three absences per term are allowed

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

Students are expected to attend all classes and to actively participate in discussion and presentation activities.

Grade assessment is based on participation, achievement and attendance.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

ジョナサン エイブル

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a continuation of the course in understanding and using English in practical situations.

Classroom work will include discussion and presentation in small groups and individual study with personal attention from the instructor.

There will be writing exercises in alternate classes designed to improve the structure and grammatical quality of the students' written English.

【到達目標】

The aim of this class is to improve the communication skills of the students with a view to future use of the language in life during after University.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students are encouraged to speak to each other in English while in class. Writing assignments will be returned with comments and corrections face to face in class to facilitate understanding.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to part 2.	Setting out goals and explaining processes.
2	Culture	What is 'Culture' and how does it change? Writing assignment.
3	Language	How does language work and how does our own language relate to others?
4	Presentation preparation 1	Organising topics and groups for the first presentation
5	Presentation 1	Presenting in class and receiving feedback.
6	Crime	What is criminal and why? Writing assignment.
7	Appearance	The language of clothes and gender.
8	Feelings	Expressing emotion. Writing assignment.
9	Money	How we earn and use money.
10	Presentation preparation 2	Preparing the second presentation.
11	Presentation 2	Giving presentations in class and receiving feedback.
12	Time	What is time and how do we use it? Writing assignment.

13	Technology	The positive and negative effect of technology on our daily lives.
14	Test	Self-assessment and short interviews.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Materials provided in class will give students the opportunity to review the week's work and prepare for the next class.

Presentations will require student cooperation outside class hours.

【テキスト（教科書）】

Material provided by instructor.

【参考書】

N/A

【成績評価の方法と基準】

Class participation 40%

Presentations 20%

Writing 20%

Self-assessment and interview 20%

In principle only 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

This is a continuation of the course in understanding and using English in practical situations.

Classroom work will include discussion and presentation in small groups and individual study with personal attention from the instructor.

There will be writing exercises in alternate classes designed to improve the structure and grammatical quality of the students' written English.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

近藤 隆子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アカデミック・エッセイ、論文のアブストラクト、プレゼンテーションのスクリプトとスライドの書き方について扱う英語教材を通して、アカデミック・ライティングのスキルを養う。具体的には、自分の知識、経験、意見をフォーマルな英語で効果的に表現する力を育成する。また、自分の考えを的確に伝えるために必要な語彙や表現も学習する。

【到達目標】

- ・論理的構成をもつパラグラフを英語で書けるようになる
- ・英語で自分の意見を表現したり、グループでディスカッションする力を身につける
- ・他の学生の英語を聴いて理解し、質問できるようになる
- ・英語辞書を効果的に使うことができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生は予習として教科書等の指定された箇所を読み、問題を解いてから授業に臨んでください。授業では、基本的に教科書に沿って、エッセイを書くために必要な技法と語彙について説明していきます。ペアワーク・グループワークの時間を多く設け、予習で分からなかった箇所を学生同士で説明し合ったり、それぞれの意見を交換したりしてもらいます。課題へのフィードバックは学習支援システムと授業にて、適宜おこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要説明、自己紹介 等
第2回	Unit 1 Key Features of Academic Essay	エッセイの重要な特徴について学ぶ
第3回	Unit 2 Title of Your Essay	タイトルの決定について学ぶ
第4回	Unit 3 Introduction of Your Essay	イントロダクションの役割について学ぶ
第5回	Unit 4 Body of Your Essay	ボディの構造について学ぶ
第6回	Unit 5 Conclusion of Your Essay	コンクルージョンのまとめ方について学ぶ
第7回	Unit 6-1 Feedback from Others (教科書の内容確認)	フィードバックの方法について学ぶ
第8回	Unit 6-2 Feedback from Others (実際にフィードバックに挑戦)	第7回の授業で学んだことをもとにクラスメートのエッセイにフィードバックをする
第9回	Unit 7-1 Submitting Your Final Draft (教科書の内容確認)	エッセイの最終原稿提出に必要なプロセスを学ぶ

第10回	Unit 7-2 Submitting Your Final Draft (最終原稿を仕上げる)	第9回の授業で学んだことをもとにエッセイの最終原稿を提出する
第11回	筆記試験	試験・解説
第12回	Essay writing 1	様々なトピックに関するエッセイを書き、クラスメートにピア・レビューをしてもらったものを最終原稿に仕上げる（第1回）
第13回	Essay writing 2	様々なトピックに関するエッセイを書き、クラスメートにピア・レビューをしてもらったものを最終原稿に仕上げる（第2回）
第14回	Semester review	春学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教員の指示に従って教科書の指定範囲を予習する。

- ・ Warm-up Reading を読み、Comprehension Check に答える
 - ・ Put It into Practice で Organization（文の構成）、Language（言語表現スタイル）、Content（伝達する内容）について読み、練習問題をする
 - ・ Do It Yourself で各章で取り上げた技法を練習する
- 課題が出された場合は、期限までに解答したうえで授業に出席する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Akiko Miyama, Mitsuko Yukishige, Tomoko Onabe, Junko Murao & Ashley Moore. "3-Point Academic Writing: Organization, Content, Language" 金星堂、2019年

【参考書】

授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点・授業への貢献（グループ／ペアワークへの参加含む）35％、課題35％、筆記試験30％で評価します。欠席が4回以上の場合は原則的に単位修得を認めません（30分を超えた遅刻は1回の欠席とみなします）。また、遅刻・早退は減点の対象となります。オンライン授業（Zoom使用）の場合も同様で、授業の最初に出席状況を確認します。

【学生の意見等からの気づき】

成績評価の方法と基準を学生がきちんと理解できるように説明する。ペア・グループワークで学生がより一層積極的に参加するようにやり方を工夫する。

【学生が準備すべき機器他】

授業の中で、エッセイを書いたり、授業内容に関連するウェブサイトアクセスしたりする際、パソコンもしくはタブレットを使用します。また、資料の配布・課題の提出などには、学習支援システムを使用します。また、状況によっては、Zoomで授業を行うことがあります。

【その他の重要事項】

- ・初回の授業に出席してください
- ・授業には辞書を持参してください（英英辞典、英和・和英辞典どちらでも良い）
- ・積極的に授業に参加することが求められます
- ・授業中の携帯電話の使用は不可です
- ・遠隔の場合は代替案を授業中に指示します

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students develop their academic writing skills using a textbook that deals with how to write academic essays, abstracts, presentation scripts and slides in English. It will also help students learn the vocabulary and expressions necessary to accurately convey their thoughts.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Students should be able to write logically organized paragraphs
- Students should be able to effectively participate in and facilitate discussions
- Students should be able to use dictionaries effectively

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignments. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Grading will be decided based on examination (30%), homework assignments (35%), and in-class contribution (35%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

近藤 隆子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アカデミック・エッセイ、論文のアブストラクト、プレゼンテーションのスク립トとスライドの書き方について扱う英語教材を通して、アカデミック・ライティングのスキルを養う。具体的には、自分の知識、経験、意見をフォーマルな英語で効果的に表現する力を育成する。また、自分の考えを的確に伝えるために必要な語彙や表現も学習する。

【到達目標】

- ・論理的構成をもつパラグラフを英語で書けるようになる
- ・英語で自分の意見を表現したり、グループでディスカッションする力を身につける
- ・効果的なプレゼンテーションを行うための知識を身につける
- ・他の学生の英語を聴いて理解し、質問できるようになる
- ・英語辞書を効果的に使うことができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生は予習として教科書等の指定された箇所を読み、問題を解いてから授業に臨んでください。授業では、基本的に教科書に沿って、アブストラクトやプレゼンテーションのスク립ト、スライドを書くために必要な技法と語彙について説明していきます。ペアワーク、グループワークの時間を多く設け、予習で分からなかった箇所を学生同士で説明し合ったり、それぞれの意見を交換したり、英語でプレゼンテーションやディスカッションをしてもらいます。課題へのフィードバックは学習支援システムと授業にて、適宜おこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション、春学期の復習、Unit 8 Structure of a Research Paper	授業の概要説明、春学期の復習、リサーチ・ペーパーの構造とイントロダクションについて学ぶ
第2回	Unit 9 Key Concepts of an Abstract	アブストラクトの重要な特徴について学ぶ
第3回	Unit 10 First Draft of Your Abstract	アブストラクトの草案を書く
第4回	Unit 11 Rewriting Your Abstract	アブストラクトの最終原稿を仕上げる
第5回	Unit 12 Key Concepts of Presentations	プレゼンテーションの基本的特徴について学ぶ
第6回	Unit 13 Preparing Visual Aids	視覚資料を作成する
第7回	Unit 14 Finishing Your Scripts	発表原稿を完成させる
第8回	Unit 15 Evaluating Your Presentation	プレゼンテーションの評価の仕方を学ぶ
第9回	筆記試験	試験

第10回	プレゼンテーションの準備	グループでのプレゼンテーションの練習、教室でのppt・pcの動作確認
第11回	プレゼンテーション(1)	受講者によるプレゼンテーション、質疑応答
第12回	プレゼンテーション(2)	受講者によるプレゼンテーション、質疑応答
第13回	プレゼンテーション(3)	受講者によるプレゼンテーション、質疑応答
第14回	筆記試験の解説、まとめ	筆記試験の解説、まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教員の指示に従って教科書の指定範囲を予習する。

- ・ Warm-up Reading を読み、 Comprehension Check に答える
 - ・ Put It into Practice で Organization（文の構成）、Language（言語表現スタイル）、Content（伝達する内容）について読み、練習問題をする
 - ・ Do It Yourself で各章で取り上げた技法を練習する
- 課題が出された場合は、期限までに解答したうえで授業に出席する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Akiko Miyama, Mitsuko Yukishige, Tomoko Onabe, Junko Murao & Ashley Moore. "3-Point Academic Writing: Organization, Content, Language" 金星堂、2019年

【参考書】

授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点・授業への貢献（グループ／ペアワークへの参加含む）30％、課題20％、プレゼンテーション20％、筆記試験30％で評価します。欠席が4回以上の場合は原則的に単位修得を認めません（30分を超えた遅刻は1回の欠席とみなします）。また、遅刻・早退は減点の対象となります。オンライン授業（Zoom使用）の場合も同様で、授業の最初出席状況を確認します。

【学生の意見等からの気づき】

成績評価の方法と基準を学生がきちんと理解できるように説明する。ペア・グループワークで学生がより一層積極的に参加するようにやり方を工夫する。

【学生が準備すべき機器他】

授業の中で、エッセイを書いたり、授業内容に関連するウェブサイトアクセスしたりする際、パソコンもしくはタブレットを使用します。また、資料の配布・課題の提出などには、学習支援システムを使用します。また、状況によっては、Zoomで授業を行うことがあります。

【その他の重要事項】

- ・ 初回の授業に出席してください
- ・ 授業には辞書を持参してください（英英辞典、英和・和英辞典どちらでも良い）
- ・ 積極的に授業に参加することが求められます
- ・ 授業中の携帯電話の使用は不可です
- ・ 遠隔の場合は代替案を授業中に指示します

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students develop their academic writing skills using a textbook that deals with how to write academic essays, abstracts, presentation scripts and slides in English. It will also help students learn the vocabulary and expressions necessary to accurately convey their thoughts.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- － Students should be able to write logically organized paragraphs
- － Students should be able to effectively participate in and facilitate discussions and give presentations

- Students should acquire effective listening skills
- Students should be able to use dictionaries effectively

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignments. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Grading will be decided based on examination (30%), presentations (20%), homework assignments (20%), and in-class contribution (30%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

小坂 恵理子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The aim of the course is to help the learner enhance his/her writing/speaking skills while grasping newly acquired English terms and phrases. To do this, we will engage in various in-class writing and speaking exercises so that the learner will become better equipped to effectively navigate through a diverse range of social topics and settings and thus become a stronger more confident communicator.

【到達目標】

You will develop stronger writing and speaking skills and acquire vocabulary to be better equipped to become a more effective communicator in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ① Assist in understanding and practicing the use of the vocabulary introduced in each unit through creating sentences and doing oral exercises
- ② Instruct how to listen carefully to the conversation modules and effectively comprehend the content.
- ③ Provide feedback to assignments submitted.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Session 1	Orientation Unit 1: What the World Needs Now	① Orientation ② Unit 1 ③ Exercises
Session 2	Creating a Sustainable Environment	(Unit 1, cont.) ① Vocabulary & paragraph writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion exercise
Session 3	World Blood Supply	(Unit 2.) ① Vocab quiz ② Unit 2 ③ Writing exercises
Session 4	Mending National Ties	(Unit 2, cont.) ① Vocabulary & paragraph writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion exercise
Session 5	On Animal Poaching	(Unit 3.) ① Vocab quiz and recitation ② Unit 3 ③ Exercises

Session 6	On Poaching Regulations	(Unit 3, cont.) ① Vocabulary & writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion
Session 7	Reflect and Review	Midterm exam, summary and feedback
Session 8	On Armament	(Unit 4) ① Vocab quiz ② Unit 4 ③ Exercises
Session 9	Impacts of War	(Unit 4, cont.) ① Vocabulary & writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion
Session 10	Climate Change (1)	(Unit 5) ① Vocab quiz and recitation ② Unit 5 ③ Exercises
Session 11	Climate Change (2)	(Unit 5, cont.) ① Vocabulary & writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion exercise
Session 12	Smart Roads and Cars (1)	(Unit 6) ① Vocab quiz ② Unit 6 ③ Exercises
Session 13	Smart Roads and Cars(2)	(Unit 6, cont.) ① Vocab quiz and recitation ② supplemental reading ③ Exercises
Session 14	Reflect and Review	Final exam, summary and feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Title : Global Concepts: English for International Understanding
Authors : Jim Knudsen
Publisher: Nan'un-do
Published Year : 2012
ISBN: 9784523176886
Price : 2090 yen

【参考書】

Having access to an English-English dictionary and an English-Japanese dictionary is an essential when learning to understand the main points of study that will be covered in class.

【成績評価の方法と基準】

Active participation 20%, mid-term and final exams 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations/group activities 20%

【学生の意見等からの気づき】

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

【Outline (in English)】

The aim of the course is to help the learner enhance his/her writing/speaking skills while grasping newly acquired English terms and phrases. To do this, we will engage in various in-class writing and speaking exercises so that the learner will become better equipped to effectively navigate through a diverse range of social topics and settings and thus become a stronger more confident communicator.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

小坂 恵理子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The aim of the course is to help the learner enhance his/her writing/speaking skills while grasping newly acquired English terms and phrases. To do this, we will engage in various in-class writing and speaking exercises so that the learner will become better equipped to effectively navigate through a diverse range of social topics and settings and thus become a stronger more confident communicator.

【到達目標】

You will develop stronger reading and speaking skills and acquire vocabulary to be better equipped to become a more effective communicator in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

① Assist in understanding and practicing the use of the vocabulary introduced in each unit through creating sentences and doing oral exercises

② Instruct how to listen carefully to the conversation modules and effectively comprehend the content.

③ Provide feedback to assignments submitted.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Session 1	1. Catching Up 2. Unit 7: Endangered Languages	① What you did last summer ② Unit 7 ③ Group Exercises
Session 2	Endangered Languages (2)	(Unit 7, cont.) ① Vocabulary & writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion exercise
Session 3	Gender Gap	(Unit 8.) ① Vocab quiz ② Unit 8 ③ Exercises
Session 4	Gender Gap (2)	(Unit 8, cont.) ① Vocabulary & writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion exercise
Session 5	World Conflict and the UN	(Unit 9) ① Vocab quiz and recitation ② Unit 9 ③ Exercises

Session 6	World Health and the UN	(Unit 9, cont.) ① Writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion
Session 7	Reflect and Review	Midterm exam, summary and feedback
Session 8	Virtual Tools	(Unit 10) ① Vocab quiz ② Unit 10 ③ Exercises
Session 9	Virtual Tools (2)	(Unit 10, cont.) ① Vocabulary & writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion
Session 10	Apology (1)	(Unit 11) ① Vocab quiz and recitation ② Unit 11 ③ Exercises
Session 11	Apology (2)	(Unit 11, cont.) ① Vocabulary & writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion exercise
Session 12	Sports and Drugs (1)	(Unit 12) ① Vocab quiz ② Unit 12 ③ Exercises
Session 13	Sports and Drugs (2)	(Unit 12, cont.) ① Vocab quiz and recitation ② supplemental reading ③ Exercises
Session 14	Reflect and Review	Final exam, summary and feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Title : Global Concepts: English for International Understanding

Authors : Jim Knudsen

Publisher: Nan'un-do

Published Year : 2012

ISBN: 9784523176886

Price : 2090 yen

【参考書】

Having access to an English-English dictionary and an English-Japanese dictionary is an essential when learning to understand the main points of study that will be covered in class.

【成績評価の方法と基準】

Active participation 20%, mid-term and final exams 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations・group activities 20%

【学生の意見等からの気づき】

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

【Outline (in English)】

The aim of the course is to help the learner enhance his/her writing/speaking skills while grasping newly acquired English terms and phrases. To do this, we will engage in various in-class writing and speaking exercises so that the learner will become better equipped to effectively navigate through a diverse range of social topics and settings and thus become a stronger more confident communicator.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

Robert D. Hinton

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to introduce students to a variety of topics related to culture of English speaking countries.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy, and knowledge in the areas of language and culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback for the previous class will be given in the form of comments on submitted assignments. In this course students will have many opportunities to improve speaking, listening, reading and writing skills. Students will be encouraged to learn these skills through a variety of communicative and task based activities. Each week, students will participate in a myriad of activities to advance speaking, listening, reading and writing skills. Particular attention will be focused on improving communication skills. Students will be empowered with the skills to become more confident and competent communicators. Pair and group work, as well as individual presentations will be utilized.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, understanding the course goals, student information	Basic information about procedure
Week 2	Culture study - focus New York	Brainstorming and learning about New York City
Week 3	Personality scales survey	Group work - creating a personality quiz
Week 4	Personality presentation	Student presentations
Week 5	American justice system	A study of judges and courts in USA
Week 6	Crime and punishment	Students will decide what punishments are appropriate for crimes
Week 7	survival in nature	Students will take a survival quiz
Week 8	Survival in society	Techniques for surviving
Week 9	Survival in differing environments	Dealing with culture shock
Week 10	Learning about Tokyo	Students will discover areas of interest in Tokyo
Week 11	Tokyo critique presentation	Student presentations

Week 12	Group work for study of the culture of a foreign country	Students will do research about the culture/society of a foreign country and create a poster
Week 13	"Group A" students give presentations	Student presentations/note taking for "Group B"
Week 14	"Group B" students give presentations	Student presentations/note taking for "Group A"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be assigned a one page report and/or do preparation for the next class.

University guidelines suggest preparation and review are around 4hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is required for this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

I appreciate student feedback and alter course materials based on that information.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

Robert D. Hinton

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to introduce students to a variety of topics related to culture of English speaking countries.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy, and knowledge in the areas of language and culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback for the previous class will be given in the form of comments on submitted assignments. In this course students will have many opportunities to improve speaking, listening, reading and writing skills. Students will be encouraged to learn these skills through a variety of communicative and task based activities. Each week, students will participate in a myriad of activities to advance speaking, listening, reading and writing skills. Particular attention will be focused on improving communication skills. Students will be empowered with the skills to become more confident and competent communicators. Pair and group work, as well as individual presentations will be utilized.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Holiday	Students will do an interactive activity about their holiday
Week 2	Culture study - focus Australia	Students will collect information about Australia from a travel documentary
Week 3	American icon - Oprah Winfrey	Information search about this icon
Week 4	Oprah Winfrey - a biography of success	Students will learn more about this Oprah and start their research project
Week 5	Icon research project	Student will prepare for presentations, peer feedback
Week 6	Icon presentations	Student presentations
Week 7	Film critique/ review	How to write a critique/ review
Week 8	Group work on film critique	Students will work in groups to prepare for presentations
Week 9	Group presentations	Group presentations
Week 10	Race relations in USA	Students will learn about different ethnic groups in USA
Week 11	Stereotyping	How stereotyping occurs and related issue

Week 12 Culture differences Students will do a simulation activity

Week 13 Mass media How stereotyping occurs and related issue

Week 14 Commercials Students will evaluate the appeal of commercials

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be assigned a one page report and/or do preparation for the next class.

University guidelines suggest preparation and review are around 4hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is required for this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

I appreciate student feedback and alter course materials based on that information.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

衣笠 正晃

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常のなかの多様なトピックについて知識や経験、意見を効果的に平易な英語で表現できる力を身につけることを目的とします。学生にとって身近な話題を素材にしたテキストを用いて、意見発表や意見交換の練習、論理的構成をもつパラグラフを書く練習をおこないます。

【到達目標】

- 1) トピックに関する英語情報を聴き取り／読み取り、整理できるようになる。
- 2) 自分の知識や経験、意見を、わかりやすい英語で表現できるようになる。
- 3) 論理的な構成をもったパラグラフを英語で書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原則としてテキストの各章を2週にかけて学びます。1週目にはトピックに関する語彙の習得・理解、教材の視聴（聴き取り）、それにもとづく口頭でのリテリングや意見発表の練習をおこないます。2週目にはトピックにもとづく英文（パラグラフ）作成の練習をおこないます。毎回予習確認のためにクイズ（小テスト）を実施し、リアクションシートを提出してもらいます。リアクションシートのコメント・質問には授業や学習支援システムでフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	学期授業計画の説明
2	A Day on a Film Set (映画産業について) (1)	教科書 Unit 1 にもとづくスピーキング（リテリングやディスカッション）
3	A Day on a Film Set (映画産業について) (2)	教科書 Unit 1 にもとづくライティング
4	Jobray the Artist (アート教育の意義) (1)	教科書 Unit 2 にもとづくスピーキング
5	Jobray the Artist (アート教育の意義) (2)	教科書 Unit 2 にもとづくライティング
6	Horseback Library (情報インフラの整備) (1)	教科書 Unit 3 にもとづくスピーキング
7	Horseback Library (情報インフラの整備) (2)	教科書 Unit 3 にもとづくライティング
8	Arctic Football (スポーツとeスポーツ) (1)	教科書 Unit 4 にもとづくスピーキング
9	Arctic Football (スポーツとeスポーツ) (2)	教科書 Unit 4 にもとづくライティング

10	Volunteer Hairdresser (ボランティア活動) (1)	教科書 Unit 6 にもとづくスピーキング
11	Volunteer Hairdresser (ボランティア活動) (2)	教科書 Unit 6 にもとづくライティング
12	Truths About Common Illnesses (風邪などの病気の真実)	教科書 Unit 7 にもとづくスピーキングとライティング
13	Shona Faces Her Fears (不安や恐れへの対応策)	教科書 Unit 8 にもとづくスピーキングとライティング
14	学期末試験とまとめ	筆記による試験+学期授業の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指示に従って（付属Web動画の視聴を含めて）テキストを予習し、問題の解答を作成するとともに、語彙や知識の整理をおこない、トピックに関する口頭での意見発表の準備をおこなう。またトピックに関連する英文（パラグラフ）を作成する。

※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Azusa Wada ほか（著）*Global Gate Intermediate*（成美堂、2024年）税抜価格2,700円

※このほか必要に応じてプリントを配付・使用します。

【参考書】

随時授業中に指示します。なお授業には辞書を持参してください。

【成績評価の方法と基準】

・平常点（授業参加度、小テスト、提出物など。60%）、学期末試験（40%）をあわせて評価します。評価にあたっては【到達目標】の各項目がどの程度達成できているかに注目します。

・欠席が学期中4回以上となった場合は原則として単位修得の資格を失います。なお遅刻3回は欠席1回としてカウントします。

【学生の意見等からの気づき】

学生同士によるグループワーク、ペアワークを多く実施したことについて、履修者から好評を得ました。ピアレビューを通じた自発的な気づきや学びの機会として、今後も積極的に生かしてゆきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

資料の配付や課題の提出、授業に関する連絡など、学期を通じて学習支援システムを利用します。また音声のダウンロードや課題の作成にはPCが必要です。

【その他の重要事項】

- ・初回授業までに教科書を購入し、持参してください。
- ・出席者の状況に合わせて授業の進め方に変更を加えたり、教材を差し替えたりする場合があります。
- ・初回授業で授業履修にあたって守るべき事柄を説明しますので、遵守してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is for students to develop their ability to effectively express their opinions, knowledge and experience in everyday life in lucid English. At the end of this course, students are expected to understand how to give speeches and presentations as well as how to write a logically organized paragraph on topics they are familiar with. Students are expected to come to each class meeting well prepared by completing the required assignments; the required study time is at least one hour per class. The overall grade will be decided based on class participation (60%), and the final examination (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
English 2 II		2017年度以降入学者
衣笠 正晃		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月 1/Mon.1		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常のなかの多様なトピックについて知識や経験、意見を効果的に明快な英語で表現できる力を身につけることを目的とします。学生生活を題材にしたテキストを用いて、プレゼンテーションやディスカッションなどの練習、複数のパラグラフからなる短いレポート（エッセイ）を書く練習をおこないます。

【到達目標】

- 1) トピックに関する英語情報を聴き取り／読み取り、整理できるようになる。
- 2) 自分の知識や経験、意見をわかりやすい英語で表現できるようになる。
- 3) 複数のパラグラフからなる短いエッセイを書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原則としてテキストの各章を2週にかけて学びます。1週目にはトピックに関する語彙の習得・理解、教材の聴き取り、それにもとづく口頭での意見発表の練習をおこないます。2週目にはトピックにもとづく英文（パラグラフまたはエッセイ）作成の練習をおこないます。毎回予習確認のためにクイズ（小テスト）を実施し、リアクションシートを提出してもらいます。リアクションシートのコメント・質問には授業や学習支援システムでフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Alternative Shopping: Vintage Markets (古着マーケット) (1)	教科書 Unit 9 にもとづくスピーキング
2	Alternative Shopping: Vintage Markets (古着マーケット) (2)	教科書 Unit 9 にもとづくライティング
3	Can a Computer Write a Musical? (コンピューターとミュージカル) (1)	教科書 Unit 10 にもとづくスピーキング
4	Can a Computer Write a Musical? (コンピューターとミュージカル) (2)	教科書 Unit 10 にもとづくライティング
5	Reaching for the Stars (宇宙飛行士の夢) (1)	教科書 Unit 11 にもとづくスピーキング
6	Reaching for the Stars (宇宙飛行士の夢) (2)	教科書 Unit 11 にもとづくライティング
7	Bionic Hand (AIとロボット開発) (1)	教科書 Unit 12 にもとづくスピーキング
8	Bionic Hand (AIとロボット開発) (2)	教科書 Unit 12 にもとづくライティング

9	Life Afloat (居住地としての運河)	教科書 Unit 13 にもとづくスピーキングとライティング
10	My Italian Town (各地の祭りやイベント) (1)	教科書 Unit 14 にもとづくスピーキング
11	My Italian Town (各地の祭りやイベント) (2)	教科書 Unit 14 にもとづくライティング
12	Bengaluru Eco Office (環境問題としてのゴミ処理) (1)	教科書 Unit 15 にもとづくスピーキング
13	Bengaluru Eco Office (環境問題としてのゴミ処理) (2)	教科書 Unit 15 にもとづくライティング
14	学期末試験とまとめ	筆記による試験＋学期授業の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指示に従って（付属Web動画の視聴を含めて）テキストを予習し、問題の解答を作成するとともに、語彙や知識の整理をおこない、トピックに関する口頭での意見発表の準備をおこなう。またトピックに関連する英文（パラグラフやエッセイ）を作成する。
※なお本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Azusa Wada ほか（著）*Global Gate Intermediate*（成美堂、2024年）税抜価格2,700円

※このほか必要に応じてプリントを配付・使用します。

【参考書】

随時授業中に指示します。なお授業には辞書を持参してください。

【成績評価の方法と基準】

・平常点（授業参加度、小テスト、提出物など。60%）、学期末試験（40%）をあわせて評価します。評価にあたっては【到達目標】の各項目がどの程度達成できているかに注目します。
・欠席が学期中4回以上となった場合は原則として単位修得の資格を失います。なお遅刻3回を欠席1回としてカウントします。

【学生の意見等からの気づき】

学生同士によるグループワーク、ペアワークを多く実施したことについて、履修者から好評を得ました。ピアレビューを通じた自発的な気づきや学びの機会として、今後も積極的に生かしてゆきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

資料の配付や課題の提出、授業に関する連絡など、学期を通じて学習支援システムを利用します。また音声のダウンロードや課題の作成にはPCが必要です。

【その他の重要事項】

・出席者の状況に合わせて授業の進め方に変更を加えたり、教材を差し替えたりする場合があります。
・担当教員から説明している授業履修にあたっての注意事項を遵守してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is for students to develop their ability to effectively express their opinions, knowledge and experience in everyday life in lucid English. At the end of this course, students are expected to understand how to participate in discussions and give presentations as well as how to write a short essay with multiple paragraphs on topics they are familiar with. Students are expected to come to each class meeting well prepared by completing the required assignments; the required study time is at least one hour per class. The overall grade will be decided based on class participation (60%), and the final examination (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

山崎 暁子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

自分の知識、経験、意見を英語で効果的に表現する力を養う。具体的には、英語でパラグラフを書く力、グループでディスカッションする力、効果的なプレゼンテーションをおこなう力を育成する。

【到達目標】

論理的構成を持つパラグラフを英語で書けるようになる。平易な英語で自分の意見を表現できるようになる。英語での短いプレゼンテーションを聴いて理解し、質問できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って、パラグラフの基本的な構成を学び、パラグラフを書くために必要な技法と語彙を身につける。

毎回、予習テストを出題し、授業ではグループワークをおこなう。ユニットごとにライティング課題を課す。英語でのプレゼンテーションもおこなう。

予習テストと宿題は学習支援システムを通じて出題とフィードバックをおこなう。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性もある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方 パラグラフの構造
2	The Topic Sentence (1)	主題文とは
3	The Topic Sentence (2)	主題文を書く
4	The Supporting Sentences (1)	支持文とは
5	The Supporting Sentences (2)	支持文を書く
6	The Concluding Sentence (1)	まとめの文とは
7	The Concluding Sentence (2)	まとめの文を書く
8	Time Order (1)	時間的順序のパラグラフとは
9	Time Order (2)	時間的順序のパラグラフを書く
10	Listing (1)	列挙のパラグラフとは
11	Listing (2)	列挙のパラグラフを書く
12	Classification (1)	分類のパラグラフとは
13	Classification (2)	分類のパラグラフを書く
14	筆記試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。指示に従って教科書を予習し、単語の意味調べなどを済ませた状態で出席すること。毎週出題される予習テストに期限までに解答する。授業で学んだ英語表現はおぼえて使えるようにする。出された課題の指示にしたがって、英語の文章を書く、または発音練習をする。

【テキスト（教科書）】

Message Delivered < Lower Intermediate > 南雲堂 2020年2200円（税別）

【参考書】

授業中に指示する。辞書は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、ライティング課題30%、試験40%。

欠席が4回以上の場合は原則的に単位修得を認めない。予習テストや宿題を提出しなかった場合は平常点を減点する。遅刻・早退は減点の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きオンラインの予習と対面のグループワークを組み合わせる。英語で発話しやすくなるよう、グループワークで使える英語表現を紹介する。

【学生が準備すべき機器他】

情報の周知、予習テスト・課題の出題などに学習支援システムを使用する。授業中の情報共有にGoogle Documentも使用する。必要に応じてZoomを使用する可能性もある。Zoomの際には、受講環境によりヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

学習支援システムに掲載する情報は大学から付与されたメールアドレスに届く。メールで個別の連絡をする場合もあるので、法政Gmailは必ず毎日チェックすること。

【Outline (in English)】

[Course outline]

Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience in English. The course will also help students acquire effective listening skills.

[Learning objectives]

By the end of this course, students should be able to write a logically organized paragraph, participate in and facilitate discussions, and deliver presentations.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text and submitted a test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

[Grading criteria /Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (30%), writing assignments (30%) and final exam (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

山崎 暁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

自分の知識、経験、意見を英語で効果的に表現する力を養う。具体的には、英語でパラグラフを書く力、グループでディスカッションする力、効果的なプレゼンテーションをおこなう力を育成する。

【到達目標】

論理的構成を持つ、様々な内容のパラグラフを英語で書けるようになる。平易な英語で自分の意見を表現できるようになる。英語での短いプレゼンテーションおよび質疑応答をおこなえるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って、効果的なパラグラフとプレゼンテーションを書くために必要な技法と語彙を身につける。

毎回、予習テストを出題し、授業ではグループワークをおこなう。ユニットによって発音課題やライティング課題を課し、英語でのプレゼンテーションもおこなう。

予習テストと課題は学習支援システムを通じて出題とフィードバックをおこなう。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性もある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Comparison and Contrast (1)	比較・対比のパラグラフとは
2	Comparison and Contrast (2)	比較・対比のパラグラフを書く
3	Comparison and Contrast (3)	パラグラフの発表
4	Cause and Effect	原因と結果のパラグラフとは
5	Facts and Opinions	事実と意見の見分け方
6	Problem-solution (1)	問題解決のパラグラフとは
7	Problem-solution (2)	問題解決のパラグラフを書く
8	Problem-solution (3)	パラグラフの発表
9	Presentation 1: Introduction	プレゼンテーションの導入を書く
10	Presentation 2: Body	プレゼンテーションの展開部を書く
11	Presentation 3: Conclusion	プレゼンテーションの結論部を書く
12	Presentation Practice	グループでのプレゼンテーション
13	Essay Structure	エッセイの構造
14	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

指示に従ってテキストを予習し、単語の意味調べなどを済ませた状態で出席すること。毎週出題される予習テストに期限までに解答する。授業で学んだ英語表現はおぼえて使えるようにする。出された課題の指示にしたがって、英語の文章を書く、または発音練習をする。

【テキスト（教科書）】

Message Delivered < Lower Intermediate > 南雲堂 2020年2200円（税別）

【参考書】

授業中に指示する。辞書は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、ライティング課題30%、試験40%。

欠席が4回以上の場合は原則として単位修得を認めない。予習テスト・課題を提出しなかった場合は平常点を減点する。遅刻・早退は減点の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きオンラインの予習と対面のグループワークを組み合わせる。授業時間をより効率的に使えるようにグループワークの時間設定をおこなう。

【学生が準備すべき機器他】

情報の周知、予習テスト・課題の出題などに学習支援システムを使用する。授業中の情報共有にGoogle Documentも使用する。必要に応じてZoomを使用する可能性もある。Zoomの際には、受講環境によりヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

学習支援システムに掲載する情報は大学から付与されたメールアドレスに届く。メールで個別の連絡することもあるので、法政Gmailを毎日チェックすること。

【Outline (in English)】

[Course outline]

Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience in English. The course will also help students acquire effective listening skills.

[Learning objectives]

By the end of this course, students should be able to write logically organized paragraphs about different topics, participate in and facilitate discussions, and deliver presentations.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text and submitted a test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

[Grading criteria /Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (30%), writing assignments (30%) and final exam (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

CHRISTOPHER MASCHIO

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Effective communication opens up a lot of possibilities for anyone

wanting to work in an international environment. This course is for students who wish to practice and develop their speaking, listening, reading, and writing skills.

【到達目標】

1. Students will demonstrate improved speaking, listening, and writing fluency.
2. Students will become more capable of participating in spoken discourse.
3. Students will become better independent language learners.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will participate in group discussions, complete activities, and make presentations. Submission of assignments and feedback will be on the Learning Management System.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Class orientation Unit 1 Sociology - Are first impressions accurate?	Introduction to the course, students and teacher. Listening 1: The psychology of first impressions Making Inferences
2	Unit 1 Sociology - Are first impressions accurate?	Listening 2: A review of books about first impressions Suffixes
3	Quiz Unit 1 Sociology - Are first impressions accurate?	Unit 1 Quiz Speaking Skill: Taking conversational turns.
4	Unit 2 Nutritional Science - Why do we change the foods we eat?	Listening 1: A billion pounds of spices Listening for causes and effects
5	Unit 2 Nutritional Science - Why do we change the foods we eat?	Listening 2: A world of food Adjective-noun collocations
6	Quiz Unit 2 Nutritional Science - Why do we change the foods we eat?	Unit 2 Quiz Writing Task: Why do we change the foods we eat?
7	Mid-semester speaking task	Group discussion task.

8	Unit 3 Psychology - In what ways is change good or bad?	Writing Task: Write about the changes in your life. Listening 1: Shaped by change, promoting change Listening for time markers
9	Unit 3 Psychology - In what ways is change good or bad?	Listening 2: An interview with Barbara Ehrenreich Using a word web
10	Quiz Unit 3 Psychology - In what ways is change good or bad?	Unit 3 Quiz Speaking: Tag questions
11	Unit 4 Marketing - How does advertising affect our behavior?	Listening 1: Targeting children with advertising Identifying fact and opinion
12	Unit 4 Marketing - How does advertising affect our behavior?	Listening 2: The Influence of Online Ads Using context clues to identify meaning
13	Quiz Unit 4 Marketing - How does advertising affect our behavior?	Unit 4 Quiz Note-taking task: Using mind maps to note opinions.
14	Final speaking task	Group presentation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments from the textbook and worksheets that will be provided by the teacher. University guidelines suggest preparation and review should be around one hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Title: Q: Skills for Success Level 3 Listening and Speaking Student Book with iQ Online Practice Third Edition
Publisher: Oxford University Press
Author: Miles Craven, Kristin Sherman
ISBN: 978-0-19-490515-2

Please purchase the textbook for this course before the start of the semester.

学期が始まる前に、このコースの教科書を購入してください

【参考書】

Worksheet
Handouts

【成績評価の方法と基準】

Evaluation of in-class participation (14%)
Mid-semester task (15%)
Homework completion, writing tasks, and quizzes (48%)
Final task (23%)
In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The teacher always welcomes feedback and encourages students to suggest changes to improve the course at any time during the semester.

【学生が準備すべき機器他】

The Hosei University learning management platform will be used throughout the semester.

【その他の重要事項】

The contents and timing of the syllabus are subject to change according to the needs of the class. Class attendance is a course requirement. In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【Outline (in English)】

This course will provide students with speaking, listening, and reading practice. It will also improve their vocabulary, grammatical knowledge, and academic writing skills.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

CHRISTOPHER MASCHIO

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Effective communication opens up a lot of possibilities for anyone

wanting to work in an international environment. This course is for students who wish to practice and develop their speaking, listening, reading, and writing skills.

【到達目標】

1. Students will demonstrate improved speaking, listening, and writing fluency.
2. Students will become more capable of participating in spoken discourse.
3. Students will become familiar with academic writing.
4. Students will become better independent language learners.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will participate in group discussions, complete activities, and make presentations. Submission of assignments and feedback will be on the Learning Management System.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Class orientation	Introduction to the semester
	Unit 5 Behavioral Science - Does taking risks change our lives?	and a speaking task about your summer vacation.
		Listening 1: A lifetime of risks.
2	Unit 5 Behavioral Science - Does taking risks change our lives?	Listening 2: Science of the edge
		Vocabulary skill: Word families
3	Unit 5 Behavioral Science - Does taking risks change our lives?	Unit 5 quiz.
4	Introduction to academic writing	Basic paragraph structure
5	Academic Writing	Basic paragraph structure
6	Mid-semester task	Speaking and writing task
7	Unit 7 Economics - Can money buy happiness?	Listening 1: Sudden wealth
		Listening for signposts
8	Unit 7 Economics - Can money buy happiness?	Listening 2: Happiness breeds success... and Money!
		Vocabulary: Idioms
9	Unit 7 Economics - Can money buy happiness?	Unit 7 quiz.
10	Academic writing	Introductory paragraphs

11	Academic writing	Body paragraphs and concluding paragraphs
12	Academic writing	Concluding paragraphs and transitions between paragraphs
13	Academic writing	Final writing task.
14	Final speaking	Final speaking task.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments from the textbook and worksheets that will be provided by the teacher. University guidelines suggest preparation and review should be around one hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Title: Q: Skills for Success Level 3 Listening and Speaking Student Book with iQ Online Practice Third Edition

Publisher: Oxford University Press

Author: Miles Craven, Kristin Sherman

ISBN: 978-0-19-490515-2

Title: Longman Academic Writing Series Student Book with MyEnglishLab & app (4th Edition) (Level 3 - Paragraphs to essays)

Publisher: Pearson Japan

Author: Alice Oshima, Ann Hogue

ISBN: 9780136838531

【参考書】

Worksheet

Handouts

【成績評価の方法と基準】

Evaluation of in-class participation (14%)

Mid-semester tasks (15%)

Homework completion and unit quizzes (48%)

Final tasks (23%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The teacher always welcomes feedback and encourages students to suggest changes to improve the course at any time during the semester.

【学生が準備すべき機器他】

The Hosei University learning management platform will be used throughout the semester.

【その他の重要事項】

The contents and timing of the syllabus are subject to change according to the needs of the class. Class attendance is a course requirement. In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【Outline (in English)】

This course will provide students with speaking, listening, and reading practice. It will also improve their vocabulary, grammatical knowledge, and academic writing skills.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

CHRISTOPHER MASCHIO

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Effective communication opens up a lot of possibilities for anyone

wanting to work in an international environment. This course is for students who wish to practice and develop their speaking, listening, reading, and writing skills.

【到達目標】

1. Students will demonstrate improved speaking, listening, and writing fluency.
2. Students will become more capable of participating in spoken discourse.
3. Students will become better independent language learners.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will participate in group discussions, complete activities, and make presentations. Submission of assignments and feedback will be on the Learning Management System.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Class orientation Unit 1 Sociology - Are first impressions accurate?	Introduction to the course, students and teacher. Listening 1: The psychology of first impressions Making Inferences
2	Unit 1 Sociology - Are first impressions accurate?	Listening 2: A review of books about first impressions Suffixes
3	Quiz Unit 1 Sociology - Are first impressions accurate?	Unit 1 Quiz Speaking Skill: Taking conversational turns.
4	Unit 2 Nutritional Science - Why do we change the foods we eat?	Unit 1 Quiz Listening 1: A billion pounds of spices Listening for causes and effects
5	Unit 2 Nutritional Science - Why do we change the foods we eat?	Listening 2: A world of food Adjective-noun collocations
6	Quiz Unit 2 Nutritional Science - Why do we change the foods we eat?	Unit 2 Quiz Writing Task: Why do we change the foods we eat?

7	Mid-semester speaking task	Speaking task
8	Unit 3 Psychology - In what ways is change good or bad?	Writing Task: Write about the changes in your life. Listening 1: Listening for time markers
9	Unit 3 Psychology - In what ways is change good or bad?	Listening 2: An interview with Barbara Ehrenreich Using a word web
10	Quiz Unit 3 Psychology - In what ways is change good or bad?	Unit 3 Quiz Speaking: Tag questions
11	Unit 4 Marketing - How does advertising affect our behavior?	Listening 1: Targeting children with advertising Identifying fact and opinion
12	Unit 4 Marketing - How does advertising affect our behavior?	Listening 2: The Influence of Online Ads Using context clues to identify meaning
13	Quiz Unit 4 Marketing - How does advertising affect our behavior?	Unit 4 Quiz Note-taking task: Using mind maps to note opinions.
14	Final speaking task	Group presentation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments from the textbook and worksheets that will be provided by the teacher. University guidelines suggest preparation and review should be around one hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Title: Q: Skills for Success Level 3 Listening and Speaking Student Book with iQ Online Practice Third Edition
Publisher: Oxford University Press
Author: Miles Craven, Kristin Sherman
ISBN: 978-0-19-490515-2

Please purchase the textbook for this course before the start of the semester.

学期が始まる前に、このコースの教科書を購入してください

【参考書】

Worksheet
Handouts

【成績評価の方法と基準】

Evaluation of in-class participation (14%)

Mid-semester task (15%)

Homework completion, writing tasks, and quizzes (48%)

Final task (23%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The teacher always welcomes feedback and encourages students to suggest changes to improve the course at any time during the semester.

【学生が準備すべき機器他】

The Hosei University learning management platform will be used throughout the semester.

【その他の重要事項】

The contents and timing of the syllabus are subject to change according to the needs of the class. Class attendance is a course requirement. In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【Outline (in English)】

This course will provide students with speaking, listening, and reading practice. It will also improve their vocabulary, grammatical knowledge, and academic writing skills.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

CHRISTOPHER MASCHIO

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Effective communication opens up a lot of possibilities for anyone

wanting to work in an international environment. This course is for students who wish to practice and develop their speaking, listening, reading, and writing skills.

【到達目標】

1. Students will demonstrate improved speaking, listening, and writing fluency.
2. Students will become more capable of participating in spoken discourse.
3. Students will become familiar with academic writing.
4. Students will become better independent language learners.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will participate in group discussions, complete activities, and make presentations. Submission of assignments and feedback will be on the Learning Management System.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Class orientation Unit 5 Behavioral Science - Does taking risks change our lives?	Introduction to the semester and a speaking task about your summer vacation. Listening 1: A lifetime of risks.
2	Unit 5 Behavioral Science - Does taking risks change our lives?	Listening 2: Science of the edge Vocabulary skill: Word families
3	Unit 5 Behavioral Science - Does taking risks change our lives?	Speaking: Giving a short presentation.
4	Quiz Introduction to academic writing	Unit 5 quiz. Basic paragraph structure
5	Academic Writing	Basic paragraph structure
6	Mid-semester speaking task	Group discussion
7	Unit 7 Economics - Can money buy happiness?	Listening 1: Sudden wealth Listening for signposts
8	Unit 7 Economics - Can money buy happiness?	Listening 2: Happiness breeds success... and Money! Vocabulary: Idioms

9	Quiz Unit 7 Economics - Can money buy happiness?	Unit 7 quiz. Speaking: Agreeing and disagreeing
10	Academic writing	Introductory paragraphs
11	Academic writing	Body paragraphs and concluding paragraphs
12	Academic writing	Concluding paragraphs and transitions between paragraphs
13	Academic writing	Final writing task.
14	Final speaking task.	Group presentations.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments from the textbook and worksheets that will be provided by the teacher. University guidelines suggest preparation and review should be around one hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Title: Q: Skills for Success Level 3 Listening and Speaking Student Book with iQ Online Practice Third Edition
Publisher: Oxford University Press
Author: Miles Craven, Kristin Sherman
ISBN: 978-0-19-490515-2

Title: Longman Academic Writing Series Student Book with MyEnglishLab & app (4th Edition) (Level 3 - Paragraphs to essays)

Publisher: Pearson Japan
Author: Alice Oshima, Ann Hogue
ISBN: 9780136838531

【参考書】

Worksheet
Handouts

【成績評価の方法と基準】

Evaluation of in-class participation (14%)
Mid-semester tasks (15%)
Homework completion and unit quizzes (48%)
Final tasks (23%)

【学生の意見等からの気づき】

The teacher always welcomes feedback and encourages students to suggest changes to improve the course at any time during the semester.

【学生が準備すべき機器他】

The Hosei University learning management platform will be used throughout the semester.

【その他の重要事項】

The contents and timing of the syllabus are subject to change according to the needs of the class. Class attendance is a course requirement. In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【Outline (in English)】

This course will provide students with speaking, listening, and reading practice. It will also improve their vocabulary, grammatical knowledge, and academic writing skills.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

ジェフリー B タロフスキー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based English language course which uses horror films as the content of the course. Themes covered include shifting aesthetic standards and the history of Western moral values, cultural taboos and universals, iconography and censorship.

【到達目標】

For first year students who have successfully completed their high-school English classes.

There will be an initial focus on listening and note taking skills supplemented by readings which both reinforce the lectures and introduce additional topics for writing and discussion. Throughout the semester writing skills will emphasize the production of paragraphs with proper topic and supporting sentences along with a clear conclusion. Students will comment on lectures and readings and ask and answer questions during each class.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students watch excerpts from selected films, listen to lectures, read transcripts of the lectures, read additional supporting materials, do worksheets and on line research in order to prepare writing assignments and ask and answers questions, make comments and take weekly quizzes.

During live classes focused on writing feedback will be provided throughout the class as students work on assignments individually and in small groups. During classes which focus on small group discussions students will receive immediate feedback following their discussions. Written work submitted by students will receive written commentary within three weeks of submission.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction to the course Lecture #1 Web class #1, Lecture #1 What Is Horror? Excerpts from Phantom of the Opera (1925) and Nosferatu: A Symphony of Terror(1922)	Transcript of lecture, Worksheet : What is Horror? Class #1 . Homework : Read and understand Writing worksheet #1 . Do Writing Assignment #1 and print it out so you can submit it during class #2.

Week 2	Class #2. Writing Workshop . Submit Assignment #1 for peer correction (what is that?) . Return the peer corrected assignment to the writer and review Worksheet #2. (Time permitting) Worksheet #3 : Expository Writing .	Homework : Discussion topics Distributed Writing Assignment #2 From The Subjective to the Objective
Week 3	Lecture #2 from Web Class #2 The Man of 1,000 faces: Excerpts from The The Hunchback of Notre Dame (1923).	Transcript of lecture 2 , Reading: Lon Chaney Quiz #1
Week 4	Lecture #3 from Web class #3 The Ugly and the Evil. Excerpts from The Phantom of the Opera.	Transcript of lecture 3 , Reading: The Gruesome Twosome: Lon Chaney and Tod Browning . Quiz#2 Choose Discussion topics
Week 5	Lecture #4 from Web class 4 The Real Monsters: Tod Browning's Freaks	Transcript of lecture 4 , HW Reading : London After Midnight (1926). Quiz #3 Prepare for discussions. Each group will have between fifteen and thirty minutes to discuss the topic of their choosing
Week 6	First half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Lecture #5 Web class 5 :Replacing Lon Chaney? Carl Laemmle looks towards home. Paul Leni's Waxworks (1924). The Cat and The Canary	Transcript of lecture 5 , Reading : Who Thought of it First? Quiz #4

Week 7	Second half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Lecture #5 Web class 5 :Replacing Lon Chaney? Carl Laemmle looks towards home. Paul Leni's Waxworks (1924). The Cat and The Canary	Transcript of lecture 5 , Reading : Who Thought of it First? Quiz #5
Week 8	Web class #6, Lecture #6 : What went wrong with The Man Who Laughs (1928)? In class writing exercise #2	Transcript of lecture 6 , Reading: The Crash of 1929 and The Great Depression. Quiz #6
Week 9	Web Class #7 , Lecture #7 : Murnau's Nosferatu (1922) Bram Stoker and Merhage's Shadow of The Vampire (2000) . Complete writing exercise #2	Transcript of lecture 7 , Reading : The Historical Dracula Quiz #7 Choose Discussion topics Discussion topics Distributed Read: Writing Worksheet #4 . Do: Writing Assignment #3
Week 10	Writing Workshop Review Writing Worksheet #4 and Assignment #3	Homework: Read: Writing worksheet #5 Do: Writing Assignment #4 (will be due to be submitted on line by Class #12)
Week 11	Web class #9, Lecture #9 Universal's search for a Dracula, Excerpts from Dracula (1931)	Transcript of lecture 9, HW Reading Bela Lugosi Quiz # 8
Week 12	Web class #10, Lecture #10 What was missing from Dracula? Excerpts from Shadow Of The Vampire and Bram Stoker's Dracula and Interview With A Vampire	Transcript of lecture 10, Reading : The origins of Evil. Quiz # 9

Week 13	First half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Web class #11, Lecture #11 What did Dracula think about being a vampire? Another look at Dracula (1931), Nosferatu (1922) and Bram Stoker's Dracula.	Transcript of lecture.#11 Reading : The Origins of Evil . Quiz #10
Week 14	Second half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Web class #11, Lecture #11 What did Dracula think about being a vampire? Another look at Dracula (1931), Nosferatu (1922) and Bram Stoker's Dracula.	Transcript of lecture.#11 Reading : The Origins of Evil . Quiz #10

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
There will be homework assigned each week which will include both reading and listening assignments and may also include a writing component as well as research on line.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

All the materials for this course will be provided by the instructor or will be available on line for free.

【参考書】

Students should familiarize themselves with how to use online dictionaries.

【成績評価の方法と基準】

There are three components to the grade. 1) There are between eight and ten quizzes this semester. The average score of these quizzes will be 30%of the grade. The instructor may , (entirely at his discretion) , drop the lowest one or two quiz grades for the entire class or on a case by case basis if a student has a legitimate reason for failing to submit a quiz . 2) The writing component of the class counts for an additional 30%of the grade. The discussions /presentations count for a further 30%of the grade . The final 10%of the grade will be weighted according to which of the three areas the student achieved the highest score.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Students have asked for more guidance in their writing assignments and so there will be more time provided for that as well as some additional support materials.

【学生が準備すべき機器他】

Students should have a laptop computer for the "writing workshop" days of the class .

【Outline (in English)】

The learning objectives for this class are as follows: there will be a focus on listening and note taking skills supplemented by readings which both reinforce the lectures and introduce additional topics for writing and discussion. Throughout the semester writing skills will emphasize the production of expository paragraphs with proper topic and supporting sentences along with a clear conclusion. Students will comment on lectures and readings and ask and answer questions.

Students are expected to study for a total of 1-2 hours outside of class for each lecture.

Outside of class time Students are required to read the text for the week's assigned lesson on the website and listen to the lectures and review the excerpts from the films . This requires a minimum of between 1 and 2 hours of work outside of class.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

ジェフリー B タロフスキー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based English language course which uses horror films as the content of the course. Themes covered include shifting aesthetic standards and the history of Western moral values, cultural taboos and universals, iconography and censorship.

【到達目標】

For first year students who have successfully completed their high-school English classes.

There will be an initial focus on listening and note taking skills supplemented by readings which both reinforce the lectures and introduce additional topics for writing and discussion. Throughout the semester writing skills will emphasize the production of paragraphs with proper topic and supporting sentences along with a clear conclusion. Students will comment on lectures and readings and ask and answer questions during each class.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students watch excerpts from selected films, listen to lectures, read transcripts of the lectures, read additional supporting materials, do worksheets and on line research in order to prepare writing assignments and ask and answers questions, make comments and take weekly quizzes.

During live classes focused on writing feedback will be provided throughout the class as students work on assignments individually and in small groups. During classes which focus on small group discussions students will receive immediate feedback following their discussions. Written work submitted by students will receive written commentary within three weeks of submission.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Writing workshop #3 Writing Worksheet #6 Supporting sentences. Writing worksheet #7 Plagiarism.	Homework: Writing Assignment #5 Due to be submitted on line before the next class.
Week 2	Website Class #13. Screening of Frankenstein (1931) in ten parts. Watch the film one part at a time as you simultaneously complete Quiz #11	Transcript of lecture Reading: Go back to Website Class #12 and review the reading: Mary Shelley, at the very end of the unit. Quiz #11 (which requires you to listen for the missing word).

Week 3	Website Class #14 .The Production of Frankenstein, Breaking of Taboos (including the fourth Wall), "recycled parts", The Great Ray of Life.	Transcript of Lecture Research: Go on line and learn all you can about the Myth of Prometheus HW Reading: The Origins of Evil : Brief Review (important enough to go over again) Discussion topics distributed Quiz#12
Week 4	Website Class #15, The Gift of Fire, Blasphemy, Pronouns.	Transcript of lecture HW ; Think about why Frankenstein and Waldman shut out the light. Reading: Boris Karloff Quiz#13 . Choose Discussion Topics
Week 5	Website Class #16 The Reveal , audience reaction, Karloff's performance, vivisection , The gift of a flower, A final symbol	Transcript of Lecture Reading :The First Horror Sequel Practice Discussions for a minimum of one hour. Quiz #14
Week 6	Half of the class engages in small group discussions while the other half does Website Class #17, The First Horror Sequel. Excerpts from The Bride of Frankenstein (1935) .	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing. Groups not presenting doReading : The Hollywood Production Code Quiz#15
Week 7	Half of the class engages in small group discussions while the other half does Website Class #17, The First Horror Sequel. Excerpts from The Bride of Frankenstein (1935) .	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing. Groups not presenting doReading : The Hollywood Production Code Quiz#15
Week 8	Writing Workshop #4 Writing worksheet #8 Facts, examples and arguments	Writing assignment #6 Turn in the assignment On line as well as printing out a copy for in class use during week #10
Week 9	Website class #18: Frankenstein and Censorship , ceasing production (briefly) . the Universal return to Horror	Transcript of Lecture Reading: The Fall of the House of Laemmle Quiz#16
Week 10	Writing workshop #5 Peer correction of Writing assignment #6	Website Class #19 : Excerpts from and Lecture on The Wolfman (1941) Reading: Werewolf Tales Discussion topics distributed Quiz#17

Week 11	Website Class #20: Hammer Studios reboots the Universal Classics , The best of the bunch: The Curse of the Werewolf (1961)	Transcript of Lecture Quiz #18 Choose Discussion topic	【Outline (in English)】 This is a content based English language course which uses horror films as the content of the course. Themes covered include shifting aesthetic standards and the history of Western moral values, cultural taboos and universals, iconography and censorship. Outside of class time Students are required to read the text for the week's assigned lesson on the website and listen to the lectures and review the excerpts from the films . This requires a minimum of between 1 and 2 hours of work outside of class.
Week 12	Website Class #21. The conclusion of Curse of the Werewolf, an almost Shakespearean tragedy.	Transcript of lecture Reading : Internal Contradictions in Curse of the Werewolf and a Few Thoughts About Criticism . After lesson do Quiz #19	
Week 13	First half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes writing exercise #6 in class	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing.	
Week 14	Second half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes writing exercise #6 in class.	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing.	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

There will be homework assigned each week which will include both reading and listening assignments and may also include a writing component as well as research on line.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

All the materials for this course will be provided by the instructor or will be available on line for free.

【参考書】

Students should familiarize themselves with how to use on line dictionaries.

【成績評価の方法と基準】

There are three components to the grade. 1) There are between eight and ten quizzes this semester. The average score of these quizzes will be 30%of the grade. The instructor may , (entirely at his discretion) , drop the lowest one or two quiz grades for the entire class or on a case by case basis if a student has a legitimate reason for failing to submit a quiz . 2) The writing component of the class counts for an additional 30%of the grade. The discussions /presentations count for a further 30%of the grade . The final 10%of the grade will be weighted according to which of the three areas the student achieved the highest score.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Students have asked for more guidance in their writing assignments and so there will be more time provided for that as well as some additional support materials.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

Kregg Johnston

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will develop the skills needed to express their opinions, knowledge, and experience in English in both written and oral forms.

【到達目標】

This course aims to improve students overall fluency in spoken and written English. Students will learn to express themselves clearly in writing and speaking in a variety of situations and for a variety of topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Class time is divided equally among the 8 units of the 1st half of the textbook and each unit will be covered in 2 weeks. In the 2nd week, after completing each unit, students will spend time discussing/debating the topics introduced in that unit. A paragraph writing assignment will also be given based on the topics in selected units allowing the students to express their opinions in writing. There will be periodic quizzes on material studied.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction of course Explanation of class requirements, tasks, goals.	Explanation of class requirements, tasks, goals Vocabulary assessment Ice breakers
Week 2	Unit 1 Describing the past & explaining personal information: vocabulary & listening	Introducing yourself Using used to for habitual actions
Week 3	Unit 1 Describing the past & explaining personal information: reading & speaking	Asking about and explaining childhood experiences
Week 4	Unit 1 Describing the past & explaining personal information: discussion & writing	Discuss things in common with classmates Essential components of paragraphs Using English-English dictionaries

Week 5	Unit 2 Transportation and Transportation problems: vocabulary & listening	Talking about Transportation and its problems, Evaluating city services
Week 6	Unit 2 Transportation and Transportation problems: reading & speaking	Asking for and giving information, Asking indirect questions
Week 7	Unit 2 Transportation and Transportation problems: discussion & writing	Discuss cities to visit & evaluate them Write a paragraph on 3 problems in city
Week 8	Quiz Units 1-2 Unit 3 Describing housing, lifestyle changes, stating wishes: vocabulary & listening	Quiz Units 1-2 Describing positive and negative features, making comparisons
Week 9	Unit 3 Describing housing, lifestyle changes, stating wishes: reading & speaking	Asking about and stating wishes. Using "too", "enough", and "as...as"
Week 10	Unit 3 Describing housing, lifestyle changes, stating wishes: discussion & writing	Comparing houses to apartments Compare wishes in the present time Write & explain 3 personal wishes
Week 11	Unit 4 Explaining food, recipes, instructions: vocabulary & listening	Talking about food. Stating likes and dislikes
Week 12	Unit 4 Explaining food, recipes, instructions: reading & speaking	Contrasting simple past with present perfect Using sequence adverbs to signal steps
Week 13	Unit 4 Explaining food, recipes, instructions: discussion & writing	Discuss experiences Describe how to do something Editing marks & peer editing
Week 14	Quiz: units 3-4 Presentation on 3 problems in a city	Quiz: units 3-4 Presentation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

【テキスト（教科書）】

Interchange 2 (5th edition), Jack C. Richards (Cambridge University Press)

Students' book ISBN 978-1-316-62023-6

【参考書】

Interchange 2, Jack C. Richards (Cambridge University Press)
 Workbook
 Vocabulary development:
<https://quizlet.com/KreggJ>
<https://www.memrise.com/>

【成績評価の方法と基準】

Grade points are given for the satisfactory completion of assignments, performance on quizzes, as well as for the degree of class participation.

Homework 25%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

* In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on expressing opinions & discussion.

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course.
 Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on "WebClass", the University's Learning Management System.

【Outline (in English)】

Course outline:

This course deals with the development English communication in written and spoken forms. It also enhances the development of students' skills in listening and, grammar usage, and vocabulary development.

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Express opinions, knowledge and experience orally and in writing.
- Participate in and lead discussions on topics introduced in class.
- Make presentations in small groups and in front of the class.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to have completed the assigned homework exercises after each class meeting and review before each in-class quiz given. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria:

Homework 25%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

Kregg Johnston

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will develop the skills needed to express their opinions, knowledge, and experience in English in both written and oral forms.

【到達目標】

This course aims to improve students overall English fluency in both spoken and written forms. The students will learn to express their ideas clearly in writing at the paragraph level. The students will also improve their oral fluency by discussing issues in pairs or groups and making speeches for a variety of situations and topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Class time is divided equally among the 8 units of the 2nd half of the textbook and each unit will be covered in 2 weeks. In the 2nd week, after completing each unit, students will spend time discussing/debating the topics introduced in that unit. A paragraph writing assignment will also be given based on the topics in selected units allowing the students to express their opinions in writing. There will be periodic quizzes on material studied.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Ice breakers Review of past tense	Ice breakers Compare activities over the summer
Week 2	Unit 5 Going places: vocabulary & listening	Describing vacation plans Stating personal plans in the future
Week 3	Unit 5 Going Places: reading & speaking	Giving travel advice Explaining future plans Using modals for necessity & suggestion
Week 4	Unit 5 Going Places: discussion & writing	Discuss how to do activities Write paragraph on a process
Week 5	Unit 6 Complaints, requests, excuses, apologies: vocabulary & listening	Making requests Accepting and refusing
Week 6	Unit 6 Complaints, requests, excuses, apologies: reading & speaking	Complaining, apologizing, making excuses

Week 7	Unit 6 Complaints, requests, excuses, apologies: discussion & writing	Discuss making apologies and giving excuses Writing: 3 suggestions for handling a situation
Week 8	Quiz Units 5-6 Unit 7 What do you use this for: vocabulary & listening	Quiz Units 5-6 Use of technology Using infinitives of purpose
Week 9	Unit 7 What do you use this for: reading & speaking	Using imperatives & infinitives Giving advice
Week 10	Unit 7 What do you use this for: discussion & writing	Discuss advice for problems Write about uses for technological devices
Week 11	Unit 8 Time to celebrate: vocabulary & listening	Describing holidays & festivals Relative clauses of time
Week 12	Unit 8 Time to celebrate: reading & speaking	Discussing pros and cons Adverb clauses of time
Week 13	Unit 8 Time to celebrate: discussion & writing	Discuss customs & celebrations
Week 14	Quiz: units 7-8 Presentation	Quiz: units 7-8 Presentation on a process

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

【テキスト（教科書）】

Interchange 2 (5th edition), Jack C. Richards (Cambridge University Press)

Students' book ISBN 978-1-316-62023-6

【参考書】

Interchange 2, Jack C. Richards (Cambridge University Press)
Workbook

Vocabulary development:
<https://quizlet.com/KreggJ>
<https://www.memrise.com/>

【成績評価の方法と基準】

Grade points are given for the satisfactory completion of assignments, performance on quizzes, as well as for the degree of class participation and attendance.

Homework 25%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

*In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on expressing opinions & discussion.

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on "WebClass", the University's Learning Management System.

【Outline (in English)】

Course outline:

This course deals with the development English communication in written and spoken forms. It also enhances the development of students' skills in listening and, grammar usage, and vocabulary development.

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Express opinions, knowledge and experience orally and in writing.
- Participate in and lead discussions on topics introduced in class.
- Make presentations in small groups and in front of the class.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to have completed the assigned homework exercises after each class meeting and review before each in-class quiz given. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria:

Homework 25%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

THOMAS G POWER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

In this course, students will develop the skills needed to express their opinions, knowledge, and experience in English in both written and oral forms. Students will study paragraph writing, critical thinking skills, discussion skills, and presentation skills in English.

【到達目標】

This course aims to improve students' overall English fluency in both spoken and written forms. Students will develop their speaking skills by discussing issues in pairs or groups and by making presentations about topics of personal interest. Students are encouraged to express their opinions and ideas clearly in academic writing assignments and in presentations and to apply critical thinking skills in the analysis and discussion of reading passages.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The first class and most other classes in Spring 2025 will be held face-to-face in the classroom on the Ichigaya campus. When necessary, some classes will be held on Zoom or in on-demand lectures. Active participation is essential. Students will study 5 units in the textbook in the first semester. As each unit is completed, students will discuss the topics introduced in the unit with a partner or in small groups. Students will practice writing academic paragraphs and giving presentations with peer feedback. There will also be periodic quizzes on the textbook content.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the next class and in Google Classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	・ Course overview ・ Introduce communicative learning ・ Course rules	・ Self-introductions ・ Ice-breaker activity
Week 2	・ Icebreakers ・ Begin Unit 1 ・ Simple past tens questions/answers	・ Unit 1 grammar focus pages 3,5 ・ Unit 1 worksheets
Week 3	・ Finish Unit 1 ・ Describing changes ・ Using "(didn't) used to" ・ Paragraph structure and outlining	・ Unit 1 reading page 7 ・ Paragraph writing about 3 ways that you have changed

Week 4	・ Review paragraph writing assignment ・ Begin Unit 2 ・ Opinion statements with adverbs of quantity ・ Giving opinions on public transportation	・ Unit 2 grammar focus pages 9, 11 ・ Unit 2 worksheets
Week 5	・ Finish Unit 2 ・ Asking indirect questions ・ Mentioning advantages/disadvantages	・ Paragraph writing about 3 problems in your city ・ Review Units 1-2 for quiz
Week 6	・ Review paragraph writing assignment ・ Quiz on Units 1-2 ・ Presentation skills #1	・ Research and note-taking ・ Presentation # 1
Week 7	・ Group presentations 1A	・ Strategies for presentations ・ Peer feedback
Week 8	・ Group presentations 1B	・ Strategies for presentations ・ Peer feedback
Week 9	・ Begin Unit 3 ・ Conversation, vocabulary and grammar ・ Evaluating & comparing housing	・ Unit 3 grammar focus page 17 ・ Unit 3 worksheets
Week 10	・ Finish Unit 3 ・ Begin Unit 4 ・ Talking about experiences ・ Using the simple past and present perfect	・ Unit 4 grammar focus page 23 ・ Unit 4 worksheets
Week 11	・ Finish Unit 4 ・ Describing steps in a process ・ Using sequence adverbs ・ Ordering events in a process	・ Unit 4 reading page 27 ・ Review Units 3-4 for quiz
Week 12	・ Quiz on Units 3-4 ・ Presentation #2 (5 step process)	・ Preparation for presentation #2
Week 13	・ Final presentations 2A	・ Strategies for presentations ・ Peer feedback
Week 14	・ Final presentations 2B	・ Peer feedback ・ Course review ・ Final comments

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

The first class will be "face-to-face" in the classroom. Most other classes in Spring 2025 will be held in the classroom on the Ichigaya campus. If necessary, some classes will be held on Zoom or in on-demand lectures. Active participation is essential. It is important that you are well prepared for each class and meet on time. If you are absent, you must complete all missed assignments, inform me in person or by email, and be ready for the next class. Assignments will be submitted in Google Classroom with feedback online and in the next class. 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around one hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Interchange 2 Student's Book, Richards 5th ed. ISBN:978-1-316-62023-6

【参考書】

Students are required to refer to various sources when researching for writing and presentation assignments. Most research will be done on the internet and in the library.

【成績評価の方法と基準】

You will be graded on:

20%Active participation in English

30%Weekly homework and paragraph assignments

20%Two short presentations

30%Quizzes/tests

* Students must attend 80%of the classes in order to pass. (No more than 3 unexcused absences are allowed.)

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【Outline (in English)】

In this course, students will develop the skills needed to express their opinions, knowledge, and experience in English in both written and oral forms. Students will study paragraph writing, critical thinking skills, discussion skills, and presentation skills in English.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

THOMAS G POWER

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

In this course, students will develop the skills needed to express their opinions, knowledge, and experience in English in both written and oral forms. Students will study academic writing, critical thinking skills, discussion skills, and presentation skills in English.

【到達目標】

The goal of this course is to improve students overall English fluency in both spoken and written forms. Students will develop speaking skills by discussing issues in pairs or groups and by making presentations about topics of personal interest. Students are encouraged to express their opinions and ideas clearly in academic writing and in presentations and to apply critical thinking skills in the analysis and discussion of reading passages.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The first class and most other classes in Fall 2025 will be held face-to-face in the classroom on the Ichigaya campus. When necessary, some classes will be held on Zoom or in on-demand lectures. Students will study 4 units in the textbook in the second semester. As each unit is completed, students will discuss the topics introduced in the unit with a partner or in small groups. Students will practice writing academic paragraphs and giving presentations with peer feedback. There will also be periodic quizzes on the textbook content. Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the next class and in Google Classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	・ Ice breakers: Summer break ・ Review Units 1-4 ・ Prepare writing assignment about summer vacation	・ Write 1 paragraph about summer vacation
Week 2	・ Discuss summer vacation assignment ・ Begin Unit 5 ・ Study vocabulary and grammar ・ Talk about the future will/be going to	・ Unit 5 grammar focus pages 31, 33 ・ Worksheet on Unit 5

Week 3	・ Finish Unit 5 ・ Talk about plans ・ Explain advice in class ・ Describe necessity and giving suggestions ・ Group discussion: travel destination	・ Research: Advice about dream vacation ・ Prepare for presentation #1
Week 4	・ Feedback about slides and script for presentation #1 ・ Study Ted Talk format	・ Prepare for presentation #1
Week 5	・ Presentation 1A	・ Strategies for presentations ・ Peer Feedback
Week 6	・ Presentation 1B	・ Strategies for presentations ・ Peer Feedback
Week 7	・ Begin Unit 6 ・ Using phrasal verbs ・ Making polite requests with "would" "mind"	・ Unit 6 grammar focus pages 37, 39 ・ Worksheet on Unit 6 ・ Unit 6 reading page 41
Week 8	・ Finish Unit 6 ・ Begin Unit 7 ・ Infinitives and gerunds of purpose	・ Unit 7 grammar focus pages 45, 47 ・ Worksheet on Unit 7
Week 9	・ Finish Unit 7 ・ Giving suggestions on how to use Sth. ・ Using "(didn't) used to"	・ Unit 7 reading page 49
Week 10	・ Begin Unit 8 ・ Relative clauses of time to describe holidays ・ Explain holidays and foreign customs	・ Unit 8 grammar focus pages 51, 54 ・ Worksheet on Unit 8 ・ Write 1 paragraph on a holiday or festival
Week 11	・ Finish Unit 8 ・ Use adverb time clauses ・ Explain how to celebrate holidays ・ Presentation #2 ・ Study Ted Talk format	・ Review Units 7-8 for quiz ・ Prepare for final presentation #2
Week 12	・ Quiz on Units 7- 8 ・ Presentation #2 ・ Study Ted Talk format	・ Prepare for final presentation #2
Week 13	・ Final presentations 2A	・ Strategies for presentations ・ Peer Feedback
Week 14	・ Final presentations 2B	・ Peer Feedback ・ Course Review ・ Final Comments

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

The first class will be "face-to-face" in the classroom. Active participation is essential. It is important that you are well prepared for each class and meet on time. If you are absent, you must complete all missed assignments, inform me in person or by email, and be ready for the next class. Assignments will be submitted in Google Classroom with feedback online and in the next class.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around one hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Interchange 2 Student's Book , Richards 5th ed. ISBN: 978-1-316-62023-6

【参考書】

Students are required to refer to various sources when researching for writing and presentation assignments. Most research will be done on the internet and in the library.

【成績評価の方法と基準】

You will be graded on:

20%Active participation in English

30%Weekly homework and paragraph assignments

20%Two short presentations

30%Quizzes/tests

* Students must attend 80%of the classes in order to pass. (No more than 3 unexcused absences are allowed.)

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【Outline (in English)】

In this course, students will develop the skills needed to express their opinions, knowledge, and experience in English in both written and oral forms. Students will study paragraph writing, critical thinking skills, discussion skills, and presentation skills in English.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

鈴木 真奈美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、英語のライティングとスピーキングを中心に学習しますが、リーディング、リスニングも含めた4技能を統合的に発展させることを目標とします。クラスでは英語でのコミュニケーションの機会がたくさんあります。ディベートやグループプレゼンテーションも行います。このような授業に積極的に参加することで良い学習環境をともに創造していきましょう。

【到達目標】

You will try to achieve four goals: 1) to improve your English writing and speaking communicative competence; 2) to know and understand yourself better; 3) to think of your future life and career through the course work; and 4) to progress your English proficiency (listening, speaking, reading and writing) holistically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

You will learn:

- 1) communication strategies (e.g., shadowing and summarizing)
- 2) basic English writing knowledge (e.g., organization, topic sentences, how to write a letter or an e-mail)
- 3) presentation/debate skills and strategies
- 4) collaborative learning
- 5) the importance of understanding various perspectives on controversial issues and logical thinking
- 6) practice making small talk in every class

*I will give you my oral and written feedback on your assignments in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction Writing: Goals and Self-introduction	I will introduce this course. You will learn how to introduce yourself. You will set your goals for this semester and this English course and write them in English.
2	Speaking: Self-Introduction Thank-you Letter	You will introduce yourself in class. You will learn how to write a thank-you letter.
3	Shadowing and Summarizing	You will watch a DVD on shadowing and summarizing in class.
4	Review of Shadowing and Summarizing Units 1-2	You will review shadowing and summarizing. pp.10-17
5	Units 3-4	pp.18-25

6	Preparation for Debates	You will learn about debates and prepare for your debates on issues you select.
7	Debate	You will do the debate.
8	Debate	You will continue to do the debate.
9	Units 5-6 Preparation for a Group Presentation	pp.26-33 You will prepare for a group presentation.
10	Presentation	You will make a group presentation.
11	Presentation	You will continue to make a group presentation.
12	Units 7-8	pp.34-41
13	Units 9-10	pp.42-49
14	Discussion Review Reflection	You will discuss your favorite topics with your classmates. You will review what you have learned in this class and discuss impressive units with your classmates. You will reflect on your academic achievement this semester.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You are expected:

- 1) to read assigned units and look up words and phrases you don't know in the dictionary before the class.
 - 2) to watch or listen to an English program regularly.
- University guidelines suggest preparation and review are around four hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Title: Impact Issues 3: Presenting your ideas in English (3rd Edition)

Authors: Richard R. Day, Joseph Shaules, and Junko Yamanaka

Publisher: Pearson Education South Asia

Publishing Year: 2019

【参考書】

Longman Dictionary of Contemporary English

【成績評価の方法と基準】

class participation (20%), presentation (5%), debate (5%) assignments (10%), and final examination (60%)

*If you have four absences per semester without permission, do not debate, do not make a group presentation, or do not take a term examination, you cannot receive a credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

I hope that we will enjoy learning English together.

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (Hosei's Educational Internet System), E-mail, computer, USB

【その他の重要事項】

What you are expected for every class:

- 1) to bring an English-English dictionary
- 2) to contact me when you are absent from class

*Good manners and collaborative learning are important in this class.

【Outline (in English)】

You will learn English writing and speaking mainly in this class. However, this course aims to enhance your English (listening, speaking, reading and writing) holistically. You will have a lot of chances to communicate with your classmates and me in English. You will also debate and make a group presentation with your classmates. You are expected to make a good learning community through participation in this class.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

鈴木 眞奈美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、英語のライティングとスピーキングを中心に学習しますが、リーディング、リスニングも含めた4技能を統合的に発展させることを目標とします。クラスでは英語でのコミュニケーションの機会がたくさんあります。ディベートやグループプレゼンテーションも行います。このような授業に積極的に参加することで良い学習環境をともに創造していきましょう。

【到達目標】

You will try to achieve four goals: 1) to improve your English writing and speaking communicative competence; 2) to know and understand yourself better; 3) to think of your future life and career through the course work; and 4) to progress your English proficiency (listening, speaking, reading and writing) holistically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

You will learn:

- 1) communication strategies (e.g., shadowing and summarizing)
- 2) basic English writing knowledge (e.g., organization, topic sentences)
- 3) presentation skills
- 4) collaborative learning
- 5) the importance of understanding various perspectives on controversial issues and logical thinking
- 6) practice making small talk in every class

*I will give you my oral and written feedback on your assignments in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction; Review; Setting Goals	I will introduce this course. You will review what you learned in the previous semester. You will set your goals for this semester and this English course and write them in English.
2	Units 11	pp.50-53 You will discuss the topic of each chapter.
3	Units 12	pp.54-57 You will discuss the topic of each chapter.
4	Unit 13	pp.58-61 You will discuss the topic of each chapter.
5	Unit 14	pp.62-65 You will discuss the topic of each chapter.

6	Unit 15	pp.66-69 You will discuss the topic of each chapter.
7	Unit 16	pp.70-73 You will discuss the topic of each chapter.
8	Preparation for Presentation	You will prepare for your presentation.
9	Presentation	You will make a presentation.
10	Presentation	You will continue to make a presentation.
11	Presentation	You will continue to make a presentation
12	Units 17-18	pp.74-81 You will discuss the topic of each chapter.
13	Review	You will review what you learn in this class and discuss impressive units with your classmates.
14	Discussion Reflection	You will discuss your favorite topics with your classmates. You will reflect on your academic performance and set your goals for the next academic year.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You are expected:

- 1) to read assigned units and look up words and phrases you don't know in the dictionary before the class.
- 2) to watch or listen to an English program regularly.

University guidelines suggest preparation and review are around four hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Title: Impact Issues 3: Presenting your ideas in English (3rd Edition)

Authors: Richard R. Day, Joseph Shaules, and Junko Yamanaka

Publisher: Pearson Education South Asia

Publishing Year: 2019

【参考書】

Longman Dictionary of Contemporary English

【成績評価の方法と基準】

class participation (20%), presentation (20%), assignments (10%), and final examination (50%)

*If you have four absences per semester without permission, do not make a group presentation, or do not take a term examination, you cannot receive a credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

I hope you will come to like studying English more and that you will keep on learning English.

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (Hosei's Educational Internet System), E-mail

【その他の重要事項】

What you are expected for every class:

- 1) to bring an English-English dictionary
- 2) to contact me when you are absent from class

*Good manners and collaborative learning are important in this class.

【Outline (in English)】

You will learn English writing and speaking mainly in this class. However, this course aims to enhance your English (listening, speaking, reading and writing) holistically. You will have a lot of chances to communicate with your classmates and me in English. You will also debate and make a group presentation with your classmates. You are expected to make a good learning community through participation in this class.

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
English 2 I		2017年度以降入学者
岩崎 博		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金 1/Fri.1		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

リスニング、スピーチ・プレゼンテーション、ライティングの基本的な技術を習得することを目的にする。音声の特徴を理解し、発音能力を高めることによって、リスニング能力の向上を目指す。また、自分の言いたいことを口頭で効果的に伝える方法を学ぶ。さらに、英語エッセーの構造を学び、アカデミックな論文を作成する技術を学ぶ。

【到達目標】

英語の音声上の特徴を知り、自分で発音できるようになる。
シャドーイングという学習法を実践し、英語を耳から理解できるようにする。
効果的なスピーチのやり方を習得する。
自分の考えを簡単な英語で表現できるようになる。
英語エッセーの形式を理解し、4パラグラフからなるエッセーを作成できるようにする。
英文のパラグラフの構造を理解し、主題文と支持文から成るパラグラフを作成できるようにする。
辞書の使い方を学び、英文を作成するとき様々な辞書を活用できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ①リスニング。英語のニュースを聞きながら、スクリプトの穴埋めを行う。教材にはアメリカのテレビニュースを用いる。リスニング能力強化のために、英語特有の音声の法則を知り英語の発音を向上させる。また、シャドーイングを徹底的に行い英語の発音リズムを体得し、英語を感覚的に理解できるようになることによってスピーキング能力向上につなげる。英語ニュースの内容を理解した後、それを英語で要約し、最終的には自分の意見を英語で発表する。教材は毎回作成する。
- ②スピーキング。テキストの内容に沿って様々な場面に対応できるよう発話練習をする。
- ③プレゼンテーション。あるテーマに関して毎回5人が英語でプレゼンテーションを行う。それに関してクラスで話し合う。
- ④ライティング。テキスト内の問題を解きながら、様々なタイプのエッセーの基本構造を学習する。春学期に一度エッセイプランを作成し、基本構造を自分のものにす。エッセイプランにしたがって、4パラグラフからなるエッセーを作成する。
- ⑤フィードバック。①に関しては授業中に教師が口頭でコメントを出す。③は、プレゼン原稿にコメントをつけて返却する。④作成したエッセーに関して、教師が添削を行い詳細なコメントをつける。2回目以降のエッセーには簡単なコメントをつける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明	授業方針の説明。 学生による英語での自己紹介。
2	Unit 1 College Life お互いを知る(1) スピーキングを中心に	指名された学生5名が英語でスピーチを行う。 初対面の相手から情報を聞き出す会話パターンを練習する。

3	Unit 1 College Life お互いを知る(2) リスニングを中心に	能登半島地震を伝えるCBSのニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを実践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。最終的には自分の意見を英語で表明する。ニュース映像に関してはNBCが米国で毎晩放送する新しいニュース映像を教材にするので、内容に関しては後日決定。 テキストのリスニング教材の聞き取り。テキストのリスニング教材の聞き取り。初対面の二人の比較的最長い会話を聞き、メモを取って大まかな内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。発音練習をする際、thの発音を習得する。指名された学生5名が英語でスピーチを行う。 自分の意図や将来のプランを伝える表現を使った会話パターンを練習する。
4	Unit 2 Future Plans 意図を告げる(1) スピーキングを中心に	少年の拒食症を伝えるNBCのニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを実践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。テキストのリスニング教材の聞き取り。将来のプランについての比較的最長い会話を聞き、メモを取って大まかに内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。 /ð/と/v/の発音を習得する。
5	Unit 2 Future Plans 意図を告げる(2) リスニングを中心に	指名された学生5名が英語でスピーチを行う。 バイトや趣味を伝える表現を使った会話パターンを練習する。
6	Unit 3 Part-time Jobs 趣味について語る(1) スピーキングを中心に	アメリカでセミ大発生を伝えるNBCのニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを実践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。テキストのリスニング教材の聞き取り。趣味に関する比較的最長い会話を聞き、メモを取って大まかに内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。/w/の発音を習得する。
7	Unit 3 Part-time Jobs 趣味について語る(2) リスニングを中心に	指名された学生5名が英語でスピーチを行う。 他人を誘い出し、約束をする表現を使った会話パターンを練習する。
8	Unit 4 Movies 誰かを誘いアポを取る(1) スピーキング中心に	

- 9 Unit 4 Movies 誰かを誘いアポを取る (2) リスニングを中心に
アファーマティブアクション連邦最高裁違憲判決を伝える NBC のニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを実践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。
テキストのリスニング教材の聞き取り。デートの打ち合わせをする男女の比較的長い会話を聞き、メモを取って大まかに内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。
/s/ と /z/ の発音を習得する。
- 10 Unit 5 Parties 相手の好みを聞く (1) スピーキングを中心に
指名された学生 5 名が英語でスピーチを行う。
相手の好みを聞いたり、パーティーなどに誘い出す会話パターンを練習する。
- 11 アカデミック・ライティング 1 (4 パラグラフからなるエッセイの構造)
自分の意見を主張する 4 パラグラフからなるエッセイの構造を理解し、エッセイプランを作成する。
- 12 アカデミック・ライティング 2 (エッセイプランから英文作成へ)
エッセイプランから英文を作成する方法を学ぶ。
特に辞書の使い方を詳しく学習する。
- 13 Unit 5 Parties 相手の好みを聞く (2) リスニングを中心に
第二次世界大戦中アメリカが日系人を強制収容所に送ったことを伝える NBC のニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを実践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。
テキストのリスニング教材の聞き取り。パーティーの打ち合わせをする男女の比較的長い会話を聞き、メモを取って大まかに内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。
/m/ と /n/ の発音を習得する。
- 14 提出されたエッセイに対するフィードバック
添削しコメントを添えてエッセイを返却する。
添削・コメントというフィードバックから、学生はエッセイライティングの技法を学び直す。
学生が作成したエッセイの代表的な間違いを辞書を活用しながら正しく書き直す。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。ただし、スピーチの作成準備には 5 時間前後、エッセイ作成には 8 時間前後を要します。

授業の予習。テキストの指定箇所の問題を解く。

授業の復習。前回聞いた英語ニュースのシャドーイングをし、英語ニュースの内容を英語で要約し、自分の意見をクラスで発表する準備をします。

スピーチ原稿の作成とスピーチの練習（春学期に一度）。

英文エッセイの作成（春学期に一度）。

【テキスト（教科書）】

『Activator Next』、塩澤正他、金星堂

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

授業参加 40 パーセント、レポート・スピーチ・試験 60 パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。

一度休むごとに授業参加点から 2 点ずつ引いていく。

4 回以上欠席の場合は、原則として単位修得を認めない。

原則的に遅刻は認めない。

オンライン授業では課題の提出を持って出席とする。

原則的に遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

リスニング教材をより興味深いものにする。

ライティングの比重を高くする。

英語で発言する機会を増やす。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を持っている人は電子辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業と関係のない目的でスマホをいじるなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。教師と学生の対話を通して、適度楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

This course is to help students improve their skills of listening, speaking, and writing. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations in the class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English.

Participants are expected to spend one hour answering assigned questions on the textbook before the class and reviewing what they have learned after the class.

The final grade will be decided based on class-participation 40 %, essays 30 % and term-end examination 30 %.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

岩崎 博

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

リスニング、スピーチ・プレゼンテーション、ライティングの基本的な技術を得得することを目的にする。音声の特徴を理解し、発音能力を高めることによって、リスニング能力の向上を目指す。また、自分の言いたいことを口頭で効果的に伝える方法を学ぶ。さらに、英語エッセーの構造を学び、アカデミックな論文を作成する技術を学ぶ。

【到達目標】

英語の音声上の特徴を知り、自分で発音できるようになる。
シャドーイングという学習法を実践し、英語を耳から理解できるようにする。
効果的なスピーチのやり方を習得する。
自分の考えを簡単な英語で表現できるようになる。
英語エッセーの形式を理解し、4パラグラフからなるエッセーを作成できるようにする。
英文のパラグラフの構造を理解し、主題文と支持文から成るパラグラフを作成できるようにする。
辞書の使い方を学び、英文を作成するとき様々な辞書を活用できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を得得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ①リスニング。英語のニュースを聞きながら、スクリプトの穴埋めを行う。教材にはアメリカのテレビニュースを用いる。リスニング能力強化のために、英語特有の音声の法則を知り英語の発音を向上させる。また、シャドーイングを徹底的に行い英語の発音リズムを体得し、英語を感覚的に理解できるようになることによってスピーキング能力向上につなげる。英語ニュースの内容を理解した後、それを英語で要約し、最終的には自分の意見を英語で発表する。教材は毎回作成する。
- ②スピーキング。テキストの内容に沿って様々な場面に対応できるよう発話練習をする。
- ③プレゼンテーション。あるテーマに関して毎回5人が英語でプレゼンテーションを行う。それに関してクラスで話し合う。
- ④ライティング。テキスト内の問題を解きながら、様々なタイプのエッセーの基本構造を学習する。春学期に一度エッセイプランを作成し、基本構造を自分のものにする。エッセイプランにしたがって、4パラグラフからなるエッセーを作成する。
- ⑤フィードバック。①に関しては授業中に教師が口頭でコメントを出す。③は、プレゼン原稿にコメントをつけて返却する。④作成したエッセーに関して、教師が添削を行い詳細なコメントをつける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ニュース映像の聞き取り	ナキウサギ絶滅の危機を伝えるABCのニュース映像を視聴し、地球温暖化が切実な問題になっていることを実感する。ニュース映像を使った聞き取りを行なったのちシャドーイングを実践する。 /n/, /m/, /ŋ /の発音を習得する。
2	Unit 6 Friends 感謝と謝罪の気持ちを伝える(1)	指名された学生5名が英語でスピーチを行う。 感謝や謝罪など、自分の気持ちを伝える表現を伝える会話パターンを練習する。
3	Unit 6 Friends 感謝と謝罪の気持ちを伝える(2)	米でアジア人襲撃が多発していることを伝えるNBCニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを実践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。最終的には自分の意見を英語で表明する。ニュース映像に関してはNBCが米国で每晚放送する新しいニュース映像を教材にするので、内容に関しては後日決定。 テキストのリスニング教材の聞き取り。謝罪とそれに対する対応が交わされる会話を聞き、メモを取って大まかな内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。発音練習をする際、/r/の発音を習得する。
4	Unit 7 Abroad 繰り返しを求める(1)	指名された学生5名が英語でスピーチを行う。 相手の言っていることを聞き逃した時、再び同じことを繰り返してもらうための表現を使った会話パターンを練習する。
5	Unit 7 Abroad 繰り返しを求める(2)	ハマスがイスラエルを急襲したことを伝えるNBCのニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを実践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。 テキストのリスニング教材の聞き取り。相手の意図を確認する表現を含む会話を聞き、メモを取って大まかに内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。 /l/の発音を習得する。
6	Unit 8 Social Media 世間話をする(1)	指名された学生5名が英語でスピーチを行う。 あまり親しくない人と世間話を続けるためのパターンを練習する。

- 7 Unit 8 Social Media 世間話をする(2) リスニングを中心に 餌やりが危険なクマを作り出すことを伝えるNBCのニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを実践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。テキストのリスニング教材の聞き取り。当たり障りのない会話を聞き、メモを取って大まかに内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。破裂音の発音を習得する。
- 8 Unit 9 Cultures 相手に質問をする(1) スピーキングを中心に 指名された学生5名が英語でスピーチを行う。様々な質問をするためのパターンを練習する。
- 9 Unit 9 Cultures 相手に質問をする(2) リスニングを中心に 核実験成功から78年を伝えるNBCのニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを実践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。テキストのリスニング教材の聞き取り。パチンコに関する会話を聞き、メモを取って大まかに内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。/i:/の発音を習得する。
- 10 Unit 10 Music 許可を求める(1) スピーキングを中心に 指名された学生5名が英語でスピーチを行う。許可を得たり、提案をするためのパターンを練習する。
- 11 アカデミック・ライティング1 (原因から結果へ向かうエッセイの構造) 原因から結果へ向かう4パラグラフからなるエッセイの構造を学び、エッセイプランを作成する。
- 12 アカデミック・ライティング2 (エッセイプランから英文作成へ) エッセイプランから英文を作成する方法を再度学ぶ。特に辞書の使い方を再度詳しく学習する。
- 13 Unit 10 Music 許可を求める(2) リスニングを中心に 米大統領選挙の結果を伝えるCBSのニュース映像を視聴し、プリントの穴埋めを行ない、内容を理解し、シャドーイングを実践する。そのあとで、ペアを作りニュース映像の内容について互いに英語で質問し答える練習をする。テキストのリスニング教材の聞き取り。許可と提案の表現を含む会話を聞き、メモを取って大まかに内容を理解し、さらに別の英語にパラフレイズすることによって自分が理解したことを表現する。/d/の発音を習得する。
- 14 提出されたエッセイに対するフィードバック 添削されたエッセイをコメントを添えて返却する。学生が作成したエッセイの代表的な間違いを辞書を活用しながら正しく書き直す。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。ただし、スピーチの作成準備には5時間前後、エッセイ作成には8時間前後を要す。

授業の予習。テキストの指定箇所の問題を解く。具体的にはパラグラフの構造分析、和文英訳、英文エッセイのレイアウト作成をする。授業の復習。前回聞いた英語ニュースのシャドーイングをする、英語ニュースの内容を英語で要約し、自分の意見をクラスで発表する準備をする。

スピーチ原稿の作成とスピーチの練習（秋学期に一度）。

英文エッセイの作成（秋学期に一度）。

【テキスト（教科書）】

『Activator Next』、塩澤正他、金星堂

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

授業参加40パーセント、レポート・スピーチ・試験60パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。

一度休むごとに授業参加点から2点ずつ引いていく。

4回以上欠席の場合は、原則として単位修得を認めない。

原則的に遅刻は認めない。

オンライン授業では課題の提出を持って出席とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生の授業参加をもっと促す。

英会話にもっと時間を割く。

学生とのコミュニケーションをもっととる。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を持っている人は電子辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業と関係のない目的でスマホをいじるなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。教師と学生の対話を通して、適度楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

This course is to help students improve their skills of listening, speaking, and writing. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations in the class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English.

Participants are expected to spend one hour answering assigned questions on the textbook before the class and reviewing what they have learned after the class.

The final grade will be decided based on class-participation 40 %,essays 30 %and term-end examination 30 %.

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
English 2 I	2017年度以降入学者
衣笠 正晃	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月2/Mon.2	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常のなかの多様なトピックについて知識や経験、意見を効果的に平易な英語で表現できる力を身につけることを目的とします。学生にとって身近な話題を素材にしたテキストを用いて、意見発表や意見交換の練習、論理的構成をもつパラグラフを書く練習をおこないます。

【到達目標】

- 1) トピックに関する英語情報を聴き取り／読み取り、整理できるようになる。
- 2) 自分の知識や経験、意見を、わかりやすい英語で表現できるようになる。
- 3) 論理的な構成をもったパラグラフを英語で書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原則としてテキストの各章を2週にかけて学びます。1週目にはトピックに関する語彙の習得・理解、教材の視聴（聴き取り）、それにもとづく口頭でのリテリングや意見発表の練習をおこないます。2週目にはトピックにもとづく英文（パラグラフ）作成の練習をおこないます。毎回予習確認のためにクイズ（小テスト）を実施し、リアクションシートを提出してもらいます。リアクションシートのコメント・質問には授業や学習支援システムでフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	学期授業計画の説明
2	A Day on a Film Set (映画産業について) (1)	教科書 Unit 1 にもとづくスピーキング（リテリングやディスカッション）
3	A Day on a Film Set (映画産業について) (2)	教科書 Unit 1 にもとづくライティング
4	Jobray the Artist (アート教育の意義) (1)	教科書 Unit 2 にもとづくスピーキング
5	Jobray the Artist (アート教育の意義) (2)	教科書 Unit 2 にもとづくライティング
6	Horseback Library (情報インフラの整備) (1)	教科書 Unit 3 にもとづくスピーキング
7	Horseback Library (情報インフラの整備) (2)	教科書 Unit 3 にもとづくライティング
8	Arctic Football (スポーツとeスポーツ) (1)	教科書 Unit 4 にもとづくスピーキング
9	Arctic Football (スポーツとeスポーツ) (2)	教科書 Unit 4 にもとづくライティング

10	Volunteer Hairdresser (ボランティア活動) (1)	教科書 Unit 6 にもとづくスピーキング
11	Volunteer Hairdresser (ボランティア活動) (2)	教科書 Unit 6 にもとづくライティング
12	Truths About Common Illnesses (風邪などの病気の真実)	教科書 Unit 7 にもとづくスピーキングとライティング
13	Shona Faces Her Fears (不安や恐れへの対応策)	教科書 Unit 8 にもとづくスピーキングとライティング
14	学期末試験とまとめ	筆記による試験＋学期授業の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指示に従って（付属 Web 動画の視聴を含めて）テキストを予習し、問題の解答を作成するとともに、語彙や知識の整理をおこない、トピックに関する口頭での意見発表の準備をおこなう。またトピックに関連する英文（パラグラフ）を作成する。

※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Azusa Wada ほか（著）*Global Gate Intermediate*（成美堂、2024年）税抜価格2,700円

※このほか必要に応じてプリントを配付・使用します。

【参考書】

随時授業中に指示します。なお授業には辞書を持参してください。

【成績評価の方法と基準】

・平常点（授業参加度、小テスト、提出物など。60％）、学期末試験（40％）をあわせて評価します。評価にあたっては【到達目標】の各項目がどの程度達成できているかに注目します。
・欠席が学期中4回以上となった場合は原則として単位修得の資格を失います。なお遅刻3回を欠席1回としてカウントします。

【学生の意見等からの気づき】

学生同士によるグループワーク、ペアワークを多く実施したことについて、履修者から好評を得ました。ピアレビューを通じた自発的な気づきや学びの機会として、今後も積極的に生かしてゆきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

資料の配付や課題の提出、授業に関する連絡など、学期を通じて学習支援システムを利用します。また音声のダウンロードや課題の作成にはPCが必要です。

【その他の重要事項】

・初回授業までに教科書を購入し、持参してください。
・出席者の状況に合わせて授業の進め方に変更を加えたり、教材を差し替えたりする場合があります。
・初回授業で授業履修にあたって守るべき事柄を説明しますので、遵守してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is for students to develop their ability to effectively express their opinions, knowledge and experience in everyday life in lucid English. At the end of this course, students are expected to understand how to give speeches and presentations as well as how to write a logically organized paragraph on topics they are familiar with. Students are expected to come to each class meeting well prepared by completing the required assignments; the required study time is at least one hour per class. The overall grade will be decided based on class participation (60%), and the final examination (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

衣笠 正晃

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常のなかの多様なトピックについて知識や経験、意見を効果的に明快な英語で表現できる力を身につけることを目的とします。学生生活を題材にしたテキストを用いて、プレゼンテーションやディスカッションなどの練習、複数のパラグラフからなる短いレポート（エッセイ）を書く練習をおこないます。

【到達目標】

- 1) トピックに関する英語情報を聴き取り／読み取り、整理できるようになる。
- 2) 自分の知識や経験、意見をわかりやすい英語で表現できるようになる。
- 3) 複数のパラグラフからなる短いエッセイを書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原則としてテキストの各章を2週にかけて学びます。1週目にはトピックに関する語彙の習得・理解、教材の聴き取り、それにもとづく口頭での意見発表の練習をおこないます。2週目にはトピックにもとづく英文（パラグラフまたはエッセイ）作成の練習をおこないます。毎回予習確認のためにクイズ（小テスト）を実施し、リアクションシートを提出してもらいます。リアクションシートのコメント・質問には授業や学習支援システムでフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Alternative Shopping: Vintage Markets (古着マーケット) (1)	教科書 Unit 9 にもとづくスピーキング
2	Alternative Shopping: Vintage Markets (古着マーケット) (2)	教科書 Unit 9 にもとづくライティング
3	Can a Computer Write a Musical? (コンピューターとミュージカル) (1)	教科書 Unit 10 にもとづくスピーキング
4	Can a Computer Write a Musical? (コンピューターとミュージカル) (2)	教科書 Unit 10 にもとづくライティング
5	Reaching for the Stars (宇宙飛行士の夢) (1)	教科書 Unit 11 にもとづくスピーキング
6	Reaching for the Stars (宇宙飛行士の夢) (2)	教科書 Unit 11 にもとづくライティング
7	Bionic Hand (AIとロボット開発) (1)	教科書 Unit 12 にもとづくスピーキング
8	Bionic Hand (AIとロボット開発) (2)	教科書 Unit 12 にもとづくライティング

9	Life Afloat (居住地としての運河)	教科書 Unit 13 にもとづくスピーキングとライティング
10	My Italian Town (各地の祭りやイベント) (1)	教科書 Unit 14 にもとづくスピーキング
11	My Italian Town (各地の祭りやイベント) (2)	教科書 Unit 14 にもとづくライティング
12	Bengaluru Eco Office (環境問題としてのゴミ処理) (1)	教科書 Unit 15 にもとづくスピーキング
13	Bengaluru Eco Office (環境問題としてのゴミ処理) (2)	教科書 Unit 15 にもとづくライティング
14	学期末試験とまとめ	筆記による試験＋学期授業の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指示に従って（付属Web動画の視聴を含めて）テキストを予習し、問題の解答を作成するとともに、語彙や知識の整理をおこない、トピックに関する口頭での意見発表の準備をおこなう。またトピックに関連する英文（パラグラフやエッセイ）を作成する。
※なお本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Azusa Wada ほか（著）*Global Gate Intermediate*（成美堂、2024年）税抜価格2,700円

※このほか必要に応じてプリントを配付・使用します。

【参考書】

随時授業中に指示します。なお授業には辞書を持参してください。

【成績評価の方法と基準】

・平常点（授業参加度、小テスト、提出物など。60%）、学期末試験（40%）をあわせて評価します。評価にあたっては【到達目標】の各項目がどの程度達成できているかに注目します。
・欠席が学期中4回以上となった場合は原則として単位修得の資格を失います。なお遅刻3回を欠席1回としてカウントします。

【学生の意見等からの気づき】

学生同士によるグループワーク、ペアワークを多く実施したことについて、履修者から好評を得ました。ピアレビューを通じた自発的な気づきや学びの機会として、今後も積極的に生かしてゆきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

資料の配付や課題の提出、授業に関する連絡など、学期を通じて学習支援システムを利用します。また音声のダウンロードや課題の作成にはPCが必要です。

【その他の重要事項】

・出席者の状況に合わせて授業の進め方に変更を加えたり、教材を差し替えたりする場合があります。
・担当教員から説明している授業履修にあたっての注意事項を遵守してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is for students to develop their ability to effectively express their opinions, knowledge and experience in everyday life in lucid English. At the end of this course, students are expected to understand how to participate in discussions and give presentations as well as how to write a short essay with multiple paragraphs on topics they are familiar with. Students are expected to come to each class meeting well prepared by completing the required assignments; the required study time is at least one hour per class. The overall grade will be decided based on class participation (60%), and the final examination (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to improve students' oral and written communication skills through a variety of assigned listening, speaking and writing activities, both in and outside the classroom. Focus will be on regular student input with instructor feedback.

【到達目標】

Upon completion of the course, students should be more confident in expressing their ideas on a variety of topics, both orally and in writing. Through in-class group discussions and assigned readings, students will be able to broaden their vocabulary and make themselves understood with improved enunciation and solid reasoning. Through in-class practice exercises, students will be able to write a short essay with a clear topic sentence, logical support and summary.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will start with a brief explanation of the course objective(s) for that day. A brief introductory lecture by the instructor will be followed by textbook (Perspectives 2) exercises, both listening and speaking. Students will be encouraged to "step out of their comfort zone" and speak out without hesitation or fear of making mistakes. Regular verbal feedback will be given on class discussions and written feedback will be given on outside class assignments.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Course Overview	Course Overview & Expectations	Student interviews / introductions
Unit 1	Making subject / object questions	Asking other students about their hobbies
Unit 1	Using suffixes to expand vocabulary	Changing adjectives into nouns and using them in a short conversation
Unit 2	Using tag questions in a conversation	Asking other students about their recent travels
Unit 2	Using adjectives ending in -ed & -ing	Writing about a recent travel experience
Unit 3	Using phrasal verbs	Discussing favorite sports to watch & play
Unit 3	Talking about future plans	Sharing future school & career goals
Unit 4	Making conversations with simple past and present perfect verbs	Correcting grammatical mistakes in a reading passage

Unit 4	Describing the steps in a process	Sharing favorite recipes with other students
Unit 5	Describing different jobs	Sharing part-time work experiences
Unit 5	Comparing different work environments	Describing the ideal work environment

Class 12 Individual Speech 3-minute speech (topic to be assigned)

Class 13 Individual Speech 3-minute speech (topic to be assigned)

Class 14 Final exam Textbook units 1-5

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

2-3 hours per week based on assigned readings & writing homework

【テキスト（教科書）】

Perspectives 2

Publisher: National Geographic Learning

ISBN: 979-8-214-33460-8

【参考書】

None required

【成績評価の方法と基準】

25%—Individual speech

25%—Assigned homework

25%—Class participation

25%—Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

New course textbook has been adopted for this year.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

Students will be expected to come to every class, having done any assigned homework and other necessary preparations. Classroom listening and speaking activities will be centered around the course textbook (Perspectives 2) as well as group discussions on current topics. Students will spend approximately 2-3 hours each week on homework and class preparation.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金 1/Fri.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course is designed to improve students' oral and written communication skills through a variety of assigned listening, speaking and writing activities, both in and outside the classroom. Focus will be on regular student input with instructor feedback.

【到達目標】

Upon completion of the course, students should be more confident in expressing their ideas on a variety of topics, both orally and in writing. Through in-class group discussions and assigned readings, students will be able to broaden their vocabulary and make themselves understood with improved enunciation and solid reasoning. Through in-class practice exercises, students will be able to write a short essay with a clear topic sentence, logical support and summary.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will start with a brief explanation of the course objective(s) for that day. A brief introductory lecture by the instructor will be followed by textbook (Perspectives 2) exercises, both listening and speaking. Students will be encouraged to "step out of their comfort zone" and speak out without hesitation or fear of making mistakes. Regular verbal feedback will be given on in-class work and written feedback on outside class assignments.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Course Overview	Explanation of course goals & student expectations	Student interviews of summer holiday activities
Unit 6	Overcoming disabilities	Using the first & second conditional
Unit 6	Expressing oneself in writing	Writing an informal email to a colleague
Unit 7	Contrasting use of the active vs. passive voice	Shopping role play
Unit 7	Recognizing non-verbal vs verbal communication clues	Using appropriate pragmatic expressions
Unit 8	Understanding cultural differences in communication	High vs. Low context speaking role play

Unit 8	Using the appropriate voice in different situations	Writing a complaint email to a store
Unit 9	Using relative clauses in daily speech	Group PB Technologies role play
Class 9	Comparing digital vs analog forms of communication	Selecting the right media to express one's thoughts
Unit 10	Using time expressions with phrasal verbs	Talking about weekly / monthly plans
Unit 10	Setting priorities in daily life	Sharing key priorities at school & home
Individual speech	Individual speech	3-minute speech (topic to be assigned)
Individual speech	Individual speech	3-minute speech (topic to be assigned)
Final exam	Units 6-10	Multiple choice & short answer

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

2-3 hours per week based on class preparation & outside assignments

【テキスト (教科書)】

Perspectives 2

Publisher: National Geographic Learning

ISBN: 979-8-214-33460-8

【参考書】

None required

【成績評価の方法と基準】

25%—Individual speech

25%—Outside assignments

25%—Class participation

25%—Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

A new course textbook has been adopted for this year.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

Students will be expected to come to every class, having done any assigned homework and other necessary preparations. Classroom listening and speaking activities will be centered around the course textbook (Perspectives 2) as well as group discussions on current topics. Students will spend approximately 2-3 hours each week on homework and class preparation.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

ジョナサン エイブル

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a course in understanding and using English in practical situations.

Classroom work will include discussion and presentation in small groups and individual study with personal attention from the instructor.

There will be writing exercises in alternate classes designed to improve the structure and grammatical quality of the students' written English.

【到達目標】

The aim of this class is to improve the communication skills of the students with a view to future use of the language in life during after University.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students are encouraged to speak to each other in English while in class. Writing assignments will be returned with comments and corrections face to face in class to facilitate understanding.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Getting to know the teacher and the other students in class.
2	Transport and travel 1	How we get around
3	Transport and travel 2	Where we go and why. Writing assignment.
4	Presentation preparation 1	Deciding groups and topics and planning a presentation
5	Presentation 1	Giving presentations in class and receiving feedback.
6	Location.	How we describe places and features of the world around us. Writing assignment.
7	Food	Explaining and describing our own food and talking about food around the world.
8	Entertainment.	How people around the world spend their leisure time. Writing assignment.
9	The Media	How we gather information and the issues around social media.
10	Presentation preparation 2	Topics and preparation for the second presentation
11	Presentation 2	Giving presentations in class and receiving feedback.

12 Sport

Why do we play sport?

13 Music

Writing assignment.

Music as a social force in popular culture.

14 Test

Written self-assessment and short interview.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Materials provided in class will give students the opportunity to review the week's work and prepare for the next class.

Presentations will require student cooperation outside class hours.

【テキスト（教科書）】

Materials provided by instructor.

【参考書】

N/A

【成績評価の方法と基準】

Class participation 40%

Presentations 20%

Writing assignments 20%

Self-assessment and interview 20%

In principle only three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

Students are expected to attend all classes and to actively participate in discussion and presentation activities.

Grade assessment is based on participation, achievement and attendance.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

ジョナサン エイブル

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a continuation of the course in understanding and using English in practical situations.

Classroom work will include discussion and presentation in small groups and individual study with personal attention from the instructor.

There will be writing exercises in alternate classes designed to improve the structure and grammatical quality of the students' written English.

【到達目標】

The aim of this class is to improve the communication skills of the students with a view to future use of the language in life during after University.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students are encouraged to speak to each other in English while in class. Writing assignments will be returned with comments and corrections face to face in class to facilitate understanding.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to part 2.	Setting out goals and explaining processes.
2	Culture	What is 'Culture' and how does it change? Writing assignment.
3	Language	How does language work and how does our own language relate to others?
4	Presentation preparation 1	Organising topics and groups for the first presentation
5	Presentation 1	Presenting in class and receiving feedback.
6	Crime	What is criminal and why? Writing assignment.
7	Appearance	The language of clothes and gender.
8	Feelings	Expressing emotion. Writing assignment.
9	Money	How we earn and use money.
10	Presentation preparation 2	Preparing the second presentation.
11	Presentation 2	Giving presentations in class and receiving feedback.
12	Time	What is time and how do we use it? Writing assignment.

13	Technology	The positive and negative effect of technology on our daily lives.
14	Test	Self-assessment and short interviews.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Materials provided in class will give students the opportunity to review the week's work and prepare for the next class.

Presentations will require student cooperation outside class hours.

【テキスト（教科書）】

Material provided by instructor.

【参考書】

N/A

【成績評価の方法と基準】

Class participation 40%

Presentations 20%

Writing 20%

Self-assessment and interview 20%

In principle only three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

This is a continuation of the course in understanding and using English in practical situations.

Classroom work will include discussion and presentation in small groups and individual study with personal attention from the instructor.

There will be writing exercises in alternate classes designed to improve the structure and grammatical quality of the students' written English.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

近藤 隆子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アカデミック・エッセイ、論文のアブストラクト、プレゼンテーションのスクリプトとスライドの書き方について扱う英語教材を通して、アカデミック・ライティングのスキルを養う。具体的には、自分の知識、経験、意見をフォーマルな英語で効果的に表現する力を育成する。また、自分の考えを的確に伝えるために必要な語彙や表現も学習する。

【到達目標】

- ・論理的構成をもつパラグラフを英語で書けるようになる
- ・英語で自分の意見を表現したり、グループでディスカッションする力を身につける
- ・他の学生の英語を聴いて理解し、質問できるようになる
- ・英語辞書を効果的に使うことができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生は予習として教科書等の指定された箇所を読み、問題を解いてから授業に臨んでください。授業では、基本的に教科書に沿って、エッセイを書くために必要な技法と語彙について説明していきます。ペアワーク・グループワークの時間を多く設け、予習で分からなかった箇所を学生同士で説明し合ったり、それぞれの意見を交換したりしてもらいます。課題へのフィードバックは学習支援システムと授業にて、適宜おこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要説明、自己紹介 等
第2回	Unit 1 Key Features of Academic Essay	エッセイの重要な特徴について学ぶ
第3回	Unit 2 Title of Your Essay	タイトルの決定について学ぶ
第4回	Unit 3 Introduction of Your Essay	イントロダクションの役割について学ぶ
第5回	Unit 4 Body of Your Essay	ボディの構造について学ぶ
第6回	Unit 5 Conclusion of Your Essay	コンクルージョンのまとめ方について学ぶ
第7回	Unit 6-1 Feedback from Others (教科書の内容確認)	フィードバックの方法について学ぶ
第8回	Unit 6-2 Feedback from Others (実際にフィードバックに挑戦)	第7回の授業で学んだことをもとにクラスメートのエッセイにフィードバックをする
第9回	Unit 7-1 Submitting Your Final Draft (教科書の内容確認)	エッセイの最終原稿提出に必要なプロセスを学ぶ

第10回	Unit 7-2 Submitting Your Final Draft (最終原稿を仕上げる)	第9回の授業で学んだことをもとにエッセイの最終原稿を提出する
第11回	筆記試験	試験・解説
第12回	Essay writing 1	様々なトピックに関するエッセイを書き、クラスメートにピア・レビューをしてもらったものを最終原稿に仕上げる（第1回）
第13回	Essay writing 2	様々なトピックに関するエッセイを書き、クラスメートにピア・レビューをしてもらったものを最終原稿に仕上げる（第2回）
第14回	Semester review	春学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教員の指示に従って教科書の指定範囲を予習する。

- ・ Warm-up Reading を読み、Comprehension Check に答える
 - ・ Put It into Practice で Organization（文の構成）、Language（言語表現スタイル）、Content（伝達する内容）について読み、練習問題をする
 - ・ Do It Yourself で各章で取り上げた技法を練習する
- 課題が出された場合は、期限までに解答したうえで授業に出席する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Akiko Miyama, Mitsuko Yukishige, Tomoko Onabe, Junko Murao & Ashley Moore. "3-Point Academic Writing: Organization, Content, Language" 金星堂、2019年

【参考書】

授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点・授業への貢献（グループ／ペアワークへの参加含む）35％、課題35％、筆記試験30％で評価します。欠席が4回以上の場合は原則的に単位修得を認めません（30分を超えた遅刻は1回の欠席とみなします）。また、遅刻・早退は減点の対象となります。オンライン授業（Zoom使用）の場合も同様で、授業の最初に出席状況を確認します。

【学生の意見等からの気づき】

成績評価の方法と基準を学生がきちんと理解できるように説明する。ペア・グループワークで学生がより一層積極的に参加するようにやり方を工夫する。

【学生が準備すべき機器他】

授業の中で、エッセイを書いたり、授業内容に関連するウェブサイトアクセスしたりする際、パソコンもしくはタブレットを使用します。また、資料の配布・課題の提出などには、学習支援システムを使用します。また、状況によっては、Zoomで授業を行うことがあります。

【その他の重要事項】

- ・初回の授業に出席してください
- ・授業には辞書を持参してください（英英辞典、英和・和英辞典どちらでも良い）
- ・積極的に授業に参加することが求められます
- ・授業中の携帯電話の使用は不可です
- ・遠隔の場合は代替案を授業中に指示します

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students develop their academic writing skills using a textbook that deals with how to write academic essays, abstracts, presentation scripts and slides in English. It will also help students learn the vocabulary and expressions necessary to accurately convey their thoughts.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Students should be able to write logically organized paragraphs
- Students should be able to effectively participate in and facilitate discussions
- Students should be able to use dictionaries effectively

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignments. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Grading will be decided based on examination (30%), homework assignments (35%), and in-class contribution (35%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

近藤 隆子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アカデミック・エッセイ、論文のアブストラクト、プレゼンテーションのスク립トとスライドの書き方について扱う英語教材を通して、アカデミック・ライティングのスキルを養う。具体的には、自分の知識、経験、意見をフォーマルな英語で効果的に表現する力を育成する。また、自分の考えを的確に伝えるために必要な語彙や表現も学習する。

【到達目標】

- ・論理的構成をもつパラグラフを英語で書けるようになる
- ・英語で自分の意見を表現したり、グループでディスカッションする力を身につける
- ・効果的なプレゼンテーションを行うための知識を身につける
- ・他の学生の英語を聴いて理解し、質問できるようになる
- ・英語辞書を効果的に使うことができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生は予習として教科書等の指定された箇所を読み、問題を解いてから授業に臨んでください。授業では、基本的に教科書に沿って、アブストラクトやプレゼンテーションのスク립ト、スライドを書くために必要な技法と語彙について説明していきます。ペアワーク、グループワークの時間を多く設け、予習で分からなかった箇所を学生同士で説明し合ったり、それぞれの意見を交換したり、英語でプレゼンテーションやディスカッションをしてもらいます。課題へのフィードバックは学習支援システムと授業にて、適宜おこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション、春学期の復習、Unit 8 Structure of a Research Paper	授業の概要説明、春学期の復習、リサーチ・ペーパーの構造とイントロダクションについて学ぶ
第2回	Unit 9 Key Concepts of an Abstract	アブストラクトの重要な特徴について学ぶ
第3回	Unit 10 First Draft of Your Abstract	アブストラクトの草案を書く
第4回	Unit 11 Rewriting Your Abstract	アブストラクトの最終原稿を仕上げる
第5回	Unit 12 Key Concepts of Presentations	プレゼンテーションの基本的特徴について学ぶ
第6回	Unit 13 Preparing Visual Aids	視覚資料を作成する
第7回	Unit 14 Finishing Your Scripts	発表原稿を完成させる
第8回	Unit 15 Evaluating Your Presentation	プレゼンテーションの評価の仕方を学ぶ
第9回	筆記試験	試験

第10回	プレゼンテーションの準備	グループでのプレゼンテーションの練習、教室でのppt・pcの動作確認
第11回	プレゼンテーション(1)	受講者によるプレゼンテーション、質疑応答
第12回	プレゼンテーション(2)	受講者によるプレゼンテーション、質疑応答
第13回	プレゼンテーション(3)	受講者によるプレゼンテーション、質疑応答
第14回	筆記試験の解説、まとめ	筆記試験の解説、まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教員の指示に従って教科書の指定範囲を予習する。

- ・ Warm-up Reading を読み、 Comprehension Check に答える
 - ・ Put It into Practice で Organization（文の構成）、Language（言語表現スタイル）、Content（伝達する内容）について読み、練習問題をする
 - ・ Do It Yourself で各章で取り上げた技法を練習する
- 課題が出された場合は、期限までに解答したうえで授業に出席する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Akiko Miyama, Mitsuko Yukishige, Tomoko Onabe, Junko Murao & Ashley Moore. "3-Point Academic Writing: Organization, Content, Language" 金星堂、2019年

【参考書】

授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点・授業への貢献（グループ／ペアワークへの参加含む）30％、課題20％、プレゼンテーション20％、筆記試験30％で評価します。欠席が4回以上の場合は原則的に単位修得を認めません（30分を超えた遅刻は1回の欠席とみなします）。また、遅刻・早退は減点の対象となります。オンライン授業（Zoom使用）の場合も同様で、授業の最初に出席状況を確認します。

【学生の意見等からの気づき】

成績評価の方法と基準を学生がきちんと理解できるように説明する。ペア・グループワークで学生がより一層積極的に参加するようにやり方を工夫する。

【学生が準備すべき機器他】

授業の中で、エッセイを書いたり、授業内容に関連するウェブサイトアクセスしたりする際、パソコンもしくはタブレットを使用します。また、資料の配布・課題の提出などには、学習支援システムを使用します。また、状況によっては、Zoomで授業を行うことがあります。

【その他の重要事項】

- ・ 初回の授業に出席してください
- ・ 授業には辞書を持参してください（英英辞典、英和・和英辞典どちらでも良い）
- ・ 積極的に授業に参加することが求められます
- ・ 授業中の携帯電話の使用は不可です
- ・ 遠隔の場合は代替案を授業中に指示します

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students develop their academic writing skills using a textbook that deals with how to write academic essays, abstracts, presentation scripts and slides in English. It will also help students learn the vocabulary and expressions necessary to accurately convey their thoughts.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- － Students should be able to write logically organized paragraphs
- － Students should be able to effectively participate in and facilitate discussions and give presentations

- Students should acquire effective listening skills
- Students should be able to use dictionaries effectively

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignments. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Grading will be decided based on examination (30%), presentations (20%), homework assignments (20%), and in-class contribution (30%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

小坂 恵理子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The aim of the course is to help the learner enhance his/her writing/speaking skills while grasping newly acquired English terms and phrases. To do this, we will engage in various in-class writing and speaking exercises so that the learner will become better equipped to effectively navigate through a diverse range of social topics and settings and thus become a stronger more confident communicator.

【到達目標】

You will develop stronger writing and speaking skills and acquire vocabulary to be better equipped to become a more effective communicator in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

① Assist in understanding and practicing the use of the vocabulary introduced in each unit through creating sentences and doing oral exercises

② Instruct how to listen carefully to the conversation modules and effectively comprehend the content.

③ Provide feedback to assignments submitted.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Session 1	Orientation Unit 1: What the World Needs Now	① Orientation ② Unit 1 ③ Exercises
Session 2	Creating a Sustainable Environment	(Unit 1, cont.) ① Vocabulary & paragraph writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion exercise
Session 3	World Blood Supply	(Unit 2.) ① Vocab quiz ② Unit 2 ③ Writing exercises
Session 4	Mending National Ties	(Unit 2, cont.) ① Vocabulary & paragraph writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion exercise
Session 5	On Animal Poaching	(Unit 3.) ① Vocab quiz and recitation ② Unit 3 ③ Exercises

Session 6	On Poaching Regulations	(Unit 3, cont.) ① Vocabulary & writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion
Session 7	Reflect and Review	Midterm exam, summary and feedback
Session 8	On Armament	(Unit 4) ① Vocab quiz ② Unit 4 ③ Exercises
Session 9	Impacts of War	(Unit 4, cont.) ① Vocabulary & writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion
Session 10	Climate Change (1)	(Unit 5) ① Vocab quiz and recitation ② Unit 5 ③ Exercises
Session 11	Climate Change (2)	(Unit 5, cont.) ① Vocabulary & writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion exercise
Session 12	Smart Roads and Cars (1)	(Unit 6) ① Vocab quiz ② Unit 6 ③ Exercises
Session 13	Smart Roads and Cars(2)	(Unit 6, cont.) ① Vocab quiz and recitation ② supplemental reading ③ Exercises
Session 14	Reflect and Review	Final exam, summary and feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Title : Global Concepts: English for International Understanding

Authors : Jim Knudsen

Publisher: Nan'un-do

Published Year : 2012

ISBN: 9784523176886

Price : 2090 yen

【参考書】

Having access to an English-English dictionary and an English-Japanese dictionary is an essential when learning to understand the main points of study that will be covered in class.

【成績評価の方法と基準】

Active participation 20%, mid-term and final exams 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations/group activities 20%

【学生の意見等からの気づき】

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

【Outline (in English)】

The aim of the course is to help the learner enhance his/her writing/speaking skills while grasping newly acquired English terms and phrases. To do this, we will engage in various in-class writing and speaking exercises so that the learner will become better equipped to effectively navigate through a diverse range of social topics and settings and thus become a stronger more confident communicator.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

小坂 恵理子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The aim of the course is to help the learner enhance his/her writing/speaking skills while grasping newly acquired English terms and phrases. To do this, we will engage in various in-class writing and speaking exercises so that the learner will become better equipped to effectively navigate through a diverse range of social topics and settings and thus become a stronger more confident communicator.

【到達目標】

You will develop stronger reading and speaking skills and acquire vocabulary to be better equipped to become a more effective communicator in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ① Assist in understanding and practicing the use of the vocabulary introduced in each unit through creating sentences and doing oral exercises
- ② Instruct how to listen carefully to the conversation modules and effectively comprehend the content.
- ③ Provide feedback to assignments submitted.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Session 1	1. Catching Up 2. Unit 7: Endangered Languages	① What you did last summer ② Unit 7 ③ Group Exercises
Session 2	Endangered Languages (2)	(Unit 7, cont.) ① Vocabulary & writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion exercise
Session 3	Gender Gap	(Unit 8.) ① Vocab quiz ② Unit 8 ③ Exercises
Session 4	Gender Gap (2)	(Unit 8, cont.) ① Vocabulary & writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion exercise
Session 5	World Conflict and the UN	(Unit 9) ① Vocab quiz and recitation ② Unit 9 ③ Exercises

Session 6	World Health and the UN	(Unit 9, cont.) ① Writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion
Session 7	Reflect and Review	Midterm exam, summary and feedback
Session 8	Virtual Tools	(Unit 10) ① Vocab quiz ② Unit 10 ③ Exercises
Session 9	Virtual Tools (2)	(Unit 10, cont.) ① Vocabulary & writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion
Session 10	Apology (1)	(Unit 11) ① Vocab quiz and recitation ② Unit 11 ③ Exercises
Session 11	Apology (2)	(Unit 11, cont.) ① Vocabulary & writing exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion exercise
Session 12	Sports and Drugs (1)	(Unit 12) ① Vocab quiz ② Unit 12 ③ Exercises
Session 13	Sports and Drugs (2)	(Unit 12, cont.) ① Vocab quiz and recitation ② supplemental reading ③ Exercises
Session 14	Reflect and Review	Final exam, summary and feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Title : Global Concepts: English for International Understanding
Authors : Jim Knudsen
Publisher: Nan'un-do
Published Year : 2012
ISBN: 9784523176886
Price : 2090 yen

【参考書】

Having access to an English-English dictionary and an English-Japanese dictionary is an essential when learning to understand the main points of study that will be covered in class.

【成績評価の方法と基準】

Active participation 20%, mid-term and final exams 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations/group activities 20%

【学生の意見等からの気づき】

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

【Outline (in English)】

The aim of the course is to help the learner enhance his/her writing/speaking skills while grasping newly acquired English terms and phrases. To do this, we will engage in various in-class writing and speaking exercises so that the learner will become better equipped to effectively navigate through a diverse range of social topics and settings and thus become a stronger more confident communicator.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

Robert D. Hinton

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to introduce students to a variety of topics related to culture of English speaking countries.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy, and knowledge in the areas of language and culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback for the previous class will be given in the form of comments on submitted assignments. In this course students will have many opportunities to improve speaking, listening, reading and writing skills. Students will be encouraged to learn these skills through a variety of communicative and task based activities. Each week, students will participate in a myriad of activities to advance speaking, listening, reading and writing skills. Particular attention will be focused on improving communication skills. Students will be empowered with the skills to become more confident and competent communicators. Pair and group work, as well as individual presentations will be utilized.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, understanding the course goals, student information	Basic information about procedure
Week 2	Culture study - focus New York	Brainstorming and learning about New York City
Week 3	Personality scales survey	Group work - creating a personality quiz
Week 4	Personality presentation	Student presentations
Week 5	American justice system	A study of judges and courts in USA
Week 6	Crime and punishment	Students will decide what punishments are appropriate for crimes
Week 7	survival in nature	Students will take a survival quiz
Week 8	Survival in society	Techniques for surviving
Week 9	Survival in differing environments	Dealing with culture shock
Week 10	Learning about Tokyo	Students will discover areas of interest in Tokyo
Week 11	Tokyo critique presentation	Student presentations

Week 12	Group work for study of the culture of a foreign country	Students will do research about the culture/society of a foreign country and create a poster
Week 13	"Group A" students give presentations	Student presentations/note taking for "Group B"
Week 14	"Group B" students give presentations	Student presentations/note taking for "Group A"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be assigned a one page report and/or do preparation for the next class.

University guidelines suggest preparation and review are around 4hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is required for this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

I appreciate student feedback and alter course materials based on that information.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

Robert D. Hinton

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to introduce students to a variety of topics related to culture of English speaking countries.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy, and knowledge in the areas of language and culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback for the previous class will be given in the form of comments on submitted assignments. In this course students will have many opportunities to improve speaking, listening, reading and writing skills. Students will be encouraged to learn these skills through a variety of communicative and task based activities. Each week, students will participate in a myriad of activities to advance speaking, listening, reading and writing skills. Particular attention will be focused on improving communication skills. Students will be empowered with the skills to become more confident and competent communicators. Pair and group work, as well as individual presentations will be utilized.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Holiday	Students will do an interactive activity about their holiday
Week 2	Culture study - focus Australia	Students will collect information about Australia from a travel documentary
Week 3	American icon - Oprah Winfrey	Information search about this icon
Week 4	Oprah Winfrey - a biography of success	Students will learn more about this Oprah and start their research project
Week 5	Icon research project	Student will prepare for presentations, peer feedback
Week 6	Icon presentations	Student presentations
Week 7	Film critique/review	How to write a critique/review
Week 8	Group work on film critique	Students will work in groups to prepare for presentations
Week 9	Group presentations	Group presentations
Week 10	Race relations in USA	Students will learn about different ethnic groups in USA
Week 11	Stereotyping	How stereotyping occurs and related issue

Week 12 Culture differences Students will do a simulation activity

Week 13 Mass media How stereotyping occurs and related issue

Week 14 Commercials Students will evaluate the appeal of commercials

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be assigned a one page report and/or do preparation for the next class.

University guidelines suggest preparation and review are around 4hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is required for this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

I appreciate student feedback and alter course materials based on that information.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

CHRISTOPHER MASCHIO

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Effective communication opens up a lot of possibilities for anyone

wanting to work in an international environment. This course is for students who wish to practice and develop their speaking, listening, reading, and writing skills.

【到達目標】

1. Students will demonstrate improved speaking, listening, and writing fluency.
2. Students will become more capable of participating in spoken discourse.
3. Students will become better independent language learners.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will participate in group discussions, complete activities, and make presentations. Submission of assignments and feedback will be on the Learning Management System.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Class orientation Unit 1 Sociology - Are first impressions accurate?	Introduction to the course, students and teacher. Listening 1: The psychology of first impressions Making Inferences
2	Unit 1 Sociology - Are first impressions accurate?	Listening 2: A review of books about first impressions Suffixes
3	Quiz Unit 1 Sociology - Are first impressions accurate?	Unit 1 Quiz Speaking Skill: Taking conversational turns.
4	Unit 2 Nutritional Science - Why do we change the foods we eat?	Listening 1: A billion pounds of spices Listening for causes and effects
5	Unit 2 Nutritional Science - Why do we change the foods we eat?	Listening 2: A world of food Adjective-noun collocations
6	Quiz Unit 2 Nutritional Science - Why do we change the foods we eat?	Unit 2 Quiz Writing Task: Why do we change the foods we eat?
7	Mid-semester speaking task	Speaking discussion task

8	Unit 3 Psychology - In what ways is change good or bad?	Writing Task: Write about the changes in your life. Listening 1: Listening for time markers
9	Unit 3 Psychology - In what ways is change good or bad?	Listening 2: An interview with Barbara Ehrenreich Using a word web
10	Quiz Unit 3 Psychology - In what ways is change good or bad?	Unit 3 Quiz Speaking: Tag questions
11	Unit 4 Marketing - How does advertising affect our behavior?	Listening 1: Targeting children with advertising Identifying fact and opinion
12	Unit 4 Marketing - How does advertising affect our behavior?	Listening 2: The Influence of Online Ads Using context clues to identify meaning
13	Quiz Unit 4 Marketing - How does advertising affect our behavior?	Unit 4 Quiz Note-taking task: Using mind maps to note opinions.
14	Final task	Final group presentation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments from the textbook and worksheets that will be provided by the teacher. University guidelines suggest preparation and review should be around one hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Title: Q: Skills for Success Level 3 Listening and Speaking Student Book with iQ Online Practice Third Edition
Publisher: Oxford University Press
Author: Miles Craven, Kristin Sherman
ISBN: 978-0-19-490515-2

Please purchase the textbook for this course before the start of the semester.

学期が始まる前に、このコースの教科書を購入してください

【参考書】

Worksheet
Handouts

【成績評価の方法と基準】

Evaluation of in-class participation (14%)
Mid-semester task (15%)
Homework completion, writing tasks, and quizzes (48%)
Final task (23%)
In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The teacher always welcomes feedback and encourages students to suggest changes to improve the course at any time during the semester.

【学生が準備すべき機器他】

The Hosei University learning management platform will be used throughout the semester.

【その他の重要事項】

The contents and timing of the syllabus are subject to change according to the needs of the class. Class attendance is a course requirement. In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【Outline (in English)】

This course will provide students with speaking, listening, and reading practice. It will also improve their vocabulary, grammatical knowledge, and academic writing skills.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

CHRISTOPHER MASCHIO

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Effective communication opens up a lot of possibilities for anyone

wanting to work in an international environment. This course is for students who wish to practice and develop their speaking, listening, reading, and writing skills.

【到達目標】

1. Students will demonstrate improved speaking, listening, and writing fluency.
2. Students will become more capable of participating in spoken discourse.
3. Students will become familiar with academic writing.
4. Students will become better independent language learners.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will participate in group discussions, complete activities, and make presentations. Submission of assignments and feedback will be on the Learning Management System.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Class orientation Unit 5 Behavioral Science - Does taking risks change our lives?	Introduction to the semester and a speaking task about your summer vacation. Listening 1: A lifetime of risks.
2	Unit 5 Behavioral Science - Does taking risks change our lives?	Listening 2: Science of the edge Vocabulary skill: Word families
3	Unit 5 Behavioral Science - Does taking risks change our lives?	Unit quiz
4	Introduction to academic writing	Basic paragraph structure
5	Academic Writing	Basic paragraph structure
6	Mid-semester task	Speaking and writing task
7	Unit 7 Economics - Can money buy happiness?	Listening 1: Sudden wealth Listening for signposts
8	Unit 7 Economics - Can money buy happiness?	Listening 2: Happiness breeds success... and Money! Vocabulary: Idioms
9	Unit 7 Economics - Can money buy happiness?	Unit quiz
10	Academic writing	Introductory paragraphs

11	Academic writing	Body paragraphs and concluding paragraphs
12	Academic writing	Concluding paragraphs and transitions between paragraphs
13	Academic writing	Final writing task.
14	Final task.	Final speaking task.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments from the textbook and worksheets provided by the teacher. University guidelines suggest that homework preparation and review should take approximately one hour per week.

【テキスト（教科書）】

Title: Q: Skills for Success Level 3 Listening and Speaking Student Book with iQ Online Practice Third Edition
Publisher: Oxford University Press
Author: Miles Craven, Kristin Sherman
ISBN: 978-0-19-490515-2

Title: Longman Academic Writing Series Student Book with MyEnglishLab & app (4th Edition) (Level 3 - Paragraphs to essays)

Publisher: Pearson Japan
Author: Alice Oshima, Ann Hogue
ISBN: 9780136838531

【参考書】

Worksheet
Handouts

【成績評価の方法と基準】

Evaluation of in-class participation (14%)

Mid-semester tasks (15%)

Homework completion and unit quizzes (48%)

Final tasks (23%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The teacher always welcomes feedback and encourages students to suggest changes to improve the course at any time during the semester.

【学生が準備すべき機器他】

HOPPII, the Hosei University learning management platform will be used throughout the semester.

【その他の重要事項】

The contents and timing of the syllabus are subject to change according to the needs of the class. Class attendance is a course requirement. In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【Outline (in English)】

This course will provide students with speaking, listening, and reading practice. It will also improve their vocabulary, grammatical knowledge, and academic writing skills.

LAnE100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

山崎 暁子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

自分の知識、経験、意見を英語で効果的に表現する力を養う。具体的には、英語でパラグラフを書く力、グループでディスカッションする力、効果的なプレゼンテーションをおこなう力を育成する。

【到達目標】

論理的構成を持つパラグラフを英語で書けるようになる。平易な英語で自分の意見を表現できるようになる。英語での短いプレゼンテーションを聴いて理解し、質問できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って、パラグラフの基本的な構成を学び、パラグラフを書くために必要な技法と語彙を身につける。

毎回、予習テストを出題し、授業ではグループワークをおこなう。ユニットごとにライティング課題を課す。英語でのプレゼンテーションもおこなう。

予習テストと宿題は学習支援システムを通じて出題とフィードバックをおこなう。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性もある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方 パラグラフの構造
2	The Topic Sentence (1)	主題文とは
3	The Topic Sentence (2)	主題文を書く
4	The Supporting Sentences (1)	支持文とは
5	The Supporting Sentences (2)	支持文を書く
6	The Concluding Sentence (1)	まとめの文とは
7	The Concluding Sentence (2)	まとめの文を書く
8	Time Order (1)	時間的順序のパラグラフとは
9	Time Order (2)	時間的順序のパラグラフを書く
10	Listing (1)	列挙のパラグラフとは
11	Listing (2)	列挙のパラグラフを書く
12	Classification (1)	分類のパラグラフとは
13	Classification (2)	分類のパラグラフを書く
14	筆記試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。指示に従って教科書を予習し、単語の意味調べなどを済ませた状態で出席すること。毎週出題される予習テストに期限までに解答する。授業で学んだ英語表現はおぼえて使えるようにする。出された課題の指示にしたがって、英語の文章を書く、または発音練習をする。

【テキスト（教科書）】

Message Delivered < Lower Intermediate > 南雲堂 2020年2200円（税別）

【参考書】

授業中に指示する。辞書は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、ライティング課題30%、試験40%。

欠席が4回以上の場合は原則的に単位修得を認めない。予習テストや宿題を提出しなかった場合は平常点を減点する。遅刻・早退は減点の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きオンラインの予習と対面のグループワークを組み合わせる。英語で発話しやすくなるよう、グループワークで使える英語表現を紹介する。

【学生が準備すべき機器他】

情報の周知、予習テスト・課題の出題などに学習支援システムを使用する。授業中の情報共有に Google Document も使用する。必要に応じて Zoom を使用する可能性もある。Zoom の際には、受講環境によりヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

学習支援システムに掲載する情報は大学から付与されたメールアドレスに届く。メールで個別の連絡をする場合もあるので、法政Gmail は必ず毎日チェックすること。

【Outline (in English)】

[Course outline]

Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience in English. The course will also help students acquire effective listening skills.

[Learning objectives]

By the end of this course, students should be able to write a logically organized paragraph, participate in and facilitate discussions, and deliver presentations.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text and submitted a test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

[Grading criteria /Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (30%), writing assignments (30%) and final exam (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

山崎 暁子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金1/Fri.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

自分の知識、経験、意見を英語で効果的に表現する力を養う。具体的には、英語でパラグラフを書く力、グループでディスカッションする力、効果的なプレゼンテーションをおこなう力を育成する。

【到達目標】

論理的構成を持つ、様々な内容のパラグラフを英語で書けるようになる。平易な英語で自分の意見を表現できるようになる。英語での短いプレゼンテーションおよび質疑応答をおこなえるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って、効果的なパラグラフとプレゼンテーションを書くために必要な技法と語彙を身につける。

毎回、予習テストを出題し、授業ではグループワークをおこなう。ユニットによって発音課題やライティング課題を課し、英語でのプレゼンテーションもおこなう。

予習テストと課題は学習支援システムを通じて出題とフィードバックをおこなう。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性もある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Comparison and Contrast (1)	比較・対比のパラグラフとは
2	Comparison and Contrast (2)	比較・対比のパラグラフを書く
3	Comparison and Contrast (3)	パラグラフの発表
4	Cause and Effect	原因と結果のパラグラフとは
5	Facts and Opinions	事実と意見の見分け方
6	Problem-solution (1)	問題解決のパラグラフとは
7	Problem-solution (2)	問題解決のパラグラフを書く
8	Problem-solution (3)	パラグラフの発表
9	Presentation 1: Introduction	プレゼンテーションの導入を書く
10	Presentation 2: Body	プレゼンテーションの展開部を書く
11	Presentation 3: Conclusion	プレゼンテーションの結論部を書く
12	Presentation Practice	グループでのプレゼンテーション
13	Essay Structure	エッセイの構造
14	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

指示に従ってテキストを予習し、単語の意味調べなどを済ませた状態で出席すること。毎週出題される予習テストに期限までに解答する。授業で学んだ英語表現はおぼえて使えるようにする。出された課題の指示にしたがって、英語の文章を書く、または発音練習をする。

【テキスト (教科書)】

Message Delivered < Lower Intermediate > 南雲堂 2020年2200円 (税別)

【参考書】

授業中に指示する。辞書は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、ライティング課題30%、試験40%。

欠席が4回以上の場合は原則として単位修得を認めない。予習テスト・課題を提出しなかった場合は平常点を減点する。遅刻・早退は減点の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きオンラインの予習と対面のグループワークを組み合わせる。授業時間をより効率的に使えるようにグループワークの時間設定をおこなう。

【学生が準備すべき機器他】

情報の周知、予習テスト・課題の出題などに学習支援システムを使用する。授業中の情報共有にGoogle Documentも使用する。必要に応じてZoomを使用する可能性もある。Zoomの際には、受講環境によりヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

学習支援システムに掲載する情報は大学から付与されたメールアドレスに届く。メールで個別の連絡することもあるので、法政Gmailを毎日チェックすること。

【Outline (in English)】

[Course outline]

Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience in English. The course will also help students acquire effective listening skills.

[Learning objectives]

By the end of this course, students should be able to write logically organized paragraphs about different topics, participate in and facilitate discussions, and deliver presentations.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text and submitted a test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

[Grading criteria /Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (30%), writing assignments (30%) and final exam (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

CHRISTOPHER MASCHIO

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Effective communication opens up a lot of possibilities for anyone

wanting to work in an international environment. This course is for students who wish to practice and develop their speaking, listening, reading, and writing skills.

【到達目標】

1. Students will demonstrate improved speaking, listening, and writing fluency.
2. Students will become more capable of participating in spoken discourse.
3. Students will become better independent language learners.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will participate in group discussions, complete activities, and make presentations. Submission of assignments and feedback will be on the Learning Management System.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Class orientation Unit 1 Sociology - Are first impressions accurate?	Introduction to the course, students and teacher. Listening 1: The psychology of first impressions Making Inferences
2	Unit 1 Sociology - Are first impressions accurate?	Listening 2: A review of books about first impressions Suffixes
3	Quiz Unit 1 Sociology - Are first impressions accurate?	Unit 1 Quiz Speaking Skill: Taking conversational turns.
4	Unit 2 Nutritional Science - Why do we change the foods we eat?	Listening 1: A billion pounds of spices Listening for causes and effects
5	Unit 2 Nutritional Science - Why do we change the foods we eat?	Listening 2: A world of food Adjective-noun collocations
6	Quiz Unit 2 Nutritional Science - Why do we change the foods we eat?	Unit 2 Quiz Writing Task: Why do we change the foods we eat?
7	Mid-semester speaking task	Group discussion task.

8	Unit 3 Psychology - In what ways is change good or bad?	Writing Task: Write about the changes in your life. Listening 1: Listening for time markers
9	Unit 3 Psychology - In what ways is change good or bad?	Listening 2: An interview with Barbara Ehrenreich Using a word web
10	Quiz Unit 3 Psychology - In what ways is change good or bad?	Unit 3 Quiz Speaking: Tag questions
11	Unit 4 Marketing - How does advertising affect our behavior?	Listening 1: Targeting children with advertising Identifying fact and opinion
12	Unit 4 Marketing - How does advertising affect our behavior?	Listening 2: The Influence of Online Ads Using context clues to identify meaning
13	Quiz Unit 4 Marketing - How does advertising affect our behavior?	Unit 4 Quiz Note-taking task: Using mind maps to note opinions.
14	Final speaking task	Group presentation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments from the textbook and worksheets that will be provided by the teacher. University guidelines suggest preparation and review should be around one hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Title: Q: Skills for Success Level 3 Listening and Speaking Student Book with iQ Online Practice Third Edition
Publisher: Oxford University Press
Author: Miles Craven, Kristin Sherman
ISBN: 978-0-19-490515-2

Please purchase the textbook for this course before the start of the semester.

学期が始まる前に、このコースの教科書を購入してください

【参考書】

Worksheet
Handouts

【成績評価の方法と基準】

Evaluation of in-class participation (14%)
Mid-semester task (15%)
Homework completion, writing tasks, and quizzes (48%)
Final task (23%)
In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The teacher always welcomes feedback and encourages students to suggest changes to improve the course at any time during the semester.

【学生が準備すべき機器他】

The Hosei University learning management platform will be used throughout the semester.

【その他の重要事項】

The contents and timing of the syllabus are subject to change according to the needs of the class. Class attendance is a course requirement. In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【Outline (in English)】

This course will provide students with speaking, listening, and reading practice. It will also improve their vocabulary, grammatical knowledge, and academic writing skills.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

CHRISTOPHER MASCHIO

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Effective communication opens up a lot of possibilities for anyone

wanting to work in an international environment. This course is for students who wish to practice and develop their speaking, listening, reading, and writing skills.

【到達目標】

1. Students will demonstrate improved speaking, listening, and writing fluency.
2. Students will become more capable of participating in spoken discourse.
3. Students will become familiar with academic writing.
4. Students will become better independent language learners.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will participate in group discussions, complete activities, and make presentations. Submission of assignments and feedback will be on the Learning Management System.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Class orientation	Introduction to the semester
	Unit 5 Behavioral Science - Does taking risks change our lives?	and a speaking task about your summer vacation. Listening 1: A lifetime of risks.
2	Unit 5 Behavioral Science - Does taking risks change our lives?	Listening 2: Science of the edge
		Vocabulary skill: Word families
3	Unit 5 Behavioral Science - Does taking risks change our lives?	Speaking: Giving a short presentation.
4	Quiz	Unit 5 listening quiz.
	Introduction to academic writing	Basic paragraph structure.
5	Academic Writing	Basic paragraph structure.
6	Mid-semester task	Group discussion
7	Unit 7 Economics - Can money buy happiness?	Listening 1: Sudden wealth
		Listening for signposts
8	Unit 7 Economics - Can money buy happiness?	Listening 2: Happiness breeds success... and Money!
		Vocabulary: Idioms
9	Quiz	Unit 7 quiz.
	Unit 7 Economics - Can money buy happiness?	Speaking: Agreeing and disagreeing

10	Academic writing	Introductory paragraphs
11	Academic writing	Body paragraphs and concluding paragraphs
12	Academic writing	Concluding paragraphs and transitions between paragraphs
13	Academic writing	Final writing task.
14	Final speaking task	Group presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments from the textbook and worksheets provided by the teacher. University guidelines suggest that homework preparation and review should take approximately one hour per week.

【テキスト（教科書）】

Title: Q: Skills for Success Level 3 Listening and Speaking Student Book with iQ Online Practice Third Edition

Publisher: Oxford University Press

Author: Miles Craven, Kristin Sherman

ISBN: 978-0-19-490515-2

Title: Longman Academic Writing Series Student Book with MyEnglishLab & app (4th Edition) (Level 3 - Paragraphs to essays)

Publisher: Pearson Japan

Author: Alice Oshima, Ann Hogue

ISBN: 9780136838531

【参考書】

Worksheet

Handouts

【成績評価の方法と基準】

Evaluation of in-class participation (14%)

Mid-semester tasks (15%)

Homework completion and unit quizzes (48%)

Final tasks (23%)

【学生の意見等からの気づき】

The teacher always welcomes feedback and encourages students to suggest changes to improve the course at any time during the semester.

【学生が準備すべき機器他】

The Hosei University learning management platform will be used throughout the semester.

【その他の重要事項】

The contents and timing of the syllabus are subject to change according to the needs of the class. Class attendance is a course requirement. In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【Outline (in English)】

This course will provide students with speaking, listening, and reading practice. It will also improve their vocabulary, grammatical knowledge, and academic writing skills.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

CHIA-WEI KANG

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

In this course, you will read and listen to essays on current topics, practice the language, and exchange your opinions and experiences related to the course themes. We will focus on developing frequently-used vocabulary and general discussion skills. In order to improve your communicative English, you will need to practice English before and after each class meeting as instructed using online materials.

【到達目標】

This course is designed to develop the language skills necessary to understand others and express yourself in basic English online and offline. The main goal is communication, not translation or accuracy. We will focus on listening and speaking skills, but you will also practice academic writing. You will become aware of some of the current issues in the world and be able to communicate your ideas about them in English. You will also gain an enhanced understanding of global cultures.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This class includes a number of highly interactive activities. You will practice communicating effectively in person and online using a variety of verbal and nonverbal cues. Before class you must prepare by using the book and online exercises independently. In class, we will review new material, practice the language in pairs, and discuss ideas in small groups. You will be encouraged to actively participate in Task/ProblemBased Learning (TBL/PBL) through collaborative work. Oral feedback will be provided during interactions throughout the course. Written feedback will be offered on your written essays within one week of submission.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction to the course/The effects of advertising (Unit 1): Day 1	Critical cartoons, discussion, core vocabulary
Lesson 2	The effects of advertising (Unit 1): Day 2	Discussion, understanding inferences, critical thinking
Lesson 3	Online advertising (Unit 2) Day 1	Critical cartoons, discussion, core vocabulary
Lesson 4	Online advertising (Unit 2) Day 2	Discussion, understanding inferences, critical thinking
Lesson 5	Going to Extremes (Unit 3): Day 1	Critical cartoons, discussion, core vocabulary
Lesson 6	Going to Extremes (Unit 3): Day 2	Discussion, understanding inferences, critical thinking

Lesson 7	Special Topic: the Power of Storytelling	Critical cartoons, discussion, core vocabulary
Lesson 8	Special Topic: the Power of Storytelling/ In-Class Writing	In-Class Writing
Lesson 9	Winning at any cost (Unit 4): Day 1	Critical cartoons, discussion, core vocabulary
Lesson 10	Winning at any cost (Unit 4): Day 2	Discussion, understanding inferences, critical thinking
Lesson 11	Our aging population (Unit 5): Day 1	Critical cartoons, discussion, core vocabulary
Lesson 12	Our aging population (Unit 5): Day 2	Discussion, understanding inferences, critical thinking
Lesson 13	Do you want to live forever? (Unit 6): Day 1	Critical cartoons, discussion, core vocabulary
Lesson 14	Do you want to live forever? (Unit 6): Day 2/In-Class Writing 2	In-Class Writing

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You will need to study the textbook to familiarize yourself with the week's topic and to get ready for discussion. Spend at least one hour each week preparing for and reviewing the lesson thoroughly. University guidelines suggest the preparation and review time of around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

In Focus 1 (2024) by Brown, Culligan, & Phillips. Kinseido.

【参考書】

Handouts related to the course content may be distributed on the course website.

【成績評価の方法と基準】

- 1) Participation (20%)
- 2) 2 In-Class writings (20%/10%Each)
- 3) 6 Quizzes (60%/10%Each)

Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in special circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

Most students have very little opportunity to use English outside of class. In order to maximize the chance, this class will be taught in English. It's all right to make mistakes; focus on communication! Participate actively and express your ideas openly.

【学生が準備すべき機器他】

Be prepared to use Hoppii, Google Classroom, and Zoom with your university account and check your university email daily.

【Outline (in English)】

In this course, you will read and listen to essays on current topics, practice the language, and exchange your opinions and experiences related to the course themes. We will focus on developing frequently-used vocabulary and general discussion skills. In order to improve your communicative English, you will need to practice English before and after each class meeting as instructed using online materials.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

石原 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

In this course, you will read and listen to essays on timely topics, practice the language, and exchange your opinions and experiences related to the themes. We will focus on the development of frequently-used vocabulary and general fluency in discussion. In order to improve your communicative English, you need to practice English before and after each class meeting as instructed using online materials.

【到達目標】

This course is designed to develop language skills necessary for understanding others and expressing yourself in basic English. The main goal is communication, not translation or accuracy. We will focus on listening and speaking skills, but you will also practice writing academically. You will become aware of some issues in the world and able to communicate your ideas about them in English. You will also gain an enhanced understanding of global cultures.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Before class you must make preparation by using the book and online exercises independently (see below). In class, we review the new material, practice the language in pairs, and discuss ideas in small groups. You are encouraged to actively participate in the task/problem-based learning (TBL/PBL) through group work. Feedback will be given immediately upon your response to unit quizzes. Oral feedback will be provided in interaction throughout the course. Written feedback will be offered for your written essays within a week of submission.

This class involves a number of highly interactive activities. In order to learn to communicate multimodally, that is, to communicate effectively online as well as in person, we will alternate between face to face (F2F) and Zoom course meetings. Please be prepared to use your webcam throughout the online class and participate actively at all times.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Course information, warm-up activities
2	Robots in the house (Unit 7): Day 1	Critical cartoons, discussion
3	Robots in the house (Unit 7): Day 2	Discussion, critical thinking, essay structure
4	I lost my job to a machine (Unit 8): Day 1	Critical cartoons, discussion, essay writing
5	I lost my job to a machine (Unit 8): Day 2	Discussion, critical thinking

6	Animals: Our research partners? (Unit 9): Day 1	Critical cartoons, discussion, essay writing
7	Animals: Our research partners? (Unit 9): Day 2	Discussion, critical thinking
8	Treatment of animals (Unit 10): Day 1	Critical cartoons, discussion, essay writing
9	Treatment of animals (Unit 10): Day 2	Discussion, critical thinking
10	Online (dis)-information (Unit 11): Day 1	Critical cartoons, discussion, essay writing
11	Online (dis)-information (Unit 11): Day 2	Discussion, critical thinking
12	News: Facts or fake? (Unit 12): Day 1	Critical cartoons, discussion
13	News: Facts or fake? (Unit 12): Day 2	Discussion, critical thinking
14	Wrap-up	Final reflection and independent studies

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You must finish the specified listening/reading and comprehension tasks as well as vocabulary exercises online ("Core Vocabulary") before coming to class. Also study the textbook to become familiar with the topic of the week and to get ready for discussion. Preview and review your lesson thoroughly after class for at least one hour each week.

University guidelines suggest the preparation and review time of around an hour a week for a one-credit course. 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

In Focus 1 (2024) by Brown, Culligan, &Phillips. Kinseido.

【参考書】

Handouts related to the course content may be distributed in the course website. Bring some loose sheets of paper for occasional writing practice.

【成績評価の方法と基準】

- 1) Participation (20%)
- 2) Online assignments and writing (20%)
- 3) Unit quizzes (60%)

Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in special circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

Most students have very little opportunity to use English outside of class. In order to maximize the chance, this class will be taught as much as possible in English. It's all right to make mistakes; focus on communication! Participate actively and express your ideas openly.

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム、Google Classroom、Zoom等を使用して授業を行いますので、大学のアカウントでログインし、大学の電子メールを毎日確認してください。大学の教室でZoom授業を受ける際にはマイク付きのヘッドセットが必要です。Please be prepared to use Hoppii, Google Classroom, and Zoom with your university account and check your university email daily. You will need to use a headset with a microphone if you are attending an online class on campus.

【Outline (in English)】

In this course, you will read and listen to essays on timely topics, practice the language, and exchange your opinions and experiences related to the themes. We will focus on the development of frequently-used vocabulary and general fluency in discussion. In order to improve your communicative English, you need to practice English before and after each class meeting as instructed using online materials. Your work will be assessed through unit quizzes, writing, and participation. Feedback will be given immediately upon your response to unit quizzes. Oral feedback will be provided in interaction throughout the course. Written feedback will be offered for your written essays within a week of submission.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

ジェフリー B タロフスキー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based English language course which uses horror films as the content of the course. Themes covered include shifting aesthetic standards and the history of Western moral values, cultural taboos and universals, iconography and censorship.

【到達目標】

For first year students who have successfully completed their high-school English classes.

There will be an initial focus on listening and note taking skills supplemented by readings which both reinforce the lectures and introduce additional topics for writing and discussion. Throughout the semester writing skills will emphasize the production of paragraphs with proper topic and supporting sentences along with a clear conclusion. Students will comment on lectures and readings and ask and answer questions during each class.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students watch excerpts from selected films, listen to lectures, read transcripts of the lectures, read additional supporting materials, do worksheets and on line research in order to prepare writing assignments and ask and answers questions, make comments and take weekly quizzes.

During live classes focused on writing feedback will be provided throughout the class as students work on assignments individually and in small groups. During classes which focus on small group discussions students will receive immediate feedback following their discussions. Written work submitted by students will receive written commentary within three weeks of submission.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction to the course Lecture #1 Web class #1, Lecture #1 What Is Horror? Excerpts from Phantom of the Opera (1925) and Nosferatu: A Symphony of Terror(1922)	Transcript of lecture, Worksheet : What is Horror?Class #1 . Homework : Read and understand Writing worksheet #1 . Do Writing Assignment #1 and print it out so you can submit it during class #2.

Week 2	Class #2. Writing Workshop . Submit Assignment #1 for peer correction (what is that?) . Return the peer corrected assignment to the writer and review Worksheet #2. (Time permitting) Worksheet #3 : Expository Writing .	Homework : Discussion topics Distributed Writing Assignment #2 From The Subjective to the Objective
Week 3	Lecture #2 from Web Class #2 The Man of 1,000 faces: Excerpts from The The Hunchback of Notre Dame (1923).	Transcript of lecture 2 , Reading: Lon Chaney Quiz #1
Week 4	Lecture #3 from Web class #3 The Ugly and the Evil. Excerpts from The Phantom of the Opera.	Transcript of lecture 3 , Reading: The Gruesome Twosome: Lon Chaney and Tod Browning . Quiz#2 Choose Discussion topics
Week 5	Lecture #4 from Web class 4 The Real Monsters: Tod Browning's Freaks	Transcript of lecture 4 , HW Reading : London After Midnight (1926). Quiz #3 Prepare for discussions. Each group will have between fifteen and thirty minutes to discuss the topic of their choosing
Week 6	First half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Lecture #5 Web class 5 :Replacing Lon Chaney? Carl Laemmle looks towards home. Paul Leni's Waxworks (1924). The Cat and The Canary	Transcript of lecture 5 , Reading : Who Thought of it First? Quiz #4

Week 7	Second half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Lecture #5 Web class 5 :Replacing Lon Chaney? Carl Laemmle looks towards home. Paul Leni's Waxworks (1924). The Cat and The Canary	Transcript of lecture 5 , Reading : Who Thought of it First? Quiz #5
Week 8	Web class #6, Lecture #6 : What went wrong with The Man Who Laughs (1928)? In class writing exercise #2	Transcript of lecture 6 , Reading: The Crash of 1929 and The Great Depression. Quiz #6
Week 9	Web Class #7 , Lecture #7 : Murnau's Nosferatu (1922) Bram Stoker and Merhage's Shadow of The Vampire (2000) . Complete writing exercise #2	Transcript of lecture 7 , Reading : The Historical Dracula Quiz #7 Choose Discussion topics Discussion topics Distributed Read: Writing Worksheet #4 . Do: Writing Assignment #3
Week 10	Writing Workshop Review Writing Worksheet #4 and Assignment #3	Homework: Read: Writing worksheet #5 Do: Writing Assignment #4 (will be due to be submitted on line by Class #12)
Week 11	Web class #9, Lecture #9 Universal's search for a Dracula, Excerpts from Dracula (1931)	Transcript of lecture 9, HW Reading Bela Lugosi Quiz # 8
Week 12	Web class #10, Lecture #10 What was missing from Dracula? Excerpts from Shadow Of The Vampire and Bram Stoker's Dracula and Interview With A Vampire	Transcript of lecture 10, Reading : The origins of Evil. Quiz # 9

Week 13	First half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Web class #11, Lecture #11 What did Dracula think about being a vampire? Another look at Dracula (1931), Nosferatu (1922) and Bram Stoker's Dracula.	Transcript of lecture.#11 Reading : The Origins of Evil . Quiz #10
Week 14	Second half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes Web class #11, Lecture #11 What did Dracula think about being a vampire? Another look at Dracula (1931), Nosferatu (1922) and Bram Stoker's Dracula.	Transcript of lecture.#11 Reading : The Origins of Evil . Quiz #10

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
There will be homework assigned each week which will include both reading and listening assignments and may also include a writing component as well as research on line.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

All the materials for this course will be provided by the instructor or will be available on line for free.

【参考書】

Students should familiarize themselves with how to use online dictionaries.

【成績評価の方法と基準】

There are three components to the grade. 1) There are between eight and ten quizzes this semester. The average score of these quizzes will be 30%of the grade. The instructor may , (entirely at his discretion) , drop the lowest one or two quiz grades for the entire class or on a case by case basis if a student has a legitimate reason for failing to submit a quiz . 2) The writing component of the class counts for an additional 30%of the grade. The discussions /presentations count for a further 30%of the grade . The final 10%of the grade will be weighted according to which of the three areas the student achieved the highest score.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Students have asked for more guidance in their writing assignments and so there will be more time provided for that as well as some additional support materials.

【学生が準備すべき機器他】

Students should have a laptop computer for the "writing workshop" days of the class .

【Outline (in English)】

The learning objectives for this class are as follows: there will be a focus on listening and note taking skills supplemented by readings which both reinforce the lectures and introduce additional topics for writing and discussion. Throughout the semester writing skills will emphasize the production of expository paragraphs with proper topic and supporting sentences along with a clear conclusion. Students will comment on lectures and readings and ask and answer questions.

Students are expected to study for a total of 1-2 hours outside of class for each lecture.

Outside of class time Students are required to read the text for the week's assigned lesson on the website and listen to the lectures and review the excerpts from the films . This requires a minimum of between 1 and 2 hours of work outside of class.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

ジェフリー B タロフスキー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based English language course which uses horror films as the content of the course. Themes covered include shifting aesthetic standards and the history of Western moral values, cultural taboos and universals, iconography and censorship.

【到達目標】

For first year students who have successfully completed their high-school English classes.

There will be an initial focus on listening and note taking skills supplemented by readings which both reinforce the lectures and introduce additional topics for writing and discussion. Throughout the semester writing skills will emphasize the production of paragraphs with proper topic and supporting sentences along with a clear conclusion. Students will comment on lectures and readings and ask and answer questions during each class.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students watch excerpts from selected films, listen to lectures, read transcripts of the lectures, read additional supporting materials, do worksheets and on line research in order to prepare writing assignments and ask and answers questions, make comments and take weekly quizzes.

During live classes focused on writing feedback will be provided throughout the class as students work on assignments individually and in small groups. During classes which focus on small group discussions students will receive immediate feedback following their discussions. Written work submitted by students will receive written commentary within three weeks of submission.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Writing workshop #3 Writing Worksheet #6 Supporting sentences . Writing worksheet #7 Plagiarism.	Homework: Writing Assignment #5 Due to be submitted on line before the next class .
Week 2	Website Class #13. Screening of Frankenstein (1931) in ten parts. Watch the film one part at a time as you simultaneously complete Quiz #11	Transcript of lecture Reading: Go back to Website Class #12 and review the reading: Mary Shelley, at the very end of the unit. Quiz #11 (which requires you to listen for the missing word).

Week 3	Website Class #14 .The Production of Frankenstein, Breaking of Taboos (including the fourth Wall) , “recycled parts” , The Great Ray of Life.	Transcript of Lecture Research: Go on line and learn all you can about the Myth of Prometheus HW Reading: The Origins of Evil : Brief Review (important enough to go over again) Discussion topics distributed Quiz#12
Week 4	Website Class #15, The Gift of Fire, Blas-phemy,Pronouns.	Transcript of lecture HW ; Think about why Frankenstein and Waldman shut out the light. Reading: Boris Karloff Quiz#13 . Choose Discussion Topics
Week 5	Website Class #16 The Reveal , audience reaction, Karloff’s performance, vivisection , The gift of a flower, A final symbol	Transcript of Lecture Reading :The First Horror Sequel Practice Discussions for a minimum of one hour. Quiz #14
Week 6	Half of the class engages in small group discussions while the other half does Website Class #17, The First Horror Sequel. Excerpts from The Bride of Frankenstein (1935) .	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing. Groups not presenting doReading : The Hollywood Production Code Quiz#15
Week 7	Half of the class engages in small group discussions while the other half does Website Class #17, The First Horror Sequel. Excerpts from The Bride of Frankenstein (1935) .	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing. Groups not presenting doReading : The Hollywood Production Code Quiz#15
Week 8	Writing Workshop #4 Writing worksheet #8 Facts, examples and arguments	Writing assignment #6 Turn in the assignment On line as well as printing out a copy for in class use during week #10
Week 9	Website class #18: Frankenstein and Censorship , ceasing production (briefly) . the Universal return to Horror	Transcript of Lecture Reading: The Fall of the House of Laemmle Quiz#16
Week 10	Writing workshop #5 Peer correction of Writing assignment #6	Website Class #19 : Excerpts from and Lecture on The Wolfman (1941) Reading: Werewolf Tales Discussion topics distributed Quiz#17

Week 11	Website Class #20: Hammer Studios reboots the Universal Classics , The best of the bunch: The Curse of the Werewolf (1961)	Transcript of Lecture Quiz #18 Choose Discussion topic
Week 12	Website Class #21. The conclusion of Curse of the Werewolf, an almost Shakespearean tragedy.	Transcript of lecture Reading : Internal Contradictions in Curse of the Werewolf and a Few Thoughts About Criticism . After lesson do Quiz #19
Week 13	First half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes writing exercise #6 in class	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing.
Week 14	Second half of the class engages in small group discussions / presentations while the other half practices at agreed upon times outside class and completes writing exercise #6 in class.	Each group will have twenty minutes to discuss the topic of their choosing.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

There will be homework assigned each week which will include both reading and listening assignments and may also include a writing component as well as research on line.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

All the materials for this course will be provided by the instructor or will be available on line for free.

【参考書】

Students should familiarize themselves with how to use on line dictionaries.

【成績評価の方法と基準】

There are three components to the grade. 1) There are between eight and ten quizzes this semester. The average score of these quizzes will be 30% of the grade. The instructor may , (entirely at his discretion) , drop the lowest one or two quiz grades for the entire class or on a case by case basis if a student has a legitimate reason for failing to submit a quiz . 2) The writing component of the class counts for an additional 30% of the grade. The discussions / presentations count for a further 30% of the grade . The final 10% of the grade will be weighted according to which of the three areas the student achieved the highest score.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Students have asked for more guidance in their writing assignments and so there will be more time provided for that as well as some additional support materials.

【Outline (in English)】

This is a content based English language course which uses horror films as the content of the course. Themes covered include shifting aesthetic standards and the history of Western moral values, cultural taboos and universals, iconography and censorship.

Outside of class time Students are required to read the text for the week's assigned lesson on the website and listen to the lectures and review the excerpts from the films . This requires a minimum of between 1 and 2 hours of work outside of class.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

Annette Gruber

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The objectives of this course are to reinforce grammar patterns learned in the past and to introduce new grammar for English oral communication and conversation as well as to practice speaking, listening and writing English. Talk a lot about your own ideas and experiences, and share them with classmates.

【到達目標】

This course will help students to improve their ability to communicate in English. Students will increase their confidence in English through talking, reading and writing about a variety of everyday topics. Students will focus in particular on developing and explaining their own opinions and ideas.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In this class, you will work in pairs, small groups and individually. We will follow the themes in the textbook closely. You will have many opportunities to improve your everyday spoken English communication and discuss information and ideas in English. Please come to class ready to participate actively and positively. Submission of assignments and feedback will be on the Learning Management System (HOPPII).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation and getting to know you	An explanation of the class requirements. We will get to know each other.
2	1B: The perfect date	Describing people: appearance and personality. Present simple
3	1C: The Remake Project	Clothes. Prepositions of place
4	Practical English: Hotel problems	Reporting problems, offer to do something, greeting a friend
5	2A OMG! Where's my passport	Past simple
6	2B That's me in the picture	Past continuous
7	2C One dark October evening	Time sequencers, connectors
8	3A Trip Aside	Be going to (plans, predictions)
9	3B Put it in your calendar!	Present continuous (future arrangements)
10	3C Word games	Defining relative clauses

11	Practical English: Restaurant Problems	Ordering food in a restaurant, explaining a problem, asking about somebody's plans
12	4A Who does what?	Present perfect + yet, just, already
13	4B In your basket	Present perfect vs. past simple
14	Revise & Check	Reviewing Units 1-4

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Homework will include writing and preparation tasks.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Christina Latham-Koenig, Clive Oxenden, English File: 4th Edition, Pre-Intermediate Student Book, Oxford University Press, 2019.

【参考書】

Please bring an English dictionary.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 40%

Test after each chapter 60%

*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】

Students requested listening tracks to be repeated more often.

【Outline (in English)】

The objectives of this course are to reinforce grammar patterns learned in the past and to introduce new grammar for English oral communication and conversation as well as to practice speaking, listening and writing English. Talk a lot about your own ideas and experiences, and share them with classmates.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

Annette Gruber

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The objectives of this course are to reinforce grammar patterns learned in the past and to introduce new grammar for English oral communication and conversation as well as to practice speaking, listening and writing English. Talk a lot about your own ideas and experiences, and share them with classmates.

【到達目標】

This course will help students to improve their ability to communicate in English. Students will increase their confidence in English through talking, reading and writing about a variety of everyday topics. Students will focus in particular on developing and explaining their own opinions and ideas.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In this class, you will work in pairs, small groups and individually. We will follow the themes in the textbook closely. You will have many opportunities to improve your everyday spoken English communication and discuss information and ideas in English. Please come to class ready to participate actively and positively. Feedback will be given on the Learning Management System (hOPPII).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	5A I want it now!	Comparative adjectives and adverbs, as ... as
2	5B Twelve lost wallets	Superlatives + ever+ present perfect
3	5C How much is enough?	Quantifiers
4	Practical English: The wrong shoes	Making suggestions, Taking something back to a shop, Arranging a time to meet somebody
5	6A Think positive - or negative	Will/won't predictions
6	6B I'll always love you	Will/won't/shall
7	6C The meaning of dreaming	Review of verb forms present, past and future
8	7A First day nerves	Uses with the infinitive with to
9	7B Happiness is ...	Uses of the gerund
10	7C Could you pass the test?	Have to, don't have to, must, mustn't
11	Practical English: At the pharmacy	Describing symptoms when feeling ill, getting medicine at a pharmacy

12 8A Should I stay or should I go?

13 8B Murphy's Law if+present, will+infinitive

14 Revise & Check Reviewing Unit 5-8

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Homework will include writing and preparation tasks.

University guidelines suggest preparation and review are around 4hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Christina Latham-Koenig, Clive Oxenden, English File: 4th Edition, Pre-Intermediate Student Book, Oxford University Press, 2019.

【参考書】

Please bring an English dictionary.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 40%

Tests/Presentation/Composition 60%

*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】

Students requested easier listening exercises.

【Outline (in English)】

The objectives of this course are to reinforce grammar patterns learned in the past and to introduce new grammar for English oral communication and conversation as well as to practice speaking, listening and writing English. Talk a lot about your own ideas and experiences, and share them with classmates.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

HUGH A GRAHAM-MARR

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

To improve English communication skills including work on rhythm, pronunciation, intonation, stress, and vocabulary with a particular focus on helping students better exploit English that they already have but are not yet able to effectively utilize. In terms of listening, this means that in addition to giving listening practice and suggestions as to how students can get more practice outside of class, drawing explicit attention to some of the changes that occur in English with connected speech (how we link sounds, drop sounds, meld sounds, or even add sounds). These are the changes that can make it difficult for students to 'hear' language that they are able to read. In terms of speaking, explicit attention will be drawn to strategies that students can use when they communicate, especially when they may have incomplete understanding: repair strategies, confirmation strategies, engagement strategies, and the like. Speaking practice activities are designed to encourage use of specific strategies.

【到達目標】

Students should be better able to use the English they have in communicative situations, to better 'hear' connected speech that they might have previously had more trouble with, and to be able to use speaking strategies to communicate in situations where they may not have complete understanding.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・ Listening to dialogues, answering comprehension questions, noticing aspects of connected speech, and identifying speaking strategies used
- ・ Pair and group work to practice different speaking strategies. The instructor will walk around the classroom for these, monitoring and occasionally commenting.
- ・ Assignments 1 and 2 are short presentations on video on topics related to those we have looked at. We will use Google classroom for this. Students will receive both marks and comments on the work submitted.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	introductions	describing schedules / classroom English
Week 2	Unit 1: Describing schedules	linking sounds /classroom English
Week 3	Unit 2: Describing routines	sentence stress /repeating key information
Week 4	Unit 2: Describing routines cont.	sentence stress /repeating key information
Week 5	Unit 3: Describing objects	disappearing sounds /talking around things

Week 6	Unit 3: Describing objects cont.	disappearing sounds /talking around things
Week 7	Unit 4: Talking about people	blended sounds /involvement
Week 8	Unit 4: Talking about people cont.	blended sounds /involvement /REVIEW /ASSIGNMENT 1
Week 9	Unit 5: Describing location	weak vowels /explaining meaning
Week 10	Unit 5: Describing location cont.	weak vowels /explaining meaning
Week 11	Unit 6: Fluency with numbers	word stress /repeating key information
Week 12	Unit 6: Fluency with numbers cont.	word stress /repeating key information
Week 13	Unit 7: Talking about the future / ASSIGNMENT 2	casual English /confirmation ASSIGNMENT 2 /REVIEW
Week 14	SPEAKING AND LISTENING EXAM	exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

There will be a weekly homework listening. Students will also be expected to review material covered in class for 1-2 hours per week. This should involve listening, shadowing practice and vocabulary review, though extra time spent on listening would be ideal.

【テキスト（教科書）】

Communication Spotlight: Pre-Intermediate + handouts

【参考書】

An English to English dictionary

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Homework: 15%

Assignments 1 + 2: 30%

Final Speaking and Listening Exam: 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Will try to be flexible where possible in response to student feedback

【Outline (in English)】

The course will look at different communication areas. Each week there will be a focus on a different aspect of listening in English and on a different speaking strategy. Much of the time in class will be given over to the focused practice of listening and speaking skills.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

HUGH A GRAHAM-MARR

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火2/Tue.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

To improve English communication skills including work on rhythm, pronunciation, intonation, stress, and vocabulary with a particular focus on helping students better exploit English that they already have but are not yet able to effectively utilize. In terms of listening, this means that in addition to giving listening practice and suggestions as to how students can get more practice outside of class, drawing explicit attention to some of the changes that occur in English with connected speech (how we link sounds, drop sounds, meld sounds, or even add sounds). These are the changes that can make it difficult for students to 'hear' language that they are able to read. In terms of speaking, explicit attention will be drawn to strategies that students can use when they communicate, especially when they may have incomplete understanding: repair strategies, confirmation strategies, engagement strategies, and the like. Speaking practice activities are designed to encourage use of specific strategies.

【到達目標】

Students should be better able to use the English they have in communicative situations, to better 'hear' connected speech that they might have previously had more trouble with, and to be able to use speaking strategies to communicate in situations where they may not have complete understanding.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

- ・ Listening to dialogues, answering comprehension questions, noticing aspects of connected speech, and identifying speaking strategies used
- ・ Pair and group work to practice different speaking strategies. The instructor will walk around the classroom for these, monitoring and occasionally commenting.
- ・ Assignments 1 and 2 are short presentations on video on topics related to those we have looked at. We will use Google classroom for this. Students will receive both marks and comments on the work submitted.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Unit 8: things you did	disappearing sounds / involvement
Week 2	Unit 8: things you did cont.	disappearing sounds / involvement
Week 3	Unit 9: introducing places	sentence stress / backchanneling
Week 4	Unit 9: introducing places cont.	sentence stress / backchanneling
Week 5	Unit 10: story telling	weak vowels /paraphrasing

Week 6	Unit 10: story telling cont.	weak vowels /paraphrasing
Week 7	Unit 11: fluency with numbers	understanding tone / confirmation
Week 8	Unit 11: fluency with numbers cont. ASSIGNMENT 1	understanding tone / confirmation /REVIEW
Week 9	Unit 12: describing jobs	disappearing sounds /asking for help
Week 10	Unit 12: describing jobs cont.	disappearing sounds /asking for help
Week 11	Unit 13: talking about experiences	guessing meaning / paraphrasing
Week 12	Unit 13: talking about experiences cont.	guessing meaning / paraphrasing
Week 13	Unit 14: asking for infor / ASSIGNMENT 2	compensation /asking wh- and yes/no questions / REVIEW
Week 14	SPEAKING AND LISTENING EXAM	exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

There will be a weekly homework listening. Students will also be expected to review material covered in class for 1-2 hours per week, though even more time spent on listening would be ideal.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Communication Spotlight: Pre-Intermediate (publisher: Abax)

【参考書】

An English to English dictionary

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Homework: 15%

Assignments 1 + 2: 30%

Final Speaking and Listening Exam: 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Will try to be flexible where possible in response to student feedback

【学生が準備すべき機器他】

None

【Outline (in English)】

To improve English communication skills including work on rhythm, pronunciation, intonation, stress, and vocabulary with a particular focus on helping students better exploit English that they already have but are not yet able to effectively utilize. In terms of listening, this means that in addition to giving listening practice and suggestions as to how students can get more practice outside of class, drawing explicit attention to some of the changes that occur in English with connected speech (how we link sounds, drop sounds, meld sounds, or even add sounds). These are the changes that can make it difficult for students to 'hear' language that they are able to read. In terms of speaking, explicit attention will be drawn to strategies that students can use when they communicate, especially when they may have incomplete understanding: repair strategies, confirmation strategies, engagement strategies, and the like. Speaking practice activities are designed to encourage use of specific strategies.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

鈴木 真奈美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、英語のライティングとスピーキングを中心に学習しますが、リーディング、リスニングも含めた4技能を統合的に発展させることを目標とします。クラスでは英語でのコミュニケーションの機会がたくさんあります。ディベートやグループプレゼンテーションも行います。このような授業に積極的に参加することで良い学習環境をともに創造していきましょう。

【到達目標】

You will try to achieve four goals: 1) to improve your English writing and speaking communicative competence; 2) to know and understand yourself better; 3) to think of your future life and career through the course work; and 4) to progress your English proficiency (listening, speaking, reading and writing) holistically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

You will learn:

- 1) communication strategies (e.g., shadowing and summarizing)
- 2) basic English writing knowledge (e.g., organization, topic sentences, how to write a letter or an e-mail)
- 3) presentation/debate skills and strategies
- 4) collaborative learning
- 5) the importance of understanding various perspectives on controversial issues and logical thinking
- 6) practice making small talk in every class

*I will give you my oral and written feedback on your assignments in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction Writing: Goals and Self-introduction	I will introduce this course. You will learn how to introduce yourself. You will set your goals for this semester and this English course and write them in English.
2	Speaking: Self-Introduction Thank-you Letter	You will introduce yourself in class. You will learn how to write a thank-you letter.
3	Shadowing and Summarizing	You will watch a DVD on shadowing and summarizing in class.
4	Review of Shadowing and Summarizing Units 1-2	You will review shadowing and summarizing. pp.10-17
5	Units 3-4	pp.18-25

6	Preparation for Debates	You will learn about debates and prepare for your debates on issues you select.
7	Debate	You will do the debate.
8	Debate	You will continue to do the debate.
9	Units 5-6 Preparation for a Group Presentation	pp.26-33 You will prepare for a group presentation.
10	Presentation	You will make a group presentation.
11	Presentation	You will continue to make a group presentation.
12	Units 7-8	pp.34-41
13	Units 9-10	pp.42-49
14	Discussion Review Reflection	You will discuss your favorite topics with your classmates. You will review what you have learned in this class and discuss impressive units with your classmates. You will reflect on your academic achievement this semester.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You are expected:

- 1) to read assigned units and look up words and phrases you don't know in the dictionary before the class.
- 2) to watch or listen to an English program regularly.

University guidelines suggest preparation and review are around four hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Title: Impact Issues 3: Presenting your ideas in English (3rd Edition)

Authors: Richard R. Day, Joseph Shaules, and Junko Yamanaka

Publisher: Pearson Education South Asia

Publishing Year: 2019

【参考書】

Longman Dictionary of Contemporary English

【成績評価の方法と基準】

class participation (20%), presentation (5%), debate (5%) assignments (10%), and final examination (60%)

*If you have four absences per semester without permission, do not debate, do not make a group presentation, or do not take a term examination, you cannot receive a credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

I hope that we will enjoy learning English together.

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (Hosei's Educational Internet System), E-mail, computer, USB

【その他の重要事項】

What you are expected for every class:

- 1) to bring an English-English dictionary
- 2) to contact me when you are absent from class

*Good manners and collaborative learning are important in this class.

【Outline (in English)】

You will learn English writing and speaking mainly in this class. However, this course aims to enhance your English (listening, speaking, reading and writing) holistically. You will have a lot of chances to communicate with your classmates and me in English. You will also debate and make a group presentation with your classmates. You are expected to make a good learning community through participation in this class.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

鈴木 眞奈美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、英語のライティングとスピーキングを中心に学習しますが、リーディング、リスニングも含めた4技能を統合的に発展させることを目標とします。クラスでは英語でのコミュニケーションの機会がたくさんあります。ディベートやグループプレゼンテーションも行います。このような授業に積極的に参加することで良い学習環境をともに創造していきましょう。

【到達目標】

You will try to achieve four goals: 1) to improve your English writing and speaking communicative competence; 2) to know and understand yourself better; 3) to think of your future life and career through the course work; and 4) to progress your English proficiency (listening, speaking, reading and writing) holistically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

You will learn:

- 1) communication strategies (e.g., shadowing and summarizing)
- 2) basic English writing knowledge (e.g., organization, topic sentences)
- 3) presentation skills
- 4) collaborative learning
- 5) the importance of understanding various perspectives on controversial issues and logical thinking
- 6) practice making small talk in every class

*I will give you my oral and written feedback on your assignments in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction; Review; Setting Goals	I will introduce this course. You will review what you learned in the previous semester. You will set your goals for this semester and this English course and write them in English.
2	Units 11	pp.50-53 You will discuss the topic of each chapter.
3	Units 12	pp.54-57 You will discuss the topic of each chapter.
4	Unit 13	pp.58-61 You will discuss the topic of each chapter.
5	Unit 14	pp.62-65 You will discuss the topic of each chapter.

6	Unit 15	pp.66-69 You will discuss the topic of each chapter.
7	Unit 16	pp.70-73 You will discuss the topic of each chapter.
8	Preparation for Presentation	You will prepare for your presentation.
9	Presentation	You will make a presentation.
10	Presentation	You will continue to make a presentation.
11	Presentation	You will continue to make a presentation
12	Units 17-18	pp.74-81 You will discuss the topic of each chapter.
13	Review	You will review what you learn in this class and discuss impressive units with your classmates.
14	Discussion Reflection	You will discuss your favorite topics with your classmates. You will reflect on your academic performance and set your goals for the next academic year.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You are expected:

- 1) to read assigned units and look up words and phrases you don't know in the dictionary before the class.
 - 2) to watch or listen to an English program regularly.
- University guidelines suggest preparation and review are around four hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Title: Impact Issues 3: Presenting your ideas in English (3rd Edition)

Authors: Richard R. Day, Joseph Shaules, and Junko Yamanaka

Publisher: Pearson Education South Asia

Publishing Year: 2019

【参考書】

Longman Dictionary of Contemporary English

【成績評価の方法と基準】

class participation (20%), presentation (20%), assignments (10%), and final examination (50%)

*If you have four absences per semester without permission, do not make a group presentation, or do not take a term examination, you cannot receive a credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

I hope you will come to like studying English more and that you will keep on learning English.

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (Hosei's Educational Internet System), E-mail, computer, USB

【その他の重要事項】

What you are expected for every class:

- 1) to bring an English-English dictionary
- 2) to contact me when you are absent from class

*Good manners and collaborative learning are important in this class.

【Outline (in English)】

You will learn English writing and speaking mainly in this class. However, this course aims to enhance your English (listening, speaking, reading and writing) holistically. You will have a lot of chances to communicate with your classmates and me in English. You will also debate and make a group presentation with your classmates. You are expected to make a good learning community through participation in this class.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

MAXIM WOOLLERTON

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火2/Tue.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This is an oral communication and writing course with a focus on discussing various topics in English. The aim of this course is to encourage students to become critical thinkers who can use this ability to express their ideas in English and share those ideas with others.

【到達目標】

The main goals are as follows:

1. Students will develop the skills to discuss various topics in depth with others;
2. Students will develop the skills to express their ideas about topics in writing;
3. Students will develop enough confidence to be comfortable exchanging opinions with others;
4. Students will be able to respond to the ideas of others.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Students will do the following activities:

1. Ask and answer questions with a partner or in small groups about the topic;
2. Examine vocabulary relevant to the topic;
3. Listen to an audio clip to identify main points and supporting details;
4. Read the transcript of the audio clip to check answers and to practise pronunciation and intonation;
5. Talk about the topic using more difficult and more contentious questions;
6. Focus on the language used in order to develop discussion skills;
7. Carry out a discussion-oriented extension task related to the topic;
8. Write a paragraph about the topic and share it with other students in the class;
9. Read and respond to the written ideas of other students in the class;
10. Do the online homework activities related to the unit;
11. Do the online assessment activity related to the unit.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Orientation.	Course introduction and explanation, introduction to the textbook.
Week 2	Unit 1 - Vacations, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.

Week 3	Unit 1 - Vacations, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 1.
Week 4	Online assessment for Unit 1. Unit 2 - Movies, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 5	Unit 2 - Movies, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 2.
Week 6	Online assessment for Unit 2. Unit 3 - Dating, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 7	Unit 3 - Dating, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 3.
Week 8	Online assessment for Unit 3. Unit 4 - Part-time Jobs, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 9	Unit 4 - Part-time Jobs, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 4.
Week 10	Online assessment for Unit 4. Unit 5 - Learning English, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 11	Unit 5 - Learning English, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 5.
Week 12	Online assessment for Unit 5. Unit 6 - Hopes and Dreams, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 13	Unit 6 - Hopes and Dreams, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 6.
Week 14	Online assessment for Unit 6. Review.	End-of-semester conclusion activities.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will required to do homework, mainly in the form of completion of follow-up exercises in the 'Study Centre' website and sometimes research of the topics covered in the class. On average, the amount of work outside of class will be approximately 60 minutes per week. The homework will be important in helping students to be prepared for the student assessment and work preparation in subsequent classes. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

The English Course - Discussion Book 1 by Gary Ireland and Max Woollerton. Published by The English Company (2017) ISBN 978-4-9902962-5-4 [IMPORTANT NOTE: All students are required to have a new and unused copy of the textbook. Used or second hand copies of the textbook will not be permitted.]

【参考書】

<http://www.theenglishcourse.com/students.html>

【成績評価の方法と基準】

In-Class Performance 100%The evaluation criteria are as follows: The total percentage will be accumulated from student classwork scores (35%), homework scores (35%), Unit Test scores (30%). There is an absence limit of 3 classes and a lateness limit of 20 minutes. Lateness in excess of 20 minutes is counted as absence. Three times late is counted as one absence. Students who exceed the limit will not pass the course. Absences and lateness will result in a reduction in points from the classwork score.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

Students need to bring a digital device with the ability to connect to the Internet. A laptop computer or a tablet would be the best kind of device to use.

【その他の重要事項】

In order to prevent the misuse of generative AI and provide equality all writing and speaking activities will be conducted only in class and without the use of AI. For further information about any of the points in this syllabus, please contact the instructor by email at hosei2025@woollerton.com.

【Outline (in English)】

This is an oral communication and writing course with a focus on discussing various topics in English. The aim of this course is to encourage students to become critical thinkers who can use this ability to express their ideas in English and share those ideas with others.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

MAXIM WOOLLERTON

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火2/Tue.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This is an oral communication and writing course with a focus on discussing various topics in English. The aim of this course is to encourage students to become critical thinkers who can use this ability to express their ideas in English and share those ideas with others.

【到達目標】

The main goals are as follows:

1. Students will develop the skills to discuss various topics in depth with others;
2. Students will develop the skills to express their ideas about topics in writing;
3. Students will develop enough confidence to be comfortable exchanging opinions with others;
4. Students will be able to respond to the ideas of others.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Students will do the following activities:

1. Ask and answer questions with a partner or in small groups about the topic;
2. Examine vocabulary relevant to the topic;
3. Listen to an audio clip to identify main points and supporting details;
4. Read the transcript of the audio clip to check answers and to practise pronunciation and intonation;
5. Talk about the topic using more difficult and more contentious questions;
6. Focus on the language used in order to develop discussion skills;
7. Carry out a discussion-oriented extension task related to the topic;
8. Write a paragraph about the topic and share it with other students in the class;
9. Read and respond to the written ideas of other students in the class;
10. Do the online homework activities related to the unit;
11. Do the online assessment activity related to the unit.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Unit 7 - Image, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.

Week 2	Unit 7 - Image, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 7.
Week 3	Online assessment for Unit 7. Unit 8 - Eating Out, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 4	Unit 8 - Eating Out, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 8.
Week 5	Online assessment for Unit 8. Unit 9 - Family, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 6	Unit 9 - Family, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 9.
Week 7	Online assessment for Unit 9. Unit 10 - Social Networking, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 8	Unit 10 - Social Networking, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 10.
Week 9	Online assessment for Unit 10. Unit 11 - Interests, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 10	Unit 11 - Interests, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 11.
Week 11	Online assessment for Unit 11. Unit 12 - Spending Money, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 12	Unit 12 - Spending Money, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 12.
Week 13	Online assessment for Unit 12. Review	End-of-semester project activities, Part 1.
Week 14	Review continued	End-of-semester project activities, Part 2.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be required to do homework, mainly in the form of completion of follow-up exercises in the 'Study Centre' website and sometimes research of the topics covered in the class. On average, the amount of work outside of class will be approximately 60 minutes per week. The homework will be important in helping students to be prepared for the student assessment and work preparation in subsequent classes. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

The English Course - Discussion Book 1 by Gary Ireland and Max Woollerton. Published by The English Company (2017) ISBN 978-4-9902962-5-4 [IMPORTANT NOTE: All students are required to have a new and unused copy of the textbook. Used or second hand copies of the textbook will not be permitted.]

【参考書】

<http://www.theenglishcourse.com/students.html>

【成績評価の方法と基準】

In-Class Performance 100% The evaluation criteria are as follows: The total percentage will be accumulated from student classwork scores (35%), homework scores (35%), Unit Test scores (30%). There is an absence limit of 3 classes and a lateness limit of 20 minutes. Lateness in excess of 20 minutes is counted as absence. Three times late is counted as one absence. Students who exceed the limit will not pass the course. Absences and lateness will result in a reduction in points from the classwork score.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

Students need to bring a digital device with the ability to connect to the Internet. A laptop computer or a tablet would be the best kind of device to use.

【その他の重要事項】

In order to prevent the misuse of generative AI and provide equality all writing and speaking activities will be conducted only in class and without the use of AI. For further information about any of the points in this syllabus, please contact the instructor by email at hosei2025@woollerton.com.

【Outline (in English)】

This is an oral communication and writing course with a focus on discussing various topics in English. The aim of this course is to encourage students to become critical thinkers who can use this ability to express their ideas in English and share those ideas with others.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

鹿子嶋 由佳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、日常生活や現代社会の様々なトピックについて、自分の意見や経験を英語で表現したり、他の受講生の意見や経験を英語で聴いたりする力を養います。また、受講生同士で意見交換をするディスカッションの練習も行います。授業内でのspeaking, writing, listeningの練習をすることで、情報収集やparagraph writing, discussionに必要な語彙力の向上を目指します。

【到達目標】

1. 基本的な英語表現を用いて、自分の意見や経験を口頭で他者に伝えることができるようになる。
2. 既習表現を駆使しながら、受講生同士で意見交換し合えるようになる。
3. 論理的にパラグラフを構成して、自分の意見や経験を文章で他者に伝えることができるようになる。
4. テキスト内の語彙をすべて理解し、speakingやwritingで使えるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各Unitの進め方として、1つのUnitを前半と後半に分け、2週にわたって1つのUnitを学習していきます。授業前に、指定した箇所の学習を各受講生が済ませていることを前提に授業を進めます。授業内では、その予習事項の確認やテキストを中心にlistening, speaking, writingの練習を行います。意見交換の練習では、ペアワークやグループワークを行います。テキストにはreadingのセクションもありますので、内容を確実に理解し、英語での意見交換の際に生かせるように進めていきます。学期中には学習進捗状況を確認するために、speakingのパフォーマンステストや語彙テストも行います。各課題のフィードバックは、授業中に各受講生と全体に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	自己紹介、授業説明、アクティビティー
2	Unit 1 (1) I Love Making Jewelry!	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
3	Unit 1 (2) I Love Making Jewelry!	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO
4	Unit 2 (1) How Long Have You Been Playing Cricket?	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
5	Unit 2 (2) How Long Have You Been Playing Cricket?	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO

6	Unit 3 (1) You Could Ask for Advice	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
7	Unit 3 (2) You Could Ask for Advice	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO
8	Unit 4 (1) The Koala Was Taken to a Shelter	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
9	Unit 4 (2) The Koala Was Taken to a Shelter	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO
10	Unit 5 (1) How Was It Formed?	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
11	Unit 5 (2) How Was It Formed?	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO
12	Unit 6 (1) Look at That Narwhal!	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
13	Unit 6 (2) Look at That Narwhal!	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO 小テスト(語彙, 表現)
14	まとめ・期末テスト	Listening, Writing, Reading に関するテストを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。受講生は、授業前に該当箇所の予習を行ってください。各Unitの(1)を授業で学習する前にはLanguage Focusの意味確認と発声練習を行い、そして各Unitの(2)を授業で学習する前には「Readingの予習」を行ってください。「Readingの予習」では、受講生が各自ノートに、意味を調べた語や語句のリスト・英文のまとめ（日本語）・Comprehensionの解答を書いてきてください。また、予習指定箇所学習予定以外の範囲も予習（語彙や内容のチェック）し、あらかじめディスカッション等のトピックに慣れておきましょう。授業後には、既習事項を綿密に復習してください。

【テキスト（教科書）】

テキスト名：Time Zones 4 (Second Edition) - Student Book (Text only)

著者：David Bohlke and Jennifer Wilkin

出版社：Cengage Learning

出版年：2016年

価格：2440円＋税

ISBN: 9781305259874

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

1. 平常点30%（授業中の活動・小テスト・課題）
2. 予習20%
3. 期末試験50%
 - ・欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位取得資格を失います。
 - ・3回の遅刻（授業開始時刻から10分を超える場合）で1回の欠席とします。
 - ・遅刻や欠席に関して、証明できるもの（交通機関の遅延証明書等）がある場合は必ず担当者に渡してください。
 - ・授業に関係のない私語、携帯電話の使用、居眠り、教科書・辞書の不携帯は減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

受講生の学習状況をみながら、基礎的な事項から応用的な事項まで確認していきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業に関する連絡は授業支援システムを使用します。

授業中に使用する辞書は、書籍または電子辞書とします。スマートフォン等のアプリケーションの辞書を使用する場合は、その旨を担当者に伝えること。

【その他の重要事項】

授業に関する質問がある場合、授業前後に教室にて、または授業支援システムを通して受け付けます。

【Outline (in English)】

< Course outline >

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills needed to express and share their opinions and experiences on various daily and modern social topics in English. It also enhances the development of students' skills in discussing topics with classmates. By practicing speaking, writing and listening, it will help students build up the vocabulary knowledge needed to gather information to write essay paragraphs and have discussions in English.

< Learning Objectives >

1. Students will be able to use the English expressions they have learned, and will be able to give their ideas and experiences to classmates verbally.
2. By using English expressions they have learned, the students will be able to share their opinions with each other.
3. Students will be able to write essay paragraphs in logical order, and they will be able to express their ideas and experiences to classmates within the composition.
4. Students will be able to understand all the vocabulary in the textbook and they will be able to use them when speaking and writing.

< Learning activities outside of classroom >

In this course, students should be prepared for class and should be able to review what they have learned in one hour. Before class for Unit (1), students should check the meanings of new vocabulary and phrases in “Language Focus”, and practice reading them out loud. Before class for Unit (2), students should read the passage in the Unit in advance, and write down the following in their notebooks: new vocabulary, summary of the passage in Japanese, and “Comprehension” answers. In addition, students should preview what they will learn beforehand in order to understand topics for discussions in the textbook. After class, students have to review what they have learned.

< Grading Criteria/Policy >

1. Class activities (small tests and writing assignments) 30%
2. Preparation (vocabulary, summary and “Comprehension” answers) 20%
3. Final test 50%
 - ・ Students will fail the course if they are absent four times or more during the entire unit.
 - ・ If a student is late three times, it is counted as one absence.
 - ・ Students should show proof of their delay and absence.
 - ・ Students who talk in class, use a phone, doze/sleep, or come to class without the textbook will get a black mark.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

鹿子嶋 由佳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、日常生活や現代社会の様々なトピックについて、自分の意見や経験を英語で表現したり、他の受講生の意見や経験を英語で聴いたりする力を養います。また、受講生同士で意見交換をするディスカッションの練習も行います。授業内でのspeaking, writing, listeningの練習をすることで、情報収集やessay writing, discussionに必要な語彙力の向上を目指します。

【到達目標】

1. 基本的な英語表現を用いて、自分の意見や経験を口頭で他者に伝えることができるようになる。
2. 既習表現を駆使しながら、受講生同士で意見交換し合えるようになる。
3. 論理的にパラグラフを構成して、自分の意見や経験を文章で他者に伝えることができるようになる。
4. テキスト内の語彙をすべて理解し、speakingやwritingで使えるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各Unitの進め方として、1つのUnitを前半と後半に分け、2週にわたって1つのUnitを学習していきます。授業前に、指定した箇所の学習を各受講生が済ませていることを前提に授業を進めます。授業内では、その予習事項の確認やテキストを中心にlistening, speaking, writingの練習を行います。意見交換の練習では、ペアワークやグループワークを行います。テキストにはreadingのセクションもありますので、内容を確実に理解し、英語での意見交換の際に生かせるように進めていきます。学期中には学習進捗状況を確認するために、speakingのパフォーマンステストや語彙テストなども行います。各課題のフィードバックは、授業中に各受講生と全体に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Warm-up	春学期の復習、アクティビティー
2	Unit 7 (1) It Might Have Been a Temple	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
3	Unit 7 (2) It Might Have Been a Temple	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO
4	Unit 8 (1) It's Taller than the Eiffel Tower!	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
5	Unit 8 (2) It's Taller than the Eiffel Tower!	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO

6	Unit 9 (1) He's a Great Director, Isn't He?	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
7	Unit 9 (2) He's a Great Director, Isn't He?	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO
8	Unit 10 (1) I Wish I Could Be an Athlete!	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
9	Unit 10 (2) I Wish I Could Be an Athlete!	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO
10	Unit 11 (1) What Would You Do?	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
11	Unit 11 (2) What Would You Do?	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO
12	Unit 12 (1) You Should Eat More Fruit!	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
13	Unit 12 (2) You Should Eat More Fruit!	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO 小テスト(語彙, 表現)
14	まとめ・期末テスト	Listening, Writing, Reading に関するテストを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。受講生は、授業前に該当箇所の予習を行ってください。各Unitの(1)を授業で学習する前にはLanguage Focusの意味確認と発声練習を行い、そして各Unitの(2)を授業で学習する前には「Readingの予習」を行ってください。「Readingの予習」では、受講生が各自ノートに、意味を調べた語や語句のリスト・英文のまとめ（日本語）・Comprehensionの解答を書いてきてください。また、予習指定箇所学習予定以外の範囲も予習（語彙や内容のチェック）し、あらかじめディスカッション等のトピックに慣れておきましょう。授業後には、既習事項を綿密に復習してください。

【テキスト（教科書）】

テキスト名：Time Zones 4 (Second Edition) - Student Book (Text only)

著者：David Bohlke and Jennifer Wilkin

出版社：Cengage Learning

出版年：2016年

価格：2440円＋税

ISBN: 9781305259874

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

1. 平常点30%（授業中の活動・小テスト・課題）
2. 予習20%
3. 期末試験50%
 - ・欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位取得資格を失います。
 - ・3回の遅刻（授業開始時刻から10分を超える場合）で1回の欠席とします。
 - ・遅刻や欠席に関して、証明できるもの（交通機関の遅延証明書等）がある場合は必ず担当者に渡してください。
 - ・授業に関係のない私語、携帯電話の使用、居眠り、教科書・辞書の不携帯は減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

受講生の学習状況をみながら、基礎的な事項から応用的な事項まで確認していきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業に関する連絡は授業支援システムを使用します。

授業中に使用する辞書は、書籍または電子辞書とします。スマートフォン等のアプリケーションの辞書を使用する場合は、その旨を担当者に伝えること。

【その他の重要事項】

授業に関する質問がある場合、授業前後に教室にて、または授業支援システムを通して受け付けます。

【Outline (in English)】

< Course outline >

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills needed to express and share their opinions and experiences on various daily and modern social topics in English. It also enhances the development of students' skills in discussing topics with classmates. By practicing speaking, writing and listening, it will help students build up the vocabulary knowledge needed to gather information to write essays and have discussions in English.

< Learning Objectives >

1. Students will be able to use the English expressions they have learned, and will be able to give their ideas and experiences to classmates verbally.
2. By using English expressions they have learned, the students will be able to share their opinions with each other.
3. Students will be able to write essay paragraphs in logical order, and they will be able to express their ideas and experiences to classmates within the composition.
4. Students will be able to understand all the vocabulary in the textbook and they will be able to use them when speaking and writing.

< Learning activities outside of classroom >

In this course, students should be prepared for class and should be able to review what they have learned in one hour. Before class for Unit (1), students should check the meanings of new vocabulary and phrases in “Language Focus”, and practice reading them out loud. Before class for Unit (2), students should read the passage in the Unit in advance, and write down the following in their notebooks: new vocabulary, summary of the passage in Japanese, and “Comprehension” answers. In addition, students should preview what they will learn beforehand in order to understand topics for discussions in the textbook. After class, students have to review what they have learned.

< Grading Criteria/Policy >

1. Class activities (small tests and writing assignments) 30%
2. Preparation (vocabulary, summary and “Comprehension” answers) 20%
3. Final test 50%
 - ・ Students will fail the course if they are absent four times or more during the entire unit.
 - ・ If a student is late three times, it is counted as one absence.
 - ・ Students should show proof of their delay and absence.
 - ・ Students who talk in class, use a phone, doze/sleep, or come to class without the textbook will get a black mark.

LANe100LA (英語 / English language education 100)		5	Unit 1	Continuation from the previous class. Form a group and discuss what you think is the most attractive to you in appearance or in personality. Discuss and summarize and present your ideas to the class.
English 2 I				
2017年度以降入学者				
北原 ルック 明子				
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：木1/Thu.1				
単位数：1単位				
その他属性：		6	Unit 3	Read the unit and understand the context. Understand the situation and think about the issue. Review vocabulary.
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		7	Unit 3	Continuation from the previous class. Is learning a new language important? Why? Yes or no.
小学校、中学校そして高校において英語に親しんできたと思われるが大学では一層と英語に親しみ文法読解を中心にするのではなくコミュニケーションを図りながら英語を道具としてそれぞれの専門分野で活かしていけるようにしていきたい。		8	Unit 3	Continuation from the previous class. What are the pros and cons of living in another country
【到達目標】		9	Unit 3	Continuation from the previous class. Form a group and discuss about the pros and cons of learning a new language. Summarize the discussion and present it in class.
英語で考えられるようにし英語で相手に伝わるようにして行きたい。まず短く簡単な英語でいいので自分の言いたいことを相手に伝えられるようにする。日常の様々なトピックについて自分の知識、経験、意見を口頭で表現していくことをプレゼンテーション、スピーチ、ディスカッションなどを通して練習していく。ライティングに関してはプレゼンテーションを準備する上で導入部分、メイン、締めをしつかりと順序立てて整理してかけるようにする。また聴く力も養っていきたいと思う。		10	Unit 5	Read the unit and understand the situation and think about the issue. Review vocabulary. Start preparing for the presentation at the end of the term.
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		11	Unit 5	Continuation from the previous class. What do you think about marriage? Recently, there are many people who opt to marriage. What do you think? Prepare for the presentation .
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1		12	Unit 5	Continuation from the previous class. Form a small group and discuss whether staying single or getting married is good or not and summarize what you have discussed. Present it to the class. Prepare for the presentation.
【授業の進め方と方法】				
教科書"Impact Issues"に入る前に簡単なリスニングをし簡単な会話をします。この教科書は様々なテーマをユニットごとに扱っているのでそれをしっかり読み、内容を理解しその内容に対してその都度そのテーマに関して自分の意見が言えるようにする。またこの教科書は様々な activity などがありそれらをとおして英語に一層親しんでいきたいと思う。自分の意見をクラスの前で言える様に大小のプレゼンテーションを授業内で多く行う。前の授業での復習をしながらフィードバックをしながら授業を進めていく。各ユニットで出題されている単語などの意味及び文章も作れるようにする。				
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】				
あり /Yes				
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】				
なし /No				
【授業計画】 授業形態：対面/face to face				
回	テーマ	内容		
1	Introduction	Introducing yourselves to the classmates in English.		
2	Unit 1	Read the unit and understand the content. Is first impression important?	13	Presentation
3	Unit 1	Continuation from the previous class. Understand the situation and think about the issue. Review vocabulary.	14	Test
4	Unit 1	Continuation from the previous class. When you meet a person for the first time, what do you look for that impresses you most.		
				【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
				本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The students will have to read the units and understand it and be able to present their ideas on it.
				【テキスト（教科書）】
				Impact Issues2
				Richard Day, Joseph Shaules, Junko Yamanaka
				Pearson
				【参考書】
				None
				【成績評価の方法と基準】
				Your overall grade in the class will be decided based on the following.
				Term-end examination. 70%

Short reports. 10%

Presentation 20%

In addition to your overall grade, in principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

To talk more slowly.

【Outline (in English)】

This class is to enhance the students to speak their own mind according to the units as we go through. The students will be required to state their opinions whether they agree or disagree to what is being discussed. Students are encouraged to speak in English as much as possible to communicate with their classmates.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

北原 ルック 明子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

小学校、中学校そして高校において英語に親しんできたと思われるが大学ではより英語に親しみ文法、読解を中心にするのではなくコミュニケーションを図りながら英語を道具としてそれぞれの専門分野で活かしていけるようにしたい。

【到達目標】

英語で考えられるようにし英語で相手に伝わるようにして行きたい。まず短く簡単な英語でいいので自分の言いたいことを相手に伝えられるようにする。日常の様々なトピックについて自分の知識、経験、意見を口頭で表現していくことをプレゼンテーション、スピーチ、ディスカッションなどを通して練習していく。ライティングに関してはプレゼンテーションを準備する上で導入部分、メイン、締めをしつかりと順序立てて整理してかけるようにする。また聴く力も養っていきたいと思う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書"Impact Issues"に入る前に簡単なリスニングをし簡単な会話をします。この教科書は様々なテーマをユニットごとに扱っているのでそれをしっかり読み、内容を理解しその内容に対してその都度そのテーマに関して自分の意見が言えるようにする。またこの教科書は様々な activity などがありそれらをとおして英語に一層親しんでいきたいと思う。自分の意見をクラスの前で言える様に大小のプレゼンテーションを授業内で多く行う。前の授業での復習をしながらフィードバックをしながら授業を進めていく。各ユニットで出題されている単語などの意味及び文章も作れるようにする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Presentation	Students will present their task on their interview with foreigners visiting Japan.
2	Reading a poem	What is a poetry? Reading a poem "What Do I Remember of the Evacuation" and analyzing it.
3	Reading a poem	Studying the content of the poem and think about the symbolism. Writing a poem of your own.
4	Unit 8	Read "Your Online Past"and understand the content and the situation. Think about the issue. Review vocabulary.
5	Unit 8	Continuation from the previous class. Is the internet necessary? Why do we use SNS?

6	Unit 8	Continuation from the previous class. Form a small group and discuss the merits and demerits of SNS. Summarize your discussion and present it to the class.
7	Recitation	Reciting your poem in front of the class.
8	Unit 10	Read "My Student Life"and understand the situation and think about the issue. Review vocabulary.
9	Unit 10	Continuation from the previous class. What are the important reasons for you to go to university? Why? Form a small group and discuss. Summarize your discussion and present it to the class. Start preparing for the term-end presentation.
10	Unit 12	Read "Create Another Future"and understand the situation and think about the issue. Review vocabulary. Prepare for the presentation.
11	Unit 12	Continuation from the previous class. What is happening to earth today? what do you think to save the earth? Prepare for the presentation.
12	Unit 12	Continuation from the previous class. Form a small group and discuss what you can do for the environment. Summarize the discussion and present it to the class. Prepare for the presentation.
13	Presentation	Presentation
14	Test	Test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Read the units well and be able to present your ideas on what you think In addition to your overall grade, in principle, no more than 3 absences per term are allowed. about it.

【テキスト（教科書）】

Impact Issues 2
Richard R Day Joseph Shaules Junko Yamanaka
Pearson

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination. 70%

Short reports. 10%

Presentation 20%

In addition to your overall grade, in principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

To talk more slowly

【Outline (in English)】

This course introduces students to better understand about what is going around them. The students are required to talk about the various subjects in English and are encouraged to speak in English as much as possible to communicate with their classmates in English.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

森永 豊

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

パ・ラク・ラフという文章形式の構造を理解し、英語でパラグラフを書く。また、プレゼンテーションの心得とコツを知り、実践する。題材にふさわしい英語表現と内容を選んで文章を書ける。英語でプレゼンテーションする経験を積む。プレゼンテーションは原則として聴衆に顔を向けて話すものだから、原稿の内容は頭に入れ、なおかつ、正確な発音でプレゼンテーションできるようにする。発音指導を通して正しい英語の発音を身につける。

【到達目標】

- ・パ・ラク・ラフの形式と内容を理解する。
- ・自分の意見を形成し、アカデミックライティングの考え方に則りながら、それを筋道立てて文章化することができる。
- ・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリスニングで自分のアイデアを話せる。
- ・英語で質疑応答ができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

最初にパラグラフ形式の特徴と論証の構造を講義する。テーマで実際にパラグラフを書く。推敲プロセスの数段階で講師のチェックと添削が入る。次に、書き上げたパラグラフをもとにしてプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションに関する実践的な講義を行い、発表の構成方法、プレゼン資料の作成に関するコツなどを知る。それを踏まえてスクリプトを練り上げる。プレゼン資料の作成や発音練習を経た上で、プレゼンテーションする。発表後に質疑応答を行う。また、発表者は他の学生からの評価や感想を得る。パラグラフやスクリプトの推敲段階で講師の添削やピアレビューによるフィードバックを行う。またプレゼンテーションに対するフィードバックは、評価ポイントを指定したうえで聞き手の学生にも感想やコメントを求める。授業ではネットの音声素材や講師が作ったウェブアプリを利用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の概要の説明	・概要と進め方 ・成績評価の基準についての説明 ・小テスト
2	パラグラフについて	・パラグラフの内容と構造について ・パラグラフの見本の提示 ・小テスト（予備日）
3	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・パラグラフの書き方について ・パラグラフの各文を繋ぐ英語表現と使い処の提示 ・プロセスライティング1（アイデア生成） ・ディクテーション課題1（授業内） ・単語練習1

4	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング2（アイデア整理）
5	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング3（アウトラインの提出） ・ディクテーション課題2（以降、授業外） ・単語練習2
6	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング4（第1稿の提出）
7	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング5（再提出） ・ディクテーション課題3 ・単語練習3
8	ライティング課題プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング6（最終稿提出） ・プレゼンテーションの方法と心構え ・プレゼンテーションの見本の視聴
9	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成） ・グループ構成の発表 ・ディクテーション課題4
10	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成） ・単語テスト
11	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・スクリプト・スライドの提出
13	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーション本番 ・英語での質疑応答 ・投票用紙提出
14	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーション課題のフィードバック作業

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業は指定した内容の予習を前提にして進める。読み手本位を基本思想とするパラグラフの作成は、読者のコメントを受けた改稿作業が必須であるから、講師や他の学生から受けたコメントを草稿に反映させる時間も必要になる。パワーポイントなど、プレゼンテーションの資料作成や予行練習も必要になる。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

- ・『LINKS 1500 ―大学生のためのトピック別必修英単語―』、金星堂、2013年、1800円（税別）（以下のURLで無料にてダウンロードできる音声ファイルが付属している。<http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963>）
- ・綿貫陽、マーク・ピーターセン（共著）、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円（税込）
- ・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード英語類語活用辞典』、オックスフォード大学出版局、2008年、4700円（税別）その他、授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- ・ライティング課題 25%
- ・スピーキング課題 25%
- ・授業内のパフォーマンス 15%

・ディクテーション課題 25%

・単語テスト 10%

欠席が 4 回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。
30 分以上の遅刻は欠席と見なし、3 回の遅刻は欠席 1 回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

授業ではネットで配信されるテキストの音声素材を利用する。本授業で必要となるオンラインツールは Google Classroom である。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザは Firefox、Google Chrome、Safari を推奨。Internet Explorer は非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

You write up your experience and/or opinion in the form of a paragraph. And you make a presentation with correct English pronunciation and accents. You build your writing and speaking skills step by step to reach the goals. You start to write down a short sequence of sentences, then a paragraph. You learn how to speak vowels, consonants, complex vowels, then to speak an English sentence, and finally a paragraph.

Objectives

- Knowledge of the form and contents of a paragraph
- Ability to argue about your opinions in an academic way
- Ability to write them in an English paragraph
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. You will receive corrections and comments on your drafts from a tutor and students. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Writing assignments 25%
- Presentation assignment 25%
- Performances in a class 15%
- Dictation assignments 25%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

森永 豊

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

パ、ラフという文章形式の構造により習熟し、英語で短いエッセーを書く。また、プレゼンテーションの心得とコツを確認し、実践する。

題材にふさわしい英語表現と内容を選んで文章を書ける。英語でプレゼンテーションする経験を積む。プレゼンテーションは原則として聴衆に顔を向けて話すものだから、原稿の内容は頭に入れ、なおかつ、正確な発音でプレゼンテーションできるようにする。発音指導を通して正しい英語の発音を身につける。

【到達目標】

- ・アカデミックなエッセーの形式と内容を理解する。
- ・自分の意見を形成し、アカデミックライティングの考え方に則りながら、それを筋道立てて文章化することができる。
- ・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリズムで自分のアイデアを話せる。
- ・英語で質疑応答ができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

最初にパラグラフ形式の特徴と論証的構造を確認し、次いでアカデミックなエッセーの構造について講義する。テーマで実際にショートエッセーを書く。推敲プロセスの数段階で講師のチェックと添削が入る。次に、書き上げたショートエッセーをもとにしてプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションに関する実践的な講義を行い、発表の構成方法、プレゼン資料の作成に関するコツなどを知る。それを踏まえてスクリプトを練り上げる。プレゼン資料の作成や発音練習を経た上で、プレゼンテーションする。発表後に質疑応答を行う。また、発表者は他の学生からの評価や感想を得る。パラグラフやスクリプトの推敲段階で講師の添削やピアレビューによるフィードバックを行う。またプレゼンテーションに対するフィードバックは、評価ポイントを指定したうえで聞き手の学生にも感想やコメントを求める。

授業ではネットの音声素材や講師が作ったウェブアプリを利用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の概要の説明	・概要と進め方 ・成績評価の基準についての説明 ・小テスト
2	アカデミックなエッセーについて	・アカデミックなエッセーの内容と構造について ・ショートエッセーの見本の提示 ・ショートエッセーの書き方について ・小テスト（予備日）

3	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング1（アイデア生成） ・ディクテーション課題1（授業内） ・単語練習1
4	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング2（アイデア整理）
5	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング3（アウトラインの提出） ・ディクテーション課題2（以降、授業外） ・単語練習2
6	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング4（第1稿の提出）
7	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング5（再提出） ・ディクテーション課題3 ・単語練習3
8	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング6（最終稿提出） ・プレゼンテーションの方法と心構えの確認 ・プレゼンテーションの見本の視聴
9	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成） ・グループ構成の発表
10	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・ディクテーション課題4 ・プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成） ・単語テスト
11	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・スクリプト・スライドの提出
13	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーション本番 ・英語での質疑応答 ・投票用紙提出
14	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーション課題のフィードバック作業

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業は指定した内容の予習を前提にして進める。読み手本位を基本思想とするパラグラフの作成は、読者のコメントを受けた改稿作業が必須であるから、講師や他の学生から受けたコメントを草稿に反映させる時間にも必要になる。パワーポイントなど、プレゼンテーションの資料作成や予行練習も必要になる。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

- ・『LINKS 1500 一大学生のためのトピック別必修英単語』、金星堂、2013年、1800円（税別）（以下のURLで無料にてダウンロードできる音声ファイルが付属している。<http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963>）
 - ・綿貫陽、マーク・ピーターセン（共著）、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円（税込）
 - ・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード 英語類語活用辞典』、オックスフォード大学出版局、2008年、4700円（税別）
- その他、授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- ・ライティング課題 25%
- ・スピーキング課題 25%
- ・授業内のパフォーマンス 15%
- ・ディクテーション課題 25%
- ・単語テスト 10%

欠席が 4 回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。
30 分以上の遅刻は欠席と見なし、3 回の遅刻は欠席 1 回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

授業ではネットで配信されるテキストの音声素材を利用する。本授業で必要となるオンラインツールは Google Classroom である。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザは Firefox、Google Chrome、Safari を推奨。Internet Explorer は非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

You write up your experience and/or opinion in the form of a short essay. And you make a presentation with correct English pronunciation and accents. You build your writing and speaking skills step by step to reach the goals. You start from writing down a short sequence of sentences, a paragraph to a short essay. You learn how to speak vowels, consonants, complex vowels, then to speak an English sentence, and finally a paragraph.

Objectives

- Knowledge of the form and contents of an academic essay
- Ability to argue about your opinions in an academic way
- Ability to write them in an English paragraph
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. You will receive corrections and comments on your drafts from a tutor and students. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Writing assignments 25%
- Presentation assignment 25%
- Performances in a class 15%
- Dictation assignments 25%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

ウォルター カズマー

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火2/Tue.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Common English that students can use everyday.

【到達目標】

Common English that students can use everyday

This class encompasses all four skill areas and students are required to participate in pair and group activities as well as do individual work as assigned by the teacher.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This class uses a variety of activities to focus on speaking and listening skills. These include; drama, skits, role-playing, listening for gist, listening for details, choral recitation, video activities, etc.

Feed back will be given via Google classroom comments, via email or in review sessions in Zoom classes.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction of syllabus	syllabus recount and rules
	general class rules	
Week 2	Starting conversations	Greetings, name usage, personal titles
Week 3	Keeping the conversation going	use of questions and understanding answers
Weeks 4	Identifying objects	in the classroom and office
Weeks 5	Identifying objects	outside elements - public and family homes
Weeks 6	quiz review	greetings- hellos and goodbyes
	quiz on greetings and objects	
	language and grammar exercises	
week 7	Nationalities and geography in Asia	Thailand, Japan, Korea, Vietnam
	Oral Presentation Preparation	Discussion of presentation themes
	Discussions	
week 8	Nationalities and geography in North America	Canada, Mexico, USA
	Presentation - structure	Structure- Introduction/Body/ Conclusion
week 9	Nationalities and geography in Western Europe	France, Germany, The UK, Italy, Switzerland
	Presentation - physical elements	body language, use of voice
week 10	Clothing styles	formal clothing types
	Presentation - visual elements	visual aids

week 11 Clothing styles informal clothing review

week 12 Oral Presentations speeches on social trends on social themes

week 13 Oral Presentations speeches on cultural on differences cultural themes

week 14 Oral Presentations speeches on academic trends

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Presentation preparation, homework.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Interchange intro fifth edition Jack Richards
9781316620113

【参考書】

Handouts

【成績評価の方法と基準】

Class participation 33%

Homework 34%

Oral presentation and Quizzes 33%

For all English courses on Ichigaya campus, the guideline is as follows: "In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

More written work desired.

【学生が準備すべき機器他】

PC or smartphone, paper, writing material

【その他の重要事項】

Contact email

walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will learn English using the 4 skill areas (speaking, listening, reading, and writing).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

ウォルター カズマー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Common English that students can use everyday.

【到達目標】

This class encompasses all four skill areas and students are required to participate in pair and group activities as well as do individual work as assigned by the teacher.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This class uses a variety of activities to focus on speaking and listening skills. These include; drama, skits, role-playing, listening for gist, listening for details, choral recitation, etc. Feedback will be given in comments in Google classroom, via email, or in feedback sessions in Zoom classes.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Welcome back -Review	Review of first semester themes
Week 2	What are you doing?	activities, time
Week 3	time Family, Neighborhoods, Quiz	telling time relations ,places, functions of place,etc., Quiz -activities, time
Week 4	work commute Apartments and houses	rooms, appliances, and furniture
Week 5	places people live	types- suburbs/countryside/cities
Week 6	Oral presentation preparation- structure Script review I	main points introduction/body/conclusion
Week 7	Script review II Presentation - physical elements	support body language and voice
Week 8	Where people live I Presentation - slide work	apartments backgrounds
week 9	Where people live II Presentation- visuals I	houses fonts
week 10	Work habits Presentation - visuals II	images
week 11	Job types	outdoor, indoor
week 12	Oral Presentations on commuting	public transport, car, on foot

week 13	Oral Presentations on living places	houses, apartments, rooms
week 14	Oral Presentations on where our parents work	companies, hotels, restaurants, stores, government

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students should preview google classroom activities and preview vocabulary listed.

【テキスト（教科書）】

Interchange Intro fifth Edition by Jack Richards
9781316620113

【参考書】

Handouts and text

【成績評価の方法と基準】

Class participation 33%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Oral presentation and quiz 34%

Homework 33%

For all English courses on Ichigaya campus, the guideline is as follows: "In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

More written video work desired.

【学生が準備すべき機器他】

paper, writing material, smartphone or PC

【その他の重要事項】

Email contact

walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will learn English using 4 skill areas (reading, writing, speaking, and listening).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

小堀 洋

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

4技能のバランスの良い学習効果を念頭に置きつつ、主として音声上の英語運用能力を養う。情報の受容から発信へのプロセスを重視する。

具体的には、英語によるプレゼンテーションの方法を学びます。英語の文章構造は日本語のそれとは異なります。英語の論理を学ぶことで、論理的な思考方法とそれに基づいた意見の表明の仕方を身につけます。

単なるツールとしての英語ではなく、日本語とは異なるものの見方としての英語を学びます。そうすることで、日本語という言葉の中で生きている自分たちがどのような存在なのか考えてみたいと思います。

【到達目標】

当授業ではプレゼンテーションを行うことを主としているので、人前で話をするできるようになります。そして、単に人前で話すだけではなく、どうしたら聞き手に話しかけ、聞き手を説得し、納得させることができるかがわかるようになります。英語の論理構造を知り、それを使うことができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

できるだけ多くの機会にクラスメートとペアで、あるいは一人で、発表のための原稿を作り、発表します。また、そのための方法を学びます。したがって、授業は、講義と演習、発表を取り混ぜたものになります。

授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。さらに、リアクションペーパーや課題等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

課題等の提出は「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	ガイダンス クラスメート紹介	オリエンテーション：シラバスに基づき講義内容を説明する。クラスメートにインタビューし、それをまとめて発表する。
第2回	尊敬する人・好きな人	自分が尊敬する人・好きな人は誰かを考えて、その理由などをまとめてみる。
第3回	リスニング	プレゼンテーションのイントロとコンクルージョンを聞き、それらの内容を理解し、さらにそれぞれの構成の仕方を学ぶ。
第4回	リスニング	プレゼンテーションのボディー部分を聞き、その内容を理解し、さらにその構成の仕方を学ぶ。
第5回	プレゼンテーション 原稿の作成	自分が尊敬する人・好きな人に関するプレゼンテーションの原稿を書く。

第6回	プレゼンテーション	各自が尊敬する人・好きな人に関するプレゼンテーションをするだけでなく、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、良いところと、改善できるところをまとめる。
第7回	英会話（リスニング）	日常的な内容の英会話のリスニングを行う。
第8回	ツアー・休暇の過ごし方を提案する	自分が思う最高・最良のツアーや休暇の過ごし方を考え、話し合う。
第9回	リスニング	ツアーや休暇の過ごし方に関するプレゼンテーションのイントロとコンクルージョンを聞き、それらの内容を理解し、さらにそれぞれの構成の仕方を学ぶ。
第10回	リスニング	ツアーや休暇の過ごし方に関するプレゼンテーションのボディー部分を聞き、その内容を理解し、さらにその構成の仕方を学ぶ。
第11回	プレゼンテーション 原稿の作成	ツアーや休暇の過ごし方を提案するプレゼンテーションの原稿を作成する。
第12回	プレゼンテーション	各自がツアーや休暇の過ごし方に関するプレゼンテーションをするだけでなく、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、良いところと、改善できるところをまとめる。
第13回	英会話	クラスメートとともに日常的な会話を英語で行う。
第14回	試験・まとめと解説	これまでの授業で学んだプレゼンテーションの構成方法を用いて筆記試験（エッセイ・ライティング）を行う。・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを事前に読み内容を理解しておく。
授業中に指示された課題を、次の授業までに行っておく。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Present Yourself 2 Viewpoints, Cambridge University Press.

【参考書】

『マーフィーのケンブリッジ英文法』（中級編）第3版、ケンブリッジ大学出版。
英語を理解する上で重要な文法を理解するのにとても役立ちます。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、期末試験（30%）、授業内プレゼンテーション（50%）の合計で評価します。60点以上で合格です。

4回以上欠席すると単位は与えられませんので注意してください。毎回授業のはじめに出席カードを配りますので、その時に教室にいない学生は欠席とみなします。また、公共交通機関の遅延等を除いた遅刻も欠席とします。公共交通機関の遅延等の場合は遅延証明証を持参してください。

【学生の意見等からの気づき】

本授業は学生の皆さんの積極的な参加を求めます。
学生一人ひとりが発表するだけでなく、発表を聞くことも重要な授業の一部となっています。
皆さんが積極的に授業に参加するほど本授業はより内容の濃いものとなりますので、積極的に楽しんで授業に参加してください。

【その他の重要事項】

授業時間の前後に、教室にて学生からの質問等を受けます。
授業には必ず辞書を持参してください。

【Outline (in English)】

授業の概要（Course outline）

In this class, you develop mainly listening and speaking ability. specifically, you will learn how to give a presentation.

First, you will understand the way of organizing a presentation.

This will include how to make an introduction, a body paragraph, and a conclusion which constitute a presentation.

Then, you will make and give a presentation on a specific topic.

By doing so, you understand the difference between Japanese and English and learn how to think logically.

In other words, you find English not as a tool but a point of view so that you get a chance to think who you are.

到達目標(Learning Objectives)

1:The goals of this course are to understand the structure of essay, to be able to write essays, and give presentations.

授業時間外の学習(Learning activities outside of classroom)

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

成績評価の方法と基準(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 20%、Presentations : 50%、in class contribution: 20%、assignments: 10%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

小堀 洋

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

4技能のバランスの良い学習効果を念頭に置きつつ、主として音声上の英語運用能力を養う。情報の受容から発信へのプロセスを重視する。

具体的には、英語によるプレゼンテーションの方法を学びます。英語の文章構造は日本語のそれとは異なります。英語の論理を学ぶことで、論理的な思考方法とそれに基づいた意見の表明の仕方を身につけます。

単なるツールとしての英語ではなく、日本語とは異なるものの見方としての英語を学びます。そうすることで、日本語という言葉の中で生きている自分たちがどのような存在なのか考えてみたいと思います。

【到達目標】

当授業ではプレゼンテーションを行うことを主としているので、人前で話をするできるようになります。そして、単に人前で話すだけではなく、どうしたら聞き手に話しかけ、聞き手を説得し、納得させることができるかがわかるようになります。英語の論理構造を知り、それを使うことができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

できるだけ多くの機会にクラスメートとペアで、あるいは一人で、発表のための原稿を作り、発表します。また、そのための方法を学びます。したがって、授業は、講義と演習、発表を取り混ぜたものになります。

授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。さらに、リアクションペーパーや課題等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

課題等の提出は「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 今時の若者	オリエンテーション：シラバスに基づき講義内容を説明する。自分たちのライフスタイルなどに関するインタビューを考え、クラスメートにインタビューし、それをまとめる。
第2回	リスニング	今時の若者に関するプレゼンテーションのイントロとコンクルージョンを聞き、それらの内容を理解し、さらにそれぞれの構成の仕方を学ぶ。
第3回	リスニング	今時の若者に関するプレゼンテーションのボディー部分を聞き、その内容を理解し、さらにその構成の仕方を学ぶ。

第4回	プレゼンテーション	今時の若者に関するプレゼンテーションを実践する。また、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、それぞれの良いところと改善できるところを発表者に伝える。
第5回	英会話（リスニング）	日常的な内容の英会話のリスニングを行う。
第6回	説明しよう！	自分が知らないことについて考え、調べ、まとめる。
第7回	リスニング	物事を説明するプレゼンテーションを聞き、その内容を理解して、構成を学ぶ。
第8回	プレゼンテーション	各自が関心を持っている事を説明するプレゼンテーションを実践する。また、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、それぞれの良いところと改善できるところを発表者に伝える。
第9回	英会話（会話）	クラスメートとともに日常的な会話を英語で行う。
第10回	自分の意見をいう	何かに対して賛成か反対か、自分の態度を決め、その理由を述べるために考える。
第11回	リスニング	自分の意見を述べているプレゼンテーションを聞き、その内容を理解して、構成を学ぶ。
第12回	プレゼンテーション	自分の意見を述べるプレゼンテーションを実践する。また、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、それぞれの良いところと改善できるところを発表者に伝える。
第13回	英会話（会話とリスニング）	クラスメートとともに大学のキャンパスで使う英会話を行う。また、同様の内容の英会話のリスニングを行う。
第14回	試験・まとめと解説	これまでの授業で学んだプレゼンテーションの構成方法を用いて筆記試験（エッセイ・ライティング）を行う。・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを事前に読み内容を理解しておく。

授業中に指示された課題を、次の授業までに行っておく。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Present Yourself 2 Viewpoints, Cambridge University Press.

【参考書】

『マーフィーのケンブリッジ英文法』（中級編）第3版、ケンブリッジ大学出版。

英語を理解する上で重要な文法を理解するのにとても役立ちます。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、期末試験（30%）、授業内プレゼンテーション（50%）の合計で評価します。60点以上で合格です。

4回以上欠席すると単位は与えられませんので注意してください。毎回授業のはじめに出席カードを配りますので、その時に教室にいない学生は欠席とみなします。また、公共交通機関の遅延等を除いた遅刻も欠席とします。公共交通機関の遅延等の場合は遅延証明証を持参してください。

【学生の意見等からの気づき】

本授業は学生の皆さんの積極的な参加を求めます。

学生一人ひとりが発表するだけでなく、発表を聞くことも重要な授業の一部となっています。

皆さんが積極的に授業に参加するほど本授業はより内容の濃いものとなりますので、積極的に楽しんで授業に参加してください。

【その他の重要事項】

授業時間の前後に、教室にて学生からの質問等を受けます。

授業には必ず辞書を持参してください。

【Outline (in English)】

授業の概要 (Course outline)

In this class, you develop mainly listening and speaking ability. Specifically, you will learn how to give a presentation.

First, you will understand the way of organizing a presentation.

This will include how to make an introduction, a body paragraph, and a conclusion which constitute a presentation.

Then, you will make and give a presentation on a specific topic.

By doing so, you understand the difference between Japanese and English and learn how to think logically.

In other words, you find English not as a tool but a point of view so that you get a chance to think who you are.

到達目標 (Learning Objectives)

1: The goals of this course are to understand the structure of essay, to be able to write essays, and give presentations.

授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 20%、Presentations : 50%、in class contribution: 20%、assignments: 10%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The course will develop students ability to communicate in Spoken and Written English. Students will be able to discuss topics and practice skills including: Asking for and giving opinions, Giving reasons and Asking questions. Students will also practice techniques to maintain a conversation. Students will also practice using voice modulation to help communicate content words in an on-line presentation. In addition, students will practice writing paragraphs in an academic style using: Topic sentences with main idea, Supporting ideas with Details and Conclusion. Students will practice using contemporary meeting and presentation applications to achieve the goals.

【到達目標】

This course will enable the student to communicate his/her thoughts, in written format and in spoken language, to a given audience. The course will cover paragraph development and organization. Students will be encouraged to express their opinion in spoken English giving reasons and asking questions.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will participate in pair and group activities to practice reading, speaking and listening skills. Students will practice writing logically organized paragraphs using the basic paragraph structure: Topic sentence, Supporting sentences, Conclusion.

We will watch some short on-line video presentations to compare the spoken format to the written format.

All assignments will be issued, submitted and returned in digital format via Google Classroom. All written assignments will be returned with detailed comments showing how students can improve their writing skills. We will use Artificial Intelligence applications (OpenAI, Gemini, DeepSeek etc.) to generate written assignments and analyze the results.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction of Course /Google Classroom /Policies.	Introduction of English Writing, assignments and assessment.
2.	Vacations	Vocabulary of vacations and small group discussion. Giving an opinion.
3.	Vacations: Listening	Listening to expressions to give an opinion. Shadowing with Audio and Text.
4.	Vacations: Group Discussion	Small group discussion and planning a vacation

5.	Vacations: Writing	Basic paragraph structure using Adjectives: Topic Sentence, Supporting ideas, Concluding sentence.
6.	Part-Time jobs:	Vocabulary and discussion of part-time jobs.
7.	Part time jobs: Listening	Listening to expressions to give reasons. Shadowing with Audio and Text.
8.	Part time jobs: Group discussions	Small group discussions and giving advice about part time jobs. Negative and Tag Questions
9.	Part time jobs: Writing	Vocabulary and discussion of future actions. Introduce Clancy presentation.
10.	Hopes and Dreams:	Audio and Text. Closed/Open/ Choose/Negative/Tag questions.
11.	Hopes and dreams: Listening. Contrast structures.	Introduce ChatGPT and other AI Text generators. Write instructions to create a Contrast Paragraph about Clancy.
12.	Hopes and Dreams: Group discussion	Discussion of future plans. Prepare a paragraph.
13.	Hopes and Dreams: Writing	Group Presentations with Metre and Rhythm.
14.	BBC Ideas Video	Watch a BBC Ideas video and complete a worksheet.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

2 Homework assignments writing different styles of paragraph.

All assignments must be written in digital format and submitted via Google Classroom.

Students must complete an on-line word puzzle (Wordle) assignment at least 8 times and submit the results.

Students must complete a weekly assignment of 75 Experience Points (XP).

Students will be required to work in groups of 3 or 4 to prepare a spoken presentation of a popular poem to practice Rhythm and Metre in speech.

To assist in providing feedback, Google Docs format is required. Students will be required to preview the lyrics of 6 short ballads and complete a short multiple choice worksheet.

【テキスト（教科書）】

The English Course "Discussion Book One", Gary Ireland and Max Woolerton. Available on-line from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the カタログ and search for DB1. A CD is not required but you might like to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company ¥ 3,000 to access The Study Centre. Also available at the bookshop on campus.

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Written Homework Assignment: 20%

Worksheet Assignments: 10%

Participation: 10%

On-line Tests: 12%

On-line Exercises/Tasks: 12%

Duolingo Activity: 14%

Group Presentation: 12%

Word Games: 10%

Attendance: In Principle: no more than 3 absences are allowed to achieve a Credit grade for this course.

【学生の意見等からの気づき】

Changes made to include use of new technology: Generative Artificial Intelligence and Language Acquisition applications.

【学生が準備すべき機器他】

A portable electronic device, laptop or tablet is best. Smartphones are only acceptable for unavoidable situations. Hosei Gmail account details will be required. We will use Hosei University wi-fi service.

【その他の重要事項】

We will use Google “Classroom” to send, submit and record Written and Worksheet assignments. Students will be required to join the subject using Google “Classroom”. Please download Google Classroom to your device before our first class. The “Classroom” Course code will be advised, via the university Hoppii system, in April. Students are expected to check their Hosei Gmail account at least once per week.

【Outline (in English)】

The course will develop students ability to communicate in Spoken and Written English. Students will be able to discuss topics and practice skills including: Asking for and giving opinions, Giving reasons and Asking questions. Students will also practice techniques to maintain a conversation. Students will also practice using voice modulation to help communicate content words in an on-line presentation. In addition, students will practice writing paragraphs in an academic style using: Topic sentences with main idea, Supporting ideas with Details and Conclusion. Students will practice using contemporary meeting and presentation applications to achieve the goals.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will participate in pair and group activities to practice speaking and presentation skills. Students will prepare a short essay with multiple paragraphs that have unity and cohesion. Students will be able to generate and analyze an Academic style essay.

【到達目標】

Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in the written form.

Students will learn how to effectively participate in and facilitate discussions through: 1) Asking for and giving opinions, 2) Agreeing and Disagreeing and 3) supporting their reasons. Students will also practice making on-line presentations and speeches using contemporary software applications. The course will also help students acquire effective listening skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Listening and speaking: Students will be required to participate in pair and group discussions of issues related to their everyday opinions, knowledge and experience.

Writing: Students will be taught the basic structure of Academic-style essays: Grammatical devices will be taught, as appropriate, for different paragraph types to achieve Unity. Students will generate an essay and analyze it to identify: an Introduction and Thesis statement, 2-3 body paragraphs and a Concluding paragraph.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Introduction of goals for semester 2.	Review of Semester 1 Objectives and achievements. Join Classroom
Class 2	Eating Out: Understanding Criteria	Small group discussion. Vocabulary for criteria
Class 3	Eating Out.	Listening and shadowing. Where does English come from?
Class 4	Eating out.	Group task: Grade a restaurant using criteria. Why is English the International language of Trade?
Class 5	Eating Out.	Writing: Prepare an Essay outline about a Topic.

Class 6	Family: Agreeing and Disagreeing	Small group discussions. Essay Structure Introduction, Body Conclusion Thesis statement
Class 7	Family	Listening and Shadowing. Ballad Groups: Prepare a ballad presentation
Class 8	Family.	Using expressions for agreeing and disagreeing. Ballad preparation
Class 9	Family:	Role Play a family problem. Writing: Cohesive Body paragraphs
Class 10	Interests: Supporting your reasons.	Small group discussions and Vocabulary. Ballad Presentation preparation.
Class 11	Interests	Listening and shadowing. Using supporting sentences in speech and writing.
Class 12	Interests	Writing: Conclusion paragraphs. Final Ballad Preparation
Class 13	Presentation	Groups present their Ballad Presentations to the class.
Class 14	Final Presentations and Review	Groups present their Ballad Presentations to the class.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students will be required to generate an Academic Essay and then identify the components of each paragraph. Students will then condense the Essay to an outline and check it for unity.

Students will be required to complete a series of word puzzles to develop their vocabulary.

Students will be required to complete online Tests and Exercises for each Unit of the text that is completed.

Students will prepare a presentation of a Ballad of their choice in small groups.

Students will be required to complete about 30 minutes of online English practice each week.

【テキスト（教科書）】

The English Course "Discussion Book One" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the カタログ and search for DB1. A CD is not required but you might like to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company ¥ 3,000 to access The Study Centre.

【参考書】

To be advised during course

【成績評価の方法と基準】

Homework written assignments: 20%

On-line Tests: 12%

Online Exercises/Tasks: 12%

Participation: 10%

Presentation: 12%

Video Worksheets: 10%

Vocabulary puzzles: 10%

On-line English practice: 14%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

2022: New Text-book and course structure. More focus on speaking.

2023: Practice using Generative Artificial Intelligence applications. Word puzzles to develop vocabulary.

2024: Added on-line English practice (Duolingo).

【学生が準備すべき機器他】

A tablet or laptop device is strongly encouraged (Smartphones are only acceptable in unplanned situation). Students should have access to Japanese-English and English-English e-dictionaries or Wikipedia. Paper and pens/pencils are rarely required.

【その他の重要事項】

We will use "Google Classroom" to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using "Google Classroom". Please download "Google Classroom" from the Google store before the first lesson. The Course code for the class will be advised via the university Learning Management System.

【Outline (in English)】

Students will participate in pair and group activities to practice speaking and presentation skills. Students will prepare a short essay with multiple paragraphs that have unity and cohesion. Students will be able to generate and analyze an Academic style essay.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

MICHAEL DONOVAN

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Each week students work through a topic that uses authentic native speaker English. This will enable students to experience native English and improve their knowledge of native speaker English culture.

【到達目標】

This course will enable students to attune themselves to native English using a range of materials. It will improve their ability to understand authentic English and increase their overall confidence in the target language.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Direct method will be used. All lessons are conducted in English with the bare minimum of Japanese used for the sake of expediency. Language points will be presented, practised and then used in freer, interactive activities in pairs and groups and sometimes as an individual presentation. Vocabulary and new expressions are introduced in each class. There will be plenty of opportunity for students to utilize target language and expressions. Active participation is essential for the success of the course.

Students can contact the instructor at anytime 7 days a week directly on zoo57@yahoo.com (ID yourself clearly Hosei /Name /Number)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course details explanation. An explanation of course contents and grading. Self introductions.	Think about your self introduction in English and think of any questions you might have about the course.
2	Japan Culture Quiz	Answer a quiz and make a similar quiz in English about Japanese culture.
3	Letter Correction	Identifying and correcting typical mistakes in a letter and composing a reply.
4	Mini Car video	History of the Mini car video and exercises. Using passive tenses. Q &A.
5	International Culture Quiz	Answer a quiz and make a similar quiz in English about international culture.
6	Japan Times newspaper front page	Answering and asking questions based on the front page news of the Japan Times newspaper.

7	Midway review	How are you doing? Talking about what's happening and what you have been doing.
8	Sherlock Holmes video	Video and associated exercises on the famous fictional character Sherlock Holmes. Past tenses, descriptions of people.
9	Mousetrap	Talking about systems and processes using passive tenses. Designing a mousetrap.
10	Purple Violin video	Video and associated exercises on an unusual street musician. Talking about interests and hobbies.
11	UFO stories I	Narratives, telling stories. Using pictures to make an interesting story about a UFO.
12	UFO stories II	Narratives, telling stories. Using pictures to make an interesting story about a UFO.
13	The near future	Talking about the future, plans and possibilities.
14	End of term review and consolidation	Review and consolidation. Q &A on past term and next term.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. All materials will be available online. Each assignment contains specific instructions and details relating to preparation and review. Some assignments require specific preparation and will be explained beforehand. Others will require follow up, again explained as and when needed. All preparation, review exercises, further reading and additional information will be provided in the worksheet or as web links. Details will be provided as we progress depending on how things develop.

【テキスト（教科書）】

Materials are provided by the teacher.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

In class participation - 50%

Assignments and quizzes - 50%.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Best of all talk to me in class.

Students can also contact me directly on zoo57@yahoo.com at any time.

ID yourself clearly Hosei /Your name and number (in English) Communicate in English only please.

【学生が準備すべき機器他】

None

【その他の重要事項】

Students can contact me at anytime 7 days a week directly on zoo57@yahoo.com (ID yourself clearly Hosei /Name /Number) If you have a problem, please ask.

【Outline (in English)】

Each week students work through a topic that uses authentic native speaker English. This will enable students to experience native English and improve their knowledge of native speaker English culture.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

MICHAEL DONOVAN

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Each week students work through a topic that uses authentic native speaker English. This will enable students to experience native English and improve their knowledge of native speaker English culture.

【到達目標】

This course will enable students to attune themselves to native English using a range of materials. It will improve their ability to understand authentic English and increase their overall confidence in the target language.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Direct method will be used. All lessons are conducted in English with the bare minimum of Japanese used for the sake of expediency. Language points will be presented, practised and then used in freer, interactive activities in pairs and groups and sometimes as an individual presentation. Vocabulary and new expressions are introduced in each class. There will be plenty of opportunity for students to utilize target language and expressions. Active participation is essential for the success of the course.

Students can contact the instructor at anytime 7 days a week directly on zoo57@yahoo.com (ID yourself clearly Hosei /Name /Number)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	From summer until now	Talking about the holidays, things you did and didn't do.
2	Romance story	Narratives, telling a story, vocabulary and grammar exercises. Creating a story.
3	International News Quiz	Asking and answering questions on recent international news stories.
4	Jogging	Picture story. Narratives, vocabulary and grammar exercises. Creating and telling a story.
5	How We Met	Listening, Q & A, talking about first meetings.
6	Money	Picture story. Narratives, vocabulary and grammar exercises. Creating and telling a story.
7	Midway review	How are you doing? Talking about what's happening and what you have been doing.

8	Cultural Differences	Cultural differences. Giving advice to a first time traveller in Japan.
9	The future	Talking about the future. Possibilities, probability. What will and won't happen.
10	BBC video	Video on the history of the BBC and related exercises.
11	Japan News Quiz	Asking and answering questions on recent news stories in Japan.
12	Books, movies, music	Talking about interests and favourites.
13	Reunion	Picture story. Narratives, vocabulary and grammar exercises. Creating and telling a story.
14	End of term review and consolidation	Review and consolidation. End of term activities.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. All materials will be available online. Each assignment contains specific instructions and details relating to preparation and review. Some assignments require specific preparation and will be explained beforehand. Others will require follow up, again explained as and when needed. All preparation, review exercises, further reading and additional information will be provided in the worksheet or as web links. Details will be provided as we progress depending on how things develop.

【テキスト（教科書）】

Materials are provided by the teacher.

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

In class participation - 50%

Assignments and quizzes - 50%.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Talk to me in class. Students can also contact me directly on zoo57@yahoo.com at any time. ID yourself clearly Hosei /Your name and number (in English) Communicate in English only please.

【学生が準備すべき機器他】

None

【その他の重要事項】

Students can contact me at anytime 7 days a week directly on zoo57@yahoo.com (ID yourself clearly Hosei /Name /Number) If you have a problem, please ask.

【Outline (in English)】

Each week students work through a topic that uses authentic native speaker English. This will enable students to experience native English and improve their knowledge of native speaker English culture.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

Richard J Burrows

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Through a variety of stimulating topics and a number of different writing techniques, students will be challenged to improve their compositional skills to a satisfactory academic level.

【到達目標】

To produce competent written assignments in English, students need to be able to generate ideas & organize them on paper, create the various paragraph types that are used in writing assignments and order & link paragraphs into cohesive & coherent essays. This course will provide students with a variety of stimulating writing tasks, plenty of practice to help students master each stage of the writing process & models of writing that are based on real assignments. In addition to format, grammar & punctuation review, students will be helped through the transition from paragraph structuring to basic essay composition.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will cover a separate writing skill, grammatical structures & vocabulary required.

Students will be able to read samples before practicing various writing tasks.

Writing assignments will be set as homework and must either be uploaded, or printed on A4 paper before the deadline.

Individual reports will be checked & graded by the instructor & returned to each student on a one-to-one basis with additional comments or advice.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductory Class	Textbook introduction, required material guidance and class schedule. Pairwork self-introductions.
Week 2	Writing - Format & Process	Essential features of an academic report layout & the thought process of writing an essay
Week 3	Writing - Pre-Writing	Topic selection, brainstorming & editing.
Week 4	Writing - The Structure of a Paragraph	Topic sentence, supporting points & concluding sentence
Week 5	Writing - The Development of a Paragraph	Using details, an explanation or an example to construct a paragraph

Week 6	Writing - Descriptive Paragraphs	Describing places & people using adjectives & prepositions of position. Pairwork discussion of places & locations
Week 7	Writing - Process Paragraphs	Use of Transition words/ Conjunctions & the imperative verb form
Week 8	Writing - Opinion Paragraphs	Opinions vs facts & causative adverbs. Classmate opinion interviews
Week 9	Writing - The Structure of an Essay	Introduction, body paragraphs & conclusion
Week 10	Writing - Thesis Statements	Effective construction of a thesis statement
Week 11	Writing - Outlines	Correct outline format & common errors
Week 12	Writing - Problem/ Solution Writing	Use of the first conditional & linking phrases
Week 13	Writing - Introductions & Conclusions	How to write effective opening & closing paragraphs
Week 14	Writing - Comparison & Contrast Writing	Explaining similarities & differences

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare homework prior to each class on a weekly basis. In addition, regular reports will be assigned which will require around 2 hours of work & must either be uploaded or printed on A4 paper, before the deadline. No more than 3 absences will be permitted. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】

'Writing Essay's by Dorothy E. Zemach & Lisa A. Ghulldu. Publisher: Macmillan Language House

【参考書】

An electronic or smartphone dictionary, or dictionary app is required at every lesson.

【成績評価の方法と基準】

Grades will be decided according to the following criteria:

30%- Participation & Punctuality

40%- Course Work

30%- Term-End Report

Feedback including corrections & a grade for each report will be given to students individually during lesson time.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Online access to the course materials will allow to students to both preview & review class work.

【学生が準備すべき機器他】

Access to a PC & Printer in order to prepare & upload, or print reports.

A smartphone can ONLY be used as a dictionary, not to study course materials or submit homework

【その他の重要事項】

Regular attendance is required, a willingness to practice & improve your English writing skills, and submit assignments on time.

【Outline (in English)】

This course allows students to proceed step by step through the writing process, from paragraph to essay, acquiring the necessary skills to produce reports suitable for the academic environment

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

Richard J Burrows

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Through the lives of 2 young people growing up in present day United Kingdom, we will look at the difficulty of fulfilling your talent and ambition in a challenging environment. Issues such as sexism, racism & homophobia will be examined, while students will be introduced to new & challenging vocabulary, and be able to extensively practice their audio-visual skills.

【到達目標】

1. To give students the opportunity to discuss & analyze issues related to growing up and education in a different culture & environment.
2. To expose students to everyday spoken English through the film's dialogue and weekly pairwork practice.
3. To introduce students to new vocabulary, and offer practice in sentence structure responses.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course is based on 2 recent films that explore the subject of growing up with a talent or gift and struggling to fulfill it in hostile circumstances. In 'Billy Elliot', students will focus on growing up in contemporary northern England with a story about a boy with a talent for ballet at the time of the miners' strike of the 1980s. In 'Bend It Like Beckham', focus will shift to an Indian girl growing up in a traditional family in a multi-cultural community with a talent for playing soccer.

Each week students will be assigned a reading passage, with both vocabulary & comprehension questions, in preparation for the following lesson. In addition, students will be required to prepare relevant vocabulary and preview themes that will be raised in that lesson's segment. After viewing two 10+ minute segments of the film, students will complete pairwork comprehension questions and analyze a piece of dialogue. Students will be assigned an additional reading passage & vocabulary exercise as homework as well as completing a review of what has been seen and discussed in the lesson.

Individual reports will be checked & graded by the instructor & returned to each student on a one-to-one basis with additional comments or advice.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Review & Preview	Review the previous semester & summer vacation, explain about new semester
Weeks 2	Speaking & Listening: Billy Elliot 1 (The Ballet Class):	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,

Week 3	Speaking & Listening: Billy Elliot 2 (The Private Lesson)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 4	Speaking & Listening: Billy Elliot 3 (Family Trouble)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 4	Speaking & Listening: Billy Elliot 4 (The Audition)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 5	Speaking & Listening: Billy Elliot 5 (Leaving Home)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 6	Writing: Billy Elliot Report	Mid-Term Evaluation
Week 7	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 1 (Jess & her family)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 8	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 2 (Playing for the Team)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 9	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 3 (Trouble in Germany)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 10	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 4 (Jess vs Jules)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 12	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 5 (The Final Match)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 13	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 6 (Going to America)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 14	Writing: Bend It Like Beckham	Final Evaluation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be expected to spend approximately 1 hour on each weekly reading assignment, and 30 minutes to prepare vocabulary & review the previous lesson's material, prior to each class. In addition, students will have to write a 1,200 word report for each film. No more than 3 absences will be permitted. University guidelines suggest preparation around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No set text is required. However, since all materials will be available online, students must either download & print, or download and have ready on their laptop or tablet device, the required files before the lesson begins.

【参考書】

An electronic or smartphone dictionary, or dictionary app is required at each lesson.

【成績評価の方法と基準】

Grades will be decided according to the following criteria:

30%- Participation & Punctuality

30%- Classroom & Homework Assignments

40%- Mid-term Written Assignment & Final Evaluation

Student will receive feedback & guidance on each report.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased time will be allocated to allow students to complete the listening comprehension questions with their partner, while online access to the course materials will allow to students to both preview & review class work.

【学生が準備すべき機器他】

Students will require a laptop or tablet device with a reliable internet connection, in order to download materials , and to prepare and either upload or print reports.

A smartphone can ONLY be used as a dictionary, not to study course materials or submit homework

【その他の重要事項】

Since these films follow a story, regular attendance is essential to understanding each lesson, and getting maximum benefit from the course.

【Outline (in English)】

As students enter university, they are faced with questions about their identity & future. Both of these films seek to offer guidance & encouragement on what is possible for young people with clear aims & sufficient determination to see their goals realized.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

井上 紗央里

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

映画教材を使用し、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの演習を行います。特にスピーキングやライティングを通して自分の意見を英語でアウトプットできるようになることを重視します。

【到達目標】

1. 映画の視聴を通して英語の音声に慣れリスニング力を強化する。
2. 映画スクリプトの読解を通して英語の文法、語彙力を強化する。
3. 映画で使用される会話表現を身に着けることで自分の意見を英語で述べられるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は講義と演習形式。授業では、英語の発音練習、語彙、演習問題の答え合わせ、リスニング練習、映画のスクリプトの読解、会話練習を行います。演習の答え、ニュースの内容などについて適宜受講生に質問をするので、その質問に答えられるように事前に予習が必要です。適宜学習支援システムから課題を出題します。フィードバックには学習支援システムとE-mailを使用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明と評価について、テキストの紹介
2	映画視聴と会話練習①	映画視聴(前半)とスクリプトを使用した会話練習
3	Unit 1 前半	Unit 1 Reading, Reading Comprehension, Expressions
4	Unit 1 後半	Unit 1 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing
5	Unit 2 前半	Unit 2 Reading, Reading Comprehension, Expressions
6	Unit 2 後半	Unit 2 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing
7	Unit 3 前半	Unit 3 Reading, Reading Comprehension, Expressions
8	Unit 3 後半	Unit 3 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing
9	映画視聴と会話練習②	映画視聴(後半)とスクリプトを使用した会話練習
10	Unit 4 前半	Unit 4 Reading, Reading Comprehension, Expressions
11	Unit 4 後半	Unit 4 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing
12	Unit 5 前半	Unit 5 Reading, Reading Comprehension, Expressions

13 Unit 5 後半

Unit 5 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing

14 期末試験とまとめ

第1回から13回までの授業内容を試験範囲とします。学期全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの演習問題やReading Scriptを事前に予習してきてください。受講者が予習をしていることを前提にスクリプトのディクテーション、内容理解、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの演習問題の一部を宿題として学習支援システムから出題します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Active English through Movies アクティブ・ラーニング型 映画で学ぶ英語4技能 塩見佳代子 /Matthew Coomber /宮林賀奈子 著 (金星堂2021) ISBN 978-4-7647-4125-6

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

試験50%、平常点（予習、授業内での発言等の貢献度、学習支援システムの課題提出）50%で評価します。欠席が4回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。遅刻や早退も減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

英作文や会話で自分の意見をアウトプットできる機会を増やしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際にPC、タブレットPC、スマートフォン等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

【その他の重要事項】

学習支援システムの授業ページに教員のメールアドレスを掲載するので連絡や質問がある場合はメールで連絡をお願いします。メールを送る際は法政のアドレスから送り「授業曜日、時限、学籍番号、氏名」を件名に明記してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, speaking, writing, and listening skills through watching movies in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills for outputting their opinions in English. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (50%), In-class contribution and assignment submissions (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

井上 紗央里

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

映画教材を使用し、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの演習を行います。特にスピーキングやライティングを通して自分の意見を英語でアウトプットできるようになることを重視します。

【到達目標】

1. 映画の視聴を通して英語の音声に慣れリスニング力を強化する。
2. 映画スクリプトの読解を通して英語の文法、語彙力を強化する。
3. 映画で使用される会話表現を身に着けることで自分の意見を英語で述べられるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は講義と演習形式。授業では、英語の発音練習、語彙、演習問題の答え合わせ、リスニング練習、映画のスクリプトの読解、会話練習を行います。演習の答え、ニュースの内容などについて適宜受講生に質問をするので、その質問に答えられるように事前に予習が必要です。適宜学習支援システムから課題を出題します。フィードバックには学習支援システムとE-mailを使用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明と評価について、テキストの紹介
2	映画視聴と会話練習①	映画視聴(前半)とスクリプトを使用した会話練習
3	Unit 6 前半	Unit 6 Reading, Reading Comprehension, Expressions
4	Unit 6 後半	Unit 6 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing
5	Unit 7 前半	Unit 7 Reading, Reading Comprehension, Expressions
6	Unit 7 後半	Unit 7 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing
7	Unit 8 前半	Unit 8 Reading, Reading Comprehension, Expressions
8	Unit 8 後半	Unit 8 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing
9	映画視聴と会話練習②	映画視聴(後半)とスクリプトを使用した会話練習
10	Unit 9 前半	Unit 9 Reading, Reading Comprehension, Expressions
11	Unit 9 後半	Unit 9 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing
12	Unit 10 前半	Unit 10 Reading, Reading Comprehension, Expressions

13 Unit 10 後半

Unit 10 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing

14 期末試験とまとめ

第1回から13回までの授業内容を試験範囲とします。学期全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの演習問題やReading Scriptを事前に予習してきてください。受講者が予習をしていることを前提にスクリプトのディクテーション、内容理解、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの演習問題の一部を宿題として学習支援システムから出題します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Active English through Movies アクティブ・ラーニング型 映画で学ぶ英語4技能 塩見佳代子 /Matthew Coomber /宮林賀奈子 著 (金星堂2021) ISBN 978-4-7647-4125-6

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

試験50%、平常点（予習、授業内での発言等の貢献度、学習支援システムの課題提出）50%で評価します。欠席が4回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。遅刻や早退も減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

英作文や会話で自分の意見をアウトプットできる機会を増やしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際にPC、タブレットPC、スマートフォン等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

【その他の重要事項】

学習支援システムの授業ページに教員のメールアドレスを掲載するので連絡や質問がある場合はメールで連絡をお願いします。メールを送る際は法政のアドレスから送り「授業曜日、時限、学籍番号、氏名」を件名に明記してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, speaking, writing, and listening skills through watching movies in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills for outputting their opinions in English. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (50%), In-class contribution and assignment submissions (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

LASSEGARD JAMES

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Learning English for communicating in a global society. Students will study and improve all four English skills: Listening, Speaking, Reading and Writing.

【到達目標】

Students will practice and improve proficiency in all four language skills: Listening, Speaking, Reading, and Writing. How much students will improve is dependent on how much time they spend practicing and using English both inside and outside the classroom.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course is taught in English. Students will participate in a variety of activities that involves all four skills of reading, writing, listening and speaking. Activities include role play dialogues, pair and group discussions, and presentations based on short reading or audio-visual materials.

Feedback on students' performance will be given in class, as well as through written assignments in class and online using the University LMS (Hoppii) System. Students may also correspond with the instructor by e-mail.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.
2	Unit 1: Getting to Know Each Other	Dialogue & textbook activities: grammar explanation. Pair & group work
3	Unit 1 Video: Another Country	Video Worksheet activities. Paragraph Writing & assignment explanation.
4	Unit 2: The Way We Live	Writing assignment due. Reading and pair work: Practice asking questions.
5	Writing Improvement Instruction	Common grammar and preposition mistakes.
6	Unit 2 Video: New York City's Park in the Sky	Video listening practice; worksheet questions and research assignment
7	Location Research Report	Quiz on Units 1-2 vocabulary and grammar.
8	Unit 3: What Happened Next?	Practice past simple (questions and answers) in pair and group activities.

9	Unit 3: Telling a Story & Video	Past tense practice. Titanic video listening practice. Worksheet assignment.
10	Titanic Research Report	Students report research on video from previous week. Explanation of Song Journal activity.
11	Unit 4: The Marketplace	Reading comprehension and practice using "how much/many".
12	Unit 4 Pt. II	Song Journal writing due. Activities using polite language. Instruction on how to give effective presentations.
13	Mini-Presentations	Student give short presentations on various topics.
14	Course Wrap Up	Feedback on presentations. Final quiz on Units 3 & 4.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to read ahead in the textbook and complete exercises before the next class session.

University guidelines suggest preparation and review should be around one hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Liz and John Soars: American Headway Level 2 (3rd edition). Oxford University Press

Other handouts and materials related to course content will be distributed in class.

【参考書】

References: Always bring a (paper or electronic) dictionary to class.

【成績評価の方法と基準】

Class attendance & participation: 20%

Tests (Quizzes), writing assignments, presentations: 80%

Students are allowed up to 3 unexcused absences per semester.

Coming late to class twice = one absence

【学生の意見等からの気づき】

More attention in class will be paid to how to write logical, coherent, and grammatically correct paragraphs and essays in English.

【Outline (in English)】

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

LASSEGARD JAMES

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Learning and Using English for Global Communication: This course is designed to develop the language skills necessary for students to express themselves in English.

【到達目標】

Students will improve in all four language skills: listening, speaking, reading and writing. How much they improve will depend on how much effort students make inside and outside the classroom.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be given entirely in English. Students will participate in a variety of activities that involves all four skills of reading, writing, listening and speaking. These activities include role playing dialogues, pair and group discussions, and presentations based on short reading or audio-visual materials. Students are expected to come to class prepared by doing the assigned reading and homework.

Feedback on students' performance will be given in class, as well as through written assignments in class and online using Google Classroom. Students may also correspond with the instructor using e-mail.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 5: What Do You Want to Do?	Course introduction; Review of grammar using summer vacation reports.
2	Unit 5: Future Activities	Future tense practice—questions and answers in pair and group work.
3	Unit 5 video: A Green City for the Future	Video Worksheet activities and discussion. Research assignment.
4	Energy and Conservation Reports	Students report on research. Begin Unit 6: Places and Things
5	Unit 6: What's it Like?	Practice on describing family with instruction on how to write an essay.
6	Unit 6: My Family—Similarities and Differences	Essays due. Unit 6 reading assignment and pair/group activities. Role play textbook dialogue.
7	Writing Instruction; Video: Scotland	Essay writing feedback; Video Worksheet activities, research assignment.

8	Unit 6 Report and Wrap-up	Quiz on Units 5 & 6. Pair presentation assignment: Interview and Country Report.
9	Countries & Culture	Instruction on giving effective presentations. Begin Unit 7: The World of Work! Present perfect and past simple practice.
10	Student Country Presentations	Speaking and listening practice. Q & A.
11	Unit 7: Careers and Jobs	Textbook Reading activities—Discussion in pairs and groups
12	Unit 7 Video: Two Famous Firsts	Video worksheet and supplemental activities; final essay assignment.
13	Unit 8: Do's and Don't's	Final Essay Due; practice giving advice (have to/should)
14	Units 7-8 Review and Wrap-up.	Return final essays. Quiz on Units 7 & 8.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to work ahead in the text by doing the readings and completing the activities assigned. Other homework assignments will be assigned in class.

University guidelines suggest preparation and review should be approximately one hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Liz and John Soars. American Headway 2 (3rd Edition).

Other handouts and materials related to course content will be distributed in class.

【参考書】

Students should bring a dictionary to class (paper or electronic dictionaries are acceptable).

【成績評価の方法と基準】

Class attendance & participation: 25%

Quizzes, short essays, individual and group presentations: 75%

【学生の意見等からの気づき】

More instruction will be provided on how to write short position statements and essays, as well as how to improve presentation skills.

【その他の重要事項】

In principle students are permitted only three unexcused absences during the semester. Two late notices are treated as one absence.

【Outline (in English)】

While attention will be given to all four skills, the emphasis is on oral communication, and so we spend considerable classroom time practicing listening and speaking skills. Students will also be given various writing assignments throughout the semester to practice expressing themselves in writing.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

ROBIN F WEICHERT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Practice and develop listening, speaking, reading, and writing skills with emphasis on communication in everyday and academic contexts. Students will engage with diverse content through textbook materials, videos, and extensive reading to build comprehensive English abilities.

【到達目標】

The course aims to develop students' overall English communication abilities. Students will:

- Learn to express themselves effectively in everyday and academic situations
- Build vocabulary and grammar skills through regular practice and extensive reading
- Develop presentation and discussion skills on various topics
- Improve reading fluency through graded readers and course materials
- Gain confidence in expressing opinions and plans in English

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course takes a learner-centered approach combining:

- Video presentations
- Pair and small group activities for speaking practice
- Individual and group presentations
- Extensive reading program using graded readers

Exercises will be done both in class and as homework, with several quizzes throughout the semester. Feedback on assignments and presentations will be given at the beginning or the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction & Unit 1 (Where We Live)	Course Overview and Extensive Reading Orientation, Introduction to Present Perfect, Talking about How Long/How Often
2	Unit 1 continued	Migration Push/Pull Factors, Where You're From vocabulary
3	Unit 1 continued	So...that grammar patterns, Giving Reasons and Explaining Results
4	Unit 1 completion	Quality of Life reading, Describing Places to Live
5	Unit 2 (The Mind's Eye)	Cognitive Milestones, Expressing Degrees of Liking
6	Unit 2 continued	Infinitives and -ing Forms, Discussing Mental Influences

7	Unit 2 continued	Using Could, May, and Might to discuss possibilities, Practice with Modal Verbs
8	Unit 2 completion	How Memories are Made reading, Describing Emotions
9	Unit 3 (Changing Planet)	Pollution vocabulary, Working with Large Numbers
10	Unit 3 continued	The Passive Voice, Discussing Causes and Effects
11	Unit 3 continued	Past Perfect, Climate Change Discussion, Presentation Guidelines and Structure, Practice and Peer Feedback, Final Preparation Time
12	Presentation Workshop	Workshop and rehearsal
13	Final Presentations	Remaining Presentations, Reading Log Submission, and Review, Course Review and Feedback
14	Course Wrap-up	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- Weekly textbook assignments and review (approximately 60 minutes)
 - Preparation for presentations and quizzes
 - Extensive reading using the university library's graded readers collection
 - Recommended goal: 70 minutes of reading per week, starting with books at an appropriate level (YL 0.8-2.4 for beginners)
 - Students should keep a simple reading log noting titles and approximate word counts
- University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Hughes, J., Chase, B. T., Johannsen, K. L., Lee, C., & Milner, M. World English, American English Combo Split 3A with Spark Access + e-Book (1 year access). National Geographic Learning /Cengage Learning. ISBN: 9798214085432

【参考書】

Recommended Graded Reader Series

- Start with:
 - ・ Oxford Reading Tree (YL 0.8-0.9): Picture-based, perfect for beginners
 - ・ Penguin Readers Easystarts (YL 0.8): Simple stories, many topics
- Progress to:
 - ・ Cambridge/Oxford/Macmillan Readers: Wide range of original and adapted stories
 - ・ Penguin Readers: Large selection including movie adaptations
- All series available in the university library (see: <https://hosei.libguides.com/tadoku>)

【成績評価の方法と基準】

- Class participation and homework: 25%
 - Unit quizzes: 25%
 - Presentations: 35%
 - Extensive reading: 15%(Based on reading logs and achieved word count goals)
- In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Students must bring their textbook to every class (教科書を必ず持参してください)

【その他の重要事項】

- Students are encouraged to follow the three principles of extensive reading:
 - ・ Choose easy books you can read without a dictionary
 - ・ Stop reading if the book is not interesting or too difficult
 - ・ Focus on reading for meaning rather than translation

【Outline (in English)】

This course is designed for students to practice and develop listening, speaking, reading, and writing skills. Students will study texts of diverse content, articulate own ideas and give short presentations.

The course aims to develop students' overall English communication abilities. Students will learn to express themselves effectively in everyday and academic situations, describe experiences and events, and explain opinions and plans. Through regular practice, students will improve their ability to structure and communicate ideas both orally and in writing. Outside of class, students are expected to review lessons and vocabulary, prepare short presentations, and complete writing assignments. The required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading will be based on participation in class activities and homework (25%), quizzes (25%), presentations (40%), and extensive reading (15%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

ROBIN F WEICHERT

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Building on English 2I, this course continues to develop listening, speaking, reading, and writing skills with emphasis on communication in everyday and academic contexts. Students will engage with diverse content through textbook materials, videos, and extensive reading to further strengthen their English abilities.

【到達目標】

The course aims to develop students' overall English communication abilities. Students will:

- Learn to express themselves effectively in everyday and academic situations
- Build vocabulary and grammar skills through regular practice and extensive reading
- Develop presentation and discussion skills on various topics
- Improve reading fluency through graded readers and course materials
- Gain confidence in expressing opinions and plans in English

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course takes a learner-centered approach combining:

- Video presentations
 - Pair and small group activities for speaking practice
 - Individual and group presentations
 - Extensive reading program using graded readers
- Exercises will be done both in class and as homework, with several quizzes throughout the semester. Feedback on assignments and presentations will be given at the beginning or the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 4 (The Good Life)	Money and Value vocabulary, Things You Value Discussion
2	Unit 4 continued	Infinitives and -ing Forms 2, Discussing Important People/Events
3	Unit 4 continued	The Passive Voice 2, Good Financial Habits
4	Unit 4 completion	Better Jobs reading, Expressing Agreement/Disagreement
5	Unit 5 (Survival)	Conditions of Species vocabulary, Natural Disasters
6	Unit 5 continued	Unreal Conditionals, Discussing How Things Could Be Different
7	Unit 5 completion	Using Wish and Hope, Discussing Rescues
8	Unit 6 (Art Matters)	Art vocabulary, Reporting Other People's Ideas
9	Unit 6 continued	Reported Speech, Expressing Opinions about Public Art
10	Unit 6 continued	Adjective Clauses, Types of Art Discussion
11	Unit 6 completed	Art Value Discussion, Creating Biographical Profiles
12	Presentation Workshop	Presentation Guidelines and Structure, Practice and Peer Feedback, Final Preparation Time
13	Final Presentations	Individual/Group Presentations, Peer Feedback and Discussion
14	Course Wrap-up	Remaining Presentations, Reading Log Submission and Review, Course Review and Feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- Weekly textbook assignments and review (approximately 60 minutes)
 - Preparation for presentations and quizzes
 - Extensive reading using the university library's graded readers collection
 - Recommended goal: 70 minutes of reading per week, progressing to more challenging levels
 - Maintaining reading log with cumulative word count totals
- University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Hughes, J., Chase, B. T., Johannsen, K. L., Lee, C., & Milner, M. World English, American English Combo Split 3A with Spark Access + e-Book (1 year access). National Geographic Learning/Cengage Learning. ISBN: 9798214085432

【参考書】

Recommended Graded Reader Series
Progress to more challenging levels in:
 ・ Cambridge/Oxford/Macmillan Readers
 ・ Penguin Readers
 ・ National Geographic Footprint Reading Library
 All series available in the university library
 (see: <https://hosei.libguides.com/tadoku>)

【成績評価の方法と基準】

- Class participation and homework: 25%
 - Unit quizzes: 25%
 - Presentations: 35%
 - Extensive reading: 15% (Based on reading logs and achieved word count goals)
- In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Students must bring their textbook to every class (教科書を必ず持参してください)

【その他の重要事項】

- Students are encouraged to follow the three principles of extensive reading:
 ・ Choose easy books you can read without a dictionary
 ・ Stop reading if the book is not interesting or too difficult
 ・ Focus on reading for meaning rather than translation

【Outline (in English)】

This course is designed for students to practice and develop listening, speaking, reading, and writing skills. Students will study texts of diverse content, articulate own ideas and give short presentations.

The course aims to develop students' overall English communication abilities. Students will learn to express themselves effectively in everyday and academic situations, describe experiences and events, and explain opinions and plans. Through regular practice, students will improve their ability to structure and communicate ideas both orally and in writing.

Outside of class, students are expected to review lessons and vocabulary, prepare short presentations, and complete writing assignments. The required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading will be based on participation in class activities and homework (25%), quizzes (25%), presentations (40%), and extensive reading (15%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

ERIC J RITTER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【到達目標】

Students will develop their skills to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Drawing attention to the basic paragraph structure (e.g. topic sentence, supporting sentences and concluding sentence), students will be required to learn how to write a logically organized paragraph, and then write a short essay with multiple paragraphs.

Students will learn how to effectively participate in and facilitate discussions and/or give presentations and speeches, depending on their English levels. The course will also help students acquire effective listening skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This is an in person class. Feedback will be provided during class and on Google classroom.

1. Reading articles from book.
2. Listening and watching audio/video.
3. Speaking and Role play in Pair & Groups.
4. Individual Presentations about a topic.
5. Writing paragraphs and short essay.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.
2	Unit 1: Lifestyles	Pair & group work. p. 4-5
3	Unit 1: Lifestyles	Pair & group work. p. 6-7. Homework: reading p. 9
4	Unit 2: Leisure	Review reading. Speaking and Listening p. 10-11. Homework: reading
5	Unit 2: Leisure	Review reading. Speaking & Listening p. 12-3. Homework: reading
6	Unit 3: Getting Along	Review reading. Pair and group work p.16-7. Homework: write an email p. 21
7	Unit 3: Getting Along	Review writing. Review for mid-term exam.

8	Midterm on Units 1-3	Written test on grammar and vocabulary.
9	Unit 4: Interests	Review email writing. Speaking & Listening activities p.24-5. Homework: reading p. 29
10	Unit 4: Interests	Review reading. Pair & group work p. 30-1. Homework: grammar
11	Unit 5: Telling a Story	Speaking & Listening work in pairs. p. 32-3. Homework: writing p. 35
12	Unit 5: telling a Story	Review writing. Pair & group work. p. 36-7. Homework: reading p. 41
13	Unit 6: Celebrations	Speaking & Listening activities. Review for Final Exam
14	Final Exam	Written test about grammar & vocabulary.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to read ahead in the textbook and complete activities before the next class session. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】

Miles Craven: Breakthrough Plus 2 (2nd edition). Macmillan Education

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Mid-term 25%

Final Exam 25%

Writing Assignments 25%

Presentation & Effort 25%

4 absences are allowed; 5 absences will fail unless proof of emergency and email me at eric.j.ritter.78@hosei.ac.jp before class. Feedback will be given in class and via Google classroom.

【学生の意見等からの気づき】

No feedback

【学生が準備すべき機器他】

Student need smartphone or ipad or pc. They also need to know how to use Google classroom and Hoppii.

【Outline (in English)】

This course will be given entirely in English. Students will participate in a variety of activities that involves all four skills of reading, writing, listening and speaking. These activities include role play dialogues, pair and group discussions, and presentations based on short reading or audio-visual materials.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

ERIC J RITTER

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【到達目標】

Students will develop their skills to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Drawing attention to the basic paragraph structure (e.g. topic sentence, supporting sentences and concluding sentence), students will be required to learn how to write a logically organized paragraph, and then write a short essay with multiple paragraphs.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will learn how to effectively participate in and facilitate discussions and/or give presentations and speeches, depending on their English levels. The course will also help students acquire effective listening skills. Feedback will be provided during class and after activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 6: Celebrations	Speaking & Listening p. 38-9. Homework: reading p. 41
2	Unit 7: Food & Drink	Speaking & Listening p. 44-5. Homework: reading p. 49
3	Unit 7: continued	Pair work p. 46-7 Homework: writing p. 49
4	Unit 8: Rules	Pair & Group Work p. 50-1. Homework: reading p. 55
5	Unit 8: Rules	Speaking & Listening p. 52-3. Homework: writing p. 55
6	Unit 9: Adventures	Pair & Group Work p. 56-7. Homework: writing p. 61
7	Unit 9: Adventures	Review writing and for mid-term exam
8	Mid-term exam	Written test
9	Unit 10: Health	Pair & Group work p. 64-5. Homework: reading p. 69
10	Unit 10: Health	Speaking & Listening p. 66-7. Homework: writing p. 69
11	Unit 11: Comparisons	Review writing. Pair & Group work p. 70-1. Homework: reading p. 75
12	Unit 11: Comparisons	Pair & Group Work p. 76-7. Homework: writing p. 81
13	Unit 12: The modern world	Review writing and final exam topics.

14 Final Exam on Grammar & Vocabulary Test. 10, 11 & 12

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to read ahead in the textbook and complete activities before the next class session. Preparation and review should take 1 hour a week according to university guidelines. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Miles Craven: Breakthrough Plus 2 (2nd edition). Macmillan Education

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Mid-term 25%

Final Exam 25%

Writing Assignments 25%

Presentation & Effort 25%

4 absences are allowed; 5 will fail unless there is an emergency and you have emailed me at eric.j.ritter.78@hosei.ac.jp before class. Feedback will be given in class and via Google classroom.

【学生の意見等からの気づき】

No feedback

【学生が準備すべき機器他】

Computer and internet access

【Outline (in English)】

This course will be given entirely in English. Students will participate in a variety of activities that involves all four skills of reading, writing, listening and speaking. These activities include role play dialogues, pair and group discussions, and presentations based on short reading or audio-visual materials.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

飛田 英伸

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語での作文およびディスカッションとプレゼンテーションを通して、英語の表現方法を学び、コミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

- ・英語の文章の基本的な構造を理解する。
- ・基本的な会話ができるようになる。
- ・簡単なプレゼンテーションができるようになる。
- ・読みやすく、まとまりのある文章が書けるようになる。
- ・文脈や状況に応じた適切な言葉遣いができるようになる。
- ・コミュニケーションが十分にできるだけの聞き取り能力を身につける。
- ・コミュニケーションを行う上で必要な文法や語彙を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はすべて対面で行う予定。

1つのユニットを2回の授業で進める。

1回目の授業ではリスニングとスピーキング、語彙・文法の確認・解説を行う。

2回目の授業ではスピーキング、リスニング、ディスカッション、ライティングを行う。

いずれの授業でも英語で発言したり、グループワークをしたりする機会を多く設ける。

また、1回目の授業の最初に作文とリスニングの小テストを行う。

2回目の授業の最初には担当者を決めて1分程度の小発表を行う。

学習支援システムを通して試験や課題へのフィードバックを行う。

また、作文は添削して返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の説明、自己紹介
2	Unit 1: The Cashless Society	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
3	Unit 1: The Cashless Society	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
4	Unit 2: Fast Fashion	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
5	Unit 2: Fast Fashion	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
6	Unit 3: Plastic Packaging	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
7	Unit 3: Plastic Packaging	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
8	Unit 4: Cell Phone Etiquette	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
9	Unit 4: Cell Phone Etiquette	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
10	Unit 6: Social Media	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
11	Unit 6: Social Media	小発表、リスニング、ディスカッション、作文

12	Unit 7: The Soda Tax	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
13	Unit 7: The Soda Tax	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【予習】

1. 教科書のGet ReadyとVocabularyに答える。(1回目の授業前)
2. 議論に役立つ情報を探し、英語でまとめて学習支援システムを通して提出する。また、内容を発表できるようにする。(2回目の授業前)

【復習】

1. リスニングの音声を聞き直し、ディクテーションができるようにする。
2. テキストの内容、語彙・文法事項を確認する。
3. 作文の添削を確認する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Global Issues: An Introduction to Discussion Skills (Garry Pearsonほか著、成美堂、2,530円)

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末試験20%

小テスト30%

平常点（小発表、予習、作文、受講態度）50%

欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない

【学生の意見等からの気づき】

教室全体でのディスカッションを増やす。

間違えやすいポイントについて解説する時間を増やす。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書可）。

学習支援システムを使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器の持参を奨励する。

【その他の重要事項】

生成AIの使用は原則として禁止する。

ただし、部分的に使用し（例えば、英語での言い方を調べる）、その結果を検証する場合には例外的に使用を認める。その場合は必ず申告し、どこに使ったのかと、その検証の過程と結果を示すこと。生成AIが作成したものを自らの成果としてそのまま提出した場合は単位の取得を認めない。また、使用の可能性が極めて高いと判断される場合も同様に処理することがある。

【Outline (in English)】

Through writing and speaking English, students will develop their abilities to express various things and ideas, and deepen their understanding of the language.

The goals of this course are to acquire basic skills for writing essays and improve ability for presentation, discussion and conversation.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend an hour to complete the required assignments.

Grading will be decided based on a term-end exam (20%), mini-tests (30%), and in class contribution including assignment submissions (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
English 2 II		2017年度以降入学者
飛田 英伸		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：木1/Thu.1		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語での作文およびプレゼンテーションを通して、英語の表現方法を学び、コミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

- ・英語の文章の基本的な構造を理解する。
- ・基本的な会話ができるようになる。
- ・簡単なプレゼンテーションができるようになる。
- ・読みやすく、まとまりのある文章が書けるようになる。
- ・文脈や状況に応じた適切な言葉遣いができるようになる。
- ・コミュニケーションが十分にできるだけの聞き取り能力を身につける。
- ・コミュニケーションを行う上で必要な文法や語彙を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はすべて対面で行う予定。

1つのユニットを2回の授業で進める。

1回目の授業ではリスニングとスピーキング、語彙・文法の確認・解説を行う。

2回目の授業ではスピーキング、リスニング、ディスカッション、ライティングを行う。

いずれの授業でも英語で発言したり、グループワークをしたりする機会を多く設ける。

また、1回目の授業の最初に作文とリスニングの小テストを行う。

2回目の授業の最初には担当者を決めて1分程度の小発表を行う。

学習支援システムを通して試験や課題へのフィードバックを行う。また、作文は添削して返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の説明、春学期の復習
2	Unit 8: Overtourism	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
3	Unit 8: Overtourism	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
4	Unit 9: Improving Education	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
5	Unit 9: Improving Education	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
6	Unit 10: Voting Age	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
7	Unit 10: Voting Age	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
8	Unit 11: Rethinking Zoos	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
9	Unit 11: Rethinking Zoos	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
10	Unit 13: Equal Pay in Sports	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
11	Unit 13: Equal Pay in Sports	小発表、リスニング、ディスカッション、作文

12	Unit 14: Gaming Addiction	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
13	Unit 14: Gaming Addiction	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【予習】

1. 教科書のGet ReadyとVocabularyに答える。(1回目の授業前)
2. 議論に役立つ情報を探し、英語でまとめて学習支援システムを通して提出する。また、内容を発表できるようにする。(2回目の授業前)

【復習】

1. リスニングの音声を聞き直し、ディクテーションができるようにする。
2. テキストの内容、語彙・文法事項を確認する。
3. 作文の添削を確認する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Global Issues: An Introduction to Discussion Skills (Garry Pearsonほか著、成美堂、2,530円)

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末試験20%

小テスト30%

平常点（小発表、予習、作文、受講態度）50%

欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない

【学生の意見等からの気づき】

辞書（電子辞書可）。

学習支援システムを使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器の持参を奨励する。

【学生が準備すべき機器他】

教室全体でのディスカッションを増やす。

間違えやすいポイントについて解説する時間を増やす。

【その他の重要事項】

生成AIの使用は原則として禁止する。

ただし、部分的に使用し（例えば、英語での言い方を調べる）、その結果を検証する場合には例外的に使用を認める。その場合は必ず申告し、どこに使ったのかと、その検証の過程と結果を示すこと。生成AIが作成したものを自らの成果としてそのまま提出した場合は単位の取得を認めない。また、使用の可能性が極めて高いと判断される場合も同様に処理することがある。

【Outline (in English)】

Through writing and speaking English, students will develop their abilities to express various things and ideas, and deepen their understanding of the language.

The goals of this course are to acquire basic skills for writing essays and improve ability for presentation, discussion and conversation.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend an hour to complete the required assignments.

Grading will be decided based on a term-end exam (20%), mini-tests (30%), and in class contribution including assignment submissions (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

PAUL K KALLENDER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is an introductory course comprised of 12 units and two review classes that is designed to enable students to learn, practice and improve their practical abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in the written form. While this is a four skills course including reading and listening exercises, the focus is on developing speaking and writing skills.

- In speaking, students will interact in practiced and free communicative exercises designed to enable them to speak simple, effective English covering a range of topics.

- For writing, students will learn how to develop writing skills beginning with basic paragraph structure e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence, students will be required to learn how to write a logically organized paragraph, and then to write a short essay with multiple paragraphs.

【到達目標】

As well as fostering skills in listening and reading the main goals are:

Oral:

1. Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in the written form.

Writing:

2. Drawing attention to the basic paragraph structure e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence, students will be required to learn how to write a logically organized paragraph, and then to write a short essay with multiple paragraphs.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each of the 12 units will contain a series of in-class exercises involving speaking, reading, listening, and writing exercises, with an emphasis on speaking and listening. Speaking exercises will be conducted in pairs who are swapped frequently, and in groups of three or four students. Writing exercises will focus on writing single paragraphs in the first half of the semester, and writing a series of paragraphs in the second half of the semester.

The instructor will check the completion of student work, especially writing, in class. The instructor will give verbal feedback and make corrections to student work during each class. If the students have any difficulties, they may contact the instructor via the email address provided.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Course Introduction Topic: You and Me	Expectations, grading, class conduct. Speaking: Introducing yourself Writing: Introducing yourself
Class 2	Topic: A Good Job	Speaking: Talking about jobs Writing: Writing about jobs
Class 3	Topic: Work hard, play hard	Speaking: Talking about activities Writing: Filling out an application form
Class 4	Topic: Somewhere to live	Speaking: Describing objects and locations Writing: Describing your home
Class 5	Topic: Super me!	Speaking: Talking about what you can do, requests Writing: Applying for a job in a formal email
Class 6	Topic: Life's ups and downs	Speaking: Talking about other people Writing: Writing a short biography
Class 7	Topic: Dates to remember Mid-Term Test	Speaking: Talking about your life Writing: (Mid-Term Test) Writing about a historical character This will be several paragraphs and be formally graded
Class 8	Topic: Eat in or out?	Speaking: Talking about foods Writing: Writing to friends in an informal email
Class 9	Topic: City living	Speaking: Comparing places Writing: Writing about a city
Class 10	Topic: Where on earth are	Speaking: Describing people Writing: Writing a description of someone
Class 11	Topic: Going far	Speaking: Talking about places you went to Writing: Writing a vacation postcard
Class 12	Topic: Never ever	Speaking: Talking about past experiences Writing: Writing about a past holiday
Class 13	Review and Consolidation	Speaking: Practicing scenarios for the exam Writing: Reviewing paragraph composition
Class 14	Speaking and Writing Tests	Speaking: Students will be orally tested in pairs Writing: Students will submit a four paragraph short essay on Hoppi for grading

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students are expected to review and learn any unfamiliar vocabulary or grammar covered in the class and to preview vocabulary and grammar for the upcoming lesson. In particular, students are to review their paragraph writing assignments and prepare for the mid-term and end-of-term formal writing tasks so that their grammar, syntax, and narrative structure are at the appropriate level.

【テキスト（教科書）】

Students must purchase the required textbook and have it ready for the first class.

American Headway Third Edition, Level 1 Liz and John Soars,
Oxford University Press

ISBN 978-0-19-472565-1

【参考書】

The instructor will provide these.

In addition to the work in the textbook, the instructor will provide supplementary materials as needed/necessary.

【成績評価の方法と基準】

Student evaluation will be based on the following criteria

1. Positive participation in speaking practice: (25%)

2. Mid-term writing test (25%)

3. End-of-term speaking test (25%)

4. End-of-term writing test (25%)

* Students missing more than three classes without adequate explanation cannot pass the course.

* Lateness (more than 5 minutes late, more than two occurrences) without adequate reason will negatively impact grades.

* Chatting in Japanese, non-attention will severely impact grades

* Sleeping in class will result in a non-attendance registered.

【学生の意見等からの気づき】

No changes

【学生が準備すべき機器他】

1. Each student should bring a B5 notebook, sharp pencil, and eraser, and have an electronic dictionary ready.

2. The instructor will explain vocabulary upon request if another student does not know the answer.

3. The use of smartphones for social media, etc. not related to the academic work in the class is strictly prohibited.

【その他の重要事項】

Addressing and Contacting the Instructor

1. Please address the instructor as Mr. Kallender

2. Please always state your first name, family name, class name, and period name.

For Example:

Dear Mr. Kallender,

My name is Taro Suzuki.

I am a student in (English2 I)

I could not attend today /cannot attend tomorrow (etc.) because of a fever.

I will bring a medical certificate next week.

Yours sincerely,

Taro Suzuki

【Outline (in English)】

In the 12 units covered, students will practice speaking and writing exercises covering a range of topics expressing opinions, knowledge and experiences orally in an effective manner and practice in effectively expressing opinions, knowledge and experiences in the written form. Students will practice constructing logically organized paragraphs.

Students will practice in effectively participating in and facilitating simple discussions and/or giving simple presentations and speeches.

While the focus is on speaking and writing, students will develop their skills further through listening and reading exercises.

In-class (immediate) feedback will be given as well as written feedback when necessary on writing tasks

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

PAUL K KALLENDER

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course follows from the first semester. It is comprised of 12 units and two review classes that are designed to enable students to learn, practice and improve their practical abilities to effectively express their opinions, knowledge, and experience both orally and in the written form using more complex grammar. While this is a four skills course including reading and listening exercises, the focus is on further developing speaking and writing skills.

- In speaking, students will interact in practiced and free communicative exercises designed to enable them to speak simple, effective English covering a range of topics.

- For writing, students will learn how to develop writing skills including paragraph structure e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence. Students will be required to learn how to write logically organize paragraphs into two short essays.

【到達目標】

As well as further practicing and improving reading and listening, the main goals of this course are to provide practical elementary skills in speaking and writing.

Oral:

1. Students will further develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge, and experience both orally and in written form.

Writing:

2. Drawing attention to the basic paragraph structure e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence, students will be required to write several short essays with logically organized paragraphs.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each of the 12 units will contain a series of in-class exercises involving speaking, reading, listening, and writing exercises, with an emphasis on speaking and listening. Speaking exercises will be conducted in pairs who are swapped frequently, and in groups of three or four students. Writing exercises will focus on writing single paragraphs in the first half of the semester, and writing a series of paragraphs in the second half of the semester.

The instructor will check the completion of student work, especially writing, in class. The instructor will give verbal feedback and make corrections to student work during each class. If the students have any difficulties, they may contact the instructor via the email address provided.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Course Introduction Topic: Getting to know you	Expectations, grading, class conduct. Speaking: Talking about your friends Writing: Writing about friends
Class 2	Topic: Whatever makes you happy	Speaking: Discussing what is most important to you Writing: Writing about a past experience
Class 3	Topic: What's in the news?	Speaking: Retelling a news story Writing: Building a story
Class 4	Speaking: Retelling a news story Writing: Building a story	Speaking: Talking about food habits and restaurants Writing: Writing an email to a friend
Class 5	Topic: Looking forward	Speaking: Talking about life and the future Writing: Writing about future plans
Class 6	Topic: The way I see it	Speaking: Talking about yourself compared to others Writing: Writing about your hometown
Class 7	Topic: Living history Mid-Term Test	Speaking: Talking about adventures Writing: (Mid-Term Test) Writing about a famous person Note: This person must be different from the first semester This will be four paragraphs or longer, and be formally graded
Class 8	Topic: Girls and boys	Speaking: Describing people and outfits Writing: Writing a formal letter
Class 9	Topic: Time for a story	Speaking: Retelling a story/stories from your childhood Writing: Writing about a book or a movie
Class 10	Topic: Our interactive world	Speaking: Talking about famous people Writing: Filling in an application form
Class 11	Topic: Life's what you make it!	Speaking: Talking about famous people Writing: Filling in an application form
Class 12	Topic: Just wondering	Speaking: Talking about dilemmas Writing: Your vision for the 21st century
Class 13	Review and Consolidation	Speaking: Practicing scenarios for the exam Writing: Reviewing paragraph composition
Class 14	Speaking and Writing Tests	Speaking: Students will be orally tested in pairs Writing: Students will submit a four paragraph short essay on Hoppi for grading

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students are expected to review and learn any unfamiliar vocabulary or grammar covered in the class and to preview vocabulary and grammar for the upcoming lesson. In particular, students are to review their paragraph writing assignments and prepare for the mid-term and end-of-term formal writing tasks so that their grammar, syntax, and narrative structure are at the appropriate level.

【テキスト（教科書）】

Students must purchase the required textbook and have it ready for the first class.

American Headway Third Edition, Level 2 John and Liz Soars, Oxford University Press
ISBN 978-0-19-472588-0

【参考書】

The instructor will provide these each and every time.

In addition to the work in the textbook, the instructor will provide supplementary materials, references, etc.

【成績評価の方法と基準】

Student evaluation will be based on the following criteria

1. Positive participation in speaking practice: (25%)
2. Mid-term writing test (25%)
3. End-of-term speaking test (25%)
4. End-of-term writing test (25%)

* Students missing more than three classes without adequate explanation cannot pass the course.

* Lateness (more than 5 minutes late, more than two occurrences) without adequate reason will negatively impact grades.

* Chatting in Japanese, non-attention will severely impact grades

* Sleeping in class will result in a non-attendance registered.

【学生の意見等からの気づき】

No changes

【学生が準備すべき機器他】

1. Each student should bring a B5 notebook, sharp pencil, and eraser, and have an electronic dictionary ready.
2. The instructor will explain vocabulary upon request if another student does not know the answer.
3. The use of smartphones for social media, etc. not related to the academic work in the class is strictly prohibited.

【その他の重要事項】

Addressing and Contacting the Instructor

1. Please address the instructor as Mr. Kallender
2. Please always state your first name, family name, class name, and period name.

For Example:

Dear Mr. Kallender,

My name is Taro Suzuki.

I am a student in (English2 I)

I could not attend today /cannot attend tomorrow (etc.) because of a fever.

I will bring a medical certificate next week.

Yours sincerely,

Taro Suzuki

【Outline (in English)】

In the 12 units covered, students will further practice speaking and writing exercises covering a range of topics expressing opinions, knowledge and experiences orally in an effective manner, and practice in effectively expressing opinions, knowledge, and experiences in the written form. Students will practice constructing short essays of logically organized paragraphs.

Students will practice effectively participating in and facilitating simple discussions and/or giving simple presentations and speeches.

While the focus is on speaking and writing, students will develop their skills further through listening and reading exercises.

In-class (immediate) feedback will be given as well as written feedback when necessary on writing tasks

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

Annette Gruber

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The objectives of this course are to reinforce grammar patterns learned in the past and to introduce new grammar for English oral communication and conversation as well as to practice speaking, listening and writing English. Talk a lot about your own ideas and experiences, and share them with classmates.

【到達目標】

This course will help students to improve their ability to communicate in English. Students will increase their confidence in English through talking, reading and writing about a variety of everyday topics. Students will focus in particular on developing and explaining their own opinions and ideas.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In this class, you will work in pairs, small groups and individually. We will follow the themes in the textbook closely. You will have many opportunities to improve your everyday spoken English communication and discuss information and ideas in English. Please come to class ready to participate actively and positively. Submission of assignments and feedback will be on the Learning Management System HOPPII).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation and getting to know you	An explanation of the class requirements. We will get to know each other.
2	1B: The perfect date	Describing people: appearance and personality. Present simple
3	1C: The Remake Project	Clothes. Prepositions of place
4	Practical English: Hotel problems	Reporting problems, offer to do something, greeting a friend
5	2A OMG! Where's my passport	Past simple
6	2B That's me in the picture	Past continuous
7	2C One dark October evening	Time sequencers, connectors
8	3A TripAside	Be going to (plans, predictions)
9	3B Put it in your calendar!	Present continuous (future arrangements)
10	3C Word games	Defining relative clauses

11	Practical English: Restaurant Problems	Ordering food in a restaurant, explaining a problem, asking about somebody's plans
12	4A Who does what?	Present perfect + yet, just, already
13	4B In your basket	Present perfect vs. past simple
14	Revise & Check	Reviewing Units 1-4

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Homework will include writing and preparation tasks.

University guidelines suggest preparation and review are around 4hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Christina Latham-Koenig, Clive Oxenden, English File: 4th Edition, Pre-Intermediate Student Book, Oxford University Press, 2019.

【参考書】

Please bring an English dictionary.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 40%

Test/Presentation/Composition 60%

*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】

Students requested listening tracks to be repeated more often.

【Outline (in English)】

The objectives of this course are to reinforce grammar patterns learned in the past and to introduce new grammar for English oral communication and conversation as well as to practice speaking, listening and writing English. Talk a lot about your own ideas and experiences, and share them with classmates.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

Annette Gruber

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The objectives of this course are to reinforce grammar patterns learned in the past and to introduce new grammar for English oral communication and conversation as well as to practice speaking, listening and writing English. Talk a lot about your own ideas and experiences, and share them with classmates.

【到達目標】

This course will help students to improve their ability to communicate in English. Students will increase their confidence in English through talking, reading and writing about a variety of everyday topics. Students will focus in particular on developing and explaining their own opinions and ideas.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In this class, you will work in pairs, small groups and individually. We will follow the themes in the textbook closely. You will have many opportunities to improve your everyday spoken English communication and discuss information and ideas in English. Please come to class ready to participate actively and positively. Feedback will be given on the Learning Management System (hOPPII).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	5A I want it now!	Comparative adjectives and adverbs, as ... as
2	5B Twelve lost wallets	Superlatives + ever+ present perfect
3	5C How much is enough?	Quantifiers
4	Practical English: The wrong shoes	Making suggestions, Taking something back to a shop, Arranging a time to meet somebody
5	6A Think positive - or negative	Will/won't predictions
6	6B I'll always love you	Will/won't/shall
7	6C The meaning of dreaming	Review of verb forms present, past and future
8	7A First day nerves	Uses with the infinitive with to
9	7B Happiness is ...	Uses of the gerund
10	7C Could you pass the test?	Have to, don't have to, must, mustn't
11	Practical English: At the pharmacy	Describing symptoms when feeling ill, getting medicine at a pharmacy

12 8A Should I stay or should I go?

13 8B Murphy's Law if+present, will+infinitive

14 Revise & Check Reviewing Unit 5-8

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Homework will include writing and preparation tasks.

University guidelines suggest preparation and review are around 4hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Christina Latham-Koenig, Clive Oxenden, English File: 4th Edition, Pre-Intermediate Student Book, Oxford University Press, 2019.

【参考書】

Please bring an English dictionary.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 40%

Tests/Presentation/Composition 60%

*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】

Students requested easier listening exercises.

【Outline (in English)】

The objectives of this course are to reinforce grammar patterns learned in the past and to introduce new grammar for English oral communication and conversation as well as to practice speaking, listening and writing English. Talk a lot about your own ideas and experiences, and share them with classmates.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

HUGH A GRAHAM-MARR

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

To improve English communication skills including work on rhythm, pronunciation, intonation, stress, and vocabulary with a particular focus on helping students better exploit English that they already have but are not yet able to effectively utilize. In terms of listening, this means that in addition to giving listening practice and suggestions as to how students can get more practice outside of class, drawing explicit attention to some of the changes that occur in English with connected speech (how we link sounds, drop sounds, meld sounds, or even add sounds). These are the changes that can make it difficult for students to 'hear' language that they are able to read. In terms of speaking, explicit attention will be drawn to strategies that students can use when they communicate, especially when they may have incomplete understanding: repair strategies, confirmation strategies, engagement strategies, and the like. Speaking practice activities are designed to encourage use of specific strategies.

【到達目標】

Students should be better able to use the English they have in communicative situations, to better 'hear' connected speech that they might have previously had more trouble with, and to be able to use speaking strategies to communicate in situations where they may not have complete understanding.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・ Listening to dialogues, answering comprehension questions, noticing aspects of connected speech, and identifying speaking strategies used
- ・ Pair and group work to practice different speaking strategies. The instructor will walk around the classroom for these, monitoring and occasionally commenting.
- ・ Assignments 1 and 2 are short presentations on video on topics related to those we have looked at. We will use Google classroom for this. Students will receive both marks and comments on the work submitted.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	introductions	describing schedules / classroom English
Week 2	Unit 1: describing schedules	linking sounds /classroom English
Week 3	Unit 2: Describing routines	sentence stress /repeating key information
Week 4	Unit 2: Describing routines cont.	sentence stress /repeating key information
Week 5	Unit 3: describing objects	disappearing sounds /talking around things

Week 6	Unit 3: describing objects cont.	disappearing sounds /talking around things
Week 7	Unit 4: talking about people	blended sounds /involvement
Week 8	Unit 4: talking about people cont. / ASSIGNMENT 1	blended sounds /involvement /REVIEW /ASSIGNMENT 1
Week 9	Unit 5: describing location	weak vowels /explaining meaning
Week 10	Unit 5: describing location cont.	weak vowels /explaining meaning
Week 11	Unit 6: fluency with numbers	word stress /repeating key information
Week 12	Unit 6: fluency with numbers cont.	word stress /repeating key information
Week 13	Unit 7: talking about the future / ASSIGNMENT 2	casual English /confirmation ASSIGNMENT 2 /REVIEW
Week 14	SPEAKING AND LISTENING EXAM	exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

There will be a weekly homework listening. Students will also be expected to review material covered in class for 1-2 hours per week. This should involve listening, shadowing practice and vocabulary review, though extra time spent on listening would be ideal.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Communication Spotlight: Pre-Intermediate (publisher: Abax) + handouts

【参考書】

An English to English dictionary

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Homework: 15%

Assignments 1 + 2: 30%

Final Speaking and Listening Exam: 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Will try to be flexible where possible in response to student feedback

【Outline (in English)】

The course will look at different communication areas. Each week there will be a focus on a different aspect of listening in English and on a different speaking strategy. Much of the time in class will be given over to the focused practice of listening and speaking skills.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

HUGH A GRAHAM-MARR

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

To improve English communication skills including work on rhythm, pronunciation, intonation, stress, and vocabulary with a particular focus on helping students better exploit English that they already have but are not yet able to effectively utilize. In terms of listening, this means that in addition to giving listening practice and suggestions as to how students can get more practice outside of class, drawing explicit attention to some of the changes that occur in English with connected speech (how we link sounds, drop sounds, meld sounds, or even add sounds). These are the changes that can make it difficult for students to 'hear' language that they are able to read. In terms of speaking, explicit attention will be drawn to strategies that students can use when they communicate, especially when they may have incomplete understanding: repair strategies, confirmation strategies, engagement strategies, and the like. Speaking practice activities are designed to encourage use of specific strategies.

【到達目標】

Students should be better able to use the English they have in communicative situations, to better 'hear' connected speech that they might have previously had more trouble with, and to be able to use speaking strategies to communicate in situations where they may not have complete understanding.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・ Listening to dialogues, answering comprehension questions, noticing aspects of connected speech, and identifying speaking strategies used
- ・ Pair and group work to practice different speaking strategies. The instructor will walk around the classroom for these, monitoring and occasionally commenting.
- ・ Assignments 1 and 2 are short presentations on video on topics related to those we have looked at. We will use Google classroom for this. Students will receive both marks and comments on the work submitted.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Unit 8: things you did	disappearing sounds / involvement
Week 2	Unit 8: things you did cont.	disappearing sounds / involvement
Week 3	Unit 9: introducing places	sentence stress / backchanneling
Week 4	Unit 9: introducing places cont.	sentence stress / backchanneling
Week 5	Unit 10: story telling	weak vowels /paraphrasing

Week 6	Unit 10: story telling cont.	weak vowels /paraphrasing
Week 7	Unit 11: fluency with numbers	understanding tone / confirmation
Week 8	Unit 11: fluency with numbers cont. ASSIGNMENT 1	understanding tone / confirmation /REVIEW
Week 9	Unit 12: describing jobs	disappearing sounds /asking for help
Week 10	Unit 12: describing jobs cont.	disappearing sounds /asking for help
Week 11	Unit 13: talking about experiences	guessing meaning / paraphrasing
Week 12	Unit 13: talking about experiences cont.	guessing meaning / paraphrasing
Week 13	Unit 14: asking for infor / ASSIGNMENT 2	compensation /asking wh- and yes/no questions / REVIEW
Week 14	SPEAKING AND LISTENING EXAM	exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

There will be a weekly homework listening. Students will also be expected to review material covered in class for 1-2 hours per week, though even more time spent on listening would be ideal.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Communication Spotlight: Pre-Intermediate

【参考書】

An English to English dictionary

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Homework: 15%

Assignments 1 + 2: 30%

Final Speaking and Listening Exam: 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

None

【Outline (in English)】

To improve English communication skills in rhythm, pronunciation, intonation, stress, and vocabulary with a particular focus on helping students better exploit English that they already have but are not yet able to effectively utilize. In terms of listening, this means that in addition to giving listening practice and suggestions as to how students can get more practice outside of class, drawing explicit attention to some of the changes that occur in English with connected speech (how we link sounds, drop sounds, meld sounds, or even add sounds). These are the changes that can make it difficult for students to 'hear' language that they are able to read. In terms of speaking, explicit attention will be drawn to strategies that students can use when they communicate, especially when they may have incomplete understanding: repair strategies, confirmation strategies, engagement strategies, and the like. Speaking practice activities are designed to encourage use of specific strategies.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

鹿子嶋 由佳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、日常生活や現代社会の様々なトピックについて、自分の意見や経験を英語で表現したり、他の受講生の意見や経験を英語で聴いたりする力を養います。また、受講生同士で意見交換をするディスカッションの練習も行います。授業内でのspeaking, writing, listeningの練習をすることで、情報収集やparagraph writing, discussionに必要な語彙力の向上を目指します。

【到達目標】

1. 基本的な英語表現を用いて、自分の意見や経験を口頭で他者に伝えることができるようになる。
2. 既習表現を駆使しながら、受講生同士で意見交換し合えるようになる。
3. 論理的にパラグラフを構成して、自分の意見や経験を文章で他者に伝えることができるようになる。
4. テキスト内の語彙をすべて理解し、speakingやwritingで使えるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各Unitの進め方として、1つのUnitを前半と後半に分け、2週にわたって1つのUnitを学習していきます。授業前に、指定した箇所の学習を各受講生が済ませていることを前提に授業を進めます。授業内では、その予習事項の確認やテキストを中心にlistening, speaking, writingの練習を行います。意見交換の練習では、ペアワークやグループワークを行います。テキストにはreadingのセクションもありますので、内容を確実に理解し、英語での意見交換の際に生かせるように進めていきます。学期中には学習進捗状況を確認するために、speakingのパフォーマンステストや語彙テストも行います。各課題のフィードバックは、授業中に各受講生と全体に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	自己紹介、授業説明、アクティビティー
2	Unit 1 (1) I Love Making Jewelry!	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
3	Unit 1 (2) I Love Making Jewelry!	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO
4	Unit 2 (1) How Long Have You Been Playing Cricket?	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
5	Unit 2 (2) How Long Have You Been Playing Cricket?	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO

6	Unit 3 (1) You Could Ask for Advice	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
7	Unit 3 (2) You Could Ask for Advice	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO
8	Unit 4 (1) The Koala Was Taken to a Shelter	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
9	Unit 4 (2) The Koala Was Taken to a Shelter	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO
10	Unit 5 (1) How Was It Formed?	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
11	Unit 5 (2) How Was It Formed?	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO
12	Unit 6 (1) Look at That Narwhal!	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
13	Unit 6 (2) Look at That Narwhal!	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO 小テスト(語彙, 表現)
14	まとめ・期末テスト	Listening, Writing, Reading に関するテストを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。受講生は、授業前に該当箇所の予習を行ってください。各Unitの(1)を授業で学習する前にはLanguage Focusの意味確認と発声練習を行い、そして各Unitの(2)を授業で学習する前には「Readingの予習」を行ってください。「Readingの予習」では、受講生が各自ノートに、意味を調べた語や語句のリスト・英文のまとめ（日本語）・Comprehensionの解答を書いてきてください。また、予習指定箇所学習予定以外の範囲も予習（語彙や内容のチェック）し、あらかじめディスカッション等のトピックに慣れておきましょう。授業後には、既習事項を綿密に復習してください。

【テキスト（教科書）】

テキスト名：Time Zones 4 (Second Edition) - Student Book (Text only)

著者：David Bohlke and Jennifer Wilkin

出版社：Cengage Learning

出版年：2016年

価格：2440円＋税

ISBN: 9781305259874

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

1. 平常点30%（授業中の活動・小テスト・課題）
2. 予習20%
3. 期末試験50%
 - ・欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位取得資格を失います。
 - ・3回の遅刻（授業開始時刻から10分を超える場合）で1回の欠席とします。
 - ・遅刻や欠席に関して、証明できるもの（交通機関の遅延証明書等）がある場合は必ず担当者に渡してください。
 - ・授業に関係のない私語、携帯電話の使用、居眠り、教科書・辞書の不携帯は減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

受講生の学習状況をみながら、基礎的な事項から応用的な事項まで確認していきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業に関する連絡は授業支援システムを使用します。

授業中に使用する辞書は、書籍または電子辞書とします。スマートフォン等のアプリケーションの辞書を使用する場合は、その旨を担当者に伝えること。

【その他の重要事項】

授業に関する質問がある場合、授業前後に教室にて、または授業支援システムを通して受け付けます。

【Outline (in English)】

< Course outline >

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills needed to express and share their opinions and experiences on various daily and modern social topics in English. It also enhances the development of students' skills in discussing topics with classmates. By practicing speaking, writing and listening, it will help students build up the vocabulary knowledge needed to gather information to write essay paragraphs and have discussions in English.

< Learning Objectives >

1. Students will be able to use the English expressions they have learned, and will be able to give their ideas and experiences to classmates verbally.
2. By using English expressions they have learned, the students will be able to share their opinions with each other.
3. Students will be able to write essay paragraphs in logical order, and they will be able to express their ideas and experiences to classmates within the composition.
4. Students will be able to understand all the vocabulary in the textbook and they will be able to use them when speaking and writing.

< Learning activities outside of classroom >

In this course, students should be prepared for class and should be able to review what they have learned in one hour. Before class for Unit (1), students should check the meanings of new vocabulary and phrases in “Language Focus”, and practice reading them out loud. Before class for Unit (2), students should read the passage in the Unit in advance, and write down the following in their notebooks: new vocabulary, summary of the passage in Japanese, and “Comprehension” answers. In addition, students should preview what they will learn beforehand in order to understand topics for discussions in the textbook. After class, students have to review what they have learned.

< Grading Criteria/Policy >

1. Class activities (small tests and writing assignments) 30%
2. Preparation (vocabulary, summary and “Comprehension” answers) 20%
3. Final test 50%
 - ・ Students will fail the course if they are absent four times or more during the entire unit.
 - ・ If a student is late three times, it is counted as one absence.
 - ・ Students should show proof of their delay and absence.
 - ・ Students who talk in class, use a phone, doze/sleep, or come to class without the textbook will get a black mark.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

鹿子嶋 由佳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、日常生活や現代社会の様々なトピックについて、自分の意見や経験を英語で表現したり、他の受講生の意見や経験を英語で聴いたりする力を養います。また、受講生同士で意見交換をするディスカッションの練習も行います。授業内でのspeaking, writing, listeningの練習をすることで、情報収集やessay writing, discussionに必要な語彙力の向上を目指します。

【到達目標】

1. 基本的な英語表現を用いて、自分の意見や経験を口頭で他者に伝えることができるようになる。
2. 既習表現を駆使しながら、受講生同士で意見交換し合えるようになる。
3. 論理的にパラグラフを構成して、自分の意見や経験を文章で他者に伝えることができるようになる。
4. テキスト内の語彙をすべて理解し、speakingやwritingで使えるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各Unitの進め方として、1つのUnitを前半と後半に分け、2週にわたって1つのUnitを学習していきます。授業前に、指定した箇所の学習を各受講生が済ませていることを前提に授業を進めます。授業内では、その予習事項の確認やテキストを中心にlistening, speaking, writingの練習を行います。意見交換の練習では、ペアワークやグループワークを行います。テキストにはreadingのセクションもありますので、内容を確実に理解し、英語での意見交換の際に生かせるように進めていきます。学期中には学習進捗状況を確認するために、speakingのパフォーマンステストや語彙テストなども行います。各課題のフィードバックは、授業中に各受講生と全体に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Warm-up	春学期の復習、アクティビティー
2	Unit 7 (1) It Might Have Been a Temple	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
3	Unit 7 (2) It Might Have Been a Temple	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO
4	Unit 8 (1) It's Taller than the Eiffel Tower!	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
5	Unit 8 (2) It's Taller than the Eiffel Tower!	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO

6	Unit 9 (1) He's a Great Director, Isn't He?	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
7	Unit 9 (2) He's a Great Director, Isn't He?	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO
8	Unit 10 (1) I Wish I Could Be an Athlete!	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
9	Unit 10 (2) I Wish I Could Be an Athlete!	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO
10	Unit 11 (1) What Would You Do?	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
11	Unit 11 (2) What Would You Do?	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO
12	Unit 12 (1) You Should Eat More Fruit!	Preview, Language Focus, The Real World, Pronunciation, Communication
13	Unit 12 (2) You Should Eat More Fruit!	Reading, Comprehension, Writing, VIDEO 小テスト(語彙, 表現)
14	まとめ・期末テスト	Listening, Writing, Reading に関するテストを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。受講生は、授業前に該当箇所の予習を行ってください。各Unitの(1)を授業で学習する前にはLanguage Focusの意味確認と発声練習を行い、そして各Unitの(2)を授業で学習する前には「Readingの予習」を行ってください。「Readingの予習」では、受講生が各自ノートに、意味を調べた語や語句のリスト・英文のまとめ（日本語）・Comprehensionの解答を書いてきてください。また、予習指定箇所学習予定以外の範囲も予習（語彙や内容のチェック）し、あらかじめディスカッション等のトピックに慣れておきましょう。授業後には、既習事項を綿密に復習してください。

【テキスト（教科書）】

テキスト名：Time Zones 4 (Second Edition) - Student Book (Text only)

著者：David Bohlke and Jennifer Wilkin

出版社：Cengage Learning

出版年：2016年

価格：2440円＋税

ISBN: 9781305259874

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

1. 平常点30%（授業中の活動・小テスト・課題）
2. 予習20%
3. 期末試験50%
 - ・欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位取得資格を失います。
 - ・3回の遅刻（授業開始時刻から10分を超える場合）で1回の欠席とします。
 - ・遅刻や欠席に関して、証明できるもの（交通機関の遅延証明書等）がある場合は必ず担当者に渡してください。
 - ・授業に関係のない私語、携帯電話の使用、居眠り、教科書・辞書の不携帯は減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

受講生の学習状況をみながら、基礎的な事項から応用的な事項まで確認していきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業に関する連絡は授業支援システムを使用します。

授業中に使用する辞書は、書籍または電子辞書とします。スマートフォン等のアプリケーションの辞書を使用する場合は、その旨を担当者に伝えること。

【その他の重要事項】

授業に関する質問がある場合、授業前後に教室にて、または授業支援システムを通して受け付けます。

【Outline (in English)】

< Course outline >

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills needed to express and share their opinions and experiences on various daily and modern social topics in English. It also enhances the development of students' skills in discussing topics with classmates. By practicing speaking, writing and listening, it will help students build up the vocabulary knowledge needed to gather information to write essays and have discussions in English.

< Learning Objectives >

1. Students will be able to use the English expressions they have learned, and will be able to give their ideas and experiences to classmates verbally.
2. By using English expressions they have learned, the students will be able to share their opinions with each other.
3. Students will be able to write essay paragraphs in logical order, and they will be able to express their ideas and experiences to classmates within the composition.
4. Students will be able to understand all the vocabulary in the textbook and they will be able to use them when speaking and writing.

< Learning activities outside of classroom >

In this course, students should be prepared for class and should be able to review what they have learned in one hour. Before class for Unit (1), students should check the meanings of new vocabulary and phrases in “Language Focus”, and practice reading them out loud. Before class for Unit (2), students should read the passage in the Unit in advance, and write down the following in their notebooks: new vocabulary, summary of the passage in Japanese, and “Comprehension” answers. In addition, students should preview what they will learn beforehand in order to understand topics for discussions in the textbook. After class, students have to review what they have learned.

< Grading Criteria/Policy >

1. Class activities (small tests and writing assignments) 30%
2. Preparation (vocabulary, summary and “Comprehension” answers) 20%
3. Final test 50%
 - ・ Students will fail the course if they are absent four times or more during the entire unit.
 - ・ If a student is late three times, it is counted as one absence.
 - ・ Students should show proof of their delay and absence.
 - ・ Students who talk in class, use a phone, doze/sleep, or come to class without the textbook will get a black mark.

LANe100LA (英語 / English language education 100)			5	Unit 1 Unit 3	Continuation from the previous class. Form a small group and discuss what you have found and present it to the class. Read "The Good Language Learner" and understand the content. Review vocabulary.
English 2 I					Continuation from the previous class.
北原 ルック 明子			6	Unit 3	What do you think about learning a new language. Understand the situation and think about the issue. Review vocabulary.
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：木2/Thu.2			7	Unit 3	Continuation from the previous class.
単位数：1単位			8	Unit 3	What are the merits and demerits of learning a new language. Discuss among your classmates.
その他属性：			9	Unit 5	Continuation from the previous class. Form a small group and discuss about the topic. Summarize what you have discussed and present it to the class.
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			10	Unit 5	Read "Forever Single" and understand the situation and think about the issue. What do you think of Angela's opinion.
小学校、中学校、そして高校において英語に親しんできたと思われるが大学では一層と英語に親しみ文法、読解を中心とするのではな			11	Unit 5	Continuation from the previous class. Understand the situation and think about the issue.
授業コード：くコミュニケーションを図りながら英語を道具として			12	Unit 5	Review vocabulary. Start preparing for the presentation at the end of the term.
それぞれの専門分野で生かしていけるようにして行きたい。					Continuation from the previous class.
【到達目標】					What do you think of staying single or getting married. Prepare for the presentation.
英語で考えられるようにし英語で相手に伝わるようにして行きたい。					Continuation from the previous class.
まず短く簡単な英語でいいので自分の言いたいことを相手に伝えられるようにする。日常の様々なトピックについて自分の知識、経験、					Form a small group and discuss what you think about staying single or getting married. Summarize your discussion and present it to the class.
意見を口頭で表現していくことをプレゼンテーション、スピーチ、デ					Prepare for the presentation.
イスカッションなどを通して練習していく。ライティングに関しては					Presentation
プレゼンテーションを準備をする上で導入部分、メイン、締めをし					Test
っかりと順序立ててかけるようにする。また聴く力も養っていきたい					
と思う。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された					
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針					
に明示された学習成果との関連）】					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学					
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、					
経営学部：DP1					
【授業の進め方と方法】					
教科書"Impact Issues"に入る前に簡単なリスニングをし簡単な会					
話をする。この教科書は様々なテーマをユニットごとに扱っている					
のでそれをしっかり読み、内容を理解しその内容に対してその都度					
そのテーマに関して自分の意見が言えるようにする。またこの教科					
書は様々な activity などがありそれらをとおして英語に一層親しん					
でいきたいと思う。自分の意見をクラスの前で言える様に大小のプ					
レゼンテーションを授業内で多く行う。前の授業での復習をしなが					
らフィードバックをしながら授業を進めていく。各ユニットで出題					
されている単語などの意味及び文章も作れるようにする。					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
あり /Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	Introduction	Introducing yourselves to the class in English.			
2	Unit 1	Read "First Impressions" and understand the content. What are the differences between Sandy and Tamara	13	Presentation	Presentation
3	Unit 1	Continuation from the previous class. Understand the situation and think about the issue. Review vocabulary.	14	Test	Test
4	Unit 1	Continuation from the previous class. What do you look for when you meet someone for the first time. Is the appearance or the personality. Discuss among your classmates.			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
 /University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
 The students will have to read the units and understand it and be able to present their ideas on it.

【テキスト（教科書）】
 Impact issues 2
 Richard R Day, Joseph Shaules Junko Yamanaka
 Pearson

【参考書】
 None

【成績評価の方法と基準】

Your overall grade in the class will be decided based on the following .

Term-end examination. 70%

Short reports. 10%

Presentation. 20%

In addition to your overall grade, in principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

To talk more slowly.

【Outline (in English)】

This class is to enhance the students to widen their knowledge towards various global issues happening around them. Learning Objectives; The students are encouraged to speak in English as much as possible and to communicate with their classmates in English.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

北原 ルック 明子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

小学校、中学校、そして高校において英語に親しんできたと思われるが大学では一層と英語に親しみ文法、読解を中心とするのではなくコミュニケーションを図りながら英語を道具としてそれぞれの専門分野で生かしていけるようにして行きたい。

【到達目標】

英語で考えられるようにし英語で相手に伝わるようにして行きたい。まず短く簡単な英語でいいので自分の言いたいことを相手に伝えられるようにする。日常の様々なトピックについて自分の知識、経験、意見を口頭で表現していくことをプレゼンテーション、スピーチ、ディスカッションなどを通して練習していく。ライティングに関してはプレゼンテーションを準備をする上で導入部分、メイン、締めをしっかりと順序立ててかけるようにする。また聴く力も養っていきたいと思う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書"Impact Issues"に入る前に簡単なリスニングをし簡単な会話をします。この教科書は様々なテーマをユニットごとに扱っているのでそれをしっかり読み、内容を理解しその内容に対してその都度そのテーマに関して自分の意見が言えるようにする。またこの教科書は様々な activity などがありそれらをとおして英語に一層親しんでいきたいと思う。自分の意見をクラスの前で言える様に大小のプレゼンテーションを授業内で多く行う。前の授業での復習をしながらフィードバックをしながら授業を進めていく。各ユニットで出題されている単語などの意味及び文章も作れるようにする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Presentation	Students will present their task on their interview with foreigners visiting Japan.
2	Reading a poem	What is a poetry? Reading a poem "What Do I Remember of the Evacuation" and analyzing it.
3	Reading a poem	Studying the content of the poem and think about the symbolism. Writing a poem of your own.
4	Unit 8	Read "Your Online Past"and understand the content and the situation. Think about the issue. Review vocabulary.
5	Unit 8	Continuation from the previous class. How is online convenient ? Is the internet necessary? Why?

6	Unit 8	Continuation from the previous class. Form a small group and discuss the merits and demerits of SNS. Summarize your discussion and present it to the class.
7	Recitation	Reciting your poem in from of the class.
8	Unit 10	Read "My Student Life"and understand it. Understand the situation and think about the issue. Review vocabulary.
9	Unit 10	Continuation from the previous week. What are the important reasons for you to go to university? Why? Form a small group and discuss. Summarize you discussion and present it to the class. Start preparing for the term-end presentation.
10	Unit 12	Read "Create Another Future"and understand the situation and think about the issue. Review vocabulary. Prepare for the presentation.
11	Unit 12	Continuation from the previous class. What is happening to earth today? what do you think to save the earth? Prepare for the presentation.
12	Unit 12	Continuation from the previous class. Form a small group and discuss what you can do for the environment. Summarize the discussion and present it to the class. Prepare for the presentation.
13	Presentation	Presentation
14	Test	Test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The students will have to read the units and understand it and be able to present their ideas on it.

【テキスト（教科書）】

Impact Issues 2

Richard R Day Joseph Shales Junko Yamanaka Pearson

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Your overall grade will be decided based on the following.

Term-end examination 70%

Short reports 10%

Presentation 20%

In addition to your overall grade, in principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

To talk more slowly.

【Outline (in English)】

This course is to enhance the students to speak freely according to the units as we go through them. They will be required to state their opinions whether they agree or disagree.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

JAMES D SHORT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves confidently in English. It imparts to students understanding of challenges we face in the modern world, and the language proficiency required to participate successfully within it.

【到達目標】

This course will engender in students the knowledge and ability to engage with the subject material and learning challenges presented by the instructor and produce appropriate responses to them in English.

As a result of studying this course, students will gain the skills to achieve the following:

1. Approach a new issue systematically in order to understand it clearly.
2. Formulate plans to address problems presented by the instructor.
3. Conduct meaningful research to further understanding.
4. Present responses in English in a sophisticated manner.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. Instruction by the teacher will be conducted as much as possible in English.
2. Classroom activities and discussions will generally be based on readings and exercises from the course textbooks.
3. Students are expected to use English to participate in classroom discussions and group activities.
4. Classroom participation includes mini-presentations followed by questions from classmates. Students will be expected to ask questions about the content of their classmates' presentations.
5. Students will receive feedback and comments on classroom activities and homework assignments directly from the teacher throughout the term.
6. Timekeeping, participation in classroom activities, and submission of homework assignments are very important and will be evaluated.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Class Orientation	Explanation of the course and required study methods
2	How Much Do You Agree? (HMDYA) Unit 1: We should keep early hours	Describing different daily routines
3	HMDYA Unit 1: Effects on health	Discussion about healthy work and study lifestyles

4	Ready to Present (RTP) Unit 1: Self-Introduction	How to structure an engaging presentation
5	RTP Unit 1: Becoming familiar with each other	Presentations about your life and interests
6	HMDYA Unit 3: Club activities should be banned at schools	Describing Junior High and Senior High School club experiences
7	HMDYA Unit 3: Article about excessive pressures on Junior High and Senior High School students	Discussion about the advantages and disadvantages of club activities
8	RTP Unit 2: The Orange Spoons	Appropriate facial and hand gestures for presentations
9	RTP Unit 2: An Important Person or Thing	Presentations about something that is important in your life
10	HMDYA Unit 4: Study abroad experience should be a requirement for university graduation	Investigating opportunities for overseas study
11	HMDYA Unit 4: How to make best use of your time at university	Discussion about the advantages and disadvantages of overseas study
12	RTP Unit 3: Angkor Wat	How to make eye-catching presentation slides
13	RTP Unit 3: Places that mean a lot to us	Presentations about places that are special to you
14	End of semester review	Discussion about the advantages and disadvantages of AI

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Be sure to read the class materials beforehand for advance learning. Students will be called upon in each class and are expected to be prepared.

Each week students should prepare for the next class by reading written materials, completing assigned homework, studying vocabulary, and reviewing materials from previous classes.

When participating in a discussion, students should summarize their thoughts beforehand and mull over other students' opinions and indications afterwards in order to deepen their thinking.

【テキスト（教科書）】

"How Much Do You Agree? Evolving Opinions" by Toshihiko Kobayashi and Jeremie Bouchard, Sanshusha: 2019; price 2200 yen. ISBN 978-4-384-33486-9

"Ready To Present", Herman Bartelen and Malcolm Kostiuik, National Geographic Learning, 2019; price 2700 yen. ISBN 978-4-86312-351-9

【参考書】

Students are recommended to have an electronic English-Japanese dictionary

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of classroom participation (40%), homework (20%), and individual and/or group presentations (40%).

**Class attendance is a course requirement.

Students are allowed no more than three absences in the semester.

【学生の意見等からの気づき】

In consideration of student responses in the course evaluation, adjustments will be made in terms of the amount of class time allocated to discussions between the students in English about the topic in question. In addition, for the first semester an increase in class time will be allocated for preparation for the first individual presentation.

【その他の重要事項】

The instructor reserves the right to modify this course syllabus if necessary.

【Outline (in English)】

This course aims to cultivate in students the ability to absorb, internalize and respond to a variety of stimulating material in English in an effective manner. The course will be taught as an ongoing and varied discussion which from time to time will be led by the students themselves. Students will periodically take responsibility for their own learning through conducting research and seeking answers to the questions and learning scenarios presented by the instructor.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

JAMES D SHORT

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves confidently in English. It imparts to students understanding of challenges we face in the modern world, and the language proficiency required to participate successfully within it.

【到達目標】

This course will engender in students the knowledge and ability to engage with the subject material and learning challenges presented by the instructor and produce appropriate responses to them in English.

As a result of studying this course, students will gain the skills to achieve the following:

1. Approach a new issue systematically in order to understand it clearly.
2. Formulate plans to address problems presented by the instructor.
3. Conduct meaningful research to further understanding.
4. Present responses in English in a sophisticated manner.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. Instruction by the teacher will be conducted as much as possible in English.
2. Classroom activities and discussions will generally be based on readings and exercises from the course textbooks.
3. Students are expected to use English to participate in classroom discussions and group activities.
4. Classroom participation includes mini-presentations followed by questions from classmates. Students will be expected to ask questions about the content of their classmates' presentations.
5. Students will receive feedback and comments on classroom activities and homework assignments directly from the teacher throughout the term.
6. Timekeeping, participation in classroom activities, and submission of homework assignments are very important and will be evaluated.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	How Much Do You Agree? (HMDYA) Unit 7: We should consider important rules and manners for online communication	Describing personal use of SNS communication tools
2	HMDYA Unit 7: Real-life examples of online bullying	Discussion about ways to reduce abuse that occurs on the internet

3	Ready To Present (RTP) Unit 4: Opinions	Emphasizing words with gestures
4	RTP Unit 4: Something that you believe strongly	Presentations about an issue that is important to you
5	HMDYA Unit 8: More Japanese companies should use English as their main language of business	Investigating Japanese companies that are becoming more internationalized
6	HMDYA Unit 8: What type of company would you like to work in?	Discussion about working environments that attract you
7	RTP Unit 5: Vincent Van Gogh	Specific presentation techniques to engage your audience
8	RTP Unit 5: Biography of a famous person	Presentations about a famous person that you admire
9	HMDYA Unit 9: School and company uniforms should be abolished	Investigating fashionable and unfashionable school and company uniforms
10	HMDYA Unit 9: What clothes are appropriate for school and work?	Discussion about what students and adults should wear in the classroom or office
11	RTP Unit 6: Overdoing things	Gestures for storytelling
12	RTP Unit 6: Stories from your own life	Presentations about life lessons that you have learned
13	HMDYA Unit 12: Married Japanese women should be allowed to keep their family name	Investigating gender equality in Japan compared to other countries
14	End of semester review	Discussion about future professional and personal goals

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Be sure to read the class materials beforehand for advance learning. Students will be called upon in each class and are expected to be prepared.

Each week students should prepare for the next class by reading written materials, completing assigned homework, studying vocabulary, and reviewing materials from previous classes.

When participating in a discussion, students should summarize their thoughts beforehand and mull over other students' opinions and indications afterwards in order to deepen their thinking.

【テキスト（教科書）】

"How Much Do You Agree? Evolving Opinions" by Toshihiko Kobayashi and Jeremie Bouchard, Sanshusha: 2019; price 2200 yen. ISBN 978-4-384-33486-9

"Ready To Present", Herman Bartelen and Malcolm Kostiuik, National Geographic Learning, 2019; price 2700 yen. ISBN 978-4-86312-351-9

【参考書】

Students are recommended to have an electronic English-Japanese dictionary

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of classroom participation (40%), homework (20%), and individual and/or group presentations (40%).

****Class attendance is a course requirement.**

Students are allowed no more than three absences in the semester.

【学生の意見等からの気づき】

In consideration of student responses in the course evaluation, adjustments will be made in terms of the amount of class time allocated to discussions between the students in English about the topic in question.

【その他の重要事項】

The instructor reserves the right to modify this course syllabus if necessary.

【Outline (in English)】

This course aims to cultivate in students the ability to absorb, internalize and respond to a variety of stimulating material in English in an effective manner. The course will be taught as an ongoing and varied discussion which from time to time will be led by the students themselves. Students will periodically take responsibility for their own learning through conducting research and seeking answers to the questions and learning scenarios presented by the instructor.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

森永 豊

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

パ・ラク・ラフという文章形式の構造を理解し、英語でパラグラフを書く。また、プレゼンテーションの心得とコツを知り、実践する。題材にふさわしい英語表現と内容を選んで文章を書ける。英語でプレゼンテーションする経験を積む。プレゼンテーションは原則として聴衆に顔を向けて話すものだから、原稿の内容は頭に入れ、なおかつ、正確な発音でプレゼンテーションでできるようにする。発音指導を通して正しい英語の発音を身につける。

【到達目標】

- ・パ・ラク・ラフの形式と内容を理解する。
- ・自分の意見を形成し、アカデミックライティングの考え方に則りながら、それを筋道立てて文章化することができる。
- ・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリスニングで自分のアイデアを話せる。
- ・英語で質疑応答ができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

最初にパラグラフ形式の特徴と論証の構造を講義する。テーマで実際にパラグラフを書く。推敲プロセスの数段階で講師のチェックと添削が入る。次に、書き上げたパラグラフをもとにしてプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションに関する実践的な講義を行い、発表の構成方法、プレゼン資料の作成に関するコツなどを知る。それを踏まえてスクリプトを練り上げる。プレゼン資料の作成や発音練習を経た上で、プレゼンテーションする。発表後に質疑応答を行う。また、発表者は他の学生からの評価や感想を得る。パラグラフやスクリプトの推敲段階で講師の添削やピアレビューによるフィードバックを行う。またプレゼンテーションに対するフィードバックは、評価ポイントを指定したうえで聞き手の学生にも感想やコメントを求める。

授業ではネットの音声素材や講師が作ったウェブアプリを利用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の概要の説明	・概要と進め方 ・成績評価の基準についての説明 ・小テスト
2	パラグラフについて	・パラグラフの内容と構造について ・パラグラフの見本の提示 ・小テスト（予備日）
3	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・パラグラフの書き方について ・パラグラフの各文を繋ぐ英語表現と使い処の提示 ・プロセスライティング1（アイデア生成） ・ディクテーション課題1（授業内） ・単語練習1

4	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング2（アイデア整理）
5	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング3（アウトラインの提出） ・ディクテーション課題2（以降、授業外） ・単語練習2
6	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング4（第1稿の提出）
7	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング5（再提出） ・ディクテーション課題3 ・単語練習3
8	ライティング課題プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング6（最終稿提出） ・プレゼンテーションの方法と心構え ・プレゼンテーションの見本の視聴
9	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成） ・グループ構成の発表
10	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・ディクテーション課題4 ・プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成） ・単語テスト
11	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・スクリプト・スライドの提出
13	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーション本番 ・英語での質疑応答 ・投票用紙提出
14	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーション課題のフィードバック作業

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業は指定した内容の予習を前提にして進める。読み手本位を基本思想とするパラグラフの作成は、読者のコメントを受けた改稿作業が必須であるから、講師や他の学生から受けたコメントを草稿に反映させる時間も必要になる。パワーポイントなど、プレゼンテーションの資料作成や予行練習も必要になる。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

- ・『LINKS 1500 ―大学生のためのトピック別必修英単語―』、金星堂、2013年、1800円（税別）（以下のURLで無料にてダウンロードできる音声ファイルが付属している。<http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963>）
- ・綿貫陽、マーク・ピーターセン（共著）、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円（税込）
- ・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード英語類語活用辞典』、オックスフォード大学出版局、2008年、4700円（税別）その他、授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- ・ライティング課題 25%
- ・スピーキング課題 25%
- ・授業内のパフォーマンス 15%

・ディクテーション課題 25%

・単語テスト 10%

欠席が 4 回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。
30 分以上の遅刻は欠席と見なし、3 回の遅刻は欠席 1 回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

授業ではネットで配信されるテキストの音声素材を利用する。本授業で必要となるオンラインツールは Google Classroom である。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザは Firefox、Google Chrome、Safari を推奨。Internet Explorer は非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

You write up your experience and/or opinion in the form of a paragraph. And you make a presentation with correct English pronunciation and accents. You build your writing and speaking skills step by step to reach the goals. You start to write down a short sequence of sentences, then a paragraph. You learn how to speak vowels, consonants, complex vowels, then to speak an English sentence, and finally a paragraph.

Objectives

- Knowledge of the form and contents of a paragraph
- Ability to argue about your opinions in an academic way
- Ability to write them in an English paragraph
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. You will receive corrections and comments on your drafts from a tutor and students. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Writing assignments 25%
- Presentation assignment 25%
- Performances in a class 15%
- Dictation assignments 25%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

森永 豊

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

パ、ラフという文章形式の構造により習熟し、英語で短いエッセーを書く。また、プレゼンテーションの心得とコツを確認し、実践する。

題材にふさわしい英語表現と内容を選んで文章を書ける。英語でプレゼンテーションする経験を積む。プレゼンテーションは原則として聴衆に顔を向けて話すものだから、原稿の内容は頭に入れ、なおかつ、正確な発音でプレゼンテーションできるようにする。発音指導を通して正しい英語の発音を身につける。

【到達目標】

- ・アカデミックなエッセーの形式と内容を理解する。
- ・自分の意見を形成し、アカデミックライティングの考え方に則りながら、それを筋道立てて文章化することができる。
- ・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリズムで自分のアイデアを話せる。
- ・英語で質疑応答ができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

最初にパラグラフ形式の特徴と論証的構造を確認し、次いでアカデミックなエッセーの構造について講義する。テーマで実際にショートエッセーを書く。推敲プロセスの数段階で講師のチェックと添削が入る。次に、書き上げたショートエッセーをもとにしてプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションに関する実践的な講義を行い、発表の構成方法、プレゼン資料の作成に関するコツなどを知る。それを踏まえてスクリプトを練り上げる。プレゼン資料の作成や発音練習を経た上で、プレゼンテーションする。発表後に質疑応答を行う。また、発表者は他の学生からの評価や感想を得る。パラグラフやスクリプトの推敲段階で講師の添削やピアレビューによるフィードバックを行う。またプレゼンテーションに対するフィードバックは、評価ポイントを指定したうえで聞き手の学生にも感想やコメントを求める。

授業ではネットの音声素材や講師が作ったウェブアプリを利用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の概要の説明	・概要と進め方 ・成績評価の基準についての説明 ・小テスト
2	アカデミックなエッセーについて	・アカデミックなエッセーの内容と構造について ・ショートエッセーの見本の提示 ・ショートエッセーの書き方について ・小テスト（予備日）

3	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング1（アイデア生成） ・ディクテーション課題1（授業内） ・単語練習1
4	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング2（アイデア整理）
5	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング3（アウトラインの提出） ・ディクテーション課題2（以降、授業外） ・単語練習2
6	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング4（第1稿の提出）
7	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング5（再提出） ・ディクテーション課題3 ・単語練習3
8	ライティング課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プロセスライティング6（最終稿提出） ・プレゼンテーションの方法と心構えの確認 ・プレゼンテーションの見本の視聴
9	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成） ・グループ構成の発表
10	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・ディクテーション課題4 ・プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成） ・単語テスト
11	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・スクリプト・スライドの提出
13	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーション本番 ・英語での質疑応答 ・投票用紙提出
14	プレゼンテーション課題「指定テーマ（反論、説明、提案、仮説）」	・プレゼンテーション課題のフィードバック作業

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業は指定した内容の予習を前提にして進める。読み手本位を基本思想とするパラグラフの作成は、読者のコメントを受けた改稿作業が必須であるから、講師や他の学生から受けたコメントを草稿に反映させる時間にも必要になる。パワーポイントなど、プレゼンテーションの資料作成や予行練習も必要になる。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

・『LINKS 1500 一大学生のためのトピック別必修英単語』、金星堂、2013年、1800円（税別）（以下のURLで無料にてダウンロードできる音声ファイルが付属している。<http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963>）
・綿貫陽、マーク・ピーターセン（共著）、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円（税込）
・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード 英語類語活用辞典』、オックスフォード大学出版局、2008年、4700円（税別）
その他、授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- ・ライティング課題 25%
- ・スピーキング課題 25%
- ・授業内のパフォーマンス 15%
- ・ディクテーション課題 25%
- ・単語テスト 10%

欠席が 4 回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。
30 分以上の遅刻は欠席と見なし、3 回の遅刻は欠席 1 回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

授業ではネットで配信されるテキストの音声素材を利用する。本授業で必要となるオンラインツールは Google Classroom である。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザは Firefox、Google Chrome、Safari を推奨。Internet Explorer は非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

You write up your experience and/or opinion in the form of a short essay. And you make a presentation with correct English pronunciation and accents. You build your writing and speaking skills step by step to reach the goals. You start from writing down a short sequence of sentences, a paragraph to a short essay. You learn how to speak vowels, consonants, complex vowels, then to speak an English sentence, and finally a paragraph.

Objectives

- Knowledge of the form and contents of an academic essay
- Ability to argue about your opinions in an academic way
- Ability to write them in an English paragraph
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. You will receive corrections and comments on your drafts from a tutor and students. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Writing assignments 25%
- Presentation assignment 25%
- Performances in a class 15%
- Dictation assignments 25%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

MAXIM WOOLLERTON

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is an oral communication and writing course with a focus on discussing various topics in English. The aim of this course is to encourage students to become critical thinkers who can use this ability to express their ideas in English and share those ideas with others.

【到達目標】

The main goals are as follows:

1. Students will develop the skills to discuss various topics in depth with others;
2. Students will develop the skills to express their ideas about topics in writing;
3. Students will develop enough confidence to be comfortable exchanging opinions with others;
4. Students will be able to respond to the ideas of others.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will do the following activities:

1. Ask and answer questions with a partner or in small groups about the topic;
2. Examine vocabulary relevant to the topic;
3. Listen to an audio clip to identify main points and supporting details;
4. Read the transcript of the audio clip to check answers and to practise pronunciation and intonation;
5. Talk about the topic using more difficult and more contentious questions;
6. Focus on the language used in order to develop discussion skills;
7. Carry out a discussion-oriented extension task related to the topic;
8. Write a paragraph about the topic and share it with other students in the class;
9. Read and respond to the written ideas of other students in the class;
10. Do the online homework activities related to the unit;
11. Do the online assessment activity related to the unit.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Orientation	Course introduction and explanation, introduction to the textbook.
Week 2	Unit 1 - Vacations, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.

Week 3	Unit 1 - Vacations, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 1.
Week 4	Online assessment for Unit 1. Unit 2 - Movies, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 5	Unit 2 - Movies, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 2.
Week 6	Online assessment for Unit 2. Unit 3 - Dating, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 7	Unit 3 - Dating, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 3.
Week 8	Online assessment for Unit 3. Unit 4 - Part-time Jobs, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 9	Unit 4 - Part-time Jobs, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 4.
Week 10	Online assessment for Unit 4. Unit 5 - Learning English, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 11	Unit 5 - Learning English, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 5.
Week 12	Online assessment for Unit 5. Unit 6 - Hopes and Dreams, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 13	Unit 6 - Hopes and Dreams, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 6.
Week 14	Online assessment for Unit 6. Review	End-of-semester conclusion activities.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be required to do homework, mainly in the form of completion of follow-up exercises in the 'Study Centre' website and sometimes research of the topics covered in the class. On average, the amount of work outside of class will be approximately 60 minutes per week. The homework will be important in helping students to be prepared for the student assessment and work preparation in subsequent classes. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

The English Course - Discussion Book 1 by Gary Ireland and Max Woollerton. Published by The English Company (2017) ISBN 978-4-9902962-5-4 [IMPORTANT NOTE: All students are required to have a new and unused copy of the textbook. Used or second hand copies of the textbook will not be permitted.]

【参考書】

<http://www.theenglishcourse.com/students.html>

【成績評価の方法と基準】

In-Class Performance 100% The evaluation criteria are as follows: The total percentage will be accumulated from student classwork scores (35%), homework scores (35%), Unit Test scores (30%). There is an absence limit of 3 classes and a lateness limit of 20 minutes. Lateness in excess of 20 minutes is counted as absence. Three times late is counted as one absence. Students who exceed the limit will not pass the course. Absences and lateness will result in a reduction in points from the classwork score.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

Students need to bring a digital device with the ability to connect to the Internet. A laptop computer or a tablet would be the best kind of device to use.

【その他の重要事項】

In order to prevent the misuse of generative AI and provide equality all writing and speaking activities will be conducted only in class and without the use of AI. For further information about any of the points in this syllabus, please contact the instructor by email at hosei2025@woollerton.com.

【Outline (in English)】

This is an oral communication and writing course with a focus on discussing various topics in English. The aim of this course is to encourage students to become critical thinkers who can use this ability to express their ideas in English and share those ideas with others.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

MAXIM WOOLLERTON

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is an oral communication and writing course with a focus on discussing various topics in English. The aim of this course is to encourage students to become critical thinkers who can use this ability to express their ideas in English and share those ideas with others.

【到達目標】

The main goals are as follows:

1. Students will develop the skills to discuss various topics in depth with others;
2. Students will develop the skills to express their ideas about topics in writing;
3. Students will develop enough confidence to be comfortable exchanging opinions with others;
4. Students will be able to respond to the ideas of others.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will do the following activities:

1. Ask and answer questions with a partner or in small groups about the topic;
2. Examine vocabulary relevant to the topic;
3. Listen to an audio clip to identify main points and supporting details;
4. Read the transcript of the audio clip to check answers and to practise pronunciation and intonation;
5. Talk about the topic using more difficult and more contentious questions;
6. Focus on the language used in order to develop discussion skills;
7. Carry out a discussion-oriented extension task related to the topic;
8. Write a paragraph about the topic and share it with other students in the class;
9. Read and respond to the written ideas of other students in the class;
10. Do the online homework activities related to the unit;
11. Do the online assessment activity related to the unit.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Unit 7 - Image, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.

Week 2	Unit 7 - Image, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 7.
Week 3	Online assessment for Unit 7. Unit 8 - Eating Out, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 4	Unit 8 - Eating Out, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 8.
Week 5	Online assessment for Unit 8. Unit 9 - Family, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 6	Unit 9 - Family, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 9.
Week 7	Online assessment for Unit 9. Unit 10 - Social Networking, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 8	Unit 10 - Social Networking, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 10.
Week 9	Online assessment for Unit 10. Unit 11 - Interests, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 10	Unit 11 - Interests, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 11.
Week 11	Online assessment for Unit 11. Unit 12 - Spending Money, Part 1	Warm up discussion, vocabulary preparation, listening for main points and details, reading to check answers and to practise pronunciation, follow-up discussion.
Week 12	Unit 12 - Spending Money, Part 2	Language focus for discussion skills, extension task, shared writing task, Study Centre homework for Unit 12.
Week 13	Online assessment for Unit 12. Review	End-of-semester project activities, Part 1.
Week 14	Review continued	End-of-semester project activities, Part 2.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be required to do homework, mainly in the form of completion of follow-up exercises in the 'Study Centre' website and sometimes research of the topics covered in the class. On average, the amount of work outside of class will be approximately 60 minutes per week. The homework will be important in helping students to be prepared for the student assessment and work preparation in subsequent classes. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

The English Course - Discussion Book 1 by Gary Ireland and Max Woollerton. Published by The English Company (2017) ISBN 978-4-9902962-5-4 [IMPORTANT NOTE: All students are required to have a new and unused copy of the textbook. Used or second hand copies of the textbook will not be permitted.]

【参考書】

<http://www.theenglishcourse.com/students.html>

【成績評価の方法と基準】

In-Class Performance 100% The evaluation criteria are as follows: The total percentage will be accumulated from student classwork scores (35%), homework scores (35%), Unit Test scores (30%). There is an absence limit of 3 classes and a lateness limit of 20 minutes. Lateness in excess of 20 minutes is counted as absence. Three times late is counted as one absence. Students who exceed the limit will not pass the course. Absences and lateness will result in a reduction in points from the classwork score.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

Students need to bring a digital device with the ability to connect to the Internet. A laptop computer or a tablet would be the best kind of device to use.

【その他の重要事項】

In order to prevent the misuse of generative AI and provide equality all writing and speaking activities will be conducted only in class and without the use of AI. For further information about any of the points in this syllabus, please contact the instructor by email at hosei2025@woollerton.com.

【Outline (in English)】

This is an oral communication and writing course with a focus on discussing various topics in English. The aim of this course is to encourage students to become critical thinkers who can use this ability to express their ideas in English and share those ideas with others.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

ウォルター カズマー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to develop the language skills needed for students to express themselves in English. The class will focus on oral communication and listening skills. You will also practice writing paragraphs and short essays.

【到達目標】

The goals of this course are as follows:

- You will be able to effectively express your opinions, knowledge, and experiences in oral and written form.
- You will be able to logically organize and write a paragraph and eventually a short essay with multiple paragraphs.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

You will learn how to effectively express yourself through working in pairs, groups, making presentations, and producing scripted skits. Feedback will be provided in class after presentations and electronically after projects.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 1: Good Memories (Getting to know each other)	Get to know each other in pairs Practice past tense
2	Unit 1 Life as a child	Listening practice Write a paragraph about what they did as a child
3	Unit 2: Life in the City	Talk about their hometown in pairs Work on quantity expressions
4	Unit 2 Directions	Listening practice Giving directions skit
5	Unit 3: Making Changes	Talk about their home in pairs Look for an apartment near campus
6	Unit 3 Article discussion	Listening practice Read article and discuss
7	Midterm (Units 1-3)	Test on grammar and vocabulary
8	Unit 4: Have you ever tried it?	Discuss eating habits in pairs and groups Review grammar focus
9	Unit 4 Cooking	Listening and reading practice Presentation on cooking
10	Unit 5: Hit the road!	Talk about vacation plans in pairs/groups Review future tense

11	Unit 5 Traveling	Listening practice Write a paragraph about travel
12	Unit 6: Sure! I'll do it.	Talk about living with other people. Practice orders/requests
13	Unit 6 Skits	Listening/reading practice Produce a skit with the grammar learned
14	Final exam (Units 4-6)	Test on vocabulary and grammar

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Students should preview google classroom activities and preview vocabulary listed.

【テキスト（教科書）】

Interchange intro fifth edition Jack Richards
9781316620113

【参考書】

Dictionary:
<https://www.merriam-webster.com>
Grammar help:
<https://www.grammarly.com>

【成績評価の方法と基準】

Mid-term 17%
Final Exam 17%
Writing Assignments 33%
Presentations and Effort 33%
No more than 3 absences will be allowed.
Feedback will be given in class and online.

【学生の意見等からの気づき】

No feedback.

【学生が準備すべき機器他】

Bring a computer, tablet, or smartphone to class for activities.
(tablet preferred if possible)

【その他の重要事項】

email
walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

The aim of this course is to reinforce grammar skills while helping you improve your speaking, listening, reading, and writing skills.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

ウォルター カズマー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to develop the language skills needed for students to express themselves in English. The class will focus on oral communication and listening skills. You will also practice writing paragraphs and short essays.

【到達目標】

The goals of this course are as follows:

- You will be able to effectively express your opinions, knowledge, and experiences in oral and written form.
- You will be able to logically organize and write a paragraph and eventually a short essay with multiple paragraphs.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

You will learn how to effectively express yourself through working in pairs, groups, making presentations, and producing scripted skits. Feedback will be provided in class after presentations and electronically after projects.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7: What do you use this for?	Talk in pairs about technology Grammar focus on infinitives and gerunds
2	Unit 7 Messaging	Listening practice Write a message to your roommate
3	Unit 8: Time to celebrate!	Pair and group work Review grammar
4	Unit 8 Holidays	Pair and group work Review vocabulary Write about your favorite holiday
5	Unit 9: Only time will tell	Pair and listening work about differences in the past
6	Unit 9 Cause and effect	Pair and group work Practice word pairings Discuss and practice cause/effect sentences Reading practice
7	Midterm (Units 7-9)	Test on grammar and vocabulary
8	Unit 10: Presentations	Pair and group work Prepare biographical presentation (using Padlet)
9	Unit 10 Presentations continued	Make a presentation in front of class

10	Unit 11: It's really worth seeing!	Discuss landmarks and other sites in pairs/groups Practice passive voice
11	Unit 11 City guides	Pair and group work Write a guide to your city.
12	Unit 13: That's entertainment!	Pair and group work regarding movies Practice particles as adjectives
13	Unit 13 Film reviews	Role playing Write and film a movie review
14	Final exam (Units 10-12)	Test on vocabulary and grammar

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Students should preview google classroom activities and preview vocabulary listed.

【テキスト（教科書）】

Interchange Intro, 5th edition 9781107611559 Jack Richards CUP

【参考書】

Dictionary:
<https://www.merriam-webster.com>
Grammar help:
<https://www.grammarly.com>

【成績評価の方法と基準】

Mid-term 25%
Final Exam 25%
Writing Assignments 25%
Presentations and Effort 25%
No more than 3 absences will be allowed.
Feedback will be given in class and online.

【学生の意見等からの気づき】

No feedback.

【学生が準備すべき機器他】

Bring a computer, tablet, or smartphone to class for activities. (tablet preferred if possible)

【その他の重要事項】

kasmersensei@gmail.com

【Outline (in English)】

The aim of this course is to reinforce grammar skills while helping students improve their speaking, listening, reading, and writing skills.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The course will develop students ability to communicate in Spoken and Written English. Students will be able to discuss topics and practice skills including: Asking for and giving opinions, Giving reasons and Asking questions. Students will also practice techniques to maintain a conversation. Students will also practice using voice modulation to help communicate content words in an on-line presentation. In addition, students will practice writing paragraphs in an academic style using: Topic sentences with main idea, Supporting ideas with Details and Conclusion. Students will practice using contemporary meeting and presentation applications to achieve the goals.

【到達目標】

This course will enable the student to communicate his/her thoughts, in written format and spoken language, to a given audience. The course will cover paragraph development and organization. Students will be encouraged to express their opinions in spoken English giving reasons and asking questions.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will participate in pair and group activities to practice reading, speaking and listening skills. Students will practice writing logically organized paragraphs using the basic paragraph structure: Topic sentence, Supporting sentences, Conclusion.

We will watch some short on-line video presentations to compare the spoken format to the written format.

All assignments will be issued, submitted and returned in digital format via Google Classroom. All written assignments will be returned with detailed comments showing how students can improve their writing skills. We will use Artificial Intelligence applications (OpenAI, Gemini, DeepSeek etc.) to generate written assignments and analyze the results.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction of Course /Google Classroom /Policies.	Introduction of English Writing, assignments and assessment.
2.	Vacations	Vocabulary of vacations and small group discussion. Giving an opinion.
3.	Vacations: Listening	Listening to expressions to give an opinion. Shadowing with Audio and Text.
4.	Vacations: Group Discussion	Small group discussion and planning a vacation

5.	Vacations: Writing	Basic paragraph structure using Adjectives: Topic Sentence, Supporting ideas, Concluding sentence.
6.	Part-Time jobs:	Vocabulary and discussion of part-time jobs.
7.	Part time jobs: Listening	Listening to expressions to give reasons. Shadowing with Audio and Text.
8.	Part time jobs: Group discussions	Small group discussions and giving advice about part time jobs. Negative and Tag Questions
9.	Part time jobs: Writing	Vocabulary and discussion of future actions. Introduce Clancy presentation.
10.	Hopes and Dreams:	Audio and Text. Closed/Open/ Choose/Negative/Tag questions.
11.	Hopes and dreams: Listening. Contrast structures.	Introduce ChatGPT and other AI Text generators. Write instructions to create a Contrast Paragraph about Clancy.
12.	Hopes and Dreams: Group discussion	Discussion of future plans. Prepare a paragraph.
13.	Hopes and Dreams: Writing	Group Presentations with Metre and Rhythm.
14.	BBC Ideas Video	Watch a BBC Ideas video and complete a worksheet.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

2 Homework assignments writing different styles of paragraphs.

All assignments must be written in digital format and submitted via Gmail.

Students must complete an online word puzzle (Wordle) assignment at least 8 times and submit the results.

Students must complete a weekly assignment of 75 Experience Points (XP).

Students will be required to work in groups of 3 or 4 to prepare a spoken presentation of a popular poem to practice Rhythm and Metre in speech.

To assist in providing feedback, Google Docs format is required. Students will be required to preview the lyrics of 6 short ballads and complete a short multiple-choice worksheet.

【テキスト（教科書）】

The English Course "Discussion Book One", Gary Ireland and Max Woolerton. Available on-line from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the カタログ and search for DB1. A CD is not required but you might like to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company ¥ 3,000 to access The Study Centre. Also available at the bookshop on campus.

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Written Homework Assignment:20%

Worksheet Assignments:10%

Participation: 10%

On-line Tests: 12%

On-line Exercises/Tasks: 12%

Duolingo Activity: 14%

Group Presentation: 12%

Word Games: 10%

Attendance: In Principle: no more than 3 absences are allowed to achieve a Credit grade for this course.

【学生の意見等からの気づき】

Changes made to include use of new technology: on-line meeting applications, Generative Artificial Intelligence and Language Acquisition applications.

【学生が準備すべき機器他】

A portable electronic device, laptop or tablet is best. Smartphones are only acceptable for unavoidable situations. Hosei Gmail account details will be required. We will use Hosei University wi-fi service.

【その他の重要事項】

We will use Google “Classroom” to send, submit and record Written and Worksheet assignments. Students will be required to join the subject using Google “Classroom”. Please download Google Classroom to your device before our first class. The “Classroom” Course code will be advised, via the university Hoppii system, in April.

Students are expected to check their Hosei Gmail account at least once per week.

【Outline (in English)】

The course will develop student’s ability to communicate in Spoken and Written English. Students will be able to discuss topics and practice skills including: Asking for and giving opinions, Giving reasons and Asking questions. Students will also practice techniques to maintain a conversation. Students will also practice using voice modulation to help communicate content words in an online presentation. In addition, students will practice writing paragraphs in an academic style using: Topic sentences with a Main Idea, Supporting ideas with Details and a Conclusion. Students will practice using contemporary meeting and presentation applications to achieve the goals.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will participate in pair and group activities to practice speaking and presentation skills. Students will prepare a short essay with multiple paragraphs that have unity and cohesion. Students will be able to generate and analyze an Academic style essay.

【到達目標】

Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in the written form.

Students will learn how to effectively participate in and facilitate discussions through: 1) Asking for and giving opinions, 2) Agreeing and Disagreeing and 3) supporting their reasons. Students will also practice making on-line presentations and speeches using contemporary software applications. The course will also help students acquire effective listening skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Listening and speaking: Students will be required to participate in pair and group discussions of issues related to their everyday opinions, knowledge and experience.

Writing: Students will be taught the basic structure of Academic-style essays: Grammatical devices will be taught, as appropriate, for different paragraph types to achieve Unity. Students will generate an essay and analyze it to identify: an Introduction and Thesis statement, 2-3 body paragraphs and a Concluding paragraph.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Introduction of goals for semester 2.	Review of Semester 1 Objectives and achievements. Join Classroom
Class 2	Eating Out: Understanding Criteria	Small group discussion. Vocabulary for criteria
Class 3	Eating Out.	Listening and shadowing. Where does English come from?
Class 4	Eating out.	Group task: Grade a restaurant using criteria. Why is English the International language of Trade?
Class 5	Eating Out.	Writing: Prepare an Essay outline about a Topic.

Class 6	Family: Agreeing and Disagreeing	Small group discussions. Essay Structure Introduction, Body Conclusion Thesis statement
Class 7	Family	Listening and Shadowing. Ballad Groups: Prepare a ballad presentation
Class 8	Family.	Using expressions for agreeing and disagreeing. Ballad preparation
Class 9	Family:	Role Play a family problem. Writing: Cohesive Body paragraphs
Class 10	Interests: Supporting your reasons.	Small group discussions and Vocabulary. Ballad Presentation preparation.
Class 11	Interests	Listening and shadowing. Using supporting sentences in speech and writing.
Class 12	Interests	Writing: Conclusion paragraphs. Final Ballad Preparation
Class 13	Presentation	Groups present their Ballad Presentations to the class.
Class 14	Final Presentations and Review	Groups present their Ballad Presentations to the class.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students will be required to generate an Academic Essay and then identify the components of each paragraph. Students will then condense the Essay to an outline and check it for unity.

Students will be required to complete a series of word puzzles to develop their vocabulary.

Students will be required to complete online Tests and Exercises for each Unit of the text that is completed.

Students will prepare a presentation of a Ballad of their choice in small groups.

Students will be required to complete about 30 minutes of online English practice each week.

【テキスト（教科書）】

The English Course "Discussion Book One" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the カタログ and search for DB1. A CD is not required but you might like to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company ¥ 3,000 to access The Study Centre.

【参考書】

To be advised during course

【成績評価の方法と基準】

Homework written assignments: 20%

On-line Tests: 12%

Online Exercises/Tasks: 12%

Participation: 10%

Presentation: 12%

Video Worksheets: 10%

Vocabulary puzzles: 10%

On-line English practice: 14%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

2022: New Text-book and course structure. More focus on speaking.

2023: Practice using Generative Artificial Intelligence applications. Word puzzles to develop vocabulary.

2024: Added on-line English practice (Duolingo).

【学生が準備すべき機器他】

A tablet or laptop device is strongly encouraged (Smartphones are only acceptable in unplanned situation). Students should have access to Japanese-English and English-English e-dictionaries or Wikipedia. Paper and pens/pencils are rarely required.

【その他の重要事項】

We will use "Google Classroom" to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using "Google Classroom". Please download "Google Classroom" from the Google store before the first lesson. The Course code for the class will be advised via the university Learning Management System.

【Outline (in English)】

Students will participate in pair and group activities to practice speaking and presentation skills. Students will prepare a short essay with multiple paragraphs that have unity and cohesion. Students will be able to generate and analyze an Academic style essay.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

Richard J Burrows

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Through a variety of stimulating topics and a number of different writing techniques, students will be challenged to improve their compositional skills to a satisfactory academic level.

【到達目標】

To produce competent written assignments in English, students need to be able to generate ideas & organize them on paper, create the various paragraph types that are used in writing assignments and order & link paragraphs into cohesive & coherent essays. This course will provide students with a variety of stimulating writing tasks, plenty of practice to help students master each stage of the writing process & models of writing that are based on real assignments. In addition to format, grammar & punctuation review, students will be helped through the transition from paragraph structuring to basic essay composition.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will cover a separate writing skill, grammatical structures & vocabulary required.

Students will be able to read samples before practicing various writing tasks.

Writing assignments will be set as homework and must either be uploaded, or printed on A4 paper before the deadline.

Individual reports will be checked & graded by the instructor & returned to each student on a one-to-one basis with additional comments or advice.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductory Class	Textbook introduction, required material guidance and class schedule. Pairwork self-introductions.
Week 2	Writing - Format & Process	Essential features of an academic report layout & the thought process of writing an essay
Week 3	Writing - Pre-Writing	Topic selection, brainstorming & editing.
Week 4	Writing - The Structure of a Paragraph	Topic sentence, supporting points & concluding sentence
Week 5	Writing - The Development of a Paragraph	Using details, an explanation or an example to construct a paragraph

Week 6	Writing - Descriptive Paragraphs	Describing places & people using adjectives & prepositions of position. Pairwork discussion of places & locations
Week 7	Writing - Process Paragraphs	Use of Transition words/ Conjunctions & the imperative verb form
Week 8	Writing - Opinion Paragraphs	Opinions vs facts & causative adverbs. Classmate opinion interviews
Week 9	Writing - The Structure of an Essay	Introduction, body paragraphs & conclusion
Week 10	Writing - Thesis Statements	Effective construction of a thesis statement
Week 11	Writing - Outlines	Correct outline format & common errors
Week 12	Writing - Problem/ Solution Writing	Use of the first conditional & linking phrases
Week 13	Writing - Introductions & Conclusions	How to write effective opening & closing paragraphs
Week 14	Writing - Comparison & Contrast Writing	Explaining similarities & differences

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare homework prior to each class on a weekly basis. In addition, regular reports will be assigned which will require around 2 hours of work & must either be uploaded or printed on A4 paper, before the deadline. No more than 3 absences will be permitted. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】

'Writing Essay's by Dorothy E. Zemach & Lisa A. Ghulldu. Publisher: Macmillan Language House

【参考書】

An electronic or smartphone dictionary, or dictionary app is required at every lesson.

【成績評価の方法と基準】

Grades will be decided according to the following criteria:

30%- Participation & Punctuality

40%- Course Work

30%- Term-End Report

Feedback including corrections & a grade for each report will be given to students individually during lesson time.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Online access to the course materials will allow to students to both preview & review class work.

【学生が準備すべき機器他】

Access to a PC & Printer in order to prepare & upload, or print reports.

A smartphone can ONLY be used as a dictionary, not to study course materials or submit homework

【その他の重要事項】

Regular attendance is required, a willingness to practice & improve your English writing skills, and submit assignments on time.

【Outline (in English)】

This course allows students to proceed step by step through the writing process, from paragraph to essay, acquiring the necessary skills to produce reports suitable for the academic environment

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

Richard J Burrows

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木2/Thu.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Through the lives of 2 young people growing up in present day United Kingdom, we will look at the difficulty of fulfilling your talent and ambition in a challenging environment. Issues such as sexism, racism & homophobia will be examined, while students will be introduced to new & challenging vocabulary, and be able to extensively practice their audio-visual skills.

【到達目標】

1. To give students the opportunity to discuss & analyze issues related to growing up and education in a different culture & environment.
2. To expose students to everyday spoken English through the film's dialogue and weekly pairwork practice.
3. To introduce students to new vocabulary, and offer practice in sentence structure responses.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This course is based on 2 recent films that explore the subject of growing up with a talent or gift and struggling to fulfill it in hostile circumstances. In 'Billy Elliot', students will focus on growing up in contemporary northern England with a story about a boy with a talent for ballet at the time of the miners' strike of the 1980s. In 'Bend It Like Beckham', focus will shift to an Indian girl growing up in a traditional family in a multi-cultural community with a talent for playing soccer.

Each week students will be assigned a reading passage, with both vocabulary & comprehension questions, in preparation for the following lesson. In addition, students will be required to prepare relevant vocabulary and preview themes that will be raised in that lesson's segment. After viewing two 10+ minute segments of the film, students will complete pairwork comprehension questions and analyze a piece of dialogue. Students will be assigned an additional reading passage & vocabulary exercise as homework as well as completing a review of what has been seen and discussed in the lesson.

Individual reports will be checked & graded by the instructor & returned to each student on a one-to-one basis with additional comments or advice.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Review & Preview	Review the previous semester & summer vacation, explain about new semester
Weeks 2	Speaking & Listening: Billy Elliot 1 (The Ballet Class):	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,

Week 3	Speaking & Listening: Billy Elliot 2 (The Private Lesson)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 4	Speaking & Listening: Billy Elliot 3 (Family Trouble)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 4	Speaking & Listening: Billy Elliot 4 (The Audition)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 5	Speaking & Listening: Billy Elliot 5 (Leaving Home)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 6	Writing: Billy Elliot Report	Mid-Term Evaluation
Week 7	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 1 (Jess & her family)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 8	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 2 (Playing for the Team)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 9	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 3 (Trouble in Germany)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 10	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 4 (Jess vs Jules)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 12	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 5 (The Final Match)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 13	Speaking & Listening: Bend It Like Beckham 6 (Going to America)	Reading assignment, Preview, Vocabulary, Listening Comprehension questions x 2, Review,
Week 14	Writing: Bend It Like Beckham	Final Evaluation

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to spend approximately 1 hour on each weekly reading assignment, and 30 minutes to prepare vocabulary & review the previous lesson's material, prior to each class. In addition, students will have to write a 1,200 word report for each film. No more than 3 absences will be permitted. University guidelines suggest preparation around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

No set text is required. However, since all materials will be available online, students must either download & print, or download and have ready on their laptop or tablet device, the required files before the lesson begins.

【参考書】

An electronic or smartphone dictionary, or dictionary app is required at each lesson.

【成績評価の方法と基準】

Grades will be decided according to the following criteria:

30%- Participation & Punctuality

30%- Classroom & Homework Assignments

40%- Mid-term Written Assignment & Final Evaluation

Student will receive feedback & guidance on each report.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased time will be allocated to allow students to complete the listening comprehension questions with their partner, while online access to the course materials will allow to students to both preview & review class work.

【学生が準備すべき機器他】

Students will require a laptop or tablet device with a reliable internet connection, in order to download materials , and to prepare and either upload or print reports.

A smartphone can ONLY be used as a dictionary, not to study course materials or submit homework

【その他の重要事項】

Since these films follow a story, regular attendance is essential to understanding each lesson, and getting maximum benefit from the course.

【Outline (in English)】

As students enter university, they are faced with questions about their identity & future. Both of these films seek to offer guidance & encouragement on what is possible for young people with clear aims & sufficient determination to see their goals realized.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

MICHAEL DONOVAN

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Each week students work through a topic that uses authentic native speaker English. This will enable students to experience native English and improve their knowledge of native speaker English culture.

【到達目標】

This course will enable students to attune themselves to native English using a range of materials. It will improve their ability to understand authentic English and increase their overall confidence in the target language.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Direct method will be used. All lessons are conducted in English with the bare minimum of Japanese used for the sake of expediency. Language points will be presented, practised and then used in freer, interactive activities in pairs and groups and sometimes as an individual presentation. Vocabulary and new expressions are introduced in each class. There will be plenty of opportunity for students to utilize target language and expressions. Active participation is essential for the success of the course.

Students can contact the instructor at anytime 7 days a week directly on zoo57@yahoo.com (ID yourself clearly Hosei /Name /Number)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course details explanation. Self introduction. An explanation of course contents and grading.	Think about your self introduction in English and think of any questions you might have about the course.
2	Japan Culture Quiz	Answer a quiz and make a similar quiz in English about Japanese culture.
3	Letter Correction	Identifying and correcting typical mistakes in a letter and composing a reply.
4	Mini Car video	History of the Mini car video and exercises. Using passive tenses. Q &A.
5	International Culture Quiz	Answer a quiz and make a similar quiz in English about international culture.
6	Japan Times newspaper front page	Answering and asking questions based on the front page news of the Japan Times newspaper.

7	Midway review	How are you doing? Talking about what's happening and what you have been doing.
8	Sherlock Holmes video	Video and associated exercises on the famous fictional character Sherlock Holmes. Past tenses, descriptions of people.
9	Mousetrap	Talking about systems and processes using passive tenses. Designing a mousetrap.
10	Purple Violin video	Video and associated exercises on an unusual street musician. Talking about interests and hobbies.
11	UFO stories I	Narratives, telling stories. Using pictures to make an interesting story about a UFO.
12	UFO stories II	Narratives, telling stories. Using pictures to make an interesting story about a UFO.
13	The near future.	Talking about the future, plans and possibilities.
14	End of term review and consolidation	Review and consolidation. Q &A on past term and next term.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. All materials will be available online. Each assignment contains specific instructions and details relating to preparation and review. Some assignments require specific preparation and will be explained beforehand. Others will require follow up, again explained as and when needed. All preparation, review exercises, further reading and additional information will be provided in the worksheet or as web links. Details will be provided as we progress depending on how things develop.

【テキスト（教科書）】

Materials are provided by the teacher.

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

In class participation - 50%

Assignments and quizzes - 50%.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Talk to me in class. Students can also contact me directly on zoo57@yahoo.com at any time. ID yourself clearly Hosei /Your name and number (in English) Communicate in English only please.

【学生が準備すべき機器他】

None

【その他の重要事項】

Students can contact me at anytime 7 days a week directly on zoo57@yahoo.com (ID yourself clearly Hosei /Name /Number) If you have a problem, please ask.

【Outline (in English)】

Each week students work through a topic that uses authentic native speaker English. This will enable students to experience native English and improve their knowledge of native speaker English culture.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

MICHAEL DONOVAN

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Each week students work through a topic that uses authentic native speaker English. This will enable students to experience native English and improve their knowledge of native speaker English culture.

【到達目標】

This course will enable students to attune themselves to native English using a range of materials. It will improve their ability to understand authentic English and increase their overall confidence in the target language.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Direct method will be used. All lessons are conducted in English with the bare minimum of Japanese used for the sake of expediency. Language points will be presented, practised and then used in freer, interactive activities in pairs and groups and sometimes as an individual presentation. Vocabulary and new expressions are introduced in each class. There will be plenty of opportunity for students to utilize target language and expressions. Active participation is essential for the success of the course.

Students can contact the instructor at anytime 7 days a week directly on zoo57@yahoo.com (ID yourself clearly Hosei /Name /Number)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	From summer until now.	Talking about the holidays, things you did and didn't do.
2	Romance story	Narratives, telling a story, vocabulary and grammar exercises. Creating a story.
3	International News Quiz	Asking and answering questions on recent international news stories.
4	Jogging	Picture story. Narratives, vocabulary and grammar exercises. Creating and telling a story.
5	How We Met	Listening, Q &A, talking about first meetings.
6	Money	Picture story. Narratives, vocabulary and grammar exercises. Creating and telling a story.
7	Midway review	How are you doing? Talking about what's happening and what you have been doing.

8	Cultural Differences	Cultural differences. Giving advice to a first time traveller in Japan.
9	The future	Talking about the future. Possibilities, probability. What will and won't happen
10	BBC video	Video on the history of the BBC and related exercises.
11	Japan News Quiz	Asking and answering questions on recent news stories in Japan.
12	Books, movies, music.	Talking about interests and favourites.
13	Reunion	Picture story. Narratives, vocabulary and grammar exercises. Creating and telling a story.
14	End of term review and consolidation	Review and consolidation. End of term activities.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. All materials will be available online. Each assignment contains specific instructions and details relating to preparation and review. Some assignments require specific preparation and will be explained beforehand. Others will require follow up, again explained as and when needed. All preparation, review exercises, further reading and additional information will be provided in the worksheet or as web links. Details will be provided as we progress depending on how things develop.

【テキスト（教科書）】

Materials are provided by the teacher.

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

In class participation - 50%

Assignments and quizzes - 50%.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Talk to me in class. Students can also also contact me directly on zoo57@yahoo.com at any time. ID yourself clearly Hosei / Your name and number (in English)
Communicate in English only please.

【学生が準備すべき機器他】

None

【その他の重要事項】

Students can contact me at anytime 7 days a week directly on zoo57@yahoo.com (ID yourself clearly Hosei /Name /Number) If you have a problem, please ask.

【Outline (in English)】

Each week students work through a topic that uses authentic native speaker English. This will enable students to experience native English and improve their knowledge of native speaker English culture.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

LASSEGARD JAMES

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Learning English for communicating in a global society. Students will study and improve all four English skills: Listening, Speaking, Reading and Writing.

【到達目標】

Students will practice and improve proficiency in all four language skills: Listening, Speaking, Reading, and Writing. How much students improve is dependent on how much they spend time with English both inside and outside the classroom.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be given entirely in English. Students will participate in a variety of activities that involves all four skills of reading, writing, listening and speaking. These activities include role play dialogues, pair and group discussions, and presentations based on short reading or audio-visual materials. Feedback on students' performance will be given in class, as well as through written assignments in class and online using the University LMS (Hoppii) System. Students may also correspond with the instructor by e-mail.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.
2	Unit 1: Getting to Know Each Other	Dialogue & textbook activities: grammar explanation. Pair & group work
3	Unit 1 Video: Another Country	Video Worksheet activities. Paragraph Writing & assignment explanation.
4	Unit 2: The Way we Live	Writing assignment due. Reading and pair work: Practice asking questions.
5	Writing Improvement Instruction	Common grammar and preposition mistakes.
6	Unit 2 Video: New York City's Park in the Sky	Video listening practice; worksheet questions and research assignment
7	Location Research and Report	Quiz on Units 1-2 vocabulary and grammar.
8	Unit 3: What Happened Next?	Practice past simple (questions and answers) in pair and group activities.
9	Unit 3: Telling a Story & Video	Past tense practice. Titanic video listening practice. Worksheet assignment.

10	Titanic Research Report	Students report research on video from previous week. Explanation of Song Journal activity.
11	Unit 4: The Marketplace	Reading comprehension and practice using "how much/many".
12	Unit 4: The Marketplace Pt. II	Song Journal writing assignment due. Dialogue activities using polite language. Explanation of how to give effective presentations.
13	Mini Presentations	Student give mini-presentations on their chosen topics.
14	Final Class Wrap Up	Hand back Song Journals. Feedback on presentations. Final quiz on Units 3 & 4.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to read ahead in the textbook and complete exercises before the next class session. University guidelines suggest preparation and review should be around one hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Liz and John Soars: American Headway Level 2 (3rd edition). Oxford University Press
Other handouts and materials related to course content will be distributed in class.

【参考書】

References: Students should always bring a (paper or electronic) dictionary to class.

【成績評価の方法と基準】

Class attendance & participation: 25%

Tests, writing assignments, presentations: 75%

Students are allowed up to 3 unexcused absences per semester. Coming late to class twice = one absence.

【学生の意見等からの気づき】

More attention in class will be paid to how to write logical, coherent, and grammatically correct paragraphs and essays in English.

【Outline (in English)】

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

LASSEGARD JAMES

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Learning and Using English for Global Communication: This course is designed to develop the language skills necessary for students to express themselves in English in Japan and overseas.

【到達目標】

Students will improve in all four language skills: listening, speaking, reading and writing. How much they improve depends on how much effort they make inside and outside the classroom.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be given entirely in English. Students will participate in a variety of activities that involves all four skills of reading, writing, listening and speaking. These activities include role playing dialogues, pair and group discussions, and presentations based on short reading or audio-visual materials. Students are expected to come to class prepared by doing the assigned reading and homework. Feedback on students' performance will be given in class, and through written assignments. Students may also correspond with the instructor using e-mail.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 5: What Do You Want to Do?	Course introduction; Review of grammar using summer vacation reports.
2	Unit 5: Future Activities	Future tense practice—questions and answers in pair and group work.
3	Unit 5 video: A Green City for the Future	Video Worksheet activities and discussion. Assign research.
4	Energy and Conservation Reports	Students report on research. Discussion of renewable and non-renewable energy sources.
5	Unit 6: What's it Like?	Practice on describing family with instruction on how to write an essay.
6	Unit 6: My Family—Similarities and Differences	Essays due. Unit 6 reading assignment and pair/group activities. Role play textbook dialogue.
7	Writing Instruction; Video: Scotland	Essay writing feedback; Video Worksheet activities, research assignment.

8	Unit 6 Report and Wrap-up	Quiz on Units 5 & 6. Pair presentation assignment: Interview and Country Report.
9	Countries & Culture	Instruction on giving effective presentations.
10	Country Presentations	Students give presentations in groups. Speaking and listening practice.
11	Unit 7: Careers and Jobs	Feedback on presentations. Textbook reading activity; discussion in pairs.
12	Unit 7 Video: Two Famous Firsts	Video worksheet and supplemental activities; final essay assignment.
13	Unit 8: Do's and Don't's	Final Essay Due; practice giving advice (have to/should)
14	Units 7-8 Review and Wrap-up.	Return final essays. Quiz on Units 7 & 8.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to work/read ahead in the text by doing the readings and completing the activities assigned. Other homework assignments will be assigned in class.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Liz and John Soars. American Headway 2 (3rd Edition).

Other handouts and materials related to course content will be distributed in class. Students must have a notebook/binder and/or loose sheets of paper.

【参考書】

Always bring a dictionary to class (paper or electronic dictionaries are acceptable).

【成績評価の方法と基準】

Class attendance & participation: 25%

Quizzes, short essays, individual and group presentations: 75%

【学生の意見等からの気づき】

More instruction will be provided on how to write short position statements and essays, as well as how to improve presentation skills.

【その他の重要事項】

In principle students are permitted only three unexcused absences during the semester. Two late notices are treated as one absence.

【Outline (in English)】

While attention will be given to all four skills, a special emphasis is on oral communication, and we spend considerable classroom time practicing listening and speaking skills. Students will also be given various writing assignments throughout the semester to practice writing in English.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

井上 紗央里

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

映画教材を使用し、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの演習を行います。特にスピーキングやライティングを通して自分の意見を英語でアウトプットできるようになることを重視します。

【到達目標】

1. 映画の視聴を通して英語の音声に慣れリスニング力を強化する。
2. 映画スクリプトの読解を通して英語の文法、語彙力を強化する。
3. 映画で使用される会話表現を身に着けることで自分の意見を英語で述べられるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は講義と演習形式。授業では、英語の発音練習、語彙、演習問題の答え合わせ、リスニング練習、映画のスクリプトの読解、会話練習を行います。演習の答え、ニュースの内容などについて適宜受講生に質問をするので、その質問に答えられるように事前に予習が必要です。適宜学習支援システムから課題を出題します。フィードバックには学習支援システムとE-mailを使用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明と評価について、テキストの紹介
2	映画視聴と会話練習①	映画視聴(前半)とスクリプトを使用した会話練習
3	Unit 1 前半	Unit 1 Reading, Reading Comprehension, Expressions
4	Unit 1 後半	Unit 1 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing
5	Unit 2 前半	Unit 2 Reading, Reading Comprehension, Expressions
6	Unit 2 後半	Unit 2 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing
7	Unit 3 前半	Unit 3 Reading, Reading Comprehension, Expressions
8	Unit 3 後半	Unit 3 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing
9	映画視聴と会話練習②	映画視聴(後半)とスクリプトを使用した会話練習
10	Unit 4 前半	Unit 4 Reading, Reading Comprehension, Expressions
11	Unit 4 後半	Unit 4 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing
12	Unit 5 前半	Unit 5 Reading, Reading Comprehension, Expressions

13 Unit 5 後半

Unit 5 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing

14 期末試験とまとめ

第1回から13回までの授業内容を試験範囲とします。学期全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの演習問題やReading Scriptを事前に予習してきてください。受講者が予習をしていることを前提にスクリプトのディクテーション、内容理解、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの演習問題の一部を宿題として学習支援システムから出題します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Active English through Movies アクティブ・ラーニング型 映画で学ぶ英語4技能 塩見佳代子 /Matthew Coomber /宮林賀奈子 著 (金星堂2021) ISBN 978-4-7647-4125-6

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

試験50%、平常点（予習、授業内での発言等の貢献度、学習支援システムの課題提出）50%で評価します。欠席が4回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。遅刻や早退も減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

英作文や会話で自分の意見をアウトプットできる機会を増やしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際にPC、タブレットPC、スマートフォン等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

【その他の重要事項】

学習支援システムの授業ページに教員のメールアドレスを掲載するので連絡や質問がある場合はメールで連絡をお願いします。メールを送る際は法政のアドレスから送り「授業曜日、時限、学籍番号、氏名」を件名に明記してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, speaking, writing, and listening skills through watching movies in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills for outputting their opinions in English. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (50%), In-class contribution and assignment submissions (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
English 2 II	2017年度以降入学者
井上 紗央里	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：火 1/Tue.1
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

映画教材を使用し、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの演習を行います。特にスピーキングやライティングを通して自分の意見を英語でアウトプットできるようになることを重視します。

【到達目標】

1. 映画の視聴を通して英語の音声に慣れリスニング力を強化する。
2. 映画スクリプトの読解を通して英語の文法、語彙力を強化する。
3. 映画で使用される会話表現を身に着けることで自分の意見を英語で述べられるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は講義と演習形式。授業では、英語の発音練習、語彙、演習問題の答え合わせ、リスニング練習、映画のスクリプトの読解、会話練習を行います。演習の答え、ニュースの内容などについて適宜受講生に質問をするので、その質問に答えられるように事前に予習が必要です。適宜学習支援システムから課題を出題します。フィードバックには学習支援システムとE-mailを使用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明と評価について、テキストの紹介
2	映画視聴と会話練習①	映画視聴(前半)とスクリプトを使用した会話練習
3	Unit 6 前半	Unit 6 Reading, Reading Comprehension, Expressions
4	Unit 6 後半	Unit 6 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing
5	Unit 7 前半	Unit 7 Reading, Reading Comprehension, Expressions
6	Unit 7 後半	Unit 7 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing
7	Unit 8 前半	Unit 8 Reading, Reading Comprehension, Expressions
8	Unit 8 後半	Unit 8 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing
9	映画視聴と会話練習②	映画視聴(後半)とスクリプトを使用した会話練習
10	Unit 9 前半	Unit 9 Reading, Reading Comprehension, Expressions
11	Unit 9 後半	Unit 9 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing
12	Unit 10 前半	Unit 10 Reading, Reading Comprehension, Expressions

13	Unit 10 後半	Unit 10 Listening Comprehension, Speaking Practice, Writing
14	期末試験とまとめ	第1回から13回までの授業内容を試験範囲とします。学期全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの演習問題やReading Scriptを事前に予習してきてください。受講者が予習をしていることを前提にスクリプトのディクテーション、内容理解、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの演習問題の一部を宿題として学習支援システムから出題します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Active English through Movies アクティブ・ラーニング型 映画で学ぶ英語4技能 塩見佳代子 /Matthew Coomber /宮林賀奈子 著 (金星堂2021) ISBN 978-4-7647-4125-6

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

試験50%、平常点（予習、授業内での発言等の貢献度、学習支援システムの課題提出）50%で評価します。欠席が4回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。遅刻や早退も減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

英作文や会話で自分の意見をアウトプットできる機会を増やしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際にPC、タブレットPC、スマートフォン等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

【その他の重要事項】

学習支援システムの授業ページに教員のメールアドレスを掲載するので連絡や質問がある場合はメールで連絡をお願いします。メールを送る際は法政のアドレスから送り「授業曜日、時限、学籍番号、氏名」を件名に明記してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, speaking, writing, and listening skills through watching movies in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills for outputting their opinions in English. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (50%), In-class contribution and assignment submissions (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

ROBIN F WEICHERT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Practice and develop listening, speaking, reading, and writing skills with emphasis on communication in everyday and academic contexts. Students will engage with diverse content through textbook materials, videos, and extensive reading to build comprehensive English abilities.

【到達目標】

The course aims to develop students' overall English communication abilities. Students will:

- Learn to express themselves effectively in everyday and academic situations
- Build vocabulary and grammar skills through regular practice and extensive reading
- Develop presentation and discussion skills on various topics
- Improve reading fluency through graded readers and course materials
- Gain confidence in expressing opinions and plans in English

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course takes a learner-centered approach combining:

- Video presentations
- Pair and small group activities for speaking practice
- Individual and group presentations
- Extensive reading program using graded readers

Exercises will be done both in class and as homework, with several quizzes throughout the semester. Feedback on assignments and presentations will be given at the beginning or the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction & Unit 1 (Where We Live)	Course Overview and Extensive Reading Orientation, Introduction to Present Perfect, Talking about How Long/How Often
2	Unit 1 continued	Migration Push/Pull Factors, Where You're From vocabulary
3	Unit 1 continued	So...that grammar patterns, Giving Reasons and Explaining Results
4	Unit 1 completion	Quality of Life reading, Describing Places to Live
5	Unit 2 (The Mind's Eye)	Cognitive Milestones, Expressing Degrees of Liking
6	Unit 2 continued	Infinitives and -ing Forms, Discussing Mental Influences
7	Unit 2 continued	Using Could, May, and Might to discuss possibilities, Practice with Modal Verbs
8	Unit 2 completion	How Memories are Made reading, Describing Emotions
9	Unit 3 (Changing Planet)	Pollution vocabulary, Working with Large Numbers
10	Unit 3 continued	The Passive Voice, Discussing Causes and Effects
11	Unit 3 continued	Past Perfect, Climate Change Discussion,
12	Presentation Workshop	Presentation Guidelines and Structure, Practice and Peer Feedback, Final Preparation Time
13	Final Presentations	Workshop and rehearsal
14	Course Wrap-up	Remaining Presentations, Reading Log Submission, and Review, Course Review and Feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- Weekly textbook assignments and review (approximately 60 minutes)
 - Preparation for presentations and quizzes
 - Extensive reading using the university library's graded readers collection
 - Recommended goal: 70 minutes of reading per week, starting with books at an appropriate level (YL 0.8-2.4 for beginners)
 - Students should keep a simple reading log noting titles and approximate word counts
- University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Hughes, J., Chase, B. T., Johannsen, K. L., Lee, C., & Milner, M. World English, American English Combo Split 3A with Spark Access + e-Book (1 year access). National Geographic Learning/Cengage Learning. ISBN: 9798214085432

【参考書】

Recommended Graded Reader Series

- Start with:
 - ・ Oxford Reading Tree (YL 0.8-0.9): Picture-based, perfect for beginners
 - ・ Penguin Readers Easystarts (YL 0.8): Simple stories, many topics

- Progress to:
 - ・ Cambridge/Oxford/Macmillan Readers: Wide range of original and adapted stories
 - ・ Penguin Readers: Large selection including movie adaptations

- All series available in the university library (see: <https://hosei.libguides.com/tadoku>)

【成績評価の方法と基準】

- Class participation and homework: 25%
- Unit quizzes: 25%
- Presentations: 35%
- Extensive reading: 15%(Based on reading logs and achieved word count goals)

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Students must bring their textbook to every class (教科書を必ず持参してください)

【その他の重要事項】

- Students are encouraged to follow the three principles of extensive reading:
 - ・ Choose easy books you can read without a dictionary
 - ・ Stop reading if the book is not interesting or too difficult
 - ・ Focus on reading for meaning rather than translation

【Outline (in English)】

This course is designed for students to practice and develop listening, speaking, reading, and writing skills. Students will study texts of diverse content, articulate own ideas and give short presentations.

The course aims to develop students' overall English communication abilities. Students will learn to express themselves effectively in everyday and academic situations, describe experiences and events, and explain opinions and plans. Through regular practice, students will improve their ability to structure and communicate ideas both orally and in writing.

Outside of class, students are expected to review lessons and vocabulary, prepare short presentations, and complete writing assignments. The required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading will be based on participation in class activities and homework (25%), quizzes (25%), presentations (40%), and extensive reading (15%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

ROBIN F WEICHERT

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Building on English 2I, this course continues to develop listening, speaking, reading, and writing skills with emphasis on communication in everyday and academic contexts. Students will engage with diverse content through textbook materials, videos, and extensive reading to further strengthen their English abilities.

【到達目標】

The course aims to develop students' overall English communication abilities. Students will:

- Learn to express themselves effectively in everyday and academic situations
- Build vocabulary and grammar skills through regular practice and extensive reading
- Develop presentation and discussion skills on various topics
- Improve reading fluency through graded readers and course materials
- Gain confidence in expressing opinions and plans in English

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course takes a learner-centered approach combining:

- Video presentations
- Pair and small group activities for speaking practice
- Individual and group presentations
- Extensive reading program using graded readers

Exercises will be done both in class and as homework, with several quizzes throughout the semester. Feedback on assignments and presentations will be given at the beginning or the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 4 (The Good Life)	Money and Value vocabulary, Things You Value Discussion
2	Unit 4 continued	Infinitives and -ing Forms 2, Discussing Important People/Events
3	Unit 4 continued	The Passive Voice 2, Good Financial Habits
4	Unit 4 completion	Better Jobs reading, Expressing Agreement/Disagreement
5	Unit 5 (Survival)	Conditions of Species vocabulary, Natural Disasters
6	Unit 5 continued	Unreal Conditionals, Discussing How Things Could Be Different
7	Unit 5 completion	Using Wish and Hope, Discussing Rescues

8	Unit 6 (Art Matters)	Art vocabulary, Reporting Other People's Ideas
9	Unit 6 continued	Reported Speech, Expressing Opinions about Public Art
10	Unit 6 continued	Adjective Clauses, Types of Art Discussion
11	Unit 6 completed	Art Value Discussion, Creating Biographical Profiles
12	Presentation Workshop	Presentation Guidelines and Structure, Practice and Peer Feedback, Final Preparation Time
13	Final Presentations	Individual/Group Presentations, Peer Feedback and Discussion
14	Course Wrap-up	Remaining Presentations, Reading Log Submission and Review, Course Review and Feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- Weekly textbook assignments and review (approximately 60 minutes)
 - Preparation for presentations and quizzes
 - Extensive reading using the university library's graded readers collection
 - Recommended goal: 70 minutes of reading per week, progressing to more challenging levels
 - Maintaining reading log with cumulative word count totals
- University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Hughes, J., Chase, B. T., Johannsen, K. L., Lee, C., & Milner, M. World English, American English Combo Split 3A with Spark Access + e-Book (1 year access). National Geographic Learning / Cengage Learning. ISBN: 9798214085432

【参考書】

Recommended Graded Reader Series

Progress to more challenging levels in:

- ・ Cambridge/Oxford/Macmillan Readers
- ・ Penguin Readers
- ・ National Geographic Footprint Reading Library

All series available in the university library

(see: <https://hosei.libguides.com/tadoku>)

【成績評価の方法と基準】

- Class participation and homework: 25%
 - Unit quizzes: 25%
 - Presentations: 35%
 - Extensive reading: 15% (Based on reading logs and achieved word count goals)
- In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Students must bring their textbook to every class (教科書を必ず持参してください)

【その他の重要事項】

- Students are encouraged to follow the three principles of extensive reading:
 - ・ Choose easy books you can read without a dictionary
 - ・ Stop reading if the book is not interesting or too difficult
 - ・ Focus on reading for meaning rather than translation

【Outline (in English)】

This course is designed for students to practice and develop listening, speaking, reading, and writing skills. Students will study texts of diverse content, articulate own ideas and give short presentations.

The course aims to develop students' overall English communication abilities. Students will learn to express themselves effectively in everyday and academic situations, describe experiences and events, and explain opinions and plans. Through regular practice, students will improve their ability to structure and communicate ideas both orally and in writing. Outside of class, students are expected to review lessons and vocabulary, prepare short presentations, and complete writing assignments. The required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading will be based on participation in class activities and homework (25%), quizzes (25%), presentations (40%), and extensive reading (15%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

ERIC J RITTER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【到達目標】

Students will develop their skills to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Drawing attention to the basic paragraph structure (e.g. topic sentence, supporting sentences and concluding sentence), students will be required to learn how to write a logically organized paragraph, and then write a short essay with multiple paragraphs.

Students will learn how to effectively participate in and facilitate discussions and/or give presentations and speeches, depending on their English levels. The course will also help students acquire effective listening skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This is an in person class. Feedback will be provided during class and on Google classroom.

1. Reading articles from book.
2. Listening and watching audio/video.
3. Speaking and Role play in Pair & Groups.
4. Individual Presentations about a topic.
5. Writing paragraphs and short essay.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.
2	Unit 1: Lifestyles	Pair & Group work. p. 4-5
3	Unit 1: Lifestyles	Pair & Group work. p. 6-7. Homework: reading p. 9
4	Unit 2: Leisure	Review reading. Speaking and Listening p. 10-11. Homework: reading
5	Unit 2: Leisure	Review reading. Speaking & Listening p. 12-3. Homework: reading
6	Unit 3: Getting Along	Review reading. Pair and Group work p.16-7. Homework: write an email p. 21
7	Unit 3: Getting Along	Review writing. Review for mid-term exam.

8	Midterm on Units 1-3	Written test on grammar and vocabulary.
9	Unit 4: Interests	Review email writing. Speaking & Listening activities p.24-5. Homework: reading p. 29
10	Unit 4: Interests	Review reading. Pair & Group work p. 30-1. Homework: grammar
11	Unit 5: Telling a Story	Speaking & Listening work in pairs. p. 32-3. Homework: writing p. 35
12	Unit 5: telling a Story	Review writing. Pair & Group work. p. 36-7. Homework: reading p. 41
13	Unit 6: Celebrations	Speaking & Listening activities. Review for Final Exam
14	Final Exam	Written test about grammar & vocabulary.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to read ahead in the textbook and complete activities before the next class session. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】

Miles Craven: Breakthrough Plus 2 (2nd edition). Macmillan Education

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Mid-term 25%

Final Exam 25%

Writing Assignments 25%

Presentation & Effort 25%

4 absences are allowed; 5 absences will fail unless you have an emergency and email me before class at eric.j.ritter.78@hosei.ac.jp. Feedback will be given in class and via Google classroom.

【学生の意見等からの気づき】

No feedback

【学生が準備すべき機器他】

Student need smartphone or ipad or pc. They also need to know how to use Google classroom and Hoppii.

【Outline (in English)】

This course will be given entirely in English. Students will participate in a variety of activities that involves all four skills of reading, writing, listening and speaking. These activities include role play dialogues, pair and group discussions, and presentations based on short reading or audio-visual materials.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

ERIC J RITTER

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火1/Tue.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【到達目標】

Students will develop their skills to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Drawing attention to the basic paragraph structure (e.g. topic sentence, supporting sentences and concluding sentence), students will be required to learn how to write a logically organized paragraph, and then write a short essay with multiple paragraphs.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Students will learn how to effectively participate in and facilitate discussions and/or give presentations and speeches, depending on their English levels. The course will also help students acquire effective listening skills. Feedback will be given during class and on Google classroom.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 6: Celebrations	Speaking &Listening p. 38-9. Homework: reading p. 41
2	Unit 6: Celebrations	Speaking &Listening p. 44-5. Homework: reading p. 49
3	Unit 7: Food/Drink	Speaking &Listening p. 46-7. Homework: reading
4	Unit 7: Food/drink	Pair &Group Work p. 48-9. Homework: wrting
5	Unit 9: Rules	Speaking &Listenng. p. 50-1. Homework: reading p. 55
6	Unit 9: Rules	Pair &Group Work. p. 56-7. Homework: writing p. 61
7	Unit 9: continued	Review writing &provide feedback. Review for Mid-term exam.
8	Mid-term exam	Written exam
9	Unit 10: Health	Speaking &Listening p. 64-5. Homework: Writing p. 69
10	Unit 11: Comparisons	Review writing. Speaking & Listening p. 70-1. Homework: reading p. 75
11	Unit 11: Comparisons	Speaking &Listening p. 76-7. Homework: writing p. 81
12	Unit 12: The modern world	Review writing and provide feedback. Speaking & Listening p. 82-3

13 Unit 12: The modern world Review topics for final exam

14 Final Exam Grammar &Vocabulary Test.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to read ahead in the textbook and complete activities before the next class session. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Miles Craven: Breakthrough Plus 2 (2nd edition). Macmillan Education.

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Mid-term 25%

Final Exam 25%

Writing Assignments 25%

Presentation &Effort 25%

4 absences are allowed; 5 will fail unless you have an emergency and email me before class at eric.j.ritter.78@hosei.ac.jp. Feedback will be given in class and via Google classroom.

【学生の意見等からの気づき】

No feedback

【学生が準備すべき機器他】

Computer and internet access

【Outline (in English)】

This course will be given entirely in English. Students will participate in a variety of activities that involves all four skills of reading, writing, listening and speaking. These activities include role play dialogues, pair and group discussions, and presentations based on short reading or audio-visual materials.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

鈴木 真奈美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、英語のライティングとスピーキングを中心に学習しますが、リーディング、リスニングも含めた4技能を統合的に発展させることを目標とします。クラスでは英語でのコミュニケーションの機会がたくさんあります。ディベートやグループプレゼンテーションも行います。このような授業に積極的に参加することで良い学習環境をともに創造していきましょう。

【到達目標】

You will try to achieve four goals: 1) to improve your English writing and speaking communicative competence; 2) to know and understand yourself better; 3) to think of your future life and career through the course work; and 4) to progress your English proficiency (listening, speaking, reading and writing) holistically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

You will learn:

- 1) communication strategies (e.g., shadowing and summarizing)
- 2) basic English writing knowledge (e.g., organization, topic sentences, how to write a letter or an e-mail)
- 3) presentation/debate skills and strategies
- 4) collaborative learning
- 5) the importance of understanding various perspectives on controversial issues and logical thinking
- 6) practice making small talk in every class

*I will give you my oral and written feedback on your assignments in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction Writing: Goals and Self-introduction	I will introduce this course. You will learn how to introduce yourself. You will set your goals for this semester and this English course and write them in English.
2	Speaking: Self-Introduction Thank-you Letter	You will introduce yourself in class. You will learn how to write a thank-you letter.
3	Shadowing and Summarizing	You will watch a DVD on shadowing and summarizing in class.
4	Review of Shadowing and Summarizing Units 1-2	You will review shadowing and summarizing. pp.10-17
5	Units 3-4	pp.18-25

6	Preparation for Debates	You will learn about debates and prepare for your debates on issues you select.
7	Debate	You will do the debate.
8	Debate	You will continue to do the debate.
9	Units 5-6 Preparation for a Group Presentation	pp.26-33 You will prepare for a group presentation.
10	Presentation	You will make a group presentation.
11	Presentation	You will continue to make a group presentation.
12	Units 7-8	pp.34-41
13	Units 9-10	pp.42-49
14	Discussion Review Reflection	You will discuss your favorite topics with your classmates. You will review what you have learned in this class and discuss impressive units with your classmates. You will reflect on your academic achievement this semester.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You are expected:

- 1) to read assigned units and look up words and phrases you don't know in the dictionary before the class.
- 2) to watch or listen to an English program regularly.

University guidelines suggest preparation and review are around four hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Title: Impact Issues 3: Presenting your ideas in English (3rd Edition)

Authors: Richard R. Day, Joseph Shaules, and Junko Yamanaka

Publisher: Pearson Education South Asia

Publishing Year: 2019

【参考書】

Longman Dictionary of Contemporary English

【成績評価の方法と基準】

class participation (20%), presentation (5%), debate (5%) assignments (10%), and final examination (60%)

*If you have four absences per semester without permission, do not debate, do not make a group presentation, or do not take a term examination, you cannot receive a credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

I hope that we will enjoy learning English together.

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (Hosei's Educational Internet System), E-mail, computer, USB

【その他の重要事項】

What you are expected for every class:

- 1) to bring an English-English dictionary
- 2) to contact me when you are absent from class

*Good manners and collaborative learning are important in this class.

【Outline (in English)】

You will learn English writing and speaking mainly in this class. However, this course aims to enhance your English (listening, speaking, reading and writing) holistically. You will have a lot of chances to communicate with your classmates and me in English. You will also debate and make a group presentation with your classmates. You are expected to make a good learning community through participation in this class.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

鈴木 眞奈美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、英語のライティングとスピーキングを中心に学習しますが、リーディング、リスニングも含めた4技能を統合的に発展させることを目標とします。クラスでは英語でのコミュニケーションの機会がたくさんあります。ディベートやグループプレゼンテーションも行います。このような授業に積極的に参加することで良い学習環境をともに創造していきましょう。

【到達目標】

You will try to achieve four goals: 1) to improve your English writing and speaking communicative competence; 2) to know and understand yourself better; 3) to think of your future life and career through the course work; and 4) to progress your English proficiency (listening, speaking, reading and writing) holistically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

You will learn:

- 1) communication strategies (e.g., shadowing and summarizing)
- 2) basic English writing knowledge (e.g., organization, topic sentences)
- 3) presentation skills
- 4) collaborative learning
- 5) the importance of understanding various perspectives on controversial issues and logical thinking
- 6) practice making small talk in every class

*I will give you my oral and written feedback on your assignments in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction; Review; Setting Goals	I will introduce this course. You will review what you learned in the previous semester. You will set your goals for this semester and this English course and write them in English.
2	Units 11	pp.50-53 You will discuss the topic of each chapter.
3	Units 12	pp.54-57 You will discuss the topic of each chapter.
4	Unit 13	pp.58-61 You will discuss the topic of each chapter.
5	Unit 14	pp.62-65 You will discuss the topic of each chapter.

6	Unit 15	pp.66-69 You will discuss the topic of each chapter.
7	Unit 16	pp.70-73 You will discuss the topic of each chapter.
8	Preparation for Presentation	You will prepare for your presentation.
9	Presentation	You will make a presentation.
10	Presentation	You will continue to make a presentation.
11	Presentation	You will continue to make a presentation
12	Units 17-18	pp.74-81 You will discuss the topic of each chapter.
13	Review	You will review what you learn in this class and discuss impressive units with your classmates.
14	Discussion Reflection	You will discuss your favorite topics with your classmates. You will reflect on your academic performance and set your goals for the next academic year.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You are expected:

- 1) to read assigned units and look up words and phrases you don't know in the dictionary before the class.
- 2) to watch or listen to an English program regularly.

University guidelines suggest preparation and review are around four hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Title: Impact Issues 3: Presenting your ideas in English (3rd Edition)

Authors: Richard R. Day, Joseph Shaules, and Junko Yamanaka

Publisher: Pearson Education South Asia

Publishing Year: 2019

【参考書】

Longman Dictionary of Contemporary English

【成績評価の方法と基準】

class participation (20%), presentation (20%), assignments (10%), and final examination (50%)

*If you have four absences per semester without permission, do not make a group presentation, or do not take a term examination, you cannot receive a credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

I hope you will come to like studying English more and that you will keep on learning English.

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (Hosei's Educational Internet System), E-mail, computer, USB

【その他の重要事項】

What you are expected for every class:

- 1) to bring an English-English dictionary
- 2) to contact me when you are absent from class

*Good manners and collaborative learning are important in this class.

【Outline (in English)】

You will learn English writing and speaking mainly in this class. However, this course aims to enhance your English (listening, speaking, reading and writing) holistically. You will have a lot of chances to communicate with your classmates and me in English. You will also debate and make a group presentation with your classmates. You are expected to make a good learning community through participation in this class.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

妻鹿 裕子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土4/Sat.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業ではリーディングとライティングを中心に総合的な英語力の向上を目指します。またパラグラフ・ライティングの基本を身につけます。

【到達目標】

- ・英語の文章を正確に読む力をつけます
- ・論理的な思考力を養います
- ・語彙力を増やします
- ・パラグラフ・ライティングの基本を身につけます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

一つのunitを三回の授業で扱います。一週目と二週目はリーディングを中心にパラグラフの役割について学びます。三週目はパラグラフ・ライティングについて学びながら、論理的な文章を書く練習を行います。提出物はコメントをつけて返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容・成績評価等に関する説明
2	Unit 1	Reading 1
3	Unit 1	Reading 2
4	Unit 1	Writing
5	Unit 2	Reading 1
6	Unit 2	Reading 2
7	Unit 2	Writing
8	Unit 3	Reading 1
9	Unit 3	Reading 2
10	Unit 3	Writing
11	Unit 4	Reading 1
12	Unit 4	Reading 2
13	Unit 4	Writing
14	試験・まとめと解説	学期末試験・春学期の総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習を前提として授業を行います。特にリーディングのパートをしつかり予習して下さい。本授業の準備・復習時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Pathways: Reading, Writing, and Critical Thinking 2A
(Cengage Learning)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

テスト35%、提出物35%、平常点30%で評価します。遅刻は授業開始時刻から30分までとし、遅刻三回で欠席とみなします。各学期欠席が四回以上の場合は、原則として単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

積極的な授業参加を求めます。どんどん発言して下さい。

【その他の重要事項】

- ・授業で辞書（英和と英英）を使用します。
- ・Hoppiiの「お知らせ」で連絡する場合があります。

【Outline (in English)】

Course Outline

This class aims to help you develop your reading and writing skills.

Learning Objectives

Students will acquire reading and writing strategies.

Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Study time will be an hour for each class.

Grading Criteria/Policy

The final grade will be based on the following criteria:

1. Final Exam 35%
2. Assignments 35%
3. Classroom Participation 30%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

妻鹿 裕子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土4/Sat.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業ではリーディングとライティングを中心に総合的な英語力の向上を目指します。またパラグラフ・ライティングの基本を身につけます。

【到達目標】

- ・英語の文章を正確に読む力をつけます
- ・論理的な思考力を養います
- ・語彙を増やします
- ・パラグラフ・ライティングの基本を身につけます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

一つのunitを三回の授業で扱います。一週目と二週目はリーディングを中心にパラグラフの役割について学びます。三週目はパラグラフ・ライティングについて学びながら、論理的な文章を書く練習を行います。提出物はコメントをつけて返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容・成績評価等に関する説明
2	Unit 6	Reading 1
3	Unit 6	Reading 2
4	Unit 6	Writing
5	Unit 7	Reading 1
6	Unit 7	Reading 2
7	Unit 7	Writing
8	Unit 8	Reading 1
9	Unit 8	Reading 2
10	Unit 8	Writing
11	Unit 9	Reading 1
12	Unit 9	Reading 2
13	Unit 9	Writing
14	試験・まとめと解説	学期末試験・春学期の総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習を前提として授業を行います。特にリーディングのパートをしつかり予習して下さい。本授業の準備・復習時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Pathways: Reading, Writing, and Critical Thinking 2B
(Cengage Learning)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

テスト35%、提出物35%、平常点30%で評価します。遅刻は授業開始時刻から30分までとし、遅刻三回で欠席とみなします。各学期欠席が四回以上の場合は、原則として単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

積極的な授業参加を求めます。どんどん発言して下さい。

【その他の重要事項】

- ・授業で辞書（英和と英英）を使用します。
- ・Hoppiiの「お知らせ」で連絡する場合があります。

【Outline (in English)】

Course Outline

This class aims to help you develop your reading and writing skills.

Learning Objectives

Students will acquire reading and writing strategies.

Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Study time will be an hour for each class.

Grading Criteria/Policy

The final grade will be based on the following criteria:

1. Final Exam 35%
2. Assignments 35%
3. Classroom Participation 30%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

中和 彩子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土4/Sat.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

主として英語でパラグラフを書く練習を通じて、自分の知識、考えや経験を英語で効果的に表現する力を養う。それに伴い、英語の音読・リスニング、英語による発表やコメントのしかたについても学ぶ。

【到達目標】

論理的構成を持つパラグラフを、平易な英語で書くことができる。書いたものをわかりやすく音読したり、英語で説明したりすることができる。

平易な英語で表現された一連の文章を、聴いて理解し、それについて自分の考えを述べることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書の各課の“Task”を順に学ぶ。回により、“Task”の一部を授業前／授業中／授業後の提出課題とする。回により、英語でのスピーチやグループワークを行う。提出課題へのフィードバックは、授業の一部として行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業についての説明、
2	Learning About a Paragraph (1)パラグラフと「段落」の違い	Unit 1 A Paragraph as a Product
3	Learning About a Paragraph (2)主題文	Unit 2 Writing a Topic Sentence
4	Learning About a Paragraph (3)支持文	Unit 3 Writing Supporting Sentences
5	Learning About a Paragraph (4)結論文	Unit 4 Writing a Concluding Sentence
6	Learning About a Paragraph (5)演習	The Process of Paragraph Writing (1)
7	Learning About a Paragraph (6)まとめ	The Process of Paragraph Writing (2)
8	Writing in a Paragraph Format (1)自分について書く	Unit 5 Describing your Favorite Place
9	Writing in a Paragraph Format (2)自分について書く	Unit 6 Describing your Passion
10	Writing in a Paragraph Format (3)自分の考えを書く	Unit 7 Expressing an Opinion
11	Writing in a Paragraph Format (4)助言・指示	Unit 8 Giving Advice and Instructions

12	Writing in a Paragraph Format (5)比較・対象	Unit 9 Comparing and Contrasting
13	Writing in a Paragraph Format (6)演習	Unit 10 Explaining Japanese Culture (1)
14	Writing in a Paragraph Format (7)まとめ	Unit 10 Explaining Japanese Culture (2)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書の“Task”を、毎回の指示に従って予習した状態で出席すること。

復習用に課された“Task”や、英作文については、期限までに提出すること。

※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

静哲人『Writing Accelerator パラグラフ構成要素から学べるライティング入門』松柏社

【参考書】

英英、英和、和英辞書、各1点以上を含む電子辞書または本。毎回の授業にも、教科書とともに必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点（宿題・授業内での提出物60%、発表やグループワーク20%）、ライティング課題20%の総合評価とする。

欠席が4回以上の場合は原則として単位修得を認めない。遅刻・早退は程度や回数に応じて減点の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

情報の周知、課題の出題・提出などに学習支援システムを使用する。授業中に使用する場合もあるため、毎回、パソコンやタブレット等の端末デバイスを持参すること。

Zoomを使用したりリアルタイムオンライン授業を行う可能性があり、その場合は受講環境によってはヘッドセットが必要となる。

【その他の重要事項】

対面授業を基本とするが、必要に応じてリアルタイムオンライン授業を行う可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【Outline (in English)】

Course outline: Using a textbook based on a process-writing approach, students will develop their abilities to express their opinions, knowledge and experience in written form. They will also learn how to effectively listen and respond to each other's speeches that are based on their writings.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to acquire the skills and attitudes mentioned above, mainly through practicing paragraph writing and presenting what they write to each other.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to prepare for each class meeting by working on the tasks assigned the week before. Students will also be required to submit short essays or speech scripts. ※ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading Policies: Grading will be decided based on (1) pre-, in-, and post-class assignments (60%), (2) class participation (20%), (3) short essays or speech scripts (20%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit for the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

中和 彩子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土4/Sat.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

主として英語でパラグラフを書く練習を通じて、自分の知識、考えや経験を英語で効果的に表現する力を養う。それに伴い、英語の音読・リスニング、英語による発表やコメントのしかたについても学ぶ。

【到達目標】

論理的構成を持つパラグラフを、平易な英語で書くことができる。書いたものをわかりやすく音読したり、英語で説明したりすることができる。

平易な英語で表現された一連の文章を、聴いて理解し、それについて自分の考えを述べることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書の各課の“Task”を順に学ぶ。回により、“Task”の一部を授業前／授業中／授業後の提出課題とする。回により、英語でのスピーチやグループワークを行う。提出課題へのフィードバックは、授業の一部として行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業についての説明、
2	Learning About a Paragraph (1)パラグラフと「段落」の違い	Unit 1 A Paragraph as a Product
3	Learning About a Paragraph (2)主題文	Unit 2 Writing a Topic Sentence
4	Learning About a Paragraph (3)支持文	Unit 3 Writing Supporting Sentences
5	Learning About a Paragraph (4)結論文	Unit 4 Writing a Concluding Sentence
6	Learning About a Paragraph (5)演習	The Process of Paragraph Writing (1)
7	Learning About a Paragraph (6)まとめ	The Process of Paragraph Writing (2)
8	Writing in a Paragraph Format (1)自分について書く	Unit 5 Describing your Favorite Place
9	Writing in a Paragraph Format (2)自分について書く	Unit 6 Describing your Passion
10	Writing in a Paragraph Format (3)自分の考えを書く	Unit 7 Expressing an Opinion
11	Writing in a Paragraph Format (4)助言・指示	Unit 8 Giving Advice and Instructions

12	Writing in a Paragraph Format (5)比較・対象	Unit 9 Comparing and Contrasting
13	Writing in a Paragraph Format (6)演習	Unit 10 Explaining Japanese Culture (1)
14	Writing in a Paragraph Format (7)まとめ	Unit 10 Explaining Japanese Culture (2)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書の“Task”を、毎回の指示に従って予習した状態で出席すること。

復習用に課された“Task”や、英作文については、期限までに提出すること。

※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

静哲人『Writing Facilitator 構造から学べるパラグラフ・ライティング入門 [改訂版]』松柏社

【参考書】

英英、英和、和英辞書、各1点以上を含む電子辞書または本。毎回の授業にも、教科書とともに必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点（宿題・授業内での提出物60%、発表やグループワーク20%）、ライティング課題20%の総合評価とする。

欠席が4回以上の場合は原則として単位修得を認めない。遅刻・早退は程度や回数に応じて減点の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

情報の周知、課題の出題・提出などに学習支援システムを使用する。授業中に使用する場合もあるため、毎回、パソコンやタブレット等の端末デバイスを持参すること。

Zoomを使用したりリアルタイムオンライン授業を行う可能性があり、その場合は受講環境によってはヘッドセットが必要となる。

【その他の重要事項】

対面授業を基本とするが、必要に応じてリアルタイムオンライン授業を行う可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【Outline (in English)】

Course outline: Using a textbook based on a process-writing approach, students will develop their abilities to express their opinions, knowledge and experience in written form. They will also learn how to effectively listen and respond to each other's speeches that are based on their writings.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to acquire the skills and attitudes mentioned above, mainly through practicing paragraph writing and presenting what they write to each other.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to prepare for each class meeting by working on the tasks assigned the week before. Students will also be required to submit short essays or speech scripts. ※ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading Policies: Grading will be decided based on (1) pre-, in-, and post-class assignments (60%), (2) class participation (20%), (3) short essays or speech scripts (20%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit for the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

中垣 恒太郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土4/Sat.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

映画を題材にした英語学習教材を通して、(1) 映画を通してリスニング力の増強をはかる、(2) スピーキングに必要な会話表現を学ぶ。

『映画総合教材「ノッティング・ヒルの恋人」新装版』を教科書として、ロマンティック・コメディ映画を通して、英語で物語の展開を楽しむことを目指す。学習用に製作されていることから、語彙・会話表現についてディクテーションやクイズを通して無理なく身につけられる構成になっている。また、各課で学んだ会話表現を活用するアクティビティも盛り込まれていることから、リスニング・コンプリヘンション能力およびアウトプット力を増強する。

【到達目標】

- (1) 映画を通して、リスニング・コンプリヘンション力を身につける。
- (2) 学んだ会話表現をアウトプットする練習を通して、会話表現力を増強する。
- (3) パラグラフ・ライティングの基礎を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

演習として、教科書の課題を毎回進めていく。

パラグラフ・ライティング演習も導入する。

フィードバックに関しては全体の講評を中心に行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	教科書『映画総合教材「ノッティング・ヒルの恋人」』についての導入	教科書『映画総合教材「ノッティング・ヒルの恋人」』の構成
第2回	ロマンティック・コメディ映画としての『ノッティング・ヒルの恋人』（_Notting Hill_, 1999）	ロマンティック・コメディ映画のジャンル文化について
第3回	教科書の演習（第1章）	Ch. 1 "William's Notting Hill & She"
第4回	教科書の演習（第2章）	Ch. 2 "Surreal, But Nice"
第5回	教科書の演習（第3章）	Ch. 3 "A Goddess Is A Movie Star"
第6回	教科書の演習（第4章）	Ch. 4 "Birthday Party"
第7回	教科書の演習（第5章）	Ch. 5 "A Date With Anna"
第8回	ライティング演習（1）	教科書の復習をライティング課題につなげる。「映画について英語でレビューを書く」
第9回	教科書の演習（第6章）	Ch. 6 "She's Gone"

第10回	教科書の演習（第7章）	Ch. 7 "She's Back"
第11回	教科書の演習（第8章）	Ch. 8 "Rude Awakening — Ain't No Sunshine"
第12回	教科書の演習（第9章）	Ch. 9 "Like Me Again"
第13回	教科書の演習（第10章）	Ch. 10. "The Right Decision — The Meaning of My Life Is She"
第14回	まとめ／ライティング演習（2）	教科書の復習をライティング課題につなげる。「ロマンティック・コメディ映画について英語でレビューを書く」（仕上げ）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Richard Curtisほか『Notting Hill／映画総合教材『ノッティング・ヒルの恋人』新装版』（松柏社）

【参考書】

スクリーンプレイ社による映画を題材にした英語学習教材『スクリーンプレイ』シリーズ。

三石郷史『英検準1級ライティング合格メソッド はじめに読みたいうライティング勉強法』（高橋書店）。

川端淳司『TOEFLテスト集中攻略ライティング 第2版』（テイエス企画）。

【成績評価の方法と基準】

・毎回実施する教科書を用いた演習課題（関連したライティング課題を含む）＝100%

（学期の「まとめ」とする最終課題は配点の比重を高く設定する）

【学生の意見等からの気づき】

主として再履修者を対象とする授業であり、学習内容と効果を最大限重視して行った。出席に難がある者、課題提出に難がある者、それぞれにとって苦手な領域も受講生それぞれの事情にあわせてさまざまであり皆の期待に応えることは到底できないが、学習効果を最優先として教科書の課題演習を徹底することを目指した。

【学生が準備すべき機器他】

・学習支援システムを通じて課題を提出する。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course aims to develop students' listening ability. Students will watch and listen to a romantic comedy movie at natural speed in order to get accustomed to rhythms, and the pitch and intonation of natural spoken English. Students will also learn phrases and expressions typically found in daily conversations.

【Learning Objectives】

The goal is to develop students' listening ability so that they can grasp the outline and the main point of the drama and pick out necessary information.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to spend at least 60 minutes per week before and after each class. Specific instructions will be given.

【Grading Criteria/Policy】

Evaluation will be based on weekly assignments submitted in due time = 100%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

中垣 恒太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土4/Sat.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

映画を題材にした英語学習教材を通して、(1) 映画を通してリスニング力の増強をはかる、(2) スピーキングに必要な会話表現を学ぶ。

『映画総合教材「トゥルーマン・ショー」』を教科書として、SFコメディ映画を通して、英語で物語の展開を楽しむことを目指す。学習用に製作されていることから、語彙・会話表現についてディクテーションやクイズを通して無理なく身につけられる構成になっている。また、各課で学んだ会話表現を活用するアクティビティも盛り込まれていることから、リスニング・コンプリヘンション能力およびアウトプット力を増強する。

【到達目標】

- (1) 映画を通して、リスニング・コンプリヘンション力を身につける。
- (2) 学んだ会話表現をアウトプットする練習を通して、会話表現力を増強する。
- (3) パラグラフ・ライティングの基礎を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

演習として、教科書の課題を毎回進めていく。

パラグラフ・ライティング演習も導入する。

フィードバックに関しては全体の講評を中心に行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	教科書『映画総合教材「トゥルーマン・ショー」』についての導入	教科書『映画総合教材「トゥルーマン・ショー」』の構成
第2回	映画『トゥルーマン・ショー』（The Truman Show, 1998）と家族像	メディア文化史におけるリアリティ・ショーの発展
第3回	教科書の演習（第1章）	Unit 1 "Meeting Truman"
第4回	教科書の演習（第2章）	Unit 2 "Fear of the Ocean"
第5回	教科書の演習（第3章）	Unit 3 "Lauren & Sylvia"
第6回	教科書の演習（第4章）	Unit 4 "Something Strange Is Going On"
第7回	教科書の演習（第5章）	Unit 5 "Truman Tries to Leave"
第8回	ライティング演習（1）	教科書の復習をライティング課題につなげる。「家族をめぐる物語について英語でレビューを書く」
第9回	教科書の演習（第6章）	Unit 6 "Truman and Meryl Go for a Ride"

第10回	教科書の演習（第7章）	Unit 7 "The Reunion"
第11回	教科書の演習（第8章）	Unit 8 "Truman's Past Revealed"
第12回	教科書の演習（第9章）	Unit 9 "Truman Disappears"
第13回	教科書の演習（第10章）	Unit 10 "Truman Finds Out"
第14回	まとめ／ライティング演習（2）	教科書の復習をライティング課題につなげる。「家族をめぐる物語について英語でレビューを書く」（仕上げ）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Andrew Niccolほか『The Truman Show/映画総合教材「トゥルーマン・ショー」』【新装版】（松柏社）

【参考書】

スクリーンプレイ社による映画を題材にした英語学習教材『スクリーンプレイ』シリーズ。

三石郷史『英検準1級ライティング合格メソッド はじめに読みたいうライティング勉強法』（高橋書店）。

川端淳司『TOEFLテスト集中攻略ライティング 第2版』（テイエス企画）。

【成績評価の方法と基準】

・毎回実施する教科書を用いた演習課題（関連したライティング課題を含む）＝100%

（学期の「まとめ」とする最終課題は配点の比重を高く設定する）

【学生の意見等からの気づき】

主として再履修者を対象とする授業であり、学習内容と効果を最大限重視して行った。出席に難がある者、課題提出に難がある者、それぞれにとって苦手な領域も受講生それぞれの事情にあわせてさまざまであり皆の期待に応えることは到底できないが、学習効果を最優先として教科書の課題演習を徹底することを目指した。

【学生が準備すべき機器他】

・学習支援システムを通じて課題を提出する。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course aims to develop students' listening ability. Students will watch and listen to a science fiction comedy movie at natural speed in order to get accustomed to rhythms, and the pitch and intonation of natural spoken English. Students will also learn phrases and expressions typically found in daily conversations.

【Learning Objectives】

The goal is to develop students' listening ability so that they can grasp the outline and the main point of the drama and pick out necessary information.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to spend at least 60 minutes per week before and after each class. Specific instructions will be given.

【Grading Criteria/Policy】

Evaluation will be based on weekly assignments submitted in due time = 100%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

折笠 真美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1 focuses on developing academic English proficiency and fostering reading skills. The objective of the course is to help students gain reading strategies, identify the gist and important details, and acquire information and knowledge needed for reading comprehension, through individual and group work. The course will also provide students with an opportunity to (1) learn academic writing skills and (2) develop critical thinking skills through a variety of reading materials. Furthermore, this course will also aim to reinforce listening skills and vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to be familiar with paragraph and essay structure.
- (b) be able to identify the main idea and supporting ideas in reading passages.
- (c) be able to critically read and analyze reading materials.
- (d) be able to articulate their ideas and opinions about different topics in writing.
- (e) be able to do research and give short presentations on topics of their choice.
- (f) learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading and listening activities (individual and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 1: A World of English	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
3	Unit 2: Disappearing Languages	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
4	Unit 3: Where Are All the Babies?	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
5	Unit 4: Our Crowded Earth	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
6	Unit 5: The Price of Excellence	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
7	Unit 6: Do Great Athletes Deserve Great Salaries?	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
8	Review: Units 1-3	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking

9	Review Units 4-6	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
10	Preparation for Presentation (1)	Research and Search for Articles
11	Preparation for Presentation (2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Preparation for Presentation (3)	Rehearse Presentations
13	Group Presentation	Presentation
14	Review /Final Exam	Review &Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Charles Browne, Brent Culligan and Joseph Phillips (2024). In Focus 2. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4194-2 (¥2,970)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes &Homework Assignments (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分までで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など- 防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 1 focuses on developing academic reading skills and aims to help students gain reading strategies, identify the gist and important details, and acquire information and knowledge needed for reading comprehension. The course will also provide students with an opportunity to learn academic writing skills, develop critical thinking skills, and reinforce listening skills and vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including reading and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes &Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
English 1 II		2017年度以降入学者
折笠 真美		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水 1/Wed.1		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1 focuses on developing academic English proficiency and fostering reading skills. The objective of the course is to help students gain reading strategies, identify the gist and important details, and acquire information and knowledge needed for reading comprehension, through individual and group work. The course will also provide students with an opportunity to (1) learn academic writing skills and (2) develop critical thinking skills through a variety of reading materials. Furthermore, this course will also aim to reinforce listening skills and vocabulary through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to be familiar with paragraph and essay structure.
- (b) be able to identify the main idea and supporting ideas in reading passages.
- (c) be able to critically read and analyze reading materials.
- (d) be able to articulate their ideas and opinions about different topics in writing.
- (e) be able to do research and give presentations on topics of their choice.
- (f) learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading and listening activities (individual and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 7: The Inconvenient Truth of Climate Change	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
3	Unit 8: The Global Warming Myth?	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
4	Unit 9: Changing Ideas of Beauty	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
5	Unit 10: Is Beauty Skin Deep?	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
6	Unit 11: Vegetarianism	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
7	Unit 12: Animals as Food	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
8	Review: Units 7-9	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
9	Review Units 10-12	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking

10	Preparation for Presentation (1)	Research and Search for Articles
11	Preparation for Presentation (2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Preparation for Presentation (3)	Rehearse Presentations
13	Group Presentation	Presentation
14	Review /Final Exam	Review &Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Charles Browne, Brent Culligan and Joseph Phillips (2024). In Focus 2. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4194-2 (¥2,970)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes &Homework Assignments (30%); Presentation (15%); Exams (40%).

遅刻は30分までで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧は Google Classroom を使用する。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など 防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 1 focuses on developing academic reading skills and aims to help students gain reading strategies, identify the gist and important details, and acquire information and knowledge needed for reading comprehension. The course will provide students with an opportunity to learn academic writing skills, develop critical thinking skills, and reinforce listening skills and vocabulary through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including reading and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes &Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

木瀬 康太

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、対面で行う演習形式の授業です。高校までに学んだ語彙・文法・構文の基礎を強化しつつ、英語4技能の中でも、特に「読む」「聴く」「書く」の分野における意欲を高め、スキルを伸ばすことを目的とします。

用いるテキスト（教科書）のテーマは、芸術（絵画）と食文化に関するものを選びました。芸術と食文化は、楽しさを与えてくれるだけでなく、異文化の視点を学び想像力を養う役目も大いに果たし、法政大学の理念である「実践知」の涵養にも資するはずです。

【到達目標】

1. 複数のパラグラフから成る英語の文章の発音とリズムに慣れ、目的に応じて速読と精読を使い分けながら、読むことができる。
2. 未知の語彙に遭遇しても慌てず、パラグラフの構造およびパラグラフ同士のつながりに留意して、文章全体から論理的に内容をつかむことができる。
3. 読み取った、あるいは聴き取った情報を鵜呑みにするのではなく、多面的な観点から批判的に分析し、英語で簡潔に自分の意見を表現する意欲と能力を持つことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 毎回の授業の初めに（初回、第2回、および最後の第14回の授業は除く）、前回の授業内容から作成した小テスト（読解およびリスニング）を実施します。
2. 毎回の授業は、学生が自分の予習成果を発表する形で進めていくため、予習は必須です（予習内容に関しては、「授業時間外の学習」の欄に記載してあります）。語彙・文法・構文については授業中にも説明しますが、事前に辞書や参考書を積極的に活用して、自分で調べてくる習慣をつけてください。
3. 論理的かつ批判的に英文を読解する方法（パラグラフリーディングやシグナルワードなど）について、逐次説明します。
4. 英文を音読することで、英語独特の発音とリズムを口にすることに慣れる練習も行います。音読は、「聴く」力を鍛えるための非常に有効な方法です。
5. リスニング力強化のために、リスニングドリル（練習問題）を毎回の授業で行い、リスニングの基本的なコツについても逐一説明します。
6. 毎回の授業の最後で、「出席シート」に質問・意見・要望を自由に書いて提出してください。教員はこれらの質問・意見・要望にコメントをして、次回授業の一番最初（小テストの前）で学生に戻します。良いコメントは全員に紹介し、さらなる議論に活かします。この「出席シート」に書いてもらった質問・意見・要望に応じて、教員は授業形態を調整していきますので、積極的に書いて提出してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	①教員の自己紹介 ②大学で学ぶということについての説明 ③授業の進め方、教科書、および成績評価についての説明 ④辞書の使い方についての説明 ⑤外国語を学ぶということについての説明
2	Chapter1 前半	「フェルメール(1632-75)と牛乳」の本文読解
3	Chapter1 後半	「フェルメールと牛乳」の練習問題
4	Chapter2 前半	「ミレー(1814-75)とパン」の本文読解
5	Chapter2 後半	「ミレーとパン」の練習問題
6	Chapter3 前半	「ゴッホ(1853-90)とじゃがいも」の本文読解
7	Chapter3 後半	「ゴッホとじゃがいも」の練習問題
8	Chapter4 前半	「ゴーギャン(1848-1903)とマンゴー」の本文読解
9	Chapter4 後半	「ゴーギャンとマンゴー」の練習問題
10	Chapter5 前半	「カラヴァッジョ(1571-1610)と晩餐」の本文読解
11	Chapter5 後半	「カラヴァッジョと晩餐」の練習問題
12	Chapter8 前半	「マネ(1832-83)とピクニックの昼食」の本文読解
13	Chapter8 後半	「マネとピクニックの昼食」の練習問題
14	期末試験	①Chapter1 5および8の語彙・文法・構文・リスニングについての試験 ②これまでの授業のまとめ（講評）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1. 授業で使用する教科書は、1つのChapterが4ページで構成されており、前半の2ページが本文、後半の2ページが練習問題で構成されています。各Chapterにおける前半2ページの本文の予習では、和訳をあらかじめ用意してきてください。また、本文の音声（Webサイト上で無料で配信してあります(<https://text.asahipress.com/free/english/>)）も繰り返し聞いて、英語の発音やリズムに少しでも慣れる予習・復習も行ってください。
2. 各Chapterにおける後半2ページの練習問題については、教科書に解答を書き込む形で予習してきてください。
3. 本授業の準備学習と復習の時間は、個人差はありますが、それぞれ1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書名：A View from Painters' Palettes: Food and Culture (『絵画を彩る食文化』)

著者：Josh Norman/Maho Matsui/Fujiko Motoyama

出版社：Asahi Press（朝日出版社）

出版年：初版2020年

価格：1,980円（税込）

【参考書】

文法書：高校時代に使っていたものを、引き続き積極的に活用してください。

辞書：『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）などの学習用英和辞典を必ず1冊は手元に置き、自分のお気に入りの大切な道具としてください。

なお、最近では紙媒体の辞書よりも電子辞書、あるいはパソコン、タブレット端末、スマートフォン上のアプリのほうが、利便性に優れていると言われることもあります。確かに、「読む」ためだけならそうかもしれません。ただ、「書く」ということ（「書く」ということは知性の表れです）になると、複数の語義や派生語を比較検討して最適の表現を考えるためには、パッと開いて一度に目に入ってくる情報量が圧倒的に多い紙媒体の辞書のほうが、断然有利です。

【成績評価の方法と基準】

以下の各配点（合計100点）で成績評価を行います。

平常点（毎回の「出席シート」の提出、予習成果の発表、および授業態度。予習は必須ですが、正解でないことで減点にはなりません。）

：26点

毎回の小テスト：1回あたり4点×11回(第3回 第13回) = 44点

期末試験（最後の第14回授業で行います）：30点

単位取得のためには、最低60点が必要です。

4回以上無断欠席した場合には、単位取得資格を失います。

授業開始から10分以上遅れた場合は遅刻とし、遅刻3回で無断欠席1回と見なします。30分以上遅刻した場合は、出席しても無断欠席扱いとなります。遅刻1回につき1点減点、無断欠席1回につき3点減点とします。

体調が悪い、通院する、部活動の試合、忌引等で欠席する場合や、電車遅延で遅刻する場合は、必ず事前に教員宛にメールで連絡をください。その後診断書等の適切な証拠を提出した場合には、後日補講を設けます。

また、いわゆる「翻訳ソフト」（Google翻訳やDeepLなど）の使用は、発覚次第、単位認定を不可とします。

【学生の意見等からの気づき】

分かりやすく楽しい授業を心がけます。また、毎回の授業で行うリスニングドリル（練習問題）が好評で、昨年度は「リスニング力が上がったと実感できた」「リスニングに対する苦手意識が緩和されていった」といった意見を頂きましたので、引き続き重点的に時間を割いて行っていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

授業中は、紙媒体の辞書、および電子辞書の使用は認めますが、パソコン、タブレット端末、スマートフォンの使用は、教員の許可がある場合を除いて、原則禁止します。

【その他の重要事項】

授業に関する連絡には、「学習支援システム(Hoppii)」を用います。また、授業に関する質問・意見・要望は、原則としては毎回の授業の最後に書いてもらう「出席シート」で受け付けますが、それ以外にも教員宛のメールで随時受け付けます。

【Outline (in English)】

(1)Course outline

The aim of this course is to enforce English vocabulary, grammar and structure of sentences and to enhance students' incentive and skills in reading, listening and writing.

The theme of the text used in this course is art(paintings) and food culture, which are necessary as "practical wisdom" in order to comprehend foreign points of view and to enhance one's own imagination.

(2)Learning objectives

By the end of this course, students should be able to:

- 1.read English passages quickly or attentively according to the purpose of the reading.
- 2.pay attention to the paragraph structure and the relationship between paragraphs and to comprehend the argument and intention of the writer.
- 3.analyze critically English passages from various points of view and to express students' own opinions in English.

(3)Learning activities outside of classroom

Students have to prepare the translation of the reading passage and solve the questions in the text.

Preparation and review should be around an hour a week.

(4)Grading criteria/policy

Grading will be decided based on:

In-class attendance sheet, assignment, and attitude:26%

Reading and Listening tests:44%

Final exam:30%

The minimum passing grade is 60%.

Students with four absences will lose their credits for this class.

Being late for more than thirty minutes will be counted as one absence.

Being late three times will be counted as one absence.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

木瀬 康太

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、対面で行う演習形式の授業です。高校までに学んだ語彙・文法・構文の基礎を強化しつつ、英語4技能の中でも、特に「読む」「聴く」「書く」の分野における意欲を高め、スキルを伸ばすことを目的とします。

用いるテキスト（教科書）のテーマは、芸術（絵画）と食文化に関するものを選びました。芸術と食文化は、楽しさを与えてくれるだけでなく、異文化の視点を学び想像力を養う役目も大いに果たし、法政大学の理念である「実践知」の涵養にも資するはずです。

【到達目標】

- 複数のパラグラフから成る英語の文章の発音とリズムに慣れ、目的に応じて速読と精読を使い分けながら、読むことができる。
- 未知の語彙に遭遇しても慌てず、パラグラフの構造およびパラグラフ同士のつながりに留意して、文章全体から論理的に内容をつかむことができる。
- 読み取った、あるいは聴き取った情報を鵜呑みにするのではなく、多面的な観点から批判的に分析し、英語で簡潔に自分の意見を表現する意欲と能力を持つことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 毎回の授業の初めに（初回および最後の第14回の授業は除く）、前回の授業内容から作成した小テスト（読解およびリスニング）を実施します。
- 毎回の授業は、学生が自分の予習成果を発表する形で進めていくため、予習は必須です（予習内容に関しては、「授業時間外の学習」の欄に記載してあります）。語彙・文法・構文については授業中にも説明しますが、事前に辞書や参考等を積極的に活用して、自分で調べてくる習慣をつけてください。
- 論理的かつ批判的に英文を読解する方法（パラグラフリーディングやシグナルワードなど）について、逐次説明します。
- 英文を音読することで、英語独特の発音とリズムを口にすることに慣れる練習も行います。音読は、「聴く」力を鍛えるための非常に有効な方法です。
- リスニング力強化のために、リスニングドリル（練習問題）を毎回の授業で行い、リスニングの基本的なコツについても逐一説明します。
- 毎回の授業の最後で、「出席シート」に質問・意見・要望を自由に書いて提出してください。教員はこれらの質問・意見・要望にコメントをして、次回授業の一番最初（小テストの前）で学生に戻します。良いコメントは全員に紹介し、さらなる議論に活かします。この「出席シート」に書いてもらった質問・意見・要望に応じて、教員は授業形態を調整していきますので、積極的に書いて提出してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter9 前半	「ルノワール(1841-1919)と舟遊びの昼食」の本文読解
2	Chapter9 後半	「ルノワールと舟遊びの昼食」の練習問題

3	Chapter10 前半	「歌川国芳(1797-1861)と江戸の天麩羅」の本文読解
4	Chapter10 後半	「歌川国芳と江戸の天麩羅」の練習問題
5	Chapter11 前半	「ミュシャ(1860-1939)とビスケット」の本文読解
6	Chapter11 後半	「ミュシャとビスケット」の練習問題
7	Chapter12 前半	「シャガール(1887-1985)と誕生日の料理」の本文読解
8	Chapter12 後半	「シャガールと誕生日の料理」の練習問題
9	Chapter13 前半	「ホッパー(1882-1967)と深夜の小食堂」の本文読解
10	Chapter13 後半	「ホッパーと深夜の小食堂」の練習問題
11	Chapter14 前半	「ウォーホル(1928-87)とスープの缶詰」の本文読解
12	Chapter14 後半	「ウォーホルとスープの缶詰」の練習問題
13	発展学習	①リスニングドリル（練習問題）特別練習 ②これまでの授業のまとめ（講評）
14	期末試験	Chapter9 14の語彙・文法・構文・リスニングについての試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1. 授業で使用する教科書は、1つのChapterが4ページで構成されており、前半の2ページが本文、後半の2ページが練習問題で構成されています。

各Chapterにおける前半2ページの本文の予習では、和訳をあらかじめ用意してきてください。

また、本文の音声（Webサイト上で無料で配信してあります(<https://text.asahipress.com/free/english/>)）も繰り返し聞いて、英語の発音やリズムに少しでも慣れる予習・復習も行ってください。

2. 各Chapterにおける後半2ページの練習問題については、教科書に解答を書き込む形で予習してきてください。

3. 本授業の準備学習と復習の時間は、個人差はありますが、それぞれ1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書名：A View from Painters' Palettes: Food and Culture (『絵画を彩る食文化』)

著者：Josh Norman/Maho Matsui/Fujiko Motoyama

出版社：Asahi Press（朝日出版社）

出版年：初版2020年

価格：1,980円（税込）

【参考書】

文法書：高校時代に使っていたものを、引き続き積極的に活用してください。

辞書：『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）などの学習用英和辞典を必ず1冊は手元に置き、自分のお気に入りの大切な道具としてください。

なお、最近では紙媒体の辞書よりも電子辞書、あるいはパソコン、タブレット端末、スマートフォン上のアプリのほうが、利便性に優れていると言われることもあります。確かに、「読む」ためだけならそうかもしれませんが、ただ、「書く」ということ（「書く」ということは知性の表れです）になると、複数の語義や派生語を比較検討して最適の表現を考えるためには、パッと開いて一度に目に入ってくる情報量が圧倒的に多い紙媒体の辞書のほうが、断然有利です。

【成績評価の方法と基準】

以下の各配点（合計100点）で成績評価を行います。

平常点（毎回の「出席シート」の提出、予習成果の発表、および授業態度。予習は必須ですが、正解でないことで減点にはなりません。）：22点

毎回の小テスト：1回あたり4点×12回（第2回 第13回）= 48点

期末試験（最後の第14回授業で行います）：30点

単位取得のためには、最低60点が必要です。

4回以上無断欠席した場合には、単位取得資格を失います。

授業開始から10分以上遅れた場合は遅刻とし、遅刻3回で無断欠席1回と見なします。30分以上遅刻した場合は、出席しても無断欠席扱いとなります。遅刻1回につき1点減点、無断欠席1回につき3点減点とします。

体調が悪い、通院する、部活動の試合、忌引等で欠席する場合や、電車遅延で遅刻する場合は、必ず事前に教員宛にメールで連絡をください。その後診断書等の適切な証拠を提出した場合には、後日補講を設けます。

また、いわゆる「翻訳ソフト」(Google翻訳やDeepLなど)の使用は、発覚次第、単位認定を不可とします。

【学生の意見等からの気づき】

分かりやすく楽しい授業を心がけます。また、毎回の授業で行うリスニングドリル(練習問題)が好評で、昨年度は「リスニング力が上がったと実感できた」「リスニングに対する苦手意識が緩和されていった」といった意見を頂きましたので、引き続き重点的に時間を割いて行っていきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業中は、紙媒体の辞書、および電子辞書の使用は認めますが、パソコン、タブレット端末、スマートフォンの使用は、教員の許可がある場合を除いて、原則禁止します。

【その他の重要事項】

授業に関する連絡には、「学習支援システム(Hoppii)」を用います。また、授業に関する質問・意見・要望は、原則としては毎回の授業の最後に書いてもらう「出席シート」で受け付けますが、それ以外にも教員宛のメールで随時受け付けます。

【Outline (in English)】

(1)Course outline

The aim of this course is to enforce English vocabulary, grammar and structure of sentences and to enhance students' incentive and skills in reading, listening and writing.

The theme of the text used in this course is art(paintings) and food culture, which are necessary as "practical wisdom" in order to comprehend foreign points of view and to enhance one's own imagination.

(2)Learning objectives

By the end of this course, students should be able to:

1.read English passages quickly or attentively according to the purpose of the reading.

2.pay attention to the paragraph structure and the relationship between paragraphs and to comprehend the argument and intention of the writer.

3.analyze critically English passages from various points of view and to express students' own opinions in English.

(3)Learning activities outside of classroom

Students have to prepare the translation of the reading passage and solve the questions in the text.

Preparation and review should be around an hour a week.

(4)Grading criteria/policy

Grading will be decided based on:

In-class attendance sheet, assignment, and attitude:22%

Reading and Listening tests:48%

Final exam:30%

The minimum passing grade is 60%.

Students with four absences will lose their credits for this class.

Being late for more than thirty minutes will be counted as one absence.

Being late three times will be counted as one absence.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 I

2017年度以降入学者

木瀬 康太

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、対面で行う演習形式の授業です。高校までに学んだ語彙・文法・構文の基礎を強化しつつ、英語4技能の中でも、特に「読む」「聴く」「書く」の分野における意欲を高め、スキルを伸ばすことを目的とします。

用いるテキスト（教科書）のテーマは、芸術（絵画）と食文化に関するものを選びました。芸術と食文化は、楽しさを与えてくれるだけでなく、異文化の視点を学び想像力を養う役目も大いに果たし、法政大学の理念である「実践知」の涵養にも資するはずです。

【到達目標】

- 複数のパラグラフから成る英語の文章の発音とリズムに慣れ、目的に応じて速読と精読を使い分けながら、読むことができる。
- 未知の語彙に遭遇しても慌てず、パラグラフの構造およびパラグラフ同士のつながりに留意して、文章全体から論理的に内容をつかむことができる。
- 読み取った、あるいは聴き取った情報を鵜呑みにするのではなく、多面的な観点から批判的に分析し、英語で簡潔に自分の意見を表現する意欲と能力を持つことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 毎回の授業の初めに（初回、第2回、および最後の第14回の授業は除く）、前回の授業内容から作成した小テスト（読解およびリスニング）を実施します。
- 毎回の授業は、学生が自分の予習成果を発表する形で進めていくため、予習は必須です（予習内容に関しては、「授業時間外の学習」の欄に記載してあります）。語彙・文法・構文については授業中にも説明しますが、事前に辞書や参考書を積極的に活用して、自分で調べてくる習慣をつけてください。
- 論理的かつ批判的に英文を読解する方法（パラグラフリーディングやシグナルワードなど）について、逐次説明します。
- 英文を音読することで、英語独特の発音とリズムを口にすることに慣れる練習も行います。音読は、「聴く」力を鍛えるための非常に有効な方法です。
- リスニング力強化のために、リスニングドリル（練習問題）を毎回の授業で行い、リスニングの基本的なコツについても逐一説明します。
- 毎回の授業の最後で、「出席シート」に質問・意見・要望を自由に書いて提出してください。教員はこれらの質問・意見・要望にコメントをして、次回授業の一番最初（小テストの前）で学生に戻します。良いコメントは全員に紹介し、さらなる議論に活かします。この「出席シート」に書いてもらった質問・意見・要望に応じて、教員は授業形態を調整していきますので、積極的に書いて提出してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	①教員の自己紹介 ②大学で学ぶということについての説明 ③授業の進め方、教科書、および成績評価についての説明 ④辞書の使い方についての説明 ⑤外国語を学ぶということについての説明
2	Chapter1 前半	「フェルメール(1632-75)と牛乳」の本文読解
3	Chapter1 後半	「フェルメールと牛乳」の練習問題
4	Chapter2 前半	「ミレー(1814-75)とパン」の本文読解
5	Chapter2 後半	「ミレーとパン」の練習問題
6	Chapter3 前半	「ゴッホ(1853-90)とじゃがいも」の本文読解
7	Chapter3 後半	「ゴッホとじゃがいも」の練習問題
8	Chapter4 前半	「ゴーギャン(1848-1903)とマンゴー」の本文読解
9	Chapter4 後半	「ゴーギャンとマンゴー」の練習問題
10	Chapter5 前半	「カラヴァッジョ(1571-1610)と晩餐」の本文読解
11	Chapter5 後半	「カラヴァッジョと晩餐」の練習問題
12	Chapter8 前半	「マネ(1832-83)とピクニックの昼食」の本文読解
13	Chapter8 後半	「マネとピクニックの昼食」の練習問題
14	期末試験	①Chapter1 5および8の語彙・文法・構文・リスニングについての試験 ②これまでの授業のまとめ（講評）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 授業で使用する教科書は、1つのChapterが4ページで構成されており、前半の2ページが本文、後半の2ページが練習問題で構成されています。各Chapterにおける前半2ページの本文の予習では、和訳をあらかじめ用意してきてください。また、本文の音声（Webサイト上で無料で配信してあります(<https://text.asahipress.com/free/english/>)）も繰り返し聞いて、英語の発音やリズムに少しでも慣れる予習・復習も行ってください。
- 各Chapterにおける後半2ページの練習問題については、教科書に解答を書き込む形で予習してきてください。
- 本授業の準備学習と復習の時間は、個人差はありますが、それぞれ1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書名：A View from Painters' Palettes: Food and Culture (『絵画を彩る食文化』)

著者：Josh Norman/Maho Matsui/Fujiko Motoyama

出版社：Asahi Press（朝日出版社）

出版年：初版2020年

価格：1,980円（税込）

【参考書】

文法書：高校時代に使っていたものを、引き続き積極的に活用してください。

辞書：『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）などの学習用英和辞典を必ず1冊は手元に置き、自分のお気に入りの大切な道具としてください。

なお、最近では紙媒体の辞書よりも電子辞書、あるいはパソコン、タブレット端末、スマートフォン上のアプリのほうが、利便性に優れていると言われることもあります。確かに、「読む」ためだけならそうかもしれません。ただ、「書く」ということ（「書く」ということは知性の表れです）になると、複数の語義や派生語を比較検討して最適の表現を考えるためには、パッと開いて一度に目に入ってくる情報量が圧倒的に多い紙媒体の辞書のほうが、断然有利です。

【成績評価の方法と基準】

以下の各配点（合計100点）で成績評価を行います。

平常点（毎回の「出席シート」の提出、予習成果の発表、および授業態度。予習は必須ですが、正解でないことで減点にはなりません。）

：26点

毎回の小テスト：1回あたり4点×11回(第3回 第13回) = 44点

期末試験（最後の第14回授業で行います）：30点

単位取得のためには、最低60点が必要です。

4回以上無断欠席した場合には、単位取得資格を失います。

授業開始から10分以上遅れた場合は遅刻とし、遅刻3回で無断欠席1回と見なします。30分以上遅刻した場合は、出席しても無断欠席扱いとなります。遅刻1回につき1点減点、無断欠席1回につき3点減点とします。

体調が悪い、通院する、部活動の試合、忌引等で欠席する場合や、電車遅延で遅刻する場合は、必ず事前に教員宛にメールで連絡をください。その後診断書等の適切な証拠を提出した場合には、後日補講を設けます。

また、いわゆる「翻訳ソフト」（Google翻訳やDeepLなど）の使用は、発覚次第、単位認定を不可とします。

【学生の意見等からの気づき】

分かりやすく楽しい授業を心がけます。また、毎回の授業で行うリスニングドリル（練習問題）が好評で、昨年度は「リスニング力が上がったと実感できた」「リスニングに対する苦手意識が緩和されていった」といった意見を頂きましたので、引き続き重点的に時間を割いて行っていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

授業中は、紙媒体の辞書、および電子辞書の使用は認めますが、パソコン、タブレット端末、スマートフォンの使用は、教員の許可がある場合を除いて、原則禁止します。

【その他の重要事項】

授業に関する連絡には、「学習支援システム(Hoppi)」を用います。また、授業に関する質問・意見・要望は、原則としては毎回の授業の最後に書いてもらう「出席シート」で受け付けますが、それ以外にも教員宛のメールで随時受け付けます。

【Outline (in English)】

(1)Course outline

The aim of this course is to enforce English vocabulary, grammar and structure of sentences and to enhance students' incentive and skills in reading, listening and writing.

The theme of the text used in this course is art(paintings) and food culture, which are necessary as "practical wisdom" in order to comprehend foreign points of view and to enhance one's own imagination.

(2)Learning objectives

By the end of this course, students should be able to:

- 1.read English passages quickly or attentively according to the purpose of the reading.
- 2.pay attention to the paragraph structure and the relationship between paragraphs and to comprehend the argument and intention of the writer.
- 3.analyze critically English passages from various points of view and to express students' own opinions in English.

(3)Learning activities outside of classroom

Students have to prepare the translation of the reading passage and solve the questions in the text.

Preparation and review should be around an hour a week.

(4)Grading criteria/policy

Grading will be decided based on:

In-class attendance sheet, assignment, and attitude:26%

Reading and Listening tests:44%

Final exam:30%

The minimum passing grade is 60%.

Students with four absences will lose their credits for this class.

Being late for more than thirty minutes will be counted as one absence.

Being late three times will be counted as one absence.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 II

2017年度以降入学者

木瀬 康太

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、対面で行う演習形式の授業です。高校までに学んだ語彙・文法・構文の基礎を強化しつつ、英語4技能の中でも、特に「読む」「聴く」「書く」の分野における意欲を高め、スキルを伸ばすことを目的とします。

用いるテキスト（教科書）のテーマは、芸術（絵画）と食文化に関するものを選びました。芸術と食文化は、楽しさを与えてくれるだけでなく、異文化の視点を学び想像力を養う役目も大いに果たし、法政大学の理念である「実践知」の涵養にも資するはずです。

【到達目標】

1. 複数のパラグラフから成る英語の文章の発音とリズムに慣れ、目的に応じて速読と精読を使い分けながら、読むことができる。
2. 未知の語彙に遭遇しても慌てず、パラグラフの構造およびパラグラフ同士のつながりに留意して、文章全体から論理的に内容をつかむことができる。
3. 読み取った、あるいは聴き取った情報を鵜呑みにするのではなく、多面的な観点から批判的に分析し、英語で簡潔に自分の意見を表現する意欲と能力を持つことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 毎回の授業の初めに（初回および最後の第14回の授業は除く）、前回の授業内容から作成した小テスト（読解およびリスニング）を実施します。
2. 毎回の授業は、学生が自分の予習成果を発表する形で進めていくため、予習は必須です（予習内容に関しては、「授業時間外の学習」の欄に記載してあります）。語彙・文法・構文については授業中にも説明しますが、事前に辞書や参考等を積極的に活用して、自分で調べてくる習慣をつけてください。
3. 論理的かつ批判的に英文を読解する方法（パラグラフリーディングやシグナルワードなど）について、逐次説明します。
4. 英文を音読することで、英語独特の発音とリズムを口にすることに慣れる練習も行います。音読は、「聴く」力を鍛えるための非常に有効な方法です。
5. リスニング力強化のために、リスニングドリル（練習問題）を毎回の授業で行い、リスニングの基本的なコツについても逐一説明します。
6. 毎回の授業の最後で、「出席シート」に質問・意見・要望を自由に書いて提出してください。教員はこれらの質問・意見・要望にコメントをして、次回授業の一番最初（小テストの前）で学生に戻します。良いコメントは全員に紹介し、さらなる議論に活かします。この「出席シート」に書いてもらった質問・意見・要望に応じて、教員は授業形態を調整していきますので、積極的に書いて提出してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter9 前半	「ルノワール(1841-1919)と舟遊びの昼食」の本文読解
2	Chapter9 後半	「ルノワールと舟遊びの昼食」の練習問題

3	Chapter10 前半	「歌川国芳(1797-1861)と江戸の天麩羅」の本文読解
4	Chapter10 後半	「歌川国芳と江戸の天麩羅」の練習問題
5	Chapter11 前半	「ミュシャ(1860-1939)とビスケット」の本文読解
6	Chapter11 後半	「ミュシャとビスケット」の練習問題
7	Chapter12 前半	「シャガール(1887-1985)と誕生日の料理」の本文読解
8	Chapter12 後半	「シャガールと誕生日の料理」の練習問題
9	Chapter13 前半	「ホッパー(1882-1967)と深夜の小食堂」の本文読解
10	Chapter13 後半	「ホッパーと深夜の小食堂」の練習問題
11	Chapter14 前半	「ウォーホル(1928-87)とスープの缶詰」の本文読解
12	Chapter14 後半	「ウォーホルとスープの缶詰」の練習問題
13	発展学習	①リスニングドリル（練習問題）特別練習 ②これまでの授業のまとめ（講評）
14	期末試験	Chapter9 14の語彙・文法・構文・リスニングについての試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1. 授業で使用する教科書は、1つのChapterが4ページで構成されており、前半の2ページが本文、後半の2ページが練習問題で構成されています。

各Chapterにおける前半2ページの本文の予習では、和訳をあらかじめ用意してきてください。

また、本文の音声（Webサイト上で無料で配信してあります(<https://text.asahipress.com/free/english/>)）も繰り返し聞いて、英語の発音やリズムに少しでも慣れる予習・復習も行ってください。

2. 各Chapterにおける後半2ページの練習問題については、教科書に解答を書き込む形で予習してきてください。

3. 本授業の準備学習と復習の時間は、個人差はありますが、それぞれ1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書名：A View from Painters' Palettes: Food and Culture (『絵画を彩る食文化』)

著者：Josh Norman/Maho Matsui/Fujiko Motoyama

出版社：Asahi Press（朝日出版社）

出版年：初版2020年

価格：1,980円（税込）

【参考書】

文法書：高校時代に使っていたものを、引き続き積極的に活用してください。

辞書：『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）などの学習用英和辞典を必ず1冊は手元に置き、自分のお気に入りの大切な道具としてください。

なお、最近では紙媒体の辞書よりも電子辞書、あるいはパソコン、タブレット端末、スマートフォン上のアプリのほうが、利便性に優れていると言われることもあります。確かに、「読む」ためだけならそうかもしれませんが、ただ、「書く」ということ（「書く」ということは知性の表れです）になると、複数の語義や派生語を比較検討して最適の表現を考えるためには、パッと開いて一度に目に入ってくる情報量が圧倒的に多い紙媒体の辞書のほうが、断然有利です。

【成績評価の方法と基準】

以下の各配点（合計100点）で成績評価を行います。

平常点（毎回の「出席シート」の提出、予習成果の発表、および授業態度。予習は必須ですが、正解でないことで減点にはなりません。）：22点

毎回の小テスト：1回あたり4点×12回（第2回 第13回）= 48点

期末試験（最後の第14回授業で行います）：30点

単位取得のためには、最低60点が必要です。

4回以上無断欠席した場合には、単位取得資格を失います。

授業開始から10分以上遅れた場合は遅刻とし、遅刻3回で無断欠席1回と見なします。30分以上遅刻した場合は、出席しても無断欠席扱いとなります。遅刻1回につき1点減点、無断欠席1回につき3点減点とします。

体調が悪い、通院する、部活動の試合、忌引等で欠席する場合や、電車遅延で遅刻する場合は、必ず事前に教員宛にメールで連絡をください。その後診断書等の適切な証拠を提出した場合には、後日補講を設けます。

また、いわゆる「翻訳ソフト」(Google翻訳やDeepLなど)の使用は、発覚次第、単位認定を不可とします。

【学生の意見等からの気づき】

分かりやすく楽しい授業を心がけます。また、毎回の授業で行うリスニングドリル(練習問題)が好評で、昨年度は「リスニング力が上がったと実感できた」「リスニングに対する苦手意識が緩和されていった」といった意見を頂きましたので、引き続き重点的に時間を割いて行っていきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業中は、紙媒体の辞書、および電子辞書の使用は認めますが、パソコン、タブレット端末、スマートフォンの使用は、教員の許可がある場合を除いて、原則禁止します。

【その他の重要事項】

授業に関する連絡には、「学習支援システム(Hoppii)」を用います。また、授業に関する質問・意見・要望は、原則としては毎回の授業の最後に書いてもらう「出席シート」で受け付けますが、それ以外にも教員宛のメールで随時受け付けます。

【Outline (in English)】

(1)Course outline

The aim of this course is to enforce English vocabulary, grammar and structure of sentences and to enhance students' incentive and skills in reading, listening and writing.

The theme of the text used in this course is art(paintings) and food culture, which are necessary as "practical wisdom" in order to comprehend foreign points of view and to enhance one's own imagination.

(2)Learning objectives

By the end of this course, students should be able to:

1.read English passages quickly or attentively according to the purpose of the reading.

2.pay attention to the paragraph structure and the relationship between paragraphs and to comprehend the argument and intention of the writer.

3.analyze critically English passages from various points of view and to express students' own opinions in English.

(3)Learning activities outside of classroom

Students have to prepare the translation of the reading passage and solve the questions in the text.

Preparation and review should be around an hour a week.

(4)Grading criteria/policy

Grading will be decided based on:

In-class attendance sheet, assignment, and attitude:22%

Reading and Listening tests:48%

Final exam:30%

The minimum passing grade is 60%.

Students with four absences will lose their credits for this class.

Being late for more than thirty minutes will be counted as one absence.

Being late three times will be counted as one absence.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

ウォルター カズマー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to develop the language skills needed for students to express themselves in English. The class will focus on oral communication and listening skills. You will also practice writing paragraphs and short essays.

【到達目標】

The goals of this course are as follows:

- You will be able to effectively express your opinions, knowledge, and experiences in oral and written form.
- You will be able to logically organize and write a paragraph and eventually a short essay with multiple paragraphs.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

You will learn how to effectively express yourself through working in pairs, groups, making presentations, and producing scripted skits. Feedback will be provided in class after presentations and electronically after projects.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 1: Good Memories (Getting to know each other)	Get to know each other in pairs Practice past tense
2	Unit 1 Life as a child	Listening practice Write a paragraph about what they did as a child
3	Unit 2: Life in the City	Talk about their hometown in pairs Work on quantity expressions
4	Unit 2 Directions	Listening practice Giving directions skit
5	Unit 3: Making Changes	Talk about their home in pairs Look for an apartment near campus
6	Unit 3 Article discussion	Listening practice Read article and discuss
7	Midterm (Units 1-3)	Test on grammar and vocabulary
8	Unit 4: Have you ever tried it?	Discuss eating habits in pairs and groups Review grammar focus
9	Unit 4 Cooking	Listening and reading practice Presentation on cooking
10	Unit 5: Hit the road!	Talk about vacation plans in pairs/groups Review future tense

11	Unit 5 Traveling	Listening practice Write a paragraph about travel
12	Unit 6: Sure! I'll do it.	Talk about living with other people. Practice orders/requests
13	Unit 6 Skits	Listening/reading practice Produce a skit with the grammar learned
14	Final exam (Units 4-6)	Test on vocabulary and grammar

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Students should preview google classroom activities and preview vocabulary listed.

【テキスト（教科書）】

Interchange intro fifth edition Jack Richards
9781316620113

【参考書】

Dictionary:
<https://www.merriam-webster.com>
Grammar help:
<https://www.grammarly.com>

【成績評価の方法と基準】

Mid-term 17%
Final Exam 17%
Writing Assignments 33%
Presentations and Effort 33%
No more than 3 absences will be allowed.
Feedback will be given in class and online.

【学生の意見等からの気づき】

No feedback.

【学生が準備すべき機器他】

Bring a computer, tablet, or smartphone to class for activities.
(tablet preferred if possible)

【その他の重要事項】

email
walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

The aim of this course is to reinforce grammar skills while helping you improve your speaking, listening, reading, and writing skills.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

ウォルター カズマー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to develop the language skills needed for students to express themselves in English. The class will focus on oral communication and listening skills. You will also practice writing paragraphs and short essays.

【到達目標】

The goals of this course are as follows:

- You will be able to effectively express your opinions, knowledge, and experiences in oral and written form.
- You will be able to logically organize and write a paragraph and eventually a short essay with multiple paragraphs.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

You will learn how to effectively express yourself through working in pairs, groups, making presentations, and producing scripted skits. Feedback will be provided in class after presentations and electronically after projects.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7: What do you use this for?	Talk in pairs about technology Grammar focus on infinitives and gerunds
2	Unit 7 Messaging	Listening practice Write a message to your roommate
3	Unit 8: Time to celebrate!	Pair and group work Review grammar
4	Unit 8 Holidays	Pair and group work Review vocabulary Write about your favorite holiday
5	Unit 9: Only time will tell	Pair and listening work about differences in the past
6	Unit 9 Cause and effect	Pair and group work Practice word pairings Discuss and practice cause/effect sentences Reading practice
7	Midterm (Units 7-9)	Test on grammar and vocabulary
8	Unit 10: Presentations	Pair and group work Prepare biographical presentation (using Padlet)
9	Unit 10 Presentations continued	Make a presentation in front of class

10	Unit 11: It's really worth seeing!	Discuss landmarks and other sites in pairs/groups Practice passive voice
11	Unit 11 City guides	Pair and group work Write a guide to your city.
12	Unit 13: That's entertainment!	Pair and group work regarding movies Practice particles as adjectives
13	Unit 13 Film reviews	Role playing Write and film a movie review
14	Final exam (Units 10-12)	Test on vocabulary and grammar

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Students should preview google classroom activities and preview vocabulary listed.

【テキスト（教科書）】

Interchange Intro, 5th edition 9781107611559 Jack Richards CUP

【参考書】

Dictionary:
<https://www.merriam-webster.com>

Grammar help:
<https://www.grammarly.com>

【成績評価の方法と基準】

Mid-term 25%
Final Exam 25%
Writing Assignments 25%
Presentations and Effort 25%
No more than 3 absences will be allowed.
Feedback will be given in class and online.

【学生の意見等からの気づき】

No feedback.

【学生が準備すべき機器他】

Bring a computer, tablet, or smartphone to class for activities. (tablet preferred if possible)

【その他の重要事項】

kasmersensei@gmail.com

【Outline (in English)】

The aim of this course is to reinforce grammar skills while helping students improve their speaking, listening, reading, and writing skills.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

Kregg Johnston

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will develop the skills needed to express their opinions, knowledge, and experience in English in both written and oral forms.

【到達目標】

This course aims to improve students overall fluency in spoken and written English. Students will learn to express themselves clearly in writing and speaking in a variety of situations and for a variety of topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Class time is divided equally among the 8 units of the 1st half of the textbook and each unit will be covered in 2 weeks. In the 2nd week, after completing each unit, students will spend time discussing/debating the topics introduced in that unit. A paragraph writing assignment will also be given based on the topics in selected units allowing the students to express their opinions in writing. There will be periodic quizzes on material studied.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction of course	Explanation of class requirements, tasks, goals
	Explanation of class requirements, tasks, goals.	Vocabulary assessment Ice breakers
Week 2	Unit 1 Describing the past & explaining personal information:	Introducing yourself Using used to for habitual actions
	vocabulary & listening	
Week 3	Unit 1 Describing the past & explaining personal information:	Asking about and explaining childhood experiences
	reading & speaking	
Week 4	Unit 1 Describing the past & explaining personal information:	Discuss things in common with classmates Essential components of paragraphs Using English-English dictionaries
	discussion & writing	

Week 5	Unit 2 Transportation and Transportation problems:	Talking about Transportation and its problems, Evaluating city services
	vocabulary & listening	
Week 6	Unit 2 Transportation and Transportation problems:	Asking for and giving information, Asking indirect questions
	reading & speaking	
Week 7	Unit 2 Transportation and Transportation problems:	Discuss cities to visit & evaluate them Write a paragraph on 3 problems in city
	discussion & writing	
Week 8	Quiz Units 1-2 Unit 3 Describing housing, lifestyle changes, stating wishes:	Quiz Units 1-2 Describing positive and negative features, making comparisons
	vocabulary & listening	
Week 9	Unit 3 Describing housing, lifestyle changes, stating wishes:	Asking about and stating wishes. Using "too", "enough", and "as...as"
	reading & speaking	
Week 10	Unit 3 Describing housing, lifestyle changes, stating wishes: discussion & writing	Comparing houses to apartments Compare wishes in the present time Write & explain 3 personal wishes
Week 11	Unit 4 Explaining food, recipes, instructions:	Talking about food. Stating likes and dislikes
	vocabulary & listening	
Week 12	Unit 4 Explaining food, recipes, instructions:	Contrasting simple past with present perfect Using sequence adverbs to signal steps
	reading & speaking	
Week 13	Unit 4 Explaining food, recipes, instructions:	Discuss experiences Describe how to do something Editing marks & peer editing
	discussion & writing	
Week 14	Quiz: units 3-4 Presentation on 3 problems in a city	Quiz: units 3-4 Presentation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

【テキスト（教科書）】

Interchange 2 (5th edition), Jack C. Richards (Cambridge University Press)

Students' book ISBN 978-1-316-62023-6

【参考書】

Interchange 2, Jack C. Richards (Cambridge University Press)
Workbook
Vocabulary development:
<https://quizlet.com/KreggJ>
<https://www.memrise.com/>

【成績評価の方法と基準】

Grade points are given for the satisfactory completion of assignments, performance on quizzes, as well as for the degree of class participation.

Homework 25%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

* In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on expressing opinions & discussion.

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on "WebClass", the University's Learning Management System.

【Outline (in English)】

Course outline:

This course deals with the development English communication in written and spoken forms. It also enhances the development of students' skills in listening and, grammar usage, and vocabulary development.

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Express opinions, knowledge and experience orally and in writing.
- Participate in and lead discussions on topics introduced in class.
- Make presentations in small groups and in front of the class.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to have completed the assigned homework exercises after each class meeting and review before each in-class quiz given. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria:

Homework 25%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

Kregg Johnston

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木1/Thu.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Students will develop the skills needed to express their opinions, knowledge, and experience in English in both written and oral forms.

【到達目標】

This course aims to improve students overall English fluency in both spoken and written forms. The students will learn to express their ideas clearly in writing at the paragraph level. The students will also improve their oral fluency by discussing issues in pairs or groups and making speeches for a variety of situations and topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Class time is divided equally among the 8 units of the 2nd half of the textbook and each unit will be covered in 2 weeks. In the 2nd week, after completing each unit, students will spend time discussing/debating the topics introduced in that unit. A paragraph writing assignment will also be given based on the topics in selected units allowing the students to express their opinions in writing. There will be periodic quizzes on material studied.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Ice breakers Review of past tense	Ice breakers Compare activities over the summer
Week 2	Unit 5 Going places: vocabulary & listening	Describing vacation plans Stating personal plans in the future
Week 3	Unit 5 Going Places: reading & speaking	Giving travel advice Explaining future plans Using modals for necessity & suggestion
Week 4	Unit 5 Going Places: discussion & writing	Discuss how to do activities Write paragraph on a process
Week 5	Unit 6 Complaints, requests, excuses, apologies: vocabulary & listening	Making requests Accepting and refusing
Week 6	Unit 6 Complaints, requests, excuses, apologies: reading & speaking	Complaining, apologizing, making excuses

Week 7	Unit 6 Complaints, requests, excuses, apologies: discussion & writing	Discuss making apologies and giving excuses Writing: 3 suggestions for handling a situation
Week 8	Quiz Units 5-6 Unit 7 What do you use this for: vocabulary & listening	Quiz Units 5-6 Use of technology Using infinitives of purpose
Week 9	Unit 7 What do you use this for: reading & speaking	Using imperatives & infinitives Giving advice
Week 10	Unit 7 What do you use this for: discussion & writing	Discuss advice for problems Write about uses for technological devices
Week 11	Unit 8 Time to celebrate: vocabulary & listening	Describing holidays & festivals Relative clauses of time
Week 12	Unit 8 Time to celebrate: reading & speaking	Discussing pros and cons Adverb clauses of time
Week 13	Unit 8 Time to celebrate: discussion & writing	Discuss customs & celebrations
Week 14	Quiz: units 7-8 Presentation	Quiz: units 7-8 Presentation on a process

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

【テキスト (教科書)】

Interchange 2 (5th edition), Jack C. Richards (Cambridge University Press)
Students' book ISBN 978-1-316-62023-6

【参考書】

Interchange 2, Jack C. Richards (Cambridge University Press)
Workbook
Vocabulary development:
<https://quizlet.com/KreggJ>
<https://www.memrise.com/>

【成績評価の方法と基準】

Grade points are given for the satisfactory completion of assignments, performance on quizzes, as well as for the degree of class participation and attendance.

Homework 25%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

*In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on expressing opinions & discussion.

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on "WebClass", the University's Learning Management System.

【Outline (in English)】

Course outline:

This course deals with the development English communication in written and spoken forms. It also enhances the development of students' skills in listening and, grammar usage, and vocabulary development.

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Express opinions, knowledge and experience orally and in writing.
- Participate in and lead discussions on topics introduced in class.
- Make presentations in small groups and in front of the class.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to have completed the assigned homework exercises after each class meeting and review before each in-class quiz given. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria:

Homework 25%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 I

2017年度以降入学者

ウォルター カズマー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to develop the language skills needed for students to express themselves in English. The class will focus on oral communication and listening skills. You will also practice writing paragraphs and short essays.

【到達目標】

The goals of this course are as follows:

- You will be able to effectively express your opinions, knowledge, and experiences in oral and written form.
- You will be able to logically organize and write a paragraph and eventually a short essay with multiple paragraphs.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

You will learn how to effectively express yourself through working in pairs, groups, making presentations, and producing scripted skits. Feedback will be provided in class after presentations and electronically after projects.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 1: Good Memories (Getting to know each other)	Get to know each other in pairs Practice past tense
2	Unit 1 Life as a child	Listening practice Write a paragraph about what they did as a child
3	Unit 2: Life in the City	Talk about their hometown in pairs Work on quantity expressions
4	Unit 2 Directions	Listening practice Giving directions skit
5	Unit 3: Making Changes	Talk about their home in pairs Look for an apartment near campus
6	Unit 3 Article discussion	Listening practice Read article and discuss
7	Midterm (Units 1-3)	Test on grammar and vocabulary
8	Unit 4: Have you ever tried it?	Discuss eating habits in pairs and groups Review grammar focus
9	Unit 4 Cooking	Listening and reading practice Presentation on cooking
10	Unit 5: Hit the road!	Talk about vacation plans in pairs/groups Review future tense

11	Unit 5 Traveling	Listening practice Write a paragraph about travel
12	Unit 6: Sure! I'll do it.	Talk about living with other people. Practice orders/requests
13	Unit 6 Skits	Listening/reading practice Produce a skit with the grammar learned
14	Final exam (Units 4-6)	Test on vocabulary and grammar

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Students should preview google classroom activities and preview vocabulary listed.

【テキスト（教科書）】

Interchange intro fifth edition Jack Richards
9781316620113

【参考書】

Dictionary:
<https://www.merriam-webster.com>
Grammar help:
<https://www.grammarly.com>

【成績評価の方法と基準】

Mid-term 17%
Final Exam 17%
Writing Assignments 33%
Presentations and Effort 33%
No more than 3 absences will be allowed.
Feedback will be given in class and online.

【学生の意見等からの気づき】

No feedback.

【学生が準備すべき機器他】

Bring a computer, tablet, or smartphone to class for activities.
(tablet preferred if possible)

【その他の重要事項】

email
walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

The aim of this course is to reinforce grammar skills while helping you improve your speaking, listening, reading, and writing skills.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 II

2017年度以降入学者

ウォルター カズマー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to develop the language skills needed for students to express themselves in English. The class will focus on oral communication and listening skills. You will also practice writing paragraphs and short essays.

【到達目標】

The goals of this course are as follows:

- You will be able to effectively express your opinions, knowledge, and experiences in oral and written form.
- You will be able to logically organize and write a paragraph and eventually a short essay with multiple paragraphs.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

You will learn how to effectively express yourself through working in pairs, groups, making presentations, and producing scripted skits. Feedback will be provided in class after presentations and electronically after projects.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7: What do you use this for?	Talk in pairs about technology Grammar focus on infinitives and gerunds
2	Unit 7 Messaging	Listening practice Write a message to your roommate
3	Unit 8: Time to celebrate!	Pair and group work Review grammar
4	Unit 8 Holidays	Pair and group work Review vocabulary Write about your favorite holiday
5	Unit 9: Only time will tell	Pair and listening work about differences in the past
6	Unit 9 Cause and effect	Pair and group work Practice word pairings Discuss and practice cause/effect sentences Reading practice
7	Midterm (Units 7-9)	Test on grammar and vocabulary
8	Unit 10: Presentations	Pair and group work Prepare biographical presentation (using Padlet)
9	Unit 10 Presentations continued	Make a presentation in front of class

10	Unit 11: It's really worth seeing!	Discuss landmarks and other sites in pairs/groups Practice passive voice
11	Unit 11 City guides	Pair and group work Write a guide to your city.
12	Unit 13: That's entertainment!	Pair and group work regarding movies Practice particles as adjectives
13	Unit 13 Film reviews	Role playing Write and film a movie review
14	Final exam (Units 10-12)	Test on vocabulary and grammar

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Students should preview google classroom activities and preview vocabulary listed.

【テキスト（教科書）】

Interchange Intro, 5th edition 9781107611559 Jack Richards CUP

【参考書】

Dictionary:
<https://www.merriam-webster.com>

Grammar help:
<https://www.grammarly.com>

【成績評価の方法と基準】

Mid-term 25%
Final Exam 25%
Writing Assignments 25%
Presentations and Effort 25%
No more than 3 absences will be allowed.
Feedback will be given in class and online.

【学生の意見等からの気づき】

No feedback.

【学生が準備すべき機器他】

Bring a computer, tablet, or smartphone to class for activities. (tablet preferred if possible)

【その他の重要事項】

kasmersensei@gmail.com

【Outline (in English)】

The aim of this course is to reinforce grammar skills while helping students improve their speaking, listening, reading, and writing skills.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1

2017年度以降入学者

小川 真也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の主な目的は読解力と語彙を高めることである。学生はパラグラフ構造とパラグラフ同士の関係性に注意を払いながら、社会問題や現代事象を扱う英文を読み、英語の読解力を高めるとともに、英語を通して知識を得られるようになることが望まれる。

また、自分自身の意見を持つことも重要である。筆者の意見を理解することも重要だが、疑問があれば、その意見を容易く受け入れではない。筆者と自身との意見の相違を見極め、自分自身の意見をまとめ、それを英語で表現できるようになることが望まれる。

リスニング能力を高めることも重視する。教員が作成したリスニング問題を解き、リスニング力を高めて頂きたい。

【到達目標】

この授業ではリーディングを中心に勉強し、次の項目を目標とする。

- ①英文を読む上で必要な文法事項と語彙を身につけること。
- ②まとまった量の英語の文章を独力で理解できるようになること。
- ③段落の構造を意識して論理の流れを把握できるようになること。
- ④練習問題を通して、リスニング力を向上させること。
- ⑤記事に対する自分の意見を英作文し、英語で表現する力を身に付けること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は演習形式を取り、2回の授業で1つのUnitを扱う。授業の初めにテキストから作成したリスニング問題を実施する。正確に読むことに主眼を置き、単語・熟語・文法事項等を確認しながら記事を読読し、段落ごとに要約し、トピック全体の理解を図る。段落ごとの要約とトピックに対する意見を英作文して課題として提出する。提出課題は教員が添削するので、添削された箇所を確認し、英語の表現や内容理解などを深める。

Unitごとに前半後半に分けて2回、復習の小テストを実施する。フィードバックとして英作文は教員が添削し、返却する。小テスト・期末テストに関してはテスト終了後に模範解答を提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明
2	Unit 1-1 Pressure to Please: Why can't we say no?	「人を喜ばせるプレッシャー：ノーと言えないのはなぜか」前半講読
3	Unit 1-2 Pressure to Please: Why can't we say no?	「人を喜ばせるプレッシャー：ノーと言えないのはなぜか」後半講読
4	Unit 6-1 Tourism: Is it a blessing or a curse?	「観光：それは祝福なのか、それとも災いか」前半講読
5	Unit 6-2 Tourism: Is it a blessing or a curse?	「観光：それは祝福なのか、それとも災いか」後半講読
6	Unit 11-1 Left or Right: What is bias in the media?	「左か右か：マスコミの偏向報道とは何か」前半講読

7	Unit 11-2 Left or Right: What is bias in the media?	「左か右か：マスコミの偏向報道とは何か」後半講読
8	Unit 16-1 Spooky Science: Are ghosts real?	「不気味な科学：幽霊は実在するのか」前半講読
9	Unit 16-1 Spooky Science: Are ghosts real?	「不気味な科学：幽霊は実在するのか」後半講読
10	Unit 2-1 No Time to Waste: Should we ban meetings?	「時間を無駄にしない：企業は会議を禁止するべきか」前半講読
11	Unit 2-2 No Time to Waste: Should we ban meetings?	「時間を無駄にしない：企業は会議を禁止するべきか」後半講読
12	Unit 7-1 Agony of Uncertainty: Is it better to know what will happen?	「不確実性の苦しみ：将来の出来事を予測すべきか」前半講読
13	Unit 7-2 Agony of Uncertainty: Is it better to know what will happen?	「不確実性の苦しみ：将来の出来事を予測すべきか」後半講読
14	期末テストとまとめ	期末テスト・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。予習を前提に授業を進め、unitごとに2回小テストを実施するので、少なくとも1時間取って、教科書を読み、授業後には予習時にわからなかった箇所を復習すること。小テストでは英単語の定義が問われるので、予め英英辞書を使って単語の定義を調べておくこと。

【テキスト（教科書）】

Our World, Our Stories (Dave Rear 著, 成美堂, 2025年)

【参考書】

英語系辞書（特に英英辞書）

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100満点とし、60点以上が合格となる。
授業への貢献10% 小テスト35% 期末テスト50% 英作文5%
欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
授業開始から30分以上の遅刻した場合は欠席扱い、遅刻2回で欠席1回とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

教科書に物足りなくなった場合や難しく感じられる場合、代替の記事を読む。

【Outline (in English)】

One of the main objectives in this course is improvement of reading skill and developing of students' vocabulary. Students will read English passages discussing social issues and recent events, paying much attention to paragraph structure and relationship between paragraphs. The ability to read and comprehend the argument of the passage and to acquire the knowledge and information through English will be improved by reading articles.

Another objective is formation and expression of students' own opinion. Emphasis should be put on understanding the writer's feeling and intention. However, students should not accept the writer's opinion easily if they have questions or doubts. Students have to form their own opinion after they find out the difference between the writer's opinion and theirs. In addition, they will practice summarizing the passages they read and writing the opinion which they formed in English.

Listening skill is also regarded as an important factor. Listening skill will be developed through the quizzes which the instructor makes from passages of the textbook. In some cases, other materials will be used for listening quizzes.

This class has five learning objectives.

First, They are expected to acquire the knowledge of English grammar, words and phrases which is necessary to read English.

Second, students are expected to acquire the ability to understand middle-length English articles by themselves

Third, students are expected to acquire the capacity to grasp logic of them, considering what role each paragraph has.

Fourth, students are expected to improve their listening skill through exercises.

Fifth, students are expected to acquire the faculty to write their own thoughts about articles in English.

The final evaluating score between 60%and 100%will be awarded. Percentages of evaluation are Presentation (Reading and Translating) 10%, Quizzes 30%, Final exam 50%, and Writing 10 %. Credits will not be given to those who have missed 4 class hours or its equivalent in being late. When being late for thirty minutes is considered as one absence. Being late two times will be counted as one absence.

As for learning activities outside of classroom, students have to prepare and review for at least one hour. Students have to read texts and consult dictionaries about unknown words and phrases before class. After finishing reading an article, students have to reread it and review what you didn't understand for quizzes. As students answer the English definitions of words in quizzes, they have to consult an English-English dictionary.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 3

2017年度以降入学者

小川 真也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の主な目的は読解力と語彙を高めることである。学生はパラグラフ構造とパラグラフ同士の関係性に注意を払いながら、社会問題や現代事象を扱う英文を読み、英語の読解力を高めるとともに、英語を通して知識を得られるようになることが望まれる。

また、自分自身の意見を持つことも重要である。筆者の意見を理解することも重要だが、疑問があれば、その意見を容易く受け入れなければならない。筆者と自身との意見の相違を見極め、自分自身の意見をまとめ、それを英語で表現できるようになることが望まれる。

リスニング能力を高めることも重視する。教員が作成したリスニング問題を解き、リスニング力を高めて頂きたい。

【到達目標】

この授業ではリーディングを中心に勉強し、次の項目を目標とする。

- ①英文を読む上で必要な文法事項と語彙を身につけること。
- ②まとまった量の英語の文章を独力で理解できるようになること。
- ③段落の構造を意識して論理の流れを把握できるようになること。
- ④練習問題を通して、リスニング力を向上させること。
- ⑤記事に対する自分の意見を英作文し、英語で表現する力を身につけること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は演習形式を取り、2回の授業で1つのunitを扱う。授業の初めにテキストから作成したリスニング問題を実施する。正確に読むことに主眼を置き、単語・熟語・文法事項等を確認しながら記事を読解し、段落ごとに要約し、トピック全体の理解を図る。段落ごとの要約とトピックに対する意見を英作文して課題として提出する。提出課題は教員が添削するので、添削された箇所を確認し、英語の表現や内容理解などを深める。

unitごとに前半後半に分けて2回、復習の小テストを実施する。フィードバックとして英作文は教員が添削し、返却する。小テスト・期末テストに関してはテスト終了後に模範解答を提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方説明と英作文
2	Unit 12-1 Gaming to Success: Can video games be good for us?	「ゲームで成功する：テレビゲームは私たちのためになるのか」前半講読
3	Unit 12-2 Gaming to Success: Can video games be good for us?	「ゲームで成功する：テレビゲームは私たちのためになるのか」後半講読
4	Unit 17-1 Believing a Lie: Can we plant memories in the brain?	「記憶の書き換え：脳に記憶を植え付けることはできるのか」前半講読
5	Unit 17-2 Believing a Lie: Can we plant memories in the brain?	「記憶の書き換え：脳に記憶を植え付けることはできるのか」後半講読

6	Unit 3-1 Marketing Genius: How did Red Bull achieve its success?	「マーケティングの天才：レッドブル社はいかにして成功を収めたのか」前半講読
7	Unit 3-2 Marketing Genius: How did Red Bull achieve its success?	「マーケティングの天才：レッドブル社はいかにして成功を収めたのか」後半講読
8	Unit 8-1 A Long Way to Go: What's it like to walk around the world?	「長い道のり：人はなぜ世界を歩くのか」前半講読
9	Unit 8-2 A Long Way to Go: What's it like to walk around the world?	「長い道のり：人はなぜ世界を歩くのか」後半講読
10	Unit 13-1 Digital Town Square: Why is Twitter always in the news?	「自由な会話の場：なぜツイッターは話題になるのか」前半講読
11	Unit 13-2 Digital Town Square: Why is Twitter always in the news?	「自由な会話の場：なぜツイッターは話題になるのか」後半講読
12	Unit 18-1 Cell Magic: Can we make a living robot?	「細胞のマジック：生きたロボットは作れるか」前半講読
13	Unit 18-2 Cell Magic: Can we make a living robot?	「細胞のマジック：生きたロボットは作れるか」後半講読
14	期末テストとまとめ	期末テストとまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。予習を前提に授業を進め、unitごとに2回小テストを実施するので、少なくとも1時間取って、教科書を読み、授業後には予習時わからなかった箇所を復習すること。小テストでは英単語の定義が問われるので、予め英英辞書を使って単語の定義を調べておくこと。

【テキスト（教科書）】

Our World, Our Stories
(Dave Rear 著, 成美堂, 2025年)

【参考書】

英語系辞書（特に英英辞書）

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100満点とし、60点以上が合格となる。
授業への貢献10% 小テスト35% 期末テスト50% 英作文5%
欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
授業開始から30分以上の遅刻した場合は欠席扱い、遅刻2回で欠席1回とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

教科書に物足りなくなった場合や難しく感じられる場合、代替の記事を読む。

【Outline (in English)】

One of the main objectives in this course is improvement of reading skill and developing of students' vocabulary. Students will read English passages discussing social issues and recent events, paying much attention to paragraph structure and relationship between paragraphs. The ability to read and comprehend the argument of the passage and to acquire the knowledge and information through English will be improved by reading articles.

Another objective is formation and expression of students' own opinion. Emphasis should be put on understanding the writer's feeling and intention. However, students should not accept the writer's opinion easily if they have questions or doubts. Students have to form their own opinion after they find out the difference between the writer's opinion and theirs. In addition, they will practice summarizing the passages they read and writing the opinion which they formed in English.

Listening skill is also regarded as an important factor. Listening skill will be developed through the quizzes which the instructor makes from passages of the textbook. In some cases, other materials will be used for listening quizzes.

This class has five learning objectives.

First, They are expected to acquire the knowledge of English grammar, words and phrases which is necessary to read English.

Second, students are expected to acquire the ability to understand middle-length English articles by themselves

Third, students are expected to acquire the capacity to grasp logic of them, considering what role each paragraph has.

Fourth, students are expected to improve their listening skill through exercises.

Fifth, students are expected to acquire the faculty to write their own thoughts about articles in English.

The final evaluating score between 60%and 100%will be awarded. Percentages of evaluation are Presentation (Reading and Translating) 10%, Quizzes 30%, Final exam 50%, and Writing 10%. Credits will not be given to those who have missed 4 class hours or its equivalent in being late. When being late for thirty minutes is considered as one absence. Being late two times will be counted as one absence.

As for learning activities outside of classroom, students have to prepare and review for at least one hour. Students have to read texts and consult dictionaries about unknown words and phrases before class. After finishing reading an article, students have to reread it and review what you didn't understand for quizzes. As students answer the English definitions of words in quizzes, they have to consult an English-English dictionary.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1

2017年度以降入学者

遠藤 郁子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に、かつ速読や精読など目的に応じた速度で読むことのできる力を養います。特にパラグラフの構造（topic sentence, supporting sentence, concluding sentence など）およびパラグラフ同士のつながりに留意しつつ、構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報をつかみ取ること、また書き手の感情や意図をつかむことに重点を置きます。「聴く力」の育成も、授業の一環として行います。

【到達目標】

この授業は以下の5つを到達目標とします：

- ①辞書を効果的に利用しながら、高校時代に培った文法・語彙・構文・発音を復習し強化する
- ②速読や精読など目的に応じた速度で効果的に読む力を養う
- ③現パラグラフの構造（topic sentence, supporting sentence, concluding sentence など）およびパラグラフ同士のつながりに留意する
- ④必要な知識・情報を掴み取る力と同時に、書き手の感情や意図、論旨を正確に把握する力を養う
- ⑤各履修者が自分に合った、継続的に英語学習を続けるための手段を取得する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

現代の時事的な諸問題を扱う英語のエッセイを各自予習として辞書をひきながら読み、あらかじめ指定されたエクササイズを解いてから授業に臨みます。授業ではその文章の内容や注意すべき文法事項、語彙、発音などを確認します。教師が確認する場合もありますが、グループやペアワークで確認してもらう場合が多いのでしっかり予習しましょう。基本的にひとつの文章につき3回授業を行い、3回目の授業で復習のための小テストを行います。

学習内容の理解を確認・復習するための定期試験を学期中に2回行います。小テスト・定期試験ともに授業内で解説を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション ・英語でのE-Mailの書き方を学ぶ ・英語学習のためのウェブサイトやアプリケーションの紹介	授業方針・内容の説明・PCを利用した演習
2	Unit 1 Animals	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Topic Sentence
3	Unit 1 Animals	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 テキストのトピックについて考察 Topic Sentence

4	Unit 1 Animals	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Topic Sentence Unit 1の小テスト
5	Unit 2 The environment	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Supporting Sentence
6	Unit 2 The environment	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 テキストのトピックについて考察 Supporting Sentence
7	Unit 2 The environment	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Supporting Sentence Unit 2の小テスト
8	中間テスト	試験の実施、解説、復習
9	Unit 3 Transport	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Concluding Sentence
10	Unit 3 Transport	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 テキストのトピックについて考察 Concluding Sentence
11	Unit 3 Transport/ Unit 4 Customs and traditions	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Concluding Sentence Unit 3の小テスト
12	Unit 4 Customs and traditions	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Topic/Supporting/Concluding Sentence
13	Unit 4 Customs and traditions	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 時事について考察 Topic/Supporting/Concluding Sentence
14	期末試験	試験の実施、解説、復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。毎回の授業のために辞書をていねいにひきながらテキストを読み、設問に答えてください。指定された記事のすべてをわかるために予習するのではなく、どこがどのようにわからないのかをはっきりと認識し、授業で理解できるようにするために予習をしましょう。定期試験は普段の予習と復習および小テスト対策をしっかりすれば確実に得点できるはずです。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Unlock: Reading, Writing &Critical Thinking (Level 3), Cambridge University Press

*テキストに付属のオンラインワークブックを用いるので、中古ではなく必ず学校で新品のテキストを購入してください。中古のテキストは返品していただく可能性があります。

【参考書】

英語学習ウェブサイトやアプリケーションなど、授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への貢献（グループ／ペアワークへの参加）10%、小テスト20%、中間・期末試験各35%で評価します。欠席回数が4回以上で単位修得は不可となります。

【学生の意見等からの気づき】

引き続き、グループワークを中心とした授業を行い、毎授業で英語でのディスカッションの時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

PCやスマートフォンの持ち込みをお願いする場合があります。このクラスではGoogle Classroomを使用します。

【Outline (in English)】

・ Course Outline and Learning Objectives

Students will read passages of multiple paragraphs at a speed necessary for different purposes(e.g. speed-reading and close reading). Attention should be paid to paragraph structure, e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence, and the logical relationship between paragraphs. Students will learn how to comprehend the structure and the argument of the passage, acquire the knowledge and information they need, and grasp the writer's intention and feelings. In addition, the course will help students foster critical thinking skills, that is, skills to make an objective and multifaceted analysis of the given information, instead of accepting it unquestioningly.

The course will offer instruction of and practice in the development of effective listening skills. Students will also learn how to paraphrase what they have read, and then write in English a summary of and comments on what they have read.

・ Learning Activities Outside of Classroom

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Please read the text and answer the questions for each class while carefully reading the dictionary. It is not necessary to prepare in order to understand all of the assigned articles, but rather to clearly identify what you do not understand and how, so that you can understand it in class.

・ Grading Criteria /Policy

Class contribution (participation in group/pair work): 10%, quiz: 20%, mid-term and final exam: 35%each. Students who are absent more than 4 times will not be allowed to receive credit.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 3

2017年度以降入学者

遠藤 郁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は英語1からのステップアップとして、英語の文章をより速く、より正確に読み取る訓練を行います。これまで学んだ語彙や文法を利用して英語の資料を読みとくだけでなく、Thesis Statement, Main Points, Conclusionといった英文の構成をすばやく把握する能力を身につけます。さらに、得られた情報を鵜呑みにするのではなく、多面的・客観的観点から分析する、いわゆる批判的思考力の養成も行います。また、精読した英文の要旨や、それについての批評的なコメントなどを英語で書く練習も行います。引き続き「聴く力」の育成も授業の一環として行います。

【到達目標】

この授業は以下の6つを到達目標とします：

- ①長文の英語を正確にかつ速く読みとることができる
- ②現代の時事的な諸問題を扱った文章を読むうえで必要な語彙を増やす
- ③わからない語句や文法があっても出来るだけ正確に推測することができる
- ④英語の文章の構成をすばやく把握する能力を習得する
- ⑤批判的に読む力を養う
- ⑥読んだ英文を要約したり、関連するトピックに関する自分の意見を簡潔な英文で表現する方法を習得する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

現代の時事的な諸問題を扱う英語のエッセイを各自予習として辞書をひきながら読み、あらかじめ指定されたエクササイズを解いてから授業に臨みます。授業ではその文章の内容や注意すべき文法事項、語彙、発音などを確認します。教師が確認する場合もありますが、グループやペアワークで確認してもらう場合が多いのでしっかり予習しましょう。基本的にひとつの文章につき3回授業を行います。同時に、読んだ文章を要約したり、トピックに対する自分の意見を短い英文にまとめたりする訓練を行い、ライティング課題を課します。ライティング課題はコメント・添削をしたのち、返却します。

学習内容の理解を確認・復習するための定期試験を学期中に2回行います。定期試験は授業内で解説を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	UNIT 5 Health and fitness	記事の読解、英語の文章の構成、Thesis Statement, How to Write Simple English
2	UNIT 5 Health and fitness	記事の読解、英語の文章の構成、Thesis Statement, How to Write Simple English
3	UNIT 5 Health and fitness	記事の読解、Main Point(s), How to Write Simple English
4	UNIT 6 Discovery and invention	記事の読解、Main Point(s), How to Write Simple English
5	UNIT 6 Discovery and invention	記事の読解、Conclusion, How to Write Simple English
6	UNIT 6 Discovery and invention	記事の読解、Conclusion, How to Write Simple English

7	中間テスト	試験の実施、解説、復習
8	UNIT 7 Fashion	記事の読解、要約
9	UNIT 7 Fashion	記事の読解、要約
10	UNIT 7 Fashion	記事の読解、自分の意見を表現する
11	UNIT 8 Economics	記事の読解、自分の意見を表現する、生成AIを使った英語学習
12	UNIT 8 Economics	記事の読解、人と自分の意見を表現する、生成AIを使った英語学習
13	UNIT 8 Economics	記事の読解、人と自分の意見を表現する、生成AIを使った英語学習
14	期末試験	試験の実施、解説、復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。毎回の授業のために辞書をていねいにひきながらテキストを読み、設問に答えてください。指定された記事のすべてをわかるために予習するのではなく、どこがどのようにわからないのかをはっきりと認識し、授業で理解できるようにするために予習をしましょう。定期試験は普段の予習と復習および小テスト対策をしっかりすれば確実に得点できるはずですが、/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Unlock: Reading, Writing & Critical Thinking (Level 3), Cambridge University Press

*テキストに付属のオンラインワークブックを用いるので、中古ではなく必ず学校で新品のテキストを購入してください。中古のテキストは返品していただく可能性があります。

【参考書】

英語学習ウェブサイトやアプリケーションなど、授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への貢献（グループ／ペアワークへの参加）10%、ライティング課題20%、中間・期末試験各35%で評価します。欠席回数が4回以上で単位修得は不可となります。

【学生の意見等からの気づき】

引き続き、グループワークを中心とした授業を行い、毎授業で英語でのディスカッションの時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

PCやスマートフォンの持ち込みをお願いする場合があります。このクラスではGoogle Classroomを使用します。

【Outline (in English)】

・ Course Outline and Learning Objectives

Students will read passages of multiple paragraphs at a speed necessary for different purposes(e.g. speed-reading and close reading). Attention should be paid to paragraph structure, e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence, and the logical relationship between paragraphs. Students will learn how to comprehend the structure and the argument of the passage, acquire the knowledge and information they need, and grasp the writer's intention and feelings. In addition, the course will help students foster critical thinking skills, that is, skills to make an objective and multifaceted analysis of the given information, instead of accepting it unquestioningly. The course will offer instruction of and practice in the development of effective listening skills. Students will also learn how to paraphrase what they have read, and then write in English a summary of and comments on what they have read.

・ Learning Activities Outside of Classroom

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Please read the text and answer the questions for each class while carefully reading the dictionary. It is not necessary to prepare in order to understand all of the assigned articles, but rather to clearly identify what you do not understand and how, so that you can understand it in class.

・ Grading Criteria /Policy

Class contribution (participation in group/pair work): 10%, writing assignments: 20%, mid-term and final exam: 35%each. Students who are absent more than 4 times will not be allowed to receive credit.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1

2017年度以降入学者

宇治谷 義英

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ポストコロニアリズムについて書かれた入門書を使って英文を読んでもとめると同時に「グローバル化」が叫ばれる中で必要な考え方を身につける。

【到達目標】

(1)教材の英文を正確に読めること、(2)英語のみならず、その背景にある問題を調べて把握すること、(3)自分なりのコメントを英語で表現できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト本文については基本的に精読します（事前に担当者を割り当てることもあります）。それ以外に特定のトピックに基づいた発表をしてもらいます。また、ニュースを使ってリスニングの練習もおこないます。

（フィードバック方法について）リアクションペーパーに書かれた質問は全て次の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	ウォームアップを含めて授業の内容説明、発表の順番決め、『リスニング・ハンドブック』の説明。
2	Chap 1, "Colonialism and Imperialism"	精読。ニュース英語のリスニング。
3	Chap 1, "Colonialism and Imperialism" (前回の続き)	精読。ニュース英語のリスニング。
4	Chap 2, "Theories of Colonial Discourses"	精読。ニュース英語のリスニング。
5	学生によるプレゼン	学生によるプレゼン。ニュース英語のリスニング。
6	Chap 2, "Theories of Colonial Discourses" (前回の続き)	精読。ニュース英語のリスニング。
7	Chap 3, "Reading Orientalism (Part 1)"	精読。ニュース英語のリスニング。
8	Chap 4, "Reading Orientalism (Part 2)"	精読。ニュース英語のリスニング。
9	学生によるプレゼン	学生によるプレゼン。ニュース英語のリスニング。

10	Chap 5, "Imagining the Nation: Forging Tradition and History"	精読。ニュース英語のリスニング。
11	Chap 5, "Imagining the Nation: Forging Tradition and History" (前回の続き)	精読。ニュース英語のリスニング。
12	Chap 6, "The Disenchantment with Nationalism"	精読。ニュース英語のリスニング。
13	学生によるプレゼン	学生によるプレゼン。ニュース英語のリスニング。
14	まとめと確認	議論とテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

英和辞典は言うまでもなくネット等を利用して不明な語彙、表現をできる限り調べ、授業に臨むこと。発表については、事前に資料を準備、授業では英語で発表する。また、与えられたトピックについての英作文の課題にも取り組む。毎回課題提出が必須です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『英語で読む現代世界の文化・社会・言語—植民地主義からグローバル化へ』, John McLeod, 木村茂雄他編注 (英宝社, 2015)。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999）、および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点(20%)と試験(80%)から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。また、課題提出もしくは授業出席のいずれかでも欠けた回数が3回を超えた場合も不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が4回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。朝の交通機関にはしばしば遅れが出ます。電車の遅延は20分以上遅れが出た場合のみ考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表に対するフィードバックにも力を入れたいと思います。また、難解な箇所の説明にも今まで以上に力を入れたいと思います。

【Outline (in English)】

In this course, students will learn how to read "post-colonialism" through an introductory book and discuss what is needed in the world of "globalisation".

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 3

2017年度以降入学者

宇治谷 義英

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期科目「英語1」に引き続いて、ポストコロニアリズムについて書かれた入門書を使って英文を読んでまとめると同時に「グローバル化」が叫ばれる中で必要な考え方を身につける。

【到達目標】

(1)教材の英文を正確に読めること、(2)英語のみならず、その背景にある問題を調べて把握すること、(3)自分なりのコメントを英語で表現できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト本文については基本的に精読します（事前に担当者を割り当てることもあります）。それ以外に特定のトピックに基づいた発表をしてもらいます。また、ニュースを使ってリスニングの練習もおこないます。

（フィードバック方法について）リアクションペーパーに書かれた質問は全て次の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chap 7, "English in the Colonies"	精読。ニュース英語のリスニング。
2	Chap 7, "English in the Colonies"(前回の続き)	精読。ニュース英語のリスニング。
3	Chap 8, "Interrogating the Text"	精読。ニュース英語のリスニング。
4	Chap 8, "Interrogating the Text"(前回の続き)	精読。ニュース英語のリスニング。
5	学生によるプレゼン	学生によるプレゼン。ニュース英語のリスニング。
6	Chap 9, "The 'Double Colonisation' of Women"	精読。ニュース英語のリスニング。
7	Chap 9, "The 'Double Colonisation' of Women"(前回の続き)	精読。ニュース英語のリスニング。
8	Chap 10, "Migration, Colonialism and Decolonisation"	精読。ニュース英語のリスニング。
9	学生によるプレゼン	学生によるプレゼン。ニュース英語のリスニング。

10	Chap 10, "Migration, Colonialism and Decolonisation"(前回の続き)	精読。ニュース英語のリスニング。
11	Chap 11, "Cultural Diversity, Cultural Difference, Cultural Hybridity"	精読。ニュース英語のリスニング。
12	Chap 11, "Cultural Diversity, Cultural Difference, Cultural Hybridity"(前回の続き)	精読。ニュース英語のリスニング。
13	学生によるプレゼン	学生によるプレゼン。ニュース英語のリスニング。
14	まとめと確認テスト	議論とテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

英和辞典は言うまでもなくネット等を利用して不明な語彙、表現をできる限り調べ、授業に臨むこと。発表については、事前に資料を準備する。また、与えられたトピックについての英作文の課題にも取り組む。毎回課題提出が必須です。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『英語で読む現代世界の文化・社会・言語—植民地主義からグローバル化へ』, John McLeod, 木村茂雄他編注 (英宝社, 2015)。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』(東京：研究社, 1999), および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点(20%)と試験(80%)から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。また、課題提出もしくは授業出席のいずれかでも欠けた回数が3回を超えた場合も不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が4回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。朝の交通機関にはしばしば遅れが出ます。電車の遅延は20分以上遅れが出た場合のみ考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表に対するフィードバックにも力を入れたいと思います。リスニングのコツについても丁寧に説明するつもりです。

【Outline (in English)】

Following the course in the spring term, students will learn how to read "post-colonialism" and what is needed in the world of "globalisation".

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1

2017年度以降入学者

高井 美紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では学生は、英国ウェールズ出身で日本の長野県で森林再生に取り組み2020年に亡くなった環境保護活動家のC. W. ニコル氏が、10年にわたりジャパントイムズに寄稿したコラムの抜粋を読みます。各ユニットのエッセイはそれぞれ550～700 words程度の英文で書かれており、学生はまとまった長い英文を読みこなすために不可欠なパラグラフ・フリーディングやスキミング、スキヤニングなどの技法を身に着けます。また、リスニングやライティング、ディスカッションなどの様々なアクティビティにも取り組み、英語の4技能をバランスよく向上させます。実際に環境保全活動に自ら取り組んだ人のエッセイの読解を通して、現状を変えるために自ら行動することの重要性、21世紀における環境保護の意義などを考察し、自分の考えを英語で述べられるようになることも本授業の目標です。

【到達目標】

学生はこの授業を通して以下の能力を身に着けることを目標とします。

- ①英語ネイティブスピーカーが書いた英語エッセイを読みこなす力。
- ②550 700words程度の英文エッセイを大意を見失わずに最後まで読み通す読解力。
- ③英語の派生語や品詞を理解して、自分で語彙を増やす力。
- ④英文法やイディオムの正確な理解。
- ⑤提起された問題について自分の意見を英語で述べる力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で進めます。グループワークやペアワークによる学生の発表を中心に授業を勧めます。学生の積極的な授業参加、協力しながら問題の解決に取り組む姿勢が評価されます。テキストの1ユニットを2回の授業で進めていきます。1回目の授業で読解を行い、2回目の授業でリスニングとディスカッションを行います。リスニング、ディスカッションはグループワークで行い、その結果は授業支援システムを通じて、レポートとして提出します。フィードバックもシステムを通じて行います。グループのメンバーとの協力が不可欠です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回授業	オリエンテーション	授業の方針説明
第2回授業	Unit 1: A woodland to call not my own ①	リーディング
第3回授業	Unit 1: A woodland to call not my own ②	リスニング、ディスカッション レポート
第4回授業	Unit 2: Down but not out: lessons learned in Ethiopia ①	リーディング

第5回授業	Unit 2: Down but not out: lessons learned in Ethiopia ②	リスニング、ディスカッション レポート
第6回授業	Unit 3: Bear facts about honey traps ①	リーディング
第7回授業	Unit 3: Bear facts about honey traps ②	リスニング、ディスカッション レポート
第8回授業	Unit 4: Natural hearing ①	リーディング
第9回授業	Unit 4: Natural hearing ②	リスニング、ディスカッション レポート
第10回授業	Unit 5: Forest fun... ①	リーディング
第11回授業	Unit 5: Forest fun... ②	リスニング、ディスカッション レポート
第12回授業	Unit 6: Achoo alert ... tackling cedar pollen ①	リーディング
第13回授業	Unit 6: Achoo alert ... tackling cedar pollen ②	リスニング、ディスカッション レポート
第14回授業	Unit 7: Breakfast with rodents	リーディング、リスニング、 ライティングレポート

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
準備学習として、各ユニットのタイトルと導入文の日本語文章を読み、Warm-up Taskをやって本文の内容を予測し、次にテキスト英文の本文下の注の英単語を確認し、知らない語にチェックを入れておいてください（所要時間30分）。
復習としては、各ユニット終了後に提出するリスニング、ディスカッションレポートにしっかりと取り組んでください（所要時間30時間）。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】Old Nic's Notebook: featuring C. W. Nicol's original columns from The Japan Times

【編著者名】C. W. ニコル、ジョナサン・リンチ、委文光太郎

【出版社】三修社

【出版年】2012年

【価格】1700円（税抜き）

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の通り評価します。

通常発表：50%

リスニング、ディスカッションレポート：50%

成績評価は100点満点とし、60点以上で合格です。

本授業は、理由のない欠席が4回を超えた場合、成績評価の対象外となります。

部活動での公欠や、病気による欠席の場合、その証明を提出してください。部活動の場合は大学を通じて出される公欠届、病欠の場合は病院の受診証明や、大学を通じて出される感染症罹患証明などを出してください。これらの証明がない欠席の場合は、公欠とは認められません。

その他、教育実習や就職活動等の欠席も公欠扱いになりますので、証明を出してください。

また、授業開始15分以上過ぎて教室に来た場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。交通の遅延がある場合は考慮しますので、遅延証明を提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

学期末にまとめてテストを行うのではなく、ユニットを学ぶごとに確認テストを行うことで、通常授業に緊張感が出ると同時に、フィードバックもスムーズになると感じた。

【学生が準備すべき機器他】

初回の授業と最終回の授業はオンライン授業（Zoom 授業）を行います。それ以外は基本的に対面授業を行います。感染症の蔓延や災害、事故発生等、必要に応じてオンライン授業に変更することがあります。

また、課題やレポートのやり取りは、授業支援システムを通じて行います。

パソコンとインターネット環境を準備してください。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This course introduces extracts from a column which C. W. Nichol, a famous Welsh-Japanese writer and active environmentalist, contributed to Japan Times for 10 years, to students taking his course. C. W. Nichol came to Japan in 1960s and had worked on restoration of forests in Nagano prefecture until he died there in 2020. Students read essays written in English with around 550~700 words and work on various exercises to improve 4 skills in English, such as listening, writing and discussion. It also enhances the development of students' skill in considering the topic and expressing their ideas about the topic in English. At the end of the course, students are expected not only to improve their English proficiency, but also to know the meaning of environmental protection in the 21st century and the importance of putting idea into practice, through reading essays written by the author who actually toiled on changing the situation.

Before each class meeting, students will be expected to have read the title and the Japanese introduction of each unit, and checked the words in notes under the writing text. Your required study time is at least half an hour for each class meeting.

After each class meeting, students will be expected to spend at least half an hour to understand the course content and complete the required assignments.

Grading will be decided based on short reports: 50%, and in class contribution 50%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 3

2017年度以降入学者

高井 美紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では学生は、英国ウェールズ出身で日本の長野県で森林再生に取り組み2020年に亡くなった環境保護活動家のC. W. ニコル氏が、10年にわたりジャパントイムズに寄稿したコラムの抜粋を読みます。各ユニットのエッセイはそれぞれ550～700 words程度の英文で書かれており、学生はまとまった長い英文を読みこなすために不可欠なパラグラフ・フリーディングやスキミング、スキヤニングなどの技法を身に着けます。また、リスニングやライティング、ディスカッションなどの様々なアクティビティにも取り組み、英語の4技能をバランスよく向上させます。実際に環境保全活動に自ら取り組んだ人のエッセイの読解を通して、現状を変えるために自ら行動することの重要性、21世紀における環境保護の意義などを考察し、自分の考えを英語で述べられるようになることも本授業の目標です。

【到達目標】

学生はこの授業を通して以下の能力を身に着けることを目標とします。

- ①英語ネイティブスピーカーが書いた英語エッセイを読みこなす力。
- ②550 700words程度の英文エッセイを大意を見失わずに最後まで読み通す読解力。
- ③英語の派生語や品詞を理解して、自分で語彙を増やす力。
- ④英文法やイディオムの正確な理解。
- ⑤提起された問題について自分の意見を英語で述べる力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で進めます。グループワークやペアワークによる学生の発表を中心に授業を勧めます。学生の積極的な授業参加、協力しながら問題の解決に取り組む姿勢が評価されます。テキストの1ユニットを2回の授業で進めていきます。1回目の授業で読解を行い、2回目の授業でリスニングとディスカッションを行います。リスニング、ディスカッションはグループワークで行い、その結果は授業支援システムを通じて、レポートとして提出します。フィードバックもシステムを通じて行います。グループのメンバーとの協力が不可欠です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回授業	Unit 8: To Kurohime via karate①	リーディング
第2回授業	Unit 8: To Kurohime via karate②	リスニング、ディスカッション レポート
第3回授業	Unit 9: With Ainu friends in Hokkaido①	リーディング
第4回授業	Unit 9: With Ainu friends in Hokkaido②	リスニング、ディスカッション レポート
第5回授業	Unit 10: Wintertime and the livin' ain't esay①	リーディング

第6回授業	Unit 10: Wintertime and the livin' ain't esay②	リスニング、ディスカッション レポート
第7回授業	Unit 11: Talking sense about deer①	リーディング
第8回授業	Unit 11: Talking sense about deer②	リスニング、ディスカッション レポート
第9回授業	Unit 12: To cage or not to cage①	リーディング
第10回授業	Unit 12: To cage or not to cage②	リスニング、ディスカッション レポート
第11回授業	Unit 13: The proudest day of my life①	リーディング
第12回授業	Unit 13: The proudest day of my life②	リスニング、ディスカッション レポート
第13回授業	Unit 14: Our woodland trust just keeps growing	リーディング、リスニング、 ディスカッションレポート
第14回授業	Unit 15: A meeting of minds	リーディング、リスニング、 ディスカッションレポート

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習として、各ユニットのタイトルと導入文の日本語文章を読み、Warm-up Taskをやって本文の内容を予測し、次にテキスト英文の本文下の注の英単語を確認し、知らない語にチェックを入れておいてください（所要時間30分）。
復習としては、各ユニット終了後に提出するリスニング、ディスカッションレポートにしっかりと取り組んでください（所要時間30時間）。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】 Old Nic's Notebook: featuring C. W. Nicol's original columns from The Japan Times

【編著者名】 C. W. ニコル、ジョナサン・リンチ、委文光太郎

【出版社】 三修社

【出版年】 2012年

【価格】 1700円（税抜き）

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の通り評価します。

通常発表：50%

リスニング、ディスカッションレポート：50%

成績評価は100点満点とし、60点以上で合格です。

本授業は、理由のない欠席が4回を超えた場合、成績評価の対象外となります。

部活動での公欠や、病気による欠席の場合、その証明を提出してください。部活動の場合は大学を通じて出される公欠届、病欠の場合は病院の受診証明や、大学を通じて出される感染症罹患証明などを出してください。これらの証明がない欠席の場合は、公欠とは認められません。

その他、教育実習や就職活動等の欠席も公欠扱いになりますので、証明を出してください。

また、授業開始15分以上過ぎて教室に来た場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。交通の遅延がある場合は考慮しますので、遅延証明を提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

学期末にまとめてテストを行うのではなく、ユニットを学ぶごとに確認テストを行うことで、通常授業に緊張感が出ると同時に、フィードバックもスムーズになると感じた。

【学生が準備すべき機器他】

基本的に対面授業を行います。感染症の蔓延や災害、事故発生等、必要に応じてオンライン授業に変更することがあります。

また、課題やレポートのやり取りは、授業支援システムを通じて行います。
パソコンとインターネット環境を準備してください。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This course introduces extracts from a column which C. W. Nichol, a famous Welsh-Japanese writer and active environmentalist, contributed to Japan Times for 10 years, to students taking his course. C. W. Nichol came to Japan in 1960s and had worked on restoration of forests in Nagano prefecture until he died there in 2020. Students read essays written in English with around 550~700 words and work on various exercises to improve 4 skills in English, such as listening, writing and discussion. It also enhances the development of students' skill in considering the topic and expressing their ideas about the topic in English. At the end of the course, students are expected not only to improve their English proficiency, but also to know the meaning of environmental protection in the 21st century and the importance of putting idea into practice, through reading essays written by the author who actually toiled on changing the situation.

Before each class meeting, students will be expected to have read the title and the Japanese introduction of each unit, and checked the words in notes under the reading text. Your required study time is at least half an hour for each class meeting.

After each class meeting, students will be expected to spend at least half an hour to understand the course content and complete the required assignments.

Grading will be decided based on short reports: 50%, and in class contribution 50%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1

2017年度以降入学者

栗飯原 文子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文化と社会をめぐる諸問題を扱ったエッセイの読解をととして、長文の英語を正確かつ速く読みとる力を養う。これまでに身につけた文法や構文を復習し、エッセイやニュースを読むうえで必要な語彙や表現を習得する。

【到達目標】

- ・複数のパラグラフからなる長文を読解する能力を身につける。パラグラフの構造をおさえながら、全体の概要を把握し自分の言葉で説明できるようにする。
- ・文法や構文を理解したうえで、細部を正確に読み取るとともに、できるかぎり速く全体の内容をつかむ力を伸ばす。
- ・語彙力を強化し、なるべく辞書に頼らずにエッセイやニュース記事を読む力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・授業は基本的に教科書にそって進めていくが、その他の教材も用いて、さまざまな文章に触れる。
- ・リーディングとリスニングの自習を通じて、日々の学習の習慣を身につける。
- ・定期的に小テストを実施する。
- ・学期最後の授業において期末試験をおこなう。
- ・課題や試験へのフィードバックは授業内でおこなう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と進め方、成績評価の基準について説明。ひとりずつ英語で自己紹介をおこなう。
第2回	Unit 1 Why is God So Quiet?	Unit 1の精読。補助教材による速読の練習。
第3回	Unit 1 Why is God So Quiet の続き	Unit 1の練習問題。補助教材による速読の練習。
第4回	Unit 2 The Olympic Ideal-Up in Smoke	Unit 2の精読。補助教材による速読の練習。
第5回	Unit 2 The Olympic Ideal-Up in Smoke の続き	Unit 2の練習問題。補助教材による速読の練習。
第6回	Unit 3 How to Lose a Trillion Dollars	Unit 3の精読。補助教材による速読の練習。
第7回	Unit 3 How to Lose a Trillion Dollars	Unit 3の練習問題。補助教材による速読の練習。
第8回	Unit 4 Is Democracy the Best We Can Do?	Unit 4の精読。補助教材による速読の練習。

第9回	Unit 4 Is Democracy the Best We Can Do? の続き	Unit 4の練習問題。補助教材による速読の練習。
第10回	Unit 5 You Can Always Reach Me	Unit 5の精読。補助教材による速読の練習。
第11回	Unit 5 You Can Always Reach Me の続き	Unit 5の練習問題。補助教材による速読の練習。
第12回	Unit 6 I Like to Read in the Bath	Unit 6の精読。補助教材による速読の練習。
第13回	Unit 6 I Like to Read in the Bath の続き	Unit 6の練習問題。春学期の復習をおこなう。
第14回	期末試験とまとめ	春学期で学んだ教科書の範囲から期末試験をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・毎週、予習は必ずおこなうこと。
 - ・定期的に小テストを実施するので、入念に準備すること。
 - ・期末試験は学期中に学んだ教科書の範囲内から出題する。
- 毎回しっかりと問題に取り組み、各自で復習をおこなっておくこと。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Eat the World Alive: 16 Hot Global Topics, 成美堂, 2011年

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

成績評価の方法と基準は次の通り。

- ・平常点 10%
- ・小テスト・課題の提出 30%
- ・期末テスト 60%

この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

受講生が積極的に授業に参加できるよう、教材や授業の進め方について工夫をおこないたい。リーディング中心の授業ではあるが、リスニングの練習も増やしたい。

【その他の重要事項】

- ・4回欠席すると自動的に単位取得の資格を失うので注意すること。
 - また、大幅な遅刻は欠席とみなす。
 - ・辞書（電子辞書でも可）を必ず持参すること。
- なお、携帯電話を用いることは不可。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course aims to help students acquire advanced reading skills through a wide range of reading materials of different genres and styles. Intensive and extensive reading, listening and writing activities and vocabulary development will be important elements of the course. [Learning objectives] By the end of this course, students will have the ability to more quickly and accurately understand a variety of texts, and improve their vocabulary and learn to love to read. [Learning activities outside of classroom] Before each class session, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. The required study time is at least one hour for each class meeting. [Grading policy] Grading will be decided based on the following: in class contribution 10%, small tests & short reports 30% and term-end examination 60%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
英語 3		2017年度以降入学者
栗飯原 文子		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：木 1/Thu.1		
単位数：1 単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文化と社会をめぐる諸問題を扱ったエッセイの読解をととして、長文の英語を正確かつ速く読みとる力を養う。これまでに身につけた文法や構文を復習し、エッセイやニュースを読むうえで必要な語彙や表現を習得する。

【到達目標】

- ・複数のパラグラフからなる長文を読解する能力を身につける。パラグラフの構造をおさえながら、全体の概要を把握し自分の言葉で説明できるようにする。
- ・文法や構文を理解したうえで、細部を正確に読み取るとともに、できるかぎり速く全体の内容をつかむ力を伸ばす。
- ・語彙力を強化し、なるべく辞書に頼らずにエッセイやニュース記事を読む力を養う。
- ・後半の授業では4度にわたり、パラグラフ・ライティングを学び、課題としてワンパラグラフ（100語程度）の作文に取り組む。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・授業は基本的に教科書にそって進めていくが、その他の教材も用いて、さまざまな文章に触れる。
- ・学期の半ばでグループ・ワークをおこなう。
- ・リーディングとリスニングの自習を通じて、日々の学習の習慣を身につける。
- ・定期的に小テストを実施する。
- ・学期最後の授業において期末試験をおこなう。
- ・課題や試験へのフィードバックは授業内でおこなう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクションとプレゼンテーション	秋学期の授業の概要と進め方について説明。各自、短いプレゼンテーションをおこなう。
第2回	Unit 7 Big Brother is Watching You!	Unit 7 の精読。補助教材による速読の練習。
第3回	Unit 7 Big Brother is Watching You!の続き	Unit 7 の練習問題。補助教材による速読の練習。
第4回	Unit 8 The Internet-Is It All Good?	Unit 8 の精読。補助教材による速読の練習。
第5回	Unit 8 The Internet-Is It All Good?の続き	Unit 8 の練習問題。補助教材による速読の練習。
第6回	Unit 9 Fighting is Good for You	Unit 9 の精読。補助教材による速読の練習。
第7回	Unit 9 Fighting is Good for Youの続き	Unit 9 の練習問題。補助教材による速読の練習。

第8回	Unit 10 Food is Cruel	Unit 10 の精読。補助教材による速読の練習。
第9回	Unit 10 Food is Cruelの続き	Unit 10 の練習問題。補助教材による速読の練習。
第10回	Unit 11 But It's the Right Answer! パラグラフ・ライティング①	Unit 11 の精読。パラグラフ・ライティングを学ぶ。
第11回	Unit 11 But It's the Right Answer!の続き パラグラフ・ライティング②	Unit 11 の練習問題。補助教材による速読の練習。パラグラフ・ライティングを学ぶ。
第12回	Unit 12 University is a Waste of Time パラグラフ・ライティング③	Unit 12 の精読。パラグラフ・ライティングを学ぶ。
第13回	Unit 12 University is a Waste of Timeの続き パラグラフ・ライティング④、全体の復習	Unit 12 の練習問題。パラグラフ・ライティングを学ぶ。秋学期の復習をおこなう。
第14回	期末試験とまとめ	秋学期で学んだ教科書の範囲から期末試験をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・毎週、予習は必ずおこなうこと。
 - ・定期的に小テストを実施するので、入念に準備すること。
 - ・期末試験は学期中に学んだ教科書の範囲内から出題する。
- 毎回しっかりと問題に取り組み、各自で復習をおこなっておくこと。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Eat the World Alive: 16 Hot Global Topics, 成美堂, 2011年

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

成績評価の方法と基準は次の通り。

- ・平常点 10 %
- ・小テスト・課題の提出 30 %
- ・期末テスト 60 %

この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

受講生が積極的に授業に参加できるよう、教材や授業の進め方について工夫をおこないたい。自分のペースで楽しみながら自習に取り組めるようにアドバイスをしたい。

【その他の重要事項】

- ・4回欠席すると自動的に単位取得の資格を失うので注意すること。
 - また、大幅な遅刻は欠席とみなす。
 - ・辞書（電子辞書でも可）を必ず持参すること。
- なお、携帯電話を用いることは不可。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course aims to help students acquire advanced reading skills through a wide range of reading materials of different genres and styles. Intensive and extensive reading, listening and writing activities and vocabulary development will be important elements of the course. [Learning objectives] By the end of this course, students will have the ability to more quickly and accurately understand a variety of texts, and improve their vocabulary and learn to love to read. [Learning activities outside of classroom] Before each class session, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. The required study time is at least one hour for each class meeting. [Grading policy] Grading will be decided based on the following: in class contribution 10%, small tests & short reports 30% and term-end examination 60%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
英語 1	2017年度以降入学者
衣笠 正晃	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：木1/Thu.1
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代世界の多岐にわたる話題について書かれた英文（論説文）を読み進めます。外国語としての英語を学ぶ大学生にふさわしい、読みごたえのある英語長文を、正確に読みこなす力を身につけることを目的とします。

【到達目標】

- 1) 英語学習の基本（辞書の用い方、文法知識、発音、リスニングなど）を復習・確認する。
- 2) 文の構造・パラグラフの構成を理解し、文章の内容・論旨を的確に把握する。
- 3) 現代世界について考察・議論するのに必要な、高いレベルの語彙力を身につける。
- 4) 現代の国際社会や日本社会が抱える多様な問題とその背景に対する関心・理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回教員が出席者をアトラダムに指名し、質問（設問）に答えたり、音読・訳読・要約などの作業をおこなったりしてもらいながら、テキストや授業の内容が理解できているかを確認します。語句の意味や文法事項など細部にわたる質問をする場合もあれば、大意把握など大づかみな質問をする場合もあります。また設問にもとづくペア／グループワークも実施します。

毎回決められた課題を提出してもらいます。また予習確認や理解度把握のためクイズ（小テスト）を随時実施します。さらにリアクションシートを毎回提出してもらいます。リアクションシートの質問・コメントには授業や学習支援システムでフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション＋コミュニケーションの心理学(1)	シラバスの解説と授業ルールの説明＋Pressure to Please (Unit 1) の導入問題と本文前半の講読
2	コミュニケーションの心理学(2)	Pressure to Please (Unit 1) 本文後半の講読
3	職場における会議の意義(1)	No Time To Waste (Unit 2) 本文前半の講読
4	職場における会議の意義(2)	No Time To Waste (Unit 2) 本文後半の講読
5	起業とマーケティング	Marketing Genius (Unit 3) の講読
6	通勤時間と交通手段	Trains, Planes, and Automobiles (Unit 4) の講読
7	中間試験＋休暇と労働効率(1)	第1～6回の授業を範囲とする筆記試験＋Long Weekends (Unit 5) の導入問題
8	休暇と労働効率(2)	Long Weekends (Unit 5) の講読
9	観光がもたらす公害	Tourism (Unit 6) の講読
10	未来予測と科学	Agony of Uncertainty (Unit 7) の講読
11	徒歩による世界旅行	A Long Way to Go (Unit 8) の講読
12	失われた都市文明の魅力	Lost Cities (Unit 9) の講読
13	核戦争を止めた英雄	An Ordinary Hero (Unit 10) の講読

14 学期末試験とまとめ 第7～13回の授業を範囲とする筆記試験と学期授業の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回とも次のとおり。

- 1) 指定された箇所の予習。まず導入問題を解いたのち、本文を通読し全体の論旨を把握する。つぎに丁寧に読み、理解できなかった語句・表現を調べ、確認・応用問題に答える。最後に再度確認のため通読する。（都合最低3回はテキストを読む。）また内容理解に必要な情報をウェブ上や印刷物などから収集する。
- 2) 発音・イントネーションの確認。付属音声を利用したリスニング練習・音読練習を繰り返し行なう。またニュースサイト等を利用してのリスニング練習に努める。
- 3) 授業を終えた箇所の復習。テキストを再読し、問題を解き直し、内容と理解度を確認する。
- 4) 課題については、期日までに作成・提出する。なお本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Dave Rear (著) *Our World, Our Stories* (変動する世界と現代社会の再発見) (成美堂、2025年) 本体価格2,000円

※このほか必要に応じてプリントを配付・使用します。

【参考書】

辞書・参考書等については授業で指示します。英英辞典が必要です。

【成績評価の方法と基準】

試験（中間および期末、60％）と平常点（授業への参加度、小テスト、提出物など、40％）によって評価します。評価にあたっては下記の各点に注目します。

- 1) 英語学習の基本事項が身についているか。
 - 2) 文やパラグラフの構造を踏まえて、文章の内容・論旨が理解できているか。
 - 3) 現代社会について考察するのに必要なレベルの語彙が身についているか。
 - 4) 現代社会の問題に対する関心や知識を深めているか。
- ※欠席が学期中4回以上となった場合は原則として単位修得の資格を失います。なお遅刻3回を欠席1回としてカウントします。

【学生の意見等からの気づき】

- ・授業外でのリスニングやリーディングの練習について、一層の指導や確認に努めたい。
- ・授業内での学生の積極的な発言や質問を一層促したい。

【学生が準備すべき機器他】

資料の配付や提出物の回収、授業に関する連絡など、学期を通じて学習支援システムを使用します。音声ファイルのダウンロードや課題作成にPCが必要です。

【その他の重要事項】

- ・初回授業までに教科書を購入しておいてください。
- ・初回授業で授業履修にあたって守るべき事柄を説明します。必ず遵守してください。
- ・出席者の状況に合わせて、進度や読む文章の順序を変えたり、文章を差し替えたりすることがあります。

【Outline (in English)】

This course is intended to help students develop an advanced level of English proficiency, with particular emphasis on reading comprehension, through reading articles written on a variety of topics and issues in the world today. The goals are to develop an accurate understanding of the structure and meaning of sentences and paragraphs, and to acquire a high level of vocabulary necessary to consider and discuss contemporary social issues. Students are expected to come to each class meeting well prepared by completing the required assignments; the required study time is at least one hour per class. The overall grade will be decided based on class participation (40%) and regular examinations (60%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 3

2017年度以降入学者

衣笠 正晃

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語1同様、現代社会の多岐にわたる話題についての英文（論説文）を読み進めます。英語長文を正確に、かつ速く読み取るとともに、それをアウトプットに活かすことのできる力を身につけることを目的とします。

【到達目標】

- 1) 基礎となる英語学習の知識・スキルをいっそう確実なものとする。
- 2) 文の構造・パラグラフの構成についての理解を深め、それをもとに英語で論理的に表現する。
- 3) 意見表明や議論に活かせる、さらに高レベルな語彙力を身につける。
- 4) 現代社会の諸問題とその背景にいっそう理解を深めるとともに、自らの問題意識をもつ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回教員が出席者をアトラダムに指名し、質問（設問）に答えたり、音読・訳読・要約などの作業をおこなったりしてもらいながら、テキストや授業の内容が理解できているかを確認します。語句の意味など細部にわたる質問をする場合もあれば、パラグラフの要旨など大づかみな質問をする場合もあります。また設問にもとづくペア／グループワークも実施します。

毎回課題（パラグラフライティングを含む）を提出してもらいます。また予習確認や理解度把握のため随時クイズ（小テスト）を実施します。さらに毎回リアクションシートを提出してもらいますが、リアクションシートの質問・コメントには授業や学習支援システムでフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	メディアと偏向報道 (1)	Left or Right (Unit 11) 前半の講読
2	メディアと偏向報道 (2)	Left or Right (Unit 11) 後半の講読
3	ビデオゲームの効用 (1)	Gaming to Success (Unit 12) 前半の講読
4	ビデオゲームの効用 (2)	Gaming to Success (Unit 12) 後半の講読
5	ソーシャルメディアをめぐる問題	Digital Town Square (Unit 13) 本文後半と確認・応用問題
6	労働の場としての映画産業	For Love Not Money (Unit 14) の講読
7	中間試験+ディズニーの世界戦略(1)	第1～6回の授業を範囲とする筆記試験 + Entertainment Empire (Unit 15) 導入問題
8	ディズニーの世界戦略 (2)	Entertainment Empire (Unit 15) の講読
9	心霊と科学研究	Spooky Science (Unit 16) の講読
10	記憶を書き換える技術	Believing a Lie (Unit 17) の講読
11	細胞工学とロボット技術	Cell Magic (Unit 18) の講読
12	宇宙望遠鏡の可能性	Looking into the Past (Unit 19) の講読
13	地球温暖化への対策	New Solution (Unit 20) の講読
14	学期末試験とまとめ	第7～13回の授業を範囲とする筆記試験と学期授業の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回とも次のとおり。

- 1) 指定された箇所の予習。まず導入問題を解いたのち、本文を通読し全体の論旨を把握する。つぎに丁寧に読み、理解できなかった語句・表現を調べ、練習問題に答える。最後に再度確認のため通読する。（都合最低3回はテキストを読む。）また内容理解に必要な情報をウェブ上や印刷物などから収集する。
 - 2) 発音・イントネーションの確認。付属音声を利用したリスニング・音読練習を繰り返し行なう。またニュースサイト等を利用したリスニング練習に努める。
 - 3) 授業を終えた箇所の復習。テキストを再読し、問題を解き直し、内容と理解度を確認する。
 - 4) 課題が出された場合、期日までに作成・提出する。
- なお本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Dave Rear (著) *Our World, Our Stories* (変動する世界と現代社会の再発見) (成美堂、2025年) 本体価格2,200円
※必要に応じてプリントを配付・使用します。

【参考書】

辞書・参考書等については授業で指示します。英英辞典が必要です。

【成績評価の方法と基準】

試験（中間および期末、60％）と平常点（授業への参加度、小テスト、提出物など、40％）によって評価します。評価にあたっては下記の各点に注目します。

- 1) 英語学習の基本事項を確実なものにできているか。
 - 2) 文、パラグラフ、文章全体の構造を把握するとともに、それをアウトプットに活かしているか。
 - 3) 現代社会の考察・議論に必要な、より高いレベルの語彙力が身につけているか。
 - 4) 現代社会の問題についての関心・知識をさらに深化できているか。
- ※欠席が学期中4回以上となった場合は原則として単位修得の資格を失います。なお遅刻3回を欠席1回としてカウントします。

【学生の意見等からの気づき】

- ・授業外でのリスニングやリーディングの練習について、一層の指導・確認に努めたい。
- ・授業内での学生の積極的な発言や質問を一層促したい。

【学生が準備すべき機器他】

資料の配付や提出物の回収、授業に関する連絡など、学期を通じて学習支援システムを使用します。音声ファイルのダウンロードや課題作成にPCが必要です。

【その他の重要事項】

- ・出席者の状況に合わせて、進度や読む文章の順序を変えたり、文章を差し替えたりすることがあります。
- ・英語1で説明した授業履修のルールを引き続き遵守してください。

【Outline (in English)】

This course is intended to help students further develop advanced level of academic English skills, with particular emphasis on reading comprehension, through reading articles written on various topics and issues in the world today. The goals are to develop a deeper understanding of the structure and meaning of sentences and paragraphs, and to acquire a higher level of vocabulary necessary to consider and discuss contemporary social issues. Students are expected to come to each class meeting well prepared by completing the required assignments; the required study time is at least one hour per class. The overall grade will be decided based on class participation (40%) and regular examinations (60%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1

2017年度以降入学者

深谷 公宣

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語で社会問題を考えるのに必要なリーディング・スキルと批判的思考力を修得します。リスニングの練習もおこない、英語による情報収集力を身につけます。基礎的なライティングの技法も指導します。

【到達目標】

学期の終わりまでに次のことができるようになるのが目標です。
 ・主題、細部、文脈を意識しながら基礎的な英文を読むことができる。
 ・幅広い話題の英文を批判的に読むことができる。
 ・身近な話題の英語の情報を聴き取ることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で、リーディング素材の精読と、関連タスクを行います。精読は、英文の音読と訳読によります。パラグラフ・ライティング、その他の課題は必ず回収し、添削などのフィードバックを行なって返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方の説明、『リスニング・ハンドブック』の説明
2	Unit1-1: Europe (1)	Sweets and the House of Habsburg
3	Unit1-2: Europe (2)	The European Union
4	Unit2-1: Africa (1)	The Savanna
5	Unit2-2: Africa (2)	Souvenir Shopping in Africa
6	Unit3-1: The Middle East (1)	Holy Places
7	Unit3-2: The Middle East (2)	A Strategic Seaway
8	Unit4-1: South Asia (1)	The Sacred River of Ganges
9	Unit4-2: South Asia (2)	Afghanistan
10	Unit5-1: Russia and Its Neighboring Countries (1)	St. Petersburg and Peter the Great
11	Unit5-2: Russia and Its Neighboring Countries (2)	Ukraine: Caught between Russia and Europe
12	Unit6-1: East Asia (1)	The Super Sky Railway to Inner Highland
13	Unit6-2: East Asia (2)	The Two Different Faces of Korea
14	授業内試験	試験および授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・教科書の予習をしたうえで授業に臨んでください。
 ・授業内で示された演習課題に取り組んでください。

・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
 /University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

笹島茂・仲谷都・油木田美由紀・大和洋子・Michel Joel『CLIL 英語と地図で学ぶ世界事情』（三修社）

【参考書】

授業の中で指示します。

【成績評価の方法と基準】

・平常点：40%（授業内での発言から、予習や演習問題における取り組み姿勢を評価）
 ・提出物：20%（課題を指示通りに作成し、期日までに提出できているかを評価）
 ・学期末試験：40%（学期中に学んだリーディング・スキルの習熟度を評価）
 ・4回以上欠席した受講生は単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

・ Course outline: This course is designed to help students to acquire reading and critical thinking skills to address social issues. Listening comprehension and paragraph writing tasks are also assigned to foster their ability to gather information and express their thoughts in English.
 ・ Learning Objectives: By the end of this course, students will have an ability to read passages written in simple English paying attention to the main ideas, details, and contexts, so that they can read a variety of articles critically. They will acquire listening skills to understand what people are saying in everyday English.
 ・ Learning activities outside of the classroom: Preparation for exercises in the textbook. Additional tasks will be assigned.
 ・ Grading Criteria/Policy: In class activity 40%, Assignments 20%, Final Examination 40%. In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 3

2017年度以降入学者

深谷 公宣

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語で社会問題を考えるためのリーディング・スキルと批判的思考力を伸長します。リスニングの練習もおこない、英語による情報収集力を充実させます。ライティングの技法も継続して指導します。

【到達目標】

学期の終わりまでに次のことができるようになるのが目標です。
 ・主題、細部、文脈を意識しながら、まとまった長さの英文を読むことができる。
 ・社会的なトピックの英文を批判的に読むことができる。
 ・より幅広い話題の英語の情報を聴き取ることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で、リーディング素材の精読と、関連タスクを行います。精読は、英文の音読と訳読によります。パラグラフ・ライティング、その他の課題は必ず回収し、添削などのフィードバックを行なって返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方の説明、『リスニング・ハンドブック』の確認
2	Unit7-1: Southeast Asia (1)	A Country of Cultural Diversity
3	Unit7-2: Southeast Asia (2)	Religious Diversity
4	Unit8-1: North America (1)	A Country of Immigrants
5	Unit8-2: North America (2)	The American Dream
6	Unit9-1: Central America and the Caribbean (1)	The Panama Canal
7	Unit9-2: Central America and the Caribbean (2)	Revolution and Social Reform
8	Unit10-1: South America (1)	Rio de Janeiro
9	Unit10-2: South America (2)	Japanese Immigrants
10	Unit11-1: The South Pacific and the Antarctic (1)	The Last Unknown Place on the Earth
11	Unit11-2: The South Pacific and the Antarctic (2)	What is the Antarctic like?
12	Unit12-1: Australia and New Zealand (1)	A Continent of Modern Cities and Unique Nature
13	Unit12-2: Australia and New Zealand (2)	Unique Animals and Plants

14

授業内試験

試験および授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・教科書の予習をしたうえで授業に臨んでください。
 ・授業内で示された演習課題に取り組んでください。
 ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
 /University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

笹島茂・仲谷都・油木田美由紀・大和洋子・Michel Joel『CLIL 英語と地図で学ぶ世界事情』（三修社）

【参考書】

授業の中で指示します。

【成績評価の方法と基準】

・平常点：40%（授業内での発言から、予習や演習問題における取り組み姿勢を評価）
 ・提出物：20%（課題を指示通りに作成し、期日までに提出できているかを評価）
 ・学期末試験：40%（学期中に学んだリーディング・スキルの習熟度を評価）
 ・4回以上欠席した受講者は単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

・Course outline: This course is designed to help students to improve reading and critical thinking skills to address social issues. Listening comprehension and paragraph writing tasks are also assigned to develop their capacity to gather information and express their thoughts in English.
 ・Learning Objectives: By the end of this course, students will have an ability to read long passages written in English paying attention to the main ideas, details, and contexts, so that they can read articles about academic and social subjects critically. They will enhance listening skills to understand a wide range of topics in English.
 ・Learning activities outside of the classroom: Preparation for exercises in the textbook. Additional tasks will be assigned.
 ・Grading Criteria/Policy: In class activity 40%, Assignments 20%, Final Examination 40%. In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe100LA（英語 / English language education 100）					
英語 1			2017年度以降入学者		
遠藤 郁子					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：木2/Thu.2					
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】					
複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に、かつ速読や精読など目的に応じた速度で読むことのできる力を養います。特にパラグラフの構造（topic sentence, supporting sentence, concluding sentence など）およびパラグラフ同士のつながりに留意しつつ、構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報をつかみ取ること、また書き手の感情や意図をつかむことに重点を置きます。「聴く力」の育成も、授業の一環として行います。					
【到達目標】					
この授業は以下の5つを到達目標とします：					
①辞書を効果的に利用しながら、高校時代に培った文法・語彙・構文・発音を復習し強化する					
②速読や精読など目的に応じた速度で効果的に読む力を養う					
③現パラグラフの構造（topic sentence, supporting sentence, concluding sentence など）およびパラグラフ同士のつながりに留意する					
④必要な知識・情報を掴み取る力と同時に、書き手の感情や意図、論旨を正確に把握する力を養う					
⑤各履修者が自分に合った、継続的に英語学習を続けるための手段を取得する					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1					
【授業の進め方と方法】					
現代の時事的な諸問題を扱う英語のエッセイを各自予習として辞書をひきながら読み、あらかじめ指定されたエクササイズを解いてから授業に臨みます。授業ではその文章の内容や注意すべき文法事項、語彙、発音などを確認します。教師が確認する場合もありますが、グループやペアワークで確認してもらう場合が多いのでしっかり予習しましょう。基本的にひとつの文章につき3回授業を行い、3回目の授業で復習のための小テストを行います。					
学習内容の理解を確認・復習するための定期試験を学期中に2回行います。小テスト・定期試験ともに授業内で解説を行います。					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	イントロダクション・英語でのE-Mailの書き方を学ぶ・英語学習のためのウェブサイトやアプリケーションの紹介	授業方針・内容の説明・PCを利用した演習			
2	Unit 1 Animals	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Topic Sentence			
3	Unit 1 Animals	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 テキストのトピックについて考察 Topic Sentence			
4	Unit 1 Animals	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Topic Sentence Unit 1の小テスト			
5	Unit 2 The environment	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Supporting Sentence			
6	Unit 2 The environment	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 テキストのトピックについて考察 Supporting Sentence			
7	Unit 2 The environment	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Supporting Sentence Unit 2の小テスト			
8	中間テスト	試験の実施、解説、復習			
9	Unit 3 Transport	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Concluding Sentence			
10	Unit 3 Transport	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 テキストのトピックについて考察 Concluding Sentence			
11	Unit 3 Transport/ Unit 4 Customs and traditions	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Concluding Sentence Unit 3の小テスト			
12	Unit 4 Customs and traditions	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Topic/Supporting/Concluding Sentence			
13	Unit 4 Customs and traditions	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 時事について考察 Topic/Supporting/Concluding Sentence			
14	期末試験	試験の実施、解説、復習			
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】					
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。毎回の授業のために辞書をていねいにひきながらテキストを読み、設問に答えてください。指定された記事のすべてをわかるために予習するのではなく、どこがどのようにわからないのかをはっきりと認識し、授業で理解できるようにするために予習をしましょう。定期試験は普段の予習と復習および小テスト対策をしっかりすれば確実に得点できるはずです。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.					
【テキスト（教科書）】					
Unlock: Reading, Writing &Critical Thinking (Level 3), Cambridge University Press *テキストに付属のオンラインワークブックを用いるので、中古ではなく必ず学校で新品のテキストを購入してください。中古のテキストは返品していただく可能性があります。					
【参考書】					
英語学習ウェブサイトやアプリケーションなど、授業内で適宜指示します。					
【成績評価の方法と基準】					
授業への貢献（グループ／ペアワークへの参加）10%、小テスト20%、中間・期末試験各35%で評価します。欠席回数が4回以上で単位修得は不可となります。					
【学生の意見等からの気づき】					
引き続き、グループワークを中心とした授業を行い、毎授業で英語でのディスカッションの時間を設けます。					
【学生が準備すべき機器他】					
PCやスマートフォンの持ち込みをお願いする場合があります。このクラスではGoogle Classroomを使用します。					

【Outline (in English)】

・ Course Outline and Learning Objectives

Students will read passages of multiple paragraphs at a speed necessary for different purposes(e.g. speed-reading and close reading). Attention should be paid to paragraph structure, e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence, and the logical relationship between paragraphs. Students will learn how to comprehend the structure and the argument of the passage, acquire the knowledge and information they need, and grasp the writer's intention and feelings. In addition, the course will help students foster critical thinking skills, that is, skills to make an objective and multifaceted analysis of the given information, instead of accepting it unquestioningly.

The course will offer instruction of and practice in the development of effective listening skills. Students will also learn how to paraphrase what they have read, and then write in English a summary of and comments on what they have read.

・ Learning Activities Outside of Classroom

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Please read the text and answer the questions for each class while carefully reading the dictionary. It is not necessary to prepare in order to understand all of the assigned articles, but rather to clearly identify what you do not understand and how, so that you can understand it in class.

・ Grading Criteria /Policy

Class contribution (participation in group/pair work): 10%, quiz: 20%, mid-term and final exam: 35%each. Students who are absent more than 4 times will not be allowed to receive credit.

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
英語 3		
2017年度以降入学者		
遠藤 郁子		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：木2/Thu.2		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は英語1からのステップアップとして、英語の文章をより速く、より正確に読み取る訓練を行います。これまで学んだ語彙や文法を利用して英語の資料を読みとくだけでなく、Thesis Statement, Main Points, Conclusionといった英文の構成をすばやく把握する能力を身につけます。さらに、得られた情報を鵜呑みにするのではなく、多面的・客観的観点から分析する、いわゆる批判的思考力の養成も行います。また、精読した英文の要旨や、それについての批評的なコメントなどを英語で書く練習も行います。引き続き「聴く力」の育成も授業の一環として行います。

【到達目標】

この授業は以下の6つを到達目標とします：

- ①長文の英語を正確にかつ速く読みとることができる
- ②現代の時事的な諸問題を扱った文章を読むうえで必要な語彙力を増やす
- ③わからない語句や文法があっても出来るだけ正確に推測することができる
- ④英語の文章の構成をすばやく把握する能力を習得する
- ⑤批判的に読む力を養う
- ⑥読んだ英文を要約したり、関連するトピックに関する自分の意見を簡潔な英文で表現する方法を習得する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

現代の時事的な諸問題を扱う英語のエッセイを各自予習として辞書をひきながら読み、あらかじめ指定されたエクササイズを解いてから授業に臨みます。授業ではその文章の内容や注意すべき文法事項、語彙、発音などを確認します。教師が確認する場合もありますが、グループやペアワークで確認してもらう場合が多いのでしっかり予習しましょう。基本的にひとつの文章につき3回授業を行います。同時に、読んだ文章を要約したり、トピックに対する自分の意見を短い英文にまとめたりする訓練を行い、ライティング課題を課します。ライティング課題はコメント・添削をしたのち、返却します。

学習内容の理解を確認・復習するための定期試験を学期中に2回行います。定期試験は授業内で解説を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	UNIT 5 Health and fitness	記事の読解、英語の文章の構成、Thesis Statement, How to Write Simple English
2	UNIT 5 Health and fitness	記事の読解、英語の文章の構成、Thesis Statement, How to Write Simple English
3	UNIT 5 Health and fitness	記事の読解、Main Point(s), How to Write Simple English
4	UNIT 6 Discovery and invention	記事の読解、Main Point(s), How to Write Simple English
5	UNIT 6 Discovery and invention	記事の読解、Conclusion, How to Write Simple English
6	UNIT 6 Discovery and invention	記事の読解、Conclusion, How to Write Simple English

7	中間テスト	試験の実施、解説、復習
8	UNIT 7 Fashion	記事の読解、要約
9	UNIT 7 Fashion	記事の読解、要約
10	UNIT 7 Fashion	記事の読解、自分の意見を表現する、
11	UNIT 8 Economics	記事の読解、自分の意見を表現する、生成AIを使った英語学習
12	UNIT 8 Economics	記事の読解、人と自分の意見を表現する、生成AIを使った英語学習
13	UNIT 8 Economics	記事の読解、人と自分の意見を表現する、生成AIを使った英語学習
14	期末試験	試験の実施、解説、復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。毎回の授業のために辞書をていねいにひきながらテキストを読み、設問に答えてください。指定された記事のすべてをわかるために予習するのではなく、どこがどのようにわからないのかをはっきりと認識し、授業で理解できるようにするために予習をしましょう。定期試験は普段の予習と復習および小テスト対策をしっかりすれば確実に得点できるはず。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Unlock: Reading, Writing & Critical Thinking (Level 3), Cambridge University Press

*テキストに付属のオンラインワークブックを用いるので、中古ではなく必ず学校で新品のテキストを購入してください。中古のテキストは返品していただく可能性があります。

【参考書】

英語学習ウェブサイトやアプリケーションなど、授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への貢献（グループ／ペアワークへの参加）10%、ライティング課題20%、中間・期末試験各35%で評価します。欠席回数が4回以上で単位修得は不可となります。

【学生の意見等からの気づき】

引き続き、グループワークを中心とした授業を行い、毎授業で英語でのディスカッションの時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

PCやスマートフォンの持ち込みをお願いする場合があります。このクラスではGoogle Classroomを使用します。

【Outline (in English)】

・ Course Outline and Learning Objectives

Students will read passages of multiple paragraphs at a speed necessary for different purposes(e.g. speed-reading and close reading). Attention should be paid to paragraph structure, e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence, and the logical relationship between paragraphs. Students will learn how to comprehend the structure and the argument of the passage, acquire the knowledge and information they need, and grasp the writer's intention and feelings. In addition, the course will help students foster critical thinking skills, that is, skills to make an objective and multifaceted analysis of the given information, instead of accepting it unquestioningly. The course will offer instruction of and practice in the development of effective listening skills. Students will also learn how to paraphrase what they have read, and then write in English a summary of and comments on what they have read.

・ Learning Activities Outside of Classroom

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Please read the text and answer the questions for each class while carefully reading the dictionary. It is not necessary to prepare in order to understand all of the assigned articles, but rather to clearly identify what you do not understand and how, so that you can understand it in class.

・ Grading Criteria /Policy

Class contribution (participation in group/pair work): 10%, writing assignments: 20%, mid-term and final exam: 35%each. Students who are absent more than 4 times will not be allowed to receive credit.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1

2017年度以降入学者

宇治谷 義英

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ポストコロニアリズムについて書かれた入門書を使って英文を読んでもとめると同時に「グローバル化」が叫ばれる中で必要な考え方を身につける。

【到達目標】

(1)教材の英文を正確に読めること、(2)英語のみならず、その背景にある問題を調べて把握すること、(3)自分なりのコメントを英語で表現できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト本文については基本的に精読します（事前に担当者を割り当てることもあります）。それ以外に特定のトピックに基づいた発表をしてもらいます。また、ニュースを使ってリスニングの練習もおこないます。

（フィードバック方法について）リアクションペーパーに書かれた質問は全て次の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	ウォームアップを含めて授業の内容説明、発表の順番決め、『リスニング・ハンドブック』の説明。
2	Chap 1, "Colonialism and Imperialism"	精読。ニュース英語のリスニング。
3	Chap 1, "Colonialism and Imperialism" (前回の続き)	精読。ニュース英語のリスニング。
4	Chap 2, "Theories of Colonial Discourses"	精読。ニュース英語のリスニング。
5	学生によるプレゼン	学生によるプレゼン。ニュース英語のリスニング。
6	Chap 2, "Theories of Colonial Discourses" (前回の続き)	精読。ニュース英語のリスニング。
7	Chap 3, "Reading Orientalism (Part 1)"	精読。ニュース英語のリスニング。
8	Chap 4, "Reading Orientalism (Part 2)"	精読。ニュース英語のリスニング。
9	学生によるプレゼン	学生によるプレゼン。ニュース英語のリスニング。

10	Chap 5, "Imagining the Nation: Forging Tradition and History"	精読。ニュース英語のリスニング。
11	Chap 5, "Imagining the Nation: Forging Tradition and History" (前回の続き)	精読。ニュース英語のリスニング。
12	Chap 6, "The Disenchantment with Nationalism"	精読。ニュース英語のリスニング。
13	学生によるプレゼン	学生によるプレゼン。ニュース英語のリスニング。
14	まとめと確認	議論とテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

英和辞典は言うまでもなくネット等を利用して不明な語彙、表現をできる限り調べ、授業に臨むこと。発表については、事前に資料を準備、授業では英語で発表する。また、与えられたトピックについての英作文の課題にも取り組む。毎回課題提出が必須です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『英語で読む現代世界の文化・社会・言語—植民地主義からグローバル化へ』, John McLeod, 木村茂雄他編注 (英宝社, 2015)。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社，1999），および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点(20%)と試験(80%)から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。また、課題提出もしくは授業出席のいずれかでも欠けた回数が3回を超えた場合も不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が4回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。朝の交通機関にはしばしば遅れが出ます。電車の遅延は20分以上遅れが出た場合のみ考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表に対するフィードバックにも力を入れたいと思います。また、難解な箇所の説明にも今まで以上に力を入れたいと思います。

【Outline (in English)】

In this course, students will learn how to read "post-colonialism" through an introductory book and discuss what is needed in the world of "globalisation".

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 3

2017年度以降入学者

宇治谷 義英

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期科目「英語1」に引き続いて、ポストコロニアリズムについて書かれた入門書を使って英文を読んでまとめると同時に「グローバル化」が叫ばれる中で必要な考え方を身につける。

【到達目標】

(1)教材の英文を正確に読めること、(2)英語のみならず、その背景にある問題を調べて把握すること、(3)自分なりのコメントを英語で表現できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト本文については基本的に精読します（事前に担当者を割り当てることもあります）。それ以外に特定のトピックに基づいた発表をしてもらいます。また、ニュースを使ってリスニングの練習もおこないます。

（フィードバック方法について）リアクションペーパーに書かれた質問は全て次の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chap 7, "English in the Colonies"	精読。ニュース英語のリスニング。
2	Chap 7, "English in the Colonies"(前回の続き)	精読。ニュース英語のリスニング。
3	Chap 8, "Interrogating the Text"	精読。ニュース英語のリスニング。
4	Chap 8, "Interrogating the Text"(前回の続き)	精読。ニュース英語のリスニング。
5	学生によるプレゼン	学生によるプレゼン。ニュース英語のリスニング。
6	Chap 9, "The 'Double Colonisation' of Women"	精読。ニュース英語のリスニング。
7	Chap 9, "The 'Double Colonisation' of Women"(前回の続き)	精読。ニュース英語のリスニング。
8	Chap 10, "Migration, Colonialism and Decolonisation"	精読。ニュース英語のリスニング。
9	学生によるプレゼン	学生によるプレゼン。ニュース英語のリスニング。

10	Chap 10, "Migration, Colonialism and Decolonisation"(前回の続き)	精読。ニュース英語のリスニング。
11	Chap 11, "Cultural Diversity, Cultural Difference, Cultural Hybridity"	精読。ニュース英語のリスニング。
12	Chap 11, "Cultural Diversity, Cultural Difference, Cultural Hybridity"(前回の続き)	精読。ニュース英語のリスニング。
13	学生によるプレゼン	学生によるプレゼン。ニュース英語のリスニング。
14	まとめと確認テスト	議論とテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

英和辞典は言うまでもなくネット等を利用して不明な語彙、表現をできる限り調べ、授業に臨むこと。発表については、事前に資料を準備する。また、与えられたトピックについての英作文の課題にも取り組む。毎回課題提出が必須です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『英語で読む現代世界の文化・社会・言語—植民地主義からグローバル化へ』, John McLeod, 木村茂雄他編注（英宝社, 2015）。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999）, および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点(20%)と試験(80%)から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。また、課題提出もしくは授業出席のいずれかでも欠けた回数が3回を超えた場合も不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が4回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。朝の交通機関にはしばしば遅れが出ます。電車の遅延は20分以上遅れが出た場合のみ考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表に対するフィードバックにも力を入れたいと思います。リスニングのコツについても丁寧に説明するつもりです。

【Outline (in English)】

Following the course in the spring term, students will learn how to read "post-colonialism" and what is needed in the world of "globalisation".

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1

2017年度以降入学者

高井 美紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では学生は、英国ウェールズ出身で日本の長野県で森林再生に取り組み2020年に亡くなった環境保護活動家のC. W. ニコル氏が、10年にわたりジャパントイムズに寄稿したコラムの抜粋を読みます。各ユニットのエッセイはそれぞれ550～700 words程度の英文で書かれており、学生はまとまった長い英文を読みこなすために不可欠なパラグラフ・フリーディングやスキミング、スキヤニングなどの技法を身に着けます。また、リスニングやライティング、ディスカッションなどの様々なアクティビティにも取り組み、英語の4技能をバランスよく向上させます。実際に環境保全活動に自ら取り組んだ人のエッセイの読解を通して、現状を変えるために自ら行動することの重要性、21世紀における環境保護の意義などを考察し、自分の考えを英語で述べられるようになることも本授業の目標です。

【到達目標】

学生はこの授業を通して以下の能力を身に着けることを目標とします。

- ①英語ネイティブスピーカーが書いた英語エッセイを読みこなす力。
- ②550 700words程度の英文エッセイを大意を見失わずに最後まで読み通す読解力。
- ③英語の派生語や品詞を理解して、自分で語彙を増やす力。
- ④英文法やイディオムの正確な理解。
- ⑤提起された問題について自分の意見を英語で述べる力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で進めます。グループワークやペアワークによる学生の発表を中心に授業を勧めます。学生の積極的な授業参加、協力しながら問題の解決に取り組む姿勢が評価されます。テキストの1ユニットを2回の授業で進めていきます。1回目の授業で読解を行い、2回目の授業でリスニングとディスカッションを行います。リスニング、ディスカッションはグループワークで行い、その結果は授業支援システムを通じて、レポートとして提出します。フィードバックもシステムを通じて行います。グループのメンバーとの協力が不可欠です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回授業	オリエンテーション	授業の方針説明
第2回授業	Unit 1: A woodland to call not my own ①	リーディング
第3回授業	Unit 1: A woodland to call not my own ②	リスニング、ディスカッション レポート
第4回授業	Unit 2: Down but not out: lessons learned in Ethiopia ①	リーディング

第5回授業	Unit 2: Down but not out: lessons learned in Ethiopia ②	リスニング、ディスカッション レポート
第6回授業	Unit 3: Bear facts about honey traps ①	リーディング
第7回授業	Unit 3: Bear facts about honey traps ②	リスニング、ディスカッション レポート
第8回授業	Unit 4: Natural hearing ①	リーディング
第9回授業	Unit 4: Natural hearing ②	リスニング、ディスカッション レポート
第10回授業	Unit 5: Forest fun... ①	リーディング
第11回授業	Unit 5: Forest fun... ②	リスニング、ディスカッション レポート
第12回授業	Unit 6: Achoo alert ... tackling cedar pollen ①	リーディング
第13回授業	Unit 6: Achoo alert ... tackling cedar pollen ②	リスニング、ディスカッション レポート
第14回授業	Unit 7: Breakfast with rodents	リーディング、リスニング、 ライティングレポート

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
準備学習として、各ユニットのタイトルと導入文の日本語文章を読み、Warm-up Taskをやって本文の内容を予測し、次にテキスト英文の本文下の注の英単語を確認し、知らない語にチェックを入れておいてください（所要時間30分）。
復習としては、各ユニット終了後に提出するリスニング、ディスカッションレポートにしっかりと取り組んでください（所要時間30時間）。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】Old Nic's Notebook: featuring C. W. Nicol's original columns from The Japan Times

【編著者名】C. W. ニコル、ジョナサン・リンチ、委文光太郎

【出版社】三修社

【出版年】2012年

【価格】1700円（税抜き）

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の通り評価します。

通常発表：50%

リスニング、ディスカッションレポート：50%

成績評価は100点満点とし、60点以上で合格です。

本授業は、理由のない欠席が4回を超えた場合、成績評価の対象外となります。

部活動での公欠や、病気による欠席の場合、その証明を提出してください。部活動の場合は大学を通じて出される公欠届、病欠の場合は病院の受診証明や、大学を通じて出される感染症罹患証明などを出してください。これらの証明がない欠席の場合は、公欠とは認められません。

その他、教育実習や就職活動等の欠席も公欠扱いになりますので、証明を出してください。

また、授業開始15分以上過ぎて教室に来た場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。交通の遅延がある場合は考慮しますので、遅延証明を提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

学期末にまとめてテストを行うのではなく、ユニットを学ぶごとに確認テストを行うことで、通常授業に緊張感が出ると同時に、フィードバックもスムーズになると感じた。

【学生が準備すべき機器他】

初回の授業と最終回の授業はオンライン授業（Zoom授業）を行います。それ以外は基本的に対面授業を行います。感染症の蔓延や災害、事故発生等、必要に応じてオンライン授業に変更することがあります。

また、課題やレポートのやり取りは、授業支援システムを通じて行います。

パソコンとインターネット環境を準備してください。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This course introduces extracts from a column which C. W. Nichol, a famous Welsh-Japanese writer and active environmentalist, contributed to Japan Times for 10 years, to students taking his course. C. W. Nichol came to Japan in 1960s and had worked on restoration of forests in Nagano prefecture until he died there in 2020. Students read essays written in English with around 550~700 words and work on various exercises to improve 4 skills in English, such as listening, writing and discussion. It also enhances the development of students' skill in considering the topic and expressing their ideas about the topic in English. At the end of the course, students are expected not only to improve their English proficiency, but also to know the meaning of environmental protection in the 21st century and the importance of putting idea into practice, through reading essays written by the author who actually toiled on changing the situation.

Before each class meeting, students will be expected to have read the title and the Japanese introduction of each unit, and checked the words in notes under the reading text. Your required study time is at least half an hour for each class meeting.

After each class meeting, students will be expected to spend at least half an hour to understand the course content and complete the required assignments.

Grading will be decided based on short reports: 50%, and in class contribution 50%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 3

2017年度以降入学者

高井 美紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では学生は、英国ウェールズ出身で日本の長野県で森林再生に取り組み2020年に亡くなった環境保護活動家のC. W. ニコル氏が、10年にわたりジャパントイムズに寄稿したコラムの抜粋を読みます。各ユニットのエッセイはそれぞれ550～700 words程度の英文で書かれており、学生はまとまった長い英文を読みこなすために不可欠なパラグラフ・フリーディングやスキミング、スキヤニングなどの技法を身に着けます。また、リスニングやライティング、ディスカッションなどの様々なアクティビティにも取り組み、英語の4技能をバランスよく向上させます。実際に環境保全活動に自ら取り組んだ人のエッセイの読解を通して、現状を変えるために自ら行動することの重要性、21世紀における環境保護の意義などを考察し、自分の考えを英語で述べられるようになることも本授業の目標です。

【到達目標】

学生はこの授業を通して以下の能力を身に着けることを目標とします。

- ①英語ネイティブスピーカーが書いた英語エッセイを読みこなす力。
- ②550 700words程度の英文エッセイを大意を見失わずに最後まで読み通す読解力。
- ③英語の派生語や品詞を理解して、自分で語彙を増やす力。
- ④英文法やイディオムの正確な理解。
- ⑤提起された問題について自分の意見を英語で述べる力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で進めます。グループワークやペアワークによる学生の発表を中心に授業を勧めます。学生の積極的な授業参加、協力しながら問題の解決に取り組む姿勢が評価されます。テキストの1ユニットを2回の授業で進めていきます。1回目の授業で読解を行い、2回目の授業でリスニングとディスカッションを行います。リスニング、ディスカッションはグループワークで行い、その結果は授業支援システムを通じて、レポートとして提出します。フィードバックもシステムを通じて行います。グループのメンバーとの協力が不可欠です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回授業	Unit 8: To Kurohime via karate①	リーディング
第2回授業	Unit 8: To Kurohime via karate②	リスニング、ディスカッション レポート
第3回授業	Unit 9: With Ainu friends in Hokkaido①	リーディング
第4回授業	Unit 9: With Ainu friends in Hokkaido②	リスニング、ディスカッション レポート
第5回授業	Unit 10: Wintertime and the livin' ain't esay①	リーディング

第6回授業	Unit 10: Wintertime and the livin' ain't esay②	リスニング、ディスカッション レポート
第7回授業	Unit 11: Talking sense about deer①	リーディング
第8回授業	Unit 11: Talking sense about deer②	リスニング、ディスカッション レポート
第9回授業	Unit 12: To cage or not to cage①	リーディング
第10回授業	Unit 12: To cage or not to cage②	リスニング、ディスカッション レポート
第11回授業	Unit 13: The proudest day of my life①	リーディング
第12回授業	Unit 13: The proudest day of my life②	リスニング、ディスカッション レポート
第13回授業	Unit 14: Our woodland trust just keeps growing	リーディング、リスニング、 ディスカッションレポート
第14回授業	Unit 15: A meeting of minds	リーディング、リスニング、 ディスカッションレポート

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習として、各ユニットのタイトルと導入文の日本語文章を読み、Warm-up Taskをやって本文の内容を予測し、次にテキスト英文の本文下の注の英単語を確認し、知らない語にチェックを入れておいてください（所要時間30分）。
復習としては、各ユニット終了後に提出するリスニング、ディスカッションレポートにしっかりと取り組んでください（所要時間30時間）。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】 Old Nic's Notebook: featuring C. W. Nicol's original columns from The Japan Times

【編著者名】 C. W. ニコル、ジョナサン・リンチ、委文光太郎

【出版社】 三修社

【出版年】 2012年

【価格】 1700円（税抜き）

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の通り評価します。

通常発表：50%

リスニング、ディスカッションレポート：50%

成績評価は100点満点とし、60点以上で合格です。

本授業は、理由のない欠席が4回を超えた場合、成績評価の対象外となります。

部活動での公欠や、病気による欠席の場合、その証明を提出してください。部活動の場合は大学を通じて出される公欠届、病欠の場合は病院の受診証明や、大学を通じて出される感染症罹患証明などを出してください。これらの証明がない欠席の場合は、公欠とは認められません。

その他、教育実習や就職活動等の欠席も公欠扱いになりますので、証明を出してください。

また、授業開始15分以上過ぎて教室に来た場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。交通の遅延がある場合は考慮しますので、遅延証明を提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

学期末にまとめてテストを行うのではなく、ユニットを学ぶごとに確認テストを行うことで、通常授業に緊張感が出ると同時に、フィードバックもスムーズになると感じた。

【学生が準備すべき機器他】

基本的に対面授業を行います。感染症の蔓延や災害、事故発生等、必要に応じてオンライン授業に変更することがあります。

また、課題やレポートのやり取りは、授業支援システムを通じて行います。
パソコンとインターネット環境を準備してください。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This course introduces extracts from a column which C. W Nichol, a famous Welsh-Japanese writer and active environmentalist, contributed to Japan Times for 10 years, to students taking his course. C. W Nichol came to Japan in 1960s and had worked on restoration of forests in Nagano prefecture until he died there in 2020. Students read essays written in English with around 550~700 words and work on various exercises to improve 4 skills in English, such as listening, writing and discussion. It also enhances the development of students' skill in considering the topic and expressing their ideas about the topic in English. At the end of the course, students are expected not only to improve their English proficiency, but also to know the meaning of environmental protection in the 21th century and the importance of putting idea into practice, through reading essays written by the author who actually toiled on changing the situation.

Before each class meeting, students will be expected to have read the title and the Japanese introduction of each unit, and checked the words in notes under the reading text. Your required study time is at least half an hour for each class meeting.

After each class meeting, students will be expected to spend at least half an hour to understand the course content and complete the required assignments.

Grading will be decided based on short reports: 50%, and in class contribution 50%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1

2017年度以降入学者

栗飯原 文子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文化と社会をめぐる諸問題を扱ったエッセイの読解をととして、長文の英語を正確かつ速く読みとる力を養う。これまでに身につけた文法や構文を復習し、エッセイやニュースを読むうえで必要な語彙や表現を習得する。

【到達目標】

- ・複数のパラグラフからなる長文を読解する能力を身につける。パラグラフの構造をおさえながら、全体の概要を把握し自分の言葉で説明できるようにする。
- ・文法や構文を理解したうえで、細部を正確に読み取るとともに、できるかぎり速く全体の内容をつかむ力を伸ばす。
- ・語彙力を強化し、なるべく辞書に頼らずにエッセイやニュース記事を読む力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・授業は基本的に教科書にそって進めていくが、その他の教材も用いて、さまざまな文章に触れる。
- ・リーディングとリスニングの自習を通じて、日々の学習の習慣を身につける。
- ・定期的に小テストを実施する。
- ・学期最後の授業において期末試験をおこなう。
- ・課題や試験へのフィードバックは授業内でおこなう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と進め方、成績評価の基準について説明。ひとりずつ英語で自己紹介をおこなう。
第2回	Unit 1 Why is God So Quiet?	Unit 1の精読。補助教材による速読の練習。
第3回	Unit 1 Why is God So Quiet の続き	Unit 1の練習問題。補助教材による速読の練習。
第4回	Unit 2 The Olympic Ideal-Up in Smoke	Unit 2の精読。補助教材による速読の練習。
第5回	Unit 2 The Olympic Ideal-Up in Smoke の続き	Unit 2の練習問題。補助教材による速読の練習。
第6回	Unit 3 How to Lose a Trillion Dollars	Unit 3の精読。補助教材による速読の練習。
第7回	Unit 3 How to Lose a Trillion Dollars	Unit 3の練習問題。補助教材による速読の練習。
第8回	Unit 4 Is Democracy the Best We Can Do?	Unit 4の精読。補助教材による速読の練習。

第9回	Unit 4 Is Democracy the Best We Can Do? の続き	Unit 4の練習問題。補助教材による速読の練習。
第10回	Unit 5 You Can Always Reach Me	Unit 5の精読。補助教材による速読の練習。
第11回	Unit 5 You Can Always Reach Me の続き	Unit 5の練習問題。補助教材による速読の練習。
第12回	Unit 6 I Like to Read in the Bath	Unit 6の精読。補助教材による速読の練習。
第13回	Unit 6 I Like to Read in the Bath の続き	Unit 6の練習問題。春学期の復習をおこなう。
第14回	期末試験とまとめ	春学期で学んだ教科書の範囲から期末試験をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・毎週、予習は必ずおこなうこと。
 - ・定期的に小テストを実施するので、入念に準備すること。
 - ・期末試験は学期中に学んだ教科書の範囲内から出題する。
- 毎回しっかりと問題に取り組み、各自で復習をおこなっておくこと。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Eat the World Alive: 16 Hot Global Topics, 成美堂, 2011年

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

成績評価の方法と基準は次の通り。

- ・平常点 10%
- ・小テスト・課題の提出 30%
- ・期末テスト 60%

この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

受講生が積極的に授業に参加できるよう、教材や授業の進め方について工夫をおこないたい。リーディング中心の授業ではあるが、リスニングの練習も増やしたい。

【その他の重要事項】

- ・4回欠席すると自動的に単位取得の資格を失うので注意すること。
 - ・また、大幅な遅刻は欠席とみなす。
 - ・辞書（電子辞書でも可）を必ず持参すること。
- なお、携帯電話を用いることは不可。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course aims to help students acquire advanced reading skills through a wide range of reading materials of different genres and styles. Intensive and extensive reading, listening and writing activities and vocabulary development will be important elements of the course. [Learning objectives] By the end of this course, students will have the ability to more quickly and accurately understand a variety of texts, and improve their vocabulary and learn to love to read. [Learning activities outside of classroom] Before each class session, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. The required study time is at least one hour for each class meeting. [Grading policy] Grading will be decided based on the following: in class contribution 10%, small tests & short reports 30% and term-end examination 60%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 3

2017年度以降入学者

栗飯原 文子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文化と社会をめぐる諸問題を扱ったエッセイの読解をととして、長文の英語を正確かつ速く読みとる力を養う。これまでに身につけた文法や構文を復習し、エッセイやニュースを読むうえで必要な語彙や表現を習得する。

【到達目標】

- ・複数のパラグラフからなる長文を読解する能力を身につける。パラグラフの構造をおさえながら、全体の概要を把握し自分の言葉で説明できるようにする。
- ・文法や構文を理解したうえで、細部を正確に読み取るとともに、できるかぎり速く全体の内容をつかむ力を伸ばす。
- ・語彙力を強化し、なるべく辞書に頼らずにエッセイやニュース記事を読む力を養う。
- ・後半の授業では4度にわたり、パラグラフ・ライティングを学び、課題としてワンパラグラフ（100語程度）の作文に取り組む。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・授業は基本的に教科書にそって進めていくが、その他の教材も用いて、さまざまな文章に触れる。
- ・学期の半ばでグループ・ワークをおこなう。
- ・リーディングとリスニングの自習を通じて、日々の学習の習慣を身につける。
- ・定期的に小テストを実施する。
- ・学期最後の授業において期末試験をおこなう。
- ・課題や試験へのフィードバックは授業内でおこなう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクションとプレゼンテーション	秋学期の授業の概要と進め方について説明。各自、短いプレゼンテーションをおこなう。
第2回	Unit 7 Big Brother is Watching You!	Unit 7の精読。補助教材による速読の練習。
第3回	Unit 7 Big Brother is Watching You!の続き	Unit 7の練習問題。補助教材による速読の練習。
第4回	Unit 8 The Internet-Is It All Good?	Unit 8の精読。補助教材による速読の練習。
第5回	Unit 8 The Internet-Is It All Good?の続き	Unit 8の練習問題。補助教材による速読の練習。
第6回	Unit 9 Fighting is Good for You	Unit 9の精読。補助教材による速読の練習。
第7回	Unit 9 Fighting is Good for Youの続き	Unit 9の練習問題。補助教材による速読の練習。

第8回	Unit 10 Food is Cruel	Unit 10の精読。補助教材による速読の練習。
第9回	Unit 10 Food is Cruelの続き	Unit 10の練習問題。補助教材による速読の練習。
第10回	Unit 11 But It's the Right Answer! パラグラフ・ライティング①	Unit 11の精読。パラグラフ・ライティングを学ぶ。
第11回	Unit 11 But It's the Right Answer!の続き パラグラフ・ライティング②	Unit 11の練習問題。補助教材による速読の練習。パラグラフ・ライティングを学ぶ。
第12回	Unit 12 University is a Waste of Time パラグラフ・ライティング③	Unit 12の精読。パラグラフ・ライティングを学ぶ。
第13回	Unit 12 University is a Waste of Timeの続き パラグラフ・ライティング④、全体の復習	Unit 12の練習問題。パラグラフ・ライティングを学ぶ。秋学期の復習をおこなう。
第14回	期末試験とまとめ	秋学期で学んだ教科書の範囲から期末試験をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・毎週、予習は必ずおこなうこと。
 - ・定期的に小テストを実施するので、入念に準備すること。
 - ・期末試験は学期中に学んだ教科書の範囲内から出題する。
- 毎回しっかりと問題に取り組み、各自で復習をおこなっておくこと。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Eat the World Alive: 16 Hot Global Topics, 成美堂, 2011年

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

成績評価の方法と基準は次の通り。

- ・平常点 10 %
- ・小テスト・課題の提出 30 %
- ・期末テスト 60 %

この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

受講生が積極的に授業に参加できるよう、教材や授業の進め方について工夫をおこないたい。自分のペースで楽しみながら自習に取り組めるようにアドバイスをしたい。

【その他の重要事項】

- ・4回欠席すると自動的に単位取得の資格を失うので注意すること。
 - また、大幅な遅刻は欠席とみなす。
 - ・辞書（電子辞書でも可）を必ず持参すること。
- なお、携帯電話を用いることは不可。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course aims to help students acquire advanced reading skills through a wide range of reading materials of different genres and styles. Intensive and extensive reading, listening and writing activities and vocabulary development will be important elements of the course.

[Learning objectives] By the end of this course, students will have the ability to more quickly and accurately understand a variety of texts, and improve their vocabulary and learn to love to read. [Learning activities outside of classroom] Before each class session, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. The required study time is at least one hour for each class meeting. [Grading policy] Grading will be decided based on the following: in class contribution 10%, small tests & short reports 30% and term-end examination 60%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1

2017年度以降入学者

岩下 弘史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、高校までに身につけた英語の知識を再確認しながら、主に英語ニューステキストの読み聴きを学習します。難易度は標準的な英文を読むこととなりますが、辞書を用いながら文構造や文法事項を含めて完全に理解すること、そこに出てきた単語を使いこなせるように自分のものにする、またそれを音声としてもしっかりと聴き取って理解できるようになることを通じて一つのテキストから得られる様々な知識を定着させることを目指します。またこれと併せて、授業内容についてのリアクションペーパーという形で、シンプルなものでの間違いのない英文が書けるようになる訓練をする機会を持ちます。この際にも辞書を含めた様々な媒体を用いて、より正確なものが書けるようになることが目標となります。

【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルに親しむ。
- ・テキスト内に出てきた単語をしっかりと暗記しボキャブラリーを増やす。
- ・辞書を使いながら英文の構造をしっかりと理解して読めるようになる。
- ・リスニング学習を通して英語の音、リズム、イントネーションに親しむ。
- ・文法的に正確な英文を書くことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は基本的には以下の手順で進めます。

- ・前回の授業のリアクションペーパーに關しての全体的なフィードバック（くわえて個別にもフィードバックをする）
- ・読解解説（指名して英文を音読し訳読をしてもらうので予習が必要です）
- ・読んだテキストのリスニング（ディクテーション含む）
- ・リアクションペーパーに学んだニュースの内容等について英語でコメント

ただし、理解度や進度によっては授業内容を柔軟に変更します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	具体的な授業の進め方について説明します。教科書を持参してください。
2	Unit1-1	Unit1前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
3	Unit1-2	Unit1後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
4	Unit2-1	Unit2前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
5	Unit2-2	Unit2後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング

6	Unit3-1	Unit3前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
7	Unit3-2	Unit3後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
8	Unit4-1	Unit4前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
9	Unit4-2	Unit4後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
10	Unit5-1	Unit5前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
11	Unit5-2	Unit5後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
12	Unit6-1	Unit6前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
13	Unit6-2	Unit6後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
14	まとめ（期末試験）	試験範囲、詳しい内容については授業内で説明します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
詳しくはガイダンス時に説明しますが、精読してくることは必須です。分量は決して多くないですがその分辞書を引いて構造にも気を配り日本語訳を作ってきてください。リスニングの練習を行うことも求められます。

【テキスト（教科書）】

『15章版：ニュースメディアの英語—2025年度版—』（朝日出版社、2025年）
15章版のほかに通常版もあるので間違えないようにしてください。

【参考書】

「ジーニアス英和辞典」（大修館）
他の辞書でも構いませんが、このレベルのものは必要です（初回の授業で説明します）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業態度や予習状況、出席、リアクションペーパーの内容など）40%
期末試験 60%
公欠を除いて4回以上の欠席があった場合は、ガイドラインに基づき原則として単位を認定しません。また、特段の理由のない45分以上の遅刻や早退は欠席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】

スクリーンや板書の文字の大きさには注意したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムで諸々の連絡をします。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and general grammatical knowledge in English needed to achieve a better performance in their university studies. Students are required to read excerpts from newspaper on several topics such as international politics, education and economy. They are also required to write a very short essay about them in every classes. Furthermore, this course will give them the opportunity to listen to the excerpts and other materials.

At the end of the course, students are expected to acquire abovementioned skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Their study time will be more than four hours for a class.

Their overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 65%, In-class contribution: 35%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 3

2017年度以降入学者

岩下 弘史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、高校までに身につけた英語の知識を再確認しながら、主に英語ニューステキストの読み聴きを学習します。難易度は標準的な英文を読むこととなりますが、辞書を用いながら文構造や文法事項を含めて完全に理解すること、そこに出てきた単語を使いこなせるように自分のものにする、またそれを音声としてもしっかりと聴き取って理解できるようになることを通じて一つのテキストから得られる様々な知識を定着させることを目指します。またこれと併せて、授業内容についてのリアクションペーパーという形で、シンプルなものでの間違いのない英文が書けるようになる訓練をする機会も持ちます。この際にも辞書を含めた様々な媒体を用いて、より正確なものが書けるようになることが目標となります。

【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルに親しむ。
- ・テキスト内に出てきた単語をしっかりと暗記しボキャブラリーを増やす。
- ・辞書を使いながら英文の構造をしっかりと理解して読めるようになる。
- ・リスニング学習を通して英語の音、リズム、イントネーションに親しむ。
- ・文法的に正確な英文を書くことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は基本的には以下の手順で進めます。

- ・前回の授業のリアクションペーパーに關しての全体的なフィードバック（くわえて個別にもフィードバックをする）
- ・読解解説（指名して英文を音読し訳読をしてもらうので予習が必要です）
- ・読んだテキストのリスニング（ディクテーション含む）
- ・リアクションペーパーに学んだニュースの内容等について英語でコメント

ただし、理解度や進度によっては授業内容を柔軟に変更します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	具体的な授業の進め方について説明します。教科書を持参してください。
2	Unit7-1	Unit7前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
3	Unit7-2	Unit7後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
4	Unit8-1	Unit8前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
5	Unit8-2	Unit8後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング

6	Unit9-1	Unit9前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
7	Unit9-2	Unit9後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
8	Unit10-1	Unit10前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
9	Unit10-2	Unit10後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
10	Unit11-1	Unit11前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
11	Unit11-2	Unit11後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
12	Unit12-1	Unit12前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
13	Unit12-2	Unit12後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング
14	まとめ（期末試験）	試験範囲、詳しい内容については授業内で説明します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
詳しくはガイダンス時に説明しますが、精読してくることは必須です。分量は決して多くないですがその分辞書を引いて構造にも気を配り日本語訳を作ってきてください。リスニングの練習を行うことも求められます。

【テキスト（教科書）】

『15章版：ニュースメディアの英語—2025年度版—』（朝日出版社、2025年）

【参考書】

「ジーニアス英和辞典」（大修館）
他の辞書でも構いませんが、このレベルのものは必要です（初回の授業で説明します）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業態度や予習状況、出席、リアクションペーパーの内容など）40%
期末試験 60%
公欠を除いて4回以上の欠席があった場合は、ガイドラインに基づき原則として単位を認定しません。また、特段の理由のない45分以上の遅刻や早退は欠席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】

スクリーンや板書の文字の大きさには注意したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムで諸々の連絡をします。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and general grammatical knowledge in English needed to achieve a better performance in their university studies. Students are required to read excerpts from newspaper on several topics such as international politics, education and economy. They are also required to write a very short essay about them in every classes. Furthermore, this course will give them the opportunity to listen to the excerpts and other materials. At the end of the course, students are expected to acquire abovementioned skills. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Their study time will be more than four hours for a class.

Their overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 65%, In-class contribution: 35%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2

2017年度以降入学者

Kregg Johnston

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 1/Mon.1

単位数: 1 単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Students will develop the skills needed to express their opinions, knowledge, and experience in English in both written and oral forms.

【到達目標】

This course aims to improve students overall English fluency in both spoken and written forms. The students will learn to express their ideas clearly in writing at the paragraph level. The students will also improve their oral fluency by discussing issues in pairs or groups and making speeches for a variety of situations and topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Class time is divided equally among the 8 units of the 1st half of the textbook and each unit will be covered in 2 weeks. In the 2nd week, after completing each unit, students will spend time discussing/debating the topics introduced in that unit. A paragraph writing assignment will also be given based on the topics in selected units allowing the students to express their opinions in writing. There will be periodic quizzes on material studied.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction of course	Explanation of class requirements, tasks, goals
	Explanation of class requirements, tasks, goals	Vocabulary assessment Ice breakers
Week 2	Unit 1 Describing personality & relationships: vocabulary & listening	Agreeing, Disagreeing, expressing likes and dislikes,
Week 3	Unit 1 Describing personality & relationships: reading & speaking	Complaining, Describing personality types, Relative clauses
Week 4	Unit 1 Describing personality & relationships: discussion & writing	Discuss personality traits Essential components of paragraphs Using English-English dictionaries
Week 5	Unit 2 Jobs, career skills: vocabulary & listening	Comparing with gerund phrases
Week 6	Unit 2 Jobs, career skills: reading & speaking	Strategies for keeping your job. Expressing advantages and disadvantages.

Week 7	Unit 2 Jobs, career skills: discussion & writing	Discuss seating arrangement for networking event Write a paragraph on 3 pet peeves
Week 8	Quiz Units 1-2 Unit 3 Favors, requests, messages: vocabulary & listening	Quiz Units 1-2 Accepting and declining requests, Making requests
Week 9	Unit 3 Favors, requests, message: reading & speaking	Leaving messages Making indirect requests
Week 10	Unit 3 Favors, requests, messages: discussion & writing	Make direct requests & respond Discuss different kinds of requests Write 2 paragraphs comparing 2 jobs
Week 11	Unit 4 Narrating a story: vocabulary & listening	Describing events in the past Using past verb forms
Week 12	Unit 4 Narrating a story: reading & speaking	Listen to news broadcasts React to news
Week 13	Unit 4 Narrating a story: discussion & writing	Narrate & discuss unusual stories Editing marks & peer editing
Week 14	Quiz: units 3-4 Presentation on pet peeves	Quiz: units 3-4 Presentation

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

【テキスト (教科書)】

Interchange 3 (5th edition), Jack C. Richards (Cambridge University Press) ISBN: 978-1-316-62051-9
Students' book

【参考書】

Self-study online
Interchange 3, Jack C. Richards (Cambridge University Press)
Workbook
Vocabulary development:
<https://quizlet.com/KreggJ>
<https://www.memrise.com/>

【成績評価の方法と基準】

Grade points are given for the satisfactory completion of assignments, performance on quizzes, as well as for the degree of class participation.

Homework 25%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

* In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on "WebClass", the University's Learning Management System.

【Outline (in English)】

Course outline:

This course deals with the development English communication in written and spoken forms. It also enhances the development of students' skills in listening and, grammar usage, and vocabulary development.

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Express opinions, knowledge and experience orally and in writing.
- Participate in and lead discussions on topics introduced in class.
- Make presentations in small groups and in front of the class.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to have completed the assigned homework exercises after each class meeting and review before each in-class quiz given. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria:

Homework 25%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 4

2017年度以降入学者

Kregg Johnston

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月1/Mon.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Students will develop the skills needed to express their opinions, knowledge, and experience in English in both written and oral forms.

【到達目標】

This course aims to improve students overall English fluency in both spoken and written forms. The students will learn to express their ideas clearly in writing at the paragraph level. The students will also improve their oral fluency by discussing issues in pairs or groups and making speeches for a variety of situations and topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Class time is divided equally among the 8 units of the 2nd half of the textbook and each unit will be covered in 2 weeks. In the 2nd week, after completing each unit, students will spend time discussing/debating the topics introduced in that unit. A paragraph writing assignment will also be given based on the topics in selected units allowing the students to express their opinions in writing. There will be periodic quizzes on material studied.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Ice breakers Review of past tense	Ice breakers Compare activities over the summer Review narration of events
Week 2	Unit 5 Comparing different cultures: vocabulary & listening	Describing customs State feelings about living abroad
Week 3	Unit 5 Comparing different cultures: reading & speaking	Stating customs in complex sentences
Week 4	Unit 5 Comparing different cultures: discussion & writing	Discuss foreign & Japanese customs Write 2 paragraphs on foreign customs
Week 5	Unit 6 Describing problems: vocabulary & listening	Making complaints Describing problems with household items
Week 6	Unit 6 Describing problems: reading & speaking	Using the passive voice to emphasize result of action Offering solutions to problems

Week 7	Unit 6 Describing problems: discussion & writing	Describe problems in rooms of a house Write about a problem with something purchased
Week 8	Quiz Units 5-6 Unit 7 Environmental and world issues: vocabulary & listening	Quiz Units 5-6 Identifying, describing problems Using the passive voice to point out negative effects
Week 9	Unit 7 Environmental and world issues: reading & speaking	Coming up with solutions to problems Using infinitives of purpose
Week 10	Unit 7 Environmental and world issues: discussion & writing	Discuss social problems & solutions Write about social problems
Week 11	Unit 8. Learning and education: vocabulary & listening	Describing preferences, Talking about learning methods
Week 12	Unit 8. Learning and education: reading & speaking	Discussing pros and cons Asking questions of choice
Week 13	Unit 8. Learning and education: discussion & writing	Discuss self improvement & ways to learn things
Week 14	Quiz: units 7-8 Presentation	Quiz: units 7-8 Presentation on foreign customs & social problems

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

【テキスト (教科書)】

Interchange 3 (5th edition), Jack C. Richards (Cambridge University Press)
Students' book ISBN 978-1-316-62051-9

【参考書】

Self-Study online
Interchange 3, Jack C. Richards (Cambridge University Press)
Workbook
<https://quizlet.com/KreggJ>
<https://www.memrise.com/>

【成績評価の方法と基準】

Grade points are given for the satisfactory completion of assignments, performance on quizzes, as well as for the degree of class participation.

Homework 25%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

* In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on "WebClass", the University's Learning Management System.

【Outline (in English)】

Course outline:

This course deals with the development English communication in written and spoken forms. It also enhances the development of students' skills in listening and, grammar usage, and vocabulary development.

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Express opinions, knowledge and experience orally and in writing.
- Participate in and lead discussions on topics introduced in class.
- Make presentations in small groups and in front of the class.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to have completed the assigned homework exercises after each class meeting and review before each in-class quiz given. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria:

Homework 25%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2

2017年度以降入学者

折笠 真美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 2 focuses on developing academic English proficiency and aims to help students acquire oral and written skills required to communicate effectively in the English language in class. The course will provide students with an opportunity to (1) discuss various topics in a pair/group, (2) give presentations, and (3) develop academic English writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce listening skills and vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (b) be able to discuss different topics.
- (c) be able to summarize the main points of discussion.
- (d) be able to make short presentations on different topics.
- (e) be able to write paragraphs in an organized and logical manner.
- (f) learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 1: Cosmetic Surgery	Engage, Think about the Issue,
	Unit 2: Friends or Lovers?	Present Your Ideas
3	Unit 3: Why Care?	Engage, Think about the Issue,
	Unit 4: Rules, Rules, Rules!	Present Your Ideas
4	Unit 5: Plagiarism	Engage, Think about the Issue,
	Unit 6: Housework	Present Your Ideas
5	Unit 7: Starting a Family	Engage, Think about the Issue,
	Unit 8: Earning Money	Present Your Ideas
6	Unit 9: Body Art	Engage, Think about the Issue,
	Unit 10: Boomerang Children	Present Your Ideas
7	Writing (1)	Paragraph Structure
8	Writing (2)	Topic Sentence, Body, Concluding Sentence

9	Writing (3)	Paragraph Writing
10	Preparation for Presentation (1)	Research and Search for Articles
11	Preparation for Presentation (2)	Prepare for Slides & Scripts
12	Preparation for Presentation (3)	Rehearse Presentations
13	Group Presentation	Presentation
14	Review /Final Exam	Review & Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Richard R. Day, Joseph Shaules, and Junko Yamanaka (2019). Impact Issues 3: Presenting your ideas in English (3rd Edition). Pearson. ISBN: 9789813134393 (¥ 3,420 + 税)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quiz (10%), Homework & Writing Assignments (20%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分まで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など、防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 2 aims to help students acquire oral and written skills required to communicate effectively in the English language in class. The course will provide students with an opportunity to share ideas and opinions through discussions, presentations, and writings and to reinforce listening skills and vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quiz (10%), Homework & Writing Assignments (20%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 4

2017年度以降入学者

折笠 真美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 4 builds on skills and knowledge learned in English 2 and is designed to further develop academic English proficiency. The objective of the course is to help students acquire oral and written skills required to communicate effectively in the English language in class. The course will provide students with an opportunity to (1) discuss various topics in a pair/group, (2) give presentations, and (3) develop academic English writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce listening skills and vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (b) be able to discuss different topics.
- (c) be able to summarize the main points of discussion.
- (d) be able to give presentations on topics of their choice.
- (e) be able to write a multi-paragraph essay in an organized and logical manner.
- (f) learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have oral and written activities (individual and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 11: Naomi's Dilemma	Engage, Think about the Issue,
	Unit 12: The Art of Compromise	Present Your Ideas
3	Unit 13: Choosing Your Career	Engage, Think about the Issue,
	Unit 14: Save Our Country!	Present Your Ideas
4	Unit 15: Life Online	Engage, Think about the Issue,
	Unit 16: A Man's Place	Present Your Ideas
5	Unit 17: There's No Place Like Home.	Engage, Think about the Issue,
	Unit 18: Can War Make Peace?	Present Your Ideas

6	Unit 19: One-sided Love	Engage, Think about the Issue,
	Unit 20: My Split Family	Present Your Ideas
7	Writing (1)	Essay Structure & Outline
8	Writing (2)	Introduction & Thesis Statement
9	Writing (3)	Body & Concluding Paragraphs
10	Preparation for Presentation (1)	Research and Search for Articles
11	Preparation for Presentation (2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Preparation for Presentation (3)	Rehearse Presentations
13	Group Presentation	Presentation
14	Review /Final Exam	Review & Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Richard R. Day, Joseph Shaules, and Junko Yamanaka (2019). Impact Issues 3: Presenting your ideas in English (3rd Edition). Pearson. ISBN: 9789813134393 (¥ 3,420 +税)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quiz (10%), Homework & Writing Assignments (20%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分までで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など、防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 4 aims to help students acquire oral and written skills required to communicate effectively in the English language in class. The course will provide students with an opportunity to share ideas and opinions through discussions, presentations, and writings and to reinforce listening skills and vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quiz (10%), Homework & Writing Assignments (20%); Presentation (15%); Final Exam (40%)

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2

2017年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 1/Mon.1

単位数: 1 単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The course will develop student's ability to communicate in Spoken and Written English. Students will be able to discuss topics and practice skills including: Asking for and giving opinions, Giving reasons and Asking questions. Students will also practice techniques to maintain a conversation. Students will also practice using voice modulation to help communicate content words in an on-line presentation. In addition, students will practice writing paragraphs in an academic style using: Topic sentences with main idea, Supporting ideas with Details and Conclusion. Students will practice using contemporary meeting and presentation applications to achieve the goals.

【到達目標】

This course will enable the student to communicate his/her thoughts, in written format and spoken language, to a given audience. The course will cover paragraph development and organization. Students will be encouraged to express their opinions in spoken English giving reasons and asking questions.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

All assignments will be issued, submitted and returned in digital format via Google Classroom. All written assignments will be returned with detailed comments showing how students can improve their writing skills. We will use Artificial Intelligence applications (OpenAI, Bard, Bing etc.) to generate written assignments and analyze the results.

Students will give small-group presentations in class at the end of the semester.

Detailed feedback on written assignments will be given to individual students.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction of Course /Google Classroom /Policies.	Introduction of English Writing, assignments and assessment.
2	Vacations	Vocabulary of vacations and small group discussion. Giving an opinion.
3	Vacations: Listening	Listening to expressions to give an opinion. Shadowing with Audio and Text.
4	Vacations: Group Discussion	Small group discussion and planning a vacation
5	Vacations: Writing	Basic paragraph structure using Adjectives: Topic Sentence, Supporting ideas, Concluding sentence..
6	Part-Time jobs:	Vocabulary and discussion of part-time jobs.

7	Part time jobs: Listening	Listening to expressions to give reasons. Shadowing with Audio and Text.
8	Part time jobs: Group discussions	Small group discussions and giving advice about part time jobs. Negative and Tag Questions
9	Part time jobs: Writing	Vocabulary and discussion of future actions. Introduce Clancy presentation.
10	Hopes and Dreams:	Audio and Text. Closed/Open/Choose/Negative/Tag questions.
11	Hopes and dreams: Listening. Contrast structures.	Introduce ChatGPT and other AI Text generators. Write instructions to create a Contrast Paragraph about Clancy.
12	Hopes and Dreams: Group discussion	Discussion of future plans. Prepare a paragraph.
13	Group Presentations	Group Presentations with Metre and Rhythm.
14	BBC Ideas Video	Watch a BBC Ideas video and complete a worksheet.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

2 Homework assignments writing different styles of paragraph.

All assignments must be written in digital format and submitted via Google Classroom.

【テキスト (教科書)】

The English Course "Discussion Book One", Gary Ireland and Max Woolerton. Available on-line from <store.theenglishcompany.jp>. Look in the カタログ and search for DB1. A CD is not required but you might like to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company ¥ 3000 to access The Study Centre. Also available at the bookshop on campus.

【参考書】

To be provided as Materials.

【成績評価の方法と基準】

Written Homework Assignment:20%

Worksheet Assignments:10%

Participation: 10%

On-line Tests: 12%

On-line Exercises/Tasks: 12%

Duolingo Activity: 14%

Group Presentation: 12%

Word Games: 10%

Attendance: In Principle: no more than 3 absences are allowed to achieve a Credit grade for this course.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

A portable electronic device, laptop or tablet is best. Smartphones are only acceptable for unavoidable situations. Hosei Gmail account details will be required. We will use Hosei University wi-fi service.

【その他の重要事項】

We will use Google "Classroom" to send, submit and record Written and Worksheet assignments. Students will be required to join the subject using Google "Classroom". Please download Google Classroom to your device before our first class. The "Classroom" Course code will be advised, via the university Hoppii system, in April.

Students are expected to check their Hosei Gmail account at least once per week.

【Outline (in English)】

The course will develop student's ability to communicate in Spoken and Written English. Students will be able to discuss topics and practice skills including: Asking for and giving opinions, Giving reasons and Asking questions. Students will also practice techniques to maintain a conversation. Students will also practice using voice modulation to help communicate content words in an online presentation. In addition, students will practice writing paragraphs in an academic style using: Topic sentences with: Main idea, Supporting ideas with Details and a Conclusion. Students will practice using contemporary meeting and presentation applications to achieve the goals.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 4

2017年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月 1/Mon.1

単位数: 1 単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Students will participate in pair and group activities to practice speaking and presentation skills. Students will prepare a short essay with multiple paragraphs that have unity and cohesion. Students will be able to generate and analyze an Academic style essay.

【到達目標】

Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in the written form.

Students will learn how to effectively participate in and facilitate discussions through: 1) Asking for and giving opinions, 2) Agreeing and Disagreeing and 3) supporting their reasons. Students will also practice making on-line presentations and speeches using contemporary software applications. The course will also help students acquire effective listening skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Listening and speaking: Students will be required to participate in pair and group discussions of issues related to their everyday opinions, knowledge and experience.

Writing: Students will be taught the basic structure of Academic-style essays: Grammatical devices will be taught, as appropriate, for different paragraph types to achieve Unity.

Students will generate an essay and analyze it to identify: an Introduction and Thesis statement, 2-3 body paragraphs and a Concluding paragraph.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction of goals for semester 2.	Review of Semester 1 Objectives and achievements. Join Classroom
2	Eating Out: Understanding Criteria	Small group discussion. Vocabulary for criteria
3	Eating Out.	Listening and shadowing. Where does English come from?
4	Eating out.	Group task: Grade a restaurant using criteria. Why is English the International language of Trade?
5	Eating Out.	Writing: Prepare an Essay outline about a Topic.

6	Family: Agreeing and Disagreeing	Small group discussions. Essay Structure Introduction, Body Conclusion Thesis statement
7	Family	Listening and Shadowing. Ballad Groups: Prepare a ballad presentation
8	Family	Using expressions for agreeing and disagreeing. Ballad preparation
9	Family:	Role Play a family problem. Writing: Cohesive Body paragraphs
10	Interests: Supporting your reasons.	Small group discussions and Vocabulary. Ballad Presentation preparation.
11	Interests	Listening and shadowing. Using supporting sentences in speech and writing.
12	Interests	Writing: Conclusion paragraphs. Final Ballad Preparation
13	Presentation	Groups present their Ballad Presentations to the class.
14	Final Presentations and Review	Groups present their Ballad Presentations to the class.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students will be required to generate an Academic Essay and then identify the components of each paragraph. Students will then condense the Essay to an outline and check it for unity.

【テキスト (教科書)】

The English Course "Discussion Book One" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the カタログ and search for DB1. A CD is not required but you might like to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company ¥ 3,000 to access The Study Centre.

【参考書】

To be advised during course

【成績評価の方法と基準】

Homework written assignments: 20%

On-line Tests: 12%

Online Exercises/Tasks: 12%

Participation: 10%

Presentation: 12%

Video Worksheets: 10%

Vocabulary puzzles: 10%

On-line English practice: 14%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

A tablet or laptop device is strongly encouraged (Smartphones are only acceptable in unplanned situation). Students should have access to Japanese-English and English-English e-dictionaries or Wikipedia. Paper and pens/pencils are rarely required.

【その他の重要事項】

We will use "Google Classroom" to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using "Google Classroom". Please download "Google Classroom" from the Google store before the first lesson. The Course code for the class will be advised via the university Learning Management System.

【Outline (in English)】

Students will participate in pair and group activities to practice speaking and presentation skills. Students will prepare a short essay with multiple paragraphs that have unity and cohesion. Students will be able to generate and analyze an Academic style essay.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語2

2017年度以降入学者

小坂 恵理子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Using the various study's abroad scenarios laid out in the "CitiPals in New York" textbook as a springboard, the aim of the course is for students to establish the basic vocabulary and phrasing necessary to engage in basic but clear conversation. Coupled with recitations and other activities to help improve pronunciation, this course is designed to help the learner gain the courage and confidence to converse in a wider range of social settings and situations.

【到達目標】

- 1) Master pronunciation (including intonation).
- 2) Become accustomed to speaking English in public.
- 3) Understand the differences between written and spoken English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ① Vocabulary introduced in each unit will be explained and utilized in both writing and oral exercises.
- ② Listening exercises pertaining to the units covered will be actively employed to reinforce comprehension of the content.
- ③ Unit summaries and short presentations will be required of students to showcase what they have learned.
- ④ Assignments submitted by students will be returned with feedback from the instructor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回目	Orientation	① Orientation, ② Unit 1(dialogue and drills)
第2回目	Unit 1, continued.	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion exercise
第3回目	Unit 2	① Vocab quiz and memorization ② Unit 2 (dialogue and drills)
第4回目	Unit 2, continued.	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion exercise
第5回目	Unit 3	① Vocab quiz and memorization ② Unit 3 (dialogue and drills)
第6回目	Unit 3, continued	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise

第7回目	Unit 4	① Vocab quiz and memorization ② Unit 4 (dialogue and drills)
第8回目	Mid-term exam	① Mid-term exam ② Summary and feedback
第9回目	Unit 4, continued.	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第10回目	Unit 5	① Vocab quiz and memorization ② Unit 5 (dialogue and drills)
第11回目	Unit 5, continued.	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第12回目	Unit 6	① Vocab quiz and memorization ② Unit 6 (dialogue and drills)
第13回目	Unit 6, continued.	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion exercise
第14回目	Final exam	① Final exam ② Summary and feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

著書：CitiPals in New York: New Edition of Survival English
著者：Mary Tadokoro
出版社：朝日出版社
出版年：2018年 第5刷発行
I S B N：978-4-255-15492-3

【参考書】

授業時に伝える。

【成績評価の方法と基準】

【評価方法】 積極的な参加 20%, 中間試験・期末試験20%、提出課題20%、小テスト20%、音読・グループライティング20%
Active participation 20%, midterm and finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

【Outline (in English)】

Using the various study's abroad scenarios laid out in the "CitiPals in New York" textbook as a springboard, the aim of the course is for students to establish the basic vocabulary and phrasing necessary to engage in basic but clear conversation. Coupled with recitations and other activities to help improve pronunciation, this course is designed to help the learner gain the courage and confidence to converse in a wider range of social settings and situations.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 4

2017年度以降入学者

小坂 恵理子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Using the various study's abroad scenarios laid out in the "CitiPals in New York" textbook as a springboard, the course is designed to diversify the students' vocabulary and phrasing necessary to engage in more elevated discussions. Continuing to employ activities that help improve pronunciation, the aim of this course is to help the learner become more versatile with their English skills so that he/she can more proactively engage in a wider range of topics.

【到達目標】

- 1) Have more confidence in using diverse vocabulary and phrasing
- 2) Be able to engage in discussions and debates on diverse topics.
- 3) Have clearer understanding of the differences between written and spoken English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ① Vocabulary introduced in each unit will be explained and utilized in both writing and oral exercises.
- ② Listening exercises pertaining to the units covered will be actively employed to reinforce comprehension of the content.
- ③ Unit summaries and short presentations will be required of students to showcase what they have learned.
- ④ Assignments submitted by students will be returned with feedback from the instructor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回目	Orientation	① Orientation ② Unit 7(dialogue and drills)
第2回目	Unit 7, continued.	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Discussion/debate exercise
第3回目	Unit 8	① Vocab quiz and memorization ② Unit 8 (dialogue and drills)
第4回目	Unit 8, continued.	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Discussion/debate exercise
第5回目	Unit 9	① Vocab quiz and memorization ② Unit 9 (dialogue and drills)
第6回目	Unit 9, continued	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Discussion/debate exercise

第7回目 Unit 10

- ① Vocab quiz and memorization
- ② Unit 10 (dialogue and drills)

第8回目 Mid-term exam

- ① Mid-term exam
- ② Summary and feedback

第9回目 Unit 10, continued.

- ① Vocabulary & grammar exercises
- ② Recitation exercise
- ③ Discussion/debate exercise

第10回目 Unit 11

- ① Vocab quiz and memorization
- ② Unit 11 (dialogue and drills)

第11回目 Unit 11, continued.

- ① Vocabulary & grammar exercises
- ② Recitation exercise
- ③ Discussion/debate exercise

第12回目 Unit 12

- ① Vocab quiz and memorization
- ② Unit 12 (dialogue and drills)

第13回目 Unit 12, continued.

- ① Vocabulary & grammar exercises
- ② Recitation exercise
- ③ Discussion/debate exercise

第14回目 Final exam

- ① Final exam
- ② Summary and feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

著書：CitiPals in New York: New Edition of Survival English

著者：Mary Tadokoro

出版社：朝日出版社

出版年：2018年 第5刷発行

I S B N : 978-4-255-15492-3

【参考書】

授業時に伝える。

【成績評価の方法と基準】

【評価方法】 積極的な参加 20%, 中間試験・期末試験20%、提出課題20%、小テスト20%、音読・グループライティング20%

Active participation 20%, midterm and Finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

【Outline (in English)】

Using the various study's abroad scenarios laid out in the "CitiPals in New York" textbook as a springboard, the course is designed to diversify the students' vocabulary and phrasing necessary to engage in more elevated discussions. Continuing to employ activities that help improve pronunciation, the aim of this course is to help the learner become more versatile with their English skills so that he/she can more proactively engage in a wider range of topics.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2

2017年度以降入学者

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English for learning about the world and for self expression. In this unit students will develop their English ability through exploring various topics about the world. They will learn to gain new information in English, to show their understanding, and to express their own opinions in English.

【到達目標】

This course aims to develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) by placing special emphasis on active communication abilities. Students will learn to listen and read about various topics. They will be required to discuss these topics and to take notes and complete written tasks. They will learn to present information and their own opinions on topics through oral presentations and by writing short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be conducted entirely in English (but explanations will be provided in Japanese when necessary). Students will develop speaking skills by participating in a variety of activities, such as pair & group work, and by delivering a presentation. There will also be regular listening and reading exercises, as well as short writing assignments based on the topics discussed in each unit. There will also be a short final essay writing task. Through these exercises, students will become more familiar with the active use of language. They will also expand their vocabulary by engaging with different topics and specific vocabulary used in different contexts.

Comments and explanation about assignments and answers to questions from students will be given at the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions	Introducing the syllabus. Students introduce themselves. Writing task: write a short introduction of yourself in two sentences. Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book!

Week 2	Our World [Chapter 1 from the text book]	Billion people in the world Reading comprehension/ Video viewing listening. Introducing reading diary for students to fill out as they read the books they have chosen. Tell the class the book you are reading. Homework: Write a short reflection of two or three sentences on the topic. / Reading and reading diary.
Week 3	Our world—A Connected World [Chapter 1]	Complete reading and comprehension tasks in class. Discussions on topic in pairs. Homework: Write a short reflection of two or three sentences. /Reading and reading diary.
Week 4	Our world (Writing)	Writing Tasks 1 (from Chapter 1) Language for Writing: What is a sentence Complete writing task in class. Look at their neighbor's work. Instruction and additional resources on writing sentences. Homework /Reading and reading diary.
Week 5	Complete Writing Task 1 in class.	Homework /Reading and reading diary.
Week 6	Career Paths— About various jobs (Chapter 2)	Dream jobs. In pairs, discuss what would be your dream job. Complete reading and comprehension tasks in class. Homework /Reading and reading diary.
Week 7	Career Paths (Chapter 2)	Cave Scientist (Viewing/ listening) and Life in the Ring (Reading and comprehension) Complete reading and comprehension tasks in class Discussions about the video on working in pairs. Homework: Reading and reading diary.
Week 8	Career Paths— Writing (Chapter 2)	Writing: descriptive sentences Editing practice Writing Task 2 – Describing plans and dreams for the future. Homework: Reading and reading diary.
Week 9	Writing Task 2	Complete Writing Task 2 in class. Homework: Reading and reading diary.
Week 10	Travel Adventures (Chapter 3)	Complete reading and comprehension tasks in class. Discussions about the video on working in pairs. Homework /Reading and reading diary.

Week 11	Travel Adventures (Chapter 3) Adventure and a guide to London	Complete reading and comprehension tasks in class. Discussions based on readings in pairs. Instruction on presentations/ presenting ideas. Homework /Reading and reading diary.
Week 12	Travel Adventures (Chapter 3) Writing	Writing exercises various. Students to start writing a descriptive sentences based on notes. Homework: Reading and reading diary.
Week 13	Presentation Group 1	Prepare a short presentation introducing a place that you know well in your home town or local area. Use the information from Writing Task 3 to create a 2 minute presentation in the format to be explained in class. Some time will also be used to discuss the books you have read over the semester.
Week 14	Presentation Group 2	Prepare a short presentation introducing a place that you know well in your home town or local area. Use the information from Writing Task 3 to create a 2 minute presentation in the format to be explained in class. Some time will also be used to discuss the books you have read over the semester. ***Remember to bring your reading diary to show your progress during the semester.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Required time for work to be done outside of class: 1 hour per week. Required work: class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Mari Vargo , Laurie Blass, and Kristin Sherman (2025). Pathways: Reading and Writing, and Critical Thinking, < Foundations > , Third Edition, Student Book. National Geographic Learning. ISBN:9780357979457 ¥ 3,750 (¥ 4,125 Incl. tax)

【参考書】

Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from)

Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin

*Search "Penguin reader" on the library search.

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

英文ライティング虎の巻【改訂版】

Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon.

Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, complete various comprehension and writing tasks, prepare one presentation, and complete writing assignments.

Students are assessed based on the following criteria:

1. In-class reading and listening comprehension, discussions, and writing exercises (preparation for writing task). 15%
2. Writing tasks 1 and 2 combined mark 40%

Writing tasks 1 and 2 will each be worth 20%for the combined total of 40%for all writing tasks.

3. Final Presentation 30%

Submitted presentations and presentation notes, and student assessments. (20%for the presentation and 10%for listening to others and comments by others on your presentation)

4. Reading Diary and Reading Record 15%

Students to choose a graded reader and read it during the semester, reading the book. They will also keep a reading diary. Attendance policy: In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor will introduce various learning tools that may be useful for students to improve their English through self-study. The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- Textbook.
- Additional resources for writing (dictionaries etc).
- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.
- Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester (however circumstances of students will be taken into consideration and work outside of class will be assigned to students who cannot avoid being absent more than 3 times). The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. Students are also expected to have access to a computer and the Internet. Students are strongly advised to bring pens, notebooks, and an A4-sized folder to store printouts handed out during class.

【Outline (in English)】

English for learning about the world and for self expression.

In this unit students will develop their English ability through exploring various topics about the world. They will learn to gain new information in English, to show their understanding, and to express their own opinions in English.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 4

2017年度以降入学者

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月1/Mon.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English for learning about the world and for self expression. Following on from English 2 [英語2], this course will build on students English ability by continuing to explore various topics about the world. They will learn to gain new information in English, to show their understanding, and to express their own opinions in English.

【到達目標】

This course aims to develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) by placing special emphasis on active communication abilities. Students will learn to listen and read about various topics. They will be required to discuss these topics and to take notes and complete written tasks. They will learn to present information and their own opinions on topics through oral presentations and by writing short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be conducted entirely in English (but explanations will be provided in Japanese when necessary). Students will develop speaking skills by participating in a variety of activities, such as pair & group work, and by delivering a presentation. There will also be regular listening and reading exercises, as well as short writing assignments based on the topics discussed in each unit. There will also be a short final essay writing task. Through these exercises, students will become more familiar with the active use of language. They will also expand their vocabulary by engaging with different topics and specific vocabulary used in different contexts.

Comments and explanation about assignments and answers to questions from students will be given at the end of each class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions	Tell the class about something interesting or fun that you did while you were on summer vacation (study, student association activities, hobbies etc.) Writing task: Write down your ideas and also read what others have written. Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and choose find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book!
Week 2	The Visual Age	Taking Pictures /Preparing to read/Reading tasks Sharing Success/Understanding the reading Introducing reading diary for students to fill out as they read the books they have chosen. Tell the class the book you are reading. Homework Developing Reading Skills Review Homework: Reading Skills Video: Social Media and Photography Reading 2: Preparing to read Homework: Understanding the Reading /Reading and reading diary.
Week 3	Chapter 4 continued	Review Understanding the reading Writing Task 1: Exploring Written English Homework: Reading and reading diary.
Week 4	Chapter 4 continued	Review Understanding the reading Writing Task 1: Exploring Written English Homework: Reading and reading diary.
Week 5	Writing Task 1	Writing tasks to be completed in class review unit 4. Homework: Reading and reading diary.
Week 6	Taking a Risk (Unit 5)	What is a risk taker? Reading 1/Living on the edge Understanding the reading Homework: Developing Reading Skills. /Reading and reading diary.
Week 7	Unit 5 continued	Video: Killer Crocs Reading 2/Risk-takers Understanding the reading Homework: Understanding the reading complete / Reading and reading diary.

Week 8	Taking a Risk (Unit 5) Writing	Writing: Risks you do or don't take. Writing Task 2 Homework: Complete writing task /Reading and reading diary.
Week 9	Writing Task 2	Complete Writing Task 2 during class. Homework: Reading and reading diary.
Week 10	Saving the Wild Unit 6	Think and Discuss Exploring the Theme: Animals in Danger Reading 1/Sea Turtles Feel the Heat Understanding the Reading Homework: Developing Reading Skills /Reading and reading diary.
Week 11	Saving the Wild (Unit 6) continued	Review Understanding the reading Video: Saving Lemurs Reading 2/Preparing to read/ Animals in the Frame Homework: Understanding the Reading /Reading and reading diary.
Week 12	Saving the Wild (Unit 6) Writing	Review understanding the reading Writing: Exploring Written English Writing Task 3: about animals featured in the text. Homework: Complete writing task for next class.
Week 13	Presentation Group 1	Choose an endangered species of animal and talk about it for 2 minutes. Use the information from Writing Task 3 to create a 2 minute presentation in the format to be explained in class. Some time will also be used to discuss the books you have read over the semester.
Week 14	Presentation Group 2	Choose an endangered species of animal and talk about it for 2 minutes. Use the information from Writing Task 3 to create a 2 minute presentation in the format to be explained in class. Remember to bring your reading diary to show your progress during the semester. Some time will also be used to discuss the books you have read over the semester.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Required time for work to be done outside of class: 1 hour per week. Required work: class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

Students can try and fit reading time when they can.

Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Mari Vargo , Laurie Blass, and Kristin Sherman (2025). Pathways: Reading and Writing, and Critical Thinking, < Foundations > , Third Edition, Student Book. National Geographic Learning. ISBN:9780357979457 ¥ 3,750 (¥ 4,125 Incl. tax)

【参考書】

Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from)
Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England: Penguin
*Search "Penguin reader" on the library search.

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

英文ライティング虎の巻【改訂版】

Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon.

Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, complete various comprehension and writing tasks, prepare one presentation, and complete writing assignments.

Students are assessed based on the following criteria:

1. In-class reading and listening comprehension, discussions, and writing exercises (preparation for writing task). 15%

2. Writing tasks 1 and 2 combined mark 40%

Writing tasks 1 and 2 will each be worth 20%for the combined total of 40%for all writing tasks.

3. Final Presentation 30%

Submitted presentations and presentation notes, and student assessments. (20%for the presentation and 10%for listening to others and comments by others on your presentation)

4. Reading Diary and Reading Record 15%

Students to choose a graded reader and read it during the semester, reading the book. They will also keep a reading diary.
Attendance policy: In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor will introduce various learning tools that may be useful for students to improve their English through self-study.

【学生が準備すべき機器他】

● Textbook.

● Additional resources for writing (dictionaries etc).

● Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

● Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester (however circumstances of students will be taken into consideration and work outside of class will be assigned to students who cannot avoid being absent more than 3 times). The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. Students are also expected to have access to a computer and the Internet. Students are strongly advised to bring pens, notebooks, and an A4-sized folder to store printouts handed out during class.

【Outline (in English)】

English for learning about the world and for self expression.

Following on from English 2 [英語2], this course will build on students English ability by continuing to exploring various topics about the world. They will learn to gain new information in English, to show their understanding, and to express their own opinions in English.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2

2017年度以降入学者

ROBIN F WEICHERT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Practice and develop listening, speaking, reading, and writing skills with emphasis on communication in everyday and academic contexts. Students will engage with diverse content through textbook materials, TED talks, and extensive reading to build comprehensive English abilities.

【到達目標】

The course aims to develop students' overall English communication abilities. Students will:

- Learn to express themselves effectively in everyday and academic situations
- Build vocabulary and grammar skills through regular practice and extensive reading
- Develop presentation and discussion skills on various topics
- Improve reading fluency through graded readers and course materials
- Gain confidence in expressing opinions and plans in English

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course takes a learner-centered approach combining:

- Video presentations and TED talks for authentic input
 - Pair and small group activities for speaking practice
 - Individual and group presentations
 - Extensive reading program using graded readers
- Exercises will be done both in class and as homework, with several quizzes throughout the semester. Feedback on assignments and presentations will be given at the beginning or the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation + Unit 2 (Trends)	Course introduction, Overview, Extensive reading orientation
2	Unit 2 continued	Collocations to describe trends, Reading log introduction
3	Unit 2 continued	Grammar: Future tenses (will and going to), Analyzing trends
4	Unit 2 completion	TED Talk: "How to Start a Movement", Writing predictions
5	Unit 2 Quiz + First Presentations	Assessment, Students present predictions about future trends
6	Unit 5 (Community Builders)	Vocabulary: Words for talking about communities
7	Unit 5 continued	Grammar: The passive voice, Creating green spaces
8	Unit 5 completion	TED Talk: "How Painting Can Transform Communities"
9	Unit 5 Quiz + Unit 6 start	Assessment, Introduction to communication styles
10	Unit 6 (Clear Communication)	Communication collocations
11	Unit 6 continued	Grammar: Verb patterns with -ing and infinitive
12	Unit 6 completion	TED Talk: "Talk Nerdy to Me"
13	Presentation Preparation	Workshop and rehearsal
14	Final Presentations	Student presentations, reading log submission

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- Weekly textbook assignments and review (approximately 60 minutes)
- Preparation for presentations and quizzes
- Extensive reading using the university library's graded readers collection
- Recommended goal: 70 minutes of reading per week, starting with books at an appropriate level (YL 0.8-2.4 for beginners)
- Students should keep a simple reading log noting titles and approximate word counts

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Bohlke, D., Dummett, P., Lansford, L., & Stephenson, H. Keynote, American English Combo Split 3A with Spark Access + e-Book (1 year access). National Geographic Learning/Cengage Learning. ISBN: 9798214333939

【参考書】

英文ライティング虎の巻【改訂版】

Recommended Graded Reader Series

- Start with:
 - ・ Oxford Reading Tree (YL 0.8-0.9): Picture-based, perfect for beginners
 - ・ Penguin Readers Easystarts (YL 0.8): Simple stories, many topics
- Progress to:
 - ・ Cambridge/Oxford/Macmillan Readers: Wide range of original and adapted stories
 - ・ Penguin Readers: Large selection including movie adaptations
- All series available in the university library (see: <https://hosei.libguides.com/tadoku>)

【成績評価の方法と基準】

- Class participation and homework: 25%
 - Unit quizzes: 25%
 - Presentations: 35%
 - Extensive reading: 15% (Based on reading logs and achieved word count goals)
- In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None in particular, but another version of the textbook will be used.

【学生が準備すべき機器他】

Students must bring their textbook to every class (教科書を必ず持参してください)

【その他の重要事項】

- Students are encouraged to follow the three principles of extensive reading:
 - ・ Choose easy books you can read without a dictionary
 - ・ Stop reading if the book is not interesting or too difficult
 - ・ Focus on reading for meaning rather than translation

【Outline (in English)】

This course is designed for students to practice and develop listening, speaking, reading, and writing skills. Students will study texts of diverse content, articulate own ideas and give short presentations.

The course aims to develop students' overall English communication abilities. Students will learn to express themselves effectively in everyday and academic situations, describe experiences and events, and explain opinions and plans. Through regular practice, students will improve their ability to structure and communicate ideas both orally and in writing.

Outside of class, students are expected to review lessons and vocabulary, prepare short presentations, and complete writing assignments. The required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading will be based on participation in class activities and homework (25%), quizzes (25%), presentations (40%), and extensive reading (15%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 4

2017年度以降入学者

ROBIN F WEICHERT

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Building on English 2 (英語2), this course continues to develop listening, speaking, reading, and writing skills with emphasis on communication in everyday and academic contexts. Students will engage with diverse content through textbook materials, TED talks, and extensive reading to further strengthen their English abilities.

【到達目標】

The course aims to develop students' overall English communication abilities. Students will:

- Learn to express themselves effectively in everyday and academic situations
- Build vocabulary and grammar skills through regular practice and extensive reading
- Develop presentation and discussion skills on various topics
- Improve reading fluency through graded readers and course materials
- Gain confidence in expressing opinions and plans in English

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course takes a learner-centered approach combining:

- Video presentations and TED talks for authentic input
 - Pair and small group activities for speaking practice
 - Individual and group presentations
 - Extensive reading program using graded readers
- Exercises will be done both in class and as homework, with several quizzes throughout the semester. Feedback on assignments and presentations will be given at the beginning or the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 1 (Making a Difference)	Collocations to describe giving help, Inspiring dreams
2	Unit 1 continued	Grammar: Review of present and past tenses
3	Unit 1 completion	TED Talk: "A Life Lesson from a Volunteer Firefighter"
4	Unit 1 Quiz + First Presentations	Assessment, Students present about making a difference
5	Unit 3 (Improving Lives)	Healthcare vocabulary, My health routine
6	Unit 3 continued	Conjunctions for cause and effect
7	Unit 3 completion	TED Talk: "My Simple Invention"
8	Unit 3 Quiz + Unit 4 start	Assessment, Introduction to Designing the Web
9	Unit 4 (Designing the Web)	Website features vocabulary
10	Unit 4 development	Grammar: Comparatives and superlatives
11	Unit 4 completion	TED Talk discussion
12	Presentation Workshop	Guidelines, preparation and rehearsal
13	Final Presentations	Student presentations
14	Final Presentations	Student presentations, reading log submission

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- Weekly textbook assignments and review (approximately 60 minutes)
 - Preparation for presentations and quizzes
 - Extensive reading using the university library's graded readers collection
 - Recommended goal: 70 minutes of reading per week, progressing to more challenging levels
 - Maintaining reading log with cumulative word count totals
- University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Bohlke, D., Dummett, P., Lansford, L., & Stephenson, H. Keynote, American English Combo Split 3A with Spark Access + e-Book (1 year access). National Geographic Learning/Cengage Learning. ISBN: 978214333939

【参考書】

英文ライティング虎の巻【改訂版】

Recommended Graded Reader Series

Progress to more challenging levels in:

- ・ Cambridge/Oxford/Macmillan Readers
- ・ Penguin Readers
- ・ National Geographic Footprint Reading Library

All series available in the university library

(see: <https://hosei.libguides.com/tadoku>)

【成績評価の方法と基準】

- Class participation and homework: 25%
 - Unit quizzes: 25%
 - Presentations: 35%
 - Extensive reading: 15% (Based on reading logs and achieved word count goals)
- In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None in particular, but another version of the textbook will be used.

【学生が準備すべき機器他】

Students must bring their textbook to every class (教科書を必ず持参してください)

【その他の重要事項】

- Students are encouraged to follow the three principles of extensive reading:
 - ・ Choose easy books you can read without a dictionary
 - ・ Stop reading if the book is not interesting or too difficult
 - ・ Focus on reading for meaning rather than translation

【Outline (in English)】

This course is designed for students to practice and develop listening, speaking, reading, and writing skills. Students will study texts of diverse content, articulate own ideas and give short presentations.

The course aims to develop students' overall English communication abilities. Students will learn to express themselves effectively in everyday and academic situations, describe experiences and events, and explain opinions and plans. Through regular practice, students will improve their ability to structure and communicate ideas both orally and in writing.

Outside of class, students are expected to review lessons and vocabulary, prepare short presentations, and complete writing assignments. The required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading will be based on participation in class activities and homework (25%), quizzes (25%), presentations (40%), and extensive reading (15%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2

2017年度以降入学者

Kregg Johnston

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will develop the skills needed to express their opinions, knowledge, and experience in English in both written and oral forms.

【到達目標】

This course aims to improve students overall English fluency in both spoken and written forms. The students will learn to express their ideas clearly in writing at the paragraph level. The students will also improve their oral fluency by discussing issues in pairs or groups and making speeches for a variety of situations and topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Class time is divided equally among the 8 units of the 1st half of the textbook and each unit will be covered in 2 weeks. In the 2nd week, after completing each unit, students will spend time discussing/debating the topics introduced in that unit. A paragraph writing assignment will also be given based on the topics in selected units allowing the students to express their opinions in writing. There will be periodic quizzes on material studied.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction of course	Explanation of class requirements, tasks, goals
	Explanation of class requirements, tasks, goals	Vocabulary assessment Ice breakers
Week 2	Unit 1 Describing personality & relationships: vocabulary & listening	Agreeing, Disagreeing, expressing likes and dislikes,
Week 3	Unit 1 Describing personality & relationships: reading & speaking	Complaining, Describing personality types, Relative clauses
Week 4	Unit 1 Describing personality & relationships: discussion & writing	Discuss personality traits Essential components of paragraphs Using English-English dictionaries
Week 5	Unit 2 Jobs, career skills: vocabulary & listening	Comparing with gerund phrases
Week 6	Unit 2 Jobs, career skills: reading & speaking	Strategies for keeping your job. Expressing advantages and disadvantages.

Week 7	Unit 2 Jobs, career skills: discussion & writing	Discuss seating arrangement for networking event Write a paragraph on 3 pet peeves
Week 8	Quiz Units 1-2 Unit 3 Favors, requests, messages: vocabulary & listening	Quiz Units 1-2 Accepting and declining requests, Making requests
Week 9	Unit 3 Favors, requests, message: reading & speaking	Leaving messages Making indirect requests
Week 10	Unit 3 Favors, requests, messages: discussion & writing	Make direct requests & respond Discuss different kinds of requests Write 2 paragraphs comparing 2 jobs
Week 11	Unit 4 Narrating a story: vocabulary & listening	Describing events in the past Using past verb forms
Week 12	Unit 4 Narrating a story: reading & speaking	Listen to news broadcasts React to news
Week 13	Unit 4 Narrating a story: discussion & writing	Narrate & discuss unusual stories Editing marks & peer editing
Week 14	Quiz: units 3-4 Presentation on pet peeves	Quiz: units 3-4 Presentation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

【テキスト（教科書）】

Interchange 3 (5th edition), Jack C. Richards (Cambridge University Press) ISBN: 978-1-316-62051-9
Students' book

【参考書】

Self-study online
Interchange 3, Jack C. Richards (Cambridge University Press)
Workbook
Vocabulary development:
<https://quizlet.com/KreggJ>
<https://www.memrise.com/>

【成績評価の方法と基準】

Grade points are given for the satisfactory completion of assignments, performance on quizzes, as well as for the degree of class participation.

Homework 25%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

* In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on "WebClass", the University's Learning Management System.

【Outline (in English)】

Course outline:

This course deals with the development English communication in written and spoken forms. It also enhances the development of students' skills in listening and, grammar usage, and vocabulary development.

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Express opinions, knowledge and experience orally and in writing.
- Participate in and lead discussions on topics introduced in class.
- Make presentations in small groups and in front of the class.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to have completed the assigned homework exercises after each class meeting and review before each in-class quiz given. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria:

Homework 25%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 4

2017年度以降入学者

Kregg Johnston

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will develop the skills needed to express their opinions, knowledge, and experience in English in both written and oral forms.

【到達目標】

This course aims to improve students overall English fluency in both spoken and written forms. The students will learn to express their ideas clearly in writing at the paragraph level. The students will also improve their oral fluency by discussing issues in pairs or groups and making speeches for a variety of situations and topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Class time is divided equally among the 8 units of the 2nd half of the textbook and each unit will be covered in 2 weeks. In the 2nd week, after completing each unit, students will spend time discussing/debating the topics introduced in that unit. A paragraph writing assignment will also be given based on the topics in selected units allowing the students to express their opinions in writing. There will be periodic quizzes on material studied.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Ice breakers Review of past tense	Ice breakers Compare activities over the summer Review narration of events
Week 2	Unit 5 Comparing different cultures: vocabulary & listening	Describing customs State feelings about living abroad
Week 3	Unit 5 Comparing different cultures: reading & speaking	Stating customs in complex sentences
Week 4	Unit 5 Comparing different cultures: discussion & writing	Discuss foreign & Japanese customs Write 2 paragraphs on foreign customs
Week 5	Unit 6 Describing problems: vocabulary & listening	Making complaints Describing problems with household items
Week 6	Unit 6 Describing problems: reading & speaking	Using the passive voice to emphasize result of action Offering solutions to problems

Week 7	Unit 6 Describing problems: discussion & writing	Describe problems in rooms of a house Write about a problem with something purchased
Week 8	Quiz Units 5-6 Unit 7 Environmental and world issues: vocabulary & listening	Quiz Units 5-6 Identifying, describing problems Using the passive voice to point out negative effects
Week 9	Unit 7 Environmental and world issues: reading & speaking	Coming up with solutions to problems Using infinitives of purpose
Week 10	Unit 7 Environmental and world issues: discussion & writing	Discuss social problems & solutions Write about social problems
Week 11	Unit 8. Learning and education: vocabulary & listening	Describing preferences, Talking about learning methods
Week 12	Unit 8. Learning and education: reading & speaking	Discussing pros and cons Asking questions of choice
Week 13	Unit 8. Learning and education: discussion & writing	Discuss self improvement & ways to learn things
Week 14	Quiz: units 7-8 Presentation	Quiz: units 7-8 Presentation on foreign customs & social problems

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

【テキスト（教科書）】

Interchange 3 (5th edition), Jack C. Richards (Cambridge University Press)
Students' book ISBN 978-1-316-62051-9

【参考書】

Self-Study online
Interchange 3, Jack C. Richards (Cambridge University Press)
Workbook
<https://quizlet.com/KreggJ>
<https://www.memrise.com/>

【成績評価の方法と基準】

Grade points are given for the satisfactory completion of assignments, performance on quizzes, as well as for the degree of class participation.

Homework 25%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

* In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on "WebClass", the University's Learning Management System.

【Outline (in English)】

Course outline:

This course deals with the development English communication in written and spoken forms. It also enhances the development of students' skills in listening and, grammar usage, and vocabulary development.

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Express opinions, knowledge and experience orally and in writing.
- Participate in and lead discussions on topics introduced in class.
- Make presentations in small groups and in front of the class.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to have completed the assigned homework exercises after each class meeting and review before each in-class quiz given. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria:

Homework 25%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2

2017年度以降入学者

折笠 真美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 2 focuses on developing academic English proficiency and aims to help students acquire oral and written skills required to communicate effectively in the English language in class. The course will provide students with an opportunity to (1) discuss various topics in a pair/group, (2) give presentations, and (3) develop academic English writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce listening skills and vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (b) be able to discuss different topics.
- (c) be able to summarize the main points of discussion.
- (d) be able to make short presentations on different topics.
- (e) be able to write paragraphs in an organized and logical manner.
- (f) learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 1: Cosmetic Surgery	Engage, Think about the Issue,
	Unit 2: Friends or Lovers?	Present Your Ideas
3	Unit 3: Why Care?	Engage, Think about the Issue,
	Unit 4: Rules, Rules, Rules!	Present Your Ideas
4	Unit 5: Plagiarism	Engage, Think about the Issue,
	Unit 6: Housework	Present Your Ideas
5	Unit 7: Starting a Family	Engage, Think about the Issue,
	Unit 8: Earning Money	Present Your Ideas
6	Unit 9: Body Art	Engage, Think about the Issue,
	Unit 10: Boomerang Children	Present Your Ideas
7	Writing (1)	Paragraph Structure
8	Writing (2)	Topic Sentence, Body, Concluding Sentence

9	Writing (3)	Paragraph Writing
10	Preparation for Presentation (1)	Research and Search for Articles
11	Preparation for Presentation (2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Preparation for Presentation (3)	Rehearse Presentations
13	Group Presentation	Presentation
14	Review /Final Exam	Review &Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Richard R. Day, Joseph Shaules, and Junko Yamanaka (2019). Impact Issues 3: Presenting your ideas in English (3rd Edition). Pearson. ISBN: 9789813134393 (¥ 3,420 +税)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quiz (10%), Homework &Writing Assignments (20%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分まで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など、防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 2 aims to help students acquire oral and written skills required to communicate effectively in the English language in class. The course will provide students with an opportunity to share ideas and opinions through discussions, presentations, and writings and to reinforce listening skills and vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quiz (10%), Homework &Writing Assignments (20%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 4

2017年度以降入学者

折笠 真美

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月2/Mon.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 4 builds on skills and knowledge learned in English 2 and is designed to further develop academic English proficiency. The objective of the course is to help students acquire oral and written skills required to communicate effectively in the English language in class. The course will provide students with an opportunity to (1) discuss various topics in a pair/group, (2) give presentations, and (3) develop academic English writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce listening skills and vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (b) be able to discuss different topics.
- (c) be able to summarize the main points of discussion.
- (d) be able to give presentations on topics of their choice.
- (e) be able to write a multi-paragraph essay in an organized and logical manner.
- (f) learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have oral and written activities (individual and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 11: Naomi's Dilemma	Engage, Think about the Issue,
	Unit 12: The Art of Compromise	Present Your Ideas
3	Unit 13: Choosing Your Career	Engage, Think about the Issue,
	Unit 14: Save Our Country!	Present Your Ideas
4	Unit 15: Life Online	Engage, Think about the Issue,
	Unit 16: A Man's Place	Present Your Ideas
5	Unit 17: There's No Place Like Home.	Engage, Think about the Issue,
	Unit 18: Can War Make Peace?	Present Your Ideas

6	Unit 19: One-sided Love	Engage, Think about the Issue,
	Unit 20: My Split Family	Present Your Ideas
7	Writing (1)	Essay Structure & Outline
8	Writing (2)	Introduction & Thesis Statement
9	Writing (3)	Body & Concluding Paragraphs
10	Preparation for Presentation (1)	Research and Search for Articles
11	Preparation for Presentation (2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Preparation for Presentation (3)	Rehearse Presentations
13	Group Presentation	Presentation
14	Review /Final Exam	Review & Exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Richard R. Day, Joseph Shaules, and Junko Yamanaka (2019). Impact Issues 3: Presenting your ideas in English (3rd Edition). Pearson. ISBN: 9789813134393 (¥ 3,420 +税)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quiz (10%), Homework & Writing Assignments (20%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分までで、それ以降は欠席扱いとなります (遅刻3回で1回の欠席になります)。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書 (電子または紙媒体) を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為 (例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること) など、防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 4 focuses on further developing academic English proficiency and aims to help students acquire oral and written skills required to communicate effectively in the English language in class. The course will provide students with an opportunity to share ideas and opinions through discussions, presentations, and writings and to reinforce listening skills and vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quiz (10%), Homework & Writing Assignments (20%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2

2017年度以降入学者

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English for learning about the world and for self expression. In this unit students will develop their English ability through exploring various topics about the world. They will learn to gain new information in English, to show their understanding, and to express their own opinions in English.

【到達目標】

This course aims to develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) by placing special emphasis on active communication abilities. Students will learn to listen and read about various topics. They will be required to discuss these topics and to take notes and complete written tasks. They will learn to present information and their own opinions on topics through oral presentations and by writing short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be conducted entirely in English (but explanations will be provided in Japanese when necessary). Students will develop speaking skills by participating in a variety of activities, such as pair & group work, and by delivering a presentation. There will also be regular listening and reading exercises, as well as short writing assignments based on the topics discussed in each unit. There will also be a short final essay writing task. Through these exercises, students will become more familiar with the active use of language. They will also expand their vocabulary by engaging with different topics and specific vocabulary used in different contexts.

Comments and explanation about assignments and answers to questions from students will be given at the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions	Introducing the syllabus. Students introduce themselves. Writing task: write a short introduction of yourself in two sentences. Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book!

Week 2	Our World [Chapter 1 from the text book]	Billion people in the world Reading comprehension/ Video viewing listening. Introducing reading diary for students to fill out as they read the books they have chosen. Tell the class the book you are reading. Homework: Write a short reflection of two or three sentences on the topic. / Reading and reading diary.
Week 3	Our world—A Connected World [Chapter 1]	Complete reading and comprehension tasks in class. Discussions on topic in pairs. Homework: Write a short reflection of two or three sentences. /Reading and reading diary.
Week 4	Our world (Writing)	Writing Tasks 1 (from Chapter 1) Language for Writing: What is a sentence Complete writing task in class. Look at their neighbor's work. Instruction and additional resources on writing sentences. Homework /Reading and reading diary.
Week 5	Complete Writing Task 1 in class.	Homework /Reading and reading diary.
Week 6	Career Paths— About various jobs (Chapter 2)	Dream jobs. In pairs, discuss what would be your dream job. Complete reading and comprehension tasks in class. Homework /Reading and reading diary.
Week 7	Career Paths (Chapter 2)	Cave Scientist (Viewing/ listening) and Life in the Ring (Reading and comprehension) Complete reading and comprehension tasks in class Discussions about the video on working in pairs. Homework: Reading and reading diary.
Week 8	Career Paths— Writing (Chapter 2)	Writing: descriptive sentences Editing practice Writing Task 2 – Describing plans and dreams for the future. Homework: Reading and reading diary.
Week 9	Writing Task 2	Complete Writing Task 2 in class. Homework: Reading and reading diary.
Week 10	Travel Adventures (Chapter 3)	Complete reading and comprehension tasks in class. Discussions about the video on working in pairs. Homework /Reading and reading diary.

Week 11	Travel Adventures (Chapter 3) Adventure and a guide to London	Complete reading and comprehension tasks in class. Discussions based on readings in pairs. Instruction on presentations/ presenting ideas. Homework /Reading and reading diary.
Week 12	Travel Adventures (Chapter 3) Writing	Writing exercises various. Students to start writing a descriptive sentences based on notes. Homework: Reading and reading diary.
Week 13	Presentation Group 1	Prepare a short presentation introducing a place that you know well in your home town or local area. Use the information from Writing Task 3 to create a 2 minute presentation in the format to be explained in class. Some time will also be used to discuss the books you have read over the semester.
Week 14	Presentation Group 2	Prepare a short presentation introducing a place that you know well in your home town or local area. Use the information from Writing Task 3 to create a 2 minute presentation in the format to be explained in class. Some time will also be used to discuss the books you have read over the semester. ***Remember to bring your reading diary to show your progress during the semester.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Required time for work to be done outside of class: 1 hour per week. Required work: class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Mari Vargo, Laurie Blass, and Kristin Sherman (2025). Pathways: Reading and Writing, and Critical Thinking, < Foundations >, Third Edition, Student Book. National Geographic Learning. ISBN:9780357979457 ¥ 3,750 (¥ 4,125 Incl. tax)

【参考書】

Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from)

Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin

*Search "Penguin reader" on the library search.

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

英文ライティング虎の巻【改訂版】

Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon.

Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, complete various comprehension and writing tasks, prepare one presentation, and complete writing assignments.

Students are assessed based on the following criteria:

1. In-class reading and listening comprehension, discussions, and writing exercises (preparation for writing task). 15%
2. Writing tasks 1 and 2 combined mark 40%

Writing tasks 1 and 2 will each be worth 20% for the combined total of 40% for all writing tasks.

3. Final Presentation 30%

Submitted presentations and presentation notes, and student assessments. (20% for the presentation and 10% for listening to others and comments by others on your presentation)

4. Reading Diary and Reading Record 15%

Students to choose a graded reader and read it during the semester, reading the book. They will also keep a reading diary. Attendance policy: In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor will introduce various learning tools that may be useful for students to improve their English through self-study. The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- Textbook.
- Additional resources for writing (dictionaries etc).
- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.
- Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester (however circumstances of students will be taken into consideration and work outside of class will be assigned to students who cannot avoid being absent more than 3 times). The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. Students are also expected to have access to a computer and the Internet. Students are strongly advised to bring pens, notebooks, and an A4-sized folder to store printouts handed out during class.

【Outline (in English)】

English for learning about the world and for self expression.

In this unit students will develop their English ability through exploring various topics about the world. They will learn to gain new information in English, to show their understanding, and to express their own opinions in English.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 4

2017年度以降入学者

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English for learning about the world and for self expression. Following on from English 2 [英語 2], this course will build on students English ability by continuing to exploring various topics about the world. They will learn to gain new information in English, to show their understanding, and to express their own opinions in English.

【到達目標】

This course aims to develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) by placing special emphasis on active communication abilities. Students will learn to listen and read about various topics. They will be required to discuss these topics and to take notes and complete written tasks. They will learn to present information and their own opinions on topics through oral presentations and by writing short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be conducted entirely in English (but explanations will be provided in Japanese when necessary). Students will develop speaking skills by participating in a variety of activities, such as pair & group work, and by delivering a presentation. There will also be regular listening and reading exercises, as well as short writing assignments based on the topics discussed in each unit. There will also be a short final essay writing task. Through these exercises, students will become more familiar with the active use of language. They will also expand their vocabulary by engaging with different topics and specific vocabulary used in different contexts.

Comments and explanation about assignments and answers to questions from students will be given at the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions	Tell the class about something interesting or fun that you did while you were on summer vacation (study, student association activities, hobbies etc.) Writing task: Write down your ideas and also read what others have written. Choose a “graded reader” from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and choose find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book!
Week 2	The Visual Age	Taking Pictures /Preparing to read/Reading tasks Sharing Success/Understanding the reading Introducing reading diary for students to fill out as they read the books they have chosen. Tell the class the book you are reading. Homework Developing Reading Skills Review Homework: Reading Skills Video: Social Media and Photography Reading 2: Preparing to read Homework: Understanding the Reading /Reading and reading diary.
Week 3	Chapter 4 continued	Review Understanding the reading Writing Task 1: Exploring Written English Homework: Reading and reading diary.
Week 4	Chapter 4 continued	Review Understanding the reading Writing Task 1: Exploring Written English Homework: Reading and reading diary.
Week 5	Writing Task 1	Writing tasks to be completed in class review unit 4. Homework: Reading and reading diary.
Week 6	Taking a Risk (Unit 5)	What is a risk taker? Reading 1/Living on the edge Understanding the reading Homework: Developing Reading Skills. /Reading and reading diary.
Week 7	Unit 5 continued	Video: Killer Crocs Reading 2/Risk-takers Understanding the reading Homework: Understanding the reading complete / Reading and reading diary.

Week 8	Taking a Risk (Unit 5) Writing	Writing: Risks you do or don't take. Writing Task 2 Homework: Complete writing task /Reading and reading diary.
Week 9	Writing Task 2	Complete Writing Task 2 during class. Homework: Reading and reading diary.
Week 10	Saving the Wild Unit 6	Think and Discuss Exploring the Theme: Animals in Danger Reading 1/Sea Turtles Feel the Heat Understanding the Reading Homework: Developing Reading Skills /Reading and reading diary.
Week 11	Saving the Wild (Unit 6) continued	Review Understanding the reading Video: Saving Lemurs Reading 2/Preparing to read/ Animals in the Frame Homework: Understanding the Reading /Reading and reading diary.
Week 12	Saving the Wild (Unit 6) Writing	Review understanding the reading Writing: Exploring Written English Writing Task 3: about animals featured in the text. Homework: Complete writing task for next class.
Week 13	Presentation Group 1	Choose an endangered species of animal and talk about it for 2 minutes. Use the information from Writing Task 3 to create a 2 minute presentation in the format to be explained in class. Some time will also be used to discuss the books you have read over the semester.
Week 14	Presentation Group 2	Choose an endangered species of animal and talk about it for 2 minutes. Use the information from Writing Task 3 to create a 2 minute presentation in the format to be explained in class. Remember to bring your reading diary to show your progress during the semester. Some time will also be used to discuss the books you have read over the semester.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Required time for work to be done outside of class: 1 hour per week. Required work: class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

Students can try and fit reading time when they can.

Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Mari Vargo, Laurie Blass, and Kristin Sherman (2025). Pathways: Reading and Writing, and Critical Thinking, < Foundations >, Third Edition, Student Book. National Geographic Learning. ISBN:9780357979457 ¥ 3,750 (¥ 4,125 Incl. tax)

【参考書】

Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from)
Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England: Penguin
*Search "Penguin reader" on the library search.

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

英文ライティング虎の巻【改訂版】

Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon.

Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, complete various comprehension and writing tasks, prepare one presentation, and complete writing assignments.

Students are assessed based on the following criteria:

1. In-class reading and listening comprehension, discussions, and writing exercises (preparation for writing task). 15%

2. Writing tasks 1 and 2 combined mark 40%

Writing tasks 1 and 2 will each be worth 20% for the combined total of 40% for all writing tasks.

3. Final Presentation 30%

Submitted presentations and presentation notes, and student assessments. (20% for the presentation and 10% for listening to others and comments by others on your presentation)

4. Reading Diary and Reading Record 15%

Students to choose a graded reader and read it during the semester, reading the book. They will also keep a reading diary.
Attendance policy: In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor will introduce various learning tools that may be useful for students to improve their English through self-study.

【学生が準備すべき機器他】

● Textbook.

● Additional resources for writing (dictionaries etc).

● Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

● Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester (however circumstances of students will be taken into consideration and work outside of class will be assigned to students who cannot avoid being absent more than 3 times). The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. Students are also expected to have access to a computer and the Internet. Students are strongly advised to bring pens, notebooks, and an A4-sized folder to store printouts handed out during class.

【Outline (in English)】

English for learning about the world and for self expression.

Following on from English 2 [英語2], this course will build on students English ability by continuing to exploring various topics about the world. They will learn to gain new information in English, to show their understanding, and to express their own opinions in English.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2

2017年度以降入学者

ROBIN F WEICHERT

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月2/Mon.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Practice and develop listening, speaking, reading, and writing skills with emphasis on communication in everyday and academic contexts. Students will engage with diverse content through textbook materials, TED talks, and extensive reading to build comprehensive English abilities.

【到達目標】

The course aims to develop students' overall English communication abilities. Students will:

- Learn to express themselves effectively in everyday and academic situations
- Build vocabulary and grammar skills through regular practice and extensive reading
- Develop presentation and discussion skills on various topics
- Improve reading fluency through graded readers and course materials
- Gain confidence in expressing opinions and plans in English

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This course takes a learner-centered approach combining:

- Video presentations and TED talks for authentic input
- Pair and small group activities for speaking practice
- Individual and group presentations
- Extensive reading program using graded readers

Exercises will be done both in class and as homework, with several quizzes throughout the semester. Feedback on assignments and presentations will be given at the beginning or the end of each class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation + Unit 2 (Trends)	Course introduction, Overview, Extensive reading orientation
2	Unit 2 continued	Collocations to describe trends, Reading log introduction
3	Unit 2 continued	Grammar: Future tenses (will and going to), Analyzing trends
4	Unit 2 completion	TED Talk: "How to Start a Movement", Writing predictions
5	Unit 2 Quiz + First Presentations	Assessment, Students present predictions about future trends
6	Unit 5 (Community Builders)	Vocabulary: Words for talking about communities
7	Unit 5 continued	Grammar: The passive voice, Creating green spaces

8	Unit 5 completion	TED Talk: "How Painting Can Transform Communities"
9	Unit 5 Quiz + Unit 6 start	Assessment, Introduction to communication styles
10	Unit 6 (Clear Communication)	Communication collocations
11	Unit 6 continued	Grammar: Verb patterns with -ing and infinitive
12	Unit 6 completion	TED Talk: "Talk Nerdy to Me"
13	Presentation Preparation	Workshop and rehearsal
14	Final Presentations	Student presentations, reading log submission

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- Weekly textbook assignments and review (approximately 60 minutes)
 - Preparation for presentations and quizzes
 - Extensive reading using the university library's graded readers collection
 - Recommended goal: 70 minutes of reading per week, starting with books at an appropriate level (YL 0.8-2.4 for beginners)
 - Students should keep a simple reading log noting titles and approximate word counts
- University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Bohlke, D., Dummett, P., Lansford, L., & Stephenson, H. Keynote, American English Combo Split 3A with Spark Access + e-Book (1 year access). National Geographic Learning/Cengage Learning. ISBN: 9798214333939

【参考書】

英文ライティング虎の巻【改訂版】

Recommended Graded Reader Series

- Start with:
 - ・ Oxford Reading Tree (YL 0.8-0.9): Picture-based, perfect for beginners
 - ・ Penguin Readers Easystarts (YL 0.8): Simple stories, many topics

- Progress to:
 - ・ Cambridge/Oxford/Macmillan Readers: Wide range of original and adapted stories
 - ・ Penguin Readers: Large selection including movie adaptations

- All series available in the university library (see: <https://hosei.libguides.com/tadoku>)

【成績評価の方法と基準】

- Class participation and homework: 25%
 - Unit quizzes: 25%
 - Presentations: 35%
 - Extensive reading: 15% (Based on reading logs and achieved word count goals)
- In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None in particular, but another version of the textbook will be used.

【学生が準備すべき機器他】

Students must bring their textbook to every class (教科書を必ず持参してください)

【その他の重要事項】

- Students are encouraged to follow the three principles of extensive reading:
 - ・ Choose easy books you can read without a dictionary
 - ・ Stop reading if the book is not interesting or too difficult
 - ・ Focus on reading for meaning rather than translation

【Outline (in English)】

This course is designed for students to practice and develop listening, speaking, reading, and writing skills. Students will study texts of diverse content, articulate own ideas and give short presentations.

The course aims to develop students' overall English communication abilities. Students will learn to express themselves effectively in everyday and academic situations, describe experiences and events, and explain opinions and plans. Through regular practice, students will improve their ability to structure and communicate ideas both orally and in writing. Outside of class, students are expected to review lessons and vocabulary, prepare short presentations, and complete writing assignments. The required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading will be based on participation in class activities and homework (25%), quizzes (25%), presentations (40%), and extensive reading (15%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 4

2017年度以降入学者

ROBIN F WEICHERT

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月2/Mon.2

単位数: 1 単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Building on English 2 (英語 2), this course continues to develop listening, speaking, reading, and writing skills with emphasis on communication in everyday and academic contexts. Students will engage with diverse content through textbook materials, TED talks, and extensive reading to further strengthen their English abilities.

【到達目標】

The course aims to develop students' overall English communication abilities. Students will:

- Learn to express themselves effectively in everyday and academic situations
- Build vocabulary and grammar skills through regular practice and extensive reading
- Develop presentation and discussion skills on various topics
- Improve reading fluency through graded readers and course materials
- Gain confidence in expressing opinions and plans in English

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This course takes a learner-centered approach combining:

- Video presentations and TED talks for authentic input
- Pair and small group activities for speaking practice
- Individual and group presentations
- Extensive reading program using graded readers

Exercises will be done both in class and as homework, with several quizzes throughout the semester. Feedback on assignments and presentations will be given at the beginning or the end of each class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 1 (Making a Difference)	Collocations to describe giving help, Inspiring dreams
2	Unit 1 continued	Grammar: Review of present and past tenses
3	Unit 1 completion	TED Talk: "A Life Lesson from a Volunteer Firefighter"
4	Unit 1 Quiz + First Presentations	Assessment, Students present about making a difference
5	Unit 3 (Improving Lives)	Healthcare vocabulary, My health routine
6	Unit 3 continued	Conjunctions for cause and effect
7	Unit 3 completion	TED Talk: "My Simple Invention"
8	Unit 3 Quiz + Unit 4 start	Assessment, Introduction to Designing the Web
9	Unit 4 (Designing the Web)	Website features vocabulary

10	Unit 4 development	Grammar: Comparatives and superlatives
11	Unit 4 completion	TED Talk discussion
12	Presentation Workshop	Guidelines, preparation and rehearsal
13	Final Presentations	Student presentations
14	Final Presentations	Student presentations, reading log submission

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- Weekly textbook assignments and review (approximately 60 minutes)
 - Preparation for presentations and quizzes
 - Extensive reading using the university library's graded readers collection
 - Recommended goal: 70 minutes of reading per week, progressing to more challenging levels
 - Maintaining reading log with cumulative word count totals
- University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Bohlke, D., Dummett, P., Lansford, L., & Stephenson, H. Keynote, American English Combo Split 3A with Spark Access + e-Book (1 year access). National Geographic Learning/Cengage Learning. ISBN: 9798214333939

【参考書】

英文ライティング虎の巻【改訂版】

Recommended Graded Reader Series

Progress to more challenging levels in:

- ・ Cambridge/Oxford/Macmillan Readers
- ・ Penguin Readers
- ・ National Geographic Footprint Reading Library

All series available in the university library

(see: <https://hosei.libguides.com/tadoku>)

【成績評価の方法と基準】

- Class participation and homework: 25%
- Unit quizzes: 25%
- Presentations: 35%
- Extensive reading: 15%(Based on reading logs and achieved word count goals)

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None in particular, but another version of the textbook will be used.

【学生が準備すべき機器他】

Students must bring their textbook to every class (教科書を必ず持参してください)

【その他の重要事項】

- Students are encouraged to follow the three principles of extensive reading:
 - ・ Choose easy books you can read without a dictionary
 - ・ Stop reading if the book is not interesting or too difficult
 - ・ Focus on reading for meaning rather than translation

【Outline (in English)】

This course is designed for students to practice and develop listening, speaking, reading, and writing skills. Students will study texts of diverse content, articulate own ideas and give short presentations.

The course aims to develop students' overall English communication abilities. Students will learn to express themselves effectively in everyday and academic situations, describe experiences and events, and explain opinions and plans. Through regular practice, students will improve their ability to structure and communicate ideas both orally and in writing. Outside of class, students are expected to review lessons and vocabulary, prepare short presentations, and complete writing assignments. The required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading will be based on participation in class activities and homework (25%), quizzes (25%), presentations (40%), and extensive reading (15%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2

2017年度以降入学者

佐藤 陽子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月2/Mon.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Through this course students will develop confidence and skill in using English as a means of communication and learning.

【到達目標】

Through this course students will develop confidence and skill in using English as a means of self-expression and learning. More specifically, students will learn the following:

- 1) many vocabulary items
- 2) basics of effective oral communication
- 3) critical thinking
- 4) logical thinking
- 5) current affairs and cultural issues
- 6) basics of group discussion
- 7) basics of group presentation
- 8) basic rules of email writing
- 9) learner autonomy

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This is a learner-centred course. Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading, listening, and/or writing homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. Important information will be distributed via HOPPII, and the notifications will be sent to your *Hosei email address*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc both in class and via email as needed. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPII.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other, course descriptions, Q & A	Communicative activities, course descriptions, plans for the semester, homework, Q & A
2	Basics of oral communication, planned speech, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading HW on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, basics of group discussion, discussing Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, homework, Q & A

4	Planned speech, Discussing Current Issue 1 (2)	Story of my name, group discussion (2) on Topic 1, homework, Q & A
5	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), basics of group presentation (1)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of group presentation (1), homework, Q & A
6	Planned speech, basics of group presentation (2), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, basics of group presentation (2), preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
8	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on Presentation 1, comprehension check on Topic 2 material, homework, Q & A
9	Vocabulary quiz 3, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Vocabulary quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
10	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3), basics of group presentation (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), basics of group presentation (3), homework, Q & A
12	Unplanned speech, basics of group presentation (4), preparing for Presentation 2	Conversation, basics of group presentation (4), preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
14	Unplanned speech, feedback on Presentation 2, recap of the semester & student feedback	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPII.

【参考書】

Good dictionaries that suit your level and need

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

【学生の意見等からの気づき】

The class was conducted online in the previous years, but students enjoyed "talking" to each other in English, made friends, and developed a sense of community through many communicative activities. They also felt discussion and presentation skills very useful, and the topics interesting.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

【Outline (in English)】

Through this course students will develop confidence and skill in using English as a means of communication and learning.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 4

2017年度以降入学者

佐藤 陽子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Through this course students will develop greater confidence and skill in using English as a means of communication and learning.

【到達目標】

Students will develop greater confidence and skill in using English as a means of self-expression and learning. More specifically, students will learn and/or practise the following:

- 1) many vocabulary items
- 2) basics of effective oral communication
- 3) basics of clear English pronunciation
- 4) critical thinking
- 5) logical thinking
- 6) learner autonomy
- 7) group discussion skills
- 8) group presentation skills
- 9) current affairs and cultural issues
- 10) basics of academic writing

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This is a learner-centred course. Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading, listening, and/or writing homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. Important information will be distributed via HOPPIL, and the notifications will be sent to your *Hosei email address*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc in class and via email as needed. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPIL.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester, homework, Q & A
2	Planned speech 1, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading material on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (1), basics of essay writing (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, basics of essay writing (1)

4	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (2), basics of essay writing (2)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of essay writing (2), homework, Q & A
5	Planned speech, discussing Current Issue 1 (3), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, group discussion (2) on Topic 1, preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
7	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, brainstorming on Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, 2, brainstorming on Topic 2, homework, Q & A
8	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
9	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (2), basics of essay writing (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (2), basics of essay writing (3), homework, Q & A
10	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), homework, Q & A
11	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
13	Feedback on Presentation 2, discussing essay drafts	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts, homework, Q & A
14	Unplanned speech, discussing essay drafts, recap of the semester, student feedback	Conversation, discuss essay drafts, recap of the semester, student feedback, homework, Q & A

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPIL.

【参考書】

Good dictionaries that suit your level and need

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations & an essay: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

【学生の意見等からの気づき】

The class was conducted online in the previous years, but students enjoyed "talking" to each other in English, made friends, and developed a sense of community through many communicative activities. They also felt discussion and presentation skills very useful, and the topics interesting.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

【Outline (in English)】

Through this course students will develop greater confidence and skill in using English as a means of communication and learning.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語2

2017年度以降入学者

小坂 恵理子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Using the various study's abroad scenarios laid out in the "CitiPals in New York" textbook as a springboard, the aim of the course is for students to establish the basic vocabulary and phrasing necessary to engage in basic but clear conversation. Coupled with recitations and other activities to help improve pronunciation, this course is designed to help the learner gain the courage and confidence to converse in a wider range of social settings and situations.

【到達目標】

- 1) Master pronunciation (including intonation).
- 2) Become accustomed to speaking English in public.
- 3) Understand the differences between written and spoken English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ① Vocabulary introduced in each unit will be explained and utilized in both writing and oral exercises.
- ② Listening exercises pertaining to the units covered will be actively employed to reinforce comprehension of the content.
- ③ Unit summaries and short presentations will be required of students to showcase what they have learned.
- ④ Assignments submitted by students will be returned with feedback from the instructor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回目	Orientation	① Orientation, ② Unit 1(dialogue and drills)
第2回目	Unit 1, continued.	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion exercise
第3回目	Unit 2	① Vocab quiz and memorization ② Unit 2 (dialogue and drills)
第4回目	Unit 2, continued.	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion exercise
第5回目	Unit 3	① Vocab quiz and memorization ② Unit 3 (dialogue and drills)
第6回目	Unit 3, continued	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise

第7回目	Unit 4	① Vocab quiz and memorization ② Unit 4 (dialogue and drills)
第8回目	Mid-term exam	① Mid-term exam ② Summary and feedback
第9回目	Unit 4, continued.	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第10回目	Unit 5	① Vocab quiz and memorization ② Unit 5 (dialogue and drills)
第11回目	Unit 5, continued.	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第12回目	Unit 6	① Vocab quiz and memorization ② Unit 6 (dialogue and drills)
第13回目	Unit 6, continued.	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion exercise
第14回目	Final exam	① Final exam ② Summary and feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

著書：CitiPals in New York: New Edition of Survival English
著者：Mary Tadokoro
出版社：朝日出版社
出版年：2018年 第5刷発行
I S B N：978-4-255-15492-3

【参考書】

授業時に伝える。

【成績評価の方法と基準】

【評価方法】 積極的な参加 20%, 中間試験・期末試験20%、提出課題20%、小テスト20%、音読・グループライティング20%
Active participation 20%, midterm and finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

【Outline (in English)】

Using the various study's abroad scenarios laid out in the "CitiPals in New York" textbook as a springboard, the aim of the course is for students to establish the basic vocabulary and phrasing necessary to engage in basic but clear conversation. Coupled with recitations and other activities to help improve pronunciation, this course is designed to help the learner gain the courage and confidence to converse in a wider range of social settings and situations.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 4

2017年度以降入学者

小坂 恵理子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Using the various study's abroad scenarios laid out in the "CitiPals in New York" textbook as a springboard, the course is designed to diversify the students' vocabulary and phrasing necessary to engage in more elevated discussions. Continuing to employ activities that help improve pronunciation, the aim of this course is to help the learner become more versatile with their English skills so that he/she can more proactively engage in a wider range of topics.

【到達目標】

- 1) Have more confidence in using diverse vocabulary and phrasing.
- 2) Be able to engage in discussions and debates on diverse topics.
- 3) Have clearer understanding of the differences between written and spoken English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ① Vocabulary introduced in each unit will be explained and utilized in both writing and oral exercises.
- ② Listening exercises pertaining to the units covered will be actively employed to reinforce comprehension of the content.
- ③ Unit summaries and short presentations will be required of students to showcase what they have learned.
- ④ Assignments submitted by students will be returned with feedback from the instructor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回目	Orientation	① Orientation ② Unit 7(dialogue and drills)
第2回目	Unit 7, continued.	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Discussion/debate exercise
第3回目	Unit 8	① Vocab quiz and memorization ② Unit 8 (dialogue and drills)
第4回目	Unit 8, continued.	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Discussion/debate exercise
第5回目	Unit 9	① Vocab quiz and memorization ② Unit 9 (dialogue and drills)
第6回目	Unit 9, continued	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Discussion/debate exercise

第7回目 Unit 10

- ① Vocab quiz and memorization
- ② Unit 10 (dialogue and drills)

第8回目 Mid-term exam

- ① Mid-term exam
- ② Summary and feedback

第9回目 Unit 10, continued.

- ① Vocabulary & grammar exercises
- ② Recitation exercise
- ③ Discussion/debate exercise

第10回目 Unit 11

- ① Vocab quiz and memorization
- ② Unit 11 (dialogue and drills)

第11回目 Unit 11, continued.

- ① Vocabulary & grammar exercises
- ② Recitation exercise
- ③ Discussion/debate exercise

第12回目 Unit 12

- ① Vocab quiz and memorization
- ② Unit 12 (dialogue and drills)

第13回目 Unit 12, continued.

- ① Vocabulary & grammar exercises
- ② Recitation exercise
- ③ Discussion/debate exercise

第14回目 Final exam

- ① Final exam
- ② Summary and feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

著書：CitiPals in New York: New Edition of Survival English

著者：Mary Tadokoro

出版社：朝日出版社

出版年：2018年 第5刷発行

I S B N : 978-4-255-15492-3

【参考書】

授業時に伝える。

【成績評価の方法と基準】

【評価方法】 積極的な参加 20%, 中間試験・期末試験 20%, 提出課題 20%、小テスト 20%、音読・グループライティング 20%

Active participation 20%, midterm and Finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

【Outline (in English)】

Using the various study's abroad scenarios laid out in the "CitiPals in New York" textbook as a springboard, the course is designed to diversify the students' vocabulary and phrasing necessary to engage in more elevated discussions. Continuing to employ activities that help improve pronunciation, the aim of this course is to help the learner become more versatile with their English skills so that he/she can more proactively engage in a wider range of topics.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 5

2017年度以降入学者

TOBY TRAUB

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Learning English for communicating in a global society.

【到達目標】

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
あり /Yes

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines. handout discussion activities
2	Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..
3	Unit 1 Environmental Issues Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

4

The Way we Live
Current Events/
Writing skills/
Reading skills/
discussions
big writing assignment

Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion
Textbook activities
Homework: Conversation preparation writing assignment.

5

Unit 2
Technology: Friend or
Foe
Current Events/
Writing skills/
Reading skills/
discussions
big writing assignment

Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion
Textbook activities
Homework: Conversation preparation writing assignment.

6

Unit 2
Political Refugees
Current Events/
Writing skills/
Reading skills/
discussions
big writing assignment

Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion
Textbook activities
Homework: Conversation preparation writing assignment.

7

Protests and dissent
Research report/
mini-
Presentations
Connecting the dots
Love and Loss
Death

Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion
Textbook activities
Homework: Conversation preparation writing assignment.

8

Music and Art
Unit 3: Global thinking
Current Events/
Writing skills/
Reading skills/
discussions

Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion
Textbook activities
Homework: Conversation preparation writing assignment.

9

Unit 3: Seize the day
Current Events/
Writing skills/
Reading skills/
discussions

Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion
Textbook activities
Homework: Conversation preparation writing assignment.

10	Unit 3: Swim against the stream. Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
11	Unit 4: What will your verse be? Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
12	The road less traveled. Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
13	Meritocracy and Theocracy Quiz Song lesson	Tips for the Quiz Quiz Song lesson
14	Wrap-up	Go over quiz Speaking activity

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete writing assignments, study for quizzes, and prepare for presentations.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. However, this is not at all realistic for a language course, and, at times, you will need to spend considerably more time.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class. However, ALL students will be required to buy a subscription to an online reading software. This should cost roughly about 2,750 yen for a whole year, unless the bookstore increases the price. I will tell you the details on the first day of class.

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Quizzes 30%

Writing assignments 40%

Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.

Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class, only with the express permission I recommend using a dedicated electronic dictionary.

Chatgpt or other AI tools may not be used. ANY use of Chatgpt or other AI tools on an assignment will result in a zero for the assignment and possible disciplinary action by the university.

【その他の重要事項】

This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.

This syllabus is subject to revision, and likely will change based on the students' needs, and topics will be based on relevant social issues of the moment.

Quizzes are not testing your English ability, but on the content of the course.

There is a zero tolerance policy for plagiarism, in this class.

【Outline (in English)】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of the world with an emphasis on American social, political, musical and cinematic culture.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 6

2017年度以降入学者

TOBY TRAUB

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Learning English for communicating in a global society.

【到達目標】

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Welcome back	What I did over summer break. Recent happenings in the news. Research and writing assignment.
2	Homelessness Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..
3	Art and War Current Events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

4

Human
Compassion
Current Events/
Writing skills/
Reading skills/
discussions
writing assignment

Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout.
Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion.
Discussion
Textbook activities
Homework: Conversation preparation writing assignment.

5

Is telling lies bad?
Current Events/
Writing skills/
Reading skills/
discussions
writing assignment

Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout.
Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion.
Discussion
Listening activity
Homework: Conversation preparation writing assignment.

6

Immigration good, or bad?
Current Events/
Writing skills/
Reading skills/
discussions
writing assignment

Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout.
Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion.
Discussion
Listening activity
Homework: Conversation preparation writing assignment.

7

How neighborhoods happen.
Introduce big presentation.
Create teams. Go over expectations.

Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout.
Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion.
Discussion
Listening activity
Homework: Conversation preparation writing assignment.

8

Rules versus freedom
Presentation topics due.
Current Events/
Writing skills/
Reading skills/
discussions

Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout.
Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion.
Discussion
Listening activity
Homework: Conversation preparation writing assignment.

9

Japan surveillance state.
Outline of presentations due.
Current Events/
Writing skills/
Reading skills/
discussions

Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout.
Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion.
Discussion
Textbook activities
Homework: Conversation preparation writing assignment.

10	Fabulous Japan Draft of words of presentations due. Current events/ Writing skills/ Reading skills/ discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
11	Christmas and holidays. 5 Powerpoints due Christmas/holiday comprehension skill building activity. Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
12	Presentation Day.	Tips for the Quiz
13	Song lesson My Winter break Pandemics	Song lesson Discussion activity. No homework except to study for big quiz.
14	Big quiz	Quiz Games Puzzle

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are given writing assignments, and or must study for a quiz every week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. However, this is not at all realistic for a language course, and, at times, you will need to spend considerably more time.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class. However, ALL students will be required to buy a subscription to an online reading software. This should cost roughly about 2,750 yen for a whole year, unless the bookstore increases the price. I will tell you the details on the first day of class.

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Quizzes, writing assignments, presentations:70%

Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.

Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class, only with the express permission I recommend using a dedicated electronic dictionary.

Chatgpt or other AI tools may not be used. ANY use of Chatgpt or other AI tools on an assignment will result in a zero for the assignment and possible disciplinary action by the university.

【その他の重要事項】

This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.

There is a zero tolerance policy for plagiarism.

【Outline (in English)】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 5

2017年度以降入学者

ラスカイル L. ハウザー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 5: Academic writing and presentation skills. Academic writing and presentation are similar in many ways. In this class, we will focus on the structures of writing and presentation and learn to do both more effectively.

【到達目標】

This class is designed to help students improve their academic and critical writing and presentations skills to prepare them for studying abroad.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be given a number of readings which will need to be finished for homework. These readings will then serve as both models for their own writing, and as topics for discussion. Peer evaluation, editing and group work will all be important elements of this class. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in-class activities throughout the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introductions	Students introduce themselves in short presentations.
2	Language and Learning 1	Writing a descriptive essay about how to learn a language. Recognizing idioms.
3	Language and Learning 2	Essay form and function. Using graphic organizers to visualize main ideas and details.
4	Danger and Daring 1	Writing and informal essay about an explorer. Brainstorming.
5	Danger and Daring 2	Paragraph development. Recognizing supporting information from experts.
6	Gender and Relationships 1	A descriptive essay comparing communication style differences between men and women.
7	Gender and Relationships 2	Paragraph development. Recognizing supporting information from experts.
8	Student presentations	Students give presentations and give constructive criticism.
9	Student presentations continued	Students continue to give presentations and give constructive criticism.

10	Beauty and Aesthetics 1	A cause and effect essay on an aspect of personal aesthetics.
11	Beauty and Aesthetics 2	Types of supporting materials. Using a timeline.
12	Essay peer editing	Students work in groups to edit and improve each other's essays.
13	Transitions 1	An informal essay that describes and analyzes a rite of passage.
14	Transitions 2	Organizing supporting material. Analyzing a well-developed paragraph.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will need to read and prepare opinions before class. Students will also need to prepare writing and group presentations outside of class.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

None

【参考書】

Materials will be provided by the instructor.

【成績評価の方法と基準】

Students will receive feedback and comments on homework assignments and in-class activities throughout the term. In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Class participation: 20%

Homework: 20%

Group presentations: 20%

Essays and written assignments: 40%

【学生の意見等からの気づき】

More attention will be put on pair and group work than in the past.

【学生が準備すべき機器他】

None

【その他の重要事項】

None

【Outline (in English)】

English 5: Academic writing and presentation skills. Academic writing and presentation are similar in many ways. In this class, we will focus on the structures of writing and presentation and learn to do both more effectively.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 6

2017年度以降入学者

ラスカイル L.ハウザー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 6: Academic Writing and Presentations Skills.
Academic writing and presentation are similar in many ways.
In this class, we will focus on the structures of writing and presentation and learn to do both more effectively.

【到達目標】

This class is designed to help students improve their academic and critical writing and presentations skills to prepare them for studying abroad.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際
文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be given a number of readings which will need to be finished for homework. These readings will then serve as both models for their own writing, and as topics for discussion. Peer evaluation, editing and group work will all be important elements of this class. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in-class activities throughout the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Review of English 5	A review of the ideas and concepts of 英語 5.
2	The Mind 1	An analysis essay that describes and interprets a dream.
3	The Mind 2	Paragraph organization: levels of generalization. Gathering information.
4	Working 1	An analysis essay on the qualities that contribute to success at work.
5	Working 2	Causal relationships: Analyzing causes and effects.
6	Breakthroughs 1	A definition essay that describes an important energy conservation development.
7	Breakthroughs 2	Using a graphic organizer to summarize advantages and disadvantages.
8	Student presentations	Students present in groups and offer constructive criticism.
9	Student presentations continued	Students continue to present in groups and offer constructive criticism.
10	Peer essay review	Students review and editing of each others' essays.

11	Art and Entertainment 1	An interpretation essay that describes a work of art and what it says about the artist or the artist's culture.
12	Art and Entertainment 2	Interpreting images. Using a graphic organizer to make comparisons.
13	Conflict and Reconciliation 1	An argument essay that explains a problem and presents one or more solutions.
14	Conflict and Reconciliation 2	Discussing problems and solutions. Using consensus to solve a problem.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will need to read and prepare opinions before class. Students will also need to prepare writing and group presentations outside of class.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

None

【参考書】

Additional materials will be provided by the instructor.

【成績評価の方法と基準】

Students will receive feedback and comments on homework assignments and in-class activities throughout the term. In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Class participation: 20%

Homework: 20%

Group presentations: 20%

Essays and written assignments: 40%

【学生の意見等からの気づき】

This year, more emphasis will be put on pair and group work.

【学生が準備すべき機器他】

None

【その他の重要事項】

None

【Outline (in English)】

English 6: Academic writing and presentation skills.

Academic writing and presentation are similar in many ways.
In this class, we will focus on the structures of writing and presentation and learn to do both more effectively.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 5

2017年度以降入学者

CHIA-WEI KANG

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 5 is a 4-skills required course for first-year students in the Faculty of Intercultural Communication scheduled to study abroad in the fall semester of their 2nd year. This course is based on four English skills, with a focus on communicative reading and writing. This course aims to bring out the communicative elements of reading and writing through the pre-reading, while-reading, and post-reading stages. Students will show how well they can think critically by discussing their ideas and opinions in groups, giving presentations, and writing. The course will also focus on helping students become more independent learners. The instructor reserves the right to modify this syllabus when necessary.

【到達目標】

The goals of the course are for students to:

1. Acquire and use strategic listening techniques to improve listening comprehension
2. Enhance vocabulary and common phrases knowledge
3. Strengthen speaking abilities and hone new phrases through output activities
4. Learn how to utilize skimming and scanning to identify the crucial ideas and supporting elements in a text.
5. Become familiar with effective expression through writing exercises and tasks.
6. Develop learner autonomy in various areas.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The course instructor will create a “safe” learning environment for students. “Safe” means that students are able to voice their perspectives and attempt to comprehend those of others without feeling judged. The overall class vibe is informal. Students participate in various activities involving reading, writing, listening, and speaking. In group discussions, students are expected to listen to each other and talk with them. While presenting their topics, students should use audiovisual aids.

Regarding the feedback on class assignments, the instructor will give oral feedback during in-class discussions. Students will get graded rubrics for presentations and essays, along with comments from the teacher.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction/Unit 1: Happiness	Course orientation, Icebreaking, Unit 1: Pre-reading activities
Lesson 2	Unit 1: Happiness	Reading 1: “Is There a Recipe for Happiness?” Reading Skills, Critical Thinking Skills, and discussions

Lesson 3	Unit 1: Happiness	Reading 2: “Four Keys to Happiness,” Group discussion
Lesson 4	Unit 2: Inventive Solutions	Pre-reading activities Reading 1: “The Power of Creativity,” Reading Skills
Lesson 5	Unit 2: Inventive Solutions	Reading 2: “Big Ideas, Little Packages?” Group discussion
Lesson 6	Unit 2: Inventive Solutions	Video watching and Writing Workshop
Lesson 7	In-Class Writing 1	Topics based on Unit 1 and Unit 2
Lesson 8	Unit 3: Connected Lives	Pre-reading activities Reading 1: “The Power of Crowds,” Reading Skills
Lesson 9	Unit 3: Connected Lives	Reading 2: “Internet Island,” Group discussion
Lesson 10	Unit 3: Connected Lives	Video watching and Writing Workshop
Lesson 11	Unit 5: Memory and Learning	Pre-reading activities Reading 1: “The Art of Memory,” Reading Skills
Lesson 12	Unit 5: Memory and Learning	Reading 2: “Sleep and Memory,” Group discussion
Lesson 13	Unit 5: Memory and Learning	Video watching and Writing Workshop
Lesson 14	In-Class Writing 2	Topics based on Unit 3 and Unit 5

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. This course is a two-credit course; thus, students are expected to work on homework assignments (listening, reading, and writing) and prepare for vocabulary quizzes, discussions, and presentations.

【テキスト（教科書）】

Title: Pathways Reading and Writing book 2 (Student Book with Online Workbook Access Code)

Publisher: Cengage Learning

ISBN: 978-1-33-762511-1

Price: ¥ 3,270

【参考書】

Bring your dictionary to class. (Either paper or electronic dictionary is acceptable.)

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 20%

Four Quizzes: 40%(10%each)

Two In-Class Writing: 40%(20%each)

Attendance policy: In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The course has not received any comments from the previous term.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g., PowerPoint, Google Slides) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g., Word, Google Doc). Some important information will be distributed via HOPPII.

【Outline (in English)】

English 5 is a 4-skills required course for first-year students in the Faculty of Intercultural Communication scheduled to study abroad in the fall semester of their 2nd year. This course is based on four English skills, with a focus on communicative reading and writing. This course aims to bring out the communicative elements of reading and writing through the pre-reading, while-reading, and post-reading stages. Students will show how well they can think critically by discussing their ideas and opinions in groups, giving presentations, and writing. The course will also focus on helping students become more independent learners. The instructor reserves the right to modify this syllabus when necessary.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 6

2017年度以降入学者

CHIA-WEI KANG

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 6 is a 4-skills required course for first-year students in the Faculty of Intercultural Communication scheduled to study abroad in the fall semester of their 2nd year. This course is based on four English skills, with a focus on communicative reading and writing. This course aims to bring out the communicative elements of reading and writing through the pre-reading, while-reading, and post-reading stages. Students will show how well they can think critically by discussing their ideas and opinions in groups, giving presentations, and writing. The course will also focus on helping students become more independent learners. The instructor reserves the right to modify this syllabus when necessary.

【到達目標】

The goals of the course are for students to:

1. Acquire and use strategic listening techniques to improve listening comprehension
2. Enhance vocabulary and common phrases knowledge
3. Strengthen speaking abilities and hone new phrases through output activities
4. Learn how to utilize skimming and scanning to identify the crucial ideas and supporting elements in a text.
5. Become familiar with effective expression through writing exercises and tasks.
6. Develop learner autonomy in various areas.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The course instructor will create a “safe” learning environment for students. “Safe” means that students are able to voice their perspectives and attempt to comprehend those of others without feeling judged. The overall class vibe is informal. Students participate in various activities involving reading, writing, listening, and speaking. In group discussions, students are expected to listen to each other and talk with them. While presenting their topics, students should use audiovisual aids.

Regarding the feedback on class assignments, the instructor will give oral feedback during in-class discussions. Students will get graded rubrics for presentations and essays, along with comments from the teacher.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction/Unit 6: Animals and Medicine	Course orientation, Icebreaking, Unit 6: Pre-reading activities

Lesson 2	Unit 6: Animals and Medicine	Reading 1: “The Snake Chaser,” Reading Skills, Critical Thinking Skills, and discussions Reading 2: “A Haven for Chimps,” Group
Lesson 3	Unit 6: Animals and Medicine	Pre-reading activities
Lesson 4	Unit 7: Nature’s Fury	Reading 1: “When Tornadoes Strike,” Reading Skills Reading 2: “Wildfires,” Group Discussion.
Lesson 5	Unit 7: Nature’s Fury	Video Watching and Writing Workshop
Lesson 6	Unit 7: Nature’s Fury	Topics based on Unit 6 and Unit 7
Lesson 7	In-Class Writing 1	Pre-reading activities Reading 1: “What Are Feathers For?” Reading Skills
Lesson 8	Unit 9: Form and Function	Reading 2: “Design by Nature,” Group discussions
Lesson 9	Unit 9: Form and Function	Video Watching and Writing Workshop
Lesson 10	Unit 9: Form and Function	Pre-reading activities
Lesson 11	Unit 10: Smart Advice	Reading 1: “Turning Ideas into Reality,” Reading Skills
Lesson 12	Unit 10: Smart Advice	Reading 2: “Lessons in Business,” Group discussion
Lesson 13	Unit 10: Smart Advice	Video Watching and Writing Workshop
Lesson 14	In-Class Writing 2	Topics based on Unit 9 and Unit 10

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. This course is a two-credit course; thus, students are expected to work on homework assignments (listening, reading, and writing) and prepare for vocabulary quizzes, discussions, and presentations.

【テキスト（教科書）】

Title: Pathways Reading and Writing book 2 (Student Book with Online Workbook Access Code)

Publisher: Cengage Learning

ISBN: 978-1-33-762511-1

Price: ¥ 3,270

【参考書】

Bring your dictionary to class. (Either paper or electronic dictionary is acceptable.)

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 20%

Four Quizzes: 40%(10%each)

Two In-Class Writing: 40%(20%each)

Attendance policy: In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The course has not received any comments from the previous term.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g., PowerPoint, Google Slides) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g., Word, Google Doc). Some important information will be distributed via HOPPII.

【Outline (in English)】

English 6 is a 4-skills required course for first-year students in the Faculty of Intercultural Communication scheduled to study abroad in the fall semester of their 2nd year. This course is based on four English skills, with a focus on communicative reading and writing. This course aims to bring out the communicative elements of reading and writing through the pre-reading, while-reading, and post-reading stages. Students will show how well they can think critically by discussing their ideas and opinions in groups, giving presentations, and writing. The course will also focus on helping students become more independent learners. The instructor reserves the right to modify this syllabus when necessary.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 5

2017年度以降入学者

ウォルター カズマー

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 4/Fri.4

単位数: 1 単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Students will be able to use English to talk about various topics.

【到達目標】

This class encompasses all four skill areas and students are required to participate in pair and group activities as well as do individual work as assigned by the teacher. Students should be willing and able to research outside of class.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This class uses a variety of activities to focus on speaking and listening skills. These include; scripted debate, drama, skits, role-playing, listening for gist, listening for details, choral recitation, blog commenting, web research, etc.

Feedback will be given in Google classroom comments, via email or in feedback sessions in Zoom classes.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	explanation of course work and related activities
Week 2	Japanese Food	regional dishes and snacks/ health issues
Week 3	Other Asian food	different varieties of food
Week 4	Western food	differences, cooking styles
Week 5	Family trends - single parents	divorces, legal separations, visitation rights
Week 6	Family trends -same sex parents	gay issues, coming out
	Presentation preparation- structure	Introduction/body/conclusion
Week 7	Family trends -divided families	splitting time with parents
	Presentation preparation - physical elements	body language and voice
Week 8	Errands	errands and chores
	Presentation preparation- visual elements I	slide backgrounds
week 9	Neighborhoods	suburban, countryside, metro
	Presentation preparation- visual elements II	slide fonts
week 10	Parties types	types- wedding, house
	Presentation preparation	warming, birthday, showers
	script practice	using a script to speak

week 11 Parties- venues places- amusement parks, Presentation hotels, restaurants preparation practice using notes notes usage

week 12 Presentations on food Japanese, Asian, Western

week 13 Presentations on errands/ neighborhoods suburbs, countryside, and metro areas

week 14 Presentations on parties from weddings to graduation parties

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around 4hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Students should preview google classroom activities and preview vocabulary listed.

【テキスト (教科書)】

World Link Book 2 (National Geographic Learning) 4th edition 978-0-357-50218-1

【参考書】

textbook, handouts, class blog, selected websites

【成績評価の方法と基準】

Participation 33%

Homework 34%

Group Presentation 33%

For all English courses on Ichigaya campus, the guideline is as follows: "In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

More presentation preparation now required in class.

【学生が準備すべき機器他】

PC or smartphone, writing material, paper

【その他の重要事項】

Contact email

walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will learn English using four skill areas (reading, writing, speaking, and listening).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 6

2017年度以降入学者

ウォルター カズマー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This class builds on skills gained in the first semester class with additional language skills being added.

【到達目標】

This class encompasses all four skill areas and students are required to participate in pair and group activities as well as do individual work as assigned by the teacher.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This class uses a variety of activities to focus primarily on speaking and listening skills. These include; drama, blog commenting, skits, role-playing, listening for gist, listening for details, choral recitation, storytelling, group presenting etc. Feedback will be given in Google classroom comments, via email or in feedback sessions in Zoom classes.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction and review	outline main class contents and give overview of some activities from last semester
Week 2	Japanese festivals	holidays, customs and celebrations, etc.
Week 3	Foreign festivals	famous festivals in Europe, the US and in Asia
Week 4	Japanese Fables and stories	famous area tales and their morals
Week 5	Foreign Fables and stories	Aesops and others
	Presentation preparation	
Week 6	Jobs	examining jobs in the technology and travel industries
	Presentation preparation-structure	Introduction/body/conclusion
Week 7	elements of work	looking at jobs abroad
	Presentation preparation-physical elements	use of voice and body language
Week 8	telecommunications	land lines, smartphones
	Presentation preparation-visual elements I	slide backgrounds
week 9	Telecommunications II	Internet websites font usage
	Presentation preparation-visual elements II	

week 10	Travel in Japan Presentation preparation scripts	Areas of Japan Using a script for a speech
week 11	Travel outside Japan Presentation preparation notes usage	Some of the areas of the world Europe, N. America, Asia using notes to make a speech natural
week 12	Presentations on fables	stories from Japan and elsewhere
week 13	Presentations on work	jobs we do: inside and outside
week 14	Presentations on telecommunication	Internet, smartphones, and landlines

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

homework (blog and regular), group presentation preparation. University guidelines suggest preparation and review are around 4hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Students should preview google classroom activities and preview vocabulary listed.

【テキスト（教科書）】

World link Book 2 (National Geographic Learning) 4th edition 978-0-357-50218-1

【参考書】

textbook, handouts, blog website, other websites

【成績評価の方法と基準】

Participation 33%

Homework 34%

Group presentation/quizzes 33%

For all English courses on Ichigaya campus, the guideline is as follows: "In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

More presentation preparation now required in class.

【学生が準備すべき機器他】

PC or smartphone, writing material, paper

【その他の重要事項】

Email contact

walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students study English using four skill areas (listening, speaking, reading, and writing).

英語 5

2017年度以降入学者

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course (English 5) is for first-year Intercultural Communication students with a strong focus on improving all English communication skills before studying abroad. Students will improve their listening and speaking fluency through various communicative, and problem-solving activities. By the end of this course, students will be confident in communicating their opinions, developing their critical thinking skills, and improving their communication skills. Through listening to and reading texts on various topics, students will form their ideas and express these ideas in discussions, presentations, and writing.

【到達目標】

The goal of the course is to develop students' receptive (listening and reading) and interactive (speaking and writing) abilities by learning techniques and strategies that help students communicate personal ideas and experiences, respond to media (text, audio, photos, and videos), critically assess communications, and synthesize this information to solve problems at a level that could be understood by an English speaker.

Specific goals include:

1. How to apply communication skills in listening, reading, writing, speaking and other forms of communicative media.
2. How to use fluency skills, listening and taking notes from spoken English in various forms of media.
3. Increase understanding by reading at an appropriate level.
4. How to apply critical thinking and problem-solving skills in various communications settings.
5. How to become culturally aware, independent language learners.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This is a face-to-face class (unless circumstances change). The class will follow the structure of the main textbook included in the syllabus. Listening exercises and videos will be looked at and listened to in class, and exercises based on the textbook and media completed. There will be supplementary media related to topics covered in the textbook provided by the teacher in some cases. Speaking (and writing) tasks will also be based mainly on the textbook topics and exercises. Students will also be required to choose books to read for homework and to keep a reading diary. There will also be additional material and instruction on speaking and writing provided by the teacher related to making presentations.

Students are expected to actively participate in discussions based on the texts and also draw on information they find themselves online or in the library.

Feedback will be provided to students regarding their assignments through marking and directly during class. For tasks done during class feedback will be given directly on inspection of the student's work. Reading diaries will be checked every week and at the end of the semester to track students reading progress. For presentations, direct feedback will be given after presentations and their written work will be marked and handed back with corrections.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introductions	Introducing the syllabus. Students introduce themselves. Writing task: write a short introduction of yourself in two sentences. Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book!
Lesson 2	Chapter 1 Part of the Group	What is your hobby? Vocabulary/Listening Homework: Reading and reading diary.
Lesson 3	Chapter 1 Part of the Group	Speaking/Lesson Task Homework: Reading and reading diary.
Lesson 4	Chapter 1 Part of the Group	Skateboarding in Ethiopia (video)/Vocabulary/Listening/ Speaking Homework: Reading and reading diary.
Lesson 5	Presentation Speaking Task 1	Speaking Task: Play a true/false game Homework: Reading and reading diary.
Lesson 6	Chapter 2 Your Job Future	Job Satisfaction Listening Homework: Reading and reading diary.
Lesson 7	Chapter 2 Your Job Future	Speaking/Lesson task Homework: Reading and reading diary.
Lesson 8	Chapter 2 Your Job Future	A Dream Job (video) Listening/Speaking Homework: Reading and reading diary.
Lesson 9	Presentation Speaking Task 2	Speaking task 2: Play a job guessing game. Homework: Reading and reading diary.
Lesson 10	Chapter 3 Unusual Places	Sustainability. Listening Homework: Reading and reading diary.
Lesson 11	Chapter 3 Unusual Places	Speaking/Lesson task Homework: Reading and reading diary.

Lesson 12	Chapter 3 Unusual Places	Welcome to Bukchon Village (video) Listening/Speaking Speaking Task 3: Discussing your favourite place to go.
Lesson 13	Presentations Group 1	Half the class will make a presentation in front of the class. The other students will take notes. Also some time will be used for discussion. Homework: Reading and reading diary. Remember bring your reading diary for the final class.
Lesson 14	Presentations Group 2	Half the class will make a presentation in front of the class. The other students will take notes. Also some time will be used for discussion. Students to bring reading diary to class and report on their reading throughout the semester.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Students will be expected to set aside time for reading and to prepare for each class. Presentations will also require some preparation before they are submitted.

【テキスト（教科書）】

Cynthia Fettig, 2025, Pathways Listening, Speaking, and Critical Thinking. Foundations Third Edition (Student Book with Online Workbook Access Code) Publisher: Cengage Learning 9780357978627, ¥ 3,750 (¥ 4,125 税込)

【参考書】

Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin
*Search "Penguin reader" on the library search.

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

英文ライティング虎の巻【改訂版】

Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon.

Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, complete various comprehension and speaking tasks that also involve writing, do their reading homework, and do presentation tasks that also need to be written.

1. In-class reading and listening comprehension, discussions, and speaking exercises (preparation for speaking tasks). 15%

2. Speaking tasks 1 and 2 combined mark 40%

Speaking tasks 1 and 2 will each be worth 20% for the combined total of 40% for all speaking tasks. These will be assessed based on speaking ability in class and on the written script handed in after the presentation.

3. Final Presentation 30%

(20% for the presentation and 10% for listening to others and comments by others on your presentation)

4. Reading Diary and Reading Record 15%

Students to choose a graded reader and read it during the semester, reading the book. They will also keep a reading diary.

【学生の意見等からの気づき】

The textbook has been changed from that used last year for this course based on student feedback and instructor assessment of the general ability of students. Furthermore, a textbook focusing on listening and speaking was chosen because students' abilities in these two areas needed the most improvement. Improving these skills will benefit students when studying abroad where they will have to listen to spoken English all the time and be forced to express themselves while living in a foreign country.

【学生が準備すべき機器他】

● Textbook.

● Additional resources for writing (dictionaries etc).

● Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

● Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester (however circumstances of students will be taken into consideration and work outside of class will be assigned to students who cannot avoid being absent more than 3 times). The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. Students are also expected to have access to a computer and the Internet. Students are strongly advised to bring pens, notebooks, and an A4-sized folder to store printouts handed out during class.

【Outline (in English)】

This course (English 5) is for first-year Intercultural Communication students with a strong focus on improving all English communication skills before studying abroad. Students will improve their listening and speaking fluency through various communicative, and problem-solving activities. By the end of this course, students will be confident in communicating their opinions, developing their critical thinking skills, and improving their communication skills. Through listening to and reading texts on various topics, students will form their ideas and express these ideas in discussions, presentations, and writing.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 6

2017年度以降入学者

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course (English 6) is for first-year Intercultural Communication students with a strong focus on improving all English communication skills before studying abroad. Students will improve their listening and speaking fluency through various communicative, and problem-solving activities. By the end of this course, students will be confident in communicating their opinions, developing their critical thinking skills, and improving their communication skills. Through listening to and reading texts on various topics, students will form their ideas and express these ideas in discussions, presentations, and writing.

【到達目標】

Building on what was studied in English-5 during Semester-1, the goal of the course is to further develop students' ability to interact more successfully in English. Specific goals for students include:

1. how to apply communication skills in listening, reading, writing, speaking and other forms of communicative media.
2. how to use fluency skills, skimming, scanning, and predicting to identify main ideas and supporting details in texts and other media.
3. understanding various types of written forms and using these for reflection and further learning.
4. how to collect and store information to properly quote and cite sources.
5. how to apply critical thinking and problem-solving skills in various communications settings.
6. how to become culturally aware, independent language learners.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This is a face-to-face class (unless circumstances change). The class will follow the structure of the main textbook included in the syllabus. Listening exercises and videos will be looked at and listened to in class, and exercises based on the textbook and media completed. There will be supplementary media related to topics covered in the textbook provided by the teacher in some cases. Speaking (and writing) tasks will also be based mainly on the textbook topics and exercises. Students will also be required to choose books to read for homework and to keep a reading diary. There will also be additional material and instruction on speaking and writing provided by the teacher related to making presentations.

Students are expected to actively participate in discussions based on the texts and also draw on information they find themselves online or in the library.

Feedback will be provided to students regarding their assignments through marking and directly during class. For tasks done during class feedback will be given directly on inspection of the student's work. Reading diaries will be checked every week and at the end of the semester to track students reading progress. For presentations, direct feedback will be given after presentations and their written work will be marked and handed back with corrections.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introductions	Introduce yourself. Tell the class about something interesting or fun that you did while you were on summer vacation (study, student association activities, hobbies etc.) Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book!
Lesson 2	Chapter 4 The Good and Bad of Tech	How did we get here? Vocabulary/Listening Homework: Reading and reading diary.
Lesson 3	Chapter 4 Wild Weather	Speaking/Lesson Task Homework: Reading and reading diary.
Lesson 4	Chapter 4 Wild Weather	Digital Tourism (video) Listening/Speaking Homework: Reading and reading diary.
Lesson 5	Speaking Task 1	Speaking Task: Discuss Being Without Your Phone Homework: Reading and reading diary.
Lesson 6	Chapter 5 Take a Risk	How to Take Risks Listening Homework: Reading and reading diary.
Lesson 7	Chapter 5 Take a Risk	Speaking/Lesson task Homework: Reading and reading diary.
Lesson 8	Chapter 5 Take a Risk	Risk and Reward (video) Listening/Speaking Homework: Reading and reading diary.
Lesson 9	Speaking Task 2	Speaking task 2: Discuss how to add adventure to your life. Homework: Reading and reading diary.
Lesson 10	Chapter 6 Do Your Part	The Truth about Trash, Listening Homework: Reading and reading diary.
Lesson 11	Chapter 6 Do Your Part	Listening, Everyone's Homework: Reading and reading diary.
Lesson 12	Chapter 6 Do Your Part	Choices (Video). Create a plan to help your city.

Lesson 13	Presentations Group 1	Half the class will make a presentation in front of the class. The other students will take notes. Also some time will be used for discussion. Homework: Reading and reading diary. Remember bring your reading diary for the final class.
Lesson 14	Presentations Group 2	Half the class will make a presentation in front of the class. The other students will take notes. Also some time will be used for discussion. Students to bring reading diary to class and report on their reading throughout the semester.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Students will be expected to set aside time for reading and to prepare for each class. Presentations will also require some preparation before they are submitted.

【テキスト（教科書）】

Cynthia Fettig, 2025, Pathways Listening, Speaking, and Critical Thinking. Foundations Third Edition (Student Book with Online Workbook Access Code) Publisher: Cengage Learning 9780357978627, ¥ 3,750 (¥ 4,125 税込)

【参考書】

Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin *Search "Penguin reader" on the library search.

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

英文ライティング虎の巻【改訂版】

Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon.

Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, complete various comprehension and speaking tasks that also involve writing, do their reading homework, and do presentation tasks that also need to be written.

1. In-class reading and listening comprehension, discussions, and speaking exercises (preparation for speaking tasks). 15%

2. Speaking tasks 1 and 2 combined mark 40%

Speaking tasks 1 and 2 will each be worth 20% for the combined total of 40% for all speaking tasks. These will be assessed based on speaking ability in class and on the written script handed in after the presentation.

3. Final Presentation 30%

(20% for the presentation and 10% for listening to others and comments by others on your presentation)

4. Reading Diary and Reading Record 15%

Students to choose a graded reader and read it during the semester, reading the book. They will also keep a reading diary.

【学生の意見等からの気づき】

The textbook has been changed from that used last year for this course based on student feedback and instructor assessment of the general ability of students. Furthermore, a textbook focusing on listening and speaking was chosen because students' abilities in these two areas needed the most improvement. Improving these skills will benefit students when studying abroad where they will have to listen to spoken English all the time and be forced to express themselves while living in a foreign country.

【学生が準備すべき機器他】

● Textbook.

● Additional resources for writing (dictionaries etc).

● Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

● Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.) ing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester (however circumstances of students will be taken into consideration and work outside of class will be assigned to students who cannot avoid being absent more than 3 times). The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. Students are also expected to have access to a computer and the Internet. Students are strongly advised to bring pens, notebooks, and an A4-sized folder to store printouts handed out during class.

【Outline (in English)】

This course (English 6) is for first-year Intercultural Communication students with a strong focus on improving all English communication skills before studying abroad. Students will improve their listening and speaking fluency through various communicative, and problem-solving activities. By the end of this course, students will be confident in communicating their opinions, developing their critical thinking skills, and improving their communication skills. Through listening to and reading texts on various topics, students will form their ideas and express these ideas in discussions, presentations, and writing.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 5

2017年度以降入学者

ラスカイル L.ハウザー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 5: Academic writing and presentation skills. Academic writing and presentation are similar in many ways. In this class, we will focus on the structures of writing and presentation and learn to do both more effectively.

【到達目標】

This class is designed to help students improve their academic and critical writing and presentations skills to prepare them for studying abroad.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be given a number of reading which will need to be finished for homework. These readings will then serve as both models for their own writing, and as topics for discussion. Peer evaluation, editing and group work will all be important elements of this class. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in-class activities throughout the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introductions	Students introduce themselves in short presentations.
2	Language and Learning 1	Writing a descriptive essay about how to learn a language. Recognizing idioms.
3	Language and Learning 2	Essay form and function. Using graphic organizers to visualize main ideas and details.
4	Danger and Daring 1	Writing and informal essay about an explorer. Brainstorming.
5	Danger and Daring 2	Paragraph development. Recognizing supporting information from experts.
6	Gender and Relationships 1	A descriptive essay comparing communication style differences between men and women.
7	Gender and Relationships 2	Paragraph development. Recognizing supporting information from experts.
8	Student presentations	Students give presentations and give constructive criticism.
9	Student presentations continued	Students continue to give presentations and give constructive criticism.

10	Beauty and Aesthetics 1	A cause and effect essay on an aspect of personal aesthetics.
11	Beauty and Aesthetics 2	Types of supporting materials. Using a timeline.
12	Essay peer editing	Students work in groups to edit and improve each other's essays.
13	Transitions 1	An informal essay that describes and analyzes a rite of passage.
14	Transitions 2	Organizing supporting material. Analyzing a well-developed paragraph.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will need to read and prepare opinions before class. Students will also need to prepare writing and group presentations outside of class.

University guidelines suggest preparation and review are around 4hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

None

【参考書】

Materials will be provided by the instructor.

【成績評価の方法と基準】

Students will receive feedback and comments on homework assignments and in-class activities throughout the term. In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Class participation: 20%

Homework: 20%

Group presentations 20%

Essays and written assignments: 40%

【学生の意見等からの気づき】

This year, a new textbook has been chosen, and a heavier emphasis will be placed on written work.

【学生が準備すべき機器他】

None

【その他の重要事項】

None

【Outline (in English)】

English 5: Academic writing and presentation skills.

Academic writing and presentation are similar in many ways. In this class, we will focus on the structures of writing and presentation and learn to do both more effectively.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 6

2017年度以降入学者

ラスカイル L.ハウザー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 6: Academic Writing and Presentations Skills.
Academic writing and presentation are similar in many ways.
In this class, we will focus on the structures of writing and presentation and learn to do both more effectively.

【到達目標】

This class is designed to help students improve their academic and critical writing and presentations skills to prepare them for studying abroad.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際
文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be given a number of readings which will need to be finished for homework. These readings will then serve as both models for their own writing, and as topics for discussion. Peer evaluation, editing and group work will all be important elements of this class. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in-class activities throughout the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Review of English 5	A review of the ideas and concepts of 英語 5.
2	The Mind 1	An analysis essay that describes and interprets a dream.
3	The Mind 2	Paragraph organization: levels of generalization. Gathering information.
4	Working 1	An analysis essay on the qualities that contribute to success at work.
5	Working 2	Causal relationships: Analyzing causes and effects.
6	Breakthroughs 1	A definition essay that describes an important energy conservation development.
7	Breakthroughs 2	Using a graphic organizer to summarize advantages and disadvantages.
8	Student presentations	Students present in groups and offer constructive criticism.
9	Student presentations continued	Students continue to present in groups and offer constructive criticism.
10	Peer essay review	Students review and editing of each others' essays.

11	Art and Entertainment 1	An interpretation essay that describes a work of art and what it says about the artist or the artist's culture.
12	Art and Entertainment 2	Interpreting images. Using a graphic organizer to make comparisons.
13	Conflict and Reconciliation 1	An argument essay that explains a problem and presents one or more solutions.
14	Conflict and Reconciliation 2	Discussing problems and solutions. Using consensus to solve a problem.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will need to read and prepare opinions before class. Students will also need to prepare writing and group presentations outside of class.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

None

【参考書】

Additional materials will be provided by the instructor.

【成績評価の方法と基準】

Students will receive feedback and comments on homework assignments and in-class activities throughout the term. In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Class participation: 20%

Homework: 20%

Group presentations 20%

Essays and written assignments: 40%

【学生の意見等からの気づき】

More attention will be put on pair and group work than in the past.

【学生が準備すべき機器他】

None

【その他の重要事項】

None

【Outline (in English)】

English 6: Academic Writing and Presentations Skills
Academic writing and presentation are similar in many ways.
In this class, we will focus on the structures of writing and presentation and learn to do both more effectively.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 5

2017年度以降入学者

ウォルター カズマー

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 5/Fri.5

単位数: 1 単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Students will be able to use English to talk about various topics.

【到達目標】

This class encompasses all four skill areas and students are required to participate in pair and group activities as well as do individual work as assigned by the teacher. Students should be willing and able to research outside of class.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

This class uses a variety of activities to focus on speaking and listening skills. These include; scripted debate, drama, skits, role-playing, listening for gist, listening for details, choral recitation, blog commenting, web research, etc. Feedback will be given in Google classroom comments, via email or in feedback sessions in Zoom classes.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	explanation of course work and related activities
Week 2	Japanese Food	regional dishes and snacks/ health issues
Week 3	Other Asian food	different varieties of food
Week 4	Western food	differences, cooking styles
Week 5	Family trends - single parents	divorces, legal separations, visitation rights
Week 6	Family trends -same sex parents	gay issues, coming out
	Presentation preparation- structure	Introduction/body/conclusion
Week 7	Family trends -divided families	splitting time with parents
	Presentation preparation - physical elements	body language and voice
Week 8	Errands	errands and chores
	Presentation preparation- visual elements I	slide backgrounds
week 9	Neighborhoods	suburban, countryside, metro
	Presentation preparation- visual elements II	slide fonts
week 10	Parties types	types- wedding, house
	Presentation preparation	warming, birthday, showers
	script practice	using a script to speak

week 11 Parties- venues
Presentation preparation notes usage
places- amusement parks, hotels, restaurants
practice using notes

week 12 Presentations on food
Japanese, Asian, Western

week 13 Presentations on errands/ neighborhoods
suburbs, countryside, and metro areas

week 14 Presentations on parties
from weddings to graduation parties

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

homework (blog and written), and Internet research.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Students should preview google classroom activities and preview vocabulary listed.

【テキスト (教科書)】

World Link Book 2 (National Geographic Learning) 4th edition
978-0-357-50218-1

【参考書】

textbook, handouts, class blog, selected websites

【成績評価の方法と基準】

Participation 33%

Homework 34%

Group Presentation or quizzes 33%

For all English courses on Ichigaya campus, the guideline is as follows: "In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

More presentation preparation now required in class.

【学生が準備すべき機器他】

PC or smartphone, writing material, paper

【その他の重要事項】

Contact email

walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will learn English using four skill areas (reading, writing, speaking, and listening).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 6

2017年度以降入学者

ウォルター カズマー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This class builds on skills gained in the first semester class with additional language skills being added.

【到達目標】

This class encompasses all four skill areas and students are required to participate in pair and group activities as well as do individual work as assigned by the teacher.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This class uses a variety of activities to focus primarily on speaking and listening skills. These include; drama, blog commenting, skits, role-playing, listening for gist, listening for details, choral recitation, storytelling, group presenting etc. Feedback will be given in Google classroom comments, via email or in feedback sessions in Zoom classes.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction and review	outline main class contents and give overview of some activities from last semester
Week 2	Japanese festivals	holidays, customs and celebrations, etc.
Week 3	Foreign festivals	famous festivals in Europe, the US and in Asia
Week 4	Japanese Fables and stories	famous area tales and their morals
Week 5	Foreign Fables and stories	Aesops and others
	Presentation preparation	
Week 6	Jobs	examining jobs in the technology and travel industries
	Presentation preparation-structure	Introduction/body/conclusion
Week 7	elements of work	looking at jobs abroad
	Presentation preparation-physical elements	use of voice and body language
Week 8	telecommunications	land lines, smartphones
	Presentation preparation-visual elements I	slide backgrounds
week 9	Telecommunications II	Internet websites
	Presentation preparation-visual elements II	font usage

week 10	Travel in Japan Presentation preparation scripts	Areas of Japan Using a script for a speech
week 11	Travel outside Japan Presentation preparation notes usage	Some of the areas of the world Europe, N. America, Asia using notes to make a speech natural
week 12	Presentations on fables	stories from Japan and elsewhere
week 13	Presentations on work	jobs we do: inside and outside
week 14	Presentations on telecommunication	Internet, smartphones, and landlines

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

homework (blog and regular), group presentation preparation. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Students should preview google classroom activities and preview vocabulary listed.

【テキスト（教科書）】

World link Book 2 (National Geographic Learning) 4th edition 978-0-357-50218-1

【参考書】

textbook, handouts, blog website, other websites

【成績評価の方法と基準】

Participation 33%

Homework 34%

Group presentation and quizzes 33%

For all English courses on Ichigaya campus, the guideline is as follows: "In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

More presentation preparation now required in class.

【学生が準備すべき機器他】

PC or smartphone, writing material, paper

【その他の重要事項】

Email contact

walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students study English using four skill areas (listening, speaking, reading, and writing).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - I

2017年度以降入学者

北原 ルック 明子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

小学校、中学校そして高校において英語に親しんできたと思われるが大学ではより英語に親しみ文法、読解を中心にするのではなくコミュニケーションを図りながら英語を道具としてそれぞれの専門分野で活かしていけるようにしたい。

【到達目標】

英語で考えられるようにし英語で相手に伝わるようにして行きたい。まず短く簡単な英語でいいので自分の言いたいことを相手に伝えられるようにする。日常の様々なトピックについて自分の知識、経験、意見を口頭で表現していくことをプレゼンテーション、スピーチ、ディスカッションなどを通して練習していく。リーディングとライティングを中心としながら教科書のユニットをよく読み内容を理解していく。ライティングに関してはプレゼンテーションを準備する上で導入部分、メイン、締めをしっかりと順序立ててかけるようにする。また聴く力も養っていきたいと思う。温暖化、気候変動、絶滅危惧種、フードロス、コロナなど様々な私たちが地球にもたらした環境問題をどの様にして解決していけるか、解決できないまでもどの様にしたら減らしていけるかなどを意識して少しでも英語で発信していけるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

教科書である *You, Me and the World* を中心に授業を進めていく。教科書をよく読み環境問題に関しての問題を考える。教科書に入る前に簡単なリスニングをし耳を英語に慣らしていく。また授業の初めに毎回23人ずつ簡単なスピーチをしてもらう。教科書においてはそれぞれのユニットの課題、問題点などを考えていく。また前の授業の復習をしながらフィードバックをして行く。学期末にはそれぞれグループに分かれて1015分のプレゼンテーションをする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Introducing yourselves to the class in English.
2	Unit 1	Read Unit 1 on Waste and Recycling and understand the content.
3	Unit 1	How do we deal with garbage? What can we do about recycling?
4	Unit 1	Form a small group and discuss about garbage. Summarize what your group have discussed and present it to the class.
5	Unit2	What are endangered species? Why are they endangered and how can we save them?

6	Unit 2	Form a small group and discuss what measures need to be taken to save the endangered species.
7	Unit 2	Summarize what you have discussed and present it to the class.
8	Unit 3	Talking about rainforests. Read about rainforests and why is it important?
9	Unit 3	What is happening to the rainforests now? Why are they being destroyed? Start preparing for the presentation on SDGs.
10	Unit 3	Form a small group and discuss the measures we can take. Summarize what you have discussed and present it to the class.
11	Unit 4	Prepare for the presentation . What is global warming? How did it happen? What are the effects of global warming? What influence does it give us?
12	Unit 4	Prepare for the presentation. Continuation from the previous class. Form a small group and discuss the causes and we can eliminate or reduce them.
13	Presentation	Prepare for the presentation. Presentation
14	Test	Test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Read the units well and understand it.

【テキスト（教科書）】

You, Me and the World
David Peaty
Kinseido

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Your overall grade in the class will be decided based on the following.
Term-end examination 70%
Short reports. 10%
Presentation. 20%
In addition to your overall grade, in principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

To talk more slowly.

【学生が準備すべき機器他】

None

【Outline (in English)】

You have all studied English in junior school, middle school and in high school but in the university, it is not a place just to study grammar or reading. It is a place to enhance your communication skills and to use English as a tool to make use for your specialization.

LANe100LA (英語 / English language education 100)			5	Unit 4	Continuation from the previous class.
English 1 - II					Present the discussion that you had with your group and summarize it and present it to the class.
北原 ルック 明子					
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月 1/Mon.1			6	Unit 6	Read "Developing Countries" and understand it. What are the causes and the solutions in developing countries.
単位数：1 単位					Continuation from the previous class. What are the common problems in developing countries. What is the difference between a short term solution and a long term solution.
その他属性：			7	Unit 6	
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】					
小学校、中学校、そして高校において英語に親しんできたと思われるが大学では一層と英語に親しみ文法、読解を中心とするのではなくコミュニケーションを図りながら英語を道具としてそれぞれの専門分野で生かしていけるようにして行きたい。			8	Unit 6	Continuation from the previous class.
【到達目標】					Form a small group and discuss about the problems existing in the developing countries. Summarize the discussion and present it to the class.
英語で考えられるようにし英語で相手に伝わるようにして行きたい。まず短く簡単な英語でいいので自分の言いたいことを相手に伝えられるようにする。日常の様々なトピックについて自分の知識、経験、意見を口頭で表現していくことをプレゼンテーション、スピーチ、ディスカッションなどを通して練習していく。リーディングに関しては教科書のユニットをよく読み内容を理解していく。ライティングに関してはプレゼンテーションを準備する上で導入部分、メイン、締めをしっかりと順序立ててかけるようにする。また聴く力も養っていききたいと思う。温暖化、気候変動、絶滅危惧種、フードロス、コロナなど様々な私たちが地球にもたらした環境問題をどの様にして解決していけるか、解決できないまでもどの様にしたら減らしていけるかなどを意識して少しでも英語で発信していけるようにする。			9	Adjustment	Adjustment
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			10	Unit 8	Start preparing for the term-end presentation. Think about tourism. Is it good? What are the problems that come with over tourism in Japan.
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2			11	Unit 8	Prepare for the presentation. Continuation from the previous class.
【授業の進め方と方法】					How does eco-tourism influence the local community. Discuss the influence.
教科書である You, Me and the World を中心に授業を進めていく。教科書をよく読み環境問題に関しての問題を考える。教科書に入る前に簡単なリスニングをし耳を英語に慣らしていく。また授業の初めに毎回23人ずつ簡単なスピーチをしてもらう。教科書においてはそれぞれのユニットの課題、問題点などを考えていく。また前の授業の復習をしながらフィードバックをして行く。学期末にはそれぞれグループに分かれて1015分のプレゼンテーションをする。			12	Unit 8	Prepare for the presentation. Continuation from the previous class. Form a small group and discuss what you can do to save the local community. Summarize your discussion and present it to the class.
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					Prepare for the presentation. Presentation
あり /Yes			13	Presentation	
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】			14	Test	Test
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	Presentation	Presentation of the summer holidays homework.			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
2	Studying Severne Suzuki's speech	What does Severne Suzuki want to say in her speech? What is she concerned about the problems we are encountering today, and how will it affect our future?			本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
3	Unit 4	Read "Global Warming". this is a continuation from the spring term. Better understand the causes and the solutions of global warming.			The students will have to read the units and understand it and be able to present their ideas on it.
4	Unit 4	Continuation from the previous class. Form a small group and discuss how we should deal with global warming.			【テキスト（教科書）】
					You, Me and the World
					David Peaty
					Kinseido
					【参考書】
					None
					【成績評価の方法と基準】
					Your overall grade in the class will be decided based on the following.
					Term-end examination 70%
					Short reports. 10%
					Presentation 20%

In addition to your overall grade, in principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

To talk more slowly

【Outline (in English)】

You have all studied English in junior school, middle school and in high school but in the university it is not a place just to study grammar or reading. It is a place to enhance your communication skills and to use English as a tool to make use for your specialization.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - I

2017年度以降入学者

小泉 和弘

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ジャンルを限定せず、4 技能のバランスの良い学習効果を念頭に置きつつ、主としてテキスト上の英語運用能力を養う。情報の受容から発信へのプロセスを重視する。

【到達目標】

英語の文章を正確に、かつ速読や精読など目的に応じた速度で読むことのできる力を養う。また、基本的な英文を書けるようにする。入学時に受けた ELPA の英語プレテスト a のスコアを 10 % 以上上げることが目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

演習形式をとります。まず、CD を聞き、学生に音読してもらい、内容について質問し答えてもらいます。この授業では、課題を課すことがあり、その課題を学生が提出し、そのフィードバックとして教室で課題の解説を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	1 年間の授業の予定、進め方などの説明をする。
第 2 回	Growth and Chapter Development	人間の誕生から死に至るまでのことを学び、そして、本文の練習問題を解く。
第 3 回	Human Body / Chapter Sleep	人間の 8 系統に関してと、睡眠に関して学ぶ。そして、本文の練習問題を解く。
第 4 回	Health and fitness / Chapter Allergies	健康とアレルギーに関して学び、そして、本文の練習問題を解く。
第 5 回	Diseases (1) Chapter	細菌、ウイルス、プリオン等に関して学ぶ。そして、本文の練習問題を解く。
第 6 回	Diseases (2) Chapter	遺伝病、精神病に関して学ぶ。そして、本文の練習問題を解く。
第 7 回	Immunity /AIDS Chapter	免疫とエイズに関して学び、そして、本文の練習問題を解く。
第 8 回	Smoking /Cancer Chapter	喫煙と癌に関して学び、そして、本文の練習問題を解く。
第 9 回	Medicine Chapter	医療に関して学び、そして、本文の練習問題を解く。
第 10 回	Complementary Chapter medicine	補充医療（漢方、整体、鍼灸）に関して学ぶ。そして、本文の練習問題を解く。
第 11 回	First Aids /Doctors Chapter	救急医療と医師に関して学び、そして、本文の練習問題を解く。

第 12 回 Nightingale, Chapter Florence /Nurses

ナイチンゲールと看護師に関して学び、そして、本文の練習問題を解く。

第 13 回 Hospitals Chapter

大学病院に関して学び、そして、本文の練習問題を解く。

12 試験・ま 試験を行う。

試験を行い、その後、試験のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の前には、予習をしておくこと。また、授業が終わったら復習をしておくこと。特に、授業の前に音読をしておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Life and Health (生活と健康) (鳳書房) 1,980 円 (税込み)

【参考書】

Longman Dictionary of Contemporary English (桐原書店)

【成績評価の方法と基準】

試験 80 %, 授業への積極性 20 %, セメスター内で、4 回以上の欠席をした場合には単位取得が不可能になります。

【学生の意見等からの気づき】

気力が感じられる授業を心がけます。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course introduces reading and writing to students taking this course. (Learning Objectives) The goal of this course is to improve your reading and writing. (Learning activities outside of classroom) Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting. (Grading Criteria /Policies) Your overall grade in the class will be decided based on the following : Term-end examination 80 % in the class contribution 20 %

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - II

2017年度以降入学者

小泉 和弘

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ジャンルを限定せず、4技能のバランスの良い学習効果を念頭に置きつつ、主としてテキスト上の英語運用能力を養う。情報の受容から発信へのプロセスを重視する。量を消化することを重視し、論理的思考力・文化・教養・言語知識の習得を行う。

【到達目標】

英文を正しく、早く読めるようにする。また、基本的な英作文を出来るようにする。

入学時に受けたELPAの英語プレスメント a のスコアを20%以上上げることが目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

演習形式をとります。まず、CDを聞いて、学生に英文を読んでもらい、その文章に対して質問をし、学生はその答えをします。この授業では、課題を課すことがあり、その課題を学生が提出し、そのフィードバックとして教室で課題の解説を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回 Chapter 1	味の素株式会社	味の素株式会社の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く
第 2 回 Chapter 2	花王株式会社	花王株式会社の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く
第 3 回 Chapter 3	CYBERDYNE	SYBERDYNEの歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く
第 4 回 Chapter 4	サントリーホールディングス	サントリーホールディングスの歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く
第 5 回 Chapter 5	Spiber 株式会社	Spiber 株式会社の企業の内容と企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く
第 6 回 Chapter 6	セコム株式会社	セコム株式会社の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く
第 7 回 Chapter 7	セブン&アイ・ホールディングス	セブン&アイ・ホールディングスの企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
第 8 回 Chapter 8	大正製薬ホールディングス	大正製薬ホールディングスの歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
第 9 回 Chapter 9	東レ株式会社	東レ株式会社の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
第 10 回 Chapter 10	豊田通商株式会社	豊田通商株式会社の業務内容、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。

第 11 回 Chapter 11	日清食品ホールディングス	日清食品ホールディングスの歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
第 12 回 Chapter 14	ヤマト運輸株式会社	ヤマト運輸株式会社の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
第13回ビデオ	ビデオを学習。	ビデオ学習をする。
第 14 回 試験・まとめ	試験を行う。	試験を行い、その後、試験のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の前には、予習をしておくこと。授業の後には、復習をしておくこと。また、授業のまえには、英文の音読をしておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Leading the Way: Major Countries Corporation (南雲堂) 2,000円+税

【参考書】

Longman Dictionary of Contemporary English 桐原書店

【成績評価の方法と基準】

試験 80%、授業への積極性 20%、1セメスターで4回以上の欠席をした場合は、単位取得が不可能になります。

【学生の意見等からの気づき】

気力を感じられる授業をするように心がけます。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course introduces reading and writing to students taking this course. (Learning Objectives) The goal of this course is to improve your reading and writing. (Learning activities outside of classroom) Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting. (Grading Criteria /Policies) Your overall grade in the class will be decided based on the following : Term-end examination 80 % in the class contribution 20 %

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - I2017年度以降入学者

吉江 秀和

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな時事記事を取り上げたテキスト『世界を読むメディア英語入門 2025 Insights 2025』の英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、包括的に英語学習をすすめていきます。その際に、英文の概訳ではなく、構文を意識した読解力を身につけていくとともに、関連する内容を確認することで英文をより深く理解する方策を身につけていきます。また、テキストの設問や確認テストを通じて、英文のライティングをおこないます。

【到達目標】

- テキストの読解を通じて以下のことを目標とする。
- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
 - ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
 - ③リスニングを繰り返すことにより、英語の聞き取りの力をつける。
 - ④テキストの設問や確認テストを通じて、英文のライティング力をつける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキスト『世界を読むメディア英語入門 2025 Insights 2025』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、予習の段階で構文の理解をより深めるための作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。実施した確認テストの採点・返却後、授業内で全体に対しておこなう解説、テストに記載された個々へのコメントや評価などのフィードバックや、自分で予習したものを活用して自分の理解度を確認して改めて復習をしてもらいます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	学習のやり方や授業の進め方など、授業を受けるうえでの注意点の説明をします。
2	Chapter 1	Reinvented Kimono for the Reiwa Era
3	Chapter 2	The Rise of Harvesting Robots
4	Chapter 3	Talking about Telephobia
5	Chapter 4	Toward a Carbon-free Society
6	Chapter 5	Honoring Ancestors Online
7	Chapter 6	Karakurist!
8	Chapter 7	Creating Community Currencies
9	Chapter 8	Birth of a Wooden Satellite
10	Chapter 9	It's Okay to Be Different
11	Chapter 10	Drought Dries the Amazon
12	テキスト以外の英文 講読①	世界の文化に関連する内容
13	テキスト以外の英文 講読②	世界の社会に関連する内容

14 期末試験・まとめ 今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方・提出については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

村尾純子、深山晶子、辻本智子、横山香奈、Christopher Cladis『世界を読むメディア英語入門 2025 Insights 2025』金星堂、2025年、2,200円＋税

【参考書】

必要の際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）と期末試験（80%）から総合的に評価。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのかが分かったりするものを用意してください（主要な動詞がどの文型をとるのが示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです）。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Reading current news in the textbook “Insights 2025” which consists of 20 stories about global topics, students primarily learn how to read the sentences correctly. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each unit, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the unit. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 80%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - II

2017年度以降入学者

吉江 秀和

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな時事記事を取り上げたテキスト『世界を読むメディア英語入門2025 Insights 2025』の英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、包括的に英語学習をすすめていきます。その際に、英文の概訳ではなく、構文を意識した読解力を身につけていくとともに、関連する内容を確認することで英文をより深く理解する方策を身につけていきます。また、テキストの設問や確認テストを通じて、英文のライティングをおこないます。

【到達目標】

テキストの読解を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③リスニングを繰り返すことにより、英語の聞き取りの力をつける。
- ④テキストの設問や確認テストを通じて、英文のライティング力をつける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキスト『世界を読むメディア英語入門2025 Insights 2025』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、予習の段階で構文の理解をより深めるための作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。実施した確認テストの採点・返却後、授業内で全体に対しておこなう解説、テストに記載された個々へのコメントや評価などのフィードバックや、自分で予習したものを活用して自分の理解度を確認して改めて復習をもらいます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 11	Japanese Literature Boom in Britain
2	Chapter 12	Stand up If You Want to Live Longer
3	Chapter 13	Unionizing the Magic of Disney
4	Chapter 14	Future-Focused Aquaculture Business
5	Chapter 15	Hands-on Instruction Impresses Class
6	Chapter 16	Fusing Japanese and Peruvian Flavors
7	Chapter 17	Special Days off from School
8	Chapter 18	Smart Trash Cans Solving Problems
9	Chapter 19	Bridging Brains and Computers
10	Chapter 20	Tech Rescues Endangered Languages

11	テキスト以外の英文 講読①	世界の文化に関連する内容
12	テキスト以外の英文 講読②	世界の社会に関連する内容
13	テキスト以外の英文 講読③	世界の政治に関連する内容
14	期末試験・まとめ	今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方・提出については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

村尾純子、深山晶子、辻本智子、横山香奈、Christopher Cladis『世界を読むメディア英語入門2025 Insights 2025』金星堂、2025年、2,200円＋税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）と期末試験（80%）から総合的に評価。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのか、が分かたりするものを用意してください（主要な動詞がどの文型をとるのか、が示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです）。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Reading current news in the textbook “Insights 2025” which consists of 20 stories about global topics, students primarily learn how to read the sentences correctly. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each unit, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the unit. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 80%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - I

2017年度以降入学者

今井 澄子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会のさまざまなトピックに関するアカデミックな英文 Essay 読解を通して Active Reading と Critical-thinking のスキルを身につけ、大学生に必要な英語力を養成する。

【到達目標】

800 語程度の英文 Essay を読み、アカデミックな現代英語の論理展開や書き方を知る。テキスト英文は標準的な構文・文法にのっとり、大学生として知る必要のあるメディアや学問レベルの語彙を使って書かれているので、これを読むことで望ましい英語の文体が身に付き、ヴォキャブラリー強化ができる。語彙問題や内容理解のための設問も豊富なので、問題を解きながら正しく内容を捉える。また、Listening&Dictation 問題を通して音声による英語を理解する。読解内容に対して英語でコメントを書くが、まずは 1 パラグラフの要約やショートコメントから始め、複数パラグラフによる英文 Essay 形式で自分の考えを述べることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回授業初めにリスニング小テストを行い、その後に読解に入る。英文の音読・日本語訳、語彙・内容把握問題を課すので、必ずこなすこと。英文読解後は関連する内容の Listening&Dictation を行う。また、要約やコメントの英文 Writing を随時行い、添削指導する。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Listening, Active Reading と Critical Thinking について	Lesson 1 Language を解説しながら、テキスト構成、授業内容、評価等に関する説明を行う
第2回	Listening 小テスト 1	Ceremony 聴解
	Lesson 3 Higher Education	Can the Humanities be Saved? 英文読解、コメント Writing
第3回	Listening 小テスト 2	School Life 聴解
	Lesson 3 Higher Education	Can the Humanities be Saved? 語彙問題と Listening&Dictation
第4回	Listening 小テスト 3	Transportation 聴解
	Lesson 2 Social Psychology	How Far Will People Go? 英文読解、コメント Writing
第5回	Listening 小テスト 4	Outdoor Activities 聴解
	Lesson 2 Social Psychology	How Far Will People Go? 語彙問題と Listening&Dictation
第6回	Listening 小テスト 5	Weather 聴解
	Lesson 4 Musical Theater	Yellowface 英文読解、コメント Writing

第7回	Listening 小テスト 6	Holiday Plans 聴解
	Lesson 4 Musical Theater	Yellowface 語彙問題と Listening&Dictation
第8回	Listening 小テスト 7	Resort Area 聴解
	Lesson 5 The Environment	Meeting Mankind's Greatest Challenge 英文読解、コメント Writing
第9回	Listening 小テスト 8	Job Experience 聴解
	Lesson 5 The Environment	Meeting Mankind's Greatest Challenge 語彙問題と Listening&Dictation
第10回	Listening 小テスト 9	Summer Sale 聴解
	環境問題の英文読解	追加プリントによる英文読解
第11回	Listening 小テスト 10	Restaurant 聴解
	Lesson 6 Anthropology/Paleontology	Not So Stupid After All 英文読解、コメント Writing
第12回	Listening 小テスト 11	Review Test1・2 聴解
	Lesson 6 Anthropology/Paleontology	Not So Stupid After All 語彙問題と Listening&Dictation
第13回	パラグラフ論理展開学習	Paragraph Writing を通して英語の論理展開を学ぶ
第14回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキスト英文は全員参加で読んでいく。また、テキスト英文の構文は難解というわけではないが、語彙はレベルが高く、授業内容を十分に理解するためには辞書で単語を調べながら英文を読んでいくことが必要。教科書にある Listening&Dictation 問題音声は、インターネット上でダウンロードし、事前に聴くことができる。なお、リスニング小テストは毎回行うが、特に準備は必要ない。Writing も授業中に行うため自宅に持ち帰る必要はない。

【テキスト（教科書）】

Readers' Forum 3 ACTIVE ENGLISH: Readings in the Liberal Arts and Humanities. 南雲堂

Practical Situations for the TOEIC® Test Listening. 成美堂

【参考書】

特に指定しないが、必ず英和辞書を使うこと。授業にも毎回辞書を持参すること。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、Writing・和訳などの課題 20% を原則とする。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点とし、60% 以上の得点で合格。授業初めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも 0 点となる。課題を遂行しない、担当があるのに無断欠席などは課題点がマイナスになる。欠席が 4 回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

教科書が英語のみで日本語がないため不安だという意見があった。各 Lesson 初めにある単語の問題は、事前に解答・解説を行ってから英文読解に入るので心配はいらない。練習問題の英語で書かれた問題文も、授業中に訳して何をするかを説明しながら実施する。

【Outline (in English)】

This class focuses on reading of academic English essays. The genre of topics of these essays are various such as language, social psychology, higher education, the environment, neuroscience, technology, cybercrime, and so on, which are based on the interest or a problem of our present day society. Each essay has around eight hundred words, is written in a high level of academic and literate English which has a complex sentence structure and syntax, and includes difficult vocabulary. Reading these essays enables students to have both active reading and critical thinking skill and they can acquire English proficiency sufficient as a university student. Additionally, writing a comment is another important task of this class and every student is required to write a comment in English after reading every essay. Beginning from writing a short paragraph, the final goal is writing an essay composed of more than at least three paragraphs, which enables students to cultivate academic writing skill enough to write a short report in the future. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing score 10%, and in class contribution 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - II

2017年度以降入学者

今井 澄子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会のさまざまなトピックに関するアカデミックな英文 Essay 読解を通して Active Reading と Critical-thinking のスキルを身につけ、大学生に必要な英語力を養成する。

【到達目標】

800 語程度の英文 Essay を読み、アカデミックな現代英語の論理展開や書き方を知る。テキスト英文は標準的な構文・文法にのっとり、大学生として知る必要のあるメディアや学問レベルの語彙を使って書かれているので、これを読むことで望ましい英語の文体が身に付き、ヴォキャブラリー強化ができる。語彙問題や内容理解のための設問も豊富なので、問題を解きながら正しく内容を捉える。また、Listening&Dictation 問題を通して音声による英語を理解する。読解内容に対して英語でコメントを書くが、まずは1パラグラフの要約やショートコメントから始め、複数パラグラフによる英文 Essay 形式で自分の考えを述べることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回授業初めにリスニング小テストを行い、その後に読解に入る。英文の音読・日本語訳、語彙・内容把握問題を課すので、必ずこなすこと。英文読解後は関連する内容の Listening&Dictation を行う。また、要約やコメントの英文 Writing を随時行い、添削指導する。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Listening 小テスト 1 Lesson 7 Neuroscience	Restaurant 聴解 Mapping the Brain 英文読解、コメント Writing
第2回	Listening 小テスト 2 Lesson 7 Neuroscience	Arts & Entertainment 聴解 Mapping the Brain 語彙問題と Listening&Dictation
第3回	Listening 小テスト 3 Lesson 8 Military History	Sports Events 聴解 No Shoot! 英文読解、コメント Writing
第4回	Listening 小テスト 4 Lesson 8 Military History	Having a Party 聴解 No Shoot! 語彙問題と Listening&Dictation
第5回	Listening 小テスト 5 Lesson 9 Technology	Health 聴解 The Reality of Virtual Reality 英文読解、コメント Writing
第6回	Listening 小テスト 6 Lesson 9 Technology	Christmas 聴解 The Reality of Virtual Reality 語彙問題と Listening&Dictation

第7回	Listening 小テスト 7 Lesson 10 Literature	Cleanup 聴解 The Man Who Re-invented Christmas 英文読解、コメント Writing
第8回	Listening 小テスト 8 Lesson 10 Literature	Our Traditions & Customs 聴解 The Man Who Re-invented Christmas 語彙問題と Listening&Dictation
第9回	Listening 小テスト 9 Lesson 11 Art Appreciation	Examinations 聴解 Accounting for Taste 英文読解、コメント Writing
第10回	Listening 小テスト 10 Lesson 11 Art Appreciation	Housing 聴解 Accounting for Taste 語彙問題と Listening&Dictation
第11回	Listening 小テスト 11 Lesson 12 Cybercrime	Review Test3・4 聴解 The Dark Tetrad 英文読解、コメント Writing
第12回	Lesson 12 Cybercrime 英文エッセイの構成と書き方	The Dark Tetrad 語彙問題と Listening&Dictation プリントによる説明
第13回	エッセイ論理展開学習	読んだものへの意見を述べる Essay Writing を通して英語長文の論理展開を学ぶ
第14回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキスト英文は全員参加で読んでいく。また、テキスト英文の構文は難解というわけではないが、語彙はレベルが高く、授業内容を十分に理解するためには辞書で単語を調べながら英文を読んでいくことが必要。教科書にある Listening&Dictation 問題音声は、インターネット上でダウンロードし、事前に聴くことができる。なお、リスニング小テストは毎回行うが、特に準備は必要ない。Writing も授業中に行うため自宅に持ち帰る必要はない。

【テキスト（教科書）】

Readers' Forum 3 ACTIVE ENGLISH: Readings in the Liberal Arts and Humanities. 南雲堂

Practical Situations for the TOEIC® Test Listening. 成美堂

【参考書】

特に指定しないが、必ず英和辞書を使うこと。授業にも毎回辞書を持参すること。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、Writing・和訳などの課題 20% を原則とする。よって、評価点は試験 60点、平常点 40点の合計 100点とし、60%以上の得点で合格。授業初めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも0点となる。課題を遂行しない、担当があるのに無断欠席などは課題点がマイナスになる。欠席が4回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

教科書が英語のみで日本語がないため不安だという意見があった。各 Lesson 初めにある単語の問題は、事前に解答・解説を行ってから英文読解に入るので心配はいらない。練習問題の英語で書かれた問題文も、授業中に訳して何をするかを説明しながら実施する。

【Outline (in English)】

This class focuses on reading of academic English essays. The genre of topics of these essays are various such as language, social psychology, higher education, the environment, neuroscience, technology, cybercrime, and so on, which are based on the interest or a problem of our present day society. Each essay has around eight hundred words, is written in a high level of academic and literate English which has a complex sentence structure and syntax, and includes difficult vocabulary. Reading these essays enables students to have both active reading and critical thinking skill and they can acquire English proficiency sufficient as a university student. Additionally, writing a comment is another important task of this class and every student is required to write a comment in English after reading every essay. Beginning from writing a short paragraph, the final goal is writing an essay composed of more than at least three paragraphs, which enables students to cultivate academic writing skill enough to write a short report in the future. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing score 10%, and in class contribution 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - I

2017年度以降入学者

根本 怜奈

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「ネット文化」・「科学技術」・「旅行」・「ファッション」・「流行」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力、文法力を高めることを目指す。
2. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
3. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。
4. 授業内での発表を通して、自分の意見を聞き手に伝えるプレゼンテーション能力の基礎を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。単語・熟語・文法・文章構造等を確認しながら、英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。語彙表現の小テストを実施するので、語彙の定着のために、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Chapter が3つか4つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出および授業内で発表をする。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。授業内での発表については、授業内でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明
第2回	Chapter 1	Fake Online Reviews
第3回	Chapter 2	Could I Become a YouTuber?
第4回	Chapter 3	Selling Viral Videos Makes Big Money
第5回	Chapter 1 ～ Chapter 3 のまとめ	Chapter 1 ～ Chapter 3 の中のいずれかについて、ライティングと授業内発表
第6回	Chapter 4	Retro Video Games Become Popular Again
第7回	Chapter 5	Why Don't We Ask Siri?
第8回	Chapter 6	Uncanny Valley
第9回	Chapter 7	Toddlers and Technology
第10回	Chapter 4 ～ Chapter 7 のまとめ	Chapter 4 ～ Chapter 7 の中のいずれかについて、ライティング
第11回	Chapter 8	No More Game-Changing Technology?
第12回	Chapter 9	Waiting in Line for Delicious New Food
第13回	Chapter 10	Sympathy for the Delivery Man
第14回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各Chapterの英文について、必ず予習をすること。
語彙表現の復習小テストを実施するので、復習もしっかりすること。
語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Trend Watching 2 (『もっと知りたい！社会のいま2』)(Jonathan Lynch 他著、成美堂、1,900円(税別))
配布プリントで授業を行うことがある。
英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験(50%)、授業態度・授業内に課した課題(ライティング課題の提出と発表を重視)や小テストと各回のコメントを含む平常点(50%)によって総合的に評価する。
4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。
授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。遅刻2回は欠席1回分としてカウントする。
スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

英作文のクラス内発表を通して、クラスメイトの意見や発表の仕方を参考にしよう促す。英作文や小テストなどの課題において、テキスト内で出てきた語彙や表現の使用・応用を呼びかけることで予習・復習の時間をしっかりとるよう促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson. Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions
5. Learn basic skills of presentation.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - II

2017年度以降入学者

根本 怜奈

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「ネット文化」・「科学技術」・「旅行」・「ファッション」・「流行」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。春学期よりも量を重視し、速読演習も取り入れる。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力、文法力を高めることを目指す。
2. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
3. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。
4. 授業内での発表を通して、自分の意見を聞き手に伝えるプレゼンテーション能力の基礎を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。単語・熟語・文法・文章構造等を確認しながら、英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。語彙表現の小テストを実施するので、語彙の定着のために、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Chapter が3つか4つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出および授業内で発表をする。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。授業内での発表については、授業内でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	パラグラフ・リーディングと速読演習
第2回	Chapter 11	Black Friday
第3回	Chapter 12	Graduation Trips
第4回	Chapter 13	Aspects of Sneaker Culture
第5回	Chapter 11 ~ Chapter 13 のまとめ	中のいずれかについて、ライティングと授業内発表
第6回	Chapter 14	The Union Jack as Fashion Symbol
第7回	Chapter 15	Trends in Fitness
第8回	Chapter 16	Smart Rings
第9回	Chapter 17	Photogenicity
第10回	Chapter 14 ~ Chapter 17 のまとめ	中のいずれかについて、ライティング
第11回	Chapter 18	Stress Relief
第12回	Chapter 19	Young Women Turn to Gaming
第13回	Chapter 20	Young People and Criticism
第14回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各Chapter の英文について、必ず予習をすること。

語彙表現の復習小テストを実施するので、復習もしっかりすること。語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Trend Watching 2 (『もっと知りたい！社会のいま2』) (Jonathan Lynch 他著、成美堂、1,900円(税別))

配布プリントで授業を行うことがある。

英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 (50%)、授業態度・授業内に課した課題 (ライティング課題の提出と発表を重視) や小テストと各回のコメントを含む平常点 (50%) によって総合的に評価する。

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。遅刻2回は欠席1回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

英作文のクラス内発表を通して、クラスメイトの意見や発表の仕方を参考にしよう促す。英作文や小テストなどの課題において、テキスト内で出てきた語彙や表現の使用・応用を呼びかけることで予習・復習の時間をしっかりとるよう促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions
5. Learn basic skills of presentation.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - I

2017年度以降入学者

舟橋 美香

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界や日本の最近の動向についての文を読み、現代の問題を理解し、英語の読解力を養う。英語の単語を読むということは、正しい発音ができることを含む。きちんとした発音と単語の意味を身につけながら、英文の読解力を身につける。また、各 Unit の最後の Exercise をきっかけに、自分の考えを英語で書くことができる能力を養う。

【到達目標】

本授業の到達目標は、受講生が、英語を正しく発音し、英文の内容を日本語できちんと理解できる力を身につけることである。また、各 Unit の最後の What Do You Think? のコーナーで、自分の考えを英語で書くことができる能力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

CDでテキストの音読を聞き、リピートすることから始め、理解できているか確認するために、アットランダムに学生を指し、教科書の英文を読み、日本語訳をしたり、口頭で問題に答えてもらう。課題を課す場合は、学習支援システム（Webclass）に提出してもらい、フィードバックとして、Webclassより返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	<オリエンテーション>	テキストの説明、テキストのどこを予習すべきかなどについて授業の進め方、成績の出し方、予習の仕方などを説明。
2	Unit 1 100-Yen Shops: Still going strong	日本の100円ショップ：絶好調の理由について学ぶ。万が一、テキストがまだない人は、「学習支援システム（Webclass）」に置いてある教材を参照してください。また、前期の最後の授業と、後期の最初の授業で読むUnitを決めるために、提出期限内に、テキストの後半から一つ読みたいUnitを選び、「学習支援システム（Webclass）」の「アンケート」として回答してもらう。
3	Unit 2 Work-Life Balance: Do it like the Germans	日本の100円ショップ：絶好調の理由について学ぶ。万が一、テキストがまだない人は、「学習支援システム（Webclass）」の教材を利用するように。
4	Unit 3 Lasting the Ages: Japan's 200-year-old companies	仕事と生活のバランス：ドイツ人を見習え。
5	Unit 5 Remote Work: A new way to live and work	創業200年の日本企業について学ぶ。
		リモートワークについて学ぶ。

6	Unit 6 Tricks of the Trade: How companies get us to spend	商売の秘訣、企業はどのように私たちの購買意欲を刺激するか、について学ぶ。
7	Unit 7 The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body	ゲーマーの秘密の生涯、自分の体から脱出した少年について学ぶ。
8	Unit 8 Social Media: Big tech's addiction to addiction	ソーシャルメディア、依存させて利益を得るテクノロジー会社について学ぶ。
9	Unit 9 Super Solos: Catering to Japan's singletons	日本の一人客の需要について学ぶ。
10	Unit 10 Happiness: What is the secret?	幸福、秘訣は何かについて学ぶ。
11	Unit 11 Dialects: How English is spoken across the world	方言、英語は世界中でどのように話されているかについて学ぶ。
12	残りの Units の中から、学生が読みたいUnitを読む（一回目の授業後に、学習支援システム上でアンケートをとって、決める。）	どのUnitになるかは分からないので、明言できない。
13	残りの Units の中から、学生が読みたいUnitを読む。（一回目の授業後に、学習支援システム上でアンケートをとって、決める。）	どのUnitになるかは分からないので、明言できない。
14	総括	まとめと解説・試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。辞書を使ってリーディング部分を読み、問題を解いておく。読むということは、正しい発音ができることを含む。読めなかった単語については、復習して、しっかり身につける。

【テキスト（教科書）】

Dave Rear『Understanding the World Today』成美堂

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

最後の授業に行う試験を70%、通常点を30%で計算する。課題の未提出（もし実施した場合）、最後のテストの未受験、欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

辞書
テキスト

【Outline (in English)】

Through reading a text called *Understanding the World Today*, the object of this class is to develop English reading & writing skills and to understand today's issues.

Study the textbook, especially each reading section, using a dictionary before and after each class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

The grade is given from the total of class activity 30% and the final exam 70%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
English 1 - II		2017年度以降入学者
舟橋 美香		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月 1/Mon.1		
単位数：1単位		
その他属性：		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		
英語圏のさまざまな地域を取り上げたテキストを読みながら、英語の読解力アップを目指すと同時に、英語を第1言語として話している国について、大学生として必要な知識・認識を身につける。また、多彩なリーディングの形式のリーディングを読むコツも身につける。英語の単語を読むということは、正しい発音ができることを含む。きちんとした発音と単語の意味を身につけながら、英文の読解力を身につける。Reading は、CD で、正しい読みをリピートすることから始め、テキストの問題に答え、リスニング問題で、各Chapterのテーマの定着を図る。また、英語で文章を書く練習を行い、英語でのライティング能力を養う。		
【到達目標】		
本授業の到達目標は、受講生が、英語を正しく発音し、英文の内容をきちんと理解できる力を身につけることである。また、英語がどのように世界で話されるようになったのか、現在、英語が話されている国々について、大学生として必須の知識を身につける。リスニングセクションにおいて、リスニング能力の充実を図り、内容理解を深める。Reading のセクションを全部訳すのではなく、問題を解くことにより、内容を把握できるような読解力を養う。また、Vocabulary の Part 3 をきっかけに、各 Chapter の Target Words をきっかけに、英語で文章を書く練習を行い、英語でのライティング能力を養う。		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2		
【授業の進め方と方法】		
各授業で予習をしてきたことを確認するため、Warm-up から始め、Reading の部分を、CD の後について、正しく声を出して読む。その後、各章の読解を確認する問題を解いていきます。順不同に学生を差してやってもらい、難しい箇所は説明を加えていきます。各Chapterの最後に置かれているListeningで、聞き取る能力も上達させ、各々のChapterで取り上げている内容の理解を定着させる。また、VocabularyのPart3をきっかけに、各ChapterのTarget Wordsを使って、英語で文章を書く練習を行い、英語でのライティング能力も養う。課題を学習支援システム（Webclass）に提出する場合は、Webclassから、採点し、コメントを付けて返却する。授業内に、紙で提出の場合は、次回以降の授業で、採点したものを返却する。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】		
あり /Yes		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】		
なし /No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
1回目	前期のテキストの続き;学生が読みたい前期のテキストの残り	前期のテキストの続き、内容は、前期に学生にアンケートをとって決めてある。後期のテキストを手配しておく。
	(前期にどの章を読むかは決定済み)。	
2回目	Chapter 1 Introduction: Exploring Language and Culture.	世界で話されている言語についてWarm-up し、英語はどのように変化しつつあるか、また、その背景について学ぶ。
3回目	Chapter 2 The UK: Tradition and Change	日本語で「英国」「イギリス」と呼んでいる国についての基礎知識をWarm-upなどで確認し、日記形式の英文でthe UKについて学ぶ。
4回目	Chapter 3 Ireland: Religions and Holidays	アイルランドについて学ぶ。また、宗教についての基礎知識も学べる章となっている。
5回目	Chapter 4 Nigeria: Film and Food	ナイジェリアの基礎知識をWarm-upで確認し、Readingで、ナイジェリアの映画産業と食べ物を中心に学ぶ。
6回目	Chapter 5 South Africa: Resources and Identity	南アフリカの基礎知識をWarm-upで確認し、Readingで、現在に至るまでの歴史について学び、racismの問題について学ぶ。
7回目	Chapter 6 New Zealand: Art and Tourism	ニュージーランドの基礎知識をWarm-upで確認し、テキストのReadingは、広告用のflyerの形式なので、この形式の文章の読み方のコツも身につける。
8回目	Chapter 7 Australia: Stories and People	オーストラリアの基礎知識をWarm-upで確認し、テキストのReadingは、スライドショーの形式なので、このタイプの英文の読み方を学びながら、オーストラリアのアボリジニ文化について学ぶ。
9回目	Chapter 8 World Englishes: A Colonial Past	Warm-upで、英語が世界のどの区域、国で、どのように話されているか確認してから、4つの短い文章から、単語を「スキャン」し、グループディスカッションする。
10回目	Chapter 9 Singapore: Social Life and Laws	シンガポールの基礎知識をWarm-upで確認し、テキストのReadingは、雑誌記事なので、そのような文章を速読で大まかに理解する方法を、問題を解くことで学ぶ。
11回目	Chapter 10 India: Gender and Equality	インドについての基礎知識をWarm-upで確認し、テキストのReadingで、インドの現状を学び、日本との比較のディスカッションにつなげたい。
12回目	Chapter 11 The Philippines: History and War	フィリピンの基礎知識をWarm-upで確認し、テキストのReadingで、フィリピンの住民である日本人の抱える問題を考察する。
13回目	Chapter 12 Jamaica: Music and Cuisine	ジャマイカの基礎知識をWarm-upで確認し、テキストのReadingは、パンフレットの英文なので、そのような簡易な英語で書かれた文章を速読するコツを身につける。
14回目	復習 まとめ テスト 解説	復習／まとめを行う。テストに備えて、学期内で行なった課の復習をしておく。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。テキストの予習復習をする。予習は、**Warm-up**、**Reading** とその読解問題、**Vocabulary** の部分。**Warm-up** はインターネットを利用して知識を確認する問題を解き、**Reading** は、辞書を活用して読み、読後、忘れないうちに、**Comprehension Questions** を解いておく。リスニングの部分を、授業中に流す時だけでは問題に答えられない場合は、テキスト会社のサイトから音声ダウンロードをして、予習・復習に活用してほしい。**Vocabulary** の **Part 3: Focus on Use** で、自分で英文を書いておく。

【テキスト（教科書）】

Jesse Elam, Dawn Grimes-MacLellan, JA Kusaka, Dax Thomas 『*Intercultural Pathways to the English-speaking World*』（松柏社）

【参考書】

授業中に指示

【成績評価の方法と基準】

平常点を30%、最後のテストを70%で計算します。

最後のテスト未受験、欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【Outline (in English)】

Through reading a textbook called *Intercultural Pathways to the English-speaking World*, the object of this class is to develop English reading & writing skills and getting more knowledge about several countries whose first language is English, as well as understanding how English has come to be spoken in the world and how different it is used in each country. Study textbook, especially each reading section, using a dictionary before and after each class. Also, through listening section, students can develop their listening skills. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The grade is given from the total of class activity 30% and the final exam 70%. In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)			4	Unit 1	Continuation from the previous class.
English 1 - I					What can we do if our incinerator is old and emits dioxin. Also at the same time, the landfill is full. Think of a solution.
北原 ルック 明子					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月2/Mon.2			5	Unit 2	Read "Endangered Animals"
単位数：1単位					Why are some animals, plants, fish. etc becoming endangered or extinct.
その他属性：			6	Unit 2	Continuation from the previous class.
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】					Form a small group and discuss. What are the reasons of the living creatures' extinction or they being endangered. Think of how much Human being is playing a part in this and why.
小学校、中学校、そして高校において英語に親しんできたと思われるが大学では一層と英語に親しみ文法、読解を中心とするのではなくコミュニケーションを図りながら英語を道具としてそれぞれの専門分野で生かしていけるようにして行きたい。			7	Unit 2	Continuation from the previous class. form a small group and discuss why endangered species should be protected. Summarize and present your discussion in class.
【到達目標】			8	Unit 3	Think of what is happening in the rainforests. Why are rainforests important.
英語で考えられるようにし英語で相手に伝わるようにして行きたい。まず短く簡単な英語でいいので自分の言いたいことを相手に伝えられるようにする。日常の様々なトピックについて自分の知識、経験、意見を口頭で表現していくことをプレゼンテーション、スピーチ、ディスカッションなどを通して練習していく。リーディングとライティングを中心としながら教科書のユニットをよく読み内容を理解していく。ライティングに関してはプレゼンテーションを準備する上で導入部分、メイン、締めをしっかりと順序立ててかけるようにする。また聴く力も養っていきたいと思う。温暖化、気候変動、絶滅危惧種、フードロス、コロナなど様々な私たちが地球にもたらした環境問題をどの様にして解決していけるか、解決できないまでもどの様にしたら減らしていけるかなどを意識して少しでも英語で発信していけるようにする。			9	Unit 3	Continuation from the previous class. Discuss the importance of rainforests and summarize what you have discussed. Present it to the class.
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			10	Unit 3	Start preparing for the term-end presentation. Continuation from the previous class. What are the causes of rainforests disappearing . What happens when rainforests disappears? Prepare for the presentation.
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2			11	unit 3	Continuation from the previous class. Form a small group and discuss the importance of rainforests. Summarize the discussion and present it to the class. Prepare for the presentation.
【授業の進め方と方法】					
教科書である You,Me and the World を中心に授業を進めていく。教科書をよく読み環境問題に関しての問題を考える。教科書に入る前に簡単なリスニングをし耳を英語に慣らしていく。また授業の初めに毎回23人ずつ簡単なスピーチをしてもらう。教科書においてはそれぞれのユニットの課題、問題点などを考えていく。先進国の開発途上国への影響をかんがえる。また前の授業での復習をしながらフィードバックをして行く。学期末にはそれぞれグループに分かれて10 15分のプレゼンテーションをする。			12	Adjustment	Adjustment.
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】			13	Presentation	Prepare for the presentation. Presentation.
あり/Yes			14	Test	Explain the presentation using power point. Test
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし/No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	Introduction	Introducing yourselves to the class in English.			
2	Unit 1	What is happening with our garbage? Think about how we are dealing with our garbage. How much garbage do we throw away each week? Are we doing anything for the environment?			
3	Unit 1	What do you we do with our garbage? What can we do with what we cannot throw away as garbage?			
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】					
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Students are required to read the unit well and to understand the content.					
【テキスト（教科書）】					
You,Me and the World					
David Peaty					
Kinseido					
【参考書】					
None					

【成績評価の方法と基準】

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination. 70%

Short reports. 10%

Presentation. 20%

In addition to your overall grade, in principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

To talk more slowly.

【学生が準備すべき機器他】

None

【Outline (in English)】

You have all studied English in junior school, middle school and in high school but in the university it is not a place just to study grammar or reading. It is a place to enhance your communication skills and to use English as a tool to make use for your specialization.

LANe100LA (英語 / English language education 100)			4	Unit 4	Continuation from the previous class. Form a small group and discuss how we should deal with global warming.
English 1 - II					
2017年度以降入学者					
北原 ルック 明子			5	Unit 4	Continuation from the previous class. Present the discussion that you had with your group and summarize it and present it to the class.
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月2/Mon.2					
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			6	Unit 6	Read "Developing Countries" and understand it. What are the causes and the solutions in developing countries.
1992年に Severne Suzuki がリオの会議で発表したものも読んで行きたいと思う。			7	Unit 6	Continuation from the previous class. What are the common problems in developing countries. What is the difference between a short term solution and a long term solution.
春学期で学んだことをもとに秋学期では環境問題により一層深く取り組んでく。そして自分たちにはないが出来るかを探っていく。コミュニケーションを図りながら英語を道具としてそれぞれの専門分野で生かしていけるようにして行きたい。			8	Unit 6	Continuation from the previous class. Form a small group and discuss about the problems existing in the developing countries. Summarize the discussion and present it to the class.
【到達目標】			9	Adjustment	Adjustment Start preparing for the term-end presentation
英語で考えられるようにし英語で相手に伝わるようにして行きたい。まず短く簡単な英語でいいので自分の言いたいことを相手に伝えられるようにする。リーディングに関しては教科書の各ユニットをよく読み日常の様々なトピックについて自分の知識、経験、意見を口頭で表現していけるようにしプレゼンテーション、スピーチ、ディスカッションなどをする。ライティングに関してはプレゼンテーションを準備する上で導入部分、メイン、締めをしっかりと整理をして順序立ててかけるようにする。また聴く力も養っていききたいと思う。温暖化、気候変動、絶滅危惧種、フードロス、コロナなど様々な私たちが地球にもたらした環境問題をどの様にして解決していけるか、解決できないまでもどの様にしたら減らしていけるかなどを意識して少しでも英語で発信していけるようにする。コロナに関してどのように開発途上国にワクチンが行き渡るのかをも考えていきたいと思う。またそれぞれが興味のある環境問題に対してプレゼンテーションを行う。			10	Unit 8	Think about tourism. Is it good? What are the problems that come with over tourism in Japan. Preparing for the presentation
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			11	Unit 8	Continuation from the previous class. How does tourism affect the local community. Prepare for the presentation.
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2			12	Unit 8	Continuation from the previous class. What are the problems caused by the tourists to the local community. Discuss and summarize what you have discussed and present it to the class.
【授業の進め方と方法】					
教科書である You, Me and the World を中心に授業を進めていく。教科書をよく読み環境問題に関しての問題を考える。教科書に入る前に簡単なリスニングをし耳を英語に慣らしていく。また授業の初めに毎回23人ずつ簡単なスピーチをしてもらう。教科書においてはそれぞれのユニットの課題、問題点などを考えていく。また前の授業の復習をしながらフィードバックをして行く。学期末にはそれぞれグループに分かれて1015分のプレゼンテーションをする					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】			13	Presentation	Prepare for the presentation. Presentation
あり /Yes			14	Test	Term-end examination
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	Presentation	Presentation of the result of the questionnaire to the foreigners during the summer holidays.			
2	Studying Severne Suzuki's speech	What does Severne Suzuki want to say in her speech? What is she concerned about the problems we are encountering today, and how will it affect our future?			
3	Unit 4	Read "Global Warming". this is a continuation from the spring term. Better understand the causes and the solutions of global warming.			
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】					
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Read the units in the text book well and understand it.					
【テキスト（教科書）】					
You, Me and the World					
David Peaty					
Kinseido					
【参考書】					
None					
【成績評価の方法と基準】					
Your overall grade in the class will be decided on the following. Term-end examination 70%					

Short reports 10%

Presentation 20%

In addition to your overall grade, in principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

To speak more slowly.

【Outline (in English)】

Learning Objectives; Continuing from the spring term, we will be reading Severne Suzuki's speech and understand what she is trying to say and think what we can do for the environment.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - I

2017年度以降入学者

小泉 和弘

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ジャンルを限定せず、4技能のバランスの良い学習効果を念頭に置きつつ、主としてテキスト上の英語運用能力を養う。情報の受容から発信へのプロセスを重視する。

【到達目標】

英語の文章を正確に、かつ速読や精読など目的に応じた速度で読むことのできる力を養う。また、基本的な英文を書けるようにする。入学時に受けたELPAの英語プレテストαのスコアを10%以上上げることが目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

演習形式をとります。まず、CDを聞き、学生に音読してもらい、内容について質問し答えてもらいます。この授業では、課題を課すことがあり、その課題を学生が提出し、そのフィードバックとして教室で課題の解説を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	1年間の授業の予定、進め方などの説明をする。
第2回	Growth and Chapter Development	人間の誕生から死に至るまでのことを学び、そして、本文の練習問題を解く。
第3回	Human Body / Chapter Sleep	人間の8系統に関してと、睡眠に関して学ぶ。そして、本文の練習問題を解く。
第4回	Health and fitness / Chapter Allergies	健康とアレルギーに関して学び、そして、本文の練習問題を解く。
第5回	Diseases (1) Chapter	細菌、ウイルス、プリオン等に関して学ぶ。そして、本文の練習問題を解く。
第6回	Diseases (2) Chapter	遺伝病、精神病に関して学ぶ。そして、本文の練習問題を解く。
第7回	Immunity /AIDS Chapter	免疫とエイズに関して学び、そして、本文の練習問題を解く。
第8回	Smoking /Cancer Chapter	喫煙と癌に関して学び、そして、本文の練習問題を解く。
第9回	Medicine Chapter	医療に関して学び、そして、本文の練習問題を解く。
第10回	Complementary Chapter medicine	補充医療（漢方、整体、鍼灸）に関して学ぶ。そして、本文の練習問題を解く。
第11回	First Aids /Doctors Chapter	救急医療と医師に関して学び、そして、本文の練習問題を解く。

第12回 Nightingale, Chapter Florence /Nurses

ナイチンゲールと看護師に関して学び、そして、本文の練習問題を解く。

第13回 Hospitals Chapter

大学病院に関して学び、そして、本文の練習問題を解く。

12 試験・まとめ

試験を行い、その後、試験のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の前には、予習をしておくこと。また、授業が終わったら復習をしておくこと。特に、授業の前に音読をしておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Life and Health (生活と健康) (鳳書房) 1,980円 (税込み)

【参考書】

Longman Dictionary of Contemporary English (桐原書店)

【成績評価の方法と基準】

試験 80%, 授業への積極性 20%, セメスター内で、4回以上の欠席をした場合には単位取得が不可能になります。

【学生の意見等からの気づき】

気力が感じられる授業を心がけます。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course introduces reading and writing to students taking this course. (Learning Objectives) The goal of this course is to improve your reading and writing. (Learning activities outside of classroom) Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting. (Grading Criteria /Policies) Your overall grade in the class will be decided based on the following : Term-end examination 80 % in the class contribution 20 %

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - II

2017年度以降入学者

小泉 和弘

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ジャンルを限定せず、4技能のバランスの良い学習効果を念頭に置きつつ、主としてテキスト上の英語運用能力を養う。情報の受容から発信へのプロセスを重視する。量を消化することを重視し、論理的思考力・文化・教養・言語知識の習得を行う。

【到達目標】

英文を正しく、早く読めるようにする。また、基本的な英作文を出来るようにする。

入学時に受けたELPAの英語プレスメント a のスコアを20%以上上げることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

演習形式をとります。まず、CDを聞いて、学生に英文を読んでもらい、その文章に対して質問をし、学生はその答えをします。この授業では、課題を課すことがあり、その課題を学生が提出し、そのフィードバックとして教室で課題の解説を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回 Chapter 1	味の素株式会社	味の素株式会社の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く
第 2 回 Chapter 2	花王株式会社	花王株式会社の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く
第 3 回 Chapter 3	CYBERDYNE	SYBERDYNEの歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く
第 4 回 Chapter 4	サントリーホールディングス	サントリーホールディングスの歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く
第 5 回 Chapter 5	Spiber 株式会社	Spiber 株式会社の企業の内容と企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く
第 6 回 Chapter 6	セコム株式会社	セコム株式会社の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く
第 7 回 Chapter 7	セブン&アイ・ホールディングス	セブン&アイ・ホールディングスの企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
第 8 回 Chapter 8	大正製薬ホールディングス	大正製薬ホールディングスの歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
第 9 回 Chapter 9	東レ株式会社	東レ株式会社の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
第 10 回 Chapter 10	豊田通商株式会社	豊田通商株式会社の業務内容、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。

第 11 回 Chapter 11	日清食品ホールディングス	日清食品ホールディングスの歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
第 12 回 Chapter 14	ヤマト運輸株式会社	ヤマト運輸株式会社の歴史、企業理念等を学習する。そして、本文の練習問題を解く。
第13回 ビデオ学習	ビデオ学習	ビデオ学習をする。
第 14 回 試験・まとめ	試験を行う。	試験を行い、その後、試験のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の前には、予習をしておくこと。授業の後には、復習をしておくこと。また、授業のまえには、英文の音読をしておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Leading the Way: Major Countries Corporation (南雲堂) 2,000円+税

【参考書】

Longman Dictionary of Contemporary English 桐原書店

【成績評価の方法と基準】

試験 80%、授業への積極性 20%、1セメスターで4回以上の欠席をした場合は、単位取得が不可能になります。

【学生の意見等からの気づき】

気力を感じられる授業をするように心がけます。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course introduces reading and writing to students taking this course. (Learning Objectives) The goal of this course is to improve your reading and writing. (Learning activities outside of classroom) Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting. (Grading Criteria /Policies) Your overall grade in the class will be decided based on the following : Term-end examination 80 % in the class contribution 20 %

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - I

2017年度以降入学者

吉江 秀和

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな時事記事を取り上げたテキスト『世界を読むメディア英語入門 2025 Insights 2025』の英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、包括的に英語学習をすすめていきます。その際に、英文の概訳ではなく、構文を意識した読解力を身につけていくとともに、関連する内容を確認することで英文をより深く理解する方策を身につけていきます。また、テキストの設問や確認テストを通じて、英文のライティングをおこないます。

【到達目標】

テキストの読解を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③リスニングを繰り返すことにより、英語の聞き取りの力をつける。
- ④テキストの設問や確認テストを通じて、英文のライティング力をつける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキスト『世界を読むメディア英語入門 2025 Insights 2025』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、予習の段階で構文の理解をより深めるための作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。実施した確認テストの採点・返却後、授業内で全体に対しておこなう解説、テストに記載された個々へのコメントや評価などのフィードバックや、自分で予習したものを活用して自分の理解度を確認して改めて復習をしてもらいます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	学習のやり方や授業の進め方など、授業を受けるうえでの注意点の説明をします。
2	Chapter 1	Reinvented Kimono for the Reiwa Era
3	Chapter 2	The Rise of Harvesting Robots
4	Chapter 3	Talking about Telephobia
5	Chapter 4	Toward a Carbon-free Society
6	Chapter 5	Honoring Ancestors Online
7	Chapter 6	Karakurist!
8	Chapter 7	Creating Community Currencies
9	Chapter 8	Birth of a Wooden Satellite
10	Chapter 9	It's Okay to Be Different
11	Chapter 10	Drought Dries the Amazon
12	テキスト以外の英文 講読①	世界の文化に関連する内容
13	テキスト以外の英文 講読②	世界の社会に関連する内容

14 期末試験・まとめ 今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方・提出については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

村尾純子、深山晶子、辻本智子、横山香奈、Christopher Cladis『世界を読むメディア英語入門 2025 Insights 2025』金星堂、2025年、2,200円＋税

【参考書】

必要の際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）と期末試験（80%）から総合的に評価。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのかが分かったりするものを用意してください（主要な動詞がどの文型をとるのが示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです）。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Reading current news in the textbook “Insights 2025” which consists of 20 stories about global topics, students primarily learn how to read the sentences correctly. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each unit, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the unit. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 80%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - II

2017年度以降入学者

吉江 秀和

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな時事記事を取り上げたテキスト『世界を読むメディア英語入門2025 Insights 2025』の英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、包括的に英語学習をすすめていきます。その際に、英文の概訳ではなく、構文を意識した読解力を身につけていくとともに、関連する内容を確認することで英文をより深く理解する方策を身につけていきます。また、テキストの設問や確認テストを通じて、英文のライティングをおこないます。

【到達目標】

テキストの読解を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③リスニングを繰り返すことにより、英語の聞き取りの力をつける。
- ④テキストの設問や確認テストを通じて、英文のライティング力をつける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキスト『世界を読むメディア英語入門2025 Insights 2025』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、予習の段階で構文の理解をより深めるための作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。実施した確認テストの採点・返却後、授業内で全体に対しておこなう解説、テストに記載された個々へのコメントや評価などのフィードバックや、自分で予習したものを活用して自分の理解度を確認して改めて復習をもらいます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 11	Japanese Literature Boom in Britain
2	Chapter 12	Stand up If You Want to Live Longer
3	Chapter 13	Unionizing the Magic of Disney
4	Chapter 14	Future-Focused Aquaculture Business
5	Chapter 15	Hands-on Instruction Impresses Class
6	Chapter 16	Fusing Japanese and Peruvian Flavors
7	Chapter 17	Special Days off from School
8	Chapter 18	Smart Trash Cans Solving Problems
9	Chapter 19	Bridging Brains and Computers
10	Chapter 20	Tech Rescues Endangered Languages

11	テキスト以外の英文 講読①	世界の文化に関連する内容
12	テキスト以外の英文 講読②	世界の社会に関連する内容
13	テキスト以外の英文 講読③	世界の政治に関連する内容
14	期末試験・まとめ	今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方・提出については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

村尾純子、深山晶子、辻本智子、横山香奈、Christopher Cladis『世界を読むメディア英語入門2025 Insights 2025』金星堂、2025年、2,200円＋税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）と期末試験（80%）から総合的に評価。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのか（主要な動詞がどの文型をとるのか）が示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Reading current news in the textbook “Insights 2025” which consists of 20 stories about global topics, students primarily learn how to read the sentences correctly. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each unit, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the unit. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 80%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - I

2017年度以降入学者

今井 澄子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会のさまざまなトピックに関するアカデミックな英文 Essay 読解を通して Active Reading と Critical-thinking のスキルを身につけ、大学生に必要な英語力を養成する。

【到達目標】

800 語程度の英文 Essay を読み、アカデミックな現代英語の論理展開や書き方を知る。テキスト英文は標準的な構文・文法にのっとり、大学生として知る必要のあるメディアや学問レベルの語彙を使って書かれているので、これを読むことで望ましい英語の文体が身に付き、ヴォキャブラリー強化ができる。語彙問題や内容理解のための設問も豊富なので、問題を解きながら正しく内容を捉える。また、Listening&Dictation 問題を通して音声による英語を理解する。読解内容に対して英語でコメントを書くが、まずは 1 パラグラフの要約やショートコメントから始め、複数パラグラフによる英文 Essay 形式で自分の考えを述べることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回授業初めにリスニング小テストを行い、その後に読解に入る。英文の音読・日本語訳、語彙・内容把握問題を課すので、必ずこなすこと。英文読解後は関連する内容の Listening&Dictation を行う。また、要約やコメントの英文 Writing を随時行い、添削指導する。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Listening, Active Reading と Critical Thinking について	Lesson 1 Language を解説しながら、テキスト構成、授業内容、評価等に関する説明を行う
第2回	Listening 小テスト 1	Ceremony 聴解
	Lesson 3 Higher Education	Can the Humanities be Saved? 英文読解、コメント Writing
第3回	Listening 小テスト 2	School Life 聴解
	Lesson 3 Higher Education	Can the Humanities be Saved? 語彙問題と Listening&Dictation
第4回	Listening 小テスト 3	Transportation 聴解
	Lesson 2 Social Psychology	How Far Will People Go? 英文読解、コメント Writing
第5回	Listening 小テスト 4	Outdoor Activities 聴解
	Lesson 2 Social Psychology	How Far Will People Go? 語彙問題と Listening&Dictation
第6回	Listening 小テスト 5	Weather 聴解
	Lesson 4 Musical Theater	Yellowface 英文読解、コメント Writing

第7回	Listening 小テスト 6	Holiday Plans 聴解
	Lesson 4 Musical Theater	Yellowface 語彙問題と Listening&Dictation
第8回	Listening 小テスト 7	Resort Area 聴解
	Lesson 5 The Environment	Meeting Mankind's Greatest Challenge 英文読解、コメント Writing
第9回	Listening 小テスト 8	Job Experience 聴解
	Lesson 5 The Environment	Meeting Mankind's Greatest Challenge 語彙問題と Listening&Dictation
第10回	Listening 小テスト 9	Summer Sale 聴解
	環境問題の英文読解	追加プリントによる英文読解
第11回	Listening 小テスト 10	Restaurant 聴解
	Lesson 6 Anthropology/Paleontology	Not So Stupid After All 英文読解、コメント Writing
第12回	Listening 小テスト 11	Review Test1・2 聴解
	Lesson 6 Anthropology/Paleontology	Not So Stupid After All 語彙問題と Listening&Dictation
第13回	パラグラフ論理展開学習	Paragraph Writing を通して英語の論理展開を学ぶ
第14回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキスト英文は全員参加で読んでいく。また、テキスト英文の構文は難解というわけではないが、語彙はレベルが高く、授業内容を十分に理解するためには辞書で単語を調べながら英文を読んでいくことが必要。教科書にある Listening&Dictation 問題音声は、インターネット上でダウンロードし、事前に聴くことができる。なお、リスニング小テストは毎回行うが、特に準備は必要ない。Writing も授業中に行うため自宅に持ち帰る必要はない。

【テキスト（教科書）】

Readers' Forum 3 ACTIVE ENGLISH: Readings in the Liberal Arts and Humanities. 南雲堂

Practical Situations for the TOEIC® Test Listening. 成美堂

【参考書】

特に指定しないが、必ず英和辞書を使うこと。授業にも毎回辞書を持参すること。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、Writing・和訳などの課題 20% を原則とする。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点とし、60% 以上の得点で合格。授業初めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも 0 点となる。課題を遂行しない、担当があるのに無断欠席などは課題点がマイナスになる。欠席が 4 回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

教科書が英語のみで日本語がないため不安だという意見があった。各 Lesson 初めにある単語の問題は、事前に解答・解説を行ってから英文読解に入るので心配はいらない。練習問題の英語で書かれた問題文も、授業中に訳して何をするかを説明しながら実施する。

【Outline (in English)】

This class focuses on reading of academic English essays. The genre of topics of these essays are various such as language, social psychology, higher education, the environment, neuroscience, technology, cybercrime, and so on, which are based on the interest or a problem of our present day society. Each essay has around eight hundred words, is written in a high level of academic and literate English which has a complex sentence structure and syntax, and includes difficult vocabulary. Reading these essays enables students to have both active reading and critical thinking skill and they can acquire English proficiency sufficient as a university student. Additionally, writing a comment is another important task of this class and every student is required to write a comment in English after reading every essay. Beginning from writing a short paragraph, the final goal is writing an essay composed of more than at least three paragraphs, which enables students to cultivate academic writing skill enough to write a short report in the future. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing score 10%, and in class contribution 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - II

2017年度以降入学者

今井 澄子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会のさまざまなトピックに関するアカデミックな英文 Essay 読解を通して Active Reading と Critical-thinking のスキルを身につけ、大学生に必要な英語力を養成する。

【到達目標】

800 語程度の英文 Essay を読み、アカデミックな現代英語の論理展開や書き方を知る。テキスト英文は標準的な構文・文法にのっとり、大学生として知る必要のあるメディアや学問レベルの語彙を使って書かれているので、これを読むことで望ましい英語の文体が身に付き、ヴォキャブラリー強化ができる。語彙問題や内容理解のための設問も豊富なので、問題を解きながら正しく内容を捉える。また、Listening&Dictation 問題を通して音声による英語を理解する。読解内容に対して英語でコメントを書くが、まずは1パラグラフの要約やショートコメントから始め、複数パラグラフによる英文 Essay 形式で自分の考えを述べることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回授業初めにリスニング小テストを行い、その後に読解に入る。英文の音読・日本語訳、語彙・内容把握問題を課すので、必ずこなすこと。英文読解後は関連する内容の Listening&Dictation を行う。また、要約やコメントの英文 Writing を随時行い、添削指導する。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Listening 小テスト 1 Lesson 7 Neuroscience	Restaurant 聴解 Mapping the Brain 英文読解、コメント Writing
第2回	Listening 小テスト 2 Lesson 7 Neuroscience	Arts & Entertainment 聴解 Mapping the Brain 語彙問題と Listening&Dictation
第3回	Listening 小テスト 3 Lesson 8 Military History	Sports Events 聴解 No Shoot! 英文読解、コメント Writing
第4回	Listening 小テスト 4 Lesson 8 Military History	Having a Party 聴解 No Shoot! 語彙問題と Listening&Dictation
第5回	Listening 小テスト 5 Lesson 9 Technology	Health 聴解 The Reality of Virtual Reality 英文読解、コメント Writing
第6回	Listening 小テスト 6 Lesson 9 Technology	Christmas 聴解 The Reality of Virtual Reality 語彙問題と Listening&Dictation

第7回	Listening 小テスト 7 Lesson 10 Literature	Cleanup 聴解 The Man Who Re-invented Christmas 英文読解、コメント Writing
第8回	Listening 小テスト 8 Lesson 10 Literature	Our Traditions & Customs 聴解 The Man Who Re-invented Christmas 語彙問題と Listening&Dictation
第9回	Listening 小テスト 9 Lesson 11 Art Appreciation	Examinations 聴解 Accounting for Taste 英文読解、コメント Writing
第10回	Listening 小テスト 10 Lesson 11 Art Appreciation	Housing 聴解 Accounting for Taste 語彙問題と Listening&Dictation
第11回	Listening 小テスト 11 Lesson 12 Cybercrime	Review Test3・4 聴解 The Dark Tetrad 英文読解、コメント Writing
第12回	Lesson 12 Cybercrime 英文エッセイの構成と書き方	The Dark Tetrad 語彙問題と Listening&Dictation プリントによる説明
第13回	エッセイ論理展開学習	読んだものへの意見を述べる Essay Writing を通して英語長文の論理展開を学ぶ
第14回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキスト英文は全員参加で読んでいく。また、テキスト英文の構文は難解というわけではないが、語彙はレベルが高く、授業内容を十分に理解するためには辞書で単語を調べながら英文を読んでいくことが必要。教科書にある Listening&Dictation 問題音声は、インターネット上でダウンロードし、事前に聴くことができる。なお、リスニング小テストは毎回行うが、特に準備は必要ない。Writing も授業中に行うため自宅に持ち帰る必要はない。

【テキスト（教科書）】

Readers' Forum 3 ACTIVE ENGLISH: Readings in the Liberal Arts and Humanities. 南雲堂

Practical Situations for the TOEIC® Test Listening. 成美堂

【参考書】

特に指定しないが、必ず英和辞書を使うこと。授業にも毎回辞書を持参すること。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、Writing・和訳などの課題 20% を原則とする。よって、評価点は試験 60点、平常点 40点の合計 100点とし、60%以上の得点で合格。授業初めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも0点となる。課題を遂行しない、担当があるのに無断欠席などは課題点がマイナスになる。欠席が4回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

教科書が英語のみで日本語がないため不安だという意見があった。各 Lesson 初めにある単語の問題は、事前に解答・解説を行ってから英文読解に入るので心配はいらない。練習問題の英語で書かれた問題文も、授業中に訳して何をするかを説明しながら実施する。

【Outline (in English)】

This class focuses on reading of academic English essays. The genre of topics of these essays are various such as language, social psychology, higher education, the environment, neuroscience, technology, cybercrime, and so on, which are based on the interest or a problem of our present day society. Each essay has around eight hundred words, is written in a high level of academic and literate English which has a complex sentence structure and syntax, and includes difficult vocabulary. Reading these essays enables students to have both active reading and critical thinking skill and they can acquire English proficiency sufficient as a university student. Additionally, writing a comment is another important task of this class and every student is required to write a comment in English after reading every essay. Beginning from writing a short paragraph, the final goal is writing an essay composed of more than at least three paragraphs, which enables students to cultivate academic writing skill enough to write a short report in the future. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing score 10%, and in class contribution 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - I

2017年度以降入学者

根本 怜奈

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「ネット文化」・「科学技術」・「旅行」・「ファッション」・「流行」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力、文法力を高めることを目指す。
2. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
3. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。
4. 授業内での発表を通して、自分の意見を聞き手に伝えるプレゼンテーション能力の基礎を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。単語・熟語・文法・文章構造等を確認しながら、英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。語彙表現の小テストを実施するので、語彙の定着のために、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Chapter が3つか4つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出および授業内で発表をする。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。授業内での発表については、授業内でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明
第2回	Chapter 1	Fake Online Reviews
第3回	Chapter 2	Could I Become a YouTuber?
第4回	Chapter 3	Selling Viral Videos Makes Big Money
第5回	Chapter 1 ～ Chapter 3 のまとめ	Chapter 1 ～ Chapter 3 の中のいずれかについて、ライティングと授業内発表
第6回	Chapter 4	Retro Video Games Become Popular Again
第7回	Chapter 5	Why Don't We Ask Siri?
第8回	Chapter 6	Uncanny Valley
第9回	Chapter 7	Toddlers and Technology
第10回	Chapter 4 ～ Chapter 7 のまとめ	Chapter 4 ～ Chapter 7 の中のいずれかについて、ライティング
第11回	Chapter 8	No More Game-Changing Technology?
第12回	Chapter 9	Waiting in Line for Delicious New Food
第13回	Chapter 10	Sympathy for the Delivery Man
第14回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各Chapterの英文について、必ず予習をすること。
語彙表現の復習小テストを実施するので、復習もしっかりすること。
語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Trend Watching 2 (『もっと知りたい！社会のいま2』)(Jonathan Lynch 他著、成美堂、1,900円(税別))
配布プリントで授業を行うことがある。
英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験(50%)、授業態度・授業内に課した課題(ライティング課題の提出と発表を重視)や小テストと各回のコメントを含む平常点(50%)によって総合的に評価する。
4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。
授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。遅刻2回は欠席1回分としてカウントする。
スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

英作文のクラス内発表を通して、クラスメイトの意見や発表の仕方を参考にしよう促す。英作文や小テストなどの課題において、テキスト内で出てきた語彙や表現の使用・応用を呼びかけることで予習・復習の時間をしっかりとるよう促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions
5. Learn basic skills of presentation.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - II

2017年度以降入学者

根本 怜奈

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「ネット文化」・「科学技術」・「旅行」・「ファッション」・「流行」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。春学期よりも量を重視し、速読演習も取り入れる。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力、文法力を高めることを目指す。
2. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
3. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。
4. 授業内での発表を通して、自分の意見を聞き手に伝えるプレゼンテーション能力の基礎を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。単語・熟語・文法・文章構造等を確認しながら、英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。語彙表現の小テストを実施するので、語彙の定着のために、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Chapter が3つか4つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出および授業内で発表をする。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。授業内での発表については、授業内でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	パラグラフ・リーディングと速読演習
第2回	Chapter 11	Black Friday
第3回	Chapter 12	Graduation Trips
第4回	Chapter 13	Aspects of Sneaker Culture
第5回	Chapter 11 ~ Chapter 13 のまとめ	中のいずれかについて、ライティングと授業内発表
第6回	Chapter 14	The Union Jack as Fashion Symbol
第7回	Chapter 15	Trends in Fitness
第8回	Chapter 16	Smart Rings
第9回	Chapter 17	Photogenicity
第10回	Chapter 14 ~ Chapter 17 のまとめ	中のいずれかについて、ライティング
第11回	Chapter 18	Stress Relief
第12回	Chapter 19	Young Women Turn to Gaming
第13回	Chapter 20	Young People and Criticism
第14回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各Chapter の英文について、必ず予習をすること。
語彙表現の復習小テストを実施するので、復習もしっかりすること。
語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Trend Watching 2 (『もっと知りたい！社会のいま2』) (Jonathan Lynch 他著、成美堂、1,900円(税別))

配布プリントで授業を行うことがある。

英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 (50%)、授業態度・授業内に課した課題 (ライティング課題の提出と発表を重視) や小テストと各回のコメントを含む平常点 (50%) によって総合的に評価する。

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。遅刻2回は欠席1回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

英作文のクラス内発表を通して、クラスメイトの意見や発表の仕方を参考にしよう促す。英作文や小テストなどの課題において、テキスト内で出てきた語彙や表現の使用・応用を呼びかけることで予習・復習の時間をしっかりとるよう促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions
5. Learn basic skills of presentation.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - I

2017年度以降入学者

舟橋 美香

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界の最近の動向についての文を読み、現代の問題を理解し、英語の読解力を養う。英語の単語を読むということは、正しい発音ができることを含む。きちんとした発音と単語の意味を身につけながら、英文の読解力を身につける。また、各 Chapter の最後の 'Over to You' をきっかけにして、各 Chapter に関連するトピックについて、自分の意見を英語でライティングする能力を養う。

【到達目標】

本授業の到達目標は、受講生が、英語を正しく発音し、英文の内容を日本語できちんと理解できる力を身につけることである。また、各 Chapter の最後の 'Over to You' をきっかけにして、各 Chapter に関連するトピックについて、自分の意見を英語でライティングする能力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

CDでテキストの音読を聞き、リピートすることから始め、理解できているか確認するために、アットランダムに学生を指し、教科書の英文を読み、日本語訳をしたり、口頭で問題に答えてもらう。また、各 Chapter の最後の 'Over to You' を予習し、英語でライティングする能力のアップを図る。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	テキストの説明、授業の進め方などについて説明する。教科書はこの日までになるべく手配しておいてください。第13回目の授業と後期の第1回目の授業で取り上げる Chapter を決めるために、「学習支援システム(Webclass)」の「アンケート」で、Chapter 12以降の Chapters から、一番読みたい Chapter を選び、提出期限内に答えて、もらうよう指示。
2	Chapter 1 I Don't Know What to Believe	オンラインの嘘について学ぶ。テキストの予習復習をする。
3	Chapter 2 It's a Hikikomori World	引きこもりについて学ぶ。テキストの予習復習をする。
4	Chapter 3 Not Just for Fun	遊びやゲームの重要性について学ぶ。テキストの予習復習をする。
5	Chapter 4 See It While You Can	Over-Tourism について学ぶ。テキストの予習復習をする。
6	Chapter 5 The World's Greatest Gamers	E-スポーツについて学ぶ。テキストの予習復習をする。

7	Chapter 6 3D-Printed Limbs and Robot Doctors	医療技術の進歩について学ぶ。テキストの予習復習をする。
8	Chapter 7 Fake Burgers and Electric Gum	新しい食品、食品の未来像について学ぶ。テキストの予習復習をする。
9	Chapter 8 The Sports Space Race	スポーツにおける科学の役割について学ぶ。テキストの予習復習をする。
10	Chapter 9 Turn Out the Lights	光汚染について学ぶ。テキストの予習復習をする。
11	Chapter 10 It's Good to Be Grumpy	不機嫌な気分の大切さについて学ぶ。テキストの予習復習をする。
12	Chapter 11 A Full Working Week	どのくらい就労するべきかについて学ぶ。テキストの予習復習をする。
13	残りの Chapter で、学生が読みたい Chapter を読む。 (一回目の授業後に、学習支援システム上でアンケートをとって、決める。)	どのチャプターになるかは分からないので、明言できない。
14	総括	解説と試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。テキストの Reading の部分を、辞書を使って予習し、問題を解いておくこと。読むということは、正しい発音ができることを含む。もし、授業中に読めない／わからない単語があった場合は、必ず復習すること。

【テキスト（教科書）】

Anthony Sellick, James Bury & Kaori Horiuchi 『Grand Tour: Seeing the World』成美堂

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

最後の授業に行うテストを70%、通常点を30%で計算します。もし課題を課した場合、課題の未提出、最後のテストの未受験、欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

辞書
テキスト

【Outline (in English)】

Through reading a textbook called *Grand Tour: Seeing the World*, the object of this class is to develop English reading & Writing skills and to understand more about today's issues. Study textbook, especially each reading section, using a dictionary before and after each class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The grade is given from the total of class activity 30% and the final exam 70%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
English 1 - II	2017年度以降入学者
舟橋 美香	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：月2/Mon.2
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スヌービーとその飼い主である Charlie Brown で有名なアメリカの cartoon の 'Peanuts' を素材にしたテキストを使い、Reading セクションと各種の読解問題で、英語の読解力アップを目指し、アメリカの cartoon を読む楽しみを身につける。また、世界的に有名な 'Peanuts' と名付けられた一連の cartoon の魅力と登場人物、作者についての理解を深める。また、各 Lesson の最後の 'Think It Over' をきっかけに、自分の意見を英語でライティングする能力を養う。

【到達目標】

本授業の到達目標は、身近なキャラクターとして知っているスヌービーやチャーリー・ブラウンの世界を学びながら、受講生が、英語を正しく発音し、英文の内容を日本語できちんと理解できる力を身につけることである。また、各 Lesson の最後の 'Think It Over' をきっかけに、自分の意見を英語でライティングする能力を養う。テキストは、見た目よりも、難しいので、侮らないで、しっかり予習してほしい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

各授業で予習をしてきたことを確認するため、各 Lesson の最初に置かれた Cartoon1 から、問題を予習で解いてきてもらったものの答え合わせをしてから、Reading セクションの英文を正しく声を出して読み、Comprehension で内容理解を確認します。難しい箇所については、日本語に訳すという作業を、順不同に学生を差してやってもらい、説明を加えていきます。その後、Listen and Repeat, Listen and Write, Cartoon 2、および、最後の Think It Over（予習しておく）をして、リスニング力とライティング力を養い、この漫画が世界中で愛されている理由を理解していきます。課題を課す場合には、学習支援システム（Webclass）に提出の場合は、コメントを付けて Webclass から返却。授業内に、紙で提出の場合は、次回授業で、採点したものを返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	前期のテキストの続き。学生が読みたい前期のテキストの残りの章から1章を読む。	前期のテキストの続き。内容は、前期に学生にアンケートをとって決める。後期のテキストを手配しておく。
2回目	Lesson 1 Body Language in 'Peanuts' この日までに後期のテキストを用意しておく。	non-verbal コミュニケーションについて、'Peanuts' から学ぶ。テキストの予習復習をする。
3回目	Lesson 2 Lucy's Psychiatry Stand	ルーシーの精神分析スタンドについてのリーディングから、お金と地位について考察する。テキストの予習復習をする。

4回目	Lesson 3 Friends Forever	Charlie Brown と彼の犬である Snoopy の対照的な生き方と関係について学ぶ。テキストの予習復習をする。
5回目	Lesson 4 'Peanuts' as a Social Group	大人が登場しない 'Peanuts' の世界における社会について学ぶ。テキストの予習復習をする。
6回目	Lesson 5 Schroeder the Music Lover	音楽に夢中の Schroeder と彼に夢中の Lucy の関係と、音楽について学ぶ。テキストの予習復習をする。
7回目	Lesson 6 Girls in 'Peanuts'	'Peanuts' に描かれる女の子の造形について学び、人気の秘密にせまろう。テキストの予習復習をする。
8回目	Lesson 7 Sally and her Legal Beagle	Sally の行動から、訴訟社会であるアメリカの一端について学ぶ。テキストの予習復習をする。
9回目	Lesson 8 Linus's Security Blanket	Linus の毛布の意味を学ぶ。テキストの予習復習をする。
10回目	Lesson 9 Crabby Lucy	Lucy を中心に、'Peanuts' のユーモアについて考え、学ぶ。テキストの予習復習をする。
11回目	Lesson 10 Someday My Great Pumpkin Will Come	ハロウィンで Linus が待ち望むものは何か、彼のこのような期待の裏にあるものとは？ テキストの予習復習をする。
12回目	Lesson 11 Good Grief! It's Valentine's Day!	Charlie Brown の人生について学ぶ。テキストの予習復習をする。
13回目	Lesson 13 The Life and Work of Charles Schulz	'Peanuts' の作者、Charles Schulz について学ぶ。テキストの予習復習をする。
14回目	復習 まとめ テスト	復習／まとめを行う。テストに備えて、学期内で行なった課の復習しておく。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。テキストの予習復習をする。各 Lesson に出てくる Cartoons を辞書を活用して面白さを理解し、Setting the Scene からEveryday Expression を予習。Reading を辞書を活用して予習し、Comprehension を解いておく。授業中に Listen and Repeat と Listen and Write をCDを聴きながら穴埋め問題を行います。リスニングの部分が、授業中に聞いただけでは難しいと感じる場合は、テキストから、テキスト会社のダウンロードサイトから、音声ダウンロードして、予習・復習してください。各 Lesson の最後の 'Think It Over' は、かならず予習して、英語を書く練習を積み重ね、英語のライティング力を養いましょう。繰り返しますが、見た目より、「手強い」テキストですから、甘く見ないで、しっかり、予習・復習するように。

【テキスト（教科書）】

Haruko Toyama『Enjoy English with Charlie Brown and Friends (Revised Edition)』南雲堂

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点を30%、最後のテストを70%で計算します。最後のテスト未受験、欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【Outline (in English)】

Reading a textbook called *Enjoy English with Charlie Brown and Friends*, students will develop not only English reading & writing skills, but also, learn why the cartoon, called 'Peanuts' has been read all over the world and each character's personality. Study the textbook, especially each reading section, using a dictionary before and after each class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The grade is given from the total of class activity 30% and the final exam 70%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - I

2017年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

幅広いトピックの多読と多聴を行います。さらに、アカデミック・ライティングの基礎を学ぶことで、インプット（reading and listening）をアウトプット（speaking and writing）に接続していきます。

【到達目標】

1. 多様なトピックの英語を正確に聞き取ることができるようになること
2. テクストの内容を正確に理解し英語で要約できるようになること
3. 授業で学んだトピックについての意見を英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
- (2) Listening: listening to mini-talks and global news
- (3) Writing: summary and paragraph writing
- (4) Speaking: preparation for presentation

Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やリアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1.Course Orientation 2.Understanding Issue: Eco or Ego? #1	1.Explaining the course 2.Listening a passage on eco-friendliness
2	Understanding Issue: Eco or Ego? #2	1.Reading paragraphs on eco-friendliness 2.Listening practice
3	Understanding Issue: Eco or Ego? #3	1.Visiting the UN Climate Action website 2.Writing and speaking your ideas
4	Learning Academic Writing #1	1.How to use English-English dictionaries 2.Learning how to write an effective summary 3.Writing a summary
5	Understanding Issue: International Society	1.Listening and reading a passage on International Society 2.Summarizing the passage
6	Understanding Issue: Globalization #1	1.Listening and reading paragraphs on globalization 2.Listening practice

7	Understanding Issue: Globalization #2	1.Reading paragraphs on globalization 2.Writing and speaking your ideas
8	Learning Academic Writing #2	1.Rewriting sentences 2.Making inanimate subject sentences
9	Understanding Issue: International Comparison of Military Expenditures	1.Listening and reading a passage on International Comparison of Military Expenditures 2.Summarizing the passage
10	Understanding Issue: Democracy #1	1.Listening and reading paragraphs on democracy 2.Listening practice
11	Understanding Issue: Democracy #2	1.Reading paragraphs on democracy 2.Writing and speaking your ideas
12	Understanding Issue: Democracy and citizenship #1	1.Listening paragraphs on democracy 2.Reading paragraphs
13	Understanding Issue: Democracy and citizenship #2	1.Listening paragraphs on democracy 2.Reading paragraphs 3.Presenting your ideas
14	Review and Test	Review and Test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

1 Weekly reading, listening or writing home assignments

2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided in class

【参考書】

Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Home assignment (30%)

In-class contribution (20%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (春学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I hope your enthusiastic participation will make each session exciting and of high quality.

みなさんの熱心な参加により授業の質がますます高まってきたことを実感し続けています。本年度もよい授業と一緒に作り上げていきましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

This advanced English class is for learning four skills of reading, listening, speaking and writing. Students will learn skills in paragraph reading, news listening and well-structured writing. The goal is for students to be able to listen to news on a range of topics, to read multi-paragraph passages with accuracy and to write a well-structured paragraph about their own opinions. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (30%) and the in-class contribution (20%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - II

2017年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

オーセンティック・マテリアルをより実践的に多読多聴します。「英語を読み聴く」「英語で考え発信する」へと発展させていくことを目的とします (Learning four skills of reading, listening, speaking and writing)

【到達目標】

1. 多様なトピックを「英語で」学ぶことができるようになること
2. 学んだトピックについての意見のやりとりを正確に聞き取ることができるようになること
3. 学んだトピックについてアカデミック・ライティングのスタイルで論理的エッセイが書けるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
- (2) Listening: listening to mini-talks and global news
- (3) Writing: summary and academic writing
- (4) Speaking: preparation for presentation

Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やりアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction / Understanding Issue: Humans or AI? #1	1.Explaining the course of this semester 2.Exchanging ideas on AI
2	Understanding Issue: Humans or AI? #2	1.Listening and reading paragraphs on AI 2.Listening practice 3.Writing and speaking your ideas
3	Reading about living with AI	1.Reading a passage about living with AI 2.Comprehension Check
4	Understanding Issue: What is human rights? #1	1.Reading "A Brief History of Human Rights" 2.Listening practice 3 Exchanging your ideas
5	Understanding Issue: What is human rights? #2	1.Reading paragraphs on the Universal Declaration of Human Rights
6	Understanding Issue:What is human rights? #3	1.Watching a video on human rights 2.Exchanging your ideas
7	Understanding Issue:What is human rights? #4	1.Reading a passage about human rights 2.Comprehension Check

8	Understanding Issue: Open Borders or Closed Societies? #1	1.Listening and reading paragraphs on immigration policy 2.Listening practice
9	Understanding Issue: Open Borders or Closed Societies? #2	1.Reading paragraphs on immigration policy 2.Writing and speaking your ideas
10	Learning Academic Writing #1	1.Learning Unity and Coherence 2.How to write an agree or disagree essay 3.Building your essay
11	Learning Academic Writing #2	1.Peer editing 2.Rewriting your draft
12	Academic Writing Feedback #1	1.Individual essay feedback #1 2.Rewriting your second draft #1 3.Further research #1
13	Academic Writing Feedback #2	1.Individual essay feedback #2 2.Rewriting your second draft #2 3.Further research #2
14	Review and test	Review and test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします)

- 1 Weekly reading, listening, or writing home assignments
- 2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided in class

【参考書】

Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Home assignments (30%)

In-class contribution (20%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (秋学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

Your classmates' support and encouragement will help to keep you motivated.

だんだんハードになってくると思いますが、励ましあいながらさらなるレベルアップを図りましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

This is an English class for learning four skills of reading, listening, speaking and writing. You will learn about a wide range of topics through reading and listening to authentic materials. Students will also learn to write essays. The goal is for students to be able to understand a given topic through English, to accurately listen to arguments for and against the topic, and to write a well-structured essay. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignments (30%) and the in-class contribution (20%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - I

2017年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

幅広いトピックの多読と多聴を行います。さらに、アカデミック・ライティングの基礎を学ぶことで、インプット（reading and listening）をアウトプット（speaking and writing）に接続していきます。

【到達目標】

1. 多様なトピックの英語を正確に聞き取ることができるようになること
2. テクストの内容を正確に理解し英語で要約できるようになること
3. 授業で学んだトピックについての意見を英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
- (2) Listening: listening to mini-talks and global news
- (3) Writing: summary and paragraph writing
- (4) Speaking: preparation for presentation

Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やリアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1.Course Orientation 2.Understanding Issue: Eco or Ego? #1	1.Explaining the course 2.Listening a passage on eco-friendliness
2	Understanding Issue: Eco or Ego? #2	1.Reading paragraphs on eco-friendliness 2.Listening practice
3	Understanding Issue: Eco or Ego? #3	1.Visiting the UN Climate Action website 2.Writing and speaking your ideas
4	Learning Academic Writing #1	1.How to use English-English dictionaries 2.Learning how to write an effective summary 3.Writing a summary
5	Understanding Issue: International Society	1.Listening and reading a passage on International Society 2.Summarizing the passage
6	Understanding Issue: Globalization #1	1.Listening and reading paragraphs on globalization 2.Listening practice

7	Understanding Issue: Globalization #2	1.Reading paragraphs on globalization 2.Writing and speaking your ideas
8	Learning Academic Writing #2	1.Rewriting sentences 2.Making inanimate subject sentences
9	Understanding Issue: International Comparison of Military Expenditures	1.Listening and reading a passage on International Comparison of Military Expenditures 2.Summarizing the passage
10	Understanding Issue: Democracy #1	1.Listening and reading paragraphs on democracy 2.Listening practice
11	Understanding Issue: Democracy #2	1.Reading paragraphs on democracy 2.Writing and speaking your ideas
12	Understanding Issue: Democracy and citizenship #1	1.Listening paragraphs on democracy 2.Reading paragraphs
13	Understanding Issue: Democracy and citizenship #2	1.Listening paragraphs on democracy 2.Reading paragraphs 3.Presenting your ideas
14	Review and Test	Review and Test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

1 Weekly reading, listening or writing home assignments

2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided in class

【参考書】

Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Home assignment (30%)

In-class contribution (20%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (春学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I hope your enthusiastic participation will make each session exciting and of high quality.

みなさんの熱心な参加により授業の質がますます高まってきたことを実感し続けています。本年度もよい授業と一緒に作り上げていきましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

This advanced English class is for learning four skills of reading, listening, speaking and writing. Students will learn skills in paragraph reading, news listening and well-structured writing. The goal is for students to be able to listen to news on a range of topics, to read multi-paragraph passages with accuracy and to write a well-structured paragraph about their own opinions. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (30%) and the in-class contribution (20%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - II

2017年度以降入学者

青山 恵子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月2/Mon.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

オーセンティック・マテリアルをより実践的に多読多聴します。「英語を読み聴く」「英語で考え発信する」へと発展させていくことを目的とします (Learning four skills of reading, listening, speaking and writing)

【到達目標】

1. 多様なトピックを「英語で」学ぶことができるようになること
2. 学んだトピックについての意見のやりとりを正確に聞き取ることができるようになること
3. 学んだトピックについてアカデミック・ライティングのスタイルで論理的エッセイが書けるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
- (2) Listening: listening to mini-talks and global news
- (3) Writing: summary and academic writing
- (4) Speaking: preparation for presentation

Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やりアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction / Understanding Issue: Humans or AI? #1	1.Explaining the course of this semester 2.Exchanging ideas on AI
2	Understanding Issue: Humans or AI? #2	1.Listening and reading paragraphs on AI 2.Listening practice 3.Writing and speaking your ideas
3	Reading about living with AI	1.Reading a passage about living with AI 2.Comprehension Check
4	Understanding Issue: What is human rights? #1	1.Reading "A Brief History of Human Rights" 2.Listening practice 3 Exchanging your ideas
5	Understanding Issue: What is human rights? #2	1.Reading paragraphs on the Universal Declaration of Human Rights
6	Understanding Issue:What is human rights? #3	1.Watching a video on human rights 2.Exchanging your ideas
7	Understanding Issue:What is human rights? #4	1.Reading a passage about human rights 2.Comprehension Check

8	Understanding Issue: Open Borders or Closed Societies? #1	1.Listening and reading paragraphs on immigration policy 2.Listening practice
9	Understanding Issue: Open Borders or Closed Societies? #2	1.Reading paragraphs on immigration policy 2.Writing and speaking your ideas
10	Learning Academic Writing #1	1.Learning Unity and Coherence 2.How to write an agree or disagree essay 3.Building your essay
11	Learning Academic Writing #2	1.Peer editing 2.Rewriting your draft
12	Academic Writing Feedback #1	1.Individual essay feedback #1 2.Rewriting your second draft #1 3.Further research #1
13	Academic Writing Feedback #2	1.Individual essay feedback #2 2.Rewriting your second draft #2 3.Further research #2
14	Review and test	Review and test

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします)

- 1 Weekly reading, listening, or writing home assignments
- 2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト (教科書)】

Materials will be provided in class

【参考書】

Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Home assignments (30%)

In-class contribution (20%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (秋学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

Your classmates' support and encouragement will help to keep you motivated.

だんだんハードになってくると思いますが、励ましあいながらさらなるレベルアップを図りましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

This is an English class for learning four skills of reading, listening, speaking and writing. You will learn about a wide range of topics through reading and listening to authentic materials. Students will also learn to write essays. The goal is for students to be able to understand a given topic through English, to accurately listen to arguments for and against the topic, and to write a well-structured essay. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignments (30%) and the in-class contribution (20%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
English 1 - I	2017年度以降入学者
吉江 秀和	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：金 5/Fri.5
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな時事記事を取り上げたテキスト『世界を読むメディア英語入門 2025 Insights 2025』の英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、包括的に英語学習をすすめていきます。その際に、英文の概訳ではなく、構文を意識した読解力を身につけていくとともに、関連する内容を確認することで英文をより深く理解する方策を身につけていきます。また、テキストの設問や確認テストを通じて、英文のライティングをおこないます。

【到達目標】

- テキストの読解を通じて以下のことを目標とする。
- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
 - ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
 - ③リスニングを繰り返すことにより、英語の聞き取りの力をつける。
 - ④テキストの設問や確認テストを通じて、英文のライティング力をつける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキスト『世界を読むメディア英語入門 2025 Insights 2025』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、予習の段階で構文の理解をより深めるための作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。実施した確認テストの採点・返却後、授業内で全体に対しておこなう解説、テストに記載された個々へのコメントや評価などのフィードバックや、自分で予習したものを活用して自分の理解度を確認して改めて復習をしてもらいます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	学習のやり方や授業の進め方など、授業を受けるうえでの注意点の説明をします。
2	Chapter 1	Reinvented Kimono for the Reiwa Era
3	Chapter 2	The Rise of Harvesting Robots
4	Chapter 3	Talking about Telephobia
5	Chapter 4	Toward a Carbon-free Society
6	Chapter 5	Honoring Ancestors Online
7	Chapter 6	Karakurist!
8	Chapter 7	Creating Community Currencies
9	Chapter 8	Birth of a Wooden Satellite
10	Chapter 9	It's Okay to Be Different
11	Chapter 10	Drought Dries the Amazon
12	テキスト以外の英文 講読①	世界の文化に関連する内容
13	テキスト以外の英文 講読②	世界の社会に関連する内容

14	期末試験・まとめ	今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方・提出については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

村尾純子、深山晶子、辻本智子、横山香奈、Christopher Cladis『世界を読むメディア英語入門 2025 Insights 2025』金星堂、2025年、2,200円＋税

【参考書】

必要の際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）と期末試験（80%）から総合的に評価。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのかが分かったりするものを用意してください（主要な動詞がどの文型をとるのが示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです）。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Reading current news in the textbook “Insights 2025” which consists of 20 stories about global topics, students primarily learn how to read the sentences correctly. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each unit, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the unit. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 80%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 1 - II

2017年度以降入学者

吉江 秀和

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな時事記事を取り上げたテキスト『世界を読むメディア英語入門2025 Insights 2025』の英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、包括的に英語学習をすすめていきます。その際に、英文の概訳ではなく、構文を意識した読解力を身につけていくとともに、関連する内容を確認することで英文をより深く理解する方策を身につけていきます。また、テキストの設問や確認テストを通じて、英文のライティングをおこないます。

【到達目標】

テキストの読解を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③リスニングを繰り返すことにより、英語の聞き取りの力をつける。
- ④テキストの設問や確認テストを通じて、英文のライティング力をつける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキスト『世界を読むメディア英語入門2025 Insights 2025』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、予習の段階で構文の理解をより深めるための作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。実施した確認テストの採点・返却後、授業内で全体に対しておこなう解説、テストに記載された個々へのコメントや評価などのフィードバックや、自分で予習したものを活用して自分の理解度を確認して改めて復習をもらいます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 11	Japanese Literature Boom in Britain
2	Chapter 12	Stand up If You Want to Live Longer
3	Chapter 13	Unionizing the Magic of Disney
4	Chapter 14	Future-Focused Aquaculture Business
5	Chapter 15	Hands-on Instruction Impresses Class
6	Chapter 16	Fusing Japanese and Peruvian Flavors
7	Chapter 17	Special Days off from School
8	Chapter 18	Smart Trash Cans Solving Problems
9	Chapter 19	Bridging Brains and Computers
10	Chapter 20	Tech Rescues Endangered Languages

11	テキスト以外の英文 講読①	世界の文化に関連する内容
12	テキスト以外の英文 講読②	世界の社会に関連する内容
13	テキスト以外の英文 講読③	世界の政治に関連する内容
14	期末試験・まとめ	今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方・提出については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

村尾純子、深山晶子、辻本智子、横山香奈、Christopher Cladis『世界を読むメディア英語入門2025 Insights 2025』金星堂、2025年、2,200円＋税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）と期末試験（80%）から総合的に評価。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのか（主要な動詞がどの文型をとるのか）が示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Reading current news in the textbook “Insights 2025” which consists of 20 stories about global topics, students primarily learn how to read the sentences correctly. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each unit, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the unit. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 80%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - I

2017年度以降入学者

小堀 洋

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

4技能のバランスの良い学習効果を念頭に置きつつ、主として音声上の英語運用能力を養う。情報の受容から発信へのプロセスを重視する。

具体的には、英語によるプレゼンテーションの方法を学びます。英語の文章構造は日本語のそれとは異なります。英語の論理を学ぶことで、論理的な思考方法とそれに基づいた意見の表明の仕方を身につけます。

単なるツールとしての英語ではなく、日本語とは異なるものの見方としての英語を学びます。そうすることで、日本語という言語の中で生きている自分たちがどのような存在なのか考えてみたいと思います。

【到達目標】

当授業ではプレゼンテーションを行うことを主としているので、人前で話をするできるようになります。そして、単に人前で話すだけではなく、どうしたら聞き手に話しかけ、聞き手を説得し、納得させることができるかがわかるようになります。英語の論理構造を知り、それを使うことができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

できるだけ多くの機会にクラスメートとペアで、あるいは一人で、発表のための原稿を作り、発表します。また、そのための方法を学びます。したがって、授業は、講義と演習、発表を取り混ぜたものになります。

授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。さらに、リアクションペーパーや課題等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

課題等の提出は「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	ガイダンス クラスメート紹介	オリエンテーション：シラバスに基づき講義内容を説明する。クラスメートにインタビューし、それをまとめて発表する。
第2回	尊敬する人・好きな人	自分が尊敬する人・好きな人は誰かを考えて、その理由などをまとめてみる。
第3回	リスニング	プレゼンテーションのイントロとコンクルージョンを聞き、それらの内容を理解し、さらにそれぞれの構成の仕方を学ぶ。
第4回	リスニング	プレゼンテーションのボディー部分を聞き、その内容を理解し、さらにその構成の仕方を学ぶ。
第5回	プレゼンテーション 原稿の作成	自分が尊敬する人・好きな人に関するプレゼンテーションの原稿を書く。

第6回	プレゼンテーション	各自が尊敬する人・好きな人に関するプレゼンテーションをするだけでなく、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、良いところと、改善できるところをまとめる。
第7回	英会話（リスニング）	日常的な内容の英会話のリスニングを行う。
第8回	ツアー・休暇の過ごし方を提案する	自分が思う最高・最良のツアーや休暇の過ごし方を考え、話し合う。
第9回	リスニング	ツアーや休暇の過ごし方に関するプレゼンテーションのイントロとコンクルージョンを聞き、それらの内容を理解し、さらにそれぞれの構成の仕方を学ぶ。
第10回	リスニング	ツアーや休暇の過ごし方に関するプレゼンテーションのボディー部分を聞き、その内容を理解し、さらにその構成の仕方を学ぶ。
第11回	プレゼンテーション 原稿の作成	ツアーや休暇の過ごし方を提案するプレゼンテーションの原稿を作成する。
第12回	プレゼンテーション	各自がツアーや休暇の過ごし方に関するプレゼンテーションをするだけでなく、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、良いところと、改善できるところをまとめる。
第13回	英会話	クラスメートとともに日常的な会話を英語で行う。
第14回	試験・まとめと解説	これまでの授業で学んだプレゼンテーションの構成方法を用いて筆記試験（エッセイ・ライティング）を行う。・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを事前に読み内容を理解しておく。

授業中に指示された課題を、次の授業までに行っておく。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Present Yourself 2 Viewpoints, Cambridge University Press.

【参考書】

『マーフィーのケンブリッジ英文法』（中級編）第3版、ケンブリッジ大学出版。

英語を理解する上で重要な文法を理解するのにとても役立ちます。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、期末試験（30%）、授業内プレゼンテーション（50%）の合計で評価します。60点以上で合格です。

4回以上欠席すると単位は与えられませんので注意してください。毎回授業のはじめに出席カードを配りますので、その時に教室にいない学生は欠席とみなします。また、公共交通機関の遅延等を除いた遅刻も欠席とします。公共交通機関の遅延等の場合は遅延証明証を持参してください。

【学生の意見等からの気づき】

本授業は学生の皆さんの積極的な参加を求めます。

学生一人ひとりが発表するだけでなく、発表を聞くことも重要な授業の一部となっています。

皆さんが積極的に授業に参加するほど本授業はより内容の濃いものとなりますので、積極的に楽しんで授業に参加してください。

【その他の重要事項】

授業時間の前後に、教室にて学生からの質問等を受けます。

授業には必ず辞書を持参してください。

【Outline (in English)】

授業の概要（Course outline）

In this class, you develop mainly listening and speaking ability. specifically, you will learn how to give a presentation.

First, you will understand the way of organizing a presentation.

This will include how to make an introduction, a body paragraph, and a conclusion which constitute a presentation.

Then, you will make and give a presentation on a specific topic.

By doing so, you understand the difference between Japanese and English and learn how to think logically.

In other words, you find English not as a tool but a point of view so that you get a chance to think who you are.

到達目標(Learning Objectives)

1:The goals of this course are to understand the structure of essay, to be able to write essays, and give presentations.

授業時間外の学習(Learning activities outside of classroom)

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

成績評価の方法と基準(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 20%、Presentations : 50%、in class contribution: 20%、assignments: 10%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - II

2017年度以降入学者

小堀 洋

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

4技能のバランスの良い学習効果を念頭に置きつつ、主として音声上の英語運用能力を養う。情報の受容から発信へのプロセスを重視する。

具体的には、英語によるプレゼンテーションの方法を学びます。英語の文章構造は日本語のそれとは異なります。英語の論理を学ぶことで、論理的な思考方法とそれに基づいた意見の表明の仕方を身につけます。

単なるツールとしての英語ではなく、日本語とは異なるものの見方としての英語を学びます。そうすることで、日本語という言語の中で生きている自分たちがどのような存在なのか考えてみたいと思います。

【到達目標】

当授業ではプレゼンテーションを行うことを主としているので、人前で話をするできるようになります。そして、単に人前で話すだけではなく、どうしたら聞き手に話しかけ、聞き手を説得し、納得させることができるかがわかるようになります。英語の論理構造を知り、それを使うことができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

できるだけ多くの機会にクラスメートとペアで、あるいは一人で、発表のための原稿を作り、発表します。また、そのための方法を学びます。したがって、授業は、講義と演習、発表を取り混ぜたものになります。

授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。さらに、リアクションペーパーや課題等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

課題等の提出は「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 今時の若者	オリエンテーション：シラバスに基づき講義内容を説明する。自分たちのライフスタイルなどに関するインタビューを考え、クラスメートにインタビューし、それをまとめる。
第2回	リスニング	今時の若者に関するプレゼンテーションのイントロとコンクルージョンを聞き、それらの内容を理解し、さらにそれぞれの構成の仕方を学ぶ。
第3回	リスニング	今時の若者に関するプレゼンテーションのボディー部分を聞き、その内容を理解し、さらにその構成の仕方を学ぶ。

第4回	プレゼンテーション	今時の若者に関するプレゼンテーションを実践する。また、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、それぞれの良いところと改善できるところを発表者に伝える。
第5回	英会話（リスニング）	日常的な内容の英会話のリスニングを行う。
第6回	説明しよう！	自分が知らないことについて考え、調べ、まとめる。
第7回	リスニング	物事を説明するプレゼンテーションを聞き、その内容を理解して、構成を学ぶ。
第8回	プレゼンテーション	各自が関心を持っている事を説明するプレゼンテーションを実践する。また、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、それぞれの良いところと改善できるところを発表者に伝える。
第9回	英会話（会話）	クラスメートとともに日常的な会話を英語で行う。
第10回	自分の意見をいう	何かに対して賛成か反対か、自分の態度を決め、その理由を述べるために考える。
第11回	リスニング	自分の意見を述べているプレゼンテーションを聞き、その内容を理解して、構成を学ぶ。
第12回	プレゼンテーション	自分の意見を述べるプレゼンテーションを実践する。また、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、それぞれの良いところと改善できるところを発表者に伝える。
第13回	英会話（会話とリスニング）	クラスメートとともに大学のキャンパスで使う英会話を行う。また、同様の内容の英会話のリスニングを行う。
第14回	試験・まとめと解説	これまでの授業で学んだプレゼンテーションの構成方法を用いて筆記試験（エッセイ・ライティング）を行う。・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを事前に読み内容を理解しておく。

授業中に指示された課題を、次の授業までに行っておく。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Present Yourself 2 Viewpoints, Cambridge University Press.

【参考書】

『マーフィーのケンブリッジ英文法』（中級編）第3版、ケンブリッジ大学出版。

英語を理解する上で重要な文法を理解するのにとても役立ちます。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、期末試験（30%）、授業内プレゼンテーション（50%）の合計で評価します。60点以上で合格です。

4回以上欠席すると単位は与えられませんので注意してください。毎回授業のはじめに出席カードを配りますので、その時に教室にいない学生は欠席とみなします。また、公共交通機関の遅延等を除いた遅刻も欠席とします。公共交通機関の遅延等の場合は遅延証明証を持参してください。

【学生の意見等からの気づき】

本授業は学生の皆さんの積極的な参加を求めます。

学生一人ひとりが発表するだけでなく、発表を聞くことも重要な授業の一部となっています。

皆さんが積極的に授業に参加するほど本授業はより内容の濃いものとなりますので、積極的に楽しんで授業に参加してください。

【その他の重要事項】

授業時間の前後に、教室にて学生からの質問等を受けます。

授業には必ず辞書を持参してください。

【Outline (in English)】

授業の概要 (Course outline)

In this class, you develop mainly listening and speaking ability. Specifically, you will learn how to give a presentation.

First, you will understand the way of organizing a presentation.

This will include how to make an introduction, a body paragraph, and a conclusion which constitute a presentation.

Then, you will make and give a presentation on a specific topic.

By doing so, you understand the difference between Japanese and English and learn how to think logically.

In other words, you find English not as a tool but a point of view so that you get a chance to think who you are.

到達目標 (Learning Objectives)

1: The goals of this course are to understand the structure of essay, to be able to write essays, and give presentations.

授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 20%、Presentations : 50%、in class contribution: 20%、assignments: 10%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - I

2017年度以降入学者

森永 豊

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SDGs Goalsに焦点を絞り、Webサイトや映像・音声素材を使って、スピーキングとリスニングを中心に学ぶ。持続可能性に関わる各テーマについて耳から情報を吸収し、英語でアウトプットするプロセスに習熟する。

【到達目標】

・時事問題に関する英語情報に耳と活字からアクセスする基礎的な能力を持つ。

・そうした情報に基づいて自分の意見を形成し、これを簡潔な英語で述べる基礎能力を持つ。

・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリスニングで自分のアイデアを話せる。

・英語で質疑応答ができる。

・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。

・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業1回でひとつのSDGs Goalを学習し、それを基礎にスピーキング課題に取り組む。スピーキングのためにスクリプトやスライド資料を作成する。その作成方法についての講義、添削指導は、授業内およびGoogle Classroomというクラス管理システム上で、個別に行う。隔回でディクテーションを行い、授業内で正解を公表し、フレーズや構文指導を行う。成績はGoogle Classroomで個別に公表する。ディクテーションとは表現力と構文知識を高め、英語を正確に聞き取って綴る能力を高めるトレーニングである。

授業ではネットの音声素材を利用する。またパソコンなどから、Googleや講師が作成したウェブアプリケーションを使う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業概要とテキストの説明	・ 授業の概要と進め方 ・ 成績評価の基準についての説明 ・ テキストの説明 ・ 小テスト
2	SDGs Goal	・ Goalの内容確認 ・ 小テスト（予備日）
3	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーションの方法と心構え ・ グループ構成の発表 ・ ディクテーション課題1（授業内） ・ 単語練習1
4	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成） ・ グループワーク

5	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク ・ ディクテーション課題2（以降、授業外） ・ 単語練習2
6	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク
7	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ 発表資料の提出 ・ プレゼンテーション本番 ・ 英語での質疑応答 ・ 投票用紙の提出 ・ ディクテーション課題3 ・ 単語練習3
8	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーション課題のフィードバック作業
9	SDGs Goal	・ Goalの内容確認 ・ ディクテーション課題4
10	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ グループ構成の発表 ・ 単語テスト
11	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク ・ ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク
13	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク
14	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ 発表資料の提出 ・ プレゼンテーション本番 ・ 英語での質疑応答 ・ 投票用紙の提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業はあらかじめ指定したSDGs Goalの予習、あるいは宿題の取り組みを前提にして進める。各Goalの項目はウェブ上で確認できる。プレゼンテーションに向けてスクリプトやパワーポイントの作成、予行演習を行う。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

・『LINKS 1500 ―大学生のためのトピック別必修英単語―』、金星堂、2013年、1800円（税別）（以下のURLで無料でダウンロードできる音声ファイルが付属している。<http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963>）
・綿貫陽、マーク・ピーターセン（共著）、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円（税込）
・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード 英語類語活用辞典』、オックスフォード 大学出版局、2008年、4700円（税別）その他、授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

・スピーキング課題 50%
・授業内のパフォーマンス 15%
・ディクテーション課題 25%
・単語テスト 10%

欠席が 4 回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。
30 分以上の遅刻は欠席と見なし、3 回の遅刻は欠席 1 回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

本授業で必要となるオンラインツールは Google Classroom である。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザは Firefox、Google Chrome、Safari を推奨。Internet Explorer は非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

You learn English speaking and listening skills. Websites and Videos of recent CNN news on SDGs are the main learning materials. You are required to form your opinions about the topics on sustainability and to speak them out in English.

Objectives

- Ability to listen to English on current issues
- Ability to form your arguments about them and make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. Each unit (goal) in the text contains exercises; you are required to solve them before coming to a class as your homework. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Presentation assignments 50%
- Performances in a class 15%
- Dictation assignments 25%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - II

2017年度以降入学者

森永 豊

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SDGs Goalsに焦点を絞り、Webサイトや映像・音声素材を使って、スピーキングとリスニングを中心に学ぶ。持続可能性に関わる各テーマについて耳から情報を吸収し、英語でアウトプットするプロセスに習熟する。

【到達目標】

- ・時事問題に関する英語情報に耳と活字からアクセスする基礎的な能力を持つ。
- ・そうした情報に基づいて自分の意見を形成し、これを簡潔な英語で述べる基礎能力を持つ。
- ・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリスニングで自分のアイデアを話せる。
- ・英語で質疑応答ができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業1回でひとつのSDGs Goalを学習し、それを基礎にスピーキング課題に取り組む。スピーキングのためにスクリプトやスライド資料を作成する。その作成方法についての講義、添削指導は、授業内およびGoogle Classroomというクラス管理システム上で、個別に行う。隔回でディクテーションを行い、授業内で正解を公表し、フレーズや構文指導を行う。成績はGoogle Classroomで個別に公表する。ディクテーションとは表現力と構文知識を高め、英語を正確に聞き取って綴る能力を高めるトレーニングである。授業ではネットの音声素材を利用する。またパソコンなどから、Googleや講師が作成したウェブアプリケーションを使う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業概要とテキストの説明	・ 授業の概要と進め方 ・ 成績評価の基準についての説明 ・ テキストの説明 ・ 小テスト
2	SDGs Goal	・ Goalの内容確認 ・ 小テスト（予備日）
3	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーションの方法と心構え ・ グループ構成の発表 ・ ディクテーション課題1（授業内） ・ 単語練習1
4	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成） ・ グループワーク

5	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク ・ ディクテーション課題2（以降、授業外） ・ 単語練習2
6	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク
7	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ 発表資料の提出 ・ プレゼンテーション本番 ・ 英語での質疑応答 ・ 投票用紙の提出 ・ ディクテーション課題3 ・ 単語練習3
8	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーション課題のフィードバック作業
9	SDGs Goal	・ Goalの内容確認 ・ ディクテーション課題4
10	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ グループ構成の発表 ・ 単語テスト
11	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク ・ ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク
13	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク
14	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ 発表資料の提出 ・ プレゼンテーション本番 ・ 英語での質疑応答 ・ 投票用紙の提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業はあらかじめ指定したSDGs Goalの予習、あるいは宿題の取り組みを前提にして進める。各Goalの項目はウェブ上で確認できる。プレゼンテーションに向けてスクリプトやパワーポイントの作成、予行演習を行う。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

- ・『LINKS 1500 ―大学生のためのトピック別必修英単語―』、金星堂、2013年、1800円（税別）（以下のURLで無料でダウンロードできる音声ファイルが付属している。<http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963>）
- ・綿貫陽、マーク・ピーターセン（共著）、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円（税込）
- ・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード 英語類語活用辞典』、オックスフォード 大学出版局、2008年、4700円（税別）その他、授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- ・スピーキング課題 50%
- ・授業内のパフォーマンス 15%
- ・ディクテーション課題 25%
- ・単語テスト 10%

欠席が 4 回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。30 分以上の遅刻は欠席と見なし、3 回の遅刻は欠席 1 回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

本授業で必要となるオンラインツールは Google Classroom である。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザは Firefox、Google Chrome、Safari を推奨。Internet Explorer は非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

You learn English speaking and listening skills. Websites and Videos of recent CNN news on SDGs are the main learning materials. You are required to form your opinions about the topics on sustainability and to speak them out in English.

Objectives

- Ability to listen to English on current issues
- Ability to form your arguments about them and make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. Each unit (goal) in the text contains exercises; you are required to solve them before coming to a class as your homework. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Presentation assignments 50%
- Performances in a class 15%
- Dictation assignments 25%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - I

2017年度以降入学者

大曲 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNN International シリーズ2025年版を教材として、経済不況や震災、ウクライナ情勢といった世界的な混迷の中にあつての世界情勢を、ナマのニュース英語で理解していく。

6回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

【到達目標】

タイムリーなトピックを取り上げ、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング学習を通して、英語資格試験のためではなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力、批判的な視点の持ち方を身に着けていく。高い英語力だけでなく、社会的教養を身に着けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

本授業は全14回中8回を対面型授業、6回をオンライン授業（授業動画を配信するオンデマンド型）とする。

ほぼ2回の授業で1つのUnitを学習する。1回目の授業では授業動画を視聴し、各自**Definition**と**Examples**を完成させ、かつニュースの音声聞いてディクテーションして空欄を埋め、配布の**Answer sheet**に解答して**Open LMS**を通して締め切り日までに提出する。2回目の授業（対面）では、全員がニューススクリプトを完成させていることを前提に内容理解を行い、内容に関連したプリント教材を学習する。

Unit一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、オンラインの時は**Open LMS**を通して指定の締め切り日までに提出し、それは**Open LMS**を通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。小テストは採点返却される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	時事問題プリント教材
2	Unit 1 ハリウッドで活用される最先端テクノロジー	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases 、ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
3	Unit 1 ハリウッドで活用される最先端テクノロジー	スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型
4	Unit 2 情報漏洩の疑いで米議会がTikTokを徹底追及	授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases 、ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。

5	Unit 2 情報漏洩の疑いで米議会がTikTokを徹底追及	Unit 1 小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases 、ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
6	Unit 3 西武鉄道が導入目指す多言語同時翻訳案内パネル	Unit 2 小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases 、ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
7	Unit 3 西武鉄道が導入目指す多言語同時翻訳案内パネル	Unit 3 小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases 、ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
8	Unit 4 いま再び大注目海外でも脚光を浴びる日本初シティポップ	Unit 4 小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases 、ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
9	Unit 4 いま再び大注目海外でも脚光を浴びる日本初シティポップ	Unit 5 小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases 、ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
10	Unit 5 出征した男性に代わり危険な労働を担うウクライナの女性たち	Unit 6 小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases 、ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
11	Unit 5 出征した男性に代わり危険な労働を担うウクライナの女性たち	Unit 7 小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases 、ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
12	Unit 6 悲惨な戦時下で生を受けるガザの赤ちゃん	Unit 8 小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases 、ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
13	Unit 6 悲惨な戦時下で生を受けるガザの赤ちゃん	Unit 9 小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases 、ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
14	これまでのまとめと期末試験	これまでのまとめ 期末まとめテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業動画を配信するオンデマンド型授業では、授業動画を視聴し、ニュース音声をしっかりと聞いてディクテーションを行う。テキストの**Definition**をしっかりと調べて完成させ、指定の締め切り日までに提出する。**Examples**部分は採点し返却される。対面授業の際にはニューススクリプトが完成されていることを前提として内容理解の授業を行うので未知の語彙などがあれば調べておく。オンラインの週の学習時間をしっかり取って行う。

【テキスト（教科書）】

CNN ビデオで見る世界のニュース (26)
朝日出版 2420円(税込)

【参考書】

特になし。

辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

●授業動画配信オンデマンド授業時 課題提出 10%・・・Examples
は採点する。1点×10問＝10点 (Answer

Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする)

●対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10点×5回分 50点 30%

●期末試験 50%

*欠席4回以上で、単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回Answer Sheet の回答欄が
全て記載されている（空欄の内容全て解答している）、及び毎回指定
された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出
席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

Unit に関連したプリント教材を配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書のQRコードから音声
をスマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業はオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用する
か、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understand-
ing the international situation, an environmental problem,
natural disasters, culture
and so on through CNN original English.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency,
critical thinking and social skills through listeing, reading ,
writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom 】

Before each class meeting, students will be expected to spend
one hour to understand the course content and have read the
relevant chapter and completed the assignments.

【 Grading Criteria 】

Your overall grade in the class will be decided based on the
following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - II

2017年度以降入学者

大曲 陽子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNN International シリーズ2025年版を教材として、経済不況や震災、ウクライナ情勢といった世界的な混迷の中にあつての世界情勢を、ナマのニュース英語で理解していく。

6回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

【到達目標】

タイムリーなトピックを取り上げ、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング学習を通して、英語資格試験のためではなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力、批判的な視点の持ち方を身に着けていく。高い英語力だけでなく、社会的教養を身に着けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

本授業は全14回中8回を対面型授業、6回をオンライン授業（授業動画を配信するオンデマンド型）とする。

ほぼ2回の授業で1つのUnitを学習する。1回目の授業では授業動画を視聴し、各自DefinitionとExamplesを完成させ、かつニュースの音声聞いてディクテーションして空欄を埋め、配布のAnswer sheetに解答してOpen LMSを通して締め切り日までに提出する。2回目の授業（対面）では、全員がニューススクリプトを完成させていることを前提に内容理解を行い、内容に関連したプリント教材を学習する。

Unit一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、オンラインの時はOpen LMSを通して指定の締め切り日までに提出し、それはOpen LMSを通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。小テストは採点返却される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	時事プリント教材
2	Unit 7 米国からメキシコは押し寄せるノマドワーカーに住民困惑	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
3	Unit 7 米国からメキシコは押し寄せるノマドワーカーに住民困惑	スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型
4	Unit 8 学生ローン地獄にあえぐ米国のミレニアム世代	授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。

5	Unit 8 学生ローン地獄にあえぐ米国のミレニアム世代	Unit 7 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
6	Unit 9 化粧品に夢中のアルファ世代	Unit 8 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
7	Unit 9 化粧品に夢中のアルファ世代	Unit 9 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
8	Unit 10 物流の2024年問題時間外労働の規制始まる	Unit 10 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
9	Unit 10 物流の2024年問題時間外労働の規制始まる	Unit 9 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
10	Unit 11 期待高まるアルツハイマー病治療最前線	Unit 10 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
11	Unit 11 期待高まるアルツハイマー病治療最前線	Unit 11 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
12	Unit 12 インドネシア政府が進める新首都ヌサンタラ建設計画	Unit 12 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
13	Unit 12 インドネシア政府が進める新首都ヌサンタラ建設計画	Unit 11 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
14	これまでのまとめと期末試験	これまでのまとめと期末まとめテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業動画を配信するオンデマンド型授業では、授業動画を視聴し、ニュース音声をしっかりと聞いてディクテーションを行う。テキストのDefinitionをしっかりと調べて完成させ、指定の締め切り日までに提出する。Examples部分は採点し返却される。対面授業の際にはニューススクリプトが完成されていることを前提として内容理解の授業を行うので未知の語彙などがあれば調べておく。オンラインの週の学習時間をしっかり取って行う。

【テキスト（教科書）】

CNN ビデオで見る世界のニュース (26)
朝日出版 2420円(税込)

【参考書】

特になし。
辞書必携。

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

●授業動画配信オンデマンド授業時 課題提出 10%・・・Examples
は採点する。1点×10問＝10点 (Answer
Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする)

●対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10点×5回分 50点 30%

●期末試験 50%

*欠席4回以上で、単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回Answer Sheet の回答欄が
全て記載されている（空欄の内容全て解答している）、及び毎回指定
された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出
席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

Unit に関連したプリント教材を配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書のQRコードから音声
をスマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業はオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用する
か、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understand-
ing the international situation, an environmental problem,
natural disasters, culture
and so on through CNN original English.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency,
critical thinking and social skills through listeing, reading ,
writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom 】

Before each class meeting, students will be expected to spend
one hour to understand the course content and have read the
relevant chapter and completed the assignments.

【 Grading Criteria 】

Your overall grade in the class will be decided based on the
following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - I

2017年度以降入学者

吉川 直澄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

映像を楽しみながら、4技能のバランスの良い学習効果を念頭に置きつつ、主として音声上の英語運用能力を養う。効果的に英語を聞き取り意味をつかむ力を養う。情報の受容から発信へのプロセスを重視する。春学期では量よりも正確さを重視し、論理的思考力・文化/教養・言語知識の習得を行なう。

【到達目標】

大抵のイギリス映画およびハリウッド映画なら英語音声でそれなりに楽しむことができる。短い会話、ニュース、アナウンス、ナレーションなどが聞きとれ、自分の意思を伝える表現力がつく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

イギリス映画『ノッティング・ヒルの恋人』を他の作品と比較しつつ、通年で鑑賞し、生きた英語表現と現代イギリス文化を学ぶ。課題等の提出や全体に対するフィードバックは「学習支援システム」を通じて全体に対して行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	Guidance / 第1回課題の提示	授業テーマの確認／授業・成績評価の方法の説明／教科書の予習・復習の仕方／課題の提示
②	Unit 1 William's Notting Hill & 'She'(1)	Transcript の精読／仮定法過去完了／前回のフィードバック・課題レポートの指示
③	Unit 1 William's Notting Hill & 'She'(2)	Unit 1 問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示／自己紹介の英語表現
④	Unit 2 Surreal, But Nice (1)	Transcript の精読／前置詞／前回のフィードバック・課題レポートの指示
⑤	Unit 2 Surreal, But Nice (2)	Unit 2 問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示／電話の応対の英語表現
⑥	Unit 3 A Goddess Is A Movie Star (1)	Transcript の精読／現在完了形／前回のフィードバック・課題レポートの指示
⑦	Unit 3 A Goddess Is A Movie Star (2)	Unit 3 問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示／インタビューの英語表現
⑧	Unit 4 Birthday Party (1)	Transcript の精読／進行形の使い方／前回のフィードバック・課題レポートの指示
⑨	Unit 4 Birthday Party (2)	Unit 4 問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示／困惑を表す英語表現

- ⑩ Unit 5 A Date With Anna (1) Transcript の精読／否定／前回のフィードバック・課題レポートの指示／文化的背景：Beatrix Potter
- ⑪ Unit 5 A Date With Anna (2) Unit 5 問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示／依頼する英語表現・希望を伝える英語表現
- ⑫ Intermission: Paddington 2 この映画の俳優たちが出ている他の作品の一部を鑑賞し、彼らの発音とアクセントに慣れてきたかどうかチェックする。但しネット上のコンテンツの状況により教材を変更する場合もある。／前回のフィードバック・課題レポートの指示
- ⑬ 復習と学期末レポート課題の説明 Unit 1からUnit 5の各設問の復習を行い、学生の皆さんの答案を編集する。／前回のフィードバック・課題レポートの指示
- ⑭ 学期末文法・語彙確認テスト／学期末レポートの提示／まとめと解説 学期末の文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示し、レポートに関する質問等に答える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習と復習。テキストを何度も音読すること。学生の皆さんは英語専用のノートを作り、テキストから覚えるべき表現や単語を書き出し必ず例文も記入しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『ノッティング・ヒルの恋人』、Richard Curtis, 松柏社、ISBN978-4-88198-590-8, 2200円

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

全13回の課題レポート (45%)、三段階評価する学期末レポート課題 (30%)、学期末に実施する文法・語彙確認テスト (20%)、授業への積極的な参加・貢献 (5%) を総合して評価する。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとする。なお、この授業を受講する学生は必ず第一回目の授業に出席すること。欠席回数が4回以上になった者は原則として単位習得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

映画を通じて英米の文化や言葉に関心をさらに持ってもらえるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は「学習支援システム」を使用する。

【その他の重要事項】

指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。受講生には、毎回の課題レポートをきちんと全て提出すること、学期末レポート課題の提出期限を守ることを銘記してもらいたい。それが単位習得のための最善策である。授業終了後に質問等を受け付ける。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To provide students with a general grounding in both speaking and listening skills, balancing all four skills of reading, writing, speaking and listening.
2. To promote the development of effective listening skills.
3. To train students in essential skills of constructing logically-organized paragraphs, drawing attention to the basic paragraph structure.
4. To introduce students to the English language and its cultural literacy.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic listening skills for watching most of British films (or Hollywood movies) without subtitles.
- extend their listening skills for understanding short talks, news, announcements and narrations.
- develop basic abilities to express their thoughts and opinions with accuracy.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least an hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria/Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 30%,
final test: 20% and in-class contribution: 5%.

Students will not be able to pass this course if they miss more than 3 class periods a semester except in extreme circumstances.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - II

2017年度以降入学者

吉川 直澄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続いて、秋学期でも主として音声上の英語運用能力を養うことに主眼を置いて、映像を楽しみつつ、4技能をバランス良く伸ばすための基礎力の仕上げにかかる。情報の受容から発信へのプロセスを重視して、量を消化することを重視し、論理的思考力・文化・教養・言語知識の習得を行なう。

【到達目標】

大抵のイギリス映画やハリウッド映画なら英語音声でも楽しむことができる。映画の背景にある英米文化に関する知識が深まる。通常会話であれば、要点を理解し、適切に回答できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

イギリス映画『ノッティング・ヒルの恋人』を他の作品と比較しつつ、引き続き鑑賞し、生きた英語表現と現代イギリス文化を学ぶ。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行なう。フィードバックは授業課題の提出レポートからいくつかの問題点を取り上げ、全体に対して行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	Guidance/学期末レポート課題のフィードバックと論評：秋学期最初の課題レポート	学期末レポート課題の全体に対するフィードバックと問題点の指摘と解説／課題レポートの指示
②	Unit 6 She's Gone (1)	Transcript の精読／関係副詞／前回のフィードバック・課題レポートの指示
③	Unit 6 She's Gone (2)	Unit 6 の問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示 驚きを示す英語表現
④	Unit 7 She's Back (1)	Transcript の精読／関係詞の非制限用法／前回のフィードバック・課題レポートの指示
⑤	Unit 7 She's Back (2)	Unit 7 の問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示／説得・提案の英語表現
⑥	Unit 8 Rude Awakening (1)	Transcript の精読／It の特別用法（先行の it）／前回のフィードバック・課題レポートの指示
⑦	Unit 8 Rude Awakening (2)	Unit 8 の問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示／パーティー等でのスピーチの英語表現
⑧	Unit 9 Like Me Again (1)	Transcript の精読／分詞構文／前回のフィードバック・課題レポートの指示

- ⑨ Unit 9 A Plot against Miranda (2) Unit 9 の問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示／丁寧な依頼の英語表現／文化的背景：Henry James
- ⑩ Unit 10 The Right Decision - The Meaning of My Life is She (1) Transcript の精読／比較／前回のフィードバック・課題レポートの指示
- ⑪ Unit 10 The Right Decision - The meaning of My Life is She (2) Unit 10 の問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示／道案内の英語表現
- ⑫ Post feminism in contemporary British film Sarah Hill の 'Young women, Girls and Post feminism in contemporary British Film' (2022) の序章 'Girlhood and contemporary British cinema' の抜粋を読む。／前回のフィードバック・課題レポートの指示
- ⑬ 復習と学期末レポート課題の説明 Unit 6 から Unit 10 の各問題を復習し、提出された皆さんの解答を編集する。／前回のフィードバック・課題レポートの指示
- ⑭ 学期末文法・語彙確認テスト／学期末レポートの提示／まとめと解説 学期末文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示する。提出期限を指示し、質問等に答える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習と復習。テキストを何度も音読すること。学生の皆さんは英語専用のノートを作成し、覚えるべき表現や単語を書き出し必ず例文も記入しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を目安とする。

【テキスト（教科書）】

『ノッティング・ヒルの恋人』、Richard Curtis, 松柏社、ISBN978-4-88198-590-8, 2200円

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

全13回の課題レポート(45%)、三段階評価する学期末レポート課題(30%)、学期末に実施する文法・語彙確認テスト(20%)、授業への積極的な参加・貢献(5%)を総合して評価する。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとする。なお、この授業を受講する学生は必ず第一回目の授業に出席すること。欠席回数が4回以上になった者は原則として単位習得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

映画を通じて英米の文化や言葉に関心を持ってもらえるようにさらに努力します。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は「学習支援システム」を使用する。

【その他の重要事項】

指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。受講者には、毎回の課題レポートをきちんと全て提出すること、学期末レポート課題の提出期限を守ることを銘記してもらいたい。それが単位習得のための最善策である。授業終了後に質問等を受け付ける。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To provide students with a general grounding in both speaking and listening skills, balancing all four skills of reading, writing, speaking and listening.
2. To promote the development of effective listening skills.

3. To train students in essential skills of constructing logically-organized paragraphs, drawing attention to the basic paragraph structure.

4. To introduce students to the English language and its cultural literacy.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic listening skills for watching most of British films (or Hollywood movies) without subtitles.
- learn how British cinema interacts with the political, socioeconomic, cultural aspects of British life.
- extend their listening skills for understanding short talks, news, announcements and narrations.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least an hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria/Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 30%, final test: 20% and in-class contribution: 5%.

Students will not be able to pass this course if they miss more than 3 class periods a semester except in extreme circumstances.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - I

2017年度以降入学者

高橋 佳江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常生活や現代社会のさまざまなトピックについての自分の知識、意見を、口頭および文章で効果的に表現する力を養います。

また関心の高いトピックについて、レベルに応じてプレゼンテーションやスピーチ、ディスカッションなどを行う練習をします。「聞く力」の育成も、授業の一環として行います。

【到達目標】

教科書で学んだ語彙や定型表現を使って、観光や海外旅行での様々な場面で双方向的コミュニケーションができるようになることを目指す。

またナチュラルスピードで話される英語を聞き取ることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、予習を毎回必ず行うことを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書（電子辞書可）、授業用ノートをお忘れずに持ってくる。適宜、発表、レポートを課す。対面授業の際はその都度フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	この授業の進め方などを詳しく説明する
2	イントロダクション	基礎的な文法事項の確認
3	第1課 Travel-1	この教科書の使い方 第1課 単語 ディクテーション
4	第1課 Travel-2	リーディング 口頭練習
5	第2課 Jobs and People-1	第1課小テスト 単語 ディクテーション
6	第2課 Jobs and People-2	リーディング 口頭練習
7	第3課 Getting on the Plane-1	第2課単語テスト 単語 ディクテーション
8	第3課 Getting on the Plane-2	リーディング 口頭練習
9	第4課 At the Immigration and Customs-1	第3課小テスト 単語 ディクテーション
10	第4課 At the Immigration and Customs-2	リーディング 口頭練習
11	第5課 At the Airport-1	第4課小テスト 単語 ディクテーション

12	発表 (教科書に関連したもので詳細は授業時に説明)	発表事項について調べる
13	授業時試験	復習と試験
14	予備日	発表、復習など

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。NHK語学講座・単語帳作成・単語・熟語のチェック等など行ってください。

【テキスト（教科書）】

ベーシック観光英語
観光英検センター著 2014年 三修社 2000円
ISBN 978-4-384-33437-1

【参考書】

辞書（電子辞書可）を必ず持ってくる。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60 %
小テスト 10 %
レポート課題・発言点 20 %
平常点 10 %
欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。
遅刻は3回で欠席1回に換算される。
各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

オンライン時でも連絡を密に取りたいです。

【Outline (in English)】

Course outline

The primary objective of this class is to develop students' listening skills and to improve abilities in practical conversations when travelling

Learning Objectives

Students will develop the ability to effectively express their knowledge and opinions, both orally and in writing, on a variety of topics in daily life and contemporary society.

Students will also practice giving presentations, speeches, and discussions on topics of interest to them, depending on their level. Listening skills will also be developed as part of the class.

Learning activities outside of classroom

The standard preparation and review time for this class is one hour.

Please use the NHK language course, make a vocabulary book, check words and phrases, etc.

Grading Criteria/Policy

Final exam 60%

Quiz: 10%.

Report assignment and remarks: 20%.

Ordinary points 10%.

If you are going to be absent, you must submit a report of your absence.

Three tardies will count as one absence.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - II 2017年度以降入学者

高橋 佳江

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常生活や現代社会のさまざまなトピックについての自分の知識、意見を、口頭および文章で効果的に表現する力を養います。

また関心の高いトピックについて、レベルに応じてプレゼンテーションやスピーチ、ディスカッションなどを行う練習をします。「聞く力」の育成も、授業の一環として行います。

【到達目標】

教科書で学んだ語彙や定型表現を使って、観光や海外旅行での様々な場面で双方向的コミュニケーションが口頭および文章でできるようになることを目指す。

またナチュラルスピードで話される英語を聞き取ることを目指す。海外旅行で使う表現を覚えることで、会話のインプット・アウトプットを行う。

ボキャブラリーやフレーズを覚えてパターンプラクティスを行い、英語によるコミュニケーションの幅を広げていく。また、そのために必要な効果的な辞書の使い方を学ぶ。

春学期に引き続きより滑らかにシャドーイングができるようにしていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、予習を毎回必ず行うことを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書（電子辞書可）、授業用ノートを必ず忘れずに持ってくる。適宜、発表、レポートを課す。対面授業の際はその都度フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	秋学期の授業の進め方など
2	第5課 At the Airport-2	リーディング 口頭練習
3	第6課 Hotel (Accommodations)-1	単語 ディクテーション
4	第6課 Hotel (Accommodations)-2	リーディング 口頭練習
5	第7課 Restaurant (Breakfast and Fast Food)-1	第6課小テスト 単語 ディクテーション
6	第7課 Restaurant (Breakfast and Fast Food)-2	リーディング 口頭練習
7	第8課 Sightseeing-1	第7課小テスト 単語 ディクテーション

8	第8課 Sightseeing-2	リーディング 口頭練習
9	第9課 Shopping-1	第8課小テスト 単語 ディクテーション
10	第9課 Shopping-2	リーディング 口頭練習
11	第10課 Transportation-1	第9課小テスト 単語 ディクテーション
12	発表 (英語劇)	発表事項について調べる
13	授業時試験	復習と試験
14	予備日	復習・発表など

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。NHK語学講座・単語帳作成・単語・熟語のチェック等など行ってください。

【テキスト（教科書）】

ベーシック観光英語
観光英検センター著 2014年 三修社 2000円
ISBN 978-4-384-33437-1

【参考書】

辞書（電子辞書可）を必ず持ってくる。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60 %
小テスト 10 %
レポート課題・発言点 20 %
平常点 10 %
欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。
遅刻は3回で欠席1回に換算される。
各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

オンライン時でも連絡を密に取りたいです。

【Outline (in English)】

Course outline

The primary objective of this class is to develop students' listening skills and to improve abilities in practical conversations when travelling.

Learning Objectives

Students will develop the ability to effectively express their knowledge and opinions, both orally and in writing, on a variety of topics in daily life and contemporary society.

Students will also practice giving presentations, speeches, and discussions on topics of interest to them, depending on their level. Listening skills will also be developed as part of the class.

Learning activities outside of classroom

The standard preparation and review time for this class is one hour.

Please use the NHK language course, make a vocabulary book, check words and phrases, etc.

Grading Criteria/Policy

Final exam 60%

Quiz: 10%.

Report assignment and remarks: 20%.

Ordinary points 10%.

If you are going to be absent, you must submit a report of your absence.

Three tardies will count as one absence.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - I

2017年度以降入学者

今井 澄子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

音声教材を使用し、ディクテーションやリスニングテストを通じて聴解力を高め、口頭での表現力につなげる。また、英語によるプレゼンテーションを行い、英語の論理展開のしかたを理解するとともに、英語を書く力、話す力を養成する。

【到達目標】

日本について外国人がどのように思っているかをレポート、スタジオディスカッションなどから知ることができるDVD教材でDictation能力を、TOEIC®形式のリスニングテストで聴解力および身の回りの事柄を英語で話す能力を身につける。英語プレゼンテーションを通じてパブリックスピーキングに慣れ、質疑応答で会話を高める。英語でコメントやスピーチ原稿を作成し、英語表現力を高める。また、写真説明スピーキングや質疑応答を通して英会話力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業初めに毎回リスニング小テストを行う。その後DVDを視聴し、英文スクリプトのディクテーションを行う。DVDの内容について短い英文コメントを書いたり、テキストのサンプル英会話をもとにして質疑応答を行うこともある。また、学期後半には、英語によるプレゼンテーションを行う。スピーチ原稿作成では、プリント教材で英語の論理構成を学習し、英文原稿の添削指導を行う。プレゼンテーションでの話し方はDVDで学び、英語による写真描写Speaking問題と発音練習によりスピーチに備える。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	リスニング、スピーキングと英語プレゼンテーションについて	授業の進め方。成績評価の基準などを説明する
第2回	Listening小テスト1 英語を書くときのポイント1	Ceremony聴解 「これをやると大減点」のよくある誤り
第3回	Listening小テスト2 英語を書くときのポイント2	School Life聴解 「日本語を英単語に置き換えるだけでは英文にならない」
第4回	Listening小テスト3 DVDによる Dictation 1	Transportation聴解 Unit1老舗 PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第5回	Listening小テスト4 DVDによる Dictation 2	Outdoor Activities聴解 Unit2制服 PartI, PartII Short Reading Comment Writing

第6回	Listening小テスト5 DVDによる Dictation 3	Weather聴解 Unit3 ボランティア PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第7回	Listening小テスト6 DVDによる Dictation 4	Holiday Plans聴解 Unit4 ハイテク生活 PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第8回	Listening小テスト7 DVDによる Dictation 5	Resort Area聴解 Unit5和食器 PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第9回	Listening小テスト8 DVDによる Dictation 6 プレゼンテーションの方法	Directions聴解 Unit6主婦 PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第10回	Listening小テスト9 プレゼンテーションの方法と英文原稿の論理構成	Job Experience聴解 英語Paragraph構成 PPT ファイルへの音声録音 英語Speech実演DVD視聴
第11回	Listening小テスト10 プレゼンテーション原稿作成（1）	Summer Sale聴解 Introduction-Body-Conclusion のスピーチ原稿作成1 (写真説明)
第12回	Listening小テスト11 プレゼンテーション原稿作成（2）	Review Test1・2聴解 Introduction-Body-Conclusion のスピーチ原稿を作成2 (写真説明)
第13回	プレゼンテーション	英語プレゼンテーション、質疑応答
第14回	復習と試験	試験(含Listening)・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Dictationに使うテキストのWeb 動画マークのある箇所は、無料ストリーミングで再生可能。リスニング小テストは毎回行うが、特に準備は必要ない。また、プレゼンテーションの英文原稿は授業中に作成するため自宅に持ち帰る必要はなく、授業中に作成したもの以外を使ってプレゼンテーションをすることは認めない。

【テキスト（教科書）】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂(PartIのDictation用スクリプトはコピー冊子を配布)

Practical Situations for the TOEIC® Test Listening (2020). 成美堂

このほか、Writing、Presentationなどについてのプリントを適宜使用する。

【参考書】

Longman Academic Writing Series

研究社「英語モードが身につくライティング」

【成績評価の方法と基準】

平常点50%（授業参加度10%、Listening小テスト平均点10%、プレゼンテーション原稿Writing10%、スピーチ音声10%、その他授業内課題10%）、期末試験50%。よって、評価点は試験50点、平常点50点で、合計100点とし、60%以上の得点で合格。授業初めにリスニング小テストを行うが、リスニングテスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、当日の小テスト点数も0点になる。遅刻・欠席は授業中にこなす課題の点が低くなり、評価点でたいへん不利になる。欠席が4回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

教科書DVD音声は実際のテレビ番組の音声をそのまま使っているため、英語ネイティブだけでなく他の言語が母語の人の音声もあり、言いどみや言いなおしがあって聴きづらいという意見があった。授業ではできる限り言い方や発音の癖や文法的誤りも指摘しながら進めるので、英語非ネイティブと英語でコミュニケーションする場面を想定して聴いてほしい。なお、Dictation試験などはテスト用に録音しなおした音声で実施し、スピードも授業で聴くものより遅い。ふだん聴いているものより楽だと感じることができる。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞書

【Outline (in English)】

This class focuses on listening and speaking English. The main textbook is composed of thirteen scripts of NHK Cool Japan, a TV program, and students have to fill in the blanks with words they dictate listening to a TV report and a studio discussion by foreigners in a DVD. The DVD has thirteen units such as Long-Established Business, Uniforms, Volunteer Work, High-Tech Living (Automobiles), Japanese Tableware, Homemakers of Japan, Seafood, Voice Actors, Japanized Foreign Dishes, Bags, Senior Citizens (Medical Checkups), Money, and Monkeys. Students can listen to English spoken not by a professional narrator but by ordinary people and this experience considerably contributes to improving listening proficiency. The sub textbook includes twenty-four short exams of TOEIC® style listening, and students must take a short exam at the beginning of every class. Through these two kinds of listening activities, students can acquire listening ability and a skill of daily conversation enough to express themselves. Using these English conversation skills, students try to explain what is seen in a photograph which is taken from TOEIC® speaking test. Moreover, they experience an English presentation, which enables them to have an opportunity of a public speaking to express his/her opinion and understand a logical way of English public speech writing. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students can listen to the English report and discussion in the textbook before class with streaming audio. They need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 50%, mini-listening test average score 10%, writing score 10%, speaking score 10%, and in class contribution 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - II

2017年度以降入学者

今井 澄子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

音声教材を使用し、ディクテーションやリスニングテストを通じて聴解力を高め、口頭での表現力につなげる。また、英語によるプレゼンテーションを行い、英語の論理展開のしかたを理解するとともに、英語を書く力、話す力を養成する。

【到達目標】

日本について外国人がどのように思っているかをレポート、スタジオディスカッションなどから知ることができるDVD教材でDictation能力を、TOEIC®形式のリスニングテストで聴解力および身の回りの事柄を英語で話す能力を身につける。英語プレゼンテーションを通じてパブリックスピーキングに慣れ、質疑応答で会話を高める。英語でコメントやスピーチ原稿を作成し、英語表現力を高める。また、写真説明スピーキングや質疑応答を通して英会話力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業初めに毎回リスニング小テストを行う。その後DVDを視聴し、英文スクリプトのディクテーションを行う。DVDの内容について短い英文コメントを書いたり、テキストのサンプル英会話をもとにして質疑応答を行うこともある。また、学期後半には、英語によるプレゼンテーションを行う。スピーチ原稿作成では、プリント教材で英語の論理構成を学習し、英文原稿の添削指導を行う。プレゼンテーションでの話し方はDVDで学び、英語による写真描写Speaking問題と発音練習によりスピーチに備える。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	英語の話し言葉と書き言葉 英文を書くときの形式	スピーチ原稿からレポート、エッセイへ レポート作成、引用と参考文献表示
第2回	Listening小テスト1 DVDによる Dictation 1	Restaurant聴解 Unit8 声優 PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第3回	Listening小テスト2 DVDによる Dictation 2	Arts & Entertainment聴解 Unit9和製料理 PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第4回	Listening小テスト3 DVDによる Dictation 3	Sports Events聴解 Unit10 かばん PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第5回	Listening小テスト4 DVDによる Dictation 4	Having a Party聴解 Unit11 シニア PartI, PartII Short Reading Comment Writing

第6回	Listening小テスト5 DVDによる Dictation 5	Health聴解 Unit12 お金 PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第7回	Listening小テスト6 DVDによる Dictation 6	Christmas聴解 Unit13 猿 PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第8回	Listening小テスト7 写真説明Speaking1	Cleanup聴解 Speaking & Writing TOEIC® 写真問題1
第9回	Listening小テスト8 写真説明Speaking2	Our Traditions & Customs 聴解 Speaking & Writing TOEIC® 写真問題2
第10回	Listening小テスト9 英文エッセイについて 英語による質疑応答	Examinations聴解 ParagraphからEssayへ 質疑応答練習
第11回	Listening小テスト10 プレゼンテーション 原稿作成（1）	Housing聴解 Introduction-Body- Conclusionのスピーチ原稿作成
第12回	Listening小テスト11 プレゼンテーション 原稿作成（2）	Review Test3・4聴解 Introduction-Body-Conclusion のスピーチ原稿を作成
第13回	プレゼンテーション	英語プレゼンテーションと質疑 応答
第14回	復習と試験	試験(含Listening)・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Dictationに使うテキストのWeb 動画マークのある箇所は、無料ストリーミングで再生可能。リスニング小テストは毎回行うが、特に準備は必要ない。また、プレゼンテーションの英文原稿は授業中に作成するため自宅に持ち帰る必要はなく、授業中に作成したものの以外を使ってプレゼンテーションをすることは認めない。

【テキスト（教科書）】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂(PartIのDictation用スクリプトはコピー冊子を配布)

Practical Situations for the TOEIC® Test Listening (2020). 成美堂

このほか、Writing、Presentationなどについてのプリントを適宜使用する。

【参考書】

Longman Academic Writing Series

研究社「英語モードが身につくライティング」

【成績評価の方法と基準】

平常点50%（授業参加度10%、Listening小テスト平均点10%、プレゼンテーション原稿Writing10%、スピーチ音声10%、その他授業内課題10%）、期末試験50%。よって、評価点は試験50点、平常点50点で、合計100点とし、60%以上の得点で合格。授業初めにリスニング小テストを行うが、リスニングテスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、当日の小テスト点数も0点になる。遅刻・欠席は授業中にこなす課題の点が低くなり、評価点でたいへん不利になる。欠席が4回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

教科書DVD音声は実際のテレビ番組の音声をそのまま使っているため、英語ネイティブだけでなく他の言語が母語の人の音声もあり、言いどみや言いなおしがあって聴きづらいという意見があった。授業ではできる限り言い方や発音の癖や文法的誤りも指摘しながら進めるので、英語非ネイティブと英語でコミュニケーションする場面を想定して聴いてほしい。なお、Dictation試験などはテスト用に録音しなおした音声で実施し、スピードも授業で聴くものより遅い。ふだん聴いているものより楽だと感じることができる。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞書

【Outline (in English)】

This class focuses on listening and speaking English. The main textbook is composed of thirteen scripts of NHK Cool Japan, a TV program, and students have to fill in the blanks with words they dictate listening to a TV report and a studio discussion by foreigners in a DVD. The DVD has thirteen units such as Long-Established Business, Uniforms, Volunteer Work, High-Tech Living (Automobiles), Japanese Tableware, Homemakers of Japan, Seafood, Voice Actors, Japanized Foreign Dishes, Bags, Senior Citizens (Medical Checkups), Money, and Monkeys. Students can listen to English spoken not by a professional narrator but by ordinary people and this experience considerably contributes to improving listening proficiency. The sub textbook includes twenty-four short exams of TOEIC® style listening, and students must take a short exam at the beginning of every class. Through these two kinds of listening activities, students can acquire listening ability and a skill of daily conversation enough to express themselves. Using these English conversation skills, students try to explain what is seen in a photograph which is taken from TOEIC® speaking test. Moreover, they experience an English presentation, which enables them to have an opportunity of a public speaking to express his/her opinion and understand a logical way of English public speech writing. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students can listen to the English report and discussion in the textbook before class with streaming audio. They need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 50%, mini-listening test average score 10%, writing score 10%, speaking score 10%, and in class contribution 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - I

2017年度以降入学者

小堀 洋

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

4技能のバランスの良い学習効果を念頭に置きつつ、主として音声上の英語運用能力を養う。情報の受容から発信へのプロセスを重視する。

具体的には、英語によるプレゼンテーションの方法を学びます。英語の文章構造は日本語のそれとは異なります。英語の論理を学ぶことで、論理的な思考方法とそれに基づいた意見の表明の仕方を身につけます。

単なるツールとしての英語ではなく、日本語とは異なるものの見方としての英語を学びます。そうすることで、日本語という言語の中で生きている自分たちがどのような存在なのか考えてみたいと思います。

【到達目標】

当授業ではプレゼンテーションを行うことを主としているので、人前で話をするできるようになります。そして、単に人前で話すだけではなく、どうしたら聞き手に話しかけ、聞き手を説得し、納得させることができるかがわかるようになります。英語の論理構造を知り、それを使うことができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

できるだけ多くの機会にクラスメートとペアで、あるいは一人で、発表のための原稿を作り、発表します。また、そのための方法を学びます。したがって、授業は、講義と演習、発表を取り混ぜたものになります。

授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。さらに、リアクションペーパーや課題等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

課題等の提出は「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	ガイダンス クラスメート紹介	オリエンテーション：シラバスに基づき講義内容を説明する。クラスメートにインタビューし、それをまとめて発表する。
第2回	尊敬する人・好きな人	自分が尊敬する人・好きな人は誰かを考えて、その理由などをまとめてみる。
第3回	リスニング	プレゼンテーションのイントロとコンクルージョンを聞き、それらの内容を理解し、さらにそれぞれの構成の仕方を学ぶ。
第4回	リスニング	プレゼンテーションのボディー部分を聞き、その内容を理解し、さらにその構成の仕方を学ぶ。
第5回	プレゼンテーション 原稿の作成	自分が尊敬する人・好きな人に関するプレゼンテーションの原稿を書く。

第6回	プレゼンテーション	各自が尊敬する人・好きな人に関するプレゼンテーションをするだけでなく、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、良いところと、改善できるところをまとめる。
第7回	英会話（リスニング）	日常的な内容の英会話のリスニングを行う。
第8回	ツアー・休暇の過ごし方を提案する	自分が思う最高・最良のツアーや休暇の過ごし方を考え、話し合う。
第9回	リスニング	ツアーや休暇の過ごし方に関するプレゼンテーションのイントロとコンクルージョンを聞き、それらの内容を理解し、さらにそれぞれの構成の仕方を学ぶ。
第10回	リスニング	ツアーや休暇の過ごし方に関するプレゼンテーションのボディー部分を聞き、その内容を理解し、さらにその構成の仕方を学ぶ。
第11回	プレゼンテーション 原稿の作成	ツアーや休暇の過ごし方を提案するプレゼンテーションの原稿を作成する。
第12回	プレゼンテーション	各自がツアーや休暇の過ごし方に関するプレゼンテーションをするだけでなく、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、良いところと、改善できるところをまとめる。
第13回	英会話	クラスメートとともに日常的な会話を英語で行う。
第14回	試験・まとめと解説	これまでの授業で学んだプレゼンテーションの構成方法を用いて筆記試験（エッセイ・ライティング）を行う。・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを事前に読み内容を理解しておく。

授業中に指示された課題を、次の授業までに行っておく。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Present Yourself 2 Viewpoints, Cambridge University Press.

【参考書】

『マーフィーのケンブリッジ英文法』（中級編）第3版、ケンブリッジ大学出版。

英語を理解する上で重要な文法を理解するのにとても役立ちます。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、期末試験（30%）、授業内プレゼンテーション（50%）の合計で評価します。60点以上で合格です。

4回以上欠席すると単位は与えられませんので注意してください。毎回授業のはじめに出席カードを配りますので、その時に教室にいない学生は欠席とみなします。また、公共交通機関の遅延等を除いた遅刻も欠席とします。公共交通機関の遅延等の場合は遅延証明証を持参してください。

【学生の意見等からの気づき】

本授業は学生の皆さんの積極的な参加を求めます。

学生一人ひとりが発表するだけでなく、発表を聞くことも重要な授業の一部となっています。

皆さんが積極的に授業に参加するほど本授業はより内容の濃いものとなりますので、積極的に楽しんで授業に参加してください。

【その他の重要事項】

授業時間の前後に、教室にて学生からの質問等を受けます。

授業には必ず辞書を持参してください。

【Outline (in English)】

授業の概要（Course outline）

In this class, you develop mainly listening and speaking ability. specifically, you will learn how to give a presentation.

First, you will understand the way of organizing a presentation.

This will include how to make an introduction, a body paragraph, and a conclusion which constitute a presentation.

Then, you will make and give a presentation on a specific topic.

By doing so, you understand the difference between Japanese and English and learn how to think logically.

In other words, you find English not as a tool but a point of view so that you get a chance to think who you are.

到達目標(Learning Objectives)

1:The goals of this course are to understand the structure of essay, to be able to write essays, and give presentations.

授業時間外の学習(Learning activities outside of classroom)

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

成績評価の方法と基準(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 20%、Presentations : 50%、in class contribution: 20%、assignments: 10%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - II

2017年度以降入学者

小堀 洋

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

4技能のバランスの良い学習効果を念頭に置きつつ、主として音声上の英語運用能力を養う。情報の受容から発信へのプロセスを重視する。

具体的には、英語によるプレゼンテーションの方法を学びます。英語の文章構造は日本語のそれとは異なります。英語の論理を学ぶことで、論理的な思考方法とそれに基づいた意見の表明の仕方を身につけます。

単なるツールとしての英語ではなく、日本語とは異なるものの見方としての英語を学びます。そうすることで、日本語という言語の中で生きている自分たちがどのような存在なのか考えてみたいと思います。

【到達目標】

当授業ではプレゼンテーションを行うことを主としているので、人前で話をするできるようになります。そして、単に人前で話すだけではなく、どうしたら聞き手に話しかけ、聞き手を説得し、納得させることができるかがわかるようになります。英語の論理構造を知り、それを使うことができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

できるだけ多くの機会にクラスメートとペアで、あるいは一人で、発表のための原稿を作り、発表します。また、そのための方法を学びます。したがって、授業は、講義と演習、発表を取り混ぜたものになります。

授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。さらに、リアクションペーパーや課題等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

課題等の提出は「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 今時の若者	オリエンテーション：シラバスに基づき講義内容を説明する。自分たちのライフスタイルなどに関するインタビューを考え、クラスメートにインタビューし、それをまとめる。
第2回	リスニング	今時の若者に関するプレゼンテーションのイントロとコンクルージョンを聞き、それらの内容を理解し、さらにそれぞれの構成の仕方を学ぶ。
第3回	リスニング	今時の若者に関するプレゼンテーションのボディー部分を聞き、その内容を理解し、さらにその構成の仕方を学ぶ。

第4回	プレゼンテーション	今時の若者に関するプレゼンテーションを実践する。また、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、それぞれの良いところと改善できるところを発表者に伝える。
第5回	英会話（リスニング）	日常的な内容の英会話のリスニングを行う。
第6回	説明しよう！	自分が知らないことについて考え、調べ、まとめる。
第7回	リスニング	物事を説明するプレゼンテーションを聞き、その内容を理解して、構成を学ぶ。
第8回	プレゼンテーション	各自が関心を持っている事を説明するプレゼンテーションを実践する。また、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、それぞれの良いところと改善できるところを発表者に伝える。
第9回	英会話（会話）	クラスメートとともに日常的な会話を英語で行う。
第10回	自分の意見をいう	何かに対して賛成か反対か、自分の態度を決め、その理由を述べるために考える。
第11回	リスニング	自分の意見を述べているプレゼンテーションを聞き、その内容を理解して、構成を学ぶ。
第12回	プレゼンテーション	自分の意見を述べるプレゼンテーションを実践する。また、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、それぞれの良いところと改善できるところを発表者に伝える。
第13回	英会話（会話とリスニング）	クラスメートとともに大学のキャンパスで使う英会話を行う。また、同様の内容の英会話のリスニングを行う。
第14回	試験・まとめと解説	これまでの授業で学んだプレゼンテーションの構成方法を用いて筆記試験（エッセイ・ライティング）を行う。・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを事前に読み内容を理解しておく。

授業中に指示された課題を、次の授業までに行っておく。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Present Yourself 2 Viewpoints, Cambridge University Press.

【参考書】

『マーフィーのケンブリッジ英文法』（中級編）第3版、ケンブリッジ大学出版。

英語を理解する上で重要な文法を理解するのにとても役立ちます。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、期末試験（30%）、授業内プレゼンテーション（50%）の合計で評価します。60点以上で合格です。

4回以上欠席すると単位は与えられませんので注意してください。毎回授業のはじめに出席カードを配りますので、その時に教室にいない学生は欠席とみなします。また、公共交通機関の遅延等を除いた遅刻も欠席とします。公共交通機関の遅延等の場合は遅延証明証を持参してください。

【学生の意見等からの気づき】

本授業は学生の皆さんの積極的な参加を求めます。

学生一人ひとりが発表するだけでなく、発表を聞くことも重要な授業の一部となっています。

皆さんが積極的に授業に参加するほど本授業はより内容の濃いものとなりますので、積極的に楽しんで授業に参加してください。

【その他の重要事項】

授業時間の前後に、教室にて学生からの質問等を受けます。

授業には必ず辞書を持参してください。

【Outline (in English)】

授業の概要 (Course outline)

In this class, you develop mainly listening and speaking ability. Specifically, you will learn how to give a presentation.

First, you will understand the way of organizing a presentation.

This will include how to make an introduction, a body paragraph, and a conclusion which constitute a presentation.

Then, you will make and give a presentation on a specific topic.

By doing so, you understand the difference between Japanese and English and learn how to think logically.

In other words, you find English not as a tool but a point of view so that you get a chance to think who you are.

到達目標 (Learning Objectives)

1: The goals of this course are to understand the structure of essay, to be able to write essays, and give presentations.

授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 20%、Presentations : 50%、in class contribution: 20%、assignments: 10%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - I

2017年度以降入学者

森永 豊

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SDGs Goalsに焦点を絞り、Webサイトや映像・音声素材を使って、スピーキングとリスニングを中心に学ぶ。持続可能性に関わる各テーマについて耳から情報を吸収し、英語でアウトプットするプロセスに習熟する。

【到達目標】

- ・時事問題に関する英語情報に耳と活字からアクセスする基礎的な能力を持つ。
- ・そうした情報に基づいて自分の意見を形成し、これを簡潔な英語で述べる基礎能力を持つ。
- ・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリスニングで自分のアイデアを話せる。
- ・英語で質疑応答ができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業1回でひとつのSDGs Goalを学習し、それを基礎にスピーキング課題に取り組む。スピーキングのためにスクリプトやスライド資料を作成する。その作成方法についての講義、添削指導は、授業内およびGoogle Classroomというクラス管理システム上で、個別に行う。隔回でディクテーションを行い、授業内で正解を公表し、フレーズや構文指導を行う。成績はGoogle Classroomで個別に公表する。ディクテーションとは表現力と構文知識を高め、英語を正確に聞き取って綴る能力を高めるトレーニングである。授業ではネットの音声素材を利用する。またパソコンなどから、Googleや講師が作成したウェブアプリケーションを使う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業概要とテキストの説明	・ 授業の概要と進め方 ・ 成績評価の基準についての説明 ・ テキストの説明 ・ 小テスト
2	SDGs Goal	・ Goalの内容確認 ・ 小テスト（予備日）
3	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーションの方法と心構え ・ グループ構成の発表 ・ ディクテーション課題1（授業内） ・ 単語練習1
4	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成） ・ グループワーク

5	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク ・ ディクテーション課題2（以降、授業外） ・ 単語練習2
6	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク
7	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ 発表資料の提出 ・ プレゼンテーション本番 ・ 英語での質疑応答 ・ 投票用紙の提出 ・ ディクテーション課題3 ・ 単語練習3
8	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーション課題のフィードバック作業
9	SDGs Goal	・ Goalの内容確認 ・ ディクテーション課題4
10	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ グループ構成の発表 ・ 単語テスト
11	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク ・ ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク
13	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク
14	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ 発表資料の提出 ・ プレゼンテーション本番 ・ 英語での質疑応答 ・ 投票用紙の提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業はあらかじめ指定したSDGs Goalの予習、あるいは宿題の取り組みを前提にして進める。各Goalの項目はウェブ上で確認できる。プレゼンテーションに向けてスクリプトやパワーポイントの作成、予行演習を行う。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

- ・『LINKS 1500 ―大学生のためのトピック別必修英単語―』、金星堂、2013年、1800円（税別）（以下のURLで無料でダウンロードできる音声ファイルが付属している。<http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963>）
- ・綿貫陽、マーク・ピーターセン（共著）、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円（税込）
- ・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード 英語類語活用辞典』、オックスフォード 大学出版局、2008年、4700円（税別）その他、授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- ・スピーキング課題 50%
- ・授業内のパフォーマンス 15%
- ・ディクテーション課題 25%
- ・単語テスト 10%

欠席が 4 回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。
30 分以上の遅刻は欠席と見なし、3 回の遅刻は欠席 1 回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

本授業で必要となるオンラインツールは Google Classroom である。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザは Firefox、Google Chrome、Safari を推奨。Internet Explorer は非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

You learn English speaking and listening skills. Websites and Videos of recent CNN news on SDGs are the main learning materials. You are required to form your opinions about the topics on sustainability and to speak them out in English.

Objectives

- Ability to listen to English on current issues
- Ability to form your arguments about them and make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. Each unit (goal) in the text contains exercises; you are required to solve them before coming to a class as your homework. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Presentation assignments 50%
- Performances in a class 15%
- Dictation assignments 25%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - II

2017年度以降入学者

森永 豊

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SDGs Goalsに焦点を絞り、Webサイトや映像・音声素材を使って、スピーキングとリスニングを中心に学ぶ。持続可能性に関わる各テーマについて耳から情報を吸収し、英語でアウトプットするプロセスに習熟する。

【到達目標】

- ・時事問題に関する英語情報に耳と活字からアクセスする基礎的な能力を持つ。
- ・そうした情報に基づいて自分の意見を形成し、これを簡潔な英語で述べる基礎能力を持つ。
- ・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリスニングで自分のアイデアを話せる。
- ・英語で質疑応答ができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業1回でひとつのSDGs Goalを学習し、それを基礎にスピーキング課題に取り組む。スピーキングのためにスクリプトやスライド資料を作成する。その作成方法についての講義、添削指導は、授業内およびGoogle Classroomというクラス管理システム上で、個別に行う。隔回でディクテーションを行い、授業内で正解を公表し、フレーズや構文指導を行う。成績はGoogle Classroomで個別に公表する。ディクテーションとは表現力と構文知識を高め、英語を正確に聞き取って綴る能力を高めるトレーニングである。授業ではネットの音声素材を利用する。またパソコンなどから、Googleや講師が作成したウェブアプリケーションを使う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業概要とテキストの説明	・ 授業の概要と進め方 ・ 成績評価の基準についての説明 ・ テキストの説明 ・ 小テスト
2	SDGs Goal	・ Goalの内容確認 ・ 小テスト（予備日）
3	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーションの方法と心構え ・ グループ構成の発表 ・ ディクテーション課題1（授業内） ・ 単語練習1
4	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成） ・ グループワーク

5	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク ・ ディクテーション課題2（以降、授業外） ・ 単語練習2
6	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク
7	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ 発表資料の提出 ・ プレゼンテーション本番 ・ 英語での質疑応答 ・ 投票用紙の提出 ・ ディクテーション課題3 ・ 単語練習3
8	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題と解決案」	・ プレゼンテーション課題のフィードバック作業
9	SDGs Goal	・ Goalの内容確認 ・ ディクテーション課題4
10	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ グループ構成の発表 ・ 単語テスト
11	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク ・ ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク
13	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ プレゼンテーションの準備（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ グループワーク
14	プレゼンテーション課題 「SDGsの個別課題から解決案まで」	・ 発表資料の提出 ・ プレゼンテーション本番 ・ 英語での質疑応答 ・ 投票用紙の提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業はあらかじめ指定したSDGs Goalの予習、あるいは宿題の取り組みを前提にして進める。各Goalの項目はウェブ上で確認できる。プレゼンテーションに向けてスクリプトやパワーポイントの作成、予行演習を行う。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

・『LINKS 1500 ―大学生のためのトピック別必修英単語―』、金星堂、2013年、1800円（税別）（以下のURLで無料でダウンロードできる音声ファイルが付属している。<http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963>）
・綿貫陽、マーク・ヒーターセン（共著）、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円（税込）
・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード 英語類語活用辞典』、オックスフォード 大学出版局、2008年、4700円（税別）その他、授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- ・スピーキング課題 50%
- ・授業内のパフォーマンス 15%
- ・ディクテーション課題 25%
- ・単語テスト 10%

欠席が 4 回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。
30 分以上の遅刻は欠席と見なし、3 回の遅刻は欠席 1 回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

本授業で必要となるオンラインツールは Google Classroom である。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザは Firefox、Google Chrome、Safari を推奨。Internet Explorer は非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

You learn English speaking and listening skills. Websites and Videos of recent CNN news on SDGs are the main learning materials. You are required to form your opinions about the topics on sustainability and to speak them out in English.

Objectives

- Ability to listen to English on current issues
- Ability to form your arguments about them and make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. Each unit (goal) in the text contains exercises; you are required to solve them before coming to a class as your homework. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Presentation assignments 50%
- Performances in a class 15%
- Dictation assignments 25%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - I

2017年度以降入学者

大曲 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNN International シリーズ2025年版を教材として、経済不況や震災、ウクライナ情勢といった世界的な混乱の中にあつての世界情勢を、ナマのニュース英語で理解していく。

6回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

【到達目標】

タイムリーなトピックを取り上げ、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング学習を通して、英語資格試験のためではなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力、批判的な視点の持ち方を身に着けていく。高い英語力だけでなく、社会的教養を身に着けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

本授業は全14回中8回を対面型授業、6回をオンライン授業（授業動画を配信するオンデマンド型）とする。

ほぼ2回の授業で1つのUnitを学習する。1回目の授業では授業動画を視聴し、各自**Definition**と**Examples**を完成させ、かつニュースの音声聞いてディクテーションして空欄を埋め、配布の**Answer sheet**に解答して**Open LMS**を通して締め切り日までに提出する。2回目の授業（対面）では、全員がニューススクリプトを完成させていることを前提に内容理解を行い、内容に関連したプリント教材を学習する。

Unit一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、オンラインの時は**Open LMS**を通して指定の締め切り日までに提出し、それは**Open LMS**を通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。小テストは採点返却される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	時事問題プリント教材
2	Unit 1 ハリウッドで活用される最先端テクノロジー	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases 、ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
3	Unit 1 ハリウッドで活用される最先端テクノロジー	スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型
4	Unit 2 情報漏洩の疑いで米議会がTikTokを徹底追及	授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases 、ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。

5	Unit 2 情報漏洩の疑いで米議会がTikTokを徹底追及	Unit 1 小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型
6	Unit 3 西武鉄道が導入目指す多言語同時翻訳案内パネル	授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases 、ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
7	Unit 3 西武鉄道が導入目指す多言語同時翻訳案内パネル	Unit 2 小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型
8	Unit 4 いま再び大注目海外でも脚光を浴びる日本初シティポップ	授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases 、ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
9	Unit 4 いま再び大注目海外でも脚光を浴びる日本初シティポップ	Unit 3 小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型
10	Unit 5 出征した男性に代わり危険な労働を担うウクライナの女性たち	授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases 、ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
11	Unit 5 出征した男性に代わり危険な労働を担うウクライナの女性たち	Unit 4 小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型
12	Unit 6 悲惨な戦時下で生を受けるガザの赤ちゃん	授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases 、ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
13	Unit 6 悲惨な戦時下で生を受けるガザの赤ちゃん	Unit 5 小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型
14	これまでのまとめと期末試験	これまでのまとめ 期末まとめテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業動画を配信するオンデマンド型授業では、授業動画を視聴し、ニュース音声をしっかりと聞いてディクテーションを行う。テキストの**Definition**をしっかりと調べて完成させ、指定の締め切り日までに提出する。**Examples**部分は採点し返却される。対面授業の際にはニューススクリプトが完成されていることを前提として内容理解の授業を行うので未知の語彙などがあれば調べておく。オンラインの週の学習時間をしっかり取って行う。

【テキスト（教科書）】

CNN ビデオで見る世界のニュース (26)
朝日出版 2420円(税込)

【参考書】

特になし。

辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

●授業動画配信オンデマンド授業時 課題提出 10%・・・Examples
は採点する。1点×10問＝10点 (Answer

Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする)

●対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10点×5回分 50点 30%

●期末試験 50%

*欠席4回以上で、単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回Answer Sheet の回答欄が
全て記載されている（空欄の内容全て解答している）、及び毎回指定
された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出
席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

Unit に関連したプリント教材を配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書のQRコードから音声
をスマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業はオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用する
か、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understand-
ing the international situation, an environmental problem,
natural disasters, culture
and so on through CNN original English.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency,
critical thinking and social skills through listeing, reading ,
writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom 】

Before each class meeting, students will be expected to spend
one hour to understand the course content and have read the
relevant chapter and completed the assignments.

【 Grading Criteria 】

Your overall grade in the class will be decided based on the
following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - II

2017年度以降入学者

大曲 陽子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNN International シリーズ2025年版を教材として、経済不況や震災、ウクライナ情勢といった世界的な混迷の中にあつての世界情勢を、ナマのニュース英語で理解していく。

6回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

【到達目標】

タイムリーなトピックを取り上げ、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング学習を通して、英語資格試験のためではなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力、批判的な視点の持ち方を身に着けていく。高い英語力だけでなく、社会的教養を身に着けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

本授業は全14回中8回を対面型授業、6回をオンライン授業（授業動画を配信するオンデマンド型）とする。

ほぼ2回の授業で1つのUnitを学習する。1回目の授業では授業動画を視聴し、各自DefinitionとExamplesを完成させ、かつニュースの音声聞いてディクテーションして空欄を埋め、配布のAnswer sheetに解答してOpen LMSを通して締め切り日までに提出する。2回目の授業（対面）では、全員がニューススクリプトを完成させていることを前提に内容理解を行い、内容に関連したプリント教材を学習する。

Unit一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、オンラインの時はOpen LMSを通して指定の締め切り日までに提出し、それはOpen LMSを通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。小テストは採点返却される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	時事プリント教材
2	Unit 7 米国からメキシコは押し寄せるノマドワーカーに住民困惑	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
3	Unit 7 米国からメキシコは押し寄せるノマドワーカーに住民困惑	スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型
4	Unit 8 学生ローン地獄にあえぐ米国のミレニアム世代	授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。

5	Unit 8 学生ローン地獄にあえぐ米国のミレニアム世代	Unit 7 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
6	Unit 9 化粧品に夢中のアルファ世代	Unit 8 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
7	Unit 9 化粧品に夢中のアルファ世代	Unit 9 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。
8	Unit 10 物流の2024年問題時間外労働の規制始まる	Unit 10 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。
9	Unit 10 物流の2024年問題時間外労働の規制始まる	Unit 9 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。
10	Unit 11 期待高まるアルツハイマー病治療最前線	Unit 10 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。
11	Unit 11 期待高まるアルツハイマー病治療最前線	Unit 11 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。
12	Unit 12 インドネシア政府が進める新首都ヌサンタラ建設計画	Unit 12 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。
13	Unit 12 インドネシア政府が進める新首都ヌサンタラ建設計画	Unit 11 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。
14	これまでのまとめと期末試験	これまでのまとめと期末まとめテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業動画を配信するオンデマンド型授業では、授業動画を視聴し、ニュース音声をしっかりと聞いてディクテーションを行う。テキストのDefinitionをしっかりと調べて完成させ、指定の締め切り日までに提出する。Examples部分は採点し返却される。対面授業の際にはニューススクリプトが完成されていることを前提として内容理解の授業を行うので未知の語彙などがあれば調べておく。オンラインの週の学習時間をしっかり取って行う。

【テキスト（教科書）】

CNN ビデオで見る世界のニュース (26)
朝日出版 2420円(税込)

【参考書】

特になし。

辞書必携。

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

●授業動画配信オンデマンド授業時 課題提出 10%・・・Examples
は採点する。1点×10問＝10点 (Answer

Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする)

●対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10点×5回分 50点 30%

●期末試験 50%

*欠席4回以上で、単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回Answer Sheet の回答欄が
全て記載されている(空欄の内容全て解答している)、及び毎回指定
された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出
席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

Unit に関連したプリント教材を配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書のQRコードから音声
をスマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業はオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用する
か、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understand-
ing the international situation, an environmental problem,
natural disasters, culture
and so on through CNN original English.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency,
critical thinking and social skills through listeing, reading ,
writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom 】

Before each class meeting, students will be expected to spend
one hour to understand the course content and have read the
relevant chapter and completed the assignments.

【 Grading Criteria 】

Your overall grade in the class will be decided based on the
following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - I

2017年度以降入学者

吉川 直澄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

映像を楽しみながら、4技能のバランスの良い学習効果を念頭に置きつつ、主として音声上の英語運用能力を養う。効果的に英語を聞き取り意味をつかむ力を養う。情報の受容から発信へのプロセスを重視する。春学期では量よりも正確さを重視し、論理的思考力・文化/教養・言語知識の習得を行なう。

【到達目標】

大抵のイギリス映画およびハリウッド映画なら英語音声でそれなりに楽しむことができる。短い会話、ニュース、アナウンス、ナレーションなどが聞きとれ、自分の意思を伝える表現力がつく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

イギリス映画『ノッティング・ヒルの恋人』を他の作品と比較しつつ、通年で鑑賞し、生きた英語表現と現代イギリス文化を学ぶ。課題等の提出や全体に対するフィードバックは「学習支援システム」を通じて全体に対して行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	Guidance / 第1回課題の提示	授業テーマの確認／授業・成績評価の方法の説明／教科書の予習・復習の仕方／課題の提示
②	Unit 1 William's Notting Hill & 'She'(1)	Transcript の精読／仮定法過去完了／前回のフィードバック・課題レポートの指示
③	Unit 1 William's Notting Hill & 'She'(2)	Unit 1 問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示／自己紹介の英語表現
④	Unit 2 Surreal, But Nice (1)	Transcript の精読／前置詞／前回のフィードバック・課題レポートの指示
⑤	Unit 2 Surreal, But Nice (2)	Unit 2 問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示／電話の応対の英語表現
⑥	Unit 3 A Goddess Is A Movie Star (1)	Transcript の精読／現在完了形／前回のフィードバック・課題レポートの指示
⑦	Unit 3 A Goddess Is A Movie Star (2)	Unit 3 問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示／インタビューの英語表現
⑧	Unit 4 Birthday Party (1)	Transcript の精読／進行形の使い方／前回のフィードバック・課題レポートの指示
⑨	Unit 4 Birthday Party (2)	Unit 4 問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示／困惑を表す英語表現

- ⑩ Unit 5 A Date With Anna (1) Transcript の精読／否定／前回のフィードバック・課題レポートの指示／文化的背景：Beatrix Potter
- ⑪ Unit 5 A Date With Anna (2) Unit 5 問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示／依頼する英語表現・希望を伝える英語表現
- ⑫ Intermission: Paddington 2 この映画の俳優たちが出ている他の作品の一部を鑑賞し、彼らの発音とアクセントに慣れてきたかどうかチェックする。但しネット上のコンテンツの状況により教材を変更する場合もある。／前回のフィードバック・課題レポートの指示
- ⑬ 復習と学期末レポート課題の説明 Unit 1からUnit 5の各設問の復習を行い、学生の皆さんの答案を編集する。／前回のフィードバック・課題レポートの指示
- ⑭ 学期末文法・語彙確認テスト／学期末レポートの提示／まとめと解説 学期末の文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示し、レポートに関する質問等に答える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習と復習。テキストを何度も音読すること。学生の皆さんは英語専用のノートを作り、テキストから覚えるべき表現や単語を書き出し必ず例文も記入しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『ノッティング・ヒルの恋人』、Richard Curtis, 松柏社、ISBN978-4-88198-590-8, 2200円

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

全13回の課題レポート (45%)、三段階評価する学期末レポート課題 (30%)、学期末に実施する文法・語彙確認テスト (20%)、授業への積極的な参加・貢献 (5%) を総合して評価する。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとする。なお、この授業を受講する学生は必ず第一回目の授業に出席すること。欠席回数が4回以上になった者は原則として単位習得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

映画を通じて英米の文化や言葉に関心をさらに持ってもらえるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は「学習支援システム」を使用する。

【その他の重要事項】

指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。受講生には、毎回の課題レポートをきちんと全て提出すること、学期末レポート課題の提出期限を守ることを銘記してもらいたい。それが単位習得のための最善策である。授業終了後に質問等を受け付ける。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To provide students with a general grounding in both speaking and listening skills, balancing all four skills of reading, writing, speaking and listening.
2. To promote the development of effective listening skills.
3. To train students in essential skills of constructing logically-organized paragraphs, drawing attention to the basic paragraph structure.
4. To introduce students to the English language and its cultural literacy.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic listening skills for watching most of British films (or Hollywood movies) without subtitles.
- extend their listening skills for understanding short talks, news, announcements and narrations.
- develop basic abilities to express their thoughts and opinions with accuracy.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least an hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria/Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 30%,
final test: 20% and in-class contribution: 5%.

Students will not be able to pass this course if they miss more than 3 class periods a semester except in extreme circumstances.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - II

2017年度以降入学者

吉川 直澄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続いて、秋学期でも主として音声上の英語運用能力を養うことに主眼を置いて、映像を楽しみつつ、4技能をバランス良く伸ばすための基礎力の仕上げにかかる。情報の受容から発信へのプロセスを重視して、量を消化することを重視し、論理的思考力・文化・教養・言語知識の習得を行なう。

【到達目標】

大抵のイギリス映画やハリウッド映画なら英語音声でも楽しむことができる。映画の背景にある英米文化に関する知識が深まる。通常会話であれば、要点を理解し、適切に応答できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

イギリス映画『ノッティング・ヒルの恋人』を他の作品と比較しつつ、引き続き鑑賞し、生きた英語表現と現代イギリス文化を学ぶ。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行なう。フィードバックは授業課題の提出レポートからいくつか問題点を取り上げ、全体に対して行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	Guidance/学期末レポート課題のフィードバックと論評：秋学期最初の課題レポート	学期末レポート課題の全体に対するフィードバックと問題点の指摘と解説／課題レポートの指示
②	Unit 6 She's Gone (1)	Transcript の精読／関係副詞／前回のフィードバック・課題レポートの指示
③	Unit 6 She's Gone (2)	Unit 6 の問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示 驚きを示す英語表現
④	Unit 7 She's Back (1)	Transcript の精読／関係詞の非制限用法／前回のフィードバック・課題レポートの指示
⑤	Unit 7 She's Back (2)	Unit 7 の問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示／説得・提案の英語表現
⑥	Unit 8 Rude Awakening (1)	Transcript の精読／It の特別用法（先行の it）／前回のフィードバック・課題レポートの指示
⑦	Unit 8 Rude Awakening (2)	Unit 8 の問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示／パーティー等でのスピーチの英語表現
⑧	Unit 9 Like Me Again (1)	Transcript の精読／分詞構文／前回のフィードバック・課題レポートの指示

- ⑨ Unit 9 A Plot against Miranda (2) Unit 9 の問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示／丁寧な依頼の英語表現／文化的背景：Henry James
- ⑩ Unit 10 The Right Decision - The Meaning of My Life is She (1) Transcript の精読／比較／前回のフィードバック・課題レポートの指示
- ⑪ Unit 10 The Right Decision - The meaning of My Life is She (2) Unit 10 の問題演習と解説／前回のフィードバック・課題レポートの指示／道案内の英語表現
- ⑫ Post feminism in contemporary British film Sarah Hill の 'Young women, Girls and Post feminism in contemporary British Film' (2022) の序章 'Girlhood and contemporary British cinema' の抜粋を読む。／前回のフィードバック・課題レポートの指示
- ⑬ 復習と学期末レポート課題の説明 Unit 6 から Unit 10 の各問題を復習し、提出された皆さんの解答を編集する。／前回のフィードバック・課題レポートの指示
- ⑭ 学期末文法・語彙確認テスト／学期末レポートの提示／まとめと解説 学期末文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示する。提出期限を指示し、質問等に答える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習と復習。テキストを何度も音読すること。学生の皆さんは英語専用のノートを作成し、覚えるべき表現や単語を書き出し必ず例文も記入しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を目安とする。

【テキスト（教科書）】

『ノッティング・ヒルの恋人』、Richard Curtis, 松柏社、ISBN978-4-88198-590-8, 2200円

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

全13回の課題レポート(45%)、三段階評価する学期末レポート課題(30%)、学期末に実施する文法・語彙確認テスト(20%)、授業への積極的な参加・貢献(5%)を総合して評価する。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとする。なお、この授業を受講する学生は必ず第一回目の授業に出席すること。欠席回数が4回以上になった者は原則として単位習得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

映画を通じて英米の文化や言葉に関心を持ってもらえるようにさらに努力します。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は「学習支援システム」を使用する。

【その他の重要事項】

指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。受講者には、毎回の課題レポートをきちんと全て提出すること、学期末レポート課題の提出期限を守ることを銘記してもらいたい。それが単位習得のための最善策である。授業終了後に質問等を受け付ける。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To provide students with a general grounding in both speaking and listening skills, balancing all four skills of reading, writing, speaking and listening.
2. To promote the development of effective listening skills.

3. To train students in essential skills of constructing logically-organized paragraphs, drawing attention to the basic paragraph structure.

4. To introduce students to the English language and its cultural literacy.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic listening skills for watching most of British films (or Hollywood movies) without subtitles.
- learn how British cinema interacts with the political, socioeconomic, cultural aspects of British life.
- extend their listening skills for understanding short talks, news, announcements and narrations.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least an hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria/Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 30%, final test: 20% and in-class contribution: 5%.

Students will not be able to pass this course if they miss more than 3 class periods a semester except in extreme circumstances.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - I

2017年度以降入学者

高橋 佳江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常生活や現代社会のさまざまなトピックについての自分の知識、意見を、口頭および文章で効果的に表現する力を養います。

また関心の高いトピックについて、レベルに応じてプレゼンテーションやスピーチ、ディスカッションなどを行う練習をします。「聞く力」の育成も、授業の一環として行います。

【到達目標】

教科書で学んだ語彙や定型表現を使って、観光や海外旅行での様々な場面で双方向的コミュニケーションができるようになることを目指す。

またナチュラルスピードで話される英語を聞き取ることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、予習を毎回必ず行うことを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書（電子辞書可）、授業用ノートを必ず忘れずに持ってくる。適宜、発表、レポートを課す。対面授業の際はその都度フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	この授業の進め方などを詳しく説明する
2	イントロダクション	基礎的な文法事項の確認
3	第1課 In-Flight Announcements	この教科書の使い方 第1課 単語 ディクテーション
4	第1課	単語 発音 口頭練習
5	第2課 At Immigration and Customs	単語 ディクテーション
6	第2課	第1課小テスト 発音 口頭練習
7	第3課 Getting to a Hotel	単語 ディクテーション
8	第3課	第2課小テスト 発音 口頭練習
9	第4課 Checking into a Hotel	第3課小テスト 単語 ディクテーション
10	第4課	発音 口頭練習
11	第5課 Checking in without a Reservation	第4課小テスト 単語 ディクテーション

12	発表 (教科書に関連したもので詳細は授業時に説明)	発表事項について調べる
13	授業時試験	復習と試験
14	予備日	春学期の見直し

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。NHK語学講座・単語帳作成・単語・熟語のチェック等など行ってください。

【テキスト（教科書）】

実用観光英語 ―改訂新版― 島田 他著 2019年 成美堂
1900円
ISBN978-4-7919-7185-5

【参考書】

辞書（電子辞書可）を必ず持ってくる。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%

小テスト 10%

レポート課題・発言点 20%

平常点 10%

欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。

遅刻は3回で欠席1回に換算される。

各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

オンライン時でも連絡を密に取りたいです。

【Outline (in English)】

Course outline

The primary objective of this class is to develop students' listening skills and to improve abilities in practical conversations when travelling

Learning Objectives

Students will develop the ability to effectively express their knowledge and opinions, both orally and in writing, on a variety of topics in daily life and contemporary society.

Students will also practice giving presentations, speeches, and discussions on topics of interest to them, depending on their level. Listening skills will also be developed as part of the class.

Learning activities outside of classroom

The standard preparation and review time for this class is one hour.

Please use the NHK language course, make a vocabulary book, check words and phrases, etc.

Grading Criteria/Policy

Final exam 60%

Quiz: 10%.

Report assignment and remarks: 20%.

Ordinary points 10%.

If you are going to be absent, you must submit a report of your absence.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Three tardies will count as one absence.

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
English 2 - II	2017年度以降入学者
高橋 佳江	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：木1/Thu.1
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常生活や現代社会のさまざまなトピックについての自分の知識、意見を、口頭および文章で効果的に表現する力を養います。

また関心の高いトピックについて、レベルに応じてプレゼンテーションやスピーチ、ディスカッションなどを行う練習をします。「聴く力」の育成も、授業の一環として行います。

【到達目標】

教科書で学んだ語彙や定型表現を使って、観光や海外旅行での様々な場面で双方向的コミュニケーションが口頭および文章でできるようになることを目指す。

またナチュラルスピードで話される英語を聞き取ることを目指す。海外旅行で使う表現を覚えることで、会話のインプット・アウトプットを行う。

ボキャブラリーやフレーズを覚えてパターンプラクティスを行い、英語によるコミュニケーションの幅を広げていく。また、そのために必要な効果的な辞書の使い方を学ぶ。

滑らかにシャドーイングができるようにしていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、予習を毎回必ず行うことを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書（電子辞書可）、授業用ノート必ず忘れずに持ってくる。適宜、発表、レポートを課す。対面授業の際はその都度フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	秋学期の授業の進め方など
2	第6課	単語 ディクテーション
3	第6課	発音 口頭練習
4	第7課 Taking the Subway	6課小テスト 単語 ディクテーション
5	第7課	発音 口頭練習
6	第8課 At a Fast-Food Restaurant	単語 ディクテーション
7	第8課	第7課小テスト 発音 口頭練習
8	第9課 Hotel Service	単語 ディクテーション
9	第9課	第8課小テスト 発音 口頭練習
10	第10課 Booking a Tour	単語 ディクテーション

11	第10課	第9課小テスト 発音 口頭練習
12	発表	発表事項について調べる
13	授業時試験	学んだことの確認
14	予備日	復習・発表など

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。NHK語学講座・単語帳作成・単語・熟語のチェック等など行ってください。

【テキスト（教科書）】

実用観光英語 ―改訂新版― 島田 他著 2019年 成美堂
1900円
ISBN978-4-7919-7185-5

【参考書】

辞書（電子辞書可）を必ず持ってくる。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%

小テスト 10%

レポート課題・発言点 20%

平常点 10%

欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。

遅刻は3回で欠席1回に換算される。

各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

オンライン時でも連絡を密に取りたいです。

【Outline (in English)】

Course outline

The primary objective of this class is to develop students' listening skills and to improve abilities in practical conversations when travelling.

Learning Objectives

Students will develop the ability to effectively express their knowledge and opinions, both orally and in writing, on a variety of topics in daily life and contemporary society.

Students will also practice giving presentations, speeches, and discussions on topics of interest to them, depending on their level. Listening skills will also be developed as part of the class.

Learning activities outside of classroom

The standard preparation and review time for this class is one hour.

Please use the NHK language course, make a vocabulary book, check words and phrases, etc.

Grading Criteria/Policy

Final exam 60%

Quiz: 10%.

Report assignment and remarks: 20%.

Ordinary points 10%.

If you are going to be absent, you must submit a report of your absence.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Three tardies will count as one absence.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - I

2017年度以降入学者

今井 澄子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

音声教材を使用し、ディクテーションやリスニングテストを通じて聴解力を高め、口頭での表現力につなげる。また、英語によるプレゼンテーションを行い、英語の論理展開のしかたを理解するとともに、英語を書く力、話す力を養成する。

【到達目標】

日本について外国人がどのように思っているかをレポート、スタジオディスカッションなどから知ることができるDVD教材でDictation能力を、TOEIC®形式のリスニングテストで聴解力および身の回りの事柄を英語で話す能力を身につける。英語プレゼンテーションを通じてパブリックスピーキングに慣れ、質疑応答で会話を高める。英語でコメントやスピーチ原稿を作成し、英語表現力を高める。また、写真説明スピーキングや質疑応答を通して英会話力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業初めに毎回リスニング小テストを行う。その後DVDを視聴し、英文スクリプトのディクテーションを行う。DVDの内容について短い英文コメントを書いたり、テキストのサンプル英会話をもとにして質疑応答を行うこともある。また、学期後半には、英語によるプレゼンテーションを行う。スピーチ原稿作成では、プリント教材で英語の論理構成を学習し、英文原稿の添削指導を行う。プレゼンテーションでの話し方はDVDで学び、英語による写真描写Speaking問題と発音練習によりスピーチに備える。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	リスニング、スピーキングと英語プレゼンテーションについて	授業の進め方。成績評価の基準などを説明する
第2回	Listening小テスト1 英語を書くときのポイント1	Ceremony聴解 「これをやると大減点」のよくある誤り
第3回	Listening小テスト2 英語を書くときのポイント2	School Life聴解 「日本語を英単語に置き換えるだけでは英文にならない」
第4回	Listening小テスト3 DVDによる Dictation 1	Transportation聴解 Unit1老舗 PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第5回	Listening小テスト4 DVDによる Dictation 2	Outdoor Activities聴解 Unit2制服 PartI, PartII Short Reading Comment Writing

第6回	Listening小テスト5 DVDによる Dictation 3	Weather聴解 Unit3 ボランティア PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第7回	Listening小テスト6 DVDによる Dictation 4	Holiday Plans聴解 Unit4 ハイテク生活 PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第8回	Listening小テスト7 DVDによる Dictation 5	Resort Area聴解 Unit5和食器 PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第9回	Listening小テスト8 DVDによる Dictation 6 プレゼンテーションの方法	Directions聴解 Unit6主婦 PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第10回	Listening小テスト9 プレゼンテーションの方法と英文原稿の論理構成	Job Experience聴解 英語Paragraph構成 PPTファイルへの音声録音 英語Speech実演DVD視聴
第11回	Listening小テスト10 プレゼンテーション原稿作成（1）	Summer Sale聴解 Introduction-Body-Conclusion のスピーチ原稿作成1 (写真説明)
第12回	Listening小テスト11 プレゼンテーション原稿作成（2）	Review Test1・2聴解 Introduction-Body-Conclusion のスピーチ原稿を作成2 (写真説明)
第13回	プレゼンテーション	英語プレゼンテーション、質疑応答
第14回	復習と試験	試験(含Listening)・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Dictationに使うテキストのWeb 動画マークのある箇所は、無料ストリーミングで再生可能。リスニング小テストは毎回行うが、特に準備は必要ない。また、プレゼンテーションの英文原稿は授業中に作成するため自宅に持ち帰る必要はなく、授業中に作成したもの以外を使ってプレゼンテーションをすることは認めない。

【テキスト（教科書）】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂(PartIのDictation用スクリプトはコピー冊子を配布)

Practical Situations for the TOEIC® Test Listening (2020). 成美堂

このほか、Writing、Presentationなどについてのプリントを適宜使用する。

【参考書】

Longman Academic Writing Series

研究社「英語モードが身につくライティング」

【成績評価の方法と基準】

平常点50%（授業参加度10%、Listening小テスト平均点10%、プレゼンテーション原稿Writing10%、スピーチ音声10%、その他授業内課題10%）、期末試験50%。よって、評価点は試験50点、平常点50点で、合計100点とし、60%以上の得点で合格。授業初めにリスニング小テストを行うが、リスニングテスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、当日の小テスト点数も0点になる。遅刻・欠席は授業中にこなす課題の点が低くなり、評価点でたいへん不利になる。欠席が4回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

教科書DVD音声は実際のテレビ番組の音声をそのまま使っているため、英語ネイティブだけでなく他の言語が母語の人の音声もあり、言いどみや言いなおしがあつて聴きづらいという意見があつた。授業ではできる限り言い方や発音の癖や文法的誤りも指摘しながら進めるので、英語非ネイティブと英語でコミュニケーションする場面を想定して聴いてほしい。なお、Dictation試験などはテスト用に録音しなおした音声で実施し、スピードも授業で聴くものより遅い。ふだん聴いているものより楽だと感じることができる。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞書

【Outline (in English)】

This class focuses on listening and speaking English. The main textbook is composed of thirteen scripts of NHK Cool Japan, a TV program, and students have to fill in the blanks with words they dictate listening to a TV report and a studio discussion by foreigners in a DVD. The DVD has thirteen units such as Long-Established Business, Uniforms, Volunteer Work, High-Tech Living (Automobiles), Japanese Tableware, Homemakers of Japan, Seafood, Voice Actors, Japanized Foreign Dishes, Bags, Senior Citizens (Medical Checkups), Money, and Monkeys. Students can listen to English spoken not by a professional narrator but by ordinary people and this experience considerably contributes to improving listening proficiency. The sub textbook includes twenty-four short exams of TOEIC® style listening, and students must take a short exam at the beginning of every class. Through these two kinds of listening activities, students can acquire listening ability and a skill of daily conversation enough to express themselves. Using these English conversation skills, students try to explain what is seen in a photograph which is taken from TOEIC® speaking test. Moreover, they experience an English presentation, which enables them to have an opportunity of a public speaking to express his/her opinion and understand a logical way of English public speech writing. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students can listen to the English report and discussion in the textbook before class with streaming audio. They need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 50%, mini-listening test average score 10%, writing score 10%, speaking score 10%, and in class contribution 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - II

2017年度以降入学者

今井 澄子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

音声教材を使用し、ディクテーションやリスニングテストを通じて聴解力を高め、口頭での表現力につなげる。また、英語によるプレゼンテーションを行い、英語の論理展開のしかたを理解するとともに、英語を書く力、話す力を養成する。

【到達目標】

日本について外国人がどのように思っているかをレポート、スタジオディスカッションなどから知ることができるDVD教材でDictation能力を、TOEIC®形式のリスニングテストで聴解力および身の回りの事柄を英語で話す能力を身につける。英語プレゼンテーションを通じてパブリックスピーキングに慣れ、質疑応答で会話を高める。英語でコメントやスピーチ原稿を作成し、英語表現力を高める。また、写真説明スピーキングや質疑応答を通して英会話力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業初めに毎回リスニング小テストを行う。その後DVDを視聴し、英文スクリプトのディクテーションを行う。DVDの内容について短い英文コメントを書いたり、テキストのサンプル英会話をもとにして質疑応答を行うこともある。また、学期後半には、英語によるプレゼンテーションを行う。スピーチ原稿作成では、プリント教材で英語の論理構成を学習し、英文原稿の添削指導を行う。プレゼンテーションでの話し方はDVDで学び、英語による写真描写Speaking問題と発音練習によりスピーチに備える。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	英語の話し言葉と書き言葉 英文を書くときの形式	スピーチ原稿からレポート、エッセイへ レポート作成、引用と参考文献表示
第2回	Listening小テスト1 DVDによる Dictation 1	Restaurant聴解 Unit8 声優 PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第3回	Listening小テスト2 DVDによる Dictation 2	Arts & Entertainment聴解 Unit9和製料理 PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第4回	Listening小テスト3 DVDによる Dictation 3	Sports Events聴解 Unit10 かばん PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第5回	Listening小テスト4 DVDによる Dictation 4	Having a Party聴解 Unit11 シニア PartI, PartII Short Reading Comment Writing

第6回	Listening小テスト5 DVDによる Dictation 5	Health聴解 Unit12 お金 PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第7回	Listening小テスト6 DVDによる Dictation 6	Christmas聴解 Unit13 猿 PartI, PartII Short Reading Comment Writing
第8回	Listening小テスト7 写真説明Speaking1	Cleanup聴解 Speaking & Writing TOEIC® 写真問題1
第9回	Listening小テスト8 写真説明Speaking2	Our Traditions & Customs 聴解 Speaking & Writing TOEIC® 写真問題2
第10回	Listening小テスト9 英文エッセイについて 英語による質疑応答	Examinations聴解 ParagraphからEssayへ 質疑応答練習
第11回	Listening小テスト10 プレゼンテーション 原稿作成（1）	Housing聴解 Introduction-Body- Conclusionのスピーチ原稿作成
第12回	Listening小テスト11 プレゼンテーション 原稿作成（2）	Review Test3・4聴解 Introduction-Body-Conclusion のスピーチ原稿を作成
第13回	プレゼンテーション	英語プレゼンテーションと質疑 応答
第14回	復習と試験	試験(含Listening)・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Dictationに使うテキストのWeb 動画マークのある箇所は、無料ストリーミングで再生可能。リスニング小テストは毎回行うが、特に準備は必要ない。また、プレゼンテーションの英文原稿は授業中に作成するため自宅に持ち帰る必要はなく、授業中に作成したものの以外を使ってプレゼンテーションをすることは認めない。

【テキスト（教科書）】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂(PartIのDictation用スクリプトはコピー冊子を配布)

Practical Situations for the TOEIC® Test Listening (2020). 成美堂

このほか、Writing、Presentationなどについてのプリントを適宜使用する。

【参考書】

Longman Academic Writing Series

研究社「英語モードが身につくライティング」

【成績評価の方法と基準】

平常点50%（授業参加度10%、Listening小テスト平均点10%、プレゼンテーション原稿Writing10%、スピーチ音声10%、その他授業内課題10%）、期末試験50%。よって、評価点は試験50点、平常点50点で、合計100点とし、60%以上の得点で合格。授業初めにリスニング小テストを行うが、リスニングテスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、当日の小テスト点数も0点になる。遅刻・欠席は授業中にこなす課題の点が低くなり、評価点でたいへん不利になる。欠席が4回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

教科書DVD音声は実際のテレビ番組の音声をそのまま使っているため、英語ネイティブだけでなく他の言語が母語の人の音声もあり、言いどみや言いなおしがあって聴きづらいという意見があった。授業ではできる限り言い方や発音の癖や文法的誤りも指摘しながら進めるので、英語非ネイティブと英語でコミュニケーションする場面を想定して聴いてほしい。なお、Dictation試験などはテスト用に録音しなおした音声で実施し、スピードも授業で聴くものより遅い。ふだん聴いているものより楽だと感じることができる。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞書

【Outline (in English)】

This class focuses on listening and speaking English. The main textbook is composed of thirteen scripts of NHK Cool Japan, a TV program, and students have to fill in the blanks with words they dictate listening to a TV report and a studio discussion by foreigners in a DVD. The DVD has thirteen units such as Long-Established Business, Uniforms, Volunteer Work, High-Tech Living (Automobiles), Japanese Tableware, Homemakers of Japan, Seafood, Voice Actors, Japanized Foreign Dishes, Bags, Senior Citizens (Medical Checkups), Money, and Monkeys. Students can listen to English spoken not by a professional narrator but by ordinary people and this experience considerably contributes to improving listening proficiency. The sub textbook includes twenty-four short exams of TOEIC® style listening, and students must take a short exam at the beginning of every class. Through these two kinds of listening activities, students can acquire listening ability and a skill of daily conversation enough to express themselves. Using these English conversation skills, students try to explain what is seen in a photograph which is taken from TOEIC® speaking test. Moreover, they experience an English presentation, which enables them to have an opportunity of a public speaking to express his/her opinion and understand a logical way of English public speech writing. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students can listen to the English report and discussion in the textbook before class with streaming audio. They need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 50%, mini-listening test average score 10%, writing score 10%, speaking score 10%, and in class contribution 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - I

2017年度以降入学者

ESTHER STOCKWELL

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The primary objective of this class is the development of English listening skills. The course provides practice in conversation and listening across a wide range of subjects and situations.

【到達目標】

This subject aims to equip learners with the basics of communication, and to help learners with everyday conversation, centred around listening, pronunciation and communication strategies.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

In the subject, we will cover each unit of the textbook, using online resources as supplements. Classes will involve pair and group work. Students can practice their listening skills with the provided online resources.

Feedback on assignments submitted by students will be provided in class or through the Hosei Learning Management System.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Orienta- tion	Overview of the course	Overview of English 2-I subject and explaining online activities
Unit 1	Greetings & small talk	Listening for greetings and introduction
Unit 2	Making weekend plans	Listening for gist and time and number
Unit 3	Making complaints	Listening for jobs, gist and details
Unit 4	Asking for reasons	Listening for reasons and details
Unit 5	Talking about people	Listening for praise or criticism and gist
Unit 6	Travel stories	Listening for acceptances, refusals and comparisons
Mid- term Test	Listening test	Review the content from week 2 to week 7 /After testing, check the test content
Unit 7	Talking about housing	Listening for negative and positive information
Unit 8	Telling stories	Listening for gist and details
Unit 9	Invitations	Listening for gist and details
Unit 11	Giving opinions Talking about a vacation	Listening for agreement and disagreement
Unit 12	Talking about cities improvement	Listening for gist and details Listening for preferences and advice

End-
term
Test

Listening test

Review the content from week 9 to week 13 /After the test, check the test content

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to listen to the reference materials for the next class. In addition, they need to prepare for a weekly quiz on the units of the previous class. Therefore, students are expected to take about one hour to prepare and review a class.

【テキスト（教科書）】

書 名: Expanding Tactics for Listening (Third Edition)

著者名: Jack C. Richards with Grant Trew

発行所: Oxford University Press

【参考書】

Listening website for this class:

www.oup.com/elt/tacticsforlistening3e

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of in-class participation (30%), two listening tests (40%), and ten weekly quizzes (30%).

If students miss 4 classes or more, they cannot pass this subject.

【学生の意見等からの気づき】

There were no particular requirements for this course from students. However, I would like to mention that students are expected to participate actively in class.

【Outline (in English)】

The primary objective of this class is the development of English listening skills. The course provides practice in conversation and listening across a wide range of subjects and situations. Students are expected to listen to the reference materials for the next class. In addition, they need to prepare for a weekly quiz on the units of the previous class. Assessment will consist of in-class participation (30%), two listening tests (40%), and ten weekly quizzes (30%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - II

2017年度以降入学者

ESTHER STOCKWELL

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The primary objective of this class is the development of English listening skills. The course provides practice in conversation and listening across a wide range of subjects and situations.

【到達目標】

This subject aims to equip learners with the basics of communication, and to help learners with everyday conversation, centred around listening, pronunciation and communication strategies.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

In the subject, we will cover each unit of the textbook, using online resources as supplements. Classes will involve pair and group work. Students can practice their listening skills with the provided online resources.

Feedback on assignments submitted by students will be provided in class or through the Hosei Learning Management System.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Unit 13	Talking about special days	Overview of English 2-II subject and Listening for gist, details, likes and dislikes
Unit 14	Describing clothes, time and numbers	Listening for gist and time and number
Unit 15	Asking about preferences	Listening for agreement and disagreement
Unit 16	Leaving and taking messages	Listening for topics and details
Unit 17	Talking about past events	Listening for sequence and making predictions
Unit 18	Talking about vacations and making a plan	Listening for acceptances, refusals and comparisons
Mid-term Test	Listening test	Review the content from week 1 to week 6 /After testing, check the test content
Unit 19	Talking about current events	Listening for topics and details
Unit 20	Expressing your views and opinions	Listening for gist, details, opinions and reasons
Unit 21	Describing famous people lives	Listening for gist, detail and sequence
Unit 22	Talking about food and nutrition	Listening for suggestions and sequence
Unit 23	Talking about difficult situations	Listening for details and attitudes
Unit 24	Talking about global issues	Listening for preferences and advice

End-term Test

Listening test

Review the content from week 8 to week 13 /After testing, check the test content

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to listen to the reference materials for the next class. In addition, they need to prepare for a weekly quiz on the units of the previous class. Therefore, students are expected to take about one hour for preparation and review a class.

【テキスト（教科書）】

書 名: Expanding Tactics for Listening (Third Edition)

著者名: Jack C. Richards with Grant Trew

発行所: Oxford University Press

【参考書】

Listening website for this class:

www.oup.com/elt/tacticsforlistening3e

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of in-class participation (30%), two listening tests (40%), and ten weekly quizzes (30%).

If students miss 4 classes or more, they cannot pass this subject.

【学生の意見等からの気づき】

There were no particular requirements for this course from students. However, I would like to mention that students are expected to participate actively in class.

【Outline (in English)】

The primary objective of this class is the development of English listening skills. The course provides practice in conversation and listening across a wide range of subjects and situations. Students are expected to listen to the reference materials for the next class. In addition, they need to prepare for a weekly quiz on the units of the previous class. Assessment will consist of in-class participation (30%), two listening tests (40%), and ten weekly quizzes (30%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - I

2017年度以降入学者

ESTHER STOCKWELL

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The primary objective of this class is the development of English listening skills. The course provides practice in conversation and listening across a wide range of subjects and situations.

【到達目標】

This subject aims to equip learners with the basics of communication, and to help learners with everyday conversation, centred around listening, pronunciation and communication strategies.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

In the subject, we will cover each unit of the textbook, using online resources as supplements. Classes will involve pair and group work. Students can practice their listening skills with the provided online resources.

Feedback on assignments submitted by students will be provided in class or through the Hosei Learning Management System.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Orienta- tion	Overview of the course	Overview of English 2-I subject and explaining online activities
Unit 1	Greetings & small talk	Listening for greetings and introduction
Unit 2	Making weekend plans	Listening for gist and time and number
Unit 3	Making complaints	Listening for jobs, gist and details
Unit 4	Asking for reasons	Listening for reasons and details
Unit 5	Talking about people	Listening for praise or criticism and gist
Unit 6	Travel stories	Listening for acceptances, refusals and comparisons
Mid-term Test	Listening test	Review the content from week 2 to week 7 /After testing, check the test content
Unit 7	Talking about housing	Listening for negative and positive information
Unit 8	Telling stories	Listening for gist and details
Unit 9	Invitations	Listening for gist and details
Unit 11	Giving opinions Talking about a vacation	Listening for agreement and disagreement
Unit 12	Talking about cities improvement	Listening for gist and details Listening for preferences and advice

End-term
Test

Listening test

Review the content from week 9 to week 13 /After the test, check the test content

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to listen to the reference materials for the next class. In addition, they need to prepare for a weekly quiz on the units of the previous class. Therefore, students are expected to take about one hour to prepare and review a class.

【テキスト（教科書）】

書 名: Expanding Tactics for Listening (Third Edition)

著者名: Jack C. Richards with Grant Trew

発行所: Oxford University Press

【参考書】

Listening website for this class:

www.oup.com/elt/tacticsforlistening3e

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of in-class participation (30%), two listening tests (40%), and ten weekly quizzes (30%).

If students miss 4 classes or more, they cannot pass this subject.

【学生の意見等からの気づき】

There were no particular requirements for this course from students. However, I would like to mention that students are expected to participate actively in class.

【Outline (in English)】

The primary objective of this class is the development of English listening skills. The course provides practice in conversation and listening across a wide range of subjects and situations. Students are expected to listen to the reference materials for the next class. In addition, they need to prepare for a weekly quiz on the units of the previous class. Assessment will consist of in-class participation (30%), two listening tests (40%), and ten weekly quizzes (30%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - II

2017年度以降入学者

ESTHER STOCKWELL

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The primary objective of this class is the development of English listening skills. The course provides practice in conversation and listening across a wide range of subjects and situations.

【到達目標】

This subject aims to equip learners with the basics of communication, and to help learners with everyday conversation, centred around listening, pronunciation and communication strategies.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

In the subject, we will cover each unit of the textbook, using online resources as supplements. Classes will involve pair and group work. Students can practice their listening skills with the provided online resources.

Feedback on assignments submitted by students will be provided in class or through the Hosei Learning Management System.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Unit 13	Talking about special days	Overview of English 2-II subject and Listening for gist, details, likes and dislikes
Unit 14	Describing clothes, time and numbers	Listening for gist and time and number
Unit 15	Asking about preferences	Listening for agreement and disagreement
Unit 16	Leaving and taking messages	Listening for topics and details
Unit 17	Talking about past events	Listening for sequence and making predictions
Unit 18	Talking about vacations and making a plan	Listening for acceptances, refusals and comparisons
Mid-term Test	Listening test	Review the content from week 1 to week 6 /After testing, check the test content
Unit 19	Talking about current events	Listening for topics and details
Unit 20	Expressing your views and opinions	Listening for gist, details, opinions and reasons
Unit 21	Describing famous people lives	Listening for gist, detail and sequence
Unit 22	Talking about food and nutrition	Listening for suggestions and sequence
Unit 23	Talking about difficult situations	Listening for details and attitudes
Unit 24	Talking about global issues	Listening for preferences and advice

End-term Test

Listening test

Review the content from week 8 to week 13 /After testing, check the test content

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to listen to the reference materials for the next class. In addition, they need to prepare for a weekly quiz on the units of the previous class. Therefore, students are expected to take about one hour for preparation and review a class.

【テキスト（教科書）】

書 名: Expanding Tactics for Listening (Third Edition)

著者名: Jack C. Richards with Grant Trew

発行所: Oxford University Press

【参考書】

Listening website for this class:

www.oup.com/elt/tacticsforlistening3e

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of in-class participation (30%), two listening tests (40%), and ten weekly quizzes (30%).

If students miss 4 classes or more, they cannot pass this subject.

【学生の意見等からの気づき】

There were no particular requirements for this course from students. However, I would like to mention that students are expected to participate actively in class.

【Outline (in English)】

The primary objective of this class is the development of English listening skills. The course provides practice in conversation and listening across a wide range of subjects and situations. Students are expected to listen to the reference materials for the next class. In addition, they need to prepare for a weekly quiz on the units of the previous class. Assessment will consist of in-class participation (30%), two listening tests (40%), and ten weekly quizzes (30%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - I

2017年度以降入学者

小堀 洋

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

4技能のバランスの良い学習効果を念頭に置きつつ、主として音声上の英語運用能力を養う。情報の受容から発信へのプロセスを重視する。

具体的には、英語によるプレゼンテーションの方法を学びます。英語の文章構造は日本語のそれとは異なります。英語の論理を学ぶことで、論理的な思考方法とそれに基づいた意見の表明の仕方を身につけます。

単なるツールとしての英語ではなく、日本語とは異なるものの見方としての英語を学びます。そうすることで、日本語という言語の中で生きている自分たちがどのような存在なのか考えてみたいと思います。

【到達目標】

当授業ではプレゼンテーションを行うことを主としているので、人前で話をするできるようになります。そして、単に人前で話すだけではなく、どうしたら聞き手に話しかけ、聞き手を説得し、納得させることができるかがわかるようになります。英語の論理構造を知り、それを使うことができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

できるだけ多くの機会にクラスメートとペアで、あるいは一人で、発表のための原稿を作り、発表します。また、そのための方法を学びます。したがって、授業は、講義と演習、発表を取り混ぜたものになります。

授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。さらに、リアクションペーパーや課題等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

課題等の提出は「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	ガイダンス クラスメート紹介	オリエンテーション：シラバスに基づき講義内容を説明する。クラスメートにインタビューし、それをまとめて発表する。
第2回	尊敬する人・好きな人	自分が尊敬する人・好きな人は誰かを考えて、その理由などをまとめてみる。
第3回	リスニング	プレゼンテーションのイントロとコンクルージョンを聞き、それらの内容を理解し、さらにそれぞれの構成の仕方を学ぶ。
第4回	リスニング	プレゼンテーションのボディー部分を聞き、その内容を理解し、さらにその構成の仕方を学ぶ。
第5回	プレゼンテーション 原稿の作成	自分が尊敬する人・好きな人に関するプレゼンテーションの原稿を書く。

第6回	プレゼンテーション	各自が尊敬する人・好きな人に関するプレゼンテーションをするだけでなく、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、良いところと、改善できるところをまとめる。
第7回	英会話（リスニング）	日常的な内容の英会話のリスニングを行う。
第8回	ツアー・休暇の過ごし方を提案する	自分が思う最高・最良のツアーや休暇の過ごし方を考え、話し合う。
第9回	リスニング	ツアーや休暇の過ごし方に関するプレゼンテーションのイントロとコンクルージョンを聞き、それらの内容を理解し、さらにそれぞれの構成の仕方を学ぶ。
第10回	リスニング	ツアーや休暇の過ごし方に関するプレゼンテーションのボディー部分を聞き、その内容を理解し、さらにその構成の仕方を学ぶ。
第11回	プレゼンテーション 原稿の作成	ツアーや休暇の過ごし方を提案するプレゼンテーションの原稿を作成する。
第12回	プレゼンテーション	各自がツアーや休暇の過ごし方に関するプレゼンテーションをするだけでなく、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、良いところと、改善できるところをまとめる。
第13回	英会話	クラスメートとともに日常的な会話を英語で行う。
第14回	試験・まとめと解説	これまでの授業で学んだプレゼンテーションの構成方法を用いて筆記試験（エッセイ・ライティング）を行う。・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを事前に読み内容を理解しておく。

授業中に指示された課題を、次の授業までに行っておく。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Present Yourself 2 Viewpoints, Cambridge University Press.

【参考書】

『マーフィーのケンブリッジ英文法』（中級編）第3版、ケンブリッジ大学出版。

英語を理解する上で重要な文法を理解するのにとても役立ちます。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、期末試験（30%）、授業内プレゼンテーション（50%）の合計で評価します。60点以上で合格です。

4回以上欠席すると単位は与えられませんので注意してください。毎回授業のはじめに出席カードを配りますので、その時に教室にいない学生は欠席とみなします。また、公共交通機関の遅延等を除いた遅刻も欠席とします。公共交通機関の遅延等の場合は遅延証明証を持参してください。

【学生の意見等からの気づき】

本授業は学生の皆さんの積極的な参加を求めます。

学生一人ひとりが発表するだけでなく、発表を聞くことも重要な授業の一部となっています。

皆さんが積極的に授業に参加するほど本授業はより内容の濃いものとなりますので、積極的に楽しんで授業に参加してください。

【その他の重要事項】

授業時間の前後に、教室にて学生からの質問等を受けます。

授業には必ず辞書を持参してください。

【Outline (in English)】

授業の概要（Course outline）

In this class, you develop mainly listening and speaking ability. specifically, you will learn how to give a presentation.

First, you will understand the way of organizing a presentation.

This will include how to make an introduction, a body paragraph, and a conclusion which constitute a presentation.

Then, you will make and give a presentation on a specific topic.

By doing so, you understand the difference between Japanese and English and learn how to think logically.

In other words, you find English not as a tool but a point of view so that you get a chance to think who you are.

到達目標(Learning Objectives)

1:The goals of this course are to understand the structure of essay, to be able to write essays, and give presentations.

授業時間外の学習(Learning activities outside of classroom)

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

成績評価の方法と基準(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 20%、Presentations : 50%、in class contribution: 20%、assignments: 10%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

English 2 - II

2017年度以降入学者

小堀 洋

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

4技能のバランスの良い学習効果を念頭に置きつつ、主として音声上の英語運用能力を養う。情報の受容から発信へのプロセスを重視する。

具体的には、英語によるプレゼンテーションの方法を学びます。英語の文章構造は日本語のそれとは異なります。英語の論理を学ぶことで、論理的な思考方法とそれに基づいた意見の表明の仕方を身につけます。

単なるツールとしての英語ではなく、日本語とは異なるものの見方としての英語を学びます。そうすることで、日本語という言語の中で生きている自分たちがどのような存在なのか考えてみたいと思います。

【到達目標】

当授業ではプレゼンテーションを行うことを主としているので、人前で話をするできるようになります。そして、単に人前で話すだけではなく、どうしたら聞き手に話しかけ、聞き手を説得し、納得させることができるかがわかるようになります。英語の論理構造を知り、それを使うことができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

できるだけ多くの機会にクラスメートとペアで、あるいは一人で、発表のための原稿を作り、発表します。また、そのための方法を学びます。したがって、授業は、講義と演習、発表を取り混ぜたものになります。

授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。さらに、リアクションペーパーや課題等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

課題等の提出は「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 今時の若者	オリエンテーション：シラバスに基づき講義内容を説明する。自分たちのライフスタイルなどに関するインタビューを考え、クラスメートにインタビューし、それをまとめる。
第2回	リスニング	今時の若者に関するプレゼンテーションのイントロとコンクルージョンを聞き、それらの内容を理解し、さらにそれぞれの構成の仕方を学ぶ。
第3回	リスニング	今時の若者に関するプレゼンテーションのボディー部分を聞き、その内容を理解し、さらにその構成の仕方を学ぶ。

第4回	プレゼンテーション	今時の若者に関するプレゼンテーションを実践する。また、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、それぞれの良いところと改善できるところを発表者に伝える。
第5回	英会話（リスニング）	日常的な内容の英会話のリスニングを行う。
第6回	説明しよう！	自分が知らないことについて考え、調べ、まとめる。
第7回	リスニング	物事を説明するプレゼンテーションを聞き、その内容を理解して、構成を学ぶ。
第8回	プレゼンテーション	各自が関心を持っている事を説明するプレゼンテーションを実践する。また、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、それぞれの良いところと改善できるところを発表者に伝える。
第9回	英会話（会話）	クラスメートとともに日常的な会話を英語で行う。
第10回	自分の意見をいう	何かに対して賛成か反対か、自分の態度を決め、その理由を述べるために考える。
第11回	リスニング	自分の意見を述べているプレゼンテーションを聞き、その内容を理解して、構成を学ぶ。
第12回	プレゼンテーション	自分の意見を述べるプレゼンテーションを実践する。また、クラスメートのプレゼンテーションを聞き、それぞれの良いところと改善できるところを発表者に伝える。
第13回	英会話（会話とリスニング）	クラスメートとともに大学のキャンパスで使う英会話を行う。また、同様の内容の英会話のリスニングを行う。
第14回	試験・まとめと解説	これまでの授業で学んだプレゼンテーションの構成方法を用いて筆記試験（エッセイ・ライティング）を行う。・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを事前に読み内容を理解しておく。

授業中に指示された課題を、次の授業までに行っておく。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Present Yourself 2 Viewpoints, Cambridge University Press.

【参考書】

『マーフィーのケンブリッジ英文法』（中級編）第3版、ケンブリッジ大学出版。

英語を理解する上で重要な文法を理解するのにとても役立ちます。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、期末試験（30%）、授業内プレゼンテーション（50%）の合計で評価します。60点以上で合格です。

4回以上欠席すると単位は与えられませんので注意してください。毎回授業のはじめに出席カードを配りますので、その時に教室にいない学生は欠席とみなします。また、公共交通機関の遅延等を除いた遅刻も欠席とします。公共交通機関の遅延等の場合は遅延証明証を持参してください。

【学生の意見等からの気づき】

本授業は学生の皆さんの積極的な参加を求めます。

学生一人ひとりが発表するだけでなく、発表を聞くことも重要な授業の一部となっています。

皆さんが積極的に授業に参加するほど本授業はより内容の濃いものとなりますので、積極的に楽しんで授業に参加してください。

【その他の重要事項】

授業時間の前後に、教室にて学生からの質問等を受けます。

授業には必ず辞書を持参してください。

【Outline (in English)】

授業の概要 (Course outline)

In this class, you develop mainly listening and speaking ability. Specifically, you will learn how to give a presentation.

First, you will understand the way of organizing a presentation.

This will include how to make an introduction, a body paragraph, and a conclusion which constitute a presentation.

Then, you will make and give a presentation on a specific topic.

By doing so, you understand the difference between Japanese and English and learn how to think logically.

In other words, you find English not as a tool but a point of view so that you get a chance to think who you are.

到達目標 (Learning Objectives)

1: The goals of this course are to understand the structure of essay, to be able to write essays, and give presentations.

授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 20%、Presentations : 50%、in class contribution: 20%、assignments: 10%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1 – I

2017年度以降入学者

大曲 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

複数のパラグラフから成る記事を題材として、パラグラフの構造や、構文や文法などの知識を強化することを目的とする。それと同時に、今社会を取り巻くメディアと娯楽、環境保護問題や文化、などの多岐にわたるトピックを通して世界情勢への理解を深めることを目的とする。

6回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

【到達目標】

タイムリーなトピックを取り上げ、速読、精読などを通して、必要とする情報を効果的に読み取るスキルを学習する。リスニング、リーディング、ライティング学習を通して、英語資格試験などのためだけでなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人々と対等に渡り合える英語力を身に付けていく。高い英語力だけでなく、批判的な視点の持ち方、自分の意見の持ち方及び歴史や教養などを身に着けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は全14回中8回を対面型授業、6回をオンライン授業（授業動画を配信するオンデマンド型）とする。

ほぼ2回の授業で1つのChapterを学習する。1回目の授業（授業動画配信オンデマンド型）では先ず宿題として授業当該日前までに各自記事を読んでTF内容問題に取り組み準備する。その後、授業動画を配信するオンデマンド授業を視聴して、指定の締め切り日までにHoppiiを通して課題を提出する。2回目の授業（対面）では、全員が内容を目を通していることを前提に問題演習を行い、教員が配布するプリント学習を行い、自分の考えをまとめる。

Chapter 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

授業で取り上げるChapterは以下の6つとする

Chapter 1,3,4,6, 9, 10

前半は速読を中心に大意をつかむためのリーディングスキルを学び、後半の授業ではexerciseを解きながら精読する。

適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、授業動画配信オンデマンド型の時はOpen LMSを通して指定の締め切り日までに提出し、それはOpen LMSを通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。

小テストは採点返却される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	初回授業 授業説明及び 時事問題のプリント配布。
2	Chapter1 Pressure to please: Why can't we say no ?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Expand your Vocabulary

3	Chapter1 Pressure to please: Why can't we say no ?	本文内容の確認 テキスト後半 Reading Details Finding Details Summary プリント教材、 主にグループワークで行う。
4	Chapter 3 Marketing Genius: How did Red Bull achieve its success?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Expand your Vocabulary
5 5/15	Chapter 3 Marketing Genius: How did Red Bull achieve its success?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter1 語彙テスト Reading Details Finding Details Summary プリント教材、 主にグループワークで行う。
6	Chapter 4 Trains, Planes, and Automobiles: What is a Super Commuter ?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Expand your Vocabulary
7	Chapter 4 Trains, Planes, and Automobiles: What is a Super Commuter ?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter3 語彙テスト Reading Details Finding Details Summary プリント教材、 主にグループワークで行う。
8	Chapter 6 Tourism: Is it Blessing or a curse?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Expand your Vocabulary
9	Chapter 6 Tourism: Is it Blessing or a curse?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter4 語彙テスト Reading Details Finding Details Summary プリント教材、 主にグループワークで行う。
10	Chapter 9 Lost Cities: Are they myth or reality ?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Expand your Vocabulary
11	Chapter 9 Lost Cities: Are they myth or reality ?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter6 語彙テスト Reading Details Finding Details Summary プリント教材、 主にグループワークで行う。
12	Chapter 10 An Ordinary Hero: How did one man stop World War Ⅲ?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Expand your Vocabulary
13	Chapter 10 An Ordinary Hero: How did one man stop World War Ⅲ?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter9 語彙テスト Reading Details Finding Details Summary プリント教材、 主にグループワークで行う。
14	これまでのまとめと 期末試験	これまでのまとめ 期末まとめ試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

各Chapter の vocabulary を必ず学習し、語彙の確認を徹底する。
(Extend Your Vocabulary とTFは採点する) 授業配信オンデマンド授業では本文を各自読み込み内容理解をして対面授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】

Our World Our Stories

変動する世界と現代社会の再発見

成美堂 （2,200 円税込）

【参考書】

特になし。

辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

授業動画配信オンデマンド型授業時 10点 10% (Answer Sheet
の空欄が全て解答されていること)

対面 課題提出 10%

小テスト 10点×5回分 50点 30%

期末試験 50%

*各学期、欠席4回以上で、原則として単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回 Answer Sheet の回答欄が
全て記載されていて（解答されていて）、その授業回を出席とする。
（空欄の内容に全て解答すること）

【学生の意見等からの気づき】

トピックに関連したプリントを配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書のQRコードから音声
をスマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用する
か、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is help students acquire an understand-
ing the international situation, an environmental problem,
natural disasters, culture, media issues
and so on through the essays.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency,
critical thinking and social skills through listeing, reading ,
writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom 】

Before each class meeting, students will be expected to spend
one hour to understand the course content and have read the
relevant chapter and completed the assignments.

【 Grading Criteria 】

Your overall grade in the class will be decided based on the
following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1 - II

2017年度以降入学者

大曲 陽子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

複数のパラグラフから成る記事を題材として、パラグラフの構造や、構文や文法などの知識を強化することを目的とする。それと同時に、今社会を取り巻くメディアと娯楽、環境保護問題や文化、などの多岐にわたるトピックを通して世界情勢への理解を深めることを目的とする。

6回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

【到達目標】

タイムリーなトピックを取り上げ、速読、精読などを通して、必要とする情報を効果的に読み取るスキルを学習する。リスニング、リーディング、ライティング学習を通して、英語資格試験などのためだけでなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人々と対等に渡り合える英語力を身に付けていく。高い英語力だけでなく、批判的な視点の持ち方、自分の意見の持ち方及び歴史や教養などを身に着けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は全14回中8回を対面型授業、6回をオンライン授業（授業動画を配信するオンデマンド型）とする。

ほぼ2回の授業で1つのChapterを学習する。1回目の授業（授業動画配信オンデマンド型）では先ず宿題として授業当該日前までに各自記事を読んでTF内容問題に取り組み準備する。その後、授業動画を配信するオンデマンド授業を視聴して、指定の締め切り日までにOpen LMSを通して課題を提出する。2回目の授業（対面）では、全員が内容に目を通していることを前提に問題演習を行い、教員が配布するプリント教材を学習し自分の考えをまとめる。

Chapter一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

授業で取り上げるChapterは以下の6つとする

Chapter 11, 13, 15, 16, 17, 18

前半は速読を中心に大意をつかむためのリーディングスキルを学び、後半の授業ではexerciseを解きながら精読する。

適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、授業動画配信オンデマンド型の時はOpen LMSを通して指定の締め切り日までに提出し、それはOpen LMSを通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。

小テストは採点返却される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	後期ガイダンス	初回授業 授業説明及び 時事問題のプリント配布。
2	Chapter 11 Left or Right : What is bias in the media?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Extend Your Vocabulary

3	Chapter 11 Left or Right : What is bias in the media?	本文内容の確認 テキスト後半 Reading Details Finding Details Summary プリント教材、 主にグループワークで行う。
4	Chapter 13 Digital Town Square: Why is Twitter always in the news?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Extend Your Vocabulary
5	Chapter 13 Digital Town Square: Why is Twitter always in the news?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 11 語彙小テスト Reading Details Finding Details Summary プリント教材、 主にグループワークで行う。
6	Chapter 15 Entertainment Empire: How did Disney take over the World ?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Extend Your Vocabulary
7	Chapter 15 Entertainment Empire: How did Disney take over the World ?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter13 語彙小テスト Reading Details Finding Details Summary プリント教材、 主にグループワークで行う。
8	Chapter 16 Spooky Science : Are ghost real ?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Extend Your Vocabulary
9	Chapter 16 Spooky Science : Are ghost real ?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 15 語彙小テスト Reading Details Finding Details Summary プリント教材、 主にグループワークで行う。
10	Chapter 17 Believing a Lie: Can we plant memories in the brain ?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Extend Your Vocabulary
11	Chapter 17 Believing a Lie: Can we plant memories in the brain ?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 17 語彙小テスト Reading Details Finding Details Summary プリント教材、 主にグループワークで行う。
12	Chapter 18 Cell Magic : Can we make a living robot?	授業動画配信オンデマンド型 Reading Comprehension Extend Your Vocabulary
13	Chapter 18 Cell Magic : Can we make a living robot?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 18 語彙小テスト Reading Details Finding Details Summary プリント教材、 主にグループワークで行う。
14	これまでのまとめと 期末試験	これまでのまとめ 期末まとめテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

各ChapterのUseful Wordsを必ず学習し、語彙の確認を徹底する。
(vocabularyとTFは採点する) 授業配信オンデマンド授業では本文
を各自読み込み内容理解をして対面授業に臨むこと。

【テキスト (教科書)】

Our World Our Stories

変動する世界と現代社会の再発見

成美堂 (2,200 円税込)

【参考書】

特になし。

辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

授業動画配信オンデマンド授業時10点 10% (Answer Sheet の空
欄が全て解答されていること)

対面 10%

小テスト 10点×5回分 50点 30%

期末試験 50%

*各学期、欠席4回以上で、原則として単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回Answer Sheet の回答欄が
全て記載されていて (解答されていて)、その授業回を出席とする。
(空欄の内容に全て解答すること)

【学生の意見等からの気づき】

トピックに関連したプリントを配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書のQRコードから音声
をスマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業は授業動画配信オンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用する
か、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is help students acquire an understand-
ing the international situation, an environmental problem,
natural disasters, culture, media issues
and so on through the essays.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency,
critical thinking and social skills through listeing, reading ,
writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom 】

Before each class meeting, students will be expected to spend
one hour to understand the course content and have read the
relevant chapter and completed the assignments.

【 Grading Criteria 】

Your overall grade in the class will be decided based on the
following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1 - I

2017年度以降入学者

飛田 英伸

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界のさまざまなトピックについて書かれた英文を教材として、正確にかつ批評的に「読む」力の向上を図るとともに、コミュニケーションに必要な「聴く・話す・書く」能力を養い、英語で発信される情報に対応できるようになる。

【到達目標】

- ・英語の文章の基本的な構造を理解する。
- ・英文を速読してその大意や要点、おおまかな構造をつかむことができるようになる。
- ・文章に使われている構文や文法を把握できるようになる。
- ・精読を通して書き手の考えや論理の展開について分析することができるようになる。
- ・標準的な速度で話される英語をおおまかに聞き取ることができるようになる。
- ・簡潔な英語で物事を説明したり、自分の考えを表明したりできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はすべて対面で行う予定。

予習を前提に、講義と演習を行う。

1つのユニットを2回の授業で進める。

1回目の授業では、語彙・文法の確認・解説と、リスニング、リーディング（大意把握）を行う。

2回目の授業では、リーディング（速読、精読）とリスニング、スピーキング、ライティングを行う。

学習支援システムを通して試験や課題へのフィードバックを行う。また、作文課題は添削して返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の説明、自己紹介
2	Unit 1: The Performing and Martial Arts Behind Carnival	語彙、リスニング、大意把握、文法
3	Unit 1: The Performing and Martial Arts Behind Carnival	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
4	Unit 2: #VanLife	語彙、リスニング、大意把握、文法
5	Unit 2: #VanLife	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
6	Unit 3: A Smaller World?	語彙、リスニング、大意把握、文法
7	Unit 3: A Smaller World?	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
8	Unit 4: Where Are Gen Z's Friends	語彙、リスニング、大意把握、文法
9	Unit 4: Where Are Gen Z's Friends	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文

10	Unit 5: Beyond the Noise in Heavy Metal	語彙、リスニング、大意把握、文法
11	Unit 5: Beyond the Noise in Heavy Metal	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
12	Unit 7: How Can We Achieve Digital Wellness?	語彙、リスニング、大意把握、文法
13	Unit 7: How Can We Achieve Digital Wellness?	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【予習】

1. テキストを読み、問題に答える。

2. テキストを日本語に訳す。

【復習】

1. テキストの内容、語彙・文法事項を確認する。

2. リスニングの音声聞き直す。

3. 作文の添削を確認する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Reading Traveler 1 (Alexander Farrell著、松柏社、2025年、2,400円＋税)

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%

平常点（予習、作文、スピーキング、受講態度）40%

欠席が4回以上の場合は、原則として単位取得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

授業中の演習の時間を増やす。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書可）。

学習支援システムを使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器の持参を奨励する。

【その他の重要事項】

生成AIの使用は原則として禁止する。

ただし、部分的に使用し（例えば、英語での言い方を調べる）、その結果を検証する場合には例外的に使用を認める。その場合は必ず申告し、どこに使ったのかと、その検証の過程と結果を示すこと。生成AIが作成したものを自らの成果としてそのまま提出した場合は単位の取得を認めない。また、使用の可能性が極めて高いと判断される場合も同様に処理することがある。

【Outline (in English)】

Through reading English articles about various topics around the world, students will develop their abilities to correctly understand and critically evaluate English texts. Students will also improve their basic English skills through listening, speaking, and writing activities.

The goals of this course are to understand basic sentence structures and grammatical rules, acquire reading skills to gather and analyze information, and improve ability in listening and writing.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend an hour to complete the required assignments. Grading will be decided based on term-end examination (60%) and in class contribution including assignment submissions (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
英語 1－Ⅱ		2017年度以降入学者
飛田 英伸		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月 1/Mon.1		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界のさまざまなトピックについて書かれた英文を教材として、正確にかつ批評的に「読む」力の向上を図るとともに、コミュニケーションに必要な「聴く・話す・書く」能力を養い、英語で発信される情報に対応できるようになる。

【到達目標】

- ・英語の文章の基本的な構造を理解する。
- ・英文を速読してその大意や要点、おおまかな構造をつかむことができるようになる。
- ・文章に使われている構文や文法を把握できるようになる。
- ・精読を通して書き手の考えや論理の展開について分析することができるようになる。
- ・標準的な速度で話される英語をおおまかに聞き取ることができるようになる。
- ・簡潔な英語で物事を説明したり、自分の考えを表明したりできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はすべて対面で行う予定。
予習を前提に、講義と演習を行う。
1つのユニットを2回の授業で進める。
1回目の授業では、語彙・文法の確認・解説と、リスニング、リーディング（大意把握）を行う。
2回目の授業では、リーディング（速読、精読）とリスニング、スピーキング、ライティングを行う。
学習支援システムを通して試験や課題へのフィードバックを行う。
また、作文課題は添削して返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の説明、春学期の復習
2	Unit 8: Japan's Indie Film Scene	語彙、リスニング、大意把握、文法
3	Unit 8: Japan's Indie Film Scene	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
4	Unit 9: Better Education, Less Work?	語彙、リスニング、大意把握、文法
5	Unit 9: Better Education, Less Work?	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
6	Unit 11: Festive Ramadan Meals in the UAE	語彙、リスニング、大意把握、文法
7	Unit 11: Festive Ramadan Meals in the UAE	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
8	Unit 12: The Peculiar Nature of Tasmania	語彙、リスニング、大意把握、文法

9	Unit 12: The Peculiar Nature of Tasmania	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
10	Unit 13: Disappearing Islands	語彙、リスニング、大意把握、文法
11	Unit 13: Disappearing Islands	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
12	Unit 14: South Korea's Gray Majority	語彙、リスニング、大意把握、文法
13	Unit 14: South Korea's Gray Majority	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
[予習]

1. テキストを読み、問題に答える。
 2. テキストを日本語に訳す。
- [復習]
1. テキストの内容、語彙・文法事項を確認する。
 2. リスニングの音声聞き直す。
 3. 作文の添削を確認する。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Reading Traveler 1 (Alexander Farrell著、松柏社、2025年、2,400円＋税)

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
期末試験60%
平常点（予習、作文、スピーキング、受講態度）40%
欠席が4回以上の場合は、原則として単位取得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
授業中の演習の時間を増やす。

【学生が準備すべき機器他】
辞書（電子辞書可）。
学習支援システムを使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器の持参を奨励する。

【その他の重要事項】
生成AIの使用は原則として禁止する。
ただし、部分的に使用し（例えば、英語での言い方を調べる）、その結果を検証する場合には例外的に使用を認める。その場合は必ず申告し、どこに使ったのかと、その検証の過程と結果を示すこと。
生成AIが作成したものを自らの成果としてそのまま提出した場合は単位の取得を認めない。また、使用の可能性が極めて高いと判断される場合も同様に処理することがある。

【Outline (in English)】
Through reading English articles about various topics around the world, students will develop their abilities to correctly understand and critically evaluate English texts. Students will also improve their basic English skills through listening, speaking, and writing activities.
The goals of this course are to understand basic sentence structures and grammatical rules, acquire reading skills to gather and analyze information, and improve ability in listening and writing.
Before and after each class meeting, students will be expected to spend an hour to complete the required assignments. Grading will be decided based on term-end examination (60%) and in class contribution including assignment submissions (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1 - I

2017年度以降入学者

川野 芽生

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語を使って正しい情報にアクセスできるようにする。英語を用いて情報収集し、複数のパラグラフから成る英文を正確に理解するためのリーディング・スキルを磨く。また、音声から英語を聞き取って理解するリスニング・スキルを身につける。また、収集した情報に対して自身の意見を表明することができるようになることを目指す。

【到達目標】

- ・英語で情報を収集する能力を身につける
- ・英語の文章を、パラグラフの構成を意識して正確に読む能力を身につける
- ・英語の文章を正確に聞き取る能力を身につける
- ・辞書を引く力をつける
- ・基本的な文法力を向上させる
- ・語彙力を増やす
- ・論理的な思考力を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

学生は各自、自身の興味関心に基づき、書籍や新聞、雑誌、ウェブサイトなどから200 300語程度の英文（既約のないものが望ましい）を収集、自身で和訳して、原文（出典を明記）と訳文、語彙やイデオムの説明、疑問点や不明点、背景知識や関連知識を記載したハンドアウトを作成し配布、その内容をプレゼンテーションし、他の学生からの質疑に応答する。他の学生は発表を聞いて質問やコメントをし、コメントペーパーを書く。教員はフィードバックを行う。一回の授業につき3名ほどの学生がプレゼンテーションを行う（1名につき約30分）。学期末に、質疑応答やフィードバックを踏まえてブラッシュアップした資料を提出する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容や進め方についての説明、英語での情報収集の方法について、諸注意、教員によるプレゼンテーションの例示
2	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ1）
3	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ2）
4	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ3）
5	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ4）
6	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ5）

7	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ6）
8	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ1；その2）
9	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ2；その2）
10	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ3；その2）
11	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ4；その2）
12	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ5；その2）
13	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ6；その2）
14	まとめ、振り返り	意見交換、ディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

プレゼンテーションの順番が当たっている学生は、自身の興味関心に基づき、自身の読解力よりやや上程度の英文を探し、辞書を引き、文法を調べながら和訳して、背景知識や関連知識を調査し、資料を作成し、発表の準備をすること。また、どの学生もあらかじめ共有された英文を読んで予習するとともに、授業後に他の学生によるプレゼンテーション資料をもとによく復習すること。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

発表 70%

授業参加 20%

提出物 10%

4回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

辞書の使い方などについて丁寧に指導する。

【Outline (in English)】

This class aims to develop the abilities to read and listen to English materials and learn how to collect information in English. Students collect English passages according to their interests, translate them into Japanese, and give presentations on them.

Before each class meeting, students will be expected to spend at least an hour.

Final grade will be calculated according to the following process: presentation (70%), in-class contribution (20%), and term-end paper (10%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
英語 1 - II		2017年度以降入学者
川野 芽生		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月 1/Mon.1		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語を使って正しい情報にアクセスできるようにする。英語を用いて情報収集し、複数のパラグラフから成る英文を正確に理解するためのリーディング・スキルを磨く。また、音声から英語を聞き取って理解するリスニング・スキルを身につける。また、収集した情報に対して自身の意見を表明することができるようになることを目指す。

【到達目標】

- ・英語で情報を収集する能力を身につける
- ・英語の文章を、パラグラフの構成を意識して正確に読む能力を身につける
- ・英語の文章を正確に聞き取る能力を身につける
- ・辞書を引く力をつける
- ・基本的な文法力を向上させる
- ・語彙力を増やす
- ・論理的な思考力を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

学生は各自、自身の興味関心に基づき、書籍や新聞、雑誌、ウェブサイトなどから300 400語程度の英文（既約のないものが望ましい）を収集、自身で和訳して、原文（出典を明記）と訳文、語彙やイデオムの説明、疑問点や不明点、背景知識や関連知識を記載したハンドアウトを作成し配布、その内容をプレゼンテーションし、他の学生からの質疑に応答する。他の学生は発表を聞いて質問やコメントをし、コメントペーパーを書く。教員はフィードバックを行う。一回の授業につき3名ほどの学生がプレゼンテーションを行う（1名につき約30分）。学期末に、質疑応答やフィードバックを踏まえてブラッシュアップした資料を提出する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容や進め方についての説明、英語での情報収集の方法について、諸注意、教員によるプレゼンテーションの例示
2	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ1）
3	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ2）
4	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ3）
5	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ4）
6	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ5）

7	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ6）
8	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ1；その2）
9	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ2；その2）
10	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ3；その2）
11	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ4；その2）
12	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ5；その2）
13	学生によるプレゼンテーション（3名ずつ）	各学生が自身の収集した英文について、その和訳を中心にプレゼンテーション（グループ6；その2）
14	まとめ、振り返り	意見交換、ディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

プレゼンテーションの順番が当たっている学生は、自身の興味関心に基づき、自身の読解力よりやや上程度の英文を探し、辞書を引き、文法を調べながら和訳して、背景知識や関連知識を調査し、資料を作成し、発表の準備をすること。また、どの学生もあらかじめ共有された英文を読んで予習し、授業後に他の学生によるプレゼンテーション資料をもとによく復習すること。

【テキスト（教科書）】なし

【参考書】なし

【成績評価の方法と基準】
発表 70%
授業参加 20%
提出物 10%
4回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
辞書の使い方などについて、丁寧に指導する。

【Outline (in English)】
This class aims to develop the abilities to read and listen to English materials and learn how to collect information in English. Students collect English passages according to their interests, translate them into Japanese, and give presentations on them.

Before each class meeting, students will be expected to spend at least an hour.

Final grade will be calculated according to the following process: presentation (70%), in-class contribution (20%), and term-end paper (10%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1 - I

2017年度以降入学者

溝部 敦子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「映画を来たるべき多文化社会のケーススタディ／モデルとして位置付け…多文化社会のあり方を学ぶことを企図した」テキストを使う。その精読及び速読を通して読解力を強化し、映画で描かれた様々な立場の人々の価値観／世界観を知るとともに多文化共生に必要な教養を深めていく。さらに、テキストに設定されたテーマを元に批判的な思考と論理的な文章を書く力を養う。取り上げられている映画はかなりシリアスで重いものが多いが、そのうちいくつかは、部分的または全編（少なくとも一つ）を教室で鑑賞し、テーマと内容の理解に供するとともに自然な英語の音声に慣れる機会を設ける。

【到達目標】

- (1) 単語の意味をつないで適当に文意を類推するのではなく、文の構造や修飾関係を正確に把握した上で内容が理解できる。
- (2) 様々なテーマについて複数の立場から考え、自分の考えを平易な英語で書くことが出来る。
- (3) 英語の音声に慣れ、ポイントとなる部分を正しく聞き取ることが出来る。
- (4) 歴史的、社会的背景を踏まえて異文化を理解することが出来る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は対面で行います。テキストは全部で15ユニットから成っており、15の映画（主にアメリカ映画）が取り上げられています。そのうち、春学期はUnit 7までを扱い、映画鑑賞なども挟んで、アメリカにおける白人貧困層やLGBT、移民問題などを見て行きます。テキストは精読、速読を取り混ぜ、意味や構文の取りにくい文に特に注意を払いながら読んでいきますが、予習を促し理解を深めるため、プリント教材による読解演習などを追加する予定です。各ユニットのThinking about Our Diversityのセクションについては、日本社会の現状も意識しつつ自分の意見を短いレポート（英文、又は和文）にまとめてもらい、その後、グループトークの形でクラスメイトと意見交換の機会を出来るだけ設けたいと思っています。また、映画鑑賞の時間を設けるほか、テキストとは別にリスニング演習を加えます。

なお、提出してもらった課題は個々に採点等して返却するか、または授業内で全体としてフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業内容や英語読解のポイントなどについて説明 Self-introduction Activity
2	Reading Practice Learning about a social problem	Unit 1 "Three Billboards Outside Ebbing, ..." (" "は映画のタイトル) アメリカにおける白人貧困層
3	Reading Practice Thinking about a social problem Writing Skills	Unit 1 格差社会について考える パラグラフの構造について

4	Reading Practice Learning about a social problem	Unit 2 "Moonlight" 少数者差別ーLGBTを中心に
5	Reading Practice Learning about gender & race discrimination	Unit 2 + Unit 3 "Hidden Figures" 女性差別・人種差別
6	Reading Practice Watching a Film	Unit 3 映画鑑賞 <i>Hidden Figures</i> (1)
7	Reading Practice Watching a Film	Unit 3 映画鑑賞 <i>Hidden Figures</i> (2)
8	Reading Practice Learning about History	Unit 4 "12 Years A Slave" アメリカの奴隷制度・奴隷貿易
9	Reading Practice Learning about History	Unit 5 "Brooklyn" アイルランド移民の歴史
10	Reading Practice	Unit 5 + Unit 6 "Gran Torino"
11	Reading Practice Learning & thinking about a social problem	Unit 6 移民との共生
12	Reading Practice Learning about the government policy	Unit 7 "The Visitor" アメリカの移民政策
13	Reading Practice Discussing a social issue	Unit 7 不法移民
14	Review & Examination	総括・読解の復習テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。Reading Passageの予習は必須。未知の単語を調べるのは勿論のこと、すぐに和訳できるようにしておく。また、文の構造や文意についても自分の頭でよく考え、疑問点があれば洗い出し、授業で質問して解消した上で復習する。クラスメイトとの意見交換、又はレポートのため必要なりサーチを行い、短い英語または日本語の文章を用意する。

【テキスト（教科書）】

Joseph Talbot & 森永弘司『*Our Society, Our Diversity, Our Movies* - 映画に観る多文化社会のかたち』(2020 金星堂)

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

＜成績評価の方法＞

- ・期末に読解の復習テストを実施します。
- ・小テスト形式の読解演習（辞書参照可）を適宜行い、短い英作文を課します。
- ・その他、授業内で行う様々な演習や出された課題への取り組みも授業への貢献度として評価します。
- ＜成績評価基準・評価の配分等＞
- ・期末テストと読解演習は到達目標の(1)(4)に対応し、授業を真面目によく聞き、学習したことがきちんと身についているかどうか、地道な努力が来ているかどうかを見ます。
- ・英作文やレポート／ディベートは到達目標の(1)～(4)に対応し、必要な資料を読み込んだり聞いたりして、自分の考えを論理的かつ正確でわかりやすい英語又は日本語で表現出来ているかどうかを見ます。
- ・上記のほか、到達目標の(1)～(4)に対応して授業への貢献度などを加味し、総合的に判断して最終的な評価を決定します。ただし、欠席が4回以上となった者は原則として単位修得の資格を失います。また、欠席、遅刻とも3回目から減点の対象となります。

配分は以下の通りです。

期末テスト(50%)、読解演習及びレポート、もしくはディベート用英作文(30%)、平常点（英作文以外の提出物、授業内の読解やリスニングなどの演習、その他授業への貢献度など）(20%)

【学生の意見等からの気づき】

説明は口頭だけでなく板書やプリントも活用し、クラスメイトとの意見交換の時間を出来るだけ取るようにします。

【Outline (in English)】

Modern society is becoming increasingly multicultural these days. Now we must, more or less, work with people who see the world very differently from us, but it is not so easy. In this course, students will learn to recognize their prejudices and discover new ways of seeing the world through the 15 films, mainly American, dealing with various issues we face today. Moreover, by reading the texts carefully, they are expected to develop the reading skills necessary to grasp the structure of complex sentences accurately. In doing so, they will also understand the historical and social background of those problems explored in this textbook. Thereby, they will be able to expand their horizons as well. There will also be time for group talk, and students are required to write, in English, a few very short essays for them.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend at least one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination 50%, reading comprehension tasks & writing assignments 30%, and in-class contribution 20%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1 - II

2017年度以降入学者

溝部 敦子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキスト後半のUnit 8～15を読み、異文化コミュニケーションから福祉のあり方、障がい、PTSDや難民など、アメリカだけでなく、日本も含めたグローバルな課題を自分事として考察する。また、引き続きWritingとListeningの力の向上も目指し、Readingについては、正確に、かつ速くたくさん読める力を養う。

【到達目標】

- (1) Reading, Listening とも英語の語順通りに意味を取ることが出来る。
- (2) 速読のコツを掴み、効率的な読み方が出来る。
- (3) レポート課題又はグループトークを通して自分の考えを論理的かつ説得力のある英語または日本語で表現し、異文化や社会の課題についてより深く批判的な考察が出来る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に春学期と同じで、テキスト後半のUnit 8 からを対象とします。また、Skimming や Scanning などの代表的な速読方法を学び、より効率的な速読が出来るようにします。

課題に対するフィードバックについても、春学期同様、課題の性質により個々に返却するか、もしくは授業内で全体に対して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Reading Practice Thinking about foreign language (1)	Unit 8 "English Vinglish" 外国語で暮らす
2	Reading Practice Thinking about foreign language (2)	Unit 8 + Unit 9 "Lost in Translation" 異文化コミュニケーション Scanning について
3	Reading Skills Reading Practice	Unit 9 Skimming について
4	Reading Practice Learning about the welfare system	Unit 10 "I, Daniel Blake" イギリスの福祉制度
5	Reading Practice Watching a Film	Unit 10 映画鑑賞 I, Daniel Blake (1)
6	Reading Practice Watching a Film	Unit 10 映画鑑賞 I, Daniel Blake (2)
7	Reading Practice Learning about a social issue	Unit 11 "The Theory of Everything" 障がいと共に生きる&障がい者をケアする
8	Reading Practice	Unit 11 + Unit 12 "Dallas Byers Club"
9	Reading Practice Learning about a social issue	Unit 12 + Unit 13 "American Sniper" PTSD について

10	Reading Practice Learning about a social issue	Unit 13 + Unit 14 "Hotel Rwanda" 難民問題
11	Reading Practice Learning about history	Unit 14 ホロコーストの歴史
12	Reading Practice Watching a Film	Unit 15 "Schindler's List" 映画鑑賞 (2)
13	Reading Practice Watching a Film	Unit 15 映画鑑賞 (2)
14	Review & Examination	総括 + 読解の復習テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。春学期同様、Reading Passage の予習は必須。ほかに、読解演習のプリントなどを使った復習やレポート又はグループトークに備えたりサーチ及び英作文など。

【テキスト（教科書）】

Joseph Talbot & 森永弘司 『Our Society, Our Diversity, Our Movies - 映画に観る多文化社会のかたち』(2020 金星堂)

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

＜成績評価の方法＞

- ・期末に読解の復習テストを実施します。
- ・小テスト形式の読解演習（辞書参照可）を適宜行い、短い英作文を課します。
- ・その他、授業内で行う様々な演習や出された課題への取り組みも授業への貢献度として評価します。

＜成績評価基準・評価の配分等＞

- ・期末テストと読解演習は到達目標の(1)(2)に対応し、授業を真面目によく聞き、学習したことがきちんと身についているかどうか、要点をしっかり把握し、正確な読みが来ているかどうかを見ます。
- ・英作文やレポート／ディベートは到達目標の(1)～(3)に対応し、与えられた資料だけでなく、自分でも必要な資料を集め、これを読み込んだり聞いたりした上で、自分の考えを論理的かつ正確でわかりやすい英語または日本語で表現出来ているかどうかを見ます。
- ・上記のほか、到達目標の(1)～(3)に対応して授業への貢献度などを加味し、総合的に判断して最終的な評価を決定します。ただし、欠席が4回以上となった者は原則として単位修得の資格を失います。また、欠席、遅刻とも3回目から減点の対象となります。

配分は以下の通りです。

期末テスト(50%)、読解演習及びレポート／ディベート用英作文(30%)、平常点（英作文以外の提出物、授業内の読解やリスニングなどの演習、その他授業への貢献度など）(20%)

【学生の意見等からの気づき】

説明は口頭だけでなく板書やプリントも活用し、クラスメートとの意見交換の時間を出来るだけ取るようにします。

【Outline (in English)】

You will continue to read about various problems that an increasingly multicultural society has to address. In addition, you are expected to understand complex sentences as you read them without translating each of them into Japanese, which is necessary for extensive reading and should also lead to your developing confidence in listening.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend at least one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination 50%, reading comprehension tasks & writing assignments 30%, and in-class contribution 20%

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
英語 1 – I		2017年度以降入学者
遠藤 郁子		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月 1/Mon.1		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に、かつ速読や精読など目的に応じた速度で読むことのできる力を養います。特にパラグラフの構造（topic sentence, supporting sentence, concluding sentence など）およびパラグラフ同士のつながりに留意しつつ、構文・論旨を正確に把握し、必要な知識・情報をつかみ取ること、また書き手の感情や意図をつかむことに重点を置きます。「聴く力」の育成も、授業の一環として行います。

【到達目標】

この授業は以下の5つを到達目標とします：

- ①辞書を効果的に利用しながら、高校時代に培った文法・語彙・構文・発音を復習し強化する
- ②速読や精読など目的に応じた速度で効果的に読む力を養う
- ③現パラグラフの構造（topic sentence, supporting sentence, concluding sentence など）およびパラグラフ同士のつながりに留意する
- ④必要な知識・情報を掴み取る力と同時に、書き手の感情や意図、論旨を正確に把握する力を養う
- ⑤各履修者が自分に合った、継続的に英語学習を続けるための手段を取得する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

現代の時事的な諸問題を扱う英語のエッセイを各自予習として辞書をひきながら読み、あらかじめ指定されたエクササイズを解いてから授業に臨みます。授業ではその文章の内容や注意すべき文法事項、語彙、発音などを確認します。教師が確認する場合もありますが、グループやペアワークで確認してもらう場合が多いのでしっかり予習しましょう。基本的にひとつの文章につき3回授業を行い、3回目の授業で復習のための小テストを行います。

学習内容の理解を確認・復習するための定期試験を学期中に2回行います。小テスト・定期試験ともに授業内で解説を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション ・英語でのE-Mailの書き方を学ぶ ・英語学習のためのウェブサイトやアプリケーションの紹介	授業方針・内容の説明・PCを利用した演習
2	Unit 1 Animals	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Topic Sentence
3	Unit 1 Animals	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 テキストのトピックについて考察 Topic Sentence

4	Unit 1 Animals	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Topic Sentence Unit 1の小テスト
5	Unit 2 The environment	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Supporting Sentence
6	Unit 2 The environment	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 テキストのトピックについて考察 Supporting Sentence
7	Unit 2 The environment	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Supporting Sentence Unit 2の小テスト
8	中間テスト	試験の実施、解説、復習
9	Unit 3 Transport	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Concluding Sentence
10	Unit 3 Transport	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 テキストのトピックについて考察 Concluding Sentence
11	Unit 3 Transport/ Unit 4 Customs and traditions	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Concluding Sentence Unit 3の小テスト
12	Unit 4 Customs and traditions	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 Topic/Supporting/Concluding Sentence
13	Unit 4 Customs and traditions	記事の読解、文法・語彙・発音の確認 時事について考察 Topic/Supporting/Concluding Sentence
14	期末試験	試験の実施、解説、復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。毎回の授業のために辞書をていねいにひきながらテキストを読み、設問に答えてください。指定された記事のすべてをわかるために予習するのではなく、どこがどのようにわからないのかをはっきりと認識し、授業で理解できるようにするために予習をしましょう。定期試験は普段の予習と復習および小テスト対策をしっかりすれば確実に得点できるはずです。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Unlock: Reading, Writing &Critical Thinking (Level 3), Cambridge University Press

*テキストに付属のオンラインワークブックを用いるので、中古ではなく必ず学校で新品のテキストを購入してください。中古のテキストは返品していただく可能性があります。

【参考書】

英語学習ウェブサイトやアプリケーションなど、授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への貢献（グループ／ペアワークへの参加）10%、小テスト20%、中間・期末試験各35%で評価します。欠席回数が4回以上で単位修得は不可となります。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

PCやスマートフォンの持ち込みをお願いする場合があります。このクラスではGoogle Classroomを使用します。

【Outline (in English)】

・ Course Outline and Learning Objectives

Students will read passages of multiple paragraphs at a speed necessary for different purposes(e.g. speed-reading and close reading). Attention should be paid to paragraph structure, e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence, and the logical relationship between paragraphs. Students will learn how to comprehend the structure and the argument of the passage, acquire the knowledge and information they need, and grasp the writer's intention and feelings. In addition, the course will help students foster critical thinking skills, that is, skills to make an objective and multifaceted analysis of the given information, instead of accepting it unquestioningly.

The course will offer instruction of and practice in the development of effective listening skills. Students will also learn how to paraphrase what they have read, and then write in English a summary of and comments on what they have read.

・ Learning Activities Outside of Classroom

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Please read the text and answer the questions for each class while carefully reading the dictionary. It is not necessary to prepare in order to understand all of the assigned articles, but rather to clearly identify what you do not understand and how, so that you can understand it in class.

・ Grading Criteria /Policy

Class contribution (participation in group/pair work): 10%, quiz: 20%, mid-term and final exam: 35%each. Students who are absent more than 4 times will not be allowed to receive credit.

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
英語 1－Ⅱ		2017年度以降入学者
遠藤 郁子		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月1/Mon.1		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は英語1-Iからのステップアップとして、英語の文章をより速く、より正確に読み取る訓練を行います。これまで学んだ語彙や文法を利用して英語の資料を読みとくだけでなく、Thesis Statement, Main Points, Conclusionといった英文の構成をすばやく把握する能力を身につけます。さらに、得られた情報を鵜呑みにするのではなく、多面的・客観的観点から分析する、いわゆる批判的思考力の養成も行います。また、精読した英文の要旨や、それについての批評的なコメントなどを英語で書く練習も行います。引き続き「聴く力」の育成も授業の一環として行います。

【到達目標】

この授業は以下の6つを到達目標とします：

- ①長文の英語を正確にかつ速く読みとることができる
- ②現代の時事的な諸問題を扱った文章を読むうえで必要な語彙を増やす
- ③わからない語句や文法があっても出来るだけ正確に推測することができる
- ④英語の文章の構成をすばやく把握する能力を習得する
- ⑤批判的に読む力を養う
- ⑥読んだ英文を要約したり、関連するトピックに関する自分の意見を簡潔な英文で表現する方法を習得する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

現代の時事的な諸問題を扱う英語のエッセイを各自予習として辞書をひきながら読み、あらかじめ指定されたエクササイズを解いてから授業に臨みます。授業ではその文章の内容や注意すべき文法事項、語彙、発音などを確認します。教師が確認する場合もありますが、グループやペアワークで確認してもらう場合が多いのでしっかり予習しましょう。基本的にひとつの文章につき3回授業を行います。同時に、読んだ文章を要約したり、トピックに対する自分の意見を短い英文にまとめたりする訓練を行い、ライティング課題を課します。ライティング課題はコメント・添削をしたのち、返却します。

学習内容の理解を確認・復習するための定期試験を学期中に2回行います。定期試験は授業内で解説を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	UNIT 5 Health and fitness	記事の読解、英語の文章の構成、Thesis Statement, How to Write Simple English
2	UNIT 5 Health and fitness	記事の読解、英語の文章の構成、Thesis Statement, How to Write Simple English
3	UNIT 5 Health and fitness	記事の読解、Main Point(s), How to Write Simple English
4	UNIT 6 Discovery and invention	記事の読解、Main Point(s), How to Write Simple English
5	UNIT 6 Discovery and invention	記事の読解、Conclusion, How to Write Simple English
6	UNIT 6 Discovery and invention	記事の読解、Conclusion, How to Write Simple English

7	中間テスト	試験の実施、解説、復習
8	UNIT 7 Fashion	記事の読解、要約
9	UNIT 7 Fashion	記事の読解、要約
10	UNIT 7 Fashion	記事の読解、自分の意見を表現する、生成AIを使った英語学習
11	UNIT 8 Economics	記事の読解、自分の意見を表現する、生成AIを使った英語学習
12	UNIT 8 Economics	記事の読解、人と自分の意見を表現する、生成AIを使った英語学習
13	UNIT 8 Economics	記事の読解、人と自分の意見を表現する、生成AIを使った英語学習
14	期末試験	試験の実施、解説、復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。毎回の授業のために辞書をていねいにひきながらテキストを読み、設問に答えてください。指定された記事のすべてをわかるために予習するのではなく、どこがどのようにわからないのかをはっきりと認識し、授業で理解できるようにするために予習をしましょう。定期試験は普段の予習と復習および小テスト対策をしっかりすれば確実に得点できるはずですが、/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Unlock: Reading, Writing &Critical Thinking (Level 3), Cambridge University Press

*テキストに付属のオンラインワークブックを用いるので、中古ではなく必ず学校で新品のテキストを購入してください。中古のテキストは返品していただく可能性があります。

【参考書】

英語学習ウェブサイトやアプリケーションなど、授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への貢献（グループ／ペアワークへの参加）10%、ライティング課題20%、中間・期末試験各35%で評価します。欠席回数が4回以上で単位修得は不可となります。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

PCやスマートフォンの持ち込みをお願いする場合があります。このクラスではGoogle Classroomを使用します。

【Outline (in English)】

・ Course Outline and Learning Objectives

Students will read passages of multiple paragraphs at a speed necessary for different purposes(e.g. speed-reading and close reading). Attention should be paid to paragraph structure, e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence, and the logical relationship between paragraphs. Students will learn how to comprehend the structure and the argument of the passage, acquire the knowledge and information they need, and grasp the writer's intention and feelings. In addition, the course will help students foster critical thinking skills, that is, skills to make an objective and multifaceted analysis of the given information, instead of accepting it unquestioningly.

The course will offer instruction of and practice in the development of effective listening skills. Students will also learn how to paraphrase what they have read, and then write in English a summary of and comments on what they have read.

・ Learning Activities Outside of Classroom

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Please read the text and answer the questions for each class while carefully reading the dictionary. It is not necessary to prepare in order to understand all of the assigned articles, but rather to clearly identify what you do not understand and how, so that you can understand it in class.

・ Grading Criteria /Policy

Class contribution (participation in group/pair work): 10%, writing assignments: 20%, mid-term and final exam: 35%each. Students who are absent more than 4 times will not be allowed to receive credit.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1 - I

2017年度以降入学者

鈴木 博雄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学1年次生が読解するのに相応しい日常的な英語を読むことにより、専門課程に進級したり、社会に出た後も、自らの関心や目的に沿って、さまざまな文体や話題の英文を主体的に読むための基礎力を養成する。

【到達目標】

日常的なテーマを扱った英文を読みながら、基礎語彙を増やし、行間を読む力や要約力を高める。その過程で英文内容についての質疑応答も行い、英語読解力を応用して、リスニングやスピーキングの基礎的なスキルを向上させる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・本授業は、対面授業を基本にして、本学で定められた規定範囲内でオンライン授業も行う（日程は授業計画に記載）。
- ・英語の文章の構造を踏まえながら、精読、速読の作業を並行して行う。
- ・英文内容についての質疑応答を行い、予習や復習の状況を確認し、個々の応答に対し、口頭で助言、学習方法等についてのフィードバックを与える。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	テキスト Unit 1 前半	Poor little Laika ①
2	テキスト Unit 1 後半	Poor little Laika ②
3	テキスト Unit 2 前半	Where did that idiom come from? ①
4	テキスト Unit 2 後半	Where did that idiom come from? ②
5	テキスト Unit 3 前半	Heroes from the Canine Kingdom ①
6	テキスト Unit 3 後半	Heroes from the Canine Kingdom ②
7	テキスト Unit 4 前半	Pack carefully! ①
8	テキスト Unit 4 後半	Pack carefully! ②
9	テキスト Unit 5 前半	The many lives of Yoshiko Yamaguchi ①
10	テキスト Unit 5 後半	The many lives of Yoshiko Yamaguchi ②
11	テキスト Unit 6 前半	Taxation in the 21st century ①
12	テキスト Unit 6 後半	Taxation in the 21st century ②
13	テキスト Unit 7 前半	The unusual secretary...or secretaries? ①
14	テキスト Unit 7 後半	The unusual secretary...or secretaries? ②

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・辞書を活用しながら、テキストを精読し、内容理解を深めておく。不明な点にマークし、質問事項をまとめておく。その他、必要に応じて前時に指示します。

・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

“University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.”

【テキスト（教科書）】

『Premium Reader: Intermediate』（金星堂）

【ISBN：978-4-7647-3910-9】

【参考書】

適宜、指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（受講姿勢、予習、復習の状況、小テストなど）（60%）、期末試験点（40%）を総合的に判断して評価する。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

- ・英語を読むことの楽しさを味わいながら、大学英語の基礎力の充実を図りたい。
- ・個々の学生の語学力を伸ばす工夫を凝らしたい。

【Outline (in English)】

(1) To obtain the ability to read ordinary English the difficulty of which is adequate for the freshmen.

(2) By the ability in (1), we mean the basic practical skill of reading English of various kinds of style which is required when the students go up to juniors and seniors or get out into the world after they graduate.

(3) Students should intensively read the reading material in the preparatory reading range for at least 60 minutes outside of class time.

(4) Evaluation will be based on a comprehensive evaluation of the student's normal points (attitude toward class, preparation, review, quizzes, etc.) (60%) and the final examination (40%).

In principle, students who are absent more than 3 times per semester will not be allowed to earn credits.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1 - II

2017年度以降入学者

鈴木 博雄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、日常的なテーマを扱った英文を読みながら、基礎語彙を増やし、行間を読む力や要約力を高める。その過程で英文内容についての質疑応答も行い、英語読解力を応用して、リスニングやスピーキングの基礎的なスキルを向上させる。

【到達目標】

春学期に養成した学力を踏まえ、大学1年次生が読解するのに相応しい日常的な英語を読むことにより、専門課程に進級したり、社会に出た後も、自らの関心や目的に沿って、さまざまな文体や話題の英文を主体的に読むための基礎力を養成する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・本授業は、対面授業を基本にして、オンライン授業も、本学で決められた範囲内で適宜行う（日程は授業計画に記載する）。
- ・英文構造を踏まえながら、春学期よりも一層高度な精読、速読の作業を並行して行う。
- ・英文内容についての質疑応答を行い、予習や復習の状況を確認し、個々の応答に対し、口頭で、助言、学習方法等についてのフィードバックを与える。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 8 前半	Mother complex ①
2	Unit 8 後半	Mother complex ②
3	Unit 9 前半	The death of the newspaper ①
4	Unit 9 後半	The death of the newspaper ②
5	Unit 10 前半	The great escape: over, under, or through the Berlin wall ①
6	Unit 10 後半	The great escape: over, under, or through the Berlin wall ②
7	Unit 11 前半	Technology, friend or Fiend? ①
8	Unit 11 後半	Technology, friend or Fiend? ②
9	Unit 12 前半	Alcohol: A dangerous drug across cultures ①
10	Unit 12 後半	Alcohol: A dangerous drug across cultures ②
11	Unit 13 前半	The superior bee ①
12	Unit 13 後半	The superior bee ②
13	Unit 14 前半	The remarkable bullet...train ①
14	Unit 14 後半	The remarkable bullet...train ②

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・辞書を活用しながら、テキストを精読し、内容理解を深めておく。不明な点にマークし、質問事項をまとめておく。その他、必要に応

じて前時に指示します。

・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
“University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.”

【テキスト（教科書）】

『Premium Reader: Intermediate』（金星堂）

【ISBN：978-4-7647-3910-9】

【参考書】

適宜、指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（受講姿勢、予習、復習の状況、小テストなど）（60%）、期末試験点（40%）を総合的に判断して評価する。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

- ・英語を読むことの楽しさを味わいながら、大学英語の基礎力の充実に図りたい。
- ・個々の学生の語学力を伸ばす工夫を凝らしたい。

【Outline (in English)】

- (1) To obtain the ability to read ordinary English the difficulty of which is adequate for the freshmen.
- (2) By the ability in (1), we mean the basic practical skill of reading English of various kinds of style which is required when the students go up to juniors and seniors or get out into the world after they graduate.
- (3) Students should intensively read the reading material in the preparatory reading range for at least 60 minutes outside of class time.
- (4) Evaluation will be based on a comprehensive evaluation of the student's normal points (attitude toward class, preparation, review, quizzes, etc.) (60%) and the final examination (40%). In principle, students who are absent more than 3 times per semester will not be allowed to earn credits.

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
英語 1 – I		
2017年度以降入学者		
鈴木 理枝		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火 1/Tue.1		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

食と食文化のグローバル化に伴い、外国人との情報交換、海外への観光、留学などの可能性が増えています。この授業では、「現代の食をめぐる話題」と「英米の伝統的な祝祭と食文化」をテーマに取り上げ、日常生活に必要な英語を習得します。春学期は、読解力を身につけるために、通訳訓練法のスラッシュ・リーディングをして訳出テクニックを習得します。基礎的な英語をもう一度復習しながら、さらに英語力のレベルアップを図ります。

【到達目標】

- ・食文化をテーマに英米の文化を理解する
- ・リスニング力を身につけ、簡単な通訳ができるようになる
- ・訳出テクニックを身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形式は、テキストを中心に、演習授業になる。各学生は、予習して授業に臨み、順番に訳出して、練習問題を解いていく。読解力の向上のみならず、音読やシャドーイングの通訳訓練法も取り入れ、リスニング力の向上にも努める。発表後、毎回アドバイスする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション・自己紹介ゲーム	授業内容、授業の進め方、成績のつけ方、出欠について説明する。自己紹介ゲーム。
2	Unit 1 Counting Calories ①	On Dieting ダイエットに関しての語彙は英語表現について学ぶ
3	Unit 1 Counting Calories ②	Dieting: Japan VS. America 食について日本とアメリカの考え方の違いについて学ぶ
4	Unit 2 A New Sports Tradition ①	Before the Game 新しいスポーツの伝統として、テールゲートパーティーについて学ぶ
5	Unit 2 A New Sports Tradition ②	The Tailgate Party テールゲートパーティーの内容や、それに関しての語彙や英語表現について学ぶ
6	Unit 3 As American as Apple Pie ①	Homemade Apple Pie お茶に招かれて、手作りのアップルパイを出される設定の会話を学ぶ
7	Unit 3 As American as Apple Pie ②	An Apple a Day リンゴの栄養や、歴史について、語彙や英語表現を学ぶ。
8	Unit 4 Use as Directed ①	The Shimanto River and Sweetfish Dishes 四万十川とアユ料理についての語彙や英語表現について学ぶ

9	Unit 4 Use as Directed ②	Best-before and Use-by-Dates 賞味期限と消費期限の意味について、語彙や英語表現について学ぶ
10	Unit 5 The End of Home Cooking ①	Drive-Thru ドライブスルーでの会話について、語彙と英語表現について学ぶ
11	Unit 5 The End of Home Cooking ②	Cooking for a family VS. Eating Out 家庭料理VS外食のテーマで食文化の変化について、語彙や英語表現について学ぶ
12	Unit 6 Just Follow the Recipe ①	Mother's Curry 日本のカレーとインドのカレーの違いについて、語彙や英語表現について学ぶ
13	Unit 6 Just Follow the Recipe ②	Japanese Flavors and the Traditional Diet 日本の伝統料理についての語彙や英語表現について学ぶ
14	期末試験	まとめ・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習：分からない語彙、訳があれば、辞書を引き予習しておくことCDを聞き、発音を確認しておくことテキストの練習問題をしておくこと。

復習時間：授業内で習得した内容について、復習して下さい。

【テキスト（教科書）】

『Food for Thought』『現代の食を考える』須永紫乃生、鈴木理枝、関根紳太郎、宮下リンダ、南雲堂
ISBN978-4-523-17651-0 C0082 1,700円+税

【参考書】

学生のレベルを鑑みて、授業内で指定する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験：50%

平常点：50%(授業への参加度、態度、発表、小テスト)

成績評価の基準

- (1) 内容を把握しているか
 - (2) 適切に訳出できるか
 - (3) リスニング力が身についているか
- 欠席4回以上で、単位取得不可

【学生の意見等からの気づき】

楽しく、実践的な授業で、英語に対しての苦手意識が減少したと多くの意見をいただき、インプットとブットを意識して、引き続き発表中心の授業を実施する。

【Outline (in English)】

Course Outline:

In this class, you will learn the daily English, with the themes of "modern food topics" and "traditional British and American festivals and food culture." Quick response, shadowing, and synchronized reading are used to improve listening comprehension. Also, in order to acquire reading comprehension, you will acquire slash reading and translation techniques.

Learning Objectives:

- (1) Understanding British and American culture with the theme of food culture
- (2) Acquire Listening skills
- (3) Learn translation techniques

Learning activities outside of classroom:

Preparatory learning:

For vocabulary and translations that you do not understand, look up the dictionary and prepare. Listen to the CD and check the pronunciation. Do text exercises.

Review:

Review that what you learned in class.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading Criteria/Policy:

Final exam: 50%

Normal point: 50%(Participation in class, attitude, presentation)

Credits can not be earned if absent 4 times or more.

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
英語 1 - II	2017年度以降入学者
鈴木 理枝	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：火 1/Tue.1	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、食料と食文化のグローバル化に伴い、外国人との情報交換、海外への観光、ビジネス、留学などの可能性が増えています。この授業では、「現代の食をめぐる話題」と「英米の伝統的な祝祭と食文化」をテーマに取り上げ、日常生活に必要な英語を習得します。春学期は、読解力を身につけるために、通訳訓練法のスラッシュ・リーディングをして訳出テクニックを習得します。基礎的な英語をもう一度復習しながら、さらに英語力のレベルアップを図ります。

【到達目標】

- ・食文化をテーマに英米の文化を理解する
- ・リスニング力を身につけ、簡単な通訳ができるようになる
- ・訳出テクニックを身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形式は、テキストを中心に、演習授業になる。各学生は、予習して授業に臨み、順番に訳出して、練習問題を解いていく。読解力の向上のみならず、音読やシャドーイングの通訳訓練法も取り入れ、リスニング力の向上にも努める。発表後、毎回アドバイスする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション・Unit 7 Supplemental Health	サプリメントに関する会話を通して、語彙と英語表現を習得する
2	Unit 8 Coffee or Tea?	コーヒーと紅茶の効用についての会話を通して、語彙と英語表現を習得する。
3	Unit 9 Fresh from the Garden	菜園についての会話を通して、語彙や英語表現を習得する。
4	Unit 10 Local Delicacies	日本のご馳走についての会話を通して、語彙や英語表現を習得する。
5	Unit 11 Halloween Barmbrack①	アイルランドのハロウィーンのパンについての会話を通して、語彙や英語表現を習得する。
6	Unit 11 History of Halloween②	ハロウィーンの歴史を読み、語彙や英語表現を習得する。
7	Unit 12 Thanksgiving Break	感謝祭休暇についての会話を通して、語彙や英語表現を習得する。
8	Unit13 Turkey and All the Trimmings Christmas①	クリスマスについての語彙や英語表現を習得する。

9	Unit 13 Christmas Recipe: Roast Turkey②	クリスマス料理の定番料理であるローストターキーのレシピを読み、語彙や英語表現を習得する。
10	Unit 14 Saint Valentine's Day①	バレンタインデーについての語彙や英語表現を習得する。
11	Unit 14 St. Valentine②	バレンタインデーの歴史について読み、語彙や英語表現を習得する。
12	Unit 15 The Meaning of Easter How to cook Hot Cross Buns①	イースターのホットクロスバンズについての会話を通して、語彙や英語表現を習得する。
13	Unit 15 Celebrating Easter②	イースターの意味や歴史について読み、語彙や英語表現を習得する。
14	期末試験	まとめ、期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習：分からない語彙、訳があれば、辞書を引き予習しておくことCDを聞き、発音を確認しておくことテキストの練習問題をしておくこと。

復習：授業内で習得した内容について、復習して下さい。

【テキスト（教科書）】

『Food for Thought』「現代の食を考える」須永紫乃生、鈴木理枝、関根紳太郎、宮下リンダ、南雲堂
ISBN978-4-523-17651-0 C0082 1,700円+税

【参考書】

学生のレベルを鑑みて、参考書を指定する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験：50%

平常点：50%(授業への参加度、態度、発表、小テスト)

成績評価の基準

- (1) 内容を把握しているか
 - (2) 適切に訳出できるか
 - (3) リスニング力が身についているか
- 欠席4回以上で、単位取得不可

【学生の意見等からの気づき】

楽しく、実践的な授業で、英語に対しての苦手意識が減少したと多くの意見をいただき、インプットとプットを意識して、引き続き発表中心の授業を実施する。

【Outline (in English)】

Course Outline:

In this class, you will learn the daily English, with the themes of "modern food topics" and "traditional British and American festivals and food culture." Quick response, shadowing, and synchronized reading are used to improve listening comprehension. Also, in order to acquire reading comprehension, you will acquire slash reading and translation techniques.

Learning objectives:

Learning activities of classroom

Preparatory learning

For vocabulary and translations that you do not understand, look up the dictionary and prepare. Listen to the CD and check the pronunciation. Do text exercises.

Review

Review that what you learned in class.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria/Policy

Final exam: 50%

Normal point: 50%(Participation in class, attitude, presentation)

Grade evaluation criteria

(1) Understanding the contents

(2) Appropriate translation

(3) Acquire listening skills

Credits can not be earned if absent 4 times or more.

LANe100LA（英語 / English language education 100）	
英語 1－Ⅰ	2017年度以降入学者
亀岡 浩一	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火 1/Tue.1	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語で書かれた複数の段落からなる文章の内容を正確に理解する。また、本文の全体的な構成にも注意を払い、必要な情報や要旨をつかみ取る。

【到達目標】

英文の修飾関係を正しく説明できる。本文の趣旨を自らの言葉で説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

現代社会における諸問題をテーマにした英文を講読することによって読解力を高めると同時に、文章を細部に至るまで深く読み進んでいく。その過程においては、ひとつひとつの語句の意味を慎重に捉えたうえで文章全体の内容を適切に読み取っていく。さらに、構文などを基にして英文法の復習も適宜おこなう。また、課題等に対するフィードバックは、授業の始めに前回の学習内容の確認と併せてクラス全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンスと Chapter 1	授業の進め方およびテキストや成績評価などの説明。ガイダンス後にChapter 1に入る。
2	語彙の確認と内容の把握	「イギリスの郵便制度」―読解による内容理解
3	構文の理解と練習問題	「イギリスの郵便制度」―練習問題と構文の確認
4	語彙の確認と内容の把握	「イギリス発祥のスポーツ」―読解による内容理解
5	構文の理解と練習問題	「イギリス発祥のスポーツ」―練習問題と構文の確認
6	語彙の確認と内容の把握	「ビートルズの国」―読解による内容理解
7	構文の理解と練習問題	「ビートルズの国」―練習問題と構文の確認
8	語彙の確認と内容の把握	「ゆりかごから墓場まで?」―読解による内容理解
9	構文の理解と練習問題	「ゆりかごから墓場まで?」―練習問題と構文の確認
10	語彙の確認と内容の把握	「偉大なる小説家」―読解による内容理解
11	構文の理解と練習問題	「偉大なる小説家」―練習問題と構文の確認
12	語彙の確認と内容の把握	「王室今昔物語」―読解による内容理解
13	構文の理解と練習問題	「王室今昔物語」―練習問題と構文の確認
14	理解度の確認	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

授業の前に本文の単語を調べて文脈を追い、授業後に論述の展開を確認する。その後、授業前に自ら読み取った内容との相違点があれば改めて考察する。

【テキスト（教科書）】

テキスト Cross-Cultural Views on Britain

著者 リチャード・H・ベント、井石哲也、井石令子

出版社 南雲堂

【参考書】

指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（70%） 平常点（30%）

英文の内容を自らの言葉で説明できることを評価基準とする。

原則として欠席が4回以上の場合、単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進行を急がずに、各章の内容を着実に消化させる。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスできる機器

【その他の重要事項】

私語は減点対象とする。

【Outline (in English)】

The aim of this subject is to help students understand the content of articles consisting of some paragraphs written in English and pay attention to the overall composition of the text. The goals of this course are to explain sentence structures correctly and explain the content of the text appropriately. Before/after each class meeting, students will be expected to spend at least one hour to understand the course content. Grading will be decided based on term-end examination (70%), and in-class contribution (30%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1 - II

2017年度以降入学者

亀岡 浩一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語で書かれた複数の段落からなる文章の内容を正確に理解する。また、本文の全体的な構成にも注意を払い、必要な情報や要旨をつかみ取る。

【到達目標】

英文の修飾関係を正しく説明できる。本文の趣旨を自らの言葉で説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

現代社会における諸問題をテーマにした英文を講読することによって読解力を高めると同時に、文章を細部に至るまで深く読み進んでいく。その過程においては、ひとつひとつの語句の意味を慎重に捉えたうえで文章全体の内容を適切に読み取っていく。さらに、構文などを基にして英文法の復習も適宜おこなう。また、課題等に対するフィードバックは、授業の始めに前回の学習内容の確認と併せてクラス全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンスと Chapter 7	授業の進め方およびテキストや成績評価などの説明。ガイダンス後にChapter 7に入る。
2	語彙の確認と内容の把握	「イギリス通貨とユーロ」―読解による内容理解
3	構文の理解と練習問題	「イギリス通貨とユーロ」―練習問題と構文の確認
4	語彙の確認と内容の把握	「チューブって何?」―読解による内容理解
5	構文の理解と練習問題	「チューブって何?」―練習問題と構文の確認
6	語彙の確認と内容の把握	「議会政治と現代」―読解による内容理解
7	構文の理解と練習問題	「議会政治と現代」―練習問題と構文の確認
8	語彙の確認と内容の把握	「イギリスの美術館・博物館」―読解による内容理解
9	構文の理解と練習問題	「イギリスの美術館・博物館」―練習問題と構文の確認
10	語彙の確認と内容の把握	「イギリスの住宅事情」―読解による内容理解
11	構文の理解と練習問題	「イギリスの住宅事情」―練習問題と構文の確認
12	語彙の確認と内容の把握	「イギリス料理は本当にまずい?」―読解による内容理解
13	構文の理解と練習問題	「イギリス料理は本当にまずい?」―練習問題と構文の確認
14	理解度の確認	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

授業の前に本文の単語を調べて文脈を追い、授業後に論述の展開を確認する。その後、授業前に自ら読み取った内容との相違点があれば改めて考察する。

【テキスト（教科書）】

テキスト Cross-Cultural Views on Britain

著者 リチャード・H・ベント、井石哲也、井石令子

出版社 南雲堂

【参考書】

指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（70%） 平常点（30%）

英文の内容を自らの言葉で説明できることを評価基準とする。

原則として欠席が4回以上の場合、単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進行を急がずに、各章の内容を着実に消化させる。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスできる機器

【その他の重要事項】

私語は減点対象とする。

【Outline (in English)】

The aim of this subject is to help students understand the content of articles consisting of some paragraphs written in English and pay attention to the overall composition of the text. The goals of this course are to explain sentence structures correctly and explain the content of the text appropriately. Before/after each class meeting, students will be expected to spend at least one hour to understand the course content. Grading will be decided based on term-end examination (70%), and in-class contribution (30%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
英語 1 – I		2017年度以降入学者
三原 里美		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火 1/Tue.1		
単位数：1 単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文章の速読と精読の両方を行い、パラグラフの構造や文法を正確に把握する力を身につける。読解を通して語彙力を増やし、英作文に活用できるよう練習を行う。

【到達目標】

- ・パラグラフの構成や文法を理解し、文章の構造を正確に把握することができる。
- ・文章を速読し大意を捉えることができる。
- ・英単語・熟語の知識を身につけ、英作文において適切に使用できる。
- ・様々なトピックについて自分の考えをまとめ、平易な英語で表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各Unitを2回の授業に分けて進める。速読の練習をしながら問題を解いた後、本文を精読し、その後もう一度問題を解き直して理解度を確認する。各Unitの終わりには英語でリアクションペーパーを作成、翌週にライティングのフィードバックを行う。授業の進捗状況に応じて、英字新聞の記事など教科書以外の教材を用いて読解を行う。また、Unitごとに単語・熟語の小テストを実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方についての説明
2	Unit 1	The Amazing Flying Chair (目的語と補語①)
3	Unit 1	The Amazing Flying Chair (目的語と補語②)
4	Unit 2	Dropping Out of High School (S + V + O + O①)
5	Unit 2	Dropping Out of High School (S + V + O + O②)
6	Unit 3	Bad Medical Advice? (S + V + O + C①)
7	Unit 3	Bad Medical Advice? (S + V + O + C②)
8	Unit 4	The Colonel's Bad Luck (単文・複文I-①)
9	Unit 4	The Colonel's Bad Luck (単文・複文I-②)
10	Unit 5	A World Without Birds (単文・複文II-①)
11	Unit 5	A World Without Birds (単文・複文II-②)
12	Unit 6	The Great Invention (補語：名詞節を導く that①)
13	Unit 6	The Great Invention (補語：名詞節を導く that②)
14	試験	Unit1～6の内容に関する試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
授業までに教科書の本文を読み、分からない単語・熟語を辞書で調べておく。リアクションペーパーに備え、各Unitのテーマに関する自分の考えを事前に日本語でまとめておく。

【テキスト（教科書）】

Robert Juppe、馬場幸雄著『Premium Reader: Pre-intermediate』金星堂、2023年（税込 ¥2,090）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%
平常点（小テスト、リアクションペーパー、授業態度）40%
欠席が4回以上の場合、原則として単位取得を認めない。遅刻3回で欠席1回扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書または紙媒体）を必ず持参すること。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students understand English grammar and the structure of paragraphs through quick reading and close reading. Students are expected to increase their vocabulary to use new words and phrases in short essays.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- ・ Understand English grammar and the structure of paragraphs
- ・ Improve vocabulary to use new words and phrases in short essays
- ・ Express thoughts and opinions about various topics in plain English

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to consult a dictionary for the meaning of words and phrases in a textbook.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end examination 60%

Quizzes, submission assignments, class contribution 40%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1 - II

2017年度以降入学者

三原 里美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文章の速読と精読の両方を行い、パラグラフの構造や文法を正確に把握する力を身につける。読解を通して語彙力を増やし、英文文に活用できるよう練習を行う。

【到達目標】

- ・パラグラフの構成や文法を理解し、文章の構造を正確に把握することができる。
- ・文章を速読し大意を捉えることができる。
- ・英単語・熟語の知識を身につけ、英文文において適切に使用できる。
- ・様々なトピックについて自分の考えをまとめ、平易な英語で表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各Unitを2回の授業に分けて進める。速読の練習をしながら問題を解いた後、本文を精読し、その後もう一度問題を解き直して理解度を確認する。各Unitの終わりには英語でリアクションペーパーを作成、翌週にライティングのフィードバックを行う。授業の進捗状況に応じて、英字新聞の記事など教科書以外の教材を用いて読解を行う。また、Unitごとに単語・熟語の小テストを実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7	Garlic, Wonder Root (接続詞①)
2	Unit 7	Garlic, Wonder Root (接続詞②)
3	Unit 8	John Chapman, a Strange, but Heroic Man (修飾語I-①)
4	Unit 8	John Chapman, a Strange, but Heroic Man (修飾語I-②)
5	Unit 9	Baseball Curses (修飾語II-①)
6	Unit 9	Baseball Curses (修飾語II-②)
7	Unit 10	Untimely Death (前置詞の目的語①)
8	Unit 10	Untimely Death (前置詞の目的語②)
9	Unit 11	Train Gropers (関係代名詞①)
10	Unit 11	Train Gropers (関係代名詞②)
11	Unit 12	Japan Saves an Anime Star (関係副詞①)
12	Unit 12	Japan Saves an Anime Star (関係副詞②)
13	Unit 13	Seeing Red (仮定法)
14	試験	Unit7～13の内容に関する試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業までに教科書の本文を読み、分からない単語・熟語を辞書で調べておく。リアクションペーパーに備え、各Unitのテーマに関する自分の考えを事前に日本語でまとめておく。

【テキスト（教科書）】

Robert Juppe、馬場幸雄著『Premium Reader: Pre-intermediate』金星堂、2023年（税込 ¥2,090）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%

平常点（小テスト、リアクションペーパー、授業態度）40%

欠席が4回以上の場合、原則として単位取得を認めない。遅刻3回で欠席1回扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書または紙媒体）を必ず持参すること。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students understand English grammar and the structure of paragraphs through quick reading and close reading. Students are expected to increase their vocabulary to use new words and phrases in short essays.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- ・ Understand English grammar and the structure of paragraphs
- ・ Improve vocabulary to use new words and phrases in short essays
- ・ Express thoughts and opinions about various topics in plain English

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to consult a dictionary for the meaning of words and phrases in a textbook.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end examination 60%

Quizzes, submission assignments, class contribution 40%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1 - I

2017年度以降入学者

戸嶋 まゆみ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

実社会で用いられている英語を読んで理解し、発信できるようにすることが到達目標となります。とりわけ、インターネット時代に必要かつ基本的な知識を得られるような英文の接することが必要だと考えられます。本講義では、この目的にかなった教材を読んで理解し、アウトプットできるようにしていきます。また、グループ学習に慣れる練習をします。

【到達目標】

大学生として抑えておきたい心理学的、社会学的、およびビジネスに関する知識を含んだ英文が理解できるような基礎力をつけることです。また、グループ学習に慣れることも目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

○テキストを読み、書かれている英語を理解し、その英文について英語で説明し、意見を述べたり書いたりする作業が中心となります。また、自分の意見を英語で述べる練習もします。中盤以降は、グループで学習し、発表ができるように学んでいきます。授業時の指示は、状況に応じて、日本語と英語で行います。

○提出された課題へのフィードバックは、授業時に口頭もしくはオンライン等で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1講	ガイダンス	授業に関するガイダンス
第2講	発音ドリル	発音の確認
第3講	Lesson 1(1) What Is Business Psychology?	内容の講読
第4講	Lesson 1(2) What Is Business Psychology?	内容の要約と意見のまとめ
第5講	Lesson 2 (2)The Psychology of the Job Search	内容の理解、要約、意見のまとめ
第6講	Lesson 2 The Psychology of the Job Search	内容の理解、要約、意見のまとめ
第7講	Lesson 3 Rest Assured	内容の理解、要約、意見のまとめ
第8講	Lesson 4 Working with Robots	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習1
第9講	Lesson 5 It's a Man's World, Part 1	内容の理解、要約、意見のまとめグループ学習2
第10講	Lesson 5 It's a Man's World, Part 2	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習3
第11講	グループ学習のまとめとプレゼンテーション 1	グループ・プレゼンテーション 1 (プレゼンの作成)

第12講 グループ学習のまとめとプレゼンテーション 2 (発表準備)

復習 全体の復習 復習(テキストLesson1-5の内容と学習スキルの復習及びプレゼンの振り返り)

総括 総括 全体の総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回60分程度の予習(テキストの内容を把握しておく、語句や文章やフレーズの意味や使用法を説明できるようにしておく)、及び復習(予習で行ったことを授業で確認し、何をやったかとテキストの内容を理解、把握し、テキストがなくても説明できるようにする)。詳細は、教場指示とします。

【テキスト（教科書）】

Mind Matters -The Psychology of Business and Work- Jim Knudsen 著 南雲堂
ISBN 978-4-523-17859-0

【参考書】

授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】

毎回の教場練習への参加程度(20%)、プレゼンテーション(30%)及び期末試験(50%)を全て考慮し、評価します。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

クラスの数が多いため、なかなか発言の機会が与えられないという意見が毎年あり、本当に残念に思っていますが、必ず一度以上はプレゼンテーションの機会を設けてありますので、ぜひみなさんには頑張っていただきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

毎回、テキスト、ノート、辞書類を持参して下さい。また、授業の進行に伴って、あらかじめ映画や動画の視聴を求められることがあります。内容については、教場指示とします。

【その他の重要事項】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準としますが、個人差があり、授業時以外の時間の学習が毎回60分から90分程度必要だと思われます。また、プレゼンテーションでは、グループ性と、一人1分以上の英語を原稿なしで話すことが求められますので、グループ内での打ち合わせやリハーサルの時間が毎回60分から90分程度必要です。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The target of this course will be to improve students reading and outputting ability in English. Especially it is going to be essentially important for Japanese university students to strongly improve their English skills in order to successfully function in the future as the members of the society of the internet era. I hope that this course will help guide all my class students to get used to joining in group working activities.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to read efficiently (to get information from written things without any problems).

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 20%, Presentations: 20%, Reports: 10%, Term-end examination :50%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1 - II

2017年度以降入学者

戸嶋 まゆみ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

実社会で用いられている英語を読んで理解し、発信できるようにすることが到達目標となります。とりわけ、インターネット時代に必要な基本的な知識を得られるような英文の接することが必要だと考えられます。本講義では、この目的にかなった教材を読んで理解し、アウトプットできるようにしていきます。また、グループ学習に慣れる練習をします。

【到達目標】

大学生として抑えておきたい心理学的、社会学的な知識を含んだ英文が理解できるような基礎力をつけることです。また、対面学習時にはグループ学習に慣れることも目標とします。グループ・プレゼンテーションでは、英語で自分の意見を言えるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを読み、書かれている英語を理解し、その英文について英語で説明し、意見を述べたり書いたりする作業が中心となります。また、自分の意見を英語で述べる練習もします。対面学習時には、中盤以降はグループで学習し、英語で発表ができるように学んでいきます。授業時の指示は、状況に応じて、日本語と英語で行います。課題等のフィードバックは、授業時に口頭もしくはオンライン等を用いて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1講	ガイダンス	授業に関するガイダンス
第2講	夏休みの出来事を書く	夏休みの出来事をテンプレートをういて書く
第3講	夏休みの予定を書く	夏休みの予定をテンプレートをういて書く
第4講	Lesson 7 Me, Myself, and I	内容の理解、要約、意見のまとめ
第5講	Lesson 8 Give and Take	内容の理解、要約、意見のまとめ
第6講	Lesson 9 What a Troublemaker : The Office Gossip	内容の理解、要約、意見のまとめ
第7講	Lesson 10 What a Troublemaker : The Office Control Freak	内容の理解、要約、意見のまとめ
第8講	Lesson 11 Handsome Is As Handsome Does	内容の理解、要約、意見のまとめ（グループ学習1）
第9講	Lesson 12 My Space, Your Space	内容の理解、要約、意見のまとめ（グループ学習2）
第10講	Lesson 13 So You Want to Be An Entrepreneur	内容の理解、要約、意見のまとめ（グループ学習3）

第11講	グループ学習のまとめとプレゼンテーション 3	グループ・プレゼンテーション 3（打ち合わせ）
第12講	グループ学習のまとめとプレゼンテーション 4	グループ・プレゼンテーション 4（リハーサル練習）
復習	全体の復習	復習(テキスト Lesson7-13の内容と学習スキルの復習及びプレゼンの振り返り)
総括	総括	全体の総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回60分程度の予習(テキストの内容を把握しておく、語句や文章やフレーズの意味や使用法を説明できるようにしておく)、及び復習(予習で行ったことを授業で確認し、何をやったかとテキストの内容を理解、把握し、テキストがなくても説明できるようにする)。詳細は、教場指示とします。

【テキスト（教科書）】

Mind Matters - The Psychology of Business and Work - Jim Knudsen 著 南雲堂 2017年 ISBN 978-4-523-17859-0

【参考書】

授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業への参加程度(50%)及び期末試験(50%)等(もしくは課題)を全て考慮し、評価します。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

クラスの数が多いため、なかなか発言の機会が与えられないという意見が毎年あり、本当に残念に思っていますが、必ず一度以上はプレゼンテーションの機会を設けてありますので、ぜひみなさんには頑張ってくださいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

毎回、テキスト、ノート、辞書類を持参して下さい。また、授業の進行に伴って、あらかじめ映画や動画の視聴を求められることがあります。内容については、教場指示とします。

【その他の重要事項】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準としますが、個人差があり、授業時以外の時間の学習が毎回60分から90分程度必要だと思われます。また、プレゼンテーションでは、グループ性と、一人1分以上の英語を原稿なしで話すことが求められますので、グループ内での打ち合わせやリハーサルの時間が毎回60分から90分程度必要です。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The target of this course will be to improve students reading and outputting ability in English. Especially it is going to be essentially important for Japanese university students to strongly improve their English skills in order to successfully function in the future as the members of the society of the internet era. I hope that this course will help guide all of my class students to get used to joining in group working activities if having classes on campus is available.

【Learning Objectives】

The goal of this course are to read and output English efficiently.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution (including presentations and group works): 50%, Term-end examination: 50%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
英語 1 – I		2017年度以降入学者
折笠 真美		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火 1/Tue.1		
単位数：1 単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1 focuses on developing academic English proficiency and fostering reading skills. The objective of the course is to help students gain reading strategies, identify the gist and important details, and acquire information and knowledge needed for reading comprehension, through individual and group work. The course will also provide students with an opportunity to (1) learn academic writing skills and (2) develop critical thinking skills through a variety of reading materials. Furthermore, this course will also aim to reinforce listening skills and vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to be familiar with paragraph and essay structure.
- (b) be able to identify the main idea and supporting ideas in reading passages.
- (c) be able to critically read and analyze reading materials.
- (d) be able to articulate their ideas and opinions about different topics in writing.
- (e) be able to do research and give short presentations on topics of their choice.
- (f) learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading and listening activities (individual and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 1: A World of English	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
3	Unit 2: Disappearing Languages	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
4	Unit 3: Where Are All the Babies?	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
5	Unit 4: Our Crowded Earth	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
6	Unit 5: The Price of Excellence	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
7	Unit 6: Do Great Athletes Deserve Great Salaries?	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
8	Review: Units 1-3	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
9	Review Units 4-6	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking

10	Preparation for Presentation (1)	Research and Search for Articles
11	Preparation for Presentation (2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Preparation for Presentation (3)	Rehearse Presentations
13	Group Presentation	Presentation
14	Review /Final Exam	Review &Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes. 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Charles Browne, Brent Culligan and Joseph Phillips (2024). In Focus 2. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4194-2 (¥2,970)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes &Homework Assignments (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分までで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など 防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 1 focuses on developing academic reading skills and aims to help students gain reading strategies, identify the gist and important details, and acquire information and knowledge needed for reading comprehension. The course will also provide students with an opportunity to learn academic writing skills, develop critical thinking skills, and reinforce listening skills and vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including reading and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes &Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1 - II

2017年度以降入学者

折笠 真美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1 focuses on developing academic English proficiency and fostering reading skills. The objective of the course is to help students gain reading strategies, identify the gist and important details, and acquire information and knowledge needed for reading comprehension, through individual and group work. The course will also provide students with an opportunity to (1) learn academic writing skills and (2) develop critical thinking skills through a variety of reading materials. Furthermore, this course will also aim to reinforce listening skills and vocabulary through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to be familiar with paragraph and essay structure.
- (b) be able to identify the main idea and supporting ideas in reading passages.
- (c) be able to critically read and analyze reading materials.
- (d) be able to articulate their ideas and opinions about different topics in writing.
- (e) be able to do research and give presentations on topics of their choice.
- (f) learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading and listening activities (individual and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 7: The Inconvenient Truth of Climate Change	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
3	Unit 8: The Global Warming Myth?	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
4	Unit 9: Changing Ideas of Beauty	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
5	Unit 10: Is Beauty Skin Deep?	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
6	Unit 11: Vegetarianism	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
7	Unit 12: Animals as Food	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
8	Review: Units 7-9	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking
9	Review Units 10-12	Reading, Vocabulary, Listening, Writing, Speaking

10	Preparation for Presentation (1)	Research and Search for Articles
11	Preparation for Presentation (2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Preparation for Presentation (3)	Rehearse Presentations
13	Group Presentation	Presentation
14	Review /Final Exam	Review &Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Charles Browne, Brent Culligan and Joseph Phillips (2024). In Focus 2. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4194-2 (¥2,970)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes &Homework Assignments (30%); Presentation (15%); Exams (40%).

遅刻は30分までで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など、防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 1 focuses on developing academic reading skills and aims to help students gain reading strategies, identify the gist and important details, and acquire information and knowledge needed for reading comprehension. The course will provide students with an opportunity to learn academic writing skills, develop critical thinking skills, and reinforce listening skills and vocabulary through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including reading and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes &Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
英語 1 – I		2017年度以降入学者
飛田 英伸		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火 1/Tue.1		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ビジネスに関するさまざまなトピックについて書かれた英文を教材として、正確にかつ批評的に「読む」力の向上を図るとともに、コミュニケーションに必要な「聴く・話す・書く」能力を養い、英語で発信される情報に対応できるようになる。

【到達目標】

- ・英語の文章の基本的な構造を理解する。
- ・英文を速読してその大意や要点、おおまかな構造をつかむことができるようになる。
- ・文章に使われている構文や文法を把握できるようになる。
- ・精読を通して書き手の考えや論理の展開について分析することができるようになる。
- ・標準的な速度で話される英語をおおまかに聞き取ることができるようになる。
- ・簡潔な英語で物事を説明したり、自分の考えを表明したりできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はすべて対面で行う予定。

予習を前提に、講義と演習を行う。

1つのユニットを2回の授業で進める。

1回目の授業では、語彙・文法の確認・解説と、リスニング、リーディング（大意把握）を行う。

2回目の授業では、リーディング（速読、精読）とリスニング、スピーキング、ライティングを行う。

学習支援システムを通して試験や課題へのフィードバックを行う。また、作文課題は添削して返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の説明、自己紹介
2	Unit 1: Gig Work	語彙、リスニング、大意把握、文法
3	Unit 1: Gig Work	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
4	Unit 2: Your Boss is from Overseas	語彙、リスニング、大意把握、文法
5	Unit 2: Your Boss is from Overseas	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
6	Unit 4: Working from Home	語彙、リスニング、大意把握、文法
7	Unit 4: Working from Home	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
8	Unit 5: Kickstarter	語彙、リスニング、大意把握、文法
9	Unit 5: Kickstarter	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
10	Unit 6: Esports	語彙、リスニング、大意把握、文法
11	Unit 6: Esports	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文

12	Unit 8: How Do Modern Musicians Make Money?	語彙、リスニング、大意把握、文法
13	Unit 8: How Do Modern Musicians Make Money?	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【予習】

1. テキストを読み、問題に答える。
2. テキストを日本語に訳す。

【復習】

1. テキストの内容、語彙・文法事項を確認する。
2. リスニングの音声聞き直す。

3. 作文の添削を確認する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Global Pathways (Jonathan Lynch・委文光太郎著、成美堂、2022年、2,200円)

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%

平常点（予習、作文、スピーキング、受講態度）40%

欠席が4回以上の場合は、原則として単位取得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

授業中の演習の時間を増やす。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書可）。

学習支援システムを使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器の持参を奨励する。

【その他の重要事項】

生成AIの使用は原則として禁止する。

ただし、部分的に使用し（例えば、英語での言い方を調べる）、その結果を検証する場合には例外的に使用を認める。その場合は必ず申告し、どこに使ったのかと、その検証の過程と結果を示すこと。生成AIが作成したものを自らの成果としてそのまま提出した場合は単位の取得を認めない。また、使用の可能性が極めて高いと判断される場合も同様に処理することがある。

【Outline (in English)】

Through reading English articles about various topics relating to business, students will develop their abilities to correctly understand and critically evaluate English texts. Students will also improve their basic English skills through listening, speaking, and writing activities.

The goals of this course are to understand basic sentence structures and grammatical rules, acquire reading skills to gather and analyze information, and improve ability in listening and writing.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend an hour to complete the required assignments. Grading will be decided based on term-end examination (60%) and in class contribution including assignment submissions (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1 - II

2017年度以降入学者

飛田 英伸

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ビジネスに関するさまざまなトピックについて書かれた英文を教材として、正確かつ批評的に「読む」力の向上を図るとともに、コミュニケーションに必要な「聴く・話す・書く」能力を養い、英語で発信される情報に対応できるようになる。

【到達目標】

- ・英語の文章の基本的な構造を理解する。
- ・英文を速読してその大意や要点、おおまかな構造をつかむことができるようになる。
- ・文章に使われている構文や文法を把握できるようになる。
- ・精読を通して書き手の考えや論理の展開について分析することができるようになる。
- ・標準的な速度で話される英語をおおまかに聞き取ることができるようになる。
- ・簡潔な英語で物事を説明したり、自分の考えを表明したりできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はすべて対面で行う予定。

予習を前提に、講義と演習を行う。

1つのユニットを2回の授業で進める。

1回目の授業では、語彙・文法の確認・解説と、リスニング、リーディング（大意把握）を行う。

2回目の授業では、リーディング（速読、精読）とリスニング、スピーキング、ライティングを行う。

学習支援システムを通して試験や課題へのフィードバックを行う。また、作文課題は添削して返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の説明、春学期の復習
2	Unit 9: Space Business	語彙、リスニング、大意把握、文法
3	Unit 9: Space Business	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
4	Unit 10: Going Cashless from a Business's Perspective	語彙、リスニング、大意把握、文法
5	Unit 10: Going Cashless from a Business's Perspective	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
6	Unit 11: Workations	語彙、リスニング、大意把握、文法
7	Unit 11: Workations	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
8	Unit 12: The Future of "Hanko"	語彙、リスニング、大意把握、文法
9	Unit 12: The Future of "Hanko"	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文

10	Unit 13: Subscription Services	語彙、リスニング、大意把握、文法
11	Unit 13: Subscription Services	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
12	Unit 14: Japanese High-End Denim Industry	語彙、リスニング、大意把握、文法
13	Unit 14: Japanese High-End Denim Industry	速読、精読、リスニング、スピーキング、作文
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【予習】

1. テキストを読み、問題に答える。
2. テキストを日本語に訳す。

【復習】

1. テキストの内容、語彙・文法事項を確認する。
2. リスニングの音声聞き直す。
3. 作文の添削を確認する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Global Pathways (Jonathan Lynch・委文光太郎著、成美堂、2022年、2,200円)

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%

平常点（予習、作文、スピーキング、受講態度）40%

欠席が4回以上の場合は、原則として単位取得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

授業中の演習の時間を増やす。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書可）。

学習支援システムを使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器の持参を奨励する。

【その他の重要事項】

生成AIの使用は原則として禁止する。

ただし、部分的に使用し（例えば、英語での言い方を調べる）、その結果を検証する場合には例外的に使用を認める。その場合は必ず申告し、どこに使ったのかと、その検証の過程と結果を示すこと。生成AIが作成したものを自らの成果としてそのまま提出した場合は単位の取得を認めない。また、使用の可能性が極めて高いと判断される場合も同様に処理することがある。

【Outline (in English)】

Through reading English articles about various topics relating to business, students will develop their abilities to correctly understand and critically evaluate English texts. Students will also improve their basic English skills through listening, speaking, and writing activities.

The goals of this course are to understand basic sentence structures and grammatical rules, acquire reading skills to gather and analyze information, and improve ability in listening and writing.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend an hour to complete the required assignments. Grading will be decided based on term-end examination (60%) and in class contribution including assignment submissions (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
英語 1 – I		2017年度以降入学者
小堀 洋		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火1/Tue.1		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語音楽を通じて主に英語の読解力と文法力、リスニング力を高めると共に、それぞれの楽曲にまつわる英文を読むことで英語圏文化について学びます。

【到達目標】

英語音楽の歌詞と英語圏文化に関する簡単な英文を日本語に訳せるようになり、またそれらに含まれる重要な文法事項を習得することができます。さらに、楽曲やアーティストに関する文化的背景等を学び、英米の文化を理解することができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業では、基本的に毎回学生の皆さんが英語を日本語に訳し、英文等の内容に関する問題を解きます。
授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。さらに、リアクションペーパーや課題等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。
課題等の提出は「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 『タイタニック』	オリエンテーション：シラバスに基づき講義内容を説明する。 映画『タイタニック』のあらすじと時代背景を理解する。
第2回	'My Heart Will Go On' Celine Dion	Celine Dion 'My Heart Will Go On'を聞いて、その歌詞を訳す。
第3回	リスニング (TOEIC・写真描写問題)	TOEIC形式の写真描写問題を解く。
第4回	リーディング（ナショナル・アイデンティティの和訳）	カナダのナショナル・アイデンティティに関する英文を日本語に訳す。
第5回	リーディング（ナショナル・アイデンティティの内容理解）	ナショナル・アイデンティティにまつわる英文の内容に関する問題を解く。
第6回	Maroon 5 'Sugar'	Maroon 5 'Sugar'を聞いて、その歌詞を訳す。
第7回	リスニング (TOEIC・応答問題)	TOEIC形式の応答問題を解く。
第8回	リーディング（結婚文化の和訳）	欧米の結婚に関する英文を日本語に訳す。
第9回	リーディング（結婚文化の内容理解）	欧米の結婚にまつわる英文の内容に関する問題を解く。
第10回	『ズートピア』	映画『ズートピア』のあらすじと背景を理解する。
第11回	'Try Everything'	'Try Everything'を聞いて、その歌詞を訳す。
第12回	リーディング（迷信の和訳）	欧米の迷信にまつわる英文を日本語に訳す。

第14回	リーディング（迷信の内容理解）	欧米の迷信にまつわる英文の内容に関する問題を解く。
第14回	授業内試験	春学期に学んだ内容に関する筆記試験（リスニング問題を含む）を行う。・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキスト等を事前に読み、理解できない部分を明確にしておく。
授業中に学んだ内容を踏まえ、再度テキスト等を読み、理解できない箇所がないか確認する。もしわからないところがあれば次回の授業で質問する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

English with Hit Songs(New Edition) (『ポップスで学ぶ総合英語』)・角山照彦, Simon Capper, 成美堂. ISBN9784791930869

【参考書】

『マフィーのケンブリッジ英文法』（中級編）第3版、ケンブリッジ大学出版。
英語を理解する上で重要な文法を理解するのにとても役立ちます。

【成績評価の方法と基準】

授業参加（30%）、課題(30%)と期末試験（40%）の合計で評価します。60点以上で合格です。
4回以上欠席すると単位は与えられませんので注意してください。
毎回授業のはじめに出席カードを配りますので、その時に教室にいない学生は欠席とみなします。また、公共交通機関の遅延等を除いた遅刻も欠席とします。公共交通機関の遅延等の場合は遅延証明証を持参してください。

【学生の意見等からの気づき】

本授業は学生の皆さんの積極的な参加を求めます。
皆さんが積極的に授業に参加するほど本授業はより内容の濃いものとなりますので、積極的に楽しんで授業に参加してください。

【その他の重要事項】

授業時間の前後に、教室にて学生からの質問等を受けます。
授業には必ず辞書を持参してください。

【Outline (in English)】

授業の概要（Course outline）
In this class, you develop mainly reading and listening abilities.
Specifically, you listen to pop songs and understand the lyrics.
You also read short essays on western culture so you learn not only how to read English, but also how to read western culture and its point of view.
到達目標(Learning Objectives)
1:The goals of this course are how to read and understand essays in English and Western culture.
授業時間外の学習(Learning activities outside of classroom)
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.
成績評価の方法と基準(Grading Criteria /Policies)
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 40%, in class contribution: 30%, assignments: 30%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 1 - II

2017年度以降入学者

小堀 洋

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語音楽を通じて主に英語の読解力と文法力、リスニング力を高めると共に、それぞれの楽曲にまつわる英文を読むことで英語圏文化について学びます。

【到達目標】

英語音楽の歌詞と英語圏文化に関する簡単な英文を日本語に訳せるようになり、またそれらに含まれる重要な文法事項を習得することができます。さらに、楽曲やアーティストに関する文化的背景等を学び、英米の文化を理解することができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業では、基本的に毎回学生の皆さんが英語を日本語に訳し、英文等の内容に関する問題を解きます。
授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。さらに、リアクションペーパーや課題等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。
課題等の提出は「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 『アナと雪の女王』	オリエンテーション：シラバスに基づき講義内容を説明する。 『アナと雪の女王』のあらすじと背景を理解する。
第2回	'Let It Go'	'Let It Go'を聞いて、その歌詞を訳す。
第3回	リスニング (TOEIC・会話問題)	TOEIC形式の会話問題を解く。
第4回	リーディング（ディズニー・和訳）	ディズニーに関する英文を日本語に訳す。
第5回	リーディング（ディズニー・内容理解）	ディズニーにまつわる英文の内容に関する問題を解く。
第6回	Bruno Mars 'Just The Way You Are'	Bruno Mars 'Just The Way You Are'を聞いて、その歌詞を訳す。
第7回	リスニング（説明文問題）	TOEIC形式の説明文問題を解く。
第8回	『ハリーポッター』	映画『ハリーポッター』のあらすじと背景を理解する。
第9回	リーディング（ハリーポッター・和訳）	『ハリー・ポッター』に関する英文を日本語に訳す。
第10回	リーディング（ハリーポッター・内容理解）	『ハリー・ポッター』にまつわる英文の内容に関する問題を解く。
第11回	Ariana Grande 'Santa Tell Me'	Ariana Grande 'Santa Tell Me'を聞いて、その歌詞を訳す。
第12回	リーディング（クリスマス・和訳）	クリスマスに関する英文を訳して、その内容を理解する。
第13回	リーディング（クリスマス・内容理解）	クリスマスにまつわる英文の内容に関する問題を解く。

第14回 授業内試験

春学期に学んだ内容に関する筆記試験（リスニング問題を含む）を行う。・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキスト等を事前に読み、理解できない部分を明確にしておく。
授業中に学んだ内容を踏まえ、再度テキスト等を読み、理解できない箇所がないか確認する。もしわからないところがあれば次の授業で質問する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

English with Hit Songs(New Edition) (『ポップスで学ぶ総合英語』)・角山照彦, Simon Capper, 成美堂. ISBN9784791930869

【参考書】

『マーフィーのケンブリッジ英文法』（中級編）第3版、ケンブリッジ大学出版。

英語を理解する上で重要な文法を理解するのにとても役立ちます。

【成績評価の方法と基準】

授業参加（30%）、課題（30%）と期末試験（40%）の合計で評価します。60点以上で合格です。

4回以上欠席すると単位は与えられませんので注意してください。
毎回授業のはじめに出席カードを配りますので、その時に教室にいない学生は欠席とみなします。また、公共交通機関の遅延等を除いた遅刻も欠席とします。公共交通機関の遅延等の場合は遅延証明証を持参してください。

【学生の意見等からの気づき】

本授業は学生の皆さんの積極的な参加を求めます。
皆さんが積極的に授業に参加するほど本授業はより内容の濃いものとなりますので、積極的に楽しんで授業に参加してください。

【その他の重要事項】

授業時間の前後に、教室にて学生からの質問等を受けます。
授業には必ず辞書を持参してください。

【Outline (in English)】

授業の概要（Course outline）

In this class, you develop mainly reading and listening abilities.

Specifically, you listen to pop songs and understand the lyrics.

You also read short essays on western culture so you learn not only how to read English, but also how to read western culture and its point of view.

到達目標 (Learning Objectives)

1:The goals of this course are how to read and understand essays in English and Western culture.

授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 40%, in class contribution: 30%, assignments: 30%

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
英語 2ー I	2017年度以降入学者
鈴木 理枝	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：火2/Tue.2
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、「現代の食をめぐる話題」と「英米の伝統的な祝祭と食文化」をテーマに取り上げ、日常生活に必要な英語を実践的に社会で使えるように習得する。春学期は、特に読解力を身につけるために、通訳訓練法のスラッシュリーディングなどの訳出テクニックを習得する。基礎的な英語を復習しながら、更に英語力のレベルアップを計り、実践力を身につける

【到達目標】

- ・食文化をテーマに英米の文化を英語で理解し、日本文化を英語で発信する
- ・リスニング力を向上させ、日常レベルの通訳ができるようになる
- ・翻訳のテクニックを身につけ、自然な翻訳ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形式は、テキストを中心に、演習授業になる。各学生は、予習して授業に臨み、順番に訳出して、練習問題を解いていく。読解の向上のみならず、音読やシャドーイングの通訳訓練法も取り入れ、リスニング力の向上にも努める。ペアワーク中心の練習をして、通訳と翻訳の発表は毎回実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業内容、授業の進め方、評価方法、出欠について説明する。自己紹介をする。
2	Unit 1 Counting Calories	ダイエットに関しての語彙や英語表現について学ぶ。
3	Unit 1 Dieting: Japan VS. America	食について、日本とアメリカの考え方の違いについて学ぶ。
4	Unit 2 A New Sports Tradition	新しいスポーツの伝統として、テールゲートパーティーについて学ぶ。
5	Unit 2 The Tailgate Party	テールゲートパーティーの内容や、それに関しての語彙や英語表現について学ぶ。
6	Unit 3 As American as Apple Pie	お茶に招かれて、手作りのアップルパイを出される設定の会話を学ぶ。
7	Unit 3 An Apple a Day	リンゴの栄養や、歴史について、語彙や英語表現を学ぶ。
8	Unit 4 The Shimanto River and Sweetfish Dishes	四万十川とアユ料理についての語彙や英語表現について学ぶ。
9	Unit 4 Best0Before and Use-By Dates	賞味期限と消費期限の意味について、語彙と英語表現について学ぶ。

10	Unit 5 Drive-Thru	ドライブスルーでの会話について、語彙と英語表現について学ぶ。
11	Unit 5 Cooking for a Family VS. Eating Out	家庭料理VS外食のテーマで、食文化の変化について、語彙や英語表現について学ぶ。
12	Unit 6 Mother's Curry	日本のカレーとインドのカレーの違いについての会話を通して、語彙や英語表現について学ぶ。
13	Unit 6 Japanese Flavors and the Traditional Diet	日本の伝統料理についての語彙や英語表現について学ぶ。
14	期末試験	まとめ、期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
準備学習：分からない語彙、訳があれば、辞書を引き予習しておくことCDを聞き、発音を確認しておくことテキストの練習問題をしておくこと。
復習：授業内で習得した内容について、復習して下さい。

【テキスト（教科書）】

『Food for Thought』『現代の食を考える』須永紫乃生 鈴木理枝 関根紳太郎
宮下リンド 南雲堂 ISBN978-4-523-17651-0 C0082 1,700円＋税

【参考書】

学生のレベルを鑑み、授業内で指定する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験：(筆記) 50%
平常点：50%(授業への参加度、態度、発表、小テスト)
成績評価の基準
(1) 内容を正確に理解しているか
(2) 自然な日本語に翻訳できるか
(3) リスニング力が身につけているか
欠席4回以上で単位取得不可。

【学生の意見等からの気づき】

楽しく、実践的な授業で、英語に対しての苦手意識が減少したと多くの意見をいただき、インプットとプットを意識して、引き続き発表中心の授業を実施する。

【Outline (in English)】

Course Outline:
In this class, you will take up the themes of "modern food topics" and "British and American traditional festivals and food culture" and students will learn the English necessary for everyday life so that they can practically use it in society. In the spring semester, students will learn translation techniques such as slash reading, which is part of the interpreter training method, in order to improve their reading comprehension skills. While reviewing basic English, you will further improve your English skills and acquire practical skills.
Learning Objectives:
(1) Understanding British and American culture in English with the theme of food culture and communicate Japanese culture in English
(2) Improve your listening skills and become able to interpret on a daily level
(3) Learn translation techniques and be able to translate naturally
Learning activities outside of classroom
Preparatory learning:
For vocabulary and translations that you do not understand, look up the dictionary and prepare. Listen to the CD and check the pronunciation. Do text exercises.
Review:
Review that what you learned in class.
Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria/Policy:

Final exam: 50%

Normal point: 50%(Participation in class, attitude, presentation)

Grade evaluation criteria:

(1) Understanding the content accurately

(2) Natural translation

(3) Acquire good listening skills

Credits can not be earned if absent 4 times or more.

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
英語 2 - II	2017年度以降入学者
鈴木 理枝	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：火2/Tue.2	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

秋学期もテキストを中心に通訳訓練法を取り入れながら、総合的な英語力の育成に努める。リピーティング、シャドーイング等の訓練を行い、集中力を身につけ、スピーキング、リスニング力の向上に努める。この授業の目的は、社会で使える実践的な英語力を身につけることである。

【到達目標】

- ・食文化をテーマに英米の文化を理解し、日本文化の発信力を身につける
- ・リスニング力とスピーキング能力を身につける
- ・翻訳テクニックを身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

秋学期の授業も同様に、テキストを中心に演習授業になる。各学生は予習して、授業に臨み、順番に翻訳をして、練習問題を解いていく。読解力の向上のみならず、シンクローリーディング、シャドーイングの訓練法も取り入れ、リスニング力とスピーキング力の向上にも努める。ペアワークで練習後、毎回発表する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション・Unit 7 Supplemental Health	サプリメントに関する会話を通して、語彙や英語表現を習得する。
2	Unit 8 Coffee or Tea?①	コーヒーと紅茶の効用についての会話を通して、語彙と英語表現を習得する。
3	Unit 8 Tea Time: The difference between Green, Black, and Red Tea②	お茶にもいろいろな種類がある。それぞれのお茶の効用が書かれた読み物を通して、語彙や英語表現を習得する。
4	Unit 9 Vegetable Garden ①	菜園についての会話を通して、語彙や英語表現を習得する。
5	Unit 9 On the History of Mayonnaise②	マヨネーズの歴史と栄養について読み、語彙や英語表現を習得する。
6	Unit 10 Local Delicacies①	日本のご馳走についての会話を通して、語彙や英語表現を習得する。
7	Unit 10 Different National Cuisines in Japan ②	日本で味わえる各国料理について読み、語彙や英語表現を習得する。
8	Unit 11 Halloween Barmbrack①	アイルランドのハロウィーンのパンについての会話を通して、語彙や英語表現を習得する。

9	Unit 11 History of Halloween②	ハロウィーンの歴史を読み、語彙や英語表現を習得する。
10	Unit 12 Thanksgiving Break①	感謝祭休暇についての会話を通して、語彙や英語表現を習得する。
11	Unit 12 The American Holiday Rush: Thanksgiving to New Year's②	アメリカの祝祭日、感謝祭から新年にかけての伝統行事について読み、語彙や英語表現を習得する。
12	Unit 13 Christmas Recipe: Roast Turkey	クリスマス料理の定番であるロースターキーのレシピを読み、語彙や英語表現を習得する。
13	Unit 14 Saint Valentine's Day	バレンタインデーの歴史について読み、語彙や英語表現を習得する。
14	期末試験	まとめ、期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。準備学習

分からない語彙、訳があれば、辞書を引き予習しておくことCDを聞き、発音を確認しておくことテキストの練習問題をしておくこと。復習時間

授業内で習得した内容について、復習して下さい。

【テキスト（教科書）】

『Food for Thought』『現代の食を考える』須永紫乃生 鈴木理枝 関根紳太郎 宮下リンダ 南雲堂、ISBN978-4-523-17651-0 C0082 1,700円+税

【参考書】

学生のレベルを鑑みて、授業内で指定する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験（筆記）50%、平常点 50%（授業への参加度、態度、発表、出席状況）成績評価の基準

- (1) 内容を把握している
 - (2) 正確に翻訳できる
 - (3) リスニング力とスピーキング力が身につけている
- 欠席4回以上は単位取得不可。

【学生の意見等からの気づき】

発表中心の双方向の授業に対して学生から高評価をもらい、今後も英語力と同時に積極性を身につける授業を展開していく。また、学生が、より一層英語が好きになるよう工夫して、楽しい授業を心がける。

【Outline (in English)】

Course Outline:

In the fall semester, we will continue to strive to develop comprehensive English skills while incorporating interpreter training methods with a focus on textbooks. We will use training methods such as repeating shadowing to acquire concentration and strive to improve speaking and listening skills. The purpose of this class is to acquire practical skills that can be used in society.

Learning Objectives:

- (1) Understanding British and American culture in English
- (2) Acquire Listening and speaking skills
- (3) Learn translation techniques

Learning activities outside of classroom

Preparatory learning:

For vocabulary and translations that you do not understand, look up the dictionary and prepare. Listen to the CD and check the pronunciation. Do text exercises.

Review:

Review that what you learned in class.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria/Policy:

Final exam: 50%

Normal point: 50%(Participation in class, attitude, presentation)

Grade evaluation criteria:

- (1) Understanding the contents
- (2) Appropriate translation
- (3) Acquire listening skills

Credits can not be earned if absent 4 times or more.

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
英語 2－Ⅰ	2017年度以降入学者
亀岡 浩一	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火2/Tue.2	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語による構文を正しく理解して自分の考えを英語で表現できるようになることを目指す。また、語彙力を高めて効果的に情報を発信できるようにする。

【到達目標】

さまざまな場面において英語で状況を適切に表現できる。自分の意見を正しい英文法に基づいて英語で表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

英文の仕組みを主語と述語の関係で捉え、さまざまな種類の練習問題や演習をとおして単語や語群の配列を詳細に検討していく。さらに、英語による表現力を高めるために、状況に応じて基本となる英文法の復習と確認なども行いながら、それぞれの場面にふさわしい表現を検討する。また、課題等に対するフィードバックは、授業の始めに前回の授業内容の確認と併せてクラス全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンスおよびUnit 1	授業の進め方およびテキストや成績評価などの説明。授業ガイダンス後にUnit 1に入る。
2	内容把握のための練習問題と語彙や文法の整理	英語の文の語順
3	英作文演習と構文の理解	主語の数と動詞の形
4	内容把握のための練習問題と語彙や文法の整理	いろいろな動詞
5	英作文演習と構文の理解	目的語2つの文・1つの文
6	内容把握のための練習問題と語彙や文法の整理	目的語・補語のある文
7	英作文演習と構文の理解	情報の伝え方
8	内容把握のための練習問題と語彙や文法の整理	現在形・現在進行形で表せること
9	英作文演習と構文の理解	過去形・過去進行形
10	内容把握のための練習問題と語彙や文法の整理	未来表現
11	英作文演習と構文の理解	現在完了形
12	内容把握のための練習問題と語彙や文法の整理	過去完了形・未来完了形

13	英作文演習と構文の理解	助動詞
14	理解度の確認	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。授業の前に基本となる単語の意味を調べて表現形式を具体的にまとめる。授業後に授業で扱った語句や練習問題の解答を復習し、その表現内容と構文を確認する。

【テキスト（教科書）】

テキスト スキル統合型:英作文トレーニング

著者 野田小枝子

出版社 朝日出版社

【参考書】

指定しない

【成績評価の方法と基準】

期末試験（70%） 平常点（30%）

自らの言葉で状況説明や意思伝達ができることを評価基準とする。原則として欠席が4回以上の場合は、単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

それぞれの表現に必要な文法項目を絞る。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスできる機器

【その他の重要事項】

私語は減点対象とする。

【Outline (in English)】

The aim of this subject is to help students express their own thoughts in English through understanding English syntax correctly. In addition, the students gradually enhance vocabulary skills for dissemination of information.

At the end of the course, students are expected to express their own opinions and thoughts in various situations based on correct English grammar.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend at least one hour to understand the course content.

Grading will be decided based on term-end examination(70%) and in-class contribution(30%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語２－Ⅱ

2017年度以降入学者

亀岡 浩一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語による構文を正しく理解して自分の考えを英語で表現できるようになることを目指す。また、語彙力を高めて効果的に情報を発信できるようにする。

【到達目標】

さまざまな場面において英語で状況を適切に表現できる。自分の意見を正しい英文法に基づいて英語で表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

英文の仕組みを主語と述語の関係で捉え、さまざまな種類の練習問題や演習をととして単語や語群の配列を詳細に検討していく。さらに、英語による表現力を高めるために、状況に応じて基本となる英文法の復習と確認なども行いながら、それぞれの場面にふさわしい表現を検討する。また、課題等に対するフィードバックは、授業の始めに前回の授業内容の確認と併せてクラス全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンスおよびUnit 13	授業の進め方およびテキストや成績評価などの説明。授業ガイダンス後にUnit 13に入る。
2	内容把握のための練習問題と語彙や文法の整理	条件文と仮定法
3	英作文演習と構文の理解	仮定法を使った定型表現
4	内容把握のための練習問題と語彙や文法の整理	受身形
5	英作文演習と構文の理解	動名詞と不定詞
6	内容把握のための練習問題と語彙や文法の整理	比較
7	英作文演習と構文の理解	後置修飾
8	内容把握のための練習問題と語彙や文法の整理	関係代名詞
9	英作文演習と構文の理解	関係副詞
10	内容把握のための練習問題と語彙や文法の整理	文のつなげ方
11	英作文演習と構文の理解	分詞構文
12	内容把握のための練習問題と語彙や文法の整理	itを使った構文

13 英作文演習と構文の いろいろな否定文理解

14 理解度の確認 試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。授業の前に基本となる単語の意味を調べて表現形式を具体的にまとめる。授業後に授業で扱った語句や練習問題の解答を復習し、その表現内容と構文を確認する。

【テキスト（教科書）】

テキスト スキル統合型:英作文トレーニング

著者 野田小枝子

出版社 朝日出版社

【参考書】

指定しない

【成績評価の方法と基準】

期末試験（70%） 平常点（30%）

自らの言葉で状況説明や意思伝達ができることを評価基準とする。原則として欠席が4回以上の場合は、単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

それぞれの表現に必要な文法項目を絞る。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスできる機器

【その他の重要事項】

私語は減点対象とする。

【Outline (in English)】

The aim of this subject is to help students express their own thoughts in English through understanding English syntax correctly. In addition, the students gradually enhance vocabulary skills for dissemination of information.

At the end of the course, students are expected to express their own opinions and thoughts in various situations based on correct English grammar.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend at least one hour to understand the course content.

Grading will be decided based on term-end examination(70%) and in-class contribution(30%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2 - I

2017年度以降入学者

三原 里美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

パラグラフ・ライティングの基礎を学び、分かりやすくまとまりのある文章を書く力を身につける。様々なトピックについて自分の意見や考えを平易な英語で書き、それを会話形式で相手に伝える練習を行う。

【到達目標】

- ・パラグラフ・ライティングの基礎を身につけ、読みやすい文章の構造について理解する。
- ・与えられた議題について自分の意見や考えをまとめ、平易な英語で表現できる。
- ・英語の明瞭な発音とリスニングの力を身につけ、コミュニケーションを円滑に行えるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各Unitを2回の授業に分けて進める。パラグラフ・ライティングの基礎を学びながら様々なトピックに関する自分の考えを英語で書き、学生同士ペアを組んで作文の内容を会話形式で発表し合う。授業の終わりに作文を提出、翌週にフィードバックを行う。授業の進捗状況に応じて、教科書以外のプリント教材を用いて英語での表現方法を学ぶ。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方についての説明
2	Unit 2	パラグラフの構成①
3	Unit 2	パラグラフの構成②
4	Unit 3	時間順に語るパラグラフ①
5	Unit 3	時間順に語るパラグラフ②
6	Unit 4	空間の配列のパラグラフ①
7	Unit 4	空間の配列のパラグラフ②
8	Unit 5	理由を説明するパラグラフ①
9	Unit 5	理由を説明するパラグラフ②
10	Unit 6	過程のパラグラフ①
11	Unit 6	過程のパラグラフ②
12	Unit 7	分類のパラグラフ①
13	Unit 7	分類のパラグラフ②
14	試験	Unit2～7の内容に関する試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業までに教科書でディスカッションやライティングのトピックを確認し、自分の考えを日本語でまとめておく。ライティングで用いたい英単語・熟語をあらかじめ辞書で調べておく。

【テキスト（教科書）】

米田みたか、井上幹子、加藤澄恵、Robert Lamitie著『Working Up to Paragraph Writing』朝日出版社、2023年（税込 1,980円）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験 40%

平常点（英作文、授業態度）60%

欠席が4回以上の場合、原則として単位取得を認めない。遅刻3回で欠席1回扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書または紙媒体）を必ず持参すること。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students understand the basis of paragraph writing and acquire the skill of composing clear and coherent sentences. After writing thoughts and opinions about each topic in plain English, students will convey them to other students orally.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- ・ Understand the basis of paragraph writing
- ・ Express thoughts and opinions about various topics in plain English
- ・ Acquire listening and speaking skills for smooth communication

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to prepare for discussion topics in a textbook.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end examination 40%

Submission assignments, class contribution 60%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語2ーⅡ

2017年度以降入学者

三原 里美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

パラグラフ・ライティングの基礎を学び、分かりやすくまとまりのある文章を書く力を身につける。様々なトピックについて自分の意見や考えを平易な英語で書き、それを会話形式で相手に伝える練習を行う。

【到達目標】

- ・パラグラフ・ライティングの基礎を身につけ、読みやすい文章の構造について理解する。
- ・与えられた議題について自分の意見や考えをまとめ、平易な英語で表現できる。
- ・英語の明瞭な発音とリスニングの力を身につけ、コミュニケーションを円滑に行えるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各Unitを2回の授業に分けて進める。パラグラフ・ライティングの基礎を学びながら様々なトピックに関する自分の考えを英語で書き、学生同士ペアを組んで作文の内容を会話形式で発表し合う。授業の終わりに作文を提出、翌週にフィードバックを行う。授業の進捗状況に応じて、教科書以外のプリント教材を用いて英語での表現方法を学ぶ。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 8	比較のパラグラフ①
2	Unit 8	比較のパラグラフ②
3	Unit 9	説得する文章①
4	Unit 9	説得する文章②
5	Unit 10	原因と結果のパラグラフ①
6	Unit 10	原因と結果のパラグラフ②
7	Unit 11	Eメールの書き方
8	Unit 12	パラグラフからエッセイへ①
9	Unit 12	パラグラフからエッセイへ②
10	Unit 13	意見文①
11	Unit 13	意見文②
12	Unit 14	TOEICとTOEFLのライティング①
13	Unit 14	TOEICとTOEFLのライティング②
14	試験	Unit8～14の内容に関する試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業までに教科書でディスカッションやライティングのトピックを確認し、自分の考えを日本語でまとめておく。ライティングで用いたい英単語・熟語をあらかじめ辞書で調べておく。

【テキスト（教科書）】

米田みたか、井上幹子、加藤澄恵、Robert Lamitie著『Working Up to Paragraph Writing』朝日出版社、2023年（税込 1,980円）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験 40%

平常点（英作文、授業態度）60%

欠席が4回以上の場合、原則として単位取得を認めない。遅刻3回で欠席1回扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書または紙媒体）を必ず持参すること。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students understand the basis of paragraph writing and acquire the skill of composing clear and coherent sentences. After writing thoughts and opinions about each topic in plain English, students will convey them to other students orally.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- ・ Understand the basis of paragraph writing
- ・ Express thoughts and opinions about various topics in plain English
- ・ Acquire listening and speaking skills for smooth communication

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to prepare for discussion topics in a textbook.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end examination 40%

Submission assignments, class contribution 60%

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
英語 2 - I	2017年度以降入学者
戸嶋 まゆみ	

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2
単位数：1単位
その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

コミュニケーションを英語で行うことを目的とし、ロール・プレイングやインタビュー、その他のアウトプットをすることで英語で意味のあるやりとりができるようになることを目標とします。対面学習時にはグループ・プレゼンテーションの方法も学びます。

【到達目標】

英語で簡単なやり取りができるようになることが到達目標です。プレゼンテーションが英語で行えるような練習をします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

英語で書かれたテキストのパートを読み、内容等についてやりとりができるように演習を行います。個人及びグループでのプレゼンテーションを効果的に行う方法も学びます。課題等のフィードバックは、授業時(対面授業もしくは双方向性授業)に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1講	ガイダンス	ガイダンス
第2講	Unit 1	発音の練習をする 現在形と現在進行形
第3講	Unit 2	スキミング練習 過去形と過去進行形
第4講	Unit 3	スキニング練習 現在完了形
第5講	スピーチの組み立てについて(講義と演習)	スピーチの組み立てについてを学ぶ(講義と演習)
第6講	Unit 4	文章のまとめを書く
第7講	グループワークについて(講義と演習)	グループワークについて学ぶ(講義と演習)
第8講	Unit 5	自分の意見をまとめる練習をする
第9講	Unit 6	調べたことを意見に取り入れる練習をする
第10講	Unit 7	レポートを書く練習をする
第11講	プレゼンテーション練習(1)	プレゼンテーション(プラン、練習とリハーサル)
第12講	プレゼンテーション練習(2)	プレゼンテーション
復習	復習	復習(テキストUnit 1-7の内容と学習スキルの復習及びプレゼンの振り返り)
総括	総括	全体総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。内容としては、毎回60分程度の予習(テキストの内容を把握しておく、語句や文章やフレーズの意味や使用法を説明できるようにしておく)、及び復習(予習で行ったことを授業で確認し、何をやったかとテキストの内容を理解、把握し、テキストがなくても説明できるようにする)。詳細は、教場指示とします。

【テキスト（教科書）】

English Communication for Creatives、 亀山博之他著、南雲堂、ISBN978-4-523-17977-1

【参考書】

英和・和英辞書(電子辞書可)

【成績評価の方法と基準】

授業時の発言およびロールプレイング、グループワークと英語によるグループ・プレゼンテーションなど(50%)およびペーパーテストや課題等(50%)の合算で評価します。各学期欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

学生のみなさんが毎年とても頑張って成長していくのを楽しみにしています。ちょっと勇気を出せば、この講座は百倍楽しくなります

【学生が準備すべき機器他】

毎回、テキスト、ノート、辞書類を持参して下さい。また、授業の進行に伴って、あらかじめ映画や動画の視聴を求められることがあります。内容については、教場指示とします。

【その他の重要事項】

授業時以外の時間の学習が毎回60分から90分程度必要だと思われます。また、プレゼンテーションでは、グループ性と、一人1分以上の英語を原稿なしで話すことが求められますので、グループ内での打ち合わせやリハーサルの時間が毎回60分から90分程度必要です。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

This course is designed to develop English communication abilities, including role playing, interviewing, writing brief notes, draft writing and group presentations.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to output English efficiently (to get information from English written things without any problems and output correctly).

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 50%(including presentations and role playing trainings) Term-end examination and reports: 50%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語２－Ⅱ

2017年度以降入学者

戸嶋 まゆみ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

コミュニケーションを英語で行うことを目的とし、ロール・プレイングやインタビュー、その他のアウトプットをすることで英語で意味のあるやりとりができるようになることを目標とします。対面学習時にはグループ・プレゼンテーションの方法も学びます。

【到達目標】

英語で簡単なやり取りができるようになることが到達目標です。プレゼンテーションが英語で行えるような練習をします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

英語で書かれたテキストのパートを読み、内容等についてやりとりができるように演習を行います。個人及びグループでのプレゼンテーションを効果的に行う方法も学びます。課題等のフィードバックは、授業時(対面授業もしくは双方向性授業)およびオンラインツールを使用して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1講	ガイダンス	ガイダンス
第2講	夏休みの出来事を英語で書く(1)	コンセプトマップやKJ法を学ぶ
第3講	夏休みの出来事を英語で書く(2)	英語でレポートの作成をする
第4講	Unit 8	スキニング復習 比較表現を学ぶ
第5講	Unit 9	受身と使役を学ぶ
第6講	Unit 10	関係詞を学ぶ
第7講	グループワークについて(講義と演習)	グループワークについて学ぶ(講義と演習)
第8講	Unit 11	時や場所などの情報を関係詞を用いて加える練習をする
第9講	Unit 12	形容詞について学ぶ
第10講	Unit 13	レポートを書く練習をする
第11講	プレゼンテーション練習(1)	プレゼンテーション(プラン、練習とリハーサル)
第12講	プレゼンテーション練習(2)	プレゼンテーション
復習	復習	復習(テキストUnit 1-13の内容と学習スキルの復習及びプレゼンの振り返り)
総括	総括	全体総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。内容としては、毎回60分程度の予習(テキストの内容を把握しておく)、及び復習(予習で行ったことを授業で確認し、何をやったかとテキストの内容を理解、把握し、テキストがなくても説明できるようにする)。詳細は、教場指示とします。

【テキスト（教科書）】

English Communication for Creatives、 亀山博之他著、南雲堂、ISBN978-4-523-17977-1

【参考書】

英和・和英辞書(電子辞書可)

【成績評価の方法と基準】

授業時の発言およびロールプレイングなど(50%)およびペーパーテストや課題等(50%)の合算で評価します。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

学生のみなさんが毎年とても頑張って成長していくのを楽しみにしています。ちょっと勇気を出せば、この講座は百倍楽しくなります

【学生が準備すべき機器他】

毎回、テキスト、ノート、辞書類を持参して下さい。また、授業の進行に伴って、あらかじめ映画や動画の視聴を求められることがあります。内容については、教場指示とします。

【その他の重要事項】

授業時以外の時間の学習が毎回60分から90分程度必要だと思われます。また、プレゼンテーションでは、グループ性と、一人1分以上の英語を原稿なしで話すことが求められますので、グループ内での打ち合わせやリハーサルの時間が毎回60分から90分程度必要です。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

This course is designed to develop English communication abilities, including role playing, interviewing, writing brief notes, draft writing and group presentations.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to output English efficiently (to get information from English written things without any problems and output correctly).

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 50%(including presentations and role playing trainings) Term-end examination and reports: 50%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2 - I

2017年度以降入学者

折笠 真美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 2 focuses on developing academic English proficiency and aims to help students acquire oral and written skills required to communicate effectively in the English language in class. The course will provide students with an opportunity to (1) discuss various topics in a pair/group, (2) give presentations, and (3) develop academic English writing skills (paragraph writing). Furthermore, this course will also aim to reinforce listening skills and vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (b) be able to discuss different topics.
- (c) be able to summarize the main points of discussion.
- (d) be able to make short presentations on different topics.
- (e) be able to write paragraphs in an organized and logical manner.
- (f) learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 1: Cosmetic Surgery	Engage, Think about the Issue,
	Unit 2: Friends or Lovers?	Present Your Ideas
3	Unit 3: Why Care?	Engage, Think about the Issue,
	Unit 4: Rules, Rules, Rules!	Present Your Ideas
4	Unit 5: Plagiarism	Engage, Think about the Issue,
	Unit 6: Housework	Present Your Ideas
5	Unit 7: Starting a Family	Engage, Think about the Issue,
	Unit 8: Earning Money	Present Your Ideas
6	Unit 9: Body Art	Engage, Think about the Issue,
	Unit 10: Boomerang Children	Present Your Ideas
7	Writing (1)	Paragraph Structure

8	Writing (2)	Topic Sentence, Body, Concluding Sentence
9	Writing (3)	Paragraph Writing
10	Preparation for Presentation (1)	Research and Search for Articles
11	Preparation for Presentation (2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Preparation for Presentation (3)	Rehearse Presentations
13	Group Presentation	Presentation
14	Review /Final Exam	Review &Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Richard R. Day, Joseph Shaules, and Junko Yamanaka (2019). Impact Issues 3: Presenting your ideas in English (3rd Edition). Pearson. ISBN: 9789813134393 (¥ 3,420 +税)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes (10%); Homework & Writing Assignments (20%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分までで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など、防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 2 focuses on developing academic English proficiency and aims to help students acquire oral and written skills required to communicate effectively in the English language in class. The course will provide students with an opportunity to share ideas and opinions through discussions, presentations, and writings and reinforce listening skills and vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes (10%); Homework & Writing Assignments (20%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語2－Ⅱ

2017年度以降入学者

折笠 真美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 2 focuses on developing academic English proficiency and aims to help students acquire oral and written skills required to communicate effectively in the English language in class. The course will provide students with an opportunity to (1) discuss various topics in a pair/group, (2) give presentations, and (3) develop academic English writing skills (paragraph and essay writing). Furthermore, this course will also aim to reinforce listening skills and vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (b) be able to discuss different topics.
- (c) be able to summarize the main points of discussion.
- (d) be able to give presentations on topics of their choice.
- (e) be able to write paragraphs and essays in an organized and logical manner.
- (f) learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have oral and written activities (individual and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 11: Naomi's Dilemma	Engage, Think about the Issue, Present Your Idea
	Unit 12: The Art of Compromise	
3	Unit 13: Choosing Your Career	Engage, Think about the Issue, Present Your Idea
	Unit 14: Save Our Country!	
4	Unit 15: Life Online	Engage, Think about the Issue, Present Your Idea
	Unit 16: A Man's Place	
5	Unit 17: There's No Place Like Home.	Engage, Think about the Issue, Present Your Idea
	Unit 18: Can War Make Peace?	
6	Unit 19: One-sided Love	Engage, Think about the Issue, Present Your Idea
	Unit 20: My Split Family	

7	Writing (1)	Essay Structure & Outline
8	Writing (2)	Introduction & Thesis Statement
9	Writing (3)	Body & Concluding Paragraphs
10	Preparation for Presentation (1)	Research and Search for Articles
11	Preparation for Presentation (2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Preparation for Presentation (3)	Rehearse Presentations
13	Group Presentation	Presentation
14	Review /Final Exam	Review & Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Richard R. Day, Joseph Shaules, and Junko Yamanaka (2019). Impact Issues 3: Presenting your ideas in English (3rd Edition). Pearson. ISBN: 9789813134393 (¥ 3,420 +税)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes (10%), Homework & Writing Assignments (20%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分まで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など、防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 2 focuses on developing academic English proficiency and aims to help students acquire oral and written skills required to communicate effectively in the English language in class. The course will provide students with an opportunity to share ideas and opinions through discussions, give presentations, and reinforce listening skills and vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes (10%), Homework & Writing Assignments (20%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
英語 2 - I	2017年度以降入学者
飛田 英伸	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：火2/Tue.2
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語での会話および作文を通して、英語の表現方法を学び、コミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

- ・英語の文章の基本的な構造を理解する。
- ・基本的な会話ができるようになる。
- ・簡単なプレゼンテーションができるようになる。
- ・読みやすく、まとまりのある文章が書けるようになる。
- ・文脈や状況に応じた適切な言葉遣いができるようになる。
- ・コミュニケーションが十分にできるだけの聞き取り能力を身につける。
- ・コミュニケーションを行う上で必要な文法や語彙を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はすべて対面で行う予定。

1つのユニットを2回の授業で進める。

1回目の授業ではリスニングとスピーキング、リーディングを行う。

2回目の授業ではスピーキング、リスニング、ディスカッション、ライティングを行う。

いずれの授業でも英語で発言したり、グループワークをしたりする機会を多く設ける。

また、1回目の授業の最初に作文とリスニングの小テストを行う。

2回目の授業の最初には担当者を決めて1分程度の小発表を行う。学習支援システムを通して試験や課題へのフィードバックを行う。

また、作文は添削して返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の説明、自己紹介
2	Unit 1: College Life	小テスト、スピーキング、リスニング、リーディング
3	Unit 1: College Life	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
4	Unit 2: Future Plans /Jobs	小テスト、スピーキング、リスニング、リーディング
5	Unit 2: Future Plans /Jobs	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
6	Unit 3: Part-Time Jobs and Otakatsu	小テスト、スピーキング、リスニング、リーディング
7	Unit 3: Part-Time Jobs and Otakatsu	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
8	Unit 4: Movies	小テスト、スピーキング、リスニング、リーディング
9	Unit 4: Movies	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
10	Unit 5: Parties and Festivals	小テスト、スピーキング、リスニング、リーディング
11	Unit 5: Parties and Festivals	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
12	Unit 6: Friends	小テスト、スピーキング、リスニング、リーディング

13	Unit 6: Friends	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【予習】

1. 教科書の **Brainstorm** に答える。（1回目の授業前）

2. 教科書の **Quick Search** の答えを英語でまとめて学習支援システムを通して提出する。また、内容を発表できるようにする。（2回目の授業前）

【復習】

1. リスニングの音声を聞き直し、ディクテーションができるようにする。

2. テキストの内容、語彙・文法事項を確認する。

3. 作文の添削を確認する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Activator Next (塩澤正・Adam Martinelli著、金星堂、1,900円＋税)

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末試験20%

小テスト30%

平常点（小発表、予習、作文、受講態度）50%

欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない

【学生の意見等からの気づき】

教室全体でのディスカッションを増やす。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書可）。

学習支援システムを使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器の持参を奨励する。

【その他の重要事項】

生成AIの使用は原則として禁止する。

ただし、部分的に使用し（例えば、英語での言い方を調べる）、その結果を検証する場合には例外的に使用を認める。その場合は必ず申告し、どこに使ったのかと、その検証の過程と結果を示すこと。生成AIが作成したものを自らの成果としてそのまま提出した場合は単位の取得を認めない。また、使用の可能性が極めて高いと判断される場合も同様に処理することがある。

【Outline (in English)】

Through speaking and writing English, students will develop their abilities to express various things and ideas, and deepen their understanding of the language.

The goals of this course are to acquire basic skills for writing essays and improve ability for presentation, discussion and conversation.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend an hour to complete the required assignments.

Grading will be decided based on a term-end exam (20%), mini-tests (30%), and in class contribution including assignment submissions (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語2ーⅡ

2017年度以降入学者

飛田 英伸

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語での会話および作文を通して、英語の表現方法を学び、コミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

- ・英語の文章の基本的な構造を理解する。
- ・基本的な会話ができるようになる。
- ・簡単なプレゼンテーションができるようになる。
- ・読みやすく、まとまりのある文章が書けるようになる。
- ・文脈や状況に応じた適切な言葉遣いができるようになる。
- ・コミュニケーションが十分にできるだけの聞き取り能力を身につける。
- ・コミュニケーションを行う上で必要な文法や語彙を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はすべて対面で行う予定。

1つのユニットを2回の授業で進める。

1回目の授業ではリスニングとスピーキング、リーディングを行う。

2回目の授業ではスピーキング、リスニング、ディスカッション、ライティングを行う。

いずれの授業でも英語で発言したり、グループワークをしたりする機会を多く設ける。

また、1回目の授業の最初に作文とリスニングの小テストを行う。

2回目の授業の最初には担当者を決めて1分程度の小発表を行う。

学習支援システムを通して試験や課題へのフィードバックを行う。

また、作文は添削して返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の説明、春学期の復習
2	Unit 8: Overtourism	小テスト、スピーキング、リスニング、リーディング
3	Unit 8: Overtourism	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
4	Unit 9: Improving Education	小テスト、スピーキング、リスニング、リーディング
5	Unit 9: Improving Education	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
6	Unit 10: Voting Age	小テスト、スピーキング、リスニング、リーディング
7	Unit 10: Voting Age	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
8	Unit 11: Rethinking Zoos	小テスト、スピーキング、リスニング、リーディング
9	Unit 11: Rethinking Zoos	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
10	Unit 13: Equal Pay in Sports	小テスト、スピーキング、リスニング、リーディング
11	Unit 13: Equal Pay in Sports	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
12	Unit 14: Gaming Addiction	小テスト、スピーキング、リスニング、リーディング

13	Unit 14: Gaming Addiction	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【予習】

1. 教科書の **Brainstorm** に答える。（1回目の授業前）

2. 教科書の **Quick Search** の答えを英語でまとめて学習支援システムを通して提出する。また、内容を発表できるようにする。（2回目の授業前）

【復習】

1. リスニングの音声を聞き直し、ディクテーションができるようにする。

2. テキストの内容、語彙・文法事項を確認する。

3. 作文の添削を確認する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Activator Next (塩澤正・Adam Martinelli著、金星堂、1,900円＋税)

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末試験20%

小テスト30%

平常点（小発表、予習、作文、受講態度）50%

欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない

【学生の意見等からの気づき】

教室全体でのディスカッションを増やす。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書可）。

学習支援システムを使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器の持参を奨励する。

【その他の重要事項】

生成AIの使用は原則として禁止する。

ただし、部分的に使用し（例えば、英語での言い方を調べる）、その結果を検証する場合には例外的に使用を認める。その場合は必ず申告し、どこに使ったのかと、その検証の過程と結果を示すこと。生成AIが作成したものを自らの成果としてそのまま提出した場合は単位の取得を認めない。また、使用の可能性が極めて高いと判断される場合も同様に処理することがある。

【Outline (in English)】

Through speaking and writing English, students will develop their abilities to express various things and ideas, and deepen their understanding of the language.

The goals of this course are to acquire basic skills for writing essays and improve ability for presentation, discussion and conversation.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend an hour to complete the required assignments.

Grading will be decided based on a term-end exam (20%), mini-tests (30%), and in class contribution including assignment submissions (50%).

LANe100LA（英語 / English language education 100）

英語 2－Ⅰ

2017年度以降入学者

大曲 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNN International シリーズ2025年版を教材として、経済不況や震災、ウクライナ情勢といった世界的な混迷の中にあつての世界情勢を、ナマのニュース英語で理解していく。

6回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

【到達目標】

タイムリーなトピックを取り上げ、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング学習を通して、英語資格試験のためではなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力、批判的な視点の持ち方を身に着けていく。高い英語力だけでなく、社会的教養を身に着けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は全14回中8回を対面型授業、6回をオンライン授業（授業動画を配信するオンデマンド型）とする。

ほぼ2回の授業で1つのUnitを学習する。1回目の授業では授業動画を視聴し、各自Definition と Examples を完成させ、かつニュースの音声聞いてディクテーションして空欄を埋め、配布のAnswer sheet に解答してHoppiiを通して締め切り日までに提出する。2回目の授業（対面）では、全員がニューススクリプトを完成させていることを前提に内容理解を行い、内容に関連したプリント教材を学習する。

Unit一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、オンラインの時はOpen LMSを通して指定の締め切り日までに提出し、それはOpen LMSを通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。小テストは採点返却される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	時事問題プリント教材
2	Unit 1 ハリウッドで活用される最先端テクノロジー	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases , ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
3	Unit 1 ハリウッドで活用される最先端テクノロジー	スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題 オンデマンド型
4	Unit 2 情報漏洩の疑いで米議会がTikTok を徹底追及	授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases , ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。

5

Unit 2
情報漏洩の疑いで米議会がTikTok を徹底追及

6

Unit 3
西武鉄道が導入目指す多言語同時翻訳案内パネル

7

Unit 3
西武鉄道が導入目指す多言語同時翻訳案内パネル

8

Unit 4
いま再び大注目海外でも脚光を浴びる日本初シティポップ

9

Unit 4
いま再び大注目海外でも脚光を浴びる日本初シティポップ

10

Unit 5
出征した男性に代わり危険な労働を担うウクライナの女性たち

11

Unit 5
出征した男性に代わり危険な労働を担うウクライナの女性たち

12

Unit 6
悲惨な戦時下で生を受けるガザの赤ちゃん

13

Unit 6
悲惨な戦時下で生を受けるガザの赤ちゃん

14

これまでのまとめと期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業動画を配信するオンデマンド型授業では、授業動画を視聴し、ニュース音声をしっかりと聞いてディクテーションを行う。テキストのDefinition をしっかりと調べて完成させ、指定の締め切り日までに提出する。Examples 部分は採点し返却される。

対面授業の際にはニューススクリプトが完成されていることを前提として内容理解の授業を行うので未知の語彙などがあれば調べておく。オンラインの週の学習時間をしっかり取って行う。

【テキスト（教科書）】

CNN ビデオで見る世界のニュース（26）
朝日出版 2420円（税込）

Unit 1 語彙小テスト

スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。
内容のTF問題
オンデマンド型
授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases , ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。
Examples の課題を提出する。

Unit 2 語彙小テスト

スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。
内容のTF問題
オンデマンド型
授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases , ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。
Examples の課題を提出する。

Unit 3 語彙小テスト

スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。
内容のTF問題
オンデマンド型
授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases , ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。
Examples の課題を提出する。

Unit 4 語彙小テスト

スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。
内容のTF問題
オンデマンド型
授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases , ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。
Examples の課題を提出する。

Unit 5 語彙小テスト

スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。
内容のTF問題
オンデマンド型
授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases , ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。
Examples の課題を提出する。

Unit 6 語彙小テスト

スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。
内容のTF問題
オンデマンド型
授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases , ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。
Examples の課題を提出する。

【参考書】

特になし。

辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

授業動画配信オンデマンド授業時 10点 10% (全て解答されていること)

対面 10%

小テスト 10点×5回分 50点 30%

期末試験 50%

*各学期、欠席4回以上で、原則として単位の修得は認められない。

*オンデマンド授業の出欠規定・・・解答欄が全て記載されていて(解答されている)、その授業回を出席とする。(空欄の内容に全て解答すること)

【学生の意見等からの気づき】

Unitに関連したプリント教材を配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書のQRコードから音声スマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業はオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMSの質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】**【Course outline】**

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture and so on through CNN original English.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading, writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

【Grading Criteria】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

【参考書】

特になし。

辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

授業動画配信オンデマンド型授業時	10点	10% (Answer Sheet の空欄が全て解答されていること)
対面	10%	

小テスト 10点×5回分 50点 30%

期末試験 50%

*各学期、欠席4回以上で、原則として単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回Answer Sheet の回答欄が全て記載されていて(解答されていて)、その授業回を出席とする。(空欄の内容に全て解答すること)

【学生の意見等からの気づき】

Unitに関連したプリント教材を配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書のQRコードから音声スマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業はオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMSの質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】**【Course outline】**

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture and so on through CNN original English.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading, writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

【Grading Criteria】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
英語 2 - I		2017年度以降入学者
飛田 英伸		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月2/Mon.2		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語での作文およびディスカッションとプレゼンテーションを通して、英語の表現方法を学び、コミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

- ・英語の文章の基本的な構造を理解する。
- ・基本的な会話ができるようになる。
- ・簡単なプレゼンテーションができるようになる。
- ・読みやすく、まとまりのある文章が書けるようになる。
- ・文脈や状況に応じた適切な言葉遣いができるようになる。
- ・コミュニケーションが十分にできるだけの聞き取り能力を身につける。
- ・コミュニケーションを行う上で必要な文法や語彙を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はすべて対面で行う予定。

1つのユニットを2回の授業で進める。

1回目の授業ではリスニングとスピーキング、語彙・文法の確認・解説を行う。

2回目の授業ではスピーキング、リスニング、ディスカッション、ライティングを行う。

いずれの授業でも英語で発言したり、グループワークをしたりする機会を多く設ける。

また、1回目の授業の最初に作文とリスニングの小テストを行う。

2回目の授業の最初には担当者を決めて1分程度の小発表を行う。

学習支援システムを通して試験や課題へのフィードバックを行う。

また、作文は添削して返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の説明、自己紹介
2	Unit 1: The Cashless Society	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
3	Unit 1: The Cashless Society	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
4	Unit 2: Fast Fashion	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
5	Unit 2: Fast Fashion	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
6	Unit 3: Plastic Packaging	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
7	Unit 3: Plastic Packaging	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
8	Unit 4: Cell Phone Etiquette	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
9	Unit 4: Cell Phone Etiquette	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
10	Unit 6: Social Media	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
11	Unit 6: Social Media	小発表、リスニング、ディスカッション、作文

12	Unit 7: The Soda Tax	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
13	Unit 7: The Soda Tax	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【予習】

1. 教科書のGet ReadyとVocabularyに答える。(1回目の授業前)
2. 議論に役立つ情報を探し、英語でまとめて学習支援システムを通して提出する。また、内容を発表できるようにする。(2回目の授業前)

【復習】

1. リスニングの音声を聞き直し、ディクテーションができるようにする。
2. テキストの内容、語彙・文法事項を確認する。
3. 作文の添削を確認する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Global Issues: An Introduction to Discussion Skills (Garry Pearsonほか著、成美堂、2,530円)

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末試験20%

小テスト30%

平常点（小発表、予習、作文、受講態度）50%

欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない

【学生の意見等からの気づき】

教室全体でのディスカッションを増やす。

間違えやすいポイントについて解説する時間を増やす。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書可）。

学習支援システムを使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器の持参を奨励する。

【その他の重要事項】

生成AIの使用は原則として禁止する。

ただし、部分的に使用し（例えば、英語での言い方を調べる）、その結果を検証する場合には例外的に使用を認める。その場合は必ず申告し、どこに使ったのかと、その検証の過程と結果を示すこと。生成AIが作成したものを自らの成果としてそのまま提出した場合は単位の取得を認めない。また、使用の可能性が極めて高いと判断される場合も同様に処理することがある。

【Outline (in English)】

Through writing and speaking English, students will develop their abilities to express various things and ideas, and deepen their understanding of the language.

The goals of this course are to acquire basic skills for writing essays and improve ability for presentation, discussion and conversation.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend an hour to complete the required assignments.

Grading will be decided based on a term-end exam (20%), mini-tests (30%), and in class contribution including assignment submissions (50%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2 - II

2017年度以降入学者

飛田 英伸

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語での作文およびディスカッションとプレゼンテーションを通して、英語の表現方法を学び、コミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

- ・英語の文章の基本的な構造を理解する。
- ・基本的な会話ができるようになる。
- ・簡単なプレゼンテーションができるようになる。
- ・読みやすく、まとまりのある文章が書けるようになる。
- ・文脈や状況に応じた適切な言葉遣いができるようになる。
- ・コミュニケーションが十分にできるだけの聞き取り能力を身につける。
- ・コミュニケーションを行う上で必要な文法や語彙を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はすべて対面で行う予定。

1つのユニットを2回の授業で進める。

1回目の授業ではリスニングとスピーキング、語彙・文法の確認・解説を行う。

2回目の授業ではスピーキング、リスニング、ディスカッション、ライティングを行う。

いずれの授業でも英語で発言したり、グループワークをしたりする機会を多く設ける。

また、1回目の授業の最初に作文とリスニングの小テストを行う。

2回目の授業の最初には担当者を決めて1分程度の小発表を行う。

学習支援システムを通して試験や課題へのフィードバックを行う。

また、作文は添削して返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の説明、春学期の復習
2	Unit 8: Overtourism	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
3	Unit 8: Overtourism	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
4	Unit 9: Improving Education	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
5	Unit 9: Improving Education	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
6	Unit 10: Voting Age	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
7	Unit 10: Voting Age	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
8	Unit 11: Rethinking Zoos	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
9	Unit 11: Rethinking Zoos	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
10	Unit 13: Equal Pay in Sports	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
11	Unit 13: Equal Pay in Sports	小発表、リスニング、ディスカッション、作文

12	Unit 14: Gaming Addiction	小テスト、スピーキング、語彙、リスニング、文法
13	Unit 14: Gaming Addiction	小発表、リスニング、ディスカッション、作文
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【予習】

1. 教科書のGet ReadyとVocabularyに答える。(1回目の授業前)
2. 議論に役立つ情報を探し、英語でまとめて学習支援システムを通して提出する。また、内容を発表できるようにする。(2回目の授業前)

【復習】

1. リスニングの音声を聞き直し、ディクテーションができるようにする。
2. テキストの内容、語彙・文法事項を確認する。
3. 作文の添削を確認する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Global Issues: An Introduction to Discussion Skills (Garry Pearsonほか著、成美堂、2,530円)

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末試験20%

小テスト30%

平常点（小発表、予習、作文、受講態度）50%

欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない

【学生の意見等からの気づき】

教室全体でのディスカッションを増やす。

間違えやすいポイントについて解説する時間を増やす。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書可）。

学習支援システムを使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器の持参を奨励する。

【その他の重要事項】

生成AIの使用は原則として禁止する。

ただし、部分的に使用し（例えば、英語での言い方を調べる）、その結果を検証する場合には例外的に使用を認める。その場合は必ず申告し、どこに使ったのかと、その検証の過程と結果を示すこと。生成AIが作成したものを自らの成果としてそのまま提出した場合は単位の取得を認めない。また、使用の可能性が極めて高いと判断される場合も同様に処理することがある。

【Outline (in English)】

Through writing and speaking English, students will develop their abilities to express various things and ideas, and deepen their understanding of the language.

The goals of this course are to acquire basic skills for writing essays and improve ability for presentation, discussion and conversation.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend an hour to complete the required assignments.

Grading will be decided based on a term-end exam (20%), mini-tests (30%), and in class contribution including assignment submissions (40%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2 - I

2017年度以降入学者

大和久 悌一郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な社会問題・日常生活においても英語でのコミュニケーション能力の向上は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語読解能力の習得を目的として、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実に努めることを目指したい。

【到達目標】

英語での表現や文章を正確に読解し、また聞き取る能力を養う。また、コミュニケーションにおいて用いられる表現を使い、情報の伝達や議論などを英語で簡潔に提示する能力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを用いて、リスニング及びディクテーションとプレゼンテーションの練習をおこないます。基本的にテキスト1章分を2回の授業で扱います。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読みます。毎回、リアクションペーパーでの出欠の確認をして、質問・感想・意見などの提出をお願いします。回答については、次の回で解説や応答を行います。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明する。
2	Unit 1	Unit 1: 空港で /文型 1（精読、内要理解）
3	Unit 1	Unit 1: 空港で /文型 1（再読、リスニング、質疑応答）
4	Unit 2	Unit 2: マンションに到着 /文型 2（精読、内要理解）
5	Unit 2	Unit 2: マンションに到着 /文型 2（再読、リスニング、質疑応答）
6	Unit 3	Unit 3: お客様を迎える /不定詞 1、動名詞（精読、内容理解） ここまでの復習の小テスト
7	Unit 3	Unit 3: お客様を迎える /不定詞 1、動名詞（再読、リスニング、質疑応答）
8	Unit 4	Unit 4: デパートでお買い物 /不定詞 2（精読、内要理解）
9	Unit 4	Unit 4: デパートでお買い物 /不定詞 2（再読、リスニング、質疑応答）
10	Unit 5	Unit 5: お花見 /分詞（精読、内要理解）
11	Unit 5	Unit 5: お花見 /分詞（再読、リスニング、質疑応答）
12	Unit 6	Unit 6: 浅草へ行こう! /接続詞 1（精読、内要理解）

13	Unit 6	Unit 6: 浅草へ行こう! /接続詞 1（再読、リスニング、質疑応答）
14	Unit 7	Unit 7: 秋葉原を散策 /接続詞 2（精読、内要理解）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に該当ページについての予習をおこなうこと。また単語、熟語、慣例表現については復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

愛甲ゆかり、池田有花著、『初級英語で紹介するニッポン！』 - 続・イングリッシュ・ワンス・モア！ - Introduce Japan in Easy English-English Once More! II-』朝日出版社、2016年

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席・予習・小テスト等）60%、期末試験40%で評価します。30分以上の遅刻は欠席とみなし、また3回の遅刻は1回の欠席とみなします。4回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムで資料の配布やアンケートを行いますので、アクセスできる環境を用意しておいてください。オンラインでの回は、資料配布ですので、zoomなどの動画に対応する必要はありません。

【Outline (in English)】

[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting. [Learning activities outside of classroom] reading and listening textbook before and after class. [Grading Criteria/Policy] Activities in class (attendance, question, and discussion) : 60% , Term-end exam : 40%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2 - II

2017年度以降入学者

大和久 悌一郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な社会問題・日常生活においても英語でのコミュニケーション能力の向上は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語読解能力の習得を目的として、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実に努めることを目指したい。

【到達目標】

英語での表現や文章を正確に読解し、また聞き取る能力を養う。また、コミュニケーションにおいて用いられる表現を使い、情報の伝達や議論などを英語で簡潔に提示する能力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを用いて、リスニング及びディクテーションとプレゼンテーションの練習をおこないます。基本的にテキスト1章分を2回の授業で扱います。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読みます。毎回、リアクションペーパーでの出欠の確認をして、質問・感想・意見などの提出をお願いします。回答については、次の回で解説や応答を行います。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明する。
2	Unit 8	Unit 8: 平和への祈り / 過去完了形（精読、内容理解）
3	Unit 8	Unit 8: 平和への祈り / 過去完了形（再読、リスニング、質疑応答）
4	Unit 9	Unit 9: 京都旅行（新幹線の旅） / 話法 1（精読、内容理解）
5	Unit 9	Unit 9: 京都旅行（新幹線の旅） / 話法 1（再読、リスニング、質疑応答）
6	Unit 10	Unit 10: 茶道初体験 / 話法 2（精読、内容理解） ここまでの復習の小テスト
7	Unit 10	Unit 10: 茶道初体験 / 話法 2（再読、リスニング、質疑応答）
8	Unit 11	Unit 11: 京都の思い出 / 関係代名詞 1（精読、内容理解）
9	Unit 11	Unit 11: 京都の思い出 / 関係代名詞 1（再読、リスニング、質疑応答）
10	Unit 12	Unit 12: 日本滞在最後の日（築地市場～上野公園） / 関係代名詞 2（精読、内容理解）

11	Unit 12	Unit 12: 日本滞在最後の日（築地市場～上野公園） / 関係代名詞 2（再読、リスニング、質疑応答）
12	Unit 13	Unit 13: 日本の事象を英語で説明 / 関係副詞（精読、内容理解）
13	Unit 13	Unit 13: 日本の事象を英語で説明 / 関係副詞（再読、リスニング、質疑応答）
14	Unit 14	Unit 14: 最後の晩餐 / 仮定法 1（精読、リスニング、質疑応答）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に該当ページについての予習をおこなうこと。また単語、熟語、慣例表現については復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

愛甲ゆかり、池田有花著、『初級英語で紹介するニッポン！ -続・イングリッシュ・ワンス・モア！ -Introduce Japan in Easy English- English Once More! II-』朝日出版社、2016年

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席・予習・小テスト等）60%、学期末レポート40%で評価します。30分を過ぎた場合は遅刻とみなし、また3回の遅刻は1回の欠席とみなします。4回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting. [Learning activities outside of classroom] reading and listening textbook before and after class. [Grading Criteria/Policy] Activities in class (attendance, question, and discussion) : 60% , Term-end exam : 40%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)		
英語 2ー I		2017年度以降入学者
溝部 敦子		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月2/Mon.2		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

単文レベルの和文英訳から一歩進め、ディスカッションに役立つ表現を学びつつ、まとまった内容の説明や自分の意見を平易な英語を使って行う。また、パラグラフ・ライティングの基礎を身につけて、読み手にわかりやすいパラグラフの書き方を学ぶとともに、効果的に意図を伝えるスキルを実践し着実に身につけるため英文ライティングの演習を行う。同時に、テキスト以外のリスニング演習も追加するなどして英語の音声に慣れ、英語を英語のまま理解できるようにする。

【到達目標】

- (1) 平易な英語で簡単な説明をしたり、自分の考えを論理的に相手に伝えることができる。
- (2) パラグラフ・ライティングの基礎を学び、論理的・一貫性、結束性のある文章が書ける。
- (3) ナチュラルスピードの英語に慣れ、ポイントとなる部分の聞き取りができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は対面で行います。SDGs の17の目標に基づき、章ごとに具体的な問題を取り上げているテキスト（Chapter 1は序章）を使い、春学期は前半のChapter 7までを扱う予定です。（場合によっては、一部をスキップしたり、章が前後する可能性もあります。）多岐にわたるグローバルな課題を自分事として考え、テキスト内の問題提起（Reading で提示）を足掛かりにリサーチし、ペア又はグループで自分の意見を述べ合うことで、論理的に一貫性があり、説得力のある英語による自己表現の練習を行います。並行して、聴解力強化のため、進み具合を見ながらテキストとは別のリスニングタスクも取り入れる予定です。さらに、プリント教材を使い、パラグラフ・ライティングの基礎を学んだ上で、テキストのタスクをパラグラフの形にまとめてもらうこともあります。なお、提出してもらった課題はコメントなどをつけて個々に返却するか、または授業内で全体としてフィードバックし、必要があれば、文法の見直しも適宜行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業内容や辞書の使い方、英語学習のポイントなどについて説明 Self-introduction Activity
2	Speaking & Listening Practice	Chapter 1 What Are Sustainable Development Goals? - 序章
3	Speaking & Listening Practice Writing Skills	Chapter 1 パラグラフの基本構造について
4	Speaking & Listening Practice Writing Skills	Chapter 2 What Is a Woman Friendly Society? (Goal 5 Gender Equality) Topic Sentenceについて

5	Speaking & Listening Practice	Chapter 2 + Chapter 3 Does Saving Infant's Lives Slow Population Growth? (Goal 3 Good Health & Well Being)
6	Speaking & Listening Practice Writing Skills	Chapter 3 Supporting Sentencesについて
7	Speaking & Listening Practice	Chapter 4 Can Technology Solve the Water Crisis? (Goal 6 Clean Water & Sanitation)
8	Speaking & Listening Practice Writing Skills	Chapter 4 Concluding Sentenceについて
9	Speaking & Listening Practice	Chapter 5 How Can Quality Education for All be Achieved? (Goal 4 Quality Education)
10	Speaking & Listening Practice Writing Skills	Chapter 5 Good Writingの条件：Cohesion Part 1
11	Speaking & Listening Practice Writing Skills	Chapter 6 What Does It Mean to Be a Sustainable City? (Goal 11 Sustainable Cities & Communities) Good Writingの条件：Cohesion Part 2
12	Speaking & Listening Practice Writing Skills	Chapter 6 + Chapter 7 Will Black Companies Survive in the Future? (Goal 8 Decent Work & Economic Growth) Good Writingの条件：Coherence & Unity
13	Speaking & Listening Practice	Chapter 7 Review Test: Listening
14	Guided Writing	指定されたテーマと様式によるワンパラグラフの英作文

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。各章冒頭のWarm-upとVocabulary, Readingのセクションは事前に準備し、Passageの疑問点などを確認しておく。また、学習したポイントはその都度復習し、次の授業に活かせるようにしておく。その他、Writingやペア／グループワークのための準備を行う。なお、テキストの音声は無料でダウンロードできるので、予習、復習に活用してください。

【テキスト（教科書）】

吉原 令子ほか SDGs × Discussion (2022 金星堂)

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

＜成績評価の方法＞

・期末にまとまった内容の英語の文章（長めのワンパラグラフ）を書いてもらいます。

・原則として毎週、Listening演習を行い、期末にReview Testを実施します。

・その他、授業内で行う様々な演習や出された課題への取り組みも授業への貢献度として評価します。

＜成績評価基準・評価の配分等＞

・期末の作文と授業内のSpeaking及びWriting関連のタスクは到達目標の(1)(2)に対応し、地道な努力を重ねて学習したことがきちんと身につけているかどうか、自分の考えを正確でわかりやすい英語を使い、論理的に表現出来ているかどうかを見ます。

・Listening演習は到達目標の(3)に対応し、勘頼みではなく、ポイントとなる部分を正しく聞き取れているかどうかを見ます。

・上記のほか、到達目標の(1)～(3)に対応して授業への貢献度などを加味し、総合的に判断して最終的な評価を決定します。ただし、欠席が4回以上になった者は原則として単位修得の資格を失います。また、欠席、遅刻とも3回目から減点の対象となります。

配分は以下の通りです。

期末の英作文(40%)、Listening 演習 (Review Test 含む) (30%)、平常点 (授業内の様々なタスクの出来具合、その他授業への貢献度など) (30%)

【学生の意見等からの気づき】

ペアワークやグループトークなどクラスメートとの意見交換の時間を出来るだけ多く確保するようにしたいと思います。また、英文ライティングについても、より丁寧に小さな演習を重ねることで基礎をしっかりと固め、最後の作文に取り組みやすくします。

【Outline (in English)】

In this course, students will learn the basics of paragraph writing and some useful writing skills so that they can, in the end, write a paragraph not only easy for readers to follow but also logical and convincing enough (Goal 1). For example, they will learn the basic paragraph structure, ways to develop coherence and create cohesion, how to persuade readers, and so on. The topics in the textbook are all global issues that have something to do with SDGs (Sustainable Development Goals). Students are expected, each week, to do several tasks, including pair work and group talk, in order to put what they have learned into practice, and finally write a long paragraph on a given theme in plain English (Goal 2). In addition, they will have some listening practice so that they can get used to natural-speed English and develop confidence in listening (Goal 3).

Before/after each class meeting, students will be expected to spend at least one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Guided writing 40%, listening tasks 30%, and other assignments & in-class contribution 30%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2 - II

2017年度以降入学者

溝部 敦子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ライティング・プロセスを踏まえて論理的に首尾一貫した、より正確で読みやすい文章が書けるようにするとともに、エッセイ・ライティングの基礎を学び、複数のパラグラフから成るより長い文章に取り組む。また、引き続きリスニング演習とペア／グループワークを通して聴解力と話す力の向上を目指すとともに、正確な表現のための文法の見直しも適宜行う。

【到達目標】

- (1) 中級程度の英語を使つて的確な意思の伝達や自己表現ができる。
- (2) エッセイ・ライティングの基礎を身につけ、プレゼンテーションにも役立つような、より長い論理的かつ説得力のある文章が書ける。
- (3) 耳にした順に英語の語順で内容を追うことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に春学期と同じですが、Guided Writing は2回実施する予定です。テキストは残りの8つの章を扱いますが、春学期の進み具合によってはスキップする章が出るかもしれません。Writing については、パラグラフからエッセイへと重点を移し、広い意味での大学の勉強に必要な（したがって、日本語で書くレポートにも応用可能な）論理的かつ説得力のある文章の書き方を学びます。フィードバックについても春学期と変わりません。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Speaking & Listening Practice	Chapter 8 What Can We Do to Help Stop Child Labor? (Goal 1 No Poverty)
2	Speaking & Listening Practice	Chapter 8 + Chapter 9 How Can We Reduce Food Waste? (Goal 12 Responsible Consumption & Production)
3	Speaking & Listening Practice Writing Strategies	Chapter 9 Writing Process (1)
4	Speaking & Listening Practice	Chapter 9 + Chapter 10 Is a World without Plastic Possible? (Goal 12)
5	Speaking & Listening Practice Writing Strategies	Chapter 10 Writing Process (2)
6	Speaking & Listening Practice	Chapter 11 How Can We Embrace Diversity in Society? (Goal 10 Reduced Inequalities)
7	Speaking & Listening Practice Guided Writing	Chapter 11 指定されたテーマと様式による長めのワンパラグラフの作文
8	Speaking & Listening Practice	Chapter 12 What Kind of Energy Is Affordable and Clean? (Goal 7 Affordable and Clean Energy)

9	Speaking & Listening Practice Writing Strategies	Chapter 12 パラグラフからエッセイへの展開の仕方を学ぶ
10	Speaking & Listening Practice	Chapter 13 What is Behind the Fashion Industry? (Goal 12)
11	Speaking & Listening Practice	Chapter 13 + Chapter 14 Why Should We Protect Endangered Species? (Goal 14 Life Below Water & 15 Life on Land)
12	Speaking & Listening Practice Writing Skills	Chapter 14 + Chapter 15 Will Tourism Break Down Cultural and Historical Barriers? Essay Writing: Introduction of the writing style and Thesis Statement
13	Speaking & Listening Practice Writing Skills	Chapter 15 Review Test: Listening Essay Writing: Concluding Paragraph の書き方
14	Guided Writing	Outline Paragraph をエッセイに展開する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。春学期同様、Warm-up, Vocabulary & Reading は事前に目を通し、テキストのタスクがスムーズに行えるようにしておく。その他、ポイントの復習や返却された課題の見直しなどを主体的に行うだけでなく、Writing やペア／グループワークのための準備及び指定された箇所の予習を行う。テキストの音声を予習、復習に活用する。

【テキスト（教科書）】

吉原 令子ほか *SDGs × Discussion* (2022 金星堂)

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

<成績評価の方法>

- ・学期の前半と期末の2回、まとめた内容の英語の文章（前半に長めのパラグラフ、期末にエッセイ）を書いてもらいます。
- ・ほぼ毎週、Listening 演習を行い、期末に Review Test を実施。
- ・その他、授業内で行う様々な演習や出された課題への取り組みも授業への貢献度として評価します。

<成績評価基準・評価の配分等>

- ・学期前半と期末の Guided Writing と授業内の Writing 関連のタスクは到達目標の(1)(2)に対応し、学習したことがしっかりと身につけているかどうか、自分の考えを正確かつわかりやすい英語で表現し、論理的かつ説得力のある形で述べられているかどうかを見ます。
- ・Listening 演習は到達目標の(3)に対応し、勘頼みではなく英語の流れに沿って内容が理解出来ているかどうかを見ます。
- ・上記のほか、到達目標の(1)～(3)に対応して授業への貢献度などを加味し、総合的に判断して最終的な評価を決定します。ただし、欠席が4回以上となった者は原則として単位修得の資格を失います。また、欠席、遅刻とも3回目から減点の対象となります。

配分は以下の通りです。

Guided Writing 2回(50%)、Listening 演習 (Review Test を含む) (30%)、平常点 (授業内の様々なタスクの出来具合、その他授業への貢献度など) (20%)

【学生の意見等からの気づき】

ペア／グループワークなど、クラスメートとの意見交換の時間を少しでも多く確保するようにしたいと思います。また、英文ライティングについては、より丁寧に小さな演習を重ねることで基礎をしっかり和固め、2回の作文に取り組みやすくします。

【Outline (in English)】

Students will learn the basics of essay writing as well as the writing process, acquire ways to generate ideas and be required to write, following the instructions, one longer paragraph, and an essay or part of a research paper which is related to the topic they are interested in. Also, students will be given some opportunities to enhance their listening skill in one way or another. The three goals defined at the beginning of the spring semester will be, in somewhat updated forms, further pursued. Again, before/after each class meeting, students will be expected to spend at least one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Guided Writing 50%, listening tasks 30%, and other assignments & in-class contribution 20%.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2 - I

2017年度以降入学者

遠藤 郁子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常生活や現代社会のさまざまなトピックについての自分の知識、経験、意見を、レベルに応じて口頭および文章で効果的に表現する力を養います。論理的な構成のパラグラフを書く練習を行い、最終的には複数のパラグラフから成る短いレポートを書けることを目指します。また関心の高いトピックについて、レベルに応じてプレゼンテーションやスピーチ、ディスカッションなどを行う練習をします。「聴く力」の育成も、授業の一環として行います。

【到達目標】

この授業は以下の8つを到達目標とします：

1. 日常生活や現代社会のさまざまなトピックについて、自分の知識、経験、意見を効果的に口頭で表現することができる
2. 日常生活や現代社会のさまざまなトピックについて、自分の知識、経験、意見を効果的に文章で表現することができる
3. プレゼンテーション、スピーチ、ディスカッションなどを効果的に行う
4. 効果的に、英語を聞き取り、意味をつかむ力を養う
5. パラグラフの構造（topic sentence, supporting sentence, concluding sentence など）に留意し、論理的構成をもつパラグラフを書く力を身につける
6. 複数のパラグラフからなる短いレポートを書く力を身につける
7. 英語辞書の効果的な使い方を身につける
8. 自分にあった継続可能な英語の学習方法を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

以下の3つの活動を中心に毎回の授業を行います。

- ①スピーキングに重点を置いたテキストを用いた英語表現の習得と会話の練習（リスニングの練習を含む）
- ②自分の知識、経験、意見を書く練習（小エッセイを複数回提出。提出されたエッセイは添削・コメントして返却します）
- ③学期後半に授業内で行うプレゼンテーション大会のための準備
いずれも講師の指示した予習・準備をしていることを前提に授業を進めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・授業方針・内容の説明 ・英語でのE-Mailの書き方を学ぶ
2	テキストUnit1-1・2 プレゼンのトピック を考える①	・テキストを用いた英語表現の 習得と会話の練習 ・プレゼンテーション大会の ための準備 ・英語学習のためのウェブサイ トやアプリケーションの紹介
3	テキストUnit1-3・4 プレゼンのトピック を考える②	・テキストを用いた英語表現の 習得と会話の練習 ・プレゼンテーション大会の ための準備 ・英語学習のためのウェブサイ トやアプリケーションの紹介

4	テキストUnit1-5 プレゼンの構成を考 える①	・テキストを用いた英語表現の 習得と会話の練習 ・プレゼンテーション大会のた めの準備 ・英語学習のためのウェブサイ トやアプリケーションの紹介
5	テキストUnit2-1・2 プレゼンの構成を考 える②	・テキストを用いた英語表現の 習得と会話の練習 ・プレゼンテーション大会のた めの準備 ・英語学習のためのウェブサイ トやアプリケーションの紹介
6	テキストUnit2-3・4 プレゼンの台本を書 く①	・テキストを用いた英語表現の 習得と会話の練習 ・プレゼンテーション大会のた めの準備 ・英語学習のためのウェブサイ トやアプリケーションの紹介
7	テキストUnit2-5 プレゼンの台本を書 く②	・テキストを用いた英語表現の 習得と会話の練習 ・プレゼンテーション大会のた めの準備 ・英語学習のためのウェブサイ トやアプリケーションの紹介
8	中間テスト	試験の実施、解説、復習
9	テキストUnit3-1・2 プレゼンのビジュア ル・エイドを作る①	・テキストを用いた英語表現の 習得と会話の練習 ・プレゼンテーション大会のた めの準備 ・英語学習のためのウェブサイ トやアプリケーションの紹介
10	テキストUnit3-3・4 プレゼンのビジュア ル・エイドを作る②	・テキストを用いた英語表現の 習得と会話の練習 ・プレゼンテーション大会のた めの準備 ・英語学習のためのウェブサイ トやアプリケーションの紹介
11	テキストUnit3-5 プレゼンの練習をす る①	・テキストを用いた英語表現の 習得と会話の練習 ・プレゼンテーション大会のた めの準備 ・英語学習のためのウェブサイ トやアプリケーションの紹介
12	テキストUnit3-5 プレゼンの練習をす る②	・テキストを用いた英語表現の 習得と会話の練習 ・プレゼンテーション大会のた めの準備 ・英語学習のためのウェブサイ トやアプリケーションの紹介
13	プレゼンテーション ①	プレゼンテーションを行い、互 いにフィードバックをする
14	プレゼンテーション ②	プレゼンテーションを行い、互 いにフィードバックをする

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Evolve Level 3 Student's Book with Digital Pack A (ISBN: 9781009231831; JPY 3,400+税)

*テキストに付属のオンラインワークブックを用いるので、中古ではなく必ず学校で新品のテキストを購入してください。中古のテキストは返品していただく可能性があります。

【参考書】

英語学習ウェブサイトやアプリケーションなど、授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への貢献(グループ/ペアワークへの参加) 10%、課題への取り組み 20%、中間試験 35%、プレゼンテーション 35%で評価します。
欠席回数が4回以上で単位取得は不可となります。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【学生が準備すべき機器他】

ノートパソコンやタブレット、スマートフォンを持参してもらいます。

【Outline (in English)】

・ Course Outline and Learning Objectives

Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in the written form. Drawing attention to the basic paragraph structure e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence, students will be required to learn how to write a logically organized paragraph, and then to write a short essay with multiple paragraphs.

Students will learn how to effectively participate in and facilitate discussions and/or give presentations and speeches, depending on their English levels. The course will also help students acquire effective listening skills.

・ Learning Activities Outside of Classroom

The following three activities will be the focus of each class, and students will need to prepare for them.

- 1) English expression and conversation practice using texts with an emphasis on speaking (including listening practice)
- 2) Practice writing about your own knowledge, experiences, and opinions (multiple submissions of small essays)
- 3) Preparation for the presentation contest

・ Grading Criteria /Policy

Class contribution (participation in group/pair work): 10%, assignment work: 20%, mid-term exam: 35%, presentation: 35%. If you are absent more than 4 times, you will not be able to receive credit.

LANe100LA (英語 / English language education 100)	
英語 2 - II	2017年度以降入学者
遠藤 郁子	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：月2/Mon.2
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、英語2-Iで学んだことを発展させ、日常生活や現代社会に関するやや難易度の高いトピックについての自分の知識、経験、意見を、口頭および文章で効果的に表現する力を養います。論理的な構成の paragraph を書く練習を行い、最終的には複数の paragraph からなる短いレポートを書けるようにします。また関心の高いトピックについて、プレゼンテーションを行う練習をします。こうした練習を通して「聴く力」を育成することも目的のひとつです。

【到達目標】

この授業は以下の8つを到達目標とします：

1. 日常生活や現代社会のさまざまなトピックについて、自分の知識、経験、意見を効果的に口頭で表現することができる
2. 日常生活や現代社会のさまざまなトピックについて、自分の知識、経験、意見を効果的に文章で表現することができる
3. プレゼンテーション、スピーチ、ディスカッションなどを効果的に行う
4. 効果的に、英語を聞き取り、意味をつかむ力を養う
5. Paragraph の構造 (topic sentence, supporting sentence, concluding sentence など) に留意し、論理的構成をもつ paragraph を書く力を身につける
6. 複数の paragraph からなる短いレポートを書く力を身につける
7. 英語辞書の効果的な使い方を身につける
8. 自分にあった継続可能な英語の学習方法を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

以下の3つの活動を中心に毎回の授業を行います。

- ①スピーキングに重点を置いたテキストを用いた英語表現の習得と会話の練習（リスニングの練習を含む）
- ②自分の知識、経験、意見を書く練習（学期末にレポートを完成させるために小エッセイを複数回提出。提出されたエッセイは添削・コメントして返却します）
- ③授業内で行うプレゼンテーション大会のための準備
いずれも講師の指示した予習・準備をしていることを前提に授業を進めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	テキスト Unit 4-1・2 英語でレポートを書く①	・テキストを用いた英語表現の習得と会話の練習 ・ Thesis Statement
2	テキスト Unit 4-3・4 英語でレポートを書く②	・テキストを用いた英語表現の習得と会話の練習 ・ Thesis Statement
3	テキスト Unit 4-5 英語でレポートを書く③	・テキストを用いた英語表現の習得と会話の練習 ・ Main Point(s)
4	テキスト Unit 5-1・2 英語でレポートを書く④	・テキストを用いた英語表現の習得と会話の練習 ・ Main Point(s)

5	テキスト Unit 5-3 英語でレポートを書く⑤	・テキストを用いた英語表現の習得と会話の練習 ・ Conclusion
6	テキスト Unit 5-4 英語でレポートを書く⑥	・テキストを用いた英語表現の習得と会話の練習 ・ エッセイの体裁を整える
7	テキスト Unit 5-5 英語でレポートを書く⑦	・テキストを用いた英語表現の習得と会話の練習 ・ Peer Review ・ 生成AIの活用法
8	テキスト Unit 6-1・2 英語でレポートを書く⑧	・テキストを用いた英語表現の習得と会話の練習 ・ 生成AIの活用法
9	テキスト Unit 6-3 英語でプレゼンテーションを行う①	・テキストを用いた英語表現の習得と会話の練習 ・ プレゼンテーション大会の準備（プレゼンの構成）
10	テキスト Unit 6-4 英語でプレゼンテーションを行う②	・テキストを用いた英語表現の習得と会話の練習 ・ プレゼンテーション大会の準備（プレゼンの原稿を書く）
11	テキスト Unit 6-5 英語でプレゼンテーションを行う③	・テキストを用いた英語表現の習得と会話の練習 ・ プレゼンテーション大会の準備（プレゼンの資料を準備する）
12	英語でプレゼンテーションを行う④	・テキストを用いた英語表現の習得と会話の練習 ・ プレゼンテーション大会の準備（プレゼンの練習をする）
13	プレゼンテーション大会①	・プレゼンテーションとフィードバック
14	プレゼンテーション大会②	・プレゼンテーションとフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Evolve Level 3 Student's Book with Digital Pack A (ISBN: 9781009231831; JPY 3,400+税)

*テキストに付属のオンラインワークブックを用いるので、中古ではなく必ず学校で新品のテキストを購入してください。中古のテキストは返品していただく可能性があります。

【参考書】

英語学習ウェブサイトやアプリケーションなど、授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への貢献（グループ/ペアワークへの参加）10%、課題への取り組み20%、レポート35%、プレゼンテーション35%で評価します。欠席回数が4回以上で単位取得は不可となります。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【学生が準備すべき機器他】

ノートパソコンやタブレット、スマートフォンを持参してもらいます。

【Outline (in English)】

・ Course Outline and Learning Objectives
Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in the written form. Drawing attention to the basic paragraph structure e.g., topic sentence, supporting sentence, and concluding sentence, students will be required to learn how to write a logically organized paragraph, and then to write a short essay with multiple paragraphs.
Students will learn how to effectively participate in and facilitate discussions and/or give presentations and speeches, depending on their English levels. The course will also help students acquire effective listening skills.
・ Learning Activities Outside of Classroom

The following three activities will be the focus of each class, and students will need to prepare for them.

- 1) English expression and conversation practice using texts with an emphasis on speaking (including listening practice)
- 2) Practice writing about your own knowledge, experiences, and opinions (submit an essay at the end of the semester)
- 3) Preparation for the presentation contest

・ Grading Criteria /Policy

Class contribution (participation in group/pair work): 10%,
assignment work: 20%, essay: 35%, presentation:35%.

If you are absent more than 4 times, you will not be able to receive credit.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2 - I

2017年度以降入学者

鈴木 博雄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学1年次生が英語で書いたり、話したりするのに相応しい日常的な英語を扱うことにより、専門課程に進級したり、社会に出た後も、自らの関心や目的に沿って、英作文や英語スピーキングを行えるようにするための英語を主体的に使えるようにする基礎力を養成する。

【到達目標】

英語の日常基礎語彙に着目しながら、日常的なテーマについて、英語で書いたり、話したりするスキルを獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・本授業は、対面授業を基本にする。
- ・日常的な英語を書いたり、話したりするスキルを演習方式で学習する。
- ・英語の内容についての質疑応答を行い、予習や復習の状況を確認し、個々の応答に対し、口頭で助言、学習方法等についてのフィードバックを与える。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	テキスト Unit 1 前半	Daily lives ①
2	テキスト Unit 1 後半	Daily lives ②
3	テキスト Unit 2 前半	Documents ①
4	テキスト Unit 2 後半	Documents ②
5	テキスト Unit 3 前半	Basic communication ①
6	テキスト Unit 3 後半	Basic communication ②
7	テキスト Unit 4 前半	Travel ①
8	テキスト Unit 4 後半	Travel ②
9	テキスト Unit 5 前半	What's he like? ①
10	テキスト Unit 5 後半	What's he like? ②
11	テキスト Unit 6 前半	What's the difference? ①
12	テキスト Unit 6 後半	What's the difference? ②
13	テキスト Unit 7 前半	How do you do that? ①
14	テキスト Unit 7 後半	How do you do that? ②

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・辞書を活用しながら、テキストを精読し、内容理解を深めておく。不明な点にマークし、質問事項をまとめておく。その他、必要に応じて前時に指示します。

・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

“University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.”

【テキスト（教科書）】

Diane Hawley Nagatomo 著、『Simply Writing New Edition: A Step-by-Step Guide to Good Writing』（金星堂）

ISBN: 978-4-7647-4206-2

【参考書】

適宜、指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（受講姿勢、予習、復習の状況、小テストなど）（60%）、期末試験点（40%）を総合的に判断して評価する。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

- ・日常的なことについて、英語で書いたり、話したりすることの楽しさを味わいながら、大学英語の基礎力の充実を図りたい。
- ・個々の学生の語学力を伸ばす工夫を凝らしたい。

【Outline (in English)】

(1) To obtain the ability to write and speak in ordinary English the difficulty of which is adequate for the freshmen.

(2) By the ability in (1), we mean the basic practical skill of writing and speaking in everyday English which is required when the students go up to juniors and seniors or get out into the world after they graduate.

(3) Students should practice writing and speaking the material in the text preparatorily at home at least 60 minutes outside of class time.

(4) Evaluation will be based on a comprehensive evaluation of the student's normal points (attitude toward class, preparation, review, quizzes, etc.) (60%) and the final examination (40%).

In principle, students who are absent more than 3 times per semester will not be allowed to earn credits.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2 - II

2017年度以降入学者

鈴木 博雄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、大学1年次生が英語で書いたり、話したりするのに相応しい日常的な英語を扱うことにより、専門課程に進級したり、社会に出た後も、自らの関心や目的に沿って、英作文や英語スピーキングを行えるようにするための英語を主体的に使えるようにする基礎力を養成する。

【到達目標】

春学期に養成した学力を踏まえ、英語の日常基礎語彙に着目しながら、日常的なテーマについて、英語で書いたり、話したりするスキルを獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・本授業は、対面授業を基本にする。
- ・日常的な英語を書いたり、話したりするスキルを演習方式で学習する。
- ・英語の内容についての質疑応答を行い、予習や復習の状況を確認し、個々の応答に対し、口頭で助言、学習方法等についてのフィードバックを与える。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 8 前半	What do you think? ①
2	Unit 8 後半	What do you think? ②
3	Unit 9 前半	What are the facts? ①
4	Unit 9 後半	What are the facts? ②
5	Unit 10 前半	What's a paragraph? ①
6	Unit 10 後半	What's a paragraph? ②
7	Unit 11 前半	What's a paragraph? ③
8	Unit 11 後半	What's a paragraph? ④
9	Unit 12 前半	Persuasive paragraphs ①
10	Unit 12 後半	Persuasive paragraphs ②
11	Unit 13 前半	The five-paragraph essay ①
12	Unit 13 後半	The five-paragraph essay ②
13	Unit 14 前半	The five-paragraph essay ③
14	Unit 14 後半	The five-paragraph essay ④

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・辞書を活用しながら、テキストを精読し、内容理解を深めておく。不明な点にマークし、質問事項をまとめておく。その他、必要に応じて前時に指示します。
 - ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
- “University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.”

【テキスト（教科書）】

Diane Hawley Nagatomo 著、『Simply Writing New Edition: A Step-by-Step Guide to Good Writing』（金星堂）
ISBN: 978-4-7647-4206-2

【参考書】

適宜、指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（受講姿勢、予習、復習の状況、小テストなど）（60%）、期末試験点（40%）を総合的に判断して評価する。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

- ・日常的な英語で、書いたり、話したりすることの楽しさを味わいながら、大学英語の基礎力の充実に図りたい。
- ・個々の学生の語学力を伸ばす工夫を凝らしたい。

【Outline (in English)】

- (1) To obtain the ability to write and speak in ordinary English the difficulty of which is adequate for the freshmen.
- (2) By the ability in (1), we mean the basic practical skill of writing and speaking in everyday English which is required when the students go up to juniors and seniors or get out into the world after they graduate.
- (3) Students should practice writing and speaking the material in the text preparatorily at home at least 60 minutes outside of class time.
- (4) Evaluation will be based on a comprehensive evaluation of the student's normal points (attitude toward class, preparation, review, quizzes, etc.) (60%) and the final examination (40%). In principle, students who are absent more than 3 times per semester will not be allowed to earn credits.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2 - I

2017年度以降入学者

川野 芽生

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語を用いて自分の考えを表現し、効果的に情報を発信できるようになることを目指す。一年間かけて、論理的なパラグラフを正確な英語で書けるようになるために、今学期は基礎的な英文法の復習を行い、簡単な英文を書く練習を積み重ねる。

【到達目標】

- ・文法的に正確な英文を書けるようになる。
- ・英語を聞き取り、意味を掴むことができるようになる。
- ・文法力を向上させる。
- ・語彙力を向上させる。
- ・論理的な思考力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基礎的な英文法の解説を行い、簡単なリスニングと和文英訳に取り組む。適宜小テストなどを実施する。

授業は対面で行う。毎回リアクションペーパーを課し、授業時間内にフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 1	Be動詞、普通動詞
2	Unit 2	進行形、未来形、命令形
3	Unit 3	完了形、受動態、冠詞
4	Unit 4、小テスト	助動詞、接続詞
5	Unit 5	疑問詞
6	Unit 6	分詞、5文型、知覚動詞、使役動詞
7	Unit 7	代名詞、前置詞
8	Unit 8、小テスト	関係詞、asとthat
9	Unit 9	不定詞、動名詞
10	Unit 10	形容詞、副詞、数と量、比較級、最上級
11	Unit 11	仮定法、不定代名詞、再帰代名詞
12	Unit 12	both, neither, eitherの使い分け、復習
13	小テスト	小テスト
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。その回で扱うUnitの問題を事前に解いてくること。また、前回の復習をしっかりと行うこと。

【テキスト（教科書）】

高橋美津子『実践！ 使って身につく基礎英文法/Building Solid English Grammar for Practical Use』（朝日出版社、2022年）、1760円

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点およびリアクションペーパー 15%

小テスト 15% × 3

期末試験 40%

4回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度を細やかに確認し、基礎的な文法事項を身に付けさせる。

【Outline (in English)】

In order to develop the abilities to write English paragraphs and to express their opinions in English, this class focus on reviewing English grammar and practicing on writing short sentences.

Before each class meeting, students will be expected to spend at least an hour to read the relevant unit of the text and work on the questions.

Final grade will be calculated according to the following process: term-end examination (40%), quiz (15%×3), and in-class contribution (15%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

英語 2 - II

2017年度以降入学者

川野 芽生

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語を用いて自分の考えを表現し、効果的に情報を発信できるようになることを目指す。正確な英文を書けるようになる。複数のパラグラフからなる論理的なエッセイを書けるようになる。

【到達目標】

- ・複数のパラグラフからなる短い英文エッセイを書けるようになる。
- ・文法力を向上させる。
- ・語彙力を向上させる。
- ・論理的な思考力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

英文のパラグラフの構造や種類について学習し、演習問題を通して実際にパラグラフを書くことに取り組む。
毎回Writingの課題とリアクションペーパーを課す。フィードバックは授業時間内に行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lesson 1	英文エッセイの書き方①、原子力エネルギー
2	Lesson 2	英文エッセイの書き方②、動物の権利
3	Lesson 3	教育
4	Lesson 4	ソーシャルネットワーク
5	Lesson 5	英語教育
6	Lesson 6	大学教育
7	Lesson 7	政治
8	Lesson 8	環境問題
9	Lesson 9	AI社会
10	Lesson 10	犯罪
11	Lesson 11	平和と戦争
12	Lesson 12	働き方改革
13	Lesson 13	高齢化と少子化
14	期末試験	各自エッセイを書いて提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
各Unitの議題について、自分の意見を考えてくこと。授業後は、受けたフィードバックを踏まえ、自分が書いたエッセイをさらにブラッシュアップすること。

【テキスト（教科書）】

石谷由美子『トピック別エッセイの書き方〔改訂版〕』（南雲堂、2024年）、2420円

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点10%

提出物 5%×12

期末試験30%

4回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

学生の参加を促し、集中しやすいように心がける。

学生のライティングへの赤入れをもっと頻繁に行う、修正の過程を見せるなどして、英作文をやり方をより具体的に伝える。

【Outline (in English)】

This class aims to develop the abilities to write English essays and to express their opinions in English.

After each class meeting, students will be expected to spend at least an hour to improve their own essays.

Final grade will be calculated according to the following process: term-end report (30%), assignment (5%×12) and in-class contribution (10%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English R&W I 2017年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The goal of this course is to develop students' reading and writing skills. This class will help students to prepare for academic study, to take English reading exams such as TOEIC and IELTS. Furthermore, it will help students to get ready for the workplace of tomorrow.

【到達目標】

Students will study and practise a number of valuable academic reading and writing skills including, skimming, scanning, vocabulary building, note-taking, identifying main points, summarizing, gathering ideas, researching, outlining, organising ideas logically and writing and revising drafts. They will read and write a variety of authentic texts such as articles, essays, and stories. Students will develop their ability to accurately understand authentic texts and think critically about them. Students will also develop their ability to express their opinions, exchange knowledge and experiences in a clear and attractive way in the written form. Additionally, students will give critical feedback to classmates on their writing and receive useful feedback in return. Students will practise self-editing and peer editing as important methods to improve their work.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

Active participation is necessary. Students will need to prepare for class well, so that we can explore each topic in depth. In class, we will exchange opinions, plan, revise and comment on each other's work in pairs and small groups. Two or three writing tasks will be required. Students will need to keep a portfolio/record of their writing tasks online using Google Classroom. Feedback will be given online and in the class as necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Unit 1	Orientation.	An explanation of the class requirements. We will get to know each other. Begin unit 1:
Genius: Nature or Nurture	Getting to to know you. Start unit 1.?	Discussion and vocabulary.
Unit 1	Reading 1: A Genius Explains.	Inference - understanding assumptions. Note-taking - marking important information. Distinguishing voice in quotations. Grammar - Past perfect.

Unit 1	Reading 2: 10,000 Hours to Mastery.	Review - Identifying and correcting sentence fragments. Video - Child prodigies. Writing - A summary paragraph. Writing - A report on a genius. Exchange texts and edit,
Unit 2	Reading 1: A Life Facing of Twists and Turns: The Story of Frank McCourt.	Inferring the meaning of idioms. Taking notes using questions. Recognizing positive redundancy.
Unit 2	Reading 2: Marla Runyan Has Never Lost Sight of her goals.	Gerunds and infinitives. Choosing appropriate supporting sentences.
Unit 2	Write a biographical paragraph.	Exchange texts and edit, Video - A girl with autism. Plan and write a biographical essay on a famous person who has overcome an obstacle.
Midterm Review & Quiz	Midterm review.	Review of unit 1 and 2 Vocabulary quiz.
Unit 3	Reading 1: Genetic Testing and Medical Decisions.	Inferring degree of support. Taking notes on cause and effect using a graphic organizer. Organizing event in a time line.
Unit 3	Reading 2: Norman Cousin's Laughter Therapy.	Past unreal conditionals. Writing introduction and hooks. Preparing to write an opinion essay.
Unit 3	Video: Sleep deprivation and health issues.	Unit review. A written presentation on genetic testing.
Unit 4	Reading 1: Instinct or Intellect	Inferring the use of Hedging. Taking notes with outlining. Adjective clauses.
Unit 4	Reading 2: How Smart are Animals?	Paraphrasing. A summary in journalistic style. Video: Talking to animals.
Unit 4	Write a research summary on a famous animal.	Plan. Outline Draft. Write. Self edit. Exchange. Peer review.
Semester Review	Class review.	Portfolio review and discussion.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Homework will include reading assignments, review exercises, vocabulary exercises, writing drafts, self-editing and revising drafts, as well as preparation tasks for class speaking activities. Students will have homework after every class.

【テキスト（教科書）】

Northstar 4 Reading and Writing (5th Edition) Student Book with app & resources by Andrew K. English and Laura Monahan English (Pearson)

【参考書】

An English-English dictionary.

【成績評価の方法と基準】

Class participation and homework 20%

Writing assignments(portfolio of all drafts)40%

Vocabulary quizzes 20%

Midterm and final exams 20%

*In principle, students can be absent a maximum of 3 times to receive credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

Students wanted more writing in class.

【学生が準備すべき機器他】

An English-English dictionary.

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

Please check Google Classroom for all class information, homework, assignments and so on. You will get the information on how to do this in the first class.

【その他の重要事項】

The above may change according to the interests and abilities of the class.

【Outline (in English)】

In this class, students will read and write several kinds of text. In addition, they will study lots of useful skills that will make reading and writing easier, faster and more effective.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English L&S I 2017年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The goal of this course is to develop students' listening and speaking skills. Students will develop their abilities to listen to a variety of spoken materials (e.g. the news, talks, lectures and interviews). This class will help students to prepare for academic study and to take English listening and speaking exams such as TOEIC and IELTS.

【到達目標】

Students will study and practise a number of valuable speaking and listening skills that can be used in both academic and everyday situations. Students will watch and listen to inspiring and thought-provoking TED Talks podcasts and videos. Students will develop their ability to accurately understand authentic listening texts and think critically about them. They will practise many skills including; vocabulary building, note-taking, identifying main points, summarizing, gathering ideas, researching, outlining, organising ideas logically. Students will use these skills to improve their ability to express their opinions, exchange knowledge and experiences. Students will discuss, prepare short speeches and presentations, role plays and so on. Furthermore, by using materials on various topics regarding politics, society, history, and culture, students will improve their understanding of various aspects of the world.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

Active participation is necessary. Students will need to prepare well for class, so that we can explore each topic in depth, make good progress and enjoy speaking. As a general rule, students are expected to use only English in class. Students will work individually, in pairs and small groups. Feedback will be given in the class and online as necessary. Please come to class ready to participate actively and positively.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Orientation.	Getting to know you.	An explanation of the class requirements. We will get to know each other. Start Unit 1. Necessities.
Unit 1	Unit 1 - Necessities. Less stuff, more happiness	1. Watch TED Talk. Vocabulary - prefixes. Pronunciation - relaxed pronunciation.
Unit 1	Unit 1 - Necessities. Less stuff, more happiness	Presentation skills - speech aims & using props. Presentation performance skill: Using props.

Unit 2	Unit 2 - Image and identity. Who am I? Think again	Dealing with accents. Noting who says what. Listening for details.
Unit 2	Unit 2 - Image and identity. Who am I? Think again	Building an argument. Presentation performance skill: Using humour.
Unit 3	Unit 3 - Harmony. Making peace is a marathon	Discourse markers. Distinguishing facts from opinion.
Unit 3	Unit 3 - Harmony. Making peace is a marathon	Presentation performance skill: Being relatable.
Unit 4	Unit 4 - Challenges. How I beat stage fright	Collaborative listening and note taking. Emotive language in speeches.
Unit 4	Unit 4 - Challenges. How I beat stage fright	Presentation performance skill: Controlling nerves.
Unit 5	Unit 5 - Inspiration. I'm not your inspiration, thank you very much	Understanding examples. Discussing challenging topics.
Unit 5	Unit 5 - Inspiration. I'm not your inspiration, thank you very much	Presentation performance skill: Repeating key ideas..
Unit 6	Unit 6 - Solutions. How to make filthy water drinkable	Listening for signposts. Giving supporting evidence.
Unit 6	Unit 6 - Solutions. How to make filthy water drinkable	Presentation performance skill: Giving a demonstration.
Semester Review	Student presentations	Evaluation. Review and discussion.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Homework will include listening, reading, review exercises and preparation tasks for class speaking activities. Students will have homework after every class. Students will be asked to keep a listening diary of Ted Talks, news, podcasts, drama and other English listening materials that interest them.

【テキスト（教科書）】

Keynote Advanced Students Book. Lewis Lansford, Paul Dummett & Helen Stephenson. (Cengage Learning)

【参考書】

An English-English dictionary.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 30%

Presentations 20%

Quizzes 20%

Listening reports 30%

*In principle, students can be absent a maximum of 3 times to receive academic credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

Students enjoyed the Ted Talks.

【学生が準備すべき機器他】

An English-English dictionary.

Please check Google Classroom for all class information, homework, assignments and so on.

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

【その他の重要事項】

The above may change according to the interests and abilities of the class.

【Outline (in English)】

Students will watch and listen to inspiring and thought-provoking authentic TED Talks. Students will learn about real ideas and actions that are changing the world. Students will get used to English spoken by people from all over the world. Students will improve their ability to handle various types of information and to assess it critically. Students will get better at expressing their own opinions and ideas. Students will learn how to use the simple presentation techniques used by TED speakers. Students will also listen to a variety of other materials chosen by themselves. Students will study lots of useful skills that will make listening to English easier and more effective. Students will listen become more confident, fluent English speakers ready for any situation.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English R&W II 2017年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The goal of this course is to develop students' reading and writing skills. This class will help students to prepare for academic study, to take English reading exams such as TOEIC and IELTS. Furthermore, it will help students to get ready for the workplace of tomorrow.

【到達目標】

Students will study and practise a number of valuable academic reading and writing skills including, skimming, scanning, vocabulary building, note-taking, identifying main points, summarizing, gathering ideas, researching, outlining, organising ideas logically and writing and revising drafts. They will read and write a variety of authentic texts such as articles, essays, and stories. Students will develop their ability to accurately understand authentic texts and think critically about them. Students will also develop their ability to express their opinions, exchange knowledge and experiences in a clear and attractive way in the written form. Additionally, students will give critical feedback to classmates on their writing and receive useful feedback in return. Students will practise self-editing and peer editing as important methods to improve their work.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

Active participation is necessary. Students will need to prepare for class well, so that we can explore each topic in depth. In class, we will exchange opinions, plan, revise and comment on each other's work in pairs and small groups. Two or three writing tasks will be required. Students will need to keep a portfolio/record of their writing tasks online using Google Classroom. Feedback will be given online and in the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Unit 5	Reading 1: Death Too Do Us Part Much of a Good Thing?	Inferring attitudes and feelings.Taking notes with signposts. Using titles and headings to identify main ideas.
Unit 5	Reading 2: Toward Immortality: The Social Burden of Longer Lives	Grammar - simple past, present perfect, and present perfect progressive. Revise - using figurative language.
Unit 5	A descriptive essay.	Video: The long lives of the residents of Acciaroli. Write a report about a part of the world where people live long lives using questions as guides.

6 Making a Difference
Reading 1: Justin Lebo.
Inferring people's reactions. Taking compare and contrast notes with a t-chart. Recognizing persuasive language.

Unit 6
Reading 2: Some Take the Time Gladly
Problems with Mandatory Volunteering.
Grammar: Making concessions. Writing introductions and thesis statements.

Unit 6
A persuasive essay.
Video: Philanthropy. Create a powerpoint presentation or poster about philanthropy in your community.
Review of unit 5 and 6. Vocabulary quiz.

Midterm Review & Quiz
Midterm review.

Unit 7
An Ocean of Problems
Reading 1: Sea Unworthy: A Personal Journey into the Pacific Garbage Patch.
Inferring the author's point of view and possible bias.Taking notes on pros and cons.Creating headings based on main ideas.

Unit 7
Reading 2: Two Proposals to Clean Up Our Oceans of Garbage:
Grammar: Subordinators and transitions. Writing conclusions.

Unit 7
Will Either Work?
A problem-solution essay.
Video: Water conservation in college dormitories. Create a powerpoint or presentation about a solution to an environmental issue with accompanying campaign proposal.

Unit 8
Managing Your Smartphone
Reading 1: Smartphone-Induced Problems in the Twenty-First Century
Inferring an author's appeal to authority.Taking three-column notes to show time sequence.Identifying referents for the pronoun 'it'.
Unit 8
Reading 2: Unplugging Wired Kids: A Vacation from Technology and Social Media
Grammar: Subordinators and prepositional phrases. Using transitions.Video:Video games.

Unit 8
A cause-and-effect essay.
Conduct research and give a powerpoint presentation about the evolution of a technological device.
Semester Review
Class review. Portfolio review and discussion.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Homework will include reading assignments, review exercises, vocabulary exercises, writing drafts, self-editing and revising drafts, as well as preparation tasks for class speaking activities. Students will have homework after every class.

【テキスト（教科書）】

Northstar 4 Reading and Writing (5th Edition) Student Book with app &resources by Andrew K. English and Laura Monahan English (Pearson)

【参考書】

An English-English dictionary.

【成績評価の方法と基準】

Class participation and homework 20%
Writing assignments(portfolio of all drafts)40%
Vocabulary quizzes 20%

Midterm and final exams 20%

*In principle, students can be absent a maximum of 3 times to receive credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

More writing time in class.

【学生が準備すべき機器他】

An English-English dictionary.

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

Please check Google Classroom for all class information, homework, assignments and so on. You will get the information on how to do this in the first class.

【その他の重要事項】

The above may change according to the interests and abilities of the class.

【Outline (in English)】

In this class, students will read and write several kinds of text. In addition, they will study lots of useful skills that will make reading and writing easier, faster and more effective.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English L&S II 2017年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The goal of this course is to develop students' listening and speaking skills. Students will develop their abilities to listen to a variety of spoken materials (e.g. the news, talks, lectures and interviews). This class will help students to prepare for academic study and to take English listening exams such as TOEIC and IELTS.

【到達目標】

Students will study and practise a number of valuable speaking and listening skills that can be used in both academic and everyday situations. Students will watch and listen to inspiring and thought-provoking TED Talks podcasts and videos. Students will develop their ability to accurately understand authentic listening texts and think critically about them. They will practise many skills including; vocabulary building, note-taking, identifying main points, summarizing, gathering ideas, researching, outlining, organising ideas logically. Students will use these skills to improve their ability to express their opinions, exchange knowledge and experiences. Students will discuss, prepare short speeches and presentations, role plays and so on. Furthermore, by using materials on various topics regarding politics, society, history, and culture, students will improve their understanding of various aspects of the world.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

Active participation is necessary. Students will need to prepare well for class, so that we can explore each topic in depth, make good progress and enjoy speaking. As a general rule, students are expected to use only English in class. Students will work individually, in pairs and small groups. Feedback will be given in the class and online as necessary. Please come to class ready to participate actively and positively.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Unit 7	Unit 7 - Imagination. Taking imagination seriously.	Inferring meaning from context.
Unit 7	Unit 7 - Imagination. Taking imagination seriously.	Reading between the lines. Presentation performance skill: Being authentic.
Unit 8	Unit 8 - Working together. Build a tower, build a team.	Understanding contrastive stress. Supporting the main idea.
Unit 8	Unit 8 - Working together. Build a tower, build a team.	Presentation performance skill: Using visuals.

Unit 9	Unit 9 - Stress and relaxation. All it takes is ten mindful minutes.	Understanding mid-sentence changes in direction. Techniques for entertaining your audience.
Unit 9	Unit 9 - Stress and relaxation. All it takes is ten mindful minutes.	Presentation performance skill: Thinking about your audience.
Unit 10	Unit 10 - Risk. Protecting twitter users (sometimes from themselves).	Reviewing note-taking. Noticing analogies.
Unit 10	Unit 10 - Risk. Protecting twitter users (sometimes from themselves).	Presentation performance skill: Good pace and emphasis.
Unit 11	Unit 11 - Vision. How to build with clay ... and community.	Dealing with different stress patterns. Valuing different cultures.
Unit 11	Unit 11 - Vision. How to build with clay ... and community.	Presentation performance skill: Varying your tone of voice.
Unit 12	Unit 12 - The future. Image recognition that triggers augmented reality.	Thinking about the speaker's motivation.
Unit 12	Unit 12 - The future. Image recognition that triggers augmented reality.	Presentation performance skill: Being concise.
Semester Test	Student presentations.	Presenting research. Evaluation. Review and discussion.
Semester Review	Presenting research. Class review.	Evaluation. Review and discussion.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Homework will include listening, reading, review exercises and preparation tasks for class speaking activities. Students will have homework after every class. Students will be asked to keep a listening diary of Ted Talks, news, podcasts, drama and other English listening materials that interest them.

【テキスト（教科書）】

Keynote Advanced Students Book. Lewis Lansford, Paul Dummett & Helen Stephenson. (Cengage Learning)

【参考書】

An English-English dictionary.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 30%
Presentations 20%
Quizzes 20%
Listening reports 30%

*In principle, students can be absent a maximum of 3 times to receive academic credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

Students wanted to do less homework.

【学生が準備すべき機器他】

An English-English dictionary.
Please check Google Classroom for all class information, homework, assignments and so on. You will get the information on how to do this in the first class.

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

【その他の重要事項】

The above may change according to the interests and abilities of the class.

【Outline (in English)】

Students will watch and listen to inspiring and thought-provoking authentic TED Talks. Students will learn about real ideas and actions that are changing the world. Students will get used to English spoken by people from all over the world. Students will improve their ability to handle various types of information and to assess it critically. Students will get better at expressing their own opinions and ideas. Students will learn how to use the simple presentation techniques used by TED speakers. Students will also listen to a variety of other materials chosen by themselves. Students will study lots of useful skills that will make listening to English easier and more effective. Students will listen become more confident, fluent English speakers ready for any situation.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English R&W I 2017年度以降入学者

ERIC J RITTER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Read a variety of articles including newspapers and magazines and identify the topic, main idea and support reasons and examples. Then practice writing about those articles. Learn how to skim and scan articles for the main idea and supporting details. Improve writing skills by writing summaries and opinion essays about the readings.

【到達目標】

You will read 6 articles and write 6 short essays about them to improve your reading and writing skills. You will also learn about different types of writing such as descriptive, analytical and persuasive. You will also learn new vocabulary.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

This is an in person class. Writing will be submitted on Google classroom and feedback will be provided online and in class. Readings should be read at home and students will have group discussion about them.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Handout of article 1 about USA. Discussion about it. Prepare writing outline.
2	Writing review	Teacher will review students writing. Homework: writing 1 descriptive style.
3	Reading	Discuss article 2 about China and prepare outline for writing 2. Writing 1 due
4	Writing review	Teacher will review students writing. Homework: writing 2 analytical style.
5	Reading	Discuss article 3 about India and prepare outline for writing 3. Writing 2 due
6	Writing review	Teacher will review students writing. Homework: writing 3 opinion style.
7	Reading	Discuss article 3 and prepare outline for writing 4. Writing 3 due
8	Mid-term exam	none
9	Exam review	Also review writing 4.

10	Reading	Discuss article 4 about Thailand and prepare outline for writing 5 comparative style.
11	Writing review	Teacher will review students writing. Homework: reading article 5 and summarize in writing 6.
12	Student presentation	Student present their summary of article 5 in 1 minutes and critique each other. Homework: read article 6
13	Discussion	Discuss article 6. Homework: study for final exam.
14	Final exam	review and return final writing assignment

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Please read each article before class and complete the reading comprehension quiz or writing assignment. Please also revise your writing assignment to correct the mistakes after it is reviewed. You should support your writing with additional research regarding the topic from the internet.

【テキスト（教科書）】

None required. Articles will be provided online.

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Writing 75%

Participation 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Feedback will be given in class and via Google classroom.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

Students need to have a smartphone, ipad or pc. They also need to be familiar with Hoppii and Google classroom.

【その他の重要事項】

None

【Outline (in English)】

See above

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English L&S I 2017年度以降入学者

ERIC J RITTER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Listen to TED Talks and investigate the power of ideas that are changing the world. Think critically about those ideas and talk about about your own opinions and experiences with classmates.

【到達目標】

You will practice speaking and listening about the life-changing ideas in the TED Talks. You will make presentations and develop your opinions. You will improve your ability to handle various types of information and to assess it critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

This is an in person class. Learn to give give opinions based on reading and listening to Ted Talks. Feedback will be given during class and on Google classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Speaking	Pair &Group discussion. Homework: watch video
2	Speaking	Pair &Group discussion making an impact. Homework: watch video
3	Speaking	Pair &Group discussion about volunteering. Homework: watch video
4	Speaking	Pair &Group discussion about touching lives. Homework: watch video
5	Speaking	Pair &Group discussion about trends. Homework: watch video
6	Speaking	Pair &Group discussion about trends around us. Homework: watch video
7	Speaking	Pair &Group discussion about technology trends. Homework: study for mid-term
8	Mid-term exam	Feedback
9	Speaking	Pair &Group discussion about trends around us. Homework: watch video
10	Speaking	Pair &Group discussion about starting a movement. Homework: watch video
11	Speaking	Pair &Group discussion about improving lives. Homework: watch video

12	Speaking	Pair &Group discussion about health. Homework: watch video
13	Speaking	Pair &Group discussion about tech healthcare. Homework: prepare for final exam
14	Final exam	Feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Please read the textbook homework assignments before the class and answer the questions. The homework assignments are important to better participate in the in class group discussion.

【テキスト（教科書）】

Paul Dummet. Keynote 3. National Geographic/Cengage Learning

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

75%exams and quizzes

25%effort &class participation

In principle, no more than 3 absences allowed per term.

Feedback will be given in class and via Google classroom.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

Students need to have a smartphone, ipad or pc and a headset to participate in the Zoom classes at home and in class. They also need to be familiar with Zoom, Hoppii and Google classroom.

【その他の重要事項】

None

【None】

none

【1】

none

【2】

none

【3】

none

【4】

none

【Outline (in English)】

You will watch and listen to 6 inspiring TED Talks. We will look at topics from various angles while building vocabulary and knowledge. You will work in pairs and groups and have many opportunities to communicate. You will make individual and group presentations in class. You will also practice academic skills such as note-taking, summarizing, gathering ideas, researching, organizing ideas logically and giving critical feedback.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English R&W II 2017年度以降入学者

ERIC J RITTER

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Read a variety of articles and learn to identify the topic sentence, main idea and supporting reasons. Then practice academic writing using the information from the articles. Readings should be read before class and students will have group discussion about them in class. Writing will be submitted on Google classroom and feedback will be provided online and in class

【到達目標】

To improve reading and writing skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

Reading at home and group discussion in class. Feedback will be given during class and on Google classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction and reading	Reading and group discussion. Homework: writing 1
2	Writing review	Teacher will review writing. Homework: read article 2 about Korea
3	Reading	Discuss article 2 and prepare outline for writing 2. Homework: do writing 2.
4	Writing review	Teacher will review writing. Homework: read article 3 about Taiwan
5	Reading	Discuss article 3 and prepare outline for writing 3.
6	Writing review	Teacher will review writing. Homework: read article 4 about Indonesia
7	Reading	Discuss article 4 and prepare outline for writing 4
8	Writing review	Teacher will review writing. Homework: read article 5 about Bangladesh
9	Reading	Discuss article 5 and prepare outline for writing 5
10	Writing review	Teacher will review writing. Homework: read article 6 about Malaysia.
11	Reading	Discuss article 6 and prepare outline for writing 6
12	Writing review	Teacher will review writing. Homework: submit final homework.
13	Review	Homework: study for final.
14	Final exam	feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Please read each article before class and complete the reading comprehension quiz or writing assignment. Please also revise your writing assignment to correct the mistakes after it is reviewed. You should support your writing with additional research regarding the topic from the internet.

【テキスト（教科書）】

Handouts

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

50%writing

25%reading quizzes

25%class participation

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Feedback will be given in class and via Google classroom.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

Computer/internet access

【その他の重要事項】

None

【Outline (in English)】

See above

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English L&S II 2017年度以降入学者

ERIC J RITTER

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Listen to TED Talks and investigate the power of ideas that are changing the world. Think critically about those ideas and talk about your own opinions and experiences with classmates. You will practice speaking and listening about the life-changing ideas in the TED Talks. You will make presentations and develop your opinions. You will improve your ability to handle various types of information and to assess it critically.

【到達目標】

Learn to give opinions based on reading and listening to Ted Talks.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

You will watch and listen to 6 inspiring TED Talks. We will look at topics from various angles while building vocabulary and knowledge. You will work in pairs and groups and have many opportunities to communicate. You will make individual and group presentations in class. You will also practice academic skills such as note-taking, summarizing, gathering ideas, researching, organizing ideas logically and giving critical feedback. Feedback will be given during class and on Google classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Speaking	Pair & Group discussion about everyday heroes. Homework: watch video
2	Speaking	Pair & Group discussion about making an impact. Homework: watch video
3	Speaking	Pair & Group discussion about volunteering. Homework: watch video
4	Speaking	Pair & Group discussion about touching lives. Homework: watch video
5	Speaking	Pair & Group discussion about trends. Homework: watch video
6	Speaking	Pair & Group discussion about trends around us. Homework: prepare for mid-term exam
7	Mid-term exam	Feedback Homework: watch video
8	Speaking	Pair & Group discussion about technology trends. Homework: watch video

9	Speaking	Pair & Group discussion about starting a movement. Homework: watch video
10	Speaking	Pair & Group discussion about predicting trends. Homework: watch video
11	Speaking	Pair & Group discussion about proving lives. Homework: watch video
12	Speaking	Pair & Group discussion about health. Homework: watch video
13	Speaking	Pair & Group discussion about tech healthcare. Homework: prepare for final exam
14	Final exam	Feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Please read the textbook homework assignments before the class and answer the questions. The homework assignments are important to better participate in the in class group discussion.

【テキスト（教科書）】

Paul Dummet. Keynote 3. National Geographic/Cengage Learning

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

75% exams and quizzes.

25% class participation.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Feedback will be given in class and via Google classroom.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

Computer and internet access

【その他の重要事項】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

You will watch 6 Ted Talk videos for homework and answer the reading comprehension questions. Then in class you will discuss your ideas with your partners including presentations and some debate.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English R&W I 2017年度以降入学者

コートランド デイビッド スミス

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course, which meets once a week, will focus on developing and practicing reading and writing skills. Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, and delivering presentations.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to write various types of paragraphs and short reports as well as to express themselves on contemporary social and political issues. Students will also learn to communicate accurately and effectively in English and deliver speeches on topics of popular concern.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

Lessons will consist of student presentations and discussions as well as group activities and communication games. English will be used to gather, interpret, and present facts and opinions related to news events and ethical issues covering a variety of subjects, most of which will be chosen by the students themselves. Students will be expected to do about 25 to 35 minutes of homework each week which will involve listening to a recording and completing a written transcription of its content. Occasional writing homework will also be assigned. Assignments will be reviewed during class time, or submitted by email and checked by instructor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction / Overview	Lesson 1 Rural Electrification Part One
2	Introduction / Overview	Lesson 1 Rural Electrification Part Two
3	Basic Presentation Skills	Lesson 2 A Tornado Part One
4	Basic Presentation Skills	Lesson 2 A Tornado Part Two
5	Basic Writing Skills (common mistakes)	Lesson 3 A Big Demonstration
6	Basic Writing Skills (common mistakes)	Lesson 4 A Power Blackout
7	Presentation I / Listening Skills	Lesson 5 An Election Campaign
8	Presentation I / Listening Skills	Lesson 6 A Groundbreaking Ceremony
9	Basic Writing Skills (sentences)	Lesson 7 A Trade Agreement
10	Basic Writing Skills (sentences)	Lesson 8 The Job Market
11	Presentation II.1	Lesson 9 A Joint Venture

12	Presentation II.1	Lesson 10 A Troublesome passenger
13	Topic Sentences / Support 1	Lesson 11 A Bankruptcy
14	Topic Sentences / Support 1	Lesson 12 A Train Derailment

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Keep up on current events by reading a daily newspaper or website. Weekly homework assignments will consist of listening to a recording and completing a transcript of its contents. Students will also be expected to prepare presentations for delivery in class from time to time. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No Textbook. Instructor will provide all materials.

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Grades will be based on class participation(25%), tests(25%), class presentations and written work(50%). Attendance is important for success in this course. In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

If classes are conducted online, Zoom and headset. Students may use assigned classroom for online classes.

【その他の重要事項】

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

N/A

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English L&S I 2017年度以降入学者

コートランド デイビッド スミス

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水2/Wed.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course, which meets once a week, will focus on developing and practicing listening and speaking skills. Most class activities will consist of listening and speaking, grammar drills, and delivering presentations.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to express themselves on contemporary social and political issues. Students will also learn to communicate accurately and effectively in English and deliver speeches on topics of popular concern.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科: DP1

【授業の進め方と方法】

Lessons will consist of student presentations and discussions as well as group activities and communication games. English will be used to gather, interpret, and present facts and opinions related to news events and ethical issues covering a variety of subjects, most of which will be chosen by the students themselves. Students will be expected to do about 25 to 35 minutes of homework each week. Assignments will be reviewed during class time or submitted by email and checked by the instructor.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction / Overview	Holiday xwords
2	Introduction / Overview	Food xwords (1)p4 A B /HW p8 1 A B
3	Food	Sports xwords/HW p11 C
4	Sports	PP matching activity/p6 listening/HW p10 reading A D
5	Countries of the World	Group guessing 1-7/ Countries xwords/HW p10 5 A D
6	Money and Economy	Money and economy xwords/p11 8 C p154 3/HW p17 6 C
7	Travel	Tide xwords P18 1 B C p19 4 A B/HW p21 5 B
8	Shopping	Relative xwords P22 Grammar p23 Reading/ HW p24 3
9	Health	School Subjects xwords P26 6 B C p27 7 A/ HW p28 A D

10	Housework	Education xwords P30 5 D p31 7 A C/HW p34 D
11	Dreams	Cities of the world xwords P36 A B p37 6 A/HW p36 5 C
12	Describing Cities	Detergent xwords P38 1 A 2 B/HW p40 4 C
13	Complaints	Where would you hear these? P41 5 B p42 Grammar, Reading
14	Revise and Check	Revise semester content

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Keep up on current events by reading a daily newspaper or website. Weekly homework assignments will consist of listening to a recording and completing a transcript of its contents. Students will also be expected to prepare presentations for delivery in class from time to time. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Latham-Koenig & C. Oxenden. English File Pre-Intermediate Student Book Fourth Edition. Oxford University Press ISBN:978-0-19-403741-9

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Grades will be based on class participation(25%), tests(25%), class presentations and written work(50%). Attendance is important for success in this course. In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

If classes are conducted online, Zoom and headset. Students may use assigned classroom for online classes.

【その他の重要事項】

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

N/A

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English R&W II 2017年度以降入学者**コートランド デイビッド スミス**

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course, which meets once a week, will focus on developing and practicing reading and writing skills. In the second semester of this course, students will learn to write various types of short essays, participate in discussions, and deliver speeches on academic themes. Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, and delivering presentations.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to write various types of paragraphs and short reports as well as to express themselves on contemporary social and political issues. Students will also learn to communicate accurately and effectively in English and deliver speeches on topics of popular concern.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

Lessons will consist of student presentations and discussions as well as group activities and communication games. English will be used to gather, interpret, and present facts and opinions related to news events and ethical issues covering a variety of subjects, most of which will be chosen by the students themselves. Students will be expected to do about 25 to 35 minutes of homework each week which will involve listening to a recording and completing a written transcription of its content. Occasional writing homework will also be assigned. Assignments will be reviewed during class time or submitted by email to the instructor for evaluation.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction / Overview	Lesson 13 A Border Dispute Part One
2	Introduction / Overview	Lesson 13 A Border Dispute Part Two
3	Writing Skills: Review	Lesson 14 A Cable Car Accident Part One
4	Writing Skills: Review	Lesson 14 A Cable Car Accident Part Two
5	Presentation Skills: Review	Lesson 15 Capital Punishment
6	Presentation Skills: Review	Lesson 16 An International conference
7	Essay Writing: Basic Skills I.1	Lesson 17 A National Census
8	Essay Writing: Basic Skills I.1	Lesson 18 A Forest Fire
9	Academic Presentation I.1	Lesson 19 A Lottery Winner
10	Academic Presentation I.1	Lesson 20 A Prison Uprising

11	Essay Writing: Basic Skills I.2	Lesson 21 An Oil Spill
12	Essay Writing: Basic Skills I.2	Lesson 22 A Communications Satellite
13	Academic Presentation I.2	Lesson 23 The European Union
14	Academic Presentation I.2	Final Presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Keep up on current events by reading a daily newspaper or website. Weekly homework assignments will consist of listening to a recording and completing a transcript of its contents. Students will also be expected to prepare presentations for delivery in class from time to time. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No Textbook. Instructor will provide all materials.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Grades will be based on class participation(25%), tests(25%), class presentations and written work(50%). Attendance is important for success in this course. In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

If classes are conducted online, Zoom and a headset.

【その他の重要事項】

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

N/A

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English L&S II 2017年度以降入学者

コートランド デイビッド スミス

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水2/Wed.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course, which meets once a week, will focus on developing and practicing listening and speaking skills. In the second semester of this course, students will learn to write various types of short essays, participate in discussions, and deliver speeches on academic themes. Most class activities will consist of listening and speaking, grammar drills, and delivering presentations.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to express themselves on contemporary social and political issues. Students will also learn to communicate accurately and effectively in English and deliver speeches on topics of popular concern.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科: DP1

【授業の進め方と方法】

Lessons will consist of student presentations and discussions as well as group activities and communication games. English will be used to gather, interpret, and present facts and opinions related to news events and ethical issues covering a variety of subjects, most of which will be chosen by the students themselves. Students will be expected to do about 25 to 35 minutes of homework each week. Occasional writing homework will also be assigned. Assignments will be reviewed during class time or submitted by email and checked by the instructor.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction / Overview	How was your summer vacation?/HW p45 4 B
2	Meaning of Dreams	Halloween xwords (1) P44 3 p46 5 B p47 7 A/HW p48 1 C D
3	Happiness	Street scene A/B P51 B C D/HW p54 1 B p55 1 C
4	Learning Foreign Languages	Marathon print activity P56-57 6 C D /HW p58 C
5	Telling Stories	Hobbies xwords P59 2 A p60 6 B/HW p60-61 F G
6	Danger	Halloween xwords (2) P62 Grammar, Vocabulary/ HW p66 6 B C
7	Evaluating Risk	Music xwords P65 B C p69 3/HW p70 4 D E

8	Nationalities	Reported speech activity p77 6 A B/HW p76 3 E
9	Inventions	IF matching activity P78 1 A p79 3 G/HW p80 4 A B
10	Describing Differences	Alligator xwords P82 Grammar, Vocabulary/ HW p86 5 B
11	School Subjects	Food xwords (2) P90 4 A B C p91 5 B/ HW p89 3 B C
12	Making Decisions	Christmas xwords P95 2 A Relative xwords/ HW p94 1 C D
13	Reported Speech	P102 Grammar, Vocabulary
14	Review	Revise semester content

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Keep up on current events by reading a daily newspaper or website. Weekly homework assignments will consist of listening to a recording and completing a transcript of its contents. Students will also be expected to prepare presentations for delivery in class from time to time. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Latham-Koenig & C. Oxenden. English File Pre-Intermediate Student Book Fourth Edition. Oxford University Press ISBN:978-0-19-403741-9

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Grades will be based on class participation(25%), tests(25%), class presentations and written work(50%). Attendance is important for success in this course. In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

If classes are conducted online, Zoom and a headset.

【その他の重要事項】

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

N/A

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English R&W I 2017年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The goal of this course is to develop students' reading and writing skills. This class will help students to prepare for academic study, to take English reading exams such as TOEIC and IELTS. Furthermore, it will help students to get ready for the workplace of tomorrow.

【到達目標】

Students will study and practise a number of valuable academic reading and writing skills including, skimming, scanning, vocabulary building, note-taking, identifying main points, summarizing, gathering ideas, researching, outlining, organising ideas logically and writing and revising drafts. They will read and write a variety of authentic texts such as articles, essays, and stories. Students will develop their ability to accurately understand authentic texts and think critically about them. Students will also develop their ability to express their opinions, exchange knowledge and experiences in a clear and attractive way in the written form. Additionally, students will give critical feedback to classmates on their writing and receive useful feedback in return. Students will practise self-editing and peer editing as important methods to improve their work.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

Active participation is necessary. Students will need to prepare for class well, so that we can explore each topic in depth. In class, we will exchange opinions, plan, revise and comment on each other's work in pairs and small groups. Two or three writing tasks will be required. Students will need to keep a portfolio/record of their writing tasks online using Google Classroom. Feedback will be given online and in the class as necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Unit 1	Orientation.	An explanation of the class requirements. We will get to know each other. Begin unit 1:
Genius: Nature or Nurture	Getting to to know you. Start unit 1.?	Discussion and vocabulary.
Unit 1	Reading 1: A Genius Explains.	Inference - understanding assumptions. Note-taking - marking important information. Distinguishing voice in quotations. Grammar - Past perfect.

Unit 1	Reading 2: 10,000 Hours to Mastery.	Review - Identifying and correcting sentence fragments. Video - Child prodigies. Writing - A summary paragraph. Writing - A report on a genius. Exchange texts and edit,
Unit 2	Reading 1: A Life Facing of Twists and Turns: The Story of Frank McCourt.	Inferring the meaning of idioms. Taking notes using questions. Recognizing positive redundancy.
Unit 2	Reading 2: Marla Runyan Has Never Lost Sight of her goals.	Gerunds and infinitives. Choosing appropriate supporting sentences.
Unit 2	Write a biographical paragraph.	Exchange texts and edit, Video - A girl with autism. Plan and write a biographical essay on a famous person who has overcome an obstacle.
Midterm Review & Quiz	Midterm review.	Review of unit 1 and 2 Vocabulary quiz.
Unit 3	Reading 1: Genetic Testing and Medical Decisions.	Inferring degree of support. Taking notes on cause and effect using a graphic organizer. Organizing event in a time line.
Unit 3	Reading 2: Norman Cousin's Laughter Therapy.	Past unreal conditionals. Writing introduction and hooks. Preparing to write an opinion essay.
Unit 3	Video: Sleep deprivation and health issues.	Unit review. A written presentation on genetic testing.
Unit 4	Reading 1: Instinct or Intellect	Inferring the use of Hedging. Taking notes with outlining. Adjective clauses.
Unit 4	Reading 2: How Smart are Animals?	Paraphrasing. A summary in journalistic style. Video: Talking to animals.
Unit 4	Write a research summary on a famous animal.	Plan. Outline Draft. Write. Self edit. Exchange. Peer review.
Semester Review	Class review.	Portfolio review and discussion.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Homework will include reading assignments, review exercises, vocabulary exercises, writing drafts, self-editing and revising drafts, as well as preparation tasks for class speaking activities. Students will have homework after every class.

【テキスト（教科書）】

Northstar 4 Reading and Writing (5th Edition) Student Book with app & resources by Andrew K. English and Laura Monahan English (Pearson)

【参考書】

An English-English dictionary.

【成績評価の方法と基準】

Class participation and homework 20%

Writing assignments(portfolio of all drafts)40%

Vocabulary quizzes 20%

Midterm and final exams 20%

*In principle, students can be absent a maximum of 3 times to receive credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

Students wanted more writing time in class.

【学生が準備すべき機器他】

An English-English dictionary.

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

Please check Google Classroom for all class information, homework, assignments and so on. You will get the information on how to do this in the first class.

【その他の重要事項】

The above may change according to the interests and abilities of the class.

【Outline (in English)】

In this class, students will read and write several kinds of text. In addition, they will study lots of useful skills that will make reading and writing easier, faster and more effective.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English L&S I 2017年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The goal of this course is to develop students' listening and speaking skills. Students will develop their abilities to listen to a variety of spoken materials (e.g. the news, talks, lectures and interviews). This class will help students to prepare for academic study and to take English listening and speaking exams such as TOEIC and IELTS.

【到達目標】

Students will study and practise a number of valuable speaking and listening skills that can be used in both academic and everyday situations. Students will watch and listen to inspiring and thought-provoking TED Talks podcasts and videos. Students will develop their ability to accurately understand authentic listening texts and think critically about them. They will practise many skills including; vocabulary building, note-taking, identifying main points, summarizing, gathering ideas, researching, outlining, organising ideas logically. Students will use these skills to improve their ability to express their opinions, exchange knowledge and experiences. Students will discuss, prepare short speeches and presentations, role plays and so on. Furthermore, by using materials on various topics regarding politics, society, history, and culture, students will improve their understanding of various aspects of the world.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

Active participation is necessary. Students will need to prepare well for class, so that we can explore each topic in depth, make good progress and enjoy speaking. As a general rule, students are expected to use only English in class. Students will work individually, in pairs and small groups. Feedback will be given in the class and online as necessary. Please come to class ready to participate actively and positively.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Orientation.	Getting to know you.	An explanation of the class requirements. We will get to know each other. Start Unit 1. Necessities.
Unit 1	Unit 1 - Necessities. Less stuff, more happiness	1. Watch TED Talk. Vocabulary - prefixes. Pronunciation - relaxed pronunciation.
Unit 1	Unit 1 - Necessities. Less stuff, more happiness	Presentation skills - speech aims & using props. Presentation performance skill: Using props.

Unit 2	Unit 2 - Image and identity. Who am I? Think again	Dealing with accents. Noting who says what. Listening for details.
Unit 2	Unit 2 - Image and identity. Who am I? Think again	Building an argument. Presentation performance skill: Using humour.
Unit 3	Unit 3 - Harmony. Making peace is a marathon	Discourse markers. Distinguishing facts from opinion.
Unit 3	Unit 3 - Harmony. Making peace is a marathon	Presentation performance skill: Being relatable.
Unit 4	Unit 4 - Challenges. How I beat stage fright	Collaborative listening and note taking. Emotive language in speeches.
Unit 4	Unit 4 - Challenges. How I beat stage fright	Presentation performance skill: Controlling nerves.
Unit 5	Unit 5 - Inspiration. I'm not your inspiration, thank you very much	Understanding examples. Discussing challenging topics.
Unit 5	Unit 5 - Inspiration. I'm not your inspiration, thank you very much	Presentation performance skill: Repeating key ideas..
Unit 6	Unit 6 - Solutions. How to make filthy water drinkable	Listening for signposts. Giving supporting evidence.
Unit 6	Unit 6 - Solutions. How to make filthy water drinkable	Presentation performance skill: Giving a demonstration.
Semester Review	Student presentations	Evaluation. Review and discussion.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Homework will include listening, reading, review exercises and preparation tasks for class speaking activities. Students will have homework after every class. Students will be asked to keep a listening diary of Ted Talks, news, podcasts, drama and other English listening materials that interest them.

【テキスト（教科書）】

Keynote Advanced Students Book. Lewis Lansford, Paul Dummett & Helen Stephenson. (Cengage Learning)

【参考書】

An English-English dictionary.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 30%

Presentations 20%

Quizzes 20%

Listening reports 30%

*In principle, students can be absent a maximum of 3 times to receive academic credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

Students enjoyed choosing the Ted Talks for themselves.

【学生が準備すべき機器他】

An English-English dictionary.

Please check Google Classroom for all class information, homework, assignments and so on.

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

【その他の重要事項】

The above may change according to the interests and abilities of the class.

【Outline (in English)】

Students will watch and listen to inspiring and thought-provoking authentic TED Talks. Students will learn about real ideas and actions that are changing the world. Students will get used to English spoken by people from all over the world. Students will improve their ability to handle various types of information and to assess it critically. Students will get better at expressing their own opinions and ideas. Students will learn how to use the simple presentation techniques used by TED speakers. Students will also listen to a variety of other materials chosen by themselves. Students will study lots of useful skills that will make listening to English easier and more effective. Students will listen become more confident, fluent English speakers ready for any situation.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English R&W II 2017年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The goal of this course is to develop students' reading and writing skills. This class will help students to prepare for academic study, to take English reading exams such as TOEIC and IELTS. Furthermore, it will help students to get ready for the workplace of tomorrow.

【到達目標】

Students will study and practise a number of valuable academic reading and writing skills including, skimming, scanning, vocabulary building, note-taking, identifying main points, summarizing, gathering ideas, researching, outlining, organising ideas logically and writing and revising drafts. They will read and write a variety of authentic texts such as articles, essays, and stories. Students will develop their ability to accurately understand authentic texts and think critically about them. Students will also develop their ability to express their opinions, exchange knowledge and experiences in a clear and attractive way in the written form. Additionally, students will give critical feedback to classmates on their writing and receive useful feedback in return. Students will practise self-editing and peer editing as important methods to improve their work.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

Active participation is necessary. Students will need to prepare for class well, so that we can explore each topic in depth. In class, we will exchange opinions, plan, revise and comment on each other's work in pairs and small groups. Two or three writing tasks will be required. Students will need to keep a portfolio/record of their writing tasks online using Google Classroom. Feedback will be given online and in the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Unit 5	Reading 1: Death Too Do Us Part Much of a Good Thing?	Inferring attitudes and feelings.Taking notes with signposts. Using titles and headings to identify main ideas.
Unit 5	Reading 2: Toward Immortality: The Social Burden of Longer Lives	Grammar - simple past, present perfect, and present perfect progressive. Revise - using figurative language.
Unit 5	A descriptive essay.	Video: The long lives of the residents of Acciaroli. Write a report about a part of the world where people live long lives using questions as guides.

6 Making a Difference
Reading 1: Justin Lebo.
Inferring people's reactions. Taking compare and contrast notes with a t-chart. Recognizing persuasive language.

Unit 6
Reading 2: Some Take the Time Gladly
Problems with Mandatory Volunteering.
Grammar: Making concessions. Writing introductions and thesis statements.

Unit 6
A persuasive essay.
Video: Philanthropy. Create a powerpoint presentation or poster about philanthropy in your community.
Review of unit 5 and 6. Vocabulary quiz.

Midterm Review & Quiz
Midterm review.

Unit 7
An Ocean of Problems
Reading 1: Sea Unworthy: A Personal Journey into the Pacific Garbage Patch.
Inferring the author's point of view and possible bias.Taking notes on pros and cons.Creating headings based on main ideas.

Unit 7
Reading 2: Two Proposals to Clean Up Our Oceans of Garbage:
Grammar: Subordinators and transitions. Writing conclusions.

Unit 7
Will Either Work?
A problem-solution essay.
Video: Water conservation in college dormitories. Create a powerpoint or presentation about a solution to an environmental issue with accompanying campaign proposal.

Unit 8
Managing Your Smartphone
Reading 1: Smartphone-Induced Problems in the Twenty-First Century
Inferring an author's appeal to authority.Taking three-column notes to show time sequence.Identifying referents for the pronoun 'it'.
Unit 8
Reading 2: Unplugging Wired Kids: A Vacation from Technology and Social Media
Grammar: Subordinators and prepositional phrases. Using transitions.Video:Video games.

Unit 8
A cause-and-effect essay.
Conduct research and give a powerpoint presentation about the evolution of a technological device.
Semester Review
Class review. Portfolio review and discussion.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Homework will include reading assignments, review exercises, vocabulary exercises, writing drafts, self-editing and revising drafts, as well as preparation tasks for class speaking activities. Students will have homework after every class.

【テキスト（教科書）】

Northstar 4 Reading and Writing (5th Edition) Student Book with app &resources by Andrew K. English and Laura Monahan English (Pearson)

【参考書】

An English-English dictionary.

【成績評価の方法と基準】

Class participation and homework 20%
Writing assignments(portfolio of all drafts)40%
Vocabulary quizzes 20%

Midterm and final exams 20%

*In principle, students can be absent a maximum of 3 times to receive credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

Students enjoyed reading each others work.

【学生が準備すべき機器他】

An English-English dictionary.

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

Please check Google Classroom for all class information, homework, assignments and so on. You will get the information on how to do this in the first class.

【その他の重要事項】

The above may change according to the interests and abilities of the class.

【Outline (in English)】

In this class, students will read and write several kinds of text. In addition, they will study lots of useful skills that will make reading and writing easier, faster and more effective.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English L&S II 2017年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The goal of this course is to develop students' listening and speaking skills. Students will develop their abilities to listen to a variety of spoken materials (e.g. the news, talks, lectures and interviews). This class will help students to prepare for academic study and to take English listening exams such as TOEIC and IELTS.

【到達目標】

Students will study and practise a number of valuable speaking and listening skills that can be used in both academic and everyday situations. Students will watch and listen to inspiring and thought-provoking TED Talks podcasts and videos. Students will develop their ability to accurately understand authentic listening texts and think critically about them. They will practise many skills including; vocabulary building, note-taking, identifying main points, summarizing, gathering ideas, researching, outlining, organising ideas logically. Students will use these skills to improve their ability to express their opinions, exchange knowledge and experiences. Students will discuss, prepare short speeches and presentations, role plays and so on. Furthermore, by using materials on various topics regarding politics, society, history, and culture, students will improve their understanding of various aspects of the world.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

Active participation is necessary. Students will need to prepare well for class, so that we can explore each topic in depth, make good progress and enjoy speaking. As a general rule, students are expected to use only English in class. Students will work individually, in pairs and small groups. Feedback will be given in the class and online as necessary. Please come to class ready to participate actively and positively.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Unit 7	Unit 7 - Imagination. Taking imagination seriously.	Inferring meaning from context.
Unit 7	Unit 7 - Imagination. Taking imagination seriously.	Reading between the lines. Presentation performance skill: Being authentic.
Unit 8	Unit 8 - Working together. Build a tower, build a team.	Understanding contrastive stress. Supporting the main idea.
Unit 8	Unit 8 - Working together. Build a tower, build a team.	Presentation performance skill: Using visuals.

Unit 9	Unit 9 - Stress and relaxation. All it takes is ten mindful minutes.	Understanding mid-sentence changes in direction. Techniques for entertaining your audience.
Unit 9	Unit 9 - Stress and relaxation. All it takes is ten mindful minutes.	Presentation performance skill: Thinking about your audience.
Unit 10	Unit 10 - Risk. Protecting twitter users (sometimes from themselves).	Reviewing note-taking. Noticing analogies.
Unit 10	Unit 10 - Risk. Protecting twitter users (sometimes from themselves).	Presentation performance skill: Good pace and emphasis.
Unit 11	Unit 11 - Vision. How to build with clay ... and community.	Dealing with different stress patterns. Valuing different cultures.
Unit 11	Unit 11 - Vision. How to build with clay ... and community.	Presentation performance skill: Varying your tone of voice.
Unit 12	Unit 12 - The future. Image recognition that triggers augmented reality.	Thinking about the speaker's motivation.
Unit 12	Unit 12 - The future. Image recognition that triggers augmented reality.	Presentation performance skill: Being concise.
Semester Test	Student presentations.	Presenting research. Evaluation. Review and discussion.
Semester Review	Presenting research. Class review.	Evaluation. Review and discussion.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Homework will include listening, reading, review exercises and preparation tasks for class speaking activities. Students will have homework after every class. Students will be asked to keep a listening diary of Ted Talks, news, podcasts, drama and other English listening materials that interest them.

【テキスト（教科書）】

Keynote Advanced Students Book. Lewis Lansford, Paul Dummett & Helen Stephenson. (Cengage Learning)

【参考書】

An English-English dictionary.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 30%
Presentations 20%
Quizzes 20%
Listening reports 30%

*In principle, students can be absent a maximum of 3 times to receive academic credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

Students enjoyed choosing the Ted Talks for themselves.

【学生が準備すべき機器他】

An English-English dictionary.
Please check Google Classroom for all class information, homework, assignments and so on. You will get the information on how to do this in the first class.

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

【その他の重要事項】

The above may change according to the interests and abilities of the class.

【Outline (in English)】

Students will watch and listen to inspiring and thought-provoking authentic TED Talks. Students will learn about real ideas and actions that are changing the world. Students will get used to English spoken by people from all over the world. Students will improve their ability to handle various types of information and to assess it critically. Students will get better at expressing their own opinions and ideas. Students will learn how to use the simple presentation techniques used by TED speakers. Students will also listen to a variety of other materials chosen by themselves. Students will study lots of useful skills that will make listening to English easier and more effective. Students will listen become more confident, fluent English speakers ready for any situation.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English R&W I 2017年度以降入学者

ERIC J RITTER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Read a variety of articles including newspapers and magazines and identify the topic, main idea and support reasons and examples. Then practice writing about those articles. Learn how to skim and scan articles for the main idea and supporting details. Improve writing skills by writing summaries and opinion essays about the readings.

【到達目標】

You will read 6 articles and write 6 short essays about them to improve your reading and writing skills. You will also learn about different types of writing such as descriptive, analytical and persuasive. You will also learn new vocabulary.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

This is an in person class. Writing will be submitted on Google classroom and feedback will be provided online and in class. Readings should be read at home and students will have group discussion about them.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Handout of article 1 about USA. Discussion about it. Prepare writing outline.
2	Writing review	Teacher will review students writing. Homework: writing 1 descriptive style.
3	Reading	Discuss article 2 about China and prepare outline for writing 2. Writing 1 due
4	Writing review	Teacher will review students writing. Homework: writing 2 analytical style.
5	Reading	Discuss article 3 about India and prepare outline for writing 3. Writing 2 due
6	Writing review	Teacher will review students writing. Homework: writing 3 opinion style.
7	Reading	Discuss article 3 and prepare outline for writing 4. Writing 3 due
8	Mid-term exam	none
9	Exam review	Also review writing 4.

10	Reading	Discuss article 4 about Thailand and prepare outline for writing 5 comparative style.
11	Writing review	Teacher will review students writing. Homework: reading article 5 and summarize in writing 6.
12	Student presentation	Student present their summary of article 5 in 1 minutes and critique each other. Homework: read article 6
13	Discussion	Discuss article 6. Homework: study for final exam.
14	Final exam	review and return final writing assignment

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Please read each article before class and complete the reading comprehension quiz or writing assignment. Please also revise your writing assignment to correct the mistakes after it is reviewed. You should support your writing with additional research regarding the topic from the internet.

【テキスト（教科書）】

None required. Articles will be provided online.

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Writing 75%

Participation 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Feedback will be given in class and via Google classroom.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

Students need to have a smartphone, ipad or pc. They also need to be familiar with Hoppii and Google classroom.

【その他の重要事項】

None

【Outline (in English)】

See above

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English L&S I 2017年度以降入学者

ERIC J RITTER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Listen to TED Talks and investigate power ideas that are changing the world. Think critically about those ideas and talk about about your own opinions and experiences with classmates.

【到達目標】

You will practice speaking and listening about the life-changing ideas in the TED Talks. You will make presentations and develop your opinions. You will improve your ability to handle various types of information and to assess it critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

This is an in person class. Learn to give give opinions based on reading and listening to Ted Talks. Feedback will be given during class and on Google classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Speaking	Pair &Group discussion. Homework: watch video
2	Speaking	Pair &Group discussion making an impact. Homework: watch video
3	Speaking	Pair &Group discussion about volunteering. Homework: watch video
4	Speaking	Pair &Group discussion about touching lives. Homework: watch video
5	Speaking	Pair &Group discussion about trends. Homework: watch video
6	Speaking	Pair &Group discussion about trends around us. Homework: watch video
7	Speaking	Pair &Group discussion about technology trends. Homework: study for mid-term
8	Mid-term exam	Feedback
9	Speaking	Pair &Group discussion about trends around us. Homework: watch video
10	Speaking	Pair &Group discussion about starting a movement. Homework: watch video
11	Speaking	Pair &Group discussion about improving lives. Homework: watch video

12	Speaking	Pair &Group discussion about health. Homework: watch video
13	Speaking	Pair &Group discussion about tech healthcare. Homework: prepare for final exam
14	Final exam	Feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Please read the textbook homework assignments before the class and answer the questions. The homework assignments are important to better participate in the in class group discussion.

【テキスト（教科書）】

Paul Dummet. Keynote 3. National Geographic/Cengage Learning

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

75%exams and quizzes

25%effort &class participation

In principle, no more than 3 absences allowed per term.

Feedback will be given in class and via Google classroom.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

Students need to have a smartphone, ipad or pc and a headset to participate in the Zoom classes at home and in class. They also need to be familiar with Zoom, Hoppii and Google classroom.

【その他の重要事項】

None

【None】

none

【1】

none

【2】

none

【3】

none

【4】

none

【Outline (in English)】

You will watch and listen to 6 inspiring TED Talks. We will look at topics from various angles while building vocabulary and knowledge. You will work in pairs and groups and have many opportunities to communicate. You will make individual and group presentations in class. You will also practice academic skills such as note-taking, summarizing, gathering ideas, researching, organizing ideas logically and giving critical feedback.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English R&W II 2017年度以降入学者

ERIC J RITTER

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Read a variety of articles and learn to identify the topic sentence, main idea and supporting reasons. Then practice academic writing using the information from the articles. Readings should be read before class and students will have group discussion about them in class. Writing will be submitted on Google classroom and feedback will be provided online and in class

【到達目標】

To improve reading and writing skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

Reading at home and group discussion in class. Feedback will be given during class and on Google classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction and reading	Reading and group discussion. Homework: writing 1
2	Writing review	Teacher will review writing. Homework: read article 2 about Korea
3	Reading	Discuss article 2 and prepare outline for writing 2. Homework: do writing 2.
4	Writing review	Teacher will review writing. Homework: read article 3 about Taiwan
5	Reading	Discuss article 3 and prepare outline for writing 3.
6	Writing review	Teacher will review writing. Homework: read article 4 about Indonesia
7	Reading	Discuss article 4 and prepare outline for writing 4
8	Writing review	Teacher will review writing. Homework: read article 5 about Bangladesh
9	Reading	Discuss article 5 and prepare outline for writing 5
10	Writing review	Teacher will review writing. Homework: read article 6 about Malaysia.
11	Reading	Discuss article 6 and prepare outline for writing 6
12	Writing review	Teacher will review writing. Homework: submit final homework.
13	Review	Homework: study for final.
14	Final exam	feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Please read each article before class and complete the reading comprehension quiz or writing assignment. Please also revise your writing assignment to correct the mistakes after it is reviewed. You should support your writing with additional research regarding the topic from the internet.

【テキスト（教科書）】

Handouts

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

50%writing

25%reading quizzes

25%class participation

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Feedback will be given in class and via Google classroom.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

Computer/internet access

【その他の重要事項】

None

【Outline (in English)】

See above

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English L&S II 2017年度以降入学者

ERIC J RITTER

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Listen to TED Talks and investigate power ideas that are changing the world. Think critically about those ideas and talk about your own opinions and experiences with classmates. You will practice speaking and listening about the life-changing ideas in the TED Talks. You will make presentations and develop your opinions. You will improve your ability to handle various types of information and to assess it critically.

【到達目標】

Learn to give opinions based on reading and listening to Ted Talks.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

You will watch and listen to 6 inspiring TED Talks. We will look at topics from various angles while building vocabulary and knowledge. You will work in pairs and groups and have many opportunities to communicate. You will make individual and group presentations in class. You will also practice academic skills such as note-taking, summarizing, gathering ideas, researching, organizing ideas logically and giving critical feedback. Feedback will be given during class and on Google classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Speaking	Pair & Group discussion about everyday heroes. Homework: watch video
2	Speaking	Pair & Group discussion about making an impact. Homework: watch video
3	Speaking	Pair & Group discussion about volunteering. Homework: watch video
4	Speaking	Pair & Group discussion about touching lives. Homework: watch video
5	Speaking	Pair & Group discussion about trends. Homework: watch video
6	Speaking	Pair & Group discussion about trends around us. Homework: prepare for mid-term exam
7	Mid-term exam	Feedback Homework: watch video
8	Speaking	Pair & Group discussion about technology trends. Homework: watch video

9	Speaking	Pair & Group discussion about starting a movement. Homework: watch video
10	Speaking	Pair & Group discussion about predicting trends. Homework: watch video
11	Speaking	Pair & Group discussion about proving lives. Homework: watch video
12	Speaking	Pair & Group discussion about health. Homework: watch video
13	Speaking	Pair & Group discussion about tech healthcare. Homework: prepare for final exam
14	Final exam	Feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Please read the textbook homework assignments before the class and answer the questions. The homework assignments are important to better participate in the in class group discussion.

【テキスト（教科書）】

Paul Dummet. Keynote 3. National Geographic/Cengage Learning

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

75% exams and quizzes.

25% class participation.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Feedback will be given in class and via Google classroom.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

Computer and internet access

【その他の重要事項】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

You will practice speaking and listening about the life-changing ideas in the TED Talks. You will make presentations and develop your opinions. You will improve your ability to handle various types of information and to assess it critically.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English R&W I 2017年度以降入学者

コートランド デイビッド スミス

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course, which meets once a week, will focus on developing and practicing reading and writing skills. Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, and delivering presentations.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to write various types of paragraphs and short reports as well as to express themselves on contemporary social and political issues. Students will also learn to communicate accurately and effectively in English and deliver speeches on topics of popular concern.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

Lessons will consist of student presentations and discussions as well as group activities and communication games. English will be used to gather, interpret, and present facts and opinions related to news events and ethical issues covering a variety of subjects, most of which will be chosen by the students themselves. Students will be expected to do about 25 to 35 minutes of homework each week which will involve listening to a recording and completing a written transcription of its content. Occasional writing homework will also be assigned. Assignments will be reviewed during class time, or submitted by email and checked by instructor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction / Overview	Lesson 1 Rural Electrification Part One
2	Introduction / Overview	Lesson 1 Rural Electrification Part Two
3	Basic Presentation Skills	Lesson 2 A Tornado Part One
4	Basic Presentation Skills	Lesson 2 A Tornado Part Two
5	Basic Writing Skills (common mistakes)	Lesson 3 A Big Demonstration
6	Basic Writing Skills (common mistakes)	Lesson 4 A Power Blackout
7	Presentation I / Listening Skills	Lesson 5 An Election Campaign
8	Presentation I / Listening Skills	Lesson 6 A Groundbreaking Ceremony
9	Basic Writing Skills (sentences)	Lesson 7 A Trade Agreement
10	Basic Writing Skills (sentences)	Lesson 8 The Job market
11	Presentation II.1	Lesson 9 A Joint Venture

12	Presentation II.1	Lesson 10 A Troublesome Passenger
13	Topic Sentences / Support 1	Lesson 11 A Bankruptcy
14	Topic Sentences / Support 1	Lesson 12 A Train Derailment

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Keep up on current events by reading a daily newspaper or website. Weekly homework assignments will consist of listening to a recording and completing a transcript of its contents. Students will also be expected to prepare presentations for delivery in class from time to time. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No Textbook. Instructor will provide all materials.

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Grades will be based on class participation(25%), tests(25%), class presentations and written work(50%). Attendance is important for success in this course. In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

If classes are conducted online, Zoom and headset. Students may use assigned classroom for online classes.

【その他の重要事項】

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

N/A

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English L&S I 2017年度以降入学者

コートランド デイビッド スミス

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水1/Wed.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course, which meets once a week, will focus on developing and practicing listening and speaking skills. Most class activities will consist of listening and speaking, grammar drills, and delivering presentations.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to express themselves on contemporary social and political issues. Students will also learn to communicate accurately and effectively in English and deliver speeches on topics of popular concern.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科: DP1

【授業の進め方と方法】

Lessons will consist of student presentations and discussions as well as group activities and communication games. English will be used to gather, interpret, and present facts and opinions related to news events and ethical issues covering a variety of subjects, most of which will be chosen by the students themselves. Students will be expected to do about 25 to 35 minutes of homework each week. Assignments will be reviewed during class time or submitted by email and checked by the instructor.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction / Overview	Holiday xwords
2	Introduction / Overview	Food xwords (1)p4 A B /HW p8 1 A B
3	Food	Sports xwords/HW p11 C
4	Sports	PP matching activity/p6 listening/HW p10 reading A D
5	Countries of the World	Group guessing 1-7/ Countries xwords/HW p10 5 A D
6	Money and Economy	Money and economy xwords/p11 8 C p154 3/HW p17 6 C
7	Travel	Tide xwords P18 1 B C p19 4 A B/HW p21 5 B
8	Shopping	Relative xwords P22 Grammar p23 Reading/ HW p24 3
9	Health	School Subjects xwords P26 6 B C p27 7 A/ HW p28 A D

10	Housework	Education xwords P30 5 D p31 7 A C/HW p34 D
11	Dreams	Cities of the world xwords P36 A B p37 6 A/HW p36 5 C
12	Describing Cities	Detergent xwords P38 1 A 2 B/HW p40 4 C
13	Complaints	Where would you hear these? P41 5 B p42 Grammar, Reading
14	Revise and Check	Revise semester content

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Keep up on current events by reading a daily newspaper or website. Weekly homework assignments will consist of listening to a recording and completing a transcript of its contents. Students will also be expected to prepare presentations for delivery in class from time to time. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Latham-Koenig & C. Oxenden. English File Pre-Intermediate Student Book Fourth Edition. Oxford University Press ISBN:978-0-19-403741-9

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Grades will be based on class participation(25%), tests(25%), class presentations and written work(50%). Attendance is important for success in this course. In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

If classes are conducted online, Zoom and headset. Students may use assigned classroom for online classes.

【その他の重要事項】

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

N/A

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English R&W II 2017年度以降入学者**コートランド デイビッド スミス**

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course, which meets once a week, will focus on developing and practicing reading and writing skills. In the second semester of this course, students will learn to write various types of short essays, participate in discussions, and deliver speeches on academic themes. Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, and delivering presentations.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to write various types of paragraphs and short reports as well as to express themselves on contemporary social and political issues. Students will also learn to communicate accurately and effectively in English and deliver speeches on topics of popular concern.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

Lessons will consist of student presentations and discussions as well as group activities and communication games. English will be used to gather, interpret, and present facts and opinions related to news events and ethical issues covering a variety of subjects, most of which will be chosen by the students themselves. Students will be expected to do about 25 to 35 minutes of homework each week which will involve listening to a recording and completing a written transcription of its content. Occasional writing homework will also be assigned. Assignments will be reviewed during class time or submitted by email to the instructor for evaluation.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction / Overview	Lesson 13 A Border Dispute Part One
2	Introduction / Overview	Lesson 13 A Border Dispute Part Two
3	Writing Skills: Review	Lesson 14 A Cable Car Accident Part One
4	Writing Skills: Review	Lesson 14 A Cable Car Accident Part Two
5	Presentation Skills: Review	Lesson 15 Capital Punishment
6	Presentation Skills: Review	Lesson 16 An International conference
7	Essay Writing: Basic Skills I.1	Lesson 17 A National Census
8	Essay Writing: Basic Skills I.1	Lesson 18 A Forest Fire
9	Academic Presentation I.1	Lesson 19 A Lottery Winner
10	Academic Presentation I.1	Lesson 20 A Prison Uprising

11	Essay Writing: Basic Skills I.2	Lesson 21 An Oil Spill
12	Essay Writing: Basic Skills I.2	Lesson 22 A Communications Satellite
13	Academic Presentation I.2	Lesson 23 The European Union
14	Academic Presentation I.2	Final Presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Keep up on current events by reading a daily newspaper or website. Weekly homework assignments will consist of listening to a recording and completing a transcript of its contents. Students will also be expected to prepare presentations for delivery in class from time to time. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No Textbook. Instructor will provide all materials.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Grades will be based on class participation(25%), tests(25%), class presentations and written work(50%). Attendance is important for success in this course. In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

If classes are conducted online, Zoom and a headset.

【その他の重要事項】

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

N/A

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English L&S II 2017年度以降入学者

コートランド デイビッド スミス

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水1/Wed.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course, which meets once a week, will focus on developing and practicing listening and speaking skills. In the second semester of this course, students will learn to write various types of short essays, participate in discussions, and deliver speeches on academic themes. Most class activities will consist of listening and speaking, grammar drills, and delivering presentations.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to express themselves on contemporary social and political issues. Students will also learn to communicate accurately and effectively in English and deliver speeches on topics of popular concern.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科: DP1

【授業の進め方と方法】

Lessons will consist of student presentations and discussions as well as group activities and communication games. English will be used to gather, interpret, and present facts and opinions related to news events and ethical issues covering a variety of subjects, most of which will be chosen by the students themselves. Students will be expected to do about 25 to 35 minutes of homework each week. Occasional writing homework will also be assigned. Assignments will be reviewed during class time or submitted by email and checked by the instructor.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction / Overview	How was your summer vacation?/HW p45 4 B
2	Meaning of Dreams	Halloween xwords (1) P44 3 p46 5 B p47 7 A/HW p48 1 C D
3	Happiness	Street scene A/B P51 B C D/HW p54 1 B p55 1 C
4	Learning Foreign Languages	Marathon print activity P56-57 6 C D /HW p58 C
5	Telling Stories	Hobbies xwords P59 2 A p60 6 B/HW p60-61 F G
6	Danger	Halloween xwords (2) P62 Grammar, Vocabulary/ HW p66 6 B C
7	Evaluating Risk	Music xwords P65 B C p69 3/HW p70 4 D E

8	Nationalities	Reported speech activity p77 6 A B/HW p76 3 E
9	Inventions	IF matching activity P78 1 A p79 3 G/HW p80 4 A B
10	Describing Differences	Alligator xwords P82 Grammar, Vocabulary/ HW p86 5 B
11	School Subjects	Food xwords (2) P90 4 A B C p91 5 B/ HW p89 3 B C
12	Making Decisions	Christmas xwords P95 2 A Relative xwords/ HW p94 1 C D
13	Reported Speech	P102 Grammar, Vocabulary
14	Review	Revise semester content

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Keep up on current events by reading a daily newspaper or website. Weekly homework assignments will consist of listening to a recording and completing a transcript of its contents. Students will also be expected to prepare presentations for delivery in class from time to time. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Latham-Koenig & C. Oxenden. English File Pre-Intermediate Student Book Fourth Edition. Oxford University Press ISBN:978-0-19-403741-9

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Grades will be based on class participation(25%), tests(25%), class presentations and written work(50%). Attendance is important for success in this course. In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

If classes are conducted online, Zoom and a headset.

【その他の重要事項】

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

N/A

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English R&W I 2017年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will practice reading articles and writing paragraphs on 4 issues that the United Nations has identified as the greatest threats to society as we know it. Students will learn and practice common vocabulary related to the issues. Students will be required to prepare written summaries of the on the issues.

【到達目標】

Students will improve their ability to read about important issues including: A.I., climate change, geopolitical change and pandemic.

Students will be able to use a text generator to prepare and edit an academic style paragraph.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

All assignments will be issued, submitted and returned in digital format via Google

Classroom. All written assignments will be returned with detailed comments showing

how students can improve their writing skills. We will use Artificial Intelligence

applications (OpenAI, Bard, Bing etc.) to generate written assignments and analyze the results.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Greetings Google Classroom Class rules Hosei G-mail
2	Artificial Intelligence	Where are we now. What is the future? Vocabulary
3	Artificial Intelligence	Read and analyze a news media article. Small group discussion.
4	Artificial Intelligence	Watch a Video media article and answer worksheet.
5	Artificial Intelligence	Practice using a text generator to write a paragraph. Academic style paragraphs.
6	Climate change	Where are we now. What is the future? Vocabulary
7	Climate change	Read and analyze a news media article. Small group discussion.
8	Climate change	Watch a Video media article and answer worksheet.

9	Climate change	Practice using a text generator to write a paragraph. Identify the parts.
10	Geopolitics	Where are we now. What is the future? Vocabulary
11	Geopolitics	Read and analyze a news media article. Small group discussion.
12	Geopolitics	Watch a Video media article and answer worksheet.
13	Pandemic	Where are we now. What is the future? Vocabulary
14	Wrap-up	Review of the topics discussed and the vocabulary of each topic. Small group discussion.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Not required. Materials will be sent to students via Google Classroom.

【参考書】

N/A

【成績評価の方法と基準】

Word Games (Wordle):15%

On-line English practice: 15%

Participation: 10%

Worksheets (3): 30%

Written assignments(3): 30%

ILAC Policy on attendance is as follows: “In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course”

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

A laptop or tablet PC.

Smartphones can only be used if there is a failure of a PC or tablet device.

【その他の重要事項】

We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using “Classroom”. Please

download Google Classroom to your device before our first class. The Course code will be advised via the university Learning Management System (LMS) before the first class

【Outline (in English)】

Students will practice reading articles and writing paragraphs on 4 issues that the United Nations has identified as the greatest threats to society as we know it. Students will learn and practice common vocabulary related to the issues. Students will be required to prepare written summaries of the on the issues.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English L&S I

2017年度以降入学者

CALVIN R RADAKOVICH

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は、学生のリスニング力とスピーキング力を伸ばすことです。学生は、ニュース、講演、授業、インタビューなど、さまざまな音声教材を聞く力を養います。この授業は、学生が学術的な学習に備えるとともに、TOEICやIELTSなどの英語のリスニングおよびスピーキング試験に対応できるようにすることを目指しています。

【到達目標】

Students will study and practise a number of valuable speaking and listening skills that can be used in both academic and everyday situations. Students will watch and listen to inspiring and thought-provoking TED Talks podcasts and videos. Students will develop their ability to accurately understand authentic listening texts and think critically about them. They will practise many skills including; vocabulary building, note-taking, identifying main points, summarizing, gathering ideas, researching, outlining, organizing ideas logically. Students will use these skills to improve their ability to express their opinions, exchange knowledge and experiences. Students will discuss, prepare short speeches and presentations, role plays and so on. Furthermore, by using materials on various topics regarding politics, society, history, and culture, students will improve their understanding of various aspects of the world.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

Active participation is necessary. Students will need to prepare well for class, so that we can explore each topic in depth, make good progress and enjoy speaking. As a general rule, students are expected to use only English in class. Students will work individually, in pairs and small groups. Feedback will be given in the class and online as necessary. Please come to class ready to participate actively and positively.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation. Getting to know you.	An explanation of the class requirements. We will get to know each other. Start Unit 1. Vocabulary - prefixes.
2	Unit 1 - Creating connections.	Pronunciation - relaxed pronunciation.
3	Unit 1 - Creating connections.	Presentation skills - speech aims & using props. Presentation performance skill: Using props.
4	Unit 1 - Creating connections.	Dealing with accents. Noting who says what. Listening for details.

5	Unit 2 - Language and culture.	Building an argument. Presentation performance skill: Using humor.
6	Unit 2 - Language and culture.	Discourse markers. Distinguishing facts from opinion.
7	Unit 2 - Language and culture.	Presentation performance skill: Being relatable.
8	Unit 3 - Fact and fiction.	Collaborative listening and note taking. Emotive language in speeches.
9	Unit 3 - Fact and fiction.	Presentation performance skill: Controlling nerves.
10	Unit 3 - Fact and fiction.	Understanding examples. Discussing challenging topics.
11	Unit 4 - Why we make art.	Presentation performance skill: Repeating key ideas.
12	Unit 4 - Why we make art.	Listening for signposts. Giving supporting evidence.
13	Unit 4 - Why we make art.	Presentation performance skill: Giving a demonstration.
14	Student presentations.	Evaluation. Review and discussion.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Reflect Listening & Speaking Book 3. M. Blass & M. Vargo; National Geographic Learning /Cengage ISBN: 13-9780357449196

【参考書】

No references are listed for this class.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 30%

Presentations 20%

Quizzes 20%

Listening reports 30%

Students are not allowed more than three unexcused absences. Students with a fourth unexcused absence will be unable to receive credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

Unable to provide feedback due to a change in course instructor this year.

【その他の重要事項】

The above may change according to the interests and abilities of the class.

【Outline (in English)】

The goal of this course is to develop students' listening and speaking skills. Students will develop their abilities to listen to a variety of spoken materials (e.g. the news, talks, lectures and interviews). This class will help students to prepare for academic study and to take English listening and speaking exams such as TOEIC and IELTS.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English R&W II 2017年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The course will build on the subjects in the Spring semester with review of vocabulary and introduction of more vocabulary related to each topic. Students will learn how to prepare an Academic style essay using a text generator and the structure of an Academic essay. Students will be encouraged to be critical and express their own opinions on topics.

【到達目標】

Develop more vocabulary on important issues and improve ability to read and understand different kinds of media. Using text generators to prepare an Academic style essay effectively.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

The material for this subject will use BBC News articles, TED Talks, and various news articles from reliable sources that will require comprehension

analysis. Students will be required to prepare questions for discussion in small (random) groups and present their group opinions to the class.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Review Spring semester. Lesson plans for Fall semester.
2	Pandemic ... cont.	What is our current situation. What of the future. Review and new vocabulary.
3	Pandemic	Read and analyze a news media article. Practice using vocabulary in statements.
4	Pandemic	Watch a media video and check for vocabulary. Complete worksheet.
5	Artificial Intelligence	Where are we now? Where are we going? Review Spring and add new vocabulary.
6	Artificial Intelligence	Read and analyze a news media article. Practice using vocabulary in statements.
7	Artificial Intelligence	Watch a media video and check for vocabulary. Complete worksheet.
8	Environment (Climate change)	What is our current situation. What of the future. Review and new vocabulary.

9	Environment (Climate change)	Read and analyze a news media article. Practice using vocabulary in statements.
10	Environment (Climate change)	Watch a media video and check for vocabulary. Complete worksheet.
11	Geopolitics	What is our current situation. What of the future. Review and new vocabulary.
12	Geopolitics	Read and analyze a news media article. Practice using vocabulary in statements.
13	Geopolitics	Watch a media video and check for vocabulary. Complete worksheet
14	Wrap-up	Review of spring and Fall semesters.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Not required. Material will be sent by Google Classroom.

【参考書】

To be advised.

【成績評価の方法と基準】

Word Games (Wordle):15%

On-line English practice: 15%

Participation: 10%

Worksheets (3): 30%

Written assignments(3): 30%

ILAC Policy on attendance is as follows: "In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course"

【学生の意見等からの気づき】

Not Applicable

【学生が準備すべき機器他】

A laptop or tablet PC.

Smartphones can only be used if there is a failure of a PC or tablet device.A laptop or tablet PC.

Smartphones can only be used if there is a failure of a PC or tablet device.

【その他の重要事項】

We will use Google "Classroom" to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using "Classroom". Please

download Google Classroom to your device before our first class. The Course code will be advised via the university Learning Management System (LMS) before the first class

【Outline (in English)】

The course will build on the subjects in the Spring semester with review of vocabulary and introduction of more vocabulary related to each topic. Students will learn how to prepare an Academic style essay using a text generator and the structure of an Academic essay. Students will be encouraged to be critical and express their own opinions on topics.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

Academic English L&S II

2017年度以降入学者

CALVIN R RADA KOVICH

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は、学生のリスニング力とスピーキング力を伸ばすことです。学生は、ニュース、講演、授業、インタビューなど、さまざまな音声教材を聞く力を養います。この授業は、学生が学術的な学習に備えるとともに、TOEICやIELTSなどの英語のリスニングおよびスピーキング試験に対応できるようにすることを目指しています。

【到達目標】

Students will study and practise a number of valuable speaking and listening skills that can be used in both academic and everyday situations. Students will watch and listen to inspiring and thought-provoking TED Talks podcasts and videos. Students will develop their ability to accurately understand authentic listening texts and think critically about them. They will practise many skills including; vocabulary building, note-taking, identifying main points, summarizing, gathering ideas, researching, outlining, organizing ideas logically. Students will use these skills to improve their ability to express their opinions, exchange knowledge and experiences. Students will discuss, prepare short speeches and presentations, role plays and so on. Furthermore, by using materials on various topics regarding politics, society, history, and culture, students will improve their understanding of various aspects of the world.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

Active participation is necessary. Students will need to prepare well for class, so that we can explore each topic in depth, make good progress and enjoy speaking. As a general rule, students are expected to use only English in class. Students will work individually, in pairs and small groups. Feedback will be given in the class and online as necessary. Please come to class ready to participate actively and positively.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation	An explanation of the class requirements. We will get to know each other.
2	Unit 5 - Explorers	Inferring meaning from context.
3	Unit 5 - Explorers	Reading between the lines.Presentation performance skill: Being authentic.
4	Unit 5 - Explorers	Understanding contrasting stress.Supporting the main idea.
5	Unit 6 - The value of memory.	Presentation performance skill: Using visuals.

6	Unit 6 - The value of memory.	Understanding mid-sentence changes in direction. Techniques for entertaining your audience.
7	Unit 6 - The value of memory.	Presentation performance skill: Thinking about your audience.
8	Unit 7 - Get creative.	Reviewing note-taking. Noticing analogies.
9	Unit 7 - Get creative.	Presentation performance skill: Good pace and emphasis.
10	Unit 7 - Get creative.	Dealing with different stress patterns.Valuing different cultures.
11	Unit 8 - Is there good in gaming?	Presentation performance skill: Varying your tone of voice.
12	Unit 8 - Is there good in gaming?	Thinking about the speaker's motivation.
13	Unit 8 - Is there good in gaming?	Presenting research. Evaluation. Review and discussion.
14	Student presentations.	Evaluation. Review and discussion.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Reflect Listening &Speaking Book 3. M. Blass &M Vargo; National Geographic Learning /Cengage ISBN: 13-9780357449196

【参考書】

No references are listed for this class.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 30%

Presentations 20%

Quizzes 20%

Listening reports 30%

Students are not allowed more than three unexcused absences. Students with a fourth unexcused absence will be unable to receive credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

Unable to provide feedback due to a change in course instructor this year.

【その他の重要事項】

The above may change according to the interests and abilities of the class.

【Outline (in English)】

The goal of this course is to develop students' listening and speaking skills. Students will develop their abilities to listen to a variety of spoken materials (e.g. the news, talks, lectures and interviews). This class will help students to prepare for academic study and to take English listening and speaking exams such as TOEIC and IELTS.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 1 I 2017年度以降入学者

長澤 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてドイツ語を学ぶ人のための授業です。文法だけでなく、ドイツ語を通してドイツの文化や社会についても学びます。

【到達目標】

1年間かけて初級文法を学び、ドイツ語の基礎を身につけます。ドイツ語による簡単なテキストの読解と基本的な会話ができるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業を基本としますが、課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。

授業は教科書に沿って進めていきます。クラスメートとの会話練習や練習問題を通じて、文法事項や色々な表現を身につけていきます。毎回予習・宿題をしたうえで参加することが要求されます。辞書を用意すること（初回に指示します）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方について・ドイツ語のアルファベット
2	発音	ドイツ語の発音ルール
3	第1章(1)	動詞の現在人称変化、動詞 sein と haben の変化
4	第1章(2)	動詞の位置
5	第2章(1)	名詞の性、名詞の1格・4格
6	第2章(2)	所有冠詞
7	第3章(1)	不規則動詞の現在人称変化
8	中間試験 第3章(2)	第1回～第7回までの内容の確認 名詞の複数形
9	第4章(1)	名詞の3格
10	第4章(2)	前置詞と名詞の格
11	第5章(1)	人称代名詞の3・4格
12	第5章(2)	分離動詞、非分離動詞
13	第6章(1)	助動詞
14	期末試験	第8回～第13回の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。予習としては、次週の範囲となる教科書のテキストについて、出てきた単語の意味を調べ、文章の意味を理解できるようにすること、正しく発音ができるようにしていただくことが求められます。復習としては、毎回課題の問題が出るので、それを解いて提出することが求められます。

【テキスト（教科書）】

書名：『ドイツ語の時間 ときめきミュンヘン』

著者：清野智昭、時田伊津子、牛山さおり

出版社：朝日出版社

価格：2600円＋税

【参考書】

辞書を用意して下さい。紙の辞書でも電子辞書でも可。簡便な和独辞書がついているものがお勧めです。スマートフォンの辞書アプリは不可。

参考書は、教科書付属の文法補足集を、教科書のホームページからダウンロードして下さい。

また下記の参考書は必ずしも購入の必要はありませんが、自宅学習の際などに持っているとう便利です。

『ドイツ語のしくみ』（清野智昭著、白水社）

『必携ドイツ文法総まとめ(改訂版)』（中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著、白水社）

【成績評価の方法と基準】

平常点（予習・復習や課題提出の状況など）30％、中間・期末試験70％

【学生の意見等からの気づき】

ペアワークなどの活動が楽しかったという意見が多かったので、今年度もそのような活動を積極的に採り入れたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出や資料配付のために学習支援システムを使用するので、パソコンあるいはタブレット端末を用意するか、マルチメディア室等を利用してください。

【その他の重要事項】

テキストはできるだけ初回の授業の時までに用意して下さい。

【Outline (in English)】**Course outline**

This class is for students who study German for the first time. Not only German grammar, but also knowledge of German culture and society are taught.

Learning Objectives

Over the course of one year, students will learn basic grammar and the fundamentals of the German language. By the end of the course, students should be able to read simple German texts and to communicate in basic German.

Learning activities outside of classroom

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to prepare and review the course content and to submit assignments.

Grading criteria

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

In class contribution: 30%, term-end examination: 70%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 1 II

2017年度以降入学者

長澤 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてドイツ語を学ぶ人のための授業です。文法だけでなく、ドイツ語を通してドイツの文化や社会についても学びます。

【到達目標】

1年間かけて初級文法を学び、ドイツ語の基礎を身につけます。ドイツ語による簡単なテキストの読解と基本的な会話ができるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業を基本としますが、課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。

授業は春学期に引き続き、教科書に沿って進めていきます。クラスメートとの会話練習や練習問題を通じて、文法事項や色々な表現を身につけていきます。毎回予習・宿題をしたうえで参加することが要求されます。辞書を用意すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第6章(2)	命令形
2	第7章(1)	3・4格支配の前置詞
3	第7章(2)	並列接続詞
4	第8章(1)	現在完了形
5	第8章(2)	過去形
6	第9章(1)	定冠詞類
7	中間試験・第9章(2)	第1～6回の内容の確認・副文
8	第10章(1)	比較級と最上級
9	第10章(2)	再帰代名詞と再帰動詞
10	第11章(1)	形容詞の格変化
11	第11章(2)	天候の表現（esの用法）
12	第12章(1)	接続法第2式
13	第12章(2)	zu不定詞句
14	期末試験	第6回～第13回の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。予習としては、次週の範囲となる教科書のテキストについて、出てきた単語の意味を調べ、文章の意味を理解できるようにすること、正しく発音ができるようにしていただくことが求められます。復習としては、毎回課題の問題が出るので、それを解いて提出することが求められます。

【テキスト（教科書）】

書名：『ドイツ語の時間 ときめきミュンヘン』

著者：清野智昭、時田伊津子、牛山さおり

出版社：朝日出版社

価格：2600円＋税

【参考書】

辞書を用意して下さい。紙の辞書でも電子辞書でも可。簡便な和独辞書がついているものがお勧めです。スマートフォンの辞書アプリは不可。

参考書は、教科書付属の文法補足集を、教科書のホームページからダウンロードして下さい。

また下記の参考書は必ずしも購入の必要はありませんが、自宅学習の際などに持っているとう便利です。

『ドイツ語のしくみ』（清野智昭著、白水社）

『必携ドイツ文法総まとめ(改訂版)』（中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著、白水社）

【成績評価の方法と基準】

平常点（予習・復習や課題提出の状況など）30％、中間・期末試験70％

【学生の意見等からの気づき】

ペアワークなどの活動が楽しかったという意見が多かったので、今年度もそのような活動を積極的に採り入れたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出や資料配付のために学習支援システムを使用するので、パソコンあるいはタブレット端末を用意するか、マルチメディア室等を利用して下さい。

【その他の重要事項】

テキストは必ず初回の授業の時までに用意して下さい。

【Outline (in English)】

Course outline

This class is for students who study German for the first time. Not only German grammar, but also knowledge of German culture and society are taught.

Learning Objectives

Over the course of one year, students will learn basic grammar and the fundamentals of the German language. By the end of the course, students should be able to read simple German texts and to communicate in basic German.

Learning activities outside of classroom

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to prepare and review the course content and to submit assignments.

Grading criteria

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

In class contribution: 30%, term-end examination: 70%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)	
ドイツ語 1 I	2017年度以降入学者
上田 知夫	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：火2/Tue.2
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、ドイツ語の発音と初級文法の習得を目的として設定します。
この授業でドイツ語を学ぶことで、外国語を一から学ぶ方法を習得することができます。また日本語とも英語とも違う発想方を習得するために、高校までにならった英文法との比較も積極的に行います。

【到達目標】

今学期の授業では、
・ドイツ語の発音の基礎
・規則動詞および不規則動詞の人称変化
・名詞の格および冠詞
・人称代名詞
・前置詞
・話法の助動詞および未来・推量の助動詞
について習得することができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。
授業内で課題を解きます。またノートや練習問題の解答を提出することを平常点評価のために求めます。練習問題については、クラスでランダムに指名することで解答へのフィードバックをしていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	アルファベットおよびドイツ語の発音	ドイツ語のアルファベットおよび母音の発音練習
2	ドイツ語の発音および人称代名詞と動詞の現在人称変化の解説	ドイツ語の子音の発音練習 人称代名詞の1格の導入 動詞の現在人称変化についての解説
3	人称代名詞と動詞の現在人称変化の問題演習	人称代名詞の1格および動詞の現在人称変化についての練習問題を解く 練習問題について解説
4	名詞の性と格の解説	名詞の性と格の概念を解説 定冠詞と不定冠詞の格変化の解説
5	名詞の性と格の解説および問題演習	複数形の解説 名詞の格および性についての練習問題を解く 練習問題について解説
6	不規則変化動詞の現在人称変化	不規則変化動詞の現在人称変化の解説と問題演習
7	前置詞の解説	3格支配の前置詞の解説 4格支配の前置詞の解説
8	前置詞の解説と問題演習	3・4格支配の前置詞についての解説 前置詞についての練習問題を解く 練習問題について解説する

9	定冠詞類と不定冠詞類	定冠詞類と不定冠詞類について解説
10	定冠詞類と不定冠詞類の解説と問題演習	定冠詞類と不定冠詞類について解説 定冠詞類と不定冠詞類についての練習問題を解く 練習問題について解説する 練習問題の解説
11	人称代名詞の解説と問題演習	人称代名詞についての解説 人称代名詞について練習問題を解く 練習問題の解説
12	話法の助動詞の解説	話法の助動詞についての解説
13	未来・推量の助動詞の解説と問題演習	未来・推量の助動詞についての解説 話法の助動詞と未来・推量の助動詞の練習問題を解く 練習問題の解説
14	期末試験・まとめと解説	全体を試験範囲とした試験を実施し、その後試験問題を解説しつつまとめる

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
復習を中心に据えて行ってください。特に宿題となる課題の提出状況を重視します。

【テキスト（教科書）】

櫻井麻美
『アイレ・ミット・ヴァイレ：会話ではじめるドイツ語文法』（三修社、2023年）

【参考書】

独和辞典
どの出版社のものでも構いませんが、独和辞典を所有していない方は、『アクセス独和辞典』（三修社）
『大独和辞典』（小学館）
などを入手してください。

【成績評価の方法と基準】

平常点（宿題の提出および授業内での質問やコメントなどの積極的参加具合）:50%
期末試験：50%

【学生の意見等からの気づき】

高校英語との異同（異なる部分を中心に）を積極的に説明します。
授業への参加度は重要な平常点の評価基準の1つです。

【学生が準備すべき機器他】

ノートパソコン、スマートフォン、タブレットなど、インターネット通信環境のある機器は、宿題の提出に必要になりますので、準備しておいてください。Zoomのインストールをお願いします。

【Outline (in English)】

【Course outline】

In this class, students shall learn pronunciation and the basic grammar of the German language.

【Learning Objectives】

Students shall master the basic grammar in German.

【Learning activities outside of classroom】

Students have to learn at least 1 hour outside of class each week.

【Grading Criteria /Policy】

Participation and homework (50%) + final exam (50%)

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 1 II

2017年度以降入学者

上田 知夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、ドイツ語の発音と初級文法の習得を目的として設定します。

この授業でドイツ語を学ぶことで、外国語を一から学ぶ方法を習得することができます。また日本語とも英語とも違う発想方を習得するために、高校までにならった英文法との比較も積極的に行います。

【到達目標】

今学期の授業では、

- ・分離動詞・非分離動詞
- ・接続詞
- ・過去形
- ・受動態
- ・再帰代名詞・再帰動詞
- ・zu不定詞
- ・形容詞の格変化と比較表現
- ・関係代名詞・関係副詞
- ・命令形
- ・接続法

について習得することができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。

授業内で課題を解きます。またノートや練習問題の解答を提出することを平常点評価のために求めます。練習問題については、クラスでランダムに指名することで解答へのフィードバックをしていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	分離動詞・非分離動詞の解説	分離動詞・非分離動詞を解説する
2	接続詞の解説および問題演習	接続詞を解説する 分離動詞・非分離動詞、接続詞の練習問題を解く 練習問題を解説する
3	動詞の3基本形の解説	動詞の3基本形の解説
4	現在完了の解説および問題演習	現在完了を解説する 動詞の3基本形、現在完了の練習問題を解く 練習問題を解説する
5	過去形と受動態の解説	過去形を解説する
6	受動態の解説と問題演習	受動態を解説する 過去形と受動態の練習問題を解く 練習問題を解説する
7	再帰代名詞・再帰動詞の解説	再帰代名詞・再帰動詞を解説する

8	zu不定詞の解説と問題演習	zu不定詞を解説する 再帰代名詞・再帰動詞、zu不定詞の練習問題を解く 練習問題を解説する
9	形容詞の格変化の解説	形容詞の格変化を解説する
10	比較表現の解説と問題演習	比較表現の解説をする 形容詞の格変化、比較表現の練習問題を解く 練習問題を解説する
11	関係代名詞・関係副詞の解説	関係代名詞および関係副詞を解説する
12	命令形の解説と問題演習	動詞の命令形を解説する 関係代名詞・関係副詞、命令形の練習問題を解く 練習問題を解説する
13	接続第2式の解説と問題演習	接続法第2式を解説し練習問題を解く 練習問題を解説する
14	期末試験・まとめと解説	全体を試験範囲とした試験を実施し、その後試験問題を解説しつつまとめる

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。復習を中心に据えて行ってください。特に宿題となる課題の提出状況を重視します。

【テキスト（教科書）】

櫻井麻美

『アイレ・ミット・ヴァイレ：会話ではじめるドイツ語文法』（三修社、2023年）

【参考書】

独和辞典

どの出版社のものでも構いませんが、独和辞典を所有していない方は、『アクセス独和辞典』（三修社）『大独和辞典』（小学館）などを入手してください。

【成績評価の方法と基準】

平常点（宿題の提出および授業内での質問やコメントなどの積極的参加具合）:50%

期末試験：50%

【学生の意見等からの気づき】

高校英語との異同（異なる部分を中心に）を積極的に説明します。授業への参加度は重要な平常点の評価基準の1つです。

【学生が準備すべき機器他】

ノートパソコン、スマートフォン、タブレットなど、インターネット通信環境のある機器は、宿題の提出に必要になりますので、準備しておいてください。Zoomのインストールをお願いします。

【Outline (in English)】

【Course outline】

In this class, students shall learn pronunciation and the basic grammar of the German language.

【Learning Objectives】

Students shall master the basic grammar in German.

【Learning activities outside of classroom】

Students have to learn at least 1 hour outside of class each week.

【Grading Criteria /Policy】

Participation and homework (50%) + final exam (50%)

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 1 I

2017年度以降入学者

吉田 敬介

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は、ドイツ語のごく基礎的な文法・表現を学ぶことです。教科書の前半の内容に基づき、発音の規則、動詞の変化、冠詞、前置詞などについて、基本的な知識を身に付けることを目指します。

【到達目標】

- (A) ドイツ語を正しく発音できる。
- (B) ドイツ語のごく基礎的な文法事項を理解できる。
- (C) ドイツ語のごく基礎的な文法事項を用いることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に基づいて進めます。まずは文法事項を説明し、それから練習問題を解いて学習事項を定着していきます。受講者には、発音や文法事項の確認、グループワークをしてもらうため、積極的な参加が望まれます。

学期中、中間試験および期末試験を行います。試験後には、できるだけ解説を加えたフィードバックを行います。

なお、重要なお知らせをすることもありうるため、適宜、授業支援システムを確認するようお願いします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション、ドイツ語の発音	授業の進め方や方法の確認 ドイツ語の発音 (1)
第2回	Lektion 1 (1)	ドイツ語の発音 (2) 人称代名詞 動詞の現在人称変化
第3回	Lektion 1 (2) Lektion 2 (1)	文の構成 sein の現在人称変化 名詞の性と格
第4回	Lektion 2 (2)	複数形 冠詞 haben と werden の変化
第5回	Lektion 3 (1)	所有冠詞 否定冠詞
第6回	Lektion 3 (2)	人称代名詞の格変化
第7回	中間試験の準備 中間試験	中間試験に関する事前説明など 試験による学習事項の理解度確認
第8回	中間試験の返却 Lektion 4 (1)	中間試験の返却と解説 さまざまな前置詞
第9回	Lektion 4 (2) Lektion 5 (1)	非人称の es 動詞の3基本形
第10回	Lektion 5 (2)	動詞の過去人称変化
第11回	Lektion 6 (1)	現在完了形 接続詞
第12回	Lektion 6 (2) 期末試験の準備	zu 不定詞 期末試験に関する事前説明など
第13回	期末試験	試験による学習事項の理解度確認

第14回 期末試験の返却 期末試験の返却と解説
春学期のまとめ 春学期の学習事項のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。学習事項の定着のため、その都度、宿題や予習を指示します。

【テキスト（教科書）】

『ブリュッケ 初級ドイツ語文法・ふかくなりやすく』朝日出版社。

【参考書】

第2回目の授業までに独和辞典を用意してください。辞典については、第一回目の授業でもお話しするので、準備はその後でも構いません。

その他、『必携ドイツ文法総まとめ（改訂版）』白水社など。

【成績評価の方法と基準】

成績配分は、平常点（予習した上での授業参加、宿題の提出、その他の授業への取り組みなどの総合評価）50%、試験点50%です。成績評価に際しては、【到達目標】(A)～(C)を基準とし、その達成度合いを考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

- ・受講者ができるだけ積極的に参加できるよう、適宜グループワークの時間をとりたいと思います。
- ・わかりにくい事項やドイツに関するトピックについて、参考書などを紹介しながら丁寧に説明するよう努めます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の場合に必要なため、Zoomに接続可能な機器を準備してください。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期、合わせての履修を推奨します。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students acquire basic knowledge of German grammar and expression.

Learning Objectives: The goals of this course are to (A) pronounce German words, (B) understand the basic grammar of German language, and (C) use it practically.

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Grading Criteria/Policies: Grading will be decided based on in-class contribution (50%), and examination (50%).

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 1 II

2017年度以降入学者

吉田 敬介

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は、既習事項を踏まえ、さらにドイツ語の基礎的な文法・表現を学ぶことです。教科書の後半の内容に基づき、動詞・助動詞の様々な形や用法、様々な代名詞、形容詞の比較級や最上級などについて、基本的な知識を身に付けることを目指します。

【到達目標】

- (A) ドイツ語の基礎的な文法事項を身に付けることができる。
- (B) 簡単なドイツ語の文章・会話を理解することができる。
- (C) 学習事項を応用してドイツ語で自分のことを表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に基づいて進めます。まずは文法事項を説明し、それから練習問題を解いて学習事項を定着していきます。受講者には、発音や文法事項の確認、グループワークをしてもらうため、積極的な参加が望まれます。

学期中、中間試験および期末試験を行います。試験後には、できるだけ解説を加えたフィードバックを行います。

なお、重要なお知らせをすることもありうるため、適宜、授業支援システムを確認するようお願いいたします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション 既習事項の復習	授業の進め方や方法の確認 教科書Lektion1～6の既習事項の復習
第2回	Lektion 7 (1)	話法の助動詞の現在人称変化 構文
第3回	Lektion 7 (2) Lektion 8 (1)	話法の助動詞の主な意味 未来形 分離動詞と非分離動詞
第4回	Lektion 8 (2)	受動文
第5回	Lektion 9 (1)	動詞の現在人称変化（不規則変化）
第6回	Lektion 9 (2)	命令形
第7回	中間試験の準備 中間試験	中間試験に関する事前説明など 試験による学習事項の理解度確認
第8回	中間試験の返却 Lektion 10 (1)	中間試験の返却と解説 接続法
第9回	Lektion 10 (2) Lektion 11 (1)	接続法2式の人称変化 接続法2式の用法（現在形） 再帰代名詞の人称変化 再帰動詞
第10回	Lektion 11 (2)	形容詞の比較級と最上級の形態 比較級と最上級の用法
第11回	Lektion 12 (1)	関係代名詞の形と用法
第12回	Lektion 12 (2)	不定関係代名詞 wer, was
第13回	期末試験の準備 期末試験	期末試験に関する事前説明など 試験による学習事項の理解度確認

第14回 期末試験の返却 期末試験の返却と解説
秋学期のまとめ 春学期の学習事項のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。学習事項の定着のため、その都度、宿題や予習を指示します。

【テキスト（教科書）】

『ブリュッケ 初級ドイツ語文法・ふかくなりやすく』朝日出版社。

【参考書】

独和辞典を必ず用意しておいてください。

その他、『必携ドイツ文法総まとめ（改訂版）』白水社など。

【成績評価の方法と基準】

成績配分は、平常点（予習した上での授業参加、宿題の提出、その他の授業への取り組みなどの総合評価）50%、試験点50%です。成績評価に際しては、【到達目標】（A）～（C）を基準とし、その達成度合いを考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

- ・受講者ができるだけ積極的に参加できるよう、適宜グループワークの時間をとりたいと思います。
- ・わかりにくい事項やドイツに関するトピックについて、参考書などを紹介しながら丁寧に説明するよう努めます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の場合に必要なため、Zoomに接続可能な機器を準備してください。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期、合わせての履修を推奨します。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students acquire basic knowledge of German grammar and expression.

Learning Objectives: The goals of this course are to (A) acquire basic knowledge of German grammar, (B) understand basic sentences in German, and (C) express oneself in German.

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Grading Criteria/Policies: Grading will be decided based on in-class contribution (50%), and examination (50%).

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 1 I 2017年度以降入学者

小野間 亮子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語学習の基礎となる初級文法を学ぶ。
辞書を用いて平易なドイツ語のテキストが読める力を養成する。

【到達目標】

初級文法および基本的な語彙・表現を習得する。
ドイツ語を正確に発音できるようになる。
辞書を用いて平易なドイツ語のテキストを読むことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、
経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

はじめに文法事項について説明し、筆記および口頭での練習を通じて知識の定着を図る。
また、平易なドイツ語のテキストを読み、語彙や表現を学ぶ。
履修生は授業時間内にドイツ語の発音・練習問題の解答を行い、その都度教員が確認する。宿題を課した場合は次週の授業で解答・解説を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Lektion 0 アルファベートと発音	アルファベートと発音を学ぶ
第2回	Lektion 1 動詞の現在人称変化(I)	動詞の現在人称変化を学ぶ
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化(I)	自己紹介文を読む
第4回	Lektion 2 動詞の現在人称変化(II)・並列の接続詞	注意が必要な動詞の現在人称変化と並列の接続詞を学ぶ
第5回	Lektion 2 動詞の現在人称変化(II)・並列の接続詞	ドイツとドイツ語に関するテキストを読む
第6回	Lektion 3 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化	定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化を学ぶ
第7回	Lektion 3 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化	自分の部屋にあるものについて説明するテキストを読む
第8回	Lektion 4 名詞の複数形・人称代名詞	名詞の複数形・人称代名詞について学ぶ
第9回	Lektion 4 名詞の複数形・人称代名詞	市場での会話文を読む
第10回	Lektion 5 不定冠詞類・定冠詞類	不定冠詞類・定冠詞類を学ぶ
第11回	Lektion 5 不定冠詞類・定冠詞類	きょうだいの紹介文を読む
第12回	Lektion 6 動詞の現在人称変化(III)・命令形	不規則動詞の現在人称変化と命令形を学ぶ

第13回 Lektion 6 動詞の現在人称変化(III)・命令形 家族の紹介文を読む

第14回 試験・まとめ 春学期に学んだ内容を確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

文法事項は随時復習を心掛けること。
教科書の読解テキストについては単語の意味を調べる・付属音声聴いて発音を確認するなどの予習を行ってから授業に臨むこと。また練習問題を宿題として課すことがある。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『ゲナウ！ グラマティック ノイ』新倉真矢子・亀ヶ谷昌秀・正木晶子・中野有希子著、郁文堂（2018年刊行）

【参考書】

『必携ドイツ文法総まとめ（改訂版）』中野悠爾・平尾浩三・朝倉巧著、白水社（2003年刊行）

【成績評価の方法と基準】

予習状況・発音練習・練習問題への取り組み40%と期末試験60%を総合的に判断する。
なお単位を取得するためには原則として授業実施回数3分の2以上の出席を必要とする。

【学生の意見等からの気づき】

ドイツ語を発音する機会を可能な限り多く確保し、その重要性を理解してもらえよう工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】

教務システムやZoomに接続可能なデバイスを用意すること。
辞書については授業で紹介する。

【Outline (in English)】

This course deals with the rules of German grammar and commonly used expressions.

The goals of this course are to be able to master correct pronunciation and read texts in plain German with the help of a dictionary.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook.

Your required study time is about one hour for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination:60%

Class attendance and attitude in Class:40%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 1 II

2017年度以降入学者

小野間 亮子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語学習の基礎となる初級文法を学ぶ。

辞書を用いて平易なドイツ語のテキストが読める力を養成する。

【到達目標】

初級文法および基本的な語彙・表現を習得する。

ドイツ語を正確に発音できるようになる。

辞書を用いて平易なドイツ語のテキストを読むことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

はじめに文法事項について説明し、筆記および口頭での練習を通じて知識の定着を図る。

また、平易なドイツ語のテキストを読み、語彙や表現を学ぶ。

履修生は授業時間内にドイツ語の発音・練習問題の解答を行い、その都度教員が確認する。宿題を課した場合は次週の授業で解答・解説を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Lektion 7 話法の助動詞・未来形	話法の助動詞・未来形を学ぶ
第2回	Lektion 7 話法の助動詞・未来形	ドイツの交通機関の利用方法に関するテキストを読む
第3回	Lektion 8 前置詞・再帰代名詞・再帰動詞	前置詞・再帰代名詞・再帰動詞を学ぶ
第4回	Lektion 8 前置詞・再帰代名詞・再帰動詞	帰省の準備に関するテキストを読む
第5回	Lektion 9 分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞を学ぶ
第6回	Lektion 9 分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞	広告文を読む
第7回	Lektion 10 動詞の3基本形(I)・過去形・現在完了形	動詞の3基本形・過去形・現在完了形を学ぶ
第8回	Lektion 10 動詞の3基本形(I)・過去形・現在完了形	はがきに書かれた文を読む
第9回	Lektion 11 3基本形(II)・受動態	分離・非分離動詞の3基本形・受動態を学ぶ
第10回	Lektion 11 3基本形(II)・受動態	ドイツ現代史に関するテキストを読む
第11回	Lektion 12 形容詞の変化・比較	形容詞の変化・比較を学ぶ
第12回	Lektion 12 関係代名詞	関係代名詞を学ぶ

第13回 ステップアップ 接 接続法を学ぶ
続法

第14回 試験・後期のまとめ 秋学期に学んだ内容を確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

文法事項は随時復習を心掛けること。

教科書のテキストについては単語の意味を調べる・付属音声聴いて発音を確認するなどの予習を行ってから授業に臨むこと。また練習問題を宿題として課すことがある。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『ゲナウ！ グラマティック ノイ』新倉真矢子・亀ヶ谷昌秀・正木晶子・中野有希子著、郁文堂（2018年刊行）

【参考書】

『必携ドイツ文法総まとめ（改訂版）』中野悠爾・平尾浩三・朝倉巧著、白水社（2003年刊行）

【成績評価の方法と基準】

予習状況・発音練習・練習問題への取り組み40%と期末試験60%を総合的に判断する。

なお成績評価の対象となるためには原則として授業実施回数3分の2以上の出席を必要とする。

【学生の意見等からの気づき】

ドイツ語を発音する機会を可能な限り多く確保し、その重要性を理解してもらえるよう工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】

教務システムやZoomに接続可能なデバイスを用意すること。

辞書については授業で紹介する。

【Outline (in English)】

This course deals with the rules of German grammar and commonly used expressions.

The goals of this course are to be able to master correct pronunciation and read texts in plain German with the help of a dictionary.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook.

Your required study time is about one hour for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination:60%

Class attendance and attitude in Class:40%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 1 I

2017年度以降入学者

ADAM D JAMBOR

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語 1 Iでは、教科書を用いてドイツ語の初級文法を体系的に学習します。ドイツ語の読解と作文を通してドイツ語の基本的な仕組みを理解することが本授業の目的です。文法の説明とグループワークによってドイツ語の発音と基礎的な表現を身につけます。

【到達目標】

前期：発音、規則動詞と不規則動詞の変化、名詞と代名詞、複数形、命令形、冠詞類と前置詞を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法の説明が終えた後、練習問題を通して実際にその文法を使い、習得する。会話とグループ練習を通してさらにドイツ語文法への理解を深め、基本的な文章を発言させる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	発音と挨拶	ドイツ語の発音ルールを学ぶ・挨拶を覚える
2回	Lektion 1:自己紹介	人称代名詞と動詞の位置を学習する
3回	Lektion 1:sein	規則動詞と sein の変化について学習する
4回	Lektion 2:趣味・余暇	動詞の不規則変化を学ぶ
5回	Lektion 2:格変化	定冠詞と不定冠詞の格変化を学ぶ
6回	Lektion 3:持ち物・食べ物	haben・4 格と結びつく動詞について学ぶ
7回	Lektion 3:否定冠詞	3 格と結びつく動詞と否定冠詞を学習する
8回	Lektion 4:家族・住居	2 格の用法・人称代名詞の格変化を習得する
9回	Lektion 4:複数形	名詞の複数形について学習する
10回	Lektion 5: 所有冠詞	所有冠詞について学ぶ
11回	Lektion 5:命令形	命令形を習得する・心身に関する表現を学ぶ
12回	Lektion 6:街歩き	道案内に関する表現を学ぶ
13回	Lektion 6:前置詞	前置詞について学ぶ
14回	復習	今学期で習った内容をまとめて復習する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。前回の授業の文法を復習すること、単語を暗記すること、与えた課題・宿題に取り組むことが授業時間以外の主な学習です。

【テキスト（教科書）】

「ドライクラング・異文化理解のドイツ語」菅利恵著・大喜祐太著等、2020 年、郁文堂。3080 円 ISBN：9784261012736

【参考書】

新・独検合格 単語+熟語 1800、在間進・亀ヶ谷昌秀、2022 年、郁

文堂。2530 円 ISBN：9784261073508

【成績評価の方法と基準】

小テストの平均点数 70%、平常点 30%。

定期的に小テストを行うため、全ての内容が問われる期末試験がありません。平常点において課題提出（Hoppii に提出）、出席、積極的な授業参加を総合的に評価する。課題を提出しない場合、欠席する場合、平常点を減点する。未提出の課題が多い場合、無断欠席が4回以上の場合、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

以前よりドイツの社会と文化について学ぶ機会を増やしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典

教室で授業を行えない場合、Zoom に接続可能なデバイス（パソコンやタブレットが望ましい）とマイク付きイヤホン（ヘッドセット）

【Outline (in English)】

The aim of this class is to gain a basic understanding of German grammar and build up basic vocabulary. To achieve this goal it is necessary for the students to actively participate in pair and group work in class and learn constantly outside of classroom.

Learning Objectives: We will learn the present tense, declension of regular and irregular verbs, definite and indefinite articles and their declension, the plural of nouns, imperative and prepositions.

Learning activities outside of classroom: The students are supposed to prepare and repeat the course contents for one hour per week. The main learning activities outside of classroom are repetition of the learnt grammar, memorizing vocabulary and doing homework or tasks, which are assigned by the teacher.

Grading Criteria /Policy: short tests 70%, course participation 30%. There might be a short test following the completion of every chapter. Therefore no final exam will be held. Course participation includes handing in homework and active participation during classes. If students fail to hand in their homework, points for the participation grade will be deducted. In case a student misses more than four classes without a reason or didn't hand in a certain amount of homework, the student will not earn any credit points.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 1 II

2017年度以降入学者

ADAM D JAMBOR

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語 1－II では、教科書を用いてドイツ語の初級文法と基礎的な表現を体系的に学習します。ドイツ語の読解と作文を通してドイツ語の仕組みを理解することが本授業の目的です。文法の説明とグループワークによってドイツ語の発音と基礎的な表現を身につけます。

【到達目標】

後期：動詞の現在完了形・過去形・未来形、語法助動詞、関係代名詞、形容詞の比較級・最上級と形容詞の格変化、接続詞と **Zu** 不定詞。補足として受動態と接続法を習得する。独検 4 級の問題を読み解くようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法の説明が終了後、練習問題を通して実際にその文法を使い、習得する。会話とグループ練習を通してさらにドイツ語文法への理解を深め、基本的な文章を発言させる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Lektion 7: 交通	分離動詞と非分離動詞について学ぶ
2回	Lektion 7: 時間	時間の表現を学ぶ
3回	Lektion 8: 予定・計画	語法助動詞について学ぶ
4回	Lektion 8: 未来形	非人称表現と未来形について学習する
5回	Lektion 9: 学校	再帰代名詞と再帰動詞について学習する
6回	Lektion 9: 従属接続詞	従属接続詞と Zu 不定詞を学ぶ
7回	Lektion 10: 過去のできごと	現在完了形について学ぶ
8回	Lektion 10 : 過去分詞	過去分詞を覚える
9回	Lektion 10: 過去形	過去形について学習する
10回	Lektion 11: 祝祭	形容詞の付加語的用法を学ぶ
11回	Lektion 11: 序数	序数と形容詞の比較級・最上級について学習する
12回	Lektion 12: 政治・社会	関係代名詞と指示代名詞について学習する
13回	Lektion 12: 関係文	関係文の仕組みを学ぶ
14回	復習	今学期で習った内容を復習する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。前回の授業の文法を復習すること、単語を暗記すること、与えた課題・宿題に取り組むことが授業時間以外の主な学習です。

【テキスト（教科書）】

「ドライクラング・異文化理解のドイツ語」菅利恵著・大喜祐太著等、2020 年、郁文堂。3080 円 ISBN : 9784261012736

【参考書】

新・独検合格 単語+熟語 1800、在間進・亀ヶ谷昌秀、2022 年、郁文堂。2530 円 ISBN : 9784261073508

【成績評価の方法と基準】

小テストの平均点数 70%、平常点 30%。

定期的に小テストを行うため、全ての内容が問われる期末試験がありません。平常点において課題提出（Hoppii に提出）、出席、積極的な授業参加を総合的に評価する。課題を提出しない場合、欠席する場合、平常点を減点する。未提出の課題が多い場合、無断欠席が 4 回以上の場合、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

後期の文法をより余裕を持って教えていきたいと思います。学生の負担も考えて、小テストの問題数も減らしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典

教室で授業を行えない場合、Zoom に接続可能なデバイス（パソコンやタブレットが望ましい）とマイク付きイヤホン（ヘッドセット）

【Outline (in English)】

The aim of this class is to gain a basic understanding of German grammar and to build up basic vocabulary. To achieve this goal it is necessary for the students to actively participate in pair and group work in class and learn constantly outside of classroom.

Learning Objectives: We will learn the perfect tense, past tense and future tense, the modal verbs, comparative and superlative, adjective declension, conjunctions and zu-infinitive.

Passive and subjunctive might be additional contents of this course. The students will be able to solve tasks of the Dokken Level 4.

Learning activities outside of classroom: The students are supposed to prepare and repeat the course contents for one hour per week. The main learning activities outside of classroom are repetition of the learnt grammar, memorizing vocabulary and doing homework or tasks, which are assigned by the teacher.

Grading Criteria /Policy: short tests 70%, course participation 30%. There might be a short test following the completion of every chapter. Therefore no final exam will be held. Course participation includes handing in homework and active participation during classes. If students fail to hand in their homework, points for the participation grade will be deducted. In case a student misses more than four classes without a reason or didn't hand in a certain amount of homework, the student will not earn any credit points.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)	
ドイツ語 1 I	2017年度以降入学者
JENS OSTWALD	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：水2/Wed.2
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

表現一文法の基礎

対話形式のテキストを用いて、活きたドイツ語の表現を学ぶとともに、基礎的な文法を習得することを目指します。
また、ドイツの旬な情報や日常を紹介しながら、ドイツの文化について触れます。

【到達目標】

簡単な文章が読めるようになります。
基礎的な文法や口語表現を理解することができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

さまざまなシチュエーションを想定した対話やテキストを題材に、基礎的な文法をわかりやすく説明します。
課題等のフィードバックは授業内または学習支援システム（hoppii）を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	授業についての説明・オリエンテーション	授業についての説明・オリエンテーション
②	Lektion 1 人と知り合う－1 Kontakte 1	挨拶 発音 住所、出身についての会話
③	Lektion 1 人と知り合う－1 Kontakte 1	自己紹介の練習 規則動詞の人称変化、疑問文
④	Lektion 2 人と知り合う－2 Kontakte 2	自己紹介の練習 名詞の性、定冠詞、所有冠詞
⑤	Lektion 2 人と知り合う－2 Kontakte 2	電話番号 1000 までの数
⑥	Lektion 3 専攻と言語 Studium und Sprache	不規則変化動詞の人称変化、語順
⑦	総復習 Lektion 4 趣味 Hobbys 好きなこと	総復習 趣味についての語彙
⑧	Lektion 4 趣味 Hobbys 嫌いなこと	趣味についての会話の練習 否定文

⑨	Lektion 5 食事 Essen und Trinken	食べ物・飲み物についての語彙、 簡単な会話 並列接続詞
⑩	Lektion 5 食事 Essen und Trinken	食べ物・飲み物についての会話 前置詞 mit, ohne
⑪	Lektion 6 家族と職業 Familie und Berufe	家族と職業について 複数形、形容詞
⑫	Lektion 7 持ち物 Gegenstände	持ち物について 代名詞の格変化、形容詞
⑬	総復習および予備日	語彙・文法・会話の総復習
⑭	締め	締め

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

佐藤修子 「スツェーネン 1」 「場面で学ぶドイツ語」 ワークブック付き
三修社

ISBN 978-4-384-12245-9

他、別途配布資料

【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価する

小テスト 70%

平常点（授業参加度、宿題） 30%

【学生の意見等からの気づき】

教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course for beginner (basic grammar and syntax, speech patterns and expressions for daily life; introduction to German culture)

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to read simple sentences and to understand basic grammar and colloquial expressions.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy:

Short tests: 70%, homework & in-class contribution 30%.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 1 II

2017年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、ドイツ語の基本知識を学習します。秋学期は、簡単な文章が読める程度の文法知識の習得を目指します。

【到達目標】

簡単な文章が読めるようになります。
基礎的な文法や口語表現を理解することができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

さまざまなシチュエーションを想定した対話やテキストを題材に、基礎的な文法をわかりやすく説明します。
課題等のフィードバックは授業内または学習支援システム（hoppii）を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	復習	春学期の復習
②	Lektion 8 住居 Wohnen 部屋・家具 学生寮・一人暮らし など	住居についての語彙・会話 前置詞 auf, in, unter など 所有冠詞
③	Lektion 9 時刻・日付 Uhrzeit & Datum	時刻・日付の言い方 日程についての簡単な会話 前置詞、分離動詞
④	Lektion 10 週末の後 Nach dem Wochenende	過去についての会話 現在完了形
⑤	Lektion 10 週末の後 Nach dem Wochenende	過去についての会話 過去形
⑥	Lektion 11 街・大学 Stadt & Universität	街についての語彙 大学についての語彙・簡単な話 道を尋ねる 命令形、前置詞
⑦	Lektion 12 休暇の前 Vor der Ferien	予定についての会話 話法の助動詞 wollen, können, möchten
⑧	話法の助動詞の説明・練習	話法の助動詞 dürfen, sollen, müssen
⑨	文法の補足 I	副文
⑩	文法の補足 II	受動態
⑪	文法の補足 III	関係代名詞
⑫	文法の補足 IV	接続法
⑬	復習および予備日	総復習および予備日

⑭

總め・総復習

一年間のドイツ語の總めや總め・復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

佐藤修子 「スツェーネン1」 「場面で学ぶドイツ語」 ワークブック付き
三修社

ISBN 978-4-384-12245-9

他、別途配布資料

【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価する

小テスト 70%

平常点（授業参加度、宿題） 30%

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度に順じてプログラムを変更することもあります

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course for beginner (basic grammar and syntax, speech patterns and expressions for daily life; introduction to German culture)

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to read simple sentences and to understand basic grammar and colloquial expressions.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy:

Short tests: 70%, homework & in-class contribution 30%.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 1 I 2017年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

はじめてドイツ語を学ぶ学生が対象です。

ドイツ語文法の基礎を学びます。

日常的によく使われるドイツ語の簡単な表現を学びます。

【到達目標】

ドイツ語文法の基本的な規則を習得することができる。

日常的によく使われる語彙、表現を学ぶことができる。

ドイツ語で簡単な日常会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、教員がドイツ語文法の規則や仕組みを例文を使って説明します（講義形式）。

担当者を決めて教科書の練習問題を行います（演習形式）。

それによって、ドイツ語の文法の理解を定着させ、また疑問点を意識化します。

適宜、オンラインで確認小テストを行います。

課題については次回の授業時にそのつど、担当者に解答例に対して解説を加えたフィードバックを行います。また確認小テストについてはオンラインでフィードバックを行います。

なお、授業支援システムを毎週、よく確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション 発音とアクセント	発音の仕方 綴りの基本 ドイツ語の主語について du,ihr,Sieについて
第2回	ドイツ語の動詞について	疑問詞 動詞の現在人称変化
第3回	Lektion2 ドイツ語の名詞について	名詞の性と格
第4回	Lektion2 ドイツ語の複数形について	複数形と冠詞の使い方
第5回	Lektion3 ドイツ語の冠詞について	所有冠詞
第6回	Lektion3 ドイツ語の否定冠詞について	否定冠詞と人称代名詞の格変化
第7回	Lektion4 ドイツ語の前置詞について	前置詞の格支配
第8回	Lektion4 ドイツ語のesについて	非人称のesを用いた表現
第9回	Lektion5 過去形について	動詞の3基本形 過去形について

第10回 Lektion5 人称による過去形の動詞の形

ドイツ語の過去人称
変化について

第11回 Lektion6 現在完了形と接続詞

ドイツ語の現在完了
形について

第12回 Lektion 6 zu不定詞の用法

ドイツ語のzu不定詞
について

第13回 春学期ドイツ語学習 Plus 文法と文法の確認

の振り返りと総復習

第14回 春学期期末試験、解説とまとめ
春学期期末試験、解説とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。

次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。

宿題・課題については自分の担当ではないところも行い、授業でポイントを確認し、正確な理解に努めます。

【テキスト（教科書）】

「ブリュッケ 初級ドイツ語文法・ふかくわかりやすく」 木下直也等 朝日出版社

【参考書】

独和辞書は必要です。（電子辞書でも紙の辞書でも形態は問わない）参考書としてはあらかじめ用意するものは特にありませんが、必要があれば授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価手法について

成績配分は期末試験50%、平常点（これまでの確認テストの点数の累計、訳読、課題提出、授業への積極的取り組みを含む）50%

【学生の意見等からの気づき】

授業時に質問の時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業になった場合の必要な機器としてZoomで接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline (in English)】

【Course outline】German for Ichigaya Liberal Arts Center Program.

This course provides elementary German grammar for beginners.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to:

- confirm German elementary grammar.

- learn expressions of daily German conversation.

【Learning activities outside of classroom】 Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least 1 hour for each class meeting.

【Grading criteria】 Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 50%、Short tests, an assignment and in-class contribution: 50%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 1 II

2017年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

はじめてドイツ語を学ぶ学生が対象です。

春学期で得たドイツ語文法の知識を踏まえて、引き続きドイツ語文法の基礎を学びます。

日常的によく使われるドイツ語の簡単な表現を学びます。

【到達目標】

ドイツ語文法の基本的な規則を習得することができる。

日常的によく使われる語彙、表現を学ぶことができる。

ドイツ語で簡単な日常会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って教員がドイツ語文法の規則や仕組みを例文を使って説明します（講義形式）。

担当者を決めて練習問題を行います（演習形式）。

上記によって、ドイツ語の文法の理解を定着させ、また疑問点を意識化できるようにします。

適宜、オンライン等を利用して確認小テストを行います。

課題については、回目の授業時にそのつど、解説を加えたフィードバックを行います。またオンラインによる確認小テストのフィードバックはオンラインで行います。

なお、授業支援システムをよく確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Lektion 7	話法の助動詞の現在人称変化とドイツ語の話法の助動詞
第2回	Lektion 7	未来形の用法と文について
第3回	Lektion 8	分離・非分離動詞について
第4回	Lektion 8	ドイツ語の分離動詞
第5回	Lektion 9	受動文の用法と形式について
第6回	Lektion 9	ドイツ語の受動文
第7回	Lektion 10	命令形とその用法について
第8回	Lektion 10	ドイツ語の命令形
第9回	Lektion 11	不規則変化動詞の用法について
第10回	Lektion 11	ドイツ語の不規則変化動詞
第11回	Lektion 12	接続法第2式の用法と形式について
第12回	Lektion 12	ドイツ語の接続法
第13回	Lektion 12	婉曲話法や接続法の応用について
第14回	Lektion 12	ドイツ語の婉曲話法
第15回	Lektion 12	再帰代名詞の人称変化について
第16回	Lektion 12	ドイツ語の再帰代名詞
第17回	Lektion 12	比較級・最上級の用法と形態について
第18回	Lektion 12	ドイツ語の比較級・最上級
第19回	Lektion 12	定関係代名詞について
第20回	Lektion 12	ドイツ語の定関係代名詞

第12回	Lektion12	関係副詞と不定関係代名詞について
第13回	Plus	文法と振り返り
第14回	期末試験、まとめと解説	Plus文法と別冊練習問題を使つての文法事項の確認
第15回	期末試験、まとめと解説	期末試験、文法事項を中心としたまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。自分の訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。

【テキスト（教科書）】

「ブリュッケ 初級ドイツ語文法・ふかくわかりやすく」 木下直也等 朝日出版社

【参考書】

独和辞書は必要です。（電子辞書でも紙の辞書でも形態は問わない）参考書としてはあらかじめ用意するものは特にありませんが、必要があれば授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末に試験を行います。

期末試験 50%

平常点（訳読などの課題発表・確認テストの成績累計、授業への積極的取組・参加）50%

出席は単位修得の前提条件です。

【学生の意見等からの気づき】

授業時に質問の時間を設け、その日に学んだことに対する疑問を解消し、理解をより確実なものにします。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業になった場合の必要な機器としてZoomで接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline (in English)】

【Course outline】 German for Ichigaya Liberal Arts Center Program.

This course provides elementary German grammar for beginners.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to:

- confirm German elementary grammar.
- learn expressions of daily German conversation.

【Learning activities outside of classroom】 Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least 1 hour for each class meeting.

【Grading criteria】 Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 50%, Short tests, an assignment and in-class contribution: 50%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 1 I 2017年度以降入学者

小野間 亮子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語学習の基礎となる初級文法を学ぶ。

辞書を用いて平易なドイツ語のテキストが読める力を養成する。

【到達目標】

初級文法および基本的な語彙・表現を習得する。

ドイツ語を正確に発音できるようになる。

辞書を用いて平易なドイツ語のテキストを読むことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

はじめに文法事項について説明し、筆記および口頭での練習を通じて知識の定着を図る。

また、平易なドイツ語の会話を読み、語彙や表現を学ぶ。

履修生は授業時間内にドイツ語の発音・練習問題の解答を行い、その都度教員が確認する。宿題を課した場合は次週の授業で解答・解説を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Lektion 0 アルファベートと発音	挨拶の表現を学ぶ
第2回	Lektion 1 動詞の現在人称変化	動詞の現在人称変化を学ぶ
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化	出会いと自己紹介
第4回	Lektion 2 名詞の性と格・冠詞の格変化	名詞の性と格・冠詞の格変化を学ぶ
第5回	Lektion 2 名詞の性と格・冠詞の格変化	家族について尋ねる
第6回	Lektion 3 不規則変化動詞・人称代名詞	不規則変化動詞・人称代名詞を学ぶ
第7回	Lektion 3 不規則変化動詞・人称代名詞	明日の予定を尋ねる
第8回	Lektion 4 定冠詞類・不定冠詞類	定冠詞類・不定冠詞類を学ぶ
第9回	Lektion 4 定冠詞類・不定冠詞類	買い物に出かける
第10回	Lektion 5 前置詞の格支配	前置詞の格支配を学ぶ
第11回	Lektion 5 前置詞の格支配	週末の予定を尋ねる
第12回	Lektion 6 名詞の複数形・形容詞の格変化	名詞の複数形・形容詞の格変化を学ぶ
第13回	Lektion 6 名詞の複数形・形容詞の格変化	趣味について尋ねる
第14回	試験・まとめ	春学期に学んだ内容を確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

文法事項は随時復習を心掛けること。

教科書の会話文については単語の意味を調べる・付属音声聴いて発音を確認するなどの予習を行ってから授業に臨むこと。また練習問題を宿題として課すことがある。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。**【テキスト（教科書）】**

『パノラマ・エクスプレス 初級ドイツ語ゼミナール』上野成利・本田雅也著、白水社（2022年刊行）

【参考書】

『必携ドイツ文法総まとめ（改訂版）』中野悠爾・平尾浩三・朝倉巧著、白水社（2003年刊行）

【成績評価の方法と基準】

予習状況・発音練習・練習問題への取り組み40%と期末試験60%を総合的に判断する。

なお単位を取得するためには原則として授業実施回数3分の2以上の出席を必要とする。

【学生の意見等からの気づき】

ドイツ語を発音する機会を可能な限り多く確保し、その重要性を理解してもらえよう工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】

教務システムやZoomに接続可能なデバイスを用意すること。

辞書については授業で紹介する。

【Outline (in English)】

This course deals with the rules of German grammar and commonly used expressions.

The goals of this course are to be able to master correct pronunciation and read texts in plain German with the help of a dictionary.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook.

Your required study time is about one hour for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination:60%

Class attendance and attitude in Class:40%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 1 II

2017年度以降入学者

小野間 亮子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語学習の基礎となる初級文法を学ぶ。

辞書を用いて平易なドイツ語のテキストが読める力を養成する。

【到達目標】

初級文法および基本的な語彙・表現を習得する。

ドイツ語を正確に発音できるようになる。

辞書を用いて平易なドイツ語のテキストを読むことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、
経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

はじめに文法事項について説明し、筆記および口頭での練習を通じて知識の定着を図る。

また、平易なドイツ語の会話を読み、語彙や表現を学ぶ。

履修生は授業時間内にドイツ語の発音・練習問題の解答を行い、その
都度教員が確認する。宿題を課した場合は次週の授業で解答を行う。【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Lektion 7 話法の助動詞・分離動詞	話法の助動詞・分離動詞を学ぶ
第2回	Lektion 7 話法の助動詞・分離動詞	駅の職員に質問する
第3回	Lektion 8 zu不定詞・従属接続詞・再帰代名詞	zu不定詞・従属接続詞・再帰代名詞を学ぶ
第4回	Lektion 8 zu不定詞・従属接続詞・再帰代名詞	休暇の計画を尋ねる
第5回	Lektion 9 動詞の3基本形・過去形	動詞の3基本形・過去形を学ぶ
第6回	Lektion 9 動詞の3基本形・過去形	旅の体験を語る(1)
第7回	Lektion 10 現在完了形・受動態・非人称	現在完了形・受動態・非人称を学ぶ
第8回	Lektion 10 現在完了形・受動態・非人称	旅の体験を語る(2)
第9回	Lektion 11 関係代名詞	関係代名詞を学ぶ
第10回	Lektion 11 比較表現	比較表現について学ぶ
第11回	Lektion 11 関係代名詞・比較表現	日本について語る
第12回	Lektion 12 接続法	接続法を学ぶ
第13回	Lektion 12 接続法	別れと再会の約束
第14回	試験・後期のまとめ	秋学期に学んだ内容を確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

文法事項は随時復習を心掛けること。

教科書の会話文については単語の意味を調べる・付属音声聴いて発音を確認するなどの予習を行ってから授業に臨むこと。また練習問題を宿題として課すことがある。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『パノラマ・エクスプレス 初級ドイツ語ゼミナール』上野成利・本田雅也著、白水社（2022年刊行）

【参考書】

『必携ドイツ文法総まとめ（改訂版）』中野悠爾・平尾浩三・朝倉巧著、白水社(2003年刊行)

【成績評価の方法と基準】

予習状況・発音練習・練習問題への取り組み40%と期末試験60%を総合的に判断する。

なお成績評価の対象となるためには原則として授業実施回数3分の2以上の出席を必要とする。

【学生の意見等からの気づき】

ドイツ語を発音する機会を可能な限り多く確保し、その重要性を理解してもらえよう工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】

教務システムやZoomに接続可能なデバイスを用意すること。

辞書については授業で紹介する。

【Outline (in English)】

This course deals with the rules of German grammar and commonly used expressions.

The goals of this course are to be able to master correct pronunciation and read texts in plain German with the help of a dictionary.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook.

Your required study time is about one hour for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination:60%

Class attendance and attitude in Class:40%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 1 I

2017年度以降入学者

ミツ石 祐子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業ではドイツ語文法をしっかり身に付け、最終的には平易なテキストであれば、辞書などを用いて自力で読解できるようになることを目指します。発音の原則を再確認し、初見の単語でも発音できるように練習します。

【到達目標】

- ・発音の原則を学び、初見の単語でも発音できるようになる。
- ・基礎的な文法事項を習得する。
- ・辞書を用いて初歩的な文章が読めるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・毎回アルファベート、発音練習などを行います。
- ・パートナー練習やグループワークを行い、文法知識の定着を図ります。
- ・授業内で行われたアウトプットに対しては授業の場でコメントします。
- ・提出物などのフィードバックは適宜全体と、必要に応じて各自に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
01	文字と発音	音と綴りの関係の確認
02	動詞(1)	人称代名詞と現在人称変化
03	動詞(2)	命令形
04	名詞の格変化(1)	定冠詞と名詞の格変化
05	名詞の格変化(2)	不定冠詞と名詞の格変化
06	名詞の格変化(3)	冠詞類
07	名詞の格変化(4)	形容詞の格変化
08	形容詞の比較変化	原級・比較級・最上級
09	人称代名詞	人称代名詞の格変化
10	前置詞(1)	特定の格を支配する前置詞
11	前置詞(2)	3+4 格を支配する前置詞
12	話法の助動詞	現在人称変化
13	未来形	人称変化
14	春学期の振り返り	筆記試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
 ・毎授業ごと、予習・復習の課題を出します。必ず音読の練習もしてください。
 ・授業外でも積極的にドイツ語に触れるようにして下さい。

【テキスト（教科書）】

橋本政義著 『ひとりて学べるドイツ語』 2020年、第1刷、三修社、ISBN978-4-384-05958-8 C1084、¥1,800+税

【参考書】

必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席・パートナー練習やグループワークなどを含めた授業への積極的参加・課題等）30%と期末試験70%を合わせ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典。紙媒体の辞書（特に自宅での学習で）を強く薦めます。

【その他の重要事項】

- ・授業の順序や内容の一部は、クラスの状況により変更されることがあります。
 - ・質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先でも随時受け付けます。
- メールアドレス：yuko.mitsuishi.2x@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

[Course outline]

The aim of this course is to give students a solid grounding in German grammar, so that they will eventually be able to read and understand plain texts on their own, using dictionaries and other resources. Pronunciation principles are reviewed and practice is given so that students can pronounce words they have never heard before.

[Learning Objectives]

Learn the principles of pronunciation and be able to pronounce words that are new to you.

Learn basic grammar.

Be able to read rudimentary texts using a dictionary.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The preparation and review assignments will be given for each class.

Please make sure to practice reading aloud and try to be actively exposed to German outside of class.

[Grading Criteria/Policy]

The overall evaluation is based on a combination of normal marks (attendance, active participation in class including partner practice and group work, assignments, etc.) of 30% and a final examination of 70%.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 1 II

2017年度以降入学者

ミツ石 祐子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業ではドイツ語文法をしっかり身に付け、最終的には平易なテキストであれば、辞書などを用いて自力で読解できるようになることを目指します。発音の原則を再確認し、初見のテキストでも音読できるように練習します。

【到達目標】

- ・発音の原則を学び、初見のテキストでも音読できるようになる。
- ・基礎的な文法事項を習得する。
- ・辞書を用いて初歩的な文章が読めるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・毎回アルファベット、発音練習などを行います。
- ・パートナー練習やグループワークを行い、文法知識の定着を図ります。
- ・法政大学の2023年度授業方針に従い、「対面授業」で行います。
- ・授業内で行われたアウトプットに対しては授業の場でコメントします。
- ・提出物などのフィードバックは適宜全体と、必要に応じて各自に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
01	導入	学習状況の確認
02	分離動詞	現在人称変化
03	副文(1)	従属接続詞
04	不定詞	3つの用法
05	過去形	人称変化
06	現在完了形	人称変化
07	再帰動詞	再帰代名詞と人称変化
08	受動態	人称変化
09	副文(2)	定関係代名詞
10	副文(3)	不定関係代名詞
11	副文(4)	関係副詞
12	接続法第一式	要求、容認、間接引用
13	接続法第二式	非事実、外交的接続法
14	秋学期の振り返り	筆記試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
 ・毎授業ごと、予習・復習の課題を出します。必ず音読の練習もしてください。
 ・授業外でも積極的にドイツ語に触れるようにして下さい。

【テキスト（教科書）】

橋本政義著 『ひとりで学べるドイツ語』 2020年、第1刷、三修社、ISBN978-4-384-05958-8 C1084、¥1,800+税

【参考書】

必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席・パートナー練習やグループワークなどを含めた授業への積極的参加・課題等）30%と期末試験70%を合わせ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典。紙媒体の辞書（特に自宅での学習で）を強く薦めます。

【その他の重要事項】

- ・授業の順序や内容の一部は、クラスの状況により変更されることがあります。
 - ・質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先でも随時受け付けます。
- メールアドレス：yuko.mitsuishi.2x@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

[Course outline]

The aim of this course is to give students a solid grounding in German grammar, so that they will eventually be able to read and understand plain texts on their own, using dictionaries and other resources. Pronunciation principles are reconfirmed and students practice reading aloud texts they have never seen before.

[Learning Objectives]

The course is designed to provide students with the skills and knowledge to read aloud texts they have never seen before.

Learn basic grammar.

Be able to read rudimentary texts using a dictionary.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The preparation and review assignments will be given for each class.

Please make sure to practice reading aloud and try to be actively exposed to German outside of class.

[Grading Criteria/Policy]

The overall evaluation is based on a combination of normal marks (attendance, active participation in class including partner practice and group work, assignments, etc.) of 30% and a final examination of 70%.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 2 I

2017年度以降入学者

高木 葉子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基本的な文法事項の習得と簡単なドイツ語の読解・会話

【到達目標】

基本的な文法事項を習得しながら、ドイツ語の簡単な文章を読み、会話を練習していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 授業は主に次の3点から構成されます。

- 1) 講義
- 2) 実習
- 3) 映像鑑賞

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	ガイダンス	自己紹介 授業の進め方 ドイツ語とドイツ語圏について
2.	つづりの読み方と発音	母音・子音の発音 日常会話の基本的表現
3.	第1課（1）	動詞の現在人称変化
4.	第1課（2）	動詞の現在人称変化
5.	第2課（1）	名詞と冠詞の格変化
6.	第2課（2）	名詞と冠詞の格変化
7.	第3課（1）	名詞の複数形・人称代名詞
8.	第3課（2）	名詞の複数形・人称代名詞
9.	第1回目テスト	テスト・まとめと復習
10.	第4課（1）	動詞の現在人称変化（2）・命令法
11.	第4課（2）	動詞の現在人称変化（2）・命令法
12.	第5課（1）	定冠詞類・不定冠詞類
13.	第5課（2）	定冠詞類・不定冠詞類
14.	第2回目テスト	テスト・まとめと復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題となった練習問題

本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

前田・高木『身につくドイツ文法＜Leicht＞2』郁文堂

【参考書】

授業中、随時指示します。

【成績評価の方法と基準】

以下の3点を総合して評価します。

- 1) 第1回テスト 35%
- 2) 第2回テスト 35%
- 3) 平常点（出席状況と受講態度） 30%

【学生の意見等からの気づき】

授業が進行していくと、どうしてもクラスの中でレベルの差が出てきてしまいます。これを解消するため、個別の質問にもできるだけ丁寧に対応していきます。

【その他の重要事項】

4月の第1回目の授業時に詳しいガイダンスを行います。教科書を購入してもってきてください。

【Outline (in English)】

1) This course deals with the German grammar/reading/conversation.

2) The goal of this course is to acquire the German grammar/reading/conversation.

3) Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

4) Your final grade will be decided based on the following

1. the 1. examination:35%, 2. the 2. examination:35%, 3. in class contribution: 30%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語Ⅱ

2017年度以降入学者

高木 葉子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、基本的な文法事項の習得と簡単なドイツ語の読解・会話

【到達目標】

春学期に引き続き、基本的な文法事項を習得しながら、ドイツ語の簡単な文章を読み、会話を練習していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 授業は主に次の3点から構成されます。

- 1) 講義
- 2) 実習
- 3) 映像鑑賞

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	第6課（1）	前置詞
2.	第6課（2）	前置詞
3.	第7課（1）	話法の助動詞・未来形・非人称動詞
4.	第7課（2）	話法の助動詞・未来形・非人称動詞
5.	第8課（1）	分離動詞と非分離動詞・接続詞
6.	第8課（2）	分離動詞と非分離動詞・接続詞
7.	第9課（1）	動詞の3基本形・過去人称変化
8.	第9課（2）	動詞の3基本形・過去人称変化
9.	第1回目テスト	テスト・まとめと復習
10.	第10課（1）	現在完了・再帰表現
11.	第10課（2）	現在完了・再帰表現
12.	第11課	形容詞の格変化
13.	第12課	形容詞と副詞の比較変化・zu不定詞
14.	第2回目テスト	テスト・まとめと復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題となった練習問題

本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

前田・高木『身につくドイツ文法＜Leicht＞2』郁文堂

【参考書】

授業中、随時指示します。

【成績評価の方法と基準】

次の3点を総合して評価します。

- 1) 第1回テスト35%
- 2) 第2回テスト35%
- 3) 平常点（出席状況と受講態度）30%

【学生の意見等からの気づき】

授業が進行していくと、どうしてもクラスの中でレベルの差が出てきてしまいます。これを解消するため、時間が許す限り、個別の質問にもできるだけ丁寧に対応していきます。

【Outline (in English)】

- 1) This course deals with the German grammar/reading/conversation.
- 2) The goal of this course is to acquire the German grammar/reading/conversation.
- 3) Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
- 4) Your final grade will be decided based on the following
 1. the 1. examination:35%, 2. the 2. examination:35%, 3. in class contribution: 30%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 2 I

2017年度以降入学者

児島 由理

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年間かけてドイツ語の初級文法を学びます。文法事項だけでなく、練習問題や読解テキストを通じて語彙や表現を覚えることも目標とします。

【到達目標】

必要かつ十分な文法説明に加えて練習問題でドイツ語文法への理解を深めることができます。また、読解テキストを通じて語彙を増やし読解力を養います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期では、初級文法のなかでも基礎にあたる部分を学びます。簡単な現在形の文を読んだり書いたりできるようになることが目標です。週1回教室に座っているだけでは絶対に語学力はつきません。しっかり身につくように、手と口と頭を働かせ、積極的に参加する授業を目指します。

文法は積み重ねが大事です。参加者は必ず継続して出席してください。また辞書を用意し、宿題・予習をしたうえで参加することが要求されます。

提出された課題・宿題は添削して返却し、授業でコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の進め方、ドイツ語圏概説、アルファベット、発音、挨拶など
第2回	Lektion 1	主語になる人称代名詞、動詞の現在人称変化、動詞の位置、疑問文の作り方
第3回	Lektion 1	重要不規則変化動詞 sein・haben、単語を知ろう！
第4回	Lektion 2	名詞の性と数、名詞の複数形、定冠詞・不定冠詞と名詞の格変化
第5回	Lektion 2	疑問代名詞、疑問詞
第6回	Lektion 3	不規則変化動詞、命令形、esの用法
第7回	Lektion 3	定冠詞類・不定冠詞類
第8回	Lektion 4	人称代名詞の格変化、前置詞の格支配
第9回	Lektion 4	特定の定冠詞と前置詞の融合形
第10回	Lektion 5	話法の助動詞、未来を表す助動詞、使役の助動詞 lassen
第11回	Lektion 5	知覚動詞、従属の接続詞
第12回	Lektion 6	複合動詞（分離動詞、非分離動詞）
第13回	Lektion 6	再帰動詞
第14回	期末試験	Lektion 1～6の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

適宜宿題を出します。次の授業で答え合わせまたは提出とします。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ドイツ語文法 魔法のくつーコツコツ学び、大きく理解ー』藤原美沙
朝日出版社、2750円（税込）

【参考書】

独和辞典を必ず購入すること。初回の授業で何点か紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の結果50%、授業参加度（宿題・課題を含む平常点）50%の割合で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

今後の状況次第でZoomなどオンライン授業に転換した場合に対応できるよう、パソコンやタブレットを用意しておくことが望ましい。

【Outline (in English)】

The aim is mastering the basic grammar of the German language. Students learn vocabulary and expressions through exercises and reading texts as well as grammatical matters.

In addition to the necessary and sufficient grammatical explanations, exercises will help students deepen their understanding of German grammar. In addition, they will be able to expand your vocabulary and develop their reading comprehension skills through reading texts.

They will also learn conversational expressions that will be useful when traveling to German-speaking countries.

All participants are required to attend continuously. They are also required to bring a dictionary and do their homework/prep work before attending.

Homework will be assigned each time and will be due in the next class. The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The overall evaluation will be based on a final exam (50%) and class participation (normal points including homework and assignments) (50%).

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語2Ⅱ

2017年度以降入学者

児島 由理

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年間かけてドイツ語の初級文法を学びます。文法事項だけでなく、練習問題や読解テキストを通じて語彙や表現を覚えることも目標とします。

【到達目標】

必要かつ十分な文法説明に加えて練習問題を解くことでドイツ語文法への理解を深めることができます。

また、読解テキストを通じて語彙を増やし読解力を養います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

秋学期では、春学期から引き続き初級文法の残りの部分を学びます。それまでに学んだ知識を活かし、応用的な練習問題にも徐々に取り組んでいきます。

週1回教室に座っているだけでは絶対に語学力はつきません。しっかり身につくように、手と口と頭を働かせ、練習問題をしながら先に進んでいきます。

文法は積み重ねが大事です。参加者は必ず継続して出席してください。また辞書を用意し、宿題・予習をしたうえで参加することが要求されます。

提出された課題・宿題は添削して返却し、授業でコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Lektion 7	形容詞の格語尾変化、形容詞の名詞化
第2回	Lektion 7	動詞の3基本形
第3回	Lektion 8	過去人称変化
第4回	Lektion 8	現在完了形
第5回	Lektion 9	定関係代名詞
第6回	Lektion 9	不定関係代名詞、関係副詞
第7回	Lektion 10	形容詞と副詞の比較級・最上級、同等比較
第8回	Lektion 10	現在分詞・過去分詞、zu不定詞（句）
第9回	Lektion 11	動作受動態
第10回	Lektion 11	状態受動態、その他の受動的表現
第11回	Lektion 12	接続法
第12回	Lektion 1～12より	読解練習
第13回	Lektion 1～12より	読解練習
第14回	期末試験	Lektion 7～12の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

適宜宿題を出します。次の授業で答え合わせまたは提出とします。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ドイツ語文法 魔法のくつーコツコツ学び、大きく理解ー』藤原美沙
朝日出版社、2750円（税込）

【参考書】

独和辞典を必ず購入すること。初回の授業で何点が紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の結果50%、授業参加度（宿題・課題を含む平常点）50%の割合で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

今後の状況次第でZoomなどオンライン授業に転換した場合に対応できるよう、パソコンやタブレットを用意しておくことが望ましい。

【Outline (in English)】

The aim is mastering the basic grammar of the German language. Students learn vocabulary and expressions through exercises and reading texts as well as grammatical matters.

The aim is mastering the basic grammar of the German language. Students learn vocabulary and expressions through exercises and reading texts as well as grammatical matters.

In addition to the necessary and sufficient grammatical explanations, exercises will help students deepen their understanding of German grammar. In addition, they will be able to expand your vocabulary and develop their reading comprehension skills through reading texts.

They will also learn conversational expressions that will be useful when traveling to German-speaking countries.

All participants are required to attend continuously. They are also required to bring a dictionary and do their homework/prep work before attending.

Homework will be assigned each time and will be due in the next class. The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The overall evaluation will be based on a final exam (50%) and class participation (normal points including homework and assignments) (50%).

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 2 I

2017年度以降入学者

ADAM D JAMBOR

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語2Iでは、教科書を用いてドイツ語の読解を体系的に学習します。ドイツ語の文章を読み解くことで基本的なドイツ語単語を身につけ、ドイツ語文法を具体的にどう使用されるか学ぶ。文章と練習問題を通して、ドイツ語圏とドイツ語という言葉に関する知識が得られます。

【到達目標】

前期：発音、規則動詞と不規則動詞の変化、名詞と代名詞、複数形、命令形、冠詞類と前置詞を習得する。独検4級の問題を読み解くようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法の説明が終えた後、練習問題を通して実際にその文法を使い、習得する。会話とグループ練習を通してさらにドイツ語文法への理解を深め、基本的な文章を発言させる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	アルファベット	ドイツ語の発音ルールを学ぶ・
	Lektion 0:あいさつ	挨拶を覚える
2回	Lektion 1:自己紹介	人称代名詞と動詞の位置を学習する
3回	Lektion 1 : sein の変化	規則動詞とseinの変化について学習する
4回	Lektion 2:趣味・余暇	動詞の不規則変化を学ぶ
5回	Lektion 2:名詞の格変化	定冠詞と不定冠詞の格変化を学ぶ
6回	Lektion 3:持ち物・食べ物	haben・4格と結びつく動詞について学ぶ
7回	Lektion 3:否定冠詞	3格と結びつく動詞と否定冠詞を学習する
8回	Lektion 4:家族・住居	2格の用法・人称代名詞の格変化を習得する
9回	Lektion 4:複数形	名詞の複数形について学習する
10回	Lektion 5: 自然・心身	所有冠詞について学ぶ
11回	Lektion 5:命令形	命令形を習得する・心身に関する表現を学ぶ
12回	Lektion 6:街歩き	前置詞について学ぶ
13回	Lektion 6:ドイツの街角	道案内に関する表現を学ぶ
14回	復習	今学期で習った内容をまとめて復習する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。前回の授業の文法を復習すること、単語を暗記すること、与えた課題・宿題に取り組むことが授業時間以外の主な学習です。

【テキスト（教科書）】

「ドライクラング・異文化理解のドイツ語」菅利恵著・大喜祐太著等、2020年、郁文堂。3080円
ISBN：9784261012736

【参考書】

新・独検合格 単語+熟語1800、在間進・亀ヶ谷昌秀、2022年、郁文堂。2530円

ISBN：9784261073508

【成績評価の方法と基準】

小テストの平均点数 70%、平常点 30%。

定期的に小テストを行うため、全ての内容が問われる期末試験がありません。平常点において課題提出（Hoppiiに提出）、出席、積極的な授業参加を総合的に評価する。課題を提出しない場合、欠席する場合、平常点を減点する。未提出の課題が多い場合、無断欠席が4回以上の場合、不合格とする。提出された課題に関するフィードバックは授業中、またはHoppiiを通して行う。

【学生の意見等からの気づき】

小テストの仕組みが学生に高く評価されましたが、小テストの回数は多すぎると、負担になるのではないかと感じました。比較的簡単な内容であれば、二つのLektionを総括し、小テストを行う予定です。表現力と理解を高めるため、履修者同士のアクティビティを増やしていきたいと思います。学習量が多いLektionの場合、より余裕をもって授業を進めたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典

教室で授業を行えない場合、Zoomに接続可能なデバイス（パソコンやタブレットが望ましい）とマイク付きイヤホン（ヘッドセット）

【Outline (in English)】

This lecture aims at teaching basic German reading skills. By reading German dialogues and texts the students gain insight into basic grammar and pronunciation. The students will further learn basic facts about the German language and German culture and society.

Learning Objectives: We will learn the present tense, declension of regular and irregular verbs, definite and indefinite articles and their declension, the plural of nouns, imperative and prepositions.

Learning activities outside of classroom: The students are supposed to prepare and repeat the course contents for one hour per week. The main learning activities outside of classroom are repetition of the learnt grammar, memorizing vocabulary and doing homework or tasks, which are assigned by the teacher.

Grading Criteria /Policy: Point average of short tests 70%, course participation 30%. There will be a short test following the completion of every chapter. Therefore no final exam will be held. Course participation includes handing in homework and active participation during classes. If students fail to hand in their homework, points for the participation grade will be deducted. In case a student misses more than four classes without a reason, the student will not earn any credit for completing this course.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語2Ⅱ

2017年度以降入学者

ADAM D JAMBOR

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語2Ⅱでは、教科書を用いてドイツ語の読解を体系的に学習します。ドイツ語の文章を読み解くことで基本的なドイツ語単語を身につけ、ドイツ語文法を具体的にどう使用されるか学ぶ。文章と練習問題を通して、ドイツ語圏とドイツ語という言葉に関する知識が得られます。

【到達目標】

後期：動詞の現在完了形・過去形・未来形、語法助動詞、関係代名詞、形容詞の比較級・最上級と形容詞の格変化、接続詞とZu不定詞。補足として受動態と接続法を習得する。独検4級の問題を読み解くようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法の説明が終えた後、練習問題を通して実際にその文法を使い、習得する。会話とグループ練習を通してさらにドイツ語文法への理解を深め、基本的な文章を発言させる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Lektion 7: 交通	分離動詞と非分離動詞について学ぶ
2回	Lektion 7: 時間	時間の表現を学ぶ
3回	Lektion 8: 予定・計画	語法助動詞について学ぶ
4回	Lektion 8: 未来形	非人称表現と未来形について学習する
5回	Lektion 9: 学校	再帰代名詞と再帰動詞について学習する
6回	Lektion 9: 従属接続詞	従属接続詞とZu不定詞を学ぶ
7回	Lektion 10: 過去のできごと	現在完了形について学ぶ
8回	Lektion 10: 過去分詞	過去分詞を覚える
9回	Lektion 10: 過去形	過去形について学習する
10回	Lektion 11: 祝祭	形容詞の付加語的用法を学ぶ
11回	Lektion 11: 序数	序数と形容詞の比較級・最上級について学習する
12回	Lektion 12: 政治・社会	関係代名詞と指示代名詞について学習する
13回	Lektion 12: 関係文	関係文の仕組みを学ぶ
14回	復習	今学期で習った内容を復習する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。前回の授業の文法を復習すること、単語を暗記すること、与えた課題・宿題に取り組むことが授業時間以外の主な学習です。

【テキスト（教科書）】

「ドライクラング・異文化理解のドイツ語」菅利恵著・大喜祐太著等、2020年、郁文堂。3080円

ISBN：9784261012736

【参考書】

新・独検合格 単語+熟語1800、在間進・亀ヶ谷昌秀、2022年、郁文堂。2530円

ISBN：9784261073508

【成績評価の方法と基準】

小テストの平均点数 70%、平常点 30%。

定期的に小テストを行うため、全ての内容が問われる期末試験がありません。平常点において課題提出（Hoppiiに提出）、出席、積極的な授業参加を総合的に評価する。課題を提出しない場合、欠席する場合、平常点を減点する。未提出の課題が多い場合、無断欠席が4回以上の場合、不合格とする。提出された課題に関するフィードバックは授業中、またはHoppiiを通して行う。

【学生の意見等からの気づき】

小テストの仕組みが学生に高く評価されましたので、基本的な評価基準を変える予定がありません。しかし、後期の内容はかなり難しくなるので、もう少しテストの問題数を減らし、学生の負担を軽減しようと思います。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典

教室で授業を行えない場合、Zoomに接続可能なデバイス（パソコンやタブレットが望ましい）とマイク付きイヤホン（ヘッドセット）

【Outline (in English)】

This lecture aims at teaching basic German reading skills. By reading German dialogues and texts the students gain insight into basic grammar and pronunciation. The students will further learn basic facts about the German language and German culture and society.

Learning Objectives: We will learn the perfect tense, past tense and future tense, the modal verbs, comparative and superlative, adjective declension, conjunctions and zu-infinitive. Passive and subjunctive might be additional contents of this course. The students will be able to solve tasks of the Dokken Level 4.

Learning activities outside of classroom: The students are supposed to prepare and repeat the course contents for one hour per week. The main learning activities outside of classroom are repetition of the learnt grammar, memorizing vocabulary and doing homework or tasks, which are assigned by the teacher.

Grading Criteria /Policy: Point average of short tests 70%, course participation 30%. There will be a short test following the completion of every chapter. Therefore no final exam will be held. Course participation includes handing in homework and active participation during classes. If students fail to hand in their homework, points for the participation grade will be deducted. In case a student misses more than four classes without a reason, the student will not earn any credit for completing this course.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)	
ドイツ語 2 I	2017年度以降入学者
岡本 雅克	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金 4/Fri.4	
単位数：1 単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、初級文法読本を使って、ドイツ語を読み、書き、聞き、話す力をつけると同時に、会話文や読章を読み進めながら、とくに語彙力や読解力の向上をはかる。また英語と多くの共通点をもつドイツ語の習得と、両者の比較を通じて、さらなる異文化理解の視点を身につけることを目的とする。

【到達目標】

接続法までの初級文法を学びながら、平易なドイツ語を読める能力を養い、中級の授業に支障なく参加できる語学力を身につけると同時に、ドイツ語技能検定試験（独検）5、4級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は10課からなり、各課とも文法、練習問題、会話文、読章（巻末）から構成されている。文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、文法事項を習得した上で、会話文や読章を読む。

なおフィードバック等は「Hoppii（学習支援システム）」を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	アルファベット／発音の原則／母音の発音①
2	発音 I	母音の発音②／子音の発音①
3	発音 II	子音の発音②／数詞（1～12）
4	Lektion 1	人称代名詞と動詞の現在人称変化／動詞 sein・haben の現在人称変化（不規則動詞）
5	Lektion 1	語順／ja・nein の使い方／会話文 Ich heie Ai Ito
6	Lektion 1/Lektion 2	読章 Guten Tag! 名詞の性と冠詞／名詞の格／定冠詞と名詞の格変化／不定冠詞と名詞の格変化／格の用法
7	Lektion 2	名詞の複数形／人称代名詞の使い方／会話文 Was sind Sie von Beruf?
8	Lektion 2/Lektion 3	読章 Cool Japan／動詞の現在人称変化（2）（不規則動詞）／非人称の es
9	Lektion 3	命令形／時刻の表現／会話文 Wo gibt es hier Toiletten?
10	Lektion 3/Lektion 4	読章 Wien／定冠詞類
11	Lektion 4	不定冠詞類 人称代名詞の 3 格と 4 格／3 格と 4 格の語順／会話文 Was kostete das?
12	Lektion 4/Lektion 5	読章 Porträt meiner Familie／前置詞の格支配／前置詞と定冠詞の融合形

13	Lektion 5	疑問代名詞 wer と was の格変化／会話文 Wie komme ich zur Uni?／読章 まとめと解説
14	試験	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

小野寿美子、中川明博、西巻丈児『ブーメラン・エルエー』（朝日出版社）ISBN9784255253800 ¥2,500

【参考書】

その都度指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の得点を70%、平常点を30%の合計点で評価する。平常点は、授業中に練習問題にしっかり取り組むこと、あるいは、与えられた課題についてしっかり予習をしてきた形跡が認められることを標準とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進捗については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook on grammar for beginners and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English. At the end of the course, students are expected to acquire the ability to participate in the intermediate course without hindrance.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70%, Usual performance score: 30%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語Ⅱ

2017年度以降入学者

岡本 雅克

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、初級文法読本を使って、ドイツ語を読み、書き、聞き、話す力をつけると同時に、会話文や読章を読み進めながら、とくに語彙力や読解力の向上をはかる。また英語と多くの共通点をもつドイツ語の習得と両者の比較を通じて、さらなる異文化理解の視点を身につけることを目的とする。

【到達目標】

接続法までの初級文法を学びながら、平易なドイツ語を読める能力を養い、中級の授業に支障なく参加できる語学力を身につけると同時に、ドイツ語技能検定試験（独検）5、4級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は10課からなり、各課とも文法、練習問題、会話文、読章（巻末）から構成されている。文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、文法事項を習得した上で、会話文や読章を読む。

なおフィードバック等は「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lektion 6	話法の助動詞
2	Lektion 6	未来形／従属の接続詞と副文
3	Lektion 6	分離動詞と非分離動詞／会話文 Ich möchte ins Konzert gehen
4	Lektion 6/Lektion 7	読章 Ryota geht ins Konzert 形容詞の格語尾変化
5	Lektion 7	形容詞・副詞の比較／ 会話文 Im Restaurant
6	Lektion 7/Lektion 8	読章 Atomkraft? Nein Danke! 動詞の3基本形
7	Lektion 8	現在完了形／会話文 Was haben Sie am Wochenende gemacht?
8	Lektion 8/Lektion 9	読章 Die Wartburg bei Eisenach 過去形
9	Lektion 9	再帰代名詞と再帰動詞／会話文 In Weimar
10	Lektion 9/Lektion 10	読章 Weimar, ein wichtiges Kulturzentrum 不定詞（句）
11	Lektion 10	関係代名詞／会話文 Kölnisch Wasser 読章
12	Lektion 10／文法の補足Ⅰ	受動態
13	文法の補足Ⅱ	接続法第2式
14	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

小野寿美子、中川明博、西巻文児『グーメン・エルエー』（朝日出版社）ISBN9784255253800 ¥2,500

【参考書】

その都度指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の得点を70%、平常点を30%の合計点で評価する。平常点は、授業中に練習問題にしっかり取り組むこと、あるいは、与えられた課題についてしっかり予習をしてきた形跡が認められることを標準とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進度については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook on grammar for beginners and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English. At the end of the course, students are expected to acquire the ability to participate in the intermediate course without hindrance.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70 %, Usual performance score: 30 %

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 2 I

2017年度以降入学者

高木 葉子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基本的な文法事項の習得と簡単なドイツ語の読解・会話

【到達目標】

基本的な文法事項を習得しながら、ドイツ語の簡単な文章を読み、会話を練習していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 授業は主に次の3点から構成されます。

- 1) 講義
- 2) 実習
- 3) 映像鑑賞

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	ガイダンス	自己紹介 授業の進め方
2.	つづりの読み方と発音	母音・子音の発音 日常会話の基本的表現
3.	第1課（1）	動詞の現在人称変化
4.	第1課（2）	動詞の現在人称変化
5.	第1課（3）	動詞の現在人称変化
6.	第2課（1）	名詞と冠詞の格変化・名詞の複数形
7.	第2課（2）	名詞と冠詞の格変化・名詞の複数形
8.	第2課（3）	名詞と冠詞の格変化・名詞の複数形
9.	第1回目テスト	テスト・まとめと復習
10.	第3課（1）	不規則動詞の現在人称変化・命令形・人称代名詞
11.	第3課（2）	不規則動詞の現在人称変化・命令形・人称代名詞
12.	第3課（3）	不規則動詞の現在人称変化・命令形・人称代名詞
13.	第4課（1）	定冠詞類・不定冠詞類
14.	第2回目テスト	テスト・まとめと復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題となった練習問題

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

前田・高木『ドイツ語ナビゲーション3.0』朝日出版社

【参考書】

授業中、随時指示します。

【成績評価の方法と基準】

以下の3点を総合して評価します。

- 1) 第1回テスト35%
- 2) 第2回テスト35%
- 3) 平常点（出席状況と受講態度）30%

【学生の意見等からの気づき】

授業が進行していくと、どうしてもクラスの中でレベルの差が出てきてしまいます。これを解消するため、個別の質問にもできるだけ丁寧に対応していきます。

【その他の重要事項】

4月の第1回目授業時に詳しいガイダンスをします。教科書を購入して持ってきてください。

【Outline (in English)】

1) This course deals with the German grammar/reading/conversation.

2) The goal of this course is to acquire the German grammar/reading/conversation.

3) Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

4) Your final grade will be decided based on the following

1. the 1. examination:35%, 2. the 2. examination:35%, 3. in class contribution: 30%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語Ⅱ

2017年度以降入学者

高木 葉子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、基本的な文法事項の習得と簡単なドイツ語の読解・会話

【到達目標】

春学期に引き続き、基本的な文法事項を習得しながら、ドイツ語の簡単な文章を読み、会話を練習していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 授業は主に次の3点から構成されます。

- 1) 講義
- 2) 実習
- 3) 映像鑑賞

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	第4課（2）	定冠詞類・不定冠詞類
2.	第4課（3）	定冠詞類・不定冠詞類
3.	第5課（1）	前置詞の格支配
4.	第5課（2）	前置詞の格支配
5.	第5課（3）	前置詞の格支配
6.	第6課（1）	話法の助動詞・未来形
7.	第6課（2）	分離動詞・非分離動詞・接続詞
8.	第6課（3）	分離動詞・非分離動詞・接続詞
9.	第1回目テスト	テスト・まとめと復習
10.	第7課（1）	動詞の三基本形・過去形
11.	第7課（2）	現在完了形
12.	第7課（3）	現在完了形
13.	第8課（1）	再帰表現・zu不定詞
14.	第2回目テスト	テスト・まとめと復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題となった練習問題

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

前田・高木『ドイツ語ナビゲーション3.0』朝日出版社

【参考書】

授業中、随時指示します。

【成績評価の方法と基準】

次の3点を総合して評価します。

- 1) 第1回テスト35%
- 2) 第2回テスト35%
- 3) 平常点（出席状況と受講態度）30%

【学生の意見等からの気づき】

授業が進行していくと、どうしてもクラスの中でレベルの差が出てきてしまいます。これを解消するため、時間が許す限り、個別の質問にもできるだけ丁寧に対応していきます。

【Outline (in English)】

1) This course deals with the German grammar/reading/conversation.

2) The goal of this course is to acquire the German grammar/reading/conversation.

3) Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

4) Your final grade will be decided based on the following

1. the 1. examination:35%, 2. the 2. examination:35%, 3. in class contribution: 30%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 2 I

2017年度以降入学者

児島 由理

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年間かけてドイツ語の初級文法を学びます。文法事項だけでなく、練習問題や読解テキストを通じて語彙や表現を覚えることも目標とします。

【到達目標】

必要かつ十分な文法説明に加えて練習問題でドイツ語文法への理解を深めることができます。また、読解テキストを通じて語彙を増やし読解力を養います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期では、初級文法のなかでも基礎にあたる部分を学びます。簡単な現在形の文を読んだり書いたりできるようになることが目標です。週1回教室に座っているだけでは絶対に語学力はつきません。しっかり身につくように、手と口と頭を働かせ、積極的に参加する授業を目指します。

文法は積み重ねが大事です。参加者は必ず継続して出席してください。また辞書を用意し、宿題・予習をしたうえで参加することが要求されます。

提出された課題・宿題は添削して返却し、授業でコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の進め方、ドイツ語圏概説、アルファベット、発音、挨拶など
第2回	Lektion 1	主語になる人称代名詞、動詞の現在人称変化、動詞の位置、疑問文の作り方
第3回	Lektion 1	重要不規則変化動詞 sein・haben、単語を知ろう！
第4回	Lektion 2	名詞の性と数、名詞の複数形、定冠詞・不定冠詞と名詞の格変化
第5回	Lektion 2	疑問代名詞、疑問詞
第6回	Lektion 3	不規則変化動詞、命令形、esの用法
第7回	Lektion 3	定冠詞類・不定冠詞類
第8回	Lektion 4	人称代名詞の格変化、前置詞の格支配
第9回	Lektion 4	特定の定冠詞と前置詞の融合形
第10回	Lektion 5	話法の助動詞、未来を表す助動詞、使役の助動詞 lassen
第11回	Lektion 5	知覚動詞、従属の接続詞
第12回	Lektion 6	複合動詞（分離動詞、非分離動詞）
第13回	Lektion 6	再帰動詞
第14回	期末試験	Lektion 1～6の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

適宜宿題を出します。次の授業で答え合わせまたは提出とします。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ドイツ語文法 魔法のくつーコツコツ学び、大きく理解ー』藤原美沙
朝日出版社、2750円（税込）

【参考書】

独和辞典を必ず購入すること。初回の授業で何点か紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の結果50%、授業参加度（宿題・課題を含む平常点）50%の割合で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

今後の状況次第でZoomなどオンライン授業に転換した場合に対応できるよう、パソコンやタブレットを用意しておくことが望ましい。

【Outline (in English)】

The aim is mastering the basic grammar of the German language. Students learn vocabulary and expressions through exercises and reading texts as well as grammatical matters.

In addition to the necessary and sufficient grammatical explanations, exercises will help students deepen their understanding of German grammar. In addition, they will be able to expand your vocabulary and develop their reading comprehension skills through reading texts.

They will also learn conversational expressions that will be useful when traveling to German-speaking countries.

All participants are required to attend continuously. They are also required to bring a dictionary and do their homework/prep work before attending.

Homework will be assigned each time and will be due in the next class. The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The overall evaluation will be based on a final exam (50%) and class participation (normal points including homework and assignments) (50%).

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語2Ⅱ

2017年度以降入学者

児島 由理

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年間かけてドイツ語の初級文法を学びます。文法事項だけでなく、練習問題や読解テキストを通じて語彙や表現を覚えることも目標とします。

【到達目標】

必要かつ十分な文法説明に加えて練習問題を解くことでドイツ語文法への理解を深めることができます。

また、読解テキストを通じて語彙を増やし読解力を養います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

秋学期では、春学期から引き続き初級文法の残りの部分を学びます。それまでに学んだ知識を活かし、応用的な練習問題にも徐々に取り組んでいきます。

週1回教室に座っているだけでは絶対に語学力はつきません。しっかり身につくように、手と口と頭を働かせ、練習問題をしながら先に進んでいきます。

文法は積み重ねが大事です。参加者は必ず継続して出席してください。また辞書を用意し、宿題・予習をしたうえで参加することが要求されます。

提出された課題・宿題は添削して返却し、授業でコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Lektion 7	形容詞の格語尾変化、形容詞の名詞化
第2回	Lektion 7	動詞の3基本形
第3回	Lektion 8	過去人称変化
第4回	Lektion 8	現在完了形
第5回	Lektion 9	定関係代名詞
第6回	Lektion 9	不定関係代名詞、関係副詞
第7回	Lektion 10	形容詞と副詞の比較級・最上級、同等比較
第8回	Lektion 10	現在分詞・過去分詞、zu不定詞（句）
第9回	Lektion 11	動作受動態
第10回	Lektion 11	状態受動態、その他の受動的表現
第11回	Lektion 12	接続法
第12回	Lektion 1～12より	読解練習
第13回	Lektion 1～12より	読解練習
第14回	期末試験	Lektion 7～12の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

適宜宿題を出します。次の授業で答え合わせまたは提出とします。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ドイツ語文法 魔法のくつーコツコツ学び、大きく理解ー』藤原美沙
朝日出版社、2750円（税込）

【参考書】

独和辞典を必ず購入すること。初回の授業で何点が紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の結果50%、授業参加度（宿題・課題を含む平常点）50%の割合で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

今後の状況次第でZoomなどオンライン授業に転換した場合に対応できるよう、パソコンやタブレットを用意しておくことが望ましい。

【Outline (in English)】

The aim is mastering the basic grammar of the German language. Students learn vocabulary and expressions through exercises and reading texts as well as grammatical matters.

The aim is mastering the basic grammar of the German language. Students learn vocabulary and expressions through exercises and reading texts as well as grammatical matters.

In addition to the necessary and sufficient grammatical explanations, exercises will help students deepen their understanding of German grammar. In addition, they will be able to expand your vocabulary and develop their reading comprehension skills through reading texts.

They will also learn conversational expressions that will be useful when traveling to German-speaking countries.

All participants are required to attend continuously. They are also required to bring a dictionary and do their homework/prep work before attending.

Homework will be assigned each time and will be due in the next class. The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The overall evaluation will be based on a final exam (50%) and class participation (normal points including homework and assignments) (50%).

LANd100LA（ドイツ語 / German language education 100）	
ドイツ語 2 I	2017年度以降入学者
梶谷 雄二	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水5/Wed.5	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツにまつわる日常的な話題を扱った簡単な文章を読みながら、発音のルールや基礎的な文法事項を習得する。また、日常会話における口語表現をはじめ初歩的な表現法を学ぶ。

【到達目標】

ドイツ語の文章を正確に発音することができるようになる。
声に出して読みながら、文意が理解できるようになる。
簡単な日常会話ができるようになる。
ドイツ語による簡単な表現ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

簡潔な文法の説明。
本文の文意と文法的構造の解説。
テキスト本文の文章を元にした練習問題。
練習問題には翻訳、語形変化、文章の作り方、独作が含まれます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課 誰が誰？	本文の説明 動詞の現在人称変化1
2	第1課 誰が誰？	本文発音練習と練習問題
3	第2課 お酒を飲む	本文説明 定冠詞と不定冠詞
4	第2課 お酒を飲む	本文発音練習と練習問題
5	第3課 食事	本文説明 動詞の現在人称変化2
6	第3課 食事	本文発音練習と練習問題
7	第4課 乗り物に乗る	本文説明 前置詞1
8	第4課 乗り物に乗る	本文発音練習 前置詞2と練習問題
9	第5課 スポーツ	本文説明と発音練習 複数形と練習問題
10	第6課 住まい	本文説明と発音練習 冠詞類と練習問題
11	第6課 住まい	本文説明と発音練習 冠詞類と練習問題
12	パワーアップ1 家族	形容詞の比較表現
13	第7課 ファッション	本文説明と発音練習 形容詞の格変化と練習問題
14	春学期 試験	春学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業中にテキストの練習問題を別プリントでやってもらいますので、準備には練習問題解答の方向性を探り、復習には添削結果をチェックすることを中心に行うこと。

【テキスト（教科書）】

著者：在間 進／Randolf Jessel、書名：『ヴェラとヴェルナー—もっとやさしく版—』、出版社：朝日出版社、2400円、ISBN: 978-4-255-25382-4

【参考書】

独和辞典は必携です。
独和辞典については授業で話します。

【成績評価の方法と基準】

授業参加度、発音、練習問題の結果、以上を評価して平常点とする。(40%)
期末試験の結果。(60%)
以上を合算して評価点とします。

【学生の意見等からの気づき】

できる限り全員の理解度が十分であることが第一と考え、授業参加者の理解度を考慮しながら、授業を進めていきます。

【Outline (in English)】

While reading simple texts dealing with everyday topics related to Germany, students will learn pronunciation rules and basic grammar matters. In addition, students learn elementary expressions such as colloquial expressions in daily conversation.

The standard preparation and review time for this class is one hour.

The level of class participation, pronunciation, and results of practice questions are evaluated to give a normal score. (40%)
Results of final exams. (60%)

The above are added together to form an evaluation point.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語Ⅱ

2017年度以降入学者

梶谷 雄二

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツにまつわる日常的な話題を扱った簡単な文章を読みながら、発音のルールや基礎的な文法事項を習得する。また、日常会話における口語表現をはじめ初歩的な表現法を学ぶ。

【到達目標】

ドイツ語の文章を正確に発音することができるようになる。

声に出して読みながら、文意が理解できるようになる。

簡単な日常会話ができるようになる。

ドイツ語による簡単な表現ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

簡潔な文法の説明。

本文の文意と文法的構造の解説。

テキスト本文の文章を元にした練習問題。

練習問題には翻訳、語形変化、文章の作り方、独作が含まれます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第8課 コミュニケーション	春学期の復習 本文説明と発音練習 分離動詞と練習問題
2	第8課 コミュニケーション	本文説明と発音練習 再帰表現と練習問題
3	第9課 読書	本文発音練習と練習問題 再帰表現
4	第10課 議論 貿易と内政	本文説明と発音練習 話法の助動詞
5	第10課 議論 貿易と内政	本文発音練習と練習問題 話法の助動詞/10課
	第11課 ドイツのドイツと東のドイツ	本文説明と発音練習 過去形と現在完了形/11課
6	第11課 ドイツのドイツと東のドイツ	本文説明と発音練習 過去形と現在完了形
7	パワーアップ2 決心	本文説明と発音練習 zu不定詞
8	第12課 映画館 スクリーンの上の空	本文説明と発音練習 受動文
9	第12課 映画館 スクリーンの上の空	本文発音練習と練習問題 受動文/12課
	パワーアップ3 推測	接続詞/パワーアップ3
10	パワーアップ3 推測	本文説明と発音練習 接続詞/パワーアップ3
	第13課 巨大な作品と流行のヒット曲	本文説明と発音練習 関係文/13課
11	第13課 巨大な作品と流行のヒット曲	本文発音練習と練習問題 関係文

12	第14課 愛 このカップルは上手いのか？	本文説明と発音練習 接続法
13	第14課 愛 このカップルは上手いのか？	本文発音練習と練習問題 接続法
14	試験	秋学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業中にテキストの練習問題を別プリントでやってもらいますので、準備には練習問題解答の方向性を探り、復習には添削結果をチェックすることを中心に行うこと。

【テキスト（教科書）】

著者：在間 進／Randolf Jessel、書名：『ヴェラとヴェルナー—もっとやさしく版—』、出版社：朝日出版社、2400円、ISBN: 978-4-255-25382-4

【参考書】

独和辞典。

その他の参考書は特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

授業参加度、発音、練習問題の結果、以上を評価して平常点とする。(40%)

期末試験の結果。(60%)

以上を合算して評価点とします。

【学生の意見等からの気づき】

できる限り全員の理解度が十分であることが第一と考え、授業参加者の理解度を考慮しながら、授業を進めていきます。

【Outline (in English)】

While reading simple texts dealing with everyday topics related to Germany, students will learn pronunciation rules and basic grammar matters. In addition, students learn elementary expressions such as colloquial expressions in daily conversation.

The standard preparation and review time for this class is one hour.

The level of class participation, pronunciation, and results of practice questions are evaluated to give a normal score. (40%) Results of final exams. (60%) The above are added together to form an evaluation point.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 2 I

2017年度以降入学者

岡本 雅克

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、初級文法読本を使って、ドイツ語を読み、書き、聞き、話す力をつけると同時に、会話文や読章を読み進めながら、とくに語彙力や読解力の向上をはかる。また英語と多くの共通点をもつドイツ語の習得と、両者の比較を通じて、さらなる異文化理解の視点を身につけることを目的とする。

【到達目標】

接続法までの初級文法を学びながら、平易なドイツ語を読める能力を養い、中級の授業に支障なく参加できる語学力を身につけると同時に、ドイツ語技能検定試験（独検）5、4級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は10課からなり、各課とも文法、練習問題、会話文、読章（巻末）から構成されている。文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、文法事項を習得した上で、会話文や読章を読む。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	アルファベット／発音の原則／母音の発音①
2	発音 I	母音の発音②／子音の発音①
3	発音 II	子音の発音②／数詞（1～12）
4	Lektion 1	人称代名詞と動詞の現在人称変化（規則変化）／動詞 sein・haben の現在人称変化（不規則変化）
5	Lektion 1	語順／ja・nein の使い方／会話文（自己紹介）
6	Lektion 1/Lektion 2	読章（ピエールを紹介します）／名詞の性、冠詞／定冠詞と名詞の格変化／格の用法
7	Lektion 2	不定冠詞と名詞の格変化／疑問代名詞 was, wer の格変化／会話文（趣味は Manga）
8	Lektion 2/Lektion 3	読章（マンガ文化）／不規則動詞の現在人称変化／命令形
9	Lektion 3	人称代名詞の 3 格と 4 格／3 格・4 格目的語の語順／会話文（フランクフルト中央駅で）
10	Lektion 3/Lektion 4	読章（伝統と高層ビルが共存する街フランクフルト）／名詞の複数形／定冠詞類
11	Lektion 4	不定冠詞類／会話文（買い物）
12	Lektion 4/Lektion 5	読章（環境首都フライブルク）／前置詞の格支配／前置詞と定冠詞の融合形

13	Lektion 5	従属接続詞と副文／非人称の es／会話文（チューリヒの町で）／読章（金融と文化の町）
14	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

小野寿美子、中川明博、西巻丈児『クロイツング・ネオ（第2版）』（朝日出版社）ISBN9784255254753 ￥2,600

【参考書】

その都度指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の得点を70%、平常点を30%の合計点で評価する。平常点は、会話文や読章の和訳、練習問題に的確に解答すること、あるいは、しっかり予習をしてきた形跡が認められることを標準とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進捗については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook on grammar for beginners and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English. At the end of the course, students are expected to acquire the ability to participate in the intermediate course without hindrance.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70 %, Usual performance score: 30 %

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語2Ⅱ

2017年度以降入学者

岡本 雅克

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、初級文法読本を使って、ドイツ語を読み、書き、聞き、話す力をつけると同時に、会話文や読章を読み進めながら、とくに語彙力や読解力の向上をはかる。また英語と多くの共通点をもつドイツ語の習得と両者の比較を通じて、さらなる異文化理解の視点を身につけることを目的とする。

【到達目標】

接続法までの初級文法を学びながら、平易なドイツ語を読める能力を養い、中級の授業に支障なく参加できる語学力を身につけると同時に、ドイツ語技能検定試験（独検）5、4級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は10課からなり、各課とも文法、練習問題、会話文、読章（巻末）から構成されている。文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、文法事項を習得した上で、会話文や読章を読む。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lektion 6	話法の助動詞
2	Lektion 6	分離動詞／会話文（映画を見に行きたい）
3	Lektion 6/Lektion 7	読章（外国人労働者）／形容詞の格変化
4	Lektion 7	zu不定詞（句）／会話文（私のねがい）
5	Lektion 7/Lektion 8	読章（食習慣）／動詞の3基本形
6	Lektion 8	現在完了／会話文（休暇旅行）
7	Lektion 8/Lektion 9	読章（アウシュヴィッツ）／過去
8	Lektion 9	再帰代名詞と再帰動詞／会話文（オペラ鑑賞）
9	Lektion 9/Lektion 10	読章（モーツァルトとイタリア音楽）／形容詞・副詞の比較
10	Lektion 10	関係代名詞／会話文（ホテルに宿泊）
11	Lektion 10／文法の補足Ⅰ	読章（プラハ出身の作家カフカ）／受動態
12	文法の補足Ⅱ	接続法第2式
13	文法の補足Ⅲ	接続法第1式
14	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

小野寿美子、中川明博、西巻丈児『クロイツング・ネオ』（朝日出版社）ISBN9784255254753 ￥2,600

【参考書】

その都度指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の得点を70%、平常点を30%の合計点で評価する。平常点は、会話文や読章の和訳、練習問題に的確に解答すること、あるいは、しっかり予習をしてきた形跡が認められることを標準とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進度については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook on grammar for beginners and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English. At the end of the course, students are expected to acquire the ability to participate in the intermediate course without hindrance.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70 %, Usual performance score: 30 %

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)	
ドイツ語 2 I	2017年度以降入学者
JENS OSTWALD	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：水5/Wed.5
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常会話・読解など一文法の練習
基礎的な文法を練習します。
活きたドイツ語の表現・会話も学びます。
また、ドイツの旬な情報や日常を紹介しながら、ドイツの文化について触れます。

【到達目標】

簡単な文章が読めるようになります。
基礎的な文法や口語表現を理解することができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

さまざまなシチュエーションを想定した対話やテキストを題材に、
基礎的な文法をわかりやすく説明します。
課題等のフィードバックは授業内または学習支援システム（hoppii）
を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	授業についての説明・オリエンテーション	授業についての説明・オリエンテーション
②	Lektion 1 人と知り合う－1 Kontakte 1	挨拶 発音 住所、出身についての会話
③	Lektion 1 人と知り合う－1 Kontakte 1	自己紹介の練習 規則動詞の人称変化、疑問文
④	Lektion 2 人と知り合う－2 Kontakte 2	自己紹介 簡単な自己紹介
⑤	Lektion 2 人と知り合う－2 Kontakte 2	電話番号 1000 までの数
⑥	Lektion 3 専攻と言語 Studium und Sprache	不規則変化動詞の人称変化、語順
⑦	総復習 Lektion 4 趣味 Hobbys	総復習 趣味についての語彙
⑧	Lektion 4 趣味 Hobbys	趣味についての会話の練習 否定文
	嫌いなこと	

⑨	Lektion 5 食事 Essen und Trinken	食べ物・飲み物についての語彙、 簡単な会話 並列接続詞
⑩	Lektion 5 食事 Essen und Trinken	食べ物・飲み物についての会話 前置詞 mit,ohne
⑪	Lektion 6 家族と職業 Familie und Berufe	家族と職業について 複数形、形容詞
⑫	Lektion 7 持ち物 Gegenstände	持ち物について 代名詞の格変化、形容詞
⑬	総復習および予備日	語彙・文法・会話の総復習
⑭	締め	締め

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

佐藤修子 「スツェーネン 1」 「場面で学ぶドイツ語」 ワークブック付き
三修社

ISBN 978-4-384-12245-9

他、別途配布資料

【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価する
小テスト 70 %
平常点（授業参加度、宿題） 30 %

【学生の意見等からの気づき】

教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course for beginner (basic grammar and syntax, speech patterns and expressions for daily life; introduction to German culture)

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to read simple sentences and to understand basic grammar and colloquial expressions.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy:

Short tests: 70%, homework & in-class contribution 30%.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 2 II

2017 年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、ドイツ語の基本知識を学習します。秋学期は、簡単な文章が読める程度の文法知識の習得を目指します。

【到達目標】

簡単な文章が読めるようになります。
基礎的な文法や口語表現を理解することができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

さまざまなシチュエーションを想定した対話やテキストを題材に、基礎的な文法をわかりやすく説明します。
課題等のフィードバックは授業内または学習支援システム（hoppii）を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	復習	春学期の復習
②	Lektion 8 住居 Wohnen 部屋・家具	住居についての語彙・簡単な会話 前置詞 auf, in, unter など
③	Lektion 8 住居 Wohnen 学生寮・一人暮らしなど	住居についての会話 所有冠詞
④	Lektion 9 時刻 Uhrzeit	時刻の言い方 日程についての簡単な会話 前置詞、分離動詞
⑤	Lektion 9 日付 Datum Lektion 10 週末の後 Nach dem Wochenende	日付の言い方 前置詞、分離動詞 過去についての会話の入門 現在完了形、過去形
⑥	Lektion 10 週末の後 Nach dem Wochenende	過去についての会話 現在完了形、過去形
⑦	Lektion 11 街 Stadt	街についての語彙 道を尋ねる 命令形、前置詞
⑧	Lektion 11 大学 Universität 復習 Wiederholung	大学についての語彙・簡単な話 命令形、前置詞 復習

⑨	Lektion 12 休暇の前 Vor der Ferien 話法の助動詞の説明・練習	予定についての会話 話法の助動詞 wollen, können, möchten
⑩	話法の助動詞の説明・練習	話法の助動詞 dürfen, sollen, müssen
⑪	話法の助動詞の過去形 纏め・復習	話法の助動詞の復習 話法の助動詞の過去形の練習
⑫	総復習および予備日	一年間のドイツ語の纏めや復習
⑬		一年間のドイツ語の纏めや復習
⑭	纏め	総復習および予備日 纏め

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

佐藤修子 「スツェーネン 1」 「場面で学ぶドイツ語」 ワークブック付き
三修社
ISBN 978-4-384-12245-9
他、別途配布資料

【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価する
小テスト 70 %
平常点（授業参加度、宿題） 30 %

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度に順じてプログラムを変更することもあります。

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course for beginner (basic grammar and syntax, speech patterns and expressions for daily life; introduction to German culture)

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to read simple sentences and to understand basic grammar and colloquial expressions.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy:

Short tests: 70%, homework & in-class contribution 30%.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語(1) I 2017年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

はじめてドイツ語を学ぶ学生が対象です。

ドイツ語文法の基礎を学びます。

日常的によく使われるドイツ語の簡単な表現を学びます。

【到達目標】

ドイツ語文法の基本的な規則を習得することができる。

日常的によく使われる語彙、表現を学ぶことができる。

ドイツ語で簡単な日常会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書

教科書に沿って教員がドイツ語文法の規則や仕組みを例文を使って説明します（講義形式）。

担当者を決めて練習問題を行います（演習形式）。

それによって、ドイツ語の文法の理解を定着させ、また疑問点を意識化します。

適宜、オンライン等を用いて確認小テストを行います。

課題のフィードバックは次の授業時にそのつど、解説を加えて行います。また確認小テストはオンラインでフィードバックを行います。なお、授業支援システムをよく確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション 発音とアクセント	発音の仕方 綴りの基本 ドイツ語の主語について du,ihr,Sieについて
第2回	ドイツ語の動詞について	疑問詞 動詞の現在人称変化
第3回	Lektion2 ドイツ語の名詞について	名詞の性と格
第4回	Lektion2 ドイツ語の複数形について	複数形と冠詞の使い方
第5回	Lektion3 ドイツ語の冠詞について	所有冠詞
第6回	Lektion3 ドイツ語の否定冠詞について	否定冠詞と人称代名詞の格変化
第7回	Lektion4 ドイツ語の前置詞について	前置詞の格支配
第8回	Lektion4 ドイツ語のesについて	非人称のesを用いた表現
第9回	Lektion5 過去形について	動詞の3基本形 過去形について

第10回 Lektion5 人称による過去形の動詞の形
ドイツ語の過去人称
変化について第11回 Lektion6 現在完了形と接続詞
ドイツ語の現在完了
形について第12回 Lektion 6 zu不定詞の用法
ドイツ語のzu不定詞
について第13回 春学期ドイツ語学習 Plus 文法と文法の確認
の振り返りと総復習第14回 春学期期末試験、解説とまとめ
春学期期末試験、解説とまとめ**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。

次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。

宿題・課題については自分の担当ではないところも行い、授業でポイントを確認し、正確な理解に努めます。

【テキスト（教科書）】「ブリュッケ 初級ドイツ語文法・ふかくわかりやすく」 木下直也
等 朝日出版社**【参考書】**独和辞書は必要です。（電子辞書でも紙の辞書でも形態は問わない）
参考書としてはあらかじめ用意するものは特にありませんが、必要があれば授業中に適宜指示します。**【成績評価の方法と基準】**

成績評価手法について

成績配分は期末試験50%、平常点（これまでの確認テストの点数の
累計、訳読、課題提出、授業への積極的取り組みを含む）50%**【学生の意見等からの気づき】**

授業時間内に質問時間を設け、疑問を解消し、理解度を高めます。

【学生が準備すべき機器他】オンライン授業になった場合の必要な機器としてZoomで接続可能な
デバイスを準備してください。**【その他の重要事項】**

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline (in English)】**【Course outline】** German for Ichigaya Liberal Arts Center
Program.This course provides elementary German grammar for
beginners.**【Learning Objectives】** By the end of the course, students
should be able to:

– confirm German elementary grammar.

– learn expressions of daily German conversation.

【Learning activities outside of classroom】 Before each class
meeting, students will be expected to have read the relevant
chapter(s) from the text. Your required study time is at least
1 hour for each class meeting.**【Grading criteria】** Your overall grade in the class will be
decided based on the following. Term-end examination: 50%、
Short tests, an assignment and in-class contribution: 50%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語(1)Ⅱ

2017年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

はじめてドイツ語を学ぶ学生が対象です。

春学期で得たドイツ語文法の知識を踏まえて、引き続きドイツ語文法の基礎を学びます。

日常的によく使われるドイツ語の簡単な表現を学びます。

【到達目標】

ドイツ語文法の基本的な規則を習得することができる。

日常的によく使われる語彙、表現を学ぶことができる。

ドイツ語で簡単な日常会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って教員がドイツ語文法の規則や仕組みを例文を使って説明します（講義形式）。

担当者を決めて練習問題を行います（演習形式）。

上記によって、ドイツ語の文法の理解を定着させ、また疑問点を意識化できるようにします。

適宜、オンライン等で確認小テストを行います。

課題のフィードバックは次回の授業時にそのつど、解説を加えてフィードバックを行います。また確認小テストについてはオンラインでフィードバックを行います。

なお、授業支援システムをよく確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Lektion 7 ドイツ語の語法の助動詞について	話法の助動詞の現在人称変化と構文
第2回	Lektion 7 ドイツ語の未来形について	未来形の用法と文
第3回	Lektion 8 ドイツ語の分離動詞について	分離・非分離動詞
第4回	Lektion 8 ドイツ語の受動文について	受動文の用法と形式
第5回	Lektion 9 ドイツ語の命令形について	命令形とその用法
第6回	Lektion 9 ドイツ語の不規則変化動詞について	不規則変化動詞の用法
第7回	Lektion 10 ドイツ語の接続法について	接続法第2式の用法と形式
第8回	Lektion 10 ドイツ語の婉曲話法について	婉曲話法と接続法第2式の用法
第9回	Lektion 11 ドイツ語の再帰代名詞について	再帰代名詞の人称変化

第10回	Lektion 11 ドイツ語の比較級・最上級について	比較級・最上級の用法と形態
第11回	Lektion 12 ドイツ語の関係代名詞について	定関係代名詞
第12回	Lektion 12 ドイツ語の関係副詞について	関係副詞と不定関係代名詞
第13回	Plus 文法と振り返り	Plus 文法と別冊練習問題を使つての文法事項の確認
第14回	期末試験、まとめと解説	期末試験、文法事項を中心としたまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。自分の訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。

【テキスト（教科書）】

「ブリュッケ 初級ドイツ語文法・ふかくわかりやすく」 木下直也等 朝日出版社

【参考書】

独和辞書は必要です。（電子辞書でも紙の辞書でも形態は問わない）参考書としてはあらかじめ用意するものは特にありませんが、必要があれば授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末に試験を行います。

期末試験 50%

平常点（訳読などの課題発表・確認テストの成績累計、授業への積極的取組・参加）50%

出席は単位修得の前提条件です。

【学生の意見等からの気づき】

授業時に「質問時間」を設け、文法上の疑問を解消し、理解をより確実なものにします。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業になった場合の必要な機器としてZoomで接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline (in English)】

【Course outline】German for Ichigaya Liberal Arts Center Program.

This course provides elementary German grammar for beginners.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to:

– confirm German elementary grammar.

– learn expressions of daily German conversation.

【Learning activities outside of classroom】 Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least 1 hour for each class meeting.

【Grading criteria】 Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 50%、Short tests, an assignment and in-class contribution: 50%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語(2) I

2017年度以降入学者

平松 英人

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級総合教科書を使って、ドイツ語の読み、書き、聞く、話す力をバランスよく習得する。使用頻度の高い文法事項を重点的に学習することで、メリハリのある基礎力を身につける。また同じゲルマン諸語である英語との比較やドイツ語圏文化の紹介などを通じて、異文化理解の視点を身につけることも目的とする。

【到達目標】

1年間の授業を通じて完了形までの初級文法を学びながら、平易なドイツ語を理解する能力を養い、中級の授業に支障なく参加できる語学力と、ドイツ語技能検定試験（独検）5、4級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は12課からなり、各課とも文法、練習問題、会話文、読章、リスニング練習から構成されている。文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、文法事項を習得した上で、会話、読解、リスニング力を身につける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lektion 0	イントロダクション ドイツ語の発音
2	Lektion 1	挨拶・自己紹介1 動詞の現在人称変化I 1人称・2人称
3	Lektion 1	挨拶・自己紹介2 動詞の現在人称変化II 3人称・動詞の位置
4	Lektion 2	職業・国籍を尋ねる1 seinの1人称と2人称 並列の接続詞
5	Lektion 2	職業・国籍を尋ねる2 ja/nein/dochの使い方
6	Lektion 3	友達の紹介1 動詞の現在人称変化
7	Lektion 3	友達の紹介2 形容詞・数詞
8	Lektion 1-3	これまでのまとめと確認テスト
9	Lektion 4	レストランでの会話1 名詞の性と定冠詞・不定冠詞 4格目的語をとる動詞
10	Lektion 4	レストランでの会話2 不規則動詞の現在人称変化I 副詞
11	Lektion 5	住まい・家具1 人称代名詞
12	Lektion 5	住まい・家具2 名詞の複数形
13	Lektion 6	家族 所有冠詞と否定冠詞
14	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

新倉真矢子、正木晶子、中野有希子著『シュピッツェ！ 1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』朝日出版社、2019年、2,970円（税込み）、ISBN978-4-255-25422-7

【参考書】

その都度指示する。

【成績評価の方法と基準】

中間の確認テストと期末テストの得点を60%、平常点を40%の合計点で評価する。平常点は、会話文や読章の和訳、練習問題に的確に解答あるいは提出すること。提出された課題は次の授業の冒頭で解説し、間違いやすいポイントや発展的な内容について説明を加える。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進捗については、学生の理解度に応じて、柔軟に対応する。

【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook for beginners and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English.

Learning Objectives: At the end of this course students gain basic communication skills to reach A1.2 level.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to spend 1 hour to review the last lesson as well as prepare for the next lesson.

Grading Criteria: Overall grade in this course will be decided based on the following:

Homework and performance in class: 40%

Midterm and final exams: 60%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語(2)Ⅱ

2017年度以降入学者

平松 英人

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級総合教科書を使って、ドイツ語の読み、書き、聞く、話す力をバランスよく習得する。使用頻度の高い文法事項を重点的に学習することで、メリハリのある基礎力を身につける。また同じゲルマン諸語である英語との比較やドイツ語圏文化の紹介などを通じて、異文化理解の視点を身につけることも目的とする。

【到達目標】

1年間の授業を通じて現在完了形までの初級文法を学びながら、基本的なドイツ語を理解する能力を養い、中級の授業に支障なく参加できる語学力と、ドイツ語技能検定試験（独検）5、4級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は12課からなり、各課とも文法、練習問題、会話文、読章、リスニング練習から構成されている。文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、文法事項を習得した上で、会話、読解、リスニング力の向上を目指す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lektion 7	趣味1 不規則動詞の現在人称変化II
2	Lektion 7	趣味2 頻度の表現・曜日
3	Lektion 8	贈り物1 所有冠詞と人称代名詞（3格）
4	Lektion 8	贈り物2 数詞（101～）
5	Lektion 9	予定の取り決め1 話法の助動詞
6	Lektion 9	予定の取り決め2 未来形
7	Lektion 7-9	これまでのまとめと確認テスト
8	Lektion 10	町の中で・道案内1 時・場所を表す前置詞
9	Lektion 10	町の中で・道案内2 交通手段
10	Lektion 11	時刻表現1 分離動詞
11	Lektion 11	時刻表現2 1日の行動
12	Lektion 12	旅行・週末1 現在完了形 四季・月名
13	Lektion 12	旅行・週末2 過去の出来事を話す 天候
14	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

新倉真矢子、正木晶子、中野有希子著『シュピッツェ！ 1コミュニケーションで学ぶドイツ語』朝日出版社、2019年、2,970円（税込み）、ISBN978-4-255-25422-7

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

中間の確認テストと期末テストの得点を60%、平常点を40%の合計点で評価する。平常点は、会話文や読章の和訳、練習問題に的確に解答あるいは提出すること。提出された課題は次の授業の冒頭で解説し、間違いやすいポイントや発展的な内容について説明を加える。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進度については、学生の理解度に応じて、柔軟に対応する。

【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook for beginners and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English.

Learning Objectives: At the end of this course students gain basic communication skills to reach A1.2 level.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to spend 1 hour to review the last lesson as well as prepare for the next lesson.

Grading Criteria: Overall grade in this course will be decided based on the following:

Homework and performance in class: 40%

Midterm and final exams: 60%

LANd100LA（ドイツ語 / German language education 100）	
ドイツ語 1	2017年度以降入学者
林 志津江	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火2/Tue.2	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初学者を対象に、ドイツ語の基本的な運用能力を獲得するためのトレーニングです。SAドイツ語圏での留学準備として、この「ドイツ語1」と「ドイツ語3」（秋学期開講）の両方で、初級文法の基礎固めをします。基本的なドイツ語運用能力の習得を目指すとともに、ドイツ語のテキストの読解にも徐々に慣れていきましょう。ドイツ語学習を通して「大人の外国語の学び方」もしっかり身につけていきます。

【到達目標】

- 1）ドイツ語の発音の規則、初級文法、簡単な文章表現といったドイツ語の基礎知識の習得と、1年生のうちに「自分の学び方」を意識するクセをつけること。
- 2）ドイツ語（第2言語・第3言語）の学習が、自分の思考や感情を言語化する能力や、他者への対応能力といった総合的なコミュニケーション能力につながっていることを実感できること。
- 3）ドイツ語・ドイツ語圏という異文化と接することで、自分の属する文化と言語圏について反省的に考えられるようになることが最大の目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・担当教員が教科書に沿って文法解説を行ったあと、新出単語や例文を繰り返し発音練習します。その後はテキストの読解や会話練習などの作業を通じて、テキストの内容や文法を確認していきます。グループワークやペアワーク、マルチメディア教材・資料も活用しながら、活気ある授業と受講生のより良い理解にも配慮します。
- ・5月以降（授業第4回目以降）、単語テストで語彙力の定着を図ります。詳細は授業中に指示します（教材は「ドイツ語2（SA）」「ドイツ語4（SA）」と同じものを使用）。
- ・法政大学の2025年度授業方針に従い、「対面授業」で行います。
- ・LMSとして、主にGoogle Classroomを使用します。
- ・授業内で行われたアウトプットに対しては授業の場でコメントします。提出物のフィードバックは適宜全体と各自に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス、発音の規則（1）、あいさつの表現（1）	授業の進め方と辞書についての説明、アルファベットと発音の規則、あいさつの表現
2	Lektion1：発音の規則（2）、動詞の現在人称変化（I）（1）	つづり字と発音の規則、ドイツ語ってどこで話されている言葉？ ふたつの二人称
3	Lektion1：動詞の現在人称変化（I）	自己紹介（1）、定動詞と不定詞・動詞の現在人称変化、定動詞第2位の原則
4	Lektion2：動詞の現在人称変化（II）	自己紹介（2）、並列の接続詞とさまざまな疑問文のパターン
5	Lektion3：名詞の性と格（1）	名詞の「格」とは？（1）、定動詞と不定動詞
6	Lektion3：名詞の性と格（2）	名詞の「格」とは？（2）、否定動詞keinと否定文

7	Lektion4：名詞の複数形・人称代名詞（1）	品詞に関する理解度を確認（1）
8	Lektion5：不定冠詞類・定冠詞類（1）	品詞に関する理解度を確認（2）、人称代名詞と所有冠詞の区別
9	Lektion5：不定冠詞類・定冠詞類（2）	名詞と冠詞、「名詞の格変化」を総ざらいする
10	Lektion6：語幹の母音が変音する動詞（不規則動詞）	動詞の現在人称変化（3）
11	Lektion6：命令法	依頼の表現と2人称の話
12	Lektion7：話法の助動詞（1）	枠構造の意味、話法の助動詞を用いる文の練習
13	Lektion7：話法の助動詞（2）	話法の助動詞を使うそのココロを理解する
14	まとめ	学期末最終試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
・授業ごと新たな文法項目がでてきますので、復習は非常に重要です。
・学んだ箇所を次回授業までにしっかり見直しましょう。こちらからも文法問題を中心とした宿題を出します。
・学習の際、ドイツ語の単語や文はどれも必ず音読しましょう。

【テキスト（教科書）】

- ・新倉真矢子ほか著『ゲナウ！ Grammatik neu』（郁文堂、2022年）（¥2,200）
- ・学習用独和辞典（別途授業内で案内します）
- ・羽鳥重雄・平塚久裕編『[改訂新版] 例文活用 ドイツ重要単語4000』（白水社、2003年）

【参考書】

- ・中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社、2003年）
- ・清野智昭『ドイツ語のしくみ<新版>』（白水社、2014年）

【成績評価の方法と基準】

- ・授業への積極的な参加・小テスト（単語テスト）・提出課題（50％）
 - ・学期末試験（50％）
- 以上の成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

参加学生からのヒアリングは逐次行ない、参加者の意見や疑問に対する回答はできるだけ速やかに行ないます。学生と教員相互の意志の疎通が重要であると考えています。

【学生が準備すべき機器他】

- ・独和辞典は必携です（紙媒体ないし電子辞書）。自宅での学習では紙媒体の辞書を使用することを強く薦めます。
- ・WiFiが利用可能なデジタルガジェット（PCないしタブレット、スマートフォン）

【その他の重要事項】

- ・授業の順序や内容の一部は変更されることがあります。
- ・随時、法政Gメールと所定のLMS（lms 2025 および Google Classroom）を確認してください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

German course for absolute Beginners, exclusively for Participants of the SA-Program in Germany (Leuphana Universität-Lüneburg) held by the Faculty of Intercultural Communication/Hosei University. This course introduces elementary Grammar, phonetic/pronunciation training and vocabulary with communication routines. The ultimate aim of this course is to get a way of learning foreign languages itself as a learner's perspective.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to master elementary grammar, phonetic/pronunciation training and vocabulary with communication routines of german language.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text.

The standard preparation and revision time for this course is at least one hour each. There are prescribed preparation and review tasks.

[Grading Criteria /Policy]

The course will be judged on the basis of a combination of 50% of ordinary marks (active participation and contribution to the class, presentations, submitted assignments) and 50%of end-of-term assignments (tests).

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)	
ドイツ語3	2017年度以降入学者
林 志津江	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：火2/Tue.2	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期開講の「ドイツ語1 (SA)」に引き続き、初級文法の理解・運用能力の獲得に向けたトレーニングを行います。SAドイツ語圏での留学準備に重点を置き、ドイツ語圏の多様性にも触れながら、ドイツ語圏の滞在に必要なドイツ語運用能力と語彙の習得を目指します。ドイツ語学習を通じて「大人の外国語の学び方」もしっかり身につけていきます。

【到達目標】

- 1) ドイツ語の発音の規則、初級文法、簡単な文章表現といったドイツ語の基礎知識の習得と、1年生のうちに「自分の学び方」を意識するクセをつけること。
- 2) ドイツ語（第2言語・第3言語）の学習が、自分の思考や感情を言語化する能力や、他者への対応能力といった総合的なコミュニケーション能力につながっていることを実感できること。
- 3) ドイツ語・ドイツ語圏という異文化と接することで、自分の属する文化と言語圏について反省的に考えられるようになることが最大の目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・担当教員が教科書に沿って文法解説を行ったあと、新出単語や例文を繰り返し発音練習します。その後はテキストの読解（グループワーク）とその発音練習・会話練習（ペアワーク）などの作業を通じて、テキストの内容や文法を確認していきます。グループワークとマルチメディア教材・資料も多用しながら、活気ある授業と受講生のより良い理解にも配慮します。
- ・「ドイツ語1 (SA)」に引き続き、単語テストで語彙力の定着を図ります。詳細は授業中に指示します（教材は「ドイツ語2 (SA)」 「ドイツ語4 (SA)」と同じものを使用）。
- ・法政大学の2025年度授業方針に従い、「対面授業」で行います。
- ・LMSとして、主にGoogle Classroomを使用します。
- ・授業内で行われたアウトプットに対しては授業の場でコメントします。提出物のフィードバックは適宜全体と各自に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション、小テスト	春学期の復習、既習事項の小テスト
2	Lektion8：前置詞（1）	ドイツ語の基本的な発想を理解する（1）、前置詞の格支配とは？
3	Lektion8：前置詞（2）	3格支配、4格支配の前置詞／3・4格支配の前置詞
4	Lektion8：前置詞（3）／再帰代名詞・再帰動詞	前置詞と定冠詞の融合形、他動詞の再帰表現、再帰代名詞を用いた表現
5	Lektion9：複合動詞（分離動詞・非分離動詞）、「前つづり」の意味	ドイツ語の基本的な発想を理解する（3）、分離動詞の構文と非分離の前綴り
6	Lektion9：zu不定詞（句）	不定詞とzu不定詞およびその用法、zu不定詞句を使った表現

7	Lektion9：従属接続詞と副文	ドイツ語の基本的な発想を理解する（4）、従属接続詞と副文の作り方、主文と副文の違い
8	Lektion10：動詞の3基本形（I）	3基本形の作り方、現在完了形を使うそのココロとは？
9	Lektion10：動詞の3基本形（II）	過去時制と過去人称変化、現在完了形と過去時制の違いとは？
10	Lektion11：受動態	受動態を作るその心とは？ ふたつの受動態の区別（行為受動、状態受動）
11	Lektion12：形容詞の用法・形容詞の格変化	形容詞と名詞の組み合わせ、比較・最上級の持つ意味と冠詞の持つ意味を統合させる
12	Lektion12：関係文・関係代名詞（1）	指示代名詞と関係代名詞、関係代名詞と関係文
13	Lektion12：関係文・関係代名詞（2）	関係副詞と不定関係代名詞
14	まとめ	学期末最終試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
- ・授業ごと新たな文法項目がでてきますので、復習は非常に重要です。
- ・学んだ箇所を次回授業までにしっかり見直しましょう。こちらからも文法問題を中心とした宿題を出します。
- ・学習の際、ドイツ語の単語や文はどれも必ず音読しましょう。

【テキスト（教科書）】

- ・新倉真矢子ほか著『ゲナウ！ Grammatik neu』（郁文堂、2022年）（¥ 2,200）
- ・学習用独和辞典（別途授業内で案内します）
- ・羽鳥重雄・平塚久裕編『[改訂新版] 例文活用 ドイツ重要単語4000』（白水社、2003年）

【参考書】

- ・中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社、2003年）
- ・清野智昭『ドイツ語のしくみ＜新版＞』（白水社、2014年）

【成績評価の方法と基準】

- ・授業への積極的な参加・外部試験結果・小テスト（単語テスト）・提出課題（50％）
 - ・学期末試験（50％）
- 以上の成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

参加学生からのヒアリングは逐次行ない、参加者の意見や疑問に対する回答はできるだけ速やかに行ないます。学生と教員相互の意志の疎通が重要であると考えています。

【学生が準備すべき機器他】

- ・独和辞典は必携です（紙媒体ないし電子辞書）。自宅での学習では紙媒体の辞書を使用することを強く薦めます。
- ・WiFiが利用可能なデジタルガジェット（PCないしタブレット、スマートフォン）

【その他の重要事項】

- ・授業の順序や内容の一部は変更されることがあります。
- ・随時、法政Gメールと所定のLMS（lms 2025 および Google Classroom）を確認してください。
- ・履修者には、2025年12月実施予定の「ドイツ語技能検定試験」（公益財団法人ドイツ語学文学振興会主催）やドイツ政府公認ドイツ語能力検定試験（Goethe Zertifikat）、オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験（ÖSD）等の受検を強く推奨します。受検級は各自の学習段階にふさわしいものを選んでください。受験結果は上記「成績評価の方法と基準」のうち「授業への積極的な参加」に加算されます（2026年1月末までに担当者に通知されたものに限る）。以上の受験費用は自己負担ですが、難しい場合はぜひ担当者に相談してください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

German course for absolute Beginners, exclusively for Participants of the SA-Program in Germany (Leuphana Universität-Lüneburg) held by the Faculty of Intercultural Communication/Hosei University. This course introduces elementary Grammar, phonetic/pronunciation training and vocabulary with communication routines. The ultimate aim of this course is to get a way of learning foreign languages itself as a learner's perspective.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to master elementary grammar, phonetic/pronunciation training and vocabulary with communication routines of german language.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text.

The standard preparation and revision time for this course is at least one hour each. There are prescribed preparation and review tasks.

【Grading Criteria /Policy】

The course will be judged on the basis of a combination of 50% of ordinary marks (active participation and contribution to the class, presentations, submitted assignments) and 50%of end-of-term assignments (tests).

LANd100LA（ドイツ語 / German language education 100）	
ドイツ語2	2017年度以降入学者
小川 敦	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金4/Fri.4	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初学者を対象に、ドイツ語の基本的な運用能力を獲得するためのトレーニングです。SAドイツ語圏での留学準備として、この「ドイツ語2」と「ドイツ語4」（秋学期開講）とあわせて、初級文法に準じた表現方法の基礎固めをします。基本的なドイツ語運用能力の習得を目指すとともに、ドイツ語のテキストの読解や表現にも徐々に慣れていきましょう。ドイツ語学習を通して「大人の外国語の学び方」もしっかり身につけていきます。

【到達目標】

第一の目標は、ドイツ語文法の初歩を理解した上で平易なドイツ語を読むとともに、自らもドイツ語で少しずつアウトプット（作文および口頭表現）ができるようになることです。第二の目標は、「ドイツ語（外国語）の学び方」を常にふり返ることのできる（反省能力のある）学習者になることです。1年次のうちに「自分の学び方」を意識するクセをつけましょう。そして第三の目標は、ドイツ語（外国語）の学習が、自分の思考や感情を言語化する能力、さらには他者への対応能力といった総合的なコミュニケーション能力につながっている現実を理解することです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

担当教員が教科書に沿って文法解説を行ったあと、新出単語や例文を繰り返し発音練習します。その後はテキストの読解（グループワーク）や会話練習（ペアワーク）などの作業を通じて、テキストの内容や文法を確認していきます。グループワークとマルチメディア教材・資料も多用しながら、活気ある授業と受講生のより良い理解にも配慮します。

・Hoppiiのほか、主にGoogle Classroomをツールとして使用します。
・授業内で行われたアウトプットに対しては授業の場でコメントします。提出物のフィードバックは適宜全体と各自に向けて行います。
・まだ確定ではありませんが、ドイツで日本語を学ぶ学生との動画による交流を予定しています。詳細は授業でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス、発音の規則（1）、あいさつの表現（1）	授業の進め方と辞書についての説明、アルファベットと発音の規則、あいさつの表現
2	Lektion1：発音の規則（2）、動詞の現在人称変化（I）（1）、ドイツ語圏ってどこにあるの？	つづり字と発音の規則、ドイツ語ってどこで話されている言葉？ 不定詞と動詞の現在人称変化（1）、定動詞第2位の意味（1）
3	Lektion1：動詞の現在人称変化（I）（2）、定詞と動詞の現在人称変化（2）定動詞と不定詞（1）	自己紹介（1）、苗字と名前、不在人称変化（I）（2）、定詞と動詞の現在人称変化（2）
4	Lektion2：ドイツ語圏の国々（1）・動詞の現在人称変化（II）、並列の接続詞	自己紹介（2）定動詞第2位の意味（2）

5	Lektion2：ドイツ語圏の国々（2）、発音（1）	自分の職業を述べる・説明する、母音の長短、オーストリア、スイス、そして・・・
6	Lektion3：家族について、定冠詞・不定冠詞、発音（2）	名詞の性と格、さまざまな語彙
7	Lektion3：家族について、定冠詞・不定冠詞、発音（2）	自分の家族と自分の職業について、sを綴り字に含む発音
8	Lektion4：食べ物の話、名詞の複数形・人称代名詞	名詞について、人称代名詞と名詞の関係
9	Lektion4：食べ物の話、名詞の複数形・人称代名詞、発音（3）	ドイツ（語圏）の典型的な食べ物は・・・？ 変母音の発音
10	Lektion5：天気の話・曜日の話、定冠詞類	定冠詞類の種類と格変化
11	Lektion5：天気の話・曜日の話、不定冠詞類、発音（4）	不定冠詞類の種類と格変化、人称代名詞と所有冠詞をしっかりと区別する、rとlの発音
12	Lektion6：余暇と趣味について、動詞の現在人称変化（III）	語幹（幹母音）が変音する動詞
13	Lektion6：Lektion6：余暇と趣味について、命令法、発音（5）	du/ihrとSieについて、動詞の態と法、命令法、末尾音硬化
14	まとめ	学期末最終試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業ごと新たな文法項目がでけますので、復習は非常に重要です。学んだ箇所を次回授業までにしっかり見直しましょう。こちらからも文法問題を中心とした宿題を出します。ドイツ語の文・文章はどれも必ず音読しましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・新倉真矢子ほか著『ゲナウ！ Lesen neu』（郁文堂、2022年）（¥2,500）
・学習用独和辞典（別途授業内で案内します）

【参考書】

・中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社、2003年）
・清野智昭『ドイツ語のしくみ＜新版＞』（白水社、2014年）
次の本はドイツ語1・3で購入しますが、こちらの授業（ドイツ語2・4）でも用います。
・羽鳥重雄・平塚久裕編『[改訂新版] 例文活用 ドイツ重要単語4000』（白水社、2003年）

【成績評価の方法と基準】

・授業への積極的な参加・小テスト（単語テスト）・提出課題（40％）
・学期末試験（60％）
以上の成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

参加学生からのヒアリングは逐次行ない、参加者の意見や疑問に対する回答はできるだけ速やかに行ないます。学生と教員相互の意志の疎通が重要であると考えています。

【学生が準備すべき機器他】

・独和辞典は必携です。紙媒体の辞書（特に自宅での学習で）を強く薦めます。
・WiFiが利用可能なデジタルガジェット（PCないしタブレット、スマートフォン）
・試験にはPCを用いることがありますので、WindowsまたはMacを持参してください。

【その他の重要事項】

・授業の順序や内容の一部は変更されることがあります。
・随時、法政GメールとHoppii、Google Classroomを確認するようにしてください。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

German course for absolute Beginners, exclusively for Participants of the SA-Program in Germany (Leuphana Universität-Lüneburg) held by the Faculty of Intercultural Communication/Hosei University. This course introduces elementary Grammar, phonetic/pronunciation training and vocabulary with communication routines. The ultimate aim of this course is to get a way of learning foreign languages itself as a learner's perspective.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to master elementary grammar, phonetic/pronunciation training and vocabulary with communication routines of german language.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text.

The standard preparation and revision time for this course is at least one hour each. There are prescribed preparation and review tasks.

【Grading Criteria /Policy】

The course will be judged on the basis of a combination of 40% of ordinary marks (active participation and contribution to the class, presentations, submitted assignments) and 60%of end-of-term assignments (tests).

LANd100LA（ドイツ語 / German language education 100）		
ドイツ語 4		2017年度以降入学者
小川 敦		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金 4/Fri.4		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期の「ドイツ語2」に引き続き、初級文法の理解・習得と並行して、ドイツ語の基本的な表現方法・運用能力獲得に向けたトレーニングを行います。SAドイツ語圏での留学準備に重点を置き、ドイツ語圏の多様性にも触れながら、ドイツ語圏の滞在に必要な基礎的ドイツ語運用能力の習得を目指します。ドイツ語学習を通じて「大人の外国語の学び方」もしっかり身につけていきます。

【到達目標】

第一の目標は、ドイツ語文法の初歩を理解した上で平易なドイツ語を読み、また自らドイツ語でアウトプット（作文および口頭表現）ができるようになることです。「ドイツ語2」の学習項目を積み上げながら、自分の触れているドイツ語が、どのようなシーンで活用されるのかを実感してもらいたいと思います。第二の目標は、「ドイツ語（外国語）の学び方」を反省できる学習者になることです。ぜひ1年次のうちに、自身の学びかたそのものを意識するクセをつけましょう。第三の目標は、ドイツ語（外国語）の学習が、自分の思考や感情を言語化する能力、さらには他者への対応能力といった総合的なコミュニケーション能力につながっている現実を理解することです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

担当教員が教科書に沿って文法解説を行ったあと、新出単語や例文を繰り返し発音練習します。その後はテキストの読解（グループワーク）とその発音練習・会話練習（ペアワーク）などの作業を通じて、テキストの内容や文法を確認していきます。グループワークとマルチメディア教材・資料も多用しながら、活気ある授業と受講生のより良い理解にも配慮します。

- ・法政大学の2025年度授業方針に従い、「対面授業」で行います。
- ・Hoppiiのほか、主にGoogle Classroomをツールとして使用します。
- ・授業内で行われたアウトプットに対しては授業の場でコメントします。提出物のフィードバックは適宜全体と各自に向けて行います。
- ・まだ確定ではありませんが、ドイツで日本語を学ぶ学生との動画による交流を予定しています。詳細は授業でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション、小テスト	春学期の復習、既習事項の小テスト
2	Lektion7：休暇について、メール・メッセージを書く、話法の助動詞	ドイツ語の基本的な発想を理解する（1）、話法の助動詞を使うそのココロを理解する
3	Lektion7：棒構造と話法の助動詞、未来形、発音（6）	ドイツ語の基本的な発想を理解する（2）、夏休みには何をする？、chの発音
4	Lektion8：祝祭日について、前置詞（1）	地図を観る、「移動先を示す」と「位置・場所を示す」ことの違いを理解する
5	Lektion8：祝祭日について、前置詞（2）、発音（7）	友人と旅行をする、ドイツの祝日のいろいろ、3/4格支配の前置詞、pf. tsなどの発音

6	Lektion9：時刻の表現・私の予定、複合動詞（分離動詞・非分離動詞）、「前つづり」の意味	ドイツ語の基本的な発想を理解する（3）分離動詞の構文と非分離の前綴り
7	Lektion9：時刻の表現・私の予定、zu不定詞（句）、発音（8）	不定詞とzu不定詞、時刻の表現と数詞、アクセントについて
8	Lektion9：時刻の表現・私の予定、ふたつの接続詞、従属接続詞と副文受動態	ドイツ語の基本的な発想を理解する（4）、定動詞の位置と主文・副文の関係
9	Lektion10：週末の予定を説明する、動詞の3基本形（I）	3基本形の作り方、現在完了形と過去人称変化
10	Lektion10：週末の予定を説明する、動詞の三基本形（I）、発音（9）	週末について・過去の経験について、過去時制と現在完了形の使い分け、文アクセント
11	Lektion11：観光とショッピング（1）、動詞の三基本形（II）、受動態、発音（10）	受動態を作るその心とは？ふたつの受動態の区別、文アクセントとイントネーション
12	Lektion12：観光とショッピング（2）、形容詞の比較級・最上級	形容詞と名詞の組み合わせ、比較・最上級の持つ意味と冠詞の持つ意味を統合させる
13	Lektion12：ドイツ&クリスマスのお菓子、関係代名詞	指示代名詞と関係代名詞、関係代名詞と関係文、関係副詞と不定関係代名詞
14	まとめ	学期末最終試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業ごと新たな文法項目ができますので、復習は非常に重要です。学んだ箇所を次回授業までにしっかり見直しましょう。こちらからも文法問題を中心とした宿題を出します。またドイツ語の文・テキストはどれも必ず音読しましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

- ・新倉真矢子ほか著『ゲナウ！ Lesen neu』（郁文堂、2022年）（¥2,500）
- ・学習用独和辞典（別途授業内で案内します）

【参考書】

- ・中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社、2003年）
 - ・清野智昭『ドイツ語のしくみ＜新版＞』（白水社、2014年）
- ドイツ語1・3で購入する次の資料はドイツ語2・4でも用います。
- ・羽鳥重雄・平塚久裕編『[改訂新版] 例文活用 ドイツ重要単語4000』（白水社、2003年）

【成績評価の方法と基準】

- ・授業への積極的な参加・外部試験結果・小テスト（単語テスト）・提出課題（40％）
- ・学期末試験（60％）

以上の成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とします。

- ・学期の途中で動詞の三基本形の試験を行います。受験機会は2回です。この試験で9割以上の得点がない場合には期末試験は0点となります。

【学生の意見等からの気づき】

参加学生からのヒアリングは逐次行ない、参加者の意見や疑問に対する回答はできるだけ速やかに行ないます。学生と教員相互の意志の疎通が重要であると考えています。

【学生が準備すべき機器他】

- ・独和辞典は必携です。紙媒体の辞書（特に自宅での学習で）を強く薦めます。
- ・WiFiが利用可能なデジタルガジェット（PCないしタブレット、スマートフォン）
- ・試験にはPCを用いることがあります。その場合はWindowsまたはMacを持参してください。

【その他の重要事項】

- ・授業の順序や内容の一部は変更されることがあります。
- ・随時、法政GメールとHoppii、Google Classroomを確認するようにしてください。
- ・履修者には、2025年12月実施予定の「ドイツ語技能検定試験」(公益財団法人ドイツ語学文学振興会主催)、2025年度中に実施されるドイツ政府公認ドイツ語能力検定試験 (Goethe Zertifikat) ないしオーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験 (ÖSD) の試験からどれか1つ以上の受検を強く推奨します。受験級はそれぞれの学習段階にふさわしいものを選んでください。受験結果は上記「成績評価の方法と基準」のうち「授業への積極的な参加」に加算されます(2026年1月末日までに担当者に通知されたものに限る)。以上の受験費用は自己負担ですが、難しい場合はぜひ担当者に相談してください。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

German course for absolute Beginners, exclusively for Participants of the SA-Program in Germany (Leuphana Universität-Lüneburg) held by the Faculty of Intercultural Communication/Hosei University. This course introduces elementary Grammar, phonetic/pronunciation training and vocabulary with communication routines. The ultimate aim of this course is to get a way of learning foreign languages itself as a learner's perspective.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to master elementary grammar, phonetic/pronunciation training and vocabulary with communication routines of german language.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text.

The standard preparation and revision time for this course is at least one hour each. There are prescribed preparation and review tasks.

【Grading Criteria /Policy】

The course will be judged on the basis of a combination of 40% of ordinary marks (active participation and contribution to the class, presentations, submitted assignments) and 60% of end-of-term assignments (tests). In addition, it is obligatory to score 90% on the verb test.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語5

2017年度以降入学者

Annette Gruber

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The focus of this course is on building up vocabulary, idiomatic phrases, grammar, pronunciation, listening and writing skills as well as communicative competence. At the end of the course, students will be able to master simple everyday situations in a German context.

【到達目標】

当講座では、学生一人ひとりがドイツ語で基礎的なコミュニケーションができるようになることを目指す。Basicな言語運用能力の一層の定着を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

想定された日常生活の具体的な場面の中で、実際にドイツ語を使ってみることによって、ドイツ語の基礎知識習得をはかる。

コミュニケーション能力育成という理由から、授業はすべてドイツ語で行われる。授業形態は言語活動、例えばペアワーク、グループワークなどが中心となる。授業での学習が最優先であるが、学習した内容を十分理解するために復習をすることが要求される。何よりも、楽しくドイツ語を学べるよう心掛けたい。

授業内の言語活動や課題に関しては、可能な限りその場でフィードバックを口頭で行う。必要に応じて、HOPPIIを通じて課題のポイントや問題点の指摘を行いたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
対面/face to face	Einfuehrung	Uebersicht ueber Kursinhalte und Durchfuehrung
対面/face to face	Begruessen und vorstellen 1 - du, Sie	einfache Phrasen
対面/face to face	Begruessen und vorstellen 2	einfache Phrasen, Verbkonjugation im Singular
対面/face to face	Laender, Sprachen	Idiomatik in Fragen und Antworten
対面/face to face	Berufe	Ja-/Nein-Fragen, W-Fragen
対面/face to face	Zahlen von 0 bis 100	einfache Zahlenanwendungen
対面/face to face	Deutsche Woerter?	Feminin - Maskulin - Neutrum
対面/face to face	Zahlen bis 1000	Telefonnummern, Hausnummern
対面/face to face	Informationen zur Person	Alphabet, Buchstabieren
対面/face to face	Auf der Meldestelle	Formulare auf Behoerden
対面/face to face	Einladung zum Kaffeetrinken	Verbkonjugation im Plural
対面/face to face	Was ist wo in unserem Buch?	bestimmter/unbestimmter/negativer Artikel

対面/face to face Essen und Trinken Nominativ und Akkusativ

対面/face to face Zusammenfassung und Wiederholung Syntax, Phrasen, Artikel, grammtisches Geschlecht, Kasus

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You need to prepare for and revise every lesson. There will be assignments in the "Arbeitsbuch" and on the Learning Management System (HOPPII) every week. The standard time for preparation and review of this class is 1 hour in total.

【テキスト（教科書）】

Tangram aktuell, Lektion 1-4

【参考書】

自分にあった辞書、電子辞書でも可。

【成績評価の方法と基準】

There will a test after every unit, which accounts for 60%.

Attendance, classroom performance, homework and attitude account for 40%.

Make sure to always arrive on time.

【学生の意見等からの気づき】

学生からの声に真摯に耳を傾ける。授業進度、説明の適切さなど、学生から要望があれば応える。

【Outline (in English)】

In this class you will acquire basic knowledge and understanding of German vocabulary, phrases, sentence structures, grammar and pronunciation as well as communication skills in terms of speaking, listening, reading and writing.

Students will get regular homework based on the Arbeitsbuch. The standard time for preparation and review of this class is 1 hour in total.

Active classroom participation is essential for passing this course as well as applying the communicative skills acquired in class in various test formats at the end of each unit.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 6

2017年度以降入学者

Annette Gruber

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The focus of this course is on building up vocabulary, idiomatic phrases, grammar, pronunciation, listening and writing skills as well as communicative competence. At the end of the course, students will be able to master simple everyday situations in a German context.

【到達目標】

当講座では、学生一人ひとりがドイツ語で基礎的なコミュニケーションができるようになることを目指す。Basicな言語運用能力の一層の定着を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

想定された日常生活の具体的な場面の中で、実際にドイツ語を使ってみることによって、ドイツ語の基礎知識習得をはかる。コミュニケーション能力育成という理由から、授業はすべてドイツ語で行われる。授業形態は言語活動、例えばペアワーク、グループワークなどが中心となる。授業での学習が最優先であるが、学習した内容を十分理解するために復習をすることが要求される。何よりも、楽しくドイツ語を学べるよう心掛けたい。授業内の言語活動や課題に関しては、可能な限りその場でフィードバックを口頭で行う。必要に応じて、HOPPIIを通じて課題のポイントや問題点の指摘を行いたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Einfuehrung	Uebersicht ueber Kursinhalte und Durchfuehrung
2	Laender in Zahlen	Zahlen ueber 1000
3	Im Moebelhaus	Dinge bewerten: Adjektive, Adverbien
4	Haushaltsgeraete	Artikel im Nominativ und Akkusativ
5	Gespraechе im Kaufhaus	Definitpronomen
6	Gebrauchte Sachen	Zeit- und Mengenangaben
7	Beim neunten Nein kommen die Traenen	Text ueber Einkaufen mit Kindern & Diskussion
8	Einkaufen im Supermarkt	idiomatische Phrasen
9	Gespraechе mit Gaesten	idiomatische Phrasen
10	Tipps und Ratschlaege	Imperativ
11	Berufe: Vor- und Nachteile	Modalverben
12	Hobbys	Praepositionen mit Dativ und Akkusativ
13	Verabredungen	Idiomatik in typischen Situationen

14 Wiederholung und Syntax, Phrasen, Wortschatz Zusammenfassung

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You need to prepare for and revise every lesson. There will be assignments in the "Arbeitsbuch" and on the Learning Management System (HOPPII) every week. The standard time for preparation and review of this class is 1 hour in total.

【テキスト（教科書）】

Tangram aktuell 1, Lektion 5-8

【参考書】

自分にあった辞書、電子辞書でも可。

【成績評価の方法と基準】

There will be a test after each unit, which accounts for 60%. Attendance, classroom performance, homework and attitude account for 40%.

Make sure to always arrive on time.

【学生の意見等からの気づき】

学生からの声に真摯に耳を傾ける。授業進度、説明の適切さなど、学生から要望があれば応える。

【Outline (in English)】

In this class you will acquire basic knowledge and understanding of German vocabulary, phrases, sentence structures, grammar and pronunciation as well as communication skills in terms of speaking, listening, reading and writing. Students will get regular homework based on the Arbeitsbuch. The standard time for preparation and review of this class is 1 hour in total.

Active classroom participation is essential for passing this course as well as applying the communicative skills acquired in class in various test formats at the end of each unit.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 1

2017年度以降入学者

小川 敦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語を理解し運用するために必要な文法を身につけます。

【到達目標】

1年を通してドイツ語の発音や初級文法を身につけます。辞書を使えばドイツ語の文章を読み、かつ書けるような文法力を網羅的に身につけます。

今後のドイツ語力獲得につながる学習方法を習得します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

指定教科書の前半部（第1課～第8課）を扱います。

時間の都合上授業で扱えなかった箇所については自習教材を配布するなどします。

1課ごとにオンラインで課題を課します。また、3課ごとに簡単な小テストを行います。

他のドイツ語授業で扱う内容にあわせて扱う内容の順番を変更することがあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	ドイツ語の概要とアルファベット、文字と音の関係
第2回	第1課	動詞の現在人称変化
第3回	第2課	名詞と冠詞の格変化
第4回	第3課	名詞の複数形・人称代名詞
第5回	第3課までのまとめ	これまでのまとめと復習をします
第6回	第4課	動詞の現在人称変化・命令形
第7回	第5課	定冠詞類・不定冠詞類
第8回	第6課	前置詞
第9回	第6課までのまとめ	これまでのまとめと復習をします
第10回	第7課	話法の助動詞・未来形・非人称動詞
第11回	第8課	分離動詞と非分離動詞・接続詞
第12回	数字と時刻	これまでの復習をしながら、数字や時刻の言い方を練習します
第13回	第8課までのまとめ	これまでのまとめと復習をします
第14回	まとめ	今学期扱った内容のまとめをします

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。復習に時間を割いてください。

本授業では復習が特に重要です。

【テキスト（教科書）】

前田良三・高木葉子『身につくドイツ文法 Leicht2』郁文堂

【参考書】

紙の辞書、電子辞書、スマートフォンのアプリ（有料のもの）のどれでも構いませんが、辞書は必須です。ネット上の無料のものは使い物になりません。

詳しくは授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%、普段の授業への参加、小テスト、課題への取り組み40%とします。

【学生の意見等からの気づき】

学生の希望や意見に常に耳を傾け、授業の改善につとめます。

【学生が準備すべき機器他】

確認のための小テストや期末試験は授業中にオンライン上で行いますので、その際にはWindowsやMacなどのPCをご持参ください。

【その他の重要事項】

外国語の学習はやればかならず結果がついてきます。着実に学習しましょう。

【Outline (in English)】**【授業の概要（Course outline）】**

In this course students learn the grammar necessary to use the German language.

【到達目標（Learning Objectives）】

Students learn elementary German grammar.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend 1 hour to understand the course content.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】

Final examination 60%

Active participation 40%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 3

2017年度以降入学者

小川 敦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語を理解し運用するために必要な文法を身につけます。

【到達目標】

1年を通してドイツ語の発音や初級文法を身につけます。辞書を使えばドイツ語の文章を読み、かつ書けるような文法力を網羅的に身につけます。

今後のドイツ語力獲得につながる学習方法を習得します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

指定教科書の後半部（第9課～第15課）を扱います。

時間の都合上授業で扱えなかった箇所については自習教材を配布するなどします。

1課ごとにオンラインで課題を課します。また、2課または3課ごとに簡単な小テストを行います。

他のドイツ語授業で扱う内容にあわせて扱う内容の順番を変更することがあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	春学期の復習と9課の導入
第2回	第9課	動詞の三基本形・過去人称変化
第3回	第10課	現在完了・再帰表現
第4回	第10課までのまとめ	これまでのまとめと復習をします
第5回	第11課	形容詞の格変化
第6回	第12課	形容詞と副詞の比較変化・zu不定詞
第7回	第12課までのまとめ	これまでのまとめと復習をします
第8回	第13課	関係代名詞・指示代名詞
第9回	第14課	受動態
第10回	第14課までのまとめと復習	これまでのまとめと復習をします
第11回	第15課その1	接続法第1式
第12回	第15課その2	接続法第2式
第13回	第15課およびその他のまとめと復習	接続法を中心にこれまでの復習をします。
第14回	まとめ	今学期扱った内容のまとめをします

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。復習に時間を割いてください。

本授業では特に復習に力を入れてください。

【テキスト（教科書）】

前田良三・高木葉子『身につくドイツ文法 Leicht2』郁文堂

【参考書】

紙の辞書、電子辞書、スマートフォンのアプリ（有料のもの）のどれでも構いませんが、辞書は必須です。詳しくは授業中に指示します。辞書がないと勉強になりません。また、無料のオンラインの辞書は使い物になりません。

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%、普段の授業への参加、小テスト、課題への取り組み40%とします。

また、学期の途中で動詞の三基本形試験を行います。この試験で9割の得点がないと期末試験は0点となります。受験機会は2度あります。

【学生の意見等からの気づき】

学生の希望や意見に常に耳を傾け、授業の改善につとめます。

【学生が準備すべき機器他】

確認のための小テストや期末試験は授業中にオンライン上で行いますので、その際にはWindowsやMacなどのPCをご持参ください。

【その他の重要事項】

外国語の学習はやればかならず結果がついてきます。着実に学習しましょう。

【Outline (in English)】**【授業の概要（Course outline）】**

In this course students learn the grammar necessary to use the German language.

【到達目標（Learning Objectives）】

Students learn elementary German grammar.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】

Final examination 60%

Active participation 40%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)		
ドイツ語 2		2017年度以降入学者
Schmidt Ute		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火 4/Tue.4		
単位数：1 単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、まったくの初心者がドイツ語の基礎を学ぶための授業です。授業を通じて「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を総合的に体得することが目標です。また、授業ではドイツ語圏の事情や習慣を紹介する教科書を使用します。日常生活における様々な場面を想定し、その場面に必要な表現の習得を通して、受講者はドイツ語圏の文化を実感できることでしょう。映像や音声、インターネットなどを用いて、ドイツ圏の文化に触れる機会も多く設けるようにしたいと思っています。

【到達目標】

受講者は以下のことができるようになります。

- 1) 発音のルールを知って、初見の単語や文章も発音できる。
- 2) 基本的な文法事項を習得する。
- 3) 辞書の使い方を習得し、初歩的なテキストが理解できる。
- 4) 自分でも簡単な文章が書ける。
- 5) 想定された場面における基本的な口語表現が聞き取れる。
- 6) 想定された場面における基本的な口語表現を用いて簡単な会話ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業では、日常生活の様々な場面を想定し、実践的なパートナートレーニングやグループワークを通じて、自分の日常生活を描写したり、自分の考えや感情を表現する練習を重ねます。練習した表現を応用できるようにするために、宿題を通じ、教科書に出てくる単語やフレーズ、文法事項をしっかりと復習します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。独和辞典を持参してください（紙辞書か電子辞書かは問いません。ただし無料オンライン辞書は不可）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション Herzlich Willkommen	自己紹介 アルファベット 人称変化 sein
2	好きなもの Dinge, die ich mag	人称変化 mögen ja/nein Fragen
3	Name, Adresse, Beruf	職業 数字 0 - 1 0 0 0 人称変化 2
4	Formulare	複数 前置詞 aus, bei, in, als
5	Panorama I	Auf der Berlinale ベルリン国際映画祭
6	Was ist das?	Dinge im Kursraum 人称代名詞 定冠詞・不定冠詞
7	Wie ist das? Fragen im Kursraum	Dinge beschreiben 形容詞

8	Shoppen	Einkaufsdialoge 格変化 4 格 Akkusativ
9	Shoppen in der Stadt	Informationen über eine Stadt verstehen 動詞の現在人称変化 haben/ möchten Blog を書く
10	Panorama II Die Leipziger Fußgängerzone	Präsentation Shoppen in meiner Stadt
11	Tanzen oder Wandern?	Freizeitaktivitäten 不規則動詞変化
12	Freizeit und Alltag	Wochentage und Jahreszeiten 分離動詞
13	Endlich Urlaub	Über Urlaubspläne sprechen 月 前置詞 助動詞の使い方
14	試験	まとめ、解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講者は、授業で指示された期限までに宿題を行ってください（提出してもらったこともあります）。予習は特に必要ありませんが、授業で学習した内容の復習は必須です。特に単語は必ず覚えてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Panorama Deutsch als Fremdsprache
A1: Kursbuch Teilband 1
ISBN/Verlag: ISBN 978-3-06-120472-3
Cornelsen Verlag

【参考書】

『知ってほしい国 ドイツ』新野守広・飯田道子・梅田紅子編著 高文研 2017 年 ¥1700 + 税
『ドイツ語のしくみ』清野智昭著 白水社 2005 年 ¥1400 + 税

【成績評価の方法と基準】

小テスト 2 回 (20%)、授業への参加態度 (40%)、宿題 (20%)、プレゼンテーション (20%)

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

Online 練習問題、資料配布、課題などには学習支援システムを利用しますので PC などが要ります。

【その他の重要事項】

「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。

【Outline (in English)】

In the first-year course, the students will practice German in all four areas of language skills: listening, speaking, reading and writing. They will be expected to practice these skills in groups or with a partner. By using a textbook with audio-visual materials, containing topics of every-day life, the students will also have the chance to learn about cultural life in German speaking countries.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be about one hour for a class.

Grading will be decided based on class participation (40%), homework (20%), 2 tests (20%), presentation (20%).

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語4

2017年度以降入学者

Schmidt Ute

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、まったくの初心者がドイツ語の基礎を学ぶための授業です。授業を通じて「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を総合的に体得することが目標です。また、授業ではドイツ語圏の事情や習慣を紹介する教科書を使用します。日常生活における様々な場面を想定し、その場面に必要な表現の習得を通して、受講者はドイツ語圏の文化を実感できることでしょう。映像や音声、インターネットなどを用いて、ドイツ圏の文化に触れる機会も多く設けるようにしたいと思っています。

【到達目標】

受講者は以下のことができるようになります。

- 1) 発音のルールを知って、初見の単語や文章も発音できる。
- 2) 基本的な文法事項を習得する。
- 3) 辞書の使い方を習得し、初歩的なテキストが理解できる。
- 4) 自分でも簡単な文章が書ける。
- 5) 想定された場面における基本的な口語表現が聞き取れる。
- 6) 想定された場面における基本的な口語表現を用いて簡単な会話ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業では、日常生活の様々な場面を想定し、実践的なパートナートレーニングやグループワークを通じて、自分の日常生活を描写したり、自分の考えや感情を表現したりする練習を重ねます。練習した表現を応用できるようにするために、宿題を通じ、教科書に出てくる単語やフレーズ、文法事項をしっかりと復習します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

独和辞典を持参してください（紙辞書か電子辞書かは問いません。ただし無料オンライン辞書不可）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Wiederholung	前期の復習
2	Über die Sommerferien sprechen	Präteritum sein sein の過去形 Perfekt現在完了形 I
3	Familie und Freunde I	Geburtstagsfeier 所有冠詞 序数
4	Familie und Freunde II	Sprachen und Nationalitäten 人称代名詞4格
5	Panorama III	Die Alpen in Österreich
6	Kaffee oder lieber Schokolade?	Mengenangaben Speisekarte 食べ物について話す
7	Auf dem Markt	Einkaufsdialoge 助動詞
8	Termine, Termine	Uhrzeit 時間を表す 時間の前置詞 Tagesablauf

9	Termine machen	Sich verabreden 約束をする 助動詞 können
10	Panorama IV	Auf dem Viktualienmarkt
11	Mit dem Auto oder zu Fuß	Verkehrsmittel 前置詞と3格
12	Geradeaus und dann links	Wegbeschreibung 場所と方向を表す前置詞
13	Feste feiern	Weihnachten 年末行事について話す
14	プレゼンテーション	発表 ドイツ語圏を旅する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講者は、授業で指示された期限までに宿題を行ってください（提出してもらったこともあります）。予習は特に必要ありませんが、授業で学習した内容の復習は必須です。特に単語は必ず覚えてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Panorama Deutsch als Fremdsprache

A1: Kursbuch Teilband 1

ISBN/Verlag: ISBN 978-3-06-120472-3

Cornelsen Verlag

【参考書】

『知ってほしい国 ドイツ』新野守広・飯田道子・梅田紅子編著 高文研 2017年 ¥1700＋税

『ドイツ語のしくみ』清野智昭著 白水社 2005年 ¥1400＋税

【成績評価の方法と基準】

小テスト2回(20%)、授業への参加態度(40%)、宿題(20%)、プレゼンテーション(20%)

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

Online練習問題、資料配布、課題などには学習支援システムを利用しますのでPCなどがが必要です。

【その他の重要事項】

「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。

【Outline (in English)】

In the first-year course, the students will practice German in all four areas of language skills: listening, speaking, reading and writing. They will be expected to practice these skills in groups or with a partner. By using a textbook with audio-visual materials, containing topics of every-day life, the students will also have the chance to learn about cultural life in German speaking countries.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be about one hour for a class.

Grading will be decided based on class participation (40%), homework (20%), 2 tests (20%), presentation (20%).

LANd100LA（ドイツ語 / German language education 100）		
ドイツ語 1 - I		2017年度以降入学者
辻 英史		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月2/Mon.2		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

新しくドイツ語文法の学習をはじめようとする人のための授業です。

この授業は木曜日の「ドイツ語 2-I」と密接に連携して授業します。

【到達目標】

1年間かけて初級文法を学び、ドイツ語の基礎を身につけます。文法事項だけでなく、練習問題を通じて語彙やいろいろな表現をおぼえることを重視します。

春学期では、初級文法のなかでも基礎にあたる部分を学びます。簡単な現在形の単文を読んだり書いたりできるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は木曜日の「ドイツ語2-I」と密接に連携して授業します。週1回教室に座っているだけでは語学力はつきません。とくに、初級文法はスポーツでいえば素振りや筋トレにあたる部分です。しっかり身につくように、手と口とアタマを働かせ、積極的に参加する授業を目指します。

文法は積み重ねが大事です。参加者は必ず継続して出席してください。また辞書を用意し、宿題・予習をしたうえで参加することが要求されます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	アルファベット、発音とアクセントについて。
第2回	自己紹介をする	挨拶、季節・月・曜日、数字について。
第3回	動詞の現在人称変化（1）	人称代名詞と動詞の現在人称変化について。
第4回	名詞の性と格変化	名詞の性と格変化（1格と4格）について。
第5回	動詞の現在人称変化（2）	重要動詞と不規則動詞の現在人称変化について。
第6回	名詞の複数形	名詞の複数形と3格について。
第7回	中間テスト	第1～第6回の内容を確認します。
第8回	前置詞	3格・4格支配の前置詞、3・4格支配の前置詞、前置詞と定冠詞の融合形について。
第9回	副文	副文とその語順について。
第10回	人称代名詞の3・4格	不規則動詞の現在人称変化、命令形について
第11回	再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格	数の数え方と使い方などについて。
第12回	冠詞類（1）	定冠詞類について。
第13回	冠詞類（2）	不定冠詞、否定冠詞について。
第14回	期末試験	春学期に学んだ内容について試験します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回宿題を出します。また授業の最初に、前回の授業内容をチェックする問題を出題します。

夏休み中の練習のためにプリントを配布します。

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

書名：『ドイツ語の時間—話すための文法』

著者：清野智昭

出版社：朝日出版社 ISBN：978-4-255-25389-3

そのほか、必要に応じてプリントを配布します。

【参考書】

書名：『必携ドイツ文法総まとめ(改訂版)』

著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著

出版社：白水社 ISBN：978-4-560-00492-0

必ずしも購入の必要はありませんが、自宅学習の際などに持っていると便利です。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加(20%)、中間テスト(40%)、学期末テスト(40%)

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

音声・ビデオ教材を使用します。また、練習問題の解答などはモニターに映します。

【その他の重要事項】

テキストは必ず第1回授業の時までに準備すること。独和辞書も必要になるのでできるだけ早く用意すること。

【Outline (in English)】

German Course for Beginners (A1 Level)

This class will be a relay class with "German 2-I" on Thursday.

This is a year-long course to learn elementary grammar and acquire the basics of the German language. Emphasis is placed not only on grammar, but also on learning vocabulary and various expressions through practice exercises.

Homework will be assigned each time. There will also be a quiz at the beginning of each class to check the content of the previous class. The standard preparation and review time for this class will be one hour in total.

Handouts will be provided for students to practice during the summer vacation.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Class participation such as submission of assignments (20%), mid-term test (40%), end-of-term test (40%).

LANd100LA（ドイツ語 / German language education 100）

ドイツ語 1 - II

2017年度以降入学者

辻 英史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

新しくドイツ語文法の学習をはじめようとする人のための授業です。

木曜1限の「ドイツ語2-II」と緊密に連携しながら進めていきます。

【到達目標】

一年間かけて初級文法を学び、ドイツ語の基礎を身につけます。文法事項だけでなく、練習問題を通じて語彙やいろいろな表現をおぼえることを重視します。

秋学期では、春学期から引き続き初級文法の残りの部分を学びます。後半からは、それまでに学んだ知識を活かし、やや高度な文法や応用的な練習問題にも取り組んでいきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は木曜日の「ドイツ語 2-II」と連動して進めていきます。

週1回教室に座っているだけでは語学力はつきません。とくに、初級文法はスポーツでいえば素振りや筋トレにあたる部分です。しっかり身につくように、手と口とアタマを働かせ、練習問題をしながら先に進んでいきます。

文法は積み重ねが大事です。参加者は必ず継続して出席してください。また辞書を用意し、宿題・予習をしたうえで参加することが要求されます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入・確認テスト	春学期に学習した内容を復習します。
第2回	zu不定詞、分離動詞	zu不定詞と分離動詞について。
第3回	話法の助動詞	話法の助動詞について。
第4回	過去形・現在完了形	動詞の過去形と現在完了形について。
第5回	受動態	動詞の受動態について。
第6回	中間テスト	第2～第5回の内容を確認します。
第7回	形容詞の格変化（1）	比較級について。
第8回	形容詞の格変化（2）	最上級について。
第9回	関係代名詞（1）	関係代名詞と不定関係代名詞、関係文について。
第10回	関係代名詞（2）	関係副詞、複雑な関係文について。
第11回	命令形	動詞の命令形と命令文のニュアンスについて。
第12回	接続法（1）	接続法の作り方について。
第13回	接続法（2）	接続法の用法について。
第14回	学期末テスト	1年間に習ったすべての内容について試験します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回宿題を出します。また授業の最初に、前回の授業内容をチェックする問題を出題します。

冬休み、春休み中の練習のためにプリントを配布します。

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

書名：『ドイツ語の時間—話すための文法』

著者：清野智昭

出版社：朝日出版社 ISBN：978-4-255-25389-3

そのほか、必要に応じてプリントを配布します。

【参考書】

書名：『必携ドイツ文法総まとめ(改訂版)』

著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著

出版社：白水社 ISBN：978-4-560-00492-0

必ずしも購入の必要はありませんが、自宅学習の際などに持っているると便利です。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加(20%)、中間テスト(40%)、学期末テスト(40%)

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

音声・ビデオ教材を使用します。また、練習問題の解答などはモニターに映します。

【その他の重要事項】

独和辞書を必ず用意し、毎回持ってくる。

【Outline (in English)】

German Course for Beginners (A1 Level)

This class will be a relay class with "German 2-II" on Thursday.

This is a year-long course to learn elementary grammar and acquire the basics of the German language. Emphasis is placed not only on grammar, but also on learning vocabulary and various expressions through practice exercises.

Homework will be assigned each time. There will also be a quiz at the beginning of each class to check the content of the previous class. The standard preparation and review time for this class will be one hour in total.

Handouts will be provided for students to practice during the winter and the spring vacation.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Class participation such as submission of assignments (20%), mid-term test (40%), end-of-term test (40%)

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 1 - I

2017年度以降入学者

長澤 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてドイツ語を学ぶ人のための授業です。文法だけでなく、ドイツ語を通してドイツの文化や社会についても学びます。

【到達目標】

1年間かけて初級文法を学び、ドイツ語の基礎を身につけます。ドイツ語による簡単なテキストの読解と基本的な会話ができるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業を基本としますが、課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。

授業は教科書に沿って進めていきます。クラスメートとの会話練習や練習問題を通じて、文法事項や色々な表現を身につけていきます。毎回予習・宿題をしたうえで参加することが要求されます。辞書を用意すること（初回に指示します）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方について・ドイツ語のアルファベット
2	発音	ドイツ語の発音ルール
3	第1章(1)	動詞の現在人称変化、動詞seinとhabenの変化
4	第1章(2)	動詞の位置
5	第2章(1)	名詞の性、名詞の1格・4格
6	第2章(2)	所有冠詞
7	第3章(1)	不規則動詞の現在人称変化
8	中間試験	第1回～第7回までの内容の確認
9	第3章(2)	名詞の複数形
10	第4章(1)	名詞の3格
11	第4章(2)	前置詞と名詞の格
12	第5章(1)	人称代名詞の3・4格
13	第5章(2)	分離動詞、非分離動詞
14	第6章(1)	助動詞
14	期末試験	第8回～第13回の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。予習としては、次週の範囲となる教科書のテキストについて、出てきた単語の意味を調べ、文章の意味を理解できるようにすること、正しく発音ができるようにしていただくことが求められます。復習としては、毎回課題の問題が出るので、それを解いて提出することが求められます。

【テキスト（教科書）】

書名：『ドイツ語の時間 ときめきミュンヘン』

著者：清野智昭、時田伊津子、牛山さおり

出版社：朝日出版社

価格：2600円＋税

【参考書】

辞書を用意して下さい。紙の辞書でも電子辞書でも可。簡便な和独辞書がついているものがお勧めです。スマートフォンの辞書アプリは不可。

参考書は、教科書付属の文法補足集を、教科書のホームページからダウンロードして下さい。

また下記の参考書は必ずしも購入の必要はありませんが、自宅学習の際などに持っているとう便利です。

『ドイツ語のしくみ』（清野智昭著、白水社）

『必携ドイツ文法総まとめ(改訂版)』（中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著、白水社）

【成績評価の方法と基準】

平常点（予習・復習や課題提出の状況など）30％、中間・期末試験70％

【学生の意見等からの気づき】

ペアワークなどの活動が楽しかったという意見が多かったので、今年度もそのような活動を積極的に採り入れたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出や資料配付のために学習支援システムを使用するので、パソコンあるいはタブレット端末を用意するか、マルチメディア室等を利用してください。

【その他の重要事項】

テキストはできるだけ初回の授業の時までに用意して下さい。

【Outline (in English)】

Course outline

This class is for students who study German for the first time. Not only German grammar, but also knowledge of German culture and society are taught.

Learning Objectives

Over the course of one year, students will learn basic grammar and the fundamentals of the German language. By the end of the course, students should be able to read simple German texts and to communicate in basic German.

Learning activities outside of classroom

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to prepare and review the course content and to submit assignments.

Grading criteria

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

In class contribution: 30%, term-end examination: 70%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 1 - II

2017年度以降入学者

長澤 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてドイツ語を学ぶ人のための授業です。文法だけでなく、ドイツ語を通してドイツの文化や社会についても学びます。

【到達目標】

1年間かけて初級文法を学び、ドイツ語の基礎を身につけます。ドイツ語による簡単なテキストの読解と基本的な会話ができるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業を基本としますが、課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。

授業は春学期に引き続き、教科書に沿って進めていきます。クラスメートとの会話練習や練習問題を通じて、文法事項や色々な表現を身につけていきます。毎回予習・宿題をしたうえで参加することが要求されます。辞書を用意すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第6章(2)	命令形
2	第7章(1)	3・4格支配の前置詞
3	第7章(2)	並列接続詞
4	第8章(1)	現在完了形
5	第8章(2)	過去形
6	第9章(1)	定冠詞類
7	中間試験・第9章(2)	第1～6回の内容の確認・副文
8	第10章(1)	比較級と最上級
9	第10章(2)	再帰代名詞と再帰動詞
10	第11章(1)	形容詞の格変化
11	第11章(2)	天候の表現 (esの用法)
12	第12章(1)	接続法第2式
13	第12章(2)	zu不定詞句
14	期末試験	第6回～第13回の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。予習としては、次週の範囲となる教科書のテキストについて、出てきた単語の意味を調べ、文章の意味を理解できるようにすること、正しく発音ができるようにしていただくことが求められます。復習としては、毎回課題の問題が出るので、それを解いて提出することが求められます。

【テキスト（教科書）】

書名：『ドイツ語の時間 ときめきミュンヘン』

著者：清野智昭、時田伊津子、牛山さおり

出版社：朝日出版社

価格：2600円＋税

【参考書】

辞書を用意して下さい。紙の辞書でも電子辞書でも可。簡便な和独辞書がついているものがお勧めです。スマートフォンの辞書アプリは不可。

参考書は、教科書付属の文法補足集を、教科書のホームページからダウンロードして下さい。

また下記の参考書は必ずしも購入の必要はありませんが、自宅学習の際などに持っているとう便利です。

『ドイツ語のしくみ』（清野智昭著、白水社）

『必携ドイツ文法総まとめ(改訂版)』（中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著、白水社）

【成績評価の方法と基準】

平常点（予習・復習や課題提出の状況など）30％、中間・期末試験70％

【学生の意見等からの気づき】

ペアワークなどの活動が楽しかったという意見が多かったので、今年度もそのような活動を積極的に採り入れたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出や資料配付のために学習支援システムを使用するので、パソコンあるいはタブレット端末を用意するか、マルチメディア室等を利用してください。

【その他の重要事項】

テキストは必ず初回の授業の時までに用意して下さい。

【Outline (in English)】

Course outline

This class is for students who study German for the first time. Not only German grammar, but also knowledge of German culture and society are taught.

Learning Objectives

Over the course of one year, students will learn basic grammar and the fundamentals of the German language. By the end of the course, students should be able to read simple German texts and to communicate in basic German.

Learning activities outside of classroom

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to prepare and review the course content and to submit assignments.

Grading criteria

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

In class contribution: 30%, term-end examination: 70%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 2 - I

2017年度以降入学者

伊東 直美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

新しくドイツ語文法の学習をはじめようとする人のための授業です。この授業は月曜日の「ドイツ語 1-I」と連動して授業を行います。

【到達目標】

1年間かけて初級文法を学びます。文法事項だけでなく、練習問題を通じて語彙やいろいろな表現をおぼえることを重視します。春学期では、初級文法のなかでも基礎にあたる部分を学びます。簡単な現在形の単文を読んだり書いたりできるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は月曜日の「ドイツ語 1-I」と同じシリーズの教科書を使用し、連動した授業を行います。

月曜日はおもに文法事項の説明と語彙の練習、木曜日はコミュニケーションを主として練習問題や会話練習、ドイツに関する追加の学習をします。

週1回教室に座っているだけでは絶対に語学力はつきません。とくに、初級文法はスポーツでいえば素振りや筋トレにあたる部分です。しっかり身につけるためには語彙や活用を暗記し、単語や文章をノートに書いたり、発音・発声練習を繰り返すことが大事です。この授業は、手と口とアタマを働かせ、積極的に参加する授業を目指します。参加者は必ず継続して出席してください。また辞書を用意し、宿題・予習をしたうえで参加することが要求されます。「課題」等に対するフィードバックの方法：対面の場合は紙媒体で採点して返却。オンラインの場合はHoppiiの課題提出を使い、返却を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	アルファベット・発音・数字
第2回	ドイツってどんな国？	あいさつ
第3回	さあ行くよ、ライブ ツィヒ 1	動詞の規則変化
第4回	さあ行くよ、ライブ ツィヒ 2	動詞の不規則変化
第5回	シューベルト家 1	名詞の性
第6回	シューベルト家 2	所有冠詞
第7回	中間テスト	これまでの内容を確認します。
第8回	ミキの一日 1	分離動詞・非分離動詞
第9回	ミキの一日 2	助動詞
第10回	動物園での一日 1	前置詞
第11回	動物園での一日 2	前置詞とともに使われる動詞
第12回	受診 1	再帰代名詞と再帰動詞
第13回	受診 2	命令形
第14回	期末テスト	春学期に学習した内容すべてについて確認します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回宿題を出します。また授業の最初に、前回の授業内容をチェックする問題を出題します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

また、夏休み中の練習のためにプリントを配布します。

【テキスト（教科書）】

書名：『ドイツ語の時間 <わくわくライブツィヒ>』

著者：清野智昭 /Eva Wölbling 著

出版社：朝日出版社

ISBN：978-4-255-25460-9

そのほか、必要に応じてプリントを配布します。

【参考書】

独和辞典は各自用意してください。

下記の参考書を自宅学習の際などに持っているとう便利です。

書名：『必携ドイツ文法総まとめ(改訂版)』

著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著

出版社：白水社 ISBN：978-4-560-00492-0

【成績評価の方法と基準】

課題の提出など授業への参加(20%)、中間テスト(40%)、学期末テスト(40%)

【学生の意見等からの気づき】

分らないことがある場合はいつでも質問してください。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を出版社ホームページからダウンロードし、使用します。宿題としてドイツ語の文章や単語を発音し、録音して提出してもらうことがあります。

状況によってはオンライン授業になる可能性があるため、Zoomで接続可能な機器・接続環境を準備してください。

【その他の重要事項】

独和辞書は必要になるので授業開始後できるだけ早く用意すること。

【Outline (in English)】

In this class we will learn the pronunciation, basic grammar and actual conversations. The purpose of this class is to learn about German culture and history as well as language, to stimulate interest in German-speaking countries and to deepen their understanding. The standard preparation and revision time for this class is one hour in total. Evaluation will be based on participation in class(20%), mid-term exam (40%), final exam (40%)

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語2-II

2017年度以降入学者

伊東 直美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

新しくドイツ語文法の学習をはじめようとする人のための授業です。この授業は月曜日の「ドイツ語1-I」と連動して授業を行います。

【到達目標】

1年間かけて初級文法を学びます。文法事項だけでなく、練習問題を通じて語彙やいろいろな表現をおぼえることを重視します。春学期では、初級文法のなかでも基礎にあたる部分を学びます。簡単な現在形の単文を読んだり書いたりできるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は月曜日の「ドイツ語1-I」と同じシリーズの教科書を使用し、連動した授業を行います。月曜日はおもに文法事項の説明と語彙の練習、木曜日はコミュニケーションを主として練習問題や会話練習、ドイツに関する追加の学習をします。

週1回教室に座っているだけでは絶対に語学力はつきません。とくに、初級文法はスポーツでいえば素振りや筋トレにあたる部分です。しっかり身につけるためには語彙や活用を暗記し、単語や文章をノートに書いたり、発音・発声練習を繰り返すことが大事です。この授業は、手と口とアタマを働かせ、積極的に参加する授業を目指します。参加者は必ず継続して出席してください。また辞書を用意し、宿題・予習をしたうえで参加することが要求されます。「課題」等に対するフィードバックの方法：対面の場合は紙媒体で採点して返却。オンラインの場合はHoppiiの課題提出を使い、返却を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入・確認テスト	春学期に学習した内容の確認をします。
第2回	ミキの誕生日1	形容詞の格変化
第3回	ミキの誕生日2	比較級・最上級
第4回	シュロス・プロシュヴィッツ1	定冠詞格
第5回	シュロス・プロシュヴィッツ2	従属接続詞
第6回	ライプツィヒにあるドイツの歴史1	現在完了形
第7回	ライプツィヒにあるドイツの歴史2	過去形
第8回	中間テスト	これまで学習したことを確認します。
第9回	ドレスデン1	受動態
第10回	ドレスデン2	関係代名詞
第11回	環境1	zu不定詞句
第12回	環境2	未来形
第13回	帰国	接続法
第14回	期末テスト	1年間を通じて学習した内容すべてについて確認します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回宿題を出します。また授業の最初に、前回の授業内容をチェックする問題を出題します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

書名：『ドイツ語の時間 <わくわくライプツィヒ>』

著者：清野智昭 /Eva Wölbling 著

出版社：朝日出版社

ISBN：978-4-255-25460-9

そのほか、必要に応じてプリントを配布します。

【参考書】

独和辞典は各自用意してください。

下記の参考書を自宅学習の際などに持っているとう便利です。

書名：『必携ドイツ文法総まとめ(改訂版)』

著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著

出版社：白水社 ISBN：978-4-560-00492-0

【成績評価の方法と基準】

課題の提出など授業への参加(20%)、中間テスト(40%)、学期末テスト(40%)

【学生の意見等からの気づき】

分からないことがある場合はいつでも質問してください。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を出版社ホームページからダウンロードし、使用します。宿題としてドイツ語の文章や単語を発音し、録音して提出してもらうことがあります。

状況によってはオンライン授業になる可能性があるため、Zoomで接続可能な機器・接続環境を準備してください。

【その他の重要事項】

独和辞書は必要になるので授業開始後できるだけ早く用意すること。

【Outline (in English)】

In this class we will learn the pronunciation, basic grammar and actual conversations. The purpose of this class is to learn about German culture and history as well as language, to stimulate interest in German-speaking countries and to deepen their understanding. The standard preparation and revision time for this class is one hour in total. Evaluation will be based on participation in class(20%), mid-term exam (40%), final exam (40%)

LANd100LA（ドイツ語 / German language education 100）

ドイツ語 2 - I

2017年度以降入学者

遠藤 浩介

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業ではドイツ語の基礎文法や基本的な発音の仕方を身につけます。またドイツ語学習を通じて外国語の文章を読むスキルや外国語を自律的に学ぶ方法を身につけ、母語も含めた総合的なコミュニケーション能力の向上を図ることも、この授業の目的です。

【到達目標】

- ・ドイツ語の発音の規則、初級文法を習得し、簡単な文章を読めるようになる。
- ・ドイツ語の学習を通じて、外国語の自律的な学習の仕方を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・原則として教科書にそって進めます。あらかじめ所定の範囲を予習していただき、授業では予習内容を確認してから練習問題を通じて理解度の向上を図ります。
- ・授業中に課題をこなす場合には、必要に応じてグループワークやペアワークを取り入れます。
- ・課題は授業中に答え合わせをし、提出課題は添削後、返却します。前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション、 Lektion 1	授業の進め方／ドイツ語の発音について（アルファベット）
第2回	Lektion 1	ドイツ語の母音と子音
第3回	Lektion 2	人称代名詞と動詞の現在人称変化
第4回	Lektion 2	sein, haben, werden／文の種類と動詞の位置
第5回	Lektion 3	名詞の性と数
第6回	Lektion 3	名詞の格について／定冠詞・不定冠詞の変化
第7回	Lektion 4	定冠詞類と不定冠詞類
第8回	Lektion 4	否定文（nichtと否定冠詞kein）
第9回	Lektion 5	人称代名詞の格変化
第10回	Lektion 5	3格と4格の語順／非人称のes
第11回	Lektion 6	不規則動詞
第12回	Lektion 6	命令形
第13回	Lektion 7	前置詞（3格支配の前置詞と4格支配の前置詞）
第14回	到達度の確認	これまでの復習と確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

くりかえし音読してから、予習・復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

萩原耕平・山崎泰孝（2024）『プロムナード やさしいドイツ語文法 [三訂版]』白水社（ISBN 9784560064399）

【参考書】

辞書を必ず購入すること。紙の辞書を推奨します。くわしくは初回授業でお話します。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60％

授業への積極的な貢献：40％

以上を踏まえ、総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course aims to acquire preliminary German language skills by learning pronunciation and basic grammar.

(Learning Objectives)

The goal of this course is to acquire elementary German skills. At the end of the course, students should be able to understand and use simple sentences.

(Learning activities outside of classroom)

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

(Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process: term-end examination (60%), and in-class contribution (40%).

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

ドイツ語 2 - II

2017年度以降入学者

遠藤 浩介

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では前期に引き続きドイツ語の基礎文法や基本的な発音の仕方を身につけます。またドイツ語学習を通じて外国語の文章を読むスキルや外国語を自律的に学ぶ方法を身につけ、母語も含めた総合的なコミュニケーション能力の向上を図ることも、この授業の目的です。

【到達目標】

- ・ドイツ語の発音の規則、初級文法を習得し、簡単な文章を読めるようになる。
- ・ドイツ語の学習を通じて、外国語の自律的な学習の仕方を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・原則として教科書にそって進めます。あらかじめ所定の範囲を予習していただき、授業では予習内容を確認してから練習問題を通じて理解度の向上を図ります。
- ・授業中に課題をこなす場合には、必要に応じてグループワークやペアワークを取り入れます。
- ・課題は授業中に答え合わせをし、提出課題は添削後、返却します。前回の授業で提出されたりアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	前期の復習
第2回	Lektion 7 / Lektion 8	3・4格支配の前置詞／分離動詞と非分離動詞
第3回	Lektion 8	分離動詞と非分離動詞（続き） ／並列の接続詞と従属の接続詞
第4回	Lektion 9	話法の助動詞／未来の助動詞
第5回	Lektion 10	動詞の3基本形
第6回	Lektion 10	過去形
第7回	Lektion 11	現在完了形
第8回	Lektion 11	受動文
第9回	Lektion 12	形容詞の用法／形容詞の格変化 ／形容詞の比較表現
第10回	Lektion 13	再帰代名詞と再帰動詞
第11回	Lektion 13	zu不定詞
第12回	Lektion 14	関係代名詞
第13回	Lektion 14	接続法
第14回	到達度の確認	これまでの復習と確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

くりかえし音読してから、予習・復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

萩原耕平・山崎泰孝（2024）『プロムナード やさしいドイツ語文法 [三訂版]』白水社（ISBN 9784560064399）

【参考書】

辞書を必ず購入すること。紙の辞書を推奨します。くわしくは初回授業でお話します。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60 %

授業への積極的な貢献：40 %

以上を踏まえ、総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course aims to acquire preliminary German language skills by learning pronunciation and basic grammar.

(Learning Objectives)

The goal of this course is to acquire elementary German skills. At the end of the course, students should be able to understand and use simple sentences.

(Learning activities outside of classroom)

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

(Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process: term-end examination (60%), and in-class contribution (40%).

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 1 I

2017年度以降入学者

小幡 一雄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Bonjour！フランス語をはじめて学ぶ学生を対象に、フランス語の基礎となる文法をしっかりと習得することを目的とします。フランス語の発音のしくみを理解し、挨拶表現や数字を身につけます。また、文法の仕組みの基本的な枠組みが理解できるようになります。

【到達目標】

1. フランス語の発音の仕組みを理解し、スペルが読めるようになる。
2. 挨拶が交わせるようになる。
3. 文法の仕組みの基礎が理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

指定された学内の教室で対面授業を行います。

授業の最初に小テストを行い、その後、文法を中心にテキストに沿って授業を進めます。テキストやプリントの練習問題に取り組んで復習してください。練習問題に取り組むことが理解するのにとても大切です。また、場合によっては課題をメールで送ってもらい、それを添削して返信することもあると思います。予習は特に必要ありません。

課題や小テストは教室で回収し添削して返却するか、メールで以下のアドレス宛に送信してもらった回答を添削して返信するかして、フィードバックを行いますので、必ず確認するようにしてください。

kaz.obata@nifty.com

出席は全授業回数の3分の2以上が必要です。

授業開始時間後30分以内が出席扱いとなり、それ以降は欠席扱いとなります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	簡単な挨拶表現 発音の仕組み	挨拶表現の発音練習をする 発音の仕組みを理解する
2	1 課	身近なものを提示する。 数 (0-20)
3	2 課	人や物の特徴を伝える。
4	3 課	持っている物、欲しい物を伝える。 自己紹介をする (1)。
5	4 課	好き嫌いを尋ね、答える。 日付や曜日を尋ね、答える。
6	5 課	自己紹介をする (2)。家族について伝える。
7	6 課	職業や趣味についてやりとりする。
8	中間テスト	6課までの復習テスト
9	7 課	行く場所、これからすることを伝える。ホテルの部屋を予約する。
10	8 課	出身地を伝える。少し前にしたことを伝える。買いたい品物を伝える。

11	9 課	代名詞を使ってやりとりする (1)。簡単なメールを書く。
12	10 課	代名詞を使ってやりとりする (2)。天候について話す。料理の材料を伝える。
13	11 課	1 日の過ごし方を伝える。
14	期末テスト	7 課から 11 課までの復習テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ひとりでも学べるフランス語』、中村敦子、白水社、2020 年刊行、2,100 円。

【参考書】

『フランス語文法初めての練習帳』、白水社、1,760 円

推薦辞書：『プチ・ロワイヤル仏和辞典』、旺文社、4,620 円

【成績評価の方法と基準】

前提として、授業回数の3分の2以上出席している必要があります。成績は、小テストと中間・期末テストによって総合的に評価します。小テストの合計点が20%、中間・期末試験が各40%とします。60%以上が単位取得には必要です。

【学生の意見等からの気づき】

フランス語の文法は覚えることが多いですが、できるだけ分かりやすく説明します。一步一步着実に勉強を続けていけば、フランス語そのものがどんどん面白くなってきます。異文化発見への旅に出るため、復習を怠ることなく、たゆまず頑張ってください！

【Outline (in English)】

- Course outline : You can understand how pronunciation works and grammar structure of French.

- Learning objectives : By taking this class, you will acquire the basic grammar and many expressions for communication.

Learning activities outside of classroom : You send the assignment by e-mail and get the knowledge by the feedback of correction.

- Grading Criteria : I evaluate by little test score of every lesson (20%) and big test score (80%).

- Study time requires at least one hour each time.

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 1 II

2017年度以降入学者

小幡 一雄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に続き、フランス語の初級文法を習得します。

【到達目標】

フランス語初級文法を身につける。

会話に役立つさまざまな表現を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、
経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

指定された教室で対面授業を行います。

毎回最初に小テストを行います。次に、テキストに沿って文法を説
明します。練習問題が宿題になります。宿題の解答や和訳は次回の
授業で確認します。

課題や小テストは教室で回収し添削して返却するか、メールで以下
のアドレス宛に送信してもらった回答を添削して返信するかして、
フィードバックを行いますので、必ず確認するようにしてください。
kaz.obata@nifty.com

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	12 課	過去にしたことを伝える (1)
2	13 課	過去にしたことを伝える (2)
3	14 課	市場で買い物をする。代名詞を 使ってやりとりをする。
4	15 課	比較級や最上級の表現を使う。
5	16 課	関係代名詞を用いて尋ね、答え る。
6	中間テスト	12 課から 16 課までの復習テスト
7	17 課	昔のことを伝える。過去の出来 事の背景を伝える (1)
8	17 課	昔のことを伝える、過去の出来 事や背景を伝える (2)
9	18 課	予定していることを伝える (1)
10	18 課	予定していることを伝える (2)
11	19 課	自分の理想を伝える (1)
12	19 課	自分の理想を伝える (2)
13	20 課	嬉しいこと、望むことを伝える。
14	期末テスト	17 課から 20 課までの復習テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回行う小テストや宿題をこなしながら、覚えるべきことを覚え、フ
ランス語初級文法を身につけてください。

また、役に立つ会話表現を覚えてください。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ひとりでも学べるフランス語』、中村敦子、白水社、2020 年刊行、
2,100 円。

【参考書】

『フランス文法 はじめての練習帳』、中村敦子、白水社、1,760 円
推薦辞書：『ブチロワイヤル仏和辞典』、旺文社

【成績評価の方法と基準】

小テストが20%、中間・期末テストが各40%です。60%以上が合格
です。

【学生の意見等からの気づき】

分かりやすく丁寧に説明します。無理なく進めていくので、毎回出
席して、楽しみながら勉強を続けてください。

【Outline (in English)】

- Course outline : You can understand how pronunciation works
and grammar structure of French.

- Learning objectives : By taking this class, you will acquire the
basic grammar and many expressions for communication.

Learning activities outside of classroom : You send the
assignment by e-mail and get the knowledge by the feedback
of correction.

- Grading Criteria : I evaluate by little test score of every lesson
(20%) and big test score (80%).

- Study time requires at least one hour each time.

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 1 I

2017年度以降入学者

竹本 研史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語を初めて学ぶ法学部法律学科（E・F組）の学生が、指定教科書にしたがって、フランス語の文法と発音の規則について学ぶ。また、文法の学習と合わせて、フランス語圏の文化や社会についても学んでいく。

【到達目標】

初歩的な日常会話（対話の理解も含む）や読み書きができるような単文を構成するのに必要な初級文法（冠詞・名詞・各種形容詞・各種人称代名詞・近接未来／近接過去までの動詞の直説法・命令法など・疑問詞・比較級／最上級・非人称構文など）と発音規則の知識を身につける。

DELF（フランス国民教育省・フランス語資格試験）のA1 レベル到達を目標とする。

仏検5級合格を目指す。

併せて、フランス語圏の文化や社会に関して初歩的な理解ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には、下記的方式で授業を進めていくが、ペアを組んでいるコリンヌ・ヴァリエヌ先生ご担当の「フランス語2」の授業で実践されるフランス語会話の演習にフィードバックできるように展開し、文法と演習の授業により、フランス語の学習に相乗効果が現れるように教員同士も綿密に連絡をとって運営がなされる。また、本授業でも「フランス語2」で行っている内容の復習の時間をとる。したがって、学生諸氏は、本授業の教科書である『文法と文化で学ぶ基礎フランス語』だけではなく、「フランス語2」で使用する『Spirale』も必ず持参すること。辞書も必携である。

授業の行程は以下の通り。

教員による新しい文法事項の解説

→ 該当の文法事項に関する宿題

→ 次の週で答え合わせ・解説

→ 「フランス語2」でなされた演習の内容について簡単な復習

→ 新たな文法事項に関する解説

→ 以下、この繰り返し

（下記、「授業計画」では、「フランス語2」で取り扱う内容について割愛する）

課題（＝宿題）に対するフィードバックは、授業で解説を行うという形式をとる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	・授業の進め方についての説明 ・フランス語のつづり字の発音 (1)
第2回	第1課 (1)	・フランス語のつづり字の発音 (2) ・名詞の性と数 ・冠詞 ・主語人称代名詞 ・動詞 être, avoir
第3回	第1課 (2)	

第4回	第2課	・第一群規則動詞 ・否定文 ・疑問文 ・命令法 ・第二群規則動詞 ・partir ・疑問副詞
第5回	第3課	・faire, prendre ・否定文における冠詞の変化 ・人称代名詞の強勢形 ・指示代名詞 ・形容詞の位置と性・数 ・所有形容詞
第6回	第4課	第1-5課の文法事項の復習 ・aller, venir ・近接未来と近接過去 ・定冠詞の縮約 ・比較級 ・最上級 ・疑問形容詞
第7回	第5課	・vouloir, pouvoir, devoir ・非人称構文 ・補語人称代名詞
第8回	第1-5課のまとめ	第5-8課の文法事項の復習
第9回	第6課	・発音テスト ・聴き取りの練習 ・期末テスト ・期末テストの解説
第10回	第7課	
第11回	第8課	
第12回	第5-8課のまとめ	
第13回	発音・聴き取りの復習	
第14回	春学期のまとめ	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習・復習・宿題は当然必要。

準備学習と宿題には1時間、復習にも1時間必要であろう。

〈準備学習〉 毎回教科書を熟読したうえで、各課の文法事項の説明を通じて疑問点を洗い出し、単語の意味を事前に調べておくこと。また、音声教材を利用しながら教科書に出てくるフランス語表現を繰り返し音読し発音を確認しておくこと。

〈復習・宿題〉 教科書と音声教材を利用してその日に学んだ文法事項とフランス語表現の発音を定着させたうえで、教員がその日に指定した宿題を必ずおこなうこと。

〈学外で〉 何よりもまず、現場に赴き、何かがそこで生起している場面に立ち会うことが重要である。各人が積極的に出かけて、読書（BDも含め）、映画、美術、音楽、演劇、ダンス、バレエ、料理、スポーツ、ファッションなどを通じて、フランス語およびフランス語圏文化に親しむ機会をつくること。そのための一助として、「フランス語の世界 LA」、「フランスの文化と社会 LA」、「フランス生活文化論 LA」などの履修を推奨する。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・竹本研史『文法と文化で学ぶ 基礎フランス語』朝日出版社、2023年。

ISBN：978-4-255-35339-5

定価：2300円＋税

【参考書】

コリンヌ・ヴァリエヌ先生ご担当の「フランス語2」の教科書
また、仏和辞典は必ず携行すること。紙辞書を推奨する（単語、熟語などの見やすさなどの利点から）。

【成績評価の方法と基準】

語彙・活用に関する小テスト（学期に数回実施）[30%]＋発音テスト[20%]＋期末試験[50%]

ただし、授業中に指名するにあたって事前に、単語調べなどの予習をやっていない場合は、授業進行の妨害とみなし、その都度1点ずつ減点する。

教科書、辞書を手入れしない学生は評価の対象外とする。

【学生の意見等からの気づき】

・学生の理解度に差が生じるため、その点に留意しながら授業を進める。
・文法事項にとどまらず、発音・アクセントについても重視する。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course introduces the foundations of French grammar to students taking this course.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to understand the basic French grammar.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to read carefully the texte and to work at your exercises before/after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Mini-test : 30%

Read-test : 20%

Term-end examination: 50%

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）

フランス語 1 II

2017年度以降入学者

竹本 研史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期「フランス語 1-I」に引き続き、また、文法の学習と合わせて、フランス語圏の文化や社会についても学んでいく。

【到達目標】

基礎的な日常会話（対話の理解も含む）や読み書きができるような単文や複文を構成するのに必要な初級文法（中性代名詞・疑問代名詞・複合過去／半過去・関係代名詞・強調構文・指示代名詞・現在分詞／ジェロンドフ・受動態・代名動詞・単純未来など）と発音規則の知識を身につける。

DELF（フランス国民教育省・フランス語資格試験）の A1 レベル到達を目標とする。

仏検 4 級合格を目指す。

併せて、フランス語圏の文化や社会に関して基礎的な理解ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員による文法事項の解説→該当の文法事項に関する宿題→答え合わせ・解説→新たな文法基本的には、下記的方式で授業を進めていくが、ペアを組んでいるコリンヌ・ヴァリエンス先生ご担当の「フランス語 2」の授業で実践されるフランス語会話の演習にフィードバックできるように展開し、文法と演習の授業により、フランス語の学習に相乗効果が現れるように教員同士も綿密に連絡をとって運営がなされる。また、本授業でも「フランス語 2」で行っている内容の復習の時間とする。

したがって、学生諸氏は、本授業の教科書である『文法と文化で学ぶ基礎フランス語』だけではなく、「フランス語 2」で使用する『Spirale』も必ず持参すること。辞書も必携である。

授業の行程は以下の通り。

教員による新しい文法事項の解説

→ 該当の文法事項に関する宿題

→ 次の週で答え合わせ・解説

→ 「フランス語 2」でなされた演習の内容について簡単な復習

→ 新たな文法事項に関する解説

→ 以下、この繰り返し

（下記、「授業計画」では、「フランス語 2」で取り扱う内容について割愛する）

課題（＝宿題）に対するフィードバックは、授業で解説を行うという形式をとる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第9課	・中性代名詞 ・疑問代名詞（1）
第2回	第10課	・複合過去
第3回	第11課	・関係代名詞 ・強調構文 ・指示代名詞
第4回	第9-11課のまとめ	第9-11課の文法事項の復習

第5回	第12課	・現在分詞 ・ジェロンドフ ・受動態
第6回	第13課	・代名動詞（現在）
第7回	第14課（1）	・代名動詞（複合過去）（1）
第8回	第12-14課のまとめ	第12-14課の文法事項の復習
第9回	第15課	・半過去 ・単純未来
第10回	第14課（2）	・所有代名詞 ・疑問代名詞（2）
第11回	Appendice 2・3	・条件法現在 ・接続法現在
第12回	秋学期の文法事項総合まとめ	秋学期全体の文法事項の復習
第13回	発音・聴き取りの復習	・音読試験 ・聴き取り練習
第14回	秋学期のまとめ	・筆記試験 ・筆記試験の解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習・復習・宿題は当然必要。

準備学習と宿題には1時間、復習にも1時間必要であろう。

〈準備学習〉毎回教科書を熟読したうえで、各課の文法事項の説明を通じて疑問点を洗い出し、単語の意味を事前に調べておくこと。また、音声教材を利用しながら教科書に出てくるフランス語表現を繰り返し音読し発音を確認しておくこと。

〈復習・宿題〉教科書と音声教材を利用してその日に学んだ文法事項とフランス語表現の発音を定着させたいと、教員がその日に指定した宿題を必ずおこなうこと。

〈学外で〉人間環境学部の学生は、何よりもまず、現場に赴き、何かがそこで生起している場面に立ち会うことが重要である。各人が積極的に出かけて、読書（BDも含め）、映画、美術、音楽、演劇、ダンス、バレエ、料理、スポーツ、ファッションなどを通じて、フランス語およびフランス語圏文化に親しむ機会をつくること。そのための一助として、「フランス語の世界 LB」、「フランスの文化と社会 LB」、「フランス生活文化論 LB」などの履修を推奨する。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・竹本研史『文法と文化で学ぶ 基礎フランス語』、朝日出版社、2023年。

ISBN：978-4-255-35339-5

定価：2300円＋税

【参考書】

コリンヌ・ヴァリエンス先生ご担当の「フランス語 2」の教科書。また、仏和辞典は必ず携行すること。紙辞書を推奨する（単語、熟語などの見やすさなどの利点から）。

【成績評価の方法と基準】

語彙・活用に関する小テスト（学期に数回実施）[30%]＋発音テスト[20%]＋期末試験[50%]

ただし、授業中に指名するにあたって際に、単語調べなどの予習をやっていなかった場合は、授業進行の妨害とみなし、その都度1点ずつ減点する。

教科書、辞書を入手しない学生は評価の対象外とする。

【学生の意見等からの気づき】

・学生の理解度に差が生じるため、その点に留意しながら授業を進める。

・文法事項にとどまらず、発音・アクセントについても重視する。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course introduces the foundations of French grammar to students taking this course.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to understand the basic French grammar.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to read carefully the texts and to work at your exercises before/after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Mini-test : 30%
Read-test : 20%
Term-end examination: 50%

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 1 I

2017年度以降入学者

江澤 健一郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初心者を対象として、フランス語の初歩を学びます。とくに、初級文法を勉強します。もちろん、発音や綴りの読み方も覚えます。

【到達目標】

アルファベットから始めて比較級まで学ぶ。フランス語検定試験5級ならびに4級の取得を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教室では、教師が文法の説明をして、次に受講生の皆さんが練習問題に挑みます。その際、辞書が必要になりますから、毎回必ず持参してください。この授業では、文法学習が中心になりますが、発音や綴りの読み方の規則も確認しながら進めます。この春学期に、アルファベットの学習から始めて、比較級まで学ぶ予定です。基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppiiを使用する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1)	ガイダンス	授業説明、アルファベ
2)	leçon 2	名詞の性と数、冠詞
3)	leçon 2, leçon 3	主語人称代名詞、être と avoir の直説法現在
4)	leçon 3, leçon 4	C'est, etc. 第1群規則動詞、第2群規則動詞
5)	leçon 4, leçon 5	形容詞、基本文型、否定形
6)	leçon 5, leçon 6	不規則動詞 attendre, prendre、疑問形、oui, Non, Si
7)	leçon 6, leçon 7	所有形容詞、不規則動詞 prendre, faire、指示形容詞
8)	leçon 7, leçon 8	名詞と形容詞の女性形と複数形の特異形、不規則動詞 acheter, préférer、aller と venir の直説法現在
9)	leçon 8, leçon 9	近接未来・近接過去、冠詞の縮約、不規則動詞 vouloir, pouvoir
10)	leçon 9	疑問代名詞
11)	leçon 9	疑問副詞、不規則動詞 savoir, connaître
12)	leçon 10	疑問形容詞、比較級
13)	leçon 10	比較級と最上級、不規則動詞 voir, commencer
14)	期末試験とまとめ	春学期に学んだことを確認します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に、辞書を使って単語の意味を調べ、例文を読み、練習問題を解く。自宅で音読をする。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

小野ゆり子、村松・マリ＝エマニュ『エルマ・グラメール [四訂版]』白水社、2025年、2530円。

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50％）と小テスト（50％）の点数を基準にして評価します。

【学生の意見等からの気づき】

聞き取りやすい授業をしたい。

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

なし

【Outline (in English)】

Students will learn basic French grammar. Aim to obtain the 5th and 4th grades of the French certification test.

Before class, use a dictionary to look up the meaning of words, read example sentences, and solve exercises. Read aloud at home. The standard preparatory study /review time for this class is one hour in total.

Evaluate based on test scores (100%).

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 1 II

2017年度以降入学者

江澤 健一郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初歩を学びます。文法規則や発音の仕方を少しずつ覚えられます。秋学期は、過去や未来の表現などを勉強して、初級文法を一通り学びます。

【到達目標】

命令法の学習から始めて接続法まで学習する。フランス語検定試験4級ならびに3級の取得を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教室では、教師が文法の説明をして、次に受講生の皆さんが練習問題に挑みます。その際、辞書が必要になりますから、毎回必ず持参してください。この授業は、文法学習が中心になりますが、発音や綴りの読み方の規則も確認しながら進めます。基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppiiを使用する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1)	春学期の復習	春学期試験の復習
2)	leçon 11	命令法、非人称構文、不規則動詞 manger, dire
3)	leçon 12	過去分詞、直説法複合過去
4)	leçon 12, leçon 13	直説法複合過去、人称代名詞目的補語形、人称代名詞強勢形
5)	leçon 14	複合過去と目的補語人称代名詞、複合過去と過去分詞の一致
6)	leçon 15	関係代名詞、強調構文、指示代名詞
7)	leçon 16	代名動詞の活用と用法、不規則動詞 s'appeler
8)	leçon 17	直説法単純未来、中性代名詞 le, en, y 、不規則動詞 devoir
9)	leçon 18	直説法半過去の活用と用法
10)	leçon 19	受動態、現在分詞、ジェロンディフ
11)	leçon 20	条件法現在の活用と用法
12)	leçon 21	条件法現在の活用と用法、接続法現在の活用と用法
13)	leçon 21	接続法現在の活用と用法、不規則動詞 vivre
14)	期末試験とまとめ	秋学期に学んだことを確認します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に、辞書を使って単語の意味を調べ、例文を読み、練習問題を解く。自宅で音読をする。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

小野ゆり子、村松・マリ＝エマニュ『エルマ・グラメール [四訂版]』白水社、2025年、2530円。

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50％）と小テスト（50％）の点数を基準にして評価します。

【学生の意見等からの気づき】

聞き取りやすい授業をしたい。

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

なし

【Outline (in English)】

Students will learn basic French grammar. Aim to obtain Level 4 and Level 3 of the French certification test. Before class, use a dictionary to look up the meaning of words, read example sentences, and solve exercises. Read aloud at home. The standard preparatory study /review time for this class is one hour in total. Evaluate based on test scores (100%).

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）	
フランス語 1 I	2017年度以降入学者
近江屋 志穂	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水3/Wed.3	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ベアの授業である「フランス語 2」と同一の教科書（『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』）を用いて、フランス語の初級文法を学びます。時間の許す限り、フランス語圏の文化や社会に関する情報を紹介します。

【到達目標】

フランス語の初級文法を身につけ、フランス語を正しく発音できるようにすることを目指します。実用フランス語技能検定試験（仏検）5級レベル到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・文法項目を説明した後、練習問題を解き、その解説を行います。
- ・定期的に小テストを実施します。
- ・つづりと発音の規則を覚えるために、音読録音ファイルの提出を課題とすることもあります。
- ・課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 0	フランス語のつづり字の発音
2	Leçon 1	名詞の性と数 定冠詞／不定冠詞／部分冠詞
3	Leçon 1	主語人称代名詞 動詞 être、avoir
4	Leçon 2	er 動詞の現在形 否定文と疑問文
5	Leçon 3	ir 動詞の現在形 命令法
6	Leçon 3	動詞 partir 疑問副詞
7	Leçon 4	動詞 faire、prendre 否定文における冠詞の変化
8	Leçon 4	人称代名詞の強勢形 指示形容詞
9	Leçon 5	形容詞の位置と性・数 所有形容詞
10	Leçon 6	動詞 aller と venir の現在形 近接未来／近接過去 定冠詞の縮約
11	Leçon 7	比較級、最上級 疑問形容詞
12	Leçon 8	動詞 vouloir、pouvoir、devoir 非人称構文
13	Leçon 9	補語人称代名詞 中性代名詞 疑問代名詞
14	期末試験	筆記試験と総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・宿題の文法練習問題に必ず取り組むこと。

・教科書に付属する音声ファイルをダウンロードし、授業で学習した箇所の音声を繰り返し聞き、発音練習を行うこと。
本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・竹本研史『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』朝日出版社、2023年

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点25%、小テスト25%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に合わせ、教科書以外の練習問題を追加します。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書（紙の辞書、電子辞書のどちらでも可）を準備する必要があります。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。

【その他の重要事項】

「授業計画」に記している進捗と各回の授業内容は変更することもあり得ます。

【Outline (in English)】

This course is designed for beginners who are learning basic French grammar.

The goal of this course is to obtain the level A1 of CEFR.

Before each class, students will be expected to have done their homework.

Their required study time is at least one hour for each class.

The overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）

フランス語 1 II

2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ベアの授業である「フランス語2」と同一の教科書（『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』）を用いて、フランス語の初級文法を学びます。時間の許す限り、フランス語圏の文化や社会に関する情報を紹介します。

【到達目標】

フランス語の初級文法を身につけ、フランス語を正しく発音できるようになることを目標とします。実用フランス語技能検定試験（仏検）4級レベル到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・文法項目を説明した後、練習問題を解き、その解説を行います。
- ・定期的に小テストを実施します。
- ・つづりと発音の規則を覚えるために、音読録音ファイルの提出を課題とすることもあります。
- ・課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期の学習事項の復習
2	Leçon 10	複合過去
3	Leçon 11	関係代名詞／強調構文
4	Leçon 11	指示代名詞
	Leçon 12	現在分詞／ジェロンディフ
5	Leçon 12	受動態
	Leçon 13	代名動詞（現在形）
6	Leçon 14	代名動詞（複合過去形）
7	Leçon 14	所有代名詞
		疑問代名詞（2）
8	Leçon 15	半過去
9	Leçon 15	単純未来
10	Appendice 1	大過去
		前未来
11	Appendice 2	条件法
12	Appendice 3	接続法
13	総復習	確認問題
14	期末試験	筆記試験と総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・宿題の文法練習問題に必ず取り組むこと。
 - ・教科書に付属する音声ファイルをダウンロードし、授業で学習した箇所の音声を繰り返し聞き、発音練習を行うこと。
- 本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・竹本研史『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』朝日出版社、2023年

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点25%、小テスト25%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に合わせ、教科書以外の練習問題を追加します。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書（紙の辞書、電子辞書のどちらでも可）を準備する必要があります。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。

【その他の重要事項】

「授業計画」に記している進捗と各回の授業内容は変更することもあります。

【Outline (in English)】

This course is designed for beginners who are learning basic French grammar.

The goal of this course is to obtain the level A1 of CEFR.

Before each class, students will be expected to have done their homework.

Their required study time is at least one hour for each class.

The overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 1 I

2017年度以降入学者

寺家村 博

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスでは主としてフランス語の初歩の文法を学びます。このクラスを履修する学生は基本的なフランス語の「読み」「書き」をあわせて学んでいきます。フランス語 1 IIと合わせて最終的に初歩のフランス語の4技能の獲得を目指します。

【到達目標】

このクラスを履修する学生は、実用フランス語技能検定試験5級に合格できるように必要なフランス語運用能力、とくに文法を学んでいきます。あわせて簡単なフランス語の文章を読むために必要な語彙や表現も身につけていきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業である場合には演習形式で授業を進めていきます。また次週に向けた課題などにも積極的に取り組んでいただきたいと思います。遠隔授業を取り入れる場合にはオンデマンドとZOOMなどを対面授業と組み合わせて実施していきます。なお基本的には授業時間内にフィードバックを行います。LMSなどを活用する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
発音1	フランス語の発音	フランス語の発音 (母音や子音)
発音2	フランス語の発音	フランス語の発音 (鼻母音や複合母音など)
発音3	フランス語の発音	発音のまとめ
1課	名詞の性と数	男性名詞と女性名詞
	冠詞	3つの冠詞の用法
2課	提示の表現	「もの」を提示する
	代名詞	表現 主語の代名詞
3課	規則動詞の活用	規則動詞の直説法現在形の活用
4課	疑問形と否定形	3つの疑問形の作り方 否定の作り方
4課	疑問文への応答	疑問文に肯定と否定で答える
	形容詞	指示形容詞の用法
5課	形容詞の女性形	形容詞の女性形の作り方
	名詞や形容詞の複数形	名詞や形容詞の複数形の作り方
6課	不規則動詞	重要な不規則動詞の活用と用法
	形容詞	疑問形容詞
7課	命令形	命令文の作り方
	形容詞	所有形容詞
8課	形容詞と名詞の比較級および最上級	形容詞と名詞の比較級、最上級の用法 特殊な形容詞と名詞の最上級、比較級の作り方
9課	直説法複合過去	直説法複合過去の用法と作り方

復習 春学期の学習内容の 春学期に学習したテキスト1課
確認と見直し から9課までの文法事項や動詞
の活用を総合的に復習する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講学生は学習した文法事項の理解の定着のために復習の課題をやりまします。合わせて予習として次回学習予定の文法事項の大まかな理解を求められます。復習と予習合わせて120分が標準となります。

【テキスト（教科書）】

『ル・フランセ』 齊藤昌三、白水社、2019年第32版

【参考書】

参考書に関しては特に指定はしません。

【成績評価の方法と基準】

中間テスト10%、期末テスト70%、小テストまたは課題提出20%

【学生の意見等からの気づき】

とくに大きな改善点の指摘はなかったが、練習問題の量を少し増やしていきたい。

【その他の重要事項】

授業形態（対面、オンデマンド授業）はCOVID-19の感染状況により変更がある場合もありますが、原則対面でおこないます。

【Outline (in English)】

The aim of this class is to help students acquire an ability for an elementary French grammar.

By the end of this course, students should be able to do the followings:

1 acquisition of an elementary French grammar

2 acquisition of a French vocabulary

3 improve French expressive power

Before/after each class, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report 30 %, term-end examination 50 % and in-class contribution, short examination (including homework) 20 %

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）

フランス語 1 II

2017年度以降入学者

寺家村 博

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスを受講する学生はフランス語 1 Iで学んだ文法事項の確認からはじめフランス語の初級文法の完成と外国語としてのフランス語の初歩の4技能の獲得を目指します。

【到達目標】

このクラスを受講する学生は外国語としてのフランス語の「読み」「書き」の基本をすべて学習します。結果として実用フランス語技能検定4級合格に必要な文法事項や語彙及び表現を習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原則として対面授業である場合には演習形式で進めていきます。受講学生の積極的な授業への取り組みを期待しています。また遠隔授業を取り入れる場合には、対面授業、オンデマンド、Zoomによる授業を組み合わせることで実施していく予定です。なお、基本的に授業時間内にフィードバックをしますが、LMSなどを活用する場合もあります。小テストは予め形式等を知らせ、返却時に解説します。期末テスト等はテスト実施の同一時間内に解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
春学期の復習	春学期の復習	テキスト1課から9課までの文法事項を復習する
9課	直説法複合過去	直説法複合過去の否定形と倒置疑問形の作り方
10課	関係代名詞	4つの主要な関係代名詞の用法を学ぶ
10課	疑問代名詞	疑問代名詞の種類と用法を学ぶ
11課	人称代名詞	直接目的と間接目的の人称代名詞の用法 強勢形人称代名詞の用法
12課	受動態	動詞の態を変える
	指示代名詞	指示代名詞の用法
12課、13課	強調構文	文の各要素を強調する
	代名動詞	代名動詞を伴う動詞の活用と用法
13課	代名動詞の過去形	代名動詞の直説法複合過去形の作り方と用法
	非人称構文	非人称構文の用法
14課	直説法単純未来	未来時制の作り方と用法
14課	中性代名詞	3つの中性代名詞の用法
15課	さまざまな過去時制	直説法半過去と大過去の作り方と用法
16課	条件法現在形	条件法現在形の作り方と用法
17、18課	現在分詞とジェロンディフ	現在分詞とジェロンディフの作り方と用法
	接続法	接続法の活用と用法
まとめ	秋学期のまとめ	秋学期で学習した文法事項の確認と復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講学生は学習した文法事項の理解を深めるために毎日出される復習の課題をやる必要があります。同時に次週に学習予定の文法項目の大まかな理解も求められます。復習と予習で毎回120分程度時間を要します。

【テキスト（教科書）】

フランス語 1 Iと同じテキスト

【参考書】

特に指示する参考書はありません

【成績評価の方法と基準】

中間テスト10%、期末テスト70%、課題及び小テスト20%程度

【学生の意見等からの気づき】

課題の量を少し増やし、学生たちのさらなる文法理解につなげていきたい

【その他の重要事項】

授業形態（対面、オンライン）はCOVID-19の感染状況により、変更となる可能性もあるが、原則対面でおこないます。

【Outline (in English)】

The aim of this class is to help students acquire an ability for an elementary French grammar.

By the end of this course, students should be able to the followings:

1 acquisition of an elementary French grammar

2 acquisition of a wide French vocabulary and expression

Before /after class, student will be expected to spend 2 hours to understand the course content.

Final grade will be:

30%Mid-term report, 50 % term-end examination and in-class contribution, short examination (including homework)20%.

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 1 I

2017年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語初心者を対象とします。初級レベルの基本的な文法知識を学び、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力）、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくのです。また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVDやCDも活用します。

【到達目標】

- (1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようにする
- (2) 初級レベルの文法知識を身に付ける
- (3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解読したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る
- (4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMSなどを活用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション フランス語について：アルファベット、フランス語の特徴及び簡単な文化的背景を学ぶ
第2回	フランス語の綴りと発音読み方	フランス語について：綴りと発音の規則を覚えることにより、簡単なフランス語の単語を読めるようにする フランス語による簡単な自己紹介ができるようになる
第3回	綴りと読み方 Leçon1 自己紹介する	綴りと発音の練習 動詞être（～である、いる）国籍、職業を述べる 会話文の音読と和訳

第4回	Leçon1 世界の中のフランス語	文法の練習問題 文章読解
No.5	Leçon2 物を指し示す	会話実践 会話文の音読と和訳 冠詞の種類 形容詞の変化 提示表現 C'est, Ce sont 文法の練習問題 文章読解
第5回	Leçon2 フランスのクール・ジャパン	文法の練習問題 文章読解
第6回	Leçon1, Leçon2の復習 Leçon3 尋ねる	問題集の問題を解く 会話実践 会話文の音読と和訳 -er動詞 疑問文の作り方 文法の練習問題 文章読解
第8回	Leçon3 モンパルナス地区 Leçon4 買い物をする	動詞avoir(持っている、飼っている) 否定文の作り方 会話文の音読と和訳 1～20までの数 会話実践 文法の練習問題 文章読解 動詞aller(行く)、venir(来る)の活用 近接未来・近接過去の用法 会話文の音読と和訳
第9回	Leçon4 市場 Leçon5 物や人について尋ねる	文法の練習問題 問題集の問題を解く 文章読解 動詞aller(行く)、venir(来る)の活用 近接未来・近接過去の用法 会話文の音読と和訳
第10回	Leçon5 物や人について尋ねる	文法の練習問題 問題集の問題を解く
第11回	Leçon3, Leçon4, Leçon5の復習	文章読解 所有形容詞(誰々の～) 疑問形容詞(どの～) 会話実践 会話文の音読と和訳
第12回	Leçon5 パリの鉄道の駅 Leçon6 場所を尋ねる	文法の練習問題 文章読解 文章読解 まとめと解説
第13回	Leçon6 場所を尋ねる	文法の練習問題 文章読解
第14回	試験と総括	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト（教科書）】

パリ・ボルドー（朝日出版社、2500円）
副教材として用いるプリントは教員が配布いたします

【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」（旺文社）他
仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します

【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践40％
期末試験の成績(60％)により、評価します。
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。

連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jpです

【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts. We will improve reading and speaking skills through reading comprehension written in plain French and listening practice using DVDs/CDs. Before /after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）		
フランス語 1 II		2017年度以降入学者
柴田 恵美		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：木1/Thu.1		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語初心者を対象とします。初級レベルの基本的な文法知識を学び、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力）、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくののです。
また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVDやCDも活用します。

【到達目標】

- (1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようになる
- (2) 初級レベルの文法知識を身に付ける
- (3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解読したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る
- (4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMSなどを利用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Leçon7 ～したいと言う	会話実践 会話文の音読と和訳 人称代名詞強制形 指示代名詞 「～がしたい、いただきたい」、 「～がある」という表現
第2回	Leçon7 ボルドーワイン	文法の練習問題 文章読解
第3回	Leçon8 興味を述べる	会話実践 会話文の音読と和訳 人称代名詞直接目的補語及び間接目的補語 前置詞と定冠詞の縮約
第4回	Leçon8 ワインを試飲する	文法の練習問題 文章読解

第5回	Leçon7, Leçon8の 復習 仏検5級をめざして1	問題集の問題を解く
第6回	Leçon9 誘う	会話実践 会話文の音読と和訳 代名動詞 中性代名詞 文法の練習問題 文章読解
第7回	Leçon9 世界遺産の村サン＝ テミリオン	文章読解
第8回	Leçon13 過去のことを話す	会話実践 会話文の音読と和訳 複合過去 半過去 文法の練習問題 文章読解
第9回	Leçon13 フランス人とバカンス	文章読解
第10回	副教材 複合過去と半過去	副教材の問題集を使い、複合過去と半過去の問題に挑戦する
第11回	Leçon9, Leçon13の 復習 仏検5級をめざして2	問題集の問題を解く
第12回	副教材	市場で買い物の場面を再現したDVDを教材として、実際にフランス人が行う売り手とのやり取りを聞き取り、発音し、意味をとる練習を行う、 市場で買い物の場面を再現したDVDを教材として、実際にフランス人が行う売り手とのやり取りをもとに、条件を色々に変えて実践してみる まとめと解説
第13回	副教材	
第14回	試験と総括	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト（教科書）】

パリ・ボルドー（朝日出版社、2500円）
副教材として用いるプリントは教員が配布いたします

【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」（旺文社）他
仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践40％
期末試験の成績(60％)により、評価します。
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。
連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jpです

【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）	
フランス語 1 I	2017年度以降入学者
江澤 健一郎	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水3/Wed.3	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ベアの授業である「フランス語 2」と同一の教科書（『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』）を用いて、フランス語の初級文法を学びます。時間の許す限り、フランス語圏の文化や社会に関する情報を紹介します。

【到達目標】

フランス語の初級文法を身につけ、フランス語を正しく発音できるようになることを目標とします。実用フランス語技能検定試験（仏検）5級レベル到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・文法項目を説明した後、練習問題を解き、その解説を行います。
- ・定期的に小テストを実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 0	フランス語のつづり字の発音
2	Leçon 1	名詞の性と数 定冠詞／不定冠詞／部分冠詞
3	Leçon 1	主語人称代名詞 動詞 être、avoir
4	Leçon 2	er 動詞の現在形 否定文と疑問文
5	Leçon 3	ir 動詞の現在形 命令法
6	Leçon 3	動詞 partir 疑問副詞
7	Leçon 4	動詞 faire, prendre 否定文における冠詞の変化
8	Leçon 4	人称代名詞の強勢形 指示形容詞
9	Leçon 5	形容詞の位置と性・数 所有形容詞
10	Leçon 6	動詞 aller と venir の現在形 近接未来／近接過去 定冠詞の縮約
11	Leçon 7	比較級、最上級 疑問形容詞 動詞 vouloir, pouvoir, devoir
12	Leçon 8	非人称構文 補語人称代名詞
13	Leçon 9	中性代名詞 疑問代名詞
14	期末試験	筆記試験と総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・宿題の文法練習問題に必ず取り組むこと。
 - ・教科書に付属する音声ファイルをダウンロードし、授業で学習した箇所の音声を繰り返し聞き、発音練習を行うこと。
- 本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・竹本研史『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』朝日出版社、2023 年

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008 年

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50％）と小テスト（50％）の点数を基準にして評価します。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に合わせ、教科書以外の練習問題を追加します。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書（紙の辞書、電子辞書のどちらでも可）を準備する必要があります。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。

【その他の重要事項】

「授業計画」に記している進捗と各回の授業内容は変更することもあり得ます。

【Outline (in English)】

This course is designed for beginners who are learning basic French grammar.

The goal of this course is to obtain the level A1 of CEFR.

Before each class, students will be expected to have done their homework.

Their required study time is at least one hour for each class.

The overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）

フランス語 1 II

2017年度以降入学者

江澤 健一郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ベアの授業である「フランス語2」と同一の教科書（『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』）を用いて、フランス語の初級文法を学びます。時間の許す限り、フランス語圏の文化や社会に関する情報を紹介します。

【到達目標】

フランス語の初級文法を身につけ、フランス語を正しく発音できるようになることを目標とします。実用フランス語技能検定試験（仏検）4級レベル到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・文法項目を説明した後、練習問題を解き、その解説を行います。
- ・定期的に小テストを実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期の学習事項の復習
2	Leçon 10	複合過去
3	Leçon 11	関係代名詞／強調構文
4	Leçon 11	指示代名詞
	Leçon 12	現在分詞／ジェロンディフ
5	Leçon 12	受動態
	Leçon 13	代名動詞（現在形）
6	Leçon 14	代名動詞（複合過去形）
7	Leçon 14	所有代名詞
		疑問代名詞（2）
8	Leçon 15	半過去
9	Leçon 15	単純未来
10	Appendice 1	大過去
		前未来
11	Appendice 2	条件法
12	Appendice 3	接続法
13	総復習	確認問題
14	期末試験	筆記試験と総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・宿題の文法練習問題に必ず取り組むこと。
 - ・教科書に付属する音声ファイルをダウンロードし、授業で学習した箇所の音声を繰り返し聞き、発音練習を行うこと。
- 本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・竹本研史『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』朝日出版社、2023年

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50％）と小テスト（50％）の点数を基準にして評価します。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に合わせ、教科書以外の練習問題を追加します。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書（紙の辞書、電子辞書のどちらでも可）を準備する必要があります。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。

【その他の重要事項】

「授業計画」に記している進捗と各回の授業内容は変更することもあります。

【Outline (in English)】

This course is designed for beginners who are learning basic French grammar.

The goal of this course is to obtain the level A1 of CEFR.

Before each class, students will be expected to have done their homework.

Their required study time is at least one hour for each class.

The overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 1 I

2017年度以降入学者

小幡 一雄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Bonjour！フランス語をはじめて学ぶ学生を対象に、フランス語の基礎となる文法をしっかりと習得することを目的とします。フランス語の発音のしくみを理解し、挨拶表現や数字を身につけます。また、文法の仕組みの基本的な枠組みが理解できるようになります。

【到達目標】

1. フランス語の発音の仕組みを理解し、スペルが読めるようになる。
2. 挨拶が交わせるようになる。
3. 文法の仕組みの基礎が理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

指定された学内の教室で対面授業を行います。授業の最初に小テストを行い、その後、文法を中心にテキストに沿って授業を進めます。テキストやプリントの練習問題に取り組んで復習してください。練習問題に取り組むことが理解するのにとても大切です。また、場合によっては課題をメールで送ってもらい、それを添削して返信することもあると思います。予習は特に必要ありません。課題や小テストは教室で回収し添削して返却するか、メールで以下のアドレス宛に送信してもらった回答を添削して返信するかして、フィードバックを行いますので、必ず確認するようにしてください。
kaz.obata@nifty.com

出席は全授業回数の3分の2以上が必要です。

授業開始時間後30分以内が出席扱いとなり、それ以降は欠席扱いとなります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	簡単な挨拶表現 発音の仕組み	挨拶表現の発音練習をする 発音の仕組みを理解する
2	1 課	身近なものを提示する。 数 (0-20)
3	2 課	人や物の特徴を伝える。
4	3 課	持っている物、欲しい物を伝える。自己紹介をする(1)。
5	4 課	好き嫌いを尋ね、答える。 日付や曜日を尋ね、答える。
6	5 課	自己紹介をする(2)。家族について伝える。
7	6 課	職業や趣味についてやりとりする。
8	中間テスト	6課までの復習テスト
9	7 課	行く場所、これからすることを伝える。ホテルの部屋を予約する。
10	8 課	出身地を伝える。少し前にしたことを伝える。買いたい品物を伝える。
11	9 課	代名詞を使ってやりとりする (1)。簡単なメールを書く。

12	10 課	代名詞を使ってやりとりする (2)。天候について話す。料理の材料を伝える。
13	11 課	1 日の過ごし方を伝える。
14	期末テスト	7 課から 11 課までの復習テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ひとりでも学べるフランス語』、中村敦子、白水社、2020年刊行、2,100円。

【参考書】

『フランス語文法初めての練習帳』、白水社、1,760円

推薦辞書：『プチ・ロワイヤル仏和辞典』、旺文社、4,620円

【成績評価の方法と基準】

前提として、授業回数の3分の2以上出席していることが必要です。成績は、小テストと中間・期末テストによって総合的に評価します。小テストの合計点が20%、中間・期末試験が各40%とします。60%以上が単位取得には必要です。

【学生の意見等からの気づき】

フランス語の文法は覚えることが多いですが、できるだけ分かりやすく説明します。一步一步着実に勉強を続けていけば、フランス語そのものがどんどん面白くなってきます。異文化発見への旅に出るため、復習を怠ることなく、たゆまず頑張ってください！

【Outline (in English)】

- Course outline: You can understand how pronunciation works and grammar structure of French.

- Learning objectives: By taking this class, you will acquire the basic grammar and many expressions for communication.

Learning activities outside of classroom: You send the assignment by e-mail and get the knowledge by the feedback of correction.

- Grading Criteria: I evaluate by little test score of every lesson (20%) and big test score (80%).

- Study time requires at least one hour each time.

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 1 II

2017年度以降入学者

小幡 一雄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に続き、フランス語の初級文法を習得します。

【到達目標】

フランス語初級文法を身につける。

会話に役立つさまざまな表現を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、
経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

指定された教室で対面授業を行います。

毎回最初に小テストを行います。次に、テキストに沿って文法を説
明します。練習問題が宿題になります。宿題の解答や和訳は次回の
授業で確認します。課題や小テストは教室で回収し添削して返却するか、メールで以下
のアドレス宛に送信してもらった回答を添削して返信するかして、
フィードバックを行いますので、必ず確認するようにしてください。
kaz.obata@nifty.com

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	12 課	過去にしたことを伝える (1)
2	13 課	過去にしたことを伝える (2)
3	14 課	市場で買い物をする。代名詞を 使ってやりとりをする。
4	15 課	比較級や最上級の表現を使う。
5	16 課	関係代名詞を用いて尋ね、答え る。
6	中間テスト	12 課から 16 課までの復習テスト
7	17 課	昔のことを伝える。過去の出来 事の背景を伝える (1)
8	17 課	昔のことを伝える、過去の出来 事や背景を伝える (2)
9	18 課	予定していることを伝える (1)
10	18 課	予定していることを伝える (2)
11	19 課	自分の理想を伝える (1)
12	19 課	自分の理想を伝える (2)
13	20 課	嬉しいこと、望むことを伝える。
14	期末テスト	17 課から 20 課までの復習テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回行う小テストや宿題をこなしながら、覚えるべきことを覚え、フ
ランス語初級文法を身につけてください。

また、役に立つ会話表現を覚えてください。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ひとりでも学べるフランス語』、中村敦子、白水社、2020 年刊行、
2,100 円。

【参考書】

『フランス文法 はじめての練習帳』、中村敦子、白水社、1,760 円
推薦辞書：『ブチロワイヤル仏和辞典』、旺文社

【成績評価の方法と基準】

小テストが20%、中間・期末テストが各40%です。60%以上が合格
です。

【学生の意見等からの気づき】

分かりやすく丁寧に説明します。無理なく進めていくので、毎回出
席して、楽しみながら勉強を続けてください。

【Outline (in English)】

- Course outline: You can understand how pronunciation works
and grammar structure of French.- Learning objectives: By taking this class, you will acquire the
basic grammar and many expressions for communication.Learning activities outside of classroom: You send the
assignment by e-mail and get the knowledge by the feedback
of correction.- Grading Criteria: I evaluate by little test score of every lesson
(20%) and big test score (80%).

- Study time requires at least one hour each time.

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 1 I2017年度以降入学者

大中 一彌

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、ロールプレイングゲーム仕立ての電子教科書を使います。物語の主人公は、Masamune という大学生です。主人公が暮らすのは、フランス語を勉強しようとする秘密警察が邪魔をする世界です。Masamune や国際色豊かな仲間たちと共に、フランス語の初歩をまなびましょう。この授業のテーマを紹介するショート動画をご覧ください（動画は2024年制作） <https://youtube.com/shorts/a3cdoqt-gGQ?feature=shared>

【到達目標】

・別冊「グリモワール」（秘伝の書）がさずける知識を使い、1年後にはフランス語を自在に操れる「勇者」になるのが教科書の掲げる目標です。
・仏検5級を受検し、その合格を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・与えられた試練（épreuve；エブループ）を「グリモワール（秘伝の書）」をヒントに乗り越えます。
・ペアを組んでいる、フランス語2Ⅱの石川典子先生と協力して、学生の皆さんが試練に立ち向かうのを後押しします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	教科書『政宗伝』との出会い	フランス語の発音
第2回	君はだれだ？ ①	試練1～4
第3回	君はだれだ？ ②	試練5～7
第4回	もう一人の勇者①	試練1～3
第5回	もう一人の勇者②	試練4～5
第6回	敵を知れ！ ①	試練1～2
第7回	敵を知れ！ ②	試練3～4
第8回	武器をとれ！ ①	試練1～3
第9回	武器をとれ！ ②	試練4～6
第10回	武器をつかいこなせ！ ①	試練1～3
第11回	武器をつかいこなせ！ ②	試練4～6
第12回	師匠のもとへ①	試練1～3
第13回	師匠のもとへ②	試練4～6
第14回	大ピンチだ！ ①	試練1～3

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
・教科書に付属する音声ファイルをダウンロードしましょう。

【テキスト（教科書）】

惟村宣明 著/深井陽介 著/中條健志 著/Tino BRUNO 著/今西久美子イラスト
『政宗伝——RPG（ロールプレイングゲーム）で学ぶフランス語』三修社、2020年
<https://www.sanshusha.co.jp/text/isbn/9784384220568/>

【注意】この授業では電子教科書を利用します。

法政大学生協市ヶ谷キャンパス「購買書籍」で教科書販売期間内に購入してください。法政大学生協市ヶ谷キャンパス「購買書籍」の案内 https://www.univcoop.jp/hosei/order/order_66.html

【参考書】

仏和辞典が必要です。

【注意】

この授業で使用する電子教科書は、大学生協のDICTOOLと連動しています。DICTOOLで使える仏和辞典を法政大学生協市ヶ谷キャンパス「購買書籍」で購入すると、わからない単語の意味を、画面上でタップ（クリック）するだけで調べることができ、学習効率が向上します。DICTOOLの紹介（全国大学生生活協同組合連合会） https://www.univcoop.or.jp/service/book/univ-etext/etc/etc_377.html

【成績評価の方法と基準】

1. 授業への毎週の参加（40%）
2. 教科書の本文の発音や設問への解答（10%）
3. 音声面にかんする授業内小テスト（20%）
4. 文法や語彙（ごい）の面にかんするGoogle フォームを使った小テスト（宿題）（30%）
5. 【希望者のみ】「わたしとフランス語のつながり」に関する資料の作成、および法政大学が管理するクラウド（法政GメールにひもづけられたBoxやGoogleドライブ）上における他の学生との資料の共有（100%の枠外で5～10%程度の加点をします）
6. 【希望者のみ】実用フランス語技能検定試験（仏検）4級や5級を受検したか、また合格したか（100%の枠外で5～20%程度の加点をします）

【学生の意見等からの気づき】

・この授業は、法政大学に置いて対面授業に分類されており、毎週、所定の教室に来て、授業に参加することが単位修得の前提となります。したがって、欠席をカバーするための救済措置を学期末にとることは基本的にありません。
・ただし、1つの学期につき1人あたり7回まで、リアルタイム・オンライン形式（Zoom）による学生の自宅からの授業参加を例外として認めます。法政大学の構内にいる場合は、教室に来て対面授業に参加してください。リアルタイム・オンライン形式（Zoom）による自宅からの授業参加を希望する場合は、当該の授業回の開始時刻の1時間前（＝授業当日の14:00）までに、法政Gメールを使って担当教員までご連絡ください。なお、Zoomの通信品質やZoomの使い方の習熟に関しては、学生自身が責任を負うものとします。この授業は語学の授業であり、Zoomの使い方の指導の時間ではないためです。カフェなどの店舗や公衆スペースからの授業参加は、Zoomを使うにはWifiの通信品質が十分でない場合が多く、他の人の迷惑になる場合もあるので、やめてください。
・体育会で活躍していて授業の出席が難しい人は、保健体育センターに相談してください。
・なんらかの障がいや疾患、メンタルな面を含むハンディキャップなど、諸事情により対面授業に参加することが困難な方は、法政大学障がい学生支援室に「就学上の配慮」をできるだけ早い時期に求めてください。「就学上の配慮」が認められた場合は、障がい学生支援室から担当教員に連絡が来ますので、代わりとなる課題に取り組んでいただきます。
・この科目が開講されている期間中に「学校保健安全法に定める感染症」に感染した方は、所属する学部連絡し「感染症等に係る授業欠席等配慮願」を受け取ってください。そして、所属する学部が発行する「配慮願」を担当教員にご提出ください。学生側の都合による欠席とは異なる、感染拡大防止のための出席停止として扱います。

【学生が準備すべき機器他】

電子教科書を使うため、スマートフォンやタブレット、ノートパソコンなどの情報端末が必要です。

【その他の重要事項】

・問い合わせ先や、モチベーションを高めるための情報について、つぎのリンク先から閲覧してください <https://x.gd/3Rktf>
・なお双方向型の授業をおこなうために、講師は生協より電子テキストへのメーカーやコメントなどの個人情報データの提供をうける場合があります。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students acquire basic knowledge of French grammar.

【Learning Objectives】

In this class, students will learn the rudiments of the French language. The textbook used in this class constitutes a role-playing game. In the near future world depicted in the textbook, those who try to learn French are continually sabotaged by the secret police. Our hero is a 20-year-old college student named Masamune. Students are encouraged to learn French with support from Masamune and his friends who are resistance fighters against the tyranny of a certain self-proclaimed "Global Language".

【Learning activities outside of classroom】

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

【Grading Criteria /Policies】

Grading will be decided based on regular attendance (50%), and evaluation of the quality of in-class contribution and achievement of learning (50%).

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 1 II

2017年度以降入学者

大中 一彌

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、ロールプレイングゲーム仕立ての電子教科書を使います。物語の主人公は、Masamune という大学生です。主人公が暮らすのは、フランス語を勉強しようとすると秘密警察が邪魔をする世界です。Masamune や国際色豊かな仲間たちと共に、フランス語の基礎をまなびましょう。この授業のテーマを紹介するショート動画をご覧ください <https://youtube.com/shorts/a3cdoqt-gGQ?feature=shared>

【到達目標】

・別冊「グリモワール」（秘伝の書）も併せて学び、フランス語を自在に操れる「勇者」になるのが教科書の掲げる目標です。
・仏検4級または仏検5級を受検し、その合格を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・与えられた試練（épreuve；エブループ）を「グリモワール（秘伝の書）」をヒントに乗り越えます。
・ペアを組んでいる、フランス語2 I の石川典子先生と協力して、学生の皆さんが試練に立ち向かうのを後押しします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	大ピンチだ！②	試練4～5
第2回	パワーを獲得せよ①	試練1～3
第3回	パワーを獲得せよ②	試練4～6
第4回	臨戦態勢①	試練1～2
第5回	臨戦態勢②	試練3～5
第6回	ダルシー広場の戦い①	試練1～3
第7回	ダルシー広場の戦い②	試練4～5
第8回	Vladimirを探せ！①	試練1～3
第9回	Vladimirを探せ！②	試練4～5
第10回	エトワール塔に向かえ①	試練1～3
第11回	エトワール塔に向かえ②	試練4～6
第12回	ボスはどこだ？①	試練1～3
第13回	ボスはどこだ？②	試練4～6
第14回	エトワール塔の戦い①	試練1～2

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
・教科書に付属する音声ファイルをダウンロードしましょう。

【テキスト（教科書）】

惟村宣明 著/深井陽介 著/中條健志 著/Tino BRUNO 著/今西久美子イラスト

『政宗伝——RPG（ロールプレイングゲーム）で学ぶフランス語』三修社、2020年

<https://www.sanshusha.co.jp/text/isbn/9784384220568/>

【注意】この授業では電子教科書を利用します。

法政大学生協市ヶ谷キャンパス「購買書籍」で教科書販売期間内に購入してください。法政大学生協市ヶ谷キャンパス「購買書籍」の案内 https://www.univcoop.jp/hosei/order/order_66.html

【参考書】

仏和辞典が必要です。

【注意】

この授業で使用する電子教科書は、大学生協のDICTOOLと連動しています。DICTOOLで使える仏和辞典を法政大学生協市ヶ谷キャンパス「購買書籍」で購入すると、わからない単語の意味を、画面上でタップ（クリック）するだけで調べることができ、学習効率が向上します。DICTOOLの紹介（全国大学生生活協同組合連合会）https://www.univcoop.or.jp/service/book/univ-etext/etc/etc_377.html

【成績評価の方法と基準】

1. 授業への毎週の参加（40%）
2. 教科書の本文の発音や設問への解答（10%）
3. 音声面にかんする授業内小テスト（20%）
4. 文法や語彙（ごい）の面にかんするGoogle フォームを使った小テスト（宿題）（30%）
5. 【希望者のみ】「わたしとフランス語のつながり」に関する資料の作成、および法政大学が管理するクラウド（法政GメールにひもづけられたBoxやGoogleドライブ）上における他の学生との資料の共有（100%の枠外で5～10%程度の加点をします）
6. 【希望者のみ】実用フランス語技能検定試験（仏検）4級や5級を受検したか、また合格したか（100%の枠外で5～20%程度の加点をします）

【学生の意見等からの気づき】

・この授業は、法政大学において対面授業に分類されており、毎週、所定の教室に来て、授業に参加することが単位修得の前提となります。したがって、欠席をカバーするための救済措置を学期末にとることは基本的にありません。

・ただし、1つの学期につき1人あたり7回まで、リアルタイム・オンライン形式（Zoom）による学生の自宅からの授業参加を例外として認めます。法政大学の構内にいる場合は、教室に来て対面授業に参加してください。リアルタイム・オンライン形式（Zoom）による自宅からの授業参加を希望する場合は、当該の授業回の開始時刻の1時間前（＝授業当日の14:00）までに、法政Gメールを使って担当教員までご連絡ください。なお、Zoomの通信品質やZoomの使い方の習熟に関しては、学生自身が責任を負うものとします。この授業は語学の授業であり、Zoomの使い方の指導の時間ではないためです。カフェなどの店舗や公衆スペースからの授業参加は、Zoomを使うにはWifiの通信品質が十分でない場合が多く、他の人の迷惑になる場合もあるので、やめてください。

・体育会で活躍していて授業の出席が難しい人は、保健体育センターに相談してください。

・なんらかの障がいや疾患、メンタルな面を含むハンディキャップなど、諸事情により対面授業に参加することが困難な方は、法政大学障がい学生支援室に「就学上の配慮」をできるだけ早い時期に求めてください。「就学上の配慮」が認められた場合は、障がい学生支援室から担当教員に連絡が来ますので、代わりとなる課題に取り組んでいただきます。

・この科目が開講されている期間中に「学校保健安全法に定める感染症」に感染した方は、所属する学部連絡し「感染症等に係る授業欠席等配慮願」を受け取ってください。そして、所属する学部が発行する「配慮願」を担当教員にご提出ください。学生側の都合による欠席とは異なる、感染拡大防止のための出席停止として扱います。

【学生が準備すべき機器他】

電子教科書を使うため、スマートフォンやタブレット、ノートパソコンなどの情報端末が必要です。

【その他の重要事項】

・問い合わせ先や、モチベーションを高めるための情報について、つぎのリンク先から閲覧してください <https://x.gd/uqUMw>
・なお双方向型の授業をおこなうために、講師は生協より電子テキストへのマーカーやコメントなどの個人ログデータの提供をうける場合があります。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students acquire basic knowledge of French grammar.

【Learning Objectives】

In this class, students will learn the rudiments of the French language. The textbook used in this class constitutes a role-playing game. In the near future world depicted in the textbook, those who try to learn French are continually sabotaged by the secret police. Our hero is a 20-year-old college student named Masamune. Students are encouraged to learn French with support from Masamune and his friends who are resistance fighters against the tyranny of a certain self-proclaimed "Global Language".

【Learning activities outside of classroom】

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

【Grading Criteria /Policies】

Grading will be decided based on regular attendance (50%), and evaluation of the quality of in-class contribution and achievement of learning (50%).

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 1 I

2017年度以降入学者

稲垣 正久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法の習得を目指します。

【到達目標】

フランス語の初級文法の習得を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、
経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は文法事項の説明と練習問題で構成されます。学生諸君には授
業への積極的な参加姿勢が強制的に求められます。とりわけ本年度
は問題を多く解いてもらい、理解をより深いものにすることを目指
します。宿題、自宅学習は毎回出されると思ってください。

提出物は添削したうえで次の授業で返却します。

質問等は授業の前後に受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第0課	フランス語の綴り字の発音
第2回	第1課	名詞の性と数・冠詞・主語人称 代名詞など
第3回	第2課	第一群規則動詞・否定文・疑問文
第4回	第3課	命令法・第二群規則動詞・疑問 副詞など
第5回	第4課	faire, prendre・人称代名詞の強 勢形など
第6回	復習1	第1回小テスト（予定）
第7回	第5課	形容詞の位置と性数・所有形容 詞
第8回	第6課	動詞 aller と venir・近接未来と 近接過去など
第9回	第7課	比較級・最上級・疑問形容詞など
第10回	復習2	第2回小テスト（予定）
第11回	第8課	非人称構文・補語人称代名詞
第12回	第9課	中性代名詞・疑問代名詞
第13回	復習3	模擬試験
第14回	総括	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回出される宿題を必ずやってくる。本授業の準備学習・復習
時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『文法と文化で学ぶ基礎フランス語』（朝日出版社）

【参考書】

授業中に指示することもあるかと思います。

【成績評価の方法と基準】

期末試験が100点、動詞の活用に関する小テスト2回各25点、合計
150点満点でつけます。

この点数にいわゆる平常点（出席点ではない）を加算して、最終評
価を下します。

詳細は第一回の授業で説明します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく脱落者を出さぬよう注意する。なお、「気づき」という言葉
は変だと思う。「気づいたこと」などの表現を用いるべきだ。

【Outline (in English)】

Course outline; study of elementary grammar of French
language

Learning objectives; understanding of the elementary grammar

Learning activities outside of classroom; home work(1hour)

Grading Criteria; 2 minitests(25/150x2) and the final test(100/
150)

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 1 II

2017年度以降入学者

稲垣 正久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【Outline (in English)】

Course outline; study of elementary grammar of French language

Learning objectives; understanding of the elementary grammar

Learning activities outside of classroom; homework(1hour)

Grading Criteria; 2 minitests(25/150x2), final test(100/150)

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法の習得を目指します。

【到達目標】

フランス語の初級文法の習得を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は文法事項の説明と練習問題で構成されます。学生諸君には授業への積極的な参加姿勢が強制的に求められます。とりわけ本年度は問題を多く解いてもらい、理解をより深いものにすることを目指します。宿題、自宅学習は毎回出されると思ってください。

提出物は添削したうえで次の授業で返却します。

質問等は授業の前後に受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	復習 1	第1課～第9課
第2回	第10課	複合過去
第3回	第11課	関係代名詞・強調構文・指示代名詞
第4回	第12課	現在分詞・ジェロンディフ・受動態
第5回	第13課	代名動詞（現在）
第6回	第14課	代名動詞（複合過去）など
第7回	復習 1	第1回小テスト(予定)
第8回	第15課	半過去・単純未来
第9回	Appendice 1	大過去・前未来など
第10回	復習 2	第2回小テスト（予定）
第11回	Appendice 2	条件法現在・過去
第12回	Appendice 3	接続法現在・過去
第13回	復習 3	模擬試験
第14回	総括	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回出される宿題を必ずやってくる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『文法と文化で学ぶ基礎フランス語』（朝日出版社）

【参考書】

授業中に指示することもあるかと思います。

【成績評価の方法と基準】

期末試験が100点、動詞の活用に関する小テスト2回各25点、合計150点満点でつけます。

この点数にいわゆる平常点（出席点ではない）を加算して、最終評価を下します。

詳細は第一回目の授業で説明します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく脱落者を出さぬよう注意する。なお、「気づき」という言葉は変だと思う。「気づいたこと」などの表現を用いるべきだ。

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)		
フランス語 2 I		2017年度以降入学者
ニコラ ガイヤール		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：木2/Thu.2		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、フランス語1で勉強した文法を活かして、自分の生活について話せるように目指しています。初めてフランス語を習う学生を対象に、聞く・話す・読む・書くを勉強し、実践的な能力を強化する授業です。

【到達目標】

このクラスの目標は日常生活に必要な表現と会話力を身につけることです。フランス文化なども紹介し、その知識を養うことを目指します。

資格は筆記試験（フランス語検定4～5級）と口頭試験（DELF* A1レベル）に対応しています。*フランス国民教育省が認定した公式フランス語資格

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 発音の説明 2. 構文を確認した後、学生はペア練習する 3. 学生は日本語からフランス語に訳す練習問題をする 4. 学習したフランス語を使用して、クラスメイトとコミュニケーションをとる 5. リスニング練習 6. 対話文作成 7. 復習学習
フランスの文化の紹介の練習は 1. ビデオを見ながら聞き取れた単語を書く 2. 理解したことを授業で共有する・感想を言う 3. 文章を書く・ロールプレイを行う。
基本的に授業時間内にフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation Leçon 1 Éléments de base フランス語の基礎	授業の紹介 フランス語の発音、数字など
2	Leçon 2 Premières présentations	自己紹介 s'appeler 動詞、国籍、学年
3	Leçon 3 Dire Où on habite 今住んでいるところについて話す	habiter 動詞、être de+出身地
4	Leçon 4. Parler des transports 交通手段について話す	venir 動詞、疑問詞 (comment, où...)
5	Leçon 5 Parler des petits boulots バイトについて話す	travailler 動詞、"J'aimerais+不定詞"
6	Leçon 6 Panorama 1 総復習 1	名前、国籍、学部、学年、出身地、住んでいるところ、交通手段、アルバイト
7	Leçon 7 Parler de ses animaux ペットについて話す	avoir 動詞、不定冠詞、 「Qu'est-ce que」疑問詞

8	Leçon 8 Parler de sa famille 家族について話す	所有形容詞、数字60まで、性格を表す形容詞
9	Leçon 9 Parler des tâches ménagères 家事について話す	faire 動詞、aimer beaucoup など「好き」好きの程度を言う
10	Leçon 10 Parler de ce qu'on mange 食べ物について話す	不定冠詞／部分冠詞、manger 動詞
11	Leçon 11 Sortir à Paris パリで遊ぶ	時間を表す単語、「deから...àまで...」の表現、Tu aimerais...誘う表現
12	Leçon 12 Panorama 2 総復習 2 (1)	avoir, faire, aimer, manger 動詞
13	Leçon 12 Panorama 2 総復習 2 (2)	文法の復習、リスニングなど
14	期末試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題（復習のために家でリスニングと書く練習する）本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

題名 Moi, je ... コミュニケーション A1
筆者 Bruno Vannieuwenhyuse 他
出版社 Alma Publishing/アルマ出版
ISBN 978-4-905343-33-2

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】

小テスト 33% 期末試験 34%、平常点（授業中の発言等）33%で評価します。5回以上欠席する者は評価の対象としないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

フランスの文化やフランス人の生活について詳しく話します。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン・スマートフォンで音声ダウンロードができます。

【Outline (in English)】

In this class, we study French conversation at a beginner level. This class prepares to DELF A1 or Futsuken level 5 or 4. The goal of this course is to learn French conversation. Before and after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Term-end examination: 33%, Mid-Term examination: 34%, in-class contribution: 33%. To receive a credit, you must not be absent more than 4 times.

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語Ⅱ

2017年度以降入学者

ニコラ ガイヤール

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、フランス語Ⅰで勉強した文法を活かして、自分の生活について話せるように目指しています。初めてフランス語を習う学生を対象に、聞く・話す・読む・書くを勉強し、実践的な能力を強化する授業です。

【到達目標】

このクラスの目標は日常生活に必要な表現と会話力を身につけることです。また、話す練習を通して、文法を勉強します。フランス文化なども紹介し、その知識を養うことを目指します。

資格は筆記試験（フランス語検定4～5級）と口頭試験（DELFI* A1レベル）に対応しています。*フランス国民教育省が認定した公式フランス語資格

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 発音の説明 2. 構文を確認した後、学生はペア練習する 3. 学生は日本語からフランス語に訳す練習問題をする 4. 学習したフランス語を使用して、クラスメイトとコミュニケーションをとる 5. リスニング練習 6. 対話文作成 7. 復習学習

フランスの文化の紹介の練習は 1. ビデオを見ながら聞き取れた単語を書く 2. 理解したことを授業で共有する・感想を言う 3. 文章を書く・ロールプレイを行う。

基本的に授業時間内にフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 13 Parler des matières et des profs	aimer, préférer, trouver 動詞、定冠詞 科目・先生について話す
2	Leçon 14 Parler des loisirs	faire+部分冠詞、"être membre du club de"の表現 クラブ活動について話す
3	Leçon 15 Parler du quotidien	時間を言う、代名動詞
4	Leçon 16 Parler du week-end	aller 動詞、近接未来 週末の過ごし方について話す
5	Leçon 17 Parler de ses goûts	頻度に関する質問と答え、代名詞 y と en の使い方 好みについて話す
6	Leçon 18 Panorama 3	13～17課までの文法の復習 総復習3
7	Leçon 19 Parler des vacances	複合過去、半過去 休暇中の活動について話す
8	Leçon 20 Parler de ses expériences	複合過去+déjà/jamais quand+複合過去形／半過去形 経験について話す

9	Leçon 21 Parler de la géographie et de la gastronomie	都市の位置を説明する、地方の名物 地理と食文化について話す
10	Leçon 22 Parler du temps	天気を表す語彙、疑問形容詞 quel, quelle 天気について話す
11	Leçon 23 Planifier un voyage en France	il y a, 形容詞前置修飾、形容詞後置修飾 フランスへの旅を計画する
12	Leçon 24 Panorama 4 総復習 4 (1)	19-23 課までの文法の復習
13	Leçon 24 Panorama 4 総復習 4 (2)	既習事項を使った対話文
14	期末試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

題名 Moi, je... コミュニケーション A1

筆者 Bruno Vannieuwenhuyse 他

出版社 Alma Publishing/アルマ出版

ISDN 978-4-905343-33-2

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】

小テスト33%期末試験34%、平常点（授業中の発言など）33%で評価します。5回以上欠席する者は評価の対象としないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

フランスの文化やフランス人の生活について詳しく話します。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンで音声ダウンロードができます。

【Outline (in English)】

In this class, we study French conversation at a beginner level. This class prepares to DELF A1 or Futsuken level 5 or 4. The goal of this course is to learn French conversation. Before and after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 33%、Mid-Term examination: 34%、in class contribution: 33%. To receive a credit, you must not be absent more than 4 times.

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 2 I

2017年度以降入学者

コリンヌ ヴァリエヌ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初心者を対象とします。同じテキストを日本人教師と分担して進めます。この授業では主に会話を学びます。

【到達目標】

会話の例文を読んでからペアで練習します。学生同士のコミュニケーションが中心です。教科書の練習問題をしながら、聞く、読む、話す、書くの4つの能力も鍛えます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業では教科書の内容を学習する。文法と語彙の解説を授業で行います。授業で学習した文法事項を演習します。宿題も出します。宿題は毎週初めに添削します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション
2	Leçon 1	発音練習① Phonétique
3	Leçon 1	発音練習② Phonétique
4	Leçon 2	男性形と女性形・動詞 ETRE
5	Leçon 3	ER動詞・定冠詞①
6	Leçon 4	不規則動詞 VENIR など・数と時間
7	Leçon 5	不定冠詞・疑問文
8	Leçon 6	動詞 AVOIR・代名詞 ENと否定形
9	Leçon 7	所有形容詞・3人称の活用
10	Leçon 8	定冠詞②・不規則動詞 FAIRE
11	Leçon 9	現在形の活用・代名動詞
12	Leçon 10	近い未来・場所を表す前置詞
13	Leçon 11	複合過去①・程度の副詞
14	まとめ① Révisions	まとめ① Révisions

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

SPIRALE NOUVELLE EDITION/LIVRE DE L'ELEVE

【教科書】著者:CREPIEUX+CALLEN+TAKASE+NEGISHI / ISBN:9782014015812

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点40点、期末テスト60点

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【学生が準備すべき機器他】

パソコン

【Outline (in English)】

This course is designed for beginners. Students will share the same textbook with a Japanese teacher. In this class, you will learn mainly simple conversation.

GOAL:

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

Learning Outside Class Hours:

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorize new vocabulary and grammar point studied during the lesson. One hour is required.

GRADING CRITERIA:

Normal score: 40%(presence, participation and homework), final exam: 60%

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語Ⅱ

2017年度以降入学者

コリンヌ ヴァリエヌ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初心者を対象とします。同じテキストを日本人教師と分担して進めます。この授業では主に会話を学びます。

【到達目標】

会話の例文を読んでからペアで練習します。学生同士のコミュニケーションが中心です。教科書の練習問題をしながら、聞く、読む、話す、書くの4つの能力も鍛えます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppiiなどを活用する場合もある。

このクラスの目的は日常生活や旅行に必要な事柄をフランス語で表現できるようになることです。会話文や表現パターンを繰り返し声に出し、応用練習を行うことによって、話すことが自然と身に付き、自然の速さの聞き取りが容易にできるよう心がけながら授業を進めます。大切なのは、文法の知識を楽しく使いこなすことです。また、フランス語圏・文化などを紹介するDVDや字幕付きのフランス映画を鑑賞する予定です。必要に応じて日本語でも説明します

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	まとめ① Révisions	まとめ① Révisions Leçons 1 à 10
2	Leçon 11	周波数を表す
3	Leçon 12	複合過去①・程度の副詞
4	Leçon 13	複合過去②・代名詞 Y と EN
5	Leçon 14	半過去・最上級①
6	Leçon 15	部分冠詞・関係代名詞①
7	Leçon 16	直接目的語代名詞
8	Leçon 17	複合過去③・形容詞
9	Leçon 18	頻度と期間の表現
10	Leçon 19	間接目的語代名詞
11	Leçon 20	単純未来形・前未来系
12	Leçon 21	比較級
13	Leçon 22	関係代名詞②
14	まとめ② Révisions	まとめ② Révisions

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題を提出することが必須です。

毎週新しい語彙と表現を覚えること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

SPIRALE NOUVELLE EDITION/LIVRE DE L'ELEVE

【教科書】著者:CREPIEUX+CALLEN+TAKASE+NEGISHI / ISBN:9782014015812

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点40点、期末テスト60点

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【学生が準備すべき機器他】

パソコン

【Outline (in English)】

This course is designed for beginners. Students will share the same textbook with a Japanese teacher. In this class, you will learn mainly simple conversation.

GOAL :

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

PREPARATION :

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorize new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

GRADING CRITERIA:

Normal score: 40%(presence, participation and homework), final exam: 60%

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 2 I

2017年度以降入学者

コリンヌ ヴァリエヌ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初心者を対象とします。同じテキストを日本人教師と分担して進めます。この授業では主に会話を学びます。

【到達目標】

会話の例文を読んでからペアで練習します。学生同士のコミュニケーションが中心です。教科書の練習問題をしながら、聞く、読む、話す、書くの4つの能力も鍛えます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業では教科書の内容を学習する。文法と語彙の解説を授業で行います。授業で学習した文法事項を演習します。宿題も出します。宿題は毎週初めに添削します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション
2	Leçon 1	発音練習① Phonétique
3	Leçon 1	発音練習② Phonétique
4	Leçon 2	男性形と女性形・動詞 ETRE
5	Leçon 3	ER動詞・定冠詞①
6	Leçon 4	不規則動詞 VENIR など・数と時間
7	Leçon 5	不定冠詞・疑問文
8	Leçon 6	動詞 AVOIR・代名詞 ENと否定形
9	Leçon 7	所有形容詞・3人称の活用
10	Leçon 8	定冠詞②・不規則動詞 FAIRE
11	Leçon 9	現在形の活用・代名動詞
12	Leçon 10	近い未来・場所を表す前置詞
13	Leçon 11	複合過去①・程度の副詞
14	まとめ① Révisions	まとめ① Révisions

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

SPIRALE NOUVELLE EDITION/LIVRE DE L'ELEVE

【教科書】著者:CREPIEUX+CALLEN+TAKASE+NEGISHI / ISBN:9782014015812

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点40点、期末テスト60点

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【Outline (in English)】

This course is designed for beginners. Students will share the same textbook with a Japanese teacher. In this class, you will learn mainly simple conversation.

GOAL:

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

PREPARATION:

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorize new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

GRADING CRITERIA:

Normal score: 40%(presence, participation and homework), final exam: 60%

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語Ⅱ

2017年度以降入学者

コリンヌ ヴァリエヌ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初心者を対象とします。同じテキストを日本人教師と分担して進めます。この授業では主に会話を学びます。

【到達目標】

会話の例文を読んでからペアで練習します。学生同士のコミュニケーションが中心です。教科書の練習問題をしながら、聞く、読む、話す、書くの4つの能力も鍛えます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppiiなどを活用する場合もある。

このクラスの目的は日常生活や旅行に必要な事柄をフランス語で表現できるようになることです。会話文や表現パターンを繰り返し声に出し、応用練習を行うことによって、話すことが自然と身に付き、自然の速さの聞き取りが容易にできるよう心がけながら授業を進めます。大切なのは、文法の知識を楽しく使いこなすことです。また、フランス語圏・文化などを紹介するDVDや字幕付きのフランス映画を鑑賞する予定です。必要に応じて日本語でも説明します

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	まとめ① Révisions	まとめ① Révisions Leçons 1 à 10
2	Leçon 11	周波数を表現する
3	Leçon 12	複合過去①・程度の副詞
4	Leçon 13	複合過去②・代名詞 Y と EN
5	Leçon 14	半過去・最上級①
6	Leçon 15	部分冠詞・関係代名詞①
7	Leçon 16	直接目的語代名詞
8	Leçon 17	複合過去③・形容詞
9	Leçon 18	頻度と期間の表現
10	Leçon 19	間接目的語代名詞
11	Leçon 20	単純未来形・前未来系
12	Leçon 21	比較級
13	Leçon 22	関係代名詞②
14	まとめ② Révisions	まとめ② Révisions

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題を提出することが必須です。

毎週新しい語彙と表現を覚えること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

SPIRALE NOUVELLE EDITION/LIVRE DE L'ELEVE

【教科書】著者:CREPIEUX+CALLENS+TAKASE+NEGISHI /

ISBN:9782014015812

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点40点、期末テスト60点

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【Outline (in English)】

This course is designed for beginners. Students will share the same textbook with a Japanese teacher. In this class, you will learn mainly simple conversation.

GOAL:

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

PREPARATION:

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorize new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

GRADING CRITERIA:

Normal score: 40%(presence, participation and homework), final exam: 60%

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）	
フランス語 2 I	2017年度以降入学者
南 玲子	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：木2/Thu.2
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ベアの授業である「フランス語（1）」と同一の教科書（『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』）を用いて、フランス語の初級文法を学びます。時間の許す限り、フランス語圏の文化や社会に関する情報を紹介します。

【到達目標】

フランス語の初級文法を身につけ、フランス語を正しく発音できるようになることを目標とします。実用フランス語技能検定試験（仏検）5級レベル到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・文法項目の説明につづけて練習問題を解き、その解説を行います。関連する練習問題を宿題とし、復習の機会として活用します。
- ・毎回の授業の始めに、小テストを実施します。
- ・小テストのフィードバックは、紙に書き込んだものを次回の授業で返却するという形を原則とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 0	フランス語のつづり字の発音
2	Leçon 1	名詞の性と数 定冠詞／不定冠詞／部分冠詞
3	Leçon 1	主語人称代名詞 動詞 être、avoir
4	Leçon 2	er 動詞の現在形 否定文と疑問文
5	Leçon 3	ir 動詞の現在形 命令法
6	Leçon 3	動詞 partir 疑問副詞
7	Leçon 4	動詞 faire、prendre 否定文における冠詞の変化
8	Leçon 4	人称代名詞の強勢形 指示形容詞
9	Leçon 5	形容詞の位置と性・数 所有形容詞
10	Leçon 6	動詞 aller と venir の現在形 近接未来／近接過去 定冠詞の縮約
11	Leçon 7	比較級、最上級 疑問形容詞 動詞 vouloir、pouvoir、devoir
12	Leçon 8	非人称構文 補語人称代名詞
13	Leçon 9	中性代名詞 疑問代名詞
14	期末試験	筆記試験と総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・宿題と次回小テストの準備を含めて、毎授業後に必ず復習をしましょう。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
・教科書に付属する音声ファイルをダウンロードし、授業で学習した箇所の音声を繰り返し聞き、発音練習を行う習慣をつけましょう。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・竹本研史『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』朝日出版社、2023年

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点25%、小テスト25%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

説明の際、聞きやすい速度を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

- ・仏和辞書（紙の辞書、電子辞書、有料辞書アプリのいずれも可）を準備する必要があります。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。
- ・ネット上の無料辞書・翻訳アプリは使用不可。

【その他の重要事項】

「授業計画」に記している進捗と各回の授業内容は、クラスの状況により変更することもあり得ます。

【Outline (in English)】

This course is designed for beginners who are learning basic French grammar.

The goal of this course is to obtain the level A1 of CEFR.

Before each class, students will be expected to have done their homework.

Their required study time is at least one hour for each class.

The overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）

フランス語Ⅱ

2017年度以降入学者

南 玲子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ベアの授業である「フランス語（1）」と同一の教科書（『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』）を用いて、フランス語の初級文法を学びます。時間の許す限り、フランス語圏の文化や社会に関する情報を紹介します。

【到達目標】

フランス語の初級文法を身につけ、フランス語を正しく発音できるようになることを目標とします。実用フランス語技能検定試験（仏検）4級レベル到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・文法項目の説明につづけて練習問題を解き、その解説を行います。関連する練習問題を宿題とし、復習の機会として活用します。
- ・毎回の授業の始めに、小テストを実施します。
- ・小テストのフィードバックは、紙に書き込んだものを次回の授業で返却するという形を原則とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期の学習事項の復習
2	Leçon 10	複合過去
3	Leçon 11	関係代名詞／強調構文
4	Leçon 11	指示代名詞
	Leçon 12	現在分詞／ジェロンディフ
5	Leçon 12	受動態
	Leçon 13	代名動詞（現在形）
6	Leçon 14	代名動詞（複合過去形）
7	Leçon 14	所有代名詞
		疑問代名詞（2）
8	Leçon 15	半過去
9	Leçon 15	単純未来
10	Appendice 1	大過去
		前未来
11	Appendice 2	条件法
12	Appendice 3	接続法
13	総復習	確認問題
14	期末試験	筆記試験と総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・宿題と次回小テストの準備を含めて、毎授業後に必ず復習をしましょう。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
・教科書に付属する音声ファイルをダウンロードし、授業で学習した箇所の音声を繰り返し聞き、発音練習を行う習慣をつけましょう。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・竹本研史『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』朝日出版社、2023年

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点25%、小テスト25%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

説明の際、聞きやすい速度を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

- ・仏和辞書（紙の辞書、電子辞書、有料辞書アプリのいずれも可）を準備する必要があります。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。
- ・ネット上の無料辞書・翻訳アプリは使用不可。

【その他の重要事項】

「授業計画」に記している進捗と各回の授業内容は、クラスの状況により変更することもあり得ます。

【Outline (in English)】

This course is designed for beginners who are learning basic French grammar.

The goal of this course is to obtain the level A1 of CEFR.

Before each class, students will be expected to have done their homework.

Their required study time is at least one hour for each class.

The overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）		
フランス語 2 I		2017年度以降入学者
杉村 裕史		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金 3/Fri.3		
単位数：1 単位		
その他属性：		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		
初級フランス文法を学びながらフランス文化の多様性を知る。		
1 フランス語の単語や文を発音できるようにする。		
2 フランス文化を紹介した簡単な文を訳す力をつける。		
3 フレンチポップスをフランス語で歌えるようにする		
4 フランス語を学ぶことにより、日本語の面白さを知る		
【到達目標】		
初級文法の基礎を学びつつ、きちんと発音ができ、大きな声でフレンチポップスを歌えるようになる		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1		
【授業の進め方と方法】		
各課のテキストの文法説明をする。		
練習問題を解く。		
フレンチポップスを歌う。		
小テストや期末テストのフィードバックは、授業内に LINE や学習支援システムを通して行う		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】		
なし /No		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】		
なし /No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
授業計画	発音の練習	年間授業計画
画		成績評価の方法
発音の仕	単語の読み方 1	0 課
組み		プレリユード 1
		アルファベの発音
母音字の	単語の読み方 2	プレリユード 2
読み方		母音字の発音
子音字の	名詞と冠詞	1 課 文法説明
読み方		子音字の発音
名詞と冠	「オー・シャンゼリ	Leçon 1 練習問題
詞	ゼ」	名詞と冠詞確認
動詞 être	主語人称代名詞	2 課 文法説明
	動詞 être	主語と動詞 être の使い方
主語の意	「夢見るシャンソン人	Leçon 2 練習問題
味	形」	主語と補語
動 詞	形容詞	3 課 文法説明
avoir	動詞 avoir	動詞 avoir の慣用表現
直接目的	「子どもを抱いて」	Leçon 3 練習問題
語		直接目的語
規則動詞	-er 動詞、-ir 動詞。	4 課 文法説明
の活用	否定文	規則動詞の活用
間接目的	「シェリーに口づけ」	Leçon 4 練習問題
語		間接目的語
不規則活	疑問文、動詞 aller/	5 課 文法説明
用の動詞	venir	前置詞の使い方
		不規則活用の動詞
近 接 未	「もう森へなんか行か	Leçon 5 練習問題
来・近 接	ない」	近接未来・近接過去
過去		
歌と文法	フレンチ・ポップス	前期文法のまとめ
のまとめ	のまとめ	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
【テキスト（教科書）】
『ポップ・フランセ』（杉村裕史、2009 年、駿河台出版社、2500 + 税）（ISBN 978-4-411-00763-6 C 1085）
【参考書】
なし
【成績評価の方法と基準】
前回の授業内容から、次の授業開始時に小テストを行う。
小テストと期末試験の評価割合は 5 0 % + 5 0 %。
小テストの合計と、期末試験の合計を 100 点満点に換算して、法政大学の評価基準に応じて評価する。
毎回出席を取る。欠席は 3 回まで認める。
4 回以上欠席すると期末試験受験の対象から外れる。
遅刻は 30 分まで出席にするが、小テストは授業開始時に行うので、小テストが終了していれば、受けられない。
【学生の意見等からの気づき】
映像を見せて欲しいとの要望があり、適宜 Youtubeなどで映像を見せていく
【学生が準備すべき機器他】
オンライン・ライブの授業ではないが、資料をオンラインで配布することがあるので、指定された時は PC を持参して欲しい。
【その他の重要事項】
辞書を持参すること。どのような辞書を推薦するかは、教室で指示する。
【Outline (in English)】
This course is designed for beginners who are learning basis French grammar and learning to sing songs of French Pops.
This course introduces French grammar, French culture and good pronunciation.
The goals of this course are to
have a good pronunciation, sing French pops, and read a French text.

Learning activities outside of classroom, after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Grading Criteria /Policies; Your overall grade in the class will be decided based on the following :

Term-end examination: 50%、Short reports: 50%

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語Ⅱ

2017年度以降入学者

杉村 裕史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級フランス文法を学びながらフランス文化の多様性を知る。

- 1 フランス語の単語や文を発音できるようにする。
- 2 フランス文化を紹介した簡単な文を訳す力をつける。
- 3 フレンチポップスをフランス語で歌えるようにする
- 4 フランス語を学ぶことにより、日本語の面白さを知る

【到達目標】

初級文法の基礎を学びつつ、きちんと発音ができ、大きな声でフレンチポップスを歌えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各課のテキストの文法説明をする。

練習問題を解く。

フレンチポップスを歌う。小テストや期末テストのフィードバックは、授業内にLINEや学習支援システムを通して行う

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
後期授業計画	発音の復習	後期授業計画
計画		成績評価の方法
疑問詞	疑問詞、比較級・最上級準助動詞	Leçon 7 文法説明
「ラストダンスは私に」		Leçon 7 練習問題
不規則動詞	不規則動詞	Leçon 8 文法説明
「愛すること」		Leçon 8 練習問題
疑問代名詞・関係代名詞	疑問代名詞・関係代名詞	Leçon 9 文法説明
「愛のとりこ」		Leçon 9 練習問題
目的語代名詞・代名動詞	目的語代名詞・代名動詞	Leçon 10 文法説明
「いつものように」		Leçon 10 練習問題
複合過去・半過去	複合過去・半過去	Leçon 11 文法説明
「シェリーに口づけ」		Leçon 11 練習問題
構文練習	構文練習	Leçon 12 文法説明
「心に太陽を」		Leçon 12 練習問題
歌と文法のまとめ	フレンチ・ポップスのまとめ	後期文法のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポップ・フランセ』（杉村裕史、2009年、駿河台出版社、2500＋税）（ISBN 978-4-411-00763-6 C 1085）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

前回の授業内容から、次の授業開始時に小テストを行う。

小テストと期末試験の評価割合は50%＋50%。

小テストの合計と、期末試験の合計を100点満点に換算

して、法政大学の評価基準に応じて評価する。

毎回出席を取る。欠席は3回まで認める。

4回以上欠席すると期末試験受験の対象から外れる。

遅刻は30分まで出席にするが、小テストは授業開始時に行うので、小テストが終了していれば、受からない。

【学生の意見等からの気づき】

映像を見せて欲しいとの要望があり、適宜Youtubeなどで映像を見せていく

【学生が準備すべき機器他】

オンライン・ライブの授業ではないが、資料をオンラインで配布することがあるので、指定された時はPCを持参して欲しい。

【その他の重要事項】

辞書を持参すること。どのような辞書を推薦するかは、教室で指示する。

【Outline (in English)】

This course is designed for beginners who are learning basis French grammar and learning to sing songs of French Pops.

This course introduces French grammar, French culture and good pronunciation.

The goals of this course are to

have a good pronunciation, sing French pops, and read a French text.

Learning activities outside of classroom, after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Grading Criteria /Policies; Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination: 50%, Short reports: 50%.

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）		
フランス語 2 I		2017年度以降入学者
杉村 裕史		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金 5/Fri.5		
単位数：1 単位		
その他属性：		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		
初級フランス文法を学びながらフランス文化の多様性を知る。		
1 フランス語の単語や文を発音できるようにする。		
2 フランス文化を紹介した簡単な文を訳す力をつける。		
3 フレンチポップスをフランス語で歌えるようにする		
4 フランス語を学ぶことにより、日本語の面白さを知る		
【到達目標】		
初級文法の基礎を学びつつ、きちんと発音ができ、大きな声でフレンチポップスを歌えるようになる		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1		
【授業の進め方と方法】		
各課のテキストの文法説明をする。		
練習問題を解く。		
フレンチポップスを歌う。		
小テストや期末テストのフィードバックは、授業内に LINE や学習支援システムを通して行う		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】		
なし /No		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】		
なし /No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
授業計画	発音の練習	年間授業計画
画		成績評価の方法
発音の仕	単語の読み方 1	0 課
組み		プレリユード 1
		アルファベの発音
母音字の	単語の読み方 2	プレリユード 2
読み方		母音字の発音
子音字の	名詞と冠詞	1 課 文法説明
読み方		子音字の発音
名詞と冠	「オー・シャンゼリ	Leçon 1 練習問題
詞	ゼ」	名詞と冠詞確認
動詞 être	主語人称代名詞	2 課 文法説明
	動詞 être	主語と動詞 être の使い方
主語の意	「夢見るシャンソン人	Leçon 2 練習問題
味	形」	主語と補語
動 詞	形容詞	3 課 文法説明
avoir	動詞 avoir	動詞 avoir の慣用表現
直接目的	「子どもを抱いて」	Leçon 3 練習問題
語		直接目的語
規則動詞	-er 動詞、-ir 動詞。	4 課 文法説明
の活用	否定文	規則動詞の活用
間接目的	「シェリーに口づけ」	Leçon 4 練習問題
語		間接目的語
不規則活	疑問文、動詞 aller/	5 課 文法説明
用の動詞	venir	前置詞の使い方
		不規則活用の動詞
近 接 未	「もう森へなんか行か	Leçon 5 練習問題
来・近 接	ない」	近接未来・近接過去
過去		
歌と文法	フレンチ・ポップス	前期文法のまとめ
のまとめ	のまとめ	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
【テキスト（教科書）】
『ポップ・フランセ』（杉村裕史、2009 年、駿河台出版社、2500 + 税）（ISBN 978-4-411-00763-6 C 1085）
【参考書】
なし
【成績評価の方法と基準】
前回の授業内容から、次の授業開始時に小テストを行う。
小テストと期末試験の評価割合は 5 0 % + 5 0 %。
小テストの合計と、期末試験の合計を 100 点満点に換算して、法政大学の評価基準に応じて評価する。
毎回出席を取る。欠席は 3 回まで認める。
4 回以上欠席すると期末試験受験の対象から外れる。
遅刻は 30 分まで出席にするが、小テストは授業開始時に行うので、小テストが終了していれば、受けられない。
【学生の意見等からの気づき】
映像を見せて欲しいとの要望があり、適宜 Youtube などで映像を見せていく
【学生が準備すべき機器他】
オンライン・ライブの授業ではないが、資料をオンラインで配布することがあるので、指定された時は PC を持参して欲しい。
【その他の重要事項】
辞書を持参すること。どのような辞書を推薦するかは、教室で指示する。
【Outline (in English)】
This course is designed for beginners who are learning basis French grammar and learning to sing songs of French Pops.
This course introduces French grammar, French culture and good pronunciation.
The goals of this course are to
have a good pronunciation, sing French pops, and read a French text.

Learning activities outside of classroom, after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Grading Criteria /Policies; Your overall grade in the class will be decided based on the following :

Term-end examination: 50%、Short reports: 50%

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語Ⅱ

2017年度以降入学者

杉村 裕史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級フランス文法を学びながらフランス文化の多様性を知る。

- 1 フランス語の単語や文を発音できるようにする。
- 2 フランス文化を紹介した簡単な文を訳す力をつける。
- 3 フレンチポップスをフランス語で歌えるようにする
- 4 フランス語を学ぶことにより、日本語の面白さを知る

【到達目標】

初級文法の基礎を学びつつ、きちんと発音ができ、大きな声でフレンチポップスを歌えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各課のテキストの文法説明をする。

練習問題を解く。

フレンチポップスを歌う。小テストや期末テストのフィードバックは、授業内にLINEや学習支援システムを通して行う

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
後期授業	発音の復習	後期授業計画
計画		成績評価の方法
疑問詞	疑問詞、比較級・最上級準助動詞	Leçon 7 文法説明
「ラストダンスは私に」		Leçon 7 練習問題
不規則動詞	不規則動詞	Leçon 8 文法説明
「愛すること」		Leçon 8 練習問題
疑問代名詞・関係代名詞	疑問代名詞・関係代名詞	Leçon 9 文法説明
「愛のとりこ」		Leçon 9 練習問題
目的語代名詞・代名動詞	目的語代名詞・代名動詞	Leçon 10 文法説明
「いつものように」		Leçon 10 練習問題
複合過去・半過去	複合過去・半過去	Leçon 11 文法説明
「シェリーに口づけ」		Leçon 11 練習問題
構文練習	構文練習	Leçon 12 文法説明
「心に太陽を」		Leçon 12 練習問題
歌と文法のまとめ	フレンチ・ポップスのまとめ	後期文法のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポップ・フランセ』（杉村裕史、2009年、駿河台出版社、2500＋税）（ISBN 978-4-411-00763-6 C 1085）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

前回の授業内容から、次の授業開始時に小テストを行う。

小テストと期末試験の評価割合は50%＋50%。

小テストの合計と、期末試験の合計を100点満点に換算

して、法政大学の評価基準に応じて評価する。

毎回出席を取る。欠席は3回まで認める。

4回以上欠席すると期末試験受験の対象から外れる。

遅刻は30分まで出席にするが、小テストは授業開始時に行うので、小テストが終了していれば、受からない。

【学生の意見等からの気づき】

映像を見せて欲しいとの要望があり、適宜Youtubeなどで映像を見せていく

【学生が準備すべき機器他】

オンライン・ライブの授業ではないが、資料をオンラインで配布することがあるので、指定された時はPCを持参して欲しい。

【その他の重要事項】

辞書を持参すること。どのような辞書を推薦するかは、教室で指示する。

【Outline (in English)】

This course is designed for beginners who are learning basis French grammar and learning to sing songs of French Pops.

This course introduces French grammar, French culture and good pronunciation.

The goals of this course are to

have a good pronunciation, sing French pops, and read a French text.

Learning activities outside of classroom, after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Grading Criteria /Policies; Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination: 50%, Short reports: 50%.

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）

フランス語 2 I

2017年度以降入学者

山口 雅敏

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書に即して、フランス語の文法を初歩から学んでいく。そして、フランス語の運用能力（話す、聞く、読む、書く）の基礎づくりを目指す。また、合わせてフランス語圏の文化や社会についても学ぶ。

【到達目標】

フランス語の初歩的な日常会話や読み書きをするのに必要な初級文法（冠詞・名詞・各種形容詞・各種人称代名詞・近接未来／近接過去までの動詞の直説法・命令法など・疑問詞・比較級／最上級・非人称構文など）などを身につける。

DELF（フランス国民教育省・フランス語資格試験）の A1 レベル到達を目標とする。

仏検5級合格を目指す。

併せてフランス語圏の文化や社会に関する知識を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの各課の、フランス語の文法事項について教員がまず解説し、その文法事項に関する練習問題に学生が取り組むという流れで授業を進めていく。練習問題の答え合わせは、学生と教員との協同行う。なお、練習問題を宿題にすることもある。フランス語 1（江澤健一郎先生）と同じテキストを使用し、2名の教員がリレー方式でテキストを進めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	・授業の進め方についての説明 フランス語のアルファベット
第2回	第0課	・フランス語のつづり字の発音
第3回	第1課	・名詞の性と数 ・冠詞 ・主語人称代名詞 ・動詞 être, avoir
第4回	第1課（続き）	練習問題など。
第5回	第2課	・第一群規則動詞 ・否定文 ・疑問文
第6回	第2課（続き）	練習問題など。
第7回	第3課	・命令法 ・第二群規則動詞 ・partir ・疑問副詞
第8回	第3課	練習問題など。
第9回	第4課	・faire, prendre ・否定文における冠詞の変化 ・人称代名詞の強勢形 ・指示代名詞
第10回	第5課	・形容詞 ・所有形容詞

第11回 第6課

・aller, venir
・近接未来と近接過去
・定冠詞の縮約

第12回 第7課

・比較級
・最上級
・疑問形容詞
・vouloir, pouvoir, devoir
・非人称構文
・補語人称代名詞

第13回 第8課

第14回 春学期のまとめ

期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、授業で習った文法事項の復習を必ず行い、基本的な単語などを暗記する。宿題が出た場合には、その宿題にも取り組む。復習と宿題などで計2時間の授業外学習を行う。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・竹本研史『文法と文化で学ぶ 基礎フランス語』朝日出版社、2023年。

ISBN : 978-4-255-35339-5

定価：2300円＋税

（フランス語1と共通テキスト）

【参考書】

仏和辞典（できるだけ紙の辞書を使用することを勧める）

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（80％）＋平常点（20％）の結果を合計し、100点満点中、60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

フランス語の発音が苦手な学生が少なくないので、綴りの読み方や発音についても繰り返し練習していく。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course introduces the foundations of French grammar to students taking this course.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to understand the basic French grammar.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to read carefully the text and to work at your exercises before/after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination: 80%

in-class contribution: 20%

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語Ⅱ

2017年度以降入学者

山口 雅敏

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に続き、フランス語の初級文法を学んでいく。そして、フランス語の実践（話す、聞く、読む、話す）に必要な文法のトータルな習得を目指す。また、フランス語圏の文化や社会についても学ぶ。

【到達目標】

フランス語の基本的な日常会話や読み書きをするのに必要な初級文法（中性代名詞・疑問代名詞・複合過去／半過去・関係代名詞・強調構文・指示代名詞・現在分詞／ジェロンディフ・受動態・代名動詞・単純未来など）を身につける。

DELF（フランス国民教育省・フランス語資格試験）のA1レベル到達を目標とする。仏検4級合格を目指す。

併せて、フランス語圏の文化や社会に関して理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの各課の、フランス語の文法事項について教員がまず解説し、その文法事項に関する練習問題に学生が取り組むという流れで授業を進めていく。練習問題の答え合わせは、学生と教員との協同行う。なお、練習問題を宿題にすることもある。フランス語1（江澤健一郎先生）と同じテキストを使用し、2名の教員がリレー方式でテキストを進めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第9課	・ 中性代名詞 ・ 疑問代名詞
第2回	第10課	・ 複合過去
第3回	第11課	・ 関係代名詞 ・ 強調構文 ・ 指示代名詞
第4回	第12課	・ 現在分詞 ・ ジェロンディフ
第5回	第12課（続き）	・ 受動態
第6回	第13課	・ 代名動詞（現在）
第7回	第13課（続き）	練習問題など。
第8回	第14課	・ 代名動詞（複合過去）
第9回	第15課	・ 半過去 ・ 単純未来
第10回	Appendice(1)	・ 大過去 ・ 前未来
第11回	Appendice(2)	・ 条件法現在 ・ 条件法過去
第12回	Appendice(3)	・ 接続法現在 ・ 接続法過去
第13回	秋学期の文法の総復習	期末テストにむけての準備
第14回	秋学期のまとめ	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、授業で習った文法事項の復習を必ず行い、基本的な単語などを暗記する。宿題が出た場合には、その宿題にも取り組む。復習と宿題などで計2時間の授業外学習を行う。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・竹本研史『文法と文化で学ぶ 基礎フランス語』、朝日出版社、2023年。

ISBN：978-4-255-35339-5

定価：2300円＋税

（フランス語1と共通テキスト）

【参考書】

仏和辞典（できるだけ紙の辞書を使用することを勧める）

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（80％）＋平常点（20％）を合計し、100点満点中、60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

フランス語の発音が苦手な学生が少なくないので、綴りの読み方や発音についても繰り返し練習していく。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course introduces the foundations of French grammar to students taking this course.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to understand the basic French grammar.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to read carefully the text and to work at your exercises before/after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination: 80%

in-class contribution: 20%

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 2 I

2017年度以降入学者

山口 雅敏

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語を使って初歩的な会話ができるようになるように、フランス語の基本的な表現を中心に学習していく。

【到達目標】

フランス語で挨拶をする、自己紹介するなどの、初歩的な表現を身につけていく。簡単な会話であれば、ある程度できるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

フランス語の基本的な表現の発音を確認した後、反復練習をする。適宜、ペアやグループになって会話の練習も行ってもらう。また、随時、フランス語の聞き取りテストを行い、正誤を確認した上で返却する。なお、授業内容に関する質問などは、授業内で受け付ける。また、メールでも受け付ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	0-1 イントロダクション	アルファベット
2	0-2 挨拶をする	綴り字記号、主な発音の規則 フランス語で挨拶をする
3	0-3 名前を言う、尋ねる	名前の尋ね方、答え方 数字 1 = 1 0 フランス基本情報
4	1-1 自己紹介	自己紹介をする 国籍を尋ねる、言う 職業を尋ねる、言う 出身地を言う
5	1-2 会話「初対面の挨拶」	初対面の人と会話する 日本語とフランス語 練習問題
6	2-1 話せる言語を言う	話せる言語を言う 学んでいることを言う 住んでいるところ言う
7	2-2 会話「話せる言語などについて話す」	話せる言語などを尋ねる、答える フランス語と英語 練習問題
8	3-1 家族構成を言う	家族構成を言う、尋ねる 年齢を言う、尋ねる 数字 11 ~ 29
9	3-2 家族構成などについて話す	家族構成を言う、尋ねる マルシェについて 練習問題
10	4-1 好みを言う	好みを尋ねる、答える
11	4-2 好みについて話す	好みについて会話する パリの区について 練習問題

12	5-1 食事の話をする	食べるものを言う
13	5-2 食べものを話題にする	食べ物について会話する フランスの地域圏 練習問題
14	最後のまとめ	総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で習ったフランス語の表現を確実に覚えて、正確に発音できるようにする。予習復習の時間は各2時間とする。

【テキスト（教科書）】

『アンコール サリュ 1』田辺保子、西部由里子著 駿河台出版社 2750円

【参考書】

仏和辞典（どこの出版社のものでも可）

【成績評価の方法と基準】

随時行う小テストの点数（80%）と、平常点（20%）を合わせて100点満点とし、60点以上で合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

フランス語の発音が難しいという意見をよく聞くので、抵抗感なく発音できるように工夫したいと思う。

【Outline (in English)】

Course outline

In order to be able to conduct elementary conversation using French, we will learn mainly French basic expressions.

Learning objectives

The goal is to be able to say hello and introduce yourself in French.

Learning activities outside of classroom

Students will definitely remember the French expressions they learned in class and practice to pronounce them correctly. The study time outside the class is about two hours.

Grading criteria

The score of several quizzes and the normal score are combined to give a maximum of 100 points, and a score of 60 or more is passed.

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語Ⅱ

2017年度以降入学者

山口 雅敏

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語を使って初歩的な会話ができるようになるように、フランス語の基本的な表現を中心に学習していく。

【到達目標】

フランス語で買い物をするときや、友人と話すときなどに使う初歩的な表現を身につけていく。簡単な会話であれば、ある程度できるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

フランス語の基本的な表現の発音を確認した後、反復練習をする。適宜、ペアやグループになって会話の練習も行ってもらう。また、随時、フランス語の聞き取りテストを行い、正誤を確認した上で返却する。

なお、授業内容に関する質問などは、授業内に受け付ける。また、メールでも質問を受け付ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	6-1	人を描写する
	人・ものを描写する	ものを描写する
2	6-2	家族について話す
	人について会話する	カフェについて 練習問題
3	7-1	時刻を尋ねる、言う
	時刻を言う	
4	7-2	時刻などについて会話する
	時刻や持ち物について話す	フランスの花について 練習問題
5	8-1	どこへ行くのかを尋ねる、言う
	行く場所を言う	出身地を言う
6	8-2	行く場所について会話する
	行く場所について話す	フランスの教育制度について 練習問題
7	9-1	近い未来と近い過去のことを言う
	近い未来・近い過去	
8	9-2	近い未来と近い過去を使って会話する
	近い未来と近い過去について話す	フランスの祝日について 練習問題
9	10-1	理由を尋ねる、答える
	理由を尋ねる	数量・人数を尋ねる、答える
10	10-2	ヴァカンスについて会話する
	ヴァカンスについて話す	クリスマスについて 練習問題
11	11	命令の表現をする
	命令表現 道を尋ねる	場所を尋ねる、答える フランスの道路と番地について 練習問題

12	12	代名動詞を使った表現を使って話す
	代名動詞を使って話す	話す フランコフォニー 練習問題
13	13	複合過去を使って会話する
	複合過去を使って話す	マンガ、ジャポニスム 練習問題
14	14	半過去を使って会話する
	半過去を使って話す	複言語主義 練習問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で習ったフランス語の表現を確実に覚えて、正確に発音できるようにする。予習復習の時間は各2時間とする。

【テキスト（教科書）】

『アンコール サリュ1』田辺保子、西部由里子著 駿河台出版社 2750円

【参考書】

仏和辞典（どこの出版社のものでも可）

【成績評価の方法と基準】

随時行う口頭テストの評価（80%）と、平常点（20%）を合わせて100点満点とし、60点以上で合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

フランス語の発音が難しいという意見をよく聞くので、抵抗感なく発音できるように工夫したいと思う。

【Outline (in English)】

Course outline

In order to be able to conduct elementary conversation using French, we will learn mainly French basic expressions.

Learning objectives

The goal is to be able to have simple daily conversation in French.

Learning activities outside of classroom

Students will definitely remember the French expressions they learned in class and practice to pronounce them correctly. The study time outside the class is about two hours.

Grading criteria

The score of several quizzes and the normal score are combined to give a maximum of 100 points, and a score of 60 or more is passed.

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）	
フランス語 2 I	2017年度以降入学者
石川 典子	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月 5/Mon.5	
単位数：1 単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初学者を対象とした会話表現の授業です。フランス語の運用練習を通じて、フランス語を身近に感じ、同時にフランスの文化についての理解を深めることを目指します。恥ずかしがらずに声を出し、フランス語での発話・表現を積極的に行いましょう。

【到達目標】

フランス語であいさつできるようになる。
フランス語で自己紹介できるようになる。
フランス語で簡単な日常会話ができるようになる。
フランス語で身の回りの人物を描写することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「フランス語1」（担当：大中一彌先生）の授業で学んだ文法事項を基に、フランス語会話の実践演習を行います。進度によっては、「フランス語1」の教科書を使用して文法事項の確認を行うことがあります。授業の進行方法については、初回授業でガイダンスを行います。学生からの質問には、授業時間内または授業支援システムを通じてフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・intro	挨拶をする 自分の名前を言う 名前などの綴りを言う
第2回	Leçon 1	自己紹介をする 名前を聞く
第3回	Leçon 1	名前、職業、出身、国籍を言う 数字（1～10）
第4回	Leçon 2	人について描写する 年齢を言う 数字（11～20）
第5回	Leçon 3	職業を聞く 話せる言語を聞く 好きなことを聞く
第6回	Leçon 3	住んでいる所、勉強について質問する
第7回	中間試験	これまでの確認と演習問題
第8回	Leçon 4	自分の好みについて話す 他人の好みについて聞く
第9回	Leçon 4	意見を言う 数字（20～69）
第10回	Leçon 5	家族について話す 数字（60～99）
第11回	Leçon 5	理由を言う、尋ねる 何かについて肯定的・否定的に話す
第12回	Leçon 6	物の位置を言う 物の位置を聞く

第13回	Leçon 7	物を描写する 物の位置を聞く 物の色を聞く 着ている物について話す これまでの応用演習
第14回	期末試験	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。特に文法事項の確認に力を入れてください。授業で学んだことを未消化のまま次週に持ち越さないようにしましょう。自宅でも声を出して練習することが大切です。その際は、付属の音声ファイルや教科書専用ウェブサイトを活用してください。

【テキスト（教科書）】

『フランス語の方法—コミュニケーションと文法の基礎—（三訂版）』
Vincent Durrenberger 著、駿河台出版社、2024年、2600円+税

【参考書】

参考書は指定しませんが、授業中に必要に応じて紹介します。また、語学学習ツール「Duolingo」の利用を推奨します。

【成績評価の方法と基準】

授業内での毎回の取り組み25%、中間試験25%、期末試験50%で総合的に評価します。
4回以上の欠席は評価の対象外とします。

【学生の意見等からの気づき】

ロールプレイングやグループワークなどの授業内アクティビティを中心に、生きたフランス語の運用を目指します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書については、電子辞書、紙の辞書のいずれでも構いませんが、手元に用意しておくと便利です。授業の復習にぜひ活用してください。学習支援システム「Hoppii」を通じて音声録音ファイルを提出していただく場合があります。スマートフォン、タブレット、パソコンなどで対応可能ですが、授業外でもその機器に接続できるよう準備しておいてください。

【その他の重要事項】

期末試験のやむを得ない事情による未受験については、学内の規定に従い、申告された場合のみ対応します。
授業中に生成AIや機械翻訳を使用した場合は、減点の対象となります。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who are beginning their study of French. Students will learn basic expressions and vocabulary, enabling them to speak about themselves in French by the end of the course.

After each class, students are expected to dedicate two hour to reviewing the material. Repeating the learned expressions aloud is an effective method of practice.

Grading will be based on attendance (25%), a mid-term examination (25%), and a term-end examination (50%).

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）

フランス語Ⅱ

2017年度以降入学者

石川 典子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初学者を対象とした会話表現の授業です。先学期に引き続き、フランス語の運用練習を通じて、フランス語を身近に感じ、フランスの文化についての理解を深めることを目指します。恥ずかしがらずに声を出し、フランス語を使うことを楽しんでみましょう。

【到達目標】

フランス語で過去のことについて話せるようになる。
フランス語で近い未来のことについて話せるようになる。
日常生活レベルのフランス語が話せるようになる。
実用フランス語技能検定試験では、5級レベルへの到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「フランス語1」（担当：大中一彌先生）で学んだ文法事項を基に、フランス語会話の実践演習を行います。進度に応じて、「フランス語1」の教科書を用いて文法事項の確認を行うことがあります。学生からの質問には、授業時間内または授業支援システムを通じてフィードバックを行います。また、フランス語を聞き、理解する力の向上にも取り組みます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	アイスブレイク	春学期の復習
第2回	Leçon 8	物の位置関係を言う
第3回	Leçon 9	カフェで注文する 市場、パン屋などで買い物を する 数字（100～1000）
第4回	Leçon 10	食生活について話す 統計について話す
第5回	Leçon 11	国について話す 天気を言う
第6回	Leçon 12	誰が、どこへ、いつ、なぜ、ど うやって行くか言う
第7回	Leçon 12	道を尋ねる
第8回	中間試験	これまでの確認と演習問題
第9回	Leçon 13	時刻を言う 電車の切符を買う
第10回	Leçon 14	1日にすることを話す（現在形）
第11回	Leçon 14	何かを提案する、誘いを受ける、 断る
第12回	Leçon 15	1日にしたことを話す（avoirを 用いた複合過去形）
第13回	Leçon 15	1日にしたことを話す（êtreを 用いた複合過去形）
第14回	期末試験	これまでの演習問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。特に文法事項の確認に力を入れてください。授業で学んだことを未消化のまま次週に持ち越さないようにしましょう。自宅でも声を出して練習することが大切です。その際は、付属の音声ファイルや教科書専用ウェブサイトを活用してください。

【テキスト（教科書）】

『フランス語の方法—コミュニケーションと文法の基礎—（三訂版）』
Vincent Durrenberger 著、駿河台出版社、2024年、2600円+税

【参考書】

参考書は指定しませんが、授業中に必要に応じて紹介します。また、語学学習ツール「Duolingo」の利用を推奨します。

【成績評価の方法と基準】

授業内での毎回の取り組み25%、中間試験25%、期末試験50%で総合的に評価します。

4回以上の欠席は評価の対象外とします。

【学生の意見等からの気づき】

ロールプレイングやグループワークなどの授業内アクティビティを中心に、生きたフランス語の運用を目指します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書については、電子辞書、紙の辞書のいずれでも構いませんが、手元に用意しておくとう便利です。授業の復習にぜひ活用してください。学習支援システム「Hoppii」を通じて音声録音ファイルを提出していただく場合があります。スマートフォン、タブレット、パソコンなどで対応可能ですが、授業外でもその機器に接続できるよう準備しておいてください。

【その他の重要事項】

期末試験のやむを得ない事情による未受験については、学内の規定に従い、申告された場合のみ対応します。

授業中に生成AIや機械翻訳を使用した場合は、減点の対象となります。

【Outline (in English)】

This course is a continuation of my French course from the spring. It is designed for students who are beginning to study French. Students will learn basic expressions and vocabulary, and by the end of the course, they will be able to express themselves in French.

After each class, students are expected to spend two hour reviewing the material. Repeating the learned expressions aloud is an effective method.

Grading will be based on attendance (25%), a mid-term examination (25%), and a term-end examination (50%).

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 2 I

2017年度以降入学者

寺家村 博

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスはフランス語運用能力を養うことを目的としています。とりわけ基礎的なフランス語を「話す力」、「聞く力」をバランスよく、着実に身につけていきます。

【到達目標】

まずフランス語の読み方に慣れることから始め、簡単な日常会話での表現、基本動詞を用いた会話のための文章作成を学んでいきます。これにより学生みなさんは日常の様々な場面において使用できるフランス語の表現と文章を会話に取り入れていくことが出来るようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業である場合には演習形式で進めていきます。授業中に学習した表現等を用いて、簡単なフランス語を用いて会話をおこなっていきます。同時にリスニングにも注力していきます。また場合によっては対面授業と遠隔授業を組み合わせた形の授業になることもあります。なお小テストは原則対面授業中に実施予定です。テストの範囲は予め伝えます。テストのフィードバックはテスト終了後、同一時間内におこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	フランス語の読みと発音	母音字と子音字の基本的な読み方を学習します
2回	フランス語の読みと発音	鼻母音と注意する必要がある子音を集中的に学習します
3回	フランス語の文章の読み	第1回、2回の授業で学習した内容をふまえて、フランス語の文章を正しく読めるようにしていきます
4回	簡単な表現	ごく簡単な挨拶の表現を学習し、主語人称代名詞を覚えます
5回	冠詞や前置詞	定冠詞と日常よく用いる前置詞を学習し、会話の中で使っていきます
6回	基本動詞の一つを学ぶ	Etre 動詞を学び、様々な会話のバリエーションに用いていきます
7回	疑問文の作り方	3種類の疑問の形を覚え、簡単な疑問文の作成と答え方を学びます
8回	疑問副詞と名前を言う表現	場所をたずねる疑問の形と名前を答える表現などを学びます
9回	2つの冠詞と否定形	不定冠詞と部分冠詞の用法を学び、これを用いた会話文の作成をします。また否定の形もあわせて学習します。
10回	基本動詞の使い方	Avoir 動詞を学び、この動詞を用いた様々な表現を用いて会話を行います

11回	否定のバリエーション	様々な否定の表現を学習し、文章を作成してみます
12回	第1群規則動詞	規則動詞の活用を練習し、会話の中で使えるようにします
13回	指示形容詞	前回の復習で規則動詞を用いた会話の練習と指示形容詞の用法を学習します
14回	前期の振り返りと解説	前期に学習した内容をテストの形式でチェックし、その後、解説をしていきます

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ほぼ毎回復習のための課題をだします。また次回の授業のために必要な語彙や表現を予めまとめておいていただきます。予習と復習をあわせて約120分を必要とします。

【テキスト（教科書）】

『ヌーヴォー！』小倉博史、朝日出版社、2015年

【参考書】

とくに指定はしません

【成績評価の方法と基準】

中間テスト20%、期末テスト60%、小テスト及び課題20%程度

【学生の意見等からの気づき】

課題や小テストの量と機会を増やしていきたい。

【その他の重要事項】

授業形態（対面、オンデマンド授業）はCOVID-19の感染状況により変更になる場合もあるが、原則対面でおこないます。

【Outline (in English)】

The aim of this class is to help students acquire an ability for elementary French conversation and hearing.

By the end of this course, students should be able to the followings:

1 acquisition of a wide French vocabulary and expression

2 acquisition of an ability for French everyday conversation

Before /after class, student will be expected to spend 2 hours to understand the course content (reading the textbook, doing the homework)

Final grade will be calculated on

Mid-term report 30%, Term-end examination 50%and in-class contribution,

short examination (including homework) 20%.

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）

フランス語Ⅱ

2017年度以降入学者

寺家村 博

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスでは引き続き初歩のフランス語の「話す力」と「聞く力」をつけていきます。

【到達目標】

学生はこのクラスを履修することで、フランス語Ⅱ1に引き続いてフランスでの日常会話に必要な表現や語句を覚えてき、様々な生活場面でフランス語での表現が出来るようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業である場合は演習形式で授業を進めていきます。フィードバックは原則授業内におこなっていきます。なお、小テストを実施する折は予め範囲などは伝え、翌週に返却するときに解説します。なお学期末のテスト等に関してはテスト実施の同一時間内に解説をする予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	所有形容詞と場所の前置詞	所有形容詞の用法を学び、それを会話の中で使っていきます。また場所の前置詞も覚えます。
2回	品質形容詞と疑問形容詞	形容詞の基本的な使い方と疑問形容詞の用法を学び、会話の中で使ってみます。
3回	年齢の表現、数詞と命令形	年齢を訪ねる表現と数の表現を学び、実際に会をしてみます。また命令形の用法も学習します。
4回	時間や天気の表現	時間をたずね、それに答える表現を学びます。
5回	形容詞と副詞の比較級、最上級	比較級と最上級の用法を学び、会話の中で文章を作成していきます。
6回	単純未来と近接未来	2つの未来形の形を学習し、実際に会話で使ってみます。
7回	疑問代名詞	「ひと」と「もの」をたずねる疑問代名詞を学び、質問に的確に答えられるようにします。
8回	複合過去形（1）と近接過去	2つの過去形の形と用法を学びます。そして実際に会話のなかで使ってみます。
9回	複合過去形（2）	前回は引き続き複合過去形を学習し、会話での使用を更に進めていきます。
10回	曜日、月、四季の表現。	7曜日、12カ月そして四季の言い方を学び、正しく発音できると同時に書けるようにする。
11回	直説法半過去	半過去の用法を学び、複合過去との使い分けを意識しながら、会話の中で表現してみる。

12回	条件法現在	主として会話で用いる「丁寧な表現」としての条件法を学び、会話の中で使ってみる。
13回	不規則動詞	代表的な不規則動詞の活用を覚え、会話の中で使ってみる。
14回	振り返りと解説	学期末テスト実施し、その後解説する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ほぼ毎回復習のための課題を出します。記述式のものとなる予定です。70分程度の学習時間が必要となります。

【テキスト（教科書）】

フランス語ⅡIのテキストを継続使用します。

【参考書】

とくに指定はしません。

【成績評価の方法と基準】

中間テスト20%、期末テスト60%、課題の提出及び小テスト20%程度

【学生の意見等からの気づき】

会話の小テストを適宜実施していく。

【その他の重要事項】

授業形態（対面授業、オンライン授業）はCOVID-19の感染状況により変更となる場合もあるが、原則対面で実施する。

【Outline (in English)】

The aim of this class is to help students acquire an ability for elementary French conversation and hearing.

By the end of this course, students should be able to the followings:

1 acquisition of a large French vocabulary and expression

2 acquisition of a ability for a French everyday conversation

Before /after class, student will be expected to spend 2 hours to understand the course content (reading the textbook, doing the homework)

Final grade will be calculated on Mid-term report 30%, Term-end examination 50%and in-class contribution, short examination (including homework)20%

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語(1) I2017年度以降入学者

南 玲子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ベアの授業である「フランス語（2）」と同一の教科書（『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』）を用いて、フランス語の初級文法を学びます。時間の許す限り、フランス語圏の文化や社会に関する情報を紹介します。

【到達目標】

フランス語の初級文法を身につけ、フランス語を正しく発音できるようになることを目標とします。実用フランス語技能検定試験（仏検）5級レベル到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・文法項目の説明につづけて練習問題を解き、その解説を行います。関連する練習問題を宿題とし、復習の機会として活用します。
- ・毎回の授業の始めに、小テストを実施します。
- ・小テストのフィードバックは、紙に書き込んだものを次回の授業で返却するという形を原則とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 0	フランス語のつづり字の発音
2	Leçon 1	名詞の性と数 定冠詞／不定冠詞／部分冠詞
3	Leçon 1	主語人称代名詞 動詞 être、avoir
4	Leçon 2	er動詞の現在形 否定文と疑問文
5	Leçon 3	ir動詞の現在形 命令法
6	Leçon 3	動詞 partir 疑問副詞
7	Leçon 4	動詞 faire, prendre 否定文における冠詞の変化
8	Leçon 4	人称代名詞の強勢形 指示形容詞
9	Leçon 5	形容詞の位置と性・数 所有形容詞
10	Leçon 6	動詞 aller と venir の現在形 近接未来／近接過去 定冠詞の縮約
11	Leçon 7	比較級、最上級 疑問形容詞 動詞 vouloir, pouvoir, devoir
12	Leçon 8	非人称構文 補語人称代名詞
13	Leçon 9	中性代名詞 疑問代名詞
14	期末試験	筆記試験と総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・宿題と次回小テストの準備を含めて、毎授業後に必ず復習をしましょう。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

・教科書に付属する音声ファイルをダウンロードし、授業で学習した箇所の音声を繰り返し聞き、発音練習を行う習慣をつけましょう。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・竹本研史『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』朝日出版社、2023年

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点25％、小テスト25％、期末試験50％

【学生の意見等からの気づき】

説明の際、聞きやすい速度を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

- ・仏和辞書（紙の辞書、電子辞書、有料辞書アプリのいずれも可）を準備する必要があります。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。
- ・ネット上の無料辞書・翻訳アプリは使用不可。

【その他の重要事項】

「授業計画」に記している進捗と各回の授業内容は、クラスの状況により変更することもあり得ます。

【Outline (in English)】

This course is designed for beginners who are learning basic French grammar.

The goal of this course is to obtain the level A1 of CEFR.

Before each class, students will be expected to have done their homework.

Their required study time is at least one hour for each class.

The overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）

フランス語(1)Ⅱ

2017年度以降入学者

南 玲子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ベアの授業である「フランス語（2）」と同一の教科書（『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』）を用いて、フランス語の初級文法を学びます。時間の許す限り、フランス語圏の文化や社会に関する情報を紹介します。

【到達目標】

フランス語の初級文法を身につけ、フランス語を正しく発音できるようになることを目標とします。実用フランス語技能検定試験（仏検）4級レベル到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・文法項目の説明につづけて練習問題を解き、その解説を行います。関連する練習問題を宿題とし、復習の機会として活用します。
- ・毎回の授業の始めに、小テストを実施します。
- ・小テストのフィードバックは、紙に書き込んだものを次の授業で返却するという形を原則とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期の学習事項の復習
2	Leçon 10	複合過去
3	Leçon 11	関係代名詞／強調構文
4	Leçon 11	指示代名詞
	Leçon 12	現在分詞／ジェロンディフ
5	Leçon 12	受動態
	Leçon 13	代名動詞（現在形）
6	Leçon 14	代名動詞（複合過去形）
7	Leçon 14	所有代名詞
		疑問代名詞（2）
8	Leçon 15	半過去
9	Leçon 15	単純未来
10	Appendice 1	大過去
		前未来
11	Appendice 2	条件法
12	Appendice 3	接続法
13	総復習	確認問題
14	期末試験	筆記試験と総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・宿題と次回小テストの準備を含めて、毎授業後に必ず復習をしましょう。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
・教科書に付属する音声ファイルをダウンロードし、授業で学習した箇所の音声を繰り返し聞き、発音練習を行う習慣をつけましょう。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・竹本研史『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』朝日出版社、2023年

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点25%、小テスト25%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

説明の際、聞きやすい速度を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

- ・仏和辞書（紙の辞書、電子辞書、有料辞書アプリのいずれも可）を準備する必要があります。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。
- ・ネット上の無料辞書・翻訳アプリは使用不可。

【その他の重要事項】

「授業計画」に記している進捗と各回の授業内容は、クラスの状況により変更することもあり得ます。

【Outline (in English)】

This course is designed for beginners who are learning basic French grammar.

The goal of this course is to obtain the level A1 of CEFR.

Before each class, students will be expected to have done their homework.

Their required study time is at least one hour for each class.

The overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）		
フランス語(2) I		2017年度以降入学者
江澤 健一郎		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水4/Wed.4		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ベアの授業である「フランス語1」と同一の教科書（『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』）を用いて、フランス語の初級文法を学びます。時間の許す限り、フランス語圏の文化や社会に関する情報を紹介します。

【到達目標】

フランス語の初級文法を身につけ、フランス語を正しく発音できるようになることを目標とします。実用フランス語技能検定試験（仏検）5級レベル到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・文法項目を説明した後、練習問題を解き、その解説を行います。
- ・定期的に小テストを実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 0	フランス語のつづり字の発音
2	Leçon 1	名詞の性と数 定冠詞／不定冠詞／部分冠詞
3	Leçon 1	主語人称代名詞 動詞 être、avoir
4	Leçon 2	er 動詞の現在形 否定文と疑問文
5	Leçon 3	ir 動詞の現在形 命令法
6	Leçon 3	動詞 partir 疑問副詞
7	Leçon 4	動詞 faire, prendre 否定文における冠詞の変化
8	Leçon 4	人称代名詞の強勢形 指示形容詞
9	Leçon 5	形容詞の位置と性・数 所有形容詞
10	Leçon 6	動詞 aller と venir の現在形 近接未来／近接過去 定冠詞の縮約
11	Leçon 7	比較級、最上級 疑問形容詞
12	Leçon 8	動詞 vouloir, pouvoir, devoir 非人称構文
13	Leçon 9	補語人称代名詞 中性代名詞
14	期末試験	疑問代名詞 筆記試験と総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・宿題の文法練習問題に必ず取り組むこと。
 - ・教科書に付属する音声ファイルをダウンロードし、授業で学習した箇所の音声を繰り返し聞き、発音練習を行うこと。
- 本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・竹本研史『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』朝日出版社、2023年

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50％）と小テスト（50％）の点数を基準にして評価します。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に合わせ、教科書以外の練習問題を追加します。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書（紙の辞書、電子辞書のどちらでも可）を準備する必要があります。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。

【その他の重要事項】

「授業計画」に記している進捗と各回の授業内容は変更することもあり得ます。

【Outline (in English)】

This course is designed for beginners who are learning basic French grammar.

The goal of this course is to obtain the level A1 of CEFR.

Before each class, students will be expected to have done their homework.

Their required study time is at least one hour for each class.

The overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語(2)Ⅱ

2017年度以降入学者

江澤 健一郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ベアの授業である「フランス語1」と同一の教科書（『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』）を用いて、フランス語の初級文法を学びます。時間の許す限り、フランス語圏の文化や社会に関する情報を紹介します。

【到達目標】

フランス語の初級文法を身につけ、フランス語を正しく発音できるようになることを目標とします。実用フランス語技能検定試験（仏検）4級レベル到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・文法項目を説明した後、練習問題を解き、その解説を行います。
- ・定期的に小テストを実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期の学習事項の復習
2	Leçon 10	複合過去
3	Leçon 11	関係代名詞／強調構文
4	Leçon 11	指示代名詞
5	Leçon 12	現在分詞／ジェロンディフ
5	Leçon 12	受動態
	Leçon 13	代名動詞（現在形）
6	Leçon 14	代名動詞（複合過去形）
7	Leçon 14	所有代名詞
		疑問代名詞（2）
8	Leçon 15	半過去
9	Leçon 15	単純未来
10	Appendice 1	大過去
		前未来
11	Appendice 2	条件法
12	Appendice 3	接続法
13	総復習	確認問題
14	期末試験	筆記試験と総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・宿題の文法練習問題に必ず取り組むこと。
 - ・教科書に付属する音声ファイルをダウンロードし、授業で学習した箇所の音声を繰り返し聞き、発音練習を行うこと。
- 本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・竹本研史『文法と文化で学ぶ基礎フランス語 Apprenons les bases du français』朝日出版社、2023年

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50％）と小テスト（50％）の点数を基準にして評価します。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に合わせ、教科書以外の練習問題を追加します。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書（紙の辞書、電子辞書のどちらでも可）を準備する必要があります。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。

【その他の重要事項】

「授業計画」に記している進捗と各回の授業内容は変更することもあります。

【Outline (in English)】

This course is designed for beginners who are learning basic French grammar.

The goal of this course is to obtain the level A1 of CEFR.

Before each class, students will be expected to have done their homework.

Their required study time is at least one hour for each class.

The overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）	
フランス語 1	2017年度以降入学者
岡村 民夫	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：木3/Thu.3
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語2およびフランス語5（ネイティヴ教員）とトリオの科目です。初修フランス語学習者を対象とし、フランス語初級文法を体系的に学びます。

【到達目標】

SAアンジェでの学習や生活に備え、春 semester 終了時にはフランス語実用技能検定試験（仏検）5級合格に相当する語学力の習得をめざします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

フランス語2と同じテキストを使い、リレーしながら、主にフランス語の初級文法を学習をします。また、できる範囲でフランス語圏の文化を紹介します。
宿題や小テストに関するフィードバックは授業やhoppiiを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 0	-導入 フランス語の綴りと発音
2	Leçon 1 ①	-名詞の性と数 -冠詞動詞(定冠詞/不定冠詞)
3	Leçon 1 ②	-主語人称代名詞 -動詞 être -動詞 avoir
4	Leçon 2 ①	-第一群規則動詞(er動詞)
5	Leçon 2 ②	-否定文 -疑問文
6	Leçon 3 ①	-命令法 -第二群規則動詞(ir動詞)
7	Leçon 3 ②	-動詞 partir -疑問副詞
8	Leçon 4 ①	-動詞 faire -動詞 prendre -否定文における冠詞の変化
9	Leçon 4 ②	-人称代名詞の強勢形 -指示形容詞
10	Leçon 5 ①	-形容詞の位置と性・数 -形容詞の女性形、複数形の不規則なかたち① -非人称構文 -補語人称代名詞（直接目的補語・間接目的補語）
11	Leçon 5 ②	-形容詞の女性形、複数形の不規則なかたち② -所有形容詞 -動詞 aller と revenir -近接未来と近接過去 -定冠-中性代名詞 -疑問代名詞 ①

12	Leçon 6 ①	-動詞 aller と revenir -近接未来と近接過去 -定冠詞の縮約 -être 型か avoir 型か -用法
13	Leçon 6 ②	-定冠詞の縮約
14	期末試験	-期末テストの実施 -答えあわせ -補習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず復習を行いましょう。本授業の復習時間は1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・竹本研史『Apprenons les bases du français（文法と文化で学ぶ基礎フランス語）朝日出版社、2023年、定価2530円

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（宿題や小テストを含む）50%

期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

授業内で答え合わせができなかった宿題に関してはhoppiiを通じて正答表か添削を配布します。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This course is designed for beginners who are learning elementary French grammar.

【Learning Objectives】 Aptitude of DAPF Grade 5

【Learning activities outside of classroom】 After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】 Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）

フランス語3

2017年度以降入学者

岡村 民夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語4、フランス語6（ネイティヴ教員）、フランス語コミュニケーション1とカルテットの科目です。フランス語1から引き続き、フランス語初級文法を体系的に学びます。

【到達目標】

SAアンジェでの学習と生活に備え、仏検4級合格に相当する語学力の習得をめざします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

フランス語4と同じテキストを使い、リレーしながら、主に初級文法を学習します。また、できる範囲でフランス語圏の文化を紹介します。

宿題や小テストのフィードバックは授業やhoppiiを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 7 ①	-形容詞・副詞の比較級 -形容詞・副詞の最上級
2	Leçon 7 ②	-疑問形容詞 -動詞 vouloir, pouvoir, devoir
3	Leçon 8 ①	-非人称構文
4	Leçon 8 ②	-補語人称代名詞 -受動態-代名動詞（現在）-代名動詞（複合過去）
5	Leçon 9 ①	-中性代名詞
6	Leçon 9 ②	-疑問代名詞①
7	Leçon 10 ①	-複合過去①
8	Leçon 10 ②	-複合過去②
9	Leçon 11 ①	-関係代名詞
10	Leçon 11 ②	-強調構文 -指示代名詞
11	Leçon 12 ①	-現在分詞 -ジェロンディフ
12	Leçon 12 ②	-受動態
13	期末試験	-期末試験の実施
14	まとめ	-期末試験の返却 -補習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず復習を行いましょ。本授業の復習時間は1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・竹本研史『Apprenons les bases du français（文法と文化で学ぶ基礎フランス語）朝日出版社、2023年、定価2530円

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（宿題や小テストを含む）50%

期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

授業内で答え合わせができなかった宿題に関してはhoppiiを通じて正答表か添削を配布します。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This course is designed for beginners who are learning elementary French grammar.

【Learning Objectives】 Aptitude of DAPF Grade 4

【Learning activities outside of classroom】 After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】 Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）	
フランス語 2	2017年度以降入学者
廣松 勲	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月3/Mon.3	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「フランス語 1（日本人教員）」と共通の教科書を用いて、SA アンジェへの参加を前提に、フランス語の文法事項を中心にして学びます。「フランス語 5（フランス人教員）」とも連携し、進度などを情報共有します。

フランス語の主要な文法事項の全体像を見渡しつつ、多くの練習問題を解きながらその仕組みを理解できるようになります。また、発音やイントネーションに意識できるようになるために、音声・映像教材なども補足的に利用します。

【到達目標】

SA先のフランス（アンジェ）で生活し、学校で学ぶために必要な知識と技能を身に着けることを大きな目標とします。

連携する「フランス語 1」と「フランス語 2」は、特に文法事項に注目しつつ、辞書を用いて簡単な文章を読み・書きできることを目指します。同時に、聞き・話す訓練も適宜取り入れることで、初歩的な口頭表現ができるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書『Apprenons les bases du français』を2人の教員がリレーして担当します。この教科書を1年の春・秋および2年の春（3つのセメスター）で終わらせます。

発音や聞き取りの訓練や模擬会話も、できる限り行います。皆さんは関連する課題を学習支援システム上で提出することになります。提出された課題については、添削した上で、学習支援システムを通じて返却します。学期末には最終試験を実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 0 フランス語のつづり 字の発音	・授業の導入 ・アルファベットの読み方など ・フランス語版のキーボード配列
2	Leçon 1 ① 名詞の性と数、冠詞、 主語人称代名詞、動 詞 être、動詞 avoir	・名詞の性と数 ・冠詞 ・発音訓練
3	Leçon 1 ② 名詞の性と数、冠詞、 主語人称代名詞、動 詞 être、動詞 avoir	・主語人称代名詞 ・être/avoirの直説法現在の活用
4	Leçon 2 ① 第一群規則動詞、否 定文、疑問文	・第一群規則動詞（ER動詞）の 直説法現在の活用
5	Leçon 2 ② 第一群規則動詞、否 定文、疑問文	・否定文と疑問文 ・発音訓練
6	Leçon 3 ① 命令法、第二群規則 動詞、動詞 partir、 疑問副詞	・命令法 ・第二群規則動詞（IR動詞）の 直説法現在の活用

7	Leçon 3 ② 命令法、第二群規則 動詞、動詞 partir、 疑問副詞	・ partir ・疑問副詞 ・発音訓練
8	Leçon 4 ① faire /prendre、否 定文における冠詞の 変化、人称代名詞の 強勢形、指示形容詞	・ faire /prendreの直説法現在の 活用 ・ 否定の de
9	Leçon 4 ② faire /prendre、否 定文における冠詞の 変化、人称代名詞の 強勢形、指示形容詞	・ 人称代名詞の強勢形 ・ 指示形容詞 ・ 発音訓練
10	Leçon 5 ① 形容詞の位置と性・ 数、所有形容詞	・ 形容詞の位置と性数一致
11	Leçon 5 ② 形容詞の位置と性・ 数、所有形容詞	・ 所有形容詞の位置と性数一致 ・ 発音訓練
12	Leçon 6 ① 動詞 aller と venir、 近接未来と近接過去、 定冠詞の縮約	・ aller /venirの直説法現在の 活用 ・ 近接未来と近接過去
13	Leçon 6 ② 動詞 aller と venir、 近接未来と近接過去、 定冠詞の縮約	・ 定冠詞の縮約 ・ 発音訓練
14	学期末試験	・ 学期末試験を実施 ・ 学習事項に関する質疑応答 ・ 休暇中に学習するべき点の説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業の予習・復習は欠かさないようにしてください。新しく出てきた単語は、自分自身でまとめて単語帳などを作成しておきましょう。音声についても単に聞くだけでなく、自分でも発音するように心がけてください。

教科書の文化面は確りと読み込み（補足説明あり）、さらに現在のフランス社会に関するニュースなどについてもできるだけ触れるようにしてください。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『Apprenons les bases du français』、近江屋志穂・竹本研史、朝日出版社、2023年。
日本語で書かれたフランス語教科書です。主にフランス語の文法について、多くの練習問題に取り組むことで習得することが目指されています。さらに、文化面の記事や関連動画などもある教材です。2人の教員の授業における共通教科書です。

【参考書】

参考書：
『フランス語トレーニング・コース』斎藤昌三、白水社
『ケータイ〈万能〉フランス語文法』久松健一、駿河台出版社
『でる順仏検単語集』（5級～2級準備レベル）久松健一、駿河台出版社
辞書：
初級『クラウン仏和辞典』三省堂 / 『ディコ仏和辞典』白水社 / 『ロペール・クレ』駿河台出版社
中級以上『ロワイヤル仏和中辞典』旺文社
（上記を参考にしつつ、必ず何らかの媒体で辞書を準備しましょう。）

【成績評価の方法と基準】

課題や授業での活動：40 %
期末試験成績：60 %

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。
ただし、文法中心で進度も早めの授業であるため、学生の疑問・質問には適宜補足資料なども提示しつつ、返答するように心がけたい。

【Outline (in English)】

This course introduces students who are to participate in the SA France program to the basic level of the French language (specifically grammar). It is relayed by another teacher (French 1) .

The students learn the overall framework of French grammar. And they train themselves to make themselves understood in written expression and oral communications.

At the end of this course, they are expected to get practical knowledge on these items to get through during the SA program.

The students are to prepare and review their classes, which will require at least one hour. They must submit an assignment after each unit of lessons.

The final grade will be calculated according to total scores of assignments (40%) and terminal examination (60%).

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)	
フランス語 4	2017年度以降入学者
廣松 勲	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：月3/Mon.3
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「フランス語3（日本人教員）」と共通の教科書を用いて、SAアンジェへの参加を前提に、フランス語の文法事項を中心にして学びます。「フランス語6（フランス人教員）」と「フランス語コミュニケーションⅠ」とも連携し、進捗などを情報共有します。

フランス語の主要な文法事項の全体像を見渡しつつ、多くの練習問題を解きながらその仕組みを理解できるようになります。また、発音やイントネーションに意識できるようになるために、音声・映像教材なども補足的に利用します。

【到達目標】

SAフランス（アンジェ）での成果をあげるために必要な知識と技能をさらに増やすことを目標とします。

連携する「フランス語3」と「フランス語4」は、特に文法事項に注目しつつ、辞書を用いて簡単な文章を読み・書きできることを目指します。同時に、聞き・話す訓練も適宜取り入れることで、初歩的な口頭表現ができるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期に引き続き、教科書『Apprenons les bases du français』を2人の教員がリレーして担当します。

この教科書の後半部分の文法事項を中心にしつつ、適宜復習も挟みながら進めます。

発音や聞き取りの訓練や模擬会話も、できる限り行います。

皆さんは関連する課題を学習支援システム上で提出することになります。提出された課題については、添削した上で、学習支援システムを通じて返却します。

学期末には最終試験を実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 7 ①	・春学期の学習事項の振り返り ・比較級、最上級、疑問 ・比較級と最上級 形容詞、動詞 vouloir ・疑問形容詞 /pouvoir/devoir
2	Leçon 7 ②	・vouloir/pouvoir/devoirの直 比較級、最上級、疑問 説法現在の活用 形容詞、動詞 vouloir ・発音訓練 /pouvoir/devoir
3	Leçon 8 ①	・非人称構文 非人称構文、補語人 称代名詞
4	Leçon 8 ②	・補語人称代名詞 非人称構文、補語人 称代名詞 ・発音訓練
5	Leçon 9 ①	・中性代名詞 中性代名詞、疑問代 名詞①
6	Leçon 9 ②	・疑問代名詞① 中性代名詞、疑問代 名詞① ・発音訓練

7	Leçon 10 ①	・時制構造の説明 複合過去 ・avoirを用いた複合過去
8	Leçon 10 ②	・êtreを用いた複合過去 複合過去 ・発音訓練
9	Leçon 11 ①	・関係代名詞 関係代名詞、強調構 文、指示代名詞 ・強調構文
10	Leçon 11 ②	・指示代名詞 関係代名詞、強調構 文、指示代名詞 ・発音訓練
11	Leçon 12 ①	・現在分詞とジェロンディフの 現在分詞、ジェロン ディフ、受動態 比較
12	Leçon 12 ②	・受動態 現在分詞、ジェロン ディフ、受動態 ・発音訓練
13	まとめ	・春学期の学習内容の総復習
14	学期末試験	・学期末試験の実施 ・秋学期の振り返り ・休暇中に学習するべき点の説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業の予習・復習は欠かせないようにしてください。新しく出てきた単語は、自分自身でまとめて単語帳などを作成しておきましょう。音声についても単に聞くだけではなく、自分でも発音するように心がけてください。

教科書の文化面は確りと読み込み（補足説明あり）、さらに現在のフランス社会に関するニュースなどについてもできるだけ触れるようにしてください。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

春学期の教科書を引き続き使います。

近江屋志穂・竹本研史『Apprenons les bases du français』朝日出版社、2023年。

日本語で書かれたフランス語教科書です。主にフランス語の文法について、多くの練習問題に取り組むことで習得することが目指されています。さらに、文化面の記事や関連動画などもある教材です。2人の教員の授業における共通教科書です。

【参考書】

参考書：

『フランス語トレーニング・コース』斎藤昌三、白水社

『ケータイ〈万能〉フランス語文法』久松健一、駿河台出版社

『でる順仏検単語集』（5級～2級準備レベル）久松健一、駿河台出版社

辞書：初級『クラウン仏和辞典』三省堂 / 『ディコ仏和辞典』白水社 / 『ロベール・クレ』駿河台出版社

中級以上『ロワイヤル仏和中辞典』旺文社

（上記を参考にしつつ、必ず何らかの媒体で辞書を準備しましょう。）

【成績評価の方法と基準】

課題や授業での活動：40%

期末試験成績：60%

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

ただし、文法中心で進度も早めの授業であるため、学生の疑問・質問には適宜補足資料なども提示しつつ、返答するように心がけたい。

【Outline (in English)】

Succeeding to the precedent course (French 2), this course introduces students who are to participate in the SA France program to the basic level of the French language (specifically grammar). It is relayed by another teacher (French 3).

The students learn the overall framework of French grammar. And they train themselves to make themselves understood in written expression and oral communications.

At the end of this course, they are expected to get practical knowledge on these items to get through during the SA program.

The students are to prepare and review their classes, which will require at least one hour. They must submit an assignment after each unit of lessons.

The final grade will be calculated according to total scores of assignments (40%) and terminal examination (60%).

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 5

2017年度以降入学者

ル ルー 清野 ブレンダン

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は「ヨーロッパ言語共通参照枠」に準拠した最も易しいレベル(A1)の達成を目指すための総合的フランス語入門コースです。主に「フランス語1」と「フランス語2」(日本人教員)で学んだフランス語を実践的に応用する、コミュニケーション重視の授業です。

【到達目標】

SAフランス(西武カトリック大学)に備え、自分自身の日常生活や身近なテーマについて、簡単なフランス語で、相互に働きかけ合うことを目標とします。4つの能力を総合的に練習し、「ヨーロッパ言語共通参照枠」で定められているA1レベルを目指します。つまり、最低限必要なことを行うための、よく使われる日常的表現やごく簡単な言い回しを理解し、用いることができるようになることを目指します。自分や他人を紹介することができ、個人的な事柄(住んでいる場所、知り合い、持ち物など)について質問をしたり、答えたりできるようになります。相手がゆっくり、はっきり話し、協力的であれば、簡単なやりとりができるようになります。

春 semester 終了時にはフランス語実用技能検定試験(仏検)4級合格に相当する語学力の習得をめざします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

フランス語母語話者の教員や他の学生との対話等を通じて、フランス語を自発的かつ気軽に話せるように、発音練習を交えたオーラル・コミュニケーションが主になる授業です。言語というものは、他の科目と違い、教科書や他人のメモを見るだけで覚えられるものではないので、欠席すると大変なことになるってしまいます。フランス語は自分で聞いて理解し、自分で口にし、はじめて身に付くものなので、毎回授業に積極的に参加し、質問をしたり質問に答えたり会話を作ったりすることは最も重要なことで成功への鍵です。この授業では、作文やリーディングマラソン(フランス語多読)のような課題も課せられますので、そのつもりでいて下さい。宿題や小テストに関するフィードバックは基本的に授業時間内に行いますが、LMSを通じて行う場合もあります。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	Orientation L0	Éléments de base / フランス語の基礎
②	L1	自己紹介をす / Premières présentations
③	L2	今住んでいるところや出身地について話す / Dire où on habite et d'où on vient
④	L3	交通手段について話す / Parler des transports
⑤	L4	アルバイトについて話す / Parler des petits boulots
⑥	L5①	ペットなどについて話す / Parler de ses animaux domestiques, etc.

⑦	L5②	ペットなどについて話す / Parler de ses animaux domestiques, etc.
⑧	L6	科目・先生について話す / Parler des matières et des profs
⑨	L7①	食べ物について話す / Parler de ce qu'on mange
⑩	L7②	食べ物について話す / Parler de ce qu'on mange
⑪	L8	家事について話す / Parler des tâches ménagères
⑫	L9	家族について話す / Parler de sa famille
⑬	L10	クラブ活動について話す / Parler des loisirs
⑭	L11	習慣について話す / Parler de ses habitudes

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

当然ながら、授業の内容を次の授業までに復習すること。復習・語彙・書き取り(Dictée)の小テストを毎週行います。本授業の準備・復習時間は、2時間を標準とします。「Furago, フランス語の練習帳」というサイトも利用しますので、定期的に目標を達成しないと成績が上がらない仕組みになります。

また、耳をできるだけ早くフランス語の音に慣れさせるために教科書についている音源等を各自聴くこと。音源をスマホなどに入れ、(長い)通学時間を賢く利用しましょう!

【テキスト(教科書)】

『Moi, je... コミュニケーション A1』(Bruno Vannieuwenhuyse, 他), アルマ出版

ISBN: 9784905343332

【参考書】

留学の際、仏和辞典が必携のアイテムになりますので、できるだけ早く入手しましょう。紙のものでも、電子辞書でも、スマホのアプリでも大丈夫ですが、翻訳ソフト(Google translate等)はNG: クラスではその使用を認めません。

【成績評価の方法と基準】

- ・書き取り(Dictée), 語彙テスト, その他の課題: 約20%
- ・「Furago, フランス語の練習帳」: 約20%
- ・リーディングマラソン(フランス語多読): 約20%
- ・作文: 約20%

・平常点(授業への参加状況): 約20%。尚、平常点に関しては減点方式をとり、4回目の欠席で不合格となります。10分以上の遅刻は2回で欠席扱いとなり、遅延証明は2回まで認めます。

【学生の意見等からの気づき】

学生の意見等を読み、工夫する必要がある点は特に記載されていないように思いました。改善は常に試みます!

【学生が準備すべき機器他】

※「Furago, フランス語の練習帳」というサイトへの登録が必須です。スマートフォン、タブレット、パソコンからアクセスできます。有料ですが、学生にとって異常な負担になる金額ではありませんし、定額制ですので、安心して利用できます。登録費が6ヶ月につき990円になります。

【Outline (in English)】

French for beginners (1st semester). This course focuses on developing mainly basic oral (and written) communication skills in French. Its main target is students motivated/selected for the Study Abroad program in France. It also prepares to the A1 level of French proficiency tests.

Depending on the tasks, revision and/or homework will require from one to three hours.

The grading criteria are as follows:

Homework, short tests, etc.: 20% / Furago (exercises on line):20% / Reading marathon (Extensive reading):20% / Short essays:20% / Class participation:20%

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語6 2017年度以降入学者

ル ルー 清野 ブレンダン

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は「フランス語コミュニケーションⅠ」（フランス人教員）とセットの科目で、「ヨーロッパ言語共通参照枠」に準拠した最も易しいレベル(A1)の達成を目指すための総合的フランス語入門コースです。主に「フランス語1～4」（日本人教員）で学んだフランス語を実践的に応用する、コミュニケーション重視の授業です。

【到達目標】

SAフランス（西部カトリック大学）に備え、自分自身の日常生活や身近なテーマについて、簡単なフランス語で、相互に働きかけ合うことを目標とします。4つの能力を総合的に練習し、「ヨーロッパ言語共通参照枠」で定められているA1レベルを目指します。つまり、最低限必要なことを行うための、よく使われる日常的表現やごく簡単な言い回しを理解し、用いることができるようになることを目指します。自分や他人を紹介することができ、個人的な事柄(住んでいる場所、知り合い、持ち物など)について質問をしたり、答えたりできるようにします。相手がゆっくり、はっきり話し、協力的であれば、簡単なやりとりができるようになります。

秋 semester 終了時にはフランス語実用技能検定試験（仏検）4・3級合格に相当する語学力の習得をめざします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

フランス語母語話者の教員や他の学生との対話等を通じて、フランス語を自発的かつ気軽に話せるように、発音練習を交えたオーラル・コミュニケーションが主になる授業です。言語というものは、他の科目と違い、教科書や他人のメモを見るだけで覚えられないものではないので、欠席すると大変なことになるってしまいます。フランス語は自分で聞いて理解し、自分で口にし、はじめて身に付くものなので、毎回授業に積極的に参加し、質問をしたり質問に答えたり会話を作ったりすることは最も重要なことで成功への鍵です。この授業では、作文やリーディングマラソン（フランス語多読）のような課題も課せられますので、そのつもりでいて下さい。宿題や小テストに関するフィードバックは基本的に授業時間内に行いますが、LMSを通じて行う場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	L12	週末の過ごし方について話す／ Parler du week-end
②	L13	時間について話す／Parler de l'heure
③	L14①	休暇中の活動について話す／ Parler des vacances
④	L14②	休暇中の活動について話す／ Parler des vacances
⑤	L15	経験について話す／Parler de ses expériences
⑥	L16	地理や食文化について話す／ Parler de la géographie et de la gastronomie
⑦	L17	天候について話す／Parler du temps

⑧	L18	Parler de ses goûts／好みについて話す
⑨	L19	Panorama 1／総復習 1
⑩	L20	Panorama 2／総復習 2
⑪	L21	Inviter quelqu'un／人を誘う
⑫	L22	Faire des courses／買い物をする
⑬	L23	Réserver un restaurant／レストランを予約する
⑭	L24	Demander son chemin／道を尋ねる

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

当然ながら、授業の内容を次の授業までに復習すること。復習・語彙・書き取り (Dictée) の小テストを毎週行います。本授業の準備・復習時間は、2時間を標準とします。「Furago, フランス語の練習帳」というサイトも利用しますので、定期的に目標を達成しないと成績が上がらない仕組みになります。また、耳をできるだけ早くフランス語の音に慣れさせるために教科書についている音源等を各自聴くこと。音源をスマホなどに入れ、(長い) 通学時間を賢く利用しましょう！

【テキスト（教科書）】

『Moi, je... コミュニケーション A1』（Bruno Vannieuwenhuyse, 他）、アルマ出版

ISBN: 9784905343332

【参考書】

留学の際、仏和辞典が必携のアイテムになりますので、できるだけ早く入手しましょう。紙のものでも、電子辞書でも、スマホのアプリでも大丈夫ですが、翻訳ソフト（Google translate等）はNG：クラスではその使用を認めません。

【成績評価の方法と基準】

- ・書き取り (Dictée), 語彙テスト, その他の課題:約20 %
- ・「Furago, フランス語の練習帳」:約20 %
- ・リーディングマラソン（フランス語多読）:約20 %
- ・作文:約20 %

・平常点（授業への参加状況）:約20%。尚、平常点に関しては減点方式をとり、4回目の欠席で不合格となります。10分以上の遅刻は2回で欠席扱いとなり、遅延証明は2回まで認めます。

【学生の意見等からの気づき】

学生の意見等を読み、工夫する必要がある点は特に記載されていないように思いました。しかし改善は常に試みます！

【学生が準備すべき機器他】

※「Furago, フランス語の練習帳」というサイトへの登録が必須です。スマートフォン、タブレット、パソコンからアクセスできます。有料ですが、学生にとって異常な負担になる金額ではありませんし、定額制ですので、安心して利用できます。登録費が6ヶ月につき990円になります。

【Outline (in English)】

French for beginners (1st semester). This course focuses on developing mainly basic oral (and written) communication skills in French. Its main target is students motivated/selected for the Study Abroad program in France. It also prepares to the A1 level of French proficiency tests.

Depending on the tasks, revision and/or homework will require from one to three hours.

The grading criteria are as follows:

Homework, short tests, etc.: 20 % / Furago (exercises on line):20% / Reading marathon (Extensive reading):20% / Short essays:20 % / Class participation:20%

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）		
フランス語 1 2017年度以降入学者		
鈴木 正道		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火2/Tue.2 単位数：1単位		
その他属性：		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 この授業は、S Aでフランス語圏以外の国を選んだ国際文化学部 の学生を対象とし、フランス語の基礎的な知識を身につけることを 目標としています。並行して履修するフランス語2が会話や発音に重 点を置くのに対して、この授業では文法に重点を置きます。 また授業中にはフランスの文化や社会に関することも学びます。 「グローバルゼーション」が否応なしに進む時代において、一つの外 国語、特に英語の知識だけでは十分ではありません。フランス語を学 ぶことで、皆さんはより広い世界で生きる機会を得ることでしょう。		
【到達目標】 フランス語の基礎的な文法項目を学びます。 ラテン系のことばであるフランス語では、特に動詞の活用が重要で す。基本動詞（規則、不規則）の直説法現在の活用、それを用いた 肯定文、否定文、疑問文の作り方などを学びます。また人称代名詞 の格も学びます。 皆さんは、これらの知識を応用して、実際に文を読んだり、書いたり 、話したりできる、また聞いて理解することができることを目指 します。		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針 に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際 文化学部：DP1		
【授業の進め方と方法】 教科書として『文法と文化で学ぶ基礎フランス語』（朝日出版社）を 用います。一つの課の2ページにそこで学ぶ文法事項、次の2ページ に練習問題と文化コラムがあります。1回もしくは2回の授業で音 声教材をも使いながら文法事項を学び、次の1回の授業で練習問題 を行います。学生の皆さんは、音声聞きながら文法事項の予習を し、また練習問題もあらかじめやっておくようにしてください。 さらに補充の練習問題を学習支援システムを通じて課題としてお配 りすることもあります。皆さんはやはり学習支援システムを通して 提出してください。私が添削してお返しします。また補充の説明資 料も学習支援システムによりお配りします。 学期中に数回小テストを行います。 文化コラムは学んだ文法事項とは関係のない「御休み時間」のよう なものです。映像もありますのでそれを見ながらフランスの社会事 情に関する知識を深めていきたいと思います。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり /Yes		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし /No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
1	Leçon 0	フランス語の綴りと発音
2	Leçon 1	名詞の性と数 定冠詞、不定冠詞、部分冠詞 主語人称代名詞 動詞 être, avoir
3	Leçon 1	練習問題 文化「バカロレアの口述試験」
4	Leçon 2	第1群規則動詞の直説法現在 肯定文、否定文、疑問文
5	Leçon 2	練習問題 文化「フランスでの『より良い 消費生活』のために」
6	Leçon 3	命令法 第2群規則動詞 不規則動詞 partir 疑問副詞 練習問題 文化「フランスのトラム（路面 電車）」
7	Leçon 3	
8	Leçon 4	不規則動詞 faire と prendre 否定文における冠詞の変化 人称代名詞の強勢形 指示形容詞 練習問題
9	Leçon 4	文化「クロード・ドビュッシー」
10	Leçon 5	形容詞の位置 形容詞と名詞の性数一致 形容詞の女性形、複数形の不規 則なカタチ 所有形容詞 練習問題
11	Leçon 5	文化「理想宮」
12	Leçon 6	動詞 aller と venir 近接未来と近接過去
13	まとめの試験 Leçon 6	まとめの試験 定冠詞の縮約
14	試験の復習 Leçon 6	試験の復習 定冠詞の縮約 aller à venir de
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 毎回音声聞いて予習と復習をしてください。 https://text.asahipress.com/free/player/index.html?bookcode=235339 1：音声教材を聞いて自分で発音してみる。 2，4，6，8，10、12、14：例文を声に出して読みながら内容を 身に付ける。 3，5，7，9，11：練習問題をする。 13：まとめの試験のための復習をする。 時々補充の練習問題を授業支援システムを通じて出しますので、授 業支援システムを通して提出してください。同システムを通してお 返しします。 文化に関して動画があります。授業中にも見ますが、各自サイトか ら見ることもできます。 https://text.asahipress.com/free/player/index.html?bookcode=235339f 毎回1時間の学習時間を必要とします。課題が出た時には30分ほど 上乗せになります。		
【テキスト（教科書）】 『文法と文化で学フランス語』（Apprenons les bases du français） 近江屋志穂、竹本研史 著、朝日出版社、税込2530円		
【参考書】 参考書：『かんたんフランス文法小辞典』鈴木豊、久富健 著、朝 日出版社 『フランス語動詞60―活用・用法・索引―』久保田剛史、高橋信良、 井上櫻子 著、朝日出版社 辞書：初級『クラウン仏和辞典』三省堂 『ディコ仏和辞典』白水社 『ロベール・クレ』駿河台出版社 中級以上：『ロワイヤル仏和中辞典』旺文社		
【成績評価の方法と基準】 小テスト、課題の提出や小テストの成績、授業中の活動への参加状 況による平常点（50％）、期末試験の成績（50％）を総合し評価し ます。 日ごろから教科書に出てきた例文はすべて声を出して読む、音声教 材を繰り返して聞く、出てきた単語は活用も含めて発音しながら書 いて覚えることを心がけてください。		
【学生の意見等からの気づき】 やや進みが遅いのではないかとのご指摘をいただきました。 飛ばしすぎは困りますが、無駄のない効率的な授業を心がけます。		

【Outline (in English)】

This course is designed for students who are to go to an English-speaking country in the framework of SA program. While the French 2 course, for which the students are equally required to register, is focused on conversation or pronunciation, this course treats mainly the grammar of the language. The students must make efforts to learn the conjugation of a variety of verbs, how to compose affirmative, negative or interrogative sentences, or other grammatical items such as articles, pronouns etc.

At the end of this course, they are expected to get basic knowledge of French grammar indispensable for oral or written communication.

The students are to prepare and review their classes, which will require at least one hour. They must occasionally submit an assignment.

Some quizzes are also given during classes.

The final grade will be calculated according to total scores of class activities such as performances, quizzes, assignments (50%), and terminal examination (50%).

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）		
フランス語3		2017年度以降入学者
鈴木 正道		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：火2/Tue.2		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、S Aでフランス語圏以外の国を選んだ国際文化学部
の学生を対象とし、フランス語の基礎的な知識を身につけることを目
標としています。並行して履修するフランス語4が会話や発音に重
点を置くのに対して、この授業では文法に重点を置きます。
また授業中にはフランスの文化や社会に関することも学びます。
「グローバルゼーション」が否応なしに進む時代において、一つの外
国語、特に英語の知識だけでは十分ではありません。フランス語を学
ぶことで、皆さんはより広い世界で生きる機会を得ることでしょう。

【到達目標】

春学期に続けて、フランス語の基礎的な文法項目を学びます。
ラテン系のことばであるフランス語では、特に動詞の活用が重要で
す。基本動詞（規則、不規則）の直説法現在に加えて過去時制も学
びます。また疑問詞、比較級、最上級、非人称の表現、関係詞、英
語にはないタイプの代名詞などもまなびます。
皆さんは、これらの知識を応用して、実際に文を読んだり、書いたり
、話したりできる、また聞いて理解することができることを目指
します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際
文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期に続けて『文法と文化で学ぶ基礎フランス語』（朝日出版社）
を用います。一つの課の2ページにそこで学ぶ文法事項、次の2ページ
に練習問題と文化コラムがあります。1回もしくは2回の授業で
音声教材をも使いながら文法事項を学び、次の1回の授業で練習問
題を行います。学生の皆さんは、音声を聞きながら文法事項の予習
をし、また練習問題もあらかじめやっておくようにしてください。
さらに補充の練習問題を学習支援システムを通じて課題としてお配
りすることもあります。皆さんはやはり学習支援システムを通して
提出してください。私が添削してお返しします。また補充の説明資
料も学習支援システムによりお配りします。
学期中に数回小テストを行います。
文化コラムは学んだ文法事項とは関係のない「御休み時間」のよう
なものです。映像もありますのでそれを見ながらフランスの社会事
情に関する知識を深めていきたいと思います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 7	比較級、最上級 疑問形容詞 動詞 vouloir, pouvoir, devoir
2	Leçon 7	練習問題 文化「映画の発明」
3	Leçon 8	非人称構文 補語人称代名詞（人称代名詞目 的格）
4	Leçon 8	練習問題 文化「日本のアニメに影響した フランス・アニメ」
5	Leçon 9	中性代名詞 疑問代名詞 ①

6	Leçon 9	練習問題 文化「ストライキと市庁舎」
7	Leçon 10	複合過去
8	Leçon 10	練習問題 文化「市民権」
9	Leçon 11	関係代名詞 強調構文 指示代名詞
10	Leçon 11	練習問題 文化「カリブ海域のフランス語 圏地域」
11	Leçon 13	代名動詞（現在）
12	Leçon 13	練習問題 文化「マグレブ地方から見た地 中海」
13	まとめの試験 Leçon 14	まとめの試験 代名動詞（複合過去）
14	試験の復習 Leçon 14	試験の復習 代名動詞（複合過去）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回音声を聞いて予習と復習をしてください。

[https://text.asahipress.com/free/player/
index.html?bookcode=235339](https://text.asahipress.com/free/player/index.html?bookcode=235339)

1,3,5,7,9,11：例文を声に出して読みながら内容を身に付ける。

2,4,6,8,10,12：練習問題をする。

13：まとめの試験のための復習をする。

時々補充の練習問題を授業支援システムを通じて出しますので、授
業支援システムを通して提出してください。同システムを通してお
返しします。

文化に関して動画があります。授業中にも見ますが、各自サイトか
ら見ることもできます。

[https://text.asahipress.com/free/player/
index.html?bookcode=235339f](https://text.asahipress.com/free/player/index.html?bookcode=235339f)

毎回1時間の学習時間を必要とします。課題が出た時には30分ほど
上乗せになります。

【テキスト（教科書）】

『文法と文化で学フランス語』（Apprenons les bases du français）
近江屋志穂、竹本研史 著、朝日出版社、税込み2530円

【参考書】

参考書：『かんたんフランス文法小辞典』鈴木豊、久富健 著、朝
日出版社

『フランス語動詞60―活用・用法・索引―』久保田剛史、高橋信良、
井上櫻子 著、朝日出版社

辞書：初級『クラウン仏和辞典』三省堂

『ディコ仏和辞典』白水社

『ロベール・クレ』駿河台出版社

中級以上：『ロワイヤル仏和中辞典』旺文社

【成績評価の方法と基準】

小テスト、課題の提出や小テストの成績、授業中の活動への参加状
況による平常点（50%）、期末試験の成績（50%）を総合し評価し
ます。

日ごろから教科書に出てきた例文はすべて声を出して読む、音声教
材を繰り返して聞く、出てきた単語は活用も含めて発音しながら書
いて覚えることを心がけてください。

【学生の意見等からの気づき】

やや進みが遅いのではないかとのご指摘をいただきました。
飛ばしすぎは困りますが、無駄のない効率的な授業を心がけます。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who are to go to an
English-speaking country in the framework of SA program.
While the French 4 course, for which the students are
equally required to register, is focused on conversation or
pronunciation, this course treats mainly the grammar of the
language. The students must make efforts to learn the
conjugation of a variety of verbs, how to compose affirmative,
negative or interrogative sentences, or other grammatical
items such as articles, pronouns etc.

At the end of this course, they are expected to get basic knowledge of French grammar indispensable for oral or written communication.

The students are to prepare and review their classes, which will require at least one hour. They must occasionally submit an assignment.

Some quizzes are also given during classes.

The final grade will be calculated according to total scores of class activities such as performances, quizzes, assignments (50%), and terminal examination (50%).

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）

フランス語 2

2017年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語初心者を対象とします。初級レベルの基本的な文法知識を学び、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力）、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくのです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVDやCDも活用します。

【到達目標】

- (1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようになる
- (2) 初級レベルの文法知識を身に付ける
- (3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解読したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る
- (4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMSなどを活用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション フランス語について：アルファベット、フランス語の特徴及び簡単な文化的背景を学ぶ
第2回	フランス語の綴りと発音読み方	フランス語について：綴りと発音の規則を覚えることにより、簡単なフランス語の単語を読めるようにする フランス語による簡単な自己紹介ができるようになる
第3回	①綴りと読み方 ②Leçon1 自己紹介する	①綴りと発音の練習 ②動詞 être（～である、いる） 国籍、職業を述べる 会話文の音読と和訳
第4回	Leçon1 世界の中のフランス語	文法の練習問題 文章読解

第5回	Leçon2 物を指し示す	会話実践 会話文の音読と和訳 冠詞の種類 形容詞の変化 提示表現 C'est, Ce sont 文法の練習問題 文章読解
第6回	Leçon2 フランスのクール・ジャパン	問題集の問題を解く 会話実践 会話文の音読と和訳 -er 動詞 疑問文の作り方 文法の練習問題 文章読解
第7回	Leçon1, Leçon2の復習 Leçon3 尋ねる	動詞 avoir(持っている、飼っている) 否定文の作り方 会話文の音読と和訳 1～20までの数 会話実践 文法の練習問題 文章読解
第8回	Leçon3 モンパルナス地区 Leçon4 買い物をする	動詞 aller(行く)、venir(来る)の活用 近接未来・近接過去の用法 会話文の音読と和訳
第9回	Leçon4 市場 Leçon5 物や人について尋ねる	文法の練習問題 問題集の問題を解く 文章読解 所有形容詞（誰々の～） 疑問形容詞（どの～） 会話実践 会話文の音読と和訳 文法の練習問題 文章読解
第10回	Leçon5 物や人について尋ねる	文章読解 パリの鉄道の駅 Leçon6 場所を尋ねる
第11回	Leçon3, Leçon4, Leçon5 の復習	文章読解 世界遺産の街ボルドー
第12回	Leçon5 パリの鉄道の駅 Leçon6 場所を尋ねる	まとめと解説
第13回	Leçon6 世界遺産の街ボルドー	
第14回	試験と総括	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト（教科書）】

パリ・ボルドー（朝日出版社、2500円）

副教材として用いるプリントは教員が配布いたします

【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」（旺文社）他
仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します

【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践40%
期末試験の成績(60%)により、評価します。
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を行っているが、その点の評価が高い為、今年度もこの形式を続けて行きたいと思う

【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。
連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jpです

【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 4

2017年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語初心者を対象とします。初級レベルの基本的な文法知識を学び、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力）、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくののです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVDやCDも活用します。

【到達目標】

- (1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようになる
- (2) 初級レベルの文法知識を身に付ける
- (3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解読したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る
- (4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMSなどを活用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Leçon7 ～したいと言う	会話実践 会話文の音読と和訳 人称代名詞強制形 指示代名詞 「～がしたい、いただきたい」、 「～がある」という表現
第2回	Leçon7 ボルドーワイン	文法の練習問題 文章読解
第3回	Leçon8 興味を述べる	会話実践 会話文の音読と和訳 人称代名詞直接目的補語及び間接目的補語 前置詞と定冠詞の縮約
第4回	Leçon8 ワインを試飲する	文法の練習問題 文章読解

第5回	Leçon7, Leçon8の 復習 仏検5級をめざして1	問題集の問題を解く
第6回	Leçon9 誘う	会話実践 会話文の音読と和訳 代名動詞 中性代名詞 文法の練習問題 文章読解
第7回	Leçon9 世界遺産の村サン＝ テミリオン	文章読解
第8回	Leçon13 過去のことを話す	会話実践 会話文の音読と和訳 複合過去 半過去 文法の練習問題 文章読解
第9回	Leçon13 フランス人とバカンス	文章読解
第10回	副教材 複合過去と半過去	副教材の問題集を使い、複合過去と半過去の問題に挑戦する
第11回	Leçon9, Leçon13の 復習 仏検5級をめざして2	問題集の問題を解く
第12回	副教材	市場で買い物の場面を再現したDVDを教材として、実際にフランス人が行う売り手とのやり取りを聞き取り、発音し、意味をとる練習を行う、 市場で買い物の場面を再現したDVDを教材として、実際にフランス人が行う売り手とのやり取りをもとに、条件を色々に変えて実践してみる
第13回	副教材	まとめと解説
第14回	試験と総括	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト（教科書）】

パリ・ボルドー（朝日出版社、2500円）
副教材として用いるプリントは教員が配布いたします

【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」（旺文社）他
仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践40%
期末試験の成績(60%)により、評価します。
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を行っているが、その点の評価が高い為、今年度もこの形式を続けて行きたいと思う

【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。
連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jpです

【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:
term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 1 - I

2017年度以降入学者

竹本 研史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語を初めて学ぶ人間環境学部（A-F組）の学生が、指定教科書にしたがって、フランス語の文法と発音の規則について学ぶ。また、文法の学習と合わせて、サステイナビリティに関わるテーマを中心に、フランス語圏の文化や社会についても学んでいく。

【到達目標】

初歩的な日常会話（対話の理解も含む）や読み書きができるような単文を構成するのに必要な初級文法（冠詞・名詞・各種形容詞・各種人称代名詞・近接未来／近接過去までの動詞の直説法・命令法など・疑問詞・比較級／最上級・非人称構文など）と発音規則の知識を身につける。

DELF（フランス国民教育省・フランス語資格試験）の A1 レベル到達を目標とする。

仏検5級合格を目指す。

併せて、サステイナビリティに関わるテーマを中心に、フランス語圏の文化や社会に関して初歩的な理解ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には、下記的方式で授業を進めていくが、ペアを組んでいる石川典子先生ご担当の「フランス語2」（木1）の授業で実践されるフランス語会話の演習にフィードバックできるように展開し、文法と演習の授業により、フランス語の学習に相乗効果が現れるように教員同士も綿密に連絡をとって運営がなされる。

授業の行程は以下の通り。

教員による新しい文法事項の解説

→ 該当の文法事項に関する宿題

→ 次の週で答え合わせ・解説

→ 「フランス語2」でなされた演習の内容について簡単な復習

→ 新たな文法事項に関する解説

→ 以下、この繰り返し

課題（＝宿題）に対するフィードバックは、授業で解説を行うという形式をとる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	・授業の進め方についての説明 ・フランス語のつづり字の発音
第2回	第1課 (1)	(1) ・フランス語のつづり字の発音 (2) ・名詞の性と数 ・冠詞
第3回	第1課 (2)	・主語人称代名詞 ・動詞 être, avoir
第4回	第2課	・第一群規則動詞 ・否定文 ・疑問文
第5回	第3課	・命令法 ・第二群規則動詞 ・partir ・疑問副詞

第6回	第4課	・faire, prendre ・否定文における冠詞の変化 ・人称代名詞の強勢形 ・指示代名詞 ・形容詞の位置と性・数 ・所有形容詞
第7回	第5課	第1-5課の文法事項の復習
第8回	第1-5課のまとめ	・aller, venir
第9回	第6課	・近接未来と近接過去 ・定冠詞の縮約 ・比較級 ・最上級 ・疑問形容詞
第10回	第7課	・vouloir, pouvoir, devoir ・非人称構文 ・補語人称代名詞
第11回	第8課	第5-8課の文法事項の復習
第12回	第5-8課のまとめ	・発音テスト
第13回	発音・聴き取りの復習	・聴き取りの練習
第14回	春学期のまとめ	・期末テスト ・期末テストの解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習・復習・宿題は当然必要。

準備学習と宿題には1時間、復習にも1時間必要であろう。

〈準備学習〉毎回教科書を熟読したうえで、各課の文法事項の説明を通じて疑問点を洗い出し、単語の意味を事前に調べておくこと。また、音声教材を利用しながら教科書に出てくるフランス語表現を繰り返し音読し発音を確認しておくこと。

〈復習・宿題〉教科書と音声教材を利用してその日に学んだ文法事項とフランス語表現の発音を定着させたいので、教員がその日に指定した宿題を必ずおこなうこと。

〈学外で〉人間環境学部の学生は、何よりもまず、現場に赴き、何かがそこで生起している場面に立ち会うことが重要である。各人が積極的に出かけて、読書（BDも含め）、映画、美術、音楽、演劇、ダンス、バレエ、料理、スポーツ、ファッションなどを通じて、フランス語およびフランス語圏文化に親しむ機会をつくること。そのための一助として、「フランス語の世界 LA」、「フランスの文化と社会 LA」、「フランス生活文化論 LA」などの履修を推奨する。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・竹本研史『文法と文化で学ぶ 基礎フランス語』朝日出版社、2023年。

ISBN : 978-4-255-35339-5

定価：2300円＋税

【参考書】

石川典子先生ご担当の「フランス語2」（木1）の教科書

また、仏和辞典は必ず携行すること。紙辞書を推奨する（単語、熟語などの見やすさなどの利点から）。

【成績評価の方法と基準】

語彙・活用に関する小テスト（学期に数回実施）[30%] + 発音テスト [20%] + 期末試験 [50%]

ただし、授業中に指名するにあたっては、単語調べなどの予習をやっていない場合は、授業進行の妨害とみなし、その都度1点ずつ減点する。

教科書、辞書を手に入れない学生は評価の対象外とする。

【学生の意見等からの気づき】

・学生の理解度に差が生じるため、その点に留意しながら授業を進める。

・文法事項にとどまらず、発音・アクセントについても重視する。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course introduces the foundations of French grammar to students taking this course.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to understand the basic French grammar.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to read carefully the text and to work at your exercises before/after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Mini-test: 30%

Read-test: 20%

Term-end examination: 50%

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）		
フランス語 1 - II		2017年度以降入学者
竹本 研史		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月2/Mon.2		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期「フランス語1-I」に引き続き、また、文法の学習と合わせて、サステイナビリティに関わるテーマを中心に、フランス語圏の文化や社会についても学んでいく。

【到達目標】

基礎的な日常会話（対話の理解も含む）や読み書きができるような単文を構成するのに必要な初級文法（中性代名詞・疑問代名詞・複合過去／半過去・関係代名詞・強調構文・指示代名詞・現在分詞／ジェロンディフ・受動態・代名動詞・単純未来など）と発音規則の知識を身につける。

DELF（フランス国民教育省・フランス語資格試験）の A1 レベル到達を目標とする。

仏検4級合格を目指す。

併せて、サステイナビリティに関わるテーマを中心に、フランス語圏の文化や社会に関して基礎的な理解ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員による文法事項の解説→該当の文法事項に関する宿題→答え合わせ・解説→新たな文法基本的には、下記的方式で授業を進めていくが、ペアを組んでいる石川典子先生ご担当の「フランス語2」（木1）の授業で実践されるフランス語会話の演習にフィードバックできるように展開し、文法と演習の授業により、フランス語の学習に相乗効果が現れるように教員同士も綿密に連絡をとって運営がなされる。授業の行程は以下の通り。

教員による新しい文法事項の解説

→該当の文法事項に関する宿題

→次の週で答え合わせ・解説

→「フランス語2」でなされた演習の内容について簡単な復習

→新たな文法事項に関する解説

→以下、この繰り返し

課題（＝宿題）に対するフィードバックは、授業で解説を行うという形式をとる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第9課	・中性代名詞 ・疑問代名詞（1）
第2回	第10課	・複合過去
第3回	第11課	・関係代名詞 ・強調構文 ・指示代名詞
第4回	第9-11課のまとめ	第9-11課の文法事項の復習
第5回	第12課	・現在分詞 ・ジェロンディフ ・受動態
第6回	第13課	・代名動詞（現在）
第7回	第14課（1）	・代名動詞（複合過去）（1）
第8回	第12-14課のまとめ	第12-14課の文法事項の復習
第9回	第15課	・半過去 ・単純未来

第10回	第14課（2）	・所有代名詞 ・疑問代名詞（2）
第11回	Appendice 2・3	・条件法現在 ・接続法現在
第12回	秋学期の文法事項総合まとめ	秋学期全体の文法事項の復習
第13回	発音・聴き取りの復習	・音読試験 ・聴き取り練習
第14回	秋学期のまとめ	・筆記試験 ・筆記試験の解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習・復習・宿題は当然必要。

準備学習と宿題には1時間、復習にも1時間必要であろう。

〈準備学習〉毎回教科書を熟読したうえで、各課の文法事項の説明を通じて疑問点を洗い出し、単語の意味を事前に調べておくこと。また、音声教材を利用しながら教科書に出てくるフランス語表現を繰り返し音読し発音を確認しておくこと。

〈復習・宿題〉教科書と音声教材を利用してその日に学んだ文法事項とフランス語表現の発音を定着させたうえで、教員がその日に指定した宿題を必ずおこなうこと。

〈学外で〉人間環境学部の学生は、何よりもまず、現場に赴き、何かがそこで生起している場面に立ち会うことが重要である。各人が積極的に出かけて、読書（BDも含め）、映画、美術、音楽、演劇、ダンス、バレエ、料理、スポーツ、ファッションなどを通じて、フランス語およびフランス語圏文化に親しむ機会をつくること。そのための一助として、「フランス語の世界 LB」、「フランスの文化と社会 LB」、「フランス生活文化論 LB」などの履修を推奨する。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・竹本研史『文法と文化で学ぶ 基礎フランス語』、朝日出版社、2023年。

ISBN：978-4-255-35339-5

定価：2300円＋税

【参考書】

石川典子先生ご担当の「フランス語2」（木1）の教科書

また、仏和辞典は必ず携行すること。紙辞書を推奨する（単語、熟語などの見やすさなどの利点から）。

【成績評価の方法と基準】

語彙・活用に関する小テスト（学期に数回実施）[30%]＋発音テスト[20%]＋期末試験[50%]

ただし、授業中に指名するにあたって際に、単語調べなどの予習をやっていなかった場合は、授業進行の妨害とみなし、その都度1点ずつ減点する。

教科書、辞書を入手しない学生は評価の対象外とする。

【学生の意見等からの気づき】

・学生の理解度に差が生じるため、その点に留意しながら授業を進める。

・文法事項にとどまらず、発音・アクセントについても重視する。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course introduces the foundations of French grammar to students taking this course.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to understand the basic French grammar.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to read carefully the text and to work at your exercises before/after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Mini-test：30%

Read-test：20%

Term-end examination: 50%

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 1 - I

2017年度以降入学者

柴崎 秀穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語を初めて学ぶ人を対象とするクラスです。フランス語に親しみながら、基本的な語彙と文法を学習します。

【到達目標】

簡単なフランス語が話せて、聞けて、書けて、読めるようになること。フランス文部省認定フランス語資格試験（DELF）のA1レベルに対応しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回「授業資料」を配付します。まず「資料」を読みながら教師が文法事項を解説、全員でフランス語例文を音読、次に学生が練習問題を解く、という形で授業を進めます。練習問題は自作のプリントを多用します。教科書の練習問題の一部は「課題」とし、提出してもらった後、採点して返却、「正解と総評」を配布します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーションとアルファベ	授業の進め方、勉強の仕方、成績の付け方などの説明。仏和辞典の紹介。アルファベ。
第2回	フランス語の音。第1課。	アルファベ、フランス語の音、名詞。
第3回	第1課続き。第2課。	冠詞、主語人称代名詞、動詞「～である」
第4回	第3課。	動詞「持つ」、否定
第5回	第4課	部分冠詞、形容詞
第6回	第5課。	第一群規則動詞、疑問文
第7回	第6課。	指示形容詞、所有形容詞
第8回	第7課。	「行く」と「来る」、縮約
第9回	第8課。	近接未来と近接過去、非人称
第10回	発音のまとめ。	綴り字の読み方のまとめ
第11回	第9課。	第二群規則動詞、命令法
第12回	第10課。	疑問形容詞、疑問代名詞
第13回	第10課続き。復習。	疑問代名詞（続き）、疑問副詞
第14回	期末試験。	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書の練習問題の一部は「課題」となります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『新・フランス語文法の〈基礎〉』太田、前田、渡辺著、駿河台出版社、2,200円＋税

【参考書】

『クラウン仏和辞典』三省堂

『プチ・ロワイヤル仏和辞典』旺文社

『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社

【成績評価の方法と基準】

期末試験（50％）と平常点（50％）で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

「授業資料」と「練習問題」を、より分かりやすく効果的になるよう修正しました。

【その他の重要事項】

若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドヴァイスが出来ると思います。また、TOEICスコアも「975点」を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

【Outline (in English)】

・ Course outline

This is a course for students who start to study French. You will learn especially French grammar.

・ Learning objectives

At the end of the course, students are expected to understand basic French grammar.

・ Lecture/Exercise

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be almost an hour for a class.

・ Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following :

term-end examination: 50%, Short reports: 25%, in-class contribution: 25 %

LANf100LA (フランス語 / French language education 100)

フランス語 1 - II

2017年度以降入学者

柴崎 秀穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の基本的な語彙と文法を学びます。

【到達目標】

簡単なフランス語が話せて、聞けて、書けて、読めるようになること。フランス文部省認定フランス語資格試験（DELF）のA1レベルに対応しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回「授業資料」を配付します。まず「資料」を読みながら教師が文法事項を解説、全員でフランス語例文を音読、次に学生が練習問題を解く、という形で授業を進めます。練習問題は自作のプリントを多用します。教科書の練習問題の一部は「課題」とし、提出してもらった後、採点して返却、「正解と総評」を配布します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第11課。	目的格人称代名詞
第2回	第12課。	代名動詞
第3回	第13課。第14課。	複合過去（1）
第4回	第14課続き。	複合過去（2）
第5回	第15課。	半過去
第6回	第16課。	比較と最上級
第7回	第17課。	単純未来
第8回	第18課。	中性代名詞
第9回	第19課。	関係代名詞 qui、que
第10回	第19課続き。	関係代名詞 dont、où
第11回	第20課。	受動態、現在分詞、ジェロン ディフ
第12回	第21課。	条件法
第13回	第22課。	接続法
第14回	期末試験。	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書の練習問題の一部は「課題」となります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『新・フランス語文法の〈基礎〉』、太田、前田、渡辺著、駿河台出版社、2,200円＋税

【参考書】

『クラウン仏和辞典』三省堂

『プチ・ロワイヤル仏和辞典』旺文社

『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社

【成績評価の方法と基準】

期末試験（50％）と平常点（50％）で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

「授業資料」と「練習問題」を、より分かりやすく効果的になるよう修正しました。

【その他の重要事項】

若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドヴァイスができます。また、TOEICスコアも「975点」を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

【Outline (in English)】

・ Course outline

Students taking this course will learn French grammar.

・ Learning objectives

At the end of the course, students are expected to understand basic French grammar.

・ Lecture/Exercise

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be almost an hour for a class.

・ Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 50%, Short reports: 25%, in-class contribution: 25 %

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）

フランス語2-I

2017年度以降入学者

石川 典子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初学者を対象とした会話表現の授業です。フランス語の運用練習を通じて、フランス語を身近に感じ、同時にフランスの文化についての理解を深めることを目指します。恥ずかしがらずに声を出し、フランス語での発話・表現を積極的に行いましょう。

【到達目標】

フランス語であいさつできるようになる。

フランス語で自己紹介できるようになる。

フランス語で簡単な日常会話ができるようになる。

フランス語で身の回りの人物を描写することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「フランス語1」（担当：竹本研史先生）の授業で学んだ文法事項を基に、フランス語会話の実践演習を行います。進度によっては、「フランス語1」の教科書を使用して文法事項の確認を行うことがあります。授業の進行方法については、初回授業でガイダンスを行います。学生からの質問には、授業時間内または授業支援システムを通じてフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・intro	挨拶をする 自分の名前を言う 名前などの綴りを言う
第2回	Leçon 1	自己紹介をする 名前を聞く
第3回	Leçon 1	名前、職業、出身、国籍を言う 数字（1～10）
第4回	Leçon 2	人について描写する 年齢を言う 数字（11～20）
第5回	Leçon 3	職業を聞く 話せる言語を聞く 好きなことを聞く
第6回	Leçon 3	住んでいる所、勉強について質問する
第7回	中間試験	これまでの確認と演習問題
第8回	Leçon 4	自分の好みについて話す 他人の好みについて聞く
第9回	Leçon 4	意見を言う 数字（20～69）
第10回	Leçon 5	家族について話す 数字（60～99）
第11回	Leçon 5	理由を言う、尋ねる 何かについて肯定的・否定的に話す
第12回	Leçon 6	物の位置を言う 物の位置を聞く

第13回 Leçon 7

物を描写する
物の位置を聞く
物の色を聞く
着ている物について話す
これまでの応用演習

第14回 期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。特に文法事項の確認に力を入れてください。授業で学んだことを未消化のまま次週に持ち越さないようにしましょう。自宅でも声を出して練習することが大切です。その際は、付属の音声ファイルや教科書専用ウェブサイトを活用してください。

【テキスト（教科書）】

『フランス語の方法—コミュニケーションと文法の基礎—（三訂版）』
Vincent Durrenberger 著、駿河台出版社、2024年、2600円+税

【参考書】

参考書は指定しませんが、授業中に必要に応じて紹介します。また、語学学習ツール「Duolingo」の利用を推奨します。

【成績評価の方法と基準】

授業内での毎回の取り組み25%、中間試験25%、期末試験50%で総合的に評価します。

4回以上の欠席は評価の対象外とします。

【学生の意見等からの気づき】

ロールプレイングやグループワークなどの授業内アクティビティを中心に、生きたフランス語の運用を目指します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書については、電子辞書、紙の辞書のいずれでも構いませんが、手元に用意しておくとう便利です。授業の復習にぜひ活用してください。学習支援システム「Hoppii」を通じて音声録音ファイルを提出していただく場合があります。スマートフォン、タブレット、パソコンなどで対応可能ですが、授業外でもその機器に接続できるよう準備しておいてください。

【その他の重要事項】

期末試験のやむを得ない事情による未受験については、学内の規定に従い、申告された場合のみ対応します。授業中に生成AIや機械翻訳を使用した場合は、減点の対象となります。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who are beginning their study of French. Students will learn basic expressions and vocabulary, enabling them to speak about themselves in French by the end of the course.

After each class, students are expected to dedicate two hour to reviewing the material. Repeating the learned expressions aloud is an effective method of practice.

Grading will be based on attendance (25%), a mid-term examination (25%), and a term-end examination (50%).

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）		
フランス語 2 - II		2017年度以降入学者
石川 典子		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：木 1/Thu.1		
単位数：1 単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初学者を対象とした会話表現の授業です。先学期に引き続き、フランス語の運用練習を通じて、フランス語を身近に感じ、フランスの文化についての理解を深めることを目指します。恥ずかしがらずに声を出し、フランス語を使うことを楽しんでみましょう。

【到達目標】

フランス語で過去のことについて話せるようになる。
フランス語で近い未来のことについて話せるようになる。
日常生活レベルのフランス語が話せるようになる。
実用フランス語技能検定試験では、5級レベルへの到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ペアの授業である「フランス語 1」（ご担当：竹本研史先生）で学んだ文法事項をもとに、フランス語会話の実践演習を行います。進度によっては、「フランス語 1」の教科書を用いて文法事項の確認を行うことがあります。

学生からの質問には、授業時間内または授業支援システムを通じてフィードバックを行います。また、フランス語を聞き、理解する力の向上にも取り組みます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon	春学期の復習
2	Leçon 8	物の位置関係を言う
3	Leçon 9	カフェで注文する 市場、パン屋などで買い物を する 数字（100～1000）
4	Leçon 10	食生活について話す 統計について話す
5	Leçon 11	国について話す 天気を言う
6	Leçon 12	誰が、どこへ、いつ、なぜ、ど うやって行くか言う
7	Leçon 12	道を尋ねる
8	中間試験	これまでの確認と演習問題
9	Leçon 13	時刻を言う 電車の切符を買う
10	Leçon 14	1日にすることを話す（現在形）
11	Leçon 14	何かを提案する、誘いを受ける、 断る
12	Leçon 15	1日にしたことを話す（avoir を 用いた複合過去形）
13	Leçon 15	1日にしたことを話す（être を 用いた複合過去形）
14	期末試験	これまでの演習問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。特に文法事項の確認に力を入れてください。授業で学んだことを未消化のまま次週に持ち越さないようにしましょう。自宅でも声を出して練習することが大切です。その際は、付属の音声ファイルや教科書専用ウェブサイトを活用してください。

【テキスト（教科書）】

『フランス語の方法—コミュニケーションと文法の基礎—（三訂版）』
Vincent Durrenberger 著、駿河台出版社、2024 年、2600 円+税

【参考書】

参考書は指定しませんが、授業中に必要に応じて紹介します。また、語学学習ツール「Duolingo」の利用を推奨します。

【成績評価の方法と基準】

授業内での毎回の取り組み 25 %、中間試験 25 %、期末試験 50 % で総合的に評価します。
4 回以上の欠席は評価の対象外とします。

【学生の意見等からの気づき】

ロールプレイングやグループワークなどの授業内アクティビティを中心に、生きたフランス語の運用を目指します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書については、電子辞書、紙の辞書のいずれでも構いませんが、手元に用意しておくと便利です。授業の復習にぜひ活用してください。学習支援システム「Hoppii」を通じて音声録音ファイルを提出していただく場合があります。スマートフォン、タブレット、パソコンなどで対応可能ですが、授業外でもその機器に接続できるよう準備しておいてください。

【その他の重要事項】

期末試験のやむを得ない事情による未受験については、学内の規定に従い、申告された場合のみ対応します。
授業中に生成 AI や機械翻訳を使用した場合は、減点の対象となります。

【Outline (in English)】

This course is a continuation of my French course from the spring. It is designed for students who are beginning to study French. Students will learn basic expressions and vocabulary, and by the end of the course, they will be able to express themselves in French.

After each class, students are expected to spend two hour reviewing the material. Repeating the learned expressions aloud is an effective method.

Grading will be based on attendance (25%), a mid-term examination (25%), and a term-end examination (50%).

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）

フランス語2-I

2017年度以降入学者

杉村 裕史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級フランス文法を学びながらフランス文化の多様性を知る。

- 1 フランス語の単語や文を発音できるようにする。
- 2 フランス文化を紹介した簡単な文を訳す力をつける。
- 3 フレンチポップスをフランス語で歌えるようにする
- 4 フランス語を学ぶことにより、日本語の面白さを知る

【到達目標】

初級文法の基礎を学びつつ、きちんと発音ができ、大きな声でフレンチポップスを歌えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各課のテキストの文法説明をする。

練習問題を解く。

フレンチポップスを歌う。

小テストや期末テストのフィードバックは、授業内にLINEや学習支援システムを通して行う

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	発音の練習	年間授業計画 成績評価の方法
第2回	音の出し方	アルファベットの発音
第3回	綴字の読み方	母音字の発音
第4回	名詞と冠詞	子音字の発音
第5回	「オー・シャンゼリゼ」	冠詞の用法
第6回	主語人称代名詞 動詞être	主語と動詞の関係
第7回	「夢見るシャンソン人形」	主語と補語
第8回	形容詞 動詞avoir	基本動詞の慣用表現
第9回	「子どもを抱いて」	直接目的語
第10回	-er動詞、-ir動詞。 否定文	規則動詞の活用
第11回	「シェリーに口づけ」	間接目的語
第12回	疑問文、動詞aller/ venir	前置詞の使い方
第13回	「もう森へなんか行かない」	近接未来・近接過去
第14回	試験・まとめと解説	前期文法のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポップ・フランセ』（杉村裕史、2009年、駿河台出版社、2500 + 税）（ISBN 978-4-411-00763-6 C 1085）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

前回の授業内容から、次の授業開始時に小テストを行う。

小テストと期末試験の評価割合は50% + 50%。

小テストの合計と、期末試験の合計を100点満点に換算して、法政大学の評価基準に応じて評価する。

毎回出席を取る。欠席は3回まで認める。

4回以上欠席すると期末試験受験の対象から外れる。

遅刻は30分まで出席にするが、小テストは授業開始時に行うので、小テストが終了していれば、受けられない。

【学生の意見等からの気づき】

映像を見せて欲しいとの要望があり、適宜Youtubeなどで映像を見せていく

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

辞書を持参すること。どのような辞書を推薦するかは、教室で指示する。

【Outline (in English)】

In learning the elementary French grammar, to know the diversity of the French culture.

1 Know the correct pronunciation.

2 Learn the translation.

3 Sing the French songs.

In learning the French, to know the Japanese.

LANf100LA（フランス語 / French language education 100）

フランス語 2-II

2017年度以降入学者

杉村 裕史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級フランス文法を学びながらフランス文化の多様性を知る。

- 1 フランス語の単語や文を発音できるようにする。
- 2 フランス文化を紹介した簡単な文を訳す力をつける。
- 3 フレンチポップスをフランス語で歌えるようにする
- 4 フランス語を学ぶことにより、日本語の面白さを知る。

【到達目標】

初級文法の基礎を学びつつ、フランス語をきちんと発音し、大きな声でフレンチポップスを歌えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各課のテキストの文法説明をする。

練習問題を解く。

フレンチポップスを歌う。小テストや期末テストのフィードバックは、授業内にLINEや学習支援システムを通して行う

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	前期の復習	発音の復習
第2回	疑問詞、比較級・最上級	Leçon 7 疑問代名詞
	準助動詞	
第3回	「ラストダンスは私に」	Leçon 7 練習問題
第4回	不規則動詞	Leçon 8 非人称表現
第5回	「愛すること」	Leçon 8 練習問題
第6回	疑問代名詞・関係代名詞	Leçon 9 目的語人称代名詞
第7回	「愛のとりこ」	Leçon 9 練習問題
第8回	目的語代名詞、代名動詞	Leçon 10 現在分詞・過去分詞
第9回	「いつものように」	Leçon 10 練習問題
第10回	複合過去・半過去	Leçon 11 複合過去・半過去
第11回	「シェリーに口づけ」	Leçon 11 練習問題
第12回	構文練習	Leçon 12 中性代名詞
第13回	「心に太陽を」	Leçon 12 練習問題
第14回	後期のまとめ	全員で合唱

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学則によれば、1 単位科目において必要な学習時間数は1 時間以上が標準とされています」

【テキスト（教科書）】

『ポップ・フランセ』（駿河台出版社、2500 円＋税）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

前回の授業内容から、次の授業開始時に小テストを行う。

小テストと期末試験の評価合は50%＋50%。

小テストの合計と、期末試験の合計を100点満点に換算して、法政大学の評価基準に応じて評価する。

毎回出席を取る。欠席は3回まで認める。

4回以上欠席すると期末試験受験の対象から外れる。

遅刻は30分まで出席にするが、小テストは授業開始時に行うので、小テストが終了していれば、受からない。

【学生の意見等からの気づき】

映像を見せて欲しいとの要望があり、適宜Youtubeなどで映像を見せていく

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

特になし

【Outline (in English)】

In learning the elementary French grammar, to know the diversity of the French culture.

1 Know the correct pronunciation.

2 Learn the translation.

3 Sing the French songs.

In learning the French, to know the Japanese.

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語 1 I

2017年度以降入学者

油本 真理

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語を初めて学ぶ学生を対象とし、ロシア語のアルファベット、発音、初級文法を習得する。なお、本授業は「ロシア語2 I」と連携している。

【到達目標】

(1)ロシア語の文字を読み書きすることができる。(2)ロシア語の文法の基本を説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

最初の一ヶ月間でロシア文字とその発音をしっかりと習得する。その後、初級文法を教科書で学びながら、様々な練習問題を解くことにより、理解・定着を図る。視聴覚教材もふんだんに用い、まずはロシア語に親しむことを目指す。各課を終えるごとに小テストを実施し、理解度をこまめに確認しながら授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ロシア語の予備知識、文字と発音	ロシアとロシア語について、アルファベットと発音
2	第1課 文字の発音と書き方	ロシア語の文字の発音と書き方、発音練習（母音）
3	第1課 文字と単語の発音、発音のテスト	ロシア語の文字と単語の発音（子音）、アクセント、発音のテスト
4	第2課 基本文型（～は...である）	基本文型（～は...である）、イントネーション（平叙文と疑問文）、挨拶の練習
5	第2課 名詞の性、人称代名詞	名詞の性、人称代名詞、検定試験問題
6	第3課 名詞の複数形、正書法	名詞の複数形、正書法
7	第3課 所有代名詞	所有代名詞、会話と練習問題
8	第4課 形容詞と指示代名詞	形容詞の用法と指示代名詞
9	第4課 形容詞	形容詞（硬変化、軟変化）とその練習問題
10	第5課 動詞の不定形と過去形	動詞（不定形と過去形）
11	第5課 副詞と格	副詞の作り方、格の説明
12	第6課 動詞の現在形と未来形	動詞の現在形（現在人称変化）と未来形（合成未来）
13	第6課 前置格 春学期の復習	前置格の説明、春学期の復習
14	授業内試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前には該当箇所を予習し、新出単語の意味を調べる。授業後には新たに学んだ事項を復習し、わからないところを次の授業で質問する。また、小テストの前には必ず文法事項や語彙を復習する。本授業の準備学習・復習時間は合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

「初級ロシア語」（法政大学ロシア語担当教員 編）
[2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可]

【参考書】

露和・和露辞典（博友社「ロシア語辞典」（1995年）など）
和久利誓一著『入門ロシア語文法（改訂版）』白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テストを含む）（60％）、期末試験（40％）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

語学学習にとどまらず、ロシアの社会状況や文化についても可能な限り触れる。

【その他の重要事項】

授業計画は学生の習熟度により若干変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course introduces you to the foundations of Russian language. In this semester, we will focus on mastery of alphabets, pronunciation, and basic grammar and vocabulary. The course will be followed by the “Russian I -2” course in the autumn semester. No prior knowledge of Russian is required.

【Learning Objectives】

By the end of this course, students will be able to 1) read and pronounce Russian alphabets and 2) explain basic Russian grammar.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to prepare for the class and look up the meanings of new vocabulary. In this class, there will be a mini-test for each unit. Be sure to review the grammar and vocabulary before the mini-test. The standard preparation and review time for this class is one hour.

【Grading Criteria /Policy】

Grading will be based on the following:

Class participation (including mini-tests): 60%, Term-end examination: 40%.

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語 1 II

2017年度以降入学者

油本 真理

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は「ロシア語 1 I」に引き続き、ロシア語の諸学者を対象とする。本授業ではロシア語の初級文法の習得に加え、簡単な会話、文章の読み書きを学ぶ。なお、本授業は「ロシア語 2 II」と連携している。

【到達目標】

(1) 簡単なロシア語会話ができる。(2) ロシア語の文章から情報を得たり、ロシア語で必要な情報を伝えたりすることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法のエッセンスを取り上げ、繰り返しながら習得を目指す。また、文法の勉強と並行して会話練習や文章講読などにも取り組み、学んだ文法知識を実践する。各課を終えるごとに小テストを実施し、理解度をこまめに確認しながら授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期に学んだ文法事項の確認
2	第7課 動詞の命令形、対格、曜日の表現	動詞の命令形、対格変化（名詞、人称代名詞）
3	第7課 動詞の命令形、対格、曜日の表現	対格変化、曜日の表現
4	第7課 動詞の命令形、対格、曜日の表現	動詞の変化（-с я、歯音、唇音）
5	第8課 運動の動詞	運動の動詞（定向動詞と不定向動詞）
6	第8課 運動の動詞	行き先や動作の対象・目標の表現、手段としての乗り物の表現、目的を表す不定形の用法
7	第9課 形容詞・所有代名詞の対格、前置格	形容詞の対格、前置格
8	第9課 形容詞・所有代名詞の対格、前置格	所有代名詞の変化
9	第9課 形容詞・所有代名詞の対格、前置格	人称代名詞の変化
10	第10課 生格	生格変化（名詞、形容詞、所有代名詞、人称代名詞）
11	第10課 生格	所有の表現、否定生格
12	第11課 与格と造格	与格変化（名詞、形容詞、所有代名詞、人称代名詞）
13	第11課 与格と造格	造格変化（名詞、形容詞、所有代名詞、人称代名詞）
14	まとめと確認	秋学期に学んだ文法事項のまとめと確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前には該当箇所を予習し、新出単語の意味を調べる。授業後には新たに学んだ事項を復習し、わからないところを次回の授業で質問する。また、小テストの前には必ず文法事項や語彙を復習する。本授業の準備学習・復習時間は合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

「初級ロシア語」（法政大学ロシア語担当教員 編）

[2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可]

【参考書】

露和・和露辞典（博友社『ロシア語辞典』（1995年）など）

和久利誓一著『入門ロシア語文法（改訂版）』白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テストを含む）（60%）、期末試験（40%）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

重要な文法事項については繰り返し復習を行って確実な定着を図る。

【その他の重要事項】

授業計画は学生の習熟度により若干変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course introduces you to the foundations of Russian language. It will be offered to students who take the “Russian 1 I” course in the spring semester. In this semester, we will focus on providing knowledge on Russian grammar and vocabulary, as well as basic reading, listening comprehension, speaking, and writing skills. By the end of this course, students will be able to 1) communicate in Russian through basic phrases and 2) read and write basic Russian texts.

【Learning Objectives】

By the end of this course, students will be able to 1) read and pronounce Russian alphabets and 2) explain basic Russian grammar.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to prepare for the class and look up the meanings of new vocabulary. In this class, there will be a mini-test for each unit. Be sure to review the grammar and vocabulary before the mini-test.

【Grading Criteria /Policy】

Grading will be based on the following:

Class participation (including mini-tests): 60%, Term-end examination: 40%.

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語 1 I

2017年度以降入学者

木部 敬

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語入門（前篇）。1) 文字と発音の習得、2) 初級文法の最初の段階。

【到達目標】

ロシア語の文字を読み書きすることができる。ロシア語の文法の基本を説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語をはじめて学ぶ学生を対象とします。

「ロシア語1Ⅱ」とセットになっています。また、「ロシア語2Ⅰ」と提携して行なわれる授業です。

ロシア語ではラテン文字と異なるキリル文字が用いられています。まずはこの馴染みのない文字に慣れることに集中します。自分の口で発音し、手で書くことによってマスターしていきましょう。授業への積極的な参加が不可欠です。

次に、文字と発音の練習を継続しながら、だんだんと基本的な文法に取りかかるとにします。ポイントとなるのは、動詞の過去形・現在形・未来形の変化を覚えること、それから英語などにはない「格」という仕組みを理解することです。

まず文法事項を解説し、練習問題で理解を定着させる実習型の授業となります。

小テストで復習しながら、着実にものにしていきたいと思います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	文字と発音（その1）	ロシア語のアルファベットの書き方と読み方。
②	文字と発音（その2）	前回の続き。
③	文字と発音（その3）	ロシア語の単語の読み方の規則。
④	基本文型	「～は…である」、「～に…がある」という表現。
⑤	名詞の性	名詞の男性、女性、中性の判別の仕方。
⑥	名詞の複数形	名詞の単数形から複数形を作る仕方。
⑦	所有代名詞	所有代名詞と名詞（男性単数・女性単数・中性単数／男性複数・女性複数・中性複数）との結合の仕方。
⑧	形容詞	形容詞と名詞（男性単数・女性単数・中性単数／男性複数・女性複数・中性複数）との結合の仕方。
⑨	動詞の過去形	動詞の過去形は、主語である名詞が男性か女性か中性か、単数か複数かによって決まること。
⑩	名詞の格	名詞には六つの「格」（主格・生格・与格・対格・造格・前置格）があること。

⑪	動詞の現在形	動詞の現在形は、主語の人称（わたし・あなた・彼・彼女など）によって決まること。
⑫	動詞の未来形	動詞の未来形は、主語の人称（わたし・あなた・彼・彼女など）によって決まること。
⑬	名詞の前置格	名詞の主格から前置格を作る仕方、名詞の前置格の意味。
⑭	期末試験	文法問題、露文和訳、和文露訳、それらの解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は1時間を標準とします。

この段階で最も重要な準備学習は、暗唱や音読など、ロシア語を実際に声に出すことです。単語を辞書で調べる学習は、後から次第に増やすようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』法政大学ロシア語担当教員編（2020/2021年度版、2018/2019年度版、両者の内容は同じなので、いずれでも可）。

【参考書】

和久利誓一著『入門ロシア語文法（改訂版）』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点20%、期末試験80%。適宜、既習の内容を復習する小テストを行います。期末試験はこれら小テストを総括するテストです。ロシア語は、初級段階の学習の積み上げが特に大事な言語です（例えば、名詞の性が分らないと、名詞の複数形が分らない。名詞の性と数が分らないと、名詞と形容詞の結合が分らない、また動詞の過去形も分らない、さらには名詞の格も分らない、等々）。一歩一歩確実にマスターしながら前進することが高い評価につながります。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。

授業時間外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 1 (Part 1).

The aim of this course is to learn Russian Cyrillic alphabet and the most introductory grammar (the gender of nouns, nouns in singular and plural, the past, present and future tenses of verbs, etc.)

At the end of this course, students should be able to read and write Cyrillic alphabet and understand the most basic Russian sentences.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend 1 hour to understand and master the course content.

Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語 1 II

2017年度以降入学者

木部 敬

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語入門（後編）。1）初級文法。2）会話、読解、作文。

【到達目標】

簡単な会話をロシア語で行ったり、必要最低限の情報をロシア語の文章から得る、またはロシア語で書くことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「ロシア語1 I」に引き続き、ロシア語の初学者を対象とします。

「ロシア語2 II」と提携して行なわれる授業です。

ここでの文法学習のポイントとなるのは、名詞（と形容詞・所有代名詞）の「格」の変化と意味を覚えることです。

文法事項を解説し、練習問題で理解を定着させる実習型の授業となります。

学習支援システムで課題を提示し、授業時間内に小テストを行います。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	春学期の復習	名詞の性・数・格、動詞の過去形・現在形・未来形。
②	動詞の命令形	命令の表現の作り方。
③	名詞の対格	名詞の主格から対格を作る仕方、名詞の対格の意味。曜日の表現。
④	運動の動詞（その1）	運動の動詞の意味、現在形・過去形。
⑤	運動の動詞（その2）	運動の動詞の使い分け。
⑥	形容詞の前置格と対格	名詞の前置格と形容詞の前置格、名詞の対格と形容詞の対格、それぞれの結合の仕方。
⑦	所有代名詞の前置格と対格	名詞の前置格と所有代名詞の前置格、名詞の対格と所有代名詞の対格、それぞれの結合の仕方。
⑧	名詞の生格	名詞の主格から生格を作る仕方、名詞の生格の意味。
⑨	形容詞・所有代名詞の生格	名詞の生格と形容詞・所有代名詞の生格との結合の仕方。
⑩	名詞の与格	名詞の主格から与格を作る仕方、名詞の与格の意味。
⑪	形容詞・所有代名詞の与格	名詞の与格と形容詞・所有代名詞との結合の仕方。
⑫	名詞の造格	名詞の主格から造格を作る仕方、名詞の造格の意味。
⑬	形容詞・所有代名詞の造格	名詞の造格と形容詞・所有代名詞の造格との結合の仕方。
⑭	期末試験、まとめと解説	文法問題。露文和訳。和文露訳。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

ロシア語を声に出す準備学習と復習に加えて、辞書で単語を引き、ロシア語の文章の意味を自分の力で理解する練習を始めましょう。春学期よりもずっと大変な学習になるので、努力が必要です。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』法政大学ロシア語担当教員編（2020/2021年度版、2018/2019年度版、両者の内容は同じなので、どちらでも可）。

【参考書】

和久利誓一著『入門ロシア語文法（改訂版）』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点20%、期末試験80%。適宜、既習の内容を復習する小テストを行います。期末試験はこれら小テストを総括するテストです。ロシア語は、文法学習の積み上げが特に大事な言語です（例えば、名詞の性が分らないと、名詞の複数形が分らない。名詞の性と数が分らないと、名詞と形容詞の結合が分らない、また動詞の過去形も分らない、さらには名詞の格も分らない、等々）。一步一步確実にマスターしながら前進することが高い評価につながります。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。

授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 1 (Part 2).

The aim of this course is to learn introductory grammar (the cases of nouns, verbs of motion, etc.) and to practice elementary conversation, reading and writing.

At the end of this course, students should be able to read and write simple Russian texts and hold easy Russian conversations.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend 1 hour to understand and master the course content.

Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語 1 I

2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語をはじめて学ぶ学生向けの授業です。ロシア語のアルファベット、単語の発音から始めて、簡単な文章を読み、辞書を用いて意味を理解できるようにします。

【到達目標】

教科書の単語と文法を着実に習得する。テキストが読めるようになる。練習問題や宿題を積み重ねて理解度を上げる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語2との提携授業です。下記の授業計画にもとづき、文法説明を行い、テキストや練習問題をつうじて理解を深めます。適宜小テストを実施し、採点の上、次回授業で返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業ガイダンス
2	文字と発音	アルファベットの読み方と書き方、アクセント
3	文字と発音 (2)	子音の発音、単語の発音
4	基本文型	「～は～である」「～に～がある」という表現、平叙文と疑問文
5	名詞の性	人称代名詞や名詞の性別
6	名詞の複数	名詞の性別ごとの複数形の作り方
7	所有代名詞	「～の」という表現と名詞の性数との関係
8	形容詞	形容詞と名詞の性数の関係
9	動詞の過去形	主語の性数と動詞の過去形の作り方
10	格変化	名詞の格変化と格の基本的用法
11	動詞の現在形	主語の人称に応じた動詞の現在形の作り方
12	動詞の未来形	主語の人称に応じた動詞の未来形の作り方
13	前置格	「～で」「～について」という前置詞と前置格の作り方
14	期末試験	教場試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。発音練習、単語の暗記、宿題をつうじた復習、反復など日々の学習が重要です。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）（2018/2019年度版）と（2020/2021年度版）とは同一内容なので、どちらの版を入手しても問題ありません。

【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一 白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、予習、復習、課題提出、小テスト等）40%、学期末試験60%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

学生が積極的に参加できる授業にしたいと思います。

【Outline (in English)】

Course Outline

The aim of this course is to help students acquire elementary Russian.

Learning Objectives

At the end of the course, students are expected to acquire Russian words and grammar.

Learning Activities Outside of Classroom

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 60%; standard score (short tests, in-class contribution, etc.): 40%

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語 1 II

2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期で使った「初級ロシア語」の教科書を引き続き用い、ロシア語の文法学習を進めます。

【到達目標】

文法学習を進め、かんたんな会話や文章の読解、作文ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語2との提携授業です。春学期同様、下記の授業計画にもとづき、文法説明を行い、テキストや練習問題をつうじて理解を深めます。適宜小テストを実施し、採点の上、次回授業で返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の学習内容を練習問題をつうじて復習する
2	動詞の命令形	「～しろ」「～してください」という表現
3	対格	対格（～を）の作り方と、それをもとにした曜日の表現
4	運動の動詞	定動詞、不定動詞の区別と「～へ」という行き先の表現
5	形容詞の対格、前置格	形容詞の対格と前置格の作り方、用法
6	所有代名詞の対格、前置格	所有代名詞の対格と前置格の作り方、用法
7	名詞の生格	名詞の生格（～の）の作り方
8	形容詞・所有代名詞の生格	形容詞・所有代名詞の生格の作り方と用法
9	生格を使ったさまざまな表現	所有の表現、否定生格
10	名詞の与格	名詞の与格（～に）の作り方と用法
11	名詞の造格	名詞の造格の作り方と用法
12	形容詞・所有代名詞の与格	形容詞・所有代名詞の与格の作り方と用法
13	形容詞・所有代名詞の造格	形容詞・所有代名詞の造格の作り方と用法
14	秋学期試験	教場試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。新出単語は各自で調べるようにしてください。発音練習、単語の暗記、宿題をつうじた復習、反復など日々の学習が重要です。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）（2018/2019年度版）と（2020/2021年度版）とは同一内容なので、どちらの版を入手しても問題ありません。

【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一、白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、予習、復習、課題提出、小テスト等）40％、学期末試験60％の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

みなさんが積極的に参加できる授業にしたいと思います。

【Outline (in English)】

Course Outline

The aim of this course is to help students acquire the basics of Russian grammar.

Learning Objectives

At the end of the course, students are expected to acquire Russian words, grammar and expressions dealt in the textbook.

Learning Activities Outside of Classroom

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 60%; standard score (short tests, in-class contribution, etc.): 40%

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語2 I 2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語を初めて学ぶ学生を対象とした授業です。ロシア語の文字の発音、読み方、書き方から始めます。それらを習得した後は、ロシア語1で学んだ文法事項を確認し、練習問題やテキストの読解などで応用力をつけることを目指します。

【到達目標】

ロシア語の文字を読み、書けること。アクセントを意識して単語を発音できること。イントネーションを意識してまとまった文章を音読できること。簡単な挨拶を理解し、的確に返答できること。学んだ文法を理解し、運用できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語1との連携授業です。ロシア語1で学んだ単語、文法事項、文章表現を復習しながら、練習問題の答え合せと解説、テキストや会話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また、知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	文字と発音 (1)	文字の発音、書き方の説明と練習
2	文字と発音 (2)	発音の規則の説明と練習
3	文字と発音 (3)	簡単な挨拶の発音と練習
4	基本文型、人称代名詞、名詞の性	基本文型、人称代名詞、名詞の性の説明と練習
5	名詞の複数形	名詞の複数形の確認と練習
6	所有代名詞	所有代名詞の語尾変化の確認と練習
7	形容詞 (1)	形容詞、指示代名詞の語尾変化の確認と練習
8	形容詞 (2)	形容詞、指示代名詞の語尾変化の確認と練習
9	動詞の過去形	動詞の過去形の確認と練習
10	副詞、格	副詞の用法と形の説明と練習、格の役割の説明
11	動詞の現在人称変化	動詞の現在人称変化（第1変化、第2変化）の説明と練習
12	動詞の未来形	動詞の未来形の確認と練習
13	前置格	前置格の用法と形の説明と練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

新出単語は辞書で意味を確認し、授業で学んだことは復習して覚えるようにしましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）

*「2018/2019年度版」、「2020/2021年度版」は同内容であるため、いずれを購入しても問題はない。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50%、期末試験50%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

This is a course for beginners. For the beginning, Russian alphabet, pronunciation of each letter, phonics and simple conversation for the first contact will be introduced. After that it deals with elementary grammar to read and understand Russian texts and conversation.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to acquire elementary grammar to read and understand Russian texts and conversation.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語 2 II 2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語1で学んだこと復習しながら、練習問題やテキストの読解によって応用力を養います。ロシア語の特徴である6つの格変化と動詞の活用形を習得し、平易なロシア語の文章を日本語に訳したり、簡単なロシア語の会話ができるようになることを目指します。

【到達目標】

動詞の活用形（現在、過去、未来、命令形）を覚え、運用できること。格の用法を理解し、形を覚えること。平易なロシア語の文章を理解し、正確に日本語に訳せること。簡単なロシア語の会話を理解し、コミュニケーションでできること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語1と連携して授業を行います。ロシア語1で学んだ単語、文法事項、文章表現を復習しながら、練習問題の答え合せと解説、テキストや会話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また、知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	動詞の命令形	動詞の命令形の確認と練習
2	対格、曜日の表現	対格の用法と形、曜日の表現の説明と練習
3	運動の動詞 (1)	定向動詞・不定向動詞の用法の説明と練習
4	運動の動詞 (2)	行き先と乗り物の表現の説明と練習
5	所有代名詞・形容詞・人称代名詞の対格	所有代名詞・形容詞・人称代名詞の対格の形の確認と練習
6	所有代名詞・形容詞・人称代名詞の前置格	所有代名詞・形容詞・人称代名詞の前置格の形の確認と練習
7	生格 (1)	生格の用法と形の説明と練習
8	生格 (2)	生格を要求する前置詞などの説明と練習
9	与格 (1)	与格の用法と形の説明と練習
10	与格 (2)	与格を要求する前置詞などの説明と練習
11	造格 (1)	造格の用法と形の説明と練習
12	造格 (2)	造格を要求する前置詞などの説明と練習
13	人称代名詞の格変化	人称代名詞の格変化の確認と練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

新出単語は事前に辞書で意味を調べ、覚えるようにしましょう。授業で学んだことはしっかり復習しましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）

*「2018/2019年度版」、「2020/2021年度版」は同内容であるため、いずれを購入しても問題はない。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社

露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50%、期末試験50%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問・発言しやすい双方向的な授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

The aim of this course is to help students acquire basic grammar to read and understand Russian texts and conversation. It mainly deals with verb-related grammar (past, present, future and imperative form) and declension (case inflection).

【Learning Objectives】

The goal of this course is to acquire basic grammar to read and understand Russian texts and conversation.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、in class contribution: 50%

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語2 I

2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語を初めて学ぶ学生を対象とした授業です。ロシア語アルファベットの読み方、書き方から始め、その後は、ロシア語1で学んだ文法事項を確認し、練習問題などで応用力をつけることを目的とします。

【到達目標】

教科書の単語と文法を着実に習得する。テキストが的確に音読できるようになる。かんたんな挨拶、会話を理解し、適切に応答する。文法を応用し簡単な表現を使えるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語1との提携授業です。文法事項の説明、練習問題、テキストの読解、対話の練習を行います。本文を暗記してもらい発音チェックするなど、適宜小テストを実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業ガイダンスとアルファベットの紹介
2	文字と発音	アルファベットの読み方と書き方、アクセント
3	文字と発音 (2)	単語の発音、発音の規則
4	基本文型	「～は～である」「～に～がある」という表現、平叙文と疑問文、イントネーション
5	名詞の性	人称代名詞、名詞の性
6	名詞の複数形	名詞の性別ごとの複数形の作り方
7	所有代名詞	「～の」という表現と名詞の性数との関係
8	形容詞	名詞の性数に応じた形容詞の変化
9	動詞の過去形	主語の性数に応じた動詞の過去形の作り方
10	格変化	名詞の格変化と格の基本的用法
11	動詞の現在形	主語の人称に応じた動詞の現在形の作り方
12	動詞の未来形	主語の人称に応じた動詞の未来形の作り方
13	前置格	「～で」「～について」という前置詞と前置格の作り方
14	期末試験	教場試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。発音練習、単語の暗記、宿題をつづいた復習、反復など日々の学習が重要です。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）

（2018/2019年度版）と（2020/2021年度版）とは同一内容なので、どちらの版を入手しても問題ありません。

【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、予習、復習、課題提出、小テスト等）40%、学期末試験60%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

学生が積極的に参加できる授業にしたいと思います。

【Outline (in English)】

Course Outline

The aim of this course is to help students acquire elementary Russian.

Learning Objectives

At the end of the course, students are expected to acquire Russian words and grammar.

Learning Activities Outside of Classroom

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 60%; standard score (short tests, in-class contribution, etc.): 40%

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語 2 II

2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語 1 で学んだ文法事項の復習をしつつ、練習問題やテキストを読むことで応用力を養います。

【到達目標】

学習した文法事項をもとにかんたんなロシア語の文章を理解し日本語に訳せるようになる。かんたんなロシア語の会話を理解し、それに適切に応えられるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語 1 と連携して授業を行います。文法事項の説明、練習問題、テキストの読解、かんたんな対話の練習を行います。本文を暗記してもらい、発音チェックをするなど、適宜小テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の学習内容を練習問題をつうじて復習する
2	動詞の命令形	「～しろ」「～してください」という表現
3	対格	対格（～を）の作り方とそれをもとにした曜日の表現
4	運動の動詞	定動詞、不定動詞の区別と「～へ」という行き先の表現
5	形容詞の対格、前置格	形容詞の対格、前置格の作り方と用法
6	所有代名詞の対格、前置格	所有代名詞の対格、前置格の作り方と用法
7	名詞の生格	名詞の生格（～の）の作り方
8	形容詞・所有代名詞の生格	形容詞・所有代名詞の生格の作り方と用法
9	生格を使ったさまざまな表現	所有の表現、否定生格
10	名詞の与格	名詞の与格（～に）の作り方と用法
11	名詞の造格	名詞の造格の作り方と用法
12	形容詞・所有代名詞の与格	形容詞・所有代名詞の与格の作り方と用法
13	形容詞・所有代名詞の造格	形容詞・所有代名詞の造格の作り方と用法
14	秋学期試験	教場試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。発音練習、単語の暗記、宿題をつうじた復習、反復など日々の学習が重要です。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）（2018/2019年度版）と（2020/2021年度版）とは同一内容なので、どちらの版を入手しても問題ありません。

【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、予習、復習、課題提出、小テスト等）40%、学期末試験60%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

みなさんが積極的に参加できる授業にしたいと思います。

【Outline (in English)】

Course Outline

The aim of this course is to help students acquire the basics of Russian grammar.

Learning Objectives

At the end of the course, students are expected to acquire Russian words, grammar and expressions dealt in the textbook.

Learning Activities Outside of Classroom

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 60%; standard score (short tests, in-class contribution, etc.): 40%

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語2 I 2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語を初めて学ぶ学生を対象とした授業です。ロシア語の文字の発音、読み方、書き方から始めます。それらを習得した後は、ロシア語1で学んだ文法事項を確認し、練習問題やテキストの読解などで応用力をつけることを目指します。

【到達目標】

ロシア語の文字を読み、書けること。アクセントを意識して単語を発音できること。イントネーションを意識してまとまった文章を音読できること。簡単な挨拶を理解し、的確に返答できること。学んだ文法を理解し、運用できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語1との連携授業です。ロシア語1で学んだ単語、文法事項、文章表現を復習しながら、練習問題の答え合せと解説、テキストや会話の読解と解説、というかたち授業を進めます。また、知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	文字と発音 (1)	文字の発音、書き方の説明と練習
2	文字と発音 (2)	発音の規則の説明と練習
3	文字と発音 (3)	簡単な挨拶の発音と練習
4	基本文型、人称代名詞、名詞の性	基本文型、人称代名詞、名詞の性の説明と練習
5	名詞の複数形	名詞の複数形の確認と練習
6	所有代名詞	所有代名詞の語尾変化の確認と練習
7	形容詞 (1)	形容詞、指示代名詞の語尾変化の確認と練習
8	形容詞 (2)	形容詞、指示代名詞の語尾変化の確認と練習
9	動詞の過去形	動詞の過去形の確認と練習
10	副詞、格	副詞の用法と形の説明と練習、格の役割の説明
11	動詞の現在人称変化	動詞の現在人称変化（第1変化、第2変化）の説明と練習
12	動詞の未来形	動詞の未来形の確認と練習
13	前置格	前置格の用法と形の説明と練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

新出単語は辞書で意味を確認し、授業で学んだことは復習して覚えるようにしましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）

*「2018/2019年度版」、「2020/2021年度版」は同内容であるため、いずれを購入しても問題はない。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50%、期末試験50%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

This is a course for beginners. For the beginning, Russian alphabet, pronunciation of each letter, phonics and simple conversation for the first contact will be introduced. After that it deals with elementary grammar to read and understand Russian texts and conversation.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to acquire elementary grammar to read and understand Russian texts and conversation.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語 2 II

2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語1で学んだことを復習しながら、練習問題やテキストの読解によって応用力を養います。ロシア語の特徴である6つの格変化と動詞の活用形を習得し、平易なロシア語の文章を日本語に訳したり、簡単なロシア語の会話ができるようになることを目指します。

【到達目標】

動詞の活用形（現在、過去、未来、命令形）を覚え、運用できること。格の用法を理解し、形を覚えること。簡単なロシア語の文章を理解し、正確に日本語に訳せること。簡単なロシア語の会話を理解し、コミュニケーションでできること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語1と連携して授業を行います。ロシア語1で学んだ単語、文法事項、文章表現を復習しながら、練習問題の答え合せと解説、テキストや会話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また、知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	動詞の命令形	動詞の命令形の確認と練習
2	対格、曜日の表現	対格の用法と形、曜日の表現の説明と練習
3	運動の動詞 (1)	定向動詞・不定向動詞の用法の説明と練習
4	運動の動詞 (2)	行き先と乗り物の表現の説明と練習
5	所有代名詞・形容詞・人称代名詞の対格	所有代名詞・形容詞・人称代名詞の対格の形の確認と練習
6	所有代名詞・形容詞・人称代名詞の前置格	所有代名詞・形容詞・人称代名詞の前置格の形の確認と練習
7	生格 (1)	生格の用法と形の説明と練習
8	生格 (2)	生格を要求する前置詞などの説明と練習
9	与格 (1)	与格の用法と形の説明と練習
10	与格 (2)	与格を要求する前置詞などの説明と練習
11	造格 (1)	造格の用法と形の説明と練習
12	造格 (2)	造格を要求する前置詞などの説明と練習
13	人称代名詞の格変化	人称代名詞の格変化の確認と練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

新出単語は事前に辞書で意味を調べ、覚えるようにしましょう。授業で学んだことはしっかり復習しましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）

*「2018/2019年度版」、「2020/2021年度版」は同内容であるため、いずれを購入しても問題はない。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社

露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50%、期末試験50%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問・発言しやすい双方向的な授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進捗によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students acquire basic grammar to read and understand Russian texts and conversation. It mainly deals with verb-related grammar (past, present, future and imperative form) and declension (case inflection).

【Learning Objectives】

The goal of this course is to acquire basic grammar to read and understand Russian texts and conversation.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、in class contribution: 50%

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語 1

2017年度以降入学者

エレナ 三神

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語入門（前篇）の授業です。ロシア文字の読み方、書き方から始め、初級文法を学習します。ロシア語の発音とイントネーションを重視し、ロシア語の単語の聞き取りや簡単な文の作成までも練習します。

【到達目標】

ロシア語の文字、言葉、文書を読み書きすることができる。ロシア語の文法の基本を理解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語をはじめて学ぶ学生を対象とします。まずはロシア語文字に慣れ、文字と発音の練習を継続しながら、だんだんと基本的な文法に取りかかることとなります。ロシア語ネイティブ講師と会話の練習も行います。

課題などに対する教員のフィードバックは、授業時や提出した課題につけたコメントなどの方法で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	文字と発音（その1）	ロシア語に関する総合的説明。 ロシア語のアルファベットの書き方と読み方。
2	文字と発音（その2）	ロシア語の単語の読み方の規則。
3	基本文型	「～は…である」、「～に…がある」という表現。
4	名詞の性	名詞の男性、女性、中性の判別の仕方。
5	名詞の複数形	名詞の単数形から複数形を作る仕方。
6	所有代名詞	所有代名詞と名詞（男性単数・女性単数・中性単数／男性複数・女性複数・中性複数）との結合の仕方。
7	形容詞	形容詞と名詞（男性単数・女性単数・中性単数／男性複数・女性複数・中性複数）との結合。
8	動詞の過去形	動詞の過去形は、主語である名詞が男性か女性か中性か、単数か複数かによって決まること。
9	名詞の格	名詞には六つの「格」（主格・生格・与格・対格・造格・前置格）があること。
10	動詞の現在形	動詞の現在形は、主語の人称（わたし・あなた・彼・彼女など）によって決まること。
11	動詞の未来形	動詞の未来形は、主語の人称（わたし・あなた・彼・彼女など）によって決まること。
12	名詞の前置格	名詞の主格から前置格を作る仕方、名詞の前置格の意味。

13 まとめと復習 ここまでの学習内容のまとめ。

14 期末試験 期末試験対策。

試験と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業後に文法・新出単語の学習や文書音読などの宿題があります。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）

「2018/2019年度版」、「2020/2021年度版」は同内容であるため、いずれを購入しても問題はありません。

【参考書】

『博友社ロシア語辞典』

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト 50%、複数小テスト 30%、宿題 20%

【学生の意見等からの気づき】

いつでも学生からのメールに対応できるようにしています。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスできる端末(PC やタブレットなど)。

【その他の重要事項】

ご質問などは elena.mikami.66@hosei.ac.jp までお問い合わせください。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The main objective of the elementary course of the Russian language for beginners is to enable students to read Russian letters, to master Russian pronunciations, to understand the elementary Russian grammar.

(Learning Objectives)

At the end of the course, students are expected to be able to read and write Russian letters, words and documents, to understand the basics of Russian grammar.

(Learning activities outside of classroom)

As a learning activity outside of classroom there will be a homework assignment for each lesson to review the vocabulary covered in class and to listen. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policy)

Term-end examination 50%, Word tests 30%, Homework 20%

LANr100LA（ロシア語 / Russian language education 100）	
ロシア語3	2017年度以降入学者
佐藤 千登勢	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月5/Mon.5	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語4、ロシア語6と連携する授業です。春学期に引き続き、単語をフレーズのなかで覚えながら語彙力をつけ、さらに新たな文法事項を習得していくことで、ロシア語の基礎を盤石にしていきたいと思います。この授業が終わる頃には、ロシア語で平易な読み物が読めるようになり、簡単な会話表現が身に付いていることでしょうか。具体的には、ロシア語能力検定試験4級もしくは3級程度の力がついているはずです。

【到達目標】

SAロシアでの授業や生活で困らない程度の日常的なロシア語運用能力を身につけるよう頑張ります。ロシアでの生活は、ロシア語でのコミュニケーションが成り立つ事で、その充実度や喜びは数倍も変わります。語彙力と文法力の増強はさることながら、コミュニケーション能力を身につけることに焦点を当てます。文法事項としては、ロシア語能力検定試験4級から3級程度の力を身につけます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期と同じ教材を使用し、それぞれの担当教員がリレー方式で授業を進めます。春学期に学んだ文法事項を復習するところから始め、引き続き、新たな文法事項を練習問題や読解を通して着実に身につけていきます。文法を定着させることが語学上達の鍵ですので、一生懸命吸収してください。授業は音読に力を入れます。小テストや課題は翌週に教場で確認を行い、フィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期の復習	春学期期末試験の確認を通して復習を行う。
第2回	運動の動詞（定動詞と不定動詞）の人称変化。	運動の動詞（定動詞と不定動詞）の概念について。その人称変化を確認。
第3回	運動の動詞（定動詞と不定動詞）。方向の示し方。交通手段。対格、前置格。	前回授業の復習。方向を示す副詞句。交通手段を表す表現。対格と前置格の復習。
第4回	前置格、対格の形容詞の変化。	形容詞＋名詞の前置格、対格を覚える。
第5回	前置格、対格の形容詞・所有代名詞の変化。	前回授業の復習。テキストの読解と質疑応答。
第6回	生格（形容詞・所有代名詞）。	形容詞＋名詞の生格を覚える。テキストの読解と質疑応答。
第7回	生格（所有代名詞）。	前回授業の復習。練習問題。テキストの読解と質疑応答。
第8回	与格	形容詞＋名詞の与格を覚える。テキストの読解と質疑応答。
第9回	造格	形容詞＋名詞の造格を覚える。テキストの読解と質疑応答。
第10回	動詞の完了体・不完了体。練習問題。	動詞の完了体・不完了体の概念としくみについて。その区別を行う練習問題。

第11回	動詞の完了体・不完了体。	前回授業の復習と確認。
第12回	関係代名詞。テキスト読解。	関係代名詞のしくみについて。文章の中で、関係代名詞の機能を確認していく。
第13回	関係代名詞／目的を示す接続詞。テキスト読解。	前回の復習。目的を示す接続詞を学ぶ。仮定法のしくみについて。
第14回	期末試験	文法を確認する筆記試験を実施。まとめと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回授業内容の予習（とくに辞書を引く作業）。復習を兼ねた課題。本授業の予習・復習時間は合わせて1時間半を標準とします。

【テキスト（教科書）】

春学期に同じ。

【参考書】

春学期に同じ。

【成績評価の方法と基準】

平常点（50％）、期末試験（25％）、小テスト（25％）。この成績評価をもとに本授業の到達目標の60％以上を達成した学生を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

文法と会話の力を身につけていく工夫を重ねていきます。

【Outline (in English)】

●Course outline

This course proceeds in close contact with courses: Russian 4 and Russian 6.

In this course, we will acquire basics of Russian grammar: grammatical cases, grammatical aspects and relative pronoun. We will be able to read easy texts and have simple conversations in Russian.

●Learning objectives

Students will acquire daily Russian proficiency. Focus on developing communication skills as well as improving vocabulary and grammar. As for grammatical matters, you will acquire the ability of the Russian Language Proficiency Test Level 4 to Level 3.

●Learning activities outside of classroom

Preparation for the next lesson (especially the work of looking up a dictionary). It takes about 1.5 hours to prepare for the next lesson.

●Grading Criteria/Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance (50％), term-end exam(25％) and quizzes(25％). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

LANr100LA（ロシア語 / Russian language education 100）

ロシア語2

2017年度以降入学者

佐藤 千登勢

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語1、ロシア語5と連携する授業です。単語をフレーズのなかで覚えながら語彙をつけ、さらに文法事項を習得していくことで、ロシア語の基礎作りをしていきましょう。また、コミュニケーション手段としてのロシア語を身近に感じてもらうために、映画や歌謡を通して、習得した表現がどのように使われているのかを確認する時間もちます。ロシアの文化や慣習とつねに結び付けながら、また英語や日本語との比較を絶えず視野に入れながらロシア語の特殊性、面白さを発見していきましょう。

【到達目標】

ロシア語の文字、音声に慣れましょう。文法の初歩を確実に積み重ね、日常生活で欠かせない表現や単語を覚えて、ロシア語での簡単なコミュニケーションを楽しみます。音読に力を入れて、簡単なロシア語の文章を流麗に読めるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語1と同じ教材を使用し、それぞれの担当教員がリレー方式で授業を進めます。ロシア語1で学んだ文法事項を練習問題や簡単な口頭表現で定着させていきます。文法を学ぶことが、語学上達の鍵となりますので、一生懸命に吸収してください。授業は音読に力を入れます。課題や小テストは翌週、教場で確認を行い、フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	文字と発音1	ガイダンス。 ロシア語のアルファベット。文字の確認と音に慣れる。
第2回	文字と発音2	ロシア語のアルファベット。文字の確認と音に慣れる。
第3回	基本文型「これは何？」「これは誰？」	物や人を尋ねる表現を覚え、基本的な名詞を覚えながら反復練習。
第4回	基本文型。名詞の性について。	平叙文の基本文型と疑問詞のない疑問文を確認しつつ、練習問題で基本文型の基礎固めを行う。名詞の性分類。
第5回	名詞の複数形。所有代名詞。自己紹介の練習。	名詞の複数形の作り方の基礎と例外を覚える。名詞の性と所有代名詞の関係を覚える。
第6回	名詞の複数形。所有代名詞。	前回の内容を復習しながら、新たな例外も覚える。
第7回	指示代名詞と形容詞。	名詞の性と形容詞の関係について覚える。モスクワの街について知る。個数詞を復習しながら12まで書けるようにする。
第8回	動詞の過去形。ロシア人の名前について。練習問題。	動詞の過去形の作り方を覚える。ロシア人の名前・父称・姓について。個数詞を20まで覚える。

第9回	動詞の現在形。前置格。場所の表現。	動詞の現在人称変化（第1変化／第2変化）を覚える。場所を表す前置格。個数詞の復習。
第10回	動詞の未来形。前置格。練習問題。	動詞の未来形（合成未来）の作り方を覚える。個数詞を69まで口頭で言えるようにする。
第11回	動詞の命令形。曜日の表現。対格。「～が好き」を使った会話練習。	動詞の命令形の作り方を覚える。個数詞を100まで口頭で言えるようにする。
第12回	動詞の歯音変化と唇音変化。再帰動詞の変化。	動詞の歯音変化と唇音変化を覚える。再帰動詞のしくみと変化について。個数史を199まで口頭練習。
第13回	動詞の現在、過去、未来形の復習。	春学期に学習したロシア語文法とロシア語の会話表現、疑問文、個数詞の復習を行う。
第14回	期末試験。	筆記とディクテーションからなる期末試験を実施。まとめと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回授業内容の予習。復習を兼ねた課題。本授業の予習・復習時間は、合わせて1時間半を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）（2018/2019年度版）と（2020/2021年度版）とは同一内容なので、どちらの版を入手しても問題ありません。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』改訂版（白水社）

【成績評価の方法と基準】

平常点（50％）、小テスト（25％）、期末試験（25％）として総合的に判断します。この評価をもとに、本授業の到達目標の60％以上を達成した学生を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

文法の基礎固めのために、分かり易い説明を心がけます。

【Outline (in English)】

● Course outline

This course proceeds in close contact with courses: Russian 1 and Russian 5.

In this course, we will acquire basics of Russian grammar and increase the vocabulary of Russian. We will be able to say greetings in Russian.

● Learning objectives

Students become accustomed to Russian letters and pronunciations. Make sure you build up the basics of grammar, learn expressions and words in everyday life, and enable easy communication in Russian. You will be able to read simple Russian sentences fluently.

● Learning activities outside of classroom

Preparation for the next lesson takes about 1.5 hours.

● Grading Criteria/Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance (50 %), term-end exam(25 %) and quizzes(25 %). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

LANr100LA（ロシア語 / Russian language education 100）

ロシア語 4

2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語3、ロシア語6と連携する授業です。春学期に引き続き、単語をフレーズのなかで覚えながら語彙力をつけ、さらに新たな文法事項を習得していくことで、ロシア語の基礎を盤石にしていきたいと思います。この授業が終わる頃には、ロシア語能力検定試験4級もしくは3級程度の力がつきます。

【到達目標】

SAロシアでの授業や生活に困らない程度の日常的なロシア語運用能力を身につけるよう頑張ります。ロシアでの生活は、ロシア語でのコミュニケーションが成り立つ事で、その充実度や喜びは数倍も変わります。語彙力と文法力の増強はさることながら、コミュニケーション能力を身につけることに焦点を当てます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語3と同じ教材を使用し、各担当教員がリレー方式で授業を行います。ロシア語3で学んだ文法事項を復習しつつ、練習問題を解いたり、テキストを読解することで応用力を養います。小テストや課題は教場で確認を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期で学んだ事項の確認と復習。
2	対格の用法	対格の説明と用法練習。
3	対格を使った表現	曜日など対格が含まれる表現の練習。
4	交通の表現	交通の手段と行先の表現（前置格、対格の応用）
5	所有代名詞・形容詞の格変化（前置格・対格）	所有代名詞・形容詞の格変化の説明と練習。
6	生格の用法	生格の説明と練習。
7	生格の復習	生格の説明と練習。
8	与格と造格の用法	与格と造格の説明と練習。
9	与格と造格の復習	名詞の格変化の総復習。
10	動詞の完了体・不完了体	動詞の完了体・不完了体の概念としくみ。練習問題。
11	動詞の完了体・不完了体	動詞の完了体・不完了体の復習
12	関係代名詞	関係代名詞のしくみについて
13	関係代名詞・目的を示す接続詞	関係代名詞の練習
14	期末試験	文法を確認する筆記試験を実施。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学で予習、復習は大切です。新出単語は事前に辞書で意味を確認し、授業で学んだことはしっかり復習しましょう。格変化は変化表でくりかえし確認し覚えるようにしましょう。本授業の予習・復習時間は、合わせて1時間半を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）（2018/2019年度版）と（2020/2021年度版）とは同一内容なので、どちらの版を入手しても問題ありません。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』改訂版、白水社
木村彰一 他編『博友社ロシア語辞典』博友社

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、予習、復習、課題提出、小テスト等）40％、学期末試験60％の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

双方向的な授業を心がけます。

【Outline (in English)】**Course Outline**

The aim of this course is to help students acquire the basics of Russian grammar.

Learning Objectives

At the end of the course, students are expected to acquire Russian words, grammar and expressions dealt in the textbook.

Learning Activities Outside of Classroom

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 60%; standard score (short tests, in-class contribution, etc.): 40%

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語5

2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語1、2と連携した授業です。ロシア語1、2で学んだことを復習しながら、ロシア語の正しい発音やイントネーション、基本的な単語や文法を習得します。

【到達目標】

ロシア語のアクセントの位置やイントネーションを確認して、正しく発音できるようになること。学んだ文法を理解し、運用できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語1、2で学んだことを復習しながら、知識の定着をはかるために練習問題を解き、語彙を増やすために小テストを実施します。また、必要に応じて課題を課します。添削した小テストや課題は、次の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	文字と発音(1)	ロシア(キリル)文字の発音練習
2	文字と発音(2)	ロシア(キリル)文字の発音練習
3	基本文型(～は～である。～に～がある。)(1)	平叙文と疑問文の文型、イントネーションの説明と練習
4	基本文型(～は～である。～に～がある。)(2)	人称代名詞、名詞の性の説明と練習
5	名詞の複数、所有代名詞(1)	名詞の複数形の確認と練習
6	名詞の複数、所有代名詞(2)	所有代名詞の語尾変化の確認と練習
7	形容詞	形容詞、指示代名詞の語尾変化の確認と練習
8	動詞の過去形、副詞、格(1)	動詞の過去形の確認と練習
9	動詞の過去形、副詞、格(2)	副詞の用法と形の説明と練習、格の役割の説明
10	動詞の現在形、未来形、前置格(1)	動詞の現在人称変化(第1変化、第2変化)の説明と練習
11	動詞の現在形、未来形、前置格(2)	動詞の未来形の確認と練習、前置格の用法と形の説明と練習
12	動詞の命令形、対格、曜日の表現(1)	動詞の命令形の確認と練習
13	動詞の命令形、対格、曜日の表現(2)	対格の用法と形、曜日の表現の説明と練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で提示した課題は必ずやってくる。小テストの内容や範囲については前の週の授業で指定するので、覚えておくようにしてください。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）

*「2018/2019年度版」、「2020/2021年度版」は同内容であるため、いずれを購入しても問題はない。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社

露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50%、期末試験50%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進捗により若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

This is a course for beginners. For the beginning, Russian alphabet, pronunciation of each letter, phonics and simple conversation for the first contact will be introduced. After that it deals with elementary grammar to read and understand Russian texts and conversation.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to acquire elementary grammar to read and understand Russian texts and conversation.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語 6

2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語3、4と連携した授業です。ロシア語3、4で学んだことを復習しながら、基本的な単語や文法を身につけ、総合的なロシア語力を養います。とくに格変化や数詞を使った表現の定着をはかります。

【到達目標】

教科書で学んだ文法事項を応用レベルで定着させること。ロシア語能力検定試験の4級・3級レベルに合格する程度の力をつけること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書で学んだことを復習しながら、知識の定着をはかるために練習問題を解き、語彙を増やすために小テストを実施します。また、必要に応じて課題を課します。添削した小テストや課題は、次の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	運動の動詞	定向動詞・不定向動詞の用法、行き先と乗り物の表現の説明と練習
2	形容詞・所有代名詞の対格、前置格	形容詞・所有代名詞の対格、前置格の形の確認と練習
3	生格（名詞・形容詞・所有代名詞）(1)	生格の用法と形の説明と練習
4	生格（名詞・形容詞・所有代名詞）(2)	生格を要求する前置詞などの説明と練習
5	与格と造格（名詞・形容詞・所有代名詞）(1)	与格と造格の用法と形の説明と練習
6	与格と造格（名詞・形容詞・所有代名詞）(2)	与格と造格を要求する前置詞などの説明と練習
7	動詞の完了体、完了体(1)	動詞の完了体、完了体の用法の説明と練習
8	動詞の完了体、完了体(2)	動詞の完了体、完了体の用法の説明と練習
9	関係代名詞(1)	関係代名詞の説明と練習
10	関係代名詞(2)	関係副詞、接続詞 что бы の用法の説明と練習
11	数詞、時間(1)	数詞と名詞の結合、時間表現の説明と練習
12	数詞、時間(2)	年月日の表現、年齢と値段の表現の説明と練習
13	比較級、最上級、仮定法	比較級、最上級、仮定法の説明と練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で提示した課題は必ずやってくる。小テストの内容や範囲については前の週の授業で指定するので、覚えておくようにしてください。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）

*「2018/2019年度版」、「2020/2021年度版」は同内容であるため、いずれを購入しても問題はない。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50％、期末試験50％の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進捗によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students acquire basic grammar to read and understand Russian texts and conversation. It mainly deals with declension (case inflection) and expression of numbers.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to acquire basic grammar to read and understand Russian texts and conversation.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50％、in class contribution: 50％

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語 1 - I

2017年度以降入学者

佐藤 裕子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学で初めてロシア語を学ぶ学生のための授業です。アルファベットの文字と発音の習得から始め、基礎文法と基本単語を身につけ、初級テキストの正確な音読・和訳、簡単な露作文の作成、また、挨拶など初歩的なコミュニケーション能力を養成します。履歴書に資格として記載できるロシア語能力検定試験4級合格の準備を始めます。ロシア文化に関する知識も広がっていきます。

【到達目標】

ロシア語のアルファベットと単語を美しく正確に発音できる。初級文法の最初のステップ（名詞、形容詞、動詞の変化など）や必須基本単語を習得する。挨拶や自己紹介などの簡単な会話を覚え実際に使えるようになる。ロシア語能力検定試験4級合格をひとつの目標とし、問題を解けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

最初の一ヶ月間、ロシア文字とその発音をしっかりと習得します。その後は教科書の各課に沿って、①新出単語の音読、②文法解説、③本文の解説と発音練習、④練習問題、という流れで授業を進めていきます。授業では視聴覚教材を用い、「聞く・話す・読む・書く」等、五感でロシア語に親しみます。また、ロシア語能力検定試験4級合格に向けての練習問題も解いていきます。授業内で実施した試験や小テストなど、課題に対する講評や解説は授業中に行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ロシア語の予備知識、第1課 文字の発音と書き方	ロシアとロシア語について、アルファベットと発音（母音）、簡単な挨拶
2	第1課 文字と単語の発音	文字と単語の発音（子音）、アクセント
3	第2課 基本文型（～は...である）	基本文型（～は...である）、イントネーション（平叙文と疑問文）、発音のミニテスト
4	第2課 名詞の性、人称代名詞	名詞の性、人称代名詞
5	第3課 名詞の複数形、正書法	名詞の複数形、正書法
6	第3課 所有代名詞	所有代名詞、会話と練習問題
7	第4課 形容詞と指示代名詞	形容詞と指示代名詞
8	第4課 形容詞	形容詞（硬変化、軟変化）とその練習問題
9	中間テスト、第5課 動詞の不定形と過去形	中間テスト（2課から4課）、第5課 動詞（不定形と過去形）
10	第5課 副詞と格について	副詞の作り方、格の説明
11	第6課 動詞の現在形と未来形	動詞の現在形（現在人称変化）と未来形（合成未来）

12	第6課 前置格	第6課 前置格
13	春学期の復習	春学期の復習（5課と6課の動詞と格変化を中心に復習）
14	期末試験・まとめと解説	期末試験（5課・6課）・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

新しい語学を学ぶ場合、スタート時点での数ヶ月が大切です。時間を見つけて積極的に予習（新出単語を調べる、テキストを訳す、練習問題を解く）や復習（文法の暗記、テキスト音読練習）を行うリズムを身につけましょう。予習・復習・課題の解答準備等の時間は、毎回2時間を目安とします。

【テキスト（教科書）】

・「初級ロシア語」（法政大学ロシア語担当教員 編）

【2020/2021年度版、2018/2019年度版 内容は同一なのでいずれでも可】

・授業内に適宜初級文法のプリントを配布します。

【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社、1970年、¥1404

露和辞典（博友社ロシア語辞典（1995年、¥6291）が望ましい）

『ティータイムのロシア語《CD付》』土岐康子、三神エレナ、佐藤裕子著、白水社、2019年、¥2310

【成績評価の方法と基準】

発音の学習後に発音のミニテスト、中間テストと最終週の期末テストを行います。この試験結果が評価の70%となります。その他の30%は平常点（授業への参加度、取り組みの姿勢）と宿題や課題、単語テストなどから総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

視聴覚資料が豊富で分かりやすい授業だった、ロシア語能力検定試験への準備が授業内で出来るので良かったとの意見がありました。毎回皆さんからのご意見や要望に真摯に耳を傾け、より良い授業ができるように努めていきます。

【その他の重要事項】

この授業は必修のため、春学期・秋学期を通じて履修する必要があります。なお、受講生の理解度や社会情勢によって、授業進度や授業計画、授業形態（基本対面）などの予定は変更される可能性があります。

【Outline (in English)】

【Course outline and learning Objectives】 This is the first class for students learning Russian at university. Beginning with the acquisition of letters and pronunciation of the alphabet, you will acquire basic grammar and basic words, and develop basic communication skills such as accurate reading and Japanese translation of beginner's texts, creation of simple composition, and greetings. We will start preparing to pass Level 4 of the Russian Language Proficiency Test, which can be listed as a qualification in your resume. We will also expand our knowledge of Russian culture. 【Learning activities outside of classroom】 It is important to acquire the rhythm of actively preparing (searching for new words, translating texts, solving exercises) and reviewing (memorizing grammar, practicing reading aloud texts). As a guide, the time for preparation, review, and answering tasks for this class is 2 hours each time. 【Grading Criteria /Policy】 After learning pronunciation, you will have a pronunciation mini-test, mid-term test and final week final test. This test result is 70% of the evaluation. The other 30% will be evaluated comprehensively based on normal points (degree of participation in class, attitude of approach), homework and assignments.

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語 1 - II

2017年度以降入学者

佐藤 裕子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期「ロシア語 1 - I」に続く授業です。この授業の目的は、初級ロシア語の「聴く、読む、話す、書く」という総合的な語学力を身につけることです。そのために、1) 初級ロシア語文法の規則性を習得する、2) 辞書を用いて、和訳、露訳作文ができる、3) リスニング、リーディングの力を伸ばす、4) 挨拶などの会話ができるように学習します。5) ロシア語能力検定試験4級合格をひとつの目標とし、準備を進めていきましょう。

【到達目標】

ロシア語テキストを速く正確に音読できる。学んだ初級文法をきちんと使いこなしながら、辞書を用いてテキストの意味を理解し和訳できる。ロシア語の作文、リスニング力、会話力を伸ばし、毎年5月と10月に開催されるロシア語能力検定試験4級3級合格への準備を進める。「聴く、読む、話す、書く」、四方向からの語学力をバランスよく身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

秋学期は、春学期の復習から入ります。文法のエッセンスを取り上げ、繰り返しながら、文法の階段を登っていきましょう。そして習得した文法知識を駆使しながらテキストの和訳、露訳作文、会話をこなしていくことで、毎回確実に基礎の語学力が身につけていきます。課題等に対するフィードバックは、授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の復習（文法、テキスト音読等）
2	第7課 動詞の命令形、曜日	動詞の命令形とその練習問題、曜日の表現
3	第7課 対格変化、動詞の変化（-с я、歯音、唇音）	対格変化(名詞、人称代名詞)、-с я 動詞、動詞の歯音変化と唇音変化
4	第8課 運動の動詞 1	運動の動詞（定向動詞と不定向動詞）
5	第8課 運動の動詞 2	行き先や動作の対象・目標の表現、手段としての乗り物の表現、目的を表す不定形の用法
6	中間試験・まとめと解説	中間試験・まとめと解説（7課と8課）
7	第9課 前置格変化（名詞以外）	前置格変化（形容詞、所有代名詞、人称代名詞）
8	第9課 対格変化（名詞以外）	対格変化（形容詞、所有代名詞、人称代名詞）
9	第10課 生格変化	生格変化（名詞、形容詞、所有代名詞、人称代名詞）
10	第10課 所有の表現	所有の表現、否定生格
11	第11課 与格変化	与格変化（名詞、人称代名詞、形容詞、所有代名詞）
12	第11課 造格変化	造格変化（名詞、人称代名詞、形容詞、所有代名詞）
13	秋学期の総復習	秋学期の総復習

14 期末試験・まとめと解説 期末試験（9-11課）・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

積極的に予習（新出単語を調べる、テキストを訳す、練習問題を解く）や復習（文法の暗記、テキスト音読練習）を行う。課題は学習支援システムから提出する。予習・復習・課題の解答等の時間は、毎回2時間を目安とします。その他にロシアの歴史や文学、文化芸術にも関心を持ち調べる。

【テキスト（教科書）】

・「初級ロシア語」（法政大学ロシア語担当教員 編）

[2020/2021年度版、2018/2019年度版 内容は同一なのでいずれでも可]

・授業内に適宜初級文法のプリントを配布します。

【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社、1970年、¥1404

露和辞典（博友社ロシア語辞典（1995年、¥6291）が望ましい）

『ティータイムのロシア語《CD付》』土岐康子、三神エレナ、佐藤裕子著、白水社、2019年、¥2310

【成績評価の方法と基準】

秋学期は、中間と期末に評価テストを行います。この試験結果が評価の70%となります。その他の30%は平常点（授業への参加度、取り組みの姿勢）と宿題や課題、単語テストなどから総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

視聴覚資料が豊富で分かりやすい授業だった、ロシア語能力検定試験への準備が授業内で出来るので良かったとの意見がありました。毎回皆さんからのご意見や要望に真摯に耳を傾け、より良い授業ができるように努めていきます。

【その他の重要事項】

ロシア語1-Iを履修していることが受講条件です。なお、受講生の理解度や社会情勢によって、授業進度や授業計画、授業形態（基本対面）などの予定は変更される可能性があります。

【Outline (in English)】

【Course outline and learning Objectives】 This course follows the spring semester "Russian 1-I". The main aim of this course is to acquire comprehensive language skills of "listening, reading, speaking and writing". The purpose of this course is 1) to learn the regularity of elementary Russian grammar, 2) to be able to translate Japanese and Russian using a dictionary, 3) to improve listening and reading skills, and 4) to have conversations such as greetings, 5) to pass the Russian language proficiency test (of Japan) at least level 4. 【Learning activities outside of classroom】 It is important to acquire the rhythm of actively preparing (searching for new words, translating texts, solving exercises) and reviewing (memorizing grammar, practicing reading aloud texts). As a guide, the time for preparation, review, and answering tasks for this class is 2 hours each time. 【Grading Criteria / Policy】 In the fall semester, mid-term and final exams will be conducted as evaluation tests. This test result is 70% of the evaluation. In addition, the normal score (degree of participation in class, attitude of approach) and homework and assignment submission will be set at 30%, and a comprehensive evaluation will be given.

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語 1 - I

2017年度以降入学者

佐藤 裕子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学で初めてロシア語を学ぶ学生のための授業です。アルファベットの文字と発音の習得から始め、基礎文法と基本単語を身につけ、初級テキストの正確な音読・和訳、簡単な露作文の作成、また、挨拶など初歩的なコミュニケーション能力を養成します。履歴書に資格として記載できるロシア語能力検定試験4級合格の準備も始めます。ロシア文化に関する知識も広がっていきます。

【到達目標】

ロシア語のアルファベットと単語を美しく正確に発音できる。初級文法の最初のステップ（名詞、形容詞、動詞の変化など）や必須基本単語を習得する。挨拶や自己紹介などの簡単な会話を覚え実際に使えるようになる。ロシア語能力検定試験4級合格をひとつの目標とし、問題を解けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

最初の一ヶ月間で、ロシア文字とその発音をしっかりと習得します。その後は教科書の各課に沿って、①新出単語の音読、②文法解説、③本文の解説と発音練習、④練習問題、という流れで授業を進めていきます。授業では視聴覚教材を用い、「聞く・話す・読む・書く」等、五感でロシア語に親しみます。また、ロシア語能力検定試験4級合格に向けての練習問題も解いていきます。授業内で実施した試験や小テストなど、課題に対する講評や解説は授業中に行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ロシア語の予備知識、第1課 文字の発音と書き方	ロシアとロシア語について、アルファベットと発音（母音）、簡単な挨拶
2	第1課 文字と単語の発音	文字と単語の発音（子音）、アクセント
3	第2課 基本文型（～は...である）	基本文型（～は...である）、イントネーション（平叙文と疑問文）、発音のミニテスト
4	第2課 名詞の性、人称代名詞	名詞の性、人称代名詞
5	第3課 名詞の複数形、正書法	名詞の複数形、正書法
6	第3課 所有代名詞	所有代名詞、会話と練習問題
7	第4課 形容詞と指示代名詞	形容詞と指示代名詞
8	第4課 形容詞	形容詞（硬変化、軟変化）とその練習問題
9	中間テスト 第5課 動詞の不定形と過去形	中間テスト（2課から4課） 第5課 動詞（不定形と過去形）
10	第5課 副詞と格について	副詞の作り方、格の説明
11	第6課 動詞の現在形と未来形	動詞の現在形（現在人称変化）と未来形（合成未来）

12	第6課 前置格	第6課 前置格
13	春学期の復習	春学期の復習（5課と6課の動詞と格変化を中心に復習）
14	期末試験・まとめと解説	期末試験（5課・6課）・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

新しい語学を学ぶ場合、スタート時点での数ヶ月が大切です。時間を見つけて積極的に予習（新出単語を調べる、テキストを訳す、練習問題を解く）や復習（文法の暗記、テキスト音読練習）を行うリズムを身につけましょう。予習・復習・課題の解答準備等の時間は、毎回2時間を目安とします。

【テキスト（教科書）】

・『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）（2018/2019年度版）と（2020/2021年度版）とは同一内容のため、どちらの版を入手しても問題ありません。
・授業内に適宜初級文法のプリントを配布します。

【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社、1970年、¥1404
露和辞典（博友社ロシア語辞典（1995年、¥6291）が望ましい）
『ティータイムのロシア語（CD付）』土岐康子、三神エレナ、佐藤裕子著、白水社、2019年、¥2310

【成績評価の方法と基準】

発音の学習後に発音のミニテスト、中間テストと最終週の期末テストを行います。この試験結果が評価の70%となります。その他の30%は平常点（授業への参加度、取り組みの姿勢）と宿題や課題、単語テストなどから総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

教員は当該授業の担当は今年度が初めての為、次年以降に学生意見の反映・気づきを掲載します。

【その他の重要事項】

この授業は必修のため、春学期・秋学期を通じて履修する必要があります。なお、受講生の理解度や社会情勢によって、授業進度や授業計画、授業形態（原則対面）などの予定は変更される可能性があります。

【Outline (in English)】

【Course outline and learning Objectives】 This is the first class for students learning Russian at university. Beginning with the acquisition of letters and pronunciation of the alphabet, you will acquire basic grammar and basic words, and develop basic communication skills such as accurate reading and Japanese translation of beginner's texts, creation of simple composition, and greetings. We will start preparing to pass Level 4 of the Russian Language Proficiency Test, which can be listed as a qualification in your resume. We will also expand our knowledge of Russian culture. 【Learning activities outside of classroom】 It is important to acquire the rhythm of actively preparing (searching for new words, translating texts, solving exercises) and reviewing (memorizing grammar, practicing reading aloud texts). As a guide, the time for preparation, review, and answering tasks for this class is 2 hours each time. 【Grading Criteria /Policy】 After learning pronunciation, you will have a pronunciation mini-test, mid-term test and final week final test. This test result is 70% of the evaluation. The other 30% will be evaluated comprehensively based on normal points (degree of participation in class, attitude of approach), homework and assignments.

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語 1 - II

2017年度以降入学者

佐藤 裕子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期「ロシア語 1 - I」に続く授業です。この授業の目的は、初級ロシア語の「聴く、読む、話す、書く」という総合的な語学力を身につけることです。そのために、1) 初級ロシア語文法の規則性を習得する、2) 辞書を用いて、和訳、露訳作文ができる、3) リスニング、リーディングの力を伸ばす、4) 挨拶などの会話ができるように学習します。5) ロシア語能力検定試験4級合格をひとつの目標とし、準備を進めていきましょう。

【到達目標】

ロシア語テキストを速く正確に音読できる。学んだ単語や熟語、初級文法をきちんと習得し、それらを用いてテキストの意味を理解し和訳できる。ロシア語の作文、リスニング力、会話力を伸ばし、毎年5月と10月に開催されるロシア語能力検定試験4級3級合格への準備を進める。「聴く、読む、話す、書く」、四方向からの語学力をバランスよく身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

秋学期は、春学期の復習から入ります。文法事項を解説し、練習問題で理解を定着させる実習型の授業となります。1) 既習文法の復習、2) 新出単語と熟語の習得、3) ロシア語能力検定試験4級レベルの文法（名詞の格変化、動詞の命令形など）の習得、4) テキスト本文の音読練習（美しい発音とイントネーション）、5) 会話練習、6) テキストの和訳、7) 和文露訳といった順序で授業を進めていきます。中間試験と期末試験で語学力を定着させ、ミニテストや課題に取り組むことで毎回確実に語学力が身につけていきます。課題等に対するフィードバックは、授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の復習（文法、テキスト音読等）
2	第7課 動詞の命令形、曜日	動詞の命令形とその練習問題、曜日の表現
3	第7課 対格変化、動詞の変化（-с я、歯音、唇音）	対格変化（名詞、人称代名詞）、-с я 動詞、動詞の歯音変化と唇音変化
4	第8課 運動の動詞 1	運動の動詞（定向動詞と不定向動詞）
5	第8課 運動の動詞 2	行き先や動作の対象・目標の表現、手段としての乗り物の表現、目的を表す不定形の用法
6	中間試験・まとめと解説	中間試験・まとめと解説（7課と8課）
7	第9課 前置格変化（名詞以外）	前置格変化（形容詞、所有代名詞、人称代名詞）
8	第9課 対格変化（名詞以外）	対格変化（形容詞、所有代名詞、人称代名詞）
9	第10課 生格変化	生格変化（名詞、形容詞、所有代名詞、人称代名詞）
10	第10課 所有の表現	所有の表現、否定生格

11	第11課 与格変化	与格変化（名詞、人称代名詞、形容詞、所有代名詞）
12	第11課 造格変化	造格変化（名詞、人称代名詞、形容詞、所有代名詞）
13	秋学期の総復習	秋学期の総復習
14	期末試験・まとめと解説	期末試験（9-11課）・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

積極的に予習（新出単語を調べる、テキストを訳す、練習問題を解く）や復習（文法の暗記、テキスト音読練習）を行う。課題は学習支援システムから提出する。予習・復習・課題の解答等の時間は、毎回2時間を目安とします。その他にロシアの歴史や文学、文化芸術にも関心を持ち調べる。

【テキスト（教科書）】

・「初級ロシア語」（法政大学ロシア語担当教員 編）

[2020/2021年度版、2018/2019年度版 内容は同一なのでいずれでも可]

・授業内に適宜初級文法のプリントを配布します。

【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社、1970年、¥1404

露和辞典（博友社ロシア語辞典（1995年、¥6291）が望ましい）

『ティータイムのロシア語〈CD付〉』土岐康子、三神エレナ、佐藤裕子著、白水社、2019年、¥2310

【成績評価の方法と基準】

秋学期は、中間と期末に評価テストを行います。この試験結果が評価の70%となります。その他の30%は平常点（授業への参加度、取り組みの姿勢）と宿題や課題、単語テストなどから総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

教員は当該授業の担当は今年度が初めての為、次年以降に学生意見の反映・気づきを掲載します。

【その他の重要事項】

ロシア語1-Iを履修していることが受講条件です。なお、受講生の理解度や社会情勢によって、授業進度や授業計画、授業形態（原則対面）などの予定は変更される可能性があります。

【Outline (in English)】

【Course outline and learning Objectives】 This course follows the spring semester "Russian 1-I". The main aim of this course is to acquire comprehensive language skills of "listening, reading, speaking and writing". The purpose of this course is 1) to learn the regularity of elementary Russian grammar, 2) to be able to translate Japanese and Russian using a dictionary, 3) to improve listening and reading skills, and 4) to have conversations such as greetings, 5) to pass the Russian language proficiency test (of Japan) at least level 4. 【Learning activities outside of classroom】 It is important to acquire the rhythm of actively preparing (searching for new words, translating texts, solving exercises) and reviewing (memorizing grammar, practicing reading aloud texts). As a guide, the time for preparation, review, and answering tasks for this class is 2 hours each time. 【Grading Criteria / Policy】 In the fall semester, mid-term and final exams will be conducted as evaluation tests. This test result is 70% of the evaluation. In addition, the normal score (degree of participation in class, attitude of approach) and homework and assignment submission will be set at 30%, and a comprehensive evaluation will be given.

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語2-I

2017年度以降入学者

佐藤 裕子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月1/Mon.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ロシア語を「聞く・読む・話す・書く」練習をこなし、大学で初めて学ぶ語学を確実に身につけます。この授業の目的は、1) ロシア語初級文法の規則性を理解し習得する、2) 習得した文法と辞書を用いて、和訳、露訳ができる、3) リスニング、リーディング、会話の練習をし、「聴く、読む、話す、書く」という総合的な語学力を身につける、4) ロシア語能力検定試験4級合格を目指す。一緒に頑張りましょう。

【到達目標】

ロシア語のアルファベットを覚え、書けるようになる。単語の美しく正確な発音ができる。名詞を中心とした文法(形容詞、所有代名詞、指示代名詞)と動詞の変化を覚える。格の意味などロシア語の構文の構造を理解する。挨拶などの簡単な会話を覚える。ロシア語能力検定試験4級合格をひとつの目標とし、対象範囲の必須単語や文法などを確実に習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

最初の一ヶ月間で、ロシア文字とその発音をしっかりと習得します。初級文法を教科書で学びながら、ロシア語能力検定試験4級合格に向けての練習問題も解いていきます。また、視聴覚教材などを用い、「聞く・話す・読む・書く」等、五感でロシア語に親しみます。課題等に対するフィードバックは、授業内および学習支援システム上で行います。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ロシア語の予備知識、文字と発音	ロシアとロシア語について、アルファベットと発音
2	第1課 ロシア文字の発音と書き方	ロシア文字の発音と書き方、発音練習(母音)
3	第1課 ロシア文字と単語の発音、発音のテスト	ロシア文字と単語の発音(子音)、アクセント、発音のテスト
4	第2課 基本文型(～は...である)	基本文型(～は...である)、イントネーション(平叙文と疑問文)、挨拶の練習
5	第2課 名詞の性、人称代名詞	名詞の性、人称代名詞、検定試験問題
6	第3課 名詞の複数形、正書法	名詞の複数形、正書法
7	第3課 所有代名詞	所有代名詞、会話と練習問題
8	第4課 形容詞と指示代名詞	形容詞の用法と指示代名詞
9	第4課 形容詞・中間試験・まとめと解説	形容詞(硬変化、軟変化)とその練習問題、中間試験・まとめと解説
10	第5課 動詞の不定形と過去形	動詞(不定形と過去形)
11	第5課 副詞と格	副詞の作り方、格の説明
12	第6課 動詞の現在形と未来形	動詞の現在形(現在人称変化)と未来形(合成未来)

13	第6課 前置格 春学期の復習	前置格の説明、春学期の復習
14	期末試験・まとめと解説	期末試験(5課・6課)・まとめと解説

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

新しい語学を学ぶ場合、スタート時点での数ヶ月が大切です。時間を見つけて積極的に予習(新出単語を調べる、テキストを訳す、練習問題を解く)や復習(文法の暗記、テキスト音読練習)を行うリズムを身につけましょう。課題は学習支援システムから提出をお願いします。予習・復習・課題の解答準備等の時間は、毎回2時間を目安とします。

【テキスト(教科書)】

・「初級ロシア語」(法政大学ロシア語担当教員 編)

【2020/2021年度版、2018/2019年度版 内容は同一なのでいずれでも可】

・授業内に適宜初級文法のプリントを配布します。

【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社、1970年、¥1404

露和辞典(博友社ロシア語辞典(1995年、¥6291)が望ましい)

『ティータイムのロシア語《CD付》』土岐康子、三神エレナ、佐藤裕子著、白水社、2019年、¥2310

【成績評価の方法と基準】

発音などのミニテスト、中間テストと最終週の期末テストを行います。この試験結果が評価の70%となります。その他の30%は平常点(授業への参加度、取り組みの姿勢)と宿題や課題、単語テストなどから総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

少人数授業のため質問がしやすいかった、視聴覚資料が豊富で分かりやすかった、発音練習やミニテストなどで基礎が出来たとの意見がありました。今後も皆さんからのご意見や要望に真摯に耳を傾け、より良い授業ができるように努めていきます。

【その他の重要事項】

この授業は必修のため、春学期・秋学期を通じて履修する必要があります。なお、受講生の理解度や社会情勢によって、授業進度や授業計画、授業形態(基本対面)などの予定は変更される可能性があります。

【Outline (in English)】

【Course outline and learning Objectives】 This is the basic course for students learning Russian for the first time at university. The aims of this course are :1) to memorize the Russian alphabet and learn to pronounce words exactly; 2) to master basic grammar and vocabulary; 3) to be able to read simple sentences naturally aloud and understand their meaning ; 4) be able to develop elementary communication skills in Russian; 5) to pass the Russian language proficiency test (of Japan) at least level 4 ; 6) to know Russian culture. 【Learning activities outside of classroom】 It is important to acquire the rhythm of actively preparing (searching for new words, translating texts, solving exercises) and reviewing (memorizing grammar, practicing reading aloud texts). As a guide, the time for preparation, review, and answering tasks for this class is 2 hours each time. 【Grading Criteria / Policy】 Mini-tests such as pronunciation, mid-term tests and final exams for the final week. This test result is 70% of the evaluation. The other 30% will be evaluated comprehensively based on normal points (degree of participation in class, attitude of approach), homework and assignments.

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語 2 - II

2017年度以降入学者

佐藤 裕子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期「ロシア語 2 - I」に続く授業です。この授業の目的は、初級ロシア語の文法理解を深め、「聴く、読む、話す、書く」という総合的な語学力を身につけることです。1) 格変化がポイントのロシア語文法の構造の理解、2) 日常会話に必須の動詞の命令形の習得、3) 日本の感覚とは違う運動の動詞をマスターすることでロシア語能力検定試験合格への準備が整います。また、辞書を用いてのテキスト和訳、露訳作文、リスニング、リーディング、実践で使える会話の練習を行います。

【到達目標】

格変化を中心としたロシア語文法の構造を理解し、変化表を覚える。毎年5月と10月に開催されるロシア語能力検定試験4級3級合格をひとつの目標とし、格変化および運動の動詞などの練習問題が解ける。ロシア語テキストを速く正確に音読できる。学んだ文法を駆使しながら、辞書をひいてテキストの意味を理解し和訳できる。さらにリスニングや会話の練習を通し、「聴く、読む、話す、書く」、四方向からの語学力をバランスよく身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

秋学期は春学期の復習から入ります。動詞や名詞の変化形を復唱し、しっかりと覚えていきます。それに対応するロシア語能力検定試験の過去問題や対策問題を解きます。さらに習得した文法知識を駆使しながらテキストの和訳、露訳作文を行います。リスニング、リーディング、会話の練習を通し、「聴く、読む、話す、書く」という総合的な語学力を身につけます。課題等に対するフィードバックは授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の復習（文法、テキスト音読等）
2	第7課 動詞の命令形	動詞の命令形とその練習問題、曜日の表現
3	第7課 対格変化、動詞の変化（-с я、歯音、唇音）	対格変化(名詞、人称代名詞)、-с я 動詞、動詞の歯音変化と唇音変化
4	第8課 運動の動詞 1	運動の動詞（定向動詞と不定向動詞）
5	第8課 運動の動詞 2	行き先や動作の対象・目標の表現、手段としての乗り物の表現、目的を表す不定形の用法
6	中間試験・まとめと解説	中間試験（7-8課）・まとめと解説、会話の練習、自己紹介等
7	第9課 前置格変化（名詞以外）	前置格変化（形容詞、所有代名詞、人称代名詞）
8	第9課 対格変化（名詞以外）	対格変化（形容詞、所有代名詞、人称代名詞）
9	第10課 生格変化	生格変化（名詞、形容詞、所有代名詞、人称代名詞）
10	第10課 所有の表現	所有の表現、否定生格

11	第11課 与格変化	与格変化（名詞、人称代名詞、形容詞、所有代名詞）
12	第11課 造格変化	造格変化（名詞、人称代名詞、形容詞、所有代名詞）
13	秋学期の復習	教科書の練習問題を中心に検定試験4級3級の問題も解いていく
14	期末試験・まとめと解説	期末試験（9-11課）・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

積極的に予習（新出単語を調べる、テキストを訳す、練習問題を解く）や復習（文法の暗記、テキスト音読練習）を行う。課題は学習支援システムから提出する。予習・復習・課題の解答等の時間は、毎回2時間を目安とします。その他にロシアの歴史や文学、文化芸術にも関心を持ち調べる。

【テキスト（教科書）】

・「初級ロシア語」（法政大学ロシア語担当教員 編）

[2020/2021年度版、2018/2019年度版 内容は同一なのでいずれでも可]

・授業内に適宜初級文法のプリントを配布します。

【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社、1970年、¥1404
露和辞典（博友社ロシア語辞典（1995年、¥6291）が望ましい）
『ティータイムのロシア語《CD付》』土岐康子、三神エレナ、佐藤裕子著、白水社、2019年、¥2310

【成績評価の方法と基準】

秋学期は、中間と期末に評価テストを行います。この試験結果が評価の70%となります。その他の30%は平常点（授業への参加度、取り組みの姿勢）と宿題や課題、単語テストなどから総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

少人数授業のため質問がしやすかった、視聴覚資料が豊富で分かりやすかった、発音練習やミニテストなどで基礎が出来たとの意見がありました。今後も皆さんからのご意見や要望に真摯に耳を傾け、より良い授業ができるように努めていきます。

【その他の重要事項】

ロシア語 2 - I を履修していることが受講条件です。なお、受講生の理解度や社会情勢によって、授業進度や授業計画、授業形態（基本対面）などの予定は変更される可能性があります。

【Outline (in English)】

【Course outline and learning Objectives】 This course follows the spring semester "Russian 2-I". The main aim of this course is to acquire comprehensive language skills of "listening, reading, speaking and writing". This lesson will deepen your understanding of Russian grammar; 1) understanding the structure of Russian grammar, where case inflection is the key, 2) learning the imperative forms of verbs that are essential for everyday conversation, and 3) master exercise verb that are different from the Japanese sense. This learning prepares you to pass the Russian Language Proficiency Test. In addition, we will practice text-to-Japanese translation, Russian-translated composition, listening, reading, and conversation that can be used in practice using a dictionary. 【Learning activities outside of classroom】 It is important to acquire the rhythm of actively preparing (searching for new words, translating texts, solving exercises) and reviewing (memorizing grammar, practicing reading aloud texts). As a guide, the time for preparation, review, and answering tasks for this class is 2 hours each time. 【Grading Criteria /Policy】 In the fall semester, mid-term and final exams will be conducted as evaluation tests. This test result is 70% of the evaluation. In addition, the normal score (degree of participation in class, attitude of approach) and homework and assignment submission will be set at 30%, and a comprehensive evaluation will be given.

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語2-I

2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語を初めて学ぶ学生を対象とした授業です。ロシア語アルファベットの読み方、書き方から始め、その後は、ロシア語1で学んだ文法事項を確認し、練習問題などで応用力をつけることを目的とします。

【到達目標】

教科書の単語と文法を着実に習得する。テキストが的確に音読できるようになる。かんたんな挨拶、会話を理解し、適切に応答する。文法を応用しかんたんな表現を使えるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語1と連携して授業を行います。文法事項の説明、練習問題、テキストの読解、かんたんな対話の練習を行います。本文を暗記してもらい、発音をチェックするなど、適宜小テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業ガイダンス、アルファベットの紹介
2	文字と発音	アルファベットの読み方と書き方、アクセント
3	文字と発音 (2)	単語の発音、発音の規則
4	基本文型	「～は～である」「～に～がある」という表現、平叙文と疑問文のイントネーション
5	名詞の性	人称代名詞、名詞の性別
6	名詞の複数形	名詞の性別ごとの複数形の作り方
7	所有代名詞	「～の」という表現と名詞の性数ごとの変化
8	形容詞	名詞の性数におうじた形容詞の変化
9	動詞の過去形	過去形の性数変化
10	格変化	名詞の格変化と格の基本的用法
11	動詞の現在形	動詞の現在人称変化
12	動詞の未来形	動詞の未来形の人称変化
13	前置格	「～で」「～について」という前置詞と前置格の作り方
14	期末試験	教場試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

新出単語は辞書で意味を確認し、授業で学んだことは復習しましょう。本授業の予習・復習は1時間を目安とします。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）（2018/2019年度版）と（2020/2021年度版）とは同一内容なので、どちらの版を入手しても問題ありません。

【参考書】

『入門ロシア語文法』 和久利誓一著、白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、予習、復習、課題提出、小テスト等）40%、学期末試験60%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが積極的に発言できるような授業を目指します。

【Outline (in English)】

Course Outline

The aim of this course is to help students acquire elementary Russian.

Learning Objectives

At the end of the course, students are expected to acquire Russian words and grammar.

Learning Activities Outside of Classroom

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 60%; standard score (short tests, in-class contribution, etc.): 40%

LANr100LA (ロシア語 / Russian language education 100)

ロシア語 2-II

2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語1で学んだ文法事項の復習をしつつ、練習問題やテキストを読むことで応用力を養います。

【到達目標】

学習した文法事項をもとにかんたんなロシア語の文章を理解し日本語に訳せるようになる。かんたんなロシア語の会話を理解し、それに適切に応えられるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語1と連携して授業を行います。文法事項の説明、練習問題、テキストの読解、かんたんな対話の練習を行います。本文を暗記してもらい、発音をチェックするなど、適宜小テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の学習内容を練習問題をつうじて復習する
2	動詞の命令形	「～しろ」「～してください」という表現
3	名詞の対格	対格（～を）の作り方、対格をもとにした曜日の表現
4	運動の動詞	定動詞、不定動詞の区別と「～へ」という行き先の表現
5	形容詞の対格、前置格	形容詞の対格、前置格の作り方と用法
6	所有代名詞の対格、前置格	所有代名詞の対格、前置格の作り方と用法
7	名詞の生格	名詞の生格（～の）の作り方
8	形容詞・所有代名詞の生格	形容詞・所有代名詞の生格の作り方と用法
9	生格を使ったさまざまな表現	所有の表現、否定生格
10	名詞の与格	名詞の与格（～に）の作り方と用法
11	名詞の造格	名詞の造格と作り方と用法
12	形容詞・所有代名詞の与格	形容詞・所有代名詞の与格の作り方と用法
13	形容詞・所有代名詞の造格	形容詞・所有代名詞の造格の作り方と用法
14	期末試験	教場試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。発音練習、単語の暗記、宿題をつうじた復習、反復など日々の学習が重要です。新出単語は各自、辞書で意味を調べるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）（2018/2019年度版）と（2020/2021年度版）とは同一内容なので、どちらの版を入手しても問題ありません。

【参考書】

『入門ロシア語文法』改訂版 和久利誓一著 白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、予習、復習、課題提出、小テスト等）40％
学期末試験60％の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

みなさんが積極的に参加できる授業にしたいと思います。

【Outline (in English)】

Course Outline

The aim of this course is to help students acquire elementary Russian.

Learning Objectives

At the end of the course, students are expected to acquire Russian words, grammar and expressions dealt in the textbook.

Learning Activities Outside of Classroom

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 60%; standard score (short tests, in-class contribution, etc.): 40%

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

赤平 恵里

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要に応じて授業時に適宜提示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点〔授業態度・小テスト・暗唱など〕（40%）および期末試験（60%）の結果に基づき、総合的に評価する。

なお、授業回数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

【学生の意見等からの気づき】

試験範囲が広いので、復習の機会を十分に設けるよう心掛けたい。

【その他の重要事項】

授業中は、恥ずかしがらずに大きな声で発音練習し、積極的に授業に臨んでほしい。

その他授業に関して緊急の連絡事項がある場合には、学習支援システムにて通知する。必ず受講前に学習支援システムのお知らせを確認するようにしてほしい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)	
中国語 1 II	2017年度以降入学者
赤平 恵里	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：火2/Tue.2
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14	授業内試験	「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要に応じて授業時に適宜提示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点〔授業態度・小テスト・暗唱など〕（40％）および期末試験（60％）の結果に基づき、総合的に評価する。
なお、授業回数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

【学生の意見等からの気づき】

試験範囲が広いので、復習の機会を十分に設けるよう心掛けたい。

【その他の重要事項】

授業中は、恥ずかしがらずに大きな声で発音練習し、積極的に授業に臨んでほしい。

その他授業に関して緊急の連絡事項がある場合には、学習支援システムにて通知する。必ず受講前に学習支援システムのお知らせを確認するようにしてほしい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

福木 滋久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつことば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」 授業内試験	「第1課から第20課」までの復習 「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

書籍ではありませんが、定期的な自宅学習として、授業終了後、自宅でweb教材『ポイント学習中国語初級デジタル版』（<https://hosei-ch.xsrv.jp/hosei/>）の「e宿題」などに取り組んでいただき、その学習成果を成績に加味します。詳細は授業開始後にお知らせします。URLのページ下部からは解説書である『e宿題の手引き』がダウンロードできるので参照してください。

【成績評価の方法と基準】

日々の学習成果を重視します。毎回行ってもらう「e宿題」などのweb教材を用いた「自宅学習」を評価に反映させ、加えて授業への参加姿勢などの「平常点」、期末筆記試験や期末課題などからなる「期末試験」の結果を総合的に評価します。評価の割合は、小テストの成績やアクションペーパーの回答状況を含む「平常点」が30%、「自宅学習」30%、「期末試験」40%となります。

【学生の意見等からの気づき】

毎回の小テストや自宅学習は大変かと思いますが、最終的には一定の学習効果が得られますので、ほとんどの受講者には好意的に受け止められているようです。その他、受講者からの要望を受け、改善が必要で、かつ可能なものについては、できるだけ授業に反映させていくつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

自宅学習で使用するweb教材（e宿題）、連絡やアクションペーパー等で用いる学修支援システム、Googleclassroomの利用には、ネット環境と操作するデバイスが必要です。自宅のPC、学内のPC、タブレット、スマートフォンなどによる学習・利用が可能です。

【その他の重要事項】

オフィスアワーは特に設けませんが、質問などについては、授業後やメール等を介し、担当者にお寄せください。必要に応じて相談場所を確保するなどし対応します。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 II

2017年度以降入学者

福木 滋久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14 授業内試験

「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

書籍ではありませんが、定期的な自宅学習として、授業終了後、自宅でweb教材『ポイント学習中国語初級デジタル版』（<https://hosei-ch.xsrv.jp/hosei/>）の「e宿題」などに取り組んでいただき、その学習成果を成績に加味します。詳細は授業開始後にお知らせします。URLのページ下部からは解説書である『e宿題の手引き』がダウンロードできるので参照してください。

【成績評価の方法と基準】

秋学期も日々の学習成果を重視します。毎回行ってもらう「e宿題」などのweb教材を用いた「自宅学習」を評価に反映させ、加えて授業への参加姿勢などの「平常点」、期末筆記試験や期末課題などからなる「期末試験」の結果を総合的に評価します。評価の割合は、小テストの成績やリアクションペーパーの回答状況を含む「平常点」が30%、「自宅学習」30%、「期末試験」40%となります。

【学生の意見等からの気づき】

毎回の小テストや自宅学習は大変かと思いますが、最終的には一定の学習効果が得られますので、ほとんどの受講者には好意的に受け止められているようです。その他、受講者からの要望を受け、改善が必要で、かつ可能なものについては、できるだけ授業に反映させていくつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

自宅学習で使用するweb教材（e宿題）、連絡やリアクションペーパー等で用いる学修支援システム、Googleclassroomの利用には、ネット環境と操作するデバイスが必要です。自宅のPC、学内のPC、タブレット、スマートフォンなどによる学習・利用が可能です。

【その他の重要事項】

オフィスアワーは特に設けませんが、質問などについては、授業後やメール等を介し、担当者にお寄せください。必要に応じて相談場所を確保するなどし対応します。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

池田 麻希子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験70%、平常点（小テスト）30%として評価します。出席回数が授業回数の3分の2に及ばなかった者（＝欠席5回以上）は、成績評価の対象としません。遅刻・早退は2回で欠席1回とします。小テストや期末試験の出題形式の詳細は講義中に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

受講者にとってわかりやすく、また興味を持って学修を続けたいと思えるような授業を心がけます。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 II

2017年度以降入学者

池田 麻希子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 70 %、平常点（小テスト） 30 % として評価します。出席回数が授業回数の 3 分の 2 に及ばなかった者（＝欠席 5 回以上）は、成績評価の対象としません。遅刻・早退は 2 回で欠席 1 回とします。小テストや期末試験の出題形式の詳細は講義中に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

受講者にとってわかりやすく、また興味を持って学修を続けたいと思えるような授業を心がけます。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

野村 英登

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

東京外国語大学言語モジュール

<http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/zh/>

中国語学習新学期セット

https://note.com/kiyohara_fn/n145e9dad5e26

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、授業での課題30%、e宿題20%で成績を評価します。なお5回以上の欠席で期末試験の受験資格を失います。また遅刻2回で欠席1回とみなします。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 II

2017年度以降入学者

野村 英登

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』 東方書店

【参考書】

東京外国語大学言語モジュール

<http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/zh/>

中国語学習新学期セット

https://note.com/kiyohara_f/n/n145e9dad5e26

【成績評価の方法と基準】

期末試験 50 %、授業での課題 30 %、e 宿題 20 % で成績を評価します。
なお 5 回以上の欠席で期末試験の受験資格を失います。
また遅刻 2 回で欠席 1 回とみなします。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

鷲巣 益美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回 に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をしま す。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつこ とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」までの復習	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

『中日辞典』小学館、『中日辞典』講談社

【成績評価の方法と基準】

全授業回数の三分の二以上出席した者を評価の対象とする。中間試験40%、期末試験40%、e宿題20%の割合で計算し、成績評価をする。

【学生の意見等からの気づき】

わからないところや説明を繰り返してほしいところがあったら、授業中に遠慮なく質問してください。些細なことでも構いません。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンまたはスマートフォン。e宿題をやるのに必要です。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 II

2017年度以降入学者

鷲巣 益美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

『中日辞典』小学館、『中日辞典』講談社

【成績評価の方法と基準】

全授業回数の三分の二以上出席した者を評価の対象とする。中間試験 40 %、期末試験 40 %、e 宿題 20 % の割合で計算し、成績評価をする。

【学生の意見等からの気づき】

授業に集中し、予習・復習・e 宿題を怠りなくこなしてください。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンかスマートフォン

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

渡部 れい子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業中、またはメールなどで行います。

基本的に対面授業を行います。感染状況などにより学生の皆さんに不利益が生じる可能性がある場合は、オンライン授業とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつことば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」

12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」
13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が大事です。授業後は、単語帳を作るなど、各自に合ったやり方でピンインとともに新出単語、補充単語、本文を覚えるようにしてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要に応じて教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

各期末テストに加え、授業内での小テスト、平常点（積極的に発言しているか、熱心に課題に取り組んでいるか、など）を総合的に判断し、評価します。授業中の私語、不要なスマートフォンの使用など受講にふさわしくない行動を繰り返す場合は平常点を減点します。また、特別な理由がない限り、各学期6回以上欠席した場合は期末試験を受けられません。長期欠席する場合は必ず連絡を下さい。評価の割合は、期末テスト70%、平常点（e宿題・小テスト含む）30%となります。

【学生の意見等からの気づき】

アンケート結果では、多くの学生が授業を理解していたようでした。今年度も分かりやすい授業を行えるよう工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

学習内容が定着するよう、e宿題に必ず取り組んで下さい。期日までに規定の範囲が終了しない場合、減点となりますので注意して下さい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

One hour is required for each lesson for preparation (researching the meaning of newly appeared word, etc.) and review (practicing listening to Chinese conversation, etc.) of this class.

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term quiz(30%), term-end examination (70%), and in-class contribution.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 II

2017年度以降入学者

渡部 れい子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業中、またはメールなどで行います。

基本的に対面授業を行います。感染状況などにより学生の皆さんに不利益が生じる可能性がある場合は、オンライン授業とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習

13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習
14	授業内試験	「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

教室で指示します。

【成績評価の方法と基準】

各期末テストに加え、授業内での小テスト、平常点（積極的に発言しているか、熱心に課題に取り組んでいるか、など）を総合的に判断し、評価します。授業中の私語、不要なスマートフォンの使用など受講にふさわしくない行動を繰り返す場合は平常点を減点します。また、特別な理由がない限り、各学期6回以上欠席した場合は期末試験を受けられません。長期欠席する場合は必ず連絡を下さい。評価の割合は、期末テスト70%、平常点（e宿題・小テスト含む）30%となります。

【学生の意見等からの気づき】

アンケート結果では、多くの学生が授業を理解していたようでした。今年度も分かりやすい授業を行えるよう工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

学習内容が定着するよう、e宿題に必ず取り組んで下さい。期限内に規定の範囲が終了していない場合、減点の対象となります。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

One hour is required for each lesson for preparation (researching the meaning of newly appeared word, etc.) and review (practicing listening to Chinese conversation, etc.) of this class.

Final grade will be calculated according to the following process Mid-term quiz(30%), term-end examination (70%), and in-class contribution.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

柴崎 公美子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。この授業では次の通りに進行する予定です。

- ①その課の文法事項（ポイント）の説明→②単語の解説と音読→③本文の解説と音読練習→④各課の練習問題
- ・新出単語、補充単語、本文は予習、復習において何度も音読練習してください。
- ・練習問題は授業時間内に実施、解説するよう努めますが、宿題になることもあります。
- ・指示されたe宿題には必ず取り組んでください。
- ・復習のため適宜小テストを行います。
- ・練習問題等のフィードバックは授業時間またはHoppiiを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつことば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」

10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」
13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習・復習が習得の鍵です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

- ・予習では最低限音声聴きながら教科書本文を確認し、復習ではやはり音声を聴いて音読を繰り返すことに努めてください。
- ・ディクテーション（中国語の音声を聴いてそれを文字で書く）も非常に有効ですとお勧めします。
- ・e宿題には必ず取り組み、学んだ内容を定着させましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

お勧め辞書：

- ①『東方中国語辞典』（東方書店）中国語の初學者でも使いやすい学習辞典です。中国語理解のための工夫が凝らされています。
- ②『中日辞典』『日中辞典』（小学館）①の辞書よりも上級者向けです。収録後が多いので本格的に中国語を勉強しようと思ったら一冊持っていた方がよい辞書です。

参考書など：

『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』（同学社）問答無用の定番参考書兼問題集。
その他、適宜教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

対面授業の場合、期末試験50%（中間試験+期末試験50%になる場合もあります）、e宿題のクリア30%および平常点20%（小テスト、授業への参加意欲など）合計50%の割合で総合的に評価します。（もしオンライン授業となった場合は上記の割合を試験30%、課題+平常点=70%に変更し総合的に判断することとします）

【重要】この授業では対面授業時のe宿題の比重は30%、つまり30点分です。e宿題のクリア状況は成績のレベルはおろか、不合格・再履修の確率までも左右します。積み残しがあればあるほどクリアには大変な労力がかかるようになるので、必ず授業前後の予習復習として継続的な実施を心がけてください。
配慮を必要とする事項以外の欠席・遅刻は回数分に応じて評価レベルが下がります。
また、当授業は五回欠席（授業回数の三分の一以上）で不合格とみなします。

【学生の意見等からの気づき】

- ・スライド画面については多様性を鑑み、ユニバーサルデザインを心がけます。
- ・説明を簡潔に、わかりやすくするよういたします。
- ・中国について、みなさんから疑問質問知りたいことをお寄せいただくのはとても興味深いです。ぜひお気軽にお声がけください。中国のアニメやゲーム事情などは、こちらも教えていただいたことがたくさんありました。
- ・受講について、こちらで考慮すべきご事情があれば遠慮せずご相談ください。できる限りお力になれるよういたします。

【学生が準備すべき機器他】

課題としてe宿題を使用しますので、各自でパソコンおよびスマートフォンなどインターネット学習ができる環境を整えておいてください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 II

2017年度以降入学者

柴崎 公美子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。この
授業では次の通りに進行する予定です。

①その課の文法事項（ポイント）の説明→②単語の解説と音読→③
本文の解説と音読練習→④各課の練習問題

・新出単語、補充単語、本文は予習、復習において何度も音読練習し
てください。

・練習問題は授業時間内に実施、解説するよう努めますが、宿題にな
ることもあります。

・指示されたe宿題には必ず取り組んでください。

・復習のため適宜小テストを行います。

・練習問題等のフィードバックは授業時間またはHoppiiを通じて行
います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」

11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」 までの 復習	「第21課から第30課」までの 復習
13	「第31課から第40課」 までの 復習	「第31課から第40課」までの 復習
14	授業内試験	「第21課から第40課」までの 試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習・復習が習得の鍵です。本授業の準備学習・復習時間は、
合わせて1時間を標準とします。

・予習では最低限音声聴きながら教科書本文を確認し、復習では
やはり音声を聴いて音読を繰り返すことに努めてください。

・ディクテーション（中国語の音声を聴いてそれを文字で書く）も非
常に有効ですのでお勧めします。

・e宿題には必ず取り組み、学んだ内容を定着させましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

お勧め辞書：

①『東方中国語辞典』（東方書店）中国語の初学者でも使いやすい学
習辞典です。中国語理解のための工夫が凝らされています。

②『中日辞典』『日中辞典』（小学館）①の辞書よりも上級者向けで
す。収録後が多いので本格的に中国語を勉強しようと思ったら一冊
持っていた方がよい辞書です。

参考書など：

『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』（同学社）問答無用
の定番参考書兼問題集。

その他、適宜教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

対面授業の場合、期末試験50%（中間試験+期末試験50%になる場
合もあります）、e宿題のクリア30%および平常点20%（小テス
ト、授業への参加意欲など）合計50%の割合で総合的に評価します。
（もしオンライン授業となった場合は上記の割合を試験30%、課題+
平常点=70%に変更し総合的に判断することとします）

【重要】この授業では対面授業時のe宿題の比重は30%、つまり30
点分です。e宿題のクリア状況は成績のレベルはおろか、不合格・再
履修の確率までも左右します。積み残しがあればあるほどクリアに
は大変な労力がかかるようになるので、必ず授業前後の予習復習と
して継続的な実施を心がけてください。

配慮を必要とする事項以外の欠席・遅刻は回数分に依りて評価レ
ベルが下がります。

また、当授業は五回欠席（授業回数の三分の一以上）で不合格とみ
なします。

【学生の意見等からの気づき】

・スライド画面については多様性を鑑み、ユニバーサルデザインを
心がけます。

・説明を簡潔に、わかりやすくするようにいたします。

・中国について、みなさんから疑問質問知りたいことをお寄せいた
だくのはとても興味深いです。ぜひお気軽にお声がけください。中
国のアニメやゲーム事情などは、こちらも教えていただいたことが
たくさんありました。

・受講について、こちらで考慮すべきご事情があれば遠慮せずご相
談ください。できる限りお力になれるようにいたします。

【学生が準備すべき機器他】

課題としてe宿題を使用しますので、各自でパソコンおよびスマ
ートフォンなどインターネット学習ができる環境を整えておいてくだ
さい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course
is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will
improve the skills of listening, speaking, reading and writing
through studying pronunciation, grammar, conversation and
composition. One hour is required for each lesson for
preparation and review of this class. The method and
criteria for grade evaluation will be decided by each instructor.
See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)		
中国語 1 I		2017年度以降入学者
柴崎 公美子		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：木2/Thu.2		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1、2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。この授業では次の通りに進行する予定です。

- ①その課の文法事項（ポイント）の説明→②単語の解説と音読→③本文の解説と音読練習→④各課の練習問題
- ・新出単語、補充単語、本文は予習、復習において何度も音読練習してください。
- ・練習問題は授業時間内に実施、解説するよう努めますが、宿題になることもあります。
- ・指示されたe宿題には必ず取り組んでください。
- ・復習のため適宜小テストを行います。
- ・練習問題等のフィードバックは授業時間またはHoppiiを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音 1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音 2」 あるいは 「発音 3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音 3」は分量の関係で、2 回に分けて進めます。
3	「発音 3」 あるいは 「第 4 課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音 1 から 4」の復習をします。
5	「第 5 課」 あるいは 「第 6 課」	「自己紹介のしかた、あいさつことば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第 7 課」 あるいは 「第 8 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第 9 課」 あるいは 「第 10 課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第 11 課」 あるいは 「第 12 課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文 1」
9	「第 13 課」 あるいは 「第 14 課」	「動詞述語文 2」 あるいは 「動詞述語文 3」

10	「第 15 課」 あるいは 「第 16 課」	「動詞述語文 4」 あるいは 「動詞述語文 5」
11	「第 17 課」 あるいは 「第 18 課」	「動詞述語文 6」 あるいは 「動詞述語文 7」
12	「第 19 課」 あるいは 「第 20 課」	「完了態」 あるいは 「変化態」
13	「第 1 課から第 20 課」	「第 1 課から第 20 課」までの復習
14	授業内試験	「第 1 課から第 20 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習・復習が習得の鍵です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

- ・予習では最低限音声聴きながら教科書本文を確認し、復習ではやはり音声を聴いて音読を繰り返すことに努めてください。
- ・ディクテーション（中国語の音声を聴いてそれを文字で書く）も非常に有効ですとお勧めします。
- ・e宿題には必ず取り組み、学んだ内容を定着させましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

お勧め辞書：

- ①『東方中国語辞典』（東方書店）中国語の初學者でも使いやすい学習辞典です。中国語理解のための工夫が凝らされています。
- ②『中日辞典』『日中辞典』（小学館）①の辞書よりも上級者向けです。収録後が多いので本格的に中国語を勉強しようと思ったら一冊持っていた方がよい辞書です。

参考書など：

『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』（同学社）問答無用の定番参考書兼問題集。
その他、適宜教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

対面授業の場合、期末試験50%（中間試験+期末試験50%になる場合もあります）、e宿題のクリア30%および平常点20%（小テスト、授業への参加意欲など）合計50%の割合で総合的に評価します。（もしオンライン授業となった場合は上記の割合を試験30%、課題+平常点=70%に変更し総合的に判断することとします）

【重要】この授業では対面授業時のe宿題の比重は30%、つまり30点分です。e宿題のクリア状況は成績のレベルはおろか、不合格・再履修の確率までも左右します。積み残しがあればあるほどクリアには大変な労力がかかるようになるので、必ず授業前後の予習復習として継続的な実施を心がけてください。

配慮を必要とする事項以外の欠席・遅刻は回数分に応じて評価レベルが下がります。

また、当授業は五回欠席（授業回数の三分の一以上）で不合格とみなします。

【学生の意見等からの気づき】

- ・スライド画面については多様性を鑑み、ユニバーサルデザインを心がけます。
- ・説明を簡潔に、わかりやすくするよういたします。
- ・中国について、みなさんから疑問質問知りたいことをお寄せいただくのはとても興味深いです。ぜひお気軽にお声がけください。中国のアニメやゲーム事情などは、こちらも教えていただいたことがたくさんありました。
- ・受講について、こちらで考慮すべきご事情があれば遠慮せずご相談ください。できる限りお力になれるよういたします。

【学生が準備すべき機器他】

課題としてe宿題を使用しますので、各自でパソコンおよびスマートフォンなどインターネット学習ができる環境を整えておいてください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)	
中国語 1 II	2017年度以降入学者
柴崎 公美子	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：木2/Thu.2	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1、2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。こ
の授業では次の通りに進行する予定です。

①その課の文法事項（ポイント）の説明→②単語の解説と音読→③
本文の解説と音読練習→④各課の練習問題

・新出単語、補充単語、本文は予習、復習において何度も音読練習し
てください。

・練習問題は授業時間内に実施、解説するよう努めますが、宿題にな
ることもあります。

・指示されたe宿題には必ず取り組んでください。

・復習のため適宜小テストを行います。

・練習問題等のフィードバックは授業時間またはHoppiiを通じて行
います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復 習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」

11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの 復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの 復習
14	授業内試験	「第 2 1 課から第 4 0 課」までの 試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習・復習が習得の鍵です。本授業の準備学習・復習時間は、
合わせて 1 時間を標準とします。

・予習では最低限音声聴きながら教科書本文を確認し、復習では
やはり音声を聴いて音読を繰り返すことに努めてください。

・ディクテーション（中国語の音声を聴いてそれを文字で書く）も非
常に有効です。ぜひお勧めします。

・e宿題には必ず取り組み、学んだ内容を定着させましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

お勧め辞書：

①『東方中国語辞典』（東方書店）中国語の初学者でも使いやすい学
習辞典です。中国語理解のための工夫が凝らされています。

②『中日辞典』『日中辞典』（小学館）①の辞書よりも上級者向けで
す。収録後が多いので本格的に中国語を勉強しようと思ったら一冊
持っていた方がよい辞書です。

参考書など：

『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』（同学社）問答無用
の定番参考書兼問題集。

その他、適宜教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

対面授業の場合、期末試験50%（中間試験+期末試験50%になる場
合もあります）、e宿題のクリア30%および平常点20%（小テス
ト、授業への参加意欲など）合計50%の割合で総合的に評価します。
（もしオンライン授業となった場合は上記の割合を試験30%、課題+
平常点=70%に変更し総合的に判断することとします）

【重要】この授業では対面授業時のe宿題の比重は30%、つまり30
点分です。e宿題のクリア状況は成績のレベルはおろか、不合格・再
履修の確率までも左右します。積み残しがあればあるほどクリアに
は大変な労力がかかるようになるので、必ず授業前後の予習復習と
して継続的な実施を心がけてください。

配慮を必要とする事項以外の欠席・遅刻は回数分に応じて評価レ
ベルが下がります。

また、当授業は五回欠席（授業回数の三分の一以上）で不合格とみ
なします。

【学生の意見等からの気づき】

・スライド画面については多様性を鑑み、ユニバーサルデザインを
心がけます。

・説明を簡潔に、わかりやすくするよういたします。

・中国について、みなさんから疑問質問知りたいことをお寄せいた
だくのはとても興味深いです。ぜひお気軽にお声がけください。中
国のアニメやゲーム事情などは、こちらも教えていただいたことが
たくさんありました。

・受講について、こちらで考慮すべきご事情があれば遠慮せずご相
談ください。できる限りお力になれるよういたします。

【学生が準備すべき機器他】

課題としてe宿題を使用しますので、各自でパソコンおよびスマ
ートフォンなどインターネット学習ができる環境を整えておいてくだ
さい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course
is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will
improve the skills of listening, speaking, reading and writing
through studying pronunciation, grammar, conversation and
composition. One hour is required for each lesson for
preparation and review of this class. The method and
criteria for grade evaluation will be decided by each instructor.
See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

大野 広之

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音 1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音 2」 あるいは 「発音 3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音 3」は分量の関係で、2 回 に分けて進めます。
3	「発音 3」 あるいは 「第 4 課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音 1 から 4」の復習をしま す。
5	「第 5 課」 あるいは 「第 6 課」	「自己紹介のしかた、あいさつこ とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第 7 課」 あるいは 「第 8 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第 9 課」 あるいは 「第 10 課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第 11 課」 あるいは 「第 12 課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文 1」
9	「第 13 課」 あるいは 「第 14 課」	「動詞述語文 2」 あるいは 「動詞述語文 3」
10	「第 15 課」 あるいは 「第 16 課」	「動詞述語文 4」 あるいは 「動詞述語文 5」
11	「第 17 課」 あるいは 「第 18 課」	「動詞述語文 6」 あるいは 「動詞述語文 7」
12	「第 19 課」 あるいは 「第 20 課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第 1 課から第 20 課」	「第 1 課から第 20 課」までの復習
14	授業内試験	「第 1 課から第 20 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

授業中に必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業時のリアクションペーパー考察記述提出 + e 宿題 30 %、定期試験 70 %

【学生の意見等からの気づき】

例年の授業時には一斉指導の他、学生からの声も援用して個別指導も併用して行います。特に個別指導の時間で学生自身の弱点克服に役立てていければと考えております。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)	
中国語 1 II	2017年度以降入学者
大野 広之	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：土2/Sat.2
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14	授業内試験	「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

授業進行に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業時のリアクションペーパー考察記述提出＋e宿題30%、定期試験70%

【学生の意見等からの気づき】

例年の授業時には一斉指導の他、学生からの声も援用して個別指導も併用して行います。特に個別指導の時間で学生自身の弱点克服に役立てていければと考えております。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

岩田 和子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつことば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」 授業内試験	「第1課から第20課」までの復習 「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

千葉謙悟・熊進監修、三省堂編修所編『ベーシッククラウン中日・日中辞典』三省堂
そのほか教場で適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

- ①平常点（授業への参加度15％、小テスト15％）：30％
②e宿題（1課～20課）：20％
③期末試験：50％

【学生の意見等からの気づき】

引きつづき丁寧な分かりやすい授業をこころがけます。

【学生が準備すべき機器他】

授業の予習・復習として、各自で教科書準拠のイーラーニング教材（e宿題）に取り組むので、スマートフォン、PC等を使用できる環境を整えてください。

授業に関するお知らせがある場合、学習支援システムから通知することもあるので適宜確認すること。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)	
中国語 1 II	2017年度以降入学者
岩田 和子	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：火2/Tue.2
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14	授業内試験	「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

千葉謙悟・熊進監修、三省堂編修所編『ベーシッククラウン中日・日中辞典』三省堂
そのほか教場で適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

- ①平常点（授業への参加度15%、小テスト15%）：30%
- ②e宿題（21課～40課）：20%
- ③期末試験：50%

【学生の意見等からの気づき】

引きつづき丁寧な分かりやすい授業をこころがけます。

【学生が準備すべき機器他】

授業の予習・復習として、各自で教科書準拠のイーラーニング教材（e宿題）に取り組むので、スマートフォン、PC等を使用できる環境を整えてください。

授業に関するお知らせがある場合、学習支援システムから通知することもあるので適宜確認すること。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

青木 正子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、e宿題を必修とします。定期試験などのフィードバックは授業中かメールで行います。メールは、qingm@live.jp まで。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつことば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」
13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末テスト70%、e宿題完了で30%で評価します。授業はすべて対面で行います。

【学生の意見等からの気づき】

評価基準をより明確にします。テスト範囲や出題傾向も明確に伝えるようにします。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 II

2017年度以降入学者

青木 正子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習
問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、e宿題を必
修とします。授業はすべて対面です。定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。メールは、qingm@live.jp

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 7 0 %、e 宿題完了で 3 0 % で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

評価基準をより明確にします。テスト範囲や出題傾向も明確に伝えるようにします。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

青木 正子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、e宿題を必修とします。定期試験などのフィードバックは授業中かメールで行います。メールは、qingm@live.jp まで。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回 に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をしま す。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつこ とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」 授業内試験	「第1課から第20課」までの復 習 「第1課から第20課」までの試 験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末テスト70%、e宿題完了で30%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

評価基準をより明確にします。テスト範囲や出題傾向も明確に伝えるようにします。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 II

2017年度以降入学者

青木 正子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習
問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、e宿題を必
修とします。授業はすべて対面です。定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。メールは、qingm@live.jp

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14 授業内試験

「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末テスト70%、e宿題完了で30%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

評価基準をより明確にします。テスト範囲や出題傾向も明確に伝えるようにします。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

青木 正子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、e宿題を必修とします。定期試験などのフィードバックは授業中かメールで行います。メールは、qingm@live.jp まで。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回 に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をしま す。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつこ とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」 授業内試験	「第1課から第20課」までの復 習 「第1課から第20課」までの試 験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末テスト70%、e宿題完了で30%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

評価基準をより明確にします。テスト範囲や出題傾向も明確に伝えるようにします。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 II

2017年度以降入学者

青木 正子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習
問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、e宿題を必
修とします。授業はすべて対面です。定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。メールは、qingm@live.jp

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』 東方書店

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 70%、e 宿題完了で 30% で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

評価基準をより明確にします。テスト範囲や出題傾向も明確に伝えるようにします。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

篠田 幸夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」までの復習	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

「東京外国語大学言語モジュール 中国語」 <http://www.coelAng.tufts.ac.jp/modules/zh/>

【成績評価の方法と基準】

期末テスト50%、小テスト20%、e宿題30%とする。

【学生の意見等からの気づき】

できるだけ目を使わない発音練習をしつこく行うことに効果があることが分かりました。目を使わないと耳に集中することができます。発音練習では必ず失敗します。失敗することによってどこをどのように修正すればよいかを考えることができます。失敗を恐れず一緒に練習しましょう。発音はしつこく練習します。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業への出席、「e宿題」の解答には、パーソナルコンピュータやスマートフォンなどの電子機器が必要となる。

【その他の重要事項】

授業への不参加が4.5回を超えた場合、評価の対象外となります。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 II

2017年度以降入学者

篠田 幸夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14 授業内試験

「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

「東京外国語大学言語モジュール 中国語」 <http://www.coelAng.tufs.ac.jp/modules/zh/>

【成績評価の方法と基準】

期末テスト60%、小テスト20%、e宿題20%とする。

【学生の意見等からの気づき】

できるだけ目を使わない発音練習をしつこく行うことに効果があることが分かりました。目を使わないと耳に集中することができます。発音練習では必ず失敗します。失敗することによってどこをどのように修正すればよいかを考えることができます。失敗を恐れず一緒に練習しましょう。発音はしつこく練習します。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業への出席、「e宿題」の解答には、パーソナルコンピュータやスマートフォンなどの電子機器が必要となる。

【その他の重要事項】

授業への不参加が4.5回を超えた場合、評価の対象外となります。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

大野 広之

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回 に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつこ とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」 授業内試験	「第1課から第20課」までの復習 「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

授業進行に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業時のリアクションペーパー考察記述提出＋e宿題30%、定期試験70%

【学生の意見等からの気づき】

例年の授業時には一斉指導の他、学生からの声も援用して個別指導も併用して行います。特に個別指導の時間で学生自身の弱点克服に役立てていければと考えております。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 II

2017年度以降入学者

大野 広之

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』 東方書店

【参考書】

授業進行に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業時のリアクションペーパー考察記述提出 + e 宿題 30 %、定期試験 70 %

【学生の意見等からの気づき】

例年の授業時には一斉指導の他、学生からの声も援用して個別指導も併用して行います。特に個別指導の時間で学生自身の弱点克服に役立てていければと考えております。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

篠田 幸夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつことば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」までの復習	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

「東京外国語大学言語モジュール 中国語」 <http://www.coelAng.tufts.ac.jp/modules/zh/>

【成績評価の方法と基準】

期末テスト50%、小テスト20%、e宿題30%とする。

【学生の意見等からの気づき】

できるだけ目を使わない発音練習をしつこく行うことに効果があることが分かりました。目を使わないと耳に集中することができます。発音練習では必ず失敗します。失敗することによってどこをどのように修正すればよいかを考えることができます。失敗を恐れず一緒に練習しましょう。発音はしつこく練習します。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業への出席、「e宿題」の解答には、パーソナルコンピュータやスマートフォンなどの電子機器が必要となる。

【その他の重要事項】

授業への不参加が4.5回を超えた場合、評価の対象外となります。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 II

2017年度以降入学者

篠田 幸夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14 授業内試験

「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

「東京外国語大学言語モジュール 中国語」 <http://www.coelAng.tufs.ac.jp/modules/zh/>

【成績評価の方法と基準】

期末テスト60%、小テスト20%、e宿題20%とする。

【学生の意見等からの気づき】

できるだけ目を使わない発音練習をしつこく行うことに効果があることが分かりました。目を使わないと耳に集中することができず。発音練習では必ず失敗します。失敗することによってどこをどのように修正すればよいかを考えることができます。失敗を恐れず一緒に練習しましょう。発音はしつこく練習します。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業への出席、「e宿題」の解答には、パーソナルコンピュータやスマートフォンなどの電子機器が必要となる。

【その他の重要事項】

授業への不参加が4.5回を超えた場合、評価の対象外となります。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

篠田 幸夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」までの復習	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

「東京外国語大学言語モジュール 中国語」 <http://www.coelAng.tufts.ac.jp/modules/zh/>

【成績評価の方法と基準】

期末テスト50%、小テスト20%、e宿題30%とする。

【学生の意見等からの気づき】

できるだけ目を使わない発音練習をしつこく行うことに効果があることが分かりました。目を使わないと耳に集中することができます。発音練習では必ず失敗します。失敗することによってどこをどのように修正すればよいかを考えることができます。失敗を恐れず一緒に練習しましょう。発音はしつこく練習します。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業への出席、「e宿題」の解答には、パーソナルコンピュータやスマートフォンなどの電子機器が必要となる。

【その他の重要事項】

授業への不参加が4.5回を超えた場合、評価の対象外となります。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 II

2017年度以降入学者

篠田 幸夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14 授業内試験

「第21課から第40課」までの
試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語
学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成した
り、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各
回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

「東京外国語大学言語モジュール 中国語」 <http://www.coelAng.tufts.ac.jp/modules/zh/>

【成績評価の方法と基準】

期末テスト60%、小テスト20%、e宿題20%とする。

【学生の意見等からの気づき】

できるだけ目を使わない発音練習をしつこく行うことに効果があ
ることが分かりました。目を使わないと耳に集中することができま
す。発音練習では必ず失敗します。失敗することによってどこをど
のように修正すればよいかを考えることができます。失敗を恐れず
一緒に練習しましょう。発音はしつこく練習します。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業への出席、「e宿題」の解答には、パーソナルコン
ピュータやスマートフォンなどの電子機器が必要となる。

【その他の重要事項】

授業への不参加が4.5回を超えた場合、評価の対象外となります。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course
is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will
improve the skills of listening, speaking, reading and writing
through studying pronunciation, grammar, conversation and
composition. One hour is required for each lesson for
preparation and review of this class. The method and
criteria for grade evaluation will be decided by each instructor.
See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

野村 英登

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」 授業内試験	「第1課から第20課」までの復習 「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

東京外国語大学言語モジュール

<http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/zh/>

中国語学習新学期セット

https://note.com/kiyohara_fn/n145e9dad5e26

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、授業での課題30%、e宿題20%で成績を評価します。
なお5回以上の欠席で期末試験の受験資格を失います。
また遅刻2回で欠席1回とみなします。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 II

2017年度以降入学者

野村 英登

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14 授業内試験

「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

東京外国語大学言語モジュール

<http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/zh/>

中国語学習新学期セット

https://note.com/kiyohara_f/n/n145e9dad5e26

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、授業での課題30%、e宿題20%で成績を評価します。
なお5回以上の欠席で期末試験の受験資格を失います。
また遅刻2回で欠席1回とみなします。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

福木 滋久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつことば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」 授業内試験	「第1課から第20課」までの復習 「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

書籍ではありませんが、定期的な自宅学習として、授業終了後、自宅でweb教材『ポイント学習中国語初級デジタル版』（<https://hosei-ch.xsrv.jp/hosei/>）の「e宿題」などに取り組んでいただき、その学習成果を成績に加味します。詳細は授業開始後にお知らせします。URLのページ下部からは解説書である『e宿題の手引き』がダウンロードできるので参照してください。

【成績評価の方法と基準】

日々の学習成果を重視します。毎回行ってもらう「e宿題」などのweb教材を用いた「自宅学習」を評価に反映させ、加えて授業への参加姿勢などの「平常点」、期末筆記試験や期末課題などからなる「期末試験」の結果を総合的に評価します。評価の割合は、小テストの成績やアクションペーパーの回答状況を含む「平常点」が30%、「自宅学習」30%、「期末試験」40%となります。

【学生の意見等からの気づき】

毎回の小テストや自宅学習は大変かと思いますが、最終的には一定の学習効果が得られますので、ほとんどの受講者には好意的に受け止められているようです。その他、受講者からの要望を受け、改善が必要で、かつ可能なものについては、できるだけ授業に反映させていくつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

自宅学習で使用するweb教材（e宿題）、連絡やアクションペーパー等で用いる学修支援システム、Googleclassroomの利用には、ネット環境と操作するデバイスが必要です。自宅のPC、学内のPC、タブレット、スマートフォンなどによる学習・利用が可能です。

【その他の重要事項】

オフィスアワーは特に設けませんが、質問などについては、授業後やメール等を介し、担当者にお寄せください。必要に応じて相談場所を確保するなどし対応します。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 II

2017年度以降入学者

福木 滋久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14 授業内試験

「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

書籍ではありませんが、定期的な自宅学習として、授業終了後、自宅でweb教材『ポイント学習中国語初級デジタル版』（<https://hosei-ch.xsrv.jp/hosei/>）の「e宿題」などに取り組んでいただき、その学習成果を成績に加味します。詳細は授業開始後にお知らせします。URLのページ下部からは解説書である『e宿題の手引き』がダウンロードできるので参照してください。

【成績評価の方法と基準】

秋学期も日々の学習成果を重視します。毎回行ってもらう「e宿題」などのweb教材を用いた「自宅学習」を評価に反映させ、加えて授業への参加姿勢などの「平常点」、期末筆記試験や期末課題などからなる「期末試験」の結果を総合的に評価します。評価の割合は、小テストの成績やリアクションペーパーの回答状況を含む「平常点」が30%、「自宅学習」30%、「期末試験」40%となります。

【学生の意見等からの気づき】

毎回の小テストや自宅学習は大変かと思いますが、最終的には一定の学習効果が得られますので、ほとんどの受講者には好意的に受け止められているようです。その他、受講者からの要望を受け、改善が必要で、かつ可能なものについては、できるだけ授業に反映させていくつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

自宅学習で使用するweb教材（e宿題）、連絡やリアクションペーパー等で用いる学修支援システム、Googleclassroomの利用には、ネット環境と操作するデバイスが必要です。自宅のPC、学内のPC、タブレット、スマートフォンなどによる学習・利用が可能です。

【その他の重要事項】

オフィスアワーは特に設けませんが、質問などについては、授業後やメール等を介し、担当者にお寄せください。必要に応じて相談場所を確保するなどし対応します。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

大江 千晶

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回 に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつこ とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」 授業内試験	「第1課から第20課」までの復習 「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

指定なし

【成績評価の方法と基準】

1課ごとの音声課題およびe宿題の提出40%、期末試験60%

【学生の意見等からの気づき】

発音練習、1課ごとの予習復習を必ず行ってください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 II

2017年度以降入学者

大江 千晶

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバッ
クは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14 授業内試験

「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

指定なし

【成績評価の方法と基準】

1課ごとの音声課題およびe宿題の提出40%、期末試験60%

【学生の意見等からの気づき】

発音練習、1課ごとの予習復習を必ず行ってください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

池田 麻希子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験70%、平常点（小テスト）30%として評価します。出席回数が授業回数の3分の2に及ばなかった者（＝欠席5回以上）は、成績評価の対象としません。遅刻・早退は2回で欠席1回とします。小テストや期末試験の出題形式の詳細は講義中に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

受講者にとってわかりやすく、また興味を持って学修を続けたいと思えるような授業を心がけます。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 II

2017年度以降入学者

池田 麻希子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 70 %、平常点（小テスト） 30 % として評価します。出席回数が授業回数の 3 分の 2 に及ばなかった者（＝欠席 5 回以上）は、成績評価の対象としません。遅刻・早退は 2 回で欠席 1 回とします。小テストや期末試験の出題形式の詳細は講義中に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

受講者にとってわかりやすく、また興味を持って学修を続けたいと思えるような授業を心がけます。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

鷲巢 益美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回 に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をしま す。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつこ とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」までの復習	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

『中日辞典』小学館、『中日辞典』講談社

【成績評価の方法と基準】

全授業回数の三分の二以上出席した者を評価の対象とする。中間試験40%、期末試験40%、e宿題20%の割合で計算し、成績評価をする。

【学生の意見等からの気づき】

わからないところやもう一度説明してほしいところがあれば、授業中に遠慮なく質問してください。些細なことでも構いません。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンかスマートフォン。e宿題をやるのに必要です。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 II

2017年度以降入学者

鷲巢 益美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14 授業内試験

「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

『中日辞典』小学館、『中日辞典』講談社

【成績評価の方法と基準】

全授業回数の三分の二以上出席した者を評価の対象とする。中間試験40%、期末試験40%、e宿題20%の割合で計算し、成績評価をする。

【学生の意見等からの気づき】

授業に集中し、予習・復習・e宿題を怠りなくこなしてください。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンかスマートフォン。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

渡部 れい子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業中、またはメールなどで行います。

基本的に対面授業を行います。感染状況などにより学生の皆さんに不利益が生じる可能性がある場合は、オンライン授業とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつことば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」

12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」
13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が大事です。授業後は、単語帳を作るなど、各自に合ったやり方でピンインとともに新出単語、補充単語、本文を覚えるようにしてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要に応じて教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

各期末テストに加え、授業内での小テスト、平常点（積極的に発言しているか、熱心に課題に取り組んでいるか、など）を総合的に判断し、評価します。授業中の私語、不要なスマートフォンの使用など受講にふさわしくない行動を繰り返す場合は平常点を減点します。また、特別な理由がない限り、各学期6回以上欠席した場合は期末試験を受けられません。長期欠席する場合は必ず連絡を下さい。評価の割合は、期末テスト70%、平常点（e宿題・小テスト含む）30%となります。

【学生の意見等からの気づき】

アンケート結果では、多くの学生が授業を理解していたようでした。今年度も分かりやすい授業を行えるよう工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

学習内容が定着するよう、e宿題に必ず取り組んで下さい。期日までに規定の範囲が終了しない場合、減点となりますので注意して下さい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

One hour is required for each lesson for preparation (researching the meaning of newly appeared word, etc.) and review (practicing listening to Chinese conversation, etc.) of this class.

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term quiz(30%), term-end examination (70%), and in-class contribution.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 II

2017年度以降入学者

渡部 れい子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業中、またはメールなどで行います。

基本的に対面授業を行います。感染状況などにより学生の皆さんに不利益が生じる可能性がある場合は、オンライン授業とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習

13 「第31課から第40課」 「第31課から第40課」までの復習

14 授業内試験 「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

教室で指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末に試験を行います。学期末試験に加え、授業内での小テスト、平常点（積極的に発言しているか、熱心に課題に取り組んでいるか、など）を総合的に判断し、評価します。

評価の割合は、期末テスト70%、平常点（e宿題・小テスト含む）30%となります。

【学生の意見等からの気づき】

アンケート結果では、多くの学生が授業を理解していたようで、今年度も分かりやすい授業を行えるよう工夫していきたいです。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

One hour is required for each lesson for preparation (researching the meaning of newly appeared word, etc.) and review (practicing listening to Chinese conversation, etc.) of this class.

Final grade will be calculated according to the following process Mid-term quiz(30%), term-end examination (70%), and in-class contribution.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 I

2017年度以降入学者

赤平 恵里

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」 授業内試験	「第1課から第20課」までの復習 「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要に応じて授業時に適宜提示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点〔授業態度・小テスト・暗唱など〕（40%）および期末試験（60%）の結果に基づき、総合的に評価する。

なお、授業回数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

【学生の意見等からの気づき】

試験範囲が広いので、復習の機会を十分に設けるよう心掛けたい。

【その他の重要事項】

授業中は、恥ずかしがらずに大きな声で発音練習し、積極的に授業に臨んでほしい。

その他授業に関して緊急の連絡事項がある場合には、学習支援システムにて通知する。必ず受講前に学習支援システムのお知らせを確認するようにしてほしい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)	
中国語 1 II	2017年度以降入学者
赤平 恵里	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：火 1/Tue.1	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの 復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの 復習

14	授業内試験	「第 2 1 課から第 4 0 課」までの 試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語
学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成した
り、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各
回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』 東方書店

【参考書】

必要に応じて授業時に適宜提示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点〔授業態度・小テスト・暗唱など〕(40%) および期末試験
(60%) の結果に基づき、総合的に評価する。

なお、授業回数の 3 分の 1 以上欠席した場合は、評価の対象としない。

【学生の意見等からの気づき】

試験範囲が広いので、復習の機会を十分に設けるよう心掛けたい。

【その他の重要事項】

授業中は、恥ずかしがらずに大きな声で発音練習し、積極的に授業
に臨んでほしい。

その他授業に関して緊急の連絡事項がある場合には、学習支援シス
テムにて通知する。必ず受講前に学習支援システムのお知らせを確
認するようにしてほしい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course
is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will
improve the skills of listening, speaking, reading and writing
through studying pronunciation, grammar, conversation and
composition. One hour is required for each lesson for
preparation and review of this class. The method and
criteria for grade evaluation will be decided by each instructor.
See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

畢 文涛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」までの復習	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

指定なし

【成績評価の方法と基準】

①e宿題：30点（次の授業の開始時間までに必ず完了させること）

②平常点：20点（学習態度、出席必須、遅刻欠席減点。授業で発音練習、練習問題の発表など）

③期末筆記試験：50点

【学生の意見等からの気づき】

発音練習、1課ごとの予習復習を必ず行ってください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 II

2017年度以降入学者

畢 文涛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

指定なし

【成績評価の方法と基準】

① e 宿題：30 点（次の授業の開始時間までに必ず完了させること）

② 平常点：20 点（学習態度、出席必須、遅刻欠席減点。授業で発音練習、練習問題の発表など）

③ 期末筆記試験：50 点

【学生の意見等からの気づき】

発音練習、1 課ごとの予習復習を必ず行ってください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

黄麗華

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよく身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著 2,500円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点：授業への参加度20%、e宿題30%

テスト：中間テスト10%、課題10%、期末試験30%

一回の欠席で－2点

【学生の意見等からの気づき】

語学の勉強は積極性と継続性が必要です。必ず予習・復習をし、遅刻・欠席はしないこと。間違いを恐れず、積極的に発音・会話・作文などの練習に取り組んでください。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聴くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、lihua.huang.33@hosei.ac.jpまで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)	
中国語 2 II	2017年度以降入学者
黄 麗華	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：木3/Thu.3
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよく身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1、2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音 1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音 2」 あるいは 「発音 3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音 3」は分量の関係で、2 回に分けて進めます。
3	「発音 3」 あるいは 「第 4 課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音 1 から 4」の復習をします。
5	「第 5 課」 あるいは 「第 6 課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第 7 課」 あるいは 「第 8 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第 9 課」 あるいは 「第 10 課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第 11 課」 あるいは 「第 12 課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文 1」
9	「第 13 課」 あるいは 「第 14 課」	「動詞述語文 2」 あるいは 「動詞述語文 3」
10	「第 15 課」 あるいは 「第 16 課」	「動詞述語文 4」 あるいは 「動詞述語文 5」
11	「第 17 課」 あるいは 「第 18 課」	「動詞述語文 6」 あるいは 「動詞述語文 7」
12	「第 19 課」 あるいは 「第 20 課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第 1 課から第 20 課」	「第 1 課から第 20 課」までの復習
14	授業内試験	「第 1 課から第 20 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著 2,500 円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点：授業への参加度 20 %、e 宿題 30 %
テスト：中間テスト 10 %、課題 10 %、期末試験 30 %
一回の欠席で－2 点

【学生の意見等からの気づき】

語学の勉強は積極性と継続性が必要です。必ず予習・復習をし、遅刻・欠席はしないこと。間違いを恐れず、積極的に発音・会話・作文などの練習に取り組んでください。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聴くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、lihua.huang.33@hosei.ac.jp まで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」までの復習	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

祝振媛 橋千早 『新中国語初級』 株式会社天々

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績の40%とし、発音段階のテストと中間テスト、期末試験はそれぞれ成績の20%とします。平均点数が60点以上の人を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるので、PCやCDプレーヤーを用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいはzoomの授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率は70%に達していない者、課題を提出しない者に関しては、Eと判定します。やむを得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 II

2017年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って中国語の発音、基本的な語彙、文法を学ぶ。

【到達目標】

一年間の学習を通じて、読む、聞く、話す、書く力をバランスよく身につけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時にはzoomの授業をも行う。授業はテキストに沿って一回一課の進捗で進める。具体的に次のようである。1) 小テスト（約25分）を毎回授業の最初に設ける。2) テキストの学習（約40分）。3) 文法問題の演習、会話（約35分）。また授業は教室での学習と自宅での学習（予習、復習）を組み合わせて進める。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の内容に関する復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「動詞の経験態」 あるいは 「動詞の進行態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「副詞のいろいろ」 あるいは 「比較の表現」
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「数字の数え方」 あるいは 「月日の訪ね方」
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「時刻の言い方」 あるいは 「金額の言い方」
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「能願動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	復習、文法問題の演習1	「第21課から第30課」までの復習

13	復習、文法問題の演習2	「第31課から第40課」までの復習
14	秋期の文法問題の演習	「第21課から第40課」までの文法問題の演習、確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が重要なので、授業後は音声を開いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、<http://fic.xsrv.jp/hosei/>を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

祝振媛 橘千早 『新中国語初級』 株式会社天々

康玉華 『漢語301句』北京言語大学出版社

【成績評価の方法と基準】

本講義は面接授業、あるいはzoomの授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績の40%とし、最初の発音テストと中間試験、期末試験はそれぞれ成績の20%とします。平均点数が60点以上の人を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるので、PCやCDを用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいはzoomの授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の70%に達していない者、課題を提出しない者に関しては、Eと判定します。やむ得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

薬 進

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方については、中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。

授業形態は対面授業となります。対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。オンラインで予習・復習ができるように、『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題を提出するための資料をアップロードしています。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けして回答します。
- (3) 個別相談等はshin.yaku.56@hosei.ac.jpで随時受け付けして回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつことば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第5課から「第10課」	「補語」 あるいは 「あいさつことば、文型、文成分」に関する復習

9	「第12課」 あるいは 「第13課」	「動詞述語文1」 あるいは 「動詞述語文2」
10	「第14課」 あるいは 「第15課」	「動詞述語文3」 あるいは 「動詞述語文4」
11	「第16課」 あるいは 「第17課」	「動詞述語文5」 あるいは 「動詞述語文6」
12	「第18課」 あるいは 「第12課から第18課」	「動詞述語文7」 あるいは 「動詞述語文」の復習
13	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」
14	「第19課、20課」	「態」の復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が大事です。授業後は、単語帳を作るなど、各自に合ったやり方でピンインとともに新出単語、補充単語、本文を覚えるようにしてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

中日辞典（東方書店、小学館、講談社など、どちらか1冊。電子辞書でもよい。

【成績評価の方法と基準】

評価基準は、中間のまとめ25%、口語テスト10%、最終課題65%とする。

無断欠席・遅刻は回数分に応じて減点される。

検定試験準4級合格者：I期終了時合格は90点プラス。

検定試験4級合格者：I期終了時合格は100点プラス。

【学生の意見等からの気づき】

進度について、速過ぎと妥当との両方の意見があるが、二三週ごとに意見を聴取し、随時スピード調整を行っていきたい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)	
中国語 2 II	2017年度以降入学者
薬 進	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水3/Wed.3	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方については、中国語 1、2 の教員が、一冊のテキスト
をリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、
文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するように
します。

授業形態は対面授業となります。対面授業では、課題の要点解説や
文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。オンラインで予習・
復習ができるように、『学習支援システム』において、各授業日にお
ける学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フ
ォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題を提出するための資料
をアップロードしています。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けして回答します。
- (3) 個別相談等は shin.yaku.56@hosei.ac.jp で随時受け付けして回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「第 2 1 課」	「経験態」
	あるいは	あるいは
2	「第 2 2 課」	「進行態」「持続態」
	「第 1 9 課から第 2 2 課」	「態」の復習
3	「第 2 3 課」	「形容詞述語文」 1
	あるいは	あるいは
4	「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 2
	「第 2 5 課」	「形容詞述語文」
	あるいは	あるいは
	「第 2 3 課から第 2 5 課」	「形容詞述語文」の復習
5	「第 2 6 課」	「名詞述語文」 1
	あるいは	あるいは
6	「第 2 7 課」	「名詞述語文」 2
	「第 2 8 課」	「名詞述語文」 3
	あるいは	あるいは
	「第 2 6 課から第 2 8 課」	「名詞述語文」の復習
7	「第 2 9 課」	「連体修飾語」
	あるいは	あるいは
8	「第 3 0 課」	「連用修飾語」
	「第 2 9 課、3 0 課」	「連体修飾語、連用修飾語」の復習
	あるいは	あるいは
	「第 3 1 課」	「程度補語」

9	「第 3 2 課」	「数量補語」
	あるいは	あるいは
10	「第 3 3 課」	「結果補語」
	「第 3 4 課」	「方向補語」
	あるいは	あるいは
	「第 3 5 課」	「可能補語」
11	「第 3 1 課から 3 5 課」	「補語」の復習
	あるいは	あるいは
12	「第 3 6 課」	「助動詞」
	「第 3 7 課」	「兼語文」
13	あるいは	あるいは
	「第 3 8 課」	「受け身表現」
14	「第 3 9 課」	「把構文」
	あるいは	あるいは
	「第 4 0 課」	「存現文」
	全体のまとめ	最終課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でペンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

中日辞典（東方書店、小学館、講談社など、どちらか 1 冊。電子辞書でもよい。

【成績評価の方法と基準】

評価基準は、中間のまとめ 25 %、朗読テスト 10 %、最終課題 65 % とする。

無断欠席・遅刻は回数分に応じて減点される。

検定試験準 4 級合格者：Ⅱ期終了時合格は 15 点プラス。

検定試験 4 級合格者：Ⅱ期終了時合格は 90 点プラス。

【学生の意見等からの気づき】

進度について、速過ぎと妥当との両方の意見があるが、二三週ごとに意見を聴取し、随時スピード調整を行っていきたい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

薬 進

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方については、中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。

授業形態は対面授業となります。対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。オンラインで予習・復習ができるように、『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題を提出するための資料をアップロードしています。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けして回答します。
- (3) 個別相談等はshin.yaku.56@hosei.ac.jpで随時受け付けして回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつことば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第5課から「第10課」	「補語」 あるいは 「あいさつことば、文型、文成分」に関する復習

9	「第12課」 あるいは 「第13課」	「動詞述語文1」 あるいは 「動詞述語文2」
10	「第14課」 あるいは 「第15課」	「動詞述語文3」 あるいは 「動詞述語文4」
11	「第16課」 あるいは 「第17課」	「動詞述語文5」 あるいは 「動詞述語文6」
12	「第18課」 あるいは 「第12課から第18課」	「動詞述語文7」 あるいは 「動詞述語文」の復習
13	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」
14	「第19課、20課」	「態」の復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が大事です。授業後は、単語帳を作るなど、各自に合ったやり方でピンインとともに新出単語、補充単語、本文を覚えるようにしてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

中日辞典（東方書店、小学館、講談社など、どちらか1冊。電子辞書でもよい。

【成績評価の方法と基準】

評価基準は、中間のまとめ25%、口語テスト10%、最終課題65%とする。

無断欠席・遅刻は回数分に応じて減点される。

検定試験準4級合格者：I期終了時合格は90点プラス。

検定試験4級合格者：I期終了時合格は100点プラス。

【学生の意見等からの気づき】

進度について、速過ぎと妥当との両方の意見があるが、二三週ごとに意見を聴取し、随時スピード調整を行っていきたい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 II

2017年度以降入学者

薬 進

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方については、中国語 1、2 の教員が、一冊のテキスト
をリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、
文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するように
します。

授業形態は対面授業となります。対面授業では、課題の要点解説や
文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。オンラインで予習・
復習ができるように、『学習支援システム』において、各授業日にお
ける学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フ
ォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題を提出するための資料
をアップロードしています。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けして回答します。
- (3) 個別相談等は shin.yaku.56@hosei.ac.jp で随時受け付けして回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
2	「第 1 9 課から第 2 2 課」	「態」の復習
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 3 課から第 2 5 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「形容詞述語文」の復習
5	「第 2 6 課」 あるいは 「第 2 7 課」	「名詞述語文」 1 あるいは 「名詞述語文」 2
6	「第 2 8 課」 あるいは 「第 2 6 課から第 2 8 課」	「名詞述語文」 3 あるいは 「名詞述語文」の復習
7	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
8	「第 2 9 課、3 0 課」 あるいは 「第 3 1 課」	「連体修飾語、連用修飾語」の 復習 あるいは 「程度補語」

9	「第 3 2 課」 あるいは 「第 3 3 課」	「数量補語」 あるいは 「結果補語」
10	「第 3 4 課」 あるいは 「第 3 5 課」	「方向補語」 あるいは 「可能補語」
11	「第 3 1 課から 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「補語」の復習 あるいは 「助動詞」
12	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
13	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
14	全体のまとめ	最終課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方
でペンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。本授
業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

中日辞典（東方書店、小学館、講談社など、どちらか 1 冊。電子辞
書でもよい。

【成績評価の方法と基準】

評価基準は、中間のまとめ 25 %、朗読テスト 10 %、最終課題 65 %
とする。

無断欠席・遅刻は回数分に応じて減点される。

検定試験準 4 級合格者：Ⅱ期終了時合格は 15 点プラス。

検定試験 4 級合格者：Ⅱ期終了時合格は 90 点プラス。

【学生の意見等からの気づき】

進度について、速過ぎと妥当との両方の意見があるが、二三週ごと
に意見を聴取し、随時スピード調整を行っていきたい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course
is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will
improve the skills of listening, speaking, reading and writing
through studying pronunciation, grammar, conversation and
composition. One hour is required for each lesson for
preparation and review of this class. The method and
criteria for grade evaluation will be decided by each instructor.
See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

畢 文涛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

指定なし

【成績評価の方法と基準】

①e宿題：30点（次の授業の開始時間までに必ず完了させること）

②平常点：20点（学習態度、出席必須、遅刻欠席減点。授業で発音練習、練習問題の発表など）

③期末筆記試験：50点

【学生の意見等からの気づき】

発音練習、1課ごとの予習復習を必ず行ってください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 II

2017年度以降入学者

畢 文涛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

指定なし

【成績評価の方法と基準】

① e 宿題：30 点（次の授業の開始時間までに必ず完了させること）

② 平常点：20 点（学習態度、出席必須、遅刻欠席減点。授業で発音練習、練習問題の発表など）

③ 期末筆記試験：50 点

【学生の意見等からの気づき】

発音練習、1 課ごとの予習復習を必ず行ってください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

任 麗潔

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回 に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつこ とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

学習態度30%

宿題、小テスト30%

中間テスト20%

期末試験20%

【学生の意見等からの気づき】

一緒に楽しく中国語を勉強しましょう！

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 II

2017年度以降入学者

任 麗潔

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

学習態度 30 %

宿題、小テスト 30 %

中間テスト 20 %

期末試験 20 %

【学生の意見等からの気づき】

一緒に楽しく中国語を勉強しましょう！

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

王 安

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著 2,500円（同学社）

【成績評価の方法と基準】

平常点（各課の課題合計50点）＋中間・期末テスト（合計50点）＝100で評価します。

注意点：①課題の未提出は5点減点/一回

②課題提出の遅れは3点減点/一回

【重要】課題の提出遅れについて：提出が締め切りより遅れた場合、期間は締め切り日から一週間以内と限定します。一週間過ぎてからの提出は成績評価しませんのでくれぐれもご注意ください。

【学生の意見等からの気づき】

文法の説明が分かりやすく、練習問題が充実しているとの評価を頂いてうれしいです。今後の授業でも丁寧に文法項目を説明し、様々な工夫をして学習効果を確実に上げていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聴くことができる機器が必要です。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 II

2017年度以降入学者

王 安

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著 2,500 円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（各課の課題合計 50 点）＋中間・期末テスト（合計 50 点）＝100 で評価します。

注意点：①課題の未提出は 5 点減点/一回

②課題提出の遅れは 3 点減点/一回

【重要】課題の提出遅れについて：提出が締め切りより遅れた場合、期間は締め切り日から一週間以内と限定します。一週間過ぎてからの提出は成績評価しませんのでくれぐれもご注意ください。

【学生の意見等からの気づき】

授業の雰囲気が出るく、文法の説明が分かりやすいとの評価を頂いてうれしいです。今後もたくさんの用例を提示しながら丁寧に文法項目を説明し、様々な工夫をして学習効果を確実に上げていきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聴くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、annwang@hosei.ac.jp まで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

任 麗潔

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回 に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつこ とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」 授業内試験	「第1課から第20課」までの復習 「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

学習態度30%

宿題、小テスト30%

中間テスト20%

期末試験20%

【学生の意見等からの気づき】

一緒に楽しく中国語を勉強しましょう！

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 II

2017年度以降入学者

任 麗潔

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』 東方書店

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

学習態度 30 %

宿題、小テスト 30 %

中間テスト 20 %

期末試験 20 %

【学生の意見等からの気づき】

一緒に楽しく中国語を勉強しましょう！

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

任 麗潔

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回 に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつこ とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」 授業内試験	「第1課から第20課」までの復習 「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

学習態度30%

宿題、小テスト30%

中間テスト20%

期末試験20%

【学生の意見等からの気づき】

一緒に楽しく中国語を勉強しましょう！

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 II

2017年度以降入学者

任 麗潔

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

学習態度 30 %

宿題、小テスト 30 %

中間テスト 20 %

期末試験 20 %

【学生の意見等からの気づき】

一緒に楽しく中国語を勉強しましょう！

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

康 宏理

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要時、指示します。

【成績評価の方法と基準】

教室での対面授業の場合は、期末試験は60%、平常点は30%、小テスト10%、とする。

オンライン授業の場合は、読むテスト40%、e宿題＋課題40%、平常点20%、とする。

共に、欠席回数が授業回数の三分の一を超えた場合は評価しない。

【学生の意見等からの気づき】

発音と声調を徹底的に指導します。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業への出席、e宿題の解答にはパソコンやスマートフォンなどの電子機器が必要となる。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)	
中国語 2 II	2017年度以降入学者
康 宏理	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：火3/Tue.3
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバッ
クは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14	授業内試験	「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要時、指示します。

【成績評価の方法と基準】

教室での対面授業の場合は、期末テスト60%、平常点30%、小テスト10%とする。

オンライン授業の場合は、読むテスト40%、e宿題＋課題40%、平常点20%とする。

共に、欠席回数が授業回数の三分の一を超えた場合は評価しない。

【学生の意見等からの気づき】

発音と声調を徹底的に指導します。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業への出席、e宿題の解答にはパソコンやスマートフォンなどの電子機器が必要となる。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

劉 光赤

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつことば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」までの復習	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

日中辞典、中日辞典

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、学習態度と課題の完成度50%によって総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

必要に応じて進度の調整を行います。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PCなどを準備してください。

【その他の重要事項】

授業形態は対面授業ですが、大学の方針に従って変更する場合があります。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 II

2017年度以降入学者

劉 光赤

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1、2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

日中辞典、中日辞典

【成績評価の方法と基準】

期末試験 50 %、学習態度と課題の完成度 50 % によって総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

必要に応じて進度の調整を行います。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PCなどを準備してください。

【その他の重要事項】

授業形態は対面授業ですが、大学の方針に従って変更する場合があります。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

孫 琦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題等へのフィードバックは授業時間に行う。大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」

12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変態」
13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が大事です。授業後は、単語帳を作るなど、各自に合ったやり方でピンインとともに新出単語、補充単語、本文を覚えるようにしてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

法政大学中国語教研室教材用ページ

<http://fic.xsrv.jp/hosei>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%（宿題や小テスト）と期末試験70%で成績評価をします。

【学生の意見等からの気づき】

発音練習を多く取り入れて、学生の習得レベルに沿った授業展開を心がけます。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語Ⅱ

2017年度以降入学者

孫 琦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新
出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから
練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜
小テストを行います。課題等へのフィードバックは授業時間に行う。
大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオ
ンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
2	「第19課から第22課」	「態」の復習
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第23課から第25課」	「形容詞述語文」 あるいは 「形容詞述語文」の復習
5	「第26課」 あるいは 「第27課」	「名詞述語文」1 あるいは 「名詞述語文」2
6	「第28課」 あるいは 「第26課から第28課」	「名詞述語文」3 あるいは 「名詞述語文」の復習
7	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
8	「第29課、30課」 あるいは 「第31課」	「連体修飾語、連用修飾語」の 復習 あるいは 「程度補語」
9	「第32課」 あるいは 「第33課」	「数量補語」 あるいは 「結果補語」
10	「第34課」 あるいは 「第35課」	「方向補語」 あるいは 「可能補語」
11	「第31課から第35課」 あるいは 「第36課」	「補語」の復習 あるいは 「助動詞」

12	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
13	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
14	「第36課から第40課」	「助動詞、兼語文、受け身表現、 把構文、存現文」の復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方
でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。本授
業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

法政大学中国語教研室教材用ページ

<http://fic.xsrv.jp/hosei>

【成績評価の方法と基準】

平常点（30%）、期末試験（70%）による総合評価

【学生の意見等からの気づき】

発音練習を多く取り入れて、習得レベルに沿った授業展開を心がけ
ます。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course
is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will
improve the skills of listening, speaking, reading and writing
through studying pronunciation, grammar, conversation and
composition. One hour is required for each lesson for
preparation and review of this class. The method and
criteria for grade evaluation will be decided by each instructor.
See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

薬 会

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

指定はありません。

【成績評価の方法と基準】

毎回のスピーチと小テストの成績そして授業への参加度などの平常点(30%)と期末試験(70%)をもとに総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

特に必要はありません。

【その他の重要事項】

一年間を通じてピンインが学習の中心になります。「中国語音節表」「ピンイン声調パターン」を完全に理解して完璧に発音できることを目指します。毎回スピーチのテストと聞き取りのテストがあります。さらに映像と解説を交えて中国の関連ニュースやエンタメ事情などを紹介したりして今日の中国を理解してもらいたい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 II

2017年度以降入学者

薬 会

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

特に指定はありません。

【成績評価の方法と基準】

毎回のスピーチと小テストの成績そして授業への参加度などの平常点 (3 0 %) と期末試験 (7 0 %) をもとに総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

ありません。

【その他の重要事項】

一年間を通じてピンインが学習の中心になります。「中国語音節表」「ピンイン声調パターン」を完全に理解して完璧に発音できることを目指します。毎回スピーチのテストと聞き取りのテストがあります。さらに映像と解説を交えて中国の関連ニュースやエンタメ事情などを紹介したりして今日の中国を理解してもらいたい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

孫 琦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題等へのフィードバックは授業時間に行う。大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」

12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変態」
13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が大事です。授業後は、単語帳を作るなど、各自に合ったやり方でピンインとともに新出単語、補充単語、本文を覚えるようにしてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

法政大学中国語教研室教材用ページ

<http://fic.xsrv.jp/hosei>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%（宿題や小テスト）と期末試験70%で成績評価をします。

【学生の意見等からの気づき】

発音練習を多く取り入れて、学生の習得レベルに沿った授業展開を心がけます。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 II

2017年度以降入学者

孫 琦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新
出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから
練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜
小テストを行います。課題等へのフィードバックは授業時間に行う。
大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオ
ンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
2	「第19課から第22課」	「態」の復習
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第23課から第25課」	「形容詞述語文」 あるいは 「形容詞述語文」の復習
5	「第26課」 あるいは 「第27課」	「名詞述語文」1 あるいは 「名詞述語文」2
6	「第28課」 あるいは 「第26課から第28課」	「名詞述語文」3 あるいは 「名詞述語文」の復習
7	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
8	「第29課、30課」 あるいは 「第31課」	「連体修飾語、連用修飾語」の 復習 あるいは 「程度補語」
9	「第32課」 あるいは 「第33課」	「数量補語」 あるいは 「結果補語」
10	「第34課」 あるいは 「第35課」	「方向補語」 あるいは 「可能補語」
11	「第31課から第35課」 あるいは 「第36課」	「補語」の復習 あるいは 「助動詞」

12	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
13	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
14	「第36課から第40課」	「助動詞、兼語文、受け身表現、 把構文、存現文」の復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方
でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。本授
業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

法政大学中国語教研室教材用ページ

<http://fic.xsrv.jp/hosei>

【成績評価の方法と基準】

平常点（30%）、期末試験（70%）による総合評価

【学生の意見等からの気づき】

発音練習を多く取り入れて、習得レベルに沿った授業展開を心がけ
ます。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course
is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will
improve the skills of listening, speaking, reading and writing
through studying pronunciation, grammar, conversation and
composition. One hour is required for each lesson for
preparation and review of this class. The method and
criteria for grade evaluation will be decided by each instructor.
See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 I

2017年度以降入学者

劉 光赤

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1、2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音 1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音 2」 あるいは 「発音 3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音 3」は分量の関係で、2 回に分けて進めます。
3	「発音 3」 あるいは 「第 4 課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音 1 から 4」の復習をします。
5	「第 5 課」 あるいは 「第 6 課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第 7 課」 あるいは 「第 8 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第 9 課」 あるいは 「第 10 課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第 11 課」 あるいは 「第 12 課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文 1」
9	「第 13 課」 あるいは 「第 14 課」	「動詞述語文 2」 あるいは 「動詞述語文 3」
10	「第 15 課」 あるいは 「第 16 課」	「動詞述語文 4」 あるいは 「動詞述語文 5」
11	「第 17 課」 あるいは 「第 18 課」	「動詞述語文 6」 あるいは 「動詞述語文 7」
12	「第 19 課」 あるいは 「第 20 課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第 1 課から第 20 課」	「第 1 課から第 20 課」までの復習
14	授業内試験	「第 1 課から第 20 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

日中辞典、中日辞典

【成績評価の方法と基準】

期末試験 50 %、学習態度と課題の完成度 50 % によって総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

必要に応じて進度の調整を行います。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PCなどを準備してください。

【その他の重要事項】

授業形態は対面授業ですが、大学の方針に従って変更する場合があります。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)	
中国語 2 II	2017年度以降入学者
劉 光赤	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月 4/Mon.4	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1、2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復 習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの 復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの 復習

14	授業内試験	「第 2 1 課から第 4 0 課」までの 試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語
学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方で
ピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

日中辞典、中日辞典

【成績評価の方法と基準】

期末試験 50 %、学習態度と課題の完成度 50 % によって総合的に評
価します。

【学生の意見等からの気づき】

必要に応じて進度の調整を行います。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PCなどを準備してくだ
さい。

【その他の重要事項】

授業形態は対面授業ですが、大学の方針に従って変更する場合があります。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course
is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will
improve the skills of listening, speaking, reading and writing
through studying pronunciation, grammar, conversation and
composition. One hour is required for each lesson for
preparation and review of this class. The method and
criteria for grade evaluation will be decided by each instructor.
See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

薬 進

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方については、中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。

授業形態は対面授業となります。対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。オンラインで予習・復習ができるように、『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題を提出するための資料をアップロードしています。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けして回答します。
- (3) 個別相談等はshin.yaku.56@hosei.ac.jpで随時受け付けして回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつことば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第5課から「第10課」	「補語」 あるいは 「あいさつことば、文型、文成分」に関する復習

9	「第12課」 あるいは 「第13課」	「動詞述語文1」 あるいは 「動詞述語文2」
10	「第14課」 あるいは 「第15課」	「動詞述語文3」 あるいは 「動詞述語文4」
11	「第16課」 あるいは 「第17課」	「動詞述語文5」 あるいは 「動詞述語文6」
12	「第18課」 あるいは 「第12課から第18課」	「動詞述語文7」 あるいは 「動詞述語文」の復習
13	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」
14	「第19課、20課」	「態」の復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が大事です。授業後は、単語帳を作るなど、各自に合ったやり方でピンインとともに新出単語、補充単語、本文を覚えるようにしてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

中日辞典（東方書店、小学館、講談社など、どちらか1冊。電子辞書でもよい。

【成績評価の方法と基準】

評価基準は、中間のまとめ25%、口語テスト10%、最終課題65%とする。

無断欠席・遅刻は回数分に応じて減点される。

検定試験準4級合格者：I期終了時合格は90点プラス。

検定試験4級合格者：I期終了時合格は100点プラス。

【学生の意見等からの気づき】

進度について、速過ぎと妥当との両方の意見があるが、二三週ごとに意見を聴取し、随時スピード調整を行っていきたい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)	
中国語 2 II	2017年度以降入学者
薬 進	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水 4/Wed.4	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方については、中国語 1、2 の教員が、一冊のテキスト
をリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、
文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するように
します。

授業形態は対面授業となります。対面授業では、課題の要点解説や
文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。オンラインで予習・
復習ができるように、『学習支援システム』において、各授業日にお
ける学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フ
ォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題を提出するための資料
をアップロードしています。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けして回答します。
- (3) 個別相談等は shin.yaku.56@hosei.ac.jp で随時受け付けして回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「第 2 1 課」	「経験態」
	あるいは	あるいは
2	「第 2 2 課」	「進行態」「持続態」
	「第 1 9 課から第 2 2 課」	「態」の復習
3	「第 2 3 課」	「形容詞述語文」 1
	あるいは	あるいは
4	「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 2
	「第 2 5 課」	「形容詞述語文」
5	「第 2 3 課から第 2 5 課」	「形容詞述語文」の復習
	「第 2 6 課」	「名詞述語文」 1
6	「第 2 7 課」	「名詞述語文」 2
	「第 2 8 課」	「名詞述語文」 3
7	「第 2 6 課から第 2 8 課」	「名詞述語文」の復習
	「第 2 9 課」	「連体修飾語」
8	「第 3 0 課」	「連用修飾語」
	「第 2 9 課、3 0 課」	「連体修飾語、連用修飾語」の復習
9	「第 3 1 課」	あるいは
		「程度補語」

9	「第 3 2 課」	「数量補語」
	あるいは	あるいは
10	「第 3 3 課」	「結果補語」
	「第 3 4 課」	「方向補語」
11	あるいは	あるいは
	「第 3 5 課」	「可能補語」
12	「第 3 1 課から 3 5 課」	「補語」の復習
	あるいは	あるいは
13	「第 3 6 課」	「助動詞」
	「第 3 7 課」	「兼語文」
14	あるいは	あるいは
	「第 3 8 課」	「受け身表現」
15	「第 3 9 課」	「把構文」
	あるいは	あるいは
16	「第 4 0 課」	「存現文」
	全体のまとめ	最終課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方
でペンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。本授
業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

中日辞典（東方書店、小学館、講談社など、どちらか 1 冊。電子辞
書でもよい。

【成績評価の方法と基準】

評価基準は、中間のまとめ 25 %、朗読テスト 10 %、最終課題 65 %
とする。

無断欠席・遅刻は回数分に応じて減点される。

検定試験準 4 級合格者：Ⅱ期終了時合格は 15 点プラス。

検定試験 4 級合格者：Ⅱ期終了時合格は 90 点プラス。

【学生の意見等からの気づき】

進度について、速過ぎと妥当との両方の意見があるが、二三週ごと
に意見を聴取し、随時スピード調整を行っていきたい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course
is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will
improve the skills of listening, speaking, reading and writing
through studying pronunciation, grammar, conversation and
composition. One hour is required for each lesson for
preparation and review of this class. The method and
criteria for grade evaluation will be decided by each instructor.
See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

康 宏理

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要時、指示します。

【成績評価の方法と基準】

教室での対面授業の場合は、期末テスト60%、平常点30%、小テスト10%、とする。

オンライン授業の場合は、読むテスト40%、e宿題＋課題40%、平常点20%、とする。

共に、欠席回数が授業回数の三分の一を超えた場合は評価しない。

【学生の意見等からの気づき】

発音と声調を徹底的に指導します。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業への出席、e宿題の解答にはパソコンやスマートフォンなどの電子機器が必要となる。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 II

2017年度以降入学者

康 宏理

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要時、指示します。

【成績評価の方法と基準】

教室での対面授業の場合は、期末テスト 60 %、平常点 30 %、小テスト 10 %、とする。

オンライン授業の場合は、読むテスト 40 %、e 宿題 + 課題 40 %、平常点 20 %、とする。

共に、欠席回数が授業回数の三分の一を超えた場合は評価しない。

【学生の意見等からの気づき】

発音と声調を徹底的に指導します。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業への出席、e 宿題の解答にはパソコンやスマートフォンなどの電子機器が必要となる。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

周 重雷

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回 に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつこ とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」 授業内試験	「第1課から第20課」までの復習 「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

電子辞書やスマートフォンの活用は可。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト60%

平常点40%

平常点は減点制で、欠席1回につき-5点、遅刻1回につき-2点、小テストの出来次第にも相応に減点される。

【学生の意見等からの気づき】

挨拶などの日常会話も覚える。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 II

2017年度以降入学者

周 重雷

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14

授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

電子機器やスマートフォンも可。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 60 %

平常点 40 %

平常点は減点制で、欠席 1 回につき -5 点、遅刻 1 回につき -2 点。小テストの出来次第にも相応に減点される。

【学生の意見等からの気づき】

挨拶などの日常会話も覚える。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

楊 心苗

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初習者を対象に、発音・文法・会話・作文などの項目を学習しつつ、「読む・書く・聞く・話す」の4技能をバランスよく身に付け、初級レベルの総合的な中国語コミュニケーション能力を養う。

【到達目標】

- (1) 基本的な中国語を読んだり聞いたりして、相手の意見や情報などを理解することができる。
- (2) 基本的な中国語を書いたり話したりして、自分の考えや経験などを表現することができる。
- (3) 春学期の学習を完了した段階で、HSK1級に合格できるレベルの中国語能力を身に着ける。
- (4) 中国語圏の言語や文化に対する関心を持ち、積極的に異文化を理解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・授業は基本的にテキストに沿って毎回1課ずつ進める。毎回の授業は、概ね以下の手順で進める。1.小テスト（約20分）、2.前回の復習（約10分）、3.テキストの学習（約40分）、4.問題演習・コミュニケーション活動など（約30分）。
- ・外国語の習得のためには、継続的な学習が重要であるため、毎回授業の最初に小テストを行う。
- ・この授業ではブレンド型学習（教室での対面学習と自宅でのeラーニングを組み合わせた学習方法）を導入し、教室学習と自宅学習を有機的に連携させつつ行う。
- ・教員は小テストの添削や質問への回答を準備し、授業時に返却・回答することによって随時フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつことば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」
13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習

14 授業内試験

「第1課から第20課」までの試験・まとめ解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・受講開始後は、既習事項の復習をしっかりと行うこと。特に、中国語の発音や文法に慣れるために、繰り返しデジタル教科書及びeラーニング教材（<https://hosei-ch.xsrv.jp/hosei/>）を活用し、毎回の学習事項を確実に定着させるよう心がけてほしい。
- ・予習／復習の時間は毎回1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

大石智良 他『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

相原茂（他）2016『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書 新訂版』東京：同学社

【成績評価の方法と基準】

- ①e宿題：20点（次の授業の開始時間まで完了させること。）
- ②平常点：30点（授業中の態度、授業での発音練習、ロールプレイ、アクティビティなど。）
- ③小テスト：50点（毎回授業の初めに行う小テストの平均点で評価し、期末試験は実施しない。）

【学生の意見等からの気づき】

中国文化の紹介に関しては、今後も継続したい。また、中国語会話を実践するアクティビティも今後できるだけ多く設けるよう心掛けたい。

【学生が準備すべき機器他】

e宿題を使用するため、パソコンやスマートフォン等を使用できる環境を整えてください。

【その他の重要事項】

・本授業は、全回の出席が評価の前提である。即ち、欠席は原則的に認めない。教育実習等のやむを得ない事情がある場合は、各種証明書を提出するなど、各自で然るべき対応をとること。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA（中国語 / Chinese language education 100）	
中国語 2 II	2017年度以降入学者
楊 心苗	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：木5/Thu.5
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初習者を対象に、発音・文法・会話・作文などの項目を学習しつつ、「読む・書く・聞く・話す」の4技能をバランスよく身に付け、初級レベルの総合的な中国語コミュニケーション能力を養う。

【到達目標】

- (1) 基本的な中国語を読んだり聞いたりして、相手の意見や情報などを理解することができる。
- (2) 基本的な中国語を書いたり話したりして、自分の考えや経験などを表現することができる。
- (3) 秋学期の学習を完了した段階で、HSK2級に合格できるレベルの中国語能力を身に着ける。
- (4) 中国語圏の言語や文化に対する関心を持ち、積極的に異文化を理解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・授業は基本的にテキストに沿って毎回1課ずつ進める。毎回の授業は、概ね以下の手順で進める。1.小テスト（約20分）、2.前回の復習（約10分）、3.テキストの学習（約40分）、4.問題演習・コミュニケーション活動など（約30分）。
- ・外国語の習得のためには、継続的な学習が重要であるため、毎回授業の最初に小テストを行う。
- ・この授業ではブレンド型学習（教室での対面学習と自宅でのeラーニングを組み合わせた学習方法）を導入し、教室学習と自宅学習を有機的に連携させつつ行う。
- ・教員は小テストの添削や質問への回答を準備し、授業時に返却・回答することで随時フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」	「経験態」
	あるいは	あるいは
	「第22課」	「進行態」「持続態」
3	「第23課」	「形容詞述語文」1
	あるいは	あるいは
	「第24課」	「形容詞述語文」2
4	「第25課」	「形容詞述語文」
	あるいは	あるいは
	「第26課」	「名詞述語文」1
5	「第27課」	「名詞述語文」2
	あるいは	あるいは
	「第28課」	「名詞述語文」3
6	「第29課」	「連体修飾語」
	あるいは	あるいは
	「第30課」	「連用修飾語」
7	「第31課」	「程度補語」
	あるいは	あるいは
	「第32課」	「数量補語」
8	「第33課」	「結果補語」
	あるいは	あるいは
	「第34課」	「方向補語」
9	「第35課」	「可能補語」
	あるいは	あるいは
	「第36課」	「助動詞」
10	「第37課」	「兼語文」
	あるいは	あるいは
	「第38課」	「受け身表現」
11	「第39課」	「把構文」
	あるいは	あるいは
	「第40課」	「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習
14	授業内試験	「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・受講開始後は、既習事項の復習をしっかりと行うこと。特に、中国語の発音や文法に慣れるために、繰り返しデジタル教科書及びeラーニング教材（<https://hosei-ch.xsrv.jp/hosei/>）を活用し、毎回の学習事項を確実に定着させるよう心がけてほしい。
- ・予習／復習の時間は毎回1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

大石智良 他 『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

相原茂（他）2016『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書 新訂版』東京：同学社

【成績評価の方法と基準】

- ①e宿題：20点（次の授業の開始時間まで完了させること。）
- ②平常点：30点（授業中の態度、授業での発音練習、ロールプレイ、アクティビティなど。）
- ③小テスト：50点（毎回授業の初めに行う小テストの平均点で評価し、期末試験は実施しない。）

【学生の意見等からの気づき】

中国文化の紹介に関しては、今後も継続したい。また、中国語会話を実践するアクティビティも今後できるだけ多く設けるよう心掛けたい。

【学生が準備すべき機器他】

e宿題を使用するため、パソコンやスマートフォン等を使用できる環境を整えてください。

【その他の重要事項】

・本授業は、全回の出席が評価の前提である。即ち、欠席は原則的に認めない。教育実習等のやむを得ない事情がある場合は、各種証明書を提出するなど、各自で然るべき対応を取ること。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト50%と平常点(学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など)50%に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の学生のご意見などを生かしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 II

2017年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 50 % と平常点 (学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など) 50 % に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の学生のご意見を生かしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

薬 会

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

指定はありません。

【成績評価の方法と基準】

毎回のスピーチと小テストの成績そして授業への参加度などの平常点(30%)と期末試験(70%)をもとに総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

特に必要はありません。

【その他の重要事項】

一年間を通じてピンインが学習の中心になります。「中国語音節表」「ピンイン声調パターン」を完全に理解して完璧に発音できることを目指します。毎回スピーチのテストと聞き取りのテストがあります。さらに映像と解説を交えて中国の関連ニュースやエンタメ事情などを紹介したりして今日の中国を理解してもらいたい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 II

2017年度以降入学者

葉 会

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14 授業内試験

「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

特に指定はありません。

【成績評価の方法と基準】

毎回のスピーチと小テストの成績そして授業への参加度などの平常点(30%)と期末試験(70%)をもとに総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

ありません。

【その他の重要事項】

一年間を通じてピンインが学習の中心になります。「中国語音節表」「ピンイン声調パターン」を完全に理解して完璧に発音できることを目指します。毎回スピーチのテストと聞き取りのテストがあります。さらに映像と解説を交えて中国の関連ニュースやエンタメ事情などを紹介したりして今日の中国を理解してもらいたい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

任 麗潔

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回 に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をしま す。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつこ とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」 授業内試験	「第1課から第20課」までの復 習 「第1課から第20課」までの試 験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

学習態度30%

宿題、小テスト30%

中間テスト20%

期末試験20%

【学生の意見等からの気づき】

一緒に楽しく中国語を勉強しましょう！

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)	
中国語 2 II	2017年度以降入学者
任 麗潔	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：水2/Wed.2
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14	授業内試験	「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

学習態度30%

宿題、小テスト30%

中間テスト20%

期末試験20%

【学生の意見等からの気づき】

一緒に楽しく中国語を勉強しましょう！

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2 I

2017年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回 に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をしま す。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつこ とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」 授業内試験	「第1課から第20課」までの復 習 「第1課から第20課」までの試 験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト50%と平常点(学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など)50%に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の学生のご意見を生かしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 II

2017年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 50 % と平常点 (学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など) 50 % に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の学生のご意見などを生かしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語(1) I

2017年度以降入学者

鷲巣 益美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回 に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をしま す。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつこ とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」 授業内試験	「第1課から第20課」までの復 習 「第1課から第20課」までの試 験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

『中日辞典』小学館、『中日辞典』講談社

【成績評価の方法と基準】

全授業回数の三分の二以上出席した者を評価の対象とする。中間試験40%、期末試験40%、e宿題20%の割合で計算し、成績評価をする。

【学生の意見等からの気づき】

よくわからないことやもう一度説明してほしいことがあれば、授業中に遠慮なく申し出てください。些細なことでも構いません。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンかスマートフォン。e宿題をやるのに必要です。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語(1)Ⅱ

2017年度以降入学者

鷲巣 益美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14 授業内試験

「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

『中日辞典』小学館、『中日辞典』講談社

【成績評価の方法と基準】

全授業回数の三分の二以上出席した者を評価の対象とする。中間試験40%、期末試験40%、e宿題20%の割合で計算し、成績評価をする。

【学生の意見等からの気づき】

授業に集中し、予習・復習・e宿題を怠りなくこなしてください。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンかスマートフォン。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語(1) I

2017年度以降入学者

岩田 和子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつことば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」までの復習	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

千葉謙悟・熊進監修、三省堂編修所編『ベーシッククラウン中日・日中辞典』三省堂

そのほか教場で適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

①平常点（授業への参加度15%、小テスト15%）：30%

②e宿題（1課～20課）：20%

③期末試験：50%

【学生の意見等からの気づき】

引きつづき丁寧な分かりやすい授業をこころがけます。

【学生が準備すべき機器他】

授業の予習・復習として、各自で教科書準拠のイーラーニング教材（e宿題）に取り組むので、スマートフォン、PC等を使用できる環境を整えてください。

授業に関するお知らせがある場合、学習支援システムから通知することもあるので適宜確認すること。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語(1)Ⅱ2017年度以降入学者

岩田 和子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14 授業内試験 「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

千葉謙悟・熊進監修、三省堂編修所編『ベーシッククラウン中日・日中辞典』三省堂
そのほか教場で適宜示します。

【成績評価の方法と基準】

- ①平常点（授業への参加度15%、小テスト15%）：30%
- ②e宿題（21課～40課）：20%
- ③期末試験：50%

【学生の意見等からの気づき】

引きつづき丁寧な分かりやすい授業をこころがけます。

【学生が準備すべき機器他】

授業の予習・復習として、各自で教科書準拠のイーラーニング教材（e宿題）に取り組むので、スマートフォン、PC等を使用できる環境を整えてください。

授業に関するお知らせがある場合、学習支援システムから通知することもあるので適宜確認すること。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語(2) I

2017年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」までの復習	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

祝振媛 橋千早 『新中国語初級』株式会社天々

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績の40%とし、発音テストと中間試験、期末試験はそれぞれ成績の20%とします。平均点数が60点以上の人を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるので、PCやCDを用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいはzoomの授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率は70%に達していない者、課題を提出しない者に関しては、Eと判定します。やむを得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語(2)Ⅱ

2017年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って中国語の発音、基本的な語彙、文法を学ぶ。

【到達目標】

一年間の学習を通じて、読む、聞く、話す、書く力をバランスよく身につけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時にはzoomの授業をも行う。授業はテキストに沿って一回一課の進捗で進める。具体的に次のようである。1) 小テスト（約25分）を毎回授業の最初に設ける。2) テキストの学習（約40分）。3) 文法問題の演習、会話（約35分）。また授業は教室での学習と自宅での学習（予習、復習）を組み合わせる。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の内容に関する復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「動詞の経験態」 あるいは 「動詞の進行態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「副詞のいろいろ」 あるいは 「比較の表現」
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「数字の数え方」 あるいは 「月日の訪ね方」
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「時刻の言い方」 あるいは 「金額の言い方」
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「能願動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	復習、文法問題の演習1	「第21課から第30課」までの復習

13	復習、文法問題の演習2	「第31課から第40課」までの復習
14	秋期の文法問題の演習	「第21課から第40課」までの文法問題の演習、確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が重要なので、授業後は音声を開いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、<http://fic.xsrv.jp/hosei/>を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

祝振媛 橘千早 『新中国語初級』 株式会社天々

康玉華 『漢語301句』北京言語大学出版社

【成績評価の方法と基準】

本講義は面接授業、あるいはzoomの授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績の40%とし、最初の発音テストと中間試験、期末試験はそれぞれ成績の20%とします。平均点数が60点以上の人を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるので、PCやCDを用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいはzoomの授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の70%に達していない者、課題を提出しない者に関しては、Eと判定します。やむを得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語(2) I

2017年度以降入学者

周 重雷

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回 に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をしま す。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつこ とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」 授業内試験	「第1課から第20課」までの復 習 「第1課から第20課」までの試 験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

電子機器やスマートフォンも可。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト60%

平常点40%

平常点は減点制で、欠席1回につき-5点、遅刻1回につき-2点。小テストの出来次第にも相応に減点される。

【学生の意見等からの気づき】

あいさつなどの日常会話も覚える。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語(2)Ⅱ

2017年度以降入学者

周 重雷

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14 授業内試験

「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

電子機器やスマートフォンも可。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト60%

平常点40%

平常点は減点制で、欠席1回につき-5点、遅刻1回につき-2点。小テストの出来次第にも減点される。

【学生の意見等からの気づき】

挨拶などの日常会話も覚える。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1

2017年度以降入学者

鈴木 靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SA 中国に参加する学生を対象に、HSK1 級の合格に必要な語彙（150語）、語法を学ぶ。また、e-Learningを活用し、語彙力とリスニング力、スピーキング力を強化する。

【到達目標】

HSK（漢語水平考試）1級の取得に必要な語学力を身につけることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2、5の授業は、二人の教員が一冊のテキストを毎回一課ずつリレー式で進めていく。

中国語1、5では、効率的かつゆとりある授業を行うため、教室での対面学習と自宅でのe-Learningを組み合わせたブレンド型学習を行う。毎回の授業内容は下記のとおりである。

①小テスト（約20分）

教室での学習とe-Learningによる自宅学習の成果を確認するため、毎回授業のはじめに小テストを行う。

②テキストの学習（約50分）

テキストを使いながら、発音や文法などを中心に学習する。

③コミュニケーション・トレーニング（約20分）

前回の授業で学習した表現を使いながら、学生同士でコミュニケーション・トレーニングを行う。

（例）クラス全員の氏名をたずねる、電話番号をたずねる、家族構成をたずねる等

課題等に対するフィードバックの方法としては、受講生全員が参加するLINEのグループを用意し、これを通じて全員または個別に指導を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	中国語とは 中国語を学ぶ意義について考える	中国語の使用人口や方言、標準語の定義などについて学ぶ
第2回	発音の基本(1) 中国語の発音を理論的・体系的に理解する	中国語の表記法
第3回	発音の基本(2) 中国語の発音を理論的・体系的に理解する	中国語の声調、声母、韻母、二音節語の声調
第4回	中国語の基本構造(1) 中国語の文法体系を概観する	中国語の四文型
第5回	中国語の基本構造(2) 中国語の文法体系を概観する	連体修飾語・連用修飾語
第6回	中国語の基本構造(3) 中国語の文法体系を概観する	補語

第7回 動詞述語文(1) 動詞“是”の用法

動詞述語文の文法とそれを使ったさまざまな表現を学ぶ

第8回 動詞述語文(2) 動詞“有”の用法

動詞述語文の文法とそれを使ったさまざまな表現を学ぶ

第9回 動詞述語文(3) 名量詞・動量詞

動詞述語文の文法とそれを使ったさまざまな表現を学ぶ

第10回 動詞述語文(4) 連動文

動詞述語文の文法とそれを使ったさまざまな表現を学ぶ

第11回 中国語の態(1) 変化態

中国語の態とそれを使ったさまざまな表現を学ぶ

第12回 中国語の態(2) 経験態、進行態・持続態

中国語の態とそれを使ったさまざまな表現を学ぶ

第13回 形容詞述語文 程度副詞、比較表現①～⑤

形容詞述語文の文法とそれを使ったさまざまな表現を学ぶ

第14回 名詞述語文 月日・曜日、時刻、金額の表現

名詞述語文の文法とそれを使ったさまざまな表現を学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

中国語1、5では、毎回授業の初めに小テストを行うが、その配点の40%はe-Learningによる自宅学習の達成度に当てられている。前回の授業までに学習した内容をe-Learningによって復習することで、中国語の力をしっかりと身につけてほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

本学の中国語スタッフがリレー式授業用に編纂した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）とそのデジタル版を併用する。

【参考書】

劉月華ほか『実用現代漢語語法』（外語教学与研究出版社）

【成績評価の方法と基準】

①e-Learning（e宿題）の実施状況（40%）

②毎回授業の始めに実施する小テストの成績（60%）

【学生の意見等からの気づき】

学生のインターネット利用環境がPCからスマートフォンへと移行しているのを受け、e-Learningを改良して、スマートフォンによる読む・書く・聞く・話すの総合的学習を行えるようにした。またe-Learningに出題される復習問題の数が多すぎる場合があるとの意見をもとに、各課で出題される復習問題の数に上限（最大20題）を設けることにした。

また、e-Learningの正誤判定の方法を変更し、間違った箇所を示し、修正できるように改良した。

【学生が準備すべき機器他】

中国語1、5では、毎回授業の後にe-Learningによる自宅学習を宿題として課している。e-Learningの利用方法については、初回の授業で説明する。

【Outline (in English)】

〔Course outline〕

Chinese 1 - SA is a Chinese course designed specifically for the students who are going to study abroad in China next year.

In this course, students will develop their language abilities in the following:

Vocabulary: We will learn 150 words required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 1.

Grammar: We will learn the elementary grammar required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 1.

Students will improve their language skills by:

Expanding their vocabulary and improving their listening and speaking skills through the use of e-Learning.

[Learning Objectives]

The goal of this course is to develop the students' ability to understand and use the Chinese language at the level of HSK1.

[Learning activities outside of the classroom]

Students will be expected to complete the required assignments after each class. These assignments are expected to require an hour or more for students to complete.

[Grading Criteria /Policy]

Grading will be decided based on short class examinations(60%) and class assignments(40%).

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 3

2017年度以降入学者

鈴木 靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SA 中国に参加する学生を対象に、HSK2 級の合格に必要な語彙 (300 語)、語法を学ぶ。また、e-Learning を活用し、語彙力とリスニング力、スピーキング力を強化する。

【到達目標】

HSK（漢語水平考試）2 級を取得するのに必要な中国語力を身につけることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

前半は、中国語 1、2、5 と同じく、二人の教員が一冊のテキストを毎回一課ずつフリレー式で授業を進めていく。

後半からは文部科学省平成 24 年度グローバル人材育成推進事業の補助を受け開発した e-Learning 教材を使い、留学先での暮らしを疑似体験しながら、そこで必要な表現力を身につけていく。

課題等に対するフィードバックの方法としては、受講生全員が参加する LINE のグループを用意し、これを通じて全員または個別に指導を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	補語 (2)	程度補語、数量補語
	中国語の文法でもっとも難解とされる補語について学ぶ	
第 2 回	補語 (3)	結果補語、方向補語
	中国語の文法でもっとも難解とされる補語について学ぶ	
第 3 回	補語 (4)	可能補語
	中国語の文法でもっとも難解とされる補語について学ぶ	
第 4 回	さまざまな表現 (1)	助動詞、兼語文（使役表現）
	中国語の初級文法の残された課題をまとめて学習する	
第 5 回	さまざまな表現 (2)	受身表現、把構文
	中国語の初級文法の残された課題をまとめて学習する	
第 6 回	さまざまな表現 (3)	存現文
	中国語の初級文法の残された課題をまとめて学習する	

第 7 回	留学先での授業準備 (1)	第 1 課 タクシーでの会話 第 2 課 大学での出迎え
	e-Learning 教材を使い、留学先での授業を疑似体験しながら、そこでの質疑応答に必要な表現力を身につけていく	
第 8 回	留学先での授業準備 (2)	第 6 課 友人の部屋を訪ねる① 第 7 課 友人の部屋を訪ねる②
第 9 回	留学先での授業準備 (3)	第 11 課 買い物に行く約束をする 第 13 課 旗袍を注文する①
第 10 回	留学先での授業準備 (4)	第 16 課 雑技を見に行く① 第 17 課 雑技を見に行く②
第 11 回	留学先での授業準備 (5)	第 20 課 北京観光 北海公園① 第 21 課 北京観光 北海公園②
第 12 回	留学先での授業準備 (6)	第 24 課 先生の自宅で餃子を作る① 第 25 課 先生の自宅で餃子を作る②
第 13 回	留学先での授業準備 (7)	第 28 課 円明園を訪ねる① 第 29 課 円明園を訪ねる②
第 14 回	留学先での授業準備 (8)	日本文化紹介プレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

中国語 3、6 の授業では、毎回授業の初めに小テストを行うが、その配点の 40 % は e-Learning による自宅学習の達成度に応じて与えられる。前回の授業までに学習した内容を e-Learning によって復習することで、中国語の力をしっかりと身につけていってほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

前半は春学期と同じく『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を使用する。

後半からはテキストは使用せず、文部科学省平成 24 年度グローバル人材育成推進事業の補助を受け開発した e-Learning 教材と HSK（漢語水平考試）の過去問データを使用する。

【参考書】

劉月華『實用現代漢語語法』（外語教学与研究出版社）

【成績評価の方法と基準】

成績は毎回授業のはじめに行う小テストの平均点によって評価する（100 %）。

出題範囲は、前回の授業までに学習した内容すべて。

問題は、単語の聞き取り（4 問×5 点＝20 点）、短文の聞き取り（2 問×10 点＝20 点）、日文中訳（2 問×10 点＝20 点）、e-Learning による自宅学習の達成度（4 種×10 点＝40 点）の計 100 点。

【学生の意見等からの気づき】

学生のインターネット利用環境が P C からスマートフォンへと移行しているのを受け、e-Learning を改良して、スマートフォンによる読む・書く・聞く・話すの総合的学習を行えるようにした。また e-Learning に出題される復習問題の数が多すぎる場合があるとの意見をもとに、各課で出題される復習問題の数に上限（最大 20 題）を設けることにした。

また、e-Learning の正誤判定の方法を変更し、間違った箇所を示し、修正できるように改良した。

【学生が準備すべき機器他】

中国語 3、6 では、毎回授業の後にデジタル教科書や e-Learning による自宅学習を宿題として課している。e-Learning の利用方法については、春学期の授業と同じ。

【Outline (in English)】

〔Course outline〕

Chinese 3 - SA is a Chinese course designed specifically for the students who are going to study abroad in China next year.

In this course, students will develop their language abilities in the following:

Vocabulary: We will learn 300 words required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 2.

Grammar: We will learn the elementary grammar required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 2.

Students will improve their language skills by:
Expanding their vocabulary and improving their listening and speaking skills through the use of e-Learning.

[Learning Objectives]

The goal of this course is to develop the students' ability to understand and use the Chinese language at the level of HSK2.

[Learning activities outside of the classroom]

Students will be expected to complete the required assignments after each class. These assignments are expected to require an hour or more for students to complete.

[Grading Criteria /Policy]

Grading will be decided based on short class examinations(60%) and class assignments(40%).

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2

2017年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。大学の行動方針レベル2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」

12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変態」
13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト50%と平常点(学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など)50%に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の学生のご意見を生かしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 4

2017年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランス良くつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際
文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。
大学の行動方針レベル2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
第2回	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
第3回	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
第4回	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
第5回	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
第6回	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
第7回	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
第8回	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
第9回	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
第10回	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
第11回	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
第12回	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習

第13回 「第31課から第40課」
「第31課から第40課」までの復習

第14回 授業内試験
「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』 東方書店

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト50%と平常点(学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など)50%に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

よりよい授業を目指すため、学生のご意見やご要望を生かしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 5

2017年度以降入学者

鈴木 靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SA 中国に参加する学生を対象に、HSK1 級の合格に必要な語彙（150 語）、語法を学ぶ。また、e-Learning を活用し、語彙力とリスニング力、スピーキング力を強化する。

【到達目標】

HSK（漢語水平考試）1 級の取得に必要な語学力を身につけることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1、2、5 の授業は、二人の教員が一冊のテキストを毎回一課ずつリレー式で進めていく。

中国語 1、5 では、効率的かつゆとりある授業を行うため、教室での対面学習と自宅での e-Learning を組み合わせたブレンド型学習を行う。毎回の授業内容は下記のとおりである。

①小テスト（約20分）

教室での学習と e-Learning による自宅学習の成果を確認するため、毎回授業のはじめに小テストを行う。

② テキストの学習（約50分）

テキストを使いながら、発音や文法などを中心に学習する。

③ コミュニケーション・トレーニング（約20分）

前回の授業で学習した表現を使いながら、学生同士でコミュニケーション・トレーニングを行う。

（例）クラス全員の氏名をたずねる、電話番号をたずねる、家族構成をたずねる等

課題等に対するフィードバックの方法としては、受講生全員が参加する LINE のグループを用意し、これを通じて全員または個別に指導を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	中国語とは 中国語を学ぶ意義について考える	中国語の使用人口や方言、標準語の定義などについて学ぶ
第2回	発音の基本(1) 中国語の発音を理論的・体系的に理解する	中国語の表記法
第3回	発音の基本(2) 中国語の発音を理論的・体系的に理解する	中国語の声調、声母、韻母、二音節語の声調
第4回	中国語の基本構造(1) 中国語の文法体系を概観する	中国語の四文型
第5回	中国語の基本構造(2) 中国語の文法体系を概観する	連体修飾語・連用修飾語
第6回	中国語の基本構造(3) 中国語の文法体系を概観する	補語

第7回 動詞述語文(1) 動詞“是”の用法

動詞述語文の文法とそれを使ったさまざまな表現を学ぶ

第8回 動詞述語文(2) 動詞“有”の用法

動詞述語文の文法とそれを使ったさまざまな表現を学ぶ

第9回 動詞述語文(3) 名量詞・動量詞

動詞述語文の文法とそれを使ったさまざまな表現を学ぶ

第10回 動詞述語文(4) 連動文

動詞述語文の文法とそれを使ったさまざまな表現を学ぶ

第11回 中国語の態(1) 変化態

中国語の態とそれを使ったさまざまな表現を学ぶ

第12回 中国語の態(2) 経験態、進行態・持続態

中国語の態とそれを使ったさまざまな表現を学ぶ

第13回 形容詞述語文 程度副詞、比較表現①～⑤

形容詞述語文の文法とそれを使ったさまざまな表現を学ぶ

第14回 名詞述語文 月日・曜日、時刻、金額の表現

名詞述語文の文法とそれを使ったさまざまな表現を学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

中国語 1、5 では、毎回授業の初めに小テストを行うが、その配点の 40 % は e-Learning による自宅学習の達成度に当てられている。前回の授業までに学習した内容を e-Learning によって復習することで、中国語の力をしっかりと身につけてほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

本学の中国語スタッフがリレー式授業用に編纂した『ポイント学習中国語初級』（東方書店）とそのデジタル版を使用する。

【参考書】

劉月華ほか『実用現代漢語語法』（外語教学与研究出版社）

【成績評価の方法と基準】

① e-Learning（e 宿題）の実施状況（40 %）

② 毎回授業の始めに行う小テストの成績（60 %）

【学生の意見等からの気づき】

学生のインターネット利用環境が PC からスマートフォンへと移行しているのを受け、e-Learning を改良して、スマートフォンによる読む・書く・聞く・話すの総合的学習を行えるようにした。また e-Learning に出題される復習問題の数が多すぎる場合があるとの意見をもとに、各課で出題される復習問題の数に上限（最大 20 題）を設けることにした。

また、e-Learning の正誤判定の方法を変更し、間違った箇所を示し、修正できるように改良した。

【学生が準備すべき機器他】

中国語 1、5 では、毎回授業の後にデジタル教科書と e-Learning による自宅学習を宿題として課している。e-Learning の利用方法については、初回の授業で説明する。

【Outline (in English)】

〔Course outline〕

Chinese 5 - SA is a Chinese course designed specifically for the students who are going to study abroad in China next year.

In this course, students will develop their language abilities in the following:

Vocabulary: We will learn 150 words required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 1.

Grammar: We will learn the elementary grammar required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 1.

Students will improve their language skills by:

Expanding their vocabulary and improving their listening and speaking skills through the use of e-Learning.

[Learning Objectives]

The goal of this course is to develop the students' ability to understand and use the Chinese language at the level of HSK1.

[Learning activities outside of the classroom]

Students will be expected to complete the required assignments after each class. These assignments are expected to require an hour or more for students to complete.

[Grading Criteria /Policy]

Grading will be decided based on short class examinations(60%) and class assignments(40%).

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語6

2017年度以降入学者

鈴木 靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SA中国に参加する学生を対象に、HSK2級の合格に必要な語彙(300語)、語法を学ぶ。また、e-Learningを活用し、語彙力とリスニング力、スピーキング力を強化する。

【到達目標】

HSK（漢語水平考試）2級の取得に必要な中国語力を身につけることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

前半は、中国語1、2、5と同じく、二人の教員が一冊のテキストを毎回一課ずつリレー式で授業を進めていく。

後半からは文部科学省平成24年度グローバル人材育成推進事業の補助を受け開発したe-Learning教材を使い、留学先での暮らしを疑似体験しながら、そこで必要な表現力を身につけていく。

課題等に対するフィードバックの方法としては、受講生全員が参加するLINEのグループを用意し、これを通じて全員または個別に指導を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	補語(2)	程度補語、数量補語
	中国語の文法でもっとも難解とされる補語について学ぶ	
第2回	補語(3)	結果補語、方向補語
	中国語の文法でもっとも難解とされる補語について学ぶ	
第3回	補語(4)	可能補語
	中国語の文法でもっとも難解とされる補語について学ぶ	
第4回	さまざまな表現(1)	助動詞、兼語文（使役表現）
	中国語の初級文法の残された課題をまとめて学習する	
第5回	さまざまな表現(2)	受身表現、把構文
	中国語の初級文法の残された課題をまとめて学習する	
第6回	さまざまな表現(3)	存現文
	中国語の初級文法の残された課題をまとめて学習する	
第7回	留学準備(1)	第3課 留学生寮に入る①
	e-Learning教材を使い、留学先での授業を疑似体験しながら、そこでの質疑応答に必要な表現力を身につけていく。	第4課 留学生寮に入る②

第8回	留学準備(2)	第9課 学内を案内してもらう②
第9回	留学準備(3)	第10課 学内を案内してもらう③
		第14課 旗袍を注文する②
		第15課 旗袍を注文する③
第10回	留学準備(4)	第18課 雑技を見に行く③
		第19課 雑技を見に行く④
第11回	留学準備(5)	第22課 北京観光 北海公園③
		第23課 北京観光 景山公園④
第12回	留学準備(6)	第26課 先生の自宅で餃子を作る③
		第27課 先生の自宅で餃子を作る④
第13回	留学準備(7)	第30課 円明園を訪ねる③
		第31課 円明園を訪ねる④
第14回	HSK3級模擬試験	過去問を使ったHSK模擬試験システムを利用し、学習の到達度を核にする

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

中国語3、6の授業では、毎回授業の初めに小テストを行うが、その配点の40％はe-Learningによる自宅学習の達成度に当てられている。前回の授業までに学習した内容をe-Learningによって復習することで、中国語の力をしっかりと身につけてほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

前半は春学期と同じく『ポイント学習中国語初級』（東方書店）を使用する。

後半からはテキストは使用せず、文部科学省平成24年度グローバル人材育成推進事業の補助を受け開発したe-Learning教材とHSK（漢語水平考試）の過去問データを使用する。

【参考書】

劉月華『実用現代漢語語法』（外語教学与研究出版社）

【成績評価の方法と基準】

成績は毎回授業のはじめに行う小テストの平均点によって評価する。

出題範囲は、前回の授業までに学習した内容すべて。

問題は、単語の聞き取り（4問×5点＝20点）、短文の聞き取り（2問×10点＝20点）、日文中訳（2問×10点＝20点）、e-Learningによる自宅学習の達成度（4種×10点＝40点）の計100点。

【学生の意見等からの気づき】

学生のインターネット利用環境がPCからスマートフォンへと移行しているのを受け、e-Learningを改良して、スマートフォンによる読む・書く・聞く・話すの総合的学習を行えるようにした。またe-Learningに出題される復習問題の数が多すぎる場合があるとの意見をもとに、各課で出題される復習問題の数に上限（最大20題）を設けることにした。

また、e-Learningの正誤判定の方法を変更し、間違った箇所を示し、修正できるように改良した。

【学生が準備すべき機器他】

中国語3、6では、毎回授業の後にデジタル教科書やe-Learningによる自宅学習を宿題として課している。e-Learningの利用方法については、春学期の授業と同じ。

【Outline (in English)】

〔Course outline〕

Chinese 6 - SA is a Chinese course designed specifically for the students who are going to study abroad in China next year.

In this course, students will develop their language abilities in the following:

Vocabulary: We will learn 300 words required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 2.

Grammar: We will learn the elementary grammar required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 2.

Students will improve their language skills by:

Expanding their vocabulary and improving their listening and speaking skills through the use of e-Learning.

〔Learning Objectives〕

The goal of this course is to develop the students' ability to understand and use the Chinese language at the level of HSK2.

〔Learning activities outside of the classroom〕

Students will be expected to complete the required assignments after each class. These assignments are expected to require an hour or more for students to complete.

[Grading Criteria /Policy]

Grading will be decided based on short class examinations(60%) and class assignments(40%).

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1

2017年度以降入学者

木村 佳代子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、課題や小テストを行います。課題、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつことば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

個々の必要性に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%、課題20%、授業への参加度40%を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化し到達度を図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】

情報機器

【その他の重要事項】

関連科目

200番台 LA科目 配当年次1年4年

中国語の世界LA・LB

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA（中国語 / Chinese language education 100）	
中国語 3	2017年度以降入学者
木村 佳代子	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金 2/Fri.2	
単位数：1 単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際
文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、課題、小テストを行います。課題や定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習
14	授業内試験	「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

個々の必要性に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 4 0 %、課題 2 0 %、授業への参加度 4 0 %を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化し到達度を図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】

情報機器

【その他の重要事項】

関連科目

200 番台 LA 科目 配当年度 1 年 4 年

中国語の世界 LA・LB

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2

2017年度以降入学者

張 勝蘭

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初習者を対象に、発音・文法・会話・作文などの項目を学習しつつ、「読む・書く・聞く・話す」の4技能をバランスよく身に付け、初級レベルの総合的な中国語コミュニケーション能力を養う。

【到達目標】

この授業の到達目標は以下の通りである。

- (1) 基本的な中国語を読んだり聞いたりして、相手の意見や情報などを理解することができる。
- (2) 基本的な中国語を書いたり話したりして、自分の考えや経験などを表現することができる。
- (3) 春学期の学習を完了した段階で、**HSK1**級に合格できるレベルの中国語能力を身に着ける。
- (4) 中国語圏の言語や文化に対する関心をもち、積極的に異文化を理解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・授業は基本的にテキストに沿って毎回1課ずつ進める。毎回の授業は、概ね以下の手順で進める。1.小テスト（約20分）、2.前回の復習（約10分）、3.テキストの学習（約40分）、4.問題演習・コミュニケーション活動など（約30分）。
- ・外国語の習得のためには、継続的な学習が重要であるため、毎回授業の最初に小テストを行う。
- ・この授業ではブレンド型学習（教室での対面学習と自宅でのeラーニングを組み合わせた学習方法）を導入し、教室学習と自宅学習を有機的に連携させつつ行う。
- ・教員は小テストの添削や質問への回答を準備し、授業時に返却・回答することで随時フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明
2	第一課あるいは第二課	発音（一）[簡体字とピンイン]、 発音（二）[声母]
3	第三課あるいは第四課	発音（三）[韻母]、発音（四） [二音節語の声調20パターン]
4	第五課あるいは第六課	自己紹介 [您贵姓?]、動詞述語文 [你学习什么?]
5	第七課あるいは第八課	形容詞述語文 [北京大学很大]、 名詞述語文 [我十八岁]
6	第九課あるいは第十課	主述述語文 [你哪儿不舒服?]、 連体修飾語・連用修飾語 [一年级的学生都学外语]
7	第十一課あるいは第十二課	補語 [你每天看几个小时?]、動詞述語文（一）[她是谁?]
8	第十三課あるいは第十四課	動詞述語文（二）[这是什么?]、 動詞述語文（三）[你有铅笔吗?]
9	第十五課あるいは第十六課	動詞述語文（四）[你家有几口人?]、動詞述語文（五）[这儿有邮局吗?]

10	第十七課あるいは第十八課	動詞述語文（六）[请再念一次]、 動詞述語文（七）[去中国干什么?]
11	第十九課あるいは第二十課	完了態 [这本书你看了吗?]、 変化態 [快要考试了]
12	復習	春学期の学習項目の総復習
13	HSK1級問題	HSK1級問題の紹介・解説
14	総括	これまでの学習内容の総括を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・受講開始後は、既習事項の復習をしっかりと行うこと。特に、中国語の発音や文法に慣れるために、繰り返しデジタル教科書及びeラーニング教材 (<http://hosei-ch.xsrv.jp/hosei>) を活用し、毎回の学習事項を確実に定着させるよう心がけてほしい。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

大石智良 他『ポイント学習中国語初級〔改訂版〕』（東方書店）2010年

【参考書】

有用な文法書として以下のものをあけておく。

- ・劉月華（他）2019『実用現代漢語語法（第三版）』北京：商務印書館
- ・相原茂（他）2016『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書新訂版』東京：同学社
- ・守屋宏則（他）2019『やさしくくわしい中国語文法の基礎〔改訂新版〕』東京：東方書店

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の初めに行う小テストの平均点で100%評価し、期末試験は実施しない。小テストは100点満点で行い、そのうちの40点はeラーニングによる自宅学習の達成度とする。小テストの平均点が60点以上の者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

文法事項の詳細は解説に関しては、今後も継続したい。また、受講生が中国語を話す機会をできるだけ多く設けるよう心掛けたい。中国の社会と文化を反映する歌・アニメ・映画などの音声・映像資料を積極的に取り入れ、言語の勉強だけでなく、その背景にある文化に触れるよう工夫を凝らしたい。

【学生が準備すべき機器他】

デジタル教科書やeラーニングを活用するため、PC等を使用する予定だが、詳細は授業時に説明する。

【その他の重要事項】

- ・大学の方針によりオンライン授業が実施される場合は、授業計画や成績評価が変更になる可能性がある。そのため、学習支援システムを随時確認すること。
- ・本講義は全回の出席が評価の前提である。即ち、欠席は原則的に認めない。体調不良等のやむを得ない事情がある場合は、各種証明書を提出するなど、各自で然るべき対応を取ること。尚、小テストは毎回授業の最初に行うので、遅刻は厳禁。
- ・授業中に、**HSK**（中国語版TOEFLと呼ばれる中国政府公認の中国語検定）の紹介・解説を行う予定。**HSK**は、就職、留学など様々なシーンで活用できる資格なので、興味のある人はぜひチャレンジしてほしい。詳しくは、**HSK**のホームページ (<http://www.hskj.jp/>) も参照。

【Outline (in English)】

【Outline】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Goal】

The goals of this course are as follows:

- (1) Students can understand the thoughts and information of the other party by reading and listening to basic Chinese.
- (2) Students can express their thoughts and experiences by writing and speaking basic Chinese.
- (3) Students can pass HSK Level 1 by the end of the spring semester.
- (4) Students can have an interest in Chinese culture and language, and be able to actively understand different cultures.

【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

・ After every class, students review the items you have already learned. In particular, in order to get used to the pronunciation and grammar of Chinese, students are expected to use digital textbooks and e-learning materials. (<http://hosei-ch.xsrv.jp/hosei>)

・ Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading criteria】

・ The average score of mini tests(100%). No final exam will be held in this course.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語4

2017年度以降入学者

張 勝蘭

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初習者を対象に、発音・文法・会話・作文などの項目を学習しつつ、「読む・書く・聞く・話す」の4技能をバランスよく身に付け、初級レベルの総合的な中国語コミュニケーション能力を養う。

【到達目標】

この授業の到達目標は以下の通りである。

- (1) 基本的な中国語を読んだり聞いたりして、相手の意見や情報などを理解することができる。
- (2) 基本的な中国語を書いたり話したりして、自分の考えや経験などを表現することができる。
- (3) 秋学期の学習を完了した段階で、HSK2級に合格できるレベルの中国語能力を身に着ける。
- (4) 中国語圏の言語や文化に対する関心をもち、積極的に異文化を理解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・授業は基本的にテキストに沿って毎回1課ずつ進める。毎回の授業は、概ね以下の手順で進める。1.小テスト（約20分）、2.前回の復習（約10分）、3.テキストの学習（約40分）、4.問題演習・コミュニケーション活動など（約30分）。
- ・外国語の習得のためには、継続的な学習が重要であるため、毎回授業の最初に小テストを行う。
- ・この授業ではブレンド型学習（教室での対面学習と自宅でのeラーニングを組み合わせた学習方法）を導入し、教室学習と自宅学習を有機的に連携させつつ行う。
- ・教員は小テストの添削や質問への回答を準備し、授業時に返却・回答することで随時フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習項目の復習・確認	既習項目（第一課～第二十課）の復習と確認
2	第二十一課あるいは第二十二課	経験態 [你去过海边儿吗?]、進行態・持続態 [你在做什么呢?]
3	第二十三課あるいは第二十四課	形容詞述語文（一）[水饺好吃吗?]、形容詞述語文（二）[明天比今天还热]
4	第二十五課あるいは第二十六課	形容詞述語文（三）[比泰山高一点儿]、名詞述語文（一）[今天几月几号?]
5	第二十七課あるいは第二十八課	名詞述語文（二）[现在几点?]、名詞述語文（三）[这只手表多少钱?]
6	第二十九課あるいは第三十課	連体修飾語 [你的这件新毛衣真漂亮!]、連用修飾語 [我在饭馆儿辛辛苦苦地干了一个月]
7	第三十一課あるいは第三十二課	程度補語 [谁打得好?]、数量補語 [你打了几年网球?]
8	第三十三課あるいは第三十四課	結果補語 [对不起,我打错了]、方向補語 [你退回去吧]

9	第三十五課あるいは第三十六課	可能補語 [我听不懂]、助動詞 [我不想见他]
10	第三十七課あるいは第三十八課	兼語文 [让谁讲好呢?]、受身表現 [衣服都被淋湿了]
11	第三十九課あるいは第四十課	把構文 [我把衬衫弄脏了]、存現文 [大楼门口出来了一个高个子]
12	復習	秋学期の学習項目の総復習
13	HSK2級問題	HSK2級問題の紹介・解説
14	総括	これまでの学習内容の総括を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・受講開始後は、既習事項の復習をしっかりと行うこと。特に、中国語の発音や文法に慣れるために、繰り返しデジタル教科書及びeラーニング教材 (<http://hosei-ch.xsrv.jp/hosei>) を活用し、毎回の学習事項を確実に定着させるよう心がけてほしい。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

大石智良 他『ポイント学習中国語初級 [改訂版]』（東方書店）2010年

【参考書】

有用な文法書として以下のものをあけておく。

- ・劉月華（他）2019『実用現代漢語語法（第三版）』北京：商務印書館
- ・相原茂（他）2016『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書 新訂版』東京：同学生社
- ・守屋宏則（他）2019『やさしく くわしい 中国語文法の基礎 [改訂新版]』東京：東方書店

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の初めに行う小テストの平均点で100%評価し、期末試験は実施しない。小テストは100点満点で行い、そのうちの40点はeラーニングによる自宅学習の達成度とする。小テストの平均点が60点以上の者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

文法事項の詳細は解説に関しては、今後も継続したい。また、受講生が中国語を話す機会をできるだけ多く設けるよう心掛けたい。中国の社会と文化を反映する歌・アニメ・映画などの音声・映像資料を積極的に取り入れ、言語の勉強だけでなく、その背景にある文化に触れるよう工夫を凝らしたい。

【学生が準備すべき機器他】

デジタル教科書やeラーニングを活用するため、PC等を使用する予定だが、詳細は授業時に説明する。

【その他の重要事項】

- ・大学の方針によりオンライン授業が実施される場合は、授業計画や成績評価が変更になる可能性がある。そのため、学習支援システムを随時確認すること。
- ・本講義は全回の出席が評価の前提である。即ち、欠席は原則的に認めない。体調不良等のやむを得ない事情がある場合は、各種証明書を提出するなど、各自で然るべき対応を取ること。尚、小テストは毎回授業の最初に行うので、遅刻は厳禁。
- ・授業中に、HSK（中国語版TOEFLと呼ばれる中国政府公認の中国語検定）の紹介・解説を行う予定。HSKは、就職、留学など様々なシーンで活用できる資格なので、興味のある人はぜひチャレンジしてほしい。詳しくは、HSKのホームページ (<http://www.hskj.jp>) も参照。

【Outline (in English)】

【Outline】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Goal】

The goals of this course are as follows:

- (1) Students can understand the thoughts and information of the other party by reading and listening to basic Chinese.
- (2) Students can express their thoughts and experiences by writing and speaking basic Chinese.
- (3) Students can pass HSK Level 2 by the end of the fall semester.

(4) Students can have an interest in Chinese culture and language, and be able to actively understand different cultures.

【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

・ After every class, students review the items you have already learned. In particular, in order to get used to the pronunciation and grammar of Chinese, students are expected to use digital textbooks and e-learning materials. (<http://hosei-ch.xsrv.jp/hosei>)

・ Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading criteria】

・ The average score of mini tests(100%). No final exam will be held in this course.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1

2017年度以降入学者

薬 会

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」までの復習	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

指定はありません。

【成績評価の方法と基準】

毎回のスピーチと小テストの成績そして授業への参加度などの平常点(30%)と期末試験(70%)をもとに総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

特に必要はありません。

【その他の重要事項】

一年間を通じてピンインが学習の中心になります。「中国語音節表」「ピンイン声調パターン」を完全に理解して完璧に発音できることを目指します。毎回スピーチのテストと聞き取りのテストがあります。さらに映像と解説を交えて中国の関連ニュースやエンタメ事情などを紹介したりして今日の中国を理解してもらいたい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)	
中国語 2	2017年度以降入学者
祝 振媛	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火2/Tue.2	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1、2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音 1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音 2」 あるいは 「発音 3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音 3」は分量の関係で、2 回に分けて進めます。
3	「発音 3」 あるいは 「第 4 課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音 1 から 4」の復習をします。
5	「第 5 課」 あるいは 「第 6 課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第 7 課」 あるいは 「第 8 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第 9 課」 あるいは 「第 10 課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第 11 課」 あるいは 「第 12 課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文 1」
9	「第 13 課」 あるいは 「第 14 課」	「動詞述語文 2」 あるいは 「動詞述語文 3」
10	「第 15 課」 あるいは 「第 16 課」	「動詞述語文 4」 あるいは 「動詞述語文 5」
11	「第 17 課」 あるいは 「第 18 課」	「動詞述語文 6」 あるいは 「動詞述語文 7」
12	「第 19 課」 あるいは 「第 20 課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第 1 課から第 20 課」	「第 1 課から第 20 課」までの復習
14	授業内試験	「第 1 課から第 20 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

祝振媛 橋千早 『新中国語初級』株式会社天々

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績の 40 % とし、発音テストと中間試験、期末試験はそれぞれ成績の 20 % とします。平均点数が 60 点以上の人を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるので、PC や CD を用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいは zoom の授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率は 70 % に達していない者、課題を提出しない者に関しては、E と判定します。やむ得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応をとること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語3

2017年度以降入学者

葉 会

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際
文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14 授業内試験

「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

指定しません。

【成績評価の方法と基準】

スピーチや聞き取りテストなどの平常点(40%)、期末試験(60%)という割合で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

特に必要はありません。

【その他の重要事項】

一年間を通じてピンインが学習の中心になります。「中国語音節表」「ピンイン声調パターン」を完全に理解して完璧に発音できることを目指します。毎回スピーチのテストと聞き取りのテストがあります。さらに映像と解説を交えて中国の関連ニュースやエンタメ事情などを紹介したりして今日の中国を理解してもらいたい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 4

2017年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って中国語の発音、基本的な語彙、文法を学ぶ。

【到達目標】

一年間の学習を通じて、読む、聞く、話す、書く力をバランスよく身につけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時にはzoomの授業をも行う。授業はテキストに沿って一回一課の進捗で進める。具体的に次のようである。1) 小テスト（約25分）を毎回授業の最初に設ける。2) テキストの学習（約40分）。3) 文法問題の演習、会話（約35分）。また授業は教室での学習と自宅での学習（予習、復習）を組み合わせる。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の内容に関する復習	「第1課から第20課」までの復習及び発音の確認
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「動詞の経験態」 あるいは 「動詞の進行態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「副詞のいろいろ」 あるいは 「比較の表現」
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「数字の数え方」 あるいは 「月日の訪ね方」
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「時刻の言い方」 あるいは 「金額の言い方」
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「能願動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習

13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習
14	秋期の文法問題の演習	「第21課から第40課」までの文法問題の演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が重要なので、授業後は音声を開いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、<http://fic.xsrv.jp/hosei/>を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

祝振媛 橘千早 『新中国語初級』 株式会社天々

康玉華 『漢語301句』北京言語大学出版社

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績の40%とし、一回目の発音テストと中間試験、期末試験はそれぞれ成績の20%とします。平均点数が60点以上の人を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるため、PCやCDプレーヤーを用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいはzoomの授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の70%に達していない者、課題を提出しない者に関しては、Eと判定します。やむを得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 - I

2017年度以降入学者

永江 貴子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初習者を対象に、発音・文法・会話・作文などの項目を学習しつつ、「読む・書く・聞く・話す」の4技能をバランスよく身に付け、初級レベルの総合的な中国語コミュニケーション能力を養う。

【到達目標】

この授業の到達目標は以下の通りである。

- (1) 基本的な中国語を読んだり聞いたりして、相手の意見や情報などを理解することができる。
- (2) 基本的な中国語を書いたり話したりして、自分の考えや経験などを表現することができる。
- (3) 春学期の学習を完了した段階で、**HSK1**級に合格できるレベルの中国語能力を身に着ける。
- (4) 中国語圏の言語や文化に対する関心を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は木曜日の授業とリレー形式で進めていく。

授業形態は対面授業を主として、各学生の中国語音声の練習奨励と発音確認のためオンデマンド型授業も組み合わせていく。

基本的にテキストに沿って毎回1課ずつ進める。授業後に各課のe宿題(<https://fic.xsrv.jp/hosei/>)を課題として実施する。更に、毎時間、前回の授業で実施した内容の小テストをする。

課題へのフィードバックは授業中、学習管理システム、メールを通じて実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の説明 中国語についての紹介
2	第一課あるいは第二課	発音（一）[簡体字とピンイン]、 発音（二）[声母]
3	第三課あるいは第四課	発音（三）[韻母]、発音（四） [二音節語の声調20パターン]
4	第五課あるいは第六課	自己紹介 [您贵姓?]、動詞述語文 [你学习什么?]
5	第七課あるいは第八課	形容詞述語文 [北京大学很大]、 名詞述語文 [我十八岁]
6	第九課あるいは第十課	主述述語文 [你哪儿不舒服?]、 連体修飾語・連用修飾語 [一年级的学生都学外语]
7	第十一課あるいは第十二課	補語 [你每天看几个小时?]、動 詞述語文（一）[她是谁?]
8	第十三課あるいは第十四課	動詞述語文（二）[这是什么?]、 動詞述語文（三）[你有铅笔吗?]
9	第十五課あるいは第十六課	動詞述語文（四）[你家有几口 人?]、動詞述語文（五）[这儿 有邮筒吗?]
10	第十七課あるいは第十八課	動詞述語文（六）[请再念一次]、 動詞述語文（七）[去中国干什 么?]
11	第十九課あるいは第二十課	完了態 [这本书你看了吗?]、変 化態 [快要考试了]

12	暗唱試験（1）	前期に学習した内容の暗唱試験を実施する。
13	暗唱試験（2）	前期に学習した内容の暗唱試験を実施する。
14	まとめと復習	前期に学習した内容のまとめと、その復習試験を実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講開始後は、既習事項の復習をしっかりと行うこと。特に、中国語の発音や文法に慣れるために、繰り返しデジタル教科書及びeラーニング教材(<http://fic.xsrv.jp/hosei/>)を活用し、毎回の学習事項を確実に定着させるよう心がける。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

大石智良 他 『ポイント学習中国語初級〔改訂版〕』（東方書店）

【参考書】

必ずしも購入する必要はないが、有用な文法書として以下のものをあげておく。

- ・劉月華 他 『実用現代漢語語法（増訂本）』（商務印書館）
- ・守屋宏則 『やさしくくわしい中国語文法の基礎』（東方書店）
- ・相原茂 他 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書 新訂版』（同学社）

これらの本は、いずれも市ヶ谷キャンパス図書館に所蔵がある。『実用現代漢語語法』は和訳『現代中国語文法総覧』（くろしお出版）も出ている。勉強などに役立ててほしい。その他の参考書に関しては、授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点、毎回授業の初めに行う小テスト、e宿題、暗唱点で100%評価する。成績配分は平常点1割、小テスト4割、e宿題4割、暗唱点を1割とする。合計で60%以上を合格点とする。

【学生の意見等からの気づき】

・中国語初学者にとっては、発音に不安を抱えている学生が多かった。授業では、できるだけ全学生に発音を促し、誤りなどがあつた場合、チェックしていきたいと考えている。

・Zoomを用いた同時双方向型、学生がいつでも授業動画を視聴できるようにオンデマンド型など、様々なオンライン授業を試してきたが、いずれの場合でも、対面授業に比較すると、教員との関係が希薄になってしまうという点が授業アンケートで指摘された。適切に学生の疑問点を解決していくべく、対応していきたいと考えている。

【学生が準備すべき機器他】

デジタル教科書やe宿題を活用するため、PC等を使用する予定だが、詳細は授業時に説明する。

【その他の重要事項】

・本講義は全回の出席や全課題提出が評価の前提である。体調不良等のやむを得ない事情がある場合は、各種証明書を提出するなど、各自で然るべき対応を取ること。なお、小テストは毎回授業の最初に実施するため、遅刻をすると小テストを受けられないため注意する。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 - II

2017年度以降入学者

永江 貴子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初習者を対象に、発音・文法・会話・作文などの項目を学習しつつ、「読む・書く・聞く・話す」の4技能をバランスよく身に付け、初級レベルの総合的な中国語コミュニケーション能力を養う。

【到達目標】

この授業の到達目標は以下の通りである。

- (1) 基本的な中国語を読んだり聞いたりして、相手の意見や情報などを理解することができる。
- (2) 基本的な中国語を書いたり話したりして、自分の考えや経験などを表現することができる。
- (3) 秋学期の学習を完了した段階で、HSK2級に合格できるレベルの中国語能力を身に着ける。
- (4) 中国語圏の言語や文化に対する関心を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は木曜日の授業とリレー形式で進めていく。

授業形態は対面授業を主として、各学生の中国語音声の練習奨励と発音確認のためオンライン授業も組み合わせていく。

基本的にテキストに沿って毎回1課ずつ進める。授業後に各課のe宿題(<https://fic.xsrv.jp/hosei/>)を課題として実施する。更に、毎時間、前回の授業で実施した内容の小テストをする。

課題へのフィードバックは授業中、学習管理システム、メールを通じて実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第二十一課あるいは第二十二課	経験態 [你去过海边儿吗?]、進行態・持続態 [你在做什么呢?]
2	第二十三課あるいは第二十四課	形容詞述語文 (一) [水餃好吃吗?]、形容詞述語文 (二) [明天比今天还热]
3	第二十五課あるいは第二十六課	形容詞述語文 (三) [比泰山高一点儿]、名詞述語文 (一) [今天几月几号?]
4	第二十七課あるいは第二十八課	名詞述語文 (二) [现在几点?]、名詞述語文 (三) [这只手表多少钱?]
5	第二十九課あるいは第三十課	連体修飾語 [你的这件新毛衣真漂亮!]、連用修飾語 [我在饭馆儿辛辛苦苦地干了一个月]
6	第三十一課あるいは第三十二課	程度補語 [谁打得好?]、数量補語 [你打了几年网球?]
7	第三十三課あるいは第三十四課	結果補語 [对不起, 我打错了]、方向補語 [你退回去吧]
8	第三十五課あるいは第三十六課	可能補語 [我听不懂]、助動詞 [我不想见他]
9	第三十七課あるいは第三十八課	兼語文 [让谁讲好呢?]、受身表現 [衣服都被淋湿了]
10	第三十九課あるいは第四十課	把構文 [我把衬衫弄脏了]、存現文 [大楼门口出来了一个高个子]
11	HSKの紹介	HSKを紹介し、実施する。

12	プレゼンテーション (1)	学習した語句を用いて、中国語でプレゼンテーションをする。
13	プレゼンテーション (2)	学習した語句を用いて、中国語でプレゼンテーションをする。
14	学習のまとめ	学習した内容をまとめ、小テストを実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講開始後は、既習事項の復習をしっかりと行うこと。特に、中国語の発音や文法に慣れるために、繰り返しデジタル教科書及びeラーニング教材 (<https://hosei-ch.xsrv.jp/hosei/>) を活用し、毎回の学習事項を確実に定着させるよう心がける。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

大石智良 他 『ポイント学習中国語初級 [改訂版]』 (東方書店)

【参考書】

必ずしも購入する必要はないが、有用な文法書として以下のものをあげておく。

- ・劉月華 他 『実用現代漢語語法 (増訂本)』 (商務印書館)
- ・守屋宏則 『やさしくくわしい 中国語文法の基礎』 (東方書店)
- ・相原茂 他 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書 新訂版』 (同学社)

これらの本は、いずれも市ヶ谷キャンパス図書館に所蔵がある。『実用現代漢語語法』は和訳 [『現代中国語文法総覧』 (くろしお出版)] も出ている。HSKの勉強などに役立ててほしい。その他の参考書に関しては、授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点、毎回授業の初めに行う小テスト、e宿題、暗唱点で100%評価する。成績配分は平常点1割、小テスト4割、e宿題4割、暗唱点を1割とする。合計で60%以上を合格点とする。

【学生の意見等からの気づき】

・中国語初学者にとっては、発音に不安を抱えている学生が多かった。授業では、できるだけ全学生に発音を促し、誤りなどがあつた場合、チェックしていきたいと考えている。

・Zoomを用いた同時双方向型、学生がいつでも授業動画を視聴できるようなオンデマンド型など、様々なオンライン授業を試してきたが、いずれの場合でも、対面授業に比較すると、教員との関係が希薄になってしまうという点が授業アンケートで指摘された。適切に学生の疑問点を解決していくべく、対応していきたいと考えている。

【学生が準備すべき機器他】

デジタル教科書やeラーニングを活用するため、PC等を使用する予定だが、詳細は授業時に説明する。

【その他の重要事項】

- ・本講義は全回の出席や全課題提出が評価の前提である。体調不良等のやむを得ない事情がある場合は、各種証明書を提出するなど、各自で自然なべき対応を取ること。なお、小テストは毎回授業の最初に実施するため、遅刻をすると小テストを受けられないため注意する。
- ・授業中に、中国語検定試験やHSKの紹介もする予定。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 - I

2017年度以降入学者

黄 海萍

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。

復習のため、授業中に適宜小テストを行います。

課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

本授業は対面実施を基本としますが、第一週目（初回授業）はオンラインとなります。

詳細は学習支援システムでお知らせします。

また、必要に応じてオンラインの回も適宜導入する可能性があります。変更する場合、事前に学習支援システム等で提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	発音の基本	第一课 発音（一）
②	発音の基本	第二课 発音（二）
③	発音の基本	第三课 発音（三）
④	発音の基本	第四课 発音（四）
⑤	発音の基本	第五课 您贵姓？
⑥	中国語の基本構造	第六课 你学习什么？ 第七课 北京大学很大 第八课 我十八岁 第九课 你哪儿不舒服？
⑦	中国語の基本構造	第十课 一年级的学生都学外语 第十一课 你每天看几个小时？
⑧	中国語の基本構造	第十二课 她是谁？ 第十三课 这是什么？
⑨	動詞述語文	第十四课 你有铅笔吗？ 第十五课 你家有几口人？
⑩	動詞述語文	第十六课 这儿有邮箱吗？ 第十七课 请再念一次
⑪	動詞述語文	第十八课 去中国干什么？ 第十九课 这本书你看了吗？
⑫	動詞述語文	第二十课 快要考试了
⑬	中国語の態	前期勉強した内容をまとめて総復習する
⑭	中国語の態	口頭テスト・筆記テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事ですので、しっかり予習と復習をしておいてください。授業後は単語帳など各自に合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。また、付属の教材CDや<http://fic.xsrv.jp/hosei/>を活用し、習った内容をしっかりと身につけるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）
大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香・鈴木靖著

【参考書】

中国語辞書を必ず1冊用意すること（電子辞書可）

瀬戸口 律子 (2015) 『完全マスター中国語の文法』 [改訂版] 語研。

ISBN-13:978-4876152971

2400円＋税

その他の資料は授業で随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

1、出席状況および授業中のパフォーマンス25%、中間小テスト（口頭・筆記）15%、学期課題10%、各課のe宿題10%、期末試験40%（口頭・筆記）などで総合的に評価する。総合得点が60点以上の人を合格とする。

2、課題、中間小テスト、期末試験などについては、学期途中で指示をするので教員の指示に従うこと。

3、授業に参加することが成績評価の前提であり、出席日数が三分の二未満の場合は不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生からの反応はおおむね良かったので、今まで同様しっかりと中国語の基礎を固めるよう厳しく、ときおり優しく丁寧に指導していきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

オフィスアワーは特に設けませんが、質問があればいつでも気軽に聞きたいです。

毎回の授業の最初に前回の復習をしますので、遅刻はないように努力してください。

授業中は、恥ずかしがらずに大きな声で発音練習し、積極的に授業に臨んでほしいです。

授業内テストの範囲、予習内容については授業中に指示します。

授業以外に予習、復習のための時間を必ず確保してください。

【教員の連絡方法】

名前：黄海萍

メールアドレス：haiping.huang.44 [at] hosei.ac.jp ([at] を@に変換してください)

履修に関するご相談がある場合は、メールでご連絡をお願いします。メールの件名は以下のようにわかりやすく付けてください。

例：「法政大学＋月曜日○○限＋履修者氏名」

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA（中国語 / Chinese language education 100）		
中国語 1 - II		2017年度以降入学者
黄 海萍		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月 1/Mon.1		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

- 1、初級レベルの中国語を読んだり聞いたりして、中国の民風などを理解することができます。
- 2、初級レベルの中国語を書いたり話したりして、自分の考えや意見などを相手に伝えることができます。
- 3、秋学期の学習を完了した段階で、簡単な中国語を話せるように身に着けます。
- 4、中国語圏の言語や文化に対する関心を養います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1、2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、授業中に適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。本授業は対面実施を基本としますが、第一週目（初回授業）はオンラインとなります。詳細は学習支援システムでお知らせします。また、必要に応じてオンラインの回も適宜導入する可能性があります。変更する場合、事前に学習支援システム等で提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	中国語の態	第二十一課 你去过海边儿吗？
		第二十二課 你在做什么呢？
②	形容詞述語文	第二十三課 水饺好吃吗？
		第二十四課 明天比今天还热
③	形容詞述語文 名詞述語文	第二十五課 比泰山高一点儿
		第二十六課 今天几月几号？
④	名詞述語文	第二十七課 现在几点？
		第二十八課 这只手表多少钱？
⑤	連体修飾語 連用修飾語	第二十九課 你的这件新毛衣真漂亮！
		第三十課 我在饭馆儿辛辛苦苦地干了一个月
⑥	まとめと解説	以上勉強した内容を復習する。
⑦	補語	第三十一課 谁打得好？
		第三十二課 你打了几年网球？
⑧	補語	第三十三課 对不起，我打错了
		第三十四課 你退回去吧
⑨	補語	第三十五課 我听不懂
		第三十六課 我不想见他
⑩	さまざまな表現	第三十七課 让谁讲好呢？
		第三十八課 衣服都被淋湿了
⑪	さまざまな表現	第三十九課 我把衬衫弄脏了
		第四十課 大楼门口出来了一个高个子

⑫	まとめと解説	総復習
⑬	期末試験	口頭テスト
⑭	期末試験	筆記テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事ですので、しっかり予習と復習をしておいてください。

授業後は単語帳など各自に合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

また、付属の教材CDや<http://fic.xsrv.jp/hosei/>を活用し、習った内容をしっかりと身につけるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）
大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香・鈴木靖著

【参考書】

中国語辞書を必ず1冊用意すること（電子辞書可）
瀬戸口 律子（2015）『完全マスター中国語の文法』[改訂版] 語研。
ISBN-13:978-4876152971

2400円＋税

その他の資料は授業で随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- 1、出席状況および授業中のパフォーマンス 25%、中間小テスト（口頭・筆記） 15%、学期課題 10%、各課のe宿題 10%、期末試験 40%（口頭・筆記）などで総合的に評価する。総合得点が60点以上の人を合格とする。
- 2、課題、中間小テスト、期末試験などについては、学期途中で指示をするので各教員の指示に従うこと。
- 3、授業に参加することが成績評価の前提であり、出席日数が三分の二未満の場合は不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生からの反応はおおむね良かったので、今まで同様しっかりと中国語の基礎を固めるよう厳しく、ときおり優しく丁寧に指導していきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

オフィスアワーは特に設けませんが、質問があればいつでも気軽に
お聞きください。
毎回の授業の最初に前回の復習をしますので、遅刻はないように努力してください。
授業中は、恥ずかしがらずに大きな声で発音練習し、積極的に授業に臨んでほしいです。
授業内テストの範囲、予習内容については授業中に指示します。
授業以外に予習、復習のための時間を必ず確保してください。

【教員の連絡方法】

名前：黄海萍
メールアドレス：haiping.huang.44 [at] hosei.ac.jp（[at] を@に変換してください）
履修に関するご相談がある場合は、メールでご連絡をお願いします。メールの件名は以下のようにわかりやすく付けてください。
例：「法政大学＋月曜日〇〇限＋履修者氏名」

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 - I

2017年度以降入学者

永江 貴子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初習者を対象に、発音・文法・会話・作文などの項目を学習しつつ、「読む・書く・聞く・話す」の4技能をバランスよく身に付け、初級レベルの総合的な中国語コミュニケーション能力を養う。

【到達目標】

この授業の到達目標は以下の通りである。

- (1) 基本的な中国語を読んだり聞いたりして、相手の意見や情報などを理解することができる。
- (2) 基本的な中国語を書いたり話したりして、自分の考えや経験などを表現することができる。
- (3) 春学期の学習を完了した段階で、**HSK1**級に合格できるレベルの中国語能力を身に着ける。
- (4) 中国語圏の言語や文化に対する関心を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は木曜日の授業とリレー形式で進めていく。

授業形態は対面授業を主として、各学生の中国語音声の練習奨励と発音確認のためオンデマンド型授業も組み合わせていく。

基本的にテキストに沿って毎回1課ずつ進める。授業後に各課のe宿題(<https://fic.xsrv.jp/hosei/>)を課題として実施する。更に、毎時間、前回の授業で実施した内容の小テストをする。

課題へのフィードバックは授業中、学習管理システム、メールを通じて実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の説明 中国語についての紹介
2	第一課あるいは第二課	発音（一）[簡体字とピンイン]、 発音（二）[声母]
3	第三課あるいは第四課	発音（三）[韻母]、発音（四） [二音節語の声調20パターン]
4	第五課あるいは第六課	自己紹介 [您贵姓?]、動詞述語文 [你学习什么?]
5	第七課あるいは第八課	形容詞述語文 [北京大学很大]、 名詞述語文 [我十八岁]
6	第九課あるいは第十課	主述述語文 [你哪儿不舒服?]、 連体修飾語・連用修飾語 [一年级的学生都学外语]
7	第十一課あるいは第十二課	補語 [你每天看几个小时?]、動 詞述語文（一）[她是谁?]
8	第十三課あるいは第十四課	動詞述語文（二）[这是什么?]、 動詞述語文（三）[你有铅笔吗?]
9	第十五課あるいは第十六課	動詞述語文（四）[你家有几口 人?]、動詞述語文（五）[这儿 有邮筒吗?]
10	第十七課あるいは第十八課	動詞述語文（六）[请再念一次]、 動詞述語文（七）[去中国干什 么?]
11	第十九課あるいは第二十課	完了態 [这本书你看了吗?]、変 化態 [快要考试了]

12	暗唱試験（1）	前期に学習した内容の暗唱試験を実施する。
13	暗唱試験（2）	前期に学習した内容の暗唱試験を実施する。
14	まとめと復習	前期に学習した内容のまとめと、その復習試験を実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講開始後は、既習事項の復習をしっかりと行うこと。特に、中国語の発音や文法に慣れるために、繰り返しデジタル教科書及びeラーニング教材(<http://fic.xsrv.jp/hosei/>)を活用し、毎回の学習事項を確実に定着させるよう心がける。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

大石智良 他 『ポイント学習中国語初級 [改訂版]』(東方書店)

【参考書】

必ずしも購入する必要はないが、有用な文法書として以下のものをあげておく。

- ・劉月華 他 『実用現代漢語語法（増訂本）』(商務印書館)
- ・守屋宏則 『やさしくくわしい中国語文法の基礎』(東方書店)
- ・相原茂 他 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書 新訂版』(同文社)

これらの本は、いずれも市ヶ谷キャンパス図書館に所蔵がある。『実用現代漢語語法』は和訳[『現代中国語文法総覧』(くろしお出版)]も出ている。勉強などに役立ててほしい。その他の参考書に関しては、授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点、毎回授業の初めに行う小テスト、e宿題、暗唱点で100%評価する。成績配分は平常点1割、小テスト4割、e宿題4割、暗唱点を1割とする。合計で60%以上を合格点とする。

【学生の意見等からの気づき】

・中国語初学者にとっては、発音に不安を抱えている学生が多かった。授業では、できるだけ全学生に発音を促し、誤りなどがあつた場合、チェックしていきたいと考えている。

・Zoomを用いた同時双方向型、学生がいつでも授業動画を視聴できるようなオンデマンド型など、様々なオンライン授業を試してきたが、いずれの場合でも、対面授業に比較すると、教員との関係が希薄になってしまうという点が授業アンケートで指摘された。適切に学生の疑問点を解決していくべく、対応していきたいと考えている。

【学生が準備すべき機器他】

デジタル教科書やe宿題を活用するため、PC等を使用する予定だが、詳細は授業時に説明する。

【その他の重要事項】

・本講義は全回の出席や全課題提出が評価の前提である。体調不良等のやむを得ない事情がある場合は、各種証明書を提出するなど、各自で然るべき対応を取ること。なお、小テストは毎回授業の最初に実施するため、遅刻をすると小テストを受けられないため注意する。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 - II

2017年度以降入学者

永江 貴子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初習者を対象に、発音・文法・会話・作文などの項目を学習しつつ、「読む・書く・聞く・話す」の4技能をバランスよく身に付け、初級レベルの総合的な中国語コミュニケーション能力を養う。

【到達目標】

この授業の到達目標は以下の通りである。

- (1) 基本的な中国語を読んだり聞いたりして、相手の意見や情報などを理解することができる。
- (2) 基本的な中国語を書いたり話したりして、自分の考えや経験などを表現することができる。
- (3) 秋学期の学習を完了した段階で、**HSK2**級に合格できるレベルの中国語能力を身に着ける。
- (4) 中国語圏の言語や文化に対する関心を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は木曜日の授業とリレー形式で進めていく。

授業形態は対面授業を主として、各学生の中国語音声の練習奨励と発音確認のためオンライン授業も組み合わせていく。

基本的にテキストに沿って毎回1課ずつ進める。授業後に各課のe宿題(<https://fic.xsrv.jp/hosei/>)を課題として実施する。更に、毎時間、前回の授業で実施した内容の小テストをする。

課題へのフィードバックは授業中、学習管理システム、メールを通じて実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第二十一課あるいは第二十二課	経験態 [你去过海边儿吗?]、進行態・持続態 [你在做什么呢?]
2	第二十三課あるいは第二十四課	形容詞述語文 (一) [水餃好吃吗?]、形容詞述語文 (二) [明天比今天还热]
3	第二十五課あるいは第二十六課	形容詞述語文 (三) [比泰山高一点儿]、名詞述語文 (一) [今天几月几号?]
4	第二十七課あるいは第二十八課	名詞述語文 (二) [现在几点?]、名詞述語文 (三) [这只手表多少钱?]
5	第二十九課あるいは第三十課	連体修飾語 [你的这件新毛衣真漂亮!]、連用修飾語 [我在饭馆儿辛辛苦苦地干了一个月]
6	第三十一課あるいは第三十二課	程度補語 [谁打得好?]、数量補語 [你打了几年网球?]
7	第三十三課あるいは第三十四課	結果補語 [对不起, 我打错了]、方向補語 [你退回去吧]
8	第三十五課あるいは第三十六課	可能補語 [我听不懂]、助動詞 [我不想见他]
9	第三十七課あるいは第三十八課	兼語文 [让谁讲好呢?]、受身表現 [衣服都被淋湿了]
10	第三十九課あるいは第四十課	把構文 [我把衬衫弄脏了]、存現文 [大楼门口出来了一个高个子]
11	HSKの紹介	HSKを紹介し、実施する。

12	プレゼンテーション (1)	学習した語句を用いて、中国語でプレゼンテーションをする。
13	プレゼンテーション (2)	学習した語句を用いて、中国語でプレゼンテーションをする。
14	学習のまとめ	学習した内容をまとめ、小テストを実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講開始後は、既習事項の復習をしっかりと行うこと。特に、中国語の発音や文法に慣れるために、繰り返しデジタル教科書及びeラーニング教材 (<https://hosei-ch.xsrv.jp/hosei/>) を活用し、毎回の学習事項を確実に定着させるよう心がける。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

大石智良 他 『ポイント学習中国語初級 [改訂版]』 (東方書店)

【参考書】

必ずしも購入する必要はないが、有用な文法書として以下のものをあげておく。

- ・劉月華 他 『実用現代漢語語法 (増訂本)』 (商務印書館)
- ・守屋宏則 『やさしくくわしい中国語文法の基礎』 (東方書店)
- ・相原茂 他 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書 新訂版』 (同学社)

これらの本は、いずれも市ヶ谷キャンパス図書館に所蔵がある。『実用現代漢語語法』は和訳 [『現代中国語文法総覧』 (くろしお出版)] も出ている。HSKの勉強などに役立ててほしい。その他の参考書に関しては、授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点、毎回授業の初めに行う小テスト、e宿題、暗唱点で100%評価する。成績配分は平常点1割、小テスト4割、e宿題4割、暗唱点を1割とする。合計で60%以上を合格点とする。

【学生の意見等からの気づき】

・中国語初學者にとっては、発音に不安を抱えている学生が多かった。授業では、できるだけ全学生に発音を促し、誤りなどがあつた場合、チェックしていきたいと考えている。

・Zoomを用いた同時双方向型、学生がいつでも授業動画を視聴できるようなオンデマンド型など、様々なオンライン授業を試してきたが、いずれの場合でも、対面授業に比較すると、教員との関係が希薄になってしまうという点が授業アンケートで指摘された。適切に学生の疑問点を解決していくべく、対応していきたいと考えている。

【学生が準備すべき機器他】

デジタル教科書やeラーニングを活用するため、PC等を使用する予定だが、詳細は授業時に説明する。

【その他の重要事項】

- ・本講義は全回の出席や全課題提出が評価の前提である。体調不良等のやむを得ない事情がある場合は、各種証明書を提出するなど、各自で然るべき対応を取ること。なお、小テストは毎回授業の最初に実施するため、遅刻をすると小テストを受けられないため注意する。
- ・授業中に、中国語検定試験やHSKの紹介もする予定。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 - I

2017年度以降入学者

黄 海萍

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。

復習のため、授業中に適宜小テストを行います。

課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

本授業は対面実施を基本としますが、第一週目（初回授業）はオンラインとなります。

詳細は学習支援システムでお知らせします。

また、必要に応じてオンラインの回も適宜導入する可能性があります。変更する場合、事前に学習支援システム等で提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	発音の基本	第一课 発音（一）
②	発音の基本	第二課 発音（二）
③	発音の基本	第三課 発音（三）
④	発音の基本	第四課 発音（四）
⑤	発音の基本	第五課 您贵姓？
⑥	中国語の基本構造	第六課 你学习什么？ 第七課 北京大学很大
⑦	中国語の基本構造	第八課 我十八岁 第九課 你哪儿不舒服？
⑧	中国語の基本構造	第十課 一年级的学生都学外语 第十一課 你每天看几个小时？
⑨	動詞述語文	第十二課 她是谁？ 第十三課 这是什么？
⑩	動詞述語文	第十四課 你有铅笔吗？ 第十五課 你家有几口人？
⑪	動詞述語文	第十六課 这儿有邮筒吗？ 第十七課 请再念一次
⑫	動詞述語文	第十八課 去中国干什么？
⑬	中国語の態	第十九課 这本书你看了吗？
⑭	中国語の態	第二十課 快要考试了
	まとめと解説	前期勉強した内容をまとめて総復習する
⑭	期末試験	口頭テスト・筆記テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事ですので、しっかり予習と復習をしておいてください。

授業後は単語帳など各自に合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

また、付属の教材CDや<http://fic.xsrv.jp/hosei/>を活用し、習った内容をしっかりと身につけるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）
大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香・鈴木靖著

【参考書】

中国語辞書を必ず1冊用意すること（電子辞書可）
瀬戸口 律子（2015）『完全マスター中国語の文法』[改訂版] 語研。
ISBN-13:978-4876152971

2400円＋税

その他の資料は授業で随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

1、出席状況および授業中のパフォーマンス25%、中間小テスト（口頭・筆記）15%、学期課題10%、各課のe宿題10%、期末試験40%（口頭・筆記）などで総合的に評価する。総合得点が60点以上の人を合格とする。

2、課題、中間小テスト、期末試験などについては、学期途中で指示をするので各教員の指示に従うこと。

3、授業に参加することが成績評価の前提であり、出席日数が三分の二未満の場合は不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生からの反応はおおむね良かったので、今まで同様しっかりと中国語の基礎を固めるよう厳しく、ときおり優しく丁寧に指導していきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

オフィスアワーは特に設けませんが、質問があればいつでも気軽に

お聞きください。
毎回の授業の最初に前回の復習をしますので、遅刻はないように努力してください。

授業中は、恥ずかしがらずに大きな声で発音練習し、積極的に授業に臨んでほしいです。

授業内テストの範囲、予習内容については授業中に指示します。

授業以外に予習、復習のための時間を必ず確保してください。

【教員の連絡方法】

名前：黄海萍

メールアドレス：haiping.huang.44 [at] hosei.ac.jp ([at] を@に変換してください)

履修に関するご相談がある場合は、メールでご連絡をお願いします。メールの件名は以下のようにわかりやすく付けてください。

例：「法政大学＋月曜日○○限＋履修者氏名」

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANe100LA（中国語 / Chinese language education 100）

中国語 1 - II

2017年度以降入学者

黄 海萍

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

- 1、初級レベルの中国語を読んだり聞いたりして、中国の民風などを理解することができます。
- 2、初級レベルの中国語を書いたり話したりして、自分の考えや意見などを相手に伝えることができます。
- 3、秋学期の学習を完了した段階で、簡単な中国語を話せるように身に着けます。
- 4、中国語圏の言語や文化に対する関心を養います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。

復習のため、授業中に適宜小テストを行います。

課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

本授業は対面実施を基本としますが、第一週目（初回授業）はオンラインとなります。

詳細は学習支援システムでお知らせします。

また、必要に応じてオンラインの回も適宜導入する可能性があります。変更する場合、事前に学習支援システム等で提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	中国語の態	第二十一課 你去过海边儿吗？ 第二十二課 你在做什么呢？
②	形容詞述語文	第二十三課 水餃好吃吗？ 第二十四課 明天比今天还热
③	形容詞述語文 名詞述語文	第二十五課 比泰山高一点儿 第二十六課 今天几月几号？
④	名詞述語文	第二十七課 现在几点？ 第二十八課 这只手表多少钱？
⑤	連体修飾語 連用修飾語	第二十九課 你的这件新毛衣真漂亮！ 第三十課 我在饭馆儿辛辛苦苦地干了一个月
⑥	まとめと解説	以上勉強した内容を復習する。
⑦	補語	第三十一課 谁打得好？ 第三十二課 你打了几年网球？
⑧	補語	第三十三課 对不起，我打错了 第三十四課 你退回去吧
⑨	補語	第三十五課 我听不懂
⑩	さまざまな表現	第三十六課 我不想见他
⑩	さまざまな表現	第三十七課 让谁讲好呢？
⑪	さまざまな表現	第三十八課 衣服都被淋湿了 第三十九課 我把衬衫弄脏了
⑪	さまざまな表現	第四十課 大楼门口出来了一个高个子
⑫	まとめと解説	総復習

⑬ 期末試験

口頭テスト

⑭ 期末試験

筆記テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事ですので、しっかり予習と復習をしておいてください。

授業後は単語帳など各自に合ったやり方でペンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

また、付属の教材CDや<http://fic.xsrv.jp/hosei/>を活用し、習った内容をしっかりと身につけるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）

大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香・鈴木靖著

【参考書】

中国語辞書を必ず1冊用意すること（電子辞書可）

瀬戸口 律子（2015）『完全マスター中国語の文法』[改訂版] 語研。

ISBN-13:978-4876152971

2400円＋税

その他の資料は授業で随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

1、出席状況および授業中のパフォーマンス25%、中間小テスト（口頭・筆記）15%、学期課題10%、各課のe宿題10%、期末試験40%（口頭・筆記）などで総合的に評価する。総合得点が60点以上の人を合格とする。

2、課題、中間小テスト、期末試験などについては、学期途中で指示をするので各教員の指示に従うこと。

3、授業に参加することが成績評価の前提であり、出席日数が三分の二未満の場合は不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生からの反応はおおむね良かったので、今まで同様しっかりと中国語の基礎を固めるよう厳しく、ときおり優しく丁寧に指導していきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

オフィスアワーは特に設けませんが、質問があればいつでも気軽にお願いします。

毎回の授業の最初に前回の復習をしますので、遅刻はないように努力してください。

授業中は、恥ずかしがらずに大きな声で発音練習し、積極的に授業に臨んでほしいです。

授業内テストの範囲、予習内容については授業中に指示します。

授業以外に予習、復習のための時間を必ず確保してください。

【教員の連絡方法】

名前：黄海萍

メールアドレス：haiping.huang.44[at]hosei.ac.jp（[at]を@に変換してください）

履修に関するご相談がある場合は、メールでご連絡をお願いします。メールの件名は以下のようにわかりやすく付けてください。

例：「法政大学＋月曜日〇〇限＋履修者氏名」

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 - I

2017年度以降入学者

余 瀾

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」までの復習	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

授業中適宜に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。

配分は、毎行なう小テスト（単語テスト、書き取りテスト、会話の発表など）が20%、E宿題10%、期末口頭テストが20%、筆記テストが50%です。

【学生の意見等からの気づき】

特にない。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 - II

2017年度以降入学者

余 瀾

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間
環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新
出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバッ
クは授業の中またはメールなどで行います。【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
2	「第 1 9 課から第 2 2 課」	「態」の復習
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 3 課から第 2 5 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「形容詞述語文」の復習
5	「第 2 6 課」 あるいは 「第 2 7 課」	「名詞述語文」 1 あるいは 「名詞述語文」 2
6	「第 2 8 課」 あるいは 「第 2 6 課から第 2 8 課」	「名詞述語文」 3 あるいは 「名詞述語文」の復習
7	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
8	「第 2 9 課、3 0 課」 あるいは 「第 3 1 課」	「連体修飾語、連用修飾語」の 復習 あるいは 「程度補語」
9	「第 3 2 課」 あるいは 「第 3 3 課」	「数量補語」 あるいは 「結果補語」
10	「第 3 4 課」 あるいは 「第 3 5 課」	「方向補語」 あるいは 「可能補語」
11	「第 3 1 課から 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「補語」の復習 あるいは 「助動詞」

12	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
13	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
14	「第 3 6 課から 4 0 課」	「助動詞、兼語文、受け身表現、 把構文、存現文」の復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方
でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。本授
業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要に応じて、授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。
配分は、毎行なう小テスト（単語テスト、書き取りテスト、会話
の発表など）が20%、E宿題10%、期末口頭テストが20%、筆記
テストが50%です。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 - I

2017年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1、2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音 1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音 2」 あるいは 「発音 3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音 3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音 3」 あるいは 「第 4 課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音 1 から 4」の復習をします。
5	「第 5 課」 あるいは 「第 6 課」	「自己紹介のしかた、あいさつことば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第 7 課」 あるいは 「第 8 課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
7	「第 9 課」 あるいは 「第 10 課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第 11 課」 あるいは 「第 5 課から「第 10 課」	「補語」 あるいは 「あいさつことば、文型、文成分」に関する復習
9	「第 12 課」 あるいは 「第 13 課」	「動詞述語文 1」 あるいは 「動詞述語文 2」
10	「第 14 課」 あるいは 「第 15 課」	「動詞述語文 3」 あるいは 「動詞述語文 4」
11	「第 16 課」 あるいは 「第 17 課」	「動詞述語文 5」 あるいは 「動詞述語文 6」

12	「第 18 課」 あるいは 「第 12 課から第 18 課」	「動詞述語文 7」 あるいは 「動詞述語文」の復習
13	「第 19 課」 あるいは 「第 20 課」	「完了態」 あるいは 「変化態」
14	「第 19 課、20 課」	「態」の復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が大事です。授業後は、単語帳を作るなど、各自に合ったやり方でピンインとともに新出単語、補充単語、本文を覚えるようにしてください。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要に応じて、授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】

課題、授業態度 30%、試験 70% による評価。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【Outline (in English)】

Following the text, you will learn the basics of Chinese pronunciation and grammar, including four sentence patterns, over the course of one year.

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

The standard time for preparation and review for this class is one hour in total.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)		
中国語 1 - II		2017年度以降入学者
劉 湯水		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水 1/Wed.1		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間
環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新
出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから
練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜
小テストを行います。

課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中または
メールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「第 2 1 課」	「経験態」
	あるいは	あるいは
	「第 2 2 課」	「進行態」「持続態」
2	「第 1 9 課から第 2 2 課」	「態」の復習
	「第 2 3 課」	「形容詞述語文」 1
3	あるいは	あるいは
	「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」	「形容詞述語文」
	あるいは	あるいは
	「第 2 3 課から第 2 5 課」	「形容詞述語文」の復習
5	「第 2 6 課」	「名詞述語文」 1
	あるいは	あるいは
	「第 2 7 課」	「名詞述語文」 2
6	「第 2 8 課」	「名詞述語文」 3
	あるいは	あるいは
	「第 2 6 課から第 2 8 課」	「名詞述語文」の復習
7	「第 2 9 課」	「連体修飾語」
	あるいは	あるいは
	「第 3 0 課」	「連用修飾語」
8	「第 2 9 課、3 0 課」	「連体修飾語、連用修飾語」の復習
	あるいは	あるいは
	「第 3 1 課」	「程度補語」
9	「第 3 2 課」	「数量補語」
	あるいは	あるいは
	「第 3 3 課」	「結果補語」
10	「第 3 4 課」	「方向補語」
	あるいは	あるいは
	「第 3 5 課」	「可能補語」
11	「第 3 1 課から 3 5 課」	「補語」の復習
	あるいは	あるいは
	「第 3 6 課」	「助動詞」

12	「第 3 7 課」	「兼語文」
	あるいは	あるいは
	「第 3 8 課」	「受け身表現」
13	「第 3 9 課」	「把構文」
	あるいは	あるいは
	「第 4 0 課」	「存現文」
14	「第 3 6 課から 4 0 課」	「助動詞、兼語文、受け身表現、把構文、存現文」の復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要に応じて、授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】

課題 30%、試験 70%による評価。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【Outline (in English)】

Following the text, you will learn the basics of Chinese pronunciation and grammar, including four sentence patterns, over the course of one year.

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

The standard time for preparation and review for this class is one hour in total.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 - I

2017年度以降入学者

余 瀾

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回 に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

授業中に適宜に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。

配分は、毎行なう小テスト（単語テスト、書き取りテスト、会話の発表など）が20%、E宿題10%、期末口頭テストが20%、筆記テストが50%です。

【学生の意見等からの気づき】

特にない。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 - II

2017年度以降入学者

余 瀾

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間
環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1・2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新
出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバッ
クは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
2	「第 1 9 課から第 2 2 課」	「態」の復習
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 3 課から第 2 5 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「形容詞述語文」の復習
5	「第 2 6 課」 あるいは 「第 2 7 課」	「名詞述語文」 1 あるいは 「名詞述語文」 2
6	「第 2 8 課」 あるいは 「第 2 6 課から第 2 8 課」	「名詞述語文」 3 あるいは 「名詞述語文」の復習
7	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
8	「第 2 9 課、3 0 課」 あるいは 「第 3 1 課」	「連体修飾語、連用修飾語」の 復習 あるいは 「程度補語」
9	「第 3 2 課」 あるいは 「第 3 3 課」	「数量補語」 あるいは 「結果補語」
10	「第 3 4 課」 あるいは 「第 3 5 課」	「方向補語」 あるいは 「可能補語」
11	「第 3 1 課から 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「補語」の復習 あるいは 「助動詞」

12	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
13	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
14	「第 3 6 課から 4 0 課」	「助動詞、兼語文、受け身表現、 把構文、存現文」の復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方
でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。本授
業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要に応じて、授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】

成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となる。
配分は、毎行なう小テスト（単語テスト、書き取りテスト、会話
の発表など）が 20 %、E 宿題 10 %、期末口頭テストが 20 %、筆記
テストが 50 % です。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course
is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will
improve the skills of listening, speaking, reading and writing
through studying pronunciation, grammar, conversation and
composition. One hour is required for each lesson for
preparation and review of this class. The method and
criteria for grade evaluation will be decided by each instructor.
See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 1 - I

2017年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1、2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。

課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音 1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音 2」 あるいは 「発音 3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音 3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音 3」 あるいは 「第 4 課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音 1 から 4」の復習をします。
5	「第 5 課」 あるいは 「第 6 課」	「自己紹介のしかた、あいさつことば」 あるいは 「動詞述語文」
6	「第 7 課」 あるいは 「第 8 課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
7	「第 9 課」 あるいは 「第 10 課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第 11 課」 あるいは 「第 5 課から「第 10 課」	「補語」 あるいは 「あいさつことば、文型、文成分」に関する復習
9	「第 12 課」 あるいは 「第 13 課」	「動詞述語文 1」 あるいは 「動詞述語文 2」
10	「第 14 課」 あるいは 「第 15 課」	「動詞述語文 3」 あるいは 「動詞述語文 4」
11	「第 16 課」 あるいは 「第 17 課」	「動詞述語文 5」 あるいは 「動詞述語文 6」

12	「第 18 課」 あるいは 「第 12 課から第 18 課」	「動詞述語文 7」 あるいは 「動詞述語文」の復習
13	「第 19 課」 あるいは 「第 20 課」	「完了態」 あるいは 「変化態」
14	「第 19 課、20 課」	「態」の復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が大事です。授業後は、単語帳を作るなど、各自に合ったやり方でピンインとともに新出単語、補充単語、本文を覚えるようにしてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要に応じて、授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】

課題、授業態度 30%、試験 70% による評価。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【Outline (in English)】

Following the text, you will learn the basics of Chinese pronunciation and grammar, including four sentence patterns, over the course of one year.

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus. The standard time for preparation and review for this class is one hour in total.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)		
中国語 1 - II		2017年度以降入学者
劉 湯水		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水2/Wed.2		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間
環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新
出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから
練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜
小テストを行います。

課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中または
メールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「第21課」	「経験態」
	あるいは	あるいは
	「第22課」	「進行態」「持続態」
2	「第19課から第22課」	「態」の復習
	「第23課」	「形容詞述語文」1
3	あるいは	あるいは
	「第24課」	「形容詞述語文」2
4	「第25課」	「形容詞述語文」
	あるいは	あるいは
	「第23課から第25課」	「形容詞述語文」の復習
5	「第26課」	「名詞述語文」1
	あるいは	あるいは
	「第27課」	「名詞述語文」2
6	「第28課」	「名詞述語文」3
	あるいは	あるいは
	「第26課から第28課」	「名詞述語文」の復習
7	「第29課」	「連体修飾語」
	あるいは	あるいは
	「第30課」	「連用修飾語」
8	「第29課、30課」	「連体修飾語、連用修飾語」の復習
	あるいは	あるいは
	「第31課」	「程度補語」
9	「第32課」	「数量補語」
	あるいは	あるいは
	「第33課」	「結果補語」
10	「第34課」	「方向補語」
	あるいは	あるいは
	「第35課」	「可能補語」
11	「第31課から35課」	「補語」の復習
	あるいは	あるいは
	「第36課」	「助動詞」

12	「第37課」	「兼語文」
	あるいは	あるいは
	「第38課」	「受け身表現」
13	「第39課」	「把構文」
	あるいは	あるいは
	「第40課」	「存現文」
14	「第36課から40課」	「助動詞、兼語文、受け身表現、把構文、存現文」の復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

必要に応じて、授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】

課題30%、試験70%による評価。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【Outline (in English)】

Following the text, you will learn the basics of Chinese pronunciation and grammar, including four sentence patterns, over the course of one year.

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus. The standard time for preparation and review for this class is one hour in total.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2-I

2017年度以降入学者

黄麗華

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよく身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著 2,500円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点：授業への参加度20%、e宿題30%

テスト：中間テスト10%、課題10%、期末試験30%

一回の欠席で－2点

【学生の意見等からの気づき】

語学の勉強は積極性と継続性が必要です。必ず予習・復習をし、遅刻・欠席はしないこと。間違いを恐れず、積極的に発音・会話・作文などの練習に取り組んでください。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聴くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、lihua.huang.33@hosei.ac.jpまで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 - II

2017年度以降入学者

黄麗華

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間
環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1、2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著 2,500 円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点：授業への参加度 20 %、e 宿題 30 %

テスト：中間テスト 10 %、課題 10 %、期末試験 30 %

一回の欠席で－2 点

【学生の意見等からの気づき】

語学の勉強は積極性と継続性が必要です。必ず予習・復習をし、遅刻・欠席はしないこと。間違いを恐れず、積極的に発音・会話・作文などの練習に取り組んでください。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聴くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、lihua.huang.33@hosei.ac.jp まで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 - I

2017年度以降入学者

日原 傳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎となる発音と文法を基本文型に沿って学ぶ。

【到達目標】

- ・中国語の正しい発音を身につける。
- ・ピンインを正しく読めるようにする。
- ・中国語の初級レベルの文法を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「中国語 1－I」と連携した授業。テキストに沿って授業を進める。「中国語 1－I」と共通のテキストを用い、二人の担当者がリレー式に教える。

※対面授業を基本にし、状況によってオンライン授業を組み合わせる。それにとまう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。

※課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	発音の基本	第一课 発音（一）
第2回	発音の基本	第二課 発音（二）
第3回	発音の基本	第三課 発音（三）
第4回	発音の基本	第四課 発音（四）
第5回	発音の基本	第五課 您贵姓？
第6回	中国語の基本構造	第六課 你学习什么？ 第七課 北京大学很大
第7回	中国語の基本構造	第八課 我十八岁 第九課 你哪儿不舒服？
第8回	中国語の基本構造	第十課 一年级的学生都学外语 第十一課 你每天看几个小时？
第9回	動詞述語文	第十二課 她是谁？ 第十三課 这是什么？
第10回	動詞述語文	第十四課 你有铅笔吗？ 第十五課 你家有几口人？
第11回	動詞述語文	第十六課 这儿有邮筒吗？ 第十七課 请再念一次
第12回	動詞述語文 / 中国語の態	第十八課 去中国干什么？ 第十九課 这本书你看了吗？
第13回	中国語の態	第二十課 快要考试了
第14回	授業の総まとめと期末試験	筆記・ヒアリング試験 まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・テキストに付いているCDを繰り返し聴き、発音をまねる。
- ・新出単語を覚え、中国語の語彙を増やす。
- ・自宅でのeラーニングを行なう。
- ・本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）
大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香・鈴木靖著

【参考書】

授業のなかで指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・小テスト・発音チェックテスト・eラーニング実施状況）30%

期末試験 70%

【学生の意見等からの気づき】

発音チェックテストを6～7月に行ない、成績評価の基礎点に加えることにした。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 - II

2017年度以降入学者

日原 傳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎となる発音と文法を基本文型に沿って学ぶ。

【到達目標】

- ・中国語の正しい発音を身につける。
- ・ピンインを正しく読めるようにする。
- ・中国語の初級レベルの文法を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間
環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「中国語 1 - II」と連携した授業。テキストに沿って授業を進める。
「中国語 1 - II」と共通のテキストを用い、二人の担当者がリレー式
に教える。

※対面授業を基本にし、状況によってオンライン授業を組み合わせ
る。それともなう各回の授業計画の変更については、学習支援シ
ステムでその都度提示する。

※課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」
を通じて行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	中国語の態	第二十一課 你去过海边儿吗? 第二十二課 你在做什么呢?
第2回	形容詞述語文	第二十三課 水饺好吃吗? 第二十四課 明天比今天还热
第3回	形容詞述語文	第二十五課 比泰山高一点儿
第4回	名詞述語文	第二十六課 今天几月几号? 第二十七課 现在几点?
第5回	名詞述語文	第二十八課 这只手表多少钱?
第6回	連体修飾語 連用修飾語	第二十九課 你的这件新毛衣 真漂亮! 第三十課 我在饭馆儿辛辛苦苦 地干了一个月
第7回	補語	第三十一課 谁打得好?
第8回	補語	第三十二課 你打了几年网球? 第三十三課 对不起, 我打错了
第9回	補語	第三十四課 你退回去吧
第10回	さまざまな表現	第三十五課 我听不懂 第三十六課 我不想见他
第11回	さまざまな表現	第三十七課 让谁讲好呢?
第12回	さまざまな表現	第三十八課 衣服都被淋湿了
第13回	さまざまな表現	第三十九課 我把衬衫弄脏了 第四十課 大楼门口出来了一个高 个子
第14回	授業の総まとめと期 末試験	筆記・ヒアリング試験 まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・テキストに付いているCDを繰り返し聴き、発音をまねる。
- ・新出単語を覚え、中国語の語彙を増やす。
- ・自宅でのeラーニングを行なう。
- ・本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）
大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香・鈴木靖著

【参考書】

授業のなかで指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・小テスト・暗誦テスト・eラーニン
グの実施状況）30%

期末試験 70%

【学生の意見等からの気づき】

課文の暗誦テストを11月～12月に実施し、成績評価の基礎点に加
えることにした。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course
is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will
improve the skills of listening, speaking, reading and writing
through studying pronunciation, grammar, conversation and
composition. One hour is required for each lesson for
preparation and review of this class. The method and
criteria for grade evaluation will be decided by each instructor.
See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2-I

2017年度以降入学者

黄麗華

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間
環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1、2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第1課から第20課」までの復習
2	「第21課」 あるいは 「第22課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第23課」 あるいは 「第24課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第25課」 あるいは 「第26課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第27課」 あるいは 「第28課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第29課」 あるいは 「第30課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第31課」 あるいは 「第32課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第33課」 あるいは 「第34課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第35課」 あるいは 「第36課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第37課」 あるいは 「第38課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第39課」 あるいは 「第40課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第21課から第30課」	「第21課から第30課」までの復習
13	「第31課から第40課」	「第31課から第40課」までの復習

14 授業内試験

「第21課から第40課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著 2,500円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点：授業への参加度20%、e宿題30%

テスト：中間テスト10%、課題10%、期末試験30%

一回の欠席で－2点

【学生の意見等からの気づき】

語学の勉強は積極性と継続性が必要です。必ず予習・復習をし、遅刻・欠席はしないこと。間違いを恐れず、積極的に発音・会話・作文などの練習に取り組んでください。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聴くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、lihua.huang.33@hosei.ac.jpまで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 - II

2017年度以降入学者

黄麗華

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間
環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1、2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著 2,500 円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点：授業への参加度 20 %、e 宿題 30 %

テスト：中間テスト 10 %、課題 10 %、期末試験 30 %

一回の欠席で－2 点

【学生の意見等からの気づき】

語学の勉強は積極性と継続性が必要です。必ず予習・復習をし、遅刻・欠席はしないこと。間違いを恐れず、積極的に発音・会話・作文などの練習に取り組んでください。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聴くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、lihua.huang.33@hosei.ac.jp まで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 - I

2017年度以降入学者

日原 傳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎となる発音と文法を基本文型に沿って学ぶ。

【到達目標】

- ・中国語の正しい発音を身につける。
- ・ピンインを正しく読めるようにする。
- ・中国語の初級レベルの文法を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「中国語 1－I」と連携した授業。テキストに沿って授業を進める。「中国語 1－I」と共通のテキストを用い、二人の担当者がリレー式に教える。

※対面授業を基本にし、状況によってオンライン授業を組み合わせる。それにとまう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。

※課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	発音の基本	第一课 発音（一）
第2回	発音の基本	第二課 発音（二）
第3回	発音の基本	第三課 発音（三）
第4回	発音の基本	第四課 発音（四）
第5回	発音の基本	第五課 您贵姓？
第6回	中国語の基本構造	第六課 你学习什么？ 第七課 北京大学很大
第7回	中国語の基本構造	第八課 我十八岁 第九課 你哪儿不舒服？
第8回	中国語の基本構造	第十課 一年级的学生都学外语 第十一課 你每天看几个小时？
第9回	動詞述語文	第十二課 她是谁？ 第十三課 这是什么？
第10回	動詞述語文	第十四課 你有铅笔吗？ 第十五課 你家有几口人？
第11回	動詞述語文	第十六課 这儿有邮筒吗？ 第十七課 请再念一次
第12回	動詞述語文 / 中国語の態	第十八課 去中国干什么？ 第十九課 这本书你看了吗？
第13回	中国語の態	第二十課 快要考试了
第14回	授業の総まとめと期末試験	筆記・ヒアリング試験 まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・テキストに付いているCDを繰り返し聴き、発音をまねる。
- ・新出単語を覚え、中国語の語彙を増やす。
- ・自宅でのeラーニングを行なう。
- ・本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）
大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香・鈴木靖著

【参考書】

授業のなかで指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・小テスト・発音チェックテスト・eラーニング実施状況）30 %

期末試験 70 %

【学生の意見等からの気づき】

発音チェックテストを6～7月に行ない、成績評価の基礎点に加えることにした。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 - II

2017年度以降入学者

日原 傳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎となる発音と文法を基本文型に沿って学ぶ。

【到達目標】

- ・中国語の正しい発音を身につける。
- ・ピンインを正しく読めるようにする。
- ・中国語の初級レベルの文法を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間
環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「中国語 1 - II」と連携した授業。テキストに沿って授業を進める。
「中国語 1 - II」と共通のテキストを用い、二人の担当者がリレー式
に教える。

※対面授業を基本にし、状況によってオンライン授業を組み合わせ
る。それともなう各回の授業計画の変更については、学習支援シ
ステムでその都度提示する。

※課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」
を通じて行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	中国語の感	第二十一課 你去过海边儿吗? 第二十二課 你在做什么呢?
第2回	形容詞述語文	第二十三課 水餃好吃吗? 第二十四課 明天比今天还热
第3回	形容詞述語文	第二十五課 比泰山高一点儿
第4回	名詞述語文	第二十六課 今天几月几号? 第二十七課 现在几点?
第5回	名詞述語文	第二十八課 这只手表多少钱?
第6回	連体修飾語 連用修飾語	第二十九課 你的这件新毛衣 真漂亮! 第三十課 我在饭馆儿辛辛苦苦 地干了一个月
第7回	補語	第三十一課 谁打得好?
第8回	補語	第三十二課 你打了几年网球? 第三十三課 对不起, 我打错了
第9回	補語	第三十四課 你退回去吧
第10回	さまざまな表現	第三十五課 我听不懂 第三十六課 我不想见他 第三十七課 让谁讲好呢?
第11回	さまざまな表現	第三十八課 衣服都被淋湿了
第12回	さまざまな表現	第三十九課 我把衬衫弄脏了
第13回	さまざまな表現	第四十課 大楼门口出来了一个高 个子
第14回	授業の総まとめと期 末試験	筆記・ヒアリング試験 まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・テキストに付いているCDを繰り返し聴き、発音をまねる。
- ・新出単語を覚え、中国語の語彙を増やす。
- ・自宅でのeラーニングを行なう。
- ・本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）
大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香・鈴木靖著

【参考書】

授業のなかで指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・小テスト・暗誦テスト・eラーニン
グの実施状況）30 %

期末試験 70 %

【学生の意見等からの気づき】

課文の暗誦テストを11月～12月に実施し、成績評価の基礎点に加
えることにした。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course
is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will
improve the skills of listening, speaking, reading and writing
through studying pronunciation, grammar, conversation and
composition. One hour is required for each lesson for
preparation and review of this class. The method and
criteria for grade evaluation will be decided by each instructor.
See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 - I

2017年度以降入学者

後藤 淳一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎となる発音と文法を基本文型に沿って学ぶ。

【到達目標】

- ・中国語の正しい発音を身につける。
- ・ピンインを正しく読めるようにする。
- ・中国語の初級レベルの文法を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「中国語 1 - I」と連携した授業。テキストに沿って授業を進める。「中国語 1 - I」と共通のテキストを用い、二人の担当者がリレー式に教える。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	発音の基本	第一课 发音（一）
②	発音の基本	第二课 发音（二）
③	発音の基本	第三课 发音（三）
④	発音の基本	第四课 发音（四）
⑤	発音の基本	第五课 您贵姓？
⑥	中国語の基本構造	第六课 你学习什么？ 第七课 北京大学很大
⑦	中国語の基本構造	第八课 我十八岁 第九课 你哪儿不舒服？
⑧	中国語の基本構造	第十课 一年级的学生都学外语 第十一课 你每天看几个小时？
⑨	動詞述語文	第十二课 她是谁？ 第十三课 这是什么？
⑩	動詞述語文	第十四课 你有铅笔吗？ 第十五课 你家有几口人？
⑪	動詞述語文	第十六课 这儿有邮筒吗？ 第十七课 请再念一次
⑫	動詞述語文	第十八课 去中国干什么？
⑬	中国語の態	第十九课 这本书你看了吗？
⑭	中国語の態	第二十课 快要考试了

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・テキストに付いているCDを繰り返し聴き、発音をまねる。
- ・新出単語を覚え、中国語の語彙を増やす。
- ・宿題として課された練習問題を解く。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）
大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香・鈴木靖著

【参考書】

授業の中で指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テスト）20%

期末試験80%

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 - II

2017年度以降入学者

後藤 淳一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎となる発音と文法を基本文型に沿って学ぶ。

【到達目標】

- ・中国語の正しい発音を身につける。
- ・ピンインを正しく読めるようにする。
- ・中国語の初級レベルの文法を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「中国語 1－II」と連携した授業。テキストに沿って授業を進める。「中国語 1－II」と共通のテキストを用い、二人の担当者がリレー式に教える。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	中国語の態	第二十一課 你去过海边儿吗？ 第二十二課 你在做什么呢？
②	形容詞述語文	第二十三課 水餃好吃吗？ 第二十四課 明天比今天还热
③	形容詞述語文	第二十五課 比泰山高一点儿
④	名詞述語文	第二十六課 今天几月几号？ 第二十七課 现在几点？
⑤	名詞述語文	第二十八課 这只手表多少钱？
⑥	連体修飾語・連用修飾語	第二十九課 你的这件新毛衣真漂亮！ 第三十課 我在饭馆儿辛辛苦苦地干了一个月
⑦	補語	第三十一課 谁打得好？ 第三十二課 你打了几年网球？
⑧	補語	第三十三課 对不起，我打错了 第三十四課 你退回去吧
⑨	補語	第三十五課 我听不懂
⑩	さまざまな表現	第三十六課 我不想见他
⑪	さまざまな表現	第三十七課 让谁讲好呢？
⑫	さまざまな表現	第三十八課 衣服都被淋湿了
⑬	さまざまな表現	第三十九課 我把衬衫弄脏了
⑭	さまざまな表現	第四十課 大楼门口出来了一个高个子

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・テキストに付いているCDを繰り返し聴き、発音をまねる。
- ・新出単語を覚え、中国語の語彙を増やす。
- ・宿題として課された練習問題を解く。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）
大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香・鈴木靖著

【参考書】

授業の中で指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テスト）20%

期末試験80%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語2-I

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。
※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」

12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」
13	「第1課から第20課」	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度やE宿題、発音テスト等）40％、中間試験30％、期末試験30％

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 - II

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間
環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1、2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」1 あるいは 「形容詞述語文」2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」2 あるいは 「名詞述語文」3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や E 宿題、発音テスト等）40 %、中間試験 30 %、期末試験 30 %

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 - I

2017年度以降入学者

後藤 淳一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎となる発音と文法を基本文型に沿って学ぶ。

【到達目標】

- ・中国語の正しい発音を身につける。
- ・ピンインを正しく読めるようにする。
- ・中国語の初級レベルの文法を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「中国語 1 - I」と連携した授業。テキストに沿って授業を進める。「中国語 1 - I」と共通のテキストを用い、二人の担当者がリレー式に教える。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	発音の基本	第一课 发音（一）
②	発音の基本	第二课 发音（二）
③	発音の基本	第三课 发音（三）
④	発音の基本	第四课 发音（四）
⑤	発音の基本	第五课 您贵姓？
⑥	中国語の基本構造	第六课 你学习什么？ 第七课 北京大学很大
⑦	中国語の基本構造	第八课 我十八岁 第九课 你哪儿不舒服？
⑧	中国語の基本構造	第十课 一年级的学生都学外语 第十一课 你每天看几个小时？
⑨	動詞述語文	第十二课 她是谁？ 第十三课 这是什么？
⑩	動詞述語文	第十四课 你有铅笔吗？ 第十五课 你家有几口人？
⑪	動詞述語文	第十六课 这儿有邮筒吗？ 第十七课 请再念一次
⑫	動詞述語文	第十八课 去中国干什么？
⑬	中国語の態	第十九课 这本书你看了吗？
⑭	中国語の態	第二十课 快要考试了

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・テキストに付いているCDを繰り返し聴き、発音をまねる。
- ・新出単語を覚え、中国語の語彙を増やす。
- ・宿題として課された練習問題を解く。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）
大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香・鈴木靖著

【参考書】

授業の中で指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テスト）20%

期末試験80%

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 - II

2017年度以降入学者

後藤 淳一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎となる発音と文法を基本文型に沿って学ぶ。

【到達目標】

- ・中国語の正しい発音を身につける。
- ・ピンインを正しく読めるようにする。
- ・中国語の初級レベルの文法を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「中国語 1 - II」と連携した授業。テキストに沿って授業を進める。「中国語 1 - II」と共通のテキストを用い、二人の担当者がリレー式に教える。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	中国語の態	第二十一課 你去过海边儿吗？ 第二十二課 你在做什么呢？
②	形容詞述語文	第二十三課 水餃好吃吗？ 第二十四課 明天比今天还热
③	形容詞述語文	第二十五課 比泰山高一点儿
④	名詞述語文	第二十六課 今天几月几号？ 第二十七課 现在几点？
⑤	名詞述語文	第二十八課 这只手表多少钱？
⑥	連体修飾語・連用修飾語	第二十九課 你的这件新毛衣真漂亮！ 第三十課 我在饭馆儿辛辛苦苦地干了一个月
⑦	補語	第三十一課 谁打得好？ 第三十二課 你打了几年网球？
⑧	補語	第三十三課 对不起，我打错了 第三十四課 你退回去吧
⑨	補語	第三十五課 我听不懂
⑩	さまざまな表現	第三十六課 我不想见他
⑪	さまざまな表現	第三十七課 让谁讲好呢？
⑫	さまざまな表現	第三十八課 衣服都被淋湿了
⑬	さまざまな表現	第三十九課 我把衬衫弄脏了
⑭	さまざまな表現	第四十課 大楼门口出来了一个高个子

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・テキストに付いているCDを繰り返し聴き、発音をまねる。
- ・新出単語を覚え、中国語の語彙を増やす。
- ・宿題として課された練習問題を解く。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）
大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香・鈴木靖著

【参考書】

授業の中で指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テスト）20%

期末試験80%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 - I

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語1・2の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 あるいは 「発音1」	「中国及び中国語に関する概説」 あるいは 「発音の基本」ピンインの読み方
2	「発音2」 あるいは 「発音3」	「発音の基本」ピンインの読み方 「発音3」は分量の関係で、2回に分けて進めます。
3	「発音3」 あるいは 「第4課」	「ピンインの読み方」
4	ピンインの読み方 と発音の復習	「発音1から4」の復習をします。
5	「第5課」 あるいは 「第6課」	「自己紹介のしかた、あいさつ」とば あるいは 「動詞述語文」
6	「第7課」 あるいは 「第8課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」
7	「第9課」 あるいは 「第10課」	「主述述語文」 あるいは 「連体修飾語、連用修飾語」
8	「第11課」 あるいは 「第12課」	「補語」 あるいは 「動詞述語文1」
9	「第13課」 あるいは 「第14課」	「動詞述語文2」 あるいは 「動詞述語文3」
10	「第15課」 あるいは 「第16課」	「動詞述語文4」 あるいは 「動詞述語文5」
11	「第17課」 あるいは 「第18課」	「動詞述語文6」 あるいは 「動詞述語文7」
12	「第19課」 あるいは 「第20課」	「完了態」 あるいは 「変化態」

13	「第1課から第20課」までの復習	「第1課から第20課」までの復習
14	授業内試験	「第1課から第20課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度やE宿題、発音テスト等）40%、中間試験30%、期末試験30%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語 2 - II

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、中国語の発音と文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間
環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国語 1、2 の教員が、一冊のテキストをリレー式に進めます。新出
単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練
習問題を解いて知識が定着するようにします。復習のため、適宜小
テストを行います。課題や小テスト、定期試験などのフィードバック
は授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	「第 1 課から第 2 0 課」までの復習
2	「第 2 1 課」 あるいは 「第 2 2 課」	「経験態」 あるいは 「進行態」「持続態」
3	「第 2 3 課」 あるいは 「第 2 4 課」	「形容詞述語文」 1 あるいは 「形容詞述語文」 2
4	「第 2 5 課」 あるいは 「第 2 6 課」	「形容詞述語文」 あるいは 「名詞述語文」 1
5	「第 2 7 課」 あるいは 「第 2 8 課」	「名詞述語文」 2 あるいは 「名詞述語文」 3
6	「第 2 9 課」 あるいは 「第 3 0 課」	「連体修飾語」 あるいは 「連用修飾語」
7	「第 3 1 課」 あるいは 「第 3 2 課」	「程度補語」 あるいは 「数量補語」
8	「第 3 3 課」 あるいは 「第 3 4 課」	「結果補語」 あるいは 「方向補語」
9	「第 3 5 課」 あるいは 「第 3 6 課」	「可能補語」 あるいは 「助動詞」
10	「第 3 7 課」 あるいは 「第 3 8 課」	「兼語文」 あるいは 「受け身表現」
11	「第 3 9 課」 あるいは 「第 4 0 課」	「把構文」 あるいは 「存現文」
12	「第 2 1 課から第 3 0 課」	「第 2 1 課から第 3 0 課」までの復習
13	「第 3 1 課から第 4 0 課」	「第 3 1 課から第 4 0 課」までの復習

14 授業内試験

「第 2 1 課から第 4 0 課」までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された e 宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』 東方書店

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や E 宿題、発音テスト等） 40 %、中間試験 30 %、期末試験 30 %

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語補講 1 I

2017年度以降入学者

池田 麻希子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の発音の基礎（ピンイン表記を正しく読み、書くことができる）と文法の基礎をしっかり身に付けることを目標とします。

【到達目標】

中国語の基礎を身に付けること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

最初の数回は発音篇、その後本編に入り、中国語の「読む・書く・聴く・話す」という4技能の基礎的な学修、練習を行います。本編の各課は文法ポイント・会話・講読・練習問題から成り、授業もこれに沿って進めます。新出語句、例文、課文を何回も音読し、文法事項を解説してから、課文を訳し、練習問題を解いて知識が定着するようにします。時間があれば巻末の「実践活動」も行います。また、毎回単語、または文法例文の小テスト、課文の暗誦等を課します。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	発音 (1)	声調と母音
②	発音 (2)	子音と鼻母音
③	発音 (3)	軽声と声調変化
④	発音 (4)	数の言い方と数を使う表現
⑤	第1課	発音の復習・第1課の文法、会話、講読
⑥	第1課・第2課	第1課の練習問題・第2課の文法
⑦	第2課	会話、講読、練習問題
⑧	第3課	文法、会話、講読
⑨	第3課・第4課	第3課の練習問題・第4課の文法
⑩	第4課	会話、講読、練習問題
⑪	第5課	文法、会話、講読
⑫	第5課・第6課	第5課の練習問題・第6課の文法
⑬	第6課	会話、講読、練習問題
⑭	授業のまとめと試験	第1～6課の試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

その週に学ぶ予定の課について、授業前に必ず目を通し、わからない単語の意味は調べておいて下さい。授業後には各自で単語帳を作成したり、課文を繰り返し音読するなどして、各回に学習した内容をしっかり身につけるようにしましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『4技能習得!! 実践初級中国語』長谷川賢他、金星堂、2024年

【参考書】

『ポイント学習中国語初級〔改訂版〕』東方書店、2010年

【成績評価の方法と基準】

期末試験70%、平常点（小テスト）30%として評価します。

出席回数が授業回数の3分の2に及ばなかった者（＝欠席5回以上）は成績評価の対象としません（遅刻・早退は2回で欠席1回とします）。小テストや期末試験の出題形式の詳細は講義中に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが興味を持って学修を続け、達成感を得られるような授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業中の携帯電話の使用は認めません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for students who have failed Chinese 1 before. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語補講 1 II

2017年度以降入学者

池田 麻希子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の発音の基礎（ピンイン表記を正しく読み、書くことができる）と文法の基礎をしっかりと身に付けることを目標とします。

【到達目標】

中国語の基礎を身に付けること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各課は文法ポイント・会話・講読・練習問題から成り、授業もこれに沿って進めます。新出語句、例文、課文を何回も音読し、文法事項を解説してから課文を訳し、練習問題を解いて知識が定着するようにします。時間があれば巻末の「実践活動」も行います。また、毎回単語、または文法例文の小テスト、課文の暗誦等を課します。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	ガイダンス・春学期の復習	授業の進め方について・第1～6課の復習
②	第7課	文法、会話、講読
③	第7課・第8課	第7課の練習問題・第8課の文法
④	第8課	会話、講読、練習問題
⑤	第9課	文法、会話、講読
⑥	第9課・第10課	第9課の練習問題・第10課の文法
⑦	第10課	会話、講読、練習問題
⑧	第11課	文法、会話、講読
⑨	第11課・第12課	第11課の練習問題・第12課の文法
⑩	第12課	会話、講読、練習問題
⑪	第13課	文法、会話、講読
⑫	第13課・第14課	第13課の練習問題・第14課の文法
⑬	第14課	会話、講読、練習問題
⑭	授業のまとめと試験	第7～14課の試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

その週に学ぶ予定の課について、授業前に必ず目を通し、わからない単語の意味は調べておいて下さい。授業後には各自で単語帳を作成したり、課文を繰り返し音読するなどして、各回に学習した内容をしっかりと身につけるようにしましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『4技能習得!! 実践初級中国語』長谷川賢他、金星堂、2024年

【参考書】

『ポイント学習中国語初級 [改訂版]』東方書店、2010年

【成績評価の方法と基準】

期末試験70%、平常点（小テスト）30%として評価します。出席回数が授業回数の3分の2に及ばなかった者（＝欠席5回以上）は成績評価の対象としません（遅刻・早退は2回で欠席1回とします）。小テストや期末試験の出題形式の詳細は講義中に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが興味を持って学修を続け、達成感を得られるような授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業中の携帯電話の使用は認めません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for students who have failed Chinese 1 before. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語補講 1 I

2017年度以降入学者

篠田 幸夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法事項を解説してから、ペアワークを中心に音読（①すべて見る②ピンインを隠す③何も見ない）、和訳練習（何も見ない）、中訳練習（何も見ない）、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。課題等へのフィードバックは授業時に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 第1課「発音1」 第2課「発音2」	「中国及び中国語に関する概説」 「発音の基本」ピンインの読み方
2	第3課「発音3」 第4課「発音4」	「発音の基本」ピンインの読み方
3	「第5課」 「第6課」	「自己紹介」 「あいさつ」 「動詞述語文」
4	「第7課」 「第8課」	「形容詞述語文」 「名詞述語文」
5	「第9課」	「主述述語文」
6	「第10課」	「連体修飾語、連用修飾語」
7	「第11課」	「数量補語」
8	「第12課」	「動詞述語文1」
9	「第13課」	「動詞述語文2」
10	「第14課」	「動詞述語文3」
11	「第15課」	「動詞述語文4」
12	「第16課」	「動詞述語文5」
13	「第17課」	「動詞述語文6」
14	期末テスト	第6課～17課のまとめ及び解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示された宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

『東京外国語大学言語モジュール 中国語』

<http://www.coelAng.tufs.ac.jp/modules/zh/>

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的参加度30%・小テスト30%・期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

できるだけ目を使わない発音練習をしつこく行うことに効果があることが分かりました。目を使わないと耳に集中することができました。発音練習では必ず失敗します。失敗することによってどこをどのように修正すればよいかを考えることができます。失敗を恐れず一緒に練習しましょう。発音はしつこく練習します。

【その他の重要事項】

授業への不参加が4.5回を超えた場合、評価の対象外となります。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語補講 1 II

2017年度以降入学者

篠田 幸夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文保事項を解説してから、ペアワークを中心に音読（①すべて見る②ピンインを隠す③何も見ない）、和訳練習（何も見ない）、中訳練習（何も見ない）、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。課題等へのフィードバックは授業時に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「第19課」	「完了態」
2	「第20課」	「変化態」
3	「第21課」	「経験態」
4	「第22課」	「進行態」「持続態」
5	「第23課」	「形容詞述語文1」
6	「第24課」	「形容詞述語文2」
7	「第25課」	「形容詞述語文3」
8	「第29課」	「連体修飾語」
9	「第30課」	「連用修飾語」
10	「第31課」	「程度補語」
11	「第32課」	「数量補語」
12	「第33課」	「結果補語」
13	「第34課」	「方向補語」
14	期末テスト（第19課～第25課・第29課～第34課）・まとめと解説	第19課～25課・第29課～34課のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各自で単語帳を作成したり、担当教員から指示されたe宿題や補助問題などを利用して、各回に学習する内容をしっかり身につけるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』 東方書店

【参考書】

「東京外国語大学言語モジュール 中国語」
<http://www.coelAng.tufs.ac.jp/modules/zh/>

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的参加度30%・小テスト30%・期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

できるだけ目を使わない発音練習をしつこく行うことに効果があることが分かりました。目を使わないと耳に集中することができず。発音練習では必ず失敗します。失敗することによってどこをどのように修正すればよいかを考えることができます。失敗を恐れず一緒に練習しましょう。発音はしつこく練習します。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業への出席には、パーソナルコンピュータやスマートフォンなどの電子機器が必要となる。

【その他の重要事項】

授業への不参加が4.5回を超えた場合、評価の対象外となります。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語補講2 I

2017年度以降入学者

余 瀾

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ほぼ一回に1課分を進める予定です。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから、練習問題を解いて知識が定着するようにします。授業の後半30分間に、勉強した内容を復習させ、小テストを行います。

授業中、随時学生の質問を受け付けして、その場で回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「はじめに」 第1課「発音1」 第2課「発音2」	「中国及び中国語に関する概説」 「発音の基本」ピンインの読み方
2	第3課「発音3」 第4課「発音4」	「発音の基本」ピンインの読み方
3	「第5課」 「第6課」	「自己紹介」 「あいさつ」 「動詞述語文」
4	「第7課」 「第8課」	「形容詞述語文」 「名詞述語文」
5	「第9課」	「主述述語文」
6	「第10課」	「連体修飾語、連用修飾語」
7	「第11課」	「数量補語」
8	「第12課」 中間テスト (第5課～11課)	「動詞述語文1」 第5課～11課の纏めと解説
9	「第13課」	「動詞述語文2」
10	「第14課」	「動詞述語文3」
11	「第15課」	「動詞述語文4」
12	「第16課」	「動詞述語文5」
13	「第17課」	「動詞述語文6」
14	期末テスト（第12課～17課）	第12課～17課の纏め及び解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』 東方書店

【参考書】

特にありません。

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100点満点とし、60点以上は合格となります。

配分は補講の受講者に配慮して、出席重視の方針から毎回行う小テストが30%、中間テストは30%、期末テストが40%です。欠席と遅刻をすると小テストができませんので、注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

小テストが毎回行うのが有効的であることがわかりました。

【学生が準備すべき機器他】

使用しません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語補講 2 II

2017年度以降入学者

余 瀾

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに沿って、一年間で、中国語の発音と四文型をはじめとする文法の基礎を学びます。

【到達目標】

読む、聞く、話す、書く力をバランスよくつけるのが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

一回に1課を進める予定です。新出単語、補充単語、本文を何回も音読し、文法事項を解説してから練習問題を解いて知識を定着するようにします。授業後半の30分間は、勉強した内容を復習させ、小テストを行います。

授業中、随時学生の質問を受け付けして、その場で回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「第18課」	「動詞述語文7」
2	「第19課」	「完了態」
3	「第20課」	「変化態」
4	「第21課」	「経験態」
5	「第22課」	「進行態」「持続態」
6	「第23課」	「形容詞述語文1」
7	「第24課」	「形容詞述語文2」
	中間テスト	第18課～22課の纏めと解説
	(第18課～22課)	
8	「第25課」	「形容詞述語文3」
9	「第26課」	「名詞述語文1」
10	「第27課」	「名詞述語文2」
11	「第28課」	「名詞述語文3」
12	「第29課」	「連体修飾語」
13	「第30課」	「連用修飾語」
14	期末テスト（第23課～30課）・まとめと解説	第23課～30課のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【参考書】

特にありません。

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100点満点とし、60点以上は合格となります。

配分は補講の受講者に配慮して、出席重視の方針から毎回行う小テストが30%、中間テストは30%、期末テストが40%です。欠席と遅刻をすると小テストができませんので、必ず注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

学生の出席を促すために、小テストが毎回行うのが有効的であることがわかりました。

【学生が準備すべき機器他】

使用しません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語補講2 I

2017年度以降入学者

劉 光赤

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書に沿って、発音の復習と基本的な文法事項や日常会話を学んでいきます。

【到達目標】

中国語の発音と基礎文法を再確認し、日常的コミュニケーション能力を身に付けることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本として、発音のおさらい、ポイントの学習、本文の音読、会話練習、ドリルを解くような流れで、習った知識を定着するようにします。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業についての説明 発音のおさらい① 第1課 こんにちは	中国語の音節、声調 挨拶言葉 ドリル
2	発音のおさらい② 第2課 また明日	単母音、複母音 挨拶言葉 ドリル
3	発音のおさらい③ 第3課 ありがとう	子音、無気音と有気音 挨拶言葉 ドリル
4	発音のおさらい④ 第4課 お久しぶり	子音、鼻母音 挨拶言葉 ドリル
5	第5課 出迎える (1)	第5課のポイント 名前の言い方 名前のたずね方
6	第5課 出迎える (2)	第5課の会話練習 ドリル
7	第6課 歓迎パーティー (1)	第6課のポイント 動詞「是」 助詞「的」
8	第6課 歓迎パーティー (2)	第6課の会話練習 ドリル
9	第7課 タクシーに乗る (1)	第7課のポイント 基本語順 連動文
10	第7課 タクシーに乗る (2)	第7課の会話練習 ドリル
11	第8課 宿泊する (1)	第8課のポイント 助動詞「想」 動詞「有」 指示代名詞
12	第8課 宿泊する (2)	第8課の会話練習 ドリル

13	第9課 道をたずねる	第9課のポイント 動詞「在」 方位詞 前置詞「从」「往」 場所を表す指示代名詞
14	復習、授業内試験	第9課の復習 試験、解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各回に学習する内容をしっかり復習して身につけるようにしましょう。教科書付録のCDや教材内容の映像などを最大限に活用して、予習と復習を行ってください。課題を必ず期限内に完成して提出してください。

【テキスト（教科書）】

「しゃべっていいとも中国語 トータル版」『改訂版』朝日出版社

【参考書】

中日辞典、日中辞典

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、学習態度と課題の完成度50%によって総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

状況に応じて進度の調整を行います。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境・PC等を準備してください。

【その他の重要事項】

授業形態は対面授業ですが、大学の方針に従って変更する場合があります。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc100LA (中国語 / Chinese language education 100)

中国語補講 2 II

2017年度以降入学者

劉 光赤

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書に沿って、発音の復習と基本的な文法事項や日常会話を学んでいきます。

【到達目標】

中国語の発音との基礎文法を再確認し、日常的コミュニケーション能力を身に付けることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ポイントの学習、本文の音読、会話練習、ドリルを解くような流れで、習った知識を定着するようにします。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第10課 ショッピングをする (1)	第10課のポイント 数の言い方、中国のお金の言い方、値段のたずね方、形容詞が述語になる文
2	第10課 ショッピングをする (2)	第10課の会話練習 ドリル
3	第11課 おしゃべりをする (1)	第11課のポイント 年月日、曜日の言い方 年齢の言い方
4	第11課 おしゃべりをする (2)	第11課の会話練習 ドリル
5	第12課 料理を注文する (1)	第12課のポイント 量詞 動詞の重ね方
6	第12課 料理を注文する (2)	第12課の会話練習 ドリル
7	第13課 サッカーのチケットを買う (1)	第13課のポイント 時刻の言い方 新事態の発生や、状態の変化を表す文末の「了」
8	第13課 サッカーのチケットを買う (2)	第13課の会話練習 ドリル
9	第14課 マッサージをする (1)	第14課のポイント 時間の長さの言い方 動作行為の完了を表す助詞「了」
10	第14課 マッサージをする (2)	第14課の会話練習 ドリル
11	第15課 フロントで (1)	第15課のポイント 動作の対象を表す前置詞「 ☐ 」 助動詞「可以」「能」
12	第15課 フロントで (2)	第15課の会話練習 ドル

13	第16課 電話をかける (1)	第16課のポイント 動作行為の進行を表す表現 助動詞「会」
14	復習と授業内試験	第16課の復習 試験、解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習・復習が大事です。授業外では、各回に学習する内容をしっかり復習して身につけるようにしましょう。教科書付録のCDや教材内容の映像などを最大限に活用して、予習と復習を行ってください。課題を必ず期限内に完成して提出してください。

【テキスト（教科書）】

「しゃべっていいとも中国語 トータル版」 『改訂版』朝日出版社

【参考書】

中日辞典、日中辞典

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、学習態度と課題の完成度50%によって総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

状況に応じて進度の調整を行います。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境・PC等を準備してください。

【その他の重要事項】

授業形態は対面授業ですが、大学の方針に従って変更する場合があります。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 I

2017年度以降入学者

佐々木 直美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基本文法の習得を目指す。また、初歩的な文法事項の知識を生かしながら、簡単な読み物の読解ができるようになることを目指す。

【到達目標】

スペイン語の基礎となる正確な発音や文法の習得をめざす。春学期を通じて「直説法現在形の規則動詞」までの学習を終えることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書の内容に沿って、基本的には講義形式で文法事項を学んでいく。教科書の演習問題に関しては、受講者が積極的に参加することが必須となる。

質問は授業時間内に受け付け、それらの回答や課題のフィードバックは授業時間内または学習支援システムを活用して行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期の授業について、導入となるガイダンスを行なう。
2	スペイン語の発音	スペイン語の母音・子音の発音練習を行う。
3	スペイン語のアクセント	スペイン語のアクセントに関する基本的な規則を学ぶ
4	名詞の学習	スペイン語の名詞の性・数について学ぶ
5	冠詞の学習	スペイン語の冠詞について学ぶ
6	形容詞の学習	スペイン語の形容詞について学ぶ
7	ser動詞、estar動詞の学習	スペイン語のser動詞、estar動詞の用法について学ぶ
8	一般動詞の学習	スペイン語の一般動詞について学ぶ
9	一般動詞の不規則形の学習	スペイン語の一般動詞の不規則形について学ぶ
10	疑問文・否定文の学習	スペイン語の疑問文・否定文について学ぶ
11	間接・直接目的語の学習	スペイン語の間接・直接目的語について学ぶ
12	指示代名詞・指示形容詞の学習	スペイン語の指示形容詞・指示代名詞について学ぶ
13	期末試験・まとめと解説	期末試験を実施し、まとめと解説を行う
14	総括	今学期の学習内容を振り返る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で用いるテキストについて予習と復習の励行に努めること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

宇野和美/平井素子 /Paula Letelier 共編 『イデアル＜改定新版＞』 同学社、2020年、2750円（税込）。

【参考書】

授業内で随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験(60%)、課題・小テスト・授業貢献度等の平常点(40%)を総合的に勘案して評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を心がける。

【その他の重要事項】

1. 必ず紙辞書または電子辞書を購入し、必ず毎回授業に持参すること。授業中のオンライン辞書の使用は認めない。
2. 各回の授業内容と順番は、受講者の理解度に合わせて調整する場合がある。
3. 本授業は対面授業であるが、状況に応じて6回を上限にオンライン授業を取り入れる場合もある。

【Outline (in English)】

We will emphasize gaining the knowledge of Spanish basic grammar. In addition, students will be able to enjoy reading easy Spanish books through the use of their grammatical knowledge.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following;

Final exam60%, Assignments20%, Active engagemen20%.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 II

2017年度以降入学者

佐々木 直美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期にひきつづき、スペイン語の基本文法の習得を目指す。また、基本的な文法事項の知識を生かしながら、簡単な読み物の読解ができるようになることを目指す。

【到達目標】

春学期にひきつづき、スペイン語の基礎となる正確な発音や文法の習得をめざす。秋学期を通じて「直説法点過去形」と「直説法線過去形」までの学習を終えることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書の内容に沿って、基本的には講義形式で文法事項を学んでいく。教科書の演習問題に関しては、受講者が積極的に参加することが必須となる。

質問は授業時間内に受け付け、それらの回答や課題のフィードバックは授業時間内または学習支援システムを活用して行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の振り返り	春学期の期末試験の振り返りを通して、秋学期の学習に備える。
2	再帰動詞の学習	スペイン語の再帰動詞の用法について学ぶ。
3	無人称文の学習	スペイン語の無人称文について学ぶ。
4	現在完了の学習	スペイン語の現在完了について学ぶ。
5	動詞の点過去の学習	スペイン語の動詞点過去について学ぶ。
6	動詞の点過去（不規則形）の学習	スペイン語の動詞点過去（不規則形）について学ぶ。
7	動詞の線過去の学習	スペイン語の動詞線過去について学ぶ。
8	動詞の線過去（不規則形）の学習	スペイン語の動詞線過去（不規則形）について学ぶ。
9	関係詞の学習	スペイン語の関係詞について学ぶ。
10	過去形の使い分け その他の文法事項	点過去と線過去の使い分け練習を行う。 後期に学んだ学習事項の復習を行う。
11	リスニングトレーニング1	映像資料を活用して、リスニングの練習を行う。
12	リスニングトレーニング2	映像資料を活用してリスニングの練習を行う。
13	期末試験・まとめと解説	期末試験を実施し、まとめと解説を行う。
14	総括	今学期の学習内容を振り返る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で用いるテキストについて予習と復習の励行に努めること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

春学期の「[スペイン語1]」で使用した教科書『イデアル＜改定新版＞』同学社を継続して使用する。

【参考書】

随時授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験(60%)・課題や小テスト・授業貢献度などの平常点(40%)を総合的に勘案して評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を心がける。

【その他の重要事項】

1. 必ず紙辞書または電子辞書を購入し、必ず毎回授業に持参すること。授業中のオンライン辞書の使用は認めない。
2. 各回の授業内容と順番は、受講者の理解度に合わせて調整する場合がある。
3. 本授業は対面授業であるが、状況に応じて6回を上限にオンライン授業を取り入れる場合もある。

【Outline (in English)】

We will emphasize gaining the knowledge of Spanish basic grammar. In addition, students will be able to enjoy reading easy Spanish books through the use of their grammatical knowledge.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following;

Final exam60%, Assignments20%, Active engagemen20%.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 I

2017年度以降入学者

敦賀 公子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語世界への理解と興味を導く第一歩として、スペイン語の基本文法・表現を学ぶことを目標とします。

【到達目標】

今学期は特に、名詞、冠詞、形容詞の性数変化と基本動詞の現在形、目的格人称代名詞などを習得します。

基本文法を活用して、日常生活の中で使う簡単な語彙と文章に慣れるとともに、簡単な会話文を理解できるようになることをめざします。また、日本語や英語とは異なる言語のしくみについて考え、多様な魅力にあふれるスペイン語世界への興味を高めていきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストにそって、文法の解説を行い、その後、練習問題、会話表現、リスニング、スピーキング、訳読などで、さらに理解を深め、知識の定着を図ります。より効果的な学習のために毎回練習問題や訳読などを課題とし、次の授業で確認するほか、小テストも取り入れます。なお、適宜リアクションペーパーやアンケートの提出を求め、授業運営の参考とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション Lección 1	簡単な自己紹介文 アルファベット、発音、読み方など
2	Lección 2 前半	名詞、冠詞など
3	Lección 2 後半	名詞、数など
4	Lección 3 前半	主格人称代名詞、動詞 ser など
5	Lección 3 後半	動詞 ser、形容詞など
6	Lección 4 前半	動詞規則活用-ar など
7	Lección 4 後半	動詞規則活用-ar、曜日など
8	中間テスト	Lección 4 までのまとめと確認
	Lección 5 前半	動詞規則活用-er, -ir など
9	Lección 5 後半	動詞規則活用、所有詞など
10	Lección 6 前半	指示詞、Hay構文など
11	Lección 6 後半	動詞 estar など
12	Lección 7 前半	直接目的格人称代名詞など
13	Lección 7 後半	動詞不規則活用など
14	期末テスト・まとめ	Lección 7 までのまとめと確認と確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業毎の予習・復習、宿題など。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『アクション！ 三訂版』

四宮瑞枝、落合佐枝、P.Trenado 著（白水社）

【参考書】

西和辞典

その他、授業時に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

1、試験（中間・期末、小テスト）75%

2、平常点 25%

*全授業の2/3以上の出席をもって評価対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

言語のみならず、スペイン語圏の社会や人々についての理解が深まるような、わかりやすい活気のある授業を目指したいと思います。初回授業で皆さんの履修にあたっての希望やスペイン語、スペイン語圏諸国についての興味などに関する簡単なアンケートを行い、授業運営に生かしたいと考えます。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム Hoppii の各種機能を使用することもありますので、PCを準備して下さい。

【Outline (in English)】

Course outline : This course introduces the basic grammar and expression of Spanish to students taking this course. It also enhances understanding and interest in the diverse cultures of the Spanish World.

Learning Objectives: The goals of this course are to become familiar with simple vocabulary and sentences used in daily life by utilizing basic grammar and also be able to understand simple conversational sentences.

Learning activities outside of classroom: : Before/after each class meeting, students will be expected to spend at least one hour to understand the course content.

Grading Criteria /Policies: Examinations: 75%, in class contribution: 25%

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 II

2017年度以降入学者

敦賀 公子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に習得した知識の上に、発展した基本文法を習得し、スペイン語やスペイン語諸国についての理解と興味をさらに深めることを目標とします。

【到達目標】

今学期は特に、*gustar*型動詞、比較構文、再帰動詞、動詞の現在完了形などを習得します。

春学期の知識に加え、さらに発展した基礎文法を活用することで、様々な日常生活の場面で使う語彙と文章に親しみます。それによって多様で魅力にあふれるスペイン語世界への興味を高めるとともに、日本語や日本文化との比較分析を行い、異文化理解へと発展させていきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストにそって、文法の解説を行い、その後、練習問題、会話表現、リスニング、スピーキング、訳読などでさらに理解を深めます。より効果的な学習のために毎回練習問題や訳読などを課題とするほか、小テストを適宜取り入れます。なお、リアクションペーパーやアンケートの提出を求め、授業運営の参考とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期のポイントの復習
	Lección 8 前半	間接目的語人称代名詞など
2	Lección 8 後半	動詞不規則活用など
3	Lección 9 前半	動詞不規則活用など
4	Lección 9 後半	不定語、否定語など
5	No.1 テスト	L.9 までのまとめと確認
	Lección 10 前半	動詞不規則活用など
6	Lección 10 後半	所有詞など
7	Lección 11 前半	<i>gustar</i> 構文など
8	Lección 11 後半	比較の構文など
9	No.2 テスト	L.10,11 のまとめと確認
	Lección 12	再帰動詞など
10	Lección 13	過去分詞、現在完了など
11	Lección 14	現在分詞など
12	Lección 15 前半	点過去など
13	Lección 15 後半	線過去など
14	期末テスト	L.13, 14, 15 までのまとめと確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業毎の予習・復習、宿題。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『アクション 三訂版』

四宮瑞枝、落合佐枝、P.Trenad 著（白水社）

【参考書】

西和辞典

その他、授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

1、試験（テスト、期末テスト、小テストなど）75%

2、平常点 25%

*全授業の2/3以上の出席をもって評価対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

言語のみならず、スペイン語圏の社会や人々についての理解が深まるような、わかりやすい活気のある授業を目指したいと思います。皆さんの履修にあたっての希望やスペイン語、スペイン語圏諸国についての興味などに関するアンケートを参考に、授業運営に生かしたいと考えます。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム Hoppii を使用することがあるので、PCを準備して下さい。

【Outline (in English)】

Course outline : On the knowledge acquired in the Spring Semester, this course lead the step up grammar and expression of the basic Spanish to students taking this course. It also enhances the development of understanding in the Spanish Countries.

Learning Objectives: The goals of this course are to learn recursive verbs, present perfect and past tenses of verbs, among others. By using more advanced basic grammar, students will become familiar with vocabulary and sentences used in a variety of everyday situations.

Learning activities outside of classroom: : Before/after each class meeting, students will be expected to spend at least one hour to understand the course content.

Grading Criteria /Policies: Examinations: 75%, in class contribution: 25%

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 I

2017年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の文法の骨組みを体系的に理解することによって、読解、作文ができるようになるための、基礎固めを行う。スペインや中南米のスペイン語圏地域の文化についての理解を深める。

【到達目標】

スペイン語で簡単な挨拶ができるようになる。直説法現在形で書かれた文章を辞書を引きながら読むことができる。動詞を現在形に活用させて自分の出身地、人やモノの特徴や状態、何がどこにあると言った所在や存在、気分や暑さ寒さなどの感覚、意思や希望や依頼について口頭で述べる、あるいは作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進める。教科書の各課は、「文法と練習問題(Gramatica y Ejercicios)」、「語彙(Vocabulario)」、「会話・読解・聴き取り(Comunicacion)」から成るが、このうち「文法と練習問題」については必ずやる。残りは時間が許す範囲で学習する。また、毎回Hoppiiで課題の提出を求める。課題は、授業への質問・感想である。それについては、次の授業でフィードバックを行う。本授業は対面形式で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	シラバスを用いての授業の説明。
	第1課前半	文字と発音。
2	第1課後半	固有名詞、数字(1-10)。
3	第2課前半	名詞の性数、定冠詞、主語代名詞、SER直説法現在形。
4	第2課後半	数字(0-30)、職業、国籍。
5	第3課前半	不定冠詞、品質形容詞、所有形容詞前置形、TENER直説法現在形、疑問詞I。
6	第3課後半	数字(0-99)、家族・親族。
7	理解度確認	中間試験
8	第4課前半	指示形容詞、指示代名詞、ESTAR直説法現在形、HABERの用法。
9	第4課後半	大学内や周辺にあるもの、位置関係、場所を表す副詞、数字(100-999999)、序数。
10	第5課前半	規則動詞直説法現在、不規則動詞(HACER,IR)直説法現在、現在形の用法、疑問詞I。
11	第5課後半	日常生活を表す動詞、曜日、頻度を表す副詞表現。
12	第6課前半	前置詞、未来を表すIR A 不定詞、語幹母音変化動詞I、SALIR、VENIR。
13	第6課後半	時間、月と季節、交通機関。
14	理解度確認	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をする。予習としては、教科書の文法事項の説明を読んで、練習問題に取り組むことが理想的であるが、少なくとも分からない単語の意味は辞書で調べておくこと。音声サイトやCDの音源を聴き、スペイン語のリズムと音に慣れる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

スペイン語教材研究会(2013)『総合スペイン語コース初級 改訂版』朝日出版社。
978-4-255-55055-8

【参考書】

西和辞典は用意すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業での学習状況や参加度)を30%。中間試験の点数を30%、期末試験の点数を40%として総合的に評価する。

授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。

欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業、丁寧な説明を心がける。教科書の内容をすべて学習するのではなく、「文法」と「練習問題」を重点的に行うことにする。教科書の内容と教員の説明は完全に理解しなくてもよい。100%理解できるに越したことはないが、70%の習得を目指すつもりで授業についてきてほしい。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言(質問・問いかけに対する応答)を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を繰り返して行くと、成績評価に際して減点の材料となるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。

etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

This course serves as an introduction to provide students with a foundational understanding of the Spanish language.

Course Objectives:

To greet others in Spanish with simple expressions.

To read sentences written in the present indicative tense with the assistance of a dictionary.

To describe one's origin, characteristics, and conditions of people or things.

To express interests, preferences, intentions, wishes, requests, and habitual actions by conjugating verbs in the present tense.

Course Requirements: Students are expected to:

Read the grammatical explanations in the textbook.

Participate in conversations and complete exercises.

Listen to audio files to become familiar with the rhythms and sounds of the Spanish language.

The recommended preparation and review time for this course is one hour in total.

Grading: The final grade will be based on the following:

Mid-term exam: 30%

Final exam: 40%

Class participation: 30%

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)	
スペイン語 1 II	2017年度以降入学者
長谷川 悦夫	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月 4/Mon.4	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の文法の骨組みを体系的に理解することによって、読解、作文ができるようになるための基礎固めを行う。スペインや中南米のスペイン語圏地域の文化についての理解を深める。

【到達目標】

Gustar型の動詞の用法を理解し、好みや関心などを言うことができる。再帰動詞の活用と用法を理解して、日常生活での行動を述べることができる。動詞の点過去形・線過去形を用いて、過去の動作、行動、状況について表現できる。スペイン語圏の文化についての知識を持つ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進める。教科書の各課は、「文法と練習問題(Gramatica y Ejercicios)」、「語彙 (Vocabulario)」、「会話・読解・聴き取り (Comunicacion)」から成るが、このうち「文法と練習問題」については必ずやる。残りは時間が許す範囲で学習する。教員が文法の解説を行った後、受講生を指名して、練習問題への回答や、会話文の音読・訳読を行う。また、毎回Hoppiiで課題の提出を求める。課題は、授業への質問・感想である。これについては次回の授業でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 第7課前半	本シラバスを用いた授業の説明。 語幹母音変化動詞II、再帰動詞。
2	第7課後半	住居、天候表現。
3	第8課前半	直接目的人称代名詞、VER、 SABER、CONOCER、 SABER+不定詞、PODER+不定詞、 QUERER+不定詞。
4	第8課後半	食べ物と飲み物、レシピ。
5	第9課前半	前置詞の後の人称代名詞、間接 目的人称代名詞、DAR、 TRAER、DECIR、形容詞の比較、 不規則な比較級を持つ形容詞、 最上級。
6	第9課後半	衣服とアクセサリ、品質形容詞、 色。
7	理解度確認	中間試験を実施。
8	第10課前半	GUSTAR、GUSTARと同じように 用いられる動詞、副詞の比較、 数量の比較。
9	第10課後半	余暇活動、スポーツ。
10	第11課前半	DOLER、ESTARII、SER+形容詞と ESTAR+形容詞、 TENER QUE+形容詞、HAY QUE+形容詞。
11	第11課後半	体の部分の名称、状態、体調・ 感情表現。

12	第12課前半	直説法点過去、所有形容詞後置形。
13	第13課	直説法線過去形、関係代名詞 QUE。
14	理解度確認	期末試験を実施。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をする。予習としては、教科書の文法事項の説明を読んで、練習問題、読解問題、聴き取り問題に取り組むことが理想的であるが、少なくとも分からない単語の意味は辞書で調べておくこと。教科書付録のCDを聴き、スペイン語の音になれる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

スペイン語教材研究会(2013)『総合スペイン語コース初級 改訂版』朝日出版社。
978-4-255-55055-8

【参考書】

西和辞典は用意すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業での学習状況や参加度)を30%、中間試験の点数を30%、期末試験の点数を40%として総合的に評価する。授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列举した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

丁寧な解説、双方向の授業を心がける。授業の進度が速すぎるという意見が散見されるので、教科書の内容をすべて学習するのではなく、「文法」と「練習問題」を重点的に行うことにする。また、教科書の内容と教員の説明は完全に理解しなくてもよいので、70%の習得を目指すつもりで授業についてきてほしい。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言(質問・問いかけに対する応答)を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を繰り返して行くと、成績評価に際して減点の材料となるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。
etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

This course introduces students to the fundamentals of the Spanish language.

The goals of this course are to be able to understand and use "gustar"-type verbs to express preferences, to understand and use reflexive verbs to describe daily routines and personal actions. Also students will be able to describe past actions, behaviors, and situations using the indicative past tense of verbs. Finally we will gain an understanding of the culture of the Spanish-speaking world.

Students are expected to read the grammatical explanations in the textbook, practice conversations and exercises in class, and listen to audio files to become familiar with the rhythm and pronunciation of Spanish. The standard preparation and review time is one hour.

The final grade will be based on the following components: mid-term exam 30%, final exam 40%, class participation 30%.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 I

2017年度以降入学者

VILA V RAQUEL

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語を接する学生を対象に、スペイン語の基礎を学ぶ。

【到達目標】

スペイン語の発音に慣れ、自分の身の回りのことについて、スペイン語で表現できるようになる。

簡単な日常会話ができるため、必要な基礎文法を学習する。

スペイン語の学習を通して、スペイン語圏文化の理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、文法の解説、練習問題や会話練習など行う。

課題の提出やそのフィードバックはGoogle Classroomで行う。

毎回授業で習った内容をまとめた簡単なチェックアウトクイズを宿題に出す。

ビデオ、テキストの音声へのリンク、授業内容など、このクラスに関わっている重要な情報をGoogle Siteのページに投稿する。

状況により、授業進度を調整する可能性がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オープニング	ガイダンス
	第1課	挨拶や感謝の言葉
	Hola, ¿ cómo te llamas?	基本的な個人の情報 発音やつづり 1/2
2	第1課	挨拶や感謝の言葉
	Hola, ¿ cómo te llamas?	基本的な個人の情報 発音やつづり 2/2
3	第2課	名前、出身国や職業
	Soy japonés, de Tokio	自分自身や人の紹介 1/3
4	第2課	名前、出身国や職業
	Soy japonés, de Tokio	自分自身や人の紹介 2/3
5	第2課	名前、出身国や職業
	Soy japonés, de Tokio	自分自身や人の紹介 3/3
6	第1・2課の内容まとめ 中間テスト	Repaso Examen U1-2
7	第3課	大学や住んでいる町について 話す
	Mi universidad	都市の位置 1/2
8	第3課	大学や住んでいる町について 話す
	Mi universidad	都市の位置 2/2
9	第4課	勉強について話す
	Estudio en la Universidad de Salamanca	日常や余暇の過ごし方について 理解し話す 時刻を言い、スケジュールについて話す 1/3

10	第4課	勉強について話す
	Estudio en la Universidad de Salamanca	日常や余暇の過ごし方について 理解し話す 時刻を言い、スケジュールについて話す 2/3
11	第4課	勉強について話す
	Estudio en la Universidad de Salamanca	日常や余暇の過ごし方について 理解し話す 時刻を言い、スケジュールについて話す 3/3
12	第5課	家族について話す
	La familia	1/2
13	第5課	家族について話す
	La familia	2/2
14	学習内容のまとめ 期末試験	Repaso Examen final

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

単語を辞書で調べたり、聞き取りの練習したり、グループより一人で進む学習をすること。それから、定期的に更新される Google Site をこまめに確認し、毎回のチェックアウトクイズや他の宿題を Google Classroom で提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「¡ Muy bien! いいね! スペイン語」フアン・カルロス・モヤノ・ロペス /カルロス・ガルシア・ルイス・カステイジョ /廣康好美、朝日出版社、2,600円+税

【参考書】

とくになし

【成績評価の方法と基準】

平常点40%、試験の成績60%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

大学のアカウントでGoogle Classroomの登録が必要となります。

【Outline (in English)】

Introduction to Spanish.

The goal is to be able to express in Spanish the basic information about oneself. We will also get to learn a little about the Spanish speaking countries and their cultures.

We will follow the textbook and complete the exercises. The tasks will be submitted and corrected via Google Classroom. The program may change due to unforeseen circumstances.

All the relevant information about this course will be presented in a Google Site home page. This page will be updated regularly to add the contents of each class and other relevant links and contents. Every week there will be a check-out quiz homework (SALIDA) to wrap up the content of each class.

At home the student should regularly check the Google Site to be updated and Google Classroom to complete the revision quiz and other homework. The student should also work on individual tasks that cannot be done in class such as preparing the vocabulary by looking up words in the dictionary or listening to the audios. Homework as well as preparation and revision might take about one hour.

Grading will be decided based on tasks and class participation (40%), and exam results (60%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)	
スペイン語 1 II	2017年度以降入学者
VILA V RAQUEL	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：木5/Thu.5	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

前学期の続きで、初めてスペイン語を接する学生を対象に、スペイン語の基礎を学ぶ。

【到達目標】

スペイン語の発音に慣れ、自分の身の回りのことについて、スペイン語で表現できるようになる。
簡単な日常会話ができるため、必要な基礎文法を学習する。
スペイン語の学習を通して、スペイン語圏文化の理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、文法の解説、練習問題や会話練習など行う。
課題の提出やそのフィードバックはGoogle Classroomで行う。
毎回授業で習った内容をまとめた簡単なチェックアウトクイズを宿題に出す。

ビデオ、テキストの音声へのリンク、授業内容など、このクラスに関わっている重要な情報をGoogle Siteのページに投稿する。
状況により、授業進度を調整する可能性がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オープニング 第5課 La familia	人の性格や容姿 1/2
2	第5課 La familia	人の性格や容姿 2/2
3	第6課 En vacaciones voy a ir a Barcelona	有名な場所について話す 場所ややりたい活動についての情報をやり取りする 1/3
4	第6課 En vacaciones voy a ir a Barcelona	有名な場所について話す 場所ややりたい活動についての情報をやり取りする 2/3
5	第6課 En vacaciones voy a ir a Barcelona	有名な場所について話す 場所ややりたい活動についての情報をやり取りする 3/3
6	中間テスト(U5-6) 第7課 Me gusta mucho la música pop. ¿Y a ti?	Examen U5-6 好み、趣味や興味について話す 計画や義務について話す イベントについて簡単な情報 1/3
7	第7課 Me gusta mucho la música pop. ¿Y a ti?	好み、趣味や興味について話す 計画や義務について話す イベントについて簡単な情報 2/3
8	第7課 Me gusta mucho la música pop. ¿Y a ti?	好み、趣味や興味について話す 計画や義務について話す イベントについて簡単な情報 3/3

9	中間テスト(U7) 第8課 De compras	Examen ～U7 店で欲しいものを伝える 店頭での会話 市場や店の様子 1/3
10	第8課 De compras	店で欲しいものを伝える 店頭での会話 市場や店の様子 2/3
11	第8課 De compras	店で欲しいものを伝える 店頭での会話 市場や店の様子 3/3
12	第9課 ¡ A comer!	スペイン語圏の食べ物 食べたいもの飲みたいものを頼む レストラン、カフェテリア、バルなどのメニューや営業時間を読んで理解する 1/2
13	第9課 ¡ A comer!	スペイン語圏の食べ物 食べたいもの飲みたいものを頼む レストラン、カフェテリア、バルなどのメニューや営業時間を読んで理解する 2/2
14	まとめ 期末試験	Repaso y examen final

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

単語を辞書で調べたり、聞き取りの練習したり、グループより一人で進む学習をすること。それから、定期的に更新されるGoogle Siteをこまめに確認し、毎回のチェックアウトクイズや他の宿題をGoogle Classroomで提出する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「¡ Muy bien! 1 いいね！ スペイン語」、フアン・カルロス・モヤノ・ロベス / カルロス・ガルシア・ルイス・カスティージョ / 廣康好美、朝日出版社、2,600円＋税

【参考書】

とくになし

【成績評価の方法と基準】

平常点40%、テスト／試験の成績60%

【学生の意見等からの気づき】

未確認

【学生が準備すべき機器他】

大学のアカウントでGoogle Classroomの登録が必要となります。

【Outline (in English)】

Introduction to Spanish continuing where we left off the previous semester.

The goal is to be able to express in Spanish the basic information about oneself. We will also get to learn a little about the Spanish speaking countries and their cultures.

We will follow the textbook and complete the exercises. The tasks will be submitted and corrected via Google Classroom. The program may change due to unforeseen circumstances.

All the relevant information about this course will be presented in a Google Site home page. This page will be updated regularly to add the contents of each class and other relevant links and contents. Every week there will be a check-out quiz homework (SALIDA) to wrap up the content of each class.

At home the student should regularly check the Google Site to be updated and Google Classroom to complete the revision quiz and other homework. The student should also work on individual tasks that cannot be done in class such as preparing the vocabulary by looking up words in the dictionary or listening to the audios. Homework as well as preparation and revision might take about one hour.

Grading will be decided based on tasks and class participation (40%), and exam results (60%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 I

2017年度以降入学者

VILA V RAQUEL

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語を接する学生を対象に、スペイン語の基礎を学ぶ。

【到達目標】

スペイン語の発音に慣れ、自分の身の回りのことについて、スペイン語で表現できるようになる。

簡単な日常会話ができるため、必要な基礎文法を学習する。

スペイン語の学習を通して、スペイン語圏文化の理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、文法の解説、練習問題や会話練習など行う。

課題の提出やそのフィードバックはGoogle Classroomで行う。

毎回授業で習った内容をまとめた簡単なチェックアウトクイズを宿題に出す。

ビデオ、テキストの音声へのリンク、授業内容など、このクラスに関わっている重要な情報をGoogle Siteのページに投稿する。

状況により、授業進度を調整する可能性がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オープニング	ガイダンス
	第1課	挨拶や感謝の言葉
	Hola, ¿ cómo te llamas?	基本的な個人の情報 発音やつづり 1/3
2	第1課	挨拶や感謝の言葉
	Hola, ¿ cómo te llamas?	基本的な個人の情報 発音やつづり 2/3
3	第1課	挨拶や感謝の言葉
	Hola, ¿ cómo te llamas?	基本的な個人の情報 発音やつづり 3/3
4	第2課	名前、出身国や職業
	Soy japonés, de Tokio	自分自身や人の紹介 1/3
5	第2課	名前、出身国や職業
	Soy japonés, de Tokio	自分自身や人の紹介 2/3
6	第2課	名前、出身国や職業
	Soy japonés, de Tokio	自分自身や人の紹介 3/3
7	第1・2課の内容まとめ	Repaso Examen U1-2
	中間テスト	
8	第3課	大学や住んでいる町について話す
	Mi universidad	都市の位置 1/2
9	第3課	大学や住んでいる町について話す
	Mi universidad	都市の位置 2/2

10	第4課	勉強について話す
	Estudio en la Universidad de Salamanca	日常や余暇の過ごし方について理解し話す 時刻を言い、スケジュールについて話す 1/2
11	第4課	勉強について話す
	Estudio en la Universidad de Salamanca	日常や余暇の過ごし方について理解し話す 時刻を言い、スケジュールについて話す 2/2
12	第5課	家族について話す
	La familia	人の性格や容姿 1/2
13	第5課	家族について話す
	La familia	人の性格や容姿 2/2
14	学習内容のまとめ 期末試験	Repaso Examen final

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

単語を辞書で調べたり、聞き取りの練習したり、グループより一人で進む学習をすること。それから、定期的に更新される Google Site をこまめに確認し、毎回のチェックアウトクイズや他の宿題を Google Classroom で提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「¡ Muy bien! いいね! スペイン語」フアン・カルロス・モヤノ・ロベス /カルロス・ガルシア・ルイス・カスティージョ /廣康好美、朝日出版社、2,600円+税

【参考書】

とくになし

【成績評価の方法と基準】

平常点40%、試験の成績60%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

大学のアカウントでGoogle Classroomの登録が必要となります。

【Outline (in English)】

Introduction to Spanish.

The goal is to be able to express in Spanish the basic information about oneself. We will also get to learn a little about the Spanish speaking countries and their cultures.

We will follow the textbook and complete the exercises. The tasks will be submitted and corrected via Google Classroom. The program may change due to unforeseen circumstances.

All the relevant information about this course will be presented in a Google Site home page. This page will be updated regularly to add the contents of each class and other relevant links and contents. Every week there will be a check-out quiz homework (SALIDA) to wrap up the content of each class.

At home the student should regularly check the Google Site to be updated and Google Classroom to complete the revision quiz and other homework. The student should also work on individual tasks that cannot be done in class such as preparing the vocabulary by looking up words in the dictionary or listening to the audios. Homework as well as preparation and revision might take about one hour.

Grading will be decided based on tasks and class participation (40%), and exam results (60%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)	
スペイン語 1 II	2017年度以降入学者
VILA V RAQUEL	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：木2/Thu.2	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

前学期の続きで、初めてスペイン語を接する学生を対象に、スペイン語の基礎を学ぶ。

【到達目標】

スペイン語の発音に慣れ、自分の身の回りのことについて、スペイン語で表現できるようになる。
簡単な日常会話ができるため、必要な基礎文法を学習する。
スペイン語の学習を通して、スペイン語圏文化の理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、文法の解説、練習問題や会話練習など行う。
課題の提出やそのフィードバックはGoogle Classroomで行う。
毎回授業で習った内容をまとめた簡単なチェックアウトクイズを宿題に出す。

ビデオ、テキストの音声へのリンク、授業内容など、このクラスに関わっている重要な情報をGoogle Siteのページに投稿する。
状況により、授業進度を調整する可能性がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オープニング 第5課 La familia	人の性格や容姿 1/2
2	第5課 La familia	人の性格や容姿 2/2
3	第6課 En vacaciones voy a ir a Barcelona	有名な場所について話す 場所ややりたい活動についての情報をやり取りする 1/3
4	第6課 En vacaciones voy a ir a Barcelona	有名な場所について話す 場所ややりたい活動についての情報をやり取りする 2/3
5	第6課 En vacaciones voy a ir a Barcelona	有名な場所について話す 場所ややりたい活動についての情報をやり取りする 3/3
6	中間テスト(U5-6) 第7課 Me gusta mucho la música pop. ¿Y a ti?	Examen U5-6 好み、趣味や興味について話す 計画や義務について話す イベントについて簡単な情報 1/3
7	第7課 Me gusta mucho la música pop. ¿Y a ti?	好み、趣味や興味について話す 計画や義務について話す イベントについて簡単な情報 2/3
8	第7課 Me gusta mucho la música pop. ¿Y a ti?	好み、趣味や興味について話す 計画や義務について話す イベントについて簡単な情報 3/3

9	中間テスト(U7) 第8課 De compras	Examen ～U7 店で欲しいものを伝える 店頭での会話 市場や店の様子 1/3
10	第8課 De compras	店で欲しいものを伝える 店頭での会話 市場や店の様子 2/3
11	第8課 De compras	店で欲しいものを伝える 店頭での会話 市場や店の様子 3/3
12	第9課 ¡ A comer!	スペイン語圏の食べ物 食べたいもの飲みたいものを頼む レストラン、カフェテリア、バルなどのメニューや営業時間を読んで理解する 1/2
13	第9課 ¡ A comer!	スペイン語圏の食べ物 食べたいもの飲みたいものを頼む レストラン、カフェテリア、バルなどのメニューや営業時間を読んで理解する 2/2
14	まとめ 期末試験	Repaso y examen final

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

単語を辞書で調べたり、聞き取りの練習したり、グループより一人で進む学習をすること。それから、定期的に更新されるGoogle Siteをこまめに確認し、毎回のチェックアウトクイズや他の宿題をGoogle Classroomで提出する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「¡ Muy bien! 1 いいね！ スペイン語」、フアン・カルロス・モヤノ・ロベス /カルロス・ガルシア・ルイス・カスティージョ /廣康好美、朝日出版社、2,600円+税

【参考書】

とくになし

【成績評価の方法と基準】

平常点40%、テスト／試験の成績60%

【学生の意見等からの気づき】

未確認

【学生が準備すべき機器他】

大学のアカウントでGoogle Classroomの登録が必要となります。

【Outline (in English)】

Introduction to Spanish continuing where we left off the previous semester.

The goal is to be able to express in Spanish the basic information about oneself. We will also get to learn a little about the Spanish speaking countries and their cultures.

We will follow the textbook and complete the exercises. The tasks will be submitted and corrected via Google Classroom. The program may change due to unforeseen circumstances.

All the relevant information about this course will be presented in a Google Site home page. This page will be updated regularly to add the contents of each class and other relevant links and contents. Every week there will be a check-out quiz homework (SALIDA) to wrap up the content of each class.

At home the student should regularly check the Google Site to be updated and Google Classroom to complete the revision quiz and other homework. The student should also work on individual tasks that cannot be done in class such as preparing the vocabulary by looking up words in the dictionary or listening to the audios. Homework as well as preparation and revision might take about one hour.

Grading will be decided based on tasks and class participation (40%), and exam results (60%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 I

2017年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の文法の骨組みを体系的に理解することによって、読解、作文ができるようになるための、基礎固めを行う。スペインや中南米のスペイン語圏地域の文化についての理解を深める。

【到達目標】

スペイン語で簡単な挨拶ができるようになる。直説法現在形で書かれた文章を辞書を引きながら読むことができる。動詞を現在形に活用させて自分の出身地、人やモノの特徴や状態、興味や関心や嗜好、意思や希望や依頼、習慣的に行う行為、について口頭で述べる、あるいは作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進める。教員が文法解説を行う。受講生を指名して、対話文の音読・訳読、練習問題への回答を行う。また、毎回Hoppiiで課題の提出を求める。課題は、授業への質問・感想である。それについては、次回の授業でフィードバックを行う。

本授業は対面形式で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 第1課前半	シラバスを用いての授業の説明。 文字と発音。(教科書 pp.2-3)
2	第1課後半	アクセントの位置、数詞、曜日、 など。(教科書 pp.4-5)
3	第2課前半	名詞の性と冠詞、など。(教科書 pp.6-7)
4	第2課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.8-9)
5	第3課前半	指示形容詞と指示代名詞、など。 (教科書 pp.10-11)
6	第3課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.12-13)
7	理解度確認	中間試験、まとめと解説。
8	第4課前半	規則動詞の活用と不規則動詞、 など。(教科書 pp.14-15)
9	第4課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.16-17)
10	第5課前半	1人称単数不規則動詞、など。 (教科書 pp.18-19)
11	第5課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.20-21)
12	第6課前半	語幹母音変化動詞、など。(教科 書 pp.22-23)
13	第6課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.24-25)
14	理解度確認	期末試験、まとめと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をする。予習としては、教科書の文法事項の説明を読んで、会話文や練習問題に取り組むことが理想的であるが、少なくとも分からない単語の意味は辞書で調べておくこと。教科書内容の音源を聞き、スペイン語の音になれる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

糸魚川美樹 (2010)『改訂版・ミラ』同学社、2500円＋税。ISBN978-4-8102-0354-7

【参考書】

西和辞典は用意すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業での学習状況や参加度)を30%。中間試験の点数を30%、期末試験の点数を40%として総合的に評価する。

授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。

欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業、丁寧な説明を心がける。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言(質問・問いかけに対する応答)を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を繰り返して行くと、成績評価に際して減点の材料となるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。

etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

This course is an introduction to give students basic knowledge of the Spanish language.

The goals of this course are to be able to say simple greetings in Spanish, to read sentences written in the indicative present tense with the help of a dictionary, to describe one's origin and characteristics, to depict conditions of people and things, to express interests, preferences, intentions, wishes, requests, and habitual actions by conjugating verbs in the present tense. Students should read the grammatical explanations in the textbook, work on conversations and exercises, and listen to the sound files to become familiar with the rhythms and sounds of the Spanish language. The standard preparation and review time for this class is one hour.

The final grade will be calculated according to the following process; mid-term exam 30%, final exam 40%, class contribution 30%

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 II

2017年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の文法の骨組みを体系的に理解することによって、読解、作文ができるようになるための、基礎固めを行う。スペインや中南米のスペイン語圏地域の文化についての理解を深める。

【到達目標】

- ①gustar型動詞の用法を理解し、嗜好について述べることができる。
- ②再帰動詞の用法を理解し、日常生活での行動について述べるができる。
- ③動詞を直説法過去形、現在完了形に活用させて、過去の行為、動作、状況について述べるができるようになる。
- ④スペインと中南米のスペイン語圏の文化のイメージを持つことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進める。教員が文法解説を行う。受講生を指名して、対話文の音読・訳読、練習問題への回答を行う。また、毎回Hoppiiで課題の提出を求める。課題は、授業への質問・感想である。それについては、次の授業でフィードバックを行う。
本授業は対面形式で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 第7課前半	本シラバスを用いての授業の説明。 再帰動詞、時刻の表現。(教科書 pp.26-27)
2	第7課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.28-29)
3	第8課前半	動詞gustarの用法、比較級、最上級、など。(教科書 pp.30-31)
4	第8課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.32-33)
5	第9課前半	点過去の規則動詞、同等比較など。(教科書 pp.34-35)
6	第9課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.36-37)
7	理解度確認	中間試験
8	第10課前半	点過去の不規則形、否定語と不定語など。(教科書 pp.38-39)
9	第10課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.40-41)
10	第11課前半	線過去、点過去と線過去の違いなど。 (教科書 pp.42-43)
11	第11課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.44-45)
12	第12課前半	過去分詞、関係詞。(教科書 pp.46-47)
13	第12課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.48-49)

14 理解度確認 期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をする。予習としては、教科書の文法事項の説明を読んで、会話文や練習問題に取り組むことが理想的であるが、少なくとも分からない単語の意味は辞書で調べておくこと。教科書内容の音源を聞き、スペイン語の音になれる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

糸魚川美樹（2010）『改訂版・ミラ』同学社、2500円＋税。ISBN978-4-8102-0354-7

【参考書】

西和辞典は用意すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業での学習状況や参加度)を30%。中間試験の点数を30%、期末試験の点数を40%として総合的に評価する。
授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。
欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

丁寧な解説をする。双方向的な授業を心がける。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言(質問・問いかけに対する応答)を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を繰り返して行くと、成績評価に際して減点の材料となるので注意すること。
・無断で教室を出る。
・飲食をする。
・過度な私語をする。
・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
・居眠りをする。
教員のメールアドレスは以下。
etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

This course is an introduction to give students basic knowledge of the Spanish language.
The goals of this course are to be able to understand the usage of gustar verbs and describe preferences, to understand the usage of reflexive verbs and describe actions in daily life, to depict past actions, behaviors, and situations by utilizing the indicative past tense of verbs, and to have an idea about the culture of Spanish-speaking world.
Students should read the grammatical explanations in the textbook, work on conversations and exercises, and listen to the sound files to become familiar with the rhythms and sounds of the Spanish language. The standard preparation and review time for this class is one hour combined.
The final grade will be calculated according to the following process; mid-term exam 30%, final exam 40%, class contribution 30%

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 I

2017年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の文法の骨組みを体系的に理解することによって、読解、作文ができるようになるための、基礎固めを行う。スペインや中南米のスペイン語圏地域の文化についての理解を深める。

【到達目標】

スペイン語で簡単な挨拶ができるようになる。直説法現在形で書かれた文章を辞書を引きながら読むことができる。動詞を現在形に活用させて自分の出身地、人やモノの特徴や状態、興味や関心や嗜好、意思や希望や依頼、習慣的に行う行為、について口頭で述べる、あるいは作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進める。教員が文法解説を行う。受講生を指名して、対話文の音読・訳読、練習問題への回答を行う。また、毎回Hoppiiで課題の提出を求める。課題は、授業への質問・感想である。それについては、次回の授業でフィードバックを行う。

本授業は対面形式で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 第1課前半	シラバスを用いての授業の説明。 文字と発音。(教科書pp.2-3)
2	第1課後半	アクセントの位置、数詞、曜日、 など。(教科書pp.4-5)
3	第2課前半	名詞の性と冠詞、など。(教科書 pp.6-7)
4	第2課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.8-9)
5	第3課前半	指示形容詞と指示代名詞、など。 (教科書pp.10-11)
6	第3課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.12-13)
7	理解度確認	中間試験、まとめと解説。
8	第4課前半	規則動詞の活用と不規則動詞、 など。(教科書pp.14-15)
9	第4課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.16-17)
10	第5課前半	1人称単数不規則動詞、など。 (教科書pp.18-19)
11	第5課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.20-21)
12	第6課前半	語幹母音変化動詞、など。(教科 書pp.22-23)
13	第6課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.24-25)
14	理解度確認	期末試験、まとめと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をする。予習としては、教科書の文法事項の説明を読んで、会話文や練習問題に取り組むことが理想的であるが、少なくとも分からない単語の意味は辞書で調べておくこと。教科書内容の音源を聞き、スペイン語の音になれる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

糸魚川美樹 (2010)『改訂版・ミラ』同学社、2500円＋税。ISBN978-4-8102-0354-7

【参考書】

西和辞典は用意すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業での学習状況や参加度)を30%。中間試験の点数を30%、期末試験の点数を40%として総合的に評価する。

授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。

欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業、丁寧な説明を心がける。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言(質問・問いかけに対する応答)を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を繰り返して行くと、成績評価に際して減点の材料となるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。

etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

This course is an introduction to give students basic knowledge of the Spanish language.

The goals of this course are to be able to say simple greetings in Spanish, to read sentences written in the indicative present tense with the help of a dictionary, to describe one's origin and characteristics, to depict conditions of people and things, to express interests, preferences, intentions, wishes, requests, and habitual actions by conjugating verbs in the present tense. Students should read the grammatical explanations in the textbook, work on conversations and exercises, and listen to the sound files to become familiar with the rhythms and sounds of the Spanish language. The standard preparation and review time for this class is one hour.

The final grade will be calculated according to the following process; mid-term exam 30%, final exam 40%, class contribution 30%

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 II

2017年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の文法の骨組みを体系的に理解することによって、読解、作文ができるようになるための、基礎固めを行う。スペインや中南米のスペイン語圏地域の文化についての理解を深める。

【到達目標】

- ①gustar型動詞の用法を理解し、嗜好について述べることができる。
- ②再帰動詞の用法を理解し、日常生活での行動について述べるができる。
- ③動詞を直説法過去形、現在完了形に活用させて、過去の行為、動作、状況について述べるができるようになる。
- ④スペインと中南米のスペイン語圏の文化のイメージを持つことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進める。教員が文法解説を行う。受講生を指名して、対話文の音読・訳読、練習問題への回答を行う。また、毎回Hoppiiで課題の提出を求める。課題は、授業への質問・感想である。それについては、次の授業でフィードバックを行う。
本授業は対面形式で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 第7課前半	本シラバスを用いての授業の説明。 再帰動詞、時刻の表現。(教科書 pp.26-27)
2	第7課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.28-29)
3	第8課前半	動詞gustarの用法、比較級、最上級、など。(教科書 pp.30-31)
4	第8課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.32-33)
5	第9課前半	点過去の規則動詞、同等比較など。(教科書 pp.34-35)
6	第9課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.36-37)
7	理解度確認	中間試験
8	第10課前半	点過去の不規則形、否定語と不定語など。(教科書 pp.38-39)
9	第10課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.40-41)
10	第11課前半	線過去、点過去と線過去の違いなど。 (教科書 pp.42-43)
11	第11課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.44-45)
12	第12課前半	過去分詞、関係詞。(教科書 pp.46-47)
13	第12課後半	会話文と練習問題。(教科書 pp.48-49)

14 理解度確認 期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をする。予習としては、教科書の文法事項の説明を読んで、会話文や練習問題に取り組むことが理想的であるが、少なくとも分からない単語の意味は辞書で調べておくこと。教科書内容の音源を聞き、スペイン語の音になれる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

糸魚川美樹（2010）『改訂版・ミラ』同学社、2500円＋税。ISBN978-4-8102-0354-7

【参考書】

西和辞典は用意すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業での学習状況や参加度)を30%。中間試験の点数を30%、期末試験の点数を40%として総合的に評価する。
授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。
欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

丁寧な解説をする。双方向的な授業を心がける。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言(質問・問いかけに対する応答)を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を繰り返して行くと、成績評価に際して減点の材料となるので注意すること。
・無断で教室を出る。
・飲食をする。
・過度な私語をする。
・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
・居眠りをする。
教員のメールアドレスは以下。
etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

This course is an introduction to give students basic knowledge of the Spanish language.
The goals of this course are to be able to understand the usage of gustar verbs and describe preferences, to understand the usage of reflexive verbs and describe actions in daily life, to depict past actions, behaviors, and situations by utilizing the indicative past tense of verbs, and to have an idea about the culture of Spanish-speaking world.
Students should read the grammatical explanations in the textbook, work on conversations and exercises, and listen to the sound files to become familiar with the rhythms and sounds of the Spanish language. The standard preparation and review time for this class is one hour combined.
The final grade will be calculated according to the following process; mid-term exam 30%, final exam 40%, class contribution 30%

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 I

2017年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語を読む、聞く、書く、話すという4つの技能を、バランスをとりながら習得する。スペインや中南米のスペイン語圏地域の文化についての理解を深める。

【到達目標】

よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。

自分や他人を紹介することができ、住所、職業、国籍・出身地、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。GUSTAR型動詞の用法を理解し、好みや興味について話すことができる。動詞 QUERER、PODER の用法を理解して自分の希望や相手への依頼を伝えることができる。相手がゆっくり、はっきりと話してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進める。教科書の各課は、「聞いて考えよう(導入)」、「文法のポイント」、「使ってみよう(語彙・表現)」、「もう少しがんばろう(文化紹介)」から成る。このうち授業で扱うのは「文法のポイント」と「使ってみよう」である。「聞いて考えよう」については、予習として各自が授業前に取り組むことを推奨する。教員が文法の解説を行った後、作文、会話練習、聴き取り練習を行う。

また、毎回Hoppiiで課題の提出を求める。課題は、毎回の授業への質問・感想である。それについては、次の授業でフィードバックを行う。

本授業は対面形式で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス Unidad 1	本シラバスを用いた授業の説明。 文字と発音、アクセント、数 1-10(教科書 pp.2-4)。
2	Unidad 1 Unidad 2	あいさつと自己紹介(pp.4-5)、 アルファベット(p.6)、名詞の性 数(pp.8-9)。
3	Unidad 2	定冠詞、家族、教室にあるもの、 DEの使い方、語順(pp.9-11)。
4	Unidad 3	主語人称代名詞、動詞SER、否 定文・疑問文、国名と国籍 (pp.14-16)。
5	Unidad 3 Unidad 4	職業、自己紹介(pp.16-17)、動 詞TENER、不定冠詞、形容詞 (p.20)。
6	Unidad 4	所有形容詞前置形、数11-30、 TENER演習、外見・性格、人 やペットの描写(pp.21-23)。
7	理解度確認	中間試験。
8	Unidad 5	指示形容詞、動詞HABER・ HAY、動詞ESTAR、場所を表 す副詞、キャンパスとその周辺、 数30-100(pp.26-28)。

9	Unidad 6	現在規則動詞、動詞HACER、 疑問詞、頻度の表現、曜日 (pp.32-34)。
10	Unidad 7	動詞IR・VENIR、動詞 QUERER・PODER、動詞を組 み合わせて作る表現、疑問詞、 数100-1000、時の表現 (pp.38-40)。
11	Unidad 8	動詞GUSTAR、動詞 ENCANTAR・INTERESAR・ PARECER、好みの比較、指示 代名詞、食べ物と飲み物 (pp.44-46)。
12	Unidad 9	直接目的人称代名詞、動詞 SABER・CONOCER、不定語 と否定語、交通手段と前置詞、 天候表現、月と季節(pp.50-52)。 春学期の授業を振り返る。補足 説明を行う。
13	予備日	期末試験。
14	理解度確認	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をする。予習としては、教科書の文法事項の説明を読んで、練習問題に取り組むことが理想的であるが、少なくとも分からない単語の意味は辞書で調べておくこと。音声サイトの音源を聴き、スペイン語の音になれる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

中島・アスティゲタ(2024)『ケンと身につけよう、スペイン語4技能(Espanol cuatro destrezas)』朝日出版社。ISBN978-4-255-55153-1。

【参考書】

西和辞典は用意すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業での学習状況や参加度)を30%、中間試験の点数を30%、期末試験の点数を40%として総合的に評価する。

授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。

欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列举した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業、丁寧な説明を心がける。教科書の内容と教員の説明は完全に理解しなくてもよい。100%理解できるに越したことはないが、70%の習得を目指すつもりで授業についてきてほしい。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言(質問・問いかけに対する応答)を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を繰り返して行くと、成績評価に際して減点の材料となるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。
etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

In this class, students will develop a balanced understanding of the four key language skills: reading, listening, writing, and speaking in Spanish.

By the end of this course, students will be able to understand and use everyday expressions and basic phrases, introduce themselves and others and ask and answer questions about personal information, talk about preferences and interests, express wishes and requests, and carry out simple interactions, provided the other person speaks slowly and clearly.

Students should read the grammatical explanations in the textbook, work on conversations and exercises, and listen to the sound files to be familiar with the rhythm and sounds of Spanish. The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The final grade will be calculated according to the following component; mid-term exam 30%, final exam 40%, class contribution 30%.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 II

2017年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語を読む、聞く、書く、話すという4つの技能を、バランスをとりながら習得する。スペインや中南米のスペイン語圏地域の文化についての理解を深める。

【到達目標】

代名動詞(再帰動詞)の用法を理解して、自らの日常生活や習慣について説明できる。感覚や心身の状態について話すことができる。動詞DOLERを用いて、痛みについて説明できる。現在完了形、点過去形、線過去形を用いて、過去の行動や状況、経験の有無について話すことができる。形容詞と副詞の比較級と最上級を用いて、比較の観点をを用いて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進める。教科書の各課は、「聞いて考えよう(導入)」、「文法のポイント」、「使ってみよう(語彙・表現)」、「もう少しがんばろう(文化紹介)」から成る。このうち授業で扱うのは「文法のポイント」と「使ってみよう」である。「聞いて考えよう」については、予習として各自が授業前に取り組むことを推奨する。教員が文法の解説を行った後、作文、会話練習、聴き取り練習を行う。また、毎回Hoppiiで課題の提出を求める。課題は、毎回の授業への質問・感想である。それについては、次の授業でフィードバックを行う。本授業は対面形式で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス、Unidad 10	語幹母音変化動詞、代名動詞(pp.56-57)。
2	Unidad 10 Unidad 11	時刻の表現(p.58)、現在分詞と現在進行形、心身の状態、(p.62)。
3	Unidad 11	MUCHO・POCO + 名詞、不定・否定代名詞、体の部分、痛みを表す動詞DOLER、否定疑問、体調に関する会話(pp.63-65)。
4	Unidad 12	関節目的人称代名詞、形容詞の比較、所有詞後置形、日常で使う服・もの、色、大きな数1000-3000000(pp.68-70)。
5	Unidad 13	現在完了と過去分詞、ESTAR + 過去分詞、序数、日付、経験(pp.74-76)。
6	Unidad 14	点過去1、過去の時を表す表現、絶対最上級、観光地・都市にあるもの(pp.80-82)。
7	理解度確認	中間試験。
8	Unidad 15：点過去2、接続詞、旅の準備(pp.86-88)。	指示形容詞、動詞HABER・HAY、動詞ESTAR、場所を表す副詞、キャンパスとその周辺、数30-100(pp.26-28)。

9	Unidad 15	ライフイベント、旅行(pp.16-17)、線過去(p.92)。
10	Unidad 16	数量・程度の表現と比較(p.93)、子どものころ(p.95)。
11	Unidad 17	動詞を組み合わせて作る表現2、副詞とその比較(pp.98-99)。
12	Unidad 17 Unidad 18	家族・身近な人2(pp.100-101)、過去完了、最上級(pp.104-105)。
13	Unidad 18	基本的な情報通信の用語、メッセージ(pp.106-107)。
14	理解度確認	期末試験。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をする。予習としては、教科書の文法事項の説明を読んで、練習問題に取り組むことが理想的であるが、少なくとも分からない単語の意味は辞書で調べておくこと。音声サイトの音源を聴き、スペイン語の音になれる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

中島・アスティゲタ(2025)『ケンと身につけよう、スペイン語4技能(Espanol cuatro destrezas)』朝日出版社。ISBN978-4-255-55153-1。

【参考書】

西和辞典は用意すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業での学習状況や参加度)を30%、中間試験の点数を30%、期末試験の点数を40%として総合的に評価する。授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業、丁寧な説明を心がける。教科書の内容と教員の説明は完全に理解しなくてもよい。100%理解できるに越したことはないが、70%の習得を目指すつもりで授業についてきてほしい。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言(質問・問いかけに対する応答)を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を繰り返して行くと、成績評価に際して減点の材料となるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。

etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

In this class, students will develop a balanced understanding of the four key language skills: reading, listening, writing, and speaking in Spanish.

By the end of this course the students will be able to describe their daily lives and habits by understanding and using reflexive verbs, talk about sensations, mental states, and physical conditions, describe pain using the verb "doler", discuss past actions, situations, and experiences using the present perfect, past preterite, and past imperfect tense, and make comparisons using comparative and superlative forms of adjectives and adverbs.

Students should read the grammatical explanations in the textbook, work on conversations and exercises, and listen to the sound files to be familiar with the rhythm and sounds of Spanish. The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The final grade will be calculated according to the following component; mid-term exam 30%, final exam 40%, class contribution 30%.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)	
スペイン語 1 I	2017年度以降入学者
宮田 絵津子	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火3/Tue.3	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基礎をしっかりと身に着けるための文法的解釈ができるようにすることを目的とする。

【到達目標】

現在形と点過去で話ができることを目標とする。簡単な文章を作成することができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法の説明と設問の練習など。各単元に応じて会話の練習なども含みます。リアクションペーパーは適宜配布するので疑問点や感想などを書き、これに対するフィードバックを授業内に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	アルファベットの練習	スペイン語のアルファベットの読み方
2	アルファベットの練習	スペイン語の発音、読み方の練習
3	名詞の性と数	スペイン語には名詞に男性形と女性形があることの説明およびそれらが複数になった時の形について
4	名詞の性と数と疑問文およびhayについて	前回の復習とスペイン語の疑問文および～があるのhayの説明
5	ser動詞について	「～は～である」を意味するser動詞の学習
6	ser動詞について	前回の文法的解釈の復習と練習問題
7	形容詞について	性変化のある形容詞についての説明
8	形容詞について	性変化のない形容詞について
9	estar動詞について	estar動詞の使い方についての文法的説明
10	estar動詞について	estar動詞の使い方についての文法的説明を踏まえたうえで練習問題を行う
11	ser動詞とestar動詞の使い分け	ser動詞とestar動詞の使い分けについての説明と練習
12	ser動詞とestar動詞の使い分け	ser動詞とestar動詞の使い分けについての説明と練習
13	指示形容詞とhayとestarの使い方	やや複雑なhayとestarの使い方の説明と練習
14	現在形規則動詞の説明	現在形規則動詞の説明と変化の仕方

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題を適宜出すので、復習は勿論宿題は必ずやっておくこと。復習には一時間程度費やすこと。

【テキスト（教科書）】

『ミ カミーノ』Mi Camino 同学社 定価2500 ISBN 978-4-8102-0433-9

【参考書】

『クラウン西和辞典』（小学館）

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』（同学社）

【成績評価の方法と基準】

テスト60%、平常点（参加態度）40% 期末テストで60%取得しないと単位は取れないことに注意。授業中の携帯電話の使用は減点の対象となる。3回欠席すると単位は取得できない。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく学生が学びやすいスピードで丁寧に進めていくことにより、早くスペイン語に慣れるように努力する。リアクションペーパーを配布するので質問等や確認したい項目など書き込むこと。質問などについては授業内で復習をするなどの対応をとります。

【学生が準備すべき機器他】

『クラウン西和辞典』（小学館）

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』（同学社）

スペイン語辞書（紙媒体のもの）必携。

【Outline (in English)】

The outline is to be able to use the correct verb and basic vocabularies and fraise. The learning objectives are to understand the basic grammar in order to be able to structure basic sentences. Learning activities outside of classroom should be about an hour as review. The grading criteria is to obtain 60 points (out of 100)at least in the examens at the end of the semester and 40%will respond to normal point such as the presence and correct response to the question . Also, the students are not allowed to be absent from the class more than three times.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 II

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期のスペイン語1Iから連続する。基本的に対面授業だが、社会情勢に応じてオンライン授業に切り替わる可能性があるので、学習支援を確認すること。

テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。

また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第8課前半	不規則動詞、語幹母音変化動詞の活用
2	第8課後半	quererとpoderの活用と様々な用法
3	第9課	不規則動詞の活用、hacerの様々な用法
4	第10課前半	再帰動詞の活用と用法
5	第10課後半	再帰動詞の用法、感嘆文
6	第11課前半	過去分詞、現在分詞
7	第11課後半	現在完了の活用と用法
8	第12課前半	点過去規則活用と点過去の用法
9	第12課後半	不定語と否定語、比較表現
10	第13課前半	点過去（不規則）1
11	第13課後半	点過去（不規則）2
12	第14課前半	再帰動詞の点過去
13	第14課後半	線過去
14	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。

特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ミ カミーノ』Mi Camino 同学社 定価2500 ISBN 978-4-8102-0433-9

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価するが試験は60点以上獲得しないと単位は取得できない。

また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は減点の対象とみなす。

欠席は3回までとする。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。配布されるリアクションペーパーには質問や確認したい事項を記入すること。質問などについては授業内で復習するなどの対応をします。

【その他の重要事項】

紙媒体の辞書必携

『クラウン西和辞典』（小学館）

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』（同学社）

初回授業より必ずテキストを持参すること。

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60%is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)	
スペイン語 1 I	2017年度以降入学者
宮田 絵津子	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火4/Tue.4	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基礎をしっかりと身に着けるための文法的解釈ができるようにすることを目的とする。

【到達目標】

現在形と点過去で話ができることを目標とする。簡単な文章を作成することができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法の説明と設問の練習など。各単元に応じて会話の練習なども含みます。リアクションペーパーは適宜配布するので疑問点や感想などを書き、これに対するフィードバックを授業内に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	アルファベットの練習	スペイン語のアルファベットの読み方
2	アルファベットの練習	スペイン語の発音、読み方の練習
3	名詞の性と数	スペイン語には名詞に男性形と女性形があることの説明およびそれらが複数になった時の形について
4	名詞の性と数と疑問文およびhayについて	前回の復習とスペイン語の疑問文および～があるのhayの説明
5	ser動詞について	「～は～である」を意味するser動詞の学習
6	ser動詞について	前回の文法的解釈の復習と練習問題
7	形容詞について	性変化のある形容詞についての説明
8	形容詞について	性変化のない形容詞について
9	estar動詞について	estar動詞の使い方についての文法的説明
10	estar動詞について	estar動詞の使い方についての文法的説明を踏まえたうえで練習問題を行う
11	ser動詞とestar動詞の使い分け	ser動詞とestar動詞の使い分けについての説明と練習
12	ser動詞とestar動詞の使い分け	ser動詞とestar動詞の使い分けについての説明と練習
13	指示形容詞とhayとestarの使い方	やや複雑なhayとestarの使い方の説明と練習
14	現在形規則動詞の説明	現在形規則動詞の説明と変化の仕方

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題を適宜出すので、復習は勿論宿題は必ずやっておくこと。復習には一時間程度費やすこと。

【テキスト（教科書）】

『ミ カミーノ』Mi Camino 同学社 定価2500 ISBN 978-4-8102-0433-9

【参考書】

『クラウン西和辞典』（小学館）
『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
『わかるスペイン語』（同学社）

【成績評価の方法と基準】

テスト60%、平常点（参加態度）40% 期末テストで60%取得しないと単位は取れないことに注意。授業中の携帯電話の使用は減点の対象となる。3回欠席すると単位は取得できない。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく学生が学びやすいスピードで丁寧に進めていくことにより、早くスペイン語に慣れるように努力する。リアクションペーパーを配布するので質問等や確認したい項目など書き込むこと。質問などについては授業内で復習をするなどの対応をとります。

【学生が準備すべき機器他】

『クラウン西和辞典』（小学館）
『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
『わかるスペイン語』（同学社）
スペイン語辞書（紙媒体のもの）必携。

【その他の重要事項】

初回より必ずテキストを持参すること。

【Outline (in English)】

The outline is to be able to use the correct verb and basic vocabularies and fraise. The learning objectives are to understand the basic grammar in order to be able to structure basic sentences. Learning activities outside of classroom should be about an hour as review. The grading criteria is to obtain 60 points (out of 100) at least in the examens at the end of the semester and 40% will respond to normal point such as the presence and correct response to the question. Also, the students are not allowed to be absent from the class more than three times.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 II

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期のスペイン語1Iから連続する。基本的に対面授業だが、社会情勢に応じてオンライン授業に切り替わる可能性があるので、学習支援を確認すること。

テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。

また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第8課前半	不規則動詞、語幹母音変化動詞の活用
2	第8課後半	quererとpoderの活用と様々な用法
3	第9課	不規則動詞の活用、hacerの様々な用法
4	第10課前半	再帰動詞の活用と用法
5	第10課後半	再帰動詞の用法、感嘆文
6	第11課前半	過去分詞、現在分詞
7	第11課後半	現在完了の活用と用法
8	第12課前半	点過去規則活用と点過去の用法
9	第12課後半	不定語と否定語、比較表現
10	第13課前半	点過去（不規則）1
11	第13課後半	点過去（不規則）2
12	第14課前半	再帰動詞の点過去
13	第14課後半	線過去
14	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。

特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ミ カミーノ』Mi Camino 同学社 定価2500 ISBN 978-4-8102-0433-9

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価するが試験は60点以上獲得しないと単位は取得できない。

また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は減点の対象とみなす。

欠席は3回までとする。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけでなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。配布されるリアクションペーパーには質問や確認したい事項を記入すること。質問などについては授業内で復習するなどの対応をします。

【その他の重要事項】

紙媒体の辞書必携

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60%is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)	
スペイン語 1 I	2017年度以降入学者
若林 大我	

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では基礎的なスペイン語、特にその文法をゼロから学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時まで、スペイン語の単純な現在形の記事を理解し、作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義はスペイン語のアルファベットから開始する。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行う。まったくのスペイン語初心者を受講することを想定するので、授業は出来る限りゆっくり、また丁寧に進行するが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため授業の途中で一度、理解の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。

課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション アルファベット 母音と子音の発音	本授業のガイダンス スペイン語と英語のアルファベットの違い 母音と子音の発音規則 (テキスト：第1課)
2	アクセントのルール 注意すべきつづり 名詞の性と数 定冠詞と不定冠詞	単語の発音規則 名詞の性の概念と複数化 定冠詞と不定冠詞 (テキスト：第1課、第2課)
3	主格人称代名詞 動詞 ser	主語となる人称代名詞 動詞 ser の意味と用法 (テキスト：第2課)
4	形容詞 所有形容詞前置形	性と数に対応した形容詞の変化 名詞の前につく形の所有形容詞 (テキスト：第3課)
5	疑問文と否定文 動詞 tener 数1～100	疑問文と否定文の語順 動詞 tener の意味と用法 1から100までの数詞 (テキスト：第3課)
6	直説法現在形規則 動詞 疑問詞(1)	直説法現在形の動詞規則変化 よく用いられる疑問詞 (テキスト：第4課)
7	指示形容詞 動詞 estar ser と estar	指示形容詞の種類と用法 動詞 estar の意味と用法 動詞 ser と estar の使い分け (テキスト：第5課)

8	中間試験 hay 存在文 tener + 名詞の表現	中間試験 hay 存在文の用法 hay 存在文と estar 所在文の使い分け tener を用いた状態の表現 (テキスト：第5課)
9	動詞 ir 動詞 ver 動詞 hacer 動詞 poner 動詞 salir	動詞 ir 、 ver 、 hacer 、 poner 、 salir の意味と用法 (テキスト：第6課)
10	ir a + 不定詞の表現 tener que + 不定詞の表現 時刻表現	動詞 ir を用いた予定の表現 動詞 tener を用いた義務の表現 時刻表現 (テキスト：第6課)
11	日付表現 疑問詞(2) 語幹母音変化動詞	曜日と月の表現 知っておくと便利な疑問詞 語幹母音変化動詞 (テキスト：第6課、第7課)
12	天候表現 動詞 oír 動詞 venir 動詞 saber 動詞 conocer	天候を表す3人称表現 動詞 oír 、 venir 、 saber 、 conocer の意味と用法 (テキスト：第8課)
13	動詞 dar 動詞 decir 動詞 traer 質疑応答	動詞 dar 、 decir 、 traer の意味と用法 学期末試験に備え、今学期授業内容全体に対しての質疑を受け付ける
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語 (Español en imágenes)』(朝日出版)、2,500円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。
なお授業への出席は単位修得の前提条件であることから、学期中の出席が3分の2に満たない場合は、一律単位を付与しない。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the basic grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences of the simple present tense. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour in total to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following process:
- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 II

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では基礎的なスペイン語、特にその文法をゼロから学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時まで、簡単な過去形を含むスペイン語の文章を理解し、作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。内容は春学期「スペイン語1I」の継続であり、テキストも同じものを引き続き用いる。毎回の講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。秋学期からは学習内容も高度化するため、各自の予習と復習、特に後者がより重要となる。このため学期の途中で一度、理解の確認のための中間テストを行う。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	直接目的格代名詞 間接目的格代名詞 (その1)	春学期のおさらい 目的語と目的格代名詞① (テキスト: 第7課、第8課)
2	直接目的格代名詞 間接目的格代名詞 (その2)	目的語と目的格代名詞② (テキスト: 第7課、第8課)
3	前置詞格人称代名詞 動詞 <i>gustar</i> <i>gustar</i> 型動詞	前置詞の後に置かれる人称代名詞 動詞 <i>gustar</i> の意味と用法 <i>gustar</i> と似た使い方をする動詞 (テキスト: 第10課)
4	所有形容詞後置形 再帰動詞	名詞の後に置かれる所有形容詞 再帰動詞の概念と基本用法 (テキスト: 第9課、第10課)
5	再帰動詞のその他の用法 義務の表現	再帰動詞のその他の用法 いくつかの義務の表現 (テキスト: 第9課)
6	比較級	「〇〇よりも××である」という文の作り方 (テキスト: 第11課)
7	最上級 不定語と否定語 感嘆文	「最も××である」という文の作り方 よく用いられる不定語と否定語 感嘆文の作り方 (テキスト: 第11課)
8	中間試験 直説法点過去規則活用	中間試験 直説法点過去形の規則活用と用法 (テキスト: 第12課)

9	直説法点過去不規則活用 数100～2,000	直説法点過去形の不規則動詞 100から2,000までの数詞 (テキスト: 第12課)
10	直説法線過去規則活用 直説法線過去不規則活用 点過去と線過去の使い分け	直説法線過去形の規則動詞と不規則動詞 点過去形と線過去形の違い (テキスト: 第13課)
11	直接話法・間接話法 数10,000～ 序数	直接話法と間接話法の違い 10,000以上の数 序数の種類と用法 (テキスト: 第13課)
12	過去分詞	過去分詞の作り方と用法 (テキスト: 第14課)
13	直説法現在完了 質疑応答	直説法現在完了形の意味と用法 (テキスト: 第14課) 学期末試験に備え、今学期授業内容全体に対しての質疑を受け付ける
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語 (Español en imágenes)』(朝日出版)、2,500円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。
なお授業への出席は単位修得の前提条件であることから、学期中の出席が3分の2に満たない場合は、一律単位を付与しない。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the basic grammar of Spanish.
By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences of the simple past tense.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour in total to understand the course content.
Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)	
スペイン語 1 I	2017年度以降入学者
長谷川 悦夫	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月3/Mon.3	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の文法の骨組みを体系的に理解することによって、読解、作文ができるようになるための、基礎固めを行う。スペインや中南米のスペイン語圏地域の文化についての理解を深める。

【到達目標】

スペイン語で簡単な挨拶ができるようになる。直説法現在形で書かれた文章を辞書を引きながら読むことができる。動詞を現在形に活用させて自分の出身地、人やモノの特徴や状態、何がどこにあると言った所在や存在、気分や暑さ寒さなどの感覚、意思や希望や依頼について口頭で述べる、あるいは作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進める。教科書の各課は、「文法と練習問題(Gramatica y Ejercicios)」、「語彙(Vocabulario)」、「会話・読解・聴き取り(Comunicacion)」から成るが、このうち「文法と練習問題」については必ずやる。残りは時間が許す範囲で学習する。また、毎回Hoppiiで課題の提出を求める。課題は、授業への質問・感想である。それについては、次の授業でフィードバックを行う。本授業は対面形式で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	シラバスを用いての授業の説明。
	第1課前半	文字と発音。
2	第1課後半	固有名詞、数字(1-10)。
3	第2課前半	名詞の性数、定冠詞、主語代名詞、SER直説法現在形。
4	第2課後半	数字(0-30)、職業、国籍。
5	第3課前半	不定冠詞、品質形容詞、所有形容詞前置形、TENER直説法現在形、疑問詞I。
6	第3課後半	数字(0-99)、家族・親族。
7	理解度確認	中間試験
8	第4課前半	指示形容詞、指示代名詞、ESTAR直説法現在形、HABERの用法。
9	第4課後半	大学内や周辺にあるもの、位置関係、場所を表す副詞、数字(100-999999)、序数。
10	第5課前半	規則動詞直説法現在、不規則動詞(HACER,IR)直説法現在、現在形の用法、疑問詞I。
11	第5課後半	日常生活を表す動詞、曜日、頻度を表す副詞表現。
12	第6課前半	前置詞、未来を表すIR A 不定詞、語幹母音変化動詞I、SALIR、VENIR。
13	第6課後半	時間、月と季節、交通機関。
14	理解度確認	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をする。予習としては、教科書の文法事項の説明を読んで、練習問題に取り組むことが理想的であるが、少なくとも分からない単語の意味は辞書で調べておくこと。音声サイトやCDの音源を聴き、スペイン語のリズムと音に慣れる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

スペイン語教材研究会(2013)『総合スペイン語コース初級 改訂版』朝日出版社。
978-4-255-55055-8

【参考書】

西和辞典は用意すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業での学習状況や参加度)を30%。中間試験の点数を30%、期末試験の点数を40%として総合的に評価する。授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業、丁寧な説明を心がける。教科書の内容をすべて学習するのではなく、「文法」と「練習問題」を重点的に行うことにする。教科書の内容と教員の説明は完全に理解しなくてもよい。100%理解できるに越したことはないが、70%の習得を目指すつもりで授業についてきてほしい。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言(質問・問いかけに対する応答)を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を繰り返して行くと、成績評価に際して減点の材料となるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。
etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

This course serves as an introduction to provide students with a foundational understanding of the Spanish language.

Course Objectives:

To greet others in Spanish with simple expressions.

To read sentences written in the present indicative tense with the assistance of a dictionary.

To describe one's origin, characteristics, and conditions of people or things.

To express interests, preferences, intentions, wishes, requests, and habitual actions by conjugating verbs in the present tense.

Course Requirements: Students are expected to:

Read the grammatical explanations in the textbook.

Participate in conversations and complete exercises.

Listen to audio files to become familiar with the rhythms and sounds of the Spanish language.

The recommended preparation and review time for this course is one hour in total.

Grading: The final grade will be based on the following:

Mid-term exam: 30%

Final exam: 40%

Class participation: 30%

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 II

2017年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の文法の骨組みを体系的に理解することによって、読解、作文ができるようになるための基礎固めを行う。スペインや中南米のスペイン語圏地域の文化についての理解を深める。

【到達目標】

Gustar型の動詞の用法を理解し、好みや関心などを言うことができる。再帰動詞の活用と用法を理解して、日常生活での行動を述べることができる。動詞の点過去形・線過去形を用いて、過去の動作、行動、状況について表現できる。スペイン語圏の文化についての知識を持つ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進める。教科書の各課は、「文法と練習問題(Gramatica y Ejercicios)」、「語彙(Vocabulario)」、「会話・読解・聴き取り(Comunicacion)」から成るが、このうち「文法と練習問題」については必ずやる。残りは時間が許す範囲で学習する。教員が文法の解説を行った後、受講生を指名して、練習問題への回答や、会話文の音読・訳読を行う。また、毎回Hoppiiで課題の提出を求める。課題は、授業への質問・感想である。これについては次回の授業でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本シラバスを用いた授業の説明。
	第7課前半	語幹母音変化動詞II、再帰動詞。
2	第7課後半	住居、天候表現。
3	第8課前半	直接目的人称代名詞、VER、SABER、CONOCER、SABER+不定詞、PODER+不定詞、QUERER+不定詞。
4	第8課後半	食べ物と飲み物、レシピ。
5	第9課前半	前置詞の後の人称代名詞、間接目的人称代名詞、DAR、TRAER、DECIR、形容詞の比較、不規則な比較級を持つ形容詞、最上級。
6	第9課後半	衣服とアクセサリ、品質形容詞、色。
7	理解度確認	中間試験を実施。
8	第10課前半	GUSTAR、GUSTARと同じように用いられる動詞、副詞の比較、数量の比較。
9	第10課後半	余暇活動、スポーツ。
10	第11課前半	DOLER、ESTARII、SER+形容詞とESTAR+形容詞、TENER QUE+形容詞、HAY QUE+形容詞。
11	第11課後半	体の部分の名称、状態、体調・感情表現。

12	第12課前半	直説法点過去、所有形容詞後置形。
13	第13課	直説法線過去形、関係代名詞QUE。
14	理解度確認	期末試験を実施。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をする。予習としては、教科書の文法事項の説明を読んで、練習問題、読解問題、聴き取り問題に取り組むことが理想的であるが、少なくとも分からない単語の意味は辞書で調べておくこと。教科書付録のCDを聴き、スペイン語の音になれる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

スペイン語教材研究会(2013)『総合スペイン語コース初級 改訂版』朝日出版社。
978-4-255-55055-8

【参考書】

西和辞典は用意すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業での学習状況や参加度)を30%、中間試験の点数を30%、期末試験の点数を40%として総合的に評価する。授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列举した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

丁寧な解説、双方向の授業を心がける。

授業の進度が速すぎるという意見が散見されるので、教科書の内容をすべて学習するのではなく、「文法」と「練習問題」を重点的に行うことにする。また、教科書の内容と教員の説明は完全に理解しなくてもよいので、70%の習得を目指すつもりで授業についてきてほしい。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言(質問・問いかけに対する応答)を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を繰り返して行くと、成績評価に際して減点の材料となるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。

etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

This course introduces students to the fundamentals of the Spanish language.

The goals of this course are to be able to understand and use "gustar"-type verbs to express preferences, to understand and use reflexive verbs to describe daily routines and personal actions. Also students will be able to describe past actions, behaviors, and situations using the indicative past tense of verbs. Finally we will gain an understanding of the culture of the Spanish-speaking world.

Students are expected to read the grammatical explanations in the textbook, practice conversations and exercises in class, and listen to audio files to become familiar with the rhythm and pronunciation of Spanish. The standard preparation and review time is one hour.

The final grade will be based on the following components: mid-term exam 30%, final exam 40%, class participation 30%.

LANs100LA（スペイン語 / Spanish language education 100）	
スペイン語 1 I	2017年度以降入学者
宮田 絵津子	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水4/Wed.4	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業だが、社会情勢によってオンライン授業に切り替わる可能性があるため、学習支援を確認すること。テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。
また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。
状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。
授業では、辞書を必ず持参すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション および第1課	授業方針の説明とアルファベットの解説
2	第2課 名詞の性・数	名詞の性、名詞の数
3	第2課 冠詞および主格人称代名詞について	冠詞、主格人称代名詞
4	第4課 スペイン語における重要なser動詞の使い方の説明	ser動詞の活用と用法
5	第5課 形容詞の性・数。疑問文と否定文	形容詞の性と数、疑問文と否定文
6	第4課 estar動詞とhayの違いについて	estar動詞、hay + 名詞
7	第4課 serとestarの違い 指示形容詞について	serとestarの比較、estarとhayの比較、指示形容詞
8	第5課 動詞規則動詞の活用	規則動詞-ar動詞の活用と現在時の用法
9	第5課 関係目的格代名詞の説明	疑問詞の用法、間接・直接目的語に付く前置詞a
10	第6課 規則動詞の活用	規則動詞-er動詞、-ir動詞の活用

11	第6課 所有形容詞の説明	所有形容詞（前置形、後置形）
12	第7課 目的格人称代名詞の説明	目的格人称代名詞
13	第7課 gustar型動詞の説明	gustar型動詞の用法
14	試験 今までの振り返りとしての試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を事前に辞書で調べておくこと。
語学習得の秘訣は復習である。授業後の復習を必ず行い、反復練習に励むこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ブラサ・マヨールI 改訂ソフト版 ーベーシック・スペイン語ー』、青砥清一、パロマ・トレナド、高松秀樹 ほか（著）、朝日出版社、1,900円（+税）

【参考書】

『西和辞典』（小学館）
『わかるスペイン語』西川喬（同社）
授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度40%、試験60%を基本とし、総合的に評価するが、試験は60点以上を獲得しないと単位は与えられない。
また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加えることがある。反対に消極的態度は減点の対象となることがある。
授業中の携帯電話の使用は減点の対象とみなす。
欠席は3回までとする。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。配布されるリアクションペーパーには質問や確認したい事項を記入すること。質問などについては授業内で復習するなどの対応をします。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書必携

【その他の重要事項】

初回よりテキストを必ず持参すること。

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60%is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 II

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期のスペイン語1Iから連続する。基本的に対面授業だが、社会情勢に応じてオンライン授業に切り替わる可能性があるので、学習支援を確認すること。

テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。

また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第8課前半	不規則動詞、語幹母音変化動詞の活用
2	第8課後半	quererとpoderの活用と様々な用法
3	第9課	不規則動詞の活用、hacerの様々な用法
4	第10課前半	再帰動詞の活用と用法
5	第10課後半	再帰動詞の用法、感嘆文
6	第11課前半	過去分詞、現在分詞
7	第11課後半	現在完了の活用と用法
8	第12課前半	点過去規則活用と点過去の用法
9	第12課後半	不定語と否定語、比較表現
10	第13課前半	点過去（不規則）1
11	第13課後半	点過去（不規則）2
12	第14課前半	再帰動詞の点過去
13	第14課後半	線過去
14	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。

特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『プラサ・マヨールI ソフト版 ーペーシック・スペイン語ー』、青砥清一、パロマ・トレナド、高松秀樹 ほか（著）、朝日出版社、1,900円（+税）

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価するが試験は60点以上獲得しないと単位は取得できない。

また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は減点の対象とみなす。

欠席は3回までとする。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。配布されるリアクションペーパーには質問や確認したい事項を記入すること。質問などについては授業内で復習するなどの対応をします。

【その他の重要事項】

紙媒体の辞書必携

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60%is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 I 2017年度以降入学者

VILA V RAQUEL

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語を接する学生を対象に、スペイン語の基礎を学ぶ。

【到達目標】

スペイン語の発音に慣れ、自分の身の回りのことについて、スペイン語で表現できるようになる。

簡単な日常会話ができるため、必要な基礎文法を学習する。

スペイン語の学習を通して、スペイン語圏文化の理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、文法の解説、練習問題や会話練習など行う。

課題の提出やそのフィードバックはGoogle Classroomで行う。

毎回授業で習った内容をまとめた簡単なチェックアウトクイズを宿題に出す。

ビデオ、テキストの音声へのリンク、授業内容など、このクラスに関わっている重要な情報をGoogle Siteのページに投稿する。

状況により、授業進度を調整する可能性がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オープニング	ガイダンス
	第1課	挨拶や感謝の言葉
	Hola, ¿ cómo te llamas?	基本的な個人の情報 発音やつづり 1/2
2	第1課	挨拶や感謝の言葉
	Hola, ¿ cómo te llamas?	基本的な個人の情報 発音やつづり 2/2
3	第2課	名前、出身国や職業
	Soy japonés, de Tokio	自分自身や人の紹介 1/3
4	第2課	名前、出身国や職業
	Soy japonés, de Tokio	自分自身や人の紹介 2/3
5	第2課	名前、出身国や職業
	Soy japonés, de Tokio	自分自身や人の紹介 3/3
6	第1・2課の内容まとめ 中間テスト	Repaso Examen U1-2
7	第3課	大学や住んでいる町について 話す
	Mi universidad	都市の位置 1/2
8	第3課	大学や住んでいる町について 話す
	Mi universidad	都市の位置 2/2
9	第4課	勉強について話す
	Estudio en la Universidad de Salamanca	日常や余暇の過ごし方について 理解し話す 時刻を言い、スケジュールについて話す 1/3

10	第4課	勉強について話す
	Estudio en la Universidad de Salamanca	日常や余暇の過ごし方について 理解し話す 時刻を言い、スケジュールについて話す 2/3
11	第4課	勉強について話す
	Estudio en la Universidad de Salamanca	日常や余暇の過ごし方について 理解し話す 時刻を言い、スケジュールについて話す 3/3
12	第5課	家族について話す
	La familia	1/2
13	第5課	家族について話す
	La familia	2/2
14	学習内容のまとめ 期末試験	Repaso Examen final

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

単語を辞書で調べたり、聞き取りの練習したり、グループより一人で進む学習をすること。それから、定期的に更新される Google Site をこまめに確認し、毎回のチェックアウトクイズや他の宿題を Google Classroom で提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「¡ Muy bien! いいね！ スペイン語」フアン・カルロス・モヤノ・ロペス /カルロス・ガルシア・ルイス・カステイジョ /廣康好美、朝日出版社、2,600円+税

【参考書】

とくになし

【成績評価の方法と基準】

平常点40%、試験の成績60%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

大学のアカウントでGoogle Classroomの登録が必要となります。

【Outline (in English)】

Introduction to Spanish.

The goal is to be able to express in Spanish the basic information about oneself. We will also get to learn a little about the Spanish speaking countries and their cultures.

We will follow the textbook and complete the exercises. The tasks will be submitted and corrected via Google Classroom. The program may change due to unforeseen circumstances.

All the relevant information about this course will be presented in a Google Site home page. This page will be updated regularly to add the contents of each class and other relevant links and contents. Every week there will be a check-out quiz homework (SALIDA) to wrap up the content of each class.

At home the student should regularly check the Google Site to be updated and Google Classroom to complete the revision quiz and other homework. The student should also work on individual tasks that cannot be done in class such as preparing the vocabulary by looking up words in the dictionary or listening to the audios. Homework as well as preparation and revision might take about one hour.

Grading will be decided based on tasks and class participation (40%), and exam results (60%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 II

2017年度以降入学者

VILA V RAQUEL

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

前学期の続きで、初めてスペイン語を接する学生を対象に、スペイン語の基礎を学ぶ。

【到達目標】

スペイン語の発音に慣れ、自分の身の回りのことについて、スペイン語で表現できるようになる。

簡単な日常会話ができるため、必要な基礎文法を学習する。

スペイン語の学習を通して、スペイン語圏文化の理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、文法の解説、練習問題や会話練習など行う。

課題の提出やそのフィードバックはGoogle Classroomで行う。

毎回授業で習った内容をまとめた簡単なチェックアウトクイズを宿題に出す。

ビデオ、テキストの音声へのリンク、授業内容など、このクラスに関わっている重要な情報をGoogle Siteのページに投稿する。

状況により、授業進度を調整する可能性がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オープニング 第5課 La familia	人の性格や容姿 1/2
2	第5課 La familia	人の性格や容姿 2/2
3	第6課 En vacaciones voy a ir a Barcelona	有名な場所について話す 場所ややりたい活動についての情報をやり取りする 1/3
4	第6課 En vacaciones voy a ir a Barcelona	有名な場所について話す 場所ややりたい活動についての情報をやり取りする 2/3
5	第6課 En vacaciones voy a ir a Barcelona	有名な場所について話す 場所ややりたい活動についての情報をやり取りする 3/3
6	中間テスト(U5-6) 第7課 Me gusta mucho la música pop. ¿Y a ti?	Examen U5-6 好み、趣味や興味について話す 計画や義務について話す イベントについて簡単な情報 1/3
7	第7課 Me gusta mucho la música pop. ¿Y a ti?	好み、趣味や興味について話す 計画や義務について話す イベントについて簡単な情報 2/3
8	第7課 Me gusta mucho la música pop. ¿Y a ti?	好み、趣味や興味について話す 計画や義務について話す イベントについて簡単な情報 3/3

9	中間テスト(U7) 第8課 De compras	Examen ~U7 店で欲しいものを伝える 店頭での会話 市場や店の様子 1/3
10	第8課 De compras	店で欲しいものを伝える 店頭での会話 市場や店の様子 2/3
11	第8課 De compras	店で欲しいものを伝える 店頭での会話 市場や店の様子 3/3
12	第9課 ¡ A comer!	スペイン語圏の食べ物 食べたいもの飲みたいものを頼む レストラン、カフェテリア、バルなどのメニューや営業時間を読んで理解する 1/2
13	第9課 ¡ A comer!	スペイン語圏の食べ物 食べたいもの飲みたいものを頼む レストラン、カフェテリア、バルなどのメニューや営業時間を読んで理解する 2/2
14	まとめ 期末試験	Repaso y examen final

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

単語を辞書で調べたり、聞き取りの練習したり、グループより一人で進む学習をすること。それから、定期的に更新される Google Site をこまめに確認し、毎回のチェックアウトクイズや他の宿題を Google Classroom で提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「¡ Muy bien! 1 いいね! スペイン語」、フアン・カルロス・モヤノ・ロベス / カルロス・ガルシア・ルイス・カスティージョ / 廣康好美、朝日出版社、2,600円+税

【参考書】

とくになし

【成績評価の方法と基準】

平常点 40%、テスト／試験の成績 60%

【学生の意見等からの気づき】

未確認

【学生が準備すべき機器他】

大学のアカウントでGoogle Classroomの登録が必要となります。

【Outline (in English)】

Introduction to Spanish continuing where we left off the previous semester.

The goal is to be able to express in Spanish the basic information about oneself. We will also get to learn a little about the Spanish speaking countries and their cultures.

We will follow the textbook and complete the exercises. The tasks will be submitted and corrected via Google Classroom. The program may change due to unforeseen circumstances.

All the relevant information about this course will be presented in a Google Site home page. This page will be updated regularly to add the contents of each class and other relevant links and contents. Every week there will be a check-out quiz homework (SALIDA) to wrap up the content of each class.

At home the student should regularly check the Google Site to be updated and Google Classroom to complete the revision quiz and other homework. The student should also work on individual tasks that cannot be done in class such as preparing the vocabulary by looking up words in the dictionary or listening to the audios. Homework as well as preparation and revision might take about one hour.

Grading will be decided based on tasks and class participation (40%), and exam results (60%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 2 I

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基礎知識とスペイン語圏の文化を学ぶ授業です。基礎的なスペイン語文法の学習に加えて会話を習得することを目的とします。またスペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指します。

【到達目標】

スペイン語で日常会話ができるようになることを目標とします。また、辞書を使用しながら、簡単なテキストを読解できるようになることも目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP9

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められます。必要に応じて教員が説明を行います。基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待されます。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	スペイン語紹介	南米でスペイン語を話す国々。南米のスペイン語。
2	スペイン語で自己紹介	目的人称代名詞、再帰代名詞
3	発音	教室で役に立つ表現。名前と苗字
4	数字I. 歴史上の人物	名詞、定冠詞、主語代名詞
5	職業、国籍	SER直説法現在、疑問文と否定文
6	数字 II. 家族	不定冠詞、品質形容詞、所有詞前置形
7	親族、ジェスチャー	TENER直説法現在、疑問詞 I
8	位置関係、場所を表す副詞	指示形容詞、指示代名詞
9	数字III. 序数、世界世界遺産の都市	ESTAR直説法現在 I. HABERの活用
10	曜日	規則動詞 直説法現在、不規則動詞 (HACER, IR) 直説法現在
11	頻度を表す副詞表現	現在形の用法、疑問詞 II
12	時間	前置詞、
13	月と季節	語幹母音変化動詞 I
14	試験・まとめと解説	期末試験を実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「Entre amigos 1」

2a.edición (総合スペイン語コース初級 改訂版)

Editorial Asahi

【参考書】

辞書(電子辞書可、初修者には紙辞書が良いとされています)

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験及び平常点50%

小テスト20%、期末試験の結果30%

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

It is a class to learn the basic knowledge of Spanish and culture of the Spanish-speaking countries. Its objective is to master the conversation as well as the basic learning of Spanish grammar. We also aim to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

Upon completion of this course, students will be able to understand and express themselves in Spanish in daily life situations. They will also be able to read and understand simple texts with the help of a dictionary.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語Ⅱ

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基礎知識とスペイン語圏の文化を学ぶ授業です。基礎的なスペイン語文法の学習に加えて会話を習得することを目的とします。またスペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指します。

【到達目標】

スペイン語で日常会話ができるようになることを目標とします。また、辞書を使用しながら、簡単なテキストを読解できるようになることも目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められます。必要に応じて教員が説明を行います。基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待されます。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	住居/天候表現	語幹母音変化動詞
2	日常	再帰動詞
3	食べ物と飲み物	直接目的人称代名詞/動詞VER, SABER, CONOCER
4	レシピ/レストランで	SABER+不定詞.PODER+不定詞.QUERER+不定詞.PODER+不定詞
5	衣服とアクセサリ/買い物	前置詞(a, de, en,...)間接目的人称代名詞/比較現在 I
6	色/クリスマス	動詞DAR, TRAER, DECIR. 不規則な比較級を持つ形容詞
7	余暇活動	動詞GUSTAR. GUSTARと同じように用いられる動詞 ENCANTAR, INTERESAR, PARECER, IMPORTAR.
8	趣味/スポーツ	比較現在 II/比較表現 III/数量の比較
9	体の部分の名称	動詞DOLER. ESTAR II
10	状態	SER+形容詞. estar+形容詞
11	体調・感情表現	感情文.SER+形容詞. estar+形容詞
12	日常行われるスポーツ	TENER QUE+不定詞 HAY QUE+不定詞. 不定語と否定語
13	旅行	直説法点過去. 直説法点過去 規則活用.
14	試験・まとめと解説	期末試験を実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします

【テキスト（教科書）】

「Entre amigos 1」

2a.edición(総合スペイン語コース初級 改訂版)

Editorial Asahi

【参考書】

辞書(電子辞書可、初修者には紙辞書が良いとされています)

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験50%

小テスト20%、期末試験の結果30%

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

It is a class to learn the basic knowledge of Spanish and culture of the Spanish-speaking countries. Its objective is to master the conversation as well as the basic learning of Spanish grammar. We also aim to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

Upon completion of this course, students will be able to understand and express themselves in Spanish in daily life situations. They will also be able to read and understand simple texts with the help of a dictionary.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs100LA（スペイン語 / Spanish language education 100）	
スペイン語 2 I	2017年度以降入学者
大貫 良史	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火3/Tue.3	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

＜課題に対するフィードバックの方法＞

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う

本授業は原則として対面で行うが、状況を鑑みオンライン授業を実施することがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 発音とアクセント	授業の概要説明。 スペイン語のアルファベット など つづりの読み方とアクセント
2	名詞の性、数	名詞の性、名詞の数
3	冠詞	定冠詞、不定冠詞
4	形容詞の基本	母音で終わる形容詞、子音で終わる形容詞の語形変化など
5	語尾が脱落する形容詞	語尾が脱落する形容詞の語形変化など
6	ser 動詞の活用	動詞 ser の現在形
7	自己紹介	動詞 ser を使った自己紹介の方法
8	estar 動詞の活用	動詞 estar の現在形と用法および hay の用法
9	動詞の使い分け	動詞 ser、estar、hay の使い分け
10	直説法現在	直説法現在形の規則活用
11	時刻と数字 1～12	時刻の言い方、数字（1～12）
12	不規則活用と指示代名詞、指示形容詞	直説法現在形の不規則活用と指示形容詞、指示代名詞
13	数字 13～30	数字（13～30） 試験に向け、質問など
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。

特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。

本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『スペイン語キックオフ』泉水浩隆（白水社）ISBN：9784560016794

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

2年次以降で再履修の学生は、原則、「スペイン語補講」を履修してください。許可なしでの履修は認めません。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand basic Spanish, in the simple present and past tense.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語Ⅱ

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期のスペイン語2Iから連続する。

テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

＜課題に対するフィードバックの方法＞

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う。

本授業は原則として対面で行うが、状況に応じオンラインで授業を実施する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	直説法現在形 動詞の不規則活用 I
2	所有形容詞 数字（31～99）	所有形容詞（前置形） 数字（31～99）
3	動詞の不規則活用	直説法現在形 動詞の不規則活用 II tener que+不定詞
4	数字（100～999） 目的格代名詞の基本	数字（100～999） 直接目的格人称代名詞および間接目的格人称代名詞
5	gustar 動詞	動詞 gustar の用法
6	gustar 型動詞	動詞 gustar と同様な使い方がされる動詞
7	再帰動詞 無人称表現	再帰動詞 se を用いた無人称表現
8	時刻 天候の表現	時刻の言い方 天気 of の言い方
9	直説法点過去	直説法点過去形の規則活用
10	過去の天候表現	過去の天気 of の言い方
11	直説法点過去 日付、曜日、月	直説法点過去形の不規則活用 日付、曜日、月の名前と使い方
12	直説法線過去	直説法線過去形の規則活用
13	直説法線過去 点過去、線過去	直説法線過去形の不規則活用 点過去と線過去の対比

14 試験・まとめと解説 筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『スペイン語キックオフ』泉水浩隆（白水社）ISBN：9784560016794

【参考書】

『西和辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

2年次以降で再履修の学生は、原則、「スペイン語補講」を履修してください。許可なしでの履修は認めません。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand basic Spanish, in the simple present and past tense.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)	
スペイン語 2 I	2017年度以降入学者
大貫 良史	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火 5/Tue.5	
単位数：1 単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

＜課題に対するフィードバックの方法＞

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う

本授業は原則として対面で行うが、状況を鑑みオンライン授業を実施することがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 発音とアクセント	授業の概要説明。 スペイン語のアルファベット など つづりの読み方とアクセント
2	名詞の性、数	名詞の性、名詞の数
3	冠詞	定冠詞、不定冠詞
4	形容詞の基本	母音で終わる形容詞、子音で終わる形容詞の語形変化など
5	語尾が脱落する形容詞	語尾が脱落する形容詞の語形変化など
6	ser 動詞の活用	動詞 ser の現在形
7	自己紹介	動詞 ser を使った自己紹介の方法
8	estar 動詞の活用	動詞 estar の現在形と用法および hay の用法
9	動詞の使い分け	動詞 ser, estar, hay の使い分け
10	直説法現在	直説法現在形の規則活用
11	時刻と数字 1～12	時刻の言い方、数字（1～12）
12	不規則活用と指示代名詞、指示形容詞	直説法現在形の不規則活用と指示形容詞、指示代名詞
13	数字 13～30	数字（13～30） 試験に向け、質問など
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。

特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。

本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『スペイン語キックオフ』泉水浩隆（白水社）ISBN：9784560016794

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

2年次以降で再履修の学生は、原則、「スペイン語補講」を履修してください。許可なしでの履修は認めません。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand basic Spanish, in the simple present and past tense.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語Ⅱ

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期のスペイン語2Iから連続する。

テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

＜課題に対するフィードバックの方法＞

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う。

本授業は原則として対面で行うが、状況に応じオンラインで授業を実施する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	直説法現在形 動詞の不規則活用 I
2	所有形容詞 数字（31～99）	所有形容詞（前置形） 数字（31～99）
3	動詞の不規則活用	直説法現在形 動詞の不規則活用 II tener que+不定詞
4	数字（100～999） 目的格代名詞の基本	数字（100～999） 直接目的格人称代名詞および間接目的格人称代名詞
5	gustar 動詞	動詞 gustar の用法
6	gustar 型動詞	動詞 gustar と同様な使い方がされる動詞
7	再帰動詞 無人称表現	再帰動詞 se を用いた無人称表現
8	時刻 天候の表現	時刻の言い方 天気 of の言い方
9	直説法点過去	直説法点過去形の規則活用
10	過去の天候表現	過去の天気 of の言い方
11	直説法点過去 日付、曜日、月	直説法点過去形の不規則活用 日付、曜日、月の名前と使い方
12	直説法線過去	直説法線過去形の規則活用
13	直説法線過去 点過去、線過去	直説法線過去形の不規則活用 点過去と線過去の対比

14 試験・まとめと解説 筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『スペイン語キックオフ』泉水浩隆（白水社）ISBN：9784560016794

【参考書】

『西和辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

2年次以降で再履修の学生は、原則、「スペイン語補講」を履修してください。許可なしでの履修は認めません。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand basic Spanish, in the simple present and past tense.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 2 I

2017年度以降入学者

BARRIENTOS R J DAVID

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基礎を学び、様々な表現や語彙を身につけ、スペイン語で簡単な会話ができるようになることを目指す。

【到達目標】

授業で学ぶ文法事項を踏まえてスペイン語で会話をするができるようになる。また、正しい発音を身につけスペイン語を話すことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行う。授業は教科書に沿って進める。特にスペイン語の発音に重点を置き、コミュニケーションをはかる際に必要な会話の基本構造を学び練習する。課題等に対するフィードバックは授業時に口頭で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introducción y pronunciación	授業の説明とスペイン語のアルファベット、発音、アクセント、音節を学ぶ。
2	Pronombre personal y verbo "ser" 1	主語人称代名詞、動詞serを学ぶ。
3	Pronombre personal y verbo "ser" 2	文型、国名・国籍を学ぶ。
4	Verbos "hay" y "estar"	名詞の性と数、定冠詞と不定冠詞、動詞hay、動詞estarを学ぶ。
5	Verbos "ser" y "estar" 1	形容詞、指示形容詞と指示代名詞を学ぶ。
6	Verbos "ser" y "estar" 2	ser + 形容詞、estar + 形容詞を学ぶ。
7	Verbos "tener" y "hacer" 1	動詞tener、動詞hacerを学ぶ。
8	Verbos "tener" y "hacer" 2	動詞tener、動詞hacerを学ぶ。
9	Expresiones de estado del tiempo, y posesivos	天候表現、所有形容詞（前置系）を学ぶ。
10	Verbos regulares (-ar, -ir, -er) 1	規則活用動詞を学ぶ。
11	Verbo regulares (-ar, -ir, -er) 2	規則活用動詞を学ぶ。
12	Verbos irregulares (e→ie, o→ue, e→i)	語幹母音変化動詞を学ぶ。
13	Verbos "ir" y "venir"	動詞ir、venir、alとdel、疑問詞、前置詞を学ぶ。
14	Repaso y examen 1	1回から13回のまとめを行い、理解度の確認をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。復習、もしくは予習として、授業時に指定するテキストの文章を辞書を使って読む、または練習問題を解いておくこと。また、言語習得に音読は欠かせないため、テキストに載っているスペイン語の文を音読すること。

【テキスト（教科書）】

時任まり子『気ままにスペイン語』三修社、2400円

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

試験（50%）、口頭小テスト・筆記小テスト（25%）、授業参加・課題（25%）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【その他の重要事項】

出席が3分の2に満たない場合は評価対象外とします。授業時の携帯電話等の電子機器・インターネットの使用は禁止します。（授業時に教員が使用を認めたときのみ使用可）

【Outline (in English)】

Course Outline: In this course you are going to learn the basics of Spanish and acquire various expressions and vocabulary so that you will be able to have simple conversations in Spanish. Learning Objectives: The goals of this course is to be able to acquire correct pronunciation and engage in conversation in Spanish without grammatical errors.

Learning Activities Outside of Classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to work on the textbook to grasp the key learning points of the next class/review the previous class. Also, it is important to read the sentences in the textbook aloud to improve Spanish pronunciation.

Grading Criteria: Grading will be decided based on written exams (50%), oral exams (25%) and class participation and assignments (25%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語Ⅱ

2017年度以降入学者

BARRIENTOS R J DAVID

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基礎を学び、様々な表現や語彙を身につけ、スペイン語で簡単な会話ができるようになることを目指す。

【到達目標】

授業で学ぶ文法事項を踏まえてスペイン語で会話をするができるようになる。また、正しい発音を身につけスペイン語を話すことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行う。授業は教科書に沿って進める。特にスペイン語の発音に重点を置き、コミュニケーションをはかる際に必要な会話の基本構造を学び練習する。課題等に対するフィードバックは授業時に口頭で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introducción y la hora	授業の説明と時刻の表現、疑問視を学ぶ。
2	Verbos "acabar" y "salir"	動詞 acabar, salir、近接未来、近接過去、疑問詞を学ぶ。
3	Comparativos	比較級、最上級を学ぶ。
4	Verbos "conocer" y "saber" 1	不規則活用動詞（yoの活用だけが不規則）、目的格人称代名詞を学ぶ。
5	Verbos "conocer" y "saber" 2	不規則活用動詞（yoの活用だけが不規則）、目的格人称代名詞を学ぶ。
6	Verbo "gustar" 1	前置詞の後の人称代名詞、動詞 gustar を学ぶ。
7	Verbo "gustar" 2	その他の gustar 型動詞を学ぶ。
8	Verbos reflexivos 1	再帰動詞の使い方を学ぶ。
9	Verbos reflexivos 2	再帰動詞の使い方を学ぶ。
10	Pretérito indefinido 1	点過去の使い方を学ぶ。
11	Pretérito indefinido 2	点過去の使い方を学ぶ。
12	Pretérito imperfecto 1	線過去の使い方を学ぶ。
13	Pretérito imperfecto 2	線過去の使い方を学ぶ。
14	Repaso y examen	1回から13回のまとめを行い、理解度の確認をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。復習、もしくは予習として、授業時に指定するテキストの文章を辞書を使って読む、または練習問題を解いておくこと。また、言語習得に音読は欠かせないため、テキストに載っているスペイン語の文を音読すること。

【テキスト（教科書）】

時任まり子『気ままにスペイン語』三修社、2400円

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

試験（50%）、口頭小テスト・筆記小テスト（25%）、授業参加・課題（25%）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【その他の重要事項】

出席が3分の2に満たない場合は評価対象外とします。

授業時の携帯電話等の電子機器・インターネットの使用は禁止します。（授業時に教員が使用を認めたときのみ使用可）

【Outline (in English)】

Course Outline: In this course you are going to learn the basics of Spanish and acquire various expressions and vocabulary so that you will be able to have simple conversations in Spanish.

Learning Objectives: The goals of this course is to be able to acquire correct pronunciation and engage in conversation in Spanish without grammatical errors.

Learning Activities Outside of Classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to work on the textbook to grasp the key learning points of the next class/review the previous class. Also, it is important to read the sentences in the textbook aloud to improve Spanish pronunciation.

Grading Criteria: Grading will be decided based on written exams (50%), oral exams (25%) and class participation and assignments (25%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 2 I

2017年度以降入学者

BARRIENTOS R J DAVID

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基礎を学び、様々な表現や語彙を身につけ、スペイン語で簡単な会話ができるようになることを目指す。

【到達目標】

授業で学ぶ文法事項を踏まえてスペイン語で会話をするができるようになる。また、正しい発音を身につけスペイン語を話すことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行う。授業は教科書に沿って進める。特にスペイン語の発音に重点を置き、コミュニケーションをはかる際に必要な会話の基本構造を学び練習する。課題等に対するフィードバックは授業時に口頭で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introducción y pronunciación	授業の説明とスペイン語のアルファベット、発音、アクセント、音節を学ぶ。
2	Pronombre personal y verbo "ser" 1	主語人称代名詞、動詞serを学ぶ。
3	Pronombre personal y verbo "ser" 2	文型、国名・国籍を学ぶ。
4	Verbos "hay" y "estar"	名詞の性と数、定冠詞と不定冠詞、動詞hay、動詞estarを学ぶ。
5	Verbos "ser" y "estar" 1	形容詞、指示形容詞と指示代名詞を学ぶ。
6	Verbos "ser y "estar" 2	ser + 形容詞、estar + 形容詞を学ぶ。
7	Verbos "tener" y "hacer" 1	動詞tener、動詞hacerを学ぶ。
8	Verbos "tener" y "hacer" 2	動詞tener、動詞hacerを学ぶ。
9	Expresiones de estado del tiempo, y posesivos	天候表現、所有形容詞（前置系）を学ぶ。
10	Verbos regulares (-ar, -ir, -er) 1	規則活用動詞を学ぶ。
11	Verbo regulares (-ar, -ir, -er) 2	規則活用動詞を学ぶ。
12	Verbos irregulares (e→ie, o→ue, e→i)	語幹母音変化動詞を学ぶ。
13	Verbos "ir" y "venir"	動詞ir、venir、al と del、疑問詞、前置詞を学ぶ。
14	Repaso y examen 1	1回から13回のまとめを行い、理解度の確認をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。復習、もしくは予習として、授業時に指定するテキストの文章を辞書を使って読む、または練習問題を解いておくこと。また、言語習得に音読は欠かせないため、テキストに載っているスペイン語の文を音読すること。

【テキスト（教科書）】

時任まり子『気ままにスペイン語』三修社、2400円

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

試験（50%）、口頭小テスト・筆記小テスト（25%）、授業参加・課題（25%）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【その他の重要事項】

出席が3分の2に満たない場合は評価対象外とします。授業時の携帯電話等の電子機器・インターネットの使用は禁止します。（授業時に教員が使用を認めたときのみ使用可）

【Outline (in English)】

Course Outline: In this course you are going to learn the basics of Spanish and acquire various expressions and vocabulary so that you will be able to have simple conversations in Spanish. Learning Objectives: The goals of this course is to be able to acquire correct pronunciation and engage in conversation in Spanish without grammatical errors.

Learning Activities Outside of Classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to work on the textbook to grasp the key learning points of the next class/review the previous class. Also, it is important to read the sentences in the textbook aloud to improve Spanish pronunciation.

Grading Criteria: Grading will be decided based on written exams (50%), oral exams (25%) and class participation and assignments (25%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語Ⅱ

2017年度以降入学者

BARRIENTOS R J DAVID

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基礎を学び、様々な表現や語彙を身につけ、スペイン語で簡単な会話ができるようになることを目指す。

【到達目標】

授業で学ぶ文法事項を踏まえてスペイン語で会話をするができるようになる。また、正しい発音を身につけスペイン語を話すことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行う。授業は教科書に沿って進める。特にスペイン語の発音に重点を置き、コミュニケーションをはかる際に必要な会話の基本構造を学び練習する。課題等に対するフィードバックは授業時に口頭で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introducción y la hora	授業の説明と時刻の表現、疑問視を学ぶ。
2	Verbos "acabar" y "salir"	動詞 acabar, salir、近接未来、近接過去、疑問詞を学ぶ。
3	Comparativos	比較級、最上級を学ぶ。
4	Verbos "conocer" y "saber" 1	不規則活用動詞（yoの活用だけが不規則）、目的格人称代名詞を学ぶ。
5	Verbos "conocer" y "saber" 2	不規則活用動詞（yoの活用だけが不規則）、目的格人称代名詞を学ぶ。
6	Verbo "gustar" 1	前置詞の後の人称代名詞、動詞 gustar を学ぶ。
7	Verbo "gustar" 2	その他の gustar 型動詞を学ぶ。
8	Verbos reflexivos 1	再帰動詞の使い方を学ぶ。
9	Verbos reflexivos 2	再帰動詞の使い方を学ぶ。
10	Pretérito indefinido 1	点過去の使い方を学ぶ。
11	Pretérito indefinido 2	点過去の使い方を学ぶ。
12	Pretérito imperfecto 1	線過去の使い方を学ぶ。
13	Pretérito imperfecto 2	線過去の使い方を学ぶ。
14	Repaso y examen	1回から13回のまとめを行い、理解度の確認をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。復習、もしくは予習として、授業時に指定するテキストの文章を辞書を使って読む、または練習問題を解いておくこと。また、言語習得に音読は欠かせないため、テキストに載っているスペイン語の文を音読すること。

【テキスト（教科書）】

時任まり子『気ままにスペイン語』三修社、2400円

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

試験（50%）、口頭小テスト・筆記小テスト（25%）、授業参加・課題（25%）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【その他の重要事項】

出席が3分の2に満たない場合は評価対象外とします。

授業時の携帯電話等の電子機器・インターネットの使用は禁止します。（授業時に教員が使用を認めたときのみ使用可）

【Outline (in English)】

Course Outline: In this course you are going to learn the basics of Spanish and acquire various expressions and vocabulary so that you will be able to have simple conversations in Spanish.

Learning Objectives: The goals of this course is to be able to acquire correct pronunciation and engage in conversation in Spanish without grammatical errors.

Learning Activities Outside of Classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to work on the textbook to grasp the key learning points of the next class/review the previous class. Also, it is important to read the sentences in the textbook aloud to improve Spanish pronunciation.

Grading Criteria: Grading will be decided based on written exams (50%), oral exams (25%) and class participation and assignments (25%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 2 I

2017年度以降入学者

鈴木 正士

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、スペイン語文法学習を中心にして、スペイン語の基礎を身につける授業であるが、文法だけでなく、日常的な簡単な会話表現も学んでいく。さらに、言語の学習のみでなく、スペイン語圏の事象についても知見を広げていくことを目的とする。

【到達目標】

スペイン語の文法を理解し、発音に慣れ、挨拶や簡単な自己紹介ができるようになるということ、そして、スペイン語の学習を通して、スペイン語圏への関心を深めるということ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業です。

基本的には教科書に沿って、教員が文法事項を解説する。受講者には文法事項に関する問題や会話形式の問題を解いてもらう。CDや教員の発音をまねて本文を音読する。練習問題は、宿題の場合もあれば授業内で行う場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション、アルファベットとあいさつ	授業概要説明。 アルファベットと発音、あいさつの練習、 数詞 1～10 まで
2	発音、名詞	発音に関するルールを理解する。 名詞の性と数を理解する。
3	冠詞、主語人称代名詞、動詞 <i>ser, estar</i>	冠詞の概念を理解する。 主語人称代名詞と動詞の活用 の概念を理解する。 動詞 <i>ser</i> と <i>estar</i> の活用と用法を練習する。
4	形容詞、所有形容詞	形容詞と所有形容詞の使い方を理解し練習する。数詞 10 から 15
5	規則変化動詞 <i>hablar, comer, vivir</i> 、指示形容詞	規則活用動詞の活用と用法を確認し練習する。 指示形容詞の用法を確認し練習する。 数詞 16 から 20
6	動詞 <i>haber</i> 、動詞 <i>estar</i> と <i>haber</i> の違い	動詞 <i>haber</i> の <i>hay</i> の用法を確認し練習する。動詞 <i>estar</i> との違いを理解し、使い分けの練習をする。数詞 21 から 30
7	一人称単数だけが不規則な動詞について	一人称単数形だけが不規則な動詞を理解し、練習をする。
8	語幹母音変化動詞	語幹母音変化動詞の用法と活用を学び練習する。
9	動詞 <i>tener, ir</i> について、時刻の表現	<i>tener, ir</i> の用法と活用を学び練習する。時刻の表現を確認し、 <i>ser</i> を用いた表現の練習をする。

10	目的格人称代名詞	目的格人称代名詞について、英語との比較から学ぶ。
11	疑問詞、主な前置詞、天候表現	これまでにでてきている疑問詞や前置詞をまとめ、理解を深める。 天候表現を確認し、練習する。
12	再帰代名詞について	再帰代名詞について、英語との比較から学ぶ。
13	再帰動詞のについて	再帰動詞の用法と活用を学び練習する。
14	春学期のまとめ。期末試験とその解説	春学期に学習したことをまとめる。期末試験を行い、その解説をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をすること。復習を兼ねて宿題を確実にやり、わからないところを明確にする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『基礎から学ぶスペイン語教室』西川喬著、同学社、2017年初版、2500円（税別）

【参考書】

もし授業時間以外に自主学習する場合は、西川 喬著『わかるスペイン語文法』（同学社）がよいと思われるが、まずは、授業のテキストを習得することが肝要である。そのほか、参考書やスペイン語圏についての書籍に興味があったら教員に尋ねてください。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：30%、学期末試験：70%。

期末試験を受けなかった場合は、評価自体をせず、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【Outline (in English)】

The course will explain the basic Spanish grammar. At the end of the course, students are expected to speak in plain Spanish: greeting, brief self-introduction, plain description etc. Please prepare for the lesson before/after 1 hour of preparation and review. Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Classwork and homework (30%), and term-end examination (70%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語Ⅱ

2017年度以降入学者

鈴木 正士

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

まずはスペイン語文法の基礎を学んでいく。そして、スペイン語圏の歴史・文化・社会に関する知識を得て、それらに対する関心を深めていくことを目的とする。

【到達目標】

スペイン語の初級文法を習得し、スペイン語圏の歴史・文化・社会への理解に基づいて、平易な文章の読み書きができるようになるということ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員が文法説明をするので、受講者は練習問題に取り組んでください。CDを聞き、教員が発音するので、一緒に発音して文章を覚えていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の学習事項を復習し、新たな学習事項に取り組むための足固めを行う。
2	所有形容詞（後置形）について	所有形容詞を習得する。数詞1から100までの復習
3	比較級と最上級	比較級と最上級の用法を習得する。数詞100から200
4	過去分詞	過去分詞の用法を習得する。
5	現在完了	現在完了の用法を習得する。
6	現在分詞	現在分詞の用法を習得する。
7	現在進行形	現在進行形の用法を習得する。
8	点過去の規則活用	点過去の規則活用と用法を習得する。
9	点過去の不規則活用	点過去の不規則活用と用法を習得する。
10	線過去	線過去の活用と用法を習得する。
11	関係詞	関係詞の用法を習得する。数詞200から1000
12	一般人称表現	一般人称表現を習得する。数詞の学習のまとめ
13	過去完了	過去完了の用法を習得する。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定範囲の準備学習と復習をすること。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『基礎から学ぶスペイン語教室』西川喬著、同学社、2017年初版、2500円（税別）

【参考書】

もし授業時間以外に自主学習する場合は、西川 喬著『わかるスペイン語文法』（同学社）がよいと思われるが、まずは、授業のテキストを習得することが肝要である。そのほか、参考書やスペイン語圏についての書籍に興味があったら教員に尋ねてください。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：30%、学期末試験：70%。

期末試験を受けなかった場合は、評価自体をせず、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course is designed to provide you with an understanding of elementary Spanish and a basic knowledge of the histories, societies and cultures of the Spanish-speaking world.

《Learning Objectives》

Students will gain the knowledge of Spanish elementary grammar. In addition, you will be able to enjoy reading and writing easy Spanish text.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Classroom and homework (30%), and term-end examination (70%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 2 I

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基礎知識とスペイン語圏の文化を学ぶ授業です。基礎的なスペイン語文法の学習に加えて会話を習得することを目的とします。またスペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指します。

【到達目標】

スペイン語で日常会話ができるようになることを目標とします。また、辞書を使用しながら、簡単なテキストを読解できるようになることも目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められます。必要に応じて教員が説明を行います。基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待されます。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	自己紹介	アルファベット、発音とアクセント、など。(1)
2	スペイン語紹介 (1)	アルファベット、発音とアクセント、など。(2)
3	家族。教室にあるもの	数字I 名詞の性と数、定冠詞
4	国名と国籍	主語人諸代名詞。SER動詞
5	職業 (I)	
6	IDカード	否定文。疑問文
7	外見。性格	TENER動詞。不定冠詞。
8	人物やペットの描写 (I)	形容詞。所有形容詞前直形(I)
9	外見。性格	数字II
10	人物やペットの描写 (II)	TENER動詞。不定冠詞。
11	キアンパスとその周辺。自分の町 (I)	形容詞。所有形容詞前直形(II)
12	キアンパスとその周辺。自分の町 (II)	指示形容詞。
13	キアンパスとその周辺。自分の町 (III)	ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
14	曜日。様々なアルバイト (I)	数字III
15		指示形容詞。
16		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
17		数字III
18		指示形容詞。
19		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
20		数字III
21		指示形容詞。
22		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
23		数字III
24		指示形容詞。
25		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
26		数字III
27		指示形容詞。
28		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
29		数字III
30		指示形容詞。
31		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
32		数字III
33		指示形容詞。
34		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
35		数字III
36		指示形容詞。
37		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
38		数字III
39		指示形容詞。
40		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
41		数字III
42		指示形容詞。
43		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
44		数字III
45		指示形容詞。
46		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
47		数字III
48		指示形容詞。
49		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
50		数字III
51		指示形容詞。
52		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
53		数字III
54		指示形容詞。
55		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
56		数字III
57		指示形容詞。
58		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
59		数字III
60		指示形容詞。
61		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
62		数字III
63		指示形容詞。
64		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
65		数字III
66		指示形容詞。
67		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
68		数字III
69		指示形容詞。
70		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
71		数字III
72		指示形容詞。
73		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
74		数字III
75		指示形容詞。
76		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
77		数字III
78		指示形容詞。
79		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
80		数字III
81		指示形容詞。
82		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
83		数字III
84		指示形容詞。
85		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
86		数字III
87		指示形容詞。
88		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
89		数字III
90		指示形容詞。
91		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
92		数字III
93		指示形容詞。
94		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
95		数字III
96		指示形容詞。
97		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞
98		数字III
99		指示形容詞。
100		ESTARとHABER動詞。場所を表す副詞

12	曜日。	現在規則動詞。
13	様々なアルバイト (II)	HACER動詞。
14	曜日。	疑問詞 I
15	様々なアルバイト (III)	現在規則動詞。
16	試験・まとめと解説	HACER動詞。
17		疑問詞 I
18		期末試験を実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

ESPAÑOL CUATRO DESTREZAS. Sayaka Nakajima y Bernardo Astigueta
Editorial Asahi /朝日出版社

【参考書】

辞書(電子辞書可、初修者には紙辞書が良いとされています)

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験及び平常点50%

小テスト20%、期末試験の結果30%

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

It is a class to learn the basic knowledge of Spanish and culture of the Spanish-speaking countries. Its objective is to master the conversation as well as the basic learning of Spanish grammar. We also aim to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

Upon completion of this course, students will be able to understand and express themselves in Spanish in daily life situations. They will also be able to read and understand simple texts with the help of a dictionary.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語Ⅱ

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基礎知識とスペイン語圏の文化を学ぶ授業です。基礎的なスペイン語文法の学習に加えて会話を習得することを目的とします。またスペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指します。

【到達目標】

スペイン語で日常会話ができるようになることを目標とします。また、辞書を使用しながら、簡単なテキストを読解できるようになることも目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められます。必要に応じて教員が説明を行います。基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待されます。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	理由と目的	動詞 IR, VENIR 数字 IV
2	外国語を学んでいる理由	動詞 QUERER, PODER 疑問詞 2
3	クラスメートへのインタビュー	動詞 QUERER, PODER, TENER, SER
4	食べ物と飲み物	動詞 GUSTAR
5	趣味、第三者の好みや趣味	動詞 PARECER, INTERESAR, ENCANTAR, PREFERIR
6	意見を表現する	好みの比較、指示代名詞
7	天気、月と季節	直接目的人称代名詞、動詞 SABER, CONOCER
8	文化祭の企画	不定語 alguno、否定語 ninguno
9	自然の観光地	交通手段と前置詞
10	時間	語幹母音変化動詞、時計
11	日常生活	再帰動詞
11	体の部分	現在分詞と現在進行形
12	体調に関する会話	動詞 DOLER、不定疑問文
13	日常で使う服、買い物	間接目的人称代名詞、形容詞の比較、所有詞後置形
14	試験・まとめと解説	期末試験を実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします

【テキスト（教科書）】

ESPAÑOL CUATRO DESTREZAS. Sayaka Nakajima y Bernardo Astigueta
Editorial Asahi /朝日出版社

【参考書】

辞書(電子辞書可、初修者には紙辞書が良いとされています)

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験50%

小テスト20%、期末試験の結果30%

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

It is a class to learn the basic knowledge of Spanish and culture of the Spanish-speaking countries. Its objective is to master the conversation as well as the basic learning of Spanish grammar. We also aim to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

Upon completion of this course, students will be able to understand and express themselves in Spanish in daily life situations. They will also be able to read and understand simple texts with the help of a dictionary.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 2 I

2017年度以降入学者

鈴木 正士

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、スペイン語文法学習を中心にして、スペイン語の基礎を身につける授業であるが、文法だけでなく、日常的な簡単な会話表現も学んでいく。さらに、言語の学習のみでなく、スペイン語圏の事象についても知見を広げていくことを目的とする。

【到達目標】

スペイン語の文法を理解し、発音に慣れ、挨拶や簡単な自己紹介ができるようになるということ、そして、スペイン語の学習を通して、スペイン語圏への関心を深めるということ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業です。

基本的には教科書に沿って、教員が文法事項を解説する。受講者には文法事項に関する問題や会話形式の問題を解いてもらう。CDや教員の発音をまねて本文を音読する。練習問題は、宿題の場合もあれば授業内で行う場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション、アルファベットとあいさつ	授業概要説明。 アルファベットと発音、あいさつの練習、 数詞 1～10 まで
2	発音、名詞	発音に関するルールを理解する。 名詞の性と数を理解する。
3	冠詞、主語人称代名詞、動詞 <i>ser, estar</i>	冠詞の概念を理解する。 主語人称代名詞と動詞の活用 の概念を理解する。 動詞 <i>ser</i> と <i>estar</i> の活用と用法を練習する。
4	形容詞、所有形容詞	形容詞と所有形容詞の使い方を理解し練習する。数詞 10 から 15
5	規則変化動詞 <i>hablar, comer, vivir</i> 、指示形容詞	規則活用動詞の活用と用法を確認し練習する。 指示形容詞の用法を確認し練習する。 数詞 16 から 20
6	動詞 <i>haber</i> 、動詞 <i>estar</i> と <i>haber</i> の違い	動詞 <i>haber</i> の <i>hay</i> の用法を確認し練習する。動詞 <i>estar</i> との違いを理解し、使い分けの練習をする。数詞 21 から 30
7	一人称単数だけが不規則な動詞について	一人称単数形だけが不規則な動詞を理解し、練習をする。
8	語幹母音変化動詞	語幹母音変化動詞の用法と活用を学び練習する。
9	動詞 <i>tener, ir</i> について、時刻の表現	<i>tener, ir</i> の用法と活用を学び練習する。時刻の表現を確認し、 <i>ser</i> を用いた表現の練習をする。

10	目的格人称代名詞	目的格人称代名詞について、英語との比較から学ぶ。
11	疑問詞、主な前置詞、天候表現	これまでにでてきている疑問詞や前置詞をまとめ、理解を深める。 天候表現を確認し、練習する。
12	再帰代名詞について	再帰代名詞について、英語との比較から学ぶ。
13	再帰動詞のについて	再帰動詞の用法と活用を学び練習する。
14	春学期のまとめ。期末試験とその解説	春学期に学習したことをまとめる。期末試験を行い、その解説をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をすること。復習を兼ねて宿題を確実にやり、わからないところを明確にする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『基礎から学ぶスペイン語教室』西川喬著、同学社、2017 年初版、2500 円（税別）

【参考書】

もし授業時間以外に自主学習する場合は、西川 喬著『わかるスペイン語文法』（同学社）がよいと思われるが、まずは、授業のテキストを習得することが肝要である。そのほか、参考書やスペイン語圏についての書籍に興味があったら教員に尋ねてください。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：30 %、学期末試験：70 %。

期末試験を受けなかった場合は、評価自体をせず、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【Outline (in English)】

The course will explain the basic Spanish grammar. At the end of the course, students are expected to speak in plain Spanish: greeting, brief self-introduction, plain description etc. Please prepare for the lesson before/after 1 hour of preparation and review. Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Classwork and homework (30%), and term-end examination (70%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語Ⅱ

2017年度以降入学者

鈴木 正士

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

まずはスペイン語文法の基礎を学んでいく。そして、スペイン語圏の歴史・文化・社会に関する知識を得て、それらに対する関心を深めていくことを目的とする。

【到達目標】

スペイン語の初級文法を習得し、スペイン語圏の歴史・文化・社会への理解に基づいて、平易な文章の読み書きができるようになるということ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員が文法説明をするので、受講者は練習問題に取り組んでください。CDを聞き、教員が発音するので、一緒に発音して文章を覚えていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の学習事項を復習し、新たな学習事項に取り組むための足固めを行う。
2	所有形容詞（後置形）について	所有形容詞を習得する。数詞1から100までの復習
3	比較級と最上級	比較級と最上級の用法を習得する。数詞100から200
4	過去分詞	過去分詞の用法を習得する。
5	現在完了	現在完了の用法を習得する。
6	現在分詞	現在分詞の用法を習得する。
7	現在進行形	現在進行形の用法を習得する。
8	点過去の規則活用	点過去の規則活用と用法を習得する。
9	点過去の不規則活用	点過去の不規則活用と用法を習得する。
10	線過去	線過去の活用と用法を習得する。
11	関係詞	関係詞の用法を習得する。数詞200から1000
12	一般人称表現	一般人称表現を習得する。数詞の学習のまとめ
13	過去完了	過去完了の用法を習得する。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定範囲の準備学習と復習をすること。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『基礎から学ぶスペイン語教室』西川喬著、同学社、2017年初版、2500円（税別）

【参考書】

もし授業時間以外に自主学習する場合は、西川 喬著『わかるスペイン語文法』（同学社）がよいと思われるが、まずは、授業のテキストを習得することが肝要である。そのほか、参考書やスペイン語圏についての書籍に興味があったら教員に尋ねてください。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：30%、学期末試験：70%。

期末試験を受けなかった場合は、評価自体をせず、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【Outline (in English)】**《Course outline》**

This course is designed to provide you with an understanding of elementary Spanish and a basic knowledge of the histories, societies and cultures of the Spanish-speaking world.

《Learning Objectives》

Students will gain the knowledge of Spanish elementary grammar. In addition, you will be able to enjoy reading and writing easy Spanish text.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Classroom and homework (30%), and term-end examination (70%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)		
スペイン語 2 I		2017年度以降入学者
鈴木 正士		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月3/Mon.3		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、スペイン語文法学習を中心にして、スペイン語の基礎を身につける授業であるが、文法だけでなく、日常的な簡単な会話表現も学んでいく。さらに、言語の学習のみでなく、スペイン語圏の事象についても知見を広げていくことを目的とする。

【到達目標】

スペイン語の文法を理解し、発音に慣れ、挨拶や簡単な自己紹介ができるようになるということ、そして、スペイン語の学習を通して、スペイン語圏への関心を深めるということ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業です。

基本的には教科書に沿って、教員が文法事項を解説する。受講者には文法事項に関する問題や会話形式の問題を解いてもらう。CDや教員の発音をまねて本文を音読する。練習問題は、宿題の場合もあれば授業内で行う場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション、アルファベットとあいさつ	授業概要説明。 アルファベットと発音、あいさつの練習、 数詞1～10まで
2	発音、名詞	発音に関するルールを理解する。 名詞の性と数を理解する。
3	冠詞、主語人称代名詞、動詞 ser, estar	冠詞の概念を理解する。 主語人称代名詞と動詞の活用 の概念を理解する。 動詞 ser と estar の活用と用法を練習する。
4	形容詞、所有形容詞	形容詞と所有形容詞の使い方を理解し練習する。数詞10から15
5	規則変化動詞 hablar, comer, vivir 、指示形容詞	規則活用動詞の活用と用法を確認し練習する。 指示形容詞の用法を確認し練習する。 数詞16から20
6	動詞 haber 、動詞 estar と haber の違い	動詞 haber の hay の用法を確認し練習する。動詞 estar との違いを理解し、使い分けの練習をする。数詞21から30
7	一人称単数だけが不規則な動詞について	一人称単数形だけが不規則な動詞を理解し、練習をする。
8	語幹母音変化動詞	語幹母音変化動詞の用法と活用を学び練習する。
9	動詞 tener, ir について、時刻の表現	tener, ir の用法と活用を学び練習する。時刻の表現を確認し、 ser を用いた表現の練習をする。

10	目的格人称代名詞	目的格人称代名詞について、英語との比較から学ぶ。
11	疑問詞、主な前置詞、天候表現	これまでに出てきている疑問詞や前置詞をまとめ、理解を深める。 天候表現を確認し、練習する。
12	再帰代名詞について	再帰代名詞について、英語との比較から学ぶ。
13	再帰動詞のについて	再帰動詞の用法と活用を学び練習する。
14	春学期のまとめ。期末試験とその解説	春学期に学習したことをまとめる。期末試験を行い、その解説をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をすること。復習を兼ねて宿題を確実にやり、わからないところを明確にする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『基礎から学ぶスペイン語教室』西川喬著、同学社、2017年初版、2500円（税別）

【参考書】

もし授業時間以外に自主学習する場合は、西川 喬著『わかるスペイン語文法』（同学社）がよいと思われるが、まずは、授業のテキストを習得することが肝要である。そのほか、参考書やスペイン語圏についての書籍に興味があったら教員に尋ねてください。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：30％、学期末試験：70％。

期末試験を受けなかった場合は、評価自体をせず、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【Outline (in English)】

The course will explain the basic Spanish grammar. At the end of the course, students are expected to speak in plain Spanish: greeting, brief self-introduction, plain description etc. Please prepare for the lesson before/after 1 hour of preparation and review. Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Classwork and homework (30%), and term-end examination (70%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語Ⅱ

2017年度以降入学者

鈴木 正士

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

まずはスペイン語文法の基礎を学んでいく。そして、スペイン語圏の歴史・文化・社会に関する知識を得て、それらに対する関心を深めていくことを目的とする。

【到達目標】

スペイン語の初級文法を習得し、スペイン語圏の歴史・文化・社会への理解に基づいて、平易な文章の読み書きができるようになるということ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員が文法説明をするので、受講者は練習問題に取り組んでください。CDを聞き、教員が発音するので、一緒に発音して文章を覚えていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の学習事項を復習し、新たな学習事項に取り組むための足固めを行う。
2	所有形容詞（後置形）について	所有形容詞を習得する。数詞1から100までの復習
3	比較級と最上級	比較級と最上級の用法を習得する。数詞100から200
4	過去分詞	過去分詞の用法を習得する。
5	現在完了	現在完了の用法を習得する。
6	現在分詞	現在分詞の用法を習得する。
7	現在進行形	現在進行形の用法を習得する。
8	点過去の規則活用	点過去の規則活用と用法を習得する。
9	点過去の不規則活用	点過去の不規則活用と用法を習得する。
10	線過去	線過去の活用と用法を習得する。
11	関係詞	関係詞の用法を習得する。数詞200から1000
12	一般人称表現	一般人称表現を習得する。数詞の学習のまとめ
13	過去完了	過去完了の用法を習得する。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定範囲の準備学習と復習をすること。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『基礎から学ぶスペイン語教室』西川喬著、同学社、2017年初版、2500円（税別）

【参考書】

もし授業時間以外に自主学習する場合は、西川 喬著『わかるスペイン語文法』（同学社）がよいと思われるが、まずは、授業のテキストを習得することが肝要である。そのほか、参考書やスペイン語圏についての書籍に興味があったら教員に尋ねてください。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：30%、学期末試験：70%。
期末試験を受けなかった場合は、評価自体をせず、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course is designed to provide you with an understanding of elementary Spanish and a basic knowledge of the histories, societies and cultures of the Spanish-speaking world.

《Learning Objectives》

Students will gain the knowledge of Spanish elementary grammar. In addition, you will be able to enjoy reading and writing easy Spanish text.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Classroom and homework (30%), and term-end examination (70%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)	
スペイン語 2 I	2017年度以降入学者
大貫 良史	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金 4/Fri.4	
単位数：1 単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

＜課題に対するフィードバックの方法＞

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う

本授業は原則として対面で行うが、状況を鑑みオンライン授業を実施することがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 発音とアクセント	授業の概要説明。 スペイン語のアルファベット など つづりの読み方とアクセント
2	名詞の性、数	名詞の性、名詞の数
3	冠詞	定冠詞、不定冠詞
4	形容詞の基本	母音で終わる形容詞、子音で終わる形容詞の語形変化など
5	語尾が脱落する形容詞	語尾が脱落する形容詞の語形変化など
6	ser 動詞の活用	動詞 ser の現在形
7	自己紹介	動詞 ser を使った自己紹介の方法
8	estar 動詞の活用	動詞 estar の現在形と用法および hay の用法
9	動詞の使い分け	動詞 ser, estar, hay の使い分け
10	直説法現在	直説法現在形の規則活用
11	時刻と数字 1～12	時刻の言い方、数字（1～12）
12	不規則活用と指示代名詞、指示形容詞	直説法現在形の不規則活用と指示形容詞、指示代名詞
13	数字 13～30	数字（13～30） 試験に向け、質問など
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。

特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。
本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『スペイン語キックオフ』泉水浩隆（白水社）ISBN：9784560016794

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。
授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

2年次以降で再履修の学生は、原則、「スペイン語補講」を履修してください。許可なしでの履修は認めません。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand basic Spanish, in the simple present and past tense.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語Ⅱ

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期のスペイン語2Iから連続する。

テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

＜課題に対するフィードバックの方法＞

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う。

本授業は原則として対面で行うが、状況に応じオンラインで授業を実施する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	直説法現在形 動詞の不規則活用 I
2	所有形容詞 数字（31～99）	所有形容詞（前置形） 数字（31～99）
3	動詞の不規則活用	直説法現在形 動詞の不規則活用 II tener que+不定詞
4	数字（100～999） 目的格代名詞の基本	数字（100～999） 直接目的格人称代名詞および間接目的格人称代名詞
5	gustar 動詞	動詞 gustar の用法
6	gustar 型動詞	動詞 gustar と同様な使い方がされる動詞
7	再帰動詞 無人称表現	再帰動詞 se を用いた無人称表現
8	時刻 天候の表現	時刻の言い方 天気 of の言い方
9	直説法点過去	直説法点過去形の規則活用
10	過去の天候表現	過去の天気 of の言い方
11	直説法点過去 日付、曜日、月	直説法点過去形の不規則活用 日付、曜日、月の名前と使い方
12	直説法線過去	直説法線過去形の規則活用
13	直説法線過去 点過去、線過去	直説法線過去形の不規則活用 点過去と線過去の対比

14 試験・まとめと解説 筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『スペイン語キックオフ』泉水浩隆（白水社）ISBN：9784560016794

【参考書】

『西和辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

2年次以降で再履修の学生は、原則、「スペイン語補講」を履修してください。許可なしでの履修は認めません。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand basic Spanish, in the simple present and past tense.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)		
スペイン語 2 I		2017年度以降入学者
長谷川 悦夫		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火3/Tue.3		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語を読む、聞く、書く、話すという4つの技能を、バランスをとりながら習得する。スペインや中南米のスペイン語圏地域の文化についての理解を深める。

【到達目標】

よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。

自分や他人を紹介することができ、住所、職業、国籍・出身地、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。GUSTAR型動詞の用法を理解し、好みや興味について話すことができる。動詞 QUERER、PODER の用法を理解して自分の希望や相手への依頼を伝えることができる。相手がゆっくり、はっきりと話してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進める。教科書の各課は、「聞いて考えよう(導入)」、「文法のポイント」、「使ってみよう(語彙・表現)」、「もう少しがんばろう(文化紹介)」から成る。このうち授業で扱うのは「文法のポイント」と「使ってみよう」である。「聞いて考えよう」については、予習として各自が授業前に取り組むことを推奨する。教員が文法の解説を行った後、作文、会話練習、聴き取り練習を行う。

また、毎回Hoppiiで課題の提出を求める。課題は、毎回の授業への質問・感想である。それについては、次の授業でフィードバックを行う。

本授業は対面形式で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス Unidad 1	本シラバスを用いた授業の説明。 文字と発音、アクセント、数 1-10(教科書 pp.2-4)。
2	Unidad 1 Unidad 2	あいさつと自己紹介(pp.4-5)、 アルファベット(p.6)、名詞の性 数(pp.8-9)。
3	Unidad 2	定冠詞、家族、教室にあるもの、 DEの使い方、語順(pp.9-11)。
4	Unidad 3	主語人称代名詞、動詞SER、否 定文・疑問文、国名と国籍 (pp.14-16)。
5	Unidad 3 Unidad 4	職業、自己紹介(pp.16-17)、動 詞TENER、不定冠詞、形容詞 (p.20)。
6	Unidad 4	所有形容詞前置形、数11-30、 TENER演習、外見・性格、人 やペットの描写(pp.21-23)。
7	理解度確認	中間試験。
8	Unidad 5	指示形容詞、動詞HABER・ HAY、動詞ESTAR、場所を表 す副詞、キャンパスとその周辺、 数30-100(pp.26-28)。

9	Unidad 6	現在規則動詞、動詞HACER、 疑問詞、頻度の表現、曜日 (pp.32-34)。
10	Unidad 7	動詞IR・VENIR、動詞 QUERER・PODER、動詞を組 み合わせて作る表現、疑問詞、 数100-1000、時の表現 (pp.38-40)。
11	Unidad 8	動詞GUSTAR、動詞 ENCANTAR・INTERESAR・ PARECER、好みの比較、指示 代名詞、食べ物と飲み物 (pp.44-46)。
12	Unidad 9	直接目的人称代名詞、動詞 SABER・CONOCER、不定語 と否定語、交通手段と前置詞、 天候表現、月と季節(pp.50-52)。 春学期の授業を振り返る。補足 説明を行う。
13	予備日	期末試験。
14	理解度確認	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をする。予習としては、教科書の文法事項の説明を読んで、練習問題に取り組むことが理想的であるが、少なくとも分からない単語の意味は辞書で調べておくこと。音声サイトの音源を聴き、スペイン語の音になれる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

中島・アスティゲタ(2024)『ケンと身につけよう、スペイン語4技能(Espanol cuatro destrezas)』朝日出版社。ISBN978-4-255-55153-1。

【参考書】

西和辞典は用意すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業での学習状況や参加度)を30%、中間試験の点数を30%、期末試験の点数を40%として総合的に評価する。

授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。

欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列举した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業、丁寧な説明を心がける。教科書の内容と教員の説明は完全に理解しなくてもよい。100%理解できるに越したことはないが、70%の習得を目指すつもりで授業についてきてほしい。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言(質問・問いかけに対する応答)を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を繰り返して行くと、成績評価に際して減点の材料となるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。
etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

In this class, students will develop a balanced understanding of the four key language skills: reading, listening, writing, and speaking in Spanish.

By the end of this course, students will be able to understand and use everyday expressions and basic phrases, introduce themselves and others and ask and answer questions about personal information, talk about preferences and interests, express wishes and requests, and carry out simple interactions, provided the other person speaks slowly and clearly.

Students should read the grammatical explanations in the textbook, work on conversations and exercises, and listen to the sound files to be familiar with the rhythm and sounds of Spanish. The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The final grade will be calculated according to the following component; mid-term exam 30%, final exam 40%, class contribution 30%.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)		
スペイン語Ⅱ		2017年度以降入学者
長谷川 悦夫		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：火3/Tue.3		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語を読む、聞く、書く、話すという4つの技能を、バランスをとりながら習得する。スペインや中南米のスペイン語圏地域の文化についての理解を深める。

【到達目標】

代名動詞(再帰動詞)の用法を理解して、自らの日常生活や習慣について説明できる。感覚や心身の状態について話すことができる。動詞DOLERを用いて、痛みについて説明できる。現在完了形、点過去形、線過去形を用いて、過去の行動や状況、経験の有無について話すことができる。形容詞と副詞の比較級と最上級を用いて、比較の観点をを用いて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進める。教科書の各課は、「聞いて考えよう(導入)」、「文法のポイント」、「使ってみよう(語彙・表現)」、「もう少しがんばろう(文化紹介)」から成る。このうち授業で扱うのは「文法のポイント」と「使ってみよう」である。「聞いて考えよう」については、予習として各自が授業前に取り組むことを推奨する。教員が文法の解説を行った後、作文、会話練習、聴き取り練習を行う。また、毎回Hoppiiで課題の提出を求める。課題は、毎回の授業への質問・感想である。それについては、次の授業でフィードバックを行う。本授業は対面形式で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス、Unidad 10	語幹母音変化動詞、代名動詞(pp.56-57)。
2	Unidad 10 Unidad 11	時刻の表現(p.58)、現在分詞と現在進行形、心身の状態、(p.62)。
3	Unidad 11	MUCHO・POCO + 名詞、不定・否定代名詞、体の部分、痛みを表す動詞DOLER、否定疑問、体調に関する会話(pp.63-65)。
4	Unidad 12	関節目的人称代名詞、形容詞の比較、所有詞後置形、日常で使う服・もの、色、大きな数1000-3000000(pp.68-70)。
5	Unidad 13	現在完了と過去分詞、ESTAR + 過去分詞、序数、日付、経験(pp.74-76)。
6	Unidad 14	点過去1、過去の時を表す表現、絶対最上級、観光地・都市にあるもの(pp.80-82)。
7	理解度確認	中間試験。
8	Unidad 15：点過去2、接続詞、旅の準備(pp.86-88)。	指示形容詞、動詞HABER・HAY、動詞ESTAR、場所を表す副詞、キャンパスとその周辺、数30-100(pp.26-28)。

9	Unidad 15	ライフイベント、旅行(pp.16-17)、線過去(p.92)。
10	Unidad 16	数量・程度の表現と比較(p.93)、子どものころ(p.95)。
11	Unidad 17	動詞を組み合わせて作る表現2、副詞とその比較(pp.98-99)。
12	Unidad 17 Unidad 18	家族・身近な人2(pp.100-101)、過去完了、最上級(pp.104-105)。
13	Unidad 18	基本的な情報通信の用語、メッセージ(pp.106-107)。
14	理解度確認	期末試験。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をする。予習としては、教科書の文法事項の説明を読んで、練習問題に取り組むことが理想的であるが、少なくとも分からない単語の意味は辞書で調べておくこと。音声サイトの音源を聴き、スペイン語の音になれる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

中島・アスティゲタ(2025)『ケンと身につけよう、スペイン語4技能(Espanol cuatro destrezas)』朝日出版社。ISBN978-4-255-55153-1。

【参考書】

西和辞典は用意すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業での学習状況や参加度)を30%、中間試験の点数を30%、期末試験の点数を40%として総合的に評価する。授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業、丁寧な説明を心がける。教科書の内容と教員の説明は完全に理解しなくてもよい。100%理解できるに越したことはないが、70%の習得を目指すつもりで授業についてきてほしい。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言(質問・問いかけに対する応答)を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を繰り返して行くと、成績評価に際して減点の材料となるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。
etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

In this class, students will develop a balanced understanding of the four key language skills: reading, listening, writing, and speaking in Spanish.

By the end of this course the students will be able to describe their daily lives and habits by understanding and using reflexive verbs, talk about sensations, mental states, and physical conditions, describe pain using the verb "doler", discuss past actions, situations, and experiences using the present perfect, past preterite, and past imperfect tense, and make comparisons using comparative and superlative forms of adjectives and adverbs.

Students should read the grammatical explanations in the textbook, work on conversations and exercises, and listen to the sound files to be familiar with the rhythm and sounds of Spanish. The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The final grade will be calculated according to the following component; mid-term exam 30%, final exam 40%, class contribution 30%.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語2 I

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業だが、社会情勢によってオンライン授業に切り替わる可能性があるため、学習支援を確認すること。テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。

また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション および第1課	授業方針の説明とアルファベットの等、スペイン語の初歩的事柄の解説
2	第2課 名詞の性・数	名詞の性、名詞の数
3	第2課 冠詞および主格人称代名詞について	冠詞、主格人称代名詞
4	第4課 スペイン語における重要なser動詞の使い方の説明	ser動詞の活用と用法
5	第5課 形容詞の性・数。疑問文と否定文	形容詞の性と数、疑問文と否定文
6	第4課 estar動詞とhayの違いについて	estar動詞、hay + 名詞
7	第4課 serとestarの違い 指示形容詞について	serとestarの比較、estarとhayの比較、指示形容詞
8	第5課 動詞規則動詞の活用	規則動詞-ar動詞の活用と現在時の用法
9	第5課 関係目的格代名詞の説明	疑問詞の用法、間接・直接目的語に付く前置詞a
10	第6課 規則動詞の活用	規則動詞-er動詞、-ir動詞の活用

11	第6課 所有形容詞の説明	所有形容詞（前置形、後置形）
12	第7課 目的格人称代名詞の説明	目的格人称代名詞
13	第7課 gustar型動詞の説明	gustar型動詞の用法
14	試験 今までの振り返りとしての試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を事前に辞書で調べておくこと。
語学習得の秘訣は復習である。授業後の復習を必ず行い、反復練習に励むこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ブラサ・マヨールI 改訂ソフト版 ーベーシック・スペイン語ー』、青砥清一、パロマ・トレナド、高松秀樹 ほか（著）、朝日出版社、1,900円（+税）

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度40%、試験60%を基本とし、総合的に評価するが、試験は60点以上を獲得しないと単位は与えられない。

また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加えることがある。反対に消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は減点の対象とみなす。

欠席は3回までとする。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。配布されるリアクションペーパーには質問や確認したい事項を記入すること。質問などについては授業内で復習するなどの対応をします。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書必携

【その他の重要事項】

初回よりテキストを必ず持参すること。

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60%is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語Ⅱ

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期のスペイン語Ⅱから連続する。基本的に対面授業だが、社会情勢に応じてオンライン授業に切り替わる可能性があるので、学習支援を確認すること。

テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。

また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第8課前半	不規則動詞、語幹母音変化動詞の活用
2	第8課後半	querer と poder の活用と様々な用法
3	第9課	不規則動詞の活用、hacer の様々な用法
4	第10課前半	再帰動詞の活用と用法
5	第10課後半	再帰動詞の用法、感嘆文
6	第11課前半	過去分詞、現在分詞
7	第11課後半	現在完了の活用と用法
8	第12課前半	点過去規則活用と点過去の用法
9	第12課後半	不定語と否定語、比較表現
10	第13課前半	点過去（不規則）1
11	第13課後半	点過去（不規則）2
12	第14課前半	再帰動詞の点過去
13	第14課後半	線過去
14	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。
特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ブラサ・マヨールⅠ ソフト版 ーベーシック・スペイン語ー』、青砥清一、パロマ・トレナド、高松秀樹 ほか（著）、朝日出版社、1,900円（+税）

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価するが試験は60点以上獲得しないと単位は取得できない。

また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は減点の対象とみなす。

欠席は3回までとする。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。配布されるリアクションペーパーには質問や確認したい事項を記入すること。質問などについては授業内で復習するなどの対応をします。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書必携

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60%is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語Ⅱ

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基礎知識とスペイン語圏の文化を学ぶ授業です。基礎的なスペイン語文法の学習に加えて会話を習得することを目的とします。またスペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指します。

【到達目標】

スペイン語で日常会話ができるようになることを目標とします。また、辞書を使用しながら、簡単なテキストを読解できるようになることも目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められます。必要に応じて教員が説明を行います。基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待されます。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	スペイン語紹介	南米でスペイン語を話す国々。南米のスペイン語。
2	スペイン語で自己紹介	目的人称代名詞、再帰代名詞
3	発音	教室で役に立つ表現。名前と苗字
4	数字I. 歴史上の人物	名詞、定冠詞、主語代名詞
5	職業、国籍	SER直説法現在、疑問文と否定文
6	数字II. 家族	不定冠詞、品質形容詞、所有詞前置形
7	親族、ジェスチャー	TENER直説法現在、疑問詞I
8	位置関係、場所を表す副詞	指示形容詞、指示代名詞
9	数字III. 序数、世界世界遺産の都市	ESTAR直説法現在I. HABERの活用
10	曜日	規則動詞 直説法現在、不規則動詞(HACER, IR) 直説法現在
11	頻度を表す副詞表現	現在形の用法、疑問詞II
12	時間	前置詞、
13	月と季節	語幹母音変化動詞I
14	試験・まとめと解説	期末試験を実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「Entre amigos 1」

2a.edición (総合スペイン語コース初級 改訂版)

Editorial Asahi

【参考書】

辞書(電子辞書可、初修者には紙辞書が良いとされています)

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験及び平常点50%

小テスト20%、期末試験の結果30%

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

It is a class to learn the basic knowledge of Spanish and culture of the Spanish-speaking countries. Its objective is to master the conversation as well as the basic learning of Spanish grammar. We also aim to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

Upon completion of this course, students will be able to understand and express themselves in Spanish in daily life situations. They will also be able to read and understand simple texts with the help of a dictionary.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語Ⅱ

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基礎知識とスペイン語圏の文化を学ぶ授業です。基礎的なスペイン語文法の学習に加えて会話を習得することを目的とします。またスペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指します。

【到達目標】

スペイン語で日常会話ができるようになることを目標とします。また、辞書を使用しながら、簡単なテキストを読解できるようになることも目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められます。必要に応じて教員が説明を行います。基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待されます。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	住居/天候表現	語幹母音変化動詞
2	日常	再帰動詞
3	食べ物と飲み物	直接目的人称代名詞/動詞 VER, SABER, CONOCER
4	レシピ/レストランで	SABER+不定詞.PODER+不定詞.QUERER+不定詞.PODER+不定詞
5	衣服とアクセサリ/買い物	前置詞(a, de, en,...)間接目的人称代名詞/比較現在 I
6	色/クリスマス	動詞 DAR, TRAER, DECIR. 不規則な比較級を持つ形容詞
7	余暇活動	動詞 GUSTAR. GUSTARと同じように用いられる動詞 ENCANTAR, INTERESAR, PARECER, IMPORTAR.
8	趣味/スポーツ	比較現在 II/比較表現 III/数量の比較
9	体の部分の名称	動詞 DOLER. ESTAR II
10	状態	SER+形容詞. estar+形容詞
11	体調・感情表現	感情文. SER+形容詞. estar+形容詞
12	日常行われるスポーツ	TENER QUE+不定詞 HAY QUE+不定詞. 不定語と否定語
13	旅行	直説法点過去. 直説法点過去 規則活用.
14	試験・まとめと解説	期末試験を実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします

【テキスト（教科書）】

「Entre amigos 1」

2a.edición(総合スペイン語コース初級 改訂版)

Editorial Asahi

【参考書】

辞書(電子辞書可、初修者には紙辞書が良いとされています)

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

It is a class to learn the basic knowledge of Spanish and culture of the Spanish-speaking countries. Its objective is to master the conversation as well as the basic learning of Spanish grammar. We also aim to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

Upon completion of this course, students will be able to understand and express themselves in Spanish in daily life situations. They will also be able to read and understand simple texts with the help of a dictionary.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語2 I

2017年度以降入学者

鈴木 正士

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、スペイン語文法学習を中心にして、スペイン語の基礎を身につける授業であるが、文法だけでなく、日常的な簡単な会話表現も学んでいく。さらに、言語の学習のみでなく、スペイン語圏の事象についても知見を広げていくことを目的とする。

【到達目標】

スペイン語の文法を理解し、発音に慣れ、挨拶や簡単な自己紹介ができるようになるということ、そして、スペイン語の学習を通して、スペイン語圏への関心を深めるということ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業です。

基本的には教科書に沿って、教員が文法事項を解説する。受講者には文法事項に関する問題や会話形式の問題を解いてもらう。CDや教員の発音をまねて本文を音読する。練習問題は、宿題の場合もあれば授業内で行う場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション、アルファベットとあいさつ	授業概要説明。 アルファベットと発音、あいさつの練習、 数詞1～10まで
2	発音、名詞	発音に関するルールを理解する。 名詞の性と数を理解する。
3	冠詞、主語人称代名詞、動詞 <i>ser, estar</i>	冠詞の概念を理解する。 主語人称代名詞と動詞の活用 の概念を理解する。 動詞 <i>ser</i> と <i>estar</i> の活用と用法を練習する。
4	形容詞、所有形容詞	形容詞と所有形容詞の使い方を理解し練習する。数詞10から15
5	規則変化動詞 <i>hablar, comer, vivir</i> 、指示形容詞	規則活用動詞の活用と用法を確認し練習する。 指示形容詞の用法を確認し練習する。 数詞16から20
6	動詞 <i>haber</i> 、動詞 <i>estar</i> と <i>haber</i> の違い	動詞 <i>haber</i> の <i>hay</i> の用法を確認し練習する。動詞 <i>estar</i> との違いを理解し、使い分けの練習をする。数詞21から30
7	一人称単数だけが不規則な動詞について	一人称単数形だけが不規則な動詞を理解し、練習をする。
8	語幹母音変化動詞	語幹母音変化動詞の用法と活用を学び練習する。
9	動詞 <i>tener, ir</i> について、時刻の表現	<i>tener, ir</i> の用法と活用を学び練習する。時刻の表現を確認し、 <i>ser</i> を用いた表現の練習をする。

10	目的格人称代名詞	目的格人称代名詞について、英語との比較から学ぶ。
11	疑問詞、主な前置詞、天候表現	これまでにでてきている疑問詞や前置詞をまとめ、理解を深める。 天候表現を確認し、練習する。
12	再帰代名詞について	再帰代名詞について、英語との比較から学ぶ。
13	再帰動詞のについて	再帰動詞の用法と活用を学び練習する。
14	春学期のまとめ。期末試験とその解説	春学期に学習したことをまとめる。期末試験を行い、その解説をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をすること。復習を兼ねて宿題を確実にやり、わからないところを明確にする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『基礎から学ぶスペイン語教室』西川喬著、同学社、2017年初版、2500円（税別）

【参考書】

もし授業時間以外に自主学習する場合は、西川 喬著『わかるスペイン語文法』（同学社）がよいと思われるが、まずは、授業のテキストを習得することが肝要である。そのほか、参考書やスペイン語圏についての書籍に興味があったら教員に尋ねてください。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：30％、学期末試験：70％。

期末試験を受けなかった場合は、評価自体をせず、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【Outline (in English)】

The course will explain the basic Spanish grammar. At the end of the course, students are expected to speak in plain Spanish: greeting, brief self-introduction, plain description etc. Please prepare for the lesson before/after 1 hour of preparation and review. Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Classwork and homework (30%), and term-end examination (70%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語Ⅱ

2017年度以降入学者

鈴木 正士

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

まずはスペイン語文法の基礎を学んでいく。そして、スペイン語圏の歴史・文化・社会に関する知識を得て、それらに対する関心を深めていくことを目的とする。

【到達目標】

スペイン語の初級文法を習得し、スペイン語圏の歴史・文化・社会への理解に基づいて、平易な文章の読み書きができるようになるということ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員が文法説明をするので、受講者は練習問題に取り組んでください。CDを聞き、教員が発音するので、一緒に発音して文章を覚えていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の学習事項を復習し、新たな学習事項に取り組むための足固めを行う。
2	所有形容詞（後置形）について	所有形容詞を習得する。数詞1から100までの復習
3	比較級と最上級	比較級と最上級の用法を習得する。数詞100から200
4	過去分詞	過去分詞の用法を習得する。
5	現在完了	現在完了の用法を習得する。
6	現在分詞	現在分詞の用法を習得する。
7	現在進行形	現在進行形の用法を習得する。
8	点過去の規則活用	点過去の規則活用と用法を習得する。
9	点過去の不規則活用	点過去の不規則活用と用法を習得する。
10	線過去	線過去の活用と用法を習得する。
11	関係詞	関係詞の用法を習得する。数詞200から1000
12	一般人称表現	一般人称表現を習得する。数詞の学習のまとめ
13	過去完了	過去完了の用法を習得する。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定範囲の準備学習と復習をすること。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『基礎から学ぶスペイン語教室』西川喬著、同学社、2017年初版、2500円（税別）

【参考書】

もし授業時間以外に自主学習する場合は、西川 喬著『わかるスペイン語文法』（同学社）がよいと思われるが、まずは、授業のテキストを習得することが肝要である。そのほか、参考書やスペイン語圏についての書籍に興味があったら教員に尋ねてください。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：30%、学期末試験：70%。
期末試験を受けなかった場合は、評価自体をせず、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course is designed to provide you with an understanding of elementary Spanish and a basic knowledge of the histories, societies and cultures of the Spanish-speaking world.

《Learning Objectives》

Students will gain the knowledge of Spanish elementary grammar. In addition, you will be able to enjoy reading and writing easy Spanish text.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Classroom and homework (30%), and term-end examination (70%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語(1) I

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基礎をしっかりと身に着けるための文法的解釈ができるようにすることを目的とする。

【到達目標】

現在形と点過去で話ができることを目標とする。簡単な文章を作成することができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

文法の説明と設問の練習など。各単元に応じて会話の練習なども含みます。リアクションペーパーは適宜配布するので疑問点や感想などを書き、これに対するフィードバックを授業内に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	アルファベットの練習	スペイン語のアルファベットの読み方
2	アルファベットの練習	スペイン語の発音、読み方の練習
3	名詞の性と数	スペイン語には名詞に男性形と女性形があることの説明およびそれらが複数になった時の形について
4	名詞の性と数と疑問文およびhayについて	前回の復習とスペイン語の疑問文および～があるのhayの説明
5	ser動詞について	「～は～である」を意味するser動詞の学習
6	ser動詞について	前回の文法的解釈の復習と練習問題
7	形容詞について	性変化のある形容詞についての説明
8	形容詞について	性変化のない形容詞について
9	estar動詞について	estar動詞の使い方についての文法的説明
10	estar動詞について	estar動詞の使い方についての文法的説明を踏まえたうえで練習問題を行う
11	ser動詞とestar動詞の使い分け	ser動詞とestar動詞の使い分けについての説明と練習
12	ser動詞とestar動詞の使い分け	ser動詞とestar動詞の使い分けについての説明と練習
13	指示形容詞とhayとestarの使い方	やや複雑なhayとestarの使い方の説明と練習
14	現在形規則動詞の説明	現在形規則動詞の説明と変化の仕方

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題を適宜出すので、復習は勿論宿題は必ずやっておくこと。復習には一時間程度費やすこと。

【テキスト（教科書）】

『ミ カミーノ』Mi Camino 同学社 定価2500 ISBN 978-4-8102-0433-9

【参考書】

新版「スペイン語の入門」

『クラウン西和辞典』（小学館）

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』（同学社）

【成績評価の方法と基準】

テスト60%、平常点（参加態度）40% 期末テストで60%取得しないと単位は取れないことに注意。授業中の携帯電話の使用は減点の対象となる。3回欠席すると単位は取得できない。紙媒体の辞書必携

【学生の意見等からの気づき】

なるべく学生が学びやすいスピードで丁寧に進めていくことにより、早くスペイン語に慣れるように努力する。リアクションペーパーを配布するので質問等や確認したい項目など書き込むこと。質問などについては授業内で復習をするなどの対応をとります。

【学生が準備すべき機器他】

スペイン語辞書（紙媒体のもの）インターネットにある翻訳機能の使用は禁止。

【その他の重要事項】

初回よりテキストを必ず持参すること。

【Outline (in English)】

The outline is to be able to use the correct verb and basic vocabularies and fraise. The learning objectives are to understand the basic grammar in order to be able to structure basic sentences. Learning activities outside of classroom should be about an hour as review. The grading criteria is to obtain 60 points (out of 100) at least in the examens at the end of the semester and 40% will respond to normal point such as the presence and correct response to the question. Also, the students are not allowed to be absent from the class more than three times.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語(1)Ⅱ

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

前期の学習を基礎としてさらにスペイン語に慣れて、基本的な会話や文章が作成できるようにする

【到達目標】

スペイン語にさらに慣れて文法をもとに会話に慣れる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを用いた文法的説明と練習問題の実施。リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。授業の理解度に応じて、適宜説明を増やしたり、配慮する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	現在形規則動詞復習	現在形規則動詞AR型の復習
2	現在形規則型動詞ER型、IR型	現在形規則型動詞ER型、IR型の説明と変化の練習
3	現在規則型動詞のまとめ	練習問題への取り組み
4	現在形語幹母音変化動詞	現在形の語幹母音変化動詞についての説明と練習問題への取り組み
5	現在形語幹母音変化動詞	現在形の語幹母音変化動詞についての説明と練習問題への取り組み
6	指示代名詞と所有形容詞	指示代名詞及び所有形容詞の説明
7	動詞の原形を従える動詞	動詞の原形を従える動詞についての説明と練習問題
8	現在形で一人称単数のみが不規則な動詞	現在形で一人称単数のみが不規則な動詞についての説明と練習問題への取り組み
9	時刻・曜日・天候の読み方	日常的に使う時刻と曜日・天候の読み方についての説明
10	現在形その他の不規則動詞および動詞の原形を従える動詞	現在形その他の不規則動詞および動詞の原形を従える動詞についての説明
11	目的格代名詞me,te,lo,la,nos,los,las	目的格代名詞me,te,lo,la,nos,los,lasについての説明と練習問題への取り組み
12	再帰動詞	再帰動詞についての説明および練習問題への取り組み
13	点過去、規則動詞	点過去の概念についての説明
14	点過去、規則動詞	点過去、規則動詞についての説明と練習問題への取り組み

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必要に応じて宿題を出し、プリントの配布を行うので必ずやっておくこと。復習に費やす時間は一時間程度を目安とする。

【テキスト（教科書）】

『ミ カミーノ』Mi Camino 同学社 定価2500 ISBN 978-4-8102-0433-9

【参考書】

『クラウン西和辞典』（小学館）

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』（同学社）

紙媒体の辞書必携

【成績評価の方法と基準】

テスト60%、平常点（参加態度）40% 期末テストで60%取得しなければ単位は取れないことに注意。授業中の携帯電話の使用は減点の対象となる。3回欠席すると単位は取得できない。

【学生の意見等からの気づき】

毎回配布するリアクションペーパーにわからない点、再度説明してほしい点などを書くこと。不明な単元については授業内で復習するなどの対応を行います。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書必携 インターネットを用いた携帯電話やPCなどの辞書機能は認めない

【Outline (in English)】

The outline is to be able to use the correct verb and basic vocabularies and fraise. The learning objectives are to understand the basic grammar in order to be able to structure basic sentences. Learning activities outside of classroom should be about an hour as review. The grading criteria is to obtain 60 points (out of 100) at least in the examens at the end of the semester and 40% will respond to normal point such as the presence and correct response to the question. Also, the students are not allowed to be absent from the class more than three times.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語(1) I

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

<課題に対するフィードバックの方法>

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う。

大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション および第1課	授業方針の説明とアルファベットの等、スペイン語の初歩的事柄の解説
2	名詞の性、数	名詞の性、名詞の数
3	冠詞と人称代名詞	冠詞、主格人称代名詞
4	動詞 ser の現在形	ser 動詞の活用と用法
5	形容詞の基本	形容詞の性と数、疑問文と否定文
6	estar 動詞の活用	動詞 estar の現在形と用法および hay の用法
7	動詞の使い分け	ser と estar の比較、 estar と hay の比較、指示形容詞
8	ar 動詞の直説法現在形規則活用	規則動詞 -ar 動詞の活用と現在形規則の用法
9	様々な疑問詞と前置詞「 a 」	疑問詞の用法、間接・直接目的語に付く前置詞 a
10	er,ir 動詞の直説法現在形規則活用	規則動詞 -er 動詞、 -ir 動詞の活用
11	所有形容詞の基本	所有形容詞（前置形、後置形）
12	目的格人称代名詞の基本	直接目的格人称代名詞と間接目的格人称代名詞
13	gustar 型動詞の基本	gustar 型動詞の用法
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を事前に辞書で調べておくこと。

語学学習の秘訣は復習である。授業後の復習を必ず行い、反復練習に励むこと。

本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『ブラサ・マヨール I 改訂ソフト版』青砥清一、パロマ・トレナド、高松秀樹 ほか(著)、朝日出版社、2,000円(+税)、ISBN: 978-4-255-55166-1

【参考書】

『西和辞典』(小学館)

『わかるスペイン語』西川喬 (同人社)

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

現在2年次以降で再履修の学生は、「スペイン語補講」を履修してください。許可のない履修は認めません。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand basic Spanish, in the simple present and past tense.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語(1)Ⅱ

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期のスペイン語2Iから連続する。

テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

＜課題に対するフィードバックの方法＞

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う。

大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	不規則動詞の基本	不規則動詞、語幹母音変化動詞の活用
2	不規則動詞と不定詞	quererとpoderの活用と様々な用法
3	不規則動詞の応用	不規則動詞の活用、hacerの様々な用法
4	再帰動詞の基本	再帰動詞の活用と用法
5	再帰動詞の進んだ用法	再帰動詞の用法、感嘆文
6	過去分詞と現在分詞	過去分詞、現在分詞の基本形と分詞構文、形容詞的用法
7	現在完了の基本	現在完了の活用と用法
8	過去形の基本：点過去	点過去規則活用と点過去の用法
9	否定語・不定語の用法	不定語と否定語、比較表現
10	点過去の不規則活用	点過去不規則活用の基本
11	語幹母音変化動詞の点過去不規則活用	語幹母音変化動詞の現在形と不規則活用の違い
12	再帰動詞の点過去	再帰動詞の点過去活用と用法
13	線過去の基本	線過去の活用と用法、点過去と線過去の対比
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。

特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。

本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『ブラサ・マヨールⅠ改訂ソフト版』青砥清一、パロマ・トレナド、高松秀樹 ほか(著)、朝日出版社、2,000円(+税)、ISBN: 978-4-255-55166-1

【参考書】

『西和辞典』(小学館)

『わかるスペイン語』西川喬 (同学社)

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

現在2年次以降で再履修の学生は、「スペイン語補講」を履修してください。許可のない履修は認めません。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand basic Spanish, in the simple present and past tense.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語(2) I

2017年度以降入学者

BARRIENTOS R J DAVID

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基礎を学び、様々な表現や語彙を身につけ、スペイン語で簡単な会話ができるようになることを目指す。

【到達目標】

授業で学ぶ文法事項を踏まえてスペイン語で会話をするができるようになる。また、正しい発音を身につけスペイン語を話すことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行う。授業は教科書に沿って進める。特にスペイン語の発音に重点を置き、コミュニケーションをはかる際に必要な会話の基本構造を学び練習する。課題等に対するフィードバックは授業時に口頭で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introducción y pronunciación	授業の説明とスペイン語のアルファベット、発音、アクセント、音節を学ぶ。
2	Pronombre personal y verbo "ser" 1	主語人称代名詞、動詞 ser を学ぶ。
3	Pronombre personal y verbo "ser" 2	文型、国名・国籍を学ぶ。
4	Verbos "hay" y "estar"	名詞の性と数、定冠詞と不定冠詞、動詞 hay 、動詞 estar を学ぶ。
5	Verbos "ser" y "estar" 1	形容詞、指示形容詞と指示代名詞を学ぶ。
6	Verbos "ser" y "estar" 2	ser + 形容詞、 estar + 形容詞を学ぶ。
7	Verbos "tener" y "hacer" 1	動詞 tener 、動詞 hacer を学ぶ。
8	Verbos "tener" y "hacer" 2	動詞 tener 、動詞 hacer を学ぶ。
9	Expresiones de estado del tiempo, y posesivos	天候表現、所有形容詞（前置系）を学ぶ。
10	Verbos regulares (-ar, -ir, -er) 1	規則活用動詞を学ぶ。
11	Verbo regulares (-ar, -ir, -er) 2	規則活用動詞を学ぶ。
12	Verbos irregulares (e→ie, o→ue, e→i)	語幹母音変化動詞を学ぶ。
13	Verbos "ir" y "venir"	動詞 ir 、 venir 、 al と del 、疑問詞、前置詞を学ぶ。
14	Repaso y examen	1回から13回までのまとめを行い、理解度の確認をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。復習、もしくは予習として、授業時に指定するテキストの文章を辞書を使って読む、または練習問題を解いておくこと。また、言語習得に音読は欠かせないため、テキストに載っているスペイン語の文を音読すること。

【テキスト（教科書）】

時任まり子『気ままにスペイン語』三修社、2400円

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

試験（50%）、口頭小テスト・筆記小テスト（25%）、授業参加・課題（25%）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【その他の重要事項】

出席が3分の2に満たない場合は評価対象外とします。

授業時の携帯電話等の電子機器・インターネットの使用は禁止します。（授業時に教員が使用を認めたときのみ使用可）

【Outline (in English)】

Course Outline: In this course you are going to learn the basics of Spanish and acquire various expressions and vocabulary so that you will be able to have simple conversations in Spanish.

Learning Objectives: The goals of this course is to be able to acquire correct pronunciation and engage in conversation in Spanish without grammatical errors.

Learning Activities Outside of Classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to work on the textbook to grasp the key learning points of the next class/review the previous class. Also, it is important to read the sentences in the textbook aloud to improve Spanish pronunciation.

Grading Criteria: Grading will be decided based on written exams (50%), oral exams (25%) and class participation and assignments (25%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語(2) II

2017年度以降入学者

BARRIENTOS R J DAVID

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基礎を学び、様々な表現や語彙を身につけ、スペイン語で簡単な会話ができるようになることを目指す。

【到達目標】

授業で学ぶ文法事項を踏まえてスペイン語で会話をするができるようになる。また、正しい発音を身につけスペイン語を話すことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行う。授業は教科書に沿って進める。特にスペイン語の発音に重点を置き、コミュニケーションをはかる際に必要な会話の基本構造を学び練習する。課題等に対するフィードバックは授業時に口頭で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introducción y la hora	授業の説明と時刻の表現、疑問詞を学ぶ。
2	Verbos "acabar" y "salir"	動詞 acabar, salir、近接未来、近接過去、疑問詞を学ぶ。
3	Comparativos	比較級、最上級を学ぶ。
4	Verbos "conocer" y "saber" 1	不規則活用動詞（yoの活用だけが不規則）、目的格人称代名詞を学ぶ。
5	Verbos "conocer" y "saber" 2	不規則活用動詞（yoの活用だけが不規則）、目的格人称代名詞を学ぶ。
6	Verbo "gustar" 1	前置詞の後の人称代名詞、動詞 gustar を学ぶ。
7	Verbo "gustar" 2	その他の gustar 型動詞を学ぶ。
8	Verbos reflexivos 1	再帰動詞の使い方を学ぶ。
9	Verbos reflexivos 2	再帰動詞の使い方を学ぶ。
10	Pretérito indefinido 1	点過去の使い方を学ぶ。
11	Pretérito indefinido 2	点過去の使い方を学ぶ。
12	Pretérito imperfecto 1	線過去の使い方を学ぶ。
13	Pretérito imperfecto 2	線過去の使い方を学ぶ。
14	Repaso y examen	1回から13回までのまとめを行い、理解度の確認をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。復習、もしくは予習として、授業時に指定するテキストの文章を辞書を使って読む、または練習問題を解いておくこと。また、言語習得に音読は欠かせないため、テキストに載っているスペイン語の文を音読すること。

【テキスト（教科書）】

時任まり子『気ままにスペイン語』三修社、2400円

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

試験（50%）、口頭小テスト・筆記小テスト（25%）、授業参加・課題（25%）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【その他の重要事項】

出席が3分の2に満たない場合は評価対象外とします。授業時の携帯電話等の電子機器・インターネットの使用は禁止します。（授業時に教員が使用を認めたときのみ使用可）

【Outline (in English)】

Course Outline: In this course you are going to learn the basics of Spanish and acquire various expressions and vocabulary so that you will be able to have simple conversations in Spanish.

Learning Objectives: The goals of this course is to be able to acquire correct pronunciation and engage in conversation in Spanish without grammatical errors.

Learning Activities Outside of Classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to work on the textbook to grasp the key learning points of the next class/review the previous class. Also, it is important to read the sentences in the textbook aloud to improve Spanish pronunciation.

Grading Criteria: Grading will be decided based on written exams (50%), oral exams (25%) and class participation and assignments (25%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語(2) I

2017年度以降入学者

鈴木 正士

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基本文法の習得を目指す。また、初歩的な文法事項の知識を生かしながら、簡単な読み物の読解ができるようになることを目指す。

【到達目標】

スペイン語の基礎となる正確な発音や文法の習得をめざす。春学期を通じて「直説法現在形の規則動詞」までの学習を終えることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書の内容に沿って、基本的には講義形式で文法事項を学んでいく。教科書の演習問題に関しては、受講者が積極的に参加することが必須となる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期の授業について、導入となるガイダンスを行なう。
2	スペイン語の発音	スペイン語の母音・子音の発音練習を行う。
3	スペイン語のアクセント	スペイン語のアクセントに関する基本的な規則を学ぶ
4	名詞の学習	スペイン語の名詞の性・数について学ぶ
5	冠詞の学習	スペイン語の冠詞について学ぶ
6	形容詞の学習	スペイン語の形容詞について学ぶ
7	ser動詞、estar動詞の学習	スペイン語のser動詞、estar動詞の用法について学ぶ
8	一般動詞の学習	スペイン語の一般動詞について学ぶ
9	一般動詞の不規則形の学習	スペイン語の一般動詞の不規則形について学ぶ
10	疑問文・否定文の学習	スペイン語の疑問文・否定文について学ぶ
11	間接・直接目的語の学習	スペイン語の間接・直接目的語について学ぶ
12	指示代名詞・指示形容詞の学習	スペイン語の指示形容詞・指示代名詞について学ぶ
13	期末試験・まとめと解説	期末試験を実施し、まとめと解説を行う。
14	総括	今学期の学習内容を振り返る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をすること。復習を兼ねて宿題を確実にやり、わからないところを明確にする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『基礎から学ぶスペイン語教室』西川喬著、同学社、2017年初版、2500円（税別）

【参考書】

もし授業時間以外に自主学習する場合は、西川 喬著『わかるスペイン語文法』（同学社）がよいと思われるが、まずは、授業のテキストを習得することが肝要である。そのほか、参考書やスペイン語圏についての書籍に興味があったら教員に尋ねてください。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：30%、学期末試験：70%。

期末試験を受けなかった場合は、評価自体をせず、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【Outline (in English)】

We will emphasize gaining the knowledge of Spanish basic grammar. In addition, students will be able to enjoy reading easy Spanish books through the use of their grammatical knowledge.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following;

Final exam70%, Active engagemen30%.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語(2)Ⅱ

2017年度以降入学者

鈴木 正士

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期にひきつづき、スペイン語の基本文法の習得を目指す。また、基本的な文法事項の知識を生かしながら、簡単な読み物の読解ができるようになることを目指す。

【到達目標】

春学期にひきつづき、スペイン語の基礎となる正確な発音や文法の習得をめざす。秋学期を通じて「直説法点過去形」と「直説法線過去形」までの学習を終えることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書の内容に沿って、基本的には講義形式で文法事項を学んでいく。教科書の演習問題に関しては、受講者が積極的に参加することが必須となる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の振り返り	春学期の期末試験の振り返りを通して、秋学期の学習に備える。
2	再帰動詞の学習	スペイン語の再帰動詞の用法について学ぶ。
3	無人称文の学習	スペイン語の無人称文について学ぶ。
4	現在完了の学習	スペイン語の現在完了について学ぶ。
5	動詞の点過去の学習	スペイン語の動詞点過去について学ぶ。
6	動詞の点過去（不規則形）の学習	スペイン語の動詞点過去（不規則形）について学ぶ。
7	動詞の線過去の学習	スペイン語の動詞線過去について学ぶ。
8	動詞の線過去（不規則形）の学習	スペイン語の動詞線過去（不規則形）について学ぶ。
9	関係詞の学習	スペイン語の関係詞について学ぶ。
10	過去形の使い分け その他の文法事項	点過去と線過去の使い分け練習を行う。 後期に学んだ学習事項の復習を行う。
11	リスニングトレーニング1	映像資料を活用して、リスニングの練習を行う。
12	リスニングトレーニング2	映像資料を活用してリスニングの練習を行う。
13	期末試験・まとめと解説	期末試験を実施し、まとめと解説を行う。
14	総括	今学期の学習内容を振り返る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で用いるテキストについて予習と復習の励行に努めること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『基礎から学ぶスペイン語教室』西川喬著、同学社、2017年初版、2500円（税別）

【参考書】

もし授業時間以外に自主学習する場合は、西川 喬著『わかるスペイン語文法』（同学社）がよいと思われるが、まずは、授業のテキストを習得することが肝要である。そのほか、参考書やスペイン語圏についての書籍があったら教員に尋ねてください。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：30%、学期末試験：70%。

期末試験を受けなかった場合は、評価自体をせず、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【Outline (in English)】

We will emphasize gaining the knowledge of Spanish basic grammar. In addition, students will be able to enjoy reading easy Spanish books through the use of their grammatical knowledge.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following;

Final exam70%, Active engagemen30%.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SAに参加する学生を対象とするこの授業では、スペイン語の基本文法の習得を目指す。また、初歩的な文法事項の知識を生かしながら、簡単な読み物の読解ができるようになることを目指す。

【到達目標】

スペイン語の基礎となる正確な発音や文法の習得をめざす。春学期を通じて「形容詞・副詞の比較」までの学習を終えることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に「対面」での授業となる。課題等に対するフィードバックは、授業内に口頭にて行なう。教員と学生との双方向的なコミュニケーションを軸に授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期の授業について、導入となるガイダンスを行なう。
2	スペイン語の発音	スペイン語の母音・子音の発音練習を行う。
3	スペイン語のアクセント	スペイン語のアクセントに関する基本的な規則を学ぶ
4	名詞の学習	スペイン語の名詞の性・数について学ぶ
5	冠詞の学習	スペイン語の冠詞について学ぶ
6	形容詞の学習	スペイン語の形容詞について学ぶ
7	ser動詞、estar動詞の学習	スペイン語のser動詞、estar動詞の用法について学ぶ
8	一般動詞の学習	スペイン語の一般動詞について学ぶ
9	一般動詞の不規則形の学習	スペイン語の一般動詞の不規則形について学ぶ
10	疑問文・否定文の学習	スペイン語の疑問文・否定文について学ぶ
11	間接・直接目的語の学習	スペイン語の間接・直接目的語について学ぶ
12	指示代名詞・指示形容詞の学習	スペイン語の指示形容詞・指示代名詞について学ぶ
13	接続詞の学習	スペイン語の接続詞について学ぶ
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で用いるテキストについて予習と復習の励行に努めること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『プラサ・マヨール I（改訂版）』（朝日出版社）

【参考書】

初回授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験(60%)、平常点(40%)を総合的に勘案して評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を心がける。

【Outline (in English)】

This course is intended for students to participate in SA program. We will emphasize gaining the knowledge of Spanish basic grammar. In addition, students will be able to enjoy reading easy Spanish books through the use of their grammatical knowledge.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following;

Term-end examination: 60%

in class contribution:40%

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語3

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SAに参加する学生を対象とするこの授業では、春学期にひきつづき、スペイン語の基本文法の習得を目指す。また、基本的な文法事項の知識を生かしながら、簡単な読み物の読解ができるようになることを目指す。

【到達目標】

春学期にひきつづき、スペイン語の基礎となる正確な発音や文法の習得をめざす。秋学期を通じて「過去未来形」までの学習を終えることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に「対面」での授業となる。課題等に対するフィードバックは、授業内に口頭にて行なう。教員と学生との双方向的なコミュニケーションを軸に授業を進める。教科書の内容に沿って、基本的な文法事項について学んでいく。随時小テストを実施し、受講生の理解度を確認しながら進める。小テストについては、採点済みの答案用紙を学生に返却し、答え合わせを行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の振り返り	春学期の期末試験の振り返りを通して、秋学期の学習に備える。
2	再帰動詞の学習	スペイン語の再帰動詞の用法について学ぶ。
3	無人称文の学習	スペイン語の無人称文について学ぶ。
4	現在完了の学習	スペイン語の現在完了について学ぶ。
5	動詞の点過去の学習	スペイン語の動詞点過去について学ぶ。
6	動詞の点過去（不規則形）の学習	スペイン語の動詞点過去（不規則形）について学ぶ。
7	動詞の線過去の学習	スペイン語の動詞線過去について学ぶ。
8	動詞の線過去（不規則形）の学習	スペイン語の動詞線過去（不規則形）について学ぶ。
9	関係詞の学習	スペイン語の関係詞について学ぶ。
10	動詞の未来形の学習	スペイン語の未来形について学ぶ。
11	動詞の未来形（不規則）の学習	スペイン語の動詞未来形（不規則）について学ぶ。
12	動詞の未来完了形の学習	スペイン語の動詞未来完了形について学ぶ。
13	動詞の過去未来形の学習	スペイン語の動詞過去未来形について学ぶ。
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で用いるテキストについて予習と復習の励行に努めること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ブラサ・マヨール I（改訂版）』（朝日出版社）

【参考書】

初回授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験(60%)、平常点(40%)を総合的に勘案して評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を心がける。

【その他の重要事項】

この授業は基本的に対面形式で行われるが、場合によってはオンライン形式へ変更となることがある。その場合は「学習支援システム」上で通知するので、こまめなチェックを怠らないこと。

【Outline (in English)】

This course is intended for students to participate in SA program. We will emphasize gaining the knowledge of Spanish basic grammar. In addition, students will be able to enjoy reading easy Spanish books through the use of their grammatical knowledge.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following;

Term-end examination: 60%

in class contribution:40%

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語2

2017年度以降入学者

佐々木 直美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SAに参加する学生を対象とするこの授業では、スペイン語の基本文法の習得を目指す。また、初歩的な文法事項の知識を生かしながら、簡単な読み物の読解ができるようになることを目指す。

【到達目標】

スペイン語の基礎となる正確な発音や文法の習得をめざす。春学期を通じて直説法現在形の規則動詞および不規則動詞の学習を終えることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書の内容に沿って、基本的には講義形式で文法事項を学んでいく。教科書の演習問題に関しては、受講者が積極的に参加することが必須となる。

質問は授業時間内に受け付け、それらの回答や課題のフィードバックは授業時間内または学習支援システムを活用して行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期の授業について、導入となるガイダンスを行なう。
2	スペイン語の発音	スペイン語の母音・子音の発音練習を行う。
3	スペイン語のアクセント	スペイン語のアクセントに関する基本的な規則を学ぶ
4	名詞の学習	スペイン語の名詞の性・数について学ぶ
5	冠詞の学習	スペイン語の冠詞について学ぶ
6	形容詞の学習	スペイン語の形容詞について学ぶ
7	ser動詞、estar動詞の学習	スペイン語のser動詞、estar動詞の用法について学ぶ
8	一般動詞の学習	スペイン語の一般動詞について学ぶ
9	一般動詞の不規則形の学習	スペイン語の一般動詞の不規則形について学ぶ
10	疑問文・否定文の学習	スペイン語の疑問文・否定文について学ぶ
11	間接・直接目的語の学習	スペイン語の間接・直接目的語について学ぶ
12	指示代名詞・指示形容詞の学習	スペイン語の指示形容詞・指示代名詞について学ぶ
13	期末試験・まとめと解説	期末試験を実施し、まとめと解説を行う
14	総括	今学期の学習内容を振り返る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で用いるテキストについて予習と復習の励行に努めること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ブラサ・マヨール I 改訂版・コミュニケーション・スペイン語』（朝日出版社）2,100円＋税

『段階別ドリル』グリーン版1600円＋税

【参考書】

随時、指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験(80%)、平常点・課題(20%)を総合的に勘案して評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を心がける。

【その他の重要事項】

1. 必ず紙辞書または電子辞書を購入し、毎回授業に持参すること。授業中のオンライン辞書の使用は認めない。

2. 各回の授業内容と順番は、受講者の理解度に合わせて調整する場合がある。

3. 本授業は対面授業であるが、状況に応じて6回を上限にオンライン授業を取り入れる場合もある。

【Outline (in English)】

This course is intended for students to participate in SA program. We will emphasize gaining the knowledge of Spanish basic grammar. In addition, students will be able to enjoy reading easy Spanish books through the use of their grammatical knowledge.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following;

Term-end examination: 80%

in class contribution:20%

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 4

2017年度以降入学者

佐々木 直美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SAに参加する学生を対象とするこの授業では、春学期にひきつづき、スペイン語の基本文法の習得を目指す。また、基本的な文法事項の知識を生かしながら、簡単な読み物の読解ができるようになることを目指す。

【到達目標】

春学期にひきつづき、スペイン語の基礎となる正確な発音や文法の習得をめざす。秋学期を通じて「未来形」までの学習を終えることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書の内容に沿って、基本的には講義形式で文法事項を学んでいく。教科書の演習問題に関しては、受講者が積極的に参加することが必須となる。

質問は授業時間内に受け付け、それらの回答や課題のフィードバックは授業時間内または学習支援システムを活用して行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の振り返り	春学期の期末試験の振り返りを通して、秋学期の学習に備える。
2	再帰動詞の学習	スペイン語の再帰動詞の用法について学ぶ。
3	無人称文の学習	スペイン語の無人称文について学ぶ。
4	現在完了の学習	スペイン語の現在完了について学ぶ。
5	動詞の点過去の学習	スペイン語の動詞点過去について学ぶ。
6	動詞の点過去（不規則形）の学習	スペイン語の動詞点過去（不規則形）について学ぶ。
7	動詞の線過去の学習	スペイン語の動詞線過去について学ぶ。
8	動詞の線過去（不規則形）の学習	スペイン語の動詞線過去（不規則形）について学ぶ。
9	関係詞の学習	スペイン語の関係詞について学ぶ。
10	動詞の未来形の学習	スペイン語の未来形について学ぶ。
11	動詞の未来形（不規則）の学習	スペイン語の動詞未来形（不規則）について学ぶ。
12	動詞の未来完了形の学習	スペイン語の動詞未来完了形について学ぶ。
13	期末試験・まとめと解説	期末試験を実施し、まとめと解説を行う。
14	総括	今学期の学習内容を振り返る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で用いるテキストについて予習と復習の励行に努めること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ブラサ・マヨール I（改訂版）』（朝日出版社）

『段階別ドリル』

【参考書】

随時、指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験(80%)、平常点・小課題(20%)を総合的に勘案して評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を心がける。

【その他の重要事項】

1. 必ず紙辞書または電子辞書を購入し、必ず毎回授業に持参すること。授業中のオンライン辞書の使用は認めない。

2. 各回の授業内容と順番は、受講者の理解度に合わせて調整する場合がある。

3. 本授業は対面授業であるが、状況に応じて6回を上限にオンライン授業を取り入れる場合もある。

【Outline (in English)】

This course is intended for students to participate in SA program. We will emphasize gaining the knowledge of Spanish basic grammar. In addition, students will be able to enjoy reading easy Spanish books through the use of their grammatical knowledge.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following;

Term-end examination: 80%

in class contribution:20%

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語5

2017年度以降入学者

久木 正雄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SA スペインに参加する学生を対象とするこの授業では、スペイン語の基本文法を修得する。また、初歩的な文法事項と語彙・表現の知識を活かしながら、簡単な読み書きができるようになることを目指す。

【到達目標】

スペイン語の基礎となる正確な発音や文法の修得を目指す。春学期を通じて「形容詞・副詞の比較」までの学習を終えることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員による文法説明の講義を踏まえて、学生が練習問題や講読・作文に取り組む。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期の授業について、導入となるガイダンスを行う。
2	文字と発音	スペイン語のアルファベットと発音について学ぶ。
3	アクセント	スペイン語のアクセントに関する規則を学ぶ。
4	名詞	スペイン語の名詞について学ぶ。
5	冠詞	スペイン語の冠詞について学ぶ。
6	形容詞	スペイン語の形容詞について学ぶ。
7	ser動詞とestar動詞	スペイン語のser動詞とestar動詞について学ぶ。
8	一般動詞（規則形）	スペイン語の一般動詞の規則形について学ぶ。
9	一般動詞（不規則形）	スペイン語の一般動詞の不規則形について学ぶ。
10	疑問文・否定文	スペイン語の疑問文・否定文について学ぶ。
11	間接・直接目的語	スペイン語の間接・直接目的語について学ぶ。
12	指示代名詞・指示形容詞	スペイン語の指示形容詞・指示代名詞について学ぶ。
13	接続詞と比較	スペイン語の接続詞と、形容詞・副詞の比較について学ぶ。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定範囲の準備学習と復習とともに、提出・非提出の別を問わず宿題に取り組むこと。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

- エンリケ・アルマラスほか『ブラサ・マヨールⅠ 改訂版』朝日出版社、2018年、ISBN978425550985、本体価格2,100円。

- 西村君代ほか『レベル別 スペイン語文法ドリル グリーン版』朝日出版社、2023年、ISBN9784255551418、本体価格1,600円。

【参考書】

適宜、教場にて紹介する。以下の【その他の重要事項】の欄も参照のこと。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：20%、小テスト：20%、学期末試験：60%。

【学生の意見等からの気づき】

学習事項の着実な修得のために、受講者一人ひとりの理解度をこまめに確認する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

初回の授業で数種紹介する西和辞典のうち、1つ以上を必ず用意し、毎回の授業に持参すること。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course is intended for students to participate in the SA-Program in Spain, and is designed to provide you with an understanding of elementary Spanish and a basic knowledge of the histories, societies and cultures of the Spanish-speaking world.

《Learning Objectives》

Students will gain the knowledge of Spanish elementary grammar. In addition, you will be able to enjoy reading and writing easy Spanish text.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Classwork and homework (20%), quizzes (20%), and term-end examination (60%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 6

2017年度以降入学者

久木 正雄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SA スペインに参加する学生を対象とするこの授業では、春学期に引き続き、スペイン語の基本文法を修得する。また、文法事項の知識と語彙・表現のさらなる充実によって、読み書き能力の向上を目指す。

【到達目標】

春学期に引き続き、スペイン語の基礎となる正確な発音や文法の修得を目指す。秋学期を通じて「過去未来形」までの学習を終えることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員による文法説明の講義を踏まえて、学生が練習問題や講読・作文に取り組む。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の学習事項を復習する。
2	再帰動詞	スペイン語の再帰動詞について学ぶ。
3	無人称文	スペイン語の無人称文について学ぶ。
4	現在完了	スペイン語の現在完了について学ぶ。
5	動詞の点過去形（規則形）	スペイン語の動詞の点過去形のうち、規則形について学ぶ。
6	動詞の点過去形（不規則形）	スペイン語の動詞の点過去形のうち、不規則形について学ぶ。
7	動詞の線過去形（規則形）	スペイン語の動詞の線過去形のうち、規則形について学ぶ。
8	動詞の線過去形（不規則形）	スペイン語の動詞の線過去形のうち、不規則形について学ぶ。
9	関係詞	スペイン語の関係詞について学ぶ。
10	動詞の未来形（規則形）	スペイン語の動詞の未来形のうち、規則形について学ぶ。
11	動詞の未来形（不規則形）	スペイン語の動詞の未来形のうち、不規則形について学ぶ。
12	動詞の過去未来形	スペイン語の動詞の過去未来形について学ぶ。
13	過去完了、未来完了、過去未来完了	スペイン語の過去完了、未来完了、過去未来完了について学ぶ。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定範囲の準備学習と復習とともに、提出・非提出の別を問わず宿題に取り組むこと。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

- エンリケ・アルマラスほか『プラサ・マヨールⅠ 改訂版』朝日出版社、2018年、ISBN9784255550985、本体価格2,100円。

- 西村君代ほか『レベル別 スペイン語文法ドリル グリーン版』朝日出版社、2023年、ISBN9784255551418、本体価格1,600円。

【参考書】

授業内で適宜紹介する。以下の【その他の重要事項】の欄も参照のこと。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：20％、小テスト：20％、学期末試験：60％。

【学生の意見等からの気づき】

学習事項の着実な修得のために、受講者一人ひとりの理解度をこまめに確認する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

春学期の「スペイン語5」と同様に、1種以上の西和辞典を必ず用意し、毎回の授業で活用すること。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course is intended for students to participate in the SA-Program in Spain, and is designed to provide you with an understanding of basic Spanish and a basic knowledge of the histories, societies and cultures of the Spanish-speaking world. 《Learning Objectives》

Students will gain the knowledge of Spanish basic grammar. In addition, you will be able to enjoy reading and writing Spanish text.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Classwork and homework (20%), quizzes (20%), and term-end examination (60%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1

2017年度以降入学者

鈴木 正士

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、スペイン語の基本文法の習得を目指す。また、初歩的な文法事項の知識を生かしながら、簡単な読み物の読解ができるようになることを目指す。

【到達目標】

スペイン語の基礎となる正確な発音や文法の習得をめざす。春学期を通じて「形容詞・副詞の比較」までの学習を終えることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

課題等に対するフィードバックは、授業内に口頭にて行なう。教員と学生との双方向的なコミュニケーションを軸に授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期の授業について、導入となるガイダンスを行なう。
2	スペイン語の発音	スペイン語の母音・子音の発音練習を行う。
3	スペイン語のアクセント	スペイン語のアクセントに関する基本的な規則を学ぶ
4	名詞の学習	スペイン語の名詞の性・数について学ぶ
5	冠詞の学習	スペイン語の冠詞について学ぶ
6	形容詞の学習	スペイン語の形容詞について学ぶ
7	ser動詞、estar動詞の学習	スペイン語のser動詞、estar動詞の用法について学ぶ
8	一般動詞の学習	スペイン語の一般動詞について学ぶ
9	一般動詞の不規則形の学習	スペイン語の一般動詞の不規則形について学ぶ
10	疑問文・否定文の学習	スペイン語の疑問文・否定文について学ぶ
11	間接・直接目的語の学習	スペイン語の間接・直接目的語について学ぶ
12	指示代名詞・指示形容詞の学習	スペイン語の指示形容詞・指示代名詞について学ぶ
13	接続詞の学習	スペイン語の接続詞について学ぶ
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をすること。復習を兼ねて宿題を確実にやり、わからないところを明確にする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『基礎から学ぶスペイン語教室』西川喬著、同学社、2017年初版、2500円（税別）

【参考書】

もし授業時間以外に自主学習する場合は、西川 喬著『わかるスペイン語文法』（同学社）がよいと思われるが、まずは、授業のテキストを習得することが肝要である。そのほか、参考書やスペイン語圏についての書籍に興味があったら教員に尋ねてください。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：30%、学期末試験：70%。

期末試験を受けなかった場合は、評価自体をせず、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【Outline (in English)】

We will emphasize gaining the knowledge of Spanish basic grammar. In addition, students will be able to enjoy reading easy Spanish books through the use of their grammatical knowledge.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following;

Term-end examination: 70%

in class contribution:30%

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語3

2017年度以降入学者

鈴木 正士

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、春学期にひきつづき、スペイン語の基本文法の習得を目指す。また、基本的な文法事項の知識を生かしながら、簡単な読み物の読解ができるようになることを目指す。

【到達目標】

春学期にひきつづき、スペイン語の基礎となる正確な発音や文法の習得をめざす。秋学期を通じて「過去未来形」までの学習を終えることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

課題等に対するフィードバックは、授業内に口頭にて行なう。教員と学生との双方向的なコミュニケーションを軸に授業を進める。教科書の内容に沿って、基本的な文法事項について学んでいく。受講生の理解度を確認しながら進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の振り返り	春学期の期末試験の振り返りを通して、秋学期の学習に備える。
2	再帰動詞の学習	スペイン語の再帰動詞の用法について学ぶ。
3	無人称文の学習	スペイン語の無人称文について学ぶ。
4	現在完了の学習	スペイン語の現在完了について学ぶ。
5	動詞の点過去の学習	スペイン語の動詞点過去について学ぶ。
6	動詞の点過去（不規則形）の学習	スペイン語の動詞点過去（不規則形）について学ぶ。
7	動詞の線過去の学習	スペイン語の動詞線過去について学ぶ。
8	動詞の線過去（不規則形）の学習	スペイン語の動詞線過去（不規則形）について学ぶ。
9	関係詞の学習	スペイン語の関係詞について学ぶ。
10	動詞の未来形の学習	スペイン語の未来形について学ぶ。
11	動詞の未来形（不規則）の学習	スペイン語の動詞未来形（不規則）について学ぶ。
12	動詞の未来完了形の学習	スペイン語の動詞未来完了形について学ぶ。
13	動詞の過去未来形の学習	スペイン語の動詞過去未来形について学ぶ。
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をすること。復習を兼ねて宿題を確実にやり、わからないところを明確にする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『基礎から学ぶスペイン語教室』西川喬著、同学社、2017年初版、2500円（税別）

【参考書】

もし授業時間以外に自主学習する場合は、西川 喬著『わかるスペイン語文法』（同学社）がよいと思われるが、まずは、授業のテキストを習得することが肝要である。そのほか、参考書やスペイン語圏についての書籍があったら教員に尋ねてください。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：30%、学期末試験：70%。
期末試験を受けなかった場合は、評価自体をせず、不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【その他の重要事項】

この授業は基本的に対面形式で行われるが、場合によってはオンライン形式へ変更となることがある。その場合は「学習支援システム」上で通知するので、こまめなチェックを怠らないこと。

【Outline (in English)】

This course is intended for students to participate in SA program. We will emphasize gaining the knowledge of Spanish basic grammar. In addition, students will be able to enjoy reading easy Spanish books through the use of their grammatical knowledge.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following;

Term-end examination: 70%

in class contribution:30%

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 2

2017 年度以降入学者

DANIEL FORTEA MUNOZ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語は、現代社会を理解するために必要不可欠な言語であることがすでに周知の事実です。しかしながら、日本では未だにスペイン語圏の事情があまり身近ではなくて、そこに潜んでいる可能性も十分に知らないままではいるとも言えるでしょう。

この授業はそういったギャップを埋めることに貢献するために、基礎スペイン語をしっかりと身につけることはもとより、スペイン語圏の社会・文化に関心を持つ機会をつくることも目的とします。

授業では、文法を確実にかつ分かりやすく説明するとともに、日常生活でよく使う語彙もたくさん盛り込みます。評価方法については、継続的な努力及び学習意欲を最優先する授業であるため、定期的な小テストや態度を大いに考慮します。

【到達目標】

① 基礎スペイン語の能力を確実に習得すること（ヨーロッパ言語共通参照枠 A1 レベル相当）。

② スペイン語学習とスペイン語圏の社会・文化に関心を持ち続けるためのモチベーションを見つけること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に教場で配布される資料（文法・語彙・練習）を使って授業を進めます。その他、以下の活動もあります。

① 小テスト〔70%〕：定期的に行う 15 分程度の筆記・リスニングのテストです。

② 態度〔30%〕：授業の内容を理解したり深めたりすること、クラスに貢献すること、スペイン語圏の社会・文化に触れようとするなど等を示す態度です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	Encantado. Soy Daniel. Mucho gusto.
2	アルファベット、発音、二重母音、強勢	—¿ Cómo estás? —Muy bien, gracias, ¿ y tú?
3	名詞の性数、定冠詞、主格人称代名詞、動詞 ser、疑問文、否定文	Rosa es entrenadora de fútbol y yo soy profesor de español.
4	不定冠詞、形容詞の性数、所有詞（前置形）	—¿ Cómo es tu universidad? —Es pequeña, pero es muy bonita.
5	動詞 tener	Mi familia tiene una casa en la montaña.
6	指示詞、動詞 estar、動詞 ser, estar の使い分け	Esta niña es muy activa, pero hoy está un poco cansada.
7	動詞 haber、動詞 estar, haber の使い分け、場所の表現	Nosotros ya estamos en el estadio. Hay mucha gente!
8	規則動詞、動詞 hacer、動詞 ir	—María, ¿ qué haces? — Estudio inglés en la biblioteca.

9	疑問詞、時間の表現	—¿ A qué hora coméis normalmente? —Comemos a las doce.
10	前置詞	Yo siempre voy en metro a la universidad con mis amigos.
11	不規則動詞（語幹母音変化）	—¿ Por qué quieres vivir en Barcelona? —Porque puedo ver el mar cada día.
12	再帰代名詞を使う動詞、副詞 cuando	Los japoneses se duchan por la noche, pero los españoles se duchan por la mañana.
13	動詞 conocer, saber, poder の使い分け	—¿ Conoces a Miguel? —¿ Miguel? No, no sé quién es.
14	食べ物・飲み物	食べ物・飲み物

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

少なくとも 60 分の予習と 180 分の復習を必要とします。ただし、時間の「長さ」はもちろん、時間の「質」も非常に重要です。そのため、集中の妨害や先延ばしを引き起こしやすい要素をなるべく避けることが肝心です。

【テキスト（教科書）】

配布資料（文法、練習、語彙を含みます）。

【参考書】

① 辞書

《スペイン語》

Real Academia Española, 2014, Diccionario de la lengua española, 23^a ed., Espasa. [サイト・アプリあり]

Real Academia Española, 2016, Diccionario del estudiante, 3^a ed., Taurus. [アプリあり]

《西和・和西》

小池和良他編（2014）『和西辞典』小学館。

高垣敏博監（2007）『西和中辞典〔第2版〕』小学館。[アプリあり]

《西英・英西》

Oxford Languages, 2008, Oxford Spanish Dictionary, 4th ed., Oxford University Press. [アプリあり]

WordReference, URL: < www.wordreference.com > .

《お得なセット》

アプリ『西和中辞典〔第2版〕・和西辞典』。

電子辞書『カシオ エクスワード スペイン語・ポルトガル語学習モデル』（『現代スペイン語辞典』『和西辞典』『西和中辞典』『Oxford Spanish Dictionary』などを含む）。

② 文法

佐竹謙一（2022）『本気で学ぶスペイン語』ベレ出版。

徳永志織（2014）『快速マスタースペイン語』語研。

廣康好美（2016）『これならわかるスペイン語文法——入門から上級まで』NHK出版。

Bregstein, Barbara, 2006, Easy Spanish Step-by-Step: Master High-Frequency Grammar for Spanish Proficiency-Fast!, McGraw-Hill Education.

③ 語彙・表現集

イスパニカ（2020）『ゼロからスタート スペイン語単語 BASIC1000』Jリサーチ出版。

GIDE 語彙研究班編（2008）『リスニング問題付 スペイン語語彙練習帳』朝日出版社。

佐竹謙一（2022）『スペイン語の感情表現集』白水社。

スモモ, ノルマ・C.（1999）『使える・話せる・スペイン語単語——日本語ですばやく引ける』語研。

高橋寛二／伊藤ゆかり（2013）『例文で覚える スペイン語熟語集』朝日出版社。

マルティネル, E. 他（2011）『レヴェル別スペイン語会話表現事典』三修社。

Agulló, Nuria, 2011, Spanish Among Amigos Phrasebook, 2nd ed., McGraw-Hill Education.

Richmond, Dorothy, 2017, Spanish Vocabulary, 3rd ed., McGraw-Hill Education.

【成績評価の方法と基準】

① 小テスト〔70%〕

② 態度〔30%〕

成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となります。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

【Course outline】

It is self-evident that Spanish is indispensable in order to understand today's world. However, one could say that still for many Japanese people the Spanish-speaking world's affairs are not familiar enough, and thus many of the possibilities hidden behind it remain unknown.

In order to contribute to fulfil this gap, this class aims not only to steadily acquire an initial knowledge of Spanish, but also to make a chance to have interest in the Spanish-speaking societies and cultures.

In this class, not only will grammar be adequately and easily explained, but also vocabulary used in everyday life will be fully provided. As for the grading criteria, it prioritizes student's continuous effort and ambition to learn, so regular minitests and attitude will be highly considered.

【Learning Objectives】

1. Acquire a basic knowledge of Spanish language (CEFR A1 level).
2. Find motivation so as to continue having interest in Spanish and the Spanish-speaking world's society and culture.

【Learning activities outside of classroom】

It is necessary at least 60 and 180 minutes for preparing and reviewing each class, respectively. However, it is very important to pay heed not only to the “amount” of time, but also to its “quality”. Thus, it is essential to avoid distractions and factors that may cause procrastination.

【Grading Criteria /Policy】

1. Minitests (70%)
2. Attitude (30%)

100 being the best possible grade, it is necessary to reach at least 60 to pass the course.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 4

2017年度以降入学者

DANIEL FORTEA MUNOZ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語は、現代社会を理解するために必要不可欠な言語であることがすでに周知の事実です。しかしながら、日本では未だにスペイン語圏の事情があまり身近ではなくて、そこに潜んでいる可能性も十分に知らないままではいるとも言えるでしょう。

この授業はそういったギャップを埋めることに貢献するために、基礎スペイン語をしっかり身につけることはもとより、スペイン語圏の社会・文化に関心を持つ機会をつくることも目的とします。

授業では、文法を確実にかつ分かりやすく説明するとともに、日常生活でよく使う語彙もたくさん盛り込みます。評価方法については、継続的な努力及び学習意欲を最優先する授業であるため、定期的な小テストや態度を大いに考慮します。

【到達目標】

- ① 基礎スペイン語の能力を確実に習得すること（ヨーロッパ言語共通参照枠A1レベル相当）。
- ② スペイン語学習とスペイン語圏の社会・文化に関心を持ち続けるためのモチベーションを見つけること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に教場で配布される資料（文法・語彙・練習）を使って授業を進めます。その他、以下の活動もあります。

- ① 小テスト〔70%〕：定期的に行う15分程度の筆記・リスニングのテストです。
- ② 態度〔30%〕：授業の内容を理解したり深めたりすること、クラスに貢献すること、スペイン語圏の社会・文化に触れようとするこ

と等を示す態度です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス、直接・間接目的格人称代名詞	—¿ Qué tal?, ¿ cómo va todo? —¡ Genial, gracias!, ¿ y tú?
2	〈続〉直接・間接目的格人称代名詞	—¿ Me recomiendas esta película? —Sí, ¡ te la recomiendo!
3	比較文（形容詞）	La filosofía es más interesante que la historia.
4	動詞 gustar と同型の動詞	A mis abuelos les gusta mucho salir a pasear.
5	〈続〉動詞 gustar と同型の動詞	Me apetece un helado de chocolate y menta, ¿ y a ti?
6	義務と意見の表現	Creo que este fin de semana tengo que trabajar.
7	動詞 doler、感嘆文	—Ya no me duele la cabeza. —¡ Qué bien!
8	不定語	—¿ Tienes algún amigo famoso? —No, no tengo ninguno.
9	比較級、最上級	Suiza es el país más caro del mundo.

10	所有詞（後置形）、点過去	—¿ Esta goma es tuya? — Ah, sí, es mía. ¡ Gracias!
11	〈続〉点過去	El otro día fui a un concierto de jazz con mi novia.
12	現在完了	Esta mañana he llegado tarde al trabajo por culpa del tren.
13	線過去	De niño siempre jugaba al fútbol con mis amigos en la calle.
14	総復習	総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

少なくとも60分の予習と180分の復習を必要とします。ただし、時間の「長さ」はもちろん、時間の「質」も非常に大事です。そのため、集中の妨害や先延ばしを引き起こしやすい要素をなるべく避けることが肝心です。

【テキスト（教科書）】

配布資料（文法、練習、語彙を含みます）。

【参考書】

① 辞書

《スペイン語》

Real Academia Española, 2014, Diccionario de la lengua española, 23ª ed., Espasa. [サイト・アプリあり]

Real Academia Española, 2016, Diccionario del estudiante, 3ª ed., Taurus. [アプリあり]

《西和・和西》

小池和良他編（2014）『和西辞典』小学館。

高垣敏博監（2007）『西和中辞典〔第2版〕』小学館。[アプリあり]

《西英・英西》

Oxford Languages, 2008, Oxford Spanish Dictionary, 4th ed., Oxford University Press. [アプリあり]

WordReference, URL: < www.wordreference.com > .

《お得なセット》

アプリ『西和中辞典〔第2版〕・和西辞典』。

電子辞書『カシオ エクスワード スペイン語・ポルトガル語学習モデル』（『現代スペイン語辞典』『和西辞典』『西和中辞典』『Oxford Spanish Dictionary』などを含む）。

② 文法

佐竹謙一（2022）『本気で学ぶスペイン語』ベレ出版。

徳永志織（2014）『快速マスタースペイン語』語研。

廣康好美（2016）『これならわかるスペイン語文法——入門から上級まで』NHK出版。

Bregstein, Barbara, 2006, Easy Spanish Step-by-Step: Master High-Frequency Grammar for Spanish Proficiency-Fast!, McGraw-Hill Education.

③ 語彙・表現集

イスパニカ（2020）『ゼロからスタート スペイン語単語 BASIC1000』Jリサーチ出版。

GIDE 語彙研究班編（2008）『リスニング問題付 スペイン語語彙練習帳』朝日出版社。

佐竹謙一（2022）『スペイン語の感情表現集』白水社。

スモモ、ノルマ・C.（1999）『使える・話せる・スペイン語単語——日本語ですばやく引ける』語研。

高橋寛二／伊藤ゆかり（2013）『例文で覚える スペイン語熟語集』朝日出版社。

マルティネル, E. 他（2011）『レベル別スペイン語会話表現事典』三修社。

Agulló, Nuria, 2011, Spanish Among Amigos Phrasebook, 2nd ed., McGraw-Hill Education.

Richmond, Dorothy, 2017, Spanish Vocabulary, 3rd ed., McGraw-Hill Education.

【成績評価の方法と基準】

① 小テスト〔70%〕

② 態度〔30%〕

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

【Course outline】

It is self-evident that Spanish is indispensable in order to understand today's world. However, one could say that still for many Japanese people the Spanish-speaking world's affairs are not familiar enough, and thus many of the possibilities hidden behind it remain unknown.

In order to contribute to fulfil this gap, this class aims not only to steadily acquire an initial knowledge of Spanish, but also to make a chance to have interest in the Spanish-speaking societies and cultures.

In this class, not only will grammar be adequately and easily explained, but also vocabulary used in everyday life will be fully provided. As for the grading criteria, it prioritizes student's continuous effort and ambition to learn, so regular minitests and attitude will be highly considered.

【Learning Objectives】

1. Acquire a basic knowledge of Spanish language (CEFR A1 level).
2. Find motivation so as to continue having interest in Spanish and the Spanish-speaking world's society and culture.

【Learning activities outside of classroom】

It is necessary at least 60 and 180 minutes for preparing and reviewing each class, respectively. However, it is very important to pay heed not only to the “amount” of time, but also to its “quality”. Thus, it is essential to avoid distractions and factors that may cause procrastination.

【Grading Criteria /Policy】

1. Minitests (70%)
2. Attitude (30%)

100 being the best possible grade, it is necessary to reach at least 60 to pass the course.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

<課題に対するフィードバックの方法>

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う。

大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション および第1課	授業方針の説明とアルファベットの等、スペイン語の初歩的事柄の解説
2	名詞の性、数	名詞の性、名詞の数
3	冠詞と人称代名詞	冠詞、主格人称代名詞
4	動詞 ser の現在形	ser 動詞の活用と用法
5	形容詞の基本	形容詞の性と数、疑問文と否定文
6	estar 動詞の活用	動詞 estar の現在形と用法および hay の用法
7	動詞の使い分け	ser と estar の比較、 estar と hay の比較、指示形容詞
8	ar 動詞の直説法現在形規則活用	規則動詞 -ar 動詞の活用と現在形の用法
9	様々な疑問詞と前置詞「 a 」	疑問詞の用法、間接・直接目的語に付く前置詞 a
10	er,ir 動詞の直説法現在形規則活用	規則動詞 -er 動詞、 -ir 動詞の活用
11	所有形容詞の基本	所有形容詞（前置形、後置形）
12	目的格人称代名詞の基本	直接目的格人称代名詞と間接目的格人称代名詞
13	gustar 型動詞の基本	gustar 型動詞の用法
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を事前に辞書で調べておくこと。

語学学習の秘訣は復習である。授業後の復習を必ず行い、反復練習に励むこと。

本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『ブラサ・マヨール I 改訂ソフト版』青砥清一、パロマ・トレナド、高松秀樹 ほか(著)、朝日出版社、2,000円(+税)、ISBN: 978-4-255-55166-1

【参考書】

『西和中辞典』(小学館)

『わかるスペイン語』西川喬 (同友社)

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand basic Spanish, in the simple present and past tense.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語3

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期のスペイン語1から連続する。

テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

＜課題に対するフィードバックの方法＞

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う。

大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	不規則動詞の基本	不規則動詞、語幹母音変化動詞の活用
2	不規則動詞と不定詞	querer と poder の活用と様々な用法
3	不規則動詞の応用	不規則動詞の活用、hacer の様々な用法
4	再帰動詞の基本	再帰動詞の活用と用法
5	再帰動詞の進んだ用法	再帰動詞の用法、感嘆文
6	過去分詞と現在分詞	過去分詞、現在分詞の基本形と分詞構文、形容詞的用法
7	現在完了の基本	現在完了の活用と用法
8	過去形の基本：点過去	点過去規則活用と点過去の用法
9	否定語・不定語の用法	不定語と否定語、比較表現
10	点過去の不規則活用	点過去不規則活用の基本
11	語幹母音変化動詞の点過去不規則活用	語幹母音変化動詞の現在形と不規則活用の違い
12	再帰動詞の点過去	再帰動詞の点過去活用と用法
13	線過去の基本	線過去の活用と用法、点過去と線過去の対比
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。

特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。

本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『ブラサ・マヨール I 改訂ソフト版』青砥清一、パロマ・トレナド、高松秀樹 ほか(著)、朝日出版社、2,000円(+税)、ISBN: 978-4-255-55166-1

【参考書】

『西和中辞典』(小学館)

『わかるスペイン語』西川喬 (同学社)

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand basic Spanish, in the simple present and past tense.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語2

2017年度以降入学者

DANIEL FORTEA MUNOZ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語は、現代社会を理解するために必要不可欠な言語であることがすでに周知の事実です。しかしながら、日本では未だにスペイン語圏の事情があまり身近ではなくて、そこに潜んでいる可能性も十分に知らないままではいるとも言えるでしょう。

この授業はそういったギャップを埋めることに貢献するために、基礎スペイン語をしっかり身につけることはもとより、スペイン語圏の社会・文化に関心を持つ機会をつくることも目的とします。

授業では、文法を確実にかつ分かりやすく説明するとともに、日常生活でよく使う語彙もたくさん盛り込みます。評価方法については、継続的な努力及び学習意欲を最優先する授業であるため、定期的な小テストや態度を大いに考慮します。

【到達目標】

① 基礎スペイン語の能力を確実に習得すること（ヨーロッパ言語共通参照枠A1レベル相当）。

② スペイン語学習とスペイン語圏の社会・文化に関心を持ち続けるためのモチベーションを見つけること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に教場で配布される資料（文法・語彙・練習）を使って授業を進めます。その他、以下の活動もあります。

① 小テスト〔70%〕：定期的に行う15分程度の筆記・リスニングのテストです。

② 態度〔30%〕：授業の内容を理解したり深めたりすること、クラスに貢献すること、スペイン語圏の社会・文化に触れようとするなど等を示す態度です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	Encantado. Soy Daniel. Mucho gusto.
2	アルファベット、発音、二重母音、強勢	—¿ Cómo estás? —Muy bien, gracias, ¿ y tú?
3	名詞の性数、定冠詞、主格人称代名詞、動詞ser、疑問文、否定文	Rosa es entrenadora de fútbol y yo soy profesor de español.
4	不定冠詞、形容詞の性数、所有詞（前置形）	—¿ Cómo es tu universidad? —Es pequeña, pero es muy bonita.
5	動詞tener	Mi familia tiene una casa en la montaña.
6	指示詞、動詞estar、動詞ser, estarの使い分け	Esta niña es muy activa, pero hoy está un poco cansada.
7	動詞haber、動詞estar, haberの使い分け、場所の表現	Nosotros ya estamos en el estadio. Hay mucha gente!
8	規則動詞、動詞hacer、動詞ir	—María, ¿ qué haces? — Estudio inglés en la biblioteca.

9	疑問詞、時間の表現	—¿ A qué hora coméis normalmente? —Comemos a las doce.
10	前置詞	Yo siempre voy en metro a la universidad con mis amigos.
11	不規則動詞（語幹母音変化）	—¿ Por qué quieres vivir en Barcelona? —Porque puedo ver el mar cada día.
12	再帰代名詞を使う動詞、副詞cuando	Los japoneses se duchan por la noche, pero los españoles se duchan por la mañana.
13	動詞conocer, saber, poderの使い分け	—¿ Conoces a Miguel? —¿ Miguel? No, no sé quién es.
14	食べ物・飲み物	食べ物・飲み物

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

少なくとも60分の予習と180分の復習を必要とします。ただし、時間の「長さ」はもちろん、時間の「質」も非常に重要です。そのため、集中の妨害や先延ばしを引き起こしやすい要素をなるべく避けることが肝心です。

【テキスト（教科書）】

配布資料（文法、練習、語彙を含みます）。

【参考書】

① 辞書

《スペイン語》

Real Academia Española, 2014, Diccionario de la lengua española, 23^a ed., Espasa. [サイト・アプリあり]

Real Academia Española, 2016, Diccionario del estudiante, 3^a ed., Taurus. [アプリあり]

《西和・和西》

小池和良他編（2014）『和西辞典』小学館。

高垣敏博監（2007）『西和中辞典〔第2版〕』小学館。[アプリあり]

《西英・英西》

Oxford Languages, 2008, Oxford Spanish Dictionary, 4th ed., Oxford University Press. [アプリあり]

WordReference, URL: < www.wordreference.com > .

《お得なセット》

アプリ『西和中辞典〔第2版〕・和西辞典』。

電子辞書『カシオ エクスワード スペイン語・ポルトガル語学習モデル』（『現代スペイン語辞典』『和西辞典』『西和中辞典』『Oxford Spanish Dictionary』などを含む）。

② 文法

佐竹謙一（2022）『本気で学ぶスペイン語』ベレ出版。

徳永志織（2014）『快速マスタースペイン語』語研。

廣康好美（2016）『これならわかるスペイン語文法——入門から上級まで』NHK出版。

Bregstein, Barbara, 2006, Easy Spanish Step-by-Step: Master High-Frequency Grammar for Spanish Proficiency-Fast!, McGraw-Hill Education.

③ 語彙・表現集

イスパニカ（2020）『ゼロからスタート スペイン語単語 BASIC1000』Jリサーチ出版。

GIDE 語彙研究班編（2008）『リスニング問題付 スペイン語語彙練習帳』朝日出版社。

佐竹謙一（2022）『スペイン語の感情表現集』白水社。

スモモ, ノルマ・C.（1999）『使える・話せる・スペイン語単語——日本語ですばやく引ける』語研。

高橋寛二／伊藤ゆかり（2013）『例文で覚える スペイン語熟語集』朝日出版社。

マルティネル, E. 他（2011）『レヴェル別スペイン語会話表現事典』三修社。

Agulló, Nuria, 2011, Spanish Among Amigos Phrasebook, 2nd ed., McGraw-Hill Education.

Richmond, Dorothy, 2017, Spanish Vocabulary, 3rd ed., McGraw-Hill Education.

【成績評価の方法と基準】

① 小テスト〔70%〕

② 態度〔30%〕

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

【Course outline】

It is self-evident that Spanish is indispensable in order to understand today's world. However, one could say that still for many Japanese people the Spanish-speaking world's affairs are not familiar enough, and thus many of the possibilities hidden behind it remain unknown.

In order to contribute to fulfil this gap, this class aims not only to steadily acquire an initial knowledge of Spanish, but also to make a chance to have interest in the Spanish-speaking societies and cultures.

In this class, not only will grammar be adequately and easily explained, but also vocabulary used in everyday life will be fully provided. As for the grading criteria, it prioritizes student's continuous effort and ambition to learn, so regular minitests and attitude will be highly considered.

【Learning Objectives】

1. Acquire a basic knowledge of Spanish language (CEFR A1 level).
2. Find motivation so as to continue having interest in Spanish and the Spanish-speaking world's society and culture.

【Learning activities outside of classroom】

It is necessary at least 60 and 180 minutes for preparing and reviewing each class, respectively. However, it is very important to pay heed not only to the “amount” of time, but also to its “quality”. Thus, it is essential to avoid distractions and factors that may cause procrastination.

【Grading Criteria /Policy】

1. Minitests (70%)
2. Attitude (30%)

100 being the best possible grade, it is necessary to reach at least 60 to pass the course.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語4

2017年度以降入学者

DANIEL FORTEA MUNOZ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語は、現代社会を理解するために必要不可欠な言語であることがすでに周知の事実です。しかしながら、日本では未だにスペイン語圏の事情があまり身近ではなくて、そこに潜んでいる可能性も十分に知らないままではいるとも言えるでしょう。

この授業はそういったギャップを埋めることに貢献するために、基礎スペイン語をしっかり身につけることはもとより、スペイン語圏の社会・文化に関心を持つ機会をつくることも目的とします。

授業では、文法を確実にかつ分かりやすく説明するとともに、日常生活でよく使う語彙もたくさん盛り込みます。評価方法については、継続的な努力及び学習意欲を最優先する授業であるため、定期的な小テストや態度を大いに考慮します。

【到達目標】

- ① 基礎スペイン語の能力を確実に習得すること（ヨーロッパ言語共通参照枠A1レベル相当）。
- ② スペイン語学習とスペイン語圏の社会・文化に関心を持ち続けるためのモチベーションを見つけること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に教場で配布される資料（文法・語彙・練習）を使って授業を進めます。その他、以下の活動もあります。

- ① 小テスト〔70%〕：定期的に行う15分程度の筆記・リスニングのテストです。
- ② 態度〔30%〕：授業の内容を理解したり深めたりすること、クラスに貢献すること、スペイン語圏の社会・文化に触れようとするなど等を示す態度です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス、直接・間接目的格人称代名詞	—¿ Qué tal?, ¿ cómo va todo? —¡ Genial, gracias!, ¿ y tú?
2	〈続〉直接・間接目的格人称代名詞	—¿ Me recomiendas esta película? —Sí, ¡ te la recomiendo!
3	比較文（形容詞）	La filosofía es más interesante que la historia.
4	動詞 gustar と同型の動詞	A mis abuelos les gusta mucho salir a pasear.
5	〈続〉動詞 gustar と同型の動詞	Me apetece un helado de chocolate y menta, ¿ y a ti?
6	義務と意見の表現	Creo que este fin de semana tengo que trabajar.
7	動詞 doler、感嘆文	—Ya no me duele la cabeza. —¡ Qué bien!
8	不定語	—¿ Tienes algún amigo famoso? —No, no tengo ninguno.
9	比較級、最上級	Suiza es el país más caro del mundo.

10	所有詞（後置形）、点過去	—¿ Esta goma es tuya? —Ah, sí, es mía. ¡ Gracias!
11	〈続〉点過去	El otro día fui a un concierto de jazz con mi novia.
12	現在完了	Esta mañana he llegado tarde al trabajo por culpa del tren.
13	線過去	De niño siempre jugaba al fútbol con mis amigos en la calle.
14	総復習	総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

少なくとも60分の予習と180分の復習を必要とします。ただし、時間の「長さ」はもちろん、時間の「質」も非常に大事です。そのため、集中の妨害や先延ばしを引き起こしやすい要素をなるべく避けることが肝心です。

【テキスト（教科書）】

配布資料（文法、練習、語彙を含みます）。

【参考書】

① 辞書

《スペイン語》

Real Academia Española, 2014, Diccionario de la lengua española, 23ª ed., Espasa. [サイト・アプリあり]

Real Academia Española, 2016, Diccionario del estudiante, 3ª ed., Taurus. [アプリあり]

《西和・和西》

小池和良他編（2014）『和西辞典』小学館。

高垣敏博監（2007）『西和中辞典〔第2版〕』小学館。[アプリあり]

《西英・英西》

Oxford Languages, 2008, Oxford Spanish Dictionary, 4th ed., Oxford University Press. [アプリあり]

WordReference, URL: < www.wordreference.com > .

《お得なセット》

アプリ『西和中辞典〔第2版〕・和西辞典』。

電子辞書『カシオ エクスワード スペイン語・ポルトガル語学習モデル』（『現代スペイン語辞典』『和西辞典』『西和中辞典』『Oxford Spanish Dictionary』などを含む）。

② 文法

佐竹謙一（2022）『本気で学ぶスペイン語』ベレ出版。

徳永志織（2014）『快速マスタースペイン語』語研。

廣康好美（2016）『これならわかるスペイン語文法——入門から上級まで』NHK出版。

Bregstein, Barbara, 2006, Easy Spanish Step-by-Step: Master High-Frequency Grammar for Spanish Proficiency-Fast!, McGraw-Hill Education.

③ 語彙・表現集

イスパニカ（2020）『ゼロからスタート スペイン語単語 BASIC1000』Jリサーチ出版。

GIDE 語彙研究班編（2008）『リスニング問題付 スペイン語語彙練習帳』朝日出版社。

佐竹謙一（2022）『スペイン語の感情表現集』白水社。

スモモ、ノルマ・C.（1999）『使える・話せる・スペイン語単語——日本語ですばやく引ける』語研。

高橋寛二／伊藤ゆかり（2013）『例文で覚える スペイン語熟語集』朝日出版社。

マルティネル, E. 他（2011）『レベル別スペイン語会話表現事典』三修社。

Agulló, Nuria, 2011, Spanish Among Amigos Phrasebook, 2nd ed., McGraw-Hill Education.

Richmond, Dorothy, 2017, Spanish Vocabulary, 3rd ed., McGraw-Hill Education.

【成績評価の方法と基準】

① 小テスト〔70%〕

② 態度〔30%〕

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

【Course outline】

It is self-evident that Spanish is indispensable in order to understand today's world. However, one could say that still for many Japanese people the Spanish-speaking world's affairs are not familiar enough, and thus many of the possibilities hidden behind it remain unknown.

In order to contribute to fulfil this gap, this class aims not only to steadily acquire an initial knowledge of Spanish, but also to make a chance to have interest in the Spanish-speaking societies and cultures.

In this class, not only will grammar be adequately and easily explained, but also vocabulary used in everyday life will be fully provided. As for the grading criteria, it prioritizes student's continuous effort and ambition to learn, so regular minitests and attitude will be highly considered.

【Learning Objectives】

1. Acquire a basic knowledge of Spanish language (CEFR A1 level).
2. Find motivation so as to continue having interest in Spanish and the Spanish-speaking world's society and culture.

【Learning activities outside of classroom】

It is necessary at least 60 and 180 minutes for preparing and reviewing each class, respectively. However, it is very important to pay heed not only to the “amount” of time, but also to its “quality”. Thus, it is essential to avoid distractions and factors that may cause procrastination.

【Grading Criteria /Policy】

1. Minitests (70%)
2. Attitude (30%)

100 being the best possible grade, it is necessary to reach at least 60 to pass the course.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 - I

2017年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、初めてスペイン語を学習する人を対象として、スペイン語の発音

から学びはじめ、現在形を使ってある程度表現・理解ができ、スペイン語で最低

限の意志を伝えられるようになることを到達目標とします。

スペイン語は、綴りと発音の関係が明確で、比較的発音しやすいので、最初からスムーズに学んでいけます。動詞の活用、名詞／形容詞の性数一致など、覚え

ること・難しい点も少なくない文法面の問題も、発音のしやすさという間口の広

さをバネに乗り越えていきましょう。またそのためにも復習を繰り返し、一歩一

歩着実に進んでいけるように取り組んでください。

【到達目標】

授業で学ぶ文法事項を踏まえてスペイン語で会話をするができるようになる。また、正しい発音を身につけスペイン語を話すことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法はHoppiiで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	挨拶や感謝の言葉	アルファベット 発音
2	目的な個人情報を尋ねたり答えたりできる	アクセント記号のきまり
3	スペイン語正しく発音	スペイン語圏の「国々」 クラスで使う表現
4	つづりを言う	挨拶 数字 カードに書き込む
5	名前尋ねたり答えたりできる	主語になる人称代名詞 動詞 Ser
6	出身国尋ねたり答えたりできる	国籍を表す語の性と数 職業を表す語
7	職業を尋ねたり答えたりできる	疑問詞 1 指示詞 1
8	自分自身や人を紹介することができる	国名と国籍 個人の情報 自己紹介
9	大学や住んでいる町について話す	定冠詞と不定冠詞 所有詞 1
10	都市の位置について尋ねたり答えたりできる	形容詞 動詞 Ser と存在 動詞 Estar 位置を表す

11	自分の大学について話す	スペインの都市
12	自分の町について話す	イスペインアメリカの国々 大学について話す
13	復習とまとめ	復習とまとめ
14	復習と口頭試験	復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
 - ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
 - ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
 - ・努めて語彙を増やしていくこと。
 - ・スペイン語圏のニュースに注意している。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語1第2版

出版社 朝日出版

著者 Juan Carlos Moyano López, Carlos García Ruiz-Castillo, Yoshimi Hiroyasu.

ISBN 978-4-255-55155-5

¥2600

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点15%・授業参加15%+学期口頭末試験70%で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

電子辞書OK

スマートフォンのグーグル翻訳なし。

【Outline (in English)】

This class is aimed at people who are learning Spanish for the first time, and will begin by learning Spanish pronunciation, and will aim to be able to express and understand a certain level of expression using the present tense, and to be able to convey a minimum level of intention in Spanish. Set it as a goal to reach.

Spanish has a clear relationship between spelling and pronunciation, and is relatively easy to pronounce, so you can learn it smoothly from the beginning. Let's use the wide range of ease of pronunciation as a springboard to overcome grammatical problems that are difficult to memorize, such as conjugation of verbs and gender/number agreement between nouns and adjectives. To that end, please review repeatedly and work toward making steady progress step by step.

In total one hour of the standard preparatory study /review time for this class is preferably required.

Grading Criteria: Grading will be decided based on normal points (15%), class participation and assignments (15%) and oral exams (70%)

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)		
スペイン語 1 - II		2017年度以降入学者
コルメナ ロメロ ロベルト		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月 1/Mon.1		
単位数：1 単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、初めてスペイン語を学習する人を対象として、スペイン語の発音から学びはじめ、現在形を使ってある程度表現・理解ができ、スペイン語で最低限の意志を伝えられるようになることを到達目標とします。スペイン語は、綴りと発音の関係が明確で、比較的発音しやすいので、最初からスムーズに学んでいけます。動詞の活用、名詞／形容詞の性数一致など、覚えること・難しい点も少なくない文法面の問題も、発音のしやすさという間口の広さをバネに乗り越えていきましょう。またそのためにも復習を繰り返し、一歩一歩着実に進んでいけるように取り組んでください。

【到達目標】

授業で学ぶ文法事項を踏まえてスペイン語で会話をするができるようになる。また、正しい発音を身につけスペイン語を話すことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法はHoppiiで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	勉強について話す	動詞の現在形 疑問詞 2
2	日常について話す	数字 時刻 前置詞
3	余暇について話す	言語 日常生活
4	時刻を言い、スケジュールについて話す	スケジュール 曜日 スペインの若者の生活
5	家族について話す	指示詞 2 所有詞 2
6	人の性格について話す	動詞 Tener
7	容姿について話す	数字 人の記述
8	家族について尋ねる	家族の紹介
9	有名な場所について話す	hay と estar の用法 動詞 Ir
10	有名な場所に何があるか話す	月と季節 Ir a+不定詞
11	場所ややりたい活動について話す	Querer+不定詞 Tener que+不定詞 母音変化活用 e> ie

12	旅の計画について話す	有名な場所 理由と目的 旅行のプラン
13	復習とまとめ	復習とまとめ
14	復習と口頭試験	復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・単語の意味調べを行い、授業に出る。
・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
・努めて語彙を増やしていくこと。
・スペイン語圏のニュースに注意している。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語 1 第2版

出版社 朝日出版

著者 Juan Carlos Moyano López, Carlos García Ruiz-Castillo, Yoshimi Hiroyasu.

ISBN 978-4-255-55155-5

¥2600

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点15%・授業参加15%+学期口頭末試験70%で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

電子辞書OK

スマートフォンのグーグル翻訳なし。

【Outline (in English)】

This class is aimed at people who are learning Spanish for the first time, and will begin by learning Spanish pronunciation, and will aim to be able to express and understand a certain level of expression using the present tense, and to be able to convey a minimum level of intention in Spanish. Set it as a goal to reach.

Spanish has a clear relationship between spelling and pronunciation, and is relatively easy to pronounce, so you can learn it smoothly from the beginning. Let's use the wide range of ease of pronunciation as a springboard to overcome grammatical problems that are difficult to memorize, such as conjugation of verbs and gender/number agreement between nouns and adjectives. To that end, please review repeatedly and work toward making steady progress step by step.

In total one hour of the standard preparatory study /review time for this class is preferably required.

Grading Criteria: Grading will be decided based on normal points (15%), class participation and assignments (15%) and oral exams (70%)

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 - I 2017年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、初めてスペイン語を学習する人を対象として、スペイン語の発音

から学びはじめ、現在形を使ってある程度表現・理解ができ、スペイン語で最低

限の意志を伝えられるようになることを到達目標とします。

スペイン語は、綴りと発音の関係が明確で、比較的発音しやすいので、最初から

スムーズに学んでいけます。動詞の活用、名詞／形容詞の性数一致など、覚え

ること・難しい点も少なくない文法面の問題も、発音のしやすさという間口の広

さをバネに乗り越えていきましょう。またそのためにも復習を繰り返し、一歩一

歩着実に進んでいけるように取り組んでください。

【到達目標】

授業で学ぶ文法事項を踏まえてスペイン語で会話をするができるようになる。また、正しい発音を身につけスペイン語を話すことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法はHoppiiで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	挨拶や感謝の言葉	アルファベット 発音
2	目的な個人情報を尋ねたり答えたりできる	アクセント記号のきまり
3	スペイン語正しく発音	スペイン語圏の「国々」 クラスで使う表現
4	つづりを言う	挨拶 数字 カードに書き込む
5	名前尋ねたり答えたりできる	主語になる人称代名詞 動詞 Ser
6	出身国尋ねたり答えたりできる	国籍を表す語の性と数 職業を表す語
7	職業を尋ねたり答えたりできる	疑問詞 1 指示詞 1
8	自分自身や人を紹介することができる	国名と国籍 個人の情報 自己紹介
9	大学や住んでいる町について話す	定冠詞と不定冠詞 所有詞 1
10	都市の位置について尋ねたり答えたりできる	形容詞 動詞 Ser と存在 動詞 Estar 位置を表す

11	自分の大学について話す	スペインの都市
12	自分の町について話す	イスパノアメリカの国々 大学について話す
13	復習とまとめ	復習とまとめ
14	復習と口頭試験	復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
 - ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
 - ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
 - ・努めて語彙を増やしていくこと。
 - ・スペイン語圏のニュースに注意している。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語1第2版

出版社 朝日出版

著者 Juan Carlos Moyano López, Carlos García Ruiz-Castillo, Yoshimi Hiroyasu.

ISBN 978-4-255-55155-5

¥2600

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点15%・授業参加15%+学期口頭末試験70%で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

電子辞書OK

スマートフォンのグーグル翻訳なし。

【Outline (in English)】

This class is aimed at people who are learning Spanish for the first time, and will begin by learning Spanish pronunciation, and will aim to be able to express and understand a certain level of expression using the present tense, and to be able to convey a minimum level of intention in Spanish. Set it as a goal to reach.

Spanish has a clear relationship between spelling and pronunciation, and is relatively easy to pronounce, so you can learn it smoothly from the beginning. Let's use the wide range of ease of pronunciation as a springboard to overcome grammatical problems that are difficult to memorize, such as conjugation of verbs and gender/number agreement between nouns and adjectives. To that end, please review repeatedly and work toward making steady progress step by step.

In total one hour of the standard preparatory study /review time for this class is preferably required.

Grading Criteria: Grading will be decided based on normal points (15%), class participation and assignments (15%) and oral exams (70%)

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)		
スペイン語 1 - II		2017年度以降入学者
コルメナ ロメロ ロベルト		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月2/Mon.2		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、初めてスペイン語を学習する人を対象として、スペイン語の発音から学びはじめ、現在形を使ってある程度表現・理解ができ、スペイン語で最低限の意志を伝えられるようになることを到達目標とします。スペイン語は、綴りと発音の関係が明確で、比較的発音しやすいので、最初からスムーズに学んでいけます。動詞の活用、名詞／形容詞の性数一致など、覚えること・難しい点も少なくない文法面の問題も、発音のしやすさという間口の広さをバネに乗り越えていきましょう。またそのためにも復習を繰り返し、一歩一歩着実に進んでいけるように取り組んでください。

【到達目標】

授業で学ぶ文法事項を踏まえてスペイン語で会話をするができるようになる。また、正しい発音を身につけスペイン語を話すことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法はHoppiiで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	勉強について話す	動詞の現在形 疑問詞 2
2	日常について話す	数字 時刻 前置詞
3	余暇について話す	言語 日常生活
4	時刻を言い、スケジュールについて話す	スケジュール 曜日 スペインの若者の生活
5	家族について話す	指示詞 2 所有詞 2
6	人の性格について話す	動詞 Tener
7	容姿について話す	数字 人の記述
8	家族について尋ねる	家族の紹介
9	有名な場所について話す	hay と estar の用法 動詞 Ir
10	有名な場所に何があるか話す	月と季節 Ir a+不定詞
11	場所ややりたい活動について話す	Querer+不定詞 Tener que+不定詞 母音変化活用 e> ie

12	旅の計画について話す	有名な場所 理由と目的 旅行のプラン
13	復習とまとめ	復習とまとめ
14	復習と口頭試験	復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
 - ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
 - ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
 - ・努めて語彙を増やしていくこと。
 - ・スペイン語圏のニュースに注意している。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語1第2版
出版社 朝日出版
著者 Juan Carlos Moyano López, Carlos García Ruiz-Castillo, Yoshimi Hiroyasu.
ISBN 978-4-255-55155-5
¥2600

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点15%・授業参加15%+学期口頭末試験70%で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典
電子辞書OK
スマートフォンのグーグル翻訳なし。

【Outline (in English)】

This class is aimed at people who are learning Spanish for the first time, and will begin by learning Spanish pronunciation, and will aim to be able to express and understand a certain level of expression using the present tense, and to be able to convey a minimum level of intention in Spanish. Set it as a goal to reach.

Spanish has a clear relationship between spelling and pronunciation, and is relatively easy to pronounce, so you can learn it smoothly from the beginning. Let's use the wide range of ease of pronunciation as a springboard to overcome grammatical problems that are difficult to memorize, such as conjugation of verbs and gender/number agreement between nouns and adjectives. To that end, please review repeatedly and work toward making steady progress step by step.

In total one hour of the standard preparatory study /review time for this class is preferably required.

Grading Criteria: Grading will be decided based on normal points (15%), class participation and assignments (15%) and oral exams (70%)

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 - I

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業だが、社会情勢によってオンライン授業に切り替わる可能性があるため、学習支援を確認すること。テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。

また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション および第1課	授業方針の説明とアルファベットの解説
2	第2課 名詞の性・数	名詞の性、名詞の数
3	第2課 冠詞および主格人称代名詞について	冠詞、主格人称代名詞
4	第4課 スペイン語における重要なser動詞の使い方の説明	ser動詞の活用と用法
5	第5課 形容詞の性・数。疑問文と否定文	形容詞の性と数、疑問文と否定文
6	第4課 estar動詞とhayの違いについて	estar動詞、hay + 名詞
7	第4課 serとestarの違い 指示形容詞について	serとestarの比較、estarとhayの比較、指示形容詞
8	第5課 動詞規則動詞の活用	規則動詞-ar動詞の活用と現在時の用法
9	第5課 関係目的格代名詞の説明	疑問詞の用法、間接・直接目的語に付く前置詞a
10	第6課 規則動詞の活用	規則動詞-er動詞、-ir動詞の活用

11	第6課 所有形容詞の説明	所有形容詞（前置形、後置形）
12	第7課 目的格人称代名詞の説明	目的格人称代名詞
13	第7課 gustar型動詞の説明	gustar型動詞の用法
14	試験 今までの振り返りとしての試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を事前に辞書で調べておくこと。
語学習得の秘訣は復習である。授業後の復習を必ず行い、反復練習に励むこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ブラサ・マヨールI 改訂ソフト版 ーベーシック・スペイン語ー』、青砥清一、パロマ・トレナド、高松秀樹 ほか（著）、朝日出版社、1,900円（+税）

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）
『わかるスペイン語』西川喬（同人社）
授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度40%、試験60%を基本とし、総合的に評価するが、試験は60点以上を獲得しないと単位は与えられない。
また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加えることがある。反対に消極的態度は減点の対象となることがある。
授業中の携帯電話の使用は減点の対象とみなす。
欠席は3回までとする。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。配布されるリアクションペーパーには質問や確認したい事項を記入すること。質問などについては授業内で復習するなどの対応をします。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書必携

【その他の重要事項】

初回より必ずテキストを持参すること。

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60%is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 - II

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期のスペイン語1-Iから連続する。基本的に対面授業だが、社会情勢に応じてオンライン授業に切り替わる可能性があるので、学習支援を確認すること。

テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第8課前半	不規則動詞、語幹母音変化動詞の活用
2	第8課後半	querer と poder の活用と様々な用法
3	第9課	不規則動詞の活用、hacer の様々な用法
4	第10課前半	再帰動詞の活用と用法
5	第10課後半	再帰動詞の用法、感嘆文
6	第11課前半	過去分詞、現在分詞
7	第11課後半	現在完了の活用と用法
8	第12課前半	点過去規則活用と点過去の用法
9	第12課後半	不定語と否定語、比較表現
10	第13課前半	点過去（不規則）1
11	第13課後半	点過去（不規則）2
12	第14課前半	再帰動詞の点過去
13	第14課後半	線過去
14	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『プラサ・マヨールI ソフト版 ーベーシック・スペイン語ー』、青砥清一、パロマ・トレナド、高松秀樹 ほか（著）、朝日出版社、1,900円（+税）

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価するが試験は60点以上獲得しないと単位は取得できない。

また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は減点の対象とみなす。

欠席は3回までとする。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。配布されるリアクションペーパーには質問や確認したい事項を記入すること。質問などについては授業内で復習するなどの対応をします。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書必携

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60%is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 - I

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語は世界中で多く話されている言語のうちのひとつである。スペイン、ラテンアメリカ諸国での公用語であるほか、近年では、日本にもスペイン語を話す旅行者や生活者も多く見かけられる。本講義では、スペイン語の文法を中心に学びながら、スペイン語圏の文化や習慣への関心・理解を促していく。

【到達目標】

- ①スペイン語への興味・関心の向上。
- ②スペイン語初級文法の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法中心に講義に進めていくが、必要に応じて音楽や映像などを紹介し、スペイン語圏の文化に親しみながら、言語自体への関心を持てるようにする。

学習支援システムを通じたヒアリングや各回実施する練習問題を通じて、

理解度を把握し、内容/進め方を適宜修正する。

※本講義は基本的には、大学の方針に倣って対面形式で実施する予定です。

ただし、状況により、オンラインに切り替えるなども検討します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義内容説明。
第2回	名詞	性と数
第3回	定冠詞／不定冠詞	un/una, el/la unos/unas, los/las
第4回	形容詞	スペイン語の形容詞の特徴、性と数
第5回	数詞	数の数え方、序数
第6回	所有格	所有形容詞／所有代名詞
第7回	指示詞	指示形容詞／指示代名詞
第8回	疑問詞	疑問詞の種類、疑問文の作り方
第9回	規則動詞・現在形①	動詞の使い方、ar型の動詞
第10回	規則動詞・現在形②	er型/ir型の動詞
第11回	不規則動詞：serとestar	英語のbe動詞に相当する2つの動詞
第12回	動詞hay・否定語・不定語	英語のthere is/areに相当する動詞、そのほか文章作りに便利なおく
第13回	時間の言い方	時刻、時間などの言い方
第14回	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は自由だが、復習をすること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

それぞれの課に合わせプリントを配布。

【参考書】

『超入門スペイン語』（大学書林）

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点35%で判定。

【学生の意見等からの気づき】

スペイン語の習得はもちろんですが、語学を通じてスペイン語圏の社会・文化に興味を持ってもらえるような内容にしていきます。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

Improve comprehension of Spanish language communication skill, mainly through grammar but also with introducing the cultures and customs of hispanophone countries.

【Learning Objectives】

Improve comprehension of Spanish language communication skill.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 - II

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期「スペイン語 1-I」からの継続。

引き続き文法中心の授業。

【到達目標】

①スペイン語への興味・関心の向上。

②スペイン語初級文法の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間
環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの解説を中心に進めていくが、必要に応じて音楽や映像な
どを紹介し、スペイン語圏の文化に親しみながら、言語自体への関
心を持てるようにする。

各回テーマはあくまで目安。理解度・進度に応じて変更する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。

・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。

その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	不規則動詞	不規則動詞の概要、e-> ie, o-> ue, e-> i に変わる動詞
第2回	不規則動詞②	1人称単数が特殊変化する動詞、 tener/venir/decir/oir
第3回	不規則動詞③	そのほかの不規則動詞、まとめ
第4回	現在分詞	活用方法
第5回	過去分詞	活用方法／現在完了
第6回	前半まとめ	前半部まとめと解説
第7回	目的格	間接目的語、直接目的語、目的 格人称代名詞
第8回	gustar型の動詞	前置詞、gustar動詞
第9回	再帰動詞	意味と活用
第10回	比較	比較級／最上級
第11回	点過去	2つの過去形について、規則活 用
第12回	点過去	不規則動詞
第13回	線過去	規則／不規則
第14回	テスト	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は自由だが、復習をすること。本授業の準備学習・復習時間は、
合わせて1時間を標準とします。また、スペイン語は発音が非常に
大事な言語です。発音は積極的に行なってください。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

『超入門スペイン語』（大学書林）。辞書については授業内で指示。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点35%で判定。

【学生の意見等からの気づき】

スペイン語の習得はもちろんですが、語学を通じてスペイン語圏の
社会・文化に興味を持ってもらえるような内容にしていきます。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

Continuation of Spanish grammar from 1st semester.

【Learning Objectives】

Master basic grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what
you studied in classroom. Your required study time is at least
one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on
the following. Term-end examination: 65%, and in-class
contribution: 35%.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 - I

2017年度以降入学者

久木 正雄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生が、スペイン語の基礎を学習する。同時に、スペイン語圏の歴史・文化・社会に関する知識を得て、それらに対する関心を高めていく。

【到達目標】

スペイン語の初級文法と基本的語彙を修得し、スペイン語圏の歴史・文化・社会への理解に基づいて、平易な文章の読み書きができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員による文法説明の講義を踏まえて、学生が練習問題や講読・作文に取り組む。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方を確認した上で、導入としてスペイン語とスペイン語圏の特徴を概観する。
2	文字と発音	スペイン語の文字と発音のルールを学ぶ。
3	音節とアクセント	音節とアクセントのルールを学ぶ。
4	名詞と冠詞	名詞と冠詞の用法を学ぶ。
5	主格人称代名詞と動詞 ser （直説法現在）	主格人称代名詞の用法と、動詞 ser の直説法現在の活用と用法を学ぶ。
6	形容詞と動詞 estar （直説法現在）	形容詞の用法と、動詞 estar の直説法現在の活用と用法を学ぶ。
7	所有詞と指示詞	所有形容詞の前置形・後置形と、指示形容詞・代名詞の用法を学ぶ。
8	-ar 動詞の規則活用（直説法現在）	-ar 動詞の直説法現在の規則活用と用法を学ぶ。
9	-er 動詞と -ir 動詞の規則活用（直説法現在）	-er 動詞と -ir 動詞の直説法現在の規則活用と用法を学ぶ。
10	目的格人称代名詞と hay 存在文	目的格人称代名詞と hay 存在文の用法を学ぶ。
11	前置詞格人称代名詞と gustar 型動詞	前置詞格人称代名詞と gustar 型動詞の用法を学ぶ。
12	語幹母音変化動詞（直説法現在）	語幹母音変化動詞の直説法現在の活用と用法を学ぶ。
13	不規則活用動詞（直説法現在）	語幹母音変化動詞以外の不規則活用動詞の直説法現在の活用と用法を学ぶ。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定範囲の準備学習と復習とともに、提出・非提出の別を問わず宿題に取り組むこと。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

志波彩子ほか『初級スペイン語 エクセレンテ!!! 三訂版』朝日出版、2021年、ISBN9784255551203、本体価格2,500円。

【参考書】

適宜、教場にて紹介する。以下の【その他の重要事項】の欄も参照のこと。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：20%、小テスト：20%、学期末試験：60%。

【学生の意見等からの気づき】

学習事項の着実な修得のために、受講者一人ひとりの理解度をこまめに確認する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

初回の授業で数種紹介する西和辞典のうち、1つ以上を必ず用意し、毎回の授業および準備学習・復習において活用すること。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course is designed to provide you with an understanding of elementary Spanish and a basic knowledge of the histories, societies and cultures of the Spanish-speaking world.

《Learning Objectives》

Students will gain the knowledge of Spanish elementary grammar. In addition, you will be able to enjoy reading and writing easy Spanish text.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Classwork and homework (20%), quizzes (20%), and term-end examination (60%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 - II

2017年度以降入学者

久木 正雄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生が、スペイン語の基礎を学習する。同時に、スペイン語圏の歴史・文化・社会に関する知識を得て、それらに対する関心を高めていく。

【到達目標】

スペイン語の初級文法と基本的語彙を修得し、スペイン語圏の歴史・文化・社会への理解に基づいて、平易な文章の読み書きができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員による文法説明の講義を踏まえて、学生が練習問題や講読・作文に取り組む。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の学習事項を復習し、新たな学習事項に取り組むための足固めを行う。
2	再帰動詞	再帰動詞の用法を学ぶ。
3	比較級と最上級	比較級と最上級の用法を学ぶ。
4	過去分詞	過去分詞の用法を学ぶ。
5	現在完了	現在完了の用法を学ぶ。
6	現在分詞	現在分詞の用法を学ぶ。
7	現在進行形	現在進行形の用法を学ぶ。
8	点過去の規則活用	点過去の規則活用と用法を学ぶ。
9	点過去の不規則活用	点過去の不規則活用と用法を学ぶ。
10	線過去	線過去の活用と用法を学ぶ。
11	関係詞	関係詞の用法を学ぶ。
12	一般人称表現	一般人称表現を学ぶ。
13	過去完了	過去完了の用法を学ぶ。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定範囲の準備学習と復習とともに、提出・非提出の別を問わず宿題に取り組むこと。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

志波彩子ほか『初級スペイン語 エクセレンテ!!! 三訂版』朝日出版社、2021年、ISBN9784255551203、本体価格2,500円。

【参考書】

適宜、教場にて紹介する。以下の【その他の重要事項】の欄も参照のこと。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：20%、小テスト：20%、学期末試験：60%。

【学生の意見等からの気づき】

学習事項の着実な修得のために、受講者一人ひとりの理解度をこまめに確認する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

春学期の「スペイン語 1 - I」と同様に、1種以上の西和辞典を必ず用意し、毎回の授業および準備学習・復習において活用すること。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course is designed to provide you with an understanding of elementary Spanish and a basic knowledge of the histories, societies and cultures of the Spanish-speaking world.

《Learning Objectives》

Students will gain the knowledge of Spanish elementary grammar. In addition, you will be able to enjoy reading and writing easy Spanish text.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Classwork and homework (20%), quizzes (20%), and term-end examination (60%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 - I

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語は世界中で多く話されている言語のうちのひとつである。スペイン、ラテンアメリカ諸国での公用語であるほか、近年では、日本にもスペイン語を話す旅行者や生活者も多く見かけられる。本講義では、スペイン語の文法を中心に学びながら、スペイン語圏の文化や習慣への関心・理解を促していく。

【到達目標】

- ①スペイン語への興味・関心の向上。
- ②スペイン語初級文法の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法中心に講義に進めていくが、必要に応じて音楽や映像などを紹介し、スペイン語圏の文化に親しみながら、言語自体への関心を持てるようにする。

学習支援システムを通じたヒアリングや各回実施する練習問題を通じて、

理解度を把握し、内容/進め方を適宜修正する。

※本講義は基本的には、大学の方針に倣って対面形式で実施する予定です。

ただし、状況により、オンラインに切り替えるなども検討します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義内容説明。
第2回	名詞	性と数
第3回	定冠詞／不定冠詞	un/una, el/la unos/unas, los/las
第4回	形容詞	スペイン語の形容詞の特徴、性と数
第5回	数詞	数の数え方、序数
第6回	所有格	所有形容詞／所有代名詞
第7回	指示詞	指示形容詞／指示代名詞
第8回	疑問詞	疑問詞の種類、疑問文の作り方
第9回	規則動詞・現在形①	動詞の使い方、ar型の動詞
第10回	規則動詞・現在形②	er型/ir型の動詞
第11回	不規則動詞：serとestar	英語のbe動詞に相当する2つの動詞
第12回	動詞hay・否定語・不定語	英語のthere is/areに相当する動詞、そのほか文章作りに便利なごく
第13回	時間の言い方	時刻、時間などの言い方
第14回	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は自由だが、復習をすること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

それぞれの課に合わせプリントを配布。

【参考書】

『超入門スペイン語』（大学書林）

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点35%で判定。

【学生の意見等からの気づき】

スペイン語の習得はもちろんですが、語学を通じてスペイン語圏の社会・文化に興味を持ってもらえるような内容にしていきます。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

Improve comprehension of Spanish language communication skill, mainly through grammar but also with introducing the cultures and customs of hispanophone countries.

【Learning Objectives】

Improve comprehension of Spanish language communication skill.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 1 - II

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期「スペイン語 1-I」からの継続。

引き続き文法中心の授業。

【到達目標】

①スペイン語への興味・関心の向上。

②スペイン語初級文法の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間
環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの解説を中心に進めていくが、必要に応じて音楽や映像な
どを紹介し、スペイン語圏の文化に親しみながら、言語自体への関
心を持てるようにする。

各回テーマはあくまで目安。理解度・進度に応じて変更する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。

・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。

その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	不規則動詞	不規則動詞の概要、e-> ie, o-> ue, e-> i に変わる動詞
第2回	不規則動詞②	1人称単数が特殊変化する動詞、 tener/venir/decir/oir
第3回	不規則動詞③	そのほかの不規則動詞、まとめ
第4回	現在分詞	活用方法
第5回	過去分詞	活用方法／現在完了
第6回	前半まとめ	前半部まとめと解説
第7回	目的格	間接目的語、直接目的語、目的 格人称代名詞
第8回	gustar型の動詞	前置詞、gustar動詞
第9回	再帰動詞	意味と活用
第10回	比較	比較級／最上級
第11回	点過去	2つの過去形について、規則活 用
第12回	点過去	不規則動詞
第13回	線過去	規則／不規則
第14回	テスト	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は自由だが、復習をすること。本授業の準備学習・復習時間は、
合わせて1時間を標準とします。また、スペイン語は発音が非常に
大事な言語です。発音は積極的に行なってください。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

『超入門スペイン語』（大学書林）。辞書については授業内で指示。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点35%で判定。

【学生の意見等からの気づき】

スペイン語の習得はもちろんですが、語学を通じてスペイン語圏の
社会・文化に興味を持ってもらえるような内容にしていきます。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

Continuation of Spanish grammar from 1st semester.

【Learning Objectives】

Master basic grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what
you studied in classroom. Your required study time is at least
one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on
the following. Term-end examination: 65%, and in-class
contribution: 35%.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語2-I

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので、学習支援を必ず確認すること。テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション および第1課	授業方針の説明とアルファベットの等、スペイン語の初歩的事柄の解説
2	第2課前半	名詞の性、名詞の数
3	第2課後半	冠詞、主格人称代名詞
4	第3課前半	ser動詞の活用と用法
5	第3課後半	形容詞の性と数、疑問文と否定文
6	第4課前半	estar動詞、hay + 名詞
7	第4課後半	serとestarの比較、estarとhayの比較、指示形容詞
8	第5課前半	規則動詞-ar動詞の活用と現在時制の用法
9	第5課後半	疑問詞の用法、間接・直接目的語に付く前置詞a
10	第6課前半	規則動詞-er動詞、-ir動詞の活用
11	第6課後半	所有形容詞（前置形、後置形）
12	第7課前半	目的格人称代名詞
13	第7課後半	gustar型動詞の用法
14	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を事前に辞書で調べておくこと。

語学習得の秘訣は復習である。授業後の復習を必ず行い、反復練習に励むこと。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ブラサ・マヨールI 改訂ソフト版 ーベーシック・スペイン語ー』、青砥清一、パロマ・トレナド、高松秀樹 ほか（著）、朝日出版社、1,900円（+税）

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度40%、試験60%を基本とし、総合的に評価するが、試験は60点以上獲得しないと単位は取得できないので注意すること。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加えることがある。反対に消極的態度は減点の対象となることがある。授業中の携帯電話の使用は減点の対象とみなす。欠席は3回までとする。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。配布されるリアクションペーパーには質問や確認したい事項を記入すること。質問などについては授業内で復習するなど対応します。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書

【その他の重要事項】

初回よりテキストを使用するので、前もってテキストを購入すること

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60%is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 2-II

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期のスペイン語2Iから連続する。基本的に対面授業だが社会情勢によってはオンラインに切り替わる可能性もあるため、学習支援を確認すること。

テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。授業では、辞書を必ず持参すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第8課前半	不規則動詞、語幹母音変化動詞の活用
2	第8課後半	querer と poder の活用と様々な用法
3	第9課	不規則動詞の活用、hacer の様々な用法
4	第10課前半	再帰動詞の活用と用法
5	第10課後半	再帰動詞の用法、感嘆文
6	第11課前半	過去分詞、現在分詞
7	第11課後半	現在完了の活用と用法
8	第12課前半	点過去規則活用と点過去の用法
9	第12課後半	不定語と否定語、比較表現
10	第13課前半	点過去（不規則）1
11	第13課後半	点過去（不規則）2
12	第14課前半	再帰動詞の点過去
13	第14課後半	線過去
14	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『プラサ・マヨールI ソフト版 ーペーシック・スペイン語ー』、青砥清一、パロマ・トレナド、高松秀樹 ほか（著）、朝日出版社、1,900円（+税）

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価するが試験は60点以上獲得しないと単位は取得できない。

また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は減点の対象とみなす。

欠席は3回までとする。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。配布されるリアクションペーパーには質問や確認したい事項を記入すること。質問などについては授業内で復習するなどの対応をします。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60%is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語2-I

2017年度以降入学者

杉下 由紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基礎を学ぶ

【到達目標】

基礎文法を学び、日常生活に必要な読む・書く・聴く・話す力を身につける。スペイン語圏諸国の地理・歴史・社会・文化等に関する知識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

すべて対面で行う。対面が不可になった場合はZoomによるリアルタイム双方向式で行う。

教員が文法事項を説明し、履修生はテキスト記載のスペイン語文の和訳、練習問題、グループアクティビティを行う。アクティビティや試験返却時に講評・解説をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 第1課	授業の進め方や学習方法の説明、自己紹介、挨拶
2	第1課	アルファベット、発音、アクセント、数字0-10
3	第2課	主格人称代名詞、動詞ser、国籍、職業
4	第2課	疑問詞1、指示詞1、個人情報
5	第3課	定冠詞と不定冠詞、所有詞1、形容詞
6	第3課	動詞serとestar、スペインの都市
7	中間試験、ふりかえり	春学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
8	第4課	現在形、疑問詞2、数字11-30
9	第4課	時刻、曜日、スペインの若者の生活
10	第5課	指示詞2、所有詞2「、数字30-100
11	第5課	動詞tener、人の記述、家族紹介
12	第6課	動詞hayとestar、動詞ir
13	第6課	月と季節、希望、義務、旅行
14	期末試験、総括	春学期後半の学習事項に関する試験とふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、例文が訳せるようにしておく。地名は地図で位置を確認し、その特徴なども調べる。

復習：新しく学んだ語彙・文法をノートにまとめて復習し、テキストの音声やビデオを視聴し発音練習を繰り返す。

宿題：練習問題

標準学習時間：計1.5時間

【テキスト（教科書）】

ファン・カルロス・モヤノ・ロベス／カルロス・ガルシア・ルイス・カスティージョ／廣康好美『いいね！ スペイン語1第2版』朝日出版社、2024年

【参考書】

小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会

西川喬『わかるスペイン語文法』同学社

小川雅美『スペイン語ワークブック』同学社

その他、授業中に適宜紹介。

【成績評価の方法と基準】

平常点（50％）、中間試験（25％）、期末試験（25％）から総合的に評価。

【学生の意見等からの気づき】

グループワークを取り入れ、学生が主体的に学び積極的に発言できるよう促したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声とビデオが視聴できる機器（パソコン、スマートフォン等）とインターネット環境。

【その他の重要事項】

紙媒体の辞書を使って学習することをお勧めします。

西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のもの。

自動翻訳機や生成AIの使用厳禁。

【Outline (in English)】

This course introduces the basic of Spanish to beginners.

The goals are to acquire reading, writing, listening and speaking skills necessary for daily life and apprehend Spanish-speaking world.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour and a half to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process;

in class contribution 50%, mid-term examination 25%, term-end examination 25%.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 2 - II

2017年度以降入学者

杉下 由紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1
単位数：1 単位
その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語の基礎を学ぶ

【到達目標】
基礎文法を学び、日常生活に必要な読む・書く・聴く・話す力を身につける。スペイン語圏諸国の地理・歴史・社会・文化等に関する知識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】
すべて対面で行う。対面が不可になった場合はZoomによるリアルタイム双方向式で行う。
教員が文法事項を説明し、履修生はテキスト記載のスペイン語文の和訳、練習問題、グループアクティビティを行う。
アクティビティや試験返却時に講評・解説をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 7 課	前置詞格人称代名詞、動詞 gustar
2	第 7 課	動詞 encantar, interesar 、好み
3	第 8 課	不規則活用動詞 1、直接目的格人称代名詞
4	第 8 課	数字 100-999,999、序数、不定語、買い物
5	第 9 課	不規則活用動詞 2、直接と間接目的格人称代名詞
6	第 9 課	動詞 saber と poder 、動詞 ser と estar 、レストラン
7	中間試験、ふりかえり	秋学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
8	第 10 課	代名動詞、天気
9	第 10 課	日常生活、祭りや行事
10	第 11 課	動詞 estar + 形容詞、動詞 tener + 名詞、動詞 doler
11	第 11 課	形容詞、名詞、動詞の修飾語、接続詞、健康的な生活
12	第 12 課	点過去規則活用、動詞 ir 点過去、過去の時を表す表現
13	第 12 課	点過去と線過去、旅行、今年度の出来事
14	期末試験、総括	秋学期後半の学習事項に関する試験とふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習：テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、例文が訳せるようにしておく。地名は地図で位置を確認し、その特徴なども調べる。
復習：新しく学んだ語彙・文法をノートにまとめて復習し、テキストの音声やビデオを視聴し発音練習を繰り返す。
宿題：練習問題
標準学習時間：計 1.5 時間

【テキスト（教科書）】
ファン・カルロス・モヤノ・ロベス／カルロス・ガルシア・ルイス・カステージョ／廣康好美『いいね！ スペイン語 1 第 2 版』朝日出版社、2024 年

【参考書】
小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会
西川喬『わかるスペイン語文法』同学社
小川雅美『スペイン語ワークブック』同学社
その他、授業中に適宜紹介。

【成績評価の方法と基準】
平常点（50％）、中間試験（25％）、期末試験（25％）から総合的に評価。

【学生の意見等からの気づき】
グループワークを取り入れ、学生が主体的に学び積極的に発言できるよう促したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
テキストの音声とビデオが視聴できる機器（パソコン、スマートフォン等）とインターネット環境。

【その他の重要事項】
紙媒体の辞書を使って学習することをお勧めします。
西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のもの。
自動翻訳機や生成 AI の使用厳禁。

【Outline (in English)】
This course introduces the basic of Spanish to beginners.
The goals are to acquire reading, writing, listening and speaking skills necessary for daily life and apprehend Spanish-speaking world.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour and a half to understand the course content.
Final grade will be calculated according to the following process;
in class contribution 50%, mid-term examination 25%, term-end examination 25%.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 2 - I

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基礎知識とスペイン語圏の文化を学ぶ授業です。基礎的なスペイン語文法の学習に加えて会話を習得することを目的とします。またスペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指します。

【到達目標】

スペイン語で日常会話ができるようになることを目標とします。また、辞書を使用しながら、簡単なテキストを読解できるようになることも目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められます。必要に応じて教員が説明を行います。基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待されます。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	スペイン語紹介	南米にスペイン語を話す国々。南米のスペイン語。
2	スペイン語で自己紹介	目的人称代名詞、再帰代名詞
3	発音	教室で役に立つ表現。名前と苗字
4	数字 I. 歴史上の人物	名詞、定冠詞、主語代名詞
5	職業、国籍	SER 直説法現在、疑問文と否定文
6	数字 II. 家族	不定冠詞、品質形容詞、所有詞前置形
7	親族、ジェスチャー	TENER 直説法現在、疑問詞 I
8	位置関係、場所を表す副詞	指示形容詞、指示代名詞
9	数字 III. 序数、世界世界遺産の都市	ESTAR 直説法現在 I. HABER の活用
10	曜日	規則動詞 直説法現在、不規則動詞 (HACER, IR) 直説法現在
11	頻度を表す副詞表現	現在形の用法、疑問詞 II
12	時間	前置詞
13	月と季節	語幹母音変化動詞 I
14	試験・まとめと解説	期末試験を実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Entre amigos 1

2a. edición(総合スペイン語コース初級 改訂版)

Editorial Asahi

【参考書】

辞書(電子辞書可、初修者には紙辞書が良いとされています)

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験及び平常点 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

It is a class to learn the basic knowledge of Spanish and culture of Spanish-speaking countries. It aims to master conversation in addition to basic Spanish grammar learning. We also aim to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

Upon completion of this course, students will be able to understand and express themselves in Spanish in daily life situations. They will also be able to read and understand simple texts with the help of a dictionary.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 2-II

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基礎知識とスペイン語圏の文化を学ぶ授業です。基礎的なスペイン語文法の学習に加えて会話を習得することを目的とします。またスペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指します。

【到達目標】

スペイン語で日常会話ができるようになることを目標とします。また、辞書を使用しながら、簡単なテキストを読解できるようになることも目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められます。必要に応じて教員が説明を行います。基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待されます。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	住居. 天気表現	語幹母音変化動詞. 動詞 VOLVER, REPETIR
2	日常の習慣	再帰動詞
3	食べ物と飲み物	直接目的人称代名 動詞 VER.SABER, CONOCER
4	レシピ/レストランで	Saber + 不定詞、PODER + 不定詞. QUERER + 不定詞, PODER + 不定詞
5	衣服とアクセサリ. 色	間接目的人称代名詞. 動詞 DAR, TRAER, DECIR
6	クリスマス. 買い物	比較現在 I. 形容詞の比較/ 不規則な比較を持つ形容詞
7	余暇活動 スポーツ	動詞 GUSTAR. 活用
8	スペイン語圏の国々のお祭り	GUSTARと同じように用いられる動詞 ENCANTAR, INTERESAR, PARECER, IMPORTAR/比較現在 II/比較現在 III. 数量の比較
9	体の部分の名称	動詞 DOLER. ESTAR II
10	状態	SER+形容詞. estar+形容詞
11	体調. 感情表現	感情文. SER+形容詞. estar+形容詞
12	日常行われるスポーツ	TENER QUE+不定詞 HAY QUE+不定詞. 不定詞と否定語
13	旅行	直説法点過去. 直説法点過去 規則活用.
14	試験・まとめと解説	期末試験を実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Entre amigos 1

2a.edición (総合スペイン語コース初級 改訂版)

Editorial Asahi

【参考書】

辞書(電子辞書可、初修者には紙辞書が良いとされています)

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

It is a class to learn the basic knowledge of Spanish and culture of Spanish-speaking countries. It aims to master conversation in addition to basic Spanish grammar learning. We also aim to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

Upon completion of this course, students will be able to understand and express themselves in Spanish in daily life situations. They will also be able to read and understand simple texts with the help of a dictionary.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語2-I

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

<課題に対するフィードバックの方法>

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う

本授業は原則として対面で行うが、状況を鑑みオンライン授業を実施することがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 発音とアクセント	授業の概要説明。 スペイン語のアルファベット など つづりの読み方とアクセント
2	名詞の性、数	名詞の性、名詞の数
3	冠詞	定冠詞、不定冠詞
4	形容詞の基本	母音で終わる形容詞、子音で終わる形容詞の語形変化など
5	語尾が脱落する形容詞	語尾が脱落する形容詞の語形変化など
6	ser動詞の活用	動詞serの現在形
7	自己紹介	動詞serを使った自己紹介の方法
8	estar動詞の活用	動詞estarの現在形と用法およびhayの用法
9	動詞の使い分け	動詞ser、estar、hayの使い分け
10	直説法現在	直説法現在形の規則活用
11	時刻と数字1～12	時刻の言い方、数字（1～12）
12	不規則活用と指示代名詞、指示形容詞	直説法現在形の不規則活用と指示形容詞、指示代名詞
13	数字13～30	数字（13～30） 試験に向け、質問など
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。
特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。

本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『スペイン語キックオフ』泉水浩隆（白水社）ISBN：9784560016794

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることある。

授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけでなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

2年次以降で再履修の学生は、原則、「スペイン語補講」を履修してください。許可なしでの履修は認めません。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand basic Spanish, in the simple present and past tense.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs100LA（スペイン語 / Spanish language education 100）		
スペイン語2-II		2017年度以降入学者
大貫 良史		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金5/Fri.5		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期のスペイン語2Iから連続する。
テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。
また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。
状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。
＜課題に対するフィードバックの方法＞
リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う。
本授業は原則として対面で行うが、状況に応じオンラインで授業を実施する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	直説法現在形 動詞の不規則活用 I
2	所有形容詞	所有形容詞（前置形）
3	数字（31～99） 動詞の不規則活用	数字（31～99） 直説法現在形 動詞の不規則活用 II tener que+不定詞
4	数字（100～999） 目的格代名詞の基本	数字（100～999） 直接目的格人称代名詞および間接目的格人称代名詞
5	gustar 動詞	動詞 gustar の用法
6	gustar 型動詞	動詞 gustar と同様な使い方がされる動詞
7	再帰動詞 無人称表現	再帰動詞 se を用いた無人称表現
8	時刻 天候の表現	時刻の言い方 天気 of の言い方
9	直説法点過去	直説法点過去形の規則活用
10	過去の天候表現	過去の天気 of の言い方
11	直説法点過去	直説法点過去形の不規則活用
12	日付、曜日、月	日付、曜日、月の名前と使い方
13	直説法線過去	直説法線過去形の規則活用
14	直説法線過去	直説法線過去形の不規則活用
15	点過去、線過去	点過去と線過去の対比
16	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。
特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。
本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『スペイン語キックオフ』泉水浩隆（白水社）ISBN：9784560016794

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）
『わかるスペイン語』西川喬（同学社）
授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。
また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。
授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。
2年次以降で再履修の学生は、原則、「スペイン語補講」を履修してください。許可なしでの履修は認めません。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand basic Spanish, in the simple present and past tense.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語2-I

2017年度以降入学者

岸下 卓史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基本文法の習得を目指す。また、初歩的な文法事項の知識を活かしながら、簡単な読み物の読解ができるようになることを目指す。

【到達目標】

スペイン語の基礎となる正確な発音や文法の習得を目指す。春学期を通じて、動詞に関しては直説法現在の不規則活用までの学習を終えることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書の内容に沿って、基本的な文法事項について学んでいく。随時小テストを実施し、受講生の理解度を確認しながら進める。小テストの答案については、採点済みのものを受講生に返却し、答え合わせを通じて内容のさらなる理解に努めてもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	春学期の授業について、導入となるガイダンスを行なう。
第2回	発音	スペイン語の母音・子音の発音練習を行う。
第3回	アクセント	スペイン語のアクセントに関する基本的な規則を学ぶ。
第4回	名詞	スペイン語の名詞の性・数について学ぶ。
第5回	冠詞	スペイン語の冠詞について学ぶ。
第6回	形容詞	スペイン語の形容詞について学ぶ。
第7回	ser/estar 動詞	スペイン語のser動詞、estar動詞について学ぶ。
第8回	規則動詞	スペイン語の一般動詞の規則形について学ぶ。
第9回	不規則動詞	スペイン語の一般動詞の不規則形について学ぶ。
第10回	疑問文・否定文	スペイン語の疑問文・否定文について学ぶ。
第11回	目的語	スペイン語の間接・直接目的語について学ぶ。
第12回	指示詞	スペイン語の指示形容詞・指示代名詞について学ぶ。
第13回	接続詞	スペイン語の接続詞について学ぶ。
第14回	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、春学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。授業で用いる教科書に基づいて準備学習と復習を励行すること。

【テキスト（教科書）】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語』朝日出版社、2019年、ISBN9784255551029、2,750円（税込）。

【参考書】

初回授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点(20%)、小テスト(40%)、期末試験(40%)を総合的に勘案して評価する。

【学生の意見等からの気づき】

本年度からの新規担当のため、特になし。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。必要な場合はその都度指示する。

【その他の重要事項】

西和辞書を必ず毎回持参すること。紙・電子は問わないが、通信機器による辞書機能の利用は認めない。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course is designed to provide you with an understanding of elementary Spanish and a basic knowledge of the histories, societies and cultures of the Spanish-speaking world.

《Learning Objectives》

Students will gain the knowledge of Spanish elementary grammar. In addition, you will be able to enjoy reading and writing easy Spanish text.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Usual performance score (20%), quizzes (40%), and term-end examination (40%).

LANs100LA（スペイン語 / Spanish language education 100）

スペイン語 2 - II

2017年度以降入学者

岸下 卓史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基本文法の習得を目指す。また、基本的な文法事項の知識を活かしながら、簡単な読み物の読解ができるようになることを目指す。

【到達目標】

スペイン語の基礎となる正確な発音と、文法においては直説法点過去・線過去の理解と正しい活用の習得をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書の内容に沿って、基本的な文法事項について学んでいく。随時小テストを実施し、受講生の理解度を確認しながら進める。小テストの答えについては、採点済みのものを受講生に返却し、答え合わせを通じて内容のさらなる理解に努めてもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	春学期の期末試験の振り返りを通して、秋学期の学習に備える。
第2回	再帰動詞	スペイン語の再帰動詞について学ぶ。
第3回	無人称文	スペイン語の無人称文について学ぶ。
第4回	現在完了	スペイン語の現在完了について学ぶ。
第5回	点過去（規則形）	スペイン語の動詞点過去について学ぶ。
第6回	点過去（不規則形）	スペイン語の動詞点過去（不規則形）について学ぶ。
第7回	線過去（規則形）	スペイン語の動詞線過去について学ぶ。
第8回	線過去（不規則形）	スペイン語の動詞線過去（不規則形）について学ぶ。
第9回	過去時制のまとめ	点過去と線過去の使い分けの練習を行う。
第10回	スペイン語会話	スペイン語会話の練習を行う。
第11回	スペイン語のリスニング	スペイン語のリスニングの練習を行う。
第12回	関係詞	スペイン語の関係詞について学ぶ。
第13回	総復習	秋学期の学習事項の総復習を行う。
第14回	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、秋学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。授業で用いる教科書に基づいて準備学習と復習を励行すること。

【テキスト（教科書）】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語』朝日出版社、2019年、ISBN9784255551029、2,750円（税込）。

【参考書】

初回授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点(20%)、小テスト(40%)、期末試験(40%)を総合的に勘案して評価する。

【学生の意見等からの気づき】

本年度からの新規担当のため、特になし。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。必要な場合はその都度指示する。

【その他の重要事項】

西和辞書を必ず毎回持参すること。紙・電子は問わないが、通信機器による辞書機能の利用は認めない。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course is designed to provide you with an understanding of basic Spanish and a knowledge of the histories, societies and cultures of the Spanish-speaking world.

《Learning Objectives》

Students will gain the knowledge of Spanish basic grammar. In addition, you will be able to enjoy reading and writing Spanish text.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Usual performance score (20%), quizzes (40%), and term-end examination (40%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語2-I

2017年度以降入学者

久木 正雄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生が、スペイン語の基礎を学習する。同時に、スペイン語圏の歴史・文化・社会に関する知識を得て、それらに対する関心を高めていく。

【到達目標】

スペイン語の初級文法と基本的語彙を修得し、スペイン語圏の歴史・文化・社会への理解に基づいて、平易な文章の読み書きができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員による文法説明の講義を踏まえて、学生が練習問題や講読・作文に取り組む。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方を確認した上で、導入としてスペイン語とスペイン語圏の特徴を概観する。
2	文字と発音	スペイン語の文字と発音のルールを学ぶ。
3	音節とアクセント	音節とアクセントのルールを学ぶ。
4	名詞と冠詞	名詞と冠詞の用法を学ぶ。
5	主格人称代名詞と動詞 ser （直説法現在）	主格人称代名詞の用法と、動詞 ser の直説法現在の活用と用法を学ぶ。
6	形容詞と動詞 estar （直説法現在）	形容詞の用法と、動詞 estar の直説法現在の活用と用法を学ぶ。
7	所有詞と指示詞	所有形容詞の前置形・後置形と、指示形容詞・代名詞の用法を学ぶ。
8	-ar動詞の規則活用（直説法現在）	-ar動詞の直説法現在の規則活用と用法を学ぶ。
9	-er動詞と-ir動詞の規則活用（直説法現在）	-er動詞と-ir動詞の直説法現在の規則活用と用法を学ぶ。
10	目的格人称代名詞と hay 存在文	目的格人称代名詞と hay 存在文の用法を学ぶ。
11	前置詞格人称代名詞と gustar 型動詞	前置詞格人称代名詞と gustar 型動詞の用法を学ぶ。
12	語幹母音変化動詞（直説法現在）	語幹母音変化動詞の直説法現在の活用と用法を学ぶ。
13	不規則活用動詞（直説法現在）	語幹母音変化動詞以外の不規則活用動詞の直説法現在の活用と用法を学ぶ。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定範囲の準備学習と復習とともに、提出・非提出の別を問わず宿題に取り組むこと。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

志波彩子ほか『初級スペイン語 エクセレンテ!!! 三訂版』朝日出版社、2021年、ISBN9784255551203、本体価格2,500円。

【参考書】

適宜、教場にて紹介する。以下の【その他の重要事項】の欄も参照のこと。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：20%、小テスト：20%、学期末試験：60%。

【学生の意見等からの気づき】

学習事項の着実な修得のために、受講者一人ひとりの理解度をこまめに確認する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

初回の授業で数種紹介する西和辞典のうち、1つ以上を必ず用意し、毎回の授業および準備学習・復習において活用すること。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course is designed to provide you with an understanding of elementary Spanish and a basic knowledge of the histories, societies and cultures of the Spanish-speaking world.

《Learning Objectives》

Students will gain the knowledge of Spanish elementary grammar. In addition, you will be able to enjoy reading and writing easy Spanish text.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Classwork and homework (20%), quizzes (20%), and term-end examination (60%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語 2 - II

2017年度以降入学者

久木 正雄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生が、スペイン語の基礎を学習する。同時に、スペイン語圏の歴史・文化・社会に関する知識を得て、それらに対する関心を高めていく。

【到達目標】

スペイン語の初級文法と基本的語彙を修得し、スペイン語圏の歴史・文化・社会への理解に基づいて、平易な文章の読み書きができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員による文法説明の講義を踏まえて、学生が練習問題や講読・作文に取り組む。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の学習事項を復習し、新たな学習事項に取り組むための足固めを行う。
2	再帰動詞	再帰動詞の用法を学ぶ。
3	比較級と最上級	比較級と最上級の用法を学ぶ。
4	過去分詞	過去分詞の用法を学ぶ。
5	現在完了	現在完了の用法を学ぶ。
6	現在分詞	現在分詞の用法を学ぶ。
7	現在進行形	現在進行形の用法を学ぶ。
8	点過去の規則活用	点過去の規則活用と用法を学ぶ。
9	点過去の不規則活用	点過去の不規則活用と用法を学ぶ。
10	線過去	線過去の活用と用法を学ぶ。
11	関係詞	関係詞の用法を学ぶ。
12	一般人称表現	一般人称表現を学ぶ。
13	過去完了	過去完了の用法を学ぶ。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定範囲の準備学習と復習とともに、提出・非提出の別を問わず宿題に取り組むこと。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

志波彩子ほか『初級スペイン語 エクセレンテ!!! 三訂版』朝日出版社、2021年、ISBN9784255551203、本体価格2,500円。

【参考書】

適宜、教場にて紹介する。以下の【その他の重要事項】の欄も参照のこと。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：20%、小テスト：20%、学期末試験：60%。

【学生の意見等からの気づき】

学習事項の着実な修得のために、受講者一人ひとりの理解度をこまめに確認する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

春学期の「スペイン語 2 - I」と同様に、1種以上の西和辞典を必ず用意し、毎回の授業および準備学習・復習において活用すること。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course is designed to provide you with an understanding of elementary Spanish and a basic knowledge of the histories, societies and cultures of the Spanish-speaking world.

《Learning Objectives》

Students will gain the knowledge of Spanish elementary grammar. In addition, you will be able to enjoy reading and writing easy Spanish text.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Classwork and homework (20%), quizzes (20%), and term-end examination (60%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語補講 1 I

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次のスペイン語既習者を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

1年次のスペイン語再履修者が主な対象となるため、気の緩みが生じないように非常に厳しく指導していく。

＜課題に対するフィードバックの方法＞

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う。

大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーションおよび第1課	授業方針の説明とアルファベットの等、スペイン語の初歩的事柄の解説
2	名詞の性、数	名詞の性、名詞の数
3	冠詞と人称代名詞	冠詞、主格人称代名詞
4	動詞serの現在形	ser動詞の活用と用法
5	形容詞の基本	形容詞の性と数、疑問文と否定文
6	estar動詞の活用	動詞estarの現在形と用法およびhayの用法
7	動詞の使い分け	serとestarの比較、estarとhayの比較、指示形容詞
8	ar動詞の直説法現在形規則活用	規則動詞-ar動詞の活用と現在時制の用法
9	様々な疑問詞と前置詞「a」	疑問詞の用法、間接・直接目的語に付く前置詞a
10	er,ir動詞の直説法現在形規則活用	規則動詞-er動詞、-ir動詞の活用
11	所有形容詞の基本	所有形容詞（前置形、後置形）
12	目的格人称代名詞の基本	直接目的格人称代名詞と間接目的格人称代名詞
13	gustar型動詞の基本	gustar型動詞の用法
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を事前に辞書で調べておくこと。語学習得の秘訣は復習である。授業後の復習を必ず行い、反復練習に励むこと。

本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『ブラサ・マヨール I 改訂版 ―コミュニケーション・スペイン語―』

エンリケ・アルマラス / マヌエラ・アルマラス / ピエダー・ガルシア / アナ・ピニャン / パロマ・トレナド / 青砥清一 / 高野雅司 / 高松英樹 / 二宮哲 / 松井健吾 / 柳沼孝一郎（著）、朝日出版社、2,100円（+税）

ISBN: 978-4-255-55098-5

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』西川喬（同人社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点30%、試験70%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

重要！

履修希望者が多い場合には選抜を実施する。履修希望者は必ず初回授業に出席し、許可を得ること。

初回授業に來なかった学生は原則履修を許可しないので、必ず初回授業に出席すること。

1年次に本授業で使用予定の「ブラサ・マヨール I 改訂版―コミュニケーション・スペイン語―」を使用した経験のある学生は、原則この授業ではなく、もう一つの「スペイン語補講1I」を履修すること。古本で入手した解答書き込み済み教科書使用は厳禁。

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand basic Spanish, in the simple present and past tense.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語補講 1 II

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1年次のスペイン語既習者を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】
本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】
テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。
状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。
授業では、辞書を必ず持参すること。
1年次のスペイン語再履修者が主な対象となるため、気の緩みが生じないように非常に厳しく指導していく。
＜課題に対するフィードバックの方法＞
リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う。
大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
1	不規則動詞の基本	不規則動詞、語幹母音変化動詞の活用
2	不規則動詞と不定詞	quererとpoderの活用と様々な用法
3	不規則動詞の応用	不規則動詞の活用、hacerの様々な用法
4	再帰動詞の基本	再帰動詞の活用と用法
5	再帰動詞の進んだ用法	再帰動詞の用法、感嘆文
6	過去分詞と現在分詞	過去分詞、現在分詞の基本形と分詞構文、形容詞的用法
7	現在完了の基本	現在完了の活用と用法
8	過去形の基本：点過去	点過去規則活用と点過去の用法
9	否定語・不定語の用法	不定語と否定語、比較表現
10	点過去の不規則活用	点過去不規則活用の基本
11	語幹母音変化動詞の点過去不規則活用	語幹母音変化動詞の現在形と不規則活用の違い
12	再帰動詞の点過去	再帰動詞の点過去活用と用法
13	線過去の基本	線過去の活用と用法、点過去と線過去の対比
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。
特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。
本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『ブラサ・マヨール I 改訂版 ―コミュニケーション・スペイン語―』
エンリケ・アルマラス / マヌエラ・アルマラス / ピエダー・ガルシア / アナ・ピニャン / パロマ・トレナド / 青砥清一 / 高野雅司 / 高松英樹 / 二宮哲 / 松井健吾 / 柳沼孝一郎（著）、朝日出版社、2,100円（+税）
ISBN: 978-4-255-55098-5

【参考書】
『西和中辞典』（小学館）
『わかるスペイン語』西川喬（同学社）
授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。
また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。
授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】
授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけでなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】
重要！
履修希望者が多い場合には選抜を実施する。選抜の実施有無および選抜結果については春学期第2週までに通知する。
選抜を実施した場合、原則秋学期からの新規の受け入れはしないので注意すること。
1年次に本授業で使用予定の「ブラサ・マヨール I 改訂版 ―コミュニケーション・スペイン語―」を使用した経験のある学生は、原則この授業ではなく、もう一つの「スペイン語補講1I」を履修すること。
古本で入手した解答書き込み済み教科書使用は厳禁。
学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline (in English)】
【Course outline】
Basic Spanish grammar and conversation.
【Learning Objectives】
By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand basic Spanish, in the simple present and past tense.
【Learning activities outside of classroom】
Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.
【Grading Criteria /Policy】
Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語補講 1 I

2017年度以降入学者

久木 正雄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次必修スペイン語の再履修者が、スペイン語の基礎を学習する。同時に、スペイン語圏の歴史・文化・社会に関する知識を得て、それらに対する関心を高めていく。

【到達目標】

スペイン語の初級文法と基本的語彙を修得し、スペイン語圏の歴史・文化・社会への理解に基づいて、平易な文章の読み書きができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員による文法説明の講義を踏まえて、学生が練習問題や講読・作文に取り組む。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方を確認した上で、導入としてスペイン語とスペイン語圏の特徴を概観する。
2	文字と発音	スペイン語の文字と発音のルールを学ぶ。
3	音節とアクセント	音節とアクセントのルールを学ぶ。
4	名詞と冠詞	名詞と冠詞の用法を学ぶ。
5	主格人称代名詞と動詞 ser （直説法現在）	主格人称代名詞の用法と、動詞 ser の直説法現在の活用と用法を学ぶ。
6	形容詞と動詞 estar （直説法現在）	形容詞の用法と、動詞 estar の直説法現在の活用と用法を学ぶ。
7	所有詞と指示詞	所有形容詞の前置形・後置形と、指示形容詞・代名詞の用法を学ぶ。
8	-ar 動詞の規則活用（直説法現在）	-ar 動詞の直説法現在の規則活用と用法を学ぶ。
9	-er 動詞と -ir 動詞の規則活用（直説法現在）	-er 動詞と -ir 動詞の直説法現在の規則活用と用法を学ぶ。
10	目的格人称代名詞と hay 存在文	目的格人称代名詞と hay 存在文の用法を学ぶ。
11	前置詞格人称代名詞と gustar 型動詞	前置詞格人称代名詞と gustar 型動詞の用法を学ぶ。
12	語幹母音変化動詞（直説法現在）	語幹母音変化動詞の直説法現在の活用と用法を学ぶ。
13	不規則活用動詞（直説法現在）	語幹母音変化動詞以外の不規則活用動詞の直説法現在の活用と用法を学ぶ。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定範囲の準備学習と復習とともに、提出・非提出の別を問わず宿題に取り組むこと。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

志波彩子ほか『初級スペイン語 エクセレンテ!!! 三訂版』朝日出版社、2021年、ISBN9784255551203、本体価格2,500円。

【参考書】

任意の西和辞典を必ず用意し、準備学習・授業時間内の学習・復習・宿題において意欲的に活用すること。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：20%、小テスト：20%、学期末試験：60%。

【学生の意見等からの気づき】

学習事項の着実な修得のために、受講者一人ひとりの理解度をこまめに確認する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

履修予定者は、初回授業の前々日までに「学習支援システム」で仮登録を行っておくこと。仮登録者数が定員を超過した場合は初回授業で選抜を行うこととし、その旨と選抜方法を前日のうちに同システムで通知する。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course is designed to provide you with an understanding of elementary Spanish and a basic knowledge of the histories, societies and cultures of the Spanish-speaking world.

《Learning Objectives》

Students will gain the knowledge of Spanish elementary grammar. In addition, you will be able to enjoy reading and writing easy Spanish text.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Classwork and homework (20%), quizzes (20%), and term-end examination (60%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語補講 1 II

2017年度以降入学者

久木 正雄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次必修スペイン語の再履修者が、スペイン語の基礎を学習する。同時に、スペイン語圏の歴史・文化・社会に関する知識を得て、それらに対する関心を高めていく。

【到達目標】

スペイン語の初級文法と基本的語彙を修得し、スペイン語圏の歴史・文化・社会への理解に基づいて、平易な文章の読み書きができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員による文法説明の講義を踏まえて、学生が練習問題や講読・作文に取り組む。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の学習事項を復習し、新たな学習事項に取り組むための足固めを行う。
2	再帰動詞	再帰動詞の用法を学ぶ。
3	比較級と最上級	比較級と最上級の用法を学ぶ。
4	過去分詞	過去分詞の用法を学ぶ。
5	現在完了	現在完了の用法を学ぶ。
6	現在分詞	現在分詞の用法を学ぶ。
7	現在進行形	現在進行形の用法を学ぶ。
8	点過去の規則活用	点過去の規則活用と用法を学ぶ。
9	点過去の不規則活用	点過去の不規則活用と用法を学ぶ。
10	線過去	線過去の活用と用法を学ぶ。
11	関係詞	関係詞の用法を学ぶ。
12	一般人称表現	一般人称表現を学ぶ。
13	過去完了	過去完了の用法を学ぶ。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定範囲の準備学習と復習とともに、提出・非提出の別を問わず宿題に取り組むこと。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

志波彩子ほか『初級スペイン語 エクセレンテ!!! 三訂版』朝日出版社、2021年、ISBN9784255551203、本体価格2,500円。

【参考書】

任意の西和辞典を必ず用意し、準備学習・授業時間内の学習・復習・宿題において怠らずに活用すること。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：20%、小テスト：20%、学期末試験：60%。

【学生の意見等からの気づき】

学習事項の着実な修得のために、受講者一人ひとりの理解度をこまめに確認する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

履修予定者は、秋学期の初回授業の前々日までに「学習支援システム」で仮登録を行っておくこと。仮登録者数が定員を超過した場合は初回授業で選抜を行うこととし、その旨と選抜方法を前日のうちに同システムで通知する。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course is designed to provide you with an understanding of elementary Spanish and a basic knowledge of the histories, societies and cultures of the Spanish-speaking world.

《Learning Objectives》

Students will gain the knowledge of Spanish elementary grammar. In addition, you will be able to enjoy reading and writing easy Spanish text.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Classwork and homework (20%), quizzes (20%), and term-end examination (60%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語補講2 I

2017年度以降入学者

久木 正雄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次必修スペイン語の再履修者が、スペイン語の基礎を学習する。同時に、スペイン語圏の歴史・文化・社会に関する知識を得て、それらに対する関心を高めていく。

【到達目標】

スペイン語の初級文法と基本的語彙を修得し、スペイン語圏の歴史・文化・社会への理解に基づいて、平易な文章の読み書きができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員による文法説明の講義を踏まえて、学生が練習問題や講読・作文に取り組む。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方を確認した上で、導入としてスペイン語とスペイン語圏の特徴を概観する。
2	文字と発音	スペイン語の文字と発音のルールを学ぶ。
3	音節とアクセント	音節とアクセントのルールを学ぶ。
4	名詞と冠詞	名詞と冠詞の用法を学ぶ。
5	主格人称代名詞と動詞ser（直説法現在）	主格人称代名詞の用法と、動詞serの直説法現在の活用と用法を学ぶ。
6	形容詞と動詞estar（直説法現在）	形容詞の用法と、動詞estarの直説法現在の活用と用法を学ぶ。
7	指示詞とhay存在文	指示形容詞・指示代名詞とhay存在文の用法を学ぶ。
8	-ar動詞の規則活用（直説法現在）	-ar動詞の直説法現在の規則活用と用法を学ぶ。
9	-er動詞と-ir動詞の規則活用（直説法現在）	-er動詞と-ir動詞の直説法現在の規則活用と用法を学ぶ。
10	語幹母音変化動詞（直説法現在）	語幹母音変化動詞の直説法現在の活用と用法を学ぶ。
11	不規則活用動詞（直説法現在）	語幹母音変化動詞以外の不規則活用動詞の直説法現在の活用と用法を学ぶ。
12	時刻と天候の表現	時刻と天候の表現について学ぶ。
13	目的格人称代名詞と前置詞格人称代名詞	目的格人称代名詞（間接・直接）と前置詞格人称代名詞の用法を学ぶ。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定範囲の準備学習と復習とともに、提出・非提出の別を問わず宿題に取り組むこと。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

木村琢也・柳田玲奈『スペイン語へのとびら 改訂版』朝日出版社、2025年、ISBN9784255551685、本体価格2,200円。

【参考書】

任意の西和辞典を必ず用意し、準備学習・授業時間内の学習・復習・宿題において意らずに活用すること。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：20%、小テスト：20%、学期末試験：60%。

【学生の意見等からの気づき】

学習事項の着実な修得のために、受講者一人ひとりの理解度をこまめに確認する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

履修予定者は、初回授業の前々日までに「学習支援システム」で仮登録を行っておくこと。仮登録者数が定員を超過した場合は初回授業で選抜を行うこととし、その旨と選抜方法を前日のうちに同システムで通知する。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course is designed to provide you with an understanding of elementary Spanish and a basic knowledge of the histories, societies and cultures of the Spanish-speaking world.

《Learning Objectives》

Students will gain the knowledge of Spanish elementary grammar. In addition, you will be able to enjoy reading and writing easy Spanish text.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Classwork and homework (20%), quizzes (20%), and term-end examination (60%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語補講 Ⅱ

2017年度以降入学者

久木 正雄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次必修スペイン語の再履修者が、スペイン語の基礎を学習する。同時に、スペイン語圏の歴史・文化・社会に関する知識を得て、それらに対する関心を高めていく。

【到達目標】

スペイン語の初級文法と基本的語彙を修得し、スペイン語圏の歴史・文化・社会への理解に基づいて、平易な文章の読み書きができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員による文法説明の講義を踏まえて、学生が練習問題や講読・作文に取り組む。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の学習事項を復習し、新たな学習事項に取り組むための足固めを行う。
2	gustar 型動詞	gustar 型動詞の用法を学ぶ。
3	所有詞	所有詞（前置形・後置形）の用法を学ぶ。
4	比較級と最上級	比較級と最上級の表現を学ぶ。
5	再帰動詞	再帰動詞の用法を学ぶ。
6	点過去の規則活用	点過去の規則活用と用法を学ぶ。
7	点過去の不規則活用	点過去の不規則活用と用法を学ぶ。
8	線過去	線過去の活用と用法を学ぶ。
9	数詞、日付、曜日の表現	数詞（基数詞・序数詞）、日付、曜日の表現を学ぶ。
10	現在分詞	現在分詞の用法を学ぶ。
11	現在進行形	現在進行形の用法を学ぶ。
12	過去分詞	過去分詞の用法を学ぶ。
13	現在完了	現在完了の用法を学ぶ。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定範囲の準備学習と復習とともに、提出・非提出の別を問わず宿題に取り組むこと。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

木村琢也・柳田玲奈『スペイン語へのとびら 改訂版』朝日出版社、2025年、ISBN9784255551685、本体価格2,200円。

【参考書】

任意の西和辞典を必ず用意し、準備学習・授業時間内の学習・復習・宿題において怠らずに活用すること。

【成績評価の方法と基準】

宿題および授業時間内の課題：20％、小テスト：20％、学期末試験：60％。

【学生の意見等からの気づき】

学習事項の着実な修得のために、受講者一人ひとりの理解度をこまめに確認する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

履修予定者は、秋学期の初回授業の前々日までに「学習支援システム」で仮登録を行っておくこと。仮登録者数が定員を超過した場合は初回授業で選抜を行うこととし、その旨と選抜方法を前日のうちに同システムで通知する。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course is designed to provide you with an understanding of elementary Spanish and a basic knowledge of the histories, societies and cultures of the Spanish-speaking world.

《Learning Objectives》

Students will gain the knowledge of Spanish elementary grammar. In addition, you will be able to enjoy reading and writing easy Spanish text.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Classwork and homework (20%), quizzes (20%), and term-end examination (60%).

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語補講2 I

2017年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の文法の骨組みを体系的に理解することによって、読解、作文ができるようになるための、基礎固めを行う。スペインや中南米のスペイン語圏地域の文化についての理解を深める。

【到達目標】

規則動詞、不規則動詞を問わず、直説法現在形で書かれた文章を辞書を引ながら読むことができる。動詞を現在形に活用させて自分の出身地、人やモノの特徴や状態、何がどこにあるといった存在や存在、気分や暑さ寒さなどの感覚、日常的な行動について口頭で述べる、あるいは作文でできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進める。教員が文法解説を行う。受講生を指名して、対話文の音読・訳読、練習問題への回答を行う。また、毎回Hoppiiで課題の提出を求める。課題は、毎回の授業への質問・感想である。それについては、次の授業でフィードバックを行う。

本授業は対面形式で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	シラバスを用いての授業の説明。
2	第2課	名詞の性数、冠詞、hay、基数(1-10)。
3	第3課前半	主格人称代名詞、serの直説法現在、estarの直説法現在。
4	第3課後半	疑問文と否定文。
5	第4課前半	直説法現在の規則活用、ser動詞+de、前置詞a、de+定冠詞el。
6	第4課後半	指示形容詞、指示代名詞、基数(10-20)。
7	第5課前半	形容詞、ser・estar+形容詞、所有形容詞前置形。
8	第5課後半	irとvenir(直説法現在)、ir+a+不定詞、hay que+不定詞。
9	第6課前半	直説法現在一人称単数不規則動詞、基数(20-99)、形容詞buenoとmalo、国名・地名形容詞。
10	第6課後半	時刻の表現、直接目的語に付ける前置詞a、-mente副詞。
11	第7課前半	tener型不規則動詞、tener que+不定詞、曜日と日付の表現。
12	第7課後半	saberとconocer、不定語と否定語(1)、接続詞que。
13	春学期の振り返り	問題演習。
14	理解度確認	期末試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をする。予習としては、教科書の文法事項の説明を読んで、練習問題に取り組むことが理想的であるが、少なくとも分からない単語の意味は辞書で調べておくこと。音声サイトの音源を聞き、スペイン語の音になれる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

西川喬(2019)『基礎から学ぶスペイン語教室』同学社。

978-4-8102-0432-2

【参考書】

西和辞典は用意すること。参考書については、授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業への出席、参加を30%。期末試験の点数を70%として総合的に評価する。

授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。

欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業、丁寧な説明を心がける。教科書に加えて、問題演習を多くやりたいという意見があったので、本授業でも取り入れる予定である。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言(質問・問いかけに対する応答)を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を繰り返して行くと、成績評価に際して減点の材料となるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。

etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

This course is an introduction to give students basic knowledge of the Spanish language.

The goals of this course are to be able to say simple greetings in Spanish, to read sentences written in the indicative present tense with the help of a dictionary, to describe one's origin and characteristics, to depict conditions of people and things, to express habitual actions by conjugating verbs in the present tense.

Students should read the grammatical explanations in the textbook, work on conversations and exercises, and listen to the sound files to familiarize themselves with the rhythms and sounds of the Spanish language. The standard preparation and review time for this class is one hour combined.

The final grade will be calculated according to the following process; mid-term exam 30%, final exam 40%, class contribution 30%

LANs100LA (スペイン語 / Spanish language education 100)

スペイン語補講 Ⅱ

2017年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の文法の骨組みを体系的に理解することによって、読解、作文ができるようになるための、基礎固めを行う。スペインや中南米のスペイン語圏地域の文化についての理解を深める。

【到達目標】

さまざまな現在形不規則活用動詞について学習して、興味、嗜好、意図、願望を述べるなど、その用法に習熟する。再帰動詞を用いて、日常生活での行動について述べるができる。gustar動詞を使って、好き嫌いを述べるができる。比較表現ができるようになる。現在完了形、点過去形を用いて、過去の出来事について述べるができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進める。教員が文法解説を行う。受講生を指名して、対話文の音読・訳読、練習問題への回答を求める。また、毎回Hoppiiで課題の提出を求める。課題は、毎回の授業への質問・感想である。それについては、次の授業でフィードバックを行う。本授業は対面形式で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	シラバスを用いた授業の説明
2	第8課前半	dar型直説法現在不規則動詞、感嘆文。
3	第8課後半	無人称表現、数詞 (100-1,000,000)、目的格人称代名詞。
4	第9課前半	直説法現在語幹母音変化動詞、el+女性名詞単数形、動詞 gustar。
5	第9課後半	所有形容詞後置形、関係代名詞 que。
6	第10課前半	過去分詞、直説法現在完了。
7	第10課後半	疑問詞、月名、中性定冠詞 lo。
8	第11課前半	再帰動詞、seの受け身、無人称表現。
9	第11課後半	estar受動態、現在分詞。
10	第12課前半	直説法点過去規則活用、形容詞・副詞の比較級。
11	第12課後半	el que・los que、形容詞・副詞の最上級。
12	第13課前半	直説法点過去(つづりに注意を要する動詞)。
13	第13課後半	直説法点過去不規則活用、不定語と否定語(2)。
14	理解度確認	期末試験を実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をする。予習としては、教科書の文法事項の説明を読んで、練習問題に取り組むことが理想的であるが、少なくとも分からない単語の意味は辞書で調べておくこと。教科書付録のCDを聴き、スペイン語の音になれる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

西川喬(2019)『基礎から学ぶスペイン語教室』同学社。
978-4-8102-0432-2

【参考書】

西和辞典は用意すること。参考書については、授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加を30%、期末試験の点数を70%として総合的に評価する。

授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。

欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業、丁寧な説明を心がける。授業の進捗が速すぎるという意見が散見されるので、教科書の内容をすべて学習するのではなく、「文法」と「練習問題」を重点的に行うことにする。また、教科書の内容と教員の説明は完全に理解しなくてもよいので、70%の習得を目指すつもりで授業についてきてほしい。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言(質問・問いかけに対する応答)を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を繰り返して行くと、成績評価に際して減点の材料となるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。

etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

This course is an introduction to give students basic knowledge of the Spanish language.

We will learn about various present tense irregular conjugation verbs and become familiar with their usage to express such as interests, preferences, intentions, wishes. Also, we study reflexive verbs to describe actions in daily life, the verb "gustar" to express likes and dislikes, and comparative expressions that allow us to compare people, things, and places. Finally, we will learn the present perfect and simple past tense to talk about past events.

Students should read the grammatical explanations in the textbook, work on conversations and exercises, and listen to the sound files to familiarize themselves with the rhythms and sounds of the Spanish language. The standard preparation and review time for this class is one hour combined.

The final grade will be calculated according to the following process: final exam 70%, class contribution 30%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 I

2017年度以降入学者

李 蕙臣

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 II

2017年度以降入学者

李 蕙臣

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約 100 語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを 3 つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は 2 名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 23 課	形容詞ともう 1 つの否定形
2	第 24 課	命令形と意思形
3	第 25 課	リウル語幹用言
4	第 26 課	形容詞の連体形
5	第 27 課	希望をあらわす「～したい」
6	第 28 課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第 29 課	パンマルとヘヨ体
8	第 30 課	ヘヨ体の尊敬形
9	第 31 課	指定詞のヘヨ体
10	第 32 課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第 33 課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第 34 課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第 35 課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計 1 時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は 1 年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1 年生の成績評価は期末テスト 80 パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20 パーセント、合計 100 パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後に Hoppii または WebClass で報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合は Hoppii または WebClass の報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 I

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 II

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 I

2017年度以降入学者

河合 紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 II

2017年度以降入学者

河合 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついていますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 I

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 II

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に通し目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 I

2017年度以降入学者

安 垣姫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 II

2017年度以降入学者

安 垠姫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約 100 語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを 3 つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は 2 名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 23 課	形容詞ともう 1 つの否定形
2	第 24 課	命令形と意思形
3	第 25 課	リウル語幹用言
4	第 26 課	形容詞の連体形
5	第 27 課	希望をあらわす「～したい」
6	第 28 課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第 29 課	パンマルとヘヨ体
8	第 30 課	ヘヨ体の尊敬形
9	第 31 課	指定詞のヘヨ体
10	第 32 課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第 33 課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第 34 課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第 35 課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計 1 時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は 1 年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1 年生の成績評価は期末テスト 80 パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20 パーセント、合計 100 パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後に Hoppii または WebClass で報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合は Hoppii または WebClass の報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 I

2017年度以降入学者

石田 美智代

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。改訂版であることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 II

2017年度以降入学者

石田 美智代

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついていますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 I

2017年度以降入学者

河合 紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 II

2017年度以降入学者

河合 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついていますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 I

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 II

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 I

2017年度以降入学者

石田 美智代

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。改訂版であることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に通し目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次回の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 II

2017年度以降入学者

石田 美智代

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約 100 語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを 3 つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は 2 名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 23 課	形容詞ともう 1 つの否定形
2	第 24 課	命令形と意思形
3	第 25 課	リウル語幹用言
4	第 26 課	形容詞の連体形
5	第 27 課	希望をあらわす「～したい」
6	第 28 課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第 29 課	パンマルとヘヨ体
8	第 30 課	ヘヨ体の尊敬形
9	第 31 課	指定詞のヘヨ体
10	第 32 課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第 33 課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第 34 課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第 35 課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計 1 時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は 1 年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1 年生の成績評価は期末テスト 80 パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20 パーセント、合計 100 パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後に Hoppii または WebClass で報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合は Hoppii または WebClass の報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 I

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 II

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついていますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語2 I

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 II

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 I

2017年度以降入学者

安 垣姫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。改訂版であることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 II

2017年度以降入学者

安 垠姫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約 100 語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを 3 つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は 2 名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 23 課	形容詞ともう 1 つの否定形
2	第 24 課	命令形と意思形
3	第 25 課	リウル語幹用言
4	第 26 課	形容詞の連体形
5	第 27 課	希望をあらわす「～したい」
6	第 28 課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第 29 課	パンマルとヘヨ体
8	第 30 課	ヘヨ体の尊敬形
9	第 31 課	指定詞のヘヨ体
10	第 32 課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第 33 課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第 34 課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第 35 課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計 1 時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は 1 年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1 年生の成績評価は期末テスト 80 パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20 パーセント、合計 100 パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後に Hoppii または WebClass で報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に通し目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合は Hoppii または WebClass の報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語2 I

2017年度以降入学者

金 恩愛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 II

2017年度以降入学者

金 恩愛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 I

2017年度以降入学者

黒澤 朋子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 II

2017年度以降入学者

黒澤 朋子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語2 I

2017年度以降入学者

石田 美智代

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 II

2017年度以降入学者

石田 美智代

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 I

2017年度以降入学者

河合 紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 II

2017年度以降入学者

河合 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に通じたり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語2 I

2017年度以降入学者

金 恩愛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 II

2017年度以降入学者

金 恩愛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約 100 語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを 3 つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は 2 名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 23 課	形容詞ともう 1 つの否定形
2	第 24 課	命令形と意思形
3	第 25 課	リウル語幹用言
4	第 26 課	形容詞の連体形
5	第 27 課	希望をあらわす「～したい」
6	第 28 課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第 29 課	パンマルとヘヨ体
8	第 30 課	ヘヨ体の尊敬形
9	第 31 課	指定詞のヘヨ体
10	第 32 課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第 33 課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第 34 課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第 35 課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計 1 時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は 1 年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1 年生の成績評価は期末テスト 80 パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20 パーセント、合計 100 パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後に Hoppii または WebClass で報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合は Hoppii または WebClass の報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語2 I

2017年度以降入学者

黒澤 朋子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。改訂版であることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 II

2017年度以降入学者

黒澤 朋子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語2 I

2017年度以降入学者

安 垣姫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。改訂版であることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 II

2017年度以降入学者

安 垠姫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 I

2017年度以降入学者

安 垣姫

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 土2/Sat.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

・朝鮮語の文字 (= ハングル) を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約 300 語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は 2 名の教員がリレー方式 (同一の教材を用いて一体の授業として行なう) によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト (基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く) をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課/第 2 課	基本母音字/子音字・その 1
2	第 3 課/第 4 課	子音字・その 2/子音字・その 3
3	第 5 課/コラム/第 6 課	用言の「ですます形」/漢字語と漢字音・その 1/7 つの終声
4	第 7 課/第 8 課	激音/合成母音字
5	第 9 課/第 10 課/コラム	濃音/連音・指定詞/文字の順序と名称
6	第 11 課/第 12 課	否定形と疑問形/漢数字
7	第 13 課/第 14 課	日本語のハングル表記/用言の連体形・その 1
8	第 15 課/コラム/第 16 課	子音語幹用言/外来語と外国地名/複数の用言をつなぐ
9	第 17 課/第 18 課	用言の連体形・その 2/固有数字とその単位
10	第 19 課	過去形その 1
11	第 20 課/コラム	過去形その 2/漢字語と漢字音・その 2
12	第 21 課	あいさつと尊敬形
13	第 22 課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計 1 時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社 (かならず「改訂版」を求めること! 旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください)。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします (一部の生協職員が「1 回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は 1 年生の必修授業で必ず履修するので第 1 回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください)。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は 1 年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1 年生の成績評価は期末テスト 80 パーセント、平常点 (小テストの成績の合計) 20 パーセント、合計 100 パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後に Hoppii または WebClass で報告します。
・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情 (病気など) 以外での欠席を避けてください。欠席した場合は Hoppii または WebClass の報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 II

2017年度以降入学者

安 垠姫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語(1) I

2017年度以降入学者

高柳 俊男

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語（1）」と「朝鮮語（2）」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。改訂版であることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語(1)Ⅱ

2017年度以降入学者

高柳 俊男

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語（1）」と「朝鮮語（2）」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついていますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語(2) I

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語（1）」と「朝鮮語（2）」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。改訂版であることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語(2)Ⅱ

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語（1）」と「朝鮮語（2）」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1

2017年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、朝鮮語の初級文法と語彙約400語を習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」「朝鮮語2」「朝鮮語5」は3名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テストをすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課／第3課	基本母音字／子音字・その1／子音字・その2
2	第4課／第5課／第6課	子音字・その3／用言の「ですます形」／7つの終声
3	第7課／第8課／第9課	激音／合成母音字／濃音
4	第10課／第11課／第12課	連音・指定詞／否定形と疑問形／漢数字
5	第13課／第14課／第15課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1／子音語幹用言
6	第16課／第17課／第18課	複数の用言をつなぐ／用言の連体形・その2／固有数字とその単位
7	第19課／第20課／第21課	過去形・その1／過去形・その2／あいさつと尊敬形
8	第22課／第23課／第24課	指定詞の否定形・用言の活用と語基／形容詞ともう1つの否定形／命令形と意思形
9	第25課／第26課／第27課	リウル語幹用言／形容詞の連体形／希望をあらわす「～したい」
10	第28課／第29課	勧誘をあらわす「～しましょう」／バンマルとヘヨ体
11	第30課／第31課	ヘヨ体の尊敬形／指定詞のヘヨ体
12	第32課／第33課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言／婉曲をあらわす「～しますが」
13	第34課／第35課	義務をあらわす「～しなければならぬ」／意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	「朝鮮語1」「朝鮮語2」「朝鮮語5」の期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は中辞典として小学館の『韓日辞典（旧：朝鮮語辞典）』、語彙数は少ないが文法・発音説明が充実しているものとして白水社の『コスモス朝和辞典』をお薦めします。後者は版元品切ですが、アマゾンで中古品を購入することができます。ただし悪徳業者に注意！評価が90パーセントに満たないところ（たとえばHave fun Japanなど）はすべて詐欺と断定してかまいません。在庫がないのに注文を受け、安いところから買って転売する、それができない場合向こうからキャンセルしてくるという手口です。

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、この成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。
※30%以上の欠席の場合は不合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。
・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。
・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【その他の重要事項】

・既習者も、「わかっているから」と思わずに、はじめから学び直すつもりで真剣に授業に参加してください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 400 new words, conjugation of verb or adjective and various sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 3

2017年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期の学習内容の定着を図りつつ、発音を丁寧に指摘したり、話せる力をつけたり、文章の力をつけていきます。

【到達目標】

正しい発音で、自然な読み方と簡単な日常の会話ができることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

課題の発表やテキストに沿って授業を進めます。会話が可能になることを前提した授業にします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習と授業の進め方について	復習と授業の進め方についての説明。
2	第1課 韓国語伸びましたね	会話の本文を読みます。
3	第1課 韓国語伸びましたね	本文の説明をします。
4	第1課 韓国語伸びましたね	練習問題
5	第2課 何限までありますか	会話の本文を読みます。
6	第2課 何限までありますか	本文の説明をします。
7	第2課 何限までありますか	練習問題
8	第3課 趣味は何ですか	会話の本文を読みます。
9	第3課 趣味は何ですか	本文の説明をします。
10	第3課 趣味は何ですか	練習問題
11	まとめ会話練習	会話の練習をします。
12	課題発表	発表をしてもらいます。
13	第4課 一年になりますね	会話の本文を読みます。
14	まとめと期末テスト	まとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回課題を出します。作文練習や読む練習、また、翻訳や内容のまとめを韓国でやってもらいます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『中級韓国語』（教室内で説明します）

【参考書】

授業で時々発表します。

【成績評価の方法と基準】

平常点・小テスト・課題など30%、期末試験70%。60点以上が合格点です。

※30%以上の欠席の場合は不合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

積極的に授業に参加してください。

諸事情によって、授業進行形式と内容が少々変わることもあります。

【Outline (in English)】

< Course outline > While continuing to study the contents covered in the spring semester, we will focus on improving your pronunciation and obtaining speaking and writing skills.

< Learning Objectives >

The goal is to be able to read naturally and have simple daily conversations with correct pronunciation.

< Learning activities outside of classroom >

I will give you an assignment every time. Repeat reading practice and so on.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語2

2017年度以降入学者

内山 政春

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、朝鮮語の初級文法と語彙約400語を習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」「朝鮮語2」「朝鮮語5」は3名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テストをすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課／第3課	基本母音字／子音字・その1／子音字・その2
2	第4課／第5課／第6課	子音字・その3／用言の「ですます形」／7つの終声
3	第7課／第8課／第9課	激音／合成母音字／濃音
4	第10課／第11課／第12課	連音・指定詞／否定形と疑問形／漢数字
5	第13課／第14課／第15課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1／子音語幹用言
6	第16課／第17課／第18課	複数の用言をつなぐ／用言の連体形・その2／固有数字とその単位
7	第19課／第20課／第21課	過去形・その1／過去形・その2／あいさつと尊敬形
8	第22課／第23課／第24課	指定詞の否定形・用言の活用と語基／形容詞ともう1つの否定形／命令形と意思形
9	第25課／第26課／第27課	リウル語幹用言／形容詞の連体形／希望をあらわす「～したい」
10	第28課／第29課	勧誘をあらわす「～しましょう」／バンマルとヘヨ体
11	第30課／第31課	ヘヨ体の尊敬形／指定詞のヘヨ体
12	第32課／第33課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言／婉曲をあらわす「～しますが」
13	第34課／第35課	義務をあらわす「～しなければならぬ」／意思をあらわす「～しますね」
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は中辞典として小学館の『韓日辞典（旧：朝鮮語辞典）』、語彙数は少ないが文法・発音説明が充実しているものとして白水社の『コスモス朝和辞典』をお薦めします。後者は版元品切ですが、アマゾンで中古品を購入することができます。ただし悪徳業者に注意！評価が90パーセントに満たないところ（たとえばHave fun Japanなど）はすべて詐欺と断定してかまいません。在庫がないのに注文を受け、安いところから買って転売する、それができない場合向こうからキャンセルしてくるという手口です。

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、この成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【その他の重要事項】

・既習者も、「わかっているから」と思わずに、はじめから学び直すつもりで真剣に授業に参加してください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 400 new words, conjugation of verb or adjective and various sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)		6	第4課	意思、推量をあらわすもう1つの形、接続形「～すると、～したら」、シオッ不規則用言、接続形「～していて」、接続形「～してこそ」、形容詞から動詞をつくる・その1、動詞のこそあどことば、「～したあとに、～してから」、やわらかい疑問詞疑問文、「～してしまう」、副詞をつくる語尾
朝鮮語 4				復習を兼ねた口頭練習を行いません。
2017年度以降入学者		7	口頭練習	用言の体言形・その1、「～することはする、～するにはする」、「～することにする」、「～しようと思う」、「～という」の短縮形、変化をあらわす助詞「～に」、いくつかの助詞、「～する方だ」、「～な方だ」、「～に比べて、～に比べると」、長い否定形、長い不可能形の助詞挿入
内山 政春		8	第5課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば、「～したりする、～だったりする」、「～に行く」と「～にくる」、疑問詞の不定詞的用法、「～という」の後半省略形、用言のこそあどことばの用法、根拠をもった推量「～するようだ、～のようだ」、過去形の過去形（大過去形）、推量をあらわす「～するはずだが」、助詞「～と」の話しことば、へヨ体の命令形、合成語の濃音化・その1
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水3/Wed.3		9	第6課	復習を兼ねた口頭練習を行いません。
単位数：1単位		10	口頭練習	もう1つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす2つの形・その1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」、指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう1つの形、用言の体言形を用いた表現・その1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
その他属性：		11	第7課	合成動詞「～していく」と「～してくる」、指定詞の否定形を用いた接続形、価格などをあらわす助詞「～で」、「～のもの」と濃音化、疑問形「～するの」、命令形「～しろ、～せよ」、平叙形「～する、～である」
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		12	第8課	復習を兼ねた口頭練習を行いません。
・春学期の学習内容を理解しているという前提で、文法と語彙をさらに学び、複雑な表現ができるようにつとめます。		13	口頭練習	テスト
【到達目標】		14	テスト	
・授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。				
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】				
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1				
【授業の進め方と方法】				
・「朝鮮語4」「朝鮮語6」「朝鮮語コミュニケーションⅠ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅でやってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。それぞれの授業で必要に応じ独自の教材も併用します。				
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】				
なし /No				
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】				
なし /No				
【授業計画】 授業形態：対面/face to face				
回	テーマ	内容		
1	春学期の復習、第1課	語基の復習、話しことばと書きことば		
2	第1課	接続形「～するから」、こそあどことばの用法、ビュッ不規則用言、「くださる」と「さしあげる」、「～してくださる」と「～してさしあげる」、よく用いられる謙讓形、「なる」の用法・その1		
3	第2課	動作終了後の「～している」、禁止形（勧誘と命令の否定形）、長い不可能形、他動詞と用いられる助詞「～に」、勧誘、命令をあらわすていねいな形、漢数字の粒読み、選択をあらわす助詞「～に」、「なる」の用法・その2		
4	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行いません。		
5	第3課	文中の疑問形「～する（の）か、～（の）か」、強調の表現「～のだ」、接続形「～するように」、存在詞と語尾の組み合わせ、感嘆をあらわすもう1つの形、方向をあらわす動詞、意思、推量をあらわす「～するつもりだから、～するはずだから」、助詞「～で、～に」		

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】
・共通テキスト：内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。春学期に用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』も参考書として活用してください。辞書は中辞典として小学館の『韓日辞典（旧：朝鮮語辞典）』。語彙数は少ないが文法・発音説明が充実しているものとして白水社の『コスモス朝和辞典』をお薦めします。後者は版元品切ですが、アマゾンで中古品を購入することができます。ただし悪徳業者に注意！評価が90パーセントに満たないところ（たとえばHave fun Japanなど）はすべて詐欺と断定してかまいません。在庫がないのに注文を受け、安いところから買って転売する、それができない場合向こうからキャンセルしてくるという手口です。

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。

【学生の意見等からの気づき】

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【その他の重要事項】

・既習者も、「わかっているから」と思わずに、はじめから学び直すつもりで真剣に授業に参加してください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar and vocabulary in detail on the premise what you learned in the spring semester have been mastered enough.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 5

2017年度以降入学者

高柳 俊男

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、朝鮮語の初級文法と語彙約400語を習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」「朝鮮語2」「朝鮮語5」は3名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テストをすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課／第3課	基本母音字／子音字・その1／子音字・その2
2	第4課／第5課／第6課	子音字・その3／用言の「ですます形」／7つの終声
3	第7課／第8課／第9課	激音／合成母音字／濃音
4	第10課／第11課／第12課	連音・指定詞／否定形と疑問形／漢数字
5	第13課／第14課／第15課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1／子音語幹用言
6	第16課／第17課／第18課	複数の用言をつなぐ／用言の連体形・その2／固有数字とその単位
7	第19課／第20課／第21課	過去形・その1／過去形・その2／あいさつと尊敬形
8	第22課／第23課／第24課	指定詞の否定形・用言の活用と語基／形容詞ともう1つの否定形／命令形と意思形
9	第25課／第26課／第27課	リウル語幹用言／形容詞の連体形／希望をあらわす「～したい」
10	第28課／第29課	勧誘をあらわす「～しましょう」／パンマルとヘヨ体
11	第30課／第31課	ヘヨ体の尊敬形／指定詞のヘヨ体
12	第32課／第33課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言／婉曲をあらわす「～しますが」
13	第34課／第35課	義務をあらわす「～しなければならぬ」／意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	「朝鮮語1」「朝鮮語2」「朝鮮語5」の期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること。旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください。）

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は中辞典として小学館の『韓日辞典（旧：朝鮮語辞典）』、語彙数は少ないが文法・発音説明が充実しているものとして白水社の『コスモス朝和辞典』をお薦めします。後者は版元品切ですが、アマゾンで中古品を購入することができます。ただし悪徳業者に注意！評価が90パーセントに満たないところ（たとえばHave fun Japanなど）はすべて詐欺と断定してかまいません。在庫がないのに注文を受け、安いところから買って転売する、それができない場合向こうからキャンセルしてくるという手口です。

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、この成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【その他の重要事項】

・既習者も、「わかっているから」と思わずに、はじめから学び直すつもりで真剣に授業に参加してください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 400 new words, conjugation of verb or adjective and various sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)		6	第4課	意思、推量をあらわすもう1つの形、接続形「～すると、～したら」、シオッ不規則用言、接続形「～していて」、接続形「～してこそ」、形容詞から動詞をつくる・その1、動詞のこそあどことば、「～したあとに、～してから」、やわらかい疑問詞疑問文、「～してしまう」、副詞をつくる語尾
朝鮮語 6				復習を兼ねた口頭練習を行いません。
高柳 俊男		7	口頭練習	用言の体言形・その1、「～することはする、～するにはする」、
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金3/Fri.3		8	第5課	「～することにする」、
単位数：1単位				「～しよう」と思う、「～という」の短縮形、
その他属性：				変化をあらわす助詞「～に」、いくつかの助詞、「～する方だ」、
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】				「～な方だ」、「～に比べて、～に比べると」、長い否定形、長い不可能形の助詞挿入
・春学期の学習内容を理解しているという前提で、文法と語彙をさらに学び、複雑な表現ができるようにつとめます。		9	第6課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば、「～したりする、～だったりする」、
【到達目標】				「～に行く」と「～にくる」、疑問詞の不定詞的用法、「～という」の後半省略形、用言のこそあどことばの用法、根拠をもった推量「～するようだ、～のようだ」、
・授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。		10	口頭練習	過去形の過去形（大過去形）、推量をあらわす「～するはずだが」、助詞「～と」の話しことば、へヨ体の命令形、合成語の濃音化・その1
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		11	第7課	復習を兼ねた口頭練習を行いません。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1				もう1つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす2つの形・その1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」、
【授業の進め方と方法】				指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう1つの形、用言の体言形を用いた表現・その1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
「朝鮮語4」「朝鮮語6」「朝鮮語コミュニケーションⅠ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅でやってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。それぞれの授業で必要に応じ独自の教材も併用します。		12	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」、指定詞の否定形を用いた接続形、価格などをあらわす助詞「～で」、「～のもの」と濃音化、疑問形「～するの」、命令形「～しろ、～せよ」、平叙形「～する、～である」
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】		13	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行いません。
なし /No		14	テスト	テスト
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】				【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
なし /No				・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となります。
【授業計画】 授業形態：対面/face to face				・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。
回	テーマ	内容		【テキスト（教科書）】
1	春学期の復習、第1課	語基の復習、話しことばと書きことば		・共通テキスト：内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社
2	第1課	接続形「～するから」、こそあどことばの用法、ビウプ不規則用言、「くださる」と「さしあげる」、		
3	第2課	「～してくださる」と「～してさしあげる」、よく用いられる謙讓形、「なる」の用法・その1動作終了後の「～している」、禁止形（勧誘と命令の否定形）、長い不可能形、他動詞と用いられる助詞「～に」、勧誘、命令をあらわすていねいな形、漢数字の粒読み、選択をあらわす助詞		
4	口頭練習	「～に」、「なる」の用法・その2復習を兼ねた口頭練習を行いません。		
5	第3課	文中の疑問形「～する（の）か、～（の）か」、強調の表現「～のだ」、接続形「～するように」、存在詞と語尾の組み合わせ、感嘆をあらわすもう1つの形、方向をあらわす動詞、意思、推量をあらわす「～するつもりだから、～するはずだから」、助詞「～で、～に」		

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。春学期に用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』も参考書として活用してください。辞書は中辞典として小学館の『韓日辞典（旧：朝鮮語辞典）』。語彙数は少ないが文法・発音説明が充実しているものとして白水社の『コスモス朝和辞典』をお薦めします。後者は版元品切ですが、アマゾンで中古品を購入することができます。ただし悪徳業者に注意！評価が90パーセントに満たないところ（たとえばHave fun Japanなど）はすべて詐欺と断定してかまいません。在庫がないのに注文を受け、安いところから買って転売する、それができない場合向こうからキャンセルしてくるという手口です。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。

【学生の意見等からの気づき】

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【その他の重要事項】

・既習者も、「わかっているから」と思わずに、はじめから学び直すつもりで真剣に授業に参加してください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar and vocabulary in detail on the premise what you learned in the spring semester have been mastered enough.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1

2017年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に通目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 3

2017年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語3」と「朝鮮語4」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2

2017年度以降入学者

内山 政春

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 4

2017年度以降入学者

内山 政春

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語3」と「朝鮮語4」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついていますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 - I

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月 1/Mon.1

単位数: 1 単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

・朝鮮語の文字 (= ハングル) を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約 300 語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は 2 名の教員がリレー方式 (同一の教材を用いて一体の授業として行なう) によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト (基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く) をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課／第 2 課	基本母音字／子音字・その 1
2	第 3 課／第 4 課	子音字・その 2／子音字・その 3
3	第 5 課／コラム／第 6 課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その 1／7 つの終声
4	第 7 課／第 8 課	激音／合成母音字
5	第 9 課／第 10 課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第 11 課／第 12 課	否定形と疑問形／漢数字
7	第 13 課／第 14 課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その 1
8	第 15 課／コラム／第 16 課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第 17 課／第 18 課	用言の連体形・その 2／固有数字とその単位
10	第 19 課	過去形その 1
11	第 20 課／コラム	過去形その 2／漢字語と漢字音・その 2
12	第 21 課	あいさつと尊敬形
13	第 22 課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計 1 時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社 (かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。改訂版であることを承知しておいてください)。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします (一部の生協職員が「1 回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は 1 年生の必修授業で必ず履修するので第 1 回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください)。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は 1 年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1 年生の成績評価は期末テスト 80 パーセント、平常点 (小テストの成績の合計) 20 パーセント、合計 100 パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後に Hoppii または WebClass で報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に通目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情 (病気など) 以外での欠席を避けてください。欠席した場合は Hoppii または WebClass の報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 - II

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約 100 語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを 3 つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は 2 名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 23 課	形容詞ともう 1 つの否定形
2	第 24 課	命令形と意思形
3	第 25 課	リウル語幹用言
4	第 26 課	形容詞の連体形
5	第 27 課	希望をあらわす「～したい」
6	第 28 課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第 29 課	パンマルとヘヨ体
8	第 30 課	ヘヨ体の尊敬形
9	第 31 課	指定詞のヘヨ体
10	第 32 課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第 33 課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第 34 課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第 35 課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・本授業の準備・復習時間は、合計 1 時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は 1 年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1 年生の成績評価は期末テスト 80 パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20 パーセント、合計 100 パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後に Hoppii または WebClass で報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついていますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合は Hoppii または WebClass の報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 - I

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水1/Wed.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

・朝鮮語の文字 (= ハングル) を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約 300 語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は 2 名の教員がリレー方式 (同一の教材を用いて一体の授業として行なう) によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト (基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く) をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課／第 2 課	基本母音字／子音字・その 1
2	第 3 課／第 4 課	子音字・その 2／子音字・その 3
3	第 5 課／コラム／第 6 課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その 1／7 つの終声
4	第 7 課／第 8 課	激音／合成母音字
5	第 9 課／第 10 課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第 11 課／第 12 課	否定形と疑問形／漢数字
7	第 13 課／第 14 課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その 1
8	第 15 課／コラム／第 16 課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第 17 課／第 18 課	用言の連体形・その 2／固有数字とその単位
10	第 19 課	過去形その 1
11	第 20 課／コラム	過去形その 2／漢字語と漢字音・その 2
12	第 21 課	あいさつと尊敬形
13	第 22 課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計 1 時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社 (かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください)。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします (一部の生協職員が「1 回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は 1 年生の必修授業で必ず履修するので第 1 回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください)。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は 1 年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1 年生の成績評価は期末テスト 80 パーセント、平常点 (小テストの成績の合計) 20 パーセント、合計 100 パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後に Hoppii または WebClass で報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情 (病気など) 以外での欠席を避けてください。欠席した場合は Hoppii または WebClass の報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 - II

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約 100 語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを 3 つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は 2 名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 23 課	形容詞ともう 1 つの否定形
2	第 24 課	命令形と意思形
3	第 25 課	リウル語幹用言
4	第 26 課	形容詞の連体形
5	第 27 課	希望をあらわす「～したい」
6	第 28 課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第 29 課	パンマルとヘヨ体
8	第 30 課	ヘヨ体の尊敬形
9	第 31 課	指定詞のヘヨ体
10	第 32 課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第 33 課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第 34 課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第 35 課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計 1 時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は 1 年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1 年生の成績評価は期末テスト 80 パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20 パーセント、合計 100 パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後に Hoppii または WebClass で報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合は Hoppii または WebClass の報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 - I

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 - II

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 - I

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月2/Mon.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

・朝鮮語の文字 (= ハングル) を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約 300 語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は 2 名の教員がリレー方式 (同一の教材を用いて一体の授業として行なう) によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト (基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く) をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課／第 2 課	基本母音字／子音字・その 1
2	第 3 課／第 4 課	子音字・その 2／子音字・その 3
3	第 5 課／コラム／第 6 課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その 1／7 つの終声
4	第 7 課／第 8 課	激音／合成母音字
5	第 9 課／第 10 課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第 11 課／第 12 課	否定形と疑問形／漢数字
7	第 13 課／第 14 課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その 1
8	第 15 課／コラム／第 16 課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第 17 課／第 18 課	用言の連体形・その 2／固有数字とその単位
10	第 19 課	過去形その 1
11	第 20 課／コラム	過去形その 2／漢字語と漢字音・その 2
12	第 21 課	あいさつと尊敬形
13	第 22 課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計 1 時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社 (かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください)。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします (一部の生協職員が「1 回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は 1 年生の必修授業で必ず履修するので第 1 回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください)。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は 1 年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1 年生の成績評価は期末テスト 80 パーセント、平常点 (小テストの成績の合計) 20 パーセント、合計 100 パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後に Hoppii または WebClass で報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に通目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情 (病気など) 以外での欠席を避けてください。欠席した場合は Hoppii または WebClass の報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 - II

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語2-I

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木2/Thu.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

・朝鮮語の文字 (= ハングル) を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式 (同一の教材を用いて一体の授業として行なう) によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト (基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く) をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課/第2課	基本母音字/子音字・その1
2	第3課/第4課	子音字・その2/子音字・その3
3	第5課/コラム/第6課	用言の「ですます形」/漢字語と漢字音・その1/7つの終声
4	第7課/第8課	激音/合成母音字
5	第9課/第10課/コラム	濃音/連音・指定詞/文字の順序と名称
6	第11課/第12課	否定形と疑問形/漢数字
7	第13課/第14課	日本語のハングル表記/用言の連体形・その1
8	第15課/コラム/第16課	子音語幹用言/外来語と外国地名/複数の用言をつなぐ
9	第17課/第18課	用言の連体形・その2/固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課/コラム	過去形その2/漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社 (かならず「改訂版」を求めること! 旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください)。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします (一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください)。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点 (小テストの成績の合計) 20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後にHoppii またはWebClassで報告します。
・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に通目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情 (病気など) 以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppii またはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 - II

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついていますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語2-I

2017年度以降入学者

黒澤 朋子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 - II

2017年度以降入学者

黒澤 朋子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約 100 語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを 3 つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は 2 名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 23 課	形容詞ともう 1 つの否定形
2	第 24 課	命令形と意思形
3	第 25 課	リウル語幹用言
4	第 26 課	形容詞の連体形
5	第 27 課	希望をあらわす「～したい」
6	第 28 課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第 29 課	パンマルとヘヨ体
8	第 30 課	ヘヨ体の尊敬形
9	第 31 課	指定詞のヘヨ体
10	第 32 課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第 33 課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第 34 課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第 35 課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・本授業の準備・復習時間は、合計 1 時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は 1 年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1 年生の成績評価は期末テスト 80 パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20 パーセント、合計 100 パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後に Hoppii または WebClass で報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合は Hoppii または WebClass の報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 - I

2017年度以降入学者

黒澤 朋子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 5/Fri.5

単位数: 1 単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

・朝鮮語の文字 (= ハングル) を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約 300 語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は 2 名の教員がリレー方式 (同一の教材を用いて一体の授業として行なう) によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト (基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く) をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課／第 2 課	基本母音字／子音字・その 1
2	第 3 課／第 4 課	子音字・その 2／子音字・その 3
3	第 5 課／コラム／第 6 課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その 1／7 つの終声
4	第 7 課／第 8 課	激音／合成母音字
5	第 9 課／第 10 課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第 11 課／第 12 課	否定形と疑問形／漢数字
7	第 13 課／第 14 課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その 1
8	第 15 課／コラム／第 16 課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第 17 課／第 18 課	用言の連体形・その 2／固有数字とその単位
10	第 19 課	過去形その 1
11	第 20 課／コラム	過去形その 2／漢字語と漢字音・その 2
12	第 21 課	あいさつと尊敬形
13	第 22 課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計 1 時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社 (かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。改訂版であることを承知しておいてください)。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします (一部の生協職員が「1 回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は 1 年生の必修授業で必ず履修するので第 1 回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください)。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は 1 年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1 年生の成績評価は期末テスト 80 パーセント、平常点 (小テストの成績の合計) 20 パーセント、合計 100 パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後に Hoppii または WebClass で報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に通目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情 (病気など) 以外での欠席を避けてください。欠席した場合は Hoppii または WebClass の報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 - II

2017年度以降入学者

黒澤 朋子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約 100 語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを 3 つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は 2 名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 23 課	形容詞ともう 1 つの否定形
2	第 24 課	命令形と意思形
3	第 25 課	リウル語幹用言
4	第 26 課	形容詞の連体形
5	第 27 課	希望をあらわす「～したい」
6	第 28 課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第 29 課	パンマルとヘヨ体
8	第 30 課	ヘヨ体の尊敬形
9	第 31 課	指定詞のヘヨ体
10	第 32 課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第 33 課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第 34 課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第 35 課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・本授業の準備・復習時間は、合計 1 時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は 1 年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1 年生の成績評価は期末テスト 80 パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20 パーセント、合計 100 パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後に Hoppii または WebClass で報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合は Hoppii または WebClass の報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語2-I

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木1/Thu.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

・朝鮮語の文字 (= ハングル) を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式 (同一の教材を用いて一体の授業として行なう) によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト (基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く) をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課/第2課	基本母音字/子音字・その1
2	第3課/第4課	子音字・その2/子音字・その3
3	第5課/コラム/第6課	用言の「ですます形」/漢字語と漢字音・その1/7つの終声
4	第7課/第8課	激音/合成母音字
5	第9課/第10課/コラム	濃音/連音・指定詞/文字の順序と名称
6	第11課/第12課	否定形と疑問形/漢数字
7	第13課/第14課	日本語のハングル表記/用言の連体形・その1
8	第15課/コラム/第16課	子音語幹用言/外来語と外国地名/複数の用言をつなぐ
9	第17課/第18課	用言の連体形・その2/固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課/コラム	過去形その2/漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社 (かならず「改訂版」を求めること! 旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。改訂版であることを承知しておいてください)。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします (一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください)。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点 (小テストの成績の合計) 20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後にHoppii またはWebClassで報告します。
・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に通目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情 (病気など) 以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppii またはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 - II

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約 100 語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを 3 つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は 2 名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 23 課	形容詞ともう 1 つの否定形
2	第 24 課	命令形と意思形
3	第 25 課	リウル語幹用言
4	第 26 課	形容詞の連体形
5	第 27 課	希望をあらわす「～したい」
6	第 28 課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第 29 課	パンマルとヘヨ体
8	第 30 課	ヘヨ体の尊敬形
9	第 31 課	指定詞のヘヨ体
10	第 32 課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第 33 課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第 34 課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第 35 課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計 1 時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は 1 年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1 年生の成績評価は期末テスト 80 パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20 パーセント、合計 100 パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後に Hoppii または WebClass で報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合は Hoppii または WebClass の報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。改訂版であることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 3

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語3」と「朝鮮語4」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウツ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2

2017年度以降入学者

黒澤 朋子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木3/Thu.3

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

・朝鮮語の文字 (= ハングル) を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は2名の教員がリレー方式 (同一の教材を用いて一体の授業として行なう) によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト (基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く) をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社 (かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください)。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします (一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください)。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点 (小テストの成績の合計) 20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppii またはWebClassで報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情 (病気など) 以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppii またはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA（朝鮮語 / Korean language education 100）

朝鮮語 4

2017年度以降入学者

黒澤 朋子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語3」と「朝鮮語4」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 I

2017年度以降入学者

安 垣姫

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水3/Wed.3

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

・朝鮮語の文字 (= ハングル) を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式 (同一の教材を用いて一体の授業として行なう) によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト (基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く) をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課/第2課	基本母音字/子音字・その1
2	第3課/第4課	子音字・その2/子音字・その3
3	第5課/コラム/第6課	用言の「ですます形」/漢字語と漢字音・その1/7つの終声
4	第7課/第8課	激音/合成母音字
5	第9課/第10課/コラム	濃音/連音・指定詞/文字の順序と名称
6	第11課/第12課	否定形と疑問形/漢数字
7	第13課/第14課	日本語のハングル表記/用言の連体形・その1
8	第15課/コラム/第16課	子音語幹用言/外来語と外国地名/複数の用言をつなぐ
9	第17課/第18課	用言の連体形・その2/固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課/コラム	過去形その2/漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社 (かならず「改訂版」を求めること! 旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください)。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします (一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください)。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点 (小テストの成績の合計) 20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後にHoppii またはWebClassで報告します。

・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情 (病気など) 以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppii またはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 II

2017年度以降入学者

安 垠姫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 I

2017年度以降入学者

李 憲臣

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。改訂版であることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 II

2017年度以降入学者

李 蕙臣

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 I

2017年度以降入学者

河合 紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。改訂版であることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 1 II

2017年度以降入学者

河合 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約 100 語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを 3 つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は 2 名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 23 課	形容詞ともう 1 つの否定形
2	第 24 課	命令形と意思形
3	第 25 課	リウル語幹用言
4	第 26 課	形容詞の連体形
5	第 27 課	希望をあらわす「～したい」
6	第 28 課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第 29 課	パンマルとヘヨ体
8	第 30 課	ヘヨ体の尊敬形
9	第 31 課	指定詞のヘヨ体
10	第 32 課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第 33 課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第 34 課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第 35 課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計 1 時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は 1 年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1 年生の成績評価は期末テスト 80 パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20 パーセント、合計 100 パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後に Hoppii または WebClass で報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついていますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合は Hoppii または WebClass の報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 I

2017年度以降入学者

石田 美智代

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。改訂版であることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 II

2017年度以降入学者

石田 美智代

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約 100 語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを 3 つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は 2 名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 23 課	形容詞ともう 1 つの否定形
2	第 24 課	命令形と意思形
3	第 25 課	リウル語幹用言
4	第 26 課	形容詞の連体形
5	第 27 課	希望をあらわす「～したい」
6	第 28 課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第 29 課	パンマルとヘヨ体
8	第 30 課	ヘヨ体の尊敬形
9	第 31 課	指定詞のヘヨ体
10	第 32 課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第 33 課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第 34 課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第 35 課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計 1 時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は 1 年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1 年生の成績評価は期末テスト 80 パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20 パーセント、合計 100 パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後に Hoppii または WebClass で報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合は Hoppii または WebClass の報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 I

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 土 1/Sat.1

単位数: 1 単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

・朝鮮語の文字 (= ハングル) を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約 300 語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は 2 名の教員がリレー方式 (同一の教材を用いて一体の授業として行なう) によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト (基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く) をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし /No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課/第 2 課	基本母音字/子音字・その 1
2	第 3 課/第 4 課	子音字・その 2/子音字・その 3
3	第 5 課/コラム/第 6 課	用言の「ですます形」/漢字語と漢字音・その 1/7 つの終声
4	第 7 課/第 8 課	激音/合成母音字
5	第 9 課/第 10 課/コラム	濃音/連音・指定詞/文字の順序と名称
6	第 11 課/第 12 課	否定形と疑問形/漢数字
7	第 13 課/第 14 課	日本語のハングル表記/用言の連体形・その 1
8	第 15 課/コラム/第 16 課	子音語幹用言/外来語と外国地名/複数の用言をつなぐ
9	第 17 課/第 18 課	用言の連体形・その 2/固有数字とその単位
10	第 19 課	過去形その 1
11	第 20 課/コラム	過去形その 2/漢字語と漢字音・その 2
12	第 21 課	あいさつと尊敬形
13	第 22 課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計 1 時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社 (かならず「改訂版」を求めること! 旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください)。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします (一部の生協職員が「1 回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は 1 年生の必修授業で必ず履修するので第 1 回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください)。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は 1 年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1 年生の成績評価は期末テスト 80 パーセント、平常点 (小テストの成績の合計) 20 パーセント、合計 100 パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後に Hoppii または WebClass で報告します。
・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情 (病気など) 以外での欠席を避けてください。欠席した場合は Hoppii または WebClass の報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 II

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約 100 語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを 3 つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 1」と「朝鮮語 2」は 2 名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 23 課	形容詞ともう 1 つの否定形
2	第 24 課	命令形と意思形
3	第 25 課	リウル語幹用言
4	第 26 課	形容詞の連体形
5	第 27 課	希望をあらわす「～したい」
6	第 28 課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第 29 課	パンマルとヘヨ体
8	第 30 課	ヘヨ体の尊敬形
9	第 31 課	指定詞のヘヨ体
10	第 32 課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第 33 課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第 34 課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第 35 課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計 1 時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は 1 年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1 年生の成績評価は期末テスト 80 パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20 パーセント、合計 100 パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後に Hoppii または WebClass で報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合は Hoppii または WebClass の報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANK100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語2 I

2017年度以降入学者

黒澤 朋子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・朝鮮語の文字（＝ハングル）を学び、その上で文法の初歩を学びます。

【到達目標】

・文字の読み書きができるようになること、基本的な語彙約300語を習得し、ごく簡単な文が作れるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をボタンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課／第2課	基本母音字／子音字・その1
2	第3課／第4課	子音字・その2／子音字・その3
3	第5課／コラム／第6課	用言の「ですます形」／漢字語と漢字音・その1／7つの終声
4	第7課／第8課	激音／合成母音字
5	第9課／第10課／コラム	濃音／連音・指定詞／文字の順序と名称
6	第11課／第12課	否定形と疑問形／漢数字
7	第13課／第14課	日本語のハングル表記／用言の連体形・その1
8	第15課／コラム／第16課	子音語幹用言／外来語と外国地名／複数の用言をつなぐ
9	第17課／第18課	用言の連体形・その2／固有数字とその単位
10	第19課	過去形その1
11	第20課／コラム	過去形その2／漢字語と漢字音・その2
12	第21課	あいさつと尊敬形
13	第22課	指定詞の否定形・用言の活用と語基
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがあります。そのことを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします（一部の生協職員が「1回目は様子見だから教科書は不要だ」と言うことがありますが、それは履修を決めていない授業の場合です。この授業は1年生の必修授業で必ず履修するので第1回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください）。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進捗や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。
・授業の進捗は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。
・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。
・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせず次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。
・春学期は合格して秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we learn the Korean alphabet called Hangeul, as well as basic Korean vocabulary and grammar.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to master Korean alphabet, about 300 new words and simple sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

LANk100LA (朝鮮語 / Korean language education 100)

朝鮮語 2 II

2017年度以降入学者

黒澤 朋子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・文字と発音が習得できているという前提で、朝鮮語の初級文法と語彙約100語をさらに習得します。また用言（動詞、形容詞など）に関しては活用のしかたを3つのパターンにわけて学習し、より幅広い表現ができるよう図っていきます。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができる、できれば声に出して言えることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語1」と「朝鮮語2」は2名の教員がリレー方式（同一の教材を用いて一体の授業として行なう）によって授業を進めます。毎回の授業で学んだ内容をバトンタッチした次の教員が小テスト（基本的には日本語を聞いて対応する朝鮮語を書く）をすることで学習内容の定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第23課	形容詞ともう1つの否定形
2	第24課	命令形と意思形
3	第25課	リウル語幹用言
4	第26課	形容詞の連体形
5	第27課	希望をあらわす「～したい」
6	第28課	勧誘をあらわす「～しましょう」
7	第29課	パンマルとヘヨ体
8	第30課	ヘヨ体の尊敬形
9	第31課	指定詞のヘヨ体
10	第32課	ル不規則用言とヒウッ不規則用言
11	第33課	婉曲をあらわす「～しますが」
12	第34課	義務をあらわす「～しなければならぬ」
13	第35課	意思をあらわす「～しますね」
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。何度も繰り返し書くこと、また恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』白水社（かならず「改訂版」を求めること！旧版とはところどころ内容が異なります。改訂版でも新品と中古品とでは僅かながら表現などに違いがありうることを承知しておいてください）。ウェブ書店ではなく大学生協で購入することを強くお勧めします。

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。また辞書は1年生の間は不要です。

【成績評価の方法と基準】

・1年生の成績評価は期末テスト80パーセント、平常点（小テストの成績の合計）20パーセント、合計100パーセントとして計算します。平常点とは「出席している」だけで得られるものではないことに留意してください。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・毎回の授業の進度や小テストの範囲は毎授業後にHoppiiまたはWebClassで報告します。

・授業の進度は当然ながら朝鮮語にまったく接したことのない初心者に合わせています。

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせていくようにしてください。

【その他の重要事項】

・準備・復習にウェブ辞書を用いるのは、特に初歩を学ぶこのような授業ではまったくお勧めできません。教材に単語索引がついてますので、それを使いこなせるようになってください。

・やむを得ない事情（病気など）以外での欠席を避けてください。欠席した場合はHoppiiまたはWebClassの報告を見た上で進んだ箇所まで目を通し、わからないところはそのままにせずに次の出席時に担当教員やクラスメートに確認するようにしてください。

・春学期は合格していて秋学期のみ再履修の受講者は、春学期の授業内容をよく把握しておいてください。秋学期から受講しようとしても、そこで秋学期授業のレベルについていけず再々履修を余儀なくされる例が過去に少なからずあったからです。春学期の最初の授業で、担当教員に相談することをお勧めします。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar in detail on the premise that the Korean alphabet and its pronunciation have been mastered.

< Learning Objectives >

The goal of this course is to about 100 new words, conjugation of verb or adjective and more complex sentences.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 80%, Mini examinations: 20%.

